

2019/11/25

「応用地質用語集」

本用語集は発刊から 15 年以上が経過し、用語自体あるいは説明文が現在では修正あるいは棄却されているものが含まれているので、使用には十分に注意されたい。

1. はじめに

応用地質用語集出版のそもそもの発端は、1988年秋の理事会において、一理事から用語集作成の発案がなされたことに始まる。この発案を受けて、理事会での承認の後1989年の年度始めに研究企画委員会内に準備ワーキンググループ(WG)が組織された。このWGで用語集の暫定的な編集基本方針を検討した上で、委員会組織の立ち上げ準備を行い、1990年夏に委員会が設置されWGは発展的に役割を終えた。

こうして設置された応用地質用語集委員会は同年10月に第1回会合をもち、その後10年以上に及ぶ委員会活動の出発点となった。1991年2月には、用語集に盛り込む用語の収集と選定を用語内容に応じた分野別に行うために、5つの収集選定WG(第1分野:地形・地質の基本用語、第2分野:調査・試験・計測関係用語、第3分野:設計・施工関係用語、第4分野:環境・防災関係用語、第5分野:その他の用語)が設置された。さらに、収集・選定された用語のために、パソコンWGも組織されて、実質的な作業を開始した。

用語の収集は、各種事典・辞典類、各種学会誌・論文集、一般技術誌、各種基準類などを手がかりとして、応用地質に何らかの関連ある用語をまずは出来るだけ多く集めることが目標とされた。この作業は上記各WGによって精力的に進められたが、それまでに出版された多数の出版物を網羅したために、結果的には約4年を要し1995年初頭までに一次候補用語として65,830語が収集された。その後引き続いて、収集用語の分野間の重複や特定固有名詞の削除、さらに用語の重要度等からの絞り込み作業を行った。

一方、用語集の内容体裁として当初提案されたイメージは、“Glossary of Geology”的なものであって、用語の説明文は出来るだけ簡明なものとし、そのかわりに出来るだけ多数の用語を網羅して、手軽に用語の概念を理解出来るようなものを、ということであった。正式発足した用語集委員会において、議論された用語編集基本方針の主要項目は次の通りである。

応用地質に関連する多分野の用語を広汎、かつ多数含むものとする。

説明文は簡明なものとし、説明用の図表はつけない。

全ての用語に英語訳を併記する。

巻末に参考図表を添付する。

1995年夏には、以上のような用語集内容や出版形態、希望価格などについて広く学会員のニーズを把握するためにアンケート調査が実施された。アンケートは195名に発送し138名から回答が得られた(回収率70%)。この結果を参考にして、用語数を多くしてすべての用語に50字程度の解説文を付けるというスタイルが確定した。出版形態については冊子方式での出版希望が多かったが、その後の急激なPC及びCDファイルの普及を鑑みて、利用者にとっての利便性と低価格性から出版形態はCD-ROMによることになった。

解説文の執筆については、用語数が膨大なので少人数による執筆では負担が大きすぎ、発行時期の見通しが立たないであろうと予想された。執筆陣の具体化を検討していく過程

で、1998年には学会が40周年という節目を迎えるので、用語集の発行をその記念事業の一つととらえたらどうかという考えが浮かび上がった。その具体化として、解説文の執筆を広く会員諸氏に協力願い、用語集発行を会員諸氏の成果とすることができれば記念事業として意義深いものと考えられた。

この方針にしたがって、1996年には用語表記様式を定めた上で、多数の用語解説文執筆者を想定した執筆要領と原稿提出要領を作成した。実際の解説文執筆は、以後の連絡の都合から、会員数が8名以上在籍する組織に依頼することとした。この結果、会員数に応じて、執筆依頼用語数を調整し、1997年2月に至って42の機関・団体に執筆要領などを添えて一斉に依頼文書が発送された。この時点で、用語数は19,800に絞り込まれていた。この依頼文書発送後、用語解説原稿の回収に備えて、用語集委員会の組織を改め、編集部会、査読部会ならびに顧問会が編成された。

用語解説原稿執筆の締め切りは、依頼から3カ月後の5月末であったが、年間で最も忙しい時期にあたる年度末と重なったため、やはり無理があったようで、予定期日通りの回収は全用語の10%に満たなかった。この後も、執筆担当者の多忙のために、原稿回収は遅々として進まず、予想を大幅に超える遅れとなった。依頼してから1年経った1998年2月時点でも回収率70%、4月にしてようやく90%となったが、さらにまた年を越えて2年後の2000年になっても、回収終了とはならず、ついには未回収用語を用語集委員が執筆するという事になった。不本意ながら40周年事業に間に合うことなく、用語解説文の執筆に3年を要したことになる。

この間に回収済みの用語解説文に対する査読作業も同時進行的に進められていた。この作業も予想外に難航するものとなった。理由は解説内容が必ずしも適切とはいえないケースが多かったということにつける。このために、修正・訂正のみならず、元の執筆者には申し訳ないと思いつつも、解説文そのものを新たに書き換えるということも相当数必要であり、多大な時間を要した。さらに新たに発掘される用語もあり、この執筆も加わった。

編集部会では、回収された用語解説文をパソコン入力して査読に回す一方で、査読修正後の解説文の再入力と校正を行った。また、付属添付資料の作成、出版形態についての調査を行うとともに、査読部会をサポートするために用語執筆作業をも行うという多面的な活動を余儀なくされた。

2001年秋になって、ようやく一部を除いて査読作業のめどがつき、全用語を通読する段階に入ることができた。この通読作業の目的は、査読部会委員全員の目を通して、解説文の表現の統一、同義語の整理などを行うことにあった。しかしながら、いざ実行にかかってみると、正すべき点がいよいよ多数出てきて、この一次通読としての整理、処理が2003年春まで約1.5年を要した。この時点で残った選定用語17,825語について発行段階のスタイルに並べ替えた後、全体のトーン合わせ、解説文内容の最終チェック及び校正を目的に2003年4月～同6月に本委員会内で手分けして二次通読を実施した。

この作業が終了後、用語集としての最終的スタイルに整えた原稿一式を2003年10月から2004年3月の間に顧問会の先生方に査読していただき、追加修正のうえここによ

く収録用語数約 18,800 語の本用語集の完成を得た次第である。

以上が、応用地質用語集誕生までの経緯である。用語集を出版しようという声が上がってから 15 年を要した。これほどの永年月を要することになるとは、いったい誰が予想したであろうか。この用語集の作成に関わってきた多くの会員、そして担当の委員は決して時間を無駄にしてきたわけではない。ただ、作成のすべての過程を自らの手だけで行おうとしたこと、それもとりわけ忙しい人たちが日常の仕事の合間を縫って何とか時間を作って少しずつすすめてきたこと、そして多くの会員が関わったこの事業の成果を出来るだけ良い形で残したいという精一杯の努力が、結果的に 15 年を要したわけである。

この年月の間に社会は大きく変化した。用語の選定、解説文の内容がこうしたニーズの変化に充分に対応しているか、我々委員としても自信がない。この用語集は全会員による手作り用語集である。初版の誕生は大変な難産であったが、今後会員はもとより会員以外にも広く有効に活用され、また適宜に追加・修正され改訂の版を重ねて、より一層充実されたものに、そしてさらに使い勝手の良いものに育っていくことを切に願っている。

2004 年（平成 16 年）5 月

日本応用地質学会 応用地質用語集委員会

用語	用語の読み	用語の英訳	用語の解説
アーカンサス石	あーかんさすいし	Arkansas stone	米国アーカンサス州のオツアーク山地に産するノバキュライト(novaculite:ほとんど微晶質石英からなるチャートの一種)で,刃物の砥石として利用.
アークシューティング	あーくしゅーていんぐ	arc shooting	弧状展開爆発法と同義.
アークトレンチギャップ	あーくとれんちぎやっぷ	arc-trench gap	島弧と海溝のそれぞれの中心軸の間の地帯で大陸プレートと海洋プレートの間にある変動の激しい部分.島弧-海溝間隙のこと.
AASHO道路試験	あーしょおどうろしけん	AASHO road test	AASHOにより1956~1960年に行われた道路の舗装や路盤に関する大規模な試験. AASHO:American Association of State Highway Officials
AASHTO分類法	ああしょとぶんるいほう	AASHTO soil classification system, method of classification of soil by AASHTO	道路の路床・路盤材料の分類に用いられる土質分類法で,粒度と液性限界・塑性指数により分類される. AASHTO:American Association of State Highway and Transportation Officials
アーヂライト	あーじらいと	argillite	粒径1/16mm以下のシルト粒子と粘土粒子を主とする泥を主構成物質とする細粒碎屑岩の総称.
アーヂライト化作用	あーじらいとかさよう	argillization	粘土化作用と同義.
アースアンカー	あーすあんかー	earth anchor	構造物を定着させるための引張り力を確保する未固結地盤対象のアンカー.
アースオーガー	あーすおーがー	earth auger	ドリル状の穿孔器を地中にねじこんで,孔をあける掘削機械.土質サンプリングに用いるタイプや,杭基礎や地中連続壁の施工に用いるタイプなどがある.
アースダム	あーすだむ	earthfill dam	主に土質材料よりなるフィルダム.大規模ダムには適さず,通常堤高30m程度以下である.
アースドリル	あーすどりる	earth drill	回転式バケットにより,地盤の削孔・掘削・搬出を行う大口径削孔機械.
アーストンネル	あーすとんねる	earth tunnel	土砂トンネルと同義.
アースハンモック	あーすはんもっく	earth hummock	草に覆われた泥質の土地や泥炭地に見られる瘤状の小高まり.凍上による地中物質の不等膨張による.
アースローダ	あーすろーだ	earth loader	プラウ板で起こした土砂をコンベアで走行中のワゴンに積み込む牽引式の機械.
アーチ	あーち	arch	①海底火山の沈降による地殻物質の外方移動による周辺の隆起帯.自重による応力のアーチ状伝達様式.モートと対語. ②円弧,放物線弧など曲線をなす構造形式.アーチに垂直に作用する力を圧縮軸力として両端の支点に伝える.

アーチの式	あーちーのしき	Archie's formula	地層の比抵抗 ρ_o と孔隙水比抵抗 ρ_w との間に成立する $\rho_o/\rho_w=F$ (一定) という関係を表した式. Fは地層係数と呼ばれる.
アーチ下流面スプリング	あーちかりゅうめんすぷりんぎんぐ	springing of intrados	アーチダム基礎の荷重解析では, ダムは一組のスプリングに支持されると仮定するが, この下流側のものをさす.
アーチ橋	あーちきょう	arch bridge	アーチを主構造とする橋梁. 一般に両支点には水平反力が生じる.
アーチクラウン	あーちくらうん	arch crown	トンネルのアーチ頂部のこと.
アーチコンクリート	あーちこんくりーと	arch concrete	トンネルや地下空洞の天井アーチ部分を巻き立てるコンクリート.
アーチシェル	あーちしえる	arch shell	トンネルの地圧を受けるアーチ状のシェル構造. プレライニングやアーチ状に一体化した先受け工などによって事前に形成することもある.
アーチ式支保工	あーちしきしほこう	arch support	アーチ型の部材によって地山を支える支保工. 通常は鋼材を用いる.
アーチ重力ダム	あーちじゅうりよくだむ	arch-gravity dam	薄肉アーチダムより片持梁 (かたもちばり) 要素または重力ダム要素を大きくして設計される厚肉のアーチダム.
アーチ上流面スプリング	あーちじょうりゅうめんすぷりんぎんぐ	springing of extrados	アーチダム基礎の荷重解析では, ダムは一組のスプリングに支持されると仮定するが, この上流側のものをさす.
アーチダム	あーちだむ	arch dam	コンクリートなどからなり, 水圧その他の荷重をアーチ作用により岩盤に伝達する構造のダム.
アーチバットレスダム	あーちばつとれすだむ	arch buttress dam	水圧を受け止める板構造 (遮水壁) を鉛直壁で支えるバットレスダムの一種で, 遮水壁がアーチ構造であるもの.
アーチ部覆工型枠	あーちぶふっこうかたわく	lining form for arch	トンネルのアーチ部にコンクリートを打設するための覆工型枠.
アーチリブ	あーちりぶ	arch rib	分割されたアーチリングのうち, 個々に独立した部分. トンネルの鋼製支保工などでは, いくつか分割されたアーチリブを組合せてアーチとする.
アーチリング	あーちりんぐ	arch ring	コンクリートアーチのような幅の広いアーチ本体.
ERTS	あーつ	Earth Resources Technology Satellite, ERTS	米国NASAが打ち上げた世界で最初の地球資源衛星. その後LANDSATに改称され, 最も利用されてきた衛星.
アーティキュレートシールド	あーていきゅれーとしーるど	articulated shield	曲線部の施工に用いる中折れ式シールド機で, 鋼殻部が複数に分割され方向制御装置などが付属.

アーモドケーブル	あーまーどけーぶる	armored cable	孔内検層用のケーブルの一般名。鋼製あるいはステンレス線の鎧装ケーブル
アア溶岩	ああようがん	aa lava	表面が粗く、コークスの表面のようにとげとげしい玄武岩質溶岩の形態。日本では三原山、富士山などの溶岩に多い。
R-R-R三重点	あーるあーるあーる さんじゅうてん	R-R-R triple junction	三つのプレートが接する点のうち、海嶺 (ridge) 型 (発散型) 境界のみからなるもの。
R I 検層	あーるあいけんそう	radio isotope logging, RI logging	ボーリング孔の自然放射能、または人工放射線源による放射能を測定することにより地盤を調査する方法。
R I 試験機	あーるあいしけんき	nuclear gauge, radio isotope gauge, RI gauge	放射性同位体 (RI:radio isotope) を用いた試験を行う機器。地盤の密度試験に用いられる。
RE V	あーるいーぶい	representative elementary volume, REV	不連続性岩盤において広がりのある岩盤としての性質を評価できる最小の大きさ。構造最小単位。
RS 2 3 2 C	あーるえすにーさん にーしー	RS232C	コンピュータ本体とその端末装置を接続させ、その間のデータ交換を行うためのインターフェイス規格。
RMR	あーるえむあーる	rock mass rating, RMR	岩石の強度・RQD・節理間隔・節理面状況・湧水状況の評点要素に基づくトンネルを対象とした岩盤分類。
RMS 誤差	あーるえむえすごさ	root mean square error, RMS error	n回の観測値における各観測値 (xi) と真値 (x0) との差の二乗の平均値 (平均二乗誤差) の正の平方根。 $(\sum (xi-x0)^2/n)^{1/2}$
RMS 速度	あーるえむえすそく ど	root mean square velocity, RMS velocity	各層の区間速度と往復垂直走時により表される速度。水平層とみなされる地層の区間速度の計算に用いられる。
RQD	あーるきゅーでいー	rock quality designation, RQD	ボーリングコアの単位区間に占める長さ10cm以上のコア総長の割合 (%)。硬質岩盤の良好度判定に適した指標。
RCCコンクリート	あーるしーしーこん くりーと	roller compacted concrete, RCC	工期短縮と工費削減を基本理念にして、アメリカで開発された超貧配合のコンクリート。ダンプトラックで運搬し振動ローラーにより締固めを行う。
RCCダム	あーるしーしーだむ	roller compacted concrete dam, RCC dam	振動ローラーで締固めるノースランプコンクリートからなるダム。
RCCP	あーるしーしーぴー	roller compacted concrete pavement, RCC pavement	転圧コンクリート舗装。硬練りのコンクリートを路盤上に敷き均してローラなどで締固める。施工速度が速い。
RCD工法	あーるしーでいーこ うほう	roller compacted dam concrete construction method, RCD construction method	超硬練り貧配合のコンクリートを振動ローラで締固めるダムコンクリート打設工法。
RGB信号	あーるじーびーしん ごう	red green blue signal, RGB signal	R(赤), G(緑), B(青)の3色に分解された光を変換した信号。カラー映像の表示に用いられる画像信号。

R J F P工法	あーるじえいえふ ぴーこうほう	Rodinjet forepile method, RJFP method	トンネル先受け工法の一つで高圧ジェットの噴射による地山の切削・セメント系硬化剤の注入によって杭体を造成する。
R層	あーるそう	R horizon	ふつう、基岩と呼ばれる。土壌の下に接して存在する固結した未風化の岩石の層をいう。
R値	あーるち	R-value	路床、路盤材の変形抵抗値（無次元）。
R B V	あーるびーぶい	return beam vidicon, RBV	LANDSAT 1～3号に搭載された光学センサ。カメラの感光部に記録された像を電子ビームで走査し画像に変換。
I R	あいあーる	infrared radiation, IR	赤外線。約0.75 μ mから1mmぐらいまでの波長範囲にある電磁波。
I E S	あいいーえす	induction electrical survey, IES	電磁誘導の原理を利用して地層の比抵抗およびインダクション導電率の測定を同時に行う物理検層法。ケーシング中は不適。
I S R M指針	あいえすあーるえむ ししん(いするむしし ん)	Standard of International Society of Rock Mechanics, Standard of ISRM	国際岩の力学連合会による室内および原位置試験の指針。
I S O	あいえすおー	International Society of Standardization, ISO	国際標準化機構
I F O V	あいえふおーぶい	instantaneous field of view, IFOV	瞬時視野・瞬間視野と訳され、光学センサの一つの検出素子が瞬間的に見ることができる視野。
I F P	あいえふぴー	instantaneous floating point, IFP	増幅器の利得制御の一種で、入力信号の振幅に応じて各チャンネルおよびサンプル毎にゲインを決定する方式。
相生層群	あいおいそうぐん	Aioi Group	兵庫県南西部から岡山県南東部にかけて分布する中生界中～上部白亜系。安山岩～流紋岩質の火砕岩・溶岩が主体。高砂市竜山では建材用に採掘され竜山石（宝殿石）と呼ばれている。
相生みかげ	あいおいみかげ	Aioi mikage	兵庫県相生市産の土木用石材。中生界花崗岩。
アイオニウム・トリウム法	あいおにうむとりう むほう	ionium-thorium method	イオニウム・トリウム法と同義。
アイオニウム年代測定	あいおにうむねんだ いそくてい	ionium dating	イオニウム年代測定と同義。
アイオニウム法	あいおにうむほう	ionium method	イオニウム年代測定と同義。
愛川層群	あいかわそうぐん	Aikawa Group	神奈川県丹沢山地に分布する新生界中部中新統。石英安山岩～玄武岩質の火砕岩を主体とし、泥岩・砂岩・礫岩を伴う。

相川層群	あいかわそうぐん	Aikawa Group	新潟県佐渡島に分布する新生界下部中新統。安山岩～デイサイト質の溶岩・火砕岩よりなり、金・銀・鉛・銅・鉄床が胚胎。
I G R F	あいじーあーるえふ	international geomagnetic reference field, IGRF	国際標準地球磁場の略語。全地球規模の標準磁場で世界的な磁気測量結果から求める。
ICP質量分析法	あいしーぴーしつりょうぶんせきほう	inductively coupled plasma mass spectrometry, ICP mass spectrometry	誘導結合プラズマ中に試料を導入し、イオン化した元素を質量分析する高精度質量分析法。
ICP発光分光分析法	あいしーぴーはっこうぶんこうぶんせきほう	inductively coupled plasma emission spectrochemical analysis, ICP emission spectrochemical analysis	誘導結合プラズマを光源とする発光分光分析法。多元素を同時に高感度・高精度で測定できる特徴がある。
ICP法	あいしーぴーほう	inductively coupled plasma emission spectrometry, ICP emission spectrometry	誘導結合プラズマ発光分析法。発光線の強度測定より、短時間に高精度で多くの元素の定量分析が可能。
IGロス	あいじーろす	ignition loss, IG loss	強熱による試料の重量減。土中の有機物含有量として扱われることがある。強熱減量と同義。
アイスフォール	あيسふおーる	ice fall	急勾配で氷河が流下する箇所。クレバスやセラックが発達し、下流ではオーギブを作ることがある。氷瀑ともいう。
アイスランド型楯状火山	あيسらんどがたたてじょうかざん	shield volcano of Icelandic type	大規模な割れ目噴出によってできた楯状火山のうちの一輪廻の噴火で形成される型。
アイスレーダー	あيسれーだー	ice penetrating radar	電波反射法の一つで、特に極地において地上あるいは空中から氷河の厚さを測定するために開発された探査法。
アイスレンズ	あيسれんず	ice lens	土中水が氷晶分離凍結することにより、最大数cmの厚さでレンズ状に凍結する現象。シルト質地盤に著しい。
アイソグラッド	あيسごらっど	isograd	広域変成帯や熱変成帯において、岩石の変成度による分帯の指標となる鉱物または鉱物組合せが出現または消滅する位置を結んだ線。
アイソクロン法	あيسくろんほう	isochron method	放射性核種が閉鎖系の場合に親核種と娘核種の量比を用いて時間の経過を判定する方法。
アイソスタシー	あيسすたしー	isostasy	マントル内のある深さの面にかかる上からの岩石の重さはどこでも一定で静水圧的平衡が存在するとする説。地殻均衡と同義。
アイソスタシー異常	あيسすたしーいじょう	isostasy anomaly	実測重力値に高度・地形・ブーゲー・アイソスタシーの各補正を加えたものと標準重力値との差。
アイソスタシー補正	あيسすたしーほせい	isostatic correction	アイソスタシー異常を求めるための補正。
アイソトープ	あيسとーぷ	isotope	同一元素に属する原子及び原子核のうち、核中の中性子数が異なるため質量数が異なるもの。同位体。

アイソトープ砂	あいそとーふさ	radioisotope sand	放射性同位(元素)体を含ませた砂で、トレーサとして使う。これを海中に投入して砂の移動方向を調査する。
アイソパックマップ	あいそぱっくまっぷ	isopach map	地層の層厚変化を表現した図で、等層厚の点を結んで作成する。普通はボーリング資料を用いる。等層厚線図と同義。
アイソパラメトリック要素	あいそばらめとりっくようそ	isoparametric element	FEMにおける要素の形状の一種。座標を表わす関数と要素の変位を近似する関数の形が同一である要素。
Iタイプ花崗岩	あいたいふかこうがん	I-type granite	マグマ生成に関わった物質に基づく花崗岩分類の一つ。化学組成上Na, Caに富む。苦鉄質火成岩の再溶解によるもので、日本産花崗岩の主体をなす。Iはigneousの頭文字。
会津盆地西縁南部断層	あいづぼんちせいえんなんぶだんそう	Aizu-bonchi seien nanbu fault	活断層。確実度I, 活動度B級, 北北西-南南東方向。会津盆地南部の西縁を縁取るように伸び、延長約10km。小扇状地面を切る。
会津盆地西縁北部断層	あいづぼんちせいえんほくぶだんそう	Aizu-bonchi seien hokubu fault	活断層。確実度I, 活動度B級, 北北東方向。福島県会津盆地北部の西縁に位置し、延長約15km。試掘で沖積扇状地礫層に変位確認。1611年会津地震の震源断層。
ITIR	あいていーあいあーる	intermediate thermal infrared radiometer, ITIR	中間熱赤外放射計。NASA極軌道プラネットフォーム搭載用センサの一つとして日本が供給する多波長センサ。
ITOS	あいていーおーえす	Improved TIROS Operational System, Improved TIROS Operational satellite System, ITOS	NOAAのプロトタイプとしてアメリカが開発した極軌道気象衛星。TIROS衛星の改良型でITOSと略される。
ITV	あいていーぶい	industrial television, ITV	工業テレビカメラ。最近では安価で手軽なCCDカメラが用いられることが多い。
IEEE	あいとるいぷるいー	Institute of Electrical and Electronics Engineers, IEEE	米国電気電子技術者協会の定める標準インターフェイス。コンピュータと周辺機器とのインターフェイス規格。
相内鉱山	あいないこうざん	Ainai mine	秋田県北東部小坂町に位置する。新第三系中新統の西黒沢階最上部～女川階最下部に層準規制型の黒鉱床が分布する。
合ノ沢層	あいのさわそう	Ainosawa Formation	福島県東部の相馬地域に分布する古生界上部デボン系。真野川支流合ノ沢を模式地とする。灰色頁岩、安山岩質凝灰岩を主体とし、砂質頁岩、頁岩を挟在する。
IP	あいぴー	intersection point, IP	交会点。道路などの路線の平面線形を規定する点の一つ。曲線部の両側の直線部分を延長した線の交点。
IP検層	あいぴーけんそう	induced polarization logging, IP logging	孔井内で地層にパルス状の電界を掛け、強制分極現象を観測することにより油層・水層を識別する物理検層法。
IP効果	あいぴーこうか	induced polarization effect, IP effect	金属鉱物を含む岩石に直流電流を流したときに電荷が貯えられるIP現象を示す岩石類に起こる電磁場異常の総称。鉱物の種類によって貯えられた電荷の容量や放出に要する時間が異なることから地下の構造や金属鉱床の探査に用いられる。
IPP	あいぴーぴー	independent power producer, IPP	独立系発電事業者。一般企業で電力会社に電力の卸売りをする事業者。

I P法	あいびーほう	induced polarization method	人工的に通電して切断した後の減衰電圧の変化から分極率などを求め、硫化物を主とする金属鉱床の探査に用いられる電気探査法の一つ。強制分極法、誘導分極法ともいう。I P効果参照。
始良	あいら	Aira	鹿児島湾北部に推定されるカルデラ。約2.5万年前の大噴火で入戸火砕流を噴出。広域的には始良Tn火山灰(AT)として同定されている。
始良入戸	あいらいと	Airaito	始良カルデラを噴出源とする始良Tnテフラ(AT)のうち、入戸火砕流堆積物起源のもの。A-Itoと略記。21～22Kaの年代。
始良大隅	あいらおおすみ	Airaosumi	南九州始良カルデラを噴出源とする始良Tnテフラ(AT)のうち、大隅降下軽石起源のもの。A-0sと略記。24Kaの年代。
始良火山灰	あいらかざんばい	Aira volcanic ash	鹿児島湾北部、始良町付近のカルデラから約2万5千年前に噴出した火山灰。日本列島周辺を覆う重要な鍵層(テフラ)。ATと略記する。
始良福山	あいらふくやま	Airafukuyama	南九州始良火山を噴出源とするテフラ(A-Fk)で、70～75Kaの年代。カルデラ形成前の福山降下軽石が起源。
アイランドカット工法	あいらんどかつとこうほう	island cut	地下工事において山留め壁施工後、のりを残しながら中央部を掘削して躯体構築後、周辺部の施工を行う工法。
アイランド工法	あいらんどこうほう	island process	アイランドカット工法と同義。
アウターチューブ	あうたーちゅーぶ	outer tube	ボーリング用ダブルチューブコアバーレルの外側のチューブをさす。
アウターリッジ	あうたーりっじ	outer ridge	海溝外縁部に分布する幅広い隆起帯。海溝周縁隆起帯と同義。
アウトウォッシュ	あうとうおっしゅ	outwash	融氷流水堆積物。氷河が削った岩屑が、融氷水によって運搬されてできた堆積物。一般に良く成層している。
アウトウォッシュプレーン	あうとうおっしゅぷれーん	outwash plain	アウトウォッシュの堆積した平地。氷河の前面に傾斜の緩い扇状地に形成される。
アウトクロップ	あうとくろっぷ	outcrop	露頭と同義。
亜円(状)	あえん(じょう)	subrounded	砕屑物の粒子形状で、角や稜がかなり円磨された状態をさす。
亜鉛鉱床	あえんこうしょう	zinc ore deposit	鉛とともに方鉛鉱や閃亜鉛鉱などの鉱物として産出される鉱床。
亜鉛スピネル	あえんすびねる	gahnite	ZnAl ₂ O ₄ 。スピネル系鉱物の一種。正スピネル構造。硬度7.5～8。比重4.62。ペグマタイト中などに産出する。亜鉛尖晶石ともいう。

亜鉛尖晶石	あえんせんしょうせき	gahnite	亜鉛スピネルと同義。
亜鉛・鉛鉱床	あえんなまりこうしょう	zinc lead ore deposit	普通，亜鉛と鉛は伴って産出することが多いため，亜鉛・鉛鉱床と称される．主要鉱石鉱物は閃亜鉛鉱・方鉛鉱など．熱水鉱床と堆積層内鉱床に大別される．
青石	あおいし	Greenstone	庭石として用いられる青色～緑色を帯びた岩石の俗称．三波川変成帯の緑色片岩が代表的なもの．
青ヶ島火山	あおがしまかざん	Aogashima volcano	伊豆諸島南部にある火山島．玄武岩～安山岩の成層火山で，17～18世紀に噴火．現在も噴気や高地温異常がある．
青木石	あおきいし	Aoki ishi	瀬戸内海塩飽諸島香川県丸亀市広島，坂出市与島産の建築・土木・敷石用石材．中生界角閃石黒雲母花崗岩．与島みかげともいう．
青白ケイ石	あおしろけいせき	aoshiro silicastone	青色を呈する炉材珪石．青灰色のチャート角礫とその間を充填する白色の石英よりなる．耐火材に用いられる．
青泥	あおどろ	blue mud	半遠洋性深海堆積物の一種で，海深150～6,000mに広く分布．硫化鉄と有機質物質の存在により青灰色を呈するφ0.03mm以下の泥．青色泥ともいう．
青苗川層群	あおなえがわそうぐん	Aonaegawa Group	北海道南西部奥尻島全域に分布する新生界上部漸新統～下部中新統．玄武岩～安山岩～流紋岩質の溶岩・火砕岩が主体．
青波石	あおなみいし	Aonami ishi	群馬県北部に分布する下～上部中新統グリーンタフ層のうち，中之条町原付近で採掘されている軽石凝灰岩層．
青峰層群	あおのみねそうぐん	Aonomine Group	志摩半島の鳥羽市安楽島付近から青峰山を通り南西に延びる，秩父帯中帯に分布する中生界ジュラ系．砂岩・頁岩を主体とするオリストストロームからなり，古生界のオリストリスを含む．
青葉石	あおばいし	Aoba ishi	①宮城県名取郡秋保・塩釜市・石巻市産の土木用石材．新第三系凝灰岩．秋保石・塩釜石ともいう． ②福島県飯舘村産の花崗岩．墓石などに用いる
青目	あおめ	Aome	緑青色の大谷石．
青森しらす	あおもりしらす	Aomori shirasu	東北地方の十和田湖周辺に分布する火山灰土．細粒分が多く，九州のしらすとは異なる性状を示す．
青森白大理石	あおもりしろだいらいせき	Aomori shiro dairiseki	青森県三戸郡階上村産の工芸・セメント用石材．中生界大理石．
青谷石	あおやいし	Aoya ishi	鳥取県気高郡青谷町産の砕石用石材．第四系安山岩．
青柳段丘	あおやぎだんきゅう	Aoyagi terrace	東京都国立・立川付近の多摩川沿いに分布する幅1km程度の狭小な段丘面．立川面より新しく拝島面より古い．青柳礫層及び青柳ローム層からなる．

青竜石	あおりゅういし	Aoryu ishi	兵庫県高砂市伊保町竜山・宝殿産の石材。白亜系流紋岩質溶結凝灰岩。竜山石。
亜貝殻状断口	あかいがらじょうだんこう	subconchoidal fracture	鉱物のへき開（劈開）面以外の割れ目面の形状（断口）の一つ。二枚貝の内側形状（貝殻状断口）に似ているもの。
赤石層群	あかいしそうぐん	Akaishi Group	赤石山脈の主稜部を構成する四万十帯の最北西部に分布する中生界中期白亜系。塊状の砂岩、砂岩優勢砂岩泥岩互層を主体とする。
赤石裂線	あかいしれっせん	Akaishi tectonic line	西南日本の帯状構造を切断する断層帯として最大規模のものである赤石構造帯西縁の断層。赤石構造線ともいう。
阿賀沖ガス田	あがおきがすでん	Aga-oki gas field	新潟市の北方海上に位置するガス鉱床で、石油も産出する。
阿賀沖油・ガス田	あがおきゆがすでん	Aga-oki oil-gas field	新潟市北方12kmの日本海、水深約80mに位置する。1971年発見。鉱床は背斜構造をなす西山層下部～椎谷層上部の砂岩層に数層あり、ガス・原油を産する。産出層の深度は約1800～2400m。
阿賀沖油田	あがおきゆでん	Aga-oki oil field	新潟市北方12kmの日本海、水深約80mに位置する。鉱床は背斜構造をなす西山層下部～椎谷層上部の砂岩層に数層あり、ガス・原油を産する。
赤金鉱	あかがねこう	akaganeite	β -FeOOH。微細な結晶の集合体として針鉄鉱などと共に、岩手県赤金鉱山に産する。
赤城山崩壊	あかぎさんほうかい	landslides around Akagi mountain	1947年9月のカスリン台風によって赤城山周辺で多発した崩壊群。地質的に脆弱な火砕岩分布域に集中して発生。
赤木層群	あかぎそうぐん	Akagi Group	埼玉県秩父市東方の堂平山付近の関東山地に分布する三波川帯。塩基性火山岩を主とする御荷鉾緑色岩類からなる。
亜角（状）	あかく（じょう）	subangular	砕屑物の粒子形状で、角や稜がわずかに円磨された状態をさす。
赤坂更紗	あかさかささらさ	Akasaka sarasa	岐阜県大垣市赤坂金生山産の建築・装飾用石材。赤坂大理石の一種。雑色角礫質石灰岩。現在は採掘されていない。
赤坂石灰岩	あかさかせっかいがん	Akasaka limestone	岐阜県大垣市赤坂町金生山付近の塊状石灰岩。日本の中部ペルム系上半の標準層序（赤坂統）になっている。
赤坂大理石	あかさかだいらせき	Akasaka marble	岐阜県大垣市赤坂町に産する結晶質石灰岩。装飾・工芸用の石材となる。紅縞大理石・霞大理石などがある。
赤坂みかげ	あかさかみかげ	Akasaka mikage	広島県福山市赤坂町産の建築・土木用石材。中生界黒雲母花崗岩。
赤崎層群	あかさきそうぐん	Akasaki Group	熊本県天草炭田地域に分布する新生界古第三系。陸成で紫赤色砂岩・頁岩・礫岩からなる。赤崎層ともいう。

明石海峡大橋	あかしかいきょうお おはし	Akashi Kaikyo bridge	明石～淡路島間に架けられた世界最長の吊橋。橋長3991m, 中央径間1991m, 1998年完成。基礎地盤は明石層および神戸層で大口径ボーリングコアによる物性評価が行われた。建設中の1995年, 直下で兵庫県南部地震が発生し中央径間が1 m延びた。
赤縞大理石	あかじまだいりせき	Akajima marble	岡山県阿哲郡哲多町本郷・新見市・上市市産の石材。中生界大理石。
明石累層	あかしるいそう	Akashi Formation	兵庫県明石市付近に分布する大阪層群最下～下部層。陸成の砂礫・砂・泥層よりなり, 動・植物化石を多産。明石層群と呼ばれたこともある。
赤白ケイ石	あかしろけいせき	akashiro silicestone	石英を主要成分とする珪石のうちの, 赤色チャートの角礫を白色の石英が埋めたような構造を有するもの。陶磁器や耐火材などの工業原料となる。
赤玉	あかだま	akadama	石英の微小結晶集合体である微密な玉ずい(玉髓)の一種で, 赤褐色を呈するもの。色は酸化鉄による。佐渡に産する。
赤土	あかつち	red soil	腐食物に富まない火山灰起源の褐色ないし赤褐色の土の俗称。累重した火山灰層が風化して形成される。関東ローム層など。
吾妻火砕流	あがつまかさいりゅ う	Agatsuma pyroclastic flow	浅間火山の1783年の天明噴火の際に北東斜面に流出した火砕流。粘性を保ちながら微地形に対応して流下した。
赤泥	あかどろ	red mud	赤色を呈する泥。泥質堆積物の堆積時の酸化, 赤色土の二次堆積などによって形成。またボーキサイトの精製過程で生じる残渣をさす場合もある。
赤粘土	あかねんど	red clay	赤色粘土と同義。
赤ぼく	あかぼく	Akaboku soil	九州中南部に分布する降下火山噴出物起源の土壌の俗称。主要粘土にアロフェンなどを含む火山灰質土。
アカホヤ	あかほや	Akahoya	南九州鬼界カルデラから約6,300年前に噴出した火山灰。完新世, 特に縄文時代の鍵層となる広域テフラ。
赤間石	あかまいし	Akama ishi	山口県厚狭郡楠町, 山陽町産の有名なすずり石。白亜系輝緑凝灰岩。
赤松地すべり	あかまつじすべり	the Akamatsu landslide	1974年4月26日に山形県大蔵村で発生した融雪型の崩壊性地すべり。
明り掘削	あかりくっさく	open cut	地上部で行う掘削作業。
明り作業	あかりさぎょう	surface work	地上部で行う作業。坑内作業の対語。
赤竜石	あかりゅういし	Akaryu ishi	兵庫県高砂市産の土木用石材。白亜系凝灰岩。竜山石。

阿寒カルデラ	あかんかるでら	Akan caldera	北海道東部にある長径24km, 短径13kmの火山構造的陥没地。噴火記録はないが硫気活動活発。内部に温泉がある。
阿寒鉱山	あかんこうざん	Akan mine	北海道東部足寄町に位置する。第四紀の温泉作用による沈殿型のイオウ鉱床が分布。イオウ, マンガン土を産する。
阿寒層群	あかんそうぐん	Akan Group	北海道東部阿寒湖付近に分布する新生界鮮新統。主に礫岩・砂岩・シルト岩からなり, 安山岩質溶岩・火砕岩を含む。
亜間氷期	あかんびょうき	interstadial	ウルム氷期の中のゲトワイゲル-バウドルフ両亜間氷期のように, 氷期の中での亜氷期に対する小さい暖化期。
秋保石	あきういし	Akiu ishi	仙台市秋保産の建築・土木用石材。中新統軽石凝灰岩。
秋保層群	あきうそうぐん	Akiu Group	仙台市西方に分布する新生界上部中新統。陸成で凝灰角礫岩・凝灰岩・凝灰質砂岩・安山岩～玄武岩溶岩などからなる。秋保温泉付近の軽石凝灰岩は石材(秋保石)として採掘。
安芸川層群	あきがわそうぐん	Akigawa Group	高知県東部安芸川流域の四万十北帯に分布する中生界白亜系。主に砂岩泥岩互層からなる。最近はほとんど用いられていない。
安芸含炭地	あきがんたんち	Aki coal-bearing area	室戸半島の高知県側に位置し, 褐炭などを採掘していたが, 現在は生産中止。新第三系鮮新統の唐ノ浜層群を対象としていた。
秋田駒ヶ岳	あきたこまがだけ	Akita-Komagatake volcano	秋田・岩手県境に位置する活火山。標高1,637.4mの成層火山で, 1970～1971年にストロンボリ式噴火と溶岩流出を生じた。
秋田駒柳沢	あきたこまやなぎさわ	Akitakoma yanagisawa	秋田駒ヶ岳火山を噴出源とするテフラ(Ak-Y)。年代は12～13Ka。縄文草創期を示す鍵層。
秋田仙北地震	あきたせんぼくじしん	the 1914 Akita-Senboku earthquake	1914年3月15日に秋田県仙北郡で発生したM7.1の地震。仙北郡下の雄物川沿いに被害が集中。死者94, 負傷者324, 全半潰家屋1200余りとされている。
秋田焼山	あきたやけやま	Akita-Yakeyama volcano	秋田県八幡平西部の活火山で周辺は地熱地帯。溶岩円頂丘をもつ成層火山で標高1366.1m。最近は1957年に噴火。
秋津沈降時代	あきつちんこうじだい	Akitsu period of submergence	矢部長克などによる日本の新生代区分の最も古い時期。石狩・常磐・北九州などの炭田が形成された時期とされ, ほぼ古第三紀に相当。
秋間石	あきまいし	Akima ishi	群馬県安中市産の土木用石材。新第三系～第四系両輝石安山岩。
秋間層	あきまそう	Akima Formation	群馬県安中市北方の秋間丘陵に分布する陸成上部中新統～鮮新統。主に安山岩質で一部溶結した凝灰角礫岩よりなり泥岩・礫岩などを伴う。溶結部の一軸圧縮強度は10～60MPa, 泥岩は2～4MPa程度。
秋元鉱山	あきもとこうざん	Akimoto mine	宮崎県北部高千穂地域に位置する。秩父累帯中に層状マンガン鉱床がある。九州最大の鉱床を有していたが, 1975年閉山。

秋谷石	あきやいし	Akiya ishi	神奈川県横須賀市田浦町産の土木用石材。新第三系凝灰岩。
秋吉鉱床地区	あきよしこうしょうちく	Akiyoshi ore deposit area	山口県中央部美祢市周辺の秋吉石灰岩分布域。当地域の西部で、石灰岩の大規模採掘がすすめられている。
秋吉石灰岩層群	あきよしせっかいがんそうぐん	Akiyoshi limestone Group	山口県中～西部に分布する古生界石炭系～ペルム系。秋吉石灰岩台地を構成し、石灰岩を主とする。
秋吉相	あきよしそう	Akiyoshi facies	西南日本内帯の古生界石灰岩相。山口県の秋吉石灰岩、広島県の帝釈石灰岩などがその代表。
秋吉造山運動	あきよしぞうざんうんどう	Akiyoshi orogenic movement	秋吉造山帯を作ったペルム紀～三じょう紀（三畳紀）の造山運動。現在はこの説は否定されている。
秋吉台	あきよしだい	Akiyoshi plateau	山口県中部の石灰岩台地で日本最大。石炭～ペルム系の石灰岩層からなり、カルスト地形・鍾乳洞の発達で有名。
秋吉大理石	あきよしだいいりせき	Akiyoshi marble	山口県秋吉台産の石材。古生界石灰岩・大理石（秋吉石灰岩）。
秋吉統	あきよしとう	Akiyoshi series	上部石炭系四区分のうちの下から二番目。模式層は生物遺骸碎屑片を主とする石灰岩。西南日本に広く分布。
アクアサイズ	あくあさいす	Aquaseis	海上用線状震源の一種で商標名。リボン状の火薬を水中で発破し、地震パルスが発生させる。
アクアパルス	あくあぱるす	Aquapulse	海上用非爆薬震源の一種で商標名。ガス爆発による容器の急速膨張により地震パルスが発生させる。
アクアマリン	あくあまりん	aquamarine	透明で青緑色を呈する緑柱石の宝石名。濃緑色のものはエメラルド。主にペグマタイト中に産出する。
悪石島	あくせきじま	Akuseki-jima	九州の南西海上約200kmのトカラ列島にある中～後期更新世に形成された新期火山島。安山岩質の成層火山。
アクチノイド	あくちのいど	Actinoids	アクチニドともいう。放射性のアクチニウム（89番）からローレンシウム（103番）までの元素配列。化学的性質類似。
アクチノ閃石	あくちのせんせき	actinolite	$Ca_2(Mg, Fe^{2+})_5[OH S_4O_{11}]_2$ で、 $0.9 > Mg / (Mg + Fe^{2+}) > 0.5$ のもの。Ca, Mg, Feを含みAlを含まない角閃石類鉱物。単斜晶系。硬度5～6。比重3.0～3.4。緑色岩起源の変成岩や苦灰岩が起源のスカルンを構成する鉱物。陽起石または緑閃石ともいう。
アクチバブルトレーサ	あくちばぶるとれーさ	activable tracer	安定同位体を用いたトレーサのことで、これを放射化分析すれば、超微量でも検出可能。
アクチュアリズム	あくちゅありずむ	actualism	現在主義といい、地質現象は過去～現在を通し同一の自然現象に基づくとする説。今では斉一観と同様な意味。

アクティブゲージ	あくていぶげーじ	active gauge	温度補償用などのダミーゲージと区別して、実際に測定対象に貼付してひずみを測定するゲージをいう。
アグマタイト	あぐまたいと	agmatite	ほとんど未交代の周辺母岩大小角礫（片麻岩など）を取り込んだ不均質なミグマタイト。
アクリーション	あくりーしょん	accretion	付加と同義。
アグリゲート化	あぐりげーとか	aggregation	土壌を構成する有機または無機質の粒子が集合すること。土壌単粒が結びつき団粒（集合体）を形成すること。
アグロメレーション	あぐろめれーしょん	agglomeration	凝集，団塊のこと。焼結などの方法によって，粉体を粒状または塊状にすること。
上げ越し	あげこし	additional elevation	あらかじめ荷重による沈下量を予測して，所定の高さより高めに施工しておくこと。コンクリートの打設やトンネル掘削などで行われる。
奄芸層群	あげそうぐん	Age Group	伊勢湾西岸地域に分布する新生界下部鮮新～下部更新統。東海層群に属する。陸水成で主に砂・泥・礫層からなり多数の火山灰層を挟在。
明延鉱山	あけのべこうざん	Akenobe mine	兵庫県養父郡大屋町に位置する。舞鶴層群と夜久野岩類中に多金属鉱脈鉱床が分布。錫，タングステン，銅，亜鉛，鉛などを産する。
曙衝上断層	あけぼのしょうじょうだんそう	Akebono thrust	富士見山衝上断層ともいう。富士川上流域に発達するフォッサマグナ西縁の断層に平行する西傾斜の衝上断層。
上松断層	あげまつだんそう	Agematsu fault	活断層。確実度 I，活動度 B 級，北東方向。木曾福島町東部から坂下町にかけて延長約 42km の右横ずれ断層。低断層崖を伴う。
亜綱	あこう	subclass	生物を分類する時に用いる単位の一つで，「綱」の下位の分類単位。
亜高山帯	あこうざんたい	subalpine zone	森林構成から見た植物群の垂直的分布を区分したときの一つの帯で高山帯（寒帯相当）に次ぐ亜寒帯相当の帯。
赤河断層	あこうだんそう	Ako fault	活断層。確実度 I，活動度 B 級，北西方向。岐阜県恵那市西部に位置し延長約 24km。第四紀後半の活動記録はない。
赤穂みかげ	あこうみかげ	Ako mikage	兵庫県赤穂市産の土木用石材。中生界花崗岩。
アコースティックエミッション	あこーすていっくえみっしょん	acoustic emission	AE と同義語。
アコースティック・トモグラフィ	あこーすていっくともぐらふい	acoustic tomography	音波の伝播時間を使ったトモグラフィ。弾性波トモグラフィに含まれる手法。

アコーディオン 褶曲	あこーでいおんしゅ うきょく	accordion fold	軸部にのみへき開（劈開）が入り，軸部で地層の厚さは大となるが翼部では厚さ一定となるような褶曲。
安居山地すべり	あごやまじすべり	the Agoyama landslide	1972年10月4日に福井県福井市金屋町で切土により発生した幅約220m，延長約150mの地すべり。
安居山断層	あごやまだんそう	Agoyama fault	活断層．確実度 I，活動度 A 級，南北方向．静岡県富士宮市西方に位置し延長約11km．我が国最大級の縦ずれ活断層．
アコンドライト (エイコンドライト)	あこんどらいと（えいこんどらいと）	achondrite	石質隕石のうちコンドルール（球粒）を含まないものの総称．その構造は地球上の火成岩に類似している．
ASA	あさ	American Standard Association, ASA	アメリカにおける工業製品の規格を定める協会．日本のJIS規格のようなもの．
アサイスマック フロント	あさいすみつくふろ んと	aseismic front	海洋プレート沈み込み部において深さ40～80 kmの地震活動が陸側で急減する境界線．この境界線は火山フロントや海溝とほぼ平行で，海洋プレートと大陸プレートのプレート間地震がそれより陸側ではなくなる位置を表している．
浅川油田	あさかわゆでん	Asakawa oil field	長野市北部浅川に位置する小規模な油田．
朝倉炭田	あさくらたんでん	Asakura coal field	福岡県朝倉郡小石原村～宝珠山村に位置する炭田．この地域の古第三系は下位から，赤崎層群・宝珠山層群・土師層群に区分される．
浅内油田	あさないゆでん	Asanai oil field	秋田県能代に位置する油田．貯留層は天徳寺層，船川層の砂岩，凝灰岩．
旭ガス田	あさひがすでん	Asahi gas field	新潟県頸城村周辺ของガス田．新第三系寺泊層の砂岩を貯留岩とし，ゆるい背斜部に油とガスが共存している．
旭川油田	あさひかわゆでん	Asahikawa oil field	秋田県秋田市北方に位置する油田．1908年発見．貯留層は船川層，女川層のデイサイト．同じ背斜構造の北方延長上に濁川油田・道川油田がある．産出層の深度は140m．
朝日鉱山	あさひこうざん	Asahi mine	栃木県鹿沼市に位置する．鉱石は主としてバラ輝石からなる珪酸マンガン鉱．鉱山付近の地質は主に珪質砂岩，粘板岩，珪質粘板岩，輝緑凝灰岩などからなり，花崗岩類の接触変成作用を受けホルンフェルス化している．
旭層群	あさひそうぐん	Asahi Group	島根県浜田市南東方に位置する旭コールドロンを構成する新生界古第三系ぜん新統（漸新統）．火山岩類からなり閃緑岩質～花崗岩質深成岩類を伴う．
旭油田	あさひゆでん	Asahi oil field	新潟県の日本海側大潟町周辺の油田．新第三系寺泊層の砂岩を貯留岩とし，ゆるい背斜部に油とガスが共存している．
朝日流紋岩	あさひりゅうもんが ん	Asahi rhyolite	新潟県北部の山北町，朝日村に点在する流紋岩質溶結凝灰岩類．濃飛流紋岩に対比される．
浅間板鼻黄色軽 石 (As-YP)	あさまたばなおう しよくかるいし (えーえすわい ぴー)	Asama Itabana yellow pumice	第四紀後期広域テフラの一つで，浅間火山による13,000～14,000年前の降下軽石．

浅間火山	あさまかざん	Asama volcano	長野・群馬県境にある活火山。1783年の火砕流で大被害をもたらした。噴火形式は激しい爆発を伴うブルカノ式。
浅間草津軽石 (As-K)	あさまくさつかるいし (えーえすけー)	Asama Kusatsu pumice	第四紀後期広域テフラの一つで、浅間火山による13,000～14,000年前の降下軽石。
浅間白糸軽石 (As-Sr)	あさましらいとかるいし (えーえすえすあーる)	Asama Shiraito pumice	第四紀後期広域テフラの一つで、浅間火山による15,000～20,000年前の降下軽石。
浅間天仁軽石 (浅間 B (天仁))	あさまてんにんかるいし (あさまびーてんにん)	Asama Tennin pumice	浅間火山による1108年(天仁1年)の降下軽石。
浅間天明軽石 (浅間 A (天明))	あさまてんめいかるいし (あさまえーてんめい)	Asama Tenmei pumice	浅間火山による1783年(天明3年)の降下軽石。一部は軽量ブロック用に採掘。
浅間山天明噴火	あさまやまてんめいふんか	the 1783 Asamayama Tenmei eruption	天明3年(1783年)に活動した浅間山における最大級の噴火。この噴火による死者は千人を越え、多くの家屋が焼失した。この噴火による噴煙が天明の大飢饉の原因となったとされる。
朝見川断層	あさみがわだんそう	Asamigawa fault	活断層。活動度A～B級、北西－南東方向。大分県別府市西部から南部にかけて約11kmに渡って発達する。
浅虫地すべり	あさむしじすべり	the Asamushi landslide	1966年6月に青森市浅虫で台風に伴う豪雨で発生。7月に拡大して鉄道線路を約80m埋積。変質した凝灰岩が素因。
アジアプレート	あじあぷれーと	Asian plate	ユーラシアプレートの東の部分でアジア大陸を乗せたプレートの意。
庵治石	あじいし	Aji ishi	香川県木田郡庵治町・牟礼町産の土木・建築・墓石・燈・彫刻用石材。中生界黒雲母花崗岩。
足尾鉱山	あしおこうざん	Ashio mine	栃木県上都賀郡足尾町に位置する銅鉱山。中・古生界の足尾層群と中新統の流紋岩中に鉱脈または交代鉱床として胚胎。
足尾層群	あしおそうぐん	Ashio Group	群馬県足尾山地に分布する中生界ジュラ系。砂岩・頁岩などを主とし、チャート・石灰岩などのオリストリスを伴う。
足尾帯	あしおたい	Ashio belt	足尾山地のジュラ紀付加体の分布する地帯。同一の地質体として、美濃－丹波－足尾帯と呼ばれる。
足尾みかげ	あしおみかげ	Ashio mikage	群馬県勢多郡東村沢入産の石材。中生界黒雲母花崗閃緑岩。沢入みかげ・渡良瀬みかげともいう。
足柄層群	あしがらそうぐん	Ashigara Group	神奈川・静岡県境付近の丹沢山地と箱根火山に挟まれた地域に分布する更新統主体の層群。層厚数kmで砂岩・泥岩からなる。一軸圧縮強度は10～30MPa程度。
愛鷹火山	あしたかかざん	Ashitaka volcano	富士火山南東部に位置する成層火山。初め玄武岩～安山岩、後デイサイト質に変化。約10万年前以降活動停止。

芦谷層群	あしだにそうぐん	Ashidani Group	福井県大野郡和泉村の九頭竜湖周辺地域に分布する年代未詳古生界。主に黒色・緑色の千枚岩や片理をもつ砂岩からなる。
アジテーター	あじてーたー	agitator	コンクリートの打設までに材料が分離しないように攪拌する装置の総称。
芦野石	あしのいし	Ashino ishi	栃木県那須郡那須町芦野産の土木・建築用石材。第四系デイサイト質溶結凝灰岩。館山石ともいう。
芦辺層群	あしべそうぐん	Ashibe Group	長崎県壱岐島の北部に分布する新生界上部鮮新～下部更新統。玄武岩溶岩を主とし砂・泥・礫の互層を伴う。
アジマス圧縮	あじますあっしゅく	azimuth compression	合成開口レーダー(SAR)の画像再生処理。衛星の移動方向のデータを開口合成技術を用いて尖鋭な画像に再生する。
味大豆地すべり	あじまめじすべり	the Ajimame landslide	1980年3月10日に長野県上水内郡小川村で発生。
芦屋層群	あしやそうぐん	Ashiya Group	福岡県芦屋町・北九州市, 山口県下関市付近に分布する新生界漸新統。砂岩・泥岩を主体に礫岩・凝灰岩を伴う。貝類や魚類化石を多産。
芦屋断層	あしやだんそう	Ashiya fault	活断層。確実度 I, 活動度 B 級, 北東方向。兵庫県芦屋市北部に位置し延長約8km。西傾斜の逆断層。
亜種	あしゅ	subspecies	生物を分類する時に用いる単位の一つで, 「種」の下位の分類単位。
亜硝酸塩	あしょうさんえん	nitrite	Zn, Cuなどの金属が亜硝酸HNO ₂ の水素を置換した形の塩。
亜硝酸性窒素	あしょうさんせい ちっそ	nitrite nitrogen	水質汚濁の指標となる水質分析項目の一つで, 亜硝酸塩に含まれる窒素の量。
あすか隕石	あすかいんせき	Asuka meteorites	1986～1989年頃に日本の南極観測隊が南極基地「あすか」南方のナンセン氷原で収集した隕石。
アスカニア重力計	あすかにあじゅう りょくけい	Asukania gravimeter	スプリング式重力計の一種。スプリングの中央に棒を水平に固着, 重力の変化を棒の微小な回転角で検出する。
アスピーテ	あすびーて	aspite	流動性に富む溶岩が噴出してできる扁平な火山体で楯状火山と同義。
アスファルト	あすふあと	asphalt	石油中に含まれる種々の炭化水素混合物。石油精製時に得られる石油アスファルトと油田地帯の地表に産出する天然アスファルトがある。
アスファルト基原油	あすふあとときげん ゆ	asphalt base crude oil	主成分の炭化水素による原油分類方法において, ナフテン系に富むもの。多量のアスファルト, ピッチを含む。

アスファルトグラウト工	あすふあるとぐらう ところ	asphalt grouting	溶かしたアスファルトをコンクリートのすき間や打継ぎ目などに注入する工法。
アスファルト鉱	あすふあるところ	asphaltite	アスファルト系石油が地層の割れ目に入り、熱によって変成し生成された固形の炭化水素。アスファルタイトともいう。
アスファルトコンクリート	あすふあるとこんく りーと	asphalt concrete	粗骨材、細骨材を粒度調整し、フィラーを混ぜてアスファルトと混合して加熱し締固めたもの。
アスファルトコンクリートコア型ロックフィルダム	あすふあるとこんく りーとこあがたろつ くふいるだむ	rockfill dam with asphaltic concrete core wall	ゾーン型ロックフィルダムの一型式で、遮水材料（コア）に、アスファルトコンクリートを用いたもの。
アスファルト質砂岩	あすふあるとしつさ がん	asphaltic sandstone	砂岩の空隙中に天然アスファルトが浸透して固化したもの。
アスファルトセメント	あすふあるとせめん と	asphalt cement	舗装用に精製されたアスファルト。
アスファルト乳剤	あすふあるとにゆう ざい	asphalt emulsion	アスファルトを乳化剤と安定剤の水溶液中で分散させて液状としたもの。
アスファルトフィニッシャー	あすふあるとふい にっしやー	asphalt finisher	アスファルト混合物の敷きならし、締固めに用いられる最終仕上げ機械。クローラー式とタイヤ式がある。
アスファルト封塞トラップ	あすふあるとふうそ くとらっぷ	asphalt-sealing trap	石油鉱床の地質条件のうち、稠密なアスファルトが間隙を充填し油層岩を封鎖して形成したもの。
アスファルトフェーシング	あすふあるとふえー しんぐ	asphalt facing	フィルダム上流面などにアスファルト舗装などを施し、それにより遮水を行うもの。表面アスファルト遮水ともいう。
アスファルト防水工	あすふあるとぼうす いこう	waterproofing with asphalt	アスファルト層を覆工内部に施工してトンネルの漏水防止を図ること。
アスファルトマカダム	あすふあるとまかだ む	asphalt macadam	マカダム粒度の碎石を、アスファルトで結合させて固めたもの。
アスファルトモルタル	あすふあるともるた る	asphalt mortar	アスファルトと砂・岩石粉などの微粒骨材の混合物で防湿性・保温性・耐摩耗性に富む。
アスベスト	あすべすと	asbestos, asbestos	石綿と同義。
アスベスト鉱床	あすべすとこうしょ う	asbestos deposit	蚊紋石の一種のクリソタイルや繊維状の角閃石類を総称するアスベストの脈状鉱床。
アスペリティモデル	あすぺりていもでる	asperity model	本震の震源過程を強い部分の破壊とみなし、断層面上の強度の不均一性と地震の発生パターンを説明するモデル。

足羽層群	あすわそうぐん	Asuwa Group	福井県福井市南東の山地および丘陵地に分布する中生界上部白亜系。湖成で礫岩・砂岩・泥岩などの互層を主体とし、石炭を伴い足羽植物化石群を産する。
アセノスフェア	あせのすふえあ	asthenosphere	プレート（リソスフェア）を載せた上部マントルにおける相対的に流動的な層。部分的に熔融状態と推定される地震波低速度層。岩流圏ともいう。
阿蘇4火砕流	あそ4かさいりゅう	Aso-4 pyroclastic flow	阿蘇カルデラから約9万年前に放出された大火砕流堆積物。降下テフラは北海道まで達し、噴出量は約100km ³ 。
亜層群	あそうぐん	subgroup	層群と累層の中間に位置する一つの地層群として用いられることがある。層群を細分する補助的地層群。
阿蘇火砕流堆積物（Aso-1～Aso-4）	あそかさいりゅうたいせきぶつ	Aso pyroclastic flow deposits	阿蘇火山からの大規模な4回の噴出により形成。多くは溶結し、組成および結晶度に変化がある。
阿蘇火山噴火物	あそかざんふんしゅつぶつ	Aso volcanic product	阿蘇カルデラ形成期から現在までの間に形成された阿蘇火砕流堆積物および阿蘇火山付近の溶岩の総称。
阿蘇カルデラ	あそかるでら	Aso caldera	阿蘇火砕流の噴出で形成された九州中部にある南北25km、東西18km、面積350km ² の火山性の陥没地。
亜属	あぞく	subgenus	生物を分類する時に用いる単位の一つで、「属」の下位の分類単位。
阿蘇山	あそさん	mount Aso	九州中部の活火山。東西約18km、南北約25kmの大カルデラを持つ。広域テフラAso-1～4の噴出源で現在も活動中。
阿蘇山噴火	あそさんふんか	the 1958 Asosan eruption	昭和33年（1958年）6月に活動した阿蘇観測所史上最大規模の噴火。爆風と火山灰により死者12人、負傷者28人、家屋などに甚大な被害が発生した。
阿蘇溶岩	あそようがん	Aso lava	阿蘇カルデラ周辺の火砕流堆積物の中で堅く溶結した凝灰岩で溶岩のように見える。通称で真の溶岩ではない。
阿蘇溶結凝灰岩	あそようけつぎょうかいがん	Aso welded tuff	阿蘇火山の4回の大規模な噴火によって形成された火砕流堆積物。多くは溶結し、溶結した部分の一軸圧縮強度は10～60MPa程度。
阿多火砕流	あたかさいりゅう	Ata pyroclastic flow	鹿児島湾南部と考えられている阿多カルデラからの大規模な噴火活動による火砕流で、南九州全域に分布。
愛宕層群	あたごそうぐん	Atago Group	福岡市西部に分布する新生界上部始新統～下部漸新統。早良層群を区分して再定義した上部層。本地区の主要夾炭層。
愛宕山層群	あたごやまそうぐん	Atagoyama Group	千葉県東端の銚子半島愛宕山付近に分布する中生界先白亜系。砂岩・粘板岩・チャート・礫岩などからなる。
阿多テフラ	あたてふら	Ata tephra	鹿児島湾南部に推定される阿多カルデラを供給源とした、西日本一帯に分布する広域火山灰。噴火年代は11～8万年前。

熱海石	あたみいし	Atami ishi	福島県郡山市熱海町産の砕石用石材。第四系安山岩。
アダメロ岩	あだめろがん	adamellite	花崗岩類の一種でカリ長石と斜長石がほぼ等量（量比2：1～1：2）含まれる岩石。
当り取り	あたりとり	contour trimming	トンネルなどの掘削面に突出した部分を削って、所要の断面を確保する作業。
亜炭	あたん	subcoal, lignite	石炭化度が最も低い石炭を褐炭といい、我国では更に鉱業法で褐炭中の低石炭化度のものを亜炭と呼んでいる。
圧気ケーソン工法	あっきけーそんこうほう	pneumatic caisson	ケーソンを沈下させる際に先端に圧気室を造り、地下水の流入や底盤の膨れ上がりを防ぎながら掘削する工法。ニューマチックケーソン・潜函工法ともいう。
圧気工法	あっきこうほう	pneumatic method	掘削部分の湧水を抑えるために圧縮空気を送る工法。シールド工事やケーソン工事で多用される。
圧気シールド	あっきしーるど	pneumatic shield	圧気工法を併用したシールド工法。圧気により湧水と切羽の崩壊を抑える。
圧緊水	あつきんすい	compaction water	上下の不透水層に挟まれた厚い泥岩から絞り出された異常に高い間隙水圧を持つ水。
圧緊水圧	あつきんすいあつ	compaction pressure	圧緊水のもつ圧力。
圧砕角礫岩	あっさいかくれきがん	crush-breccia	断層による岩石の圧砕作用によって生じた角礫岩状の岩石。断層岩の一種、再結晶の有無によって各種分類がある。
圧砕岩	あっさいがん	mylonite	高い封圧下での圧砕作用で、岩石の構成鉱物がすりつぶされてできる細粒岩と考えられていた時代のマイロナイトの訳語。
圧砕強度	あっさいきょうど	crushing strength	圧縮強度と同義、または乾燥した土塊の圧砕に要する単位面積あたりの力。
圧砕構造	あっさいこうぞう	mylonitic structure	圧砕岩における鉱物の形態定向配列による面構造。面構造には縞状組織や線構造が認められることが多い。
圧砕碎屑岩	あっさいさいせつがん	autoclastic rock	固結した岩石が圧砕作用のもとに破砕されて微粒集合体になったもの。断層角礫など。
圧砕作用	あっさいさよう	mylonitization	地下深部で断層による塑性変形を受けて構成鉱物が動的再結晶を生じ、細粒化および多結晶化する作用。マイロナイト化作用ともいう。マイロナイト化作用が破砕作用により行われると考えられていた時代の訳語。
圧砕帯	あっさいたい	shear zone	断層活動により岩石が破砕され、細かい岩片や鉱物が集合した帯状の領域。固結したものや未固結のものなど形態は問わない。shear zoneの訳語としてはせん断帯のほうが一般的である。

圧搾作用	あっさくさよう	crushing	ボーリング掘削過程において、強い圧力を被ることにより孔壁が破損すること。
圧縮応力	あっしゅくおうりょく	compressive stress	外力に応じて物体の内部に生じる応力の垂直成分のうち圧縮方向のもの。
圧縮尾根	あっしゅくおね	pressure ridge	断層変位による凸地形を表す用語の一つで、断層線に沿って両側から地塊が圧縮されて生じた細長い尾根状の凸地形のこと。
圧縮強度	あっしゅくきょうど	compressive strength	力や応力を物質の長さや体積を減少させる方向に作用させるとき、まさに破壊しようとするときの応力。圧縮試験によって求まる強度。耐圧強度ともいう。
圧縮亀裂	あっしゅくきれつ	compression crack	地すべり地などにおいて、土塊内部の圧縮力に起因して発生した亀裂。
圧縮空気貯蔵	あっしゅくくうきちょうぞう	compressed air energy storage	CAESと同義。
圧縮空気貯蔵ガスタービン発電	あっしゅくくうきちょうぞうがすたーびんはつでん	compressed air energy storage gas turbine power generation	余剰電力で圧縮空気を地下の空洞に貯蔵し、電力ピーク時にこの圧縮空気を用いてガスタービン発電を行う方式。
圧縮クリープ	あっしゅくくりーぷ	compressive creep, creep under compressive force	一定の圧縮応力下で、ひずみが時間とともに徐々に増加していく現象。
圧縮係数	あっしゅくけいすう	coefficient of compressibility	体積弾性係数の逆数。単位圧力の変化による単位体積あたりの体積変化。
圧縮材	あっしゅくざい	compression member	軸方向に圧縮力を受ける部材。
圧縮試験	あっしゅくしけん	compression test	供試体に圧縮力を加えて圧縮強度や変形特性を知るための試験。
圧縮指数	あっしゅくしすう	compression index	土の圧密において、間隙比と荷重の常用対数の関係をとったときの勾配。
圧縮性	あっしゅくせい	compressibility	物質への単位圧力の増加に対する単位体積あるいは厚さの減少の度合い。
圧縮性流体	あっしゅくせいらいゆうたい	compressible fluid	圧力による密度変化の比較的大きな流体であって、普通気体がこれに当たる。
圧縮節理	あっしゅくせつり	compression joint	圧縮応力が原因で生じるせん断（剪断）節理であり、主圧縮応力軸と鋭角に交わる共役セットをなすこともある。
圧縮弾性限界ひずみ	あっしゅくだんせいげんかいひずみ	elastic limit compressive strain	一軸または三軸圧縮試験で得られた、軸ひずみ－軸応力曲線における弾性領域の限界に対応するひずみ。

圧縮弾性率	あっしゅくだんせいりつ	modulus of compression	体積Vの物体に加わる圧力を ΔP 変化させたときの体積変化を ΔV とすると圧縮弾性率Kは $K=-V \cdot (\Delta P / \Delta V)$ で定義される。体積弾性率、非圧縮率と呼ぶことの方が多く最近では利用されていない。
圧縮波	あっしゅくは	pressure wave	P波の別称。粗密波・縦波・圧力波ともいう。
圧縮ひずみ	あっしゅくひずみ	compressive strain	圧縮応力によって生じるひずみ。圧縮圧力を受け、長さsがds分変化した場合のds/s。
圧縮変形係数	あっしゅくへんけいけいすう	compressive modulus of deformation	材料に圧縮応力を加えたときの圧縮ひずみに対する圧縮応力の関係を表す係数。
圧縮率	あっしゅくりつ	compressibility	物体の表面にかかる圧力が増加することによる体積の減少率。
圧縮リッジ	あっしゅくりっじ	transverse ridge	地すべり滑動によって生じた、地すべりの移動方向に直交する凸型の細長い高まりのこと。
厚保層群	あつそうぐん	Atsu Group	山口県南西部美弥市南部に分布する中生界三じょう系（三畳系）。石灰岩・砂岩・礫岩・泥岩などからなり、貝化石を産する。
アッターベルグ限界	あつたーべるぐげんかい	Atterberg limit	含水比の変化にともなう土の流動特性を液状・可塑状・半固体状・固体状に分けたときの限界含水比の総称。コンシステンシー限界と同義。
熱田層	あつたそう	Atsuta formation	名古屋市熱田台地（中位段丘面）を構成し、濃尾平野一帯に分布する上部更新統。主に粘土と砂より構成され、砂礫および軽石層を挟む。
厚田油田	あつたゆでん	Atsuta oil field	北海道の石狩湾側厚田村に位置する油田。新第三系望来層・盤ノ沢層を貯留層とする。地質構造は西側海中にNNW-SSE方向の軸を有する背斜構造。1930年に発見され、1971年に閉山された。
圧定板	あつていばん	pressure plate	フィルム正面の平面性を保持するために何らかの外力を用いてフィルム正面を押え圧定する装置。
圧電型受振器	あつでんがたじゅしんき	piezoelectric transducer hydrophone	圧力型受振器の一種で、強誘電体の電わい（電歪）効果を利用した受振器。海域調査や物理検層用受振器として使用。
圧電式圧力計	あつでんしきあつりょくけい	piezoelectric pressure meter, piezoelectric pressure transducer	水晶などの結晶体にひずみを与えると誘電分極を起こして電荷が発生する性質を利用した圧力測定装置。
圧電性	あつでんせい	piezoelectricity	ある種の結晶体のある方向に応力を加えると、ある定まった方向に誘電分極を生じ帯電する性質。
圧電性ポリマー	あつでんせいぼりまー	piezoelectric polymer	電場を与えると変形・移動し、また逆の現象も発生する性質を持つ高分子。非金属の先端技術としてオーディオ材などに用いられている。
圧電素子	あつでんそし	piezoelectric element	ひずみを加えると電荷が、電圧を加えるとひずみが発生する素子。水晶やセラミックなど多種の材料がある。

厚内層群	あつないそうぐん	Atsunai Group	北海道十勝地域の浦幌町、音別町などに分布する新生界後期漸新統～更新統の海成層。珪藻質シルト岩・珪質頁岩・砂岩・礫岩などからなる。
厚肉アーチダム	あつにくあーちだむ	thick arch dam	アーチ中心の曲率半径に対しアーチ厚さが相対的に厚いアーチダム。
圧入工法	あつにゆうこうほう	jacking method	杭打ち工事などで静的な圧力をかけながら杭や矢板を地盤に挿入する工法。油圧ジャッキやワイヤを用いる。
圧入式杭打ち工法	あつにゆうしきくいうちこうほう	pile jacking method	既製杭を油圧ジャッキなどで静的に圧入する工法。低騒音・低振動の工法として優れている。
圧入指数	あつにゆうしすう	injectivity index	油田・ガス田・地熱発電などの井戸において、地下水を還元する際の注入圧に関する指数。圧入指数＝圧入量／（圧入孔底圧－静止孔底圧）。
圧入井	あつにゆうせい	injection well, input well	石油鉱床から原油を産出させる時、水やガスを油層に注入する坑井。水溶性ガスや地下水かん養（涵養）でも用いる。
アッパーシレジア鉱床	あっぱーしれじあこうしょう	upper Silesia coal field	ポーランド南部、上部シレジア地域に分布する石炭鉱床。上部石炭系の炭層を稼行する。
アッパーマントル	あっぱーまんとる	upper mantle	地殻の下面（モホ面）から深さ650～700km（西村他，基礎地球科学）のマントル上部をさし、従来の岩石圏下部で超塩基性岩からなる。上部マントルと同義。Glossary of Geologyでは地殻下面から深さ1,000kmとしている。
アップスイープ	あっぷすういーぷ	upsweep	周波数連続変化型の非爆薬震源バイブロサイスにおいて、周波数を低周波から高周波に連続変化させる方式。
アップディップフローディング	あっぷでいっぷふるーでいんぐ	up dip flooding	地熱井の掘削において、還元井のブレイクスルーを防ぐために生産井の下方から行う対策方法。
アップホール法	あっぷほーるほう	uphole method	ボーリング孔内に震源を設け、地表または近傍のボーリング孔内に受振器を設置して地震波速度を測定する方法。
アッペ屈折計	あっぺくっせつけい	Abbe refractometer	測定溶液を試料台にのせ、その上にのせたガラス球の入射光が全反射する方向を測定する方法で、屈折率を測定する。
アッペ式測長器	あっぺしきそくちょうき	Abbe type length measuring equipment	物体の長さをアッペの原理にしたがって正確に測定する機器。測定する2点の延長上にある標準尺の目盛りの動きを読み取る。
アッペ数	あっぺすう	Abbe's number	ガラスなどで異なった波長の光が異なった方向へ屈折する度合を表した数。アッペ数が大きい程、レンズの色収差が小さく分解能が高い。
厚真油田	あづまゆでん	Azuma oil field	北海道苫小牧市東方の勇払郡厚真町に位置する軽舞（かるまい）油田と振老（ふれおい）油田の総称。雁行するNW方向の2つの背斜構造の軸部で振老層の砂岩中に貯留。
渥美層群	あつみそうぐん	Atsumi Group	愛知県の渥美半島から豊橋市一帯に分布する新生界中部更新統。海成で砂を主体に礫・粘土を挟む。貝・甲殻類・植物などの化石を多産。

温海層群	あつみそうぐん	Atsumi Group	新潟県最北端の山北町海岸付近に分布する新生界前期中新統。火山岩類と夾炭層からなる。下部は温海岳火山岩層，上部は五十川夾炭層。
圧密	あつみつ	consolidation, compaction	未固結堆積物が主に上載荷重により弾性ひずみ，粒子の再配列，間隙水の脱水をきたして体積が減少する現象。
圧密圧力	あつみつあつりよく	consolidation pressure	土を圧密する圧力（荷重）をいう。荷重増分あるいは圧密後の全荷重をさす。
圧密打ち切り時間	あつみつうちきりじかん	consolidation time	三軸圧縮試験や，一面せん断試験において，圧密速度が十分遅くなったところで圧密を打ち切り，せん断を開始する時間。
圧密応力	あつみつおうりよく	consolidation stress	吉国の圧密理論で用いられた圧密の基本量で，圧密ポテンシャルとも呼ばれた。
圧密改良工法	あつみつかいりょうこうほう	soil improvement by consolidation	地盤中の地下水を強制排出することにより地下水面を低下させ，人為的に圧密を促進させて地盤を改良する工法の総称。
圧密荷重	あつみつかじゅう	consolidation load	圧密圧力と同義。
圧密過程	あつみつかてい	consolidation process	土や岩石のせん断試験において，せん断を開始するまでに試料に圧力を加え圧密させる過程。
圧密緩速試験	あつみつかんそくしけん	consolidated slow test	圧密排水三軸圧縮試験と同義。
圧密急速試験	あつみつきゅうそくしけん	consolidated quick test	圧密非排水三軸圧縮試験と同義。
圧密曲線	あつみつきょくせん	time-settlement curve	粘土の圧密試験における各荷重段階毎の沈下経過を表す曲線。
圧密計	あつみつけい	consolidometer	圧密試験機。
圧密係数	あつみつけいすう	coefficient of consolidation	圧密速度を支配する土質定数で，透水係数を体積圧縮係数と水の単位体積重量の積で割った値として定義される。
圧密係数比	あつみつけいすうひ	consolidation coefficient ratio	二次元圧密方程式の解法にて水平・垂直方向の圧密係数 $C_v \cdot C_h$ とした時 $(C_v/C_h)^{1/2}$ にて定義される。
圧密降伏応力	あつみつこうふくおうりよく	consolidation yield stress	粘土が弾性的な圧密挙動を示す過圧密域から塑性的な圧密挙動を示す正規圧密域に移行する境界応力。
圧密試験	あつみつしけん	consolidation test	土の圧密特性を求める試験。一般的には粘性土の一次元圧密特性を求めるために行われる標準圧密試験を指す。

圧密促進工法	あつみつそくしんこうほう	accelerated consolidation method	軟弱粘性土に対する地盤改良工法の一つで、地盤中にドレーン材を施工するなど圧密を促進させる工法。
圧密沈下	あつみつちんか	consolidation settlement	飽和粘土地盤が荷重を受け、間隙中の水が排出されて、体積が徐々に減少していくとともに生ずる沈下。
圧密定圧せん断試験	あつみつていあつせんだんしけん	consolidated constant pressure shear test	供試体を圧密後、せん断中の有効応力が一定となるように制御した一面せん断試験。
圧密定体積せん断試験	あつみつていたいせきせんだんしけん	consolidated constant volume shear test	供試体を圧密後、垂直圧力を増減させることによって供試体の体積を一定とした状態で行う、一面せん断試験。
圧密度	あつみつど	degree of consolidation	ある時点での圧密量と最終圧密量の比、あるいはその百分率。
圧密排水三軸圧縮試験	あつみつはいすいさんじくあつしゅくしけん	consolidated-drained triaxial compression test	土のせん断試験の一方法。CD試験。供試体を圧密後せん断中に排水を許す試験方法で、砂質地盤の通常の安定問題を検討する場合に用いる。
圧密非排水三軸圧縮試験	あつみつひはいすいさんじくあつしゅくしけん	consolidated-undrained triaxial compression test	土のせん断試験の一方法。CU試験。供試体を圧密後せん断中に排水を許さない試験方法。圧密による強度増加を検討する場合用いる。
圧密非排水・排気試験	あつみつひはいすいはいきしけん	consolidated undrained exhausted shear test	不飽和土の三軸圧縮試験の一方法。圧密後の軸圧縮過程を非排水・排気状態で行う試験。
圧密方程式	あつみつほうていしき	formula of consolidation	土の圧密を支配する方程式で、熱伝導型の微分方程式である。
圧密量－時間曲線	あつみつりょうじかんきょくせん	consolidation time curve	圧密試験で圧密量と時間の関係から圧密係数 C_v などを求める際に使用する曲線。
圧密理論	あつみつりろん	consolidation theory	土の圧密現象における挙動を扱う理論。テルツァーギ、三笠、Biotの理論が有名である。
圧力維持	あつりょくいじ	pressure maintenance	水やガスによって圧力を加え、系内の流体の圧力を高く保持すること。石油採掘でも重要。
圧力型受振器	あつりょくがたじゅしんき	pressure detector	波動の圧力成分に比例した電気出力を得る受振器。電わい（電歪）振動子を用いた電歪型圧力受振器が多用されている。
圧力基準器	あつりょくきじゅんき	standard pressure gauge	圧力計の検査、検定などに用いられる器具。計量法の基準器検査規則では基準液柱形圧力計と基準重錘式圧力計が規定されている。
圧力球根	あつりょくきゅうこん	pressure bulb	地表面に荷重が作用したときの地中の応力分布を示す球根状の等応力線。応力球根ともいう。
圧力グラウチング	あつりょくぐらうちんぐ	pressure grouting	パッカーを用い、圧力をかけて材料を注入するグラウチングのこと。ダム基礎処理に普通に用いられる。

圧力計	あつりよくけい	pressure gauge	空気・水・土などの圧力を測定する計器の総称。対象により、気圧計・水圧計・土圧計などに分類される。
圧力勾配	あつりよくこうばい	pressure gradient	2点間の圧力のみに着目したときの水平方向の単位距離あたりの水圧や気圧などの圧力差。
圧力式水位計	あつりよくしきすい いけい	pressure type water level indicator	貯水池やボーリング孔内などの水位を圧力で検知する方式の計器。
圧力室	あつりよくしつ	pressure cell	三軸圧縮試験機において供試体を納め拘束力を加えるための円筒形の格納容器。
圧力障壁	あつりよくしょうへ き	pressure barrier	油田・ガス田・地熱発電などの還元水で、地層流体圧と注入水圧の衝突により形成されるもので、地下水の流路が変更される。
圧力水準器	あつりよくすいじゅ んき	pressure level	微差圧計の1種。中央でわずかに曲げたガラス管中の液体が両端の差圧で移動した分をもどす傾斜角で測定。
圧力水頭	あつりよくすいとう	pressure head	帯水層中のある点における地下水の圧力ポテンシャルを大気圧下の水柱の高さで表したもの。
圧力水路	あつりよくすいろ	pressure conduit	計画流量を満流状態で流下させる水路。
圧力セル	あつりよくせる	pressure cell	圧力室と同義。
圧力損失	あつりよくそんしつ	pressure loss	管路内でのエネルギー損失によって流下方向に圧力が減少すること。
圧力立坑	あつりよくたてこう	pressure shaft	水力発電所の水圧管路のように内水圧が加わる立坑。
圧力タンク	あつりよくたんく	pressure tank	密閉したタンク内に水を送り、空気を圧縮して圧力を高め、その圧力を利用して高所に給水するための施設。
圧力トンネル	あつりよくとんねる	pressure tunnel	水圧トンネルと同義。
圧力波	あつりよくは	pressure wave	P波の別称。一般に流体中を伝わる音波を圧力波と呼ぶことが多い。
圧力箱	あつりよくはこ	pressure chamber	土構造物の模型実験において、自重応力を実際に摸して加えるための実験装置。
圧力バランス型 土圧計	あつりよくばらんす がたどあつけい	pneumatic type earth pressure cell	判別型土圧計と同義。

圧力封塞	あつりよくふうそく	pressure packing	地下に注水する時に、注入圧力を強くしすぎると起きる現象。地層の粒子配列を乱すことにより、流路が閉塞される状態をいう。
圧力変換器	あつりよくへんかんき	pressure transducer	圧力を対応する異なった物理量（電圧など）に変換する装置。
圧裂試験	あつれつしけん	split test	円柱供試体を直径方向に圧縮して割る試験。圧裂引張り試験と同義。
圧裂引張り試験	あつれつひっぱりしけん	Brazilian test	円柱供試体の直径方向に荷重を加えることにより、供試体内に引張応力を発生させて破壊させる試験。長さ/直径の比が1/2～1の円柱状供試体を使用。岩石やコンクリートの引張強度を求めるために用いる。
アディノール	あでいのーる	adinole	Naを多く含む苦鉄質の貫入岩との接触により生成した変成岩。曹長石に富む緻密で貝殻状に割れる細粒岩。
ADEOS	あでおす	Advanced Earth Observing Satellite, ADEOS	地球観測プラットフォーム技術衛星。陸域・海域・大気を総合的継続的に観測し、地球環境監視に役立てる目的。
阿哲石灰岩	あてつせっかいがん	Atetsu limestone	岡山県新見市西方の阿哲台周辺に分布する石炭～ペルム紀の石灰岩。
阿哲石灰岩層群	あてつせっかいがんそうぐん	Atetsu limestone Group	岡山県新見市～北房町に分布する古生界石炭～ペルム系。主体となる阿哲石灰岩のほかに火山砕屑岩、泥岩、砂岩などを伴う。一部は三郡変成作用を受けている。
アテネ大理石	あてねだいいりせき	Athena marble	古代ギリシャの建築にも利用された、ギリシャアテネ付近の中生界大理石。
当矢板トレンチ	あてやいたとれんち	trench with lagging	比較的良好な地山で掘削後簡易な矢板で土留を行うトレンチ掘削。
阿寺断層	あてらだんそう	Atera fault	活断層。活動度A級、北西方向。岐阜・長野県境付近、長さ約80km、左横ずれ。トレンチ調査による平均再来周期は1700年。
後ガス	あとがす	after gases	坑内におけるガス爆発や火薬爆発などのあとに残るガス。
跡倉層	あとくらそう	Atokura formation	関東山地北縁の群馬県下仁田付近などにナップとして分布する上部白亜系。礫岩・砂岩・砂岩泥岩互層などからなる。三波川帯に衝上し跡倉ナップと呼ばれている。
跡佐登鉱山	あとさぬぷりこうざん	Atosanupuri mine	北海道東部弟子屈町に位置する。昇華型のイオウ鉱床が分布。
跡津川断層	あとつがわだんそう	Atotsugawa fault	活断層。活動度A級、東北東-西南西方向。飛騨山地北部で約60kmにわたってのびる右横ずれ。1858年飛越地震の起震断層。
後荷	あとに	residual load	トンネルなど地中構造物の施工後に、地山のクリープなどによって地圧が増大すること。

後浜	あとほま	backshore	浜のうち、満潮線から陸側に向かって暴浪浜の陸側境界線までの区間。シケの時にのみ浸水する浜。
後普請	あとぶしん	late support	地質が非常に良好で土圧の作用がほとんどない場合、トンネル切羽の後方で支保を行うこと。
アドミティブィティ	あどみっていびてい	admittivity	電気探査で、岩石の交流電気パラメータ。直流の電気伝導度に対応する用語。
孔明き管	あなあきかん	perforated pipe	坑壁保護を目的に坑内の生産ゾーンなどに設置される通常スリット状の貫通孔を有するパイプ。こう明管、ストレーナーともいう。
アナグリフ	あなぐりふ	anaglyph	余色写真と同義。
穴沢石	あなざわいし	Anazawa ishi	札幌市豊平町産の砕石・土木用石材。新第三系安山岩。
孔尻	あなじり	bottom of borehole	爆破によって破砕されずに残った穿孔の奥の部分。
孔曲り	あなまがり	borehole deflection	掘削機械で地中を掘削したとき、機械的条件や地質的条件などにより掘削孔が湾曲すること。
孔曲り測定	あなまがりそくてい	directional survey	ボーリング孔の曲がり測定すること。測定器は磁針と重錘機構の傾斜針からなり、所定の深度で使用するため、タイマーによりロックさせる装置が付属している。
アナログ画像処理	あなろぐがぞうしやり	analog image processing system	写真処理・光学処理・電氣的処理などによるアナログ方式の装置を用いて行う画像処理。デジタル画像処理に対比。
アナログ地震探鉱機	あなろぐじしんたんこうき	analog seismic recording system	弾性波探査で、地動信号をアナログ量で記録する方式の探鉱機。
アナログシミュレーション	あなろぐしみゅれーしょん	analog simulation	理論式を模擬したアナログ回路を用い、物理量を電圧に置き換えて行うシミュレーション。浸透流の解析などに用いられることがある。
アナログデジタル変換	あなろぐでじたるへんかん	analog to digital conversion	電氣的なアナログ量の計測値をデジタル処理するためにADコンバータによりデジタル量へ変換すること。
阿仁合型植物群	あにあいがたしよくぶつぐん	Aniai-type flora	秋田県阿仁合炭田の阿仁合夾炭層の植物化石群で代表される中新世前半期の植物群。冷温帯性落葉広葉樹が主。
阿仁石	あにいし	Ani ishi	秋田県北秋田郡阿仁鉱山産の砕石・中砥用石材。新第三系石英粗面岩。
阿仁鉱山	あにこうざん	Ani mine	秋田県中央部に位置する。新第三系の熱水鉱脈鉱床が分布し、銅、銀などを産する。

アニューラーベロシテイ	あにゅらーべろし てい	annular velocity	坑壁と掘管との環状間隙 (annulus) を流体が上昇する速度. 間隙部にカッティングスなどが停滞しないよう管理.
亜熱帯	あねったい	subtropical zone, subtropics	熱帯と温帯の中間地帯. 高温期と低温期があり, 気温年較差は大. 大陸では雨が少なく, 草原や砂漠となる.
亜熱帯黒色土	あねったいこくしょ くど	subtropical black soil	熱帯から亜熱帯に分布し, 土層が黒色を呈す土壌のこと. 多くは, 塩基性岩を母材とし粘土質の土壌である.
亜熱帯ジェット気流	あねったいじえつと きりゅう	subtropical jet stream	亜熱帯地域の上空の中緯度圏と熱帯圏の境目近くで吹く強い偏西風.
亜熱帯赤色土	あねったいせきしょ くど	subtropical red soil	湿潤亜熱帯から暖温帯に生成した赤色の土壌. 表層に有機物は少なく, 下層に粘土を集積する.
アネロイド型圧力計	あねろいどがたあつ りょくけい	aneroid gauge	内部をほぼ真空にした金属缶の圧力変化による変形をバネに伝達し, 針の回転によって圧力を指示する圧力計. 小型軽量で携帯しやすいのが特徴である.
アネロイド型温度計	あねろいどがたおん どけい	dial thermometer	温度による流体の圧力変化を利用して指針を動かして測定する温度計.
アネロイド気圧計	あねろいどきあつけ い	aneroid barometer	ほぼ真空にした金属製の扁平な箱の弾性と大気圧のバランスにより気圧を測定する装置.
アネロイド晴雨計	あねろいどせいうけ い	aneroid barometer	アネロイド気圧計の別称.
アノーサイト	あの一さいと	anorthite	灰長石と同義.
アノーソクレーズ	あの一そくれーず	anorthoclase	正長石 (Or) と灰長石 (Ab) の中間の組成を持つ長石. $Or_{37}Ab_{63}$ より Ab 成分が多い. 三斜晶系. 硬度 6. 比重 2.56~2.6.
アノーソサイト	あの一そさいと	anorthosite	斜長岩と同義.
アノマリードリリング	あのみりーどりりん ぐ	anomaly drilling	異常部やそれに隣接した地層を調査する目的で実施されるボーリング.
網走石	あばしりいし	Abashiri ishi	網走市台町産の碎石・間知石用石材. 新第三系輝石安山岩.
アパタイト	あぱたいと	apatite	燐灰石と同義.
アバット	あばっと	abut	不整合の一形式で, 古い地層や岩体のつくる崖や急斜面の側方に新しい地層が堆積する関係.

アバットメント	あばつとめんと	abutment	ダムの左右岸斜面取り付け部や橋梁端部の地盤取り付け部をさす。
アパトサウルス	あばとさうるす	<i>Apatosaurus</i>	竜盤目，竜脚亜目の草食恐竜。四足歩行。首と尾が長く，体長約21m。ジュラ紀後期に生息。旧称プロントサウルス。
アパラチア造山運動	あばらちあぞうざんうんどう	Appalachian orogeny	先カンブリア時代末期から古生代ペルム紀末にかけて，北アメリカ，アパラチヤ山脈の基本構造をつくった造山運動。
亜氷期	あひょうき	glacial stadial, glacial stade, glacial substage	一つの氷期の間においても氷河は前進後退するが，亜氷期は氷河が前進する寒冷な時期。
アフィン図化	あふいんずか	affine plotting	実体写真の標定で，カメラの主点距離と異なる値を図化機に入力し，アフィン変形を伴うモデルを使う図化。
アフィン変換	あふいんへんかん	affine transformation	回転，スキューなどのひずみのある画像を幾何学的に変換する場合に用いられるユークリッド空間における線形変換。
阿武川層群	あぶがわそうぐん	Abugawa Group	山口県萩市南東の川上村付近に分布する古生界ペルム系。主に石灰岩・砂岩・泥岩からなり，チャート・礫岩を挟む。
阿武隈型変成作用	あぶくまがたへんせいさよう	Central Abukuma type metamorphism	阿武隈高原中部に分布する御斎所変成岩・竹貫変成岩の紅柱石－珪線石系列（低圧型）変成相系列。
阿武隈高地	あぶくまこうち	Abukuma highland	福島県から茨城県にかけて広がる標高1,200m以下の隆起準平原。領家帯に対比される阿武隈変成岩類・花崗岩・古生界などから構成される。
阿武隈大理石	あぶくまだいりせき	Abukuma marble	装飾用壁材・床材として福島県田村郡で採掘されている結晶質石灰岩。年代未詳滝根層群に産する。
阿武層群	あぶそうぐん	Abu Group	山口県および島根県の中国山地脊梁部から山陰海岸にかけて広く分布する中生界白亜系。主に流紋岩質の凝灰岩・溶結凝灰岩からなる。山口市北方の長門峡付近を模式地とする。
虻田鉱山	あぶたこうざん	Abuta mine	北海道西部虻田町に位置する鉱染・交代型の鉱床。硫化鉄鉱を主目的に採掘。鉱床の内側にイオウ帯が形成されている。
アプチアン	あぷちあん	Aptian (stage)	国際対比の基準として使われているヨーロッパ白亜系下部統上部の階。
亜不動域	あふどういき	sub-unmoving area	地すべり地形において，不動域と主滑落崖の間の地すべりにより僅かに変形している影響部。不動域との境界は後背亀裂。
アフマグ法	あふまぐほう	afmag method, audio-frequency magnetic method	可聴周波領域の自然磁場変動を計測する電磁法の一つ。VLF法の出現以後は本法の利用は少ない。
アプライト	あぷらいと	aplite	半花崗岩と同義。

油肌	あぶらはだ	aburahada	油脂状の光沢を示す岩石の表面形態。
油飽和率	あぶらほうわりつ	oil saturation	貯留岩中の液相の原油の含有率をいい、孔隙容積に対する原油の容積比率で表す。
油容積係数	あぶらようせきけいすう	oil formation volume factor	油層内の原油容積（ガスを溶解している）と地上に原油を汲み上げたあとの原油容積（ガスを分離）との比。
アフリカ大地溝帯	あふりかだいちこうたい	African Rift Valley	死海・紅海・Gregory rift・Myasa riftなどを結ぶアフリカ東部の地溝帯。発散型大陸プレート境界のリフト。
アフリカ楯状地	あふりかたてじょうち	African shield	アフリカ大陸全土の50%以上を占める先カンブリア紀の地層の分布域。
アフリカプレート	あふりかぷれーと	African plate	アフリカ大陸を載せるプレート。大西洋南東部、インド洋西部を含む。
アブレイシブジェット工法	あぶれいしぶじえつこうほう	abrasive jet method	ざくろ石などの研磨剤を混入させた高速噴流水を収束噴射させて各種構造物の解体、岩盤掘削などを行う工法。アブレッシブウォータージェット工法ともいう。
阿部倉地すべり	あべくらじすべり	the Abekura landslide	1974年2月に神奈川県横須賀市阿部倉で盛土を主要原因にして発生。
安部城鉱山	あべしろこうざん	Abeshiro mine	青森県津軽半島に位置し、新第三系黒鉱鉱床が分布。新第三紀中新統の西黒沢階最上部～女川階最下部にある層準規制型の鉱床。銅、銀などを産する。
安倍族造山運動	あべぞくぞうざんうんどう	Abean orogenic movement	清水褶曲・世田米褶曲に基づいて、ヨーロッパのバリスカン造山運動に対比されるものとして提唱された東北日本の古生代造山運動。
アボイドマップ	あぼいどまっぷ	avoid map	災害回避地図。自然災害を事前に回避するため過去の被災履歴を示し、被災想定区域を表示したもの。
安房トンネル	あぼうとんねる	Abo tunnel	長野・岐阜県境の安房峠直下に掘削された延長4,370mの国道トンネル。地質は主に美濃帯の中古生界で一部に火山噴出物が分布する。長野県側は高熱、岐阜県側は高圧大量湧水で難航した。1997年完成。
アボガドロ数	あぼがどろすう	Avogadro's number	原子、分子等の物質粒子の1モル中に含まれる粒子の数。普遍定数であり、 6.02×10^{23} 。
アマガー圧力計	あまがーあつりよくけい	amagat manometer	断面積が異なる連結ピストンで減圧することで高圧が測れる圧力計。圧力媒体に糖蜜や水銀などを利用する。
天方石	あまがたいし	Amagata ishi	静岡県周智郡森町産の土木用石材。第三系砂岩。
天城火山	あまぎかざん	Amagi volcano	伊豆半島東部に位置する主に安山岩溶岩からなる第四紀火山。0.15Ma以降の噴火は未確認。

天城抗火石	あまぎこうかせき	Amagi kokaseki	静岡県田方郡中伊豆町産の石材・軽量骨材。第四系石英安山岩～石英粗面岩質軽石。
天草褶曲帯	あまくさしゅうきよくたい	Amakusa fold zone	九州天草地域の褶曲帯。上部白亜系と古第三系とが平行不整合関係にあり、褶曲構造に著しい差異がない。
天草陶石	あまくさとうせき	Amakusa porcelain stone	熊本県天草地方に産出する陶器の原料となる流紋岩起源の鉱石。
尼瀬油田	あまぜゆでん	Amaze oil field	新潟県柏崎市北方の出雲崎町尼瀬に位置する油田。海岸線に平行なNE方向の背斜構造で新第三系寺泊層の砂岩に貯留している。1891年、日本で初めて機械掘削に成功した。
天の宮石	あまのみやいし	Amanomiya ishi	静岡県周智郡森町産の土木用石材。第三系砂岩。天方石と同質。
雨畑石	あまはたいし	Amahata ishi	山梨県南巨摩郡早川町産の石材（すずり石）。中生界～古第三系粘板岩・輝緑凝灰岩。
奄美海台	あまみかいだい	Amami plateau	九州南方300km, 奄美大島東方100kmに広がる海台で、大東海嶺・沖大東海嶺と併せて大東海嶺群と総称。
アマルガム	あまるがむ	amalgam	水銀と他の金属との合金。一般的にはペースト状となりやわらかい。古くから金銀の製錬に利用。
余目油・ガス田	あまるめゆがすでん	Amarume oil-gas field	山形県酒田市南東に位置する油田。1960年発見。深度は500～1,000mの新第三系中部中新統～鮮新統の丸山層、楯山層、北俣層の砂岩に貯留されている。
余目油田	あまるめゆでん	Amarume oil field	山形県酒田市南東に位置する油田。新第三系中部中新統～鮮新統の丸山層、楯山層、北俣層に貯留されている。
網工	あみこう	amiko	主に江戸時代に採用された山腹工の一つで、そだやかやなどの束で山腹を網状に覆い、網目に苗木を植える工法。
網目法	あみめほう	grid method	写真と地図上に対応する四辺形の網目を作り、対角線の交点をとってさらに細分化して写真上の点を投影する方法。
アムスラー式ねじり動力計	あむすらーしきねじりどうりょくけい	Amsler torsionmeter	光学検出方式のトルクメータの一種
アムスラー式万能材料試験器	あむすらーしきばんのうざいりょうしけんき	Amsler universal material testing machine	各種材料の引張り、曲げ、圧縮、剥離試験などに幅広く使用されている試験装置。
アムスラー式振り子動力計	あむすらーしきふりこどうりょくけい	Amsler pendulum dynamometer	アムスラー式万能材料試験機に用いられている荷重の測定および指示装置
アムスラー試験機	あむすらーしけんき	Amsler type testing machine	アムスラー式万能材料試験機と同義。

アメス石	あめすせき	amesite	(Mg ₂ , Al)(Si, Al)O ₅ (OH) ₄ . 六角板状, 淡緑色, 三八面体型・カオリン構造の粘土鉱物. 産出はまれ. アメサイトともいう.
アメダス (AMEDAS)	あめだす	automated meteorological data acquisition system, AMEDAS	全国に設置されている自動気象観測装置からのデータを電話回線を使って気象庁に集めるシステム.
アメリカ硬度	あめりかこうど	U. S. hardness	水中のCaおよびMgのイオン量を炭酸カルシウム濃度に換算したもの.
アメリカ材料試験協会規格	あめりかざいりょうしけんきょうかいきかく	ASTM standards	工業材料の研究や標準化を行うアメリカの団体 (ASTM) による工業材料や試験法に関する仕様・規格.
アメリカ式掘削工法	あめりかしきくっさくこうほう	American (excavation) method	トンネルの掘削工法の一つで, 頂設導坑から順次木製支保工を組み立てながら切上げ下部の掘削を行う.
アメリカンシステムドリル	あめりかんしすてむどりる	American-system drill	一般に車載型の軽便なボーリング装置. 掘削方式はたがね状ビットによる衝撃掘り. チャーンドリルともいう.
亜目	あもく	suborder	生物を分類する時に用いる単位の一つで, 「目」の下の分類単位.
鮎河層群	あゆがわそうぐん	Ayugawa Group	鈴鹿山脈西麓に分布する下部中新統. 砂岩・泥岩・礫岩などから構成され, 第一瀬戸内累層群に属する. 泥岩の一軸圧縮強度は10MPa, 砂岩・礫岩は20MPa程度.
鮎川・由利原油・ガス田	あゆかわゆりはらゆがすでん	Ayukawa/Yurihara oil-gas field	秋田県由利郡由利町に位置する油・ガス田. 1976年に発見. 主に深度1,500~1,900mの西黒沢層玄武岩から産出.
洗い試験	あらいしけん	decantation test	骨材中に含まれる75μmふるいを通過する泥土の量を洗い分析によって測定する試験. 骨材の微粒分量試験方法 (JIS A 1103) で規定されている.
洗堰	あらいぜき	fixed dam	高さ10m以下の固定堰や角落しなどの可動堰のこと. 水位や流量の調節ができない.
荒川石	あらかわいし	Arakawa ishi, Arakawaite	①宮城県桃生郡鳴瀬町産の石材 (土台・かまど・塀など). 新第三系凝灰岩. 野蒜石ともいう. ②秋田県荒川鉱山で産出したベスゼリ石を, 一時新鉱物「荒川石 (Arakawaite)」と名付けたが, その後ベスゼリ石と同定され, この名称は消滅した.
荒川層群	あらかわそうぐん	Arakawa Group	八溝山地西側の栃木県那須郡鳥山町から馬頭町に分布する新生界中新統. 海成で砂岩, 泥岩, 凝灰岩からなる.
安楽城地すべり	あらかじすべり	the Araki landslide	1932年4月に山形県安楽城村 (現真室川町) で発生した粘稠型地すべり. 全半壊9棟. 6世帯中5世帯が移転したとされている.
荒倉層	あらくらそう	Arakura Formation	京都府舞鶴市東部の荒倉付近の狭い範囲に分布する上部三じょう系 (三畳系). 黒色泥質~砂質頁岩. 荒倉階の模式層.
アラゴナイト	あらごないと	aragonite	あられ石と同義.

あらさ曲線	あらさきょくせん	roughness curve	材料を加工した面の垂直断面に現れる曲線.
荒島石	あらしまいし	Arashima ishi	島根県安来市荒島町貝殻山産の土木・壺など用石材. 新第三系砂質凝灰岩.
アラスカ地震	あらすかじしん	the 1964 Alaska earthquake	1964年3月発生 (M8.3) . 液状化による地すべりが, 同年6月の新潟地震とともに地盤の液状化研究のきっかけをつくった.
新戸地すべり	あらどじすべり	the Arado landslide	1964年7月梅雨前線豪雨により新潟県能生町で発生した崩壊性地すべり. 泥流が人家16戸を倒壊・破損させたとされている.
アラバンド鉱	あらばんどころ	alabandite	MnS. 硬度3.5~4. 比重3.95~4.04 (測定値), 4.053 (計算値). 黒色・亜金属光沢・条痕は緑灰色. 方鉛鉱系列の鉱物で変成層状マンガン鉱床・鉱脈鉱床・隕石から産出. 硫マンガン鉱, アラバンドイトともいう.
アラビアプレート	あらびあぷれーと	Arabian plate	アラビア半島全域からなるプレート.
荒目石	あらめいし	Arame ishi	愛知県豊田市産の土木・建築用石材. 中生界角閃石黒雲母花崗岩. 高橋みかげともいう.
あられ石	あられいし	aragonite	CaCO ₃ . 斜方晶系. 硬度3.5~4. 比重2.929. 方解石と多形をなし, 方解石に比べ不安定. 電子線・X線・紫外線により蛍光を発する.
あられ石化作用	あられいしかさよう	aragonitization	ある種の無機イオン, また有機基質のアミノ酸の寄与などにより, 軟体動物の石灰質殻があられ石になること.
アランダム	あらんだむ	Alundum	人工コランダムでできた研磨剤.
アランデル法	あらんでるほう	Arundel method	空中写真を使った簡便図化法. 平面位置の決定には放射三角測量を用い, 高さは気圧測高により求められた.
有明粘土	ありあけねんど	Ariake clay	有明海沿岸の沖積低地および干潟 (海底面) を構成する完新統. 縄文海進に伴って形成された軟弱な粘土層. 粘土層のN値は0~5, 挟在する砂層のN値は10~30.
有住層	ありすそう	Arisu Formation	岩手県南東部の南部北上帯に分布する下部石炭系. 陸前高田市気仙町付近を模式地とする. 玄武岩質の火砕岩や泥岩, 砂岩などから構成される. 有住統の模式層.
アリダード	ありだーど	alidade	平板測量に用いる器具. 水準器付きの定規の両端に目標基準板があり, 目標の方向と傾斜を測定する.
アリダードスタジア法	ありだーどすたじあほう	alidade stadia method	平板測量用の方位, 傾斜, 距離を定めるアリダードを利用して行うスタジア測量. 地形図を簡易に描く方法.
有田層	ありたそう	Arita Formation	和歌山県湯浅地方の秩父累帯中帯に分布する下部白亜系. 礫岩・泥岩・砂岩からなる. 有田統の模式層.

アリディソル	ありでいそる	aridisol	植物に役立つ水を長期間にわたり持たない乾燥地域の土壌。地表は大部分がほとんどいつも裸状態をなす。
アリティッククラスト	ありていっくくらすと	allitic crust	シリカが溶脱し、鉄やアルミニウムの酸化物が集積した堅い外皮状物（土膜）。ラテライトによく見られる。
有馬層群	ありまそうぐん	Arima Group	六甲山地北方に分布する中生界中・上部白亜系。流紋岩質の火砕岩・溶岩などからなる。
有馬－高槻構造線	ありまたかつきこうぞうせん	Arima-Takatsuki tectonic line	大阪平野と丹波山地とを分ける東西方向の多数の断層から構成される構造線。活動度B級で大阪層群を大きく変位させている。
有峰層群	ありみねそうぐん	Arimine Group	富山県大山町の有峰湖付近に分布する中生界下部白亜系。流紋岩類や凝灰質砂岩・泥岩などからなる。
アリューシャン海溝	ありゅーしゃんかいこう	Aleutian trench	北太平洋アリューシャン列島に沿う海溝。北アメリカプレートと太平洋プレートの境界に位置し、太平洋プレートの沈み込みで形成される。
アルカリ	あるかり	alkali	強い塩基性の物質。主にアルカリ、アルカリ土類金属の水酸化物。
アルカリ栄養湖	あるかりえいようこ	alkalitrophic lake	湖沼のその生物生産によって分類した非調和型の湖沼の一種。多量のカルシウムを含むものが主である。
アルカリ角閃石類	あるかりかくせんせきるい	alkali-amphiboles	Naを多く含む角閃石の総称。
アルカリ花崗岩	あるかりかこうがん	alkali granite	長石がすべてアルカリ長石に属する花崗岩。アルカリ角閃石、アルカリ輝石を含む。
アルカリ岩	あるかりがん	alkali rock	アルカリかんらん石（橄欖石）玄武岩マグマを本源マグマとして結晶分化作用で生成される一連の火成岩類。珪酸鋇物を欠き、アルカリ長石に富み、ソーダ輝石・準長石を特徴的に含む岩石。
アルカリ岩系	あるかりがんけい	alkali rock series	アルカリに富む火山岩の系列。本源マグマであるアルカリかんらん石（橄欖石）玄武岩から分化した一連の岩系。
アルカリかんらん石（橄欖石）玄武岩マグマ	あるかりかんらんせきげんぶがんまぐま	alkali olivine basalt magma	かんらん石（橄欖石）に富みながらアルカリに乏しいソレアイト質のものに対して、アルカリに富む玄武岩質のマグマをいう。
アルカリ輝石類	あるかりきせきるい	alkali pyroxenes	アルカリ(Na)に富む単斜輝石の総称。ヒスイはこれに含まれる。
アルカリ玄武岩	あるかりげんぶがん	alkali basalt	塩基性火山岩類のうちアルカリ岩に属するものの総称。日本では山陰・北九州地方などに多い。
アルカリ骨材反応	あるかりこつざいはんのう	alkali-aggregate reaction	セメント中のアルカリとガラス質の骨材などとの間で起こる反応。コンクリートの膨張・破壊を招く。

アルカリ骨材反応の岩石学的試験	あるかりこつざいはんのうのがんせきがくてきしけん	petrological test of alkali aggregate reaction	コンクリート骨材に含まれる，火山ガラスやシリカ鉱物などの反応性鉱物を判別するための鉱物試験。
アルカリ蒸気磁力計	あるかりじょうきじりょくけい	alkali-vapour magnetometer	アルカリ金属原子の光ポンピング現象を利用した磁力計。光ポンピング磁力計ともいう。
アルカリ処理	あるかりしより	alkali treatment	粘土に付随する不純物・粘土鉱物の一部または全体を強アルカリで溶解すること。粘土の精製等に用いられる。
アルカリシリカ反応	あるかりしりかはんのう	alkali-silica reaction	セメント中のアルカリ (Na_2O , K_2O) が岩石中のシリカ鉱物と化学反応を起こし，吸水膨張する現象。
アルカリ深成岩類	あるかりしんせいがんるい	alkali plutonic rocks	アルカリに富むマグマが地下でゆっくり冷却・固結してできた完晶質粗粒の岩石。アルカリ花崗岩もその一つ。
アルカリ性泉	あるかりせいせん	alkaline spring	温泉を水素イオン濃度 (pH) によって分類したもので，pH8.5以上をいう。pH7.5～8.5は弱アルカリ泉。
アルカリ石灰指数	あるかりせっかいしすう	alkali-lime index	横軸に SiO_2 量を，縦軸に CaO と $\text{Na}_2\text{O}+\text{K}_2\text{O}$ 量をとった変化図で， CaO 曲線と $\text{Na}_2\text{O}+\text{K}_2\text{O}$ 曲線の交点での SiO_2 値。火成岩の岩系を示す指数の一つ。
アルカリ閃長岩	あるかりせんちょうがん	alkali syenite	アルカリ長石とアルカリ角閃石・アルカリ輝石などからなる閃長岩。
アルカリ炭酸塩岩反応	あるかりたんさんえんがんはんのう	alkali-carbonate rock reaction	セメント中のアルカリ (Na_2O , K_2O) がある種の石灰岩と化学反応を起こし，吸水膨張する現象。
アルカリ長石類	あるかりちようせきるい	alkali feldspars	アルカリ (Na, K) に富みCaをほとんど含まない長石類。カリ長石・アノーソクレーズ・曹長石 (アルバイト) ・サニディンなどが含まれる。
アルカリ度	あるかりど	alkalinity	炭酸水素イオン・炭酸イオン・水酸イオンなどの中和に要する強酸の消費量。酸消費量ともいう。
アルカリ土壌	あるかりどじょう	alkali soil	炭酸ソーダを主とするアルカリ塩類を含み，pH8.5以上を示す土壌。大陸温帯乾燥気候下の低地に多い。
アルカリ土壌化作用	あるかりどじょうかさよう	alkalization	交換性ナトリウムが増加して，反応がアルカリ性になる土壌生成作用のこと。
アルカリ反応	あるかりはんのう	alkali reaction	アルカリ骨材反応と同義。
アルカリフラット	あるかりふらっと	alkali flat	乾燥・半乾燥地域にある塩水湖が蒸発により枯渇し，アルカリ塩類・粘土などが沈殿して形成された平坦な地形面。
アルカリモンモリロナイト	あるかりもんもりろないと	alkali montmorillonite	ナトリウムに富むモンモリロナイト。Ca型に比べ水合度が大きく膨張しやすい。

アルカリ量	あるかりりょう	alkali content	セメント中のアルカリの全量。セメントのアルカリ骨材反応の指標として使われる。
アルクリート	あるくりーと	alcrete	熱帯下の激しい風化作用によりアルミナ以外の成分が溶脱した残積物。ポーキサイトとも呼ばれる。
アルコース	あるこーす	arkose	花崗岩類や片麻岩の風化分解物に由来する石英、長石に富む砂岩。花崗質砂岩ともいう。25%以上の長石を含み基質が15%以下の砂岩で長石アレナイトに相当。
アルコース砂岩	あるこーすさがん	arkose (sandstone)	アルコースと同義。
アルコール水準器	あるこーるすいじゅんき	alcohol leveler	円弧状のガラス管内に気泡を残してアルコールを封入した大きな水準器。
アルコール燃焼法	あるこーるねんしょうほう	alcohol method	アルコール法と同義。
アルコール法	あるこーるほう	alcohol method	蒸発皿に入れた試料とメチルアルコールを混合して点火し、その熱により試料の水分を蒸発させて含水量を求める方法。アルコール法ともいう。
アルシーブ原器	あるしーぶげんき	archives standard	メートル法で最初に作られたメートル原器およびキログラム原器。
アルチソル	あるちそる	ultisol	アメリカの土壌分類体系（ソイルタクソノミー）における大分類の一つ。温帯から熱帯に分布し、塩基に乏しく肥沃度の低い土壌で赤黄色ポドゾル性土壌、赤褐色ラテライト性土壌などが含まれる。アルティソル、ウルチソルともいう。
アルドメータ	あるどめーた	ardometer	ガラスレンズと熱電対を検出器とした放射高温計の一種
アルバース図法	あるばーすずほう	albers projection	地図外の1点で交わる2本の直線経線を持つ等積円錐図法。経線と直交する同心円の緯線沿いの弧の長さが正しい。
アルバート鉱	あるばーとこう	albertite	アスファルト系の変成天然固形物（抽出性有機物または瀝青）の一つ。
アルバイト	あるばいと	albite	曹長石と同義。
アルバイト化作用	あるばいとかさよう	albitization	Caに富んだ斜長石が続成変成作用で曹長石に変換されること。または、ペグマタイト化作用などに伴う交代作用で岩石中に曹長石が生成すること。
アルバイト式双晶	あるばいとしきしょう	albite twin	斜長石や三斜晶系のアルカリ長石にみられる双晶。平行な結晶の集合体で偏光顕微鏡のクロスニコルでは縞状に見える。
アルビアン	あるびあん	Albian	国際対比の基準となっている、ヨーロッパの白亜系下部統の最上部階。

アルビタイト	あるびたいと	albitite	曹長岩と同義.
α線	あるふあせん	α-ray	放射線の一種でアルファ粒子の高速の流れ. 物質を透過する能力はβ線, γ線よりはるかに弱い.
α腐植	あるふあふしょく	alpha humus	土壌の希アルカリ水溶液による抽出物を強酸性にすると, 沈殿する暗褐色の有機高分子物質. 腐植酸とほぼ同じ.
α崩壊	あるふあほうかい	α-decay	He原子核と同じ2個の陽子と2個の中性子が結合したα粒子が放射される崩壊性変換.
αリコイルトラック年代測定	あるふありこいとらつくねんだいそくてい	α recoil-track dating method	²³⁸ Uや ²³² Thのα崩壊に伴って生じるトラックを計数することによる年代測定法. 第四紀を対象とする.
α粒子	あるふありゅうし	α-particle	ヘリウムの原子核.
アルフィソル	あるふいそる	alfisols	アメリカの土壌分類体系で層状粘土の集積した層, もしくはCECの小さい粘土集積層をもつ塩基飽和度の高い土壌.
アルプス型造山運動	あるぷすがたぞうざんうんどう	Alpinotype orogenesis	地向斜造山論に基づく概念. 優地向斜地域に起こる強い褶曲または押しつぶせ構造を生ずるような構造運動で, 広域変成作用や深成作用を伴うものとされた.
アルプス型氷河	あるぷすがたひょうが	Alpine glacier	急峻な山岳地域に発達するいわゆる山岳氷河のことで, 南極大陸のような平原を覆う氷床に対する用語.
アルプス山脈	あるぷすさんみやく	Alps, Alpine chain	ヨーロッパ中央部に位置し, 長さ約1,000km. 最高峰はMont Blanc (4,807m) で3,000~4,000m級の山が連なる.
アルプス造山運動	あるぷすぞうざんうんどう	Alpine orogeny	ジュラ紀から新生代にかけての造山運動. 地中海・太平洋周辺その他に広く知られる.
アルプス造山帯	あるぷすぞうざんたい	Alpine orogenic belt	中生代末期から新生代にかけての時期に, アルプス造山運動を受けた地域. 地中海沿岸, ヒマラヤ・ヒマラヤン・チベットにかけての地域. 環太平洋地域など.
アルプス地向斜	あるぷすちこうしゃ	Alpine geosyncline	アルプス山脈の前身となる地向斜. 石炭紀後期に南アルプスへの海の進入が始まり, 北ほど遅れる傾向がある. 地向斜造山論に基づく考え方.
アルプス・ヒマラヤ地震帯	あるぷすひまらやしんたい	Alpine-Himalayan seismic belt	インド, アフリカ, ユーラシア各プレートの縫合部に沿う活発な地震帯.
アルベード	あるべーど	albedo	太陽などからの入射光の強さに対する反射光のそれとの比.
アルベド	あるべど	albedo	太陽などからの入射光に対する反射光の割合.

アルマンディン	あるまんでいん	almandine	ざくろ石固溶体（6端成分）の鉄，アルミニウムの端成分．泥質広域変成岩に産する．
アルミナセメント	あるみなせめんと	aluminous cement	ボーキサイトを混合したセメント．早強性・耐火性に優れる．
アルミニウム酸化物	あるみにうむさんかぶつ	aluminium oxide	化学式 Al_2O_3 ．水和した含水アルミニウム酸化物は，風化を強く受けた土壤中に粘土鉱物として産する．
アルミニウム精錬	あるみにうむせいれん	aluminium metallurgy	おもにボーキサイトを原料として純アルミナを作り，これを電解することにより金属アルミニウムを精製する．
アルミノケイ酸塩	あるみのけいさんえん	aluminosilicate	①珪酸塩鉱物において，AlがSiの相当量を置換している鉱物の総称． ②化学組成がAlとSiO ₄ だけである鉱物．
アルミン酸三石灰	あるみんさんさんせっかい	tri-calcium alminate	分子式 $3CaO \cdot Al_2O_3$ とあらわされるセメントを構成する主要鉱物の一つ．
アルミン酸鉄酸四石灰	あるみんさんてつさんよんせっかい	tetra-calcium almina-ferrite	分子式 $4CaO \cdot Al_2O_3 \cdot Fe_2O_3$ とあらわされるセメントを構成する主要鉱物の一つ．
アレー観測	あれーかんそく	array seismic observation	アレー地震観測網と同義．
アレー地震観測網	あれーじしんかんそくもう	array seismic observation	複数の地震計を平面的，垂直方向，あるいは3次元的に配列して行う地震観測．精密な震源決定や地震波の散乱・反射体の検出，地下深部から地表への地震波伝播特性の評価などに用いられる．アレー観測ともいう．
アレオピクノメータ	あれおびくのめーた	areo pycnometer	液中で立つように底部を重くしたガラスや金属性の目盛り付き浮子．平衡時の液位から比重を測る．
亜れき青炭（亜瀝青炭）	あれきせいたん	sub-bituminous coal	褐炭とれき（瀝）青炭の中間に分類される石炭で，れき（瀝）青炭と比較して石炭化度が低い．
アレナイト	あれないと	arenite	①砂岩と同義． ②砂岩の岩石学的分類の一つで泥質基質が10～15%以下のもの．
アレナル火山	あれなるかざん	Arenal volcano	中米コスタリカ中西部にある活火山．1968年の噴火で死者78人とされている．以来継続的に活動．雨期にしばしば土石流発生．
アレン	あれん	arenes	セメント代用土の一種．フランスアレン地方原産．玄武岩質安山岩を原岩とする分解物．
アロフェン	あろふえん	allophane	カオリンに近い結晶構造をもつが，X線回析結果や顕微鏡下においては無定型の粘土鉱物．軽石やガラス質火山灰の陸上風化物．
アロフェン土	あろふえんど	allophane soil	アロフェンに富む土で，火山灰質土をさす．

淡路みかげ	あわじみかげ	Awaji mikage	兵庫県淡路島産の土木用石材。中生界花崗岩。
阿波層群	あわそうぐん	Awa Group	三重県西南部阿波盆地に分布し第一瀬戸内累層群に属する新生界下部中新統。基底礫岩層の上に細礫岩・シルト岩・含礫泥岩の順に堆積している。海成層で貝化石を産する。
安房層群	あわそうぐん	Awa Group	房総半島南部に分布する新生界中新統。主に泥岩・凝灰質砂岩からなり、泥岩は極めて膨潤性に富む。
栗野石	あわのいし	Awano ishi	山口県豊浦郡豊北町栗野産の砕石用石材。古第三系ひん岩。
アンカーグラウチング	あんかーぐらうちんぐ	anchor grouting	アンカー体の形成および削孔間隙充填のためにセメントあるいは合成樹脂の材料を注入すること。
アンカー工法	あんかーこうほう	anchor works	鋼棒やより線などの引張り力、締付け力を利用して、構造物の地盤への定着や地山の安定化をはかる工法。
アンカー自由長	あんかーじゆうちょう	unfixed length of anchor	アンカー長全長のうち穿孔底部のアンカー体定着部分を除いた自由に伸縮できるアンカー頭部までの長さ。
アンカー付法枠工	あんかーつきのりわくこう	grating crib works with anchor	のり面保護のために用いるコンクリート枠工の枠の交差部にアンカーを併用した斜面保護工法。
アンカー定着部	あんかーていちゃくぶ	fixed part of anchor tendon	注入材と地盤の摩擦抵抗力、支圧抵抗力によりアンカーを地盤に定着させる部分。
アンカー引き抜き試験	あんかーひきぬきしけん	anchor-bolt pullout test	アンカー定着体と地盤との付着面における摩擦抵抗力や支圧抵抗力、あるいは両者を合わせた抵抗力の最大値を調査する試験。
アンカーブロック	あんかーぶろっく	anchor block	水圧管路の固定や吊橋のケーブル末端の定着などのために地盤上に設置されるコンクリート製のブロック。
アンカーボルト	あんかーぼると	anchor bolt	岩盤やコンクリートに構造物などを固定するために用いるボルト。
アンカーレイジ	あんかーれいじ	anchorage	つり橋を支えるケーブルの両端で張力をささえる構造物。
暗灰グライ性土壌	あんかいぐらいせいどじょう	dark gray gleisolic soil	排水不良の森林下に生じ、有機物含量の比較的高い薄い表層とグライ化した鋳質層の下層を持つ土壌。
アンカット	あんかっど	uncut	掘削ボーリングビット用に加工されていない、ダイヤモンドの原形。
アンガラ楯状地	あんがらたてじょうち	Angara shield	シベリア中央部の厚い水平な古生界・中生界が広く露出する台地。シベリア卓状地とも呼ばれる。

暗きよ (暗渠)	あんきよ	culvert, closed conduit	比較的浅い地中で地下水を集めて排水するために埋設する管やその施設.
安銀鉱	あんぎんこう	dyscrasite	Ag ₃ Sb. 斜方晶系. 比重9.74. 硬度3.5~4. 銀白色金属光沢の錐状結晶. 金銀鉱床で銀鉱物・方鉛鉱などと共に産する.
アンケライト	あんけらいと	ankerite	アンケル石と同義.
アンケル石	あんけるせき	ankerite	Ca(Fe ²⁺ , Mg, Mn)(CO ₃) ₂ . 三方晶系. 硬度3.5~4. 比重2.95~3.1. 褐色を帯びることが多い. ドロマイト族の鉱物で, 鉄分がマグネシウムより多いもの. Mg>Feのものはドロマイトと呼ぶ. アンケライトともいう.
あんこ	あんこ	clay tamping, stemming plug	穿孔内に爆薬を装填してから爆破効果を上げるために孔口側に粘土などを用いて詰め物をする事.
安山岩	あんざんがん	andesite	主成分を斜長石と, 黒雲母・角閃石・輝石のいずれかの有色鉱物からなる中性の非アルカリ岩質火山岩. 造山帯に特徴的に分布する.
安山岩線	あんざんがんせん	andesite line	カルクアルカリ岩系の安山岩・流紋岩を主とする環太平洋火山岩帯と, ソレアイト質岩系の玄武岩を主とする太平洋内部の火山岩地域との境界として仮想的に引かれた線
安四面銅鉱	あんしめんどうこう	tetrahedrite	四面体結晶をもつ硫塩鉱物. 銅の資源となるほか, 銀を多く含むものは銀鉱石としても重要. 黝(ゆう)銅鉱ともいう.
鞍山層群	あんしゃんそうぐん	Anshan Group	中国北東部の遼寧省から吉林省にかけて分布する始生界. 片麻岩・角閃岩など.
あん状鉱脈	あんじょうこうみやく	saddle reef	褶曲した地層の背斜部の空隙に形成された鉱脈. オーストラリアのBendigo鉱山などにみられる.
暗振動	あんしんどう	ambient vibration, background vibration	振動測定において, 対象とする振動以外の振動.
安政江戸地震	あんせいえどじしん	the 1855 Ansei-Edo earthquake	1855年に発生し死者約1万人とされる. 江戸の直下で発生した地震と考えられている. 推定M6.9.
安政東海地震	あんせいとうかいじしん	the 1854 Ansei-Tokai earthquake	1854年12月23日に発生したM8.4の大地震. 被害は関東から近畿に至る広範囲におよび, 死者2千~3千人と推定されている.
安政南海地震	あんせいなんかいじしん	the 1854 Ansei-Nankai earthquake	安政東海地震の32時間後の1854年12月24日に発生したM8.4の大地震. 被害は遠く九州にまで及んだ.
暗赤色土	あんせきしょくど	dark red soil	世界的に湿潤亜熱帯常緑広葉樹林下で生成・分布. 日本に見るそれは新第三紀~更新世温暖期生成の古土壌.
安全火薬	あんぜんかやく	safety explosives	メタンガスなどによる爆発の危険のある坑内での発破作業に関し, 公的機関で安全が認定された火薬類.

安全係数	あんぜんけいすう	safety factor	限界状態設計法で設計する際に一般的に用いられる部分安全係数設計法において、いわゆる安全率の代わりとなる係数。荷重や材料強度の不確実性が考慮される。
安全揚水量	あんぜんようすいりょう	safe yield of watar	許容揚水量と同義。
安全率	あんぜんりつ	safety factor	構造物や地盤の有する極限抵抗力と実際に作用する荷重の比あるいは材料の強度と作用応力または許容応力の比。
安息角	あんそくかく	angle of repose	土や砂のような粒状体が山腹斜面に自然に堆積したときに形成される斜面の勾配。
安息角試験	あんそくかくしけん	angle of repose test	砂、礫、ロック材などの安息角を調べる試験。
アンダーグラウンドショベル	あんだーぐらうんどしょべる	underground shovel	坑内における掘削作業の作業性を確保するためにブーム・ディッパを縮めたパワーショベル。
アンダーグラウンドブローアウト	あんだーぐらうんどぶろーあうと	underground blow out	地熱生産井の坑井仕上げ（ケーシングセメンチング）施工不良のため、地下から暴噴すること。
アンダースラスト	あんだーすらすと	underthrust	ある地塊が他の地塊の下に潜り込むような変形で逆押被せ断層ともいう。押被せ(overthrust)の対語。
アンダードレイン	あんだーどれーん	underdrain	トンネル、開水路、暗きよ（暗渠）などに加わる揚圧力を低減するために構造物の底面や背面に設置される水抜き工。
アンダーバランス法	あんだーばらんすほう	under balanced method	ボーリング用泥水の調整方法。ゲルストレングスと比重を調整する。
アンダーピニング	あんだーびにんぐ	underpinning	①既設構造物の沈下などを防止するために、地中に新たな基礎を築造する工事。 ②既存の基礎を改良、改築する工事。
アンダーリーミング	あんだーりーみんぐ	under reaming	ボーリング孔内のケーシングの下部を拡孔すること。崩壊しやすい地山のケーシング削孔に用いる。
暗炭	あんたん	dull coal	石炭のうち、炭化度が低く光沢の鈍い粗粒質の部分という。植物の破片や膠状体からなる。
アンチエイリアスフィルタ	あんちえりあすふいるた	anti-alias filter	連続量を読み取って離散的な数列に変換するとき、エイリアス効果を避けるために用いるハイカットフィルタ。
アンチゴライト	あんちごらいと	antigorite	$Mg_{48}Si_{34}O_{85}(OH)_{62}$ 。単斜晶系。硬度2.5～3.5。比重2.61（測定値）、2.58（計算値）。リザルダイト、クリソタイルとともに蛇紋石を構成する鉱物の一つ。葉片状構造をなす。板温石ともいう。
アンチパーサイト構造	あんちぱーさいとこうぞう	anti-perthite texture	長石にみられる構造の一つ。斜長石中に葉片状のカリ長石の結晶が細かく含まれる構造。

アンチフォーム	あんちふぉーむ	antiform	見かけ上背斜状の褶曲。層位関係が不明な場合などに用いる。
アンチモン鉱床	あんちもんこうしょう	antimony deposit	低温の熱水鉱床で、主要鉱物は輝安鉱。
安定液	あんていえき	slurry, clay suspension	清水にベントナイトを混合し、分散材を添加した泥水で掘削中の孔壁の崩壊を防止するために孔内を満たす比重の高い液体。
安定解析	あんていかいせき	stability analysis	斜面、基礎、擁壁などの安定性を解析する手法。地盤の変形を考慮しないクーロン、ランキン系の手法と地盤の変形を考慮する有限要素法などの解析法がある。
安定型処分場	あんていがたしよぶんじょう	least controlled landfill site	性状の安定した産業廃棄物（廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、建設廃材、ガラスくず、陶磁器くず）を対象を限定した最終処分場。
安定河道	あんていかどう	stable channel	ある区間において流入あるいは流出する流砂量が等しく、堆積も洗掘も起こらないで河床が変化しない時の河道。
安定係数	あんていけいすう	stability factor	一様な土質からなる単純斜面において、保護対策なしに切取り可能な斜面高さを表す係数。
安定勾配	あんていこうばい	equilibrium slope	①一定の流量や流砂量が継続したときの、堆積も洗掘も起こらない状態の溪床勾配。 ②崖錐などで堆積物が安息角より低角度で堆積し、すべりを起こさない状態の勾配。
安定剤	あんていざい	stabilizer	土質改良用添加材と同義。
安定斜面	あんていしゃめん	constant slope	谷の両側の斜面のうち、斜面上部からもたらされた岩屑が安息角をなして堆積している斜面の部分。
安定処理工法	あんていしよりこうほう	stabilizing method	安定剤を添加して化学的に、あるいは粒度調整などの物理的処理により地盤を改良する工法。
安定処理地盤	あんていしよりじばん	treated ground, stabilized ground	安定処理により、安定性や耐久性が改善された地盤。
安定処理土	あんていしよりど	treated soil	石灰、セメントなどの安定材と改良の対象となる土壌の混合土。
安定数	あんていすう	stability number	均質な土質からなる単純斜面の臨界円を求めるためテイラーが示した斜面安定計算上の係数 $1/NS (=c/\gamma \cdot Hc)$ 。(NS:安定係数, c:粘着力, γ :土の単位体積重量, Hc:限界斜面高さ)。
アンディスターブドサンプル	あんていすたーぶどさんぷる	undisturbed sample	通常、不攪乱試料と称する。
安定図表	あんていずひょう	stability chart, Taylor's chart	一様な土質からなる単純斜面の安定性を示す図。盛土斜面などの概略設計に用いられる。

安定大陸	あんていたいく	stabilized continent, platform, craton	始生代～原生代の花崗岩類や変成岩類を基盤とし、形成以降、大きな地殻変動を受けていない大陸地域。
安定地塊	あんていちかい	stable landmass	古い地質時代にすでに固化し、その後著しい地殻変動の認められない安定大陸地域。
安定同位体	あんていどういたい	stable isotope	放射能を持たず、放射性壊変により他の核種に変化しない同位体。
安定同位体トレーサ	あんていどういたいとれーさ	stable isotope tracer	物質や元素の挙動を追跡するために用いられる、他の核種に変化しない同位体。
安定同位体比分析	あんていどういたひぶんせき	stable isotope abundance analysis	放射性同位体の相対存在比を求める質量分析などの手法。古環境の推定、年代測定など地球科学分野で活用される。
アンデシン	あんでしん	andesine	斜長石の一種で、組成範囲が $Ab_{70}An_{30}$ ～ $Ab_{50}An_{50}$ のもの。三斜晶系。硬度6～6.5。比重2.65～2.68。中性の火成岩、変成岩の主成分鉱物。中性長石ともいう。
アンドソル	あんどそる	andosol	降下火山噴出物由来の土壌で、しばしば暗色の表層と褐色の下層を持つ。アロフェン質粘土を含むことが多い。
アンドラダイト	あんどらだいと	andradite	$Ca_3(Fe^{3+}, Ti)_2SiO_{12}$ 。立方晶系。硬度7～7.5。比重3.86。ざくろ石類に属する鉱物の一つ。スカルンや石灰質のホルンフェルスに産出する。灰鉄ザクロ石ともいう。
アントラ銅鉱	あんとらどうこう	antlerite	$Cu_3SO_4(OH)_4$ 。斜方晶系。硬度3.5。比重3.88。緑色。銅鉱床に伴って産出。アントラー鉱ともいう。
アンドレゼンピペット法	あんどれぜんぴぺっとほう	Andreasen pipette method	Andreasenの開発したピペットを用いる粒度分析法。沈降粒度分析法の一方法で、静水中の土粒子の沈降速度と粒子の大きさの関係を規定するストークスの法則に基づく。
あんどんやぐら(行灯やぐら)	あんどんやぐら	andon yagura	国内で昔から利用されている既製杭打込み用のやぐら。
アンバー	あんばー	umber	オフィオライト中の枕状溶岩の周囲にみられる黒褐色の粉状堆積物。顔料として用いられる。
鞍部	あんぶ	col	①地形学では尾根または二つの峰に挟まれた低所(凹部)の意。 ②構造地質学では背斜軸が鞍(くら)状に下がった部分。
ANFO爆薬	あんふおばくやく	ammonium nitrate fuel oil explosive, ANFO explosive	硝安と軽油からなる爆薬でダイナマイトより鈍感で雷管だけでは起爆が難しく、雷管付きダイナマイトを使用。硝安油剤爆薬ともいう。
アンブレラ工法	あんぶれらこうほう	umbrella method	長さ10m程度の長尺フォアパイルなどによって切羽前方に傘を広げたような補強部分を形成する先受け工。
アンボンドタイプPC工法	あんぼんどたいふびーしーこうほう	unbond-type prestressed concrete method	PC鋼材を防錆材で保護し、周囲のグラウト材と付着させないタイプの工法。アンカーやプレストレスコンクリートなどに採用される。

アンモナイト	あんもないと	<i>Ammonite</i>	軟体動物門頭足綱アンモナイト亜綱に属する。デボン紀～白亜紀末に世界の海洋に繁栄。代表的な示準化石の一つ。
アンモニア性窒素	あんもにあせいちっそ	ammonia nitrogen	水質汚濁の指標となる水質分析項目の一つで、アンモニウム塩に含まれる窒素の量
アンモニア・ゼラチン	あんもにあぜらちん	ammonia gelatin	弾性波探査で使用する爆薬の一種。安全性と耐水性を高めるためにアンモニアをベースとしている。
アンモニア分子発振器	あんもにあぶんしはっしんき	ammoniac molecular oscillator	アンモニア分子の反転準位間遷移を利用した誘導発振器。スペクトルは時間や周波数の基準としても利用。
ERS	いーあーるえす	Earth Resource Satellite, Japan Earth Resource Satellite, ERS	わが国で打ち上げた本格的な地球観測衛星。光学センサ(OPS)と合成開口レーダー(SAR)を搭載。JERSと呼称。
ERS	いーあーるえす	European Remote Sensing Satellite System, ERS	欧州宇宙機構(ESA)が打ち上げた地球観測衛星。海洋関連分野への応用を主眼。JERSと区別するためEERSと呼称。
ESR年代測定	いーえすあーるねんだいそくてい	electron spin resonance dating, ESR dating	電子スピン共鳴法による年代測定法。主に第四紀の年代測定に用いられる。
Eh	いーえっち	oxidation reduction-potential	酸化還元電位と同義。
EMP	いーえむぴー	electro magnetic pulse, EMP	地上用の時間領域(送信電流を遮断し充電率を求める)電磁探査法。商品名。深部探査に利用される。
EM法	いーえむほう	electromagnetic method	電磁波探査と同義。
EOSAT	いーおーえすえーていー	Earth Observation Satellite Company, EOSAT	多分野に利用されている地球の衛星データの世界的な配布機関。NASAのLANDSATの事業を民間ベースで引き継ぐ。
飯岡石	いいおかいし	Iioka ishi	千葉県海上郡飯岡町産の砥石・土木用石材。中生界砂岩。銚子石と同質。
飯ヶ岳層群	いいがだけそうぐん	Iigadake Group	山口県徳地町から島根県南西部に分布するペルム系。砂岩・頁岩・礫岩などからなり、フズリナ化石を含む。
EC	いーしー	effect concentration, EC	影響濃度。生物集団などに影響が表れる曝露濃度。
EC	いーしー	end of curve, EC	曲線終点。曲線部が終わって直線部に入る点。
EC	いーしー	engineering constructor, EC	施工のみならず、コンサルティング・設計分野やメンテナンス分野などを含めたプロジェクト全体の受注を目指す建設企業。エンジニアリングコンストラクター。

EC	いーしー	electric conductivity, EC	電気伝導度と同義.
ECL工法	いーしーえるこうほう	extruded concrete lining method, ECL method	掘削・覆工併進工法と同義.
イーストマン測定器	いーすとまんそくていき	eastman survey instrument	ボーリング孔内で、孔曲がり測定を行うための機器. 機械式および写真式による方法がある.
ET	いーていー	ephemeris time, ET	暦表時. 地球の公転から得た平均時を修正した時系. 天文時のうち最も精密で主として研究用に用いられる.
EDS分析システム	いーでいーえすぶんせきしすてむ	energy dispersive X-ray spectrometer analysis system, EDS analysis system	エネルギー分散型X線マイクロアナライザーによる化学分析システム. 鉱物や火山ガラスの分析に用いる.
ETM	いーていーえむ	enhanced thematic mapper, ETM	改良型の機械光学式走査型マルチスペクトルスキャナ (TM). 従来のTMの特徴に分解能15mのパンクバンドなどを追加したもの.
ETC	いーていーしー	end of transition curve, ETC	路面測量などにおける「緩和曲線終点」の略称. 緩和曲線と円曲線の接続点で、双方の曲率が等しい点.
EDZ	いーでいーぜつど	excavation disturbed zone, EDZ	掘削影響領域. トンネルの掘削による新たな亀裂の発生や亀裂の開口により特に透水性が高くなったトンネル周辺の領域.
EPS盛土	いーぴーえすもりど	expanded polystyrol embankment, EPS embankment	盛土荷重を軽減するために盛土材として発泡スチロール (EPS) を用いた盛土.
EPMA	いーぴーえむえー	electron probe micro analyser, EPMA	電子線を試料表面に照射して微小部の定性・定量分析を行う分析装置. X線マイクロアナライザーともいう.
イーフェーズ	いーふえーず	E phase	空中VLF電磁法の一つで、商品名. 水平電界と垂直電界の比を用いて直接見掛比抵抗が算出できる.
飯盛緑色片岩層群	いーもりりょくしよくへんがんそうぐん	Iimori greenschist Group	和歌山県北部、飯盛鉱山周辺に分布する三波川帯. 近畿地方最大のキースラーガー型鉱床を形成する.
イールドバリュー	いーるどぼりゅー	yield value	流動状態にある流体が流動を続けるのに必要な力の測定値. 泥水では粘土粒子間索引力の大きさを示す.
e-logp曲線	いーろぐびーきよくせん	e-logp curve	土の圧密試験の結果を表す曲線. 圧密圧力pを横軸 (対数軸), 間隙比eを縦軸にとる.
家島みかげ	いーえじまみかげ	Iejima mikage	兵庫県飾磨郡家島町男鹿島産の土木用石材. 中生界角閃石黒雲母花崗岩.
イエローケーキ	いーえろーけーき	yellow cake	ウラン鉱石を粗製錬して作られる製品で、一般には黄色の粉末. U ₃ O ₈ 含有率は70~90%.

イエローストーン地熱地域	いえろーすとーんちねつちいき	Yellowstone geothermal area	米国最初の国立公園で世界的にも有数の間欠泉，温泉など地熱徴候を持つ地域．内陸部のホットスポットが成因．主に新第三紀鮮新世～第四紀の火山岩からなる．
硫黄	いおう	sulphur, sulfur	S. 天然に主として産する α -硫黄は斜方晶系．他に， β -硫黄・ γ -硫黄・ δ -硫黄は単斜晶系， ϵ -硫黄・ ζ -硫黄は六方晶系，無定型硫黄・液状硫黄などがある．硬度1.5～2.5．比重2.08．火薬などの製造に使われる非金属元素．かつて火山性鉱床から採取されたが，精錬ガスからの回収により稼行鉱山からの採掘は途絶えた．
硫黄華	いおうか	sulphurous tufa, sulphurous sinter, sulfurous tufa, sulfurous sinter	硫黄泉にみられる硫黄を主成分とする沈殿物．湯の華．硫化水素の酸化やバクテリアの作用により生成する．
硫黄鉱床	いおうこうしょう	sulphur deposit, sulfur deposit	狭義には硫黄を産する鉱床，広義には硫化鉄鉱床を含む．前者の代表は火山性鉱床（昇華，溶流，沈殿型など）．
伊王島層群	いおうじまそうぐん	Iojima Group	長崎市西方の伊王島・沖ノ島に分布する古第三系．海成の砂岩・泥岩を主体とする．高島炭田の夾炭層．
硫黄泉	いおうせん	sulfur spring, sulphur spring	1kgの液体中に SH^- またはこれとともに SO_4^{2-} あるいは H_2S を含み，総硫黄(S)が2mg/kg以上のもの．狭義のイオウ泉と硫化水素泉に大別される．
いおう点	いおうてん	sulfur point, sulphur point	硫黄の液体と飽和蒸気の平衡点．444.600°C．白金抵抗温度計の較正に金点，銀点，酸素点などと共に用いる．
硫黄同位体	いおうどういたい	sulfur isotope, sulphur isotope	原子番号16である硫黄中に存在する質量数が異なる4種(^{32}S , ^{33}S , ^{34}S , ^{36}S)の総称．
イオニウム・トリウム法	いおにうむとりうむほう	ionium-thorium method	$\text{Io}(=^{230}\text{Th})$ と ^{232}Th を用いる年代測定法．海洋底堆積物やマンガン団塊の年代測定に適用される．
イオニウム年代測定	いおにうむねんだいそくてい	ionium dating	ウラン系列年代測定法の一つ． $\text{Io}(=^{230}\text{Th})$ と親核種 ^{234}U を利用する．さんご（珊瑚）化石の年代測定に適用される．1～35万年の年代測定に適する．
イオニウム法	いおにうむほう	ionium method	イオニウム年代測定と同義．
イオン化	いおんか	ionization	電氣的に中性であった原子や分子が電子の移動により，正または負の電荷を帯びること．広義には電離ともいう．
イオン結合	いおんけつごう	ionic bond	陽イオンと陰イオンの間の静電的引力による化学結合．鉱物などの無機物化合物の結晶に多くみられる．
イオン交換クロマトグラフィ	いおんこうかんくろまとぐらふい	ion-exchange chromatography	イオン交換体を用いて行う吸着型のクロマトグラフィ．イオン性物質の分離に広く使われる．
イオン交換工法	いおんこうかんこうほう	ion exchange works	粘土粒子の電氣的条件を人為的に変えて地盤，とくに地すべりを安定させようとする工法．実例はほとんどない．
イオン交換樹脂処理	いおんこうかんじゅしじょり	ion-exchange resin process	イオン交換樹脂を用いて懸濁液のイオンを置換する方法．溶液の分離や原料の精製等に応用される．

イオン交換平衡	いおんこうかんへいこう	ion-exchange equilibrium	イオン交換能力のある粘土を交換イオンを含む溶液に入れた時、ある濃度・温度で平衡に達すること。
イオン置換	いおんちかん	ionic substitution	結晶内で、あるイオンが別のイオンで置換されている現象。イオン半径の類似したイオン間で起こりやすい。
イオン電極法	いおんでんきよくほう	ion selective electrode method	特定イオンのみに感応してイオン濃度に応じた電位を示す電極を用いた水質分析法。
イオン半径	いおんはんけい	ionic radius	イオンを仮想的に球状とみなしたときの半径。イオン半径比は鉱物の結晶構造を説明するのに有効な概念。
伊賀上野地震	いがうえのじしん	the 1854 Iga-Ueno earthquake	1854年7月9日に発生したM7.25の内陸直下型地震。木津川断層の活動によるとみられ、死者1,500人以上を出したとされている。
五十谷地すべり	いかだにじすべり	the Ikadani landslide	1977年に富山県氷見市五十谷で発生した地すべり。層理面とほぼ平行なすべり面を持つ流れ盤地すべり。
壱岐層群	いきそうぐん	Iki Group	長崎県壱岐島に分布する中新統。流紋岩～安山岩質火山岩・火山砕屑岩類を主体とする。
生きている化石	いきているかせき	living fossil	進化速度がおそいため地質時代を通じてあまり変化がなく、原始的な形態を維持している生物。
移器点	いきてん	turning point	水準測量で水準儀を移動しないで観測する区間の端点。移動の前後でこの点の標尺を読み、水準路線の連絡をつける。
異極鉱	いきよくこう	hemimorphite	$Zn(OH)_2Si_2O_7 \cdot H_2O$ 。斜方晶系。硬度5。比重3.45。亜鉛鉱床の酸化帯に産出する鉱物で、結晶の上半と下半の形態が異なる。日本では木浦鉱山、神岡鉱山が有名。
イギリス石炭庁の石炭分類法	いぎりすせきたんちょうのせきたんぶんるいほう	N.C.B classification of coal	イギリス石炭庁によって考案された、揮発分と粘結性を分類基準とする、れき青炭と無煙炭に対する分類法。
生田トンネル	いくたとんねる	Ikuta tunnel	J R 武蔵野南線のトンネル。固結度の低い上総層群稲城層からなり、流砂現象が発生したため地下水位低下工法（ディープウェル工法）が採用された。流砂現象と地山の物理的性質との関係が検討された。
生野鉱山	いくのこうざん	Ikuno mine	兵庫県に位置し、新第三系熱水鉱脈鉱床が分布。亜鉛、銅、錫、銀、金、鉛などを産する。代表的なゼノサーマル型鉱床。
生野層群	いくのそうぐん	Ikuno Group	兵庫県中部に分布する白亜系。流紋岩質溶結凝灰岩を主体とする。加古川以東では有馬層群とよばれる。
異形鋼矢板	いけいこうやいた	deformed sheet pile	土留めの隅角部や接続部などに用いる目的で、鋼矢板を縦に切断して適当な形状に組み立てたもの。
異形断面シールド工法	いけいだんめんしーるどこうほう	deformed shield tunneling method	円形断面ではなく、矩形や楕円形のほか多連形のシールドなど異形断面によるシールド工法。

異形鉄筋	いけいてつきん	deformed bar	コンクリートとの付着効果を大きくするために、表面にリブやふしなどの凹凸をつけた鉄筋。
池田断層	いけだだんそう	Ikeda fault	活断層。確実度 I，活動度 A 級，東北東方向。四国北部の中央構造線断層系の一つで延長約 30km。南傾斜の右横ずれ断層。
イコス工法	いこすこうほう	ICOS works	止水目的の連続地中壁工法。場所打ちコンクリートで一連の地下壁をつくる。低騒音低振動が特徴で都市部で有効。
生駒断層	いこまだんそう	Ikoma fault	活断層。確実度 I，活動度 B 級，南北方向。生駒市西方に位置し延長約 24km。断層面は東傾斜で厚い破碎帯を伴う。
諫早石	いさはやいし	Isahaya ishi	長崎県諫早市産の石材。古第三系砂岩。内外装，敷石などに用いられる。
諫早水害	いさはやすいがい	the 1957 Isahaya flood disaster	昭和 32 年（1957）7 月に梅雨前線の活動により長崎・熊本両県を中心に局所的な集中豪雨により豪雨災害が発生した。特に諫早市を流れる本明川が大洪水を起こし，死者・不明者 600 人以上に達した。
諫早層群	いさはやそうぐん	Isahaya Group	長崎県諫早炭田地域に分布する古第三系。海成の泥岩・砂岩を主体とし，上部に炭層を挟在する。
石和石	いさわいし	Isawa ishi	山梨県東八代郡石和町・甲府市産の砕石・土木用石材。第四系安山岩。
石垣層群	いしがきそうぐん	Ishigaki Group	石垣島・西表島周辺に分布する中・古生界。塩基性変成岩および堆積岩からなる。
石狩層群	いしかりそうぐん	Ishikari Group	石狩炭田地域に分布する古第三系。砂岩・頁岩を主体とし瀝青炭を産出する炭層を挟在。
石狩炭田	いしかりたんでん	Ishikari coal field	北海道中央部に位置する我が国有数の炭田。古第三系石狩層群中に夾炭層を伴う。総面積約 1,200km ² 。
石倉層群	いしくらそうぐん	Ishikura Group	北海道南部，内浦湾沿いに分布する上部更新統。主に濁川カルデラの軽石流堆積物からなる。
石越石	いしこしいし	Ishikoshi ishi	宮城県登米郡石越町産の土木用石材。安山岩。
石坂流紋岩	いしざかりゅうもんがん	Ishizaka rhyolite	長野県北部小谷村～新潟県糸魚川市に分布する古第三系火山岩類。流紋岩質溶結凝灰岩を主体とする。
石沢石	いしざわいし	Ishizawa ishi	福島県田村郡船引町産の建築・墓石用石材，中生界はんれい岩（斑糲岩）。
石地油田	いしじゆでん	Ishiji oil field	新潟県柏崎市北方の西山町石地に位置する油田。1899 年発見。尼瀨油田と同じ背斜構造の西南延長部で新第三系椎谷層の砂岩に貯留している。

石鎚層群	いしづちそうぐん	Ishizuchi Group	愛媛県石鎚山周辺に分布する中新統。安山岩～流紋岩質火山噴出物からなり、石鎚コールドロンを形成する。
石鎚断層	いしづちだんそう	Ishizuchi fault	活断層。確実度 I，活動度 A～B 級，東北東方向。四国北部の中央構造線断層系の一つで延長約 30km。北傾斜の右横ずれ断層。
石堤	いしづつみ	masonry levee	遮水性のある土を盛り立て、その両側に石を積み上げた堤。
異質同形	いしつどうけい	allomerism	化学組成の異なる鉱物が非常に類似した結晶を示すこと。例えば斜長石の固溶体成分の曹長石と灰長石。
石積	いしづみ	masonry, stone masonry	石材を積み上げること。
石積み擁壁	いしづみようへき	masonry retaining wall	石材を積み上げて築造する擁壁。積み石間の充填コンクリートの有無、石材の形態、積み方により分類される。
石詰め法枠工	いしづめのりわくこう	rock crib work	のり面にコンクリートのり枠を施工し、のり枠内に砕石を詰め、通水性を確保しつつのり面表層部の崩壊を防止する工法。
石張り	いしばり	pitching	流水、波浪、あるいは風化などから斜面や水路壁を保護する目的で石を張ること。
石淵ダム	いしぶちだむ	Ishibuchi dam	北上川水系胆沢川。東北地方整備局。1953年竣工。堤高 53m。日本初のコンクリート表面遮水壁型フィルダム。
石目	いしめ	rift	岩石中に存在する定方位の割れやすい面。節理・片理・鉱物中の定方位微小割れ目など岩石構造と密接な関係。花崗岩などに顕著。
石本・飯田の式	いしもといいだのしき	Ishimoto-Iida's formula	ある地点で観測された地震の最大振幅(加速度振幅)=地震の大きさと、頻度との間に成立する関係式。
異常気象	いじょうきしょう	unusual weather	ある地域に出現した気象現象がその地域の 30 年間の平均状態と比べて著しく逸脱した場合の呼称。
異常高圧層	いじょうこうあつそう	overpressured formation	固結度が低いことなどによる地圧の影響で、間隙水圧が異常に高い地層をさす。
異常洪水流量	いじょうこうずいりゅうりょう	maximum discharge capacity	かつての法令用語で、余水吐き流下可能流量のこと。現在は用いられない。設計洪水流量参照。
異常震域	いじょうしんいき	region of anomalous seismic intensity	プレートの中を通った深発地震による地震波の到達地域で、他に比し異常に強い震度となる地域。
異常潮位	いじょうちょうい	extra-high tide	潮汐による通常潮位を大きく越えた潮位。台風時の高潮や海流の変化、地震や海底火山による津波などで発生する。

囲じょう堤	いじょうてい	enclosed bank	河道と遊水池を仕切る堤防。堤防内に設置された越流堤によって洪水を遊水池へ導き、洪水調節機能を果たす。
維持流量	いじりゅうりょう	maintenance flow discharge	河川の流水が果たしている機能を維持するために必要な最低流量。
石綿	いしわた	asbestos, asbestos	繊維状にほぐせる鉱物で、クリソタイルと角閃石の2種がある。広く耐火材などに用いたが、発ガン性で問題となる。解体時の環境汚染に配慮を要する。
伊豆石	いずいし	Izu ishi	伊豆半島河津川流域に分布する新第三系の層理が不明瞭な凝灰質砂岩で、沢田石とも呼ばれる。湯ヶ島層群中部層に属する。
伊豆大島近海地震	いずおおしまきんかいじしん	the 1978 Izu-Oshima-kinkai earthquake	1978年1月14日に伊豆半島沖の海底で発生したM7.0の地震。活発な前震をともない伊豆半島で大きな被害が出た。正式名称は「1978年伊豆大島近海の地震」。
伊豆大島噴火	いずおおしまふんか	the 1986 Izu-Oshima eruption	1986年11月15日に発生した三原山火口北側の割れ目噴火。全島民に島外避難指示が出た。
伊豆小笠原海溝	いずおがさわらかいこう	Izu-Ogasawara trench	房総半島東沖から小笠原諸島南東沖に至る海溝。太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界にあたる。
伊豆小笠原弧	いずおがさわらこ	Izu-Ogasawara arc	伊豆・小笠原海溝に併走する幅約230kmの二重弧で大部分が海面下にある。その西縁は四国海盆との境におく。
イスキメータ	いすきめーた	iskymeter	軟弱地盤中に挿入した抵抗翼を引き抜く時の抵抗値を測定して、土の強度を連続的に求める方法。
伊豆鉱山	いずこうざん	Izu mine	伊豆半島西部静岡県賀茂郡賀茂村に位置する。母岩の火山岩が珪化作用を受け、珪石と明ばん石を生成している。珪石は板ガラスなどに利用されている。宇久須鉱山ともいう。
伊豆鳥島噴火	いずとりしまふんか	the 1902 Izu-Torishima eruption	明治35年（1902年）8月に活動した伊豆鳥島の大規模な噴火。この噴火により全島民（125人）および家畜など全てが死に絶えた。
伊豆半島沖地震	いずはんとうおきじしん	the 1974 Izu-hanto-oki earthquake	1974年5月9日に伊豆半島南端で発生したM6.9の地震。山崩れが多発し、多数の全半壊家屋と死傷者を出した。正式名称は「1974年伊豆半島沖地震」。
伊豆半島東方沖海底火山	いずはんとうとうほうおきかいていかざん	Izu-hanto-touhooki submarine volcano	1989年と1993年に伊豆半島を襲った群発地震の原因となった海底火山。伊東沖約3kmにあり、手石海丘と命名。
和泉石	いずみいし	Izumi ishi	大阪府泉南郡産の土木・墓石用石材。中生界砂岩(和泉砂岩)。
伊豆みかげ	いずみかげ	Izu mikage	静岡県加茂郡下田町産の建築・墓石・中砥用石材。新第三系凝灰質砂岩。本郷石ともいう。
和泉砂岩	いずみさがん	Izumi sandstone	和泉層群の別称。または同層群の砂岩層。

和泉層群	いずみそうぐん	Izumi Group	紀伊半島から四国の中央構造線の北側に、幅10～20kmの帯状に分布する上部白亜系。主に海成の砂岩・泥岩・礫岩からなり、アンモナイト、貝類などの化石を産する。
出雲崎油田	いずもぎきゆでん	Izumozaki oil field	新潟県の日本海側、柏崎市北方に位置する油田。新第三系椎谷層の砂岩に貯留している。
出雲層群	いずもそうぐん	Izumo Group	島根県東部に分布する中新統。海成層を主体とし火山噴出物を多く含む。石材として来待（きまち）石を産出。
出雲みかげ	いずもみかげ	Izumo mikage	山口県佐波郡徳地町産の土木用石材。中生界黒雲母花崗岩。
石動断層	いするぎだんそう	Isurugi fault	活断層。確実度I，活動度B級，北東方向。富山県高岡市西部から小矢部市北部に位置する延長約20km，砺波平野西縁を画する。
異性体	いせいたい	isomer	同一分子式で表される化合物であるが，物理的，化学的性質の異なる化合物の総称。
異星等高度法	いせいとうこうどほう	observation by equal altitude of different stars	天文測量による簡易な緯度観測法。短時間で等高度に至る二つの天体の通過時刻を測定，緯度経度を求める。
遺跡土	いせきど	relic soil	残存土壌と同義。
井芹石	いせりいし	Iseri ishi	熊本県宇土郡宇土町花園井芹産の土木用石材。新第三系凝灰角礫岩。
伊勢湾台風	いせわんたいふう	Isewan typhoon	1959年9月26日に潮岬西方に上陸し紀伊半島，名古屋西方を通過し富山県に抜けた超大型の強い台風。特に伊勢湾に面した濃尾平野南部の広い範囲で高潮による被害が出て，死者行方不明者は5,098人に達する，明治以降の最大の台風災害。
位相	いそう	phase	振動や波動のような周期的現象において，一周期の中で進行する特定の位置を示す量。通常，角度で表す。
位相角	いそうかく	phase	単振動を $x(t)=a \cos(\omega t+\phi)$ または $a \sin(\omega t+\phi)$ と表した時，引数 $\omega t+\phi$ を角度ではかったもの。
位相角IP法	いそうかくあいびーほう	phase angle induced polarization method, phase angle IP method	IP法の測定方式の一種。送受信波形の基本周波数成分の位相差を測定する方法で周波数領域IP法に属する。
位相曲線	いそうきょくせん	phase curve	波や振動といった周期現象の位相角を周波数の関数として表わした曲線。地震探査や電磁探査で用いられる。
位相検波器	いそうけんぱき	phase detector	基準信号と位相被変調波との位相を比べ，その位相差に応じた出力電圧により位相差を検知する回路。
位相差顕微鏡	いそうさけんびきょう	phase contrast microscope	光の位相をずらすことによって屈折率差の小さい物体の境界を強調する顕微鏡。屈折率測定に使用される。

位相差法	いそうさほう	phase difference method	同一周波数の二つの信号の位相差を測定する方法。光波測距儀では変調した光の位相差から距離を計測している。
位相スペクトル	いそうすべくとる	phase spectrum	複素関数で表現されるフーリエスペクトルのうち、各周波数の波の位相ずれを表すスペクトル。
位相速度	いそうそくど	phase velocity	波数 k 、振動数 $\omega/2\pi$ で x 方向に進む波は、 $c=\omega/k$ という速度で伝播する。これを位相速度という。
井田石	いだいし	Ida ishi	静岡県田方郡戸田町井田産の建築・土木用石材。第四系輝石安山岩。戸田（へた）石ともいう。
似平断層	いたいらだんそう	Itaira fault	活断層。確実度 I、活動度 B 級、南北方向、北海道帯広市南方に位置し延長約 10km。段丘面の変位に特徴づけられる。
板ヶ谷層群	いたがたにそうぐん	Itagatani Group	板ヶ谷層。愛媛県西部に分布する秩父累帯南帯のジュラ系。石灰岩・チャートのオリストリスを含む。
板倉地すべり	いたくらじすべり	the Itakura landslide	新潟県板倉町の釜塚・段子差地すべり周辺の地すべり地の総称。大規模地すべりから供給される地下水が主原因。
板たたき法	いたたたきほう	board striking method	S H 波発生用の特殊震源の一種。地表面に密着させた板の端をハンマーで打撃し地面にせん断力を与える。
板チタン石	いたちたんせき	brookite	TiO ₂ 。斜方晶系。硬度 5.5～6。比重 3.9～4.14。褐色～黒色の薄い板状結晶を呈し二次鉱物として存在。
板鼻層	いたはなそう	Itahana Formation	群馬県に分布する中新統～鮮新統高崎層群の下部。礫岩・砂岩を主体とし上部に亜炭層を挟む。
板バネ地震計	いたばねじしんけい		板バネによって振動振子を支える方式の地震計。
板ばね継手	いたばねつぎて	flat spring joint	破壊で地震がおきる現象を説明するため、地殻の弾性を板ばねの集合で近似させたモデル。現在では連続体の数値計算で行うのが普通である。
板羽目堰	いたばめぜき	Itabame weir	板と角材を用いた組立式の堰。明治以降千葉県養老川下流域で毎年 4～9 月のかんがい（灌漑）期に使用された。
伊丹断層	いたみだんそう	Itami fault	活断層。確実度 I、活動度 B 級、東北東方向。大阪府伊丹市に位置し延長約 8km。
板室層群	いたむろそうぐん	Itamuro Group	栃木県北部、板室温泉周辺に分布する中新統。下部の緑色凝灰岩類と上部の砂泥互層からなる。
板谷鉱山	いたやこうざん	Itaya mine	山形県米沢市板谷、福島県との県境付近に位置し、熱水変質鉱床が分布。新第三系中新統板谷層の凝灰質堆積岩類を起源とする、代表的なカオリン鉱床。

イタリア式掘削工法	いたりあしきくっさくこうほう	Italian (excavation) method	トンネル掘削工法の一つ。下部半断面を先に掘削し、インバートと側壁コンクリート打設を施工した後、上部半断面を掘削し、覆工を行う工法。
市ヶ原地すべり	いちがはらじすべり	the Ichigahara landslide	1967年7月9日に神戸市で大雨が原因で発生。ゴルフ場造成に伴う山腹の切・盛土とそれによる集水域増大が主原因。
市来石	いちきいし	Ichiki ishi	鹿児島県日置郡市来町産の土木用石材。第四系軽石凝灰岩。
一次圧密	いちじあつみつ	primary consolidation	飽和粘土の圧密のうち、載荷によって過剰間隙水圧が解消されるまでのテルツアギーの圧密理論にしたがう沈下。
一次圧密比	いちじあつみつひ	primary consolidation ratio	飽和粘性土の圧密試験において、各荷重段階の一次圧密量を各荷重段階の全圧密量（24時間圧密量）で除したものの。
一次応力	いちじおうりよく	initial stress	自然状態の地山内に作用している応力。岩盤自重、地殻変動などの応力履歴や地形等に支配されている。初期応力、潜在応力ともいう。
一軸圧縮強度	いちじくあつしゅくきょうど	unconfined compressive strength, uniaxial compressive strength	側圧を加えない一軸的な圧縮試験における、岩石や粘性土供試体の破壊時の最大圧縮応力。
一軸圧縮試験	いちじくあつしゅくしけん	unconfined compression test, uniaxial compression test	土や岩石供試体の側方を無拘束の状態で一軸方向の荷重を作用させ、圧縮強度を求める試験。
一軸強度比	いちじくきょうどひ	unconfined strength ratio	岩石の一軸圧縮強度(S_c)と引張強度(S_t)の比(S_c/S_t)。脆性度と同義であり、脆さの尺度として使用。
一軸性（結晶）	いちじくせい（けっしょう）	optically uniaxial (crystals)	結晶の光学的異方性のうち、光軸が一本のもの。正方晶系・六方晶系・三方晶系の結晶がこの性質を示す。
一軸引張試験	いちじくひっぱりしけん	tension test	供試体を軸方向に引張り、引張強度や弾性係数を求める試験。岩石の場合、円柱形供試体や両端を太く中央部を細く整形した供試体を用い、試験機への固定に接着剤を使用することが多い。
一次クラッシャ	いちじくらっしゃ	primary crusher	採取された原石から碎石を生産する設備のうち、原石を二次、三次破碎設備に供給できる粒径にするクラッシャ。
一次クリープ	いちじくりーぷ	primary creep	クリープ現象のうち、弾性変形のあと変位量が徐々に減速しながら増加を続けるという初期の変形過程をさす。減速クリープともいう。
一次元圧密	いちじげんあつみつ	one-dimensional consolidation	広い範囲に等分布荷重が加わるような場合に起こる圧密現象で、圧縮される方向とそれに伴う排水の方向が同じ鉛直方向となる圧密。
一次元鉛直不飽和浸透	いちじげんえんちよくふほうわしんとう	one-dimensional vertical unsaturated flow	鉛直一次元の式で表現できる不飽和状態における水の浸透。
一次元逆解析	いちじげんぎゃくかいせき	1-D inversion	電気探査や電磁探査において地表のある点における深度方向の比抵抗分布を求める解析。

一次孔隙率	いちじこうげきりつ	primary porosity	岩石の堆積時に形成される粒子間の孔隙などに起因する孔隙率.
一次鉱物	いちじこうぶつ	primary mineral	造岩時あるいは鉱化時に初生的に生成した鉱物. 例えば, 花崗岩中の石英・長石・雲母など. 初生鉱物ともいう.
一次災害	いちじさいがい	primary disaster	直接的な発生原因によって最初に発生した災害をいい, 一次災害に誘導されて発生する二次災害と区別される.
一次採取	いちじさいしゅう	primary recovery	油層内に潜在する自然エネルギーによって油井内に流れ込む石油を採取すること.
一次地すべり	いちじじすべり	primary landslide	初生地すべりと同義.
一次支保	いちじしほ	primary support	トンネル掘削後, 直ちに地山を安定させるために施工するもので, 支保の方法および使用する部材などの総称.
一次処理	いちじしより	primary treatment	排水中の固体成分などを沈殿池などで沈殿・浮上させて物理的に分離・除去する処理. 簡易処理法ともいう. 曝気やろ過(濾過)など一般的で比較的簡易な処理方法. この次の段階の処理は二次処理という.
一次しらす	いちじしらす	primary shirasu	南九州地方に広く分布する, 始良・阿多両火山起源の白色軽石質火砕流堆積物で再堆積していないもの. 再堆積した二次しらすと区別.
一志層群	いちしそうぐん	Ichishi Group	三重県中部の松阪市, 一志郡, 久居市付近に分布する下部中新統. 主に海成の泥岩・砂岩・礫岩からなり貝類化石を多く産出する. 第一瀬戸内累層群に属する.
一次堆積性金属	いちじたいせきせい きんぞく	metal of primary sedimentation	河川や湖沼の底質中に含まれる重金属のうち, 有機物吸着などによる二次的な変動に起因する部分を除いたもの.
一次反射	いちじはんしゃ	primary reflection	震源から受振点への経路において, ある反射面で実質的に唯一回行われた反射.
一次覆工	いちじふっこう	primary lining	覆工を2回に分けて行う場合に最初に施工する覆工で, 掘削後直ちに施工して地山の緩みを抑えるために行う.
一次噴気孔	いちじふんきこう	primary fumarole	火山地域にみられる噴気孔のうち, マグマに直接関係するもの. 火砕流や溶岩流に生じるものは二次噴気孔.
一時閉塞法	いちじへいそくほう	soft plugging	ボーリング時, 逸泥箇所孔壁に閉塞材料を塗りつけて逸泥を止める方法.
一重弧	いちじゅうこ	single arc	海溝の陸側にある島弧(大陸縁弧)が一本の山脈, 列島, 海底山脈からなるもの. 二重弧の対語.
一重締め切り	いちじゅうしめきり	single wall cofferdam	水中に構造物を構築する際に, 止水を目的として一列の矢板を用いて設けられる仮壁の一種.

1ショット方式	いちしょつとほうしき	one shot method	注入材の混合供給方式の一つ。ゲルタイムが数10分以上の硬化時間の長い注入材をプラントで混合した状態で注入部分に圧送する方式。
位置水頭	いちすいとう	elevation head	水が有する位置エネルギーの大きさを基準面からの高さで表したもの。高度水頭, 重力水頭ともいう。
異地性	いちせい	allochthonous	①岩体や堆積物が、現在存在している場とは異なった場所から運搬・移動されてきて形成されたことを示す形容詞。「外来の」「外来性の」ともいう。 ②古生物では生物が生活していた場所から運搬・移動されてきて堆積の場で埋没して化石になったものを示す形容詞。「他生的」ともいう。
異地性岩体	いちせいがんたい	allochthonous block	形成場所とは別の場所に運搬されてきた岩体。例えば海洋プレートの移動によって陸側に付加した岩体など。
市ノ川鉱山	いちのかわこうざん	Ichinokawa mine	愛媛県西条市市之川に位置し、熱水鉱脈鉱床が分布。主にアンチモンを産し、1667年に発見された。三波川帯の大生院層とこれを不整合におおう市之川礫岩中に鉱脈として産する。
市の瀬石	いちのせいし	Ichinose ishi	石川県珠洲郡内浦町産の土木・建築用石材。中新統安山岩質角礫凝灰岩。
市之瀬断層群	いちのせだんそうぐん	Ichinose fault group	活断層。確実度 I, 活動度 A 級, 南北方向。甲府盆地西部の市之瀬台地上にのびる活断層群。断層面は西傾斜。歴史時代の活動証拠はない。
一ノ谷層群	いちのたにそう	Ichinotani Formation	岐阜県北部の飛騨外縁帯に分布する古生界石炭系。岐阜県吉城郡上宝村福地一の谷を模式地とする。石灰岩を主体とし、凝灰岩, 凝灰質頁岩からなる。
一方向土圧計	いちほうこうどあつけい	one way earth pressure gauge	受圧板に作用する応力のうち、垂直成分に反応する土圧計。普通の土圧計のことで二方向土圧計に対する用語。
市松張り	いちまつばり	checkered sodding	芝張工法の一つで格子状に芝を張りつける。碁目張りともいい堤防の川裏など重要度の低いところで採用される。
1m深地温	いちめーとるしんちおん	1m depth ground temperature	日変化の及ばない1m深の地中温度の分布から、地下の熱的環境や地下水経路を把握する探査法。温泉・地熱調査・地すべり調査などに利用される。
一面せん断試験	いちめんせんだんしけん	box shear test	一面せん断試験機を使ってせん断面の垂直圧力, せん断強さ, 土の摩擦角, 粘着力の関係を求める試験法。
一輪廻火山	いちりんねかざん	monogenetic volcano	単成火山と同義。
一輪廻の噴火	いちりんねのふんか	single cycle of eruption	降下火砕物の放出, 火砕流流出, 溶岩の噴出で終わる噴火サイクルをもち, 長い休止期で限られる噴火活動。
五日市一川上線	いつかいちかわかみせん	Itsukaichi-Kawakami line	関東山地南部の推定構造線。同山地において四万十帯を南北に分ける断層。
一級河川	いっきゅうかせん	class A river	河川法の規定に基づいて政令で指定された, 国民生活上重要な水系のうち, 国土交通大臣が指定し, かつ管理するもの。

一級図化機	いっきゅうずかき	first order plotting instrument	万能図化機とも言い、航空機による空中写真を用いて、最も精密に作画できる図化機。
逸水	いっすい	lost circulation	ボーリング中に掘削水の一部または全部が地層中に浸透して戻ってこなくなる現象。
逸水掘り	いっすいぼり	blind drilling	地熱井などで主要な生産・還元ゾーンとなりうる逸水層遭遇後、泥水の循環なく逸泥状態で掘削を継続する工法。
一層ライニング	いっそうらいにんぐ	single layer lining	トンネルの覆工を一次覆工、二次覆工に分けて施工せず、一層の覆工とすること。またはその覆工。
井筒	いづつ	open caisson well	筒型の鋼製または鉄筋コンクリート製わくの底面をクラムシェルなどによって掘削して沈下させる型式のケーソン。オープンケーソンと同義。
井筒基礎	いづつきそ	well foundation	井筒を用いた基礎構造物。
井筒工法	いづつこうほう	well foundation work	井筒基礎をつくる工法。オープンケーソン工法ともいう。
逸泥	いつでい	lost circulation	削孔用泥水が、地層中の空洞・割れ目・または粒子が粗く浸透性の高い地層中に失われる現象。
逸泥防止剤	いつでいぼうしざい	lost circulation materials	ボーリング等で逸泥層を閉塞するために使用する物質。繊維状、粒状、フレーク状のものがある。
1.5ショット方式	いってんごしょつとほうしき	1.5 shot method	注入材の混合供給方式の一つ。ゲルタイムが数分以上の注入材に用いられ、主材と硬化材を別々に送り孔口で合流させ注入管内で混合させる方式。
一等三角測量	いっとうさんかくそくりょう	first order triangulation	平面位置測量の基本となる三角測量で、国によって行なわれる三角測量のうち最も高い精度で行われる。一辺が平均約45kmの三角形で構成される。
一等三角点	いっとうさんかくてん	first order triangulation point	一等三角測量によって観測される最も基本となる三角点で、わが国には973点ある。
一等重力点	いっとうじゅうりょくてん	first order gravity station	国土交通省国土地理院で行っている重力測定の一等基準重力点。
一等水準測量	いっとうすいじゅんそくりょう	first order leveling	公共測量作業規定で定め、国土地理院が実施する最も基本となる水準測量。一級レベルと一級標尺を用いる。
一般全応力法	いっばんぜんおうりょくほう	general total stress analysis	地盤の安定解析において最も危険と考えられる条件を想定して、排水条件、強度定数を選定する方法。
一般炭	いっばんたん	steam coal	用途別分類方法による一般燃焼用炭の呼び名で、原料炭以外の有煙炭をさす。

一般地質学	いっばんちしつがく	general geology, physical geology	岩石・鉱物・地層・地質構造の形成，風化浸食作用などを中心とした地質学の基礎的事項．教科名や教科書名に使われることが多い．
一般廃棄物	いっばんはいきぶつ	general waste	産業廃棄物以外の廃棄物（放射性廃棄物を除く）で，家庭などから排出されるごみ・し尿などの家庭系廃棄物と，事業活動に伴う事業系廃棄物に分けられる．
いて	いて	ite	軟質石材の表面が風化・摩損している状態をいう．
イディングス石	いでいんぐすせき	iddingsite	火山岩中のかんらん石（橄欖石）斑晶をとりかこむように生成する赤褐色の変質物．
緯度	いど	latitude	地球上の位置を表す座標の一つ．赤道面から計った角距離で，赤道を0とする．
井戸	いど	well	地下水をくみ上げるために掘削される設備の総称．広義には石油掘削井のような地中から液体資源を抽出するものに対して用いられることもある．
糸魚川－静岡構造線	いといがわしずおかこうぞうせん	Itoigawa-Shizuoka tectonic line	本州中央部を南北に切る多数の断層の集合帯．糸魚川から静岡に至るフォッサマグナの西縁を画する構造線．糸静構造線，糸静線と略称されることもある．
伊東石	いとういし	Ito ishi	静岡県伊東市岡産の建築・間知石（けんちいし）用石材．第四系輝石安山岩．
移動河床	いどうかしょう	mobile bed, movable bed	水路の底面や側面の材料が自然河床砂礫のように流水によって移動しうるような水路床．
移動砂丘	いどうさきゅう	migratory dune	砂丘の風上側斜面の砂が浸食され，飛砂として風下側に堆積して砂丘全体が風下側に移動する形式の砂丘．
移動式型枠	いどうしきかたわく	travelling form	トンネルの覆工コンクリート打設に用いられる移動式の型枠で，次々に覆工を打設できる形式の型枠．
移動床	いどうしょう	movable bed	水路床が土砂礫で構成されているときのように，流水の変化で洗掘や堆積が起り路床が変化しうる場合をいう．
移動床水路	いどうしょうすいろ	movable bed channel	開水路において，水路床が土石礫などのような流水で移動し，変化しうる材料で構成されている水路をいう．
移動性地殻変動	いどうせいちかくへんどう	migrating crustal deformation	土地の傾斜や伸縮がある方向へ移動する現象．日本や南米などの変動帯で知られるが理由はよくわかっていない．
移動電極	いどうでんきょく	mobile electrode	電気探査において，遠方に固定して接地する遠電極に対し，観測のために接地位置を移動させる電極．
井戸干渉	いどかんしょう	well interference	複数の隣接する井戸が存在する場合に，各々の井戸の地下水くみ上げの影響範囲が重なり，所定の揚水量の減少や周囲の地下水位の低下を生じさせる現象．

井戸関数	いどかんすう	well function	揚水量と水位の間に推定される関係式。非平衡式の指数の積分部分を関数に置き換えたもの。標準曲線としてグラフ化し水理定数を求める。
井戸効率	いどころりつ	well efficiency	揚水による井戸内の水位低下量に対して、井戸損失を除いた帯水層の水位低下量の比。
井戸損失	いどそんしつ	well loss	揚水による井戸の水位低下量と井戸周囲の帯水層の水位低下量の差として定義され、ストレナ開口部の抵抗や目詰まりなどにより生じる水頭損失を意味する。段階揚水試験により求められる。
緯度変化	いどへんか	variation of latitude	天文経緯度は時間的に変化する。このうちの緯度の変化。
緯度補正	いどほせい	latitude correction	重力測定において行われる地球の形状、自転影響に関する補正。一般には国際標準重力公式を用いる。
井戸掘探査法	いどほりたんさほう	pit prospecting method	深度5m以浅の井戸を掘り、壁面・底面を観察し地質情報を得たり、試料を採取する方法。
イトムカ鉱山	いとむかこうざん	Itomuka mine	北海道中央部東寄り、留辺蘂町に位置する。日本有数の水銀鉱山だったが、1973年に閉山。鉱床母岩は中部中新統東高地層の礫岩・火砕岩よりなる。
井戸理論	いどりろん	well hydraulics	井戸の注・揚水量と水位変化の関係を論じたもの。普通不圧地下水に平衡理論、被圧地下水に非平衡理論を適用。
稲井石	いないいし	Inai ishi	宮城県石巻市井内産の石碑・床材など用石材。三じょう系（三畳系）砂質粘板岩。井内石とも書く。
稲井層群	いないそうぐん	Inai Group	北上山地南部に分布する中生界下～中部三畳系。砂岩・泥岩およびそれらの互層を主体とする。
稲城砂層	いなぎさそう	Inagi sand	多摩丘陵に分布する上総層群の低固結砂層。地下水位下の掘削では流動化を起こしやすい。
稲城層	いなぎそう	Inagi Formation	東京都南西部の稲城市一体に分布する第四系下部更新統。中粒砂岩層から構成される。
いなし工法	いなしこうほう	earth-pressure dodgy tunneling method, tunneling method for dodgy earth-pressure	トンネル内に押し出してくる地山応力を直接受けて（剛で）対抗するのではなく、応力を逃がして（柔で）施工する工法。
伊那層群	いなそうぐん	Ina Group	長野県小渋川以南の下伊那地域に分布する上部鮮新～下部更新統。礫層を主体とする。
稲田石	いなだいし	Inada ishi	茨城県笠間市稲田地方に産出する花崗岩の石材名。稲田みかげの項参照。
伊那谷災害	いなだにさいがい	disasters in Inadani valley	1961年6月信州伊那谷地方を襲った梅雨前線豪雨災。山腹崩壊が多発し、せき止め湖が決壊して甚大な被害が出た。この豪雨で、北海道を除く全国各地で被害が発生した。気象庁は6月24日から7月10日の雨を「昭和36年梅雨前線豪雨」と命名した。

稲田みかげ	いなだみかげ	Inada mikage	茨城県笠間市産の建築・土木用石材。中生界黒雲母花崗岩・角閃石黒雲母花崗岩。稲田石ともいう。
伊那断層	いなだんそう	Ina fault	活断層。確実度 I，活動度 A 級，北北東方向。長野県上伊那地方北西部に位置し延長約 16km。西傾斜。横ずれ低角逆断層。
伊西型岩石	いにしがたがんせき	Inishi type rocks	神岡鉱山付近に産するモンゾニ岩をさす。広域変成作用と、後退変成作用を含むことが特徴的。
イニシャルサプレッション	いにしゃるさふれっしょん	initial suppression	地震探鉱装置の利得制御の一つで、信号が入力されるまで、増幅器利得を下げておくこと。
犬島みかげ	いぬじまみかげ	Inujima mikage	岡山市西大寺町犬島の土木・建築用石材。中生界花崗岩。犬島石ともいう。
犬走り	いぬばしり	berm	土石盛立斜面の安定や管理用歩道のために斜面途中に設ける平場。
イノセラムス	いのせらむす	<i>Inoceramus</i>	軟体動物門二枚貝綱翼形亜綱ウグイスガイ目 Inoceramidae 科の総称(広義)。ジュラ～白亜紀末の重要な示準化石。
揖斐川断層	いびがわだんそう	Ibigawa fault	活断層。確実度 I，活動度 B 級，北西方向。岐阜県藤橋村に位置し延長約 24km。左横ずれ断層。濃尾活断層系の一つ。
イベント	いべんと	event	露頭などで確認できる断層を変位させるような出来事。その数をイベント数という。イベント数の推定は利用できる変位基準の数に制約を受ける。
異方圧密	いほうあつみつ	anisotropic consolidation	三軸試験などにおいて土を圧密する条件の一つで、軸圧と側圧を独立に与えて行う方法。
異方圧密状態	いほうあつみつじょうたい	anisotropic consolidated condition	軸方向応力と側方向応力が異なる応力状態で、供試体が圧密している状態。
異方圧密履歴	いほうあつみつりれき	history of anisotropic consolidation	三軸試験などにおいて、所定の異方圧密のもとに圧密するときの応力履歴。
異方性	いほうせい	anisotropy	物質の物理的・力学的性質が方向により異なること。磁気・電気・弾性波の伝わり方や強度・変形特性などで見られる。岩石では片岩や葉理の発達した堆積岩で顕著。
異方性岩盤	いほうせいがんばん	anisotropic rock mass	堆積岩類や結晶片岩などのように、物理的性質や力学的性質などが方向によって著しく異なる岩盤。
異方性弾性地盤	いほうせいだんせいじばん	anisotropic elastic ground	弾性係数の異方性を有する地盤。
今泉石	いまいずみいし	Imaizumi ishi	鎌倉市二階堂・今泉産の土木用石材。新第三系凝灰角礫岩。鎌倉石ともいう。

今市ガス田	いまいちがすでん	Imaichi gas field	島根県簸川平野に位置するガス田。沖積層中の腐食質・有機質粘土層や泥炭層を根源堆積物とし、メタンガスが主成分である。
今市地震	いまいちじしん	the 1949 Imaichi earthquake	1949年12月26日に栃木県今市で発生した局地地震。
今市土	いまいちつち	Imaichido	栃木県今市市付近に分布する軽石風化物。軽石内部にアロフェンが、外部にイモゴライトが存在する。
今津石	いまずいし	Imazu ishi	①北九州市門司区今津産の砕石用石材。中生界安山岩、蛭子石と同じ。 ②兵庫県城崎郡城崎町今津南戸産の土木・建築用石材。第三系流紋岩質凝灰岩。
今須断層	いますだんそう	Imasu fault	活断層。確実度 I，活動度 B 級，西北西方向。滋賀・岐阜県境の鈴鹿山脈北縁部に位置し延長約10km。南隆起の左横ずれ断層。
イメージングスペクトロメータ	いめーじんぐすべくとろめーた	imaging spectrometer	地球の資源などを観測する目的の高スペクトル分解能，高地上解像力を有する画像センサ。可視光から中間赤外域を対象とする。
イモゴライト	いもごらいと	imogolite	理想組成は $SiO_2 \cdot Al_2O_3 \cdot 2H_2O$ 。繊維状の準結晶質の含水珪酸塩鉱物でガラス質火山灰土に含まれる粘土鉱物。芋子石ともいう。
いも継ぎ	いもつぎ	straight joint	シールドトンネルにおいてセグメントの継ぎ目がトンネル軸方向に同じ位置になるような継ぎ方。
伊予断層	いよだんそう	Iyo fault	活断層。確実度 I，活動度 A 級，北東方向。愛媛県伊予市南方に位置し延長14km以上。右横ずれ断層。中央構造線断層系の一つ。
伊予砥	いよと	Iyoto	愛媛県伊予郡砥部町および伊予市唐川地方に産する白色の砥石。新第三系火山岩類が熱水変質作用を受けて淘石化したもので，当地域は砥部淘石鉱床と呼ばれている。
イライト	いらいと	illite	堆積岩中にみられるアルミニウム質の雲母粘土鉱物の一般名称。熱水変質によるセリサイトは同じ構造。
イライト型鉱物	いらいとがたこうぶつ	illite-type mineral	雲母層と膨潤層を有する粘土鉱物。イライトという言葉は通常堆積岩の雲母粘土鉱物に対して使われる。
入山瀬断層	いりやませだんそう	Iriyamase fault	活断層。確実度 I，活動度 A 級，南北方向。富士川河口付近から富士川に沿って位置し延長約8km。国内最大級の縦ずれ活断層。1854年安政東海地震で動いた可能性有。
入山断層	いりやまだんそう	Iriyama fault	活断層。確実度 I，活動度 B 級，南北方向。静岡県庵原郡の由比川に沿ってのびる延長約10km，左横ずれ断層。露頭で確認される。
移流	いりゅう	advection	①水平方向への物質移動。対流の対語。 ②地下水そのものの流動によって地下水中の溶質が移動すること。
遺留水	いりゅうすい	connate water	地中水のうち，それを包含する地層と同時期の水のこと。同生水とも呼び，化石水と同義とされている。

イルメナイト系花崗岩	いるめないとけいかこうがん	ilmenite-series granitoid	チタン鉄鉱系花崗岩と同義.
色温度	いろおんど	color temperature	物体の熱放射に比例するスペクトル分布を示す黒体温度.
色温度変換フィルタ	いろおんどへんかんふいた	conversion filter for color temperature, LB filter	フィルムの基準色温度と使用光源の色温度に生じる色調の相異を補正するフィルタ.
色指数	いろしすう	color index	岩石の有色鉱物量を表す指数. 0~30のものを優白岩, 30~60のものを中色岩, 60~100のものを優黒岩と呼ぶ.
色収差	いろしゅうさ	chromatic aberation	光の波長によってレンズの材質の屈折率が異なるために起こる結像点のずれ.
色分解	いろぶんかい	color separation	フィルムや印画紙上に記録されたカラー写真をR(赤), G(緑), B(青)のフィルタを用いて三色別の単色画像に分解すること.
巖江みかげ	いわえみかげ	Iwae mikage	福島県田村郡三春町産の砕石用石材. 中生界花崗閃緑岩.
岩ヶ崎石	いわがさきいし	Iwagasaki ishi	宮城県栗原郡栗駒町産の土木用石材. 石英安山岩・凝灰岩.
磐城石	いわきいし	Iwaki ishi	福島県平市付近産の建築・土木用石材. 新第三系凝灰岩. 岩城石とも書く.
磐城沖ガス田	いわきおきがすでん	Iwaki-oki gas field	福島県双葉郡檜葉町の沖合41km(水深約154m)に位置するガス田. 1973年に発見. 深度約2,000mの中新統砂岩から産出. 約4km離れたガス鉱床に向かって傾斜ボーリングが行われた.
岩国断層	いわくにだんそう	Iwakuni fault	活断層. 確実度 I, 活動度 B 級, 南西方向. 山口県岩国市西部から J R 岩徳線に沿ってのびる延長約10km. 顕著な右横ずれ断層.
岩国断層帯	いわくにだんそうたい	Iwakuni fault zone	山口県東部に発達する活断層 A 級の三つの活断層群から構成される NE-SW 方向の断層帯. 大竹断層と甘木峠断層, 岩国断層が含まれる.
岩倉山地すべり	いわくらやまじすべり	the Iwakurayama landslide	1847年の善光寺地震で発生した山崩れ. 2カ所で発生し, 犀川をせき止めた. 湖は17日後に決壊し大洪水となった.
岩クリーブ	いわくりーぷ	rock creep, mass rock creep	重力により岩盤が徐々に変形していく現象. 岩盤クリーブと同義.
岩砂漠	いわさばく	rock desert	砂・礫などの碎屑物質がなく, ほとんど基盤が直接露出している砂漠. 岩石砂漠ともいう.
岩棚	いわだな	ledge	海食崖の中腹に節理や層理面と関わって形成された狭い平坦な部分で, 現海面における暴浪の浸食作用で生成.

岩手霰大理石	いわてあられだいらせき	Iwate-arare marble	岩手県久慈市他産の装飾用石材。中古生界大理石のうち粗粒なもの。
岩手火山	いわてかざん	Iwate volcano	盛岡市北西にあるカルデラを伴う第四紀成層火山群。岩手富士ともいう。有史では1719年の溶岩流の噴出がある。
岩手大理石	いわてだいらせき	Iwate marble	岩手県久慈市他産の装飾用石材。中古生界大理石。
岩手トンネル	いわてとんねる	Iwate tunnel	東北新幹線いわて沼宮内―二戸間にある延長25.81kmのトンネル。陸上に掘られた鉄道山岳トンネルとしては世界最長。2002年開業。新第三紀の凝灰岩の区間では、著しい土圧と内空変形があり難工事となった。
岩殿山地すべり	いわどのやまじすべり	the Iwadonoyama landslide	1972年2月、山梨県大月市の中央自動車道の切土のり面で発生した人為地すべり。深礎工を中心とする対策工法が採用された。
岩はね	いわはね	rock burst	山はねと同義。
岩船石	いわふねいし	Iwafune ishi	①茨城県東茨城郡桂村産の壁・下水など用石材。新第三系凝灰岩。 ②栃木県下都賀郡岩舟町岩船山産の土木・石碑用石材。新第三系安山岩・凝灰角礫岩。火避石ともいう。
岩船沖油・ガス田	いわふねおきゆがすでん	Iwafune-oki oil-gas field	新潟県北蒲原郡中条町沖合21kmにある海底油田。発見1983年、商業生産開始1990年。層位トラップ型鉱床。2001年時点では年間原油産出量が国内最大。
岩間断層	いわまだんそう	Iwama fault	活断層。確実度I、活動度B級、南北方向。長野県駒ヶ根市を通る木曾山脈山麓断層群の一つで延長約10km。開析扇状地を切る。
石見大森銀山	いわみおおもりぎんざん	Iwamiomori silver-mine	島根県太田市にある銀鉱山。16～17世紀に栄えた。
石見鉱山	いわみこうざん	Iwami mine	島根県太田市に位置し、黒鉱鉱床が分布。新第三紀中新統石見層群の川合―久利層の流紋岩質凝灰岩層中にある。
石見層群	いわみそうぐん	Iwami Group	鳥取県米子市から島根県太田市にかけて分布する中新統。酸性～中性の火山岩類、砂岩・頁岩などからなり、太田・出雲などの湾入部で厚く堆積している。石見銀山など黒鉱・鉱脈鉱床を胚胎。本層群のうち頁岩層（久利層）分布地には地すべりが多い。
岩室層	いわむろそう	Iwamuro Formation	群馬県北部の片品川、薄根川流域に分布する中生界下部ジュラ系。利根郡白沢村大字岩室付近を模式地とする。礫岩、砂岩、泥岩からなる。
岩本石	いわもといし	Iwamoto ishi	群馬県沼田市産の積石・砕石用石材。新第三系～第四系の両輝石安山岩。
岩屋みかげ	いわやみかげ	Iwaya mikage	兵庫県津名郡岩屋町産の石材。淡路みかげの一種。中生界花崗岩。
陰イオン交換容量	いんいおんこうかんようりょう	anion exchange capacity	粘土鉱物が吸着できる交換性陰イオンの総量。陰イオンの交換反応は陽イオンより例が少ない。

陰極線	いんきょくせん	cathode rays	自由電子を高電圧の電場で加速して得られる数千～数万eVの電子線。
陰極線オシログラフ	いんきょくせんおしろぐらふ	cathode ray oscillograph	ブラウン管を用いて高度な電氣的变化を観測する装置。信号に応じて電子ビームを振り、時間変化を可視化する。
インクリノメータ	いんくりのめーた	inclinometer	ボーリング孔、または節理・層理・岩脈などの傾斜を測定する機械。
インコヒーレント散乱レーダー	いんこひーれんとさんらんれーだー	incoherent scattering radar	電離大気を観測する大型レーダーの総称。
インコンピテント層	いんこんびてんとそう	incompetent layer	地層が褶曲作用などの変形を受けたときに、相対的に硬いコンピテント層に対して変形・流動しやすい層。
インサートビット	いんさーとびつと	insert bit	削岩機の打撃や回転力をロッドを介してビットに伝え穿孔するが、このビットとロッドが一体となったもの。
インサイドカッター	いんさいどかッター	inside cutter	ボーリング孔内に抑留された鉄管を内側から切断する器具。
INSAT	いんさつと	INSAT	インド宇宙省を中心に国内省庁と国内ラジオ局の共同事業で打ち上げている通信と気象観測用の多目的静止衛星。
印象 (化石)	いんしょう (かせき)	impression (fossil)	化石のうち、古生物の遺体は保存されずに形態の押し型 (印象) のみが残っているものをさす。
引照点	いんしょうてん	reference point	測量において基準点などの重要点を見出すための点で、重要点が紛失した際に速やかに重要点を復元できるようにする補助点。
陰性コロイド	いんせいころいど	acidoid	土壌の場合、陰イオンとして挙動する土壌コロイド。陽イオンを吸着したり、陽性コロイドとヘテロ凝集を起こす。
隠生代	いんせいだい	Cryptozoic era	地球上に生物が出現するも顕著ではない時代。先カンブリア時代のこと。
隠生累代	いんせいるいだい	Cryptozoic Eon	生物の存在が顕著でないという意味で先カンブリア時代と同義に用いられたが、現在は使われない時代区分。
隕石	いんせき	meteorite	宇宙空間から地球上に落下した物体。化学組成から石質隕石、石鉄隕石、および隕鉄の3種に分けられる。
隕石火口	いんせきかこう	meteorite crater	隕石孔と同義。
隕石孔	いんせきこう	meteorite crater	大きな隕石の衝突による円形凹地。高压型鉱物や衝撃波による変成岩石の存在で噴火口と区別される。直径3kmを超すものもある。隕石火口と同義。

隕石痕	いんせきこん	astrobleme	地球外物質が地表に衝突して残した痕跡の総称。
隕石の年齢	いんせきのねんれい	meteorite's age	隕石の放射年代で、形成年代・固化年代・宇宙線照射年代・落下年代などに区分される。
インセプティソ ル	いんせぷていそ る	inceptisols	アメリカの土壌分類体系で、何らかの弱い変質を受けた層など初期に変化を受けた土壌。
インターアーク ベイズン	いんたーあーくべ いずん	interarc basin	弧一海溝系において弧が二つに分岐してその間に生ずる深海底域で、弧間盆地とも称する縁海の種類。
インターリル領 域	いんたーりりりょう いき	interrill space	地表水の浸食でできる溝（リル）と溝との間の範囲。リルへの流入土砂は、雨滴の衝撃の加わった流れで運ばれる。
インダクション 型磁力計	いんだくしょんがた じりょくけい	induction magnetometer	インダクション（誘導）コイルによって磁場の時間変化率を測る磁力計。MT・AMT法などに利用される。
インダクション 検層	いんだくしょんけん そう	induction logging	電磁誘導現象を利用した比抵抗検層法で電磁検層ともいう。石油探査に用いられ、坑井周辺の泥水侵入領域の影響を除去して、地層の真の比抵抗を測定できるため通常の電気検層法よりも薄い油層まで検知できる。
インダクタンス	いんだくたんす	inductance	電線やコイルに流れる電流の変化を妨げる働きをする起電力の強さを表す。単位はH（ヘンリー）。
インダクタンス 型変換器	いんだくたんすがた へんかんき	inductance type transducer	電磁誘導現象の変化を利用して、力、圧力、変位、変形などを測定する変換器。
インタクト	いんたくと	intact	傷のないものという意味の形容詞。intact sample, intact rockのように使用される。
インテグレー テッドエアボン システム	いんてぐれーてっど えあぼんしすてむ システム	integrated airborne system	異なる方式の探査システムを二つ以上組合せて同時に並行測定を行う空中探査システム。
隕鉄	いんてつ	iron meteorite	隕石の中で、鉄-ニッケル合金を主成分とするもの。ニッケル含有量により固有の結晶をなす。鉄隕石・鉄質隕石ともいう。
インデックス法	いんでっくすほう	index method	磁気異常の定量解析法の一つ。磁気異常の最大・最小値、最急勾配などの特殊な値を利用し解析する。
インテンシティ ログ	いんてんしていろぐ ログ	intensity log	音波検層においてウェーブトレインを濃淡により深度方向に連続的に表示したもの。
インド楯状地	いんどたてじょうち	Indian shield	インダス川とガンジス川の南に広がるインド半島を構成する先カンブリア系分布地域。
インドネシア弧	いんどねしあこ	Indonesian island arc	アンダマン諸島からセレベス島に至る島弧。平行して海溝があり、列島上には活火山がならび深発地震が多い。

インドプレート	いんどぷれーと	Indian plate	オーストラリア, ユーラシア, アラビアの各プレートに囲まれたインド半島とインド洋北部を含むプレート.
インド洋中央海嶺	いんどようちゅうおうかいれい	Central Indian ridge	カールスバルグ海嶺と同義. アフリカとインド半島の間を南北に連なる.
イントラベースメント異常	いんたらべーすめんといじょう	intrabasement anomaly	磁気基盤内部の磁性体によって引起される磁気異常.
インナーストーン	いんなーすとーん	inner stone	ボーリング用ビットクラウンの内側に装着されたダイヤモンド.
インナーチューブ	いんなーちゅーぶ	inner tube	ダブルコアバレルのコアコンテナーのような役目をする内管で坑井掘削ツールの一つ.
インナーチューブエクステンション	いんなーちゅーぶえきすてんしょん	inner-tube extension	ダブルコアバレルのインナーチューブ下端に装着して, インナーチューブとコアリフタを接続する短管.
院内石	いんないいし	Innai ishi	秋田県雄勝郡雄勝町院内産の土木・建築用石材. 新第三系石英粗面岩質凝灰岩・軽石質凝灰岩.
院内油田	いんないゆでん	Innai oil field	仁賀保産油・産ガス地帯に属する秋田県由利郡仁賀保町院内地域の国内最大規模の油田. 1923年発見. 深度400~1,500mの新第三系天徳寺層, 船川層の凝灰岩中に胚胎.
印南石	いんなみいし	Innami ishi	兵庫県高砂市伊保町竜山・宝殿産の土木・建築用石材. 白亜系の流紋岩質溶結凝灰岩. 竜山石(赤竜石・白竜石・青竜石・黄竜石)ともいう.
インバージョン法	いんばーじょんほう	inversion method	ジオトモグラフィによる地下構造の推定のように, 測定結果から測定対象の内部物性分布などを推定する方法.
インバース法	いんばーすほう	inverse method	電気検層による地層の比抵抗を測定する一方法. ラテラル法と同義で, 地表の比抵抗法の3極法に対応する.
インバーテッドエマルジョンマッド	いんばーてっどえまるとるじょんまっど	inverted emulsion mud	ボーリング用オイルベースマッドの一種で油の中に水滴が分散したエマルジョン泥水.
インバート	いんばーと	invert	トンネル工事における巻き立て断面のうち, 底盤の弓形の部分または底部の逆アーチ部分.
インバートコンクリート	いんばーとこんくりーと	invert concrete	トンネルのインバート部分を構成するコンクリート.
インバート閉合	いんばーとへいごう	closure of tunnel cross by invert	主に地山が不良の場合, インバートコンクリートなどを施工することにより, トンネル断面を閉合し構造的に安定させること.
インバル基線尺	いんばーるきせんじゃく	invar wire	インバルワイヤと同義.

インバル標尺	いんばーるひょうしゃく	invar staff	木製枠にインバル尺をバネの張力をかけて配置したもの。目盛の誤差が少なく精密水準測量などに使われる。
インバルワイヤ	いんばーるわいや	invar wire	熱膨張係数が約 $1 \times 10^{-6}/^{\circ}\text{C}$ の鋼約64%とニッケル約36%の合金製ワイヤ。ワイヤ基線尺の線状のもの。
インパクトクラッシャー	いんぱくとくらっしゃ	impact crusher	採石のための二次破碎用機械の一種。打撃用の回転ハンマー、ブレーカ板により破碎を行う。
インパクトクレーター	いんぱくとくれーたー	impact crater	小天体（隕石・小惑星・彗星）が高速（数km/s）で衝突することによってできた凹地。衝突クレーターともいう。
インパルス応答	いんぱるすおうとう	impulse response	力学系に、ある大きさの力を一瞬（微小時間）に加えた力に対する応答。
インピーダンス	いんぴーだんす	impedance	交流回路における電気抵抗。波動では、弾性波の速度とその媒質の密度との積を音響インピーダンスという。
インピーダンスストライク	いんぴーだんすすとらいく	impedance strike	MT法における2次元構造の比抵抗の方向性を示す。構造方向に対して平行ないし直交方向。
インピーダンステンソル	いんぴーだんすてんそる	impedance tensor	MT法において、電場ベクトルと磁場ベクトルの関係を表す量で、比抵抗構造の方向性に関する情報を有する。
インピーダンスポラーダイアグラム	いんぴーだんすぽーらいだいがらむ	impedance polar diagram	MT法において、インピーダンステンソルを空間的に回転したときの軌跡。構造指標となり、長軸方向はインピーダンスストライクに一致。
隠微晶質	いんびしょうじつ	cryptocrystalline	岩石もしくは基質が極細粒結晶から構成されること。鏡下で結晶の存在が判定できる程度である。潜晶質と同義。
因美帯	いんびたい	Inbi zone	山陰帯における白亜紀～ぜん新世（漸新世）にかけての火成活動の一つである因美深成岩類およびそれに伴う因美侵入岩類の分布地帯。鳥取県から島根県東部の地域。
インヒビテッドマッド	いんひびてっどまっど	inhibited mud	粘土類の膨潤を抑制または減少させるような削孔用泥水の総称。
因美侵入岩類	いんびへいにゆうが んるい	Inbi intrusive rocks	因美深成岩類に伴う貫入岩類。花崗閃緑岩、花崗岩、トーナル岩など。
インブリケーション	いんぷりけーしょん	imbrication structure	河川・海浜など水流の強い環境で扁平礫が上流側に傾斜してうろこ状に重なる構造。古水流の向きがわかる。
インプレースリーチング	いんぷれーすりーち んぐ	in-place leaching	鉱石を直接採掘せず、地中に注入した酸もしくはアルカリ溶液を回収し、溶液中に溶けた金属を取り出す採鉱法。
インプレグネーテッドビット	いんぷれぐねーてっどびつと	impregnated bit	粉末状のダイヤモンドを粉末金属マトリックスの中に一様に混合して焼結したボーリングビット。

インプレッションパッカー	いんぷれっしょんぱッカー	impression packer	金属やゴムなどを素材として、ボーリングの孔壁に押しあてることにより、岩盤の割れ目などの型を取るパッカー。
インプレッションブロック	いんぷれっしょんぷろっく	impression block	ボーリング孔内遺留物の位置および形状などを正確に把握するために使用される孔内用スタンプ。
インプロージョン	いんぷろーじょん	implosion	震源の一種。水中で瞬時に低圧領域を発生させると水の衝突により弾性波が生ずる。この衝突圧を利用したもの。
インバージョンデプス	いんべーじょんでぷす	invasion depth	ボーリング孔において浸透性の地層に対する泥水ろ過（濾過）水が浸入した深さ。
インバージョンプロファイル	いんべーじょんぷろふぁいる	invasion profile	ボーリング孔において地層への泥水ろ過（濾過）水の浸透状態を模式的に示したもの。
インペリアルバレー	いんぺりあるばれー	Imperial Valley	米国カリフォルニア州南部の地熱地帯。別名ソルトンシーあるいはソルトントラフ。
インボリューション	いんぼりゅーしょん	involution, Taschenboden(独)	表層堆積物中の複雑な変形構造。土の凍結と関係することが多いといわれるが、成因は不明確である。
インラインオフセット	いんらいんおふせつと	inline offset	震源を測線上で受振器展開から離して設定する展開方法。震源で発生する雑音を避けるために用いられる。
ウィナー-ヒンチンの公式	ういーな-ひんちんのこうしき	Wiener-Khintchine's formula	相関関数とパワースペクトルは互いにフーリエ変換の関係にあり一方が判れば他方も求められるという公式。
ウィーヘルト式地震計	ういーへるとしきじしんけい	Wiechert seismograph	振り子の重さが1,000kgの大型機械式地震計。1950年代頃まで盛んに使用され初期の地球内部構造研究に貢献した。
ウィーンの変位則	ういーんのへんいそく	Wien's displacement law	黒体の絶対温度と放射エネルギーが最大になる波長は反比例するという法則。
ウイグル表示	ういぐるひょうじ	wiggle trace	時間変動する振幅を1本の軌跡で示す波形の表現方法。
ウイスキー	ういすかー	whisker	髭結晶（ひげけっしょう）と同義。
ウィスコンシン氷期	ういすこんしんひょうき	Wisconsin Glacial Stage	北米大陸を基準とする更新世の氷期のうちの最終氷期の名称で、ヨーロッパのウルム氷期に対比される。
ウィナーフィルタ	ういな-ふいるた	Wiener filter	回路への入力波形を適当な希望出力へ変換するフィルタ。例としてデコンボリューションフィルタがある。
ウィリアムス-ハーゼンの流量公式	ういりあむす-はーゼんのりゅうりょうこうしき	Williams & Hazen's formula of flow rate	給水管の管の太さを流量、損失水頭により求める方法。 $Q=0.27853Cd^{2.63}I^{0.54}$ 、Q:流量(m ³ /s)、C:流速係数、d:管内径(m)、I:動水勾配。 この式は上水道における送配水管の計算に、一般的に用いられている。

ウィルソンシール	ういるそんしーる	Wilson seal	真空容器などから外部に通じる軸の軸受部分に用いられるゴムパッキング。
ウィングカットオフ	ういんぐかつとおふ	wing cut off	ダム堤体直下の浸透路長を増大させることを目的とした遮水構造物で、特に堤体袖部に設置されるものをさす。
ウィングダム	ういんぐだむ	wing dam	アーチダムスラストブロック山側地山の標高が不足したり、地質的に不良な場合に築造される補助的なダム。
ウィングビット	ういんぐびつと	wing bit	①AGF工法などに用いられるPCDビットの拡孔用のビット。削孔時はこれが開き鋼管外径よりゲージ径が広がり、回収時は閉じて鋼管内径より小さくなり鋼管内から回収できる。 ②発破孔に一对の溝を設けたウイングホールを一度に削孔するために用いるビット。
ウィングホールブラスティング	ういんぐほーるぶらすていんぐ	wing hole blasting	掘削面に沿った発破孔に掘削面方向の一对の溝を設けて爆発力を集中させ、平滑な掘削面を得る工法。
ウィングリブ支保工	ういんぐりぶしほこ	steel support with wing rib	トンネル上半部の鋼製支保工の接地部分に張り出しを付けて接地面積を大きくし、地盤の支持力を得やすくした支保工。支持地盤が軟弱な場合に沈下防止対策として用いられる。
ウインド・ギャップ	ういんどぎゃつぷ	wind gap	風隙と同義。
ウーライト	うーらいと	oolite	直径2mm以下の魚卵状構造を呈する石灰質粒子(ウーイド)で大部分が構成される石灰岩。魚卵状石灰岩ともいう。ウーイドそのものをさす場合もある。
ウェイトアンドウェイト法	うえいとあんどうえいとほう	wait and weight method	地熱井の仕上げに行う最も一般的な置換方法。蒸気キックの抑圧と泥水の入替えを同時に行う。
ウェーバー線	うえーばーせん	Weber's line	動物地理学上の境界線の一つ。オーストラリア区と東洋区との間の推移帯のうち、東縁の線にあたる。
ウェーブゾーン	うえーぶぞーん	wave zone	微小双極子波源から均質媒質中に放射されて生ずる電磁場のうち、放射電磁場が卓越する領域。
ウェーブティルト	うえーぶていと	wave tilt	電場の水平成分と垂直成分の比を称し、これを用いて直接見掛比抵抗が求められる。電磁法に利用される。
ウェーブトレイン	うえーぶとれいん	wave train	弾性体にインパルス状の波が入射した場合に観測されるP波、S波、表面波などから構成される一連の波群。
ウェーブレット処理	うえーぶれつとしょり	wavelet processing	反射法探査の記録処理法の一つで、基本波形を知りそれより簡単な波形に変換する処理の総称。
ウェゲナーの大陸漂移説	うえげなーのたいりくひょういせつ	theory of continental drift by Wegener	古生代末まで存在していた始原大陸(パンゲア)が徐々に分割して今日の位置に移動したとする仮説。
ウェスターガード公式	うえすたーがーどこうしき	Westergaard's formula	横方向の剛性が非常に大きくて側方ひずみが生じないような地盤応力を解く式。

ウェスターガードの式	うえすたーがーどのしき	Westergaard's formula	鉛直な堤体上流面に作用する地震時動水圧分布を算定するための理論式.
ウェスタリー花崗岩	うえすたーりーかこうがん	Westerly Granite	アメリカ, ロードアイランド州ウェスタリーで採掘される花崗岩. 建築用石材として使用されるほか, 岩石物性の試験にも用いられる.
ウェストファール比重計	うえすとふあーるひじゅうけい	westphal balance	液体の比重測定に用いる天秤. ガラス容器に入れた液体中に天秤の片側に吊した浮き子を入れて釣り合わせる.
羽越豪雨	うえつごうう	the Uetsu heavy rainfall	1967年8月28日から29日にかけて新潟県北部を中心に襲った集中豪雨. 総雨量約500mm. 羽越水害をもたらした.
ウェッジ型ロックボルト	うえつじがたろつくぼると	wedge type rock bolt	先端にスリットをつけ, これにクサビを挿入してボルト孔に打ち込み, 先端を押し広げて定着するロックボルト.
ウェッジビット	うえつじびつと	wedge bit	テーパ状のノンコアリングビット. 孔曲げ作業時に孔内にセットした偏向楔の傾斜面に沿って拡孔するのに使用.
ウェッジローズビット	うえつじろーずびつと	wedge rose bit	鋸歯状に刻まれた硬質金属のノンコアリングビット. 孔曲げ用偏向楔の上端孔径維持リングを切削するのに使用.
ウェットホール	うえつとほーる	wet hole	帯水層を横切り, 坑口に多量の湧水が認められるボーリング孔.
上野石	うえのいし	Ueno ishi	福井県福井市川西町産の割石・垣用石材. 新第三系凝灰岩.
ウェブ	うえぶ	web	H型鋼, I型鋼などの上下のフランジをつなぐ鉛直部分.
ウェル	うえる	well	①井戸: 透水層まで土を掘り, 地下水を集め, くみ取る構造物. ②井筒: 構造物の基礎として設置される鉄筋コンクリート製の構造物.
ウェルシューティング	うえるしゅーていんぐ	well shooting	孔井内に受振器を降下し地表で人工地震を発生させ, 深度の関数として平均速度を求める孔井内速度測定.
ウェルポイント工法	うえるぽいんところうほう	well point method	揚水管を地中に挿入して真空吸引により, 地下水位を低下させる工法.
ウェルレジスタンスの効果	うえるれじすたんすのこうか	effect of well resistance	サンドドレーン工法により地盤改良を行う際に, 長尺ドレーンを用いると圧密に遅れが生じる現象.
ウェントワース区分	うえんとわーすくぶん	Wentworth grade scale	ウェントワースの粒度区分と同義
ウェントワースの粒度区分	うえんとわーすのりゅうどくぶん	Wentworth's grade scale	土壌などの粒度構成を表現する方法で1mmを基準に, 2のべき乗を人為的な境界として定めて区分する方法.

ウェンナー法	うえんなーほう	Wenner electrode array	比抵抗法による電気探査で、一直線上の外側に電流電極、内側に電位電極をそれぞれ等間隔に配置する方法。
ウォーカーの検定法	うおーかーのけんていほう	Walker's significance test	地震の発生がポアソン過程であるとした前提で実施する地震発生の周期性に関する統計的検定法の一つ。
ウォーキングビーム	うおーきんぐびーむ	walking beam	支点を中心として上下動するビーム。原動機によって一端に上下運動を与え、他端が打撃作用による掘削を行う。
ウォータウェイ	うおーたうえい	waterway	ビット表面あるいは掘削器具表面に循環水の通りやすいように作られた溝をさす。
ウォータガン	うおーたがん	water gun	水を水中に高速で噴出することによって生じる水蒸気のパブルが収縮する際の衝撃波を用いた非爆薬震源。
ウォータジェット	うおーたじえっと	water jet	軟岩の掘削や岩盤やコンクリートの打継目の洗浄に用いられる高圧噴流。
ウォータジェット加工	うおーたじえっとかこう	water-jet machining	高圧（300MPa程度）の水を細いノズル（約0.2mm）から吹出させて、材料を切断する加工技術。
ウォータジェットドリリング	うおーたじえっとどりりんぐ	water-jet drilling	強力な水流を噴出させることによって削孔するボーリング手段。
ウォータスイベル	うおーたすいべる	water swivel	回転するボーリングロッドにデリバリーホースを接続するために使用される器具。
ウォータタイトトンネル	うおーたたいととんねる	water tight tunnel	完工後はトンネル内への湧水を防ぎ周辺の地下水位を回復させるようにしたトンネル。トンネル全周に防水シートを施し、二次覆工は全水圧に耐える構造とする。都市トンネルに多い。
ウォータトラップ	うおーたとらっぷ	water trap	井戸の仕上げにセメンティングを行う際にチャネリングなどにより水が溜まること。孔内の温度が高い場合には、水の膨張圧により圧潰するため注意が必要。
ウォータハンマー	うおーたはんまー	water hammer pressure	水路管内の流速を変化させることによって発生する圧力波が水路管内に与える圧力。水撃圧ともいう。
ウォータフラック	うおーたふらっく	water frac	鉦床の岩盤などを水圧破砕する際に用いる流体の一種。清水をベースとし、特殊でん粉などを添加する。
ウォータフロント	うおーたふろんと	water front	河川・湖・池・海岸など、水辺に接している土地。
ウォータポケット	うおーたぼけっと	water pocket	井戸の仕上げ時に水和反応や地熱などの影響で注入セメントが硬化できなかったところにできる間隙。
ワード法	うおーどほう	Ward method	特徴の類似したデータを似たもの同士としてグループ化するクラスター分析の一手法。

ウォールビーム	うおーるびーむ	wall beam	鋼アーチ支保工の下部を掘削する場合などに支保工の沈下を防止するため、隣接した支保工を一体化させる梁部材。
ウォールフック	うおーるふっく	wall hook	孔内に残留した掘削具の頭部を孔壁から起こして、孔内の中心に誘導するための器具。
ウォールプレート	うおーるぷれーと	wall plate	トンネルのアーチ式支保工で、アーチ部材基部の補強のために、トンネル軸方向に通して敷く部材。
臥龍寺地すべり	うおーろんしじすべり	the Wolongsi landslide	1955年8月に中国黄土高原地帯で、長雨のあとに黄土の二次堆積物中で発生。長さ幅ともに約650m、最大層厚98m。
ウォッシュアウト	うおっしゅあうと	washout	大気中の粒子やガスが降雨に取り込まれ、大気から除去されること。酸性物質が取り込まれると酸性雨となる。
ウォッシュダウンスピア	うおっしゅだうんすぴあ	washdown spear	ボーリング孔内遺留物回収器具。遺留物の内径を捕えて回収する。安全のために掛はずし自在のものがある。
ウォッシュボーリング	うおっしゅぼーりんぐ	wash boring	ノズル先端から水を噴射しながら、ロッドを上下することにより掘削するボーリング方法。
魚津埋没林	うおづまいぼつりん	Uozu submerged forest	富山県の魚津港で1931年に発見された化石埋没林。樹種は杉が多く約2000年前の河川の氾濫によって埋没し化石化したもの。特別天然記念物に指定され保存されている。
魚沼層群	うおぬまそうぐん	Uonuma Group	新潟地域の上部鮮新～中部更新統。半固結の礫・砂・泥の不規則な互層をなす。固結度の低い砂層は流砂現象を起こしやすい。泥岩の強度は2 MPa程度。
ウォルシュ／アダマール変換	うおるしゅあだまーるへんかん	Walsh-Hadamard transform	直交変換の一つであるアダマール変換の一種。フーリエ変換に比べ、計算が簡易で周波数変換を行う必要がない。
迂回坑	うかいこう	detour drift	トンネル掘削において、不良地質区間の突破・水抜きなどのため、本坑断面外に迂回して掘られるトンネル。
迂回浸透流	うかいしんとうりゅう	detour seepage flow	ダムを取り付け部において、ダムの貯水が地山の透水性のよい部分を通じて流出するときに発生する浸透流。
迂回水抜き工法	うかいみずぬきこうほう	dewatering detour heading	湧水のためトンネル掘削が不可能な場合に、本坑切羽の手前から迂回坑を掘削し水抜きを行う工法。
右岸	うがん	right bank	河川において、上流から下流方向を望んだときの右側の川岸のこと。
浮石	うきいし	fragmented rock, unfixed stone	切取り、自然斜面あるいはトンネルなどの地山の掘削面において、地山から剥離しかかったり、浮き上ったりし、転落の危険がある岩塊および岩片。
浮石落し	うきいしおとし	trimming, scaling	転落の危険性のある浮石を、危険回避のため予め除去すること。

浮金石	うきがねいし	Ukigane ishi	福島県田村郡小野町黒石山産の墓石・建築用石材。中生界はんれい岩（斑糲岩）。
浮き基礎	うききそ	floating foundation	直接基礎の一種。軟弱な地盤において排除した土の重量と構造物の重量をバランスさせて沈下量を押さえる基礎。
浮子式雨量計	うきこしきうりょうけい	float type rain gauge	貯水容器に貯まった降水量を浮子の上昇を利用して計る自記雨量計。
浮子式粘度計	うきこしきねんどけい	float type viscometer	液体の粘度を測定する装置の一つ。液中に浮子を入れて、その移動速度から求める。原理は落球式と同じ。
浮棧橋	うきさんばし	floating jetty, floating pier	船などの浮遊体の上に床板を載せて構築した埠頭。
浮島	うきしま	floating island	湖岸が植生と共にちぎれたり、泥炭が池底から浮上したりするなど、沼地・高位湿原地で水面に浮遊・流動する島。
浮きばかり	うきばかり	hydrometer	ガラス管の端に錘を付けたもので、液体に浮かせた時の液面の位置から液体の比重を測る計器。比重浮ひょうともいう。
ウクライナ楯状地	うくらいなたてじょうち	Ukrainan shield	黒海北部、ドニエプル川下流域に分布する東西約800kmの先カンブリア時代の地塊。
受け盤	うけばん	stratum of opposite dip, anclinal slope	地層面や割れ目などの地質的分離面が、傾斜した地形面や掘削面と逆傾斜かそれに近い状態にある地盤。流れ盤の対語。
雨溝	うこう	rill	軟弱な斜面を流下する雨水の洗掘によってできる細くて浅い溝。
雨溝カッレン	うこうかっれん	rillenkarrén	石灰岩などの炭酸塩岩がCO ₂ を含んだ水により差別的溶食を受けて形成された長くシャープな溝状の凹地。
雨溝浸食	うこうしんしょく	rill erosion	降雨や融雪による水が地表に小さな溝を形成する作用。雨裂浸食（gully erosion）より溝の深さが小さい。シルト～粘土質の地盤に形成されやすい。細溝浸食・細流浸食・リル浸食ともいう。
牛首断層	うしくびだんそう	Ushikubi fault	活断層。確実度 I，活動度 A～B 級，北東方向。富山県大山町から岐阜県大野郡白川村にわたって位置し延長約80km。右横ずれ断層。
羽状節理	うじょうせつり	feather joint	断層に伴って形成される引張節理で、断層面から雁行状に派生する。
雨食	うしょく	rain wash	降水による浸食作用。溶食のような化学的浸食作用と雨滴・表面・雨裂・地隙浸食など物理的浸食作用がある。
宇寿石	うすいし	Usu ishi	愛知県岡崎市滝町・米河内町で採掘されている石材。中生界黒雲母花崗岩。常盤みかげともいう。石灯籠・敷石・柱など用。

有珠火山	うすかざん	Usu volcano	北海道南西部の洞爺カルデラ南に生じた完新世二重式火山。有史以来デイサイト質の円頂丘を多数形成した。
臼杵－八代構造線	うすきやつしろこうぞうせん	Usuki-Yatsushiro tectonic line	九州の中央部を東北東～西南西に延びる多数の断層の集合帯。大分県臼杵と熊本県八代を結び、古くから中央構造線の九州における延長として最も有力視されてきた構造線。この構造線の北側は主に領家帯、南側は秩父帯からなる。
有珠山噴火	うすさんふんか	the 2000 Usu-san eruption	2000年3月31日、23年ぶりに活動した有珠山の噴火。西山西麓と金毘羅山付近に多数の噴火口が形成された。噴火活動の結果、噴石・降灰、泥流、地殻変動などにより家屋や道路などに多くの被害が生じたが、噴火予知に成功し人的被害を最小限に食い止めた。正式名称は「平成12年（2000年）有珠山噴火(the Usu-san eruption, 2000)」。
有珠山噴火	うすさんふんか	the 1977 Usu-san eruption	1977年8月7日激しい噴火が起こり、8月14日までに、4回の大噴火を含む10数回の噴火が断続した。その後1978年10月27日まで噴火が続いた。この噴火により死者2名がでて家屋等に被害が生じた。またこの噴火により「新有珠山」ができた。正式名称は「1977年有珠山噴火(the Usu-san eruption, 1977)」。
渦電流	うずでんりゅう	eddy current	導体内部を通過する磁束の変化に、導体内部のみで渦状に流れる電流。導体の運動を妨げる作用をする。
渦電流式回転型速度計	うずでんりゅうしきかいてんがたそくどけい	eddy current type speed meter	回転する磁石に良導体の円板を近づけると渦電流によって円板を回転させる力が発生し、円板の軸にひげせんまいをつけておくと円板の回転角は磁石の回転速度に比例することを利用した速度計。
渦電流探傷法	うずでんりゅうたんしょうほう	eddy current testing	金属の非破壊検査法の一つ。金属材料を交番磁界中に置いたときの渦電流の量が材料中の欠損によって変化することを利用。
薄肉アーチダム	うすにくあーちだむ	thin arch dam	アーチ中心の曲率半径に対し、アーチ厚さが相対的に薄いアーチダム。
打込み井戸	うちこみいど	driven well	先端付近に取水のための開孔部がある鉄管を地中に打込んで建設した井戸。
打込み杭	うちこみぐい	driven pile	ハンマーなどの動力により地盤中に打込まれて設置される既製杭。
打込みノズル	うちこみのずる	placing nozzle	コンクリートポンプなどにおいて、コンクリートを打込む際に用いられる装置の先端管（筒先）。
打ち継目	うちつぎめ	construction joint	既設のコンクリートと新たに打設したコンクリートとの境界部。
内張石	うちばりいし	lining stone	陶磁器原料など鉄分を嫌う製品を製造する時にボールミルの内面に張る石材。珪岩を用いる。
内巻き	うちまき	inner lining	トンネルの覆工で、地山の状態により2回に分けて覆工を施工した場合の後で施工する覆工。二次覆工。
宇宙写真測量	うちゅうしゃしんそくりょう	space photogrammetry	立体視機能をもつ衛星から観測された一対の画像を用いて地形図作成や標高測定を目的に行う写真測量。

宇宙塵	うちゅうじん	cosmic dust	宇宙空間から降下する微小個体の総称。鉄ニッケル球、珪酸塩からなり直径10～20 μ mの大きさで隕石の粉末など。
宇宙水	うちゅうすい	cosmic water	隕石により宇宙から地球にもたらされた初生水。
宇宙線	うちゅうせん	cosmic rays	宇宙空間に存在する高エネルギー放射線、およびそれらが地球大気に入射してつくる放射線。
宇宙線生成核種	うちゅうせんせいせいかくしゅ	cosmogenic nuclide	宇宙空間において、原子核反応の一種である宇宙線による核破砕反応によって生じた核種。
宇宙測地	うちゅうそくち	space geodesy	宇宙関連技術を用い、超長距離を精度良く測定する測地測量の総称。レーザー測距、電波干渉法、ドップラー観測 (NNSS) などがある。
ウッド・アンダーソン式地震計	うっどあんだーそんしきじしんけい	Wood-Anderson seismograph	リヒターがマグニチュードを定義する際に標準とした光学的記録方式の地震計。現在でも一部で使用されている。
雨滴跡	うてきあと	rain print	細粒砂、シルトならびに粘土など軟らかい堆積物の上に大粒の雨滴が落下したときに生じたくぼみの痕跡。
雨滴痕	うてきこん	rain print	雨滴跡と同義。
雨滴浸食	うてきしんしょく	rainsplash erosion	雨滴の運動エネルギーで地表を打ち、運動量の時間変化による衝撃力で土砂を飛散し剥離・細分する作用。
宇奈月結晶片岩	うなづきけっしょうへんがん	Unazuki crystalline schist	富山県黒部川下流域に南北方向に分布する変成岩類。泥質片岩や石英長石質片岩などからなる。
ウバーレ	うばーれ	uvala	カルスト凹地の一形態で、ドリーネが大きくなって隣り合うドリーネ同士がつながった状態のもの。
ウバロバイト	うばろばいと	uvarovite	$Ca_3Cr_2(SiO_4)_3$ 。立方晶系。硬度6.5～7。比重3.85。超苦鉄質岩中・硫化鉄鉱床中に産する。灰クロムざくろ石ともいう。
ウベローデ粘度計	うべろーでねんどけい	Ubbelohde's viscometer	オストワルド粘度計の改良型の一つ。流下の有効落差が量に関係しないので液を一定量はかる必要がない。
馬追断層	うまおいだんそう	Umaoi fault	活断層。確実度 I，活動度 B～C 級，北北西方向。千歳市東方の馬追丘陵西縁部に位置し延長約15km。逆引き低断層崖が発達。
海砂利	うみじゃり	beach gravel, marine aggregate	海岸や海底から採取する砂利。コンクリートの品質を損なう塩分を水洗いして使用する必要がある。
海砂	うみすな	sea sand	海岸で採取される砂。粒径0.1～0.3 mm程度で分級が良い。

うみゆり類	うみゆりるい	<i>Crinoidea</i>	棘皮動物門の1綱。主に海底に着生。生息期間はオルドビス紀～現世。体は茎部と冠部に大別される。日本の古生界石灰岩には多量に含まれる。
埋込み式ひずみ計	うめこみしきひずみけい	down-hole volumetric strain-meter	岩盤の体積ひずみ変化や3成分の軸ひずみ変化を検出する目的でボアホール内へそう入する、シリコンオイルを封入した円筒形の容器。地震予知のための観測に使用されている。
埋立地	うめたてち	filled-up land	海・川・湖沼などに土砂を盛り立てて造成した人工地盤。これらの大部分は公共水面の埋立地である。
埋戻工	うめもどしこう	back filling	根切りなどの際に余分に掘削された部分を工事終了後に土砂で埋め戻すこと。
埋戻し材	うめもどしざい	back filled material, backfilling material	掘削した後、掘削部の埋め戻しに用いる材料。掘削土を用いる場合と山砂などを使用する場合がある。
羽毛状節理	うもうじょうせつり	feather joint	羽状節理と同義。
浦河沖地震	うらかわおきじしん	the 1982 Urakawa-oki earthquake	1982年3月21日に発生したM7.1の地震。被害は浦河・静内に集中。建物の全半壊のほか小津波もあった。
裏込め	うらごめ	backfilling	擁壁などの構造物の背面に砂利や碎石などを詰めたり、コンクリートを充填するなどして安定を図ること。背面盛土ともいう。
裏込材	うらごめざい	back-fill material	①土留壁・石がきなどの裏込めに使用するぐり石・砂利など。 ②トンネルの覆工と地山の間を生ずる空隙を充填する注入材料。
裏込注入	うらごめちゅうにゅう	back-fill grouting	トンネルの覆工と地山の間を生ずる空隙を充填し、土圧の均等化などを目的として行うモルタルなどの注入。
裏込注入圧	うらごめちゅうにゅうあつ	grouting pressure	トンネルの覆工と地山の間空隙を注入材で充填させる際に、注入材を注入ポンプで圧送する時の圧力。
裏込注入孔	うらごめちゅうにゅうこう	grouting hole	トンネルの覆工と地山の間空隙に裏込材を注入するためにセグメントなどに設けられた孔。
裏込注入率	うらごめちゅうにゅうりつ	grouting rate	地山とセグメントの間のテールボイドの大きさに対する実際の裏込注入量の割合。
浦幌層群	うらほろそうぐん	Urahoro Group	北海道東部釧路支庁の釧路炭田付近の新生界古第三系。6層に区分され下位より淡水～潟沼成層、浅海成層、汽水成層と変化する。主に礫岩、砂岩、泥岩からなり夾炭部を伴う。
ウラル造山帯	うらるぞうざんたい	Ural orogenic belt	ロシアのウラル地方などプレート境界を中心に活動した造山帯。
浦和水脈	うらわすいみやく	Urawa groundwater channel	蔵田延男が提唱した武蔵野から浦和市付近を経て東流する地下水流動帯。深井戸揚水でつくられた強制的な流れ。

ウラン	うらん	uranium	放射性同位体の一つ。元素記号U，原子番号92，原子量238.0。原子力エネルギー源。
ウラン-イオンウム法	うらんいおにうむほう	uranium-ionium method	さんご（珊瑚）の年齢測定法。さんご（珊瑚）の ²³⁴ Uと ²³⁸ Uの比を測定する。
ウラン-キセノン法	うらんきせのんほう	uranium-xenon method	²³⁸ Uの自発核分裂を利用する原理的に可能な年代測定法。同一試料でのXe（キセノン）とU（ウラン）の定量が困難という問題があり，実用化されていない。
ウラン系列	うらんけいれつ	uranium series	放射性同位体のうち ²³⁸ Uから ²⁰⁶ Pbまでの間に配置され，親・娘関係によって結ばれた壊変系列を作る放射性同位体。
ウラン鉱床	うらんこうしょう	uranium ore deposit	ウランの鉱石である閃ウラン鉱，燐灰ウラン石，カルノー石などを産する鉱床。成因には堆積型や鉱脈型など数種類があり，人形峠および東濃のウラン鉱床はいずれも堆積型。
ウラン黒鉛炉	うらんこくえんろ	uranium-graphite reactor	ウランを燃料とし，減速材として黒鉛，冷却材としてガスまたは水を用いる原子炉。
ウラン資源	うらんしげん	uranium resource	経済的に採取可能なウラン資源量をさす。主成分は ²³⁸ Uで，少ない成分の ²³⁵ Uを濃縮して使用。
ウラン資源量評価	うらんしげんりょうひょうか	uranium resources appraisal	地質，放射能探査データなどに基づいて行うウラン資源量の計算。通常，生産コストによる足切りを行う。
ウラン同位体法	うらんどういたいほう	uranium isotope method	ウランの同位体の組成比を利用して地質試料の年代を求める方法。質量または原子数の比率を用いる。
ウラントリウム鉱床	うらんとりうむこうしょう	uranium-thorium deposit	ウランとトリウムをおもな生産金属とする鉱床。鉱脈型鉱床，漂砂鉱床，層状鉱床などがある。
ウラン-トリウム-鉛法	うらんとりうむなまりほう	uranium-lead and thorium-lead method	²⁰⁸ Pbと， ²⁰⁷ Pb・ ²⁰⁶ Pbとの相対量に基づき壊変法則から年代を決定する方法。
ウラン鉛比	うらんなまりひ	uranium-lead ratio	ウランから鉛へと壊変する時の量比。鉛の同位体比から岩石の年代を決める。
ウラン-鉛法	うらんなまりほう	uranium-lead method	鉱物結晶後の年代測定法の一つで，ウランが放射壊変して鉛になる現象（ ²³⁸ U→ ²⁰⁶ Pb， ²³⁵ U→ ²⁰⁷ Pb）を利用。U-Pb法とも書く。
ウラン濃縮	うらんのうしゆく	uranium enrichment	天然ウランに0.7%しか含まれていない ²³⁵ Uの含有割合を大きくすること。
ウラン-ヘリウム法	うらんへりうむほう	uranium-helium method	ウランが放射壊変して鉛になる過程のα壊変で生成される ⁴ Heの蓄積量から行う年代測定。U-He法とも書く。
瓜ヶ坂地すべり	うりがさかじすべり	the Urigasaka landslide	1953年6月28日に佐賀県肥前町で発生した崩壊型地すべり。厚い風化層の存在と大雨が原因。

雨竜層群	うりゅうそうぐん	Uryu Group	北海道空知・留萌支庁境付近の雨竜炭田地域の新生界中～上部始新統。頻海成～湛水～汽水成の含炭層。
雨竜第一ダム	うりゅうだいいちだむ	Uryu-daiichi dam	石狩川水系太釜別川。北海道電力(株)。1943年竣工。堤高45.5mの重力ダム。貯水池面積2,373haは日本最大。
雨竜みかげ	うりゅうみかげ	Uryu mikage	北海道深川市上幌成産の土木・建築用石材。中生界トロニエム岩（白っぽいトータル岩）。
雨量	うりょう	rainfall	降水量と同義だが、水文学では区別して用いられる。ある限られた時間内に水平な地表面または地表の水平投影面に落下した降水の量。
雨量強度	うりょうきょうど	rainfall intensity, rate of rainfall	単位時間における雨量を示し、普通1時間でのmm単位雨量で表示する。降雨強度ともいう。
雨量計	うりょうけい	rain gauge	降水量を測定するための道具。指示雨量計・自記雨量計などがある。最近では広範囲に観測できるレーダー雨量計もある。
雨量係数	うりょうけいすう	rainfall coefficient	①各月降水量の積算値を各月平均気温の積算値で割った値。 ②降水量を地下水位上昇量で割った値。
雨量効率	うりょうこうりつ	precipitation efficiency	降水量Pと蒸発量Eとの比P/Eを意味し、気候の特性を地表の水収支との関係において把握しようとするもの。
雨量指標	うりょうしひょう	index of rainfall	鉄道や道路の通行規制、急傾斜地の避難などに用いられる降雨量の指標。累積雨量、時間雨量、実効雨量など種々の設定方法がある。
雨量図	うりょうず	hyetograph	降雨の時間経過を示す図。時間を横軸、雨量を縦軸にとり、ピーク時の雨量などがわかりやすく表現される。洪水流出解析に用いられる。時間雨量曲線、ハイエトグラフともいう。
雨量・水位テレメータ装置	うりょうすいいてれめーたそうち	telemetering rain and water level gauge	雨量や河川の水位を自動的に観測・記録・送信するシステム。一般に観測局と監視局からなる。
雨量ロボット	うりょうろぼっと	unmanned rain gauge	雨量を無人で自動的に測定する機器。通常転倒ますを用い、一定の雨量毎にパルスを発し遠隔地で記録する。
ウルツ鉱	うるつこう	wurtzite	ZnS。六方晶系。繊維状または六角錐状。硬度3.5～4。比重3.98。樹脂光沢、褐色～黒褐色、閃亜鉛鉱と同質異像。
ウルティソル	うるていそる	ultisol	アルチソルと同義。
ウルフ投影	うるふとうえい	Wulff's projection	ステレオ投影法の一つ。ウルフネットを用いて結晶の測角データや光学的方位を記入する。
ウルフネット	うるふねっと	Wulff's net	ステレオ投影を行うための網面。円の内部に南北両極を結ぶ大円と、これに直交する小円が描いてある。

うるま変動	うるまへんどう	Uruma tectogenesis	琉球列島で、更新世中期に始まった地殻変動で、これによって琉球列島は小さな島の連なりとなった。
ウルマン鉱	うるまんこう	ullmannite	NiSbS. 立方晶系. 硬度5~5.5. 比重6.65 (測定値), 6.793(計算値). 金属光沢, 灰~白色. 硫安ニッケル鉱ともいう。
ヴュルム氷期	うるむひょうき	Würm glacial stage	ウルム氷期と同義。
ウルム氷期	うるむひょうき	Würm glacial stage	更新世の氷期のうち, アルプス地方を基準とする第四氷期の名称で, 四回の亜氷期と二回の亜間氷期からなる。
ウレタン圧入式 フォアパイリン グ	うれたんあつにゆう しきふおあぱいりん ぐ	poly urethane injection forepiling	切羽上部に打設したフォアパイリング用ロッドからウレタンを注入して切羽の安定を図る工法。
雨裂	うれつ	gully	降水により地表に掘り込まれた急な側壁をもつ小規模な溝状の地形. 火山の裾野・マサ地域などによくみられる。ガリともいう。
雨裂浸食	うれつしんしょく	gully erosion	軟弱な地表面にできた雨裂に沿う浸食で, 降雨毎にその浸食は継続的に進展する。植物被覆の少ない未固結の透水性の大きい土質からなる土地で顕著にみられる。ガリ浸食ともいう。
うろこ雲母	うろこうんも	lepidolite	$K(Li, Al)_3(Si, Al)_4O_{10}(F, OH)_2$. Liを含む3八面体型雲母. 単斜晶系・三方晶系. 桃~紫~白~無色で卓上・擬六方・六方柱状結晶. 硬度2.5~3.0. 比重2.8~3.3 (測定値). リシア雲母ともいう。
うろこ構造	うろここうぞう	imbricate structure	同方向に傾斜した衝上断層により, 各地塊がうろこのように一方向に押しつぶしている構造. 覆瓦構造と同義。
上池	うわいけ	upper reservoir	揚水式発電用ダムの貯水池のうち, 上流, あるいは高標高側に位置する貯水池. 上部池, 上部調整池ともいう。
上萱層	うわがやそう	Uwagaya Formation	福島県東部の相馬地域に分布する古生界下部ペルム系坂本沢統. 原町市上萱付近を模式地とする. 主に黒色頁岩からなり, 細粒砂岩, 砂岩・頁岩薄互層を伴う. 一部に薄い石灰岩レンズを伴う。
上平断層群	うわだいらだんそう ぐん	Uwadaira fault group	活断層. 確実度 I, 活動度 B級, 南北方向. 花巻市北方に位置し奥羽山脈と北上河谷を画する. 延長約 32km.
上盤	うわばん	hanging wall	鉱層・鉱脈・断層などの水平ないし傾いた境界面を境とした上側の岩盤。
上向階段採掘法	うわむきかいだんさ いくつほう	overhand stoping	坑道内で階段を逆にしたような切羽の形で, 下方から上方に向かって鉱石を採掘する方法。
雲域放射量	うんいきほうしゃ りょう	radiation amount of cloudy area	大気中に薄い平行な雲を想定し, 雲量での散乱を無視し雲の温度と大気温度は等しいと仮定した場合の放射量。
運河トンネル	うんがとんねる	canal tunnel	船舶の航行を目的とした水路トンネル。

雲高計	うんこうけい	ceilometer	地上に最も近い雲の高さを測る計測器. 投光器からの光の反射を利用して測る.
運積土	うんせきど	transported soil	風化岩石を母材とする二次的堆積物に土壌生成因子が作用した結果生じた土壌.
雲仙火山	うんぜんかざん	Unzen volcano	島原半島中央部に位置する活火山. デイサイト質の火山活動が盛んに繰り返され, 火山麓扇状地が発達した.
雲仙岳寛政噴火	うんぜんだけかんせいふんか	the 1792 Unzendake eruption	寛政4年(1792年)に活動した雲仙普賢岳の噴火. この噴火による地震で島原の町の背後の眉山山体の半分が崩壊し, 土石流となって島原を埋没し, 島原湾から有明海の一部に大津波を引き起こした. この災害による死者は1万5千人を越すといわれ, この災害は島原大変と呼ばれる.
雲仙岳噴火	うんぜんだけふんか	the 1991 Unzendake eruption	平成2年(1990年)11月~平成7年(1995年)の4年半継続して活動した雲仙普賢岳の噴火活動. 1991年6月には火砕流により死者・行方不明者43人を出した. 正式名称は「平成3年(1991年)雲仙岳噴火(the Unzendake eruption, 1991)」.
雲仙普賢岳	うんぜんふげんだけ	mount Unzen-Fugendake	雲仙火山の主峰. 1990年から始まった噴火で山頂に溶岩ドーム形成. 火砕流が多発し降雨時に土石流が頻発した.
運転水位	うんてんすい	working level	揚水発電において発電時に必要な貯水位.
運動エネルギー	うんどうえねるぎー	kinetic energy	運動する質点が有するエネルギー. 質点の質量 m と速度 v で決まり, $mv^2/2$ で表せる.
運搬作用	うんぱんさよう	transportation	流水・氷河・風などにより物質が地表のある場所から他へ移動する現象.
運搬媒体	うんぱんばいたい	transportation medium	物質を運搬, 沈積する媒質で水・大気・氷が主なものであるが, 非碎屑物質は水中で化学的, 生物的に沈積する.
運搬物質	うんぱんぶつ	transportation load	大陸的環境では風・河川・氷河で, 海洋的環境では海流・生物・冰山などで運搬・沈積される物質.
雲母	うんも	mica	$X_2Y_4\sim_6Z_8O_{20}(OH,F)_4$ ($X=K, Na, Ca$, 12配位; $Y=Fe, Mg, Al, Mn, Ti, Li$, 6配位; $Z=Si, Al$ 4配位)をもつフィロ珪酸塩鉱物. 多くは単斜晶完面像~半面像で, 斜方晶異極半面像・三方対掌半面像・六方対掌半面像. 硬度2.5~4. 比重2.75~3.2. 多くの岩石に含まれる. へき開(劈開)性に富み鱗片状に割れやすい.
雲母岩	うんもがん	mica schist	泥質岩起源の結晶片岩. 泥質岩はアルミナに富んでいるので, 白雲母や黒雲母を多量に含有する結晶片岩になる. 雲母片岩と同義.
雲母検板	うんもけんばん	mica test plate	偏光顕微鏡の付属部品. 「四分の一波長板」と同義. 結晶の光学性の判定に利用.
雲母族	うんもぞく	mica group	2八面体型雲母として白雲母・パラゴナイト・イライトなど, 3八面体型雲母として金雲母・黒雲母などがある.

雲母粘土鉱物	うんもねんどこうぶつ	mica clay mineral	雲母族に属する粘土鉱物の総称。イライト，セリサイト，セラドナイト，海緑石などが含まれる。
雲母片岩	うんもへんがん	mica schist	黒雲母・白雲母・石英を主構成鉱物とする結晶片岩で，泥質・砂質堆積岩の広域変成作用によって生じた変成岩。雲母岩ともいう。
雲母みかげ	うんもみかげ	Unmo mikage	愛知県豊田市挙母産石材。中生界黒雲母花崗岩～角閃石黒雲母花崗岩。粗粒。土木・建築・墓石用。
雲量	うんりょう	cloud cover, cloudiness	全天のうち，雲に覆われている天空の比率を示す。快晴ならば雲量0，全天雲ならば10という指標である。
エアガン	えあがん	air gun	(海上)地震探査，音波探査で用いる振源の一種で，高压空気を一気に水中に放出して振動を発生させる。
エアクッションサージチャンバー	えあくっしょんさーじちゃんばー	air cushion surge chamber	岩盤内などの密閉空間内に貯蔵した圧縮空気により，水路系の圧力変動を吸収する調圧水槽。
エアクリート	えあくりーと	aircrete	圧縮空気を用いてコンクリートを打設する装置。トンネルの覆工に用いられる。
エアドリリング	えあどりりんぐ	air drilling	掘削流体として，泥水の代わりに空気またはガスを使用する削孔方法の総称。
エアパッカー	えあぱっかー	air packer	窒素ガスなどを圧入し膨張させることにより，孔壁とロッドとの隙間を塞ぐ方式のパッカー。
エアハンマー	えあはんまー	air hammer	①高压の圧縮空気を動力源とするくい打ちハンマー。 ②閉じ込められた空気の圧力によって生じる打撃現象。
エアボーン探査	えあぼーんたんさ	airborne magnetometer survey	航空機やヘリコプターを利用して空中から行われる広域物理探査。放射能，磁気，重力，電磁探査などに適用される。
エアメータ	えあめーた	air meter	まだ固まらないコンクリート中の空気量を測定する器具。
エアモルタル	えあもるたる	air mortar	モルタルに起泡剤を混ぜて流動性を向上させた材料。主として湧水の少ない山岳トンネルにおける，覆工背面の裏込注入材として用いられる。気泡モルタルと同義。
エアリー相	えありーそう	Airy phase	分散性の波が伝播する過程で振幅が卓越してくる位相。
エアリーの応力関数	えありーのおうりょくかんすう	Airy's stress function	二次元弾性問題での応力関数。重調和関数として与えられる。G. B. Airy(1862)発表。
エアリー波	えありーは	Airy wave	群速度の極値に対応する表面波で，距離減衰が少なく，地震記録上で大きな振幅として現れることがある。

エアリフト	えありふと	air lift	孔井内の液体を地表にくみ上げる方法の一つ。圧縮空気やガスを吹き込むことにより地表に液体をくみ上げる。
エアリフトポンプ	えありふとぽんぷ	air lift pump	圧縮空気を井戸内のある深度以下に吹き込み、水と空気を混合することにより比重を小さくして水をくみ上げるポンプ。効率は悪いが、構造が簡単で故障が少ない。
エアレーション	えあれーしょん	aeration	水を空気と接触させて水に酸素を供給させること。活性汚泥法における重要な操作。ばっ気と同義。
エアロゾル	えあろぞる	aerosol	気体中を漂うコロイド状の固体または液体の微粒子。粒径は数 $10\sim 10^{-3}\mu\text{m}$ で火山灰や煤煙、海塩核などがある。
エアロゾル散乱	えあろぞるさんらん	aerosol scattering	太陽光などがエアロゾル（大気中に浮遊する微粒子）によって反射や屈折をして乱されること。ミー散乱ともいう。
エアロック	えあろつく	air lock	圧気工法により作業を行う際に、作業室内外の人員・材料の出し入れをするために設置する圧力調整用の気密室。
AI	えいあい	artificial intelligence, AI	人工知能。人間の脳の働きをコンピュータ上で再現しようとする試み。複数のコンピュータが共同で問題を解決する分散人工知能などもある。
永久アンカー	えいきゅうあんかー	permanent anchorage	防錆材やシースにより防食性を強化し耐久性を高めたアンカー。法面や建物・鉄塔の固定などに用いられる。
永久河川	えいきゅうかせん	perennial stream	年間を通じて常に表流水を流している河川で、上流域からの恒常的な地下水流出でかん養（涵養）される河川でもある。恒常河川・不断河川ともいう。
A級活断層	えいきゅうかつだんそう	active fault classified as A	変位速度によって活断層を3クラスに分けたうちの最上位。平均変位速度が $1\sim 10\text{m}/10^3$ 年の断層をいう。
永久構造物	えいきゅうこうぞうぶつ	permanent works	自身の耐久性の範囲内において、永久的に設置されることを意図した構造物。
永久硬度	えいきゅうこうど	permanent hardness	煮沸しても析出、沈殿しない形で溶けているカルシウムやマグネシウムの硫酸塩・硝酸塩・塩化物による水の硬度。
永久磁界	えいきゅうじかい	permanent geomagnetic field	各地点ごとにある期間について平均した地磁気の磁場。
永久磁石	えいきゅうじしゃく	premanent magnet	残留磁化、保磁力があり、外的要因による磁気変化に影響されない強磁性体。
永久凍結気候	えいきゅうとうけつきこう	ice climate	最暖月の平均気温が 0°C 以下で殆ど氷雪は溶けることなく、かつ地表は厚い氷に覆われているような気候。氷雪気候ともいう。
永久凍土	えいきゅうとうど	permafrost	極地や亜極地などで少なくとも継続した2冬期を含む年中において 0°C 以下の凍結状態となっている土壌。厚さ数 $10\text{cm}\sim$ 数 100m におよぶ。

永久凍土帯	えいきゅうとうどたい	permafrost zone	極地，亜極地，高山地の下部にしばしば見られる年間をとおして凍結した土層が現れる地域。
永久ひずみ	えいきゅうひずみ	permanent strain	物体に作用させた外力を除去して応力を消滅させても，回復せずに残るひずみ。
永久変形	えいきゅうへんけい	permanent deformation	弾性限界以上の外力を加えた時，外力を除去しても残る変形。
影響円	えいきょうえん	influence circle	井戸など揚水孔から地下水を汲み上げたときに地下水位低下が生じる範囲。影響圏ともいう。
曳航バードシステム	えいこうばーどしすてむ	towed bird system	空中電磁探鉱装置の一つ。受信コイルを内蔵したバードを航空機の後方に曳航する。
衛星画像	えいせいがぞう	space image	人工衛星からみた地球表面の画像。走査型センサを用いた走査画像が一般的で，周期的に観測できる点の特徴。
衛星観測点	えいせいかんそくてん	satellite station	各種の地球物理学的観測において，基準となる観測点に従属する副の観測点。
衛星測地	えいせいそくち	satellite geodesy	人工衛星を利用した測地法で，人工衛星とは無関係な幾何学的方法と人工衛星を考慮した力学的方法がある。
衛星TM画像	えいせいていーえむがぞう	satellite thematic mapper image, satellite TM image	LANDSAT 4, 5号に搭載された機械走査方式のスキヤナによる画像。可視域から熱赤外域まで7波長帯（バンド）で記録。
衛星マルチスペクトルデータ	えいせいまるちすべくとるでーた	satellite multispectral data	LANDSAT 1号から5号まで搭載された機械走査方式のスキヤナによる画像。可視近赤外域を4バンドで記録。
映像面走査方式	えいぞうめんそうさほうしき	image plane scanning method	走査方式による画像形成の方法の一つで，レンズ系を通して形成された映像面を走査する方式。
Aタイプ花崗岩	えいたいふかこうがん	A-type granite	マグマ生成に関わった物質に基づく花崗岩分類の一つ。化学組成上Al ₂ O ₃ , MgO, CaOに乏しく，FeO, Na ₂ O, K ₂ O, Zr, Nb, Y, Ga, F, Clに富む。アルカリに富む火成岩の部分溶融による形成と考えられる花崗岩。Aはanorogenicの頭文字。
HSP	えいちえすぴー	horizontal seismic profiling, HSP	弾性波反射法によるトンネルの切羽前方予測手法の一つ。坑壁に多数の受振機を設置し，坑壁沿いに設置した多数の発破孔の発破による直接波と反射波を測定し，切羽前方にある反射面を解析する。
エイトフ図法	えいとふずほう	Aitoff's projection	エイトフによって考案された半球図から全球図を求める図法。
永年の地殻変動	えいねんてきちかくへんどう	secular crustal movement	長期的に継続するもとの状態に戻らない地殻変動。測地学的方法で検出される。
永年変化	えいねんへんか	secular variation of geomagnetic field	永久磁場も地球内部の原因により緩慢な変化を示すが，数年より長周期の変動を地磁気永年変化という。

鋭敏色	えいびんしょく	sensitive color	鮮やかな赤紫色の干渉色。レターデーシヨンのわずかな変化で干渉色が変わるのでこの名がある。
鋭敏色板	えいびんしょくばん	sensitive color plate	偏光顕微鏡の検板の一つ。結晶の方位を鋭敏に決定することができる。
鋭敏粘土	えいびんねんど	sensitive clay	練り返しを受けた時、構造破壊や拘束水の自由化で強度低下を起こす度合いである鋭敏比が1以上の粘土。
鋭敏比	えいびんひ	sensitivity ratio, degree of sensitivity, remolding sensitivity	乱さない土の一軸圧縮強度と、同一試料で含水を変化させずに完全に練りかえたときの一軸圧縮強度の比。
英仏海峡トンネル	えいふつかいきょうとんねる	Eurotunnel, The Cannel tunnel	ユーロトンネルと同義。
営力	えいりよく	agency	地形・地質現象を形作る力。内的営力として地殻変動・火山活動など、外的営力として流水・地下水・降水など。
ART法	えーあーるていーほう	algebraic reconstruction technique, ART	弾性波トモグラフィでの走時に関する連立線形方程式を逐次近似的に解くための解法の一つ。
AR特性	えーあーるとくせい	auto-regressive characteristic, AR characteristic	流出解析モデルの一種であるフィルタ分離AR法など、時系列データを対象とした自己回帰モデルの特性。
AE	えーいー(あこーすていっくえみしょん)	acoustic emission, AE	材料の微小な破壊に伴って発生する高周波の弾性波で、一般に超音波域のそれを指す。地下空洞周辺の緩み領域の把握や岩石試料による地圧評価に用いられる。破壊音・微小破壊音ともいう。AE法参照。
AEM法	えーいーえむほう	airborne electromagnetic method, AEM method	空中電磁法。小型飛行機・ヘリコプターを利用して空中から比較的浅所の比抵抗を測定する方法。
AE減水剤	えーいーげんすいざい	air entraining and water reducing agent	コンクリート中の微細な気泡を分散させ、コンクリートのワーカビリティを改善し、単位水量を減少させる混和剤。
AEコンクリート	えーいーこんくりーと	air entrained concrete, AE concrete	ワーカビリティ、耐久性などの改善のためにAE剤を混和して、意図的に空気泡を含ませたコンクリート。
AE震源	えーいーしんげん	AE hypocenter	固体が破壊する際にひずみエネルギーを解放して発生する音響パルスの震源。
AE測定	えーいーそくてい	acoustic emission measurement, AE measurement	固体が外力によって変形または破壊していく過程で生じる微小な音(アコースティックエミッション)を測定すること。
AE法	えーいーほう	acoustic emission method, AE method	岩石の過去に受けた最大応力値を境に微小破壊音の発生頻度特性が変化する特性(カイザー効果)を利用し、コア試料で地圧を求める方法。
AAR	えーえーあーる	alkali aggregate reaction, AAR	骨材中のシリカとセメント中のNaOHあるいはKOHが反応し、コンクリートにひび割れなどを生じさせる現象。アルカリ骨材反応のこと。

ASR	えーえすあーる	alkali-silica reaction, ASR	セメント中のアルカリ成分とシリカ鉱物・火山ガラスが反応性物質となる膨張反応。アルカリ・シリカ反応と同義。
ASR法	えーえすあーるほう	anelastic strain recovery method, ASR method	ボーリング岩石試料の非弾性回復ひずみの時間変化から地圧と回復量の関係を定め、地圧を決定する方法。
ASTER	えーえすていーいーあーる	advanced spaceborne thermal emission and reflection radiometer, ASTER	わが国が開発している高空間分解能、高スペクトル分解能光学センサ。1998年打ち上げのEOS AM-1に搭載。
ASTM	えーえすていーえむ	American Society for Testing and Materials, ASTM	アメリカで工業用材料などの標準規格や標準試験法を判定する機構。アメリカ材料試験協会
ASTMカード	えーえすていーえむかーど	ASTM card	鉱物を含む種々の無機有機化合物をその粉末X線回折線の面間距離と強度によって分類したカード。
AFMT法	えーえふえむていーほう	applied field magnetotelluric method	可変周波数の人工電源を用いたMT法。電場と磁場の比から見掛比抵抗曲線を求める電磁垂直探査法の一つ。地熱探査などに用いられている。
AMI	えーえむあい	active microwave instrumentation, AMI	欧州宇宙開発機構で打ち上げたERS-1, 2の主要センサ。映像・波・風などのモードを一体化した複合的マイクロセンサ。
AMT法	えーえむていーほう	audio magnetotelluric method	可聴周波数帯を中心とした自然電磁場を信号源とするMT法。地下数100m程度までの比較的浅い部分の比抵抗構造探査に用いられる。
A型曲線	えーがたきょくせん	A-type curve	比抵抗法垂直探査での測定曲線の型式の一つ。3層構造において、下層ほど比抵抗値が大きい場合に対応する。
A型地震	えーがたじしん	A-type earthquake	水上(1960)が分類した火山性地震のうち、初期微動が明瞭で通常地震と変わらない地震。深さ1～10kmで発生。
AQL	えーきゅーえる	AQL, acceptable quality level	計数抜取検査やサンプルの受容可能な品質レベルを表す値。地籍調査の検査においては指定AQLとして示される。
AKF図	えーけーえふず	AKF diagram	変成岩の岩石化学組成と鉱物共生関係をA, K, Fの3成分を頂点とした三角図で表したもの。ここで $A=Al_2O_3+Fe_2O_3^{3-}(Na_2O+K_2O+CaO)$, $K=K_2O$, $F=FeO+MnO+MgO$
AGF工法	えーじーえふこうほう	all ground fasten method, AGF	トンネルの長尺先受け工法の一つ。通常のトンネルジャンボを使用して削孔し、長さ10～12mの鋼管を挿入後注入を行う方式。注入材はセメント系またはウレタン系などを用いる。
ACF図	えーしーえふず	ACF diagram	変成岩の化学組成と鉱物組成の関係をA, C, Fの3成分を頂点とした三角図で表したもの。ここで $A=Al_2O_3+Fe_2O_3^{3-}(Na_2O+K_2O+CaO)$, $C=CaO$, $F=FeO+MnO+MgO$
AGC	えーじーしー	automatic gain control, AGC	自動利得制御。入力的大小に応じ増幅器利得を増減するための関数で、各種電子機器に利用されている。
AC土壌	えーしーどじょう	AC soil	よく発達したA層位を持っているが、B層位が未発達土壌。C層位の上にすぐA層位がのっている。

エーシーの式	えーしーのしき	Athy's formula	泥質岩の孔隙率と深度との経験的な相関式。圧密に関する式。深度-孔隙率曲線ともいう。
A層位	えーそうい	A horizon	A B C式土壌層位の最上位層。暗色の腐植層をさす場合と構成成分の溶脱層をさす場合とがあり不統一である。
AWAR	えーだぶりゅえーあーる	area weighted average resolution, AWAR	面積重点平均分解能。写真の中心部と周辺部で異なる分解能を同心円環の面積で加重平均して求めた写真全体の平均分解能。
A/D 変換	えーでいーへんかん	A/D conversion	アナログ量をデジタル量に変換する操作。変換方式は精度が良く変換速度が速い逐次方式が使われる。
AP	えーぴー	Arakawa Peil, AP	東京湾霊岸島の量水標で定められた基本水準面で、荒川の零点高。東京都や荒川などでの土木工事基準面として用いられる。
APR	えーぴーあーる	airborne profile recorder, APR	航空機を利用した測地法で、飛行機から発した超短波の地上からの反射を受信して、対地高度を測定し、連続的に記録する方法。
API度	えーぴーあいど	American Petroleum Institute's Baume degree, API's Baume degree	アメリカ石油協会が定める原油・石油製品の品質を示す単位で、超軽質～超重質原油の5段階に区分している。
ABS	えーびーえす	alkyl benzene sulphonate, ABS	アルキルベンゼンスルホン酸（陰イオン界面活性剤）の略。中性洗剤の主要成分で家庭排水、工場排水に含まれる。
ABKセグメント	えーびーけいせぐめんと	ABK segment	シールドの覆工セグメントのうち、一般のものをAセグメント、最後に挿入するものをKセグメント、Kセグメントの両側に配置するものをBセグメントと称する。
ABC土壌	えーびーしーどじょう	ABC soil	表層のA層位、これに続くB層位ともよく発達した土壌。A、BおよびCの各層位が明確。
AVHRR	えーぶいえっちあーるあーる	advanced very high resolution radiometer, AVHRR	NOAA衛星に搭載の可視熱赤放射計。可視近赤外域が2バンド、熱赤外域が3バンドから構成。空間分解能1.1km。
AVNIR	えーぶいえぬあいあーる	advanced visible and near infrared radiometer, AVNIR	ADEOSに搭載され、陸域から沿岸域を対象に可視域から近赤外域まで観測できる電子走査式の光学センサ。
液化石油ガス	えきかせきゆがす	liquefied petroleum gas	プロパンやブタンなどの石油成分中の炭化水素ガスを圧縮または冷却して液体状にしたもの。略語は、LPG。
液状化	えきじょうか	liquefaction	飽和した砂が地震動などで揺られたことで一時的に間隙水圧が急上昇し、せん断強さを失って液体状となること。
液状化応力比	えきじょうかおうりょくひ	liquefaction stress ratio	液状化強度を表すのに用いる繰り返し応力比。繰り返し応力片振幅/初期有効拘束圧で定義。
液状化強度	えきじょうかきょうど	liquefaction strength	繰り返し荷重によってひずみがある大きさを超えるか有効応力が0となった時のせん断応力振幅の初期有効拘束圧に対する比。

液状化試験	えきじょうかしけん	liquefaction test	繰り返し三軸圧縮試験などによって飽和した砂試料に、繰り返し応力を加え、軸ひずみ、間隙水圧の変化などから液状化現象を再現する試験。
液状化対策	えきじょうかたいさく	countermeasure of liquefaction	液状化の可能性を予測し、その影響を評価した上で対策工法を選択・施工し、液状化による被害を予め防ぐこと。
液状化地図	えきじょうかちず	map of liquefaction	ある地震単独の液状化発生地点図と、過去の地震による液状化履歴図および将来起こりうる液状化予測図とがある。
液状化の簡易判定法	えきじょうかのかんいはんていほう	simplified liquefaction analysis	粒度試験結果およびN値に基づく方法で、限界N値との比較や、両者から液状化安全率を求める方法がある。
液状化ポテンシャル	えきじょうかぽてんしゃる	potential of liquefaction	液状化の激しさの程度を示す指標。PLと略される。各層ごとの液状化抵抗率FLに重み関数を乗じ、深度方向に積分したもの。
液状化予測地図	えきじょうかよそくちず	liquefaction potential map	地形・地質やボーリング試料、液状化履歴などの情報をもとに、想定する地震動での液状化の程度を予測した地図。
液状化流	えきじょうかりゅう	liquefied flow	液状化した地盤の構成物質が流体とともに圧力の低い側方や斜面下方に流動すること。固結度が低く飽和度が高い砂地盤などでは地震時斜面崩壊の原因となることがある。
液状化履歴	えきじょうかりれき	historic occurrences of liquefaction	将来の地震に備え、その地区で過去に起こった液状化の歴史を古文書や伝聞、試掘などで明らかにした防災情報。
エクステンションコアバーレル	えきすてんしょんこあばーれる	extension core barrel	同径のチューブを継ぎ足すことにより、長さを増すことのできるコアバーレルのこと。
エクспанションカッター	えきすばんしょんかったー	expansion cutter	孔径拡張用カッター付随のビット。パイプ内に挿入し、内側からの切断を可能とする器具。
エクспанションパッカー	えきすばんしょんぱっかー	expansion packer	パッカーゴムに力を加えて変形させることにより、孔壁とロッドとの隙間を塞ぐ方式のパッカー。
エクспанションビット	えきすばんしょんびつと	expansion bit	掘削孔径を変えるよう調整が可能なビットのこと。
エクспанションプラグ	えきすばんしょんぷらぐ	expansion plug	機械的に膨張させて、ボーリング孔内の特定箇所を密閉する器具。
エクスパンドメタル	えきすばんどめたる	expanded metal	千鳥配列に切れ目を入れた鋼板を両側から引張ることによって製造される菱目状の金属製品。フェンスや側溝の蓋、足場、仮型枠など用途は幅広い。
液性アスファルト	えきせいあすふあと	liquid asphalt	乳化剤、溶剤などを加えた常温で流動性があるやわらかいアスファルト。
液性限界	えきせいげんかい	liquid limit	土が塑性を保つことが出来る含水状態のうち、含水比が高い方の限界。液性限界よりも高い含水比では土は容易に液状化して塑性を保つことが出来ない。

液性限界試験	えきせいげんかいしけん	liquid limit test	溝切した試料土を入れた皿を1cm落下させる操作を繰り返す。両側の土が流れ出して溝の底部で合流させる試験。落下回数25回で合流長が1.5cmとなる含水比を液性限界とする。JIS-A1205, 1999で規定。
液性指数	えきせいしすう	liquidity index	細粒土の自然含水状態における相対的な硬軟の度合い。(自然含水比-塑性限界)/塑性指数で表され、0に近いほど硬く、1に近いほど軟らかい。
液相線	えきそうせん	liquidus	平衡状態にある2成分系において、一定圧力下での各組成の液相中に溶ける固相、気相の組成と温度との関係を示す曲線。
液体クロマトグラフィ法	えきたいくろまとぐらふいほう	LC, liquid chromatography	移動相に液体を用いるクロマトグラフィ法で、複雑な混合物の微量精密分析が可能。
液体酸素爆薬	えきたいさんそばくやく	liquid oxygen explosives	液体酸素を炭素分に富んだ軟質木炭などに吸収させた爆薬。
液体窒素	えきたいちっそ	liquid nitrogen	大気圧下、-196℃で液体として存在する窒素。低温実験、機械の冷却、低温手術等に用いられる。
液体熱量計	えきたいねつりょうけい	liquid calorimeter	ジュワービンと呼ばれる容器に液体を入れ、その温度変化から熱量を求める熱量計。
液体ヘリウム	えきたいへりうむ	liquid helium	液化したヘリウム。最も液化しにくい気体の一つであり、絶対零度まで液体で存在。主に冷却剤として使用。
液体包有物	えきたいほうゆうぶつ	liquid inclusion, fluid inclusion	鉱物が成長するときや割れ目が閉じるときなどに、鉱物内部に閉じこめられた液体のことで、主に水である。
液体包有物地質温度計	えきたいほうゆうぶつちしつおんどけい	fluid inclusion geothermometer	流体包有物地質温度計と同義。
液柱型圧力計	えきちゅうがたあつりょくけい	manometer	水銀などをU字管内に封入して一方を大気圧に開放しもう一方に測定対象の圧力を加えて、その水頭差から圧力を求める装置。
液面計	えきめんけい	liquid-level meter	槽中の液体の底からの高さを外部に示す装置で、液体を外部に導く方法、浮子を浮かべる方法、液圧を測る方法などがある。
エクスカージョン	えくすかーしょん	excursion	古地磁気の測定結果で示される短期間（1万年以内）の磁場方位の変化および磁場強度の低下現象。数万年程度の地磁気逆転期間はサブクロン（以前はイベント）と呼ばれている。
エクスカベーション効果	えくすかべーしょんこうか	excavation effect	中性子検層機により地層の孔隙率を求める場合、含まれるガスによる補正をしても低く評価されること。
エクステンションチューブ	えくすてんしょんちゅーぶ	extension tube	ダブルチューブコアバレルの一部で、インナチューブとコアリフトケースの間に接続する短管。
エクステンソメータ	えくすてんそめーた	extensometer	伸縮計と同義。

エクステンデッドレンジショーラン	えくすてんでっどれんじしょーらん	extended range shoran	電波航法援助システムのショーラン (short range navigation) において、高感度の受信機を使用して電波の最大到達距離を伸ばしたもの。
エクспанション型ロックボルト	えくすばんしょんがたろっくぼると	expansion type bolt	ロックボルトの定着方式のうち、先端のテーパ一部に楔のようにボルト頂部をねじ込んで拡大して固定する方法。
エクソ地向斜	えくそちこうしゃ	exogeosyncline	クラトン周辺部の、正地向斜が上昇に転じて発達した褶曲山地から供給された厚い陸源碎屑物の堆積した地域。地向斜による造山論は現在あまり議論されていない。
エクトダイナモルフィック土壌	えくとだいなもるふいっくどじょう	ectodynamorphic soil	母材以外の土壌生成因子、例えば、気候・植生などの影響が強く現れて生成した土壌。成帯土壌に近い。
エクマンバーヂ採泥器	えくまんばーじさいでいき	Ekman-Birge grab	浅海・湖沼などの採泥・底生生物採集器具。二分割されたバケットをスプリングで閉じて採泥するつかみ取り式採泥器。
エクマンメルツ流速計	えくまんめるとりゅうそくけい	Ekman-Merz current meter	エクマンが発明し、メルツが改良した、プロペラ回転式流速計。
エクロジャイト	えくろじゃいと	eclogite	榴輝岩と同義。
エクロジャイト相	えくろじゃいとそう	eclogite facies	玄武岩質組成の岩石が、エクロジャイトとなる変成相。高压下のある温度・圧力条件を示すと考えられている。
エコーチップ	えこーちっぷ	Equotip	簡易反発硬度測定機の商品名。岩石や岩盤の反発硬度を測定するために使用されている。
エコーメータ	えこーめーた	echometer	水面からの音響反射時間を計測することにより、孔内水位を測定する器具。
江古田植物群	えごたしよくぶつぐん	Egota flora	東京都中野区江古田付近に分布する更新世末期江古田層の泥炭層から産する、冷温帯～亜高山帯気候を示す針葉樹主体の古植物群。
エシェレット格子	えしえれつこうし	echelette grating	反射型回折格子の溝の断面形状を鋸歯状にしたもの。回折効率が高まる。
江尻石	えじりいし	Ejiri ishi	宮城県伊具郡丸森町・角田市角田産の土木・建築・墓石・装飾用石材。中生界閃緑岩・はんれい岩 (斑糲岩)。
エジリン	えじりん	aegirine, aegirine-augite	アルカリ輝石に属し、緑～黒色柱状の結晶で、先端が錐の先のような形状を示す。化学組成は $\text{NaFe}^{3+}[\text{SiO}_6]$ 。エジリン輝石・エジル輝石・錐輝石 (すいきせき) ともいう。
S r	えすあーる	degree of saturation, Sr	飽和度、土中の空隙に占める液体成分の体積百分率。
S I 単位系	えすあいたんいけい	SI units	国際度量衡総会で決まった国際的な統一単位。長さにm, 質量にkg, 時間にs, 電流にA等を採用している。

Si ファブリック	えすあいふあぶりっく	Si fabric	斑状変晶などの中に残された、再結晶以前のファブリック。
SE法	えすいーほう	seismic emission method	地熱活動に特有の微小地震を観測することによって地熱分布などを探査する方法。微小地震の発生域が地熱貯留層あるいは地熱流体の通路と考えられている。
SH成分	えすえいちせいぶん	SH wave	S波のうち粒子の振動面が境界面に平行なもの。反射・屈折でP波が生じないため、S波速度を求める際に利用。
SS	えすえす	suspended solid, SS	懸濁粒子。河川水・海水・湖水などに浮遊する懸濁物質の量で、水質汚濁の指標の一つとされている。
SSP	えすえすぴー	static SP, SSP	低比抵抗で孔隙に富む純粋な砂層における頁岩基線からの静的な自然電位（SP）偏差。
SH波	えすえっちは	SH wave	S波のうち、振動面が境界面に平行な波。境界面での反射・屈折に際してP波やSV波を生じない。
SN比	えすえぬひ	signal-to-noise ratio, SN ratio	光学センサや音響センサなどを規定する項目の一つで、意味のある情報を与える信号電力の雑音電力に対する比。
SFRC	えすえふあーるしー	steel fiber reinforced concrete, SFRC	鋼繊維補強コンクリートと同義。
SFRCライニング	えすえふあーるしーらいにんぐ	SFRC lining	鋼繊維補強コンクリート（SFRC）を用いたトンネル覆工のこと。曲げ強度や引張強度が向上しひび割れしにくい。
SME S	えすえむいーえす（すめす）	superconducting magnetic energy storage, SMES	超伝導コイルに通電した際に生じる磁界に電磁力としてエネルギーを貯蔵する装置。
SMA-1型強振計	えすえむえーいちがたきょうしんけい	SMA-1 type strong motion seismograph	震度3以上の強振動観測用の光学式地震計。軽量小型で記録の自動読みとり装置付。米国内で最も普及している。
SMAC型強震計	えすえむえーしーがたきょうしんけい	SMAC type strong motion seismograph, strong motion accelerometer	地震の加速度に応じて振り子の動きを増幅し、水平2成分、鉛直1成分の加速度を記録できる地震計。
SMW土留め壁	えすえむだぶりゅやまどめへき	soil mixing wall, SMW	土留工法のうち、現場の土砂とプレパクトセメントを攪拌しながら柱列壁を構築する方法。低騒音・低振動で施工が可能で、地下水量が多い場合などに適する。
SLR	えすえるあーる	satellite laser ranging, SLR	衛星レーザー測距。人工衛星にあてたレーザーの反射光を受光して地上点からの距離を測定する。精度は数cm。
SLAR	えすえるえーあーる	side looking airborne radar, SLAR	航空機の進行方向に対し側方に幅の狭いマイクロ波扇形ビームを送りながら地表面の画像を形成するセンサ。
SOM	えすおーえむ	space oblique mercator, SOM	円軌道あるいは楕円軌道の人工衛星用の地図投影法。等積性はないが等角性がある。

SCC	えすしーしー	stress corrosion cracking, SCC	応力腐食割れと同義.
SCP工法	えすしーぴこうほう	sand compaction pile method, SCP method	サンドコンパクションパイル工法と同義.
Sタイプ花崗岩	えすたいぷかこうがん	S-type granite	マグマ生成に関わった物質に基づく花崗岩分類の一つ. 化学組成上Na, Caに乏しくAl, Cr, Niに富むという特徴から泥質堆積岩の部分溶融による形成と考えられている花崗岩. Sはsedimentaryの頭文字.
S値	えすち	S-value	コアの亀裂形状に注目し, 簡単に元の形に組み上げられるコアの積算長. RQDの類似値.
S波	えすは	S wave	実体波の横波. 地震の記象では縦波の後に横波が到達することから, SecondaryのSをとってこう呼ぶ.
S波鉛直探査	えすはえんちよくたんさ	downhole S wave survey	地表で発生させたS波を孔内の複数の3成分地震計で受振し, S波伝搬異方性を検出する探査法.
S波震源	えすはしんげん	S wave seismic source	S波を発生させる震源. 屈折法では板叩き, S波大砲など, 反射法ではパイプロサイス, 重錘落下, 板叩きなどが一般的.
S波速度	えすはそくど	S wave velocity	S波が地盤などの媒質を伝播する速さ.
S波大砲	えすはたいほう	S wave generator, SH gun	SH波による地下構造探査深度を大きくするため, 板たたきの力源を人力から火薬爆発にしたS波発生装置.
Sーバンド	えすばんど	S-band	レーダー周波数帯の一つで波長域7.5~15cm. 周波数2,000~4,000MHz. LANDSAT MSS画像の信号に使われている.
SP検層	えすぴーけんそう	spontaneous potential logging, SP logging	自然電位検層. 孔井内の電気化学的起電力を連続的に測定し, 地層対比や地層水の比抵抗算出に役立つ.
SP減退係数	えすぴーげんたいけいすう	SP reduction factor	PSPとSSPの比. 砂岩内に含まれる頁岩含有の程度を示す一つの指標となる.
SB爆薬	えすぴーばくやく	SB explosives	スムーズブラスティングに用いる爆薬で小口径・低爆速・良好な伝爆性などの特徴を有する.
SP偏差	えすぴーへんさ	SP difference	孔井内の自然電位曲線において, 頁岩基線の電位と砂岩の電位との差. 地層水の塩濃度評価に使われる.
SP法	えすぴーほう	self potential method	地表や地下で分極性鉱床などが発生する自然電位分布を用いた物理探査法の一つ. 硫化鉱の探査が代表的. 自然電位法ともいう.
SP補償	えすぴーほしょう	SP compensation	電気探査比抵抗法で, 大地の自然電位などによる直流ノイズを電気回路と直列に逆電圧を加えて打消す方法.

S V成分	えすぶいせいぶん	SV wave	S V波を参照.
S V波	えすぶいは	SV wave	S波のうち、波の経路を含み境界面に直角な面内に振動面がある波。境界面での反射・屈折でP波を生じる。
Sヘッドウェーブ	えすへつどうえーぶ	S head wave	S波の屈折波初動。記録の先頭にあらわれた波動（臨界屈折波）をヘッドウェーブと称する。
S面	えすめん	S-surface	層理面・片理面・節理面・断層面・褶曲軸面などの面構造。生成順にS0, S1, S2などと区別する。
蝦夷累層群	えぞるいそうぐん	Yezo Supergroup	北海道空知－蝦夷帯を構成する中生界白亜系。
枝ばり式支保工	えだばりしきしほこう	branch strut type of timbering	トンネル工事における木製支保工の組立方法の一種で、枝ばりによって地山を支える。一般に、後光ばり式よりも地圧が少ない場合に用いられた。
エチオピア楯状地	えちおびあててじょうち	Ethiopian shield	アフリカ楯状地と同義。原生代以前の地層よりなり、アフリカ大陸の大半を占める。
越前岬沖地震	えちぜんみさきおきじしん	the 1963 Echizenmisaki-oki earthquake	1963年3月27日に発生したM6.9の地震。敦賀から小浜にかけて住家全半壊6の被害を出した。
エチレングリコール処理	えちれんぐりこーるしより	ethylene-glycol treatment	粘土鉱物をエチレングリコールで処理すること。膨張性粘土鉱物相互、あるいは他の粘土鉱物と区別するための処理。
XML	えつくすえむえる	extensible markup language	SGML (Standard Generalized Markup Language) の一種。データ定義を自由に決められるため、交換の容易なデータベースとして利用されている。特にGIS用に特化したXMLとして、G-XML・GMLが考案されている。
X線	えつくすせん	X-rays, roentgen rays, X-radiation	電磁波の一種であり、透過作用、写真作用等がある。電子を高速度で対陰極に衝突させて発生させる。
X線回折計	えつくすせんかいせつけい	X-ray diffractometer	結晶にX線を照射し、発生した回折X線の強度・角度を自動的に測定し、記録する装置。
X線回折法	えつくすせんかいせつほう	X-ray diffraction method	試料に照射したX線の回折角を測定することにより、試料中の鉱物を同定したり、結晶構造を解析する方法。
X線カメラ	えつくすせんかめら	X-ray camera	X線を鉱物や結晶に照射して、その回折X線をフィルムなどの媒体や検出器などに記録する装置。
X線結晶学	えつくすせんけっしょうがく	X-ray crystallography	X線の原子による散乱干渉現象を利用して、結晶構造や原子配列、回折理論などの研究を行う学問。
X線光電子分光法	えつくすせんこうでんしぶんこうほう	X-ray photoelectron spectroscopy	固体表面分析方法の一つで、高真空下で試料にX線を照射し、発生する光電子を検出し、元素分析を行える。XPSともいう。

X線CTスキャナ	えつくすせんしーていーすきやな	X-ray computed tomography scanner, X-ray CT scanner	X線を利用した断層撮影装置。物質にX線を照射し、透過X線を検出器で検出し断層情報に解析する。
X線写真	えつくすせんしゃしん	X-ray photograph	X線の透過力を利用して、被写体内部の状態を観察または分析するために撮影した写真。
X線造影法	えつくすせんぞうえいほう	X-ray imaging method, X-ray contrast examination	本来X線が透過して抽出できない内部構造を、X線吸収率の異なる物質を造影剤として用いて調べる方法。
X線単結晶法	えつくすせんたんけっしょうほう	X-ray single crystal method	原子の配列が一定の周期性を保っている単結晶鉱物にX線を照射し結晶構造を解析する方法。
X線天文学	えつくすせんてんもんがく	X-ray astronomy	X線や γ 線を観測手段とする天文学の1分野。大気圏外観測が可能になって、多くのX線源が見つかった。
X線透過試験	えつくすせんとうかしけん	X-ray radiography	X線の透過力の違いを利用して物体の内部構造を観察する方法。
X線分光器	えつくすせんぶんこうき	X-ray spectrometer	X線を用いた化学分析に必要な装置の一つで、X線分光結晶、ソーラースリットなどからなる。
X線分光分析	えつくすせんぶんこうぶんせき	X-ray spectroscopic analysis	試料にX線を照射した時に発生する物質特有のX線を分光分析して同定などを行う方法。
X線粉末法	えつくすせんふんまつほう	X-ray powder method	粉末結晶に特定波長のX線を当て、その回折線の位置、強度によって結晶の同定を行なう方法。
X線マイクロアナライザ	えつくすせんまいくろあならいざ	X-ray microanalyser	電子線（X線）を物質の表面に照射し、そこから発生する特性X線を検出し、物質がどのような元素から構成されているを調べる装置。電子線マイクロアナライザと同義。EPMA, XMAともいう。
X線ラジオグラフィ法	えつくすせんらじおぐらふいほう	X-ray radiography method	X線撮影のこと。X線の持つ物質による透過率の違いと写真（感光）作用を利用して物質の内部形態をフィルムに結像させる方法。
\bar{x} -R管理図	えつくすばーあーるかんりず	\bar{x} -R control chart	管理しようとする物をいくつかの群に分けたときのその平均値 \bar{x} （エックスバー）と、分けた群の範囲Rの変動とばらつきにより品質管理を行うために作成される図。
X線粉末回折計	えつくせんふんまつかいせつけい	X-ray powder diffractometer	X線粉末法の測定・記録に用いる装置。
ESSA衛星	えっさえいせい	Environmental Science Services Administration satellite, ESSA satellite	アメリカが打ち上げた最初の実用気象衛星で、1976年まで運用された極軌道気象衛星のシリーズ。
エッジ強調	えっじきょうちょう	edge enhancement	人工衛星による画像データにおいて、対象物の境界や地形の特徴を明瞭にするための画像処理方法。
エッジ効果	えっじこうか	edge effect	空中電磁探査での電導性表層の縁辺や重力・磁気図の縁辺で意味の少ない記録や処理結果が生じること。

エッジ保存平滑化	えっじほぞんへいかつか	edge preserving smoothing	単純な画像の平滑化を行うと、エッジや線も平滑化され画像がボケる。これを防ぐための画像雑音除去の一つ。
HRPT	えっちあーるぴーていー	high resolution picture transmission, HRPT	高分解送画方式。デジタル信号により分解能が高い画像データを送信する方法。
HRV	えっちあーるぶい	high resolution visible instrument, HRV instrument	SPOT衛星に搭載の高分解能光学センサ。空間分解能10mのパンクロモードと20mのマルチモードで観測。
HRV画像	えっちあーるぶいがぞう	high resolution visible instrument image, HRV instrument image	SPOTに搭載された。光分解能光学センサで撮影された画像。
HI	えっちあい	instrument height, HI	測量作業における器械高の略称。水準測量時の望遠鏡の「視準線」標高。(IHも用いられる)
HIRS	えっちあいあーるえす	high resolution infrared rays sounder, HIRS	気象衛星TIROS-N/NOAAシリーズに搭載されている高分解能赤外測定装置。分解能20km, 走査幅±49.5°。
HEM	えっちいーえむ	helicopter electromagnetics	ヘリコプタで探査する空中電磁法。地下の導電性鉱床を広域にわたって探査するのに有効な探査法である。
HEMシステム	えっちいーえむしすてむ	helicopter electromagnetic system, HEM system	HEM装置の総称。低空飛行が可能のため、装置の出力が小さくてすみ利点がある。
H層	えっちそう	H layer	森林土壌の有機物層の最下部をなす層。無機質土壌層(A層位)の上にあって、分解の進んだ黒褐色の腐食。
HDR資源	えっちでいーあーるしげん	hot dry rock resource, HDR resource	高温を有するが、熱水貯留層の発達がない地熱資源。割れ目を造成し、水を注入・生産して熱資源を回収する。
HDT	えっちでいーていー	high density dipmeter tool, HDT	孔井内で、地層の傾斜などを高密度に解析できる測定器。比抵抗方式の電流集束型で高い分解能をもつ。
HDDT	えっちでいーていー	high density digital tape, HDDT	地上受信局において人工衛星からの受信データを復調しデータを記録する際に用いる高密度デジタルテープ。
エッチング	えっちんぐ	etching	①結晶をその不飽和溶液、腐食剤につけ結晶面にできる食像から結晶の不完全性の研究、対称性の決定などに利用。 ②広義には浸食と同義。狭義にはゆっくり進行する地形(地表面)の低下作用。
餌釣鉱床	えづりこうしょう	Ezuri ore deposit	秋田県大館市で1970年代に発見された黒鉱鉱床。地質、化学、物理学的各種探査法を駆使して発見された。
越流型ゲート	えつりゅうがたげーと	overflow gate	ゲートを倒す、あるいは下げるなどして越流させる構造のゲート。その越流量で放流量を調節する。
越流かんがい(越流灌漑)	えつりゅうかんがい	overflow irrigation	傾斜した農地の上部に等高線沿いに設置した水路から用水を谷側へ越流させるかんがい(灌漑)手法。

越流式洪水吐き	えつりゅうしきこう ずいばき	overflow spillway	ダム洪水吐きの一型式で、越流部を自由越流状態で流下させる形式のもの。
越流水頭	えつりゅうすいとう	overflow water head	越流水深を水頭で表したもの。
越流ダム	えつりゅうだむ	overflow dam	洪水などをダム上部の越流部を通して流下させる構造のダム。
越流頂	えつりゅうちょう	spillway crest	越流部の頂（いただき）の部分。
越流堤	えつりゅうてい	dever soir	河川水位がある限度を超えると自然に越流して遊水池へ導かれ、洪水調節されるよう設計された堤防。
越流部	えつりゅうぶ	overflow section	ダムや堰、堤防などにおいて、それを越えて水を流下させる部分。
越流負荷	えつりゅうふか	overflow load	沈殿池の越流堰の単位長さあたりの1日の流出下水量。これにより沈殿池の形状が決まる。
江戸地震	えどじしん	the 1855 Edo earthquake	1855年11月11日に発生したM6.9の内陸直下型地震。地震後出火し、2.2km ² が焼失。建物の倒壊や火災により死者は4千余人にのぼった。
エトナ火山	えとなかざん	Etna volcano	一般にストロンボリ式の活動をする、地中海シチリア島東部のイオニア海に面する活火山。
エトベス補正	えとべすほせい	Eötvös correction	航行する船や航空機上で測定された重力値に対し、地球に対して移動しているために働く遠心力による重力加速度の補正。
エドメータ	えどめーた	oedometer	圧密試験機。
エトリンサイト	えとりんがいと	ettringite	化学組成は3CaO・Al ₂ O ₃ ・3CaSO ₄ ・32H ₂ O。高含水比の軟弱地盤を安定化させる時などに用いられる。
恵那石	えないし	Ena ishi	岐阜県恵那郡蛭川村・中津川市苗木地区などで採掘されている白色・細～中粒黒雲母花崗岩。柴田秀賢（1939）によって苗木花崗岩と命名されている。
江名子断層	えなごだんそう	Enago fault	活断層。活動度B級、東北東方向。岐阜県高山市南部に約11kmに渡って伸びる右横ずれ。
恵那山断層	えなさんだんそう	Enasan fault	活断層。確実度I、活動度B～C級、北東～東北東方向。岐阜県岩村町南部に位置し延長約40km。岩村断層とも呼ぶ。
恵那山トンネル	えなさんとんねる	Enasan tunnel	中央自動車道の長野・岐阜県境にある延長8,625mの道路トンネル。I期線は1975年、II期線は1985年完成。地質は長野方が花崗岩、岐阜方が濃飛流紋岩で最大土被りは約1,000m。長平沢断層などでは100cmを超える内空変位など大きな変状が生じた。

エナメル質	えなめるしつ	enamel	脊椎動物の歯の表層を構成する高度に石灰化した硬組織で、固さゆえに化石として残りやすい。
NEPEC	えぬいーぴーいー しー	National Earthquake Prediction Evaluation Council, NEPEC	米国地震予知評価会議。1979年発足。地震発生に関する情報の公表に関して、米国地質調査所の長官に勧告する。
Na型ベントナイト	えぬえーがたべんと ないと、なとりうむ がたべんとないと	Na-type bentonite	スメクタイトを主体とする微粒の粘土であるベントナイトの中で、特に膨潤性が高い特徴を持つ。
NNSS	えぬえぬえすえす	Navy Navigation Satellite System, NNSS	米国海軍航行衛星システム。複数のNNSSを数日間観測し、後日得られる精密軌道情報を用いた解析で測位。
NMO補正	えぬえむおーほせい	normal move out correction, NMO correction	反射波記録の処理法で、同一反射点の受振点距離による到達時間の遅れを受振点距離0の時間に補正すること。
N次谷	えぬじだに	N th order valley	水系網において、本・支流を数値を使って格付けする際の谷次数（水流次数）。流域の出口で必ず最高次数となる。
N値	えぬち	N-value	標準貫入試験で得られる打撃回数で地盤の力学的性質の指標。地盤の各種物性値との関係が求められており、設計用地盤定数の設定や液状化の判定などに用いられている。標準貫入試験参照。
NTL工法	えぬていーえるこう ほう	new tunnel lining method, NTL method	吹付コンクリートにかわるトンネル一次覆工の方式として考案された移動式の型枠などを用いてコンクリートを壁面に付着させる工法の総称。
NP	えぬぴー	non plastic, NP	非塑性の土を表す。液性限界または塑性限界が求められない場合、および塑性限界が液性限界以上となった場合に用いる。
NVI	えぬぶいあい	normalized vegetation index, NVI	正規化植生指標。衛星の多バンドデータから計算される植生状況を示す指標でグローバルな把握に有効となる。
エネルギー備蓄施設	えねるぎーびちくし せつ	energy storage facility	エネルギー危機に備えて、原油・LPGなどを備蓄しておくための施設。大規模地下空洞などがある。
エネルギー分散型X線分光器	えねるぎーぶんさん がたえつくすせんぶ んこうき	energy dispersive X-ray spectrometer	EPMAの一種で、半導体検出器で広エネルギー範囲の特性X線のスペクトルを同時に測定するもの。
江の浦石	えのうらいし	Enoura ishi	静岡県沼津市江ノ浦産の土木用石材。新第三系安山岩・凝灰岩。
江島地すべり	えばたけじすべり	the Ebatake landslide	1938年9月に徳島県神山町で発生した破砕帯地すべり。台風による大雨が原因で厚い崩積土が基盤岩上を滑落した。
エピクラスティック火山角礫岩	えびくらすていっく かざんかくれきがん 礫岩	epiclastic volcanic breccia	本質火砕物が二次的に運搬されてできた角礫を主とする火山性堆積岩。
エピサーマル金鉱床	えびさーまるきんこ うしょう	epithermal gold ore deposit	マグマ起源の上昇熱水溶液から地下浅部でかつ低温条件下で生成した金鉱床（割れ目充填、網状、角礫状など）。

EBCDIC	えびしでいっく	extended binary coded decimal interchange code, EBCDIC	拡張2進化10進コード。英数字と記号を8ビットのコードとして表現するもので、IBM社が開発したコード。
えびの地震	えびのじしん	the 1968 Ebino earthquake	1968年2月21日に発生したM6.1の局地的地震。大きな前震と余震がみられた。建物の倒壊と山崩れが多かった。
FRP管	えふあーるぴーかん	fiberglass reinforced plastic pipe, FRP pipe	ガラス繊維を主な補強材とする強化プラスチック管。
FRPボルト	えふあーるぴーぼると	fiber reinforced plastic bolt, FRP bolt	繊維強化プラスチックによって製造されたロックボルトのこと。金属製のボルトに対して、電食や耐酸性に優れている。切羽の補強にも用いる。
FIT	えふあいていー	formation interval tester, FIT	検層孔井内に降下させ、任意の深度の地層から流体サンプルを採取する装置。
FIP	えふあいぴー	Federation Internationale de la Precontrainte, FIP	国際プレストレストコンクリート連盟。1982年5月発足。アンカー分科会があってアンカーの基準を定めている。
FEM	えふいーえむ	finite element method, FEM	有限要素法。連続体を細かく分割し、各要素毎の応力-変形などの関係を求め、全体を解析する数値解析手法。力学、浸透流、流体など各種の解析に用いられている。
FFT	えふえふていー	fast Fourier transform, FFT	高速フーリエ変換。有限離散データのフーリエ成分をデジタル計算機で高速に計算するためのアルゴリズム。
FMC	えふえむしー	forward motion compensater, FMC	航空撮影時のカメラのシャッターが開いている間のブレによる画像の劣化を防止する機能。
F層	えふそう	F layer	森林土壌など陸地土壌の表層に集積した腐植の層で、黄褐色ないし赤褐色を呈し植物組織を肉眼で識別できる。
FWD	えふだぶりゅでいー	falling weight deflectometer, FWD	落錘式たわみ測定装置。道路舗装面に車両の接地圧に近い荷重を動的に加え、舗装表面のたわみを測定する装置。舗装面の非破壊検査に用いられる。
F値	えふち	F number	レンズの中央部分の明るさを示す指標。レンズの焦点距離をf、光学系の直径をDとすると、 $F=f/D$ となる。
FDC	えふでいーしー	formation density log compensated, FDC	二つの検出器を有し、マッドケーキおよび孔径の凹凸による影響を測定値から補正する補償型密度検層器。
F-P時間 (Td)	えふぴーじかん	duration of an earthquake, F-P time	地震動継続時間。P波の初動からコーダ波の終わりまで。Tdは震央距離ではなくマグニチュードによって決まる。
江間石	えまいし	Ema ishi	静岡県田方郡伊豆長岡町産の建築・白など用石材。新第三系凝灰岩・凝灰角礫岩。
エマルジョンマッド	えまるじょんまっど	inverted oil emulsion mud	ボーリング用泥水の種類。合成樹脂の微粒子を水中に分散させたもので、地熱井など高温となる場所で用いられる。

MIT サンプラ	えむあいていさんぶら	MIT sampler	塑性の強い粘土層の試料を採取する特殊シングルチューブ.
MIP 法	えむあいぴーほう	magnetic induced polarization method, MIP method	2点間に流した一次電流によって発生した鉱体分極の放電電流を磁場の変化として測定するIP法.
MSR	えむえすあーる	microwave scanning radiometer, MSR	MOS衛星に搭載されたマイクロ波走査放射計. 23GHzと31GHzの2バンドで観測幅317km. 水蒸気・水・雪の観測用.
MSS	えむえすえす	multispectral scanner, MSS	多重スペクトル走査型放射計. リモートセンシングの代表的映像化センサ.
MSL	えむえすえる	mean sea level, MSL	海水面の上下運動の観測値から平均値を計算することによって求められた海水面. ジオイドの決定や地殻変動調査に不可欠. 平均海水面と同義.
MSK 震度階	えむえすけーしんどかい	Medvedev-Sponheuer-Karnik intensity scale, MSK intensity scale	地震動の強さを世界的に統一するため, 1964年に提案された12階級からなる震度階. 日本では採用されていない.
MS 発破	えむえすはっば	millisecond blasting, MS blasting	設置した発破孔の爆発順序を10~50 ミリセコンドずつ遅れさせて行う発破法. MS 電気雷管を用いる. ミリセコ発破ともいう.
MSU	えむえすゆー	microwave sounding unit, MSU	NOAA衛星に搭載されたマイクロ波放射計. 53GHzのO ₂ の吸収帯を用いて気温を分解能110km, 走査幅47.35°で測定.
MF	えむえふ	metal factor, MF	金属係数. 金属鉱床に対する周波数IP法などにおいて, IP効果を表現する量. 周波数効果を比抵抗で除して求める.
MM 震度階	えむえむしんどかい	modified Mercalli intensity scale, MM intensity scale	改正メルカリ震度階. 12階級からなり欧米で広く採用された. 現在でも米国やイタリアなど地震多発国で使用.
MLM	えむえるえむ	maximum likelihood method, MLM	尤度関数を最大にするモデルのパラメータを選択して, 近似的に真の分布に一番近いモデルを得るための方法.
MORB 組成	えむおーあーるびーそせい (もるぶそせい)	mid-oceanic ridge basalt composition, MORB composition	大洋中央海嶺系の玄武岩類に特徴的な化学組成.
MKSA 単位	えむけーえすえーたんい	MKSA system of units	長さ (メートル(m)), 質量 (キログラム(kg)), 時間 (秒(s)), 電流 (アンペア(A)) の4つを基本単位とする単位系.
MKS μ 単位系	えむけーえすみゆーたんいけい	MKS μ system of units	MKS 基本単位系に第4の独立量として, 真空の透磁率 $\mu_0=4\pi \times 10^{-7}$ H/mとした単位系.
M層	えむそう	M layer	尾根など乾燥しやすい場所で, マツ・モミなどの根につく菌根の菌糸束などが集積して形成される. 菌糸網層ともいう. 土壌の乾性の指標となる.
Mタイプ花崗岩	えむたいぶかこうがん	M-type granite	マグマ生成に関わった物質に基づく花崗岩分類の一つ. 化学組成上CaOに富み, Iタイプに比較してNa ₂ Oに富む. アルカリに乏しい火成岩の部分熔融による形成と考えられる花崗岩. Mはmantleの頭文字.

MWD ツール	えむだぶりゅでい つーる	measurement while drilling tool, MWD tool	坑井掘削時の坑底情報（温度、圧力、方位、傾斜、ビット荷重など）をリアルタイムで検知・解析する装置。
MT F	えむていーえふ	modulation transfer function, MTF	撮像系の解像力特性を与える関数で変調伝達関数。空間周波数での撮像系のレスポンスの低下の度合いを表す。
MT 法	えむていーほう	magnetotelluric method	自然電磁場を用いる電磁探査法の一つ。地磁気擾乱による誘導電場と磁場の比の測定によって地下の比抵抗分布を求める。地磁気地電流探査、地磁気地電流法、マグネトテルリック法ともいう。
M 波	えむは	M wave	層状媒質を伝わるレイリー波の総称で分散性を示す。大別してM1・M2波の2種類がある。
MB A S	えむびーえーえす	methylene blue anionic surfactants, MABS	メチレンブルー陰イオン系界面活性剤。河川や海洋における濃度測定値は都市排水による水質汚染の指標となる。
MB C	えむびーしー	micromechanics-based continuum, MBC	岩盤中に存在する不連続面を考慮した連続体解析法。卓越する不連続面の走向傾斜や間隔を考慮し亀裂の開口やせん断変位の空間分布を評価できる。
エメラルド	えめらんど	emerald	緑柱石のうちで濃緑色透明なものをさし、古くから宝石として珍重されている。硬度7.5～8。
エメラルドパール	えめらんどぱーる	emerald pearl	装飾的価値のある石材の商品名で、アルカリ閃長岩の一種。
エメリー管	えめりーかん	Emery's tube	砂質堆積物の沈降法による粒度分析に用いるガラス管。外形は長さ約1m、内径約3cm。
エメリー式万能材料試験機	えめりーしきばんの うざいりょうしけん き	Emery type universal testing machine	荷重によって油圧が変化するエメリーセルを荷重計の受感部に用いた万能材料試験機
江持石	えもちいし	Emochi ishi	福島県須賀川市江持産の建築・墓石用石材。第四系溶結凝灰岩。須賀川石と同じ。石材業では「安山岩」として扱われており、江持安山岩と呼ばれることもある。
エラストイックチューブ	えらすていっく ちゅーぶ	elastic tube	ロータリー式スリーブ内蔵二重管サンブラ。これを使用した場合、コアの採取率が向上する。
エラストメータ	えらすとめーた	elastmeter	等分布載荷法による孔内載荷試験に用いられる機種の一つ。
エイリアス効果	えりあすこうか	aliasing	連続量を読みとって離散的な数列に直すときに、高周波成分が見掛け上低周波成分に変換されてしまう現象。
襟裳堆	えりもたい	Erimo tai	襟裳岬の南東約45kmに位置する浅堆。頂部深度は153m。海底に先新第三系が露出する。
L A S A	えるえーえすえー	large aperture seismic array	地震計群列観測網。ある範囲に数多くの地震計を設置して観測することにより、地震波の面的解析が可能となる。

LNG	えるえぬじー	liquefied natural gas, LNG	液化天然ガス。天然ガスを冷却して液体にしたもので、体積が小さくなり運搬が容易になる。
LNG冷熱発電	えるえぬじーれいね つはつでん	LNG cold energy power generation	液化天然ガス(LNG)の冷熱(-160℃)と海水の温度差を利用した発電方式。LNGを直接またはプロパンなどの媒体を海水の温度で気化・膨張させてタービン発電機を回転させた後、LNGで冷却・液化させるサイクルによって発電を行う。
LMG	えるえむじー	liquefied methane gas, LMG	常圧で液化したメタンガス。液化温度は-161.5℃。メタン含有率の高い液化天然ガスをさす場合もある。
LL7	えるえるせぶん	Laterolog-7	電流収束型電気検層器の一種で、商品名。電極数が7個あるのでこの名称がある。
L型擁壁	えるがたようへき	L-shaped type retaining wall	壁の自重・底板上部の土砂の重量などで、土圧に抵抗して盛土の安定を図るL字型をした擁壁。
エルグ	えるぐ	erg	①エネルギーのCGS単位。物体が1 dynの力で1 cm変位したときのエネルギーが1エルグ。1dyn=10 ⁻⁷ N・m。 ②地形学では、安定陸塊の砂漠にある平らな広い平原。砂漠の意味で使われることもある。
LCM泥水	えるしーえむでいす い	lost circulation material drilling mud, LCM drilling mud	地表と坑底との間を循環させる掘削用流体で、逸水管所を塞ぐための材料(雲母片、樹皮、綿の実の殻など)を添加したもの。
ERSDAC	えるすだっく	Earth Resources Satellite Data Analysis Center, ERSDAC	(財)資源・環境観測解析センター。石油・金属の地下資源探査から環境までのリモートセンシング研究開発を行う。
L-節理	えるせつり	L-joint	褶曲の発達時に形成される節理の一種で、層理面に平行な節理。層面節理(bedding joint)ともいう。
L層	えるそう	L layer	陸地土壌の有機物層で、落葉、落枝がほとんど原形を保って堆積しており、直下部にF層のあることが多い。葉積層ともいう。
LWR	えるだぶりゅあーる	light water reactor, LWR	軽水炉と同義。
エルチチョン噴火	えるちちよんふんか 火	the 1982 El Chichon eruption	メキシコ南部のエルチチョン火山で1982年3月28日に発生した噴火。大量の火山灰が成層圏に達し、エアロゾルを形成。長期間滞留して世界的に影響を与えた。
LDT	えるでいーていー	local deformation transducer, LDT	帯状の金属板にひずみゲージを貼付したもので、一軸圧縮試験・三軸圧縮試験の供試体側面の軸方向変位を精密に測定するために用いられる。
エルトラン配置	えるとらんはいち	Eltran electrode arrangement	電気探査での電極配置の一種で、ダイポール・ダイポール法とも呼ばれる。IP法や二次元探査で用いられる。
エルトリエーション法	えるとりえーしょん ほう	erutriation method	粒度試験法の一種で、土粒子のサイズと運搬速度の関係から粒度分析する。
LPG	えるぴーじー	liquefied petroleum gas	液化石油ガスのこと。

LPG地下備蓄	えるぴーじーちかびちく	LPG underground storage	地下100m程度の岩盤中に空洞を掘削し、常温高压のLPGを水封式で貯蔵する方法.
エレクター	えれくたー	erector	シールドトンネルにおけるセグメントや山岳トンネルの支保工を所定の位置に据付けるための装置.
エレメント継手	えれめんとつぎて	immersion joint, intermediate joint	地中連続壁や沈埋工法トンネルなどで、各エレメントを接合する継手の部分. 止水性の高い継手構造.
エロージョン	えろーじょん	erosion	一般的には浸食のこと. 地熱井では酸性流体を産出する場合、腐食と相まってケーシングパイプが損傷すること (エロージョン・コロージョン)
エロージョンドリル	えろーじょんどりる	erosion drill	浸食ドリルと同義.
EROSデータセンタ	えろすでーたせんたセンタ	EROS Data Center, EDC	EROS計画を実施する目的で米国地質調査所の一部として1972年サウスダコタ州に設立された組織.
縁海	えんかい	marginal sea	島弧の内側に位置する内海で背弧海域ともいう. 大洋地殻を持つ海盆の存在、高い熱流量の観測が基本的特徴.
縁海拡大軸	えんかいかくだいじく	axis of marginal sea spreading	プレートテクトニクス理論において、大陸と島弧の間に存在する縁海を生じさせた海洋底拡大の軸.
縁海盆	えんかいぼん	marginal basin	日本海などの縁海を構成する海底の盆地. 縁海が複数の盆地を含むことも多い.
偃角	えんかく	hade	地層・鉱層・鉱脈・断層などの傾斜角の余角. 鉱山用語として使われた.
遠隔雨雪量計	えんかくうせつりょうけい	long-distance rain and snow gauge recorder	山岳部などの遠隔地に設置された観測点の雨量や降雪量を、観測事務所に無線などにより送信する装置.
遠隔水位計	えんかくすいけい	long-distance water-stage recorder	山岳部の溪流や接近の難しい遠隔地の観測点の水位を、無線などで観測事務所などに送信する装置.
遠隔探査	えんかくたんさ	remote sensing	遠方から物体や地表の形状、性質を観測、測定することをさす. 電磁波を利用する場合は一般にリモートセンシングと称される.
塩化ナトリウム	えんかなとりうむ	sodium chloride	天然にも産す無色立方晶系結晶 (無水塩) NaCl. 潮解性を示し、製造原料、調味料、動物体内に必要な物質.
塩化鉛鉱	えんかなまりこう	cotunnite	PbCl ₂ . 斜方晶系、硬度2.5. 比重5.8. 無色～黄緑色、イタリアのベスビオ火山の噴気孔中で発見. その他に方鉛鉱の変質鉱物としても産する.
塩化ビニル	えんかびにる	vinyl chloride, chloroethylene	アセチレンと塩化水素から合成する等の方法で生成される無色可燃性気体 (H ₂ C=CHCl) .

塩化物含有量試験	えんかぶつがんゆうりょうしけん	chloride content test	土中の塩素イオン量を測定する試験。イオン交換クロマトグラフィ法、吸光光度法、硝酸第二水銀法およびモール法などがある。
沿岸域	えんがんいき	littoral zone	海岸線に沿う陸側の部分または浅い海の部分をさし、地形変化の活発な帯状の地域で、人間生活の舞台となる。
沿岸州	えんがんす	barrier	海岸の前面に潟を隔て、海岸線にほぼ平行に発達する堤防状の砂州。
沿岸性堆積物	えんがんせいたいせきぶつ	littoral sediment	海浜の外浜以内の地域に堆積する波浪の影響を強く受けて形成される堆積物をさし、様々な特徴的堆積構造を有する淘汰のよい砂、礫などからなる。
沿岸帯	えんがんたい	nearshore zone, littoral zone, inter tidal zone	①生物学では潮間帯と同義で干・満潮線間の海底。海岸における最も環境変化の激しい部分である。 ②地形学では砕波帯と汀線の間のこと。
沿岸低地	えんがんていち	coastal lowland	汀線とその背後地の山地・丘陵・段丘などの高地との間に発達する様々な成因を持つ低地の総称。
沿岸漂砂	えんがんひょうさ	littoral drift	砕波帯から沖浜にかけての海底で、沿岸に沿った方向の流れや波によって砂や礫が運ばれること。
沿岸漂流	えんがんひょうりゅう	longshore drift	海岸線に斜交して浜に寄せる砕け波や風で沿岸流を生じ、それによって堆積物が沿岸を移動する現象。
沿岸流	えんがんりゅう	longshore current	海岸線に斜交して浜によせる砕け波や海岸線に斜交して陸に吹く風によって発生する海岸に平行な流れ。
塩基交換容量	えんきこうかんりょう	basic exchange capacity	粘土の膨潤性を表す指標の一つで、交換性陽イオン(Na, K, Caなど)の総量をmeqで表す。CECともいう。
塩基性	えんきせい	basic	①塩基の性質を持つこと。水酸化物イオン濃度が水素イオン濃度より大きい水溶液。 ②岩石では火成岩の分類において、珪酸(SiO ₂)の含有量が50重量%前後の組成を持つもの。
塩基性化作用	えんきせいかさよう	basification	花崗岩質地殻(大陸地殻)が玄武岩質地殻(大洋地殻)に変化する作用。
塩基性岩	えんきせいがん	basic rock	岩石の化学組成による分類の一つ。SiO ₂ が重量で45～52%の間に入る火成岩。
塩基性片岩	えんきせいへんがん	basic schist	珪酸(SiO ₂)の含有量が50重量%前後の組成を持つ火成岩起源の結晶片岩。
エングラー粘度計	えんぐらーねんどけい	engler viscometer	金属製の液だめの底部にあけた小さな穴から一定量の液体が流出する時間によって粘度を測定する。主に石油工業で使われる。
円形基礎	えんけいきそ	circular foundation	フーチング基礎およびケーソン基礎において底面が円形な基礎の総称。

塩湖	えんこ	salt lake	総固形物質が500mg/リットルを超える湖。降水量に比し蒸発量の多い無排水湖・岩塩・石灰岩地域・火山地帯のものなど。
縁溝	えんこう	marginal furrow	①高緯度地方の大陸棚内側にみられる深さ数百m、海岸線に平行に数百kmも続く溝。 ②さんご（珊瑚）礁の礁原外帯に多く存在する小さな溝地形。
炎光分光分析	えんこうぶんこうぶんせき	flame spectrometry	炎の熱で励起された原子やイオンから出るスペクトルの波長から定性分析を、その発光強度から定量分析を行う。
円弧すべり	えんこすべり	circular slip	すべり面の形状が円弧となる地すべり。材料が均質な場合に発生しやすい。
円弧すべり面法	えんこすべりめんほう	circular arc method	斜面の安定計算や地盤の支持力算定法の一つで、すべり面を円弧と仮定して解析する方法。摩擦円法と分割法がある。
塩酸処理	えんさんしょり	acid treatment	特定の鉱物を除去または洗浄するために、試料を塩酸中に浸すこと。X線回折法において、スメクタイトと緑泥石との区別に用いられる処理。
塩山みかげ	えんざんみかげ	Enzan mikage	山梨県塩山市大菩薩峠付近一帯産の土木・板石用石材。新第三系石英閃緑岩。
燕山運動	えんしゃんうんどう	Yenshanian movement	中国大陸東部における中生代後期に起こった大規模な断層・褶曲を伴う地殻変動で、同時期に環太平洋地域で同様の変動を生じている地球規模の変動の一環。
燕山造山運動	えんしゃんぞうざんうんどう	Yenshan orogenesis	中国大陸に認められる中生代の造山運動に与えられた名称。燕山は北京の北にある山脈の名。
遠州海盆	えんしゅうかいぼん	Enshu basin	伊勢湾の湾口部東側遠州灘の大陸斜面南側に広がる水深1,000～1,400mの平坦面。
炎色反応	えんしょくはんのう	flame reaction	アルカリ金属やアルカリ土類金属などの塩類を強熱すると金属原子が励起され、各金属特有の光を発する現象。
遠心含水当量	えんしんがんすいとうりょう	centrifuge moisture equivalent	飽和した土が1時間にわたって重力の1,000倍の遠心力により脱水された後の含水比。
遠心載荷装置	えんしんさいかそうち	centrifuge loading apparatus	試料を回転する箱の中に置き、遠心力を作用させた状態で実験を行う装置。
遠心分離法	えんしんぶんりほう	centrifuge separation method	ウラン濃縮法の一つ。遠心力を加えたときに原子量の大きいものほど外側に集まる性質を利用する。
遠心力	えんしんりょく	centrifugal force	回転している物質に作用する外向きの見掛けの力。求心力と大きさが等しく、反対方向。
遠心力コンクリート	えんしんりょくこんくりーと	spun concrete	コンクリートを円筒形の型枠に流し込み、高速回転させて成形・締固めをしたコンクリート製品。

遠心力コンクリート杭	えんしんりょくこんくりーとぐい	centrifugal concrete pile	型わく内のコンクリートを高速回転して作成した杭。遠心力によってコンクリートは締固められ高強度が得られる。
遠心力載荷試験	えんしんりょくさいかしけん	centrifuge loading test	遠心載荷装置を用いて縮小模型に実物と同じ自重応力を作用させる試験。応力やひずみを実物と相似させられるメリットがある。
遠心力鉄筋コンクリート管	えんしんりょくてっきんこんくりーとかん	centrifugal reinforced concrete pipe, reinforced spunconcrete pipe	円筒形の型枠に鉄筋で作ったかごとコンクリートを入れ、遠心力を利用して締固め、製造した管。ヒューム管。
塩水	えんすい	brine water, saline water	蒸発や塩分の溶出により、塩分濃度が高い天然水の一般名。代表的なものに油田塩水がある。
塩水化	えんすいか	salinitization	海岸地域の地下水開発が進んで水位が低下した際に起こる、海水が進入して地下水の塩分濃度が上昇する現象。
円錐火山	えんすいかざん	conical volcano	火山砕屑物と溶岩が積み重なって円錐状になった火山。成層火山と同義。
円錐カルスト	えんすいかるすと	cone karst	特に熱帯・亜熱帯地方にみられるやや丸味を帯びた山頂と急傾斜をなす山腹からなる石灰岩の丘。
円錐貫入試験	えんすいかんにゅうしけん	cone penetration test	コーン貫入試験と同義。
塩水くさび	えんすいくさび	salt-water wedge	河口において、その密度差から海水がくさび状をなして河川水の下に潜り込んで遡上する海水浸入の形態。
円錐形岩床	えんすいけいがんしょう	cone sheet	平面的には厚さ数m以下の同心円群で立体的には共通の点に収れんする傾斜45°内外のロート状岩床群。
円錐形ミキサ	えんすいけいみきさ	conical mixer	外形が円錐形をしたコンクリートを練混ぜる機械。
塩水湖	えんすいこ	salt lake	塩湖と同義。
円錐孔底ひずみ法	えんすいこうていひずみほう	compact conical-ended borehole overcoring technique	応力解放法による初期応力測定法の一つ。ボーリング孔底を円錐形に整形して16または24素子のひずみゲージを配置した樹脂製モールドゲージを張付けて測定孔と同径のオーバーコアリングを行う。
円錐四分法	えんすいしぶんほう	coning and quartering	粉体試料を円錐形に積み上げ、これを十字に四分分することにより、試料の分量を縮分する方法。
塩水浸入	えんすいしんにゅう	saline-water intrusion, saline-water encroachment	海岸地域で帯水層に海水が浸入する現象。地下水の過剰揚水による水位低下により内陸深く浸入することがある。水の比重差でも生じる。
円錐図法	えんすいずほう	conic projection, conical projection	地球に円錐をかぶせて経緯線を複写して展開したもの。緯線は同心円弧、経線は一点から放射する等間隔の直線からなる。

塩水遡上	えんすいそじょう	salt-water intrusion	河口近くで海水が河道に沿って内陸部に侵入する現象.
塩水トレーサ試験	えんすいとれーさしけん	saline tracer test	地下水などの流動方向, 流速の測定の際のトレーサとして, 食塩 (塩水) を使用する試験.
円錐平板粘度計	えんすいへいばんねんどけい	cone-and-plate viscometer	浅い円錐と円板の間に試料を入れて一方を回転させたときのトルクから流体の粘度を測定する計器
エンスタタイト	えんすたたいと	enstatite	頑火輝石と同義.
延性材料	えんせいざいりょう	ductile material	弾性限界を超えた応力によっても物体が破壊されずに引き延ばされる性質を示す物質.
塩性沼沢	えんせいしょうたく	salt-marsh	海岸で潟湖が埋め立てられて形成された潮汐湿地で, 塩分の多少によって塩性沼沢と汽水沼沢に分けられる.
塩成土壌	えんせいどじょう	halogenic soil	大陸温帯の乾燥気候下における低地に多くみられる土壌で, ナトリウム塩の存在下で生成されたもの.
延性破壊	えんせいはいかい	ductile failure	物質が応力を受けて塑性変形した後に起こる破壊. 岩石では高温・高封圧・低ひずみ速度の場合に発生する.
延性流動	えんせいりゅうどう	ductile flow	岩石が外力によって破壊せずに変形を続ける場合か, 破壊するまでの変形が十分大きい場合の状態をさす.
遠赤外線	えんせきがいせん	far infrared	赤外線領域のうち波長の長い領域の電磁波. 波長 $25\mu\text{m}$ ~ 1mm .
沿線地震検知システム	えんせんじしんけんちしすてむ	wayside detecting system for earthquake	新幹線沿線に地震計を設置し, (震度4以上の) 地震発生と同時に送電を止めるシステム. 通信には衛星を利用.
塩素イオン	えんそいおん	chlorine ion	塩化物の水溶液中の塩素, Cl^- . 汚染物などの混入により増大することから汚染の一指標となる.
塩素検層	えんそけんそう	chlorine logging	塩素の中性子吸収反応時に放出されるガンマ線を測定し, 地層中の塩分濃度を求める検層法.
沿大陸地向斜	えんたいりくちこうしゃ	paraliageosyncline	合衆国の海岸平野からメキシコ湾岸のような, 現在の大陸に沿って曲がっていない地向斜をさす. 地向斜論の立場からの考え方.
エンタルピー	えんたるびー	enthalpy	外からの圧力と, これによって変化した体積の積を内部エネルギーに加えたもの.
遠地地震	えんちじしん	distant earthquake	震央距離 $2,000\text{km}$ 以上の遠方地震. 位相を分析することで地球の内部構造に関する新知見が得られる可能性がある.

遠地地震P波遅延法	えんちじしんぴーはちえんほう	teleseismic P-wave delay method	遠地地震をいくつかの観測点で観測し、P波の遅延からマグマ溜りなどの地下構造を推定する方法。
エンチゾル	えんちぞる	entisol	エンティソルと同義語。
遠地津波	えんちつなみ	tsunami from far field	波源が日本の海岸より600km以上離れている津波。
遠地点	えんちてん	apogee	月や惑星、人工衛星などがその周回軌道上で地球から最も遠くなる点。
円柱供試体	えんちゅうきょうしたい	cylinder sample	円柱状に整形された供試体。
円柱供試体強度	えんちゅうきょうしたいきょうど	cylinder strength	円柱供試体によって得られる一軸圧縮強度。強度に関する形状効果の基準となる強度。
円柱共振試験	えんちゅうきょうしんしけん	resonant column test	円柱供試体を振動させ、その振動数を変化させることにより共振点を求め、弾性係数、減衰定数などを求める試験。微小ひずみでの土の動的性質を求めるために用いられる。
円柱状構造	えんちゅうじょうこうぞう	columnar structure	垂直方向が長く頭部が丸い柱状をなし、水平方向が短い土壌構造の一種。
円柱図法	えんちゅうずほう	cylindrical projection	円筒図法と同義。
円柱モデル	えんちゅうもでる	columnar model	重力・磁気探査において典型的なモデルの重磁力異常を計算し、探査結果の参考とするモデルの一種。
鉛直アレー観測	えんちよくあれーかんそく	vertical array observation	鉛直方向に配列された多数の地震計による観測。深度方向の波動伝播や地盤の増幅特性を把握するために用いる。
鉛直一次元沈下解析	えんちよくいちじげんちんかかいせき	vertical one-dimensional settlement analysis	地下水の流動が鉛直方向のみであると仮定し、深度方向に分割した要素ごとに地下水頭の分布を計算し、その結果を用いて粘土層の収縮量を予測するモデル。
鉛直打継目	えんちよくうちつぎめ	vertical construction joint	コンクリート打設時に既設コンクリートの鉛直面に新しくコンクリートを打継ぐ時にできる打設継目。
鉛直応力	えんちよくおうりょく	vertical stress	任意の面に作用する鉛直方向の力を、作用面の面積で除したもの。
鉛直支持力	えんちよくしじりょく	vertical bearing capacity	鉛直方向に対する地盤耐力。破壊時のそれを極限支持力といい、極限支持力を安全率で割ったものが許容支持力。
鉛直写真	えんちよくしゃしん	vertical photograph	カメラ軸をほぼ真下に向けて撮影された空中写真。垂直写真ともいう。

鉛直震度	えんちよくしんど	vertical seismic coefficient	耐震設計における震度法で、構造物に対して考慮する鉛直方向の地震力。
鉛直スリップ	えんちよくすりつぶ	vertical slip	断層面に沿って地盤が相対的に移動した距離のうち、鉛直成分の変位を表したもの。落差と同義。
鉛直成分	えんちよくせいぶん	vertical component	応力ベクトルを分解したときに表される重力方向の力。
鉛直セパレーション	えんちよくせぱれーしょん	vertical separation	断層面に沿って分離した地層・岩脈などの変位を鉛直線に沿って測った距離。鉛直隔離ともいう。
鉛直線偏差	えんちよくせんへんさ	deflection of the plumb line	同一地点における観測されたジオイド法線と理論的なジオイド法線の差。
鉛直点	えんちよくてん	nadir	①空中写真撮影時のレンズの光心の鉛直下方の地上の点。 ②天球の鉛直下方の点。
鉛直点三角測量	えんちよくてんさんかくそくりょう	plumb point triangulation	写真測量における鉛直点からの放射三角測量。航空写真の位置評定に使われる。
鉛直土質コア型ロックフィルダム	えんちよくどしつこあがたろつくふいるだむ	rockfill dam with vertical clay core	ゾーン型ロックフィルダムの一型式で、土質材料からなるコアをダム中央部に鉛直に配置した構造のダム。
鉛直プレファブリケイテッドドレーン	えんちよくふれふあぶりけいてっどどれーん	prefabricated vertical strip drains	バーチカルドレーン工法の一つで、コア（水が上昇する部分）と周囲のフィルタを工場で組み合わせた幅10cm程度の帯状合成樹脂製ドレーン材を用いるもの。
鉛直目盛盤	えんちよくめもりばん	vertical circle	トランシットの水平軸に垂直に取り付けてある、鉛直角測定用の角度目盛の付いた円盤。
鉛直有効応力	えんちよくゆうこうおうりょく	vertical effective stress	地盤中のある点に対し鉛直方向に作用する有効応力。有効応力は全応力から間隙水圧を減じたもの。
鉛直流	えんちよくりゅう	vertical flow	大気中での空気の上向きまたは下向きの移動。上昇流は低気圧や前線に沿って発生し、雲をつくり悪天を招く。
鉛直流式沈殿池	えんちよくりゅうしきちんでんち	vertical flow type sedimentation tank	沈殿池内部の水流方向を鉛直方向とした沈殿池。これに対して水流方向を水平方向にしたものは水平流式沈殿池。
堰堤	えんてい	dam	河川を横断して発電、治水、利水を目的として流水を貯留するために築造された構造物。
エンティソル	えんていそる	entisol	土壌生成作用に基づく層位発達の形跡を、ほとんどまたは全く持たない、主として最近形成された土壌のこと。
遠電極	えんでんきょく	remote electrode	電気探査比抵抗法の2極法や3極法において、測定移動電極から十分に大きく離れて接地された固定電極。

円筒アーチダム	えんとうあーちだむ	cylindrical arch dam	単一円弧型のアーチダムで、アーチダムが建設され始めた初期の時代の設計思想の一つ。現代では用いられていない。
円筒形ミキサ	えんとうけいみきさ	drum type mixer	コンクリートを練混ぜ、混合胴を傾けないでコンクリートを排出する、外形が円筒形の機械。ドラムミキサともいう。
円筒式足場	えんとうしきあしば	cylindrical platform	1本の鋼管を海底に直立させ、頭部をけい留索で固定した海上足場。空の状態では水平に浮かべて曳航し、現地で管内に注水することにより直立させる。
円筒状褶曲	えんとうじょうしゅうきよく	cylindrical fold	褶曲面が直線の平行移動の軌跡で表されるような褶曲の形態。褶曲軸は直線となる。
円筒図法	えんとうずほう	cylindrical projection	地図投影法の一つ。地球に円筒をかぶせて経緯線を複写して展開したもの。経線と緯線は直交し、経線は等間隔に平行する直線で表される。円柱図法ともいう。
円筒堰	えんとうぜき	cylindrical weir	円筒頂部から流入する型式の堰で、余水吐きに用いられる。
エンドダイナモルフィック土壌	えんどだいなもるふいっくどじょう	endodynamorphic soil	岩石組織や鉱物成分などの岩質など母岩や母材の影響が強く現れて生じた土壌のこと。間帯性土壌に近い。
エントレインドエア	えんとれいんどえあエア	entrained air	①流速が非常に大きい水流において、流水に混入する空気。 ②AE剤を混入することによってできるコンクリート中の微小な気泡。
エントロピー	えんとりー	entropy	系の不規則さや無秩序の程度を表す。画像処理では1回の試行で得られるであろう情報量の期待値（平均情報量）。
遠熱水鉱床	えんねっすいこうしょう	telethermal deposit	鉱床周辺に火成岩類を伴わずに主として層状、一定層準に胚胎する鉱床。浅熱水鉱床の上方に位置する鉱床。
エンパイヤードリル	えんぱいやーどりる	empire drill	打ち込んだケーシングの内側で刃のついたシューを回転させ、水のジェット噴射によって土砂を排出するボーリング方法。
エンハンスメント	えんはんすめんと	enhancement	原画像に適切なフィルタをかけ画像を尖鋭化させること。リニアメントや水系・稜線などの抽出を容易にする。
塩分検層	えんぶんけんそう	salinity logging	従来の中性子検層と異なり、水素と塩素を同時に測定し塩水層の判定をする。
塩分浸透試験	えんぶんしんとうしけん	salinity osmosis test	コンクリートへの塩分の浸透を調べる試験。塩素イオン量を測定する試験や、塩水の噴霧と乾燥を繰り返し表面の劣化を促進させる試験、電流を加えて塩素イオンの通りやすさを調べる試験などがある。
塩分濃度	えんぶんのうど	salinity	①水中に溶け込んでいる塩類の総量を比で表したもの。千分率‰や百万分率ppmまたはmg/リットルで表す。 ②海水中の塩の総濃度。
塩分量	えんぶんりょう	salinity	海水1,000g中に溶解している塩類のg数で表示され、海水のそれは33～38‰である。塩度ともいう。

縁辺凹地	えんぺんおうち	marginal deep	すでに褶曲隆起した造山帯の外側に発達した狭長な沈降帯で大陸周辺の凹地部，島弧に沿う狭長な深い海。
縁辺準平原	えんぺんじゅんへいげん	marginal peneplain	隆起準平原の周囲に発達する低位準平原で両面の境目はやや明瞭な傾斜面をなす。
円磨	えんま	rounding	岩片が運搬作用の途中で破壊され，摩滅によって次第に角が取れていく現象。
円磨度	えんまど	roundness	砕屑粒子が流水などにより運搬される過程で，稜や角が丸みを帯びていく程度を示す尺度．円磨度は最大内接球と粒子の角および稜の平均半径の比で定義される。
塩冶のモデル	えんやのもでる	Enya's model	本震後任意の時点で，余震発生頻度とそのエネルギーは余震域に残るエネルギーに比例するとしたモデル。
遠洋性	えんようせい	pelagic	「大陸棚より沖の海域の」という意味の形容詞。
遠洋性堆積物	えんようせいたいせきぶつ	pelagic sediment	陸地から数100km以上，水深1,000m以上の深海堆積物の総称．生物起源の炭酸カルシウムやシリカ，粘土鉱物などからなる。
遠洋性粘土	えんようせいねんど	pelagic clay	遠洋性堆積物のうち，種々の起源の粘土鉱物が主体を占めるものをさし，生物起源の炭酸カルシウム，シリカや沸石などが何れも5%未満のもの。
塩類堆積物	えんるいたいせきぶつ	saline deposit	蒸発岩と同義。
塩類土	えんるいど	saline soil	地表に異常に大量の塩類の集積が認められる土壌．半乾燥ないし乾燥地帯の排水不良環境下で生じる。
塩類風化	えんるいふうか	salt weathering	塩類を含む溶液から結晶が成長する際の応力などにより，岩石が分解，細片化する機械的風化作用．塩類破砕ともいう。
塩嶺トンネル	えんれいとんえる	Enrei tunnel	中央本線岡谷～塩尻間に建設された延長5,994mのトンネル．安山岩や膨張性を示す泥岩が主体で大量湧水に伴って地表部の広い範囲で地下水位が低下した．水抜き坑や水抜きボーリング，注入などの対策工が施工された．1983年開通。
円礫	えんれき	rounded gravel	砕屑粒子区分のうちの粒径2mm以上の丸みを帯びた礫の総称．狭義には円磨度が0.4～0.6のよく円磨された礫。
追切り	おいぎり	drilling deeper, ripping	一度掘削したボーリング孔が，崩壊膨潤などによって孔径が縮小した場合に，同じ孔で再び掘削を行うこと。
追切り式ピストンサンブラ	おいぎりしきびすとんさんぷら	over cutting piston sampler	サンプリングチューブの下端の変形を防ぐために，より径の大きいチューブで追い切りする装置を持つサンブラ。
オイラー極	おいらーきょく	Euler pole	プレートの移動がオイラーの定理で回転運動として適用されたときの中心をいう。

オイラーの定理	オイラーのていり	Euler's theorem	球面上の図形の移動は、球面上のある点のまわりの回転として表されるという定理。
オイリアン-ラグランジアン法	オイラリアンらぐらんじあんほう	Eulerian-Lagrangian method	移流分散解析に用いられる、固定座標（オイラー座標）と移動座標（ラグランジュ座標）とを計算格子上でリンクさせて解く解析法。
オイルエマルジョン泥水	おいるえまるじょんでいすい	oil emulsion mud water	油55～75%・水25～45%のオイルベースの泥水。水和・膨潤抑制が強く、泥質岩の掘削に有効である。
オイルサンド	おいるさんど	oil sand	流動性の低いタール状の油分を多量に含んだ砂または砂岩。
オイルシェール	おいるしゅーる	oil shale	油頁岩（ゆけつがん）と同義。
オイルベースマッド	おいるべーすまっど	oil base mud	油井仕上げに使用される掘削用の液体で、重油などの油を主体とする。
横が褶曲	おうがしゅうきよく	recumbent fold	褶曲軸面が横に寝ている（ほぼ水平か水平に近い）褶曲。
黄褐色森林土	おうかつしよくしんりんど	yellow-brown forest soil	赤色土ほど強い風化・土壌化作用を受けず母岩の性質を残し、湿潤温暖帯に分布する土壌。
横が背斜（横臥背斜）	おうがはいしゃ	recumbent anticline	褶曲軸面が横に寝ている（ほぼ水平か水平に近い）背斜。
凹陥地	おうかんち	enclosed depression	周囲を斜面で囲まれた、周辺部に比べて低い土地。火山地帯・石灰岩地帯など自然に形成されるものや、地下掘削による陥没で形成されるものもある。
扇形へき開（扇形劈開）	おうぎがたへきかい	fan cleavage	扇状（せんじょう）へき開（劈開）と同義。
黄玉	おうぎよく	topaz	トパーズと同義。
凹形斜面	おうけいしゃめん	concave slope	低くなるほど緩傾斜となる斜面で、谷底近くに見られる。
おう穴	おうけつ	pot hole	河床や河岸の岩に掘りこまれたつぼ状の円形の穴。流水により礫が回転し、摩滅によって形成される。
横坑	おうこう	adit	①地質や岩盤の性状を直接肉眼で観察するために掘削された小断面のトンネル。 ②計画されているトンネルの途中に取り付くためのトンネル。1本のトンネルを複数の工区に分けて施工する場合などに機材搬入、ずりの搬出などの目的で用いられる。
横坑間速度測定法	おうこうかんそくどそくていほう	inter-adit velocity measurement	近接した複数の横坑において、一方で起振、他方で受振し、横坑間の速度分布を把握する方法。

横坑調査	おうこうちょうさ	adit survey	小断面のトンネルを掘削し、坑内で地質や岩盤の性状を直接肉眼で観察する調査法。
横坑展開図	おうこうてんかいず	drift development	横坑の壁面、天盤の観察結果を展開図として表現した図。地質状況のほか岩級区分などを記入する。
横坑内屈折法	おうこうないくっせつほう	refraction method in adit	横坑内に沿った岩盤の速度分布の調査。掘削時のゆるみによる低速度層が坑壁沿いに分布するので屈折波探査とする。
横谷	おうこく	transverse valley	山地や山脈を直角に横断する河谷。縦谷の対語。成因は断層谷・先行谷・表生谷など。
逢坂山トンネル	おうさかやまとんねる	Osakayama tunnel	日本最初の山岳工法による鉄道トンネル。東海道線大津～京都間に建設された。1880年完成。延長655m。現在は使われていない。
黄錫鉱	おうしゃくこう	stannite	Cu_2FeSnS_4 正方晶系。硬度4。比重4.4。錫石と黄銅鉱との反応生成物として、気成、接触交代、熱水鉱脈などの鉱床中の石英脈やスカルン中に産する。硫錫鉱ともいう。
凹状緩斜面地形	おうじょうかんしゃめんちけい	concave low angle slope	斜面の傾斜区分による斜面形の一つで、低くなるほど緩傾斜となる斜面で、特にその傾斜が30°未満の場合。
黄色土	おうしょくど	yellow soil	湿潤亜熱帯常緑樹林下あるいはそれに近い環境下で生成・分布。日本では赤色土に連続して密接な関係で分布。
横断	おうだん	cross	図形上伸びの方向に直交する方向あるいはそれに沿う断面。縦断方向に直交する方向。
横断勾配	おうだんこうばい	cross slope	河川や構造物ならびに掘削面などを横断する方向の勾配。
横断節理	おうだんせつり	cross joint	交差（こうさ）節理と同義。Q節理・胴切節理ともいう。
横断測量	おうだんそくりょう	cross sectioning, cross sectional survey	道路や河川の断面形状を求めるための測量。中心線に直角な方向に距離と高さを測る作業。
横断断層	おうだんだんそう	transverse fault	広域的な地質構造（例えば褶曲軸）や山脈の伸びる方向などに対して直交あるいは高角度に斜交する断層。胴切断層・交差断層と同義。
横断面図	おうだんめんず	cross section	河川の流心や構造物の中心線を横切る方向の断面図。
凹地	おうち	depression	①一般に周囲より低くなっているところ。 ②溝状の沈降帯（furnow）
黄長石	おうちょうせき	melilite	ゲーレンナイト（ $Ca_2Al[AlSiO_7]$ ）ーオケルマナイト（ $CaMgSi_2O_7$ ）系鉱物の一般名、又は同構造のメリライトグループの代表名。正方晶系。ソロ珪酸塩鉱物であるが、岩石学的には準長石族に属する。珪酸の少ない火成岩に含まれる。メリライトともいう。

黄鉄鉱	おうてっこう	pyrite	FeS ₂ . 立方晶系. 硬度6~6.5. 比重4.95~5.10. 多くは黄色金属光沢の立方体結晶として産し, 火成岩や低温変成岩, 堆積岩などに含まれる. 水・空気と反応して硫酸を生じ, 酸性水の発生や石膏の晶出による地盤の膨張などの原因となることがある.
黄鉄鉱鉱床	おうてっこうこうしょう	pyrite deposit	黄鉄鉱鉱石を主に産出する鉱床.
黄土	おうど	loess	未固結の更新世風成シルト質堆積物で, 均質な粒度分布・多孔質・無層理のほか石灰質結核に富む特徴を持つ. 世界的に広く分布し, 氷河成堆積物起源や砂漠地帯起源がある.
応答解析	おうとうかいせき	response analysis	耐震設計の動的解析法で, 地震波形を入力して最大応答値を求める応答スペクトル法と時刻歴応答解析とがある.
応答関数	おうとうかんすう	response function	システムの入力と出力の関係を表す関数で, システムの特性を示す. 力と変位, 入射波と散乱波など多数ある.
黄銅鉱	おうどうこう	chalcopyrite	CuFeS ₂ . 正方晶系. 硬度3.5~4. 比重4.1~4.3. 多くは四面体結晶で緻密塊状. 銅の鉱石鉱物としてもっとも重要. 熱水性, 層状含銅硫化鉄, 火山性などの鉱床中に産する.
黄銅鉱病変	おうどうこうびょうへん	chalcopyrite disease	黄銅鉱の超微細粒子が閃亜鉛鉱中にほぼ均質・密に含まれる組織.
応答震度法	おうとうしんどほう	seismic response coefficient method	耐震計算の一方法で地盤と構造物を2次元FEMにモデル化する. 地盤と構造物の相互作用が少ない地中構造物に対して地盤のみの応答解析から算定された地震力を作用させて, 構造物に発生する断面力を求める.
応答スペクトル	おうとうすぺくとる	response spectrum	減衰性質点系に地震動データを入力した時の応答を, 減衰定数をパラメータとしてスペクトル的に表示した曲線.
応答スペクトル (地震動の)	おうとうすぺくとる (じしんどうの)	seismic response spectrum	振動系がある地震動を受けた時の応答量の最大値と振動系の固有周期および減衰定数の関係をいう. 地震応答スペクトルと同義.
応答スペクトル 解析	おうとうすぺくとる かいせき	response spectrum analysis	ある物体の地震動に対する応答(加速度, 速度, 変位の最大値)をその系の周期に対する関数(スペクトル)として解析すること. 減衰定数がパラメータとなる.
応答特性	おうとうとくせい	response characteristics	地震動に対する地盤・構造物などの増幅や振動の固有の挙動.
応答倍率	おうとうばいりつ	amplification ratio	動的解析において, 地震基盤における入力地震動に対する, 基盤以浅の地盤や構造物に作用する地震動の比率.
応答パラメータ	おうとうばらめーた	response parameter	電磁系の応答を決定する無次元量で, 誘導定数ともいう. この関数で電磁法の物理量要素を表すことができる.
往復観測	おうふくかんそく	reciprocal observation	弾性波探査で測線内のある測定区間についてその両端A, Bを起振点としA→B, B→Aの走時を観測すること.
往復走時	おうふくそうじ	two-way time	地表より発射された弾性波が地下の反射面で反射し, 再び地表にもどってくるまでの時間.

応用気候学	おうようきこうがく	applied climatology	農業気候学や航空気候学のように特定の利用目的を持って気候データの分析などを行う学問。
応用地震学	おうようじしんがく	applied seismology	地震学を応用する次のような学問のこと。(1)地震工学,(2)地震探鉱(振動計測・機械防振・爆破振動を含む)。
応用地形学	おうようちけいがく	applied geomorphology	地形学的見地に基づいた防災や土木建設に関わる調査研究の総称。
応用地質学	おうようちしつがく	applied geology, engineering geology	地質学を応用した分野を研究対象とする学問。建設・防災・環境などに関する地質的事項の研究分野を含む。
横流換気方式	おうりゅうかんきほうしき	transverse ventilation system	トンネル側面から換気風を吹出し, 上部の排気ダクトから排出する換気方式。道路トンネルの換気に用いる。
黄竜石	おうりゅうせき	Oryu seki	兵庫県高砂市宝殿産の土木・建築用石材。白亜系流紋岩質凝灰岩。竜山石。
応力	おうりょく	stress	外力により物体の内部に生じている力による物理量。引張り応力, 圧縮応力, せん断応力に大別される。単位面積あたりの力の垂直成分, ずれ(せん断)成分で表される。
応力円	おうりょくえん	stress circle	物体に作用する最大主応力値と最小主応力値との差を直径値とする円。任意の断面に生ずる垂直応力とせん断応力を計算によらないで, 簡単な作図で求めることができる。Mohrの応力円ともいう。
応力解析	おうりょくかいせき	stress analysis	物体に加わる外力に対して物体内に生ずる抵抗力である応力の種類・大きさ・方向について究明すること。構造物の応力解析にはFEMなどが使われている。
応力解放	おうりょくかいほう	stress release, stress relief	外力による物質内部に生じた応力状態が, 外力の変化により低減する現象。具体的には地中から取り出した試料が膨張したり, 掘削地盤がリバウンドするなどの現象をさす。
応力解放法	おうりょくかいほうほう	stress-relief method, stressrelief method	地圧測定法の一つで, 岩盤にひずみ計・変位計などを設置した後, その周囲を大口径ボーリングで応力解放し, その時のひずみ変化, 岩石の弾性係数などから地圧を推定する方法。
応力拡大係数	おうりょくかくだいけいすう	stress intensity factor	亀裂の存在する構造物に外力が作用した場合の亀裂先端から任意の距離に生じる応力を求める式に表れる係数。
応力緩和試験	おうりょくかんわしけん	stress relaxation test	供試体に一定のひずみを与えて保持し, 時間とともにクリープの進行による応力レベルの低下を測定する試験。
応力計	おうりょくけい	stress meter	単位面積に掛かる力を測定する装置。
応力経路	おうりょくけいろ	stress path	せん断過程での土の応力状態の変化を, 二つの応力軸による応力平面上での軌跡として表したもの。
応力差	おうりょくさ	stress difference	主応力の最大値と最小値の差。

応力集中	おうりよくしゅうちゅう	stress concentration	物体の形状が変化する箇所や荷重作用点などで局所的に大きな応力が生じること。
応力集中係数	おうりよくしゅうちゅうけいすう	stress concentration factor	物体の内部に応力集中が生じる場合の最大集中応力と基準となる応力（一般には応力集中部分から遠方の一様な応力）との比。
応力除去	おうりよくじょきよ	stress relief	構造物部材の残留応力を取り除くこと。焼きなまし法などがある。
応力振幅	おうりよくしんぷく	amplitude of stress range	繰り返し载荷試験において試験体に生ずる応力の変動幅。
応力制御法	おうりよくせいぎよほう	stress controlled method	せん断試験における载荷方法の一つ。せん断力を一定割合で増加させ、生じる変位を測定する方法。
応力成分	おうりよくせいぶん	stress component	任意の面に作用する応力は面に垂直な垂直応力と面に平行なせん断応力に分解される。三次元的な応力は、3つの垂直応力成分 ($\sigma_x, \sigma_y, \sigma_z$) と3つのせん断応力成分 ($\tau_{xy}, \tau_{yz}, \tau_{zx}$) で表される。
応力測定	おうりよくそくてい	stress measurement	①地下空洞の設計、地震予知などの目的で地殻応力を測定すること。応力解放法・水圧破碎法・応力補償法などがある。 ②構造物の応力を測定すること。埋設型応力計やひずみゲージなどが用いられる。
応力楕円	おうりよくだえん	stress ellipse	平面内の応力分布を表す楕円。二つの主応力が楕円の長軸半径および短軸半径となる。三次元の場合は応力楕円体(stress ellipsoid)。
応力テンソル	おうりよくてんそる	stress tensor	座標方向に垂直な表面に働く応力がその要素となっている二階のテンソル。
応力の主面	おうりよくのしゅめん	principal plane of stress	三次元応力状態で、せん断応力が作用せず垂直応力が極値をとるような互いに直交する2面およびそれらに直交する1面。
応力場	おうりよくば	stress field	そこに働く応力の状態のことで、この応力場における一定の応力分布がある構造を形成する。
応力比	おうりよくひ	stress ratio	主応力同士の比。特に、最小、最大主応力に対する中間主応力の大きさを相対的に示す際などに用いられる。
応力-ひずみ関係	おうりよくひずみかんけい	stress-strain relation	材料の応力とひずみとの関係。弾性・塑性などの、供試体の力学的性質を反映する。一般に構成式と呼ばれる。
応力-ひずみ曲線	おうりよくひずみきょくせん	stress-strain curve	室内圧縮試験などにより得られる応力とひずみとの関係を、直交座標上に曲線として図示したもの。
応力腐食	おうりよくふしょく	stress corrosion	応力によって加速される腐食の総称。
応力腐食割れ	おうりよくふしょくわれ	stress corrosion cracking, SCC	応力がかかっている金属と腐食作用の組み合わせにより生じる脆性破壊のこと。腐食の原因は金属により異なる。

応力分布	おうりょくぶんぷ	stress distribution	物体の表面や内部に生じた応力の空間的分布状態。
応力分布係数法	おうりょくぶんぷけいすうほう	stress distribution factor method	建築構造物の耐震設計において、RC骨組などの水平力に対する骨組解析を検討する計算法。
応力補償法	おうりょくほしょうほう	stress compensation method	岩盤面に垂直に切られたスロットをフラットジャッキで置換えて加圧し、変位回復の際の圧力から初期応力を求める方法。
応力履歴	おうりょくりれき	stress history	①地盤が過去に受けた有効応力の履歴。 ②力学試験において供試体に発生する応力の履歴
応力履歴テンソル	おうりょくりれきてんそる	stress history tensor	土や軟岩の応力履歴を示す状態量で力学特性を決定する最も重要な要因。
横列砂丘	おうれつさきゅう	transverse dune	その長軸が風の主たる方向にほぼ直角に伸びる砂丘列。
横列リップルマーク	おうれつりつぷるまーく	transverse ripple mark	峰が直線的で互いにほぼ平行なリップルマークの中で、峰の方向と流れの方向が直角的なもの。
大芦層	おおあしそう	Oashi Formation	福島県東部の相馬地域に分布する古生界中部ペルム系葉倉統。原町市大芦付近を模式地とする。主に中粒砂岩、砂岩頁岩互層からなる。
大網地すべり	おおあみじすべり	the Oami landslide	山形県月山西麓の第三紀層すべり。傾斜5°の流れ盤。指定面積409.25ha。計7ブロック、移動層厚15～30m。
大井川褶曲帯	おおいがわしゅうきょくたい	Oigawa fold zone	静岡県中部大井川下流域の第三紀中新統に発達する北東－南西方向の褶曲構造の著しい地域。
大泉砥	おおいずみと	Oizumito	茨城県西茨城郡岩瀬町大泉産のすずり・中砥用石材。中生界粘板岩。助川砥ともいう。
大分－熊本構造線	おおいたくまもとうぞうせん	Oita-Kumamoto tectonic line	九州の中央部を東北東－西南西に切る多数の断層の集合体。ほぼ大分川筋と熊本市白川筋を結ぶ構造線。三郡帯の南限。重力異常の急変する狭い帯にほぼ対応。
大井みかげ	おおいみかげ	Oi mikage	岐阜県恵那市大井町・坂本村産の土木用石材。中生界黒雲母花崗岩。
大内石	おおうちいし	Ouchi ishi	①福島県原町市・相馬市産の建築・墓石用石材。中生界花崗閃緑岩。相馬石ともいう。 ②宮城県伊具郡丸森町館矢間産の建築・土木用石材。中生界黒雲母角閃石花崗岩。館矢間石ともいう。 ③宮城県伊具郡丸森町江尻産土木・建築・墓石・装飾用石材。中生界閃緑岩～はんれい岩。江尻石ともいう
大浦石	おおうらいし	Oura ishi	①徳島県阿南市産の墓石・土木用石材。中生界砂岩。桑野石と同質。 ②佐賀県藤津郡太良町産の砕石用石材。第四系両輝石安山岩。
OSL年代測定法	おーえすえるねんだいそくていほう	OSL dating	光（ひかり）ルミネッセンス年代測定法と同義。

オーガー	おーがー	auger	浅部の掘削やサンプリングのために用いる回転式掘削機。小規模な削孔に用いられる。
オーガーボーリング	おーがーぼーりんぐ	auger boring	オーガーを用いて未固結地盤を掘削し、地盤の構成状況を把握することを目的としたボーリング。
大湯（西）油田	おおかた（にし）ゆでん	Okata(nishi) oil field	秋田県男鹿半島に位置する油田。1968年発見。深度500～900mの新第三系天徳寺層の凝灰岩、凝灰質砂岩に貯留している。
大型化石	おおがたかせき	macrofossil	顕微鏡下で観察しうる微化石・超微化石に対する語で、肉眼的観察によって、形や性質による分類が可能な大きさをもつ化石。
大型貫入試験	おおがたかんにゆうしけん	large-sized penetration test	動的円錐貫入試験のうち、大型の円錐コーンを用いるもの。特に、礫層のN値を評価する際に有利である。
大型三軸圧縮試験	おおがたさんじくあっしゅくしけん	large-sized triaxial compression test	供試体径30～60cmで、大型三軸圧縮試験機を用いるもの。礫混じり土、風化岩の乱さない試料などを対象とする。
大型せん断試験	おおがたせんだんしけん	large-sized shear test	標準的せん断試験法に対して、最大粒径や試験面サイズを大きくしたせん断試験。大型三軸圧縮試験や大型直接せん断試験がある。
大型直接せん断試験	おおがたちよくせつせんだんしけん	large-sized direct shear test	最大粒径 20mm以下の礫質土の締め供試体（サイズh 20cm×φ 30cm程度）を対象とした一面せん断試験または単純せん断試験。
大型有孔虫	おおがたゆうこうちゅう	larger foraminifera	有孔虫類を便宜的に大きさを2分した際の大型のものをさし、最大10cmの殻・複雑で規則的な内部構造をもつ。
大門真石	おおかどまいし	Okadoma ishi	長野県小県郡長門町産土木・墓石用石材。第四系安山岩。
大加茂石	おおがもいし	Ogamo ishi	静岡県下田市大賀茂産土木用材。新第三紀中新統凝灰岩、凝灰質砂岩。
大川ダム	おおかわだむ	Okawa dam	阿賀野川水系阿賀川。北陸地方整備局。1987年竣工。堤高102mの重力ダム。本格的RCD工法を我が国で初めて河床マット部の打設に採用。
扇形魚道	おおぎがたぎょどう	folding type fishway	階段式魚道のうち、平面形状が扇形のもの。
扇田石	おおぎだいし	Ogida ishi	秋田県雄勝郡雄勝町院内産。新第三紀中新統石英粗面岩質凝灰岩。土木用材。院内石と同質。
大葛石	おおくずいし	Okuzu ishi	秋田県北秋田郡比内町産。新第三紀中新世プロピライト～緑色凝灰岩。砥石用材。同郡尾去沢町産。新第三紀中新世珪質凝灰岩。
大蔵石	おおくらいし	Okura ishi	宮城県伊具郡丸森町大張・川張産。中生界花崗岩類に伴う閃緑岩・はんれい岩（斑糲岩）、建築・墓石用材。

大阪ガス田	おおさかがすでん	Osaka gas field	大阪市港区を中心とする可燃性天然ガス田。大阪層群中にガス胚胎。
大阪層群	おおさかそうぐん	Osaka Group	播磨，大阪，京都，奈良盆地にわたって広く分布する新生界最上部鮮新～中部更新統。陸水成砂，礫，粘土層からなり，12枚の海成粘土層を挟む。大阪千里丘陵を模式地とする。
大阪盆地	おおさかぼんち	Osaka basin	六甲，生駒，和泉の山脈に囲まれた大阪平野。鮮新～更新統の大阪層群が千数百メートルの厚さで堆積する。
大里石	おおさといし	Osato ishi	北九州市門司区大里新町産石材。白亜系前期硯石層群中の安山岩。ひん岩質で砕石として利用される。
大沢石	おおさわいし	Osawa ishi	新潟県加茂市上高柳産土木用材。新第三系凝灰岩。同郡村松町産。新第三系砂岩。新津丘陵南部の田上町大沢産。石灰質砂岩。
大沢くずれ	おおさわくずれ	Osawa landslides	富士山山頂から西側山腹を下る大沢川の激しい浸食谷の総称。岩屑崩れ・岩盤崩壊・土石流が頻発している。
オージェ電子分光法	おーじえでんしぶんこうほう	Auger electron spectroscopy	固体表面分析法の一つで，試料に電子線を照射し，発生するオージェ電子を測定し，元素を分析する。AESともいう。
大島石	おおしまいし	Oshima ishi	徳島県海部郡牟岐町大島・穴喰町竹ヶ島他産墓石・土木用割栗用材。中生界砂岩。大島みかげをさすこともある。
大島火山	おおしまかざん	Oshima volcano	伊豆大島の主部を構成する成層火山。岩石はソレアイト質玄武岩でストロンボリ式噴火をする活火山。
大島みかげ	おおしまみかげ	Oshima mikage	岡山県笠岡市産。中生界黒雲母花崗岩。土木・石碑用材。愛媛県越智郡富窪町産。中生代黒雲母花崗岩。
オージャイト	おーじゃいと	augite	普通輝石と同義。
大代石	おおしろいし	Oshiro ishi	宮城県多賀城市大代産。新第三系凝灰岩，土木用材。古浦石と同質。
オーストラリア楯状地	おーすとらりあたてじょうち	Australian shield	オーストラリア大陸の西部に広がる，先カンブリア系基盤岩からなる低平な地形をなす露出地。
オーストラリアプレート	おーすとらりあぷれーと	Australian plate	インド，ユーラシア，太平洋，南極の各プレートに囲まれたオーストラリア大陸とその周辺海域を含むプレート。
大隅石	おおすみいし	Osumilite	(Mg, Fe ²⁺) ₂ (Al, Fe ³⁺) ₃ (Si, Al) ₁₂ O ₃₀ ・H ₂ O。六方晶系。比重2.64。董青石類似の鉱物。暗青～黒色，へき開（劈開）なし，大隅半島の流紋岩より産出。
大背	おおぜ	center part of bench	トンネルの加背割において下部半断面中央部のこと。

0層位	おーそーい	0 horizon	鈹質土壌の上の動植物遺体に由来する有機質の層位のこと。動植物体の分解度により01と02に分かれる。
オーソクォーツアイト	おーそーつあいと	orthoquartzite	砂粒の95%以上が円磨された石英からなり、その粒間もシリカでこう結（膠結）された珪質砂岩。先カンブリア紀の珪質砂岩に多い。
オーソスコープ	おーそすこーぷ	orthoscope	オルソスコープと同義。
大多喜ガス田	おおたきがすでん	Otaki gas field	千葉県房総半島中部、大多喜周辺の水溶性ガス田。南関東ガス田発祥の地。新第三系～第四系黄和田・大原層に胚胎。
大滝地すべり	おおたきじすべり	the Otaki landslide	1965年に福井県今立町で発生した地すべり。死者10名・家屋全壊4戸とされている。
大岳地熱地域	おおたけちねつちいき	Otake geothermal area	大分県玖珠郡九重町。九重火山群の西部の盆状低地。噴気・高温泉が多数存在し、1967年大岳地区に発電所設立。
大館石	おおだていし	Odate ishi	青森県三戸郡大館産。新第三系安山岩、土木用材。
大たわみ理論	おおたわみろん	large deflection theory	荷重を受け大きくたわむ平板を対象にした非線形理論。
大地地すべり	おおちじすべり	the Ochi landslide	1958年に愛媛県肱川町に発生した地すべり。県道崩落・橋梁や鹿野川ダム被災。曲げ応力を考慮した鋼管杭の施工。
大月断層	おおつきだんそう	Otsuki fault	活断層。確実度Ⅰ、北東方向。芦屋市北西に位置。五助橋断層の副断層。六甲トンネルに露頭。右ずれ断層。
大辻層群	おおつじそうぐん	Otsuji Group	福岡県筑豊炭田地域に分布する新生界前期漸新統。汽水～陸成で砂岩、砂岩泥岩互層、礫岩からなり、上部では炭層を挟在する。
ODA	おーでいえー	official development assistance, ODA	政府開発援助。
オートクレーブ養生	おーとくれーぶようじょう	autoclave curing	オートクレーブ（高温高压釜）を用いてコンクリートの養生を促進する方法。
オートコリメータ	おーとこりめーた	auto collimator	任意の面に垂直に入射した光は、入射方向に戻る性質を利用して、光学系の構成要素を光軸に並べるために用いられる装置。
オートジャイロ	おーとじゃいろ	autogyro	回転体の回転慣性の原理を応用して、回転軸が常に北を向くようにした方位指示装置。
オート地向斜	おーとちこうしゃ	autogeosyncline	大陸内で、後背に高地を伴わない独立した楕円状または舌状の窪地のことで、堆積と共に沈降し続ける。地向斜による造山論は現在あまり議論されていない。

オートマチックラムサウンディング	おーとまちっくらむさうんでいんぐ	automatic ram sounding	動的円錐貫入試験の一種で、自動連続貫入試験が可能な方法。サウンディングの一種でスウェーデンで開発された。
オートラジオグラフィ	おーとらじおぐらふい	autoradiography	試料を写真フィルムと密着し、放出される電離放射線によって感光させ、放射性核種の分布を記録する技術。
大ナジカ峠断層	おおなじかとうげだんそう	Onajikatoge fault	活断層。确实度 I，南北方向，西傾斜の逆向き低断層崖を形成。韮崎市南西の糸静構造線の東に位置する。
大西山地すべり	おおにしやまじすべり	the Onishiyama landslide	大西山大崩壊と同じ。
大西山大崩壊	おおにしやまだいほうかい	Onishiyama rock collapse	長野県大鹿村。1961年発生。大雨による壮年山地の硬岩（領家帯）420万 ³ 大崩壊。小渋川対岸で死者42名とされている。
大沼石	おおぬまいし	Onuma ishi	北海道亀田郡七飯町軍川・大沼産。更新統角閃石安山岩。土木・建築用材。
大野石	おおのいし	Ono ishi	鹿児島県日置郡金峰町産土木用石材。更新統軽石凝灰岩。市来石と同質。
大野川層群	おおのがわそうぐん	Onogawa Group	九州地方東部，臼杵一八代構造線北部に分布する中生界上部白亜系。泥岩，砂岩，礫岩の交互層からなる。
大野地すべり	おおのじすべり	the Ono landslide	1978年に新潟県栃尾市で発生した地すべり。家屋被害14戸。椎谷層の風化岩すべり（厚さ25～30m）と崩積土の末端二次すべり。
大野層	おおのそう	Ono Formation	岩手県南部の南部北上帯に分布する古生界下部デボン系。大船渡市猪川町大野付近を模式地とする。凝灰岩，凝灰質泥岩，黒色泥岩，砂岩を主体とし一部石灰岩を挟在する。
オーバーコアリング法	おーばーこありんぐほう	overcoring method	既設の孔よりも大きい径の孔を既設の孔に重ねて掘削する方法。岩盤の初期応力測定などのために実施される。応力解放法の一種。
オーバードリリング	おーばーどりりんぐ	over drilling	コアバレルのコア採取能力よりも長く掘削すること。コアの損失，器具の損傷を招く原因となる。
オーバーバーデン法	おーばーばーでんほう	overburden method	地下の岩体に作用する垂直方向の地圧を基準に，高温岩体などで割れ目造成のために水圧破砕を行う方法。
オーバーラップ	おーばーらっぷ	overlap	①下位層に対して上位層がある方向に広がる整合関係。 ②断層変位により同一層が現れる場合の断層の走向に沿って測った対応する地層の距離。 ③写真測量における一対のステレオ写真の重なり合っている部分。
オーバーレイ	おーばーれい	overlay	①2種の検層カーブを重ね合せて検層解析を行うこと。孔隙内流体，水飽和率などの情報が得られる。 ②道路補修のため既存のアスファルト舗装の上に重ねて舗装すること
オーバフロー	おーばふろー	overflow	濁水処理においてシクナ，分級機などで分離された細粒側，低比重側または低濃度側の産物。

大浜石	おおはまいし	Ohama ishi	神奈川県足柄下郡真鶴町産建築・土木用石材。更新統両輝石安山岩。
大原断層	おおはらだんそう	Ohara fault	活断層。確実度 I，北東方向，左ずれ断層。左ずれ変位量は400m。岡山県勝田郡大原町に位置。山崎断層系。
大春石	おおはるいし	Oharu ishi	長崎県西彼杵郡大瀬戸町産石材。古第三系砂岩。主として石臼用材。
OPS	おーピーえす	optical sensor, OPS	可視域から熱赤外域ぐらいまでを観測対象とする映像センサ。
大船渡層群	おおふなとそうぐん	Ofunato Group	岩手県大船渡地域に分布する中生界下部白亜系。砂岩泥岩互層や火山砕屑岩を主体とする。
大部みかげ	おおぶみかげ	Obu mikage	香川県小豆郡土庄町産石材。中生界花崗岩。
オープンカット工法	おーふんかつとこうほう	open cut method	地表面から順に掘り下げていく掘削方法の総称。
オープンクラック	おーふんくらつく	open crack	地盤の変位・変形に伴い，地表面や地中または構造物に生じた開口性の亀裂。開口性フラクチャーともいう。
オープンケーソン	おーふんけーそん	open caisson	ケーソン工法のうち，圧縮空気を用いず，通常の大気圧のまま躯体を沈める工法。
オープンスタード型ピエゾメータ	おーふんすたんどがたびえぞめーた	open stand pipe type piezometer	間隙水圧計の1方式で，管の上端が大気圧に開放された剛管の下端に間隙水を取り込むチップが取り付けられたもの。管内の水位で間隙水圧を計測する。
オープンドライブサンプラ	おーふんどらいぶさんぷら	open drive sampler	サンプリングチューブのみを地中に押し込んで，試料を採取する簡単な構造のサンプラ。
大洞地すべり	おおほらじすべり	the Ohora landslide	1927年に新潟県能生町で発生した地すべり。死者12人とされている。三紀層崩積土すべりで3つの斜面にブロック（厚さ5～10m）多数分布。
大町地震	おおまちじしん	the 1918 Omachi earthquake	1918年11月11日長野県大町付近。M6.1および6.5。家屋全壊6戸・半壊破損2,852戸とされている。大町付近は15cm隆起。
大町テフラ	おおまちてふら	Omachi tephra	中部～関東地方にかけて分布する立山起源の広域テフラ。年代は0.3～0.4Ma。多量の黒雲母粒子を含む。
大宮断層	おおみやだんそう	Omiya fault	活断層。確実度 I，活動度 A級，北西方向。富士市の富士川沿いに位置。入山瀬断層・安居山断層に付随。東傾斜。
大牟田層群	おおむたそうぐん	Omuta Group	有明海沿岸の三池炭田地域に分布する新生界中部始新統。陸成～海成で砂岩を主体とし泥岩，炭質泥岩，礫岩などを挟在する。

オームの法則	おーむのほうそく	Ohm's law	導線に流れる電流の強さは、導線の両端の電位差に比例し、抵抗に反比例するという法則。
大森公式	おおもりこうしき	Omori's formula	初期微動継続時間と震源距離の比例関係を示した式。また同名で余震数の時間的減少を示した式もある。
大森式地震計	おおもりしきじしんけい	Omori seismograph	日本で初めて本格的に作製された地震計。約75cmの長い腕で20kgの重錘を持つ大型の水平動地震計である。
大谷石	おおやいし	Oya ishi	宇都宮市大谷町一帯で採石されている軽石凝灰岩の石材名。耐火性・耐震性に優れている。採掘跡は地下空洞利用の研究に使用されることがある。放置された坑道では陥没事故となることがある。
大谷くずれ	おおやくずれ	Oya collapse	静岡県安倍川源流域。1702年発生。四万十帯砂岩・粘板岩の大規模崩壊。崩壊地比高550m, 土石流7km以上。
大山石	おおやまいし	Oyama ishi	福島県安達郡大玉村産石材。更新統の安山岩, 砕石用材。
大山石	おおやまいし	Oyamalite	ジルコンの変種鉱物。硬度7.5。比重4.1。愛媛県旧大山村産のペグマタイト中より産出。
オールケーシング工法	おーるけーしんぐこうほう	overall casing method	あらかじめケーシングチューブを貫入して孔壁を保護した後に、孔内を掘削する場所打ち杭工法。ベノト工法が良く知られている。
大湧谷地すべり	おおわくだにじすべり	the Owakudani landslide	1910年に神奈川県箱根火山噴気地帯で発生した地すべり。40万 ³ 流出。早川下流域で死者6名・家屋流出36戸とされている。
男鹿石	おがいし	Oga ishi	秋田県男鹿市寒風山産間知石・墓石・土蔵石用材。第四系輝石安山岩。寒風石とも呼ばれる。
岡崎青石	おかざきあおいし	Okazakiaoishi	愛知県岡崎市小呂・箱柳町産墓石用石材。中生界領家花崗岩類の武節花崗岩に属する両雲母花崗岩。青色中目。
岡崎宇寿石	おかざきうすいし	Okazakiusuishi	愛知県岡崎市滝・米河内・真伝町産墓・燈籠・臼など用石材。中生界領家花崗岩類の武節花崗岩に属する両雲母花崗岩。白色中目。
岡崎みかげ	おかざきみかげ	Okazaki mikage	愛知県岡崎市小呂・箱柳町産建築・石碑・石燈籠・装飾用石材。新期領家花崗岩類に属する含ざくろ石白雲母花崗岩。宇寿石・三州みかげともいう。
小笠層群	おがさそうぐん	Ogasa Group	静岡県中西部掛川市南方に分布する新生界中～下部更新統。厚い礫層と薄い海成粘土層からなる。静岡県掛川南方小笠山丘陵を模式地とする
小笠原海台	おがさわらかいだい	Ogasawara plateau	伊豆小笠原海溝とマリアナ海溝の会合部の東側斜面にある海台。周囲との比高は3,000m以上に達する。
小笠原海嶺	おがさわらかいれい	Ogasawara ridge	父島群島周辺の伊豆小笠原海溝西側に平行する海嶺。伊豆・小笠原海嶺を構成する海嶺中で最も東に位置する。

小笠原群島	おがさわらぐんとう	Bonin islands	伊豆半島南南東約900kmの小笠原海嶺頂部をなす古第三系の群島。西側活火山帯と二重弧をなす外弧側部分。
小笠原舟状海盆	おがさわらしゅうじょうかいぼん	Ogasawara trough	小笠原海嶺と七島－硫黄島海嶺の間に位置する構造凹地。水深3,000～4,000mの深海平原をなす。
男鹿地震	おがじしん	the 1939 Oga earthquake	1939(昭和14)年3月20日。男鹿半島頸部を中心に発生したM6.8の地震。死者27人、住家全壊479戸。半島西部が最大44cm隆起。
小方－小瀬断層	おがたおぜだんそう	Ogata-Oze fault	活断層。確実度Ⅰ，北東方向，右ずれ断層。岩国市北西に位置し，岩国断層・甘木山断層と断層帯を形成。
雄勝石	おがついし	Ogatsu ishi	宮城県桃生郡雄勝町産硯石・石碑・尾根瓦用石材。中生界粘板岩。
男鹿半島沖地震	おがはんとうおきじしん	the 1964 Ogahanto-oki earthquake	1964(昭和39)年5月7日に男鹿半島沖を中心に発生したM6.9の地震。青森・秋田・山形に民家全壊3戸などの被害とされている。秋田沖地震ともいう。
岡部石	おかべいし	Okabe ishi	山梨県東八代郡石和町産土木砕石用材。新第三系両輝石安山岩。初鹿野石・大和石と同質。
拝み勾配	おがみこうばい	upward gradient	トンネルの両坑口よりも中央部が高くなっていること。両側から上り勾配となるため掘削時の排水処理が容易。
小鴨石	おがもいし	Ogamo ishi	鳥取県倉吉市小鴨・東伯郡泊村産砕石・鉄道用石材。第四系安山岩。
岡山霰大理石	おかやまあられだいらせき	Okayama-arare marble	岡山県久米郡・阿哲郡・川上郡産。中生界花崗岩に貫かれる古生界中の阿哲石灰岩の大理石。
男鹿油田	おがゆでん	Oga oil field	申川産油・産ガス地帯に属する秋田県男鹿地域の油田。新第三系中に胚胎。
小木石	おぎいし	Ogi ishi	石川県珠洲郡内海地域産土木・建築土台用石材。新第三系の安山岩質角礫凝灰岩。市ノ瀬石と同質。
隠岐海嶺	おきかいいい	Oki ridge	隠岐諸島の北東方向に能登半島沖付近まで伸びる延長100kmの海嶺。堆積物の薄い基盤の高まり。
オキシソル	おきしそる	oxysol	熱帯，亜熱帯に生じ，遊離酸化鉄・アルミニウムに富む極度に風化した土壌。断面は赤・黄・灰色などを呈す。
オキシダント	おきしだんと	oxidants	光化学スモッグの指標で，スモッグが太陽光の紫外線と反応し発生するオゾンを中心とした酸化性ガスの総称。
沖島みかげ	おきじまみかげ	Okijima mikage	滋賀県近江八幡沖島町産鉄道用・間知石，細工物用石材。中生界花崗斑岩。

隠岐舟状海盆	おきしゅうじょうかいぼん	Okki trough	隠岐海嶺の南側を鳥取沖から能登半島沖まで伸びる舟状海盆。ぜん新世（漸新世）以降の地層が厚く堆積。
隠岐堆	おきたい	Okki tai	隠岐海嶺に同じ。
沖縄トラフ	おきなわとらふ	Okinawa trough	九州西方から台湾にかけて南西諸島北側に沿ってのびる海盆。先島諸島付近で深く2,000m以上。
萩野石	おぎのいし	Ogino ishi	福島県耶麻郡高郷村産石材。新第三系緑色凝灰岩。帯緑白色で柔軟。建築・土木用に利用。利田石・山都石と同じ。
沖浜	おきはま	offshore	平均低潮時の汀線のすぐ海側に接する砕波帯から大陸棚の縁までの漠然とした領域。
沖見地すべり	おきみじすべり	the Okimi landslide	1872年に新潟県牧村で発生し、現在も活動中の地すべり。活動面積70haで、小ブロック化。椎谷層泥岩強風化帯のすべり。
奥只見ダム	おくただみだむ	Okutadami dam	阿賀野川水系只見川。電源開発(株)。1960年竣工。堤高157mは重力ダムとして日本最大。有効貯水量4億5,800万 m^3 は日本最大。
オクタル変換	おくたるへんかん	octal conversion	8進法の数字への変換。変換後は、0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7の数字で表す。
沃川層群	おくちょんそうぐん	Okchon Group	韓国中央部に北東～南西方向に延びる沃川帯に分布する先カンブリア系または下部古生界。千枚岩、片岩、石灰岩、珪岩などから構成され中圧型の変成作用を受けている。
沃川帯	おくちょんたい	Okchon belt	朝鮮西南端から北東方向に延びる先カンブリア時代～三じょう紀（三疊紀）の地層が分布する地帯。千枚岩、片岩、石灰岩、角閃岩などから構成され、中圧型変成作用を受けている。
小国油田	おぐにゆでん	Oguni oil field	仁賀保産油・産ガス地帯に属する秋田県由利郡仁賀保町小国地域のガス田。新第三系天徳寺層、船川層中に胚胎。
小熊野石	おぐまのいし	Ogumano ishi	福岡県北九州市小倉区小熊野産砕石用材。中生界安山岩。
奥山地すべり	おくやまじすべり	the Okuyama landslide	1982年に長崎市奥山で発生した地すべり。新第三系安山岩・火砕岩の山腹崩壊から土石流化。下方民家で死者24人とされている。
送り矢板工法	おくりやいたこうほう	poling board method	トンネルの支保工に矢板を掛ける際、既設の支保工側から矢板を挿入して地山の崩落を防ぐ工法。油圧ジャッキを用いたメッセル工法などもその一種。
遅れクリープ	おくれくりーぷ	retarded creep	フォークト物体のように、一定応力をかけた時、ひずみがある時間たって一定値となる現象。
遅れ破壊	おくれはかい	delayed fracture	ある物体に一定の大きさの外力を作用させ続けると、ある時間が経過した後突然破壊する現象。

小黒川断層	おぐろがわだんそう	Ogurogawa fault	活断層. 確実度 I, 活動度 A級, 北東方向. 伊那市北西1kmに位置し, 伊那谷西縁の断層群を形成. 低角逆断層.
オクロ現象	おくろげんしょう	Oclo-phenomenon	ガボン国オクロ地方のウラン鉱床で, 17億年前に天然に核分裂連鎖反応が起った現象. 地層処分研究の対象.
小河内ダム	おごうちだむ	Ogochi dam	多摩川水系多摩川. 東京都. 1957年竣工. 堤高149mの重力ダム. 東京都の都市用水供給目的. 東京都渇水対策の最後の砦的役割.
尾小屋鉱山	おごやこうざん	Ogoya mine	石川県小松市五国寺町にあったCu・Pb・Zn鉱脈鉱床. 中新統の凝灰角礫岩・泥岩に貫入した流紋岩・安山岩岩脈に伴う. 1972年閉山.
押え盛土	おさえもりど	counterweight fill	地すべりの安定を図るため地すべり末端部に盛り立てる土石. 切土工の安定対策などにも用いる.
尾去沢鉱山	おさりざわこうざん	Osarizawa mine	秋田県男鹿市尾去沢にあったCuを主としAu・Ag・Pb・Znを産する浅熱水性鉱脈鉱床. 中新統凝灰岩・珪質頁岩と安山岩・流紋岩岩脈に伴う. 1978年閉山.
牡鹿層群	おしかそうぐん	Oshika Group	宮城県牡鹿半島に分布する中生界中部ジュラ系～下部白亜系. 砂岩, 頁岩主体を主体とする. スレートへき開 (開劈) 発達.
押しかぶせ褶曲	おしかぶせしゅうきよく	overturned fold	褶曲軸面が傾斜して, どちらか一つの翼の地層の重なりが逆転しているような褶曲. 過褶曲・逆転褶曲・転倒褶曲と同義.
押しかぶせ断層	おしかぶせだんそう	overthrust	衝上断層のうち衝上面が水平に近く移動量が数kmにもおよぶもの. 押しかぶせ岩体をデッケとかナップ, 孤立岩体をクリッペと呼ぶ.
押しかぶせ地塊	おしかぶせちかい	overthrust mass	傾斜10°以下のスラストあるいは横臥褶曲などにより押し出されて大きく移動し, 現地性岩体を覆った異地性岩体.
押し管工法	おしかんこうほう	pipe jacking	鉄道や道路下などに地中管路などの構造物を構築する工法で, 鋼管やプレキャスト部材をジャッキで押し込みながら順次継ぎ足す.
押し込み杭	おしこみくい	jacked pile	杭打ち機や既設杭を反力として地盤中に押し込む杭.
押し込硬度	おしこみこうど	press-in hardness	ダイヤモンド角錐などを鉱物などの面に押し付け, 押し込みに要した荷重と窪みの大きさや深さから硬さを求めること.
押し出域	おしだしいき	settled area	地すべり地形において, 地すべり面の脚部から地すべり堆の先端線までの範囲. 定着域, 移動・堆積域ともいう.
押し出し頁岩	おしだしけつがん	sloughing shale	膨潤性粘土鉱物を多く含んだ頁岩. 高い膨潤圧によりボーリング孔内で押し出し現象が発生する頁岩.
押し出工法	おしだしこうほう	incremental launching method	プレストレストコンクリート橋の架設工法の一つ. 橋台の後方にてブロックを打継ぎ順次前方へ押し出す工法.

押し出し性土圧	おしだしせいどあつ	squeezing earth pressure	地圧によってトンネル周辺の地山が塑性化してトンネル内に押し出してくるときに作用する土圧.
押し波	おしなみ	compressional wave	地震の初動P波の成分が、押し（震源から離れる方向）である地震波のこと.
押抜きせん断応力度	おしぬきせんだんおうりょくど	punching shear stress	板状部材の小面積に集中荷重が作用したとき板内に発生するせん断応力. 荷重が作用した部分に押し抜くように作用する.
押抜きせん断試験	おしぬきせんだんしけん	punching shear test	コンクリートに集中荷重を与えるとコンクリートが円錐状に押し抜ける. このときのせん断応力値を測定する試験.
渡島大島火山	おしまおおしまかざん	Oshima-oshima volcano	渡島半島の西方, 日本海に位置する. 1741年の活動は津波を発生させ, 渡島半島に大きな被害を及ぼした.
渡島大島地震	おしまおおしまじしん	the 1741 Oshima-oshima earthquake	1741(寛保1)年8月28日に北海道南部松前西方沖の孤島江良岳の火山活動に関連したM6.9の地震. 渡島西岸・津軽・佐渡で被害. 13日に渡島大島噴火し, 19日に津波が発生. 死者1,467人とされている.
渡島大野断層	おしまおおのだんそう	Oshima-Ono fault	活断層. 確実度 I, 南北～北東方向. 函館平野西縁に位置し活断層群を形成. とう曲(撓曲)および逆向き低断層崖を形成.
オシログラフ	おしろぐらふ	oscillograph	弾性波探査の振動記録装置. 光源・レンズ・ガルバノメータ・刻時装置が備えられ, 記録紙に現像定着する.
オストワルド粘度計	おすとわるとねんどけい	Ostwald's viscometer	毛管粘度計の一種. 毛管中を一定量の液体が流下する時間と液体の密度から粘度を測定する.
オストワルドの段階則	おすとわるとのだんかいそく	Ostwald's step rule	ある条件下で過飽和の蒸気相から核生成が起こる時, 蒸気→過冷却液滴→結晶という段階的な進行を示す法則.
恐山火山	おそれやまかざん	Osoreyama volcano	青森県下北半島北部に位置する第四紀火山(最高峰は釜臥山:標高879m). 安山岩・デイサイト質の噴出物が主体. 山体中央部のカルデラ北岸は地熱地帯.
オゾン層	おぞんそう	ozone layer	成層圏の高度20～40kmに大気中のオゾンの大部分が集まっている気層. 太陽紫外線の大部分を吸収する.
オゾン層破壊	おぞんそうはかい	ozone layer destruction	オゾン層に到達したフロンが紫外線で分解され, 放出された塩素がオゾン分子と反応してこれを破壊すること.
オゾンゾンデ	おぞんぞんで	ozone sonde	オゾン濃度垂直分布測定用のセンサで気象観測用気球に取り付けられる. 地上から約35kmまでの観測に適する.
オゾンホール	おぞんほーる	ozone hole	周囲にくらべオゾン濃度が極端に低い円形状のオゾン層破壊領域で, 1970年代以降, 南極上空で観測されている.
汚濁負荷量原単位	おたくふかりょうげんたんい	unit pollution loading	汚濁負荷量を算出するための原単位で通常(汚濁物質の重量/人/日)で表す.

小田断層	おだだんそう	Oda fault	活断層. 確実度 I, 北東方向. 佐渡島北西部海岸に位置. 外海府活断層系. 東傾斜逆向き低断層崖を形成.
小田山石	おだやまいし	Odayama ishi	鳥取県倉吉市倉吉町産土木用石材. 第四系安山岩.
小樽石	おたるいし	Otaru ishi	北海道小樽市産道路敷石, 砕石用材. 新第三系安山岩.
落ち	おち	slip	①断層の形状や変位を記載する際に, 傾斜方向や基準面食い違いの相対的な位置関係を示す言葉として用いられることがある. しかしながら混乱をさけるため, 前者は「〇〇傾斜」, 後者は「□□盤下がり」と表現するほうが良い. ②土木地質分野で, 地層や節理の傾斜方位を示す語として用いられることがある.
大原断層	おっばらだんそう	Oppara fault	活断層. 確実度 I, 北東方向, 右ずれ断層. 右ずれ変位量は最大3.9km. 岐阜県大野郡清見村に位置. 高山・大原断層帯を構成し, 宮川断層に連続する.
尾太鉱山	おっぷこうざん	Oppu mine	青森県中津軽郡西目屋村にあったCu・Pb・Cuの鉱脈鉱床. 母岩は中古生界と花崗岩・中新統凝灰岩. 1978年閉山.
汚泥	おでい	sludge	スラッジと同義.
音別層群	おとべつそうぐん	Otobetsu Group	北海道東部釧路支庁の釧路炭田付近の新生界古第三系. 淡水～汽水成で炭層を含む礫岩層, 砂岩層, 泥岩層からなる.
女川石	おながわいし	Onagawa ishi	宮城県牡鹿郡女川町石浜御前産敷石・尾根瓦用石材. 中生界粘板岩.
鬼押し溶岩流	おにおしだしようが んりゅう	Onioshidashi lava flow	天明3年の浅間山噴火活動により形成された前掛山北麓の溶岩流. 7km ² 程度の分布面積を有し, 塊状溶岩からなる.
鬼首地熱地域	おにこうべちねつち いき	Onikobe geothermal area	宮城県北西部の脊梁山地に位置する鬼首カルデラ内の高日向デイサイト溶岩ドームの北西側一帯. 間欠泉や泥火山を伴う地熱地帯. 地熱発電が行われている.
オニックス	おにつくす	onyx	①縞めのう. ②鍾乳石・石灰華などで同心円状の縞状構造を示す断面をもつもの.
鬼丸統	おにまるとう	Onimaru series	南部北上帯の下部石炭系最上部の石灰岩相. 黒色石灰岩を主体とし黒色炭質泥岩を伴う.
鬼みかげ	おにみかげ	Oni mikage	花崗岩質のペグマタイト. 鉱物粒の大きさで大(鬼)・中・小みかげという. 和歌山県東牟婁郡新宮付近明神山産の流紋岩にもこの名称がある.
尾根型斜面	おねがたしゃめん	convex slope	凸斜面と同義.
尾之間断層	おのあいだだんそう	Onoaida fault	活断層. 確実度 I, 東西～北東方向. 屋久島南部海岸に位置し, 海岸段丘を変位させている. 南傾斜の正断層.

小野石	おのいし	Ono ishi	①熊本県下益城郡小川町産石碑・石燈籠・墓石用材。かんらん岩（橄欖岩）～蛇紋岩。竹葉石と同質。 ②徳島県阿南市産中生界砂岩。 ③鹿児島市内で採取される加久藤火砕流堆積物の溶結凝灰岩。
小野断層	おのだんそう	Ono fault	活断層。确实度 I，北北東方向。宇治市東部の黄檗断層北端部に位置。地溝・地塁を形成。逆向き断層崖を形成。
尾道みかげ	おのみちみかげ	Onomichi mikage	広島県尾道市栗原・吉和・久保・山波産。中生界黒雲母花崗岩。土木・建築用材。
オパーキュリナ	おぱーきゅりな	<i>Operculina</i>	大型有孔虫の一属。ぜん新世（漸新世）～完新世の熱帯～暖帯の浅海に棲息。中部中新統などの示準化石の種も多い。
オパール	おぱーる	opal	SiO ₂ ・nH ₂ O。硬度4，比重2。非晶質の含水珪酸鉱物で多様な色を示す。美しいものは宝石とされる。高価な宝石としては、メキシコ・オパールは火山岩脈に熱水から沈殿した赤色，オーストラリア・オパールは堆積岩中に地下水から沈殿した緑～紫色が多い。蛋白石ともいう。
オパール質チャート	おぱーるしつちやーと	opaline chert	チャートの一種で，オパール(非晶質シリカまたはクリストバライト)からなるもの。
オパサイト	おぱさいと	opacite	火山岩の石基中に普通認められる黒色不透明な粒状・薄板状のものの総称。
帯板	おびいた	plate strip	細長い帯状の板でストリップという。帯板の曲げによるたわみは梁の問題と同じように考えられるので，帯板の問題を解くことにより平板の力学的性状を知ることができる。
帯板	おびいた	tie plate	組立部材において形鋼を組立てるために使われる短冊状の鋼板。
帯板要素	おびいたようそ	finite strip	平面問題に用いられる有限要素法で，一方向に級数表現を他方向に多項式を用いた要素。
帯工	おびこう	river bed gindle, band works	河川・排水路などで流心に対して直角に設ける横工の一種で落差のない床固め工。
帯状スキャン	おびじょうすきやん	pushbroom scan	直線上に並べたセンサにより 1 ライン分の画像を一度に得ながら，その直線と直交する方向に走査して全体を走査する方式。CCDなどの検知素子を多用。
帯鉄筋	おびてっきん	hoop, tie hoop	柱状の鉄筋コンクリート部材において，軸方向の鉄筋（主筋）の周囲を囲い主筋の座屈防止などに用いられる鉄筋。
尾平鉱山	おびらこうざん	Obira mine	大分県大野郡緒方町にあったCu・Sn・Pb・Zn・Asの鉱脈鉱床とスカルン鉱床。1954年閉山。
オフィオライト	おふいおらいと	ophiolite	造山帯に産する超苦鉄質，苦鉄質岩石群が石灰岩やチャートなどの大洋底堆積物を伴って産するもの。

オフィティック	おふいていっく	ophitic	ドレライト，輝緑岩に発達する組織で，細長い斜長石の結晶間に，他形の輝石が埋めているもの．
オブシディアン	おぶしでいあん	obsidian	黒曜岩と同義．
オフセット測量	おふせつとそくりょう	offset surveying	基準点，基準線を基に鋼巻き尺とポールのみを使用して，任意の点を通る基準線への垂線の長さ（オフセット）と，垂線と基準線の交点の位置を測る距離測量のみで任意の点の位置を決定する測量方法．
オフセット展開	おふせつとてんかい	offset spread	反射波地震探査において震源に発生する雑音を避けるために受振点を震源から離して設置すること．
オフセットVSP	おふせつとぶいえすぴー	offset vertical seismic profiling, offset VSP	受振点を坑井内，震源を坑口から離れた地表に設定して行うVSP．坑井周辺の二次元反射断面が得られる．
オブダクション	おぶだくしょん	obduction	海洋プレートの沈み込みに伴い，その一部が大陸地殻にのし上げる現象またはその過程．
オブダクション帯	おぶだくしょんたい	obduction zone	大洋底リソスフェアの一部が大陸リソスフェアの上に，のし上げが起きる場所．のし上げ帯と同義．
オプティカルメカニカルスキャナ	おふていかるめかにかるすきやな	optical mechanical scanner	ミラーを回転または振動させて走査を行うスキャナ．回転鏡，参照体，検知器，記録装置などから構成される．
オフフォールト余震	おふふおーるとよしん	off-fault aftershock	大きな地震の後，本震の震源域から離れた所で小さな地震活動が起こること．広義の余震とも呼ばれる．
オフラップ	おふらっぷ	offlap	整合一連の地層で，堆積の中心が側方へと移動することによって形成された覆瓦構造．
おぼれ谷	おぼれだに	drowned valley	更新世の海進などにより，陸上の谷地形が海面下に沈んで生じた狭い湾．シルト質の堆積物が多く軟弱地盤を形成している場合もある．
面河酸性岩類	おもごさんせいがんるい	Omogo acid igneous rocks	愛媛県石鎚山西方面河村付近を模式地とする中新世後期～鮮新世前期の貫入とされる花崗岩～流紋岩よりなる珪長質火成岩類．
重みつき平均	おもみつきへいきん	weighted mean	加重平均のこと．各項の寄与の度合いを考慮して得た平均．
親核種	おやかくしゅ	parent nuclide	放射性崩壊によって生じた核種に対する元の核種．
親杭横矢板土留め工法	おやぐいよこやいたどどめこうほう	soldier piles and lagging method, soldier pile with lateral lagging	H形鋼やI形鋼を地中に建込み，掘削に合わせて土留板を挿入する工法．土留の標準的な工法として，広範に用いられている．
親杭ロックアンカー工法	おやぐいろっくあんかーこうほう	soldier piles and rock anchor method	H形鋼などの親杭にロックアンカーを取付けて緊張し，背面の土圧を抑えながら掘削する工法．

親元素	おやげんそ	parent element	放射性核種が放射性崩壊により生じた核種（娘元素）に対する元の核種。厳密には親核種と呼ぶ。
親ダイ	おやだい	primer cartridge	雷管を装てんしたダイナマイト。親ダイの爆発によって雷管のないダイナマイトは爆発が誘発される。
オランダ式工法（干拓地造成法）	おらんだしきこうほう（かんたくちぞうせいほう）	Dutch method of reclamation	オランダ独特の干拓地造成方法で、築堤の内部を排水し底面に柳材、玄武岩の六角柱状岩塊を敷詰めた後埋立てを行う。
オランダ式コーン貫入試験	おらんだしきコーンかんにゅうしけん	Dutch cone penetration test	サウンディングの一種で、二重管コーンペネトロメータを用いる静的円錐貫入試験。主に軟弱な粘性土の強度判定に適する。
折尾石	おりおいし	Orio ishi	福岡県北九州市八幡区折尾産土木用石材。中生界安山岩。
折壁みかげ	おりかべみかげ	Orikabe mikage	岩手県東磐井郡室根村折壁町産建築・装飾・墓石用石材。白亜系折壁複合岩体の閃緑岩。
オリゴクレース	おりごくれーす	oligoclase	組成範囲が $Ab_{90}An_{10}$ ～ $Ab_{70}An_{30}$ のもの。斜長石の一種。三斜晶系。硬度6～6.5。比重2.63～2.65。酸性の深成岩・火山岩・変成岩の主成分鉱物。灰曹長石ともいう。
オリストストローム	おりすとすとろーむ	olistostrome	泥質堆積物などが海底地すべりによって移動し、再堆積してできた地層。異質岩塊を多く含み、時代の異なるものが混在する場合がある。
オリストリス	おりすととりす	olistolith	オリストストローム堆積物中に含まれる外来岩塊。大きさは礫サイズから径数kmに及ぶものまで特に定めはない。
オリビンサンド	おりびんさんど	olivine sand	ダナイトを破碎・整粒したもの。鑄鋼用造形砂・耐火物原料。北海道幌満鉦山産のものが有名。
オリフィス	おりふいす	orifice	水槽や貯水池の側壁や底面に設けた水面下の小孔から水を排出させる際の、円形または多角形の排出口。
オリフィスゲート	おりふいすげーと	orifice gate	水深25m以下の低（水）圧管路型洪水吐きに設置するゲート。
オリフィス式洪水吐き	おりふいすしきこうずいばき	orifice spillway	ダム洪水吐きの一型式で、低圧型管路を有し、洪水吐きの断面高と管長がほぼ同程度のもの。
折渡トンネル	おりわたりとんねる	Oriwatari tunnel	羽越本線羽後岩谷～羽後亀田間に建設され、延長1438m。新第三系の膨張性の泥岩に1917年日本で初めてシールド工法が採用された。
オルザットガス分析	おるざつとがすぶんせき	orsat gas analysis	燃焼ガス中の CO_2 ・ CO ・ O_2 の分析法で、燃焼ガスを吸収液に接触させてガスの体積変化から各成分の体積百分率を算出する。
オルザット式ガス分析計	おるざつとしきがすぶんせきけい	orsat gas analysis meter	携帯型ガス分析計の一種。 CO_2 ・ CO ・ O_2 の測定が可、主に煙道ガスなどの分析に使われる。

オルゼン式万能材料試験機	おるぜんしきばんのうざいりょうしけんき	olsen universal material testing machine	荷重をねじ棒と歯車で加え、荷重測定にてこと目盛り上を移動するおもりを使用する形式の万能材料試験機
オルソクロマティックフィルム	おるそくろまていっくふいるむ	orthochromatic film	光の波長のうちの青色光から黄色光の帯状の光に感度のある乳剤により作られた特殊な写真フィルム。
オルソクォーツアイト	おるそこーつあいと	orthoquartzite	オーソクォーツアイトと同義。
オルソスコープ	おるそすこーぷ	orthoscope	偏光顕微鏡で岩石の組織や鉱物の光学的性質を観察する時に用いる光学系で、光軸と平行な光を試料薄片に透過させる。
オルソフォトグラフ	おるそふおとぐらふ	orthophotograph	正写投影写真とも言い、空中写真を偏位修正しながら、高低のひずみを修正して焼き付けた写真。
オルソフォトマップ	おるそふおとまっぷ	orthophotomap	写真地図ともいい、偏位修正した空中写真に等高線や地図記号、地名などの情報を書き加えたもの。
オルソプロジェクター	おるそぷろじえくたー	orthoprojector	正写投影写真を作るため、普通の空中写真を偏位修正、高低ひずみ修正して補正するための機械。
オルターナティブ・テクノロジー	おるたーなていぶてくのろじー	alternative technology	これまで主流であった技術に代わる技術。再生できるエネルギー資源などを用いることにより資源の保全を図る技術などの意味で用いられる。
オルトケイ酸塩	おるとけいさんえん	orthosilicate	$H_4SiO_4(H_{2n+2}SiO_{3n+1})$ の珪酸塩鉱物。現在はこの分類は使われない。
オルドビス紀	おるどびすき	Ordovician(period)	古生代前期、カンブリア紀の次の時代。三葉虫、腕足類、筆石の全盛時代で魚類、羊歯植物の出現。石灰岩相多い。
オルドビス系	おるどびすけい	Ordovician(system)	古生代オルドビス紀に堆積した地層の総称。
オルビトリナ	おるびとりな	<i>Orbitolina</i>	白亜紀中期の大型有孔虫の一属。殻は最大3cmの低い円錐形でこう結（膠結）質（いわゆる砂質）。日本では四国などに産出。
折れ曲がり褶曲	おれまがりしゅうきよく	kink fold	両翼が平坦で、軸部でシャープに折れ曲がる形式の褶曲。キンク褶曲ともいう。
オロゲン	おろげん	orogene	時期や形式などが同一の造山運動が起っている地帯。
音圧レベル	おんあつれべる	sound pressure level	対象音圧と基準音圧との比を対数目盛に変換したもので、常用対数の20倍に等しい値（dB）である。すなわち20dBが10倍の音圧比を表す。
音響インピーダンス	おんきょういんぴーだんす	acoustic impedance	音波の波面で音圧を体積速度で割った値。単位は音響オーム。

音響基盤	おんきょうきばん	acoustic basement	音波探査で広域に分布する最下位の反射面.
音響測深	おんきょうそくしん	echo sounding	音波または超音波の往復走時から水深を測定する方法. 浅海より10km程度の深海まで適用.
音響探知法	おんきょうたんちほう	sonic detection	①山ハネの前兆である微小破壊音の測定. ②岩盤掘削面のハンマー打撃により緩み層厚を調べる屈折波探査.
音響的透明層	おんきょうてきとうめいそう	acoustically transparent layer	反射法地震探査や音波探査の記録上白く見える部分. 内部に物性の異なる地層境界などが無いことを示す.
音響的ひずみ計	おんきょうてきひずみけい	acoustic strain gauge	被測定物の2点間に張られた弦(測定弦)の固有振動数の変動を測定し, ひずみを求める計器. 振動弦ひずみ計の方が一般的
音響的不透明層	おんきょうてきふとうめいそう	acoustically opaque layer	反射法地震探査や音波探査の記録上黒く見える部分. 成層構造をもち, 固結化の進んだ堆積岩や火成岩など.
音響透過損失	おんきょうとうかそんしつ	sound transmission loss	音波が物体への入射時の入射音エネルギーに対する透過音エネルギーの比の逆数の常用対数を10倍したもの.
オングストローム単位	おんぐすとろーむたんい	angstrom unit	長さの単位(Å). 10^{-10} m.
温室効果	おんしつこうか	greenhouse effect	地球から反射される近赤外線が大気中の気体分子に吸収され熱となることにより地球を暖める効果.
音地土壌	おんじどじょう	Onji soil	西南日本, 特に四国における細粒火山灰土壌の俗称. 多量の火山ガラスを含み, 極めて多孔質である.
おんじゃく	おんじゃく	Onjaku soil	佐賀県北部に分布する玄武岩の風化土の俗称. 自然含水比が最適含水比より高く, 盛土材料として不適.
温水養生	おんすいようじょう	hot water curing	温水によるコンクリートの養生方法. 型枠内外に温水を循環させる方法と製品を温水中に浸す方法がある.
温泉	おんせん	hot spring	温泉法ではつぎの一つに該当するもの. 水温25℃以上・溶存成分が1g/kg以上・所定成分が所定含有量以上.
温泉華	おんせんか	sinter	温泉沈殿物のこと. 温泉の化学的成分が噴出孔や経路に沈殿したもの.
温泉ガス	おんせんがす	hot spring gas	温泉は周囲の岩石との相互作用で化学物質を含むが, 同時にガスを伴うことが多い. この気体の名称.
温泉型金鉱床	おんせんがたきんこうしょう	hot spring type gold deposit	ごく浅い所で熱水から生成した金鉱床. 恐山・別府など.

温泉活動	おんせんかつどう	activity of hot spring	温泉水の湧出とそれにもなう諸現象をさす。温泉変質作用により温泉余土と呼ばれる特殊な粘土を作る。
温泉作用	おんせんさよう	hydrothermal process	温泉水が地下で高温の熱水状態を保つとき、接触する岩石に化学的変化を与え、変質・粘土化をもたらす作用。
温泉地すべり	おんせんじすべり	sofataric landslide	地すべりを素因により分類した一つ。温泉変質帯で発生する地すべり。温泉の硫気・変質作用によってできた粘土が素因。
温泉井	おんせんせい	hot spring well	温泉を湧出させるために掘削する坑井。
温泉地質学	おんせんちしつがく	geology of hot springs	温泉の分布・成因・性質などを地質学的に研究する学問。
温泉沈殿物	おんせんちんでんぶつ	travertine, sinter	温泉中の成分が圧力・pH変化による溶解度減少で沈殿したもの。石灰華が多い。湯の華もこれにあたる。
温泉沈殿物	おんせんちんでんぶつ	travertine	温泉が地下深所から地表に湧出する際に、温度・圧力の減少やpHの変化により、温泉水中に溶けている成分が沈殿したもの。石灰華（炭酸カルシウム）、珪華（シリカ）、明礬、硫黄など。
温泉粘土	おんせんねんど	sofataric clay	温泉余土と同義。
温泉変質作用	おんせんへんしつさよう	sofataric alteration	火山ガスや温泉成分が地下水にとけて酸性の熱水となり、岩石と反応して変質・粘土化をもたらす作用。
温泉余土	おんせんよど	sofataric clay	酸性の温泉水や熱水により岩石が溶脱されて残った珪酸やアルミナを主とする粘土。温泉粘土ともいう。トンネル工事においては膨張性地圧が発生しやすい。
御岳火山	おんたけかざん	Ontake volcano	長野ー岐阜県境に位置する第四紀火山（山頂標高：3,063m）。安山岩・デイサイト質噴出物主体。最新活動時期は1979年。1984年の長野県西部地震に伴い大規模な山体崩壊と岩屑なだれが発生した。
御岳崩壊	おんたけほうかい	Ontake rock slide	1984年長野県西部地震に起因する御嶽山南斜面の大崩壊。岩屑流を伴い、山麓の旅館などで死者15名とされている。
温暖化	おんだんか	global warming	地球温暖化と同義。
音戸石	おんどいし	Ondo ishi	広島県安芸郡倉橋島産土木・板石用材。中生界含角閃石黒雲母花崗岩。倉橋石と同質。
温度応力	おんどおうりよく	thermal stress, temperature stress	温度変化による熱膨張・収縮の不均一な発生、またはこれらの抑制によって物体内部に生じる応力。
温度回復試験	おんどかいふくしけん	temperature buildup test	高温岩盤に水を注入した場合に、注入を停止した後の岩盤の温度の回復状況を連続的に測定する試験。

温度規制	おんどきせい	temperature control	コンクリートの温度応力によるクラックの発生を抑制するために行う設計・施工上の対策.
温度検層	おんどけんそう	temperature logging	孔井内の温度の分布を連続的に測定する方法で、地熱の賦存状態、地下水・熱水・蒸気の通路となる割れ目などの検出に用いる.
温度勾配	おんどこうばい	temperature gradient, geothermal gradient	温度が連続変化している2点間の温度差をその距離で割った値. 地中では深さにつれて温度が上昇する割合.
温度成層	おんどせいそう	thermal stratification	海洋や湖沼において水温の違いにより形成される成層構造で、おもに夏期に形成される.
温度ひび割れ	おんどひびわれ	thermal cracking, thermal crack	セメントの水和反応による発熱に起因した温度応力によってコンクリートに発生するひび割れ.
温度ひび割れ指数	おんどひびわれしすう	thermal cracking index	コンクリートの温度ひび割れの発生を確率的に評価する指数. コンクリートの引張強度と引張応力との比で表される.
温度補償	おんどほしょう	temperature compensation	測定装置に及ぼす温度変動の影響を減らすこと.
温度補正	おんどほせい	temperature correction	設定した標準温度時の機器の測定値と、温度が変化したときの測定値の差分を取り除く補正.
温度躍層	おんどやくそう	thermocline	水温の鉛直方向の傾度の一番大きい深さの層.
女川層	おんながわそう	Onnagawa Formation	秋田地方に分布する新第三系上部中新統. 男鹿半島南岸女川付近を模式地とする. 海成で珪質ないし硬質泥岩からなる.
音波検層	おんぱけんそう	acoustic logging	孔井内で地層中のP波の伝搬速度を測定する検層. 周波数15~30Hzのパルス状の音波を発振し、二つの受振器でとらえる.
音波探査	おんぱたんさ	acoustic exploration	海(水)底下の地質構造を調べるための音波による反射法地震探査. 振源にはエアガン, スパークなどの小エネルギーのものを使う.
音波反射法	おんぱはんしゃほう	acoustic reflection survey	音波探査と同義.
音波礫層	おんぱれきそう	scattering gravel layer	音波探査で、音波が正常に反射しない現象をひき起こす礫層. 音波散乱層ともいう.
科	か	Family	生物の分類単位の一つ. 亜科の次に高く、上科の次に低いカテゴリー. 科のカテゴリーに属する個々のタクソン.
加圧水型原子炉	かあつすいがたげんしる	pressurized water reactor, PWR	原子炉内の一次冷却水を加圧して直接沸騰させないで蒸気発生器に通し、二次冷却水を蒸気に変えて取り出す方式の原子炉.

加圧層	かあつそう	confining bed	帯水層に接し、帯水層と比較して透水性の低い地層で、帯水層を被圧化させる働きをする地層。粘土やシルトなど。
加圧板	かあつばん	pressure plate	加圧板法によるpF試験において試料室と大気圧側の境界に用いる素焼き板。
加圧板法	かあつばんほう	pressure plate method	pF試験の一種。密閉した試料室に圧力を加え、その試料中の水分と大気圧の自由水とを加圧板を介して接続させる。
加圧掘り	かあつぼり	full pressure drilling	異常高圧層の掘進には高い比重の泥水で抑圧掘進しなければならないが、調泥しやすい比重の泥水を用い不足分はポンプ循環圧の一部を加え掘進する工法。
過圧密状態	かあつみつじょうたい	over consolidation	圧密降伏応力が、有効土被り圧より大きい状態。
過圧密試料	かあつみつしりょう	over consolidated sample	過圧密状態の試料。
過圧密粘土	かあつみつねんど	overconsolidated clay	圧密降伏応力が現在の有効応力より大きい粘土。過去の先行荷重の除去・乾燥・セメンテーションなどで生じる。
過圧密比	かあつみつひ	overconsolidation ratio	圧密降伏応力と現在の有効応力の比。過去の応力履歴を示し、粘土のダイレイタンシーを支配する指数。
加圧ろ過（加圧濾過）	かあつろか	pressured filtration	代表的な機械的ろ過方式の一種。圧入された汚泥はろ枠部に入ってる過され、脱水ケーキはろ室に蓄積される。
カーテンウォール	かーてんうおーる	curtain wall	発電所で冷却水とし低温度の深層海水を取水するため取水口前面に構築し表層海水を遮断する隔壁。
カーテングラウチング	かーてんぐらうちんぐ	curtain grouting	漏水量、浸透流速および揚圧力の低減などを目的としてダム基礎岩盤内に膜状に施工するセメントなどの注入工。
ガードエレクトロード・ログ	がーどえれくとろーどろぐ	guard electrode electrical log	電流収束型電気検層。泥水と地層の比抵抗の差が大きい場合などに精度の高い測定をするための方法。
カードボードドレーン工法	かーどぼーどどれーんこうほう	card-board drain method	幅10cm程度の厚紙を鉛直ドレーン材として軟弱地盤中に挿入し、地盤の圧密を促進させる工法。
ガードル	がーどる	girdle	ステレオネットに投影された極の分布に現れるパターンの一つ。
カーナル石	かーなるせき	carnallite	$KMgCl_3 \cdot 6H_2O$ 。斜方晶系。硬度2.5。比重1.60。潮解性を有する無～白色の六角板状結晶。カーナライトともいう。
カーブマッチング法	かーぶまっちんぐほう	curve matching	調査結果の解析の際、観測データと理論モデルを比較し最適構造や最適値を決定する方法。

カーボン探査	かーぼーんたんさ	carbone radiometric survey	自動車を利用して、移動しながら行う放射能探査。広い区域を能率的に探査ができる。
カーボナタイト	かーぼなたいと	carbonatite	方解石やドロマイトを主成分とするマグマ起源の炭酸塩岩。安定大陸地域や地溝帯で産する。
カーボナタイト 鉱床	かーぼなたいとこう しょう	carbonatite deposit	カーボナタイト中のNb・Sr・Zr・軽希土類などの元素が濃集した鉱床。またリン灰石・黒雲母・磁鉄鉱などの鉱床となることがある。
カーボランダム	かーぼらんだむ	carborundum	SiC。六方晶系。硬度9.5。比重3.17～3.21。人工鉱物で粉末研磨剤の他、耐火材料・発熱体・高温半導体として利用。隕石鉱物などとして天然にも産する。
カーボンインパ ルプ法	かーぼんいんぱる ぷほう	carbon in pulp method	金鉱石から金を活性炭に吸着させた後、分離し電解により金を回収する精錬法。
カーボンビット	かーぼんびつと	carbon bit	ダイヤモンドビットと同義。
カール	かーる	cirque	氷河の浸食作用によって形成された急な谷壁で囲まれた半円形ないし半楕円形の平面形をもつ谷地形。圏谷と同義。
カール湖	かーるこ	cirque lake	圏谷湖と同義。
カールスバーグ 海嶺	かーるすばーぐかい れい	Carlsberg ridge	インド洋北西部のインド中央海嶺の北方延長にあたる海嶺。
カールスバド双 晶	かーるすばどそう しょう	carlsbad twin	火成岩中の斜長石やアルカリ長石に見られるC軸を双晶軸として(010)または(100)面を接合面とする平行双晶。
カールソン形応 力計	かーるそんがたおう りょくけい	Carlson stress meter	カールソン型土圧計と同義。
カールソン型計 器	かーるそんがたけい き	Carlson meter	緊張させたピアノ線の伸縮量を電気抵抗の変化として検出することにより荷重、変位などを計測する計器。1930年にダムの応力測定用としてR. W. CARLSONが開発した。
カールソン型傾 斜計	かーるそんがたけい しゃけい	Carlson type inclinometer	カールソン型の傾斜計。カールソン型計器参照。
カールソン型土 圧計	かーるそんがたどあ つけい	Carlson earth pressure gauge	土圧を受けるダイヤフラムの変位や変形量をカールソン型ひずみ計で測定する土圧計。
カールソン型ひ ずみ計	かーるそんがたひず みけい	Carlson strain gauge	カールソン型のひずみ計。カールソン型計器参照。
カール氷河	かーるひょうが	cirque glacier	凹地形を形成するカール中に発達する山腹の氷河。回転運動によってカール壁とカール底を削磨し、カール地形を発達させる。山地氷河の一つである。圏谷氷河ともいう。

カール壁	かーるへき	cirque wall	カールの三方を囲う急峻な崖。よく発達したカールではカール壁高とカール底長の比率はほぼ1:3になる。カールを囲む円形状の急な谷壁で氷食が進むとアレートやホルンがつくられる。
界	かい	group	時間層序区分の最も大きい単位で年代区分の代に対応し、ある代の期間中に形成された全ての地層をさす。
階	かい	stage	時間層序区分の基礎的単位で年代区分の期に対応し、ある期の期間中に形成された全ての地層をさす。
外因的地質作用	がいいんてきちつ さよう	exogenetic geological processes	風化・浸食・運搬・堆積などのように、地表付近で主として太陽エネルギーと重力作用などによって生じる作用。
灰雲サージ	かいうんさーじ	ash-cloud surge	火砕流の上面から排出された細粒子やガスが地表面に定着するまでサージとしてふるまう現象。
海淵	かいえん	deep	深さ6,000m以上の深海底の凹所のうち、測量により地形が十分明らかなもの。海溝内の特に深く狭い部分であることが多い。
ガイガーカウンタ	かいがーかうんた	Geiger-Müller counter	放射線量を簡単に測定する装置。主にβ線・γ線の壊変数を測定する計数管。ガイガー域と呼ばれる高電圧を使用する。1928年ドイツのガイガーとミュラーが考案。ガイガー・ミュラーカウンタ（計数管）・GM計数管と同義。
海崖	かいがい	coastal cliff	海食によって海岸につくられる崖で海食崖ともいう。しばしば地質構造に従った形を取る。海に面した急斜面。古い海食崖からなる斜面と、現在海食によって造られている海食崖の双方を含む。
外核	がいかく	outer core	地球の核のうち、中心からの半径約1,300kmより外側の部分。S波を伝えないので、液体の状態にあると考えられている。
灰褐色ポドゾル性土	かいかっしょくぼど ぞるせいど	gray-brown podzolic soil	成帯性土壌型の一つ。湿潤冷温帯の落葉樹林下に分布しポドゾル化は褐色ポドゾル性土より弱い。
貝殻構造	かいがらこうぞう	shell structure	軟体動物や腕足類などの殻に見られる炭酸カルシウムの結晶と有機物質がつくる種々の微細な構造。
貝殻状断口	かいがらじょうだん こう	conchoidal fracture	二枚貝の内側のような円形または扇状の形をしたくぼんだ形の断口。緻密な鉱物や岩石に見られる。
貝殻石灰岩	かいがらせっかがん	coquinoid limestone	ほとんど壊れていない貝殻が淘汰されることなく集積した石灰岩。
海岸気候	かいがんきこう	coastal climate	海に面した大陸の周縁部の気候。海陸風の発達が顕著で全体として大洋気候と大陸気候の中間的特徴を持つ。
海岸砂丘	かいがんさきゅう	coastal sand dune	内陸砂丘に対し海岸に配列した飛砂の堆積による小高い丘。通常は海岸線に平行か多少斜めに連なる。
海岸浸食	かいがんしんしょく	beach erosion	海岸の構成物が削はくされて海岸が後退すること。多くは他から海岸への土砂供給量の減少によって発生する。

海岸浸食制御工法	かいがんしんしょくせいぎょこうほう	protection against beach erosion	波浪による陸岸の浸食を制御する機能を有する海岸構造物。海岸堤防・防砂突堤・離岸堤・養浜工など。
海岸線	かいがんせん	coastline, shoreline	ほぼ最高高潮面と陸地が交る線で、その際打ち上げ波のある場合はそれによって生ずる崖を連ねた線。
海岸段丘	かいがんだんきゅう	coastal terrace, marine terrace	海成段丘と同義。
海岸地形	かいがんちけい	coastal landform	過去～現在に至るあらゆる海水準のもとで、波や流れなどの海の営力を受けて形成された地形。
海岸平野	かいがんへいや	coastal plain	成因上、浅い海底平坦面が陸化するか、海から砂礫の供給によって海岸線が後退してできる平野のこと。
海岸流	かいがんりゅう	coastal current	潮流、吹送流、海流の反流や伴流によって生じる海岸線に平行する流れで、磯波帯の沿汀流と区別される。
回帰式	かいきしき	regression formula	ある変数が他の変数の変化に対応して変化する関係を表す数式。
回帰分析	かいきぶんせき	regression analysis	ある変数yの変動が他の変数x1, x2, …xnの変動によってどの程度説明されるかを分析する手法。
海丘	かいきゅう	hill	海底からの比高1,000m未満の孤立した高まり。頂部が平坦で比高500m以下のものを特に平頂海丘と呼ぶ。
開渠	かいきよ	open channel	一般の河川・道路の側溝などのように自由表面が大気圧を受け、重力の作用によって流下する水路。
街渠	がいきよ	gutter	歩道と車道の境界部にあるL型側溝で、完全に舗装された街路の路面排水に用いられる。
海峡	かいきょう	strait	二つの陸地に挟まれた狭い水路で、その両出入口が広い海域に通じるもの。
外業	がいぎょう	field work	屋外、野外における各種諸作業の総称。室内で行う内業に対する語。
海溝	かいこう	trench	海底の細長くて狭く、かつ急斜面で囲まれた深い凹所で普通6,000m以上の深所。弧状列島と平行し、島弧－海溝系をつくる。
海溝三重会合点	かいこうさんじゅうかいこうてん	trench triple junction	3つの海溝が交わるプレートの境界。房総半島沖の日本海溝－伊豆小笠原海溝－相模トラフの会合点が一例。
海溝周縁隆起帯	かいこうしゅうえんりゅうきたい	marginal swell	海溝の大洋側斜面から大洋底に移る境界付近において、ほぼ海溝と平行に形成されている地形的高まり。

開口性フラクチャー	かいこうせいふらくチャー	non closed fracture	岩盤中の割れ目のうち、地下水などの流動が可能で開口性の割れ目。オープンクラックと同義。
海溝付加体	かいこうふかたい	accretionary prism	付加プリズムと同義。
開口モード	かいこうモード	opening mode	クラックの変形様式の一つで、クラック面に垂直な方向に変形する様式のこと。
開口率	かいこうりつ	opening ratio	密閉型シールドの排土用開口部の掘削断面積に対する比率。本来はブラインドシールドで使用した用語。
開口割れ目	かいこうわれめ	open crack	岩盤中の割れ目のうち、充填物がなく空隙があるもの。応力解放や面沿いの風化生成物の流出などにより形成。
海谷	かいこく	submarine canyon	海底谷と同義。
概査	がいさ	reconnaissance survey	地質調査などにおいて精査に先行して行われ、対象地域の概要把握と調査内容の絞り込みを目的とする。
カイザー効果	かいざーこうか	kaiser effect	岩石等が応力を受けて微小破壊を起こす発生頻度特性が、過去に受けた最大応力値を境に大きく変化すること。AE参照。
開削工法	かいさくこうほう	cut and cover method	地表面から溝を掘削し、その中にトンネル躯体を構築後、埋め戻してトンネルを完成させる工法。
開削トンネル	かいさくとんねる	cut and cover tunnel	開削工法で構築されたトンネル。開削工法参照。
海山	かいざん	seamount	比高1,000m以上の孤立した円錐形の海底の高まり。比較的急な斜面と小さな頂部を持つ海底火山。
海山列	かいざんれつ	seamount chain	一線に並ぶいくつかの海山。麓は比較的平坦な海底で分けられる。
χ^2 検定	かいじじょうけんてい	chi-square test	χ^2 分布に従う検定統計量を用いて行う、ある確率分布モデルに対する検定方法。
外射図法	がいしゃずほう	external perspective projection	一般的な地理図に用いられている投射図法で、地球外の視点から地球に外接する平面に投射する図法。
回収比	かいしゅうひ	recovery ratio	コアの乱れの判定で一般的に用いられる指標。試料採取率と同義。
回収率	かいしゅうりつ	recovery rate, recovery factor	注入量に対して戻ってきた量の割合のこと。

塊状	かいじょう	massive	節理・片理など分離面の少ない岩盤の性状.
海上曳航磁力計	かいじょうえいこう じりょくけい	seaborne magnetometer	海上磁気探査において、船から曳航して使用する磁力計。プロトン磁力計がよく用いられる。
塊状岩盤	かいじょうがんばん	massive rock	①層理面や片理面などの発達しない岩盤 ②断層・節理などの分離面の少ない岩盤
海上原位置試験	かいじょうげんいち しけん	offshore in situ test, offshore in-situ test	海上で実施する原位置試験で、水深20～30m程度までは設置式足場などを用いて孔内原位置試験やサウンディングが実施されている。
塊状鉱床	かいじょうこうしょう	massive ore deposit	一定の方向性や形状を持たずに濃集した鉱石の集合体。
海象災害	かいしょうさいがい	oceanographic disasters	潮位上昇による高潮・地震や火山噴火による津波・波浪による海岸浸食などを誘因とする災害。
海上サウンディング	かいじょうさうん でいんぐ	offshore sounding	海上でのサウンディングで、静的コーン貫入、標準貫入、ベーン、イスキメータ試験などが実施されている。
海上磁気測量	かいじょうじきそく りょう	marine magnetic survey	船舶航行により海上で地磁気の分布を調べること。主としてプロトン磁力計が使われる。
海上地震探査	かいじょうじしんた んさ	marine seismic survey	海上で行う地震探査で、反射法、屈折法がある。振源にはスパーカ、エアガンなどを用いる。
海上重力計	かいじょうじゅう りょくけい	sea surface gravimeter, sea gravimeter	船舶に積み込んで使用する重力計で、本体は船上の鉛直ジャイロスコープ上に取り付けられる。
階状準平原	かいじょうじゅんへ いげん	stepped peneplane	階段状の形態を示す準平原。
塊状溶岩	かいじょうようがん	block lava	玄武岩溶岩のフロントに生ずる、冷却固化した表面が溶岩の流動に伴い破碎されて等粒径の角張った岩塊集合体状となった溶岩。
塊状ラテライト	かいじょうらてらい と	massive laterite	連続した固い構造を持つラテライト。
海食甌穴	かいしょくおうけつ	marine pothole	波で水中の礫が回転することによって岩の中に穿たれた穴。穴の底にはしばしば礫が見られる。
海食崖	かいしょくがい	sea cliff	波食・磨食・溶食などにより海に面する斜面基部がえぐられ、その上部が崩壊して形成された崖。波食崖と同義語。
海食作用	かいしょくさよう	marine erosion	波の強い衝撃、砂礫による磨耗、局所的な強い水流、溶食などによる海岸の浸食作用全体のこと。

海食台	かいしょくだい	abrasion platform	潮間帯に形成された波食棚の外縁に小崖を介してその先の海面下に見られる緩傾斜の浸食面。
海食地形	かいしょくちけい	marine erosive feature	波浪や海流による海食作用によって形成された地形。海食崖・海食台など。
海食洞	かいしょくどう	sea cave	海食崖の断層・節理などに沿って深く抉られた穴で、裏面に抜けると海食洞門になる。
海震	かいしん	sea shock	海上で船舶が感知する地震。地震動が音波として海水を伝わって生じる。
海進	かいしん	transgression	海水面の上昇あるいは陸地の沈降や浸食などによって、海岸線が陸側に前進すること。
海図	かいず	nautical chart	海域や水路について行われた測量に基づいて作成された地図で、船舶の航行に用いられる。メルカトル図法で作られる。
崖錐	がिसい	talus	急崖あるいは自由面から風化生産された岩屑が、その基部に堆積して作った半円錐状の堆積地形。
崖錐クリープ	がिसいくりーぷ	talus creep	崖錐を構成する粗粒な岩屑が、ゆるやかに斜面下方に移動する現象。最も緩慢なマスマーブメントの一つ。
崖錐斜面	がिसいしゃめん	talus slope	急崖から生産される岩屑がその基部に堆積してできた斜面。その傾きは、岩屑の安息角に近い場合が多い。
海水準変動	がिसいじゅんへんどう	sea level change	海面の陸地に対する昇降運動。海面そのものの運動と地域的な地盤変動の結果現われる見かけ上の運動がある。
海水浸入	がिसいしんにゆう	salt-water intrusion	臨海部の帯水層に密度流や地下水位低下に伴う移流により海水が浸入し、地下水中の塩分濃度が高まること。
開水性土留め	がिसいせいどどめ	non-watertight earth-retaining structure	地下水の流入を許容する土留めの形式。親杭横矢板土留めが代表的なものである。
崖錐堆積物	がिसいたいせきぶつ	talus deposit	斜面を構成する岩碎あるいは岩盤の一部が、斜面崩壊により、斜面の基部に半円錐状に堆積したもの。
海水中酸素同位体比	がिसいちゅうさんそどうたいひ	seawater oxygen isotope ratio	海水中の酸素の安定同位体 ¹⁸ Oと ¹⁶ Oの比。化石中の酸素同位体比は、古気候変動の指標とされている。
開水導水路	がिसいどうすいろ	headrance canal	管路のように上部が閉塞されたものではなく、また上部に構造物などが無い導水路。
崖錐ほ行（崖錐匍行）	がिसいほこう	talus creep	崖錐クリープと同義。

海水面	かいすいめん	sea level	波などの存在を除外した静かな海面。平均高さをとった平均海水面のうち、東京湾中等潮位を我が国の標高の基準としている。
海水面変動	かいすいめんへんどう	sea level change	短期的には潮汐、長期的には大陸氷河の消長や地域的な地殻運動により、海水面が上下すること。
海水揚水発電	かいすいようすいはつでん	seawater pumped storage power generation	海を下池として利用し海水を上部調整池へ揚水し発電する方式。パイロットプラントが沖縄県国頭村に平成11年3月完成。
開水路	かいすいろ	open channel	一般の河川・道路の側溝などのように自由水面が大気圧を受け、重力の作用によって流下する水路。
開水路流	かいすいろりゅう	open channel flow	自由水面を持つ流れ。
ガイスラー管	がいすらーかん	geissler tube	真空放電の実験に用いられる放電管。通常電極にはアルミニウムを用いる。
海成	かいせい	marine	海を成因場所とするもの。
海成相	かいせいそう	marine facies	海底にたまった堆積物がもつその生成環境を反映した独自の特徴。堆積物が定着した水深によって特徴が異なる。
海成層	かいせいそう	marine sediment	海成堆積物と同義。
海成堆積物	かいせいたいせきぶつ	marine sediments	海底に堆積した堆積物。陸源性と大洋性に大別できる。前者は陸源の碎屑物、後者は生物起源軟泥・礫性石灰岩など。
海成段丘	かいせいだんきゅう	marine terrace	過去の海の浸食・堆積作用で形成された平坦面が陸化してできた地形。
海成粘土	かいせいねんど	marine clay	海底に堆積した粘土。海成粘土が陸化すると、粘土層からの塩分が溶脱し、練り返し強さが低くなることが多い。
改正メルカリ震度階	かいせいめるかりしんどかい	Modified Mercalli Scale, MM Scale	WoodとNewmannが、1931年に提唱した12階級の震度階。アメリカを始めとする諸国で広く使用されている。
開析	かいせき	dissection	浸食基準面が下がり、地形の原面が外的営力により浸食されること。
解析空中三角測量	かいせきくうちゅうさんかくそくりょう	analytical aerial triangulation, analytical triangulation	解析法を用いた空中三角測量。空中写真上の各点をコンパレータで測定した写真座標を基に、計算機で解析的に行うもの。
解析空中写真測量	かいせきくうちゅうしゃしんそくりょう	analytical triangulation	解析法を用いた空中三角測量による標定と標定結果に基づく図化作業。解析図化機が使用される。

海跡湖	かいせきこ	lagoon	砂州などが湾口で成長し、ついに湾口をふさいで海と切り離されてできる湖。ラグーン、潟湖、潟ともいう。
開析谷	かいせきこく	dissected valley	地形の原面が外的営力によって刻み込まれ形成された谷。
解析射線法	かいせきしゃせんほう	analytical radial triangulation	解析的に計算で求めた放射三角測量。写真上で測角中心から測った角度を使用して、各点の平面位置を求める。
解析図化機	かいせきずかき	analytical plotter	アナログ式の実体図化機の機能を計算機を用いて行う装置。写真座標とモデル座標の変換をリアルタイムで行う。
開析扇状地	かいせきせんじょうち	dissected fan	浸食谷によって開析された扇状地。
開析台地	かいせきだいち	dissected plateau	浸食谷によって開析された台地。
開析度	かいせきど	degree of dissection	地形原面が谷の発達により開析・喪失された度合い。
解析ニ科尔	かいせきにこる	analyser	偏光顕微鏡に取り付けられた二つの偏光板のうち、上方の鏡胴に組み込まれたもので下方のニ科尔に対して偏光方向が直交する。
開析平野	かいせきへいや	dissected plain	河成や海成の平野で浸食基準面が相対的に下がり、浸食が復活して形成された大地。
回折角	かいせつかく	angle of diffraction	光波・音波・弾性波などが回折する角度。
回折格子	かいせつこうし	diffraction grating	光の回折現象を応用した分光素子。
回折格子分光計	かいせつこうしぶんこうけい	grating spectrometer	光のスペクトルを得るために回折格子を用いる装置で、紫外・可視分光光度計などに分類される。
回折トモグラフィ	かいせつともぐらふい	diffraction tomography	初動以降の回折波や散乱波を用いて、地下の速度異常についての二次元的イメージを求める弾性波トモグラフィの一手法。
階層構造	かいそうこうぞう		同じ岩質でも深度により温度・圧力などが異なり、変形様式が異なる。これら異なった構造の重なりを示す。
灰曹長石	かいそうちょうせき	oligoclase	灰長石(An)と曹長石(Ab)の中間組成の斜長石で、 $Ab_{90}An_{10} \sim Ab_{70}An_{30}$ のもの。三斜晶系。硬度6~6.5。比重2.63~2.65。オリゴクラスともいう。
外挿法	がいそうほう	extrapolation	xの関数f(x)において、任意のxの値 x_i がxの値の最大値と最小値の間になく外側にある時のf(x)を外挿という。

解像力	かいぞうりょく	resolving power, resolution	光学系の分解能. 1mm幅の中で分離して見える縞目の本数で表される.
海退	かいたい	regression	海水面の下降あるいは陸地の隆起などによって, 海岸線が海側に後退(移動)すること.
海台	かいだい	plateau	頂上が比較的平坦で広さが100km ² 以上あり, 全周囲について200m以上の比高をもつ海底の高まり.
外帯	がいたい	Outer zone	中央構造線より南の太平洋側の地域. 北側から, 三波川帯, 秩父帯, 四万十帯がある. E. ナウマンが命名.
海田大橋	かいたおおはし	Kaita bridge	広島市にある中央径間250mの日本最大の鋼製桁橋. 1990年完成.
階段基礎	かいだんきそ	stepped foundation	構造物基礎の支持力が不足している場合, 底面積を広げるために階段形にした基礎.
開端杭	かいたんくい	open end pile	先端部を閉塞しない鋼製, コンクリート製の中空杭.
階段護岸	かいだんごがん	revetment with steps	河川や海岸などの水辺空間の親水性や利便性を高めるために, 階段状に施工された緩傾斜の護岸.
階段式魚道	かいだんしきぎょどう	fish ladder	魚道の一型式で, 魚道にいくつかの階段状の段差を設けて高低差を克服する方式のもの.
階段式採掘法	かいだんしきさいくつほう	bench mining	採掘切羽を階段状にして, 鉱床を水平スライス状に上方から順次下方に採掘する露天採掘の代表的工法. 階段斜面の傾斜は通常60°~70°.
階段状構造土	かいだんじょうこうぞうど	steps	緩斜面で高さ数十cmの急傾斜部分と平坦部からなる階段状の構造土. 周氷河地形の一つで階状土ともいう. 急傾斜部分が礫質のものをsorted steps, 土質のものをnon-sorted steps, 土質で植生におおわれているものをturf-banked terrace(植被階状土)と呼んでいる.
階段状断層運動	かいだんじょうだんそうらんどう	step-faulting	階段断層を形成するような断層運動のこと.
階段断層	かいだんだんそう	step faults	ほぼ同一の走向傾斜の正断層群で, 階段状に地層を順次落下させている断層群.
階段発破	かいだんはっぱ	bench blasting	階段状にベンチを作りながら発破で掘り下げていく方法. 施工ベンチの上から鉛直下方または斜面に平行下向きに発破孔を設定する発破形式.
階段掘り	かいだんぼり	bench method	露天採掘やトンネル掘削で, 階段状に掘削する方式. トンネルでは, ベンチ式掘削と呼ぶのが一般的である.
階調	かいちょう	gradation	画像の連続的濃淡値を整数値に変換したときの濃淡の変化. 白黒写真や画像における濃淡の再現性.

灰長石	かいちょうせき	anorthite	CaAl ₂ Si ₂ O ₈ . 斜長石のCa端成分. 三斜晶系. 硬度6~6.5. 比重2.74~2.76. 広く火成岩, 変成岩の構成鉱物として産する. 北海道倶多良火山の噴火遊離巨晶は有名. アノーサイトともいう.
貝塚	かいづか	shell mound	海岸や湖沼近くに移住した古代人が補食した貝類の殻を遺棄してできた遺跡. その位置と貝種から環境がわかる.
海底火山	かいていかざん	submarine volcano	海底に生じた火山. 海山や海丘でしばしば群をなし, 海嶺・海膨と地形的に漸移する.
海底火山活動	かいていかざんかつどう	submarine volcanic activity	マグマや火山ガスが海底に噴出される作用. 溶岩の流出, 火山体の形成, 火砕物の堆積, 地殻変動などがある.
海底丘	かいていきゅう	knoll	深海底から緩やかに盛り上がっている海底地形をさす. 海山ほどシャープなものではない.
海底金属鉱床	かいていきんぞくこうしょう	submarine metallic deposit	海底下に濃集し, 経済性評価の高い金属鉱床. 海底熱水鉱床・重鉱物漂砂鉱床など.
海底ケーブル地震観測システム	かいていけーぶるじしんかんそくしすてむ	ocean bottom seismograph system	海底地震計を海底ケーブルを経て, 陸上の観測所から気象庁へデータを送る地震観測システム.
海底谷	かいていこく	submarine canyon	海底の谷. 大陸棚を浅く刻むものと陸棚斜面を刻み深海に達するものとに大別される.
海底骨材資源	かいていこつざいしげん	marine aggregate	海底に分布する骨材(砂利・砕石材)用岩石および砂. 除塩技術の向上により用途拡大.
海底資源	かいていしげん	submarine resource	海洋底および海底下に濃集し, 経済的価値を有する, または有することを予想される地殻物質.
海底地震	かいていじしん	marine earthquake, oceanic earthquake	海底が震央となる地震. ほとんどがプレート境界型である. 断層が海底面付近まで表れると, 津波を生じることもある.
海底地震観測	かいていじしんかんそく	ocean bottom seismological observation	海洋底に地震計を設置し, 主に海底地震を観測すること.
海底地震計	かいていじしんけい	submarine seismograph, sea-bottom seismograph	海底で観測を行う地震計. 碇置浮標方式・自己浮上方式・海底ケーブル方式などがある.
海底地震探査	かいていじしんたんさ	ocean bottom seismic survey	海底の二次元速度構造を調べるための探査手法の一つ. 海底に地震計を複数個線状に設置し, その間でエアガンなどによる人工地震波を発生, 記録する.
海底地すべり	かいていじすべり	submarine land slide, subsolifluction, submarine sliding, submarine slope failure	海底堆積物が重力の作用によって斜面を懸濁流を伴って滑動する現象. 堆積物の過剰な供給や地震によって引き起こされる.
海底地すべり堆積物	かいていじすべりたいせきぶつ	subsolifluction layer, submarine sliding deposit	重力により海底の堆積物が斜面を移動して再堆積したもの. 大規模なものを想定してオリストストロームと呼ばれたこともある.

海底地盤	かいていじばん	submarine ground	海底面を形成する地盤。地盤の種類としては岩盤・砂地盤・粘土地盤・ヘドロなど。
海底重力計	かいていじゅうりよ くけい	underwater gravimeter	海底での重力測定を行う重力計。陸上重力計を耐水耐圧性容器に入れ、船上からケーブルを通して操作する。
海底扇状地	かいていせんじょう ち	submarine fan	海底の扇状地。三角州として形成された大陸棚のものと深海底のものがある。
海底堆積物	かいていたいせきぶ つ	marine sediment	海水を媒介として運搬堆積した物質で、陸源堆積物と遠洋性堆積物に分けられる。
海底探査	かいていたんさ	undersea prospecting	海底下の鉱物資源や地形・地質および地下構造を調査するために行う各種物理探査、地質調査。
海底炭田	かいていたんでん	submarine coal field	海底下に存在し、経済価値のある炭層が豊富にある地域。日本では長崎沖、釧路沖が有名。
海底地形図	かいていちけいず	bathymetric chart	等深線によって表現された海底の地形図。
海底地質学	かいていちしつがく	submarine geology	海洋の地質を研究する地球科学の一分野で、研究分野は海底の堆積学・層序学・構造地質学など多岐に渡る。
海底着座ボーリング	かいていちゃくざ ぼーりんぐ	remote controlled seafloor drilling	足場が設置できない大水深でのボーリングに用いられる方式で、ボーリング装置を海底に沈め、船上からリモートコントロールによって操縦する。
海底土石流	かいていどせきりゅ う	submarine debris flow	大量の堆積物が海底斜面に沿って崩壊・滑動して一度に移動する現象。
海底トンネル	かいていとんねる	submarine tunnel	海底下に設けられたトンネル。代表的なものに青函トンネル、関門トンネル、東京湾横断道路などがある。
海底熱水鉱床	かいていねっすいこ うしょう	sea-floor hydrothermal deposit	火山活動に伴って海底に湧出した熱水から硫化物などが沈殿して形成された鉱床。
海底風化	かいていふうか	submarine weathering	海底に露出している岩体が、酸化・溶解あるいは生物の作用を受けて変質し、二次的物質に変化すること。
海底噴火	かいていふんか	submarine eruption	海底で起こる噴火。海面の変色や軽石の浮上がりで噴火が認められることが多い。水圧に打ち勝ち爆発的噴火に至ると大津波を発生させることがある。
海底噴気堆積性 鉱床	かいていふんきたい せきせいこうしょう	submarine exhalative sedimentary deposit	海底で噴気や熱水作用で生成した鉱床。噴気堆積鉱床と同義。
海底盆地	かいていぼんち	ocean basin	海嶺・海膨・海台などで囲まれた深海底の盆地で、大洋の大部分を占める。

海底面状況図	かいていめんじょうきょうず	seabed condition map, submarine environment map	海底面の傾斜・凹凸・植生などの他、沈没船などの障害物や海底構築物を記載した図面。
海底油田	かいていゆでん	offshore oil field	海洋油田。海底下に賦存する油・ガス田。海洋プラットフォームなどを用いて開発・生産する。
灰鉄輝石	かいてつきせき	hedenbergite	$\text{CaFe}^{2+}[\text{Si}_2\text{O}_6]$ 。単斜晶系。硬度6。比重3.64。暗緑色ないし黒色の柱状結晶でCa, Feに富む輝石。石灰岩、鉄分に富む堆積岩が接触変成作用を受けてできる。ヘデンベルグ輝石ともいう。
回転貫入鋼管杭	かいてんかんにゆうこうかんぐい	rotary penetration steel pipe pile method	鋼管杭を回転しながら貫入することにより無排土でかつ低騒音、低振動で杭を施工する工法。
回転貫入サウンディング	かいてんかんにゆうさうんでいんぐ	rotary penetration test	ロッドにつけた特殊なビットを地中で回転させその抵抗の大きさによって土質性状を調査する方法。
回転結晶法	かいてんけっしょうほう	rotating-crystal method	短波長の放射線あるいは粒子線を用い、結晶を回転させながら、そのスペクトルを記録する方法。
回転式さく井	かいてんしきさくせい	rotary drilling	ビットを回転させてボーリングする方式の総称。一般にはスピンドル方式、石油さく井ではターンテーブル方式。ロータリー式ボーリング・ロータリー掘削ともいう。
回転式ショベル	かいてんしきしょべる	rotating shovel	360度回転して地盤を掘削・排土する形式の油圧ショベル。
回転すべり	かいてんすべり	rotational slide	円弧状のすべり面上を移動土塊の回転運動を伴って移動する地すべり。単独型、連鎖型、連動型に区分される。
回転双晶	かいてんそうしょう	rotation twin	双晶関係にある二つの個体が、互いに双晶軸を中心として180°回転した位置を占めあう双晶。
回転断層	かいてんだんそう	rotation fault	断層面に垂直な軸を中心に、両側が逆方向に回転運動をした断層。旋回断層ともいう。
回転根固め工法	かいてんねがためこうほう	rotary pile driving method with foot protection	既製杭を中空部からのジェット水と杭の回転で埋め込み、先端をセメントミルクなどで根固めする工法。
回転粘度計	かいてんねんどけい	torque viscometer	回転によって生じる摩擦抵抗によって、非ニュートン流体の粘性などのレオロジー特性を計測する方法。
回転ビット方式	かいてんびつとほうしき	rotation bit method	地下連続壁施工における掘削方式の一種。掘削機先端の回転ビットで掘削し、吸上げ方式で土砂を排出する。
回転ミル	かいてんみる	tumbling mill	円筒形ドラムの中で、ロッド（棒鋼）を回転させ、その転動による衝撃と摩擦により原石などを粉砕する機械。
ガイドウォール	がいどうおーる	guide wall	地下連続壁の施工にあたり、掘削機の据付けや掘削位置決定の定規となるコンクリートまたは鉄筋コンクリート製の溝壁。

ガイドパイプ	がいどばいぷ	guide pipe	ボーリング孔口付近の孔壁保護のために挿入するパイプ。
ガイドロッド	がいどろっど	guide rod	写真測量の実体図化機で光学的投射法によらずに投射機のレンズの接点と模型上の点を機械的に結ぶ金属棒。
海半球	かいはんきゅう	ocean hemisphere	地球を陸と海の占める割合で分けたとき、海を多く含む半球。
海氷	かいひょう	sea ice	海水自身の凍結したもの。生成した海氷がその場を動かないものが定着氷で漂着した海氷を流氷と呼ぶ。
海表面温度推定式	かいひょうめんおんどすいていしき		リモートセンシングによる海表面からの熱放射に基づく輝度温度から海表面温度に変換するための推定式。
海浜	かいひん	beach, strand	未固結の堆積物から成る海岸で、波によって攪拌される範囲。
海浜台	かいひんだい	strandflat	かつて島であった多くの丘をその上に持つような広い隆起海食台についてノールウェーでこのように呼ぶ。
海浜堆積物	かいひんたいせきぶつ	beach material, littoral sediment	後浜を含む潮間帯付近の堆積物。
海浜漂砂	かいひんひょうさ	beach drift	前浜の傾斜方向に斜交する寄せ波と傾斜方向に沿う引き波でジグザグ運動しながら海浜を移動する砂状物質。
海浜平野	かいひんへいや	beach plain, strand plain	浜堤と共にその間が低い凹地で埋められた平野。低地のかわりに潟湖が存在することもある。
海浜変形	かいひんへんけい	change of beach profile	漂砂量の不均衡や波浪の変化・河川からの流出土砂量の変化などによって生じる海浜の地形の変形をさす。
海浜流	かいひんりゅう	nearshore current	波によって生ずる沿岸付近の流れで、磯波帯内の沿汀流と沖合へ戻る流れからなり、砂の移動に対し重要。
海浜礫	かいひんれき	beach shingle, paralic shingle	海の波によって円磨された礫。
海風	かいふう	sea breeze	海岸地方で日中に、海側から陸側へ吹く風。表面付近の気温が海と陸で異なるため、夜間は陸風となる。
回復クリープ	かいふくくりーぷ	recovery creep	一定応力の元で変形が継続するクリープ現象のうち、応力を取り除くことにより変形が回復する性質のもの。
外部コンクリート	がいぶこんくりーと	external concrete	コンクリートダム表面付近に施工される、特に耐久性、水密性が要求される相対的に富配合のコンクリート。

壊変	かいへん	disintegration	ある元素が放射線を出しながら他の元素へ移り変わって行くこと.
壊変定数	かいへんじょうすう	decay constant, disintegration constant	放射性核種の壊変する原子数の, その核種の全原子数に対する割合. 核種ごとに固有の値を示す.
ガイベン・ヘルツベルグの法則	がいべんへるつべるぐのほうそく	Ghyben-Herzberg's formula	海岸付近における地下水の淡塩境界の深さと, 海面から地下水面までの高さとの関係の法則.
海峰	かいほう	sea peak	海山の一種でその頂上が鋭くとがったもの.
海膨	かいぼう	oceanic rise, rise, swell	長くて幅の広い深海底の高まり. 比高数百m, 幅は数百km.
開放井戸	かいほういど	open well	人間がその中で作業ができるほどの大きさを持つ掘井戸で円形・方形・矩形が普通.
開放型シールド	かいほうがたしーるど	open shield	土圧式や泥水式など密閉型シールドに対する用語で, 切羽面の全部または一部が開放されたシールドの形式.
解放基盤表面	かいほうきばんひょうめん	free rock surface	原子炉などの耐震設計に用いられる設計用基準地震動を定義するための基盤面. S波速度が700m/s以上.
解放節理	かいほうせつり	release joint	応力解放を主原因として発生する引張応力による節理. シーティング節理やリリース割目など.
開放多角測量	かいほうたかくそくりょう	open traverse	多角測量で全体のトラバース線の形状が閉合多角形をなさず, トラバースの出発点と終点が一致しないもの.
解放ひずみ	かいほうひずみ	relief strain	応力解放法を用いた岩盤の初期応力測定において, オーバーコアリングなどによる応力解放時に岩盤に生じるひずみ.
海盆	かいぼん	ocean basin, basin	円形または楕円形に近い深海底の凹所で, 厚い堆積物を伴うものとそれを欠くものがある.
界面	かいめん	interface	二つの物質の境界の面.
海面	かいめん	sea surface	海水面や海水準ともいうが, 海面変化曲線などのような複合語として, より多く使用される.
海面上昇	かいめんじょうしょう	sea level rise	地球温暖化に伴い海水が膨張したり大陸氷河が融解することにより海水の体積が増加し, 海面が上昇すること.
海綿動物	かいめんどうぶつ	<i>Porifera, Spongiaria, Sponges</i>	最も原始的とされる無脊椎動物の一門. 多細胞動物. 先カンブリア時代に出現し, ジュラ紀に繁栄. 示相化石として有効.

海面トポグラフィ	かいめんとぼぐらふい	sea surface topography	海面が海底地形を反映して起伏に富んでいる現象。SEASATSARにより得られた観測結果により明らかにされた。
海面変化	かいめんへんか	sea level change	陸地に対する相対的な海水面の高さの変化。海水面自体による変化と陸地の上昇・沈降による場合とがある。
海面変化曲線	かいめんへんかきよくせん	curve of sea level change	現在の海面を基準として過去の海面変化の軌跡を示したもの。
海面変動	かいめんへんどう	sea level change	海水面変動と同義。
外洋	がいよう	open sea	内湾・沿岸に対して、外海の意。あるいは大陸棚縁より沖の海域の意で用いられることもある。
海洋温度差発電	かいようおんどさはつでん	ocean thermal energy conversion	海面付近と深海の温度差を利用してタービンを回して発電する方法。略語は、O T E C。
海洋学	かいようがく	oceanography	海洋で生じる自然現象を研究対象とする総合科学。
海洋観測衛星	かいようかんそくえいせい	marine observation satellite	MOSと同義。
海洋観測定点	かいようかんそくていてん	ocean station	航空機の安全な運航のため設置された洋上の気象観測点。
海洋掘削	かいようくっさく	ocean drilling	海洋で行われる坑井掘削の総称。移動式掘削装置を主とし、海底接地方式と浮上方式とに分類される。
海洋構造物	かいようこうぞうぶつ	offshore structure	陸地から離れた海域に作られた構造物。油田掘削装置・海底パイプライン・海上都市など。
海洋作業台	かいようさぎょうだい	offshore platform	海底油田掘削用に開発された作業台。近年橋梁工事、海底の岩盤掘削などの海上工事の大型化で利用が広がっている。
海洋磁気測定	かいようじきそくてい	marine magnetic survey	海洋で行う磁気測定。一般的に船や航空機を用いる。磁力計は主にプロトン磁力計で、地磁気3成分～全磁力を測定。
海洋地震	かいようじしん		プレートの沈み込みによりプレート境界で起きる地震。プレート間地震と呼ばれることもある。プレート間で生じたひずみを解消するための弾性反発により生じる逆断層的動きを示す。海底で発生するために津波を伴うことがある。
外洋性	がいようせい	oceanic	大陸棚縁よりも沖の海域の性格を表す語。浅海性・近海性の対。遠洋性ともいうことがある。
海洋性気候	かいようせいきこう	oceanic climate	大洋の影響を強く受けた気候。気温の日、年較差少なく、湿度、雲量共に大で風が強いなどの特徴を持つ。

海洋性地殻	かいようせいちかく	oceanic crust	海洋底を構成する地殻で、モホ面上に玄武岩質火山岩を主要部とする厚さ5～10kmの部分。
海洋性鉄マンガン鉱床	かいようせいてつまんがんこうしょう	marine iron manganese deposit	地質時代に大陸から海洋へ移動・堆積した易溶性Fe・Mn鉱床。
海洋測地学	かいようそくちがく	marine geodesy	測地学の一分野で海上・海中・海底における観測・調査・測量など海洋の地形・地質や諸現象を対象とする。
海洋大循環	かいようだいじゅんかん	ocean circulation	地球規模で流れる大洋の海水循環で、極地方の下方流・赤道地方の上昇流・地球自転による偏向流・風の影響が大きい。
海洋潮汐	かいようちょうせき	ocean tide	月や太陽などの起潮力により生じる海面の周期的変動。天文潮位ともいう。普通は鉛直方向の変化だけをさす。
海洋底拡大説	かいようていかくだいせつ	sea floor spreading theory	マントルからの新しい地殻物質の生成により、海嶺で誕生した海洋地殻が海溝で沈み込むとするモデル。
海洋底処分	かいようていしょぶん	seabed disposal	主として低レベル廃棄物を海洋底へ投棄する処分方法。現在では国際条約により禁止されている。
海洋投棄	かいようとうき	ocean dumping	放射性廃棄物処分方法の一つで、決められた基準を満たす廃棄物を海洋底へ投棄すること。現在は禁止されている。
海洋投入処分	かいようとうにゅうしょぶん	ocean disposal	廃棄物を海洋へ投棄処分すること。海洋汚染防止のため、法律で、廃棄物種、海域、方法が定められている。
海洋土木	かいようどぼく	offshore construction	水深の大きな海域における土木工事や海洋底鉱物資源などの開発に伴う土木工事のこと。
海洋プレート	かいようぷれーと	oceanic plate	海洋底を形成しているプレート。中央海嶺で生成し、海溝で沈み込み消滅する。
外来河川	がいらいかせん	exotic stream	湿潤地域に水源を持ち、流下して乾燥地内を貫流する河川。
外来岩片	がいらいがんぺん	accidental xenolith	ある岩体や火砕流堆積物中に取り込まれた母岩と成因、形成時期のことなる異質な岩片。外来捕獲岩ともいう。
外来結晶	がいらいけっしょう	xenocryst	火成岩に含まれる結晶のうち、外部からマグマに混入したと考えられる結晶。捕獲結晶ともいう。
外来捕獲岩	がいらいほかくがん	accidental xenolith	外来岩片と同義語。
外来礫	がいらいれき	exotic gravel	近くに礫の供給源がなく、遠方から運ばれてきた礫。過去の川や氷河の流路を推定するのに役立つ。

海里	かいり	nautical mile	メートル法による海上の距離を表す単位で、船舶や航空機の運航に用いられる。1海里は1,852m.
海陸風	かいりくふう	land and sea breezes	海岸地方に見られる日中と夜間で風向きがほぼ逆になる風の総称.
海流	かいりゅう	ocean current	周期的往復運動でない一定方向の海水の流れ.
海流びん	かいりゅうびん	drift bottle	海流を調査するために流すビンで、拾得した人からその場所と日時を連絡してもらう葉書を入れておく.
改良大森公式	かいりょうおおもりこうしき	Modified Omori's formula	余震の時間的な減少を示した大森公式を、宇津(1957, 1961)が地震により余震数の減少率が異なることから、それを考慮し改良した式.
改良型一面せん断試験機	かいりょうがたいちめんせんだんしけんき	improved direct shear apparatus	在来型の一面せん断試験機に、定体積せん断が可能となる垂直ひずみ制御機構などの改良を加えたもの.
改良型沸騰水型軽水炉	かいりょうがたふつとうすいがたけいすいろ	advanced boiling water reactor, ABWR	従来型に比べ、再循環ポンプを圧力容器に内蔵させた点が改良された沸騰水型原子炉で、安全性・経済性が向上している.
外力	がいりよく	force, external force	①地形学的には流水・風・波浪などのように、地形営力のうちエネルギー源が地球外にあるもの。 ②地盤や構造物に外部から作用する力.
海緑石	かいりよくせき	glauconite	$(K, Na, Ca)_{<1}(Al, Fe^{3+}, Fe^{2+}, Mg)_2(Si, Al)_4O_{10}(OH)_2$. 単斜晶系. 浅海性堆積物にのみ産出する雲母群で青緑色の粉末状、微粒状. イオン交換剤として用いられている.
海緑石砂岩	かいりよくせきさがん	glauconite sandstone	緑砂と呼ばれ大部分が海緑石の砂粒子で構成されている岩で、微晶質である.
外輪山	がいりんざん	somma	二重ないしそれ以上に噴火口が複合している場合の外側の火口縁.
海嶺	かいらい	oceanic ridge	海底の細長い高まり. 急傾斜の斜面の横断形はほぼ対称.
海嶺性ソレイト	かいらいせいそれあいと	ocean ridge tholeiite	深海底山脈である海嶺を構成する玄武岩で、比較的カルシウムに富み、アルカリに乏しい.
海嶺熱水性鉱床	かいらいねっすいせいこうしょう	ridge hydrothermal deposit	熱水溶液を起源に、孤島の背弧海盆や海嶺で沈殿・生成した鉱床. 濃集金属は、Au・Ag・Cu・Pbなど多種.
ガウジ	がうじ	gouge	断層運動によって生成し(又は形成された)碎屑物のこと. 断層面に脈状に存在する粘土(断層粘土)をさすこともある.
ガウス	がうす	gauss	磁束密度のCGS電磁単位. 記号はGで、ドイツの物理学者ガウスにちなむ. SI系ではテスラ.

ガウスクリューゲル図法	がうすくりゅーげるずほう	Gauss-Krüger's projection	地球を回転だ円体として横メルカトル図法を適用したもの。大中縮尺の地図、測量座標系の図法として適している。
ガウスクロン	がうすくろん	Gauss chron	鮮新世中期の250～350万年前の正磁極期が卓越した期間。期間長は研究者により異なる。以前はガウス正磁極期と呼ばれた。
ガウス定数	がうすていすう	Gaussian constant	惑星の公転周期の計算など、天文学の分野で使用される定数。その値は0.01720209895である。
ガウス等角二重投影図法	がうすとうかくにじゅうとうえいずほう	Gauss' conformal double projection	ガウスが地球回転だ円体を平面地図に表すために球面上、ついで円筒状へと2段階にわたって行った投影図法。
ガウスの等角投影法	がうすのとうかくとうえいほう	Gaussian conformal projection	地図投影法における横メルカトル図法の一つで1844年にC. F. Gaussが発表。回転楕円面から球面を経て平面に等角投影する方法。
CAES	かえす	compressed air energy storage, CAES	圧縮空気エネルギー貯蔵。英語訳の頭文字による呼び名。電力エネルギーを圧縮空気エネルギーに変換貯蔵し、有効利用することを目的とする。
CAES-GTシステム	かえすじーていーしすてむ	compressed air energy storage-gas turbine system, CAES-GT system	圧縮空気エネルギー貯蔵ガスタービン発電システム。安価な夜間電力により高圧の圧縮空気を生成し貯槽に貯蔵しておき、昼間電力需要が増加したときにこれを利用して発電するガスタービン発電システム。電力貯蔵技術の一つである。
蛙股池ダム	かえるまたいけだむ	Kaerumata-ike dam	奈良市西大寺西方約2kmにある、現存するものでは日本最古の溜池ダム。西暦160年頃の築造とされる堤高17mのアースダム。
蛙目粘土	がえろめ(がいろめ)ねんど	Gaerome clay	東海地方の下部鮮新統中に産する堆積性粘土。粘土中に未分解の石英粒が点在している。愛知県瀬戸市など産。陶磁器原料・耐火煉瓦原料用材。
蛙目珪砂	がえろめけいさ	Gaerome silica sand	蛙目粘土層中の石英粒を選鉱によって濃集させたもの。板ガラスなどの原料。
火焰ジェット穿孔機	かえんじえつとせんこうき	jet flame machine	ジェットエンジンの燃焼機構を応用して、岩石やコンクリートを穿孔する機械。露天採掘などで使う。
火炎状構造	かえんじょうこうぞう	flame structure	荷重痕の一種で、下位に分布する泥が上位の砂層中に炎状に貫入している構造。泥と砂の密度差により生じる。フレイム構造ともいう。
カオリナイト鉱物	かおりないところぶつ	kaolinite minerals	$Al_2Si_2O_5(OH)_4$ の化学組成をもつ層状粘土鉱物の一つのグループ。中でもメタハロイサイトは吸水膨潤し地盤災害を起こしやすい。
カオリン化作用	かおりんかさよう	kaolinization, kaolinitization	一般的に火成岩が熱水作用でカオリン族鉱物に富む岩石に変質する作用。作用を受けた岩は陶土の原材料となる。陶土化作用ともいう。
カオリン鉱床	かおりんこうしょう	kaolin deposit	カオリナイト・ハロイサイト・モンモリロナイトなどのカオリン鉱物を主体とした鉱床。
カオリン・パイロフィライト型	かおりんぱいろふいらいとがた	kaolin pyrophyllite type	熱水変質帯の変質鉱物組み合わせによる分類の一つで、酸性変質帯の形成温度150～200度程度、カオリナイトとパイロフィライトの共生する白色の変質帯。

画角	がかく	angular field	カメラレンズの特性値を表す。画角は写真の対角線とレンズの焦点距離により求まる。
化学温度計	かがくおんどけい	geochemical thermometer	温泉・噴気ガスや鉱物から、化学平衡・同位体交換平衡の温度依存性を利用して地質現象の温度を求める方法。
化学吸着	かがくきゅうちやく	chemisorption	物体表面とそこに付着した物質の原子または分子間で、電子の交換により化学結合を生じ物質が吸着する現象。
科学掘削計画	かがくくっさくけいかく	scientific drilling program	超深度の掘削孔により火山・地震・マントルなどについての情報を得る計画。国際陸上科学掘削計画（ICDP）などが進行中。
化学圏	かがくけん	chemisphere	大気圏のうち、太陽光線により光化学反応を起こす範囲で、上部成層圏、中間圏、熱圏の一部を含む領域。
化学検層	かがくけんそう	geochemical logging	孔内の水圧、水温、pH、酸化還元、電気伝導度、溶存酸素濃度などのプロファイルを得る検層。地化学検層ともいう。
化学堆積成鉱床	かがくたいせきせいかうしょう	chemical-sedimentary deposit	水溶液中の溶解物質が化学的・生化学的反応により析出・濃集して生じた鉱床。
化学探鉱	かがくたんこう	chemical prospecting	地表でガス・天然水・土壌・岩石などの化学分析を行い、地下に埋蔵されている鉱床の存在を推定する方法。
化学的安定処理	かがくてきあんていしより	chemical soil stabilization	土に石灰やセメントを混合し、力学的強さを増し、地盤を安定させる処理工法。
化学的改良工法	かがくてきかいりょうこうほう	chemical soil improvement	地盤改良工法の一つで、石灰安定処理などのように土と安定材の混合によって化学的に地盤を改良する工法。
化学的化石	かがくてきかせき	chemical fossil	化石や地層中に残っている有機化合物。この有機化合物は生物の進化を解明する基礎となる。
化学的酸素消費量	かがくてきさんそしょうひりょう	chemical oxygen demand	海域、湖沼などの水の汚濁指標の一つ。汚濁物質を酸化剤で酸化する際に必要とされる酸素の消費量。化学的酸素要求量（COD）と同義。
化学的酸素要求量	かがくてきさんそようきゅうりょう	chemical oxygen demand, COD	有機性汚濁物を、酸化剤を用いて化学的に酸化する時の酸素の消費量。
化学的石灰岩	かがくてきせつかいがん	chemical limestone	化学的過程によって水溶液から沈殿した炭酸カルシウムを主成分とする堆積岩。
化学的堆積岩	かがくてきたいせきがん	chemical sedimentary rock	水溶液中の溶解物質が化学的・生化学的反応により沈殿してできた堆積物が固化した岩石。
化学的堆積鉱床	かがくてきたいせきこうしょう	chemical sedimentary ore deposit	水中に溶存する成分が化学的な条件や、温度・圧力などの物理的な条件の変化で沈殿して形成される鉱床。広義には蒸発鉱床も含めることがある。

化学的堆積物	かがくてきたいせきぶつ	chemical sediment	海水・湖水・地下水などの溶解物質が化学的変化によって海底・湖底・陸上などに沈殿してできたものの総称.
化学的脱リンプロセス	かがくてきだつりんぷろせす	chemical phosphorus removal process	凝集剤などの化学的作用により溶液中のリンを除去する過程.
化学的沈殿鉱床	かがくてきちんでんこうしょう	chemical precipitation deposit	水中での化学反応や蒸発などにより沈殿、堆積して形成された鉱床.
化学的風化作用	かがくてきふうかさよう	chemical weathering	水、酸素、炭酸ガスなどの作用で溶解、加水分解、酸化、イオン交換などが生じて鉱物を変質する作用.
化学的有害土	かがくてきゆうがいど	chemically nuisance soil	土木構造物の劣化や水質汚染の原因となる化学的に有害な成分を含む土. 人工起源のものと天然起源のものがある.
化学的溶脱	かがくてきようだつ	chemical eluviation	風化作用などにより、特定の鉱物が溶けて運び去られる現象.
化学濃縮法	かがくのうしゆくほう	chemical enrichment	ウラン濃縮法の一つで、イオン交換などの化学的な手法により低濃縮する方法.
化学分析	かがくぶんせき	chemical analysis	物質の化学組成及び量を測定すること. 物質の構成比の測定を定性分析、構成量の分析を定量分析という.
化学ポテンシャル	かがくぼてんしゃる	chemical potential	化学熱力学で、ある成分の量の変化により系全体に生じるギブス自由エネルギーの変化を表す係数.
鏡	かがみ	face	トンネルの切羽のこと.
鏡押さえ	かがみおさえ	face support	トンネル切羽の崩落を防ぐ支保材. 矢板・吹付けコンクリート・ロックボルトなどが使用されている.
鏡止め	かがみどめ	face shuttering	鏡押さえと同義.
鏡止ボルト	かがみどめぼると	rock bolt for face	トンネル掘削時に切羽の安定性を図るために切羽前方に向けて施工するロックボルト.
鏡肌	かがみはだ	slickenside	断層運動により、断層の両側の岩盤が摩擦により磨かれてできた光沢のある面. 鏡面・スリッケンサイドと同義.
鏡吹付けコンクリート	かがみふきつけこんくりーと	shotcrete for face	鏡押さえの一つで、吹付けコンクリートを使用する場合をいう.
鏡ボルト	かがみぼると	rock bolt for face	鏡止ボルトと同義.

鏡面	かがみめん	slickenside	鏡肌と同義.
かかりき峠断層	かかりきとうげだん そう	Kakarikitoge fault	活断層. 確実度 I, 北東方向. 中津川市北西の二ツ森山付近に位置し, 阿寺断層系と共役関係. 右ずれ断層.
河岸浸食	かがんしんしょく	bank erosion	河川の流水作用により河岸部が浸食される現象. 河岸の下部が洗掘されて上部が崩落するものも含む.
河岸段丘	かがんだんきゅう	river terrace, fluvial terrace	河川的作用で山間部の河川沿いや山地から出たところにつくられた平坦面と急崖からなる階段状の地形.
柿迫層	かきさこそう	Kakisako Formation	南部九州に分布する古生界下部石炭系上部統. 石灰岩, 礫岩, シルト質泥岩を主体とする.
鍵層	かぎそう	key bed	離れた地域の地層を対比する目印となる地層で, 識別しやすく, 広範囲に渡って同時性であることが必要.
垣根掘	かきねぼり	room and pillar working	坑内の適当な位置に岩盤を柱状に残して, 採掘空間天盤を支えながら採掘を進める方法. 大谷石の採掘などに用いられている.
架橋	かきょう	bridge forming	孔壁崩壊などにより掘削孔中に落下し, 孔内の一部を塞いでいる岩屑. ストレーナーの目詰まり.
架橋作用	かきょうさよう	bridging	孔内の一部が, 岩屑によって塞がれている状態.
核	かく	core	地球において深さ約2,900km以深の部分.
架空索道	かくうさくどう	aerial ropeway	空中に鋼索を架設し, これに搬器を取り付けて様々な資機材を輸送すること. 一種のロープウエーのような運搬装置.
角落し	かくおとし	stoplogs, flash board weir	幅の狭い水路の内側に縦の溝を設け, そこに角材や板材をはめ込む方式の簡易ゲート.
角岩	かくがん	hornstone	珪質岩であり, 火打石となる硬質岩. 石灰岩中に層状~団塊状に産するか珪質泥岩が焼成されたもの. チャートを指す場合もある.
角観測法	かくかんそくほう	method of angle measurement, angle method	方向角観測法ともいう. 角測量において1点から張る角数が多い場合に各角を精密に決定する方法.
角銀鉱	かくぎんこう	chlorargyrite, cerargyrite	AgClを主成分とし角に似た光沢を有する六面体結晶. 通常は角状の塊ないし皮殻をなす.
拡径型支保工	かくけいがたしほこう	expanding support	鋼アーチ支保工の一種. 継手部を押し広げ, 地山に密着できるようにしたもの.

較差	かくさ	discrepancy, range	二つあるいはそれ以上の観測値や、測量上の観測角を比較した場合の相互間の差。こう差ともいう。
拡散	かくさん	diffusion	ある物質の分布に濃度差があり、それが時間とともに減少し、平衡の分布に近づいていく現象をいう。
拡散光	かくさんこう	diffuse light	大気などの媒体による散乱や物体表面での拡散反射により、明確な指向性を持たず様々な方向に進む光。
拡散光濃度	かくさんこうのうど	diffuse density	半球状光源などからの拡散光の濃度。リモートセンシングにおける通常の濃度計はこの値を測定している。
拡散電位	かくさんでんい	diffusion potential	孔井内の地層水の比抵抗、塩分濃度などにより電気化学的に発生している自然電位の一種。
拡散反射	かくさんはんしゃ	diffuse reflection	光がその波長のスケールから見て粗い面を持つ物体表面で、拡散光として様々な方向に反射される現象。
核磁気共鳴	かくじききょうめい	nuclear magnetic resonance	原子核と回転磁場とが相互作用を起こす現象。
核磁気検層	かくじきけんそう	nuclear magnetism logging	核磁気共鳴現象を利用し、地層の有効孔隙率とその浸透率を測定する方法。強力な電磁石により、地層内に誘起される微弱な電磁波を測定する。
確実度Ⅰ	かくじつどいち	certainty as active fault Ⅰ	活断層を存在の確実性で3クラスに分けたうちの最上位。地形的特徴が明瞭で断層の位置・変位が明確なもの。活断層であることが確実。
確実度Ⅲ	かくじつどさん	certainty as active fault Ⅲ	活断層を存在の確実性で3クラスに分けたうちの最下位。変位の向きが不明で、他の理由によってもそのような地形が形成される可能性があるもの。活断層である可能性。
確実度Ⅱ	かくじつどに	certainty as active fault Ⅱ	活断層を存在の確実性で3クラスに分けたうちの中位。断層の位置や向きが推定できるが、地形的な特徴が不明瞭で確実性に欠けるもの。活断層であると推定。
核種	かくしゅ	nuclide	原子または原子核の種類を表わす言葉で、一つの核種は固有の原子番号と質量数を有する。
拡水法	かくすいほう	water spreading	人為的に地下水補給を行う人工かん養（涵養）の手法の一つ。浸透池法などがある。
角閃岩	かくせんがん	amphibolite	玄武岩質岩石の角閃岩相における変成岩で、普通角閃石・斜長石を主成分とする粒状または縞状の岩石。
角閃岩相	かくせんがんそう	amphibolite facies	最も多く分布する変成岩相で、普通角閃石と斜長石を主成分とする塩基性変成岩からなる変成相。
角閃石	かくせんせき	amphibole	$A_{0-1}B_2C_5T_8O_{22}(OH, F, Cl)_2$ の一般化学式で、 $(Si, Al)_4O_{11}$ 二重鎖を基本構造とする珪酸塩鉱物の総称。斜方晶系および単斜晶系。柱状または繊維状の結晶。火成岩・変成岩の造岩鉱物。

角閃石安山岩	かくせんせきあんざんがん	hornblende andesite	最も普通な火山岩の一種で角閃石の斑晶を持つ安山岩.
角閃石岩	かくせんせきがん	hornblendite	ほとんど角閃石からなる塩基性岩に伴って産出する優黒質火成岩.
角速度	かくそくど	angular velocity	一定時間あたりの、平面上を運動する点と原点を結ぶ直線がその平面で原点を通る定直線となす角度.
拡大速度	かくだいそくど	spreading rate	海嶺から広がる海洋底プレートの生成速度. おおよそ数 cm/年であることが知られている.
角柱状構造	かくちゅうじょうこうぞう	prismatic structure	土壌構造を肉眼的に区別する一形態で、垂直軸方向にのびている角ばった柱状のもの.
拡張レヤ工法	かくちょうれやこうほう	extended layer construction method	RCD工法と同様にダムコンクリートを面状に打設し、バイブレータを使用して締固める工法. ELCM(エルコム)ともいう.
確定鉱量	かくていこうりょう	proved reserves	JIS M 1001「鉱量計算基準」で規程されているもので、坑道および坑井で構成される側面で囲まれた鉱画で容積および品位が確認される鉱量. 鉱画を構成する側面の数と間隔は鉱床の種類によって2または3以上および30mまたは60m以内と規程されている.
確認可採埋蔵量	かくにんかさいまいぞうりょう	proved recoverable reserves	地下資源量のうち、既存発見坑井から一定の範囲にあり、地表に回収可能な埋蔵量.
確認埋蔵量	かくにんまいぞうりょう	proved reserve	石油埋蔵量のうち、現在までに確認されて技術的・経済的に生産可能な量.
核燃料	かくねんりょう	nuclear fuel	2~4%の濃縮度の酸化ウラン. 原子力発電では核燃料の核分裂エネルギーを利用して発電している.
核燃料サイクル	かくねんりょうさいくる	nuclear fuel cycle	原子力発電所から出る使用済み核燃料を再処理し、再度原子炉で使用する一連の循環過程.
核爆発	かくぼくはつ	nuclear explosion	連鎖的な核分裂反応により瞬間的に狭い空間で大量のエネルギーを放出させること. 種々の観測により探知可能.
核反応	かくはんのう	nuclear reaction	原子核と他の粒子との衝突によって起こる現象の総称. 原子核の転換を伴う場合に限定することが多い.
核反応分析法	かくはんのうぶんせきほう	nuclear reaction analysis	イオンビームを固体試料表面に照射したときの核反応によって生成する二次放射線を測定する分析法. 主に水素など軽い元素の定量や表面からの深さ分布の分析に用いられる.
核反応誘起γ線検層	かくはんのうゆうきがんませんけんそう	induced nuclear reaction gamma-ray logging	地層に中性子を照射して励起させ、放出されるγ線を測定し、地層構成物質を分析する検層法.
核物理探査	かくぶつりたんさ	nuclear survey	天然γ線測定、人工放射性同位元素による散乱γ線測定、中性子による誘起γ線測定などの探査方法の総称.

核分裂	かくぶんれつ	nuclear fission	原子核が二つ以上の原子核に分裂すること。ウランやプルトニウム等の重い原子核がほぼ同じ質量のものに分裂。
核分裂生成物	かくぶんれつせいせいぶつ	fission product	核分裂によって生成した核種，あるいは核分裂によって生成した核種が放射性崩壊して生成する核種。
隔壁	かくへき	septum, pl. septa	①生物の内部を区分する膜状の構造物。狭義には有孔虫・さんご（珊瑚）・頭足類の骨格中の仕切板をさす。 ②圧気工法における圧気部分と無圧気部分を隔てる壁。トンネル注入時のバルクヘッド。
隔膜式白金センサ	かくまくしきはつきんせんさ		溶存酸素計に用いられるセンサの一つ。通常の白金センサは主に温度センサとして用いられる。
核-マントル境界	かくまんとるきょうかい	core-mantle boundary	地震波速度の変化（急低下・反射）から深さ2,900km付近に確認される地球内部の不連続面。グーテンベルク不連続面と同義。
核融合	かくゆうごう	nuclear fusion	軽い原子核が衝突して重い原子核ができ，この時エネルギーを放出する核反応。
神楽石	かぐらいし	Kagura ishi	長崎県佐世保市産砕石など用材。新第三系～更新統の玄武岩。金山石ともいわれる。
攪乱粘土	かくらんねんど	disturbed clay	サンプリングなどによって乱され，原位置での組織や透水性の状態を保持していない粘土。
隔離	かくり	separation	断層の変位の要素に関する用語で，断層ができる前はひと続きであった2点が，断層の動きによって引き離された場合のその2点間の見かけの相対運動による距離のこと。
確率洪水	かくりつこうずい	probability flood discharge	確率洪水法によって求められる洪水流量と頻度。
確率洪水法	かくりつこうずいほう	probable flood	過去の洪水流量の統計資料から確率計算により流量と頻度を求める方法。河川の計画高水量を算定する目的で利用される。
確率誤差	かくりつごさ	probable error	平均値を挟んである範囲($\pm \epsilon$)を設定し，測定値の半数がその範囲に入るとき ϵ を確率誤差という。
確率的水文学	かくりつてきすいもんがく	stochastic hydrology	水文現象を確率事象とみなし，その時系列の予測を行う分野で，決定論的水文学と対をなす。
確率年数	かくりつねんすう	probable years, return period	気象量などにおいて，確率計算で求められる量が発生する超過確率に対応した再現年数。
確率分布関数	かくりつぶんぷかんすう	probability distribution function	統計解析には正規分布などの確率分布が応用されるが，この確率分布を定量的に表現した関数。
確率変数	かくりつへんすう	random variable, chance variable, stochastic variable	確率事象の関数で用いられる変数のことで，標本空間を定義域とする。

角礫	かくれき	angular gravel, rubble	角のとれてない礫。円磨度からは0.15以上のものをさす。
角礫化作用	かくれきかさよう	brecciation	構造運動による岩石の破砕作用で、へき開（劈開）や再結晶作用を伴わない程度の変形。構造角礫。
角礫岩	かくれきがん	breccia	角礫を主とする礫岩で、その生成過程によって断層角礫岩・崖錐角礫岩・火山角礫岩などの用法がある。
角礫貫入岩	かくれきかんにゅうがん	breccia dike	角礫を含む堆積岩が母岩に貫入した形態を示すもの。サンドダイク、タフダイクなどを合わせセディメンタリーダイク（堆積岩脈、碎屑岩脈）ともいう。
角礫構造	かくれきこうぞう	breccia structure	岩石が二次的な破砕作用を受け、大小不同の角礫が不規則に集合したもの。
角礫鉱脈	かくれきこうみやく	breccia vein	破砕された角礫状母岩片・鉱石片の間隙をより後期の鉱石鉱物や脈石鉱物が充填した鉱脈。
角礫質	かくれきしつ	brecciated	岩石が二次的に破砕作用を受け角を持った礫となったもの。またはその性質を有するもの。
河系	かけい	river system	一つの河川の本流とこれに合流する全ての支流を合わせたもの。
可傾式スキップ	かけいしきすきっぷ	tilting skip	ロープによってつり下げ、傾けて材料を排出する方式の運搬箱。
可傾式ドラムミキサ	かけいしきどらむみキサ	tilting drum mixer	回転軸が傾斜できる形式の円筒形のミキサ。
懸け形水準器	かけがたすいじゅんき	hunging level	トランシットなど、特に正確な水平軸調整に用いる特別の水準器。懸垂レベルともいう。
掛川層群	かけがわそうぐん	Kakegawa Group	静岡県西部に分布する鮮新世の堆積岩層であり、掛川付近の層序が標準化され鮮新統の模式層となっている。
崖崩れ	がけくずれ	earth-fall	斜面の崩壊現象の呼び名の一つ。山くずれ、地すべりに対して主に都市周辺にみられる傾斜地の崩壊に用いられる。
掛け矢板	かけやいた	lagging	鋼アーチ支保工間に渡して掛けた矢板。比較的良好的な地山との間に挿入し、地山の崩落・肌落ちを防止する。
火口	かこう	crater	地下のマグマや火山ガスが地表に放出される場所で、普通円形に近い凹地形。噴火口ともいう。
河口	かこう	river mouth, estuary	河川が海あるいは湖沼に流れ込むところで、一般には海の場合に海水が浸入する河川下流部を含む。

河口域	かこういき	estuary	淡水と塩水が混じり合う河川の下流部。
火口縁	かこうえん	crater rim	地下のマグマや火山ガスが地表に放出される噴火口の縁の部分。
花崗岩	かこうがん	granite	石英・長石・雲母を主成分にした酸性深成岩。開口節理が発達することが多く、風化に弱い。
花崗岩化作用	かこうがんかさよう	granitization	既存の岩石が熔融状態を経ずに花崗岩質岩石に変化していく作用（変成論）。火成論と対立する。
花崗岩系	かこうがんけい	granite series	各種花崗岩の形成を造山帯の発展段階に応じた一連の深成作用の結果としてとらえたH. H. READ(1949)の学説。
花崗岩質岩石	かこうがんしつがんせき	granitic rock	広義の花崗岩。石英・斜長石・カリ長石の比率で種々の岩石に分類される。
花崗岩質砂岩	かこうがんしつさがん	granitic sandstone	アルコース・アルコース砂岩と同義。
花崗岩質層	かこうがんしつそう	granitic layer	大陸地殻の上層部層。表層の堆積岩層を除くと花崗岩ないし花崗岩質岩からできているのでつけられた名称。
花崗岩マグマ	かこうがんまぐま	granitic magma	花崗岩および花崗岩類の組成を持つマグマで、その形成には複数の考え方があり、また複合して生じる。
火口原	かこうげん	crater floor, atrio	大きい火口やカルデラの内部が平坦な地形をなす部分。
稼行限界	かこうげんかい	mining limit	鉱山の稼行が経済的に成立する限界条件。鉱床の品位や製品価格などで決まる。
火口原湖	かこうげんこ	atrio lake	水をたたえた火口原。
火口湖	かこうこ	crater lake	噴火口は普通円形に近いくぼみ状の地形で、そこに水をたたえたもの。
下降水説	かこうすいせつ	descension theory	雨水や海水中の溶存物質が地層中にしみこんだり割目に沈殿する事によって鉱脈や鉱床ができたとする鉱床成因説。
火口瀬	かこうせ	barranco	火口縁・カルデラの縁の一部が切れて、そこから火口・カルデラ内部の降水が排出される谷。
河口堰	かこうせき	river mouth weir	河口で塩水の浸入や地下水の塩水化を防止する機能に加えて水資源の開発機能を持つ堰。

花崗閃緑岩	かこうせんりょくが ん	granodiorite	花崗岩と閃緑岩の中間の組成を有する岩で花崗岩と比べ斜長石が多く花崗岩より黒味を帯びている。
花崗閃緑斑岩	かこうせんりょくは んがん	granodiorite porphyry	花崗閃緑岩とほぼ同じ鉱物組成を持つが完晶質で多量の斑晶を持つ岩石。貫入岩として分布することが多い。
河口堆積物	かこうたいせきぶつ	estuarine sediments, estuarine deposit	河川が海や湖に流れ込む場所で堆積したもの。相互作用による堆積環境であり、斜交層理の発達・汽水域の生物群を伴うことなどが特徴的である。河口成層ともいう。
火口底	かこうてい	crater bottom	地下のマグマや火山ガスが地表に放出される噴火口において、そのロート状凹地の最下部の部分。
花崗斑岩	かこうはんがん	granite porphyry	花崗岩とほぼ同じ鉱物組成を持つ多量の斑晶を持つ岩石。花崗岩体の周辺に岩脈として分布することが多い。
稼行品位	かこうひんい	mining ore grade	鉱山（稼行中）の出鉱鉱石の平均品位・品位の幅。
河口閉塞	かこうへいそく	estuary closing	河川の流送土砂が河口付近で堆積したり、漂砂による砂州の形成によって河口が閉塞される現象をいう。
火口壁	かこうへき	crater wall	火口の内壁。
花崗片麻岩	かこうへんまがん	granitic gneiss	①花崗岩が動力変成作用を受けた片麻岩。 ②原岩にかかわらず花崗岩の鉱物組成を有する片麻岩。
火口列	かこうれつ	crater row	割れ目火山における割れ目火口の並びのことをさす。
下刻曲流	かこくきょくりゅう	enclosed meander, inclosed meander	自由曲流していた河川がそのまま下刻して峡谷状を呈したもの。穿入曲流ともいう。
下刻作用	かこくさよう	deepening, downward erosion	河川や氷河によって生じる下方浸食。
嵩上げ	かさあげ	increasing, raising	堤防・護岸・ダムなどの天端を高めること。河積増加・縦断勾配修正・貯留量の増加を目的とする。
火砕岩	かさいがん	pyroclastic rock	火山砕屑岩と同義。
火砕岩台地	かさいがんだいち	pyroclastic plateau	火山砕屑岩からなる台地。
可採鉱	かさいこう	pay ore	収益鉱と同義。

可採鉱量	かさいこうりょう	workable reserves	採掘して収益をあげる鉱石の量。コスト次第で可採鉱量は増減する。
火砕サージ	かさいさーじ	pyroclastic surge	細かい粒子と高温ガスで構成される高速の粉体流。流下後に残される堆積物が極めて薄いことが特徴。
火砕サージ堆積物	かさいさーじたいせきぶつ	pyroclastic surge deposit	低濃度の固体粒子と気体が混合した乱流が地表に沿って流下する、危険な噴火現象による堆積物。
火砕堆積物	かさいたいせきぶつ	volcaniclastic deposit, pyroclastic deposit	火山砕屑岩から構成される堆積物。
可採年数	かさいねんすう	ratio of proven reserves to annual production	残存可採埋蔵量を年間生産量で除した数。現状の生産量を継続した場合の残りの生産可能年数をいう。
可採品位	かさいひんい	cutoff grade	可採鉱量に対する品位。ある時点での可採諸条件を総合して採掘しうる鉱石の最低品位。カットオフ品位。
可採埋蔵量	かさいまいぞうりょう	recoverable reserves	地下資源量のうち、地表に回収できる量。
火砕流	かさいりゅう	pyroclastic flow	火口から噴出した高温の溶岩破片とガスの混合物が斜面を高速流下する現象。1991年雲仙普賢岳でも発生。
火砕流堆積物	かさいりゅうたいせきぶつ	pyroclastic flow deposit	火砕流で形成された堆積物。
火砕流台地	かさいりゅうだいち	pyroclastic plateau	火砕流堆積物で形成され、平坦で傾斜が緩い台地。
火砕流噴火	かさいりゅうふんか	pyroclastic eruption	火砕流を発生させる噴火。突発的で広範囲に大きな災害を伴うことがある。
花綵列島	かさいれっとう	festoon island	太平洋の北～西縁に連なる島弧群。弧状をなす千島・本州・琉球など各弧が花綵のように配列することによる。
笠置石	かさぎいし	Kasagi ishi	京都府相楽郡笠置町産土木用石材。中生界花崗岩。片麻岩質で、石質不良、
カサグランデ型ピエゾメータ	かさぐらんでがたびえぞめーた	Casagrande piezometer	非金属の多孔管に直径1 cm程度のチューブを接続した上部開放形の水位計。汎用性が高く、長期観測に適している。
重ね継手	かさねつぎて	lap joint	コンクリート中の鉄筋の継目など二つの部材の端部を重ねて連結させた継手。
かさ比重	かさひじゅう	bulk specific gravity	試料内部の空隙を試料体積の一部と見なしたみかけの比重。みかけ比重・容積比重ともいう。

火山	かざん	volcano	火山活動に伴って地表附近に生じた構造あるいは地形。普通は凸地形だがカルデラのように凹地形もある。
火山円錐丘	かざんえんすいきゅう	volcanic cone	円錐形あるいはそれに近い外形を持つ火山体。
火山円礫岩	かざんえんれきがん	volcanic conglomerate	火山碎屑物を起源とする水磨された円～亜円礫を含む堆積成の礫岩。
火山学	かざんがく	volcanology	マグマの発生・進化・移動・地表への噴火など火山現象を研究し解明することを目的とした自然科学の一分野。
火山角礫岩	かざんかくれきがん	volcanic breccia	径32mm以上のいわゆる火山岩塊と基質からなる火山碎屑岩で、火山岩塊の含有率が50%を越すもの。
火山ガス	かざんがす	volcanic gas	地表に噴出されるマグマ由来を主とした揮発成分。大部分は水蒸気でCO ₂ ・H ₂ S・N ₂ 他を含む。凹地に滞留し酸欠状態を作ることがある。
火山活動	かざんかつどう	volcanic activity	地下のマグマや火山ガスが地表へ移動・放出される運動。火山性地震・火山性地殻変動なども含む。
火山ガラス	かざんがらす	volcanic glass	マグマが急冷し結晶化できずに形成された天然のガラス。火山灰の主要構成物質で、特定テフラの同定に利用。
火山岩	かざんがん	volcanic rock	マグマが地表あるいはごく浅所で急冷されて形成された岩石の総称。火砕岩を含む。
火山岩頸	かざんがんけい	volcanic neck	火山本体が浸食された後に残された塔状の火道で、普通は溶岩や火砕岩で満たされる。
火山岩系列	かざんがんけいれつ	volcanic rock series	同質のマグマから種々の段階で形成されたと考えられる各種の火山岩の系列。火山岩系とも。
火山岩滓	かざんがんさい	scoria	苦鉄質のマグマの発泡などで多孔質のため見かけ密度が小さい、黒色・暗褐色の火山碎屑物の一種。スコリア。
火山岩屑	かざんがんせつ	volcanic detritus	火山の噴火により地表に噴出した破砕固結物質の総称。
火山観測	かざんかんそく	observation of volcanic activities	火山の状態を把握する観測で、無人にて常時連続的に自動観測するものと、その都度観測時に計器を持ち込む繰り返し観測がある。
火山岩塔	かざんがんとう	volcanic spine	固結した溶岩の柱として火口上に突出したもので、粘性の高いマグマが火道内からゆっくり押し出されたもの。
火山群	かざんぐん	volcanic group, volcanic cluster	成因が似ていて限られた時間・空間を占める一連の火山の集まり。

火山系列	かざんけいれつ	volcanic series, volcanic row	火山帯よりは規模が小さく、一列に並ぶ火山群をいう。
火山現象	かざんげんしょう	volcanic phenomenon	マグマが地表または地表付近に移動することにより引き起こす現象の全て。狭義には噴火活動としてとらえられる。
火山弧	かざんこ	volcanic arc	島弧－海溝系の中で活火山を結んで得られる火山列。山脈や島列のほか海底山脈のこともある。
火山構造的陥没地	かざんこうぞうせい かんぼつち	volcano-tectonic depression	大量のマグマの噴出により噴出口地域に大規模な陥没が起こり、その輪郭が地域の大構造に支配された凹陥没地。
火山砂	かざんさ	volcanic sand	火山物質から主として構成される砂。ただし、火山砕屑物の命名には使用しない。
火山災害	かざんさいがい	volcanic disasters	火山活動に起因する噴石・降下火砕物・火砕流・土石流・津波・火山ガス・地震・地殻変動などによる災害。
火山砕屑岩	かざんさいせつがん	pyroclastic rock	火山砕屑物が固結した岩石。砕屑物の種類・粒径・量比で凝灰岩～火山角礫岩に分類され、火山の多い日本に広く分布する。
火山砕屑丘	かざんさいせつきゅう	pyroclastic cone	火口の周りに火山砕屑物が積み重なってできる円錐形の火山体で、砕屑物の種類により噴石丘・軽石丘・岩滓丘・火山灰丘などがある。
火山砕屑物	かざんさいせつぶつ	pyroclastic material, volcaniclastic material	火山活動により生成した砕屑物。二次堆積のものも含む。
火山作用	かざんさよう	volcanism	火山活動と同義。
火山昇華物	かざんしょうかぶつ	volcanic sublimate	火山噴気孔周辺で火山ガスが冷却固結したり、相互に反応するなどしてできる鉱物の集積物。
火山塵	かざんじん	volcanic dust	火山灰のうちで極めて細粒のもの。
火山－深成複合岩群	かざんしんせいふく ごうがんぐん	volcano-plutonic association	共通のマグマが火山岩と深成岩に分かれ、複合しているもの。太平洋周辺の白亜紀～第三紀に多い。
火山性温泉	かざんせいおんせん	volcanic type hot spring	非火山性温泉に対して、熱源が火山活動に直接関係する温泉。火山ガス・マグマ水起源の温泉。
火山性荒廃地	かざんせいこうはいち	volcanic denuded land	比較的新しい火山体に認められる荒廃地。火山噴出物に覆われ、変質作用や高海拔のため植生回復が困難な地域。
火山性地震	かざんせいじしん	volcanic earthquake	火山体やその周辺の浅いところで発生する地震。マグマの移動に伴って、その周辺に地震が多く発生するようになるので、火山性地震の頻度はマグマ活動度の指標となる。

火山性粗粒土	かざんせいそりゅうど	volcanic coarse-grained soil	噴火によって放出された火山灰・火山礫などが降下し堆積した火山性堆積土のうち、粗粒なもの。
火山性地殻変動	かざんせいちかくへんどう	volcanic crustal deformation	火山活動に起因する地殻変動。マグマ溜りの圧力増減による地殻の隆起・沈降など。局地的差異がある。
火山性地溝	かざんせいちこう	volcanic graben	火山作用と関係して山頂部や山腹で基盤の構造線や断層運動の影響に支配されてできる地溝。
火山性土	かざんせいど	volcanogenous soil	火山噴出物をもととする土壌の総称。粒径の粗いものは保水性に乏しく、農耕地に不適。
火山性熱水循環系	かざんせいねっすいじゅんかんけい	igneous related hydrothermal convection system	火山のマグマだまりを熱源とする熱水の存在システム。
火山性微動	かざんせいびどう	volcanic tremor	活動的火山で生じ、地震とは呼べない微動あるいは脈動。
火山層序学	かざんそうじょがく	volcano-stratigraphy	火山碎屑物、溶岩などを対象とする層序学。火山体の形成史や火山活動史などを明らかにする研究分野。
火山帯	かざんたい	volcanic belt, volcanic zone	幅100～200km程度のほぼ同時代の火山の帯状分布地帯
火山弾	かざんだん	volcanic bomb	火口から放出された可塑性を保った状態のマグマの破片。空中で発泡、固化するため特有の形状、構造をもつ。
火山地形	かざんちけい	volcanic landform	火山活動に直接、間接に関連して生じたすべての地形。
火山地質図	かざんちしつず	geological map of volcano	火山地域の地質図。火山地形・構造・溶岩・火砕物の性質・年代・分布・形成史・火口・温泉他の情報を含む。
火山泥流	かざんでいりゅう	volcanic mud flow	火山地域において発生する泥流。成因・運動様式・堆積物の特徴ともに多様。ラハール(lahar)とも呼ばれる。
火山島	かざんとう	volcanic island	明瞭な火山地形を残す火山体でほぼ全体が構成されているような島。
火山軟岩	かざんなんがん	volcanic soft rock	主に火山碎屑岩で、リッパーなどの土木機械で掘削施工可能な土と岩の中間的性質の岩石。
火山の分類	かざんのぶんるい	classification of volcanoes	火山活動の型による分類、火山の構造および構成物による分類・火山の形による分類などが用いられている。
火山灰	かざんばい	volcanic ash	直径2mm以下の破片からなる未固結の火山碎屑物。一般に透水性が悪く浸食に弱いため土石流の誘因になる。

火山灰丘	かざんばいきゅう	ash cone	爆発的噴火活動に伴って火口の周りに火山灰が堆積してできる砕屑丘.
火山灰質粘性土	かざんばいしつねんせいど	volcanic cohesive soil	地盤工学会による土質分類の一つ, 火山灰起源の細粒土で関東ロームなどが含まれる.
火山灰層序学	かざんばいそうじょがく	tephrostratigraphy	主に風によって運ばれた火山砕屑堆積岩の層序学. 火山の発達史・堆積環境・対比などに有用である.
火山灰地	かざんばいち	volcanic ash distributed area	降下火砕堆積物が分布する地域の俗称.
火山灰土	かざんばいど	volcanic ash soil, volcanic ash fall deposit	火山噴火に伴い放出された火山灰が降下, 堆積した火山性土の一つ. 関東ロームは代表的な火山灰土である.
火山灰編年学	かざんばいへんねんがく	tephrochronology	テフラ年代学と同義語.
火山灰流	かざんばいりゅう	ash flow	固形物質の50%以上が火山灰からなる火砕流. 規模は小さいものから100km ³ 以上のものまである.
火山発電	かざんはつでん	volcanic power generation	主にマグマだまりが保有する熱エネルギーを利用した発電. マグマ発電ともいう.
火山フロント	かざんふろんと	volcanic front	島弧における火山分布の海溝側の縁を結ぶ線で, これより海溝側には火山が分布しない.
火山噴火	かざんふんか	volcanic eruption	マグマの活動によって内部の物質を比較的急激に地表へ放出する現象. マグマ噴火と水蒸気爆発および中間型に大別される.
火山噴火予知計画	かざんふんかよちけいかく	national project for prediction of volcanic eruptions	観測体制の整備および火山噴火予知連絡会の設置を骨子として1973年に発足.
火山噴出物	かざんふんしゅつぶつ	volcanic product	火山噴火により, 地表に排出された火山ガス・溶岩・温泉水・火山砕屑物などの総称.
火山噴出物未熟土	かざんふんしゅつぶつみじゅくど	volcanogenous regosols	火山性の岩屑, 砂礫, 火山灰などの非固結の堆積物の上に分布する, 土壌生成作用を示す特徴がほとんど認められない土壌. 流水などにより再移動した火山砕屑物を母岩とする場合もある.
加算法	かさんほう	summation method	反射法探査において, 反射波の到達時刻について地表付近の低速度層の影響を補正する方法.
火山豆石	かざんまめいし	accretionary lapilli	細粒の火山灰が同心の層状構造をなして球状に固結したもの. 直径1cm以下のものが多い.
火山豆石凝灰岩	かざんまめいしぎょうかいがん	accretionary lapilli tuff	火山豆石を含む火山灰を主とした凝灰岩.

火山脈	かざんみやく	volcanic chain	多数の火山が連なって分布する比較的細長い地帯。
火山毛	かざんもう	volcanic hair	爆発的な火山噴火の際に、マグマの一部が飛散し、引き延ばされて、急冷固化して糸状になったガラス片。ペレーの毛ともいう。
火山雷	かざんらい	volcanic thunder and lightning	噴火の際に上昇する噴煙の中あるいはその周辺で発生する雷。噴火活動が盛んな時期に発生する。
火山輪廻	かざんりんね	volcanic cycle	火山活動で、噴火から終り(溶岩流流出など)までを一輪廻という。大型火山は休止期を挟んで多輪廻。
火山涙	かざんるい	volcanic tear	火山の爆発的噴火の際に、飛散した粘性の低いマグマの微片が急冷固化して生じた丸いガラス質の粒。ペレーの涙ともいう。
火山礫	かざんれき	lapilli	火山噴出の際に、地表に放出された破片状の固体物質のうち、直径が2～64mmのもの。
火山礫岩	かざんれきがん	lapilli stone	ほとんど火山礫からなる火山砕屑岩。ラピリストーンともいう。
火山礫凝灰岩	かざんれきぎょうかいがん	lapilli tuff	火砕岩の一種。主として、火山礫と火山灰が固結してできた岩石。
火山列	かざんれつ	volcanic row	火山が一行に並ぶ地帯。一般に火山帯よりは規模が小さいもの。
火山麓扇状地	かざんろくせんじょうち	alluvial fan at volcanic foot	火山体の裾野に広がり、火山体上の谷口を扇頂とする扇状地。裾野扇状地ともいう。
鹿塩圧砕岩	かしおあっさいがん	Kashio mylonite	長野県大鹿村鹿塩を模式地とする中央構造線沿いの領家帯南縁に発達するマイロナイト(帯)。
鹿塩構造帯	かしおこうぞうたい	Kashio tectonic zone	本州中央部、長野県高遠から紀伊半島東部に至る、中央構造線に沿って帯状に繋がる圧砕岩帯。領家帯の南縁。
檜尾地すべり	かしおじすべり	the Kashio landslide	毎年5cm程度の慢性的な滑動を示す徳島県東祖谷山村の地すべり。三波川結晶片岩地帯にあり、大規模構造運動により著しく破碎・風化している。
可視・近赤外域センサ	かしきんせきがいいきせんさ	visible and near infrared sensor	可視・近赤外波長帯の電磁波が観測できる、リモートセンシングで最も一般的に用いられているセンサ。
可視光線	かしこうせん	visible radiation	電磁波の中で人間が光として感じ得る波長のもの。
可視バンド	かしばんど	visible band	人間の目が検知できる電磁波の波長帯域をさす。その波長の範囲は約400nm～700nmである。

可視分光計	かしぶんこうけい	visible spectrometer	可視光の発光スペクトルの波長，光強度，波形を測定する機械。
鍛冶屋断層	かじやだんそう	Kajiya fault	活断層．確実度 I，西北西方向．琵琶湖北東部に位置し，柳ヶ瀬断層に付随する．左ずれ断層．
荷重	かじゅう	load	構造物に作用する外力．載荷試験などで試験体に加える力．
過褶曲	かしゅうきょく	overfold	褶曲軸面が90°以下の角度で傾き，両翼の岩層の傾斜の方向が同一である褶曲．
荷重計	かじゅうけい	load cell	物体に加えられた外力を弾性体あるいは油圧で受けて，これらに生じた変形または油圧の変化を圧力計で測定して荷重を求めるもの．ロードセルともいう．
荷重痕	かじゅうこん	load cast	砂岩層の下底面に形成される球根様・乳頭状または不規則な形の突起．流痕とは異なり方向性は示さない．ロードキャストともいう．
荷重速度	かじゅうそくど	loading speed, rate of loading	物体に加えられる外力が，単位時間に増加する量．
荷重耐力係数設計法	かじゅうたいりよくけいすうせつけいほう	load and resistance factor design method	構造物の耐力と荷重にバラツキのあることを前提とし，その確率統計量に基づいて構造物の安全性を評価する設計法．
荷重－沈下量曲線	かじゅうちんかりょうきょくせん	load-settlement curve	杭や地盤の載荷試験で得られる加えた荷重と沈下量の関係を表す曲線．
荷重分割法	かじゅうぶんかつほう	method of load slices	アーチダムを構造解析が可能な二つの構造系の複合体と仮定する応力解析手法の一つ．
荷重分散法	かじゅうぶんさんほう	load distribution method	等分布帯状荷重に対する鉛直地中応力の算定の簡便法で，荷重が直線的に分散していると仮定する．
荷重－変位曲線	かじゅうへんいきょくせん	load-displacement curve	平板載荷試験などの計測結果を縦軸に荷重を横軸に変位をとり図示したもの．この図から支持力，地盤反力係数などを求める．
荷重変換器	かじゅうへんかんき	load transducer, load cell	荷重量を対応する電気信号に変換する装置．ロードセルともいう．
可縮支保工	かじゅくしほこう	sliding support	トンネル掘削で大きな膨張性土圧が作用した時に継手部が滑動し，座屈・折損を避ける構造の鋼アーチ支保工．
河床	かしょう	river bed	表流水の流路となる細長い凹地の底面．
河床移動物質	かしょういどうぶつしつ	bed-load sediment	河川物質や河床物質のうちで，掃流物質となる部分．

過剰間隙水圧	かじょうかんげきす いあつ	excess pore water pressure	定常状態の間隙水圧を上回る間隙水圧のこと。一般的 には粘性土層の圧密解析に用いる。
過剰間隙水圧比	かじょうかんげきす いあつひ	excess pore water pressure ratio	地中に発生した過剰間隙水圧(Δu)と定常状態の地中の 有効応力(σ')の比 ($\Delta u/\sigma'$)。液状化判定などに用 いる。
河状係数	かじょうけいすう	coefficient of river regime	河川のある地点における数年間の最大流量と最小流量 との比。河川の流況を表すための指標の一つ。
河床勾配	かしょうこうばい	river bed slope	河川の平水時に水に覆われる地盤の流れに沿っての勾 配。
河床砂紋	かしょうさもん	ripples of river bed	水理条件と河床砂の特性に応じて形成される砂漣・砂 堆・反砂堆などの砂の形状。
可照時間	かしょうじかん	possible sunshine hours	日の出から日没までの最大日照時間。
河床縦断曲線	かしょうじゅうだん きょくせん	stream profile	距離を横軸に取り、距離に対応する最深河床高を連ね た曲線で、河川の縦断形状を表示するもの。
河床縦断面	かしょうじゅうだん めん	section of river bed	河床部の上下流方向の断面図で、河床横断面図と直交す る断面。
河床取水口	かしょうしゅすいこ う	streambed intake	河川水を用水路などに引き込むための取水口のうち、 それが河床に位置するもの。
河床洗掘	かしょうせんくつ	river-bed scour	浸食土砂量が堆積土砂量よりも大きい非平衡状態のため、 河床材料が流れの作用によって運び去られるこ と。
河床粗度	かしょうそど	bed roughness	河床の大小様々の凹凸。
河床堆積物	かしょうたいせきぶ つ	river bed deposit	河床に見られる泥・砂・礫などの堆積物。一般的に円 磨されて丸味を帯びている。
河床低下	かしょうていか	river bed degradation	浸食力の激変により河床が低下すること。浸食力の激 変は、地形改変により河床勾配が急変するため起 こる。
河床土砂	かしょうどしや	river bed deposit	河道沿いに分布する、河川により運搬、堆積した土 砂。
河床変動	かしょうへんどう	river-bed evolution	河川の河床の経年変化、特に流路の移動や河床の鉛直 的变化。
過剰揚水	かじょうようすい	excessive pumping	帯水層に適した量以上に揚水を行うことにより井戸の 枯渇・地盤沈下・水質汚染などの障害を生じさせるよ うな揚水状態。

河床礫	かしょうれき	river bed gravel	河床に分布する河床堆積物のうち、粒径2mm以上のもの。
河食崖	かしょくがい	river cliff	河食作用(浸食・運搬作用)により形成された一定程度の比高をもつ河岸の急崖。
河食作用	かしょくさよう	fluvial erosion	河水による浸食。河水は量と河川勾配に関係した一定量のエネルギーを持ち、岩屑の運搬と削磨が行われる。
河食地形	かしょくちけい	fluvial erosion topography	河川の浸食作用(下方浸食や側方浸食)によって形成される地形の総称。洗掘、磨食などがある。
柏尾石	かしわおいし	Kashiwao ishi	新潟県村上市柏尾産土木用石材。新第三系石英粗面岩。灰黄色、堅硬、割れ目多い。
柏崎油田	かしわざきゆでん	Kashiwazaki oil field	新潟県柏崎市に位置する石油・ガス田。貯留層は、新第三系寺泊層の砂岩、凝灰岩。
加振機	かしんき	vibration exciter	土の動的性質を調べるため、振動または繰り返し荷重を加える加振装置。電気・機械式がある。
ガス圧接	がすあっせつ	gas-pressure welding	ガスの燃焼熱で母材を溶かして接合する溶接方式。鉄筋の継手などに使用。
ガス油比	がすあぶらひ	gas-oil ratio	溶存ガスを含む原油を地上状態に置いたときの遊離ガス体積と液体原油体積の比。
加水雲母	かすいうんも	hydromica	火山岩に含まれる雲母類の熱水による変質で形成される雲母類-スメクタイト混合層鉱物。
加水酸性	かすいさんせい	hydrolytic acidity	土壌に水または中性塩の溶液を加えた時に遊離する水素イオンで生じる酸性。(活酸性と潜酸性がある)
加水ハロイサイト	かすいはろいさいと	hydrated halloysite	X線回折で(001)面の反射が10Åを示す、層間に十分水和した状態のハロイサイト(10Å)をさした古語。
加水分解	かすいぶんかい	hydrolysis	塩と水との反応で、酸や塩基をつくる反応。化学的風化は、鉱物の加水分解により起こる。
加水分解堆積物	かすいぶんかいたいせきぶつ	hydrolysate	岩石の化学的風化作用の過程において、岩石を構成する鉱物の加水分解により生じた不溶性物質の総称。
ガスカット	がすかつと	gas cut	ボーリング掘削中にガス層に逢着し、泥水中にガスが混入する状態。
ガスガン	がすがん	gas gun	海域の反射法探査に用いられる非爆薬震源の一種。プロパンやブタンと酸素や空気の混合ガスを爆発させる。

ガス吸着法	がすきゅうちやくほう	gas absorption method	ガスの吸着現象を利用した土の比表面積の測定法。気体吸着法，BET法ともいう。
ガスクロマトグラフィ	がすくろまとぐらふ	gas chromatograph	試料を加熱気化させ，成分分析を行う装置。石油・天然ガス，火山ガスなどの分析に利用される。
ガス検知装置	がすけんちそうち	gas detector	空気中のガス（メタンガス・一酸化炭素・二酸化炭素など）の含有率を測定する計器。
ガス鉱床	がすこうしょう	gas deposit	地層中に稼行対象となる天然ガスを含む鉱床。遊離ガスおよび水溶性ガスとして存在。
上総層群	かずさそうぐん	Kazusa Group	房総～三浦半島にかけて分布する新生界鮮新統末～中期更新統。砂岩，泥岩の互層からなる。多数の火山灰を挟み詳細な層序が明らかにされ，関東地方の第四紀標準層序の一つ。工学的には一軸圧縮強度1～5MPa程度。
上総掘り	かずさぼり	Kazusa bori	千葉県上総地方で使われてきた井戸の掘削方法。竹の弾力性を利用して人力により掘削する。
ガス水和物	がすすいわぶつ	gas hydrate	常温・常圧下での気体元素・化合物と水との結合物。天然ガス水和物など。
ガス井	がすせい	gas well	主に天然ガスを産出する坑井。遊離したガスを産するものと水溶性ガスの形で産するものがある。
ガス層	がすそう	gas reservoir	天然ガスが連続相をなす層。または水溶性天然ガスを多量に含んだ水が連続相をなす層。
ガスタービン発電機	がすたーびんはつでんき	gas turbine generator	高温高圧のガスによってタービンを駆動して発電する装置。
ガス徴	がすちょう	gas showing, gas indication	坑井掘削時に見出される地下における天然ガスの存在を示す兆候。または地表へのしみ出しなどの天然兆候。
ガス田	がすでん	gas field	主として天然ガスを生産している区域。
ガス抜き	がすぬき	gas drainage	石炭の採掘時に，存在するメタンなどの高圧ガスを，ボーリングなどにより抜き安全を確保すること。
ガス抜き工法	がすぬきこうほう	gas drainage	石炭鉱山保安上，ガス突出防止，応力解放，坑道気流中へのガス湧出緩和のためにボーリングを利用して地山ガスを抜き取る工法。
ガス爆発	がすばくはつ	gas explosion	空気中でメタンガスなどの可燃性ガス濃度が爆発範囲内にある場合に生じる爆発。
ガス付随水	がすふずいすい	accessory water	水溶性ガスの採取において，同時に取り出される水。地盤沈下対策のために地中に還元されることもある。

ガス分析	がすぶんせき	gas analysis	気体試料を対象として取り扱う化学分析 (JIS K 0211) .
ガス分析計	がすぶんせきけい	gas analyzer	ガスの組成を分析し成分や濃度を決定する装置. ガスの物理的性質や化学的性質を利用するものがある.
ガス飽和度	がすほうわど	gas saturation	貯留層 (岩) において, 間隙体積中に占めるガス相の体積比率.
霞石	かすみいし	nephelite	(Na, K)AlSi ₃ O ₈ . 六方晶系. 硬度5.5~6. 比重2.56~2.65. 白~灰色, アルカリ火成岩に特徴的鉱物. ある種の片麻岩, 苦鉄質岩中にも産する.
霞岩	かすみがん	nephelinite	霞石および輝石を主成分とする緻密或いは斑状の火山岩. 日本では島根県浜田市長浜付近の玄武岩中にある.
ガス水比	がすみずひ	gas-water ratio	水溶性ガスを生産する地区において, 産出されるガスと水の地表での体積比.
霞大理石	かすみだいらせき	Kasumi marble	岐阜県大垣市金生山産石材. 大理石. 二枚貝・巻貝・ウミユリなどの化石を含む.
霞堤	かすみてい	open levee, discontinuous levee	急流河川に設けられる堤防の一種で, 平水時の排水の容易性と出水時の穏やかな氾濫を目的として設置される. 設置地点では堤防全体は不連続となり, 下流側の堤防を上流側の川裏に延長し口をあけておく.
ガス湧出	がすゆうしゅつ	emission of gas	ガスを含有する地層の表面から, 一様にガスが湧出すること.
ガス容積係数	がすようせきけいすう	gas formation volume factor	ガス田において, 地表でのガスの容積と, 地下の貯留層でのガスの容積の関係を表す係数. 主に貯留層の圧力と温度で決まる.
ガス用炭	がすようたん	gas coal	ガス製造に適した石炭. 揮発分に富み, 酸素含有量に乏しい粘結炭が適するとされる.
加須良断層	かすらだんそう	Kazura fault	活断層. 確実度 I, 北北西方向. 両白山地東部に位置し, 御母衣断層系に属す. 左ずれ断層.
ガスリフト	がすりふと	gas lift	油層圧力が減退した油井の適当な深度にガスを吹き込み, 原油密度を下げ生産を補助する方法.
ガス冷却炉	がすれいきゃくろ	gas-cooled reactor (GCR)	冷却材として気体 (空気, 炭酸ガス, ヘリウムなど) を用いる原子炉. 国内では東海原子力発電所で採用.
ガスレーザードリル	がすれーざーどりる	gas laser drill	レーザーを岩石に照射させて掘削するドリル.
ガスロック	がすろっきんぐ	gas locking	油井で坑内採油ポンプのバルブホールにガスが溜り機能が低下すること.

河成	かせい	fluvial	「河の」という意味の形容詞。河の作用－浸食・運搬・堆積－を示すとき、特に堆積に関しての使用が多い。
火成活動	かせいかつどう	igneous activity	地下深部におけるマグマの発生、マグマの上昇・貫入・噴出・固結というマグマの活動に関する諸作用。
火成岩	かせいがん	igneous rock	マグマが固結して形成された岩石。マグマの成分で塩基性や酸性となり、固結した場で深成岩または火山岩になる。
火成岩コンプレックス	かせいがんこんぷれっくす	igneous rock complex	ある地域での火成岩体が多種の岩石からできているとき、その岩体をいう。領家コンプレックスなどがある。
火成岩体	かせいがんたい	igneous rocks body	地質学的に連続して分布する火成岩（地下深部に由来するマグマが固結して形成された岩石）の大規模な岩塊。
火成岩の産状	かせいがんのさんじょう	mode of occurrence of igneous rocks	火成岩が活動した状態を表した形態。その形によって、底盤・餅盤・岩株・岩脈・岩床・溶岩などと名付けられている。
火成作用	かせいさよう	magmatism	火成活動と同じ。
過制振	かせいしん	over damping	地震計の振り子の減衰定数hが1より大きく、制振作用が強すぎることを。
河成層	かせいそう	fluvial sediment	河川の浸食・削剥・堆積作用により形成された堆積物。
河成堆積物	かせいたいせきぶつ	fluvial sediment, fluvial deposit	河川により運搬され、海に達する以前に堆積した堆積物の総称。河川堆積物・沖積堆積物ともいう。
河成段丘	かせいだんきゅう	river terrace	河川に沿って分布する階段状の台地の地形。谷底平野が現河床より高くなったもので、河岸段丘ともいう。
火成論	かせいろん	plutonism	岩石生成の根本的原因が火成活動によるとする学説。深成論ともいう。水成論に対して、水の作用を認めながらも地球内部の熱の果たす役割を重要視する学説。
化石	かせき	fossil	地質時代の生物（古生物）が死後地層中に埋もれ、残ったもの。遺体と遺跡または生痕（生活の跡）に区別される。
化石インボリューション	かせきいんぼりゅーしょん	fossil involutions	周氷河地域の表層で形成されたインボリュージョン（変形構造）の化石。過去の周氷期気候を示す。
化石エネルギー資源	かせきえねるぎーしげん	fossil energy resources	石炭・石油・天然ガスなど、地層中で長い時間をかけて生成された炭素化合物の燃料資源。
化石塩水	かせきえんすい	fossil salt water	地層の堆積時に地層中に閉じこめられた堆積当時の海水。

化石化作用	かせきかさよう	fossilization	生物が死後、埋もれ、他の成分により置換され、化石として保存される作用。
加積曲線	かせききょくせん	accumulation curve	累積度数分布を曲線で表したもので、積算曲線・累加分布曲線ともいう。粒径分布などに用いる。
化石群集	かせきぐんしゅう	fossil coenosis	同一層準の同一地点から産出した化石全体をさす言い方。似た化石群集を含む地層の時代は同一と判断する。
河跡湖	かせきこ	cutoff lake formed by old river	河川の流路の一部が流路から切り離されて湖になったもの。三日月湖はその代表。
化石湖	かせきこ	fossil lake	湖成堆積物あるいは湖岸地形から推定できる過去の地質時代に存在した湖。
化石構造土	かせきこうぞうど	fossil patterned surface	主に凍結作用によって形成される幾何学的な地形や微形態の総称で、過去に形成されたもの。
化石準平原	かせきじゅんへいげん	fossil peneplain	準平原が沈降してその上に被覆層などが堆積した埋没準平原、および被覆が浸食されて再び地表に現れた準平原。
化石床	かせきしょう	fossil enclosure	化石層内で、化石を含む地層部分が含まない地層部分を間に挟んで断続している場合、その地層の部分をいう。
化石植物群	かせきしょくぶつぐん	fossil flora	ある時代に産地に近接する一定の地域に棲息した植物が一つの地層から産する時、その植物化石全体のこと。
化石浸食面	かせきしんしょくめん	fossil erosion surface	被覆層に覆われた古い浸食面、および被覆が取れて再び地表に現れた浸食面。地質学的には広義の不整合面。
化石人類	かせきじんるい	fossil men	化石で発見される分類学上のヒト科（一般に道具を製作する生物）に属するものの総称。約200万年前の <i>Australopithecus</i> など。
化石水	かせきすい	fossil water	地層形成時の海水や地下水がそのまま地層中に閉じこめられたもの。油田、ガス田に伴われる塩水がこれにあたる。
化石相	かせきそう	biofacies	含有される化石群の時間的空間的性質の特徴による地質の捕らえ方。地層の堆積相、岩石の岩相に対応する。生相ともいう。
化石地形	かせきちけい	exhumed fossil landscape	新しい堆積物に覆われて埋没した古い地形、および被覆層が取れて埋もれる前の地形が再び地表に現れたもの。
化石土	かせきど	fossil soil	化石土壌と同義。
化石動物群	かせきどうぶつぐん	fossil fauna	ある地域のある時代の地層から産出する化石群集に基づいて考えられる動物群。環境・年代対比の手段となる。

化石土壌	かせきどじょう	fossil soil	新しい被覆層に覆われて土壌生成作用が中断し、生物化石のように地層中に保存された過去の土壌。
化石燃料	かせきねんりょう	fossil fuel	地質時代の動植物の遺骸（化石）に由来した石炭・石油・天然ガスの総称。
化石燃料鉱床	かせきねんりょうこうしょう	fossil fuel deposit	燃料鉱床と同義。
化石燃料埋蔵量	かせきねんりょうまいぞうりょう	fossil fuel reserve	地質時代の生物が化石化して生成された石炭や石油・天然ガスなどの燃料の埋蔵量。
化石氷楔	かせきひょうせつ	ice-wedge cast	過去に形成された氷楔（永久凍土中に形成されたくさび状の氷脈）が気候の温暖化に伴って解け、そこに上部の土が落ち込んでできた氷楔の鋳型。気候変化の証拠となる。
化石木	かせきぼく	fossil wood	地質時代の樹木の主として樹幹が化石となって地層中に保存されたもの。炭化木や珪化木がある。
化石林	かせきりん	fossil forest	森林の立木がそのまま堆積物に埋まり、樹幹や根が化石化したもの。
仮設構造物	かせつこうぞうぶつ	temporary works	ダムや橋梁などの本体工事を施工するために必要な仮の構造物。例えばクレーンやダムの転流工など。
架設用設備	かせつようせつび	erection equipment	橋梁などの構造物を架け渡す時に必要な仮設構造物。アンカーを取ったワイヤ、あるいは索道など。
カセトメータ	かせとめーた	cathetometer	隔たった2点間の鉛直距離を離れた位置から精密に測定する機器。
風の運搬作用	かせのうばんさよう	transportation by wind	風が岩石や鉱物などの物質を元の場所から他の場所に運搬する作用。浮遊・跳躍・表面匍行からなる。
風の堆積作用	かせのたいせきさよう	deposition by wind	風により運搬される物質の堆積作用。代表的堆積物としてレスがあり、堆積形状として砂丘がある。
加背割	かせわり	division of tunnel face section	トンネル、地下空洞などの掘削の際に、地山の自立性を確保するため掘削断面を幾つかの部分に分割して区画を決めること。
河川営力	かせんえいりょく	agency of river	河川地形を変化させる営力のことで、流水がそれにあたる。
河川改修	かせんかいしゅう	river improvement	河川の断面の拡大、河道の正整などによって洪水の疎通能力を向上させ、洪水被害を小さくする事業をいう。
河川環境	かせんかんきょう	river environments	生活様式・文化・風土まで含めて人間の生活環境を形成するもののうち、河川が関与しているものをさす。

河川管理施設	かせんかんりしせつ	public administed institution on river	河川管理上必要なダム、堰、水門、堤防、護岸、床止め、その他の施設のこと。
河川計画	かせんけいかく	river planning	洪水調設などの治水計画と、農業・工業・生活水の需給などの利水計画を併せたものの総称。
河川工学	かせんこうがく	river engineering	河川の諸性質を基に、災害防止や利水のための計画・設計などを対象とする工学。
河川勾配	かせんこうばい	gradient of rivers	河川縦断面の勾配。流域山地の起伏が小さいほど、また流域面積が大きいほど小さい。流域の岩盤の性質も反映。
河川災害	かせんさいがい	river disasters	平地河川において発生する災害をいい、河道部に生じる河道災害と堤内地に生じる内水災害とに区別される。
河川取水口	かせんしゅすいこう	river intake	堰などによってせき止められた河川水を用水路などに引き込むための取水口。
河川浸食	かせんしんしょく	erosion of rivers	河川による地表面を掘り削る現象、およびその作用。流奪・溶食・研磨など。浸食作用には運搬作用が含まれる。
河川争奪	かせんそうだつ	river piracy, river capture	隣接する河川のうち一方が他方の水流を奪う現象。河床の高度差と浸食力の差が大きい場合に生じる。
河川堆積環境	かせんたいせきかんきょう	fluvial depositional environment	河成平野における堆積環境。一般に山麓には扇状地が発達し、谷底平野の氾濫原内には軟弱地盤が発達する。
河川堆積物	かせんたいせきぶつ	fluvial sediment	河川の堆積作用によって形成された堆積物の総称。扇状地、三角洲や自然堤防帯などに堆積される。河成層ともいう。
河川地形	かせんちけい	fluvial morphology, fluvial landforms	河川の浸食・堆積などの作用によって形成された地形の総称で、沖積平野や河岸段丘などがある。
河川の運搬作用	かせんのうんぱんさよう	transportation of rivers	河川が岩石や鉱物などの物質を元の場所から他の場所に運ぶ作用。化学的運搬と機械的運搬とがある。
河川保全区域	かせんほぜんくいき	zone for river conservation	河岸や河川管理施設を保全するため、土地の形状変更行為や工作物の新改築を河川法により規制した区域。
河川密度	かせんみつど	river density	水系密度と同義語。
河川利用率	かせんりょうりつ	ratio of utilized river discharge	河川の正常流量を平均流量で割った値。正常流量は下流の利用に必要な流量と河川の機能を保つために必要な水量（維持流量）の和。
河相	かそう	river regime, river phase	河道の形状、堆積物の形態、植生などを含めた河川の様相。

仮像	かぞう	pseudomorph	外形を保ったまま成分の一部あるいは全部が別の成分に置換された鉱物.
画像解析	がぞうかいせき	image analysis	画像データに補正, 強調, 分類などの処理を行い, そこに含まれている情報を抽出するプロセス.
画像強調処理	がぞうきょうちょうしより	image enhancement	解析に適した画像にするために, 明暗や色調の差を改善する処理. コントラスト強調やエッジ強調がある.
仮想すべり面	かそうすべりめん	assumed sliding plane	均質な斜面の安定性を評価する目的で, 解析上仮定するすべり面のこと.
仮想層位	かそうそうい	phantom horizons	反射法の記録断面で相関の悪い範囲では各反射面の傾斜角に従って連続する一本の曲線が引かれるもの.
画像ディジタイザ	がぞうでじたいざ	image digitizer	画像入力装置と同義.
下層土	かそうど	subsoil	表土の下にある土の総称. 表土に比べ腐植物が少なく, より緻密である.
画像入力装置	がぞうにゅうりよくそうち	image input system	写真や図面, ビデオなどのアナログ画像をデジタル画像に変換する装置. CCDスキャナなどがあげられる.
仮想反射面	かそうはんしゃめん	phantom horizon	反射法の記録断面または深度断面などで, 相関の悪い反射面を傾斜角に従って適当につなぎ合わせた連続面.
加速クリープ	かそくくりーぷ	accelerate creep	クリープ変形を変形速度の変化によって3つの段階に分けたときの最終段階で, 変形が増大し破壊に至る過程. 三次クリープと同義.
加速浸食	かそくしんしょく	accelerated erosion	人間の活動や気象異常などにより浸食速度が大きくなること. 多くの場合, 被植率の減少によって激しくなる.
加速度	かそくど	acceleration	速度変化の時間に対する割合である. 地盤や構造物に加わる振動や衝撃の加速度から, 震度や力が求められる.
加速度応答スペクトル	かそくどおうとうすべくとる	acceleration response spectrum	地震によって構造物がどのような応答をするかを表す地震応答スペクトルのうち, 応答値を加速度で表すもの.
加速度型傾斜計	かそくどがたけいしゃけい	accelometer type inclinometer	内蔵する振子の移動を電気的なバネで元の平衡点に戻すのに必要な電流を検出して傾斜角を測定する装置.
加速度計	かそくどけい	accelerometer, accelerograph	加速度を測定するためのセンサ.
加速度地震計	かそくどじしんけい	acceleration seismograph	地震動により生ずる地面の加速度波形を記録する地震計で, 一般的に振子の周期は短く, 基本倍率が高い.

加速度振動計	かそくどしんどうけい	acceleration vibrograph	物体の加速度を計測する特性を持たせた振動計のこと。
加速度スペクトル	かそくどすべくとる	acceleration spectrum	振動加速度の時間記録をフーリエ変換することによって求められる周波数関数。
可塑性	かそせい	plasticity	外力によって破壊を伴わずに変形し、その力を除いても元に戻らない固体の性質。
可塑性粘土	かそせいねんど	plastic clay	可塑性に富む粘土の総称。
可塑変形	かそへんけい	plastic deformation	降伏点以上の応力を受けた時、変形が進み、除荷しても元の状態に戻らない変形。
潟	かた	lagoon	浅海の一部が砂嘴や砂州または沿岸洲によって外海と絶縁され、浅い湖沼となったもの。
堅石	かたいし	kata ishi	安山岩の土木材料としての慣用名。
片押し	かたおし	one direction excavation, one way excavation	トンネル工事で、片側の坑口だけから掘進し、トンネルを完成すること。
片貝ガス田	かたがいがすでん	Katagai gas field	新潟県小千谷市西部の丘陵地に位置する石油・ガス田。1960年発見。背斜構造の北端部で、貯留層は灰爪層・西山層の凝灰岩および七谷層の流紋岩。近年は深度4,500m付近からのガスの産出が主体で国内最大級のガス田。
片貝油田	かたがいゆでん	Katagai oil field	新潟県小千谷市の丘陵地に位置する石油・ガス田。背斜構造の北端部で、貯留層は新第三系七谷層の流紋岩。
片切り片盛り	かたきりかたもり	half-bank and half-cut	道路などの土構造物において断面の片側が切土、片側が盛土からなる部分。
片切取	かたきりとり	side cutting	片切り片盛りと同義。
カタクラサイト	かたくらさいと	cataclasite	破碎岩と同義語。カタクレーサイトともいう。
カタクラサイト化	かたくらさいとか	cataclazation	地下浅所における機械的脆性破壊によって岩石に破碎組織が生じること。通常再結晶を伴わない。
カタクレーサイト	かたくれーさいと	cataclasite	破碎岩と同義語。カタクラサイトともいう。
片勾配	かたこうばい	superelevation	車両が曲線部を進行するときに受ける遠心力の影響を取り除くために相対的に外側を高くすること。カントと同義。

硬さ基準片	かたさきじゅんへん	standard hardness test block	硬さ試験に用いる標準試料片。「硬さ試験」参照。
硬さ試験	かたさしけん	hardness test	岩石や鉱物の硬さを示す指標である硬度を測定する試験方法。ブリネル硬度，ビッカース硬度，ヌープ硬度，ロックウェル硬度などがある。
片品構造帯	かたしなこうぞうたい	Katashina tectonic zone	群馬県北部片品川に沿って西側の上越帯の東縁を画する構造帯。変成オフィオライトと非変成陸成中生界で特徴付けられる。
カタストロフィズム	かたすとろふいずむ	catastrophism	生物は地質時代ごとに天変地異的な大変動によって絶滅し，一部の生き残りが次時代に繁栄したとする説。
潟堆積物	かたたいせきぶつ	lagoonal deposit	砂州などで外海と分断された環境で堆積した堆積物。大きな湖や河川に隣接した淡水湖成のものもある。
堅田断層	かたただんそう	Katata fault	活断層。確実度 I，南北方向，東傾斜。琵琶湖西縁に位置し，琵琶湖西岸地形を形成。小野付近に露出する。
片テーパ	かたてーぱー	single taper, one side taper	シールドの曲線施工で使用するテーパセグメントのうち，片面のみにテーパが付いたもの。
型取りパッカー	かたどりぱっかー	mold packer	ボーリング孔壁にある割れ目の形や方向を知るために，可塑性ゴムを孔壁に押し付けて割れ目跡を取る装置。
潟西油田	かたにしゆでん	Katanishi oil field	秋田県の男鹿半島地区に位置する油田。申川産油・産ガス地帯に属する。新第三系に石油胚胎。
交野断層	かたのだんそう	Katano fault	活断層。確実度 I，北北東方向。大阪府交野市の生駒山地西縁に位置し，大阪層群を変形させている。西傾斜。
片振り疲労試験	かたふりひろうしけん		圧縮側の応力を変化させる方式の疲労試験。岩石の疲労試験を一軸圧縮試験機を用いて行う場合，引張応力を加えることができないためこの方式で行われる。
片方向観測	かたほうこうかんそく	one way observation	三角測量などにおいては一般に与点から求点への観測のみを行う観測で，両方向の観測と区別する。
片道走時	かたみちそうじ	one-way time	反射法において，震源と受振点が同一であると，往路と復路の経路は一致する。この往復走時の1/2をいう。
傾山カルデラ	かたむきやまかるとら	Katamukiyama caldera	大分ー宮崎県境付近に位置する，中新世中期の酸性火山活動によって形成された陥没カルデラ。大崩山火山ー深成複合岩体を構成する。
片持ち梁	かたもちばり	cantilever	一方が固定され，もう一方が自由な梁。
型枠	かたわく	form	所定の位置・大きさにコンクリートを打設するための，木製・鋼製の枠組み。

型枠工	かたわくこう	formwork	コンクリートを打設する際に使用する型枠を設置・解体する作業.
型枠工	かたわくこう	timberman	コンクリートを打設する際に使用する型枠を設置・解体する作業員.
型枠振動機	かたわくしんどうき	formwork vibrator	型枠の外部に取付け、コンクリートに振動を与え締固める振動機.
可探深度	かたんしんど	depth of investigation	探査し得る有効深度. 測定条件などによって、境界面や異常物の検出し得る最大深度をいうこともある.
カチオン	かちおん	cation	中性の原子または分子が電子を失って正電荷を帯びたイオン. H^+ , Fe^{3+} などの陽イオンのこと.
勝浦炭田	かつうらたんでん	Katsuura coal field	徳島県勝浦郡の白亜系中の炭田. 炭質区分はれき(瀝)青炭に属する.
褐鉛鉱	かつえんこう	vanadinite	$Pb_5(VO_4)_3Cl$. 六方晶系, 褐～赤色, バナジウム, 鉛の鉱石. 鉛鉱床の酸化帯に褐鉄鉱にともなって産出.
活火山	かっかざん	active volcano	気象庁では, 現在活動を続けている火山や過去2000年以内に活動した火山と定義. 研究者により異なる.
活荷重	かつかじゅう	live load	橋梁などの構造物に作用する自動車・列車・群集など移動し得る物体の荷重.
割岩工法	かつがんこうほう	rock splitter method	塊状の岩盤に穿孔し, その中に油圧式のくさびやゴムチューブを設置して加圧し, 岩盤に亀裂を発生させて掘削する工法.
活構造	かつこうぞう	active structure	ごく新しい地質時代ないし歴史時代に活動し, 現在も活動中か, 近い将来に活動する可能性が高い断層や褶曲の地質構造.
割谷	かつこく	strath	スコットランド地方にみられる幅広い平坦な谷底平野で, 谷底が平坦化された浸食性の谷. 谷床平坦面ともいう.
カッシニ図法	かつしにずほう	Cassini's projection	横軸投影の方眼図法.
活褶曲	かつしゅうきょく	active folding	第四紀を通じて活動している褶曲. 地形学のおよび測地学的方法により見出される.
合掌ゲート	がっしょうげーと	mitre gates	2枚のとびらが左右に開閉する形式の水門.
合掌式支保工	がっしょうしきしほこう	timbering with rafter arch sets	トンネル工事における木製支保工の一つで, 僅かな肌落ち程度に抵抗できる簡易な支保工.

合掌継手	がっしょうつぎて	mitre joint	木構造における継手の一種で、両手を合わせた様な型のもの。
合掌枠工	がっしょうわくこう	principal rafter frame work	粋水制の一形態。合掌木と根太木で三角を組み棟木・貫木で連結し玉石を充填したもの。土留としても用いる。
褐色森林土	かっしょくしんりんど	brown forest soil	湿潤温帯の落葉広葉樹林または落葉広葉常緑針葉混合林下に分布する褐色の成層土層を伴う土壌。森林特有の土壌。
褐色低地土	かっしょくていちど	brown lowland soils	発達の弱いA層と黄褐色や灰褐色の下層をもち。自然堤防の上、低平な段丘面、扇状地などに見られる低地の土壌。
褐色土	かっしょくど	brown soil	温帯ないし亜熱帯の乾燥気候下の半砂漠地帯に分布する成帯性土壌型。褐色森林土と本質的に異なる。
褐色粘土	かっしょくねんど	brown clay	大洋底に分布する赤色ないし褐色の遠洋性粘土。中緯度帯の水深4,500m以深に分布する。赤粘土(red clay)ともいう。全海洋面積の36%に分布、堆積速度は1mm/1,000年といわれる。
褐色ポドゾル性土	かっしょくぽどぞるせいど	brown podzolic soil	成帯性土壌型の一つ。湿潤冷温帯の混交林または落葉樹林下に分布し、酸性母材に発達するポドゾル性土壌。
渇水対策ダム	かっすいたいさくだむ	reservoir of low flow augmentation	計画を上回る異常渇水時に、都市生活の維持のための必要最小限の用水を供給する容量を有するダム。
渇水年	かっすいねん	dry year	長期間の観測記録から相対的に年降水量や年流量が少ない年。量および観測期間に厳密な定義はない。
活性汚泥法	かっせいおでいほう	activated sludge process	曝気槽の中で、好気性微生物を主体とする活性汚泥を用いて有機物を除去する汚水の処理方法。
活性化ベントナイト	かっせいかべんとないと	activated bentonite	酸処理により吸着漂白、脱色性能を高めたベントナイト。
活性剤	かっせいざい	activating agent	目的とする固化粒子の捕収を助長または復活させるような化学的作用または界面化学的作用をうながす浮選剤。
活性度	かっせいど	activity	粘土粒子の表面活性を定量的に示す指標。粘土含有量に対する塑性指数の比で表される。
活性度指数	かっせいどしすう	slag activity index	セメントの50%をスラグ微粉末で置換したモルタルの圧縮強度をセメントのみのモルタルの強度で割った値。
活性白土	かっせいはくど	activated clay	酸性白土の吸着能を高めるため硫酸を加えて沸騰処理したもの。脱色剤、吸着剤、乾燥剤、精製剤などに用いる。
滑石	かっせき	talc	$Mg_3[(OH)_2 O Si_4O_{10}]$ 。単斜晶系・三斜晶系。白～青緑色塊状～葉片状結晶。硬度1。比重2.78。かんらん岩(橄欖岩)の熱水変質、ドロマイトの熱変成などにより形成。粉末で化粧品・製紙・農薬などに用いられる。

滑石鉱床	かっせきこうしょう	talc deposit	滑石を主体とした鉱床。
滑石片岩	かっせきへんがん	talc schist	かんらん岩（橄欖岩）などの熱水変質で珪酸が添加されて生じたタルク主体の片状岩。かんらん岩と他の岩との境界部や岩体内に脈状に産する。
割線係数	かっせんけいすう	secant modulus	割線弾性係数と同義。
割線弾性係数	かっせんだんせいけいすう	secant modulus of elasticity	弾性係数を求める手法のうち、荷重強度－変位曲線の包絡線の載荷・除荷時の始点と終点を結ぶ直線の勾配から求められるもの。
割線変形係数	かっせんへんけいけいすう	secant modulus of deformation	圧力－ひずみ曲線上にある点から原点を結ぶ直線の勾配によって求められる係数。一軸圧縮試験における曲線で圧縮強度の1/2に相当する点と原点を結ぶものはE ₅₀ と称し地盤分類に利用されることがある。
割線ポアソン比	かっせんぼあそんひ	secant Poisson's ratio	土や岩石に軸方向荷重が作用する時に生ずる、ある応力レベルにおける横ひずみを軸ひずみで割った値。
割線ヤング率	かっせんやんぐりつ	secant Young's modulus	岩石の応力－ひずみ曲線で、原点と特定の応力点を結ぶ直線の勾配から求めたヤング率。割線弾性係数と同義。
滑走斜面	かっそうしゃめん	slip-off slope	下刻しつつある蛇行河川の湾曲部の凸岸側が、河道の側方移動によって緩くなった斜面。相対する攻撃斜面と対をなす。
カッタ	かった	cutter	岩盤あるいはコンクリートなどの構造物を切る機械。ダイヤモンドやカーボランダムを埋め込んだ刃を持つ円板を回転させる。
カッタ工法	かったこうほう	cutter method	構造物の解体などを行う際の振動防御のための特殊工法で、コンクリートなどを切断するカッタなどを用いる。
カッタトルク	かったとるく	cutter torque	シールド機などで地山を切削する際、掘削部に加えられる回転モーメント。
カッタビット	かったびつと	cutter bit	シールド機などの掘削部に取り付けられたのみ状の刃先。
カッタヘッド	かったへつど	cutting head, cutter head	TBMやシールド機、自由断面掘削機などの前面に取り付けられる切削装置。
カッタヘッドブレーカ	かったへつどぶれーか	cutter head breaker	重機の先にカッタヘッドを取り付けたブレーカ。
カッタローダ	かったろーだ	cutter loader	自由断面トンネル掘進機の種類。カッタ部がブームと直角方向の軸中心に回転する形式で、軟岩対応。
褐炭	かったん	brown coal	最低品位の石炭。水分が多く、乾燥すると破碎粉炭化しやすく、一般燃料用程度しか用途はない。

活断層	かつだんそう	active fault	最近（第四紀）に繰り返し活動した断層で、今後も活動が予想される断層。
活断層崖	かつだんそうがい	scarp of active fault	最近の断層運動によって地表が切断され上下に違いを生じた崖。地震断層によるものが多い。
活地熱系	かつちねつけい	active geothermal system	地熱によって引き起こされる地下水の流動・相変化などの機構。地熱の存在システム。
カッティング	かっていんぐ	cutting	スライムと同義。
カッティングエッジ	かっていんぐえっじ	cutting edge	切削工具における切削を行う部分。
カッティングス	かっていんぐす	cuttings	ボーリング掘削時にビットの摩剥、打撃などにより生じた岩片・岩粉。スライムと同義。
カッティングスガス	かっていんぐすがす	cuttings gas	循環泥水により地表に運ばれるカッティングス中に含まれるガス成分。分析して油層・ガス層解析に用いる。
褐鉄鉱	かってっこう	limonite	水酸化鉄の集合体で組成が明らかでないものの総称。主体はゲーサイト。鉱床の焼けや岩石中の鉄鉱物の風化などにより形成。
カットアンドカバー工法	かっとなんどかばーこうほう	cut and cover method	開削工法と同義。
カットアンドフィル法	かっとなんどふいるほう	cut and fill method	充填採掘法と同義。採掘と充填を繰り返して全鉱区を採掘する採掘法。
滑動	かつどう	sliding	重力によって地層や岩石が特定の底面を境にすべる作用。地下水や浸食作用などが関連する。
滑動安定	かつどうあんてい	sliding stability	構造物に土圧・水圧・地震力などの外力が加わった時の構造物底面と基礎地盤との間の滑動に対する安定性。
滑動式型枠	かつどうしきかたわく	sliding form, slip form	コンクリートを連続して打設する場合に用いる型枠。コンクリートを打ち込んだ後、次の打設地点へ連続的に移動する。橋脚・煙突・水路トンネルなどに用いられる。
活動層	かつどうそう	active layer	永久凍土地域で、夏季に融解する凍土層上部を呼び、季節凍土に相当する。活動層には各種周氷河現象が生じる。
活動度	かつどうど	activity of active fault	活断層認定に用いた第四紀後期の地形面や鍵層の変位量を、その形成から現在までの年数で割った平均変位速度。
カットオフ	かっとなんぷ	cut-off	止水壁（カットオフウォール）および止水溝（カットオフトレンチ）。

カットオフウォール	かつとおふうおーる	cut off wall	ダム堤体直下の浸透路長を増大させるため堤体下の基礎地盤に突出させた壁状の止水構造物。止水壁。
カットオフトレンチ	かつとおふとれんち	cut off trench	ダム堤体直下の浸透路長を増大させるため堤体下の基礎地盤に突出させた溝状の止水構造物。止水溝。
滑落崖	かつらくがい	head scarp	地すべり頭部の引張地帯に発生する馬蹄形状の崖状地形。地すべり特有の地形で窪地や沼地・湿地を前面に伴なうことが多い。
割裂圧	かつれつあつ	crevasse pressure	地盤に圧力を加えた際に割裂現象が発生する圧力値で、シールドトンネルの裏込め注入圧などで用いられる。
割裂注入	かつれつちゅうにゅう	fracture grouting	粘土層や岩盤など浸透性の低い地盤において、注入圧力で地盤に割れ目を作り注入を行う方法。
褐れん石	かつれんせき	allanite	$Ca(Ce, Ca)(Al, Fe)_3(Si_2O_7)(SiO_4)O(OH)$ 。単斜晶系。硬度5.5～6、比重4.0。緑れ（緑簾石）ん石族で、しばしば酸性火成岩中に副成分として含まれ、また片岩・片麻岩・磁鉄鉱石中にも産する。
河底トンネル	かていとんねる	subaqueous tunnel	河底をくぐる水底トンネル。特に海底トンネルと区別する場合に用いる。
仮定密度	かていみつど	assumed density	重力測定値のブーゲー補正、地形補正に用いる密度。いくつかの密度値を仮定して計算し、最適な値を選択する。
カテナ	かてな	catena	類似した気候区内で素材や形成年代が類似しているが、地表の起伏や排水状況の差により異なった特徴を有するに至った一連の土壌。
河道	かどう	river channel	表流水の流路となる細長い凹地。河道とそこを流れる水体を合わせて河川という。直線河道・蛇行河道・網状河道がある。
火道	かどう	vent	マグマや火山噴出物の供給源から地表への通路。溶岩・火砕岩で充填されていることが多い。
火道角礫岩	かどうかくれきがん	vent breccia	地上に噴き出さずに火道にとどまったか、あるいは火道を埋めた粗大な岩塊を含む凝灰角礫岩～火山角礫岩。
河道形態	かどうけいたい	fluvial geomorphology	河道（表流水の流路となる細長い凹地）の平面形状。大きく直線河道・蛇行河道・網状河道に区別される。
可動コイル型地震計	かどうこいるがたじしんけい	moving-coil type seismograph	磁界の中を動くコイルに発生する起電力で振動を測定する方式の地震計。磁界を作る永久磁石は地盤の動きに追随し、その磁界の中にコイルが振り子として吊るされている。
可動コイル型変換器	かどうこいるがたへんかんき	moving-coil transducer	コイルが永久磁石の磁界内で振り子運動するという現象を電気信号に変換する変換器のこと。
可動コイルガルバノメータ	かどうこいるがるばのめーた	moving coil galvanometer	磁石の中に細い金属ファイバでコイルをつるして、電流による磁場で回転できるように作られた検流計。

河道災害	かどうさいがい	disasters in river channel	河道内に構築された河川工作物が洪水により破壊されたり、損傷したりする被害が発生すること。
火道集塊岩	かどうしゅうかいがん	vent agglomerate	火道角礫岩と同様に火道を埋めた（凝灰）集塊岩。
可撓伸縮継手	かとうしんしゅくつぎて	flexible joint	ケーソンの接続部分に、たわむことが可能な伸縮自在なゴムなどを使用したもの。地盤支持条件の急変部に使用する。
河道浸食	かどうしんしょく	channel erosion	流水が河岸や河床を浸食し、河道の幅や深さを増していく現象。
可撓性止水ジョイント	かとうせいしすいじょいんと	flexible joint	コンクリートなどを施工する際に入れる継目のうち、止水と耐震性を考慮し、可撓性の止水剤で充填したもの。
可動堰	かどうぜき	gated weir	鋼材などを使用したゲート構造物を有し、貯水池の水位および放流量の調節が可能な堰。
可動継目	かどうつぎめ	movement joint	それを境として相接するコンクリートブロックが相対的に変位可能な施工継目。
可動デッキ	かどうでつき	movable deck	手掘り式などのシールド機に付属する装置で切羽での掘削・山留に用いる作業台。油圧装置により前後に移動。
河道変遷	かどうへんせん	channel evolution	自然河川において、流送土砂の堆積や河道の浸食によって流路の位置が変化することをいう。
河道埋積物	かどうまいせきぶつ	channel fill	流路や河道を封じ込めて埋積した物で、堆積沈殿物は水路内の堆積条件によって異なる。
河道網	かどうもう	channel network, drainage network	水系網・水路網ともいう。水系図に流路の幅を無視して、一連の線分によって表された流路網。
過渡現象電磁法	かとげんしょうでんじほう	transient electromagnetic method	電流を遮断したあとの二次電磁場の過渡現象を測定する時間領域電磁法。浅部から深部までの探査に適用。TEM法ともいう。
過渡現象法	かとげんしょうほう	transient method	電気・電磁探査に利用される探査法で、通電または遮断直後の電位の変化などを測定して地下構造の探査を行う。過渡現象IP法、時間領域電磁法などがある。
過渡電流	かとでんりゅう	transient current	電源のオン・オフなどに伴い電気回路に流れる電流が定常になるまでの過渡的電流。
カトマイ噴火	かとまいふんか	the 1912 Katomai eruption	1912年のアラスカのノバラプタ火山の噴火。当初カトマイ火山の噴火と誤認された。大量の火山灰と火砕流を発生。
ガドリリン石	がどりんせき	gadolinite	$Y_2Fe^{2+}Be_2Si_2O_{10}$ 。単斜晶系。硬度6.5～7。比重4.4。主としてペグマタイトに産出する黒色の鉱物。イットリウム元素を含む。条こん色は灰緑色を呈する。

カナート	かなーと	qanat	イランにある地下水を利用する施設。構造は、地表面下に掘られた縦穴と横穴（地下水路）とからなる。
金井の式	かないのしき	Kanai'S formula	地震の最大加速度と最大速度を、マグニチュード・震源距離・基盤地震動周期で表した経験式。
鼎ヶ浦噴出岩類	かなえがうらふん しゅつがんるい	Kanaegaura effusive rocks	気仙沼付近の下部白亜系の安山岩質噴出岩類で、大船渡層群の下部をなす。
神奈川県西部地震	かながわけんせいぶ じしん	Western Kanagawa earthquake	小田原付近で1923年の関東地震も含め約73年周期で発生（M7クラス）している地震の総称。小田原地震ともいう。
加奈木の崩れ	かなぎのくずれ	Kanagi collapse	高知県室戸市佐喜浜川の源流で1746年に発生。四万十帯の砂岩・粘板岩の大崩壊。土石流3.5km以上。
金草岳断層	かなくさだけだんそ う	Kanakusadake fault	活断層。確実度Ⅰ、北東方向。福井県南条郡今庄町東部の尾根部に位置し、揖斐川断層と共役関係にある。右ずれ断層。
カナダ型重水炉	かなだがたじゅうす いろ	Canadian deuterium uranium reator, CANDU	カナダで開発された天然ウラン重水冷却圧力管型原子炉。燃料として天然ウランを使用し、減速材に重水を用いる。
カナダ楯状地	かなだたてじょうち	Canadian shield	北米大陸北東部にある世界最大の先カンブリア系の露出する広大な低平陸地。
カナダバルサム	かなだばるさむ	canada balsam	カナダ産のマツ科植物の樹脂から作られた粘着力の強い液体。岩石薄片作成に利用される。
過ナトリウム土壌	かなとりうむどじょ う	sodic soil	多量のナトリウムを含み、作物の生育を阻害している土壌。
金丸鉱山	かなまるこうざん	Kanamaru mine	新潟県岩船郡関川村金丸にあるペグマタイト鉱床を稼行した鉱山。日本で最も規模が大きい。カリ長石が採取される。
要石	かなめいし	keystone	石造アーチ橋などの中央最上部に組み込まれる楔形の石で、石組みを固定させる重要部材。
金谷石	かなやいし	Kanaya ishi	千葉県富津市金谷（鋸山）産石垣など用石材。新第三系凝灰岩・砂岩。
金山石	かなやまいし	Kanayama ishi	①長崎県佐世保市産砕石など用材。新第三系～更新統玄武岩。神楽石ともいわれる。 ②栃木県太田市金山で採掘された新第三系流紋岩質溶結凝灰岩。
金山みかげ	かなやまみかげ	Kanayama mikage	山形県南陽市産建築・墓石用石材。中生界角閃石黒雲母花崗岩。灰白色・中粒・堅硬。
カニフミキサ	かにふみきさ	caniff mixer	注入機械の一種。圧縮空気によって密閉容器内の注入材を圧送する。

鹿沼石	かぬまいし	Kanuma ishi	栃木県上都賀郡東大芦村に産する第三系凝灰岩で、軽石の集合からなる白色石材。
鹿沼軽石層	かぬまかるいしそう	Kanuma pumice bed	約32,000年前に赤城火山から噴出した特徴的淡黄色降下軽石層で、赤城火山以東のローム層中に広範に分布する。鹿沼土として園芸用に利用。
加熱顕微鏡	かねつけんびきょう	heating stage microscope	試料を加熱できる試料台をもつ顕微鏡。低温から3,000℃程度の高温まで温度制御なものもある。
過熱泉	かねつせん	superheated spring	孔内で沸騰し、水蒸気とともに吹き上げる温泉。
兼平石	かねひらいし	Kanehira ishi	青森県中津軽郡岩木町兼平産、敷石など用石材。更新統両輝石安山岩。板状節理が発達。
可燃性天然ガス	かねんせいてんねんがす	inflammable natural gas, combustible natural gas	天然に地下に存在し、地表で気体状の天然ガスの一種で、炭化水素を主成分とする可燃性のガス。
嘉年石	かねんせき	Kanenseki	山口県阿武郡阿東町嘉年産土木・砕石用材。中生界～古第三系のひん岩・輝緑岩。黒色緻密。
可能鉱量	かのうこうりょう	potential reserve	予想鉱量では計上できないが、地質条件などから鉱床の存在する可能性のある部分の鉱量。
狩野川台風	かのがわたいふう	the Typhoon Kano-River	1958年9月26日伊豆半島に大水害をもたらした台風。死者行方不明者1,189人とされている。山の手水害を発生させた。
叶倉層	かのくらそう	Kanokura Formation	岩手県南東部の南部北上帯に分布する古生界中部ペルム系叶倉統。岩手県住田町叶倉山周辺を模式地とする。下半は砂岩を主体とし頁岩を挟在し、上半は主に石灰岩からなる。
カバーコンクリート	かばーこんくりーと	cover concrete	グラウチングの施工時に、リーク防止や効果的な注入を目的として岩盤表面に打設されるコンクリート。
カバーロック	かばーろっく	covering rock	①ダムなどの施工の際、掘削面の風化対策やグラウト材の流出防止のために、掘削予定線上部にある厚みで残した岩盤。 ②トンネルの切羽注入に際して注入域と切羽の間に残す岩盤。
加波地すべり	かばじすべり	the Kaba landslide	1976年に三重県飯高町で発生した地すべり。台風17号による災害。
樺戸断層群	かばとだんそうぐん	Kabato fault group	活断層。確実度 I，活動度，南北～北東方向。石狩平野西縁に位置し延長約50km。雁行状の断層群。東傾斜。
下半	かはん	bench, bottom section	トンネル断面のうち、おおむねスプリングライン以下の部分のこと。下部半断面。
河畔砂丘	かはんさきゅう	river bank dune	砂床河川の周囲に形成される砂丘。氾濫原上の風成砂丘と自然堤防上を飛砂が被覆して形成されるものがある。

可搬式連通管沈下計	かはんしきれんつう かんちんかけい	portable siphon type settlement gauge	大がかりな基準水槽の代わりに、測定用水管と同形状のものを用いて、可搬式とした連通管沈下計。
河氷	かひょう	river ice	河川にみられる氷。川水が冷却されてできるフラジルアイスや雪が降り込んでできるスノージャム・結氷など。
下部工	かぶこう	substructure	土木構造物において上部工を支える部分の総称で、橋台・橋脚・フーチングなどの躯体と基礎に分けられる。
カブトガニ	かぶとがに	<i>Limulus</i>	カンブリア紀～現在に生きる節足動物門剣尾類の現生種。幼生が三葉虫に類似。主に浅海生。体長主に50～75cm。
被り	かぶり	overburden, surface soil	任意の地中においてその地点より上位に分布する地層、あるいはその厚さをさす。
被り岩圧	かぶりがんあつ	overburden pressure	ある深さの点について、その上部の岩石の重量によって生じるその点での鉛直方向の応力。
被り地圧	かぶりじあつ	overburden pressure	土被り圧と同義。
過粉碎	かふんさい	overgrinding	最適粒度を超えて過度に細かく粉碎すること。
花粉層序学	かふんそうじょがく	pollen stratigraphy	層序学上の応用で、出現時間が短く分布範囲が広い花粉を用いて地層対比に役立てる方法。
花粉帯	かふんたい	pollen zone	一連の地層から得られた花粉群集の種類・組成や量的変化に基づいて下位から上位へ区分される生層序区分の一単位。
花粉ダイヤグラム	かふんだいやぐらむ	pollen diagram	堆積物中の花粉化石の種類および量（相対値あるいは絶対値）を図示したもの。
花粉分析	かふんぶんせき	pollen analysis	堆積物中の花粉・孢子化石を抽出し、その種類や産状を調べること。アルカリや酸によって可溶性物質を除いて、抽出する。
下方境界	かほうきょうかい	lower boundary	解析対象範囲やモデルの下側の境界面を示す一般的な用語。
下方浸食	かほうしんしょく	downward erosion, deepening	河流や氷河がその底面を垂直下方に向かって働きかける浸食作用。側方浸食と区別する。下刻（かこく）ともいう。
下方接続	かほうせつぞく	downward continuation	重力場や磁力場のようなポテンシャル場を測定面より下方の自由空間内の面における場へ、フィルタを操作して変換すること。
下方分担法	かほうぶんたんほう		根切りの切りばり荷重を算定する近似計算法の一つ。主に軟らかい粘性土や緩い砂質土層に対して用いられる。

過飽和	かほうわ	oversaturation, supersaturation	溶液がある温度における溶解度以上の溶質を含むなど、飽和状態を越えた状態。
過飽和マグマ	かほうわまぐま	oversaturated magma	マグマの溶液がその凝固点またはそれ以下の温度に達してもなお晶出作用の行われない状態のマグマ。
がま	がま	vug, druse	岩石・鉱脈中の空洞の俗称で、晶洞ともいう。しばしば内壁に鉱物の自形結晶が伴われる。
釜石鉱山	かまいしこうざん	Kamaishi mine	岩手県釜石市にある日本最大の鉄鉱山。鉱床はスカルン鉱床。1993年採掘終了。
鎌倉石	かまくらいし	Kamakura ishi	神奈川県鎌倉市今泉産石材。新第三系砂質凝灰岩。同市二階堂他産の凝灰角礫岩（今泉石）も同呼称。
釜状陥没	かまじょうかんぼつ	kettle depression	形態や規模・浸食の深度・地表の火山作用との関連にかかわらない火山性陥没構造の総称。
釜戸みかげ	かまどみかげ	Kamado mikage	岐阜県瑞浪市釜戸町大島山産土木用石材。苗木 - 上松花崗岩（土岐花崗岩）に属する中生界黒雲母花崗岩。細粒。小節理多く長材は得難い。
釜無山断層群	かまなしやまだんそうぐん	Kamanashiyama fault group	活断層。確実度 I，活動度 A 級，北西方向。長野県茅野市の糸静構造線沿いに位置。左ずれ断層。
釜ノ川衝上	かまのかわしょうじょう	Kamanokawa thrust	愛媛県野村町釜ノ川付近を通る秩父帯北帯と黒瀬川帯を含む中帯との境界断層として命名。その後黒瀬川帯の構造上の位置づけの変化から黒瀬川クリッペの下底断層，あるいは西南日本内帯の第一級の地体構造境界線などの議論がなされている。
釜場	かまば	shallow sump	掘削工事やトンネル内の湧水などを，ポンプアップするために集めるくぼみ。
釜場工法	かまばこうほう	sumping	掘削底面に湧出した水を周囲のピット（釜場）に集水して排水する工法。
過マンガン酸カリ滴定法	かまんがんさんかりてきていほう	titration method of potassium permanganate	CODの定量法の一つで，酸化剤として過マンガン酸カリウムを用いて試料を酸性にして反応させて測定する方法。
上浦断層	かみうらだんそう	Kamiura fault	活断層。確実度 I，東西方向。徳島市西方の吉野川段丘南縁に位置し，中央構造線活断層系に属す。右ずれ断層。
神岡鉱	かみおかこう	Kamiokite	Fe ₂ Mo ₃ O ₈ 。六方晶系，黒色，神岡鉱山の鉛・亜鉛鉱中より発見。
神岡鉱山	かみおかこうざん	Kamioka mine	岐阜県吉城郡神岡町にある鉛・亜鉛鉱山。スカルン鉱床で，飛騨片麻岩類中の石灰岩が交代される。鉛・亜鉛鉱山では日本最大。
上組みみかげ	かみぐみみかげ	Kamigumi mikage	新潟県西頸城郡青海町産敷石・墓石用石材。中生界黒雲母花崗岩。帯紅灰白色～灰色，中粒。

上郡帯	かみごうりたい	Kamigori belt	兵庫県上郡～姫路市北部にかけて東南東方向に延びる構造帯。夜久野オフィオライト，舞鶴層群，超丹波帯からなる丹波帯に低角衝上するナップ。
上椎葉ダム	かみしいばだむ	Kamishiiba dam	耳川水系耳川。九州電力(株)。1955年竣工。堤高110m。我が国初の100mを越える大型アーチダム。基礎の地質調査を地質専門家が組織的，系統的に行った最初のダム。
上島層群	かみしまそうぐん	Kamishima Group	熊本県天草地方に分布する新生界中部始新統。汽水～極浅海成で砂岩，泥岩優勢タービダイト層などからなる。炭層をはさむ。
神島棒石	かみしまぼういし	Kamishimaboishi	静岡県田方郡大仁町神島産土木用石材。新第三系石英安山岩。黒色，緻密，堅硬で柱状節理発達。
神城断層	かみしろだんそう	Kamishiro fault	活断層。確実度 I，活動度 A 級，北北東方向。長野県白馬村の姫川沿いに位置し，糸静構造線活断層系に属す。西傾斜。
上諏訪断層群	かみすわだんそうぐん	Kamisuwa fault group	活断層。確実度 I，活動度 A 級，北北西方向。諏訪湖東岸に位置し，糸静構造線活断層系に属す。西傾斜。
上灘石	かみなだいし	Kaminada ishi	愛媛県伊予郡双海町産墓石など用石材。第三系黒雲母安山岩。柱状節理を利用し大材が得られる。
上の国含炭地	かみのくにがんとんち	Kaminokuni coal bearing area	北海道南部の江差町南方に位置する。新第三系中に炭層 2 枚を含み，累計炭丈は 3.3m 以上。亜れき（瀝）青炭に属する。
上八川－池川構造線	かみやかわいけがわこうぞうせん	Kamiyakawa-Ikegawa tectonic line	高知県北西部池川町付近で三波川帯と秩父帯間の境界断層（＝御荷鉾構造線）として設定された構造線。御荷鉾構造線同様，その意味はなくなっている。
神谷断層	かみやだんそう	Kamiya fault	活断層。確実度 I，活動度 A 級，北北西方向。長野県伊那市北西部に位置し，上松断層と共役関係にある。左ずれ断層。
神吉・越畑断層	かみよしこしはただんそう	Kamiyoshi-Koshihata fault	活断層。確実度 I，北西方向。亀岡盆地北東に位置し三峠断層系に属す。西傾斜。1830年に北端部で地震発生。
カミングトン閃石	かみんぐとんせんせき	cumingtonite	(Mg, Fe ²⁺) ₇ Si ₈ O ₂₂ (OH, F)。単斜晶系，比重 3.2～3.4。淡緑～緑色，中性～苦鉄質火成岩，変成岩などに産する。
神居古潭帯	かむいこたんたい	Kamuikotan belt	北海道日高の三石，神居古潭，幌加内，天塩に分布する片岩を主体とする変成帯。
神居古潭変成岩	かむいこたんへんせいがん	Kamuikotan metamorphic rock	北海道中央部神居古潭峡谷を中心に日高帯西側に平行して南北に帯状分布する結晶片岩。
カムクレイモデル	かむくれいもでる	Cam-Clay model	自然堆積粘土の複雑，多岐にわたるせん断挙動について，その構成式研究のために開発された弾・塑性モデル。Cambridge大学で開発され，この名がついた。
カムコメータ	かむこめーた	camkometer	セルフボーリング方式による静止土圧の原位置測定に用いる装置。カッティングヘッドとロードセル式土圧計よりなる。

亀川沖東断層	かめかわおきひがし だんそう	Kamekawaoki-Higashi fault	活断層. 確実度 I, 活動度 A 級, 東西方向. 別府湾北西部に位置. 別府湾海底断層群. 北傾斜. 1596年に東端で地震.
亀の瀬地すべり	かめのせじすべり	the Kamenose landslide	大阪府柏原市. 1931年以来3期にわたり滑動面積53haに発展. 末端隆起部の関西本線・大和川などが被災.
カメロン効果	かめろんこうか	Cameron effect	航空機などより地上の移動物体をステレオ撮影することにより, 物体の移動量が視差として表現される現象.
加茂石	かもいし	Kamo ishi	山形県鶴岡市産建築・土木用材. 新第三系凝灰質砂岩・凝灰角礫岩.
鴨川石	かもがわいし	Kamogawa ishi	①千葉県安房郡鴨川町産土木用石材. 新第三系変はんれい岩 (斑糲岩). ②京都市鴨川産. 粘板岩など. 庭石用
鴨川地溝帯南断層	かもがわちこうたい みなみだんそう	Kamogawa graben-Minami fault	活断層. 確実度 I, 活動度 A~B 級, 東西方向. 千葉県鴨川市から富山町に位置し, 鴨川地溝帯南縁の断層の一部. 北傾斜.
加茂更紗	かもさらさ	Kamo sarasa	徳島県阿南市産石材. 古生界大理石. 淡褐色. 黒縞模様で, 白筋も混じる. 装飾用・人工石の種石用.
火薬	かやく	blasting powder	火薬類のうち, 推進的爆発に用いるものを火薬と称する. 黒色火薬・無煙火薬などの種類がある.
火薬庫	かやくこ	powder magazine	火薬類を保管貯蔵する建屋. 日本では等級や種類により5種に分類される.
可溶性塩類	かようせいえんるい	soluble salt	岩石や原料に付随する電解質. Na, K, Ca, Mg, Al, Fe等の硫酸塩が多く, 塩化物, 硝酸塩, 炭酸塩もある.
可溶性物質	かようせいぶっしつ	solubilized matter	ある種の溶媒に溶解しうる性質を有する物質.
カラーエンハンスメント	からーえんはんすめ んと	color enhancement	画像のもつ情報をディスプレイなどに色調として表現する際に, その色調を強調してわかりやすく表現すること.
カラー合成	からーごうせい	color composite	センサなどで得られた複数バンド (波長帯) の濃淡画像に原色を割り当て, その合成により色調を表現すること.
カラー赤外線写真	からーせきがいせん しゃしん	color infrared photo	可視の緑, 赤および近赤外波長帯の濃淡に, 青, 緑, 赤色を割り当てたカラー写真. 植生が赤色に表現される.
空石積み	からいしづみ	dry stone fill	玉石, 粗石などを積み上げる擁壁状構造物の一種で, 積み石の間隙をモルタルで固めずに砂利などで充填したもの.
空石張り	からいしばり	dry stone pitching	玉石, 粗石などを張り並べるのり面覆工の一種で, 石材の間隙をモルタルで固めずに砂利などで充填したもの.

空井戸	からいど	dry well	商業的生産が可能な油層またはガス層を発見できなかった掘削坑井。
唐梅館層	からうめだてそう	Karaumedate Formation	岩手県南部の南部北上帯に分布する古生界下部石炭系の下部。東山町唐梅館山南東付近を模式地とする。下部は砂岩・頁岩を主体とし礫岩を挟み、上部は石灰質な砂岩、凝灰岩を主体とする。
唐桑層群	からくわそうぐん	Karakuwa Group	宮城県唐桑地方に分布する中生界ジュラ系。砂岩を主体とする層と泥岩・砂岩からなる層に区分される。
ガラス基流晶質	がらすきりゅうしょうしつ	hyalopilitic	短冊状～針状の斜長石の小さな結晶を石基のガラスが充填した火山岩の組織。
ガラス光沢	がらすこうたく	vitreous luster	鉱物の表面に見られるガラスの割れ目のような光沢をいう。おもに透明鉱物に見られる。
ガラス固化	がらすこか	vitrification, glassification	高レベル放射性廃棄物を含む廃液にガラス化材を加えて加熱溶解後、冷却して固化させる方法。
ガラス質	がらすしつ	vitric, vitreous, hyaline, holohyaline, glassy	岩石または石基がガラスからなる岩石の結晶度をあらわす接頭語。
ガラス質火山灰土	がらすしつかざんばいど	glassy volcanic ash soil	比較的新鮮な細粒の火山ガラスに富む火山灰土（音地などが代表的）。
ガラス質凝灰岩	がらすしつぎょうかいがん	vitric tuff	岩石の構成粒子のうち結晶粒や岩片の占める割合が25%未満で、残りはすべて火山ガラスからなる凝灰岩。
ガラス質結晶凝灰岩	がらすしつげっしょうぎょうかいがん	vitric crystal tuff	岩石の構成粒子のうち結晶粒の占める割合が25～50%で、残りはすべて火山ガラスからなる凝灰岩。
ガラス繊維補強コンクリート	がらすせんいほきょうこんくりーと	glass fiber reinforced concrete	繊維補強コンクリートの短繊維にガラス繊維を用いたもの。繊維の直径が5～20μmと非常に細い。
ガラス繊維補強モルタル	がらすせんいほきょうもるたる	glass fiber reinforced mortar	ガラス繊維補強コンクリートの骨材寸法を小さくしたもの。コンクリート吹き付けなどに用いられる。
ガラス電極	がらすでんきょく	glass electrode	水素イオン活量による電極電位の変化を、特殊組成のガラス薄膜を用いて検出する電極。
唐津炭田	からつたんでん	Karatsu coal field	佐賀県西部の始新～漸新統の炭田。面積600km ² 。平均6,400kcal/kg、弱粘性のれき（瀝）青炭。
空練りコンクリート	からねりこんくりーと	dry batched concrete	水を加えずに練り混ぜ、材料の均一分散をはかったコンクリート。
空張り	からばり	dry pitching	のり面の表面防護のため、玉石・割石などを目地にモルタルを用いないで張りつけたもの。

からみ	からみ	slag	乾式精錬における鉱石中の脈石部・不純物を主とする酸化物の混合溶解物。鉱滓・スラグ。石炭殻をさす場合もある。
カラミテス	からみてす	<i>Calamites</i>	トクサ類に属する高さ20m程度の巨木。石炭紀後期に繁栄し、ペルム紀前期まで生息。ろぼくともいう。
ガリ	がり	gully	雨裂と同義。
仮受け工	かりうけこう	temporary underpinning	構造物の施工が終了するまで、埋設管などの既設構造物を一定期間だけ仮に支えておくこと。
カリウム-アルゴン法	かりうむあるごんほう	potassium-argon dating method	絶対年代決定法の一つで、100万年以上の年代決定に高精度。測定年代は試料中鉱物が結晶生成閉鎖温度以下後経過した時間。
カリウム-カルシウム法	かりうむかるしうむほう	potassium-calcium dating method	鉱物の年代測定法の一つ。カリウムの放射性同位体の ⁴⁰ Kはベータ崩壊により ⁴⁰ Caになる。 ⁴⁰ Kの半減期は約13億年。
カリウム供給力	かりうむきょうきゅうりよく	potassium-supplying power	土壌が植物に利用できる形でカリウムを供給する能力。雲母やカリ長石を含む土壌はカリウム供給力が高い。
カリ塩鉱床	かりえんこうしょう	potash salt deposit	岩塩・硬石膏などに伴う蒸発残留鉱床。主なものは古生代・新生代と現世の塩湖蒸発残留層。
仮締切	かりしめきり	coffer dam	河川や港湾などの工事で、川を堰止めたり施工範囲を囲って外部からの水を遮断し、内部の水を排水し水のない状態で施工するために設けられる仮設の壁または堤体。
仮締切工	かりしめきりこう	cofferdam construction, cofferdam closure	仮締切のための構造物またはそのための工事。
仮締切ダム	かりしめきりだむ	coffer dam	ダム工事期間中、工事箇所には河川水が流れ込まないようにするため上下流に設置される仮設のダム。
ガリ浸食	がりしんしょく	gully erosion	雨裂浸食と同義。
カリ長石	かりちょうせき	potassium feldspar	KAlSi ₃ O ₈ 。カリ長石には、単斜晶系の高温型サニディン・サニディン・正長石、三斜晶系の微斜長石がある。造岩鉱物の一種。長石族の中、カリウムを主成分とする長石。
カリ長石の三斜度	かりちょうせきのさんしゃど	triclinicity, obliquity	微斜長石の三斜晶系の程度を表す指標。通常X線分析による単斜晶系からの軸角のずれの度合いで示される。温度によって連続的に結晶構造が変化する低温型サニディン（単斜晶系）と最大微斜長石（三斜晶系）の間の分類に用いられる。
ガリチン式地震計	がりちんしきじしんけい	Galitzin seismograph	検流計・変換器直結型の電磁式地震計の元祖で、周期約10秒で倍率最大となる特性を持つ。
カリックスボーリング	かりつくすぼーりんぐ	calyx boring	鉄製の弾により削孔するボーリング工法。また、これにより掘られた孔またはコア。

仮排水路	かりはいすいろ	diversion channel	ダム工事期間中，工事箇所を迂回して河川水を一時的に流下させるための仮設の水路。
カリフォルニアビット	かりふおるにあびつと	Californian bit	パーカッションボーリングビットの一種。傾動方向を自在に変化させることができる。
カリブプレート	かりぶふれーと	Caribbean plate	北米プレート，ココスプレート，南アメリカプレートに囲まれた，カリブ海と中米南部を含むプレート。
仮ベンチマーク	かりべんちまーく	temporary bench mark	建設現場などに設けた工事のための一時的な仮設水準点。
仮巻き	かりまき	temporary lining	掘削面の肌落ちや湧水を抑えるため，簡易な型枠を用いてとりあえずコンクリートで巻いておくこと。
仮屋断層	かりやだんそう	Kariya fault	活断層。確実度 I，北東方向。淡路島北東岸から明石海峡に位置し，音波探査で確認され神戸方向に連続する。
下流斜面	かりゆうしゃめん	downstream slope	フィルダムの下流側の斜面。設計条件や材料の物性値などにより勾配が決定される。
ガル	がる	gal	加速度の単位。1gal=1cm/s ² 。地表での重力加速度は約980ガル。
軽石	かるいし	pumice	火山砕屑物の一種。噴出時の圧力変化による発泡で気孔に富み，比重が小さく，一般に淡色を呈する。軽量骨材，断熱・防火材，園芸用品の原料となる。小判型などに整形し，浴用器具としても利用される。
軽石丘	かるいしきゅう	pumice cone	砕屑丘のうち，軽石を主とするもの。
軽石凝灰岩	かるいしぎょうかいがん	pumice tuff	構成物質が主として軽石よりなり，基質が火山灰よりなる凝灰岩。
軽石質	かるいししつ	pumiceous	構成粒子に軽石を含む岩石の呼称。あるいはそのような性質をもつもの。
軽石土	かるいしど	pumice soil	軽石を多量に含む火山性粗粒土。日本各地に分布し，しらす・鹿沼土などが代表的。
軽石噴火	かるいしふんか	pumice eruption	主として火口から軽石を噴出するマグマ性の噴火。高い噴煙柱（プリニー式噴火）や火砕流を発生させる。
軽石流	かるいしりゅう	pumice flow	火砕流の一種。軽石質火山灰と軽石塊が多く含まれる火砕流。主にデイサイト～流紋岩質の軽石（浮石）を多く含む。浮石流ともいう。
カルクアルカリ岩	かるくあるかりがん	calc-alkaline rock, calc-alkali rock	カルクアルカリ岩系の火成岩

カルクアルカリ岩系	かるくあるかりがんけい	calc-alkali rock series	非アルカリ岩系列に属する2系列の一つ。もう一方のソレライト岩系に対し珪酸分が多く鉄の濃集が少ない。この系列の火山岩は環太平洋地域の火山に多い。
カルクアルカリ玄武岩	かるくあるかりげんぶがん	calc-alkali basalt	カルクアルカリ岩系の玄武岩
カルクリート	かるくりーと	calcrete	乾燥・半乾燥地域の地表付近の土壤中に含まれる水分が蒸発して生成した石膏や石灰岩。
カルシウムベントナイト	かるしうむべんとないと	Ca-bentonite	ベントナイト（主成分はモンモリロナイト）のうち、交換性の陽イオンが主としてカルシウム（Ca ²⁺ ）およびマグネシウム（Mg ²⁺ ）であるもの。
カルスト	かるすと	karst	石灰岩類の分布地域に特徴的な溶食による地形。アルプス山脈南東の石灰岩台地の地名に由来。
カルスト化作用	かるすとかさよう	karstification	炭酸塩岩分布域で、岩石が溶食され、地表の排水系が地下の水系へと推移していく作用。
カルスト河川	かるすとかせん	karst river	石灰岩地域の地下水系の発達により形成されたカルスト地形上に、地下水系の作用で作られた河川。
カルスト準平原	かるすとじゅんへいげん	karst peneplain	カルスト輪廻における最終段階で、カルスト凹地が大部分を占める地形。
カルスト水	かるすとすい	karst water	カルスト地域に存在する水の総称。カルシウムの含有量が多い硬水。
カルスト台地	かるすとだいち	karst plateau	石灰岩などの地域において、その分布域のみが表面浸食から取り残され台地状をなすもの。地表の水流が少なく、地下水系が発達し、古い地表面が残されている場合が多い。石灰岩台地と同義。
カルスト谷	かるすとだに	karst valley	炭酸塩岩の分布地域で、溶食作用によって形成された谷地形。溶食谷ともいう。急崖で接する盲谷や丸く台地に入り込んだ急崖からなる袋谷など、非石灰岩分布域の谷地形と全く異なる。
カルスト地形	かるすとちけい	karst topography	石灰岩などの可溶性岩石分布地域の地表に発達する、ドリーネ・ラピエ・ウバーレ・ポリエ地形の総称。
カルスト湧泉	かるすとゆうせん	karst spring	カルストの分布域における、地下水路の湧出点。
カルスト輪廻	かるすとりんね	karst cycle	ドリーネ・ウバーレの状態からコックピットをへて、テラロッサで覆われるカルスト準平原に至る地形変遷の輪廻。
カルデラ	かるでら	caldera	輪郭が円形で、直径1 km以上の火山性の凹型陥没地で、周囲は急崖で囲まれている。
カルデラ火山	かるでらかざん	caldera volcano	火山体の主体がカルデラからなる火山。内部の中央火口丘、外側の火砕流堆積面も含めた呼称。

カルデラ湖	かるでらこ	caldera lake	カルデラ壁の内側の平坦部に生じた湖のうち、平坦部の全部ないしは大半が湖で占められているもの。
カルデラ壁	かるでらへき	caldera wall	外輪山（カルデラ縁）の内側の急崖。
カルドウェルドリル	かるどうえるどりる	Caldwell drill	杭の掘削に用いられるロータリーボーリング機械。
カルノー石型鉱床	かるのせきがたこうしょう	carnotite deposit	ウラン鉱床の一つで後生鉱床の砂岩型。カルノー石はウラン・バナジンの鉱石鉱物として採掘。
カルバート	かるばーと	culvert	盛土や地盤中に道路や水路を通し、上部の荷重を支えるために設置される構造物。箱型やアーチ型などの形状がある。
ガルバノメータ	がるばのめーた	galvanometer	電磁オシログラフにおいて、増幅器の電気出力を記録紙上の光点の変化に変えるための検流計。
カルマンフィルタ	かるまんふいるた	Kalman filter	時系列データに基づく予測式に対して直近の観測値を用いて最適な補正を行う手法。システム制御や気象予報、土木分野では構造物の挙動予測や地盤物性値の推定などに用いられている。
ガレ	がれ	scree	地すべり、山くずれなどによる崩壊箇所。上部に崩落崖、下部に崩落した土砂が堆積した緩傾斜面を形成する。
過冷却	かれいきゃく	supercooling	液体や気体を相転移が起こる温度以下に冷却しても相転移を起こさず、もとの液体や気体の状態にあること。
カレドニア造山運動	かれどにあぞうざんうんどう	Caledonian orogeny	狭義にはシルル紀～デボン紀の境の頃、広義にはカンブリア紀からデボン紀までの間に惹起した世界のすべての地域の造山運動。
カレン	かれん	karren	地表に露出した炭酸塩岩の表面に見られる幅数cm以下の浅い溝。二酸化炭素を含む水で溶食されて形成。
カレントリップル	かれんとりっふる	current ripple	堆積面上に、一方向に流れる水流により形成される波形模様。
カレンフェルト	かれんふえると	karrenfeld	カレンの発達した石灰岩露岩が林立する石灰岩斜面あるいは大地の原野。
峯朗鉱山	がろうこうざん	Garo mine	北海道渡島半島に位置し、石灰岩、ドロマイトを産する。先第三系の上礫層群中に胚胎。層厚は500m以上。
ガロン	がろん	gallon	液体の容量を表す単位、1ガロンはイギリスで4.54649リットル、アメリカでは3.78515リットルにあたる。
河合鉱山	かわいこうざん	Kawai mine	岐阜県恵那市に位置し、Cd鉱を産する。

川内層	かわうちそう	Kawauchi Formation	岩手県南部の南部北上帯に分布する古生界シルル系。大船渡市日頃市町川内を模式地とする。暗灰色石灰岩，泥岩を主体とし砂岩を挟む。
川上石	かわかみいし	Kwakami ishi	徳島県海部郡海南町産墓石用石材。中生界砂岩。濃緑色，緻密，堅硬。
川上断層	かわかみだんそう	Kwakami fault	活断層。確実度 I，活動度 A 級，東北東方向。松山市東方に位置し中央構造線活断層系。右ずれ断層，一部東傾斜。
川崎ガス田	かわさきがすでん	Kawasaki gas field	神奈川県川崎地域に分布する水溶性天然ガス田。千葉県のガス田と共に南関東産ガス地帯に属す。
川崎崩壊実験事故	かわさきほうかいじっけんじこ	accident during Kawasaki slope failure experiment	1971年11月11日に川崎市生田の関東ローム層の急斜面で行った崩壊発生実験中に発生した事故。死者15人。
川砂利	かわじゃり	river gravel	河川敷から採取される砂利。一般に円磨されている。
河角の式	かわすみのしき	Kawasumi's formula	日本における浅発地震に対する震度とマグニチュードとの関係を震央距離の関数として示した式。
河角マグニチュード	かわすみまぐにちゅーど	Kawasumi magnitude (Mk)	震央距離100kmでの震度分布の平均値から求められるマグニチュード。歴史地震のマグニチュードを決めることができる。
河角マップ	かわすみまっぷ	Kawasumi map	日本で初めて示された地震危険度分布図。過去の地震の震央とマグニチュードを定めて震度を計算し，危険度評価した。
河角リスト	かわすみりすと	Kawasumi list	古文書に記された古地震の被害域の大きさと被害域中心位置より，マグニチュードと震央を推定した歴史地震のリスト。
川棚石	かわだないし	Kwadana ishi	山口県豊浦郡豊浦町川棚産砕石用石材。古第三系ひん岩。栗野石と同質。黒色，緻密。
河内石	かわちいし	kawachi ishi	茨城県常陸太田市町屋産石材。かんらん岩（橄欖岩）～蛇紋岩。装飾，墓石，岩綿製造用材。
河内大和地震	かわちやまとじしん	the 1936 Kawachi-Yamato earthquake	1936(昭和11)年2月21日に大阪・奈良付近で発生したM6.4の地震。死者9人・家屋全半壊148戸とされている。噴砂・湧水が見られた。
川樋石	かわとしいし	Kawatoi ishi	山形県南陽市川樋産。新第三系凝灰角礫岩。建築用材。耐寒，耐熱性が高い。
川平地すべり	かわひらじすべり	the Kawahira landslide	1982年7月23日に長崎県川平で発生した地すべり。山腹棚奥が崩壊し（板状すべり）そのまま土石流化。死者34人とされている。
川俣ダム	かわまただむ	Kawamata dam	利根川水系鬼怒川。関東地方整備局。1966年竣工。堤高117mのアーチダム。マルバッセダムの事故後岩盤力学に本格的に取り組み，ダムの設計に適用したダム。

瓦用粘土	かわらようねんど	roofing tile clay	屋根瓦の原料として使用される粘土。堆積成粘土を主体とし、複数の原料を配合することもある。
岩圧	がんあつ	rock pressure	①土被り圧と同義。 ②岩石中に閉じこめられた液体またはガスが有する圧力。
簡易岩石試験	かんいがんせきしけん	index test for quality of rock	力学試験のうち、現場で行いやすく簡単に数値が得られる試験法。点載荷強度試験、ビッカース硬度試験、ショア硬度試験、シュミットハンマー試験、ページ衝撃強度試験などがある。
簡易貫入試験	かんいかんにゆうしけん	portable penetration test	簡易動的コーン貫入試験。土研式貫入試験とも呼ばれる。
簡易処理法	かんいしよりほう	primary treatment	一次処理と同義。
簡易スレーキング試験	かんいすれーきんぐしけん	simple slaking test	岩石などの水分に対する耐久性を、水の中に放置した時の試料の崩壊状態から判定する方法。浸水崩壊度試験ともいう。
簡易ビショップ法	かんいびしょっぷほう	simplified Bishop method	円弧すべり解析における分割法的一种。スライス間力の鉛直成分釣り合いの仮定を導入し、式を簡略化した。
簡易舗装	かんいほそう	low cost pavement	一般のアスファルト舗装より表層が薄く基層を設けない舗装。交通量の少ない道路に用いられる。
関越トンネル	かんえつとんねる	Kanetu tunnel	関越自動車道の群馬・新潟県境にある日本最長の道路トンネル。延長11.1kmで、I期線は1985年に開業。最大土被り1100mで閃緑岩部分では山はねが発生した。
岩塩	がんえん	halite, rock salt	塩湖の蒸発または、地層中から産出される塩(NaCl)。
岩塩型トラップ	がんえんがたとらっぷ	halite type trap	岩塩ドームに伴って形成された石油貯留構造。背斜型トラップに類似。
岩塩鉱床	がんえんこうしょう	rock salt deposit	岩塩を主とする堆積鉱床。諸外国の古生代～中生代の堆積層中に大規模に発達し、石膏・硬石膏・粘土層を挟む。
岩塩栓	がんえんせん	salt plug	地下深所に堆積していた岩塩が、上載荷重の増大により堆積岩中の弱線に沿って上昇・固結した煙突状の岩塩岩体。主に長さ1kmにも及ぶ柱をつくる岩塩のダイアピル。ときに石油の貯留岩となる。
岩塩ドーム	がんえんどーむ	salt dome	地下の岩塩層が上部堆積層中に上昇し、堆積岩がドーム状構造を示すもの。岩塩栓と同義で用いられることもある。
岩塩プラグ	がんえんぷらぐ	salt plug	岩塩栓と同義。
岩海	がんかい	block field	凍結や融解現象のくり返しによって形成された大型の角礫が分布する場所。森林限界以上の緩傾斜の山頂や山腹で見られる。

かんがい水（灌漑水）	かんがいですい	irrigation water	作物を育てるのに水が不足しないよう、水源から耕地まで計画的に必要な分を配分される水。
灌漑水路トンネル	かんがいうすいろとんねる	irrigation tunnel	灌漑用水を通す目的で掘削された水路トンネル。
岩塊流	がんかいりゅう	block stream	周氷河地形の一つで、巨礫からなる多量の岩塊が斜面に沿って流下したような状態でできた舌状の地形。
頑火輝石	がんかきせき	enstatite	Mg ₂ [Si ₂ O ₆]。斜方晶系。硬度5.5。比重3.32。斜方輝石の一種。超苦鉄質岩の主成分鉱物として産するほか、隕石中にも産する。灰・緑・単褐色の短柱状結晶。へき開（劈開）面はガラス状光沢。エンスタタイトともいう。
カンカニの震度階	かんかにのしんどかい	Cancani's seismic intensity scale	地震の最大加速度を基準とする震度階。加速度地震計から実際に求まる加速度とはかなり差異がある。
かんかん石	かんかんいし	Kankan ishi	香川県坂出市産。新第三紀古銅輝石安山岩。讃岐石と同質。たたくとかんかんと金属音を出すことに由来。
換気坑道	かんきこうどう	ventilation tunnel	換気のために本トンネルとは別に設けたトンネル。
換気スロット	かんきすろっと	ventilation slot	換気口。
換気設備	かんきせつび	ventilation facility	トンネルや鉱山などで坑内の換気を行うための設備。工事中における換気設備のほか、長大トンネルでは自動車の排気ガスなどに対する換気設備が必要となる。
眼基線	がんきせん	eye base	人の左右の目の瞳孔中心間隔。実体視を行う場合の要素となる。
換気ダクト	かんきだくと	ventilation duct	トンネルの換気を目的としたダクト。本トンネルと別に換気用のトンネルを設ける場合や、トンネルの天井などを仕切って設ける場合がある。
換気立坑	かんきたてこう	ventilation shaft	トンネル内の換気用に設けられる立坑。特に長大な道路トンネルで用いられるほか、鉄道でも蒸気機関車の排煙のために設けられたことがある。
換気方式	かんきほうしき	ventilation system	トンネル内の換気を行うための方式。縦流式・半横流式・横流式などの種類がある。
岩級	がんきゅう	rock class	岩盤の状態を、風化の程度や、硬さ、亀裂の頻度・状態などにより区分したもの。岩盤等級と同義語。
岩級区分	がんきゅうくぶん	rock mass classification	岩盤の工学的性状を分類し等級区分すること。
眼球構造	がんきゅうこうぞう	augen structure	鉱物あるいはその集合体が基質の中で大きく成長し眼のように見える構造。変成岩、火成岩にみられる。

岩級分布図	がんきゅうぶんぷず	rock classification map	構造物の基礎岩盤について、岩級区分を行い、各岩級の分布を断面や平面に示した図。
眼球片麻岩	がんきゅうへんまが ん	augen gneiss	眼球構造をもつ片麻岩・片麻状花崗岩。眼球は変成作用による破碎を免れた鉱物集合体などで構成される。斑晶状の粗粒な長石の存在が特徴。目入片麻岩ともいう。
環境アセスメント	かんきょうあせすめ んと	environmental impact assessment	環境影響評価と同義語。
環境因子	かんきょういんし	environmental factors	陸地、大気、水などの自然環境を構成する各々の要素。
環境影響評価	かんきょうえいきよ うひょうか	environmental impact assessment	環境に著しい影響をおよぼす恐れのある開発行為などに際し、その影響について事前に調査、予測および評価すること。環境アセスメントと同義語。
環境温度	かんきょうおんど	temperature affected by surrounding	社会環境がひきおこす局地的な気温。都市部の高温化が代表例。
環境基準	かんきょうきじゅん	environmental quality standard	人の健康を保護し、生活環境を保全するうえで維持されることが望ましい基準。健康の保護に関する基準と、生活環境の保護に関する基準がそれぞれ規定されている。
環境残留性農薬	かんきょうざんりゆ うせいのうやく	environmental remaining agricultural chemical	散布され、分解されずに自然界に拡散、蓄積される農薬。有機塩素系、有機リン系、有機水銀系などの農薬。
環境資源	かんきょうしげん	enviromental resource	未汚染の地下水資源に対し付与された、利用価値と環境保全的価値の両者を併せ持つとした概念
環境地質	かんきょうちしつ	environmental geology	自然防災や地質汚染・砂漠化・地盤沈下・浸食などの環境問題など、人と自然とのかかわりに重点をおいた地質科学。
環境地質学	かんきょうちしつが く	environmental geology	生活環境と地質科学との関係を系統的に研究する地質学の一分野。
環境調査	かんきょうちょうさ	environmental survey	環境の状態を把握する調査。水質、生物、土壌など自然条件的項目の他、社会・文化的項目を含めることもある。
環境と開発に関する国連会議	かんきょうとかいは つにかんするこくれ んかいぎ	United Nations Conference on Environment and Development	地球サミット。1992年6月、リオ・デ・ジャネイロで開催。テーマは持続可能な開発。リオ宣言などを決議した。
環境保護	かんきょうほご	environmental protection	人間や生物の健全な生活を維持するため、自然の生物や生態系などを開発行為などから守り、存続を図ること。
環境保全	かんきょうほぜん	environmental conservation	環境を保護し守ること。環境回復や新たな環境の創出も含めた意味でも使われる。
環境ホルモン	かんきょうほるもん	enviromental hormone	生物のホルモン系に悪影響を及ぼす物質。

環境問題	かんきょうもんだい	environmental issues	環境の保護・保全に関して解決すべき課題あるいはその状況。
寒極	かんきょく	cold pole	もっとも低い気温（年平均気温・最寒月平均気温・日最低気温の極値など）が観測された地点。
含金礫岩	がんきんれきがん	auriferous conglomerate	基質に自然金を含有する礫岩。
岩系	がんけい	rock series	本質的に同様の成因で生成されたと考えられる火成岩類の一群をいう。
岩型	がんけい	rock type	岩石を大きく分類するうえでの一群をいう。火成岩，変成岩，堆積岩。
緩傾斜面	かんけいしゃめん	slope of diminishing gradient	勾配が減少する斜面，あるいは平坦化した斜面。急斜面をなす岩壁の削剥などにより形成される。減傾斜面ともいう。
間隙圧	かんげきあつ	pore pressure	土粒子間の間隙に存在する空気と水により作用する圧力。飽和土では間隙水圧に等しい。
間隙圧係数	かんげきあつけいすう	pore pressure coefficient	スケンプトンにより提案された非排水三軸試験における，主応力の増分と間隙水圧の関係式に用いられる係数。
間隙圧比	かんげきあつひ	pore pressure ratio	土中の間隙水圧と全土被り圧との比。
間隙指数	かんげきしすう	empty index	間隙率と同じ。岩石などの物質全体に対する全間隙量（割れ目などによる空隙）の割合。
間隙水	かんげきすい	pore water	土粒子や岩盤の割れ目などの間隙に存在する水のこと。結合水と自由水とに区分される。孔隙水ともいう。
間隙水圧	かんげきすいあつ	pore water pressure	間隙水の持つ圧力のこと。
間隙水圧計	かんげきすいあつけい	piezometer	土中の間隙水圧を計るための測定装置。電気式・マンメータ式などの種類がある。
間隙水圧係数	かんげきすいあつけいすう	pore water pressure coefficient	外部から加わる応力の増分と土中の間隙水圧の変化の関係を表す係数。主応力差に関する係数Aと等方圧に関する係数Bがあり，後者（B値）は三軸圧縮試験時の飽和度の指標として用いられることがある。
間隙水圧サウンディング	かんげきすいあつさうんでいんぐ	pore pressure cone sounding	圧力センサを備えた筐体を地中に貫入させ，間隙水圧や過剰間隙水圧などを計測し，土質を調査する手法。
間隙水圧測定装置	かんげきすいあつそくていそうち	pore water pressure measurement system	①試料を非排水状態に保った状態で間隙水圧を測定する装置。 ②フィルダム内部の間隙水圧を測定するための測定装置。

間隙比	かんげきひ	void ratio	間隙の体積と土や岩石の固体部分の体積との比。
間隙率	かんげきりつ	porosity	多孔質媒体（土や岩石）の全体積に対する間隙の体積の比を百分率で示した値。空隙率・孔隙率ともいう。
間隙流体	かんげきりゅうたい	pore fluid	多孔質媒体（土や岩石）の間隙に存在する流体のことで、最も普遍的には水、空気であるが、油層中では原油・天然ガス、地熱貯留層では高温高压の熱水・蒸気がある。
間欠河川	かんげつかせん	ephemeral stream	常時流水を有さず降雨後に、一時的に流水を生ずるような河川。間欠河川の水流を間欠水流または一時水流などという。
間欠泉	かんげつせん	geyser, geyser, intermittent spring, periodic spring	熱水や蒸気がある時間間隔で噴出する温泉。地下の空洞に蒸気圧が十分に高まった場合に生じる。
間欠的地すべり	かんげつてきじすべり	seasonal creep	地すべり活動をその時間持続性で分類したもの。滑動・停止を繰り返し、長期間にわたり活動する。
間欠噴火	かんげつふんか	intermittent eruptions	比較的粘性度の低いマグマによる間欠的な溶岩の噴出。ストロンボリ火山はこの典型。ストロンボリ式噴火と同義。
還元状態	かんげんじょうたい	reduction	物質が酸素を失うこと、あるいは負原子価が増加すること。酸化の反対現象。
還元処理	かんげんしより	reducing treatment	酸化された物質の正原子価を減少させる化学反応を伴う処理。
岩圏水	がんけんすい	subsurface water	岩圏内に存在する水の総称
還元井	かんげんせい	reinjection well	地下から生産された流体の一部（あるいは大部分）を地下に還元するための井戸。
還元性堆積物	かんげんせいたいせきぶつ	reduzates	還元条件のもとに生成された化学的沈殿物。とくに鉄化合物は第一鉄化合物になりやすい。
還元性物質	かんげんせいぶつ	reducing agent, reductant	他の物質に還元を起こさせる物質であり、それ自身は酸化されやすい性質を持つもの。酸欠ガスと関係が深い。
還元帯	かんげんたい	reduction zone, reduced zone	還元作用の働く部分。硫化物鉱床では還元帯で二次硫化鉱体が沈殿する。
かん湖（鹹湖）	かんこ	brine lake	湖水1リットルに溶存する総塩分が500mgを超える湖。塩湖（salt lake）と同義。
雁行構造	がんこうこうぞう	echelon structure	地質または地形の線状構造が複数、平行で斜めに配列した構造。線・帯を境とする地塊同士のずれ変位に伴い現れる。

雁行鉱脈	がんこうこうみやく	echelon vein	雁行配列をする鉱脈。雁行配列をしていた裂か（裂隙）に鉱物が沈殿して生成。
雁行褶曲	がんこうしゅうきょく	echelon folds	褶曲の背斜軸・向斜軸が雁行配列をなすもの。地塊の横ずれ変位に伴って、可塑性のある地層に生ずる。大規模な褶曲の翼に形成される。
雁行節理	がんこうせつり	echelon joints	雁行配列する節理をいう。主に岩石がせん断された場合に形成される。
雁行断層	がんこうだんそう	echelon faults	雁行配列している断層群。個々の断層は比較的短く、断層帯と約45°の角度をなしている。
雁行配列	がんこうはいれつ	en echelon	直線の連続線ではなく、途中がとぎれながら右または左にステップして斜めに並んだ配列をいう。
雁行脈	がんこうみやく	echelon vein	岩盤中に雁行状に生じた割目を充填した岩脈や鉱脈。規模の大小は不問。
雁行割れ目	がんこうわれめ	echelon fissures	岩石中または地表に生じた一群の割れ目が斜めに雁行状に一定方向に並んでいる状態。個々の割れ目は、割れ目が分布する帯状部分の方向に対して約45°をなす。
岩滓	がんさい	scoria	多孔質で密度が小さく、暗褐色から黒色を呈する火山砕屑物。粒径4mm以上のもの。玄武岩質マグマの発泡により生じる。スコリアともいう。
岩滓丘	がんさいきゅう	scoria cone	火山砕屑物のうち、主として岩滓（スコリア）からなる砕屑丘。噴石丘とも呼ばれる。
関西国際空港	かんさいこくさいくうこう	Kansai International Airport	大阪湾の泉州沖に建設された24時間利用可能な国際空港。約2万haの海域を埋め立て4km滑走路他を建設。
岩滓集塊岩	がんさいしゅうかいがん	agglutinate	スコリア質の火山礫・火山岩塊・火山弾などからなる火砕岩。多孔質岩片が軽度に溶結したもの。
岩滓流	がんさいりゅう	scoria flow	火砕流の一種で、主としてスコリア質火山灰・火山礫・火山岩塊からなるもの。スコリア流ともいう。
カンザス氷期	かんざすひょうき	Kansan glacial stage	北米第四紀の古典的氷河編年で第二に古い氷期。年代は70万年より古い。氷成堆積物は13～33m、一部で50m以上。
岩座張り	がんざばり	riprap masonry	盛土のり面の保護のため、雑石・割石をなじみよく積み上げること。岩座積みまたは単にリップラップともいう。
乾砂量測定機	かんさりょうそくていき	slurry density accounting equipment	含有土砂検量装置と同義。
監査廊	かんさろう	inspection gallery	ダム堤体内部の工事や完成後の管理などを目的として、堤体内部や堤体直下の基礎地盤内に設置される通路。

換算N値	かんざんえぬち	equivalent N-value	標準貫入試験を軟岩、風化岩の領域まで拡張して適用するために用いられるもので、貫入量が30cm以下の場合に、測定された打撃数と貫入量の関係から線形補間により求められる貫入量30cmに対する打撃数.
換算ルジオン値	かんざんるじおんち	equivalent lugeon value	ルジオンテストにおいて、0.98MP以下または以上のP-Q曲線の勾配を外挿して算出したルジオン値.
乾式製錬	かんしきせいれん	pyrometallurgy	高温における化学反応にもとづいて、鉱石中の金属を分離・抽出する方法. 湿式製錬に対する語.
乾式吹付け方式	かんしきふきつけほうしき	dry process shotcrete	骨材とセメントを乾燥状態で混合し、ノズル部分で水と合流させて吹付ける工法.
岩質	がんしつ	lithology	岩石の構成鉱物の種類、鉱物粒の粒度、集合配列の状態(組織)、各種の構造、かたさなどをいう. 一般に野外調査で目視により確認できる特徴を表す.
乾湿繰り返し試験	かんしつくりかえししけん	slaking test, wetting and drying test	土質および岩石試料に対し、乾燥・湿潤を繰り返し行い、劣化の状態を調べる試験法.
乾湿試験	かんしつしけん	wetting and drying test	乾湿繰り返し試験と同義.
岩質図	がんしつず	lithologic character map	ある地域の岩石を時代区分にとらわれず、構成鉱物の種類・粒度や硬さなどから分類し表現した図.
乾湿風化	かんしつふうか	weathering by wetting and drying	降雨・気温・湿度などの影響による乾湿くり返し(吸水膨張・脱水収縮)で生じる岩石の破砕. 泥質岩・細粒岩に生じやすく、膨張性粘土鉱物を含む岩石で顕著.
広西変動	かんしへんどう	Kwangsi disturbance	古生代の造山運動の一つで、シルル・デボン系間の傾斜不整合によって示される地殻変動.
岩株	がんしゅ	stock	バソリスから枝分かれしたあるいは頂部が顔を出した、露出面積の小規模な深成岩貫入岩体. 露出面積が100km ² 以下の小規模な深成岩体. ストックともいう.
環礁	かんしょう	atoll	環状に連なるさんご(珊瑚)礁で、礁湖には島は見られない. 高さ数m、幅数百mにおよぶ. その下には厚い石灰岩層・海底火山がある.
岩しょう(岩漿)	がんしょう	magma	地下に存在する高温の熔融流体の総称. 珪酸塩の熔融した液体のみをさす場合など、その他いくつかの定義がある. マグマともいう.
岩礁	がんしょう	rocks	暗礁や頂部が海水に洗われる洗岩、高潮時海面下になる干出岩、高潮時にも海面上にある水上岩など岩の群れの総称.
岩床	がんしょう	sheet	傾斜した板状貫入岩体の総称. 貫入された地層との関係を見せず、直立でも水平でもないものという曖昧な定義.
環状(構造)土	かんじょう(こうぞう)ど	patterned ground	凍結作用に伴う細粒土の移動が原因で、対称形または幾何学的な形をした地表面の模様を総称.

環状岩脈	かんじょうがんみやく	ring dike, ring dyke	水平断面において同心円あるいは楕円状の岩脈で、露頭部は環状をなし、ラッパ状を呈する。
干渉屈折計	かんしょうくっせつけい	interference refractometer	光の干渉を用いて干渉縞の位置の変化による光学距離の差を精密に測り、気体の屈折率などを測定する。
干渉計	かんしょうけい	interferometer	干渉現象を利用し、観測電磁波の位相差を把握することにより、対象物との距離などを精密に測定する機器。
完晶質	かんしょうしつ	holocrystalline	岩石がすべて結晶からなり、ガラスを含まないこと（花崗岩類など）。
干渉色	かんしょうしょく	interference color	偏光顕微鏡の直交ニコル下で白色光源で岩石薄片を観察した際に見られる色。
干渉色図表	かんしょうしょくずひょう	interference color chart	干渉色と薄片の厚さから複屈折の大きさの大略を見積もるために作成された図表。
岩しょう水（岩漿水）	がんしょうすい	magmatic water	マグマの中に含まれた水分、またはマグマから分離した水。初生水ともいう。
干渉性	かんしょうせい	coherence	波動の性質の一つ。複数の波動が互いに干渉しあう性質をさす。
干渉像	かんしょうぞう	interference figure	偏光顕微鏡をコノスコープの状態（上下のニコルと対物レンズ・コンデンサの組み合わせ）として岩石薄片を観察した際に鉱物中を通る光によって生ずる円形の実像。鉱物結晶の光学的性質を調べる時に用いる。
環状天秤型圧力計	かんじょうてんびんがたあつりょくけい	ring manometer	上部に隔壁を設けた環状管の下部に液体を入れ、隔壁の両側に圧力を導いた圧力差により環が回転する事を利用した圧力計。
干渉フィルタ	かんしょうふいた	interference filter	電磁波の干渉現象を利用したフィルタ。透過する電磁波の波長特性を、シャープに設定できる利点がある。
環状裂か（裂罅）	かんじょうれっか	ring fracture	マグマあるいは貫入岩の上昇・沈下により、母岩あるいは貫入岩との間に生じた環状の破断空隙や割れ目。
環状割れ目	かんじょうわれめ	ring fissure	貫入岩などの急冷・収縮により、母岩あるいは貫入岩自体に環状に生成される割れ目。
岩芯	がんしん	core	中空のビットを使って外周部のみを掘削することにより採取される円柱状の岩石試料。
換振器	かんしんき	seismometer	エネルギー間の変換を行う装置で、特に地震動を電気信号に変換する装置。可動コイル型、圧電型などがある。
完新世	かんしんせい	Holocene (epoch)	地質年代の最上位を占める地質時代。完新統の堆積した期間で、1万年前から現在をさす。沖積世と同義。

完新統	かんしんとう	Holocene (series)	完新世の地層をさし、地質系統の最上位を占める。沖積統の一部。
岩芯率	がんしんりつ	core rate	単位掘削深度あたりの円柱状岩芯（コア）の占める割合。一般には1mあたりの百分率で示される。
かん水（鹹水）	かんすい	brine	無機塩類を500mg/リットル以上含む水。蒸発や堆積物の反応などにより、塩分濃度が増したもの。
冠水	かんすい	flooding	大雨時などに流出水が農耕地に停滞し、作物が完全に水中に没した状態をいう。
含水計	がんすいけい	moisture-meter	固体や液体の試料中に含まれる水分量を測定する計器。測定方法には、乾燥法、試薬法、湿度計法などがある。
含水爆薬	がんすいばくやく	slurry explosives, emulsion explosives	水を組成中に含み、可塑剤でゲル状にした爆薬。後ガスが良く、取扱いの安全性が高い。
含水比	がんすいひ	moisture content, water content	土や岩石に含まれる水分質量を固体部分の質量（乾燥質量）に対する百分率で表したもの。
含水比試験	がんすいひしけん	moisture content test, water content test	含水比を求めるための試験。
含水率	がんすいりつ	moisture content, water content	土・岩石中に含まれる水分質量を、土・岩石全質量に対する百分率で表したもの。
含水量	がんすいりょう	moisture content, water content	土に含まれる水分量。土の全質量と110℃炉乾燥後の質量との差、あるいは110℃炉乾燥で失われる質量。
含水量管理	がんすいりょうかんり	compaction control by moisture content	土の締固めの管理に含水量を用いること。使用する土の施工時含水比と締固めた土の密度の測定を行う。
含水量試験	がんすいりょうしけん	moisture content test	土中の水と土粒子の乾燥質量の比を百分率で表すための試験のこと。地盤工学会基準では、含水比試験という。
管水路	かんすいろ	pipeline	コンクリートあるいは鋼製の管による水路で、圧力により満管状態で流れるもの。
岩すべり	がんすべり	rock slide	岩盤すべりと同義。
乾性褐色森林土	かんせいかっしょくしんりんど	dry brown forest soils	湿潤温帯の森林地域を中心に分布する成帯性土壌のうち、急斜地のとがった尾根など乾燥しやすい場所に分布している褐色森林土。
慣性航法システム	かんせいこうほうしすてむ	INS, inertial navigation system	慣性の法則に基づき、ジャイロと加速度計により位置、速度などを把握する装置。航空機の航法装置などに用いる。

乾性ポドゾル	かんせいぼどぞる	dry podzolic soils	寒冷湿潤気候の針葉樹林下に分布する成帯性土壌のうち、亜山頂や尾根筋などの表層が乾燥しやすい地形上に分布するポドゾル。
乾井掘り	かんせいぼり	dry hole drilling	空気掘りの一つ。生産障害がなく、掘進率も高く、ビット耐用が長い反面、坑内崩壊や出水に対する抑止力が低い。
岩石	がんせき	rock	地殻・上部マントルなど地球上層部を構成する物質。数種の鉱物の集合体。火成岩・堆積岩・変成岩に分類される。
岩石堰堤	がんせきえんてい	rockfill dam, rock dam	ロックフィルダムと同義。
岩石海岸	がんせきかいがん	rocky coast	基盤の岩石が露出している海岸。山地が海岸に迫る所に多くみられる。
岩石学	がんせきがく	petrology	岩石の成因を研究する学問。岩石の記載と分類を主とする記載岩石学、岩石の成因を追求する岩石成因論などの分野がある。
岩石荷重	がんせきかじゅう	rock load	トンネル掘削により緩んだ岩石（岩盤）がトンネルに作用する荷重。
岩石強度	がんせききょうど	rock strength	荷重に対して岩石が破壊せずに抵抗できる最大の応力。
岩石区	がんせきく	petrographic province	共通の化学組成・鉱物組成を有する岩石の地理的広がり。
岩石掘削	がんせきくっさく	rock excavation	発破あるいは機械を用いて岩石を掘削すること。
岩石系列	がんせきけいれつ	rock series	同一のマグマからの単一時期の火成活動による火成岩で、化学組成、鉱物組成、構造組織的にある類似した特徴を持つ系列。
岩石圏	がんせきけん	lithosphere	地球表層をつくる固い層をさす。上部マントルの流動的な層の上のり、プレートに分かれ動いている。リソスフェアともいう。
岩石顕微鏡	がんせきけんびきょう	petrographic microscope	偏光顕微鏡。偏光ニコルと解析ニコルをもつ顕微鏡。岩石の薄片を光学的に観察し鉱物、岩種の決定などに用いる。
岩石砂漠	がんせきさばく	rocky desert	砂・礫などの岩屑がほとんどなく、岩石が露出している砂漠。
岩石磁気	がんせきじき	rock magnetism	岩石のもっている残留磁気。岩石生成時の地球磁場を保存していることから古地磁気年代測定などに利用される。定方位試料の採取が必要となる。
岩石試験	がんせきしけん	rock test	ボーリングコアなどを用いて岩石の物理的、化学的、力学的性質を明らかにするための試験。

岩石浸食段丘	がんせきしんしょく だんきゅう	erosional terrace	河岸段丘の段丘面が浸食面をなすもののうち、基礎岩の浸食面を段丘面とするもの。
岩石すべり	がんせきすべり	rock slide	岩盤すべりと同義。
岩石成因論	がんせきせいじんろん	petrogenesis, petrogeny	岩石の成因を野外の地質現象や物理化学実験から導びようとする岩石学の一分野。
岩石段丘	がんせきだんきゅう	rock terrace	河岸段丘の段丘面に基礎岩石が露出するか、堆積物がきわめて薄い段丘。河川の側刻によって生ずる。
岩石地	がんせきち	rock area	土壌がなく、岩盤が広く露出し、ほとんど岩石で構成されている土地。
岩石透水試験	がんせきとうすいしけん	permeability test of rock	現地で採取した岩石を用いて透水性を知る試験で、割れ目を含まない岩石の透水性や、微小割れ目などの透水性に与える影響を明らかにできる。
岩石トンネル	がんせきとんねる	rock tunnel	岩盤中に掘削されたトンネル。土砂トンネルと対比して用いられることがある。
岩石なだれ	がんせきなだれ	rockfall avalanche	岩屑や基盤岩の一部が急激に崩壊し、あまり水分を含まずに高速で斜面を流下する現象。岩屑なだれとも呼ぶ。
岩石破壊	がんせきはかい	rock fracture	岩石の応力が増加し続けて破壊すること。弾性限界内の脆性破壊と大きな永久変形を伴う延性破壊とがある。
岩石薄片	がんせきはくへん	rock thin section	偏光顕微鏡で岩石の組織を観察するために、岩石を薄くカットしたもの。単に薄片と呼ばれることが多い。
岩石薄片観察	がんせきはくへんかんさつ	thin section observation	岩石試料の薄片を作成し、鉱物の光学的性質の違いを利用して鉱物や岩石の同定を行う。
岩石物理学	がんせきぶつりがく	petrophysics	物理検層解析とコア分析により孔隙率・水分飽和率・浸透率などの地層の物理的岩石学的物性を把握する学問。
岩石崩落	がんせきほうらく	rock fall	岩石から構成される斜面で、岩石が急速に下方へ移動する現象。
岩石匍行	がんせきほこう	rock creep	岩盤の一部が斜面下方に緩慢に移動する現象。マスマーブメントの一種。岩盤クリープともいう。
岩石密度	がんせきみつど	rock density	岩石の単位体積あたりの質量。
岩石落下	がんせきらっか	rock fall	斜面上の岩塊が落下する現象。

岩石力学	がんせきりきがく	rock mechanics	岩石の力学的性質とその応用に関する学問.
岩屑	がんせつ	debris, detritus	岩盤から風化分解して生じた岩石の破片, またはその集合体.
間接距離測量	かんせつきよりそくりょう	indirect distance measurement	巻尺などによる直接的な測定とは異なり, 他のものを測定して間接的に距離を求める測量.
間接作動型土圧計	かんせつさどうがたどあつけい	indirect measuring earth pressure gauge	流体を用いて受圧板の変位を機械的に拡大し, 拡大した変位を検出して土圧を求める方式の土圧計.
間接水準測量	かんせつすいじゅんそくりょう	indirect levelling	2点間の比高を求めるのに直接水準測量によらない方法. 三角水準, 気圧水準, 水管水準測量などがある.
岩屑すべり	がんせつすべり	debris slide	斜面上の岩屑や土砂が下方に移動する現象. 岩屑なだれに比べ移動速度の遅いものをさすことが多い.
岩屑線	がんせつせん	debris line	嵐によって打ち上げられた海浜上の岩屑の上限を結んだ線. ふつう海浜の上限.
間接せん断	かんせつせんだん	indirect shear	せん断試験方法のうち, 直接せん断に対する方法. 供試体の外周面に主応力を作用させる一軸圧縮試験, 三軸圧縮試験など.
岩屑土	がんせつど	lithosol	層位の分化の進んでいない非成帯性土壌の大土壌群の一種. 礫質の土壌で山岳に分布.
岩屑なだれ	がんせつなだれ	debris avalanche	岩石なだれと同義.
岩屑なだれ堆積物	がんせつなだれたいせきぶつ	dry avalanche deposit	乾燥状態の岩石の集合体が高速で流れて堆積したもの. 大規模であり主として火山の山体崩壊で発生する.
乾雪表層雪崩	かんせつひょうそうなだれ	dry surface layer avalanche	1965年日本雪氷学会の雪崩分類名称. 雪崩層の雪質は乾雪で, すべり面の位置が表層で定義される.
岩屑流	がんせつりゅう	debris avalanche	あらゆる大きさの岩石片などからなる斜面構成物質が流下する現象. 必ずしも飽和状態でない流れについて用いることが多い.
岩屑流堆積物	がんせつりゅうたいせきぶつ	debris deposit	岩屑流により形成された堆積土砂. あらゆる大きさの岩石片などからなり, 一般的には不淘汰で逆級化構造を伴う.
完全褶曲	かんぜんしゅうきょく	complete fold	横圧力のもとに, かなり塑性な状態で生じた, 長く平行な, 同程度の向斜・背斜を有する閉じた褶曲群. 連続褶曲・全形褶曲ともいう.
完全塑性体	かんぜんそせいたい	perfectly plastic body	降伏応力以上の応力を受けた時に応力一定でひずみが無限に増加する関数を表現する力学モデル.

完全弾性体	かんぜんだんせい たい	perfectly elastic body	外力を加えると瞬間的に変形が起こり、外力の除去と同時に変形が完全に消失するような弾性体。
完全軟化強度	かんぜんなんかき よど	strength of fully softened state	土の完全軟化状態における強度。
完全軟化状態	かんぜんなんかじ よたい	fully softened state	土がせん断応力を受けて変形するとき、変形が進行すると土の体積が増加も減少もしない状態となる。この状態を完全軟化状態と呼び、正規圧密粘土のピーク強度が発生する状態に相当する。
岩相	がんそう	lithofacies	地層の総合的な特徴である層相のうち、組成・粒度などを含む岩石学的な面でとらえた特徴をさす。
乾燥汚泥	かんそうおでい	dried sludge	埋立や肥料としての利用を容易にするため、乾燥させて含水率を30%以下にした汚泥。
乾燥岩屑流	かんそうがんせつ りゅう	dry debris flow	斜面崩壊で水の関与が少なく乾燥状態で岩片や土砂が流動する現象。
岩相区分	がんそうくぶん	rock-stratigraphic classification	岩相層序区分と同義。
乾燥係数	かんそうけいすう	coefficient of aridity	年間あるいは月間の降水量が可能蒸発散量よりも少ない場合に、その差（不足分）の可能蒸発散量に対する百分率。ゾーンスウェイトが気候区分に用いた。
乾燥質量	かんそうしつりょう	dry mass	土に含まれる土粒子部の質量とみなしうるもので、土を110℃で炉乾燥した質量。
乾燥収縮	かんそうしゅうしゅく	drying shrinkage	土が乾燥することにより体積が減少すること。粒子の性状・粘土含有量・初期含水量などにより程度が異なる。
乾燥収縮ひずみ	かんそうしゅうしゅく ひずみ	drying shrinkage strain	土やコンクリートが乾燥し、体積が収縮するのに伴うひずみ。
乾燥重量	かんそうじゅうりょう	dry weight	試料を110℃の恒温状態で、定重量になるまで炉乾燥させたときの重量。
岩相図	がんそうず	lithofacies map	岩相の分布を詳細に区分して作成される平面図。層序区分や地質図とは異なる。
岩相層序学	がんそうそうじょがく	lithostratigraphy	主として岩相上の特徴に基づいて地層を区分・対比し、順序や相互関係を研究する地質学の分野。
岩相層序区分	がんそうそうじょく ぶん	lithostratigraphic classification	岩相上の特徴に基づく地層の区分で、単位名は一般に高次のものから順に層群・累層（層）・部層・単層が用いられる。示準化石にもとづく年代層序区分とは分類の基準が異なり必ずしも一致しない。
乾燥単位体積重量	かんそうたんいたい せきじゅうりょう	dry unit weight	土の単位体積あたりの土粒子だけの重量。

乾燥断熱変化	かんそうだんねつへんか	dry adiabatic change	周囲の空気との間で熱の授受がなく、かつ水蒸気を含まないか飽和していない状態での空気塊の温度変化。
乾燥地形	かんそうちけい	arid landforms, arid landscapes, arid topography	乾燥地域に発達する地形。降雨頻度が低く、裸地が多い乾燥地域では、岩石は機械的風化により細粒化しやすい。地形輪廻を有する。
乾燥強さ	かんそうつよさ	dry strength	気乾した粘性土の圧縮強さ。一般的に粘土で強く、シルト質になるほど弱くなる。普遍的には用いられていない。
乾燥強さ試験	かんそうつよさしけん	dry strength test	気乾した粘性土の角柱試料（長さ3cm, 1cm角）を指圧で圧砕することにより行う。
乾燥法	かんそうほう	dry method	突固めによる土の締固め試験方法（JIS規格A1210）のうちの、採取した湿潤土を乾燥させて試料とする方法。この他に乾燥させない非乾燥法がある。
乾燥盆地	かんそうぼんち	arid basin	乾燥・半乾燥地域に発達する盆地。河川は、盆地外に排水口をもたず内部流域に留まることが多い。多くの場合内陸湖が抱かれる。
乾燥密度	かんそうみつど	dry [bulk] density	土の単位体積あたりの土粒子の質量。体積Vの湿潤土を110℃で一定質量になるまで乾燥させたときの質量をmとすれば乾燥密度はm/Vで表される。
観測強化地域	かんそくきょうかちいき	area of intensive observation	地震予知連絡会が大地震発生の要注意の場所として指定した地域。特定観測地域より緊迫性・重要度が高い。
観測孔	かんそくこう	observation hole	地下水位、地層、地下構造物などを確認するために掘られたボーリング孔。観測井ともいう。
観測井	かんそくせい	observation well	地盤中の現象の観測を目的に設置された井戸。地下水位観測の場合が多い。
緩速施工	かんそくせこう	slow construction	軟弱層上に盛土を行う際に、軟弱層の圧密沈下を十分に起こさせるように緩速で盛土をおこなうこと。
観測施工法	かんそくせこうほう	observational procedure, observational method	トンネルや地盤の掘削施工において周辺地盤や支保工の変位、荷重、応力等の計測結果をフィードバックしながら施工を進める方法、予め各計測項目について管理基準値を定めておき管理基準値を超えた時に設計の修正などの対策を講じる。
緩速せん断試験	かんそくせんだんしけん	slow shear test	一面せん断試験に際して、できるだけ排水状態に近づけるために時間をかけて行う試験。
寒帯	かんたい	frigid (polar) zone, polar (frigid)	地球上の最も高緯度にあつて、寒冷な地帯。最も単純には極圏よりも高緯度とするが、様々な定義がある。
桿体	かんたい	rod	網膜の細胞のうち光を感じるもの（視細胞）の一つ。感度は高いが、解像度は低く色調には反応しない。
岩体	がんたい	rock mass	ほぼ一様な岩石あるいは成因・時期を同じくする岩石からなる塊または地層。規模の大きい貫入岩や特徴的あるいは分布の広い堆積岩などに用いられる。また「高温岩体」のように一定の性質を有する部分をさす場合や、土木分野では工事の対象となる特定の岩塊などに用いることがある。

寒帯湖	かんたいこ	polar lake	夏季には湖水の循環が発生するが、常には表面の水温が4℃以下の湖。
間帯性土壌	かんたいせいどじょう	intrazonal soil	地形・母材物質など局地的な土壌生成因子の影響を強く受けた土壌。成帯性土壌内に点状・島状に分布する。成帯内性土壌ともいう。
環太平洋火山帯	かんたいへいようかざんたい	circum-Pacific volcanic belt	太平洋を取り巻いて細長く分布する火山帯。多くは弧状列島上の火山列で、世界の活火山の半数以上が属する。
環太平洋地震帯	かんたいへいようじしんたい	circum-Pacific seismic zone	震源の深さが100km未満の浅い地震帯。太平洋プレートと各陸地沿岸沿いに帯状の地震活動の活発な地帯。
環太平洋造山帯	かんたいへいようぞうさんたい	circum-Pacific orogenic zone	太平洋を取り囲んで配列する造山帯の総称。現在も盛んな地殻変動が進行中で、世界の一大火山帯・地震帯でもある。
干拓工法	かんたくこうほう	reclamation	湖沼・海岸・河岸などで工事を行う際に工事範囲の外周に堤防を築造し、水深の浅い地盤を排水によって陸地化して、工事をおこなうこと。
干拓地	かんたくち	reclaimed land, polder	農地などを造成するため、湖や海の一部を堤防で締め切ったのち排水し、湖底や海底を干し上げて造成された土地。
神田断層	かんだだんそう	Kanda fault	活断層。確実度I、活動度A級、東北東方向。徳島市西方吉野川段丘北縁に位置。中央構造線活断層系。右ずれ断層。
岩着コンクリート	がんちゃくこんくりーと	rock contact concrete	ダムコンクリートのうち着岩面に使用されるもの。不陸などに対する施工性が重要な要素。
寒中コンクリート	かんちゅうこんくりーと	cold weather concrete	日平均気温が4℃以下でも施工できるよう、練り上がり温度や養生などに特別に配慮したコンクリート。
干潮	かんちょう	ebb tide	潮の満ち干に伴い海面が上下する際、海面が最も低下した状態を干潮または低潮といい、遠浅海岸ほど露出する。
冠頂	かんちょう	crown	地すべり滑動によって生じた、主滑落崖の最高点のこと。
感潮河川	かんちょうかせん	tidal river	河川の下流部で潮汐によって水位・流速が変化する河川。勾配の緩やかな河川ほど感潮の度合いは大きい。
カンチレバーデッキバットレスダム	かんちればーでつきばつとれすだむ	cantilever deck buttress dam	上流側遮水壁（スラブ）がバットレス（扶壁）の両側に張り出した構造で、これを継目を介して連続させたバットレスダム。スラブに加わる水圧に片持ち梁として抵抗する。
貫通	かんつう	break through	トンネルなどで掘削した地山が貫かれること。
貫通杭	かんつうぐい	bearing pipe through structure	構造物を上下に貫く杭のことで既設構造物の下部に構造物を施工する際に上部の荷重を下部の地盤に伝えるために施工される。

カンデラ	かんでら	international candle	記号cdで表される光度の単位。周波数540THz (T:テラ=10の12乗)の単色光光源からの放射強度が1W/683/srである方向の光度。
カント	かんと	cant	車両が曲線部を進行するときに受ける遠心力の影響を取り除くために、レールや路面の内外につけた高さの差。
関東構造線	かんとこうぞうせん	Kanto tectonic line	関東地方中央部、ほぼ利根川の流路に沿って走る推定構造線。利根川構造線と同義。重力異常の急変部としてとらえられる。
関東構造盆地	かんとこうぞうぼんち	Kanto tectonic basin	東京・千葉付近を中心とした盆地で鮮新統以降の地層が厚く堆積し、厚層部は約4000mに達する。
関東山地	かんとうさんち	Kanto mountain Area	関東地方西部から長野県にかけての山地で、一辺約75kmの矩形を示す。
関東地震	かんとうじしん	the 1923 Kanto earthquake	1923(大正12)年9月1日に関東南部を中心に発生したM7.9の地震。死者不明者14万2千人余とされている。津波最大12m。房総・神奈川南部が隆起。別名関東大震災。
関東造盆地運動	かんとうぞうぼんちうんどう	Kanto basin-forming movement	関東の構造盆地を形成した鮮新世以降の地殻運動。運動は主に、平野周辺部の隆起と中心部の相対的な沈降によりなる。
関東平野	かんとうへいや	Kanto plain	関東構造盆地の上に形成された日本最大の平野。
関東ローム	かんとうろーむ	Kanto loam	関東地方に広く分布する褐色の更新世の降下火山灰層。硫化軽石・スコリアなどの火砕堆積物も含む。下位より多摩、下末吉、武蔵野、立川の4層に区分されている。練返しによる強度低下が著しい。
感度分布	かんどぶんぷ	sensitivity distribution	地中の単位体積の比抵抗変化による見掛比抵抗の変化割合を分布図として示したもの。
ガントリージャンボ	がんとりーじゃんぼ	gantry type drill jumbo	トンネル工事における削岩用機械の一種で、門型の移動式枠組みのフレームからなる台車に多数の削岩機を搭載させたもの。
管内損失補正係数	かんにいそんしつほせいけいすう	compensation coefficient for pipe loss	ルジオンテストの有効注入圧力を求める際に、管内抵抗による損失水頭を算定するための係数。
貫入	かんにゅう	intrusion	マグマあるいは流動性のある岩石が、地下の岩塊中に押し込められ、新しい岩石体を形成する現象。
貫入角礫岩	かんにゅうかくれきがん	intrusion breccia	貫入の際に、周辺岩石あるいは固結した貫入岩体の一部が破壊されて生じた、角ばった岩片よりなる礫岩。
かん入河川(嵌入河川)	かんにゅうかせん	entrenched meander	蛇行状に屈曲する谷の中を流れる河川。急激な隆起ないし浸食基準面の低下により基盤岩を深く掘り込んで生じる。
貫入岩	かんにゅうがん	intrusive rock	マグマが地殻中に貫入して固結した火成岩。結晶の生成に特徴があり、斑状構造を有する。岩脈・岩床など種々の貫入形態がある。

貫入式推進	かんにゅうしきすいしん	push-in of cutting edge	手掘りシールドにおいて、切羽安定のために、刃口を地山に貫通させた後に掘削を行い推進すること。
貫入試験	かんにゅうしけん	penetration test	地下の土層のかたさや締まり具合を知るために、土中に金属の棒を押し込むサウンディング試験の総称。
貫入試験器	かんにゅうしけんき	penetrometer	貫入試験を行うための試験器。標準貫入試験器、動的貫入試験器、静的コーン貫入試験器などがある。
貫入双晶	かんにゅうそうしょう	interpenetration twin	二つの個体が双晶をなす場合、一方の個体が他の個体の中を突き通った状態にある双晶。
貫入抵抗	かんにゅうていこう	penetration resistance	土の貫入試験におけるコーンの貫入しにくさを示すものであり、建築物の支持力の判定などに用いられる。
観音寺断層	かんのんじだんそう	Kannonji fault	活断層。確実度 I、南北方向。庄内平野東縁に位置し活褶曲運動と関連。西傾斜。1894年に地震発生。
ガンパー仕上げ	がんばんしあげほう	gun perforation completion	火薬を使用して産出層部のパイプに穴をあけて、石油などを選択的に採取するための仕上げ法。
かんばつ（旱魃）	かんばつ	drought	降水量の不足により農作物に枯死などの被害が生じること。
カンパニアン	かんばんにあん	Campanian	中生界・上部白亜系の階。国際的基準の地質生層序単位を表し、ヘトナイ統下部に相当。
鎌原火砕流	かんばんらかさいりゅう	the Kanbara pyroclastic flow	1783（天明3）年浅間山噴火に伴って発生。最大幅4 kmで流下。鎌原村を全滅させ、犠牲者1000人以上とされている。
岩盤	がんばん	rock mass	岩石からなる地盤、あるいはある広がりをもった岩塊と割目の集合体。
岩盤アバットメント	がんばんあばつとめんと	rock abutment	岩盤からなるダム取付部。人工アバットメントに対する自然地山のこと。
岩盤基礎	がんばんきそ	rock foundation	岩盤からなる構造物の基礎。
岩盤基礎処理	がんばんきそしより	rock foundation treatment	基礎岩盤の力学的弱部の処理および透水性の処理全般をさす。
岩盤強度試験	がんばんきょうどしけん	in situ rock strength test, in-situ rock strength test	岩盤のせん断強度を原位置で求める試験。ロックせん断試験、ブロックせん断試験、岩盤三軸圧縮試験などがある。
岩盤空洞	がんばんくうどう	rock cavern	トンネル・鉱山などの坑道・地下発電所や石油地下備蓄用岩盤タンクなどの地下構造物の総称。

岩盤掘削線	がんばんくっさくせん	rock excavation line	構造物を築造する場合に所要の強度・変形性などを持つ岩盤に達するまで行われる掘削の範囲と深さを示す線。
岩盤区分	がんばんくぶん	rock mass classification	岩盤分類に類義。岩盤を工学的観点から数グループに区分すること。
岩盤クリープ	がんばんくりーぷ	rock creep	岩石匍行と同義。
岩盤検査	がんばんけんさ	inspection of excavated bed rock	ダム、原子力発電所、構造物基礎において計画掘削深度まで掘削した段階で、当初設計で想定した性状の岩盤が現れていることを確認する検査。目視観察の他、岩石試験や平板載荷試験などを行うことがある。
岩盤拘束	がんばんこうそく	bedrock restraint, external restraint by foundation rock	マスコンクリートの温度低下に伴う収縮量が、岩着部付近において岩盤に拘束される事により小さくなる現象。
岩盤三軸圧縮試験	がんばんさんじくあっしゅくしけん	in situ triaxial compression test, in-situ triaxial compression test	直方体のブロックを切り出し、各々の面にピストンジャッキ、またはフラットジャッキで荷重をかけ岩盤の強度、変形特性を知る試験。
岩盤試験	がんばんしけん	rock test	岩盤の変形・強度などの基本的な特性を求める現地試験法で岩盤変形試験、岩盤せん断試験などがある。
岩盤地すべり	がんばんじすべり	rockslide, rock slip	岩盤すべりと同義。
岩盤浸透流	がんばんしんとうりゅう	seepage flow in rock mass, rock hydraulics	断層や節理などの割れ目を含んだある大きさの岩体中を流れる水の流動。
岩盤すべり	がんばんすべり	rock slide	基盤岩から新たに発生する地すべり。基盤岩に潜在する弱面がすべり面となって発生し、急速に移動する。岩盤地すべり・岩すべり・岩石すべり・盤すべりともいう。
岩盤せん断試験	がんばんせんだんしけん	rock shear test, block shear test	岩盤ブロックを切り出し、あるいは平滑に仕上げた試験面にコンクリートブロックを打設して、せん断試験を行い岩盤のせん断強度を求める試験。
岩盤タンク	がんばんたんく	underground storage rock cavern	原油・重油・LPガスなどの備蓄・貯蔵を目的に岩盤内に空洞を掘削し、その空間をタンクとして用いること。
岩盤地下タンク	がんばんちかたんく	underground storage rock cavern	「岩盤タンク」と同じ意味であるが、半地下式タンクと区別する時に用いる場合がある。
岩盤等級	がんばんとうきゅう	rock mass grade	岩盤分類に基づき、岩盤の良否をその工学的性状によって何階級かに分けたもの。
岩盤透水試験	がんばんとうすいしけん	rock permeability test	岩盤の透水性を評価する試験方法。よく行われる方法としてルジオン試験や湧水圧試験（JFT）などがある。
岩盤内応力	がんばんないおうりょく	rock mass stress	岩盤内部に仮想した単位面積の任意の面に作用する力。

岩盤判定	がんばんはんてい	rock mass judgement	構造物基礎の岩盤に対し、岩盤分類や岩盤評価を行うこと。
岩盤P S工	がんばんびーえすこう	rock prestressed anchor method, rock PS anchor method	岩盤にプレストレスを導入して補強する工法。設計上はグラウンドアンカーと同じ。アーチダムのショルダの補強などに使用される。
岩盤評価	がんばんひょうか	rock mass characterization, rock mass evaluation	岩盤を工学的な指標によって評価すること。指標としては硬さ・風化・変質・節理・破碎・湧水などがある。
岩盤負担	がんばんふたん	share of internal pressure by bedrock	圧力トンネルなど岩盤埋設構造物の設計において周辺の岩盤に内圧を負担させること。
岩盤負担率	がんばんふたんりつ	sharing ratio of internal pressure by bedrock	地山が健全な場合、圧力トンネルの内圧を鋼管ライニングのみならず地山にも分担させるときの圧力分担割合のこと。
岩盤不連続面	がんばんふれんぞくめん	discontinuity plane	岩盤内の断層、亀裂、節理、シーム、片理、層理および不整合などの不連続面の総称。
岩盤分類	がんばんぶんるい	rock classification	土木構造物の地質調査において、岩盤をその物性や力学性などに基づいて分類すること。
岩盤変形試験	がんばんへんけいしけん	rock deformability test	岩盤の変形特性を明らかにするために原位置で行われる載荷試験。ある載荷荷重に対する変形係数、弾性係数などを求める。
岩盤崩壊	がんばんほうかい	rockslope failure, rockslope collapse	落石などと比較して発生頻度は小さいが、発生すると大規模となる恐れのある岩盤斜面の崩壊。
岩盤レーダー	がんばんれーだー	rock rader	電磁波の反射や透過を利用した岩盤の調査法。アンテナの形状から地表型レーダー、ボアホールレーダーなどがある。
間氷期	かんびょうき	interglacial stage	第四紀氷河時代の氷期と氷期間の温暖期。4つの氷期と間氷期のサイクルがある。
寒風石	かんふうせき	Kanpu seki	秋田県男鹿市脇本産石材。第四系輝石安山岩。黒色、緻密、微粒で加工容易。男鹿石と同質。
カンブリア紀	かんぶりあき	Cambrian (period)	古生代最初の地質時代で、この時代、先カンブリア時代に比べて地球上の生物が種類・数とも急激に多くなった。
カンブリア系	かんぶりあけい	Cambrian (system)	古生代最初のカンブリア紀の地層区分で、ヨーロッパ・北アフリカ・北アメリカに、海成層として広く分布する。
ガンフrintチャート	がんふりんとちゃーと	gunflint chert	北米オンタリオ州スペリオル湖岸に分布する約20億年前の先カンブリア時代のチャート。藻類の化石を含む。
岩粉	がんぶん	rock flour	氷河による削磨、特に粉砕作用によって生じた微細砂ないしシルト以下の細粒の碎屑物。

岸壁	がんぺき	quaywall	船を接岸するための水際の構造物。重力式岸壁・矢板式岸壁があり，支柱と床板からなる栈橋とは区別される。
ガンベル・チョウの方法	がんべるちょうのほうほう	Gumbel and Chow's method	チョウが提案した，ガンベル分布について度数係数を求めて再現期間T年の確率水文量を計算する方法。
岩片	がんぺん	rock fragment	岩石の破片，割目によって境された岩盤を構成するピース。
岩片質	がんぺんしつ	lithic	岩石の構成物のうち，鉱物粒子に対し，岩石の破片が多いことを表し，石質と同義。石質の方が一般的である。
ガンボウ	がんぼう	gumbo, gumbo clay	粘性が非常に強く，若干の砂を含む細粒な粘土で，ミシシッピ川流域に堆積。
陥没火口	かんぼつかこう	pit crater	火山活動により生じた円形の凹地で，楯状火山に特徴的な，陥没によって生じた火口。火口壁は垂直に近い。
陥没カルデラ	かんぼつかるでら	collapse caldera	火山活動の結果陥没によって生じたほぼ円形の凹状陥没地形。カルデラの中では最も一般的で，世界の主要なカルデラがこれに属する。
陥没湖	かんぼつこ	collapse lake	大規模な断層運動などによって生じた湖で，日本の琵琶湖・諏訪湖，シベリアのバイカル湖などがある。
陥没地震	かんぼつじしん	collapse earthquake	かつて考えられていた地震の一つで，震央付近の初動が引き波の場合，重力による岩石落下であるとされた。
陥没帯	かんぼつたい	collapse zone	マグマ溜りの移動あるいは地下空洞の上部の崩壊により地表部が落ち込んで形成される陥没地。
陥没盆地	かんぼつぼんち	collapse basin	周囲を断層で囲まれた地域が落ち込んでできた盆地。大地溝（リフトバレー）のような大規模なものがある。
γ壊変	がんまかいへん	γ-decay	放射性元素がγ線の放出により，より安定なエネルギー準位状態になる放射壊変。
γ-γ線検層	がんまがんませんけんそう	gamma-gamma ray logging	γ線密度検層と同義。
γ線	がんません	γ-rays	波長の短い電磁波（0.1Å以下）。放射性崩壊，中性子補獲等の核反応時に，エネルギー準位の転移に伴い放出される。
γ線エネルギースペクトル分析	がんませんえねるぎすべくとるぶんせき	γ-ray spectrometry	放射性核種から放出されるガンマ線の持つその種固有のエネルギー分布をもとに構成元素を分析する方法。
γ線検層	がんませんけんそう	gamma-ray logging	地層中に自然に存在する放射性元素から放射されるγ線を孔井内で計測して，地層の特性を調べる検層法。

γ線スペクトル	がんませんすぺくと る	γ-ray spectrum	γ線のエネルギーを波長で分解したもの。放射能探査に用いる。
γ線スペクトル 検層	がんませんすぺくと るけんそう	natural gamma-ray spectroscopy logging, spectral gamma- ray logging	地層内に含まれる放射性物質から出る自然γ線のエネルギー・スペクトル分析を行い、放射性元素(U, Th, K)含有量を調べる検層法。
γ線スペクトル ログ	がんませんすぺくと るろぐ	spectral gamma-ray log	γ線スペクトル検層と同義。
γ線スペクトロ メータ	がんませんすぺくと ろめーた	γ-ray spectrometer	ガンマ線のエネルギースペクトルを得るための装置。
γ線密度計	がんませんみつどけ い	gamma-ray density meter	密度の差によりγ線の散乱確率が変化する現象を利用した密度計。γ線源にセシウム、コバルトが使用される。
γ線密度検層	がんませんみつどけ んそう	gamma-ray density logging	γ線密度計を用いて、孔井内で連続的に地中の密度を測定する検層。
干満帯	かんまんたい	tidal zone	高潮線と低潮線の間地帯。潮間帯ともいう。
岩脈	がんみゃく	dike, dyke	垂直に近い主として火成岩の板状貫入岩体で、貫入の方向や節理系から貫入当時の応力場を推定可能な場合がある。
岩脈群	がんみゃくぐん	dike swarm, dyke swarm	多数の岩脈が平行・放射状・環状などの集合体をなし、平面的（立体的）に特徴ある配列を示すもの。
岩脈山稜	がんみゃくさんりよ う	dike (dyke) ridge	緻密で非常に硬い岩石によって形成された岩脈が、浸食に抵抗する形で高い山稜状に残ったもの。
関門層群	かんもんそうぐん	Kanmon Group	中国地方西部から九州北部に分布する中生界白亜系。砂岩・泥岩を主体として礫岩・石灰岩を挟む亜層と、礫岩、火山岩質の角礫岩・砂岩・凝灰岩・安山岩・流紋岩などからなる亜層に区分される。
関門トンネル	かんもんとんねる	Kanmon tunnel	関門海峡の下を通過する世界で初の海底鉄道トンネル。1936年に着工し、1942年に下り線(3,614m)、1944年には上り線(3,605m)が各々開通した。海底部の最小土被りは7m。シールド工法や注入工法が用いられた。
含有土砂検量装 置	がんゆうどしゃけん りょうそうち	slurry density accounting equipment	泥水シールドにおいて、切羽の状態を監視するために泥水中の土粒子の量を測定する装置。
かん養（涵養）	かんよう	recharge	降雨や河川水、かんがい（灌漑）水などが不飽和帯を浸透し、地下水に付加、補給されること。
かん養（涵養） 域	かんよういき	recharge area	地表水が吸水、付加され、地下水としてかん養（涵養）されている地域。
かん養井（涵養 井）	かんようせい	recharging well, cultivation well	人工的に地下水供給を増加させるために作った井戸。降水・河川水・かんがい水（灌漑水）などの地表水を地下の帯水層へ送り込む。

かん養地帯（涵養地帯）	かんようちたい	recharge area	かん養（涵養）域と同義。
かんらん岩	かんらんがん	peridotite	かんらん石（橄欖石）を主成分とし、粗粒鉱物結晶よりなる超苦鉄質深成岩。
かんらん石（橄欖石）	かんらんせき	olivine	(Mg, Fe) ₂ SiO ₄ , Mg ₂ SiO ₄ -Fe ₂ SiO ₄ の固溶体。斜方晶系。硬度6.5～7。比重3.27～3.37。火成岩・変成岩・隕石中に産出する主要造岩鉱物の一種。オリビンともいう。
かんらん石（橄欖石）玄武岩	かんらんせきげんぶがん	olivine basalt	かんらん石（橄欖石）の斑晶に富んだ玄武岩。
かんらん石（橄欖石）玄武岩マグマ	かんらんせきげんぶがんまぐま	olivine basalt magma	上部マントルで熔融状態にあり、アルカリ分が多く、かんらん石（橄欖石）に富む鉱物組成を示すマグマの一つ。
管理型処分場	かんりがたしよぶんじょう	controlled landfill site	底面および側面を遮水シートで覆い、浸出した水は排出基準以下になるよう処理することにより地下水や河川水の汚染を防止する方式の最終処分場。安定型および遮断型処分場の対象とならない廃棄物を対象とする。
管理基準値	かんりきじゅんち	control standard value	観測施工の計測値の評価に用いる基準値。通常各計測項目において2～3段階の基準値を設定し、それらを超えた時の対策も決めておく。基準値は岩盤の限界ひずみ、支保部材の許容耐力、挙動予測解析結果、類似事例などから設定される。
寒流	かんりゅう	cold current	寒帯や亜寒帯から回流してくる低温で塩分の少ない海流。千島海流（親潮）・フンボルト海流など。
乾留	かんりゅう	dry distillation	空気を遮断して石炭・油母頁岩・ピッチなどを加熱分解し揮発分を冷却・回収する操作。例えば石炭から石炭ガスやタールを生成するのに用いられる。
岩流	がんりゅう	blockstream	角張った岩塊が、斜面に沿って流下したような状態で積み重なってできた舌状の平面地形をさす。岩塊流ともいう。典型的な周氷河地形。
岩流圏	がんりゅうけん	asthenosphere	アセノスフェアと同義。
貫流水車	かんりゅうすいしゃ	cross flow turbine	水流をランナーに直角に流入させて回転させる方式の、最も構造が単純な水車。
顔料鉱物	がんりょうこうぶつ	mineral pigment	顔料として使用される天然鉱物。黒色（黒鉛など）・青色（らん銅鉱）・緑色（孔雀石）・赤色（辰砂）・白色（滑石）。
管理用発電	かんりようはつでん	power generation for dam management	ダム管理用電力を得るために行うダム放流水を用いた小水力発電
寒冷期植物化石	かんれいきしよくぶつかせき	cold-climate flora	寒冷な気候条件を指示する植物化石群。日本やヨーロッパなどの中・高緯度地域の更新世の地層から産する。
含礫砂岩	がんれきさがん	pebbly sandstone	礫を含んだ砂岩。砂・礫とも淘汰が良く、礫は円礫であることが多い。礫の量比が高ければ砂質礫岩という。

含礫泥岩	がんれきでいがん	pebbly mudstone	泥岩中に礫や砂を含み、ラミナのない非氷河起源の礫質岩。通常は基質の泥の量が礫の量に比べはるかに多い。
乾裂	かんれつ	sun crack	干潟や湿地に堆積したシルト～泥が、日照により乾燥した際に生じた多角形のひび割れ。
管路流	かんろりゅう	pipe flow	管内の流れのように満流状態で自由水面を持たない流れ。内面全体に圧力が加わる。
緩和曲線	かんわきょくせん	transition curve	道路の平面線形において、直線部と曲線部の間、曲率の異なる曲線部の間などに車両の走行をスムーズに行うために設置される曲線。
緩和照明	かんわしょうめい	adaptation lighting, supplementary lighting	道路トンネルの出入口で、明るさの急激な変化による運転の危険性を避けるため明るさを徐々に変化させて配置した照明。
期	き	age	地質時代区分上の世の下に位置する時代単位で、年代層序区分である階が堆積する時代に相当する。
紀	き	period	地質時代区分において世より上に位置し、代を細分したものの。年代層序区分の系が堆積する時代に対応する。
気圧	きあつ	atmospheric pressure	大気圧。単位面積上の大気の質量に重力加速度を乗じたものである。1気圧は1,013.25hPa。
気圧計	きあつけい	barometer	大気圧を測る計器。水銀を利用した水銀気圧計、金属の弾性を利用したアネロイド気圧計などがある。
気圧高低測量	きあつこうていそくりょう	barometrical leveling	高度が高くなるにつれて気圧は低くなるという原理を応用して高度を測定する方法。気圧測高（法）ともいう。
気圧高度計	きあつこうどけい	atmospheric pressure altimeter	気圧の高度依存性を利用した高度計。気圧測定は高精度であるが、大気圧変動が複雑なため最終精度は約±1m。
気圧測高	きあつそくこう	barometric altimetry	任意の2点の気圧を測定し、その気圧の差から高さを求める方法。
気圧補正	きあつほせい	atmospheric pressure correction	電磁波測距において、大気圧の変化で電磁波の屈折率が変化することによる電磁波速度の補正。
輝安鉱	きあんこう	stibnite	Sb ₂ S ₃ 。斜方晶系。硬度2。比重4.52～4.62。鉛灰色。アンチモンの鉱石。愛媛県市ノ川鉱山産の結晶は美晶として世界的に有名。
キーストンプレート	きーすとんぷれーと	keystone plate	鋼製の折板構造の板で、トンネルの仮巻きにおける内型枠材などに用いられる。
キースラーガー	きーすらーがー	Kieslager(独)	層状含銅硫化鉄鉱床。黄鉄鉱・磁硫鉄鉱を主体とし黄銅鉱を伴う。三波川帯の別子、佐々連鉱山が有名。

キーダイアグラム	きーだいがぐらむ	key diagram	水質の組成を示す菱形座標図。水質成分をミリグラム当量の百分率として定め、陽・陰イオンごとに表示したもの。
キーブロック	きーぶろっく	key stone, key block	トンネルなどの周辺岩盤において不連続面によって分離された岩塊のうち、大規模な崩壊につながる楔状の岩塊。
巖木石	きうらぎいし	Kiuragi ishi	佐賀県東松浦郡巖木町産石材。古第三系砂岩。
帰雲崩れ	きうんくずれ (かえりぐもくずれ)	Kiun collapse	岐阜県白川村。1586年白山大地震で濃飛流紋岩が崩壊。土石流が下流の庄川谷を埋塞。被災者300人以上。
擬円錐図法	ぎえんすいずほう	pseudo-conic projection	緯線が同心円弧となる地図投影の総称。
擬円柱図法	ぎえんちゅうずほう	pseudo-cylindrical projection	円柱図法にいくらかの修正を加えた便宜的な地図投影図法の総称。メルワイデ図法、サンソン図法はこれに属する。
既往最大洪水	きおうさいだいこうずい	largest recorded flood	河川の一つの流量観測所で記録されたなかで最大の河川流量。大雨や融雪などによってもたらされる。
気温減率	きおんげんりつ	temperature lapse rate	気温が高度を増すにつれて減少する割合。一般に、対流圏の平均気温減率は約0.6℃/100mといわれている。
気温日較差	きおんにちこうさ	diurnal amplitude of temperature change	気温の日変化の大きさを表す量で、一日の最高気温と最低気温の差で表す。
気温年較差	きおんねんこうさ	annual amplitude of temperature change	気温の夏と冬の差の大きさを表す量で、年間の最暖月と最寒月の平均気温の差で表す。
祇園山層群	ぎおんやまそう	Gionyama Formation	宮崎県北西部祇園山周辺に分布する古生界シルル～デボン系。下位より砂岩、石灰岩および石灰質砕屑岩、凝灰岩、礫性石灰岩、珪長質凝灰岩および凝灰質砂岩からなる。
鬼界アカホヤ火山灰	きかいあかほやかざんばい	Kikai-Akahoya volcanic ash	鹿児島県硫黄島付近の鬼界カルデラから約6,300年前に噴出した火山灰。北海道を除くほぼ日本全土に分布する特徴的なオレンジ色の火山灰で、K-Ahと略記され多方面で時代検証の指標となっている。
機械掘削	きかいくっさく	mechanical excavation	TBMやブーム式掘削機、ブレーカ、シールド機などの掘削機械を用いて地山を掘削する方式。
機械式圧力計	きかいしきあつりょくけい	mechanical pressure gauge	作用する圧力を液柱の高さとして求めたり、受圧部に設けたダイヤフラムの変位などから求める計器。
機械式地震計	きかいしきじしんけい	mechanical seismograph	振り子の動きを、てこの原理によって拡大し記録する地震計のこと。
機械式ひずみ計	きかいしきひずみけい	mechanical extensometer	2点間に生じた微小な長さの変化をダイヤルゲージなどで拡大測定し、その間のひずみを求める計器。

機械式変位計	きかいしきへんいけい	mechanical displacement gauge	ダイヤルゲージなどの歯車の回転を利用し、基準点からの移動量を求める計器。
機械的雙晶	きかいてきそうしょう	mechanical twin	塑性変形をうけた結晶に見られる雙晶で変形雙晶ともいう。方解石での本雙晶は有名。
機械的堆積鉱床	きかいてきたいせきこうしょう	detrital ore deposit	砂礫鉱床と同義。
機械的風化	きかいてきふうか	mechanical weathering	雪や氷（水）による凍結融解作用や、塩類析出作用、植物の根による割れ目の拡張などの物理的な力により岩石が破壊される現象。寒冷地・乾燥地で著しい。機械的風化作用、物理的風化作用ともいう。
機械土工	きかいどころ	mechanical earth work	人力土工に対し、ブルドーザー・ダンプトラックなどの土工機械を使用して行う土工事。
機械掘りシールド	きかいぼりしーるど	mechanical shield	切羽をカッターで掘削し、土砂の搬出にベルトコンベアを用いるなどすべて機械で行うシールド。
希ガス元素	きがすげんそ	rare gas elements, noble gas elements	周期表18族に属する元素He・Ne・Ar・Kr・Xe・Rnの総称で、いずれも化学的に極めて安定な性質を有する。
希ガス同位体	きがすどういたい	noble gas isotopes	周期表18族に属する元素のうちHe・Ne・Ar・Kr・Xeがもつ同位体の総称。物質の起源解明や年代測定に用いられる。
偽化石	ぎかせき	pseudofossil	化石ではないが、構造や形態が非常にある生物と似ているため、化石と誤認されるもの。割れ目にマンガンなどが析出した「しのぶ石」などをさす。
気化熱	きかねつ	heat of vaporization	一定の温度条件下で、物質が平衡状態にある時、液相から直接に同温度の気相に変わるために必要とする熱量。
幾何補正	きかほせい	geometric correction	画像に含まれている幾何学的なひずみを除去し、特定の座標系に整合する画像を作成する処理。
気乾	きかん	air-dry	空気中で自然乾燥させること。気乾状態では、空気中の湿度と土、木材や骨材中の湿度が平衡状態となる。
基岩	きがん	bed rock, bedrock	土壌の直下にある堅固な岩石。あるいは地すべりの移動物質の母材で、移動していないもの。
機器分析	ききぶんせき	instrumental analysis	化学分析の一連の工程を複雑な機構をもった装置で行うこと。これによって、分析値の個人差が減少した。
偽凝結	ぎぎょうけつ	false set	セメントに注水後、一時的に凝結し始めたように固くなりだす状態。
輝銀鉱	きぎんこう	argentite	Ag ₂ S。立方晶系。硬度2～2.5。比重7.2～7.4。鉄黒色。佐渡・伊豆・九州などの第三紀低温金銀鉱床に産する。銀の鉱石として重要。

木杭	きぐい	wood pile, timber pile	既製杭の一種。小規模構造物の基礎や仮設工事・応急工事で補助的に用いられる木製の杭。
菊川断層帯	きくかわだんそうたい	Kikukawa fault	活断層。确实度 I，北西方向，左ずれ断層。下関市北部から神田岬南岸を渡り響灘に抜ける神田岬冲断層を含む。
気圏	きけん	atmosphere	大気圏と同義。
希元素	きげんそ	rare element	地球上で存在量の少ないHeやNeのような0族の元素を指す。原子のエネルギー準位は低く，安定的であり，他元素との反応性に乏しい。
起源マントル	きげんまんとる	initial mantle	マグマの起源となる融液は，マントル物質の部分融解により上部マントルでつくられる。この融解する前のマントルを起源マントルと呼ぶ。
気候	きこう	climate	地球上のある地域において一年周期で繰り返される大気の状態。またはそれを季節的に連続させた年間の時系列。
気候因子	きこういんし	climatic factor	気候の地理的分布に影響を与えている諸要因。ある場所のおおよその気候は地理的な物理的条件に左右される。
気候学	きこうがく	climatology	気候を科学的に研究する学問分野。地理学の一分野として発達。物理気候学と地理気候学に区分される。
気候区	きこうく	climatic province, climate region	気候特性に共通性があり，一つの気候環境下にあるとみなされる地域。気温や降水量が主な指標。
気候図	きこうず	climate map, climatic chart	気温や降水量などの気候環境を特定の地点や地域について表現した図。広くは気候に関する図。
起拱線	きこうせん	spring line	スプリングラインと同義。
気候帯	きこうたい	climatic zone	地球上の気候をその特性によって数個に区分した地帯。ほぼ緯度に並行し，気候の類似した帯域を気候帯と呼ぶ。
気候分類	きこうぶんるい	climatic division	地球上のそれぞれの場所によって異なる気候を，その気候の共通点，類似点などによって類型化すること。
気候変化	きこうへんか	climatic change	気候は長年の間に，不連続・系統的・漸進的などあらゆる形式で変化する。これらを含めて気候変化という。
気候変動	きこうへんどう	climatic variation, climatic change	30年またはそれ以上の期間についての平均的気候に変化があった場合をいう。
基骨土	きこつど	skelton soil	崖錐や火山灰上などにおいて，腐食物がきわめて少なく土壌生成の初期段階にある土壌。岩屑土と同義。

輝コバルト鉱	きこぼるところ	cobaltite	CoAsS. 低温型は斜方晶系, 高温型は立方晶系. 硬度5.5. 比重6.3~6.34. 灰~銀灰色. 硝酸で分解し硫黄と酸化物を析出. コバルトの鉱石.
記載岩石学	きさいがんせきがく	petrography	偏光顕微鏡等を用いて, 鉱物組成と組織により岩石を系統的に分類し, 命名・記載を行う岩石学の一部分.
記載鉱物学	きさいこうぶつがく	descriptive mineralogy	鉱物の結晶学的性質・物理学的性質・化学的性質・産状・利用法などについて記述する学問.
象潟地震	きさかたじしん	the 1804 Kusakata earthquake	1804(文化1)年7月10日に秋田・山形県境で発生したM7.0の地震. 死者500人以上・家屋損壊5,000戸以上とされている. 象潟湖が隆起し沼化した.
象潟油田	きさかたゆでん	Kusakata oil field	秋田県象潟地方にあり, 院内, 桂坂, 小滝油田などがある. 新第三系天徳寺層, 船川層の砂岩, 凝灰質砂岩に石油胚胎.
黄更紗	きさらさ	Kisarasa	岡山県阿哲郡哲多町本郷・新見市および北九州市小倉区市丸, 小森産石材. 古生界の角礫状石灰岩・大理石.
岸沖漂砂	きしおきひょうさ	on-offshore sediment movement	沿岸における底質の移動方向は海岸に平行な成分と海岸に直角な成分に分けられ, 前者を沿岸漂砂, 後者を岸沖漂砂という.
擬似音響インピーダンスログ	ぎじおんきょういんぴーだんすろぐ	pseudoacoustic impedance log	反射地震記録から求められる音響インピーダンス(岩石の密度と弾性波速度との積)記録.
擬似グライ化作用	ぎじぐらいかさよう	pseudogleization	地下水位の季節的変動によって土壌の酸化・還元が反復される場合に褐色酸化部と鉄が溶脱した灰色の部分からなる土層が形成される作用.
擬似グライ土	ぎじぐらいど	pseudogley soil	湿潤温帯地域の台地上にパラ褐色土や褐色森林土と伴って分布するグライに似た成帯内性土壌型(亜型).
擬似黒泥土	ぎじこくでいど	half bog soil	寒冷~熱帯の湿潤気候で, 排水不良地にできる. 黒色泥炭質層と灰色無機質土層からなる土壌.
擬似静止土圧係数	ぎじせいしどあつけいすう	coefficient of pseudo-earth pressure at rest	ある深さの点における, 鉛直方向に対する水平方向応力の比. 掘進中のシールド切羽面における土の土圧係数で, 地盤変位と泥土圧の関係から求められる.
擬似先行圧密応力	ぎじせんこうあつみつおうりょく	pseudo-(quasi-)preconsolidation stress	圧密試験から得られる圧密降伏応力の別名. 応力履歴を示す先行圧密応力と区別するために用いられる.
基質	きしつ	matrix	岩石や堆積物で粒径の異なる粒子が混在するとき, 大粒径の粒子の間隙を埋めている細粒径の粒子の集合体をさす.
擬似透水係数	ぎじとうすいけいすう	apparent permeability	トレーサ試験などにより求まる見かけの透水係数. 有効間隙率により除することで真の透水係数が求まる.
希釈粘度計	きしゃくねんどけい	dilute viscometer	溶質・溶媒が同じで濃度の異なる溶液の粘度を測定する際に, 濃度の高い溶液から測定を始め, 少しずつ溶媒を加えながら低い濃度での測定を順次行なうことができる粘度計

貴蛇紋石	きじゃもんせき	noble serpentine, kijamonseki	蛇紋岩や蛇灰岩の装飾用石材名。原岩は三波川変成岩中に挟在。埼玉県皆野町・群馬県藤岡市・高知県本山町産。
紀州石	きしゅういし	Kishu ishi	尾鷲市賀田町・熊野市新鹿町・遊木町産石垣・割ぐり石用石材。熊野酸性岩の黒雲母花崗斑岩で白色中目。熊野石と同質。
紀州鉱山	きしゅうこうざん	Kishu mine	三重県南牟婁郡紀和町にあるCuの鉱脈鉱床。黄鉄鉱・黄銅鉱・方鉛鉱・閃亜鉛鉱・金・錫石など。1978年閉山。
紀州砥	きしゅうと	Kishuto	和歌山県西牟婁郡白浜町産の主に砥石用の石材。新第三系砂岩。淡黄色，硬質で均質，粗粒。
基準光波長	きじゅんこうはちょう	standard optical wavelength	長さまたは距離を精度良く測定するため光の反射を利用して行う時に，基準として用いられる光の波長。
基準三角点	きじゅんさんかくてん	control triangulation point	基準三角測量によって設置された三角点。国が設置した基準点としては，一・二・三・四等三角点などがある。
基準地震動	きじゅんじしんどう	standard earthquake ground motion, basic (design earthquake) ground motion	原子力発電所の耐震設計に用いる最強地震S1と限界地震S2。
基準指標	きじゅんしひょう	fiducial mark	三角測量の基線，水準測量の水準原点など測量作業の基準となる線や点。
基準水準点	きじゅんすいじゅんてん	fundamental bench mark	一等水準測量路線に沿った地盤の堅固な地に設けられた，地方の基準となる特別な水準点。
基準層	きじゅんそう	marker bed	地震探査で，広域にみられる明瞭な屈折・反射面。地質調査で，地域の特徴を表わすものとして選ばれた鍵層に相当する。
基準楕円体	きじゅんだえんたい	reference ellipsoid	標準楕円体と同義。準拋楕円体ともいう。
基準多角点	きじゅんたかくてん	control traversing point	基準多角測量によって設置された多角点。現在は二等多角測量で観測される。
基準地域メッシュ	きじゅんちいきめっしゅ	third order grid unit	1/2.5万地形図を縦横10等分したメッシュで3次メッシュともいう。面積は約1km ² 。土地情報など各種国土数値情報の表示の際に基準となる区画。
基準点	きじゅんてん	control point	測量の基準となる点で，その位置が標石などで明確に示されており，測地座標値が与えられた点。
基準点測量	きじゅんてんそくりょう	control point survey	地図上に記載している基準点を設置するための測量。その精度は一等，二等測量と同じ。
基準点網	きじゅんてんもう	control point network	地形図を正確に作成するために，必要な測地座標値が与えられた基準点の配置網。

基準点網図	きじゅんてんもうず	index map of control point	地図上に基準点の位置や相互の観測方向などを記載したもの。
基準補正	きじゅんほせい	base correction	磁気・重力測定、気圧測定などで、測定値を基準点での値を基に補正すること。
基準面	きじゅんめん	datum plane	水深や標高を表すための基準となる面。水深を表す場合はその地の最低低潮面、標高の場合は平均海水面を用いる。
基準面補正	きじゅんめんほせい	datum level correction	陸上に設けた標高の基準となる水準原点の東京湾平均海面からの高さの補正。地殻変動による変化の補正。
気象衛星	きしょうえいせい	meteorological satellite	気象観測を目的とした人工衛星。可視・赤外面像センサの他に種々の計測器を搭載している。
気象学	きしょうがく	meteorology	天気为代表されるような大気に関する自然現象を対象とする学問の総称。
気象観測装置	きしょうかんそくそうち	meteorological observation apparatus	ダム管理所などに設置される風向・風速計、温度・湿度計、日射・日照計、蒸発計、気圧計等の計器。
気象警報	きしょうけいほう	weather warning	暴風・大雨・洪水などの異常気象により、重大な災害が起こるおそれのあることを警告する予報。
気象庁震度階級	きしょうちょうしんどうかいきゅう	seismic intensity scale of the Japan Meteorological Agency, JMA(seismic) intensity scale	気象庁が定める震度階級。1996年より震度0～7の8段階から震度5と6とをそれぞれ強・弱に分け10段階とした。
気象補正	きしょうほせい	meteorological correction	距離測量に用いる光波測距儀の気象条件に関する補正。気温、気圧、湿度から測距値を補正する。
起震応力	きしんおうりょく	seismogenic stress	地震の震源域一帯に働く地震を引き起こす応力
起振機	きしんき	oscillator	地盤の表面波の伝播速度と距離減衰および構造物の共振曲線などを求めるための正弦波的な振動発生装置。
起震断層	きしんだんそう	seismogenic faults	地震を発生させる断層。
起振点	きしんてん	shotpoint	爆薬またはその他の人工的な地震波エネルギー源で起震を行った位置。
起震力	きしんりょく	earthquake generating stress	震源の周りに分布していた地震を発生させたひずみ力。
汽水	きすい	brackish water	沿岸潟湖や入り江などで海水と淡水が混合した状態の水。塩類濃度では海水と淡水の中間のものをさす。

輝水鉛鉱	きすいえんこう	molybdenite	MoS ₂ . 六方晶系, 三方晶系. 硬度1~1.5. 比重4.7. 灰~淡鉛灰色, 唯一のモリブデン鉱石. 花崗岩地域の石英脈, スカルンなどに産する.
汽水湖	きすいこ	brackish water lake	湖水に直接海水が浸入してくるような湖で, 湖水の塩類濃度が海水と淡水の中間的な濃度を示す湖をさす.
汽水成堆積物	きすいせいたいせきぶつ	brackish water sediment	汽水域で堆積した地層. 陸域と海域の中間域に当たるため, 堆積物は両域の混在・中間物で構成される. 三角州・河口・潟湖などで堆積した地層. 汽水成層ともいう.
寄生火口	きせいかこう	parasitic crater	成層火山などの大型火山の側面に生じた副次的な火口で, 山頂から特定方向に集中することが多い. 側火口ともいう.
寄生火山	きせいかざん	parasitic volcano	主として成層火山などの大型火山の側面に生じている小火山体. 溶岩円頂丘か碎屑丘であることが多い. より記載的名称であり, 側火山の方が多用される.
既製杭	きせいぐい	precast pile	打ち込む前に, 工場などであらかじめ作製してある杭のこと. 場所打ち杭の対語.
気成鉱床	きせいこうしょう	pneumatolytic deposit	気成作用により生成した鉱床. すず, タングステン鉱床として重要で, 主に鉱脈状, 網状, 鉱染状鉱床がある.
気成鉱物	きせいこうぶつ	pneumatolytic mineral	気成作用により生じた鉱物. 電気石・黄玉・螢石・錫石などが代表鉱物.
気成作用	きせいさよう	pneumatolysis	マグマの固結末期に放出された鉱化流体によって岩石が変質したり, 鉱物が生成する作用.
輝石	きせき	pyroxene	火成岩の代表的な造岩鉱物の一つ. 輝石族の総称. 結晶系により斜方輝石と単斜輝石に大別される. 短柱状を呈する有色鉱物で, 約90°のへき開(劈開)面を有する.
擬石	ぎせき	imitation stone	コンクリート表面仕上げなどに使用する天然石を模擬した人造石.
輝石安山岩	きせきあんざんがん	pyroxene andesite	紫蘇輝石・普通輝石を斑晶としてもつ安山岩. 東北日本の火山フロント側の第四紀火山の噴出物の大部分を占める.
輝石族	きせきぞく	pyroxene group	火成岩の代表的な造岩鉱物で, 単斜輝石と斜方輝石を包括する族称.
季節風	きせつふう	monsoon	季節の変化で風向が広範囲に逆転する風. 海洋と大陸, 赤道と極などの間の季節的気圧変化によって生じる. 気候への影響大.
基線	きせん	base line	三角測量において, 三角網のうちの距離を実測した1辺を基線という. 通常, 見通しの良い平坦な直線コースを選択する.
基線尺	きせんじゃく	base line tape, base line wire	基線測量に使用する精度の良いスケール. 主にインバール尺が用いられる.

輝線スペクトル	きせんすべくとる	bright line spectrum	狭い波長帯のみにエネルギーを有する単色光群を、分光した際に得られるスペクトル。
基線測量	きせんそくりょう	base line measurement	三角測量の基線長を測る精密な測量。
基線長	きせんちょう	base length	三角測量における三角網の基線の長さ。写真測量における撮影基線、主点基線、眼基線などの様々な基線の長さの総称。
基層	きそう	base course, binder course	たわみ性舗装の路盤と表層に挟まれた層で不陸の補正や車両荷重の分散などの目的を有する。
偽層	ぎそう	false-bedding	周囲の地層の主要な堆積面（層理面）に対して斜交する堆積面をもつ成層構造。斜交層理・斜交葉理ともいう。
気相晶出作用	きそうしょうしゅつさよう	vapor-phase crystallization	火砕流堆積物が冷却中に、空隙内のガスから内壁に鉱物が晶出する作用。
気相包有物	きそうほうゆうぶつ	gas inclusion	一般に液体包有物中に気泡として存在する物質。
基礎岩盤	きそがんばん	foundation rock	構造物の荷重を支え得る支持力・大きさを有する岩盤。
基礎杭	きそぐい	foundation pile	構造物の荷重を支持層に伝達する目的で軟弱な基礎地盤に設置する杭。
基礎杭の載荷試験	きそぐいのさいかしけん	loading test of foundation pile	基礎杭の支持力評価のため、試験杭を用い原位置で鉛直、水平および引き抜き方向に荷重を加える試験。
基礎グラウチング	きそぐらうちんぐ	foundation grouting	構造物基礎の止水性あるいは変形性を改良するためボーリング孔を利用してセメントミルクなどを注入すること。
基礎工事	きそこうじ	foundation work	基礎杭造成・ケーソン築造など、構造物の基礎を造成するための工事。
基礎構造	きそこうぞう	foundation construction	上部構造からの荷重を支持地盤に伝える下部構造のこと。直接基礎・杭基礎・ピア・特殊基礎に分類される。
基礎砕石	きそさいせき	foundation balast	基礎スラブを支えるために設けられた地業として用いられる砕石。
基礎地盤	きそじばん	foundation, foundation ground	構造物の基礎となるような広がりを持った岩あるいは土質の地盤。
基礎処理	きそしより	foundation treatment	構造物の設計上必要とされる抵抗力確保、基礎の一体化や十分な水密性を得るために、基礎地盤に施す注入、置換などの処理。

基礎スラブ	きそすらぶ	foundation slab	上部構造物の荷重を地盤に伝えるための鉄筋コンクリート製等の板状構造物。
北秋田油田	きたあきたゆでん	Kita-Akita oil field	秋田県北部能代地方にあり，南能代，八森油田などがある．石油は新第三系天徳寺層，船川層の凝灰岩，凝灰質砂岩に胚胎．
北足沼地すべり	きたあしぬまじすべり	the Kita-ashinuma landslide	1731年に長野県北安曇郡池田町で発生．43戸倒伏とされている．1965年建設省補助事業．防止区域73ha．
北アメリカプレート	きたあめりかぷれーと	North American plate	北米プレートと同義．
気体圧力計	きたいあつりょくけい	closed tube manometer	水銀が入った容器に閉管をセットして容器内に圧力を加える．この時の閉管の水銀の高さから圧力を求める．
気体温度計	きたいおんどけい	gas thermometer	温度により気体の体積と圧力が変化することを利用した温度計．定積気体温度計と定圧気体温度計がある．
気体吸着法	きたいきゅうちやくほう	gas absorption method	ガス吸着法と同義
北伊豆地震	きたいずじしん	the 1930 Kita-Izu earthquake	1930(昭和5)年11月26日に伊豆北部を中心に発生したM7.3の地震．死者272人・家屋全壊2,166戸とされている．丹那断層で横ずれ2～3mを生じた．
期待値	きたいち	expectation(value)	離散的な確率変数の取る値に，それぞれに対応する確率を乗じて加えたもの．
北一の沢地すべり	きたいちのさわじすべり	the Kita-ichinosawa landslide	1961年に北海道美唄市北一の沢で発生．1969年治山補助事業．防止区域13.5ha．移動土量 200万 ³ ．
気体定数	きたいていすう	gas constant	理想気体の状態方程式PV=nRTで，Rで表される定数．8.314J・mol ⁻¹ ・K ⁻¹ の値である．
気体流速計	きたいりゅうそくけい	gas flow meter	気体が細管を流れる時の流入口と流出口の差圧をマンオメータで測ることによって，気体の流速を測定する計器．
北浦層	きたうらそう	Kitaura Formation	秋田県男鹿半島に分布する鮮新統～中・下部更新統．男鹿市北浦付近を模式地とする．海成で凝灰質砂岩と泥岩の互層を主体とし，凝灰岩を挟む．
北雨竜炭田	きたうりゅうたんでん	Kita-uryu coal field	北海道中央部の炭田群の一つ．空知ーエゾ帯の西側，雨竜地域に分布し，褐炭を産する．
北上外縁帯	きたかみがいえんたい	Outer Kitakami belt	北上山地東北縁～北海道南西部にかけてのジュラ紀中期～白亜紀初期のチャート，火山岩を含む堆積岩分布域．本来は白亜紀キースラーガー鉱床区として命名．
北上三色石	きたかみさんしょくいし	Kitakami sanshoku ishi	宮城県産北上山地南部産石碑，墓石，床用石材．三じょう系（三疊系）稲井層群伊里前層の頁岩．

北木石	きたきいし	Kitaki ishi	岡山県笠岡市北木島産の主に墓石用石材。花崗岩。硬質。
北木みかげ	きたぎみかげ	Kitagi mikage	北木石と同質。
北九州大水害	きたきゅうしゅうだ いすいがい	the 1953 Kitakyushu district flood disaster	昭和28年(1953)6月末に梅雨前線の活発な活動による局所的な集中豪雨により、九州北部から中部にかけて豪雨災害が発生した。白川(熊本)、筑後川、矢部川、遠賀川などの氾濫、土石流の発生により死者・不明者1013人に達した。
北郷みかげ	きたごうみかげ	Kitago mikage	栃木県足利市北郷産建築・土木用材。中生界黒雲母花崗岩。
北武断層帯	きたたけだんそうた い	Kitatake fault zone	活断層。確実度Ⅰ，活動度A，東西～西北西方向。三浦半島に位置する右ずれ断層群の一部。1923年に東方で地震。
北但馬地震	きたたじまじしん	the 1925 Kita-Tajima earthquake	1925(大正14)年5月23日に但馬北部を中心に発生したM6.8の地震。死者428人・家屋全壊1,295戸・消失2,180戸とされている。火災による被害大。
北丹後地震	きたたんごじしん	the 1927 Kita-Tango earthquake	1927(昭和2)年3月7日に京都府北西部を中心に発生したM7.3の地震。死者2,925人・家屋全壊12,584戸とされている。郷村断層・山田断層を生じた。
北寺地すべり	きたでらじすべり	the Kitadera landslide	1953年7月18日に和歌山県北寺で発生した地すべり。遷急斜面の硬岩板状すべり。一崩壊による居住地死者数は96名を数えたとされている。
北見石	きたみいし	Kitami ishi	北海道網走市台町産の主に砕石用の石材。新第三系輝石安山岩。網走石と同質。
北美濃地震	きたみのじしん	the 1961 Kita-Mino earthquake	1961(昭和36)年8月19日に岐阜県北部を中心に発生したM7.0の地震。福井・石川にも被害。死者8人・家屋全壊12戸とされている。
北大和堆	きたやまとたい	Kita-Yamato tai	日本海中央部に位置する浅堆。南に隣接する大和堆とともに大陸地殻が孤立して分布する。
輝炭	きたん	bright coal	炭塊表面などの光沢が強い石炭に対する鉱山用語。石炭組織分類の一つ。主に不朽木や朽敗の少ない均質緻密な木質部から生まれる。
既知点	きちてん	known point	水準点や三角点など、その位置や高さが既に求めてある地点。
木津川断層西部	きづがわだんそうせ いぶ	West Kizugawa fault	活断層。確実度Ⅰ，活動度，東北東方向。三重県上野市北部に位置。南傾斜。1854年南西部で地震発生。
木津川断層東部	きづがわだんそうと うぶ	East Kizugawa fault	活断層。確実度Ⅰ，活動度，東北東方向。上野市北部に位置。1854年地震断層を形成。古琵琶湖層群に花崗岩が衝上。
キックアップ	きっくあっぷ	kick up	山岳トンネルでは、覆工コンクリートの打設時に、打込み管の配置に支障しないよう鋼製支保工のクラウン部に直線部を設けることがある。この直線部を設けることによる鋼製支保工の増加高さをキックアップという。

亀甲石	きっこうせき	septaria	表面に亀の甲羅状の割れ目を有する団塊で、大きさは一般に10cm～1mである。割れ目は普通方解石で充填されている。
ギッシュルーニー装置	ぎっしゅるーにーそうち	Gish-Rooney's equipment	直流電位差計，直流電流計，ダブルコンミュテーターからなる電気比抵抗測定装置の一種。
基底	きてい	base	地層の堆積輪廻の最下部，または不整合面の直上。
基底状態	きていじょうたい	ground state	量子力学系の定常状態のうちエネルギーのもっとも低いもの。特に原子・分子の中での電子の運動状態。
基底層	きていそう	bottomset bed	底置層と同義。
基底流量	きていりゅうりょう	base flow	河川流量のうち，降雨に関係なく流れる流量成分で，主に地下水湧出による。年間変化は少ない。
基底礫岩	きていれきがん	basal conglomerate	不整合面の直上またはある堆積輪廻の最下部にみられる礫岩層。海面の上昇あるいは海進によって堆積する。
輝度	きど	luminance	単位面積あたりの明るさ。単位はcd/m ² 。
軌道衛星	きどうえいせい	orbital satellite	常時同じ場所に位置する静止衛星に対し，地表との相対的な位置を変えながら地球を周回している衛星。
軌道傾斜角	きどうけいしゃかく	inclination, inclination angle	衛星はある軌道面（円または楕円）上を周回しており，その軌道面と地球の赤道面がなす角度。
輝銅鉱	きどうこう	chalcocite	Cu ₂ S。単斜晶系。硬度2.5～3。比重5.5～5.8。灰～黒鉛灰色，熱水性，黒鉱，キースラーガーなどに産する。重要な銅の鉱石鉱物。
軌道周期	きどうしゅうき	orbital period	衛星が地球を1周するのに要する時間。低高度衛星では100分程度で，高度が高いほど軌道周期は長くなる。
軌道要素	きどうようそ	orbital element	天体の軌道の形状やある時刻における天体の位置を決定するための要素。太陽系の天体の場合，近日点通過時刻，楕円軌道の離心率，近日点距離，黄道面と軌道面の交差位置，交差角などがある
輝度温度	きどおんど	luminance temperature, brightness temperature	物体の単位面積当たりの放射エネルギーと等しいエネルギーを放射する黒体の温度。
輝度補正	きどほせい	radiance correction	大気や地形による影響を除去し，同一の性質の対象物に対するセンサ測定値が等しくなるよう補正する処理。
紀南海山列	きなんかいざんれつ	Kinan seamount chain	潮岬の南方約200kmから南南東方向に四国海盆を縦断する海山列。断裂に沿う玄武岩の噴出により形成。

絹雲母	きぬうんも	sericite	熱水変質による微細鱗片状の雲母粘土鉱物。化学組成は白雲母に近い。セリサイトともいう。イライトは化学組成・構造は近いが、堆積岩中のものをいう。
絹雲母片岩	きぬうんもへんがん	sericite schist	微粒の絹雲母が発達の著しい片理に沿って結晶化した片岩。
キネマティックGPS測量	きねまでいっくじーぴーえすそくりょう	kinematic GPS survey	GPS受信装置を既知点に置き、他の受信装置を順次移動させながら既知点と求点との基線長を求める方法。
きのこ型空洞	きのこがたくうどう	mushroom-shaped cavern	大規模地下空洞形状の一つ。コンクリートで巻き立てられたアーチ型の天井部と垂直の側壁部からなる。側壁部の支保には吹付けコンクリート、PSアンカー、ロックボルトを用いる。我が国の地下発電所空洞では最も施工実績の多い形状であるが最近では弾頭型や卵型が多くなっている。
きのこ型掘削工法	きのこがたくっさくこうほう	mushroom excavation, mushroom shaped excavation	上半と下半中央部を最初に掘削し、その後アーチ部の覆工、下半両側の掘削の順に行うトンネル掘削工法。
揮発性成分	きはつせいせいぶん	volatile component	マグマの成分のうち蒸気圧の高いものの総称。水、二酸化炭素、硫化水素、硫黄、亜硫酸ガスなどが主体。
揮発性物質	きはつせいぶっしつ	volatile matter	沸点が常温付近にあり、気化する性質を有する物質。
基盤	きばん	basement, base rock, substratum	新しい年代の地層に覆われた相対的に古い年代の地層。基岩ともいう。支持地盤などの意味でも用いられる。
基盤岩	きばんがん	basement rock	大陸の地質構造を扱うときは堆積岩類の下位の變成岩類や火成岩類。被覆層に対しては、基盤と見なされる岩石。
基盤岩類	きばんがんるい	basement rocks	表層の被覆層の下位にあつて、その入れ物（器）をなしている地層を総称して用いる。基底類層ともいう。
基盤構造	きばんこうぞう	basement structure	対象とする地層の形成時に、その場の底をなしていたと考えられる地層・岩体の地質構造。
基盤褶曲	きばんしゅうきよく	foundation folding	基盤岩における波長の極めて大きい褶曲作用。波高は数kmと大きい側方短縮はほとんど認められない。
基盤地質図	きばんちしつず	basement geological map	表層を覆う未固結堆積物などをはぎ取った状況を想定して表す地質図。
基盤ナッペ	きばんなっぺ	basement nappe	ある地域の堆積岩、火成岩、變成岩などに衝上するそれらを形成する以前の巨大な板状の基盤岩類の岩体。
基盤入力加速度	きばんにゅうりよくかそくど	input acceleration at bearing stratum	構造物の耐震解析において、基盤（支持地盤）に対する入力地震波の加速度。
起伏量	きふくりょう	relief energy	地表の最高点と最低点の相対的高度差。起伏量の等値線を等起伏量線、その分布を表した図を起伏量図という。

起伏量図	きふくりょうず	relief map	一定面積の地表における相対高度差を表す指標，すなわち地表面の起伏量の分布を表した地図のこと。
木節粘土	きぶしねんど	kibushi clay	東海地方瀬戸，多治見市を中心として発達する下部鮮新統の炭化木片を特徴的に含む粘土層．窯業原料として採掘。
輝沸石	きふっせき	heulandite	(Na, K) Ca ₄ (Al ₉ Si ₂₇ O ₇₂)・24H ₂ O. 単斜晶系. 硬度3.5～4. 比重2.1～2.2. 無色～灰色. 玄武岩・同質火砕岩中の孔隙，グリーンタフ，低温熱水鉱床中に産する。
キプロス型鉱床	きぷろすがたこうしょう	Cyprus type deposit	キプロス島に分布する火山性塊状硫化物鉱床を代表とする鉱床．一般に玄武岩質海底火山活動に伴い生成したものの。
気泡	きほう	air void	空気などの気体が液体により囲まれて丸く膨れたものの。
擬方位図法	ぎほういずほう	pseudo-azimuthal projection	方位図法から導かれた図法の総称．ヴェルネル図法やエイトフ図法などがある。
気泡管	きほうかん	air bubble tube	円筒形のガラス管の中に粘性の小さいアルコール・エーテルの混合液を入れ，一部に気泡を残し両端を閉じたもの。
気泡管レベル	きほうかんれべる	air bubble tube level	気泡管水準儀．精度の良い気泡管（水準器）を内蔵し，視準線を水平に調整できる構造をもつ。
気泡式シールド	きほうしきしーるど	rheological foam shield	土圧式シールドの一種で，添加材として起泡材を用いて土砂の流動性と止水性を高めたもの。
気泡ソイルセメント	きほうそいるせめんと	air-bubble bearing soil cement	軽量盛土工法などに使用するために，発泡剤を混入して作ったソイルセメント。
気泡泥漿シールド工法	きほうでいしょうしーるどこうほう	foamy slurry shield method	気泡を混入した泥水で切羽掘削面を充填するシールド工法。
気泡粘度計	きほうねんどけい	air bubble viscometer	流体試料が入った円筒管の上部に空気を残し，円筒管を180°回転させた時の空気の上昇速度から試料の粘度を測定する。
気泡モルタル	きほうもるたる	air mortar	エアモルタルと同義。
気泡モルタル注入基礎	きほうもるたるちゆうにゆうきそ	air mortar injected foundation	沈埋トンネルの基礎工法の一つ．仮置された沈埋函とトレンチ底面との間に気泡モルタルを注入する。
基本三角形	きほんさんかくけい	basic triangle	重力ダムの基礎の滑動ならびに転倒に対する所定の安全率を確保できる三角形の断面形状のこと．上流面勾配と下流面勾配で規定される。
基本水準面	きほんすいじゅんめん	datum level	海図などにおいて水深を表す時に用いる基準面．略（ほぼ）最低低潮面に相当し，海面がこれ以下になることはまれ。

基本測量	きほんそくりょう	surveys conducted by governmental survey organization, fundamental survey	わが国で行う測量のすべての基礎となるもので、国土地理院が測量法第4条の規定のもとに行うものをいう。
来待石	きまちいし	Kimachi ishi	島根県八束郡宍道町来待産石材。中新統凝灰質砂岩。灰色で軟質。石灯籠ろう・土木用材。
鬼門平断層	きもんひらだんそう	Kimonhira fault	活断層。確実度I，活動度A級，北東方向。鹿児島県池田湖西縁に位置し，火山活動による断層の可能性が有る。東傾斜。
逆押しかぶせ断層	ぎゃくおしかぶせだんそう	underthrust	下盤側が，移動することによってできる低角の逆断層。押しかぶせ断層の対語。アンダーストラトともいう。
逆解析	ぎゃくかいせき	back analysis	数値解析にあたり，計測結果から逆に初期物性値などを求める方法。
逆級化	ぎゃくきゅうか	inverse grading	通常，単層内において碎屑物の粒径は下位から上位に向かって細粒化するのに対し，逆に粗粒化すること。
逆級化成層	ぎゃくきゅうかせいそう	inverse graded bedding	碎屑粒が，単層中で下位から上位に向かって粗粒化している状態。洪水氾濫堆積物などに認められることがあり，地層の上下判定の際，注意が必要となる。逆級化層理と同義。
逆級化層理	ぎゃくきゅうかそうり	inverse graded bedding	逆級化成層と同義。
逆境界値問題	ぎゃくきょうかいちもんだい	inverse boundary value problem	重力・電位などの測定から，物質の物理量（密度，比抵抗など）の空間分布を求める解析法。インバージョン法と同義。
逆サイホン	ぎゃくさいほん	inverted siphon	開水路の途中で河川や道路などの構造物の下を通過させるために用いる管水路。両端の水位差によって流れる。
逆算法	ぎゃくさんほう	back calculation method	斜面安定の検討などで，現況の安全率が設定できる場合に逆算で強度定数を求める方法。
逆磁極期	ぎゃくじきょくき	reversed polarity interval	地球の磁場の方向は，過去に反転を繰り返しており，その磁場の方向が現在と逆になっていた期間のこと。
逆実体視	ぎゃくじったいし	pseudo stereoscopy	山が低く谷が高く見えるように実体視すること。被写体を左右逆の目で見たり，写真の左右を逆にする。
逆止弁	ぎゃくしべん	reflux valve, non return valve	流体が逆流するのを止める弁。フラット弁ともいう。
逆従谷	ぎゃくじゅうこく	obsequent valley	地表面の一般的な傾斜方向と反対方向に流れる河川を逆従川といい，これによって刻まれた谷を逆従谷という。
逆従断層線崖	ぎゃくじゅうだんそうせんがい	obsequent fault line scarp	現在の地表に見られる断層線崖が，はじめに形成された断層線崖とは逆の方向を向いている断層地形をさす。

逆水門	ぎやくすいもん	counter sluice	支川の本川への合流点に設置し、洪水時の本川の水位が支川より高い場合に支川に逆流することを防止する水門。
逆洗	ぎやくせん	reverse washing	孔井で地下に注水する際に発生する孔内埋砂を除去するための揚水作業。
逆断層	ぎやくだんそう	reverse fault	断層面を挟んで、上盤が下盤に対して相対的にずり上がっている断層。また、実移動の方向が不明の場合、断層面と直交する鉛直断面で見かけ上盤が下盤に対してずり上がっている場合にも用いる。
逆断層崖	ぎやくだんそうがい	reverse fault-scarp	逆断層変位によって生じた急崖、急斜面をさす。
逆断層地溝	ぎやくだんそうちこう	ramp valley	逆断層崖の間に並走的に配列している地溝。跳谷ともいい、Willis, B. (1928)によって提唱されたもの。
逆調整ダム	ぎやくちょうせいだむ	afterbay dam, re-regulating dam	水力発電所下流の流況変動緩和のため下流に設ける流量調整用のダム。
逆調整池	ぎやくちょうせいち	equalizing reservoir, afterbay reservoir	発電所放流量の変動が、下流河川流量に与える変動を緩和、平滑化するために、発電所下流に設けられる調整池。
逆調整貯水容量	ぎやくちょうせいちよすいようりょう	balancing storage, conservation storage	1日分の逆調整のために必要な貯水容量。逆調整ダム参照。
逆T型擁壁	ぎやくていーがたようへき	cantilever retaining wall	断面形状が逆T型の擁壁。縦壁と底盤からなり、自重と底盤上の土砂重量によって土圧に抵抗する。
逆T字型基礎	ぎやくていーじがたきそ	cantilever retaining foundation	鉄塔基礎や橋台など、断面形状が逆T字型をした縦壁と底版の組合せで上部構造物の重量により土圧に抵抗する形式の基礎。
逆T字型直接基礎	ぎやくていーじがたちよくせつきそ	reversed T-type spread foundation	フーチング部が躯体の前後に張り出し、逆T字型の形状をした直接基礎。
逆T式橋台	ぎやくていーしききょうだい	reversed T-type abutment	逆T字型の形状をした橋台。躯体（縦壁）と前後に張り出したフーチングで構成される。
逆転	ぎやくてん	overturned	堆積時の地層の上下が、構造運動などにより逆になる状態を表す用語。例えば逆転褶曲など。
逆転褶曲	ぎやくてんしゅうきよく	overturned fold	褶曲軸面の傾斜角度が90°以下で、両翼の地層の傾斜角度が異なっても同一の方向を示す褶曲。一方の翼の地層は必ず逆転している。過褶曲、転倒褶曲、押し被せ褶曲ともいう。
逆転層	ぎやくてんそう	inversion layer, reversed layer	①気温が上層が下層より高い大気層。 ②サンドイッチ工法による舗装構造。
客土	きゃくど	soil dressing	敷地外から改良目的にあった土壌を搬入すること。水田に鉄や塩基に富む粘土を入れ、地力回復に利用する。

客土材	きゃくどざい	borrow material	盛土材料または圃場整備材料のうち、施工区域外に選定した土取り場から採取した材料。
逆ひきずり	ぎゃくひきずり	reverse drag	断層や褶曲に伴う引きずり構造のうち、その全体的な運動のセンスとは逆のセンスを示すもの。隆起地塊の上部被覆層などにできる。
脚部	きゃくぶ	foot	地すべり面の末端が地すべり前の旧地形面と交わる部分のこと。通常は地すべり移動体に埋もれている。
脚部沈下	きゃくぶちんか	foot settlement	トンネル支保工脚部の沈下量。
脚部ボルト	きゃくぶぼると	foot bolting	トンネル上部半断面の支保工接地部の沈下抑制や、下半掘削時の地山崩落防止などの目的で支保工脚部に下向きにロックボルトを打設する方法。
逆ペンジュラム	ぎゃくぺんじゅらむ	reverse pendulum	ダム構造や基礎岩盤の地質状況から基礎の変形を観測する必要がある場合に設置される計器で、岩盤深部に固定点を設けてプラムラインを倒立させたもの。
逆ベンチ式掘削	ぎゃくべんちしきくっさく	reverse bench cut	底設導坑を先進させ、中段、アーチ部の順に掘削を行うトンネル工法、頂部開削式ともいう。
逆向き低断層崖	ぎゃくむきていだんそうがい	reverse scarplet	断層変位による崖地形を表す用語の一つで、山地斜面の中腹や下部に生じた低断層崖が斜面の上の方を向いているもの。
逆流堤	ぎゃくりゅうてい	back levee	本川の水流が支川に逆流して氾濫するのを防止するため、本川に準じた高さで支川沿いに設置する堤防。
逆累帯構造	ぎゃくるいたいこうぞう	reverse zoning	変成作用で中心部より周縁部の方がより高温で安定な組成をもつ構造。
キャサグランデの液性限界装置	きゃさぐらんでのえきせいげんかいそうち	Casagrande's liquid limit apparatus	通常の液性限界を測定するための試験装置。
キャサグランデの土質分類法	きゃさぐらんでのどしつぶるいほう	Casagrande's soil classification system	AC法とも呼ばれ、1942年にA. Casagrandeが飛行場の建設のために発表した三角座標を用いた土質分類法。
キャタピラゲート	きゃたぴらげーと	caterpillar gate	大型高水圧用の無限軌道式ローラーゲート。
キャットホール	きゃつとほーる	cat hole	ボーリング作業で、三脚やぐらをセットするためにあけた穴。
キャットライン	きゃつとらいん	cat line	ボーリング作業で、ロッドやケーシングなどの着脱に使用する、巻き上げ機に巻きつけるロープまたはケーブル。
キャッピング	きゃつぴんぐ	capping	コンクリートや岩石の圧縮試験用供試体の両端面に石膏や硫黄などの材料を用いて平滑に仕上げること。

キャッピング板	きゃっぴんぐばん	capping plate	供試体に均等な荷重がかかるように載荷面に平滑に当てられる板.
ギャップ	ぎゃつぷ	gap	①隣接する深海平原を結び、両側に急斜面をもつ大規模な狭いくぼみ. ②断層によって生じた地層の変位を層理面の走向に平行に測った欠如した部分の長さ.
キャップウォーター	きゃつぷうおーた	capped water	被圧地下水と同義. 上部に難透水層が分布する透水層中の水.
キャップロック	きゃつぷろっく	cap rock	①石油鉱床や地熱貯留層の上部にあって石油・地熱流体を封じ込める働きをする不透水性の岩や地層. ②岩塩ドーム上部の岩石. ③平坦な台地の上部を構成し、発達する節理に地下水を貯留して下部層に地すべりを発生させる原因となる溶岩や溶結凝灰岩の層. 帽岩・シールともいう.
CAD	きゃど	computer-aided design, CAD	コンピュータを利用した設計または図面作成.
キャニスタ	きゃにすた	canister	核燃料あるいはその他の放射性物質を隔離して収納しておくための密封容器.
キャビテーション	きゃびてーしょん	cavitation	流速の早い水路において、圧力が局部的に低下することにより水中の気体の平衡条件が崩れて気泡が急激に拡大し壁面の磨食を生じる現象.
ギヤポンプ	ぎやぽんぷ	gear pump	噛み合った2個のギアを高速回転することで液体を送るポンプ.
キャラクタ検層	きゃらくたけんそう	character logging	三次元速度検層の結果を連続的音響波で表示する検層.
キャリア密度	きゃりあみつど	charge carrier density	半導体内に存在するチャージキャリア（自由電子と自由ホール）の 1cm^3 内の個数.
キャリパー	きゃりぱー	caliper	孔井の直径を深度方向に連続的に測定する器具. 数本のアームを軸の中心から放射状に孔壁にふれるよう拡げた角度から測定する. 孔径測定ともいう.
キャリパー検層	きゃりぱーけんそう	caliper logging	キャリパーを用いて孔井の直径を連続的に測定する検層法. 他の様々な検層結果の孔径補正に利用する.
キャリブレーション	きゃりぶれーしょん	calibration	センサなどの計測機器による測定（出力）値と、その実測（入力）値の関係を把握し、測定値を補正すること.
キャリブレーションピット	きゃりぶれーしょん ぴっと	calibration pit	ガンマ線検層や中性子検層の計数率を、APIユニット（標準単位）に較正するためのピット.
吸引法	きゅういんほう	suction method	試料内の水分との平衡をはかることで、試料の p F を求める方法. p F 試験の一つで、試料土にある一定の吸引圧を与える試験法.

級化	きゅうか	grading	堆積物や堆積岩の構成粒子の粒度が徐々に変化すること。分級や淘汰と同様の意味で用いられる用語。
球顆	きゅうか	spherulite	細粒あるいはガラス質の珪長質火山岩中に見られる長石その他の珪酸塩鉱物集合体からなる球状体。
急崖	きゅうがい	scarp	断層活動、浸食、崩落、陥没など様々な原因で形成された急勾配の斜面
休眠火山	きゅうかざん	dormant volcano	現在活動が確認されていないが、将来活動の可能性がある、または歴史時代に活動記録のある火山。定義は不明確。
級化成層	きゅうかせいそう	graded bedding	河川堆積物、浅海性堆積物に見られる成層状態で、単層内で上方に向かい、粒度が徐々に小さくなること。級化層理と同義。
級化層理	きゅうかそうり	graded bedding	砕屑堆積物からなる単層の中で、基底部から上方に向かって粒度が細粒になっていく成層状態。級化成層ともいう。
級化堆積物	きゅうかたいせきぶつ	well graded sediments	粒径などの粒子のもつ性質の違いにより、粗粒から細粒に至る連続的な粒子が分布する堆積物。
Q型曲線	きゅうがたきよくせん	Q-type curve	3層構造よりなる比抵抗法垂直探査で、上層より下層の比抵抗値が小さくなったときの測定曲線の型式の一つ。
級化度	きゅうかど	grading factor	堆積物の粒径の一様性を示す指標。Bakerの級化度では、粒径のそろった堆積物の級化度が1になる。
旧河道	きゅうかどう	former river course	かつて表流水の流路であった細長い凹地。自然堤防の多くは現河道のほか旧河道に沿って発達する。
究極可採埋蔵量	きゅうきよくかさいまいぞうりょう	finality reserve	未確認埋蔵量と経済情勢を考慮して追加可採量を推定し、確認可採埋蔵量に加えた鉱量。
急傾斜地	きゅうけいしゃち	steep slope land	「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」では傾斜度が30°以上である土地。
急傾斜地崩壊危険区域	きゅうけいしゃちほうかいきけんくいき	area in danger of steep slope failure	急傾斜地の崩壊による災害を防止する法律で、相当数の居住者に危害が生ずる恐れがあるとして指定された区域。ここでは崩壊を助長する恐れのある行為は制限される。
急傾斜地崩壊防止工事	きゅうけいしゃちほうかいぼうしこうじ	steep slope failure preventive works	急傾斜地崩壊危険区域に指定された土地で、崖くずれを防止するために施工する工事。抑制工と抑止工がある。
急傾斜地崩壊防止対策	きゅうけいしゃちほうかいぼうしたいさく	measures for preventing the failure of steep slope	急傾斜地崩壊危険区域について崖崩れによる災害を防止するための対策。崩壊防止工事や警戒避難体制の整備・家屋などの移転などがある。
球形度	きゅうけいど	sphericity	堆積物の粒子の形状が、どの程度球形に近いかを表す尺度。円磨の度合を示す円磨度とは異なる。

急結剤	きゅうけつざい	set accelerating agent	コンクリート打設後、早期に強度を出させるための添加材。吹付けコンクリートでも用いられる。
吸光係数	きゅうこうけいすう	absorption coefficient	光が気体や液体などの媒質を透過する際に、媒質に吸収、減衰される程度を表す定数。
吸光光度法	きゅうこうこうどほう	absorption photometry	光が溶液や気体によって吸収される割合を測定して成分の定量を行う試験法。
吸光度測定法	きゅうこうどそくていほう	measurement of absorbance, absorption photometry	光が物質により吸収される割合を測定する試験法。
吸光分析	きゅうこうぶんせき	absorptiometry	測定対象試料に対し特定の波長帯の光を投光し、透過光の強度を測定することにより試料濃度を把握する方法。
球差	きゅうさ	divergence of earth curvature	三角測量において、地球が曲率をもつため直進する視線と地表との間の高低的な誤差。
QC	きゅうしー	quality control, QC	規格を充分満たした製品を効率的に供給するために、統計学的手法により工程管理し、品質を一定に維持する。品質管理手法。
Qシステム	きゅうしすてむ	Q-system	トンネル掘削に対する岩盤の適否の評価をRQDや節理の性状などから求める、Bartonらの提唱するインデックス。
休止井	きゅうしせい	suspended well	本来の作業を休止している孔井。稼働井、作業井に対する語。
吸湿試験	きゅうしつしけん	moisture-absorption test	岩石の吸湿量を測定する試験。炉乾燥後、大気中に放置して吸湿前後の質量を測定し、質量差から吸湿量を求める。
吸湿水	きゅうしつすい	hygroscopic water	常温で蒸発しない土粒子表面の水分。土壌の吸湿性によって吸着する。
吸湿性	きゅうしつせい	hygroscopicity	ある物質が空気中で、水蒸気を吸収もしくは吸着して水分量を増加させる性質。
吸収係数	きゅうしゅうけいすう	absorption coefficient	吸収過程の中で物質中の強度あるいは粒子数の減衰を表わす定数。
吸収スペクトル	きゅうしゅうすべくとる	absorption spectrum	連続した波形を持つエネルギーが、物質内を通過する際に減衰もしくは欠落したスペクトル。
吸収フィルタ	きゅうしゅうふいた	absorption filter	色ガラスや色素入りゼラチンなどの媒質の吸光特性を利用し、特定波長のみを吸収するよう作られたフィルタ。
吸収率	きゅうしゅうりつ	absorption modulus	光がある媒質内を通過する際に強さが減少する。この減少の度合いを表す媒質固有の定数。

球状花崗岩	きゅうじょうかこう がん	ball granite, orbicular granite	同心球状に配列した鉱物の集合体を含む花崗岩。径数 cm～30cm程度の球状をなす。
球状グラファイト	きゅうじょうぐら ふあいと	orbicular graphite	球状組織を示す石墨・黒鉛。縁部とコア部に分けら れ、縁部には片状グラファイトが同心円状に配列。
球状図法	きゅうじょうずほう	globular projection	1660年ジ. ビイ. ニコロシによって考察された半球用 の便宜図法の一つ。今日では歴史的意義を有するにと どまる。
球状節理	きゅうじょうせつり	spheroidal joint	球状風化のように中心部から同心円状に形成される節 理。
球状風化	きゅうじょうふうか	spheroidal weathering	岩石が玉葱状に剥がれるような構造(onion structure) となる風化。表面と内部との膨張量の差などにより生 ずる。花崗岩、安山岩、砂岩などによく見られる。
吸水試験	きゅうすいしけん	absorption test	岩石の吸水度を測定するための試験。自然乾燥の後、 24時間水浸し、吸水量を測定する。
吸水膨張	きゅうすいぼうちよ う	swelling	粘性土が水を吸引して体積膨張すること。膨潤ともい う。
吸水膨張試験	きゅうすいぼうちよ うしけん	swelling test	岩石供試体を水浸させて、吸水量と膨張量、膨潤圧を 測定する試験。
吸水膨張率	きゅうすいぼうちよ うりつ	swelling ratio	吸水膨張試験により得た膨張量の最初の供試体高さに 対する割合を百分率で表わしたもの。
吸水率	きゅうすいりつ	water absorption, absorption	岩石供試体の強制乾燥質量に対する水飽和質量と強制 乾燥質量の差の割合を百分率で示した物理量。
急速圧密試験	きゅうそくあつみつ しけん	rapid consolidation test	標準圧密試験の試験期間短縮のために実施する、荷重 速度や圧縮ひずみまたは間隙水圧を制御する圧密試 験。
急速含水量試験器	きゅうそくがんすい りょうしけんき	speedy moisture content tester	アセチレンガスを発生させ、圧力の上昇量から含水量 を測定する試験器。
急速載荷	きゅうそくさいか	rapid loading	土の動的な力学特性を知るための動的せん断試験にお ける載荷のように、速度の速い載荷。
急速水位降下	きゅうそくすいこ うか	rapid drawdown	貯留水を放流することにより、貯水位が急速に降下す ること。
急速せん断試験	きゅうそくせんだん しけん	quick shear test	一面せん断試験の一種で土などの供試体の圧密を行わ ず、間隙水を排水することなく急速にせん断する試 験。
球対称ファブリック	きゅうたいしょう ふあぶりつく	spherical fabric	鉱物を形づくる構成成分の単位物質あるいは性質の空 間的相互関係に定向性が認められない場合のこと。

球体落下式簡易 C B R 試験機	きゅうたいらっかし きかんいしーびー あーるしけんき	sphere dropping type CBR tester	球体を落下させることにより、床土支持力比を求める 簡易試験機
Q値	きゅーち	Q-value	①岩石が地震波を通過させるエネルギーの割合を示 す。減衰定数 h とは $Q = 1 / 2h$ の関係がある。 ②トンネル工事の岩盤分類法であるQシステムに用い られる指標。岩盤のRQDと、節理や地下水・応力に 関する評点を組合わせて評価される。
吸着クロマトグ ラフィ法	きゅうちゃくくろま とぐらふほう	absorption chromatography	シリカ、アルミナなどの吸着剤を固定相、有機溶媒を移 動相とする液体クロマトグラフィ法。
吸着係数	きゅうちゃくけいす う	absorption coefficient	ラングミュア型吸着等温線における吸着と脱離の速度 定数の比。吸着量を記述し、大きいほど強い吸着を示 す。
吸着水	きゅうちゃくすい	absorbed water, absorptive water	電場の力や分子間力により土粒子の表面に吸着されて いる水。吸湿水分と付着水分とに分けられる。
吸着層	きゅうちゃくそう	adsorbed layer	土粒子、特にコロイド粒子の表面の固着層とその周辺 の拡散イオン層を含めて吸着層または拡散二重層とい う。
吸着損失	きゅうちゃくそんし つ	absorption loss	貯水池・水路に、はじめて貯水あるいは導水したとき に土や岩石に吸着される水。
吸着能	きゅうちゃくのう	absorption ability	気相或いは液相中におけるイオンや分子の吸着の能 力。物理吸着と化学吸着がある。
旧汀線	きゅうていせん	former shoreline	地盤運動や海（湖）水面変動によって離水または沈下 した現在の高度とは異なる水準に存在する過去の海 （湖）岸線。
丘泥炭地	きゅうでいたんち	hill moor	泥炭地の中央部が周辺部より盛り上がった泥炭地。高 位泥炭地ともいう。
Qトモグラフィ	きゅーともぐらふい	Q-tomography	減衰トモグラフィと同義。
吸熱反応	きゅうねつはんのう	endothermic reaction	熱の吸収を伴う化学反応。
Q波	きゅうは	Q wave	ラブ波と同義。
キュービックコ ンボリューション	きゅーびっくこんぼ りゅーしょん	cubic convolution	画像データなどの内挿処理を行う際に、内挿点を囲む 16点のデータから3次たたみこみ関数により計算する 方法。
球面孔底ひずみ 法	きゅうめんこうてい ひずみほう	hemispherical-ended borehole overcoring technique	応力解放法による初期応力測定法の一つ。ボーリング 孔底を半球面形に整形して16素子のひずみゲージを配 置した樹脂製モールドゲージを貼付けた後、大口径の オーバーコアリングを行う。
球面座標	きゅうめんざひょう	spherical co-ordinate	地球の曲率を考慮に入れた座標。もしくは、空間での 方向を示すための球面上の座標。

球面投影法	きゅうめんとうえいほう	spherical projection	3次元空間のある方向を2次元面に表現する方法の一つ。球の中心からその方向に延長した直線が球面と交わる点で表示する。
球面波	きゅうめんは	spherical wave	同一半径の球面上において振動状態が同一である波。地震波などの極座標で表わされる外向波。
球粒	きゅうりゅう	chondrule	コンドライトを特徴づける直径数mmの球状粒子。コンドルールあるいはコンドリュールと呼ばれる。
球粒	きゅうりゅう	spherulite	黒曜岩のようなガラスに富む火山岩中に見られる、球状あるいは楕円状の針状または繊維状の放射状鉱物の集合体。球晶、球顆ともいう。
急流工	きゅうりゅうこう	chute	急勾配の水路と流速を減勢させる減勢工で落差を調節する施設。
丘陵	きゅうりょう	hills	一般に平地と山地との中間的な高度で緩慢な斜面と谷底をもつ地形。地形学的に明確な基準はない。
急冷縁	きゅうれいえん	chilled margin	急冷周縁相と同義。
急冷周縁相	きゅうれいしゅうえんそう	chilled margin	貫入岩体と母岩との接触部や溶岩が水中に流出したものの表面付近の岩相。岩体内部に比べ周辺部が急速に冷却固結し、細粒・ガラス質となる。急冷縁・急冷周縁部・周縁急冷相ともいう。
急冷周縁部	きゅうれいしゅうえんぶ	chilled margin	急冷周縁相と同義。周縁急冷相ともいう。
キュリー	きゅりー	curie	放射性物質の量を表す単位。1キュリー(1C)は1秒間に 3.7×10^{10} 個の壊変を起こす放射性核種の量。
キュリー点調査	きゅりーてんちょうさ	Curie point survey	地下の熱環境を調べるため、岩石が磁性を消失している温度(キュリー点)状態にある深度分布を求める調査。地磁気異常を使って調べる。
キュリーの法則	きゅりーのほうそく	Curie's law	常磁性体の磁化率 χ が絶対温度に反比例する法則。 $\chi = C/(T - \theta_a)$ で表される。
ギュンツ氷期	ぎゅんつひょうき	Günz glacial stage	アルプスで確立されたアルプス4氷期の最初の氷期で、アルプス北麓地域で確認される。年代は90～70万年前。
ギュンツ-ミンデル間氷期	ぎゅんつみんでるかんぴょうき	Günz-Mindel interglacial	アルプス氷期のギュンツ氷期、ミンデル氷期の間にあたり、現在と同程度、またはそれ以上に温暖であった時期。
拱堰堤	きょうえんてい	arch dam	アーチダムと同義。
凝灰角礫岩	ぎょうかいかくれきがん	tuff breccia	Fisherの分類による、粒度組成上、径64mm以上の火山岩塊を1/3～2/3含む火山砕屑岩の総称。基質部は火山灰からなる。

凝灰岩	ぎょうかいがん	tuff	Fisherの分類で、粒径2mm以下の岩片、火山灰の固結した火山砕屑岩の総称。特に新第三紀以降のもので固結度の低いものや粘土鉱物を多く含むものは、応力解放や吸水によって膨張・膨潤やスレーキングを起こしやすいものもある。
凝灰質	ぎょうかいしつ	tuffaceous	凝灰岩、火山灰を基質や岩片として含む砕屑物・堆積物、堆積岩の接頭語として使用する。
凝灰質砂岩	ぎょうかいしつさがん	tuffaceous sandstone	砂を主体に基質に凝灰質（火山灰）分を含む堆積岩。
凝灰質泥岩	ぎょうかいしつでいがん	tuffaceous mudstone	泥を主体に基質に凝灰質（火山灰）分を含む堆積岩。泥は粒径1/16mm以下（ウェントワースの分類）。
凝灰集塊岩	ぎょうかいしゅうかいがん	agglomerate	火山灰を基質とし、径64mm以上の火山弾や本質火山岩片、岩塊を多く含む火山砕屑岩。主に火口付近に分布。
境界条件	きょうかいじょうけん	boundary condition	有限の広がりや空間や有限の大きさの物体内での現象を論ずる際、空間の境界や物体表面に与える条件。
境界波	きょうかいは	boundary wave	自由表面や特性が異なる地層間の境界面などに沿って進む地震波。
境界要素法	きょうかいようそほう	boundary element method	解析領域内の基礎方程式を境界における積分方程式に変換して解く方法。BEMと略す。
仰角	ぎょうかく	elevation angle	ある点Aから物体Bを見上げる時、Aを通る水平面と視線ABとが作る角。
橋脚	きょうきやく	pier	橋梁の中間部にあつて、上部構造物からの荷重を地盤に伝える下部構造物。
供給源	きょうきゅうげん	provenance	堆積した砕屑物の供給源である原岩・母岩の分布する地帯。後背地。
凝結時間	ぎょうけつじかん	setting time	セメントに水を加えてから凝結するまでの時間。
凝結遅延剤	ぎょうけつちえんざい	retarder	セメントの水和反応を遅らせコンクリートの凝結時間を調節するために用いる混和剤の一種。
凝結物	ぎょうけつぶつ	concretion	堆積物中に二次的に特定の物質が二次的に濃集・沈殿・再結晶して形成される硬固な塊。堆積後～続成作用中に生成し、周辺部とは異なった化学組成を示す。コンクリーションともいう。
峡谷	きょうこく	gorge	著しく深く急な谷壁をもつ幼年期の谷地形。谷は狭いV字形を呈し、谷壁には岩石が露出し谷底平野をもたない。
峡谷埋積物	きょうこくまいせきぶつ	canyon fill	溪流河川が浸食して硬い岩盤を削って形成された谷の部分にたまった砕屑物質。

凝固点	ぎょうこてん	solidifying point	液相が一定圧力のもとで固相に変化する温度。一成分系では融解点に等しい。多成分系では凝固点は一定でない。
凝固熱	ぎょうこねつ	heat of solidification	液相（または気相）にある物質が同温度の固相状態になるときに放出する熱量。
強磁性	きょうじせい	ferromagnetism	磁性原子が、磁気モーメントを一定の方向へ配列させて自発磁化を形成している場合の磁性。
強磁性体	きょうじせいたい	ferromagnetic matter	強磁性を示す物質。ある種の金属、合金および遷移元素など。
供試体	きょうしたい	test piece	土質試験・岩石試験に供するために、試料を定められた大きさ、粒度に成形あるいは調整したもの。
供試体周面摩擦	きょうしたいしゅうめんまさつ		土の圧密試験で、供試体と圧密リングの内周面との間に発生する摩擦抵抗。原地盤の一次元圧密では存在しない抵抗で、試験結果に誤差を与える。側面摩擦ともいう。
供試体の整形	きょうしたいのせいけい	preparation of specimen	物理試験や力学試験のために、土や岩石試験を円筒形などの各試験で決められた形状や性状に加工すること。
凝集剤	ぎょうしゅうざい	flocculating agent	液体中に浮遊している微細なコロイド粒子表面の電位を低くし、コロイド粒子相互の反発力を弱めて凝集を促進する薬剤。多くは硫酸アルミニウムなどの酸。
凝集説	ぎょうしゅうせつ	accretion theory	太陽系起源論の一つ。ガスと微粒子からなる雲の中で衝突合体を繰り返し、原始惑星が生まれるという説。
凝集池	ぎょうしゅうち	flocculation pond	廃水処理、浄水処理工程の一部で、被処理水と凝集用の薬剤を混合し凝集反応を生じさせるための水槽。
凝集防止剤	ぎょうしゅうぼうしざい	deflocculating agent	セメントなどがミルク中で凝集しないように粒子の分散を促進させるアルカリ添加剤。
凝集補助剤	ぎょうしゅうほじょざい	coagulation aid, coagulation support agent	廃水処理、浄水処理の凝集処理工程で凝集剤の効果を高めるために用いる補助薬剤。
凝集力	ぎょうしゅうりょく	flocculation force, coagulation force	分散しているコロイド粒子などが、電解質を加えてより大きな粒子になる際に働く力。
凝縮	ぎょうしゅく	condensation	飽和蒸気の冷却、定温圧縮により蒸気の一部が液化する現象。液化の際には、蒸気中のイオンや塵が核となる。
凝縮水	ぎょうしゅくすい	condensed water	水蒸気が冷却もしくは圧縮されて液化した水。地熱発電ではタービン排気の冷却時に発生する。
共振	きょうしん	resonance	振動系に周期的な外力が加えられ、振動系の固有周期に近づいたときに応答が急激に大きくなる現象。共鳴ともいう。

強震観測	きょうしんかんそく	strong motion observation	大地震の震央付近の強震動を観測する目的で、通常より感度を落とした地震計（強震計）で観測すること。
共振曲線	きょうしんきょくせん	resonance curve	一定の振幅の振動を加えたときに共振して発生する振幅と周波数をプロットして作る曲線。
強震計	きょうしんけい	strong motion seismograph	強い地震動を観測するための地震計。耐震設計に重要な強震動やその際の構造物の振動観測にも使用される。
共振試験法	きょうしんしけんほう	resonant testing method	土や岩石の供試体に強制的に振動を与え、実験的に共振曲線を作成し、変形係数、減衰比を求める試験。共振法ともいう。
共振周期	きょうしんしゅうき	resonant period	振動エネルギーを一定に保ち応答が極大になる時の周期。
共振振動数	きょうしんしんどうすう	resonant frequency	ある振動系の固有振動数と正弦波外乱による応答量の関係を示した共振曲線において、最大値を示す振動数。
ぎょう新世（暁新世）	ぎょうしんせい	Paleocene (epoch)	地質時代、新生代古第三紀を三分したうちの最初の時期。ほぼ6,500～5,500万年前にあたる。
共振柱試験	きょうしんちゅうしけん	resonant-column test	土の動的特性を求めるために、円柱・円筒形の供試体に振動を加えて行う試験。
暁新統	ぎょうしんとう	Paleocene (series)	新生代古第三紀ぎょう新世（暁新世）に形成された堆積岩・火成岩を示す。
強震動予測	きょうしんどうよそく	estimation of strong ground motion	将来発生する大地震についての危険度評価と地震動予測の二つの意味がある。
強制乾燥状態	きょうせいかんそうじょうたい	forced dry state	岩石供試体を80～110℃の温度で、強制的に24時間以上乾燥させた状態。
強制湿潤状態	きょうせいしつじゅんじょうたい	forced wet state	岩石供試体を72時間以上水浸させ、強制的に吸水させ飽和含水した状態。
強制振動法	きょうせいしんどうほう	forced vibration method	実在構造物に起震機などにより強制振動を与え、固有周期・減衰係数など、その振動性状を求める実験的方法。
強制分極法	きょうせいぶんきょくほう	induced polarization method	電気探査の一つ。誘導分極法ともいい、IP法と省略される。分極現象を利用して金属・金属硫化物鉱床の探査などに用いられる。
鏡像	きょうぞう	mirror image	ある形状に関して、実物と鏡に写ったその像のような相互関係の場合、一方を他方の鏡像と呼ぶ。
橋台	きょうだい	abutment	橋梁の両端にあつて、上部構造物からの荷重や背面からの土圧などを地盤に伝える下部構造物。

狭帯域フィルタ	きょうたいいきふいるた	narrow band filter	特定の狭い波長帯の電磁波のみを透過するよう作られたフィルタ。干渉方式が用いられる場合が多い。
挟炭層	きょうたんそう	coal-bearing formation	石炭層を含む地層。一般に互層として発達しており、植物化石を多産する。夾炭層とも書く。
共通オフセット重合	きょうつうおふせつとじゅうごう	common offset stack	反射法による探査の解析手法。起振点と受振点の距離が等しいような記録を選び隣接した記録を重合すること。
共通反射点	きょうつうはんしゃてん	common-depth-point	地層が水平構造のとき、同一の反射点に対応する起振点と受振点のいくつかの対がある。この反射点をいう。
共通反射点水平重合法	きょうつうはんしゃてんすいへいじゅうごうほう	common-depth-point stack	反射信号を強調したり、グラウンドロールや重複反射などのノイズを減少させるために行う反射データの重合。CDP重合法ともいう。
共同溝	きょうどうこう	utility tunnel	下水道・ガス・電力・通信などの公益事業の複数が共同利用するトンネル。
強度定数	きょうどじょうすう	strength parameter	地盤の安定問題を解析するときに必要なせん断抵抗角および粘着力。
強度増加率	きょうどぞうかりつ	rate of strength increase	飽和粘性土の圧密非排水せん断強度 S_u をそのときの圧密圧力 p で除した値(S_u/p)。CU試験結果を表すのに用いる。
強度劣化	きょうどれっか	retrogression strength	本来有している強度の低下・劣化。
京錦大理石	きょうにしきだいらせき	Kyonishiki marble	京都府船井郡瑞穂町産工芸用石材。中古生界の石灰岩。紅紫色。
杏仁状	きょうにんじょう	amygdaloidal	火山岩中の球状の空隙を沸石類や方解石などが充填している構造のこと。球状の形状からこのように呼ばれる。
強熱減量	きょうねつげんりょう	ignition loss	110℃で乾燥した土を700～800℃に加熱する試験により生じる減少質量を百分率で示した値。強熱による試料の質量減。土中の有機物含有量として扱われることがある。IGロスともいう。
強熱減量試験	きょうねつげんりょうしけん	ignition loss test	土質試料中の有機物の含有量などを測定する試験。110℃で炉乾燥した試料を700～800℃で強熱して行う。
強粘結炭	きょうねんけつたん	strongly caking coal	加熱により軟化、融着（粘結）してコークスとなる石炭の一種。
共分散	きょうぶんさん	covariance	複数の確率変数間にある関連性を示す指標。
胸壁堤	きょうへきてい	parapet levee	十分な堤防断面が構築できない場合に、表のりの余裕高部分をコンクリート構造として幅を縮小した堤防。

鏡面反射	きょうめんはんしゃ	specular reflection	鏡のように滑らかな面において、入射光線が拡散されず入射角と同じ角度で反射される現象。
共役応力	きょうやくおうりょく	conjugate stress	応力楕円において、二つの応力を表す軸が共役の関係にあるときの応力。
共役褶曲	きょうやくしゅうきょく	conjugate folds	褶曲軸面がほぼ一定角度で交わる共役的な組をつくる褶曲系で、同一形状の褶曲が対称的な位置関係にあるもの。
共役節理	きょうやくせつり	conjugate joints	同一の圧縮応力下でせん断面として生じた互いに交わる一対の節理の組。主圧縮応力軸に30°～45°で斜交する。
共役せん断面	きょうやくせんだんめん	conjugate shear planes	圧縮応力下で力学的に等方な物体に生じる30°～45°で斜交する一対（2方向）のせん断（剪断）面。
共役断層	きょうやくだんそう	conjugate faults	同時期に同一の地殻応力場で形成され、たがいにくれのセンスが反対で交差するような断層。
共役断層系	きょうやくだんそうけい	conjugate system of faults	共役関係にある断層の組。両者の走向傾斜から形成時の古応力配置が復元できる。
強溶結部	きょうようけつぶ	zone of dense welding	高温火砕流の堆積後の冷却過程で生じた溶結度の違いによる帯状構造において溶結度の高い部分。一般に1回の火砕流堆積物の下部に見られる。
供用前検査	きょうようぜんけんさ	pre-service inspection (PSI)	原子炉施設の建設段階で行われる検査。建物、機器類の他、基礎岩盤も検査の対象となる。使用前検査ともいう。
恐竜類	きょうりゅうるい	<i>Dinosauria</i>	中生代に繁栄・絶滅した直立歩行する陸上は虫類（爬虫類）の一群。竜盤目と鳥盤目に細分。日本では、北陸地方や中部九州から多量の恐竜化石を産する。
ギョー	ぎょー	guyot	頂上が平らな海山。かつて海面付近で浸食された後に沈降したもの。海底面からの比高は数千mある。平頂海山ともいう。
極寒砂漠土	きょくかんさばくど	cold desert soil	南極大陸の氷床に覆われていない地域に分布している未熟土。極地砂漠土とは有機質土の有無で区分される。
極圏	きょくけん	polar circle	南北66°30'の緯線よりも高緯度の地方。北半球では北極圏、南半球では南極圏という。
極限荷重	きょくげんかじゅう	ultimate load	地盤が破壊せずに支持しうる最も大きい荷重。
極限支持力	きょくげんしじりょく	ultimate bearing capacity	極限荷重と同義語。
極限周面摩擦力	きょくげんしゅうめんまさつりょく	ultimate frictional resistance	アンカー体と地盤とが摩擦切れを起こす場合の単位面積あたりの摩擦抵抗力。

極限設計法	きょくげんせつけいほう	limit design	構造物全体の崩壊荷重を求め、この崩壊荷重に対する極限強度を基準にして構造物の形状や寸法を定める設計法。塑性設計ともいう。
極限先端支持力	きょくげんせんたんしじりょく	ultimate point bearing capacity	杭先端に作用する応力が極限状態に達した時の支持力。
極限平衡解析法	きょくげんへいこうかいせきほう	limit equilibrium analysis method	極限平衡法と同義。
極限平衡法	きょくげんへいこうほう	limit equilibrium method	破壊面上でのせん断力とせん断抵抗の極限平衡状態を考慮して破壊問題の解を得る方法。斜面の安定性評価によく用いられる。
曲降盆地	きょくこうぼんち	down-warped basin	地層をゆるやかにたわませる曲降と呼ばれる地殻の変動によって形成される盆地。曲降盆地の規模は数十km～1,000km程度とされている。
局所安全係数	きょくしょあんぜんけいすう	local safety factor	部材の局所的な要求強度に対して、その部材が有している強度の比率。
局所安全率	きょくしょあんぜんりつ	local safety factor	FEM解析によって得られた各要素の応力状態と強度定数から求められる各要素の安全率。
局所異常	きょくしょいじょう	local anomaly	重力や磁力分布などにおいて、探査の目的とする区域や深さの範囲の物質分布に起因する局所的な異常。
局所磁気異常	きょくしょじきいじょう	local magnetic anomaly	探査領域において、相対的に局所的な地下構造による磁気異常。
局所洗掘	きょくしょせんくつ	local scour	広義には給砂の非平衡による局所的河床低下を、狭義には構造物などによる二次流の作用による河床低下をさす。
局所せん断	きょくしょせんだん	local shear	局部せん断と同義。
局所的地盤沈下	きょくしょてきじばんちんか	local landsubsideance	地下工事などの局所的な揚水に伴い狭い範囲で発生する地盤沈下。不同沈下の原因となる。
局所同位体分析	きょくしょどうたいいぶんせき	local isotope analysis	固体表面の微小範囲を対象とした同位体分析。二次イオン質量分析計の開発によって可能となった。
局所ひずみ測定装置	きょくしょひずみそくていそうち	local deformation transducer	供試体端部での測定上の誤差を除外するために供試体中央部にひずみゲージを貼付したりん青銅板をとりつけて、軸方向のひずみを測定する装置。LDTと同義。
極心図法	きょくしんずほう	polar projection	地球の極点を中心に経線は放射状に、緯線は同心円状に表現した図法。
極図	きょくず	pole diagram, pole figure	ステレオネット上に、面構造の極や線要素を投影した図。

玉随	ぎょくずい	chalcedony	細かい繊維状の石英結晶と微量のオパール集合体. 低温の熱水変質を受けた火山岩の割目や孔隙に生ずる.
極性	きょくせい	polarity	結晶学において, 結晶軸の1方向と逆方向で性質が異なる場合をいう. 広義には正反対の二つの性質をいう.
極性対称	きょくせいたいしょう	polar symmetry	中心軸の周りに対称的になっていること.
曲線重力ダム	きょくせんじゅうりょくだむ	curved gravity dam	ダム軸が曲線形状である重力式コンクリートダム. アーチダムと異なり二次元設計で安定性を確保.
曲線定規法	きょくせんじょうぎほう	curve ruler method	土の圧密試験において, 一次圧密量を求める方法の一つで, 基本となる圧密理論曲線群が前もって示されている.
曲線照合法	きょくせんしょうごうほう	curve matching method	重力, 磁力などの観測値と仮定した構造モデルによる理論値との適合性を調べ, 最適モデルを求める解析法.
極地	きょくち	polar region	学問分野によりその範囲は明確には決まっていないが, 通常両極を中心とする高緯度の寒冷地域をさす.
局地気候	きょくちきこう	local climate	地表状態や地形から局地的に区分された比較的狭い地域の気候. 規模は30~40km ² 以下とされている.
局地気象	きょくちきしょう	local weather	局地的な地形特性によって生じる気象状況. 主に約1000m以下の大気境界層内に発現する地域差の大きい現象.
極地砂漠	きょくちさばく	polar desert	高緯度地方に分布する砂漠をさし, 主に南極大陸にみられその特徴は乾燥地域であるとともに寒冷であること.
極地砂漠土	きょくちさばくど	polar desert soil	カナダ北部などに分布する極地の排水良好な砂礫地にみられる土壌をさす. 炭酸塩が集積し全層にわたりアルカリ性反応を示す.
局地的不整合	きょくちてきふせいこう	local unconformity	部分的な不整合と同義. 整合関係の上下層が, 堆積盆地周縁部などで局地的に不整合関係になるもの.
局地電流	きょくちでんりゅう	local current	地下で鉱体の周辺などに局地的に発生する自然電流.
極地氷河	きょくちひょうが	polar glacier	寒冷氷河・寒帯氷河ともいい, 万年雪が継続的に0℃以下という条件下でゆっくりと再結晶した氷河のことをさす.
曲動	きょくどう	warping	波曲ともよばれ, 地層や地殻を緩やかにたわませる比較的波長の大きな変動. 顕著な断層や褶曲を伴わない.
局発地震	きょくはつじしん	local earthquake	地震の大きさを表わす目安である最大有感距離が100km未満の地震のこと.

局部せん断	きょくぶせんだん	local shear	荷重が増加しても明瞭な破壊点を示さず、局所的な破砕が徐々に拡大して沈下が増大していく、せん断破壊様式。
曲率係数	きょくりつけいすう	coefficient of curvature	粒度試験における粒径加積曲線の形状を表す係数であり、通過質量百分率10%、30%、60%の粒径から算出。
魚骨方式	ぎょこつほうしき	fish bone type	かんがいを用いる配管の形式の一つで、他にクシ歯型・フォーク型のタイプがある。魚骨型配管では、70アール程度までの散布ができる。
巨視的構造解析	きょしてきこうぞうかいせき	macroscopic structural analysis	露頭規模以上、マップスケールでの地質構造解析。個々の露頭における地質構造解析ではなく、地質図などの大小縮尺における地質構造解析のこと。
裾礁	きょしょう	fringing reef	海洋島や大陸の周縁に発達しているさんご（珊瑚）礁。陸との間にきわめて狭い海水帯を挟むこともある。
巨石	きよせき	boulder	土質分野（日本統一土質分類）で300mm以上の粒径の石分をいう。
巨石コンクリート	きよせきこんくりート	cyclopean concrete	コンクリート中に直径数10cm～数mの巨石を用いたもの。材料費節約のために用いられた。
巨大地震	きよだいじしん	great earthquake	マグニチュードが約8以上の大地震をさす。海底で起きた場合、そのほとんどが地震動のほかに大津波を発生させる危険がある。
巨大褶曲	きよだいしゅうきょく	broad folding	大褶曲または巨褶曲ともいい、広大な幅をもった波状の褶曲運動をさす。山脈が背斜、谷が向斜にあたる。
巨大フラック	きよだいふらっく	huge fracs	静岩圧以上の水圧を加えることにより発生する破砕のうちの規模の大きなもの。新しい流路の発生などに用いる。地熱開発などに応用。
巨大噴火	きよだいふんか	extremely large volcanic eruption	極めて大規模な火山噴火。1815年インドネシア・タンボラ山噴火、1883年同・クラカタウ山噴火などが挙げられる。
巨大崩壊	きよだいほうかい	huge slide, mass slide	大規模に山体が崩壊する現象。一般に崩壊量1000万～1億m ³ 程度以上のものを呼ぶ。移動距離が大きく、特有な地形を呈す。
魚道	ぎょどう	fish pass, fishway, fishladder	魚類の遡上を可能とするためにダムなどの河川構造物に設けられる勾配の緩い水路。
許容応力	きょようおうりょく	allowable stress	構造物が荷重に対して破壊や大きな変形を生じないように定めた部材の基準強度を安全率で除した応力度。
許容応力度設計法	きょようおうりょくせつけいほう	allowable stress design method	構造物設計の際に、設計荷重が部材断面に作用した時に、部材断面に生じる応力度が許容応力度以下になるように設計する方法。
許容応力度	きょようおうりょくど	allowable stress, allowable unit stress	構造物の耐用期間中に荷重に対して破壊・変形しないためには、材料中に生じる応力がある一定限度内であることが必要であり、この限度を示す応力度をさす。

許容荷重	きょようかじゅう	allowable load	許容応力を越えずに安全上許しうる最大の荷重。地盤のせん断破壊，変形によりその上にある構造物に影響を及ぼさない範囲内で許容しうる荷重の最大値。
魚用閘門	ぎょようこうもん	fish lock	堰堤など水位差のある箇所において，魚が通過できるように設けたこう門。こう（閘）門式魚道参照。
許容誤差	きょようごさ	tolerance	測定の精度，種類，目的，大きさなどに応じて許容される誤差の最大値。
許容採取量	きょようさいしゅうりょう	allowable production	油井において1キロリットルの原油を自噴させるために消費される溶解ガスの容積との比を指針として得られる採取量。
許容支持圧力	きょようしじあつりょく	allowable bearing stress	部材の断面に対して許容荷重が作用するとき，その支圧面積に生ずる圧力。
許容支持力	きょようしじりょく	allowable bearing capacity	極限支持力を所定の安全率で割った値。構造物の重要性，地盤の状態などを考慮して定める。
魚用設備	ぎょようせつび	fish facility	魚道など河川構造物に設置された魚類の遡河を補助する設備の総称。
許容地耐力	きょようちたいりょく	allowable soil pressure	許容支持力と許容される沈下量に対して安全であるような地盤の耐力。
許容沈下量	きょようちんかりょう	allowable settlement	上部構造の構造上・使用上の機能を損なわない量として設定される基礎の沈下量の上限。あるいは，広域地盤沈下に対して，被害を発生させない沈下量の上限。
許容透過率	きょようとうかりつ	admissible transmittance	道路トンネルの換気設計などの指標となる，煙霧透過率の許容限界値。
許容揚水量	きょようようすいりょう	safe yield of water	取水する地下水域全体の水収支，地下水障害を考慮して継続的に取水可能な揚水量。適正揚水量・安全揚水量ともいう。
魚用リフト	ぎょようりふと	fish lift	ダムなど河川を横断する構造物に設けられた魚をダム下流より上流へ移動させるリフト。
魚卵状構造	ぎょらんじょうこうぞう	oolitic structure	岩石中の同心縞状構造を持つ小球状体の集合。球状体は径0.2～2mm程度で石灰岩，鉄鉱石等に多く，化学的沈殿作用による。。
魚卵状鉄鉱床	ぎょらんじょうてつこうしょう	oolitic iron deposit	赤鉄鉱・褐鉄鉱・シデライトなどの鉄鉱石中に魚卵状構造を有するもの。大規模な鉱床が多く，浅海性の化学的沈殿鉱床。
魚竜類	ぎよりゅうるい	<i>Ichthyosauria</i>	海生は虫類（爬虫類）の一目。三じょう紀（三疊紀）初期に出現，白亜紀後期に絶滅。体長最大15m。日本では，宮城県でイナイリュウを産する。
巨礫	きよれき	boulder	地質分野(Wentworthらによる)で256mm以上の粒径の石分をいう。

キラウエア火山	きらうえあかざん	Kilauea volcano	ハワイ島の南東部に位置する海拔1,247mの活火山。玄武岩の薄い溶岩流の互層からなる楕状火山である。
きら炭	きらたん	kira coal	天草炭田で産する半無煙炭化した輝炭の俗称。炭層内断層などによって変質を受けたもの。
切上り工法	きりあがりこうほう	stoping-down roof method	立坑掘削にあたり、すでに到達している最深部から地表に向けて掘削する方法。
切石	きりいし	ashlar	直六面体などの一定の形に切り取った石材。
切石積み	きりいしづみ	ashlar masonry	直方体に切り取った石材（切石）を用いた石積み。
霧ヶ峰断層群	きりがみねだんそうぐん	Kirigamine fault group	活断層。確実度Ⅰ，活動度A，北西～東西方向，北傾斜。長野県霧ヶ峰付近に位置し，火山活動の一部と考えられる。
切口積	きりくちづみ	plate-stone masonry	薄板状の石材を切り口が見えるように積み上げたもの。
錐粉	きりこ	drill slime, bit slime	調査ボーリングなどで，ビットの切剥作用によって生じた掘りくず。スライム。
切込み砂利	きりこみじゃり	pit-run gravel, unscreened gravel	河床などで採取したままで，ふるい分けや水洗いしていない砂利。
切込炭	きりこみたん	run-of-mine coal	炭鉱で採掘されたままの石炭。選炭されていないため，混入物もあり一般に低品位である。
切込法	きりこみほう	kirikomi method	岩石・岩盤の周囲に溝を切り込み，くさびの打ち込みで採石する方法。大谷石などの軟石に適用。
霧島火山	きりしまかざん	Kirishima volcano	宮崎・鹿児島県境に北西～南東に伸びる第四紀火山の総称。えびの高原と南西山腹で噴気活動などが著しい。
霧島地すべり	きりしまじすべり	the Kirishima landslide	1949年8月16日に鹿児島県霧島で発生した地すべり。台風により800mm超の降雨。温泉旅館の裏山山腹崩壊により死者36人とされている。
切妻	きりつま	gable	棟の両端を切り落とした形の屋根の先端部分で，三角形の壁の部分。
霧積火山群	きりづみかざんぐん	Kirizumi volcano group	榛名山と浅間山の間にある火山群。角落山・浅間隠山・剣ノ峰・鼻曲山ほかよりなる第四紀の複合成層火山。
切土工	きりどころ	cutting	計画された地盤高まで地山を掘削する作業，または地山から土砂を採取する作業。

切り土法面	きりどのりめん	cut slope, excavation slope	切取り斜面と同義.
切取り斜面	きりとりしゃめん	excavation slope, cut slope	原地盤を掘削して形成された人工的な斜面. 切取り面の地質・土質により, 安全な斜面の勾配・高さが異なる.
切羽	きりは	face, heading, cutting face	トンネル掘削の最先端部またはその掘削面.
切羽押し出し	きりはおしだし	squeezing in the face	切羽前方の地山に作用する地圧により, 切羽面が押し出てくる現象.
切羽崩壊	きりはほうかい	collapse in the face	切羽前方地山の崩壊, あるいは切羽側近の支保区間を含む地山の崩壊.
切羽ボルト	きりはぼると	bolting in the face	切羽押し出し防止のため, 切羽前方地山に概ね水平に打設するロックボルト.
切羽前沈下	きりはまえちんか	ground subsidence in front of the face	トンネル掘削に先行して, 切羽前方地表面に生ずる沈下現象.
切梁	きりばり	strut	相対する土留めを掘削内面から支えるため水平方向に挿入する支保材.
切梁工法	きりばりこうほう	bracing	側圧などによる山留め壁の変形を腹起こしと水平部材などで防ぎながら掘削する工法.
切梁固定間距離	きりばりこていかんきより	length between the fixed struts	切梁の両端および中間の継ぎ材で固定された区間の切梁の長さ. この距離が長くなると座屈を起こすことがある.
切梁軸力	きりばりじくりょく	axial force reaction of strut, axial force of strut	山留め壁に加わる土圧や水圧によって切梁が受ける荷重.
切梁継手	きりばりつぎて	strut joint	切梁と切梁を継ぐ部分. 十分強度を確保する必要がある.
切梁ばね定数	きりばりばねていすう	coefficient of strut reaction	切梁を完全弾性体と見なしたときのばね定数. 主に山留めの応力・変形を求めるための弾塑性解析などに用いる.
切広げ	きりひろげ	enlargement	先行して掘削されたトンネル断面の一部分から全断面に掘り広げること.
きりもみ法 (鑽揉法)	きりもみほう	auger cutting	岩石・岩盤に多数せん孔し, せん孔沿いに加重し砕石する方法.
切盛り	きりもり	cutting and banking	土地造成などで計画高の平坦な地盤を得るために, 地山の高い部分を切土し, 低い部分に盛土を行うこと.

切盛バランス	きりもりばらんす	earth moving balance	切土に伴い発生する土を盛土材料に転用するなど、切土と盛土の土量バランスを検討し、運土計画を立てること。
ギリヤーク統	ぎりやーくとう	Gyliakian series	日本における上部白亜系の下部統。上部白亜系はヘトナイ統・浦河統・ギリヤーク統に分けられる。
輝緑岩	きりよくがん	diabase	輝石に多数の短冊状斜長石が透入した完晶質のオフィティック組織を示す。岩脈・岩床として産する玄武岩と同一の鉱物組成の中粒～細粒の火成岩。
輝緑凝灰岩	きりよくぎょうかいがん	schalstein	低変成の鉱物を含む苦鉄質火山噴出物の火砕岩、溶岩などの総称。近年は玄武岩質火山噴出物といわれる場合が多い。シャルスタインとも呼ばれる。日本では中古生界のものが知られている。近年は使用されない用語。
ギルソナイト	ぎるそないと	gilsonite	黒色石炭状を呈する天然アスファルトの一種。米国ユタ州が唯一の産地。塗料・インクなどに使用される。
キルノス式地震計	きるのすしきじしんけい	Kirnos seismograph	0.3～15秒までの広い周期範囲で、平坦な倍率特性を持つ可動コイル型電磁式地震計のこと。
キルヒホッフの法則	きるひほっふのほうそく	Kirchhoff's law	電気回路の法則であり、各節点に流入する電流の総和は0（第1）、開路では各枝路電位差の総和は0（第2）の二つからなる。
キレート分析	キレートぶんせき	chelate analysis	キレート試薬と金属イオンとの反応において、キレート試薬の量から金属イオンの量を分析する方法。
偽礫	ぎれき	rip-up clast	同時浸食や堆積時のすべりによって、ちぎれて取り込まれた礫状物質。砂層中の泥岩が多い。
偽礫岩	ぎれきがん	pseudoconglomerate	堆積岩としての礫岩と似ているが、河川などによる運搬によって集積されたものと異なる成因でできたもの。圧碎礫岩や結核の多い砂岩など。
亀裂	きれつ	crack	地盤・岩石などに不規則で連続性に乏しい割れ目。成因は初生的なもの他、岩石などができた後に働いた応力、風化などにもよる。クラックともいう。
亀裂挟在物	きれつきょうざいぶつ	crack filling material	岩盤の不規則な割れ目（亀裂）を充填する物質。風化により生成する酸化鉄や粘土が主体。
亀裂係数	きれつけいすう	index to degree of fissuring, coefficient of fissures	亀裂や風化変質による岩盤劣化の程度を表す指数（Cr）。岩盤と新鮮な岩石の弾性波速度をそれぞれ v_p, V_p とすると $Cr=1-(v_p/V_p)^2$ で表される。
亀裂出水	きれつしゅっすい	blow-out of water from fissure	断層破碎帯や岩盤中の亀裂からの出水。
亀裂性岩盤	きれつせいがんばん	jointed rock mass	不規則な割れ目（亀裂）の多い岩盤。亀裂の密度や開口状態により岩盤の性質が大きく左右される。
亀裂性粘土	きれつせいねんど	fissured clay	亀裂を有するごく硬い粘性土のこと。圧縮強さは高いが載荷時に亀裂が開き、水が浸入し軟化しやすい。ひび割れ粘土ともいう。

記録温度計	きろくおんどけい	recording thermometer	自記温度計と同義.
キログラム原器	きろぐらむげんき	kilogramme prototype	質量が1kgに設定された白金-イリジウム製円柱の国際標準器. 1899年第1回国際度量衡会議で設定された.
喜和田鉱山	きわだこうざん	Kiwada mine	山口県岩国市二鹿にあるダングステン鉱山. スカルン鉱床. 1992年の休山までにW ₃ O ₈ 約4.5千tを産出.
銀	ぎん	silver	Ag. 立方晶系. 硬度2.5~3. 比重10.49. 金と固溶体をなす. 水銀や銅とも合金をつくり, 熱水鉱床および各種銅鉱床の酸化帯に産出する.
均一型アースダム	きんいつがたあーすだむ	homogeneous earthfill dam	均一型フィルダムと同義.
均一型ダム	きんいつがただむ	homogeneous earthfill dam	均一型フィルダムと同義.
均一型フィルダム	きんいつがたふいるだむ	homogeneous earthfill dam	堤体が単一の土質材料で盛立てられたフィルダム. 農業用ため池などに多い. 均一型アースダム, 均一型ダムともいう.
均一地盤	きんいつじばん	homogeneous ground	地盤のもつ工学的性質が深さや方向によらず一定である仮想地盤.
金雲母	きんうんも	phlogopite	$K(Mg, Fe^{2+}) \cdot 3(Si_3Al)O_{10}(OH, F)_2$. 単斜晶系. 硬度2.5~3. 比重2.78~2.85. 雲母族鉱物の一つで六角板状の結晶形状が特徴. 黒雲母と類似する. 火成岩や変成岩に産する.
緊急仮閉塞ゲート	きんきゅうかりへいそくげーと	urgent temporary stoppage gate	緊急用ゲートとしても操作できるように設計した二つの機能を持つ仮閉塞ゲート.
近距離写真測量	きんきよりしゃしんそくりょう	short range photogrammetry	近距離から撮影した写真を用いた測量. 地上測量の一種であるが, 工業・医学などの各種の方面でも利用される.
金銀鉱脈	きんぎんこうみやく	gold-silver vein	金は銀をいつも伴って産出するので, 金銀鉱脈と呼ばれることが多い. 日本では花崗岩や第三紀の火山岩の熱水活動に起因する場合が多い.
キンク	きんく	kink	結晶面におけるステップ状の折れ曲り.
キンク褶曲	きんくしゅうきよく	kink fold	軸部でシャープに折れ曲がり, 両翼が平板な褶曲.
キンクバンド	きんくばんど	kink band	結晶や岩石構造における変形構造の一つ. 結晶中のすべり面や岩石のへき(劈)開面がキンク状に折れ曲がった変形をさす.
均衡異常	きんこういじょう	isostatic anomaly	地殻がマントル上で静的な状態で釣り合っていることを地殻均衡といい, これからのずれを均衡異常という.

均衡作用	きんこうさよう	gradation	地表面の凹凸をなくして平坦化する作用や、地表面の傾斜を減じて一様な緩斜面を形成する作用。
金鉱床	きんこうしょう	gold deposit	金鉱床は熱水性鉱床・砂鉱床・スカルンなどに伴い、温泉水からも沈殿。埋蔵量の大部分は先カンブリア紀と新第三紀以降。
銀鉱床	ぎんこうしょう	silver deposit	AgはCu・Pb・Zn・Au鉱床中に産出し、Agを主とする鉱床は少ない。熱水性鉱脈・火山性硫化物・層状硫化物鉱床などに多い。
金鉱石	きんこうせき	gold ore	Auを含有する鉱石。接触交代・熱水鉱脈鉱床や砂鉱などに産出。
緊硬度	きんこうど	consistency	コンシステンシーと同義語。
緊硬度限界	きんこうどげんかい	consistency limit	コンシステンシー限界と同義語。
緊硬度試験	きんこうどしけん	consistency test	コンシステンシー試験と同義。
緊硬度指数	きんこうどしすう	consistency index	自然含水状態での細粒度の硬さを示す相対的な指標。
近似図化機	きんじずかき	approximate instrument	垂直写真から近似的な方法で、写真の投影によるひずみを修正して図化する機械。
近自然工法	きんしぜんこうほう	near nature construction method	自然が本来有している生物の良好な生育環境に配慮し、あわせて美しい自然景観を保全・創出する工法。
均質性	きんしつせい	homogeneity	一定の状況下にある物体のどの部分を取っても、物理的・化学的に同等の性質をもつ状態をいう。
均質変形	きんしつへんけい	homogeneous deformation	変形が物質のどの位置でも一様であること。ただし、異方性のある物質では、応力の方向によってひずみ量は異なる。
金勝石	きんしょうせき	Kinshou seki	滋賀県栗太郡栗東町産。中生界花崗岩。土木用材。
堇青石	きんせいせき	cordierite	$4[(Mg, Fe^{2+})_2Al_3Si_5AlO_{18} \cdot nH_2O]$ 。斜方晶系。硬度7～7.5。比重2.53～2.78。泥質岩の変成岩に含まれることが多い。青色、鏡下では無色。変成分帯を行うときの指標鉱物の一つ。
金星レーダーマップ	きんせいれーだーまっば	Venus radar mapper	米国NASAの金星探査衛星マジェランに搭載された、金星表面の地形計測用の合成開口レーダーセンサ。
銀製錬	ぎんせいれん	silver metallurgy	銀鉱石からAgを得る精錬法は、アマルガーション法・シアン化法・乾式法がある。

近赤外線	きんせきがいせん	near infrared	赤外線のうち可視光域に最も近く波長の短いものをさす。その波長の範囲は約0.7 μ m～1.5 μ mである。
近接トンネル	きんせつとんねる	tunnel close to existing structures	他の構造物あるいは既設のトンネルに接近して施工されるトンネル。トンネルが並行する場合は、併設トンネル・双設トンネルともいう。
近接盛土	きんせつもりど	neighboring embankment	既存施設に近接した盛土。軟弱地盤上の盛土に伴う地盤の変位や高盛土の崩壊などが既存施設に影響を与えることがある。
金属顕微鏡	きんぞくけんびきょう	metallurgical microscope	金属表面の構造を観察する顕微鏡。
金属鉱床	きんぞくこうしょう	metallic ore deposit	人類に有用な金属鉱物が濃集する鉱床の総称。
金属鉱床探査	きんぞくこうしょうたんさ	prospecting for metallic ore deposit	金属鉱床を対象とした探査で、重力、磁気、放射能、地震、電気、電磁などの物理探査手法が利用されている。
金属鉱物	きんぞくこうぶつ	metallic mineral	金属光沢を示す鉱物の総称。または金属の抽出、製錬する際の原料となる鉱物の総称。
金属抵抗温度計	きんぞくていこうおんどけい	wire resistance thermometer	温度による金属抵抗の変化を利用した高精度温度計。孔井内の温度検層に使用されている。
金属熱量計	きんぞくねつりょうけい	metallic block calorimeter	熱容量が既知である金属を使い、その金属の温度変化を測定して熱量を求める。普通銅塊を用いる。
近地地震	きんちじしん	near(-by) earthquake	震央距離が1000km未満の地震のこと。
近地津波	きんちつなみ	tsunami from near-by origin	震央距離が1000km未満の地震により発生する津波。津波到達が早いため、早期の警報発令が求められている。
緊張材	きんちょうざい	tendon	アンカーの引張力を伝達する部分で、多重よりPC鋼線やPC鋼材を単独または数本束ねてプレストレスングできる状態にした材料。
均等係数	きんとうけいすう	uniformity coefficient	試料の粒径の均等性を表す係数であり、通過質量百分率60%と10%に相当する粒径の比。
キンバーライト	きんばーらいと	kimberlite	キンバレイ岩。南アフリカキンバレー産ダイヤモンドの母岩。超塩基性岩の一種でマントル上部で形成される超塩基性マグマに由来する岩石と考えられている。
金竜大理石	きんりゅうだいいりせき	Kinryu marble	岩手県上閉伊郡宮守村産建築用石材。古生界大理石。灰白色に淡緑の縞。
グアノ	ぐあの	guano	海岸や島に海鳥の排泄物が堆積、固化したもの。有機的成因のリン鉱床の一種。採掘されほとんど現存しない。

杭打ち	くいうち	pile driving	既製杭に打撃，振動，静的な荷重などを加えて地盤に打ち込むこと．打込み工法の挿入工程をさす．
杭打ち基礎	くいうちきそ	pile foundation	打込み式の杭によって構造物の荷重を支持する基礎．
杭打工	くいうちこう	pile works	杭打ち作業を表す工種の名称．
杭打ち試験	くいうちしけん	pile driving test	杭打ち込み時の打撃エネルギーと沈下量から地盤の支持力を推定する試験．
杭打ちハンマー	くいうちはんまー	pile hammer	重錘を落下させることによって衝撃力を杭頭に与えて杭を打ち込む機械．
杭打ちやぐら	くいうちやぐら	pile driving frame	杭を打ち込むために使用するやぐら．打込み方向を規制する部分と所定位置に移動させるための走行装置を備えている．
杭基礎	くいきそ	pile foundation	構造物の荷重を杭体周面部の摩擦および杭の先端部で支持する基礎．直接基礎に不向きな軟弱地盤でも基礎の建設が可能となる．
杭工	くいこう	piling work	①大口径ボーリングで不動層まで削孔し，その孔に鋼管などを挿入し杭体を造り移動土塊を定着する斜面安定工法． ②雪崩発生の予防あるいは発生した雪崩の減勢を目的に，一群として杭を設置する雪崩防止工．
クイッククレイ	くいっくくれい	quick clay	北欧やカナダの氷成粘土に代表される超鋭敏粘土．わずかなかく乱でも著しくせん断強度が低下して液状化する．
クイックサンド	くいっくさんど	quick sand	流砂現象と同義．クイックサンド現象参照．
クイックサンド現象	くいっくさんどげんしょう	quick sand phenomena	砂地盤中において，浸透水の上向きの水圧が上部の土の重量以上となり，砂粒子の有効応力がゼロとなって液状化する現象．地下水位下のトンネルでは切羽の崩壊を起こすことがある．
杭の極限支持力	くいのきょくげんしじりよく	bearing capacity of pile, ultimate bearing resistance of pile	鉛直杭が地盤によって支持することができる限界の鉛直荷重．一般には先端支持力と周面摩擦力からなる．
杭の許容荷重	くいのきょようかじゅう	allowable load of a pile	杭の先端支持力と杭周面部の摩擦力からなる極限支持力を安全率で割った値．常時と地震時の二つの値がある．
杭の許容支持力	くいのきょようしじりよく	allowable bearing capacity of a pile	地盤から決まる杭の鉛直許容支持力，杭材の許容圧縮応力度より決まる耐荷重および上部構造物の許容沈下量より決まる耐荷重のうち最も小さい値．
杭の載荷試験	くいのさいかしけん	pile loading test	実際の状態に近い杭に載荷する試験であり，目的により鉛直，引き抜き，振動などの試験がある．
杭の支持力	くいのしじりよく	bearing capacity of pile	構造物基礎杭の鉛直または水平支持力．地盤特性・杭の強さ・沈下量などを考慮した鉛直支持力．杭の先端支持力と杭周面の摩擦抵抗によって構成される．杭の極限支持力と許容支持力がある．耐杭力ともいう．

杭の水平載荷試験	くいのすいへいさいかしけん	horizontal loading test of pile	杭の頭部に水平に載荷し、荷重と変位量の関係などにより水平支持力や水平方向地盤反力などを求める試験。
杭の水平抵抗	くいのすいへいていこう	lateral resistance of a pile	杭の水平方向の荷重に対する抵抗。一般にチャンの式やブルムスの式により算定されることが多い。
杭の根入れ	くいのねいれ	depth of embedment of pile	杭が支持地盤中に挿入されること、あるいは挿入された部分。挿入された長さを根入れ長という。
杭の引き抜き	くいのひきぬき	extraction of piles	杭の引き抜き抵抗力を評価するため、杭と周面地盤の摩擦力を杭を引く抜くことによって調査すること。
杭の引き抜き抵抗	くいのひきぬきていこう	pulling resistance of a pile, pull-out resistance of a pile	杭の周面摩擦抵抗力から決まる上向きの抵抗力を必要な安全率で除した値と杭体の許容引張り応力度より決まる値のうちいずれか小さい方の値。
杭伏図	くいぶせず	piling plan	杭径や杭間隔などの基礎杭の平面配置を表した図面。
杭列カットオフ	くいれつかつとおふ	secant piles cut off	地盤中に杭を並べて形成された止水のための構造物。
空間周波数スペクトル	くうかんしゅうはすうすべくとる	spatial frequency spectrum	画像など空間的に変化するパターンを、異なる周波数の波動の合成により表現した時の、周波数別の強度分布。
空間周波数フィルタ	くうかんしゅうはすうふいた	spatial frequency filter	空間周波数領域で、周波数別の透過率を定めて、特定の周波数成分のみを抽出できるように設定されたフィルタ。
空気乾燥	くうきかんそう	air dry	岩石試料などを室内で、常温で一定時間、大きな重量変化が無くなるまで自然乾燥させる方法。
空気混合泥水掘り	くうきこんごうでいすいほり	airated mud drilling	油井やガス井の掘削で、循環泥水中に空気を混入して泥水の比重を下げ、泥水圧を軽減して逸泥を防止する工法。
空気削岩機	くうきさくがんき	pneumatic drill	圧縮空気の作動によって岩石を穿孔する機械。
空気式バランス定流量式間隙水圧計	くうきしきばらんすていりゅうりょうしきかんげきすいあつけい	pneumatic type balance flow piezometer	一定量の空気を送り込み、受圧部に働く圧力と、空気圧がバランスした時の圧力から間隙水圧を求める計器。
空気式ピエゾメータ	くうきしきびえぞめーた	pneumatic type piezometer	地上から送る空気圧と間隙水圧の加わるダイヤフラムの圧力が平衡する圧力を測定する方式の間隙水圧計。平衡弁型計器。透水性が低い飽和土に用いられる。
空気侵入値	くうきしんにゆうち	air-entry value	水で飽和された間隙水圧計のフィルタ内の気泡の通過の難易の程度を示す値。
空気粘性回転計	くうきねんせいかいてんけい	air viscosity tachometer	空気の粘性によって生じる偶力と制御とを釣り合わせて回転速度を計測する回転計。

空気弁	くうきべん	air valve (for release of air)	①管路の高い位置に設け、その中の空気を自動的に排出したり吸入したりする弁。 ②排気弁のこと。エボナイト製の玉があり、満水すれば水の浮力で空気孔をふさぎ、空気が集まれば玉は水面に落ちて空気を排除する。
空気掘り法	くうきぼりほう	air drilling	油井やガス井の掘削で、泥水を使わずに、圧縮空気ですライムを排出しながら掘削する工法。
空気マイクロメータ	くうきまいくろめーた	air micrometer	圧縮空気を送り、流出口におかれた物体との隙間から出る流量や圧力の変化で、物体の寸法を求める比較測定器。
空気量	くうきりょう	air content	コンクリートの全容積に対して含まれる空気泡の容積の百分率。
空隙	くうげき	pore, void, interspace	岩石や土の間隙（水や空気が占める部分）。
空隙率	くうげきりつ	porosity	間隙率と同義。
空孔	くうこう	vacancy	結晶中における点欠陥のうち、正規の格子点から原子1個が欠けている部位。ショットキー欠陥ともいう。
空孔孔隙率	くうこうこうげきりつ	vuggy porosity	石灰岩の溶脱により生じた空隙の全容積に占める比率。
空振	くうしん	air wave	火山の爆発的噴火で生じる空気振動。1883年クラカタウ山噴火や1980年5月18日セントヘレンズ山噴火が有名。
空積比	くうせきひ	airspace ratio	飽和土から重力排水された水の体積と全空隙との比。
空積比	くうせきひ	air-void ratio	土壌の体積に対する空気が占める体積の比率（%）。
空中化学探査法	くうちゅうかがくたんさほう	airborne geochemical method	航空機で空中に浮遊する蒸気・微粒子を集め、金属・地熱鉱床などを探査する方法。
空中三角測量	くうちゅうさんかくそくりょう	aerial triangulation	空中から撮影した写真上で行う三角測量。
空中磁気異常図	くうちゅうじきいじょうず	aerial map of magnetic anomaly	空中からの測定による磁気異常図。1936年航空機によるのが世界初で、含鉄けい岩の巨大鉱床が発見されている。
空中磁気測量	くうちゅうじきそくりょう	airborne magnetic prospecting, airborne magnetic survey	航空機を用い、空中から地球磁場や地下の磁気異常を測定すること。空中磁気探査と同義。
空中磁気探査	くうちゅうじきたんさ	airborne magnetic survey	航空機を利用して空中からプロトン磁力計を用いて磁場の乱れをとらえることにより地下構造を探査する方法。航空磁気測量ともいう。

空中写真	くうちゅうしゃしん	aerial photograph	空中から地表を撮った写真で、重複した写真の立体視により測量や地形区分・地質情報などの判読が可能である。
空中写真撮影	くうちゅうしゃしん さつえい	aerophotographing	航空機、飛行船、模型飛行機、バルーン、クレーンなどから写真を撮影すること。航空機による場合は航空写真撮影という。
空中写真測量	くうちゅうしゃしん そくりょう	aerial photogrammetry	航空機などから撮影した地表面の写真を用いて行う測量。実体化するために、重複して撮影された写真を用いる。
空中写真判読	くうちゅうしゃしん はんどく	air-photo interpretation	航空機などから撮影した地表面の写真を用いて地形や地物などの地上の状況を読みとること。
空中重力計	くうちゅうじゅう りょくけい	airborne gravimeter	空中重力探査で用いる重力計。機構的には船上重力計と同じで、スプリング式重力計などが用いられている。
空中磁力計	くうちゅうじりょく けい	airborne magnetometer	空中磁気探査で用いる磁力計。プロトン磁力計、光ポンピング磁力計などが主に用いられている。
空中シンチレーションカウンタ	くうちゅうしんち れーしょんかうんた	airborne scintillation counter	航空機から放射能測定を行う装置。燐のγ線吸収時のせん光を発する現象を利用してγ線放射を測定する。
空中赤外線調査	くうちゅうせきがい せんちょうさ	airborne infrared remote sensing	航空機などに搭載されたセンサにより、空中から地表での赤外波長帯の電磁波の反射・放射量を観測する調査。
空中多角測量	くうちゅうたかくそ くりょう	aerial traverse survey	空中三角測量の一種で、測点を結んでできた多角形の各辺の長さや角度を測定し、測点の平面位置や高さを定める。
空中電気測定法	くうちゅうでんきそ くていほう	measurement of atmospheric electricity	大気中の電場の測定法。空中に出した導体の棒の先端がその場の電位に等しくなるようにして電位を測定する。
空中電磁探査	くうちゅうでんじた んさ	airborne electromagnetic survey	航空機やヘリコプターに電磁探査装置を載せて迅速に広域を探査する方法。航空機の場合をAEM法、ヘリコプターの場合をHEM法という。
空中電磁法	くうちゅうでんじほ う	airborne electromagnetics	空中電磁探査と同義
空中放射能探査	くうちゅうほうしゃ のうたんさ	airborne radiometric survey	航空機を利用して空中で地表からのγ線を測定し、ウラン鉱床などを調査する探査法。
空中落下法	くうちゅうらつかほ う	air pluviation method	攪乱した砂から室内で緩い砂の供試体を作成する方法で、空中で落下させて作成する方法。
グーテンベルク不連続面	ぐーてんべるくふれ んぞくめん	Gutenberg discontinuity	マントルと核の境界に認められる地震波速度の急激な減少面。
グーテンベルク・リヒターの式	ぐーてんべるくりひ た一のしき	Gutenberg and Richter's formula	ある地域、期間に発生した地震のマグニチュード (M) 別の度数 (N) を表す式。 $\log_{10}N=a+b(8-M)$

空洞	くうどう	cavern	地層の形成時および形成後に自然の作用により形成された地層中の空間。溶岩洞・鍾乳洞など。
空洞水	くうどうすい	cavern water	洞窟水と同義。
空洞探査	くうどうたんさ	void detection	地中や構造物背面にある空洞の位置・大きさを調査すること。空洞の深さや大きさによって地下レーダーや重力探査、比抵抗探査、表面波探査など各種の手法が用いられる。
クーパー法	くーぱーほう	Cooper method	単孔式透水試験の解析方法の一つ。貯留係数を考慮したタイプカーブを用いてカーブフィッティングにより透水係数、貯留係数を求める。
クーパー・ヤコブ解析法	くーぱーやこぶかいせきほう	Cooper-Jacob solution	クーパー・ヤコブ（ジェイコブ）が提唱した揚水試験の一解法。
空白域	くうはくいき	seismic gap, seismic activity gap	地震帯の中で近年大きな地震活動がない地域（第一種）、または小さな地震活動が顕著に低下している地域（第二種）。
偶力	ぐうりょく	couple of forces	互いに平行で大きさが等しい、逆向きの1対の力。偶力は物体を回転させようとする。
クーリングジョイント	くーりんぐじょいんと	cooling joint	冷却節理と同義。
クーロン土圧	くーろんどあつ	Coulomb's earth pressure	壁背面の土くさびがすべり落ちるか、押し上げられるときの力の釣合いから求められる、壁面に作用する土圧。
クーロンの公式	くーろんのこうしき	Coulomb's equation	土のせん断応力 τ を、粘着力 c 、せん断面上の直応力 σ 、せん断抵抗角 ϕ で表わした式。 $\tau = c + \sigma \tan \phi$ 。
クーロンのせん断強度式	くーろんのせんだんきょうどしき	Coulomb's shear strength	クーロンの公式と同義。
クーロンの破壊基準	くーろんのはかいきじゅん	Coulomb's failure criterion	クーロンのせん断強度式に基づく土の破壊基準であり、強度定数として粘着力と内部摩擦角を用いる。
苦灰岩	くかいがん	dolostone, dolomite	炭酸塩岩の分類上、苦灰石を90%以上含む岩石。白雲岩ともいう。
苦灰石	くかいせき	dolomite	$\text{Ca}(\text{Mg, Fe, Mn})(\text{CO}_3)_2$ 。三方晶系。硬度3.5～4。比重2.85～3.02。MgとFe, Mnの置換があり、方解石やマグネサイトとの間に不完全な固溶体を形成。ドロマイト、白雲石ともいう。
玖珂鉱山	くがこうざん	Kuga mine	山口県玖珂郡美川町根笠にあるW・Cu鉱山。スカルン鉱床。1994年休山。
区間走時	くかんそうじ	interval transit time	単位区間を伝わる弾性波の伝播時間。

区間走時曲線	くかんそうじきよくせん	interval transit time curve	音波検層において、区間走時を深度方向に累加して作成した走時曲線。ある区間の平均速度を調べるのに利用。
区間速度	くかんそくど	interval velocity	地震波の特定区間伝搬速度。区間長は任意で地層境界面に対し、垂直な方向の速度を意味することが多い。
矩形シールド	くけいしーると	rectangular shaped shield	長方形断面のトンネルを掘るためのシールド。
草津白根火山	くさつしらねかざん	Kusatsu-Shirane volcano	群馬県西部にある複合成層火山。活火山で山頂付近にある爆裂火口の一つである湯釜では、1983年まで断続的な水蒸気爆発が続いていた。
楔石	くさびいし	sphene	チタン石と同義。
楔型破壊	くさびがたはかい	wedge failure (of rock slope)	岩盤斜面が破壊する際に、二つの交差する不連続面に挟まれた楔型の岩体がすべる場合を呼ぶ。
楔杭	くさびぐい	wedge pile	地すべり抑止杭の一種。滑動時に主として移動層と不動層の境界で杭体に変形するにつれて抵抗力を発揮する。
楔効果	くさびこうか	wedging effect	①ロックボルトで支持された楔を孔壁に向かって押しつけることにより、坑道壁面の安定を確保すること。 ②矢板工法でトンネルを施工する際に、地山と支保との隙間にくさびを打込むことによって地山の土圧を支保工に均等に作用させる効果。
楔状受け盤斜面	くさびじょううけばんしゃめん	wedge opposite dip slope	主働域斜面に直交する分離面（楔状）が発達する受け盤斜面で、トップリングや滑落型崩壊を起すことがある。
楔状岩塊型流れ盤斜面	くさびじょうがなかいがたながればんしゃめん	wedgetic rockblock dip slope	交差する不連続面によって楔状岩盤の崩壊を起すことがある流れ盤斜面。
楔状葉理	くさびじょうようり	herringbone lamina	正反対の傾斜方向を示すクロスラミナが重なったもの。多くは潮汐流によって形成される。
楔割	くさびわり	wedging	鑽や楔を岩石の割れ目に打ち込む破岩法。高圧水の楔力を利用する方法もある。
腐り礫	くさりれき	decayed gravel, decayed gravel bed	高位段丘面を形成する著しく風化した礫層。長期にわたる温度や水位変化による風化が原因。
櫛形構造	くしがたこうぞう	comb structure	縞状構造の鉱脈中で、鉱物が母岩の割れ目に直角に伸長して配列する構造。
櫛形褶曲	くしがたしゅうきょく	ridge-like fold, comb-shaped fold	急傾斜した背斜と平らで緩い向斜からなる褶曲で、横断形状からこの名がある。
串木野鉱山	くしきのこうざん	Kushikino mine	鹿児島町串木野町にある浅熱水性鉱脈型Au・Ag鉱床。四万十帯を基盤とし、これを覆う中新統～鮮新統の輝石安山岩中に胚胎。

久慈白大理石	くじしろだいらせき	Kujishiro marble	岩手県久慈市産石材。岩手白大理石。主として装飾用材。
久慈層群	くじそうぐん	Kuji Group	岩手県久慈市付近に分布する中生界上部白亜系。砂岩を主体とし、一部礫岩、凝灰岩、植物化石層を挟在する。
久慈炭田	くじたんでん	Kuji coal field	岩手県久慈市および野田村にまたがる炭田。夾炭層は港層中に2層、玉川層に1層でいずれも褐炭。
九重火砕流堆積物	くじゅうかさいりゅうたいせきぶつ	Kuju pyroclastic flow deposits	阿蘇カルデラの北東に位置する九重火山群の緩斜面を形成。3枚のデイサイト質軽石流と熱雲堆積物からなる。
釧路石	くしろいし	Kushiro ishi	釧路市産砕石用材。中生界粗粒玄武岩。
釧路沖地震	くしろおきじしん	the 1993 Kushiro-oki earthquake	1993年1月15日に釧路沖で発生したM7.8の太平洋プレート内の地震。死傷者969人とされる被害を出した被害地震。正式名称は「平成5年（1993年）釧路沖地震」。
釧路炭田	くしろたんでん	Kushiro coal field	北海道東部、十勝東縁から釧路支庁一帯におよび、太平洋海底に延びる大炭田。夾炭層は浦幌層群。れき青（瀝青）炭～褐炭。
九千部断層	くせんぶだんそう	Kusembu fault	活断層。確実度I、活動度B級、東西方向。長崎県島原市西方の雲仙普賢岳の北側にあり、全長10km。
管形水準器	くだがたすいじゅんき	bubble tube level	ガラス管の中に粘性の小さい液体を入れ、その一部に気泡が残された棒状気泡管を用いた水準器。水平面や鉛直面を定めたり傾斜を測定する際に用いる。
口切り	くちきり	touching point of bit, attack cut	削岩にあたって、ノミがおどったり、ノミ孔が曲がったりしないよう、ノミの先端を地山につけること。もんもん取りともいう。
口付け	くちつけ	attack	山岳トンネルの掘削の際、坑口の地山に初めて切りつけること。坑口は軟質な地質の場合が多く、安全に施工するため特殊な支保パターンや補助工法を用いることが多い。
口元圧力	くちもとあつりょく	pressure at the mouth of borehole	透水試験やグラウチング工事などの際、注入管の地上部に取り付けられた圧力計によって測定される圧力。
掘削機	くっさくき	excavator	土砂や岩石の掘削のために用いられる建設機械。
掘削工法	くっさくこうほう	excavation methods	トンネル断面の掘削の方法で、大別して全断面掘削工法と部分掘削工法があり、地質状況などに応じ選定される。
掘削置換工法	くっさくちかんこうほう	replacement method by excavation	軟弱層を掘削除去し、良質材に置き換えることによって良好な支持地盤とする工法。
掘削積み込み併用機	くっさくつみこみへいようき	cut and load machine	切羽の掘削と掘削土の積み込みができる機械で、半機械掘りシールドの施工時に装備されることが多い。

掘削泥水	くっさくでいすい	mud water	ボーリングを掘削する時に、孔壁保護、掘屑除去、ビット冷却を目的として孔内に送入される、主にベントナイトと調泥剤を混ぜたもの。
掘削底面	くっさくていめん	base of the excavation	構造物の基礎や原石山などの掘削における底の面。
掘削特性曲線	くっさくとくせい きょくせん	excavation characteristic curves	設計目標としての最小支保圧と最小掘削範囲を求めるために提案された掘削範囲と変位の関係を表す曲線。
掘削バージ	くっさくばーじ	drilling barge	海洋において坑井を掘削する船。掘削時の船の固定状態によって数種類に分類される。
掘削・覆工併進 工法	くっさくふっこうへ いしんこうほう	extruded concrete lining method, ECL	掘削機構とコンクリート覆工機構を装備したシールドを使用して、掘削と覆工を同時に併行して行う工法。ECL工法ともいう。
掘削プラットフォーム	くっさくぷらっと ふおーむ	drilling platform	掘削装置を備えた固定式プラットフォームで、海洋掘削などに用いられる。
掘削プラント	くっさくぷらんと	excavation plant	ブルトーザやリッパなど掘削に使用する機械や道具を含めた施設・設備の総称。
掘削方式	くっさくほうしき	excavation system	トンネル建設方式で、掘削手段によって、人力掘削・爆破掘削・機械掘削方式がある。施工方式によって、山岳・シールド・開削・沈理工法などがある。
掘削用泥水	くっさくようでいすい	drilling mud	掘削孔の安定化、スライム排除、掘削器具やロッドの冷却などの目的で孔内に循環流入させる粘土を混ぜた掘削液。
屈斜路カルデラ	くっしゃろかるでら	Kussharo caldera	北海道東部の阿寒知床帯にある東西径26km、南北径20kmのクラカタウ型カルデラ。
屈斜路地震	くっしゃろじしん	the 1938 Kussharo earthquake	1938年5月29日に屈斜路湖付近で発生したM6.1の被害地震。死者などは少なかったが地変が目立った。
掘進長	くっしんちょう	round, cycle length	山岳トンネル工事で1回の発破または1掘削サイクルで掘削される長さ。
掘進率	くっしんりつ	penetration rate	掘削機械の施工において、掘削した延長とそれに要した時間との割合。一般的に掘削速度で表す。
屈折図	くっせつず	refraction diagram	特定の周期と入射方向をもつ波の進行経路を示した図。
屈折波	くっせつは	refracted wave	地震波動は密度の異なる物質の境界面で屈折する。土木分野では人工地震により得られた臨界屈折波から、地盤内の弾性波速度構造を探索している。
屈折波プロ フィーリング	くっせつはぷろ ふいーりんぐ	refraction profiling	屈折波探索による走時曲線を解析して得られた速度層断面図。

屈折法地震探査	くっせつほうじしん たんさ	seismic refraction survey	発破などで発生した直接波、屈折波を観測して地下構造を求める方法。解析には一般に萩原の方法（はぎとり法）が用いられる。ダム、トンネルなど土木構造物の調査において風化帯の厚さや断層破碎帯の位置などを把握するために用いられることが多い。
屈折面	くっせつめん	surface of refractor	弾性波動がスネルの法則に従い屈折現象を生じるときの媒質の境界面。
屈折率	くっせつりつ	refractive index	媒質ⅠからⅡに入る波について、入射角と屈折角の正弦の比を、媒質ⅡのⅠに対する屈折率という。
屈折率測定	くっせつりつそくてい	refractive index measurement	物質に固有な性質である光の屈折率を測定すること。火山灰の同定などに用いられる方法。
グッドマン ジャッキ	ぐっどまんじゃっき	Goodman jack	ボーリング孔内に挿入して岩盤の変形係数などを測定するため、小型ジャッキに載荷板を付けた等変位載荷方式の装置。
苦鉄質	くてつしつ	mafic	岩石の成分がマグネシウム（苦土）と鉄の成分に富むこと。
苦鉄質鉱物	くてつしつこうぶつ	mafic minerals	マグネシウムと鉄に富む鉱物で、有色である。具体的には、黒雲母・角閃石・輝石・かんらん石（橄欖石）などをさす。
苦土かんらん石 （橄欖石）	くどかんらんせき	forsterite	Mg ₂ SiO ₄ 。斜方晶系。かんらん石（橄欖石）の固溶体としてのMg端成分。超塩基性岩や石灰質からドロマイト質変成岩中に産出する。
グナイト	ぐないと	gunite	圧縮空気で吹きつけて作るモルタルまたはコンクリート。吹付けコンクリート、ショットクリートと同義。
国神石	くにがみいし	Kunigami ishi	埼玉県秩父郡皆野町産石材。結晶片岩中に挟在する蛇紋岩・蛇灰岩。鳩糞石と同質。装飾・砕石用材。
国頭マージ	くにがみまーじ	Kunigami maaji soil	沖縄県に広く分布する赤色粘土で、石灰岩を除く基盤岩の強風化残積土。不可逆的な固化作用はない。
国見地すべり	くにみじすべり	the Kunimi landslide	富山県氷見市北部の国見に分布する国土交通省指定の地すべり指定地。明治時代からの断続的な地すべり。
クヌーセン真空計	くぬーせんしんくう けい	knudsen gauge	希薄気体中の分子の運動量を利用した回転計を用いて気体の希薄度、すなわち真空度を測定する計器。
久野川断層	くのがわだんそう	Kunogawa fault	活断層。確実度Ⅰ，活動度B級，北東方向。岐阜県下呂町南部に位置し，北西系の阿寺断層南西部に北東走向で延びる延長17km，
久原地すべり	くはらじすべり	the Kuhara landslide	1972年梅雨時に山口県大津郡油谷町で発生した地すべり。
頸城油田	くびきゆでん	Kubiki oil field	新潟県中頸城郡大潟町を中心とした頸城平野一帯に位置する油田・ガス田。貯留層は新第三系寺泊層の凝灰質砂岩。

久万石	くまいし	Kuma ishi	愛媛県上浮穴郡久万町産石材。新第三系黒雲母安山岩。墓石用材など。
熊木石	くまきいし	Kumaki ishi	石川県鹿島郡中島町熊木産土木・建築用石材。新第三系安山岩質凝灰角礫岩。
球磨層	くまそう	Kuma Formation	南部九州に分布する古生界ペルム系上部統。礫岩、砂岩、泥岩を主体とし、石灰岩を挟む。
熊野酸性岩	くまのさんせいがん	Kumano acidic rock	紀伊半島南東部の新宮・尾鷲付近に分布する新第三系中新統の珪長質火成岩類。花崗斑岩を主体とし、凝灰岩・流紋岩を伴う。
熊野層群	くまのそうぐん	Kumano Group	紀伊半島南東部に分布する新第三系中新統。海成で礫岩・砂岩・泥岩・シルト岩を主体とする。熊野酸性岩類が貫く。黒色の粘板岩は那智黒石として採掘されている。
熊の平地すべり	くまのだいらじすべり	the Kumanodaira landslide	1950年6月8日～6月9日に、群馬県信越本線熊の平駅付近にて発生した地下水型地すべり。
熊本地震	くまもとじしん	the 1889 Kumamoto earthquake	1889年7月28日熊本市西方数km, 金峰山付近を震央とし、M6.3の強震を記録。
汲上げ泉（くみ上げ泉）	くみあげせん	pumping spring	地下水をポンプで揚水して運用している泉。
組合せ土圧計	くみあわせどあつけい	combined pressure cell	多面体のそれぞれの面に土圧計を組み込み一個の剛体とし、それらの各面に作用する圧力を測定する計器。
雲出ガス田	くもいでがすでん	Kumoide gas field	新潟県長岡市西部のガス田。1962年発見。深度1300～2200mの西山層、椎谷層の凝灰岩・凝灰質砂岩層から産出。
クラーク数	くらーくすう	Clarke number	クラークとワシントンが1924年に提唱した、地球の表層部を構成する岩石の平均的な元素存在度。
クラーク石	くらーくせき	clarkeite	(Na, Ca, Pb) ₂ U ₂ (O, OH) ₇ , 晶系不明。硬度4～4.5。比重6.4。暗褐～褐黄色、ろう光沢を示し、へき開（劈開）なし。センウラン鉱の分解物。
グラーベン	ぐらーべん	graben	地溝と同義。
グライ化作用	ぐらいかさよう	gleization	地下水位が浅い低地などの還元状態下で進む土壌生成過程。第一鉄の生成により青色～緑色を帯びた土層が形成。
グライ化森林土	ぐらいかしりんど	gleyed forest soil	温帯の河谷や平地の低湿地帯の主にハンノキの植生下に分布する土壌で、厚いグライ層を有する。
グライゼン	ぐらいぜん	greisen	比較的高温の熱水作用による変質岩の一種で、石英と白雲母を主とする粒状岩。花崗岩体縁辺部などに見られる。

グライゼン化作用	ぐらいぜんかさよう	greisenization	花崗岩体の周縁部や周辺の岩が高温の熱水変質を受け変質する作用で、いわゆる気成作用。石英、白雲母を主体とし、リチウム雲母、トパーズや錫石などを含むことが多い。
グライ層	ぐらいそう	gley horizon	土壌層位名の一つで、還元作用を受けた土層。鉄の還元により青灰～緑灰色を呈する。
グライディング	ぐらいでいんぐ	gliding	滑動と同義。
グライ土	ぐらいど	gley soil	後背湿地、谷底などで地下水位面下でグライ化作用により生成された無機質水成土壌の総称。青灰～緑灰色のグライ層をもつ。
クライマー工法	くらいまーこうほう	climber method	発破による立坑・斜坑の掘り上がり掘削工法で、ガイドレールに沿って昇降する作業足場を使用し掘削する。
クライモグラフ	くらいもぐらふ	climograph	体感気候上の諸特徴を示すダイヤグラムで、各月の湿球温度を縦軸に、相対湿度を横軸にとって表したもの。
グラウタビリティ比	ぐらうたびりていひ	groutability ratio	土粒子で構成される地盤に対するグラウト材の浸透性を評価する指標。土粒子の径とグラウト材の径の比(D15/G85およびD10/G95, ここでD10, D15:土粒子の10%, 15%粒径, G85, G95:グラウトの85, 95%粒径)で表される。
グラウチング	ぐらうちんぐ	grouting	地盤などの止水や補強のために、セメントミルクや薬液を主体とした注入材を注入すること。
グラウト	ぐらうと	grout	グラウチングの注入材料。セメントミルクや薬液など。
グラウトカーテン	ぐらうとかーてん	grout curtain	堤体基礎の浸透流抑制のために基礎岩盤中に注入工事により形成された薄い難透水ゾーン。
グラウトキャップ	ぐらうときゃつぷ	grout cap	浮き上がりやリークを防止してグラウチングを効率よく行うために打設したコンクリートスラブあるいは盛り土。
グラウトギャラリー	ぐらうとぎやらり	grout gallery	グラウチング施工用に堤体内もしくは岩盤中に設けた通廊。
グラウトグループ	ぐらうとぐるーぷ	grout groove	ジョイントグラウチング時に注入継目内の空気や注入ミルクの上澄みなどを排出するためにグラウチンググリフト上端に設ける溝。
グラウト孔	ぐらうとこう	grout hole	グラウチング施工のための注入用ボーリング孔。
グラウト工	ぐらうとこう	grouting	グラウチングと同義。
グラウトストップ	ぐらうとすとっぷ	grout stop	コンクリートダムなどのジョイントグラウチングなどに際し、グラウトの漏出を防ぐ為に継目に設ける鉄板などのリーク防止材。

グラウト設備	ぐらうとせつび	grouting equipment	グラウチングを行う際に必要となる機械設備の総称。
グラウトセル	ぐらうとせる	grout cell	中央内挿法による施工の際の単位注入ブロックのこと。
グラウト配管	ぐらうとはいかん	pipe arrangement for grouting	ジョイントグラウチングやコンタクトグラウチングなどを行うために継目や岩盤面に埋設する注入管。
グラウトブランケット	ぐらうとぼらんけつと	grout blanket	組織的なグラウチングにより形成された基礎浅部の幅の広い難透水ゾーン。
グラウトベント	ぐらうとべんと	grout vent	グラウト注入時に、余分な空気や水分などを抜くためにグラウトリフトの上部に設ける吹き出し管。
グラウトポンプ	ぐらうとぼんぷ	grout pump	グラウト材を連続的に岩盤に注入（グラウチング）するためのポンプ。
グラウトミキサ	ぐらうとみきさ	grout mixer	注入に用いるグラウト材を練混ぜるためのミキサ。
クラウン	くらうん	crown	トンネルのアーチ頂点のこと。アーチクラウンともいう。
クラウン断面	くらうんだんめん	cross-section at crown	アーチダムのダム高最大部のクラウン部の断面。
クラウンバー	くらうんばー	crown bar	新たに設置した支保工が土圧を受けるようになるまでの間、既設の支保工と連結して一体化させ一時的に土圧を受けるために設置する部材。
クラカタウ型カルデラ	くらかたうがたかると でら	caldera of Krakatau type	大規模噴火により多量のマグマが噴出され、その直後に火口部が陥没して形成されたカルデラ。スンダ海峡に位置するクラカタウ火山で1883年の大爆発の際に生じた陥没カルデラを典型として命名された。日本の主なカルデラはこのタイプ。
クラキュエイジグラウチング	くらきゅえいじぐら うちんぐ	claquage grouting	軟弱地盤への割裂注入（高圧を加えて亀裂を発生させ注入する）により不透水膜を網目状に作り、地盤の透水性を減少させる注入工法。
グラジオマンオメータ	ぐらじおまのめーた メータ	gradio-manometer	坑井内の圧力勾配の微小な変化を連続的に測定できる差圧測定器。
グラジオメータ	ぐらじおめーた	gradiometer	傾度偏差計と同義。
クラス I	くらすいち	class I	岩石の圧縮試験における破壊後の変形挙動による分類。クラス I の岩石は破壊後、応力の低下に伴ってひずみが増加し応力-ひずみ曲線の勾配が負となる。
クラスター分析	くらすたーぶんせき	cluster analysis	属性（物性値など）が既知の集団を、それらの属性値によって任意の群（クラスター）に分ける手法。

クラスト	くらすと	crust	①地表近くにある石灰・石膏・鉄・珪酸などで接着された層。皮殻という。 ②地殻
クラスⅡ	くらすに	class Ⅱ	岩石の圧縮試験における破壊後の変形挙動による分類。クラスⅡの岩石は破壊後、応力の低下に伴ってひずみが減少し応力-ひずみ曲線の勾配が正となる。
グラスファイバ コンクリート	ぐらすふあいばこん くりと	glass fiber reinforced concrete	ガラス繊維補強コンクリートのこと。
クラッキング	くらっきんぐ	cracking	①地盤注入において、注入管の周囲で固化したシールグラウト材に注入管内から水圧を加えて亀裂を発生させること。この亀裂を通して周辺地盤への注入を行う。 ②コンクリートにクラックが生じること、あるいは強制的にクラックを生じさせること。
クラック	くらっく	crack	亀裂と同義。
クラックテンソル	くらっくてんそる	crack tensor	亀裂の幾何学的特性を表現するために導入されたテンソル量で、クラックの分布を表わす。
クラッシャ	くらっしゃ	crusher	砕石機と同義。
クラッシングプラント	くらっしんぐぷらん と	crushing plant	砕石プラントと同義。
クラッシング・ ロール	くらっしんぐろーる	crushing rolls	一組の平行円筒体を逆回転させ、その間の原石を破碎する機械。ダブルロールクラッシャともいう。
クラトン	くらとん	craton	造山帯に対する概念として考えられたもので、カンブリア紀以前に安定化した楕状地と卓状地を併せた地域をさす。剛塊ともいう。
グラニトイド	ぐらにといど	granitoid	花崗岩質のこと。成因を問わず、等粒質の花崗岩状岩石をいう。
グラニュライト	ぐらにゅらいと	granulite	長石・石英・ざくろ石を主体とし、高温高压下で形成された細粒等粒状変成岩。片理は未発達である。白粒岩ともいう。
グラニュライト 相	ぐらにゅらいとそう	granulite facies	変成相の名称で白粒相ともいう。角閃岩相よりも高温であり輝石ホルンフェルス相よりも高压の変成相。
グラノファイア	ぐらのふあいあ	granophyre	珪長質半深成岩の一種。石英と長石からなる石基の組織が、微文象構造や球顆状構造を呈する岩石。
倉橋石	くらはしいし	Kurahashi ishi	広島県安芸郡倉橋町産石材。中生界含角閃石黒雲母花崗岩。主として土木・板石用。
グラビティーコ アラ	ぐらびていーこあ ら	gravity corer	海洋底を自重で貫入させることによりコアをとる、海洋学などで使用されるコア採取装置。

グラブサンプラ	ぐらぶさんぷら	grab sampler	海底底質調査用試料採取器具の一種。ワイヤで降下させ、着底すると歯のついた口が閉じて底質をつかみ取る。
グラブ式浚渫船	ぐらぶしきしゅんせつせん	grab dredge, clamshell dredger	グラブにより水底を浚渫する作業船のこと。グラブの爪の形式により数種類のタイプがある。
グラベルドレーン工法	ぐらべるどれーんこうほう	gravel drain method	地盤中に透水性の高い礫の杭を作り、地震時に発生する過剰間隙水圧を消散させることで液状化を防止させる工法。
鞍馬石	くらまいし	Kurama ishi	京都府京都市鞍馬山産石材。中生界花崗閃緑岩。主として茶席などの庭石。
倉真層群	くらみそうぐん	Kurami Group	静岡県中西部掛川北方から二俣地域まで分布する新生界下部中新統。海成で下位から礫岩、砂岩、シルト岩、砂岩シルト岩互層、珪質シルト岩が分布する。
クラムシェル	くらむしえる	clamshell grabbing crane	開閉するバケットを鉛直方向に落下させて掘削するショベル系掘削機。
クラムシェルクラブ	くらむしえるくらぶ	clamshell crab	開閉するバケットをワイヤロープにつり下げて、土砂を掘削、採取するショベル系の機械。
クラムシェルバケット方式	くらむしえるばけつとほうしき	clamshell bucket system	地下連続壁の掘削方法の一つで、クラムシェルや特殊グラブで土砂を直接つかみとる方式。
グラム当量	ぐらむとうりょう	gram equivalent	水素の1原子量と化合する元素の量をその元素の化学当量に等しいグラム数で表わしたもの。
グラム分子	ぐらむぶんし	gram molecule	化学物質の質量をグラム単位で表したもの。その数値は化学物質の分子量に等しい。
クランクニコルソン法	くらんくにこるそんほう	Crank-Nicolson method	差分法における差分近似スキームのうち、前進型と後退型を組み合わせた時間差分をいう。
グラウンドアーチ	ぐらんどあーち	ground arch	トンネルの緩み領域の外側に形成され、それより上部の荷重を周りの地山へ伝達するアーチ状の領域。
グラウンドアンカー	ぐらんどあんかー	ground anchor	地すべりやのり面の山留め壁を地盤との摩擦抵抗によって支持するために打設されるケーブルまたは鋼棒。
グラウンドサージ	ぐらんどさーじ	ground surge	火山の垂直的爆発に伴って噴煙柱の基底部からの密度流として側方に広がる雲。火砕流堆積物の基部を成す。（火砕サージ）
グラントルース	ぐらんどとるーす	ground truth	リモートセンシングデータの処理により情報を抽出するため、その基準となる地上の実態を把握すること。
グランビー型ずりトロ	ぐらんびーがたずりとろ	granbee type trolley	走行しながらずり積載部を傾け、側扉が自動的に開くことによりずりを放出できるトロ。

クリアランス	くりあらんす	clearance	孔壁と掘削ツールとの間の環状の間隙部。ボーリング機械周辺の空間。
栗石	ぐりいし	guri stone, cobble stone	握り拳大の礫を称し石垣・石積み・石張りの裏込めに用いられる。
栗石粗朶工	ぐりいしそだこう	cobble stone and fascine hardle method	のり面上に格子状に組んだそだ柵の間に玉石・ぐり石などを詰めるもの。
クリープ	くりーぷ	creep	①重力の作用を動力とする非造構性の地層変形で、斜面上の土壌や岩層が重力の作用で時間とともに徐々に移動する現象。匍行ともいう。 ②一定の応力が作用した状態で時間とともにひずみが徐々に増加すること。
クリープ型地すべり	くりーぷがたじすべり	creep-type landslide	山腹斜面の地表付近が、自重などによって、ゆっくり移動する地すべり。匍行型地すべり
クリープ強度	くりーぷきょうど	creep strength	クリープ破壊に対して破壊までの時間が無限大になるときの強度。
クリープ係数	くりーぷけいすう	creep factor	収束するクリープ現象において、総クリープひずみ（変形）量と弾性ひずみ（変形）量の比。
クリープ限界	くりーぷげんかい	creep limit	物質が一定時間内に特定のクリープ量以下に持ちこたえ得る最大応力。
クリープ玄武岩	くりーぷげんぶがん	KREEP basalt	月の玄武岩のうち、カリ(K)、希土類(REE)、リン(P)に異常に富む玄武岩をさす。月誕生直後の固結層と考えられる。
クリープ試験	くりーぷしけん	creep test	材料の変形や強度特性の長期にわたる時間依存性を調べる試験で、一定の荷重の下で変形や強度を測定する試験。
クリープ性断層	くりーぷせいだんそう	fault with creep slippage	概ね一定の速度で連続的に変位する断層。例：サンアンドレアス断層の一部は1～3mm/年のクリープ運動。
クリープ速度	くりーぷそくど	creep speed	クリープ時のひずみ速度のこと。クリープ速度の時間的経過によって一次、二次および三次クリープに分類。
クリープ定数	くりーぷていすう	creep constant	クリープひずみの推定式で用いられる定数。
クリープ破壊強度	くりーぷはかいきょうど	creep failure strength	一定の長期荷重の下で破壊したときの材料の強度をいい、通常得られる強度の7～9割に低下するといわれる。
クリープ比	くりーぷひ	creep ratio	ダムや止水矢板を施工する地盤内の最短浸透路長を両側の水位差で割った値。浸透破壊を防止するための最小値が提案されており、ダムの破砕帯置換えプラグやカットオフの深さ、止水矢板の根入れ長の設計に用いられる。
クリープひずみ	くりーぷひずみ	creep strain	土や岩石などが一定の応力（荷重）のもとで、時間とともに増加するひずみ。

クリープ変形	くりーぷへんけい	deformation of creep	一定応力下でひずみが時間とともに徐々に増大することにより起こる物質の変形.
クリープ変形式	くりーぷへんけいしき	creep deformation formula	地盤材料のクリープ変形をひずみ速度, 主応力差, 時間との関係で表示した式.
クリープモデル	くりーぷもでる	creep model	①地盤のクリープ変形を表現するためにせん断弾性係数と粘性係数を組み合わせたモデル. ②地震に伴う応力変化により地殻のクリープ変形がはじまり, その速度に比例した余震発生を考慮するモデル.
栗色土	くりいろど	chestnut soil	温帯の半乾性草原(年降水量250~350mm)の短茎草木植生下に生成する成帯性土壌の型名.
クリーンエネルギー	くりーんえねるぎー	clean energy	石油, 天然ガスや石炭などの化石燃料の燃焼に依存しない, 水力, 地熱, 太陽熱, 太陽光, 風力などのCO ₂ を放出しないエネルギー.
グリーンカット	ぐりーんかつと	green cut	コンクリート表面のレイタンス(コンクリートのブリーディングによる表面の薄い泥状物の層)などを取り除くために, 硬化する前にジェット水で表層部を除去する作業.
クリーンサンド	くりーんさんど	clean sand	純粋砂岩. 粘土や礫などを含まない砂だけからなる砂岩.
グリーンタフ	ぐりーんたふ	Green Tuff formation, Green Tuff	緑色凝灰岩と同義.
グリーンタフ造山運動	ぐりーんたふぞうざんうんどう	Green Tuff orogenic movement	グリーンタフ変動ともいう. 中新世以降の変質した緑色凝灰岩で特徴づけられるの一連の火山活動.
グリーンタフ地域	ぐりーんたふちいき	Green Tuff region	中新世前~中期の火山岩・火山砕屑岩の変質した緑色凝灰岩が分布する地域. 千島列島から琉球列島におよぶ.
グリーンタフ地相	ぐりーんたふちこう	Green Tuff geosyncline	新第三紀にグリーンタフ地域に形成された堆積盆地. 地相論に基づく呼び方. 地相論による造山論は現在あまり議論されていない.
グリーンタフ変動	ぐりーんたふへんどう	Green Tuff movement	グリーンタフ地域における, 中新世の火成活動と堆積盆地の形成に関する一連の変動をいう.
グリーンロック	ぐりーんろっく	greenrock	緑色岩と同義.
クリオターベーション	くりおたーべーしょん	cryoturbation	結氷淘汰作用と同義.
クリオプラネーション	くりおぷらねーしょん	cryoplanation	周氷河域に見られる凍結融解に起因する地表面の平坦化作用. 河川や風による運搬・堆積も含む.
クリオペドロジー	くりおぺどろじー	cryopedology	寒冷地域にみられる著しい結霜, 凍土現象について, その発生, 進行過程および予防を工学的に追求する学問.

繰返し圧密	くりかえしあつみつ	consolidation under repeated loading	圧密試験で正規圧密過程の応力を載荷後、載荷重を減らし、再度載荷重を増すこと。
繰返し一面せん断試験	くりかえしいちめんせんだんしけん	reversal direct shear test	供試体の両側から交互に一面せん断を繰返す試験法。地すべり粘土などの残留強度や砂の液状化特性などを求めるために用いられる。
繰返し応力	くりかえしおうりょく	cyclic stress	繰返し載荷の際の応力。繰返し載荷を参照。
繰返し荷重	くりかえしかじゅう	repeated load	物体に規則的に変動する荷重を繰返し作用させること。地盤・岩盤の弾性的挙動を知る上で有効。
繰返し載荷	くりかえしさいか	cyclic loading	地盤や供試体に対して、ある大きさとで載荷と除荷を繰返して行うこと。
繰返し載荷パターン	くりかえしさいかばたーん	cyclic loading pattern	土や岩の地盤や供試体に加える荷重を繰返し増減する際の応力の時間履歴のパターンで、正弦波形など。
繰返し三軸圧縮試験	くりかえしさんじくあっしゅくしけん	cyclic triaxial test	円柱供試体に対して繰返し軸差応力を作用させ、動的な強度・変形特性を求める三軸試験。振動三軸圧縮試験ともいう。
繰返しせん断試験	くりかえしせんだんしけん	cyclic shear test	動的変形特性、液状化抵抗などを求めるために、せん断力を供試体に繰返し加える力学試験の総称。
繰返し単純せん断試験	くりかえしたんじゅんせんだんしけん	cyclic simple shear test	土などの繰返しせん断試験のうち、単純せん断試験機を用いて繰返し応力をかけて行うもの。
繰返し中空円筒ねじりせん断試験	くりかえしちゅうくうえんとうねじりせんだんしけん	cyclic hollow cylinder torsional shear test	繰返しせん断試験のうち、円環状の供試体の上下面にねじりせん断力を加えるせん断試験。
繰返しひずみ軟化	くりかえしひずみなんか	strain softening by cyclic loading	繰返し載荷状態において、繰返しサイクルとともにせん断剛性が低下していくような応力-ひずみ挙動
クリギング	くりぎんぐ	kriging	離散的測点で得られたデータに基づき、測点以外の点の値や測点付近の平均値を最小誤差で推定する手法。地球統計学(geostatistics)で用いる手法。
くり粉	くりこ	powder	削岩や削孔の際に、破碎されて粉状や粒状で排出される岩石粉。
クリストバライト	くりすとばらいと	crystalite	SiO ₂ 。低温型α-クリストバライトと高温型β-クリストバライトがある。α-クリストバライトは正方晶系、硬度6~7、比重2.33。β-クリストバライトは立方晶系。石英・鱗珪石・玉ずい(玉随)・コーサイトなどと多形(結晶構造が異なる)をなす。クリストバル石ともいう。
クリストバル石	くりすとばるせき	crystalite	クリストバライトと同義。
グリセロール処理	ぐりせろーるしより	treatment with glycerol	X線回折において、膨張性粘土鉱物を他の粘土鉱物と区別するために底面間隔を変化させる処理。

クリソタイル	くりそたいる	chrysotile	Mg ₃ Si ₂ O ₅ (OH) ₄ . 単斜晶系. 蛇紋岩, かんらん岩 (橄欖岩) 中に産出する繊維状の蛇紋石. アスベストの大部分はこれからなり, 温石綿ともいう.
クリソライト	くりそらいと	chrysolite	Mg ₂ SiO ₂ -Fe ₂ SiO ₄ の固溶体を形成するかんらん石系列の鉱物で, Fe ₂ SiO ₄ 成分が10~30%のもの.
グリッド	ぐりっど	grid	①地質調査地点を規則的に配置するために組まれた格子. ②地図図化機の点検調整用格子板. ③数値解析において対象領域を区分した計算小領域. など
グリッドシステム	ぐりっどしすてむ	grid system	地質調査を効率的に実施するために試掘横坑, ボーリングを等間隔のマス目の交点を基準に配置する方法.
グリッド調査	ぐりっどちょうさ	grid survey	グリッドシステムと同義.
グリッドマップ	ぐりっどまっぷ	grid map	等間隔のグリッドを展開し, 各格子点における情報 (地形などの量的情報や地質などの質的信息) を表現した地図.
グリッパー	ぐりっぱー	gripper	TBMの推進反力を取るためにTBM本体から側壁に張り出し圧着させる装置
クリッペ	くりっぺ	klippe	衝上断層運動などにより形成されたナップが浸食されて残った, 独立した異地性岩体. 根なし地塊ともいう.
クリティカルパス	くりていかるぱす	critical path	工程管理をネットワーク手法で行う場合に工程上の余裕がないパス (一連の作業を連ねた経路) であり, 最も時間を要するパス.
グリニッジ標準時	ぐりにっじひょうじゅんじ	Greenwich mean time	グリニッジ子午線での地方時で, 全世界の地方時または標準時の基本とされる.
クリノシークエンス	くりのしーくえんす	clinosequence	土壌生成因子のうち, 地表面の傾斜だけが異なる一群の土壌.
クリノヘドライト	くりのへどらいと	clinohedrite	CaZnSiO ₄ H ₂ O. 単斜晶系. 硬度5.5. 比重3.3. 無色~薄紫. 透明. 柱状または板状結晶. 斜晶石と訳されることがあるが, プラジオナイトの和訳にも斜晶石が使われるため注意が必要である.
クリノメータ	くりのめーた	clinometer	地質の野外調査で用いられる道具の一つ. 面構造 (層理面, 断層面など) の走向・傾斜の測定に用いる.
久里浜石	くりはまいし	Kurihama ishi	神奈川県横須賀市久里浜産土木用石材. 新第三系凝灰岩
クリプトメレーン	くりぷとめれーん	cryptomelane	マンガン鉱石の一種. マンガン鉱石の風化残留物または熱水変質作用によって生成.
グリムソル	ぐりむそる	grumsol	熱帯~亜熱帯の中少雨量域に分布し, 多量のモンモリロナイト粘土を含む暗色粘土質の土壌.

クリモシークエンス	くりもしーくえんす	climosequence	土壌生成因子のうち、気候因子だけが異なる一群の土壌.
クリンカー	くりんかー	clinker	①溶岩周縁部が冷却・固化する時に生ずる表面の破砕部分. ②セメント製造において原料を高温で半熔融状に焼成し、塊状に焼き固めたもの. これを粉砕してセメントとする.
クリンカーアッシュ	くりんかーあっしゅ	clinker ash, bottom ash	ボイラーなどで炉壁、炉底に付着する石炭灰.
グループキャスト	ぐるーぶきゃすと	groove cast	水流によって貝殻や礫などが移動した際に削ってできた溝状の痕跡. タービダイト中に多く見られる. グループマークともいう.
ゴルフ透水計	ぐるふとうすいけい	Guelph permeameter	現場透水係数の測定に用いられる定水位透水計.
来馬地すべり	くるまじすべり	the Kuruma landslide	1809年3月21日長野県の小谷村を中心に多数発生した地すべりの一つ. 人家27戸埋没とされている. 下瀬地区には堰き止め池ができた. 地すべりの誘因は融雪とみられる.
来馬層群	くるまそうぐん	Kuruma Group	富山県・新潟県境付近に分布する中生界ジュラ系. 砂岩・泥岩を主とし礫岩層・炭層を伴う.
胡桃地すべり	くるみじすべり	the Kurumi landslide	1964年7月16日に富山県氷見市で発生した地すべり. 面積約70haが移動. 警報装置により人的被害なし.
クレイオーガー	くれいおーがー	clay auger	イギリスで標準的に採用される原位置サンプリング法. ロッドに装着して手動で回転させてサンプリングを行う.
グレイ型上下動振り子	ぐれいがたじょうげどうふりこ	Grey type vertical motion pendulum	グレイ (Thomas GREY, 1850~1908) が考案した上下動地震計に用いられるバネを使った上下振り子.
グレイ・キング乾留試験	ぐれいきんぐかんりゅうしけん	gray king assay	コークス試験. 石炭の粘結性 (こう着度) を測定する試験法. 英国石炭庁の分類や国際石炭分類法の一基準として採用.
グレイスケール	ぐれいすけーる	gray scale	写真などで濃度 (明度) を白色から黒色にかけて段階的または連続的に変化させ作成した基準用のスケール.
クレイブランケット	くれいぶらんけっと	clay blanket	透水性や透気性の良い地盤に、水や圧気の遮断を目的として設ける粘土の層.
クレイボーリングビット	くれいぼーりんぐびっと	clay boring bit	スピリット・インナーチューブのコアバーレルに用いられる特殊なコアリングビット.
グレイワッケ	ぐれいわっけ	graywacke	砂岩のうち泥質基質を15%以上含み、淘汰の悪く成熟度が低く堅硬なもの. 硬砂岩ともいう. 1960年代以降は分類名としては一般に使わない.
グレイン	ぐれいん	grain	岩石の割れやすい面は、一般に1~3の面まで識別が可能で、そのうち2番目の面をいう. 粘板岩ではへき (劈) 開面に直交した面、花崗岩のような塊状岩ではrift (石目) に次いで割れやすい面.

クレーター	くれーたー	crater	惑星，衛星の地表面にみられる円形の凹地状地形．火山クレーター・隕石クレーターに区分される．
グレーダー	ぐれーだー	grader	地面をならすために用いる建設機械で前後輪の中央部に切削用のブレードを有する．自走するもの，トラクタでけん引されるものなどがある．
グレースェル型土圧計	ぐれーつゑるがたどあつけい	Glötzl hydraulic cell	手元のポンプを加圧し，土中の圧力と平衡状態になった時の圧力を読み取る方式の土圧計．判別型土圧計の一種．
グレーディング	ぐれーでいんぐ	grading	堆積構造の一つ．単層の中で上位に向かって碎屑物の粒度が次第に小さくなること．地層の上下判定に用いられる．級化と同義．
グレーデッド・ベッディング	ぐれーでっど・べっでいんぐ	graded bedding	級化層理と同義．
グレード	ぐれーど	grade	平衡河川ともいう．河床の縦断形状が長期間一定している河川．静的平衡河川と動的平衡河川がある．
クレストゲート	くれすとげーと	crest gate	洪水吐頂部に設けた水位調節用ゲート．
クレバス	くればす	crevasse	①氷河の流動により生じた氷河内の裂け目． ②自然堤防・人工堤防に生じた裂け目．
グレンコー型カルデラ	ぐれんこーがたか でら	caldera of Glen Coe type	火山性の凹陥地の一つ．マグマだまり上の垂直に近い環状の割れ目に沿う円筒状地塊が陥没して生じたカルデラ．スコットランドのGlen Coe貫入岩体における陥没地形から命名．
黒井ガス田	くろいがすでん	Kuroi gas field	新潟県中頸城郡の頸城平野に位置する油田．1958年発見．頸城産油・産ガス地帯に属する．貯留層は深度500～2000mの新第三系椎谷層・寺泊層の砂岩，凝灰岩．
黒井油田	くろいゆでん	Kuroi oil field	新潟県中頸城郡の頸城平野に位置する油田．頸城産油・産ガス地帯に属する．産油層は新第三系椎谷層・寺泊層の砂岩．
黒雲母	くろうんも	biotite	$N [K_2(Mg, Fe^{2+})_{6-4}(Fe^{3+}, Al, Ti)_{0-2}(Si_{6-5}, Al_{2-3}, O_{20})O_{0-2}(OH, F)_{4-2}]$ ．単斜晶系．硬度2.5～3．比重2.7～3.3．火成岩・変成岩・堆積岩中に広く分布するトリオクタヘドラル型雲母の一種．暗褐・暗緑色で六角板状結晶．へき開(劈開) {001} で完全．
黒雲母花崗岩	くろうんもかこうが ん	biotite granite	有色鉱物が黒雲母を主体とする花崗岩．
黒雲母片岩	くろうんもへんが ん	biotite schist	結晶片岩のうち，黒雲母を主成分とするもの．一般に泥質岩を原岩としている．
グローバル・ポジショニング・システム	ぐろーばるぼじしよ にんぐしすてむ	global positioning system	汎地球測位システムともいう．一般にはGPSと略称される．多数の衛星の位置，電波発信時刻の情報を同時に受信，解析し，全地球上で位置把握を可能とした測位システム．
クローラードリル	くろーらーどり る	crawler drill	ドリフター(打撃力の大きい大型の削岩機)をクローラー式架台に搭載したもの．

クローラードリルジャンボ	くろーらーどりる じゃんぼ	crawler drill jambo	複数のドリフターをクローラー式架台に搭載した削岩機。
クローラクレーン	くろーらくれーん	crawler crane	クローラ式（無限軌道式）の自走装置を有するクレーン。
グローリーホール	ぐろーりーほーる	glory hole	立坑掘削の際のずり搬出のために、立坑の真中に設ける穴、あるいは砕石場の砕石搬出に用いる立坑。
黒髪石	くろがみいし	Kurogami ishi	山口県周南市黒髪島産石材。黒雲母花崗岩。
黒川石	くろかわいし	Kurokawa ishi	新潟県中頸城郡柿崎町産土木用石材。新第三系凝灰岩。
黒川温泉	くろかわおんせん	Kurokawa hot spring	全国4箇所に黒川温泉がある。(1)広島県大竹市 (2)香川県大川郡白鳥町 (3)高知県高岡郡葉山村 (4)熊本県阿蘇郡南小国町。
黒川油田	くろかわゆでん	Kurokawa oil field	秋田市黒川に位置する油田。1912年発見。貯留層は深度300m付近の新第三系女川層の凝灰岩で、背斜トラップに胚胎。
黒鉱	くろこう	Kuroko, black ore	閃亜鉛鉱・方鉛鉱・重晶石などからなる黒色の鉱石。海底熱水性鉱床で生成。
黒鉱鉱床	くろこうこうしょう	kuroko deposit	閃亜鉛鉱・方鉛鉱などからなる黒鉱を伴う鉱床。日本では主として東北日本内帯のグリーンタフ地域に産出。特に秋田県北部に密集。
黒河内石	くろこうちいし	Kurokochi ishi	長野県上伊那郡長谷村産石材。結晶片岩中の蛇紋岩・蛇灰岩。主として装飾・墓石用。
黒蛇紋	くろじゃもん	Kurojamon	模様のない、帯緑黒色緻密の蛇紋岩で、かんらん岩（橄欖岩）からの変質の比較的初期のもの。
グロシュラー	ぐろしゅらー	grossular, grossularite	$Ca_3Al_2(SiO_4)_3$ 。立方晶系。硬度6.5～7。比重3.59。石灰岩起源のスカルンに多く、超苦鉄質岩などにも産する。灰ばんざくろ石ともいう。
クロスアーム式沈下計	くろすあーむしきちんかけい	cross arm settlement gauge	地中の鉛直変位を計測する装置で、変位量は埋設したクロスアームの位置を検出器で測定して求める。
クロスオーバー	くろすおーばー	crossover	電磁水平探査において、測定値のプロファイルが零値線と交差すること。鉛直状の鉱体直上がそれに相当する。
クロスビット	くろすびつと	cross bit	衝撃式の削岩機で用いられるビットの中で、硬質合金が十字型に取り付けられているもの。
クロスプロット法	くろすぶろつとほう	cross-plot method	検層解析において変数をX-Y座標上にプロットし、解析結果の統計的な評価などを行う方法。

クロスホール試験	くろすほーるしけん	cross hole test	クロスホール法により，弾性波速度などを求める試験．
クロスホールシューティング	くろすほーるしゅーていんぐ	cross-hole shooting	孔間速度測定とも呼ばれ，1本の孔井内で起振し他の孔井内を受振点として孔間を伝わる速度を測定する．
クロスホール透水試験	くろすほーるとうすいしけん	cross hole permeability test	多孔間において1孔よりパルス波状あるいは正弦波状圧力で送水して他孔で受振し，波形の強度や到達時間から水理特性を測定．孔間透水試験ともいう．
クロスホール法	くろすほーるほう	cross hole method	ボーリング多孔間の1孔に発信（振）点，別孔に受信（振）点を置き，孔間の岩などの弾性波速度や透水性を測定する手法．
クロスラミナ	くろすらみな	cross lamina	斜交葉理と同義．
黒瀬川構造帯	くろせがわこうぞうたい	Kurosegawa tectonic zone	秩父帯北帯と中帯の境界に分布する蛇紋岩メランジユ帯．蛇紋岩中に古生代～中生代の陸塊断片を含むと考えられている．
クロソイド曲線	くろそいどきょくせん	clothoid curve	曲線長と曲率が比例する曲線で，道路線形の緩和曲線として一般に広く用いられている．らせん曲線の一種．
黒大理石	くろだいらせき	Kuro marble	岐阜県不破郡赤坂町金生山産石材．古生界石灰岩．黒～灰黒色．
クロノグラフ	くろのぐらふ	chronograph	無線報時による時刻信号など精密な時間を紙テープなどに電氣的に記録する装置．
クロノメータ	くろのめーた	chronometer	精密につくられたゼンマイ式時計．かつては航海中の船で使用された．天体観測や地震観測などに用いられる．
グロビゲリナ軟泥	ぐろびげりななんでい	globigerina ooze	グロビゲリナ属を主とする有孔虫を主体とする深海軟泥と考えられていたが，石灰質ナノ化石が占める割合が高いことが判明したことから現在は石灰質軟泥と呼ばれている．
黒淵地すべり	くろぶちじすべり	the Kurobuchi landslide	1877年に山形県最上郡戸沢村蔵岡で発生した地すべり．面積約59haが移動．道路，河川に被害．
黒部ダム	くろべだむ	Kurobe dam	黒部川水系黒部川．関西電力(株)．1961年竣工．アーチダム．堤高186mは日本最大．当時の土木設計・施工技术の粋を集約して幾多の課題を解決して建設された．
黒部みかげ	くろべみかげ	Kurobe mikage	富山県下新川郡黒部川筋産石材．古生界～中生界黒雲母角閃石花崗岩．
黒ボク土	くろぼくど	kuroboku	腐植質の厚く，粗しょうで孔隙の多い黒いA層をもつ有機質土壌に対する成帯内性土壌の型名．
黒松内層	くろまつないそう	Kuromatsunai Formation	北海道南西地域渡島半島北部に分布する新第三系上部中新～漸新統．寿都郡黒松内町付近を模式地とする．海成で硬質頁岩泥岩互層，泥岩，砂質泥岩などからなり一部凝灰岩などの火砕岩を挟在する．

クロマトグラフィ法	くろまとぐらふほう	chromatography	ガスや液体の移動相を用いて、物質を分離分析する方法。液体クロマトグラフィ法、ガスクロマトグラフィ参照。
黒御影	くろみかげ	Kuromikage	はんれい岩（斑禰岩）や閃緑岩などの黒色を呈する石材名。白色を呈する花崗岩を御影石と呼ぶことからきている。
クロム鉱床	くろむこうしょう	chromium deposit	クロム鉄鉱を主要鉱石鉱物とする鉱床。層状と塊状（ボディフォーム型）の鉱床がある。
クロム泥水	くろむでいすい	chrome mud	ベントナイトを主体としたクレイベースマッドに対してリグニンの誘導体、鉄クロムリグニンスルホン酸塩などを加え苛性ソーダでpH値を8.5～10に調泥した泥水の総称。
クロム鉄鉱	くろむてっこう	chromite	FeCr ₂ O ₄ 。立方晶系。硬度5.5。比重4.5～4.8。スピネル族。超塩基性岩から産する。クロムの主要鉱石鉱物。
黒目石	くろめいし	Kurome ishi	茨城県西茨城郡岩瀬町産石材。中生界閃緑岩。主として墓碑・土木・建築用。
クロライト	くろらいと	chlorite	緑泥石と同義
クロロホルム抽出比色法	くろろふおるむちゅうしゅつひしょくほう	chloroform extraction colorimetric method	比色分析法の一つ。クロロホルムを抽出溶剤として用いる。
桑名断層系	くわなだんそうけい	Kuwana fault system	三重県桑名市から四日市市に延びる北東系の活断層。延長12km，確実度 I，活動度B級。
桑野石	くわのいし	Kuwano ishi	徳島県阿南市産石材。中生界砂岩。主として墓石用。
群杭	ぐんぐい	pile group	杭間隔が近い場合に、杭の支持力および変形に対して杭相互の影響が考えられるような杭の集団。
群杭効果	ぐんぐいこうか	effect of pile group	杭間隔が近い場合に、杭同士が相互に影響して支持力や変形性状が単杭×本数より効果が小さくなる現象。
群井	ぐんせい	multiple wells	多数の深井戸やウェルポイントから揚水を行う場合に、相互に干渉し合う複数の井戸群全体のこと。
群設置法	ぐんせっちほう	geophone array group setting, grouping	反射法弾性波探査で、受振器を面的に配置し、雑振動や表面波を低減し共に下方からの反射波を強調する手法。
群速度	ぐんそくど	group velocity	海上で異なる波高と周期を持つ波動集団の進行速度。
群速度法	ぐんそくどほう	group velocity method	表面波の群速度の観測値と最もよく合う構造モデルを求めて、表面波の経路の平均的な地下構造を知る方法。

栗田石	くんだいし	Kunda ishi	京都府宮津市野無双山産石材。黒雲母花崗岩。土木用材。
訓縫層	くんぬいそう	Kunnui Formation	北海道南西地域松前半島付近に分布する新第三系下～中部中新統。長万部町国縫付近を模式地とする。海成で安山岩～流紋岩質緑色凝灰岩，角礫岩を主体とし，泥岩，砂岩，礫岩，安山岩～流紋岩溶岩を伴う。
群発地震	ぐんぱつじしん	earthquake swarm	限られた地域で中・小地震がある期間中に頻発する現象。日本では伊東地震や松代地震が有名。
群列観測	ぐんれつかんそく	array observation	地震計を地震波の波長と同程度の範囲に直線もしくは円形に規則正しく配列して地震波を観測する方式。
系	けい	system	年代層序区分の基本的な単位。年代区分の紀の期間中に形成された地層・岩体をさす。統と界の中間に位置する。
経緯儀	けいいぎ	theodolite	一等・二等三角測量の水平角観測用器械。望遠鏡で目標を視準して角度を読み取り各方向間の角度差を求める。セオドライトともいう。
珪華	けいか	siliceous sinter	SiO ₂ からなる，鉱泉の沈殿物で，しばしば水中に成長する植物の葉や茎を置き換え，その印象化石を作る。
警戒水位	けいかいすい	warning water level	量水標の対象区域内において，警戒にあたることを必要とする河川水位。
珪灰石	けいかいせき	wollastonite	CaSiO ₃ 。単斜晶系，三斜晶系。硬度4.5～5。比重2.87～3.09。典型的なスカルン鉱物であるが，広域変成作用を受けたCaに富む堆積岩などにも産する。
珪灰鉄鉱	けいかいてっこう	ilvaite	HCaFe ₂ ²⁺ Fe ³⁺ O ₂ Si ₂ O ₇ 。単斜晶系。硬度5.5～6。比重4.1。黒色，不透明，ガラス光沢。主としてスカルンに産する。
計画安全率	けいかくあんぜんりつ	design safety factor	①地すべりなどの対策工において，工事終了後に見込まれる安全率。 ②構造物の設計時に安定上見込む安全率。
計画降雨	けいかくこうう	design rainfall	治山，治水，利水計画において計画上対象となる降雨。
計画高水位	けいかくこうすい	design high water level	河川の工事实施基本計画に定めた計画高水流量が流下した時，計画横断形の河川断面において発生し得る流水の最高の水位。
計画洪水量	けいかくこうずいりょう	planning flood discharge	河川改修などを計画する場合，河川の最大洪水量に若干の安全率を考慮した流量。過去の最大値や統計的推定値を用いる。
計画流出土砂量	けいかくりゅうしゅつどしやりょう	proposed sediment discharge	砂防事業の計画生産土砂量のうち，土石流または掃流砂として計画基準点に流出する土砂量。
珪化作用	けいかさよう	silicification	熱水溶液との反応により，SiO ₂ 以外の成分の溶脱あるいはSiO ₂ の沈殿が起こり，岩石中のSiO ₂ が増加する変質作用。

珪化帯	けいかたい	silicified zone	熱水溶液との反応で岩石のSiO ₂ が増加する変質作用を珪化作用といい、珪化作用を受けた岩石が分布している部分を珪化帯という。
珪化木	けいかぼく	silicified wood, petrified wood	木の組織に珪酸分が浸透・置換して、全体が珪質となったもの。
珪岩	けいがん	quartzite	一般に、特にアルコースな砂岩起源の変成岩。または、砂岩が続成作用の過程で珪化作用を受けた硬い緻密な岩石。
溪岸工	けいがんこう	torrent works	溪流の護岸工。溪岸の浸食、崩壊を防止する。
鶏冠石	けいかんせき	realgar	AsS。単斜晶系。硬度1.5～2。比重3.56。特徴的な鮮赤～橙黄色を呈し、硫黄や他のAs鉱物と共に産出する。
景観設計	けいかんせつけい	design with consideration for landscape	構造物の外観を周囲の風景と調和させるための設計。
鶏血石	けいけつせき	rhyolitic red stone	中国南部に産するろう石の一種。灰色の地に赤い辰砂が散点し、印材として珍重。
蛍光X線	けいこうえつくすせん	fluorescent X-ray	X線を物質に照射することにより放射されるその物質固有のX線。
蛍光X線分析	けいこうえつくすせんぶんせき	X-ray fluorescence analysis	元素の定性・定量分析の一手法。各元素に特有な蛍光X線を発生させ、その波長から元素名が、強度から濃度が得られる。
蛍光顕微鏡	けいこうけんびきょう	luminescence microscope	一定の波長の励起光による蛍光像を見る顕微鏡。
蛍光砂	けいこうさ	fluorescent sand	海底の漂砂を調査する際のトレーサとして使用する市販の蛍光塗料を塗った砂。赤・青・黄橙・緑など数色がある。
蛍光反応測定	けいこうはんのうそくてい	fluorescence reflection	カッティングスあるいは泥水中の油徴を紫外線検油機を使用して測定すること。
傾向面解析	けいこうめんかいせき	trend surface analysis	二次元に分布する観測値を数式で近似して傾向面を求め、大局的な地下構造や局所異常などを解析すること。
溪谷	けいこく	ravine, gorge	溪・小谷・欠(床)谷・峡谷の総称。山地部を流れる河川が形成する両岸斜面の急峻な谷。横断形は、V字型を示す。
珪酸	けいさん	silicic acid	珪酸は、オルソ珪酸H ₄ SiO ₄ 、メタ珪酸H ₂ SiO ₃ 、メソ二珪酸H ₂ Si ₂ O ₅ 、メソ三珪酸H ₄ Si ₃ O ₈ などに分類される。
珪酸アルミニウム族	けいさんあるみにうむぞく	aluminium silicate group	金属イオンとして主としてAlを含んでいる珪酸塩鉱物。紅柱石、珪線石、藍閃石、トパーズ、十字石などがある。

珪酸塩	けいさんえん	silicate	二酸化珪素と金属酸化物からなる塩. $(\text{SiO}_4)^{4-}$ の大きな陰イオンと金属の小さな陽イオンからなる.
珪酸塩鉱物	けいさんえんこうぶつ	silicate minerals	珪酸基 $[\text{SiO}_4]^{4-}$ 四面体が構造の基本となり, 金属酸化物を伴う非常に安定な鉱物. 地球固体の大部分を占める.
珪酸塩の分類	けいさんえんのぶんるい	classification of silicates	SiO_4 の縮合度の小さい順に, ネソ珪酸塩鉱物, ソロ珪酸塩鉱物, サイクロ珪酸塩鉱物, イノ珪酸塩鉱物, フィロ珪酸塩鉱物, テクト珪酸塩鉱物に分類される.
珪酸塩溶融体	けいさんえんようゆうたい	silicate melt	溶融した珪酸塩で, 様々な状態で重合した SiO_4 四面体や各種陽イオンや揮発成分などからなる. SiO_2 以外の複成分量や圧力によって粘性が変化する.
珪酸鉱物	けいさんこうぶつ	silicate minerals	珪酸塩鉱物と同義.
珪酸質土壌	けいさんしつどじょう	siallitic soil	珪酸と酸化アルミニウムのモル比が大きく, アルミニウムや鉄が不活性な土壌. リン酸の吸収力は弱い.
珪酸セメント	けいさんせめんと	silica cement	シリカセメントと同義.
珪質	けいしつ	siliceous, silicic	岩石の化学成分がシリカ(SiO_2)に富むことを指し, 特に岩石生成時以降にシリカに富むようになったことが特徴であることを示すことが多い.
珪質岩	けいしつがん	silicic rock	火成岩を SiO_2 の重量百分率66, 52, 45%で区分して4分するうち, 最も含有率の高い群. 酸性岩ともいう.
珪質頁岩	けいしつけつがん	siliceous shale	いわゆる泥質岩のうち, シリカ分が多い細粒緻密な岩石. 泥質な細粒碎屑粒子とそれらの間隙を埋めるシリカから主に構成される.
軽質原油	けいしつげんゆ	light crude oil	揮発油留分を多く含み, 比重の小さい原油. 国内原油では比重0.83未満. 比重が小さいほどガソリン含有量多い.
珪質砂岩	けいしつさがん	siliceous sandstone	いわゆる砂質岩のうち, シリカ分が多い緻密な岩石. 砂質な碎屑粒子とそれらの間隙を埋めるシリカから主に構成される.
珪質石灰岩	けいしつせっかいがん	siliceous limestone	オパールまたは石英などの遊離珪酸を多量に含む石灰岩.
珪質堆積物	けいしつたいせきぶつ	siliceous sediment	珪質軟泥やチャートに代表される, シリカに富む堆積物や堆積岩の総称.
珪質土	けいしつど	siliceous soil	主に珪酸質生物遺骸からなる土壌堆積物あるいは固結程度の低い堆積岩の総称.
珪質軟泥	けいしつなんでい	siliceous ooze	珪酸質浮遊生物遺骸を主とする半遠洋性の大洋底に堆積した軟泥.

珪質有孔虫	けいしつゆうこう ちゅう	siliceous foraminifera	殻壁が珪質である有孔虫。珪質の殻を分泌するものは底生有孔虫に限られる。
経時変化	けいじへんか	variation per time	物質の形状や物理的・化学的性質などが時間の経過とともに変化する現象。
珪砂	けいしゃ	silica sand	石英砂の総称。軽量建材・鋳物砂・研磨材に使用。
傾斜移動	けいしゃいどう	dip slip	断層の変位の要素に関する用語で、実移動の傾斜成分のこと。
傾斜移動断層	けいしゃいどうだん そう	dip-slip fault	断層の移動様式を用いた分類の一つで、断層のずれの方向が傾斜方向の成分だけで、走向方向の成分を有しない断層。傾斜ずれ断層、傾斜すべり断層、ともいう。
傾斜隔離	けいしゃかくり	dip separation	断層の変位の要素に関する用語で、隔離の傾斜成分のこと。
傾斜型護岸	けいしゃがたごがん	sloping revetment	河岸、湾岸などを保護する工作物のうち、前面の勾配が45°より緩傾斜なもの。
傾斜型ミキサ	けいしゃがたみきさ	inclined axis mixer	コンクリートを練り混ぜるミキサのうち、ドラムの回転軸が傾斜しているもの。
傾斜儀	けいしゃぎ	drift indicator	ボーリング孔の孔曲がり測定器で、200気圧に耐える小径の筒に重錘とコンパスの位置を時限装置で発光撮影して記録する。イーストマン型のマルチプルショットなどが使用されている。
傾斜記録計	けいしゃきろくけい	clinograph	鉛直線を基準として、地盤あるいは構造物の傾斜変化を経時的に測定する計器。
傾斜計	けいしゃけい	tiltmeter	重力方向を基準として地層や構造物の傾きの方向やその量を求める計器。
傾斜コア型ロックフィルダム	けいしゃこあがた ろっくふいるだむ	inclined core type rockfill dam	しゃ水ゾーン(コア)をダムの中央部から上流側に傾けて配置したゾーン型ロックフィルダム。
珪砂鉱床	けいしゃこうしょう	silica sand deposit	珪砂として採掘可能な品位、規模をもった砂層。石英に富む未固結砂層や海浜砂・砂丘堆積物など。
傾斜斜面	けいしゃしゃめん	dip-slope	地質構造を反映した浸食斜面。硬軟互層状の堆積岩の層理面の傾斜とほぼ一致する斜面で、傾斜によりケスタや同斜山稜が形成される。
傾斜褶曲	けいしゃしゅうきよ く	inclined fold	褶曲の姿勢による分類の呼称。軸面が正立または水平ではなく、ある角度で傾斜している褶曲。両翼傾斜方向は反対。
傾斜すべり断層	けいしゃすべりだん そう	dip-slip fault	傾斜移動断層と同義。

傾斜スリップ	けいしゃすりっぷ	dip slip	断層面上において、真の変位、すなわちネットスリップの傾斜方向の成分をさす傾斜移動のこと。ディップスリップともいう。
傾斜ずれ断層	けいしゃずれだんそう	dip-slip fault	傾斜移動断層と同義。
傾斜節理	けいしゃせつり	dip joint	地層の走向傾斜との関係による節理分類の一つで、地層の走向傾斜に平行な節理。
傾斜層	けいしゃそう	dipping bed	地層の堆積面（層理面）が水平面と傾斜している地層。地層と水平面のなす角度を傾斜角という。
傾斜ダイク	けいしゃだいく	inclined dike	重力・磁気探査において典型的なモデルの重磁力異常を計算し、探査結果の参考とする。そのモデルの一種。
傾斜断層	けいしゃだんそう	dip fault	地層面と断層面との走向の関係による断層の分類の一つで、地層の走向とほぼ直交する方向の断層。
傾斜不整合	けいしゃふせいごう	angular unconformity	下位の地層と新しい上位の地層の層理面の走向・傾斜が異なる不整合。堆積の時間的間隙があったことを示す。
傾斜分布図	けいしゃぶんぷず	slope map	地形面の勾配を任意の傾斜区分ごとに表した図。傾斜等値線図、平均傾斜分布図など。
傾斜変換線	けいしゃへんかんせん	break line of slope	同一方向の斜面において、傾斜角度が急変する変換帯。遷急線、遷緩線など。
傾斜変換点	けいしゃへんかんでん	break of slope	地表面にみられる種々の成因による地形の傾斜の急変する変換帯（点）。斜面や河谷の傾斜変換帯（点）。
傾斜補正	けいしゃほせい	slope correction, correction for grade	距離測量において、測点区間両端に高低差がある場合の距離の補正。
傾斜掘	けいしゃぼり	directional drilling	ボーリング掘削で、孔口部ないし途中から傾斜させて掘削する工法。
傾斜面採掘法	けいしゃめんさいくつほう	slope quarrying method	露天採掘法の一つで、上向き削孔による発破を行い、自重で落下させることにより簡単に切羽づくりができる方法。
傾斜流	けいしゃりゅう	slope current	湖面や海面の勾配によって生じた水中の圧力分布に対し、平衡を保つように起きる流れ。
形状関数	けいじょうかんすう	shape function	有限要素法を用いて数値解析を行う際、領域を多数の要素に分割して要素毎に近似解を得るために必要な関数。この関数を用いて節点における値から要素内の値を内挿する。
形状係数	けいじょうけいすう	shape factor	粒子形状を記述する数値であり、固体粒子の体積に等しい球の表面積を実際の表面積で割ったもの。

形状効果	けいじょうこうか	shape effect	岩石供試体の幾何形状の違いによって強度などの試験結果に差が出ること。
溪床勾配	けいしょうこうばい	slope of stream bed	溪流の流路の縦断勾配。流水に伴う土砂の移動などに大きく影響する要素であり、砂防調査・計画に用いる。
軽埴土	けいしょくど	light clay	土壌の土性区分の一つ。国際土壌学会法で、粘土含量25～45%、微砂含量45%以下、砂含量55%以下の土壌。
径深	けいしん	hydraulic radius, hydraulic mean depth	水路の流積（流水断面積）を潤辺（流水と壁面が接する周辺長）で除したもの。開水路における水路断面の代表長さとして使われる。水力水深、動水半径（管路）ともいう。
軽震	けいしん	weak earthquake	気象庁が地震の揺れを表すために用いている8階級の震度階のうちの震度2。屋内の人が揺れを感じる程度の震度。
軽水炉	けいすいろ	light water reactor (LWR)	低濃縮二酸化ウランを燃料とし、減速材と冷却材に軽水を用いる原子炉。加圧水型と沸騰水型がある。
珪石	けいせき	silica stone	工業用に原料として利用される、石英、珪質砂岩、チャートなどの珪酸質岩石の総称。
珪線石	けいせんせき	sillimanite	Al ₂ SiO ₅ 。斜方晶系。硬度6.5～7.5。比重3.23～3.27。泥質岩起源の高温の広域変成岩または接触変成岩に出現する鉱物。変成分帯に利用される。
珪藻	けいそう	diatom	海・湖沼・沼沢・湿地などの様々な水域環境に生息する単細胞植物。珪酸質の殻を持つ。
珪藻岩	けいそうがん	diatomite	単細胞藻類の珪藻の殻から構成される堆積物の空隙が粘土などによって充填されて固化した新生代の岩石。
珪藻植物門	けいそうしょくぶつもん	<i>Bacillariophyta</i>	珪藻を含む単細胞藻類。淡水・汽水・海水中に分布する。浮遊性ないし付着性。
珪藻土	けいそうど	diatomite	主に珪藻の殻から構成される軟弱・多孔質な軟質岩石または土壌。研磨材・吸収材・ろ過助材・保温材として用いられる。珪藻岩ともいう。
珪藻土質泥岩	けいそうどしつでいがん	diatomaceous mudstone	珪藻類の殻を極めて特徴的に含む泥岩。
珪藻軟泥	けいそうなんでい	diatom ooze	珪藻類の遺骸の集合体からなる珪質な遠洋性堆積物。高緯度の寒冷地域に分布する。
珪藻分析	けいそうぶんせき	diatom analysis	堆積物に含まれる珪藻化石の種類を同定して堆積時の環境や地層の対比などを検討する方法。
計測A	けいそくえー	monitoring A	NATMで掘削する場合にトンネルおよび周辺地山の安定性を確認するため施工中の日常管理として必ず行われる計測。毎回の切羽観察の他、内空変位・天端沈下の計測を10～20m程度の間隔で行う。A計測ともいう。

計測管理	けいそくかんり	monitoring	工事を安全に進めるために地盤や構造物の応力・変形などを計測し変動傾向の把握，管理基準値との照査などを行なうこと。
計測震度	けいそくしんど	seismic intensity of measurement	地震動の強さを表す指標として，計測震度計で計測された加速度に係わるパラメータ a_0 から， $I = 2 \cdot \log(a_0) + 0.94$ の式より算出した値。
計測B	けいそくびー	monitoring B	トンネル周辺の緩み域の広がりや支保部材の効果などを把握するために行われる計測。地中変位測定，ロックボルト軸力測定，鋼製支保工応力測定，吹付けコンクリート応力測定，地山試料試験などが行われる。B計測ともいう。
携帯用プロトン磁力計	けいたいようぷろとんじりょくけい	portable proton-precession magnetometer	携帯用の小型・軽量のプロトン磁力計。
珪長岩	けいちょうがん	felsite	斑晶は全くないかあるいは少なく，主に隠微晶質の石英とアルカリ長石の集合体からなる酸性の火山岩。
珪長岩質	けいちょうがんしつ	felsitic	石英・長石などの細粒あるいは微細な結晶からなる，緻密な組織を意味する形容詞。酸性岩質ともいう。
慶長地震	けいちょうじしん	the 1605 Keicho earthquake	1605年2月3日に東海沖ないし東海沖と南海沖で発生したM7.9の地震。津波で死人数を出した。
珪長質岩石	けいちょうしつがんせき	felsic rock	石英，長石などの無色鉱物に富む火成岩。酸性岩とほぼ同義。
珪長質鉱物	けいちょうしつこうぶつ	felsic minerals	無色・白色・淡色のSiO ₂ 成分に富む珪酸塩鉱物についての総称。酸性岩やアルカリ岩中に産する。
径長比	けいちょうひ	ratio of length to diameter	シールド全長(L)の外径(D)に対する比(L/D)をいい，運転操作性や施工性の目安となる。
傾動	けいどう	tilting	断層面に沿って地塊表面が回転運動によって，一方が高く，一方が低く傾く運動。
傾動山地	けいどうさんち	tilt-block mountain	断層変位による凸地形を表す用語の一つで，断層地塊山地が断層に沿う回転運動により傾いているもの。
傾動自在型工法	けいどうじざいがたこうほう		海上ボーリングの一工法。台船上の原動機部と掘削用ツール・保護管（固定）が分離されている。
傾動地塊	けいどうちかい	tilted block	断層運動によって一方向に傾いた地塊。地形面は一方では緩斜面が続き，他方は急な断層崖となる場合が多い。
傾度偏差計	けいどへんさけい	gradiometer	物理量の変化の割合を測定する器械で，重力・磁気などを対象とする。グラジオメータと同義。
傾度法	けいどほう	gradient array	電流電極の間隔を大きくして，中間部の矩形の探査区域に狭い間隔で電位電極を移動する電極配置。

珪肺	けいはい	silicosis	遊離珪酸を含んだ粉塵を吸入し、これが肺に沈着することにより発病する慢性の職業病。
芸予地震	げいよじしん	the 2001 Geiyo earthquake	2001年3月24日午後3時28分ごろに発生した安芸灘を震央とする地震、最大震度6弱、M6.4。潜り込むフィリピン海プレート（スラブ）内部の地震と考えられている。正式名称は「平成13年（2001年）芸予地震」。
傾立背斜	けいりつはいしゃ	inclined anticline	褶曲構造に関する用語。軸面の両翼が異なった方向に傾斜した背斜。傾斜背斜ともいう。
溪流工事	けいりゅうこうじ	torrent works	荒廃した流域をもつ溪流、土石流発生の危険性のある溪流に対して行う各種の砂防工事。
溪流浸食	けいりゅうしんしょく	torrent erosion	流水によって溪底（縦浸食）および溪岸（横浸食）を削り取る浸食。横浸食は、溪流の屈曲部で顕著。
軽量安定処理土	けいりょうあんていしよりど	stabilized lightweight soil	土に軽量材を混合するとともに、化学的または物理的に安定処理を施した土の総称。
軽量気泡コンクリート	けいりょうきほうこんくりーと	cellular lightweight concrete	石灰質原料およびケイ酸質原料を主原料とし、金属アルミ粉末の発泡剤によりガスを発生させたり、発泡体を加えることにより多くの空隙を作り、軽量化したコンクリート。
軽量骨材	けいりょうこつざい	light weight aggregate	一般の岩石よりも比重の小さな骨材。天然には軽石があるが、フライアッシュ、高炉スラグなど人工的に造られているものが多い。
軽量コンクリート	けいりょうこんくりーと	lightweight concrete	構造物の自重を小さくするため、比重の小さな骨材を使用したコンクリート。
軽量混合土	けいりょうこんごうど	lightweight mixed soil	発泡ビーズや木片などの軽量材と土とを混合し、軽量化を図った土の総称。
計量地形学	けいりょうちけいがく	quantitative geomorphology	定量地形学ともいう。地形特性を数量的に表現して、その数量相互間に成り立つ法則を求める立場の学問領域。
軽量盛土工法	けいりょうもりどこうほう	light weight embankment method	軟弱地盤上の盛土などにおいて、発泡スチロールなど軽い材料を用いて荷重を軽減し盛土の安定を図る工法。EPS工法、発泡ビーズ混合軽量工法などがある。
ゲイン	げいん	gain	増幅器が入力電圧を増幅する度合。一定振幅の正弦波を与えたときの出力信号と入力信号の振幅の比。
KATE	けーえーていーいー	KATE	ソ連の人工衛星コスモスに搭載された、複数のタイプからなるカメラ（写真）形式のセンサシリーズの呼称。
K S 磁鋼	けーえすじこう	K-S magnet	本多光太郎発明の耐久磁石。沸騰水に入れても磁力は減らず、機械的振動によっても6%しか減少しない。
ゲージ	げーじ	gauge	測定計器の名称。

ゲージ圧	げーじあつ	gauge pressure	大気圧との差で表した圧力. 一般に圧力計が示す圧力はこの圧力をいう.
ゲージ干渉計	げーじかんしょうけい	gauge interferometer	光の干渉じまを利用して長さを測定する高精度の比較測定器. 100~300mmまでのゲージを0.01 μ mまで測定できる.
K指数	けーしすう	K index	磁気擾乱の程度を定量的に表わす指数. 1日を3時間毎に分け, 静穏日からのずれを10階級に分けたもの.
ケーシング	けーしんぐ	casing	ボーリング掘削の際に, 孔壁が崩れるのを防ぐために孔内に挿入するパイプ. 漏水防止の効果もある.
ケーシングウォータスィベル	けーしんぐうおーたすいべる	casing water swivel	ドリルロッドの周りがあるケーシングも一緒に結合できる特殊なスィベル. ボアホールの口元に使われる.
ケーシングカッター	けーしんぐかッター	casing cutter	孔内のどの場所でもケーシングを切断することのできるカッター.
ケーシングカラー	けーしんぐからー	casing collar	ケーシングやライニングチューブの連結に用いるパイプカップリングまたはスリーブ.
ケーシングシュー	けーしんぐしゅー	casing shoe	ケーシング管の最下端に取り付け, 管先端の保護と, 管を挿入しやすくするための, 先が鋭くなった金具.
ケーシングシュービット	けーしんぐしゅーびつと	casing shoe bit	ダイヤモンドを植えたケーシングシューのこと. 表土から基盤までケーシングを一気に掘り下げるのに使用.
ケーシング注入	けーしんぐちゅうにゅう	casing injection	ロッドやストレナーの回りに沿って注入材が流出することを防ぐため, 二重管により注入する方式.
ケーシングチューブ	けーしんぐちゅーぶ	casing tube	ケーシングと同義.
ケーシングプログラム	けーしんぐぷろぐらむ	casing program	坑井内に挿入するケーシングの種類, 寸法および装置, 深度やセメンティング法の計画を示したもの.
K ₀ 圧密三軸試験	けーぜろあつみつさんじくしけん	triaxial test with K ₀ -consolidation	供試体の側方ひずみを生じないよう拘束圧を制御して圧密 (K ₀ 圧密) した供試体を使う三軸試験.
K ₀ 値	けーぜろち	K ₀ -value	静止状態にある土の水平方向圧力(静止土圧) と土かぶり圧との比. 静止土圧係数ともいう.
ケーソン	けーそん	caisson	地上で製造した鉄筋コンクリート製または鋼製の構造物で, 水中構造物やその基礎として支持層に沈設される函型または筒型の躯体.
ケーソン基礎	けーそんきそ	caisson foundation	あらかじめ構築した中空の躯体 (ケーソン) を底部の地盤を掘削しながら沈下させて設置した基礎.

ケーソン病	けーそんびょう	caisson disease	潜かん病と同義.
K値	けーち	coefficient of subgrade reaction, K-value	載荷応力Pが作用する時に発生する変位Sとの比P/Sをいう. 地盤反力係数ともいわれる. 平板載荷試験, 孔内載荷試験などから得られる.
KDK	けーでいーけー	Kensetsusho Dobokushiken Kijun, KDK	建設省土木試験基準(案). セメント, コンクリート, 鋼材, 土, 岩石などの試験法が規定されている.
KTB	けーていーびー	Kontinentales Tiefbohrprogramm Bundesrepublik (独)	ドイツ大陸深部掘削計画. バイエルン州で1991年より掘削を開始し, 1994年11月に9,101mで掘削終了.
ゲート	げーと	gate	水流を制御するために設けられる扉体構造物, または扉のこと.
ゲート型面積流量計	げーとがためんせきりゅうりょうけい	gate area flowmeter	通気孔の面積をゲートと呼ばれる板状のもので調節し, そのゲートの位置で流量を知る. 面積流量計の一種.
ゲート洪水吐き	げーとこうずいばき	controlled spillway, gated spillway	ゲート操作により放流量を調節する方式の洪水吐き.
ゲート室	げーとしつ	gate chamber	ゲート操作室, もしくはゲートが設置される場所.
ゲートシャフト	げーとしゃふと	gate shaft	岩盤中の水路にゲートを設置するために掘削された立坑.
ゲート操作室	げーとそうさしつ	gate control house	ゲートを操作する部屋.
ケーニヒスベルガー比	けーにひすべるがーひ	königsberger ratio	岩石の残留磁化と現在の地球磁場によってその岩石に生じる誘導磁化との比.
K (ケーバー) バンド	けーばーばんど	Kband	レーダーに使われるマイクロ波領域を細分した波長帯の一つ. その波長の範囲は1.13~1.66cmである.
Kp	けーぴー	coefficient of passive earth pressure	受働土圧係数と同義.
ケービング法	けーびんぐほう	caving system	切羽の天盤または上盤を採掘に伴って崩落させる採掘法. 鉱石自重や岩石の重量を鉱石の破碎に利用.
ケーブルクレーン	けーぶるくれーん	cable crane	ワイヤロープの両端を支柱あるいはアンカーブロックに固定して軌道とし, この軌道上を走行するトロリーと巻上げ用のワイヤを用いて荷物の吊上げ, 移動を行う装置.
ケーブルトンネル	けーぶるとんねる	cable tunnel	①発電所において, 主要変圧器室から開閉所に高圧電流を送電するメインケーブルの敷設のために設置するトンネル. ②電線, 電話線などを設置するためのトンネル.

ケーブルボルト	けーぶるぼると	cable bolt	P C鋼線やFRPなどのフレキシブルな長尺ロックボルト。リールから必要な長さで切断でき、削孔・挿入後注入によって全面定着される。地下空洞周辺岩盤の補強やトンネルの鏡押えに用いられる。
GEOS	げおす	Explorer, Geodynamics Experimental Ocean Satellite, GEOS	米国が打ち上げた測地衛星シリーズの略称での当初はエクスペローラーと呼ばれた。
激震	げきしん	very disastrous earthquake	気象庁震度階のうちの最大震度7である。「家屋の倒壊が30%以上におよび山崩れ、地割れ、断層などが生じる」となっている。(震度7は平成8年4月から用いられて、激震という用語は使われていない。)
激甚災害	げきじんさいがい	disaster of extreme severity	激甚災害に対処するための特別の財政援助などに関する法律(1962)に基づく災害。政令によって指定される。
下水処理	げすいしより	sewerage treatment	下水(汚水)を浄化処理する行為。
下水道	げすいどう	sewerage	下水を集約し処理するための管路・ポンプ場・処理施設などの総称で、公共・流域・都市・その他の4種類に分類される。
下水道トンネル	げすいどうとんねる	sewerage tunnel	下水を処理場まで自然流下によって送水するトンネル。
ケスタ地形	けすたちけい	cuesta landform	緩やかに傾斜した硬軟互層からなる地域で、一方が緩傾斜面を、他方が急な崖状をなす非対称横断形を有する丘陵地形。
桁橋	けたばし	girder bridge	主桁を水平にわたし、はり構造で荷重を支える橋梁。T桁橋、I桁橋、箱桁橋などがある。
頁岩	けつがん	shale	堆積面に沿って剥離性を有する泥質岩石の呼称。貝殻断口を特徴にして割れる。石油成分を含むものは油頁岩と呼ばれている。
頁岩ガス	けつがんがす	shale gas	異常高圧層に含まれるガス。高圧層は孔隙率が大きいいため、間隙水に吸蔵または溶解状態のガスが坑内へ流入する。
頁岩基線	けつがんきせん	shale base line	S P検層において、頁岩層で見られるS P曲線がほぼ一定で直線となる部分。S P曲線の偏りの基点とする。
欠陥格子	けっかんこうし	defect lattice	結晶構造において、原子が不規則に欠如したり、異種原子が存在したりして乱れが見られる結晶格子をいう。
頁岩土壌	けつがんどじょう	shale soil	頁岩の風化物から形成された土壌。一般に強粘質かつ排水性・易耕性が不良で土壌生産力は悪い。
頁岩密度測定	けつがんみつどそくてい	shale density measurement	堆積時に地層が圧密を受け、頁岩部が水を排水できずに間隙水圧が水頭圧を越えた異常高圧層を予知する目的で測定される。
結合水	けつごうすい	bond water	粘土鉱物や土に含まれる水分のうち、結晶や土粒子と結合している水。

結持恒数	けつじこうすう	consistency constants	土壌の凝集力や粘着力（コンシステンシー）に関連する液性限界・塑性限界などの指標の総称。
結持性	けつじせい	consistency	コンシステンシーと同義語。
結晶	けっしょう	crystal	原子の規則正しい周期的な配列からなりたっている固体をいう。その結果、外形は規則正しい多面体となることが多い。
結晶化学	けっしょうかがく	crystal chemistry	結晶学の一分野で、主として結晶の内部構造と化学的性質との関係を研究対象とする学問。
結晶核	けっしょうかく	crystal nucleus	結晶が成長する上で最初に必要となる物質群。必ずしもその後成長する結晶と同一の物質とは限らない。
結晶学	けっしょうがく	crystallography	結晶性物質における種々の性質や現象を研究する学問分野。狭義には結晶の形態および内部構造が研究対象。
結晶系	けっしょうけい	crystal system	結晶は単位格子の対称性により三斜・単斜・斜方・正方・三方・六方・立方の七晶系に分類され、結晶系あるいは晶系という。
結晶形態学	けっしょうけいたいがく	crystal morphology	結晶外形の面角による結晶種の同定、結晶外形と結晶構造との関係など、結晶の形態について研究する学問。
結晶光学	けっしょうこうがく	crystal optics	結晶内における光の伝播や結晶表面からの反射光について研究する分野。鉱物の同定の際に重要である。
結晶格子	けっしょうこうし	crystal lattice	原子配列の繰返しの最小単位を三次元的に格子を連想して示したもの。
結晶構造	けっしょうこうぞう	crystal structure	原子やイオンが三次元的に規則正しく繰返し配列した構造。
結晶作用	けっしょうさよう	crystallization	気相、液相（ガラス質固体を含む）中から結晶相が形成される作用。
結晶軸	けっしょうじく	crystal axis	三次元的に広がった結晶の外形や構造を記載するための座標軸。単位格子においてはその稜の方向に相当する。
結晶質	けっしょうしつ	crystalline, crystal	①物質内の原子配列に周期性があるような物質であることを意味する形容詞。 ②結晶が多く含まれている岩石あるいは再結晶した岩石に対する形容詞。結晶質凝灰岩、結晶質石灰岩など。
結晶水	けっしょうすい	crystallization water	結晶中に主成分の一つとして含まれる水分子。配位水・陰イオン水・格子水・沸石水などに分類される。
結晶生成論	けっしょうせいせいろん	crystallogeny	原子・分子の規則的配列を持つ結晶が生成する機構（結晶核の発生および結晶核からの結晶生長）に関する理論。

結晶成長	けっしょうせいちょう	crystal growth	結晶は、過飽和または過冷却状態から結晶核を形成して成長する。
結晶度	けっしょうど	crystallinity	火成岩の結晶作用の程度をさす。岩石の結晶と非晶質との量比で表し、ガラス質・半晶質・完晶質に区分する。
結晶物理学	けっしょうぶつりがく	crystal physics	結晶学の一分野で、結晶の物理的性質、すなわち電氣的性質・磁氣的性質・熱的性質などを研究する学問。
結晶片岩	けっしょうへんがん	crystalline schist	再結晶の進んだ広域変成作用で形成された片理をもつ変成岩の総称。
結晶面	けっしょうめん	crystal plane	結晶の外形は一般に規則正しい平面によって囲まれており、これを結晶面という。主要な原子の配列面に平行。
結氷淘汰作用	けっぴょうとうたさよう	cryoturbation	土中水分の凍結、融解により土壌が攪拌される作用。周氷河作用の一つ。クリオタベーションともいう。凍結擾乱作用と同義。
ケッペンの気候区	けっぺんのきこうく	Köppen's climatic province	最暖月と最寒月の平均気温および年間降水量により、ケッペンが地球上を11種類の気候区に区分したもの。
けば	けば	hachures	地貌表現方法の一つ。地図上の地形の傾斜方向と起伏状態を表すための短い線群。
ゲフューゲ	げふゅーげ	Gefüge(独), fabric(英)	岩石を構成する鉱物粒子などの空間的配置関係のこと。岩石組織や構造のほか結晶格子の方向性などまで含む概念。
ケブラー繊維	けぶらーせんい	Kevlar	デュポン社で開発された高弾性率で高強度な繊維。軽量で、タイヤコートなどに使われている。
ケミカルグラウト	ケミカルグラウト	chemical grout	グラウチングのうち、注入材料として化学薬品を用いるもの。薬液注入工法参照。
ケミカルプレストレス	けみかるふれすとれす	chemical prestress	膨張性コンクリートなどにより化学的に与えられたプレストレス。
ケミコパイル工法	けみこばいるこうほう	chemico-pile method	地盤中に造成した生石灰杭による周辺地盤の圧密脱水効果と、杭自体の強度を利用した軟弱地盤の改良工法。
ケリー	けりー	kelly	ボーリングロッド。掘削器具に回転力を伝達し、かつ泥水通路となる管。
花里崎－田ノ脇断層	けりぎきーたのわきだんそう	Kerizaki-Tanowaki fault	活断層。確実度 I，活動度 B 級，北西方向。鹿児島県種子島北部に位置する延長約10km。
ゲル	げる	gel	コロイド粒子や高分子化合物が凝集して独立の運動性を失い、ゼリー状になった状態。

ゲルセメント	げるせめんと	gel cement	ベントナイトを加えたセメント。最も使用されている割合はセメントに対して重量比で4~8%。
ゲルタイム	げるたいむ	gel time	①コロイド溶液が半固形体の状態になるまでに要する時間。 ②注入材の混合から流動性がなくなるまでの時間。
ゲル破壊剤	げるはかいざい	gel breaking agent	蓚酸などがこれに当たる。フラック液に対し、これを添加するとゾルに還元する。
ゲルパット法	げるぱとほう		骨材のアルカリシリカ反応性を試験する方法で、骨材をセメントペーストに埋めた供試体を、 $\text{Ca}(\text{OH})_2$, NaOH, KOHの混合液に浸けて反応性を見る。
ケルビン	けるびん	Kelvin, K	絶対温度とも呼ばれる温度の単位。絶対零度(-273.15°C)を始点(0° K)としている。
ケルビン温度	けるびんおんど	Kelvin temperature	Lord Kelvinにより導入された物質の性質のよらない熱力学的温度目盛。絶対温度ともいう。絶対零度を0° Kとする。
ケルヴィン型検潮儀	けるびんがたけんちょうぎ	Kelvin-type tide gauge	潮汐の干満の変化を自記させる機械で、海面に浮標を浮べ、その昇降を自記紙上に記録させるもの。
ケルマデック海溝	けるまでつくかいこう	Kerumadec trench	南太平洋のケルマデック諸島の東側に沿う海溝。トンガ海溝の南側。オーストラリアプレートと太平洋プレートの境界に位置し、太平洋プレートの沈み込みで形成される。
ケルンコル	けるんこる	kerncol	山陵部に断層線(帯)に沿って生じた凹地状の鞍部。複数のケルンコルが一行に並ぶことがあり、断層や変位地形の抽出に用いる。
ケルンバット	けるんぱと	kernbut	断層線(帯)の差別浸食により、山脚から切り離されて孤立している小さな尾根。一定方向に配列する傾向がある。
ケレン作業	けれんさぎょう	cleaning of forms, cleaning	鉄骨、鉄げたの塗装換えや型枠の清掃において、錆および浮き上がった塗装・油・ごみなどの不良物を取り除く作業。
下呂石	げろいし	Gero ishi	岐阜県益田郡下呂町産。更新統黒雲母デイサイト(湯ヶ峰デイサイト)。ガラス質のものは石器の材料として用いられた。
ケロシン法	けろしんほう	kerosene method, kerosene method for measuring soil density	土の密度試験の一方法。供試体の空气中質量測定後の状態でケロシン液につるして見掛けの質量を測定する方法。
下呂断層	げろだんそう	Gero fault	活断層。確実度I, 活動度A級, 北西方向, 左横ずれ断層。阿寺断層系の北部に分布し延長18km。
減圧井戸	げんあついど	bleeder well, relief well, drainage well	被圧地下水の減圧を図るために掘削される井戸。集水井ともいう。
減圧時間	げんあつじかん	decompression time	高気圧環境下で作業をした人が大気圧に戻る際、潜函病を防止するために設けられた減圧するための時間。

減圧室	げんあつしつ	decompression chamber	高圧状態での作業から大気圧状態に戻る際に徐々に減圧していくための部屋。
減圧沈下	げんあつちんか	caisson-sinking by reducing pressure	作業室内の気圧を低下させることにより、ケーソンを沈下させること。
減圧弁	げんあつべん	pressure reducing valve	管路の途中で水圧を低下させるために設置する弁。
原位置液状化試験	げんいちえきじょうかしけん	in-situ liquefaction test	杭の振動や発破を利用して地盤の液状化の可能性を調査する原位置試験法の総称。一般的ではない。
原位置応力	げんいちおうりょく	in-situ stress	初期地圧，地山応力と類義。地下空洞の掘削など人為的な影響を受ける以前に，岩盤が有する応力状態。
原位置試験	げんいちしけん	in-situ test	試料をサンプリングすることなく，原位置（地表面または地盤中）で地盤の諸特性を直接調べる試験の総称。
原位置せん断試験	げんいちせんだんしけん	in-situ shear test	地盤をサンプリングすることなくせん断破壊させ，せん断強度特性を調べる原位置試験法の総称。
原位置調査	げんいちちょうさ	field investigation, in-situ investigation	原位置において，地形や地盤の性状，工学的性質などを把握する調査
原位置変形試験	げんいちへんけいしけん	in-situ rock deformation test, in-situ loading test	原位置で地盤の変形特性を求める試験で，平板載荷試験，スリットジャッキ試験，水室試験，ボーリング孔内載荷試験などがある。
牽引式振動ローラ	けんいんしきしんどうろーら	traction vibration roller	振動部を独立させた締固めローラで，他の重機により牽引される。巻き上げ機によるのり面上の作業も可能である。
検塩計	けんえんけい	salinameter	水分中の塩分濃度を測定するための計測器。
懸崖	けんがい	overhanging cliff	一般には，崖地形のうち90°以上の傾斜角をもち，下方部分よりも突出した状態にあるもの。オーバーハングともいう。
限界圧送距離	げんかいあつそうきより	limit of distance for pressure transportation	スラリー，コンクリートなどを流体圧送する際に，到達可能な限界の距離。
限界圧力	げんかいあつりょく	critical pressure	①上向きの浸透水圧によって土中の有効応力がゼロになるときの圧力。 ②ルジオン試験で圧力上昇に対して注入量が急増するときの注入圧力。
限界雨量	げんかいうりょう	critical rainfall	過去の斜面崩壊時の雨量を，連続雨量と時間雨量の積として表したもの。JRで運転規制に用いられている。
限界雨量曲線	げんかいうりょうきょくせん	critical rainfall curve	時間雨量と連続雨量を軸にとった図上に限界雨量を双曲線として表したもの。雨量がこれを越えると危険と判断。

限界荷重	げんかいかじゅう	limit load, critical load	地盤の載荷試験で破壊を生じる荷重。または、構造物の種々の限界状態に対応する荷重。
限界間隙比	げんかいかんげきひ	critical void ratio	せん断（剪断）変形を加えたときに体積変化を起こさない状態にある土の間隙比。
限界感度法	げんかいかんどほう	limit sensitivity	プロセス制御系が安定した動作をするための条件を決定するための一方法
限界掘削深さ	げんかいくっさくふかさ	critical depth of excavation	掘削底盤が周辺地盤の圧力により塑性変形を起こさない状態を保ち掘削できる深さ。
限界減衰比	げんかいげんすいひ	critical damping ratio	臨界減衰比ともいう。微小振動系における臨界減衰に対する振動系の減衰量の比。
限界顕微鏡	げんがいけんびきょう	ultramicroscope	ティンダル現象を利用して、暗視野で集光・照明装置を工夫することにより、微粒子を観察できるよう解像力を高めた顕微鏡。
限界地震	げんかいじしん	maximum probable earthquake	耐震設計上、当該敷地にて起こりうる地震のうち、最強の地震動を与える地震。
限界斜面高さ	げんかいしゃめんたかさ	critical height of slope	一様な土質からなる単純斜面において、円弧すべりを考えた場合の安全率が1を切る限界となる斜面の高さをいう。
限界状態設計法	げんかいじょうたいせつけいほう	limit state design method	安全度の割付を合理的に行い、かつ使用性と安全性の両者の限界状態に関する検討を統一された設計体系で行う設計法。
限界浸食流速	げんかいしんしょくりゅうそく	critical erodible velocity	河床や水路床の堆積物が水流により浸食される流速の下限值。物質の性質、物質表面の粗度などいろいろな条件による。
限界水位	げんかिसুいい	critical groundwater level	地盤沈下など地下水障害を引き起こさずに、持続的な地下水利用が可能な最低の地下水位。
限界水深	げんかिसuishin	critical depth	流量が一定の場合に必要なエネルギーが最小となる水深、または一定のエネルギーで流量が最大となる水深。
現海成面	げんかいせいめん	sea level marine terrace	現在の海面に関して、主として波のエネルギーによる浸食作用あるいは堆積作用により形成された平坦な海底面。
限界せん断応力	げんかいせんだんおうりょく	critical shear stress	せん断応力を徐々に大きくした時、ある状態が発生する時の応力。対象となる現象や定義は様々。
限界掃流流速	げんかいそうりゅうりゅうそく	critical tractive velocity of flow	河床上の砂礫に対する掃流力が河床面と砂礫の摩擦力と等しくなり、砂礫が移動し始めるときの流速。
限界掃流流量	げんかいそうりゅうりゅうりょう	critical tractive discharge	河床上の砂礫に対する掃流力が、河床面と砂礫の摩擦力と等しくなり、砂礫が移動し始めるときの流量。

限界掃流力	げんかいそうりゅうりょく	critical tractive force	水底にある物質（底質）が移動を始める時の掃流力をいう。
限界動水勾配	げんかいどうすいこうばい	critical hydraulic gradient	浸透力によって土中の有効応力が減少して0となるような動水勾配。粘着力のない砂質土では、この動水勾配を超えると土粒子は不安定となる。
限界ひずみ	げんかいひずみ	critical strain	岩石が耐えられる最大のひずみ量でこれを越えると破壊する。一軸圧縮強度と限界ひずみの関係はトンネルの内空変位量の判断基準の一つとして用いられる。
限界負圧	げんかいふあつ	negative pressure	自由水面において毛管現象で上昇した水柱の示す圧力。
限界摩擦速度	げんかいまさつそくど	critical friction velocity	河床や水路床の堆積物が流水により移動し始める限界の流速。主に堆積物の性質とその摩擦係数により左右される。
限界密度	げんかいまつど	critical density	土のダイレイタンスが0であるような密度。砂質地盤の安定性を評価する一つの尺度。
限界流速	げんかいらゅうそく	critical velocity	流体の移動では、流速が遅いときには層流として流れるが、早くなると乱流となる。この限界の流速をさす。
限界流量	げんかいらゅうりょう	critical discharge	ポートを有するサージタンクで、ポートの抵抗により全負荷遮断時を越える最高の水面上昇を起こすような部分負荷における使用水量。
限界レイノルズ数	げんかいらいのるずすう	critical Reynolds number	流体の流れの状態が遷移するときの境界のレイノルズ数のこと。
健岩	けんがん	sound rock	新鮮で堅硬な岩に対する表現。堅岩ともいう。
源岩	げんがん	source rock	砂岩、泥岩、礫岩などの堆積岩あるいは堆積物を構成する碎屑物を供給した元の岩石。
源岩指数	げんがんしすう	source rock index	砂岩中の長石粒と岩石の破片との量比で、砂岩の源岩が深成岩か表成岩（堆積岩、火山岩など）かを示す指標となる。
原岩しょう（原岩漿）	げんがんしょう	original magma	本源マグマと同義。火成岩の多様性は岩しょう（岩漿）（マグマ）の分化作用によって形成されるが、分化する前の起源となる岩漿。
堅岩線	けんがんせん	sound rock surface line	構造物に対して十分な強度・変形特性を有し基盤岩とみなし得る岩盤の上面分布を表現した線。
嫌気性	けんきせい	anaerobic	ある種の細菌は酸素のない環境でしか生育しない。この性質をいう。硫酸塩還元細菌は鋼材などの腐食に関与。
嫌気性消化法	けんきせいしょうかほう	anaerobic digestion	嫌気性菌により有機物が分解し、メタンと二酸化炭素を生成する反応を利用した排水処理法。

嫌気性土壌細菌	けんきせいどじょう さいきん	anaerobic soil bacteria	土壌細菌のうち遊離酸素の存在しない環境下で発育することのできるもの。
嫌気底質土	けんきていしつど	anaerobic bottom material	水流が停滞し、酸素がほとんど存在しない環境下で堆積した高有機質の底質土。嫌気性細菌のみが繁殖する。
検鏡分析	けんきょうぶんせき	microscopic analysis	顕微鏡下の化学反応により生成する結晶鉱物の定性分析法。
原傾斜	げんけいしゃ	initial dip	Davisの浸食輪廻説における地形が浸食され始まる前の、広くゆるやかな傾斜の原地形における地形の傾斜。
圏谷	けんこく	cirque	カールと同義。
懸谷	けんこく	hanging valley	河川の合流点において、支谷の谷床が本流のそれよりも高く、谷床に食い違いのある溪谷地形。合流点で滝を形成する。
圏谷湖	けんこくこ	cirque lake	カール（圏谷）底に形成された湖をさす。湖は次第に埋積されて泥炭地や湿地を生ずる。カール湖ともいう。
圏谷底	けんこくてい	cirque bottom	氷食地形のカールの底部。一つの地域で一定の高度範囲に分布するので、雪線高度を近似する場合に用いられる。
圏谷氷河	けんこくひょうが	cirque glacier	カール氷河と同義。
圏谷壁	けんこくへき	cirque wall	氷食地形の一つでカール壁と同義。
減災	げんさい	mitigation of disaster	防災の一環として災害による被害を軽減すること。
検査孔	けんさこう	inspection borehole, inspection hole	グラウチングの最終的な効果の判定を確認するための孔。チェック孔ともいう。
原子間力顕微鏡	げんしかんりょくけん びきょう	atomic force microscope	探針と試料表面の間に働く力（原子間力）が表面の凹凸によって変化することを用い、探針を水平二軸（x, y）方向に走査することにより微細な表面形状を観察できる顕微鏡。
原子吸光法	げんしきゅうこうほ う	atomic absorption spectrometry	高温加熱した試料の元素を原子状態に解離させて光を照射した時、各元素は固有のスペクトル線を吸収して励起状態になる。スペクトル線の波長と吸収強度からの元素定性・定量分析。
原始大気	げんしたいき	primordial atmosphere	地球ができた初期の大気。水蒸気や二酸化炭素が主成分であったとされている。
原子時計	げんしとけい	atomic clock	原子振動を利用した時計。原子線磁気共鳴やメーザー発振を利用して、一定振動をとりだす高性能の時計。

原始埋蔵量	げんしまいぞうりょう	original reserve	地下資源において、開発以前のもとの埋蔵量。通常、地表条件に換算した容積で表す。
検尺	けんじゃく	inspection of drilling length	ボーリング掘削作業終了後、所定の掘削長に達しているか、ボーリングロッドで掘削長をチェックすること。
検収	けんしゅう	acceptance	①発注者が契約内容について完成したと認定し、その成果を引取ること。 ②納品された物品について品質、数量などを検査した上で受け取ること。
現状安全率	げんじょうあんぜんりつ	present safety factor	逆算法のみからC、φを算定するとき、地すべり土塊の移動状況に応じFs=0.9～1.05の範囲で適宜仮定する安全率。
顕晶質	けんしょうしつ	phanerocrystalline	結晶質岩石の粒度を表す用語で、主成分鉱物の結晶が肉眼で識別できるほど粗粒な場合に用いる。
玄晶石	げんしょうせき	Gensho seki	宮城県桃生郡雄勝町産石材。中生界粘板岩。暗灰色。硯・石碑・屋根瓦用。
原植生	げんしょくせい	original vegetation	人間生活の影響がおよぶ以前の原始植生のこと。
原子力安全審査	げんしりょくあんぜんしんさ	nuclear safety review	原子炉等規制法に基づき、監督官庁が行う原子力施設に対する設計の安全性、公衆被害への安全性の審査。
原子力燃料サイクル	げんしりょくねんりょうさいくる	nuclear fuel cycle	天然ウランの採掘・精練に始まり原子炉燃焼、再処理・再資源化、廃棄物処理処分などの一連の過程をいう。核燃料サイクルの方が一般的。
原子力発電所	げんしりょくはつでんしょ	nuclear power plant, nuclear power station	核分裂で生ずる原子力エネルギーをエネルギー源としている発電所。
原子炉	げんしろ	nuclear reactor	熱エネルギーの利用や放射性物質の生産などを目的とした、核分裂反応を持続的に制御できる装置。
減衰器	げんすいき	damper	制振器と同義。
減衰曲線	げんすいきょくせん	recession curve	ハイドログラフのうち直接流出が終わった後の曲線をさし、河川流量の自然低減を表す。減衰係数を用いて定式化できる。
減衰距離	げんすいきより	distance of attenuation	物理量が距離とともに減衰するとき、定めた量の減衰を示す距離をさす。
懸垂谷	けんすいこく	hanging valley	懸谷と同義。河川の合流点において、支谷の谷床が本流のそれよりも高く、谷床に食い違いのある谷。
減水剤	げんすいざい	water reducing agent, water reducing admixture	コンクリート混和材の一種で、所要のコンシステンシーを保った上で単位水量を減少させるために用いる。

減水深	げんすいしん	water requirement in depth	水田表面からの蒸発，稲からの蒸散，土壌への浸透によって水田から減少する水の量を水深（mm）で表現したもの。
減衰振動	げんすいしんどう	damped oscillation	抵抗や摩擦などにより，振幅が時間の経過に伴って減少していく振動。
減衰定数	げんすいていすう	damping constant, damping factor	振動系において，振動が時間的に減少していくとき，その振動減衰量の臨界減衰に対する比。
減衰トモグラフィ	げんすいともぐらふい	attenuation tomography	弾性波トモグラフィによって，弾性波の減衰特性の二次元分布を求める手法。Qトモグラフィともいう。
減衰比	げんすいひ	damping ratio	減衰振動をする振動系において，周期ごとにその振幅が減少するときの振幅の比。
懸垂氷河	けんすいひょうが	hanging glacier	急な山地斜面にへばりつくように発達した氷河。末端部はアイスフォールで終わることが多い。
減衰率	げんすいりつ	damping ratio, damping factor, damping constant	一周期の振動の間に振幅が減衰する割合。減衰定数ともいう。
現世	げんせい	Recent	地質時代で表す現代。完新世と同義。
原生界	げんせいかい	Proterozoic	先カンブリア系を二分したときの後半をいう。前半と比較すると岩石類の変成程度は弱く生物生存の痕跡をまれに見ることができる。
減勢工	げんせいこう	energy dissipator	放流水のエネルギーを減殺する目的で造られるすべての施設，構造物。
現生人類	げんせいじんるい	modern man	現在の人と同一種の人類。約3万5千年前に出現したとされている。
原生生物	げんせいせいぶつ	protista	動物界，植物界とは異なる第三の生物界で単一の細胞で代謝を営み，増殖する。細菌類，真菌類など。
現成石灰岩	げんせいせつかいがん	recent limestone	熱帯の浅海で，海水の水分が蒸発して炭酸カルシウムが過飽和状態となり化学的沈殿により形成された石灰岩。
顕せい代（顕生代）	けんせいだい	Phanerozoic eons	多くの生物が存在し，地層に化石として多く保存された時代で，古生代，中生代，新生代に大別される。
原生代	げんせいだい	Proterozoic	地質時代の先カンブリア紀を二つに分けた時の上位時代。この原生代より生物の生存の証拠が確認される。下位の始生代との境界は不確定。
減勢池	げんせいち	stilling basin, stilling pool	ダムからの放流エネルギー消散のため，ダム直下流に設けられた池。

現世統	げんせいとう	Recent (series)	完新統と同義。完新世に形成された地層・岩石。
硯石	けんせき	ink stone	粘土質の岩石が固く固結してできた頁岩や粘板岩で、すずり石の原石として利用されるためこの名がある。
原石山	げんせきやま	quarry	主にダムの堤体材料、骨材などを採取する採石場。
建設機械	けんせつきかい	construction equipment	建設・土木工事に使用する機械。
建設CALS	けんせつきやるす	construction Continuous Acquisition and Life-cycle Support	建設分野における成果品や調達に係る公告、入札等を電子情報で行う総合情報システム。これにより効率化、省力化、透明性、コスト縮減が期待される。建設CALS/ECともいう。
建設公害	けんせつこうがい	construction hazard	建設物自体またはその工事に伴って発生する騒音・振動・地盤沈下・日照阻害・風害・電波障害など諸々の公害。
建設残土	けんせつざんど	muck	建設工事の際にその現場では利用されずに搬出される土砂。建設発生土ともいう。
建設泥土	けんせつでいど	construction sludge	工事によって発生する含水比が高く粒子の微細な泥状のもの。建設汚泥ともいう。
源泉	げんせん	source of spring	水の湧き出る源のことで、地下水や温泉の自然湧出口を意味するが、広義にはボーリングなどによる温泉のくみ上げに対しても用いることがある。
検層	けんそう	well logging	試錐孔や坑井において、物理・化学的諸量を利用し、連続的に深度と対比させて地質状況などを解明する測定方法。孔内探査法ともいう。
検層柱状図	けんそうちゅうじょうず	well log	検層の記録を深度毎に柱状に表わしたもの。地質柱状図との併記により地質と物性値の対比ができる。
検測	けんそく	site measurement	工事の完成部分の出来形測定および施工内容の確認作業。
元素鉱物	げんそこうぶつ	elemental minerals	単一元素または合金、炭化物・窒化物・珪化物・リン化合物からなる鉱物
現存植生	げんそんしょくせい	actual vegetation	現在の時点で、ある場所に存在し観察される植生のこと。
懸濁液型注入剤	けんだくえきがたちゅうにゅうざい	grouting mixes of cement	セメントと水ガラスなどを混合した注入材。一般に強度は大きい浸透性が低い。
懸濁性混濁流	けんだくせいこんだくりゅう	suspended turbidity current	海底に接触せずに懸濁したまま流れる混濁流。

懸濁物質	けんだくぶっしつ	suspended matter	水溶液中に浮遊する主に鉱物からなる物質。水面から底面に向かって濃度は増大することが多い。
懸濁物質濃度	けんだくぶっしつのうど	concentration of suspended solids	液体中に分散した不溶性物質の粒子の濃度
ケンタッキーブルーグラス	けんたっきーぶるーぐらす	Kentucky bluegrass	常緑の多年生で、地下茎をもち草丈30cmほどで寒さに強いが暑さに弱い斜面草の一種。斜面植生工に使用する。和名ナガハグサ。
原炭	げんたん	raw coal	採掘され、選炭される前の石炭。
間知石	けんちいし	kenchi ishi, kenchi stone	石垣に使われている石材の一種。四角錐状の石材で、砂岩、花崗岩のような比較的加工しやすい石が使われる。
現地応力保存式三軸試験	げんちおうりょくほぞんしきさんじくしけん		地盤から採取した供試体の応力を解放しないまま三軸試験を行えるようにした方法。
建築限界	けんちくげんかい	construction gauge	トンネル内で、車両が安全に走行できる空間を確保するために設けられた周辺構造物の制限。
原地形	げんちけい	initial form	Davisの浸食輪廻説における浸食作用を受ける前の元々の地形。
原地性	げんちせい	autochthonous	①岩体や堆積物が、現在存在している場で形成されたことを示す形容詞。「現地性」ともいう。 ②古生物では生物が生活していたそのままの位置で埋没して化石になったものを示す形容詞。「現地性の」、「自生的な」ともいう。
原地性花崗岩	げんちせいかこうがん	autochthonous granite	花崗岩化作用の初期に形成されたもので、周囲の岩石に対して漸移的な産状を示す花崗岩の総称。
原地性褶曲	げんちせいしゅうきょく	autochthonous fold	元来地層が堆積していた基盤上において、基盤上から引き離されずその場所で形成された褶曲。
原地性炭層	げんちせいたんそう	autochthonous coal seam	石炭の根源植物が、かつて生育していた場所で堆積し、そのまま炭層となったもの。
現地堆積物	げんちたいせきぶつ	autochthonous deposit	岩石・地層が風化分解し、その場所または近傍で堆積した堆積物。
現地踏査	げんちとうさ	reconnaissance of a site	調査地を含めた広範囲において、地形・地質・地下水状況などを把握するために歩いて調査すること。
現地比抵抗擬似断面	げんちひていこうぎじだんめん	in-situ resistivity pseudosection	電極間隔に応じて決められた水平的位置と深度に現地測定で得られた見掛比抵抗値の分布を示した断面。
原地表面	げんちひょうめん	original ground surface	地すべり発生前の旧地形の地表面のこと。

検潮器	けんちょうき	tidal gauge, tide gauge	潮汐の鉛直変位を測定する測定器。浮き子式、圧力変換器式などがあり、いずれも本来の海面の鉛直変位が測定できるように考慮されている。驗潮器、驗潮儀、検潮儀ともいう。
検潮儀	けんちょうぎ	tidal gauge	潮位の変化を測定するための機器で、検潮器、潮位計ともいう。
検潮所	けんちょうしょ	tide-gauge station	海岸近くに設け、井戸を掘って海水を導き、この海水に浮かべた浮標の上下変化から潮位を観測する場所。
検定	けんてい	calibration	一定の基準に照らして検査した上で、合格や不合格・品質などを決定すること。
限定圧気シールド	げんていあつきしー ルド	partial pneumatic shield	切羽付近を気密構造とするため隔壁を設けて、切羽と坑内を完全に分離し、切羽と隔壁の間に圧気するシールド。
検定曲線	けんていきょくせん	calibration curve	校正曲線と同義。
原点走時	げんてんそうじ	intercept time	走時曲線の屈折波走時を原点（時間軸）まで延長したときの走時。速度が決まれば屈折面までの深度が決まる。
検土杖	けんどじょう	soil auger	地盤に突き刺し、先端のたて溝で地下の土壌を採取するための調査用具。長さ1.0～1.5m程度で先端部に長さ30～50cmの溝がある。
減粘剤	げんねんざい	wetting agent	液体に発生する表面張力を減少させる特性を有する材料。添加剤として利用される。
玄能払い	げんのうばらい	genno barai	玄能を用い荒石面の大きな出っ張りを削り取ること。
現場一面せん断試験	げんばいちめんせん だんしけん	in situ direct shear test, in-situ direct shear test	原位置である定められた面でせん断する直接型せん断試験。地盤を現場でブロック状に切り出し、せん断する。
現場打ちコンクリート	げんばうちこんく りーと	cast-in-place concrete, in-situ concrete	建設工事現場において、所定の型枠内などに打ち込まれて造られるコンクリート。
現場打ちコンクリート杭	げんばうちこんく りーとぐい	cast-in-place concrete pile	杭打ちをする工事現場で造るコンクリート杭。
現場含水当量	げんばがんすいとう りょう	field moisture equivalent	土の排水不良、凍上の可能性を判定するために用いられる含水比。現在は使用されない。
現場含水比	げんばがんすいひ	field water content, field moisture content	アースダムや道路などの盛土材料が施工前にもつ含水比のこと。
現場含水量の測定法	げんばがんすいりょ うのそくていほう	in-situ measurement of water content, field measurement of water content	現場密度試験において、地盤の含水比を計測する方法。炉乾燥法・急速乾燥法・ピクノメータ法・RI法などがある。

現場CBR試験	げんばしーびーあーるしけん	in-situ CBR test, field CBR test	路床や路盤の支持力特性を調べるため、原位置で行うCBR試験。原地盤に直接貫入ピストンを貫入させて実施する。
現場締固め試験	げんばしめかためしけん	in situ compaction test, in-situ compaction test field compaction test	地盤の締固め特性を調べる原位置試験法の総称。現場の施工方法に準じて地盤の締固めを行う。
現場透気試験	げんばとうきしけん	in-situ air permeability test, field air permeability test	パッカーで区切られた区間内で送気または吸気を行い、乾燥地盤の透気性（空気の浸透性）を調べる原位置試験法。
現場透水試験	げんばとうすいしけん	in-situ permeability test	現場で地盤の透水性を評価するための試験で、揚水法・注水法・水位回復法・トレーサ法などがある。
現場配合	げんばはいごう	job mix	現場において、骨材の状態や計量方法に応じて示方配合と同じになるように修正した配合。
現場ベーン試験	げんばべーんしけん	field vane shear test	十字型の回転翼（ベーン）を持つロッドを地中に挿入して回転し、粘性土地盤のせん断強度を調べる試験方法。
現場密度試験	げんばみつどしけん	in situ density test, field density test	地盤の密度を調べる原位置試験法の総称。砂置換法・突き固め法・水置換法・コアカッター法・RI法などがある。
現場盛土試験	げんばもりどしけん	trial embankment	盛土の施工性や安定性・変形性などを検討するため、現地に盛土を行って、諸調査を行う試験。
顕微硬さ計	けんびかたさけい	microscope hardness tester	顕微鏡下でダイヤモンドかサファイアの圧子を押つけて試料表面の圧痕の大きさから微量試料の硬度を測定する装置。
顕微鏡観察	けんびきょうかんさつ	microscope observation	偏光顕微鏡で岩石薄片の鉱物組成や組織などを観察すること。
玄武岩	げんぶがん	basalt	塩基性火山噴出岩の総称。溶岩や浅所貫入岩として産出し、しばしば広大な溶岩台地を形成する。日本での分布は狭い。半晶質ないし完晶質。骨材として利用される。
玄武岩質安山岩	げんぶがんしつあんざんがん	basaltic andesite	かんらん石（橄欖石）斑晶が斜長石斑晶より多い安山岩や暗色緻密な安山岩に対して、主に肉眼観察によるフィールド名として用いられる。
玄武岩質層	げんぶがんしつそう	basaltic layer	大陸地殻の下半部および大洋地殻をいう。P波地震波は6.8km/s前後で玄武岩から構成されていると予測されている。シマとも呼ばれた。
玄武岩台地	げんぶがんだいち	basalt plateau	広域割れ目群などから流動性に富む玄武岩が多量に噴出して形成された台地。
玄武岩マグマ	げんぶがんまぐま	basaltic magma	玄武岩の組成をもつマグマ。
玄武土	げんぶど	basalt wache	九州北西部に多く分布する特殊土壌でセメント代用土に利用される。玄武岩の分解で生成し、岩組織を残存。

玄武洞	げんぶどう	Genbudo cave	兵庫県豊岡市，丸山川右岸にある玄武岩の洞穴．六角柱状節理が発達した更新統粗面玄武岩からなる．
研磨硬度	けんまこうど	polishing hardness	鉱物を研磨する際の硬さの度合．反射顕微鏡の観察によって隣接する鉱物の相対的な硬度がわかる．
研磨材	けんまざい	abrasive	石材・宝石・ガラス・金属などを琢磨・研削作業をする際に用いる高硬度物質．
研磨片	けんまへん	polished section	反射顕微鏡によって不透明鉱物を観察する際に用意される試料片．有用鉱物を含む鉱石の研究で用いられる．鉱石研磨片ともいう．
研磨面	けんまめん	polish	鉱物の表面を正反射が生じる程度にまで平滑に研磨した面．反射顕微鏡による観察や屈折率決定などに用いる．
原油	げんゆ	crude oil	生物の遺骸が土砂とともに海（湖）底に堆積し，地圧・地盤の上昇やバクテリアなどの作用によって生成される天然鉱油．
原油埋蔵量	げんゆまいぞうりょう	original oil reserve	油田の中に存在している原油の量．通常は標準状態（地上状態圧力・温度下）での液化炭化水素の体積．
検流計	けんりゅうけい	galvanometer	微小電流を検知したり，測定する電流計．電磁場中に吊されたコイルが，電流に比例した角度で回転することを利用．
検流計（式）記録法	けんりゅうけい（しき）きろくほう	galvanometric recording	物理現象の変化を検流計による微小電流変化に変換して測定を記録する方法．
原料炭	げんりょうたん	coking coal	強粘結・弱粘結性をもつ石炭の総称．用途は石炭ガス・高炉製鉄・コークス用．
元禄地震	げんろくじしん	the 1703 Genroku earthquake	1703年12月31日に関東地方で発生したM7.9～8.2の相模トラフ沿いの地震．小田原など全滅，津波も発生．
コア	こあ	core	①ボーリングにおいてコアビットで切り取られ，コアチューブに収納され引き上げられる細長い円柱状の試料． ②フィルダムの遮水ゾーンで，土質材料からなる．
コアウォール	こあうおーる	core wall	フィルダムの堤体内部に設置されたコンクリートやアスファルトコンクリートなどの不透水性材料からなる遮水のための壁．
コアオリエンテーション	こあおりえんてーしょん	core orientation	ボーリング孔内で岩石地層の方向を測定する時，コアの帯磁性を測定することにより得られる情報と利用する過程．
コアカッター法	こあかっただーほう	core cutter method, method for measuring in-situ soil density using core cutter	密度測定法の一方法．地表面からカッターを静かに圧入して試料を採取し，カッターの円筒ごと重量を測定する方法．
コアカッティング解析	こあかっただーいんぐかいせき	core cuttings analysis	掘削時に採取されたコアやカッティングスから地質状況や物理・化学的諸データの解析．

コアキャッチャー	こあきやつちやー	core catcher	ボーリングのコアバーレルアッセンブリーに使われ、コアバーレルが孔内から引き上げられている間、コアを保持している部分。
コア採取率	こあさいしゆりつ	core recovery	コアボーリングにおける、掘進長に対する採取コア長の割合で%で表す。コアリカバリーともいう。
コア材料	こあざいりょう	core materials	ロックフィルダムなどの遮水ゾーン（コア）に用いる土質材料。
コアサンプラ	こあさんぷら	core sampler	地質調査で使用されるボーリングにおいてロッドの先端に取り付けられる試料採取器。
コア試験	こあしけん	core sample test	ボーリング孔から採取した岩芯（コア）を用いる各種試験。
コアチューブ	こあちゅーぶ	core tube	コアバーレルの一部で、コアを収納するための鋼製パイプ。一重管式・二重管式などがある。
コア詰り	こあづまり	block	コア同志またはコアの破片が楔になるか、スライムがビットやコアバーレルの内側に密着することによりコアの進入が妨げられること。
コアバレル	こあばれる	core barrel	コアビット・コアチューブなどから構成され、地中からコアを切り取り、収納し、回収する器具。
コアボーリング	こあぼーりんぐ	core boring	コアチューブを用いて掘進し、コアを採取するボーリング。
コアラー	こあらー	corer	水中の土質試料を採取するための円筒状サンプラ。押し込み方法により、重力式とピストン式のものがある。
コアリカバリー	こありかばりー	core recovery	コア採取率と同義。
コアリフター	こありふたー	core lifter	コアビットとコアチューブの間に内装し、コアの切断防止と、コアチューブからのコア脱落を防ぐ金具。
コアリングビット	こありんぐびつと	core bit	コアを採取するためのビット。円筒状の鋼の先端に切削用のダイヤモンド・特殊鋼片がついている。
小泉石	こいずみいし	Koizumi ishi	福島県いわき市小泉・白土産土木用石材。新第三系凝灰岩。
孔（坑）間速度測定法	こう（こう）かんそくどそくていほう	crosshole velocity measurement	ボーリング孔間または横坑間で一方を起振孔、他方を受振孔として孔間、横坑間の弾性波速度を測定する方法。
厚（単）層理	こう（たん）そうり	thick bedding	堆積岩の基本的な堆積単位である単層の厚さが30～100cmのもの。

鋼アーチ支保工	こうあーちしほこう	steel arch support	トンネル支保部材の一つで、H型鋼・I型鋼・U型鋼・鋼管などを曲げ加工したものなどがある。
高压型変成作用	こうあつがたへんせいさよう	high-pressure type metamorphism	ひすい輝石ーらん閃石系列変成鉱物が晶出する。高温部ではざくろ石を伴うエクロジャイト相を特徴とする。
抗压強度	こうあつきょうど	compressive strength	圧縮強度と同義。一般的ではない。
高压三軸圧縮試験	こうあつさんじくあつしゅくしけん	high pressure triaxial compression test	1MPa程度以上の側圧を供試体に作用させて行う三軸圧縮試験。
高压縮ベントナイト	こうあつしゅくべんとないと	high compression bentonite	高レベル放射性廃棄物地層処分において廃棄物周辺の埋め戻し材として考えられている高密度のベントナイト。
高压注入	こうあつちゅうにゅう	high pressure grouting	被圧水をもつ破砕帯や海底トンネルなどでの数MPa以上の高压で行うグラウト注入。
高压噴射攪拌工法	こうあつふんしゃかくはんこうほう	high pressure jet mixing method	地盤改良工法の一つ。上下移動および回転するノズルから高压高速で硬化材を地中に噴射し、切削した土砂と硬化材を混合攪拌して柱状の改良体を形成する。
高アルミナ玄武岩	こうあるみなげんぶがん	high-alumina basalt	島弧玄武岩の一種で、ソレアイト玄武岩とアルカリ玄武岩の中間的な性質を有している。化学組成的にAl ₂ O ₃ が17～19%程度と高い特徴を有している。
高アルミナ質粘土	こうあるみなしつねんど	high-alumina clay	アルミナ含有量がカオリナイト組成より高く(約50%以上)、ダイアスポアやボーキサイトを多く含む粘土。
高アルミナセメント	こうあるみなせめんと	high alumina cement	アルミン酸石灰を主要構成物とし、早強性、耐火性、耐食性に優れるセメント。
広域異常	こういきいじょう	regional anomaly	重力分布や磁力分布などを考察する際に、区域全域に現われている傾向を示すために用いる用語。
広域応力場	こういきおうりょくば	regional stress field	広域的な地殻に働く応力場。広域応力場は測地的に得られる主ひずみの方向や活断層のずれの方向、火山の割れ目噴火や側火山の分布などによって推定される。
高域遮断フィルタ	こういきしゃだんふいた	high-cut filter	特定の周波数より高い成分を減衰させ、低い成分を減衰させることなく通過させるフィルタ。
高域通過フィルタ	こういきつうかふいた	high-pass filter	特定の周波数より高い成分を減衰させることなく通過させ、低い成分を減衰させるフィルタ。
広域テフラ	こういきてふら	regional tephra	巨大噴火の結果、数百～数千km以上隔たった地域においても認められるテフラ。地域間の地層・地形面の対比が可能となる。
広域噴火	こういきふんか	areal eruption	地下浅部に貫入した花崗岩質(流紋岩質)マグマが広い範囲に渡って噴出・噴火する火山活動。

広域変成岩	こういきへんせいがん	regional metamorphic rock	造山運動に伴って、大きな圧力や熱の作用などを受け、原岩とは異なった組織・構造・鉱物構成となって広範囲に形成された岩石。
広域変成鉱床	こういきへんせいこうしょう	regional metamorphic deposit	広域変成作用により濃集して生じた鉱床、および別子銅山のように初生時の性質が広域変成作用を受けて変化した鉱床。
広域変成作用	こういきへんせいさよう	regional metamorphism	プレート境界などでの広域的な構造運動により、既存の岩石が変成を受けて変成岩を生成する作用。
広域変成帯	こういきへんせいたい	regional metamorphic belt	造山運動によりもたらされる広い範囲の変成帯（ベルト）。再結晶作用をとめない、片岩・片麻岩などが作られる。
高位泥炭	こういでいたん	high moor peat	高緯度（緯度45°以上）地方に主に作られる、湿地帯に生息していた植物根の土壌化したもの。
高位泥炭土	こういでいたんど	high-moor peat soils	地表面から1mまでの土壌のうち半分以上が泥炭層、または地表面から50cmまでの土壌のうち20cm以上の泥炭層を持つ土壌で、ミズゴケが主体の土壌。
降雨強度公式	こううきょうどこうしき	rainfall intensity formula	時間あたりの降雨量とその継続時間の関係を示す式。計画降雨量を求める場合に用いる。
降雨記録	こううきろく	rainfall records	雨量計による記録。通常はmmの単位であらわされる。
降雨継続時間	こううけいぞくじかん	duration of rainfall, precipitation duration	ある降雨現象が止むことなく継続した時間。この時間の降雨をひとあめともいう。
降雨蒸発収支	こううじょうはつしゅうし	rainfall-evaporation balance	水循環の中で、水の流入と流出を考えるとときに降雨による水分量のうち蒸発分を水収支の観点で定量化すること。
降雨日数	こううにつすう	rain days	月間・季間・年間などある一定の時間のうち、1日で1mm以上の降水が観測された日の総和。
降雨量	こううりょう	rainfall	雨量計で測定される降雨を通常mmで深さをもって表す量。1mm以下の降雨は雨として評価されない。
硬X線	こうえつくすせん	hard X-rays	物質に対する高い透過能をもつX線。X線の波長が短い領域をさす。
高温X線回折計	こうおんえつくすせんかいせつけい	high temperature X-ray diffractometer.	試料を高温条件下においてX線回折により結晶構造の変化を調べる装置。
高温ガス冷却炉	こうおんがすれいきゃくろ	high temperature gas-cooled reactor (HTGR)	ヘリウムなどの気体を冷却材として用い、高い温度を取り出す原子炉で、多目的の熱利用が可能。
高温岩体	こうおんがんたい	hot dry rock	高温で流体を殆ど含まない岩体。高温岩体発電の実験は山形県肘折・秋田県秋宮で実施。

高温岩体地熱発電	こうおんがんたいちねつはつでん	power generation utilizing hot dry rock	地下深部の高温岩体を利用し、岩体に複数の坑井を設け、坑井間に人工的に対流系を造成して熱抽出を行う発電方法。
高温顕微鏡	こうおんけんびきょう	heating microscope	高温状態にある物質の変化を直接観察できるように、加熱部を組み合わせた顕微鏡。
高温高压実験	こうおんこうあつじっけん	high-temperature and high-pressure experiment	岩石や鉱物を地球内部規模の高温高压状態にした時に示す物性変化や相変化を調べる実験。
高温交代鉱床	こうおんこうたいこうしょう	contact metasomatic deposit	接触交代鉱床と同義。この用語は現在あまり用いられていない。
高温三軸試験	こうおんさんじくしけん	high temperature triaxial test	供試体を高温の条件下に置きながら実施する三軸試験で、地盤物性の高温下での性状を調べる試験。
恒温層	こうおんそう	isothermal layer	地下のある深度になると地下水の温度変化がなくなって一定温度を示すようになる。その深度と地下水層のこと。
恒温槽	こうおんそう	thermostat, constant temperature bath	容器の外の温度に影響されることなく、容器内の温度をほぼ一定に保つことができる容器。
高温低圧型変成帯	こうおんていあつがたへんせいたい	high temperature-low pressure type metamorphic belt	変成帯を変成相（生成時の圧力・温度条件）で分類した時の分帯の一つ。サニディナイト相・輝石-ホルンフェルス相などで特徴づけられる。
硬化	こうか	hardening, indurated	セメントの水和が進み、剛性が増して強度が発生し、次第に増進する一連の過程。
降灰	こうかい	ash fall	火山活動で空中高く噴出された火山灰が、地上に降ること。我国では偏西風の影響で火口の東方に堆積することが多い。
鉱害	こうがい	mine pollution	鉱山での採掘や精錬に伴い排出される煤煙や廃液による大気、土壌、地下水、河川、海などの汚染。
剛塊	ごうかい	craton	クラトンと同義。
高海面期	こうかいめんき	age of higher sealevel	海面変動史の間において、海面が現海面より上昇した時期。第四紀においては下末吉面の形成時期や完新世の有楽町海進などがその例。
光化学オキシダント汚染	こうかがくおきしだんとおせん	photochemical oxidant pollution	光化学反応で生じるオゾン、硫酸ミストなどの酸化ガス（光化学オキシダント）による大気の汚染。
光化学スモッグ	こうかがくすもぐ	photochemical smog	炭化水素と窒素酸化物が、太陽の紫外線により光化学反応をおこして発生するスモッグ。
降下火砕堆積物	こうかかさいたいせきぶつ	pyroclastic fall deposit	噴火活動によって火口から放出された火山灰などの火砕物質が地表に落下して生成された堆積物。

降下火山灰堆積物	こうかかざんばいたいせきぶつ	ash fall deposit	降下火砕堆積物中の構成物質が大部分粒径 4 mm以下の火山砕屑物からなるもの。
降下軽石堆積物	こうかかろいしたいせきぶつ	pumice fall deposit	降下火砕堆積物中の構成物質が石英，安山岩，流紋岩などの酸性マグマの発泡で生じた火山砕屑物からなるもの。
光学異常	こうがくいじょう	optical anomaly	鉱物結晶が，通常の鉱物における一般的な光学特性と極端に異なる光学特性を呈する場合，その現象をいう。
光学式地震計	こうがくしきじしんけい	optical seismograph	地震計の倍率拡大に光学式テコを使用し，地震動を印画紙に記録する方式の計測器。
光学性	こうがくせい	optical character	結晶が光学的に正号か負号かの区別を有する性質．結晶の伸長方向についても光学的に正，負の区別を行う。
高角断層	こうかくだんそう	high-angle fault	断層のうち，断層面の傾斜が高角度（一般には45°以上）のもの。
光学的一軸性	こうがくてきいちじくせい	optically uniaxial	六方晶系・三方晶系・正方晶系の結晶のように，光軸を一本しか持たないこと。
光学的異方性	こうがくてきいほうせい	optically anisotropic	結晶の方向によって光学的性質が異なること．立方晶系以外の結晶がこれにあたる。
光学的正号	こうがくてきせいごう	optically positive	光学的性質が方向により異なる結晶等において，その光学性が正であることをいう．逆は光学的負号。
工学的地質図	こうがくてきちしつず	engineering geological map	通常の地質図上に地すべり状況・風化の程度・節理亀裂の発達状況などの地質工学的な記載を加えた地質図。
光学的等方性	こうがくてきとうほうせい	optically isotropic	どの方向でも等しい光学的性質を示すもの．立方晶系・非結晶体がこれにあたる。
光学的二軸性	こうがくてきにじくせい	optically biaxial	光軸を二本持つ光学的性質の結晶．斜方晶系・単斜晶系・三斜晶系に属する結晶がこれにあたる。
光学的負号	こうがくてきふごう	optically negative	一軸性結晶で異常光が通常光より速いこと．二軸性結晶で光軸角 $2\Omega > 90^\circ$ のこと。
光学的分散	こうがくてきぶんさん	optical dispersion	結晶の光学定数や光学的弾性軸の方向が光の波長（色）により異なる現象。
光学的変位計	こうがくてきへんいけい	optical displacement gauge	変位を鏡の回転に変え，不動点から照射した光の反射を利用し，受光面上の光点の移動量から変位量を求める計器。
光学的方位	こうがくてきほうい	optical orientation	結晶の光学的方向（光学的弾性軸・光軸・光軸面など）と，結晶との関係．晶系によって各軸との関係が異なる。

鉱化作用	こうかさよう	mineralization	熱水やガスによって鉱物が生成したり鉱床が形成される作用。
降下浸透	こうかしんとう	percolation	岩石あるいは土壌の間隙の中に存在する水が重力によって下方に移動する過程をさす。透過ともいう。
降下浸透量	こうかしんとうりょう	quantity of percolation	地下へ浸透していく水量。一般に地下水の降下浸透には飽和浸透と不飽和浸透の二つの形態がある。
鉱化水	こうかすい	mineralizing water	鉱化流体のうち、液体状態で挙動するもの。気体状態の鉱化流体を示す鉱化ガスの対語。
降下スコリア堆積物	こうかすこりあたいせきぶつ	scoria fall deposit	降下火砕堆積物中の構成物質が玄武岩などのような塩基性（苦鉄質）マグマの発泡で生じた火山砕屑物からなるもの。
後火成作用	こうかせいさよう	post-igneous action	マグマ固結後に進行した反応で、熱水変質などを含んでいる作用。後マグマ作用ともいう。
抗火石	こうかせき	kokaseki	伊豆七島新島、神津島産の多孔質流紋岩。加工が容易で、防音材などの建築材料として用いられる。
鉱化帯	こうかたい	mineralized zone	有用鉱物が賦存する一定の地域。個々の鉱床よりも広域的な概念で用いられる。
降下堆積物	こうかたいせきぶつ	fall deposit	空中を降下し、地表に堆積したものの総称。水中でも静かに粒子が堆積したもの（グロビゲリナ軟泥など）。
降下テフラ	こうかてふら	pyroclastic fall deposit	火山活動の際、噴火により火口から噴出された噴出物が、風などの営力で運搬されて地表に降下した堆積物。
鉱化溶液	こうかようえき	ore-forming solution	鉱床を生成するのに必要な成分を含んだ流体で、気相、液相を問わない。熱水溶液・鉱液などともいう。
鉱化流体	こうかりゅうたい	ore-forming fluid	鉱床を形成する際にその構成物質を運搬する流体をさす。気体・液体を問わず、混合体も包含した用語。
後カルデラ丘	こうかでらきゅう	post caldera cone	カルデラ形成後にカルデラ内部に形成される新しい火山。中央火口丘と同義語。
硬岩	こうがん	hard rock	岩盤の工学的な性状を表わすために用いられた土木用語。一軸圧縮強度が20MPa（中硬岩という区分を設ける場合は80MPa）以上の岩石と定義している機関もある。硬岩で構成される岩盤は一般に亀裂等の不連続面が発達しているため、その力学的挙動は岩石強度より亀裂等の不連続面の挙動に左右される。
鋼管杭	こうかんぐい	steel pipe pile	既製杭の一種で円形の鋼管を杭として用いる。強い打ち込みに耐え、大きな支持力が得られる。
交換クロマトグラフィ法	こうかんくろまとぐらふほう	ion exchange chromatography	吸収剤として物質のpHに依存せず、イオン交換樹脂を用いたクロマトグラフィ法。

硬岩残丘	こうがんざんきゅう	monadnock	準平原化作用から取り残された残丘のうち、浸食に対する抵抗力が大きい珪岩などの硬岩が残ったもの。
鋼管支保工	こうかんしほこう	pipe support	鋼アーチ支保工の一形式で、構造用鋼管を曲げ加工したもの。パイプ支保工ともいう。
交換性塩基	こうかんせいえんき	exchangeable base	水溶液中で、容易に他の塩基に交換できる鉱物中の塩基。
交換性陽イオン	こうかんせいよういおん	exchangeable cations	水溶液中の陽イオンと容易に交換される、置換性の高い鉱物中の陽イオンのこと。
鋼管付フレキシブル鉄筋コンクリート杭	こうかんつきふれきしぶるてっきんこんくりーとぐい	flexible reinforced concrete pile with steel pipe	鋼管の内壁に沿って鉛直方向にフレキシブル鉄筋を配し、その内部にコンクリートまたはモルタルで充填した鋼管杭。
孔間透水試験	こうかんとうすいしけん	cross hole permeability test	2孔以上のボーリング孔を用いて、その間の地盤の透水性状を求める透水試験方法で、地盤の異方性や水の流れやすさを求めることができる。クロスホール透水試験ともいう。
鋼管フォアパイプ	こうかんふおあぱいる	steel forepile	トンネルの先受け工において、切羽前方に打ち込むことによって地山の安定を確保する鋼管。
鋼管膨張型ロックボルト	こうかんぼうちようがたろっくぼると	friction anchored rockbolt of the type of expanded steel tube	摩擦定着型ロックボルトの一つ。一部を内側に折り曲げて径を縮小した円形鋼管を孔内に挿入後、管内に高水圧を加えて膨張させ孔壁に圧着させる。
鋼管矢板	こうかんやいた	steel pipe sheet pile	鋼管の側面に互いに連結するための継ぎ手金物を溶接した矢板。
鋼管矢板土留め	こうかんやいたどどめ	steel pipe sheeting	継手付きの鋼管を継手部をかみ合わせながら連続的に地中に打設する土留め。遮水性大。
工期（土木工事）	こうき（どぼくこうじ）	time for completion(civil works), construction period	土木工事の着手から完成までに要する期間。工事期間の略。
好気性	こうきせい	aerobic	生育のために酸素を必要とするか、または酸素のある状態で生育できる生物の性質。または生物に必要な酸素がある状態。
好気性細菌	こうきせいさいきん	aerobic bacteria	空気中ないし酸素の存在下で生活できる細菌。嫌気性細菌の対語。
光起電力効果	こうきでんりょくこうか	photovoltaic effect	半導体が光を受けて内部で電氣的な反応を起こし、電圧を生じる現象。応用例として太陽電池があげられる。
高Q層	こうきゅうそう	high-Q layer	海溝より沈み込むプレートは、粘性の小さな上部マントルに比べて地震波の減衰が小さく高Q層と呼ぶ。
鉱業権	こうぎょうけん	mining right	鉱業法によって登録を受けた区域で、登録を受けた鉱物と同種の鉱床中に存する他の鉱物を採掘し、これを取得しうる権利（鉱業法第5条）。

高強度コンクリート	こうきょうどこんくりーと	high strength concrete	高い強度を有するコンクリートの総称。
高強度コンクリート杭	こうきょうどこんくりーとくい	high strength concrete pile	既製鉄筋コンクリート杭の一種で圧縮強度の高い杭。80MPa以上の強度を用いることもあるが、一般には50～60MPaのものが多い。
高強度ポリマーコンクリート	こうきょうどぼりまーこんくりーと	high strength polymer concrete	結合材の一部または全部にポリマーを用いて骨材を結合したコンクリートで、強度大で耐水性・耐酸性に優れる。
工業分析	こうぎょうぶんせき	proximate analysis, technical analysis	石炭を水分・灰分・揮発成分・固定炭素の4成分にかけて分析する方法。または工業原料、製品などの化学分析全体をさす。
工業用岩石	こうぎょうようがんせき	rocks for industry	建設工業用、製造工業用、および鉱業用岩石などで、各種工業に使用される石材・原料石。
鉱業用岩石	こうぎょうようがんせき	rocks for mining industry	鉱業に使用される岩石。鉱石用岩石・精錬用岩石など。
鋼玉	こうぎよく	corundum	α -Al ₂ O ₃ 。六方晶系。硬度9。比重4.02。Cr ³⁺ 、Fe ³⁺ を含むとそれぞれルビー、サファイアとなる。酸化アルミナ鉱物。硬度が9と硬く、宝石や研磨材などに用いられる。コランダムともいう。
硬玉	こうぎよく	jade	翡翠（ひすい）輝石の宝石名。玉（ぎよく）と呼ばれる。主に東洋において珍重される。
鉱区	こうく	mine claim	鉱業権の登録を得た一定の区域で、深さは無制限。1鉱区の面積は最大面積に制限があり、最小面積も鉱物により規制している。
鋼杭	こうぐい	steel pile	鋼製の既製杭で円形中空断面の鋼管杭およびH形断面のH形鋼杭がある。
航空三角測量	こうくうさんかくそくりょう	aero triangulation	正式には空中三角測量。撮影した写真上で行う三角測量。これにより標定点を順次求めることができる。
航空磁気測量	こうくうじきそくりょう	airborne magnetic survey	空中磁気探査と同義。
航空写真	こうくうしゃしん	air photograph	空中写真ともいう。航空機を利用して空中から地表面を撮影した写真。主に測量および地形判読に用いられる。
航空探査	こうくうたんさ	aerial survey	飛行機やヘリコプターによる広域探査で、空中写真測量や電気・電磁・磁気・重力・放射能探査などがある。
坑口	こうぐち	pit mouth, portal, entrance of tunnel	坑道・斜坑あるいは立坑の入り口・出口。
坑口切付け	こうぐちきりつけ	portal-in	原地盤からトンネル坑口までの切土掘削。

孔口循環方式	こうぐちじゅんかん ほうしき	borehole mouse circulation grouting method	孔口で注入圧力と注入量を制御し、リターン管により余分なミルクをアジテータに返送してサプライ管に供給することにより循環させて注入するグラウチング方式.
坑口防噴装置	こうぐちぼうふんそ うち	blow out preventor	地熱ボーリングの際にケーシングの頭部に取り付けられた地層流体の噴出防止装置.
高傾斜空中写真	こうけいしゃくう ちゅうしゃしん	high angle oblique aerial photograph	空中写真は通常垂直に撮影するが、斜面の撮影や災害時の撮影など必要に応じて斜め方向から撮影した写真.
孔径測定	こうけいそくてい	caliper	キャリパーと同義.
口径比	こうけいひ	relative aperture	カメラ、望遠鏡などのレンズや反射鏡の焦点距離を入射瞳の直径で割ったもの。レンズの明るさを表す。F値ともいう.
孔径変化法	こうけいへんかほう	borehole deformation method	ボアホール変形法と同義.
孔径補正	こうけいほせい	bore hole diameter correction	密度検層・音波検層のように測定値が孔径の影響を受ける場合に行う孔径測定に基づく補正.
孔隙	こうげき	pore	岩石中のすきまのことで、固体以外の部分。外部と連続するものを有効孔隙という.
孔隙検層	こうげきけんそう	porosity logging	中性子検層ともいう。高速中性子を地層に照射し、地層中における減衰を測定して孔隙率を求める検層法.
攻撃斜面	こうげきしゃめん	undercut slope	曲流する河川の外側に浸食により形成される急傾斜面。この時反対側は堆積により形成された緩傾斜した滑走斜面をなす.
孔隙水	こうげきすい	pore water	間隙水と同義.
孔隙率	こうげきりつ	porosity	間隙率と同義.
こう結（膠結）	こうけつ	cementation	堆積物などの孔隙や粒子間に、珪酸・炭酸塩などのセメント物質が沈積し、粒子などを結合させること。セメンテーションともいう.
こう結（膠結） 係数	こうけつけいすう	cementation factor	地層の圧密度やこう結（膠結）度を示す値で、地層の比抵抗検層のデータから地層の孔隙率を求めるために必要な係数.
こう結（膠結） 帯	こうけつたい	cementation zone	硫化物鉱床の金属硫酸塩が、地下水面下で還元作用により黄鉄鉱などの硫化物を沈積させた二次富鉄帯。還元帯と同義.
こう結（膠結） 物	こうけつぶつ	cement	堆積物などの各粒子を結合する珪酸塩鉱物・炭酸塩鉱物・粘土鉱物など。珪質～石灰質のものが多い.

こう結（膠結）物鉱物	こうけつぶつこうぶつ	cement mineral	石英・オパール・方解石・重晶石・沸石・菱鉄鉱・赤鉄鉱・褐鉄鉱・粘土鉱物などのこう結（膠結）作用をもつ鉱物。
高原	こうげん	plateau	表面起伏が小さく、比較的平坦な広い上面をもつ周辺地域より標高がかなり高い土地。
高剛性試験機	こうごうせいしけんき	high stiffness testing equipment	載荷フレームの剛性を高め、油圧サーボ機構も用いて岩石の爆裂的破壊を防止し破壊後の挙動も測定できるようにした試験機。
坑口密閉試験	こうこうみっぺいしけん	well head pressure test	地熱ボーリングなどで坑口の指示圧力から自噴蒸気量を推定するために行うケーシング内圧力試験。
考古地磁気	こうこちじき	archeomagnetism	炉や窯跡などの焼土遺構の熱残留している地磁気。考古学的な時代の地磁気。
黄砂	こうさ	yellow sand	中国奥地の砂漠の砂が低気圧によって高層に吹き上げられ、ジェット気流に乗って日本の空に流れてきたもの。
鉱滓（鉱さい）	こうさい	slag	スラグのこと。金属精錬で有価金属を抽出した後の溶解物。“のろ”や“からみ”ともいう。
硬砂岩	こうさがん	graywacke	長石類を多く含むアルコース砂岩に対して、岩石片や有色鉱物の多い砂岩。こう結（膠結）物の少ない硬質の砂岩。
交差節理	こうさせつり	cross joint	火成岩の流理面・褶曲軸・地層の走向などにほぼ直角に交る節理。横断節理・Q節理・洞切節理ともいう。
交差断層	こうさだんそう	transverse fault	その地域の地質構造の伸長方向に直交ないし高角度で斜交する断層。洞切り断層・横断断層ともいう。
高山気候	こうざんきこう	alpine climate	海拔高度の高い地域にみられる特殊な気候をさす。一般に海拔2,000～3,000m以上の高山の気候。
高山性岩屑土	こうざんせいがんせつど	alpine lithosols	森林限界よりも高標高の山頂や斜面などに分布する、ほとんど土壌生成作用をうけていない石礫質の土壌。
鉱山評価	こうざんひょうか	mine valuation	鉱山の価値。鉱山の現在価格の決定。鉱山の重要な資産は可採埋蔵鉱量と鉱石品位。
格子	こうし	lattice	平面上あるいは三次元空間の点が規則正しい周期的配列を示すもの。
格子エネルギー	こうしえねるぎー	lattice energy	イオン結晶においては、各イオンを無限遠までひき離すのに必要なエネルギー。
光地園断層	こうじえんだんそう	Kojien fault	活断層。確実度Ⅰ，活動度B級，北北西方向。北海道十勝平野南部広尾付近に位置し全長22km。

格子解析	こうしかいせき	lattice analysis	縦横に交差させた格子点に相当する地点の層序や岩相を整理して、岩相の時間的・空間的変化を解析する手法。
光軸角	こうじくかく	optic axis angle, optic angle	光学的二軸性結晶における二つの光軸（Z軸・X軸）の間の角度。通常はZ軸とX軸の鋭光軸角を2Vで示す。
光軸分散	こうじくぶんさん	dispersion of optic axis	光の波長により異なった光軸の方位を示すこと。二軸性結晶で認められ、晶系によって差がある。
光軸面	こうじくめん	optic axis plane, optical plane	光学的二軸性結晶において、二つの光軸（Z軸・X軸）を含む面。Y軸は光軸面に垂直（光軸面法線）。
格子欠陥	こうしけっかん	lattice defect	結晶は原子が完全に規則正しく配列せず、ところどころに乱れがある。これを格子欠陥と称し、結晶の物理化学的性質に大きな影響を与える。
格子構造	こうしこうぞう	lattice structure	鉱物の結晶学的方向に他の鉱物が規則正しく配列し格子状を呈する構造。
硬質岩盤	こうしつがんばん	hard rock mass	火成岩・変成岩および古生代～古第三紀の堆積岩などで、新鮮岩の圧縮強度が概ね $\sigma_{cu}=20\text{MPa}$ 以上の岩盤。
恒湿槽	こうしつそう	constant humidity bath	実験およびその他の測定を一定の湿度のもとで行うために、内部の湿度を一定に保つために工夫された装置。
鉱質土壌	こうしつどじょう	mineral soil	無機物が主要構成成分を占める土壌。無機質土壌ともいう。
硬質粘土	こうしつねんど	stiff clay	カオリナイトを主成分とする硬く、緻密な粘土の総称。
格子定数	こうしていすう	lattice constants	結晶構造を規制する原子の三次元的配列の最小単位をなす格子の各稜a, b, cおよび軸角の α , β , γ の値。
鋼支保工応力測定	こうしほこうおうりょくそくてい	measuring stress of steel support	鋼支保工の安全性の確認や、作用する荷重の推定から、設計・施工に反映させるための応力測定。
向斜構造	こうしゃこうぞう	syncline	上位の地層が平面的に中心に分布し、上に凹となった褶曲構造。
向斜谷	こうしゃこく	synclinal valley	地質構造における向斜軸に沿って発達する谷地形。新潟県渋海川の中流部などにその例がみられる。
向斜山稜	こうしゃさんりょう	synclinal ridge	地質構造における向斜軸に沿って延びる山稜。褶曲山地が浸食されるときに形成されることが多い。
向斜軸	こうしゃじく	axis of syncline	褶曲して地層の谷となる場所で、両側の斜面を二等分する面と各層の交わる線をいう。

高周波地震計	こうしゅうはじしんけい	high frequency seismometer	岩盤破壊の前兆現象のモニターや岩盤の微細構造探査において、高周波の弾性波を観測するための地震計。
高周波電磁法	こうしゅうはでんじほう	high frequency electromagnetic method	高周波電磁界を大地にかけ、地中での伝導電流と変位電流による電磁界を測定し導電率と誘電率を求める方法。
甲州みかげ	こうしゅうみかげ	Koshu mikage	山梨県塩山市大菩薩峠付近一帯から採石される石材。新第三系石英閃緑岩。土木・鉄道敷石・板石土木用材。塩山みかげと同質。
鉱床	こうしょう	ore deposit, mineral deposit	地殻中に何らかの地質作用によって、特定の鉱石鉱物が濃集している部分。液体・気体の場合にも使用する。
恒常河川	こうじょうかせん	perennial stream	永久河川と同義。
鉱床成因論	こうしょうせいいんろん	ore genesis, metallogenesis, metallogeny	鉱床の成因を、その鉱床を含めた広域的な地質体の地史とともに研究すること。
鉱床生成期	こうしょうせいせいき	metallogenic epoch	同じ成因型の鉱床が広く生成された時期。火成活動以外の堆積鉱床でも用いられる。
鉱床生成区	こうしょうせいせいく	metallogenic province	同一成因によって同種の鉱床が分布するまとまった範囲。地域的に大規模なものに限定することがある。
鉱床評価	こうしょうひょうか	ore deposit valuation	試掘の結果に基づいて対象となっている鉱床が経済的に成立するか否かの評価。
恒常湧水	こうじょうゆうすい	normal water flow	トンネル湧水は、初期に多量であっても次第に減少して一定量を示すようになる。この状態にある湧水を恒常湧水と称し、安定した量を示す。
孔心傾斜測定器	こうしんけいしゃそくていき	directional survey instrument	ボーリング孔の孔軸の傾斜方位と傾斜角度を測定する機器。孔曲り測定器と同義。
更新世	こうしんせい	Pleistocene (epoch)	新生代第四紀の前期の地質時代。約160万～約1万年前。最新世と同義で、古くは洪積世と称し、氷河時代を含む。
更新統	こうしんとう	Pleistocene (series)	第四紀の更新世に形成された地層群をさす。年代は約160万～約1万年前まで。
庚申みかげ	こうしんみかげ	Koshin mikage	栃木県中禅寺湖南岸一帯に分布する半月山溶結凝灰岩。アダメロ岩の貫入により結晶質となり肉眼で石英斑岩・花崗斑岩に見誤れ、この名称がついた。
硬水	こうすい	hard water	カルシウムイオンとマグネシウムイオンを比較的多量に含む天然水。これらの含量が少ないものを軟水という。
鉱水	こうすい	mine water, mineral water	鉱泉水など鉱物質を多量に含む水。鉱山・製錬所・廃坑などから排出される地下水で、重金属など有害成分を含むもの。

洪水	こうずい	flood	河川の著しい増水によって、水が自然または人工の堤防からあふれる状態をさす。集中豪雨や融雪時に生じる。
洪水位	こうずいい	flood stage, high-water level flood stage	数年に一回程度起こる洪水発生時の河川水位をいい、その水位を越えると堤防から河水があふれ出す。
高水位取水口	こうすいいしゅすいこう	high level intake	ダムの高水位時用の取水口のこと。
降水確率	こうすいかくりつ	probability of precipitation	ある地域において、1mm以上の降雨が生じる確率(%)。6時間毎のように時間を区切って表示する。
洪水確率	こうずいかくりつ	flood probability	河川の高水ピーク流量の決定に用いる洪水再現期間。
降水強度	こうすいきょうど	precipitation intensity	通常1時間あたりの降雨量で表す。降雨強度・雨量強度ともいう。
洪水痕跡標	こうずいこんせきひょう	flood marker	河床内の木本から得られる過去の洪水履歴を示す痕跡。林分指標・単木指標・年輪指標がある。
洪水説	こうずいせつ	Diluvial theory	ノアの洪水を自然科学的に事実とみなし、洪水にともなって化石や地層が形成されたとする17～18世紀頃の見解。
洪水調節	こうずいちょうせつ	flood control	洪水時の流量を上流ダム、遊水池、河道、放水路などにより安全に流下させること。
洪水調節池	こうずいちょうせつち	detention reservoir	洪水を調節し下流の洪水流量の軽減を目的とした河川上流部に設ける貯水池。種類はダムと遊水池がある。
洪水調節用ダム	こうずいちょうせつようだむ	flood control dam	洪水を一時的に貯留して流入量を調節する機能を有するダム。
洪水調節用貯水池	こうずいちょうせつようちよすいち	flood control reservoir	洪水時に流水を一時貯留し、洪水調節を行うための貯水池。
洪水調節用放流工	こうずいちょうせつようほうりゅうこう	flood control outlet works	洪水調節のために用いられる放流設備で、非常用洪水吐きともいう。
洪水調節容量	こうずいちょうせつようりょう	flood storage, storage capacity for flood control	洪水調節機能を持たせたダムにおいて、計画上の基本高水に対して下流への放流量を計画量におさえるために必要な一時貯留のための容量。
洪水到達時間	こうずいとうたつじかん	period of concentration	降雨の降り始めの時刻から、その降雨による流出が当該地点で最大に達する時刻までの時間。
洪水吐き	こうずいばき	spillway	洪水時におけるダムおよび貯水池の安全確保を目的として設置される放流設備の総称。

洪水吐きカルバート	こうずいばきかるばと	spillway culvert	洪水吐き水路のうち、埋戻した暗きょ（暗渠）部。
洪水吐き橋梁	こうずいばききょうりょう	spillway bridge	洪水吐きにかかる天端橋梁。
洪水吐きゲート	こうずいばきげと	spillway gate, flood gate	貯水池からの洪水放流を制御するゲート。
洪水吐きシュート	こうずいばきしゅと	spillway chute	堤体と別に設ける洪水放流用の急傾斜開水路。
洪水吐き水路	こうずいばきすいろ	spillway channel	堤体と別に設けた洪水吐から下流河川への導開水路。
洪水吐きトンネル	こうずいばきとんねる	spillway tunnel	ダム放流設備のうち、導流部をトンネル形状としたもの。常に開水路流となるように設計される。
洪水吐きピア	こうずいばきぴあ	spillway pier	越流頂にゲート支持、あるいは天端橋梁（洪水吐き橋梁）支持のために設ける仕切りの構造物。または放流設備の呑口部に設けられる導流用の構造物。
洪水吐き容量	こうずいばきりょうりょう	spillway capacity	洪水吐きの放流能力。
洪水防御壁	こうずいぼうぎょへき	flood prevention wall	洪水防御施設のうち、盛土堤防以外の壁状の構造物。
洪水流出土砂量	こうずいりゅうしゅつどしやりょう	flood sedimentation	1回の洪水により流送された土砂の量。
降水量	こうすいりょう	amount of precipitation, precipitation	地表に落下した形態によらないすべての水の量。雪などはこれを融かして水に換算した深さで表す。
孔井	こうせい	borehole	ボーリング孔と同義語。
坑井	こうせい	chute	鉱石の出鉱・資材の運搬・人道・通気などに使用する、鉱体・岩盤中の上下方向に垂直か急角度の通路。
坑井	こうせい	well	石油、ガス、地下水などの探査またはそれらをくみ上げるための井戸。ウェルともいう。
剛性	ごうせい	stiffness	弾性体に働く外力と変位の比。圧縮・引張・曲げ・剪断・ねじりなどがある。
鋼製アーチ式砂防ダム	こうせいあーちしきさぼうだむ	steel arch type checkdam	流出土砂の貯留、調節などを目的に建造された鋼製のアーチダム。

鋼製足場	こうせいあしば	steel platform	接地式足場，形鋼でやぐらを組み立てておきクレーン船で海底に設置する．急傾斜地を除けば最も多く使用される．
合成音響インピーダンスログ	こうせいおんきょういんぴーだんすろぐ	synthetic acoustic impedance log	反射地震記録に基づく音響インピーダンス記録で，別名擬似音響インピーダンスログとも呼ばれる．
合成開口レーダー	こうせいかいこうレーダー	synthetic aperture radar	センサの移動に伴い得られる複数地点の反射波を合成処理し，見かけ上大口径（高解像度）を得ているレーダー．
坑井干渉	こうせいかんしょう	well interference	石油・天然ガスの開発で，複数の坑井が圧力，産出量などの点で互いに干渉しあうこと．
坑井間トモグラフィ	こうせいかんともぐらふい	crosshole tomography	複数の坑井間で一つに発信源，残りに受信点を設置して，坑井間の物性分布を測定する方法．
剛性基礎	こうせいきそ	rigid foundation	設計上，たわみを無視して剛体と仮定できる基礎．剛体基礎ともいう．
校正曲線	こうせいきょくせん	calibration curve	高精度の校正器を用いて，この校正器が示す真の値と計測器が示す値の関係を求めて図に表したものの．検定曲線ともいう．
合成杭	こうせいぐい	composite pile	異なる材料を組合わせた杭．鋼管の内部をコンクリートで充填した杭などがある．
校正係数	こうせいけいすう	calibration modulus	計測器の校正を行い，計測器の示す値が真の値になるように補正するための係数．
合成桁	こうせいげた	built up beam, composite girder	異種の材料を接合して一体の桁としたもの．例として鋼コンクリート桁などがある．
後生鉱床	こうせいこうしょう	epigenetic deposit	母岩生成後に，風化・堆積・変質・変成作用によって生じた鉱床．対語は同生鉱床．
合成鉱物	こうせいこうぶつ	synthetic mineral	天然に産するもの，という鉱物の定義に反するが，天然に産する鉱物と同一の特徴を持つ人工結晶．主に宝石・工業用．
後成作用	こうせいさよう	epigenesis	堆積物が固結して石化する過程を続成作用というのに対して，固結後に堆積岩が変成岩に変わる過程を示す．
坑井仕上げ	こうせいしあげ	well completion	坑井を掘削した後に，ケーシングの挿入・セメンチング・坑口の装置をとりつけるなど採収井に仕上げるまでの一連の作業．
坑井刺激法	こうせいしげきほう	well stimulation method	石油・天然ガス・地熱などの開発において，産出層を刺激して浸透率を大きくし，流体の増産をはかる方法．油圧破碎法・水圧破碎法・酸処理法など．
合成地震記象	こうせいじしんきしょう	synthetic seismogram	合成地震動記録と同義語．

合成地震動記録	ごうせいじしんどうきろく	synthetic seismogram	速度検層図と密度から人工的に合成して作成されるその地域の地震記録.
合成地震反射記録	ごうせいじしんはんしゃきろく	synthetic reflection seismogram	反射法速度検層などで、地表データと孔井データとを結び付けるために工夫された反射地震波の合成記録.
剛性指数	ごうせいしすう	rigidity index	せん断弾性係数Gを非排水せん断強度Suで除した値. ひずみの逆数に相当し記号Irで示す.
鋼製支保工	こうせいしほこう	steel support	H鋼などを加工して部材としたトンネル支保工の一つ. アーチ形・台形などがある.
鋼製支保工軸力	こうせいしほこうじくりょく	steel support axial force	鋼製支保工に加わる軸力. ひずみゲージ・ロードセルなどで測定する.
坑井重力計	こうせいじゅうりょくけい	borehole gravimeter	ボアホール重力計と同義.
合成ゼオライト	ごうせいぜおらいと	synthetic zeolite	イオン交換性・吸着性などの特性を利用し、触媒などの機能を持たせた工業用の化学合成された沸石.
後生的	こうせいてき	epigenetic	初生（同時）的ではなく、後時（二次）的なもの. 母岩の後にできた鉱床（風化残留鉱床など）や変質鉱物などの形容詞.
坑井電磁法	こうせいでんじほう	borehole electromagnetic method	試錐孔電磁探査と同義.
鋼製土留め支保工	こうせいどどめしほこう	steel earth-retaining support	掘削した地山の安定を図るために用いる仮設の鋼構造物.
坑井内震源	こうせいないしんげん	borehole seismic source	坑井内で用いる震源で、坑井間トモグラフィなどの探査で使用する. 爆薬, エアガン, スパーカなどがある.
坑井内速度測定	こうせいないそくどそくてい	well velocity survey	坑井内に受振器を取付け、坑井口近傍の地表で人工地震を発生させ、坑井沿いの弾性波速度を測定する方法.
高性能爆薬	こうせいのうばくやく	high explosive	爆速が7,000m/secの以上の爆薬で、高価である. 一般の産業火薬用としてでなく、科学実験などで使われる.
後成盆地	こうせいぼんち	after-deep	盆地の形成時期によって定められた区分で、造山運動後期または造山運動後に生じた盆地.
剛性マトリックス	ごうせいまとりっくす	stiffness matrix	有限要素法で、節点変位と節点外力の関係を表す行列.
剛性率	ごうせいりつ	rigidity	弾性率の一種で、ずり変形に関係した弾性定数. せん断弾性係数ともいう.

鋼製砂防ダム	こうせいわくさぼうだむ	steel dam, steel sediment control dam	鋼製枠組で骨格をつくり、これに玉石を充填して築造する形式の砂防ダム。
硬石	こうせき	hard stone	岩石を石材、砕石などで使用する時に用いられる。他に比較して硬質な岩石。対語としては軟石（なんせき）。
鉱石	こうせき	ore	有用元素または有用鉱物が濃集した岩石で、稼行の対象となるもの、または将来稼行の可能性のあるもの。
鉱石顕微鏡	こうせきけんびきょう	ore microscope	主に鉱石など不透明鉱物の観察に使用し、鉱石表面からの反射光を観察する顕微鏡。
鉱石研磨機	こうせきけんまき	polishing machine	不透明鉱石鉱物の目的とする面を反射光で観察するために、鉱石を研磨する機械。
鉱石研磨片	こうせきけんまへん	polished section	研磨片と同義。
鉱石鉱物	こうせきこうぶつ	ore mineral	鉱石を構成する鉱物の中で、特に抽出の対象となる有用鉱物。対語は脈石鉱物。
鉱石処理	こうせきしより	benefication	粉碎・焼結などによる鉱石の品位・性質の改良。
洪積世	こうせきせい	Diluvium(epoch)	第四紀前期に相当し、元来はノアの洪水の産物と思われた氷成堆積物などに用いられたが、現在は更新世（約2百万年～1万年）と改称。土木用語としては現在でも洪積世が用いられている。地質年代では必ずしも洪積世と更新世とは一致しない。更新世をみよ。
洪積層	こうせきそう	Diluvium, diluvial deposit, diluvial formation	古くは北ヨーロッパの氷成堆積物に用いられ、第四紀前期の年代（更新世）の地層を示す。正しくは更新統であるが、土木用語としては現在でも洪積層が用いられている。
洪積台地	こうせきだいち	diluvial upland	主に更新世後期に堆積した地層が、地盤の上昇あるいは海水準の低下に伴って台地化した地形をさす。
洪積統	こうせきとう	Diluvium(series)	洪積世の地質年代を構成する地層の総称。更新統をみよ。
洪積粘土	こうせきねんど	diluvial clay	更新世の粘土。沖積平野の下部または台地部に分布し、軟弱な沖積粘土に比べて一般にやや硬く、過圧密となっている。
硬石膏	こうせっこう	anhydrite	CaSO ₄ 。斜方晶系。硬度3.5。比重2.98。主として堆積岩中に産する。塩酸で溶ける。加水変質すると石膏となる。
剛節点	ごうせってん	rigid joint	部材が剛に結合されている構造物の節点をいい、ある剛節点に集まる部材の回転角は同一である。
降雪量	こうせつりょう	snow fall	地表に落下した雪の量。水の量に換算して表すことが多いが、積もった雪の深さである積雪を示すこともある。

鉱泉	こうせん	mineral spring	地中から湧出する多量の固形物質かガスまたは特殊な成分を含む湧泉, あるいはその土地の年平均気温より常に著しく高い湧泉. 我国の温泉法では, 1ℓ中に1g以上の鉱物質成分を含むもの.
鋼繊維補強コンクリート	こうせんいほきょう こんくりーと	steel fiber reinforced concrete	繊維補強コンクリートの短繊維に鋼繊維を用いたもの. 容積百分率で1~2%添加する. 普通のコンクリートに比べ引張強度, 曲げ強度などが改善される.
鋼繊維補強コンクリート舗装	こうせんいほきょう こんくりーとほそう	steel fiber reinforced concrete pavement	コンクリートに鋼製の短繊維材を混入した舗装. エネルギー吸収能力が大きく, 耐衝撃性に優れている.
鉱染鉱床	こうせんこうしょう	dissemination deposit	鉱染作用によって生じた鉱床で, 微細な鉱石鉱物が散在・点在する. 鉱脈よりは鉱物含有量は少ないことが多い.
光線軸	こうせんじく	optic biradials, ray axis	光学的異方体では同一方向で速さの異なる二つの偏光が生じるが, この二つの光線速度が等しくなる方向をいう.
鉱泉水	こうせんすい	mineral water	鉱泉から産出する鉱物質またはガスを多量に含んだ湧水.
光線速度	こうせんそくど	ray velocity	光のエネルギーが伝わる方向による速度. 光学的等方体ではすべての方向で等しいが, 異方体では方向によって異なる.
構造	こうぞう	structure	構成する部位の配列状態.
構造運動	こうぞううんどう	tectonic movement	褶曲・断層など地殻を構成する地層・岩石などを変形させる運動過程の総称で, 造構造運動ともいう.
構造解析	こうぞうかいせき	structural analysis	岩体や地層の構造, 変形の過程, 力学的機構などを研究する方法. 幾何学的・力学的解析法がある.
構造角礫岩	こうぞうかくれきが ん	tectonic breccia	断層角礫岩など, 大規模な断層・褶曲運動(構造運動)で破砕されて生成した角礫岩.
構造岩相	こうぞうがんそう	tectonic lithofacies	岩体や地層の変形に関係のある岩相. 泥岩は砂岩より変形しやすいというような性質.
構造規制	こうぞうきせい	structural control	断層・褶曲など地質構造が鉱床の形成位置・分布に制限・影響を与えること.
構造区	こうぞうく	tectonic province	地史を反映した特定の構造, 岩石で特徴づけられる地域, もしくは地質体.
構造区分図	こうぞうくぶんず	geotectonic map	地質図のうち, 地質構造によって特徴づけられる構造単位によって区分して表現したもの. 地質構造の特徴と構造発達史を読み取ることができる.
構造圏	こうぞうけん	tectonosphere	テクトノスフェアと同義語.

構造湖	こうぞうこ	tectonic lake	断層・褶曲作用などの地殻構造運動で形成された凹地に水がたまって生じた湖。諏訪湖は断層による陥没で生じた。
構造谷	こうぞうこく	tectonic valley	断層谷など構造運動に起因して形成された谷。地質構造や岩質に起因して形成された適従谷を示す場合もある。
航走採泥器	こうそうさいでいき	underway bottom sampler	湖や海に堆積した泥などの未固結な底質物質を採取するため、船尾から曳行しながら用いるサンブラ。
後造山運動	こうぞうざんうんどう	postorogenic movement	褶曲・変成・深成・隆起などの（狭義の）造山運動の後の作用。地塊が安定化に向い、断裂に伴う火成活動が多い。
構造式	こうぞうしき	constitutional formula	化学式の種類で、元素記号を用いて分子の構成や結合状況を図示したもの。
構造地震	こうぞうじしん	tectonic earthquake	自然地震のうちで、地殻およびマントル上部の構造運動の結果発生する地震。
構造試錐	こうぞうしすい	structural boring	地質構造を調べる目的で実施する試錐。コア採取、各種検層も実施する。
構造水	こうぞうすい	constitution water	鉱物（結晶格子中）に（OH）基として入っている水。加熱により脱水する。
構造性天然ガス	こうぞうせいてんねんがす	structural natural gas	油田ガスのうち、液状の石油をほとんど伴わない遊離した天然ガスが集積しているもの。
構造性メランジュ	こうぞうせいめらんじゅ	tectonic melange	メランジュを成因で区分した場合の一区分。構造運動で形成されたメランジュのこと。
構造線	こうぞうせん	tectonic line	地質構造単元を区画する大規模な断層あるいは多数の断層の集合体。地質構造線ともいう。
構造帯	こうぞうたい	tectonic zone	ある特徴的な地質構造・地史をもった帯状の地域。
構造段丘	こうぞうだんきゅう	tectonic terrace	地盤の隆起や河道の増傾斜などの地盤運動によって、河流が浸食力を復活した結果形成された河岸段丘。
構造単元	こうぞうたんげん	tectonic unit	ある特徴的な構造形態、発達史により区分される地域。
構造地形	こうぞうちけい	tectonic landform	地質構造と深い関係を有する地形。地盤運動に基づく変動地形と地質構造に基づく浸食地形とに区別できる。
構造土	こうぞうど	patterned ground	周氷河地形において、主に凍結作用によって形成される幾何学的な形をした地表面の模様や微地形。

構造等高線図	こうぞうとうこうせんず	structure contour map	層理面や不整合面などの特定面の高さの等しい点を結び、その面の形態を等高線で表した図。
構造トラップ	こうぞうとらっぷ	structural trap	石油やガスなどの貯留部を形成する地質構造。褶曲による背斜部、断層によるものなどがある。
構造発達史	こうぞうはったつし	geotectonic history	地質構造の研究により明らかにされた、地殻の運動や火成作用・変成作用などの発達過程の歴史。
構造ファブリック	こうぞうふぁぶりっく	tectonic fabric	地層や岩体の変形によって二次的にできた、幾何学的構造。線構造・片理・へき開（劈開）・褶曲軸・結晶配列など。
構造平野	こうぞうへいや	structural plain	地質構造そのものが平坦な表面をつくっている平野。水平な地層に基づいた浸食地形として生じる平坦な地形。
構造盆地	こうぞうぼんち	tectonic basin	周辺部が相対的に隆起するような断層運動や褶曲運動によってできた凹地。変動地形としての盆地。
構造面	こうぞうめん	stratum plain	コロラド台地のように、地層の層理面などや岩体の構造が顕著に表わされている面・構造台地。
構造用コンクリート	こうぞうようこんくりーと	structural concrete	ダムコンクリートのうち堤体内の鉄筋構造物周辺および鉄筋構造物に使用されるコンクリート。
構造要素	こうぞうようそ	fabric element	岩体内部の幾何学的組織配列を構成する要素。層理・片理・流理・葉状構造・褶曲軸など。ファブリック要素ともいう。
拘束圧	こうそくあつ	confining pressure	通常状態において、地盤中の対象要素の周面に作用している垂直応力。三軸圧縮試験における側圧に相当する。
拘束圧依存性	こうそくあついでんぞんせい	confining pressure dependence	地盤材料にかかる拘束圧の大きさにより、その材料の強度、変形性、透水特性などの諸物性が変化すること。
拘束圧縮試験	こうそくあつしゅくしけん	confined compression test	土の圧縮性や透水性から圧密諸係数を求める試験の一つで、砂や礫を含んだ締固め土に対する圧密試験。
高速増殖炉	こうそくぞうしよくろ	fast breeder reactor (FBR)	高速中性子を利用する原子炉で、天然ウランを使用できるとともに、核燃料としてのプルトニウムを生産。
高速度層	こうそくどそう	high-velocity layer, high-velocity zone	海溝より沈み込むプレートは、粘性の小さな上部マントルに比べて地震波の伝わる速度が速いので高速度層と呼ぶ。
高速フーリエ変換	こうそくふーりえへんかん	fast Fourier transform	かなりの計算量を要する離散的フーリエ変換を改良し、飛躍的に演算時間を短縮した高速演算アルゴリズム。
高速ミキサ	こうそくみきさ	high speed mixer	コンクリートやモルタルなどの製造に用いる練り混ぜ機械のうち、回転速度の速いもの。

高速リングせん断試験	こうそくりんぐせん だんしけん	rapid ring shear test	ドーナツ型の供試体にねじりモーメントを与え、円周方向に供試体を急速にせん断する試験方法で、非常に大きな変位領域まで試験が可能である。
硬組織	こうそしき	hard tissue	生物体内の骨（軟骨）や歯、殻などの硬質の組織。化石として残りやすい。
剛塑性体	ごうそせいたい	rigid-plastic body	塑性状態に至るまでは剛体としての性質を有する材料。
鉱体	こうたい	ore body	ある広がりをもつ鉱床において、特に有用鉱石の濃集している所で、一般に稼行対象とされる部分。
剛体	ごうたい	rigid body	外力を加えても、変形や体積変化が生じない理想固体。
剛体基礎	ごうたいきそ	rigid foundation	剛性基礎と同義。
交代鉱床	こうたいこうしょう	replacement deposit, metasomatic deposit	熱水溶液により物質移動が生じ、有用鉱物を含む種類の異なる岩石になった鉱床。
交代鉱物	こうたいこうぶつ	metasome	交代作用で生成した鉱物。例えば、石灰岩と花崗岩の接触変成作用によるガーネット・ダトー石などのスカルン鉱物など。
交代鉱脈	こうたいこうみやく	replacement vein	交代作用によって生成した鉱脈。接触変成作用に伴うスカルン鉱床（鉄・銅鉱床）など。
交代作用	こうたいさよう	metasomatism	変成作用の一つで、岩石が他の物質と反応して、化学組成を変化させる作用。接触変成作用などに認められる。
後退浸食	こうたいしんしょく	backward erosion	谷の最上流部、すなわち谷頭において風化と重力に基づく崩壊によって行われる谷壁斜面の浸食作用。頭部浸食・谷頭浸食ともいう。
交代スカルン	こうたいすかるん	metasomatic skarn	接触変成作用でマグマが炭酸塩岩などの母岩を交代し、生成した鉱床の脈石を構成する石灰苦土珪酸塩鉱物集合体。
後退堆石	こうたいたいせき	recessional moraine	氷河の縮小の過程において、氷舌端の一時的な停滞の位置を示す痕跡として残される末端氷堆石。後退速度により分布が異なる。
剛体ばねモデル	ごうたいばねもでる	rigid-bodies spring model, RBSM	解析対象を2種類のバネで連結された剛体の集合体と仮定し、要素間のすべりと回転により変形解析を行うモデル。RBSMともいう。
剛体ブロックモデル	ごうたいぶろっくも でる	rigid block model	解析領域内を剛体ブロックの集合体と考え、隣接するブロックの辺間の相対運動のみを考慮する解析モデル。
交代変成岩	こうたいへんせいが ん	metasomatic rock	岩石に化学的非平衡な流体が浸透することにより形成される、原岩とは異なる化学組織の岩石をいう。スカルンなど。

剛体要素モデル	ごうたいようそもで る	rigid element model	解析領域内の対象物を剛体要素に分割し、隣接する二つの剛体要素を要素境界において相対運動に抵抗するバネ系により連結した解析モデル。
鉍体流電法	こうたいりゅうでん ほう	charged potential method	流電電位法と同義。
光沢	こうたく	luster	物質表面からの光の反射による見た目のことで、つやとも。金属光沢・樹脂状光沢・粘土光沢など。
光沢度	こうたくど	gloss	物体の表面の鮮明度を何らかの方法で測定し、これを量的に表したものを光沢度という。
光弾性	こうだんせい	photoelasticity	光弾性体がひずみ状態において、光学的異方体になって偏光する性質のこと。
光弾性材料	こうだんせいざい りょう	photoelastic materials	外力を受けたときに内部に一時的に光学的異方性を持ち複屈折を起こす材料。ガラスやプラスチックなどの透明な弾性体である。
光弾性実験	こうだんせいじっけ ん	photoelastic experiment	物質の光弾性効果を利用し、物体内部の応力状態を求める実験。
鉍柱	こうちゅう	pillar	鉍石をすべて採掘すると空洞が崩落するため、意図的に柱状に残した鉍石。
高潮	こうちょう	high water, storm surge	台風や低気圧などによって海水面が平常時よりも著しく高くなる現象であり、南に開いた湾内では特に大きくなる。
高潮線	こうちょうせん	high water line	満潮の時の海面と浜の交わる線のこと。満潮線ともいう。
高潮堤	こうちょうてい	sea wall	台風などの気象現象で発生する海水面の異常上昇から、海水の進入を防ぐために設けられる防潮堤。
高潮汀線	こうちょうていせん	high-tide shoreline	高潮時に陸地と水面が交わる線。平均的な満潮時の水面と浜との交線のこと。
高張力鋼	こうちょうりょくこ う	high tension steel, high tensile strength steel	合金元素の配合や焼入れ・焼なましなどにより強度を高めた鋼材。耐引張強度は490MPa以上。
国府津・松田断層	こうづまつだだんそ う	Kozu-Matuda fault	活断層。確実度 I、活動度 A 級、北西方向、右横ずれ逆断層。南足柄市から小田原市に分布する延長約 40km。
孔底圧	こうていあつ	bottom hole pressure	孔井の底部に作用する圧力で、流体圧・密閉孔底圧（原油・ガス層）・産出孔底圧などがある。
孔底圧測定器	こうていあつそくて いき	bottom hole pressure gauge	孔底における流体圧力の測定器。石油掘削井において、原油・ガス層の産出状況を調べるために行われることが多い。

孔底温度	こうていおんど	bottom hole temperature	掘削や生産等による乱れがなくなった状態での孔底の温度.
坑底駆動モータ	こうていくどうもーた	downhole motor	傾斜ボーリングにおいて計画的な孔曲げ点(キックオフポイント)の掘削や、指向性ボーリングの方向修正に用いる。ダイナドリル・ターボドリルなど.
孔底試料採取器	こうていしりょうさいしゆき	bottom hole sampler	ボトムホールサンプラと同義.
孔底ひずみ法	こうていひずみほう	borehole bottom strain method	初期地圧測定方法の一つ。掘削した孔底にゲージを貼り付け、オーバーコアリングによる応力解放時のひずみ変化を測定する方法。孔底の形状に平面、球状、円錐の3種類がある.
光電管	こうでんかん	photo-tube	光などの電磁波により表面から電子が出る光電極をそなえた電子管。光の強さの変化を電流の変化に変換する装置.
光電管温度計	こうでんかんおんどけい	photoelectric pyrometer	放射温度計の一つ。光電管で光の入射によって発生する光電子を電流または電圧として測定する温度計.
光電効果	こうでんこうか	photoelectric effect	物質に光が入射することにより自由電子が生ずる現象。電気伝導度の増加、起電力の発生等がある.
光点走査法	こうてんそうさほう	scanner method	平面的な像を点の集合に分解し、点の明暗を電氣的な強弱に変え順に送り出すこと、またはその逆の操作.
光電池温度計	こうでんちおんどけい	photocell pyrometer	放射温度計の一つ。光電池で波長1~15マイクロメータの赤外線による起電力を測定する温度計.
光伝導型検知器	こうでんどうがたけんちき	photo conductive detector	光が当たると電気伝導度が高くなる光伝導効果を利用し、この特性を持つ半導体を検知素子とした光検知器.
硬度	こうど	hardness	硬さの程度を表す言葉。方法により、ひっかき硬度・摩擦硬度・おしこみ硬度・はねあがり硬度などがある。鉱物を対象としたモースの分類が有名で、滑石からダイヤモンドまで10段階に区分される.
紅土	こうど	laterite	熱帯~亜熱帯地域に広く分布する強風化した赤色の土壌。鉄とアルミニウムの二次酸化物に富む。ラテライトともいう.
高度異常	こうどいじょう	free-air anomaly	地上で測定された重力値を高度補正したのち、正規重力値を差し引いたもの.
坑道	こうどう	gallery, tunnel	鉱山・土木工事などの作業の必要上、地下に設けられた通路空間の総称.
坑道水準	こうどうすいじゅん	level	坑道のうちの水平坑道の水平面.
坑道探鉱	こうどうたんこう	tunnel prospecting	坑道による探鉱法。鉱床の連続方向にほぼ直角に掘進する立入れや鉱床の連続性を探るひ押しなどがある.

坑道発破	こうどうはっぱ	undermining blast	原石山などで小断面の坑道を掘削して装薬後、埋戻し発破する方法。大量の岩掘削に用いられる。
鉱毒	こうどく	mine pollution	鉱山や精錬所から排出される廃水や煙に含まれる有害物質、またはその有害物質による被害のこと。
高度計	こうどけい	altimeter	基準面からの高さを計測する機器。気圧の減少を計測する方法や、電波の反射時間から求める方法などがある。
硬度計	こうどけい	hardness scale	様々な物質の硬さを測定するための装置で対象とする物により異なる。鉱物では、モース硬度計が用いられる。
硬度試験	こうどしけん	hardness test	硬さ試験と同義。
黄土地形	こうどちけい	loess topography	黄土が作る平坦な台地を切り込むV字谷の発達や黄土塔・黄土橋などの形成による黄土地帯独特の自然景観。
高度補正	こうどほせい	elevation correction	①地震探査において、震源および受信点を同一の基準面にて発受信したように記録値に時間補正を施すこと。 ②フリーエア補正と同義。高度による重力値の変化をフリーエア効果といい、この補正を施すこと。 ③気圧の海面更正ともいう。大気圧の観測は様々な高度で行われるのでそれぞれの測定値を平均海面の値に直すこと。
孔内圧力測定	こうないあつりよくそくてい	borehole pressure survey	主として油層評価のために行う石油井・ガス井内の圧力分布、圧力勾配、自噴時および密閉時の孔底圧の測定。
坑内運搬方式	こうないうんぱんほうしき	tunnel haulage system	トンネルのずり出しの方法で、タイヤ方式・レール方式・ベルトコンベアおよびスラリー輸送などがある。
孔内温度	こうないおんど	borehole temperature	孔内での温度分布で、割れ目が多い透水性地層では局部低下、厚い透水性地層では低勾配を示す場合がある。
孔内温度ビルドアップ試験	こうないおんどびるどあつぷしけん	borehole temperature buildup test	温度回復試験と同義。掘削後、複数回の温度測定により、貯留層温度を推定するための試験。
坑内火災	こうないかさい	mine fire	坑内で発生する火災。地上火災の原因のほかにガス・炭塵などの爆発、発破作業などの火源が加わる。
坑内ガス爆発	こうないがすばくはつ	fire damp explosion	坑内で湧出したメタンを主成分とするガスが爆発を起こすこと。
坑内換気	こうないかんき	underground ventilation	坑道内の環境を維持するための換気で、送気式・排気式・併用式などがある。
坑内基準点	こうないきじゅんてん	point rod	だぼとも呼ばれ、坑内施工に利用する仮設の測量基準点をいう。

孔内傾斜計	こうないけいしゃけい	borehole inclinometer	ボーリング孔の傾斜角を深度方向に連続的に測定する機器。固定式と挿入式がある。地すべりや山留めの計測などに用いられる。
孔内検層	こうないけんそう	borehole logging	地質や孔井状況などを解明するために、孔井内の物理的・化学的諸量を深度に対して連続的に測定する検層。
孔内載荷試験	こうないさいかしけん	borehole loading test	孔内水平載荷試験と同義。
坑内地震計測定	こうないじしんけいそくてい	underground seismic survey	坑井内速度測定と同じ原理であるが、透過波と反射波を観測し、100mより深い地層構造調査に用いる。
坑内支保	こうないしほ	mine timbering	地圧により坑内が押しつぶされないよう、また落盤・落石から坑夫を保護するための支え。剛性支保と可縮性支保あり。
孔内状況補正	こうないじょうきょうほせい	borehole correction	孔井内の状況（孔径・泥壁・泥水浸入深度・層厚など）が各種検層の測定値に及ぼす影響を考慮して行う補正。
坑内水	こうないすい	mine water	鉱山などの坑口より排出される廃水、坑内湧水の総称。
孔内水平載荷試験	こうないすいへいさいかしけん	borehole lateral load test	ボーリング孔の孔壁に横方向に載荷して行う現場載荷試験。横方向の地盤変形と強度特性を原位置で求める試験。ボーリング孔内横方向載荷試験・ボーリング孔内載荷試験ともいう。
孔内洗浄法	こうないせんじょうほう	borehole washing method	孔内の掘り屑や沈澱物を排除し清掃すること。泥水・空気などを循環させる方法や特殊な器具による方法がある。
孔内せん断試験	こうないせんだんしけん	borehole shear test	孔井を利用した岩盤試験方法の一つ。孔壁に押付けた歯形剛板を、ロッドやワイヤで引上げる時の荷重からせん断強度を求める。
孔内多層伸縮計	こうないたそうしんしゅくけい	borehole multi-extensometer	ボーリング孔壁面にアンカーを取ったり、磁性体や放射線源などを用いて各層の変位を検出する装置。
孔内探査法	こうないたんさほう	well logging	試錐孔や坑井において、物理・化学的諸量を利用し、連続的に深度と対比させて地質状況などを解明する測定方法。検層と同義。
孔内弾性波速度	こうないだんせいはそくど	borehole seismic velocity	ボーリング孔に沿った弾性波速度。発振源と受振点の位置により、ダウンホール法とアップホール法などがある。
坑内弾性波探査	こうないだんせいはたんさ	seismic prospecting in test adit	横坑を利用した弾性波速度構造調査法。側壁や踏前に発振源と受振点を置いて、屈折法により坑壁沿いの弾性波速度構造を求める。
坑内地質図	こうないちしつず	underground geological map	地中に掘削された横坑、縦坑などの側壁や天盤の岩質・割れ目・断層・鉱脈などを記載した地質図。
坑内通気	こうないつうき	mine ventilation	坑内の換気。坑内に新鮮な空気を送り、各種ガスおよび粉じんの濃度希釈、温度を下げるなどの効果あり。

坑内排水	こうないはいすい	draining, drainage	坑内で発生する自然湧水・作業排水を坑外に排出する作業, またはそのシステム.
坑内保安	こうないほあん	mine safety	鉱業の保安は鉱山における人に対する危害の防止, 鉱物資源の保護, 鉱山施設の保全および公害の防止, としている.
孔内膨張計	こうないぼうちょうけい	borehole dilatometer	等分布荷重方式の孔内載荷試験器. 孔内でゴムスリーブを介して孔壁全周に等分布荷重を載荷する.
孔内レーダー検層	こうないれーだーけんそう	borehole radar log	極超短波の電波を利用し, 孔壁近傍の地層, 亀裂, 断層などや孔間内部の状態を探查する孔内検層法の一つ.
高熱交代鉱床	こうねつこうたいこうしょう	pyrometasomatic deposit	スカルン鉱床と同義. 炭酸塩岩と火成岩との接触部またはその付近に形成されるCa・Mg・Al・Feなどの珪酸塩鉱物の集合体.
好熱性細菌	こうねつせいさいきん	thermophilic bacteria	生育至適温度が50~105℃で, 30℃以下ではほとんど増殖しない細菌の総称. 硫黄酸化細菌・メタン細菌など.
高熱セメント	こうねつせめんと	high heat cement	硬化時に高い水和熱を発生するセメント.
高熱トンネル	こうねつとんねる	tunnel through high heat zone	高い地熱を有する温泉地帯などに施工されたトンネル. 施工時には高温蒸気や発破作業などに特別な配慮が必要.
耕野石	こうのいし	Kono ishi	宮城県伊具郡丸森町産石材. 中生界閃緑岩. 建築・装飾・墓石用材.
江濃地震	こうのうじしん	the 1909 Kono earthquake	1909年8月14日に姉川付近で発生したM6.8の地震. 滋賀・岐阜県で死者94人, 全壊家屋978戸とされる被害地震. 姉川地震とも呼ばれる.
鴻之舞鉱山	こうのまいこうざん	Konomai mine	北海道紋別市鴻ノ舞にあったモベツ川の中流にある日本屈指のAu・Ag鉱山. 1973年閉山.
後背亀裂	こうはいきれつ	lunar cracks	地すべり滑動によって生じた, 主滑落崖の背後の原地表面に生じる, 主に三日月型の引張亀裂のこと.
荒廃山地	こうはいさんち	devastated mountain	人間活動の妨げになる程度の土砂移動が行われる, あるいは土砂の移動が予想される山地.
後背湿地	こうはいしっち	back marsh	氾濫原上で自然堤防などの微高地の背後にできる沼沢性の低湿地. シルト・粘土などの細粒物質が堆積する. 後背低地ともいう.
後背地	こうはいち	provenance	堆積物や堆積岩を構成する砕屑物を供給した地域・範囲.
後背低地	こうはいていち	back marsh	後背湿地と同義.

勾配変化点	こうばいへんかてん	changing point of gradient	道路などの線形構造物において縦断勾配が変化する地点.
後背盆地	こうはいぼんち	backdeep	造山運動末期の山脈が形成された時期に、その背後に生じた山麓沈降盆地.
光波セオドライト	こうはせおどらいと	electro-optical theodolite	セオドライト（経緯儀）に光波距離計（の機能）を搭載したもの。以前製造されていた視準・測角用の望遠鏡と光波距離計が独立した形式をさすこともある。
光波測距儀	こうはそくきよぎ	optical distance-measuring device, electro-optical distance meter, geodimeter	光を発射し、その発射波と測点上の反射板またはプリズムなどからの反射光の位相差で2点間の距離を測定する測量器.
光波測量	こうはそくりょう	optical distance measurement	厳密には光波測距のこと。2点間の距離を測るのに光の点滅による位相差あるいは伝搬時間を利用する。
後氷期	こうひょうき	postglacial age	完新世（約1万年前以降）と同時期。スカンジナビア半島の氷床が縮小後退し、二分裂した以降の期間。
後氷期海進	こうひょうきかいしん	postglacial transgression	約1万年前以降の縄文海進のこと。氷期後に気候が温暖化し、内陸部に海が進入した。
後氷期隆起運動	こうひょうきりゅうきうんどう	upheaval on the postglacial epoch	氷期後、氷床の荷重が無くなった地殻がマントルから浮力を受けゆっくりした隆起が継続する現象。
高品位酸化鉱	こうひんいさんかこう	high grade oxidation ore	地表または地表近くで、風化・酸化作用により生成した高品位の酸化鉱物が濃集した鉱石。
降伏	こうふく	yield	応力の増加に伴いひずみが急激に増加し、弾性を失い塑性状態になる現象。この点を降伏点という。
降伏応力	こうふくおうりょく	yield stress	材料が外力を受けて弾性状態から塑性状態に移るときの応力。
降伏曲線	こうふくきょくせん	yield locus, yield curve	材料が外力を受けたとき、その性質が弾性状態から塑性状態へ変化する応力条件を応力空間内で表示した曲線。
降伏条件	こうふくじょうけん	yield condition	材料が弾性を失い、塑性状態に入る時の力学条件。モール・クーロン、ドラッカー・プラガーなどの条件が代表的。
降伏値	こうふくち	yield value	外力を受けた材料が弾性状態から塑性状態へ変化する時の応力値。
降伏点	こうふくてん	yield point	材料が荷重を受け弾性領域から塑性領域に移行する点。
鉱物学的相律	こうぶつがくてきそ うりつ	mineralogical phase rule	化学的に平衡な状態における相の数・成分数・自由度の関係。

鉱物共生	こうぶつきょうせい	mineral paragenesis	二種類以上の鉱物の集合。一般に同時晶出のものをさすが、順次晶出したものをさすこともある。
鉱物組合せ	こうぶつくみあわせ	mineral assemblage	一定の温度・圧力条件によって生じる数種類の鉱物の集合。
鉱物資源量	こうぶつしげんりょう	mineral resources quantity, an amount of mineral resources	有用鉱物の量のことで、一般的には固体に用いるが、石油などの液体にも使用。
鉱物種	こうぶつしゅ	mineral species	一定の化学組成・結晶構造・物性を有し、他と区別される鉱物。
鉱物相	こうぶつそう	mineral facies	一定の化学組成の岩石で、特定の鉱物組み合わせを生じさせる温度・圧力条件。
鉱物組成	こうぶつそせい	mineral composition	岩石を構成する鉱物の種類および割合の組合せ。岩石の化学組成や生成時の温度・圧力条件によって異なる。
鉱物標本	こうぶつひょうほん	mineral specimen	代表的または特殊な鉱物を、普及のための展示や研究などのために収集整理したもの。
高分子材料	こうぶんしざいりょう	polymeric material	分子量1万以上の合成化合物材料の総称。建設分野でも多種多様な高分子材料が利用されている。
孔壁アンカー式沈下計	こうへきあんかーしきちんかけい	anchor type borehole settlement gauge	ボーリング孔壁にパンタグラフ式や油圧式などのアンカーを取り地層の変位を検出する装置。
孔壁ひずみ法	こうへきひずみほう	borehole wall strain method	初期地圧測定法の一つで、応力解放法的一种。孔壁にひずみゲージを貼付し、その孔を大口径でオーバーコアリングしてひずみ測定を行う。
孔壁補償型音波検層	こうへきほしょうがたおんぱけんそう	borehole compensated sonic logging	発振器・受振器の組合わせを2組以上にして、速度値へ及ぼす孔径の影響を軽減するようにした音波検層。
神戸層群	こうべそうぐん	Kobe Group	三田盆地～神戸市西部、淡路島北部などに分布する、新第三系堆積性軟岩（砂岩・泥岩・礫岩・凝灰岩）。
後方交会法	こうほうこうかいほう	method of resection, method of backward intersection	平板測量において未知の点の位置を、既知点からの方向線を利用して図解決定していく方法。
坑木	こうぼく	mine timber	鉱山の坑道で、主として坑道の落盤を防ぐための支保に使われる木材。
硬膜泡掘り法	こうまくあわぼりほう	stiff form drilling	水に気泡剤と膜面強化剤を添加し、これに空気を送り発泡させた泡を用いたボーリング。スライム運搬と出水抑制に効果大。
後マグマ期	こうまぐまき	postmagmatic stage	マグマからの珪酸塩・硫化物などの晶出の後、揮発成分が増加して、ペグマタイト化や気成・熱水鉱化作用が行われる時期。

後マグマ作用	こうまぐまさよう	postmagmatic action	後火成作用と同義。マグマからの分化・晶出作用の最終段階で、ペグマタイトの形成・鉍化変質作用・鉍床の生成などが行われる作用。
高密度弾性波探査	こうみつどだんせい はたんさ	high resolution seismic prospecting	解析にトモグラフィ手法を用いた弾性波探査。従来のはぎとり法で解析された屈折法弾性波探査に比べて特に深部の詳細な速度分布が求められる特徴を有する。近年特にトンネルの地質調査に用いられることが多い。
高密度電気探査	こうみつどでんきたんさ	high resolution electrical prospecting	測線上に高密度に設置した電極で測定を行い、有限要素法を用いた二次元インバージョン解析によって断面上の比抵抗分布を求め、ビジュアルな表示を行う手法。トンネルなど土木分野での調査に用いられている。
鉍脈	こうみやく	ore vein, vein	岩石の割れ目を充填した鉍物の集合で、板状またはシート状の形態を示す。樋（ひ）ともいう。
鉍脈鉍床	こうみやくこうしょう	metalliferous vein	脈状や板状の形態をもつ鉍床。主として岩石の割れ目を鉍石鉍物が充填してできた鉍床。
郷村断層	ごうむらだんそう	Gomura fault	地震断層。左ずれ、西側隆起。北丹後地震(1927)で京都府に出現した。
孔明管仕上げ	こうめいかんしあげ	slotted pipe	ボーリング孔に孔明管を設置する作業。地熱還元井・温泉・地下水採取井などに利用。
孔明率	こうめいりつ	porosity	ストレーナ管において、管における開孔面積の割合。
坑門	こうもん	portal	トンネル坑口部の地山の安定や雪崩防護を図るために入口・出口に設ける門状のコンクリート構造物。
閘門式魚道	こうもんしきぎょどう	lock type fish way	上流側と下流側のゲートによって水位を調節し、運河のこう門で船を航行させるのと同じ要領で魚を遡上させる施設。魚用閘門参照。
鋼矢板	こうやいた	steel sheet-pile	掘削時の土留工や止水などに用いられる鋼製の矢板。
鋼矢板土留め	こうやいたどどめ	steel pipe sheeting	鋼矢板を連続して地中に打設する土留めで、継手部をかみ合わせるので遮水性が高い。
鋼矢木	こうやぎ	steel spile	軟弱な地盤でのトンネル掘削において周辺地山を支持するために切羽外周に打ち込む鋼材。
香焼地すべり	こうやぎじすべり	the Koyagi landslide	1979年6月に長崎県西彼杵群香焼町で発生した地すべり。被害面積は3.4ha。
鉍油	こうゆ	mineral oil	常温・常圧条件で液状をなす炭化水素を主体とした原油。
高有機質土	こうゆうきしつど	highly organic soil	有機物を多量に含む土。有機物の状態により、泥炭、黒泥に分類される。

高有機土質の分解度試験	こうゆうきどしつ ぶんかいどしけん	degradation test for highly organic soil	泥炭を主とする高有機質土の分解度試験。水洗法、比色法、von Post法などがある。
小原木大理石	こうらぎだいらせき	Koragi marble	宮城県本吉郡唐桑村小原木産石材。古生界粘板岩中に挟まれる大理石。装飾・石垣用材。
高落差発電	こうらくさはつでん	high head scheme	利用水位差の大きい発電のこと。
合流扇状地	ごうりゅうせんじょう うち	confluent fan	山麓で複数の扇状地が横方向に接したもの。合流境界は一般に明瞭。平地周縁の断層崖などで普通に見られる。
鉱量	こうりょう	reserve	地下に埋蔵されている未採掘の鉱石・石油・天然ガスなどの量。埋蔵量と同義。
鉱量計算	こうりょうけいさん	calculating tonnage	鉱山の稼行採掘に際し、地下に埋蔵する鉱石の量を日本工業規格の鉱量計算基準に従って計算すること。
光子	こうりょうし	light quantum	電磁場を量子化して表現する質量のない粒子で、エネルギー・運動量・角運動量をもつ。
高陵土	こうりょうど	koryodo	主としてカオリン族鉱物から構成された白色を呈する粘土。堆積性・風化残留物。熱水性のものあり。カオリンともいう。
抗力	こうりょく	drag force	流れが物体に及ぼす抵抗力。物体の前面と背面に生じる圧力差を圧力抗力という。
合力	ごうりょく	a resultant force, resultant of forces	物体に働く多数の力とまったく同一な一つの力。合成力。
古ウルム期	こうるむき	Altwurm	最後の氷河期（ウルム期）は、更に古（7～5万年前）、中（5～3万年前）、新（3～1万年前）に区分される。
高レベル放射性廃棄物	こうれべるほうしゃ せいはいきぶつ	high level radioactive waste	主に核分裂生成物で、他にアクチノイドも含む、使用済核燃料の再処理により発生する高放射性の液体。使用済核燃料そのものを意味する場合もある。
高レベル放射性廃棄物地下処分施設	こうれべるほうしゃ せいはいきぶつちか しょぶんしせつ	disposal facility of high level radioactive waste	高レベル放射性廃棄物を安定な形態に固化した後、地下数100mより深い地中に処分する施設。
紅れん石片岩	こうれんせきへんが ん	piedmontite schist	紅れん石が含まれる珪質片岩。原岩はチャートなどの珪質堆積岩。
高炉スラグ	こうろすらぐ	blast-furnace slag	高炉でせん鉄を製造する際の副産物として生成される非金属鉱物の残さい。冷却、粉碎して骨材やコンクリート混和材として利用。
高炉スラグセメント	こうろすらぐせめん と	portland blast-furnace slag cement	クリンカーと高炉スラグに石膏を加えて混合粉碎して製造したセメント。

高炉セメント	こうろせめんと	portland blast-furnace cement	水冷スラグとポルトランドセメントクリンカーとを微粉砕して製造したセメント。
声間ガス田	こえといがすでん	Koetoi gas field	北海道稚内市声間に位置するガス田。天北産ガス地帯に属する。中新統増幌層（頁岩、砂岩）から産出。
コーキング	こーきんぐ	calking, caulking	グラウチング時における岩盤表面のリーク処理のこと。麻、糸鉛、マキハダ、ウエス、セメントペーストなどを用いる。
コーキング材	こーきんぐざい	caulking compound	グラウチングの岩盤表面のリーク処理に用いられる材料で、セメント・ウエス・マキハダ・糸鉛・麻などがある。
ゴースト	ごーすと	image ghost	一般に反射法弾性波探査で、副次的多重反射などのために主信号の他に若干遅れて到達する不明瞭な薄い像。
ゴースト反射	ごーすとはんしゃ	ghost reflection	震動源から上方に進んだ波が風化層の基底・地表・水面などで反射して、下向きに進む現象。
コードラート法	こーどらーとほう	quadrat method	1m四方などの小面積範囲内に生息する植生の種類、個体数、質量などを計測し、植物群落の組成などを把握する手法。
ゴブール式杭打ち分析器	ごーぶるしきくいうちぶんせきき	Goble pile-driving analyser	杭を打ち込む際の打撃量と沈下量から、杭の支持力を推定する分析器。
桑折断層	こおりだんそう	Kori fault	活断層。確実度 I、活動度 B 級、北北東～北東方向。福島県桑折町付近に位置全長約10km。
氷蓄熱	こおりちくねつ	ice thermal storage	氷の潜熱が大きいことを利用して、夜間の余剰電力で氷を作って貯蔵し、日中の冷房に利用する方法。
コールドジョイント	こーるどじょいんと	cold joint	コンクリート打設の中断により、それまでに打設したコンクリートが硬化しはじめてから次の層が打ちつがれることで生ずる不連続な接合面。
コールドプルーム	こーるどぷるーむ	cold plume	地球内部の温度不均質のうち、マントル内の地球表面から核に向かって下降する冷たい物質の流れのこと。
コールドロン	こーるどろん	cauldron	火山性陥没地の代表名称。カルデラともいう。これと同様に、円形状陥没地についても同名称が用いられている。
コールピックハンマー	こーるびっくはんまー	coal pick hammer	軟岩の小規模な掘削や岩塊の小割に用いられる空圧打撃式の手持ち削岩機。
コーン貫入試験	こーんかんにゆうしけん	cone penetration test	ロッドの先端に円錐（コーン）を付けたものを土の中に貫入させた時の貫入抵抗から土の硬さ、締まり具合などを調べる試験。サウンディングの一種。円錐貫入試験ともいう。
コーン貫入抵抗値	こーんかんにゆうていこうち	cone penetration resistance	コーン貫入試験で求めた貫入抵抗の値。

コーンクラッ シャ	こーんくらっしゃ	cone crusher	コーン内部のかさ形の回転部の偏心運動により原石を 破砕する中砕～細砕用の破砕機。
コーン式標準貫 入試験	こーんしきひょう じゅんかんにゆうし けん	standard cone penetration test	標準貫入試験において、サンプルのかわりに直径5cm・ 先端角60°の堅固なコーンを用いる試験。
コーン支持力	こーんしじりよく	cone bearing capacity	単位面積あたりのコーン貫入抵抗値。粘性土のせん断 強度と相関性がある。
コーン指数	こーんしすう	cone index	コーンペネトロメータで計測した貫入抵抗を単位断面 積あたりにした値。
コーンプーリー 法	こーんぷーりーほう	standard penetration test using cone pulley	標準貫入試験の一方法。ロープを巻き上げ急に離すこ とにより、ハンマーを落下させる方法。
コーンペネトロ メータ	こーんぺねとろめー た	cone penetrometer	コーン指数を求めるため、一定速度でコーンを土中に 貫入させ、その抵抗を計測するための器材。
固化	こか	solidification	液体あるいは液状の物質を固体に転換すること。
固化作用	こかさよう	consolidation	物理的あるいは化学的な作用により、物質が硬質化す る作用。
小型有孔虫	こがたゆうこうちゅ う	smaller foraminifera	有孔虫類を大型・小型に二分したときの小型のもの。 一般に殻径数mm未満。底生種が多く、海底環境復元に 重要。浮遊性種は重要な示準化石として用いられる。
枯渇押し	こかつおし	depletion drive	石油・ガスの産出過程の分類の一つで、採取による油 層圧の低下が起きても縁辺部からの端水の浸入がな い。層位トラップ型鉱床に普通にみられる。
固化廃棄物	こかはいきぶつ	solidified waste	液体廃棄物あるいは動きやすい廃棄物のある特別な処 理によって固体媒体中に結合させ固定化したもの。
護岸	ごがん	coastal revetment	海岸・河岸・湖岸において水あるいは流水による浸食 を防ぎ岸に当る水勢に抵抗するために築造される工作 物あるいは保護して水害を防ぐこと。
古環境	こかんきょう	palaeoenvironment	現在の環境になる前の、地質時代の陸上および海上の 地球環境。
湖岸線	こがんせん	shoreline of lake	陸地面と湖面の境界線。湖面すなわち浸食基準面の 上下変動によって、湖岸線は大きく変化する。
湖岸段丘	こがんだんきゅう	lacustrine terrace	かつての湖底が、湖面すなわち浸食基準面の相対的 低下によって陸化し、段丘となった地形。
湖岸平野	こがんへいや	lacustrine plain	湖岸に沿って発達した平野で、流入する河川により生 じた三角州平野や低い湖岸段丘からなるものなどがあ る。

古気温	こきおん	palaeotemperature	地質時代の地球をとりまく大気の温度の状態。化石植物の現存種との比較から、年平均気温・最高最低気温が求められている。
古気候	こきこう	palaeoclimate	地質時代の気候。古生物学や地質学的手法などから、温度・湿度やその他の気象条件を基に求められる。
古期地すべり	こきじすべり	ancient landslide	地質時代に発生したと考えられる地すべり。「旧地すべり」, 「旧期地すべり」と同義語。
黒鉛	こくえん	graphite	石墨と同義。
黒鉛鉱床	こくえんこうしょう	graphite deposit	石墨鉱床と同義。
国際実用温度目盛	こくさいじつようおんどめもり	international practical temperature scale	国際度量衡総会で決められた温度目盛。物質の沸点, 凝固点, 三重点による温度定点の指定温度値を用いている。
国際石炭分類法	こくさいせきたんぶんるいほう	international classification of coal	国際的に統一された基準で石炭を分類し, 国際貿易で正確に評価できるようにする分類法(試案)。
国際単位系	こくさいたんいけい	international system of unit	1960年の国際度量衡総会で採択された単位系。7の基本単位, 2の補助単位, 19の組立単位および20の接頭語で構成されている。仏語の略称S I 単位系ともいう。
国際地球観測年	こくさいちきゅうかんそくねん	International Geophysical Year	64ヶ国が地球物理現象の共同観測を実施した1957年7月～1958年12月までの期間で, 略称はI G Y。
国際地球楕円体	こくさいちきゅうだえんたい	international ellipsoid	地球は長半径a, 短半径bの楕円体と考えられ, 扁平率 $f=(a-b)/a$ にヘイフォードの測定値を用いたもの。 $f=1/297.0$
国際標準磁場	こくさいひょうじゅんじば	international geomagnetic reference field	世界各地における磁気測量結果により, 大局的な地球磁場を球関数で表現したもの。IGRFと略すこともある。
国際メートル原器	こくさいめーとるげんき	international meter	国際度量衡総会で作られた白金イリジウムからなる原器。現在ではメートルは光の速度で定義されている。
国際横メルカトル図法	こくさいよこめるかるとるずほう	universal transverse mercator projection	世界の地形図の標準投影図法となっている横メルカトル図法の1種。UTM図法と略称する。
小串石	こぐしいし	Kogushi ishi	山口県豊浦郡豊浦町小串産石材。白亜系～古第三系のひん岩, 黒色, 緻密で砕石用材。
黒色火薬	こくしょくかやく	black powder	硝酸カリ, 硫黄, 木炭を調合した火薬で爆発速度は300m/sec程度。導火線の心薬として用いられる。
黒色頁岩	こくしょくけつがん	black shale	ブラック・シェールと同義。通称としてのみ使用。

黒色土	こくしょくど	black earth, black soil	黒色の表層を持つ土壌の総称で、有機物含量の多いものと母材が塩基性岩に由来するものがある。
黒色片岩	こくしょくへんがん	black schist	正式には泥質片岩といい、泥質岩起源の変成岩（低変成度結晶片岩）で、石墨を含み外観が黒色を呈する。
谷側崩壊	こくそくほうかい	slope failure on valley-side	谷側の崩壊。水流や地下水の浸み出しによる浸食などが誘因。谷側崩壊は斜面全体の安定を損なうことがある。
極大地震	ごくだいじしん	ultra-large-earthquake, ultra-major-earthquake	地震のマグニチュード(M)による分類で、Mが9以上の地震のこと。
黒体輻射	こくたいふくしゃ	black body radiation	一定の温度で黒体（理想物体）より射出される放射現象または放射エネルギー。
黒炭	こくたん	black coal	色調が黒色に近い石炭の総称。れき青炭と無煙炭がこれにあたる。火成岩の貫入で変質した石炭を呼ぶこともある。
黒泥	こくでい	muck	湿地に堆積し、分解の進んだ有機物を多く含むシルトあるいは泥で、黒色を呈するもの。
黒泥土	こくでいど	muck soils	分解が進み細粒化した有機物が混ざり堆積した土壌。排水の悪い環境で堆積し、水田となっていることが多い。
谷底平野	こくていへいや	valley bottom plain	側方浸食などで生じた幅2～3km以下の狭長な平野。表層地質は一般的に未固結の砂礫・砂・泥からなる。
黒土	こくど	mineral black	炭素を多く含み黒色を呈する粘土。炭素以外には、珪酸・アルミナを主成分とする。
谷頭	こくとう	valley head	谷の最上流部。風化と重力に基づく崩壊により、浸食作用のもっとも活発な部分である。
谷頭浸食	こくとうしんしょく	headward erosion	谷の最上流部、すなわち谷頭において風化と重力に基づく崩壊により行われる谷壁斜面の浸食作用。
国土基本図	こくどきほんず	national large map of Japan	国土調査法に基づき、建設省国土地理院が作成している縮尺1/2, 500と1/5, 000の基本図。
国土数値情報	こくどすうちじょうほう	digital national land information	地図上に一定間隔のメッシュをかけて、その交点の自然条件、社会文化条件などの地理的情報を数値化したもの。
極微小地震	ごくびしょうじしん	microearthquake	地震のマグニチュード(M)による分類で、Mが1未満の地震のこと。
国府みかげ	こくぶみかげ	Kokubu mikage	広島県芦品郡および府中市産建築・土木用石材。上部古生界を貫く中生界黒雲母花崗岩。中粒、錆が少ない。

国分石	こくぶんいし	Kokubun ishi	長崎県長崎市国分町産石材。上部古第三系を覆っている新第三系角閃石両輝石安山岩（筑紫溶岩）、碎石・土木用材。船蔵石と同質。
谷壁斜面	こくへきしゃめん	valley wall	谷の流路方向に対し直角方向の斜面。峡谷・V字谷などでは急斜面，カール・U字谷などでは垂直に近い。
黒綿土	こくめんど	black cotton soils	インドに広く分布する異色の草原土壌で，モンモリロナイトに富んでいるため，水を含むと大きな膨潤性を示す。
黒曜岩	こくようがん	obsidian	流紋岩～石英安山岩質のガラス質火山岩。黒色でガラス光沢を有する。貝殻状断口を示す。石器の材料として用いられた。黒曜石とも。
黒曜石年代決定法	こくようせきねんだいけつていほう	dating by obsidian	黒曜石の水和作用は水の拡散時間が拡散距離の2乗に正比例することから，水和層の厚さから年代を決める方法。
固結	こけつ	consolidation	堆積物の自重・地殻変動の圧力・基質物質の化学変化などの継続によって堆積物が固化すること。
固結指数	こけつしすう	solidification index	マグマの結晶分化作用の程度を表す指標。含有金属成分の比から求められ，作用の進行に伴い値減少。
固結粒状ラテライト	こけつりゅうじょうらてらいと	cemented nodular laterite	比較的小型の丸みのある硬くて緻密な鉄とアルミニウムに富む赤色土壌。
後光ばり	ごこうばり	radial strut	木製支柱式支保工の一種。扇形に斜めに梁を入れる方式で，一般に地質不良の場合の応急措置に用いられた。
ココスプレート	ここすぷれーと	Cocos plate	中米西方沖の海洋プレート。東太平洋海膨などに発散境界，メキシコ海溝に収束境界を有する。
小坂鉱山	こさかこうざん	Kosaka mine	秋田県北部の小坂町にあったCu鉱山で，黒鉱鉱床の日本有数の鉱山。Zn・Au・Agも産出。1994年閉山。
古砂丘	こさきゅう	ancient dune	火山灰や古土壌などによって覆われた，更新世あるいはそれ以前に形成された古い砂丘。
誤差伝播の法則	ごさでんぱのほうそく	low of error propagation	間接観測における観測値の誤差分散と推定値の誤差分散の間に成立する法則
小沢田地すべり	こさわだじすべり	the Kosawada landslide	1964年に秋田県北秋田郡上小阿仁村で融雪時に発生した地すべり。被害は人家12戸とされている。
腰石積み	こしいしづみ	skirt retaining wall	のり面の裾（法尻）に設けられる土止め・排水用の石垣，ふとん籠・蛇籠・空石積み石垣などが多い。
小塩地すべり	こしおじすべり	the Koshio landslide	古くより活動が継続してきたが，近年活発化した長野県大鹿村の地すべり。1992年に集中豪雨により発生し，民家・国道に被害をもたらした。中央構造線に隣接し，高圧変成作用を受けた基岩が破碎・粘土化してすべり面を形成。

古地震	こじしん	paleoearthquake	近代地震観測以前の地震の総称。古地震学はテクトニクス研究にとって重要である。
59型直視式電磁地震計	ごじゅうきゅうがたちょくししきでんじじしんけい	59 type direct reading electromagnetic seismograph	気象庁が開発した増幅器を用いた電磁地震計の一種。換振器の出力を積分して増幅する変位型地震計。
湖沼	こしょう	lake	内陸の凹地に水がたまったもの。湖・沼・池・沼沢・潟などともよばれる。
湖沼型	こしょうがた	lake type	湖沼をその生物生産の内容や、その多少によって分類したもの。調和湖沼型と非調和湖沼型とに2大分される。
湖沼湿原	こしょうしつげん	lake swamp	湖沼が水面近くまで埋め立てられ、その末期に形成された低湿地。
湖沼水	こしょうすい	lake water	湖沼と呼ばれる湖・沼・沼沢・池・潟沼の水の総称。その塩分濃度より淡水と塩水に分類される。
五条谷断層	ごじょうだにだんそう	Gojodani fault	活断層。確実度 I，活動度 A 級，東北東方向。和歌山県和泉山脈南縁に位置し長さ約22km。中央構造線系活断層に含まれる。
弧状地帯	こじょうちたい	arcuate belt	大洋側に向かって島が弧状に並ぶ地帯。弧状列島。活火山・海溝・深発地震などの現象で特徴づけられる。
弧状展開爆発法	こじょうてんかいばくはつほう	arc shooting	屈折法探査において、震源（爆発点）を中心に円弧状に多数の受振点を配置する方法。河床部砂礫層の厚さ、空洞探査などに用いる。
弧状列島	こじょうれつとう	Islands arc	プレートの収束境界に位置する弧状の列島。必然的に海溝の陸側に存在し、深発地震帯や火山帯などを伴う。
古植生	こしょくせい	palaeovegetation	過去のある地質時代の植生。植物化石群の分布・生存地・生活形などに基づいて復元される。
御所桜大理石	ごしょざくらだいらいせき	Goshozakura marble	福岡県田川市弓削田産美術品用石材。白亜紀の黒雲母花崗岩に貫かれるペルム石炭系中の大理石。
五助橋断層	ごすけばしだんそう	Gosukebasi fault	活断層。確実度 I，活動度 B 級～A 級，北東走向。神戸市付近に分布し、六甲山塊を二分する。延長約14 km。
越河断層	こすごうだんそう	Kosugo fault	活断層。確実度 I，活動度 B 級，南北～北東方向。福島盆地西縁の丘陵と盆地床との地形境界に位置し延長約15Km。
湖成	こせい	lacustrine	一般に、堆積物を堆積環境から区分する時の陸水環境の湖に堆積したものに用いる用語。
古生界	こせいかい	Paleozoic	古生代のすべての岩体。

湖成層	こせいそう	lacustrine sediment	湖に堆積してできた地層。一般に分級がよくしばしば細かく成層。
古生層	こせいそう	Paleozoic group	古生代の地層の呼称。
古生代	こせいだい	Paleozoic (era)	化石をもとに地質時代を三分した最初の時代。
湖成粘土	こせいねんど	lacustrine clay	湖沼内に堆積した粘土。
古生物地理区	こせいぶつちりく	paleobiogeographic province	地質時代における古生物の地理的棲息範囲。石灰ペルム紀の Gondwana 植物界・アンガラ植物界など。
互層	ごそう	alternation of strata	岩相の異なる地層が交互に重なりあった地層。砂(岩)と泥(岩)の互層が多い。
こそく	こそく	chipping	トンネル内空断面をおかす凸部などを手持削岩機などにより少量ずつ掘削すること。あるいは掘削面に残った浮石を落とすこと。
古第三紀	こだいさんき	Paleogene (period)	第三紀の前半。哺乳動物などが発展しはじめるほか、大型有孔虫ヌムリテスなどで特徴づけられる時代。
古第三系	こだいさんけい	Palaeogene (system)	古第三紀の岩体。
固体相	こたいそう	solid phase	定まった形状をもち、外力に容易に変形や体積変化を示さない物質の状態領域。
固体摩擦	こたいまさつ	solid friction	二つの固体物質の接触部に生じる抵抗力。地震計などでは測定値の補正に用いる。
固体流送量 (河川の)	こたいりゅうそうりょう (かせんの)	solid load of river	運搬作用により、一定の横断面を単位時間内に通過する固体物質の全重量。
小滝地すべり	こだきじすべり	the Kodaki landslide	1970年に富山県氷見市小滝付近で発生した地すべり。県道などに被害が出た。
小谷地すべり	こたにじすべり	the Kotani landslide	1976年に京都府加佐郡大江町で、台風17号の影響により発生した地すべり。
小段	こだん	berm	のり面の維持管理や小崩壊防止のため、のり面の中間に設ける段。小段の位置および幅は設置目的により変える。
古地温	こちおん	paleogeotemperature	過去の地層の温度。

古地形	こちけい	paleotopography	過去において形成され、現在地層下に埋没された地形。埋没地形の復元は、ボーリング・地形調査などによる。
古地磁気	こちじき	paleomagnetism	過去の地球磁場。岩石ないしは考古遺物の残留磁化を用いて復元する。
古地磁気層序	こちじきそうじょ	paleomagnetic stratigraphy	岩石の自然残留磁気を磁気化石として、組み立てた地層の順序。
古地磁気編年尺度	こちじきへんねんしゃくど	geomagnetic polarity time scale	地球磁場の逆転に基づく年代区分の基準となるもの。
古地質図	こちしつず	paleogeologic map	過去の地質時代の地質を示した地質図。古い岩石の相互関係を表現するために描かれることが多い。
固着すべり	こちゃくすべり	stick slip	固着した断層面の不安定性すべり。地震発生メカニズムとして注目されている。
古地理	こちり	paleogeography	地質時代における地理（水陸分布・気候・地形・生態系）のこと。主に地層と化石を用いて調べられる。
古地理図	こちりず	paleogeographic map	堆積物の分布や特徴、化石などから、ある期間における特定の地域の地理的様相を図に表したもの。
国家基準点	こっかきじゅんてん	national control point	基本測量によって設置された基準点。天測点、四等以上の三角点、二等以上の水準点などを含む。
国家石油備蓄	こっかせきゆびちく	government petroleum stockpiling	国際石油価格の不安定性ならびに国内石油供給安定化のために国家事業として石油を備蓄すること。
骨材	こつざい	aggregate	コンクリートやモルタルの材料で、セメント・水・混和剤以外の砂・砂利・砕石など。
骨材最大寸法	こつざいさいだいすんぼう	maximum aggregate size	粗骨材の最大寸法のこと。
骨材のすり減り減量試験	こつざいのすりへりげんりょうしけん	abrasion test of coarse aggregate	粗骨材のすりへり抵抗の試験方法。ロサンゼルス試験機によるすりへり減量を測定する。
骨材プラント	こつざいぷらんと	aggregate plant	原石を破砕、選別、洗浄し、所定の粒度、品質の骨材を生産する設備。
骨材冷却	こつざいれいきやく	aggregate cooling, pre-cooling for aggregate	セメントの水和反応に伴うコンクリートの温度上昇を抑えるため、予め骨材を冷却すること。
小土山地すべり	こつちやまじすべり	the Kotuchiyama landslide	1971年に長野県北安曇郡小谷村で発生した地すべり。一級河川姫川の閉塞、人家15戸全壊とされる、国鉄へ被害。

木っ端	こっぱ	goaf, gob	採石の際に生じる廃石, ずり.
湖底谷	こていこく	sublacustrine valley	湖底水面下に見られる, 陸上の河谷と同様な地形. 過去においての河谷の水没, あるいは混濁流による水中浸食によって形成される.
固定式足場	こていしきあしば	fixing platform	海・湖底にくいなどを打込み, これにデッキを固定し足場とする. 材料は木製・パイプ・鋼製などを用いる.
固定式連通管沈下計	こていしきれんつうかんちんかけい	fixed siphon type settlement gauge	地盤や構造物の沈下を水深により測定する装置. 基準水槽を固定し, 各点の水位変位を直接または圧力計などで測定する.
湖底堆積物	こていたいせきぶつ	lacustrine deposits	湖や沼における堆積物の総称. 沿岸部の無機成分を主とするものと深底部の有機成分を主とするものに大別される.
固定炭素	こていたんそ	fixed carbon	石炭やコークスから水分, 灰分, 揮発分を除いた後に残る炭素を主とする固体.
固定地下水	こていちかすい	fixed groundwater	通常の水文的循環から切り離され, 利用が困難な地下水.
固定ピストン式シンウォールサンプラ	こていびすとんしきしんうおーるさんぷら	thin-walled tube sampler with fixed piston	ピストンを固定し地盤にサンプリングチューブを連続的に押し込み, 乱さない土の試料を採取する器具.
湖底平原	こていへいげん	central plain	湖の中央部で堆積物が原地形を埋めて平坦面を形成した地形. 湖棚付近で浸食された細粒物質などが堆積する.
湖底有機堆積物	こていゆうきたいせきぶつ	lacustrine organic deposits	有機成分を主とする湖底堆積物. プランクトンの死骸を主とする骸泥と腐植質よりなる腐植泥がある.
こて仕上げ	こてしあげ	screeded finish, trowel finish	コンクリートの締固め後, 表面を木ごてや金ごてなどで仕上げること.
古銅輝石安山岩	ことうきせきあんざんがん	bronzite andesite	古銅輝石を特徴的に含む安山岩で, 瀬戸内地方に特徴的に産出する他, 小笠原父島, 銚子にも産する.
古東京川	ことうきょうがわ	Paleo-Tokyo river	東京湾海底の谷. 最終氷期の陸上谷が沈水したもの. 現海底を刻む谷と埋積谷との新旧二つの谷よりなる.
古東京湾	ことうきょうわん	Paleo-Tokyo bay	更新世中～後期に存在した関東平野地域の海湾で, 成田層群・東京層・下末吉層などの形成場.
五島鉱山	ごとうこうざん	Goto mine	長崎県五島列島福江島の西端に位置する. 耐火物用ロウ石・ダイアスポア・粘土用ロウ石を産出.
古土壌	こどじょう	paleosol	地質時代にできた土壌で, 生成当時の地表環境 (気候・排水条件など) の推定に利用可能.

小泊地すべり	こどまりじすべり	the Kodomari landslide	1963年3月16日に新潟県西頸城郡小泊部落の裏山で発生した地すべり。移動土砂約15万m ³ 。地質は名立層。
ゴトランド系	ごとらんどけい	Gotlandian(system)	シルル紀を代表する地質系統で現在はシルル系と呼ばれる。
古奈石	こないし	Kona ishi	静岡県田方郡長岡町産石材。新第三系凝灰岩・凝灰角礫岩・石質脆弱で建築用の土台石・倉庫・石臼用材。
コニーデ	こにーで	konide	成層火山型の火山。多輪廻の中心噴火による溶岩流などの噴出物が山頂火口周囲に積み重なった円錐型の成層火山。
ゴニオメータ	ごにおめーた	goniometer	①X線回折装置などでxyz軸方向を自由に設定できるようにした支持台。 ②写真測量においてカメラの画面距離や、レンズのわい曲（歪曲）収差を測定するための望遠鏡と目盛盤からなる装置。
コニカルスキャナ	こにかるすきゃな	conical scanner	鉛直軸を中心とした円錐面に方向が沿うよう走査鏡を回転させ、地表を円形状に走査する構造のスキャナ。
古日本海	こにほんかい	Paleo-Japan sea	地質時代に海域として現在の日本海の位置に存在した古海域。
古日本脊梁	こにほんせきりょう	Eo-Nippon cordillera	ジュラ紀頃、日本列島の長軸方向にほぼ平行に連続していたと推定された山系。
コノスコープ	このすこーぷ	conoscope	偏光顕微鏡による観察手法の一つで、光を結晶に斜めに入射させ光学的性質を求める装置。
コノドント	このどんと	<i>Conodonts, Conodont</i>	カンブリア～三じょう紀（三疊紀）の海成層産の動物の硬組織。大きさは約1mmの歯状・楕形など。生物分類上の所属は不明だが有効な示準化石。
コノリス	このりす	chonolith	貫入岩体の形態名の一つ。不規則形の非調和的貫入岩体。
琥珀	こはく	amber	植物の樹脂の化石。黄色～褐色の透明または半透明であり昆虫などの化石を含むこともある。
コバルト60	こばると60	cobalt-60	天然の非放射性のコバルト ⁵⁹ Coが、中性子を吸収すると放射性コバルト ⁶⁰ Coとなる。放射線源として利用。
コバルトクラスト	こばるとくらすと	cobalt manganese crust	大洋中の島や海底火山の水深800～2000m程度の斜面に、数mmから10cm程度の厚さで覆われたコバルトの含有の多い層。
コバルト鉱床	こばるとこうしょう	cobalt deposit	コバルト鉱石だけを対象として稼行している鉱床はなく、コバルトはベントランド鉱・磁硫鉄鉱中に含有される。
湖氷	こひょう	lake ice	湖やダム貯水池などに生じる氷。

古琵琶湖層群	こびわこそうぐん	Kobiwako Group	近江，伊賀地域にあたる古琵琶湖盆地で堆積した鮮新統～中期更新統．河成～湖成で泥，砂，砂礫層からなる．大阪層群に対比され，凝灰岩で三層に区分．
コフィン石	こふいんせき	coffinite	$U(SiO_4)_{1-x}(OH)_{4x}$ ．正方晶系．硬度5～6．比重5.1．ウラン鉱床や有機物を置換して砂岩中に産するジルコンと同構造の鉱物．
牛伏寺断層	ごふくじだんそう	Gofukuji fault	活断層．確実度 I，活動度 A 級，北西方向．松本市付近の糸静構造線沿いに位置する延長約7kmの左横ずれ断層．
古富士火山	こふじかざん	Paleo-Fuji volcano	約8万年前の噴火で形成された大型の成層火山．1万1千年前以降は新富士火山．
個別要素法	こべつようそほう	distinct element method	岩盤などを複数の剛ブロックに分割し，バネとダッシュポットで結合し，各ブロックの運動を微小時間毎に追跡する解析法．DEMと略す．
小仏層群	こぼとけそうぐん	Kobotoke Group	関東山地南部の東京都西部から山梨県東部にかけて分布する四万十帯北帯南半部の白亜系．北側は五日市一川上線，南側は藤ノ木－愛川線に限られる．岩相は砂岩，頁岩が主体．
湖盆	こぼん	lake basin	陸成の凹地や盆地に水の溜ったもの．日本では火成作用で多く形成．湖盆は年月の経過と共に形態が変化する．
駒ヶ岳石	こまがたけいし	Komagatake ishi	北海道茅部郡森町・砂原町産建築用石材．駒ヶ岳を構成する更新統角閃石安山岩．白色．
駒ヶ岳火山	こまがたけかざん	Komagatake volcano	秋田駒ヶ岳火山は秋田・岩手県境中部に，北海道駒ヶ岳火山は北海道渡島半島の噴火湾南岸に位置する成層火山．
小松石	こまついし	Komatsu ishi	①滋賀県滋賀郡志賀町産土木用材．古生界を貫く中生界角閃石黒雲母花崗岩．粗粒，長石の結晶大で白色～淡黄色． ②神奈川県真鶴産安山岩．
小松崎石	こまつざきいし	Komatsuzaki ishi	宮城県塩釜市小松崎産建築用石材．新第三系凝灰岩．耐火性富み，鼠色波状の模様．
小松葉	こまつば	Komatsuba	福島県田村郡船引町産墓石用石材．中生界古期花崗閃緑岩体の一部のはんれい岩．中粒，黒色地に白の斑点．
小湊石	こみなといし	Kominato ishi	千葉県安房郡天津小湊町産土木用石材．新第三紀中新統の凝灰岩．房州石の一つ．
ゴム化アスファルト	ごむかあすふあると	rubberized asphalt	アスファルト中にゴムを溶解させたもの．一般に感温性および骨材との接着性に優れている．
ゴムスリーブ	ごむすりーぶ	rubber membrane	三軸圧縮試験で供試体を覆うゴム膜円筒で，圧力室の圧力を側方圧として供試体に作用させる．
ゴムタイヤローラ	ごむたいやろーら	pneumatictired roller	鉄箱に砂利を入れて荷重としたゴムタイヤ式の土の締め機械．

ゴム引布製起伏堰	ごむびきぬのせいきふくぜき	inflatable rubber weir	ゴム引きされた袋状の堰のことで、内部に空気あるいは水を注入して起伏させる堰。
小室石	こむろいし	Komuro ishi	静岡県田方郡大仁町産建築用石材。新第三紀中新統の凝灰岩。白色の基質に緑・灰および褐色の角礫を多量に含む。
込め棒	こめぼう	loading stick, tamping stick, tamping rod	爆破孔に爆薬を押し込むために用いる木または竹製の棒。
子持火山	こもちかざん	Komochi volcano	群馬県中央部にあるやや小さな円錐火山。中心火道の大黒岩と放射状に広がる多数の岩脈が露出している。
コモンメタル	こもんめたる	common metal	常用金属。レアメタル（希少金属）の対語。
固有応力	こゆうおうりょく	eigen stress	物体内部に初めから存在する初期応力や、外力を除去して変形が復元した後に残る残留応力をいう。
固有地震	こゆうじしん	characteristic earthquake	同一場所で同じ規模およびメカニズムにより一定間隔で発生する地震。
固有種	こゆうしゅ	endemic species	特定の地域に分布する生物種。成因として、かつての繁栄種の局地的残存や特殊環境への新たな適応が考えられる。
固有周期	こゆうしゅうき	natural period	自由に振動している物体の周期。物体の形状や密度など状態によって異なる。
固有周波数	こゆうしゅうはすう	natural frequency	固有周期時の周波数。
固有振動	こゆうしんどう	proper vibration	外力を受けずに振動するときの振動数。物体の形状や密度など状態によって異なる。
固有振動数	こゆうしんどうすう	natural frequency	固有振動時の振動数。
固有値解析	こゆうちかいせき	eigen values analysis	地震応答解析のための多質点振動系の固有周期と振動形を求める方法。最終的には一質点系の応答値に換算。
固溶体	こようたい	solid solution	金属や鉱物などで複数の物質が置換して解け合う、または結晶格子に浸入して均一に溶け合った固溶体。混晶ともいう。
古ヨーロッパ	こよーろっぱ	Paleo Europe	ヨーロッパ地域で、カレドニア造山運動により変形した後、ほぼ安定している地域。
コヨーテ発破	こよてはっぱ	coyote blasting	山腹の岩石または鉱石を、一時に多量に採掘する場合にとられる大規模な露天発破法。小さな坑道を用いる。

コラ	こら	Kora soil	開聞岳起源の固結した火山性堆積物の俗称。硬くて排水性、保水性が悪く、生産力は低い。
コラージュ	こらーじゅ	collage	ある地域が複数の地質体（テレーン）の集まりから構成されている場合、その集合体をさす。
コラムジェットグラウト工法	こらむじえつとぐらうとこうほう	column jet grouting method	地盤に削孔して中から空気と超高压水を噴射して周囲を掘削後、硬化剤を充填させて円柱状に固化させる工法。
コランダム	こらんだむ	corundum	鋼玉と同義。
コランダム鉱床	こらんだむこうしょう	corundum deposit	研磨材に用いられるコランダムの鉱床。主産国はロシア・南ア・ジンバブエ・インド。
コリオリの力	こりおりのちから	Corioli's force	地球の自転によって生じるみかけの力。北（南）半球では、運動方向に対して右（左）向きに働く。
孤立波	こりつは	solitary wave	静止水面からの変位が正の一つの山のみで形を変えずに進む波。
コリメータ	こりめーた	collimator	平行光束をつくるための装置。無限遠光源が得られることにより光学系機器の点検・調整などに使用する。
古流向	こりゅうこう	paleocurrent	堆積岩中にみられる堆積構造・組織から推定される地質時代の水流の方向。
コルディレラ地 向斜	こるでいれらちこう しゃ	Cordilleran geosyncline	北米西部において、古生代～中生代に存在したとされた大規模な地向斜。
コルンブ石	こるんぶせき	columbite	ペグマタイトにおけるニオブを主成分とするコルンブ石系鉱物の総称。この系に属する種として、鉄コルンブ石・マンガンコルンブ石などがある。
コレスキー法	これすきーほう	Cholesky decomposition method	連立一次方程式の数値解を求める一方法。係数行列が対称正値行列であるとき、計算を効率よく行える。
コロイド	ころいど	colloid	10～10000オングストローム（Å）の大きさの粒子が他相に分散している状態。
コロイドセメント	ころいどせめんと	colloid cement	グラウト材として用いられる微粉末セメントの一種。最大粒径50 μm程度。平均粒径10 μm程度。
ころがし	ころがし	cap, heading collar	木製支柱式支保工の頂部横梁。押木ともいう。
コロフォーム組織	ころふおーむそしき	colloform texture	微粒子が同心円縞状に沈積した鉱物組織。集合形態によりぶどう状・腎臓状・乳房状となる。低温生成の鉱物に多い。

コロマントカット	ころまんとかつと	coromant cut	トンネルの平行心抜き発破パターンの一つ。空孔の2, 3孔を連結させその周囲に装薬孔を配置する。
小割発破	こわりはっぱ	boulder blasting, secondary blasting	爆破により生じた大きな岩塊を小さく割るための発破。二次発破ともいう。
コンクリーション	こんくりーしょん	concretion	堆積物中にシリカ, 方解石などが凝集して形成された硬い塊。
コンクリートアーチ橋	こんくりーとあーちきょう	concrete arch bridge	アーチを主構造とするコンクリート橋。基礎地盤が堅固な場合は固定アーチ, さほどでない場合は2ヒンジアーチが用いられる。
コンクリート打込み	こんくりーとうちこみ	placing of concrete, pouring concrete	所定の位置まで運搬したコンクリートを流し込み締固めること。
コンクリート運搬バンカー線	こんくりーとうんぱんばんかーせん	transfer ladle car (for concrete transportation)	コンクリートダムofバッチャープラントから打設運搬設備まで練り上りコンクリートを輸送する軌道。
コンクリートカットオフ	こんくりーとかつとおふ	concrete cut off	ダムの基礎に設置するコンクリート製の止水壁。
コンクリート系セグメント	こんくりーとけいせぐめんと	concrete segment	シールドトンネルの覆工に用いる鉄筋コンクリート製の部材。
コンクリートダム	こんくりーとだむ	concrete dam	コンクリートを堤体材料とするダムの総称。
コンクリート地中壁	こんくりーとちちゅうへき	concrete wall in a ground	地盤内に直接コンクリートを打設して築造された壁。
コンクリート中性化	こんくりーとちゅうせい	carbonation of concrete, neutralization of concrete	硬化コンクリート中の水酸化カルシウムが空気中の炭酸ガスと反応し, 表面からアルカリ性を失うこと。 $Ca(OH)_2 + CO_2 \rightarrow CaCO_3 + H_2O$
コンクリート配合	こんくりーとはいごう	concrete mix proportion	コンクリートを造る時のセメント, 水, 細骨材, 粗骨材, 混和材料の割合。
コンクリート破砕器	こんくりーとはさいき	concrete cracker	市街地など通常の発破作業ができない場所で, コンクリート構造物などの解体作業を行う場合に用いられる火工品。少量の火薬に点火して割れ目をいれる。
コンクリートバッチャ	こんくりーとばっちや	concrete batcher	コンクリートの各材料の投入・計量・排出をする装置。計量方法としては個別計量方式と累加計量方式がある。
コンクリート吹きつけ	こんくりーとふきつけ	shotcrete	岩盤などの表面にコンクリートを吹き付ける工事。のり面やトンネル坑壁の保護などの目的で行われる。
コンクリート吹付けロボット	こんくりーとふきつけろぼと	shotcrete robot	吹付けコンクリート施工用のロボット。

コンクリートプリズム試験	こんくりーとぷりずむしけん	concrete prism method	アルカリ骨材反応の試験方法の一つ。コンクリートの角柱を作成し膨張量を測定する。
コンクリートブレーカ	こんくりーとぶれーか	concrete breaker	油圧、圧縮空気あるいは電動機などを動力源としてコンクリートに衝撃を加えて解体するために用いる器具。
コンクリートプレーサー	こんくりーとぷれーさー	pneumatic concrete placer	トンネルの巻立に用いるコンクリート打設用の機材で、圧縮空気によりコンクリートを搬送する。
コンクリートへの硫酸塩浸食	こんくりーとへのりゅうさんえんしんしょく	sulfate erosion of concrete	骨材中の硫酸塩鉱物がセメント中のカルシウムと反応して膨張現象を生じてコンクリートを破壊・浸食する現象。
コンクリートポンプ	こんくりーとぽんぷ	concrete pump	鉄管中を通してコンクリートを圧送するポンプ。
コンクリート巻立	こんくりーとまきたて	concrete lining	コンクリートを用いたトンネルの掘削面を被覆する構造体、またはその構造体を打設する作業。コンクリートライニングともいう。
コンクリートミキサ	こんくりーとみきさ	concrete mixer	粗骨材、細骨材、セメント、水などを所定の配合で練り混ぜてコンクリートをつくる機械。
コンクリートライニング	こんくりーとらいにんぐ	concrete lining	コンクリート巻立と同義。
コンケーブビット	こんけーぶびっと	concave bit	円錐形の凹面（コンケーブ）をもったノンコアリングビット。
根圏	こんけん	rhizosphere	植物の根に近くて、根の影響を受ける土壌部分。根から有機物や無機物が分泌され、微生物にも影響を与える。
根源岩	こんげんがん	source rock	石油や天然ガスが鉱床として形成される条件の一。一般に、藻類・プランクトンなど共に堆積したと考えられる細粒の堆積物（泥岩）で、地下の温度圧力条件下で炭化水素を生成したと考えられる地層。
権現山地すべり	ごんげんやまじすべり	the Gongenyama landslide	1962年7月8日に佐賀県権現山で発生した崩壊型地すべり。7月1日から降り続いた1,112mmの降雨が原因。
権現山断層	ごんげんやまだんそう	Gongenyama fault	活断層。確実度Ⅰ～Ⅱ、活動度B級、北北西方向。岐阜県笠地山南方に位置し全長約10km。
混合剤	こんごうざい	admixture	セメント、水および骨材以外の材料で、練り混ぜの際に少量加えてコンクリートの性質を改変するための材料。
混合セメント	こんごうせめんと	blended cement	ポルトランドセメントに、ポゾランやスラグなどを配合し、耐食性・乾燥収縮・耐久性などを改善したセメントの総称。
混合層粘土鉱物	こんごうそうねんどこうぶつ	mixed layer clay mineral	2種の粘土鉱物が平行連晶した形で繰り返し互層しているもの。規則性～不規則混合層粘土鉱物がある。

混合土	こんごうど	mixed soil	砂・シルト・粘土を混合した土，または，土と他の材料とを混合したもの。
混合噴火	こんごうふんか	mixed eruption	一輪廻の噴火において，火砕物質の放出と溶岩の流出をそれぞれ大量に行うような噴火。
混こう法（混汞法）	こんこうほう	amalgamation	Au・Ag鉱に対する精錬法の一つ．水銀アマルガムを使ってAu・Agなどを分離する．アマルガメーションと同義．
混合揚水式発電	こんごうようすいしきはつでん	mixed pumped-storage power generation	下池からの揚水だけでなく上池への自然流入量も用いる揚水発電
コンシステンシー	こんしすてんしー	consistency	細粒土は含水量が変わると硬さ，変形に対する抵抗が変化する．この変形の抵抗の大小をいう．
コンシステンシー限界	こんしすてんしーげんかい	consistency limit	細粒土が含水量の変化により，液性，塑性，半固体，固体と状態が変移する点の含水比の総称．
コンシステンシー指数	こんしすてんしーしすう	consistency index	自然状態の細粒土の相対的な硬さや安定度を示す値で，土の液性限界と自然含水比の差と塑性指数との比．
コンシステンシー試験	こんしすてんしーしけん	consistency test	土の含水量による状態変化や変形に対する抵抗を求める試験．液性限界，塑性限界試験などがある．緊硬度試験ともいう．
コンストラクションマネジメント方式	こんすとらくしょんまねじめんとほうしき	construction management contract method	CM方式．工事の発注者がプロジェクトの総合管理を代理人に委託し，代理人が施工会社の選定，設計変更，工程管理，品質管理，予算管理などの各種調整を行う方式．
混成岩	こんせいがん	hybrid rock	マグマ同士の混合や捕獲岩との反応によりできた中間の化学組成の岩石．
根成孔隙	こんせいこうげき	root-forming pores	植物根が腐朽分解した後に残された円管状間隙で，通常50 μ m以上ある．土壌の透水性を大きくする．
混成作用	こんせいさよう	hybridization	組成の異なるマグマの混合や捕獲岩との反応により，中間型の組成の岩石が形成される作用．
痕跡化石	こんせきかせき	trace fossil	古生物の生活や活動の痕跡が地層中に形あるものとして残され固定したもの．生痕化石ともいう．
コンソリデーショングラウチング	こんそりでーしょんぐらうちんぐ	consolidation grouting	基礎岩盤の変形性の改良ならびに一体化を図るために行うグラウチング．
コンタクトグラウチング	こんたくとぐらうちんぐ	contact grouting	コンクリートの収縮や地盤の変形などにより，コンクリートと地盤との間に生じるすき間を充填するために行うグラウチング．
混濁流	こんだくりゅう	turbidity current	碎屑物が，乱流の上方支持力で浮遊しながら移動する流れ．これによる堆積物がタービダイト．乱泥流と同義．

コンティニューア スフローメータ	こんていにゆあすふ ろーめーた	continuous flowmeter	プロペラの回転数から孔内流体の平均流速を求める検層機。スピナー型流量計の一種で、孔内流速の速い場合に用いられる。連続式流量計。
コンテナ輸送方式	こんてなゆそうほう しき	container system of hauling muck	ベッセル工法と同義。
コンデンサレンズ	こんでんされんず	condenser lens	入射光を特定の狭い範囲に集めるためのレンズ。集光レンズとも呼ばれ、微弱な光の強調などに利用される。
コンドライト	こんどらいと	chondrites	コンドルールを含む石質隕石。太陽系の始源物質をよく保存しており、地球上における全隕石の80%を占める。
コンドルール (コンドリュール)	こんどるーる (こん どりゅーる)	chondrule	球顆。コンドライト中に発達するカンラン石・輝石・ガラスなどの球状集合体。石質隕石中に含む。球粒ともいう。
ゴンドワナ植物群	ごんどわなしよくぶ つぐん	Gondwana flora	古生代末期にゴンドワナ古陸(現在の南半球諸大陸など)に発展した植物群。グロソプテリス類が卓越する。
ゴンドワナ大陸	ごんどわなたいりく	Gondwana land	南半球に古生代末期から中生代にかけて、広がっていたと考えられる大陸で、共通する化石植物群と化石動物群を特徴としている。
コンバージェンス メジャー	こんばーじえんすめ じゃー	convergence measure	トンネルの内空変位測定器。鋼製巻尺に一定張力付加装置、測点取り付け用フックなどを組み合わせたもの。
コンパクション グラウチング	こんぱくしょんぐら うちんぐ	compaction grouting	高粘着性のグラウト材を地盤に注入して土の密度を高くし、強度および透水性を改善する工法。
コンパレータ	こんぱれーた	comparator	写真測量の際に用いる精密座標読取り装置。写真像の平面座標を1 μm程度で読み取る。
コンピーテンシー	こんびーてんしー	competency	岩石が褶曲運動などで変形する時、流動しにくさの程度を示す語。
コンピーテント 褶曲	こんびーてんとしゅ うきょく	competent fold	流動変形しにくい地層の褶曲。層厚の変化がない平行褶曲の形態を示す。
コンピーテント 層	こんびーてんとそう	competent bed	変形時にインコンピーテント層に対して、能動的に変形した地層。褶曲などの変形の際に流動しにくく変形に抵抗する層。
コンピューター・シミュ レーション	こんぴゅーたーし みゅれーしょん	computer simulation	コンピューターによって、あるシステムの動作や現象を実現させること。コンピュータによる模擬実験。
コンピューター 断層撮影法	こんぴゅーたーだん そうさつえいほう	computerized tomography	探査対象の外部に設置した装置により内部状態を探査し、結果をコンピューター処理により映像化する探査法。CTともいう。
コンピューター マッピング	こんぴゅーたーまっ ぴんぐ	computer mapping	コンピューターシステムを用いてデジタル地図などを作成すること。

コンプトン散乱	こんぷとんさんらん	compton scattering	物質によりX線が散乱される時、入射波長に比べ、長波長となる現象。
コンプレックス	こんぷれっくす	complex	複合体を意味する構造地質用語で、付加体コンプレックス、メランジュコンプレックスなどのように用いられる。
コンプレッションゾーン	こんぷれっしょんゾーン	compression zone	地すべりの末端部や舌端部などの土塊中に圧縮応力の発生している領域。
コンペンセーター	こんぺんせーたー	compensator	補償板とも呼ばれる。二つの光や成分偏光の位相差の変化または修正に用いられる板で、平行板または楔形。
コンポジットサンプラ	こんぽじつとさんぷら	composite sampler	カッティングエッジなどからなる組立式サンプラ。サンプラの断面積比が大きく、消耗材料が少ない。
コンポジットダム	こんぽじつとだむ	composite dam	複合ダムと同義。
コンボリューション	こんぼりゅーしょん	convolution	数学においては畳み込み積分といわれる演算法。物理的意義としては時間領域での線形フィルタに該当する。地質学では層理の生成時に液状化などの原因により波状にうねること。
コンボリュート層理	こんぼりゅーとそうり	convolute bedding	波状～波状に強くゆがんだ形の層理構造で、タービタイトの単層の上部にしばしばみられる。
コンボリュート葉理	こんぼりゅーとようり	convolute lamina	コンボリュート層理とほぼ同義の葉理構造。
コンラッド不連続面	こんらつどふれんぞくめん	Conrad discontinuity	地殻深部の第1層と第2層の境界。コンラッド(1923)が観測した自然地震の走時曲線から見出したことによる。
混練水	こんれんすい	mixing water	コンクリートやモルタルを練る際に用いる水。練り水(ねりみず)、練り混ぜ水(ねりませすい)ともいう。
混和剤	こんわざい	chemical admixture, additive	コンクリート材料のうち、AE剤、減水剤など使用量が少なく配合計算上容積を無視しうるもの。
混和材	こんわざい	admixture mineral	コンクリート混和材料のうち、使用量が多く配合計算上、容積を考慮する必要のあるもの。フライアッシュ、高炉スラグなど。
SAR	さー	synthetic aperture rader, SAR	合成開口レーダーのこと。
サージ	さーじ	glacier surge	長い間停滞していた氷河が、あるとき突如として急激に前進する現象。
サージタンク	さーじたんく	surge tank	水力発電施設において、水車の負荷変動による水撃圧と水量の変化を調節するなどの機能をもつ調圧水槽。

サージング	さーじんぐ	surging	①水力発電において、発電所の負荷変動によって発生する水撃作用によりサージタンクの水位が上昇すること。 ②碎波型式の一つで、砕け寄せ波 (surging breaker)。
サーチャージ水位	さーちゃーじすい 位	surcharge water level	洪水調節計画を有するダムにおいて、洪水時に一時的に貯留する最高水位のこと。
サーチャージ容量	さーちゃーじよう りょう	flood surcharge	貯水池の最高水位と常時満水位の間の容量で、洪水調節のみに用いられる。
差圧	さあつ	difference of pressure	管水路における二断面間の圧力の差。
サービストンネル	さーびすとんね る	service tunnel	電気・ガス・下水道・通信などに必要な管路・電線などを設置するための公益事業用トンネル。
サーボ式水位計	さーぼしきすい けい	servomechanical water- level recorder	検出針が水面の動きに追随するようにサーボモータによって制御し、サーボモータに連動したポテンシオメータで水位を計測する方式の水位計。
サーボ式土圧計	さーぼしきどあ つけい	servo type earth pressure gauge	受圧面に変位を与えず土圧を測定する判別型土圧計。圧力バランスさせる機構にサーボ機構を用いたもの。
サーマルスキャナ	さーまるすきや な	thermal scanner	スキャナのうちとくに熱赤外波長帯の電磁波を観測し、対象物の温度を測定することを目的としたもの。
サーミスタ温度計	さーみすたおん どけい	thermistor thermometer	半導体を利用した抵抗温度計の一つ。サーミスタはFe, Ni, Co, Cu, Mn, Moなどの酸化物の混合焼結物でブリッジ回路などを組み込んで温度を計測するもの。
サーミスタボロメータ	さーみすたぼろ めーた	thermistor bolometer	半導体の抵抗が温度により変化する特性を利用し、これをセンサとして対象物温度を計測する放射温度計。
サーモグラフィ	さーもぐらふ いー	thermography	温度記録法。熱像法ともいう。放射された熱エネルギーを記録する方法。
サーモルミネッセンス法	さーもるみね っせんすほう	thermoluminescence method	熱発光の原理に基づく年代測定法。発光量から放射線量を求め、それを年間線量で割ることで年代を決定する。熱ルミネッセンス法ともいう。
切	さい (きれ)	sai	石材の大きさの単位。1尺立方。
再圧密	さいあつみつ	reconsolidation	載荷し圧密した粘土を除荷した後に、再び荷重を加えて圧密すること。
載荷圧密工法	さいかあつみつ こうほう	load consolidation method	軟弱地盤上に盛土などにより加重載荷し、圧密沈下の促進を図ることにより地盤を改良する工法。
災害調査	さいがいちよう さ	investigation of disaster	自然災害の状況を正確に把握し、災害の原因、機構の解明および防災計画の基礎資料とするために実施する調査。

西海橋	さいかいばし	Saikai bridge	長崎県大村湾口を跨ぐ支間216mのアーチ橋。1955年に完成しわが国で初めて支間が200mを越えた。
最下位ビット	さいかいびつと	least significant bit	2進数で表現された数値において、最も下位に来るビットまたはその数値。
災害ポテンシャル	さいがいぼてんしゃる	hazard potential	自然現象を原因とする災害の発生し易さ。
災害予測	さいがいよそく	hazard assessment	ある特定の災害が発生したとき、ある地域に生じる災害を予測すること。
災害予測図	さいがいよそくず	hazard assessment map	ある特定の災害に対して危険地域を想定して記入した地図。ハザードマップと同義。
災害履歴	さいがいりれき	hazard history	過去に起こった、ある災害の履歴。
最確値	さいかくち	most probable value	最小二乗法によって多くの測定値から推定された最も確からしい値。
載荷工法	さいかこうほう	loading method	地盤に直接または間接的に荷重を作用させて、圧密沈下の促進や土のせん断強さの増加を図る工法。軟弱地盤対策の一工法。
載荷時間	さいかじかん	loading time	載荷試験における載荷の開始から終了までの時間。クリープ試験における定荷重の保持時間も含む。
載荷試験	さいかしけん	loading test	一時的に静的荷重を加えて地盤などの変形や破壊強度を求め、その変形特性や支持力を知る試験。地耐力試験ともいう。
載荷速度	さいかそくど	loading speed	載荷試験で荷重を上昇させる速度。
再活動地すべり	さいかつどうじすべり	reactivity landslide, secondary landslide	既存の地すべりの全体、あるいは一部が諸誘因を受けて活動を再開したもの。
載荷パターン	さいかぱたーん	loading pattern	載荷試験における荷重の時間的推移を規定するもの。段階・持続または最大荷重での繰り返し荷重などの組み合わせ。
載荷板	さいかばん	loading plate	載荷試験で地盤に載荷重を一定面積に分布させるための正方形または円形の鉄板。
最急勾配	さいきゅうこうばい	maximum grade	鉄道建設規定・道路構造令などにより定められた、縦断線形の最大勾配。
最強地震	さいきょうじしん	maximum possible earthquake	ある地点に、マグニチュード・震源距離などからみて最大の地震動を与える歴史地震あるいは活断層による地震。設計用最強地震と同義。

採掘	さいくつ	development drilling, mining	油田・ガス田において既知の油層・ガス層を対象に採掘井を掘削すること。鉱石・石炭などの掘削。採掘権に基づいた行為。
採掘跡充てん	さいくつあとじゅうてん	stope filling	坑内採掘跡の空洞はそのままだと崩落や坑内通気上よくない。そのため“ずり”などを採掘跡に充填させる。
採掘権	さいくつけん	mining rights	鉱業法によって登録を受けた区域で、登録を受けた鉱物を採掘してこれを取得することができる権利。
サイクリックモビリティ現象	さいくりっくもびりていげんしょう	cyclic mobility	非排水条件下で繰り返しせん断応力を受け、有効応力ゼロとなっても、液状化しない現象。締まった砂に特有。
サイクル（造山運動の）	さいくる（ぞうざんうんどうの）	orogenic cycle	広義の造山運動がほぼ同じような形式で繰り返して現れるところから表現、造山輪廻という。
サイクル（堆積の）	さいくる（たいせきの）	cycle(of sedimentation)	堆積物が一定の順序で繰り返し堆積すること。海水準の変化・周期的な地殻変動などの原因で生じる。
サイクルタイム	さいくるたいむ	cycle time, time of one round	一連の繰り返し作業を行う場合の一工程に要する時間。
サイクロン	さいくろん	cyclone	日本で台風と呼ばれる熱帯性低気圧のうちインド洋で発生するもの。遠心力による分離装置をいうことも。
サイクロン分離器	さいくろんぶんりき器	cyclone, cyclone separator	空気中の塵や排気ガス中の煤塵などを遠心力を利用して分離する集塵装置。また、同様の原理で水中の粒子状懸濁物質を分離する液体サイクロンと呼ばれる装置もある。
再結晶作用	さいけっしょうさよう	recrystallization	温度・圧力などの条件の変化が生じた結果、岩石中に固体の状態で新しい結晶ができること。原岩中の鉱物の粗粒化だけでなく、別な鉱物の生成も含む。
再結晶スカルン	さいけっしょうすかるん	recrystallized skarn	珪酸塩鉱物と炭酸塩岩成分を含む岩石が変成作用によって再結晶して生じたスカルン。
再結晶説	さいけっしょうせつ	recrystallization hypothesis	鉱物の格子定向性の起源は、熱力学的に安定な格子方向をもった結晶粒が不安定な結晶粒を蚕食するとする説。
再結晶チャート	さいけっしょうちゃーと	recrystallized chert	温度・圧力などの外的条件の変化により、石英が再結晶してより粗粒な岩石となったチャート（珪岩）。
採鉱	さいこう	metal mining	開坑・採掘・運搬・支保などの採掘に関する一切の作業を含む意味。地上での場合は露天採鉱、地下は坑内採鉱。
細溝浸食	さいこうしんしょく	rill erosion	雨溝浸食と同義。細流浸食・リル浸食ともいう。
西郷層群	さいごうそうぐん	Saigo Group	静岡県中西部掛川北方に分布する新生界下部中新統。海成で下位より新在家緑色凝灰岩、シルト岩、石灰岩をはさむ砂岩およびシルト岩からなる。

再固結ラテライト	さいこけつらてらいと	recemented laterite	分解後、部分的または全体的に再び結合したラテライトで、塊状ラテライトや鉄化石の破片を含む。
細骨材	さいこつざい	fine aggregate	10mmふるいを全部通り 5mmふるいを質量で85%以上通過する骨材。
細骨材率	さいこつざいりつ	sand to coarse aggregate ratio	コンクリートの配合で直径5mm未満の骨材の全骨材量に対する容積比を百分率で表したもの。
砕砂	さいさ	crushed sand	岩石を細かく砕いたもので、2.0～2.5mmふるいを通過し74 μ ふるいを通過しないもの。自然砂の代用品。
細砂	さいさ	fine sand	土粒子区分の「砂」を細区分したもの。土質分野（日本統一土質分類）では75 μ m～0.25mm、地質分野（Wentworthら）では極細粒砂（1/16～1/8mm）と細粒砂（1/8～1/4mm）に細区分され、土壌分野（国際土壌学会法）では20 μ m～0.2mmの粒径の土粒子から構成されるものをいう。
再載荷	さいさいか	reloading	載荷試験などで、一度加えた荷重を除去した後に再度荷重を加えること。
採砂器	さいさき	sediment sampler	河床土砂あるいは、河川を浮遊状態または掃流形式で移動する土砂をそれぞれ採取するための用具。
最終間氷極相期	さいしゅうかんぴょうきょくそうき	climax of last interglacial stage	最終間氷期において温暖化の進行により到達した気候が長く安定した時期で、およそ12万～13万年前に相当する。
最終検収	さいしゅうけんしゅう	final acceptance	発注者が発注内容について支障なく完了したことを確認すること。
再従谷	さいじゅうこく	resequent valley	適従谷の分布する地域で地表面の削剥の後にも、より低い位置で元の適従谷と同方向に刻まれる河谷。
最終充填物	さいしゅうじゅうてんぶつ	mesostasis	半晶質または隠微晶質の火成岩において、岩石の生成過程の最終末期に固結充填した基質。
最終処分場	さいしゅうしょぶんじょう	final disposal site, final disposal, ultimate disposal	廃棄物を最終的に埋め立て処分する施設で、産業廃棄物では埋立対象物の種類に応じて、遮断型・管理型・安定型などがある。
採取井	さいしゅうせい	production well	生産井と同義。
最終生産量	さいしゅうせいさんりょう	ultimate production	油田・ガス田または個々の油層・ガス層が稼行を終了するまでに産出した総生産量。
最終沈下量	さいしゅうちんかりょう	final settlement	圧密の開始から完了までの沈下量。圧密層中において、初期間隙比と最終的な圧密圧力に対応する空隙比の減少分に相当する。
最終沈殿池	さいしゅうちんでんち	final sedimentation tank, secondary settling tank, secondary clarifier	活性汚泥法（排水処理方法）における曝気処理後、活性汚泥と処理水を沈殿分離するための池状の施設。

最終氷期	さいしゅうひょうき	last glacial stage	第四紀更新世の最後の氷期でウルム氷期ともいう。いわゆる沖積層はこの最終氷期以降の堆積物。
最終氷期極相期	さいしゅうひょうききよくそうき	last glacial maximum	最終氷期のうち2～1.8万年前の亜氷期。
最終変位量	さいしゅうへんいりょう	final displacement	対象がある応力を受けて変位が生じてから、変位が安定・収束するまでの量。
採取率（原油・ガス）	さいしゅうりつ（げんゆがす）	recovery factor	油田・ガス田において、これまでに産出した量と埋蔵量の比率。
最小間隙比	さいしょうかんげきひ	minimum void ratio	土中のうち、土粒子の体積と間隙の体積の比が最小となる値。土の締固め度が最も密な状態になる間隙比。
最小曲線半径	さいしょうきよくせんはんけい	minimum radius of curve, minimum curve radius	鉄道建設規定・道路構造令によって定められた、路線の曲線部に挿入した単曲線の半径の最小値。
最小支保圧	さいしょうしほあつ	minimum support pressure	地山特性曲線（Fenner-Pacher曲線）における、トンネルが崩壊しないための最小の支保圧。
最小主応力	さいしょうしゅおうりょく	minor principal stress	せん断応力が0の直交する面に作用する三つの垂直応力のうち最小の応力。
最小すべり安全率	さいしょうすべりあんぜんりつ	minimum safety factor of sliding	すべり安定解析において求められた安全率の中で、最小の値。
最小寸法（粗骨材）	さいしょうすんぽう（そこつざい）	minimum size (coarse aggregate)	質量で少なくとも95%が留まるふるいのうち、最大寸法のふるいの呼び寸法で示される粗骨材の寸法。
最小抵抗線	さいしょうていこうせん	line of least resistance, minimum burden	発破の際に、爆薬装着の中心から爆破される岩盤表面（自由面）までの最短距離。
最小密度試験	さいしょうみつどしけん	minimum density test	砂の最小乾燥密度を求める試験で漏斗法が基準化されている。
最上流貯水池	さいじょうりゅうちよすいち	uppermost reservoir	同一水系内に複数の貯水池がある場合に、最上流に位置する貯水池。
再食	さいしょく	rework	水流や乱泥流などにより一度定着した未固結または半固結堆積物が削られ、その後再び堆積する現象。
再処理工場	さいしよりこうじょう	reprocessing plant	原子炉で使用された核燃料からウランやプルトニウムを回収し、核分裂生成物を分離する工場。
最新世	さいしんせい	Pleistocene (epoch)	更新世と同義。

最新統	さいしんとう	Pleistocene (series)	最新世（更新世）に形成された地層・岩石.
再振動締固め	さいしんどうしめかため	revibrating compaction	やや固まり始めたコンクリートの空隙・水隙を除くために再び振動を加えること.
採水	さいすい	water sampling, mining of water	水試料を採取すること,あるいは様々な開発・利用を目的として水資源を採掘すること.
採水器	さいすいき	water bottle	海洋や井戸などにおいて水面下の任意の深さから水試料を採取する装置.
サイスミシティ	さいすみしてい	seismicity	ある地域における地震発生空間的位置・時間・発震機構・震源過程などによって記述される地震活動のようす.地震活動度と同義語.
サイスミシティマップ	さいすみしていまっぷ	seismicity map	地震活動図と同義.
サイスマックコーン	さいすみっくこーん	seismic cone	速度計や加速度計を先端に取り付けた地盤貫入用コーン.地上発振の弾性波を計測する.
サイスマックゾーニング	さいすみっくぞーにんぐ	seismic zoning	地震危険度の評価結果を算出するため,危険度により多くの地点(地域)に区分すること.
サイスマックゾーニングマップ	さいすみっくぞーにんぐまっぷ	seismic zoning map	地震危険度(予想される震度の分布)を地図上に描き,防災計画に役立つように作られる地図.
サイスマックゾーネーション	さいすみっくぞーねーしょん	seismic zonation	地震危険度の評価結果を算出するため,危険度により,多くの地点(地域)に区分する手法.
サイスマックトモグラフィ	さいすみっくともぐらふい	seismic tomography	弾性波トモグラフィと同義.
サイスマックプロファイラー	さいすみっくぷろふあいらー	seismic profiler	低エネルギー発震源で作動可能な高周波水中音波探査装置.一般に重力探査などと組んで海洋調査に用いられる.
サイスマックマイクロゾーニング	さいすみっくまいくろぞーにんぐ	seismic micro zoning	地震によるハザード(地震動・地盤破壊・津波など)が都市などの社会環境に作用して,地震リスク(人的被害・構造物被害・経済的損失など)が発生し,地震災害が形成される.これらの地震ハザードや地震リスクの大きさは場所ごとに大きく異なることから,それぞれの地域単位に対して地震ハザードや地震リスクなどの地震危険度の地域的分布を評価すること.
サイスマテクトニクス	さいすもてくとにくす	seismotectonics	地震造構論と同義.
サイスマテクトニックマップ	さいすもてくとにくまっぷ	seismotectonic map	震源分布に地質・地形学的考察をして,将来起こり得る地震の位置・大きさまで推定できるようにした地図.

再生アスファルトプラント	さいせいあすふあるとぷらんと	asphalt recycle plant	アスファルト舗装廃材から再成した骨材・新規の骨材・アスファルトなどの材料を所定の割合および温度で均一に混合する設備。
再生アスファルト舗装	さいせいあすふあるとほそう	reeroled asphalt pavement	再生骨材を使用したアスファルト舗装。
再成加熱アスファルト混合物	さいせいかねつあすふあるとこんごうぶつ	reeroled hot asphalt mixture	アスファルトコンクリート再生骨材に材料や添加剤を加え所定の品質としたもの。
再成鉱床	さいせいこうしょう	regenerated deposit	古期造山帯基底部の金属鉱床が，新期造構造運動・火成活動によって移動し，より上部の岩石中に再濃集した鉱床。
再生骨材	さいせいこつざい	recycled aggregate	建造物解体時などに発生するコンクリート廃棄物などを砕石し，新たな骨材として再利用される材料のこと。
再生骨材コンクリート	さいせいこつざいこんくりーと	recycled aggregate concrete	再生骨材をコンクリート用骨材として使用するコンクリート。
再生棒鋼	さいせいぼうこう	rerolled reinforcing bar	鋼くず，解体鋼材などを再圧延して製造した棒鋼。
再生路盤材	さいせいろばんざい	reeroled basecourse material	セメントコンクリートやアスファルトコンクリートの廃材から再生された路盤材料。
砕石	さいせき	crushed stone	建設工事の材料として原石山や河床から採掘し，破砕，選別した骨材。
砕石機	さいせきき	crusher	原石や砂利を破砕してコンクリート用骨材，道路用砕石および砕砂などを生産する機械。砕石の礫径により，数種類に分類される。クラッシャともいう。
採石係数（採石率）	さいせきけいすう（さいせきりつ）	quarriable percentage of stone	岩石の採掘にあたり地山から採掘できる比率。比率は岩石により異なる。
採石権	さいせきけん	quarrying rights	採石法により登録し，他人の土地において岩石・砂利を採取することを許可された権利。
砕石骨材	さいせきこつざい	crushed aggregate	岩石を人工的に破砕して作った骨材。
砕石コンクリート	さいせきこんくりーと	crushed stone concrete, concrete with crushed stone	骨材に砕石を用いたコンクリート。
採石場	さいせきじょう	quarry	骨材や石材を採取する場所。ダムでは原石山と呼ぶ。
採石場材料	さいせきじょうざいりょう	quarry material	採石場から採取した材料。

砕石ドレーン工法	さいせきどれーんこうほう	crushed stone drain method	液状化対策工の一つで、砂質地盤中に砕石からなる柱状の透水層を設け、地震時の過剰間隙水圧の発生を防止する工法。
砕石プラント	さいせきぷらんと	crushing plant	原石山から採取した岩石を破碎・選別し砕石を製造する工場。クラッシングプラントともいう。
砕石粉	さいせきふん	crushed stone powder	採石を製造するときに副産される、粘土シルトを含まない75 μ m以下の微粒子。強度や施工性の向上のためコンクリートに混入する場合がある。
採石量	さいせきりょう	quarry volume	岩石を採掘できる量。
砕石路盤	さいせきろばん	crushed ballast roadbed, crushed stone base	舗装道路の舗装部直下に設けられる砕石または高炉スラグを材料とした路盤。上層路盤、下層路盤両方に用いられる。
砕屑岩	さいせつがん	clastic rock	既存の岩石が破碎され流水・風・氷河あるいは火山作用によって運搬・堆積し、固化してできた岩石。
砕屑岩床	さいせつがんしょう	clastic sill	砕屑物からなる岩脈のうち、層理面や構造に平行しているもの。構成物の粒径により砂岩岩床・泥岩岩床という。
砕屑岩脈	さいせつがんみやく	clastic dike, clastic dyke	岩盤中の裂か（裂罅）を砂・泥などの堆積物が埋めたり、押し込まれたりして岩脈状になったもの。
砕屑丘	さいせつきゅう	pyroclastic cone	火山砕屑丘と同義。
砕屑状	さいせつじょう	fragmental	堆積岩の性状用語。砂・泥・礫などの砕屑物からなる堆積岩の性状。
砕屑状構造	さいせつじょうこうぞう	fragmental structure	堆積鉱床の鉱石に多い構造で、礫などの砕屑粒子を鉱石鉱物が交代したり粒子間を充填したりして、全体に砕屑性堆積岩状を示す構造。
砕屑石灰岩	さいせつせっかいがん	clastic limestone	運搬作用により形成された石灰質砕屑物よりなる石灰岩で、粒度により石灰礫岩、石灰砂岩、石灰泥岩に細分。
砕屑堆積岩	さいせつたいせきがん	clastic sedimentary rock	風化・浸食・運搬された礫・砂・泥などの砕屑物が集積した堆積物が主として続成作用により固化した岩石。
砕屑堆積鉱床	さいせつたいせきこうしょう	detrital deposit	砂礫鉱床と同義。
砕屑堆積物	さいせつたいせきぶつ	clastic sediments	風化・浸食・運搬された礫・砂・泥などの砕屑物が集積した堆積物。
砕屑度	さいせつど	clasticity index	薄片顕微鏡観察による堆積岩中の砕屑鉱物のみかけ最大粒度の値。

砕屑物	さいせつぶつ	clastics	すでに存在していた岩石などを由来とし、風化・浸食などを受けて碎片となったもの。
最大圧縮	さいだいあっしゅく	maximum contraction, maximum compressive force	地殻変動に関連する用語としては、測地測量の各三角形の主ひずみに対応する圧縮応力のこと。
最大雨量強度	さいだいうりょう きょうど	maximum rainfall intensity	単位時間の降雨量を雨量強度といい、普通1時間あたりのmmで表わし、このうちある一定期間の最大のもの。
最大応答加速度	さいだいおうとうか そくど	maximum acceleration response	地震中に例えば1質点系が受ける最大の絶対加速度で、系の減衰定数と固有周期の関数で表わされる。
最大応答変位	さいだいおうとうへ んい	maximum displacement response	地震中に例えば1質点系が受ける最大の相対変位で、系の減衰定数と固有周期の関数で表わされる。
最大加速度	さいだいかそくど	maximum acceleration	地震加速度記録のうち最大の値。地震動の大きさを表わす物理量で、震度階との対応がみられる。
最大間隙比	さいだいかんげきひ	maximum void ratio	最もゆるい状態にある砂の間隙比。
最大間隙率	さいだいかんげきり つ	maximum porosity	土の体積に対し間隙の体積が最大となる値。土の最もゆるい状態の間隙率。
最大乾燥密度	さいだいかんそうみ つど	maximum dry density	土質材料の含水比を変えた締固め試験で、最適含水比で得られる最大の乾燥密度のこと。
最大降雨継続時間	さいだいこううけい ぞくじかん	maximum duration of rainfall	一定期間内で、降雨開始から降雨停止までが最長となる時間。
最大軸差応力	さいだいじくさおう りょく	maximum principal stress difference	三軸圧縮試験における軸差応力 ($\sigma_1 - \sigma_3$) の最大値。
最大主応力	さいだいしゅおう りょく	major principal stress	せん断応力が0に等しい直交する面に作用する三つの主応力のうち最大の応力。
最大受振距離	さいだいじゅしん きょり	maximum shot detector distance	弾性波探査でよい結果を得るための受振器設置距離は、反射法では探査深度とほぼ同じ程度の長さ、屈折法では探査深度の数倍程度の長さが必要とされている。
最大取水量	さいだいしゅすい りょう	maximum intake	正常流量補給、利水補給あるいは発電などの目的で取水する最大の量。
最大出力	さいだいしゅつりょ く	maximum output	発電所で長時間にわたって安定的に発生させることができる最大の出力。
最大瞬間風速	さいだいしゅんかん ふうそく	maximum instantaneous wind speed, peak gust	瞬間風速のなかの最大値。気象災害を引き起こす主要因の一つである。

最大使用可能流量	さいだいしようかのうりゅうりょう	maximum utilizable flow	河川の流量のうち、発電所が使用することができる最大の流量。
最大使用水量	さいだいしようすいりょう	maximum discharge	発電所で使用する最大の水量。最大出力に大きく影響する。最大取水量とは異なる。
最大水平圧縮応力	さいだいすいへいあっしゅくおうりょく	maximum horizontal compressive stress	岩盤中の応力のうち、水平方向の最大圧縮応力。ボーリング孔を利用した応力解放法などで測定される。
最大寸法（粗骨材）	さいだいすんぼう（そこつざい）	maximum size (coarse aggregate)	質量で少なくとも90%が通るふるいのうち、最小寸法のふるいの呼び寸法で示される粗骨材の寸法。
再堆積	さいたいせき	redeposition	既存堆積物が水底の地すべりや乱泥流などにより、再び運搬されて堆積する作用。
最大せん断応力	さいだいせんだんおうりょく	maximum shear stress	作用面内の最大応力。その点における最大主応力と最小主応力の差の半分に等しい。
最大せん断ひずみ	さいだいせんだんひずみ	maximum shear strain	地殻変動に関連する用語としては、測地測量の各三角形の最大のせん断ひずみのこと。
最大波	さいだいは	highest wave	ある観測点における一定の時間または期間中に観測される最も大きな波高の波。
最大密度試験	さいだいまつどしけん	maximum density test	砂の最大密度を求めるために水平打撃を加えて行う締め試験。
最大有効落差	さいだいうこうらくさ	maximum net head	取水位と放水位との高低差から損失水頭を引いた落差で、発電するために利用することができる最大の落差。
最大余震	さいだいやしん	largest aftershock	余震のうちマグニチュードが最大のもの。被害が追加される可能性がある。
最大粒径	さいだいいりゅうけい	maximum grain size	ふるい分け法によって、試料がすべて通過する最小のふるいの呼び寸法。試料中の最も大きい粒子の直径とは限らない。
採炭	さいたん	coal mining	狭義では石炭および亜炭の採掘作業をいい、広義では石炭および亜炭の採掘に関する一切の作業の総称。
最短距離法	さいたんきよりほう	minimum distance method	統計分類やクラス類似度の判定を行う際に、統計的な距離（ユークリッド距離など）の最短値を基準とする方法。
再注水井戸	さいちゅうすいいど	reinjection well, recharge well	揚水井などから採取した地下水を使用後、地下に還元するための井戸。貯留層の圧力維持、かん養（涵養）などを目的とする。
細長比	さいちょうひ	elongation ratio	a を粒子の最長軸、b を中間軸、c を最短軸とすると、細長比 $q = b/a$ 。参考：扁平比 $P = c/b$ 、形状係数 $F = P/q = c a / b^2$ 。

採泥	さいでい	bottom sampling	海洋・湖沼底などの表層堆積物の組成を調べるために、ドレッジなどを使用してその試料を採取すること。
採泥管	さいでいかん	sounding tube	海・湖沼の底質試料を収める管。おもりの自重や真空室の吸引によって管内に試料を取りこむ。
採泥器	さいでいき	bottom sampler	湖沼・海底の泥・砂・礫・岩盤などを採取する装置。ドレッジ・グラブ・柱状採泥器などがある。
最低低潮面	さいでいていちょうめん	lowest low water level	ある期間内での最も低い潮位。海図の基本水準面として用いられる。
最適含水比	さいでいきがんすいひ	optimum moisture content	土の締固め試験において、最大乾燥密度が得られる含水比。
最適細骨材率	さいでいきさいこつざいりつ	optimum sand percentage, optimum sand fine aggregate ratio	コンクリートのコンシステンシーが最大となるような細骨材率。
細土	さいど	fine soil	粒径2mm以下の土壌粒子の部分。
サイドウォールサンプラ	さいどうおーるさんぷら	sidewall sampler	孔壁からコアを採取する装置。火薬の力によってコア掘りする方法が一般的である。
サイドウォール中性子検層	さいどうおーるちゅうせいしけんそう	sidewall neutron logging	孔内の泥水や泥壁の影響を除去するために、中性子源および検出器を孔壁に圧着して測定する中性子検層。
再動地すべり	さいどうじすべり	secondary landslide	過去に発生した一次地すべりの全体または一部が再移動したもの。二次地すべりと同義。
採土器	さいどき	soil sampler	ソイルサンプラと同義。
サイドスキャンソナー	さいどすきゃんそなー	side scan sonar	直線状の多数の送受振素子により鋭い指向性を持つソナー。海底地形や障害物調査に用いる。
サイドドレーン	さいどどれーん	side drain	トンネル内の湧水や作業用水などを集めて排水するために路肩部に設けられた溝。
細土マルチ	さいどまるち	dust mulch	地表を膨軟で細粒状または粉状である土壌で覆うこと。土壌の表面からの水分蒸発を防ぐために行う。
サイドラップ	さいどらっぷ	sidelap, lateral overlap	航空写真を複数コースで撮影する際に、撮影の欠落が生じないようにコース間に設ける重合範囲またはその割合。
サイドルッキングレーダー	さいどるつきんぐれーだー	side looking radar	航空機などに搭載され、飛行方向と直角（横）方向に電波を照射し、地表からの反射波をとらえるレーダー。

サイナソイダル法	さいなそいだるほう	sinusoidal method	透水係数や比貯留係数を求める孔間透水試験のうち、注水区間の試験条件が正弦波状の注水または揚水である試験方法。
砕波圧	さいはあつ	breaking wave pressure	構造物に及ぼす波圧力の算定において、砕け波に対して適用される衝撃的な圧力をいう。
砕波限界	さいはげんかい	breaking limit, breaking criteria	ある水深においてちょうど砕けはじめるような入射波の波高をいう。
砕波高	さいはこう	height of breaker, breaker height	海岸の浅部で見られる砕け波の砕波点における波高をいう。砕波の波頂点と前面の最低部分との垂直距離。
砕波指標	さいはしひょう	breaker index	砕波点における波の特性を表す指標。U. S. Beach Erosion Board が多数の観測例から導いた。
砕波水深	さいはすいしん	depth of breaking	海岸の浅部で見られる砕け波の砕波点における海底の水深。静水面からの深さで表す。
砕波帯	さいはたい	surf zone	波頭が砕けて打ち寄せる波を砕波といい、そこから打上げ波が到達する範囲とで挟まれる地帯。
砕波点	さいはてん	wave breaking point	海底の傾斜した海岸で入射波が砕け波に変わる点。砕波点を平面的に結んだ線を砕波線という。
サイフォン	さいふおん	siphon	圧力差を利用して、液体を高いところを経由して始めより低いところに移すために使われる管。
サイフォン型気圧計	さいふおんがたきあつけい	siphon type barometer	水銀気圧計の一つ。ガラス管をU字管型にして上下の水銀面を同じ大きさにして、毛管効果の影響を除いたもの。
サイフォン式洪水吐き	さいふおんしきこうずいばき	siphon spillway, siphon breaker	逆U字型の管路をクレスト標高に設けた洪水吐き。わずかな水位上昇で流量が急増する。
サイフォン流出部	さいふおんりゅうしゅつぶ	discharge leg of siphon	サイフォン式洪水吐きの吐口。
サイフォン流入口	さいふおんりゅうにゅうぐち	siphon mouth	サイフォン式洪水吐きの呑口。
細密褶曲へき開 (細密褶曲劈開)	さいみつしゅうきよくへきかい	crenulation cleavage	面構造が密に発達した岩石にみられる微褶曲の翼部に、軸面に平行に発達するへき開(劈開)。ちりめんじわへき開(劈開)と同義。
最密充填	さいみつじゅうてん	close packing	同じ半径の球が最も密に充填している状態。最密充填には立方最密充填と六方最密充填などがある。
最尤法	さいゆうほう	maximum likelihood method	標本値から母数を推定する方法のうち、尤度を最大にする統計的手法。人工衛星データを用いて土地利用など作成する際などに利用される。

採油法	さいゆほう	petroleum production method	地下から石油を採取する方法。自噴井，ガスリフト，採油ポンプ，水攻法，ガス注入法，火攻法，水蒸気注入法。
再溶融	さいようゆう	refusion, remelting	岩石が地殻深部にもたらされ，温度の上昇や液相浸透などにより再び溶融すること。
在来工法	ざいらいこうほう	ordinary tunneling method	NATMの普及以前に標準工法であった鋼アーチ支保工と矢板を用いるトンネル工法。矢板工法。
再来周期	さいらいしゅうき	recurrence period, return period, recurrence interval	地震の発生間隔。活断層の活動履歴や古地震の調査から，地震の再来間隔を推定することができる。
再来波（再帰波）	さいらいは（さいきは）	repetitions	観測点と震央を結ぶ大圏コースの優弧あるいは地球を1周以上して再度観測された表面波。
細粒	さいりゅう	fine grained	岩石や土の構成鉱物や粒子の粒度を表す用語で，岩石では一般に直径1mm以下，土質では74 μ m以下。
細粒砂	さいりゅうさ	fine grained sand	砂の粒度による分類区分名で，日本統一土質分類では，74 μ mから0.42mmの間の粒径。
細粒砂岩	さいりゅうさがん	fine grained sandstone	砂岩を粒度によって分類区分した名称で，1/4～1/8mmの構成粒子が主体をなす砂岩。
細流浸食	さいりゅうしんしょく	rill erosion	雨溝浸食と同義。細溝浸食・リル浸食ともいう。
砕粒組織	さいりゅうそしき	granulitic texture	粒状変成組織と同義。Holmes(1921)による著しく圧砕したミロナイトのような岩石にみられる圧砕作用によって砕粒化した岩石組織。
細粒テフラ	さいりゅうてふら	fine grained tephra	噴火により地表に堆積した火山砕屑物のうち，構成粒子が細かい火山灰。
細粒土	さいりゅうど	fine grained soil	土の全質量に対して，シルト・粘土などの細かい土粒子の質量が50%以上を占める土。
細粒度アスファルトコンクリート	さいりゅうどあすふあとこんくりート	fine-grained asphalt concrete, fine graded asphalt concrete	骨材の2.5mmふるい通過百分率が50%以上のアスファルトコンクリート。
細粒分	さいりゅうぶん	fine grained fraction	土粒子のうち，粒径がシルト粒子以下の含有分。
細粒まさ土	さいりゅうまさど	fine masa, fine decomposed granite	粒度の小さなまさ土。細粒の母岩から形成されたものと，粗粒の母岩が強風化して細粒になったものがある。
材齢	ざいれい	age	コンクリート練り混ぜ後の経過日数。

細礫	さいれき	granule	土粒子区分の「礫」を細区分したもの。土質分野（日本統一土質分類）では2～4.75mm，地質分野(Wentworthら)では2～4mmの粒径の粒子から構成されるものをいう。
細礫岩	さいれきがん	granule conglomerate	礫岩を粒径によって分類区分した名称で，一般に2～4mm程の主要粒径の礫岩。
サイロット工法	さいろっとうこうほう	side drift method, side heading method	トンネル掘削断面下部の左右側壁部に導坑を先進させる工法。サイロットとは側壁導坑のこと。
サウンディング	さうんでいんぐ	sounding	地中に挿入した抵抗体の貫入・回転・引き抜きなどに対する抵抗から地盤の性状を検査する手段。
蔵王火山	ざおうかざん	Zao volcano	宮城・山形の南部県境地帯に位置し，先第三系花崗岩類と緑色凝灰岩層を基盤とする成層火山群を形成（蔵王火山群）。
逆打ち工法	さかうちこうほう	inverted construction	構造物の地下部分の工事において，掘削を進めながら本体構造物を施工し，それを山留め支保工として使用し，下部の地盤を掘削する工法。
栄石	さかえいし	Sakae ishi	山梨県南巨摩郡南部町産砕石・土木用石材。新第三系安山岩。
逆さ井戸	さかさいど	inverted well	表流水や汚水などを流入させる目的の井戸。
酒田（庄内）地震	さかた（しょうない）じしん	the 1894 Sakata earthquake	1894年10月22日に庄内平野で発生したM7.0の地震。家屋倒壊6255戸，死者726人とされる被害を出した被害地震。庄内地震ともいう。
逆立ち振り子	さかだちふりこ	inverted pendulum	振り子を逆さにし，下部を板ばねで支えたもの。（自由振り子より長周期となり，重力測定の観測時間が短くて済む。）
逆巻き工法	さかまきこうほう	inverted lining method	トンネル工で，地質が不良の時，アーチ部を先に施工して巻立て，その後に側壁部を掘削し覆工を完了する工法。
逆目	さかめ	adverse set (of strata)	地層面や節理が斜面に対して山側に傾く状態あるいはトンネル掘削方向に対して同方向に傾く状態。差し目ともいう。このような割目の発達した岩盤は受け盤という。
坂本沢層	さかもとざわそう	Sakamotozawa Formation	岩手県南東部の南部北上帯に分布する古生界下部ペルム系坂本沢統。岩手県大船渡町日頃市町坂本沢付近を模式地とする。石灰岩，砂岩，頁岩および砂岩・頁岩互層からなる。
坂本みかげ	さかもとみかげ	Sakamoto mikage	岐阜県中津川市産石材。中生界黒雲母花崗岩。中粒ないし粗粒。土台石・鳥居，灯籠・石碑用材。
相良層群	さがらそうぐん	Sagara Group	静岡県中西部掛川南方から御前崎地域に分布する新生界中部中新統～下部鮮新統。海成で下部は細礫岩を伴う砂岩泥岩互層，上部は砂岩泥岩互層およびシルト質泥岩からなる。
相良油田	さがらゆでん	Sagara oil field	静岡県相良町菅ヶ谷に位置し，女神背斜の軸部において後期中新統相良層群時ヶ谷層の砂岩中に少量の石油を胚胎。太平洋側唯一の油田。

佐川造山運動	さかわぞうざんうんどう	Sakawa orogenesis	日本の中生代中期に起こった激しい地殻変動や広域変成岩の形成、花崗岩の貫入などの一連の造山運動に対し、地向斜造山論に基づいて小林貞一が提唱した名称。現在は否定されている。
砂管	さかん	sandpipe	パイプ状に砂や泥が地層中に詰まっているもので、一般的に生物の巣穴化石。
砂岩	さがん	sandstone	砂粒大の鉱物や岩片などの粒子を主体とする集合体が固結した岩石。粒径・こう結（膠結）物・鉱物組成などによって分類される。
砂岩型ウラン鉱床	さがんがたうらんこうしょう	sandstone type uranium ore deposit	河川や湖沼に堆積した砂岩中に胚胎されるウラン鉱床。日本では東濃地域および岡山県人形峠に分布。
砂岩岩脈	さがんがんみやく	sand dike, sand dyke	砂岩から成る碎屑岩脈。成因として開口裂か（裂罅）の充填やクイックサンド現象（壁面に平行な粒子配列）など。
先受け工法	さきうけこうほう	forepoling method, forepiling method	軟弱な地山にトンネルを施工する際、トンネル掘削に先行して切羽前方の地山をあらかじめ支保しておく工法。
先受けボルト	さきうけぼると	forepoling	トンネルの天端の安定対策のために掘削前に切羽より10°～30°上向きに深さ数m打ちこまれるボルト。
崎地すべり	さきじすべり	the Saki landslide	1977年に島根県隠岐郡海士町で発生した地すべり。町道250mに被害が出たとされている。
先詰め骨材	さきづめこつざい	preplaced aggregate	プレパックドコンクリートにおいて、注入モルタルを施工する前に投入する骨材。
崎戸ー松島炭田	さきとまつしまたんでん	Sakito-Matsushima coal field	長崎県西彼杵半島北西側海域の崎戸・大島・松島・池島を中心の海底炭田。6～8千kcl/kg。粘結性れき（瀝）青炭。
先普請	さきぶしん	forepoling support	トンネル掘削において一回の掘削作業後直ぐに支保工を施すこと。
砂丘	さきゅう	sand dune	砂が風力により運搬され堆積し形成された丘～堤状の地形。形成年代により古砂丘と新砂丘に分類される。
砂丘砂	さきゅうずな	dune sand	砂丘を形成する砂で、主に風により運搬されたもの。粒径の淘汰は良好で均質な砂である。
砂丘相	さきゅうそう	dune phase of traction	掃流の一形式。砂粒の移動堆積により形成される砂の波の形は変化せず下流に移動する。
砂丘未熟土	さきゅうみじゅくど	sand-dune regosols	土壌生成作用を示す特徴がほとんど認められない土壌で、沿岸の砂丘や砂州など排水の良い砂地に分布する。
砂丘列	さきゅうれつ	sequence of sand dune	列をなした砂丘で、風速や砂の粒径により配列が変化する。砂丘の峰が風向と直交する横列砂丘などがある。

作業可能日数	さぎょうかのうにつ すう	number of workable days	土木作業において作業可能と予測される日数。暦日による日数から休日および天候不良による作業不能日数を差し引いた日数。
作業坑	さぎょうこう	working drift	本坑の施工のために用いられる作業用のトンネル。
作業用基図	さぎょうようきず	base map	作業図を作成するために編集・作成した図。国土地理院発行の地形図を用いた場合には、地理院の許諾が必要。
砂金	さきん	placer gold	既存の金鉱床から風化・浸食によって運搬されて堆積した自然金。一般に鉱脈鉱床中などのいわゆる山金より品位が高い。
佐久石	さくいし	Saku ishi	長野県南佐久郡佐久町余地産建築用石材。第四系両輝石安山岩。黒色・灰色・濃緑色・淡赤色など多様。
削岩機	さくがんき	rock drill	岩盤に削孔したり、岩盤を小割りするために使用される機械。動力は圧縮空気、油圧のものがある。
削岩船	さくがんせん	rock cutting boat	船底から砕岩用の重錘を繰返し落下させて海底の岩盤を破砕する作業船。
柵工	さくこう	fence works	主に雪崩の防護工や落石対策工として用いられる。雪の吹きだまりや飛砂の簡便な防御施設も柵工と呼ばれる。
サクシオン圧	さくしょんあつ	suction	土粒子表面の吸着力。間隙中の毛管力などによって土中に保持されている水分を取り出すのに必要な力。
サクシオンポンプ	さくしょんぼんぷ	suction pump	吸引によって水または液体を引き上げるポンプ。ポンプ作用によって生じた真空のところに大気圧で液体を押し込む。
さく（鑿）井	さくせい	well drilling	水・石油・天然ガスなどの流体地下資源の探査やそれらの流体を採取するために坑井を掘削すること。
ざく層	ざくそう	heaving shale	掘削中に出現する、非常に崩れやすい頁岩層の総称。狭義は傾斜が急で細かい割れ目のある頁岩層。
座屈	ざくつ	buckling	板・柱などが板に平行または柱の長軸方向に限界以上の圧縮力を受けたとき、急激な縮み以外にたわみが発生し変形が生じる現象。バックリングともいう。
座屈褶曲	ざくつしゅうきよく	buckling fold	地層面に平行に圧力が働き地層が座屈しておこる褶曲。フレキシユラル・スリップ褶曲の一種としても用いる。
作土	さくど	top soil	耕作を行う部分の土。耕土ともいう。
索道	さくどう	ropeway, cable railway, funicular railway, aerial cableway	ワイヤケーブルを架設し、これにより資材を運搬する装置。

作土還元層	さくどかんげんそう	reduced plow layer	表層耕作土壌のうち、作土酸化層の下位に分布する厚さ十数cmの灰～青灰色の土層で、養分が豊富。
作土酸化層	さくどさんかそう	oxidation soil plowed, oxidized plow layer	表層耕作土壌のうち、表層部の厚さ数mm～数cmは黄褐～赤褐色の土層で、酸化鉄（三価）の形態で酸素を保つ。
削土密封シールド	さくどみっふうしーど	enclosed shield	軟弱シルトや砂地盤に適用するよう、前部に削土密閉室を、後部に排出用スクリーコンベアを配したシールド。
作並石	さくなみいし	Sakunami ishi	宮城県仙台市作並・熊ヶ根産土木用石材。安山岩。
削剥域	さくはくいき	root area	地すべり地形において、主滑落崖から地すべり面の脚部までの範囲。発生域ともいう。
削剥作用	さくはくさよう	denudation	地表面が流水・氷河・風などの外部営力によって削りとられて低下・平坦化する作用。
削剥土	さくはくど	truncated soil	浸食作用などで、A層とB層の一部または全部がなくなった土壌。
佐久間石	さくまいし	Sakuma ishi	千葉県安房郡鋸南町佐久間産土木用石材。新第三系砂岩（房州石）。
佐久間ダム	さくまだむ	Sakuma dam	天竜川水系天竜川。電源開発(株)。1956年竣工。堤高155.5m。大規模重力ダムとして革新的施工の機械化、近代化をもたらした。
桜島1914年噴火	さくらじま1914ねんふんか	the 1914 Sakurajima eruption	1914年に発生した桜島火山の噴火。大量の溶岩を流出し、この溶岩流で桜島は大隅半島と陸続きになった。
桜島安永噴火	さくらじまあんえいふんか	the 1799 Sakurajima eruption	安永8年（1779年）から9年（1780年）にかけて活動した桜島火山の噴火。大量の火山灰など火山砕屑物を噴出し、溶岩と噴石で多数の家に被害が生じた。海底噴火により安永諸島が生成されたとされる。
桜島火山	さくらじまかざん	Sakurajima volcano	鹿児島湾の第四紀複合成層火山。約2万年前に活動を始め、現在でも活発な火山活動で火山灰を噴出している。
桜島薩摩	さくらじまさつま	Sakurajima-Satsuma	縄文時代初期に生じた桜島の大規模な噴火による広域指標テフラ。模式地は垂水市海潟・鹿児島市吉野。
桜島大正	さくらじまたいしょう	Sakurajima-Taisho	大正大噴火（1914年）と呼ばれる世界の噴火史上に残る桜島火山の広域指標テフラ。模式地は桜島黒神。
桜みかげ	さくらみかげ	Sakura mikage	広島県安芸郡倉橋町産土木用石材。中生界黒雲母花崗岩。桃色～淡紅色の正長石を有する。
さぐり孔	さぐりこう	exploring drill, feeler holes, exploratory hole	トンネル切羽前方の地質や湧水状況を調査するため削孔する孔。

柘榴石かんらん岩 (柘榴石橄欖岩)	ざくろいしかんらんがん	garnet peridotite	パイロープ成分に富むザクロ石を含むかんらん岩 (橄欖岩) で, 上部マントルの温度・圧力を示唆する. 高圧変成帯中のレンズ状岩体やキンバーライト中の捕獲岩などが主な産状.
柘榴石鉱床	ざくろいしこうしょう	garnet deposit	変成鉱床・正マグマ鉱床・接触交代鉱床およびこれらに由来する漂砂鉱床に胚胎する柘榴石の鉱床.
砂一頁岩比	さけつがんひ	sand-shale ratio	ある一群の地層中における砂岩の層厚の総和と, 頁岩の層厚の総和の比. 岩相分布を知る指標.
下げ振り	さげふり	plumb bob	トランシットなどの下部中央に測量器の中心を測量点に一致させるなど, 2点の鉛直な位置関係を得るための器具.
裂け目	さけめ	fissure	割れ目・断裂・裂か (裂罅) などとも呼ばれ岩石の破壊によって生じた不連続面.
裂け目孔げき率	さけめこうげきりつ	fracture porosity	裂か (裂罅) 間隙率と同義.
砂鉱採鉱	さこうさいこう	placer mining	風化浸食作用で岩石・鉱物が運搬再堆積し機械的に濃集した鉱床の採掘と有用鉱物の選別採取. 砂金・砂白金・砂鉄・ダイヤモンドなど希土類などの採掘.
砂鉱床	さこうしょう	placer deposit	風化浸食作用により生じた岩石・鉱物の破片が運搬・淘汰され機械的に濃集堆積した砂礫鉱床. 砂金・砂白金・砂鉄などの有用鉱物が機械的に濃集した鉱床.
支え壁擁壁	ささえかべようへき	buttressed retaining wall	逆T型・逆L型擁壁の縦壁前面に, 支えの壁を設けたもの. 支え壁の効果で縦壁を薄くすることができる.
笹ヶ谷鉱山	ささがたにこうざん	Sasagatani mine	島根県津和野町に位置する. 金属鉱山でスカルン鉱床. ひ素 (砒素) とCuが主でPb・Znなどを産出.
笹波地すべり	ささなみじすべり	the Sasanami landslide	1931年に石川県珠州市笹波町で発生した地すべり. 山林, 畑, 田の陥没などの被害が出た.
笹風呂	ささふろ	Sasafuro	新潟県北蒲原郡安田町産石材. 中生界黒雲母花崗岩. 中粒, 淡紅色の長石を含む. 土木・建築・墓石用材.
佐々連鉱山	さざれこうざん	Sazare mine	愛媛県伊予三島市に位置する. 三波川変成帯中の別子型鉱床の一つ. 母岩は緑色片岩を主とし, Cu・Zn・Agなどを産出. 1979年閉山.
砂嘴	さし	sand spit, spit bar	海岸や岬の先端から細長く突出した砂礫の州. 河川や周辺の海岸より供給・運搬された砂礫により形成される.
さし角	さしかく	drilling angle	トンネル掘削時の発破用の削孔角度.
差筋	さしきん	joint bar	コンクリート構造物の打継ぎ部分を一体化させるために, 継ぎ目に予め差し込んでおく短い鉄筋.

砂質海岸	さしつかいがん	sandy coast	主として砂により構成された海岸。海浜・三角州などよりなる。海岸にはこの他に礫質海岸・岩石海岸などがある。
砂質殻	さしつかく	arenaceous tests	有孔虫の殻壁のうち膠着（結）質殻のもの。顕微鏡下で砂粒状に見えるため、砂質殻と呼ばれる。
砂質火山灰	さしつかざんばい	sandy volcanic ash	2～1/16mm程度の砂に相当する粒径（火山砂）からなる火山碎屑物。
砂質岩	さしつがん	psammite	碎屑岩のうち、構成粒子の粒径が2～1/16mm程度の砂粒に富む岩石。
砂質頁岩	さしつけつがん	sandy shale	碎屑岩のうち、構成粒子の粒径が砂質分をやや多く含む頁岩。頁岩は泥岩のうち、剥離性の発達したもの。
砂質埴壤土	さしつしょくじょうど	sandy clay loam	土壌の土性区分の一つ。国際土壌学会法で、粘土含量15～25%、微砂含量20%以下、砂含量55%以上の土壌。
砂質泥岩	さしつでいがん	sandy mudstone	碎屑岩のうち、構成粒子の粒径が砂質分をやや多く含む泥岩。
砂質土	さしつど	sandy soil	砂質の土の総称。日本統一土質分類法では細粒分が15～50%、砂分が礫分よりも多い土をさす。
砂質粘土	さしつねんど	sandy clay	米国道路局の三角座標分類法によると砂分55～70%、シルト分0～20%、粘土分30～45%の範囲の土。
砂質片岩	さしつへんがん	psammitic schist	砂岩を原岩とする結晶片岩。岩石の構成粒子の粒径が砂分に富む片岩。
砂質礫岩	さしつれきがん	sandy conglomerate	礫をとりまく砂分が50～70%の礫岩。含礫砂岩に移化することが多い。
さしみ構造（堆積）	さしみこうぞう（たいせき）	imbricate structure	同方向に傾斜した衝上断層により、各地塊がうろこのように一方向に押しつぶしている構造。覆瓦構造と同義。
差し目	さしめ	opposite dip	地層や断裂などの分離面が、地形傾斜と逆傾斜の関係にあること。受け盤、逆目ともいう。
差矢法	さしやほう	forepoling	自立性の低い地山でのトンネル掘削に用いられ、切羽外周から前方に矢木・矢板を打ち込み、内部を掘進する方法。
砂礁	さしょう	bar beach	満潮時にも海面上に露出して海岸に平行にのびている砂礫よりなる地形。堤洲ともいう。
砂壤土	さじょうど	sandy loam	土壌の土性区分の一つ。国際土壌学会法で、粘土含量15%以下、微砂含量15～35%、砂含量65～85%の土壌。

砂州	さす	sandbar	河川や周辺の海岸より供給・運搬された砂礫により形成された砂嘴が伸びて湾や入江を閉塞し、対岸付近にまで達したもの。
サスペンション型P S 検層法	さすぺんしょんがたぴーえすけんそうほう	suspension-type PS logging	振源と受振器とを一体化させたゾンデを孔壁に固着せず浮遊状態で行うP S 検層。
佐世保層群	させぼそうぐん	Sasebo Group	九州佐世保炭田に分布する漸新～下部中新統。全層厚約千mに達し、砂岩優勢で、泥質岩や多数の炭層を挟在する。
砂堆	さたい	dunes, sand ridge, sand bank	①海底の砂州地形で、潮流、海流が著しい海底に見られる。 ②砂からなる河床に形成される波状の堆積面地形の一つで、砂漣よりも規模が大きい。
サチュレーションインデックス	さちゅれーしょんいんでっくす	saturation index	ランゲリアの飽和指数と同義。
五月山断層	さつきやまだんそう	Satukiyama fault	活断層。確実度 I，活動度 B 級，北東方向。大阪府池田市五月山付近に位置し全長約10km。
削孔検層システム	さっこうけんそうしすてむ	drill logging system	油圧ドリルの削孔データを測定・解析するシステム。岩盤評価・切羽前方地質の予測などを目的とする。
削孔硬度	さっこうこうど	drilling hardness	岩石の削孔性を示す指標。ダイヤモンド製先端が深さ10ミクロンの孔を削孔するまでの回転数で示す。
削孔パターン	さっこうぱたーん	drilling pattern	せん孔パターンと同義。
擦痕（氷河の）	さっこん（ひょうがの）	striae(glacial)	氷河が流れ下る際に、氷河の下面および側面の岩盤表面につく削りきず。線状のきずをつけ、移動方向を示す。
佐津地すべり	さつじすべり	the Satu landslide	1918年に兵庫県佐津付近で発生した地すべり。
札幌硬石	さっぽろこうせき	Sapporo koseki	北海道札幌市豊平町石切山産石材。新第三系デイサイト。砕石、土木用角石、間知石・割栗用。
札幌－苫小牧低地帯	さっぽろとまこまいていちたい	Sapporo-Tomakomai depression	札幌市と苫小牧市を結んだ低地帯で、日本海側まで含めて石狩低地帯とも呼ぶ。鮮新世以降の堆積物が堆積。
札幌軟石	さっぽろなんせき	Sapporo nanseki	北海道札幌市南区常盤産石材。支笏火砕流の溶結凝灰岩。建築・土木用耐火用。
雑用岩石	ざつようがんせき	rocks for miscellaneous use	自然状態あるいは加工して、日常生活・諸施設などに用いられる岩石。漬物石、記念碑、墓石用材。
砂泥比	さでいひ	sand-clay ratio, sand-shale ratio	砂岩（および礫岩）の全層厚と泥岩（頁岩）の全層厚の比。地層群の地域的岩相変化を表わす指標。

砂鉄	さてつ	iron sand	既存の岩石中の磁鉄鉱，イルメナイトなどが風化・浸食によって運搬されて濃集・堆積したもの。規模によっては採掘の対象とされている。
差動高度計	さどうこうどけい	statoscope	空中写真撮影に用いる高度計で，撮影中の高度変化を基準高度からの気圧の変化で測定する装置。スタトスコープともいう。
差動サージタンク	さどうさーじたんく	differential surge tank	タンク内に水路と断面積が近い縦管とオリフィスを設けそれらで圧力管内の水圧を軽減させる方式の調圧水槽。
差動調圧水槽	さどうちょうあつすいそう	differential surge tank	差動サージタンクと同義。
差動トランス	さどうとらんす	differential transformer	一次励起コイルと二次差動コイルとコアからなる。コアの変位に比例した二次電圧が得られるセンサ。
差動トランス式土圧計	さどうとらんすしきどあつけい	differential transformer type earth pressure gauge	土圧計の受圧板の変位を差動トランスで測定する構造となっているもの。
差動マノメータ	さどうまのめーた	differential manometer	液体の圧力差を計る計器。液体柱と大気圧とをつり合わせて計る圧力計。
サドエルカファラ (ダム)	さどえるかふあら (だむ)	Sadd el-Kafara (dam)	エジプトにある，現存するものでは世界最古のダム遺跡。B. C. 2750年頃の建設。堤高11mの石工ダム。ダム名は「異教徒のダム」の意。
佐渡鉱山	さどこうざん	Sado mine	新潟県佐渡郡相川町にある日本最古の金山。古第三系デイサイト質火砕岩類と新第三紀の安山岩質火砕岩類・泥岩に胚胎。1989年閉山。
里見石	さとみいし	Satomi ishi	群馬県群馬郡榛名町産石材。新第三系鮮新統～更新統の両輝石安山岩。淡灰色，やや粗。土木・土台・石壁用。秋間石と同質。
猿投山北断層	さなげやまきただんそう	Sanageyamakita fault	活断層。確実度Ⅰ～Ⅱ，活動度B級，北東方向。愛知県豊田市北部に位置する延長約21kmの右横ずれ逆断層。
サニディン	さにでいん	sanidine	$KAlSi_3O_8$ 。単斜晶系。硬度6。比重2.56。カリ長石の一種。高温型カリ長石で，酸性～中性の火山岩の構成鉱物。
讃岐岩	さぬきがん	sanukite	四国讃岐地方の打音のよく響く非顕晶質古銅輝石安山岩。黒色で緻密。サヌカイト。
砂漠	さばく	desert	極度に乾燥または氷雪のため植生を欠いた土地。堆積物や分布域により，岩石砂漠，礫砂漠，砂砂漠，熱帯砂漠，中緯度砂漠などに分類。
砂漠化現象	さばくかげんしょう	desertification	乾燥地帯において砂漠の面積が広がる現象。過剰な放牧，耕作，樹木伐採などが引き金になることが多い。
砂漠気候	さばくきこう	desert climate	乾燥気候のうち，とくに降雨が少なく，平均的には常に蒸発量が雨量を上回り砂漠を生じる気候型。

砂漠砂丘	さばくさきゅう	desert dune	砂漠に形成される砂丘で、風向との関係により砂丘の峰が風向方向に延びる縦列砂丘と、その峰が風向と直交する方向に延びる横列砂丘に分類される。
砂漠準平原	さばくじゅんへいげん	desert peneplain	乾燥気候下の地形輪廻における終末地形。風による細粒物質の消失により、基盤が露出した岩石砂漠を呈することが多い。
砂漠草原	さばくそうげん	desert steppe	砂漠周縁部の雨季と乾季の交代がある半乾燥地域に見られる草原。降水量は樹木の生育には不十分だが、草は生育できる。
砂漠土	さばくど	desert soil	温帯乾燥地域のまばらな植生下に分布するB層未発達な土壌で、全体に灰色を呈し、塩類に富む。
佐波みかげ	さばみかげ	Saba mikage	山口県佐波郡徳地町産土木用石材。三群変成岩類を貫く白亜系角閃石・黒雲母花崗岩。
サバンナ気候	さばんなきこう	savanna climate	熱帯気候のうち、一年が雨季と乾季に明瞭に分かれる気候。南米、アフリカに広くみられる。
サビ石	さびいし	rusty stone	茶色の鉄酸化物ハローを伴う花崗岩石材。色合いを利用して造園や建築材料に用いられる。岡山県北木島・岐阜県苗木産。
サブアトランチック期	さぶあとらんちっくき	Subatlantic age	北欧における植物相をもとにした完新世の区分のうち、約2,300年前から現在までの後期をさす。前期と比較してやや温暖。
サブアルカリ岩系	さぶあるかりがんけい	subalkalic rock series	アルカリ (Na・K) に乏しく、シリカに富む火成岩系。カルクアルカリ岩系ともいう。
砂風 (砂撃) 試験	さふう (さげき) しけん	sandblasting test	砂風による石材の摩滅程度の試験。
サブオフィチック	さぶおふいちっく	subophitic	玄武岩によくみられる岩石組織で、輝石粒が多くの短冊状斜長石の一部を包み込んでいる組織。
サブグレーシャル・エラプション	さぶぐれーしゃるえらぷしょん	subglacial eruption	氷底噴火と同義語。
サブダクション	さぶだくしょん	subduction	海洋プレートがマンテル対流に従い、別のプレートの下に沈み込んで、アセノスフェアに入っていく現象。プレートの収れん (斂) 境界。
サブダクション帯	さぶだくしょんたい	subduction zone	サブダクションが起きる場所。プレートの収斂 (束) する境界であり、消費境界とも呼ばれる。
サブラベースメント異常	さぶらべーすめんといじょう	suprabasement anomaly	磁気基盤よりも上位に分布する磁性体による磁気異常。
サブレベル・ストーピング法	さぶれべるすとーぴんぐほう	sublevel stoping	鉱床の上下を主要坑道に挟まれた区画を中段坑道 (サブレベル) により上から下へ順次採掘する工法。

サプロライト	さぷろらいと	saprolite	岩石が化学的風化を受けて生成した軟岩。風化殻とほぼ同義。粘土鉱物に富む。
差分近似	さぶんきんじ	finite difference approximation	連続関数を有限な個数の点での関数値で表現する離散化のこと。
差別圧密	さべつあつみつ	differential compaction	不等沈下のように場所によって異なる圧密を起こす現象。堆積物の粒度組成や透水率の側方変化が原因となる。
差別浸食	さべつしんしょく	differential erosion	風化・浸食に対する岩石の抵抗性の違いにより、並存する異なる岩石の間で不等的に浸食が進む現象。
砂防	さぼう	erosion control works	山地、河川、海の沿岸などで土砂の発生を抑え、災害の防止軽減をはかる工事あるいは事業。
砂防基本計画	さぼうきほんけいかく	master plan of sabo works	土砂災害を防止することにより、河川などの治水上・利水上の機能の保全をはかるための基本的な計画。
砂防工	さぼうこう	torrent works	豪雨・洪水時に土砂が流出することを防ぐ工事。
砂防指定区域	さぼうしていくいき	sabo designated area	砂防法で定められ、治水上砂防設備が必要、または砂防のために一部の行為が禁止または制限された土地。
砂防ダム	さぼうだむ	Sand-checking dam, check dam, soil saving dam, sediment control dam, sabo dam, erosion control dam, debris dam	流送土砂の貯留や河床浸食防止などを目的とするダム。
砂防調査	さぼうちょうさ	sabo investigation	砂防計画を作成する目的で実施する調査。
サポナイト	さぽないと	saponite	$(\text{Na}, 1/2\text{Ca})_{0.33}(\text{Mg}, \text{Fe}^{2+})_3 [(\text{H}_2\text{O})_4 (\text{OH})_2 \text{Al}_{0.33}\text{Si}_{3.67}\text{O}_{10}]$ 。単斜晶系。粘土鉱物のうちのスメクタイト族の中の三八面体型の一種。淡緑～白色で土状をなす。熱水変質や火山灰・軽石の分解生成物などとして生成。
サマリウム-ネオジウム法	さまりうむ-ねおじむほう	samarium-neodymium method	年代測定法の一つ。サマリウムがネオジウムに α 壊変することを用いて測定する。風化・変質岩にも有効。
佐見断層	さみだんそう	Sami fault	活断層。確実度 I，活動度 B 級，北東方向。岐阜県加茂郡佐見-新津間に位置し全長約 26km。
砂紋	さもん	ripple mark	砂の表面の規則的な構造。河川流・潮流・波・風により、峰と谷からなる微地形が形成される。
皿型電位分布	さらがたでんいぶんぷ	saucer type potential distribution	表面層の分極によって生じる自然電位の立体分布型の一種で、等電位線の立体分布が皿型となるもの。
更紗	さらさ	Sarasa	角礫構造の石灰岩石材。石灰岩の破片が方解石や鉄分の多い粘土物質でこう結（膠結）されたもの。岐阜県大垣市金生山産。

皿状地	さらじょうち	dell	緩やかな凹型の谷壁斜面と舟底型の谷底をもつ浅い谷あるいは碗状の凹地。一般には周氷河地域で凍結融解と流水の作用によってできる地形をさす。
申川油田	さるかわゆでん	Sarukawa oil field	秋田県男鹿半島北岸の若美町申川付近にある国内有数の油田。1958年発見。貯留層は深度600～1,500mの新第三系天徳寺層、船川層、女川層の凝灰質砂岩および凝灰岩。
猿沢石	さるさわいし	Sarusawa ishi	岩手県東磐井郡大東町・東山町産石材。古生界輝緑凝灰岩。
さるさん（洒勒山）地すべり	さるさんじすべり	the Salechan landslide	1983年中国甘肅省蘭州市から南へ60kmの山地で発生した、大規模で高速な地すべり。甚大な被害をもたらした。
サルテーション	さるてーしょん	saltation	碎屑物粒子が水の流れの中で間欠的に底面に衝突し、バウンドしながら運搬される現象。跳動または躍動ともいう。
砂礫	されき	sand and gravel	大部分が礫と砂からなる堆積物。厳密にはシルトなども含む。
砂礫円錐	されきえんすい	conical acumulation	小河川が勾配の緩やかな山麓へ出るところに形成される、ここを頂点とした砂礫からなる円錐形状の地形。沖積錐ともいう。
砂礫基礎	されききそ	sand and gravel foundation	未固結で透水性の高い砂礫地盤を基礎とすること。構造物によっては止水などの特別な基礎処理が必要。
砂礫鉱床	されきこうしょう	detrital deposit	浸食・運搬・堆積作用の過程で特定の鉱物・岩石片が淘汰され濃集堆積した鉱床。砂金鉱床など。機械的堆積鉱床・碎屑堆積鉱床と同義。
砂礫層	されきそう	gravel bed	砂と礫などの粗粒碎屑物を主体に構成する地層。段丘堆積物や扇状地堆積物に多い。
砂礫堆	されきたい	alternating bars, sand bars, bars	砂州の一種で、河床に形成される。左右岸交互に州がほぼ直線的な河道内に形成される。
砂礫段丘	されきだんきゅう	gravel terrace	堆積物が砂礫からなる段丘。厚く堆積した谷底平野や氾濫原が、河川の浸食作用の復活により段丘化したもの。
砂礫薄層	されきはくそう	gravel veneer	浸食段丘面上に残された薄い礫層。ベニア礫層ともいう。
砂漣	されん	sand ripple	砂の表面の峰と谷からなる規則的な微地形。近年はリップルが用いられることが多い。
沢田石	さわだいし	Sawada ishi	静岡県賀茂郡河津町産石材。新第三系凝灰岩。
酸アルカリ処理	さんあるかりしより	acid-alkali treatment	粘土鉱物の同定のために行う処理。反復して繰り返す場合もある。

サンアンドレアス断層	さんあんどれあすだんそう	San Andreas fault	北米西岸に沿って北西－南東方向に延びる右横ずれ大断層で、北米プレートと太平洋プレートとの境を構成.
散逸関数	さんいつかんすう	dissipation function	三次元座標上の物体の質点に働く抵抗力の総和を定める関数.
山陰災害	さんいんさいがい	San' in disasters	1983年7月22日に島根県西部を中心に山陰地方一帯で発生した記録的な豪雨による災害. 島根県西部の浜田では、1時間降水量91.0mm (23日)、日降水量331.5mm (23日)を観測するなど記録的な大雨となり、山がけ崩れ、土石流、洪水が相次いで発生し、100名を超える死者・行方不明者が出た. 気象庁は、7月20日から23日にかけての大雨を「昭和58年7月豪雨」と命名した.
山陰帯	さんいんたい	San' in belt	領家帯・山陽帯の北側に並行に分布する白亜紀後期～古第三紀中期に活動した花崗岩類の分布域.
酸栄養湖	さんえいようこ	acidotrophic lake	火山性の硫酸塩や塩酸塩などの流入により酸性を示す湖沼. 生物種に乏しく、魚類はほとんど住まない.
酸化	さんか	oxidation	物質が酸素と化合すること. または、物質から水素を奪うこと. 水は空中の酸素を含むので、その酸化作用は鉄の化合物に対して特に著しい.
ザンガーの式	ざんがーのしき	Zanger's formula	ダム設計の際の地震時動水圧の算定式で、大きなフィレットを有する場合に適用する式.
三回対称軸	さんかいたいしょうじく	trigonal axis	対称軸のうち、ある軸について1回転する間に120°ごとに結晶形が同じ空間を占める対称の要素.
酸化還元電位	さんかかんげんでんい	oxidation-reduction potential	酸化力、還元力を水素電極を基準にして電位差で表わしたもの.
酸化還元反応	さんかかんげんはんのう	oxidation-reduction reaction	電子を奪う現象. 酸素分圧に大きく依存し、地殻内ではその組成・流体の存在・物質の起源によって変化.
山岳気象	さんがくきしょう	mountain weather	山岳地域で認められる特有の気象現象. 周辺地域の気象にも影響を及ぼすことがある.
山岳工法	さんがくこうほう	mountain tunneling method, conventional method (or excavation), tunnel blasting method	山岳トンネルでよく用いられる、主に硬質岩盤の爆破や機械掘削によるトンネル掘削工法.
三角座標分類法	さんかくざひょうぶんるいほう	triangular soil classification chart system	土の判別分類法の一つで、粒度組成だけからなる三角座標を用いて土を分類する方法.
三角座標粒度管理図	さんかくざひょうりゅうどかんりず	triangular soil classification chart system	骨材の粒度管理や土の分類に用いられる図で、粒径の範囲ごとの3成分に区分した三角座標に各粒径の質量百分率をプロットしたもの.
三角洲	さんかくす	delta	河川に運搬・搬出された砂泥などの堆積物が、河口付近の静水域に堆積して形成される低平な地形. ギリシャ文字のデルタ (Δ) 状に作られることからデルタともいう.

三角図	さんかくず	triangular diagram	三角座標を用いて、三成分の組成や組成と性状との関係を表わしたもの。
三角水準測量	さんかくすいじゅんそくりょう	trigonometric leveling	既知である高さの既知点と求点間の距離を用いて垂直角を測定することによって、標高差を求める水準測量法。
三角州成層	さんかくすせいそう	delta deposit	三角州を構成する堆積物。砂層や有機物に富んだ泥層などからなる。
三角州堆積物	さんかくすたいせきぶつ	deltaic deposit	三角州成層と同義。三角州の前面には細粒物質が前置斜面には砂を主とする粗粒物質が堆積。
三角州部	さんかくすぶ	delta area	海岸部の低地をさす。三角州に代表され砂泥を主体とする。ここには三角州の他に潟湖跡地、海岸砂州などが分布する。
山岳性降雨	さんがくせいこうう	mountain rainfall	降雨現象のなかでとくに山岳地帯特有のもの。湿気を帯びた風が山腹を上昇するとき温度が下がり降雨が生じる。
三角堰	さんかくせき	triangular notched weir	3角形の切り欠き部分を有する堰をいい、河川水などの流量測定に用いられる。
三角測量	さんかくそくりょう	triangulation	既知の2点から未知点を求める測量方法の一つ。2点間の距離（基線）と夾角とで未知点の座標を得る。
三角点	さんかくてん	triangulation point	三角測量およびすべての測量の基準となる位置関係の基準点。規模および精度により等級が決まっている。
山岳土	さんがくど	mountain soil	山岳地域に分布する土壌の総称。一般に礫が多く土壌体の厚さは薄く、生物の活動も不活発。
山岳トンネル	さんがくとんねる	mountain tunnel	山岳・丘陵などで施工されるトンネル。岩盤が主となるが断層破碎帯や高圧湧水などに留意が必要。
三角波	さんかくは、さんかくなみ	chopping wave	異なった方向から来る複数の波が交差して生じる短い波峰の波をいう。
山岳氷河	さんがくひょうが	mountain glacier	急峻な山岳地域に発達する氷河。アルプス型氷河ともよばれている。谷頭部の圏谷氷河と山腹を刻む谷氷河に代表される。
三角末端面	さんかくまつたんめん	triangular facet, spur facet	断層変位による崖地形を表す用語の一つで、山脚末端に形成される浸食された断層崖の三角状の急崖。断層運動と浸食で顕在化する。
三角網	さんかくもう	triangulation network	三角測量において多数の三角点をつなぎ合わせてできる網状の三角形群。
酸化作用	さんかさよう	oxidation reaction	鉱物などの構成原子から電子が奪われる作用のこと。岩石が大気中の酸素や水に溶解した酸素と接触したときに生じる。

酸化帯	さんかたい	oxidized zone, oxidation zone	風化作用および地表から浸入する天水などにより、酸化作用を受けた部分。一般的な生成鉱物は褐鉄鉱である。
散岩	さんがん	scattered boulder	地表に散在する岩塊。地質学的には転石の一種。地図用語。
山間埋立処分場	さんかんうめたてしよぶんじょう	landfill site in valley	山間部の沢地などに設置される、廃棄物を埋め立て処分する施設。
三かん分度器	さんかんぶんどき	three-armed protractor	位置の知られている3点への方向線がはさむ角度を測定して、船舶の位置を決定するのに用いられている機器。
残丘	ざんきゅう	monadnock	準平原上に一段高く突出した丘陵状の地形。残丘には硬岩からなる堅牢残丘と、分水界付近での遠隔残丘とがある。
産業廃棄物	さんぎょうはいきぶつ	industrial waste	事業活動に伴って排出される廃棄物の総称。家庭から排出される廃棄物は一般廃棄物。
三極法	さんきよくほう	three-electrode array	一方の電流電極を無限と見なせる遠方に固定し、1個の電流電極と2個の電位電極を移動電極とする比抵抗法。
三郡変成帯	さんぐんへんせいたい	Sangun metamorphic belt	九州北部から中国地方東部・中部地方にかけて分布。低温高圧型の広域変成岩（三郡変成岩）からなる変成帯。
酸欠	さんけつ	oxygen deficiency	換気の不良なトンネルなどで、ガスの湧出や作業による酸素の消費により、空気中の酸素濃度が低下した状態。
酸欠空気	さんけつくうき	oxygen deficient air	地下水位を低下させた時、帯水層が空気に触れ急速な酸化反応が進行し形成される酸素が欠乏した空気。
酸欠層	さんけつそう	oxygen deficient layer	人間の呼吸が阻害される酸素濃度16%以下の空気（酸欠空気）を含む地層。過剰揚水による地下水位の低下により形成された。
山弧	さんこ	mountain arc	弧状の平面形をもつ山脈または山系。弧状列島やアルプス・ヒマラヤなどの山脈に代表される。一般に凸側を外側、凹側を内側と呼ぶ。
さんご砂（珊瑚砂）	さんごさ	coral sand	さんご礁（珊瑚礁）の礁原の内側に、さんご（珊瑚）や石灰藻などの破片が粗い砂として堆積したもので90%近くが石灰質。
さんご碎屑性石灰岩（珊瑚碎屑性石灰岩）	さんごさいせつせいせつかいがん	detrital limestone	さんご（珊瑚）・石灰藻などの碎屑片からなる石灰岩。粒径から石灰礫岩・石灰砂岩・石灰泥岩に分けられる。
さんご礁（珊瑚礁）	さんごしょう	coral reef	造礁さんご（珊瑚）や石灰藻類などが付着・成長し、破碎集積して形成された礁。30°より低緯度の大洋の浅海に発達する。
さんご礁骨材（珊瑚礁骨材）	さんごしょうこつざい	coral reef aggregate	さんご礁（珊瑚礁）の石灰岩を破碎してつくった骨材。

さんご礁土 (珊瑚礁土)	さんごしょうど	coral reef soil	さんご礁 (珊瑚礁) を構成する生物遺骸からなる石灰質砂～砂礫相の堆積物。
さんご生育帯 (珊瑚生育帯)	さんごせいいくたい	coral growth zone	海水温18℃以上, 塩分濃度34～35‰でかつ透明度が高くさんご (珊瑚) が生育できる環境にある水域。
さんご石灰岩 (珊瑚石灰岩)	さんごせっかいがん	coral limestone	さんご類 (珊瑚類) 化石自体からなる石灰岩。
さんご石灰質砂 (珊瑚石灰質砂)	さんごせっかいしつさ	coral calcareous sand	さんご類 (珊瑚類) の生物遺骸からなる石灰質の砂。
さんご泥 (珊瑚泥)	さんごでい	coral mud	さんご礁 (珊瑚礁) 付近の大陸斜面や深海に沈殿する石灰質軟泥。さんご砂 (珊瑚砂) の沖合に分布。
さんご島 (珊瑚島)	さんごとう	coral island	さんご礁 (珊瑚礁) が波浪によって破砕され, 堆積してできた島。さんご礁 (珊瑚礁) ・造礁さんご (珊瑚) の破片・さんご (珊瑚) 砂などからなっている。
三軸圧縮試験	さんじくあつしゅくしけん	triaxial compression test	円柱状の供試体に流体圧を側方に加えた後, 軸方向に圧縮力を加えて変形, 強度特性などを調べる試験法。
三軸圧密試験	さんじくあつみつしけん	triaxial consolidation test	軸方向と側方向に圧力を加えて行う圧密試験。土供試体の周囲にろ紙を巻き放射方向に排水させて行う。
三軸試験	さんじくしけん	triaxial test	三軸応力下における圧縮, または伸張などの試験を総称していう。
三軸室	さんじくしつ	triaxial cell	三軸試験時に供試体に流体圧などを加えるために用いる密閉された容器を呼ぶ。三軸セルと呼ぶこともある。
三軸伸張試験	さんじくしんちょうしけん	triaxial extension test	円柱状の供試体に軸圧よりも大きな側圧を加えて供試体を伸張破壊させる三軸試験。
三軸スライス試験	さんじくすらいすしけん	triaxial slice compression test	円柱型試料から45度の角度で斜めに厚さ1cm程度のスライスを切り出し, 上下にキャップをつけて全体を円柱型として三軸セルの中で垂直応力とせん断応力を加える試験法
三軸セル	さんじくせる	triaxial cell	三軸試験時に供試体に流体圧などを加えるために用いる密閉された容器を呼ぶ。三軸室と同義。
三軸だ円体	さんじくだえんたい	triaxial ellipse	三次元空間において極座標上に描かれる三方向の軸を持つだ円体。
三軸タンデムローラー	さんじくたんでむろーらー	three-axle tandem roller	舗装の仕上げなどに使用される締固め用の自走式機械で3軸4輪の鉄製ローラーを車輪とするもの。
三次クリープ	さんじくりーぷ	tertiary creep	土のクリープ破壊において, 時間とひずみ量の関係が3段階に分けられ, ひずみ速度が増大する3段階目をさす。

三軸ローラ	さんじくろーら	three-axle roller	アスファルト舗装の仕上げ転圧を行う三軸式の道路ローラ。前方の2輪の上下動を固定し荷重を集中できる。
三次元圧密	さんじげんあつみつ	three-dimensional consolidation	部分载荷を受ける粘土地盤において、地盤中のひずみや間隙水の流れが鉛直方向と水平方向の三次元的に起きる圧密。
三次元安定解析	さんじげんあんていかいせき	three-dimensional stability analysis	斜面安定を三次元的に検討する手法。すべり面の中央部を円筒形、端部を回転楕円体などとして解析する方法などがある。
三次元インバージョン	さんじげんいんばーじょん	three-dimensional inversion	三次元高密度測定データをインバージョン法によって処理し、三次元モデルを得るための探査情報処理技術。
三次元解析	さんじげんかいせき	three-dimensional analysis	水平・鉛直の両要素を組み合わせ立体として行う解析。
三次元高密度調査	さんじげんこうみつどちょうさ	three-dimensional high density exploration	受信器を平面上に微小間隔高密度に配置し、探査対象区域に任意三次元解析面を設定できる物理探査法。
三次元地震探査	さんじげんじしんたんさ	three-dimensional seismic exploration	地下構造の立体的な広がり把握するため、三次元的計測で得られたデータに基づいて解析を行う地震探査法。
三次元地盤変位計測法	さんじげんじばんへんいけいそくほう	three dimensional measuring method for ground displacement	鉛直方向に埋設した特殊チューブの1 m毎の傾斜（2方向）と軸方向距離を計測して3次的に地盤変位を求める方法。
三次元地質解析システム	さんじげんちしつかいせきしすてむ	three-dimensional geological analysis system	地形や地下の地質、物性値などを三次元データとしてデータベース化し、地質構造の三次元的な表示、解析などを行うためのシステム。
三次元透水係数	さんじげんとうすいけいすう	coefficient of three dimensional hydraulic conductivity	三つの主透水係数と、主透水係数軸の座標軸に対する方向余弦で表される三次元的な透水性。地盤の透水異方性を表すために用いる。
三次元モデル	さんじげんもでる	three-dimensional model	地層や構造と電流の電位または地震波速度などの物理量との関係が三次元的に変化するモデルのこと。
三次処理	さんじしより	tertiary treatment	排水処理において、より高度な処理水質を得ることを目的として活性汚泥処理などの二次処理の後段に設置する処理工程。
三四面体	さんしめんたい	triaxis-tetrahedron	正四面体の各面が三つの等しい二等辺三角形をもつ三方錐に分化した十二面体。形状によりさらに細分される。
サンシャイン計画	さんしゃいんけいかく	Sunshine Project	無公害社会の建設を目指した新エネルギー技術開発計画で、エネルギー危機を克服するための産官学の共同プロジェクト。
三斜晶系	さんしゃしょうけい	triclinic system, anorthic system	結晶を形態から分類した7結晶系の一つ。結晶の主軸がいずれも斜交し、軸率も等しくない。
三斜対称	さんしゃたいしょう	triclinic symmetry	構造地質学で、構造が対称面をもたない場合のこと。

三斜法	さんしゃほう	base-altitude method	求める面積をいくつかの三角形に分割し、面積を求める方法。
三州街道断層	さんしゅうかいどう だんそう	Sanshukaido fault	活断層。确实度Ⅰ～Ⅱ，活動度A級，北東方向。長野県下伊那郡付近に位置し全長約16kmの3つの断層群からなる。
三重点	さんじゅうてん	triple point	単一な物質の一成分系の相平衡状態図において気相，液相，固相が平衡にある点。
三州みかげ	さんしゅうみかげ	Sanshu mikage	愛知県岡崎市小呂町・箱根町産石材。中生界両雲母花崗岩。白雲母，柘榴石を含むため美麗。岡崎みかげと同質。
三主応力制御試験	さんしゅうおうりょく せいぎょしけん	independent principal stress control test	直方体の供試体の各面に大きさの異なる応力を加えて供試体の変形，強度特性などを調べる試験法。
産出ガス油比	さんしゅうつがすゆひ	producing gas oil ratio	坑井から産出したガスと原油の地表条件における容積比。
産出可能量	さんしゅうつかのう りょう	possible production	経済的，技術的に採掘可能であることが明らかになっている流体資源埋蔵量。
産出試験	さんしゅうつしけん	production test	地熱や石油開発において，流体を坑井からどの程度生産できるかを調べる試験。生産試験ともいう。
産出指数	さんしゅうつしすう	productivity index (PI)	坑井から流体が産出される場合の産出能力を示す指数。PI=産出量／（静止状態の孔底圧-産出状態の孔底圧）。
産出井	さんしゅうつせい	producing well	油田・ガス田・地熱利用などで，地下の資源を取り出すための坑井。生産井と同義。
産出能力	さんしゅうつのうりょく	producing capacity	生産井（坑井）の単位時間あたりの油およびガスの産出量。
三じょう紀（三畳紀）	さんじょうき	Triassic (period)	中生代を三分した最初の時代。251～208Maの約4千万年間。トリアス紀とも。
三じょう系（三畳系）	さんじょうけい	Triassic (system)	三じょう紀（三畳紀）に生成した地層・岩石。中生界の三区分局中の最下部で，ジュラ系の下。
三城目安山岩	さんじょうめあんざんがん	Sanjome andesite	福島県西白川郡矢吹町三城目産の第四系溶結凝灰岩の石材名。石材業では「安山岩」として扱われている。三城目石ともいう。
散水式消雪	さんすいしきしょう せつ	water spray snow- melting, snow melter by the sprinkler	道路の中央または端に消雪パイプを設置し，散水ノズルから水を噴出させ消雪する方法。
散水養生	さんすいようじょう	water spraying of concrete, spray curing	コンクリートの湿潤養生法の一つで，打設面に散水して湿潤状態を保つ方法。

サンスポット	さんすぽっと	sun spot	空中写真やリモートセンシングデータにおいて、太陽からの反射光を直接受けて生じる明るい点。
酸性雨	さんせいう	acid rain	大気中に排出された二酸化硫黄や窒素酸化物などの汚染物質が硫酸や硝酸となり雨の中に取り込まれ強い酸性を示す現象。
酸性化（河川や湖沼の）	さんせいか（かせんやこしょうの）	acidification (of river water or lakes and marshes)	酸性雨や各種原因の酸性水の影響により河川・湖沼のpHが低下すること。花崗岩や酸性土壌の地域などでは特に生態系への影響が懸念される。
酸性ガス交代作用	さんせいがすこうたいさよう	acid gas metasomatism	水とハロゲン塩類や硫酸塩の反応で生じた強酸性溶液が、他の重金属などを運搬し、引き起こす交代作用。
酸性河川	さんせいかせん	acid river	火山、鉱床、酸性土壌などに起因する酸性水の影響を受け、水質が酸性を呈する河川。
酸性褐色森林土	さんせいかっしょくしんりんど	acid brown forest soil	湿潤温帯の落葉広葉樹林や混交林下に分布する褐色の土壌。カルシウムイオンが溶脱し、酸性を呈する。
酸性岩	さんせいがん	acidic rock	火成岩中に含まれるSiO ₂ の重量百分率に基づく分類法でSiO ₂ 量が66%以上の火成岩。
酸性降下物	さんせいこうかぶつ	acid precipitation	大気中の二酸化硫黄や窒素酸化物などの汚染物質が硫酸や硝酸となり、霧、雨、雪、ダストなどとなって降下する物質。
酸性降水	さんせいこうすい	acid precipitation	化石燃料の燃焼などで放出された硫酸化物や窒素酸化物などが取り込まれ、pH5.6以下の強酸性になった降水。
酸性坑内水	さんせいこうないすい	acid mine water	坑内の硫化鉱物が酸化され、その結果発生する酸性の坑内水。鉱害の原因の一つ。
酸性泉	さんせいせん	acid spring	pH 3 以下の酸性の温泉。青森県酸ヶ湯など日本に多い。
酸性土	さんせいど	acid soil	pH6.5以下または交換酸度が1.1以上の土壌を指し、ポドソルやアンドソルなどがこれに属する。
酸性白土	さんせいはいくど	Japanese acid clay	モンモリロナイトが主成分の白色の粘土。膨潤性はなく強い吸着能を有す。ベントナイトの風化により生成。
さん井盆地	さんせいぼんち	artesian basin	向斜構造をもつ被圧帯水層群の発達する構造盆地。
酸性硫酸塩土壌	さんせいりゅうさんえんどじょう	acid sulfate soil	熱水溶液による交代沈殿や海成堆積物中の黄鉄鉱が酸素や硫酸化菌などにより生成された硫酸により強酸性を示す土壌。
残積成	ざんせきせい	residual	母岩の分布場所から移動せずに、その場所で風化され土壌化すること。

残積性未熟土	ざんせきせいみじゅくど	residual regosols	やわらかい岩石が堆積した上に分布する，土壤生成作用を示す特徴がほとんど認められない土壤．花崗岩や流紋岩などから構成される山地の尾根などに分布する．
残積土	ざんせきど	residual soil	もとの岩石の位置かその近傍にとどまり生成された風化産物としての土壤．
残積粘土	ざんせきねんど	residual clay	残留粘土と同義．
三層構造	さんそうこうぞう	three-layer structure	粘土鉱物によく見られる結晶構造で，二枚の四面体シートの間一枚の八面体シートをはさんでいる．
三相分布	さんそうぶんぷ	three phase of soil	植物の生育に影響する土壤の通気性・保水性・保肥力などを評価する指標．固相（土粒子や有機物）・液相（水分）・気相（空気）の体積比または体積百分率で表す．
酸素活性汚泥法	さんそかつせいおでいほう	activated sludge process by oxygen aeration	活性汚泥処理法の曝気に酸素を用いて曝気槽内の活性汚泥を高濃度に維持する処理法．空気曝気法に比べ曝気槽を小型化できる利点がある．
酸素吸収量	さんそきゅうしゅうりょう	oxygen absorption	土が持つ酸素吸収能力を評価するため室内試験で測定する酸素の吸収量．
酸素欠乏	さんそけつぼう	oxygen deficiency	酸欠と同義．
酸素同位体曲線	さんそどういたいきょくせん	oxygen isotope curve	酸素の同位体比を示す曲線．岩石中の共生鉱物の組み合わせで変成岩や火成岩の生成温度を推定する．
酸素同位体ステージ	さんそどういたいすてーじ	oxygen isotope stage	酸素の安定同位体比 $^{18}\text{O}/^{16}\text{O}$ を用いて，過去の気温を温暖期と寒冷期に区分して完新世の温暖期から順に番号をふったステージ区分．
酸素同位体組成	さんそどういたいそせい	oxygen isotope composition	物質中に含まれる質量数16, 17, 18の酸素同位体の組成．一般に ^{16}O に対する他の同位体の存在比で表す．
酸素同位体法	さんそどういたいほう	oxygen-isotope method	酸素の安定同位体比 $^{18}\text{O}/^{16}\text{O}$ を用いて，地球化学的現象や岩石の成因などを研究する方法．
酸素分圧	さんそぶんあつ	oxygen partial pressure	混合気体に含まれる酸素が，そのみで全体積を占めているとした場合の圧力．
残存応力	ざんぞんおうりょく	residual stress	外力によって物体が塑性変形を起こした後，外力がなくなった状態で物体内に残留している応力．
残存土壤	ざんぞんどじょう	relic soil	地表に露出していながら現在の自然環境での土壤特性と異なり，生成時の特性を残している古土壤．遺跡土ともいう．
山体崩壊	さんたいほうかい	sector collapse	山地斜面の基盤岩の一部が力学的な安定を失って突発的に崩落する現象．表層で生じる斜面崩壊とは異なる．

三体問題	さんたいもんだい	three-body problem	3質点間に万有引力の法則により力が働く運動をニュートン力学で求める問題。特殊解しか得られていない。
散弾試すい機 (散弾試錐機)	さんだんしすいき	shot drill	鋼鉄製散弾を用いて掘削する試錐機。ロッドから散弾を送り込み、ビット部分で岩石をすりつぶす。ショットドリル。
三反田石	さんだんたいし	Sandanta ishi	長野県佐久市野沢産石材。第四系輝石安山岩。
山地氷河	さんちひょうが	alpine glacier	山岳地域に発達する氷河で、最上流部に広い万年雪原を有する。山岳氷河と同義。
残柱式採掘法	ざんちゅうしきさいくつほう	open stopes with pillar supports	坑内で鉱石の一部を採掘せずに柱状に残し、天盤または上盤を支えて掘削する無支保採掘法。高能率で経済性に富んだ採掘法。
残柱式長壁採掘	ざんちゅうしきちょうへきさいくつ	longwall mining with pillar supports	長壁式採掘で切羽と切羽の間にある幅の炭柱を残し、炭層を全て掘削する採掘法。切羽の長さは200～300m。実収率が大きく機械化施工が可能。
山中地溝帯	さんちゅうちこうたい	Sanchu graben	埼玉県秩父盆地から長野県佐久町付近までの北西～西北西方向に約40km、幅2～4kmに分布する白亜系分布域。
山頂火口	さんちょうかこう	summit crater	火山の山頂部にある火口。火山噴出物の大部分を噴出した火口で、主火口ともいう。
山頂貯水池	さんちょうちよすいち	hilltop reservoir	山頂に設置された貯水池。導水してきた水を一時貯留し、受益地に配水するための施設。
山頂噴火	さんちょうふんか	summit eruption	成層火山における山頂火口からの噴火。成層火山は長期に渡って山頂噴火を繰り返し、噴出物の堆積によって発達する。
3D速度検層	さんでいそくどけんそう	three-dimensional velocity logging	地中内不連続面の3次元的な把握を、そこを通過する弾性波の到着状態の変化に基づいて行う速度検層法。
三点観測法	さんてんかんそくほう	tripartite method	3つの観測点の地震波到達時刻を基に、地震波の到来方向および見掛けの速度を求める方法。
三点法	さんてんほう	three points problem	海上測量の一種。確定位置3目標から2夾角を六分儀を用い測量し、図上位置を三桿分度器を用いて求める。
三点曲げ試験	さんてんまげしけん	three point bending test	供試体の両端を支持点とし、その中間を荷重点として材料に曲げ応力を与え、破壊靱性を評価するための試験法。
サンドイッチ (盛土)工法	さんどいっち(もりど)こうほう	multiple sandwich method	軟弱土を盛り立てる場合、排水による圧密などの効果を期待し、軟弱土層中に波形厚紙や生石灰を挟む工法。
サンドウエーブ	さんどうえーぶ	sand wave	一方向に卓越した強い流れによって、河床・海底面に形成される大きな波状地形。

三等三角点	さんとうさんかくてん	third order triangulation point, third order triangulation station	国土地理院で三等三角測量により作った三角点。約4kmに1点の割合で設置され10秒の三角形閉合差を持つ。
サンドコンパクションパイル工法	さんどこんぱくしよんぱいるこうほう	sand compaction pile method	軟弱地盤を改良する工法の一つで、緩い砂質土や軟弱粘性土の中に振動または衝撃によって締固めた砂杭を設置する工法。SPC工法。
サンドシーム	さんどしーむ	sand seam	厚い均質層中に挟まれた薄い異質層をシームといい、厚い粘土層中の薄い挟在砂層をサンドシームという。
サンドスクリーン	さんどすくりーん	sand screen	ストレーナ管の表面に石英砂を合成樹脂で接着したスクリーン。
サンドドレーン工法	さんどどれーんこうほう	sand drain method	多量の水分を含んだ軟弱地盤中に砂柱を一定間隔に施工し、地盤の排水を行うことで圧密沈下を促進させ地盤の改良を行う工法。
サンドドレーン船	さんどどれーんせんせん	sand piling barge	軟弱地盤を改良して強度増加させる作業を行うための専用作業船。サンドドレーン工法を行うための専用船。
サンドパイル	さんどばいる	sand pile	軟弱地盤中に設置される砂柱。支持力の増大や、軟弱粘性土の排水促進による圧密増加を目的とする。
サンドブラスト試験	さんどぶらすとしけん	sand blast test	岩石のすり減り抵抗を測定するために、岩石表面にシリカ質砂などを送風し行う磨耗試験。
三波石	さんばいし	Samba ishi	群馬県多野郡鬼石町産。分布は、神流川を中心とする地域。三波川変成岩の石材・鑑賞石用材。
三波川結晶片岩	さんばがわけっしょうへんがん	Sambagawa crystalline schist	秩父三波川流域や中央構造線の南側に分布する広域変成岩。塩基性片岩・泥質片岩などより構成。
三波川変成帯	さんばがわへんせいたい	Sambagawa metamorphic belt	関東山地から、西南日本の中央構造線の南側を経て九州にいたる結晶片岩地域。延長800km。
三波川-御荷鉢帯	さんばがわみかぶたい	Sambagawa-Mikabu terrain	西南日本外帯の三波川結晶片岩・御荷鉢緑色岩類の分布地域。長瀨帯・広義の三波川帯と同じ地域。
栈橋	さんばし	landing pier	杭やケーソンなどの支柱を立て、その上に床板をのせた形式の船舶を係留するための施設。
三八豪雪	さんばちごうせつ	unusual heavy snow in Showa 38	1963年（昭和38年）1月北陸を中心として、本州日本海側一帯に降った異常な大雪。多大の雪害をこうむった。
三ヒンジアーチ橋	さんひんじあーちきょう	three hinged arch bridge	アーチの中央と両端にヒンジのあるアーチ橋。近年ではほとんど用いられない。
サンフェルナンド地震	さんふえるなんどじしん	the 1971 San Fernando earthquake	1971年2月9日にロサンゼルス郊外で発生したM6.5の地震。死者58～66人の被害地震。

山腹工	さんぷくこう	hillside works	何らかの原因で植生を失った斜面に土壌を定着させ、森林の回復を促進させるための諸工事。
山腹積み工	さんぷくつみこう	hillside piling up works	山腹など等高線沿いに小段を作り、浸食の防止と樹木の植栽を計る工法。積石工・芝積工・粗朶積工などがある。
山腹被覆工	さんぷくひふくこう	hillside covering works	山腹斜面の浸食・風化などの抑制を目的として、粗朶・わらなどの人工資材で斜面を被覆する工法の総称。
山腹噴火	さんぷくふんか	flank eruption	火山の山腹斜面に生じた側火口～割れ目からの噴火。側噴火と同義。山頂噴火に対する用語。
散布図	さんぷず	scatter diagram	データの集中や拡散の度合、および幾つかのグループに分かれるか、異常値はないかを見るために二次元座標上にプロットした図。
サンブナン固体	さんぶなんこたい	Saint Venant solid	レオロジーの分野で、固体や流体の力学的性質を理想化した場合の完全な塑性を持つ材料。
サンブナンの定理	さんぶなんのていり	Saint Venant's principle	合力が等しい外力が作用する物体上では、作用部分から十分に離れると、外力の分布に関わらず同じ効果を示すという原理。
サンブナンのねじり	さんぶなんのねじり	Saint Venant's torsion	棒材にねじりモーメントを作用させたとき、棒の長さ方向に一様にねじられる状態をいう。
サンブナン物体	さんぶなんぶつたい	Saint Venant body	力学的模型では、直列につながったスプリングとスライダーで表現される物体。完全塑性体ともいう。
サンブラ	さんぷら	sampler	試料採取に用いる装置ないし方法。チューブにより採取する装置やブロック切り出し方法などがある。
サンフランシスコ地震	さんふらんしすこじしん	the 1906 San Francisco earthquake	1906年4月18日5時12分にサンフランシスコの北西で発生した、震央が38° N 123° W, M8.3の地震。
サンプリング	さんぷりんぐ	sampling	試料採取と同義語。
1/3 オクターブ分析	さんぶんのいちおくたーぶぶんせき	1/3 octave analysis	種々の振動について1オクターブを1/3に分割した周波数帯域で計測・分析する振動評価法。
三辺測量	さんぺんそくりょう	trilateration	三角網の各辺長を測定する測量方法。三角測量よりも精度が高い。
三宝山層群	さんぼうさんそうぐん	Sanbosan Group	関東山地から沖縄に至る秩父累帯南帯の南縁部の付加体。中生界ジュラ系～白亜系。高知県香美郡野市町三宝山地域を模式地とする。チャートおよび石灰岩を主体とする。
三方四半面像晶族	さんぼうしはんめんぞうしょうぞく	rhombohedral tetratohedral class	菱面体四半面晶族ともよばれ、三回対称軸のみを対称の要素とする。

三方晶系	さんぼうしょうけい	trigonal system	結晶を形態から分類した7結晶系の一つ。c軸方向に3回回転軸か、3回反軸をもつ晶族をまとめた晶系。
三方両錐体	さんぼうりょうすいたい	trigonal bipyramid	三回回転軸を持つ錐体である三方錐体を、上半分と下半分に対称に持った六面体。
山脈	さんみゃく	mountain range	山地の全体としての形が、脈状に連続して延びているもの。いくつかの山脈が集まったものを山系と呼ぶ。
三面張り堤防	さんめんばりていぼう	three-face-armored bank	洪水の越流を想定して、のり面および天端の全面を石張りとしたり、アスファルトのり面工法などで補強した堤防。
産油層	さんゆそう	reservoir	石油を産出する油層。貯留岩のうち連続相をなす石油の存在する部分。
残油率	ざんゆりつ	residue rate	油田の可採量と産油量の比。
山陽淡青	さんよううすあお	Sanyo usuaio	岡山県川上郡備中町産石材。古生界大理石。
三葉虫類	さんようちゅうるい	<i>Trilobita</i>	古生代にのみ生存した海生の絶滅節足動物。一般に体長2～10cm。示準化石として有効。日本では、シルル紀以降の属種を産す。
三翼ビット	さんよくびつと	three wing bit	主に軟弱地盤や砂層の掘削に使用される刃先が三翼に分かれたビット。
散乱	さんらん	scattering	波が障害物にあたったときに、障害物を中心に方向が異なる波が生じる現象。
散乱型RI試験機	さんらんがたあーるあいしけんき	back scattering type nuclear gauge	地盤の密度と含水比を計測するために用いるRI試験機のうち、線源を地表面に置くタイプの試験機。
散乱波	さんらんは	scattered wave	散乱により生じる波。障害物の物性や状態を知ることが出来る。
三陸大津波	さんりくおおつなみ	the great Sanriku tsunami	三陸地方は古くから津波の常襲地といわれ、869年・1611年・1896年・1933年に巨大津波を記録している。
三陸沖地震	さんりくおきじしん	Sanriku-oki earthquake	三陸の沖合に発生する大地震の総称。1896年6月15日(M7.2)・1933年3月3日(M8.1)の大地震は有名である。
三陸地震津波	さんりくじしんつなみ	Sanriku tsunami caused by earthquake	三陸の沖合で発生した地震で引き起こされた津波。869年・1611年・1896年・1933年に巨大津波を記録している。
三陸はるか沖地震	さんりくはるかおきじしん	the 1994 Sanriku-haruka-oki-earthquake	1994年12月28日に三陸沖の北緯40.5度 東経143.7度で発生したM7.5の地震。震度6を記録した八戸を中心に被害が発生。正式名称は「平成6年(1994年)三陸はるか沖地震」。

三里浜砂丘	さんりはまさきゅう	Sanrihama sand dune	福井県福井平野西部，九頭竜川河口南の海岸に広がる標高15m～40mの砂丘。
残留応力	ざんりゅうおうりょく	residual stress	物体に加わっていた外力を取り去った後にも，物体内に残留している応力。
残留荷重	ざんりゅうかじゅう	residual load	過去に作用した荷重が岩盤中に残されたものをいう。残留応力と呼ぶ場合が多い。
残留間隙水圧	ざんりゅうかんげきすいあつ	residual pore water pressure	貯水池・河川の急激な水位低下に地下水位が追従できず斜面内に発生する過剰間隙水圧。地すべり誘因となる。
残留強度	ざんりゅうきょうど	residual strength	圧縮試験などで供試体がピーク強度を示した後，さらに大きなひずみまで試験を継続した場合に残留する強度の最終値をいう。
残留強度係数	ざんりゅうきょうどけいすう	residual strength factor	ピークせん断強さと残留せん断強さの差に対する，ピークせん断強さの比。
残留強度パラメータ	ざんりゅうきょうどぱらめーた	residual strength parameter	せん断抵抗がピーク値を越えるせん断ひずみを受けると，徐々にせん断抵抗は低下して，一定の値に達する（定常せん断）。この状態のせん断強度を残留強度とよび，この時のC， ϕ などをいう。
残留鉱床	ざんりゅうこうじょう	residual deposit	もとの岩石・鉱床の位置かその近傍で風化作用により残留濃集して生成した鉱床。ボーキサイトなど。
残留構造	ざんりゅうこうぞう	relict structure	変成を受けた岩石中に残っているもとの岩石の構造。
残留鉱物	ざんりゅうこうぶつ	relict mineral	変成を受けた岩石中に残っているもとの岩石の鉱物。
残留磁気	ざんりゅうじき	remanent magnetization	強磁性体の自発磁化が磁場を取り除いた後も保持する磁気。
残留重力	ざんりゅうじゅうりょく	residual gravity	ブーゲー重力値から広域重力異常を差し引いたもので，浅部に起因する局所的な重力異常を表す。余剰重力・重力残差もいう。
残留水圧	ざんりゅうすいあつ	residual water pressure	水際に設けられた構造物の背後（地盤などの間隙）に，構造物前面の水位が下がっても残留する静水圧。
残留せん断強度	ざんりゅうせんだんきょうど	residual shear strength	圧縮試験などで供試体がピーク強度を示した後，さらに大きなひずみまで試験を継続した場合に残留するせん断強度の最終値をいう。
残留堆積物	ざんりゅうたいせきぶつ	residual sediment	風化作用を受けた後，残った現地性の堆積物。アルミニウムの水酸化物を主成分とするボーキサイトなどがある。
残留炭化水素飽和率	ざんりゅうたんかすいそほうわりつ	residual hydrocarbon saturation	炭化水素鉱床において，水押しなどの置換型回収法により，それ以上炭化水素を回収できない状態の炭化水素飽和率。

残留沈下	ざんりゅうちんか	residual settlement	盛土や構造物などの荷重によって生じる地盤沈下のうち工事完了後も継続する沈下。一般に二次圧密を含む。
残留電荷法	ざんりゅうでんかほう	residual charge method	大地に直流電流を流し、この電流の切断後現われる残留電荷を測定する電磁探査法。
残留内部摩擦角	ざんりゅうないぶまさつかく	residual angle of internal friction	せん断抵抗がピーク値を越え、定常せん断状態にある物質の内部摩擦角（せん断抵抗角）。
残留粘着力	ざんりゅうねんちやくりよく	residual cohesion	せん断抵抗がピーク値を越え、定常せん断状態にある物質の粘着力。
残留粘土	ざんりゅうねんど	residual clay	風化作用を受けた後、現地に残された粘土。火山灰の風化によるカオリン鉱床などがある。残積粘土ともいう。
残留爆薬	ざんりゅうばくやく	misfired charge	発破に際し、爆発せず残った爆薬。残留薬または残薬ともいう。
残留ひずみ	ざんりゅうひずみ	residual strain	物体への外力を除いた後に残留するひずみのこと。
残留変位	ざんりゅうへんい	residual displacement	圧縮試験などで供試体に加えた荷重を完全に除去した後に残された変位。
残留有効応力	ざんりゅうゆうこうおうりよく	residual effective stress	土を地上にとり出すと応力解放により全応力はゼロとなるが、このとき、試料に残存している有効応力。
残留隆起	ざんりゅうりゅうき	residual uplift	地震に伴う地盤隆起量が地震発生に至るまでの地盤沈降量を上回る場合、その差を示す。累積傾向をもつ。
三稜石	さんりょうせき	faceted pebble	風りょう石と同義。
山麓緩斜面	さんろくかんしゃめん	pediment	乾燥地域の山地前面に発達する、基盤岩を切る平坦な浸食緩斜面。薄い砂礫層に覆われているが、基盤岩が露出することもある。
山麓線のくいちがい	さんろくせんのかい		断層変位による横ずれ地形を表す用語の一つで、本来連続しているべき山麓線が横ずれ断層によって食い違いを示している地形。横ずれ活断層の証拠のひとつとなる。
山麓氷河	さんろくひょうが	piedmont glacier	谷氷河が山麓にまで達し、扇状地状に広がったもの。いくつかの山麓氷河が結合して、山麓部に広い氷原を形成することもある。
山麓面	さんろくめん	piedmont lowland	山地の周縁部に発達する準平原状の小起伏面。準平原が隆起すると、より新しい準平原状の地形を呈するようになる。
仕上げコンクリート	しあげこんくりーと	blinding concrete, screed concrete	打設表面を平滑に仕上げるためのコンクリート。

支圧	しあつ	bearing pressure	①土被り圧・地殻応力に起因する地山内の応力. ②地下空洞の掘削による応力再配分によって空洞周辺岩盤に生じる応力. ③空洞の支保材に加わる圧力.
地圧	じあつ	ground pressure	①土被り圧・地殻応力に起因する地山内の応力. ②地下空洞の掘削による応力再配分によって空洞周辺岩盤に生じる応力. ③空洞の支保材に加わる圧力.
支圧応力	しあつおうりょく	bearing stress	部材の断面に対して局部的に外力が加わるとき, その支圧面積に生ずる応力度.
支圧型アンカー	しあつがたあんかー	end bearing anchor	先端にグラウトか機械的な方法で塊状の抵抗体を作って支持する方式のアンカー.
支圧強度	しあつきょうど	bearing strength	部分的に圧縮荷重を受けたときの最大圧縮耐荷重を荷重作用面積で割った値.
地圧計測	じあつけいそく	measuring of initial stress	地下空洞などの掘削に伴う安定性を評価するため初期状態の地山応力を測定すること. 応力解放法などがある.
シアライン	しあらいん	shear line	水平面上において風が急変しているような線. シアラインをはさんで風向が低気圧性または高気圧性に変転する.
シアリティッククラスト	しありていっくらすと	siallitic crust	主に熱帯や大陸の乾燥地域に分布するシリカ・アルミナが溶脱, 集積した固結状態の風化生成物.
シアル	しある	sial	大陸地殻の上半部を形成している物質の総称でSi (珪素) やAl (アルミニウム) に富む.
C-14年代	しー14ねんだい	C14 date, radiocarbon date	放射性炭素 ¹⁴ C (半減期5,730年) による年代測定値. 測定年代範囲は数万年前程度である.
C-14法	しー14ほう	C14 dating, radiocarbon dating	放射性炭素年代測定法と同義.
CRD工法	しーあーるでいーこうほう	cross diaphragm method, CRD method	CD工法を改良した工法. 吹付けコンクリートの中壁に加えストラットで断面を上下に分割して掘削する工法.
CRPテスト	しーあーるぴーてすと	CRP test	杭の鉛直載荷試験の一つで, 一定速度で杭頭を貫入させて, 荷重-沈下量曲線を決める方法.
CR法	しーあーるほう	complex resistivity method, CR method	複素比抵抗法と同義.
GIS	じーあいえず	geographic information system, GIS	地理的な情報をデータベースとして整備・管理し, 種々の解析を通して意志決定支援などを行う情報システム.
CEC試験	しーいーしーしけん	cation exchange capacity test, CEC test	粘土粒子が吸着できる交換イオンの最大量を調べる試験. CECとは陽イオン交換容量のこと.

G A R P	じーえーあーるぴー	Global Atmospheric Research Program, GARP	地球大気研究計画の略称. 気象の中期予報技術の確立, 気候現象の解明を目的とした国際的な共同研究計画.
CAES (圧縮空気エネルギー貯蔵システム)	しーえーいーえす (かえす) (あっしゅくくうきえねるぎーちょぞうしすてむ)	compressed air energy storage, CAES	夜間やオフピーク時の余剰電力で圧縮空気を製造し, 地下空洞などに一時的に貯え, ピーク時にこの圧縮空気でガスタービン発電を行うシステム.
G A C	じーえーしー	global area coverage, GAC	気象観測衛星NOAAのAVHRRによる観測データのうち, 解像度4kmの粗い伝送画像(ATP)を記録するデータ形式.
G A G C	じーえーじーしー	ganged automatic gain control, GAGC	数チャンネルの振幅情報を制御信号として全チャンネルをAGC動作させる機能を持つ拡張型制御方式AGC.
C s	しーえす	swelling index	膨張指数のこと. 圧密試験による有効応力と間隙比の関係を片対数で表示したときの, 除荷・再載荷サイクルの平均勾配.
CSIR三軸ひずみセル	しーえすあいあーるさんじくひずみせる	CSIR triaxial strain cell	リーマン式三軸ひずみセルと同義.
CSAMT法	しーえすえーえむていーほう	controlled-source audio-magnetotelluric method	人工信号源を用いたMT法で, 可聴周波数帯の信号を用いて深度1km以浅の比抵抗構造を求める電磁探査法. 温泉・地熱探査に用いられる他, 土被りの深いトンネルの調査にも適用されている.
GSSIインパルスレーダーシステム	じーえすえすあいいんぱるすれーだーしすてむ	GSSI impulse radar system	地表面下の比較的浅い地層内の調査を目的としたインパルスレーダーシステム技術を用いた探査装置.
CSMT法	しーえすえむていーほう	controlled-source magnetotelluric method	自然電磁場を信号源とするMT法とは異なり, 人工信号源を用いて地下の比抵抗構造を探索する電磁探査法.
GH	じーえっち	ground height, height of level, GH	「地盤高」を表す略語. 任意の基準面からの地表面上の点の高さ.
CNES	しーえぬいーえす	Centre National d'Etudes Spatiales, CNES	フランス国立宇宙研究センタの略称. 各種衛星の打ち上げと運用, ロケットの開発と打ち上げなどを行っている.
CFS三軸試験	しーえふえすさんじくしけん	continuous failure state triaxial test, CFS triaxial test	岩石供試体一個から, ピーク強度と残留強度の破壊包絡線を得るために, 軸荷重と拘束圧を連続的にコントロールして行う三軸試験.
CFS直接一面せん断試験	しーえふえすちよくせついちめんせんだんしけん	continuous failure state direct shear test, CFS direct shear test	岩石供試体一個を用いて, 連続的にせん断応力を変化させて行う試験.
GMS	じーえむえす	Geostationary Meteorological Satellite, GMS	日本の静止気象観測衛星シリーズの略称. 別名ひまわりと呼ばれている. 1977年より現在まで継続している.
GM計数管	じーえむけいすうかん	Geiger-Müller counter, G-M counter	ガイガー・ミュラー管を用いた放射線計数器. 高出力が得られるが, 不感時間があり連続性の測定には不向き. ガイガーカウンタともいう.
CMC	しーえむしー	carboxy methyl cellulose, CMC	保護コロイド型ポリマー調泥剤の一種. 泥水の粘性増加, 泥壁形成性の改善などを目的に用いる.

GOR	じーおーあーる	gas oil ratio, GOR	油に対するガスの比率を容積比で表したもの。ガス油比。
GOES衛星	じーおーいーえすえいせい	Geostationary Operational Enviromental Satellite, GOES	米国の静止気象観測衛星シリーズの略称。1974年より現在まで継続中で、通常2機の衛星が同時運用されている。
C/O検層	しーおーけんそう (しーばいおうけんそう)	C/O inelastic scattering logging	孔井内でパルス状の高速中性子を地層に照射した時に放出される炭素 γ 線量と酸素 γ 線量の比をとる検層法。油層と水層の識別に用いられる。
CO ₂ 固定化	しーおーつーこていか	carbon dioxide fixation, CO ₂ fixation	二酸化炭素固定と同義。
CO ₂ 固定量	しーおーつーこていりょう	volume of fixed carbon dioxide, volume of fixed CO ₂	地球環境において有機化合物に取り入れられ固定された二酸化炭素の量。
CO ₂ 循環	しーおーつーじゅんかん	carbon dioxide cycle, CO ₂ cycle	地球環境における二酸化炭素の生物地球化学的循環。
COマスク	しーおーますく	carbon monoxide self-rescuer, gas mask, CO mask	火災などにより発生した一酸化炭素煙が存在する坑内において使用する呼吸保護具。
C級活断層	しーきゅうかつだんそう	active fault classified as C	変位速度によって活断層を3クラスに分けたうちの最下位。平均変位速度が0.1~0.01m/10 ³ 年の断層をいう。
シーケンス層序学	しーけんすそうじょがく	sequence stratigraphy	地層の積み重なりを成因論的な立場で解明することを目的として研究する層序学。地層がどのような堆積過程で形成されたかを究明する。
G工程	じーこうてい	G plan	地籍調査において地積測量により個々の土地の面積を求める工程。
シーサット	しーさっと	Sea Satellite, SEASAT	海洋観測を目的としてNASAが1978年に打ち上げた衛星。各種の搭載センサの海洋観測への有用性が把握された。
CGS単位系	しーじーえすたんいけい	CGS system of units	長さ、質量、時間を基本量とし、センチメートル・グラム・秒を基本単位とする三元の単位系。
CCL	しーしーえる	casing collar locator, CCL	ケーシング内検層において、ケーブルと鉄管の深度誤差の確認や孔内機器の降下状態の判断に使用する装置。
CCD	しーしーでいー	carbonate compensation depth, CCD	炭酸塩補償深度。海洋において、炭酸塩の供給量と溶解量が釣り合う深さ。それ以深に炭酸塩は堆積しない。
CCD	しーしーでいー	charge coupled device, CCD	電荷結合素子。リモートセンシングのセンサとして用いられる。図形ひずみが小さいという特徴がある。
CCDスキャナ	しーしーでいーすきゃな	charge coupled devices scanner, CCD scanner	画素に対応する電荷結合素子 (CCD) により撮影する装置。

シース	シーす	sheath	PS工法において、PC鋼材と周囲のコンクリートやモルタルとの付着を防ぎ、緊張力を容易に導入するために使用する金属、ポリエチレン、紙などのさや。
CZCS	シーぜつとシーえす	coastal zone color scanner, CZCS	NIMBUS7号衛星に搭載された、海洋のクロロフィル把握に適した波長帯が観測できるセンサ。
C層	シーそう	C horizon	土壌層位のうち最下位の土壌の母材と想定される層。風化作用を受けるが母岩の組織を残し、土壌構造をもたない母岩の風化層。
G層	ジーそう	G horizon	土壌層位名の一つで、還元作用（グライ化作用）を受けた土層。
C層位	シーそうい	C horizon	固結した基岩を除く堆積物・基岩の風化物・未固結堆積岩など、土壌生成作用の影響を受けていない土壌層位。
G層位	ジーそうい	G horizon	地下水の影響下で土壌が還元状態になり、灰・灰緑・灰青などの還元色を呈す土層。
CT	シーてい	computerized tomography, CT	コンピュータ断層撮影法と同義。
GDS法	ジードーえすほう	geomagnetic deep sounding, geomagnetic depth sounding	地殻の電気伝導度構造を求める探査法。群列観測網により自然の磁場変動を観測する。
CDM	シードーえむ	cement deep mixing	軟弱地盤対策工法として、セメントなどの改良材を地中に供給し、地盤の軟弱土と改良材を強制的に混合攪拌し、深層地盤の固化・改良を図る機械攪拌工法の一つ。
CD工法	シードーこうほう	center diaphragm method, CD method	強度の小さい地山および大断面トンネルの掘削に適用される工法で中壁により断面を二分割して掘削する工法。
CD試験	シードーしけん	consolidated-drained triaxial compression test, CD-test	圧密排水三軸圧縮試験の略称。
CDP重合法	シードーピーじゅうこうほう	common-depth-point stack, CDP stack	共通反射点水平重合法と同義。
シーティングジョイント	シーていんぐじょいと	sheeting joint	地表面にほぼ平行な節理。地表付近で密な間隔であり、深部に従い粗となる。浸食による除荷作用による展張節理とされる。
シートエロージョン	シートえろーじょん	sheet erosion	面状に広がった雨水による地表面の削剥作用。雨水が一ヶ所に集中するガリー浸食と区別される。
シートネット工法	シートねっとうこうほう	fabric sheet (net) reinforced earth	超軟弱地盤表面に敷設した合成樹脂シートやネットと土の摩擦力により、表面の補強をはかる地盤改良工法。
シートパイル	シートぱいる	sheet pile	幅の広い板状の杭。特に鋼矢板をさす。

シート防水	シーとぼうすい	waterproofing sheet, sheet waterproofing	漏水をふせぐため覆工に処理される防水工のうち止水シートを用いるもの。一般に膜防水という。
シート養生	シーとようじょう	sheet curing	コンクリートの表面を防風、保温などのためにビニールシートで覆い養生すること。
シーの定理	シーのていり	Shi's theorem	掘削面と複数の不連続面により形成されるブロックについて、すべての面を共通点を通るように移動したとき、共有部分が1点になる場合は有限ブロックであることを示した定理のこと。
CBR試験	シービーあーるしけん	California bearing ratio test, CBR test	路床や路盤材の支持力を示す指数を求める試験。JIS A 1211に定められている。
CBR設計曲線	シービーあーるせつけいきょくせん	California bearing ratio design curve, CBR design curve	設計CBRからアスファルト舗装の厚さを求めるための曲線。
GPIB	ジービーあーいーびー	general purpose interface bus, GPIB	コンピュータの標準インターフェース規格の一つ。データがパラレルに送信されるため、転送速度が速い。
GPS	ジービーえす	global positioning system, GPS	多数の衛星の位置、電波発信時刻の情報を同時に受信・解析し、地球上で位置が把握できる測位システム。
GPS測量	ジービーえすそくりょう	GPS survey	複数の人工衛星を用いて位置決定を行うGPSを利用した測量。
CPM	シーピーえむ	critical path method	クリティカルパスメソッド。プロジェクトの最短期間を規定するクリティカルパスとなる作業について最小コストで期間短縮する方法を見出す手法。
CPT	シーピーてい	cone penetration test, CPT	静的コーン貫入試験と同義。
シーページメータ	シーページめーた	seepage meter	地下水が地表あるいは湖底などに直接しみだす量、またはその逆の移動量を測定する機器。浸漏計、湧出量計ともいう。
シーベルト	シーべると	sievert	放射線の人体に対して危険尺度である線量当量を表すSI組立単位。スウェーデンの物理学者名にちなむ。
シーム	シーむ	seam	①石炭層や鉱石中の薄い異質の岩層や厚い地層中の薄い層。 ②土木用語として、幅の狭い破碎帯や粘土薄層。
ジーメンズ	ジーめんず	siemens	電気抵抗の逆数の次元を持つ量であるコンダクタンスのSI単位。固有の名称を持つ単位。電気技術者ジーメンズにちなむ。
椎谷層	しいやそう	Shiiva Formation	新潟県中南部地域に分布する上部中新統～下部鮮新統。柏崎市椎谷岬付近を模式地とする。海成で中粒砂岩・泥岩の互層からなり、粗粒砂岩を挟む。地域により層厚が変化する。
CU試験	シーゆーしけん	consolidated-undrained triaxial compression test, CU-test	圧密排水三軸圧縮試験の略称。

CU (シーユーバー) 試験	しーゆーばーしけん	consolidated-undrained triaxial compression test with pore water pressure, CU-test	CU試験 (圧密非排水三軸圧縮試験) の際に間隙水圧測定を加えた試験方法. 有効応力解析で検討する場合に用いる.
シールコート	しーるこーと	seal coat	アスファルト舗装の修繕法の一つで, 舗装の表面に瀝青材料を敷き, その上を骨材で覆う工法.
シール材	しーるざい	sealing material	覆工の継手目地の防水に用いられる材料.
シールド鋼殻	しーるどころかく	shield shell, skin plate, shield skin	シールドの外周部でトンネル周辺地山の緩み・崩落などに対して地山を支え, 内部機器を保護するもの.
シールド工法	しーるどころほう	shield method	鋼製の筒 (シールド掘削機) を地山に押し込みながら掘進・覆工などの作業を筒の中で行う工法.
シールドジャッキ	しーるどじゃっき	shield jack	セグメントなどを反力としてシールドを推進させるジャッキ.
シールド推進	しーるどすいしん	shield propulsion	シールド後方のセグメントなどで反力を取り, シールドジャッキによってシールドを推進させること.
シールドチャンバー	しーるどちゃんばー	shield chamber	シールド機の面板と隔壁との間の空間. この部分で土圧を保持する.
シールドテール	しーるどてーる	shield tail	シールドガーダーの後部にあつて, セグメントを組み立てる部分.
シールドトンネル	しーるどとんねる	shield tunnel	シールド工法によって建設されたトンネル.
紫雲寺油・ガス田	しうんじゆがすでん	Shiunji oil-gas field	新潟県北蒲原郡紫雲寺町の油・ガス田. 1962年発見. 深度500~3100mの西山層, 椎谷層, 七谷層の砂岩・集塊岩に胚胎
JFT	じえいえふてい	Johnston Formation Tester, JFT	アメリカのJohnston Testers Inc. 社が命名した試験法で, ボーリング孔内の透水係数などを求めることができる. 湧水圧試験ともいう.
JERS-1	じえーいーあーるえすわん	Japanese Earth Resource Satellite-1, JERS-1	日本が打ち上げた資源探査衛星. 高分解能光学センサ, 合成開口レーダーなど当時最先端のセンサが搭載された.
JARS標準フォーマット	じえーえーあーるえすひょうじゆんふおーまっと	standard format of Japan Association on Remote Sensing, standard format of JARS	日本リモートセンシング研究会 (JARS) が定めた, リモートセンシング画像データの標準フォーマット.
JAROS	じえーえーあーるおーえす	Japan Resources Observation System Organization, JAROS Organization	財団法人資源探査用観測システム研究開発機構の略称. JERSなどの衛星用の観測装置開発などを行なっている.
JSF	じえーえすえふ	The Japanese Society of Soil Mechanics and Foundation Engineering, JSF	土質工学会基準の略号. 学会名の変更に伴ってJGS (地盤工学会基準) に移行 (1995年5月31日).

JHS	じえーえっちえす	Japan Highway Public Corporation Standard, JHS	日本道路公団試験方法の略号.
ジェットイング	じえつていんぐ	jetting	①井戸の洗浄工法の一つ. 圧力水を噴射してスクリーンを洗浄する. ②サブシーリング工法などで注入孔から圧力水または圧縮空気を噴射して, セメントモルタルの注入を容易にする工程.
ジェットカッター	じえつとかったー	jet cutter	成型爆薬を爆発させた際の高温・高速の噴流を使って, ケーシングなどのパイプ類を切断する装置.
ジェット気流	じえつときりゅう	jet stream	大気中の狭い幅に生じる強風. 普通, 温帯地域の高度10km内外を流れる偏西風中の強風帯.
ジェットグラウト工法	じえつとぐらうところほう	jet grouting	水と空気を高圧で噴射させて, 地中に円筒形の空隙を作り, スラリー状の改良体を注入する工法.
ジェット式ボーリング	じえつとしきぼーりんぐ	jet boring	ロッド先端のノズルより高圧の流体(普通は水)を噴出させて掘進する簡易ボーリング工法. 軟弱地盤に適す.
ジェットビット	じえつとびつと	jet bit	削孔水を高速の噴流にして岩石面に当て, 岩石面を削ったり岩石片を除去して, 掘進能力を向上させようとするビット.
ジェルフラクション	じえりふらくしょん	gelifluction	土壌の凍結・融解に基づく斜面表層部の緩慢なマスマーブメント.
シェル	しえる	shell	ロックフィルダム透水性ゾーンの呼称. 外部ロックゾーンはアウターシェル, 内部ロックゾーンはインナーシェルと呼ぶ.
シェル構造	しえるこうぞう	shell structure	薄い曲面板で外力に抵抗する構造.
シェルバイ式チューブサンプラ	しえるばいしきちゅーぶさんぷら	Shelby tube sampler	オープンドライブサンプラの一種. サンプラを所定の深さから地盤に押し込み, 引き上げる簡易な方法.
シェル要素	しえるようそ	shell element	曲率半径にくらべて厚さが非常に薄い曲面板からなるシェル構造を解析するときに用いられる要素.
潮	しお	tide	潮汐のこと. 潮汐は主に月や太陽の引力により生じる周期的な海水面の昇降現象.
ジオアーケオロジー	じおあーけおろじー	geo-archaeology	遺跡, 遺物などから人類が登場して以来, 今日までの人類の歴史を地質学的分野で検討する学問.
ジオイド	じおいど	geoid	重力の等ポテンシャル面のうち, 大洋では平均海水面, 大陸では仮想的な海水面に一致する面.
ジオイド高補正	じおいどころほせい	geoidal height correction	地球を正規楕円体としたときの標高値と重力場に規制されたジオイド面からの高さの差に相当する重力補正值.

塩釜石	しおがまいし	Shiogama ishi	石材名．宮城県塩釜市・石巻市産，新第三系安山岩．塩釜市小松崎産，新第三系凝灰岩．
塩がり	しおがり	scale	塩類が坑井または輸送管などに析出，付着したもののスケール．
ジオグリッド	じおぐりっど	geogrid	土構造物や地盤の補強材として用いられる高分子材料で，格子状構造を有する．ジオテキスタイルの一種．
地押調査図	じおさえちょうさず	Jiosae map	字切り図（あざきりず）ともいう．明治初期に作成され改租図を，明治中期に改正した調査図．現在の土地登記簿の付図に当たる．
塩沢石	しおざわいし	Shiozawa ishi	群馬県多野郡吉井町産石材．三波川～御荷鉾系変成岩類中の蛇紋岩．
塩沢みかげ	しおざわみかげ	Shiozawa mikage	福島県安達郡安達町産石材．中生界花崗閃緑岩．
塩地すべり	しおじすべり	the Shio landslide	1926年山形県最上郡大蔵村南山で発生した地すべり．1964年に対策工事が実施された．
ジオジメータ	じおじめーた	geodimeter	一般に光波測距儀をさす．もともとはスウェーデンのアガ社によって発売された光波測距儀の商品名である．
ジオスコープ	じおすこーぷ	GEOSCOPE	フランスが世界に展開したデジタル方式の国際地震観測網．
潮だまり	しおだまり	tidal pool	干潮時に海水位が低下した時に，磯の窪地に海水が取り残されてできた池状の場所．
ジオテキスタイル	じおてきすたいる	geotextile	透水性の合成高分子製土木用繊維製品とその関連製品．補強土や軟弱地盤の表層処理工に適用される．
ジオテクトニクス	じおてくとにくす	geotectonics	構造地質学と同義．地殻・地層・岩体などの地殻構成部分の配列状態およびそれらの相互関係や動きを調べる地質学の1分科．
ジオドーム	じおどーむ	geo dome	都市部の地下空間有効利用を図るために考案された，直径50m，高さ30m程度のドーム状地下空間のこと．
潮止め堰	しおどめぜき	final weir	海水の進入防止，流水の正常機能維持および土砂の浸食防止などを目的として河川の干潮区間に作られる堰．
ジオトモグラフィ	じおともぐらふい	geotomography	データ処理手法を基盤とする不可視情報映像化技術による地下構造解析手段の総称．
ジオフォン	じおふおん	geophone	主に反射法探査に用いられる速度型地震計．ムービングコイルを用いて地動を電気信号に変換するセンサ．

ジオフロント	じおふろんと	geo front	都市部の過密問題の解消などのため、新たな空間利用開発の一つとして地下空間利用を図ろうとすること。
潮目	しおめ	current rip	水温・塩分濃度・密度の異なる海水が接する境界。海流と海流の境界に顕著にみられる。潮境ともいう。
ジオメンブレン	じおめんぶれん	geomembrane	合成ゴムや塩化ビニルで作られた、産業廃棄物最終処分場などで用いられる厚さ1～5mm程度の止水シート。
GEOLIS	じおりす	Geological Literature Search System, GEOLIS	産業技術総合研究所地質調査情報部（旧地質調査所）が提供している地球科学と地下資源に関する文献情報データベースで、日本地質文献データベースともいう。
しおれ点	しおれてん	wilting point	土壌中の水分含有量を示す指標。蒸発散などにより土壌水が減少し、植物の葉がしおれたり、しぼんだりする点。
塩割れ	しおわれ	exudation	岩石中の特定の成分が、拡散や溶脱によって特定の場所に濃集するとき形成される割れ目。
磁化	じか	magnetization	磁界（磁場）中におかれた物質が磁気モーメントを示すこと。帯磁ともいう。
死海	しかい	Dead Sea	ヨルダンの表面積1,001km ² の塩湖。塩分濃度31.5%で世界一。東アフリカ地溝帯の延長にあたる構造湖。
時階	じかい	phase	造山運動が世界的に同時期に短時間に起きるとしたH. Stille(1924)の説における造山運動が進行する短い時期のこと。
時階（造山運動の）	じかい（ぞうざんうらんだうの）	orogenic phase	褶曲時相。褶曲運動が急激に進行する短い時期。
市街化区域	しがいかくいき	urbanization promotion area	都市計画法で定められた、既に市街地となっている区域と、今後約10年以内に優先的かつ計画的に市街化される区域。
市街化調整区域	しがいかちょうせいくいき	urbanization control area	都市計画法で定められた都市計画内容の一つで、市街地としての開発・建設が抑制される区域。
紫外線	しがいせん	ultraviolet ray, ultraviolet radiation	波長が可視光線より短く、X線より長い電磁波。およそ3800～Åの波長のもの。
紫外線吸収フィルタ	しがいせんきゅうしゅうふいた	ultraviolet absorbing filter	紫外線の電磁波を吸収するフィルタ。写真撮影に用いると紫外線によるカブリを除去し明瞭な画像が得られる。
紫外線写真	しがいせんしゃしん	ultraviolet photography	紫外線の光化学作用を用いた写真。ゼラチン量を極度に少なくした写真乾板（シューマン乾板）を用いる。
紫外線分光計	しがいせんぶんこうけい	ultraviolet spectrometer	光源、モノクロメータ、試料室、検出器、増幅器、記録器からなる。紫外線の波長を変化させて、吸収、反射スペクトルを測定する。

紫外線放射	しがいせんほうしゃ	ultraviolet radiation	可視光線とX線領域間に位置する紫外線領域での電磁波放射。その波長の範囲は約10～400nmである。
直打ちコンクリートライニング工法	じかうちこんくりーとらいにんぐこうほう	extruded concrete lining, extrude lining	シールド工法において、掘削機械部で直接覆工コンクリートを打設する工法。これを反力として推進する。
四角堰	しかくせき	rectangular weir	水路幅よりも狭く、水路深よりも浅い矩形の切り込みを入れた板で作られた堰。
死火山	しかざん	extinct volcano	現在活動が認められず、火山体の成長は完全に停止して、将来も活動する可能性が無いと思われる火山。
死荷重	しかじゅう	dead load	構造物の自重、付属物の重量など、構造物に常時作用し、構造物の設計に考慮すべき荷重。
自荷重圧	じかじゅうあつ	overburden pressure	地下において上にある物質の重力で発生する鉛直方向の圧力。造構力などが無い場合、静岩圧に等しい。
死荷重応力	しかじゅうおうりょく	dead-load stress	構造物本体や付属物の自重などによって、部材中に発生する応力。
試ガス	しがす	production test of gas	試掘井・探査井でガスの兆候が得られた場合に行う坑井産出能力試験。
鹿弾	しかだま	buckshot	硬質で粒度の小さい均等粒土。アメリカ合衆国南西部で見られる。
磁化の強さ	じかのつよさ	intensity of magnetization	物質の単位体積あたりの磁気モーメント。
磁化の反転	じかのはんてん	reversal of magnetization	外部磁場と逆方向に物体が磁化されている状態。岩石の熱残留磁気にもまれに見られる現象で自己反転残留磁気と呼ばれる。
磁化焙焼（ばい焼）	じかばいしょう	magnetizing roasting	非磁性または弱磁性の鉱物を焙焼して強磁性の鉱物に変えること。
支間	しかん	effective span	構造物（橋梁）の支点間距離。
時間依存性	じかんいぞんせい	time dependency	材料の力学挙動の中でクリープ、応力緩和に代表される時間効果が含まれるとする力学特性をさす。
時間雨量	じかんうりょう	hourly rainfall	降雨現象の強さを評価する数値指標で1時間あたりの降雨量(mm)。
時間雨量曲線	じかんうりょうきょくせん	hyetograph	降雨の時間経過を示す図。時間を横軸、雨量を縦軸にとり、ピーク時の雨量などがわかりやすく表現される。洪水流出解析に用いられる。雨量図、ハイエトグラフともいう。

自貫入	じかんにゅう	autointrusion	マグマの結晶化の最終段階で生じた割れ目に、マグマ残液が貫入浸透する状況。
時間領域	じかんりょういき	time domain	周波数を独立変数とする周波数領域に対し、ある時間関数を取り扱う上で、時間を独立変数としたときの表現。
時間領域 I P 法	じかんりょういきあ いびーほう	time domain induced polarization method	大地に電流を流し、この電流切断後に分極現象によって生じていた電圧の減衰を測定する電気探査法。過渡現象 I P 法ともいう。
時間領域電磁探 査法	じかんりょういきで んじたんさほう	time domain electromagnetic method	送信ループにパルス状電流を流し、二次磁場による受信コイルの減衰電圧を時間領域で測定する電磁探査法。TDEM法ともいう。
支間割	しかんわり	selection of span length	橋梁の全長を地形・地質条件ならびに型式に応じてどのような支間に分割するか検討すること。
磁気嵐	じきあらし	magnetic storm	全地球的に大規模に起こる磁気攪乱。
敷石舗装	しきいしほそう	stone pavement	耐水・耐磨耗性のある自然石・割り石などを地面に敷き並べ、砂やセメントで目詰めをした舗装。
磁気異常	じきいじょう	magnetic anomaly	通常、地表からキュリー温度にいたる地殻の岩石の磁性の特性による局所磁気異常をいう。観測された地球磁場とその地域の平均的地球磁場（通常、国際標準地球磁場を用いる）との差で表す。
しきい値	しきいち	threshold	ある数値軸上あるいは空間において、複数の領域を設定しそれを区分するための境界として設定する値。
自記雨量計	じきうりょうけい	recording rain gauge, automatic rain gauge	雨量を自動的に記録する装置。多くの種類があり、貯水位形式と転倒ます形式などが代表的。
自記温度計	じきおんどけい	recording thermometer	自動的に対象とするものの温度変化やある時刻の温度を測り、記録紙やデータファイルに記録する装置。
磁気化石	じきかせき	magnetic fossil	岩石の生成時に地球磁場により永久磁化され、保存された自然残留磁気。当時の地球磁場の化石となる。
自記気圧計	じききあつけい	recording barometer, barograph	大気圧力の自動測定機器。アナログ式のほか、半導体圧力センサを組み込んだデジタル式も近年多い。
磁気基盤	じききばん	magnetic basement	磁気探査において相対的に高い磁性をもつ地層または岩石の表面。
磁気経緯儀	じきけいいぎ	magnetic theodolite	非磁性の経緯儀に磁力計を取り付けたもので、地磁気の偏角・伏角・磁場の大きさが測定できる。
磁気検層法	じきけんそうほう	magnetic log	ボーリング孔を利用して孔沿いの地層の磁気的性質を連続的に測定する検層法。

敷込砂利	しきこみじゃり	ballast for shovel packing, chippings, crushed stone chips	レールを保持する枕木やコンクリート床板を保持するためにその下にしき込まれた碎石またはふるい砂利.
磁気子午線	じきしごせん	magnetic meridian	地球磁場の磁力線を含む鉛直面と地球表面とで作られる南北方向の線.
敷砂利	しきじゃり	granular fill	構造物基礎, 路盤などに不陸整正や強度, 変形性改善のために敷く碎石または砂利.
磁気図	じきず	magnetic map	陸上・海上または空中で測定された地球磁場を地図上にコンター表示したもの. 地磁気図と同義.
自記水位計	じきすいいけい	water level recorder	自動的に対象とするものの水位変動やある時刻の水位を測って, 記録紙やデータファイルに記録する装置.
磁気赤道	じきせきどう	magnetic equator	地磁気の鉛直成分がゼロとなる地球上の地点を結んだ線.
磁気双極子	じきそうきょくし	magnetic dipole	棒磁石の両極間が無限小になった状態.
磁気層序	じきそうじょ	magnetic stratigraphy	地球磁場の変遷をもとに分帯した地層の層序. これを利用して古地磁気の編年が行われている.
磁気測量	じきそくりょう	magnetic survey	地磁気の地理的分布と経年変化をとらえる測量. 近年では空中および海上からの測量もなされる.
シキソトロピー	しきそとろぴー	thixotropy	粘土は練ると強度が低下し軟化するが, これを含水量を変えずに放置したとき, 強度が回復して硬化することをさす.
シキソトロピー流動	しきそとろぴーりゅうどう	thixotropy flow	機械的な衝動を与えることによりゾルとゲルとが可逆的に変換する現象に伴う流動. 例えば地震時の噴泥現象.
シキソトロピック	しきそとろびっく	thixotropic	シキソトロピーの形容詞形.
磁気探査	じきたんさ	magnetic survey	岩石の帯磁の強さが岩石の種類や温度によって異なることを用いて地下構造・地熱資源・金属資源等の調査に用いられる探査法. 航空機や船舶にプロトン磁力計などの磁力計を搭載して地球磁場を測定し, 磁気異常の分布を把握する. 磁力探査ともいう.
色度	しきど	color unit	色度標準液を用いて示される水の着色の指標で, 地質中のフミン質や排水などの混入の程度に左右される.
敷均し	しきならし	placing and spreading	搬入された土砂やコンクリートなどをブルドーザなどを用いて所定の厚さにすること.
磁気分極	じきぶんきょく	magnetic polarization	磁性体が一様に磁化されているときの単位体積あたりの磁気モーメントのことで, 磁場の強さと真空透磁率の積で求められる値.

磁気分離法	じきぶんりほう	magnetic separation	鉱物とその磁性や磁力の差異を利用して分離する方法.
磁気偏角	じきへんかく	magnetic declination	磁針偏差ともいう。磁北と真北がなす角度。日本では、真北から西側へ5°（九州）～9°（北海道）偏った方向が磁北となる。
磁気モーメント	じきもーめんと	magnetic moment	磁極の強さと磁極(NS)間の距離により定義されるベクトルで、S極からN極に向かう方向性をもつ。
敷モルタル	しきもるたる	bedding mortar	コンクリートの打設時に基礎または前施工リフトとの打ち継ぎ面に敷き均すモルタル。
磁気誘導	じきゆうどう	magnetic induction	任意の微小面積を、それを貫く磁束が最大となる方向に向け、その磁束を面積でわったもの。
視距	しきよ	sight distance	車道の中心線上に高さ1.2mの点から見通せる高さ10cmの点までの中心線沿いの距離。
磁極	じきよく	magnetic pole	地球上において、伏角が90°を示し、地磁気の水平分力がゼロの地点。
試金石	しきんせき	touchstone	貴金属の鉱石や合金をこすりつけ、現れた条痕を既知のものと比較してその試料の質を判定するのに用いる石。
軸（褶曲の）	じく（しゅうきよくの）	axis	褶曲の対称形を形作る、規準とする直線。
軸圧	じくあつ	axial pressure	載荷試験やせん断試験において、供試体に加えられる一定方向の圧力。
軸圧縮	じくあつしゅく	axial compression	柱状の試料をその軸方向に圧縮すること。岩石や土質試料の変形・強度試験で行われる。
軸荷重	じくかじゅう	axial load	軸方向荷重と同義。
軸差応力	じくさおうりょく	deviator stress	三軸圧縮試験における最大主応力と最小主応力の差。
ジグザグ褶曲	じぐざぐしゅうきよく	zigzag fold	直線的に曲がる軸部にほぼ平面状の両翼部が会合している褶曲。アコーディオン褶曲と同義。
軸色	じくしよく	axial colour	斜方晶系・単斜晶系・三斜晶系などの光学的二軸性結晶においてX, Y, Zの各方向に振動する白色偏光を通したときの色。
地崩れ	じくずれ	slumping	一時的に堆積した未固結ないし半固結堆積物が、斜面や水底斜面をすべり下る作用。地震時に生じやすい。スランピングともいう。

地崩れ成層	じくずれせいそう	slump bedding	地崩れの結果生じた地層。内部を乱された状態で堆積。
軸対称	じくたいしょう	axial symmetry	回転だ円体のように、一つの軸を共有する無数の対称面と軸に垂直な一つの対称面からなる対称性をいう。
軸対称三軸試験	じくたいしょうさん じくしけん	axisymmetric triaxial test	円柱型供試体に軸対称の主応力を加える試験で三軸圧縮試験・三軸伸張試験がある。
軸対称浸透流解析	じくたいしょうしん とうりゅうかいせき	axial symmetry seepage analysis	地盤掘削工事などの地下水位挙動解析などに用いられる手法。地下水流動が鉛直軸に対して対称であると仮定して浸透流解析を行う。
軸対象ファブリック	じくたいしょうふあ ぶりっく	axial symmetric fabric	一つの軸を共有する無数の対称面と軸に垂直な一つの対称面からなるファブリック。構造要素の方位が無限回対称軸を持つように分布するファブリック。
試掘	しくつ	test mining, exploratory drilling	ある地域の鉱床・油層・ガス層などの有無などを先行的に調査する掘削。
試掘	しくつ	test pitting	地質情報をより多く得るために、掘削により人工的に露頭をつくること。
試掘横坑	しくつおうこう	test adit, test tunnel	トンネルやダム基礎の岩盤状況評価や力学的性質・水理学的性質の調査・試験のために掘削される坑。
試掘権	しくつけん	prospecting rights, mining claim	鉱業法によって登録を受けた区域で、登録を受けた鉱物を試掘することができる権利。
試掘井	しくつせい	exploratory well	未知の油層またはガス層の探鉱を目的として初めて掘削される坑井。確認された油層などの規模を調べる坑井は探掘井。
軸ひずみ	じくひずみ	axial strain	伸縮に関するひずみ。線ひずみ・伸びひずみともいう。
軸平面褶曲	じくへいめんしゅう きよく	plane fold	平面褶曲と同義。
軸方向荷重	じくほうこうかじゅう	axial load	一軸試験や三軸試験において、各軸方向から加えられる荷重。軸荷重ともいう。
軸方向鉄筋	じくほうこうてつき ん	longitudinal reinforcement	柱、梁などの鉄筋コンクリート部材において、部材の軸方向に配置された鉄筋。
σt 積	しぐまでいーせき	conductivity-thickness product	地層構成体が電導性である場合、その電導度 (σ) と厚さ (t) との積。電磁誘導の応答に関する量。
軸面	じくめん	axial plane	褶曲における背斜や向斜の傾斜が移り変わる境界面。褶曲軸面と同義。

軸面褶曲	じくめんしゅうきょく	axial-plane fold	褶曲の形態の一つで、2回の褶曲作用によってできる。最初の褶曲の軸面が著しく褶曲してみえるもの。
軸面对称褶曲	じくめんたいしょうしゅうきょく	symmetric fold	対称褶曲ともいう。単一の向斜・背斜にて両側の翼の形態が褶曲軸面で対称であるような褶曲。
軸面非対称褶曲	じくめんひたいしょうしゅうきょく	asymmetric fold	非対称褶曲ともいう。単一の向斜・背斜にて、両側の翼の形態が褶曲軸に対して非対称である褶曲。
軸面へき開（軸面劈開）	じくめんへきかい	axial plane cleavage	せん断褶曲作用において、褶曲軸面に平行に発達するへき開（劈開）。
軸面片理	じくめんへんり	axial plane schistosity	せん断褶曲作用におけるすべり面で褶曲軸面に平行に発達するへき開（劈開）面が片理の特徴を示すもの。
軸面葉状構造	じくめんようじょうこうぞう	axial plane foliation	軸面へき開（劈開）の一種。へき開（劈開）が葉片状の特徴を示す構造。褶曲軸面に平行もしくはほぼ平行なストレートへき開のことが多い。
シクロケイ酸塩	しくろけいさんえん	cyclosilicates	3個以上のSiO ₄ 四面体が酸素の頂点を共有して環状に縮合した構造をもつ鉱物。たとえば電気石など。
自形	じけい	idiomorphic, euhedral	鉱物が他の鉱物などに制約されずに自由に成長するもので、鉱物固有の結晶面が発達している鉱物の形を形容する語。他形の対語。
自形褶曲	じけいしゅうきょく	idiomorphic fold	褶曲の不連続性・局地性、背斜・向斜の不均質な発達、線状性の欠如などを特徴とする不連続褶曲と同義語。
自形変晶	じけいへんしょう	idioblast	外形が自形に近い結晶面からなる変成鉱物結晶。石英・長石に比較してザクロ石などは自形変晶になりやすい。
刺激法	しげきほう	stimulation	坑井周辺の貯留岩を破砕または溶解し、浸透率を大きくし、原油の最終回収率を増加させる工法。
繁藤地すべり	しげとうじすべり	the Shigeto landslide	1972年7月5日に高知県土佐山田町繁藤駅北斜面で発生した地すべり。豪雨で岩すべりによる崩壊（繁藤の崩壊）を生じた。
繁藤の崩壊	しげとうのほうかい	Shigeto landslide	1972年7月5日高知県土佐山田町繁藤駅北斜面で発生した大規模な地すべり性崩壊。死者59名を出したとされている（繁藤地すべり）。
資源衛星	しげんえいせい	earth resource observation satellite	地球上の資源の遠隔探査を目的とした人工衛星。種々の波長の電磁波による衛星画像が得られる。
始原岩層	しげんがんそう	primitive rocks	化石による層序学以前の中部ヨーロッパの岩相に基づく層序の最下位層。
試験坑	しけんこう	test pit	大規模な構造物の建設に際し、岩盤の原位置試験などを目的として掘削するトンネル。

試験施工	しけんせこう	test construction, test execution, trial construction	本施工の仕様決定のために実施工ヤードにおいて実施する実験。通常、施工成果はそのまま本施工の一部となる。
始原大陸	しげんたいりく	protocontinent	地球進化の第一段階で存在したと想像される大陸。現在の大陸地殻の化学組成上の特徴をもつ。
試験湛水	しけんたんすい	first filling of water	ダムが完成して始めて湛水する試験。ダムや基礎岩盤の挙動、漏水量の観測を行いながら計画された速度に従って水位を上昇させる。
始原地殻	しげんちかく	protocrust	始原大陸と同義。
試験配合	しけんはいごう	trial mix	工事に使用するコンクリートの配合を決めるために試験室などで試験的に選定する配合。
試験発破	しけんはつぱ	test blasting	爆薬の種類や薬量、装薬間隔、削孔間隔など発破の効果や周辺への騒音・振動を調査し、実施工の発破仕様を決定するために行われる発破実験。
資源評価	しげんひょうか	resource appraisal	金属などの各種の鉱物資源について、その資源の開発が経済的に可能かどうかの評価。
試験ブロック	しけんぶろっく	test block	地盤や岩石の各種物性を試験する場合の、試験の対象となる塊。一般的用語。
試験盛土	しけんもりど	test banking, test embankment, experimental banking, trial embankment	試験的に現地で実施する盛土。実際の地盤挙動を観察し、設計条件の確認や施工法の決定を行う。
指交	しこう	interfinger	堆積岩体が側方に層相変化するとき、水平方向に異なる層相の地層が交互に指を組み合わせたように接し合う状態をさす。指交関係ともいう。
紫鉱	しこう	purple ore	Cuの湿式精錬法であるラーメン法の際に生ずる浸出かす。紫色の鉄化合物。
指交関係	しこうかんけい	interfinger	同時に堆積した層相の異なる地層が互いに両手の指を交互に組み合わせた様な状態で接し合う関係。
指向式比抵抗検層	しこうしきひていこうけんそう	focused resistivity logging	電極からの電流流路を集束させるための複数の補助電極を備えさせた比抵抗検層。
指向性堆積構造	しこうせいたいせきこうぞう	directional sedimentary structure	砕屑物の移動した方向を示す堆積構造。斜交層理・漣痕・ソールマークなど。
子午儀	しごぎ	meridian transit instrument	恒星の子午線通過時刻を測定する機器。
自己昇降式足場	じこしょうこうしきあしば	self elevating platform	浮体に3本以上の脚を貫入させ海底着底させた脚を反力として浮体をウインチなどで海面上に引き上げる形式の足場。セップ（SEP）ともいう。

自己相関	じこそうかん	autocorrelation	ある時間関数の自分自身との相関で相互相関の特別の場合である。実際は自己相関をとる関数は時間的に有限とされる。
自己相関関数	じこそうかんかんすう	auto-correlation function	$x(t)$ の時間間隔 τ だけ離れた時点間の関連の強さを示す関数。時刻 t と $t+\tau$ における積の期待値で表わす。地震波などの周波数分析に用いられる。ある距離を隔てた地点の性質間の関連性を示すことにも使われる。
自己浮上式	じこふじょうしき	pop-up type	海底地震計のうち、地震計と記録器を収めたカプセルをタイマーまたは信号により浮上させて回収する方式。
自己変質作用	じこへんしつさよう	autometamorphism	火成活動の最終段階にマグマ中の水や揮発成分が濃縮して、既に固化した岩石に作用し低温で安定な鉱物の集合体に変える作用。
視差	しさ	parallax	異なる地点から目標物を見たときの、目標物の見かけの相対位置の差。
自在回転台	じざいかいてんだい	universal stage	岩石顕微鏡において、岩石薄片を三次元的に任意の方向に回転させる装置。薄片の光学的方位の決定に用いる。
四さい類	しさいるい	<i>Tetrabanchiata</i>	オウムガイ亜綱ともいう。現生頭足類の一亜綱。
示差温度検層	しさおんどけんそう	differential temperature logging	孔井内において、一定間隔に固定した2個の温度センサー間の温度差を連続して測定する温度検層法。
視差差	しささ	parallax difference	視差の差。空中写真測量では高低差によって現れる視差間の差。
示差赤外吸収スペクトル分析	しさせきがいきゅうしゅうすべくとるぶんせき	differential infrared spectroscopy	処理によって試料を構成する物質に生じる変化を、赤外吸収スペクトルで検出、もしくは定量する分析法。
示差走査熱量測定	しさそうさねつりょうそくてい	differential scanning calorimetry	試料と基準物質を用い、加えた熱量の差から試料を分析する方法。示差熱分析は両者の温度差を使う。
視差測定桿	しさそくていかん	parallax bar	空中写真測量で反射実体鏡を併用し視差差の量を測定する器具。二枚の位置合せ印板とマイクロメータ状の棒からなる。
示差熱図	しさにつづ	thermogram	示差熱分析曲線で横軸に加熱の温度、縦軸に熱収支を示した曲線図。
示差熱分析	しさにつづぶんせき	differential thermal analysis	試料の加熱時における吸熱および発熱反応を測定する熱分析の1方式。粘土鉱物・硫化物・酸化物などの分析に利用される。
支持基盤	しじきばん	bearing basement	構造物の鉛直荷重を支えることができる地層あるいは岩盤のこと。
磁軸	じじく	magnetic axis	地磁気の内部磁場を球関数で表現した双極子磁場の双極子の方向。地球の自転軸に対して11.5度の傾きを持つ。

支持杭	しじぐい	bearing pile	良好な支持層に達する杭で、荷重を先端支持力のみまたは先端支持力と支持層の周面摩擦力で支持。
宍喰石	ししくいし	Shishikui ishi	徳島県海部郡宍喰町宍喰浦産石材。中生界砂岩。大島石と同質。
支持杭受桁工法	しじぐいうけげたこうほう	underpinning	既設構造物の下に新しい構造物を施工する際、一時的に既設構造物の杭を仮り受けする工法。
指示元素	しじげんそ	indicated element	鉱床の化学探査において、その鉱床の存在を知る手掛かりとなる元素。
西吉地すべり	しじじすべり	the Xiji landslide	1920年12月に中国寧夏回族自治区に発生した海原地震によって生じた大規模な崩壊や地すべりの総称。
支持地盤	しじじばん	bearing stratum	構造物からの荷重を支える地盤。
指示植物	しじしょくぶつ	index plant	環境の状況またはその変化に応じて顕著な変化を示し、環境汚染の指標として用いることができる植物。
支持層	しじそう	bearing layer (bed, stratum)	杭などの先端部分で構造物の鉛直荷重を支える役割を果たす地層や岩盤。
自重圧密	じじゅうあつみつ	self-weight consolidation	含水比が高く液状に近い粘土が自重で圧密する現象。
自重圧密試験	じじゅうあつみつしけん	self-weight consolidation test	圧密試験のうち、特に载荷を行わず自重のみによる圧密特性を調べる試験。
自重座屈	じじゅうざくつ	rod sag	ボーリングのロッドが、自重によって屈曲すること。
視準	しじゆん	collimation	トランシット、セオドライト、アリダードなど測量機材を用いて目標を狙うことあるいは捕らえること。
示準化石	しじゆんかせき	index fossil	地層の地質年代決定や広域的な地層の対比に有効な化石。広範囲に分布し、生存期間が短く、個体数の多い化石が適する。
視準誤差	しじゆんごさ	error of collimation axis, collimation error	トランシットの望遠鏡のレンズの位置、回転軸の水平軸との狂いによって生ずる誤差角度。
視準軸	しじゆんじく	collimation axis	測量機器の目標点を見通す軸線。レンズ系機器では、対物レンズの光心と望遠鏡十字線交点を結ぶ線の延長。
視準線	しじゆんせん	collimation line	測量機器を通して目標物まで見通す線。レンズ系機器では、観測者の視線がレンズの光軸を通過して目標点に至る線分。

示準層	しじゅんそう	marker horizon	凝灰岩など広く同時に形成された特徴的な岩相を示す地層や識別容易な示準化石を含み、地層の対比に有効な地層。
視準面	しじゅんめん	collimation plane	経緯儀や望遠鏡を回転させたときに視準軸が描く平面。
支承	ししょう	support, bearing, shoe	橋梁などの上部工の反力を下部工に伝達する部材。
自浄係数	じじょうけいすう	self cleansing factor, self purification	河川の自然浄化作用におけるBODの除去速度に関わる係数。脱酸素係数ともいう。 $L_t = L_a \cdot 10^{-kt}$ L_a : $t=0$ におけるBOD, L_t : $t=t$ におけるBOD, t : 経過日数, k : 自浄係数
自浄作用	じじょうさよう	self-purification	汚染された水が河川を流れるにつれて自然条件で沈殿や酸化反応が起こって有機物が減少し、水がきれいになる作用。
耳状突起	じじょうとつき	lappet	イタヤガイ科の殻頂部に発達する突起のこと。通常、耳と呼ぶ。
支持力	しじりよく	bearing capacity	荷重を支える地盤の能力をさす。
支持力係数	しじりよくけいすう	coefficient of bearing capacity, bearing capacity factor	地盤の支持力を与える公式において、土の内部摩擦角によって決まる無次元の係数。
地震	じしん	earthquake	大地が振動すること。また、地震動を生じる原因となった地球内部の破壊現象をさす。
地震エネルギー	じしんえねるぎー	seismic energy	地震波の形で放出されたエネルギー。通常、マグニチュード (M) と相関性を持つ。
地震応答	じしんおうとう	seismic response	地震基盤での入力地震の設定により、計算される地震基盤以浅の地盤および構造物の応答値の総称。
地震応答解析	じしんおうとうかいせき	seismic response analysis	構造物の耐震設計にかける地盤を含めた動的解析法の総称。
地震応答スペクトル	じしんおうとうすpektoru	seismic response spectrum	スペクトル分析より、地震動の周期特性と建造物の振動との関係を示したもので、耐震工学の分野で重要。
地震応答特性	じしんおうとうとくせい	characteristics of seismic response	地震時に地盤および地中・地上構造物が示す挙動。
地震階級	じしんかいきゅう	seismic intensity	主に人体感覚、構造物の破壊程度などによって表した、ある地点における地震動の強さのランク。震度階ともいう。
地震学	じしんがく	seismology	地震の発生、原因地震波の伝搬、地震に伴う地球物理的諸現象、地球内部構造などを扱う地球物理学の一分野。

地震荷重	じしんかじゅう	seismic load	地震時を考慮した安定解析が必要とされる構造物において、考慮される自重に設計震度を乗じた荷重。
地震加速度	じしんかそくど	acceleration of ground motion	地震により得られた地震動の加速度。震度と加速度にはある一定の関係が与えられ、震度階の統一に有用。
地震型山崩れ	じしんがたやまくずれ	seismic zone type landslip	山地の基盤岩、岩屑の一部が地震によって急激に崩落する現象。
地震カタログ	じしんかたろぐ	catalogue of earthquakes, earthquake catalogue	地震目録と同義。
地震活動	じしんかつどう	seismic activity	地震の発生を程度を、地震の回数、大きさなどを考慮して表現したもの。
地震活動空白域	じしんかつどうくうはくいき	seismic gap	地震分布の空白地域。近くで大地震が発生しているのにある地域だけ大地震が起きていないとか、大地震の前にいつも地震が多く発生しているのに一時的に小地震が全く起きていないといった現象の見られる地域。地震空白地域と同じ。
地震活動図	じしんかつどうず	seismicity map	ある地域、ある期間内、あるマグニチュードの範囲内、ある深さの範囲内の地震活動を地図上に示した図。
地震活動度	じしんかつどうど	seismicity	地震活動の様式。ある地域における地震発生の時間、空間分布、規模など、地震活動の全体。
地震活動等総合監視システム	じしんかつどうとうそうごうかんししすてむ	earthquake phenomena observation system (EPOS)	気象庁が1987年に導入した地震関係データの処理・表示システム。震源とマグニチュードの決定などを行う。
地震活動様式	じしんかつどうようしき	pattern of seismic activity	地震の起こり方の特徴。通常、空間的な特徴と時間的な特徴に分けられる。
地震岩	じしんがん	seismite	地震動により未固結堆積物が乱されて複雑な構造を生じたもの。圧密の程度などにより上下で構造が異なる。
地震慣性力	じしんかんせいりょく	seismic inertia force	地震により構造物に作用する慣性力のこと。例えば、構造物の自重に水平震度を乗じた値が使用される。
地震観測	じしんかんそく	seismicity observation	地震で発生した弾性波を地震計で観測すること。
地震観測網	じしんかんそくもう	network of seismic stations, seismological network	震源要素決定などが行われている観測点群のこと。規模は局地的なものから全世界的なものまで様々である。
地震危険度	じしんきけんど	seismic hazard, seismic risk, earthquake risk	ある地点がある強さ以上の地震動を受ける可能性がどの程度あるかを、何らかの方式により数値で表したもの。
地震記象	じしんきしょう	seismogram	地震動記録と同義。

地震基盤	じしんきばん	seismic bedrock	震源からの地震波が地表近傍の媒質による影響を受けず地震波形がほぼ同じになる基盤. 具体的な基準はないが, 深くとる場合には概ねP波速度が5km/s以上, S波速度が2.5km/sを超えるような地下深部の広がりのある基盤.
地震基盤面	じしんきばんめん	surface of seismic bedrock	対象地点に共通する広がりを持ち, 耐震設計上振動するとみなす地盤の下に存在する十分強固な地盤の上面.
地震空白地域	じしんくうはくちいき	seismic gap	地震活動空白域と同義.
地震群	じしんぐん	earthquake swarm	地震の多発する地域で前震, 主震, 余震と区別できない事がある. これを地震群という.
地震計	じしんけい	seismograph, seismometer	地震の際に, 地震動を観測, 記録するための装置全体の総称.
地震計測学	じしんけいそくがく	seismometry	地震動を観測するための変換器・増幅器・伝送装置・記録装置を研究する地震学の一分野.
地震警報	じしんけいほう	earthquake alarm, earthquake warning	気象庁長官の「地震予知情報」に基づき, 内閣総理大臣が閣議にかけたうえで発令する「警戒宣言」のこと.
地震工学	じしんこうがく	earthquake engineering	地震学の研究結果を工学分野に応用した学問で, 構造物の地震に対する挙動, 耐震設計法などが研究されている.
地震考古学	じしんこうこがく	seismic archeology	発掘現場や古代遺跡に残る地震のつめ跡を調査することにより, 資料に残っていない地震と人類との関わりを解明する学問. 人類学・地質学などとの連携も欠かせない.
地震構造線	じしんこうぞうせん	earthquake tectonic line, seismotectonic line	大地震時の震動分布, 被害分布が線状を成し, その周囲よりも震度や被害の大きい地帯.
地震災害	じしんさいがい	earthquake disaster	地震により被る災害. 直接の誘因による一次災害と, 副次的に生ずる二次災害とに区分する. 震害, 震災と同義.
地震再来周期	じしんさいらいしゅうき	recurrence time of earthquakes	ある地域で過去に起こった大地震の平均的間隔. 過去の地震は古文書や活断層の活動履歴から調べることができる.
地震時応答予測	じしんじおうとうよそく	seismic response analysis	シミュレーションにより地震時の地盤や構造物の挙動(応答倍率, 増幅度など)を把握すること.
地震時滑動	じしんじかつどう	seismic sliding	地震力を作用させた場合に発生する滑動. 原子力発電所の基礎地盤の力学的安定性の検討に重要.
地震時慣性力	じしんじかんせいりょく	inertia force during earthquakes	地震時における構造物に作用する慣性力. 一般にいう地震荷重と同義.
地震磁気効果	じしんじきこうか	seismo-magnetic effect	岩石の磁気が応力の変化によって変わる性質. 地震予知との関連で重視されている.

地震時挙動	じしんじきょどう	seismic response analysis	地震時に、伝わって来た地震波に対する、地盤あるいは構造物の応答。
地震時自重慣性力	じしんじじじゅうか んせいりょく	seismic inertia force	地震慣性力と同義。
地震時主動土圧	じしんじしゅどうど あつ	active earth pressure during earthquakes	地震時に前方に押し出され移動した擁壁の壁面に働く土圧。
地震時受動土圧	じしんじじゅうど あつ	passive earth pressure during earthquakes	地震時に前方に押し出され移動した擁壁の根入れ部分に働く土圧。
地震時静止土圧	じしんじせいしどあ つ	earth pressure at rest during earthquakes	地震時に鉛直地下壁面などに作用する土圧で、壁面と土が相対的にほとんど変位しなかった場合の土圧。
地震時沈下	じしんじちんか	seismic ground settlement	地震力を作用させた場合に発生する沈下。原子力発電所の基礎地盤の力学的安定性の検討に重要。
地震時土圧	じしんじどあつ	earth pressure during earthquakes, earthquake load	地震時に構造物に加わる土圧。設計時の土圧の算定には震度法と応答変位法がある。
地震史料	じしんしりょう	historical record of earthquakes, historical documents of earthquakes	地震計による地震観測が行われる以前の地震の被害を記した文書。歴史地震の発生年代や規模を推定できる。
始新世	ししんせい	Eocene (epoch)	古第三紀を三分した2番目の時期。貨幣石が有効な示準化石の一つで、わが国では北海道・九州の夾炭層と外帯のフリッシュ型堆積物が相当する。
地震性地殻変動	じしんせいちかくへ んどう	seismic crustal movement	地震の前後に現れる地殻変動。地震の規模によって変動量、変動範囲は異なる。
地震跡	じしんせき	earthquake trace	液状化などの地震の発生したことを示す現象。古地震研究における地震の発生や規模を推定するのに用いられる有効なデータの一つ。噴砂・液状化跡など。
地震先行現象	じしんせんこうげん しょう	earthquake precursor	比較的規模の大きい地震の発生以前に生じる異常現象の総称。
地震造構論	じしんぞうこうろん	seismotectonics	地震活動と造構運動との関係を研究する学問で、造構による地震発生論と地震による造構論の両方面がある。
地震帯	じしんたい	seismic belt	地震の活動が特に活発な地帯で、世界的にはユーラシア地震帯、環太平洋地震帯などがある。
地震体積	じしんたいせき	earthquake volume	地震を地下のひずみエネルギーが一度に放出される現象と捉えた場合のひずみのたまった体積。
地震探鉱	じしんたんこう	seismic exploration	鉱床探鉱を目的とした地震探査。

地震探査	じしんたんさ	seismic prospecting	地下構造を把握することを目的とし、人工的に地震波（弾性波）を発振・受振して速度構造や反射構造を得る調査。用いる波の種類により反射法、屈折法、直接波法がある。一般に反射法は地下資源探査などの深部の探査に、屈折法、直接波法は土木構造物のための調査など浅部の調査に用いられる。
地震断層	じしんだんそう	earthquake fault	地震に伴い地表に現れた断層。地震波を発生させた地下の震源断層の一部が地表に達したもの。すなわち地表地震断層の意味。
地震断層崖	じしんだんそうがい	earthquake scarplet	地震断層で生じた断層崖。
地震断層モデル	じしんだんそうも で る	earthquake fault model	地震を起こす断層運動を断層の長さ、走向、傾斜角、破壊速度などのパラメータで記述したモデル。
地震地質学	じしんちしつがく	seismogeology	地震や地震に伴う地球科学的な諸現象を地質学的に研究する学問。
地震津波	じしんつなみ	seismic wave, tsunami	地震がもたらす津波。周期が長く、数千kmを伝搬する。まれに地震の規模よりはるかに大きな津波が発生する。
地震テクトニクス	じしんてくとにくす ス	seismotectonics	地震造構論と同義。
地震電位効果	じしんでんいこうか	seismo-electric effect	地震によって大地の抵抗が変動したり、大地の電気的性質が変わる現象。
始新統	ししんとう	Eocene(series)	始新世に形成された堆積岩や火成岩。
地震動	じしんどう	earthquake vibration	地震波の到達による地面の振動を地震動と呼ぶ。
地震動記録	じしんどうきろく	seismogram	地震計で記録された、伝播して来た地震波に起因する媒質の振動。地震記象ともいう。
地震動継続時間	じしんどうけいぞく じかん	duration of an earthquake, duration of oscillation	地震動記録のP波初動時刻から地震動の終わりまでの時間で、地震のマグニチュードに大きく依存する。
地震動特性	じしんどうとくせい	features of ground motion	主に地震動の工学的特性で、地震動の最大値、継続時間、波形のスペクトルおよび振動の非定常性をいう。
地震動予測	じしんどうよそく	estimation of ground motion	シミュレーションなどの手法で、想定された地震によって引き起こされる地震動を評価すること。
地震トモグラフィ	じしんともぐらふい フィ	seismic tomography	①弾性波トモグラフィと同義。 ②自然の地震波を用いたトモグラフィ。マントルや地球全体に及ぶ大きな領域を対象とする。
地震入力	じしんにゅうりょく	seismic input, earthquake input	耐震解析または地震動予測する際に想定された地震基盤に入力する地震力。

地震のエネルギー	じしんのえねるぎー	earthquake energy	断層運動によって生じた解放されるひずみエネルギーおよび地震エネルギー。
地震の規模	じしんのきぼ	magnitude of earthquake	地震の力学的な大きさを示すもので、マグニチュード(M)が用いられる。
地震の最大加速度	じしんのさいだいかそくど	maximum acceleration of earthquake	地震の加速度記象における最大振幅。
地震の巣	じしんのす	earthquake nest	震央の分布が狭い範囲に集中し、鳥の巣のような立体的なかたまりに見えること。
地震の前兆現象	じしんのぜんちょうげんしょう	precursory phenomenon of earthquake	地震が発生する前に起こる現象のことで、地盤の変動、地震活動の異常、地震波速度の変化、地下水の変化、発光現象、動物の異常行動などが挙げられている。
地震の場	じしんのば	earthquake field	地震時に放出されるエネルギーがひずみとして蓄えられている、地殻底近傍の広がりを持った空間部分。
地震のマグニチュード	じしんのまぐにちゅーど	magnitude of earthquake	地震そのものの大きさを定量的に表す尺度となるもの。地震の規模と同じ。
地震波	じしんは	seismic wave	地震の震源から生じた弾性波。縦波・横波・表面波に区分される。
地震波形	じしんはけい	seismogram	地震計に記録された地震波の形。
地震波経路	じしんはけいろ	ray path of seismic wave	地震波波線の軌跡。波線が密集する所に地震被害が大きいと考えられる。
地震波増幅	じしんはぞうふく	amplification of seismic waves	伝播に伴い地震波の振幅が大きくなること。地盤特性によるものとフォーカシングなどによるものがある。
地震波速度	じしんはそくど	seismic wave velocity	地震波が地層や岩石のような物体の中を伝播する速さ。
地震波速度分布	じしんはそくどぶんぷ	distribution of seismic velocity, seismic velocity distribution	地球内部の地震波(P波、S波)速度分布。地球内部を知る手段として地震波速度分布を調べる。
地震波速度変化	じしんはそくどへんか	temporal variation of seismic velocity	大地震の前に震源域の地震波速度が変化すること。過去に報告があったが、最近の観測では確認されていない。
地震発生確率	じしんはっせいかくりつ	probability of earthquake occurrence	ある期間にある規模以上の地震が発生する可能性。過去および隣接地域の地震データから計算できる。

地震発生メカニズム	じしんはっせいめかにずむ	seismogenic mechanism, mechanism of earthquake occurrence	地震は、地中応力によって地下の岩石が破壊される際の急激な断層運動で生じた擾乱である。地中応力の原因にはプレートの動きによるもの、火山活動に伴うものなどがある。プレート境界の巨大地震は、大陸プレート下に海洋プレートが沈み込む際、両プレートの固着部（アスペリティ）が急激なすべりを生じ、大陸プレートが跳ね上がることによって生じる。
地震波動	じしんはどう	seismic waves	自然地震によって発生し、地中または地表面に沿って伝播する波。地震破壊力の運搬者である。
地震波の焦点	じしんはのしょうてん	focus of seismic phase	地震波が核を通ることによって曲げられ、ある震央距離で同時に地表に到達して振幅が大きくなる地点。
地震被害	じしんひがい	seismic hazard, earthquake disaster	地震によってもたらした災害で、地盤条件と関係があり、一般的に軟弱地盤における被害が大きい。
地震分類	じしんぶんるい	classification of earthquakes	地震現象のある特徴に着目し、一定の基準によって地震を分類すること。マグニチュードによる分類などがある。
地震防災基本計画	じしんぼうさいきほんけいかく	basic plan for earthquake disaster prevention by central disaster prevention council	大規模地震対策特別措置法に基づいて、国が定める地震防災のための基本計画。
地震防災対策	じしんぼうさいたいさく	countermeasures against earthquake disaster	地震災害の防止あるいは軽減のための対策。一般的には、国または地方自治体によって実施される。
地震防災対策強化地域	じしんぼうさいたいさくきょうかちいき		大震法第3条第1項に定められた、「大規模な地震が発生した場合に著しい地震災害が生じるおそれがあるため、地震防災に関する対策を強化する必要がある地域」のことで、震度6弱以上の強い揺れによる著しい被害が予想される地域、あるいは20分以内に高い津波が来襲する地域などが指定の理由として挙げられている。
地震保険	じしんほけん	earthquake insurance, seismic insurance	地震保険に関する法律によって作られた保険で、地震被害を受けた時に保険金を受け取ることができる。
地震モーメント	じしんもーめんと	seismic moment	地震を発生させた断層運動と等価な偶力のモーメント。 $M_0 = \mu LDW$
地震目録	じしんもくろく	catalogue of earthquakes, earthquake catalogue	個々の地震に関する情報をまとめた地震の目録。時代・地域によりデータが一様でない可能性がある。地震カタログともいう。
地震予知	じしんよち	earthquake prediction	地震が発生する前に、発生場所・発生時刻・地震の規模を予測すること
地震予知計画	じしんよちけいかく	earthquake prediction plan, earthquake prediction program	地震予知のための計画。基本的構想、予知に関する観測と研究、発生機構に関する研究などで構成されている。
地震予知の3要素	じしんよちのさんようそ	three elements of earthquake prediction	予測される地震の場所、規模および時期をさす。それらの精度は社会的に対応が可能な範囲内であることが必要とされる。
地震隆起	じしんりゅうき	seismic upheaval	地震に伴う地殻の隆起。

地震力	じしんりょく	seismic force	地震によって構造物または地盤に印加された力。構造物を設計する際、この力を想定し、耐震解析を行う。
J I S	じす	Japanese Industrial Standard, JIS	日本工業規格。
死水	しすい	dead water	①船の推進力が内部波の生成に費やされ船が進まない現象。 ②高密度の海水の上に低密度の水の層が存在する海域。 ③発電ダムなどで堆砂容量の最上面よりも上にあるが、貯水池からの取水口よりも低い位置にあり利用できない貯留水。
試錐	しすい	drilling	地中に小口径の孔を掘ること。ボーリングともいう。管の先端に堅硬な超硬合金、ダイヤモンドなどを植えつけ、回転や衝撃によって掘り進む。
試錐コア	しすいこあ	borehole core, drill core, boring core	コアビットで切り取られ、コアバレルに収納されて地表に回収された土質および岩石試料。
試錐孔	しすいこう	borehole	ボーリング孔と同義語。
試錐孔 I P 法	しすいこうあいぴーほう	borehole induced polarization method	試錐孔周辺における鉱体や鉱化体の存在あるいは卓越存在方向の探査に使用される試錐孔利用の I P 法の総称。
試錐孔電磁探査	しすいこうでんじたんさ	borehole electromagnetic method	地表に設置した大ループなどを信号源とし、試錐孔にセンサを降下させ測定する電磁法。試錐孔周辺の鉱体などに対する検出能が非常に高い。試錐孔電磁法ともいう。
試錐孔電磁法	しすいこうでんじほう	borehole electromagnetic method	試錐孔電磁探査と同義。
止水工法	しすいこうほう	cut-off of water, cut-off	基礎掘削などにおいて外部からの地下水の浸入を防ぐために施される止水壁や止水注入などの総称。
止水鋼矢板	しすいこうやいた	sheet pile cut off wall	透水性地盤中に打設して止水を図るための鋼矢板、鋼管矢板、軽量鋼矢板をいう。
止水コンクリート	しすいこんくりーと	concrete cut off wall	透水性地盤中の浸透流を止水するための壁体を構成するコンクリート。
試錐探鉱	しすいたんこう	prospecting by drilling	各種鉱床の試錐コアを採取して鉱床の形態・規模・品位・埋蔵量などを判定すること。
試錐探査	しすいたんさ	drilling method	試錐により、地質調査を行う方法。鉱床、トンネルの地質、橋梁・ダム・建造物の基盤、土質調査に利用する。
試錐柱状図	しすいちゅうじょうず	borehole log	試錐により採取されたコアやスライムの観察・試験の結果、掘削時の記録などを深度毎に記載したもの。

止水板	しすいばん	sealing strip, water stop plate	漏水を防ぐため継目を横切って埋設する板。銅製，ステンレス製，塩ビ製，ゴム製などがある。
止水壁	しすいへき	cut-off wall	浸透水を遮断するために基礎地盤内に造られる，コンクリート，アスファルトコンクリートなどよりなる厚みを持った不透水性の壁。
止水壁工法	しすいへきこうほう	cut-off wall work	湧水や漏水を防止するために地盤中に不透水性材料の壁体を構築する工法
止水膜工法	しすいまくこうほう	cut-off curtain	ビニール膜などによって止水する工法で堤防の漏水対策などに用いられる。
試錐ロッド	しすいろっど	boring rod	試錐孔内で試錐機の回転や給圧をビットに伝え，孔底に循環水を圧送するための鋼管。
静川層群	しずかわそうぐん	Shizukawa Group	山梨県・静岡県にまたがる富士川沿いの南部フォッサマグナ地域に分布する新生界中部中新統～鮮新統。海成で下部は泥岩，砂岩および安山岩質火砕岩，上部は礫岩からなる。
志津川層群	しずがわそうぐん	Shizugawa Group	宮城県北東部地方に分布する中生界下部ジュラ系。泥岩・砂岩を主体とする層と砂質泥岩を主体とする層に区分される。
システムロックボルト	しすてむろっくぼくと	system rock bolt	地山状況に応じて，設計段階であらかじめ決められたパターンに従い施工するロックボルト。
地すべり	じすべり	landslide, landslip	狭義には，斜面物質が滑動する現象をいう。特定の地形・地質条件下で起こりやすい。広義には落下・流動現象を含む。
地すべり移動体	じすべりいどうたい	slide block, landslide mass	地すべり滑動によって生じた，滑動した物質全体のこと。
地すべり移動土塊	じすべりいどうどかい	landslide mass	地すべりによって原位置から移動した岩盤，土砂の総称。移動していない部分は不動土塊（岩盤）。
地すべり計	じすべりけい	extensometer, invar wire extensometer	伸縮計と同義。
地すべり堆	じすべりたい	landslide mound	地すべり滑動によって生じた，地すべり移動体による定着地形のこと。
地すべり対策工	じすべりたいさくこう	countermeasure against landslide, landslide prevention works	地すべり土塊を安定させるための工事。構造物で止める抑止工と自然条件を変化させ緩和させる抑制工とに分類される。地すべり対策工法ともいう。
地すべり地形	じすべりちけい	landslides topography	土塊の滑動の結果生じた地形。一般に移動土塊は凹地を伴う緩斜面をなし，その上部に馬蹄型の滑落崖を持つ。
地すべり地帯	じすべりちたい	landslide zone	地質的に同じ素因を持つ地すべりが，地理的にまとまって分布する地域。

地すべり調査	じすべりちょうさ	landslide investigation	適切な対策工を設計するのに必要な、地すべりの全容を把握するための諸調査。地形・地質・地下水調査や動態観測など。
地すべり粘土	じすべりねんど	landslide clay	地すべりによって含水しやすい母岩が破碎されて吸水、粘土化したもの。すべり面に発達するものをすべり面粘土という。
地すべり防止区域	じすべりぼうしき	landslide-prevention area	1958年に国が制定した地すべり等防止法によって、指定・管理・対策工事の施工責任・工事規制などを規定した区域。
地すべり防止工	じすべりぼうしこう	countermeasure against landslide, landslide prevention works	地すべり対策工と同義。
地すべり面	じすべりめん	slip surface	地すべりによって生じる地中のせん断破壊がある面に沿って連続した場合、その面をいう。
地すべり面粘土	じすべりめんねんど	slip surface clay	地すべり運動によって形成された粘土。
地すべり抑止工	じすべりよくしこう	landslide prevention works	地すべり土塊を基岩に定着させるために施工するもので、杭工・シャフト工・アンカー工などの施工法がある。
沈み込み	しずみこみ	subduction	サブダクションと同義語。
沈み込み型変動帯	しずみこみがたへんどうたい	mobile belt of subduction type	変動帯のうち、プレートの沈み込みを伴う地帯。日本列島のような島弧－海溝系の変動帯がこれにあたる。
沈み込み帯	しずみこみたい	subduction zone	サブダクション帯と同義語。
自生	じせい	autochthon	自然に生成すること。
始生界	しせいかい	Archeozoic system	先カンブリア系を上下に2分した時の下位の岩石。現在は時代区分の始生代と共にほとんど用いられていない。
磁性岩	じせいがん	magnetic rock	地殻を構成する岩石は地磁気で磁化されているが、中でも蛇紋岩や玄武岩は帯磁率が大きく、磁性岩と呼ばれる。
磁性岩体	じせいがんたい	magnetic rock	相対的に高い磁性を持つ岩体。
自生鉱物	じせいこうぶつ	authigenic mineral	化学的・生化学的作用により、堆積物の続成作用の過程で新たに形成された鉱物。
自生作用	じせいさよう	authigenesis	堆積物の続成作用の過程で化学的・生化学的作用により新鉱物を形成する作用。

自生植物	じせいしょくぶつ	native plant	人間活動の影響を受けていない、自然に生育している植物。
始生代	しせいだい	Archaean, Archean	地質時代区分のうち最古の先カンブリア時代を二分したうちの最初の時期。約25億年前以前をさす。現在はほとんど用いられていない。
磁性体	じせいたい	magnetic substance	磁性を持つ物質。強磁性体 (Fe)、常磁性体 (Al)、反磁性体 (Bi)などに区分される。
示性分析	じせいぶんせき	rational analysis	石炭中の有機質（石炭質）の構成成分を各種の溶剤を使って抽出分離する分析法。
磁性流体	じせいりゅうたい	magnetic fluid	強磁性の超微粒子を、水などの媒体に懸濁させた一種のコロイド液体。
支川	しせん	branch stream, branch river, tributary	流量・河道長・流域面積などにおいて有力で、主流をなす本川に合流する河川の総称。
磁選	じせん	magnetic separation	固体粒子の磁氣的性質を利用した選別法。磁力選別ともいう。
自然安息角	しぜんあんそくかく	angle of repose	土砂等の自然にとりうる最大傾斜角度。乾燥した粗粒土であれば高さに関係で、一定の値をとる。
自然河川	しぜんかせん	natural river	天然の状態にある人為の加わらない河川。これに対して、開削など人為的に改修された河川を人工河川という。
自然換気	しぜんかんき	natural draft, natural ventilation	坑内と外気との温度差によって、換気をしようとするもの。
自然含水状態	しぜんがんすいじょうたい	natural water state	原位置における試料の含水状態で、一般に湿潤状態ともいう。この時の含水比が自然含水比。
自然含水比	しぜんがんすいひ	natural water content, natural moisture content	土が自然状態で保持している水分量を土粒子の質量との比で表したもの。
自然乾燥	しぜんかんそう	natural drying	機器や装置を用いて強制的に乾燥するのではなく、自然な状態で乾燥すること。
自然金	しぜんきん	native gold	立方晶系、黄金色不透明で六面体・八面体・十二面体結晶で網状・樹枝状・塊状。へき開（劈開）なし。展性・延性強い。
自然銀	しぜんぎん	native silver	立方晶系。銀白色不透明で六面体・八面体・十二面体結晶。毛状・樹枝状・箔状。へき開（劈開）なし。展性および延性あり。
自然金属	しぜんきんぞく	native metal	天然に金属元素または合金の形で産出する鉱物。自然金・自然銀・自然銅・自然鉄など。

自穿孔ロックボルト	じせんこうろっくぼると	injection bore bolt	ロックボルトの孔が崩れるような場合、先端にビットのついたロックボルトで掘削し、そのまま打設するもの。
自然砂	しぜんさ	natural sand	人工的に岩石を粉砕して製造したものではなく、天然の状態で存在する砂。
自然災害	しぜんさいがい	natural disaster	災害のうち、公害を除くもの。自然作用が誘因となり、人間の社会生活環境に被害が生じる現象。
自然残留磁気	しぜんざんりゅうじき	natural remanent magnetization	岩石や堆積物などにおいて自然状態で測定される永久磁気。
自然斜面	しぜんしゃめん	natural slope	人工によらず自然の営力で形成された斜面の総称
自然植生	しぜんしょくせい	natural vegetation	現在の環境条件の下で、人為的影響なしに自然に生えている植生。
自然水位	しぜんすい	natural water level	人為的影響のない状態において、大気圧と平衡したときの水位。
自然水銀	しぜんすいぎん	native mercury	液体の状態で産する鉱物。揮発性でガスは有毒。熱水性鉱脈や温泉沈殿物中に辰砂を伴って産出。
自然錫	しぜんすず	native tin	錫には α -錫、 β -錫、 γ -錫の三種があり、 β -錫のみ天然に錫石として産す。正方晶系・金属光沢・粒状へき開（劈開）なし・展性延性に富み比重 7.88。
自然地形	しぜんちけい	natural landforms	地殻の運動・火山活動・流水による浸食・堆積などの天然の営力で形成された地球表面の起伏・形態。
自然堤防	しぜんていぼう	natural levee	洪水時などに河川の上流より運搬されてきた物質によって形成された、河道に沿った微高地。
自然堤防堆積物	しぜんていぼうたいせきぶつ	natural-levee deposit	自然堤防を構成する堆積物。洪水時に河川により運搬されてきたシルト・砂などが流路沿いに堆積したもの。
自然鉄	しぜんてつ	native iron	隕石中に普通に含まれる、地上での産出は少なく、グリーンランドのDisko島の玄武岩中に大量に産出。鋼色・磁性あり。
自然転圧	しぜんてんあつ	rolling by traffic	盛土部分や砂利道などを交通車両に開放することにより、自然の締固めに任せること。
自然電位	しぜんでんい	spontaneous potential, self-potential	地盤の分極現象や地下流体の移動に伴い地盤内に発生している電位。どちらも電気化学現象に起因する。
自然電位曲線	しぜんでんいきょくせん	self-potential curve	自然電位検層で得られる深度に対して自然電位の変化を記録した曲線で、頁岩と浸透層の判別などに用いる。

自然電位検層	しぜんでんいけんそう	self-potential logging	孔井内の電極と地表埋設電極との間に自然発生する電気化学的電位差を連続測定する電気検層法。
自然電位探査	しぜんでんいたんさ	self-potential method	地表や地下の自然電位分布を測定する探査法で、一般に金属鉱床探査・埋設物探査・温泉探査などに広く用いられる。固定電極との電位差を測定しながら移動電極を移動させて平面的な電位分布を把握する。
自然電位法	しぜんでんいほう	self-potential method	自然電位探査と同義。
自然銅	しぜんどう	native copper	延性・展性に富み、熱・電気の良導体。銅鉱床の二次酸化帯に、樹脂状・不規則塊状の集合体として産する。等軸晶系・へき開（劈開）なし・比重8.95。
自然淘汰	しぜんとうた	natural selection	適応した生物あるいは器官が自然的原因により選出されること。自然選択ともいう。ダーウィンによる概念。
自然排水	しぜんはいすい	natural drainage	自然の勾配を利用し、重力によって行う排水方法。内水位と外水位の差を利用。
自然破壊	しぜんはかい	destruction of nature	人間の生産活動により自然環境や生態系が損なわれること。
自然白金	しぜんはっきん	native platinum	延性・展性に富み、熱王水にのみ溶ける。おもに超塩基性岩体中に産する。砂鉱床としても産する。等軸晶系・金属光沢・粒状・鱗片状・比重21.44。
自然噴気	しぜんふんき	fumarole	火山活動などによって、噴気孔より水蒸気・硫気・炭酸気などのガスの噴出。また、そのガス。
自然放射線	しぜんほうしゃせん	natural radiation	天然放射性核種（ウラン系列・トリウム系列・アクチニウム系列・カリウム）からの α ・ β ・ γ 線および宇宙線のこと。
自然放射能	しぜんほうしゃのう	natural radioactivity	自然界に存在する放射性元素（天然放射性元素）が有する放射能。
自然放射能検層	しぜんほうしゃのうけんそう	natural radiometric logging	地層中に自然に存在する放射性元素から放射される γ 線を孔井内で計測して、地層の特性を調べる検層法。
自然放射能探査	しぜんほうしゃのうたんさ	natural radiometric survey	放射能探査と同義。
自然密度	しぜんみつど	natural density	湿潤密度と同義。不飽和土の単位体積あたりの質量。
時相	じそう	phase	造山時相、造構造時相・褶曲時相など一連の運動の過程で、それらの運動が急激に進行する短い時期を示す用語。
示相化石	しそうかせき	facies fossil	含まれる地層の堆積時の環境を示す原地性の化石。さんご（珊瑚）などの限られた環境下に生息した化石が適する。

紫蘇輝石	しそきせき	hypersthene	16[(MgFe ²⁺)SiO ₄]. 斜方晶系. 塩基性岩～酸性岩中の主要構成鉱物の一つで, 鉄分の多いエンスタタイトの意味で用いられた斜方輝石. ハイパーシンともいう.
紫蘇輝石質岩系	しそきせきしつがんけい	hypersthene rock series	石基の輝石が紫蘇輝石であることを特徴とする火山岩の岩系. 環太平洋造山地帯に分布する.
磁束	じそく	magnetic flux	磁界中の微小面積dSの法線方向磁束密度をBnとすると, 磁束 $\phi = \int Bn dS$. 単位はウェーバー(Wb).
持続载荷パターン	じぞくさいかぱたーん	continuous loading pattern	载荷試験において, 一定の荷重レベルを持続する载荷パターン. クリープ特性の把握に適用される.
磁束磁力計	じそくじりょくけい	flux gate magnetometer	地球磁場の強さを測る計器. フラックゲート磁力計ともいう.
磁束密度	じそくみつど	magnetic flux density	磁界中の電流素片idSが受ける力をdFとしたとき, $dF=idS \times B$ と定義されるベクトル量. 単位はテスラ(T).
始祖鳥	しそちょう	<i>Archaeopteryx</i>	ジュラ紀後期の最古の鳥類. ドイツのゾルンホーフエン石灰岩より発見. 大きさはカラスかハト程度.
時代区分	じだいくぶん	geochronologic classification	年代区分と同義.
下池	したいけ	lower reservoir	揚水式発電所の下流側の貯水池. 発電に使用した放流水を貯留し, 夜間の余剰電力で上池に逆送する.
時代単位	じだいたんい	time unit	地質時代の区分単位. 区分の単位として区分の大きさ順に, 代, 紀, 世, 期がある. 例えば古生代, ジュラ紀など.
下浦地震断層	したうらじしんだんそう	Shitaura fault	地震断層. 1923年9月1日の関東大地震で三浦半島に生じた. 武山断層に近接, 平行な断層と考えられている.
下杭	したぐい	lower pile	分割されて現場に搬入された継ぎ杭のうち最下部に打設される杭体.
下盤	したばん	footwall	①トンネルの掘削断面の底面. 底盤ともいわれる. ②断層・鉱体などの見掛上, 下側の岩盤.
下盤粘土	したばんねんど	underclay	炭層や黒鉱鉱床などの下盤側に分布するカオリナイトに富む粘土. 耐火性が高いことから採掘対象になった例もある.
下向階段法	したむきかいだんほう	underhand stoping	上から下へ階段状に採掘する坑内採掘法. 急傾斜の鉱脈や層状鉱床の採掘法の一つ. 通常は上向階段法.
下向充填採鉱法	したむきじゅうてんさいこうほう	downward cut and fill stoping	鉱体の一部を採掘・搬出し, 採掘鉱の空間をずりで充填した後, この工程を下向きに繰り返し, 全鉱区を採掘する工法.

次地形	じちけい	sequential form	浸食輪廻説における，原地形形成以後で終地形に至るまでの期間の地形をさす。
支柱	しちゅう	bent, support	荷重を支える木製，鋼製，鉄筋コンクリート製などの柱。
支柱採掘法	しちゅうさいくつほう	stulled stoping	上向または下向階段法において，上盤支持のために丈夫な支柱を規則的に打設する坑内採掘法。
支柱式支保工	しちゅうしきしほこう	strut support	土圧などの荷重を柱を主体とする構造によって支える方式の支保工。
実移動	じついどう	net slip	断層の変位の要素に関する用語で，断層ができる前はひと続きであった2点が，断層の動きによって引き離された場合のその2点間の実際の相対運動による距離のこと。
湿害	しつがい	wet injury	作物被害の一種。土壤中の水分過剰が原因で通気性が悪くなり，作物根への酸素の供給が不足するために起こる。
実開口アンテナ	じつかいこうあんな	real aperture antenna	レーダー観測システムの解像度を決定するアンテナ口径が，ハードウェア口径そのものである一般のアンテナ。
実開口レーダー	じつかいこうれーだー	real aperture radar	実開口アンテナを用いたレーダー。仮想的に大口径を実現している合成開口レーダーと区別するためこう呼ばれる。
湿陥性黄土	しっかんせいおうど	fall in loess	水分の少ない黄土地形において，灌漑による水の浸透によって土粒子構造が崩れて沈下する現象。
地附山地すべり	じづきやまじすべり	the Jizukiyama landslide	1985年長野市の地附山で発生した地すべり。老人ホームおよび家屋50戸，道路などを破壊し，死者26人を出したとされている。第三系中新統凝灰岩・凝灰角礫岩が著しく風化・粘土化し，梅雨期の大量降雨により発生したと推定される。
漆喰	しっくい	plaster	消石灰，焼き石膏につのまた，ふのりを加え，糸屑，粘土を配合して練った塗壁材料。
シクナ	しっくな	thickener	建設工事に伴う濁水に凝集剤を添加して凝集沈降分離槽で浮遊懸濁粒子を沈降させて浄化する処理設備。下水処理では凝集剤を用いないので建設工事用に限定。
シクニング	しっくにんぐ	thickening	粘土粒子の凝集作用の増進により，脱水量が急激に増加して濃密になること。
湿原	しつげん	moor	植生に覆われた湿地。水分の供給源，植生の種類などにより高層湿原・低層湿原・中間湿原に区分される。寒冷な条件下で発達する。泥炭地ともいう。
実験地震学	じっけんじしんがく	experimental seismology	室内および野外での破壊実験結果より地震発生の物理過程を研究し，地震予知の基礎資料を得る学問分野。

実効雨量	じっこううりょう	effective rainfall	有効雨量ともいう。 ①降雨開始からの時間毎の雨量に1以下の係数を掛けて累計したもの。累積降雨量から地下浸透などによる損失雨量を差し引いたものに相当。河川や道路の管理に使用される ②耕地に降った降雨量のうち農作物の成長に利用できる雨量 ③ある期間の降雨量から蒸発散量を差し引いたもの。地下水かん養（涵養）の検討に使用
実効応力	じっこうおうりょく	effective stress	土や岩に作用する全応力から間隙流体による間隙圧を差し引いた応力。有効応力ともいう。
実効封圧	じっこうふうあつ	effective confining pressure	実効応力で表示した封圧。拘束圧ともいう。
湿式製錬	しっしきせいれん	hydrometallurgy	鉱石の中の目的とする金属を溶液として浸出させ、その溶液中から金属を分離析出する精錬法。
湿式吹付け方式	しっしきふきつけほうしき	wet mix method	吹付け方法の一つで、セメント・骨材と水をあらかじめ混練りした状態で圧送・吹付けする方法。
湿砂養生	しっしゃようじょう	wet sand curing	コンクリートの表面を湿潤状態に保つために土砂で覆い、散水を行う養生方法。
獅子山地すべり	しっしゃんじすべり	the Lion Mountain landslide	1959年中国四川省成都市近郊の成昆鉄道の切土斜面に生じた地すべり。対策工が以後19年にわたって実施された。
実収炭量	じっしゅうたんりょう	recoverable coal reserves	実際採掘しうる炭量。理論可採炭量×安全率×実収率。
湿潤単位体積重量	しっじゅんたんいはいせきじゅうりょう	wet unit weight	湿潤状態の土の単位体積あたりの重量。
湿潤密度	しっじゅんみつど	wet density	不飽和の岩石、土、すなわち湿潤状態の岩石、土の単位体積あたりの質量。
実証プラント	じっしょうぷらんと	test plant	設備やシステムの有効性を実証するために、試験的に建設・操業されるプラント。パイロットプラントと類義。
失水河流	しっすいかりゅう	losing streams	河川水が河床から地下に浸透し、下流ほど河川流量が減少する河流。扇状地などに認められる。
湿性ガス	しっせいがす	wet gas	メタンの他にエタン・プロパン・ブタン・ペンタンなどの重質炭化水素を相当量含む天然ガス。
湿性褐色森林土	しっせいかっしょくしんりんど	wet brown forest soils	湿潤温帯の森林地域を中心に分布する成帯性土壌のうち、山腹下部や沢筋などの水分の供給が豊富な場所に分布する褐色森林土壌。
湿生植物帯	しっせいしょくぶつたい	hygrophytes zone	湿地帯など湿気の多い場所で生息する植物などの群落。

湿性ポドゾル	しっせいぼどぞる	wet podzolic soils	寒冷湿潤気候の針葉樹林下に分布する成帯性土壌のうち、傾斜の緩やかな湿潤な環境をもつ場所に分布するポドゾル。
湿草地土	しっそうちど	meadow soil	湿潤～半湿潤温帯の低湿地に分布する腐植物と無機質土層が混合した暗色の土壌。
湿草地ポドゾル	しっそうちぼどぞる	meadow podzol	湿草地土から生成したポドソル化土壌の一種。
実体鏡	じったいきょう	stereoscope	空中写真を実体視することを手助けする器具。凸レンズによる簡易実体鏡と反射鏡を用いた反射式とがある。
実体顕微鏡	じったいけんびきょう	stereomicroscope	物質の凹凸や形状を実体視出来るように左右独立した光学系を有する顕微鏡。
実体視	じったいし	stereoscopy	空中写真などを両目で見ることによって、対象物の遠近や奥行きを感じて三次元的に見ること。
実体写真	じったいしゃしん	stereo photograph	約60%の重複部を持つように、少し離れた2地点から撮影した一組の写真。立体写真ともいう。
実体写真機	じったいしゃしんき	stereocamera	実体視が可能なステレオ写真の撮影に特化された写真機。撮影位置を移動することなくステレオ撮影が可能。
実体図化機	じったいずかき	stereoscopic plotting instrument	実体写真から被写体の形状を測定し、図紙上に図化を行うために作られた機械。
実体波	じったいは	body wave	無限に広い物質内を物質に固有な速度で伝播する波のこと。等方体で境界面がない場合はP波とS波だけである。
実体波マグニチュード	じったいはまぐにちゅーど	body-wave magnitude	深い地震においては表面波が発生しにくいので、実体波の振幅を用いて定めた地震のマグニチュード。
湿地	しっち	marsh	常時または洪水時に湛水するような排水不良の土地。自然堤防などの背後の凹地に見られるものは特に後背湿地という。
湿地用ブルドーザー	しっちようぶるどーざー	bulldozer for swamp	湿地帯などの軟弱地盤上での機動性を向上させたもので、接地圧を小さくするために履帯幅が通常より広く三角断面の履板を用いている。
質点	しつてん	material point, material particle	物体の質量中心に全質量が集まっているとみなした時の点の位置。物体の運動力学を論じる際に用いられる。
湿度	しつど	humidity	大気中の水蒸気量を表す指標。普通は水蒸気圧と当該温度における飽和水蒸気圧の比(%)で示す相対湿度をいうが、1立方メートル中の水蒸気量(g)で示す絶対湿度もある。
湿度計	しつどけい	hygrometer	空気中の相対湿度を計測する機器。乾湿計・毛髪湿度計・露点計・電気湿度計・赤外線吸収湿度計などがある。

室内透水試験	しつないとうすいしけん	laboratory permeability test	Darcyの法則に基づき、岩石や土の飽和状態における透水性を求めるための室内試験。
室内ベーンせん断試験	しつないべーンせんだんしけん	laboratory vane shear test	金属の十字翼の付いたロッドを回転させることで、練返し試料や不攪乱試料のせん断強度を求める試験。
実播工	じっぱんこう	seeding work in slope	種子を裸地斜面に播きつけて緑化を図る工種。植栽工とあわせて緑化工（植生工）という。
実用単位	じつようたんい	practical unit	具体的測定に便利な単位として慣用的に定められた単位。
質量吸収係数	しつりょうきゅうしゅうけいすう	mass absorption coefficient	吸収係数を媒質の密度で割ったもの。吸収係数は、波が物質を通過するときに減少する度合い。
質量収支	しつりょうしゅうし	mass balance	質量の増減量。地熱発電においては化石燃料を用いた発電のように物質を消費せず、還元採取方式であるため質量は保存される。
質量数	しつりょうすう	mass number	原子核中の核子（陽子と中性子）の総数。中性原子の場合は、原子量にきわめて近い整数となる。
質量分析	しつりょうぶんせき	mass spectrometry	気体の構成原子をイオン化し、磁場や電場などの作用により質量数別に分析すること。
質量分析器	しつりょうぶんせきき	mass spectrograph	磁場と電場を用いて、イオンの質量を測定する分析装置。同位体の分離・存在比測定に用いる。
質量マトリックス	しつりょうまとりっくす	mass matrix	動的有限要素法解析において、三角形要素で与えられる各節点の加速度と節点力を関係づけるマトリックス。
指定河川	していかせん	designated river	洪水予報指定河川をさすことが多い。 ①水防法の規定により定めた河川であり、複数の都府県の区域にわたる河川または流域面積の大きい河川で、洪水により国民経済上重大な損害を生ずるおそれがある河川。 ②二級河川のうち、指定により国が管理を行う河川。 ③魚類の保護や水質などが指定された河川。
時定数	じていすう	time constant	電気回路を閉じた直後の電圧変化や物理的化学的作用を加えたときの変化（過渡応答）の速さを表す定数。最終的な変化量の63.2%（ $1-1/e$ ）に達するまでの時間で定義され、時定数が小さいほど応答が速い。
指定ダム	していだむ	designated dam	水源地域特別措置法による地域整備計画を実施することができる、水没戸数や水没面積が大きく、地域環境に与える影響を軽減すべきとして指定されたダム。
磁鉄鉱	じてっこう	magnetite	Fe_3O_4 スピネル族。正八面体または斜方十二面体の結晶。硬度6。比重5.2。金属光沢が顕著で黒色の条痕。鉄鉱石として赤鉄鉱とともに重要な酸化鉱物。堆積岩中では碎屑鉱物。
磁鉄鉱系花崗岩	じてっこうけいかこうがん	magnetite-series granitoid	含まれる鉄酸化鉱物の種類によって花崗岩を区分した場合の一つで、磁鉄鉱を含む系列の花崗岩。
自転	じてん	rotation	物体内を通る回転軸のまわりで行われるふつうの回転のことであるが、地球など天体の自転をいう場合が多い。

自動気象観測所	じどうきしょうかんそくじょ	automatic weather station	気象官署から離れた場所に設置された無人の観測所。観測値は有線あるいは無線通信により自動送信される。
指導曲線	しどうきょくせん	master curve	垂直電気探査曲線の図式解析に用いられる理論的曲線。
自動色彩判別法	じどうしきさいはんべつほう	automated color recognition method	分類項目が細かい地図を数値化するために、分類項目別に彩色した計測基図を読みとり、記録する方法。
自動車探査	じどうしゃたんさ	carborne survey	カーボーン探査と同義。
自動水準儀	じどうすいじゅんぎ	automatic level, self adjusting level	測量用自動レベル。視準線が自動的に水平になるように装置した水準儀。
自動推進式振動ローラ	じどうすいしんしきしんどうろーら	self-propelled vibrating rollers	エンジン駆動式振動装置を備えた自走式前部ローラと牽引式後部ローラからなる締固め機械。
自動図化機	じどうずかき	automatic plotter	実体写真上の対応する点を検出し、自動的に走査して、被写体の形状を図化する装置。
自動転倒ゲート	じどうてんとうげーと	automatic tilting gate	水位により自動的に転倒するゲート。
自動排砂取水口	じどうはいしゃしゅすいこう	intake with automatic flushing	堆積砂利の厚みを探知し自動的に排砂する仕組の取水口。
自動閉鎖バルブ	じどうへいさばるぶ	self-closing valve	自動的に閉鎖するバルブ。
地並	じなみ	level	水平坑道の水準。
地鳴り	じなり	subterranean rumbling	空気の振動は耳の方が感じ易いため、地面の震動は感知されないのにそれを音として感じる現象をいう。
死石	しにいし	soft stone, dead stone	粗骨材中に混入する強度の低い岩石（風化岩や軟岩など）。コンクリートの強度、耐久性に影響を与える。
磁場	じば	magnetic field	磁石や電流がそれらの周りに作る磁気作用の及ぶ空間。磁界ともいう、地球磁場は双極子磁場で近似される。
柴石	しばいし	Shiba ishi	長野市松代産石材。輝石安山岩。新第三系凝灰岩。
自破碎溶岩	じはさいようがん	autobrecciated lava	噴出した溶岩の表面が周囲の空気や水により急冷され固結した後に、まだ固結していない内部の流動により破碎された溶岩。

始発（凝結）	しはつ（ぎょうけつ）	initial setting, initial set	セメントが水和によって固まる過程を数量的に表すために便宜的に定めた凝固の始まりを示す固さ。
自発核分裂	じはつかくぶんれつ	spontaneous nuclear fission, spontaneous fission	中性子を吸収することなく自然に発生する核分裂。
磁場の強さ	じばのつよさ	intensity of magnetic field	ある磁場の磁束密度をB, 真空透磁率を μ_0 , 磁化Mとすると $H=B/\mu_0-M$ を磁場の強さという。単位はA/m。
磁場変動	じばへんどう	variation of magnetic field	地球磁場の偏角, 伏角, 全磁力が永年的に変化すること。地質時代には地球磁場の逆転が認められている。
支払線	しはらいせん	pay line	トンネル掘削において設計覆工厚線の外側に設けられた余掘線。
地盤	じばん	ground	構造物の築造を対象となる地球表層部。硬軟, 固結度, 支持力, 地震時挙動などから分類される。
地盤運動	じばんうんどう	earth movement	地殻運動によって地表が垂直および水平に変位する運動。地形的には垂直変位が顕著に表れる。
地盤応力	じばんおうりょく	ground pressure	地圧と同義。土圧ともいう。
地盤改良	じばんかいりょう	soil improvement	自然地盤に対して物理的, 化学的処理を人為的に加えたり補強を行って工学的性質を改善すること。
地盤改良杭	じばんかいりょうぐい	soil improvement pile	地盤改良工法のうち, 杭状に処理するもの。主な工法として, 生石灰杭工法, サンドドレーン工法などがある。
地盤改良工法	じばんかいりょうこうほう	soil improvement	地盤の工学的性質を改善するための工法で, 締固め, 排水, 固化, 補強, 置換などがある。
地盤加速度	じばんかそくど	ground acceleration	地盤に生じる加速度。主として地震時の地盤の加速度をさし, 基盤加速度と区別される。
地盤傾斜計	じばんけいしゃけい	ground surface inclinometer	地盤の微細な変動を知るために, 地表の傾斜を測定する計測器。気泡管式を用いることが多い。
地盤係数	じばんけいすう	ground coefficient	地域的な地震の振幅を標準的な振幅に置き換えるための係数。マグニチュードの決定に用いられる。
地盤工学	じばんこうがく	geotechnology	地盤を対象とし, 工学的な諸問題・現象の解明に対して, 土質力学を基本原理として適用する応用科学技術の総称。
地盤・構造物動的相互作用	じばんこうぞうぶつどうてきそうごさよう	dynamic soil-structure interaction	地震動などのある外力を受けた時の地盤と構造物相互のエネルギーのやり取りの総称。

地盤骨格	じばんこっかく	soil structure	土壌構造と同義.
地盤災害	じばんさいがい	ground disaster, geological hazards	地盤の変化によって引き起こされる自然災害. 地すべり, 崩壊, 液状化, 地盤沈下, 土石流などによってもたらされる災害.
地盤支持力	じばんしじりよく	bearing capacity	構造物の自重とそれに作用する外力によって, 地盤がせん断破壊を起こそうとしている状態の極限支持力.
地盤種別判定	じばんしゅべつはんてい	classification of ground	耐震設計上の地盤種別を常時微動の周期頻度解析結果を用いて判定すること.
地盤定数	じばんじょうすう	geomechanical parameters	地盤の有する性質あるいは状態量で, 密度, 変形定数, 強度定数などをいう.
地盤情報	じばんじょうほう	ground information	地形, 地下水, 地盤調査など地盤に係る種々の情報の総称. 現状では主に地盤調査情報が集積されている.
地盤震害	じばんしんがい	earthquake damage of ground	地震によって地盤そのものが著しい被害を受けること. 急斜面の崩壊, 液状化, 山崩れなど.
地盤振動	じばんしんどう	ground vibration	主として人工的な振動発生源によって生じる地盤の振動. 自動車振動, 工場振動, 発破振動など.
地盤図	じばんず	subground map	ボーリング調査から得られた平野の地質情報(層相・層序・深度など)を建設地盤の見地から表した平面図.
地盤増幅特性	じばんぞうふくとくせい	amplification characteristics of ground	成層構造を仮定した地盤において, 入力波振幅が層間を伝わる際の重複反射によって増幅される度合い.
地盤高	じばんだか	ground height	ある基準面からその地盤面までの鉛直高さ.
地盤探査	じばんたんさ	subsoil survey, exploration	地盤調査のうち, 地震波・音波・振動・電気・磁気などを利用して地層構成を判定する間接的な非破壊調査法.
地盤注入	じばんちゅうにゅう	grouting	ダム・トンネルなどの工事で地山の一体性の確保や止水のために行う薬液やセメントの注入.
地盤注入用粘土	じばんちゅうにゅうようねんど	clay for grouting	グラウト用混和材として用いられるベントナイト.
地盤調査用レーダー	じばんちょうさようれーだー	ground probing radar	地中における電磁波の反射・屈折・透過などの現象を利用して地下構造を探査する電磁探査装置の一種.
地盤沈下	じばんちんか	land subsidence	地表面の沈降現象. 一般に, 地下水の過剰揚水などに起因して, 地下水位の低下に伴い, 未固結な堆積物が収縮するために生じるものをいう.

地盤沈下観測井	じばんちんかかんそくせい	observation well of ground settlement	深度別の地層収縮量を計測する施設。通常深さの異なる複数の観測井からなる。
地盤沈下計	じばんちんかけい	compaction recorder	地盤沈下観測井に取り付け、観測井下端から地表面までの地盤の収縮量を精密に測定する装置。
地盤沈下地域	じばんちんかちいき	landsubsidence regions	構築物の抜け上がり、堤防・護岸の沈降など地盤沈下に特有の現象がみられる地域。
地盤沈下防止対策	じばんちんかぼうしたいさく	countermeasure for preventing landsubsidece	地盤沈下の原因である地下水位低下を防止するための対策。地下水揚水規制が主で、人工かん養（涵養）も用いられる。
地盤統計学	じばんとうけいがく	geostatistics	確率場の統計的性質の推定から、標本点の値と配置に基づき、ある点の推定値も求めようとするもの。地盤、地質特性の空間的分布に関する統計学。
地盤凍結工法	じばんとうけつこうほう	ground freezing	掘削対象土を凍結させ、地盤の強度や止水性を高めて安定化させて掘削する工法。
地盤ばね	じばんばね	coefficient of soil reaction	地盤に加わる応力と沈下量の関係を表わす係数。地盤反力係数と同義。
地盤ばね定数	じばんばねていすう	kinetic elasticity of bedrock, elastic modulus	構造物基礎と地盤間の変形特性をばねに置き換えた時の定数。地盤のS波速度などから換算される場合がある。
地盤反力	じばんはんりょく	soil reaction	構造物の荷重が地盤に加わる時に、地盤から構造物に反力として作用する応力。
地盤反力係数	じばんはんりょくけいすう	modulus of subgrade reaction	構造物基礎に対する地盤の弾性的反力と沈下量とが比例関係にあると仮定したときの比例定数。
地盤ひずみ計	じばんひずみけい	ground strain meter	地盤の変形に伴うひずみを計測する機器。一般にひずみゲージを静ひずみ測定器で計測する方法が用いられる。
地盤崩壊	じばんほうかい	ground failure	地盤が水浸、荷重などにより破壊すること。
死氷河	しひょうが	dead glacier ice	氷河の蓄積より融解が卓越し、谷底以外が解氷された状態の氷河。停滞氷河・衰退氷河ともいう。
指標硬度	しひょうこうど	index hardness	山中式土壌硬度計で測定される硬度
指標植物	しひょうしょくぶつ	indicator plant	特定の土壌に生育している植物。大気・水などの環境指標としても使用される。
指標生物	しひょうせいぶつ	indicative animal and plant, index organisms	水域の水質を判定する指標となる生物で、汚濁の激しい水域ではゾーグレア・ミズワタなどの細菌類が、汚濁の少ない水域では水生昆虫などがこれにあたる。

示標テフラ	しひょうてふら	index tephra	テフラの特性（瞬時性と広域性）を利用して、自然から人文にまたがる種々歴史的現象を時系列に従って解明できるテフラ。地形変化・土壌・古文化財・火山活動・地殻変動・気候・海面・植生変化などに利用。
磁伏角	じふくかく	geomagnetic inclination	地球磁場の全磁力ベクトルが水平面となす角度。
ジプシティッククラスト	じぷしていつくらすと	gypsitic crust	主に温帯の砂漠地帯で、石膏が集積した緩いパウダー状、固結状あるいは結晶状態となった風化生成物。
シフト	しふと	shift	断層により引きずりが生じた時は、断層面上のずれより実際の両盤の間のずれが大きい。この引きずり成分の影響を受けない二つの地層間の隔離をいう。
地吹雪	じふぶき	blowing snow	いったん積もった雪が強風によって空中にまき上げられて乱れ飛び、雪の嵐のようになる状態。
自噴	じふん	artesian flowing	人為的な外力によらず、地表面よりも高い水頭で被圧された地中の自然水が地表へ湧出する現象。
自噴圧	じふんあつ	flowing artesian pressure	地表面より高い圧力水頭をもつ被圧帯水層の圧力で、水圧計や管によって測定される。
自噴坑底圧	じふんこうていあつ	flowing bottom hole pressure	坑井において自噴状態での坑底における流体圧。
自噴水	じふんすい	flowing artesian water	自噴井から流出する地下水。自噴水の水量は帯水層厚・降水量・気圧・潮汐などの変化に影響される。
自噴井	じふんせい	flowing artesian well	被圧帯水層の水頭圧が高く、静水位が地表より高い位置にあり、地下水が地表に噴出する井戸。
自噴性被圧地下水	じふんせいひあつちかすい	flowing confined water	圧力水頭が地表面よりも高い状態にある被圧帯水層中の地下水。
自噴泉	じふんせん	artesian spring	被圧された地下水が地表へ噴出する泉。地表より高い位置に静水位がある被圧地下水の場合に発生する。
自噴帯	じふんたい	area of artesian flow	圧力水頭が地表面より高い位置にある被圧地下水が広範囲に存在し、被圧帯水層中に井戸を掘ると自噴するような状態にある地帯。
自噴高	じふんだか	flowing height	自噴井における圧力水頭の地表面からの高さ。
自噴地下水	じふんちかすい	flowing artesian water	圧力水頭が地表面よりも高い被圧帯水層から地表に噴き出した地下水。
四分の一波長板	しぶんのいちはおん	quarter undulation plate	複屈折性の結晶でつくられた薄片で、波長λの光を通すとき、1/4のレタデーションを与える板。

自変成（作用）	じへんせい（さよう）	auto-metamorphism	初生変質．マグマ中の水や揮発成分が，すでに固化した岩石を低温で安定な鉱物集合体に変える交代作用．
磁方位	じほうい	magnetic bearing	磁北から測定した方位．真方位（真北から測る方位）と区別する．
磁方位角	じほういかく	magnetic azimuth	磁北と任意の方向とのなす角度．クリノメータで測った方位角がこれにあたる．
示方書	しほうしょ	specification	学会や協会など公的な機関によって定められた構造物の設計・施工，コンクリートの製造などについての基準あるいは標準を示した文書．
示方配合	しほうはいごう	specified mix	示方書または責任技術者によって指示される配合．表面乾燥飽水状態の骨材で，粗骨材は5mmオーバー，細骨材は5mmアンダーとして決定する．
磁北	じほく	magnetic north	磁針の示す方向．北半球において，等偏角線が1点に集中する地点．経年的にはその位置は変化する．
磁北線	じほくせん	magnetic north line	磁石あるいは電流によって作られる磁場の接線方向が，磁場方向に一致する点を結んで得られる曲線．磁針が示す北の方向を地図上に描いた線．真北との角度差を偏角といい，日本では真北から西方向に偏る．
支保工	しほこう	supporting, support	トンネルを掘削後，地山を補強して地山の破壊・崩落を防ぐために設けられる部材．
支保工（水平面への）	しほこう（すいへいめんへの）	propping(of a horizontal action)	上部や横からの荷重を支えるために使う仮設構造物で，そのうち横からの荷重を支えるもの．
支保工底板	しほこうていばん	sole plate	鋼アーチ支保工の安定を図るため，下部に取り付けられる鋼板．
支保パターン	しほぱたーん	support pattern	分類された地山状況に応じて設計された標準的な支保のスペック．施工時に状況によって選択される．
絞出し現象	しぼりだしげんしょう	squeezing	地下水の揚水に伴って粘土層などの加圧層から間隙水が強制的に絞り出される現象．また，マグマの結晶化の末期に間隙液が絞り出される現象．
島ヶ原石	しまがはらいし	Shimagahara ishi	三重県阿山郡島ヶ原村産石材．中生界黒雲母花崗岩．
島崎石	しまざきいし	Shimazaki ishi	熊本県熊本市島崎町石神山産石材．更新統角閃石安山岩．
縞々学	しましまがく		地層や岩石に現れる縞状模様を基に地球規模の諸現象を解明しようとする日本で始められた学問．
島地みかげ	しまじみかげ	Shimaji mikage	山口県佐波郡徳地町産石材．中生界角閃石黒雲母花崗岩．

島状丘	しまじょうきゅう	inselberg	平滑な浸食地形面上に取り残された残丘状地形。半乾燥から乾燥地域に特徴的。
縞状鉱	しまじょうこう	banded ore	鉱石の産状のうち、鉱物組成や粒径の異なる部分が縞状に分布している鉱石。
縞状構造	しまじょうこうぞう	banded structure	岩石において鉱物の組成・量比・サイズ、組織などの異なる部分が互層状をなし縞状模様を呈する構造。
縞状組織	しまじょうそしき	banded structure	縞状構造と同義。
縞状地磁気異常	しまじょうちじきいじょう	geomagnetic anomaly lineation	海嶺周辺の海底にみられる、地磁気の正負の異常が縞状の分布を示す地磁気現象。
縞状鉄鉱床	しまじょうてっこうこうしょう	banded iron ore deposit	縞状構造がある鉱石からなる層状の鉄鉱床。世界的な大鉱床はこの型の鉱床に属するものが多い。
縞状片麻岩	しまじょうへんまがん	banded gneiss	黒雲母に富む層と珪長質の層が顕著に縞状に発達した雲母片麻岩。
島尻層群	しまじりそうぐん	Shimajiri Group	琉球諸島中南部に広く分布する新生界後期中新統～最初期更新統。海成で泥層が卓越し火山灰層を挟在する。
島尻マーヅ	しまじりまーじ	Shimajiri maaji soil	沖縄地方に分布するさんご（珊瑚）石灰岩が風化して生成された土壌。透水性が大きく分布域の水系は未発達。
島州	します	barrier island	海岸からやや離れた浅海域で海岸に平行にできる堤状の丘。複数の尾根からなり湿地や植生があることも多い。
縞大理石	しまだいらせき	Shima marble	茨城県日立市産石材。古生界大理石。
島棚	しまだな	insular shelf	群島周縁部で水深約200m以浅の緩やかな勾配の大陸棚状の海底地形。一般に形成期の古い島では広い。
縞炭（しま炭）	しまたん	banded coal	色・光沢が異なる厚さ2～3cm以下の薄層が細かく互層し、縞状を呈する石炭。層状炭。
島地川ダム	しまちがわだむ	Shimachigawa dam	佐波川水系島地川。中国地方整備局。1981年竣工。堤高89mの重力ダム。我が国で初めて大規模ダム本体へのRCD工法を採用。
地窓	じまど	window	衝上断層などの低角度断層の形成後に、衝上した地層が浸食され、下位の新期の地層が露出した部分。
縞粘土（しま粘土）	しまねんど	varved clay	非常に薄いシルト質土と粘土の互層で、氷河から湖水への季節的な流出・堆積により生成。氷縞粘土ともいう。

島原大変	しまばらたいへん	large-scale landslide at Shimabara	1792年5月長崎県島原市眉山で火山性地震が引き金となって発生した大規模な山崩れ。崩壊面積は約80ha。
島松石	しままついし	Shimamatsu ishi	北海道千歳郡恵庭町・札幌市広島町島松産石材。新第三系凝灰角礫岩。平岸石と同質。
島道地すべり	しまみちじすべり	the Shimamichi landslide	1971年に新潟県西頸城郡能生町島道で発生した地すべり。家屋の倒壊などの被害を生じた。
縞模様（地磁気の）	しまもよう（ちじきの）	magnetic lineation	海嶺から湧き出した海洋底が、その両側に拡大する際に得た地球磁場による自然残留磁気でできる正負の磁気異常模様。
四万十区	しまんとく	Shimanto belt	四万十帯と同義。
四万十層群	しまんとそうぐん	Shimanto Group	西南日本の太平洋側、四万十帯に分布する白亜系～中新統最下部の総称。多くの逆断層で仕切られた楔状の地層断面をもつ付加体からなる。
四万十帯	しまんとたい	Shimanto belt	西南日本外帯の仏像構造線より南側の地帯で、北は秩父帯南帯と接する。白亜紀の分布する北帯と第三系が分布する南帯とに区分される。高知県四万十川流域を模式地とする。
四万十累層群	しまんとるいそうぐん	Shimanto Supergroup	四万十層群と同義。
清水台地すべり	しみずだいじすべり	the Shimizudai landslide	1966年8月に北海道美唄市清水台で豪雨により発生した地すべり。1967年に対策工事が実施された。
清水山地すべり	しみずやまじすべり	the Shimizuyama landslide	長野県北安曇郡小谷村清水山の姫川右支川である中谷川の右岸山腹に展開する地すべり。総延長約2km。
シミュレーション	しみゅれーしょん	simulation	自然現象を実験的、理論的モデルに置き換え、モデルに諸現象を起こさせ、その挙動を解析する手法。
ジムクロ	じむくろ	rail - bender, jim-crow	人力によるレール曲げ器。
締固め	しめかため	tamp, compaction, tamping	土、礫、コンクリートなどに静荷重、振動、衝撃荷重などを加え密度を増加させる作業。
締固めエネルギー	しめかためえねるぎー	compaction energy	盛土材料を締固める際の仕事量。重機の振動、ローリングや衝撃によって加えられる。締固め仕事量ともいう。
締固め含水比	しめかためがんすいひ	water content of compaction	締固め試験を行うときの含水比のこと。
締固め機	しめかためき	compactor	締固め作業を行う機械。振動ローラ、タイヤローラ、タンピングローラなどがある。突固め機ともいう。

締固め曲線	しめかためきょくせん	compaction curve	締固め試験の結果得られる土の含水比と乾燥密度の関係を示す曲線。最適含水比や最大乾燥密度が得られる。
締固め杭	しめかためぐい	compaction pile	緩い砂地盤を締固める目的で近接した間隔で打設する杭。地盤が締固められ杭と地盤が一体となって支持する場合をいう。
締固め係数	しめかためけいすう	compacting factor, compaction factor	一定の締固めをして測定したコンクリートの単位体積重量と、空気量を0としたときの理論単位体積重量との比をもって表す係数。
締固め効果	しめかためこうか	compaction effect	土質材料の締固めのでき具合で、通常室内の締固め試験から得られる。礫質材料や高含水粘性土の効果は低い。
締固めコンクリート	しめかためこんくりーと	compacted concrete	表面振動によって締固められたコンクリート。
締固め試験	しめかためしけん	compaction test	ランマーによる突固め方式を基本とし、土を締固めたときの含水比と乾燥密度との関係（締固め曲線）を得る。
締固め仕事量	しめかためしごとりょう	compaction energy	締固めエネルギーと同義。
締固め砂杭	しめかためすなぐい	sand compaction pile	軟弱地盤を改良する一工法で、地盤に砂を衝撃・振動荷重によって強制圧入して締固めた砂柱を作り、地盤の安定・沈下量を減ずる工法。
締固め土	しめかためど	compacted soil	砂質地盤の液状化対策のために、締固め工法で締固められた地盤。
締固め度	しめかためど	degree of compaction	土質材料の締固め程度を表す。締固められた土の乾燥密度を基準となる標準乾燥密度に対する百分率で示す。
締固め特性	しめかためとくせい	characteristic of compaction	土の締固めやすさを表す特性で、締固め曲線、最適含水比・最大乾燥密度、締固めエネルギーなどで表される。
締固め密度	しめかためみつど	compaction density	締固めた土の密度。
締固め用モールド	しめかためようもーど	compaction mold	カラーの装着および底板に緊結できる鋼製円筒形のモールド。
締固領域	しめかためりょういき	compacted zone	砂質地盤の液状化対策工法のうち、最も広く使われている締固め工法によって、締固められる地盤の深さと幅。
締切り堤	しめきりてい	closing dyke	河道改修、流路変更、ダム工事などに伴う新川開削時や水替えのために旧川を締切る目的でつくられる堤防。
地面温度	じめんおんど	ground surface temperature, ground temperature	地表面の温度。地面温度の日変化は植生・土中の含水量が多いほど小さい。砂漠地域で日変化が大きい。

地面蒸発	じめんじょうはつ	evaporation from ground surface	地表面からの蒸発。その量は地面の湿潤状態の程度によるところが大きい。普通、乾燥裸地の蒸発量は著しく少ない。
四面体	しめんたい	tetrahedron	四つの三角形に囲まれた閉じた図形。正四面体は立方晶系に含まれ、面の形状により正方・斜方晶系になる。
四面体層	しめんたいそう	tetrahedral layer	フィロ珪酸塩に典型的に認められる構造で、1個の陽イオンが4個の陰イオンで囲まれた四面体の配置体が連結した層状構造。
地面滞留	じめんたいりゅう	surface detention	降水時に、流量よりも流入量が多くなり、地表に水が貯留されること。地形勾配に沿って水は流下するため、地表貯留は一時的な現象である場合が多い。地面貯留ともいう。
地面貯留	じめんちよりゅう	surface storage	地面滞留と同義。表面滞留ともいう。
下一光地すべり	しもいかりじすべり	the Shimoikari landslide	1980年8月に福井県下一光町で発生した地すべり。同年対策工事が実施された。
下伊那竜西断層	しもいなりゅうせい だんそう	Shimoina Ryusei fault	活断層。確実度Ⅰ～Ⅱ，活動度B級，南北方向。長野県下伊那郡に位置する延長15km。国道153号線沿いの数カ所に露頭がある。
下宇坂石	しもうざかいし	Shimouzaka ishi	福井県足羽郡美山町産石材。中生界砂岩。福井石と同質。
下総層群	しもうさそうぐん	Simousa Group	千葉県北部から中部地域の下総および上総台地を構成する中部更新統。海成で砂礫層，砂層，泥層などからなる。地層は南部で北西に約10°で傾斜するが，下総台地ではほぼ水平となる。
下嵐江地すべり	しもおろせじすべり	the Shimoorose landslide	1898年に岩手県胆沢郡胆沢町で発生した地すべり。1964年に対策工事が実施された。
下倉地すべり	しもくらじすべり	the Shimokura landslide	1953年に新潟県西頸城郡能生町下倉で発生した地すべり。1973年に対策工事が実施された。
下古和地すべり	しもこわじすべり	the Shimokowa landslide	1962年島根県那賀郡三隅町下古和で発生した地すべり。1967年対策工事が実施された。
下島石	しもじまいし	Shimojima ishi	京都府相楽郡和束町下島産石材。古生界粘板岩。宮川砥・目透砥と同質。
下末吉海進	しもすえよしかいし ん	Shimosueyoshi transgression	更新世末（12～13万年前）に横浜市の下末吉段丘（海拔40～50m）を構成する下末吉層を堆積させた海進。海進は全国におよぶ。
下末吉期	しもすえよしき	Shimosueyoshi stage	下末吉層を模式とする海成の上部更新統を堆積させた海進期。約13～12万年前。最終間氷期に相当。日本各地の著しい海進が特徴。
下末吉面	しもすえよしめん	Shimosueyoshi surface	下末吉層および相当層が作る更新世後期の地形面。下末吉海進により形成された堆積面。

下末吉ローム層	しもすえよしろーむ そう	Shimosueyoshi loam Formation	関東地方南部に広く分布する第四紀更新世後期。東京都西部多摩丘陵付近および神奈川県下末吉台地を模式地とする。風成で褐色風化火山灰層からなる。関東ローム層を4分した場合の下から2層目。
下田石	しもだいし	Shimoda ishi	静岡県下田市付近産石材。中新統凝灰岩。
下灘石	しもなだいし	Shimonada ishi	愛媛県伊予郡双海町産石材。新第三系黒雲母安山岩。上灘石と同質。
下野石	しものいし	Shimono ishi	佐賀県藤津郡嬉野町産石材。更新統両輝石安山岩。大浦石と同質。
霜柱クリープ	しもばしらくりーぷ	needle ice creep	霜柱によって上方に持ち上げられた地表表層部の土粒子および岩塊が、融解時に斜面下方へ移動する現象。
地紋	じもん	tint	地質図などに用いる模様のこと。
ジャーガル	ジャーがる	Jahgaru	沖縄地方に分布する島尻泥岩が風化し生成した土壌の俗称。泥岩を母岩とするため、透水性は不良。
ジャーミング	ジャーみんぐ	jamming	ボーリング掘進中に孔内の掘削器具が孔壁崩壊などにより内部で押さえられ、動かすことができなくなる状態。
ジャイアントブレーカ	じあいあんとうぶれー か	giant breaker	油圧ショベルに装着し、コンクリートや岩石の小割や破碎作業あるいは岩盤掘削作業などに用いられる破碎機。主要部はシリンダ・ピストン・チゼルからなり、ピストンがチゼルの頭部を打撃することにより破碎力を生じる。
ジャイロコンパス	じやいろこんぱす	gyrocompass	回転慣性とプレセッションの原理を用いて、地球表面上で常に北を向くようにした装置。
ジャイロスコープ	じやいろすこーぷ	gyroscope	コマの一種。3個の相互に回転自由な環の内側で高速回転し、回転軸を任意の方向に維持する機能をもった装置の総称。
遮音壁	しゃおんへき	noise barrier	道路、鉄道などに沿って設けられる騒音防止の目的で設置されるコンクリート製、ステンレス製などの壁。
蛇籠	じゃかご	cylinder shaped gabion, wire cylinder	鉄線で作った籠の中に玉石や割石を詰めたもので、その形状が円筒状のもの。形状により他にふとん籠、だるま籠などがある。河川の護岸などに用いる。
蛇籠ダム	じゃかごだむ	gabion dam	蛇かごを用いて造られた枠組ダム。
斜橋	しゃきょう	skew bridge	横断する道路や河川などと斜めに交差するために支承線が中心線と斜めになる橋梁。
斜杭	しゃぐい	battered pile, inclined pile	常時水平力が作用する構造物や地震時水平力に抵抗するために鉛直杭と併用する斜めに打込む基礎杭。

弱結合水	じゃくけつごうすい	loosely bound water	土粒子の周囲に数十層もの膜を形成する水分子。弱結合水の量は自然状態で常に変化する。
弱震	じゃくしん	rather strong earthquake	地震の震れの大きさを、気象庁震度階では0から7までの810階級のうち震度3を示す。
弱層	じゃくそう	weak bed	力学的に周囲の地層に比較して弱い層。地すべりのすべり面や未固結軟弱層・破砕帯など。
しゃく谷石（笏谷石）	しゃくだにいし	Syakudani ishi	福井県福井市笏谷に産する石材。中新統火山礫凝灰岩。淡緑～淡灰色で緻密・均質。建築用・土木用・装飾材などに利用。
弱地向斜	じゃくちこうしゃ	miogeosyncline	地向斜概念の用語の一つで、正地向斜の中で火山性物質をほとんど含まないものをさすが現在は使われない用語。劣地向斜と同じ。
弱粘結炭	じゃくねんけつたん	weakly coking coal	加熱の際に粘結してコークスとなる石炭のうち弱粘結のもの。灰の熔融温度が高くガス発生炉に用いる。
弱溶結	じゃくようけつ	partial welding, weak welding	火砕流堆積物がその堆積時にまだ高温を保っていたために、互いに溶結するが、その程度の弱いもの。
斜坑	しゃこう	inclined shaft	傾斜して掘削された作業坑や坑道。
斜交成層	しゃこうせいそう	cross stratification	まわりの主な堆積面に斜交する堆積面をもつ成層。厚さ数cm程度の斜交葉理と厚さ数十cm程度の斜交層理に区分されることもある。
斜交節理	しゃこうせつり	diagonal joint	斜節理と同義。
斜交層理	しゃこうそうり	cross bedding	堆積岩中で主な層理面に対し斜交する層理面・葉理面を有する構造。水流・風による堆積物の移動により形成される。斜層理ともいう。
斜交段丘	しゃこうだんきゅう	crossing terraces, intersected terraces	同一河川で複数の段丘面の縦断形が交差関係を示す河成段丘。交差段丘ともいう。
斜交断層	しゃこうだんそう	oblique fault	地層面と断層面との走向の関係による断層の分類の一つで、ある地域の一般的な地質構造の方向と斜交する断層。斜走断層、斜断層ともいう。
斜交不整合	しゃこうふせいごう	angular unconformity	不整合関係にある上下の地層の走向・傾斜が異なる不整合。傾斜不整合ともいう。
斜坑巻	しゃこうまき	rope haulage at incline	斜坑において、坑外または上方に定置した巻き上げ機によって炭車を昇降させる運搬法。
斜交葉理	しゃこうようり	cross lamination	クロスラミナと同義。層理面と種々の角度で斜交する単層が厚さ数cm程度のもの。水流の方向の復元に利用。

積丹半島沖地震	しゃこたんほんとう おきじしん	the 1940 Shakotan-hantoki earthquake	1940年8月2日に積丹半島沖で発生したM7.5の地震。津波による死者10人，船舶流失644などとされる被害地震。
斜材	しゃざい	diagonal member	骨組構造を構成する部材のうち斜め方向部材の総称。一般にはトラスの腹材のうち斜めに配置された部材をさす。
斜軸図法	しゃじくずほう	oblique projection	図法のうち，作図上基準となる軸方向が，地軸・赤道などの地球儀の基本的な方向と斜交するもの。
JASIC地質名コード	じゃしゅくちしつめい いコード	JASIC codes for soil and rock classification	(財)日本建設情報総合センター発行の地質調査資料整理要領(案)に定められた土質・岩質を表す4桁コード。
斜視投影法	しゃしとうえいほう	clinographic projection	結晶形態を投影する方法の一種。視点が無限遠にある投影法であるため，結晶面の関係が理想的に表現される。
斜消光	しゃしょうこう	oblique extinction	偏光顕微鏡観察で，鉱物の特徴的方向と光の振動方向とのなす角（消光角）が0°または90°以外の場合を斜消光という。
斜晶石	しゃしょうせき	shashoseki	クリノヘドライトとプラジオナイトの日本名。両者を混同するので用いるべきでない。
写真鉛直点	しゃしんえんちよく てん	photo nadir point	写真測量における撮影点の位置。航空機搭載カメラのレンズ光心を通る鉛直線が，写真面と交差する点。
写真解析	しゃしんかいせき	photo-analysis	写真上の座標から地上点の座標を求めたり，写真から読みとった像の分析・分類を行うこと。
写真経緯儀	しゃしんけいいぎ	photo theodolite	地上写真測量のため，トランシットと実体視撮影用特殊カメラが組み合わさったもの。撮影位置や撮影方向などのデータを写せる。
写真計測	しゃしんけいそく	photographic measurement	ある対象物を撮影した写真を利用し，その長さ・面積・形状などを計測する技法。
写真座標	しゃしんざひょう	photo coordinates	写真測量において，写真面上で主点を原点とし，写真面の各辺に引いた直交座標。普通飛行方向に近いものをx軸とする。
写真縮尺	しゃしんしゅくしゃく	photoscale	写真上の長さ，その実物の長さの比。カメラの焦点距離Cと撮影高度Hとの比で表される写真縮尺=C/H。
写真測量	しゃしんそくりょう	photogrammetry	航空写真または地上写真を用いて被写体の形状や大きさ，状態などを測量すること。
写真地質図	しゃしんちしつず	photogeologic map	空中写真判読により作成される地質図。大局的な観察に向く。資源開発・防災など，応用範囲もひろい。
写真判読	しゃしんはんどく	photo interpretation	写真測量において，写真のもっている地理的，人文的情報を識別・分析し，専門的な知識で意味づける技術。

しゃ水 (遮水) (油井の)	しゃすい (ゆせいの)	water shut off(of oil well)	油井の掘削において、地下水が油井内に入ることを防ぐ工法。多くの場合セメンチングともいう。
遮水工	しゃすいこう	sealing works, seepage control wall	地下水、浸透水を遮断する工事あるいはその施工構造物。遮水壁、注入工、土質ブランケット工などがある。
遮水性土留め	しゃすいせいどどめ	water proof retaining	鋼矢板、鋼管矢板、柱列式地下連続壁などの遮水性の土留め。
遮水ゾーン	しゃすいぞーん	impervious zone	フィルダムを構成するゾーンのうち、貯水を堰き止めるため透水性の低い材料でつくられるゾーン。
遮水帯	しゃすいたい	impervious zone	フィルダムにおいて、貯水の浸透を防止するために堤体の中央部または上流側表面に設ける難透水性部分。遮水ゾーンと同義。
遮水壁	しゃすいへき	impervious core, impervious wall, cut-off wall	浸透流を制御するために、地盤や構造物の表面または内部に設けた不透水性の壁体。
遮水膜	しゃすいまく	diaphragm wall, diaphragm	プラスチックコンクリート、アスファルトコンクリートなど可撓性の材質で形成した厚さの薄い遮水構造物。
斜節理	しゃせつり	diagonal joint	地層の層理面の走向・傾斜のどちらとも斜交する節理。主要な構造方向に斜交する節理。
斜走断層	しゃそうだんそう	oblique fault	斜交断層と同義。
斜層理	しゃそうり	cross bedding	斜交層理と同義。
遮断型処分場	しゃだんがたしよぶんじょう	strictly controlled landfill site	屋根と水密コンクリートの仕切りによって外部環境から完全に遮断する方式の最終処分場。燃えがら、ばいじん、汚泥、鉱さいなどの有害物質を含み排水の処理を行っても排出基準を満たすことのできない産業廃棄物が対象となる。
遮断周波数	しゃだんしゅうはすう	cutoff frequency	フィルタにおける通過域と遮断域との境界の周波数。理論的設計ではこの周波数で減衰が無限大になる。
斜断層	しゃだんそう	oblique fault	斜交断層と同義。
遮断緑地	しゃだんりよくち	intercepting green, green belt	①都市区域の拡大を抑えるための都市と都市との間に設けられる緑地。 ②市街地と工業地域間の緑地。
夏家大路地すべり群	しゃちゃーだるーじすべりぐん	Shachadaru landslides	中国寧夏回族自治区で発生した西吉地すべりの中心付近に位置する。黄土層中の土壌層が素因となっている。
斜長岩	しゃちょうがん	anorthosite	斜長石を主とする顕晶質岩石。IUGSの分類では色指数10以下の閃緑岩～はんれい岩(斑糲岩)。楯状地に巨大バソリスを形成。

斜張橋	しゃちょうきょう	cable stayed bridge	連続げたの支間の途中を塔から斜め直線状に張られたケーブルによって吊上げる構造の橋梁。
斜張構造	しゃちょうこうぞう	cable-stayed structure	塔などから直線上に張られたケーブルを介して桁・スラブなどを支える構造。
斜長石	しゃちょうせき	plagioclase	主としてAb(NaAlSi ₃ O ₈)-An(CaAl ₂ Si ₂ O ₈)からなる長石。三斜晶系、ただしアルバイトは450℃以上で単斜晶系になる。硬度6～6.5。比重2.62～2.76。長石の一種では普遍的に岩石中に含まれる。灰長石と曹長石成分の連続固溶体で、少量のカリ長石成分を含む。地殻存在量と岩石構成上の役割から非常に重要な造岩鉱物。
ジャッキ試験	じゃっきしけん	jack test	基礎岩盤の安定度を知るためにジャッキにより載荷して原位置での岩盤の変形特性を測定する試験。
ジャッキパターン	じゃっきぱたーん	jack pattern	シールドのジャッキの配置。土質・シールド外径・総推力・セグメント構造・トンネル線形によって決める。
ジャッキ法	じゃっきほう	jack method	岩盤内での初期応力の一測定法。応力解放した岩盤を元の状態までジャッキで押圧し、圧力を計測。
車道幅員	しゃどうふくいん	carriageway width	車線により構成される車両の通行の用に供する道路の幅。
シャトルカー	しゃとるかー	shuttle car	ずりを運搬するための長さ15m前後のトロ。底部のコンベアでずりを順次後方へ移動させて満載にする。
斜プチロル沸石	しゃぷちろるふっせき	clinoptilolite	(Na, K) ₆ (Al ₆ Si ₃₀ O ₇₂)・20H ₂ O。単斜晶系。硬度3.5。比重2.1～2.2。無色・赤色を呈す。凝灰岩が変質して生成された沸石岩の主要鉱物であることが多い。
シャフト工	しゃふとこう	shaft works	地すべり抑止のために、直径1.5m～5mの立坑を人力で掘り、これを鉄筋コンクリートで置換した杭体。深礎工。
シャフト式洪水吐き	しゃふとしきこうずいばき	shaft spillway	鉛直あるいは傾斜立坑が呑口となった形式の洪水処理施設。越流部の形状により朝顔型洪水吐きとも呼ぶ。
斜方輝石	しゃほうきせき	orthopyroxene	輝石グループのうち斜方晶系に属するものの総称。Fe(Mg+Fe)の値から頑火輝石・古銅輝石・紫蘇輝石・鉄紫蘇輝石・ユーライト・斜方鉄輝石に区分される。
斜方晶系	しゃほうしょうけい	orthorhombic system	結晶を形態から分類した7結晶系の一つ。三つの結晶軸が直交し、軸率がa:1:cで表される結晶系。
斜方沸石	しゃほうふっせき	chabazite	(Ca, Na ₂)(Al ₂ Si ₄ O ₁₂)・6H ₂ O。三斜晶系。硬度4.5。比重2.05～2.10。白・赤白色。ガラス光沢を有する菱面体の結晶。玄武岩・安山岩などの割れ目や小孔中に他の沸石と共に産出。菱沸石ともいう。
地山	じやま	rock mass, bedrock, ground	盛土など人工的な改変や表層の移動がない地盤の俗称。一般的には半固結以上の岩盤をさすことが多い。
地山安定工法	じやまあんていこうほう	ground stabilization method	切羽の安定や地盤沈下の防止を目的として、地山の止水性や強度を高めて地山を改良する工法。

地山安定処理	じやまあんていしよ り	ground stabilization (method)	地山安定工法と同義.
地山応力	じやまおうりよく	ground stress	地山内部の応力状態. 一次地圧 (初期地圧) と二次地 圧 (空洞掘削後の周辺の応力) の総称.
地山被り	じやまかぶり	overburden	地下に建設される構造物上端部の地表からの深さ.
地山強度	じやまきょうど	bedrock strength	人為的な手の加えられていない自然のままの岩体のも つ強度.
地山強度比	じやまきょうどひ	competence factor of the ground	地山の一軸圧縮強度と土被り土圧 (土被り高さで地山 の単位重量との積) との比. トンネル安定性指標の一 つ.
地山透気係数	じやまとうきけいす う	coefficient of air permeability	シールドトンネルにおいて, 圧気工法により施工を行 う際に, 漏気量を算定するために必要とされる地盤の 透気性.
地山分類	じやまぶんるい	rock mass classification	地山を岩石の種類, 強度・風化変質の程度, 割れ目の状 態などをもとに等級分けすること. ダム用, トンネル 用などの用途別の他, 発注機関によっても独自の分類 を行っており, いろいろな方式がある.
ジャミング	じやみんぐ	jamming	ボーリング掘進中に孔内の掘削器具が孔壁崩壊などに より内部で押さえられ, 動かすことができなくなる状 態. ジャーミングともいう.
斜面	しゃめん	slope	地形面のうち, 任意の大きさを有し, 水平面に対する 角度を有する三次元的な面.
斜面安定解析	しゃめんあんていか いせき	slope stability analysis	斜面の破壊に対する安全度を適切な計算手法にのっ とって解析・評価すること.
斜面形	しゃめんけい	slope form	斜面の形態的な分類であり, 一般に断面図上の縦断形 で形態分類される.
斜面系統	しゃめんけいとう	slope system	傾斜変換部によって区分される個々の斜面単位.
斜面勾配	しゃめんこうばい	gradient of slope, inclination of slope	斜面の傾き. 一般に鉛直高さ 1 に対する水平距離 n の比 で表す. 例えば $n=1.25$ の場合, 1割2分5厘と表現する習 慣がある.
斜面災害	しゃめんさいがい	slope disaster	山崩れ・地すべり・落石・土石流・雪崩などによって 引き起こされる災害の総称.
斜面先円	しゃめんさきえん	toe circle	斜面崩壊において, すべり面下端が斜面先を通る場合 のすべり円弧をいう.
斜面先破壊	しゃめんさきはかい	toe failure	すべり面下端が斜面先を通る斜面の破壊.

斜面浸食	しゃめんしんしょく	slope erosion	斜面が外的営力を受けて削られる作用。マスマーブメントの他に、雨食・水食・風食・波食・雪食・氷食などがある。
斜面内円	しゃめんないえん	slope circle	斜面崩壊において、すべり面下端が斜面と交差する場合のすべり円弧をいう。
斜面内破壊	しゃめんないはかい	slope failure	すべり面下端が斜面内を通る斜面の破壊。
斜面発達	しゃめんはったつ	slope evolution	斜面の傾斜角や形状の時間変化などで特徴づけられる斜面の変換。減傾斜後退・平行的後退・平行後退の三つの主要な説がある。
斜面被覆材	しゃめんひふくざい	slope armoring material	盛土・切土・護岸などで、斜面の表層劣化や浸食の防止を目的に斜面を被覆し防護する材料。
斜面分析	しゃめんぶんせき	slope analysis	斜面について、形態や形成営力やそれらの時間的変遷を分析すること。
斜面崩壊	しゃめんほうかい	slope failure	斜面を構成する物質が安定性を喪失し、短時間のうちに崩壊する現象。重力によって斜面物質が下方に移動しようとする力が内部摩擦角や粘着力による抵抗力を上回った場合に生じる。
斜面崩壊堆積物	しゃめんほうかいたいせきぶつ	sediment of slope failure	山地斜面を構成する岩屑や基盤の一部が安定を失って突発的に崩壊し、斜面下方に堆積した崩積土。
斜面崩壊予知	しゃめんほうかいよち	prediction of slope failure, forecast of slope failure	斜面崩壊に伴う災害を未然に防止するため、斜面崩壊発生場所・規模・時刻を予測すること。
斜面保護	しゃめんほご	slope protection	植生工や構造物による斜面被覆工で、斜面を風化・浸食・表層崩壊などから保護すること。
斜面流	しゃめんりゅう	slope flow	斜面上を流動する地表の水流。
蛇紋岩	じゃもんがん	serpentinite	一般にかんらん岩（橄欖岩）が熱水変質され生成する。軟らかく鏡肌を有するのでトンネル内空変位や地すべりを生じ易い。
蛇紋岩化作用	じゃもんがんかさよう	serpentinization	かんらん石（橄欖石）・輝石に富むかんらん岩（橄欖岩）などの超塩基性岩が変質して蛇紋岩になる作用。
蛇紋岩帯	じゃもんがんたい	serpentinite belt	蛇紋岩は葉片状・粘土状の産状を示すことが多く、トンネル掘削時に膨れ出すことが多い。また、蛇紋岩帯には、地すべりが多く発生している。
蛇紋岩マグマ	じゃもんがんまぐま	serpentinite magma	蛇紋岩の起源となると考えられたマグマ。
蛇紋石	じゃもんせき	serpentine	$Mg_3Si_2O_5(OH)_4$ 。かんらん岩（橄欖岩）が変質してできた蛇紋岩の主成分鉱物。

ジャモン石 (族)	じゃもんせき (ぞく)	serpentine (group)	$Mg_3Si_2O_5(OH)_4$. かんらん石 (橄欖石) ・輝石などが変質してできた蛇紋岩の主成分鉱物. 表面に油脂光沢がある.
蛇紋石化作用	じゃもんせきかさよう	serpentinization	Mgに富むかんらん石 (橄欖石) ・輝石が熱水による変質作用や広域変成作用で蛇紋石に変化する作用.
蛇紋石鉱物	じゃもんせきこうぶつ	serpentine minerals	かんらん岩 (橄欖岩) が変質して生じた蛇紋岩を構成する鉱物. クリソタイル・アンチゴライト・リザーダイトの3種類.
斜葉理	しゃようり	cross lamination	斜交葉理と同義.
砂利	じゃり	gravel	河川や海流に運搬され丸味を帯びた礫と砂からなる堆積物. 一般に砂が50~70%含まれる.
射流	しゃりゅう	supercritical flow, shooting flow	流れの平均流速が水面を伝わる波の伝播速度より大きい流れ. 流れの急勾配部に生じる. 対語は常流.
斜流水車	しゃりゅうすいしゃ	diagonal turbine	ランナーの軸に斜めに流水が通過する形式の反動水車.
シャルピー衝撃試験	しゃるぴーしょうげきしけん	Charpy (impact) test	構造用鋼材の脆性, 靱性の大きさを測定する試験. V型やU型の切欠きをつけた試料に衝撃力を加えて破壊させる.
斜路	しゃろ	slipway	船舶やケーソンなどの製作に際し, 陸域と水域を結ぶために設ける傾斜した路.
ジャワ海溝	じゃわかいこう	Java trench	スマトラ島からジャワ島の南縁に沿う海溝. ユーラシアプレートとオーストラリアプレートの境界に位置し, オーストラリアプレートの沈み込みにより形成される.
シャンペン現象	しゃんぺんげんしょう	champagne phenomenon	圧縮空気タンク内で圧縮空気が水に溶け, その空気を溶解した水が貯槽内に空気を充填する際に押し出され減圧された場合に, 空気の体積が増加して地表へ瞬時に放出される現象のこと.
ジャンボ	じゃんぼ	jumbo, drill jumbo	トンネルの掘削に用いられる複数の削岩機を取り付けた移動式の機械. 装薬孔やロックボルト孔, 先受け工の削孔の他, 支保材設置時の足場などに用いられる.
種	しゅ	species	主に形態により識別される生物分類上の基本的単位. 属より低位のカテゴリー.
主圧力軸 (P軸)	しゅあつりょくじく (ぴーじく)	principal axis of pressure, P axis	直交する主圧力と主張力を組合せた一組の力で地震の発震機構を説明する場合の主圧力の作用軸.
重液	じゅうえき	heavy liquid	鉱物や結晶粉などの比重測定や, 比重の差がある数種の混合物の分離に用いる水より比重の大きい液.
収益鉱	しゅうえきこう	pay ore	採掘して利益が見込まれる品位の鉱床の部分・鉱石. 可採鉱ともいう.

重液材	じゅうえきざい	dense medium solids	重選において懸濁重液を構成する高比重の固体粉末。
重液分離法	じゅうえきぶんりほう	heavy liquid separation	重液中に乳鉢で粉碎した試料を入れ、鉱物の比重の差を利用して鉱物の単体の分離を行う方法。
自由越流堤	じゅうえつりゅうてい	free overflow crest, free fall crest	ゲートなどによる人為的な操作をしない越流堰。
周縁凹地	しゅうえんおうち	moat	海山などの麓の周囲の海洋底に認められる凹地。また、さんご（珊瑚）礁における礁頂の陸側に形成される凹地。
周縁急冷相	しゅうえんきゅうれいそう	chilled margin	急冷周縁相と同義。急冷周縁部ともいう。
周縁節理	しゅうえんせつり	marginal joint	貫入岩体の縁辺部にみられる割れ目や節理で、流理とほぼ直交するものが多い。
周縁相	しゅうえんそう	marginal facies	貫入した火山岩体の接触面付近の部分、あるいは溶岩流が地表や空気にふれる部分を周縁相と呼ぶ。この部分の粒度は内部より細かく、結晶度は低い。
周縁片理	しゅうえんぺんり	marginal schistosity	花崗岩周縁部において周囲の岩石との境界面に平行に花崗岩中に発達する片状面構造。貫入末期の二次構造。
周縁盆地	しゅうえんぼんち	marginal deep	大陸周縁部の沈降部で、モラッセ相が堆積する堆積盆地。あまり用いられない。
集塊岩	しゅうかいがん	agglomerate	角礫状で粗粒の火砕岩。現在はあまり使われない。
重回帰分析	じゅうかいきぶんせき	multiple regression analysis	複数の説明変数と、それに対応する目的変数の値の組から最小二乗法で未知パラメータを決定する回帰分析法。
従荷重	じゅうかじゅう	subsidiary load, secondary load	常時作用するとは限らないが、荷重の組み合わせにおいて必ず考慮すべき作用荷重。風・温度変化・地震によるものなど。
終期火成活動	しゅうきかせいかつどう	final magmatism	造山帯の火成活動の分類の一つで、造山活動の終期に起こる火成活動。
周期性（地震発生の）	しゅうきせい（じしんはっせいの）	periodicity	河角の69年周期説(1970)など、地震発生は周期性があるとの考え方。報告は多いが、その有意性を検証することは難しい。
周期性段丘	しゅうきせいだんきゅう	cyclic terrace	主として側方浸食によって形成された面からなる河成段丘。輪廻性段丘とも呼ばれる。
周期堆積	しゅうきたいせき	cyclic sedimentation	層序が規則的に変化する堆積様式で、これがくり返されること。海水面の変動と関連させて説明される。有律堆積ともいう。

周期的変化	しゅうきてきへんか	periodic change	ある現象がほぼ一定の期間でくり返す場合をさし、地質学の分野では地震・火山活動などで論じられている。
終期変動時火成活動	しゅうきへんどうじかせいかつどう	late kinematic magmatism	造山帯の火成活動の分類の一つ。造山運動後半の、片麻岩類と漸移関係にある大規模な花崗岩化作用。
褶曲	しゅうきよく	fold	層状構造が認められる岩石や地層中に認められる波曲状を呈する変形。
褶曲運動	しゅうきよくうんどう	folding	造山運動が起こっている地帯において褶曲をつくる地殻変動。
褶曲鏡面	しゅうきよくきょうめん (かがみめん)	enveloping surface of folds	褶曲波（背斜・向斜構造の繰り返し）に外接する曲面（一般に背斜の冠または向斜の底をつないだ曲面）。
褶曲系	しゅうきよくけい	fold system	ある褶曲群に対し、共通するような形態や軸などの方向性を有する性質によって分類された一褶曲群をさす。
褶曲構造	しゅうきよくこうぞう	fold structure	地殻変動に伴い、地層が押し曲げられてできた変形構造。
褶曲作用	しゅうきよくさよう	folding	褶曲を形成する作用。地殻の変形・堆積物の膨張など、褶曲を形成する様々な作用の全てを示す。
褶曲山地	しゅうきよくさんち	fold mountains	山地のうち、山地内部の地質構造が褶曲によって特徴づけられるもの。地塊山地と対比される。
褶曲時階	しゅうきよくじかい	phase of folding, orogenic phase	造山運動過程で褶曲運動が顕著に行われる短い時期。
褶曲軸	しゅうきよくじく	fold axis	褶曲を幾何学的に区分する場合の基準で、褶曲面における曲率が最大となる点を結んだ線をさす。
褶曲軸面	しゅうきよくじくめん	axial surface of a fold	同一褶曲帯を形成する褶曲面のすべての褶曲軸を含む面。単に軸面ともいう。
褶曲帯	しゅうきよくたい	fold zone	一連の造山運動によって形成された褶曲群に構造が規制されている領域をさす。
褶曲段丘	しゅうきよくだんきゅう	folded terrace	段丘のうち、段丘形成後に段丘面が褶曲運動によって変形をうけているもの。
褶曲断層	しゅうきよくだんそう	fold fault	褶曲構造のうち、その中間翼部や逆転部位付近が衝上断層に発達している構造部位をさす。
褶曲地形	しゅうきよくちけい	fold landform	褶曲構造そのものを反映して形成された地形。基本的には背斜山稜と向斜谷とから構成される。

褶曲度	しゅうきょくど	degree of folding	褶曲の程度を示す指数。褶曲軸に直交する長さLの地質断面図で地層の長をFとすると(F-L)/Fで示される。
褶曲ナップ	しゅうきょくなつぷ	fold nappe	横臥褶曲が発達して褶曲の脚が引きちぎれ移動した巨大な異地性の岩体。
褶曲波面	しゅうきょくはめん	enveloping surface of folds	褶曲鏡面と同義。
褶曲半径	しゅうきょくはんけい	radius of bending	褶曲した地層の指定された部分における曲率半径。
褶曲包絡面	しゅうきょくほうらくめん	faltenspiegel(独)	褶曲鏡面・褶曲波面と同義。
褶曲模様	しゅうきょくもよう	fold system	一般走向が一定か体系的に変わる共通の性質をもち、共通の起源でできた褶曲の一群（褶曲系）が平面的に作る模様。
重金属	じゅうきんぞく	heavy metals	比重4以上の金属で、生体中に蓄積または多量の摂取などがあると中毒症状を起こす。
重クロム酸法	じゅうくろむさんほう	dichromic acid method	土中の有機物含有量を求める一試験法。
重合	じゅうごう	stack	同一条件または同一条件に補正した記録を重ね合わせ、ノイズを減少させ目的の記録を強調するデータ処理技術。
集合井	しゅうごうせい	collecting well	複数の取水管を接合し、水を集めて送水するための井戸。
重鉱物	じゅうこうぶつ	heavy mineral	比重が2.85（プロモフォルムの比重）以上の鉱物。輝石・角閃石・黒雲母など。
重鉱物組成	じゅうこうぶつそせい	heavy mineral association	堆積岩を特徴づける比重2.85以上の鉱物の組み合わせ。重鉱物組成は、供給源の推定や地層対比に利用される。
重鉱物分析	じゅうこうぶつぶんせき	heavy mineral analysis	比重が2.85より大きい鉱物の組成を分析すること。地層の分帯・対比、特にテフラの対比に有効である。
集光レンズ	しゅうこうれんず	condenser	光源から光を集めて物体を明るく照らすためのレンズで、顕微鏡用のコンデンサーがその例。
縦谷	じゅうこく	longitudinal valley	山脈を構成する地層の走向や岩石境界などにほぼ平行して発達する谷。横谷の対語。
収差	しゅうさ	aberration	レンズによる結像が周辺部でずれを生じる現象。球面収差、コマ収差、非点収差、色収差などがある。

十字型受圧板	じゅうじがたじゅあ つばん	cross-shaped bearing plate	グラウンドアンカー頭部に設置する十字型をした独立板状をしたアンカー反力構造物. プレキャスト製が多い.
十字石	じゅうじせき	staurolite	単斜晶系. 硬度7~7.5, 比重3.6~3.8. 鉄に富む柱状結晶で堆積岩起源の広域変成岩中に産する. 十字型の双晶をしばしば形成する.
重質原油	じゅうしつげんゆ	heavy crude oil	重油留分を多く含んだ原油. 国産原油では比重0.904~0.966. 比重0.966以上は特重質原油.
自由斜面	じゅうしゃめん	free face	岩層の安息角より急な角度を示す露岩斜面のこと. 自由面ともいう.
収縮亀裂	しゅうしゅくきれつ	shrinkage crack, contraction crack	温度低下や乾燥による体積収縮に伴うひずみによってコンクリートや土に発生する亀裂. 粘土が乾燥するとき固体粒子間の水が蒸発し体積が減少・収縮することで, 地表面にできる多角形の割れ目.
収縮クラック	しゅうしゅくくらっ く	shrinkage crack, contraction crack	収縮亀裂と同義.
収縮限界	しゅうしゅくげんか い	shrinkage limit	土を乾燥させていくと体積は減少していくが, ある含水比を境に減少しなくなる. この含水比をいう.
収縮試験	しゅうしゅくしけん	shrinkage test	土を乾燥させ, 収縮限界の含水比と収縮比率を求めるための試験.
収縮指数	しゅうしゅくしすう	shrinkage index	土の塑性限界と収縮限界の含水比差.
収縮節理	しゅうしゅくせつり	contraction joint	岩石が冷却または乾燥により, 岩石の収縮に伴って生じた節理.
収縮継目	しゅうしゅくつぎめ	contraction joint	温度応力によるクラックの発生を防止する目的で設置される継目.
収縮比	しゅうしゅくひ	shrinkage ratio	土が乾燥する際の正規収縮状態では体積収縮量と含水比の低下量は比例関係にある. この比を収縮比と呼ぶ.
収縮ひびわれ	しゅうしゅくひびわ れ	shrinkage crack	乾燥や温度低下でコンクリートや岩体が収縮し発生するひびわれ. また, 乾燥収縮による堆積物の開口割れ目.
収縮裂か(収縮 裂罅)	しゅうしゅくれつか	contraction fissure	岩石が冷却または乾燥により, 岩石の収縮に伴って生じた開口性の割れ目.
従順山形	じゅうじゅんさんけ い	subdued mountains	山地を構成する地質が軟質である場合や山地の隆起速度が遅い場合などに形成された起伏の小さな山地地形.
従順山地	じゅうじゅんさんち	subdued mountains	従順山形と同義.

舟状海盆	しゅうじょうかいぼん	trough	海溝よりは浅い深海底にある細長くてやや幅の広い海底の凹地。トラフともいう。
重晶石	じゅうしょうせき	barite	BaSO ₄ 。斜方晶系。硬度3～3.5。比重4.50。ガラスまたは樹脂光沢があり、酸に溶けない。ボーリング用泥水・塗料などに利用される。
重晶石鉱床	じゅうしょうせきこうしょう	barite deposit	鉱脈鉱床の脈石、含重晶石石灰岩鉱床の風化残留鉱床、黒鉱鉱床に伴う塊状鉱床などがあり、大規模なものは堆積岩中の層状鉱床である。
重埴土	じゅうしょくど	heavy clay	土壌の土性区分の一つ。国際土壌学会法で、粘土含量が45%以上の土壌。
集じん機	しゅうじんき	dust collector	発破や機械掘削・ずり処理・コンクリート吹付けなどの作業中に発生する粉塵を集めて処理する装置。
重心図	じゅうしんず	center of gravity map	柱状図の中で、特別・特定の岩相・岩質がどの部分を中心に集中しているかを表現した図。
重水	じゅうすい	heavy water	一般に酸化重水素D ₂ Oをさす。同位体比D/Hと ¹⁸ O/ ¹⁶ Oは水の生成起源や水循環の解析などに利用される。
自由水	じゅうすい	free water	重力の作用で移動できる土中水。一般に吸着水と毛管水を除く。
集水暗きよ（暗渠）	しゅうすいあんきよ	infiltration gallery, aqueduct, culvert	主に伏流水を取水するため、流向に直交方向に有孔管を埋設したもの。
集水域	しゅうすいいき	catchment area	河川あるいは水系の特定地点に対する流域において、降雨起源の表流水を供給する区域。
集水工	しゅうすいこう	collecting works	地すべり対策などで実施される、地表水・地下水の排除を目的とした集水路、集水井などのこと。
集水斜面	しゅうすいしゃめん	gathering slope, concave slope	トローエの集水斜面要素の分類による凹型等高線を持つ斜面。お椀の内側のようにある低い一点に水を集める斜面。
集水井	しゅうすいせい	collector well	地下水を集める井戸。地すべり対策工事においてすべり土塊内の地下水位を低下させる抑制工の代表。
重錘法	じゅうすいほう	weight dropping	重錘落下法と同義
集水ます	しゅうすいます	drainage tank	排水溝の途中に、砂などを沈殿させて清掃するために設けられるふた付きのタンク。
自由水面	じゅうすいめん	free surface	被圧していない、すなわち不圧自由地下水の表面。大気圧や流入量・流出量などに応じて変動する。

集水面積	しゅうすいめんせき	catchment area	河川あるいは水系の特定地点に対する流域において、降雨起源の表流水を供給する区域の面積。集水域の面積。
重錘落下試験機	じゅうすいらっかしけんき	weight fall tester	加速度計と荷重計を取り付けた重錘を地面に落下させ、地盤の動的応答特性を求める試験器。
重錘落下法	じゅうすいらっかほう	weight dropping	重錘を高所から自由落下させ、地面との衝突により地震波を発生させる陸上用非爆薬震源。平坦地に適する。
修正AASHO締固め試験	しゅうせいああしよしめかためしけん	modified AASHO compaction test	アメリカ高速道路局が定めた土の締固め試験基準を修正した試験法。
修正カムクレイモデル	しゅうせいかむくれいもでる	modified Cam-clay model	弾塑性モデルの一つでカム・クレイモデルの消散エネルギー式を修正したモデル。
修正グリフィス基準	しゅうせいぐりふいすきじゅん	modified Griffith's criterion	材料の破壊基準のうち、材料内部のミクロなクラックの存在により始まる破壊で、クラックが閉じることで直応力が伝わることを考慮した基準のこと。
修正CBR	しゅうせいしーびーあーる	modified CBR	路盤材料の強さの指数。JISにより突固めた時の最大乾燥密度に対する締固め度に相当する水浸CBR。
集成写真	しゅうせいしゃしん	photo-mosaic	モザイク写真ともいう。航空写真をつなぎ合わせて作った広い範囲の写真で、どの位置も垂直方向の映像が得られる。
修正震度法	しゅうせいしんどほう	modified seismic coefficient method	耐震計算手法の一つ。構造物や機器の固有周期によって地震力の算定に用いる設計震度を修正して行うもの。
集成図	しゅうせいず	composite map	複数の地図に跨る必要な部分を、つぎはぎによって1枚の地図としてまとめたもの。
修正ドリー試験	しゅうせいどりーしけん	modified dorry test	石材や骨材のすり減り抵抗を調べるすり減り試験で、供試体を回転鋼円盤へ押し付けて求める。
修正プロクター締固め試験	しゅうせいぷろくたーしめかためしけん	modified proctor compaction test	標準プロクター締固め試験のランマーと落下高さを修正した締固め試験法。
修正メルカートル円錐図法	しゅうせいめるかーとるえんすいずほう	Mercator's modified conical projection	二つの緯線が正長に表されるように単円錐図法を修正した等距離の擬円錐図法。
修正メルカリ震度階	しゅうせいめるかりしんどかい	modified Mercalli seismic intensity scale	震度階の一つで、MM震度階と略称される。1～12の12階級からなり、アメリカをはじめ諸国で使われている。
集積	しゅうせき	accumulation	土壌の構成物質の一部が表層から溶脱して下層のある層に沈殿する現象。他に結晶の集積、石油の集積作用などがある。
集積説	しゅうせきせつ	accretion	原始太陽をまわる星雲を構成する宇宙塵や重元素が集積・衝突をくり返し惑星が成長するという惑星形成説。

集積層	しゅうせきそう	illuvial horizon	集積作用により生成された層。土壌では上層から順にA, B, C, Dの4層に分けられる層位のうち溶脱層Aの下位にあるB層をさす。
集積層土	しゅうせきそうど	illuvial horizon soil	上位から溶脱した種々の物質が浸透水とともに移動し、一定の場所に集積、蓄積した対比が明瞭な土層。
重積土	じゅうせきど	colluvial soil	斜面崩壊など重力の影響によって生成された堆積物の総称。一般に淘汰が悪く、不安定である。
縦節理	じゅうせつり, たてせつり	longitudinal joint	火成岩体の流理方向に沿う急斜した節理。あるいは一般的な節理のうち急傾斜の節理。
縦走河流	じゅうそうかりゅう	longitudinal valley	硬軟互層をなす地層が傾斜した地域で、軟質な地層が選択浸食され、地層の走向と平行に形成された河道。
縦走褶曲	じゅうそうしゅうきょく	longitudinal fold	一連の構造運動で生じた褶曲群のなかで、造山帯の一般的な走向と平行するもの。
縦走節理	じゅうそうせつり	longitudinal joint	褶曲軸や火山岩の流理と平行する節理で、張力によって生成された節理と考えられている。
重曹泉	じゅうそうせん	bicarbonate spring	固形成分の主要成分が陰イオンとして HCO_3^- 、陽イオンとして Na^+ の鉱泉。福島県土湯・群馬県磯部温泉など。
縦走断層	じゅうそうだんそう	longitudinal fault	地形および地質構造の方向に対して、ほぼ平行に分布する断層で、典型的な例として中央構造線がある。
収束	しゅうそく	conversion	ある状態が、一定の状態へと変化すること。
収束境界	しゅうそくきょうかい	converging boundary	プレート同士が近づく場合の境界であり、一方のプレートが他のプレートの下にもぐりこむところ。
収束段丘	しゅうそくだんきゅう	converged terrace	一つの河川に沿う新旧の段丘の比高が下流部に向かうほど小さくなり、下流に向かって収束すること。
終堆石	しゅうたいせき	terminal moraine	氷河の運搬物質が氷河の融ける末端部で丘陵状に堆積したもの。
自由蛇行	じゅうだこう	free meander	沖積地における、浸食谷を形成しない蛇行をさす。
自由蛇行河川	じゅうだこうかせん	free meander river	沖積低地上を河道を拘束されずに自由に曲流して流れる河川。
重炭酸土類泉	じゅうたんさんどるいせん	earthy carbonate spring	HCO_3^- , Ca^{2+} , Mg^{2+} を主成分とし、鉱泉水1kg中に固形成分を1g以上含む。長野県入山辺温泉など、少ない。

縦断層	じゅうだんそう	longitudinal fault	断層と周りの地質構造との関係に基づく分類のうち、周りの地質構造の走向と、断層が平行なもの。
縦断測量	じゅうだんそくりょう	profiling leveling	ある測線または路線中心線上の地盤高を測量し、鉛直縦断図を作る測量。
縦断面	じゅうだんめん	longitudinal section	路線や構造物の伸長方向に沿って描かれる垂直の面で、構造物の位置や地下における地質の分布や地質構造の特徴を表現する際に用いる。
自由断面掘削機	じゅうだんめんくつさくき	partial tunnel face excavation machine	回転するカッタードラムをブームの先に装着して地山を掘削する機械。ブームの動きで自由な形状のトンネル断面を掘削できる。
縦断面形	じゅうだんめんけい	longitudinal profile of river	河口から源流部までを横軸にとり、その距離に相当する河床高度を縦軸にとって各点を連ねてできる形状。
自由断面シールド工法	じゅうだんめんしーろどこうほう	reasonable cross-sectional shape shield method	主カッターと遊星カッターを連動させて制御しながら掘削することで、楕円・アーチ・矩形など様々な断面形状を掘削できるシールド工法。
縦断面図	じゅうだんめんず	longitudinal section	構造物や路線などを延長方向に表現した断面図。構造物の位置や地質状況などを記入する。
自由地下水	じゅうちかすい	free surface groundwater	地表面下で、自由地下水面を有し、最初の不透水層あるいは加圧層までの区間に賦存する地下水。
自由地下水井戸	じゅうちかすいいど	free-water well	自由地下水（不圧地下水）を対象として、不圧帯水層に掘られる比較的浅い井戸。
自由地下水面	じゅうちかすいめん	free groundwater table	不圧帯水層中に賦存する地下水の上面。不圧地下水面ともいう。
終地形	しゅうちけい	ultimate form	内因的作用によって生じた原地形が浸食などの外因的作用を受けて凹凸が消滅し、地表が浸食基準面に一致した地形。
集中荷重	しゅうちゅうかじゅう	concentrated load	物体の一点に集中して作用する荷重。
集中豪雨	しゅうちゅうごうう	local severe rain storm	局地的な狭い地域に短時間で多量の降雨が生じる現象。梅雨末期や台風時に多く発生し、災害をもたらす。
週調整池式発電所	しゅうちょうせいちしきはつでんしょ	power station with weekly storage	調整池式発電所のうち一週間単位で発電に使用する水量を調節する発電所。
充填	じゅうてん	packing	大小を問わず、空隙、間隙、空間を任意の材料で埋めること。あるいは、堆積物の構成粒子のつまり具合を示す。
充填コンクリート	じゅうてんこんくりーと	filling concrete	間隙を充填するためのコンクリート。

充填採掘法	じゅうてんさいくつほう	cut and fill stoping	鉱体の一部の採掘搬出と、採掘跡空間のずりによる充填とを繰り返し全鉱区を採掘する工法。
充填砂利	じゅうてんじやり	gravel pack	井戸の効率を高めるために、スクリーンと帯水層の間に充填する粒度配合された砂利。
自由度	じゅうど	degree of freedom	ある力学系において、質点の運動を記述するのに必要で十分な運動方程式の数。
しゅう動抵抗	しゅうどうていこう	potentiometer	コイル状、棒状の抵抗体の表面を接点（しゅう動片）が移動し、抵抗値を連続的に変えられるもの。
シュート式洪水吐き	しゅーとしきこうずいばき	chute spillway	呑口からダム下流河道までの間を、急勾配の開水路で流下させる形式の洪水吐き。
シュードタキライト	しゅーどたきらいと	pseudotachylite	断層運動や地すべり滑動により断層面あるいは地すべり面が高速に動いて発生する摩擦熱によって、岩石が熔融・急冷して形成される、黒色・緻密な脈状の断層岩。
シュートバック法	しゅーとぼっくほう	shoot back method	送受信両用のコイル2個一組を用い、各測点において送一受、受一送用として2回測定する地上電磁法の一つ。
重粘土	じゅうねんど	heavy clay soil	粘土含量が高いため、農具に粘りつき、耕耘しにくい土壌。とくに下層土では緻密で通気、透水性に乏しい。
周波数	しゅうはすう	frequency	1秒間に生ずる振動の数。単位はヘルツ（Hz）。振動数とも呼ばれ、波長の逆数である。
周波数 I P 法	しゅうはすうあいぴーほう	variable frequency induced polarization method, variable frequency IP method	送信電流用の交代直流の周波数を変え、異なる周波数で測定した比抵抗値の比較で I P 現象を判定する方法。
周波数応答	しゅうはすうおうとう	frequency response	正弦波状の入力に対するある系（機器等）の定常応答を、入力した波の周波数の関数として表したもの。
周波数制御電磁法探査	しゅうはすうせいぎよでんじほうたんさ	frequency controlled electromagnetic method	地下深部の地質構造の調査のために、岩盤の電気的性質の周波数依存性に着目して開発された電磁探査法。
周波数探査法	しゅうはすうたんさほう	frequency sounding method	電流双極子より発する周波数の異なる電流により生ずる電磁界強度の周波数依存性を測定する地下深部探査法。
周波数電磁探査法	しゅうはすうでんじたんさほう	frequency-domain electromagnetic sounding	電磁垂直探査において、大地の応答関数を得るために発信周波数を変える探査法。
周波数特性	しゅうはすうとくせい	frequency characteristics	一般に、地震計に正弦波の地動を与えた時に得られる応答周波数の特性。
周波数－波数解析法	しゅうはすうはすうかいせきほう	frequency-wavenumber analysis method	周波数－波数空間におけるパワー・スペクトルのピーク位置から、波動の位相速度と到来方向を求める方法。

周波数－波数スペクトル法	しゅうはすうはすうすべくとるほう	frequency-wavenumber spectral method	周波数－波数解析法と同義。
周波数分析	しゅうはすうぶんせき	frequency analysis	地盤の振動特性を把握するため振動記録の周波数を分析し，周波数スペクトル，卓越周期などを求めること。
自由ピストン式シンウォールサンプラ	じゅうびすとんしきしんうおーるさんぷら	free piston sampler	固定ピストン式シンウォールサンプラと同様の構造のサンプラ。ピストンロッドは固定しない。良質の乱さないサンプルを採取するには不向き。
周氷河インボリューション	しゅうひょうがいにぼりゅうしょん	periglacial involution	地層中に現れた過去の周氷河気候を示すもので，凍結融解作用により生じた不規則な波状構造や乱雑にこねまわされた凍結攪乱の総称。クリオターベーションともいう。
周氷河気候	しゅうひょうがきこう	periglacial climate	凍結融解が主要な地形形成営力となって各種の周氷河地形が形成される地域を特徴づける気候。
周氷河現象	しゅうひょうがげんしょう	periglacial phenomena	寒冷な周氷河気候の下で凍結融解，雪食などの周氷河作用によって生じた様々な地表面付近の現象。
周氷河作用	しゅうひょうがさよう	periglacial process	周氷河現象を生じたり，周氷河地形の形成をもたらす凍結融解作用・雪食・風食などの全ての作用。
周氷河皿状地	しゅうひょうがさらじょうち	dell	周氷河デレとも呼ばれる。デレとは緩やかな凹型地。
周氷河斜面	しゅうひょうがしゃめん	periglacial slope	雪食や融解浸食の作用など，周氷河地域に独特な地形形成作用が強く働いて作られた斜面。
周氷河ソリフラクション	しゅうひょうがそりふらくしょん	solifluction	周氷河環境下において土壌の凍結・融解作用により斜面の表層部で起こる全ての緩慢な移動を示す。
周氷河地形	しゅうひょうがちけい	periglacial landforms	周氷河作用によって生じた地形をさす。周氷河作用は広く面的に働くことが多く，全体には面的削剥で起伏が低平化する。
周氷河輪廻	しゅうひょうがりんね	periglacial cycle	周氷河気候下で行われる浸食輪廻。周氷河地域でみられる強力な凍結破碎作用とそれに伴う種々の周氷河作用による浸食輪廻。
集福寺断層	しゅうふくじだんそう	Shuhukuji fault	活断層。確実度Ⅰ～Ⅱ，活動度B級，北西方向。琵琶湖北岸から福井県敦賀市の南東約10kmに延びる。延長約13km。
重複反射	じゅうふくはんしゃ	multiple reflection	実体波が地下で2回以上反射する現象。成層構造を仮定した地盤では，重複反射による周波数特性が現れる。
周辺孔	しゅうへんこう	rim holes	発破パターンで一番外側に削孔される孔。発破の際，爆破は段階的に行われるが，最後の段階に爆破される。
周辺衝上	しゅうへんしょうじょう	marginal thrust	花崗岩などの進入時に周辺裂か（裂罅）が形成されると同時に生ずる衝上断層。

周辺相	しゅうへんそう	marginal facies	貫入した火山岩体の接触面付近の部分,あるいは溶岩流が地表や空気にふれる部分を周辺相と呼ぶ.この部分の粒度と結晶度は内部よりも低い.
集片双晶	しゅうへんそうしょう	polysynthetic twinning	一つの結晶粒の中で平行な多数の同規則による双晶が発達している状態.単斜輝石の集合が斜方輝石に見えるように,見かけの結晶系が上位のものになることがある.
周辺断層	しゅうへんだんそう	peripheral fault	隆起あるいは沈降地域の周辺に発達する断層.
周辺継目	しゅうへんつぎめ	peripheral joint	アーチダムのサドルと本体アーチ部境界の継目.
周辺盆地	しゅうへんぼんち	marginal deep	①大陸の周辺にある地向斜で,外側の造山帯から碎屑物が供給される場所. ②島弧に沿って発達する線状の深い海の地帯.
周辺裂か(周辺裂罅)	しゅうへんれっか	marginal fissure	マグマの流動段階で,周縁部が固結したまま上昇する時に,周縁固結部にできやすい割れ目.
終末準平原	しゅうまつじゅんへいげん	end-peneplain	浸食輪廻の終末期に生じる波浪状の小起伏をもつ平坦な地表面で,形成高度は海面付近である.
自由面	じゆうめん	free face	岩盤の爆破の際,最も抵抗が少ない面.また,斜面の要素のうち,急斜面の裸岩からなり,岩屑を伴わない斜面.
周面摩擦型アンカー	しゅうめんまさつがたあんかー	friction anchor	先端にグラウト注入を行って形成したアンカー体の周面の摩擦力によって支持する方式のアンカー.
周面摩擦計	しゅうめんまさつけい		ケーソンの沈設時に,地盤との間に生じる周面摩擦抵抗力を測定する装置.
周面摩擦支持力	しゅうめんまさつしじりよく	friction resistance	杭周面と地盤の摩擦によって生じる杭の鉛直支持力.
周面摩擦力	しゅうめんまさつりよく	friction resistance around a shield	シールド工法において,掘削中にシールド鋼殻と地山との間に生じる摩擦力.
集油構造	しゅうゆうこうぞう	oil trap	地層中を移動する石油が,ある部分で移動しなくなり,そこに集積し,油層またはガス層を形成する特定の地質構造.トラップと同義.
自由落下式減勢池	じゆうらっかしきげんせいち	plunge basin, plunge pool	堤体から自由落下させた放流水のエネルギーを減殺するための池.
自由落下式洪水吐	じゆうらっかしきこうずいばき	overfall spillway	洪水流量を自由落下方式で放流する洪水吐.アーチダムで採用される.
自由流体検層	じゆうりゅうたいけんそう	free-fluid logging	孔井内に強力な電磁石を降下させ,発生する核磁気共鳴現象を測定して自由流体の量・質を推定する検層法.

重量含水率	じゅうりょうがんす いりつ	water content by weight	土壌含水量の指標の一つで、土の乾燥質量に対する水分量の比を百分率で表したもの。含水比ともいう。
重量百分率	じゅうりょうひやく ぶんりつ	weight percent	ある一定質量中に占める各成分の質量を示した百分率。
重力	じゅうりよく	gravity	地球が地上の物体を引く力のことで、この力は、万有引力と遠心力の合力。
重力アーチダム	じゅうりよくあーち だむ	gravity arch dam	断面厚を大きく、また堤敷幅を広くすることにより、堤体自重による摩擦抵抗力を期待する型式のアーチダム。
重力圧密	じゅうりよくあつみ つ	gravity compaction	堆積物の続成作用の初期段階に起こる上載層の荷重による圧密。
重力アバットメント	じゅうりよくあぼつ とめんと	gravity abutment	アーチダムの袖部で地山が不足する場合などに設ける、人工の重力式コンクリートによるアバットメント。
重力異常	じゅうりよくいじよ う	gravity anomaly	実測重力値に各種の補正をした値と標準重力との差。
重力異常帯	じゅうりよくいじよ うたい	gravity anomaly belt	重力異常の大きい地域が帯状に分布していること。大陸縁や弧状列島に多い。
重力井戸	じゅうりよくいど	gravity well	不圧地下水（自由地下水）の帯水層に掘られた井戸。一般に比較的浅い井戸が多い。
重力エネルギー	じゅうりよくえねる ぎー	gravitational energy	質点系が、その位置によりもっている重力位置エネルギー。
重力加速度	じゅうりよくかそく ど	gravitational acceleration, acceleration of free fall	重力の加速度。質量mに働く重力はmgで表現され、gを重力の加速度という。地表では通常 980cm/s^2 。
重力型アーチダム	じゅうりよくがた あーちだむ	gravity-type arch dam	重力アーチダムと同義。
重力滑動作用	じゅうりよくかつど うさよう	gravitational gliding	滑動作用、スライディングともいう。重力によって、地層が斜面に沿って滑り落ちる作用。
重力計	じゅうりよくけい	gravimeter	重力加速度の大きさの地域的・時間的変化の比較測定を行う装置。
重力傾度	じゅうりよくけいど	gravity gradient	重力の水平方向の変化やジオイドの曲率。
重力傾度計	じゅうりよくけいど けい	gravity gradiometer	重力の水平方向の変化の割合を計る重力偏差計の一種。

重力構造運動	じゅうりよくこうぞう うんどう	gravity tectonics	地層や岩石が重力によって滑動し、褶曲やナッペを形成する構造運動。
重力構造論	じゅうりよくこうぞう ろん	gravity tectonics	地球上層部の比較的広範囲の岩層が、重力による運動の結果、地質構造を形成したとする構造論。
重力式岸壁	じゅうりよくしきが んぺき	gravity-type quaywall	壁体の自重と摩擦力によって安定を保つ岸壁。ケーソン式、場所打コンクリート式などがある。
重力式橋台	じゅうりよくしき きょうだい	gravity-type abutment	橋梁の両端部で橋体を支えるコンクリート躯体で、その自重と摩擦力により背面の土圧に抵抗するもの。
重力式係船岸	じゅうりよくしきけ いせんがん	gravity type quaywall	係船岸のうち、外力に対して壁体の重量による地盤との摩擦力によって抵抗する構造のもの。
重力式コアラー	じゅうりよくしきこ あらー	gravity corer	一定高さからの自由落下により、海底に鉛直貫入させ柱状試料を採取する円筒サンブラ。
重力式コンクリートダム	じゅうりよくしきこ んくりーとだむ	concrete gravity dam	自重によって水圧などの外力に対する安定性を確保する型式のコンクリートダム。重力ダム、中空重力ダムなどがある。
重力式ミキサ	じゅうりよくしきみ きさ	gravity type mixer, tilting type mixer	粗骨材、細骨材、セメント、水などの材料を入れた容器を回転、容器内で落下させて練り、均質なコンクリートを作るコンクリートミキサ。
重力式擁壁	じゅうりよくしきよ うへき	gravity retaining wall	自重によって土圧に抵抗する形式の擁壁。
重力斜面	じゅうりよくしやめ ん	gravity slope	谷壁から剥離された岩塊が重力で落下し形成された斜面。安息角に等しい傾斜をもつ直線状斜面。
重力褶曲作用	じゅうりよくしゅう きよくさよう	gravity folding	地層が重力の作用ですべり面を伴いながら、水平方向に圧縮された横臥性の褶曲。
重力定数	じゅうりよくじょう すう	gravitational constant	万有引力の法則における比例常数。 $G=6.672 \times 10^{-11} \text{m}^3/(\text{kg} \cdot \text{s}^2)$
重力振り子	じゅうりよくしんし	gravity pendulum	重力測定を目的として製作された振り子。
重力図	じゅうりよくず	gravity (anomaly) map	重力（異常）値の地理的な分布図。
重力水	じゅうりよくすい	gravitational water	土壤中を重力により移動できる水。自由水の一部。
重力水頭	じゅうりよくすいと う	elevation head	水流のポテンシャルを基準面からの高度で表わしたものの。地下水の場合、全水頭から圧力水頭をさしひいた部分に相当。位置水頭、高度水頭ともいう。

重力測線	じゅうりよくそくせん	gravity survey line	重力測定を行う測線。
重力測定	じゅうりよくそくてい	gravity measurement	重力値の測定。その方法には相対測定（比較測定）と絶対測定とがある。
重力測定装置	じゅうりよくそくていそうち	gravimeter	重力値を測定する装置。可逆振子を用いた重力振子、自由落下法による絶対重力装置、スプリング式重力計など。
重力測量	じゅうりよくそくりょう	gravimetric survey	国土地理院などで実施している測地測量としての重力測定。
重力ダム	じゅうりよくだむ	gravity dam	貯水池の水圧荷重に堤体自重によって抵抗し、これを基礎岩盤に伝達する型式のダム。コンクリートや石積コンクリートが用いられる。
重力単位	じゅうりよくたんい	gravity unit	重力の大きさを示す数値の単位。cm/s ² すなわちgal（ガル）。
重力単位系	じゅうりよくたんいけい	gravitational unit system	長さ・重さ（質量ではない）・時間を基本単位とする単位系。国際単位（SI単位）に対する従来単位。力の単位としてkgf, tfなどを用いる。
重力探鉱	じゅうりよくたんこう	gravity survey	重力探査と同義。
重力探査	じゅうりよくたんさ	gravity survey	地表の重力値が地下の密度分布を反映していることを用いた探査法。重力計を用いて地上、航空機、船舶などから重力の測定を行い、地球の形状・緯度・標高・地形の影響を補正した重力異常値の分布から金属資源や地熱資源の評価を行う。
重力断層	じゅうりよくだんそう	gravity fault	下盤側に対して上盤側が相対的にずり落ちた断層。正断層の大部分は、成因的には重力断層にあたる。
重力地質構造	じゅうりよくちしつこうぞう	gravity gliding tectonics structure	重力による運動により、広範囲の地層に形成された褶曲や断層などの地質構造。滑動地質構造ともいう。
重力的安定	じゅうりよくてきあんてい	gravitational stability	ある系における重力ポテンシャルが極小の状態。
重力的不安定説	じゅうりよくてきふあんていせつ	theory of gravitational instability	造構作用の基本的要因として重力的不安定を唱える学説。
重力点	じゅうりよくてん	gravity station	重力を測定した地点。地盤が堅固な地点であれば特に問題はない。
重力の高度補正	じゅうりよくのこうどほせい	free-air reduction	重力測定点の高度（標高）の違いによる重力値の差の補正。
重力の絶対測定	じゅうりよくのぜつたいそくてい	absolute measurement of gravity	重力の絶対値の測定。最近ではきわめて簡単な原理、落体法によって高精度の絶対測定が可能になっている。

重力の単位	じゅうりよくのたんい	gravitational unit	ダイン(dyn). ただし, 単に重力という場合は重力加速度を意味することが多く, 単位はガル(cm/sec ²).
重力の比較測定	じゅうりよくのひかくそくてい	relative measurement of gravity	重力値の既知の地点を基準点とし, 任意の地点の重力値との差を測定することにより求める重力測定.
重力波	じゅうりよくは	gravitational wave	媒質の変位に対し, 重力が復元力として働くような媒質中或いは媒質表面の横波.
重力場	じゅうりよくば	gravitational field	力学系における位置エネルギー量として定義される重力が空間的に分配している場所.
重力排水法	じゅうりよくはいすいほう	drainage by gravity	掘削底面付近で地下水を数か所に集め, これを排除する排水工法. かま場工法とディープウェル工法がある.
重力ブーゲー異常図	じゅうりよくぶーげーいじょうず	Bouguer anomaly map	重力ブーゲー異常を平面上にコンター表示した図.
重力分化作用	じゅうりよくぶんかさよう	gravitational differentiation	重力の作用によって生じるマグマの分化. マグマから晶出した結晶とマグマとの密度差によって生じる.
重力変化計	じゅうりよくへんかけい	gravity variometer	重力の時間的変化を観測する器械.
重力偏差	じゅうりよくへんさ	gravity gradient	重力傾度と同義.
重力偏差計	じゅうりよくへんさけい	gravity variometer	ハンガリーの物理学者ローランド・エオトボスが1890年に創案, 試作した重力の水平方向の変化を計る計器.
重力補正	じゅうりよくほせい	gravity correction	重力探査において時間的, 空間的に変化する既知の重力成分を除去する様々な補正.
重力ポテンシャル	じゅうりよくぼてんしゃる	gravitational potential	地球引力と地球の自転による遠心力との合力, すなわちそれぞれのポテンシャル和.
重力流	じゅうりよくりゅう	gravity flow	重力により地層などが下方に流動する現象.
重輪廻地形	じゅうりんねちけい	multicycle landscape	新旧二つ以上の浸食輪廻に属する地形が共存して分布していること. 地盤の変動, 気候の変化などに起因する.
ジュール	じゅーる	Joule	国際単位系の仕事量, 熱量, エネルギーの単位. 物体を1 Nの力で1m移動させた際の仕事に相当.
ジュール定数	じゅーるていすう	Joule constant	物体に摩擦力が働く場合に発生する熱量と, 摩擦力により減少した力学的エネルギー量の比. 1cal \doteq 4.2 J.

ジュール熱	じゅーるねつ	Joule's heat	抵抗のある導体に電流が流れるとき，発生する熱．熱量についてはジュールの法則が成り立つ．
縦列砂丘	じゅうれつさきゅう	longitudinal dune	卓越風向に対して平行する峰からなる砂丘．高さは100～200mぐらいで，幅は高さの約6倍に達する．
縦列リップルマーク	じゅうれつりつぷるまーく	longitudinal ripple marks	砂の表面に形成される規則的な峰と谷の微地形（リップルマーク参照）の峰の配列方向が水流の方向と一致しているもの．
収れん	しゅうれん	convergence	ある状態が一定の状態へと変化すること．系統の異なる生物群が特定の環境に適応して，類似の形態に進化すること．
収れん図（地層の）	しゅうれんず（ちそうの）	convergence map	不整合とは無関係に二つの同時面の間隔の分布を等高線で表示した図．
収れんへき開（収れん劈開）	しゅうれんへきかい	convergent fan cleavages	しゅう曲に伴う扇形へき開（劈開）のうち，背斜軸の上方に向かって収れんするへき開（劈開）．
主応力	しゅおうりょく	principal stress	弾性体内では互いに直交する3面に垂直応力だけ働く方向があり，そのときの最大・中間・最小の各応力．
主応力差	しゅおうりょくさ	principal stress difference	三軸圧縮状態において最大主応力（軸圧）と最小主応力（側圧）の差をいう．
主応力差－軸ひずみ曲線	しゅおうりょくさじくひずみきょくせん	principal stress difference - axial strain curve	三軸圧縮試験などのせん断試験を行った場合に描かれる曲線で，縦軸に主応力差を，横軸に軸ひずみをとる．
主応力軸	しゅおうりょくじく	axes of principal stress	力が作用しているある1点におけるせん断応力が，0となる互いに直交する主応力面に垂直な座標軸のこと．
主応力線	しゅおうりょくせん	principal stress trajectory	物体内の各点に作用する主応力の方向を連ねて図示した仮想の線．
主応力比	しゅおうりょくひ	principal stress ratio	最大の主応力を最小の主応力で除した値．
主応力方向	しゅおうりょくほうこう	direction of principal stress	物体内で主応力の作用する方向．
主応力面	しゅおうりょくめん	principal stress plane	物体内のある点で，せん断応力がゼロとなる平面．主応力面での垂直応力を主応力と呼ぶ．
主応力和	しゅおうりょくわ	sum of principal stresses	二次元平面内の応力の場合，二つの主応力（ σ_1 と σ_2 ）を足し合わせたもの．この平面内のいかなる方向でも直交する二方向の直応力の和（ $\sigma_x + \sigma_y$ ）は（ $\sigma_1 + \sigma_2$ ）に等しい．三次元の場合も同様．
主滑落崖	しゅかつらくがい	main scarp	地すべり滑動によって生じた，地すべり斜面上部のせん断破壊面が崖状に露出した部分．

樹冠通過雨量	じゅかんつうかうりょう	through fall	森林地域に降る雨のうち、樹木に触れずに直接地面に落下する雨滴の量
樹冠滴下雨量	じゅかんてきかうりょう	drip	樹木の樹体本体に付着したり枝や葉のつけねなどに貯留された雨滴が、降雨や風の影響で樹冠から滴下する雨量。
樹冠反射率	じゅかんはんしゃりつ	canopy reflectance	樹木の葉群や枝に覆われた部分の総体（樹冠）に関する反射率。同一の植物でも様々な原因で変動する。
樹冠保留量	じゅかんほりゅうりょう	crown retention	樹冠上に落下した雨のうち葉の面・葉柄と枝の分岐部・針葉間隙などに捕捉される量。樹冠捕捉雨・樹冠貯留雨ともいう。
樹幹流下雨量	じゅかんりゅうかうりょう	stemflow	森林に降った雨が樹体に貯留された後、継続する雨量によって葉から枝へと伝わって林床へ到達する雨量。
熟成	じゅくせい	maturation	石油根源岩中で最初に生成した未熟成の初生原油が地層内で地質学的長時間のうちに漸移原油に変化する過程。
主屈折率	しゅくっせつりつ	principal indices of refraction, principal refractive indices	結晶の主誘電率の平方根。真空中の光速度と主光速度との比。
縮分サンプリング	しゅくぶんさんぷりんぐ	fractional sampling	試験試料採取時に試料の母集団からのかたよりをなくすため、例えばショベルで10回に1回分サンプリングするなどして、徐々に母集団から分取する方法。
主ゲート	しゅげーと	main gate, main control gate (for a barrage)	ダムなどに設置されるゲートで水量調整の主体となるゲート。
主桁	しゅけた	main girder	橋梁上部構造の主体をなし、その全荷重を支持するけた。
主洪水吐き	しゅこうずいばき	main spillway	貯水池鞍部などに小容量の副洪水吐きを設けた場合の本ダムの洪水吐き。
主構造	しゅこうぞう	major structure	小規模な構造を規制する大規模な構造。
主索	しゅさく	supporting rope, running cable	索道の運搬物の荷重を支える主たるロープ。
主軸	しゅじく	principal axis	①結晶の主要な回転軸のことで等軸晶系（立方晶系）ではa, b, c軸、正方・六方晶系ではC0軸がこれに相当。 ②主応力、主ひずみの方向。三次元では三方向あり互いに直交する。 ③断面の図心を通り断面二次モーメントが極大、極小となる直交する二軸。
樹脂光沢	じゅしこうたく	resinous luster	コハクや硫黄結晶の表面や破断面などにみられる樹脂のような光沢。
樹枝状	じゅしじょう	dendritic	結晶の形成形態や地形・水系模様に対して用いられる形容詞で、樹木の枝が伸びるような形を示す。

樹枝状河系	じゅしじょうかけい	dendritic drainage pattern	水系パターン的一种で、樹枝状をなすもの。
種子吹付け	しゅしふきつけ	seed spraying	のり面に種子を吹付け、植物を繁茂させてのり面保護を行う植生工。
受食性土壌	じゅしょくせいど じょう	erodibility soil	浸食を受けやすい土壌。受食性は懸濁状になりやすさや、水分当量などで表される分散率・浸食率などの指標により規定される。
受振器	じゅしんき	detector	地震探査において測定対象となる箇所（地面・水面など）の振動を電圧あるいは電流変動に変換する機器。
受振器の展開	じゅしんきのてんかい	detector spread	地震探査において震動源に対する受振器の配列。探査目的・探査区域の条件などにより、種々の形が採られる。
受振点	じゅしんてん	receiving point	地震探査法において地盤振動測定の対象となる箇所（地表面・地中・水面・水中・構造物表面など）。
受振点間隔	じゅしんてんかんかく	spacing of receiving points	地震探査での受振点間の距離で、一般に水平距離をいう。測線長、探査深度、探査精度などを考慮して決定する。
取水位	しゅすい	intake water level	取水口前面における貯水池あるいは調整池の水面の標高。
取水ゲート	しゅすいげーと	head gate, intake gate	取水量調整のために取水口に設ける水門。
取水口	しゅすいこう	intake	河川、湖沼、貯水池などの水を水路に取り入れるための施設。
取水工	しゅすいこう	intake works	取水のための水路工作物一般。
取水口前庭部	しゅすいこうぜんていぶ	forbay of intake	取水設備周辺の部分であり、利水機能のみならず、景観に対する要素としても重要な部分である。
取水堰	しゅすいぜき	diversion weir	取水に必要な堰上げのために設けられる堰。
取水設備	しゅすいせつび	intakes	用水補給のため、貯水を取りこむための設備。
取水庭	しゅすいてい	forebay	ヘッドタンクの終端、水圧鉄管呑み口直前の部分、または取水口前の水域。
主すべり面	しゅすべりめん	main slip surface	地すべり滑動によって生じた、地盤と地すべり堆との間に生じた明瞭なせん断面。

主成分元素	しゅせいぶんげんそ	major elements	地殻を構成する主成分元素で、O・Si・Al・Fe・Ca・Na・K・Mgの8元素。
主成分鉱物	しゅせいぶんこうぶつ	essential mineral	一つの岩石を構成する鉱物中、多量に含まれる鉱物。
主成分分析	しゅせいぶんぶんせき	principal component analysis	多次元空間に分布するデータの特徴軸（分布特性）を求める手法。データ次元数の圧縮や特徴抽出に役立つ。
主節理	しゅせつり	master joint	他に比べて顕著に発達している方向の節理。
樹炭	じゅたん	lignite, lignitoid	天然乾留が進んでいないため、肉眼で樹木組織が見られる褐炭の一種。通常の褐炭より揮発分・発熱量が多い。
主張力軸（T軸）	しゅちょうりよくじく	principal axis of tension, T axis	直交する主圧力と主張力を組合せた一組の力で地震の発震機構を説明する場合の主張力の作用軸。
出砂障害	しゅつさしょうがい	sand trouble	油・ガス層の胚胎層を構成する砂岩の砂粒子が、坑井内に流入することによって発生する種々の障害。
主鉄筋	しゅてつきん	main reinforcement	鉄筋コンクリート部材の鉄筋のうち、設計上引張力によって配置が決められた鉄筋。
受動型リモートセンシング	じゅどうがたりもーとせんしんぐ	passive remote sensing	観測対象物が自然発生的に反射や放射している電磁波エネルギーを用いたリモートセンシング。
主働状態	しゅどうじょうたい	active state	擁壁が前方へ傾いた時のように、背面土が水平方向に変形して緩んだ時の応力状態。
受動状態	じゅどうじょうたい	passive state	土圧を受けて変形した土が一定の応力状態に達した状態をさす。
主動せん断	しゅどうせんだん	active shear	せん断応力と同じ方向にせん断されること。
受動せん断	じゅどうせんだん	passive shear	あるせん断応力を受けているせん断面に対して、応力と逆方向にせん断されること。
受動的地震探査法	じゅどうてきじしんたんさほう	passive seismic method	地盤微動や微小地震のような自然発生的地動を観測し、これを情報源として地下の状態を調べる探査法の総称。
主働土圧	しゅどうどあつ	active earth pressure	擁壁に作用する土圧の様式。壁体が前方へ動くと、水平土圧は減少して一定値に落ちつく。この状態の土圧をいう。
受動土圧	じゅどうどあつ	passive earth pressure	擁壁など構造物に押されて一定の受動状態に達した時に擁壁に働く土圧。

主働土圧係数	しゅどうどあつけいすう	coefficient of active earth pressure	主働土圧と土被り圧の比.
受働土圧係数	じゅどうどあつけいすう	coefficient of passive earth pressure	受働土圧と土かぶり圧 (いずれも有効圧力) との比をいう. K_p ともいう.
首都圏直下型地震	しゅとけんちよつかがたじしん	direct hit earthquakes (near-field earthquake) in the Tokyo metropolitan area	首都圏に大被害を与える比較的浅い地震.
シュナイダーの火山分類	しゅないだーのかぎんぶんるい	Schneider's classification of volcanic structures	シュナイダー(1911)の提唱した火山の形態に基づいた火山の分類法.
主ひずみ	しゅひずみ	principal strain	外力を受けて変形している物体の主応力面に垂直な主応力軸方向のひずみ.
シュミット投影法	しゅみつととうえいほう	Schmidt's projection	球面上の等しい面積が投影面上に等しく表現される投影法.
シュミットネット	しゅみつとねつと	Schmidt's net	ステレオ投影において用いるステレオネットのうち、等面積投影に用いるネット.
シュミットハンマー	しゅみつとはんまー	Schmidt hammer	コンクリートや岩石の反発硬度を原位置で簡易に求める試験器. 圧縮強さの目安となる.
シュミットハンマー反発度	しゅみつとはんまーはんぱつど	Schmidt hammer rebound value	シュミットハンマーにより得られる硬さの尺度.
シュミットロックハンマー	しゅみつとろっくはんまー	rock Schmidt hammer	岩盤に押し付けたハンマー部をスプリングの力で反発させ、跳ね上がる量を測定する器械. 測定値は岩盤の硬さの指標として用いられる.
樹木年代学	じゅもくねんだいがく	dendrochronology	樹木年輪を用いた年代測定による編年. 樹木の成長によっては最大10%程度の誤差を伴う.
樹木年輪年代測定	じゅもくねんりんねんだいそくてい	tree ring dating, dendrochronology	樹木年輪による年代測定法. 多数の年代既知樹木の年輪幅から得た標準変化曲線と照合して樹木の年代を推定する.
主要動	しゅようどう	principal shock	地震に際し大きく振動する部分の地震動. 横波あるいは表面波がその主要動となることが多い.
シュライバーの方法	しゅらいばーのほうほう	Schreiber's method	観測方向の二つの組合せをすべて独立に観測する角観測法.
ジュラ紀	じゅらき	Jurassic (period)	中生代の二番目の時代. フランス・スイス国境のジュラ山脈に由来. 気候は温暖. 恐竜の繁栄・鳥類の出現など.
ジュラ系	じゅらけい	Jurassic (system)	ジュラ紀に形成された地層・岩体. 白亜系の下位で, 三じょう系 (三畳系) の上位. 北海道・北上山地・西南日本などに広く分布.

シュランベルジャー法	しゅらんべるじゃーほう	Schlumberger's method	比抵抗法垂直探査において対称型4極配置を用いる探査手法で、ウェンナー法と共に最も多く使用されている。
シュリーレン	しゅりーれん	schlieren	火成岩の中で主に有色鉱物がレンズ状ないし縞状に集中している部分。
シュリンケージ法	しゅりんけーじほう	shrinkage stoping	採掘した鉱石を足場にしながら上方に掘り上がる採掘法で、脈幅2m以下の鉱脈で両盤が堅固な時に有効。
シュレッター炭酸定量器	しゅれったーたんさんていりょうき	Schrotter's carbonate determination apparatus	塩酸により発生する炭酸塩中の二酸化炭素の量を測定する比較的薄手のガラスで作られた装置。
準安定	じゅんあんてい	metastable	ある相にとって、安定状態ではないがそれから変化するために高い活性化エネルギーを必要とするような状態。
順打ち工法	じゅんうちこうほう	normal construction method	地下構造物を構築する際、所要深度まで完全に掘り下げてから、躯体の構築を開始する工法の総称。
準化石	じゅんかせき	subfossil	完新統の化石。石となっている化石と区別するため用いたが現在は使用しない。半化石ともいう。
準褐色森林土	じゅんかつしよくしんりんど	parabraunerde	大陸湿潤温帯の落葉広葉樹林下に、レシベ土と褐色森林土の間に分布する土壌。水酸化鉄で黄褐～赤褐色を呈す。
循環水	じゅんかんすい	vadose water	降雨が地下に浸透し、未固結層中の粒子間の空隙や岩盤中の開口した不連続面を通り移動する水。
循環泥水	じゅんかんでいすい	circulating mud	掘り屑の排出・刃先の冷却・孔壁保護を目的として、ロッド→刃先→孔内→外部タンクとポンプ循環させる泥水。
準拋楕円体	じゅんきよだえんたい	reference ellipsoid	標準楕円体と同義。基準楕円体ともいう。
瞬結	しゅんけつ	flash set	石膏無添加のポルトランドセメントなどにみられる、水と混合した時、短時間で凝結してしまう現象。
準原地性花崗岩	じゅんげんちせいこうがん	para-autochthonous granite	花崗岩化作用の進行により原地性花崗岩が一部流動化して形成した花崗岩。周辺の岩石に漸移したり、貫入したりする。
竣工図	しゅんこうず	record drawings	構造物の出来上がり状態を記載した図面。
準鉱物	じゅんこうぶつ	mineraloid	シリカゲルやアロフェンのように非晶質な物質であっても鉱物（結晶質物質）と同様な性質をもつ物質。
瞬時載荷	しゅんじさいか	instant loading	きわめて短い時間内に載荷すること。

瞬時弾性ひずみ	しゅんじだんせいひずみ	instantaneous elastic strain	載荷と同時に起こる物体中の弾性ひずみのこと。
順次点火	じゅんじてんか	rotation firing	段発発破の際の点火方式
準整合	じゅんせいごう	paraconformity, quasiconformity	上下の地層の層理および境界面が平行で、産出化石や広域の地層分布から平行不整合と判断されるもの。
準静的貫入試験	じゅんせいてきかんにゆうしけん	quasi-static penetration test	円錐貫入試験の一種で、地盤の相対的な強さを貫入抵抗により求める。
浚渫	しゅんせつ	dredging	航路の確保や土砂採取のために水底の土砂を掘削、搬出する作業。
浚渫船	しゅんせつせん	dredger	水底の地盤や岩盤を掘削し、掘削した土を運搬・揚土するための作業船。水深や土質の種類、硬さ、土砂の運搬方法などによって、ポンプ、グラブ、ドラグサクシオンなどの方式がある。
浚渫粘土	しゅんせつねんど	dredged clay	水底にある粘性土地盤や岩盤を浚渫（掘削）することにより発生した粘土。
準台地	じゅんだいち	paraplatform	安定地塊としての卓状地に対し、断層活動や火成活動が活発で不安定な卓状地。
準卓状地	じゅんたくじょうち	paraplatform	準台地と同義語。
準地向斜	じゅんちこうしゃ	parageosyncline	地向斜論において大陸内の沈降域に厚い地層を堆積させるが、激しい火山活動や褶曲を伴わず、造山帯に転化しない地向斜。
準長石	じゅんちょうせき	feldspathoid	無色鉱物の分類の一つで、白榴石や霞石などが含まれる。
準同時構造	じゅんどうじこうぞう	pencontemporaneous structure	地層が堆積し、続成作用が始まった頃に形成される萌芽的小構造。スランプ褶曲・脱水構造・面なし断層など。
瞬発電気雷管	しゅんぱつでんきらいかん	instantaneous cap, instantaneous electric blasting cap	工業雷管に電気点火装置、そく栓、脚線を取り付けたもの。通電と同時に爆発する。
準平原	じゅんへいげん	penplain	浸食輪廻の最終的な地形。浸食基準面近くのほぼ平坦な小起伏面状の浸食面。
準平原遺物	じゅんへいげんいぶつ	penplain remnant	準平原が隆起し再浸食が始まった後も、稜線の平坦面などに残存している準平原の一部。
準平原化作用	じゅんへいげんかさよう	penplanation	浸食作用により、広大な地域を一様に低平化し、ほぼ平坦な浸食面をつくる作用。

準片岩	じゅんへんがん	semischist	広域変成作用を受けた岩石の一種で、結晶片岩ほど再結晶が進まず、また片理の発達していない変成岩。
準片麻岩	じゅんへんまがん	paragneiss	花崗岩起源の片麻岩を正片麻岩と呼称する場合に、堆積岩起源の片麻岩をこのように呼ぶ。
順巻き	じゅんまき	placing concrete from bottom to top	コンクリートを打設する際に、最下部まで掘削し、その後下から順次コンクリートを打設して上部に上がってくること。
順巻工法	じゅんまきこうほう	placing concrete from bottom to top	一般のコンクリート構造物において、コンクリートを下部から上部に向かって打設して行く工法。
準用河川	じゅんようかせん	rivers for provisions of river law mutatis (mutandis)	一級・二級河川と同じく、河川管理の対象となり、市町村長が管理者である河川。
純揚水式発電所	じゅんようすいしきはつでんしょ	pure pumped-storage power station	揚水式発電所のうち、上池の自流を発電に使用しないもの。
ショア硬度	しよあこうど	Shore hardness	先端にダイヤモンドの球を付けた錘を落下させ、試験片の表面で跳ね上がった高さの読みで表す反発硬度。
ショア硬度計	しよあこうどけい	Shore scleroscope	ショア硬度を測定する簡易試験器。
ジョイデス・レゾリューション	じょいですれぞりゅーしょん	Joides Resolution	米国NSF（国立科学財団）と参加各国の出資で運用されるODP（国際深部掘削計画）の掘削研究船。
ジョイント	じょいんと	joint	岩石の中のほぼ平面的な割れ目で、その両側の部分が割れ目に沿ってずれ動いてないもの。また、コンクリートなどの継ぎ目や数値計算モデルの線要素などもジョイントと呼ばれる。
ジョイントグラウチング	じょいんとぐらうちんぐ	joint grouting	収縮継目にセメントミルクを注入すること。
ジョイントメータ	じょいんとめーた	joint meter	物と物との継ぎ目の相対的変位を測定する装置。変位変換器としてはひずみゲージ式が代表的。継目計と同義。
ジョイント要素	じょいんとようそ	joint element, bond element	物体が接触し力を及ぼし合う問題を有限要素法で解析する場合に、接触面に挿入される特殊な要素。構造物と地盤との境界や岩盤中の断層のモデル化などに用いられる。
礁	しょう	reef	海面付近あるいは海面下の浅いところにある海底の突起部で、岩石・さんご（珊瑚）あるいは砂などからなる。水深20m以深の場合に使用される。
硝安爆薬	しょうあんぱくやく	ammonium nitrate mixture	硝酸アンモニウム（ NH_4NO_3 ）を主成分とする粉状またはコロイド質の爆薬。
常温式混合再生処理	じょうおんしきこんごうさいせいしより	cold mix recycling	再利用のアスファルト舗装材料、骨材あるいはその両方を循環材と混合し、常温混合用の基本混合物を再生するプロセス。

硝化	しょうか	nitrification	硝化細菌により水中のアンモニア性窒素が酸化されて硝酸性窒素に変化する作用.
昇華	しょうか	sublimation	固相が液相を経ないで直接気相に変化する現象. また, その逆の現象. 噴気孔での硫黄などが好例.
障害物砂丘	しょうがいぶつさきゅう	dunes related to obstacles	障害物による風の乱れによってつくられた砂丘で, 下降砂丘・上昇砂丘などがある.
硝化細菌	しょうかさいきん	nitrifying bacteria, nitrifier	炭酸ガスを唯一の炭素源として細胞合成を行う自栄養性細菌で, アンモニア性窒素を硝化する.
城ヶ根山断層	じょうがねさんだんそう	Joganesan fault	活断層. 確実度 I ~ II, 活動度 B 級, 北東方向. 岐阜県恵那郡川上村付近の木曾川を横切って延びる. 延長 14km.
昇華物	しょうかぶつ	sublimate	火山内部より放出されるガス体と母岩の作用により, 母岩の割れ目などに生じた昇華鉱物. 硫黄・硫化物など.
沼気	しょうき	marsh gas	よどんだ水中で植物などの有機物質の分解によって生じるメタン.
小気候	しょうきこう	local climate	10km ² 程度以下の地域的な気候で, 局所的な地形や土地利用状況などの地表の影響を直接受けて変化する.
蒸気井	じょうきせい	steam well	一般に熱水と蒸気を同時に産出するが, 坑口圧力に関係して蒸気のみが産出される地熱井.
将棋倒し構造	しょうぎだおしこうぞう	sedimentary imbricate structure	堆積盆地の発達する過程で, 堆積の中心が移動しつつ, すでに堆積していた地層が隆起して生じる, あたかも将棋倒しのような構造.
蒸気卓越型地熱資源	じょうきたくえつがたちねつしげん	vapor dominated geothermal resource	地熱流体が主に水蒸気で熱水はほとんどないか少量であるタイプの地熱資源. 岩手県松川地熱地域などが相当.
蒸気貯留槽	じょうきちりゅうそう	vapor-dominated reservoir	地熱流体を生産する前の自然状態のとき, 広い範囲に蒸気ゾーンが存在する地熱貯留層の 1 タイプ.
小起伏浸食面	しょうきふくしんしょくめん	low-relief erosion surface	地盤の浸食により形成された起伏の小さな波状の地形面. 地形の形成には長い時間を要する.
小起伏面	しょうきふくめん	low-relief surface	起伏の小さい地表面で, 浸食輪廻の老年期に形成されると考えられており, この段階の地形を準平原という.
小規模山地災害対策事業	しょうきぼさんちさいがいたいさくじぎょう	restoration work for small-scale landslide	豪雨などにより人家に近接する山地で発生した崩壊に対し, 国の補助で市町村が実施する災害防止事業.
小規模水力発電	しょうきぼすいりょくはつでん	small scale hydropower	水路式などで水を導水して発電機を回し, 電気エネルギーを得る発電方式の小規模 (1, 000~10, 000kw) なもの.

小規模生活ダム	しょうきぼせいかつだむ	small scaled dam for domestic water	山間部，半島部，島嶼（しょ）部など局所的な地域の小河川の治水・利水対策を目的としたダム。
焼却残さ	しょうきやくざんさ	incineration residue	焼却処理工程から発生する不燃物・灰などの燃え残り物の総称。
蒸気養生	じょうきようじょう	steam curing	コンクリートの早期強度発現のため，高温蒸気で養生すること。
晶系	しょうけい	crystal system	結晶の単位格子または形態の対称性に基づく結晶の分類．7分類される．結晶系ともいう。
衝撃	しょうげき	impact	砕せつ物が運搬される過程で，砕せつ物同士や砕せつ物と岩盤が衝突する現象。
衝撃応答	しょうげきおうとう	impulse response	単位パルスを送信系等に加えたときの出力．地震探査の数値的処理に用いられる。
衝撃角礫岩	しょうげきかくれきがん	impact breccia	隕石の衝突により地表の岩石が角礫状に破砕された後に，集積固結した岩石。
衝撃荷重	しょうげきかじゅう	impact load	大きな強さの動荷重（活荷重）が，ごく短時間に作用すること。
衝撃加速度試験機	しょうげきかそくどしけんき	impact crushing value test	加速度計を内蔵したランマーを落下させ，衝撃加速度から地盤強さを推定する試験機。
衝撃型減勢池	しょうげきがたげんせいち	impact basin	ダムを越流した水流を減勢するためにエプロン部にインパクトブロックを設け，高速流水のエネルギーを減殺し，河床を浸食から守るために作られる池。
衝撃関数	しょうげきかんすう	impact function	道路橋上部の設計で，静荷重の応力に対して，活荷重による衝撃から発生する応力の比．衝撃係数ともいう。
衝撃貫入試験	しょうげきかんにゅうしけん	impact penetration test	主に岩石試料の衝撃荷重に対する貫入抵抗と貫入量を求める試験。
衝撃強度	しょうげききょうど	impact strength	重機械，列車などによる活荷重の衝撃的効果に耐えられるコンクリートや鋼材などの材料強度。
衝撃係数	しょうげきけいすう	impact factor, impact coefficient	活荷重による衝撃を静荷重に置換えるために用いる係数。
衝撃砕波力	しょうげきさいはりよく	impact breaking wave force	砕波によって構造物に発生する瞬間的な衝撃波圧の合力をいう。
衝撃式さく井	しょうげきしきさくせい	percussion drilling	衝撃式ボーリングと同義。

衝撃式締固め機械	しょうげきしきしめかためきかい	impact type compactor	ガソリンエンジンによる衝撃力で地盤の表層を締固める小型機械でランマーとタンパーがある。
衝撃式破砕機	しょうげきしきはさいき	impact crusher, crusher	骨材製造のための岩石破砕機の一つで衝撃エネルギーを与えて破砕する形式のもの
衝撃式ビット	しょうげきしきびつと	percussion bit	チゼル状の刃先の付いた岩盤穿孔用工具。これに衝撃を与え、チップング作用で岩盤を穿孔。
衝撃式ボーリング	しょうげきしきボーリング	percussion drilling	重力による自由落下力や圧縮空気・油圧力でビットを地盤に繰り返し打撃を与えて掘削するボーリング方法。パーカッションボーリングともいう。
衝撃式ボーリング機械	しょうげきしきボーリングきかい	percussion boring machine	掘削用の刃先を上下に動かして落下時の衝撃により岩石を破砕し、掘削する掘削機械の総称。
衝撃試験	しょうげきしけん	impact test	材料の靱性、脆性の程度を把握する目的で衝撃荷重を作用させて行う材料試験の一種。
衝撃試錐	しょうげきしすい	percussion drilling	衝撃式ボーリングと同義。
衝撃波	しょうげきは	shock wave	普通の弾性領域をこえた過度の圧縮ひずみを持つ波。伝播速度は一般の縦波速度より大きい。
衝撃波圧	しょうげきはあつ	impact wave pressure	波の衝突により瞬間的に発生する極めて高い波圧のこと。
衝撃粉砕値試験	しょうげきふんさいちしけん	impact crushing value test	チョークの分類に用いられる粉砕値を決定するための試験。
衝撃変成作用	しょうげきへんせいさよう	shock metamorphism	小天体が高速で地殻に衝突したときに、衝撃波と高温により岩石や鉱物に生ずる変成作用。
焼結	しょうけつ	sintering	粉体を融点以上に加熱した場合、焼き締って固った状態になること。新しいガラス相や結晶相ができ硬くなる。
上下動地震計	じょうげどうじしんけい	vertical component seismometer	地震動のうち上下動を記録するため、上下方向に振れる振り子を用いた地震計。
象限型	しょうげんがた	quadrant type	地震波の初動方向は震源に直交する二つの面によって押し波、引き波の領域に分かれる。これを象限型と呼ぶ。
礁湖	しょうこ	reef lagoon	裾礁・堡礁・環礁によって取り囲まれた水域で、小規模なものは礁池という。
消光	しょうこう	extinction	光学的異方体の結晶薄片の振動方向と二つのニコルの振動方向の相対位置によって暗黒となる現象。

条溝	じょうこう	grooves	氷食によって岩石表面に生じた溝状の窪み。氷河擦痕よりも深さや長さが大きい。氷食溝ともいう。
消光位	しょうこうい	extinction position	直交ニコルの場合に、消光するときの薄片の位置。
昇降運動	しょうこううんどう	oscillation	地殻運動のうち上下方向の運動。過去の昇降運動は浸食・堆積・堆積物の層厚・層相・広がりなどに現れる。
消光角	しょうこうかく	extinction angle	鉱物の自形結晶面や双晶面の方向と、光の振動方向、すなわち直交ニコル下での消光方向との角度。
勝光山鉱床	しょうこうざんこうしょう	Shokozan deposit	広島県庄原市のロウ石鉱床。中生界高田流紋岩類中の熱水性交代鉱床。
小構造	しょうこうぞう	small scale structure	露頭～標本サイズの小さな地質構造で、地質図に現すような構造の推定根拠となる。岩石の節理・小断層・片岩状の鉱物配列など。
条痕	じょうこん	streak	鉱物を素焼きの陶磁器表面に擦り付けたときに認められる条線色。鉱物を粉末状にした状態での色を呈する。
条痕板	じょうこんばん	streak plate	鉱物の条痕（条線）を取り、その色から鉱物の種類を判定する為の素焼きの陶磁器の板。硬度約6。通常硬度6以下の鉱物に使用。
上載圧	じょうさいあつ	working pressure	鉛直下向きの载荷圧力のこと。土中では有効応力、全応力などの圧力がある。
上载荷重	じょうさいかじゅう	working load	载荷荷重のこと。
蒸散係数	じょうさんけいすう	coefficient of transpiration	植物が根から吸収した水分が葉から蒸発する事を蒸散といい、乾物1gを生産するのに必要な蒸発散水量をいう。
硝酸性窒素汚染	しょうさんせいちつそおせん	nitrate nitrogen pollution	地下水や表流水中の硝酸性窒素の濃度が上昇して引き起こされる汚染。窒素肥料の施肥や畜産排水・生活排水の土壌浸透処理などが原因。
硝酸態窒素	しょうさんたいちつそ	nitrate nitrogen	硝酸イオンとして存在する窒素を指す。近年、農地で肥料起源の硝酸態窒素による地下水汚染が顕在化している。
消磁	しょうじ	demagnetization	古地磁気学においては、初生磁化に対して二次的な磁化成分を消去すること。その方法には熱消磁と交流消磁などがある。
松脂岩	しょうしがん	pitchstone	流紋岩質のガラス質火山岩で、松脂光沢を有する。水（H ₂ O）の含有量が4%以上で著しく多く、黒曜石と区別される。
常時使用水量	じょうじししようすいりょう	employment amount of water	発電所が1年を通じて常時使用できる水量。湧水流量から他の利水分を控除した水量。

常時すべり	じょうじすべり	sliding in ordinary condition	地震力を作用させない状態で発生するすべり。原子力発電所基礎地盤の力学的安定性検討に重要。
常磁性	じょうじせい	paramagnetism	磁場を加えたときにそれらと同じ方向に磁化される性質。強磁性と異なり、自発磁化や残留磁化はしない。
常磁性体	じょうじせいたい	paramagnetic substance	常磁性を示す物質。不対電子を持つ遷移元素もしくは希土類元素を含むものに多い。
消失係数	しょうしつけいすう	coefficient of loss	地下への浸透および蒸発散によって失われる量と降水量との比。
壤質砂土	じょうしつさど	loamy sand	土壌の土性区分の一つ。国際土壌学会法で、粘土＋微砂の含量が15%以下の土壌。
晶質石灰岩	しょうしつせっかいがん	crystalline limestone	変成を受けた石灰岩。鉱物組成は変成条件、変成前の石灰岩の組成などによって変化する。
消失高	しょうしつだか	height of loss	地下への浸透と蒸発散によって失われる水量。降水量と流出量の差に相当。
消失点	しょうしつてん	vanishing point	空間の平行線を中心投影で平面に投影したときの、放射状直線群からその平面上で1点に交差する点。消点ともいう。
常時土圧	じょうじどあつ	earth pressure in ordinary condition	地震時土圧に対する平常時の土圧。
常時微動	じょうじびどう	microtremors	常時認められる地面の微動のことで、都会では大きく、また、夜は小さくなる。
常時微動観測	じょうじびどうかんそく	measurement of microtremors	常時微動を観測し、その卓越周期や周波数スペクトルから地下構造や地盤増幅特性の把握などに利用する。
常時満水位	じょうじまんすい	retention water level, normal top water level	ダムの非洪水期における貯水の最高水位。
小褶曲	しょうしゅうきよく	small scale folds	一度に観察できる程度の地域的な褶曲で、広域的な褶曲構造とは一致しない場合がある。
晶出（作用）	しょうしゅつ（さよう）	crystallization	結晶作用と同義。
晶出経路	しょうしゅつけいろ	course of crystallization	マグマが結晶作用を開始してから完了するまでの、各種の結晶が晶出する過程。
晶出順序	しょうしゅつじゅんじよ	sequence of crystallization	2種以上の鉱物が結晶作用により晶出する順序。

晶出分化作用	しょうしゅつぶんかさよう	crystallization differentiation	結晶分化作用と同義。マグマが結晶を形成する過程によって、異なる組成のマグマに分化していく作用。
仕様書	しょうしょ	specifications	工事や業務の内容、材料、構造、実施方法、施工法などを規定した書類。
鐘状火山	しょうじょうかざん	tholoide	大きな粘性のある溶岩からなる急斜面を形成する丘状火山で、溶岩円頂丘・トロイデとも呼ばれる。
衝上岩体	しょうじょうがんたい	thrust sheets	衝上断層運動の結果、本来の場所から移動し、その基盤でない岩体を覆う地塊である。衝上地塊ともいう。
上昇砂丘	じょうしょうさきゅう	climbing dune	障害物砂丘のうち、風下方向の丘状の地形をはい上がっていくもの。
礁上堆積物	しょうじょうたいせきぶつ	reef sediment	海底の堆や礁などの上の堆積物。礁性沈殿物ともいい、生物起源の石灰質堆積物を主体とすることが多い。
衝上断層	しょうじょうだんそう	thrust	傾斜が45°以下の断層面をなす逆断層。傾斜がきわめて緩い断層は、押しかぶせ断層または低角衝上断層という。
衝上地塊	しょうじょうちかい	thrust sheets	衝上断層によって移動した上盤側の岩体。厚さに対して著しく分布面積が広い。
上昇熱水説	じょうしょうねっすいせつ	ascension theory	鉱床は、鉱床を形成する物質を運ぶ鉱液が地下深部から上昇して生成されたという説。他に下降説や分泌説がある。
常時流量	じょうじりゅうりょう	firm discharge, guaranteed flow, dependable discharge	1年間のうち355日はこの流量を下回らない河川流量。
小地塁	しょうじりい	minor horst, fault slice ridge	断層変位による凸地形を表す用語の一つで、幅や高さが数十m以下の小規模な地塁のこと。
上水道トンネル	じょうすいどうとんねる	water supply tunnel	上水道のためのトンネルの総称。水源から浄水場までの導水路トンネル、浄水場から消費地までの配水トンネルがある。
小水力発電	しょうすいりょくはつでん	small-scale hydropower	発電出力がおおむね数千kw程度以下の小規模な水力発電設備。
承水路	しょうすいろ	catch drain, intercepting drain	山麓などにほぼ等高線に沿って設置される開水路で、上流から流れてくる水を排水し、下流側に害を及ぼさないようにするもの。
焼成骨材	しょうせいこつざい	burnt aggregate	頁岩、粘土、フライアッシュなどの混合物を粒状に成形し、1,000~1,200℃で焼成した人工軽量骨材。
礁性石灰岩	しょうせいせっかいがん	reef limestone	礁上堆積物起源の堆積岩のうちで石灰岩主体の岩石。

礁性沈澱物	しょうせいちんでんぶつ	reef sediment	礁上堆積物と同義.
焼成フライアッシュ	しょうせいふらいあっしゅ	burnt fly ash	フライアッシュと少量の頁岩, 粘土などを乾燥, 焼成した人工軽量骨材.
晶析脱リン法	しょうせきだつりんほう	phosphorus removal by crystallization method	排水からリン酸カルシウムとして結晶を析出させる, 排水処理におけるリン除去法で, 汚泥を発生させない利点がある.
消雪工	しょうせつこう	snow melting system	地下水, 河川水などを散水することによって雪を消す設備.
条線	じょうせん	striation	結晶面上の晶帯に平行な縞状模様. または, 岩石や地層・断層面などの表面につけられた線状の擦り傷.
条線構造	じょうせんこうぞう	streaky structure	岩石を構成する鉱物が薄い層状や細脈状に並んで, 条線状の線模様に見える構造. 流紋岩などに溶岩の流動により発達する.
条線土	じょうせんど	stripes	周氷河地域の傾斜地で認められる構造土. 斜面の傾斜方向に伸長した粗粒物質と細粒物質とが縞状を呈する.
晶相	しょうそう	crystal habit	同一鉱物において, 構成する結晶面の組合せが異なることによって現れる結晶の外形.
晶族	しょうぞく	crystal class	結晶形態における対称の要素の組合せ. 32通りに限られる.
晶帯	しょうたい	zone	二つの結晶面の交線をいう. 柱面ではそれらの交線は互いに平行なので, それらの面は同一の晶帯に属するという.
晶帯記号	しょうたいきごう	zone symbol	二つの結晶面(hk1)と(h'k'l')との晶帯の方程式は, これら2面の連立方程式によって求められる. (UVW)が晶帯の記号.
状態式	じょうたいしき	equation of state	熱平衡にある物質の状態量(温度, 圧力, 体積, エントロピー, エンタルピーなど)の関係を与える方程式.
晶帯軸	しょうたいじく	zone axis	晶帯の方向を意味し, 球面投影において晶帯を表す大円の中心を通る軸.
晶帯指数	しょうたいしすう	zone index	結晶面(hk1)で表現される面指数.
晶帯の法則	しょうたいのほうそく	zone law	(hk1)と(h'k'l')の交線である晶帯(UVW)に, (h''k''l'')も属するとき $Uh+Vk+Wl=0$ なる式が成立する. これを晶帯の法則という.
沼沢	しょうたく	swamp	排水不良の地層が地表面付近にあるために, 常に冠水している土地で, 湿地ともいう.

沼沢地	しょうたくち	marsh	低湿地など地下水位が高い地帯で、泥炭土や黒泥土などが形成される。
沼沢土壌	しょうたくどじょう	bog soil, swamp soil	①地下水位の高い条件下でできた土壌の総称。 ②主に泥炭・黒泥からなる間帯性土壌。
沼沢ポドソル	しょうたくぼどそる	slough podsol	主にカナダに分布するグライ性土壌の一種で、生産力は非常に低い。
小断層	しょうだんそう	minor fault	露頭オーダーで変位（ズレ）の確認できる断層。
礁池	しょうち	reef pool	さんご（珊瑚）礁の縁辺部分に囲まれた、浅く小規模な水域のことをさす。裾礁に分布することが多い。
小地形	しょうちけい	micro-morphology, small topography	風化・浸食・剝削などによって形成される小規模な起伏で浸食輪廻で形成される大地形と区別される。
小地溝	しょうちこう	fault trench	断層変位による谷地形（凹地形）を表す用語の一つで、二つのほぼ平行する断層によって両側が限られた溝状の凹地のうち、その幅が数十m以下の小さいもの。
蒸着	じょうちやく	vacuum evaporation	物質を真空中で加熱気化させ、その蒸気を試料の表面に薄膜状に凝着させること。金属・非金属、化合物で実施。
焦点	しょうてん	focal point	平行入射した光線が光学系で屈折または反射して光軸の一点で交わる点。逆にその点からでた光線は光学系を通過して光軸と平行になる。
焦点距離	しょうてんきょり	focal length	回転対称な結像系の像側主点と像側焦点との距離。一般に記号 f で示す。
焦電性ポリマー	しょうでんせいぼりまー	pyroelectric polymer	温度の変化で電荷を発生し、逆の現象も生じる重合体。火災検知器・侵入者検知器に利用されている。
照度	しょうど	illumination	照らされた面の単位面積が単位時間に受ける光束。単位は、ルクス。
壤土	じょうど	loam	土壌の土性区分において、粘土含有量が中程度のものをさす。各国や国際学会によって粒度組成範囲が異なる。
晶洞	しょうどう	druse	「がま」ともいわれる、岩石や鉱脈中の空洞である。空洞には、鉱石鉱物の自形結晶が配列することが多い。
衝動水車	しょうどうすいしゃ	impulse water turbine	水圧によってノズルから噴出する水流を、羽根車の周囲に取付けられたバケットに当てて回転させる方式の水車。ペルトン水車が該当。
小豆島災害	しょうどしまさいがい	disaster in Shodoshima island	1974年7月と1976年9月の2回、小豆島で台風による豪雨が原因で発生した土石流災害。

小豆島みかげ (小豆島石)	しょうどしまみかげ (しょうどしまいし)	Shodoshima mikage	香川県小豆郡土床町・北浦・大部産石材。中生界黒雲母花崗岩，角閃石黒雲母花崗岩。敷石用材。
衝突(プレートの)	しょうとつ	collision	プレートの収束境界の一つ。プレートが相手のプレート下に沈み込まずに内部変形を与える現象。
衝突荷重	しょうとつかじゅう	impacting vehicle force, collision load	移動する物体が構造物に衝突した時に作用する荷重。道路橋の設計では自動車の衝突によって生じる荷重が規定されている。
衝突型変動帯	しょうとつがたへんどうたい	mobile belt of collision type	プレートの衝突を伴う変動帯。大陸間山系で起こる。ヒマラヤでは衝突により褶曲山脈や断層が生じた。
衝突クレーター	しょうとつくれーたー	impact crater	小天体(隕石・小惑星・彗星)が高速(数km/s)で衝突することによってできた凹地。
衝突テクトニクス	しょうとつてくとにくす	collision tectonics	大陸プレートどうしの衝突によってヒマラヤ地域に見られるような大規模な衝上断層や大山脈が形成される構造運動。
庄内地震	しょうないじしん	the 1894 Shonai earthquake	1894年10月22日に庄内平野で発生したM7.0の地震。家屋倒壊6,255戸，死者726人とされる被害地震。
鍾乳石	しょうにゅうせき	stalactite	地下水に溶けた石灰岩成分が，鍾乳洞の天井に晶出してできる。石灰岩質のつらら。床から上方に向かって生長したものを石筍という。
鍾乳洞	しょうにゅうどう	limestone cavern	地下水によって炭酸塩岩からなる岩石の割れ目や層理面などが溶食を受けて拡大した洞窟。
消波ケーソン	しょうはけーそん	wave absorbing caisson	前部に透過壁と遊水室を設けて消波効果を発揮するように設計されたケーソンで，反射波軽減などを目的に採用される。
消波工	しょうはこう	wave dissipating works	波のエネルギーを減少させ，打ち上げ高さや越波量を低減させることを目的とした構造物や工法をいう。
消波構造物	しょうはこうぞうぶつ	wave dissipative structure	間隙，粗度，特殊機構などによる消波機能をもった海岸・港湾構造物。傾斜堤，直立透水層堤などがある。
消波護岸	しょうはごがん	wave absorbing revetment	港内の水域の静穏度を良くするために，反射波の発生を防ぐ構造を持った護岸。
蒸発岩	じょうはつがん	evaporite	蒸発残留岩と同義。
蒸発岩鉱床	じょうはつがんこうしょう	evaporite deposit	海水・塩湖などが蒸発濃縮し，塩類が沈殿してできた化学的堆積鉱床の一種。石膏・硬石膏・岩塩鉱床など。
蒸発計	じょうはつけい	evaporimeter	水面から蒸発する蒸発量を測定する計器。

蒸発散	じょうはっさん	evapotranspiration	水面・土壌面・植物表面からの蒸発と植物の気孔からの蒸散により、水が地表から大気中に運ばれる過程。
蒸発残留岩	じょうはっざんりゅうがん	evaporite	蒸発により析出した溶解塩類が沈殿・集積して生成された堆積岩の総称。石コウ・岩塩や石灰岩など。
蒸発残留物	じょうはっざんりゅうぶつ	evaporation residue	海水などの蒸発によってできる沈殿物。海水を蒸発させると、CaCO ₃ 、NaCl、KClなどの塩類が沈殿。
蒸発散量	じょうはっさんりょう	evapotranspiration	水面、土壌面および植物表面などからの蒸発と、植物の気孔からの蒸散によって大気中に移動する水分量。
蒸発式	じょうはっしき	evaporation formula	水分の供給が充分な蒸発面からの蒸発量を幾つかの気象要素から算出する式。ペンマンの式が著名。
蒸発損失	じょうはっそんしつ	evaporation loss	降水量のうち、空中・樹木の枝葉・地表面・水面などから蒸発によって失われる分。
蒸発堆積物	じょうはったいせきぶつ	evaporate sediment	海水などの蒸発により形成された堆積物。蒸発岩に相当する現在の堆積物は塩湖や内海で形成される。
小発破	しょうはっぱ	light shot	掘削面の当り取りや大きな岩塊の小割りなどのため、発破孔に装薬して行う小規模な発破。
消波堤	しょうはてい	wave absorbing dyke	消波構造を備えた堤防。海岸線の保全や水産増養殖を目的とする。
消波ブロック	しょうはぶろっく	wave dissipation concrete block	波のエネルギーを減少させ打ち上げ高や越波量を減らす目的で防波堤の前に設置するコンクリートブロック。
床版	しょうばん	floor slab	橋の床となるスラブで、鉄筋コンクリート製、プレストレストコンクリート製、鋼製などがある。
上半	じょうはん	top heading	トンネル掘削断面のうち上半分をいう。上半と下半の分割位置は、スプリングライン（アーチの起点の水平線）付近で施工性を考慮して決められる。
常磐石	じょうばんいし	Joban ishi	福島県いわき市湯本産石材。新第三系凝灰岩。軟質、耐火性。土木・建築・倉庫用。
床板さんご類 (床板珊瑚類)	しょうばんさんごるい	Tabulata	原始的なこう腸動物の一目。古生代の中期に繁栄し末期に絶滅。細管状のさんご（珊瑚）個体が集合して群体を形成。
常磐炭田	じょうばんたんでん	Joban Coalfield, Joban coal field	福島県・茨城県の東海岸に沿い、南北に狭長な炭田。面積約780km ² 。瀝青炭・亜瀝青炭・褐炭を産した。
常磐みかげ	じょうばんみかげ	Joban mikage	福島県田村郡常葉町産土木用石材。角閃石黒雲母花崗閃緑岩。黒みかげ。

小氷河	しょうひょうが	glacieret	日当たりの悪い窪地・河床・斜面に吹き寄せられた雪や雪崩などにより発生する小規模な氷河.
小氷期	しょうひょうき	little ice age	西暦1,500~1,920年頃に3ないし4回認められる顕著な氷河前進期のうち, 16世紀に始まる最後の前進期.
上部工	じょうぶこう	superstructure	構造物の下部と基礎を除いた上部構造物の総称. 橋梁では橋台や橋脚の上に設けられた橋げた部分をさす.
上部構造	じょうぶこうぞう	superstructure	地質構造上の特徴より, 地殻上部を二つに分けた場合の上層部.
上部半断面掘削	じょうぶはんだんめんくっさく	top heading excavation	トンネル掘削断面の上半アーチ部を掘削すること. 全断面を一度に掘削すると切羽の自立が難しい場合や, 全断面掘削では大型の施工機械が必要となることから分割して掘削する.
上部半断面先進工法	じょうぶはんだんめんせんしんこうほう	upper half advancing excavation method	トンネル掘削断面の上半アーチ部を掘削し一次支保を施工した後, 下半部を掘削する工法. 上半切羽と下半切羽の距離によってショートベンチ工法・ロングベンチ工法に分けられる.
上部マントル	じょうぶまんとる	upper mantle	地殻の下で, かんらん岩(橄欖岩)を主とする深さ約400kmまでのマントル部分.
晶へき(晶癖, 結晶の)	しょうへき(けっしょうの)	habit	同一鉱物において, 結晶面の組み合わせが同じで, 特定の面の発達程度の違いによって外形が変化すること.
情報化施工	じょうほうかせこう	observational method	工事に伴う変形などを計測し, その結果を判断して次の工程に反映させる施工方法. 観測施工参照
情報地質学	じょうほうちしつがく	geoinformatics	情報科学的な手法を地質学や地形学に適用する研究分野. 多量の地質・地形データの解析や表現法, データベースの構築・利用など多岐にわたる.
消滅核種	しょうめつかくしゅ	extinct nuclide	元素合成直後に存在した証拠があるが, 現在では消滅して見いだせない天然の一次放射性核種.
縄文海進	じょうもんかいしん	Jomon transgression	最終氷期以降に生じた後氷期海進の我が国での呼称で, 縄文時代に海進のピークを迎えた. 有楽町海進と同義.
縄文時代	じょうもんじだい	Jomon age	我が国の先史時代のうち, 弥生時代に先行し, 縄文文化によって特徴づけられる時代.
照来地すべり	しょうらいじすべり	the Shorai landslide	1924年に兵庫県美方郡温泉町で発生した地すべり. 照来層群の泥岩, 凝灰質泥岩が素因となっている.
じょう乱	じょうらん	disturbance	褶曲や圧砕など地層に変形をもたらした運動を指す.
じょう乱帯	じょうらんたい	disturbance zone	造山運動や断層褶曲運動などにより, 幅をもって地層が圧砕・褶曲などの変形を示している帯.

上流ブランケット	じょうりゅうぶらんけつと	upstream blanket	貯水池内河床部やダムの不透水構造物に接続するように配置されたダム上流側の遮水ブランケット.
少林山地すべり	しょうりんざんじすべり	the Shorinzan landslide	1960年に高崎市鼻高町で発生した地すべり. 被害面積337ha, 国道および一級河川が隆起し, 家屋15戸が倒壊したとされている.
小礫	しょうれき	granule	細礫と同義.
昭和新山	しょうわしんざん	Showa sinzan	北海道有珠火山東麓における1943~1945年の活動で生じた溶岩円頂丘.
昭和47年7月豪雨	しょうわよんじゅうしちねんしちがつごうう	the 1972 heavy rainfall	1972年7月に発生した梅雨前線による豪雨災害. 被害は33都道府県で, 死者・不明者440余人, 住宅全壊・流失1900余棟. 気象庁は, 7月3日から13日の大雨を「昭和47年7月豪雨」と命名した.
昭和42年7月豪雨	しょうわよんじゅうにねんしちがつごうう	the 1967 heavy rainfall	1967年7月8日から9日にかけて熱帯低気圧と梅雨前線により, 近畿地方以西で発生した局地的集中豪雨災害. 死者・不明者は371名. 急傾斜地法制定の契機になった. 気象庁は, 7月7日から10日までの大雨を「昭和42年7月豪雨」と命名した.
ジョークラッシュャ	じょーくらししゃ	jaw crusher	固定あごと可動あごの間に原石を銕んで破碎する機械.
ショートベンチ工法	しょーとべんちこうほう	short bench cut method, short bench cut construction method, heading and bench method	トンネル掘削工法の一つでトンネルを上半と下半に分け, 上半を約30m先行させてから下半を掘削する工法. 地質不良部に適用される.
ジョールン化作用	じょーるんかさよう	sod formation	土壌生成作用のうち, 土壌中に腐食を多量に集積させる作用. 有機物集積作用・腐食集積作用ともいう.
ジョールン・ポドソル性土	じょーるんぼどそるせいど	dermo-podzolic soil, soddy podzolic soil	ロシアで用いられる針葉樹林下に分布するポドソル性土壌型名. レシベ土壌とポドソル性土の中間型とされる.
除荷	じょか	unloading	原位置試験や室内試験において, 地盤や供試体に加わっている荷重を取り去ること.
除荷作用	じょかさよう	unloading	荷重が除荷されること, あるいは荷重の除荷によって発生する作用.
除荷速度	じょかそくど	rate of unloadong	載荷試験における除荷の速度.
初期異方性	しょきいほうせい	inherent anisotropy	土の強度, 変形特性が荷重方向により異なる特性のうち, 原因が堆積時の異方的な土粒子の配列によるもの.
初期応力	しょきおうりょく	initial stress	自然状態の地山内に作用している応力. 岩盤自重, 地殻変動などの応力履歴や地形等に支配されている. 一次応力, 潜在応力ともいう.
初期応力法	しょきおうりょくほう	initial stress method, initial stress process	有限要素法による材料非線形解析の一つ. 構造物を線形弾性体と仮定し, 応力-ひずみの非線形性を初期に生じていた応力に見立て, その差の力を構造物に付加していく解析手法.

初期火成活動	しょきかせいかつどう	initial magmatism	Stille(1940)による造山帯における火成活動の過程分類の一つで、地向斜期の激しい海底火山活動。
初期間隙比	しょきかんげきひ	initial void ratio	乱れていない状態（元々の自然状態）における地盤、土の間隙比。
初期強度	しょききょうど	initial strength	乱れていない状態（元々の自然状態）における地盤、土の強度。
初期緊張力	しょききんちょうりょく	initial prestressing force	アンカーを定着する際、当初に加える引張り力（荷重）をいう。
初期地圧	しょきじあつ	initial ground stress	地山の内部に元々生じている応力。これは地盤の自重や地殻変動などの影響による。初期応力と同義。
初期地圧状態	しょきじあつじょうたい	initial ground stress condition	土被り厚、地山の単位体積重量、地殻運動などを要因とする地下における地山の掘削前の応力状態。
初期造山時火成活動	しょきぞうざんじかせいかつどう	primorogenic magmatism	N. Edelman(1949)による造山時火成活動の分類の一つ。初期の火成活動で激しい造構造運動の起こる時期の花崗岩の活動が特徴。
初期弾性係数	しょきだんせいけいすう	initial tangent modulus of elasticity	材料試験における応力-ひずみ曲線上の原点での接線勾配で表わされる弾性係数。
初期沈下	しょきちんか	initial settlement	飽和された粘土に載荷したとき、載荷直後に体積変化なしで起こる沈下。
初期ひずみ	しょきひずみ	initial strain	地形形状の変更以前に、地盤の自重や地殻変動などの影響によって、既に生じているひずみ。
初期微動	しょきびどう	preliminary tremor	震源から出る波動において、P波到達からS波到達までの時間に到達する様々な反射波によって生じる微動。
初期微動継続時間（S-P時間）	しょきびどうけいぞくじかん	duration of preliminary tremor, S-P time	地震動のうちP波が始まってからS波が始まるまでの時間。測定値が震源位置決定に利用される。
初期変位量	しょきへんいりょう	virgin displacement quantity	ある物体に力が作用したとき、その物体が最初に変位する量。
初期飽和度	しょきほうわど	initial degree of saturation	初期状態での間隙中に占める水の体積百分率。一般的に自然状態あるいは供試体作製時の飽和度。
初期有効拘束圧	しょきゆうこうこうそくあつ	initial effective confining pressure	乱れていない状態（元々の自然状態）における地盤、土に作用している有効拘束圧。
除去式アンカー	じょきよしきあんかー	removable anchor	施工終了後に除去することのできるアンカー。機械的に取り外すものや、化学的に固着を解くものなどがある。

食	しょく	eclipse	天体を光源とする光が、他の天体によってさえぎられ、天体の一部または全部が見えなくなること。
食塩泉	しょくえんせん	common salt spring	NaClを主体とし、溶存物質総量が1g/kg以上の温泉。日本の温泉・鉱泉中最も多い。
植栽	しょくさい	planting works	植物を繁茂させて周辺環境と調和的な植物群落を造成すること。
埴壤土	しょくじょうど	clay loam	土壌の土性区分の一つ。国際土壌学会法で、粘土含量15～25%、微砂含量45%以下、砂含量30～65%以下の土壌。
触針式水位計	しょくしんしきすい いけい		検出器部の2本の電極が地下水面に没すると電流が流れる原理を利用した水位計。携帯型の水位計に多い。
植生	しょくせい	vegetation	一地域の地表を覆い、生育している植物の集団を意味する用語。植被ともいう。
植生活力度	しょくせいかつりよ くど	plant vigor, plant vigor index	活力のある植生は赤色の反射量が少なく、近赤外などの反射量が多いことを利用して植生の育成状況を表す指標。
植生工	しょくせいこう	planting, sodding	のり面の浸食や風化・凍上崩壊などを防止するため、あるいは美観のため、植生でのり面を被覆するのり面保護工法。
植生護岸	しょくせいごがん	artificially vegetated revetment	のり面を植生により被覆した護岸工。一般に景観への影響を考慮して作られる。
植生自然度	しょくせいしぜんど	natural degree of vegetation	ある地域に生育している植生において、人工的手段（植林など）がとられていない状態の度合。
植生調査	しょくせいちょうさ	vegetation survey	ある地域の植生集団の種組成の分布・動態・機能などを明らかにする調査。
植成土（壤）	しょくせいど（じょう）	phytogen(et)ic soil	植生の影響が強く作用して形成されたと考えられる土壌の総称。有機物の集積が土壌生成形式の特徴。
植生模様	しょくせいもよう	vegetation pattern	異なる植生が配置することでみられる景観。
埴土	しょくど	clay	土壌の土性区分の一つ。粘土の含有率により、砂質埴土・軽埴土・シルト質埴土・重埴土に四区分される。
触媒	しょくばい	catalyser	化学反応速度を増大させる効果を示し、しかも反応終了後に反応前と同じ状態で存在しうる物質。
触媒作用	しょくばいさよう	catalysis (catalytic reaction)	触媒の作用により進行する化学反応。同一触媒による反応速度は一般に触媒の量に比例する。

触媒用粘土	しょくばいようねんど	clays used in catalyst manufacture	有機反応の触媒・触媒担体・触媒の結合剤などに使用される粘土。多くは、活性化し活性白土にして利用。
植被率	しょくひりつ	vegetation cover rate	LANDSAT TMバンド3, 4データ値と植生, 土壌の関係を求め, その演算により推定した植生被覆率。
植物オパール	しょくぶつおぱーる	plant opal	植物蛋白石。植物組織を充填する非晶質含水珪酸によって形成される微小鉱物。
植物群落	しょくぶつぐんらく	plant community	同一環境にできた植物の集団で, 気候や土壌条件の影響を受け, 特有の群落をつくり時間の経過で遷移する。
植物社会学的区分	しょくぶつしゃかいがくてきくぶん	Braun-Branch method	実際の種構成に着目し植物群落を分類する方法。コードラート調査で構成種の被度, 群度を把握し分類する。
食物連鎖	しょくもつれんさ	food-chain	生物群集内での「食う食われる」の関係でつながっていること。連鎖の段階は通常4～5段階で, 6以上は希。
処女圧縮	しょじょあつしゆく	virgin compression	堆積粘土が最初の含水比の高い状態から, 上位に堆積する土層の重量によって単調に圧密される過程のこと。
処女圧縮曲線	しょじょあつしゆくきよくせん	virgin compression curve	処女圧縮状態の土の間隙比と有効応力の関係を示した曲線。
処女水	しょじょすい	juvenile water	地殻内部で生成し, 温泉や火山の噴気にまじって地表に現れた水。初生水ともいう。
初生	しょせい	juvenile, primary, primordial	地下から地表へ初めて出てきた物質の形容。または二次的作用を受けていないこと。あるいは地球生成時から存在するものの形容。
初生岩石区	しょせいがんせきく	juvenile petrographic province	上部マントルの熔融で生成したマグマから, 直接あるいは分化して生じた初生火成岩系によって構成される岩石区。
初生き裂	しょせいきれつ	intrinsic fracture	構造運動を被る前の, 例えば冷却などによってできる亀裂。
初生鉱物	しょせいこうぶつ	primary mineral	一次鉱物と同義。
初生地すべり	しょせいじすべり	primary landslide	過去に移動した履歴のない初めて滑動した地すべり。狭義の岩盤地すべりは, 初生地すべりの一種。一次地すべりともいう。
初生水	しょせいすい	juvenile water	処女水と同義。
初生的ファブリック	しょせいてきふあぶりつく	apposition, primary fabric	二次的作用により改変される以前の源岩中に存在した組織, 構造などの構成要素がもつ空間的相互関係。

初生物質	しょせいぶつしつ	juvenile matter	初めて地下深所から地表に出てきたガス・水・マグマなどの物質.
初生変質	しょせいへんしつ	deuteric alteration	マグマ固結の末期に残液の作用で、初生鉱物がより温度の低い二次鉱物に変わる現象.
初生マグマ	しょせいまぐま	primary magma	地下深部に存在する分化していないマグマ.
初生流動構造	しょせいりゅうどうこうぞう	primary flow structure	結晶作用がある程度進んだマグマが、流動することによって形成される構造.
ショット	しょつと	shot	弾性波探査において、震動源として火薬・爆薬を用いる場合、これを爆発させること.
ショットクリート	しょつとくりーと	shotcrete	圧搾空気を利用して施工面に吹き付けて施工するコンクリート.
ショットドリル	しょつとどりる	shot drill	散弾試すい機と同義.
ショットボーリング	しょつとぼーりんぐ	shot drilling, shot boring	ショットドリルでのボーリング. ショット（鋼球）がビット平坦部の下で作用し、回転につれ岩石を削剥する.
ショットホール	しょつとほーる	shot hole	ショットドリルにより掘削されたボアホール. または、火薬を装填し、爆破される発破孔.
ショットホールドリル	しょつとほーるどりる	shot hole drill	ショットボーリングに用いられるボーリング機械. 発破孔の掘削に用いられるボーリング機械.
ショットマーク	しょつとまーく	shot mark	地震（弾性波）探査で震源として用いる火薬の爆破の瞬間を表すマーク. 電気雷管に電流を流し回路が切れる瞬間を記録する.
初動	しょどう	initial motion	ある地点に到達した各種地震波の第一動の振動. 初動の方向は発震機構と関係しており重要な要素である.
初動走時	しょどうそうじ	first arrival	地震計に最初に記録される地震の到達時刻. 屈折法地震探査では、初動走時を基に走時曲線を作成する.
初動分布	しょどうぶんぷ	push-pull pattern of initial motion	初動の押し引き分布. 初動の方向と震源との関係は、発震機構と関係しており重要な要素である.
ショベル法	しょべるほう	shovelling method	縮分サンプリングと同義.
所要堅岩線	しょようけんがんせん	required shoulder	アーチダムの安定計算において、スラスト力に対して安定性を確保する上で必要最低限の基礎堅岩の厚みを表す堅岩の等高線.

所要スランプ	しよようすらんぷ	required slump	打ち込み時にコンクリートが持つべき柔らかさ。
ジョリーのバネばかり	じょりーのばねばかり	Jolly spring balance	鉱物の比重を簡単に測定するばねばかり。鉱物の空気中および水中での重さを測定することで比重を算出する。
処理水	しよりすい	treated wastewater, treated sewage, treated wave	廃水処理により浄化された水の総称。
ジョンソン宇宙センタ	じょんそんうちゅうせんた	Johnson Space Center, JSC	米国航空宇宙局(NASA)の施設の一つ。スペースシャトルの運行管理、飛行管制などを担当。ヒューストンにある。
白岩・六郷断層群	しらいわろくごうだんそうぐん	Shiraiwa-Rokugo faults	活断層。確実度Ⅰ，活動度B級，南北方向。秋田県の横手盆地東縁に沿って南北に延びる断層群で延長26km。活動年代2.3万年の逆断層。
白河石	しらかわいし	Shirakawa ishi	福島県白河地方産土木・建築用材。第四系デイサイト質溶結凝灰岩。産地により須賀川石・根田石などとも呼ばれる。
白川断層	しらかわだんそう	Shirakawa fault	活断層。確実度Ⅰ，活動度B級，北東方向。岐阜県加茂郡東白川村の及川に沿って延びる右横ずれ断層で延長11km。
白木谷層群	しらきだにそうぐん	Shirakidani Group	四国の秩父累帯黒瀬川地帯に分布する古生代末の付加体。高知県南国市白木谷を模式地とする。石灰岩、枕状溶岩を主体とする緑色岩ユニットと緑色岩・砂岩・チャートなどからなるユニットからなる。
白倉地すべり	しらくらじすべり	the Shirakura landslide	1974年4月に山形県西村山郡朝日町白倉で発生した地すべり。県道、河川などに被害が生じた。
しらす	しらす	shirasu	南九州に広く分布する白色の火砕流堆積物の俗称。水流でガリ浸食や崩壊を起こしやすい。土壌生産力は低い。
しらす台地	しらすだいち	shirasu plateau	ほぼ南九州全域に分布する白色の未固結火砕堆積物からなる台地。急崖部では豪雨の際に崩壊が生じやすい。
白巣峠断層	しらすとうげだんそう	Shirasutoge fault	活断層。確実度Ⅰ～Ⅱ，活動度A～B級，北東方向。岐阜県恵那郡加子母村付近に位置する延長12kmの右横ずれ断層。
白滝石	しらたきいし	Shirataki ishi	石材名。鳥取県八頭郡若桜町産の蛇紋岩。福島県田村郡大越町・滝根町産。古生界大理石。
白波	しらなみ	white cap	波の最上部にあたる峰の部分が強い風により砕かれ泡立ち、白い帽子状に見える部分。巨大なものは船にとって危険。
白野江石	しらのえいし	Shiranoe ishi	福岡県北九州市門司区白野江産砕石用石材。中生界ひん岩。
白浜層群	しらはまそうぐん	Shirahama Group	静岡県伊豆半島南部に分布する新生界中部中新統～下部鮮新統。火砕岩・溶岩および砂岩・礫岩からなる。

白水層群	しらみずそうぐん	Shiramizu Group	常磐炭田地域に分布する新生界古第三系。下部から礫岩層，砂岩層，泥岩層からなる。
シリカ	しりか	silica	無水珪酸，二酸化ケイ素とも呼ばれる化学組成がSiO ₂ の物質。結晶質に限らない。
シリカ温度計	しりかおんどけい	silica geothermometer	温泉および熱水のシリカの濃度から，地下で溶解平衡にあるシリカ鉱物を想定して温度を算出する方法。
シリカゲル	しりかげる	silica gel	吸着力の強い珪酸ゲルで，成分はSiO ₂ ・nH ₂ O。
シリカ鉱物	しりかこうぶつ	silica mineral	SiO ₂ 四面体が造る鉱物の総称で多くの多形を持つ。このほか，隠微晶質の玉ずい（玉髓）や非晶質のオパールなども広義のシリカ鉱物である。
シリカサンドアスファルト	しりかさんどあすふあと	silica sand asphalt	シリカサンド，フィラーおよびアスファルトの加熱混合物を用いたすべり止め舗装。
シリカ質微粉末	しりかしつびふんまつ	silica powder	主成分がSiO ₂ からなる材料の微粉末。ポゾラン活性をもつコンクリート用混和材として用いられる。
シリカスケール	しりかすけーる	silica scale	深所から揚水された熱水中のシリカ分が，温度の低下と共に過飽和となり輸送管などに析出・付着したもの。
シリカセメント	しりかせめんと	silica cement	クリンカーとシリカ質混合材に適量の石膏を加え，混合粉砕したセメントで，シリカ質混合材の分量よりJISでA・B・Cの3種に分類されている。
シリカ濃度	しりかのうど	silica concentration	温泉水および熱水に溶解しているSiO ₂ の濃度。これにより，地下の温度帯水層や地熱貯留層の温度が求められる。
シリカフェーム	しりかふゅーむ	silica fume	非晶質超微粒子の二酸化珪素から成る微粉末。金属シリコン，フェロシリコンなどのシリコン合金を製造する際に発生するSiO ₂ 煙霧を集塵機で回収した副産物。
シリコン系高分子材料	しりこんけいこうぶんしざいりょう	silicone polymer	ケイ素原子に炭化水素が結合したシリコンからできるゴム・樹脂などの材料。
自立工法	じりつこうほう	cantilever	根切り時の側圧を山留め壁根入れ部分での土の横抵抗と山留め壁自身の曲げ抵抗によって安定させる工法。
シリティッククラスト	しりていっくくらすと	silitic crust	熱帯や大陸の乾燥地域に分布するシリカが溶脱，集積した固結状態の風化生成物で90～95%が石英。
自流式発電所	じりゅうしきはつでんしょ	run-of-river type power station, natural flow type power station	河川の自然流量を調整せずに発電に用いる形式の水力発電所。流れ込式発電所ともいう。
自流貯水池	じりゅうちょすいち	reservoir with natural inflow	他流域からの導水などに依存せず，もっぱら自己流域の流水に依存して計画された貯水池。

磁硫鉄鉱	じりゅうてっこう	pyrrhotite	Fe _{1-x} S (x=0~0.125) からなる硫化鉄物. 単斜晶系, 六方向晶系. 硬度3.5~4.5. 比重4.58~4.65. 塩基性火成岩・ペグマタイト・接触交代鉄床・高温熱水鉄脈などに産する.
試料	しりょう	sample	室内試験・分析などの対象材料. 成形・非成形や変状・原状など対象物の状態による呼び名もあり, 各試験法により規定される.
試料採取	しりょうさいしゅ	sampling	地盤調査のために, 土や岩の乱さない試料および乱した試料を採取すること. 環境調査では水や気体も採取する.
試料調整方法	しりょうちょうせいほうほう	method of preparing soil samples	土の粒度試験および物理試験を行う際に用いる試料の調整方法について規定したもの.
試料標本箱	しりょうひょうほんばこ	sample case	①土試料では試料を入れた水密性のビンを収納する箱. ②岩石コアでは仕切り板を備えたコア箱.
試料分取器	しりょうぶんしゅき	sample splitter	土全体から土質試験に必要な質量の試料をむらなく分取するための器具.
磁力	じりょく	magnetic force	磁場の中で磁性体や電流が受ける力. 磁場中の電流素片をidS, 磁束密度をBとすると, 磁力dF=idS×B.
磁力計	じりょくけい	magnetometer	磁場の強さを測る装置.
磁力線	じりょくせん	line of magnetic force	磁場の中で, 接線が磁場の強さHの方向を示す曲線. 磁性体内以外では磁束線と同じ形状をなす.
磁力選鉱	じりょくせんこう	magnetic separation	鉄物に特有の磁性と磁力の差異を利用する鉄物分離法. 磁鉄鉱・磁硫鉄鉱と他鉄物や廃石, 造岩鉄物の分離など.
磁力探鉱	じりょくたんこう	magnetic survey	地球磁場を地表・海上・空中から測定し, 磁気の異常から地下構造, 地下資源の賦存を調べる物理探鉄の一つ.
磁力探査	じりょくたんさ	magnetic survey	磁気探査と同義.
シリンダーカット	しりんだーかっと	cylinder cut	トンネルの平行心抜き発破パターンの一つ. 大口径の空孔を設けその周囲に装薬孔を配置する.
シリンダゲート	しりんだげーと	cylinder gate	上部程直径の小くなる鋼製の円筒を積重ね, 最上部に呑口を設けたゲート. 円筒部分の伸縮により貯水池の水位変化に対応できるので表面取水設備に用いられる.
シリンダバルブ	しりんだばるぶ	cylinder valve	オリフィスに設ける水流制御用のシリンダ状の開閉装置.
次輪廻	じりんね	subcycle	部分的輪廻と同義. 地形輪廻の中で, 隆起や浸食基準面の変化により新たに生じた輪廻をさす.

シル	しる	sill	貫入岩体のうち、周囲の地層の構造に調和的な方向で貫入している層状岩体。玄武岩やドレライトに多い。
シルクリート	しるくりーと	silcrete	シリカのこう結（膠結）により、地表の砂・礫が硬い塊に固まったもの。砂質・粘土質岩石の上部がシリカの濃集により固くなったもの。
ジルコニウム	じるこにうむ	zirconium	融点が1,852℃と高く、耐食性・耐熱性に優れ、機械的強度が大きい金属材料。
ジルコン	じるこん	zircon	ZrSiO ₄ 。正方晶系。硬度7.5。比重4.6～4.7。多くは正方長柱状。色は濃淡各色。片麻岩・ペグマタイトに含有頻度大。
シルト	しると	silt	W土粒子区分において粘土の次に大きな粒径に区分されるもの。土質分野（日本統一土質分類）では5～75μm、地質分野（Wentworthら）では1/256～1/16mm、土壌分野（国際土壌学会法）では微砂と称し、2～20μmの粒径の土粒子から構成されるものをいう。砂と粘土の中間粒径。河口付近・湾・大陸棚に広く分布する。沈泥ともいう。
シルト岩	しるとがん	siltstone	粒径1/256mm～1/16mmまでの碎屑粒子（シルト）の固結したものをシルト岩という。
シルト質土	しるとしつど	silty soil	シルト分を多く含む土の総称。
シルト質粘土 ローム	しるとしつねんど ろーむ	silty clay loam	粒径がシルト質粘土を主体となるローム。
シルト質ローム	しるとしつろーむ	silty loam	シルト質のローム。粒径がシルト主体となるローム。
シルト分	しるとぶん	silt fraction	土中のうち、シルト粒子（日本統一土質分類では粒径が5～74μm）の含有分。
シルビン	しるびん	sylvine, sylvite	カリ岩塩（KCl）。岩塩と同形で同様な産状を呈するが、岩塩に比べてカルウム分が極めて少量。産地はドイツのハルツ地方が有名。
シルル紀	しるるき	Silurian(period)	古生代のオルドビス紀に次ぐ3番目の地質時代。筆石類の <i>Monograptus</i> が全盛。三葉虫も優勢。
シルル系	しるるけい	Silurian(system)	古生代のシルル紀に形成されたすべての地層・岩体。
白石石	しろいしいし	Shiroishi ishi	宮城県白石市・仙台市産土木用石材。新第三系輝石安山岩。
白雲母	しろうんも	muscovite	K ₂ Al ₄ (Si ₆ Al ₂)O ₂₀ (OH, F) ₄ の雲母族鉱物。単斜晶系。硬度2.5～3。比重2.77～2.88。白色・淡紅色などの六角板状結晶。泥質変成岩に多く含む。
白寒水石	しろかんすいせき	Shirokansui seki	茨城県常陸太田市真弓山産石材。古生界白色大理石。

白疵	しろきず	blind crack	岩石中の肉眼では確認できない微細な割れ目。山疵とも呼ぶ。
白地鉱	しろじこう	Shiroji-type ore	中熱水性交代作用により生じた石英と方解石を主な脈石とする地の白い含銀鉛・亜鉛鉱。神岡鉱山特有の用語。
白水晶	しろすいしょう	Shirosuisho	岡山県笠岡市神島外町，白石島，真鍋島産石材。中生界黒雲母花崗岩。
白丁場	しろちょうば	Shirochoba	神奈川県足柄下郡湯河原産石材。更新統角閃石安山岩。厚さ100mに達する箱根火山古期外輪山溶岩。
白目	しろめ	Shirome	宇都宮市産大谷石のうち地表面に近く分布。稍白色で硬い石材。普通の「青目」より良質。
城山石	しろやまいし	Shiroyama ishi	徳島県麻植郡鴨島町，川島町城山産石材。三波川結晶片岩。板石・砕石用材。その他数箇所に同名称あり。
磁わい型変換器 (磁歪型変換器)	じわいがたへんかん き	magnetic type transducer	電磁誘導現象の変化を利用した，電気計測式ひずみ計の一種。
磁わい法 (磁歪 法)	じわいほう	magnetic anisotropy method	強磁性体が応力により磁気的な異方性を生じることを利用した応力計測法。鋼構造物や鋼製ケーブルの応力測定に用いられる。
地割れ	じわれ	ground fissure	地表面に認められる割れ目。地下の断層運動に伴う地割れは雁行割れ目となる場合が多い。
人為淘汰	じんいとうた	artificial selection	農業や畜産において，人の目的にかなった有用な形質をもつ個体を選抜して残すこと。品種改良の手法。
塵雨	じんう	dust fall	塵嵐により多量に巻き上げられた細粒運搬物が，上空の風に運ばれて遠方まで達したもの。黄砂がこれに該当。
シンウォールサ ンプリング	しんうおーるさんぷ りんぐ	thin-walled tube sampling	粘性土や細粒分を含む緩い砂質土地盤に肉厚の薄いチューブを押し込み乱さない試料を採取する方法。
シンウォール チューブサンプ ラ	しんうおーるちゅー ぶさんぷら	thin-wall tube sampler	規定の長さの肉厚の薄いサンプリングチューブを地盤に連続的に押し込み，土試料を乱さず採取する器具。
浸液法	しんえきほう	immersion method	偏光顕微鏡下で，鉱物粒子を液に浸し，浸液の屈折率との比較で鉱物の屈折率を測定する方法。
真円すい図法	しんえんすいずほう	true conical projection	地球球面上の経線や緯線を円すい面の上に投影する図法の一つ。
震央	しんおう	epicenter	地下にある震源を地表に投影した位置(点)。震央は緯度と経度によって表される。

震央距離	しんおうきょり	epicentral distance	震央からある地表の基準となる位置までの距離。
震央決定	しんおうけつてい	epicenter determination	地震観測資料から、図的または数式的方法で震央または震源の位置を決定すること。
震央分布図	しんおうぶんぷず	seismicity map	過去のある期間に起きた地震の震央を地図上にプロットしたもの。地震予知やメカニズム解明に有用である。
新オーストリア式掘削工法	しんおーすとりあしきくっさくこうほう	new austrian method	トンネル工事で木製支保工を使用した時代に、オーストリアで発達した底設導坑先進の加背割りのパターン。新奥式ともいう。
深海	しんかい	deep sea	海洋のうち水深100m～200m以深を深海という。堆積学では200m～1,000mを中深海、1,000m以深を深海と呼ぶ。
震害	しんがい	earthquake damage	地震動およびこれに起因する災害によって被った被害。崖崩れや建物の倒壊は一次的な、火災などは二次的な震害。震災と同義語。
しんかい2000	しんかい2000	Shinkai 2000	(独)海洋研究開発機構(旧海洋科学技術センター)の潜水調査船。最大潜航深度2000メートル。
しんかい6500	しんかい6500	Shinkai 6500	(独)海洋研究開発機構(旧海洋科学技術センター)の潜水調査船。最大潜航深度6500メートル。
深海海丘	しんかいかいきゅう	abyssal hill	深海底から隆起している小さな丘(高さ数m～数百m)をさす。深海丘ともいう。
深海丘	しんかいきゅう	abyssal hill	深海海丘と同義。
深海丘群	しんかいきゅうぐん	abyssal hills	深海底の小さな海丘(比高数m～数百m)群をさし、不規則で起伏に富んだ海底地形を形成する。
深海掘削計画	しんかいくっさくけいかく	Deep Sea Drilling Project	1968年から1983年まで実施された海底の学術ボーリング。モホール計画の後続として計画。
深海砂	しんかいさ	deep sea sand	深海底に分布する淘汰のよい砂。チャレンジャー号が南大西洋で発見。乱泥流により深海に運ばれた説が有力。
深海地震探査	しんかいじしんたんさ	deep-sea seismic prospecting	1,000～5,000mの深海底における地質構造や鉱物資源などの調査を目的とする弾性波(音波)探査。
深海成層	しんかいせいそう	abyssal sediment	地層の堆積・生成環境に基づく地層分類の一つで、水深約1,000m以深における海底堆積物。浅海成層、半深海成層、三角州成層などと対をなす。
深海扇状地	しんかいせんじょうち	deep sea fan	陸棚斜面の末端部から深海平原にかけて見られる扇状地状を呈する緩斜面。

深海堆積環境	しんかいたいせきかんきょう	abyssal environment	深海（堆積学では1,000m以深）における堆積環境。一般には2,000m以深をさす。
深海堆積層	しんかいたいせきそう	abyssal sediments	深海成層と同義語。
深海堆積物	しんかいたいせきぶつ	abyssal sediments	深度2,000m以深の深海堆積環境下で深海底に堆積した堆積物。極細粒の碎屑粒子や微生物の遺骸からなる。
深海段丘	しんかいだんきゅう	deep sea terrace	深海底に見られる階段状もしくは段丘状の地形。深海平坦面ともいう。成因は断層変位などが考えられる。
深海チャンネル	しんかいちゃんねる	deep sea channel	深海底に見られる谷状のチャンネル地形。陸棚斜面に発し、深海平原・海溝にいたる。海底谷より緩傾斜。深海長谷ともいう。
深海長谷	しんかいちょうこく	deep sea channel	深海チャンネルと同義。
深海底	しんかいてい	deep sea floor	広義では大陸棚外縁（水深約200m）以深の海底、ふつう水深2,000m以深の海底をさす。
深海底コア	しんかいていこあ	deep-sea bottom core	海溝も含めた大陸外縁の深海底地質調査のために潜水・探査装置・海中ボーリングなどにより採集されたコア試料。
深海底鉱物資源	しんかいていこうぶつしげん	deep submarine mineral resources	深海底または海底下に存在する鉱物資源。マンガン団塊・マンガクラスト・海底熱水鉱床が有望視される。
深海底生物群集	しんかいていせいぶつぐんしゅう	deep-sea biological community	深海で生態的地位を持つすべての生物。動物・植物群集を含み、プレート境界やホットスポットとの関連性が研究されている。
深海粘土	しんかいねんど	deep sea clay	陸域から遠い深海域に堆積した粘土。遠洋性粘土・赤色粘土とも呼ばれる。
深海波	しんかいは	deep-water wave	水面の波で、波長が水深の2倍よりも小さい波。表面波または深水波ともいう。
深海風化	しんかいふうか	deep sea weathering	海底の堆積物や岩石が海水や生物の作用により変質風化する深海で特に顕著な海底風化。
深海平原	しんかいへいげん	abyssal plain	勾配が1/1,000以下の平坦な海洋底。大陸斜面の麓に位置し、タービダイトが表層を形成。
深海平坦面	しんかいへいたんめん	deep sea plain	大陸斜面・海洋底の段丘地形も含む平坦面。成因的には構造的な窪地をタービダイトが埋積したとの説が有力。
進化速度	しんかそくど	rate of evolution	生物の進化における種や属、または器官や生体分子の変化の早さ。一般に生物は進化につれ進化速度が増大する。

新型転換炉	しんがたてんかんろ	advanced thermal reactor (ATR)	わが国で開発された重水減速沸騰軽水冷却圧力管型原子炉。軽水炉よりもプルトニウム転換効率が高く、また回収ウラン、プルトニウムなど種々の燃料が利用できる。福井県敦賀市において原型炉「ふげん」が2003年3月まで運転。
進化論	しんかろん	evolution theory	生物進化の現象・法則・機構・要因に関し体系的な説明を与えるもの。ダーウィンの「種の起源」によって確立。
新関門トンネル	しんかんもんとんねる	Shin-Kammon tunnel	関門海峡の下を通る山陽新幹線の海底トンネル。延長18.71km。1974年竣工。
新木浦鉱床	しんきうらこうしょう	Shinkiura deposit area	大分県南海部郡宇目村木浦にあるスカルン型鉱床で、含錫磁硫鉄鉱床。
新期花崗岩	しんきかこうがん	younger granite	山田(1966)の花崗岩の区分で濃飛流紋岩の活動期以降の花崗岩を新期花崗岩とした。その他の地域でも花崗岩の活動時期により古期・新期に区分している。
新期火山灰	しんきかざんばい	new volcanic ash	一つの火山において、より後の活動で噴出した火山灰。
親気元素	しんきげんそ	atmophile element	元素を地球における存在状態から分類したときに、気体となりやすい元素。窒素と希ガス類などが代表例。
新期造山帯	しんきぞうざんたい	young orogenic belt	ジュラ紀以降新生代にかけて、アルプス造山運動を受けた地帯。
新木津川大橋	しんきづがわおおはし	Shinkizugawa bridge	大阪府大正区～住之江区にあるアーチ橋。中央径間305mでこの形式では日本最大。1994年完成。
新期領家花崗岩	しんきりょうけかこうがん	younger Ryoke granite	小出(1949・1958)は領家帯の花崗岩を広域的な変成作用に関係したものを古期花崗岩、変成岩に複変成を与えたものを新期花崗岩に区分した。
針銀鉱	しんぎんこう	acanthite	Ag ₂ S, 単斜晶系, 硬度2～2.5, 比重7.22(測定値)7.24(計算値)。鉱脈鉱床から産出する硫化銀鉱物。鉄黒色金属光沢, 針状～柱状結晶。179℃以上で輝銀鉱に転移する。
真空圧定板	しんくうあつていばん	vacuum back	航空測量用など大判フィルムを用いるカメラで、空気圧を減じてフィルムを平板に圧着させ平面性を保つ装置。
真空圧密工法	しんくうあつみつこうほう	vacuum consolidation method	軟弱地盤対策工のうち、載荷重工法の一工法で、一般に使われる盛土載荷の代わりに大気圧を用いる方法。地表面をシートで被い真空ポンプで膜の内側の空気を吸引・排出し大気圧を利用して軟弱地盤を圧密する。
真空井戸	しんくういど	vacuum well	不飽和帯中の間隙空気に揮発した有機塩素系化合物などの揮発性物質を抽出するために減圧された井戸。
真空コンクリート工法	しんくうこんくりートこうほう	vacuum concrete	コンクリート打設面に真空マットを置き、真空ポンプで余分な水分や空気を除去することにより初期強度を高める工法。
真空蒸発法	しんくうじょうはつほう	vacuum evaporation process	密閉して1気圧以下に減圧することによって水分を蒸発させ、乾燥させる方法。

真空ポンプ	しんくうぼんぷ	vacuum pump	真空を作り出すポンプ。機械的に空気を除去する回転式や油の蒸気流を用いる油拡散式などがある。
真空誘電率	しんくうゆうでんりつ	vacuum emissivity	真空状態において電束密度を電場で除した値。その値は 8.8542×10^{-12} F/mである。
真空ろ過（真空濾過）	しんくうろか	vacuum filtration	ろ布などを介して真空ポンプで汚泥などを吸引し、汚泥などの中の水分を分離する操作。
真空濾過機	しんくうろかき	reduced pressure filter	泥水処理装置の一つで、細粒土粒子を真空状態で脱水分離するもの。
シンクホール	しんくほーる	sinkhole	カルスト地域の漏斗状の穴。ドリーネと同義語。北アメリカで用いられる。
シングルコアチューブ	しんぐるこあちゅーぶ	single core tube	コアチューブが一重管のコアバレル。掘削用水がコアとチューブの間を流れるため、コアはこわれやすい。
シングルシェルライニング	しんぐるしえるらいにんぐ	single shell lining	吹付けコンクリートのみで永久覆工とするトンネル・地下空洞の覆工方式。通常のトンネル覆工は一次覆工と二次覆工の間に縁切のシートを挟むので二層となりダブルシェルライニングと呼ばれる。
シングルパッカーグラウチング	しんぐるぱっかーぐらうちんぐ	single-packer grouting	注入区間の掘削後、その上端にパッカーをかけて注入を行う方式のグラウチング工法。
シングルパッカー法	しんぐるぱっかーほう	single packer lugeon test	ボーリング孔内でのルジオン試験法の一方式。1個のパッカーでパッカーと孔底との間を試験区間とする。
シングルフラッシュ方式	しんぐるふらっしゅほうしき	single flash method	地熱井から得た気水混合流体をセパレータで蒸気と熱水に分離し、蒸気を利用し発電する方式。
シングルホール透水試験	しんぐるほーるとうすいしけん	single borehole permeability test	ボーリング孔を用いた現場透水試験のうち、水位回復法、注水法など単孔のみを用いて行う透水試験。
シンクロトロン放射	しんくろとろんほうしゃ	synchrotron radiation	電子加速器の一種である電子シンクロトロンからの放射。広い領域の連続スペクトルが得られ標準光源として利用される。
真傾斜	しんけいしゃ	true dip	地層の走向に鉛直な断面に示される傾きのことで真の傾斜ともいう。見かけの傾斜の対語。
震源	しんげん	hypocenter	地震動が発生した地点。一般には地下の発生源部分。
震源域	しんげんいき	hypocentral region	地震によってずれを生じた区域。
震源パラメータ	しんげんおあらめーた	source parameter	震源となった断層面の形態を表す断層面積や走向傾斜や断層運動の動き・速度・応力降下量・地震モーメントなど。

震源過程	しんげんかてい	source process	断層面の広がり方や滑り運動の経過のような、地震波の発生源に関するプロセスを総称した呼び方。
震源球	しんげんきゅう	focal sphere	震源を中心とする小さな球。観測される地震波の放射パターンを説明するために考え出された仮想球。
震源距離	しんげんきょり	focal distance	ある地表の基準となる位置から震源までの距離。
震源決定	しんげんけってい	hypocenter determination	多数の地震観測点のデータから、震源位置・発生時刻・地震の規模などを決めること。
震源スペクトル	しんげんすぺくとる	source spectrum	面的な広がりを持つ断層運動を地震モーメントの時刻歴関数に置き換えたものを時間微分のフーリエ変換したもの。
震源断層	しんげんだんそう	earthquake source fault	地震波動や変位を発生させた断層。地表に現れ、記録された断層（地表地震断層）と区別して用いる。
震源地	しんげんち	place of epicenter	地震波の波動で最初に波を発生させるような変動の起こった場所。震源地の真上の点を震央という。
震源の深さ	しんげんのふかさ	focal depth, depth of hypocenter	地震波発生源の震源から震源直上の地表部震央までの深さ。
震源面	しんげんめん	seismic plane	地震帯の分布の中心に仮想された曲面。現在ではその一部が2層構造になっていることが見いだされている。
震源モデル	しんげんもでる	source model	地震動を計算するために必要となる断層震源のモデル。ダブルカップル力による点震源で近似するモデル、断層面の広がりや破壊伝播のパラメータを設定することができる運動学的断層モデルと断層面上での応力と摩擦を考慮して破壊伝播を計算する動力学的断層モデルに分けられる。
震源要素	しんげんようそ	hypocenter element	発生した地震の震源の諸量、緯度・経度・深さ・震源時・マグニチュードなど。
人工永久凍土	じんこうえいきゅうとうど	artificial permafrost	継続して二冬とその間の一夏を含めた期間より長い間、0℃以下の凍結状態を人工的に保った土壌。
人工衛星	じんこうえいせい	satellite	気象衛星・通信衛星・資源衛星・観測衛星・軍事衛星などがある。観測衛星や資源衛星の画像処理により応用地質的情報が多く得られる。
人工衛星測地	じんこうえいせいそくち	observation of geodetic satellite	GPSによる測位のように、人工衛星を利用して地球上の地点の位置や地球の形状、大きさを計測すること。
人工河川	じんこうかせん	artificial river	運河・灌漑用水路・分水路・放水路・河道を直線化するための捷水路など人工的につくられた河川。
人工軽石	じんこうかるいし	artificial pumice	黒曜岩や松脂岩を急熱膨張して造るきわめて多孔質な軽石。軽量骨材・ろ過材・防音材・断熱材などに使われる。

人工岩石	じんこうがんせき	artificial rock	天然ではなく人工的に作った人造岩石。コンクリートは代表的な一つで、他に人工砕石・人工砂などがある。
人工かん養（涵養）	じんこうかんよう	artificial recharge	人工的に地下水をかん養（涵養）すること。日本では井戸法が多く試みられている。
人工軽量骨材	じんこうけいりょうこつざい	artificial lightweight aggregate	頁岩、高炉スラグ、フライアッシュなどを原料として製造された軽量骨材。
人工鉱物	じんこうこうぶつ	artificial mineral	天然鉱物と同一の結晶構造・化学組成を有する人工的に合成された結晶鉱物。人工ダイヤモンド・スピネルなど。
人工地震	じんこうじしん	artificial earthquake	人為的な理由による地盤の振動はすべて人工地震であるが、主として火薬などで人為的に起こした場合をさす。
人工地盤凍結法	じんこうじばんとうけつほう	freezing method, ground freezing method, artificial ground freezing	人工的に地盤を冷却し、凍結固化させる工法で冷却に使用する寒冷源の種類により、プライン方式と低温液化ガス方式の2種類に大別できる。
人工砂利	じんこうじゃり	artificial gravel	軽石礫をセメントで被覆したものや、膨張頁岩などで、天然砂利の代用品として骨材他に利用される人工の砂利。
人工小地震	じんこうしょうじしん	artificial small earthquake	物理探査手法により地下構造を調べるためダイナマイトなどにより人工的に発生させた震源。
人工水路	じんこうすいろ	artificial canal, aqueduct	運河などの水路。送水、排水などのために人工的に作られた開水路、管、トンネルなどの水路。
進行性地すべり	しんこうせいじすべり	progressive landslide	頁岩・高圧密粘土などの斜面で局部的に生じた破壊が隣接部分に順次波及（進行性破壊）して生じる地すべり。
進行性破壊	しんこうせいはいかい	progressive failure	土塊内の応力やひずみ分布が一様でないために、破壊が局部的に始まり、次第に他の部分に広がる現象をいう。成長しつつある破壊面の先端に、ピーク強度より大きなせん断応力が働き、破壊が順次進展していく破壊様式。波及破壊ともいう。
人工地形	じんこうちけい	artificial landform	住宅地、農用地、工業用地、河川などの開発によって改変あるいは造成された地形。
新交通システム	しんこうつうしすてむ	new transport system, new transportation system	都市における新方式の軌道交通システムで、車体の軽量化、自動運転、駅間隔・運行間隔の短縮などの特徴を有する。
人工電位法	じんこうでんいほう	artificial potential method	人工的方法で地下に電流を流し、それによって生ずる電位を地表や試錐孔などで測定する電気探査法の総称。電圧比法、電位傾度法、等電位線法、流電電位法などがある。
人工島	じんこうとう	artificial island	土木工事により造られた島。埋め立て式・コンクリートケーソン積み立て式などがある。
人工凍結土	じんこうとうけつど	artificial frozen soil	ヒートパイプなどで人工的に地温を氷点以下に下げたことで、地中間隙の水分が凍った土壌。

進行波	しんこうは	progressive wave	定常波と違い、空間内をある方向に進む波の総称。
人工放射性核種	じんこうほうしゃせいかくしゅ	artificial radioactive nuclide	安定原子核に人工的に核反応を起こさせてつくられた放射性核種。放射線源やトレーサとして広く利用。
人工放射性元素	じんこうほうしゃせいげんそ	artificial radioactive element	超ウラン元素を代表とする人工的につくりだされた放射性元素。10種類以上あり、プルトニウムもその一つ。
人工宝石	じんこうほうせき	synthetic gems	人工的に造られた宝石類で、天然の宝石と同じ結晶構造や化学組成を有する。
人工養浜	じんこうようひん	artificially nourished beach	砂が波や沿岸流によって海浜に沿って移動することによる海岸の浸食決壊を防止するため、人工的に砂を搬入して造った砂浜。
人工冷却	じんこうれいきやく	artificial cooling	コンクリートの水和熱による温度上昇を抑制するために行うパイプクーリングや、水や骨材を冷やすプレクーリングなどの人工的な冷却法。
震災	しんさい	earthquake disaster	地震災害と同義。
震災復興	しんさいふっこう	earthquake disaster reconstruction	大地震による災害復興事業。防災や都市機能更新整備事業、土地区画整理、再開発事業などを含む。
新砂丘	しんさきゅう	recent dune, younger dune	第四紀完新世以降に形成された砂丘。
深砂鉱床	しんさこうしょう	deep lead	他の堆積岩または溶岩に厚く被覆された砂鉱床。有用鉱物（金・ウランなど）が砂礫に混じって集中している。埋没砂鉱床。
新産業都市	しんさんぎょうとし	new industrial city	工業の地方分散により地方の所得水準向上を目的として、1962年に新産業都市建設促進法で指定された15の地域。
辰砂	しんしゃ	cinnabar	HgS。六方晶系。硬度2.0～2.5。比重8.09。深紅色透明で水銀の最も一般的な鉱石鉱物。我が国ではイトムカ（北海道）、大和（奈良県）などが主産地。
心射図法	しんしゃずほう	gnomonic projection	地球に接した投影平面に地球中心を視点として投射して得られる投射図法。中心図法ともいう。
真珠岩	しんじゅがん	perlite	無数の同心状～渦巻状の割れ目で特徴づけられるガラス質流紋岩。軽量骨材の原料。パーライト。
伸縮可撓継手	しんしゅくかとうつぎて	flexible expansion joint	軟弱地盤の不等沈下や地震動に対して管路の伸縮や半径方向の変位を吸収させることができるたわみ性の大きい継手。
伸縮計	しんしゅくけい	extensometer	地すべり調査で、不動点と移動点の2点をインバー線で結び、地すべり移動土塊の変動量を測定するもの。

伸縮継手	しんしゅくつぎて	expansion joint	①橋梁(特に道路橋)では温度変化による伸縮や、荷重の載荷による回転により桁端部の継目に生ずる間隙や段差を滑らかにつなぐための装置。 ②管路や地熱井などのケーシングパイプの温度変化による伸縮を吸収させるために管路途中に取付けられた継手。
伸縮継目	しんしゅくつぎめ	expansion joint	コンクリート構造物の内部に発生する温度応力によってひび割れが生じるのを防ぐために設ける継目。
伸縮目地	しんしゅくめじ	expansion joint	コンクリート構造物に設けられる継目で、温度変化などによる変形を吸収しひび割れを防止する。
真珠構造	しんじゅこうぞう	nacreous structure	貝殻構造の一種。1 μ m以下の厚さの薄層が何層にも重なって、硬質層を形成。
真珠光沢	しんじゅこうたく	pearly luster	雲母などに見られるように、へき開(劈開)面に沿う割れ目や葉状構造により真珠のような光沢を示す状況。
浸潤	しんじゅん	infiltration	液体や気体が割目や孔隙、結晶粒間などを通して移動すること。
浸潤線	しんじゅんせん	seepage line	アースダムや堤防中を水が水位の高い側から堤体内を横断方向に浸透する時、堤体内に形成される水面線。 透水線・飽和線。
浸潤前線	しんじゅんぜんせん	wetting front	浸潤過程でその先端部分に形成される舌状の前線のこと。乾いた土壌への浸潤の場合に明瞭である。
浸潤線測定装置	しんじゅんせんそくていそうち	phreatic line measuring system	ダムの計測設備のうちの、ダム堤体中を浸透する水の自由水面を測定する装置。水位計によって測定する。
浸潤速度	しんじゅんそくど	infiltration rate	水が地表から土中に浸入するときの最大速度のことで、一般には雨の降り始めに観測される。
浸潤熱	しんじゅんねつ	heat of wetting	液体分子が乾燥土粒子に吸着することによって発生する熱のこと。
浸潤熱法	しんじゅんねつほう	moist heat method	土粒子の比表面積を求める一方法。吸着による表面エネルギー変化に伴う浸潤熱を直接測定する。
浸潤能	しんじゅんのう	infiltration capacity	不飽和の土壌中に雨水やかんがい(灌漑)水が浸入する速度のことで、畑地の灌漑方法を定める指標となる。
浸潤面	しんじゅんめん	phreatic surface, seepage surface	自由地下水面のことで、この面より下方の地盤は飽和している。
針状	しんじょう	acicular	針のように細い鉱物の形状を表現する語。
針状断口	しんじょうだんこう	hackly fracture	鉱物などを砕いた時にへき開(劈開)以外で割れた時の割れ口の形の一つで、金属などの断面に現れるとげとげした断口。

浸食	しんしょく	erosion	流水・地下水・氷河・風・波・海流・潮汐などの外因的営力によって地球の表面がけずられる作用。
浸食海岸	しんしょくかいがん	erosive beach	流出する漂砂量が流入量より多くなった海岸。ダムや各種海岸構造物による漂砂源の減少などが原因となる。
浸食カルデラ	しんしょくかるでら	erosion caldera	本来のカルデラではなく、浸食作用によってカルデラや火口が著しく拡大されて生じた円形に近い凹地。
浸食基準面	しんしょくきじゅんめん	baselevel of erosion, base level of erosion	地表面あるいは地下において働く種々の浸食作用が到達する下限を結んだ面。河食の場合には、海面が浸食基準面となる。
浸食欠如	しんしょくけつじょ	erosional vacuity	不整合面の下の地層で、本来堆積していた層が浸食作用によって除かれたもの。または欠如した期間。
浸食谷	しんしょくこく	erosional valley	地殻運動による構造谷ではなく、河川の流水や氷河などの浸食作用によって刻まれた谷。
浸食砂丘	しんしょくさきゅう	erosional sand dune	砂が堆積して形成された砂丘が、成長を停止して固定された後、浸食されているもの。
浸食作用	しんしょくさよう	erosion	浸食営力が地表の構成物質を取り込んだり除去したりする働き（作用）。
浸食残岩	しんしょくざんがん	negro head	砂漠地方などで風にとばされた砂礫により地表部が差別浸食され取り残された形をした岩。茸状岩ともいう。
浸食山地	しんしょくさんち	erosional mountains	浸食・削剥作用の結果形成された山地。残丘など残存地形をさす場合に主に使われる用語。
浸食小起伏面	しんしょくしょうきふくめん	low-relief surface	小起伏面と同義。浸食輪廻の老年期に形成される平坦な浸食面。準平原は広く発達した典型的な地形。
浸食衝上	しんしょくしょうじょう	erosion thrust	地上の浸食面を横切って浸食面上にのり上げた衝上断層。
浸食性遊離炭酸	しんしょくせいゆうりたんさん	aggressive free carbon dioxide	水に溶解している炭酸ガスのうち、重炭酸塩の溶存に必要でないものをさす。浸食性があり、さびなどを生じる。
浸食扇状地	しんしょくせんじょうち	eroded fan	堆積扇状地と区別して用いられる用語で、河川の側方浸食によって平坦化された扇状地。
浸食前線	しんしょくぜんせん	eroding front	これまで平衡状態にあった地形域に新たな浸食が及んだ場合の旧地形域との境界を連ねた線。
浸食速度	しんしょくそくど	rate of erosion	地表面が浸食される速度。気温・降水量・植生・標高・起伏・岩石の性質などによって影響を受ける。

浸食対策	しんしょくたいさく	measure against erosion control	海岸浸食を制御する目的で施す対策。突堤・離岸堤・サンドバイパス・人工リーフ・緩傾斜護岸など。
浸食段丘	しんしょくだんきゅう	erosion terrace	基盤岩が浸食されて形成された河成段丘。通常、薄い河成堆積物をのせている。
浸食地形	しんしょくちけい	erosional forms	河食、氷食、海食、風食などの外的営力によって形成される地形。内的営力によって生じる変動地形・構造地形に対して用いる。
浸食ドリル	しんしょくどりる	erosion drill	非常に高い圧力水を岩面に噴射して、浸食により岩石を粉砕・掘削する掘削機。
浸食の復活	しんしょくのふっかつ	revival, rejuvenation	地形の浸食輪廻が進行中に地殻変動などで中断され、その後にもた浸食作用が回復・活発化すること。回春ともいう。
浸食背斜	しんしょくはいしゃ	scalped anticline	褶曲構造に関する用語。褶曲運動を受けた地層で、上方に凸面を向けて曲がった部分が浸食で取り去られた背斜。
浸食平坦面	しんしょくへいたんめん	erosion (planation) surface	浸食作用によって平坦化された地表面。浸食面が緩傾斜をなす場合や、山頂の接峰面が水平をなす場合をいう。
浸食平野	しんしょくへいや	erosional plain	長期にわたる浸食作用によって基盤が平坦面をなすことで生じた平野をさす。堆積物が薄く分布する場合もある。
浸食防止工	しんしょくぼうしこう	erosion protection works	自然地盤や土構造物の表面を種々の営力による浸食から防ぐ工事。自然斜面の斜面保護工が代表的。
浸食盆地	しんしょくぼんち	erosion basin	硬層中の軟層の浸食が早く進み盆地となったもの。盆地は成因により構造盆地と浸食盆地に大別される。
浸食面	しんしょくめん	erosion surface	浸食作用によって形成される地形面。一般には平坦なあるいは小起伏状の浸食面をさす。
浸食率	しんしょくりつ	erosion ratio	土壌が浸食される割合。降雨特性、土壌の性質、地表勾配などに左右される。
浸食輪廻	しんしょくりんね	cycle of erosion	隆起した原地形が風化・浸食によって、険しい山地を経て平坦な準平原になるまでの地形変化の過程。
深所変成作用	しんしょへんせいさよう	plutonic metamorphism	一般的には、造山運動に伴って地下深所で広域に変成される作用。
浸水	しんすい	inundation	大雨などにより堤内地（堤防によって防護されている地域）が水に覆われること。
親水工法	しんすいこうほう	construction method with consideration for water amenity	河川、水路、海岸などの整備にあたって、水辺の持つ水に親しむ機能に配慮した工法。

浸水試験	しんすいしけん	immersion test	浸水による岩石の形態変化から、その岩石の結合の程度を簡便に知るためのスレーキング試験の一種。
親水性	しんすいせい	hydrophilicity	水に対して強い親和力を持つこと。親和力は化学親和力と電子親和力に大別される。
浸水せん断試験	しんすいせんだんしけん	immersion shear test	締固めた土などが浸水した時のせん断強度低下を求める室内試験。
深水層	しんすいそう	hypolimnion	温帯・寒帯の湖沼で形成される水温成層の一つ。水温が急激に低下する変温層の下部に位置し水温は低い。
浸水対策	しんすいたいさく	anti-inundation measure	地域計画における河川の氾濫や内水による家屋などへの浸水被害に対する対策。
浸水地	しんすいち	submerged land	洪水によって水が被った土地。
浸水沈下量測定試験	しんすいちんかりょうそくていしけん	immersion settlement test	まさ土などの風化残積土が浸水を受けて沈下する量を予測するための室内試験。給水・排水を繰り返し、変位を測定。
深水波	しんすいは	deep-water wave	深海波と同義。
深成	しんせい	plutonic	マグマが地下深所に貫入し、高い静水圧のもとで、ゆっくりと冷却する過程。
靱性	じんせい	toughness	材料が荷重を受けて破壊するまでのエネルギー吸収能。靱性が大きいと強度が大きいか変形能が大
新生界	しんせいかい	Cenozoic	地層の時間層序区分の最上部を占める新生代（第三紀・第四紀）に形成された堆積岩や火成岩。
深成活動	しんせいかつどう	plutonic activity	造山帯深部のマグマ活動により、花崗岩などの火成岩や高変成の変成岩ができる作用。
深成岩	しんせいがん	plutonic rock	マグマが地下深所でゆっくり冷却してできた火成岩。完晶質で中～粗粒。石材として用いられる。
深成岩群	しんせいがんぐん	plutonic association	W. Q. Kennedy (1938)による火成岩の二分類の一つで、火山岩群に対する用語。現在はほとんど使用されていない。
深成岩系列	しんせいがんけいれつ	plutonic association	火山岩系列の対語。深成岩の大部分は花崗岩・花崗閃緑岩で大小の岩体を造り、成因的に関係のあるはんれい岩（斑糲岩）やペグマタイトを伴っている。これらの岩石をさす用語で造山帯にのみ存在。
深成岩体	しんせいがんたい	pluton	深所に貫入した火成岩体、および既存の岩石が交代作用を受けてできた火成岩様の岩体。

親生元素	しんせいげんそ	biophile element	生物体の構成元素。生元素ともいう。炭素・水素・酸素・窒素・リン・硫黄・塩素・ヨードを主とする。
震生湖	しんせいこ	earthquake lake	地震により生じた斜面崩壊や土石流により、河川がせき止められた結果生じた湖。
深成鉱床	しんせいこうしょう	hypogene deposit	地下深所からの上昇熱水溶液の作用で生成した熱水成鉱床の総称。浅成鉱床の対語。
じん性試験（靱性試験）	じんせいしけん	toughness test	衝撃や破砕力に対する岩石の強度を測定する試験。タフネス試験ともいう。
真正褶曲	しんせいしゅうきょく	true folding	曲げ褶曲と同義。板状の物体が直角方向の外力を受け形成された褶曲。座屈褶曲と対象をなす。
新生代	しんせいだい	Cenozoic (era)	地質時代区分のうち、最新の時代で第三紀と第四紀に区分される。新生代は古い方からぎょう新世（暁新世）、始新世、ぜん新世（漸新世）、中新世、鮮新世、更新世、完新世に分けられている。
新生代造山運動	しんせいだいぞうざんうんどう	Cenozoic orogeny	中生代以後の地殻変動をいい、第四紀までの変動を含む。本運動は主としてテチス地域と環太平洋地域に起こった。
深成論	しんせいろん	plutonism	火成論と同義。
親石元素	しんせきげんそ	lithophile element	隕石質のものが融解した仮想的な状態で珪酸塩相に濃集する元素。
新石器時代	しんせっきじだい	Neolithic age (new stone age)	農耕や牧畜を生産手段とする石器時代。中石器時代に続き、青銅器時代に先行。発祥地は西アジアといわれる。
新石器時代汀線	しんせっきじだいていせん	Neolithic shore-line	縄文時代の遺跡の分布から推定される約5千～7千年前の汀線位置。現在の海岸線より最大5～6m高い。
深浅図	しんせんず	sounding-map	海や湖などの水深を平面図上に表したもの。測点の水深をそのまま記載したものや、深度線図にしたものなどがある。
深浅測量	しんせんそくりょう	sounding	河川、湖、池、海洋などの水面から水底までの深さを測る測量。
深礎	しんそ	caisson type pile	場所打ち杭の施工法で、人力または機械で地中に円形の孔を掘削し鉄筋コンクリートを打設する。
深層安定処理	しんそうあんていしより	deep soil stabilization	処理対象層が10m以上の比較的深い場合の安定材を用いた地盤改良。
深層改良工法	しんそうかいりょうこうほう	deep soil improvement	地盤の深層部分を対象にした改良工法。主な工法としては、深層混合処理工法、生石灰杭工法など。

人造湖	じんぞうこ	artificial lake	河川を横断してダムを建設し、流れを堰きとめてつくった貯水湖。ダム湖ともいう。
深層混合攪拌工法	しんそうこんごうか くはんこうほう	deep mixing method of soil stabilization	軟弱地盤をセメントなどの安定材と機械的な攪拌混合を行って、柱状に深層部を固化処理して地盤改良する工法。
深層混合処理工法	しんそうこんごう しよりこうほう	deep mixing stabilization method	セメントや石灰などの安定材を地中に添加し、改良対象土と攪拌・混合して柱状に固結させる工法。
深層混合処理連続地中壁	しんそうこんごう しよりれんぞくち ちゅうへき	in-depth earth-mixing method for diaphragm wall	厚く堆積する軟弱土と安定剤を原位置で混合攪拌し、強度を向上させる処理方法を用いて地中に造成した柱列状の円柱形改良体からなる連続地中壁。
深層載荷試験	しんそうさいかしけん	load test at the bottom of borehole	杭先端部地盤の支持力推定を目的としたボーリング孔底でのロードセル組み込み載荷板を用いた載荷試験。
深層地すべり	しんそうじすべり	deep-seated landslide	地下の深いすべり面で移動する地すべり。しかし、その深度は明確に規定されていない。
深層地下水	しんそうちかすい	deep groundwater, confined water	地下水は深層地下水と浅層地下水に区分される。慣用的に深度30m以深に帯水層を有する地下水をさす。
深層地下水排除工	しんそうちかすいは いじょうこう	deep groundwater drainage works	地すべりの要因である深層地下水の排水工をいう。集水井戸、排水トンネル工、水平ボーリング工など。
深層天然ガス	しんそうてんねんが す	deep earth natural gas	地球深層部には、有機炭素からの初生メタンと創成期の無機メタンが存在し、水溶性天然ガスを形成したとする説。
深層熱水	しんそうねっすい	deep geothermal water	深部熱水と同義。
深層発破	しんそうはっぱ	muffining, deep blasting	地盤改良工法の一つである爆破締固め工法において、地盤中に火薬を配置し爆破による衝撃で締固める際の発破。
深層風化	しんそうふうか	deep weathering	岩石が地下深くまで風化を受ける現象。深度は100mに達することも多い。日本では花崗岩の深層風化が顕著。
深礎工法	しんそこうほう	caisson type pile works	直径数m以下のたて坑を山留めしながら掘削し、その坑に直接コンクリートを打設する場所打ちコンクリート杭工法。大規模地すべりの抑止工や橋梁などの構造物の基礎として用いられる。
新第三紀	しんだいさんき	Neogene(period)	新生代第三紀の後半部で、中新世と鮮新世に分けられる。ほ乳類（哺乳類）が進化。中新世には日本海が形成された。
新第三紀層	しんだいさんきそう	Neogene(formation)	新生代第三紀後半の中新世と鮮新世に形成された地層。日本ではグリーンタフ地域で代表される。
新第三系	しんだいさんけい	Neogene(system)	新生代第三紀後半の中新世と鮮新世に形成された堆積岩・火成岩。

新耐震設計法	しんたいしんせつけいほう	new anti-seismic design code	関東大震災直後に制定された建築物の耐震設計の法令にかわって、1981年より施行となった新しい耐震設計法.
深地層隔離処分	しんちそうかくりしょぶん	geological disposal	地層処分と同義. 高レベル放射能廃棄物を地下深部に埋設して処分すること.
伸張強度	しんちょうきょうど	tensile strength	引張り状態における材料が示すことができる破壊前の最大の応力値.
伸長衝上	しんちょうしょうじょう	stretch thrust	褶曲断層の一種. 転倒または横臥褶曲に伴い, 逆転翼部の地層が引きのばされ, ここに発生する衝上断層のこと.
伸長節理	しんちょうせつり	extension joint, tension joint	最大引張応力方向と直交する最大圧縮応力方向に生じた節理をさす.
シンチレーション	しんちれーしょん	scintillation	放射線が蛍光体に当たって発光する現象.
シンチレーションカウンタ	しんちれーしょんカウンタ	scintillation counter	γ線検出機器. γ線によって蛍光体が発した光を光電子増倍管に導き電氣的パルスとして測定.
シンチレーター	しんちれーたー	scintillator	放射線検出用の蛍光体. 主に有機シンチレーターと無機シンチレーターに大別される.
親鉄元素	しんてつげんそ	siderophile element	元素の地球化学的分類の一つ. 地球の中心核と同質の液相に集まりやすく, 鉄と行動を共にする元素. Ni, Auなどが含まれる.
針鉄鉱	しんてつこう	goethite	鉄鉱物の風化により生じた針状結晶で, 斜方晶系. 硬度5~6, 比重4.28. ゲーサイトとも呼ばれる.
伸展	しんてん	lateral spread	粘性土や軟弱な物質の液状化あるいは塑性流動により, 上位の土塊・岩塊が分離し拡がっていく斜面変動.
震度	しんど	seismic intensity, seismic coefficient	ある地点での地震動の強さ, または構造物に作用する地震力を表す強さの等級区分. 地震動の加速度値の重力加速度に対する割合.
振動	しんどう	vibration	変量が平均位置の周りに往復を繰り返す現象. これが時間T毎に同じ値をとる場合は周期的振動と呼ぶ.
浸透 (地下水の)	しんとう (ちかすいの)	infiltration, seepage	地表面から地中へ水が浸入していく過程, あるいは地中の水の流れの総称.
浸透圧	しんとうあつ	osmotic pressure	半透膜で接する濃度の異なる溶液の間に働く圧力. また, 地盤中を流動する浸透水が, 土粒子などに及ぼす力.
浸透圧工法	しんとうあつこうほう	osmotic pressure method	半透膜を有し高濃度溶液を満たしたパイプを地盤に設置し周囲との浸透圧を利用して脱水する工法.

浸透圧密	しんとうあつみつ	osmotic consolidation	浸透水は土粒子の骨格に対して浸透方向へ圧力を及ぼす。この圧力が十分に大きいと土粒子の骨格が圧縮される。この現象を浸透圧密と呼び、泥土の圧密試験に利用されることがある。
浸透圧密試験	しんとうあつみつしけん	hydraulic consolidation test	高含水比の液状に近い粘土などに浸透力を作用させることにより圧密させる試験。
振動加速度	しんどうかそくど	vibration acceleration	公害振動において測定される振動量。道路交通振動などでは最大加速度値、周波数特性の解析が行われる。
振動機	しんどうき	vibrator	コンクリートの内部、型枠、表面などに振動を与えて締固める機械。バイブレーターと同義語。
振動杭打ち機	しんどうくいうちき	vibratory pile driver	杭や矢板に上下振動を与えて地盤に打ち込む方式の杭打ち機。
浸透計	しんとうけい	infiltrimeter	ライシメータの一種。自然の土を容器に入れ、地中に埋設し、水収支要素の一部または全部を測定する装置。
振動計	しんどうけい	vibrometer	振動を振り子を使って機械的または電氣的に測定する計器。
浸透係数	しんとうけいすう	coefficient of permeability	透水係数に同義。
浸透経路	しんとうけいろ	seepage path	地盤中を流体が浸透していく時のみちすじ。
振動限界	しんどうげんかい	vibration limit	固まる過程にあるコンクリートにおいて、バイブレーターによって締固めができる限界。
振動弦型圧力計	しんどうげんがたあつりょくけい	vibrating wire pressure meter	受圧板に連結された弦の長さが圧力に応じて伸縮するために生じる共振周波数の変化を利用する方式の圧力計。
振動弦型計器	しんどうげんがたけいき	vibrating wire instrument	鋼線に張力が加わった時、その大きさにより固有振動数が定まる原理を応用した変位・荷重などの測定に用いられる計器。
親銅元素	しんどうげんそ	chalcophile element	元素の地球化学的分類の一つ。マンタルの硫化物に富む相と同様の液相に集まりやすいCu, Ag, Znなどの元素をいう。
振動弦ひずみ計	しんどうげんひずみけい	vibrating wire strain gauge	2点間に張った弦の固有振動数が、2点間のひずみ変化により異なる現象を利用したひずみ計。
振動公害	しんどうこうがい	vibration pollution	建設工事機械・車両などによる、地盤の振動を伴う公害で騒音と同時に起こることも多い。
振動三軸圧縮試験	しんどうさんじくあっしゅくしけん	cyclic triaxial test	繰り返し三軸圧縮試験と同義。最近はこの用語は用いられない。

浸透式アスファルトマカダム工法	しんとうしきあすふあるとまかだむこうほう	asphalt penetration macadam method	単粒度の骨材を転圧後、アスファルト材料を散布浸透させ、更にくさび骨材などにより、間隙を充填する工法によって施工されたアスファルト舗装。
振動式締固め機	しんどうしきしめかためき	vibration type compactor	振動を利用して表層の土砂を締固める機械で、振動コンパクターと振動ローラーの2種類がある。
振動試験	しんどうしけん	vibration test	供試体に振動を加えることにより、動的な強度・変形特性を求める試験の総称。
振動シミュレーション	しんどうしみゅれーしょん	vibration simulation	地盤および構造物の振動特性を把握するために与えられる強制振動に対する応答を解析により模擬すること。
振動締固め	しんどうしめかため	vibrating compaction, vibrating compacting, compacting by vibration	起振機による振動を利用して材料を締固めること。
振動締固めコンクリート	しんどうしめがためこんくりーと	vibrated concrete	内部振動によって締固められたコンクリート。
浸透水	しんとうすい	infiltration water	地中などに浸入した水。
浸透水圧	しんとうすいあつ	seepage pressure	浸透水が流れるとき、浸透水が土粒子に作用する圧力。
浸透水和	しんとうすいわ	osmotic hydration	表面水和とともに泥岩が水を吸引する機構の一つ。泥岩内外の塩分濃度差により水分子が浸透する作用。
振動数	しんどうすう	frequency	周期的振動を示す波動で、周期の逆数。
浸透性	しんとうせい	permeability	透水性と同義。
浸透性地層	しんとうせいちそう	permeable layer	透水層と同義。
浸透速度	しんとうそくど	permeable velocity	浸透流速と同義。
振動台	しんどうだい	vibrating table	耐震工学実験で利用される人工的に振動を発生させる機器。
浸透注入	しんとうちゅうにゅう	permeation grouting, penetration grouting	地盤改良を目的とし、浸透性のよい粗粒土に地盤を乱さずに注入剤を浸透させ注入すること。
浸透度	しんとうど	infiltration index	単位時間に降水が地表面から地中へ浸透する割合。

浸透トレンチ	しんとうとれんち	infiltration trench	地表水を地中に浸透・かん養（涵養）させるための掘削された溝をさす。
浸透能	しんとうのう	infiltration capacity	地表面から地中に浸透していく水の速度を浸透能という。水が供給された直後に大きく、徐々に減少する。
浸透能測定法	しんとうのうそくていほう	infiltration capacity measuring method	地盤に適当な大きさのピットを掘削注水し、浸透量の時間変化より降雨が地盤中に浸透する能力を評価する測定法。
振動の距離減衰	しんどうのきょりげんすい	distance attenuation of vibration	工事、交通機関などによる振動が振動源から離れるに従って減少する状況。周辺の人体、構造物に与える振動の影響を評価する際に測定される項目の一つ。
振動波	しんどうは	oscillatory wave	周期的な振動を繰り返す波。一般的には媒質粒子は移動しないで波面だけが前進する振動波。
振動パイルドライバ	しんどうばいるどらいばー	vibratory pile driver	振動杭打ち機と同義語。
浸透破壊	しんとうはかい	seepage failure	浸透水によって地盤などがパイピングやボイリングなどを起こして破壊すること。
振動破碎試験	しんどうはさいしけん	vibrating crushing test	チョークの絶乾試料を破碎し、ふるい分けする試験。チョークの破碎されやすさを評価する。
振動フィーダー	しんどうふいーだー	vibrating feeder	砕石などの原料を供給するための設備で、機体の振動によって原料を引出す型式のもの。
振動ふるい	しんどうふるい	vibrating screen	試料のふるい分けを所定の孔、間隙のふるい面の振動により行なうふるい。
浸透平衡	しんとうへいこう	osmotic equilibrium	溶媒が半透膜を通じて反対側の溶液中に侵入して、一定濃度に達して平衡した状態。
浸透崩壊試験	しんとうほうかいしけん	seepage failure test	供試体に対して浸透水圧を作用させ、土粒子の限界流速あるいは限界動水勾配を求める試験。
浸透防止工	しんとうぼうしこう	infiltration prevention works	地表面からの水の浸透を防止する工法。斜面の安定化や水路の漏水防止のための被覆工法や排水路設置工など。
浸透ポテンシャル	しんとうぼてんしゃる	osmotic potential	溶質が存在するため発生する地下水のもつポテンシャルのこと。植物と土壌の間作用などを除くと通常その影響は無視できる。
振動モード	しんどうもーど	mode of vibration	振動にあるいろいろな型や様式。高層建築・塔・長大つり橋なども、いくつかの振動モードを持っている。地震波形も単純な波形の各種モードの重ね合わせからできている。
浸透率	しんとうりつ	permeability	地盤など多孔物質内における流体の流れやすさをその多孔物質の特性として表すパラメータ。透水率ともいう。

浸透率トラップ	しんとうりつとらっ ぶ	permeability trap	層位トラップの一つで、貯留層の浸透性の側方変化により形成された石油・ガスが集積するトラップ。
浸透流	しんとうりゅう	filtration flow, seepage flow	間隙だけを流れる流体が、岩石や地層を構成する粒子をも含めた全断面を流れると仮定した見かけの流れ。
浸透流解析	しんとうりゅうかい せき	seepage analysis	フィルダムの堤体や地盤中の水の流れを解析する手法。動水勾配や浸透流速から浸透破壊に対する安全性や漏水量などを検討する。
浸透流制御	しんとうりゅうせい ぎよ	seepage controll	基礎グラウチングやドレーン孔、ドレーントンネルなどにより貯水池からの浸透流の抑制や漏水量を制御すること。
浸透流速	しんとうりゅうそく	discharge velocity, infiltration velocity	土粒子と間隙を区別せず、地層の全断面を平均的に地下水が流動すると仮定したときの流速。
浸透流速ベクトル	しんとうりゅうそく べくとる	discharge velocity vector	流体が媒質中の全空間（岩石等の構成粒子および間隙）を流れると仮定した場合の流れの速度ベクトルを表す。
浸透力	しんとうりょく	seepage force	水が土中に浸透するとき、土粒子が浸透方向に受ける力のこと。水の単位体積重量と動水勾配の積として得られる。
振動レベル	しんどうれべる	vibration level	人体全身を対象とする振動の評価尺度で感覚補正によりdB表示される。振動レベル計（JIS C1510）で測定される。
振動レベル計	しんどうれべるけい	vibrating level meter	振動（加速度）レベルを測定する計測器。
振動レベル測定	しんどうれべるそく てい	vibration level measurement	振動が人体に及ぼす影響調査のために振動加速度レベルに人体感覚補正を施した量（振動レベル）を測ること。
振動ローラー	しんどうろーらー	vibration roller, vibratory roller	起振機を取付けた鉄製ローラを用いて自重と振動により締固めを行う機械。
震度階	しんどかい	seismic intensity scale	ある地点の地震動の強さを人体感覚や物体、自然界への直接的な影響の程度から数段階に分けて表したもの。
震度の距離減衰	しんどのきょりげん すい	attenuation of intensity with distance	震央からの距離によって震度が小さくなることを示し、マグニチュードなどをパラメータにした震央距離と震度との関係式もある。
心土破碎	しんどはさい	subsoiling	心土（深度40～50cm下の土）の透水性や通気性を良くするため、表土に変化を与えず心土のみを起すこと。
震度分布図	しんどぶんぷず	seismic intensity map	一つの地震について、地図上に各地の震度を記入し、またその上に等震度線を書き入れたもの。
震度法	しんどほう	seismic coefficient method	耐震計算法の一つで地震時の荷重を静的な荷重に置換えて作用させる方法。

侵入河川	しんにゅうかせん	losing stream	河川水が河床から浸漏するために、流下方向に流量が減少する河川や区間。失水河流ともいう。
浸入水	しんにゅうすい	infiltration	地表面から地下水面に向かう水。
侵入堆積	しんにゅうたいせき	encroachment	砂丘における前進部のすべり面付近で生じる、砂粒の堆積現象。
針入度	しんにゅうど	penetration	規定の条件下で一定の形と重量の針が貫入する深さを1/10mm単位で表した数。一般にはアスファルトの試験に用いられる。
心抜き	しんぬき	cut, center cut	トンネルの発破では、効果を高めるために段階的に爆破を行う。その時の切羽面のほぼ中央で最初に行う発破。
深熱水鉱床	しんねっすいこうしょう	hypothermal deposit	地下3～10kmの高温(300～600℃)下で形成された熱水成鉱床。鉱脈鉱床・交代鉱床をつくることが多い。深熱水成鉱床と同義。
深熱水成鉱床	しんねっすいせいこうしょう	hypothermal deposit	深熱水鉱床と同義。
甚之助谷地すべり	じんのすけたにじすべり	the Jinnosuketani landslide	1896年に石川県石川郡白峰村甚之助谷に発生した地すべり。1960年代に多くの被害を生じ、1961年に対策工事が実施された。中生界堆積岩と第三系溶岩の境界面がすべり面となっている。
真の土圧	しんのどあつ	true earthpressure	トンネル周辺の応力が地山の強度を超えた時に発生する塑性変形を抑えるために必要な支保内圧。
真の比抵抗	しんのひていこう	true resistivity	土・岩石の構成鉱物の種類と組成に支配される地層本来の比抵抗。
じん肺	じんばい	pneumoconiosis	珪肺ともいう。遊離珪酸（無水珪酸、SiO ₂ 、石英）を含んだ粉塵が肺に吸着することによって発病する。鉱山やトンネル工事など岩石粉塵の多い作業では粉塵の抑制や防護措置が必要。
震波線	しんぱせん	seismic ray	地震波の伝搬を論じる際に概念的に用いられる用語で、地震波の波面に垂直な線。
深発地震	しんぱつじしん	deep(-focus) earthquake	一般には震源の深さが300kmより深い地震のことを示す。
深発地震帯	しんぱつじしんたい	deep seismic zone	地震の震源が300kmより深い深発地震が起きるゾーンで、和達ベニオフ帯と等しい。
深発地震面	しんぱつじしんめん	deep seismic plane	島弧の付近にみられる海溝から陸側に向かって深くなるような深発地震の面状分布。
真比重	しんひじゅう	true specific gravity	岩石に含まれる多くの間隙を除いて求めた岩の実質部分（粒子）の比重。

シンフォーム	しんふおーむ	synform	地層の上下関係とは無関係に単に下方に向かって凸形状に閉じた褶曲に対して用いられることば。
深部火成活動	しんぶかせいかつどう	deeper igneous activity	地下深所でできたマグマによる火成活動のうち、深成岩や高変成の変成岩を形成させる作用。
振幅	しんぷく	amplitude	振動による変位変動の最大値と最小値の半分で、振動しているものの最大変位。
振幅スペクトル	しんぷくすべくとる	amplitude spectrum	複素関数で表現されるフーリエスペクトルのうち、各周波数の波の振幅の大きさを表すスペクトル。
振幅変調	しんぷくへんちょう	amplitude modulation	搬送波（交番電流・電圧または電波）の振幅を信号波の波形に対応して変化させる、最も一般的な変調法。
深部構造	しんぶこうぞう	deeper structure	下部構造と同義。 ①変成岩類の形成される所の構造。 ②基盤の構造。 ③地下深所の構造など。 ④ミグマタイト論の用語で、花崗岩化された地殻下部。
新富士火山	しんふじかざん	Younger Fuji volcano	富士火山を構成する小御岳火山・古富士火山を覆って噴出した玄武岩の火山で、現在の富士火山を形成する。
シンプソンの公式	しんぷそんのこうしき	Simpson's rule	図上の面積を近似的に求める数値積分方法で、境界が曲線で囲まれたものの求積法。
深部断層循環系	しんぶだんそうじゅんかんけい	deeper fault cycle	地熱資源の構造を表わすもので、地殻深部の熱水が断層を介して循環していると考えられる構造。
深部地熱資源調査	しんぶちねつしげんちょうさ	deep geothermal resources survey	深さ3000～4000m程の深部に存在する地熱資源を開発するための調査。
深部電気探査	しんぶでんきたんさ	deeper electrical sounding	シュランベルジャー法、双極子法、周波数探査法などを用いて、地下深部までを調べる電気探査法。
深部熱水	しんぶねっすい	deep geothermal water	地下増温率（約3℃/100m）により高温となっている深部に賦存している非火山性地熱水。深層熱水
深部ボーリング	しんぶぼーりんぐ	deep boring	資源・学術調査で行う長尺ボーリングの総称。地熱分野では概ね2,500m以上（先新第三系）を対象としたもの。
深部裂か（深部裂罅）	しんぶれっか	deep fracture	地殻深部もしくはマントルまで達する大規模な断裂。大陸と大洋を境する大規模なプレートの沈み込みは造構的な断裂帯である。
心壁	しんぺき	impervious core	アースダムやロックフィルダムで堤体中心部に施工する遮水壁。水密性の強い粘土が用いられる。コア部ともいう。
真北	しんぼく	true north	地球の北極の真上の方向を天の北極と呼び、この天の北極を地上の任意の点から見たときの方向。

真北方向角	しんぼくほうこうかく	true north direction angle	平面直角座標の座北（方眼北）と真北方向とがなす角度。子午線収差ともいう。
シンメトリーコンセンタレーション	しんめとりーこんせんとれーしょん	symmetry concentration	陽イオンまたは陰イオンの量が土壌の持つイオン交換容量と等しい場合のイオン量の単位。
信頼限界	しんらいげんかい	confidence limits	母集団がある確率で特定区間（範囲）に含まれると統計的に推定されたとき、この区間の両端値のこと。
信頼性解析	しんらいせいはいせき	reliability analysis	統計解析を応用して斜面安定などの安全率を確率論的に考える手法のこと。
信頼性指標	しんらいせいしひょう	reliability index	確率論による構造物の安全性・信頼性の定量的な評価をするための指標。安全性指標ともいう。
震力	しんりよく	seismic force	地震動が構造物におよぼす力。
人力掘削	じんりよくくっさく	manual excavation	スコップやつるはしなどの簡易な道具を用いて人間の力で掘削すること。空気圧で作動する手持ちのブレーカを用いた掘削なども人力掘削に含まれる。
森林基本図	しんりんきほんず	forest basic map	森林の管理・運営などに必要な項目を測量し作成した地形図。一般に縮尺は5千分の1。
森林限界	しんりんげんかい	forest line	低温あるいは乾燥により森林が生育できなくなるツンドラや草原との境界。高山においての高木生育限界。
森林泥炭	しんりんでいたん	forest peat	森林が河川の氾濫や排水不良、湧水などにより沼沢化してできた泥炭。マツ泥炭、カンバ泥炭など。半陸性～陸成の堆積環境。
森林土壌	しんりんどじょう	forest soil	岩石の風化碎屑物に植物から供給された有機物、植物根や特有の土壌動物によって形成された土壌。
森林土壌分類	しんりんどじょうぶんるい	forest soil classification	森林土壌を生成因子に基づいて区分したもので、日本では林野庁・林業試験場の分類が一般的。
森林破壊	しんりんはかい	forest destruction	宅地や道路の造成、燃料採取、焼畑農業などのために木材が伐採され、森林が失われていくこと。
人類学	じんるいがく	anthropology	人類を対象とし、動物的および文化的な側面から総合的理解を図ろうとする科学。
人類紀	じんるいき	Anthropogene (period)	人類が誕生した約200万年前から現在に至るまでの人類が自然に対して影響を与えた時代。第四紀。
州	す	bank, cay	川や海・湖などの水面上に現れた土砂からなる高まり。流路州・砂州・沿岸州などがある。

巣穴化石	すあなかせき	sandpipe	淡水～海水棲の底生生物が底質の砂や泥中に棲息していた際の巣穴に砂や泥が詰まり，パイプ状に地層中に残ったもの．砂管．
巣穴動物	すあなどうぶつ	burrowing animal	底質(砂・泥など)に穴をあけてすむ動物の総称．砂管などが生痕として地層中に残るため古生物学上重要．
錐(鉱物の)	すい	pyramid	3, 4, 6, 8または12の非平行な面からなる結晶面が，一つの点で会うこと．
水圧管路	すいあつかんろ	penstock	水力発電所で上部の水槽と下部の水車をつなぐ圧力管とこれを支持する設備．
水圧計	すいあつけい	manometer	水のおよぼす圧力を測定するために用いられる計器．
水圧式水位計	すいあつしきすいいけい	hydraulic water level indicator	受圧部を水中に設置し，水面の上下によって生じる水圧の変化を受圧部で測定し，水位に変換する方式の水位計．
水圧式スクレーパー	すいあつしきすくれーぱー	hydraulic well scraper	水圧破砕法施工に先立ち，坑壁周囲にV字型溝を掘開して水圧の集中をはかる機械．
水圧式ピエゾメータ	すいあつしきぴえぞめーた	hydraulic piezometer	飽和された土の間隙水圧を測定する装置で，圧力管でゲージに直結された多孔質チップで構成される．
水圧式ピストンサンブラ	すいあつしきぴすとんさんぷら	hydraulic piston sampler	サンプリングチューブの圧入を水圧により行うサンブラ．柔らかい粘土の採取に適する．
水圧鉄管	すいあつてっかん	penstock	水力発電所で取水口または上部調圧水槽と発電所間の最も水圧のかかる鉄管．岩盤内に設置する場合は内圧を岩盤にも分担させるように設計する．水圧管路ともいう．
水圧トンネル	すいあつとんねる	pressure tunnel	内水圧のかかる水路トンネルの総称．覆工コンクリートに引っ張り応力がかかるため，設計に配慮が必要となる．
水圧破砕	すいあつはさい	hydraulic fracturing	岩石に静岩圧以上の水圧を加えて人工的に破砕する方法．原油回収率の向上．高温乾燥岩体の熱回収に有効．
水圧破砕法	すいあつはさいほう	hydraulic fracturing method	①初期地圧測定法の一つ．水圧破砕により生じる割れ目をもとに初期地圧とその応力方向を推定する． ②高温岩体発電のように地下深所に人工的に岩盤に亀裂を造成する際の方法の一つ．
水位	すいいい	water level	河川，湖沼や地下水などの表面の，ある基準面からの高さ．
水位回復試験	すいいいかいふくしけん	recovery test	揚水して水位を低下させた後，揚水停止後の水位の回復速度を測定し，地盤の透水性を知るための試験．揚水試験・透水試験の一手法．
水位観測	すいいいかんそく	observation of water level	観測地点において水面の高さを測定し，その変動を明らかにすること．自記水位計などを設置して行う．

水位曲線	すいいきょくせん	stage hydrograph	時間経過による河川や地下水位の変動を示したもの。
水位計	すいいけい	water level gauge	河川などの水位を測定する計器。直接測定用には量水標・水位標が、自動測定には自記水位計がある。
水位降下	すいこうか	drawdown	地下水の揚水などに伴う地下水位または静水位の低下、または低下量。
水位降下円錐	すいこうかえんすい	cone of depression	揚水により水位降下が生じたときの逆円錐状の地下水面の窪み。外縁を揚水井の影響圏という。
水位差	すいさ	difference of water level, water level range	空間的あるいは時間的にみられる水位の差。
水位時間曲線	すいじかんきょくせん	stage-time curve	横軸に時間、縦軸に水位をとって図示した曲線。
水位水分計	すいすいぶんけい		土中に配置された多数の電極の電圧変化から土中の気液境界の位置を求めるための計器
水位－湛水面積曲線	すいたんすいめんせききょくせん	depth-area curve, height-area curve	貯水位とそれによって水没する地域の面積との関係を表す曲線。
水位調整施設	すいちょうせいしせつ	facility for regulation water level	水路の流量の変化による水位変動を調節するため、水路の途中に設けた堰、ゲートのこと。
水位低下曲線	すいていかきょくせん	drawdown curve	水位が低下するときの時系列変化を示す曲線。
水位低下係数	すいていかけいすう	drawdown coefficient	被圧地下水帯での水頭の低下速度は水頭高に比例する。そのときの比例定数。
水位変動	すいへんどう	fluctuation (of water level)	水の流入出により、地表水あるいは地下水の水位が変化すること。
水位変動区域	すいへんどうくいき	drawdown zone	貯水区域のうち、貯水池操作により貯水位が変動する部分。
水位変動幅	すいへんどうはば	drawdown range	水位の変動量のこと。
水位－容量曲線	すいようりょうきょくせん	stage-discharge curve	貯水容量曲線と同義。
水位流量曲線	すいりゅうりょうきょくせん	discharge rating curve	水位から流量を推定するためにその関係を求め、縦軸と横軸に水位と流量をとって図示した曲線。

水温成層	すいおんせいそう	thermal stratification	温度成層と同義.
水温躍層	すいおんやくそう	thermocline	海洋や温帯湖では夏季に水温が表面（高温）と深層（低温）で差がある. その境界の急激に水温が変化する層.
水涯線	すいがいせん	waterside line	地形図などで水ぎわを表現する線.
水害地形分類図	すいがいちけいぶん るいず	geomorphologic map on flood vulnerability	水害危険予測を目的とし, 低地の微地形分類により氾濫が生じた場合の浸水域などを判定したもの.
水管水準測量	すいかんすいじゅん そくりょう	leveling by water tube	二つの容器を細管で結び水を入れ, それぞれの容器の水準面を基準にして, 2地点間の比高を測定すること.
吹管分析	すいかんぶんせき	blowpipe analysis	長さ20cm程度の金属製の吹管を炎に吹き付けて行う鉱物の分析方法. 酸化炎・還元炎の加熱反応を実施.
水銀	すいぎん	mercury	元素記号Hg, 原子番号80の元素. 全ての金属中で最も融点が低く, 常温で唯一液体の金属.
水銀汚染	すいぎんおせん	mercury pollution	水銀により環境が汚染されること. 1950～60年代に発生したメチル水銀による水俣病（熊本・新潟）が典型.
水銀気圧計	すいぎんきあつけい	mercury barometer	大気圧を測定するために水銀柱の高さを利用する測定装置.
水銀鉱床	すいぎんこうしょう	mercury deposit	水銀を稼行対象とする鉱床で, 主要鉱石鉱物は辰砂と自然水銀, 北海道イトムカと奈良県大和鉱山などで産出.
水銀法	すいぎんほう	mercury manometer	土の密度を求める試験方法の一種. 水銀中に供試体を沈め, あふれた水銀の質量から体積を求めるもの.
水系	すいけい	drainage, drainage texture, drainage system	同一流域に属し, 共通の河口をもっているすべての流路の集合体. 主体は河川であるが湖沼を含む場合もある.
水系強度	すいけいきょうど	drainage intensity	ある地域の河川の評価法の一つで, 地下からの地表流出量を反映するインデックス.
水系図	すいけいず	map of drainage net	共通の河口を持っている河川のすべての流路を平面的に図示したもの.
水系組織	すいけいそしき	drainage texture	水系網の発達程度を示す. 水系密度と水系頻度の両者を含む.
水系頻度	すいけいひんど	channel frequency	流域内において, 単位面積あたりの水流の数を表わす. 水系密度とともに水系網の量的な特性を表わす.

水系密度	すいけいみつど	drainage density	単位面積あたりの水流の総延長である。河川密度・水流密度ともいい、谷密度の表現方法の一つである。
水系網	すいけいもう	drainage network	共通の河口に流出する全ての本支川の流れを結んだもの。排水網、水路網ともいう。
水系模様	すいけいもよう	drainage pattern	水流路の平面的な形態のことで、水系型・河系模様ともいう。模様の特徴から数種類に分類されている。
水撃圧	すいげきあつ	water hammer pressure	水路管内の流速を変化させることによって発生する圧力波が水路管内に与える圧力。ウォーターハンマーともいう。
水撃作用	すいげきさよう	water hammer	管路内の水流を急激に変化させた時、管路内に生じる圧力波が管内を伝搬し管内を往復して衝撃エネルギーと化する現象。
水圏	すいけん	hydrosphere	気圏・岩石圏に対する語であり、地球の表面で水によって覆われている部分。海洋圏・陸水圏に区分される。
水源	すいげん	water source	河川の流れの源あるいは利水のための水の供給源。河川・湖沼などの地表水と地下水、天水などがある。
水源かん養保安林（水源涵養保安林）	すいげんかんようほあんりん	protective forest	重要河川などの水源地域に指定される、河川流量の調節・洪水防止・用水の確保などを目的とする保安林。
水源貯水池	すいげんちちよすいち	headwaters reservoir	水系の水源地域になっている源流山間部にある貯水池。
水硬性結合材	すいこうせいけつごうざい	hydraulic binder	水を加えることで硬化し、結合材となるものの総称。水硬性セメントとほぼ同義。
水硬性セメント	すいこうせいせめんと	hydraulic cement	空中においてのみ硬化する気硬性セメントに対し、水中または空気中で凝結硬化するセメント。
水攻法	すいこうほう	water flooding	石油・天然ガスの回収率増加法の一つで、油層・ガス層に水を注入し、石油・ガスを押し出す方法。
吸込み穴	すいこみあな	swallow hole, ponor, swallet, sink	石灰岩地域で河水や降水の一部または全部が地下に流入する穴をいい、飲み込み穴ともいう。
吸込み井戸	すいこみいど	diffusion well, absorbing well	排水などを地中に吸い込ませる井戸。吸込み排水孔ともいう。
吸込み揚程	すいこみようてい	suction lift, suction head	吸込み水面とポンプ中心との鉛直距離。
水砕スラグ	すいさいすらぐ	water granulated iron-blast-furnace slag	金属精錬時に生じるスラグ（鉱さい）を高温のうちに水によって急冷して製造したもの。

水酸化鋁物	すいさんかこうぶつ	hydroxide minerals	結晶の一部に水酸基OH ⁻ をもつ鋁物で、Al, Mg, Fe, Ca, Mnなどの金属元素と結合している。
水酸化ナトリウム	すいさんかなとりうむ	sodium hydroxide	NaOH. 別名苛性ソーダ。白色の固体で潮解性、水溶性が強い。石鹼、合成繊維などの製造や石油精製に利用。
水酸化物	すいさんかぶつ	hydroxide	一般式M ₁ OH, M ₂ OH ₂ 等で表わされる塩基性化合物。ただし、Mは金属元素を示す。
水酸化物シート	すいさんかぶつシート	hydroxide sheet	緑泥石の2:1層間に含まれる構造単位であり、Al ³⁺ ・Fe ²⁺ ・Mg ²⁺ などを6個のOH ⁻ が囲んだ八面体シート。
水質	すいしつ	water quality	水の物理、化学、生物的性質をいい、主に溶存イオンの種類と量、pH、電導度、色、におい、濁りなどで表す。
水質汚染	すいしつおせん	water contamination	水質汚濁のうち、ある種の微量化学物質や微生物が原因となる場合を呼ぶが、必ずしも明確には区別されていない。
水質汚濁	すいしつおだく	water pollution	人間活動によって自然水域あるいは公共用水域の水質が物理・化学的に変化・汚濁すること。
水質汚濁指標	すいしつおだくしひょう	water pollution indicator	水質汚染の判定要素。pH、BOD、COD、浮遊物質質量(SS)、大腸菌群数、フェノール類含有量、有害物質(カドミウム、シアン化合物、水銀など)など。
水質基準	すいしつぎじゅん	water quality standards	水質検査の判定基準となる値。水道水の水質基準や環境基準、排水基準などがある。
水質試験	すいしつしけん	water examination, water analysis, test of water quality	水の性質を調べる試験。水の性質には、物理的なもの、化学的なもの、生物学的なものがある。水質分析と同義。
水質指標	すいしつしひょう	water quality index	水質の起源や変化の指標となる成分・性質をさす。主要成分として含まれる陽イオン・陰イオンや、pH・溶存酸素・有害物質など。
水質精密試験	すいしつせいみつしけん	complete examination of water	特定の水質について、空間的あるいは時間的に分析精度を高めて、より詳しく行う試験。
水質調査	すいしつちょうさ	water quality survey	水の化学的、物理的、生物学的性質の調査。
水質年表	すいしつねんぴょう	annual report of water quality	国土交通省河川局が、全国109の一級河川の水質をまとめたもので、1958年からほぼ毎年発行されている。
水質負荷量	すいしつふかりょう	water quality load	ある水域に流入し、その水域に無機物的もしくは有機的な水質変化をもたらす、単位体積の水に含まれる物質質量。
水質分析	すいしつぶんせき	water analysis	水試料の温度・電導度・pH・化学組成・濁度・バクテリア量などをそれぞれに適した機器で計量すること。

水質保全	すいしつほぜん	water quality conservation	水質汚濁を防止あるいは低減するよう努めること。
水車	すいしゃ	hydraulic turbine, waterwheel, water turbine	流水を羽根に当ててその反動または衝撃力によって羽根車を回転させ、流水のエネルギーを機械的エネルギーに変える原動機。
水準器	すいじゅんき	level tube	物体が水平な状態であることを調べる器具。一般に上方に凸状の曲率を持つ気泡管からなる。
水準儀	すいじゅんぎ	level	水準測量に使う機器で、観測用望遠鏡と水平調整機構を備えている。
水準器検定器	すいじゅんきけんていき	level tester	水準器に使用されている気泡管の感度を測定する計器。
水準原点	すいじゅんげんてん	datum of leveling	日本水準原点が正式名称。水準測量の高さの基準となる陸上に設けた標高の基準となる水準点。
水準スフェロイド	すいじゅんすふえろいど	level spheroid, niveau spheroid	ジオイドをなめらかにした等ポテンシャル面で、回転だ円体に近い曲面を持つ。
水準測量	すいじゅんそくりょう	level survey, levelling	高低測量、レベル測量ともいう。地表面にある地点相互の高低差を求める測量法の名称。
水準点	すいじゅんてん	bench mark	水準測量の際に基準となる点で、その地点の平均海水面からの高さを決定してある固定された測点。水準原点からの高さが正確に求められている。ベンチマークともいう。
水準面	すいじゅんめん	level surface	静水面のように面上の各点において重力の方向に垂直な曲面。
水準網	すいじゅんもう	levelling network, level net	複数の水準環（出発点と終点とが一致し環状になった水準測量路線）が結合してでき上がった網状の水準路線の総称。
水晶	すいしょう	rock crystal	無色透明な石英の結晶。硬度7で装飾用や準宝石、最近では水晶振動板として利用。
水晶温度計	すいしょうおんどけい	quartz thermometer	水晶振動子の振動数が温度によって変化することを用いた高分解能の温度計。深井戸の微小な水温変化の測定などに用いられている。
錐状火山	すいじょうかざん	konide	溶岩と火山砕屑物が交互に層を成して、円錐状に積み重なった火山体。成層火山と同義。
水蒸気	すいじょうき	water vapour	気体状の水。とくに大気中に分散して存在するものをさす。
水蒸気爆発	すいじょうきばくはつ	phreatic explosion	主として水蒸気の爆発的噴火で、噴出物には本源物質を伴わない。

水蒸気補正	すいじょうきほせい	water vapor correction	上空のリモートセンサが受ける電磁波エネルギーは水蒸気による減衰を受けており、その影響を補正すること。
水蒸気マグマ爆発	すいじょうきまぐまばくはつ	steam explosion	外部（地下水）の水とマグマが接触して本質物質を放出する爆発的な噴火の総称。
水食	すいしょく	water erosion	水による土壌浸食。雨水による面状浸食から、集中流水によるリル（雨裂）浸食、ガリ浸食がある。
水浸	すいしん	submergence	岩石などの物体を水中に没すること。物体を飽和させたり、スレーキングや耐水性などの調査のため行われる。
水浸安定度試験	すいしんあんていどしけん	immersion stability test	マーシャル安定度試験用の供試体を水中に浸したあと試験を行い、アスファルト合材の耐水性を評価する試験。
水浸一軸圧縮強度試験	すいしんいちじくあっしゅくきょうどしけん	immersion unconfined compression test	供試体を規定時間水浸した後に規定に準じて行う一軸圧縮試験。
推進工法	すいしんこうほう	pipe jacking method	先端に掘削用の刃を付けたプレキャスト構造物（円形・矩形）を推進ジャッキで圧入して埋め込みながら継ぎ足しトンネルを構築する工法。
水成	すいせい	aquatic	水中、もしくは水の作用によって形成されたものであること。例えば水成鉱床、水成岩など。
水制	すいせい	groin, groyne, spur dyke	洪水時の堤防の保護や低水時の川筋の安定のために水勢の緩和や流路の規制を行う河川工作物。川岸から中央に突出して設置される。
水成岩	すいせいがん	aqueous rock	水の営力でできた堆積岩。堆積岩の主要な一構成要素であるが、堆積岩と同義語ではない。
水成鉱床	すいせいこうしょう	sedimentary deposit	鉱物粒子・溶存成分が水による運搬・堆積作用で濃集してできた鉱床。火成活動による火成鉱床に対する。
水成砕屑岩	すいせいさいせつがん	clastic rock	風化浸食によって生じた岩屑などが、水流に運ばれて陸上や水底に堆積してできたもの。
水成土（壤）	すいせいど（じょう）	hydrogenic soil	寒冷多湿な地域で水分の影響が強く作用して形成されたと考えられる土壌の総称。ツンドラ土、ポドゾルなど。
水成リップルマーク	すいせいりっふるまーく	aqueous ripple mark	堆積物の表面に流水や波によって形成された周期的な波型の模様。浅い水深に堆積した砂岩層に多く見られる。
水成論	すいせいろん	Neptunism	火成論の反対語で、原始の岩石は原始海水から析出沈殿してできたとする説。
水石	すいせき	Suiseki	自然の水磨作用により風雅な形となった観賞用の石。京都加茂川石・岐阜揖斐川石・北海道神居古潭石ほか。

水素イオン濃度	すいそいおんのうど	hydrogen ion concentration	普通pH（水素イオン指数, $-\log[H^+]$ ）で表される水溶液中のヒドロニウムイオン濃度. 酸性, 塩基性の尺度.
水槽	すいそう	tank	①水路式発電所の導水路終端部の, 水圧管の呑口となる池. 負荷の変動調整, 浮遊物除去などのために設けられる. ②水路の途中で一時的に水を貯留するための構造物. 水力発電所における調圧水槽など.
水素エネルギー	すいそえねるぎー	hydrogen energy	水素を燃焼させて発生するエネルギー. 単位重量あたりの熱量がガソリンの3倍になる無公害のエネルギー.
水素結合	すいそけつごう	hydrogen bond	水素が結びつける原子や分子間の結合で, 酸素・フッ素・チッ素などの電氣的陰性の強い原子に限られる.
水素指数	すいそしすう	hydrogen index	地層中における高速中性子の減速過程に関係するパラメータ的な量で, 通常の中性子検層での測定対象.
水素貯蔵合金	すいそちょぞうごうきん	hydrogen storage alloy	常温で多量の水素を吸収・貯蔵・放出できる金属または合金の水素化物. 希土類系, Ti系, Mg系合金など.
水素同位体比	すいそどういたいひ	hydrogen isotope ratio	質量数1の水素と質量数2の重水素の存在比を標準試料の同様な存在比に対して千分率偏差(%)で表した値.
衰退氷河	すいたいひょうが	decaying ice	流動が停滞して融解を始めた氷河. 氷河が消失する前の一つの過程である. 停滞氷河ともいう.
水中火砕流	すいちゅうかさいりゅう	subaqueous pyroclastic flow	水中を流れる火砕流. 陸上から水中に流入する場合や, 直接水中に噴出して流れる場合がある. 生じた堆積物は下位に密度大の岩塊, 上位に軽石片の分級を示す.
水中掘削	すいちゅうくっさく	underwater excavation	浚渫船などの掘削機器を用いて水底を掘削すること. 水底が岩盤の場合は事前に発破工法などにより岩盤を破砕する.
水中硬化エポキシ樹脂	すいちゅうこうかえぽきしじゅし	underwater-hardening epoxy resin	エポキシ基を1分子中に2個以上もつ化合物(ポリマー)で, 硬化剤との反応により水中でも硬化するもの.
水中構造物	すいちゅうこうぞうぶつ	underwater structures	海洋構造物と同義.
水中コンクリート	すいちゅうこんくりーと	underwater concrete	水中で打設するコンクリートの総称. 水底まで運搬打設する方法や, プレパクトコンクリートなどがある.
水中自破碎溶岩	すいちゅうじはさいようがん	subaqueous autobrecciated lava	水中に流れ出て, 急冷され破碎し角礫岩様になった溶岩. 角礫と基質が同じ岩石からなることが特徴.
水中重量法(現場密度試験)	すいちゅうじゅうりょうほう(げんばみつどしけん)	weight-in-water method for field density test	現場密度試験方法の一つで, 水中で分解しない固結している土や岩石に適用する方法.
水中施工	すいちゅうせこう	underwater execution	水中で地盤の掘削やコンクリート打設などの工事を行うこと.

水中切断	すいちゅうせつだん	underwater cutting	水中で金属などを切断する工法。酸素アーク・テルミット溶断・火炎ジェット・発破・機械などの切断工法がある。
水中単位体積重量	すいちゅうたんいたいせきじゅうりょう	submerged unit weight	水中における岩石や土の単位体積の重量。土の飽和単位重量から水の単位重量を引いた数値で表される。
水中発破	すいちゅうはつぱ	under water blasting	発震源として水中で爆薬を爆発させること。強い発震源とするには、水深が深い方が効果的である。
水中比重	すいちゅうひじゅう	submerged density	水中における飽和土の見かけ上の比重。地下水面下の土の土圧および沈下計算、斜面安定計算等に用いられる。
水中覆工工法	すいちゅうふっこうこうほう	submerged geo-spacing	軟岩基盤中に泥水工法により大空間を掘削し、水中で覆工コンクリートを施工する工法。
水中ブルドーザ	すいちゅうぶるどーざ	underwater bulldozer	ラジコン式の水陸両用のブルドーザ。浅い水深での浚渫、転石の掘削・採取などに使用される。
水中放電	すいちゅうほうでん	electrical discharge in water	非爆薬の音源として、水中での放電により音波を発生させること。代表的なものとしてスパークがある。
水中ポンプ	すいちゅうぼんぷ	submerged pump	揚排水に使用するポンプのうち水中に設置するポンプをさす。
水中埋設	すいちゅうまいせつ	underwater embedding	海域に敷設するパイプラインや発電所の取・放水管などを海底面下に埋設すること。
水中溶岩流	すいちゅうようがんりゅう	subaqueous lava flow	水中に流入または噴出した溶岩流。急冷し破碎しやすく角礫岩様となる。玄武岩質の場合には枕状溶岩となる。
水中養生	すいちゅうようじょう	water curing	コンクリートやモルタルの養生を水中で行うこと。水温を20℃前後に保つ場合が標準養生。
水中溶接	すいちゅうようせつ	underwater welding	主に電気アークによる水中アーク溶接工法。水を遮断して行う乾式法と、水中で直接行う湿式法がある。
垂直アレイ観測	すいちよくあれいかんそく	vertical array seismic observation	地表からの深度を変えて垂直方向に配列した複数の地震計による地震観測。深部から地表への地震動伝播特性などを把握するために用いる。
垂直移動	すいちよくいどう	vertical slip	断層の変位の要素に関する用語で、実移動の垂直成分のこと。鉛直移動ともいう。
垂直応力	すいちよくおうりょく	normal stress	外力を受ける物体内部に平衡条件を満足するように生じる力（応力）のうち、作用面に直交する分力。
垂直荷重	すいちよくかじゅう	normal load	荷重面に対して垂直方向に作用する荷重。

垂直写真	すいちよくしゃしん	vertical photograph	カメラ軸が鉛直軸に対して5°以内の範囲で撮影された航空写真, または空中写真. 鉛直写真ともいう.
垂直スリップ	すいちよくすりつぶ	perpendicular slip	断層による地層・岩石の真の変位の垂直成分. これに対して, 断層変位の水平成分は水平スリップという.
垂直線偏差	すいちよくせんへんさ	deflection of the vertical line	地球に正しく接するようおかれた地図測量の基準となる楕円体上にたてた法線と, 鉛直線との方向の差. 鉛直線偏差ともいう.
垂直探査	すいちよくたんさ	vertical electric sounding	比抵抗の垂直分布を求める探査法. 比抵抗探査の場合は電極間隔, 電磁探査の場合は周波数を変えることにより深度方向の探査を行う.
垂直探査曲線	すいちよくたんさきょくせん	vertical electric sounding curve	比抵抗法垂直探査の測定結果を, 一般に横軸に電極間隔を, 縦軸に見掛比抵抗をとって描いた測定曲線.
垂直断層	すいちよくだんそう	vertical fault	面の傾斜が垂直である断層.
垂直土圧	すいちよくどあつ	vertical earth pressure	土中の垂直方向に働く土圧. 地表に構造物がある場合, 有効土かぶり圧と地表構造物の応力との合力となる.
垂直縫地工法	すいちよくぬいじこうほう	vertical prereinforcement	トンネル坑口や偏圧地形および土被りの小さいトンネルの上部地盤を補強する工法. 地表面から削孔して鉄筋を挿入しセメントミルクを注入して定着する. 吊り下げ効果や見かけのせん断強度を増加させる効果があるとされ, 天端沈下抑制や地すべり防止のために用いられる.
垂直ひずみ	すいちよくひずみ	linear strain	圧縮力または引張力を受けた場合に発生する伸縮に関する軸ひずみのこと.
垂直分力 (地磁気の)	すいちよくぶんりょく (ちじきの)	vertical intensity	地磁気の大きさと方向は一つのベクトルによって表され, その垂直成分の分力.
垂直変化性図 (岩相の)	すいちよくへんかせいず (がんそうの)	vertical variability map	柱状図内での岩相の垂直的变化が場所によりどう変化するかを表したもの. 地域的な岩相の変化を示す. 岩相図の特殊なもの.
垂直落差	すいちよくらくさ	perpendicular throw	断層による基準層または基準面のズレを, その層 (面) に鉛直方向に計った距離.
水底火砕流	すいていかさいりゅう	subaqueous pyroclastic flow	水中火砕流と同義.
推定岩盤線	すいていがんばんせん	assumed rock-line	構造物基礎としての地耐力をもつと推定される岩盤の位置を鉛直断面上に示した線.
推定鉱量	すいていこうりょう	probable reserves, probable ore reserve	JIS M 1001「鉱量計算基準」で規程されている鉱量の一つで, 鉱画を構成する側面の数と間隔が確定鉱量の規程に該当しない部分の鉱量. 確定鉱量参照.
推定コーン指数	すいていこーんしすう	rating cone index	自然土のコーン指数に, 車両等の繰り返し走行による土の強度低下を示す繰り返し指数を乗じた値.

推定資源量	すいていしげんりょう	probable resources	露頭・試錐・坑内他の資料から地下に存在し得ると推定・計算される資源埋蔵量.
水底浸食	すいていしんしょく	subaqueous erosion	海底・河川底・氷河底において流水や氷河によって生じる浸食作用.
推定炭量	すいていたんりょう	probable coal reserves, indicated coal reserves	露頭・試錐・坑内他の資料から地下に存在し得ると推定・計算された石炭埋蔵量.
水底トンネル	すいていとんねる	underwater tunnel	海・河川・湖沼・運河などの下に構築されるトンネルのこと. 一般のトンネルよりも防水・排水に十分な配慮が必要となる.
水底噴火	すいていふんか	subaqueous eruption	水底（海底・湖底など）などで起こる噴火の総称. 浅い水底の場合は激しい爆発を伴う.
水田土壌	すいでんどじょう	paddy soil	水稻栽培でできた土壌. 耕起や水張り, 施肥などのため, 土性や粗密度, 色調などが自然土壌とは異なる.
水田土壌化作用	すいでんどじょうかさよう	paddy soil formation, rice soil formation	灌漑による湛水と収穫前後の落水による規則的な還元・酸化作用でおこる水田特有の土壌の生成作用.
水頭	すいとう	hydraulic head	任意の点における流体のエネルギーを水柱で表したもので, 速度水頭, 位置水頭および圧力水頭からなる.
ずい道	ずいどう	tunnel	トンネルのこと. 広義には地下発電所などの大空洞や小断面の地中管も含むが, 一般には掘削断面に比して長さが十分に長く2点間を結ぶ用途に用いられるものをいう.
水頭拡散率	すいとうかくさんりつ	hydraulic diffusivity	帯水層の水理特性を示す要素の一つで, (透水係数/比貯留率) で定義される.
水頭差	すいとうさ	difference of hydraulic head	静水圧に支えられた水柱の高さ(水頭)に関して, 空間的あるいは時間的にみられる差.
水頭損失	すいとうそんしつ	head loss	流体が移動するときに失われるエネルギーの大きさを, 水柱の高さで表したもの.
水当量(雪)	すいとうりょう, みずとうりょう	water equivalent (of snow)	雪を蒸発させることなく液体の水に換えた場合の水当量.
水破法	すいはほう	hydraulic fracturing method	地中の土圧を計測する方法の一つ. 所定の深度まで押し込まれた間隙水圧計のチップを通して水を圧入し, 圧力と流量の関係から土圧を計測する.
随伴ガス	ずいはんがす	associated gas	原油の生産に伴って採取されるガス. 70~80%はメタン(天然ガス). 残りはエタン, プロパン, ブタン他.
水簸	すいひ	hydraulic elutriation	土粒子を水中で分散し, 粒子の大きさによる沈降速度の差を利用して粒子を大きさ毎に分ける操作.

水ひ管	すいひかん	elutriator	粒径の差による沈澱速度の違いを利用して、細粒碎屑物の粒度分析を行う装置で、垂直に立てたガラス管。
水封式	すいふうしき	water seal system	地下に空洞を掘削し、空洞内部に石油や圧縮空気、天然ガスなどを封じ込める方法として岩盤内の地下水圧を利用する方式。
水封式地下岩盤貯蔵	すいふうしきちかがんばんちょぞう	water sealing rock cavern storage	岩盤に掘削した空洞内に原油や液化ガスなどを入れ、空洞周辺の地下水圧を内圧より高く保つことにより漏洩を防ぐ貯蔵方式。
水封式地下岩盤貯油槽	すいふうしきちかがんばんちょゆそう	water seal type rock tank	自然または人工的にかん養（涵養）された地下水圧により漏油、漏気を防止するシステムを採用した岩盤タンクのこと。
水封トンネル	すいふうとんねる	water sealing tunnel	水封式地下岩盤貯蔵で、空洞周辺の地下水位を維持するために作られる注水用トンネルのこと。
水封ボーリング	すいふうぼーりんぐ	water sealing boring	水封式地下岩盤貯蔵で、岩盤の割れ目に効果的に水封用の水を注入するため、水封トンネルから貯蔵空洞の周辺に配置されるボーリング孔のこと。
水分拡散係数	すいぶんかくさんけいすう	moisture diffusivity	水分（液体の水）が不飽和で多孔質な土壤中を拡がる速さに関する係数。
水分検層	すいぶんけんそう	neutron logging	孔内で連続的に放射した高速中性子の地層中での減衰を測定し、地層の水分含有量・孔隙率を求める検層法。
水平打継目	すいへいうちつぎめ	horizontal construction joint	コンクリートダムを打設する際に生じるリフト間の打ち継ぎ目。
水平隔離	すいへいかくり	horizontal separation	断層による地層のずれの大きさを水平面上で測った距離。地層の走向に垂直に測ったものは特にオフセットという。
水平荷重	すいへいかじゅう	horizontal load	構造物などに作用する荷重の方向が水平な荷重の総称。
水平繰り返し載荷試験	すいへいくりかえしさいかしけん	horizontal cyclic loading test	地震による変形時の支持物の変形特性、地震のばね特性を把握するために、水平方向に正負交番載荷する試験。
水平継材	すいへいけいざい	horizontal bracing	山留支保工の部材のひとつ。切りばりの座屈を防止するために切りばりをつないで取り付ける。
水平傾斜移動	すいへいけいしやいどう	horizontal dip slip	断層面に沿って両ブロックが相対的にズリ動いた距離のうち、傾斜方向の成分の水平成分で水平傾斜スリップ、ヒーブともいう。
水平傾斜スリップ	すいへいけいしやすりつぶ	horizontal dip slip	水平傾斜移動と同義。
水平坑道	すいへいこうどう	level drift	鉱山で立坑や斜坑に対して水平な坑道を示す言葉。鉱石の運搬やメンテナンスに用いられる。

水平載荷試験	すいへいさいかしけん	horizontal loading test	杭などに水平方向に荷重を加え、水平支持力、変形特性などを求める試験。
水平最大主応力軸	すいへいさいだいしゅおうりょくじく	horizontal principal stress axis, axes of maximum horizontal principal stress	水平面に投影される主応力の最大を示す方向軸。
水平地盤係数	すいへいじばんけいすう	coefficient of horizontal subgrade reaction	水平方向地盤反力係数と同義。
水平褶曲	すいへいしゅうきょく	horizontal fold	かつて平面的または直線的な構造であった地層や岩体が曲がってしまう褶曲変形のうち、軸の傾きが水平のもの。
水平磁力	すいへいじりょく	horizontal magnetic intensity	地磁気の大きさと方向は一つのベクトルによって表され、その水平成分の分力（磁力）。
水平震度	すいへいしんど	horizontal seismic coefficient	水平方向の震度。地震により物体に作用した水平加速度と重力加速度の比（設計震度）。
水平ずり断層	すいへいずりだんそう	strike-slip fault	断層を挟む両側のブロックの相対的な変位の方向による分類で、主要なずれ方向が水平なもの。
水平スリップ	すいへいすりっぷ	horizontal slip	断層の真の移動量の水平方向成分。
水平ずれ断層	すいへいずれだんそう	strike-slip fault	断層を挟む両側のブロックの相対的な変位の方向による分類で、それぞれが相対的に水平方向にずれたもの。
水平成層構造	すいへいせいそうこうぞう	horizontally multi-layered ground structure	それぞれが均質等方である複数の地層が、水平に重なって存在する地下構造。
水平成分	すいへいせいぶん	horizontal component	力や流れなどのベクトル量を水平方向と鉛直方向の2成分に分けたときの水平方向の分力。
水平層	すいへいそう	horizontal bed	傾斜が水平な地層。
水平多層構造	すいへいたそうこうぞう	horizontally multi-layered structure	それぞれが均質等方である多数の地層が、水平に重なって分布する地下構造。
水平探査	すいへいたんさ	horizontal electric profiling	電極間隔を一定に保ちながら測線上で移動測定を行い、比抵抗の水平分布を求める電気探査比抵抗法の一つ。
水平断層	すいへいだんそう	horizontal fault	断層面が水平またはほぼ水平な断層。あまり使われていない用語である。
水平地質断面図	すいへいちしつだんめんず	horizontal geologic profile	ある水平な断面でみた地質平面図で、その面での地質状況が読みとれるので、ダム・トンネル・坑道などの計画に有効。

水平動	すいへいどう	horizontal migration	地震動のうち水平方向の運動。東西動・南北動の記録からベクトル的に合成すれば、水平動に対応するものが得られる。
水平動地震計	すいへいどうじしんけい	horizontal component seismometer	水平面上の一方向にゆれる水平動振り子を用いた地震計。
水平動振り子	すいへいどうふりこ	horizontal-motion pendulum	地震の水平動測定のために用いられる振り子。振り子の固有周期を延ばすための工夫がされている。
水平ドレーン	すいへいどれーん	horizontal drain	フィルダムで浸潤線をダム下流のり面以下にするために設けるドレーンのうち、堤体内下流部に水平に設ける排水施設。
水平分力（地磁気の）	すいへいぶんりょく（ちじきの）	horizontal intensity	水平磁力と同義。
水平変位杭	すいへいへんいくい	stake	地盤の地表面での移動量を測定するために地盤に打ち込まれた杭。杭頭部の標点をスチールテープまたは光波距離計により測定する。
水平変位計	すいへいへんいけい	horizontal movement gauges	地盤や構造物の水平方向の変位量を伸縮自在の管や緊張したワイヤなどにより測定する装置。伸縮計などがある。
水平変動	すいへいへんどう	horizontal deformation	地震による土地の水平方向の地殻変動。精密三角測量または三辺測量によって測定される。
水平方向地盤反力係数	すいへいほうこうじばんはんりょくけいすう	coefficient of horizontal subgrade reaction	杭などの水平支持力を求めるための地盤のばね定数であり、変形係数、横方向K値などがある。孔内横方向載荷試験などで求められる。水平地盤係数ともいう。
水平方向推進工法	すいへいほうこうすいしんこうほう	pipe jacking method	推進工法のうち水平方向に施工されるものをいう。
水平方向透水試験	すいへいほうこうとうすいしけん	horizontal permeability test	鉛直方向の通水は行わず、水平方向のみの透水係数を求める試験。
水平ボーリング	すいへいぼーりんぐ	horizontal drilling	水平方向に掘進されるボーリングの総称。鉱山では鉱体の探査、土木ではトンネル切羽前方や空洞周辺の地質調査、水抜きなどを目的とする。
水平ボーリング式排水工事	すいへいぼーりんぐしきはいすいこうじ	groundwater drainage works by horizontal boring	ボーリング工法により水平ドレーンを設けるための工事。
水平掘り	すいへいぼり	lateral drilling	水平ボーリングで、可撓掘り管と短尺ターボでおこなわれる。
スイベル	すいべる	swivel	ロータリー式ボーリングにおける、回転するドリルパイプと回転しない給水管(排水管)を結ぶ接続金具。
水没移転	すいぼついてん	move for under-watering by dam	ダムの築造により水没する住民が代替え地に移転すること。

水没地域	すいぼつちいき	submerged area	ダムの築造により水没する地域.
水没地形	すいぼつちけい	drowned topography	海水準低下時に形成された谷地形が、現在の海水準の海底に残されているもの.
水脈	すいみやく	groundwater artery	地層岩盤中の割れ目や空隙を流動する地下水の流路. 形状は不規則.
水面勾配	すいめんこうばい	surface slope	一定の方向における単位距離あたりの水面の高さの変化量. 最大勾配の方向をとれば、動水勾配と同義.
水文学	すいもんがく	hydrology	水圏・気圏・地圏をつなぐ水循環を研究する学問分野. 降雨の蒸発、流出、浸透のメカニズムや物理的・化学的特性などを研究する.
水文気象学	すいもんきしょうがく	hydrometeorology	地球上の降水・河川の流出・蒸散などの連鎖の研究と、洪水調節・各種用水計画と降水量との関係を研究する学問.
水文誌	すいもんし	hydrography	気候・地形・地質・植生などにより地域的特色を持つ陸水の賦存状態を科学的に記述したもの、あるいは同内容に関連した学問分野.
水文循環	すいもんじゅんかん	hydrologic cycle	地表に降水となった水が、地表や地中あるいは河川や海に移動し、これらの水が再び蒸発して大気に戻る循環.
水文地質学	すいもんちしつがく	hydrogeology	地表水や地下水のあり方を、地質との関連でとらえ研究する地質学の一分野.
水文地質図	すいもんちしつず	hydrogeological map, hydrogeologic map	帯水層単位とその構造に着目した地質図で井戸や湧泉の分布、地下水水面など地下水に関する情報を記載したもの. 水理地質図ともいう.
水文地図	すいもんちず	hydrological map	ある地域の降水・蒸発散・地表水・地下水・氷雪・土壌水などの水循環に関する諸現象を示すマップ.
水文調査	すいもんちょうさ	hydrological survey, hydrologic survey	地表水や地下水の賦存や流動および気象に関する調査. 河川流量、湧水量、地下水位、水質などの調査の総称.
水溶型天然ガス 鉱床	すいようがたてんねん んがすこうしょう	natural gas deposit of dissolved-in-water type	天然ガス（主成分はメタン）の全部または大部分が地層水に溶解した状態で鉱床を形成するもの.
水溶性ガス	すいようせいガス	gas dissolved in water	ガスのほとんど全部が地下において水に溶解した状態で鉱床を生成している可燃性天然ガス（メタンガス）.
水溶性成分	すいようせいせいぶん	water soluble component	混合物を構成する複数の物質のうち、水に可溶性性質を持つもの.
水溶性成分含量 試験	すいようせいせいぶん がんにりょうしけん	total water-soluble materials content test	地盤工学会基準（JGST241-1990）に定められ、間隙水圧に溶存している無機・有機成分量を求める試験.

水溶性天然ガス	すいようせいてんねんがす	natural gas dissolved in water	地下においてほとんどが水に溶解して鉱床を形成する天然ガス。ほとんどがメタンガス。新潟・千葉などで稼行。
水理学	すいりがく	hydraulics	各種の水理構造物の設計・施工に応用するため、これに関係する水の流れ・波動・圧力などを研究する学問。
水理幾何	すいりきか	hydraulic geometry	河川において、幅・水深・流速・勾配・粗度・運搬物質と流量の間に、べき関数関係があるとする理論。
水陸分布	すいりくぶんぷ	world distribution of land and water	地表面上の水域と陸域の分布を示すもの、または、陸地と海洋の分布を示すもので、後者の使われ方が多い。
水利権	すいりけん	water right	通常、河川法などに基づく公的な管理がなされている流水を、特定者が排他独占的に使用する権利をいう。
水理定数	すいりじょうすう	hydraulic constant	透水係数や貯留係数など地下水の定量的な評価を行う際に必要となる帯水層の特性を表わすパラメータ。
水理水頭	すいりすいとう	hydraulic head	流体の圧力水頭・位置水頭・速度水頭の和。全水頭ともいう。
水理地質学	すいりちしつがく	hydrogeology	水文地質学と同義として使われるが、水理学・水工学などと重複した印象を与えるため、この用法（訳語）は適当でないという意見が多い。
水理地質図	すいりちしつず	hydrogeological map, hydrogeologic map	帯水層単元とその構造に着目した地質図で井戸や湧泉の分布・地下水面など地下水に関する情報を記載したもの。水文地質図ともいう。
水理模型	すいりもけい	hydraulic model	水理挙動を実験で確認するために作成される現地状況を再現させた縮尺模型。
水流	すいりゅう	stream	地表面の水の流れ。水路の中を流れる水のこと。
水流次数	すいりゅうじすう	stream order	最も小さい支流を一次、その次に合流した支流を二次と、下流に次数が増す水流の等級のこと。最初の試みとしてGraveliusが本流を一次、その支流を二次とする等級を提案したが、最近では下流に次数が増す方法がとられている。
水流数の法則	すいりゅうすうのほうそく	law of stream numbers	ある流域の水路網を次数区分したときの水路次数とその数との関係を示す数式。
水流長の法則	すいりゅうちょうのほうそく	law of stream lengths	ある流域の水路網を次数区分したときの水路次数と対応する水路の長さの平均値との関係を示す数式。
水力開発	すいりよくかいはつ	water power development, hydroelectric power development	水力発電所を設けて、河川の落差と流量を電気エネルギーとして有効に利用すること。
水力採鉱法	すいりよくさいこうほう	hydraulic mining method	鉱体・炭層にノズルから高圧水を噴射して掘削し、ルーズな鉱石・石炭を採掘する方法。安全で採掘費が安い。

水力発電	すいりよくはつでん	hydraulic power generation	水のもつ位置エネルギーを動力として水車を回転させ発電する方式.
水力発電所	すいりよくはつでんしょ	hydroelectric powerstation	水力によって発電する施設.
水冷破碎構造	すいれいはさいこうぞう	hyaloclastic texture	水(雪・氷)に接触したマグマの表面が急冷され、砕けて生じたガラス質の岩片からなる岩石構造.
水路	すいろ	water way	一般的には水を流す多種多様な通路のことであるが、船舶が安全に通る航路をさす場合もある.
水路橋	すいろきょう	aqueduct bridge	水路が河川などを横断する場合に架設する橋梁.
水路工	すいろこう	water channel work	降水による過剰な水を排除する工法.
水路勾配	すいろこうばい	longitudinal slope of canal	水路縦断方向の勾配. 水路底面の勾配で表す場合と、水面勾配で表す場合がある.
水路敷	すいろしき	canal lot	水路の床面のこと.
水路式魚道	すいろしきぎょどう	channel type fish way	流水のエネルギーを減殺するため、緩勾配としたり枠や粗石床を設けた水路形式の魚道.
水路式発電所	すいろしきはつでんしょ	conduit type power station (plant), canal system power station(plant)	河川の水を人工の水路によって下流に導き、高い落差を得て発電する方式の水力発電所.
水路断面	すいろだんめん	cross section of canal	水路の中心線方向に直角に横断する断面.
水路長の法則	すいろちょうのほうそく	law of stream lengths	水流長の法則と同義.
水路トンネル	すいろとんねる	aqueduct tunnel, water tunnel	無圧あるいは圧力式の通水用トンネル.
水和	すいわ	hydration	鉱物に水が付加すること. 酸化鉄が水を吸って水酸化鉄になったり、粘土鉱物が水を取り込むのは水和である. 風化・熱水変質・変質作用などに伴って起こる. 水和作用ともいう.
水和吸着イオン	すいわきゅうちやくいおん		イオン性物質が水和する際に、水分子の双極子と静電的結合を行うイオン.
水和層	すいわそう	hydrated layer	鉱物やガラスなどが表面に水を構造水として取り込んで形成する薄層. 水和層の内部への進行は遅いが一定速度である.

水和層年代	すいわそうねんだい	obsidian hydration date	黒曜石の水和層の厚さから求めた年代. 黒曜石を用いた石器類の年代測定に利用.
水和堆積物	すいわたいせきぶつ	hydrolyzate	岩石の水和作用の結果残留した不溶性物質の総称.
水和度	すいわど	degree of hydration	水中の粒子, 分子, イオン等と結合もしくは強い相互作用の状態(=水和)を形成する水分子の数. 水和の程度.
水和熱	すいわねつ	heat of hydration	ある化学種が水分子との水和反応によって生じる反応熱のこと. コンクリートの凝結や硬化中に発生する熱等.
水和発熱速度	すいわはつねつそくど	heat velocity by water cement reaction	セメントの水和反応によるコンクリートの内部温度上昇速度. Kcal/kg・hourで表わす.
水和発熱量	すいわはつねつりょう	amount of heat of hydration	セメントと水との反応により生じる熱量.
水和反応	すいわはんのう	hydration reaction	ある化学種が水と結合する反応のこと. セメントは水和反応により硬化する.
スウェーデン式サウンディング	すうえーでんしきさうんでいんぐ	Swedish weight sounding	荷重と回転による貫入を併用し, 原位置における地盤の静的貫入抵抗を求めるための試験.
スウェーデン式フォイルサンプラ	すうえーでんしきふおいるさんぷら	Swedish foil sampler	金属製のフォイルにより, 土とサンプル内面の摩擦抵抗が除去される構造のサンプラ.
スウェーデン法	すうえーでんほう	Swedish circle method of slope stability, Swedish method, Fellenius method	フェレニウスが提唱した円弧すべり法の一つ. すべり面上の土塊を鉛直なスライス群に分け, その各々の安定性を解析する. スライス間力を考慮しない比較的単純な方法.
スウェリング	すうえりんぐ	swelling	岩石や土が吸水して膨潤する性質のこと. 粘土鉱物が結晶構造内に水分子を取り込んで体積が増加する.
数値実験	すうちじっけん	numerical experiment	実際に起こるであろう現象を, ある想定した数学的モデルに基づいて電子計算機などによって計算する解析手段.
数値地形図	すうちちけいず	digital terrain model, numerical topographic map	地図情報を数値化したもの. 位置は経緯度, UTM座標, 平面直角座標などを用いて示されている.
数値地形モデル	すうちちけいもでる	digital terrain model	デジタル化した地形に関する情報を, コンピュータで地形を数値的に近似して表現し, 描画したモデル.
数値地図	すうちちず	digital map	コンピュータに入力されたデジタル情報により作成された各種地図の総称. ここでいう数値はデジタルの訳語.
数値地籍	すうちちせき	numerical cadastre	地籍図による図化方式の誤差を解消するために, コンピュータの数値座標により管理された地籍.

数値標高モデル	すうちひょうこうも でる	digital elevation model	地形図の等高線をもとに、一定間隔で標高数値を抽出してデジタル化された数値データモデルのこと。2003年現在、国土地理院により50mメッシュの全国の数値地図が整備されている。
スーパー堤防	すーぱーていぼう	high grade bank, high grade levee	越流水や長時間の浸透に対しても耐えることが出来、その上に都市空間の形成を図る幅の広い高規格の堤防。
スーパー林道	すーぱーりんどう	arterial forest road	森林開発公団が整備を進めている特に規模の大きな林道。特定森林地域開発林道。
数理地質学	すうりちしつがく	mathematical geology	地質の数理科学的な側面を扱う学問体系。確率統計的手法や数値解析的手法で地質事象の定量化を目的とする。
スエレックス	すえれつくす	Swellex	鋼管膨張型ロックボルトの商品名
図解法	ずかいほう	graphical solution, graphic method	一般に、計算その他の方法で値が求めにくい場合、所要の値を図解によって求める方法。
SKYLAB	すかいらぶ	SKYLAB	米国が1973年に打ち上げた3人乗りの有人衛星。目的の一つとして地球資源観測実験が含まれていた。
スカウボーリング	すかうぼーりんぐ	scow drilling	たがねの切断機能とバイラーの汲上げ機能を兼ね備えた重くて厚い管状工具（スカウ）を使用する削孔。
須賀川石	すかがわいし	Sukagawa ishi	福島県須賀川市・石川郡玉川村産、第四系溶結凝灰岩。建築用・墓石。
すかし掘り	すかしぼり	holing, under cutting	①上部にある土砂や石炭層などが容易に崩れるように下部を掘削すること。 ②調査または水抜きを目的とした小断面の導坑またはトンネルを掘ること。
スカポライト	すかぽらいと	scapolite	正方晶系。硬度5～6。比重2.5～2.8。変成岩・気成鉱床などに産する。柱石系鉱物の総称。曹柱石と灰柱石の固溶体。
スカルン	すかるん	skarn	炭酸塩岩が珪長質マグマの活動による接触交代作用を受けて形成された石灰苦土珪酸塩鉱物の集合体で、ざくろ石・陽起石・緑れん石(緑簾石)などが含まれる。
スカルン化作用	すかるんかさよう	skarnization	炭酸塩岩が接触変成または広域変成作用によってスカルン(珪酸塩鉱物)を生成する作用。
スカルン鉱床	すかるんこうしょう	skarn deposit	炭酸塩岩石が花崗岩マグマと接触することにより、交代作用を受け形成された鉱床。接触鉱床と同義。
スカルン鉱物	すかるんこうぶつ	skarn mineral	スカルンを構成する特徴的な珪酸塩鉱物。原岩や生成条件で異なるが、ザクロ石・透輝石・珪灰石など。
スキージャンプ式洪水吐き	すきーじゃんぷしき こうずいばき	ski jump spillway	シュート式あるいはトンネル式洪水吐で下流端がS字状逆カーブになっており、水をダムから遠く離れた位置に落下させる型式の洪水吐き。

スキーズセメンチング	すきーずせめんちんぐ	squeeze cementing	スクィーズセメンティングと同義.
SQUID磁力計	すきいどじりょくけい	Superconducting Quantum Interference Device magnetometer, SQUID magnetometer	高感度磁束変化計の一種で、超伝導状態で現れる磁束量子効果を利用している.
スキーマ	すきーま	schema	データベースの構造を表す用語. データの種類・長さなどを記述したものを単にスキーマと呼ぶことが多い.
スキッドベース	すきつどべーす	skid base	密度検層における線源や検出器を、孔壁に圧着させる特種な装置.
スキップバケツト	すきつぶばけつと	skipbucket	トンネル施工において縦坑などからの掘削ズリ搬出用の鋼製容器.
スキャナ	すきやな	scanner	対象物上を小領域毎に順次走査して画像形式のデータを取得する装置.
スキャナ方式	すきやなほうしき	scanner method	ボアホールテレビシステムの一方式. 三角プリズムを回転させて、細い帯状に走査しながら、孔壁展開画像を得る方法.
スキャンライン法	すきやんらいんほう	scanline method	対象エリアに適切な線を設定し、線上で情報を取得しこれを当該エリアを代表する情報として、統計的扱いに供する方法. 節理面や礫径分布の調査などに用いられる.
スクィージング	すくいーじんぐ	squeezing	トンネル掘削時に掘削面が内空側に押し出してくる現象. 粘土鉱物の吸水膨張が主因と考えられていたこともあるが、現在は土圧に対して地山強度が不足しているための塑性流動的な変形とされる.
スクィージングレベル	すくいーじんぐれべる	squeezing level	トンネル掘削時に予想されるスクィージングの程度を、壁面のひずみ状態や岩石の一軸圧縮強度で区分したものの.
スクィージングロック	すくいーじんぐろっく	squeezing rock	スクィージングを起こす強度・応力条件にある地山. スクィージングは岩石の強度とトンネル周辺の応力との関係で発生するため、岩石の性質のみで定義するのは難しい.
スキーズアップ	すくいーずあつぷ	squeeze up	溶岩表面の固結部を内部の熔融状態の溶岩が押し破って形成された微地形. パホイホイ溶岩に特に特徴的.
スキーズ型地すべり	すくいーずがたじすべり	squeeze - type landslide	破壊した弱層が前方や側方に絞り出されるように変形し、上位の斜面も引き続き崩壊するような様式の地すべり.
スキーズ式コンクリートポンプ	すくいーずしきこんくりーとぽんぷ	squeeze type concrete pump	チューブ内のコンクリートを2個のゴムローラーの回転によって絞り出す構造のコンクリートポンプ.
スキーズセメンティング	すくいーずせめんていんぐ	squeeze cementing	坑井掘削において、ケーシングにあけた穴または坑壁の地層に対し、高い圧力でセメント液を注入する方法.
スクライブ法	すくらいぶほう	scribing	地図の製図に用いられる方法で、遮光性塗料を透明プラスチックまたはガラスの板に塗布し、針彫刻でネガティブ原図を作成する.

スクリード基礎	すくりーどきそ	screed-type foundation	沈埋トンネルの函体に対する直接基礎の一種で、函体を沈設するトレンチ沿いに碎石を敷き均したものの。
スクリードバイブレーター	すくりーどばいぶ れーたー	screed vibrator	スクリードユニットに電磁バイブレーターを取り付け、スクリード自身で舗装材を締固める装置。
スクリードフィニッシャー	すくりーどふいにっ しゃ	screed finisher	舗装においてアスファルトなどの材料を一定の高さに切り取り、締固めながら平坦に仕上げる機械。
スクリーニングプラント	すくりーにんぐ ぷ らんと	screening plant	礫・砂利・砂などを粒径ごとにふるいわけの施設。
スクリーン	すくりーん	screen	ごみや流木などを除去するため、取水口の前面や水路の途中に設けられている網または格子。井戸のストレーナをさす場合もある。
スクリュウコンベア	すくりゅーこんべあ	screw conveyor	中心軸の周りにねじ状の羽根を取り付けたものを回転させて物体を搬送する機械。シールドマシンの土砂取り込みやセメントの搬送などに用いられる。
スクリュウフィード式試錐機	すくりゅーふいーど しきしすいき	screw feed boring machine	スピンドル型試錐機の種類。ボルトとナットの関係で、ボルト相当のスピンドルが前進する推進装置のもの。
スクリュウポイント	すくりゅーぽいんと	screw point	スウェーデン式サウンディング試験機の貫入する先端部分の名称。長さ20cmで、右ねじり1回を与えた形状。
スクレーパ	すくれーぱ	scraper	金属鉱山において鉱石などをかきよせる運搬機の種類。くわ型・箱型・折衷型の3種類がある。
スクレープドーザ	すくれーぷどーざ	scrape dozer	スクレーパーの一種で、ブルドーザの本体下部にスクレーパーの土砂積み込み部分を抱えた形式の掘削運搬機械。
スクレロチニット	すくれろちにと	sclerotinite	顕微鏡下における石炭組織の分類の一つ。第三紀の石炭中に特徴的に産し、菌類の遺骸が起源と考えられる。
スケール効果	すけーこうか	scale effect	寸法効果と同義。
スケール・プロトラクタ	すけーぷろとらく た	scale-protractor	角度目盛り、縮尺目盛りおよび方眼目盛りを有し、図面上の長さや角度を容易に測定できる定規の一種。
助川砥	すけがわと	Sukegawa whetstone	茨城県日立市・西茨城郡岩瀬町大泉産、古生界粘板岩。黒・赤・青色、堅緻。黒は硯用。他は中砥用。
スケルトンダイヤグラム	すけるとんだいやぐ らむ	skelton diagram	ブロックダイヤグラムのように基本ブロックを描き、立体的に地質構造や岩相変化などを表現した図。
スコリア	すこりあ	scoria	火山岩滓と同義。

スコリア丘	すこりあきゅう	scoria cone	岩滓丘と同義.
スコリア凝灰岩	すこりあぎょうかいがん	scoria tuff	主としてスコリアから成る凝灰岩.
スコリア流	すこりありゅう	scoria flow	岩滓流と同義.
図根点	ずこんてん	topographic control point	地形測量で、細部測量を行うための図根測量で新たに設置する基準点.
須佐石	すさいし	Susa ishi	山口県阿武郡須佐町産石材. 第四系はんれい岩 (高山貫入岩体). 墓石・砕石用.
筋かい	すじかい	diagonal brace	建築構造物などを強くするため、柱と柱の間に交叉させて取付ける部材. 筋かいは地震や台風に抵抗する軸組構造の重要な部分となる.
図式解析法	ずしきかいせきほう	graphical analysis method	物理探査の測定結果を、図式解析的方法によって近似解析を進め、地下構造や地下物体の形状などを求める方法.
図式計算法	ずしきけいさんほう	graphical computation method	図式解析法と同義.
筋工	すじこう	simple terracing work	砂防工事において山腹に水平階段を造成し、階段上に植穴を掘って苗木を植栽する工法.
鈴鹿坂下断層	すずかさかしただんそう	Suzukasakasita fault	活断層. 確実度 I, 活動度 B 級, 東北東方向. 三重県亀山市の西方約 10km に位置する. 延長 15km. 右横ずれ断層.
鈴鹿坂本断層	すずかさかもとだんそう	Suzukasakamoto fault	活断層. 確実度 I, 活動度 B 級, 北東方向. 三重県亀山市の北方約 10km に位置する. 延長 17km. 右横ずれ断層.
鈴ヶ沢断層	すずがさわだんそう	Suzugasawa fault	活断層. 確実度 I ~ II, 活動度 B 級, 西北西方向. 長野県下伊那郡に位置する. 延長 10km. 左横ずれ断層.
鈴張りみかげ	すずはりみかげ	Suzuhari mikage	広島市安佐北区産建築・土木用石材. 中生界黒雲母花崗岩.
裾野扇状地	すそのせんじょうち	alluvial fan at volcanic foot	火山麓扇状地と同義.
スターラップ	すたーらっぷ	stirrup	コンクリート梁部材において、強度を高めるため軸方向鉄筋をとりかこむように梁と直角方向に配置される鉄筋.
スタイロライト	すたいろらいと	stylolite	石灰岩・チャートなどで圧力と間隙水の溶解作用によって圧力方向に直交して形成される凹凸に富んだ面構造.

スタジア測量	すたじあそくりょう	stadia survey	アリダードやトランシットなどのスタジア線と標尺を用いて間接的に距離や高低差を求める簡易測量法。上下のスタジア線に挟まれる標尺の長さから斜距離を求め、鉛直角を用いて水平距離と高低差を算出する。
スタジア定数	すたじあていすう	stadia constants	スタジア測量において望遠鏡で読み取った標尺の挟長から水平距離を求める際に用いる定数。乗定数と加定数がある。
スタッキング	すたつきんぐ	stacking	弾性波探査や電気探査において、多数の測定信号波形を足し合わせることによってランダムに含まれるノイズを打ち消し信号を強調する処理。
スタック	すたつく	stack, chimney, skerry	波食地形の一つで、選択的な浸食によって海域に取り残された孤立岩。離れ岩ともいう。
スタッフ	すたっふ	staff	水準測量用の伸縮可能な箱型の標尺。精密水準測量には不適。箱尺ともいう。
スタティック効果	すたていっくこうか	static effect	電磁探査において測点付近の局所的な地形や浅部の地質構造などが測定データおよび解析結果に及ぼす影響。
スタビライザー	すたびらいざー	stabilizer	ドリルカラーを孔心に保持するため、ビット直上またはある距離を離して取付ける器具。
スタンダードU (100) ソイルサンプラ	すたんだーどゆー (ひゃく) そいるさんぷら	standard U (100) soil sampler	軟岩などの乱さない試料のサンプラ。カッティングシューと鋼製バレルよりなり、断面積比は約30%である。
スタンドパイプ	すたんどばいぷ	stand pipe	①掘削やぐらの一隅に直立している泥水配管。②リバー工法の際の表層崩壊防止パイプ。③水頭計測用の直立パイプ。
スタンドパイプ式ピエゾメータ	すたんどばいぷしき ぴえぞめーた	stand pipe piezometer	透水性の高い地盤や堤体中の水圧を測定する装置で、測定位置に設置された水の取り込み口 (チップ) から上に立ち上げたパイプの中の水位を計測する。
スタンプミル	すたんぷみる	stamp mill	杵を重力落下させ試料を粉砕させる型式の粉砕機。
スチールファイバ	すちーるふあいば	steel fiber	長さ25～60mm、径0.3～0.8mmの鋼繊維。靱性を増やす目的でコンクリートや吹付けコンクリートに混入される。
スチールファイバコンクリート	すちーるふあいばこんくりーと	steel fiber reinforced concrete	鋼製の短繊維材を混入したコンクリート。
スチールフォーム	すちーるふおーむ	steel form	スキンプレートとフレームが一体となっている鋼製の移動式型枠。トンネルの覆工コンクリート打設に用いられる。
スチルプノメレン	すちるぶのめれん	stilpnomelane	黒雲母に似たへき開 (劈開) の発達した鉱物。硬度3内外・比重2.7～3。広域変成岩、スカルン中に産する。
須津地すべり	すつじすべり	the Sutsu landslide	1983年7月に島根県西部の須津地区の丘陵風化斜面で降雨により発生した地すべり。死者13人を出したとされている。

捨石	すていし	rubble, rubblestone	防波堤や護岸など水中構造物の基礎・根固め・被覆用に用いる緻密硬質な岩石。
捨石工	すていしこう	riprap works	大きく重い石を捨て込んで造成する簡単な根固工。石材が不足する場合は異型ブロックを用いる。
捨石鉱滓堆積場	すていしこうさいたいせきじょう	mine tailings dam, tailings dam	鉱滓の処分場。かんし堤と呼ばれる盛り土で法留めし、その背面に鉱滓を捨て土する。
捨石護岸	すていしごがん	rubble-mound revetment	海岸や河川で現地盤を捨石により被覆して水際線を確保する護岸。
捨石式傾斜堤	すていししきけいしゃてい	rubble-mound breakwater	海底にマウンドを築いて、波を砕く方式の防波堤で、マウンドに石を用いたもの。
捨石防波堤	すていしぼうはてい	rubble-mound breakwater	捨石を台形に積み重ねることによって造った防波堤。
捨石マウンド	すていしまうんど	rubble-mound	捨石をマウンド状に盛り上げ、潜堤に用いられたり、防波堤や護岸の外郭施設の基礎工に使われる。
捨石盛立	すていしもりたて	bulk rockfill, dumped rockfill	積極的な締固は行わず、運搬ダンプや敷均し機械などによる締固め程度でロックゾーンを盛立てる工法。
ステイショフ石	すていしよふせき	stishovite	SiO ₂ 。正方晶系。比重4.3程度。シリカ鉱物の高圧相。マントル中に存在すると考えられている。隕石の衝突によっても形成される。
ステージ	すてーじ	stage	①浸食輪廻において、原地形から終地形に至る間にたどる幼年期、壮年期、老年期という各段階。階梯ともいう。 ②一連の工程における各段階。
ステージカット ブラスティング	すてーじかつとぶら すていんぐ	stage cut method	上部坑道と下部坑道を結ぶ比較的短い立坑の掘削方法。立坑断面内に平行に発破孔を削孔し下部から逐次発破をかけズリを下部坑道から搬出する方法で立孔を掘り上げる。
ステージグラウト 工法	すてーじぐらうと こうほう	stage grouting method	ダム基礎グラウト工での多段階注入工法。グラウト工計画深度を幾つかのステージに分割し、孔口から孔底へ向かってグラウトを施工する方法。
ステージ長	すてーじちょう	length of stage	ステージグラウト工法における分割された区間の長さ。
捨子石	すてごいし	erratic boulder	迷子石と同義。氷河によって運ばれてきた異地性の巨礫。
捨コンクリート	すてこんくりーと	sub-slab concrete, levelling concrete	構造物の施工に先立ち地盤上に打設し平らに均すためのコンクリート。配筋や位置出しに用いる。
ステップ	すてっぷ	step	前浜の低潮線付近の平坦面。または前浜下部から沖側に傾斜した段地形。

ステップ	すてっふ	steppe	温帯地域の乾燥草原の一つで、砂漠周辺に発達する広大な短草草原が特徴的。
ステップ土	すてっふど	steppe soil	温帯の短草草原（ステップ地帯）で発達した土壌でA C層断面を持つ。
ステップドブレード	すてっふどぶれーど	Iowa stepped blade	厚さ3～7mmの土圧計を3～4個先端から薄い順にならべて一体化したもの。土中に押し込んで設置し、測定された各土圧計の測定値から外挿して厚さ0に対応する土圧を求める。アイオワ式階段鋤型土圧計とも呼ばれる。
捨土	すてど	waste	土木工事において切土、盛土の配分の結果、余った土や盛土材料にならない不良土。
ステノ	すての	Steno Nicolaus	17世紀のデンマーク生まれの医師。地層累重の法則・水平堆積の法則など、地質学の基本的な原理を確立した。
ステファン・ボルツマンの法則	すてふあんぼるつまんのほうそく	Stefan-Boltsman's law	理論上の仮想物体である黒体放射に関する法則で、熱放射エネルギーは絶対温度の4乗に比例するという法則。
捨てブロック式傾斜堤	すてぶろっくしきけいしゃてい	concrete block type breakwater	海底にマウンドを築いて波を砕く方式の防波堤で、マウンドにコンクリートブロックを用いたもの。
捨て巻コンクリート	すてまきこんくりーと	prelining concrete	本覆工の前に行う仮覆工のことをいう。変位の増大や湧水に対処するための応急処置として行う。
ステレオカメラ	すてれおかめら	stereo-camera	2台の同形同性能のカメラをカメラ支持台の両端部に取り付け、一对の実体写真が撮影できる装置。
ステレオグラム	すてれおぐらむ	stereogram	立体視によって立体的な感覚が得られるように作成された一对の写真や絵。ステレオグラフともいう。
ステレオ写真	すてれおしゃしん	stereo photograph	異なる撮影点から同一の対象物を重複して撮影することにより得られる、立体視が可能な写真。
ステレオ図法	すてれおずほう	stereographic projection	面や線など三次元空間の方位データを平面上に投影する図法。
ステレオダイヤグラム	すてれおだいやぐらむ	stereographic diagram	面や線など三次元空間の方位データを平面上に投影（ステレオ投影法）図化したもの。
ステレオ投影法	すてれおとうえいほう	stereographic projection	平面上に三次元空間の方向を表すために開発された投影法。結晶面の投影や地質構造解析によく用いられる。
ステレオ投影網	すてれおとうえいもう	stereographic net	ステレオ投影を行うための網グラフで、考案者の名をつけたウルフ網、シュミット網がある。
ステレオネット	すてれおねっと	stereonet	半球面上の大円と小円を平面に投影した網。結晶投影にはウルフ網が、節理などの解析にはシュミット網がよく使われる。

ストークスの法則	すとーくすのほうそく	Stokes' law	静水中を沈降する固体粒子（1/16mm以下）の沈降速度は、水の粘性と粒子径に支配されるという法則。
ストークス波	すとーくすは	Stokes wave	流体運動を非回転性として、波高が波長と比べて無視できない有限振幅波をEulerの方程式から解いた波。
ストークス粒径	すとーくすりゅうけい	Stokes diameter	粒径の一種で、ストークスの沈降径、または単に沈降径という。ストークスの抵抗法則に用いられる球の直径。
ストーパ	すとーぱ	stopper	伸縮可能なエアシリンダにより下方から支える上向きせん孔用手持式さく岩機。
ストーマ粘度	すとーまねんど	stomer viscosity	泥水の見かけ粘度を示す値で、ストーマ粘度計による600rpmの測定値で示される。単位はセンチポアズ。
ストーンストライプ	すとーんすとらいぷ	stone stripe	細粒～粗粒の岩屑が縞状に配列したもの。凍結作用により形成。
ストック	すとっく	stock	岩株と同義。
ストックパイル	すとっくばいる	stock pile	築堤の際、材料の性質を改良したり、盛り立て工程を調整したりするために、採取した材料を一時仮置きする場所。
ストックヤード	すとっくやード	stock yard	骨材・盛土材などの材料を蓄えておくためのスペース。
ストラット	すとらっと	strut	①トンネルの鋼アーチ支保工のインバート部分に入れる支保部材。内空変位が大きい場合に使用。インバートストラット。 ②ダム基礎岩盤に破砕帯などがある場合に奥の堅岩までダムの荷重を伝えるためのコンクリートプレート。
ストラット衝上	すとらっとしょうじょう	strut thrust	褶曲運動に抵抗していた背斜頂部の地層が浸食され、つっぱる力が弱くなって発達した衝上断層。
ストランド	すとらんど	strand	ワイヤロープの中心にある心綱のまわりに縊り（より）合せた子なわで、素線をいくつか縊り合せて作られている。
ストランドロープ	すとらんどろーぷ	strand rope	複数の鋼より線をさらに縊り（より）合わせたもの。普通のワイヤロープ。
ストリーマーケーブル	すとリーマーケーぶる	streamer cable	圧力型受振器群をチューブ内に浮力・絶縁・圧力媒体用の灯油と共に封入した水中連続曳航型受振器ケーブル。
ストリップカメラ	すとりっぷかめら	strip camera	移動物体撮影用カメラの一種。連続的に動くフィルム上にスリットによる結像を記録する。
ストレインゲージ	すとれいんげーじ	strain gauge	対象物に接着してそのひずみを電気抵抗変化により測定する素子。ひずみゲージと同義。ブリッジ回路を組み測定する。

ストレイン式間隙水圧計	すとれいんしきかんげきすいあつけい	strain gauge type piezometer	ひずみケージを用いて電氣的に土中の間隙水圧を測定する機器。
ストレートスロープ法	すとれーとすろーぷほう	straight slope method	インデックス法による磁気データの定量解析法で、岩体の埋没深度を求めるために古くから使用されている。
ストレーナー	すとれーなー	strainer	井戸や水抜きボーリングの採水区間で、土砂を取り込まず水のみが入るように加工したフィルタ。鋼管にスロットや孔を配置したものが一般的。
ストレーナ注入	すとれーなちゅうにゅう	strainer injection	多くの小孔を開けた注入管（ストレーナー管）から水平方向に注入材を地山に浸透させる注入方法。
ストレーナパイプ	すとれーなぱいぷ	strainer pipe	帯水層との通水性を保つため、水位計や現場透水試験の測定孔に設置する細孔や細いスリットを設けたパイプ。
ストレス	すとれす	stress	応力と同義。
ストレス鉱物	すとれすこうぶつ	stress mineral	結晶片岩中の十字石・ラン晶石などは、強い応力下で生成するとした考えであるが、現在は否定されている。わい力鉱物ともいう。
ストレス・ダイラタンシー理論	すとれすだいらたんしーりろん	stress-dilatancy theory	粒状体力学的アプローチをもとに、土の複雑な力学的挙動を表現するための代表的な構成式の理論。
ストローハル数	すとろーはるすう	strouhal number	物体が粘性流体中を移動するときの物体の振動の指標で、単位時間あたりに物体から離れる渦の対の数。
ストロマトライト	すとろまとらいと	stromatolite	ラン藻などにより捕捉された泥や砂がつくる葉理構造をもった炭酸塩岩。
ストロンチウム同位体	すとろんちうむどういたい	strontium isotope	ストロンチウムと同一元素に属するが、質量が異なるもの。このうち放射性の ^{90}Sr はトレーサ等に用いられる。
ストロンボリ式噴火	すとろんぼりしきふんか	Strombolian eruption	短い間隔で周期的にマグマのしぶき・火山弾などが火口から放出される噴火形式。低粘性のマグマに特徴的。
ストーンレー波	すとんれーは	Stoneley wave	ある弾性体と物性の異なる有限厚さの弾性体とが相接する場合に、その接界面に沿って伝わる表面波。
砂	すな	sand	土粒子区分においてシルトの次に大きな粒径に区分されるもの。土質分野（日本統一土質分類）では $75\mu\text{m}\sim 2\text{mm}$ 、地質分野(Wentworthら)では $1/16\sim 2\text{mm}$ 、土壌分野（国際土壌学会法）では $20\mu\text{m}\sim 2\text{mm}$ の粒径の土粒子から構成されるものをいう。
砂固め度（D値）	すなかためど（ディー値）	D-value	砂の相対密度 D_r のこと。室内締固め試験の最大乾燥密度（基準密度）に対する現場締固め乾燥密度の比。
砂杭	すなぐい	sand pile, sand drain	軟弱な地盤内に造成した砂柱。排水により圧密促進を図り、地盤のせん断強度を増加させるために用いる。

砂砂漠	すなさばく	sandy desert	砂に覆われて植生を欠く地域。岩石砂漠に対して用いられる。
砂地盤	すなじばん	sandy ground	砂や砂質土から構成される地盤の総称。
砂置換法	すなちかんほう	sand replacement method	現場密度試験法の一つ。試験孔を密度既知の砂で置換して試験孔の体積を求める。
スナッチプレート	すなっちぷれーと	snatch plate	ロッド径よりも約1/16"大きい穴があげられている厚い鉄板。被圧水のある地層のパイロットボーリングに有効。
砂堤	すなてい	beach ridge	砂浜において、波の作用によって打ち上げられた砂礫が、波の到達上限付近に堆積して形成された堤防状の列。浜堤ともいう。
砂浜	すなはま	beach	岩石などの岬に限られた湾入部に形成される砂粒からできた弧状の海岸で、土砂の供給量が多い場合は突出する。
砂浜海岸	すなはまかいがん	sandy shore, beach	海の波浪や海流によって形成された砂からなる海岸で、砂州や浜堤などの特徴的な地形を有することが多い。
砂吹込み基礎	すなふきこみきそ	sand flow method	沈埋トンネルのための基礎工法の一つ。仮置された沈埋函と底面の隙間に水と混合された砂を充填する。
砂吹込み方式	すなふきこみほうしき	sand-jet system	沈埋工法で沈埋函の底面と地山の上に砂を吹き込んで隙間を充填する方法。
スネルの法則	すねるのほうそく	Snell's law	波動が異なる二つの等方体の境界面で屈折する時。入射角と屈折角の正弦の比は一定で、媒体の速度比に等しい。
スノーサンプラ	すのーさんぷら	snow sampler	一定体積の積雪試料を採取する道具をさすが、特に円筒型採雪器がよく使用されている。
スノーシェッド	すのーしえっど	snow shed	道路や鉄道の雪崩れ（なだれ）防護工の一つ。有効な防護工であるが、工費が比較的高い。覆道ともいう。
スノーシェルタ	すのーしえるた	snow shelter	冬季間の道路交通を確保するために道路を覆う施設で、吹雪や地吹雪に対処するもの。
スノーネット	すのーねっと	avalanche net	なだれ防止のための保護ネットでなだれの始動を予防する。
スパーカ	すぱーか	sparker	水中放電によって発生する弾性波を利用した音波探査機の一つ。連続的な水底下の反射プロファイルが得られる。
スパークドリル	すぱーくどりる	spark drill	放電ドリル。放電の際の莫大なエネルギーを用いて工作物に加工する放電加工の穴あけに使用される。

スパイラル選鉱機	すばいらるせんこうき	spiral ore dressing machine	らせん構造を持つ垂直軸の回転により、鉱石粒を比重の相違を利用して選別する装置。
スパイラルビット	すばいらるびつと	spiral bit	軟らかい地層の傾斜掘りのとき、ホイップストックと一緒に使用するビット。ブレードがスパイラル状。
スパッターコーン	すばったーこーん	spatter cone	溶岩滴丘と同義。
スパッタ中性粒子質量分析法	すばったちゅうせいりゅうししつりょうぶんせきほう	sputter neutral mass spectrometry	高速イオンビームの照射により試料表面からたたき出される原子（スパッタ中性原子）をプラズマなどでイオン化し質量分析する方法。
スパッド	すばっど	spud	非航式浚渫船の作業時の移動や動揺を防止するため海底に突張る鋼材。
スパッド式足場	すばっどしきあしば	spudding platform	自己昇降式足場と同義語。浮体を貫通した脚をスパッドという。SEP (Self Elevating Platform) と呼ぶ。
巣原地すべり	すはらじすべり	the Suhara landslide	1948年に福井県大野市巣原で地震が原因で発生した地すべり。1952年対策工事が実施された。
スパン	すぱん	span	はり、アーチなどの支点間の距離。支間ともいう。
スピナ	すびな	spinner	回転羽子（インペラー）の回転数より、ボーリング孔内にある流体の流量変化を測定する計器。
スピナ検層	すびなけんそう	spinner logging	流量検層と同義。
スピネル	すびねる	spinel	狭義には $MgAl_2O_4$ （立方晶系。硬度7.5～8。比重3.55）、広義には AB_2O_4 の組成（A, Bは2, 3価陽イオン）。高温の広域変成岩や接触変成岩などに晶出する鉱物。固溶体を形成。尖晶石ともいう。光学的等方体。
スピネル型構造	すびねるがたこうぞう	spinel type structure	$MgAl_2O_4$ の組成を有するスピネル族の鉱物にみられる結晶構造。
スピネル系	すびねるけい	spinel series	スピネル族の3価の金属イオンがAlであるもの。4種の鉱物のうち、スピネル・ヘルシナイトの産出頻度が高い。
スピネル双晶	すびねるそうしょう	spinel twin	立方晶系にみられる双晶の一つで、スピネル・閃亜鉛鉱・方鉛鉱などにこの双晶が多い。
スピライト	すびらいと	spilite	玄武岩質火山岩や輝緑岩質の岩石で、長石はアルバイト化し枕状構造が発達する。
スピライト化作用	すびらいとかさよう	spilitization	ソレアイト質～アルカリカンラン石玄武岩がスピライトに変化する作用。

スピライトマグマ	すぴらいとまぐま	spilite magma	スピライトがそこから直接生成したと考えられるマグマ。
スピンドル	すびんどる	spindle	スイベルヘッドのところにある中空状のシャフト。動力源からのエネルギーをドリルストリングスに伝達。
スピンドル型掘削機	すびんどるがたくっさくき	spindle drilling machine	縦型のスピンドルにボーリングロッドを固定し、ロッドに回転力と推進力を与えるボーリング機械。
スピナー検層	すびんなーけんそう	spinner well logging	生産井の産出流体、圧入井の圧入流体の流量をスピナー型の流量計で深度に対応させて測定する検層の一種。
スピナー磁力計	すびんなーじりょくけい	spinner magnetometer	自然残留磁化を測定する磁力計。試料を回転させ、コイル中に誘起する電圧を検出して測定する原理。
スプーンサンプラ	すぷーんさんぷら	spoon sampler	オーガータイプのカッティングシューを付けた回転式ソイルサンプラ。
スプーンビット	すぷーんびつと	spoon bit	スプーン状をしたビット。傾斜掘りのとき、ホイップストックの斜面に沿って掘進し、その間に偏心させる。
スフェーライト	すふえーらいと	sphaerite	$AlPO_4 \cdot 2H_2O$ 。斜方晶系。硬度3.5～4.5。比重2.57～2.59。Alの含水リン酸塩鉱物に与えられた名称であるが、現在はバリスカイトとよばれる。
スフェルライト	すふえるらいと	spherulite	火山岩や石灰岩などにおいて、微細な針状結晶が放射状に集合し、球状またはそれに近い形状を呈する粒子。
図幅	ずふく	sheet format, sheet size	地図1枚毎の区画寸法。
スプライン軸	すぷらいんじく	axis of spline	水門扉における開閉の動力伝達軸にキー溝を付けたもの。
スプライン補間	すぷらいんほかん	spline interpolation	なめらかな曲線で複数のデータを近似する手法。観測値に含まれる統計的誤差による影響を避けるために用いられる。
スフリエール火山	すふりえーるかざん	Soufriere volcano	カリブ海小アンチル諸島にある活火山。輝石安山岩質の成層火山。
スフリエール型火砕流	すふりえーるがたかさいりゅう	Soufriere - type pyroclastic flow	スフリエール火山の安山岩質火砕流噴火の形式。山体崩壊、水蒸気爆発、溶岩ドーム形成などを伴う。
スプリッター	すぷりったー	splitter	割岩装置。岩盤中の孔にくさびなどを挿入して油圧で押し込み岩盤に割れ目を入れるために用いる装置。
スプリットスプーンサンプラ	すぷりつとすぷーんさんぷら	split spoon sampler	標準貫入試験時に用いるサンプラ。レイモンドサンプラと同義語。

スプリットバーレル	すぷりつとばーれる	split barrel	二つに縦割になったバーレルで、それを割って中から試料を取出す。
スプリングライン	すぷりんぐらいん	spring line	トンネル上半の半円形部で、円の中心を通る水平線的位置。springには「アーチの起点」との意味がある。
スパーディスク	すぺーさでいすく	spacer disc	土の締固め試験などに使用する試験用具で金属製円盤よりなる。
スペクトラム・アナライザー	すぺくとらむあならいざー	spectrum analyser	スペクトル分析器と同義。
スペクトル	すぺくとる	spectrum	複雑な組成のものを成分に分解して、特性の大きを順に並べたもの。
スペクトルIP法	すぺくとるあいぴーほう	spectral induced polarization method	受信波形から多くの周波数における複素比抵抗を求める電気探査法。この手法により鉱床の種類などの判定が可能といわれている。
スペクトル解析	すぺくとるかいせき	spectral analysis, analysis of spectra	ある現象や物質について、いくつかのスペクトル成分に分解してその性質を分析する方法。
スペクトルギャップ	すぺくとるぎゃつぷ	spectral gap	大気の大気変動スペクトルに存在する、風速変動成分が小さく、低エネルギーの領域。
スペクトル検層	すぺくとるけんそう	spectral logging	孔井内のある深度に測定器を停止させて、その深度の自然γ線のエネルギー分布を測定し岩石の成分を調べる。
スペクトル分析器	すぺくとるぶんせき	spectrum analyzer	アナログ方式あるいはデジタル方式で収録した振動記録から直接フーリエ分析などの周波数解析を行う装置。
スペクトル法	すぺくとるほう	spectral method	岩石から放出されるγ線スペクトルの分析からウラン、トリウム、カリウムの含有量を求める放射能探査法。
スペクトル密度	すぺくとるみつど	spectral density	分解された各々のスペクトル成分の全体に対する頻度(割合)。
スペサルチン	すぺさるちん	spessartine	$Mn_3Al_2[SiO_4]_3$ 。立方晶系。硬度7.0~7.5。比重4.2。ザクロ石族の鉱物。比較的低温で形成され、緑色片岩相の変成岩に晶出するが晶出頻度は少ない。
すべり安全率	すべりあんぜんりつ	safety factor against sliding	一般には斜面安定の検討における、あるすべり面に沿った計算上の安全率。
すべり円弧	すべりえんこ	slip circle	斜面の破壊を検討する際のすべり面の形状。地盤が均質で、かつ斜面形状が比較的単純な場合のすべり面の形状は円形と見なせる場合が多く、この仮定したすべり面の断面形状をすべり円弧という。
スペリオール湖型鉄鉱床	すべりおるこがたてつこうしょう	Lake Superior type iron deposit	米国スペリオール湖地方の先カンブリア界の地層に発達する縞状鉄鉱床。赤鉄鉱・褐鉄鉱を主体とする。

すべり解析	すべりかいせき	stability analysis for sliding	フィルダム堤体や盛土，地盤のすべり破壊に対する安定性を解析すること。
すべり角	すべりかく	slip angle	震源における断層運動を規定する断層パラメータの一つ。すべり方向を水平線から反時計回りに計った角度。
すべり褶曲	すべりしゅうきよく	slip folding	褶曲分類のうち，平行なせん断面が密に分布してすべりを生じて形成されたもの。せん断褶曲・スリップ褶曲ともいう。
すべり双晶	すべりそうしょう	glide twin	結晶に外力を加えた時，結晶構造が特定の面に対して塑性変形させた場合の変形双晶で二次的双晶ともいう。
すべり帯	すべりたい	slip band	結晶を外力により塑性変形させた場合に，結晶の表面にすべりが発生する時の線構造。すべり線ともいう。
すべり破壊	すべりはかい	sliding failure	土中で，ある連続した面（すべり面という）に沿ってせん断されズレが生じ，面上部の土塊が不安定化したり，崩落すること。
すべりへき開 (すべり劈開)	すべりへきかい	slip cleavage	雲母などの葉片状鉱物を含む細密不均質多層構造を示す岩石に発達するへき開（劈開）で，細密褶曲へき開（劈開）と同義。
すべり面	すべりめん	sliding surface, slip surface, glide plane	せん断破壊により生じるせん断面のこと。結晶の場合は変形の際すべりが起こる格子面をいう。
すべり面調査	すべりめんちょうさ	survey for sliding surface	すべり面の位置を推定するために行う調査で，ボーリング調査やパイプひずみ計，孔内傾斜計による変形計測などがある。
すべりラメラ	すべりらめら	glide lamella	変形結晶の二つのすべり面に挟まれた部分。変形していない薄層を示す。
S P O T衛星	すぽっとえいせい	System Probatoire d'Observation de la Terre, SPOT	仏国の地球観測衛星。広域の地形図作成に有用な空間分解能10mのステレオ画像を取得することが可能。
S P O T画像	すぽっとがぞう	System Probatoire d'Observation de la Terre image, SPOT image	フランスが開発した地球観測システムであるスポットで，この衛星による画像から地形図をつくることができる。
スポットコアリング	すぽっとこありんぐ	spot coring	掘削能率を促進させるためにノンコアボーリングを主体とするが，一定間隔の深度ごとに，コアリングを行う。
スポット分析	すぽっとぶんせき	spot test	微量定性分析法の一種で斑点分析ともいう。有機試薬と金属イオンを結合させ，イオン特有の着色反応を利用し，金属イオンを判定。
スポドソル	すぼどそる	spodosol	湿潤～過湿潤の熱帯～極地に分布する成帯性土壌の一つ。下層に非晶質物質の集積層がある。
素掘り	すぼり	excavation without supporting	良好な地盤の場合に，山留めや支保工などの補強なしで掘削すること。

スポリニット	すぼりにっと	sporinite	顕微鏡下における石炭組織の分類の一つ。一般に層理に平行で扁平なもので、花粉や胞子の外膜が起源である。
須磨断層	すまだんそう	Suma fault	活断層。确实度 I，活動度 B 級，北東－南西方向。兵庫県須磨区に位置し延長約 8km。北側が上昇している。
澄川地すべり	すみかわじすべり	the Sumikawa landslide	1997年5月に秋田県鹿角市で発生し、温泉施設・道路橋などに被害を発生させた地すべり。変質粘性土内にすべり面が形成された。
炭丈	すみたけ	thickness of coal, coal thickness	炭層で挟みを除いた石炭の部分だけの厚さ。炭量計算基準では、炭丈に応じて炭層を 1～3 級に区分する。
炭丈・山丈比	すみたけやまたけひ	ratio of thickness of coal to coal seam	炭層において、炭丈を山丈（炭層の厚さ）で割った値。炭層中に挟みがない場合は 1，挟みが増すと 0 に近づく。
スムーズブラスティング	すむーずぶらすていんぐ	smooth blasting	トンネル掘削面の地山をなるべく傷めずに所定の掘削形状を得ようとする発破方法。外周孔の削孔間隔を狭めて平行削孔を行い、火薬の種類にも配慮する。
スメクタイト	すめくたいと	smectite	モンモリロナイトを主体とする層状珪酸塩粘土鉱物。比重 2～3。硬度 1～2。膨潤性に富みベントナイトの主成分鉱物。
スメクタイト化	すめくたいとか	smectitized	流紋岩質凝灰岩などが弱酸性～弱アルカリ性熱水による変質・続成作用によりスメクタイトに富む岩石になること。
素焼電極	すやきでんきょく	porous pot electrode	非分極性電極の一種。素焼の陶器内の硫酸銅溶液が浸出し、溶液中の銅棒と地面の間に電位回路ができる仕組み。
スライス図	すらいすず	slice map	水平断面図のこと。
スライス法	すらいすほう	slice method	すべり破壊の安定解析法の一つで、すべり土塊をいくつかの帯片に分割し、各帯片毎のすべり力、抵抗力などから全体のすべり安全率を求める方法。
スライディングフォーム	すらいでいんぐふおーむ	sliding form	徐々に移動しながら連続的にコンクリートを打設できる型枠。サイロや立坑で使用されるが水平方向に使用できるものもある。打継ぎ目のないコンクリートを短期間に施工できる。
スライドゲート	すらいどげーと	slide gate	発電所水路の一般的な制水門として使用されている水門扉で扉体が上下に滑動する。
スライド式クラウンバー	すらいどしきくらうんばー	sliding crown bar	矢板工法で鋼製支保工のアーチ頂部を縦断方向に接続する補助部材のうち、スライドできる機構になっているもの。
スライム	すらいむ	slime	①ドロドロしたものの意。転じてボーリングの泥水と岩屑の混合物。 ②ボーリングで削孔水とともに排出される地山を切削した岩石の小片。
スライム処理	すらいむしより	slime treatment	孔底に沈積するスライムの除去作業。場所打コンクリート杭の施工では品質確保上欠くことができない。

スラグ	すらぐ	slag	金属精錬の際に分離された鉱物中の不純物で、酸化物の形をとる。石炭殻をさす言葉として用いられることもある。
スラグ骨材	すらぐこつざい	slag aggregate	金属精錬時に得られる鉱さいを骨材としたもの。JIS-A5011では、高炉スラグ粗骨材など3種が規格化。
スラグ砕砂	すらぐさいさ	slag crushed sand	熔融スラグを急冷して破砕し、粒度調整を行った細骨材。
スラグ砕石	すらぐさいせき	slag crushed stone	熔融スラグを徐冷して破砕し、粒度調整した粗骨材。
スラグ砕石コンクリート	すらぐさいせきコンクリート	slag crushed stone aggregate concrete	骨材にスラグ砕石を用いたコンクリート。
スラグセメント	すらぐせめんと	slag cement	水硬性セメントの混合セメントのうち高炉スラグを混合したセメント。
スラグテスト	すらぐてすと	slug test	帯水層の透水性、貯留特性を知るために行われる試験。
スラグ巻き込み	すらぐまきこみ	slag inclusion	溶接部において、溶接棒から熔融した金属と母材が溶け合ったものが混合した中にスラグが介在するもの。溶接金属の耐食性が低下する。
スラグ路盤	すらぐろばん	slag roadbed	路盤材料として金属精錬過程で発生するスラグを用いた鉄道用路盤。
スラスト	すらすと	thrust, arch thrust	アーチダムの基礎岩盤に作用する軸方向の圧縮力。
スラスト	すらすと	thrust	衝上断層と同義。
スラストせん断	すらすとせんだん	thrust shear	二次せん断（一次せん断面に沿う摩擦により隣接するブロック内に発生する）のうち、低角逆断層タイプのせん断をさす。
スラストブロック	すらすとぶろっく	thrust block	アーチダム本体と良好な岩盤の間に設置されるコンクリート構造物で、アーチダムからの推力をスムーズに岩盤に伝達するための整形ブロック。
スラストボーリング	すらすとぼーりんぐ	thrust boring, pipe jacking	コンクリートパイプまたは鋼パイプを前方の地盤へ押し込むために、垂直な地表面から大容量の油圧ジャッキで水平に押しこむ方法。
スラッジ	すらっじ	sludge	①液体中の懸濁汚濁物質が沈殿などにより濃縮され、泥状になったもの。 ②試錐時に岩石や地層が砕かれて生じた切粉。スライム・カッティングと同義。地質判定の試料にもなる。
スラッシュグラウチング	すらっしゅぐらうちんぐ	slush grouting	主としてフィルダムの表層基盤の地表面に見える割れ目に行われる目つぶしのためのグラウチング。

スラッシュポンプ	すらっしゅぽんぷ	slush pump	掘削中坑井内に泥水を循環させるための往復ポンプ。泥水ポンプと同義語。
スラブ	すらぶ	slab	①海洋プレートがアセノスフェアや、それ以深に沈み込んだ部分。 ②厚さに比べて面積の大きい板状の構造部材。面に垂直方向の荷重のみ考慮する。版ともいう。
スラブ軌道	すらぶきどう	concrete slab track	レールの下に枕木に代えて幅の広いコンクリートスラブを敷いて、路盤とコンクリートスラブの間に間隙調節材を注入した軌道。
スラブ内地震	すらぶないじしん		沈み込んだプレート内（スラブ内）で起きる地震。アセノスフェア以深の深さで生じるため、マグニチュードのわりに被害が小さい。津波は発生しない。
スラリー	すらりー	slurry	液性限界より高い水分を含んだ固体と液体の安定した混合物。
スラリー試料	すらりーしりょう	slurry sample	一般に、細かい固体粒子と液体が安定した状態で高濃度に混合した試料。
スラリートレンチ	すらりーとれんち	slurry trench	①幅の狭い掘削された溝の側壁を支持するため粘土スラリーで充填したもの。 ②石炭灰をスラリーとして目的地に輸送するための導流路。
スラリー爆薬	すらりーばくやく	slurry explosive	耐水性・安全性にすぐれた爆薬で、酸化剤・可燃物・鋭感剤に水約15%を加えてゲル状にした爆薬。
スラリープレパックドコンクリート	すらりーふればっくどこんくりーと	slurry prepacked concrete	特定の粒度をもつ粗骨材を型枠に詰め、その空隙に特殊なモルタルを適当な圧力で注入して造るコンクリート。
スラリーポンプ	すらりーぽんぷ	slurry pump	スラリープラントで製造した固化材スラリーを圧送するポンプ。
スラリー輸送	すらりーゆそう	slurry transportation, slurry convey	物質のパイプ輸送の一方法で物質を半流動体状にしてポンプによって圧送する方法。
スランピング	すらんぴんぐ	slumping	未固結から半固結の堆積物が、重力の作用で水底斜面を滑り落ちる現象。特徴的なスランプ構造を有する。
スランプ	すらんぷ	slump	すべり面が下に凸の弧状をしていて、後方回転を伴う動きをもつ地すべり。水底地すべりとほぼ同義に用いられることもある。
スランプ過褶曲	すらんぷかしゅうきよく	slump overfold	固結～半固結状態の堆積物が水底斜面をすべり移動することによって生じた過褶曲状の構造。
スランプコーン	すらんぷこーん	slump cone	コンクリートのコンシステンシーの試験であるスランプテストに用いる円錐台形の鉄製器具。
スランプ褶曲	すらんぷしゅうきよく	slump fold	固結～半固結状態の堆積物が水底斜面をすべり移動する運動において形成された褶曲状の構造。

スランプ層	すらんぷそう	slump bed	固結～半固結状態の堆積物が水底斜面をすべり移動して再堆積することにより形成された地層。
スランプ堆積物	すらんぷたいせきぶつ	slump deposit	固結～半固結状態の堆積物が水底斜面をすべり移動して再堆積したその堆積物。
スランプテスト	すらんぷてすと	slump test	フレッシュコンクリートの柔らかさを調べる試験。
スランプメータ	すらんぷめーた	slump meter	コンクリートのスランプをミキサの駆動モータの負荷などにより間接的に測定する装置。
スランプロス	すらんぷろす	slump loss	練り混ぜたコンクリートの硬さの経時的な変化をスランプの差で表わすもの。
ずり	ずり	muck	トンネルなどを掘削したときにでる岩石や土砂のこと。坑外に搬出し、ずり捨て場に処分される。
スリーコーンビット	すりーこーんびつと	three cone bit	ローラカッタを3個組合せたビットで、トリコーンビット、スリーカッタビットとも呼ばれる。
スリーチ	すりーち	sleech	沖積層中のシルトを示す用語で英国で使用される。
スリーブグラウチング	すりーぶぐらうちんぐ	sleeve grouting	グラウチングの注入における二重管ダブルパッカ注入工法の一つで、一定間隔にスリーブバルブを取付けた外管と先端にダブルパッカを有する内管を用いて注入する工法。崩壊しやすい砂層や礫層などに用いられる。
スリーブフラクチャリング法	すりーぶふらくちやりんぐほう	sleeve fracturing method	スリーブを介してボーリング孔壁に水圧で載荷する初期地圧測定法の一つ。亀裂が多い岩盤などに利用できる。
スリーマイル島原発事故	すりーまいるとうげんぱつじこ	Three Mile Island nuclear power plant accident (TMI)	1979年3月28日にアメリカ、ペンシルバニア州、スリーマイル島原子力発電所2号炉で発生した一次冷却水流出事故。炉心の約2/3が露出。
ずり運搬車	ずりうんばんしゃ	muck car	ずりを運搬する車両のこと。レール方式ではずり鋼車、タイヤ方式ではダンプトラックが用いられる。トンネル工事専用の重ダンプもある。
ずり応力	ずりおうりょく	grinding stress	擦られることで物質の表面に働く引張応力や圧縮応力および両者の応力。
擦り傷面（氷河の）	すりきずめん（ひょうがの）	striated surface	氷河底の岩屑や取り込まれた岩塊が、氷河の移動により基盤岩表面に付けた移動方向に平行な擦痕。
ずり処理	ずりしより	mucking	掘削ずりを坑外へ搬出して、ずり捨て場に処分するまでの一連の作業のこと。ずりは盛土材料として転用されることもある。
ずり捨て場	ずりすてば	muck deposit	ずりを廃棄する場所。工事終了後に平坦に造成して、再利用がはかれることが多い。

ずり節理	ずりせつり	shear joint	岩盤中にせん断面として発生した節理で節理面に沿って若干の変位がある。せん断節理と同義。
ずり出し	ずりだし	mucking	トンネル掘削ずりを切羽から坑外に搬出する作業のこと。トンネル工事の主要作業サイクルのひとつ。
すりつけ区間	すりつけくかん	transition area	道路、鉄道、水路などの構造物において直線部と曲線部あるいは断面形状の異なる区間などの間を滑らかに変化させるために設けられる移行区間。
スリックンサイド	すりつけんさいど	slickenside	断層運動により、断層の両側の岩盤が摩擦により磨かれてできた光沢のある面。鏡肌・鏡面と同義。
スリットカメラ	すりつとかめら	slit camera	ストリップカメラと同義。
スリット管	すりつとかん	slit pipe	坑井で使用される孔明き管の一種で、狭いスリットで微粒子を通過させ、比較的粗い粒子の流出を制止する。
スリット砂防ダム	すりつとさぼうだむ	slit sabo dam	本体にスリットを有する砂防ダム。平時は土砂を下流に排砂し、出水時は多量の土砂を堆積させる機能がある。
スリット収水管	すりつとしゅうすいかん	slit strainer	スロット収水管と同義。
スリットフォーム	すりつとふおーむ	slit form	メタルフォームのコンクリートに接する面に細いスリットを設けたもので、コンクリート中の余剰水の排出や硬化後の表面の付着を良くするために用いる。
スリップ褶曲	すりつぶしゅうきょく	slip folding	褶曲分類のうち、平行なせん断面が密に分布してすべりを生じて形成されたもの。せん断褶曲・すべり褶曲ともいう。
スリップバー	すりつぶばー	dowel bar, slip bar	コンクリートの収縮膨張を妨げないで、版に働くせん断力を伝達するような構造をもつもので、コンクリート舗装の目地の中で収縮目地や膨張目地に設置される。
スリップ面	すりつぶめん	slip plane	岩石や岩脈が変形する際に、両側の岩塊が不均一な運動をすることにより形成される面。
スリップライン解析	すりつぶらいんかいせき	slipline stability analysis	空洞周辺の地山の応力・強度から最小安全率方向を求め、この方向に沿ったすべり線群を想定し、これに区切られた地山ブロックの安全率を計算する方法。
ずり積み機	ずりつみき	muck loader	トンネル切羽で掘削ずりを運搬車に積み込むための機械。バケット式の他、ベルトコンベアによる連続積み込み機械もある。
ずりトロ	ずりとろ	muck car	レール工法でトンネルを掘削する際に、ずりを坑外に搬出するために用いられる鋼車のこと。
ずりひずみ	ずりひずみ	shear strain	せん断ひずみと同義。

ずりビン	ずりびん	muck bin	トンネル坑口付近に設けられる、ずりを坑内用のずり運搬車から坑外用のダンプトラックに積み替えるための設備。
すりへり	すりへり	abrasion	同種または異種の2個の物体を接触させたとき、摩擦によって体積の減少することをいう。
すりへり減量	すりへりげんりょう	percentage of abrasion, percentage of wear	回転するドラム中で、骨材に摩擦を与えた場合の所定の回転数における骨材のすりへり損失量。
すりへり試験	すりへりしけん	abrasion test	岩石のすりへり（磨耗）に対する抵抗の度合いを調べる試験。ロサンゼルス試験機とデバール試験機を用いる方法がある。岩石の耐久性や耐風化性がわかる。すりへり硬さ試験・摩損率試験・磨耗試験ともいう。
すりへり抵抗	すりへりていこう	abrasion resistance, attrition	骨材が摩擦により研磨され、体積が減少することに対する抵抗性能。通常、減少量の重量百分率で表す。
すりへり抵抗試験	すりへりていこうしけん	attrition test	鋼球による研磨負荷を伴わず、緩速で行なう岩石の耐磨耗性試験。
スリングラム	すりんぐらむ	slingram	電磁探査の一種。一定の間隔を保つ送・受信コイルを用いて二次電磁場の同相・離相成分を測定するループループ法による水平探査法。深度100m程度までの地下水探査や汚染土壌の探査などに用いられる。
スルースゲート	するーすげーと	sluice gate	堤防を横断する暗きょ（暗渠）の中に設けられるゲート。ひ門とも呼ばれる。またはスライドゲートと同義。
駿河トラフ	するがとらふ	Suruga trough	駿河湾頭から御前崎南東へと延びる舟状海盆。さらに南方は方向を変えて南海トラフに続く。
ずれ	ずれ	slip	断層面沿いに両側の岩盤が相対的に逆方向に向かって移動した距離。スリップ・変位ともいう。
スレーキング	すれーきんぐ	slaking	乾燥した半固結堆積物あるいは碎屑性軟岩が水分を吸収して岩石組織の結合力を失い、細片化する現象。
スレーキング試験	すれーきんぐしけん	slaking test	乾燥・湿潤の繰り返しにより生じる岩石の脆弱化、劣質化の性質を調べる試験。岩石の物理試験の一つ。
スレーキング指数	すれーきんぐしすう	slaking index	岩石の水浸による崩壊のしやすさの指標。浸水崩壊試験における水浸2時間後の形状変化の区分の数値。
スレート	すれーと	slate	粘板岩と同義。
スレートへき開（スレート劈開）	すれーとへきかい	slaty cleavage	変形作用を受けた泥質岩中に生成した細密な面状構造。層理面に平行なものや斜交するものがある。雲母・緑泥石などが平行配列してできる。
ずれへき開（ずれ劈開）	ずれへきかい	strain slip cleavage	片理面やへき開（劈開）面に平行に発達した鉱物を、小さな引き摺りを示すように曲げているへき開（劈開）。

ずれ変位	ずれへんい	slip	断層面に沿って両側の岩盤がずり動いて不連続となった距離. スリップ, 移動, 変位ともいう.
スロー・アースクエイク	すろーあーすくえいく	slow earthquake	断層がきわめてゆっくり動くことにより発生する地震. 卓越周期が数10分程度と長周期であり, 通常の地震計には記録されない. また, より平均破壊拡大速度の遅い地震をサイレント・アースクエイクと呼ぶ.
スロープ式魚道	すろーぶしきぎよど	slope way type fish way	緩勾配の長い水路式の魚道.
スロット削孔機	すろつとさっこうき	slot drilling machine	削岩機を3~4本近接して平行に並べ, スロット状の孔を空けることができる削孔機. 割岩工法で自由面を造ったり, 掘削外周にスロットを配置して振動を低減したりする用途に用いられる.
スロット収水管	すろつとしゅうすい	slot strainer	ケーシング管に幅2.5~3mmの線状の溝(スリット)を加工したもの. 井戸において, 地下水流入の目的で使用される. スリット収水管と同義.
スロット溶接	すろつとようせつ	slot welding	幅広い鉄板をとじ合わせる場合に, 細長い溝をつくり, それを埋めるように溶接するやり方.
諏訪湖南岸断層群	すわこなんがんだん	Suwakonangan fault group	活断層. 確実度 I, 活動度 A~B 級, 北西方向. 諏訪盆地の西縁に存在し, 上諏訪・下諏訪断層とともに諏訪盆地を形成した断層である.
諏訪之瀬火山	すわのせかざん	Suwanose volcano	鹿児島県トカラ列島諏訪之瀬火山にある活火山. 溶岩は輝石安山岩質である.
スワビング	すわびんぐ	swabbing	チェックバルブ付きのピストンをワイヤで孔内に挿入し, 上下運動によって孔内の液体を汲み上げること.
諏訪山断層	すわやまだんそう	Suwayama fault	活断層. 確実度 I, 活動度 B. 北東方向. 山陽新幹線六甲トンネルおよび新神戸駅の建設に伴い明らかになった断層. 北東方向で8kmの延長を持つ.
寸法効果	すんぽうこうか	scale effect	強度や他の力学特性に及ぼす岩石や岩盤その他の試料の寸法の影響.
瀬	せ	shoal	川や沿岸の浅いところ. 歩いて渡れ, 航行には危険.
世	せい	epoch	地質学的な年代区分の単位. 期より大きく, 紀より小さい. 年代層序区分の統に対応する.
静圧	せいあつ	static pressure	流体の圧力の一種で動圧に対する語. 静圧に動圧を加えたものが流体の総圧である.
斉一説	せいつせつ	uniformitarianism	地質学の基本法則の一つ. 岩石や地層は現在の自然現象と同様の過程で過去に生成したとする考え.
成因的土壌型	せいいんてきどじょうがた	genetic soil type	土壌の基本的な分類単位. 生物・気候・水文などの条件が同じ組み合わせで, 土壌の生成作用が明らかなグループ.

脆雲母	ぜいうんも	brittle mica	白雲母，黒雲母よりも脆弱で，層間陽イオンがCaで置換されている雲母の総称。
青鉛鉱	せいえんこう	linarite	$PbCu(SO_4)(OH)_2$ 。単斜晶系。硬度2.5。比重5.35。ガラス光沢濃紺青色。銅鉛鉱床の酸化体の二次鉱物として少量ながら広範囲に産出。
生化学的進化	せいかかくてきしんか	biochemical evolution	原始地球において化学反応により単純な有機物から原始生物が出現するまでの進化。化学進化ともいう。
正角円錐図法	せいかくえんすいずほう	conformal conical projection	正角図法の一つ。航法図，一般地理図用に広く用いられる。
正角円筒図法	せいかくえんとうずほう	conformal cylindrical projection	正角だけでなく航程線が常に直線で表されるため，海図の図法として用いられる。メルカートル図法参照。
正角図法	せいかくずほう	conformal projection, orthomorphic projection	等角図法と同義。
正角方位図法	せいかくほういずほう	conformal azimuthal projection	平射図法と同義語。地球面状の一点から地球に接する平面に投影して得られる図法。
静荷重	せいかじゅう	static load	静的に作用する荷重。
静岩圧	せいがんあつ	lithostatic pressure	固体岩石の質量によって，深度に応じて地球内部に存在する一種の地圧。
静岩圧系地熱貯留層	せいがんあつけいちなつちよりゅうそう	geothermal reservoir under lithostatic pressure system	火山活動と無関係な堆積盆地下に存在し，堆積圧密に伴う断熱圧縮により高压高温を保持している地熱貯留層。
静岩圧系熱水	せいがんあつけいねっすい	lithostatic pressure system hydrothermal water	大規模な堆積盆地の深層中に存在する被圧地下水が，地域熱流量によって加熱された深層熱水。
青函トンネル	せいかんとんねる	Seikan tunnel	本州と北海道を結んで津軽海峡の下に建設された鉄道海底トンネル。全長53.85km，海底部23.3km。1985年3月に本坑が貫通。1988年3月より開業。地質は新第三系中新統の堆積岩，火山砕屑岩，火山岩からなり，海底部では新たに開発されたLW注入材を用いた注入や最長2150mにも及ぶ先進ボーリングが行われた。数度にわたり大出水が発生した。
正規圧密	せいきあつみつ	normal consolidation	土の圧密試験結果のうち，圧密降伏応力 P_c を超える直線あるいは曲線部の範囲の総称。有効応力が圧密降伏応力と等しい状態。
正規圧密状態	せいきあつみつじょうたい	normally consolidated state	現在受けているよりも大きな圧密応力を受けたことのない状態。
正規圧密試料	せいきあつみつしりょう	normally consolidated sample	現在の土被り荷重による圧密が完了し，過去にもそれ以上の有効荷重が作用していない土質試料。
正規圧密土	せいきあつみつど	normally consolidated soil	圧密降伏応力 P_c と等しい有効応力 σ' を受けた状態の土。増加応力に対して塑性的（非可逆）な圧密をする。

正規圧密粘土	せいきあつみつねんど	normal consolidated clay	現在, その粘土が受けている有効応力 (土被り圧) と, その粘土の圧密降伏応力とが等しい状態の粘土.
正規圧密領域	せいきあつみつりょういき	normally consolidated region	圧密試験で得られた粘土のe-logp曲線において求められた圧密降伏応力以上の圧密応力の領域.
正規確率密度関数	せいきかくりつみつどかんすう	normal probability density function	確率変数が正規分布に従う確率密度関数のこと.
正規重力	せいきじゅうりょく	normal gravity	地球の形状を地球楕円体としたとき, 正規重力ポテンシャルと楕円体面の外向きの法線方向で決まる値.
正規浸食	せいきしんしょく	normal erosion	土壌浸食のうち, 植生に覆われているため浸食の程度がわずかなもの. 現在はほとんど用いられていない.
正規投影	せいきとうえい	normal projection	直交する二つの面に三次元物体を投影する方法.
正規分散	せいきぶんさん	normal dispersion	分散現象において, 位相速度が波長の増加関数のときに用いる.
正規分布	せいきぶんぷ	normal distribution	ガウス分布のこと. 確率変数の分布曲線が平均点で最大値をとる左右対称のベル形をなす.
正規分布曲線	せいきぶんぷきょくせん	normal distribution curve	代表的な確率分布曲線. 縦軸に確率密度, 横軸に観測値をとると, 平均値を軸に左右対称の山形の形状を示す.
正規変成相系列	せいきへんせいそうけいれつ	normal metamorphic facies series	典型的な変成岩地域の変成相配列で緑色片岩相, 緑れん石角閃岩 (緑簾石角閃岩) 相, 角閃岩相からなる配列.
正規方程式	せいきほうていしき	normal equation	未知数を最小 2 乗法で推定する際に満たすべき連立方程式のこと.
正距円錐図法	せいきょえんすいずほう	conical equidistant projection	トレミ図法と同義語. 経線は直線, 緯線は同心円弧からなる. しばしば地図帳で中緯度地域などに多く用いられる.
正距円筒図法	せいきょえんとうずほう	cylindrical equidistant projection	地図投影法の一つ. 経線は等間隔の平行直線, 緯線はこれと直交する平行直線から成る. 緯線方向にひずみがないのが特徴. 正主距円筒図法ともいう.
正距図法	せいきよずほう	equidistance projection, equal-spaced projection	地図上の全ての経線, 緯線上の距離, または特定点と任意点間の距離の縮尺が一定である図法. 等距離図法ともいう.
制御発破	せいぎよはつぱ	controlled blasting	周辺の岩盤や構造物を傷めないため, あるいは環境問題のために, 孔数・薬量・段数などを工夫し振動を弱めた発破工法.
正距方位図法	せいきよほういずほう	azimuthal equidistant projection	正距図法の一つ. 図の中心に位置する地点から目的地までの距離, 方位が正しく表される図法.

正珪岩	せいけいがん	orthoquartzite	石英が95%以上を占める砂岩の名称. 石英アレナイトまたはオルソクォーツァイトともいう.
成型爆薬	せいけいばくやく	shaped charge	爆薬で底部を凹状に成形したもので, 通常凹部に金属性内張ライニングをつける. 爆発エネルギーをある方向あるいは面に集中させることができ, 坑井ケーシングなどの切断時に使用する.
正弦曲線図法	せいげんきょくせん ずほう	sinusoidal projection	地球上の経線や緯線を投影する図法の一つで, 経線が正弦曲線となるのが特徴である.
制限勾配	せいげんこうばい	ruling grade	機関車の牽引しうる列車の重量を制限する線路の勾配.
制限水位	せいげんすい	limited water level	ダムにおいて洪水期に洪水調節容量を確保するための水位.
制限土層	せいげんどうそう	important soil layer for growth	灌漑対象土層内で水分消費に大きな役割を果たし, その層の水分状態が作物の生育に直接影響を与える土層.
正弦波圧力試験	せいげんはあつりよ くしけん	sinusoidal wave pressure test	発信ゾーンで正弦波状に圧力を変化させ, 岩盤内を透過してきた波を受信ゾーンで検知する岩盤水理試験.
制限発破工法	せいげんはつぱこう ほう	controlled blasting method	火薬の種類・使用量・発破方法・順序などを工夫することにより発破振動・騒音の低減をはかる工法.
整合	せいごう	conformity	上下の地層の堆積がきわだつた時間的不連続がなく, ほぼ連続して堆積すること. 不整合の対語.
整合へい入	せいごうへいにゅう	concordant injection	堆積岩の層理面や変成岩の片理・片麻状構造に調和的あるいは平行にマグマが貫入すること.
清越鉱山	せいこしこうざん	Seikoshi mine	静岡県土肥町の東部の第三系湯ヶ島層群および苦鉄質貫入岩中に発達した浅熱水性金銀鉱山. 持越, 清越, 天城, 湯ヶ島の四鉱床.
生痕化石	せいこんかせき	trace fossil	生物の生活現象として堆積物の上や中に残された痕跡. ただし, 生物体の化石は除く.
生砕屑物	せいさいせつぶつ	bioclast	生物骨格の破片からなる砕屑粒子や堆積物. 生砕物と同義.
生産井	せいさんせい	production well	地熱発電などで, 熱水や高温蒸気を取り出す深井戸ボーリング孔. 石油・天然ガスの生産井. 坑径は太く20cm以上であることが多い. 採取井ともいう.
生産層	せいさんそう	productive zone	海域上層で, 植物プランクトンの発生に伴い動物プランクトンも繁殖し, 生態系が循環する層をいう.
静止衛星	せいしえいせい	geosynchronous satellite, geostationary satellite	天体の回転周期と同周期で, かつ, 同じ方向に周回する衛星. 通常, 地球の静止軌道上の衛星をさす.

静止荷重	せいしかじゅう	static load	物質にかかる荷重の方向が相対的に移動や回転などをしていないときの荷重。
静止軌道	せいしきどう	geostationary orbit	地球の自転周期と衛星の回転周期とが一致している場合、地上から衛星は静止して見える。その軌道をいう。
正磁極期	せいじきょくき	normal polarity interval	過去において地球磁場の方向が現在と同じであった期間。
静止水位	せいしすい	static water level	周囲の圧力に変動が無い場合に一定水位で安定する水位。静水圧状態の時の水位。
静止土圧	せいしどあつ	earth pressure at rest	地山の水平方向の変位がない状態で、山留や擁壁に作用する水平方向の土圧。
静止土圧係数	せいしどあつけいすう	coefficient of earth pressure at rest	静止状態にある土の水平方向圧力(静止土圧)と土かぶり圧との比。K0値ともいう。
正視投影法	せいしとうえいほう	orthographic projection	結晶の投影法の一つ。結晶軸の何れかに垂直な無限遠点から見た結晶形を視線に直交する平面に投影する方法。
静止摩擦	せいしまさつ	static friction	静止状態の2物体を相対的に動かそうとするとときに働く抵抗力。
静止摩擦係数	せいしまさつけいすう	coefficient of static friction	ある物体を他の物体との接触面に沿ってすべらせようとする時に働く抵抗力の上限値。
正四面体	せいしめんたい	regular tetrahedron	外形が四面の正三角形からなる等軸(立方)晶系半面像晶族に属する結晶形態。
正射図法	せいしやずほう	orthographic projection	視点を無限遠におき地球に接する表面に投影する図法。地球の半球を表現する事ができる。直射図法ともいう。
セイシュ	せいしゆ	seiche	静振と同義。
正褶曲	せいしゅうきょく	normal fold	対称褶曲の一つで、鉛直の軸面を対称面とする褶曲。正立褶曲と同義。
正主距円筒図法	せいしゅきょえんとうずほう	cylindrical equidistant projection	正距円筒図法と同義。
正主距方位図法	せいしゅきょほういずほう	azimuthal equidistant projection	地図投影法の一つ。円錐図法の特例。
成熟	せいじゆく	maturity	風化・浸食・運搬・堆積・続成などの碎屑性堆積物の分解あるいは定着の過程で、化学的・物理的に安定な物質になる現象。

成熟土	せいじゅくど	mature soil	土壌の特徴が十分に発達した土壌. ただし, 成熟度の判断基準はあいまいである.
成熟度	せいじゅくど	maturity	原岩が分解して碎屑物となる変化, および碎屑物が堆積物として定着するまでの過程における変化の程度.
整準	せいじゅん	leveling up	測量時に整準ねじ・気泡管などの調整によって, 平板や測量機器の観測部を水平にする操作. 整置ともいう.
正常海浜	せいじょうかいひん	normal beach	沿岸に海底州の存在しない海岸. 沿岸州の発達する暴風海浜に対して用いられる.
正常型フリッシュ	せいじょうがたふりっしゅ	normal flysch	深海の乱泥流堆積物で特徴づけられるフリッシュ堆積物のうち砂岩・頁岩等量互層.
正常期	せいじょうき	normal epoch	正磁極期と同義.
星状砂丘	せいじょうさきゅう	ghourd	大規模なピラミッド状の複合砂丘. 多方向の風によって生じたと考えられる.
正常磁場	せいじょうじば	normal field	各地域にわたる広範囲の地磁気測定から得られた値を平滑化した値.
正常磁場補正	せいじょうじばほせい	normal correction	磁気探査によって得られた値には正常磁場の影響があるためその補正をすること.
正常浸食	せいじょうしんしょく	normal erosion	土壌浸食のうち, 植生に覆われているため浸食の程度がわずかなもの. 加速浸食の対語.
正常静水位	せいじょうせいすい	normal hydrostatic level	地表からの深度と同深度の水深における静水圧を正常静水圧といい, その時の地下水位を正常静水位と呼ぶ.
青色泥	せいしよくでい	blue mud	青泥 (あおどろ) と同義.
青色片岩	せいしよくへんがん	blue schist	藍閃石片岩と同義. 藍閃石質角閃石を含有する広域変成岩の片岩. 原岩は玄武岩質火成岩であることが多い.
静振	せいしん	seiche	湖, 湾, 陸棚, 島の周辺にみられる水面の固有振動. 周期は一般に数分~数十分程度.
制振	せいしん	vibration control	構造物の振動の抑制.
制振器	せいしんき	damper	地震計の振り子の自由振動を早く押さえ, また, 周期特性を平らにするための装置. 空気粘性, 渦電流, 電磁力などで制御する装置. 減衰器ともいう.

制振構造	せいしんこうぞう	vibration controlled structure	構造物の振動を抑制するための構造で、剛性・質量・減衰・抑制力の付加や形状の工夫などがある。
制振対策	せいしんたいさく	vibration control methods	振動を抑制するための対策で、空気力学的対策と構造的対策とがある
静水圧	せいすいあつ	hydrostatic pressure	静水中のある一点に作用する圧力。またはある点において、全方向から等しく同じ大きさで作用する圧力。
静水位	せいすいゐ	static water level	静水圧状態の時の水位。
制水口（孔）	せいすいこう	port, restricted orifice	サージタンクの流入・流出を制御するための口（孔）。
制水口（孔）サージタンク	せいすいこうさーじたんく	restricted-orifice surge tank	底部に流入・流出を制御するための制水口（孔）を持つサージタンク。
制水口（孔）調圧水槽	せいすいこうちようあつすいそう	restricted-orifice surge-tank	制水口（孔）サージタンクと同義。
制水口（孔）抵抗	せいすいこうていこう	head loss of restricted orifice	制水口による損失水頭。
静水頭	せいすいとう	hydrostatic head	静水圧により支えられる水柱の高さ。
制水弁	せいすいべん	sluice valve	流量の調節や遮断のため管路に設ける弁。
清水掘り法	せいすいぼりほう	blind drilling	河川水を循環流体に用いて、最小限の掘り水を補給して全量逸水状態で掘進する方法。大きい破碎帯に有効。
静水面	せいすいめん	piezometric surface	個々の帯水層における静水頭を示す面で、等ポテンシャル線（等水頭線）によって表現される。
制水門	せいすいもん	regulating gate	取水位や負荷の変動に応じて流入量を調節するため、ならびに点検補修時、導水路をしゃ断するため使用する水門。
生成温度	せいせいおんど	formation temperature	鉱物結晶が晶出しつつある時の温度で、地質温度計により推定する。鉱床の生成条件や探鉱指針などに利用。
脆性挙動	ぜいせいきょどう	brittle behavior	破壊に至るまでは弾性的に変形し、その後ひずみの増大に伴って応力が急減する挙動。常温常圧下の岩石に特徴的。
脆性指数	ぜいせいしすう	brittleness index	土の最大せん断強さ τ_f に対する残留強さ τ_r への減少割合を表す指標。 $(\tau_f - \tau_r) / \tau_f$ で定義されている。

脆性的	ぜいせいてき	brittle	物体が応力を受けたときに、小さな弾性変形（ひずみ量）で破壊を起こしやすい性質。脆さ。
脆性度	ぜいせいど	brittleness	一軸圧縮強さ q_u と引張り強さ st との比 $Br=q_u/st$ を脆性度と呼ぶ。
脆性破壊	ぜいせいはい	brittle fracture	物質がひずみの集中・衝撃・熱などにより、肉眼で確認できるような変形をほとんど起こさず突発的に破壊する現象。
正積円錐図法	せいせきえんすいずほう	conical equal-area projection	等積円錐図法と同義。
正積円筒図法	せいせきえんとうずほう	cylindrical equal-area projection	正積図法のうち、円筒投影を用いたもので、経線と緯線とを直交させ、各部分の面積がどこでも等しく表せるようにした図法。高緯度ほどひずみが著しくなる。等積円柱図法と同義。
正積図法	せいせきずほう	equivalent projection, equal-area projection	地図上の各部分における面積の割合が地球上と等しくなるように表現する図法。等積図法ともいう。
正積方位図法	せいせきほういずほう	azimuthal equal-area projection	経線は一点から等角度で放射する直線、緯線は同点からの距離を半径とする同心円弧。大陸図などに用いられる。
青石綿	せいせきめん	crocidolite	リーベックセン石やマグネシオリーベックセン石の繊維状に成長したもので変成岩中に産する。良質の石綿として利用。
生石灰	せいせっかい	quicklime	酸化カルシウムの慣用名。カーバイト・セメントなどの原料、モルタルなどの建築材料、酸性土壌改良剤などに利用。
生石灰杭工法	せいせっかいくいこうほう	quicklime pile method	軟弱地盤中に削孔した孔中に生石灰を充填し、生石灰と地盤中の水分の反応を利用して地盤を改良する工法。
精選	せいせん	cleaning	一つの選別系統において、粗選精鉱をさらに品位を高めるために再処理する第2段の選別過程。
青閃石	せいせんせき	crossite	$Na_2(Mg, Fe)_3(Al, Fe^{3+})_2Si_8O_{22}(OH)_2$ 。単斜晶系。硬度5～6。比重3.1～3.3。アルカリ角閃石の藍閃石～曹閃石グループ。藍閃石片岩相の広域変成岩に産出する。クロス閃石ともいう。
生相	せいそう	biofacies	化石相と同義。
成層	せいそう	stratification	層理と同義。地層中の砂・泥などの粒径の異なる粒子や鉱物粒子、岩石片などの層状配列。
生層位学	せいそういがく	biostratigraphy	生層序学と同義。生年代学ともいう。
成層火山	せいそうかざん	stratovolcano	山頂火口から溶岩の流出と火山砕屑物の放出が交互に行われ、それらが積み重なって生じた複成火山の一種。

成層型	せいそうがた	stratification type	気象条件や流入・流出量によって決まる湖沼・貯水池などの水温成層の型。気象，流出入，中間，混合の各型に分類。
成層岩	せいそうがん	stratified rock	堆積岩と同義。
成層圏	せいそうけん	stratosphere	大気圏のうち対流圏の上位に位置し，中間圏の下位の領域。対流圏に比較して非常に循環に乏しい。
成層鉱床	せいそうこうしょう	sedimentary deposit	堆積岩に挟在されて層状を呈する鉱床。Fe鉱床・Mn鉱床・岩塩鉱床・砂鉄床など。鉱層ともいう。
成層構造	せいそうこうぞう	stratified structure	堆積構造と同義。堆積過程で形成された堆積物中の構造。級化層理などの初生的内部構造と流痕などの後生的外部構造がある。
生層序	せいそうじょ	biostratigraphy	化石を基に地層群を区分あるいは累重関係を決定すること。化石層序とも呼び，相対年代区分として利用される。
生層序学	せいそうじょがく	biostratigraphy	化石を基に地層群を区分し，地域間で地層を対比することによって，地質年代の新旧を決めることを目的とする層位学。生年代学ともいう。
生層序学的時代	せいそうじょがくてきじだい	biostratigraphic age	生層序学を用いて定められた相対的時代。
生層序区分	せいそうじょくぶん	biostratigraphic classification	化石の初出現や消滅などの生層序学的な境界や化石・化石群集などの特徴によって行う地層区分。
生層序単位	せいそうじょたんい	biostratigraphic unit	生層序学的方法から求めた地層の単位。時代区分の基本単位として帯が最小単位で順次，階・統・系・界に区分する。
生層序単元	せいそうじょたんげん	biostratigraphic unit	生層序単位と同義。
成層面	せいそうめん	bedding plane	層理面と同義。地層面ともいう。
成層流	せいそうりゅう	stratified flow	層流と同義。
生帯	せいたい	biozone	含有化石によって区分され，地層の範囲を示す生層序学的分類の基本的単位。生層序帯ともいう。
生態型	せいたいがた	ecotype	同一種の生物が異なる環境に適応，分化した結果生じる形質や適応性が遺伝的に固定した型。
生体群集	せいたいぐんしゅう	life assemblage	ある地域の生物の自然集団。化石では，全構成種同一生体群集かつ原生息環境内保存の場合に限ることがある。

生態系	せいたいけい	ecosystem	生物群集とそれらを取り巻く環境とからなる，安定な物質循環系．
成帯土壌	せいたいどじょう	zonal soil	気候および生物の影響を反映した土壌分類体系上の大区分．
成帯内性土壌	せいたいないせいどじょう	intrazonal soil	気候や植生よりも，岩石や水分状態の影響を強く受けた土壌．
精炭	せいたん	clean coal	選炭の結果得られる高品位側の産物．選鉱の場合の精鉱に対応する語．“高品炭”として市場に出される．
静弾性係数	せいだんせいけいすう	static modulus of elasticity	速い繰り返しなどでなく，準静的に応力を加えたときの変形を測定して求めた弾性係数．
正断層	せいだんそう	normal fault	断層の分類において，鉛直断面においてみかけ上上盤側が下方へずれている断層．
正断層崖	せいだんそうがい	normal fault-scarp	断層崖のうち，正断層の変位によって生成したもの．
正断層地溝	せいだんそうちこう	graben, normal fault-graben	地溝のうち，両側を正断層によって画されているもの．
静地圧	せいちあつ	geostatic pressure	地中のある位置において，その上にある土または岩石の重量によって生ずる鉛直圧力．
生地化学探鉱	せいちかがくたんこう	biogeochemical prospecting	鉱床の金属成分が付近の植物中に濃縮されていることがあるため，植物を収集分析し鉱床の存在を調べる探査．
正地向斜	せいちこうしゃ	orthogeosyncline	大陸と大洋地殻の間の地向斜で，火山帯と非火山帯を含む．H. Stilleの説(1936)．地向斜による造山論は現在あまり議論されていない．
正長岩	せいちょうがん	orthoclasite	広義には正長石を含む岩石の総称．狭義には正長石を90%以上含む脈岩．
正長石	せいちょうせき	orthoclase	Or:KAlSi ₃ O ₈ とAb:NaAlSi ₃ O ₈ を端成分とする固溶体．単斜晶系．硬度6.0～6.5．比重2.56．組成範囲がOr100～80の長石．
成長断層	せいちょうだんそう	growth fault	堆積時に長期にわたり活動的で，断層の両側の堆積作用に規制を与えたと考えられる断層．
静定構造	せいていこうぞう	statically determinate structure	安定な架構で，その支点反力や部材応力が全て力の釣り合い条件のみから定めることのできる構造物．
静的圧密解析	せいてきあつみつかいせき	consolidation static analysis	土が静的な荷重を受けて発生する沈下量などの解析．

静的応力	せいてきおうりょく	static stress	自重などのように、荷重速度と繰り返しの二要素が含まれない静荷重による応力。
静的解析	せいてきかいせき	static analysis	「荷重速度」と「繰り返し」の2要素が含まれない解析。例えば地震動は一定の地震慣性力として扱われる。
静的荷重	せいてきかじゅう	static load	時間的経過の長短にかかわらず値の変化しない荷重。
静的貫入試験	せいてきかんにゅうしけん	static penetration test	地盤の性状を調査するため、抵抗体を地盤中に静的に貫入した時の抵抗などを求める原位置試験。
静的貫入抵抗	せいてきかんにゅうていこう	static point resistance	各種の静的貫入試験から求められる地盤の抵抗力。
静的コーン貫入試験	せいてきこーんかんにゅうしけん	static cone penetration test	オランダ式二重管コーン貫入試験など、各種のコーンを用いて静的に地盤の貫入抵抗を測定する原位置試験。
静的载荷試験	せいてきさいかしけん	static load test	地盤などに载荷して、静荷重による変形・破壊挙動を調べる試験。
静的サウンディング	せいてきさうんでいんぐ	static sounding	サウンディングの一種。抵抗体を地盤に一定速度で挿入させる方法。
静的地震力	せいてきじしんりょく	static seismic force	建設地点の地盤の良否、付近の地震活動度から決められた設計震度を構造物の重量に乗じた値を地震力とするもの。地震時の静的解析に用いる。
静的締固め	せいてきしめかため	static compaction	土を静的な荷重で圧縮して締固めること。
静的震度設計法	せいてきしんどせつけいほう	static design method with seismic coefficient, static seismic design	動的地震荷重をそれと等価な静的荷重に置き換えて、構造物の耐震設計を行う手法。
静的設計	せいてきせつけい	static seismic design, pseudo-dynamic design	耐震設計の一つで構造物や機器に地震力を静的に作用させて設計を行うこと。
静的弾性定数	せいてきだんせいていすう	static elastic modulus, static modulus of elasticity	弾性領域において静的応力下で生じる応力とひずみの比を示す比例定数。接線弾性係数など数種のものがある。
静的調査試験	せいてきちょうさしけん	static probing test	オランダ式二重管コーン貫入試験などの原位置で、静的に地盤の性状を調査する試験。
静的土圧計	せいてきどあつけい	static earth pressure gauge, static earth pressure cell	静的土圧を計測の対象とする土圧計。定常状態やそれに近い状態の土圧を測る点で、動的土圧計と区分される。
静的動的貫入抵抗比	せいてきどうてきかんにゅうていこうひ	rate of static value to dynamic value in penetration test	ダッチコーンによる静的貫入抵抗 q_c と、標準貫入試験によるN値(動的貫入抵抗)との比(q_c/N)。

静的破碎工法	せいてきはさいこうほう	static crushing method	発破工法によって生じる振動・騒音を発生させないように岩盤などを破碎する方法。膨張性破碎材、油圧クサビ、ガス圧や水圧などを利用。
静的破碎剤	せいてきはさいざい	static crushing agent	削岩機で削孔した孔内に挿入し、化学反応による体積膨張で岩石やコンクリートを破碎する薬剤。騒音や振動が制限される場合に用いられる。静的破碎材を使用した破碎工法を、膨張破碎工法 (expansion crush method) という。
制動荷重	せいどうかじゅう	braking load	自動車や列車の制動または始動などによって構造物に伝えられる荷重。
清内路峠断層	せいないじとうげだんそう	Seinaijitoge fault	活断層。確実度Ⅰ～Ⅱ，活動度B級，南北方向。長野県木曾郡上松村東方から下伊那郡清内路村西方に至る延長44 km。
西南日本	せいなんにほん	Southwest Japan	日本列島の本州区のうち、糸魚川－静岡構造線以西とされてきたが、内帯・外帯とも関東山地以東につながることから近年は棚倉構造線以西とされている。
西南日本外帯	せいなんにほんがいたい	outer zone of Southwest Japan	西南日本の中央構造線の南で、帯状構造が顕著。その北は西南日本内帯という。
西南日本弧	せいなんにほんこ	Southwest Honshu arc	本州弧を二つに分割した時、東北日本弧に対する呼び名。
西南日本内帯	せいなんにほんないたい	inner zone of Southwest Japan	西南日本の中央構造線より北側。飛騨外縁帯，秋吉帯，三郡変成帯，舞鶴帯，超丹波帯，上越帯，美濃－丹波－足尾帯など。
年代学	せいねんだいがく	biostratigraphy	生層序学と同義。生層位学ともいう。
正八面体	せいはちめんたい	regular octahedron	等軸晶系に属する結晶形態。等しい大きさの正三角形八つを組み合わせた形。天然のダイヤモンドが典型。
正八面体垂直応力	せいはちめんたいすいちよくおうりよく	octahedral normal stress	三つの主応力に等しく傾いた面をもつ正八面体において、各面に働く垂直応力。
正八面体せん断応力	せいはちめんたいせんだんおうりよく	octahedral shear stress	三つの主応力に等しく傾いた面をもつ正八面体において、各面に働くせん断応力。
斉発	せいはつ	simultaneous shooting	地震探査において、複数の孔内に装薬した爆薬を同時に発破すること。ノイズ抑制と信号強調の効果がある。
生物化学的酸素要求量	せいぶつかがくてきさんそようきゅうりょう	biochemical oxygen demand	水中の生物化学的に分解されうる有機物量の目安。一定時間内に微生物により分解されるために消費される溶存酸素量で示し、水の汚染の程度を表す代表的な指標。BODという。
生物岩	せいぶつがん	organic rock	生物の遺体あるいは生物の分泌物を起源とする物質からなる堆積岩、石灰岩、石炭など。
生物岩堆積成鉱床	せいぶつがんだいせきせいこうしょう	organic-sedimentary deposit	生物起源あるいは生物の作用によって生じた鉱床。石灰岩・石炭・石油や一部の鉄鉱床もこれに属する。

生物群集	せいぶつぐんしゅう	biotic community	ある地域内で生態的関連を保って生活しているすべての生物の個体群。群集ともいう。化石の場合は古生物群集。
生物圏	せいぶつけん	biosphere	地球上で生物が生活している範囲。
生物碎屑岩	せいぶつさいせつがん	bioclastic rock	生物の活動によって破砕された碎屑岩。生物の残骸や破片からなる石灰岩も含む。
生物地理区	せいぶつちりく	biogeographic region	特徴的な植物相や動物相の分布から、それぞれの特徴をもった地域に分類した際の各区域。
生物的堆積岩	せいぶつてきたいせきがん	organic sedimentary rocks	生物の働きで海洋・湖沼に堆積したもの。石灰岩・チャート・リン酸塩岩・石炭などがある。
生物風化	せいぶつふうか	biological weathering	風化作用のうち、生物の活動によって引き起こされるもの。
正片麻岩	せいへんまがん	orthogneiss	花崗岩質岩石に由来する片麻岩。堆積岩起源のものは準片麻岩(paragneiss)と呼ばれる。
正方晶系	せいほうしょうけい	tetragonal system	結晶を形態から分類した7結晶系の一つ。3本の結晶軸が互いに直交し、軸率 $a:b:c=1:1:c$ のもの。
正マグマ期	せいまぐまき	orthomagmatic stage	典型的なマグマから珪酸塩鉱物が晶出する主要な時期で、マグマの90%が結晶化する。
正マグマ鉱床	せいまぐまこうしょう	orthomagmatic deposit	正マグマ期に、マグマの固化に伴い火成岩中に磁鉄鉱・クロム鉄鉱などの鉄鉱石が晶出・濃集して生じる鉱床。
精密水準測量	せいみつすいじゅんそくりょう	precise leveling	高精度の水準測量のことで精密レベル、精密水準標尺を用いて行われる。
生命の起源	せいめいのきげん	origin of life	生命が地球上にどのようにして発生したのかということのおこり。A. I. Oparin(1936)が理論を体系化。
セイラーの石炭分類法	せいらいのせきたんぶんるいほう	Seyler's classification of coal	れき(瀝)青炭と無煙炭の分類法。炭素量を横列に主要なグループまたは種として、水素量を縦列に属として分類。
正立褶曲	せいりつしゅうきょく	upright fold	対称褶曲のうち、褶曲軸面が鉛直に配列している形態をなすもの。
整粒骨材	せいりゅうこつざい	aggregate of adjusted grading	同程度の粒径となるようにふるい分けされた骨材。
青緑石	せいりよくせき	glaucochroite	$CaMnSiO_4$ 。斜方晶系。硬度6。比重3.48。青緑・白色、半透明。名はギリシャ語の緑色に由来。灰マンガンかんらん石(灰マンガン橄欖石)ともいう。

正累帯構造	せいのいたいこうぞう	normal zoning	鉱物の中心から周辺に向かい成分が単調に変化する構造。マグマの冷却過程や変成時の温度上昇過程などで形成。
正礫岩	せいれきがん	orthoconglomerate	基質は少量(25%以下)で、硬い礫または鉱物が点接触した構造をなす礫岩。水流の早い場所に堆積する。
ゼータ電位	ぜーたでんい	ζ-potential	固体と液体の間に生じる界面動電現象に働く電位で界面動電位ともいう。
セオドライド	せおどらいど	theodolite	水平角と高度角を測る測量機械で、マイクロ方式の目盛盤を光学的な拡大機構によって読取る方式のもの。
ゼオライト	ぜおらいと	zeolite	沸石と同義。
世界参照座標系	せかいさんしょうざひょうけい	Worldwide Reference System, WRS	地球観測衛星による観測画像と地球表面の位置的な対応関係を定義したもの。データ購入の際などはこれで指定。
世界時	せかいじ	universal time	経度0度の子午線上での平均太陽時。経度0度の太陽時に12時間加えただけのUT0や、補正を加えたT1, UT2がある。
世界自然災害図	せかいしぜんさいがいず	world atlas of natural disaster	地震、火山、台風、洪水などの自然災害の世界的な分布を示す図。自然災害軽減を目指して日本が提案した。
世界静止気象衛星網	せかいせいしきしゅうえいせいもう	World Geostational Meteorological Satellites Networks	1963年世界気象会議で構想された世界気象監視計画による静止気象衛星を用いた全球規模の気象観測網。
世界測地系	せかいそくちけい	World geodetic system, WGS	地球規模での測量成果と整合をとる為に2002年4月より施行された測量法に基づく測地系。楕円体定義はGRS80、座標系はITRF94を用いている。日本測地系2000とも呼ばれる。WGS84とほとんど同じ値。
世界標準地震計	せかいひょうじゅんじしんけい	worldwide standard seismograph	世界標準地震計観測網で使用することを目的としたプレスユース型およびベニオフ型地震計。
世界標準地震計観測網	せかいひょうじゅんじしんけいかんそくもう	Worldwide Standard Seismograph Network	WWSN。共通仕様の地震計を用いた世界的規模での地震観測網。
堰	せき	weir, barrage, gate-structure dam	ダムおよび堤防を除く、河川の流水制御の目的で設置される河川横断構造物。
堰上げダム	せきあげだむ	barrage de relevation du plan deau (仏)	河川断面内に河川の自然水位を一定に保つために流水をせき上げることを目的として築造される堰。
堰上げ背水	せきあげはいすい	back water	開水路が阻害を受けて、下流側に水深が増大する不等流。河川の河口部の流れに多い。
赤緯	せきい	declination	天球の赤道面を基準面とした赤道座標の緯度。

堰板	せきいた	poling board	①コンクリート型枠のうちコンクリートと直接接する板材。 ②土留め工事で土が崩れないようにあてる板。
石英	せきえい	quartz	シリカ鉱物SiO ₂ の一種。六方晶系。硬度7。比重2.65。珪長質火成岩・変成岩・堆積岩・鉱脈などに普遍的に分布。
石英安山岩	せきえいあんざんがん	dacite	花崗閃緑岩と同じ化学組成をもつ火山岩で、珪酸分は60%以上を示す。
石英岩	せきえいがん	silexite	60～100%の初生石英からなる火成岩。火成石英ともいう。
石英結晶含有率	せきえいけっしょうがんゆうりつ	equivalent quartz content	岩石のある面において石英結晶が占める面積割合。トンネルボーリングマシンによる掘削の難易度を評価するための岩石の硬さの指標として用いることがある。
石英玄武岩	せきえいげんぶがん	quartz basalt	石英の斑晶を含む玄武岩。石英は花崗質岩を捕獲し同化した成分に起源をもつとされている。
石英砂	せきえいさ	quartzose sand	石英を含む岩石（花崗岩など）の風化・分解により生成された天然の石英質未固結砂。珪砂は石英砂の総称。
石英砂岩	せきえいさがん	quartz arenite	砂岩の分類名。碎屑性基質の量が10～15%と少なく、石英粒子が95%以上。オルソ珪岩・石英アレナイトはほぼ同義。
石英質	せきえいしつ	quartzose	砂岩の分類において石英が主要構成粒子のうち、75～95%を占めるもの。
石英質砂岩	せきえいしつさがん	quartzose sandstone	砂岩の分類名。碎屑性基質の量が10～15%と少なく、石英粒子が主要構成粒子の75～95%。
石英閃長岩	せきえいせんちょうがん	quartz syenite	アルカリ閃長岩の一種。ノルドマーカイトとも。粗粒完晶質岩。アルカリ長石が主成分。石英・黒雲母・アルカリ角閃石などを含むことがある。
石英閃緑岩	せきえいせんりょくがん	quartz diorite	斜長石、石英、角閃石を主要鉱物とする完晶質で粗粒の深成岩。
石英粗面岩	せきえいそめんがん	liparite	流紋岩と同義。以前、石英粗面岩という語が使用された。
石英長石質	せきえいちょうせきしつ	quartzo-feldspathic	石英・長石を主体とするの意。主に変成岩類の鉱物組成を表す際、「石英－長石質片麻岩」のように使用。
石英斑岩	せきえいはんがん	quartz porphyry	斑状組織を有する珪長質火成岩で、石英、アルカリ長石などを斑晶としていることが多い。
石英はんれい岩 (石英斑糲岩)	せきえいはんれいがん	quartz gabbro	国際地学連合(1973)の分類では石英の容量比が5～20%、全長石中の斜長石(An>50%)が90%以上の粗粒完晶質火成岩。

石英ひん岩	せきえいひんがん	quartz porphyrite	花崗閃緑岩質の組成を有する斑状の半深成岩，斑晶として石英・斜長石・黒雲母・角閃石または輝石を含む。
石英片岩	せきえいへんがん	quartz schist	珪質な結晶片岩で，多量の石英を含む．源岩はチャートや他の石英質岩類．
石英脈	せきえいみやく	quartz vein	シリカを含む溶液が割れ目を通過し，石英結晶で割れ目が充填されたもの．
石英モンゾニ岩	せきえいもんぞにがん	quartz monzonite	酸性深成岩の一つで，石英を含み，カリ長石と斜長石の量比がほぼ等しいもの．
石英粒子表面構造法	せきえいりゅうしひょうめんこうぞうほう	analysis by surface textures of quartz	断層内物質中の石英粒子の表面構造を利用して断層活動年代の推定を行う方法．
石英レータイト	せきえいれーたいと	quartz latite	石英・苦鉄質鉱物を含み，ほぼ等量のアルカリ長石と斜長石に富む火山岩．
赤黄色土	せきおうしょくど	red-yellow soil	湿潤亜熱帯に分布する土壌で，腐植に乏しいA層とレンベ化作用が働いた赤褐～黄色のB・C層からなる．
赤黄色ポドゾル性土	せきおうしょくぼどぞるせいど	red-yellow podzolic soil	アメリカ旧土壌分類体系の大土壌群（土壌型）の一種．ポドゾル化作用を受けた透水性のよい酸性土壌．
石塊堰堤	せきかいえんてい	rockfill dam	岩石堰堤と同じく，ロックフィルダムとほぼ同義語．
赤外線	せきがいせん	infrared radiation	可視光線の赤色端外側のおよそ0.8 μ m～1mmの波長範囲の電磁波．熱作用，写真作用，蛍光作用，光電作用を持つ．
赤外線映像	せきがいせんえいぞう	infrared imagery	人間の可視光より波長の長い赤外領域の電磁波によって得られた画像または映像．
赤外線吸収	せきがいせんきゅうしゅう	infrared absorption	赤外線領域にみられる物質の吸収．吸収領域は各物質に固有であることから，分析や同定に使用される．
赤外線吸収スペクトル	せきがいせんきゅうしゅうすpektoru	infrared absorption spectrum	鉱物などの物質に赤外線を照射した場合に，その組成・水の結合様式などに応じて吸収される特定の波数（スペクトル）．
赤外線吸収スペクトル分析	せきがいせんきゅうしゅうすpektoruぶんせき	infrared spectrophotometry	鉱物などの物質に赤外線を照射し，吸収されるスペクトルを測定して物質の組成や結合状態を調べる分析法．
赤外線写真	せきがいせんしゃしん	infrared photography	赤外線フィルムと赤色フィルタを用いて撮影された白黒写真で，主に植生や水系の判読に利用される．
赤外線スキャナ	せきがいせんすきゃな	infrared scanner	赤外線領域の電磁波（0.7～1000 μ m）の検知能力をもち，赤外線画像を取得するための走査型リモートセンサ．

赤外線調査法	せきがいせんちょうさほう	infrared ray survey	地表面より放射される赤外線輻射を広範囲に亘って空中から測定し、地下の温度分布を推定する地熱探査法。
赤外線熱映像	せきがいせんねつえいぞう	infrared thermal imagery	主として空中から地表面が放射する赤外線を検知し、その温度分布を映像化したもの。
赤外線分光計	せきがいせんぶんこうけい	infrared spectrometer	赤外線領域の電磁波を波長帯別に分けるための装置の総称。マイケルソン干渉計（フーリエ分光計）などがある。
赤外線放射温度計	せきがいせんほうしゃおんどけい	infrared thermometer	物体温度の遠隔測定に用いられる温度計で、赤外線領域の放射エネルギーの大きさから物体の温度を測定する。
赤外分光光度計	せきがいぶんこうこうどけい	infrared spectro photometer	赤外線領域の電磁波を分光して、波長別放射強度を測定する装置。分光計、光電変換素子などから構成される。
赤外放射	せきがいほうしゃ	infrared radiation	地球の大地、大気、雲などから放射される赤外線。長波放射ともいう。
石塊舗装	せきかいほそう	stone-block pavement	堅硬な岩石を一定の大きさの石塊に整形して路盤上に敷き並べモルタルや砂で目地を詰めた舗装。
石化作用	せきかさよう	lithification	堆積物が機械的、化学的作用を受けて、硬質な岩石へと変化する作用。
赤褐色土	せきかつしょくど	reddish brown soil	温～亜熱帯の乾燥～半乾燥地域に分布する成帯性土壌。表層～下層で赤褐～赤、最下層は淡赤を呈す。
赤褐色ラテライト性土	せきかつしょくらてらいとせいど	reddish brown lateritic soil	湿潤温帯～亜熱帯に分布する成帯性土壌。漂白層が未発達でB層が暗赤褐色。
関ヶ原断層	せきがはらだんそう	Sekigahara fault	活断層。確実度Ⅰ～Ⅱ，活動度A～B級，西北西方向。大垣市の西方に位置し，長さ約17km。
石材	せきざい	building stone	原材あるいは加工して建設工業・製造工業・美術工芸に使われる岩石。鉱業統計では切石・間知石などの4種に分類。
積載河川	せきさいかせん	superposed river, superimposed river	基盤の地質構造とは無関係に，上位の地層の堆積面や浸食平坦面の傾斜などに対して必然的に生じた河川。
積載谷	せきさいこく	superposed valley, superimposed valley	積載河川と同義。
石材採掘法	せきざいさいくつほう	quarrying method of building stones	ほとんど露天で，玉石の採掘，傾斜採掘法，階段採掘法，一部地下掘式（ピット式）の採掘がある。
石材産地	せきざいさんち	quarries of building stones	わが国には至るところにあり，「みかげ石産地」を例にあげると，六甲山地をはじめとする瀬戸内海沿岸，阿武隈山系，加波山系などがある。

積載重量トン	せきさいじゅうりょうとん	dead-weight tonnage	積載できる貨物の量をトンで表した数字で、船舶などの大きさを表す示標の一つとして用いられる。
積算温度	せきさんおんど	cumulative temperature	一定期間における気温や地温などの和。
積算温度方式	せきさんおんどほうしき	cumulative temperature method	配合強度に対応する水セメント比を積算温度による補正係数を求めて定める方式。
積算発熱量	せきさんはつねつりょう	cumulation of heat amount by cement water reaction	セメントの水和反応に伴うセメントの単位重量当りの発熱積算量。Kcal/kgで表す。
せき式発電所	せきしきはつでんしよ	barrage power station	流水をせき止めるせき（堰）の落差を利用して発電を行う水力発電所。
石質	せきしつ	lithic	非晶質に対する結晶質，多孔質に対する緻密，鉱物粒に対する岩石の破片，であることを意味する形容詞。
石質隕石	せきしついでんせき	stony meteorites	珪酸塩鉱物を主体とする隕石。かんらん石（橄欖石）・輝石・斜長石を主とし，組成は超苦鉄質岩に似る。
石質凝灰岩	せきしつぎょうかいがん	lithic tuff	噴出時に固結した溶岩片を多く含む凝灰岩。
石質グレイワック	せきしつぐれいわっけ	lithic graywacke	砂岩の分類名。用法の混乱から現在は石質ワッケ（基質>15%，主要構成粒子は石英<75%，岩片>長石粒）の名が一般的。
石質砂岩	せきしつさがん	lithic sandstone	砂岩の分類名。基質<15%，主要構成粒子は石英が75%以下で，長石粒よりも岩片が多いもの。
石筍	せきじゅん	stalagmite	石灰洞において，落下する地下水から晶出，洞底から上方に成長する沈殿物。
赤色アース	せきしよくあーす	red earth	熱～亜熱帯の湿潤気候に分布する赤色土壌の中で，珪酸が溶脱し脆く砕けやすい土壌。
赤色栗色土	せきしよくくりいろど	reddish chestnut soil	温帯の半乾燥草原に分布する成帯性土壌。B層に粘土が多く，下位に炭酸カルシウム集積層。
赤色砂漠土	せきしよくさばくど	red desert soil	温帯から熱帯の乾燥地に分布する赤褐色の土壌。高温のため風化が進み赤色を呈す。
赤色層	せきしよくそう	red bed	酸化鉄のため赤色の砂岩や泥岩，希に石灰岩などの堆積岩。大気中で酸化したもの。
赤色土	せきしよくど	red soil	湿潤亜熱帯での成帯土壌の一つで，腐植が少なく，酸化鉄により強く赤みを帯びており，酸性を示す。

赤色粘土	せきしょくねんど	red clay	赤褐色細粒の外洋性堆積物として深海底に広く分布し、有機物含量は30%以下。堆積速度は1,000年に数mm程度。
赤色風化殻	せきしょくふうかかく	red weathering crust	風化作用が深部まで及んで形成された強い酸性と低珪ばん比 (SiO ₂ /Al ₂ O ₃) で特徴づけられる風化物。一般に、赤色系統の色調が強い。
赤色プレーリー土	せきしょくふれーりーど	reddish prairie soil	半湿潤地域の草原に分布する成帯性土壌。塩基性母材上に生成する。
赤色まさ	せきしょくまさ	red masa	花崗岩が深部まで風化し粗鬆になった部分。色は酸化鉄の生成による。温暖な地質時代の産物とされる。
潟成層	せきせいそう	lagoonal sediments	潟の堆積層。潟では一般に水流が弱いので砂層を挟む生物擾乱を受けた泥質堆積物が主体となる。
積成盆地	せきせいぼんち	sedimentary basin	堆積盆と同義。
積雪標	せきせつひょう	snow-gauge	積雪の深さを観測するため地表に設置された標尺。
積層熱式工法	せきそうねつきこうほう	hot asphalt covering	ブローンアスファルトを高温 (240℃以上) に加熱して軟らかくしたものを積層する防水工法。
積層平打ち方式	せきそうひらうちほうしき	multi-layer casting system	同じベースプレート上で、剥離シートをはさみながら数枚のPCパネルを製造する方式。面精度は悪くなる。
石炭	せきたん	coal	植物が埋没し、その後の続成作用によって可燃性の炭質岩となったもの。
石炭液化	せきたんえきか	liquefaction of coal	石炭を高圧で熱分解し水素を加えるなどして、石油に似た液体炭化水素を作る方法。
石炭科学	せきたんかがく	anthracology, coal science	石炭の性状・成因・構造 (組織や物理・化学的) ・反応などに関する研究分野の総称。
石炭化作用	せきたんかさよう	coalification	堆積・埋没した植物が、圧力・熱や化学的作用により成分中の炭素の割合を増し、石炭に変質していく作用。
石炭ガス化	せきたんがすか	gasification of coal	石炭をコークス炉などで高温で乾留することにより、水素・メタン・一酸化炭素などが主成分の石炭ガスを作る方法。
石炭化度	せきたんかど	degree of coalification	褐炭、れき青 (瀝青) 炭、無煙炭の順に石炭化度が進む。指標には輝度・炭素量・燃料比・発熱量・酸素量などを用いる。
石炭殻	せきたんがら	coal cinder	石炭やコークスを燃焼させた際に発生する燃えかすで軽量骨材として用いる。

石炭岩石学	せきたんがんせきがく	coal petrology	石炭組織学と同義.
石炭乾留	せきたんかんりゅう	coal distillation	石炭を空気と遮断して加熱, 熱分解, 留出物を冷却精製, ガス・タールを分離してコークスを得る操作.
石炭紀	せきたんき	Carboniferous (period)	古生代のデボン紀に次ぐ5番目の地質時代. 前期・後期に区分される. 英国に発達する石炭紀後期の夾炭層に由来.
石炭系	せきたんけい	Carboniferous (system)	古生代石炭紀に形成された地層・岩体. 日本では秋吉などのペルム系も含めた石灰岩が発達.
石炭資源	せきたんしげん	coal resources	一次エネルギー源・石炭化学原料として利用. 全世界に亘って分布. 褐炭・亜瀝青炭・瀝青炭・無煙炭に大別.
石炭組織学	せきたんそしきがく	coal petrology	石炭の成因・組織成分・顕微鏡的構成単位 (マセラル) の形態・物理化学的特性などを研究する学問. 石炭岩石学ともいう.
石炭組織成分	せきたんそしきせいぶん	microlithotype of coal	石炭の顕微鏡下での構成単位体 (マセラル) の組み合わせ. ビトリット・クラリットなど7タイプがある.
石炭地質学	せきたんちしつがく	coal geology	石炭に関する地質学を基盤とする研究分野の総称. 構造地質学・層序学・古生物学・物理探査の地質学的解釈などを含む.
石炭の活性組織成分	せきたんのかっせいそしきせいぶん	reactives content of coal	石炭乾留の際軟化溶解するマセラル (石炭の微細組織成分の単位体) で, ビトリニット・エクジニットがある.
石炭の分類法	せきたんのぶんるいほう	classification of coal	石炭の用途・工業分析や元素分析の結果・発熱量・粘結度などを基準にとる石炭化度による分類.
石炭灰	せきたんばい	coal ash	石炭やコークスを燃焼させた際に発生する灰. 軽量骨材など種々の有効利用も進められている.
石炭分析	せきたんぶんせき	coal analysis	主要元素を定量する石炭元素分析と固定炭素量を求める石炭工業分析があり, 炭種・石炭化度の指標となる.
石炭分類法	せきたんぶんるいほう	classification of Japanese coal	日本標準規格 (J I S M1002) に定めた発熱量・燃料比・粘結性などによる石炭分類法.
石柱	せきちゅう	column	鍾乳石と石筍とが接合し, 柱状を呈するようになったもの.
石鉄隕石	せきてついでんせき	stony-iron meteorites	ニッケル鉄と珪酸塩鉱物がほぼ等量の隕石で, 珪酸塩としてかんらん石 (橄欖石) あるいは輝石・斜長石が主体のものがある.
赤鉄鉱	せきてつこう	hematite	α -Fe ₂ O ₃ . 三方晶系. 硬度5~6. 比重5.26. 金属光沢をもつ板状結晶, 赤紫色のウロコ状の微晶, 赤褐色粉状などを示す. マグヘマイトと同質二形である. 本鉱は広範囲に分布し, 大規模な鉄鉱床を形成する場合もある.

石動山断層	せきどうさんだんそう	Sekidosan fault	活断層. 確実度 I, 活動度 B 級, 北東方向. 石川県邑知瀧平野南東縁を限る. 延長17km. 邑知低地帯を形成した.
赤道半径	せきどうはんけい	equatorial radius	地球の形を回転楕円体としたときの長軸方向の半径. I AU楕円体(1976)では6,378.140km.
堰止湖	せきとめこ	dammed lake	谷地形や凹地が, せき止められて生成した湖沼.
関原地震	せきはらじしん	the 1927 Sekihara earthquake	1927年新潟県関原地方で起こった地震. 測量により直接地震に起因する地殻変動が明らかになり注目された.
積分球濁度法	せきぶんきゅうだくどほう	integral sphere method for water muddiness test	水の濁度を求める方法の一種で, 水中の粒子による散乱光と透過光の強度から求める.
石墨	せきぼく	graphite	炭素C. 三方晶系または六方晶系. 硬度 2 以下. 比重 2.09~2.23. 黒色. 泥質岩起源の変成岩・接触変成岩などに含まれる. 黒鉛ともいう.
石墨鉱床	せきぼくこうしょう	graphite deposit	C (炭素) の鉱床. 主に先カンブリア紀の変成岩とそれに貫入したペグマタイト中に産出. 主産地は中国・韓国など.
石墨千枚岩	せきぼくせんまいがん	graphite phyllite	炭質物をやや多めに含む泥質岩を源岩とする千枚岩. 最近では泥質千枚岩と呼ぶのが普通.
石墨片岩	せきぼくへんがん	graphite schist	泥質岩を原岩とする石墨に富む結晶片岩. 石墨は泥岩中の炭素に由来.
関谷断層	せきやだんそう	Sekiya fault	活断層. 確実度 I, 活動度 A 級, 南北方向. 栃木県那須野原西縁に位置する. 延長40km.
石油	せきゆ	petroleum	炭化水素を主成分とする天然の混合物質. 生物遺骸に由来する有機成因説と無機成因説とがある.
石油アスファルト	せきゆあすふあと	petroleum asphalt	原油の蒸留によって軽質部分を取り去った後得られる成分. 舗装に用いられるアスファルトの大半を占める.
石油汚染	せきゆおせん	oil pollution	海洋汚染のうち, 特に石油および石油製品を汚染源とした水質汚染.
石油鉱床	せきゆこうしょう	petroleum deposit	石油根源岩, または母層から孔げき性の岩石中に稼行しうる量の石油が移動・集積・貯留したもの.
石油枯渇説	せきゆこかつせつ	proved reserve	石油危機時代の10年間に, 石油の可能採取年数(当時の確認埋蔵量/生産量)があと30年で枯渇するという俗説.
石油根源岩	せきゆこんげんがん	source rock of petroleum	還元環境下に堆積した抽出性有機物を含む泥岩・頁岩など, 石油生成の源となった岩石. 多くは海成層. 油母岩とも.

石油資源	せきゆしげん	petroleum resources	一次エネルギー源・石油化学原料として利用。中東地域・北米大陸など地理的に極めて偏在。
石油成因論	せきゆせいじんろん	theory on origin of petroleum	現在では堆積物中の有機物質が続成・変成作用によって炭化水素に変わったとする有機成因説が有力である。
石油地下備蓄施設	せきゆちかびちくしせつ	underground crude oil storage facility	国内では、久慈・菊間・串木野に設けられ、各施設の原油備蓄容量は、150～175万キロリットル。
石油地質学	せきゆちしつがく	petroleum geology	石油の生成・移動・貯留条件の究明など地質学的手法を用いて油田の発見・開発手法を研究する学問。
石油のトラップ	せきゆのとらっぷ	trap of petroleum	貯留岩中の石油の集積をもたらす地質的条件をそなえた特定の構造。集油構造ともいい、背斜トラップが代表的。
石油備蓄基地	せきゆびちくきち	oil storage plant	石油危機に対処するため、「石油備蓄法」により原油貯蔵を目的として建設される備蓄基地。地上・地下・地中・洋上方式が建設され供用中。
石油洋上備蓄	せきゆようじょうびちく	offshore oil storage	洋上に係留されたタンカーなどに石油を備蓄する方法。
石油露頭	せきゆろうとう	oil seepage	地表にしみ出す原油や油砂の露頭など、地下における石油の存在を示す地表の天然徴候。油徴ともいう。
脊梁山脈	せきりょうさんみやく	backbone range	ある地域において、ある方向に長く伸び、分水界を形成するような山脈。
石礫型土石流	せきれきがたどせきりゅう	boulder type debris flow	土石礫の一部が水と混合し特有の流体力を持って流下する土石流のうち、運搬物質として石礫が卓越するもの。
セクターゲート	せくたーげーと	sector gate	長い中空のドラムあるいはケーソンからなる可動堰止めゲートで、貯水位の上昇に伴う水圧により上昇し、越流した場合自動的に下降する。
セグメンテーション	せぐめんてーしょん	segmentation	①材料の分離という意味で例えばコンクリートを運搬または打設中にモルタルと骨材が分離することをいう。 ②長大な活断層系を分割する場合の用語。断層の分布形態や型から機械的に分ける考え方と、地震を起こす単位として分ける考え方がある。 ③仮想記憶方式において、プログラムやデータをある単位に分けて管理すること。
セグメント	せぐめんと	segment	①シールド工法で地山を支保するためにシールドテール内で組み立てる支保部材。プレキャストコンクリート製、鋼製などがある。 ②長大な活断層系を分割する場合の用語として使われ、分離された活断層の断片のこと。
セグメント高さ	せぐめんとたかさ	segment thickness	セグメントの厚さのこと。土圧や水圧を考慮して必要な強度から厚さを設計する。地下水位がある場合は全水圧に耐えるようにする。
セグメント継手	せぐめんとつぎて	segment joint	セグメントを組み立てる際にブロックどうしを接続するための部材。ボルトを用いたものやピンほぞなどもある。

セグメント幅	せぐめんとはば	segment width	セグメントのトンネル縦断方向の幅のこと。セグメント幅分掘進するとシールドマシンテール内で1リングのセグメントが組み立てられる。
セグメントリング	せぐめんとりんぐ	segment ring	円形に組み立てられた1掘進単位のセグメント。1リングには組み立てやすいように3種類程度の形状のセグメントが使用される。
セコイア	せこいあ	Sequoia	スギ科の一属。白亜紀以降、日本では古第三紀～鮮新世後期に産出。現生種は北米西岸の1種。常緑大高木。
施工	せこう	execution of work, execution	設計図書や仕様書に従い、目的とする工事を行うこと。
施工含水比	せこうがんすいひ	moisture content on compaction	締固め施工時における土の含水比。
施工管理	せこうかんり	construction management	工事の施工に際して、所要の品質・形状・安全・経済性・工期が確保されるように行われる各種の管理。
施工管理計測	せこうかんりけいそく	control measure execution	トンネルや山留めの施工を安全に進めるために行われる計測で、トンネル内空断面の変形や地盤および周辺構造物の変位、支保の応力などが測定される。
施工管理試験	せこうかんりしけん	execution control test	施工目的物の形状・寸法・品質を維持し工事の工程・施工法など品質・工程管理のため行われる種々の試験。
施工基面	せこうきめん	formation level	路盤あるいは構造物基礎の仕上がり面。工事を行なう上での基準高さとなる。
施工継手	せこうつぎて	construction joint	コンクリート構造物の打設時に、施工条件・気象などにより、計画外にやむを得ず設ける目地。
施工継目	せこうつぎめ	construction joint	コンクリートの打設能力から必要となる継目。縦継目、横継目、水平打継目などがある。
施工継目面処理	せこうつぎめめんしより	preparation of construction joint surface	コンクリートダムの施工継目のうち、設計上一体性を確保する必要のあるもの（アーチダムの継目、重力ダムの縦継目など）に対して行う注入処理。
セシウム137	せしうむ137	cesium-137	ウランの核分裂で生成される核種で、半減期約30年、 γ 線と β 線を放出する。
セシウム磁力計	せしうむじりょくけい	cesiumvapour magnetometer	光ポンピング磁力計の一つでセンサにセシウム133を用いたもの。
セジメントチューブ	せじめんとちゅーぶ	sediment tube	ボーリング時のスライムを排出するために、コアチューブに接続して使用する上端が開口した鋼管。
瀬棚層	せたなそう	Setana Formation	北海道南西地域渡島半島北部に分布する第四系下部更新統。瀬棚郡今金町付近の利別川河岸を模式地とする。浅海成で凝灰質砂岩を主体とし、礫岩、砂質泥岩を伴う。

世田米石	せたまいいし	Setamai ishi	岩手県気仙郡世田米町出生産石材。古生界粘板岩。硯・瓦用。
世田米褶曲	せたまいしゅうきょく	Setamai folding	南部北上山地でペルム系基底の不整合で示される石炭紀後期～ペルム紀初期の陸化・浸食の構造運動。
石灰	せっかい	lime	生石灰・消石灰の通称。石灰石または貝殻を焼いてつくる。用途はセメント・肥料・消毒材など。いしばいとも。
石灰安定処理工法	せっかいあんていしよりこうほう	lime stabilization	土に石灰を添加混合した後に締固めを行い、添加剤の化学的固化作用により土の安定性を得る工法。
石灰安定処理土	せっかいあんていしよりど	lime-treated soil	消石灰・生石灰などを混合し、その化学的固化作用により安定性が増大した土。
石灰華	せっかいか	calcareous sinter	炭酸カルシウムを主成分とする、温泉、鉱泉からの沈殿物。
石灰化	せっかいか	calcification	生体内に炭酸カルシウムなどのカルシウム化合物が形成される現象。または化石化での炭酸カルシウムによる置換。
石灰化組織	せっかいかそしき	calcified tissue	生物による石灰化により、炭酸カルシウムやリン酸カルシウムから構成される硬組織。
石灰華段丘	せっかいかだんきゅう	travertine terrace	鍾乳洞などで認められる、石灰華が鱗状に何段にも段丘状に並ぶもの。秋芳洞の百枚皿はその一例。
石灰岩	せっかいかん	limestone	堆積岩のうち、炭酸カルシウムを50%以上含むもの。生物の硬組織起源のものが主であるが、無機的成因のものもある。
石灰岩台地	せっかいかんだいち	karst plateau	石灰岩などの地域において、その分布域のみが表面浸食から取り残され台地状をなすもの。地表の水流が少なく、地下水系が発達し、古い地表面が残されている場合が多い。カルスト台地と同義。
石灰結核	せっかいけっかく	calcareous concretion	石灰質団塊と同義。
石灰交代作用	せっかいかうたいさよう	lime metasomatism	Caの添加によりCaに富む鉱物が形成される変成作用。石灰岩と角閃岩の接触部に透輝石などができるのがその例。
石灰混合土	せっかいこんごうど	soil-lime mixture	石灰安定処理土と同義語。
石灰砂岩	せっかいかん	calcareenite	構成粒子の50%以上が炭酸カルシウムからなり、粒径が2mm以下の砂サイズである堆積岩。
石灰質	せっかいつ	calcareous	方解石でセメントされているもの、または構成粒子も含めて50%以上の炭酸カルシウムからなるもの。

石灰質殻	せっかいしつかく	calcareous testa	最も一般的に認められる有孔虫の殻で、方解石ないし霰石よりなる。殻の構造は分類上の基準として利用。
石灰質岩	せっかいしつがん	calcareous rock	炭酸カルシウムを50%以上含む堆積岩。石灰岩と同義。炭酸カルシウム殻を持つ生物遺骸からなることが多い。
石灰質砂	せっかいしつさ	calcareous sand	構成粒子の50%以上が炭酸カルシウムからなる砂。
石灰質堆積物	せっかいしつたいせきぶつ	calcareous sediment	主に生物骨格や殻から構成される炭酸カルシウムを50%以上含む堆積物。
石灰質団塊	せっかいしつだんかい	calcareous concretion	堆積物中で堆積直後～続成過程で間隙水から炭酸塩鉱物が濃集して硬化した球状～板状～不規則形の硬質な石灰質の塊。石灰結核ともいう。
石灰質土壌	せっかいしつどじょう	calcimorphic soil	多量の炭酸カルシウムを含む土壌をさす。炭酸カルシウムを集積している土壌の総称として用いられる。
石灰質軟泥	せっかいしつなんदै	calcareous ooze	石灰質の殻を持つプランクトン遺骸が30%以上を占める遠洋性堆積物。第四紀古気候研究試料などに利用される。
石灰質ナノプランクトン	せっかいしつなんのぷらんくとん	calcareous nannoplankton	三じょう紀（三畳紀）末に出現した石灰質の殻を形成する浮遊性原生生物。この殻の化石が石灰質ナノ化石。
石灰質片岩	せっかいしつへんがん	calcareous schist	石灰岩が変成して形成された方解石を主成分とする結晶片岩。
石灰質有孔虫	せっかいしつゆうこうちゅう	calcareous foraminifera	方解石ないし霰石の殻壁をもつ海生の原生動物。底生と浮遊性があり、古環境の推定・汎世界的対比に有効。
石灰集積作用	せっかいしゅうせきさよう	calcification	炭酸石灰が土壌中に析出・集積する作用。地表からある深さのところで発生する。
石灰石	せっかいせき	limestone	セメント・タンカル原料などの鉱物資源としての石灰岩（CaCO ₃ 主体）の呼称。日本には良質なものが多量に存在する。
石灰石鉱床	せっかいせきこうしょう	limestone deposit	鉱物資源（主としてセメント材料）としての石灰岩の鉱床。日本の石灰岩は石炭紀～ペルム紀のもので良質（CaO 54～55%）。
石灰石膏法	せっかいせつこうほう	lime-gypsum method	排煙脱硫の一方式で、石灰石の微粉末からなるスラリーにより亜硫酸ガスを脱硫し、最終的に石膏を生成する。
石灰藻	せっかいそう	calcareous algae	石灰質の分泌物が沈着した体壁を持つ藻類の総称。
石灰藻球石灰岩	せっかいそうきゅう せっかいがん	algal ball limestone	同心球状葉理のある石灰質球体粒子を含む石灰岩。この球体は石灰藻が海底を転動してできる。

石灰中和法	せっかいちゅうわほう	lime neutralization method	酸性水に石灰を添加混合して中和処理する方法。
石灰泥岩	せっかいでいがん	calcilutite	石灰岩の碎屑物からなる碎屑性石灰岩を通常の碎屑岩同様に粒度だけで細分した場合の1/16mm以下のものをいう。
石灰土	せっかいど	calcareous soil	炭酸カルシウムを15%以上含む土壌。乾燥地帯で風化石灰岩から生成され、セメントや肥料に利用される。
石灰洞	せっかいどう	limestone cave, calcareous cave	石灰質岩石中にできた洞窟。カルスト地域の石灰岩を母岩とした溶食洞が多いが、石灰中の割れ目が拡大した構造洞も含まれる。
石灰盤	せっかいばん	limepan	炭酸カルシウム・炭酸マグネシウムによって土壌粒子が固結されて形成された盤。石灰硬盤ともいう。
石灰フェライト	せっかいふえらいと	calcioferrite	$\text{Ca}_4\text{MgFe}_4(\text{PO}_4)_6(\text{OH})_4 \cdot 12 \sim 13\text{H}_2\text{O}$ 。単斜晶系。硬度2.5。比重2.53。微細板状～繊維状結晶の集合体。堆積性リン鉱床や石灰岩などに産出。
石灰礫岩	せっかいはれきがん	calcirudite	石灰岩の碎屑物からなる碎屑性石灰岩を通常の碎屑岩同様に粒度だけで細分した場合の2mm以上のものをいう。
絶乾比重	ぜっかんひじゅう	specific gravity in absolute dry condition	岩石の絶対乾燥状態における比重で、絶乾重量を表乾重量から水中重量をひいたもので除した値。
石基	せっき	groundmass	斑状火成岩の斑晶を充填する物質。
石器時代	せっきじだい	stone age	人類が主要道具として石器を使用した時代。約250万～1万年前。旧・中・新石器時代に三区別される。
接近流速	せっきんりゅうそく	approaching velocity	せき上流断面・水路呑口などにおける平均流速。流量を流水断面で除して求める。
設計アスファルト量	せっけいあすふあるとりょう	design asphalt content	アスファルト配合設計で、マーシャル安定度試験の各基準値を満足する共通範囲中央のアスファルト量。
設計荷重	せっけいかじゅう	design load	橋梁、建築物などの設計において考慮すべき荷重。想定される荷重に安全率を考慮して決定する。
設計基準強度	せっけいきじゅんきょうど	specified concrete strength	コンクリートの設計上の基準圧縮強度で、ダムコンクリートの場合は設計圧縮応力度×安全率で求める。
設計基準地震	せっけいきじゅんじしん	design basis earthquake (DBE)	設計に用いられる地震動で、原子力施設では設計用最強地震 (S1)、設計用限界地震 (S2) がある。
設計基準曲げ強度	せっけいきじゅんまげきょうど	design bending strength	コンクリート部材の設計において基準となる曲げ強度。

設計強度	せっけいきょうど	design strength	構造物の設計に際して、基礎地盤・岩盤あるいは材料に対して用いられる工学的な強度値。
設計洪水位	せっけいこうずい	design high water level	ダム設計洪水流量が流下した場合の貯水池最高水位で、ダムの非越流部直上流部の水位標高。
設計洪水流量	せっけいこうずいりゅうりょう	design flood discharge	河川工作物を設計する際に、当該工作物の洪水に対する安全性を確保するために考慮すべき洪水の量。
設計C B R	せっけいしーびーあーる	design CBR	舗装厚を決定するための路床土のC B R値。通常は室内C B R試験によって決められる。
設計時間交通量	せっけいじかんこうつうりょう	design hourly volume	道路設計で考慮される時間交通量。
設計地震波	せっけいじしんは	design earthquake wave	動的耐震設計に用いる基準地震動の時刻歴波形。設計地震力や地盤の地震応答などから決める。
設計地震力	せっけいじしんりょく	design earthquake force	構造物の耐震重要度クラスに応じた地震力。動的地震力と静的地震力を総合評価して求める。
設計条件	せっけいじょうけん	design assumption, design condition	構造物の配置決定や構造設計を行う際に用いる様々な条件の総称。
設計震度	せっけいしんど	design seismic coefficient	構造物の設計に用いる震度で、地域での地震発生状況、地盤状況、構造物の種類、重要度などにより決める。
設計水平震度	せっけいすいへいしんど	design horizontal earthquake coefficient, horizontal design seismic coefficient	構造物、基礎地盤などに対して水平方向の加速度を与える地震力の大きさを震度で表したもの。
設計速度	せっけいそくど	design speed	道路設計の基準として用いる速度。天候・交通状況が良好な際、平均的運転者が快適・安全に走行できる速度。
設計潮位	せっけいちょうい	design sea level	堤防や護岸の設計基準となる潮位。過去の最高潮位あるいは朔望平均満潮位に高潮による潮位偏差を加える。
設計変更	せっけいへんこう	design modification	工事契約内容を契約後に変更すること。建設工事では、地質条件など工事着手後に当初の想定と異なることが確認される要素も多いため、しばしば行われる。
設計巻厚	せっけいまきあつ	design thickness	トンネル工事で、設計上定められている吹付けコンクリートや覆工コンクリートの厚さ。地質が不良な場合、設計巻厚は厚くなる。
設計用限界地震	せっけいようげんかいじしん	design critical earthquake	原子力発電設備の耐震設計に用いる基準地震動の一つ(S2)を与える地震で、地震地体構造などから予想される。
設計用最強地震	せっけいようさいきょうじしん	design maximum earthquake	原子力発電設備の耐震設計に用いる基準地震動の一つ(S1)を与える地震で、地震履歴や活断層分布などから予想される。

設計用地盤定数	せつけいようじばん ていすう	modulus of foundation for design	設計に用いる地盤の物性値。地質調査・土質試験などの結果を総合的に評価し決定する。
設計流量	せつけいりゅうりょう	design flow	水路，ダム洪水吐きなどの構造物の設計に用いられる水の通過量。
設計輪荷重	せつけいりんかじゅう	design wheel load	舗装の厚さを設計するとき用いる輪荷重。輪荷重とは，自動車などの車輪を通じて車道に及ぼす荷重をいう。
石膏	せっこう	gypsum	CaSO ₄ ・2H ₂ O。単斜晶系。硬度2。比重2.31～2.32。含水硫酸塩鉱物。建築材・セメント用などに用いられる。
石工アーチ	せっこうあーち	masonry arch	石材，れんが，コンクリートブロックなどを用いたアーチ構造物。
石膏検板	せっこうけんばん	gypsum test plate	偏光顕微鏡に装着して試料の光学的方位を決めるために用いる検板の一つ。石膏板と同義。
石膏鉱床	せっこうこうしょう	gypsum deposit	石膏を主体とした鉱床。主に海水からの化学的沈殿鉱床で，各地質時代に生成。主産地は米国など。主用途はセメントなど。
石膏スラグセメント	せっこうすらぐせめんと	gypsum slag cement	高炉水砕スラグ，不溶性無水石膏，アルカリ性物質を混合してつくる潜在水硬性セメント。
接合双晶	せつごうそうしょう	contact twin	二つの結晶が一つの面で接合する双晶。斜長石のアルバイト式双晶が典型。貫入状に合体した双晶の反対概念。
石工ダム	せっこうだむ	masonry dam	石材，煉瓦あるいはコンクリートブロックなどをモルタルで接合して積み上げたダム。
石膏板	せっこうばん	gypsum plate	偏光顕微鏡の試料と検光子との間に挿入し，干渉色の变化から試料の光学的方位を知るための透明な石膏検板。
接谷面	せつこくめん	river level	一定地域内の最低点の等高線から成る仮想曲面。傾斜の急変部，浸食の進み具合を調べるのに用いる。
切載峰	せつさいほう	horn	氷食地形の一種で，3方向ないし4方向からのカールの切合いの後に残る三角錐型の鋭い岩峰。ホルンともいう。尖頂峰と同義。
セツ氏	せつし	centigrade	大気圧1気圧，純水の条件下で，氷の融点を0度とし，水の沸点を100度とした温度目盛。単位記号は℃。
舌状層	ぜつじょうそう	tongue	他の地層にはさまれた舌状に分布する地層。部層の単位として使用される。
舌状盆地	ぜつじょうぼんち	terminal basin	氷食地形の一種で，氷河の末端部に形成された広い凹地。氷舌盆地ともいう。

舌状溶岩流	ぜつじょうようがんりゅう	lava tongue	大きな溶岩流から派生したもので、短い舌状をなす。
舌状リップルマーク	ぜつじょうりつぷるまーく	linguoid ripple mark	堆積物の表面にあらわれる平面が舌状～三日月状をした水流の痕跡。
雪食カール	せつしょくかーる	nivation cirque	雪食により形成される急な谷壁に囲まれた半円形、半楕円形の谷。カールよりくぼみ方が浅い。雪食圏谷と同義。
接触型圧力変換器	せつしょくがたあつりょくへんかんき	contact stress transducer	土と構造物の境界面に取り付けられる土圧計で垂直応力とせん断応力が測定できる。
接触型ひずみ計	せつしょくがたひずみけい	contact type strain gauge	被測定物に設けられた標点間距離の変化を機械的に拡大してダイヤルゲージで測定するもの。
接触型変位計	せつしょくがたへんいけい	contact type displacement gauge	基準点と測定点の相対変位を機械的に接触した状態で測定する形式の変位計。ダイヤルゲージなど。
雪食圏谷	せつしょくけんこく	nivation cirque	雪食により形成される急な谷壁に囲まれた半円形、半楕円形の谷。カールよりくぼみ方が浅い。雪食カールと同義。
接触鉱床	せつしょくこうしょう	contact deposit	炭酸塩岩が熱水の交代作用を受けて形成されるスカルン鉱物を伴う鉄銅鉛亜鉛などの鉱床。スカルン鉱床とも。
接触交代鉱床	せつしょくこうたいこうしょう	contact metasomatic deposit	火成岩との接触部付近で熱水作用により形成される鉱床。釜石鉱山が代表的。接触鉱床、スカルン鉱床とほぼ同義。
接触交代作用	せつしょくこうたいさよう	contact metasomatism	マグマからの熱水作用により母岩の化学成分が変化する作用。炭酸塩からなる母岩ではスカルン鉱物を生成。
接触鉱物	せつしょくこうぶつ	contact mineral	接触変成作用や接触交代作用によって生成した鉱物。酸性貫入岩体の貫入接触部周辺に生じることが多い。
雪食作用	せつしょくさよう	nivation	雪の存在が原因となって生じる浸食作用。積雪の移動による浸食の他、周辺裸地でのソリフラクションなどもある。
接触測角器	せつしょくそっかくき	contact goniometer	結晶の各面のなす面角を測定するもので、半円形の分度器と、回転する腕木で構成される。
雪食地形	せつしょくちけい	nivation landforms	雪食により形成される地形。代表的な地形として雪窪、雪食圏谷がある。
接触分極法	せつしょくぶんきょくほう	contact method of polarization curves	鉱体に直接直流電流を流し、母岩と鉱体との境界に発生する電気化学的応答電位を測定する物理化学的探査法。
接触変成岩	せつしょくへんせいがん	contact metamorphic rock	接触変成作用を受けた岩石。ホルンフェルスで代表される接触変成岩は再結晶により硬質となる。

接触変成鉱床	せつしょくへんせいこうしょう	contact metamorphic deposit	接触変成作用により新生した鉱床（交代型と再結晶型），および既存鉱床の構造・鉱物種の変化した鉱床．
接触変成作用	せつしょくへんせいさよう	contact metamorphism	火成岩体，特に深成岩体の周辺では温度が上昇し，被貫入岩類が再結晶する作用．広域変成作用と比較される．
接触変成帯	せつしょくへんせいたい	contact zone	マグマ貫入に伴う熱による接触変成作用の及んだ範囲．貫入岩体からの距離に応じて母岩の変成度は変化．
せつ（榎）石	せつせき	sphene	CaTiSiO ₅ ．単斜晶系．硬度 5～5½．比重 3.52．チタン石，楔石と同義．現在はチタン石の名称を用いている．
雪線	せつせん	snow line	積雪域の下限境界をいうが，その定義は分野によって異なる．地形的雪線，広域的雪線，気候的雪線など．
接線応力	せつせんおうりょく	tangential stress	作用面の接線方向に働く応力．せん断応力ともいう．
接線荷重	せつせんかじゅう	tangential load	せん断力を与える方向に働く荷重．
接線弾性係数	せつせんだんせいけいすう	tangent modulus of elasticity	岩盤変形試験において，繰返し載荷時の変形曲線の直線勾配より求める弾性係数．別に割線弾性係数がある．
接線ポアソン比	せつせんぼあそんひ	tangential Poisson's ratio	土や岩石に軸方向荷重が作用する時に生ずる横ひずみと縦ひずみの比を，ある応力レベルにおける両ひずみ曲線の接線の傾きの比から求めたもの．
接線方向応力	せつせんほうこうおうりょく	tangential stress	①接線応力と同義．②空洞周辺の壁面に接する方向の応力
接線方向変位	せつせんほうこうへんい	tangential displacement	せん断方向の変位．
接線ヤング係数	せつせんやんぐけいすう	tangential modulus of elasticity	接線弾性係数と同義．
接線ヤング率	せつせんやんぐりつ	tangential Young's modulus	接線弾性係数と同義．
接線力	せつせんりょく	tangential force	物体のある断面に沿って作用する力．せん断力ともいう．
絶対圧力	ぜつたいあつりょく	absolute pressure	真空を基準に，これを零として大きさを表した圧力．水圧の場合はゲージで測定される圧力（静水圧）に大気圧を加えたもの．
絶対孔隙率	ぜつたいこうげきりつ	absolute porosity	岩石中の孔隙には連続性のあるものと孤立したものが含まれる．岩石の全容積に対する全孔隙の容積比．

絶対年代	ぜったいねんだい	absolute age	数値で表した年代. 放射性元素の壊変を利用した放射年代測定法などによって求められる.
絶対標定	ぜったいひょうてい	absolute orientation	写真測量において, 実体写真で得られた相対的位置関係から標定点を用いて地上の位置などを確定する操作.
舌端	ぜったん	toe	地すべりの頂点から最も離れた移動土塊 (舌部) の先端.
切断山脚	せつだんさんきやく	truncated spurs, faceted spurs	ほぼ直線状に切断された山脚. 谷氷河の氷食作用, 断層運動, 下刻力の大きな川により形成される.
接地圧	せっちあつ	contact pressure	構造物基礎・車両などの底面から地盤へ伝達される圧力で, 底面と地盤との相対的な剛性により変化する.
接地抵抗	せっちていこう	earthing resistance	電気探査の際の接地電極と大地間の電気抵抗. 接地抵抗は低いほど望ましいので, その低下に種々の工夫がなされている.
接地面積	せっちめんせき	ground contact area	建設機械あるいは構造物基礎と地面との接触部の面積.
接着型ロックボルト	せっちゃくがたろっくぼると	bonded rock bolt	モルタル, セメントミルク, 樹脂などで地山に接着されるロックボルトの総称. 全面接着型と先端接着型がある.
セットフォーム工法	せつとふおーむこうほう	setform type paving	舗装工の一種で型枠を設置して, これをガイドに厚さ・計画高そして平坦性を得るコンクリート版施工法. 最近型枠のないスリップフォーム工法もある.
雪庇	せっぴ	snow cornice	地形が緩斜面から急斜面に変化する場所の, 風下側にひさしのように張り出した積雪.
雪氷学	せっぴょうがく	glaciology	雪氷が関係する諸々の現象を取り扱う学問体系. 地球環境から身近な生活に至るまで, 影響が大きい.
SEP	せっぷ	self elevating platform, SEP	自己昇降式足場と同義.
接峰面	せっぽうめん	summit level	山頂に接する仮想曲面. 複雑な山地地形において浸食される前の地形を表すのに用いる.
接峰面解析	せっぽうめんかいせき	summit level analysis	接峰面図を用いて行う原地形の復元や地形の概形の解析.
接峰面図	せっぽうめんず	summit level map	ある地域の山頂に接する仮想的な曲面を表した等高線図. 切峰面図とも書く. 地形図上に任意の大きさの正方形を書き, その中の最高点を用いて等高線図を描いたもの. 地形の概観に用いる.
絶滅種	ぜつめつしゅ	extinct species	現在の地球上には生息しないが, 地質時代から歴史時代までに地球上に繁栄した記録が残っている生物.

節理	せつり	joint	岩石・岩盤中の破断面のうち、相対的な変位がないか、あってもごくわずかなもの。
切離丘陵	せつりきゅうりょう	kernbut	後背の山地や丘陵との間が断層などで浸食されて低地となり分離した丘陵。分離丘陵ともいう。
節理系	せつりけい	joint system	節理が発達するとき、一定方向のものをまとめて節理系という。
節理作用	せつりさよう	jointing	節理を生み出す作用で、構造運動に直接関係する構造応力・地殻中の残留応力・冷却や乾燥による収縮・斜面運動など。
節理性岩盤	せつりせいがんばん	jointed rock masses	規則性のある亀裂・割れ目の発達した岩盤で、流紋岩・安山岩・玄武岩などの火山岩が多い。
節理面	せつりめん	joint wall, joint surface	節理の面。断層面に比べて平面に近い。節理面には破壊伝搬方向を示す羽毛状構造がみられることがある。
瀬戸石	せといし	Seto ishi	徳島県鳴門市瀬戸町産石材。中生界砂岩。暗緑色，細粒，堅固。橋・垣・碑用など。
瀬戸内火山岩石区	せとうちかざんがんせきく	Setouchi volcanic province	瀬戸内地域の中新世中期高アルカリソレアイト・高マグネシウム安山岩などにより構成される特異な火山岩石区。
瀬戸内区	せとうちく	Setouchi province	中央構造線の北で、長野県南部から九州中部に及ぶ新第三紀以降の地質区分。
瀬戸大橋	せとおおはし	Seto bridge	本州四国連絡橋児島～坂出ルートを通称。下津井瀬戸大橋（1477m），南備讃瀬戸大橋（1628m）などの長大橋が建設され、1988年4月に開通。橋脚、橋台の基礎となる風化花崗岩の力学的性質について詳細な調査や分類が行われた。海中の基礎工事では大規模な水中発破や大口径掘削機による底面仕上げが実施された。
瀬戸川層群	せとがわそうぐん	Setogawa Group	赤石山地東方の四万十帯に分布する新生界中期始新統～前期中新統。砂岩，泥岩，チャート，石灰岩からなる。藤枝市の瀬戸川流域を模式地とする。
瀬戸層群	せとそうぐん	Seto Group	岐阜県南東部から愛知県中東部に分布する上部新生界。陸水成で下部より陶土層，礫・砂・泥の互層からなる。一部火山灰層がはさまる。
ゼノサーマル鉱床	ぜのさーまるこうしょう	xenothermal deposit	高温熱水溶液が地表近くに上昇して形成された浅所高温型複合鉱脈鉱床。高温相から低温相までの鉱物を伴う。
ゼノリス	ぜのりす	xenolith	捕獲岩と同義。
瀬淵河床	せふちかしょう	riffle and pool	河川において瀬と淵が交互に現れる河床部分で、河床縦断面は階段状の形態を示す。礫質の河川で発達が良い。
セメンティング	せめんていんぐ	cementing	逸水防止などのため、セメント他で孔を塞ぐこと。未固結堆積層などが溶液の注入で、硬く固められる過程。

セメンテーション	せめんてーしょん	cementation	①続成作用の一過程で、碎屑粒子の隙間を沈殿物が埋めて固くなる作用。こう結（膠結）ともいう。 ②セメントミルクによる注入強化。
セメント	せめんと	cement	コンクリートの固化材。石灰・粘土・珪石などを粉砕調合して高温で焼成して作られる。
セメントアスファルトモルタル	せめんとあすふあるともるたる	cement asphalt mortar	ポルトランドセメントとアスファルト乳剤を結合材として使用したモルタル。
セメント安定処理	せめんとあんていしより	cement stabilization method, soil stabilization by cement	路床・路盤材の耐久性・安定性改善の目的で表層土にセメントを混合し結合力を増加させる処理。
セメント石（岩）	せめんといし（がん）	cementstone (cement rock)	主に炭酸カルシウムからなりセメント原料になる岩石。石灰石とも。岩石としては石灰岩が主体。
セメント含有率	せめんとがんゆうりつ	cement content	コンクリート・モルタルなどに含まれるセメントの割合。
セメント空げき比	せめんとくうげきひ	cement-void ratio	空隙（使用水量と空気の容積の和）とセメントの絶対容積との比。
セメントグラウチング	せめんとぐらうちんぐ	cement grouting	グラウチングのうち、注入材料としてセメントを用いるもので、基礎処理の一般的な方法。
セメントグラウト	せめんとぐらうと	cement grout	セメントを主としたグラウト。このグラウトは粘土系グラウト・薬液系グラウトに比べ強度が大きい。
セメントクリンカー骨材	せめんとくりんかーこつざい	cement clinker aggregate	セメント原料を高温焼成してできるクリンカーを微粉砕せず粒度調整して骨材としたもの。
セメント系グラウト	せめんとけいぐらうと	cement grout	セメントを主成分としたグラウト。比較的空隙の大きな地山のグラウトに用いられる。
セメント硬化促進剤	せめんとこうかそくしんざい	accelerator for hardening of cement	セメントの凝結を促進し、コンクリートの早期強度を増大させる混和剤。通常、塩化カルシウムが用いられる。
セメント固化	せめんとこか	cementation	①セメント材料に水を加えることにより水和反応がすすみ、時間がたつにつれて凝結、硬化していく現象のこと。 ②低レベル放射性廃棄物の処分の際にセメントを混合してドラム缶内で固化させる方法。
セメントコンクリート舗装	せめんとこんくりーとほそう	cement concrete pavement	道路の耐久力を増すために、路盤の上に厚さ20cm～25cmのセメントコンクリートを打設した舗装。
セメント作用	せめんとさよう	cementation	碎屑粒子が沈殿物によって相互に次第に接着していく作用。セメンテーションと同義。
セメント質	せめんとしつ	cementum	動物の歯根および歯冠の表面を覆う硬い組織。硬度は4～5。65%が無機質、23%が有機質、12%が水から構成。

セメントスラリー	せめんとすらりー	cement slurry	水・セメント・細砂からなる濃厚なクリーム状の混合物。注入またはポンプで送られる。
セメント注入	せめんとちゅうにゅう	cement grouting	セメントグラウチングと同義。
セメント注入膜	せめんとちゅうにゅうまく	cement-injection screen	セメントグラウチングにより形成された、地盤中の薄い注入改良ゾーン。
セメント添加土	せめんとてんかど	cement mixing soil, cement treated soil	セメントを加えることにより強度・透水性が改良された土。路盤改良や表面処理などに用いられる。
セメントバチルス	せめんとばちるす	cement bacillus	アルミン酸三石灰と石膏が反応して生成したアルミン酸硫酸石灰で、結晶水を伴う。エトリンガイドとも呼ばれる。
セメント吹付	せめんとふきつけ	cement spraying	圧送されたセメントペーストをのり面などに吹き付けることにより表面の浸食・風化を防止すること。
セメントペースト	せめんとペースと	cement paste	セメントに水を加えて混ぜ合わせ、ペースト状にしたもの。
セメントベントナイト	せめんとべんとないと	cement bentonite	セメント系グラウト材の一種。セメントとベントナイトを混合したもので、ベントナイトは増量や強度調整に用いられる。
セメントボンド検層	せめんとぼんどけんそう	cement bond logging	ケーシング内および地層内を伝播した音波（弾性波）振幅の減衰から、セメンテーション状態を判定する方法。セメントボンドログともいう。
セメントボンドログ	せめんとぼんどろぐ	cement bond log	セメントボンド検層と同義。
セメント水比	せめんとみずひ	cement-water ratio	コンクリートの配合において使用水量に対するセメント量の重量比。
セメント用粘土	せめんとようねんど	clays for cement	ポルトランドセメントの原料として使われる粘土。
セラック	せらつく	serac	クレバスによって周囲を断ち切られた氷河の乱雑なブロック。基盤が急傾斜を示す部分に発達することが多い。
セラミックス	せらみつくす	ceramics	陶器・磁器・ガラス・レンガ・セメントなど窯業製品の総称。近年はファインセラミックスと呼ばれる高性能な製品が開発、利用されている。
セリサイト	せりさいと	sericite	絹雲母と同義。
せりもち作用	せりもちさよう	arching	広義にはグラウンドアーチと同義だが、一般的にはある程度以上の大きさの岩塊どうしが接触しながらアーチ状に空洞の天井を支えている状態をいう。

セル形仮締切り	せるがたかりしめきり	cellular cofferdam	鋼矢板を連続に打込んで円形あるいは太鼓形などの形に閉合したセルを壁状に並べた仮締切り。セル型締切りともいう。
セル型締切り	せるがたしめきり	cellular cofferdam	セル形仮締切りと同義。
セル工法	せるこうほう	cellular cofferdam	水中工事を避けるため鋼矢板などを円形に打込み、砂を中詰めした柱を連続して締切り、排水しドライとする工法。
セル式埋立工法	せるしきうめたてこうほう	cell type sanitary landfill method	廃棄物最終処分場における衛生埋立のための埋立工法で、廃棄物をセル状に土砂で覆う埋立工法。
セル式係船岸	せるしきけいせんがん	cellular-bulkhead type quaywall	岸壁のうちセルラブロックを壁体とした構造物。鋼矢板あるいは鋼板で円形などに閉合し中詰めした構造。
セルダム	せるだむ	cellular dam	直線矢板によって締切ったダム。仮締切りや応急砂防ダムなどで用いられる。
セルフボーリング型プレッシャーメータ	せるふぼーりんぐがたふれっしやーめーた	self boring type pressure meter	ボーリング削孔後、削孔部を引き抜かずにそのまま孔内水平載荷試験を行う方法。
セルラーアーチ工法	せるらーあーちこうほう	cellular arch method	超大断面トンネルの構築法のひとつ。大口径のプレキャスト製パイプルーフを側壁導坑のアバットから立ち上げたアーチリブで支持する。
セルラブロック	せるらーぶろっく	cellular concrete block	セル式係船岸の壁体。鋼矢板あるいは鋼板で閉合し、石や水中コンクリートなどで中詰めをした構造体。
セルララテライト	せるらーらてらいと	cellular laterite	連続した固い構造で丸まった空洞を持ち、その空洞が互いに繋がっていないラテライト。
セレン硫黄	せれんいおう	selensulphur, selensulfur	セレンを含む橙赤～赤褐色の硫黄。セレンは硫黄より安定であるため産地付近の土壤に濃集する傾向がある。
セレン鉛鉱	せれんえんこう	clausthalite	PbSe。等軸晶系。硬度2.5～3.0, 比重7.8。外観は方鉛鉱と類似。鉛灰色粒状。他のセレン化合物に伴って産出。
セレン輝蒼鉛鉱	せれんきそうえんこう	guanajuatite	Bi ₂ (Se, S) ₃ 。斜方晶系。硬度2.5～3.5, 比重6.25～6.98。輝蒼鉛鉱の硫黄の一部がセレンに置換。青灰色針状～塊状。
セレン銀鉛鉱	せれんぎんえんこう	naumannite	鉛を含むセレン銀鉱をこの名で呼んでいたが、鉛は他鉱物からの混入によることが判明し、現在では用いられない。
セレン銀鉱	せれんぎんこう	naumannite	Ag ₂ Se。斜方晶系。硬度2.5, 比重7.0～8.0。灰鉄黒色粒状～塊状。鉱脈鉱床から産出。
セレン金鉱床	せれんきんこうしょう	Se-type gold deposit	浅熱水性金鉱床の一つのタイプ。銀, 鉛, 亜鉛, マンガン鉱化作用を伴う。他の一つはテルルータイプ。

セレン鉱床	せれんこうしょう	selenium deposit	セレンを含む硫化物鉱床。セレンは単独の鉱床は稀で銅製錬副産物として回収される。日本は世界の約3割を産出。
セレン水銀鉱	せれんすいぎんこう	tiemannite	HgSe. 等軸晶系。硬度2.5, 比重8.24~8.27。鋼灰色四面体結晶。辰砂の硫黄がセレンに置換したもの。
セレン銅銀鉱	せれんどうぎんこう	eucairite	CuAgSe. 斜方晶系。硬度2.5, 比重7.6~7.8。銀白~鉛灰色塊状。輝銀銅鉱の硫黄がセレンに置換したもの。
セレン銅鉱	せれんどうこう	berzelianite	Cu ₂ Se. 等軸晶系。硬度2, 比重6.65。銀白色樹枝状~鉱染状。輝銅鉱の硫黄がセレンに置換したもの。
ゼロ空気間隙率曲線	ぜろくうきかんげきりつきよくせん	zero air voids curve	土の締固め試験で土中の間隙が水で飽和され、空気間隙が全くない場合の乾燥密度と含水比の関係を表す曲線。
ゼロクロッシング法	ぜろくろっしんぐほう	zero-crossing method	振動記録上で、波形が相隣りあってゼロ線を横切る時間間隔の2倍をその波の周期と見なして行う周期頻度解析法。
0次谷	ぜろじだに	zero order stream	数値を用いて本流支流を格付けする方法において、最上流部を一次谷というが、それに接続した斜面の凹地。
ゼロ点走時	ぜろてんそうじ	intersect time of <i>T'</i> curve	はぎ取り走時曲線を直線近似して震源側に延ばし、距離0の時間軸を切る時間。
背割堤	せわりてい	separation levee	二河川の合流部に設けて両川を分流し、合流部を下流に下げるために両川に兼用させた堤防。
閃亜鉛鉱	せんあえんこう	sphalerite, zincblende(独)	組成はZnS。立方晶系(等軸晶系)に属し、硬度3.5~4, 比重3.9~4.1。淡黄色~褐色・黒色で、光沢がある。亜鉛の重要な鉱石鉱物。
閃亜鉛鉱型構造	せんあえんこうがたこうぞう	sphalerite type structure	等軸晶系。各々立方最密充填配列をした二つの原子からなる鉱物にある結晶構造の一つ。閃亜鉛鉱ZnSが典型。
遷移	せんい	transition	ある状態から他の状態へ変化すること。
遷移	せんい	succession	植物群落が種別や構成比率を変化させながら長期間にわたり変化してゆくこと。
遷移確率法	せんいかくりつほう	transit probability method	時間と共に系の状態が変化する状況を求めるための確率計算手法。交通量の推定などに用いられる。
遷移型	せんいがた	intergrade	ある大土壌群に属する土壌のうち、他の大土壌群の特徴を合わせて持つもの。亜群として区別する。
漸移岩層	ぜんいがんそう	transition	17~18世紀に中部ヨーロッパで用いられた岩相区分の一単位。結晶質基盤岩類と化石の多い堆積層との間にある。

遷移期	せんいき	transitional age	北欧の後氷期に、冷温期（ボレアル期）が温暖期（アトランティック期）へ植生変化を伴って移行する時期。
繊維強化材	せんいきょうかざい	fiber reinforcement	コンクリートの引っ張り強度の補強を目的として混入する繊維。
遷移クリープ	せんいくりーぷ	transient creep	一定応力下で物体の変形が増大するクリープ現象のうち、その初期のひずみ速度が減少していく段階。
遷移元素	せんいげんそ	transition elements	電子の最外殻がS殻であり、その内側のd殻の電子数が10未満であるか、10であってもS殻が2未満である元素。
繊維混合土	せんいこんごうど	fiber-treated soil	短繊維を混ぜて、粘りと浸食抵抗の増強を図った安定処理土。
繊維状	せんいじょう	fibrous	微結晶が繊維のように一つの軸の周りで任意の方位に並ぶ構造。アスベストや石膏の一種などが典型。
遷移相	せんいそう	transition state	ある状態から安定した他の状態へと移り変わる中間的な状態。セメントスラリーの水和反応で出現する運動粘性学的に液体で固体でもない相。
遷移層	せんいそう	transitional layer	マントル中の地震波は、深度400から1000kmの範囲でその速度が急増する。この区間を遷移層と呼ぶ。
遷移点	せんいてん	knick point	河床縦断勾配が急変する地点。地質の相違や断層運動、斜面崩壊などに起因した山腹傾斜変換箇所にも用いられる。
遷移土壌	せんいどじょう	transitional soil	二種類の土壌の性質を持っている土壌。
繊維補強コンクリート	せんいほきょうこんくりーと	fiber reinforced concrete	短繊維を混入して製造されたコンクリート。力学的にはひび割れ発生を遅らせ、コンクリートの靱性を増す。
閃ウラン鉱	せんうらんこう	uraninite	UO ₂ 。立方晶系。硬度5～6、比重8～10。ウラン・ラジウムの原料鉱物。暗灰色・脂肪光沢、
前縁盆地	ぜんえんぼんち	foredeep	大洋側のモラッセを堆積させる盆地。造山帯の前縁に沿って細長く分布する。
扇央	せんおう	center of alluvial fan	扇状地の中央部。扇頂、扇端に比べて地下水位が深く、水位変化が大きい。
全応力	ぜんおうりょく	total stress	土塊に作用する単位面積あたりの圧力。土粒子骨格と間隙を満たす水・空気がそれぞれ受け持つ応力の合計。
全応力解析	ぜんおうりょくかいせき	total stress analysis	①土の強さを考慮できる最も危険な排水状態におけるせん断強度定数を用いる地盤の安定解析法。（一般全応力解析） ②短期安定問題に対する非圧密非排水条件（UU）の強度を用いた安定解析法（①にも含まれる）

全応力解析法	ぜんおうりょくかいせきほう	total stress analysis	土の強さを考慮できる最も危険な排水状態におけるせん断強度定数を用いる地盤の安定解析法。
全応力法	ぜんおうりょくほう	total stress analysis	全応力解析と同義
浅海	せんかい	shallow sea, neritic sea	海岸から大陸棚外縁にいたる海域。海岸からの距離からみれば、沿岸または近海ともいう。
浅海（性）堆積物	せんかい（せい）たいせきぶつ	shallow marine sediment	潮間帯～陸棚の堆積物。陸起源物質が多く、地球環境の良い記録物質。地質学の重要な研究対象。
浅海成層	せんかいせいそう	shallow marine sediment	浅海（性）堆積物と同義。
浅海堆積環境	せんかいたいせきかんきょう	neritic environment	最低潮線から大陸棚外縁までの領域における堆積環境。生物体中の光合成が可能。
浅海波	せんかいは	shallow-water wave	波長が水深の2倍より大きい水面波。波高や波形が水深の影響を受けて変化する。浅水波ともいう。
浅海表面波	せんかいひょうめんは	transitional water wave	水深 h と波長 L の関係が $1/20 \leq h/L \leq 1/2$ となる波。
全壊率	ぜんかいらいつ	rate of total collapse, rate of complete collapse	被害程度を表す統計量。 全壊率(%) = 全壊戸数 ÷ 地域の総戸数 × 100
漸拡	ぜんかく	flaring	管路または開水路で上流側に比べ下流側断面が大きい場合、断面の急変を避けるために設ける遷移形状。
漸拡角	ぜんかくかく	angle of divergence	管路または開水路の漸拡部において、上流側断面が下流側断面に折れ線状に拡大する遷移形状の一定角度。
尖角州	せんかくす	cusped spit	沿岸漂流によって運ばれた海浜堆積物が三角形状に堆積したもの。海または潟湖にむかって突き出た地形となる。
潜火山性構造	せんかざんせいこうぞう	cryptovolcanic structure	岩盤が円形に破碎されている構造で、火口に似た構造を示すもの。潜在火山による陥没説と隕石衝突説がある。潜在火山性構造ともいう。
線荷重	せんかじゅう	line load	地盤・構造物などに作用する荷重で線状に分布する、あるいは、線状に分布するとみなしうる荷重。
潜かん（潜函）	せんかん	pneumatic caisson	函体下部の作業室内に圧縮空気を送って水の浸透を防ぎ、内部を掘削して沈下させる型式のケーソン。
全間隙圧比	ぜんかんげきあつひ	full pore-pressure ratio	地盤に発生した過剰間隙水圧とその地盤の初期有効最小主応力または鉛直土かぶり圧の比。地盤の液状化発生の応力条件を規定する。

潜かん工	せんかんこう	technician-caisson	圧気式ケーソン（潜函）や圧気工法シールドなど高気圧下の坑内で働く作業員のこと。
潜かん工法	せんかんこうほう	pneumatic caisson method	潜函を用いて構造物の基礎を作ること。
遷緩線	せんかんせん	concave knick line	山腹斜面などで上部から下部に向かって斜面傾斜が緩傾斜に変化する地点を結んだ線。
遷緩点	せんかんてん	concave knick point	山腹斜面などの断面図上で上部から下部に向かって斜面傾斜が緩傾斜に変化する地点。
潜かん病	せんかんびょう	caisson disease	圧気工法によるシールドや潜函工事などの高気圧環境下で作業する人に発生する障害。減圧時に遊離した気泡が体組織や血管内に形成されることが原因。ケーソン病ともいう。
先カンブリア界	せんかんぶりあかい	Precambrian series	先カンブリア時代に形成された地層・岩体。日本には分布しない。
先カンブリア紀	せんかんぶりあき	Precambrian(period)	古生代最初のカンブリア紀より前の時代。
先カンブリア時代	せんかんぶりあじだ い	Precambrian age	先カンブリア紀と同義に使われるが、用語としては先カンブリア紀が正しい。
潜丘	せんきゅう	buried hill	堆積物によって埋没した基盤の起伏部。
遷急線	せんきゅうせん	knick line	山腹斜面などの傾斜が上部から下部に向かって斜面傾斜が急傾斜に変化する地点を結んだ線。
遷急点	せんきゅうてん	convex knick point, knick point	山腹斜面などの断面図上で上部から下部に向かって斜面傾斜が急傾斜に変化する地点。
潜丘反映構造	せんきゅうはんえい こうぞう	reflected burried structure	基盤の起伏が被覆層の構造を規制していること。炭田において基盤と炭層の関係を表すときなどに用いる。
先駆現象	せんくげんしょう	precursor, premonitory phenomenon	地震の発生に先駆けて地殻内に発生する種々の前兆。地殻変動、地下水変化、微小地震活動などがある。（地震の前兆）
洗掘	せんくつ	excavation, scour, scouring	堤防、橋脚、ダム下流の河床などが水流によって掘り下げられる現象で、構造物破損の原因となる。
洗掘抵抗試験	せんくつていこうし けん	scouring resistance test	土砂の水流による洗掘抵抗性を測定する試験で、一定水圧の水流が供試体を貫く時間また水量で評価。
洗掘防止工	せんくつぼうしこう	scour protection, scour prevention	流水による洗掘を防止するために、ブロック・捨石などで河床・河岸・構造物基礎などを保護する工事。

線形圧密理論	せんけいあつみつりろん	linear consolidation theory	土の圧密現象の説明において、応力-ひずみ関係を直線的と仮定した理論。
線形解析	せんけいかいせき	linear analysis	物体や状態の変化が一次式であらわされると仮定して行う解析。
線形座屈	せんけいざくつ	linear buckling	柱や平板などの部材において変形が微小で挙動がほぼ線形とみなせる座屈。
扇形褶曲	せんけいしゅうきょく	fan fold	扇状褶曲と同義。
線形弾性	せんけいだんせい	linear elasticity	弾性のうち、応力-ひずみ関係が線形と見なせるもの。
線形弾性圧密理論	せんけいだんせいあつみつりろん	linear elastic consolidation theory	土の圧密現象を説明する条件のうち、土の骨格の変形を線形弾性体として仮定した圧密理論。
線形弾性体	せんけいだんせいたい	linear elastic body	外力による変形を元に戻そうとする性質を有している物体で、変形と外力との関係が直線で表せるもの。
線形変形係数	せんけいへんけいけいすう	modulus of linear deformation	応力-ひずみ関係が直線的である場合の、応力とひずみの比。
選鉱	せんこう	mineral processing	鉱石から目的鉱物を分離する操作・工程。これらの技術は水処理・廃棄物処理などに応用されている。
先行圧密	せんこうあつみつ	pre-consolidation	土が現在受けている有効圧力以上で圧密された応力履歴を有する現象。
先行圧密圧力	せんこうあつみつあつりょく	pre-consolidation pressure	土が現在受けている有効圧力以上の圧力で圧密された応力履歴を有する場合、過去の応力履歴のうち最大の有効圧力をいう。
先行圧密応力	せんこうあつみつおうりょく	pre-consolidation stress	土が先行圧密を受けた際に作用した最大の圧密応力。
先行圧密荷重	せんこうあつみつかじゅう	preload, precompression load	先行圧密応力を生じさせた荷重のこと。
先行荷重	せんこうかじゅう	preloading, preconsolidation pressure	構造物の施工に先立って基礎地盤の圧密を進行させるために加える盛土などの荷重。
せん孔機	せんこうき	boring machine	杭や鋼矢板を建て込むための穴をあける機械。アースドリル・アースオーガーなど。
せん孔硬度	せんこうこうど	drilling hardness	削孔硬度と同義。

せん孔鋼矢板	せんこうこうやいた	sheet pile placed by boring	せん孔機でせん孔した後、鋼矢板を挿入する工法。振動・騒音が少ない。
善光寺地震	ぜんこうじじしん	the 1847 Zenkoji earthquake	1847年北信および越後西部に起きたM7.4の地震。善光寺の参拝者に多数の死傷者がでた。
せん孔褶曲	せんこうしゅうきょく	piercement folding	地殻中の一部の可塑性物質だけがある条件下で流動し、別な場所に再集積することによって起こされる褶曲。
選鉱処理	せんこうしより	mineral dressing, mineral processing, beneficiation	鉱石から目的鉱物を他の鉱物や脈石と分離して次工程に供給する操作・工程。粉碎・手選・比重・浮選など。
旋光性	せんこうせい	optical activity	石英のような結晶やある種の溶液中で、直線偏光が光の進行につれて振動方向が右または左に回転する性質。
せん孔性動物	せんこうせいどうぶつ	boring animal, borer	海中の岩石・貝殻・さんご（珊瑚）・木材などの物体内部に住むもの。上浅海帯に多い。穿孔跡の化石は生態学上重要。
せん孔生物	せんこうせいぶつ	boring organism, borer	営巣・摂食のために、岩石や木材などに穴を開ける生物。
線構造	せんこうぞう	lineation	成因に関係なく、岩石の内部または面内に観察されるすべての線状の構造。線状組織ともいう。
せん孔建込み杭	せんこうたてこみぐい	bored pile placed by boring	せん孔機でせん孔した後、杭を挿入する工法。振動・騒音が少ない。
先行沈下	せんこうちんか	preceding settlement	トンネル掘削時に、掘削の影響を受けて切羽が到達する以前に前方の地表面が沈下する現象。
せん孔パターン	せんこうぱたーん	drilling pattern	トンネルの切羽やベンチカットなど発破で岩石を掘削するときに、火薬を装填する孔の配置や方向のこと。爆破を効果的にするための断面・地質に応じた配置がとられる。削孔パターンともいう。
先行変位	せんこうへんい	preceding displacement	トンネル・地下空洞の内空変位や岩盤変位の計測において初期状態から計測開始までに生じる変位。
先行ボーリング	せんこうぼーりんぐ	pre-boring	①埋込み杭工法の一つであるプレボーリング工法で、杭の挿入に先立ってアースオーガなどで孔を掘ること。 ②トンネルの切羽などから前方の地質調査のためにボーリングを行うこと。
先行盛土	せんこうもりど	pilot banking	試験盛土の一種で、軟弱地盤や特殊な材料を用いる場合に行う実物大の土構造物。
先行隆起	せんこうりゅうき	preceding rising, preceding uplift	トンネル掘削時に、掘削の影響を受けて切羽が到達する以前に前方の地表面が隆起する現象。
穿孔ロボット	せんこうろぼっと	drilling robot	削孔・ロッドの継ぎ足しなどをコンピュータを用いた自動制御によりロボット化した削孔機械。

センサ	せんさ	sensor	電磁波，音波などの外的刺激に反応し，情報処理が可能な適当な信号に変換する装置や器官。
潜在円頂丘	せんざいえんちょうきゅう	cryptodome	粘性の大きいマグマが上昇し，地表の地盤を隆起させて固化したもの。地表に顔を出さない溶岩ドーム。有珠新山など。
潜在凹地	せんざいおうち	cryptodepression	地中の岩盤が破碎され凹地状になっている構造のもの。成因には地下での火山の噴火・陥没や隕石の衝突が考えられる。
潜在応力	せんざいおうりょく	initial stress	自然状態の地山内に作用している応力。岩盤自重，地殻変動などの応力履歴や地形等に支配されている。初期応力，一次応力ともいう。
線載荷圧裂引張試験	せんさいかあつれつひっぱりしけん	splitting test	円柱形の供試体を水平に置き平らな加圧板により上下方向に線載荷して引張り強度を求める試験。
潜在火山	せんざいかざん	cryptovolcano	マグマは地表に噴出していないが，地盤変動など地表に何らかの変化をもたらした火山。
潜在火山性構造	せんざいかざんせいこうぞう	cryptovolcanic structure	潜火山性構造と同義。
潜在地すべり面	せんざいじすべりめん	latent slip surface	地層中の他の部分よりせん断抵抗が低い弱面で，地すべり面となる可能性のあるもの。
潜在水硬性	せんざいすいこうせい	latent hydraulicity	本来，水硬性を持たない物質が，適当な刺激剤を加えることによって水硬性を示すようになる性質。
潜在すべり面	せんざいすべりめん	potential slip surface	地盤中に存在する層理面・節理面・断層などの不連続面や，地質境界・物性境界など諸誘因によってすべり面となる可能性のある面。
潜在塑性状態	せんざいそせいじょうたい	initial plastic state	強度の低い地山で，掘削予定個所周辺が，掘削する以前に塑性状態となっていることをいう。掘削するとすぐに大きな変形や流動を発生する。
潜在断層	せんざいだんそう	concealed fault	堆積物により覆い隠されている断層。伏在断層ともいう。
潜在ドーム	せんざいどーむ	cryptodome	潜在円頂丘と同義。
先史時代	せんしじだい	prehistoric period	文字で書かれた記録や伝承がない時代。日本の無土器時代，縄文時代に相当し，遺跡，遺物により研究される。
線支承	せんししょう	line bearing	平面と円柱面で水平方向の移動を接触面のすべてにより支承されるもので，広義では受圧部分が線接触するもの。
泉質	せんしつ	spring quality	鉱泉を分類する方法の一つ。pH，特徴的な溶存成分の種類や量によって，鉱泉が分類命名されている。

扇射法	せんしゃほう	fan shooting	屈折法地震探査において、測線上に配置した受振点に対して震源を直角方向に離して設定し測定を行う方法。
線収縮	せんしゅうしゅく	linear shrinkage	土が乾燥収縮した場合の一方向のひずみ。収縮量の最初の長さに対する割合であらわす。
漸縮角	ぜんしゅくかく	angle of convergence	管路または開水路で上流側に比べ下流側断面が小さい場合の、折れ線状に縮小する遷移形状の一定角度。
全循環湖	ぜんじゅんかんこ	holomictic lake	湖水の循環が年に1回以上起こる湖。淡水湖の大部分は、これに属する。
線状凹地	せんじょうおうち	linear depression	地すべり地形の一つで、陥没地などの凹地が線状に配列したもの。
線状構造	せんじょうこうぞう	lineament	①鉱物の一定方向の配列などによって形成される岩石中の直線状構造。 ②地形に表われる線状模様、リニアメントともいう。
線状構造解析	せんじょうこうぞう かいせき	linear structure analysis	空中写真やリモートセンシング映像などを用いて線状模様から地殻構造を解析すること。
全上載圧	ぜんじょうさいあつ	total overburden pressure	地中のある点において上部にある間隙水を含む土の重量によって生じる鉛直応力。地下水面より上部を湿潤密度、地下水面以下を飽和密度で計算することにより求められる。その点の間隙水圧を差し引いたものは有効上載圧と呼ばれる。
線状砂丘	せんじょうさきゅう	linear dune	卓越する風向きに平行し、高さ100～200mの高まりからなる砂丘。幅は高さの6倍程度である。
尖状三角州	せんじょうさんかく す	cusplate delta	三角州の一種。三角州の両側が内側に湾曲し、河口部でとがった鋭角三角形の平面形を呈するもの。
千畳敷カール	せんじょうじきかー る	Senjojiki cirque	木曾山脈駒ヶ岳の宝剣岳東面の顕著なカール。主氷河期は5万年前以降。端堆石堤に波多ロームが含まれる。
潜晶質	せんしょうしつ	cryptocrystalline	隠微晶質と同義。
洗浄締固め法	せんじょうしめかた めほう	water binding	いわゆる水締めのことであり、立坑などの埋戻しで細粒分を洗い流して埋戻す工法。
線状褶曲	せんじょうしゅう きよく	linear fold	線状に長く連続する褶曲。形態に類似性があり、褶曲軸面が同一である。
扇状褶曲	せんじょうしゅう きよく, おうぎじょ うしゅうきよく	fan fold	褶曲軸面直交断面が扇型に開いた形となる褶曲。変形が進めばキノコ型やダイアピル褶曲に移行する。
船上重力計	せんじょうじゅう りょくけい	shipboard gravimeter	重力加速度の大きさが、船上で測定できる装置。船の動揺の成分を取り除く工夫がされている。

船上磁力計	せんじょうじりよく けい	shipboard magnetometer	海上磁気探査で船上に設置して使用する磁力計。プロトン磁力計，フラックスゲート磁力計が用いられている。
線状震源	せんじょうしんげん	line source	震源が長く伸びた線状のもの。全域で同時に振動を発生するか，点震源が逐次線上を移動するかなどがある。
線状浸食	せんじょうしんしょく	linear erosion	流水・地下水の浸食作用によって，地表が線的に削り取られ下刻されたもの，またはその作用。
線状組織	せんじょうそしき	lineation	岩石に発達する線的な構造の総称。線構造ともいう。鉱物線構造・細密褶曲線構造・交線線構造などがある。
扇状地	せんじょうち	alluvial fan	河川が山地内から山麓部に出てきたところにできる半円錐状の堆積地形。沖積扇状地ともいう。
扇状地海岸線	せんじょうちかいが んせん	fan shoreline	三角州より比較的急な勾配で海に臨み，陸上起源の堆積物により形成された海岸線。中性海岸線の一種。
扇状地三角州	せんじょうちさんか くす	fan delta	河川が山地から直接的に湖や海に注ぎ込んでできる。通常の三角州より堆積物の粒度が粗い。
扇状地堆積物	せんじょうちたいせ きぶつ	alluvial fan sediments	扇状地を構成する堆積物。一般的に淘汰されていない砂礫で構成されている。
扇状地断層崖	せんじょうちだんそ うがい	fan scarp	扇状地を切って形成された低断層崖。未開析の扇状地を切断する場合数千年以降に断層運動があったことを示す。
扇状地デルタ	せんじょうちでるた	fan delta	扇状地三角州と同義。
扇状地部	せんじょうちぶ	fan area	低地（平地）の中で，山地から供給された比較的粗粒な土砂が一時的に貯留される所で，傾斜が急な所。
扇状地礫岩	せんじょうちれきが ん	fanglomerate	沖積扇状地の扇頂部付近の固化した粗粒碎屑堆積物。淘汰の悪い大礫や礫が主体。
扇状展開爆発法	せんじょうてんかい ばくはつほう	fan shooting	屈折法地震探査において，震源の周囲に多数の受振器を扇状に展開し，局所的な速度構造を調査する方法。
洗浄淘汰法	せんじょうとうたほ う	elutriation method	粒子の流体中における沈降速度が粒径によって異なることを利用した粒径分析方法の一つ
扇状へき開（扇状劈開）	せんじょうへきかい	fan cleavage	褶曲している地層において褶曲軸面を中心として，へき開（劈開）面が扇状に広がっているへき開（劈開）。扇形へき開（劈開）ともいう。
線状模様	せんじょうもよう	linear pattern	リモートセンシングなどにより観測された画像データ中に見られる，連続線のように認識される特異なパターン。

染色試験法	せんしょくしけんほう	staining test	試薬を鉱物に吸着・着色させて鉱物を同定する定性分析。カリ長石と斜長石の識別などに有効。
全磁力	ぜんじりょく	total magnetic force	地球磁場は大きさと方向とからなるベクトル量であり、このうち大きさを全磁力（磁場強度）という。
前震	ぜんしん	foreshock	大きな地震の起こる前にその震源域で起こる小さな地震。ただし、大地震の前に必ず起こる訳ではない。
先進坑	せんしんこう	pilot tunnel	地質確認や水抜きなどの目的で、本坑の断面内あるいは断面外に本坑に先行して掘削される小径のトンネル。
鮮新－更新世境界	せんしんこうしんせい いきょうかい	Plio-Pleistocene boundary	新生代の第三紀と第四紀の境界。約164万年前。
先進削孔	せんしんさっこう	pilot drilling	切羽前方の地質や湧水状況を探るため、掘削作業に用いている削岩機で切羽前方に孔をあけてみることに。
鮮新世	せんしんせい	Pliocene (epoch)	新第三紀最後の時代（510～164 万年前）。
ぜん新世（漸新世）	ぜんしんせい	Oligocene (epoch)	新生代古第三紀を三分した最後の時代（3,800～2,400万年前）。
前進性海岸	ぜんしんせいかいが ん	advancing coast	海岸線が海の方へ前進し、形成された海岸。離水・堆積が、沈水・浸食を上回る場合に起こる。
鮮新統	せんしんとう	Pliocene (series)	鮮新世に形成された地層・岩体。
ぜん新統（漸新統）	ぜんしんとう	Oligocene (series)	ぜん新世（漸新世）に形成された地層・岩体。
先進導坑	せんしんどうこう	advancing drift	全断面工法や上半先進工法が採用できないときに、本坑断面内に先行して掘削される小断面のトンネルのこと。側壁導坑、底設導坑、頂設導坑、中央導坑などがある。
先進導坑式掘削	せんしんどうこうし きくっさく	advancing drift excavation method	本坑の掘削に先立って、作業効率の向上、支持力の確保（側壁コンクリートの先行打設）、地質確認、水抜きなどの目的で導坑を先進させる工法。
先進ボーリング	せんしんぼーりんぐ	pilot boring	トンネル切羽前方の地質・地下水およびガスなどの確認のため、トンネル坑内で先行的に実施するボーリング。
全水頭	ぜんすいとう	total head	水流のもつポテンシャルを基準面からの高度で表したものの。圧力水頭、位置水頭、速度水頭の合計で表される。
線スペクトル	せんすべくとる	line spectrum	原子や一部の分子のエネルギー状態が変化することで発せられる電磁波や吸収による離散的なスペクトル。

浅成鉱床	せんせいこうしょう	supergene deposit	天水の作用により二次的に生成した鉱床の総称。深成鉱床の対語。
浅層安定処理	せんそうあんていしより	shallow soil stabilization	地表面下数m程度の浅層部分を対象とした土質安定処理。
漸増型平板載荷試験	ぜんぞうがたへいばんさいかしけん	incremental plate loading test	破壊荷重，または規定荷重まで荷重を漸増させる平板載荷試験。
漸増載荷圧密試験	ぜんぞうさいかあつみつしけん	constant loading rate consolidation test	荷重を一定速度で増加させていく急速圧密試験法の一つ。
先造山時火成活動	せんぞうざんじかせいかつどう	preorogenic magmatism	H. Stille(1940)の分類による，地向斜期の火山活動。初期火山活動ともいう。
浅層地盤改良	せんそうじばんかいりょう	shallow soil improvement	土質安定処理工法の一つで，地表から深さ数m程度の土質地盤における地盤改良をさす。
浅層地下水	せんそうちかすい	shallow ground water	十数mから数十mよりも浅い地下水のこと。30mを境に深層地下水と区分することが多い。慣用的な表現。
全層雪崩	ぜんそうなだれ	full-depth avalanche	地表面を滑り面とする雪崩。これに対し，積雪層のうちある層を滑り面とするものを表層雪崩という。
浅層反射法地震探査	せんそうはんしゃほうじしんたんさ	shallow seismic reflection method	地下数100m以内の浅層における地下構造の解析を対象として反射波を利用する地震探査法。建設・土木・地熱など用途が広い。
センタードレーン	せんたーどれーん	center drain	トンネルの底盤中央の下に設置される排水管。周辺地山から浸出する地下水はセンタードレーンで坑外へ排出される。
センターホール型荷重計	せんたーほーるがたかじゅうけい	center-hole type load cell	中空円筒型の荷重計。アンカーロッドなどの張力計測に用いられる。
センターホールジャッキ	せんたーほーるじゃっき	center hole jack	中心部に円柱状の穴を有するジャッキ。ロックボルトやアンカーなどの引抜き試験によく用いられる。
仙台石	せんだいいし	Sendai ishi	北上山地南部，下部三じょう系（三疊系）稲井層群中の頁岩の石材名。大きな石材が得られるので，石碑・床材などに利用される。
全体カットオフ	ぜんたいかつとおふ	total cut off	部分的な不透水構造物に対する対語で，ダム全体に施工する不透水構造物（止水壁）。
先第三紀	せんだいさんき	Pre-Tertiary (period)	第三紀より前の時代（6,500万年以前）すべてをさす非公式な名称。基盤岩の時代をさす場合が多い。
選択交代作用	せんたくこうたいさよう	selective metasomatism	特定の岩石・鉱物が他のものよりも受けやすい交代作用。石灰岩に鉄・マグネシウムが添加されやすいことなどがその例。

選択採掘	せんたくさいくつ	selective mining	鉱体中の比較的高品位の部分だけを選択的に採掘すること。大規模機械化、低品位鉱の大量生産などとは反対。
選択取水設備	せんたくしゅすいせつび	selective water withdrawal equipment	水質・水温などの条件で選んだ水の取水が行なえるよう、取水する深さを選択できる構造をもつ貯水池の取水設備。
選択浸食	せんたくしんしょく	selective erosion	差別浸食ともいう。同一の浸食過程による不等的浸食ないし、断層・節理などの弱線に沿う浸食。
選炭	せんたん	coal dressing	原炭から不純物を選別して、石炭中の灰分・イオウ分などをできるだけ除去して石炭の品位を高める作業。
扇端	せんたん	toe of fan	扇状地の下流側の端付近、扇状地面の末端部。扇状地堆積物としてしばしば泥質堆積物を挟む。
せん断	せんだん	shear, shearing	物体のある面に平行に力が作用し、体積は変化せず形のみ変化する事。
せん断応力	せんだんおうりょく	shear stress	面要素に平行に作用する応力。接線応力ともいう。
せん断遅れ	せんだんおくれ	shear lag	補強剤が接合された薄肉部材に荷重が作用したときに、接合部で応力が大きくなる現象。
せん断角	せんだんかく	shear angle	共役断層にみられるような、二つのせん断面のなす角度のうち、最大圧縮主応力軸を含む側の角度。
せん断強度	せんだんきょうど	shear strength	物質が破壊するときのせん断応力。一般的には破壊強度からせん断強度定数 (c, ϕ) を求める。
せん断強度定数	せんだんきょうどじょうすう (ていすう)	shear strength parameter	せん断強さを表す定数。一般にクーロンの破壊規準に準拠して、粘着力 c とせん断抵抗角 ϕ の式で表す。
せん断杭	せんだんぐい	pile for shear reinforcement	地すべり抑止杭の一種。曲げ応力は考慮せず、すべり面のせん断抵抗力を増加させることにより地すべりを抑える。
先端駆動型ドリル	せんたんくどうがたどりる	down-hole motor drill	ロッド先端に特殊な機械装置を取り付け、ビットだけが回転する形式としたドリル。
せん断クリープ	せんだんくりーぷ	shear creep	一定応力下で材料のせん断ひずみが時間とともに次第に増加する現象。
せん断座屈	せんだんざくつ	shear buckling	せん断応力による部材の座屈。

せん断試験	せんだんしけん	shear test	土や岩石のせん断強度（粘着力，内部摩擦角）・変形特性を求める試験．载荷方式によってせん断応力载荷型・主応力载荷型に大別され，さらに前者は側方変位拘束型（一面せん断，単純せん断など），側方変位非拘束型（ねじりせん断など），後者は軸対称型（一軸圧縮・三軸圧縮・三軸伸張など），三主応力型（三主応力制御試験など）に分類される．
せん断試験機	せんだんしけんき	shear testing apparatus	物体にせん断荷重を加えて破壊し試験体の変形特性や強度定数を求めるための試験機．
先端支持杭	せんたんしじぐい	point bearing pile	支持層となる地盤に到達した杭の先端の支持力だけに頼る基礎杭．
先端支持力	せんたんしじりよく	end bearing capacity	支持層に打ち込まれた杭の先端部分が支える力．杭の施工法と先端地盤の性状によって変化する．
せん断褶曲	せんだんしゅうきよく	shear fold	密に分布するせん断面で滑ることにより生じた褶曲．理想的には相似褶曲，地下深部で生成と考えられている．
せん断褶曲作用	せんだんしゅうきよくさよう	shear folding	せん断褶曲をつくる作用．曲げ褶曲より地下深部で形成されると考えられている．
先端接着型ロックボルト	せんたんせつちやくがたろつくぼると	point bonded rock bolt	先端のみを地山に接着したロックボルト．接着剤の固化後，締め付けを行う必要がある．
せん断節理	せんだんせつり	shear joint	せん断破壊によってせん断面に形成された節理．主圧縮応力と高角の一組の共役節理からなる．
せん断速度	せんだんそくど	shear velocity, rate of shear	物体のある面に沿ってせん断応力が作用する速度．
せん断帯	せんだんたい	shear zone	せん断変位が分散したゾーン．大小の断層が密集並走し，変形・破碎組織をもつ．強度的弱線になることがある．
せん断耐力	せんだんたいりよく	shear capacity	材料の最大せん断抵抗力．
せん断弾性係数	せんだんだんせいけいすう	shear modulus	体積が変わらずに形状が変化する場合に対応する弾性係数のこと．せん断応力のせん断ひずみに対する比にあたる．
せん断弾性波速度	せんだんだんせいはいはそくど	shear velocity, shear wave velocity	せん断波速度と同義
せん断弾性率	せんだんだんせいりつ	shear modulus	せん断応力とせん断ひずみとの比で，単位あたりの角ひずみを引き起こすせん断応力．
せん断中心	せんだんちゅうしん	shear center	せん断力の合力（作用線）のうち断面内においてねじりモーメントを生じず，曲げモーメントのみ生じる点．

せん断強さ	せんだんつよさ	shear strength	せん断に対する極限の強さ。垂直応力，拘束圧，排水条件，ひずみの割合に依存する。せん断強度。
先端抵抗	せんたんていこう	point resistance	杭の支持力は先端の支持力と周面摩擦よりなる。このうち前者の抵抗力をさす。
せん断抵抗	せんだんていこう	shearing resistance	物体にせん断力が作用した際に生じるせん断応力に対する抵抗力。摩擦抵抗と粘着力よりなり，せん断強さと同義語。
せん断抵抗角	せんだんていこうかく	angle of shear resistance	土のせん断強さのパラメータの一つ。内部摩擦角と同義。
せん断抵抗力	せんだんていこうりょく	shear resistance	せん断が生じるような力に対抗して物体内部に生じるせん断応力。せん断強さと同義語として使用される。
せん断波	せんだんは	shear wave	地震によって発生する弾性波のうち，振動方向が進行方向に垂直な面内にあるもので，横波，S波ともよばれる。
せん断破壊	せんだんはかい	shear failure	せん断応力を受ける物体がすべり面に沿ってせん断ひずみを生じ破壊すること。
せん断箱	せんだんばこ	shear box	一面せん断試験装置の一部で試料を入れる上下二つに割れた箱。上下の境界面をせん断面として直接せん断を行い，せん断強度を求める。試験法が整備され粘性土への適用が増えている。
せん断波速度	せんだんはそくど	shear wave velocity	衝撃などによるせん断（剪断）ひずみが物質中を伝搬する速度。S波速度とも呼ばれる。液体中は伝搬しない。
せん断ひずみ	せんだんひずみ	shear strain	せん断応力によるひずみ。互いに直交する2平面間の角度の変化で示す。
せん断ひずみ速度	せんだんひずみそくど	shear strain rate	せん断ひずみの時間的な変化の割合。
せん断へき開 (せん断劈開)	せんだんへきかい	shear cleavage	褶曲軸面に平行なすべりへき開。ちりめんじわへき開（細密褶曲へき開）と同義語。
せん断変位計	せんだんへんいけい	shear displacement meter	地すべりの横断方向の変位（せん断変位）を測定するための計器で，支点間の鉄パイプの回転を付随するリン青銅板のひずみとして静ひずみ指示計で測定する計器などがある。
せん断変形	せんだんへんけい	shear deformation	体積変化を伴わない物質の形状の変化。
せん断変形係数	せんだんへんけいけいすう	shear modulus	剛性率と同義語。
せん断摩擦安全率	せんだんまさつあんぜんりつ	safety factor against shear sliding	ダム基礎のせん断破壊に対する安全率のことで，ヘニー式で求められる。

せん断摩擦抵抗力	せんだんまさつていこうりょく	resistant force against shear failure, force of shear sliding resistance	ダム基礎のせん断破壊に対する抵抗力をいい、基礎のせん断強度と内部摩擦角の関数である。
せん断面	せんだんめん	shear plane	面に沿うずれを生じている破壊面。1方向にできる場合と対称的な2方向にできる場合がある（共役せん断面）。
せん断面角	せんだんめんかく	angle of shear	岩盤に見られる一組の共役せん断面のなす角度のうち、鋭角の方。
全断面掘削	ぜんだんめんくっさく	full face excavation	全断面工法と同義。
全断面掘削機	ぜんだんめんくっさくき	full face tunneling machine	トンネルの全断面を掘削する機械の総称。回転カッターにより切削する方式。全断面の発破掘削を行うために用いるガントリージャンボなどがある。
全断面掘削工法	ぜんだんめんくっさくこうほう	full face excavation method	全断面工法と同義。
全断面坑道掘進機	ぜんだんめんこうどうくっしんき	full face tunneler, tunnel boring machine	全断面トンネル掘進機と同義。
全断面工法	ぜんだんめんこうほう	full face excavation method	トンネルの全断面を同時に掘削する工法。地質条件が良い場合に採用され、大型機械を使用することができる。インバート部は後から掘削されることもある。
全断面トンネル掘進機	ぜんだんめんとんねるくっしんき	full face tunneler, tunnel boring machine	トンネルの全断面を同時に掘削する機械。円形の掘削機の前面に回転するカッターを備える。トンネルボーリングマシン。
全断面覆工	ぜんだんめんふっこう	full round placing system	トンネルの2次覆工コンクリートの施工で、アーチ部と側壁部を同時に打設する方法。NATMでは全断面覆工が標準となっている。
扇端湧水帯	せんたんゆうすいたい	spring zone of fan	扇状地末端部の地下水面露頭が湧泉や湿地を形成する地域。地形が平坦地へ移行する傾斜変換点付近にあたる。
せん断領域	せんだんりょういき	shear domain	せん断ひずみが特に大きく、あるいはせん断破壊が進行して、他の部分と不連続になった領域。
前置斜面	ぜんちしゃめん	foreset slope	三角州の末端部（前面）に堆積物がつくる急傾斜の斜面。
前置層	ぜんちそう	foreset beds	三角州の前面に形成される急斜面に斜交層理を形成して堆積する砂、礫などの粗粒堆積物。
全窒素	ぜんちっそ	total nitrogen	水質汚濁の指標となる水質項目の一つで、いろいろな形態の窒素化合物に含まれる窒素の総量。
前置フィルタ	ぜんちふいるた	prefilter	気体中に含まれる放射性物質を除去するためのフィルタで、通常はHEPAフィルタの前に設置される。

扇頂	せんちょう	apex of fan	扇状地の上流側の端付近, 谷の出口部分. 扇状地の扇のかなめに当たるところ.
閃長岩	せんちょうがん	syenite	石英が少なく, カリ長石・有色鉱物を主成分とする完晶質中～粗粒の深成岩. アルカリ岩に伴って産する.
扇頂かん養帯 (扇頂涵養帯)	せんちょうかんよう たい	recharge zone of fan	扇状地へ流入する河川水の伏流浸透によって地下水がかん養(涵養)を受ける地域のこと, 扇状地の扇頂部にあたる.
前兆現象	ぜんちょうげんしょう	precursory phenomenon	ある現象が起こる前に発生する現象に対する一般的な用語. 地震について議論されることが多い.
尖頂褶曲	せんちょうしゅう きょく	chevron fold	屋根型に尖ったヒンジと板状の脚をもった褶曲. シェブロン褶曲・マイター褶曲とも.
閃長閃緑岩	せんちょうせんりょ くがん	syenodiorite	ほぼ等量の斜長石とアルカリ長石を含む中性・完晶質粗粒の深成岩. モンゾナイトと同義語.
閃長斑岩	せんちょうはんがん	syenite porphyry	閃長岩(カリ長石・有色鉱物を主成分とする深成岩)のうち, 完晶質斑状の岩石.
尖頂峰	せんちょうほう	horn	氷食地形の一種で, 3方向ないし4方向からのカールの切合いの後に残る三角錐型の鋭い岩峰. ホルンともいう. 尖峰と同義.
全沈下	ぜんちんか	total settlement	基礎の沈下形状における各測点の沈下の絶対量.
尖度	せんど	kurtosis	粒径分布曲線の形状を示す方法の一つ. 両端と頂点の分級度の比で求められる.
全土圧	ぜんどあつ	total earth pressure	土塊重量により構造物壁面などに作用する全圧力.
潜頭鉱床	せんとうこうしょう	concealed deposit	地表に露頭がなく地下にだけ発達する鉱床.
善徳地すべり	ぜんとくじすべり	the Zentoku landslide	1854年以降繰り返し発生し, 徳島県三好郡西祖谷山村で災害を引き起こしている. 三波川結晶片岩地帯の代表的な地すべり.
セントライザー	せんとらいざー	centralizer	電気検層など各種検層において, 孔内に降下させる電極装置の中心を孔中心に保持する装置.
セントル	せんとる	form for tunnel lining, form for arch concrete	トンネル覆工の現場打ちコンクリートで用いられる鋼製移動式型枠.
先長沼期	せんながぬまき	pre-Naganuma age	相模層群最下部の長沼層堆積以前をさす. 長沼層は上総層群の上位に不整合で重なる.

泉南酸性岩類	せんなんさんせいがんるい	Sennan acidic rocks	大阪府南部の和泉山脈北麓から淡路島の一部にかけて分布する流紋岩～同質溶結凝灰岩と碎屑岩。
穿入蛇行	せんにゆうだこう	incised meander	屈曲する谷の中を流れる河川。自由蛇行に対する用語。下刻曲線ともいう。
仙人断層	せんにんだんそう	Sennin fault	岩手県北上市西方を南北に走る断層。東北脊梁山脈の東縁付近に山脈方向とほぼ平行に位置する。
仙人峠断層帯	せんにんとうげだんそうたい	Sennintoge fault belt	岩手県北上市西方を南北に走る断層帯。グリーンタフ地域の東縁を示す。
潜熱	せんねつ	latent heat	物質が一定の温度、圧力下で、その状態が固体、液体、気体へ相変化する時に発生または吸収する熱。
浅熱水鉱床	せんねつすいこうしょう	epithermal deposit	火成岩の形成過程と明確な関係を持たない熱水鉱物の鉱床。
浅熱水成	せんねつすいせい	epithermal	浅熱水鉱床と同義。
浅発地震	せんぱつじしん	shallow earthquake	地震をその震源の深さによって浅発・やや深発・深発地震の三つに分け、60kmよりも浅い震源の地震。
全反射	ぜんはんしゃ	total reflection	低速度媒質から高速度媒質に波が入射した場合、入射角が臨界角より大きいと入射波がすべて反射される現象。
全比重	ぜんひじゅう	bulk density	岩石学で固相に粒子間隙や気泡を含めた全体の単位体積あたりの重量。見かけ比重ともいう。
線ひずみ計	せんひずみけい	wire strain gauge	電気抵抗線ひずみ計と同義。
前氷河地域	ぜんひょうがちいき	preglacial	氷河に覆われる以前の地域。
全幅魚道	ぜんぷくぎょどう	full width fish way	川幅（流路幅）全面を魚道として利用しているもので、階段式や水路式などが存在する。
浅部トンネル	せんぶとんねる	shallow tunnel	土被り厚が薄いトンネル。地山のアーチアクションが期待しがたいトンネル掘削径2倍以下の土被り厚のトンネル。
選別ロックフィル	せんべつろっくふいる	selected rockfill	硬岩原石山がなく、堆積土砂や崖錐、火山碎屑物層などから利用できるロック材を選別採取して盛立てる工法。
尖峰	せんほう	horn	尖頂峰と同義語。ホルンともいう。

前方交会法	ぜんぼうこうかいほう	method of forward intersection	平板測量などにおいて、2箇所の既知点からの方向線の前方交差によって目標の位置を求める方法。
線膨張係数	せんぼうちょうけいすう	coefficient of linear expansion	温度変化に伴う固体の膨張・収縮の変化量を示す。温度1°Cの変化に伴う単位長さの変化量として定義。
線膨張率	せんぼうちょうりつ	coefficient of linear expansion	温度変化に伴う固体の膨張・収縮の変化量を示す。温度1°Cの変化に伴う単位長さの変化量として定義。
千枚岩	せんまいがん	phyllite	一般に泥質岩起源の変成岩。変成度は粘板岩と結晶片岩の中間。黒色。片理がよく発達し薄板状に剥がれやすい。
千枚田	せんまいだ	step-like paddy field	傾斜地を耕して階段状に作った水田。その多くが地すべり地を利用して作られている。棚田とも呼ぶ。
潜マグマ鉱床	せんまぐまこうしょう	cryptomagmatic deposit	火成岩体から離れて存在し、付近に成因的に関係のある火成岩体が認められない鉱床。
千厩花崗岩	せんまやかこうがん	Senmaya granite	南部北上山地に分布する白亜系花崗岩類。全体として斜長石に富む石英閃緑岩質の岩体。
尖滅	せんめつ	thin out, pinch out, pinching, wedge out, lensing	岩相変化の一形式。ある地層が側方へ厚さを減じ、やがて消滅すること。
せん滅トラップ	せんめつとらっぷ	pinch-out trap	石油・天然ガスを貯留する地質条件が地層のせん(尖)滅により形成されたもの。
全面接着型ロックボルト	ぜんめんせつちやくがたるつくぼると	fully bonded bolt	モルタルやセメントミルクなどの接着剤で全長を地山に接着させたロックボルト。
千屋断層	せんやだんそう	Senya fault	地震断層。確実度 I, 活動度 B 級。横手盆地東縁活断層系の一つで、陸羽地震(1896)の時に活動した。平均変位速度は0.8~1.0m/10 ³ 年の逆断層。
前陸盆地	ぜんりくぼんち	fore deep	地向斜説の造山運動において、山脈形成時の前面に生じるモラッセの堆積盆。前縁盆地と同じ。
潜流	せんりゅう	underflow	河床堆積物中を河川水が浸透流動する状態。流速は地表水より遅いが周辺の地下水よりも早い。
線量	せんりょう	dose	放射線の照射量。被照射物質の単位質量に吸収されるエネルギーもしくはそれに比例する量で表す。
線量計	せんりょうけい	actinometer	放射エネルギーや放射線強度の計測器の総称。とくに、太陽放射エネルギーや紫外線の強度を計測するものをさす。
閃緑岩	せんりよくがん	diorite	斜長石・角閃石・黒雲母を主成分とする完晶質の中性深成岩。花崗岩体・はんれい岩(斑糲岩)体の周辺に産することが多い。

閃緑斑岩	せんりよくはんがん	diorite porphyry	閃緑岩（斜長石・角閃石などの有色鉱物を主成分とする深成岩）と同じ鉱物組成で完晶質斑状の岩石。閃緑ひん岩ともいう。
せん裂帯	せんれつたい	crush zone	岩石が機械的に破砕され生じた断層内物質を含む破砕帯のうち、せん断性の断裂によるもの。
ソイルアセスメントコーンペネトロメータ	そいるあせすめんとコーンペネとろめータ	soil assessment cone penetrometer	軍用車両の土質地盤における運搬・走行性を測定するため開発されたコーンペネトロメータ。
ソイルエクスキャベーター	そいるえきすかべーたー	soil excavator	土砂や軟岩など固結土の低い地山を掘削し、掘削土砂を積み込む機構を持った掘削機械。
ソイルコンスティテューション法	そいるこんすていちゅーしょんほう	soil constitution method	室内試験結果より地盤の熱伝導率を求める方法。
ソイルサンブラ	そいるさんぷら	soil sampler	未固結の堆積物・土壌を採取するために使用される各種の器具。攪乱試料用と不攪乱試料用に大別される。チューブ式サンブラやオーガー、ショベルなどがある。
ソイルセメント	そいるせめんと	soil cement	土砂にセメントを添加混合した改良土。現地で発生する土砂を利用し、押さえ盛土などに用いられる。
ソイルセメント舗装	そいるせめんとほそう	soil-cement pavement	土とセメントを混合し、ローラで転圧する舗装方法。たわみ性舗装用路盤が形成される。
ソイルネイリング工法	そいるねいりんぐこうほう	soil nailing method	鉄筋補強土工法の一つで、主として切土のり面の安定化のために用いる。のり面に一定パターンで掘削し、鉄筋などを挿入、セメントペーストで定着させる。
ソイルミキシングウォール工	そいるみきしんぐうおーこう	soil mixing wall method	土中削孔時、混合液を吐出し掘削土砂と混合させ、柱列のソイルセメント壁体を築造する工法。
ソイルモルタル	そいるもるたる	soil mortar	現地発生土とセメントと水で混合したソイルセメントに細骨材を混合したもの。土の安定処理の目的に用いる。
素因	そいん	primary cause	地すべりを発生させる要素のうち、十分条件としての地質や地形的な要素。逆に直接原因を誘因という。
相	そう	facies	均一な性質をもったもの。その意味は広く、堆積学では層相、岩石学では鉱物相や変成相など。
層位	そうい	stratigraphy	層序に同じ。ある地域における地層の重なり順序、すなわち新旧を示したもの。
層位学	そういがく	stratigraphy	地層の生成年代の新旧を基準として地層を区分し、対比する地質学の一分野。層序学と同義。
層位トラップ	そういとらっぷ	stratigraphic trap	不整合・岩相変化などの層位学的要素が原因となった石油・天然ガス貯留の地質条件。

層位封塞型鉱床	そういふうそくがたこうしょう	stratigraphic trap type deposit	堆積様式など層位的要因で生じたトラップ（層位トラップ）に形成された石油鉱床。
早雲山地すべり	そううんざんじすべり	the Sounzan landslide	1954年に神奈川県足柄下郡箱根町の神山北東方斜面で発生した地すべり。硫気ガスが誘因となった温泉地すべり。
騒音	そうおん	noise	人の聴覚に対して不快感をおよぼす音。周波数、音量、周囲の環境により騒音の基準は異なる。
騒音計	そうおんけい	sound meter, sound level meter	騒音を計測するための器具。騒音の度合いをデシベルまたはホンを単位とする数値で表示する。
騒音測定	そうおんそくてい	measurement of sound level	騒音の測定法はJIS、環境基準、騒音規制法などに規定されており、通常人の聴感の周波数特性で補正した騒音レベル（単位dB）で評価される。
騒音レベル	そうおんれべる	sound level	騒音を評価するための基本量。音圧レベルに周波数に応じた相対レスポンスを加えたもの。単位はデシベル（dB）。
層灰岩	そうかいがん	tuffite	火山灰と泥などが交互に堆積し、細かい葉理を示す堆積岩。
総荷重強度	そうかじゅうきょうど	gross loading intensity	基礎底面上にかかる全荷重によって生ずる鉛直方向の荷重強度。
層間	そうかん	interformational	層間褶曲など、地層と地層との間の事象についていう術語。ただし層間礫岩はその例外的用法（層間礫岩参照）。
相関関数	そうかんかんすう	correlation function	時間変化する二つの信号の、異なる時点での波形の類似性を表す関数。自己相関関数と相互相関関数がある。
相関行列	そうかんぎょうれつ	correlation coefficient matrix	多変量解析において、目的変数、説明変数間の全ての組合せの単相関係数を要素とする行列。
相関係数	そうかんけいすう	correlation coefficient	二つの確率変数が与えられた際、両者の相互関連の程度を示す指標。通常+1から-1までの値で基準化される。
造岩鉱物	ぞうがんこうぶつ	rock-forming minerals	主な火成岩・変成岩・堆積岩を構成する鉱物。主要なものは石英・長石・輝石・角閃石・黒雲母などの珪酸塩鉱物。
層間水	そうかんすい	interlayer water	スメクタイトなどの層状珪酸塩粘土鉱物の成分層間に含まれる水分。温度・湿度・交換性陽イオンの種類により変化。
層間落差	そうかんらくさ	stratigraphic throw	断層の両側に同一の地層があるときの、地層面に垂直な方向での両層の隔離。層位学的隔離ともいう。
層間礫岩	そうかんれきがん	interformational conglomerate	地層の内部に挟まれる礫岩で、礫の供給源は外部の地層である。

送気式坑内換気	そうきしきこうないかんき	air supply ventilation	掘削作業中のトンネルで、坑口に送風機を設置し、風管で新鮮な空気を切羽付近に送気する換気方法。
早強剤	そうきょうざい	accelerator	セメントの水和反応を刺激してコンクリートに急結性を付与する混和剤。
早強セメント	そうきょうせめんと	high early strength cement	早期において強度がでるように調製されたセメント。
双極子法	そうきょくしほう	dipole method	電流双極子による電場を、その周辺において電位双極子を用いて多数測定する電気比抵抗法。
層群	そうぐん	group	地層命名規約に基づく地層区分の単位。二つ以上の累層から構成される。命名の古いものは累層に細分されていないものがある。
象牙質	ぞうげしつ	dentine	脊椎動物の歯を構成する基本的硬組織。水酸りん灰石微晶とコラーゲンが主。硬骨魚類を除く魚類の鱗にも存在。
走向	そうこう	strike	地層面・断層面などの平面と水平面との交線の方向。
走向移動	そうこういどう	strike slip	断層の変位の要素に関する用語で、実移動の走向成分のこと。
走向移動断層	そうこういどうだんそう	strike-slip fault	断層の主要な運動方向が走向移動である断層。走向すべり断層、走向ずれ断層ともいう。
造構運動	ぞうこううんどう	tectonic movement	地層や岩石を変位・変形させ、褶曲・断層など構造的変形や破壊を起こす運動および過程の総称。構造運動ともいう。
造構応力	ぞうこうおうりょく	tectonic stress	地殻の大きな変動に関与する応力。地球内部では対流やプレート運動により、非静水圧的な応力場が形成される。
走向隔離	そうこうかくり	strike separation	断層の変位の要素に関する用語で、隔離の走向成分のこと。
造構過程	ぞうこうかてい	tectonic process	地殻を構成する地質体を変位・変形させ、褶曲・断層などの構造的変化を引き起こす過程。
走行クレーン	そうこうくれーん	travelling crane	クレーン設備が自在に移動できる荷役機械。トラッククレーン・クローラクレーンなどがある。
走向・傾斜	そうこうけいしゃ	strike・dip	地層面・節理面などが水平面と交わる直線の方角を走向といい、これらの面と水平面がなす角度が傾斜である。
走向谷	そうこうこく	strike valley	走向に平行に発達した谷。硬軟差のある地層で軟質層が差別浸食を受けたもの。

走向山稜	そうこうさんりょう	strike ridge	走向に平行に発達した山稜。硬軟差のある地層で硬質層が差別浸食から残ったもの。
造構史	ぞうこうし	tectonic history	地殻の発達過程を研究する構造地質学的手法、またはそれによって解明された歴史。構造発達史とも。
造構軸	ぞうこうじく	tectonic axis	変形した岩石における運動の釣り合いに関して用いられる軸。
走向すべり断層	そうこうすべりだんそう	strike-slip fault	走向移動断層と同義。
走向ずれ断層	そうこうずれだんそう	strike-slip fault	走向移動断層と同義。
走向節理	そうこうせつり	strike joint	層理面や褶曲軸などの走向に平行な節理。
走向線	そうこうせん	strike line	地層面・断層面・節理面などの面構造と水平面との交線。面構造の延長方向を示す。
走向線図	そうこうせんず	strike-line map	水平断面上に地層の走向に平行な線を連ね、地質構造を表した図。傾斜方向を矢印、傾斜角を線の間隔で表示。
層構造	そうこうぞう	layered structure, layer structure	異なる地質や物性を持つ地盤などが層状に存在していること。地層構造・速度層構造などと呼ぶ。
造構造運動	ぞうこうぞううんどう	tectonic movement	造構運動と同義。
走向断層	そうこうだんそう	strike fault	地層面と断層面との走向の関係による断層の分類の一つで、断層面の走向が地層や岩脈の走向と平行な断層。
総合柱状図	そうごうちゅうじょうず	compiled column	個々の露頭柱状図をまとめて、その地域全体の層序を示した一本の柱状図。柱状図の高さは地層の厚さを反映。
層孔虫類	そうこうちゅうるい	<i>Stromatoporoides</i> , <i>Stromatoporida</i>	海綿動物とされ、石灰質の骨格を持つ。群衆で礁を形成。温暖な環境を示す示相化石。オルドビス～白亜紀に生息。
造構的応力場	ぞうこうてきおうりょくば	tectonic stress field	プレートなどの運動により、圧縮や引張りの応力を受けて断層などの変動が生ずるような広域的な領域の場。
総合浮選	そうごうふせん	bulk flotation	鉱石に含まれる複数の鉱物を選別せずに濃縮する浮選。バルク精鉱を優先浮選により各鉱物の精鉱に分離する。
層厚補正	そうこうほせい	bed thickness correction	送・受信器間隔に対する層厚や比抵抗検層における隣接層の比抵抗が小さい場合に行う測定値に対する補正。

造構論	ぞうこうろん	tectonics	テクトニクスと同義語。
相互相関	そうごそうかん	cross correlation	二つの関数の類似性を表す量。関数が正規化されている場合、完全相関なら1、無相関の場合は0に近くなる。
走査型電子顕微鏡	そうさがたでんしけんびきょう	scanning electron microscope	試料上を電子線で走査し、数十倍から数万倍の倍率で立体効果の高い画像が得られる電子顕微鏡。
走査型放射計	そうさがたほうしゃけい	scanning radiometer	受動型センサの一種で、波長別の電磁波の強度を回転鏡や振動鏡といった機構により面的に測定する装置。
走査型マイクロ波放射計	そうさがたまいくろはほうしゃけい	scanning microwave radiometer	物体の熱放射によるマイクロ波を輝度温度としてアンテナで受信・測定するセンサ。空間分解能は低い。
造山運動	ぞうざんうんどう	orogenic movement	文字どおり山地を形成する運動。大規模な褶曲や断層を伴う。
造山期	ぞうざんき	orogenic phase	造山運動の間で、最も激しい地殻変動が行われた時期。
造山時火成活動	ぞうざんじかせいかつどう	synorogenic magmatism	地向斜説で、地向斜が深く沈降して激しい構造運動とともに起きる花崗岩類の活動で特徴づけられる火成活動。
造山帯	ぞうざんたい	orogenic belt	造山運動の起こった地帯をいい、現在において主に衝突性のプレート境界にあたる地殻変動の活発な地帯。
造山帯片麻岩ドーム	ぞうざんたいへんまがんどーむ	mantled gneiss dome	地下深部で生じた片麻岩や片麻状花崗岩などがダイアピル貫入を生じることより形成されるドーム構造。
造山輪廻	ぞうざんりんね	orogenic cycle	造山運動が地史の上で、ほぼ同じような形式で繰り返し起こったとみて、表現したもの。
走時	そうじ	travel time	弾性波が震動源から受振点までの伝播に要する時間。伝播経路、経路の速度分布、弾性波の種類に関する。
走時解析	そうじかいせき	analysis of travel time	屈折法地震探査において、探査記録から走時曲線を作成し、その解析から速度断面を求めること。
走時曲線	そうじきょくせん	time-distance curve	受振点における振動記録から走時を読みとり、横軸に受振点距離、縦軸に走時を目盛ってグラフ化したもの。
相似褶曲	そうじしゅうきょく	similar fold	褶曲している全ての層の褶曲面が同一の形状を示す褶曲。褶曲軸面に平行な断面で層厚（褶曲面の間隔）が等しい。平行褶曲と対照。
相似則	そうじそく	similarity rule	模型実験における、模型と実物との寸法、重力、時間の対応関係。

走時表	そうじひょう	time distance table	震源からの距離と地震波などが、その距離に到達する時間の関係を表で示したもの。
層準	そうじゅん	horizon	地層中の特定の位置。同層準とは鍵層などが同時期に形成されたことを示す。
層準規制型硫化物鉱床	そうじゅんきせいかたりゅうかぶつこうしょう	stratabound sulphide ore deposit	鉱床形成の場がある一定の層準に限定されている硫化物鉱床。キースラーガー・黒鉱鉱床などが代表例。
層序	そうじょ	stratigraphy	地層の累重関係や形成順序をさす。層の岩相や分布形態・含有化石などを基準として地層区分を行う。
双晶	そうしょう	twin	2個以上の単結晶が相互に対称的に結合したもの。
層状	そうじょう	stratiform	構造の形態で、規則的かつ連続性の良い縞状または板状のもの。
層状含銅黄鉄鉱鉱床	そうじょうがんだうおうてっこうこうしょう	bedded cupriferous pyrite deposit	主に黄鉄鉱で、黄銅鉱を伴う緻密塊状で層状の鉱床。
層状含銅硫化鉄鉱床	そうじょうがんだうりゅうかてつこうこうしょう	bedded cupriferous iron sulfide deposit	硫化鉄鉱・銅などの集合体からなる緻密塊状の層状鉱床。苦鉄質火山岩起源の変成岩中に胚胎する例が多い。キースラーガーと同義。
層状岩盤	そうじょうがんばん	stratified rock mass	層理・片理が発達した岩盤。岩盤の構造に特定の卓越方向があり、力学的性質や透水性が方向によって異なる。
層状鉱床	そうじょうこうしょう	bedded deposit	堆積岩・変成岩の層理に平行かつ層状に胚胎し、大規模な鉱床を形成。石油・石炭・一部の鉄鉱床はこの型に属する。
搔傷硬度	そうしょうこうど	scratching hardness	引っかき硬さと同義。
層状鉱脈	そうじょうこうみゃく	bedded vein	堆積岩の層理面や変成岩の片理面に沿う割れ目に鉱液や鉱化ガスが充填して形成された層状の鉱脈。
造礁さんご（造礁珊瑚）	ぞうしょうさんご	reef coral	さんご（珊瑚）礁の骨格を作るさんご（珊瑚）類。現世のものは水温18℃以上、塩分27～40‰、30m以浅の海底に繁栄。
層状地盤	そうじょうじばん	layered ground	性状の異なる土や岩石が層状に分布している地盤。
層状水	そうじょうすい	stratum water, stratiform water	比較的均質な透水性地層中を、その地層の分布構造に従うかたちで流動・停滞している地下水および温泉水。
霜晶石	そうしょうせき	pachnolite	組成はNaCaAlF ₆ ・H ₂ O。単斜晶系。硬度3。比重2.98。霜に似た柱状結晶。無色～白色で光沢がある。

層状堆積鉱床	そうじょうたいせきこうしょう	stratiform sedimentary deposit	形状が地層と整合的で、元素・鉱物・岩石片が化学的あるいは機械的に濃集して形成された鉱床。
層状チャート	そうじょうちゃーと	bedded chert	深海底に堆積した放散虫などの微化石の遺骸からなる硬質緻密の珪質堆積岩。泥質薄層を頻繁に挟み層状をなす。
層状鉄鉱床	そうじょうてっこうしょう	stratiform iron ore deposit	堆積型鉄鉱床で、大規模なものが多く、世界の鉄鉱資源の80%以上を占める。
層序学	そうじょがく	stratigraphy	地層の構成要素・相互関係を総合的に研究し、形成の新旧によって地層を区分・対比する地質学の一分野。層位学とも。
層序区分	そうじょくぶん	stratigraphic classification	岩相・含有化石・形成年代などの尺度から体系的に行われる地層区分。岩相層序・生層序・年代層序区分などがある。
層序試錐	そうじょしすい	stratigraphical drilling	地下深部までの層序を総合的に解明するための手段として実施する試錐。
層序図	そうじょず	stratigraphic map	地層の累重関係や形成順序を視覚的に示したもの。層序区分を行う際の作業図や結果図として使用される。
層序対比	そうじょたいひ	stratigraphic correlation	各地域の層序区分を鍵層や化石などの共通に存在する示標を用いて対比すること。主に層序対比表で示される。
層序単位	そうじょたんい	stratigraphic unit	各種の層序区分に基づき分類された地層の単位。各単位は地層命名規約に従い命名される。
層序断面図	そうじょだんめんず	stratigraphic profile	特定の地層を基準として上下層の層相・層厚変化を示す断面図。地層の変形・不連続性は補正して作成する。
層序表	そうじょひょう	correlation table	対象地に分布する地質を標準的な年代区分と対比し、地層の新旧や上下関係を示した表。
送水掘	そうすいぼり	water drilling, blind drilling	スライムの排除、ビットの冷却を目的として、試錐時に清水や泥水を送りながら掘削する方法。
層すべり	そうすべり	bedding plane slide	流れ盤斜面において、地層面をすべり面としてその上部が一体となって滑落するもの。
双設トンネル	そうせつとんねる	twin tunnels	並列して建設された2本のトンネルのこと。トンネルの離間距離は中心線で掘削径の3倍程度とるのが標準。近い場合は近接トンネルとして設計や施工に特別な配慮が必要となる。
層相	そうそう	stratigraphic facies	地層生成時に得られた岩石組成・堆積構造・含有化石内容などの諸性質。岩相・鉱物相・地球化学相・化石相などと区別することもある。
層相図	そうそうず	facies map	特定の地層について層相の空間的な分布を表現した図。図上には岩相・化石相・構造要素などを表現する。

層相変化	そうそうへんか	facies change	地層の形成時期は同一であるが、その構成要素（層相）が空間的に変化していること。
相対間隙比	そうたいかんげきひ	relative void ratio	最大密度・最小密度試験から求まる砂の締まり具合の指標を相対密度 D_r と言い、 $(1-D_r)$ の値を呼ぶ。
相対含水比	そうたいがんすいひ	relative water content	粘性土の液性・塑性限界試験から求まる液性指数の別名で、土の含水比からみた相対的な硬軟を表す指標。
相対屈折率	そうたいくっせつりつ	relative refractivity	電磁波や音などの波が伝播速度の異なる媒質の境界面を通過する時の法線に対する入射角と屈折角の正弦の比。
相対コンシステンシー	そうたいこんしすてんしー	relative consistency	自然含水比状態での相対的な硬さの目安となる指数。 (液性限界－自然含水比) / 塑性指数で表される。コンシステンシー指数とも呼ばれる。
相対浸透率	そうたいしんとうりつ	relative permeability	地層などの空隙中の流体が2相以上の場合の各相の有効浸透率と絶対浸透率との比。
相対層厚	そうたいそうあつ	relative thickness	比抵抗法理論において、層厚の電極間隔に対する比。標準曲線の横軸の値として用いることが多い。
相対沈下計	そうたいちんかけい	relative settlement gauge	地盤や構造物の沈下を計測する装置の一種で、連通管を利用して構造物の不同沈下を測定するもの。
相対年代	そうたいねんだい	relative age	層序や古生物の進化などを尺度とした事象の前後関係を示す年代。これにより地質年代表が作成される。
相対変位	そうたいへんい	relative displacement	不動点より求まる絶対変位ではなく、便宜的に定めた基準点間の変位。構造物の許容沈下量などで考慮される。
相対変位計	そうたいへんいけい	extensometer	2点間の伸縮量を測定するための計器で、2点を結ぶロッドまたはワイヤとその保護管および変位量の測定器で構成される。伸縮計と同義。
相対見掛比抵抗	そうたいみかけひていこう	relative apparent resistivity	あるモデルに対する見掛比抵抗とそのモデルの基準と見なされる地質構成体の真の比抵抗との比。
相対密度	そうたいみつど	relative density	砂質土などの粘着性のない土について、その締まり方の程度を表す指標。
相対密度試験	そうたいみつどしけん	relative density test	砂の最大・最小間隙比を求め、砂の相対密度を評価する試験。
草炭	そうたん	peat	沼沢地などの低湿地で形成された有機物含有量の高い土（泥炭）のうち、草本を主体にするもの。一般にピートともいう。
草地土壌	そうちどじょう	grassland soil	草本類が自然状態で優勢な植生となる土壌。ススキ型・ササ型・シバ型などに区分される。

曹長岩	そうちょうがん	albitite	アルビタイト。アルカリ閃長岩質アプライトの一種。ほとんど曹長石からなる優白色細粒の脈岩で、蛇紋岩など塩基性岩石に伴って産出することが多い。日本ではヒスイ産地である糸魚川市小滝産のものが有名。
曹長石	そうちょうせき	albite	斜長石固溶体のNa端成分 $\text{NaAlSi}_3\text{O}_8$ が100～90%のもの。三斜晶系。硬度6～6.5。比重2.61（平均）。高温型・低温型があり約700℃で転移。アルバイトともいう。
総貯水容量	そうちょうすいようりょう	reservoir capacity, gross capacity of reservoir, gross storage, storage capacity	貯水池の河床からサーチャージ水位もしくは洪水時満水位までの間に貯留できる水の総量。
層積みロックフィル	そうづみろっくふいる	coursed rockfill, bedded rockfill	ロックゾーンを層状にまき出して転圧する工法。ロック材料が不良の場合でも分離や集中がなく均質に仕上げられる。
相転移	そうてんい	phase transition	安定に存在する一定の組成をもつ「相」が、条件の変化により同一組成を保ったまま別の相に変化すること。
層内褶曲	そうないしゅうきょく	intraformation fold	未褶曲の地層に挟まれて、特定の薄い地層のみに生成した短波長の褶曲。層間褶曲ともいう。
層内礫岩	そうないれきがん	intraformational conglomerate	同時代の地層が礫状に取り込まれた礫岩。あるいは単に地層に挟まれる礫岩という意味でも用いられる。
挿入式傾斜計	そうにゅうしきけいしゃけい	insertion type borehole inclinometer	地盤中に埋設されたパイプの傾斜角を深度方向に一定間隔で測定し、孔底を固定点とした地盤の水平変位の深度分布を求めるための計器。地すべりや山留めの計測に用いられる。
挿入式ストレインゲージひずみ計	そうにゅうしきすとれいんげーじひずみけい	inserted strain-gages	ボーリング孔に設置されたパイプの曲がり測定するための計器で、2本の長さ20～40cm直径20～30mmの硬質塩ビ管をひずみゲージを貼付した厚さ3mm程度の塩ビ板で接続したもの。パイプ中を移動しながら曲げひずみを測定する。
壮年期	そうねんき	stage of maturity	浸食輪廻において幼年期の次の時期で、地形は最も険しい。
壮年谷	そうねんこく	mature valley	壮年期の谷。河川に供給される物質と河川の運搬力とが平衡状態に達している。
双発地震	そうはつじしん	earthquake doublet, double shock	二つの規模の等しい大きな地震がほぼ同時期に活動するものをさす。1854年の安政東海地震と南海地震は好例。
相反定理	そうはんていり	reciprocity theorem	平衡状態にある系では、入力と出力とが互いに交換可能であり、交換しても物理量は変わらないという定理。
層比抵抗	そうひていこう	layer resistivity	見掛比抵抗曲線の解析から得られる各地層の比抵抗で、組成鉱物、孔隙率、地層水の状態などによって異なる。
増幅器	ぞうふくき	amplifier	電気信号を調整する装置。シグナル/ノイズ比を向上させたり、ノイズ除去の為にフィルタ装置付もある。
相平衡	そうへいこう	phase equilibrium	二つ以上の相が、熱力学的に平衡に共存すること。単一物質の気相・液相・固相の共存など。

層別沈下計	そうべつちんかけい	differential settlement gauge	盛土やフィルダムなどの工事で、各層ごとの圧密沈下量を測定するための計器。
層別沈下測定	そうべつちんかそくてい	differential settlement measurement	沈下対象層内に設置された沈下計を用いて各層の個々の沈下量が連続的に検出可能となる測定形式の呼称。
蔵法院層群	ぞうほういんそうぐん	Zohoin Group	四国地方に発達する中部三じょう系（三畳系）。秩父累帯中帯に位置する。黒灰色泥岩を主とし、砂岩・凝灰岩を挟む。
総掘工法	そうぼりこうほう	overall excavation	オープンカット工法のうち、掘削計画範囲の全面を一気に掘下げる工法。
造盆地運動	ぞうぼんちうんどう	basin building	盆地を形成する構造運動。大陸中で緩慢に大規模な盆地が形成される場合と造山運動に伴う場合とがある。
相馬石	そうまいし	Soma ishi	阿武隈山地北部、福島県相馬郡産石材。中生界の新期花崗閃緑岩。淡紅色・粗粒。建築石材・墓碑などに使用。
相馬中村層群	そうまなかむらそうぐん	Soma-Nakamura Group	阿武隈高地北東縁で南北に伸びて分布する中部ジュラ～最下部白亜系。海・陸成層で構成され、層厚約1,600m。
層面衝上	そうめんしょうじょう	bedding thrust	層理面に沿うほぼ水平な衝上断層。
層面スリップ	そうめんすりっぷ	bedding plane slip	層理面スリップと同義。
層面断層	そうめんだんそう	bedding plane fault	地層面と断層面が平行な断層。
層面へき開（層面劈開）	そうめんへきかい	bedding plane cleavage	層理面に平行なへき開（劈開）。
装薬	そうやく	explosive charge	発破において、せん孔（坑道式発破においては薬室）内に入れるべき、あるいは入れた爆薬。またはその工程。
宗谷断層	そうやだんそう	Soya fault	北海道脊梁山脈東北端に位置し、北北西から南南西に走る長さ20kmにおよぶ断層。
総落差	そうらくさ	gross head	水力発電所が運転してない場合における取水口水位と放水口水位の高低差のことをいう。
そうら層土	そうらそうど	Sorasao soil	福岡県筑豊地域から北九州地域の遠賀川流域に分布する高有機質土（黒泥）の俗称。
層理	そうり	bedding	堆積物内部にできる成層構造。地層の最小単位（単層）の上・下面は層理面。平行層理・斜交層理・級化層理などに分類。

沢入花崗岩	そうりかこうがん	Sori granite	渡良瀬川中流の沢入周辺に分布する白亜系と考えられている花崗閃緑岩。大型の斑状カリ長石を含み、沢入みかげ・渡良瀬みかげの名で石材として利用されている。
造陸運動	ぞうりくうんどう	epeirogeny	大陸全体またはそのうちのかなりの範囲が緩慢に隆起または沈降する運動。
相律	そうりつ	phase rule	熱力学系において平衡にある相の数 p 、独立成分の数 c 、系の自由度 f の間にある関係。 $f=c+2-p$ の関係になる。
沢入みかげ	そうりみかげ	Sori mikage	石材名。足尾山地に分布する白亜紀末期の黒雲母花崗岩。カリ長石の巨晶を含む。塊状で割れ目や岩脈が少ない。
層理面	そうりめん	bedding plane	堆積物の内部にある岩相変化により区別される単層と単層との境界面。剥離面となることがある。
層理面スリップ	そうりめんすりつぶ	bedding plane slip	層理面に沿った単層間の相対変位。地すべりの場合は層理面をすべり面とするものをいう。
層理面断層	そうりめんだんそう	bedding fault	層理面と平行な断層面を持つ断層。
掃流	そうりゅう	traction	ある一定以上の流速になると河床の堆積物が不安定となり、河床面上を移動する現象。
層流	そうりゅう	laminar flow	流体粒子が互いに入り交じり合うことなく、層状をなして流れること。レイノルズ数が小さい場合、実現する。
掃流移動	そうりゅういどう	bed load transport	河川などにおいて、土砂が流れによる力を受けて河床近傍を転動、滑動あるいは躍動しながら移動すること。
掃流砂	そうりゅうさ	bedload sediment	流水により河床上あるいはその近傍を滑動、転動あるいは小跳躍によって移動する砂。
総流砂量	そうりゅうさりょう	total sediment load, total solids load	掃流砂と浮流砂が混在するような流れの場合、それらを併せた全体の流送土砂量。
層流層	そうりゅうそう	layer of laminar flow	地層などの多孔質媒体中の流体が、互いに交じり合うことなく、層状をなして流れているような媒体の一単位。
掃流土砂	そうりゅうどしゃ	traction load	掃流で運搬される土砂。流水で移動する礫の径は流速の2乗に比例。河床の大礫は洪水時の流速に対応する。
掃流土砂採取器	そうりゅうどしゃさいしゅき	bed-load sampler	河床付近の流れによる掃流土砂量を測定するために、流れを乱さずに河床に置いて土砂を採取する器具。
掃流量	そうりゅうりょう	traction load	掃流によって運搬される土砂の量。河川では流水の速さ・水量・河床勾配・水深・粒径分布などに左右される。

掃流力	そうりゅうりょく	tractive force	流水によって河床の土砂を動かそうとする力。河床底面にはたらくせん断力。
惣領地すべり	そうりょうじすべり	the Soryo landslide	1957年に石川県輪島市惣領町で発生した地すべり。
藻類	そうるい	algae	水中に生息し葉緑素を有する隠花植物の総称慣用語。組織が石灰質や珪質のもの(石灰藻・珪藻)が残存しやすい。
草嶺崩壊	そうれいほうかい	Sorei slope failure	台湾において1941年の地震と1942年の降雨により発生した巨大崩壊。前者による崩土1.5億m ³ 、後者は2億m ³ 。
ソーセージ構造	そーせーじこうぞう	sausage structure	ほぼ等しい間隔でちぎれてその断面がソーセージを連ねたように見える層を挟む構造。ブーディン構造ともいう。
ソーダ石	そーだせき	natron	組成はNa ₂ CO ₃ ・10H ₂ O。単斜晶系。白または灰・黄色。硬度1～1.5と脆弱で水に溶けやすい。
ソールマーク	そーるまーく	sole mark	地層の底面に残る堆積構造の総称。特に砂岩層直下の泥岩の表面に刻まれた模様が砂岩層底面に良く保存される。
ソーロチ土	そーろちど	solod, soloth, soloti, degraded alkali soil	大陸の乾燥～亜湿潤気候の排水不良地に分布するソロネツの溶脱が進んだ間帯性土壌。
ゾーン型アースダム	ぞーんがたあーすだむ	zoned earthfill dam	堤体の50%以上が締固められた細粒材からなるダムで、堤体をゾーン分けして、それぞれ異なる材料を使用したもの。
ゾーン型ダム	ぞーんがただむ	zoned embankment dam	堤体を遮水ゾーンとその他の透水性の異なるいくつかのゾーンに分けて盛立てる型式のフィルダム。
ゾーン型フィルダム	ぞーんがたふいるだむ	zoned filldam, zoned dam, zone type filldam, zone type dam	ゾーン型ダムと同義。
ゾーン型ロックフィルダム	ぞーんがたろっくふいるだむ	zoned rockfill dam	ゾーン型ダムのうち、堤体材料の50%以上が透水性ロックゾーンで占められるもの。
曽我層群	そがそうぐん	Soga Group	静岡県掛川南方の小笠山丘陵において下位の掛川層群と上位の小笠層群にはさまれて分布する海成の下部更新統。礫岩・シルト岩などよりなる。
曽我山層群	そがやまそうぐん	Sogayama Group	大磯丘陵南西部に分布する中期更新統。多摩最下部～下部ローム層形成期に相当する砂礫層の多い水成層。
属	ぞく	genus	現在の動植物分類学で用いられている分類単位の一つ。分類階級は「種」の上位、「科」の下位に位置する。
側圧	そくあつ	lateral pressure	土と構造物の接触面に作用する土圧・水圧など水平方向の荷重の総称。

側圧係数	そくあつけいすう	coefficient of lateral pressure	地中のある深度における水平応力(σ_h)と鉛直応力(σ_v)の比率をあらわす係数のこと. $K = \sigma_h / \sigma_v$.
側圧式サンプラ	そくあつしきさんぷら	lateral pressure sampler	サンプラ内の試料に側圧を与え, 試料の脱落を防止する装置を備えたサンプラ.
側圧比	そくあつひ	lateral pressure ratio	構造物に作用する水平圧力と垂直圧力の比.
測温抵抗体	そくおんていこうたい	resistance temperature sensor	電気抵抗が温度によって変化する抵抗素子を用いた温度センサ
側火口	そくかこう	lateral crater	成層火山・たて状火山などの大きな火山の山腹に生じた小型の副次的火口. 大部分山頂火口とともに活動する.
側岸浸食	そくがんしんしょく	lateral erosion, bank erosion	河川浸食の一形態で, 底部浸食および水流の蛇行によって生じる河岸の浸食. 側刻や側方浸食ともいう.
足痕	そくこん	footprint	動物が堆積物上を移動した跡が化石化したもの. 状態の良いものは古生物の生態や運動機能の推定が可能.
即時注入	そくじちゅうにゅう	quick setting grouting	シールド工法で1リング掘進終了するごとにセグメントの裏込め注入をすること.
即時沈下	そくじちんか	immediate settlement	地盤が载荷を受けたとき, 载荷とほぼ同時に生ずるせん断変形による沈下. 飽和粘土の場合, 無視できない.
促進試験	そくしんしけん	accelerated test	主にコンクリートの中性化や凍結融解を人為的に促進して劣化程度を調べる試験.
側浸食	そくしんしょく	lateral erosion	河谷の両岸に対し水平方向に働く浸食作用. 一般に河谷形成の平衡状態では下方浸食よりも側浸食が優勢. 広い蛇行帯を作る要因となる. 側方浸食と同義.
側水路型洪水吐き	そくすいろがたこうずいばき	side spillway	導流水路に対して平行な越流部をもった洪水吐き.
続成作用	ぞくせいさよう	diagenesis	堆積物が堆積中～堆積後に化学的・物理的・生物的に変化をうけて固結した岩石になる現象. 固結の進行にともない, 体積・間隙率の減少, 密度・強度の増加が起こる.
測線	そくせん	traverse line, profile line	測定や観測を行うとき, 線状に配置された複数測点の集まりをいう. 直線的なものとそうでないものがある.
側堆石	そくたいせき	lateral moraine	谷氷河の氷舌側面に側壁から供給された岩屑が堆積して形成された堤状の地形.
測地衛星	そくちえいせい	geodetic satellite	地球の形状や地球上の位置などを測定するために用いられる人工衛星.

測地学	そくちがく	geodesy	地球の形状・大きさなどを正確に求めたり，地球上の位置を決定する学問分野．
測地学的変動	そくちがくてきへんどう	topographical movement	観測点などの精密測量により地盤の高低や相互の距離が傾向的变化を示していること．
測地座標値	そくちぎひょうち	geodetic coordinate value	地球上の位置を表わすために定められた準拠楕円体を基準とした座標．準拠楕円体や測量の原点のとり方で幾とおりもできる．
測地線	そくちせん	geodetic line	地球表面上の2点を結ぶ曲線のうち距離が最短のもの．
測地測量	そくちそくりょう	geodetic survey	地表面を回転楕円面として扱う広範囲を対象とした測量．
測点	そくてん	survey station, station	測量の際の基準点など実際の測定や観測を行う基点の総称．規則的なものと不規則的なものがある．
速度解析	そくどかいせき	velocity analysis	地震探査記録を基に速度分布を求めること．通常は反射法地震探査でCDP重合法に基づいた方法をいう．
速度型地震計	そくどがたじしんけい	velocity seismograph	振り子自身の持つ固有周期が，地震動の速度振幅に対し，一定の倍率で反応することを利用した地震計．
速度計	そくどけい	velocity seismograph	予測される外力の振動周期に近い固有周期を持たせて，振動の速度を測るように作成された地震計．
速度検層	そくどけんそう	velocity logging	ボーリング孔沿いの特にP波速度の深度分布を求める検層．P波とS波の両方を求める検層はPS検層という．
速度構造インバージョン	そくどこうぞういんばーじょん	inversion of velocity structure	観測走時に最もよく適合する計算走時を与える速度構造モデルを，最小二乗法などの逆解析手法により求めること．
速度振動計	そくどしんどうけい	velocity vibrograph	入力振動に近い固有周期の振子に適当な制振力を持たせ，その強制振動から振動の速度を記録するもの．
速度振幅	そくどしんぷく	velocity amplitude	地震動による地盤変位速度の大きさを表す速度波形の振れ幅．
速度水頭	そくどすいとう	velocity head	水が持つ運動エネルギーの大きさを水柱の高さHで表したもの． $H=v^2/2g$ ， v ：流速， g ：重力加速度．
速度層	そくどそう	velocity layer	弾性波速度の値により層状に区分された地下構造．屈折法探査などで解析された速度構造などは速度層からなる．
速度断面	そくどだんめん	velocity section	反射法・屈折法による解析の結果，判明した地下各層の弾性波速度とその境界を記入して画いた地下構造断面．

速度トモグラフィ	そくどともぐらふい	seismic tomography	弾性波トモグラフィと同義。
速度分布	そくどぶんぷ	velocity distribution	地盤中における弾性波伝播速度の値の分布。トモグラフィなどでは複雑な速度分布を検出できる。
速度ポテンシャル	そくどぽてんしゃる	velocity potential	渦が発生しない流れで、その勾配が流速を与える関数。非圧縮性流体の渦無し運動ではラプラス方程式を満足する。
測標	そくひょう	floating mark	立体写真などの立体空間において位置を表示した指標点。ステレオモデルの測定、参照点として用いられる。浮標ともいう。
測標	そくひょう	target, signal	地上測量において測量点を示す標識。
側部填充モルタル	そくぶてんじゅうもるたる	side filled mortar	開削工法で山留めと構造物の隙間を充填するモルタル。地山と同じ程度の強度を持つように配合される。
側噴火	そくふんか	lateral eruption, flank eruption	火山の中腹または裾野でおこる噴火。
側壁護岸	そくへきごがん	side wall	ダム減勢池の側壁などの洗掘防止のために施工される護岸工。
側壁コンクリート	そくへきこんくりーと	side wall concrete	トンネル二次覆工の下半部分の名称。側壁コンクリートの上部はアーチコンクリートと呼ぶ。
側壁導坑	そくへきどうこう	side drift	トンネル左右の側壁部分に先行掘削する導坑。アーチ脚部の地耐力が不足するような地山に適用される。
側壁導坑先進工法	そくへきどうこうせんしんこうほう	side heading excavation method	他の部分の施工に先立って側壁導坑を先行掘削して側壁コンクリートを先行打設する工法。
側壁導坑先進上部半断面工法	そくへきどうこうせんしんじょうぶはんだんめんこうほう	side heading excavation method, side drift method	側壁導坑を先行施工した後に、残りの部分を上部半断面工法で施工する工法。サイロット工法とも呼ばれる。
側壁部	そくへきぶ	side wall	トンネルアーチ部の下に位置する下半部分。
側方移動	そくほういどう	lateral migration	石油・天然ガス・熱水・地下水などの流体が、堆積構造と調和的に多孔質な媒体中を側方に移動すること。
側方応力	そくほうおうりょく	radial stress	側方ひずみ拘束を制御できる三軸試験装置（円柱状供試体を使用）における側圧（圧力室内の圧力）。
側方滑落崖	そくほうかつらくがい	flank scarp	地すべり滑動によって生じた、滑落崖の側方延長部のせん断破壊面が崖状に露出した部分。側方崖とも言う。

側方亀裂	そくほうきれつ	side cracks	地すべり滑動によって生じた，側方滑落崖の背後の原地表面に生じる，引張亀裂のこと。
側方交会法	そくほうこうかいほう	method of side intersection	平板測量において複数の既知点からの方向線を用いて未知の器械点を求める方法。
側方拘束状態	そくほうこうそくじょうたい	radial confined condition	自然堆積によるほぼK0状態（ゼロ側方ひずみ）など，土の締固め時にみられる地盤側方の幅広い拘束状態。
側方浸食	そくほうしんしょく	lateral erosion	河谷の両岸に対し水平方向に働く浸食作用．一般に河谷形成の平衡状態では下方浸食よりも側浸食が優勢．広い蛇行帯を作る要因となる．側浸食・側刻と同義．
側方土圧係数	そくほうどあつけいすう	coefficient of lateral earthpressure	鉛直土圧（Pv）に対する側方に作用する土圧（Ph）の大きさの比（Ph/Pv）をいう．
側方ひずみ	そくほうひずみ	lateral strain	圧縮時の σ 3方向（半径方向）のひずみ．ポアソン比を求める場合などで使用する．
側方リッジ	そくほうりっじ	side ridge	地すべり滑動によって生じた，地すべり堆主部の滑動で取り残された側面の原地表面との境にできる堤防状の高まりのこと。
側方流動	そくほうりゅうどう	lateral flow	地盤が即時沈下によって大きく塑性変形を起こし，側方に大きく変形した場合をさす．
側面抵抗	そくめんていこう	lateral resistance	ハンマーの衝撃荷重による地盤の締固め時に形成される，円筒形状の締固め領域の側面に働く上向きの抵抗力．
側面摩擦	そくめんまさつ		供試体周面摩擦と同義．原地盤の一次元圧密では存在しない供試体と圧密リング内面の接触面上の摩擦抵抗．
測量法	そくりょうほう	law for survey	測量に関する規則を定めた法律．全体で66条からなり，測量の正確さの確保と測量業の適正な運営を図ることを目的とする．
粗鉱	そこう	crude ore, run of mine	採掘現場から搬出された自然のままの鉱石で，手選などの簡単な選別以外には選鉱工程を経していないもの．
粗鉱品位	そこうひんい	grade of crude ore	採掘技術上，鉱脈周辺の母岩を含めて採掘された粗鉱（選鉱場に送る原鉱）に対する有用元素などの割合．
そご断層	そごだんそう	echelon faults	雁行状に配列した断層が構成する断層群．現在では雁行断層の語が一般的．
粗骨材	そこつざい	coarse aggregate	砂利・碎石などの粒状材料で，5mmふるいに85%以上とどまる粒径の大きい骨材．通称砂利と呼ばれているもの．
粗骨材最大寸法	そこつざいさいだいすんぼう	maximum size of coarse aggregate	骨材の90%以上が通過するふるいの最小呼び寸法で示される粗骨材の最大粒径．

底開き	そこびらき	bottom dumping	土砂・砕石などの積載物を車輛の底板を開いて落とすこと。
底開き型ずり運搬車	そこびらきがたずりうんばんしゃ	bottom open type muck car	鋼車型のずり運搬車の中で、ずりを排出するために底部が開くタイプのもの。
底水	そこみず	bottom water	石油や天然ガス貯留層の下位に溜まっている水。端水（はすい、edge water）に対比される。
粗砂	そさ	coarse sand	土粒子区分の「砂」を細区分したもの。土質分野（日本統一土質分類）では0.85～2mm、地質分野（Wentworthら）では粗粒砂（1/2～1mm）と極粗粒砂（1～2mm）に細区分され、土壌分野（国際土壌学会法）では0.2～2mmの粒径の土粒子から構成されるものをいう。
組織（岩石の）	そしき（がんせきの）	texture	岩石の構造的特徴のうち顕微鏡的サイズのものをいうことが多い。例えば火成岩では鉱物の大きさ・形・配列など。
組織地形	そしきちけい	structural relief, structural landforms, structurally controlled landforms	地質構造を反映する浸食地形。
阻（疎）水性セメント	そすいせいせめんと	water repellent cement	悪条件下において長期保存しても空気中の水分によって劣化しにくいセメント。
疎水トンネル	そすいとんねる	canal tunnel	灌漑用の水を通すために人工的に作られた水路トンネル。
塑性	そせい	plasticity	物体に降伏点以上の荷重を加えたときに現れる、変形が増大しかつ荷重を除去しても元に戻らない性質。
塑性域	そせいいき	plastic zone	物質にかかる応力が降伏応力を越えて塑性状態になった領域。
塑性解析法	そせいかいせきほう	plastic analysis	ランキン系の安定解析法で、土塊の破壊基準に対し、静的に許容される極限釣り合い状態で応力解を求める方法。
組成共生図	そせいきょうせいず	composition - paragenesis diagram	変成岩の鉱物組合せと化学組成の関係を示す図。
塑性限界	そせいげんかい	plastic limit	塑性限界試験において土が塑性状態から半固体状態に移るときの含水比。PLで表す。
塑性限界試験	そせいげんかいしけん	plastic limit test	細粒土の塑性限界を求める試験。直径3mmのひも状の試料が切られてばらばらになる時の含水比を求める。
塑性降伏	そせいこうふく	plastic yield	材料が降伏点に達し、弾性を失い塑性状態にはいること。
塑性地圧	そせいじあつ	plastic ground pressure	地山の強度が低く、その中で生じる応力が地山の弾性限界を超えた場合に作用する土圧。

塑性指数	そせいしすう	plasticity index	練り返した細粒土が塑性を示す含水比の範囲を表す指数で、液性限界と塑性限界との差として I_p で示される。
塑性図	そせいず	plasticity chart	横軸に土の液性限界、縦軸に塑性指数をとった図。図上の点の位置から物性が推定される。細粒土の分類に使用。
塑性設計	そせいせっけい	plastic design	材料の応力の許容範囲を弾性域に限定せず、許容限界を最終強度まで広げ塑性を許す設計。極限設計ともいう。
塑性体	そせいたい	plastic body, plastic material	物体に加わっている荷重を除去しても変形が元に戻らない性質を有する物体。
粗成土	そせいど	crude soil	土壌生成作用を受けた時間が短く、土層分化していない土壌で、一般に鉱物粒子に富み、粘土や腐植物に乏しい。
塑性粘度	そせいねんど	plastic viscosity	スラリー中の粒子間の摩擦による流動抵抗。粘度、降伏値と共に流体の流動特性を示す係数として用いられる。
塑性破壊	そせいはい	plastic failure	物体の応力-ひずみ曲線が滑らかなカーブを描きながら生じる破壊形式。
塑性範囲	そせいはんい	plasticity range, plastic range	土が塑性状態を保っている含水量の範囲。液性限界と塑性限界との間の範囲をさす。
塑性比	そせいひ	plastic ratio	コンシステンシーに関する定数で、塑性限界と塑性指数の比をさす。
塑性ひずみ	そせいひずみ	plastic strain	応力-ひずみ曲線のうち、作用した応力の除荷に対して、復元することのないすべてのひずみの部分。
塑性平衡	そせいへいこう	plastic equilibrium	弾塑性体において、塑性域の応力が塑性条件と平衡条件を満足した状態にあること。
塑性変形	そせいへんけい	plastic deformation	荷重が降伏点を越え流動が生じ、荷重を取り去っても元にもどらないような永久変形の部分。
塑性ポテンシャル	そせいぼてんしゃる	plastic potential	応力空間 σ_{ij} において塑性ひずみ（増分）ベクトル場 $d\varepsilon^p_{ij}$ を与えるスカラー関数 Φ を塑性ポテンシャルという。弾塑性体の構成式を導く際に不可欠な流れ則（直交則）， $d\varepsilon^p_{ij} = \partial \Phi / \partial \sigma_{ij} \cdot d\lambda$ に用い、 $\Phi =$ （降伏関数）：関連流れ則、 $\Phi \neq$ （降伏関数）：非関連流れ則という。
塑性流動	そせいりゅうどう	plastic flow	高温高圧下で結晶質の岩石に起こる巨視的破壊を伴わない永久変形。変成作用に伴うことが普通。
塑性領域	そせいりょういき	plastic range, plastic zone	トンネル掘削に伴って周辺地山に生じる応力が、地山の弾性限界を超えている領域。

粗石	そせき	cobble	土質分野（日本統一土質分類）で75～300mmの粒径の石分をいう。
粗石ダム	そせきだむ	rubble dam	自然の石塊を成形や敷き均しをせずに積上げて築造したダム。
粗朶柵	そださく	hurdle	木杭を1m程度の間隔で打込みその間に木の枝を織り込んだもので簡易な土留めとして使用される。
粗朶柵工	そだしがらみこう	hurdle	河川・砂防工事で、杭を打ち、竹や粗朶で柵をつくり、その背後に土砂や砂利を充填する法覆工・山腹工の一つ。
測角器	そっかくき	goniometer	結晶面の面角や方位を測定する計器。結晶系・晶族の決定・鉱物同定などに使用。接触測角器・単円反射測角器がある。
側火山	そっかざん	lateral volcano	成層火山や楯状火山などの大きな火山体の側面に付着する小さな火山。
測距儀	そっきよぎ	distance measuring instrument, distance meter	機械位置から目標までの距離を測定する測量機器の総称。一定基線の両端から目標を視準した時の挟角から距離を求めるレンジファインダー(range finder)あるいは距離計と呼ばれる方式と電磁波測距儀がある。
外和泉層群	そといずみそうぐん	Sotoizumi Group	西南日本外側に分布する上部白亜系で、秩父累帯浅海相に相当。最大層厚は2,000m程度。
粗銅	そどう	blister	精錬工程の転炉で還元・濃縮された銅。さらに精錬炉で不純物が除去され（陰極銅）、電解工程に送られる。
外側褶曲帯	そとがわしゅうきよくたい	outer fold zone	日本列島の太平洋側に見られる褶曲の発達した地層の分布する地帯。現在でいう付加帯の分布域に相当。
粗度係数	そどけいすう	roughness coefficient	水路壁面のあらさの程度を表す係数。
外野地すべり	そとのじすべり	the Sotono landslide	1973年に千葉県安房郡富山町荒川で発生した地すべり。
外浜	そとはま	nearshore	砂浜海岸において波高や潮位によって生じる地形。バームの縁から沖側の砕波帯付近までの範囲において高潮時に波が打ち寄せる限界、または平均低潮汀線と沖浜に挟まれた部分。
ソナー	そなー	sonar	水中探査で音を利用するものの総称。音波を水中に発射する能動式と外部音を用いる受動式がある。
曾爾層群	そにそうぐん	Soni Group	奈良県宇陀郡～三重県名張市～一志郡に分布する中部中新統下部層。淡水成の溶結凝灰岩からなる。層厚約40m。
ソニックログ	そにつくろぐ	sonic logging	音波検層。発振器よりパルス状の音波を発振し、2個の受振器に到達する時間差よりP波速度を求める。

曾根丘陵断層群	そねきゅうりょうだ んそうぐん	Sone-kyuryo faults	活断層. 確実度 I, 活動度 B 級, 東北東方向. 山梨県の甲府盆地南縁に位置する活断層群. 6 条の活断層からなり延長15km.
曾根層群	そねそうぐん	Sone Group	甲府盆地南縁の曾根丘陵に分布する鮮新～更新統. 火砕流, 岩屑なだれ, 湖沼・扇状地性堆積物など. 層厚約230m.
彼杵変成岩類	そのきへんせいがん るい	Sonoki metamorphic rocks	長崎県西彼杵半島から熊本県天草下島高浜にかけて分布する低温高压型の変成岩類. 長崎変成岩類のほうが一般的.
彼杵湾曲	そのきわんきょく	Sonoki bending	九州西部では中央構造線がほぼ直角の湾曲を示すと解釈され, これを彼杵湾曲という.
ソノブイ	そのぶい	sono buoy	ハイドロホン, 増幅器, 送信機, アンテナ, ブイなどからなる受信-発信装置で, 海上屈折法地震探査で用いる.
ソノプローブ	そのぷろーぶ	Sonoprobe	発振子に磁歪, あるいは電歪振動子を用い, 単一周波数の連続波を断続発射する音波探査用装置の商品名.
ソフトロック	そふとろっく	soft rock	軟岩と同義.
粗密度	そみつど	compactness	土粒子のつまり方, 結合のしかたの表現法. 指頭・移植ごて・つるはしや鋤を入れるときの抵抗により判定する.
粗密波	そみつは	primary wave	体積ひずみが伝播する波. P波・縦波ともいう. ひずみが粗と密な部分のくりかえしで伝わるのでこう呼ばれる.
粗面安山岩	そめんあんざんがん	trachyandesite	粗面岩と安山岩の中間の性質を有する火山岩で, 安山岩に比べアルカリが多く, 色指数は35～10.
粗面岩	そめんがん	trachyte	アルカリ長石を主成分とする中性アルカリ火山岩で, 色指数10以下のうちシリカ鉱物が少ないもの.
粗面玄武岩	そめんげんぶがん	trachybasalt	玄武岩と粗面岩の中間の鉱物組成を持つ火山岩.
空知層群	そらちそうぐん	Sorachi Group	北海道日高山脈西側の空知-エゾ帯を構成する上部ジュラ～下部白亜系. 緑色岩・チャート・砂岩・珪質泥岩などからなる.
空知背斜	そらちはいしゃ	Sorachi anticline	北海道石狩炭田地域の分布する白亜系の背斜構造. 南北性で北に傾斜する.
ソラム	そらむ	solum	地表部における長期間の土壌生成作用の結果生じた土壌. 表層の腐植層および溶脱層からなる A 層とその下位にあり主に集積層である B 層から構成される.
空山層群	そらやまそうぐん	Sorayama Group	飛騨外縁帯の時代未詳層. 古生界混在の可能性がある. 緑色岩 (安山岩溶岩・火砕岩) 主体で砂岩・泥岩薄層を挟在する.

ソラリゼーション	そらりぜーしょん	solarization	フィルム現像に関して、感光乳剤の感度特性で極めて大きな露光量の領域において写真濃度が逆転する現象。
ソリダス	そりだす	solidus	多成分の固溶体からの結晶作用における温度・圧力・組成の相関図中の曲面。
ソリッドバケット型減勢池	そりっどばけつとがたげんせいち	solid bucket basin, roller bucket basin	バケット型減勢池の一つ。水路末端を円弧状に上向きにしたもので水脈にローラーを生じさせて減勢させるもの。
ソリッドヘッドバットレスダム	そりっどへつどぼつとれすだむ	solid head buttress dam	バットレスの頭部が拡幅または増厚され、隣のバットレスと接続する形状となったバットレスダム。
ソリフラクション	そりふらくしょん	solifluction	水で飽和した土壌が斜面をゆるやかに流下する現象。周氷河地帯のものについて言うことが多い。
粗粒	そりゅう	coarse grained	堆積岩の主要粒子、岩石の主要鉱物の大きさを表す尺度。分野で異なり一般に砂（岩）で0.5～1mm、火成岩では5mm以上。
粗粒アスファルトコンクリート	そりゅうあすふあるとこんくりーと	open-graded bituminous concrete	粗骨材、砂、セメントと瀝青材料の混合物を高温状態でまき出して締固めた、粗粒で透水性の高いもの。
粗粒玄武岩	そりゅうげんぶがん	dolerite	主にCa-斜長石と輝石からなる中粒完晶質の火成岩。オフィチック組織をもつ。ドレライトと同義。
粗粒砂岩	そりゅうさがん	coarse sandstone	砂岩のうち、その主要構成粒子の粒径が1～1/2mmのもの。
粗粒土	そりゅうど	coarse-grained soil	粒径が75 μ m～75mmの範囲にある土粒子の構成する含有率が土の全重量の50%以上を占める土。
粗粒率	そりゅうりつ	fineness modulus	粒度係数と同義。
ソレアイト	それあいと	tholeiite	非アルカリ火成岩の2岩系の一つ。ソレアイト系列ともいう。分化するに伴い残液のSiO ₂ の増加に対し全鉄量が急増。
粗礫	それき	coarse gravel	土粒子区分の「礫」を細区分したもの。土質分野（日本統一土質分類）で19～75mmの粒径の粒子から構成されるものをいう。
ソロス	そろす	soloth soil	塩類集積層の可溶性塩類の溶脱が進んだ土壌。ロシア語の俗称に由来。
ソロス化土壌	そろすかどじょう	solodized soil	ソロスと同様に塩類の溶脱が進んでいるが、ソロスまではいたらない土壌。
ソロネツ	そろねつ	solonetz, solonets, black alkali soil	乾燥地帯の排水不良地に分布する間帯性土壌。土壌中の可溶性塩類が溶脱されアルカリ性を示す。

ソロネツ土	そろねつど	solonez, solonets, black alkali soil	ソロネツと同義.
ソロンチャク	そろんちゃく	solonchak	大陸乾燥地帯の塩湖の干上がりや地下水の蒸発で、塩分が毛管上昇し、地表に析出した土壌.
損失水頭	そんしつすいとう	loss of head	水管の壁面のあらさや断面形状の変化、発生する渦によって生ずるエネルギー損失の水柱表示.
損失落差	そんしつらくさ	head loss	水が水路などを流れる時に壁面との摩擦などによって失うエネルギーのことで、2点間の動水こう配線の高低差で表される.
ゾンデ	ぞんで	sonde	種々の検層において孔内に降下させる測定器で、測定対象の物性に応じたセンサを内蔵する.
ダーウィンの沈降説	だーういんのちんこうせつ	Darwin's submergence theory of coral reef	ダーウィンが1837年に唱えたさんご礁(珊瑚礁)成因説. 火山島などの基盤の沈降とさんご礁(珊瑚礁)の成長を関連付けた説.
ターグ法	たーぐほう	Tagg method	比抵抗法電気探査で最もよく用いられるウェンナー方式の電極配置によって得られる、データの解析手法の一種.
タービダイト	たーびだいと	turbidite	混濁流(乱泥流)により運搬・堆積した堆積物. 一般に下底面は浸食的でソールマークがあり、級化成層が顕著.
ターボドリル	たーぼどりる	turbo drill	先端駆動型ドリルの一種. ロッドで圧送された流体で刃先に連結した多段タービンを回転させて掘削を行う.
タール	たーる	tar	主に芳香族化合物からなる油状物質. 石油蒸留からの石油タール, 石炭乾留からのコールタールなどがある.
タールサンド	たーるさんど	tar sand	オイルサンドの一種. 原油のうち軽質成分が揮発し、アスファルト分が砂岩の粒間を充填しているもの.
ターンテーブル	たーんてーぶる	turn table	回転する円板状の台で、機関車やズリトロッコ・ダンブトラックを回転することによって向きを変える装置.
ターンバックル	たーんばっくる	turnbuckle	ワイヤロープなどの長さの調整や緊張に用いるネジ式の器具.
堆	たい	bank	比較的浅い多少平坦な頂を有する海底の隆起部. 火山性, 構造的, 沈降したさんご(珊瑚)礁の三つの成因がある.
代	だい	era	動物群の大きな変化に基づいた地質学的な年代区分の単位. 地質時代は始生代, 原生代, 古生代, 中生代, 新生代と分ける.
ダイアジェネシス	だいがじえねしす	diagenesis	続成作用と同義.

ダイアステム	だいたすてむ	diastem	地層の堆積時における短時間の休止。不整合ではない。
ダイアスポア	だいたすぽあ	diaspore	AlO(OH)。斜方晶系。硬度6.5。比重3.4。火山岩の熱水変質鉱物。Al水酸化物・Fe酸化物はボーキサイトの主鉱物。耐火物・研磨剤に利用される。
耐圧強度	たいあつきょうど	compressive strength	圧縮強度と同義。
ダイアトリーム	だいたとりーむ	diatreme	高速で上昇する火山ガスと火砕物質でつくられた火道。
ダイアピル	だいたびる	diapir	注入褶曲作用によるドーム状地質構造。地殻中で周囲の岩石より比重の小さい物質が上位の岩層を隆起させる。
ダイアピル作用	だいたびるさよう	diapirism	可塑性の大きい物質が上位の流動しにくい岩層の割れ目に沿って上昇して、ドーム状・背斜褶曲状の構造をつくる作用。
ダイアフラム	だいたふらむ	diaphragm	①膜状または薄い板状の機器構成要素で、用途として板面直交方向の変形を利用することが多い。例えば土圧計の受圧板など。 ②測量用の旧式望遠鏡に付属する十字線を張るための枠で、十字線枠ともいう。
ダイアフラム型土圧計	だいたふらむがたどあつけい	diaphragm type earth pressure cell	受圧板にダイアフラムを用いた土圧計。
ダイアブロ造山	だいたぶろぞうざん	Diabron orogeny	カリフォルニアのコースト山脈におけるジュラ紀と白亜紀の間の褶曲時相。
帯域遮断フィルタ	たいいきしゃだんふいるた	band rejection filter	特定の周波数帯域の波のみを減衰遮断し、その他の周波数域の波を減衰させないフィルタ。
帯域通過フィルタ	たいいきつうかふいるた	band pass filter	特定の周波数帯域の波のみを通過させ、その他の周波数域の波を遮断するフィルタ。
帯域幅	たいいきはば	bandwidth	帯域通過フィルタにより減衰せずに通過する周波数幅。
台石	だいいし	base stone, seat stone, stage stone	記念碑・銅像・彫刻などの台座にする石。踏み台・物置台などの目的で据える石。台を付けた鑑賞台。
退位チェルノジョーム土	たいいちえるのじょーむど	degraded chernozem	冷温帯高茎草原における成帯性土壌。黒色腐植層下に、漂白層、酸化層、炭酸カルシウム集積層がある。
第一鹿島海山	だいいちかしまかいざん	Daiichi Kashima seamount	犬吠埼の東方沖で日本海溝に沈み込もうとしている海山。山体の一部が正断層により落ち込み二分されている。
第一瀬戸内累層群	だいいちせとうちるいそうぐん	Daiichi Setouchi Supergroup	中部地方から近畿・中国地方にかけて点々と分布し、主に海成層で構成される中新統。陸水成層・火山岩類介在。

第一種地震空白域	だいいっしゅじしん くうはくいき	group I seismic gap	大地震を起こす能力をもっていながら、最近長い間大きな地震が起きていない地域。
耐塩性	たいえんせい	halotolerancy	生物が高い食塩濃度下でも、食塩がなくても生育できる性質。
ダイオキシン	だいきしん	dioxene	有機塩素化合物で、発ガン性・催奇形性を有し、皮膚や内臓障害を起こす猛毒物質。除草剤や廃棄物に含まれる。
鯛生鉱山	たいおこうざん	Taio mine	大分県南西部に位置する。浅熱水性金銀鉱床。1900年以降、閉山までの総産金量37t。日本第4位。1970年閉山。
大和尚山統	たいおしょうざんとう	Taioshangshan series	中国遼寧省南部に分布する原生代後期（先カンブリア系）の地層。珪岩・石灰岩・千枚岩。
鯛生層群	たいおそうぐん	Taio Group	阿蘇山北方に分布する新第三系。礫岩・火砕岩などからなり、著しく変質しモンモリロナイトなどの粘土鉱物を含む。
退化	たいか	degeneration	生物の個体・器管・細胞の形態が進化の過程または個体発生の過程で単純化・萎縮し、機能低下する現象。
耐火構造	たいかこうぞう	fireproof construction, fireproof structure	火災の火熱に充分耐える構造で、火災後においても僅かの修理により再使用可能な構造。建築基準法で規定。
耐火材料	たいかざいりょう	refractory materials, refractories	高温で溶け難い材料。通常SK番号26（1,580℃）以上を示す材料。珪質・アルミナ質・クロム質など多種にわたる。
耐火石材	たいかせきざい	fire stone	耐火性のある細粒の珪質岩で、キルンや炉の内張りに使用される。
耐火セメント	たいかせめんと	refractory cement	珪酸セメント、珪酸と苦土・クロム鉄・炭素などの混合物、珪酸と耐火粘土の混合物、耐火粘土など耐火性を有するセメントの総称。
耐火粘土	たいかねんど	fireclay	鉱業法では耐火度SK-31（1,690度）以上を示す粘土。
耐火レンガ	たいかれんが	refractory brick	粘土、珪石などの無機材料を加工した高温で溶けにくいレンガ。溶鉱炉・電気炉などの材料に用いられる。
対岸距離	たいがんきより	fetch	堤体の直上流部から直線で見通し得る貯水池の最遠点までを水面上で計った直線距離。主にダム設計条件のうち風波高の算出に用いる。
帯間性土壌	たいかんせいどじょう	intrazonal soil	間帯性土壌と同義語。
大気	たいき	atmosphere	普通は地球を取り囲む気体のこと。地球以外の天体にも存在する。地球では対流圏・成層圏などに区分。

大気圧	たいきあつ	atmospheric pressure	空気中の任意の位置における気圧. 一般的には, 地上における気圧の値をさす場合が多い.
大気汚染	たいきおせん	air pollution	人間活動に伴って排出される煤煙, 硫黄酸化物, 窒素酸化物, 二酸化炭素などによる空気の汚染.
大気圏	たいきけん	atmosphere	地球を覆っている空気の層. 大気が存在する領域. 岩石圏, 水圏とならぶ用語として用いる. 上空から地表に向かって順に, 電離圏, 成層圏, 対流圏から構成されている. 気圏ともいう.
大気の循環	たいきのじゅんかん	general circulation of the atmosphere	地球規模の大気の循環運動. 極と赤道の温度差, コリオリ力などにより規制される.
大規模カルデラ	だいきぼかるでら	great scale caldera	数km以上の直径の大規模火山構造的陥没地. 大規模爆発・陥没作用で生じ, 日本では鹿児島湾・阿寒・十勝が代表的.
大気補正	たいきほせい	atmospheric correction	重力探査やリモートセンシングで, 測定データに含まれる大気による引力や吸収などの影響を補正すること.
大規模地下空洞	だいきぼちかくうどう	large underground cavern	一般に断面積が300m ² 以上の地下空洞をいう. 地下発電所・石油地下備蓄施設の岩盤タンクなどがある.
大規模透水試験法	だいきぼとうすいしけんほう	large scale permeability test	透水性の小さな岩盤において円の中心および円周上に試験孔を配置して行う透水試験.
大規模リップラップ	だいきぼりっぷらっふ	armouring, large riprap	非常に大きな岩塊からなるリップラップ.
太古代	たいぐーだい	Taigudai	始生代と同義. 先カンブリア紀の古期. 中国では始生代よりもよく用いられる.
対空標識	たいくうひょうしき	air to ground mark, signal, air photo signal	空中写真の熱映像, 人工衛星画像などの上で, 地上の点の位置が明瞭に特定できるように設置した標識.
耐屈強度	たいくつきょうど	bending strength	石材の硬度を表す石材用語の一つ. 石材の曲げに対する強度を示す.
大口径埋込み杭	だいこうけいうめこみぐい	large diameter bored pile	一般に直径600mm程度以上の杭で, ほぼその全長に等しい深さまで掘削し地盤内に埋込んだ杭.
大口径SSR法	だいこうけいえすえすあーほう		直径300mmの礫質土を硬質ゴム製の試料脱落防止装置が付いたロータリー式三重管サンプラで採取する方法.
大口径掘削機	だいこうけいくつき	large diameter boring machine	地盤に直径1m以上のたて孔を掘削するために用いる機械. 場所打杭の施工などに使用.
大口径サンドサンプラ	だいこうけいさんどさんぷら	large diameter sand sampler	1回のサンプリングで普通の7~10倍の採取が可能である. 径が大きいことから内部の試料は乱れが少ない.

大口径集水横孔	だいこうけいしゅうすいおうこう	large diameter drainage tunnel	地すべりに影響する深層地下水を排除するため横方向に掘削された排水用の横孔。
大口径穿孔機	だいこうけいせんこうき	burn hole drilling machine	穿孔を特別に大きくするための機械の総称。
大口径多重管水圧グラブ法	だいこうけいたじゅうかんすいあつぐらぶほう		直径300mmの礫質土を水圧ジャッキ式で試料脱落防止装置付きのロータリー式四重管サンプラで採取する方法。
大口径ボーリング	だいこうけいぼーりんぐ	large diameter boring	コア回収率の向上，コアの乱れの低減などを目的とした径の大きいボーリング。
退行性地すべり	たいこうせいじすべり	retrogressive landslide, regressive landside	地すべりの冠頂部斜面上面に地すべりを誘発し，次々に斜面上方に波及するものをいう。後退性地すべりともいう。
太古界	たいこかい (たいぐーだい)	Archaean (Taigudai)	始生界ともいう。中国では太古界，太古代がよく用いられる。先カンブリア紀の古期に形成された岩石群。
大根島石	だいこんじまいし	Daikonjima ishi	島根県八束郡八束村大根島産。第四系玄武岩・玄武岩質安山岩。墓石・土木用材。
堆砂	たいさ	sedimentaion	貯水池上流域から流水の作用により貯水池に運搬され，貯水池に蓄積された土砂。または貯水池内に土砂が堆積すること。
対策工	たいさくこう	countermeasure	斜面崩壊，地すべりなどの発生防止，あるいは発生したものの範囲拡大を防止するための工事。
堆砂対策	たいさたいさく	countermeasures for sediment	貯水池堆積土砂への対策で，治山，砂防ダム，貯砂ダム，排砂土，浚渫などがある。
堆砂容量	たいさようりょう	storage capacity filled with sediment, storage capacity for sedimentation	堆砂によりダムの治水利水機能が損なわれないよう，貯水池最下部に堆砂のために確保する容量。
第三紀	だいさんき	Tertiary (period)	新生代の前期，氷河期より古い時代。G.Arduino(1759)による地殻4区分の3番目の名前に由来。火山や造山運動が活発。
第三紀層	だいさんきそう	Tertiary formation	第三紀に形成された堆積岩。
第三紀層地すべり	だいさんきそうじすべり	Tertiary strata landslide	第三系分布地域で発生する地すべりで，地下深部に及ぶ風化により粘土化した部分をすべり面として発生する。
第三系	だいさんけい	Tertiary (system)	第三紀に形成された地層。海成相・陸成相・火山噴出物が多く，一般に固結の進んでいない軟岩を主体とする。
第四紀	だいしき (だいやんき)	Quaternary (period)	1. 64Ma以降の地質時代最後の紀。更新世と完新世に区分され，氷河で特徴づけられ，気候の変動が激しい。

第四紀層	だいしきそう (だいよんきそう)	Quaternary deposit	第四系と同義語。低地部に分布する軟弱な沖積層と丘陵地・台地に分布する洪積層からなる。
第四紀断層	だいしきだんそう (だいよんきだんそう)	Quaternary fault	第四紀層に変位を生じさせた断層をさす。
第四系	だいしけい (だいよんけい)	Quaternary (system)	第四紀に形成された地層。土質工学では洪積層 (更新統) と沖積層 (完新統) に区分される未固結の土砂層。
台島階	だいじまかい	Daijima stage	東北地方の第三系を8区分して、下から2番目の階。暖～亜熱帯主体の台島型植物化石群を特徴とする。
台島型植物群	だいじまがたしよくぶつぐん	Daijima-type flora	男鹿半島の中新世下部の台島層の化石で代表される化石植物群。主として温暖帯～亜熱帯の植物とされる。
台島層	だいじまそう	Daijima Formation	秋田県男鹿半島周辺に分布する新第三系中新統。上部は礫岩・凝灰質砂岩・泥岩を主体とし、中～下部は火山礫凝灰岩・玄武岩溶岩を主体とする。
台島層群	だいじまそうぐん	Daijima Group	秋田県男鹿半島に分布する中新統。陸成で下部の台島層は火山礫凝灰岩、上部の西黒沢層は砂岩・礫岩からなる。
大清水トンネル	だいしみずとんねる	Daishimizu tunnel	上越新幹線上毛高原～越後湯沢間にある延長22.2kmのトンネル。1982年開業。地質は閃緑岩などで最大土被り1200m。山はねが発生した。
帝釈石灰岩	たいしゃくせっかいがん	Taishaku limestone	広島県帝釈台に分布する石炭・ペルム紀の石灰岩層。玄武岩溶岩・火砕岩上に堆積。チャートを伴う。
対州鉱山	たいしゅうこうざん	Taishu mine	長崎県対馬に位置する。熱水性鉛・亜鉛鉱床。1963年から閉山までの出鉱量：200万t, Pb4.5%, Zn6.5%。674年から採掘の記録があり、日本最初の鉱山といわれている。1973年閉山。
対州層群	たいしゅうそうぐん	Taishu Group	対馬周辺に分布する下部中新統。主に砂岩泥岩互層・泥岩・砂岩からなるタービダイト堆積物。
大縮尺図	だいしゅくしゃくず	large scale map	縮尺の度合が比較的大きく、建物やその他の事物の寸法がある程度の大きさをもって表示されている地図。
大聖寺沖地震	だいしょうじおきじしん	the 1952 Daishoji-oki earthquake	1952年3月7日に石川県西部沖で発生したM6.5の地震。死者7人とされている、山崩れ発生 of 被害地震。
対称軸	たいしょうじく	symmetry axis, axis of symmetry	結晶形態の対称要素の一つ。回転軸と同義。
対称縞状構造	たいしょうしまじょうこうぞう	symmetrical banded structure	鉱物が割れ目の両側から中心に向かって沈殿し、対称的に成長する現象。
対称褶曲	たいしょうしゅうきよく	symmetrical folds	連続する褶曲構造のうち、隣り合う背斜軸と向斜軸の間の褶曲面が面対称の関係で繰り返す褶曲。

大正層群	たいしょうそうぐん	Taisho Group	高知県四万十川流域に分布する上部白亜系～古第三系。各層はメラングジュを挟んで分布し、放散虫化石を多産。
対象物面走査方式	たいしょうぶつめんそうさほうしき	object plane scanning method	走査方式で画像を得るための一方式で、ミラーやアンテナの方向を変化させて対象物を面的に走査するもの。
帯状分布	たいじょうぶんぷ	zonal arrangement, zoning, zonal distribution	温度・圧力の変化に従って形成された鉱物種・鉱物組み合わせの規則的な配列。累帯分布と同義語。
耐食性土壌	たいしょくせいどじょう	erosion resistance soil	浸食を受けにくい土壌。対語は受食性土壌。
帯磁率	たいじりつ	magnetic susceptibility	物体を磁場の中に置いたとき、その物体がどの程度磁化するかの程度を表す。磁化／磁場の比で表す。
大進化	だいしんか	macroevolution	生物進化のうち種以上の分類階級に関わる進化現象。地質学的な長時間にわたり小進化が累積したものとされる。
耐震家屋	たいしんかおく	earthquake proof house	地震の際の振動によって破壊されないように設計された建築物。損傷を最小限にすることを目的とする。
耐伸強度	たいしんきょうど	tensile strength	石材の硬度を表す石材用語の一つ。石材の引っ張りに対する強度を示す。
耐震構造	たいしんこうぞう	earthquake proof structure	建物の固有周期を短くし、振動によって破壊されないように設計され、地震動を受け流す仕組みをとる。
耐震重要度分類	たいしんじゅうようどぶんるい	classification of importantness of aseismic design	耐震設計に用いる公共的重要性に応じた構造物などの分類。重要構造物は耐震性をより向上させている。
耐震ジョイント	たいしんじょいんと	earthquake-proof joint, seismic joint	各種のパイプの継手で、地震時の振動に耐えられるよう、フレキシブルな構造になっているもの。
耐震診断	たいしんしんだん	evaluation of seismic capacity	既設の建物を調査し、耐え得る地震動の大きさや想定される地震動に対する問題箇所を判定すること。
耐震診断基準	たいしんしんだんきじゆん	standard for evaluation of seismic capacity	建物などの地震のエネルギーを吸収できる耐震性能を評価する基準。建物の強さと粘りや建物の形状と経年状況を考慮して決められる。診断基準は、耐震改修促進法、(財)日本建築防災協会、(財)建築保全センター、文部科学省教育助成局、建築基準法などで決められている。
耐震設計	たいしんせつけい	earthquake-resisting design, aseismic design	地震を考慮した設計。地震時の部材などに働く最大応力と残留変形を許容値以下とするなどの設計法。
大深度地下開発	だいしんどちかかいはつ	underground development at great depth	地下40m程度ないし支持層から10m程度を超える深い地下空間を利用して、公共施設などを建設する事業。
耐震力	たいしんりょく	earthquake resistance (of works)	構造物の地震に対する耐震強さ。

耐水試験	たいすいしけん	water-proofing test	スレーキング試験の別称. 土をこねて型を作り炉乾燥後水中につけ崩壊時間を測定する.
耐水性	たいすいせい	water-resisting qualities	構造物の水に対する抵抗性能, 物質の水に対する耐久力などの総称.
帯水層	たいすいそう	aquifer	水で飽和された礫層や砂層などの透水性の地層.
帯水層系	たいすいそうけい	aquifer system	粒子間の空隙・間隙が大きく, 地下水で飽和されている大きな透水係数をもった地層や岩石.
帯水層試験	たいすいそうしけん	aquifer test	帯水層の水理学的特性を求めるための試験の総称で, 揚水試験がもっとも一般的な試験法である.
帯水層貯蔵	たいすいそうちよぞう	aquifer storage	地下の適切な帯水層に地下水などの流体資源を人工的に貯蔵する貯蔵法.
帯水層定数	たいすいそうていすう	aquifer constant	帯水層中の地下水流動に関する定数で, 透水量係数, 貯留係数などのこと. 主に, 揚水試験から求められる.
対数クリープ則	たいすうくりーぷそく	logarithmic creep law, law of logarithmic creep	岩石の一次クリープにおいて成り立つ法則で, クリープひずみが時間の対数で表されるというもの.
対数減衰率	たいすうげんすいりつ	logarithmic decrement	振動系に初期変位を与えた時の自由振動の減衰の仕方. 対数に直線近似できることから対数減衰率と呼ぶ.
対数らせんアーチダム	たいすうらせんあーちだむ	logarithmic spiral arch dam	アーチの平面形状を対数らせん形状にし, 推力を山側に向かうように設計したアーチダム.
タイスの方法	たいすのほうほう	Theis method	揚水試験で得られたデータに, タイスが提唱した非平衡式をあてはめて解析し, 帯水層定数を求める方法.
耐スレーキング性指数試験	たいすれーきんぐせいしすうしけん	slaking resistance index test	数回の乾湿を繰り返すスレーキング試験で, 耐スレーキング性指数を試験前後の試料の質量比で求める.
大西洋中央海嶺	たいせいようちゅうおうかいれい	Mid-Atlantic ridge	大西洋の中央部をS字型に南北に連なる海嶺. 比高2~3km. 中軸谷は深さ2km, 付加型プレート境界をなす.
体積圧縮係数	たいせきあつしゆくけいすう	coefficient of volume compressibility	圧密による土の圧縮性を表す係数で, 圧縮ひずみ ϵ と圧密圧力 p のそれぞれ増分の比 $mv = \Delta \epsilon / \Delta p$ で定義される.
堆積学	たいせきがく	sedimentology	堆積物の分類や形成過程に関する問題を研究する学問. 広義には母岩の風化・浸食, 堆積物の性質の研究も含む.
堆積岩	たいせきがん	sedimentary rock	堆積物が物理的・化学的・生物的作用をうけて石化したもの. 地球史の記録媒体として重要.

堆積環境	たいせきかんきょう	sedimentary environment	堆積物形成過程で堆積物の性質や組成などに影響を与える諸条件の総称。大陸・海洋・漸移的に大別される。
体積含水率	たいせきがんすいりつ	water content by volume	土壌含水量の指標の一つで、土壌全体の容積に対する水分の占める容積の比を百分率で表したもの。
堆積岩脈	たいせきがんみやく	sedimentary dike	何らかの原因で生じた開口亀裂を充填し、岩脈状に分布する砕屑物。砕屑岩脈とも。
堆積区	たいせきく	sedimentary province	堆積作用が継続した区域。浸食区の対語。
体積クリープ速度	たいせきくりーぷそくど	rate of volumetric creep velocity, volumetric creep rate	圧力変化に対応する体積変化の時間的な遅れをもたらすクリープ変形速度。
体積係数	たいせきけいすう	volume factor	間隙水圧計で単位圧力の測定に要する間隙水の流出入量。
堆積鉱床	たいせきこうしょう	sedimentary deposit	風化残留作用や機械的・化学的・有機的の堆積作用に伴って有用鉱物が濃集してできた鉱床。
堆積構造	たいせきこうぞう	sedimentary structure	堆積中とその直後にできた肉眼で視認可能な成層構造などの構造。運搬・堆積機構の推定、地層の上下判定に重要。
堆積サイクル	たいせきさいくる	sedimentary cycle	堆積作用における周期的な規則性のある変化。季節変化から海進・海退のような大規模なものまである。
堆積作用	たいせきさよう	sedimentation	堆積物を形成あるいは蓄積する過程または行為。
堆積残留磁気	たいせきざんりゅうじき	depositional remnant magnetization	堆積の過程で含有する微小な強磁性体が地球磁場の影響で配向し、固化に伴って固着されたもの。
体積収縮領域	たいせきしゅうしゅくりょういき	volume shrinkage range	土が高位の構造を有する領域。圧密過程で圧密降伏応力をこえる正規圧密領域とダイレイタンスーが負の領域である。
堆積性メランジュ	たいせきせいめらんじゅ	sedimentary melange	メランジュを成因で区分した場合の一区分。堆積作用で形成されたメランジュのこと。オリストストロームと同義。
堆積相	たいせきそう	sedimentary facies	ほぼ同じ堆積環境のもとでほぼ同時に形成されたと考えられる地層群の総合的な性質の総称。
堆積相解析	たいせきそうかいせき	sedimentary facies analysis	個々の地層の性質とその組み合わせから地層の形成過程と堆積環境を明らかにすること。
堆積段丘	たいせきだんきゅう	accumulation terrace, depositional terrace	厚い砂礫層が段丘面を作る河成・海岸段丘。河川の若返りで下刻されて生じる。浸食段丘の対語。

体積弾性率	たいせきだんせいりつ	bulk modulus of compressibility	弾性体の体積変化に抵抗する割合を示す物質定数。体積弾性率の大きい物質ほど圧縮されていく。
堆積土	たいせきど	sedimentary soil	地すべりや崩壊の発生に伴い二次的に形成された堆積物の総称。
堆積軟岩	たいせきなんがん	sedimentary soft rock	堆積作用により形成された軟岩。日本では新第三紀から更新世後期にかけての泥岩や凝灰岩などが一般的。
体積ひずみ	たいせきひずみ	volumetric strain, bulk strain	体積変位量をひずみで表現したもの。三つの主応力方向を軸とする直交座標系においては主ひずみの和として定義。
体積ひずみ計	たいせきひずみけい	volume strain meter	ステンレス製円筒に油を満たしたもので、岩盤中に埋設し、油面の昇降から岩盤の伸び縮みを検出する装置。地震予知のために設置されている。
体積ひずみ-軸ひずみ曲線	たいせきひずみじくひずみきょくせん	volumetric strain-axial strain curve	三軸圧縮試験（CD試験）において得られる軸ひずみと体積ひずみの関係曲線。
堆積物	たいせきぶつ	sediment	堆積作用により機械的・化学的・生物的に堆積した物質の総称。
堆積盆	たいせきぼん	sedimentary basin	長期間にわたって沈降が続いて堆積物が厚く堆積する場所。堆積物は層群に相当する規模のことが多い。
堆積面	たいせきめん	depositional surface	一連の堆積作用で形成された堆積物の表面。
堆積輪廻	たいせきりんね	cycle of sedimentation	種々の堆積物がほぼ同じ組合せ・順序で繰り返し累重すること。
大山火山帯	だいせんかざんたい	Daisen volcanic zone	中国地方の大山～雲仙岳に続く火山帯。主として角閃石安山岩および黒雲母安山岩から構成される。
大山倉吉テフラ	だいせんくらよしてふら	Daisen-Kurayoshi tephra	中国地方北部から北陸地方を経て中部・北関東地方に広がる広域降下火山灰。降下年代は約4万6千年前。
大山ローム	だいせんろーむ	Daisen loam	中国地方の大山周辺に分布し、著しく風化した赤色系の火山灰質の地層。土質工学的性質は関東ロームと類似。
台層群	だいそうぐん	Dai Group	山口県西部に分布する長門構造帯のうち、台地域の古生界。破碎された泥質岩・砂質岩（メランジュ）からなる。
大ダム	だいだむ	large dam	高さ15mを越えるダム。
タイダルフラッシュ	たいだるふらっしゅ	tidal flush	潮汐の流れによって、河口や海峡の底質が掃流移動して、水深を維持あるいは洗掘する現象。

タイダルプリズム	たいだるぷりずむ	tidal prism	潮汐の流れによって、海湾内に流出入する海水量のこと。簡単には海湾面積と潮差の積により求められる。
台地	だいち	platform, plateau, tableland	比較的高度が高く地表面が平坦で、側面が急に低地へ下がる地形。地質学では卓状地を示すことがある。
大地形	だいちけい	major landforms, macrotopography	外的営力をほとんど消去できるような大規模な地形。地殻運動の結果として生じた構造地形であることが多い。
台地玄武岩	だいちげんぶがん	plateau basalt	非造山地域の大陸内に噴出し、ほぼ水平な溶岩流の積成により短期間に溶岩台地を形成する玄武岩溶岩。
大地溝帯	だいちこうたい	great rift valley belt	両側を複数の階段状正断層により形成された細長い凹地形である地溝。リフトバレーともいう。プレート発散境界。
大地抵抗	だいちていこう	ground resistivity	地盤の電気抵抗。比抵抗値 ($\Omega \cdot m$) で表す。
大地抵抗計	だいちていこうけい	earth megger tester	大地電極と電流電極の間に通電し、大地に対する電極抵抗を測定する装置。
耐凍害性	たいとうがいせい	durability to freezing and thawing	コンクリートの凍結融解の繰り返し作用に対する抵抗性。
大東海嶺	だいとうかいいい	Daito ridge	沖縄島の東方約300kmに位置する海嶺。島弧活動を示唆する結晶片岩などが分布する。
ダイナドリル	だいなどりる	dyna drill	流体をロッドを通して圧送することによりローターを回転し、それに連なるビットを回転して掘削するドリル。
ダイナマイト	だいなまいと	dynamite	ニトログリセリンを基剤とする爆薬のうちで、普通ニトログリセリンが7%以上のもの。
ダイナモ理論	だいなもりろん	dynamo theory of geomagnetism	地球や惑星内部の外核の運動が磁場と相互に作用して、磁場を形成・維持するという理論。
第二鹿島海山	だいにかしまかいざん	Daini Kashima seamount	第一鹿島海山の北東約100kmに位置する海山。西太平洋海盆の西端で、日本海溝の海側斜面にさしかかる。
第二紀南海山	だいにきなんかいざん	Daini Kinan seamount	潮岬の南方約350km、紀南海山列北部に位置する海山。玄武岩が採取され、同質の火山性海山とされている。
第二種地震空白域	だいにしゅじしんくうはくいき	group II seismic gap	大地震の前に、やがて起こる大地震の震源付近で地震活動が顕著に静穏化することがあるが、この静穏域のこと。
第二瀬戸内累層群	だいにせとうちるいそうぐん	Daini Setouchi Supergroup	西南日本の瀬戸内区・瀬戸内沈降帯に分布し、主に河・湖沼成層で構成される鮮新～更新統。一部海成層を伴う。

大日階	だいにちかい	Dainichian stage	周智階. 静岡県西部に分布する鮮新世後期の掛川層群産貝化石による生層序区分.
第二室戸台風	だいにむろとたいふう	Daini Muroto typhoon	1961年に室戸岬を通過して阪神地方に上陸し, 関西, 北陸, 東北を通過した室戸台風と同じ経路を通過した超大型の強い台風. 死者行方不明者は202人と人的被害は比較的軽微であったが, 強風により農作物の損害が莫大.
ダイノサイズ	だいのさいす	Dinoseis	地面や海中に押し被せた釣鐘型容器内で起こしたガス爆発圧を地震パルスに変える非爆薬震源. 商標名.
対比	たいひ	correlation	地理的に離れた地層を岩相・化石・火山灰などの比較により層準を決定し, 標準的年代区分での位置を定めること. 地層対比ともいう.
対比の法則	たいひのほうそく	law of correlation	古生物の生存期間を利用して, 異なる地域に分布する地層や層相の違う地層の層準を決定し, 比較できること.
大氷河時代	だいひょうがじだい	great ice age	ゲエイキィ(1874)が呼んだ第四紀の氷河時代.
耐風設計	たいふうせつけい	wind resistant design	風荷重を考慮した設計. 強風下で機能を保持するような設計など.
太平洋	たいへいよう	the Pacific (Ocean)	地表の約35%を占める世界第一の大洋. 日本列島などのある西縁は海溝が多く, 造山帯に取り巻かれる.
太平洋-南極海嶺	たいへいようなんきょくかいれい	Pacific-South Pole ridge	南太平洋から南極北東に北東-南西方向に連なる海嶺. 東太平洋海嶺の南東に位置する.
太平洋プレート	たいへいようぷれーと	Pacific plate	太平洋の最大の海洋プレート. 日本付近はこれが他のプレートの下に沈み込む収束境界に位置している.
台変成岩	だいへんせいがん	Dai metamorphic rock	山口県西部の長門構造帯中の台地域に分布する変成岩の総称. 蛇紋岩・変はんれい岩(斑糲岩)・角閃岩などからなる.
ダイポールダイポール法	だいぽーるだいぽーるほう	dipole-dipole array	ある電極間隔を持つ電流電極の延長上に同じ電極間隔の電位電極を配置する方法. IP法で多く用いられる.
タイムスケール	たいむすけーる	time scale	時間軸. あるいは地盤に生じた現象が継続した時間の長さ.
タイムドメインIP法	たいむどめいんあいぴーほう	time-domain induced polarization method, time-domain IP method	時間領域IP法と同義.
大門池ダム	だいもんいけだむ	Daimon-ike dam	大和川水系大門川. 立野水利組合. 1128年竣工. 堤高32mのアースダム. 当時としてはアースダムでは世界最大級.
ダイヤモンド	だいやもんど	diamond	C. 等軸晶系. 硬度10. 比重3.51524. 主にキンバーライトを母岩とし, マグマの急冷により生成される高温高圧炭素結晶.

ダイヤモンドソー	だいやもんどそー	diamond saw	丸状，帯状の鋸で，ダイヤモンド粒またはその微粉が植え付けられ，おもに岩や硬質なものを切るのに使う．
ダイヤモンドビット	だいやもんどびつと	diamond bit	先端にダイヤモンドを埋込んだビット．ボーリング調査では，硬質岩の掘削に適用される．
ダイヤルゲージ	だいやるげーじ	dial gauge	直線変位を測定するための計測器で，JIS B 7503に規定されている．力計と併用すれば荷重を測定できる．
タイヤローラー	たいやろーらー	pneumatic tired roller, rubber tired roller	空気タイヤの接地圧によって土やアスファルトなどの締固めを行う機械．
太陽エネルギー	たいようえねるぎー	solar energy	太陽から地表に達する放射エネルギー．大気外での基準値（太陽定数）は，約 $2 \text{ cal/min}\cdot\text{cm}^2$ である．
太陽系	たいようけい	solar system	銀河系を構成する一つの系．太陽の引力に支配されて，その周りを運行する全ての天体．
太陽恒数	たいようこうすう	solar constant	地球と太陽が平均距離にあり，かつ大気吸収がないとしたときの，地球表面での太陽のふく射エネルギー．
太陽光発電	たいようこうはつでん	photovoltaic power generation	太陽電池（光電池）を利用し，太陽光を受けて電気を発生させる発電方式．
大洋底	たいようてい	ocean-floor	水深4～6kmの海洋の主要部分を占める海底．小起伏に富む深海海丘や堆積物の埋積による平坦面からなる．
大洋底拡大説	たいようていかくだいせつ	ocean-floor-spreading hypothesis	中央海嶺でマントルから上昇し形成された海洋プレートが，マントル対流によって両側に移動し，海溝部でマントルに潜り込み，消滅するという説．
大洋底変成作用	たいようていへんせいさよう	ocean-floor metamorphism	海嶺に分布する玄武岩・ドレライトなどが熱水により受ける変成作用．
太陽電池	たいようでんち	solar cell	シリコン半導体の光電効果を利用して，太陽エネルギーを直接的に電気エネルギーに変換する装置．
太陽同期軌道	たいようどうききどう	sun-synchronous orbit, sun synchronous orbit	等緯度の地点を通過する際の地方時刻が一定な衛星軌道．
タイラーふるい	たいらーふるい	Tyler's sieve	アメリカTyler Co. 製作の古くからの標準ふるい．1平方インチ内の網目の数でふるい番号がつけられている．
ダイラタンシー	だいらたんしー	dilatancy	土の様な粒状体の粒子の集合体に，せん断力を加えた時に体積変化する性質．
ダイラタンシー角	だいらたんしーかく	angle of dilatancy	土など粒状体のせん断特性を表す主要なパラメータ．異方性の検討に用いられる．

ダイラタンシー係数	だいらたんしーけいすう	dilatancy index	土のような粒状体のせん断変形時の体積ひずみ増分 dV と軸ひずみ増分 $d\varepsilon$ の比で示される指数.
ダイラタンシー硬化	だいらたんしーこうか	dilatancy hardening	水を含んだ岩石に封圧を加えて行くと、クラックが増えて間隙水圧が減少し、岩石の強度が増す現象.
ダイラタンシー式	だいらたんしーしき	dilatancy formula	粒状体のダイラタンシー特性を表現する主応力比と主ひずみ増分比の関係式.
ダイラタンシー試験	だいらたんしーしけん	dilatancy test	シルトと粘土を判別するための土質試験. 15mm立方の供試体の表面に現れる自由水の状態によって判別する.
ダイラタンシー説	だいらたんしーせつ	dilatancy theory	陸地性の浅層地震の発生機構を、クラックの発生と水の流入に伴うダイラタンシー現象から説明した説.
ダイラタンシーモデル	だいらたんしーもでる	dilatancy model	微小な割れ物発生に伴うP波速度の変化およびS波速度との比の変化に注目した地震発生モデル.
ダイラトメータ	だいらとめーた	dilatometer	鍬型の水平方向土圧計で、地盤のサウンディングに用いられる. 欧米を中心に広く普及しつつある.
平みかげ	たいらみかげ	Taira mikage	阿武隈山地、福島県いわき市産石材. 中生界新期花崗閃緑岩. 紅色で中粒. 建築石材・装飾材・墓碑・銅像台石に利用.
大陸	たいりく	continent	花崗岩および玄武岩質層からなる厚さ30~40kmの地殻を持つ地域. 中心部は最高38億年に達する楕状地からなる.
大陸安定地塊	たいりくあんていちかい	continental stable mass	緩慢な隆起・沈降しか認められない安定地域のうち大陸地域をなすもの. 盾状地はその代表的地形.
大陸移動	たいりくいどう	continental drift	大陸が分裂したり相対的位置を変える運動. プレート論ではアセノスフェア上をリソスフェアが移動するとされる.
大陸移動説	たいりくいどうせつ	theory of continental drift	大陸が地球表層を移動するという説. 原動力としてマンツルの流れが有力. Wegener, A. (1912)により提唱.
大陸エプロン	たいりくえぷろん	continental apron	陸棚からの混濁流などによる堆積物を作る大陸斜面の基部にある滑らかな斜面. コンチネンタルライズともいう.
大陸縁弧-海溝系	たいりくえんこかいこうけい	continental margin arc-trench system	大陸縁弧と海溝が平行に配列して形成する変動帯. プレートの収束境界に沿って発達. 地震・火山活動が活発.
大陸縁辺部	たいりくえんぺんぶ	continental margin	大陸棚の外縁部. 一般に水深は130m内外で、200mより深い場合もある.
大陸塊	たいりくかい	continental block	通常古生代以前に安定化した大陸地殻の一部をさす. 盾状地と卓状地とに相当. クラトン・剛塊・大陸核とも.

大陸斜面	たいりくしゃめん	continental slope	大陸棚外縁からやや急勾配(3°~6°)で深海底におりる斜面。陸棚斜面ともいう。
大陸性地殻	たいりくせいちかく	continental crust	大陸地殻と同義。
大陸成長説	たいりくせいちょうせつ	continental growth theory	地質時代を通じて大陸地殻の面積が増大してきたという学説。
大陸棚	たいりくだな	continental shelf	大陸周辺の緩傾斜の海底。外縁の水深は130m内外で世界的に一定し、成因には海水準変動が関与。陸棚ともいう。
大陸棚外縁	たいりくだながいえん	shelf edge, shelf break	大陸棚と大陸斜面との境界をなす傾斜変換部。水深は通常130m前後。露岩し、薄く堆積物を載せる場合がある。
大陸棚堆積物	たいりくだなたいせきぶつ	continental shelf sediment	大陸棚に分布する堆積物の総称。過去の低海面時の堆積物と現世の堆積物が混在し複雑な分布を示す。
大陸地殻	たいりくちかく	continental crust	大陸地域の地殻。地球の表層部に存在するモホ面より浅い部分で、単純化すると上層は花崗岩質岩石、下層は玄武岩質岩石からなる。厚さは一般に30~40km。大陸性地殻ともいう。
大陸氷河	たいりくひょうが	continental glacier	顕著な厚さと広がりを持つ、基盤の地形に影響されずに氷河自身が形態を作る大規模な氷河。南極氷床など。
大陸プレート	たいりくぷれーと	continental plate	プレートテクトニクス理論において、大陸を構成するプレート。
大陸隆起	たいりくりゅうき	continental upheaval	地殻変動ないし海水面の低下により相対的に大陸が隆起する現象。
大理石	だいらせき	marble	岩石学的には、熱変成作用を受けて再結晶した粒状結晶質石灰岩のことで、主に方解石よりなる。石材に利用。
対流	たいりゅう	convection	大気・海洋・マントルなどに生じる上下流を伴う規則的な物質移動。温度勾配の存在によって生じる。
対流圏	たいりゅうけん	troposphere	大気圏の一部をなすもので、地表から10km前後までに存在する部分。
耐硫酸塩セメント	たいりゅうさんえんせめんと	sulphate resisting cement, sulphate resistant cement	地下水中の硫酸塩に対する抵抗性を高めたセメント。アメリカではV型セメントとして定義。
滞留時間	たいりゅうじかん	residence time	ある物質が一つの系の中を通過するのに要する平均時間。例えば、水が地下浸透してから地表排出されるまで。
対流説	たいりゅうせつ	theory of thermal convection	マントル熱対流説と同義。

大礫	だいき	cobble	土粒子区分の「礫」を細区分したもの。地質分野(Wentworthら)で64~256mmの粒径の粒子から構成されるものをいう。
大礫岩	だいきがん	cobble conglomerate	主に径64~256mmの大礫がこう結(膠結)してできた岩石。基質(こう結(膠結)物)は砂質や泥質などいろいろなものが多い。
タイロッド	たいろっど	tie rod	土留矢板に加わる土圧を後方のコンクリート壁や杭に伝えるために用いる棒。
台湾集集地震	たいわんちちじしん	the 1999 Taiwan Chi-Chi Earthquake	1999年9月21日に台湾中部の北緯23.8度, 東経120.7度の深さ1.1kmで発生したM7.6(米国地質調査所)の地震。死者2200余人, 負傷者8700余人, 被害建物7500余戸に達し, 断層変位により石岡ダムが一部破損した。
ダイン	だいに	dyne	力のCGS単位。質量1gの物体に作用して1cm/s ² の加速度を生じさせる力。記号はdyn。
ダウエリング	だうえりんぐ	doweling	ダムの特種基礎処理工で, ダムの安定上地山内の断層などをコンクリートで置換して基礎岩盤のせん断抵抗力を増す方法。
ダウエル効果	だうえりこうか	dowel effect	二つの物体が面で接する場合に, 接合面を貫く強度の大きな部材によって一体化され主にせん断力が伝達される効果。コンクリート床版の継ぎ目に取り付けるダウエルバーやダム基礎岩盤の断層面に沿って坑道を掘ってコンクリートを充填するダウエリングはこの効果を期待したもの。
ダウエルバー	だうえりばー	dowel bars	舗装版相互の荷重伝達を目的として, セメントコンクリート舗装の横断面方向目地部に用いる丸鋼。
多雨期	たうき	pluvial age	第四紀で降水量が現在より多かったとされる時期。乾燥地域にその証拠として多雨湖が提唱されている。
ダウンザホールドリル	だうんざほーるどりる	downhole drill	パーカッション削孔方式の一つ。孔底のパーカッションハンマーをエアで駆動してビットに上下動の打撃を与え岩盤を粉砕する工法。
ダウンホールハンマーボーリング	だうんほーるはんまーぼーりんぐ	downhole hammer drilling	刃先を直接取り付けしたパーカッションマシンを, エアフラッシュによって駆動させて掘削する工法。
ダウンホール法	だうんほーるほう	downhole method	震源は地表か測定孔近傍のボーリング孔内に, 受振器は測定孔内に設置して, P波, S波別途に行う速度検層。
ダウンワードコンティニューエーション	だうんわーどこんていにゆえーしょん	downward continuation	下方接続と同義。
楕円アーチダム	だえんあーちだむ	elliptical arch dam	水平断面が楕円形状をしているアーチダム。
多円錐図法	たえんすいずほう	polyconic projection	地球上の各緯度帯に接する多数の円錐に投影する図法。
楕円断面TBM	だえんだんめんていーびーえむ	oval shaped tunnel boring machine, oval shaped TBM	楕円状のトンネル全断面を回転カッターにより一度に切削あるいは破砕して掘進する機械の総称。

高尾野層群	たかおのそうぐん	Takaono Group	九州南西部の四万十帯白亜系。緑色岩・珪質泥岩・黒色泥岩・スランプ堆積物・砂岩泥岩互層からなる。
多角形土	たかくけいど	polygon soil	水はけの悪い凍土の表面に形成される平面形態が多角形の構造土で、凍結割れでできる。
高草山層群	たかくさやまそうぐん	Takakusayama Group	糸魚川－静岡構造線南端部に沿い、その西側に分布。中新世前期のアルカリ玄武岩・粗面安山岩・泥岩からなる。
高久層群	たかくそうぐん	Takaku Group	常磐炭田地域に分布する中新統の地層群。下位から礫質砂岩・凝灰質細粒砂岩・凝灰質シルト岩からなる。
多角測量	たかくそくりょう	traversing, traverse survey	トラバース測量と同義。基準点測量の一種で、測距・測角によりトラバース点の座標を求める測量。
高倉地すべり	たかくらじすべり	the Takakura landslide	1980年に新潟県西頸城郡能生町で発生した地すべり。規模は面積13ha、土量150万m ³ におよぶ。
高倉山層群	たかくらやまそうぐん	Takakurayama Group	阿武隈山地いわき市北方のペルム系。主に頁岩・砂岩・礫岩などの碎屑岩からなる。アンモナイトを産出。
高潮災害	たかしおさいがい	disasters of storm surge	高潮によって引き起こされる災害。1959年の伊勢湾台風のように台風が引き金になり甚大な被害をもたらす。
高潮防波堤	たかしおぼうはてい	breakwater for storm surge	高潮およびそれにともなう波浪から、港湾施設や背後の都市域を防御するために設けられる防波堤。
高師小僧	たかしこぞう	takashikozo	鉄が土壌粘土中の植物体と交代しできる褐鉄鉱の枝・管状の形態を持った団塊。
高島層群	たかしまそうぐん	Takashima Group	長崎市西方の高島などに分布する始新統。砂岩泥岩互層・礫岩からなる。上部は優良な炭層を挟み高島炭田の夾炭層。
高島炭田	たかしまたんでん	Takashima coal field	西彼杵半島から長崎半島の海域に分布する炭田の南半部。固定炭素が多く、良質のヨークス原料炭を産する。
高清水断層	たかしょうずだんそう	Takasyozu fault	活断層。確実度Ⅰ、活動度B級、北東－南西方向。富山県の砺波平野を東西に分割する。延長約12km。
高瀬ダム	たかせだむ	Takase dam	信濃川水系高瀬川。東京電力(株)。1979年竣工。堤高176mはロックフィルダムとして日本最大。急峻山地での超大型ロックフィルダム建設への挑戦。
多賀層群	たがそうぐん	Taga Group	茨城県高萩市から福島県富岡町にかけて分布する中部中新～鮮新統。海成で礫岩・砂岩・シルト岩・凝灰岩などからなる。地域によって岩相および時代が異なる。
高田地すべり	たかだじすべり	the Takada landslide	1952年に千葉県鴨川市高田で発生した。被害は13ha。改修されたが1979年に再活動始まる。

高玉石	たかだまいし	Takadama ishi	福島県郡山市熱海町産石材。古期花崗閃緑岩の貫入を受けた蛇紋岩。漆黒・緻密で加工が容易。建築装飾材に利用。
高千穂変動	たかちほへんどう	Takachiho disturbance	古第三紀末～新第三紀初期の地殻変動の主要変動。現在では中新世中期の大規模な前弧海盆の崩壊とされる。
高千穂隆起時代	たかちほりゅうきじだい	Takachiho period of emergence	矢部長克が日本の第三紀を初めて日本独自の地史により四分したその第二期で、古第三紀末の隆起・陸化の時代。
高津川層群	たかつがわそうぐん	Takatsugawa Group	島根県益田市西方の海岸、丘陵に分布する鮮新統～更新統。3枚の海成粘土層を挟む礫層からなる。層厚は50～60m。
高德石	たかとくいし	Takatoku ishi	栃木県藤原町新高徳付近に産する石材。新第三系角礫質石英粗面岩。目が粗く淡緑灰色。建築・土木用に利用。
高取鉱山	たかとりこうざん	Takatori mine	茨城県西部の八溝山地南端に位置する。グライゼン型鉱床で主にタングステン鉱石を採掘した。総出鉱量50万t。1985年閉山。
高橋みかげ	たかはしみかげ	Takahashi mikage	愛知県豊田市産石材。領家変成岩を貫く中生界角閃石黒雲母花崗岩。片麻岩質で土木用・一部建築材として利用。
高浜層群	たかはまそうぐん	Takahama Group	松山市太山寺付近に分布する中期中新統石鎚層群相当層。下部は礫岩主体で、上部は主に角閃石安山岩質凝灰岩。
高場山地すべり	たかばやまじすべり	the Takabayama landslide	1969年に新潟県小千谷市で発生した地すべり。国鉄高場山トンネルが崩壊。斉藤の式による崩壊予知が行われた。
高原川統	たかはらがわとう	Takaharagawa series	岐阜県福地地方に分布する中部デボン系の碎屑岩を主体とする地層。礫質石灰岩を挟む。
田上石	たがみいし	Tagami ishi	新潟県南蒲原郡田上町産石材。鮮新統輝石安山岩。暗緑色を示す普通の安山岩。土木用に利用される。
高森層群	たかもりそうぐん	Takamori Group	岩手県日頃市地域に分布するデボン系。玄武岩～安山岩質の凝灰岩・頁岩・砂岩を主体とする。
高山・大原断層	たかやまおっぱらだんそう	Takayama-Oppara fault zone	岐阜県高山市周辺に発達する北東方向で併走する断層群。活動度A～B級の活断層を含む。代表的な活断層として牧ヶ洞断層・江名子断層・大原断層が含まれる。
高山層群	たかやまそうぐん	Takayama Group	島根県邑知郡周辺に分布する古第三系始新統。安山岩質～流紋岩質の火山岩類からなる。
高原火山岩類	たからかざんがんるい	Takara volcanic rocks	岐阜県奥飛騨地域に分布する鮮新統～前期更新統の珪長質火砕岩類の総称。主に溶結した火砕流堆積物からなる。
宝鉱山	たからこうざん	Takara mine	山梨県都留市の黒鉱鉱床を採掘した銅・亜鉛鉱山。硫化鉄鉱146万t、銅亜鉛鉱7万t出鉱。1962年閉山。

宝島層群	たからじまそうぐん	Takarajima Group	奄美大島北西の宝島に分布する中新統。主に安山岩質の火砕流堆積物からなり溶岩などを伴う。
宝塚石英斑岩	たからづかせきえいはんがん	Takarazuka quartz porphyry	兵庫県宝塚市産石材。古生界を貫き新第三系に覆われた石英斑岩。淡緑色で割れ目が多い。碎石・割栗用に利用。
田川酸性岩類	たがわさんせいがんるい	Tagawa acidic rocks	山形－新潟県境の朝日山地周辺の珪長質火成岩のうち、日本国－三面構造線以北のもの。K-Ar年代は54～66Ma。
タキオメータ	たきおめーた	tacheometer	スタジア測量において水平距離と高低差を測量できる測量機材。
滝ヶ原石	たきがはらいし	Takigahara ishi	石川県小松市滝ヶ原産石材。中新統緑色凝灰岩。耐寒・耐熱度が高く、土台石・墓石・灯籠・庭石などに利用。
抱きコンクリート	だきこんくりーと	enlarged side wall concrete	トンネル坑口などにおいて偏圧に対抗するためにトンネル側壁を厚くした部分のコンクリート
抱きコンクリート工法	だきこんくりーとこうほう	concrete beam extension, enlarged side wall	既設構造物の下に基礎を挿入する工法の一つで、基礎と既設構造物をコンクリートで一体化することをいう。
滝坂地すべり	たきさかじすべり	the Takisaka landslide	1888年に福島県耶麻郡西会津町で発生した地すべり。
滝沢みかげ	たきざわみかげ	Takizawa mikage	岩手県滝沢村産石材。中生界角閃石黒雲母花崗岩。中粒・片麻岩質。主に土木用に用いられる。
多紀層群	たきそうぐん	Taki Group	兵庫県～京都府に分布する丹波層群の一員。現在は研究の進展に伴う地質解釈の変更でこの名は使われていない。
滝根層群	たきねそうぐん	Takine Group	阿武隈山地中央部に分布する時代不詳中・古生界。石灰岩・頁岩・塩基性岩などからなる。白亜系花崗岩により接触変成作用を受けている。
滝ノ上地熱地帯	たきのうえちねつちたい	Takinoue geothermal area	八幡平南方の日本有数の地熱地帯。葛根田地熱発電所があり、出力は一号機：50,000KW、二号機：30,000KW。
多丘形凹状台地状地形	たきゅうけいおうじょうだいちじょうちけい		地すべり地形の一種。地すべり運動により形成された多くの小丘・台地がそれぞれ地すべりユニットを形成する。
田京石	たきょういし	Takyo ishi	静岡県田方郡大仁町産石材。更新統玄武岩。柱状節理が発達し大きな石材は取れない。主に土木用に利用。
タキライト	たきらいと	tachylyte	玄武岩質マグマが急冷固結したガラス。黒・褐・緑色を呈し、枕状溶岩・玄武岩岩脈の周縁部などにみられる。
田切断層	たぎりだんそう	Tagiri fault	活断層。確実度Ⅰ、活動度B級、南北方向。上伊那郡宮田～飯田にわたって位置し延長約30km。伊那谷断層系の低角逆断層。西傾斜。

多金属型鉱脈鉱床	たきんぞくがたこうみやくこうしょう	polymetallic vein type ore deposit	銅を伴う鉛・亜鉛の鉱脈型鉱床などの、3種以上の金属を含む鉱床。硫化鉱床としては金・銀品位の高いものが多い。
多久石	たくいし	Taku ishi	佐賀県多久市産石材。新第三系筑紫型両輝石安山岩。普通の安山岩で砕石として大規模に開発された。
卓越風	たくえつふう	prevailing wind	ある期間内・ある地域・ある地点で最も多く観測される風。通常は風向と共に使用される。
卓礁	たくしょう	table reef	浅い礁湖をいだくか、または全く礁湖のない楕円形のさんご(珊瑚)礁。風やうねりの著しい海域に発達する。
卓状地	たくじょうち	table land, plateau	構造台地の一つ。周囲に急崖を持ち、水平な硬岩層からなる広い台地で卓状をなすもの。地表面は削剥面である。
濁水長期化現象	だくすいちょうきかげんしょう	turbid water resident	ダムが築造されたことにより、洪水後や渇水による水位低下時に濁水が下流に長期間に渡って放流される現象。
濁水長期化予測手法	だくすいちょうきかよそくしゅほう	turbid water resident prediction method	濁水長期化を予測する手法のことで、濁水判定マニュアル、数量化理論、類似ダムからの予測、シミュレーションモデルによる予測などがある。
ダクティリティ	だくていりてい	ductility	延性。弾性限界以上の引張力を加えた時、物体が塑性変形を起こして引き延ばされる性質。
濁度	だくど	turbidity	水の濁りを示す指標。蒸留水1リットル中に濁度用精製カオリン1mgを含む場合の濁度を1度または1ppmとする。
濁度計	だくどけい	turbidimeter	濁度を計る計器。平行光線が検体を通過した後の到達光に応じて生じた起電力と事前の検定より求める。
濁度粒度分析	だくどりゅうどぶんせき	turbidity size analysis	光電管を設置したシリンダー内で堆積物を分散させ、その懸濁度の測定より粒径分布を得る方法。
濁沸石	だくふっせき	laumontite	理想式は $\text{CaAl}_2\text{Si}_4\text{O}_{12} \cdot 4\text{H}_2\text{O}$ 。単斜晶系。硬度4。比重2.28。沸石の一種で岩石中の空洞や脈中に産する。吸水膨脹するため骨材中では有害鉱物。
他形	たけい	anhedral	鉱物固有の結晶面の発達が隣接する他鉱物により妨げられ、自形をしていないもの。後期晶出鉱物の多くがこの形。
田下石	たげいし	Tage ishi	宇都宮市田下町付近で採掘される淡緑色の凝灰岩石材。
打撃杭打ち機	だげきくいうちき	impact pile driver	打撃力を加えて既製杭を地盤中に打込む機械。打撃の方式によって種々の型式がある。
打撃工法	だげきこうほう	pile driving by hammer	既製杭を打撃によって打ち込む工法。

打撃試験	だげきしけん	impact soil test	衝撃荷重による地盤の締固め特性を把握する試験。ハンマー質量、最終圧縮量、締固め終了時間より求める。
岳下みかげ	たけしたみかげ	Takeshita mikage	福島県安達郡産石材。中生界片麻岩質花崗閃緑岩。石材産地として著名。土木用・砕石用として利用される。
竹之久保石	たけのくぼいし	Takenokubo ishi	長崎県長崎市竹之久保産石材。新第三系角閃石両輝石安山岩（筑紫溶岩）。砕石・土木用に利用される。
嶽山石	たけやまいし	Takeyama ishi	静岡県熱海市嶽山産石材。黒雲母角閃石石英安山岩。灰色・緻密で、間知石・建築材として利用される。
多胡石	たこいし	Tako ishi	①群馬県吉井町産石材。三波川～御荷鉢系変成岩類中の蛇紋岩。濃緑色で堅硬。装飾材として利用される。 ②群馬県多野郡多胡村産石材。前期中新統砂岩。淡紅色・粗粒で堅硬。耐久性に富み、加工容易。
蛇行	だこう	meander	河川の流路が大きく屈曲し、S字を連ねたような形を呈したもの。曲流ともいう。
蛇行係数	だこうけいすう	coefficient of meandering	蛇行が螺旋流の水平振動により発生するとした場合、蛇行波長を流積の平方根で割った係数。
多孔式揚水試験	たこうしきようすいしけん	multi-well pumping test	揚水井・観測井などの複数の井戸を用いて実施する揚水試験。単孔式透水試験に比べ、帯水層の透水性や貯留特性をより正確に評価することができる。
多孔質媒質	たこうしつばいしつ	porous medium	主としてガスの膨張・逸散などにより生じた空隙あるいは空孔を多量に包含している地層あるいは地層構成岩石。
多孔状	たこうじょう	vesicular	溶岩の組織のこと。溶岩が流れている間にガス膨張の結果によって形成された気孔が特徴。
蛇行帯	だこうたい	meander belt	蛇行の湾曲した河川の両端をそれぞれ上下流方向に結んだ幅をもつ帯状地のこと。曲流帯ともいう。
多孔爆破	たこうばくは	pattern shooting	震源として複数の孔に爆薬を装填し、同時に発破すること。主に反射法探査において行われる。
多孔爆発法	たこうばくはつほう	pattern shooting	多孔爆破と同義。
タコニック変動	たこにつくへんどう	Taconic orogeny	北米東部のアパラチア山地を形成したオルドビス紀末におこった造山運動。
但馬地震	たじまじしん	the 1925 Tajima earthquake	1925年5月23日に兵庫県北部で発生したM6.8の地震。火災被害も含め死者428人、焼失2,180戸の被害地震。
多重干渉法	たじゅうかんしょうほう	multiple beam interferometry	光学平行板と試料表面を銀蒸着し、単色平行光線下で干渉を起こさせることで精密に高低差を測定する方法。

多重地震計	たじゅうじしんけい	multiple seismometer	複数の受振器からの出力を混合して、一つの増幅器・記録器に送るよう組み立てられた受振器。
多重周波数電磁探査法	たじゅうしゅうはすうでんじたんさほう	multi-frequency electromagnetic method	周波数電磁探査法と同義。
多重スペクトル映像	たじゅうすぺくとるえいぞう	multispectral image	物体が反射や放射する電磁波を11～12バンドの波長帯別に記録した映像。分光反射特性に基づく画像分類などに利用可能。
多重スペクトル走査計	たじゅうすぺくとるそうさけい	multispectral scanner, MSS	物体が反射や放射する電磁波を11～12バンドの波長帯に分光して検知、記録する装置。マルチスペクトルスキャナ(MSS)ともいう。
多重バリアシステム	たじゅうばりあしすてむ	multibarrier system	処分された放射性廃棄物による影響が、将来にわたって人間とその環境に及ぼさないようにするための、人工バリアと天然バリアからなる多層の防護システム。
多重反射	たじゅうはんしゃ	multiple reflection	地震波が、地表面あるいは地層境界面において何回もの反射を繰り返すこと。
多重ふるい落下法	たじゅうふるいらっかほう	multiple sieve method	0.075mm以上の粒径分析に用いる。ふるいを重ね合わせて最上位に試料を投入して自動的にふるい分ける方法。
多重変成鉱床	たじゅうへんせいこうしょう	polymetamorphic deposit	複変成鉱床と同義。
多循環湖	たじゅんかんこ	polymictic lake	夜間の強い冷却のため頻りに循環を繰り返す湖。高地に分布する湖に多い。
多色レーザー測距儀	たしよくれーざーそくきよぎ	multi-color laser distance meter	異なる固有波長のレーザーを用いて精度を高めたレーザー測距儀。
多心アーチダム	たしんあーちだむ	multi-centered arch dam	アーチダムの平面形状を単心円アーチではなく、多心円にしたアーチダム。
多数アンカー式擁壁工法	たすうあんかーしきようへきこうほう	earth retaining wall with anchorings	複数のアンカープレートを持つタイロッドを盛土内に敷設し、補強材と壁面材を結合した補強土擁壁。
打設	だせつ	concrete placing	搬入されたコンクリートまたはモルタルを所定の場所に投入あるいは充填する作業。
多層地盤の支持力	たそうじばんのしじりよく	bearing capacity of multi-layered ground	基礎の大きさに比べて基礎直下の土層が薄い場合、下層地盤の影響を考慮して支持力を算定すること。
多層弾性解析法	たそうだんせいはいせきほう	multi layer elastic analysis	滑走路などの舗装設計法の一つで、推定E値などを用いた多層弾性理論に基づく設計法。
多層弾性理論	たそうだんせいりろん	multi layer elastic theory	滑走路などの舗装構造の評価手法。多層の線形弾性体モデルで各層の弾性係数から表面たわみを導出する。

多相変成作用	たそうへんせいさよう	plurifacial metamorphism	二度以上の連続する変成作用.
タタル舟状海盆	たたるしゅうじょうかいぼん	Tartary trough	日本海最北部ロシアのホテアリン山脈に平行し、鮮新統などからなる長さ約400km、水深2,000mを超える海底凹地.
たたき石	たたきせき	hammer ishi	新生代の地層の泥岩にみられるハンマーの形に似た方解石粒の集合体. 玄能石とも呼ばれる.
多々羅大橋	たたらおおはし	Tatara bridge	本四連絡橋尾道～今治ルート of 斜張橋. 中央径間890mでこの形式では世界最大. 1999年完成. 基礎となる強風化花崗岩の大規模載荷試験が行われた.
多段階三軸圧縮試験	ただんかいさんじくあっしゅくしけん	multiple failure state triaxial tests	均一な供試体が得られない時, 1個の供試体で圧縮破壊, 側圧の上昇を繰り返して破壊包路線を得る方法.
多段サイロット	ただんさいろっと	multiple drift	大断面トンネルの不良地質区間を突破するために, トンネル断面周囲をとりかこんで掘削された導坑.
多段式沈下計	ただんしきちんかけい	multi-element settlement gauge	ロッドに沿う沈下板の沈下を電氣的に検出する仕組みの連続式沈下計を多くの層に設置したもの.
多段導坑	ただんどうこう	multiple drift	多段サイロットと同義.
多段バー海岸	ただんばーかいがん	multi-barred coast	海岸に沿って, 沖側の水面下に砂の堆積地形のバーが2列以上存在する海岸. バーは碎波によって形成される.
立川断層	たちかわだんそう	Tachikawa fault	活断層. 確実度 I, 活動度 B級, 北西-南東方向. 国立市青柳～青梅市にかけて位置し延長約21km. 縦ずれ断層.
立川面	たちかわめん	Tachikawa surface	東京都立川付近の段丘面が模式地の地形面. 最終氷期後期の多摩川河床の堆積面で, 下流では現河床下に没する.
立川ローム層	たちかわろーむそう	Tachikawa loam Formation	関東地方南部に広く分布する第四紀更新世末期. 多摩川流域を模式地とする. 風成でスコリア質茶褐色風化火山灰層からなる. 関東ローム層を4分した場合の最上部層.
脱塩基作用	だつえんきさよう	base desaturation	化学的風化作用により岩石や土壌から塩基類が溶脱される作用. 塩基飽和度の低下により土壌 pHは酸性化する.
脱ガラス化	だつがらすか	devitrification	地表条件で不安定な天然ガラスが結晶質になること. その速度は極めて遅いが, 適当な条件下で微細に結晶化.
脱気水	だっきすい	deaerated water	溶存する空気の大部分を除去した水. 土の圧縮試験などで飽和状態を維持するために使用される.
脱珪化	だつけいか	desilication	化学的風化やマグマと周囲の岩石の反応によって, 岩石や土壌から珪酸が失われていくこと. 脱珪酸作用と同義語.

脱珪酸作用	だつけいさんさよう	desilication	①珪酸塩鉱物の分解により岩石から、またマグマと周囲の岩石との反応により、マグマから珪酸が除去される作用。 ②化学的風化作用により岩石や土壌から珪酸が溶脱される作用。高温多湿気候下で強く作用し、残留物はFeとAlに富むようになる。
脱硝	だっしょう	denitrification	溶液や気体中から、窒素酸化物を除去すること。
脱水	だっすい	dehydration	化合物からの水を取り去ること。結晶水・水酸基・二種の化合物の反応で生じた水の脱離を意味する。
脱水圧密沈下	だっすいあつみつちんか	dehydrated consolidation settlement	粘性土の圧密過程において、粘性土が土中の水分を排出しながら沈下していく現象。
脱水工法	だっすいこうほう	drainage works	地盤掘削現場の地下水位の低下や一時的な地盤改良を目的として地盤から水を抜く工法。排水工法ともいう。
脱石灰化作用	だっせっかいかさよう	decalcification	化学的風化作用により土壌からCaが溶脱される作用。高温多湿条件で強く作用し、土壌pHは酸性化する。
脱窒作用	だっちつさよう	denitrification	土壌中の硝酸や亜硝酸が還元され、窒素ガスに気化する現象。窒素肥料が失われ生産力が低下する。
龍野層群	たつのそうぐん	Tatsuno Group	兵庫県龍野市付近の上野帯に分布するペルム系。主に緑色岩・千枚岩・頁岩からなる。
達布層群	たっぷそうぐん	Tappu Group	北海道雨竜地域に分布する中・上部始新～下部漸新統。下部は細粒砂岩、上部は暗灰色泥岩を主体とする。
脱硫	だつりゅう	desulfurization, desulphurization	溶液や気体中から、硫黄酸化物を除去すること。
立石層	たていしそう	Tateishi Formation	福島県東部の相馬地域に分布する古生界下部石炭系鬼丸統。真野川中流部立石付近を模式地とする。無層理黒色石灰岩を主体とし、石灰質な砂岩・頁岩を伴う。
立坑	たてこう	shaft, vertical shaft	斜坑や横坑に対し鉛直に掘削された坑道をいう。
立坑圧気	たてこうあつき	pressurized shaft	シールドトンネルに圧気する際に、発進立坑に隔壁を設けて行う方法。漏気や噴発についての考慮が必要。
立坑ガイド	たてこうがいで	guide rail	立坑内でケージやスキップなどを昇降させるときに必要とされる案内装置。
立坑口	たてこうぐち	shaft entrance	立坑の地表面部の入り口。
立坑掘削機	たてこうくっさくき	shaft excavator	立坑の掘削に使用する機械。口径の大小により、それぞれ適用される機種がある。

立坑式発電所	たてこうしきはつでんしょ	shaft power station	水力発電所のうち、立地形式が半地下式のもので、掘削工法がのり面をつける開削方式でなく、立坑式のもの。
立坑巻上げ	たてこうまきあげ	shaft hoist	立坑施工時に、人・材料・ズリなどを巻き上げ機械を用いて、搬入・搬出すること。
楯状火山	たてじょうかざん	shield volcano	粘性の著しく小さい玄武質の溶岩流が重なった、傾斜の緩い円錐形の火山体。ハワイとアイスランドに多い。
楯状地	たてじょうち	shield	大陸地殻のうち、先カンブリア紀の変動以後はほとんど変動のなかった低平な陸地。
縦浸食	たてしんしょく	vertical erosion	河川の浸食作用の一つ。山間部の河川の流れが急なところで、浸食のために河谷の深さが増すことをさす。
縦浸食防止ダム	たてしんしょくぼうしだむ	check dam against to vertical erosion	下方浸食の進んでいる溪流に対し、その浸食区域下端に設けて浸食を防止する砂防ダム。
縦振動	たてしんどう	longitudinal vibration	媒質の変化が波の進行方向と同じ方向に生じる振動現象。
縦ずれ断層	たてずれだんそう	dip-slip fault	断層面上の変位量を横ずれ成分と縦ずれ成分に分解して示した場合、主に縦ずれ成分を持つ断層。
縦弾性定数	たてだんせいていすう	Young's modulus, elastic modulus	弾性係数・ヤング率と同義。現在ではあまり用いられない。
縦継目	たてつぎめ	longitudinal joint	コンクリートダムのダム軸平行方向に設置される継目。
縦伝導度	たてでんどうど	longitudinal conductance	成層構造を電流が成層面に平行方向に流れるとき、各層の層厚と比抵抗から算出される見掛け上の電気伝導度。
縦ドレーン	たてどれーん	vertical drain	均一型アースダムの堤体内湿潤線を下げるために設けられる、底設ドレーンから立ち上げたドレーン。
縦波	たてなみ	longitudinal wave	媒質を進行方向に振動させながら伝わる波。横波よりも速く伝わり、観測点に最初に到達する。P波と呼ばれている。
縦曲げ褶曲	たてまげしゅうきよく	longitudinal bending fold	地層面や層状面に平行する方向から圧縮力を加えて、これと直交する方向に層が弓状～波状に褶曲すること。
館山石	たてやまいし	Tateyama ishi	①千葉県館山市産の新第三系凝灰岩。房州石と同じ。土木用に利用される。 ②栃木県那須町芦野産石材。更新統溶結凝灰岩。白河石に類似し、芦野石と同じ。有名な石材。
館矢間石	たてやまいし	Tateyama ishi	宮城県丸森町館矢間産石材。中生界黒雲母角閃石花崗岩。中粒・片状で角閃石が多い。建築・道路・橋梁などに利用。

縦割り式部分掘削工法	たてわりしきぶぶんくっさくこうほう	trench cut method	部分掘削工法に属する。全掘削幅員のうち、一部を先行掘削して躯体を構築後、残余部分を掘削構築する工法。
多点温度検層	たてんおんどけんそう	multiple measuring points temperature logging	人為的に昇降させた試錐孔内の水温を多点温度検層器で経時的にほぼ同時測定し流動層、流速を調べる方法。
ダトー石	だとうせき	datolite	組成CaBSiO ₄ (OH)。単斜晶系。硬度5.5。比重2.95。ホウ珪酸塩鉱物の一種。酸性～超苦鉄質岩中の変質鉱物に伴って産する。
ダナイト	だないと	dunite	大部分がかんらん石（橄欖石）で構成される完晶質の超苦鉄質岩。ダンかんらん岩（ダンかんらん石（橄欖岩））ともいう。
田中山石	たなかやまいし	Tanakayama ishi	静岡県田方郡産石材。更新統玄武岩。柱状節理が発達し、大材は取れない。主に土木用に利用。田京石と同じ。
多奈川石	たなかわいし	Tanakawa ishi	大阪府泉南郡岬町産石材。後期白亜系和泉砂岩。緑灰色で緻密。加工に適し、墓石・間知石などに利用される。
棚倉構造線	たなぐらこうぞうせん	Tanagura tectonic line	茨城県常陸太田市付近から福島県東白川郡棚倉町に至る、日本列島の大構造線の一つ。延長60km。
棚倉破砕帯	たなぐらはさいたい	Tanagura fracture zone	福島県棚倉付近を通過して北北西に走る幅2～3kmの地帯。これに沿って先第三系は著しく変形・変成する。
棚シールド	たなしーど	multi deck shield	切羽前面を解放型にして多くの水平床を地山に貫入させ、細分化による安定を図るもので、砂地盤掘削に適用。
棚状海岸	たなじょうかいがん	step-profiled beach	波砕帯付近の水深1～3mの海底で、階段状の棚状の平坦部を有する海岸。幅は200m前後、底質は大部分砂である。
棚付き控え擁壁	たなつきひかえようへき	counterfort retaining wall with shelf	控え壁擁壁を水平な棚壁で補強した擁壁。
田辺層群	たなべそうぐん	Tanabe Group	紀伊半島南西部の和歌山県田辺市・白浜町付近に分布する中新統。浅海性の礫岩・砂岩・泥岩よりなる。
ダナム公式	だなむこうしき	Danham's formula	杭の静力学的支持公式。杭の極限支持力をC、φの関数で表したもの。
ダニアン階	だにあんかい	Danian stage	古第三系最下部階でダン階ともデーン階ともいう。国際的対比の基準となる。模式地はデンマークにある。
谷風	たにかぜ	valley breeze	谷や山麓斜面を山頂に向かって吹き上げる風。太陽による地表の暖められ方に差があり発生する。
谷次数	たにじすう	stream order	水系網を数値で表現する方法。源流部の最上流の谷を一次谷とし、n次谷どうしが合流すると(n+1)次谷となる。

谷地すべり	たにじすべり	the Tani landslide	1971年に福井県勝山町北谷町谷で発生した地すべり。
谷状浸食	たにじょうしんしょく	gully erosion	幅45cm, 深さ25cm以上に土がえぐり取られること。修復するには土木工事が必要。
谷線	たにせん	thalweg	河川の水深の最も深い部分を上・下流に結んだ線で、原則的に流心線に一致する。谷心線ともいう。
谷止	たにどめ	small check dam	急勾配の小溪流やリル・ガリーに設けられる横工で、砂防ダムに準ずる構造物。溪岸・溪床の固定、溪床勾配の緩和の機能を持つ。
谷止工	たにどめこう	simple dam	砂防ダムの一種で堆積土砂によって上流側の山腹の崩壊を防ぐために設置される。
谷氷河	たにひょうが	valley glacier	谷の中を流下する氷河で、ヨーロッパアルプスに典型的に発達し、山岳氷河の代表的な形態である。
谷密度	たにみつど	drainage density, valley density	水流浸食による地形の開析の程度を表わす指標。単位面積あたりの谷の本数、本支流の総延長などにより表わす。
たぬき掘り	たぬきぼり	small drift	元来、鉱脈に沿った小さな採鉱坑道を称したが、現在では調査や水抜きのために小断面のトンネルを掘ることをさす。
田野層群	たのそうぐん	Tano Group	大分県臼杵地域に分布する白亜系。黒瀬川構造帯の北縁部に位置する。陸源の碎屑岩類からなる浅海性堆積物。
束沸石	たばふっせき	stilbite	沸石の一種。Na _n Ca ₄ (Al _{8+n} Si _{28-n} O ₇₂)・30H ₂ O。単斜晶系。硬度3.5~4。比重2.1~2.2。白色・ガラス光沢の柱状または板状結晶の束状集合体。
多氷河作用	たひょうがさよう	multiple glaciation	繰り返し起こった氷河の拡大・後退により引き起こされた、氷河による浸食・運搬・堆積作用。
タフネス指数	たふねすしすう	toughness index	塑性指数Ipと流動指数Ifの比でItで表す。塑性限界での乱した土のせん断強さの度合いを示す。
WCRP	だぶりゅーしーあーるぴー	World Climate Research Program, WCRP	世界気候研究計画。世界気象機関(WMO)を中心とする世界気候計画を推進する上で基礎となる国際的研究計画。
WGS	だぶりゅーじーえす	World Geodetic System, WGS	米国国防総省が導入した世界測地系。衛星の軌道解析から算出された系でGPSの位置計算に使われている。
ダブルウォール工法	だぶるうおーるこうほう	double wall method	矢板を二重に打ち並べて頭部を連結し、内部に土砂を詰める締切工法。河川の流水の自然流下を抑止し、他水路にそらせることなどの目的に用いられる。
ダブルウォールダム	だぶるうおーるだむ	double wall coffer dam	二重矢板で造った締切りダム。

ダブルゲート	だぶるげーと	double gate	上下2段に分かれたゲートで、流量に応じて1段または2段を昇降させることができるもの。
ダブルコアチューブ	だぶるこあちゅーぶ	double core tube	コアチューブが二重の管になったコアバレル。掘削用水は外管と内管の間を流れ、コアと接しない。
ダブルコアチューブシーベル形コアバレル	だぶるこあちゅーぶ しーべるがたこあば れる	double core tube swivel type core barrels	ボールベアリングなどを使用し、内管が外管とともに回転しないようにしたダブルコアバレル。
ダブルチューブオーガー	だぶるちゅーぶおー がー	double-tube auger	デニソン型サンプラの一種で、内管にシンウォールチューブ、外管にスパイラル型オーガーチューブを使用。
ダブルチューブコアバレル	だぶるちゅーぶこあ ばーれる	double-tube core barrel	二重管式コアバレル。削孔水は内管と外管の間を 通ってビットに達し、外管の外側を通り孔口へ戻る。
ダブルトーション試験	だぶるとーしょんし けん	double torsion test	岩石の応力腐食による亀裂進展速度を調べる試験。細溝を有する薄板状試料に曲げ荷重を破壊寸前までかけて止め、その後の亀裂速度と荷重の低下率より求める。
ダブルパッカー	だぶるぱっかー	double packer	①注入箇所を限定するために二重管式注入工法で、内管の注入孔の上下で内外管の間に配置されるパッカー。 ②ボーリング孔内の透水試験などで試験区間を仕切るために用いる2個のパッカー。
ダブルパッカーグラウチング	だぶるぱっかーぐら うちんぐ	double-packer grouting	注入区間の上下にパッカーをかけて行うグラウチング。
ダブルフラクチャリング法	だぶるふらくちやり んぐほう	double fracturing method	ボーリング孔内で行う初期地圧測定法の一で、スリープフラクチャリング法と同義。測定の過程で孔壁に2回亀裂を発生させるため、ダブルフラクチャリングと呼ぶ。
タフロ地向斜	たふろちこうしゃ	taphrogeosyncline	正地向斜に造山運動が起こった後の沈降域の一つで、高角度断層で陥没し、堆積物で埋められている。地向斜論に基づく考え方。
多変量解析	たへんりょうかいせ き	multivariate analysis	互いに相関のある多変量（多種類の特性値）のもつ特徴を要約し、相互関係を分析する数学的手法。
だぼ	だぼ	dowel	2材の接合部で相互のずれを防ぐ目的で挿入する小片。
だぼ	だぼ	point rod	トンネル内施工時に利用する仮設の坑内測点。
玉石	たまいし	cobble stone	岩石が風化などにより球状になったもの。大きな硬質礫の俗称として使われることが多い。
球石	たまいし	flint ball	緻密な硬質岩が河川の運搬過程で円磨され円礫となったもの。玉石とも書く。
玉石コンクリートダム	たまいしこんくりー とだむ	boulder concrete dam	玉石をモルタルで接合して築造したダム。

玉石砕石	たまいしさいせき	crushed gravel	玉石を破砕し、骨材として利用されるもの。
玉石積み	たまいしづみ	cobble stone masonry	玉石や野面石など天然露面をもつ石を用いた石積み工法。
玉石張り	たまいしばり	covering with cobble stone	親水護岸工としてよく用いられる工法で、玉石を張り、空隙をセメントミルク、モルタルなどで充填する工法。
玉川酸性水	たまがわさんせいすい	Tamagawa acidic water	秋田県の玉川温泉の酸性泉の影響を受けた異常に酸性の強い河川水。
多摩川層群	たまがわそうぐん	Tamagawa Group	関東山地の多摩川～秋川地域に分布する白亜系。氷川層・海沢層に区分。砂岩と頁岩を主とし覆瓦構造をなす。
田万川層群	たまがわそうぐん	Tamagawa Group	山口県田万川町付近に分布するぜん新統（漸新統）火山岩類。深成岩類を伴い火山構造的陥没地をつくる。
田万川帯	たまがわたい	Tamagawa zone	山口県北東部～島根県西部の田万川層群および相当層の分布地帯。鍋状陥没体が北東－南西方向に点在する。
卵型空洞	たまごがたくうどう	egg shaped cavern	大規模地下空洞の形状の一つ。全体が長円形をなし、上部および側壁部の支保には吹付けコンクリート、P Sアンカー、ロックボルトを用いる。
玉葱状構造	たまねぎじょうこうぞう	onion structure	岩石が風化作用により、あたかも玉ねぎの皮のように同心球の薄皮状に剥がれる構造。塊状無層理の岩石に多い。
玉葱状風化	たまねぎじょうふうか	onion-skin weathering , spheroidal weathering	花崗岩、安山岩、砂岩などの塊状岩によく見られる風化現象で球殻状に風化が進行し、中心に球状の核が残る。
玉ノ木石	たまのきいし	Tamanoki ishi	京都府野田川町玉ノ木産石材。白亜系花崗岩。土木用に利用される。京都府有数の石材産地。
玉ノ木地すべり	たまのきじすべり	the Tamanoki landslide	1985年に新潟県西頸城郡玉ノ木地区で発生した地すべり性崩壊。融雪が誘因となって古期岩屑が再移動した。
多摩面	たまめん	Tama surface	多摩丘陵の背面に対して与えられた地形面の名称。中期更新世の高海面期に形成された海成面である。
多摩ローム層	たまるーむそう	Tama loam Formation	関東地方南部に広く分布する第四紀更新世中期。東京都西部多摩丘陵付近を模式地とする。風成で火山灰層からなる。関東ローム層を4分した場合の最下部層。
ダミーゲージ	だみーげーじ	dummy gauge	温度補償を行うため回路に組込まれるひずみゲージで、ひずみは受けずに温度変化のみにより抵抗が変化する。
ダム	ダム	dam	堰堤と同義。

ダム下流端	だむかりゅうたん	toe of dam (concrete dams), downstream toe of dam (others)	ダムの下流面と地表面の交点.
ダム下流面	だむかりゅうめん	downstream face of dam	ダムの下流側の表面.
ダム管理用水力発電設備	だむかんりょうすいりょくはつでんせつび	power station incorporated in or adjacent to a dam	ダム事業者が管理用に使用する電力を発電するため、自ら放流設備に設置した水力発電設備.
ダムサイト	だむさいと	dam site	ダムを築造する場所.
ダムサイト計測装置	だむさいとけいそくそうち	damsite monitoring equipment	堤体、放流設備などの監視および操作・制御のため、堤体および貯水池に設置される計測設備.
ダム先	だむさき	toe of dam	ダム下流端と同義.
ダム式発電所	だむしきはつでんしょ	dam type power station	流水をせき止めてダムを建設し、それにより高められた水位（落差）を利用する方式の発電所.
ダム軸	だむじく	axis of dam	ダムの平面配置の基になる基準線で、重力ダムでは基三角形の頂点を連ねた線。アーチダム、フィルダムでは堤頂の中心線、表面遮水壁型フィルダムでは天端上端線.
ダム主任者	だむしゅにんしゃ	dam superintendent	ダムの保安・運用責任者.
ダム上流端	だむじょうりゅうたん	heel of dam (concrete dams), upstream toe of dam (others)	ダムの上流面と地表面の交点.
ダム上流面	だむじょうりゅうめん	upstream face of dam	ダムの上流側の表面.
ダム尻	だむじり	heel of dam	ダム上流端と同義.
ダム体積	だむたいせき	volume of dam	堤体積と同義.
ダム頂	だむちょう	top of dam	堤頂と同義.
ダム頂長	だむちょうちょう	crest length	堤長と同義.
ダム頂標高	だむちょうひょうこう	elevation of top of dam	堤頂標高ともいい、手すり・高欄などを除くダム本体頂部の標高のこと.

ダム貯水池熱エネルギー利用	だむちよすいちねつえねるぎーりょう	thermal reservoir energy utilization	ダム貯水池の熱エネルギーを利用し、河川水温の制御による水質改善、ダム管理所の冷暖房などに活用すること。
ダム天端	だむてんば	top of dam	堤頂と同義。
ダム取付部	だむとりつけぶ	dam abutment	ダムを取付ける両岸の基盤岩。
ダム本体	だむほんたい	body of dam, mass of dam	ダムとは堤体、洪水吐きおよび副ダムなどが一体となってダムの目的に資する構造物の総称であり、本体は堤体部をさす。
溜池	ためいけ	reservoir	気象的に安定した用水を河川に求められない場合に設けられる農業用貯水池。
ダメージゾーン	だめーじぞーん	damage zone	断層の伝搬、連結、雁行状配列で特徴づけられゾーン。プロセスゾーンの痕であるとみなされる。
多面体図法	ためんたいずほう	polyhedral projection, polyhedric projection	地球上の2組の経緯度で囲まれた小地域を、四隅の経緯線の交点を通る平面上に投影した心射図法。
多面土圧計	ためんどうあつけい	multi faces earth pressure cell	土圧計を多面的に組合わせ、土中の一点における二次元的、三次元的な応力成分を測定する装置。
多茂木地すべり	たもぎじすべり	the Tamogi landslide	1969年に秋田県大館町花矢で発生した地すべり。
多目的ダム	たもくてきだむ	multipurpose dam	異なる二つ以上の目的に利用されるダム。洪水調節・発電・灌漑・水道・土砂止めなどの複数の目的を兼ねる。
多良石	たらいし	Tara ishi	佐賀県藤津郡多良町産石材。更新統両輝石安山岩（多良岳溶岩）。砕石として利用される。
多輪廻地形	たりんねちけい	multicycle landscape, polycyclic landscape	地盤の変動、気候変化、火山活動などによる輪廻の中断により、新旧二つ以上の輪廻に属する地形が共存する地形。
タルク	たるく	talc	滑石と同義語。
ダルザルク曲線	だるざるくきょくせん	Dar Zarouk curve	水平多層構造における比抵抗の巨視的な異方性を表わす曲線。
ダルシー式	だるしーしき	Darcy's formula	飽和した断面積Aの多孔質媒体に動水勾配iを与えた際、物体の流れる流量 $Q=k \cdot i$ で与えられる実験式。
ダルシーの法則	だるしーのほうそく	Darcy's law	地盤の透水係数をk、動水勾配をiとしたときの浸透流速vが $v = k i$ で表されるという法則。

ダルシー流	だるしーりゅう	Darcy flow	飽和した多孔質媒体中を通過する水流の流速が、動水勾配に比例する層流状態の流れ。
樽田地すべり	たるだじすべり	the Taruda landslide	1957年に新潟県中魚沼郡津南町樽田で発生した地すべり。
田老鉱山	たろうこうざん	Taro mine	岩手県北上山地北部に位置し、銅・鉛・亜鉛鉱山として採掘された。下部白亜系堆積岩のせん断帯中のレンズ状鉱体。総出鉱量約600万t。1972年閉山。
田老構造線	たろうこうぞうせん	Taro tectonic line	北部北上山地の先宮古統を三つの地帯に区分する構造線の一つ。田老鉱床付近を南北方向に走るせん断帯。
田老帯	たろうたい	Taro zone	北部北上山地の構造帯区分の一つ。先宮古統の堆積岩類で、田老構造線より東側のジュラ系～下部白亜系。
たわみ	たわみ	deflection	梁・板・ケーブルなどが荷重を受けて変形するとき、その変形の部材軸線に垂直な成分をいう。
たわみ基礎	たわみきそ	flexible foundation	剛性が十分小さくフレキシブルと仮定できる基礎。弾性体基礎ともいう。
たわみ計	たわみけい	deflectometer	ボーリング孔に設置されたワイヤの各深度におけるたわみ角を測定することによって、ボーリング軸に垂直な方向の地盤の変位を測定する装置。
たわみ褶曲	たわみしゅうきよく	flexural folding	地層がもとの厚さと長さを保ったまま弓型にたわむこと。層間・層内部にはすべりが生じている。
たわみ変位	たわみへんい	flexure displacement	外力によって板・棒などの軸方向が曲る変形による変位。
単位空気量	たんいくうきりょう	air content per unit volume of concrete	コンクリートまたはモルタル1m ³ に占める空気量を体積百分率で表したもの。
単位水量	たんいすいりょう	water content per unit volume of concrete	表乾状態の骨材を用いてコンクリートまたはモルタル1m ³ を造るときに用いる水の量 (kgで表す)。
単位セメント量	たんいせめんとりょう	cement content per unit volume of concrete	コンクリートまたはモルタル1m ³ を造るときに用いるセメントの量 (kgで表す)。
単位体積重量	たんいたいせきじゅうりょう	unit weight	土の単位体積あたりの重量。土質工学では湿潤 γ_t 、乾燥 γ_d 、飽和 γ_{sat} 、水中 γ' の四つの状態に分けられる。
単位体積重量試験	たんいたいせきじゅうりょうしけん	unit weight test	土の単位体積あたりの重さを求める物理試験。
単位注入セメント量	たんいちゅうにゅうせめんとりょう	injection cement content per meter, grout take	グラウチングにより注入されたセメント量を注入区間長で除したもの。

単一格子	たんいつこうし	simple lattice	同一平面上にない三つの基本並進ベクトル以外に他の並進ベクトルを含まない空間格子. 単純格子と同義.
淡塩水境界面	たんえんすいきょうかいめん	fresh-salt water interface	海岸部の帯水層や河口域などで, 塩水が淡水の下に潜り込んだ状態で接する境界面.
淡塩水境界モデル	たんえんすいきょうかいもでる	freshwater-saltwater interface model	淡塩水境界面の位置や挙動を定量的に評価する数値解析モデル.
単円錐図法	たんえんすいずほう	simple conic projection	地図投影法の一つ. 地球のある緯度線に円錐面を接触させ, その上に地球表面の形を投影して描く図法.
淡塩水遷移帯	たんえんすいせんいたい	transition zone of fresh and salty water	海岸部の帯水層や河口域で淡水と塩水が接触し, 混合している部分. 淡塩水交錯帯ともいう.
単円柱図法	たんえんちゅうずほう	simple cylindrical projection	地図投影法の一つ. 赤道に沿って地球に接する円柱(円筒)に経緯線を描き, 地球表面の形を投影して描く図法.
炭化	たんか	carbonization	植物体または有機化合物が, 化学変化や分解によりその中の炭素含有量を増大させてゆく炭素の濃集作用.
団塊	だんかい	nodule, concretion	堆積物中に形成された球状や板状もしくは不定形の塊. 周囲の地層とは固結程度や組成が異なる.
団塊構造	だんかいこうぞう	nodule structure	堆積物中で化学的成分の局部的濃集によって生ずる団塊状, または不定形の同心状結核体の成長構造.
段階载荷	だんかいさいか	stage loading	原位置や室内における力学試験において, 荷重を段階的にかけること.
段階载荷クリープ試験	だんかいさいかくりーぷしけん	incremental loading creep test	軟岩のクリープ破壊強度(上限降伏値)を求める試験. 拘束圧下での一定軸圧の一定時間载荷を, 軸圧を段階的に増加させながら破壊まで繰り返す.
段階盛土	だんかいもりど	embankment by stepping construction stage	層分けして段階的に盛土施工すること.
段階揚水試験	だんかいようすいしけん	step-up and step-down test	揚水試験の予備試験として揚水量を多段階に変化させた揚水を行って限界揚水量を求める試験.
炭化水素	たんかすいそ	hydrocarbon	炭素と水素からなる化合物の総称. 炭素原子が鎖状に結合した鎖式炭化水素と, 環状の環式炭化水素がある.
炭化水素鉱床	たんかすいそしょう	hydrocarbon deposit	炭化水素化合物を含む鉱床で, 主に石油・天然ガス鉱床をさす. 固形炭化水素にメタンハイドレートがある.
炭化水素飽和率	たんかすいそほうわりつ	hydrocarbon saturation	石油・天然ガス貯留層の孔隙容積中に, 炭化水素が占める容積の割合.

単管ロッド工法	たんかんろっどこうほう	simple pipe rod method	薬液注入工法の一つ。注入予定深度まで削孔し、削孔に使用したロッドをそのまま注入管として下部から上部に向かってステップ注入を行う工法。
断気	だんき	pressure release, air off	圧気工法によるトンネル掘削終了後、圧気圧を大気圧まで減圧すること。軟弱地盤では地盤沈下に注意が必要。
段丘	だんきゅう	terrace	過去の水面下で形成された平坦面が地殻変動や気象変化によって離水した地形。海岸段丘と河岸段丘がある。
単丘凹状台地状地形	たんきゅうおうじょうだいちじょうちけい		地すべり地形の一種。滑落崖の下に凹地を有し、台地状緩斜面を形成する。地すべりとしては単純な機構を持つ。
段丘崖	だんきゅうがい	terrace scarp	異なる時代の段丘面を境とする急崖。段丘崖では段丘を形成する地層・基盤岩を観察できる。
段丘崖のくいちがい	だんきゅうがいのくいちがい		断層変位による横ずれ地形を表す用語の一つで、本来連続しているべき段丘崖が横ずれ断層により食い違いを示している地形。横ずれ活断層の証拠のひとつとなる。
段丘砂礫	だんきゅうされき	terrace sand and gravel	段丘を構成する砂礫。段丘堆積物として最も一般的なものである。
段丘面	だんきゅうめん	terrace surface	段丘地形において平坦な面をいう。段丘面は一般的に高位なほど古い時代のものであることが多い。
段丘面区分	だんきゅうめんくぶん	classification of terrace surface	ある地域の段丘面を形成された時期によって区分すること。段丘の分類や段化ともいう。
単曲率アーチダム	たんきょくりつあーちだむ	single curvature arch dam	水平断面のみがアーチ形状をとるアーチダム。鉛直断面もアーチ形状のものは二曲率アーチダムという。
段切り	だんきり	bench cut, benching	切り取り高さが高い場合に、上部から段階的に掘削すること。
タングステン鉱床	たんぐすてんこうしょう	tungsten deposit	主要鉱石鉱物は鉄マンガン重石と灰重石。熱水鉱床・気成鉱床・ペグマタイト鉱床を主要鉱床型とする。母岩の性状や成因により形状・鉱物種・鉱物組合せが変化する。
タンクモデル	たんくもでる	tank model	降雨流出過程を定量的に評価するために広く用いられているモデル。一般によく用いられるのは三つのタンクを直列に連結したモデルである。最下段に地下水タンクを設けることにより、地下水かん養（涵養）量の評価に用いられる場合もある。
単系統	たんけいとう	monophyly	単一の祖先種に由来するすべての子孫種。現在では分岐分類学において重視されている。多系統の対語。
炭鉱	たんこう	coal mine, colliery	採掘対象が石炭である鉱山のこと。地表から掘削して採炭する露天掘りと坑道により地下の石炭を採炭する坑内掘りとがある。
探鉱	たんこう	prospecting	鉱床を探り求め評価する一連の作業。地質学的手法に物理探査や地化学探査などの結果を統合して結論を得る。

単孔式現場透水試験	たんこうしきげんば とうすいしけん	permeability test in single borehole	原位置で地盤の透水係数を求めるために行なう試験。 一本のボーリング孔で測定する。
丹後地震	たngoじしん	the 1927 Tango earthquake	1927年奥丹後半島で発生したM7.4の地震。地震後の測量によって地殻変動が明確にされたことで有名な地震。
丹後但馬地帯	たngoたじまちたい	Tango-Tajima zone	近畿地方地帯区分の一つ。三郡変成岩および千枚岩類が一部で確認される以外、広く新第三系が発達する。
探査深度	たんさしんど	depth of investigation	地下探査において効果的に地下状態を推定し得る深度。測定条件、物性分布などに依存する。
丹沢石	たngoざわいし	Tanzawa ishi	神奈川県足柄上郡丹沢山産石材。新第三系の閃緑岩。黒みかげの一種。土木用に利用される。
丹沢層群	たngoざわそうぐん	Tanzawa Group	新第三系で、噴出岩類・碎屑性堆積岩類からなる。丹沢深成岩体を中心に外側ほど新期の地層となる。
炭酸塩	たんさんえん	carbonate	炭酸の塩の総称。炭酸基をもつ鉱物を炭酸塩鉱物、また炭酸塩鉱物を50%以上含む堆積岩を炭酸塩岩という。
炭酸塩岩	たんさんえんがん	carbonate rock	炭酸塩鉱物を50%以上含む堆積岩。構成鉱物の大部分は、方解石・あられ石および苦灰岩からなる。
炭酸塩鉱物	たんさんえんこうぶつ	carbonate minerals	炭酸基を持つ鉱物。方解石群－方解石・菱苦土鉱・菱鉄鉱、アラゴナイト群－あられ石・ドロマイト群など。
炭酸ガス発生作用試験	たんさんがすはっせいさようしけん	CO ₂ generation effect method	有機質土から分解発生する炭酸ガスを定量分析し、土の性質や変化を測定する試験。
炭酸ガス付加作用	たんさんがすふかさよう	carbonization	化学的風化において、鉱物にCO ₂ が付加され炭酸塩鉱物が生成されること。
炭酸泉	たんさんせん	carbonate spring, carbonated spring	遊離炭酸を1000mg/kg以上含む鉱泉または温泉で、含まれる陽・陰イオンの種類により多種に分けられる。
炭酸噴気孔	たんさんふんきこう	mofette	二酸化炭素を主成分とし少量の水蒸気、窒素、メタンなどを含む火山ガスを噴出する孔。
短軸褶曲	たんじくしゅうきょく	brachy fold	連続褶曲と不連続褶曲の中間的な地帯に発達し、幅より長さの短い褶曲。
炭質頁岩	たんしつつけがん	coaly shale	炭質物を多量に含む黒～褐色の頁岩。単独のものは少なく、炭層の上下盤・挟みなどをなすことが多い。
炭質粘土	たんしつねんど	carbonaceous clay	炭化有機物を多く含有する粘土。国内では木節粘土がその例。可塑性に富み、窯業原料として重要。

単斜輝石	たんしゃきせき	clinopyroxenes	単斜晶系に属する輝石の総称。クリノエンスタタイト系など4系列の結晶構造に細分される。
単斜構造	たんしゃこうぞう	monocline	広範囲にわたって水平かあるいは緩傾斜をなす地層が地下に潜在する断層により、局所的に急傾斜となる部分。
単斜谷	たんしゃこく	monoclinal valley	同斜構造の褶曲山脈の地形の一つ。単斜山稜に並行して軟岩からなる地層の上に発達する同斜谷。
単斜山稜	たんしゃさんりょう	monoclinal ridge	同斜構造の褶曲山脈の地形。硬軟岩の互層が削剥され、硬岩層の部分が突出した走向山稜。同斜山稜ともいう。
単斜晶系	たんしゃしょうけい	monoclinic system	結晶を形態から分類した7結晶系の一つ。3本の軸角の一つが直角でなく、1方向にだけ2回対称軸、または2回回映軸が存在する。
タンシャン地震	たんしゃんじしん	Tangshan earthquake	唐山地震と同義。
単純温泉	たんじゅんおんせん	simple hot spring, simple spring	遊離炭酸および固形成分の含有量が1000mg/kg未満の温泉で、水温が25℃以上のものをいう。
単純格子	たんじゅんこうし	primitive lattice	結晶は構成原子が規則正しく配列して形成され、その最小単位である単位格子の8頂点以外に同価点をもたないもの。
単純褶曲	たんじゅんしゅうきよく	simple folding	層状の地層が、地殻運動によって曲率を生じるような変形作用をうけて、波状に変形した形態。
単純せん断強度	たんじゅんせんだんきょうど	simple shear strength	物体内の平面に異なる方向の動きによって、せん断応力のみが生じているときの破壊強度。
単純せん断試験	たんじゅんせんだんしけん	simple shear test	供試体の上下面に垂直力とせん断力を載荷することによりせん断強度を直接的に求める試験。
単純炭酸泉	たんじゅんたんさんせん	simple carbonated spring	遊離炭酸が1,000mg/kg以上、固形成分が1,000mg/kg未満の湧泉。
単純ブーゲー補正	たんじゅんぶーげーほせい	Bouguer correction	重力測定データのデータ補正において、厳密な場合に行う地形補正を含めた補正。
淡色黒ボク土	たんしょくくろぼくど	light-colored andosols	黒色表層土の厚さが25cm未満か、腐植の含有量が少ない、色の薄い黒ボク土。
単色光	たんしょくこう	monochromatic light	スペクトルで分けられた7色の原色光で、スペクトルでそれ以上分解し得ない光。
炭じん爆発	たんじんばくはつ	coal dust explosion	炭坑内で空気中に浮遊する炭塵がある濃度以上に達したとき、何らかの要因で引火して発生する爆発。

淡水	たんすい	fresh water	1リットル中に0.5g程度以下しか塩分を含まない水。飲用に適する。天水が供給され循環している地下水や河川水。
淡水赤潮	たんすいあかしお	fresh water red tide	淡水湖沼において、植物プランクトンの急激な増殖が原因で湖水が赤褐色～黄褐色に染まる現象。
湛水かんがい (湛水灌漑)	たんすいかんがい	ponding irrigation	我が国の水田のように農地に水を張るかんがい（灌漑）方法。給水以外に保温や雑草抑止などの効果もある。
湛水距離	たんすいきより	length of reservoir	堤体の直上流部から貯水池の最遠点までを流水の流下方向に沿って計った距離。
淡水湖	たんすいこ	freshwater lake	湖水中の総塩分含有量が1リットル中500mg以下の湖。表面流出口を有する湖のほとんどを占める。
湛水地すべり	たんすいじすべり	reservoir landslide	貯水位の上昇あるいは下降に伴い、貯水池周辺地山の水理条件および地盤物性が変化して発生する地すべり。
淡水性堆積物	たんすいせいたいせきぶつ	freshwater sediment	塩分濃度0.5%以下の淡水域に沈殿堆積したもので、非海成堆積物（陸成層）の一種。
湛水面	たんすいめん	reservoir surface	ダムによって流水を貯留した時に形成される水面で、ほぼ静水面と見なされる範囲。
湛水面積	たんすいめんせき	ponding area, reservoir area	貯水池の湛水区域の代表値として常満時の湖水の表面積をいう。
湛水養生	たんすいようじょう	ponding	コンクリート締固め後、コンクリートの品質を高めるため打設面に水を張って養生する方法。
淡水レンズ	たんすいれんず	freshwater lens	海域の小島などで、地下水（淡水）が海水（塩水）との比重差により、海水上にレンズ状に賦存する形態のこと。
弾性	だんせい	elasticity	外力によって生じた変形が、外力を取り去ると同時に完全に元に戻る性質。
弾性圧密理論	だんせいあつみつりろん	elastic consolidation theory	テルツァーギにより提案された圧密理論。土の骨格の圧縮性を見かけの線形弾性体と仮定している。
弾性解析	だんせいかいせき	elastic analysis	物体や媒体を弾性体として仮定し、それに作用する応力と発生するひずみや変位の相関関係を計算し明らかにすること。
単成火山	たんせいかざん	monogenetic volcano	ただ一回の噴火活動により形成された火山。一般に小規模で群をなすことが多い。マール・溶岩円頂丘など。
弾性荷重	だんせいかじゅう	elastic load	部材の弾性変位を求めるとき利用される荷重。曲げモーメントをM、曲げ剛性をEIとして、M/EIに相当。

弾性係数	だんせいけいすう	modulus of elasticity, elastic modulus	弾性限界内の変形に対し、応力とひずみの比を表わす比例定数。接線弾性係数など数種のものがある。
弾性係数マトリックス	だんせいけいすうまとりっくす	elasticity matrix	一般的な線形弾性体の応力とひずみの関係式を表示する場合の材料定数を含んだマトリックス。
弾性限界	だんせいげんかい	elastic limit	外力により物体が変形するとき、物体内部に生じた応力が、ある限界値以上になった場合完全に初期状態に復元しない。この応力の限界値。
単成鉱脈	たんせいこうみやく	simple vein	①一回の鉱石作用により、岩石中に形成された均質な鉱脈。 ②単一鉱物からなる鉱脈。
弾性座屈	だんせいざくつ	elastic buckling	柱に働く応力が弾性限界内において、臨界荷重のとき、柱の横たわみが急に増加すること。
弾性散乱	だんせいさんらん	elastic scattering	量子力学において、粒子の衝突の際、粒子の進行方向だけが変わり、エネルギーは変わらない場合の散乱。
弾性支持	だんせいしじ	elastic support	荷重に対して変位量に比例した反力が発生する支持の状態。
弾性支持梁	だんせいしじばり	elastically supported beam	荷重を受けた時に変位量に比例した反力が生じる基礎地盤上のはり。
弾性支承	だんせいししょう	elastic support	作用する力に比例して変位を生ずる支承。支承は上部構造を支持する構造部分をさす。
弾性実体波	だんせいじったいは	elastic body wave	弾性波（地震波）のうち、表面波（レイリー波、ラブ波など）を除いた波で、P波、S波がある。
弾性地盤	だんせいじばん	elastic ground	弾性体とみなした地盤。地震波伝播や荷重などによる変形問題は弾性地盤として扱うことが多い。
弾性定数	だんせいじょうすう	elastic constants	微小範囲の弾性変形では、応力はひずみに比例する。この比例定数のこと。
弾性振動	だんせいしんどう	elastic oscillation	ばねや棒などの振動のように弾性体のひずみに伴う応力が復元力となり生じる振動。弾性波も弾性振動である。
弾性設計	だんせいせつけい	elastic design	残留変形を生じない弾性領域に対応する応力内に限定して行う設計方法。
弾性体	だんせいたい	elastic body	弾性限界内で変形を論じられる物質。
弾性体基礎	だんせいたいきそ	elastic foundation	設計上、剛体とは仮定できず、弾性を考慮する必要がある基礎。

弾性波	だんせいはい	elastic wave	弾性体を伝わる弾性振動の波を表す。進行方向の粗密波である縦波とそれと直交するせん断波である横波がある。
弾性媒質	だんせいはいしつ	elastic medium	弾性体として扱う対象で、地盤などはしばしば弾性媒質として変形や波動伝播を扱う。
弾性波試験	だんせいはいしけん	elastic wave test	地盤の弾性波速度を原位置において測定する試験。P波速度やS波速度、動弾性係数、動ポアソン比などを求める。
弾性波スペクトロスコピー法	だんせいはいすpektorosukopihou	elastic wave spectroscopy	固体中を伝播する高周波域の弾性波の周波数分析を行って、構造物の欠陥などを評価する非破壊検査法の一つ。
弾性波速度	だんせいはいそくど	elastic wave velocity	地盤中を波動が伝わる速度。媒体を弾性体とみなして扱うためこう呼称される。P波やS波、表面波がある。
弾性破損	だんせいはいそん	elastic failure	材料や部材が外力を受け、残留変形が生ずる状態。
弾性波探査	だんせいはいたんさ	seismic survey	主として人工的に起した弾性波を利用して行う地下構造調査。目的により反射・屈折・直接波法を使用する。地震探査と同義。
弾性波トモグラフィ	だんせいはいともぐらふい	seismic tomography	空間的に多数の震源と受振器を配置し、得られた透過波や散乱波のデータから地下物性の分布を求める探査法。
弾性反跳検出分析法	だんせいはいはんちようけんしゅつぶんせきhou	elastic recoil detection analysis	高速イオンビームを物体に照射し、弾性衝突により反跳された軽元素から、その濃度と濃度分布を決定する方法。
弾性反発説	だんせいはいはんぱつせつ	elastic rebound theory	断層を挟んで両側にたまったひずみが地震によって解放され、本来の位置まで移動するとする説。
弾性ヒステリシス	だんせいはいひすてりしす	elastic hysteresis	応力を増加していくときと、それを減少させるときで、応力-ひずみ曲線が一致しない現象。
弾性ひずみ	だんせいはいずみ	elastic strain	弾性領域内で生じるひずみ。ひずみの大きさは加える応力に比例する。
弾性ひずみエネルギー	だんせいはいずみえねるぎー	elastic strain energy, elastic deformation energy	弾性体に外力を加えたとき、ひずみの形で物体内に蓄えられるエネルギー。外力を除去した時再び放出される。
弾性変形	だんせいはいんけい	elastic deformation	物体に外力が作用すると、物体は変形を生じる。このとき変形量と外力との間に、一次関数で表される関係がある変形のこと。
弾性変形量	だんせいはいんけいりょう	elastic deformation	物体の弾性領域内での変形量。
弾性法	だんせいはいほう	elasticity method	杭が弾性地盤内に埋め込まれているものと仮定して、鉛直杭の水平支持力を算定する方法。

弾性曲げ	だんせいまげ	elastic bending	断面内の応力がすべて降伏点を越えないような範囲（弾性領域）にある曲げの状態.
弾性領域	だんせいりょういき	elastic range, elastic zone	トンネル掘削に伴って周辺地山に生じる応力が地山の弾性限界内にある領域. 限界を超えると塑性領域となる.
弾性力	だんせいりょく	elastic force	弾性域内（応力とひずみが比例関係を示す範囲内）で加えた力によって弾性体内に生じる内力.
弾性理論	だんせいりろん	elastic principle	応力とひずみは比例関係にあるとするフックの法則をもとに、弾性体の変形を体系化した理論.
炭素	たんそ	carbon	C. 原子番号6. 原子量12.01. 岩石中に炭酸塩, 大気・海洋中に二酸化炭素, 生物体中に有機物として広く存在.
炭層	たんそう	coal seam	主に石炭から構成される単層で, 地層中に層状に分布する. 一般に上下は石炭以外の砂や泥の層を挟む.
単層	たんそう	stratum	地層命名規約に基づく地層区分の最小単位. 単層内は似た性質の粒子からなり, 連続的に堆積した1枚の地層.
断層	だんそう	fault	岩石の破壊によって生じた不連続面で, その面に沿って相対的変位のあるもの. 力学的にはせん断破壊面である.
断層鞍部	だんそうあんぶ	fault saddle, notch	断層変位による谷地形（凹地形）を表す用語の一つで, 断層線が尾根を横切るところに形成される鞍部のこと.
断層池	だんそういけ	fault pond, sag pond	断層の水平・垂直運動, 断層に沿う陥没や断層破砕帯に伴う湧泉により形成された池.
断層運動	だんそううんどう	faulting	地殻を構成している地層・岩石などが一つの面を境にずれること. 急激および徐々に進行する場合がある.
断層運動継続時間	だんそううんどうけいぞくじかん	rise time, rupture duration	地震の断層運動を特徴づけるパラメータの一つ. 断層運動面での破壊を開始してから終了するまでの時間.
断層凹地	だんそうおうち	fault sag	断層変位による谷地形（凹地形）を表す用語の一つで, 一般に断層線上に生じた比較的小さな盆状の沈降地のこと.
断層崖	だんそうがい	fault scarp	地形学的には狭義では断層変位を受けて生じた地殻表面部の急崖. 広義ではその原形が浸食されてできた急斜面.
断層海岸	だんそうかいがん	fault coast	断層運動によって原形が形成された海岸.
断層海岸線	だんそうかいがんせん	fault shoreline	断層運動の結果, 地塊が海面下に低下し直線状に形成された海岸線. 一般的に水深は深い所が多い.

断層角盆地	だんそうかくぼんち	fault-angle basin	断層運動により生じた盆地の一種。片方は急崖をなすが他方は緩やかな山地や丘陵をなすことが多い。
断層角礫	だんそうかくれき	fault breccia	断層面やその周囲に働いた圧力・摩擦で生じた角礫。角礫の他にしばしば細粒物質（断層粘土）を伴う。
断層角礫岩	だんそうかくれきが ん	fault breccia	断層運動によって断層面周囲の岩石が破砕して生じた角礫岩。厚さが数100mに達することもある。
断層岩	だんそうがん	fault rock	主に断層活動により、岩石が脆性破壊あるいは延性変形することにより形成された変形岩の総称。未固結の断層ガウジを含む。
断層陥没池	だんそうかんぼつ いけ	fault sag pond	断層変位による谷地形（凹地形）を表す用語の一つで、断層凹地に水が溜まったもの。
断層クリープ	だんそうくりーぷ	fault creep	ほぼ一定の速度で連続的に変位する非地震性の断層運動。サンアンドレアス断層の一部で認められる。
断層系	だんそうけい	fault system	ある一定期間持続した特定の応力場において生じた断層群。雁行・平行・共役関係・放射状など種々ある。
断層構造	だんそうこうぞう	fault structure	断層運動に伴う変位を示す地質構造。
断層谷	だんそうこく	fault valley	断層運動の変位によって直接的に生じた谷。構造谷と呼ぶこともある。
断層作用	だんそうさよう	faulting	地層や岩体が、それに加えられた応力によってせん断面を生じ、それを境にずれる現象や働き。
断層三軸圧縮試験	だんそうさんじく あしゅくしけん	in situ fault triaxial test, in-situ fault triaxial test	断層物質について行われる大規模な現場三軸圧縮試験。
断層山地	だんそうさんち	fault mountains	両側もしくは片側を断層で限られた山地をいう場合と、断層運動の隆起により生じた山地を呼ぶ場合とがある。
断層地震説	だんそうじしんせつ	fault earthquake theory	断層運動が地震の原因であるとする説。
断層褶曲山地	だんそうしゅうきよ くさんち	fault-fold mountain	造山運動によって褶曲と断層が同時に発生し、地塊化した山地。
断層線崖	だんそうせんがい	fault-line scarp	地表下にあった断層面を境にして一方の地塊が差別浸食によって地表に掘り出された急斜面。
断層線谷	だんそうせんこく	fault-line valley	断層に沿う浸食作用によって形成された谷。一般に断層は破砕帯など浸食に弱い部分を伴うことが多い。

断層せん断試験	だんそうせんだんしけん	in situ fault shear test, in-situ fault shear test	断層を内在する岩盤ブロックの断層面におけるせん断試験.
断層帯	だんそうたい	fault zone	断層がある幅をもって多数密集している部分または地域. 断層帯の幅は断層の規模によって異なる.
断層地塊	だんそうちかい	fault block	断層によって全体もしくは部分的に囲まれた地塊.
断層地塊山地	だんそうちかいさんち	fault-block mountain	断層変位による凸地形を表す用語の一つで, 断層運動により生じた山地の一種. 断層により囲まれた地塊(山地)のことを意味するが, 全ての縁が断層である必要はない.
断層地形	だんそうちけい	fault topography	断層運動によって直接形成された地形と古い時代の断層の浸食によって形成された地形の総称.
断層地帯	だんそうちたい	fault belt, fault zone	断層が多数発達した帯状の地域. 断層帯とほぼ同義だがあまり用いられない用語である.
断層トラップ	だんそうとらっぷ	fault trap	断層によって石油や天然ガスを貯留する地質条件が形成されているもの. トラップとは「わな」を意味する.
断層粘土	だんそうねんど	fault clay, fault gouge	断層運動によって粉碎してできた, 断層面沿いに分布する粘土状の細粒物質. 風化・変質していることが多い.
断層破碎帯	だんそうはさいたい	fault fracture zone	断層運動によって破碎された角礫や粘土が分布するゾーン. 露頭規模から地質図規模まで様々.
断層パラメータ	だんそうばらめーた	fault parameter	震源断層を記述する物理量. 断層を幾何学的に表す量や運動過程を表す量, 地震の強さを示す量などからなる.
断層平均変位速度	だんそうへいきんへんいそくど	average slip rate of fault	断層の累積変位を断層変位基準の形成年代でわったもの. 平均変位速度の値が大きいほど運動は活発である.
断層変位地形	だんそうへんいちけい	fault morphology	断層運動によって生じた種々の地形. 低断層崖・横ずれ谷・断層池・断層凹地などがある.
断層盆地	だんそうぼんち	fault basin	周囲(少なくとも一方)を断層に囲まれて周囲より低い盆地の地域. 会津・甲府・奈良盆地など.
断層密度	だんそうみつど	fault density	断層密度は一般に, 存在数/mの単位で計測し, 地質年代が古い岩盤中が高い傾向にある.
断層面	だんそうめん	fault plane	断層運動によって地層のずれの生じた面. 面上にしばしば条線などがみられ, 変位の向きを記録している.
断層モデル	だんそうもでる	fault model	断層が形成される機構と条件を, 岩石圏の断面, 地震の発生領域とその機構とを関連づけたモデル.

炭素化合物	たんそかごうぶつ	carbon compound	炭素との共有結合によって生じた化合物。炭酸塩・イオン性炭化物・有機金属化合物などがある。
炭素検層	たんそけんそう	carbon logging	中性子検層で特に炭素の γ 線を測定する検層法。
炭素鋼	たんそこう	carbon steel	炭素を含む鉄で、炭素含有量が増えると硬度・強度が大きくなる。炭素量0.1%~0.6%程度のものが構造用部材や機械部品に用いられる。
炭素14法	たんそじゅうよんほう	Carbon-14 dating	有機物中の ^{14}C の濃度によって年代を決定する方法。半減期に5,730 \pm 40年が主に用いられる。
炭素循環	たんそじゅんかん	carbon cycle	生命体を構成する基本元素の一つである炭素が、生物活動などにより様々な存在形態を変化させて地球全体系の中で循環していること。
弾塑性	だんそせい	elasto-plasticity	ある材料の力学的挙動（変形など）が、弾性・塑性の両方の性質を示すこと。
弾塑性圧密理論	だんそせいあつみつりろん	elasto-plastic consolidation theory	土の骨格の圧縮性を弾性成分（変形の回復性）と塑性成分（降伏と変形の非回復性）に分けて構成した理論。
弾塑性解析	だんそせいかいせき	elasto-plastic analysis	連続体や粒状体の変形もしくは応力解析において、弾性および塑性の両領域における性状を加味して行う解析。
弾塑性座屈	だんそせいざくつ	elasto-plastic buckling	圧縮された材料の変形が弾性域から塑性域に入ったときに生じる座屈現象。
弾塑性地震応答	だんそせいじしんおうとう	elasto-plastic earthquake response	構造物が強い地震力を受けて、亀裂・降伏・すべりなどを生じ、弾性域より塑性域に入る場合の振動応答。
弾塑性体	だんそせいたい	elasto-plastic body, elasto-plastic mass	弾性・塑性の両方の性質をもち、かつそれら両方を考慮する場合の対象材料。
弾塑性破壊力学	だんそせいはかいりきがく	elasto-plastic fracture mechanics	材料の降伏において塑性域が特に発達するような破壊現象に注目した学問分野。
弾塑性法	だんそせいほう	elasto-plasticity method	土留壁や支保工の断面計算に際し、地盤の塑性域の影響を考慮して掘削に伴う変化を把握する方法。
弾塑性曲げ	だんそせいまげ	elasto-plastic bending, inelastic bending	曲げモーメントが増加し、断面の一部で応力が降伏点を越えた状態での曲げを表す。非弾性曲げ。
弾塑性論	だんそせいろん	theory of elasto-plasticity	物体を弾塑性体として取り扱う理論。物体内での弾性域と塑性域の形が不明な場合が多く、難問題となる。
炭素繊維強化コンクリート	たんそせんいきょうかこんくりーと	carbon fiber reinforced concrete	炭素繊維を混合して引張強度や弾性係数を向上させたコンクリート。

炭素同位体	たんそどういたい	carbon isotope	安定同位体 ¹² C・ ¹³ Cと、放射性同位体 ¹⁴ Cがある。安定同位体比は炭素の経歴を、 ¹⁴ Cは年代測定に利用。
暖帯	だんたい	warm-temperate zone	気候帯区分では温帯に属し、年平均気温は摂氏13～20度で日本では本州南部以南が入る。
単体さんご（単体珊瑚）	たんたいさんご	solitary coral	個体が独立して生活するさんご（珊瑚）。群体さんご（珊瑚）の対語。海底に着生または遊離。種類は少数。大型。径30cmのものもある。
湯丹鉱山	たんたんこうざん	Tantan mine	中国雲南省東川（ドンチュアン）付近に胚胎する炭酸塩岩内層準規制型銅鉱床の一つ，東川型銅鉱床で総称される。
ダンチャーチャ地すべり	だんチャーチャじすべり	the Dangjiacha landslide	1920年に海原地震によって中国黄土高原西部で発生した地すべり。多数の堰止め湖を形成した。
単調載荷	たんちょうさいか	monotonous loading	力学試験における載荷方法の一種。載荷重を連続的または段階的に単調に増加させる。
タンデトロン加速器質量分析計	たんでとろんかそくきしつりょうぶんせきけい	tandem accelerator mass spectrometer	タンデム型静電加速器と質量分析計を組合わせた分析装置。極微量核種の同位体測定・年代測定に利用。
タンデムローラ	たんでむろーら	tandem roller	ロードローラのうち、軸と車輪の配列が2軸・2輪のもの。舗装の仕上げ転圧に使用される。
炭田	たんでん	coal field	経済的に採算のあう炭量・炭質を有する石炭から構成される地層が、広範囲に連続的に分布している地域。
炭田ガス	たんでんがす	coal field gas	炭田地帯において、石炭層あるいは石炭層付近の地層から出るガスの総称。
弾頭型空洞	だんとうがたくうどう	bomb-shaped cavern	大規模地下空洞の形状のひとつ。上部はアーチ状で側壁部はアーチ端部に接する垂直壁からなる。アーチ部および側壁部の支保には吹付けコンクリート、PSアンカー、ロックボルトを用いる。
単動杭打ちハンマー	たんどうくいうちはんまー	single-acting piling	ラムを気体の圧力で持上げた後、自由落下させることにより杭頭に打撃を加える方式の杭打ちハンマー。
単動調圧水槽	たんどうちょうあつすいそう	simple surge tank	調圧用の水槽を水路と直結した最も単純な構造のサージタンク。
丹土地すべり	たんどじすべり	the Tando landslide	約300年前頃から活動しており、1922年に大規模な活動を起こした地すべり。兵庫県温泉町の照来層群中の凝灰岩が軟弱化・粘土化し地すべり面を形成。
丹那断層	たんなだんそう	Tanna fault	活断層。確実度I、活動度B～C級、北北東方向。伊豆半島北部中央を走る北北東系の断層帯。北伊豆地震（1930年）では当時掘進中の丹那トンネルに2m以上の変位を与えた。
丹那トンネル	たんなとんねる	Tanna tunnel	1918年着工し、1934年竣工した大正・昭和トンネル難工事の代表。延長7841m。長尺ボーリング・シールド・圧気などが採用された。地質は火山岩、火山砕屑岩を主体とし温泉余土を伴う。大出水や土砂流出を繰り返し上部の丹那盆地では水枯れが発生。工事中の1930年には北伊豆地震により坑内の丹那断層が水平に約2m変位した。

単ニコル	たんにこる	single nicol	偏光顕微鏡のオルソスコープで、上方ニコルを除いた状態。鉱物の形態・共生関係・多色性などの観察に用いる。
断熱圧縮	だんねつあっしゆく	adiabatic compression	物体が熱の出入を伴うことなしに体積が減少する現象。温度上昇を伴う。
断熱過程	だんねつかてい	adiabatic process	孤立した系で行われる熱力学過程。
断熱材	だんねつざい	insulator	熱伝導率の低い材料。一般に多孔質、または繊維状の組織を有す。
断熱弾性定数	だんねつだんせいいていすう	adiabatic elastic constant	熱の出入りを伴わない状態における、弾性体の応力とひずみとの間の比例定数。
断熱膨張	だんねつぼうちよう	adiabatic expansion, adiabatic change	物体が熱の出入りを伴うことなしに体積を増大する現象。温度低下を伴う。
弾粘塑性圧密理論	だんねんそせいあつみつりろん	elasto-visco-plastic consolidation theory	土の骨格の圧縮性を弾性、塑性、粘性成分に分けて構成した理論。各種レオロジーモデルが提案されている。
弾粘塑性解析	だんねんそせいかいせき	elasto-visco-plastic analysis	材料の粘塑性ひずみは時間とともに生じ、弾塑性ひずみは時間に依存しないで発生するという仮定に基づく解析。
段波	だんば	surge	水面が不連続的（段状）に変化する開水路流。急変不定流の一つ。
タンパー	たんぱー	tamper	エンジンの回転をクランクによって往復運転として打撃板に衝撃力を加え、地盤を締固める小型機械。
タンパク石	たんぱくせき	opal	オパール($\text{SiO}_2 \cdot n\text{H}_2\text{O}$)。非晶質またはそれに近い含水珪酸鉱物。硬度6。硬度2.0～2.25。無色、不純物で着色。
丹波層群	たんばそうぐん	Tanba Group	西南日本内帯の丹波帯に分布する上部三じょう系（三畳系）～ジュラ系。泥質岩（頁岩・粘板岩）・砂岩・チャート・緑色岩類を主とし石灰岩を伴う。付加体。
丹波帯	たんばたい	Tanba belt	西南日本内帯のジュラ紀付加体分布域西縁に位置する構造帯で、チャートなどの異地性岩体が砕屑岩中に散在する。
段発電気雷管	だんはつでんきらいかん	delay detonator	延時薬の装填により、爆発時間を段階的に遅らせて、順次爆発させるようにした電気雷管。
段発破	だんはつぱ	delay blasting, delay shooting	段発雷管などを用いて各段の爆薬を時間差をつけて起爆させる発破。
丹波鉄平石	たんばてっぺいせき	Tanbateppeiseki	石材名。兵庫県南東部の丹波山地に分布する中生代中～後期の流紋岩質溶結凝灰岩。節理の発達したものが多い。

ダンピーレベル	だんぴーれべる	dumpy level	旧式レベルの一種で、望遠鏡が支持架台に固定されている。
タンピングローラー	たんぴんぐろーらー	tamping roller	ローラーの胴部表面に突起を設けて接地圧を上げ、締固め効果を高めるようにした締固め機械。
端部モレーン	たんぶもれーん	terminal moraine	氷河の末端前面を縁取るように堤防状に形成される、主として氷成堆積物からなる地形。終堆石堤と同義語。
断面二次極モーメント	だんめんじきよくもーめんと	polar moment of inertia	断面を含む平面内の1点から微小面積 dA までの距離を r としたとき、 r の2乗と dA の積を A で積分した値。
暖流	だんりゅう	warm current	熱帯あるいは亜熱帯域を源とし、周囲の海水に比べ高温・高塩分の海流。栄養塩に乏しく、生産力が小さい。
団粒	だんりゅう	crumb	土壌の基本的形態。土粒子が集まった「塊」を表す。団粒には様々な大きさの間隙があり、通気性と保水性を発揮する。微生物や土壌動物の作用などによって形成される。
単粒構造	たんりゅうこうぞう	single-grained structure	土を構成する土粒子の配列状態。砂や礫に見られる最も単純な配列で、粒子が相互に接触積み重なったもの。
団粒構造	だんりゅうこうぞう	aggregated structure	土壌中の有機物などを鎖にして連なる土粒子の柔軟な集合体である団粒がさらに集合した、孔隙が多く、透水性・通気性に富む土壌の構造。
団粒分析	だんりゅうぶんせき	crumb analysis	団粒は土壌粒子の集合体で土壌の諸性質を左右する。分析は湿式フルイ分けによる粒度分析法が主体である。
炭量計算	たんりょうけいさん	coal reserves estimation	石炭鉱床における採掘対象となる石炭量の計算。確定度に従い、確定炭量・推定炭量・予想炭量に分けられる。
断裂	だんれつ	fracture	岩石・岩盤・岩体の破壊を表す割れ目の総称。力学的に不連続面が生じていることが重要である。
断裂系解析	だんれつけいかいせき	fracture system analysis	ある範囲の断裂の走向・傾斜・分布などの性状を調査し、その断裂系を形成した応力場を解析すること。
断裂作用	だんれつさよう	fracturing	岩石・岩体に不連続面（割れ目）を生じさせる作用。分離しつつあるプレート境界には断裂帯が形成される。
断裂帯	だんれつたい	fracture zone	海洋底に見られる直線的な断層崖のような地形。トランスフォーム断層に起因すると考えられる。
断裂へき開（断裂劈開）	だんれつへきかい	fracture cleavage	破断へき開（劈開）と同義。
地熱地帯	ち(じ)ねつちたい	geothermal area	温泉・噴気・変質帯・比較的最近の火山活動などの地熱活動の徴候が地表に見られる地帯。地熱地域ともいう。

地域気象観測システム	ちいききしょうかんそくしすてむ	automated meteorological data acquisition system	アメダス(AMEDAS)と同義.
地域生活防災ダム	ちいきせいかつぼうさいだむ	regional disaster prevention dam	地域防災を主目的とした、小規模・小流域の局所的治水・利水ダム.
地域整備ダム	ちいきせいびだむ	reservoir for regional development	上流域での開発行為による下流河川での流量増に対し、その影響緩和のため本来行うべき水系の治水事業を一体化して行うダム事業.
地域防災計画	ちいきぼうさいけいかく	local plan for disaster prevention	特定の地域に対して作成された防災に関する計画. 都道府県や市町村など、それぞれの指定地域に対して4種類ずつの地域防災計画が作成される.
地衣類	ちいるい	<i>lichenobionta</i>	菌類と藻類(緑藻・ラン藻)の共生体からなる植物群. 乾燥地に着生するため化石は少ない.
チェーンコンベアー	ちえーんこんべあー	chain conveyor	かき板をつけた鎖を循環させて、砂などの材料を連続的に運搬する機械.
チェーンバケットローダ	ちえーんばけつとろーだ	chain bucket loader	チェーン駆動によるバケットを装着したバケットローダ. トンネル工事などのずり積機として使用される.
チェック孔	ちえつくこう	check hole	グラウチング効果確認のため、各注入施工ブロックに1孔程度施工する確認ボーリング孔.
チェリーピッカ	ちえりーぴっか	cherry picker	トンネル工事においてずり・トロを吊り上げて入れ替えを行う装置.
チェルノーゼム土	ちえるのーぜむど	chernozem	大陸内部冷温帯のステップ地域の成帯性土壌. 厚い黒色腐植層下に炭酸カルシウム集積層があり、非常に肥沃.
チェルノブイリ原発事故	ちえるのぶいりげんぱつじこ	Chernobyl nuclear accident	1986年4月26日旧ソビエトのチェルノブイリ原発で炉心が熔融し大量の放射性物質が飛散、数十万から数百万とも言われる被災者が発生した大放射能汚染事故.
遅延爆破	ちえんぱくは	delay blasting	爆発効果や発破音制御などのために複数点の爆薬を僅かな時間差を持たせて爆破すること.
地温	ちおん	underground temperature	地表面の温度と地中数mまでの温度. 日変化が及ぶのは深さ50~60cm, 年変化が及ぶのは7~20mぐらいとされる.
地温勾配	ちおんこうばい	geothermal gradient	地下増温率と同義.
地温測定	ちおんそくてい	underground temperature survey	地下熱源の賦存状態(位置・深さ・形状・温度・規模など)を調査するために地温の分布状態を測定すること.
地温探査	ちおんたんさ	underground temperature survey, soil temperature prospecting	地温の分布を測定して地下の熱源の状況を調べる探査方法. 地表付近では地下1m深程度の地温を測定する. また地下浅部の水みちを検出する方法として地すべり調査などに用いられる.

地温分布	ちおんぶんぷ	geothermal distribution	地面温度あるいは地中温度の空間的変化。この地温分布から地下水の流動や地熱活動状況などを推定できる。
地塊	ちかい	block	地殻は種々の大きさと形を有する剛体に近い性質を持った部分の集合であり、その部分を表す単位。
地塊運動	ちかいうんどう	block movement	相当な大きさの地質体を単位とする運動。地塊自体の変位・地塊の断裂・地塊間の変位などを含む。
地塊山地	ちかいさんち	block mountains	地形学的には一方または両方を断層で限られた隆起地塊が浸食されて山になっているもの。
地化学温度計	ちかがくおんどけい	geochemical thermometer	化学温度計と同義。
地化学検層	ちかがくけんそう	geochemical logging	化学検層と同義。
地化学探査	ちかがくたんさ	geochemical prospecting	地下資源や活構造、温泉などの調査に用いられる様々な物質の化学・同位体組成分析に基づく手法。岩石、土壌、地下水、地表水、ガスなどが対象となる。
地下還元井	ちかかんげんせい	injection well	地熱水や蒸気の利用後、あるいは石油・ガス採取の際に出る地下水を地下の貯留層に還元するための坑井。
地下岩盤タンク	ちかがんばんたんく	underground rock tank	石油やガスなどの安全かつ経済的な貯蔵を目的として、硬質岩盤を掘削して地下に造った空洞式の貯蔵庫。
地下かん養法 (地下涵養法)	ちかかんようほう	recharge through well	井戸からの注水や地表水の浸透により、人工的に地下に水を浸透させ、積極的に地下水の増加を図る方法。
地下還流方式	ちかかんりゅうほう しき	reinjection, water reinjection	石油・天然ガス・地熱エネルギーを抽出した後の地下水を地下の貯留層に還元するシステム。
地下切り広げ	ちかきりひろげ	underground enlargement	地下駅などの構造物を設けるため、トンネルを地中で切り広げること。都市地盤では十分な地山安定処理が必要。
地殻	ちかく	crust	固体地球の一番外側の層。大陸下と海洋下では生成過程に違いがあり、前者は厚く後者は薄い。
地学	ちがく	earth science	地球科学の略語。
地下空間利用	ちかくうかんりょう	underground space use, subsurface space use	都市部の過密問題の解消を図るため、都市直下の地下を高度化利用すること。軟岩の掘削技術開発が必要。
地下空洞	ちかくうどう	cavern, underground opening(chamber)	地下街・地下駅・地下発電所・地下貯蔵施設などを設けるための人工的な地下の空洞で、この他に天然の空洞もある。

地殻運動	ちかくうんどう	crustal movement	地殻の変形・変位。地殻の隆起・沈降・伸縮・破壊などがある。
地殻応力	ちかくおうりょく	crustal stress	地球の最外部の層である地殻に加わる応力。火山活動やプレート運動などに起因する。
地殻均衡	ちかくきんこう	crustal balance, isostasy	地球表面付近では山や平地によって受ける圧力が異なるが、地下のある深さで深では圧力が一定均衡状態にあるという現象。
地殻均衡説	ちかくきんこうせつ	theory of crustal balance, isostasy theory	アイソスタシー説の日本語訳。
地殻工学	ちかくこうがく	geotechnical engineering	地殻を対象とした基礎的科学的工業生産・土木防災などに応用するための応用的科学技術の総称。
地殻構造	ちかくこうぞう	crustal structure	大陸では上部が花崗岩質岩石、下部は玄武岩質岩石からなり、海洋では玄武岩質岩石のみからなる。
地殻動力学	ちかくどうりきがく	crustal dynamics	造陸・造山・火山・地震など地殻内部で進行する変化について内因的作用を研究する学問。
地殻熱流量	ちかくねつりゅうりょう	terrestrial heat flow	地球内部から地表面へ流れ出る熱の量。単位は $10^6 \text{ cal/cm}^2 \cdot \text{s}$ で、この単位をHFUと呼ぶ。
地殻熱流量異常帯	ちかくねつりゅうりょういじょうたい	thermal anomaly belt	地殻熱流量が2.0HFU以上あるいは1.0HFU以下の地点が分布する地帯。世界の平均地殻熱流量は1.5HFU前後。
地殻ひずみ	ちかくひずみ	crustal strain	地殻内部に生じるひずみ。プレート運動などにより地殻内部に集積したひずみが、限界値を超えると地震が発生すると考えられている。
地殻変動	ちかくへんどう	crustal movemennt	地球内部の営力により生じた地殻の大規模な変位・変形とその過程。造山・造陸運動、地震・火山活動など。
地下恒温層	ちかこうおんそう	constant-temperature layer	地下浅部における地層温度が、気温の影響を受けなくなり、一年中ほとんど変化がなくなる深度。日本では概ね10～15m程度。
地下構造物	ちかこうぞうぶつ	underground structures, underground works	地下に設置される構造物の総称。トンネル・地下発電所・地下駅・地下街・貯蔵施設などがある。
地下酸素欠乏空気	ちかさんそけつぼうくうき	oxygen deficient air in underground	地中で発生する酸素濃度の著しく低い空気。被圧帯水層であった砂層や礫層が不圧状態になったことが原因。
地下資源	ちかしげん	underground resources	地圏に含まれる経済的に抽出できる全ての有用な天然資源。石炭・石油・天然ガス・地熱流体・鉱物資源など。
地下処分	ちかしよぶん	underground disposal	地表面下の適当な深さの所に廃棄物を処分すること。地中処分ともいう。

地下浸食	ちかしんしょく	subsurface water erosion	地下水による微細粒子の運搬や化学的作用を伴う浸食。パイピングの原因となる場合もある。
地下水	ちかすい	groundwater	地下に浸透し、土や岩石の粒子間隙や割れ目などの空隙を満たしている水。成因や賦存状態、被圧の状況から様々に分類される。
地下水圧	ちかすいあつ	groundwater pressure	不圧（被圧）帯水層中の任意点で地下水位（水頭）によって受ける圧力、あるいは難透水層の土粒子間の間隙水圧。
地下水位	ちかすいい	groundwater level	地表や海水準などの一定の面から測定した地下水面の位置で、井戸や掘削中の孔井中に現われる。
地下水位低下工法	ちかすいいていかこうほう	dewatering method	地下の掘削工事をやりやすくするため、地山の地下水を低下させる工法。ウェルポイント工法などがある。
地下水汚染	ちかすいおせん	groundwater contamination	地下水が重金属・揮発性有機化合物（VOC）・硝酸性窒素・放射性物質など有害物質によって汚染されること。
地下水温	ちかすいおん	groundwater temperature	地下水の温度。地温（地中温度）と平衡状態にある時の温度をいう。日本では、地下10～15m以深で年変化がない恒温層になる。恒温層の上位の地下水は気温や日射などの影響で、日変化・年変化がある。また地下水の流れによって熱は輸送・再配分され、地下水温分布や地中温度分布を示す。地下水温の分布は、水の流動の指標にできる。
地下水かん養（地下水涵養）	ちかすいかんよう	groundwater recharge	降水、河川水、かんがい（灌漑）水などの地表水が、浸透あるいは人為的な作用により地下水系に付加されること。
地下水丘	ちかすいきゅう	groundwater hill	豊富なかん養（涵養）量や帯水層の基底の部分的な高まりにより、地下水面が周辺よりも高くなっている部分。
地下水区	ちかすいく	groundwater province	広域地下水の水収支を解く上での一单元。主に、地下水の流入、貯留、流出要件によって区分される。
地下水検層	ちかすいけんそう	groundwater resistivity logging	孔内に食塩などの電解物質を投入して、孔内水の比抵抗の変化から地下水流動区間を検出する検層法。
地下水公害	ちかすいこうがい	groundwater hazard	地下水の汚染や大量揚水による地盤沈下など人為的に引き起こされた地下水に関する地域的公害。
地下水浸透流解析	ちかすいしんとうりゅうかいせき	groundwater seepage analysis	地下水の挙動を差分法、有限要素法などを用いて、定量的に評価するための数値解析手法。
地下水堆	ちかすいたい	groundwater mound	不圧地下水面が周囲よりも盛り上がった状態。局所的なかん養（涵養）条件や水理基盤の高まりによって発生する。
地下水谷	ちかすいだに	groundwater valley, groundwater trench	不圧地下水面が周囲よりも低く、谷状を示すこと。局所的な排水条件や水理基盤の谷地形によって発生する。
地下水調査	ちかすいちょうさ	groundwater survey	水資源開発・土木工事・環境保全などの目的から行う、水文地質、地下水の賦存状況、性質などの調査。

地下水追跡調査	ちかすいついせき ちょうさ	groundwater tracing	トレーサを用いて地下水流動方向・流速などを解析する方法。トレーサとして、地下水中に少量の電解質あるいは色素を添加する場合のほか、環境トリチウムなどを用いることがある。
地下水頭	ちかすいとう	groundwater head	単位重量当たりの流体のポテンシャルエネルギーに相当し、位置水頭、圧力水頭、速度水頭から構成されるが、一般には速度水頭は無視される。
地下水年代測定	ちかすいねんだいそ くてい	groundwater dating	地下水の地下での滞留時間を測定する方法で、地下水中に含まれる放射性物質を活用するが多い。
地下水排除工	ちかすいはいじょこ う	groundwater drainage works	地下水を排水することにより、すべり面付近の含水比や間隙水圧を低下させ地すべりの滑動を抑制する対策工。浅層地下水排除工と深層地下水排水工に大別される。
地下水瀑布	ちかすいばくふ	groundwater cascade	不圧地下水面が落差をもって移り変わる部分の形態。断層による、せき止めなどによって生じる。
地下水賦存量	ちかすいふそんりよ う	recharge storage	帯水層中に貯留されている地下水量。
地下水盆	ちかすいぼん	groundwater basin	一つの大規模な帯水層または複数の帯水層を包含し、かん養（涵養）区および流出区を含めた、いわゆる地下水の容器。
地下水盆管理	ちかすいぼんかんり	groundwater basin management	広域地下水の水収支と水文地質条件などを考慮のうえ、その適切な開発、利用、保全について検討すること。
地下水脈	ちかすいみやく	water vein	一般には裂か（裂罅）水の流路。層状水においても地層の不均一性に起因する地下水脈を考慮する場合がある。
地下水面	ちかすいめん	groundwater table	一般には不圧帯水層における飽和帯の上面。不圧井戸の水面を結んだ面が地下水面となる。
地下水文区	ちかすいもんく	hydrogeologic area	地下水のかん養（涵養）、貯留、流出を包括した一つの水収支区。地形的要因および水文地質的要因によって区分される。
地下水揚水規制	ちかすいようすいき せい	regulation of groundwater use	地盤沈下や井戸枯れなど、過剰揚水に起因する障害を防止するために、法律や条令などにより地下水揚水量を規制すること。
地下水揚水量	ちかすいようすい りょう	groundwater pumping rate	地下水の汲み上げ量。期間単位では日、月、年間、地区単位では市町村、行政メッシュなどで表される。
地下水流出	ちかすいりゅうしゅ つ	groundwater run-off	河川流出のうち、地下水によってかん養（涵養）される部分。河川の基底流量を維持する。
地下水嶺	ちかすいれい	groundwater ridge	不圧地下水面の形態の一つで、河川に沿って細長く地下水面の高まりが生じる状態。
地下石油備蓄	ちかせきゆびちく	underground oil storage	海岸近くの良質な地山内に石油を貯蔵するもので、空洞はロックボルト・吹付だけで地下水圧により漏油・漏気を防止する水封システムが採用されている。

地下川	ちかせん	underground stream, underground river	地中の大空洞の中を流れる地下水。カルスト洞穴や溶岩トンネル中の地下水が代表例。
地下増温率	ちかぞうおんりつ	geothermal gradient	地下の温度が深度が増すに従って上昇する割合。℃/mあるいは℃/100mで表示される。日本では平均 2~3 ℃/100m。地温勾配ともいう。
地下ダム	ちかだむ	groundwater storage underground dam, groundwater dam	地下水の流れをせき止めるため滞水層を遮断して設置する施設。地下水位の堰き上げ、または塩水浸入を防ぐことにより、地下水資源の有効利用を目的とする。
地下地質	ちかちしつ	subsurface geology, underground geology	地表面下の地質（地盤）。詳細は地表地質踏査・物理探査・ボーリング調査などによって解明される。
地下貯水池	ちかちよすいち	underground reservoir	地下空間・トンネルなどを利用した貯水池。上下水道、河川流量の調整池などに用いる。
地下貯水量	ちかちよすいりょう	bank storage, ground storage	地下貯水池に貯留される水の量。
地下貯槽	ちかちよそう	in-ground tank	地下において廃棄物や石油などを貯蔵・管理することを目的とした施設。地下タンクともいう。
地下貯蔵施設	ちかちよぞうしせつ	underground storage, storage tunnel, rock store cavern	地下に貯蔵する施設の総称。最近では地下石油貯蔵庫などエネルギー関連の大規模なものが多い。安全に空洞内面を保持するための岩盤力学的計測が重要となる。
地下等温線	ちかとうおんせん	isotherm, geoisotherm	地下温度の観測値から推定される等温値点を結んだ線。
地下等高線	ちかとうこうせん	subsurface contour	坑井資料などで明らかにされた地層面の高さが等しい点を結ぶことで表わされる、地層面の地下形態を示す線。
地下都市	ちかとし	underground city	地下に建設される都市。主として大都市地域における交通混雑の緩和・災害の防止などが目的とされている。
地下発電所	ちかはつでんしょ	underground power station	発電所建屋が地下に設置されたもの。
地下氷	ちかひょう	ground ice	溶岩トンネルなどを流れる地下水が氷結したもの。気温上昇時の融解と低下時の氷結のバランスによりな成り立つ。
地下物流システム	ちかぶつりゅうしす てむ	underground freight distribution system	都心部の交通渋滞や公害の緩和のため、地下を利用した新たな低公害型の物流システム。
地下埋設物	ちかまいせつぶつ	buried pipe and culvert, underground installation	道路直下に埋設されている電気・ガス・上下水道・通信施設・地域冷暖房などのライフラインをいう。
地下レーダー	ちかれーだー	ground penetrating radar	地中における電磁波の反射・屈折・透過などの現象を利用する電磁波探査機器。地下3m程度までの空洞や埋設物の探査に用いられることが多い。

地下連続壁	ちかれんぞくへき	diaphragm wall	土留, 止水などの目的で地盤中に築造されたコンクリート壁体.
地下連続壁用掘削機	ちかれんぞくへきようくっさくき	diaphragm wall excavator	地盤中に鉄筋コンクリートの壁をつくる工法である地下連続壁工法に使用されるバケット式, 回転式, 衝撃式などの掘削機械.
置換基礎	ちかんきそ	displaced foundation	置換工法により形成された, 構造物の基礎部分
置換工法	ちかんこうほう	replacement method, displacement method	構造物基礎地盤に存在する軟弱層を良質の材料に置き換えることによって良好な支持地盤とすること.
チキソトロピー	ちきそとろぴー	thixotropy	シキソトロピーと同義.
チキソトロピー流動	ちきそとろぴーりゅうどう	thixotropy flow	シキソトロピー流動と同義.
地球温暖化	ちきゅうおんだんか	global warming	大気中に放出された二酸化炭素・メタン・酸化窒素・フロンなどによる温室効果によって地球の温度が上昇すること. 気候変化や海面上昇の原因となる. 温暖化ともいう.
地球温暖化防止行動計画	ちきゅうおんだんかぼうしこうどうけいかく	action program to arrest global warming	1990年11月に日本政府が総合的な地球温暖化防止対策を進めるために決定した行動計画. CO ₂ 排出量削減などが骨子.
地球温度計	ちきゅうおんどけい	geothermometry	鉱物中の流体包有物・相転移・固溶体の組成などを利用して鉱物の精製温度を推定する方法.
地球科学	ちきゅうかがく	earth science	地球を研究の対象とする自然科学分野の総称.
地球化学	ちきゅうかがく	geochemistry	地球および宇宙物質の化学的組成やそれらの循環などについて研究する学問分野.
地球化学探査	ちきゅうかがくたんさ	geochemical prospecting, geochemical exploration	地表の土壌などや植物中の元素や炭化水素などの濃集に基づいて鉱物資源や石油などの所在を調査する探査.
地球ガス	ちきゅうがす	earth gas	深層熱水などに溶存する非生物性メタンガスで, 在来ガスと区別して呼ぶことがある.
地球観測衛星	ちきゅうかんそくえいせい	earth observation satellite	分光計・レーダー・マイクロ波放射計など種々の観測機器を搭載し, 地球上の資源探査や環境監視を行う人工衛星.
地球観測システム	ちきゅうかんそくしすてむ	Earth Observation System	米国NASAのプロジェクトEOSの邦訳. 地球環境変化の科学研究, 衛星観測, データ処理解析からなる.
地球観測センター	ちきゅうかんそくせんたー	Earth Observation Center	日本における地球観測衛星のデータ受信・処理センター(EOC). 宇宙開発事業団に属し, 埼玉県比企郡鳩山町にある.

地球資源探査衛星	ちきゅうしげんたん さえいせい	earth resources technology satellite	もとは、1972年に打ち上げられたERTS (LANDSAT) 衛星。地球資源の開発管理、環境監視を目的とする。
地球磁場	ちきゅうじば	geomagnetic field	地球は一つの磁石と考えられ、この地球の磁石としての性質から作られる磁場のこと。
地球深層ガス説	ちきゅうしんそうが すせつ	hypothesis of deep mantle natural gas hypothesis of deep-earth gas	地球生成時の大気であるメタンガスが地球深層部のマントルに取り込まれているとするThomas Gold (英) らの説。
地球ダイナモ説	ちきゅうだいなもせ つ	dynamo theory	地球の核内での流体運動による電磁誘導により、発電機のように電流が生じ、地球の永久磁場が存在するとする説。
地球潮汐	ちきゅうちょうせき	earth tide	太陽や月などの天体による起潮力の作用によって、固体である地球自体が変形すること。
地球電磁気学	ちきゅうでんじきが く	geomagnetics	地球の電磁気現象を研究する地球物理学の一分野。
地球年代学	ちきゅうねんだいが く	geochronology	地球で起こった出来事の年代を、いろいろな放射性年代測定法を用いて解明する研究分野。
地球波動説	ちきゅうはどうせつ	harmonic theory of earth	地球表面の山などの凹凸が、色々な周期の振動調和関数として示されるとしたラブの理論。地球振動説ともいわれる。
地球物理学	ちきゅうぶつりがく	geophysics	地球に関連するすべての自然現象を物理学的な手法により研究する学問。地球流体物理学・地球固体物理学・地球電磁気学などがある。
地球物理学的方法	ちきゅうぶつりがく てきほうほう	geophysical method	物理探査法に代表されるように、地球物理学の原理をもとに自然現象を観測、解析する手法。
地球物理探査	ちきゅうぶつりたん さ	geophysical exploration	地震探査・重力探査・磁気探査・電気探査・放射能探査・地熱探査・物理検層など地球物理学的手法による探査。物理探査と総称する。
千種みかげ	ちぐさみかげ	Chigusa mikage	三重県北部の三重郡菰野町千種山産石材。後期白亜系～古第三系の花崗岩類。石質は必ずしもよくないが土木用・庭石に利用。
逐次破壊	ちくじはかい	sequential destruction	破壊が一度発生すると次々と連続する現象。
築堤	ちくてい	banking, filling embankment	フィルダムや堤防の盛立て築造。
蓄熱物質	ちくねつぶっしつ	thermal storage material	熱を蓄えておく物質で、加熱による熱貯蔵ではレンガや水などがあり、物質の溶解・蒸発などの相転移を利用するものにパラフィン、塩化カルシウムが、さらに化学反応に伴う発熱を利用するものに、CaOやSO ₂ の水和反応などがある。
筑豊ガス田	ちくほうがすでん	Chikuhou gas field	佐賀県・山口県北西方日本海海域のガス徴候の認められる海域をさす。

筑豊炭田	ちくほうたんでん	Chikuhou coal field	福岡県北部遠賀川流域の古第三系分布地域にある面積約800km ² の日本屈指の炭田。理論埋蔵鉱量28億t。
地形因子	ちけいいんし	geomorphic factor	地形の種々の特徴を支配する因子で、Davisの組織・作用・時間の因子が有名。
地形営力	ちけいえいりよく	geomorphic agent	浸食・運搬・堆積など地表物質を移動させる原動力。地球内部からの内的営力と外側からの外的営力に分かれる。
地形解析	ちけいかいせき	topographic analysis	地表面の起伏・形態を対象とし、地形図などを用いてその特徴・成因・発達などを明らかにすること。
地形学	ちけいがく	geomorphology	地表面の起伏・形態の性質や成因などを研究する学問。地形発達史や気候地形学、理論地形学など。
地形傾斜区分	ちけいけいしゃくぶん	classification of geomorphic slope	地表の傾斜区分。国土調査法では①～⑦（40以上、40～30、30～20、20～15、15～8、8～3、3度以下）に分類。
地形計測	ちけいけいそく	morphometry, terrain measurement	地形の特徴を定量的に表現・解析するために、地形図や航空写真などを用いて地形要素の量を測ること。
地形効果	ちけいこうか	topographic effect	物理探査において、地表が水平でない影響が測定結果にノイズとして現れる現象。
地形工学	ちけいこうがく	engineering geomorphology	建設工事などの人間活動に対して地形学の面から研究・開発する工学。
地形災害	ちけいさいがい	geomorphologic disaster	崖くずれ・地すべり・土石流など急激な地形変化によって生じた災害や地形が要因となった災害。
地形図	ちけいず	topographic map	地表面の自然および各種の物体などを地図縮尺に応じて精密かつ網羅的に表示した地図。
地形断層	ちけいだんそう		航空写真・衛星写真などに現れた、地形・植生などの特徴から推定された断層。判読結果には個人差があり、必ずしも全てが実在する断層とは限らない。
地形断面図	ちけいだんめんず	topographic profile	地形図上の任意の直線や曲線に沿って作成された地形の垂直断面図。
地形的雪線	ちけいてきせっせん	orographic snowline	地形条件によって決まる現実の地表部の積雪部分と無積雪部分の境界。気候的雪線より高度は常に低い。
地形発達	ちけいはったつ	geomorphic development	種々の外的・内的営力により地形が発達すること。気候の違いは地形発達に影響を与える。
地形発達史	ちけいはったつし	historical development of landforms	現在の地形が過去にどのような過程を経て形作られてきたかを時系列的に明らかにすること。またはその歴史。

地形分布	ちけいぶんぷ	classification of geomorphic surface	ある範囲の地形域を相互に異なった地形的特色により分類区分して示した状態.
地形分類	ちけいぶんるい	landform classification	地形をその特徴に着目して系統的に分類すること. 日本では国土調査土地分類としての地形分類図が代表的.
地形分類図	ちけいぶんるいず	landform classification map, geomorphological map	地形の性状を系統的に分類し, それぞれの分布を示した地図.
地形変化	ちけいへんか	topographical change	地表の形態が風・雨・河川・波・温度変化などの外的営力によって変わること.
地形補正	ちけいほせい	terrain correction	重力測定において, 地表付近の地形・岩体の影響を取り除くために観測値に補正を加える操作.
地形面	ちけいめん	geomorphic surface	一般には段丘面や浸食小起伏面など平坦な地表面をいう. 主な形成作用により浸食面と堆積面に区分される.
地形面区分	ちけいめんくぶん	classification of geomorphic surface	地形面を区分すること. 区分基準として形態や形成時代などがあり, 地形形成過程を知る目的のものが多 い.
地形要素	ちけいようそ	geomorphologic element	地形を形成する要素で辻村(1932)は地形営力・地質的性質・時期をあげた. 地形因子と混同されることが多い.
地形輪廻	ちけいりんね	geomorphic cycle	原地形が隆起し浸食されて, 幼年・壮年・老年の各期を経て最後に準平原になると考える地形変化の繰り返し.
地溝	ちこう	graben	①ほぼ平行な複数の断層を境にして相対的に沈降した狭長な窪地. アフリカ東部の大地溝が有名. ②断層変位による谷地形(凹地形)を表す用語の一つ.
地向斜	ちこうしゃ	geosyncline	厚さ1万mにも及ぶような堆積物の地層を堆積させた, 長期間にわたる細長い沈降帯. プレートテクトニクス以前の古典的概念.
地衡風	ちこうふう	geostrophic wind	気圧傾度の水平力と地球の自転による水平力の釣り合いのもとに起こる風.
治山	ちさん	soil and water conservation erosion control	土砂くずれ, 地すべりおよび土石流などに対する防御および対策.
地史	ちし	geohistory	地球またはある一地域の地層や岩石の形成順序・堆積環境・構造発達などの歴史.
地史学	ちしがく	historical geology	広義には, 地球の歴史を研究対象とする地質学の一分野. 狭義には, 地球表面付近の歴史を研究する学問.
地磁気	ちじき	geomagnetism	地球磁場の諸性質および地球圏の磁場にかかわる磁気的現象の総称.

地磁気異常	ちじきいじょう	geomagnetic anomaly	地磁気の平均分布からのずれ。ずれの原因としては核内ダイナモ作用や火山岩分布・地下マグマなどがあげられる。
地磁気観測	ちじきかんそく	observation of geomagnetic field	地磁気要素の観測を行うことで、地上・海底での固定式観測と船や航空機、人工衛星による移動式観測がある。
地磁気逆転	ちじきぎゃくてん	reversal of geomagnetism	地磁気の方向が現在を正としたときに、正から逆、逆から正へと反転する現象。地質時代を通して反転を繰り返してきたことが岩石の残留磁気として記録されており、地球上で同時に起こりかつ反転に要する時間が数千年～1万年程度と短いことから年代尺度の一つとして用いられている。
地磁気局地異常	ちじききょくちいじょう	local anomaly of geomagnetism	平均的地球磁場の分布に対し、狭い地域特有な地球磁場の不規則な分布をいう。地形や地質の影響を受ける。
地磁気図	ちじきず	magnetic map	陸上、海上または空中で測定された地球磁場を地図上にコンター表示したもの。磁気図と同義。
地磁気層序	ちじきそうじょ	magnetostratigraphy	地層が堆積するなど、岩石が形成される時に記録された残留磁気の層位学的な変化によって区分した層序。
地磁気測定	ちじきそくてい	measurement of geomagnetism	地球磁場を測定することで、その方向（伏角および偏角）と強さの測定をいう。
地磁気地電流探査	ちじきちでんりゅうたんさ	magnetotelluric method	MT法と同義。
地磁気地電流法	ちじきちでんりゅうほう	magnetotelluric method	MT法と同義。
地磁気編年	ちじきへんねん	magnetic chronology	地層中に残された古地磁気の研究から、その地層の時代を決定して、地史を組立てる手法。
地磁気ポテンシャル	ちじきぽてんしゃる	geomagnetic potential	地球磁場による、地表面上およびその周辺磁場のポテンシャルのことで、日周変化や永年変化が認められる。
地軸	ちじく	earth axis	地球の中心を南北に貫く軸で地球の回転軸。
地質	ちしつ	geology	ある地域を構成する岩石・地層の種類・性質・重なり方の順番など、現在に至るまでの歴史を包括する言葉。
地質圧力計	ちしつあつりょくけい	geobarometer	岩石や鉱物の生成圧力を推定する方法。例えば、鉱物の生成温度を仮定すれば、生成圧力を狭い範囲に限定できる。
地質営力	ちしつえいりょく	geological agency, geological force	地表付近を改変しようとする自然の力のことで、外的営力（重力・降雨・河川・氷河・海・地下水）と内的営力（火山作用、地震現象、造山・造陸運動など）がある。
地質温度計	ちしつおんどけい	geologic thermometer	地熱水・噴出ガス・鉱物の化学成分や同位体比のデータから、地質現象に関与した温度条件を求める方法。

地質学	ちしつがく	geology	地球の表層部の性質・生成・変質・変形ならびにその歴史を研究対象とする自然科学の一分野.
地質区	ちしつく	geologic province	ある期間にわたって地質現象が同一で、隣接地区とは区別できる広い地域.
地質系統	ちしつけいとう	geological system	世界的あるいは地方的な時間層序区分の言葉. 大きい方から界, 系, 統などの年代層序区分がある.
地質現象	ちしつげんしょう	geological phenomena	特定の地層・岩石あるいは地殻全体に対して, 生成, 移動, 変化など様々な変動を及ぼす現象.
地質工学	ちしつこうがく	geotechnics	土木地質学・土質力学・土木工学などの知識を合わせて, 土木構造物の建設にあたって必要な地質的な事項を適切に分析・評価する学問分野.
地質構造	ちしつこうぞう	geological structure	堆積, 浸食, 変形などによって生じる地質の構成及び形態. 大構造から小構造までスケールには制限がない.
地質構造区分図	ちしつこうぞうくぶんず	tectonic map	断層・褶曲などの地質構造の広域的特徴を記入した地質図の一種.
地質構造図	ちしつこうぞうず	structural map	地質構造要素の分布や地質構造形態を, 等価の点を結んだ等高線や走向線によって示した図.
地質構造線	ちしつこうぞうせん	tectonic line	地質構造単元を区画する大規模な断層あるいは多数の断層の集合体. 日本では中央構造線や糸魚川-静岡構造線などが有名. 単に構造線ともいう.
地質災害	ちしつさいがい	geologic(al) hazard	地震災害・火山災害・斜面災害・地盤沈下・海岸浸食・洪水など地質および地質現象に起因するすべての災害.
地質時代	ちしつじだい	geologic time	地球誕生から有史以前までの地質学が研究対象としている時代.
地質縦断面図	ちしつじゅうだんめんず	geologic profile	地下の地質構造をある方向に鉛直に切って示した図. 土木分野では構造物の長軸に沿って作成した断面図.
地質図	ちしつず	geological map, geologic map	ある地域に分布する地層や岩体を, その種類・岩相・年代などで区分して表現した平面地図.
地質図学	ちしつずがく	geologic mapping	地質情報を地質分布図や地質断面図などの図に表現し, あるいはそれらから立体的な地下情報を読みとる方法.
地質図幅	ちしつずふく	geological map	地質図と同義語. ある特定の地域に関する地域情報を平面的(地質平面図), 立面的(地質断面図)に表わしたもの.
地質柱状図	ちしつちゅうじょうず	geological column	地質調査して得られた地層の状況と各種試験結果を長柱状の図にまとめたもの.

地質調査	ちしつちょうさ	geological survey	ある地域の地質層序・分布・構造・年代, または土木・土質工学的性質を知るために行う調査. 地質の解明が目的.
地質的分離面	ちしつてきぶんりめん	geological discontinuous plane	地層内に発達する層理面・節理・割れ目・断層などの不連続面のことで, 空間的方位は走向と傾斜で表される.
地質展開図	ちしつてんかいず	geologic development	調査坑などで地質の連続状態を, 詳細に表示する方法. 両側壁と天盤での地層状況を展開して平面上に記載.
地質踏査	ちしつとうさ	geological survey	野外の崖などに見られる露頭観察から, 地層分布・年代・地質構造などを確認あるいは推定する調査手法. 地表地質調査ともいう.
地質年代	ちしつねんだい	geologic time	地球の歴史を地層に残っている記録をもとに地質学的に区分した年代. 階層的に高位から代, 紀, 世, 期に分類.
地質年代学	ちしつねんだいがく	geochronology	岩相層序関係や化石・絶対年代から, 地球の歴史を編むことを目的とする学問.
地質年代区分	ちしつねんだいくぶん	geochronologic division	地質時代を対象とする事象の適当な区切りで分けた時間区分. 先カンブリア紀, 古生代, 中生代, 新生代など.
地質年代単元	ちしつねんだいたんげん	geochronologic unit	地質学の対象とする時代の時間単元で, 化石やその他の資料を基に区分された地質時代におけるある期間.
地質判読	ちしつはんどく	geologic interpretation, geological interpretation	地形図・空中写真・衛星画像・物理探査・その他調査結果などを基に, 対象地域の地質について解釈を行うこと.
地質平面図	ちしつへいめんず	geological plan	地形図上に地層や岩体の分布・年代・層序・地質構造などを, 種々の記号・色・模様を使用して表した平面図.
地質編年区分表	ちしつへんねんくぶんひょう	geological chronology classification	化石や種々の地史学的事件を基準として, 地質時代を年代順に表した地史区分表をさす.
地史編年	ちしへんねん	geochronology	地球の歴史を, 地層の上下関係や化石の新旧関係の研究によって明らかにし組立てること.
千島海盆	ちしまかいぼん	Kuril basin	オホーツク海南端, 千島列島の背弧に位置する細長い三角形状の海盆. 水深は3,000~4,000m.
千島海流	ちしまかいりゅう	Kuril current	カムチャッカ半島東方沖から三陸沖へ南下する寒流. 親潮. 栄養塩に富み, 高い生産力を有する.
千島火山帯	ちしまかざんたい	Kuril volcanic zone	千島列島の北端より列島に沿って北海道中部山地まで達する火山帯. 玄武岩, 輝石安山岩などから構成される.
千島カムチャッカ海溝	ちしまかむちやっかかいこう	Kuril-Kamchatka trench	カムチャッカ半島南東沖から北海道南東沖に連なる海溝. 北アメリカプレートと太平洋プレートの境界に位置し, 太平洋プレートの沈み込みにより形成. 陸側斜面には海溝軸と斜交する溝と海段が存在する.

千島弧	ちしまこ	Kuril arc	カムチャッカ半島から千島列島を経て北海道中央部に至る長さ2,000km以上の島弧.
地上磁気探査	ちじょうじきたんさ	ground magnetic survey	地上で行なう磁気探査.
地上式発電所	ちじょうしきはつでんしよ	above-ground power station	水力発電所のうち、発電所建屋を地上に設ける方式。洪水や雪害などがなく、十分な敷地を有する地点を選ぶ。建屋の形式から屋内式、半屋外式、屋外式に分類。地上発電ともいう。
地上発電所	ちじょうはつでんしよ	above-ground power station	地上式発電所と同義。
地図	ちず	map	地表の状態を目的に応じて縮小し、記号や文字で平面上に表した図。
治水	ちすい	river conservancy, flood control	河川などの水流を調整・制御し、社会生活における安定な水利用・河川の氾濫による災害の防御などを図ること。
治水ダム	ちすいだむ	flood-control dam	洪水調節をおこなうためのダム。
治水地形分類図	ちすいちけいぶんるいず	landform classification map for flood control	氾濫防止や洪水調節などの洪水制御を図るため地形の性状やその分布状態を記号や色を用いて示した地図。
地図情報	ちずじょうほう	map information	地名・道路・鉄道・河川・等高線など、地図から読み取ることのできる情報。
地図投影法	ちずとうえいほう	map projection system	地球表面の形状を、ある誤差の範囲内で平面に写す方法。
地図のひずみ	ちずのひずみ	distortion of map	球体である地球表面の地形を平面に表現する場合の距離・角度・面積に生じる誤差。
地勢図	ちせいず	regional map, geographical map	都道府県程度の範囲の地形・都市・交通機関などを示した図。狭義には、国土地理院発行の20万分の1地図。
地層	ちそう	stratum	一般に、堆積性物質の平面的広がりを持つ層状の岩盤あるいは堆積物。堆積単位を示す。
地層傾斜検層	ちそうけいしゃけんそう	dipmeter logging	坑井内で地層の傾斜角・方位を測定する検層。3方向の坑壁で計測した比抵抗曲線のずれより傾斜面を判定。
地層処分	ちそうしよぶん	geological disposal	高レベル放射性廃棄物を地下数百メートルより深い地層あるいは岩体に隔離する方法をいう。深地層隔離処分ともいう。
地層水	ちそうすい	formation water	未固結層を構成する粒子間の空隙を満たす形で存在する地下水。山地以外で通常見られる形態の地下水である。

地層水比抵抗	ちそうすいひていこう	formation water resistivity	地層中の水の比抵抗値。溶解している電解質の量の目安となる。
地層対比	ちそうたいひ	correlation	対比と同義。
地層等高線	ちそうとうこうせん	stratum contour	地下における地層の上下面などの深度を、平面上に一つの曲線で表し、地層の分布状況を表現したもの。
地層同定の法則	ちそうどうていのほうそく	law of strata identified by fossils	ある地層に特有な化石が含まれることを用いて、離れた地域の地層を識別する方法。
地層破碎圧	ちそうはさいあつ	stratum fracturing pressure	地下深部の地層が破碎する場合の圧力。理論上の最大値は被り岩圧に等しい。
地層破碎圧勾配	ちそうはさいあつこうばい	gradient of stratum fracturing pressure	深度に応じた地層破碎圧の変化を傾きで示したもの。
地層比抵抗	ちそうひていこう	formation resistivity	岩石の構成物質の電気比抵抗は一般に非常に大きく、地層の孔隙と地層水によって地層の比抵抗が決定される。
地層比抵抗係数	ちそうひていこうけいすう	formation resistivity factor	地層の比抵抗と地層水の比抵抗はFを係数として比例する。Fは地層比抵抗係数とよばれ、地層の孔隙に依存する。
地層編年	ちそうへんねん	bedding chronology	地層の上下関係や化石の新旧関係を研究することによって、地層の歴史を組立てる手法。
地層密度検層	ちそうみつどけんそう	formation density logging	γ線密度検層と同義。
地層命名規約	ちそうめいめいきやく	code of stratigraphic nomenclature	地層の命名法を定めた基準。地名、地層単元、岩相名の組み合わせにつき順序を決めて命名。2001年より日本地質学会において地層命名の指針に変更。
地層面	ちそうめん	bedding plane	層理面と同義。成層面ともいう。
地層累重の法則	ちそうるいじゅうのほうそく	law of superposition	地層形成後、断層や褶曲などで乱されていない場合には、上位層は新しく下位層は古いという層位学の基本法則。
地層連続の法則	ちそうれんぞくのほうそく	law of original continuity	水中で堆積した地層は、同一の堆積盆内では全ての方向に連続して分布するという事。
地体構造	ちたいこうぞう	geotectonics	広域な地域の地質構造。一つの大陸や地殻全体などの著しく広い地域の地質構造も地体構造という。
地耐力	ちたいりよく	soil bearing power	支持力に変形（沈下）の概念を加えた地盤の支持能力。

地耐力試験	ちたいりよくしけん	bearing test	地盤の変形性や強さなどの支持特性を求める試験。一般には平板載荷試験をさす。
地卓	ちたく	mesa	浸食されにくい硬岩が水平に分布したため生じた平坦な表面と周縁の急崖からなる台状の地形。
チタン鉱床	ちたんこうしょう	titanium deposit	チタン鉱物（チタン鉄鉱・金紅石など）を含む鉱床で、成因的にマグマ分化・残留・漂砂鉱床に分けられる。
チタン酸バリウム発振子	ちたんさんぱりうむはっしんし	barium titanate radiator	酸化チタンにバリウムを混合して焼結した磁器の一種。音波や超音波の振動子として使用されることが多い。
チタン石	ちたんせき	titanite	CaTiSiO ₅ 。単斜晶系。硬度5～5.5。比重 3.5。楔型の板状結晶、火成岩・変成岩の副成分鉱物として産する。
チタン鉄鉱系花崗岩	ちたんてっこうけいかこうがん	ilmeneite-series granitoid	含まれる鉄酸化鉱物の種類によって花崗岩を区分した場合の一つで、磁鉄鉱を含まない系列。イルメナイト系花崗岩とも呼ばれる。
父尾断層	ちちおだんそう	Chichio fault	活断層。確実度 I，活動度 A 級，東北東方向。徳島県美馬郡脇町北方に位置し延長22km。中央構造線活断層系の一つ。
秩父青石	ちちぶあおいし	Chichibu aoishi	石材名。埼玉県秩父地方の三波川帯に産する塩基性片岩。点紋の入ったものは庭石や石碑として珍重される。
秩父系	ちちぶけい	Chichibu system	古生代の秩父地向斜で堆積した地層群。現在は秩父地向斜の概念が崩壊したためほとんど用いられない。
秩父鉱山	ちちぶこうざん	Chichibu mine	埼玉県秩父地方の鉛・亜鉛鉱床を採掘した鉱山。1961年までに鉛約6,600t、亜鉛約8,100t生産。1978年閉山。
秩父鉱床地区	ちちぶこうしょうちく	Chichibu limestone area	埼玉県秩父地方にある秩父中生界中の石灰岩鉱床分布地域。
秩父層群	ちちぶそうぐん	Chichibu Group	秩父系と同義語。
秩父帯	ちちぶたい	Chichibu terrain	西南日本外帯にある三波川帯と四万十帯に挟まれた地帯。北帯・中帯・南帯に細分される。主に古生代の岩体と三じょう系（三畳系）およびジュラ系を含むメランジが主体をなす。
秩父町層群	ちちぶまちそうぐん	Chichibu-machi Group	秩父盆地に分布する中新統。基盤の秩父層群・三波川変成岩類と断層で接する。礫岩・砂岩・泥岩とそれらの互層で構成される。
地中応力	ちちゅうおうりよく	stresses in a ground, ground stress	様々な荷重によって生ずる地盤内の応力。
地中温度	ちちゅうおんど	soil temperature	地中数mの深さの温度。一般に日変化のおよぶ深さは0.5m程度、年変化は10～20mといわれる。

地中温度計（地温計）	ちちゅうおんどけい（ちおんけい）	soil thermometer	地表付近の地温を測定するための温度計。地表付近の地温探査に用いられる。
地中海（性）気候	ちちゅうかい（せい）きこう	mediterranean climate	温帯気候のうちで、暑く乾いて晴れの多い夏と、雨の多い冬で特徴づけられる気候。地中海だけに限らない。
地中ガス	ちちゅうがす	ground gas	断層などの亀裂を通じて地中より上昇してくるガス。その化学成分は地震予知のモニタリング項目の一つ。
地中傾斜計	ちちゅうけいしゃけい	in-place borehole inclinometer	ボーリング孔内に設置し、地盤内任意深度の傾斜量を測定する装置。挿入式と固定式とがある。
地中構造物	ちちゅうこうぞうぶつ	underground structure	地盤の内部につくられる構造物。トンネル、地下空洞、地下街など。
地中水	ちちゅうすい	subsurface water, endogean domain	土壌の間隙中に存在する水。重力などで自由に移動する水、土粒子と結合した水、気相中に含まれる水に大別される。土壌水と同義。
地中ダム	ちちゅうだむ	underground reservoir	地下ダムと同義。
地中タンク	ちちゅうたんく	in-ground tank	地山を掘り下げて建設される原油、LNGなどのタンク。地下貯槽と同義。
地中蓄熱	ちちゅうちくねつ	soil heat storage	地中に熱を蓄えること。日中や夏期の熱を断熱性に富む地中に蓄え、必要なときにこれを取り出して利用する。
地中内部ひずみ計	ちちゅうないぶひずみけい	strain gauge type inclinometer	地すべりのすべり面調査に使用するため、塩ビパイプの両側あるいは直角方向にひずみゲージを貼り付けたもの。パイプひずみ計と同義。
地中梁	ちちゅうばり	ground beam	杭やフーチングなどの基礎構造物を相互に連結し荷重を伝えるための地中の梁。
地中ひずみ計	ちちゅうひずみけい	strain gauge type inclinometer	塩化ビニルパイプにひずみ計を貼付し、パイプの変形をひずみ計で計測する計器。ボーリング孔内に設置し、地山内の地すべり挙動の判定に用いる。
地中壁	ちちゅうへき	diaphragm wall	コンクリート、アスファルト、粘土などを用いて地中に設けた壁。振動抑制、山留め、ダム・堤防などの止水などの種々の目的で設置される。
地中壁工法	ちちゅうへきこうほう	diaphragm wall works	地盤に鉛直の溝を掘り、鉄筋コンクリートにより壁をつくる工法。地下連続壁工法。
地中変位	ちちゅうへんい	ground displacement	トンネル工事の計測項目の一つ。地盤内の変位を測定し、その不連続性から緩み範囲の推定を行ない支保効果・支保増強の資料とする。
地中変位計	ちちゅうへんいけい	ground displacement meter	ボーリング孔内に設置して地盤内の点の移動を測定する装置。孔内の固定点と孔口との相対的変位を測る方式と傾斜計などを用いて孔軸直交方向の変位を測定する方式がある。

千々石断層	ちぢわだんそう	Chijiwa fault	活断層. 確実度 I, 活動度 A~B 級, 東西方向. 長崎県島原半島雲仙岳北方に位置し延長18km. 雲仙地溝帯断層群の一つ.
窒素酸化物	ちっそさんかぶつ	nitrogen oxides, NOX	自動車などのエンジンから排出され, 大気汚染の原因物質にあげられている窒素を含む酸化物.
チッピング	ちっぴんぐ	chipping	打設したコンクリート表面に凹凸をつけること. 次の打設コンクリートの付着性を良くするため, または表面の光沢を消す目的で行う.
地電位	ちでんい	earth potential	地表の2点間に電極を埋設し, その間に電圧計を設置したときに, 地中を流れている電流により生ずる電位差.
地点雨量	ちてんうりょう	point rainfall	ある地点に設置された雨量計により測定された雨量. 面積雨量に対する用語. 点雨量ともいう. 単位は一般にmm.
地電流	ちでんりゅう	telluric current, earth current	地球の磁場変動によって地下に誘導される電流. 電流の分布は地下の電気伝導度分布に支配される.
地電流法	ちでんりゅうほう	telluric-current method	地磁気の擾乱が原因で生じる地電流による電場分布を測定して, 主に広域, 大深度の地下構造を探查する方法.
千才鉱山	ちとせこうざん	Chitose mine	支笏湖北西岸に位置する金銀鉱山. 金銀石英脈を採掘. 1984年まで金約23t・銀約105t生産. 1986年休山.
千鳥組み	ちどりぐみ	staggered arrangement	シールドトンネルのセグメント継手などにおいて, 継手の剛性を確保するためにトンネル軸方向の継手位置を1リングごとに互い違いにずらして配列する方法.
地熱	ちねつ	geothermy	地球内部に保有されている熱の総称. 熱の発生の違いにより広域的な熱および局所的な熱がある.
地熱エネルギー	ちねつえねるぎー	geothermal energy	高温マグマや放射性物質の壊変などを熱源として, 地球内部に存在する熱エネルギー. 温泉や発電などに利用.
地熱開発	ちねつかいはつ	geothermal exploitation, geothermal development	地下に賦存する地熱流体や地熱を取り出して, 熱源として発電・温泉・温室・暖房・融雪などに利用すること.
地熱活動	ちねつかつどう	geothermal activity	浅部熱水活動とこれに伴う地震・地盤変動などの活動および浅所のマグマなどを源とする噴気活動の総称.
地熱資源	ちねつしげん	geothermal resource	エネルギー資源として利用可能な地殻内部に存在する熱. これを蒸気・熱水の形で抽出し, 利用.
地熱資源評価	ちねつしげんひょうか	geothermal resource appraisal	地表からの諸調査や物理探査などに基づいて, 対象地域での地熱資源開発が, 経済的に可能かどうかの評価.
地熱資源賦存地域	ちねつしげんふぞんちいき	geothermal resources area	地熱流体や高温岩体などの有用な地熱資源が地下に存在することが確認あるいは推定されている地域.

地熱井	ちねつせい	geothermal well, production well	地下に賦存する有用な地熱流体や、高温岩体からの熱を取り出すために掘削された坑井。
地熱探査	ちねつたんさ	geothermal prospecting	種々の手法を用いた地熱資源の探査、あるいは地下の温度や温度勾配と地質構造との関連を調査する探査。
地熱地域	ちねつちいき	geothermal area	地熱地帯と同義。
地熱貯留層	ちねつちよりゆうそう	geothermal reservoir	地殻中の空隙で地熱流体を貯留している場所。空隙には地層中の有効間隙や岩石中に生じた断裂系などがある。
地熱貯留量	ちねつちよりゆうりょう	geothermal reservoir volume	地熱貯留層の有する熱エネルギー量。
地熱発電	ちねつはつでん	geothermal power production, geothermal power generation	地球内部の熱エネルギーを利用する発電。数百mから数千mの坑井を掘り、地中から噴出する蒸気ないしは熱水を用いてタービンを駆動して発電させる発電方法。
地熱変質	ちねつへんしつ	geothermal alteration	地下からの熱や流体に天水が関与して生じた地熱流体と岩石が反応して新たな安定鉱物が岩石中に生ずること。
地熱流体	ちねつりゆうたい	geothermal fluid	地下から供給された熱や流体に天水が関与して生じた流体。岩石中の空隙を移動し特定条件下で貯留層を形成。
地背斜	ちはいしゃ	geanticline	地向斜に隣接した隆起部や複地向斜内に生じた隆起部などの地殻の上昇部。地向斜による造山論は現在あまり議論されていない。
千葉県東方沖地震	ちばけんとうほうおきじしん	the 1987 Chibaken-tohoku earthquake	1987年12月17日に千葉県東方沖を震源としたM6.7の地震。死傷者148人とされている。公共施設に被害があった被害地震。
遅発	ちはつ	delay blasting, delay shot	遅発電気雷管などを用いて順次段階的に発火させ、適当な時間差をもたせて発破すること。
遅発中性子	ちはつちゅうせいし	delayed neutron	核分裂で発生する中性子のうち、核分裂から遅れて放出されるもの。同時に放出されるものは即発中性子。
路原断層	ちはらだんそう	Chihara fault	活断層。確実度Ⅰ～Ⅱ、活動度B級、北東方向。滋賀県の琵琶湖北岸地域に位置する。延長11km。
地表温度	ちひょうおんど	ground surface temperature	太陽・大気からの入射エネルギーと地面からの輻射の熱エネルギーの釣り合いによって決まる地表面の温度。
地表かん養法 (地表涵養法)	ちひょうかんようほう		地下水の人工かん養(涵養)方法の一つ。地表面に水を張って浸透させる方法。水路・河床・水田などを使った方法がある。拡水法ともいう。
地表傾斜	ちひょうけいしゃ	ground surface inclination	地表面の傾斜。地表傾斜の変化を傾斜計で精密に観測することにより、斜面の動態を把握することができる。

地表地震断層	ちひょうじしんだん そう	surface earthquake fault	地震に伴い地表に現れた断層。地震波を発生させた地下の地震（震源）断層の一部が地表に達したもの。地震を発生させた地下の断層である震源断層と区別して用いる。
地表震源	ちひょうしんげん	surface focus	自然地震において地表に位置する震源。実際には走時計算などを行う場合に、地表にあると仮定した震源をいう。
地表水	ちひょうすい	surface water	地表に存在する水の総称。河川水、湖沼水など。
地表水排除工	ちひょうすいはい じょこう	surface water drainage works	地すべりの滑動を抑制する目的で地すべり地への流入水や降水の浸透を防止する工法。水路工と浸透防止工に大別される。
地表地質	ちひょうちしつ	surface geology	地盤表面に分布する地質。通常の地質図はこれを表したものである。
地表地質調査	ちひょうちしつちよ うさ	geological survey	地質踏査と同義。
地表貯留	ちひょうちよりゅう	surface detention	降水時に、流量よりも流入量が多くなり、地表に水が貯留されること。地形勾配に沿って水は流下するため、地表貯留は一時的な現象である場合が多い。
地表沈下測定	ちひょうちんかそく てい	ground surface settlement measurement	土被りの小さいトンネルの施工において、地表面の沈下を監視するために行う計測。
地表導体	ちひょうどうたい	surface conductor	電磁探査において目的とする鉱床とは無関係に電磁異常を与えていると判別される地表や地下浅所の良導体。
地表波	ちひょうは	ground wave, surface wave	大気と地面の境界に沿って伝わる電磁波。周波数が低く電気伝導度が大きいほど伝播効率は高い。地上波ともいう。
地表風	ちひょうふう	surface wind	広義には地表面の被覆形状の影響を受ける地表から100m位までの風。狭義には地上気象観測の対象程度の風。
地表変位	ちひょうへんい	ground surface displacement	地すべりや地上・地下の構造物の施工に伴う地表面の変位。地表変位の測定は、繰り返し測量によるほか、伸縮計や傾斜計などを用いる。変位が大きな場合は空中写真などを用いることもある。
地表変位測定	ちひょうへんいそく てい	ground surface displacement survey	地すべりやトンネル坑口部などにおいて地表面の移動を把握するために行われる見通し線測量・伸縮計・光波距離計・空中写真などを用いる計測。
地表変動調査	ちひょうへんどう ちようさ	measurement of ground surface movement	地すべりなどに伴う地表面の変位。亀裂の生成・開口・ずれ・地表面の傾斜変動などを調査・計測すること。
地表面温度	ちひょうめんおんど	surface temperature	地表面付近の湿潤した土中の温度。
地表面伸縮計	ちひょうめんしん しゅくけい	ground surface extensometer, extensometer	地表面間の2点間の相対変位を、杭とインバー線を介して5～10倍に拡大して計測する装置。

地表面沈下量	ちひょうめんちんかりょう	ground surface settlement	自然現象や工事の影響などで、地表面が下方に変位する量。地盤沈下量ともいう。
地表流	ちひょうりゅう	overland flow	降雨のうち蒸発散・浸透・窪地貯留せずに地表面を流下する水を指す。
地表流出	ちひょうりゅうしゅつ	surface runoff	地表面流出と同義。
地平図法	ちへいずほう	horizon projection	投影面が地軸と斜交し、一点（極）を中心に経線を放射状に、緯線を同心円状にして示す図法。
地膨	ちぼう	swell	1,000km ² 以上に及ぶ広範囲での低平なドーム状隆起。大陸核のドーム状隆起をいうこともある。
地方時	ちほうじ	local time	標準時に対し、各地点ごとに定められた時刻。経度によって異なる。
チムニー	ちむにー	chimney	海底の火山活動により熱水の噴出口の周辺に珪酸塩や金属塩類などが煙突状に集積したもの。
地文学	ちもんがく	physiography	地球に関する地象・気象・海洋・地形などの諸現象について、個々およびその関係を総合的に研究・記載する学問。
チャート	ちやーと	chert	堅硬・緻密な珪質堆積岩。団塊状・塊状・層状に区分される。成因には生物遺骸説・化学反応説がある。
チャートラミナイト	ちやーとらみないと	chert-laminite	チャートと泥岩薄層の互層。変形の際に層面すべりを起こしやすい。
チャーノックイト	ちやーのつかいと	charnockite	紫蘇輝石を含む珪長～中性岩で、特徴的に暗青緑色を呈する。グラニュライト変成相地域に産出する。
チャイナクレイ	ちやいなくれー	china clay, ball clay	高可塑性の淡黄～青灰色のカオリン質粘土。英国のドーセットやデボン地方を生産地とする。ボールクレイともいう。
CHIME年代測定法	ちやいむねんだいそくていほう	chemical Th-U total Pb isocron method	X線マイクロアナライザーで、特定の鉱物粒子に少量含まれるトリウム・ウラン・鉛を正確に定量分析して、その含有量から形成年代を決定する年代測定法の一つ。
茶臼石	ちやうすいし	Chausu ishi	京都府宇治市産石材。上部古生界の粘板岩と互層する砂岩。緻密・細粒のものを茶臼石、他は間知石・建築用に利用。
茶臼山地すべり	ちやうすやまじすべり	the Chausuyama landslide	1898年に長野市篠ノ井茶臼山で発生した大規模な第三紀層地すべりで、凝灰岩がすべり面を形成している。
着座式足場	ちやくざしきあしば		上部が作業台、底部が浮体の海上足場で、浮体への注水により沈降させ海底に着座させる。

着色識別法	ちゃくしょくしきべつほう	coloring discernment method	コバルト亜硝酸ナトリウムにより正長石が黄色に着色されることを利用した，長石類を識別する手法。
着震時	ちゃくしんじ	arrival time	ある地点における地震波が到着した時刻．発現時刻，到着時ともいう．
チャック	ちゃっく	chuck	ドリルのロッドあるいはさく岩機のケリーを掴み保持する器具．回転や上下動を先端に伝達する働きをする．
チャッターマーク	ちゃったーまーく	chattermark	氷河基底部に含まれる堅い物体が基盤岩石の表面をこすり，傷つけながら前進したことによって生じたマーク．
チャンネル構造	ちゃんねるこうぞう	channel structure	河川の水が河床を削った溝に堆積物がたまったもの，あるいはその構造．
チャンドラー周期	ちやんどらーしゅうき	Chandler's period	地球の自転軸が慣性軸まわりに摂動する現象．摂動の周期は435日，その振幅は0.14秒程度．
チャンネルリング	ちゃんねりんぐ	channeling	還元井で圧入した気体・流体が局部的に漏洩し，生産井に短絡する現象．
チャンネルトンネル	ちゃんねるとんねる	Eurotunnel, The Channel tunnel, the Strait of Dover tunnel	ユーロトンネルと同義．
チャンネルフロー	ちゃんねるふろー	channel flow	岩石中の空隙が相対的に多い部分（断裂帯・粗粒な部分・空洞など）を流体が選択的に流動すること．
チャンの式	ちやんのしき	Chang's formula	弾性支承ばりとしての杭解析からChangが杭の曲げ変形に関して導いた方程式．
チャンバー	ちゃんばー	chamber	圧力の加えられる小室のことで，潜函病の治療を行うシールドのホスピタルロック（再圧室）などのこと．
中圧型変成作用	ちゅうあつがたへんせいさよう	medium-pressure type metamorphism	高圧型変成作用と低圧型変成作用の間の変成作用．らん晶石－珪線石系列の変成相により特徴づけられる．
中位泥炭	ちゅういでいたん	intermediate moor	泥炭の分類指標の一つで地下水からの高低により，高位泥炭，中位泥炭，低位泥炭となる．中間泥炭と同義．
中央円頂丘	ちゅうおうえんちようきゅう	central dome	火山の中央火口内部にあつて，火口から押し出された溶岩がせり出して丘状になったもの．
中央海嶺	ちゅうおうかいれい	mid-oceanic ridge	大西洋・インド洋・南太平洋のほぼ中央を走る海底の大山脈で，大洋底拡大説における新しい地殻物質の供給源．
中央海嶺玄武岩	ちゅうおうかいれいげんぶがん	mid-oceanic ridge basalt	中央海嶺にて形成される玄武岩の総称．MORBと略称．主にソレイアイト質で比較的一様な性質を持つ．

中央海嶺地震帯	ちゅうおうかいれい じしんたい	mid-oceanic ridge seismic belt	中央海嶺ならびに直交するトランスフォーム断層に沿う地震帯。前者では正断層型、後者では横ずれ断層型地震が発生。
中央火口丘	ちゅうおうかこう きゅう	central cone	火山のカルデラまたは山頂火口内に形成された小型の火山で、その外形が円錐に近いもの。
中央コア型ロックフィルダム	ちゅうおうこあがた ろっくふいるだむ	rockfill dam with center core	土質材料で造られたコア(遮水ゾーン)をダムの中央に配置したゾーン型のロックフィルダム。
中央構造線	ちゅうおうこうぞう せん	median tectonic line, MTL	九州東部から関東平野まで1,000km以上日本列島を縦断する断層の集合体。西南日本地域では右横ずれの複数の活断層からなる。
中央太平洋海盆	ちゅうおうたいへい ようかいぼん	Central Pacific basin	太平洋の中央部を広く占める海域にあり、四方を海嶺・海台で境される地区。大半を平坦な海底で占める。
中央導坑	ちゅうおうどうこう	center drift	地山改良や切広げ効果を良くするために、トンネル掘削断面の中央部に先進させて掘削する導坑。
中央導坑式掘削	ちゅうおうどうこう しきくっさく	core method of tunnel construction center drift method	トンネル掘削方式の一つ。導坑内からあらかじめ放射状の穿孔を行い、切広げ効率をよくしようとするもの。
中央プラント混合方式	ちゅうおうぷらんと こんごうほうしき	central plant mixing method	グラウト注入用ミルクを1箇所中央プラントでミキシングし、各注入箇所へ配送する方式。
中央隆起帯	ちゅうおうりゅうき たい	central uplift belt	地向斜の発展期において地向斜中央部で隆起した帯状部。高温変成作用の熱によって隆起する。
中央粒径	ちゅうおうりゅうけい	median diameter	粒径加積曲線における50%粒径。土砂を運搬する流れの強さの指標および液状化判定に用いられる。
中間杭	ちゅうかんぐい	center pile, intermediate pile	開削工法で掘削幅が広い場合などに、切ばりや覆工桁を支持して、支間を短くするために打つ杭。
中間杭沈下防止工	ちゅうかんぐいちん かぼうしこう	break settling method of intermediate pile	開削工法で中間杭がある場合、掘削に伴い中間杭の支持力が不足する際に、沈下防止のために行う補強工。
中間主応力	ちゅうかんしゅおう りよく	intermediate principal stress	せん断応力がゼロに等しい直交する面に作用する三つの主応力のうち中間の応力。記号は σ_2 。
中間主応力係数	ちゅうかんしゅおう りよくけいすう	parameter of intermediate principal stress	中間主応力(σ_2)と最大・最小主応力($\sigma_1 \cdot \sigma_3$)との相対的な大きさを示すパラメータのこと。 $(\sigma_2 - \sigma_3) / (\sigma_1 - \sigma_3)$ で定義される。
中間主ひずみ	ちゅうかんしゅひず み	intermediate principal strain	応力を受けて変形している物体の中間主応力面に垂直な軸方向ひずみ。
中間立坑	ちゅうかんとてこう	medium shaft, intermediate shaft	シールド工事において、シールドの構造変更や回転などの作業を行う目的で、トンネルの中間に設ける立坑。

中間泥炭	ちゅうかんでいたん	intermediate moor	泥炭区分の一つ。地下水位より高い位置の高位泥炭と低い位置の低位泥炭の間にある泥炭。中位泥炭と同義。
中間流出	ちゅうかんりゅうしゅつ	interflow	地下水流出形態の一つで、地表から浸透した水が不飽和帯中を通過して地表に流出すること。
中期更新世	ちゅうきこうしんせい	Middle Pleistocene (epoch)	更新世を3区分した場合の中間の区分で、ギンツ・ミンデル間氷期（約75万年前の地磁気のブルン・松山境界）からリス氷期（約15万年前）までの間。
中紀層群	ちゅうきそうぐん	Chuki Group	和歌山県由良町付近から東に延びる秩父累帯南部の中部ジュラ系中部～下部白亜系。海成のメラングジュ相で泥岩・砂岩中にチャートなどの大きな岩体を伴う。
中空円筒ねじり試験	ちゅうくうえんとうねじりしけん	hollow cylinder torsional shear test	中空円筒状の供試体にねじり力を加えせん断する試験。大ひずみ時の強度を求める試験が可能である。
中空重力式コンクリートダム	ちゅうくうじゅうりょくしきこんくりーとだむ	hollow gravity dam, hollow dam	重力ダムの堤体内部に空洞を設け、コンクリートボリュームの節減を図った型式のダム。
中硬岩	ちゅうこうがん	semi-hard rock	岩の分類における軟岩と硬岩の間に位置する岩石。一軸圧縮強度20～80MPaと定義している機関もある。
中国山地	ちゅうごくさんち	Chugoku mountains	中国地方を東西に走る標高1,700m程度までの山地で、山陰道と山陽道を分ける。
中砂	ちゅうさ	medium sand	土粒子区分の「砂」を細区分したもの。土質分野（日本統一土質分類）では0.25～0.85mm、地質分野（Wentworthら）では中粒砂と称し1/4～1/2mmの粒径の土粒子から構成されるものをいう。土壌分野（国際土壌学会法）にこの区分はない。
中軸谷	ちゅうじくこく	central valley	深さ2 kmに達する中央海嶺や大地溝帯の中心に位置する直線状の谷地形。
中質原油	ちゅうしつげんゆ	medium crude oil	原油は比重によって、特重質・重質・中質・軽質原油に分類される。このうち比重0.904未満0.83以上の原油。
柱状	ちゅうじょう	columnar	①火山岩や溶結凝灰岩などの柱状の節理。 ②角閃石などの細い柱からなる鉱物の外形を示す語句。
柱状採泥器	ちゅうじょうさいでいき	profile lead	海底堆積物の層序をそのまま柱状に採取することを目的とした採泥器。
柱状図	ちゅうじょうず	columnar section	地質柱状図と同義語。
柱状図用図式記号	ちゅうじょうずようしきぎごう	graphical symbols for borehole log	地盤調査の結果を柱状図などで表現する場合に用いる図式記号。土質地盤の場合は「日本統一土質分類」が用いられることが多い。
柱状節理	ちゅうじょうせつり	columnar joint	岩体が冷却時に体積収縮によって冷却面に垂直に生じた2方向以上の面。溶岩・岩脈・溶結凝灰岩などにみられる。

中色岩	ちゅうしょくがん	mesocratic rock	色指数（有色鉱物比）30～60%程度の火成岩．中性岩がこれに相当する．
中震	ちゅうしん	medium class tremor	地震動の強さを表す表現の一つで，震度IVに相当する揺れを中震と呼称．
中新世	ちゅうしんせい	Miocene (epoch)	新生代新第三紀期前半のおよそ2,400万年前から510万年前の時代．海進や地殻変動の激しかった時代．
中心線測量	ちゅうしんせんそくりょう	center line survey, setting of center line	道路，トンネルなどの構造物の中心線位置を現場に設定するための測量．
中新統	ちゅうしんとう	Miocene (series)	新生代新第三紀中新世に堆積した地層の総称．
中心噴火	ちゅうしんふんか	central eruption	火山体中央の火口から起こる噴火．
中心誘導法	ちゅうしんゆうどうほう	central induction sounding	地表のループに流す交流でループ中心に生ずる二次磁界と一次磁界との位相差を用いる成層構造用電磁誘導法．
宙水	ちゅうすい	perched water	不圧地下水面よりも上位に位置する難透水層の上に存在する局所的な地下水体．
宙水帯水層	ちゅうすいたいすいそう	perched aquifer	宙水で飽和した部分．
宙水地下水面	ちゅうすいちかすいめん	perched water table	宙水の飽和部分の上面．
宙水面	ちゅうすいめん	perched water table	宙水地下水面と同義．
中背	ちゅうぜ	uprise	トンネルの加背割における中央部分
中生界	ちゅうせいかい	Mesozoic	地質年代層序区分の中生代に形成された地層．
中性化試験	ちゅうせいかしけん	carbonation test	コンクリート表面をはつり，フェノールフタレイン溶液を吹き付け，無着色部分の中性化深さを測定する試験．
中性化促進試験	ちゅうせいかそくしんしけん	accelerated carbonation test	コンクリートは空気中の二酸化炭素により次第にアルカリ性を失い中性化する．その現象を促進する試験で，二酸化炭素濃度を増した槽内などで行う．
中性岩	ちゅうせいがん	intermediate rock	SiO ₂ の重量百分率が52～66%の範囲にある火成岩．種類としては安山岩・ひん岩・閃緑岩がある．

中性子	ちゅうせいし	neutron	素粒子の一つ。陽子とともに原子核を構成する。中性子の質量は原子単位で1.008665、約 1.67×10^{-24} gである。
中性子検層	ちゅうせいしけんそう	neutron logging	ボーリング孔内に高速電子源と検出器を入れたゾンデを降下し電子源から発生される高速中性子によるガンマ線の放射量を測定する。土の密度や空隙を調べることができる。ニュートロン検層と同義。
中性子-自然γ線検層	ちゅうせいししぜんがんませんけんそう	neutron-natural gamma logging	放射能源・密度決定用の中性子検出器、含水比決定用のγ線検出器を一体化したゾンデを用いた放射能検層。
中性子寿命検層	ちゅうせいしじゅみょうけんそう	neutron-lifetime logging	塩素原子が熱中性子に対して持つ特有の性質を利用する塩水層検出方法。中性子検層の一応用型。
中性子水分計	ちゅうせいしすいぶんけい	neutron moisture meter	プローブ、高圧電源、増幅部および検出部で構成されている中性子を利用した地層内水分検出装置。
中性子線放射化分析	ちゅうせいしせんほうしゃかぶんせき	neutron activation analysis	試料への中性子照射で生じた放射性核種の放射能測定により、試料中の元素の定性、定量を行うもの。
中性子デテクター	ちゅうせいしでてくたー	neutron detector	中性子検層において、高速中性子源と一定の距離に設置されて中性子束検出に用いられる測定装置。
中性子放射分析法	ちゅうせいしほうしゃぶんせきほう	neutron activation analysis	中性子線放射化分析と同義。
中性子ライフタイム検層	ちゅうせいしらいふたいむけんそう	neutron-lifetime logging	中性子寿命検層と同義。
中性泉	ちゅうせいせん	neutral spring	温泉あるいは鉱泉の水素イオン濃度による分類で、pHが6以上7.5未満のもの。
中生層	ちゅうせいそう	Mesozoic group	中生代の三じょう紀（三疊紀）・ジュラ紀・白亜紀に形成された地層の総称であり、地質年代層序区分では中生界ともいう。
中生代	ちゅうせいだい	Mesozoic (era)	古生代の次の地質時代で、三じょう紀（三疊紀）、ジュラ紀、白亜紀に分けられる。絶対年代では約2億5千万年前から約6500万年前まで。
中性長石	ちゅうせいちょうせき	andesine	アンデシンと同義。
沖積	ちゅうせき	Alluvium	河川によって水辺に現在も形成されつつ堆積すること。alluviumはラテン語のalluere（洗い上げる）に由来。
沖積鉱床	ちゅうせきこうしょう	alluvial deposits	現在の海底や陸の地熱地帯で鉱床が生成されつつある。例として、紅海高温塩水と硫化鉱物、ソルトンシー（カリフォルニア）地熱地帯高温塩水など。
沖積作用	ちゅうせきさよう	alluviation	ウルム氷期最盛期以降の海水準上昇によって沖積層が形成されていく作用。

沖積錐	ちゅうせきすい	alluvial cone	小河川が山麓に作った半円錐状の堆積地形で、沖積扇状地より急傾斜で崖錐と沖積扇状地の中間的地形。
沖積世	ちゅうせきせい	Alluvium(epoch)	河川によって形成された未固結堆積物で、軟弱地盤からなることが多い地層が堆積した時代。土木用語としては現在でも沖積世が用いられている。地質時代は今から約1～2万年前までの時代。今から1万年前までの完新世(Holocene)とは必ずしも一致しない。
沖積扇状地	ちゅうせきせんじょうち	alluvial fan	扇状地と同義。
沖積層	ちゅうせきそう	Alluvium, alluvial deposit, alluvial formation	年代的に更新世末期(1～2万年前)～現在までの間に、最終氷期以降の海水準変動によって形成された未固結堆積物。土木用語としては現在でも沖積層が用いられている。
沖積堆積物	ちゅうせきたいせきぶつ	alluvial deposit	沖積平野を構成する堆積物であり、海水準変動と沖積層の埋積速度が沖積堆積物の特徴を支配する。
沖積低地	ちゅうせきていち	alluvial plain, alluvial lowland	沖積平野と同義。
沖積土	ちゅうせきど	alluvial soil	沖積作用によって形成された土。沖積平野を構成する土壌。
沖積統	ちゅうせきとう	Alluvium(series)	沖積世の地質年代に形成された地層の総称。現在は完新統と改称。
沖積粘土	ちゅうせきねんど	alluvial clay	沖積平野や盆地に堆積した粘土で、含水比が高く軟弱である。
沖積平野	ちゅうせきへいや	alluvial plain	時代的に沖積層からなる河川の堆積作用によって形成された平野で、その作用が現在も続いている新しいもの。
沖積面	ちゅうせきめん	alluvial plain	沖積平野と同義。時代的に沖積層からなる平野を沖積平野とする際は、その堆積面を沖積面と呼ぶ。
中速中性子検層	ちゅうそくちゅうせいしけんそう	epithermal neutron logging	地盤の孔隙率が水素原子核密度に比例することを利用した、検出効率の向上のため中速中性子を用いた検層法。
中段採掘法	ちゅうだんさいくつほう	sub-level stoping method	主要坑道間の鉱画を採掘する場合に、主要坑道間に採掘用坑道(中段坑道)を設けて採掘する方法。
鑄鉄	ちゅうてつ	cast iron	鑄物用工業材料。通常2%以上の炭素のほかに、珪素・マンガン・リンなどを含む。
注入圧力	ちゅうにゅうあつりよく	injection pressure	高圧ポンプなどで、岩盤中の割れ目や空隙に流体や可塑剤を注入する時の圧力。
注入工法	ちゅうにゅうこうほう	injection method	透水性の低減・地盤強度増加のために、セメントなどの硬化材を地盤中の所定箇所に注入する地盤改良工法。

注入材料	ちゅうにゅうざいりょう	grout	注入工法で地盤に注入する材料。注入後、一定時間を経て硬化する。セメント系懸濁液型・溶液型などがある。グラウトともいう。
注入式フォアパイリング	ちゅうにゅうしきふおあばいりんぐ	grouting type forepile	トンネル掘削時の周辺地山の崩落を防止するための先行先受け工法のうち、先受け部材周辺を注入で固めるタイプのもの。
注入止水壁	ちゅうにゅうしすいへき	grouted cut-off wall	浸透水を止めるために、地盤中の間隙や岩盤のクラックに注入材を注入することにより形成される壁のこと。
注入井	ちゅうにゅうせい	injecting well	①一般には、地下水のかん養（涵養）や地下水位の維持を目的として、地盤に水を注入するための井戸。 ②高温岩体発電で、地下の高温で乾燥した岩盤に地表から水を入れるための坑井。
注入性メランジュ	ちゅうにゅうせいめらんじゅ	diapir melange	メランジュを成因で区分した場合の一区分。地下からの注入作用で形成されたメランジュのこと。ダイアピルメランジュともいう。
注入変成作用	ちゅうにゅうへんせいさよう	injection metamorphism	花崗岩質マグマが変成岩の層間に注入（进入）して注入片麻岩ができる作用。
注入片麻岩	ちゅうにゅうへんまがん	injection gneiss	花崗岩質マグマが変成岩の片理に沿って注入（进入）して形成され、縞状構造が発達した片麻岩。进入片麻岩と同義。
注入率	ちゅうにゅうりつ	grouting ratio	地盤に薬液やセメントを注入する場合の注入対象ボリュームに対する注入量の比率。
注入量	ちゅうにゅうりょう	grout volume	注入対象ボリュームと注入率の積で表わされる。一般的な注入率は未固結地盤では20～40%程度、岩盤では数%以下。
中熱水鉱床	ちゅうねつすいこうしょう	mesothermal deposit	温度200～300度、圧力15～100MPa程度の中温度・中圧力の熱水条件下で形成される鉱床。
チュービング	ちゅーびんぐ	tubing pipe	坑井内の一番内側にセットされる汲み上げ用のパイプ。石油・ガス生産井では高圧に耐えるため継目無鋼管が使用される。
チューブウェーブ	ちゅーぶうえーぶ	tube wave	孔内の液体中を孔壁の弾性に影響されながら、孔軸方向に液体本来の音速より小さい速度で伝わる境界波的音波。
チューブサンプラ	ちゅーぶさんぷら	tube sampler	軟弱土を乱さずに採取するため、ステンレススチールなどの管を用いた採取道具の総称。
チューブサンプル	ちゅーぶさんぷる	tube sample	肉薄の円筒管を直接地盤に押し込んで採取した試料。
チューブラ水車	ちゅーぶらすいしゃ	tubular turbine	水力発電用の水車。円筒状ケーシング内に水車・発電機が内蔵され、水が軸方向に流れる形式のプロペラ水車。
柱房法	ちゅうぼうほう	room and pillar mining method	採掘鉱画と残柱鉱画を交互に配置して採掘する方法。通常、緩傾斜で岩盤が安定した鉱床の採掘に適用される。

中庸熱ポルトランドセメント	ちゅうようねつぽるとらんどせめんと	moderate heat portland cement	水和熱を低く押さえるため、 Ca_3Si 、 Ca_3Al の量を少なく調製したもの。マスコンクリートによく用いられる。
中落差発電	ちゅうらくさはつでん	medium head scheme	水の落差を利用して行なう発電計画で、利用する落差が中程度のもの。
チューラム法	ちゅうらむほう	turam method	交流電流で作られる磁場を二つの同形コイルで受信しながら測線上を移動し、相互の振幅比と位相差から地下良導体を探査する電磁法の一つ。
中立応力	ちゅうりつおうりょく	neutral stress	土粒子間隙の流体圧力。間隙水圧と間隙空気圧があるが地質工学では、間隙水圧に対して多く使用される。
中粒	ちゅうりゅう	medium-grained	火成岩では主要構成鉱物の粒径が1～5mm、堆積岩および堆積物では0.0625～2mmの粒径を表す。
中粒砂	ちゅうりゅうさ	medium-grained sand	地質学分野における、Wentworthの粒径区分で、 $250\mu m$ ～ $500\mu m$ の粒径の砂。
中粒砂岩	ちゅうりゅうさがん	medium (grained) sandstone	砂を主体とする堆積岩で、通常1/2～1/4mmの粒径スケールの碎屑物により構成される。
中礫	ちゅうれき	pebble gravel	土粒子区分の「礫」を細区分したもの。土質分野（日本統一土質分類）では4.75～19mm、地質分野（Wentworthら）では4～64mmの粒径の粒子から構成されるものをいう。
中礫岩	ちゅうれきがん	pebble conglomerate	中粒（粒径4～64mm）の円磨された礫を主体として固結した堆積岩。
柱列式地下連続壁	ちゅうれつしきちかれんぞくへき	column-type diaphragm wall	場所打ちのモルタルまたはコンクリート杭あるいは、ソイルミキシングタイプのモルタル杭を連続して壁体としたもの。
調圧水槽	ちょうあつすいそう	surge chamber, surge tank	水力発電所の水圧管路に発生する水撃作用を吸収するために設ける水槽。
調圧立坑	ちょうあつたてこう	surge shaft	一般的には、水力発電用の導水トンネルに設ける立坑で基本的には水車停止時のウオータハンマーを緩衝させるためのもの。
潮位	ちょうい	tide level, sea level	太陽や月の起潮力によって周期的に変化する海水面の高さ。
超ウラン元素	ちょううらんげんそ	transuranic elements (TRU)	原子番号がウランよりも大きい原子番号93以上の元素。核反応で人工的に生成される。
超鋭敏粘土	ちょうえいびんねんど	extra-sensitive clay	鋭敏比が8を越える粘土。北欧やカナダには鋭敏比が100を越え、少しの揺れで液体状になる土が分布する。
超塩基性	ちょうえんきせい	ultrabasic	化学組成に基づく岩石の分類で SiO_2 含有量が約45wt%より低いもの。

超塩基性岩	ちょうえんきせいがん	ultrabasic rock	超塩基性の火山岩類で、かんらん岩（橄欖岩）・斜長岩などがこれに属する。超苦鉄質岩が多く暗黒色を呈する。
超遠方地形補正	ちょうえんぽうちけいほせい	ultra terrain correction	重力探査において、広域的に精度よくモホ面や上部マントルの構造を決めるための地形補正の一種。
超音波	ちょうおんぱ	ultrasonic wave, super sound	周波数が可聴周波領域を越える弾性波を表す。
超音波式水位計	ちょうおんぱしきすいけい	ultrasonic water level indicator	音波を発射し、反射波を受信してその伝播時間により水面を検知するフロートレスの水位計。
超音波速度試験	ちょうおんぱそくどしけん	ultrasonic wave test	岩石や土の供試体の両端に発振子と受振子を取り付け、その間の超音波伝播速度を求める試験。得られた超音波速度から動弾性係数や動せん断弾性係数・動ポアソン比を算出する。これらを微小ひずみにおける動的変形特性として扱うことがある。
超音波探傷法	ちょうおんぱたんしょうほう	ultrasonic flaw detection method	試料の表面から試料内部に超音波パルスを送り、界面や傷などからの反射波により試料の傷などを探知する方法。
超音波テレビュア検層	ちょうおんぱてれびゅあけんそう	supersonic televiewer logging	ソンドから孔壁に向けて超音波ビームを発信し、反射してくる波の強さを濃淡表示する検層法。
超音波パルス試験	ちょうおんぱぱるすしけん	ultrasonic pulse test	超音波速度試験と同義。
超音波ボアホールテレビュア	ちょうおんぱぼあほーるてれびゅあ	ultrasonic borehole televiewer	ソンドから孔壁に超音波ビームを発振し、坑壁で反射した波の強さに基づき、坑壁面を画像表示する装置。
鳥海火山帯	ちょうかいかさんたい	Chokai volcanic zone	東北日本の日本海側に南北に並ぶ火山の総称。火山列よりも岩石区分の概念に近い。
鳥海山油田	ちょうかいざんゆでん	Chokaizan oil field	山形県鳥海山南麓の八幡町草津、湯ノ台付近に位置する油田。背斜部の船川層の凝灰岩・砂岩中に貯留。
超過確率	ちょうかかくりつ	probability of exceedance	ある観測量が、特定の値以上となる確率のこと。
超過土砂量	ちょうかどしゃりょう	exceed sediment	計画流出土砂量から計画許容流砂量を差し引いた値であり、砂防計画において処理の対象となる土砂量。
鳥瞰図	ちょうかんず	bird's eye view	鳥が空中から下を見下ろしたときに見えるような立体図。名勝地の地図に用いられることが多い。
潮間帯	ちょうかんたい	intertidal zone	低潮線と高潮線間の海岸で、砕けた波の浸食作用が最も激しい所。
長期安全性	ちょうきあんぜんせい	long-term safety	過度の放射線学的危険から、長期にわたってすべての人々を保護すること。

長期安定問題	ちょうきあんていもんだい	long-term stability problem	基礎地盤の物性値の長期的な変化などを考慮に入れた斜面や地中・地下構造物などの安定問題.
長期設計荷重	ちょうきせつけいかじゅう	long-term design load	長期間の応力状態を考慮した設計荷重.
超強度コンクリート	ちょうきょうどこんくりと	ultra high strength concrete	高性能減水剤の添加量を増やしてつくる圧縮強度100MPa以上の高強度コンクリート.
超苦鉄質	ちょうくてつしつ	ultramafic	岩石の分類を鉱物組成に基づいて分類した場合,ほとんど有色鉱物(輝石・角閃石など)からなる性質.
超苦鉄質岩	ちょうくてつしつがん	ultramafic rock	超苦鉄質鉱物から構成される火成岩で,かんらん岩(橄欖岩)・輝岩などがこれに属し,暗黒色を呈する.
超高压噴射攪拌工法	ちょうこうあつふんしゃかくはんこうほう	ultra high pressure injection	超高压で硬化材とエアを噴射し,対象地盤を切削・攪拌しつつ柱状の固化物を造成する地盤改良工法.
超高压変成岩	ちょうこうあつへんせいがん	ultra high pressure metamorphic rock	玄武岩や堆積岩が,地下深所で超高压(2.5GPa以上)による変成作用を受けて形成された岩石.
長光寺みかげ	ちょうこうじみかげ	Chokoji mikage	愛知県豊田市産石材.中生界(角閃石)黒雲母花崗岩.節理が少なく大材を産する.敷石・土台・石柱などに利用.
超高層建築物	ちょうこうそうけんちくぶつ	highrise building	高層建築物のうちで特に高いもの.一般に,高さ60m以上の建築物をいう.
長孔発破	ちょうこうはっぱ	long hole blasting	トンネルの発破において一発破進行長がおおむね1~2mより長いもの.通常3~4mで行われる.
超黒色岩	ちょうこくしょくがん	hypermelanic rock	色指数である有色鉱物比90%以上の火成岩.すべて超苦鉄質岩.
潮差	ちょうさ	tidal range	満潮と干潮の差.
調査横坑	ちょうさおうこう	adit, drift	地質調査で地質状態を直接肉眼で観察し,地質構造や岩盤状況を的確に把握するために掘削される横坑.
調査坑	ちょうさこう	investigation drift, exploratory tunnel, exploratory drift	ダム,原子力発電所などの重要構造物の基礎となる部分で実施される岩盤調査用トンネル.
調査井	ちょうさせい	test well, research well	地下資源の賦存状況や,土木工事では地下の地質構造的特性を調査するための坑井.
調査測線	ちょうさそくせん	survey line	地盤調査や資源調査のため設置する基準となる線.調査目的・精度などに応じて配置・延長を定める.

調査立坑	ちょうさたてこう	test shaft	地質調査の精度向上のために地下に鉛直に掘削された調査坑。観察、試料採取、原位置試験などの場に供される。
調査ボーリング	ちょうさぼーりんぐ	exploratory drilling, exploratory boring	構造物の地盤調査や資源調査のために実施する、生産や継続的な利用を目的としない調査井。
調査用トレンチ	ちょうさようとれんち	exploratory trench	活断層の古地震や堆積物の層序確立調査のために地面に掘られる細長い溝。
銚子石	ちょうしいし	Choshi ishi	千葉県銚子市産石材。前期白亜系の砂岩。粗砥（銚子砥）として有名。土台石・間知石・割栗用が主。一部建築用。
鳥趾状三角州	ちょうしじょうさんかくす	birdfoot delta, digitate delta	三角州の平面形状が鳥の足のような場合で、粘土分の多い多量の河川搬出土砂により形成される。
銚子層群	ちょうしそうぐん	Choshi Group	千葉県銚子市犬吠埼付近に分布する下部白亜系。砂岩と砂岩・泥岩互層を主体とし、五つの累層に分けられる。
長尺フォアパイリング	ちょうじゃくふおあぱいりんぐ	long forepile	地山のアーチ作用が期待できない崖錐・破碎帯・未固結地山などの不安定地山の掘削に先立って、アーチ周辺に行う長さ10m以上のフォアパイリング。
長尺ボーリング	ちょうじゃくぼーりんぐ	long boring	①大深度のボーリング。 ②トンネルの前方探査のための100m程度以上のボーリング。
長尺摩擦杭	ちょうじゃくまさつくい	long size friction pile	杭先端が良質な支持層に至らない杭で、特に杭長が長いもの。杭周辺に働く摩擦力により荷重を支持する。
長者地すべり	ちょうじゃじすべり	the Choja landslide	高知県高岡郡仁淀村長者川南岸の幅200m、長さ1kmの規模の地すべり。蛇紋岩中にすべり面が形成されており、徐動的で継続的に活動している。
長者原断層	ちょうじゃはらだんそう	Chojahara fault	活断層。確実度 I、活動度 B 級、南南東－南東方向。新庄盆地南部に位置し延長約8km。低角度逆断層と推定される。
長周期地震計	ちょうしゅうきじしんけい	long period seismograph	通常用いられる地震計に比較して、数分から数10分の長い周期の地震波に対して感度の良い地震計。
長周期地震動	ちょうしゅうきじしんどう	long-period earthquake motion	数十～数百秒の長い周期をもつ地震動。長大橋や大型タンクなどの安定性に及ぼす影響が懸念されている。
長周期地震波	ちょうしゅうきじしんは	long-period seismic wave	通常地震の周期よりも長い数十～数百秒の周期をもつ地震波。
長周期潮	ちょうしゅうきちょう	long period tide	潮汐の波形は周期の異なる波形の和として表されるが、そのうちの半月程度以上の周期を有するもの。
長周期微動	ちょうしゅうきびどう	long-period microtremor	地盤の雑微動のうち、その周期が1秒以上の長いものの総称。長周期微動は一般に地下浅部の速度構造に支配される。

頂上礫岩	ちょうじょうれきが ん	top conglomerate	地層中に占める位置による分類。海退時に形成されるように、次第に堆積輪廻の上部が粗粒となるような礫岩。
超深層学術ボー リング	ちょうしんそうがく じゅつぼーりんぐ	superdeep scientific drilling	学術研究を目的として10km以上の超深度坑井を掘削する国際的プロジェクト。日本ではJ U D G E計画が進行中。
跳水式減勢池	ちょうすいしきげん せいち	hydraulic jump basin	堤体からの放流水を跳水させることにより減勢させるための池。
調整池	ちょうせいち	regulating reservoir, regulating pondage	1日から1週間程度の短期間の河川流量を調節できる容量を有する小規模な貯水池。
調整池式発電所	ちょうせいちしきは つでんしょ	pondage type power plant, hydropower plant with pondage	ダムによる堰上げで得られた落差と貯水容量を利用して出力を調節する発電所のうち、1日～1週間程度の流量調節が可能な程度の容量を有するもの。
調整用ダム	ちょうせいようだむ	regulating dam	河川の流量調節のため、必要な容量を持った貯水池をつくるためのダム。
長石	ちょうせき	feldspar	カリ長石・曹長石・灰長石の三つの端成分からなる固溶体鉱物。アルカリ長石と斜長石に大別される。
潮汐	ちょうせき	tide	主に月と太陽の引力によって生じる周期的な海水面の昇降。
潮汐三角州	ちょうせきさんかく す	tidal delta	沿岸州での潮流によって形成された水面下の三角州で、満潮により潮汐口の内側に生じ、干潮で外側に生じる。
長石質	ちょうせきしつ	feldspathic	砂岩の構成粒子による分類の一成分で、石英・長石・岩片の三角座標でプロットした時、長石成分の多いもの。
長石族	ちょうせきぞく	feldspar group	造岩鉱物の族の名で、結晶構造上でテクト珪酸塩に属する。主な鉱物種は正長石・微斜長石・斜長石である。
潮汐発電	ちょうせきはつでん	tidal power generation	海面の周期的な昇降である潮汐の特徴（干満の水位の落差）を利用した発電方法。
潮汐平野	ちょうせきへいや	tidal plain, inter tidal land	潮間帯に泥と砂が堆積してできた著しく広くて平らな場所。潮汐低地・潮汐平底・干潟などともいう。
潮汐補正	ちょうせきほせい	tidal correction	主に重力測定において、地球潮汐により測定値は影響されているので、その影響を補正すること。
頂設導坑	ちょうせつどうこう	top drift	トンネル断面の頂部に先行して設ける導坑。地質が不良で上半掘削ができない場合や断面形状が大きい場合に適用される。
長繊維混合補強 土	ちょうせんいこんご うほきょうど	long fiber reinforced soil	長繊維と砂質土を混合することにより透水性があり、せん断強度の大きくなった混合補強土。

朝鮮海台	ちょうせんかいだい	Korea plateau	日本・対馬両海盆の間にあり、その周縁部を急な斜面に限られた朝鮮半島東方の新第三系などからなる隆起部。
超速硬セメント	ちょうそっこうせめんと	ultra rapid hardening cement	ポルトランドセメントにカルシウムフルオロアルミネートを加えたもので、材令数時間で一軸圧縮強度20MPa以上を発現する。
長大トンネル	ちょうだいとんねる	long tunnel	一般的に3,000m程度以上の長さのトンネル。
超大陸	ちょうたいりく	Pangea	ウエゲナー(1915)が提唱した大陸漂移説で、現在の大陸が単一大陸をなしていた時の単一大陸のこと。パンゲアと同義。
頂置層	ちょうちそう	topset bed	主に砂や礫から構成される三角州堆積物で、前置層の上にほぼ水平に堆積する層。表面層・頂上層ともいう。
頂置面	ちょうちめん	topset flat	三角州の表層を構成する堆積物（これを頂置層という）の表面。
超長基線電波干渉計	ちょうちょうきせんでんぱかんしょうけい	very long base line interferometer, VLBI	電波星からの電波を数100km以上離れた地上の2点に置かれたアンテナで受信し、到達時間差から2点間の距離を精密に求める方法。
蝶番断層	ちょうつがいだんそう	hinge fault	断面層の両側の地盤の縦方向の変位が回転軸の存在により、軸からの距離により異なる断層。
調泥剤	ちょうでいざい	conditioning reagent	坑井掘削の際に循環流体の性質を孔内条件に適合させるために混入させる媒質。ベントナイト・バライトなど多種が開発。
超電導エネルギー貯蔵システム(SMES)	ちょうでんどうえねるぎーちょぞうしすてむ	superconducting magnet energy storage, SMES	超伝導コイルに電流を流して電磁エネルギーを貯蔵するシステム。貯蔵システムを極低温に保つ必要がある。
超伝導磁力計	ちょうでんどうじりょくけい	cryogenic magnetometer	超伝導現象を利用した高精度磁力計。周波数帯が広く、また磁場の3成分が容易に測定できる利点がある。
超電導電力貯蔵	ちょうでんどうでんりょくちょぞう	superconducting magnetic energy storage	超伝導体のコイルによりジュール損失なしに大電力を貯蔵するシステム。
超電導発電	ちょうでんどうはつでん	superconducting generation	臨界温度以下に物質の温度を下げることにより電気抵抗をなくす超伝導現象を発電用コイルに利用して効率を上げる発電方式。
超軟弱地盤	ちょうなんじゃくじばん	very soft ground	骨格構造が不安定で、含水比が高く極端に軟弱なへどろなどの土質からなる地盤。
超軟弱粘土	ちょうなんじゃくねんど	ultra-soft clay	鋭敏比が高く、含水比も高い粘土の総称。泥土とも呼ばれる。
丁張	ちょうはり	finishing stake	工事現場においてのり面の位置や勾配、整地レベルなどを示した定規。木杭やぬき板などで作られる。やり形ともいう。

超微化石	ちょうびかせき	ultramicrofossils	単細胞の原生生物の殻の化石を指し、電子顕微鏡下の観察以外では、その形態や性質を区分できないもの。
頂部	ちょうぶ	top	地すべり滑動によって生じた、地すべり堆の最高点のこと。
重複鉱化作用	ちょうふく(じゅうふく)こうかさよう	successive mineralization, polymineralization	異なった種類の共生関係を示す別種の鉱化作用が同じ鉱床形成の場に生ずること。
重複岩脈	ちょうふくがんみやく	sheeted dike, multiple dike, sheeted dyke, multiple dyke	組成の似たマグマが2回またはそれ以上相次いで貫入して形成された平行岩脈。
重複鉱床	ちょうふくこうしょう	polyascending	鉱脈鉱床の生成過程で、構造的な時間間隙により中断され、鉱化流体が断続的に上昇して形成された鉱床。
長福寺みかげ	ちょうふくじみかげ	Chofukuji mikage	滋賀県近江八幡市産石材。白亜系～古第三系の花崗斑岩。中粒で長石結晶が顕著。鉄道用・間知石・細工物などに利用される。
重複褶曲	ちょうふくしゅうきよく	compound fold	微褶曲が、その後に形成された主要な褶曲に重なったもの。複褶曲ともいう。
重複反射波	ちょうふくはんしゃは	multiple reflection wave	地震波速度が層状構造をなすとき、そこを伝播する地震波が層内反射を繰り返す現象。
重複反射モデル	ちょうふくはんしゃもでる	multiple reflection model	地震基盤に入射した地震動が地層境界などで反射を繰り返しながら伝播していくと仮定した応答解析用モデル。
長壁式採炭法	ちょうへきしきさいたんほう	long wall mining method	切羽面の水平長を大きく(通常100m以上)して採炭する方法。機械化して作業を集約化するために適用する。
超変成作用	ちょうへんせいさよう	ultrametamorphism	造山帯深部で生じる高度の変成作用。部分熔融による作用によりミグマタイトの形成が進む。
潮流	ちょうりゅう	tidal current	1日2回の満潮と干潮とによって生じる海水の水平的な動き。
潮流発電	ちょうりゅうはつでん	current power generation, tidal current energy conversion	貿易風と地球の自転による、海流・潮流を利用し、プロペラを回して発電する方法。
張力計	ちょうりよくけい	spring balance	精密な距離測量において鋼巻尺に一定の張力を与えるために用いる計器。
張力節理	ちょうりよくせつり	tension joint	伸張力によって生じる節理で、節理面の方向は伸張方向に直角またはこれに近い角度をなす。
張力割れ目	ちょうりよくわれめ	tension fissure	伸張力により生じた岩石の不連続面の一つで、断層と異なり破断面に相対的変位が認められない。

鳥類	ちょうるい	Aves, birds	脊椎動物門の一綱で卵生の定温動物。多くは飛翔生活に適応し、翼と羽毛を持つ。中生代前期には虫類（爬虫類）から進化。
調和湖沼型	ちょうわこしょうがた	harmonic lake type	湖沼を生物生産の内容・多少で分類した場合、生産の内容が均衡で、各部の生産間が調和している湖沼。
調和バソリス	ちょうわばそりす	concordant batholith	大規模な花崗岩体で、伸びの方向・内部構造がまわりの岩石構造に調和的なもの。
チョーク	ちよーく	chalk	白亜紀に多くが生成され、温暖な海域で有孔虫などの石灰質生物遺骸が堆積して形成された石灰泥岩。脆弱で砕けやすい特徴を有する。白亜ともいう。
直応力	ちよくおうりよく	normal stress	物体内部の任意の断面に対して垂直な方向に働く応力。引張りまたは圧縮として働く。
直消光	ちよくしょうこう	straight extinction, parallel extinction	鉱物の結晶面やへき開（劈開）の方向と光の振動方向との角度が0度または90度の場合の光。偏光顕微鏡下で観察可能。
直接基礎	ちよくせつきそ	spread foundation	荷重を直接良質な支持層に伝達する浅い剛性基礎。地盤を比較的浅く広く掘削してフーチングを構築する。
直接給水貯水池	ちよくせつきゅうすいちよすいち	direct supply reservoir	堤体あるいは貯水池内に取水設備を設置し、水管などによって受益地に給水する貯水池。
直接載荷	ちよくせつさいか	direct load	土木関連構造物などに直接作用する荷重。橋梁・高架道路などの床版・桁などへ作用する車両の自重など。
直接載荷工法	ちよくせつさいかこうほう	direct surcharge method	盛土や大気圧などを加重として利用し、軟弱地盤の圧密や土のせん断強さを増加させる工法。
直接サイフォン井戸	ちよくせつさいふおんいど	direct siphon well	上部から揚水し、ヒートポンプで採熱後下部に冷水を還元する生産井と還元井を1本にしたヒートポンプ用井戸。
直接作動型土圧計	ちよくせつさどうがたどあつけい	direct measuring earth pressure cell	受圧板の変位を機械的に拡大せずにそのままセンサで検出する方式の土圧計。
直接水準測量	ちよくせつすいじゅんそくりょう	direct leveling	2点間の比高を直接測って求める水準測量。水準儀（レベル）と標尺を用いて地上2点間の高度差を測定する。
直接せん断試験	ちよくせつせんだんしけん	direct shear test	一般に一面せん断試験を指し、せん断箱に垂直圧力を加え、せん断する。
直接波	ちよくせつは	direct wave	震源から反射や屈折などをせず直接伝播するP波、S波の地震波。
直接優先浮選	ちよくせつゆうせんふせん	straight differential flotation	複数の鉱石鉱物から各々の鉱物を浮選するとき、総合浮選を行わずに各々の鉱物を順次浮選する方法。

直線すべり	ちよくせんすべり	straight line slip	斜面安定解析において、すべり面を直線で近似したものをいう。
直立式護岸	ちよくりつしきごが ん	vertical type revetments	前面がほぼ鉛直な護岸。矢板式護岸・扶壁式護岸・重力式護岸・柵式護岸・石積み式護岸などがある。
直流電源設備	ちよくりゅうでんげ んせつび	direct current power supply equipment	直流電流を必要とする通信機器や予備発電設備などの電源として設置する、ダム管理用設備。
直流電磁法	ちよくりゅうでんじ ほう	magnetmetric resistivity method	周波数が極めて低い交流電流を地中に流し、水平磁界を測定して磁気異常分布図を作成する探査法。
直流法電気探査	ちよくりゅうほうで んきたんさ	direct current method	定常電流界理論を根拠にした比抵抗法などの総称。数Hz未満の直流に近い交流も含めて、直流法と呼ばれる。
貯鉱	ちよこう	ore stock pile	採鉱された鉱石のうち、鉱石処理の操業管理のために一定の場所に一時的に貯蔵されている鉱石。
貯砂ダム	ちよさだむ	check dam	ダムの上流に設けた堆砂軽減のための土砂貯留用ダム。
貯水位	ちよすい	reservoir level	貯水池の水位で、ダムの非越流部の直上流部におけるもの。
貯水池	ちよすい	reservoir	水を貯えておく人工の池。
貯水池式発電所	ちよすいちしきはつ でんしょ	reservoir type power plant, hydropower plant with reservoir	調整池式が時間的に調節するのに対し、年間または季節的に調節する大規模な貯水池を設けて発電を行う方式の発電所。
貯水池操作	ちよすいちそうさ	reservoir operation	洪水調節、利水、その他の計画に基づき、流水の貯留あるいは貯留水の放流のための操作を行うこと。
貯水池堆砂	ちよすいちたいしゃ	sedimentation in reservoir	上流から流入した土砂が貯水池に堆積すること。貯水量の減少、上下流河川の河床変動をもたらす。
貯水容量	ちよすいようりょう	reservoir capacity, storage capacity	貯水池に貯留できる水の体積。
貯水容量曲線	ちよすいようりょう きよくせん	storage-capacity curve	貯水位と当該貯水位で貯留できる貯水容量の関係を示す曲線。
貯水率	ちよすいりつ	percentage of storage	当該時点での貯水量と満水時の貯水容量の比。通常は利水目的の残貯水量と利水容量の比。
直下型地震	ちよっかがたじしん	direct hit earthquakes, near-field earthquake	都市部の直下に震源を持つ比較的浅い地震に対して用いる名称。正式には内陸型地震。

直交ニコル	ちよっこうにこる	crossed nicols	偏光顕微鏡において上方ニコルを入れた状態。鉱物の干渉色・双晶・累帯構造・消光位を観察できる。
チョッパ	ちよっぱ	chopper	電気信号や光線を一定間隔で接続と遮断を繰り返す装置。リモートセンサの検出部の一部としても使用される。
貯木池	ちよぼくち	log pond	流木シュートによって貯水池から流された木材を一時貯蔵するための池。
貯留岩	ちよりゅうがん	reservoir rock	地下水・石油・天然ガス・地熱流体などの流体地下資源を貯留している岩石や地層。
貯留関数法	ちよりゅうかんすうほう	storage function method	流域における雨水貯留量と流出量との間に非線形関数を設定した計算法。洪水流出計算によく用いられる。
貯留係数	ちよりゅうけいすう	storativity	帯水層表面に垂直な単位の水頭低下によって、単位面積から排出される水の量。無次元で記号Sを用いる。
貯留構造	ちよりゅうこうぞう	reservoir structure	流体地下資源を貯留している地層の地質構造。岩体・地層・断裂系・背斜構造・断層などがある。
貯留層	ちよりゅうそう	reservoir	流体地下資源を貯留している岩石・地層・断裂構造などのこと。層状の貯留岩に限定して用いられることもある。
貯留層評価	ちよりゅうそうひょうか	reservoir assessment	貯留層から取り出すことが可能な流体地下資源の量を推定し、その経済性を評価すること。
貯留量	ちよりゅうりょう	reserves	貯留層中に貯留されている流体地下資源の量。
地理緯度	ちりいど	geographical latitude	地球の平均的な形を表す地球楕円体面上の1点に立てた法線が、赤道面となす角で定義された緯度。
チリ海溝	ちりかいこう	Chile trench	南米チリ～ペルー沖の海溝。南アメリカプレートとナスカプレートの境界に位置し、ナスカプレートの沈み込みにより形成。観測史上最大の地震である1960年チリ地震は、本海溝南部を震源とする。
チリ海嶺	ちりかいいい	Chile ridge	南太平洋のチリ沖に位置する海嶺。
地理学	ちりがく	geography	地球表面の自然・人文の諸事象を地域的差異に注目して、研究・記述する科学。
チリ地震	ちりじしん	the 1960 Chile earthquake	1960年5月22日にチリ沖で発生したM9.5の地震。地震・津波による死者は5,700人とされる被害地震。
チリ地震津波	ちりじしんつなみ	the 1960 Chile Earthquake Tsunami	チリ地震により発生し、日本各地に來襲した津波。波高は3～6m。日本での死者・不明者142人、家屋全壊1,500戸とされている。

チリ硝石	ちりしょうせき	Chileane nitrate, soda-niter	NaNO ₃ . チリ北部アタカマ砂漠が主産地. 硝酸塩主体で固結した土壌として産出する.
地理情報システム	ちりじょうほうしすてむ	geographic information system	地理的な諸情報を蓄積し, 統計的に処理・解析・検索などを行うためのシステム. GISと同義.
ちりめんじわへき開 (ちりめんじわ劈開)	ちりめんじわへきかい	crenulation cleavage	細密褶曲へき開 (劈開) と同義語.
地壘	ちるい	horst	①沈降帯中で沈降が遅れて, ほぼ平行な複数の断層で切れて相対的に上昇した狭長な凸地. 地壘と地溝は伴って発生することが多い. ②断層変位による凸地形を表す用語の一つ.
チルティングレベル	ちるていんぐれべる	tilting level	測量などに用いる水準儀の一種. 視準線を水平にセットするための機構として傾動ネジと気泡管レベルをもつ.
沈下	ちんか	settlement	地盤が沈むこと. 原因別に, 弾性的沈下・圧密沈下・側方流動がある.
沈下曲線	ちんかきょくせん	settlement curve	粘性土地盤など圧密による沈下の経時的变化を示した曲線.
沈下計	ちんかけい	settlement device, settlement gauge	地盤や構造物の沈下を計測する装置. 地表面や地中各層を対象としたもの, 計測方式としてレベル測量や電気的な計測などがある.
沈下係数	ちんかけいすう	deflection coefficient	多層構造よりなる地盤における弾性沈下の計算に用いられる係数で載荷面の形状や沈下を考える位置で決まる.
沈下測定	ちんかそくてい	settlement measurement	地盤や構造物の沈下を計測すること.
沈下板	ちんかばん	settlement plate	40cm角程度の鉄板上に, 鋼製ロッドを溶接したもの. 地盤や構造物の沈下を測定するのに用いられる.
沈下量測定装置	ちんかりょうそくていそうち	settlement measuring system	沈下計などを用いて構造物の挙動などを観測するための設備.
沈降	ちんこう	submergence, precipitation, subsidence	①地殻の鉛直下向きの運動. 隆起の対語. ②コロイド粒子が重力の作用により次第に下方に濃集する現象.
沈降運動	ちんこううんどう	subsidence	広域にわたって地殻・地盤の高度が低下する動き. 地殻の垂直方向の動きを表す語句.
沈降海岸	ちんこうかいがん	submerged coast	海水面が相対的に上昇し, 陸地が海水面下に没して生じた海岸地形. リアス式海岸や溺れ谷などがある.
沈降速度	ちんこうそくど	settling velocity, fall velocity	細かい粒子が静止した水中を沈降する速度. 最初は加速度をもっているが重力と抗力が釣り合うと一定になる.

沈降分析法	ちんこうぶんせきほう	sedimentation analysis	粒径が75 μ mより小さな試料の粒度分布を求める試験。原理的には、Stokesの法則を利用するものである。
沈降法	ちんこうほう	sedimentation analysis	静水中の沈降速度が粒子径と密度により異なることを利用した粒度分析法。主にシルトや粘土を対象とする。
沈砂槽	ちんさそう	sand basin	集水槽に流入した泥水中の砂・礫を分離除去するための泥水処理槽。
沈砂池	ちんさち	silt basin, settling lagoon, settling basin, desilting basin, sedimentation basin	水路式発電所の取水口付近に設けられる土砂の沈殿排除のための浅い池。
沈床	ちんしょう	fascine mattress	堤防・護岸・根固めなどの水制のための工事において、木材またはそだを組んで玉石・割り石をつめて沈設したもの。
沈水	ちんすい	submergence	陸地が海水の侵入によって海面下に位置することになること。地盤の下降・海水準の上昇の両者がある。
沈水海岸線	ちんすいかいがんせん	shoreline of submergence	海水面の上昇または地盤の沈降によって形成された海岸線。リアス海岸線とフィヨルド海岸線に大別される。
沈水氷食谷	ちんすいひょうしょくこく	drowned glacial trough	地盤の下降か海水面の上昇により海面下に没した谷氷河の跡。ノルウェーや南極の大陸棚に多く見られる。
沈積岩	ちんせきがん	sedimentary rock	堆積岩と同義。
沈積粘土	ちんせきねんど	sedimentary clay	主に水の作用で、時には風や氷河の作用で運ばれ、層をなして堆積した粘土。転位性粘土ともいう。
沈着	ちんちゃく	deposition	水中・海中を浮遊・移動していた土粒子などが、一旦、水底・海底に沈殿する現象。
沈泥	ちんでい	silt	シルトと同義。
沈泥サンブラ	ちんでいさんぷら	silt sampler	超軟弱粘性土用のサンブラ。二重管構造で、内管は試料採取管、外管はふたからなる。
沈殿槽	ちんでんそう	settle tank	水処理（上下水・産業排水）のプロセスの一環として、水中の浮遊物を一定の水深・流速のもとである滞留時間にて沈殿・除去する施設。
沈殿速度	ちんでんそくど	settling velocity	細粒子が静止した流体中を落下する速度。沈降初期は加速度を持っているが、重力と抗力が釣り合い一定速度となる。
沈殿堆積物	ちんでんたいせきぶつ	precipitate	陸上・水中で機械的・化学的に沈殿したもの。

沈殿銅	ちんでんどう	cement copper	銅が溶存する溶液から鉄などのイオン化傾向の異なる金属を用いてイオン交換することによって沈殿させた銅.
沈殿率	ちんでんりつ	efficiency of sedimentation	細かい粒子が水中を静かに沈降するとき浮遊物質の減少する割合.
沈埋函	ちんまいかん	immersed tunnel element	地上のドックなどで製作される沈埋トンネルの構成要素. 主に矩形断面の鉄筋コンクリートや鋼製の構造物.
沈理工法	ちんまいこうほう	immersed tube method	水底トンネルの一工法. 水底に掘削したトレンチに沈埋函を沈めて接続しトンネルを構築する方法. 大断面トンネルの構築が比較的容易であり, かつ軟弱地盤などのように支持力が不十分なケースにも適用できる.
沈埋トンネル	ちんまいとんねる	submerged tunnel	沈理工法によって構築されたトンネル.
追掘	ついくつ	drilling deeper	坑井掘削にあたり, 掘り屑の堆積などを考慮し, 予定掘削長よりも更に深く掘削を継続すること.
築地層群	ついじそうぐん	Tsuiji Group	志摩半島東部に分布する中生界三じょう系(三畳系)～ジュラ系. 秩父累帯南帯の厚い砂岩・チャートからなり, 異地性岩体として石灰岩を含む. 三重県鳥羽市松尾を模式地とする.
ツイストサンプラ	つiusとさんぷら	twist sampler	固定ピストンにコアキャッチャーを併用したサンプラ. 二重管構造となっていて, 断面積比が大きい.
通気試験	つうきしけん	air permeability test	地盤の空気浸透特性を調べる試験. 一般に孔内に空気を圧送し, 透気係数, 漏気量, 水位低下量, 噴発・酸欠の有無などを調べる. 透気試験ともいう.
通気装置	つうきそうち	adjustable vent hole	固定ピストン式シンウォールサンプラで試料採取後ピストンをチューブから外すとき, ピストンと試料との間に負圧を生じさせないための, 外部から操作できる通気用の装置.
通水断面積	つうすいだんめんせき	discharge area	計画流量の流下に必要な水路トンネルの断面積.
通風乾湿計	つうふうかんしつけい	aspiration psychrometer, Assmann psychrometer	ガラス製温度計と湿球温度計の2本の温度計の枠に通風装置をつけたものを入れた筒. ドイツのAssmannが考案.
ツールプッシャ	つーるぷっしゃ	tool pusher	石油や天然ガスの坑井掘削の作業全般の管理・監督や, 資機材の手配などを行う削井技術者.
塚谷石	つかやいし	Tsukaya ishi	石川県江沼郡山中町塚谷産石材. 中新統緑色凝灰岩. 土台石や焼き入れして建築用・外装用に使用. 日華石と同質.
津軽山地西縁断層帯	つがるさんちせいえんだんそうたい	fault zone in the western part of the The Tsugaru mountains	活断層. 確実度 I, 活動度 B 級, 北北西-南南東方向. 津軽平野の東縁を画する逆断層と推定されている.
津川層	つがわそう	Tsugawa Formation	新潟県北東部地域に分布する中部中新統. 東蒲原郡津川町付近を模式地とする. 浅海成で下部は礫岩, 砂岩, 泥岩, 上部は流紋岩質凝灰岩, 流紋岩質凝灰角礫岩からなる.

突上げ断層	つきあげだんそう	thrust fault	断層の上盤が緩傾斜の断層面（一般に45度以下）に沿って、下盤上にのし上がった断層。衝上断層と同義語。
月岡断層	つきおかだんそう	Tsukioka fault	活断層。確実度 I，活動度 B 級，北北東方向。新潟県越後平野東縁部の笹神丘陵東縁に位置する延長20km。
月岡油田	つきおかゆでん	Tsukioka oil field	新潟県北部日本海側の中条産油・産ガス地帯の油田の一つ。新潟県新発田市月岡温泉付近に位置し、1907年～1920年頃に少量生産。寺泊層の砂岩および凝灰岩に胚胎。羽黒油田に隣接。
月ヶ瀬鈹床地区	つきがせこうしょうちく	Tsukigase clay deposits area	伊賀盆地西縁の奈良県月ヶ瀬村付近に分布する古琵琶湖層群相当層に伴われた蛙目粘土や木節粘土を産する地区。
突固め機	つきかためき	compactor	締固め機と同義。
突固め試験	つきかためしけん	tamping test	突固め法によって土の締固めを行い、乾燥密度と含水比の関係から最大乾燥密度・最適含水比を求める試験。
継ぎ杭	つぎぐい	follower pile	複数の杭材をつなぎ合わせて一本の杭としたもの。一般に、杭材は溶接によってつなぎ合わされる。
突き刺し探鈹	つきさしたんこう	probing	鉄棒を鈹床に達するまで突き刺す方法で、地表に近い鈹床の調査を行なうこと。
突き砂置換法	つきすなおきかえほう	method for measuring in situ(in-situ) soil density using compacted sand replacement	置き換えた砂の質量から土の体積を間接的に算出する方法。砂置換法に比べ、砂を細部まで充填できる。
月出石	つきでいし	Tsukide ishi	静岡県田方郡天城湯ヶ島町産石材。新第三系角閃石安山岩。黒雲母と角閃石の斑紋が特徴。灰白色・緻密。間知石・外装材に利用。
継手構造	つぎてこうぞう	joint	シールドセグメント同士をつなぐ構造で、本体と同じ強度を持つ剛結合と止水目的の可撓性柔構造とがある。
槻木みかげ	つきのきみかげ	Tsukinoki mikage	宮城県南部柴田町槻木産石材。阿武隈帯に属する中生界花崗岩類。主に土木用に利用される。
継目	つぎめ	joint	構造上あるいは施工上の必要性から人為的に設けたコンクリート間の境界。目地ともいう。
継目グラウチング	つぎめぐらうちんぐ	joint grouting, joint closure	ジョイントグラウチングと同義。
継目計	つぎめけい	joint meter	継目に埋設し、その挙動を観測する計器。ジョイントグラウチングを行う際の管理などにも利用される。ジョイントメータともいう。
継目排水孔	つぎめはいすいこう	joint drainage hole	コンクリートダム横継目の止水板を通過した漏水の収集排水を目的として止水板下流側に設置される排水管。

継目防水	つぎめぼうすい	water proof for joint, joint sealing	セグメント間の漏水を防止するための構造。現在、水膨張ゴムを用いる方法が普及している。
継目面	つぎめめん	joint face	継目の面そのもの。
筑波小みかげ	つくばこみかげ	Tsukuba komikage	茨城県筑波郡筑波町北条付近産石材。阿武隈帯南部の中生界花崗岩。石質不良で、主に土木用に用いられる。
筑波みかげ	つくばみかげ	Tsukuba mikage	茨城県筑波郡筑波町臼井産石材。阿武隈帯南部の中生界花崗岩。石質不良で、主に土木用に用いられる。
津久見鉱山	つくみこうざん	Tsukumi mine	大分県南東部津久見市にある石灰石鉱山。三宝山帯の津久見層に伴われた石灰岩をセメント原料として採掘。
都介野層群	つげのそうぐん	Tsugeno Group	奈良県三辺郡都祁村都介野岳周辺に分布する新第三系中新統。瀬戸内区の第一瀬戸内累層群に含まれる。
対馬海盆	つしまかいぼん	Tsushima basin (Tusima basin)	隠岐諸島～鬱陵島以西の日本海南西端部の海盆。水深は1,000～2,000m程度で海底は緩く北に傾斜する。
土	つち	soil	土壌と同義。
土倉鉱山	つちくらこうざん	Tsuchikura mine	滋賀県伊香郡木之本町にあった、丹波帯中のキースラー型鉱床を採掘した鉱山。
土クリープ	つちくりーぷ	soil creep	土壌クリープと同義。
土コロイド	つちころいど	soil colloid	土壌コロイドと同義。
土崎沖油田	つちざきおきゆでん	Tsuchizakioki oil field	秋田市浜田の沖合いにある秋田産油・産ガス地帯の油田の一つ。貯留層は深度600～1600mの天徳寺層の凝灰質砂岩および女川層の凝灰岩。1959年に発見され海上にプラットフォームを設置して開発が行われた最初の油田。
土畑鉱山	つちはたこうざん	Tsuchihata mine	秋田県境に近い岩手県南西部の和賀郡湯田町にあった黒鉄鉱床を小規模に採掘した鉱山。
土湯断層	つちゆだんそう	Tsuchiyu fault	活断層。確実度I，活動度B級，南北方向。福島盆地の西縁に分布する延長約10km。
綴喜層群	つづきそうぐん	Tsuzuki Group	京都府綴喜郡宇治田原町周辺に分布する新第三系中新統。奥山田累層と湯原累層に区分される。
つつ込み	つっこみ	down grade excavation	トンネルを下り勾配で掘削すること。つつ込みは排水処理が難しい。上り勾配で掘削することをおがみという。

綱掘り	つなぼり	cable drill, churn drill	軽便な掘削法の一つで、重しをつけたタガネ状ビットを上下させて岩石を破砕して掘削する方法。
津波	つなみ	tsunami	地震・火山の噴火・地すべり・斜面崩壊などによって生じた海中を伝搬する大規模な重力波。
ツナミアイト	つなみあいと	tsunamiite	津波堆積物と同義。
津波警報	つなみけいほう	tsunami warning	津波予報の一種。津波の高さが高いところで約2m以上になると予想される場合に発令されるもの。
津波災害	つなみさいがい	tsunami disasters	津波襲来による災害。1960年チリ地震では三陸海岸が、1983年日本海中部地震では日本海沿岸が、1993年北海道南西沖地震では奥尻島が被災した。
津波対策	つなみたいさく	tsunami protection measures	津波襲来による災害を防御あるいは軽減するために設けられる施設。防潮堤、ロックゲートなど。
津波堆積物	つなみたいせきぶつ	tsunami deposits	津波により直接運ばれた碎屑物質が堆積したもの、あるいは津波の作用により形成された堆積物。陸上に津波により運ばれたものや、海底に引きずり込まれたものなど。ツナミアイトと同義。
津波注意報	つなみちゅういほう	tsunami advisory	津波予報の一種。津波があるかもしれない、あっても0.5m程度と予想される場合に発令されるもの。
津波予報	つなみよほう	tsunami forecast	気象庁が発令する津波襲来の予報。津波注意報と津波警報からなる。
津南町地すべり	つなんまちじすべり	the Tsunan-machi landslide	1639年に新潟県中魚沼郡で発生した地すべり。集落を埋没させた。
常森層群	つねもりそうぐん	Tsunemori Group	山口県美祢市周辺に分布する時代未詳中・古生界。黒色頁岩を主体とし異地性岩体として石灰岩を伴う。
都野津層群	つのがそうぐん	Tsunozu Group	島根県中～西部の温泉津から益田付近にかけて分布する鮮新～更新統。未固結の礫・砂・泥からなり海成粘土層を挟在。
津布田層群	つぶたそうぐん	Tsubuta Group	山口県厚狭郡に分布する中生界上部三じょう系（三畳系）。砂岩・泥岩からなり、植物化石を豊富にはさむ。
津別層群	つべつそうぐん	Tsubetsu Group	北海道網走郡津別町周辺に分布する第三系ぜん新統（漸新統）～下部中新統。達媚（たつこぶ）層と津別層に二分される。層厚は約2,150m。
坪井公式	つばいこうしき	Tsuboi's formula	気象庁が採用している深さ60km以浅の地震のマグニチュードMの算定式(1954), $M = \log A + 1.731 \log \Delta - 0.83$. A: 変位の最大振幅 ($10^{-6}m$), Δ : 震央距離(km)
つぼ掘り	つぼぼり	shaft sinking	基礎の形に合わせてつぼのような形状に立て坑を掘ること。土層の地質状況または地下埋設物を調べるため、つぼ状に掘削すること。

妻屋火砕流	つまやかさいりゅう	Tsumaya pyroclastic flow	南九州始良カルデラを噴出源として、約2.6～2.9万年前に噴出した火山豆石を含む非溶結の火砕流。
積石工	つみいしこう	stone terracing	のり面に沿って石を積み上げることにより、斜面安定を図る工法。
積込み機	つみこみき	loader	掘削土砂・鉱石などを運搬装置に積込む機械。
都茂鉱山	つもこうざん	Tsumo mine	島根県美濃郡美都町にあるスカルン型銅鉱床を採掘した鉱山。鉱石は金・銀・灰重石を含む。1987年閉山。
津山炭田	つやまたんでん	Tsuyama coal field	岡山県津山盆地の炭田。中新統植月層が主要夾炭層。厚さ最大60cmの炭層を伴い、亜れき（瀝）青炭・褐炭を産した。
つらら石	つららいし	stalactite	スタラクタイトともいう。鍾乳石のうち、つららのように、洞天井から垂下するもの。
ツリー型分類	つりーがたぶんるい	decision tree classification	画像データの自動分類手法の一種。あらかじめ設定した段階的条件分岐により画像を任意のクラスに分類する。
つり橋	つりばし	suspension bridge	活荷重を支える桁を主塔間に張り渡したケーブルにつり下げた橋梁形式。
敦賀断層	つるがだんそう	Tsuruga fault	活断層。確実度Ⅰ，活動度B級，北北東－南南西方向。敦賀市の東部に位置する。延長約25km。
鶴来石	つるぎいし	Tsurugi ishi	石川県石川郡鶴来町産石材。緑色凝灰岩を伴う中新統流紋岩。砕石として利用される。
都留層群	つるそうぐん	Tsuru Group	山梨県都留市周辺に分布する新第三系中新統。緑色石英安山岩質凝灰岩・火山礫凝灰岩・玄武岩などよりなる。
ツンドラ	つんどら	tundra	真夏の月平均気温が0～10℃で、永久凍土層を生ずる程度寒冷でなく、樹木の生育には低温すぎる地域。北半球ではシベリア北部、カナダとアラスカの北部一帯、南半球では南極大陸周辺と南米最南端だけである。
ツンドラグライ土	つんどらぐらいど	tundra gley	ツンドラ土の下部で氷が融解して生じた水が、下位の永久凍土層で排水を妨げられ、グライ化した土壌。
ツンドラ土	つんどらど	tundra soil	ツンドラ地帯に広く分布する暗褐色の表層土。腐植層の発達が悪く、下層にはツンドラグライ土が分布。
泥圧	でいあつ	silt pressure	ダムに接して貯まる堆砂によりダムに作用する圧力。
低圧型変成作用	ていあつがたへんせいさよう	low-pressure type metamorphism	圧力の違いにより分類した三つの基準相系列のうちの一つ。紅柱石－珪線石系列ともいう。

泥圧係数	でいあつけいすう	coefficient of silt pressure	鉛直方向の泥圧に対する水平方向の泥圧の比. 概略 $C_e = 0.4 \sim 0.6$ とされる.
定圧せん断	ていあつせんだん	constant pressure shear	せん断試験において供試体の有効応力を一定に保ったまません断すること. 排水せん断に相当.
低アルカリセメント	ていあるかりせめんと	low alkali cement	全アルカリ量を0.6%以下に規定したセメント.
低アルカリソレイト系列	ていあるかりそれあ いとけいれつ	low-alkali tholeiite series	火山岩の岩石系列のうちの非アルカリ岩の一つであるソレイト系列のうち, SiO_2 成分に対するアルカリ(Na_2O+K_2O)成分が少ないもの.
TRU廃棄物	ていーあーるゆーは いきぶつ	TRU-waste	超ウラン元素を含む放射性廃棄物で, 半減期の長い元素や α 線を出すものが多い. 再処理工程で発生する.
TIROS-N	ていーあいあーる おーえすばーえぬ	Television and Infrared Radiation Observation Satellite -N, TIROS-N	別名, NOAAシリーズと呼ばれる米国海洋大気局の一連の気象衛星. 全球の雲分布や地表面状況などを観測.
DIN	でいーあいえぬ	Deutsche Industrie Norm, DIN	日本のJISに相当するドイツ工業規格.
DIL	でいーあいえる	dual induction logging, DIL	電磁検層法の一つ. 探査深度の異なる二つのインダクション曲線を有す.
DEM	でいーいーえむ, で む	digital elevation model, DEM	数値標高モデルと同義.
TEモード	ていーいーもーど	transverse electric mode, TE mode	MT法の解析法の一つ. 地下構造が二次元的な場合, 走向方向の電場と直交方向の磁場を用いる解析方法.
TAR	ていーえーあーる	true amplitude recovery, TAR	地震波の振幅の大小が直接反射係数に關係するように, 球面発散や非弾性吸収などの減衰を補正する操作.
DA変換	でいーえーへんかん	digital to analog conversion, DA conversion	デジタル信号からアナログ信号に変換, 出力すること. 例えば, CD-ROMの画像データを印画紙に焼付けるなど.
DSCA法	でいーえすしーえー ほう	differential strain curve analysis, DSCA	岩石試料を用いた三次元初期地圧の測定法の一つ. 立方体岩石供給試体の各面にひずみゲージを貼付して静水圧を加えたときのクラックの閉鎖によるひずみを計測して地圧を求める.
DST	でいーえすていー	drill stem test, DST	ボーリング孔の特定区間での地下水の流入速度と安定水位を測定し, 地盤の透水性と水圧を求める試験.
DSDP	でいーえすでいびー	Deep Sea Drilling Project, DSDP	深海掘削計画. 1968年にグローマー・チャレンジャー号を用いて開始. 後にIPOD, ODPへ引き継がれた.
TSP	ていーえすぴー	tunnel seismic prediction, TSP	弾性波反射法によるトンネルの切羽前方予測手法の一つ. 坑壁に1点の受振機を設置し, 坑壁沿いに設置した多数の発破孔の発破による直接波と反射波を測定し, 切羽前方にある反射面を解析する.

DH比	でいーえっちひ	deutrium hydrogen ratio, DH ratio	水の水素中の水素 (H) と重水素 (D) の比 (D/H). 標準海水 (SMOW) を標準物質とする.
TM	ていーえむ	thermatic mapper, TM	リモートセンシング用の地球観測用光学センサーの一つ. ランドサット衛星に搭載され, 7バンドを有する.
DMM工法	でいーえむえむこうほう	deep mixing method for soilstabilization, DMM for soil stabilization	地盤内にセメントなどの化学的安定剤を添加し, 改良対象土と強制的に攪拌混合する深層混合処理工法の総称.
TMモード	ていーえむもーど	transverse magnetic mode, TM mode	MT法の解析法の一つ. TEモードとは逆に, 走向に直交する方向の電場と走向方向の磁場を用いる解析方法.
DLL	でいーえるえる	dual latero logging, DLL	検層法の一つ. 本来の検層の目的と合わせて, 泥水の侵入や泥水置換の情報などを得る機能を持つ.
TL年代測定	ていーえるねんだいそくてい	thermoluminescence method, TL method	サーモルミネッセンス法年代測定と同義.
TOGA計画	ていーおーじーえーけいかく	Tropical Ocean Global Atmosphere Program, TOGA Program	「熱帯海洋全球大気変動研究計画」の略. エルニーニョ現象の解明を目的とした国際観測計画.
DOT工法	でいーおーていーこうほう	double-0-tube tunneling method, DOT method	多連形の泥土圧シールドを使用して複数個の円形断面トンネルを同時に築造する工法.
DOTシールド	でいーおーていーしーるど	double-0-tube shield, DOT shield	スポークタイプのカッターを同一平面に配置し, 隣接カッターとは接触しないように回転制御できる泥土圧シールド機械.
TOVS	ていーおーぶいえず	TIROS operational vertical sounder, TOVS	気象衛星TIROS-Nシリーズ搭載の, 大気中の気温や湿度の鉛直分布を求めるための多チャンネル分光放射計.
DCS	でいーしーえず	data collection system, DCS	地球上に設置された水温, 雨量などの観測装置からデータを人工衛星経由で収集し, 一括管理する装置.
DJM工法	でいーじーえむこうほう	dry jet mixing method, DJM method	地盤内にセメントや石灰系の粉体状安定材を添加し, 改良対象土と強制的に攪拌混合する地盤改良工法.
T ² -D ² カーブ	ていーじじょうでいーじじょうかーぶ	T ² -D ² curve	反射法地震探査で, 到着時間T, 受振器間隔Dとし, 縦軸にT ² , 横軸にD ² を取って図化したもの.
T字バットレスダム	ていーじばつとれすだむ	T-head buttress dam	バットレスの頭部が拡幅されて隣接バットレスと接続し, T型となったバットレスダム.
ディーゼルハンマー	でいーぜるはんまー	diesel hammer	ディーゼルエンジンの原理を利用し, シリンダー内の燃料を燃焼爆発させた衝撃を杭頭に与え杭を打込む機械.
ティーセン法	ていーせんほう	Thiessen method	観測点の代表範囲を設定する方法の一つ. 隣接する観測点を結ぶ直線の直角二等分線で, 各観測点を内包するように多角形区分をするもの. 流域平均雨量を求める一手法として用いられる.

T層	ていーそう	T phase	地震観測で震央と観測点の間に海がある場合、海の部分では水中音波として伝わってきた地震波の相。
T' 曲線	ていーだっしゅきよくせん	T' curve, weathering computation curve	はぎとり走時曲線と同義。
D値	でいーち	density ratio	密度比。盛土の乾燥密度を室内締固め試験の最大乾燥密度で割った値を百分率で表わしたもの。
低位置準平原	ていーいちじゅんへいげん	low-lying peneplain	海面に近い位置にある準平原。長期間地盤が安定し河川浸食が進行した結果として形成される。
TDEM	ていーでいーいーえむ	time domain electromagnetic method	時間領域電磁法。電流を遮断した後の二次電磁場の過渡現象を測定し、地下の比抵抗構造を探索する手法。
DDA	でいーでいーえー	discontinuous deformation analysis, DDA	連続体および不連続体の動的・準静的問題を解く解析法。有限要素法と個別要素法両者の特徴を有する。
DTA分析	でいーていーえーぶんせき	differential thermal analysis, DTA	示差熱分析のこと。試料と熱的不活性体を同一条件で加熱し両者の温度差から試料の熱特性を得て鉱物を同定する。
DTM	でいーていーえむ	digital terrain model, DTM	地形など、3次元的な起伏をデジタルデータとしたもの。地理情報システムなどで鳥瞰図作成や地形解析に利用可。
DTD	でいーていーでいー	document type definition, DTD	SGML (HTMLやXMLなど) で使われる、文書型定義。XMLのタグの内容を説明するもので、これを用いることによりXMLの内容を理解することができる。
TDT検層	ていーでいーていーけんそう	thermal decay time logging, TDT logging	地層に中性子を照射し、ガンマ線の時間的変化を検出することで、地層の中性子吸収能力を求めるもの。
低位泥炭	ていーいでいたん	low moor peat	水辺の植物を主体とする初期に生成した泥炭。湖沼が陸化すると植生が変わり、中間泥炭・高位泥炭に移行する。
低位泥炭土	ていーいでいたんど	low-moor peat soils	地表面から1mまでの土壌のうち半分以上が泥炭層、または地表面から50cmまでの土壌のうち20cm以上の泥炭層を持つ土壌で、ヨシ、ハンノキが主体の土壌。
ティートンダム	ていーとんだむ	Teton dam	アメリカ。開拓局のゾーン型アースダム。1975年竣工。堤高93m。1976年6月5日初期湛水時に、基礎岩盤に内在した開口割目を通った高流速浸透流による岩着部コアの浸透破壊に起因して決壊。
TB	ていーびー	time break, shot mark, TB	地震探査法で起震の時刻を表わす時間原点。
TP	ていーびー	Tokyo Peil, TP	東京湾平均海面。
DBAP	でいーびーえーびー	direct back analysis program, DBAP	トンネル計測結果から地山の弾性係数などを推定する逆解析プログラム。

TBM	ていーびーえむ	tunnel boring machine, TBM	山岳トンネルの全断面を回転カッターにより切削または破碎して掘進する機械。
TBM工法	ていーびーえむこうほう	T.B.M. method	全断面トンネル掘進機（TBM）により岩盤を直接掘削する山岳トンネルの施工法。
ディープウェル	でいーぷうえる	deep well	地下水排除工法の一つで、最終排水面から3～5m程深い所まで掘った孔で揚水を行い、地下水位の低下を図る。
ディープウェル工法	でいーぷうえるこうほう	deep well method	地下水位低下工法の一つで、透水性地盤内にディープウェル（深井戸）を掘り、ポンプで排水する工法。
天山海進	ていえんしゃんかいしん, てんざんかいしん	Tianshan transgression	石炭紀の前期に中国中南部に広がった海進。貴州さんご（珊瑚）を含むのが特徴で日本では鬼丸海進、欧州のビゼー海進がこれに相当する。
天山変動帯	ていえんしゃんへんどうたい, てんざんへんどうたい	Tianshan movement zone	アジア大陸中央部にある天山山脈を形成した地帯。中新世の時代に入ってから造地形運動が活発化した。
定応力速度試験	ていおうりょくそくどしけん	constant stress rate test	応力制御型の力学試験の一方法。段階的に一定速度の応力を加えて、それぞれのひずみなどを測定する試験。
低温乾留	ていおんかんりゅう	low temperature coal caronization	空気を遮断して石炭などを加熱分解することで、450～700℃で行う乾留を低温乾留という。
低温高压型変成帯	ていおんこうあつがたへんせいたい	low temperature-high pressure type metamorphic belt	広域変成帯の温度圧力型の一つ。比較的溫度勾配の小さな地質環境で形成された変成岩。
低温脆性	ていおんぜいせい	cold brittleness	金属が非常に低い温度に冷やされた場合に延性・韌性が減少し脆くなること。
低温石英	ていおんせきえい	low-temperature quartz	SiO ₂ 。結晶形態が三方晶系の石英。低温型（α）と高温型（β）（六方晶系）の転移温度は、常圧下で573℃である。
低温地質学	ていおんちしつがく	cryogeology	凍土現象に関する地球科学の諸分野。この名称は訳語であり、日本国内では使われていないようである。
泥灰岩	でいかいがん	marlstone	日本では、新鮮なものは灰色・塊状を呈する第三系の灰色頁岩の中で、炭酸塩成分を30～70%含むもの。
低海面期	ていかいめんき	age of lowered sealevel	海面が低下したと考えられる時期。寒冷期の氷河拡大に伴う海水量減少による海面低下が考えられている。
定角アーチダム	ていかくあーちだむ	constant angle arch dam	アーチ要素の中心角がダムの各標高においてほぼ等しい値を持つ形状のアーチダム。
低角逆断層型地震	ていかくぎゃくだんそうがたじしん	low-angle reverse fault earthquake	プレート境界の地震の一種。スラスト型地震ともいう。

低角逆断層地震	ていかくぎやくだん そうじしん	low-angle reverse fault earthquake	圧縮応力場で発生する地震の多くは、低角度の傾斜角をもつ逆断層型の運動を示す地震となることが多い。
低角正断層	ていかくせいだんそ う	flat-lying normal fault	固結過程の火成岩（深成岩）内部で生じた割れ目の一つ。側方に広がるようにする運動により生じた低角度の正断層状断層。
定格容量	ていかくようりょう	rated capacity	定められた定格使用電圧における定格出力(kW)。
泥火山	でいかざん	mud volcano	地下から泥が噴き出してできた火山のような形の山。地下深部の高い間隙水圧の開放による。油田地域やプレート収束域に多く分布する。
泥岩	でいがん	mudstone	シルトや粘土の粒子からなる細粒堆積物が固化した堆積岩。シルト岩（シルトを主とする）・粘土岩（粘土を主とする）に細分。
泥岩含有率	でいがんがんゆうり つ	shale volume	岩石中に泥岩が占める容積割合。粘土鉱物を含む泥岩は導電性のため、比抵抗検層の定量解析で補正が必要。
泥岩比抵抗	でいがんひていこう	clay resistivity	泥岩の比抵抗値。0.2～3 Ωm程度の低比抵抗値である。比抵抗検層の定量解析の際問題となる。
低気圧	ていきあつ	cyclone, low depression	周囲より低い気圧状態で等圧線が閉じた形で示される部分。一般に風雨となる。
低Q層	ていきゅーそう	low-Q layer	海溝より沈み込むプレートの周辺の上層マントルは、プレートに比べて地震波の減衰が大きいので低Q層と呼ぶ。
堤高	ていこう	height of dam	堤頂と基礎との標高差。基礎の位置は、止水壁のないダムでは堤頂の上流端を通る鉛直面と基礎地盤の交点、止水壁のあるダムでは止水壁下流端を通る鉛直面との交点。
抵抗温度計	ていこうおんどけい	resistance thermometer	金属線の電気抵抗の変化によって温度を計測する温度計。温度検層に用いられる。
抵抗型ひずみ計	ていこうがたひずみ けい	resistance type strain gauge	金属箔または抵抗線を用いて、ひずみ量を電気抵抗の変化で計るもの。
抵抗型変換器	ていこうがたへんか んき	resistance type transducer	物理量の変化を電気抵抗の変化として出力するもの。
抵抗係数	ていこうけいすう	resistance quotient	岩盤のある断面で、破壊に対する抵抗Rと、応力Sとの比。R/S < 1で、破壊が発生。
抵抗土圧	ていこうどあつ	reactive earth pressure	一般にトンネル壁面のうちで地山に接する部分や土留めの壁面などが変形する場合、地山から受ける反力。
抵抗モーメント	ていこうもーめんと	resisting moment	滑動や転倒のモーメントに抵抗するモーメント。

デイサイト	でいさいと	dacite	珪長質火山岩。斜長石・石英・アルカリ長石・単斜輝石・斜方輝石・黒雲母などを含む。
手石海丘	ていしかいきゅう	Teishi knoll	伊豆半島伊東沖で1989年の海底火山活動に伴って隆起した比高10m、直径450m程度の海丘。
底質	ていしつ	bottom material	海底を構成する未固結の岩や堆積物。底質は、音波探査記録や各種採泥器で採取された物質により判定される。
泥質岩	でいしつがん	mudrock	シルトや粘土を多く含む堆積岩の総称。泥質岩は砂岩に比べ粘土が多いため、 Al_2O_3 に富んでいる。
泥質砂岩	でいしつさがん	wacke, muddy sand	ワッケと同義語。
低湿地	ていしっち	slough	沖積平野などの低いところの湿地。排水が困難で、通常または洪水時に浸水する。
底質分布	ていしつぶんぷ	distribution of bottom material	堆積条件により構成物質が異なる底質の分布。外洋では生物起源、大陸棚以浅の浅海では土砂が大部分を占める。
泥質片岩	でいしつへんがん	pelitic schist	泥質堆積岩起源の片岩の一つ。片岩の分布地域に地すべりが多発。
低周波地震	ていしゅうはじしん	low frequency earthquake	地震の規模のわりには人体に感じる短周期の地震波が弱く、長周期の地震波（低周波）の卓越する地震。
低周波微小地震	ていしゅうはびしょうじしん	low frequency microearthquake	特に高周波成分が欠落している微小地震。ほぼ一定の応力場の特定の断層面上で、低周波が卓越することがある。
定常状態	ていじょうじょうたい	steady state	物理量が時間的に不変で一定に保たれている状態。あるいは一定のエネルギー量に保たれている状態。
定常浸透	ていじょうしんとう	steady seepage	地盤中の水の流れが速さおよび方向を時間的に変えない浸透状態。
定常振動	ていじょうしんどう	steady state vibration	機械基礎などから伝わる繰返し回数のきわめて多い定常的な地盤振動。
定常浸透状態	ていじょうしんとうじょうたい	steady seepage flow	浸透流動場において、どの点においても流入量と流出量が釣り合っている状態。定常状態では、水圧や流動量の時間変化はない。
定常浸透流	ていじょうしんとうりゅう	steady seepage flow	流速および流向が時間的に変わらない状態の地盤中の水の流れ。
定常浸透流解析	ていじょうしんとうりゅうかいせき	steady seepage flow analysis	ある系にインパクトを加え、水圧や流量が変化しなくなるまで時間が経過した状態を対象とした浸透流解析。地下水流動方程式において、時間を極端に大きくした場合、あるいは貯留係数を0とした場合に相当する。

定常せん断	ていじょうせんだん	steady shear	排水せん断などにおいて、せん断抵抗がピーク値を超えた最終的なせん断。定常せん断状態での強さを残留強さという。
定常波	ていじょうは	stationary wave	同一周波数の波が互いに反対方向に進むときに生じる、周期的で振幅分布が一定な波。
定常流	ていじょうりゅう	steady flow	水深・流速・圧力などが時間的に変化しない流水。
定常レーリー波法	ていじょうれーりーはほう	Rayleigh wave method	起震器によるレーリー波の地盤振動を測定し、地下構造を探索する方法。
呈色反応	ていしよくはんのう	color reaction	発色・変色を伴う化学反応の総称。イオン・元素の検出や鉱物の鑑定に応用されている。
堤州	ていす	bar beach, barrier beach	満潮時にも頭を出している砂州。海岸汀線に平行に発達するが日本では稀。
泥水	でいすい	mud water, drilling mud	ボーリング時に掘り屑の回収・孔壁保護などに用いる粘土や薬品を溶かした高比重・高粘性の懸濁液。
泥水圧	でいすいあつ	slurry pressure	切羽あるいはチャンバー内に満たされた泥水の圧力。一般的に地山の水圧と土圧を考慮して設定される。
定水位透水試験	ていすいいとすいしけん	constant head permeability test	砂や礫などの供試体に定水頭で定常浸透流を生じさせ、そのときの流量から透水係数を求める試験。
泥水加圧式シールド工法	でいすいかあつしきしーるどこうほう	slurry shield method	切羽と隔壁の間に加圧した泥水を循環させて切羽の安定を図り、掘削土砂を排泥水で流体輸送するシールド工法。
泥水検層	でいすいけんそう	mud logging	掘削循環泥水中の地層掘り屑と泥水中に含まれるガス量を連続的に測定する検層方法。
泥水工法	でいすいこうほう	slurry shield method	泥水加圧式シールド工法と同義。
泥水式シールド	でいすいしきしーるど	slurry shield	泥水加圧式シールド工法あるいは泥水加圧式シールド工法に使用するシールドマシン。
泥水循環	でいすいじゅんかん	circulation of mud	ビットから噴出させた泥水を、孔壁間を上昇させ、地上でスライムを分離・調整して再びビットに送る過程。
泥水処理	でいすいしより	slurry treatment	泥水シールド工法における排泥水の処理方法。水分と砂などの固形分を分離する方法と固化する方法とがある。
泥水浸入域	でいすいしんにゅういき	mud filtrate invaded zone	ボーリングに使用された泥水が地層中に浸入して、地層特有の物性が失われた範囲。

泥水濃度調整槽	でいすいのうどちょうせいそう	slurry density control tank	排泥水から土砂を分離した後、泥水の特性を調整する水槽。泥水は比重・粘性を調整され切羽に再循環される。
泥水バック	でいすいぼっく	suction pit	使用済みの泥水を溜める場所。掘削によって生じた岩屑を沈殿させて上澄みを再利用するために設ける。
泥水非汚染領域	でいすいひおせんりょういき	uncontaminated zone	泥水を用いた掘削井において、泥水により地層が汚染されていない領域。
泥水比重	でいすいひじゅう	mud density	単位容積あたりの泥水の重量。加重剤で地層圧力より高めになるように絶えず調整して掘削に用いる。
泥水比抵抗	でいすいひていこう	mud resistivity	掘削泥水の比抵抗。比抵抗や導電率の測定を目的とする検層において、データの補正に必要。
泥水分離	でいすいぶんり	slurry separator	泥水シールド工法において、流体輸送された排泥水が泥水処理プラントで土砂と泥水に分離されること。
泥水掘り	でいすいぼり	mud drilling	泥水を送水しながら行う掘削、あるいはボーリング。
泥水ポンプ	でいすいぼんぷ	mud pump, slush pump	ロータリー掘削において、掘削泥水を孔内に循環させるための大型・高圧のピストンポンプ。
泥水用粘土	でいすいようねんど	clays for drilling mud	ボーリングで用いられる掘削泥水の粘性や潤滑性などの基本性状を得るために使用する粘土材料。
低水量	ていすいりょう	low water	1年のうちで275日はそれ以上を示す河川流量。低水流量ともいう。
泥水ろ過試験 (泥水濾過試験)	でいすいろかしけん	filtration test	泥水の脱水量と泥壁の厚さを調べるために行う試験。
泥水ろ過水	でいすいろかすい	mud filtrate water	孔内の泥水が周辺に浸透する場合、泥壁で泥分がろ過される。このろ過され、孔周辺に広がっていく水。
ディスペンサー	でいすぺんさー	dispenser	液体の計量装置の一種。
底生生物	ていせいせいぶつ	benthos	水底にすむ生物の総称。岩や砂泥の表面で生活する表生動物と、内部にすむ内生動物とに分けられる。
定性分析	ていせいぶんせき	qualitative analysis	試料を構成する元素や官能基、化合物の種類を同定する分析法の総称。半定量の機器分析法も多用される。
定積土	ていせきど	sedentary deposit	生成位置にとどまっている土。運積土の対語。成因により残積土と植積土に分けられる。

底設ゲート	ていせつげーと	bottom gate, bottom valve	ダム底部付近に設置したゲート.
底設スルースゲート	ていせつするーすげーと	bottom sluice gate, ground sluice gate	ダム底部に設置した, 鉛直戸当りを滑動して上下動するゲート.
底設導坑	ていせつどうこう	bottom drift	著しい地質の変化や不時の出水の恐れがある場合などに, トンネル掘削断面下部中央付近に先進させる導坑. 断面形状が大きい場合にも適用される.
底設導坑先進上部半断面工法	ていせつどうこうせんしんじょうぶはんだんめこうほう	bottom drift method, bottom heading method	底設導坑を先行掘進させた後, 上部半断面を切り上げて掘削するトンネル掘削工法.
汀線	ていせん	shore line	海面と陸地の接する境界線. 潮位や波浪によって上下に変動し, 満潮時の汀線は高潮汀線と呼ばれる.
汀線堆積物	ていせんたいせきぶつ	beach sediments	汀線付近に分布する堆積物. 一般に, 河川堆積物に比べて分級度・円磨度が高いなどの特徴がある.
低騒音低振動杭工法	ていそうおんていしんどうくいこうほう	prevention against vibration and noise	騒音振動の少ない杭打設工法. 場所打ち杭や埋込み杭, 改良型杭打ち機による打撃工法など.
低速層	ていそくそう	low velocity layer	地表付近など低い地震波速度値の地層. 低速度層ともいう.
定速度貫入試験	ていそくどかんにゆうしけん	constant rate of penetration test	一定の貫入速度で平板を押し込むことにより, 土の極限支持力を求める試験.
低速度帯	ていそくどたい	low velocity zone	弾性波探査で検出される周辺の速度帯よりも低い速度を示す区間. 一般に断層や破砕帯に対応する.
ディタート試験	でいたーとしけん	Dietert test	土の締固め特性に関する試験. 現在は使用されていない.
堤体	ていたい	levee body, dam body	ダムの本体.
堤体荷重	ていたいかじゅう	load of dam body	フィルダムの底設監査廊の応力解析などに用いられる堤体自重による上載荷重.
堤体観測装置	ていたいかんそくそうち	dam body monitoring equipment	施工中の施工管理, 完成後の安全管理, 設計の高度化, 貯水池操作を目的として堤体に設置される観測装置. 埋設計器と観測計器がある.
堤体基礎	ていたいきそ	dam foundation	ダム構造物が直接のる地盤・岩盤.
堤体材料	ていたいざいりょう	embankment material	フィルダム築堤用の材料.

堤体震度	ていたいしんど	seismic coefficient of dam	ダムの地震時安定計算に用いる設計震度.
停滞水	ていたいすい	stagnant water	溶存酸素の少ない強固な成層水で、外海との水交換の少ない閉塞湾や潟の低層水に発達. この環境下では硫化水素の発生がみられ、黒色泥が生ずる.
堤体積	ていたいせき	volume of dam	ダム本体の体積.
定体積一面せん断試験	ていたいせきいちめんせん断しけん	constant volume box shear test	拘束圧を制御して供試体の体積を一定に保ちながら一面でせん断し、せん断応力とせん断変位の関係および強度定数を求める試験.
泥炭	でいたん	peat	樹木・草木類および藻類・こけ類などが嫌気性の環境の下に堆積し、ある程度に生化学的分解を受けたもの. 湖沼や後背湿地などに堆積した有機物を20~30%以上含む土.
泥炭(土壌)	でいたん(どじょう)	peat	一般にほとんど有機物からなる未分解で繊維質な土壌.
泥炭質土	でいたんしつど	peat soil, humit soil	一般に有機物含有量が50%以上の土壌.
泥炭性軟弱地盤対策工指針	でいたんせいなんじゃくじばんたいさくこうししん	guidelines on construction measures on peaty soft ground	泥炭性の軟弱地盤上に道路を建設する場合、その調査・設計・施工・維持について、方針と方法を示したもの.
泥炭層	でいたんそう	peat bed	未分解の有機物に富む地層. 湖沼などに生育する植物遺体などが還元状態で堆積したもので、冷温下に多い.
低断層崖	ていだんそうがい	fault scarplet	断層変位による崖地形を表す用語の一つで、断層運動により地表に生じた崖地形のうちの比高が数10m以下で明瞭な崖地形を有する断層崖のこと.
泥炭地	でいたんち	peat bog, peatland, fen, mire, moss	過去の湖沼や川辺などの湿地で繁茂した植物が水面下の還元環境で保存・累積してできた泥炭が分布する地域.
泥炭土	でいたんど	peat soils	泥炭層・亜泥炭層・黒泥層が何層も重なって構成されたもので有機質に富んだ土壌.
低地	ていち	lowland	まわりよりも相対的に低い土地. また、平野と同じ意味の用語として用いることがある.
底置層	ていちそう	bottomset bed	三角州の基底をなす泥質層. 三角州の前置斜面沖側の水平な細粒堆積物で、三角州堆積物の基底に分布する. 三角州の成長につれ、より新しい前置層により覆われる. 基底層ともいう.
低地ポドソル	ていちぼどそる	depression podzol	主にカナダの草原排水不良低地に分布し、酸化物が溶脱されたA2層と粘土含量の多いB層を有する土壌.
定着鉄筋	ていちゃくてつきん	anchor bar	コンクリート構造物を結合させるための鉄筋.

堤長	ていちょう	length of crest, crest length	ダム軸線沿いに測ったダム本体堤頂の展開長さ.
堤頂	ていちょう	top of dam	手すり, 高欄などを除くダムの天端.
低潮線	ていちょうせん	low water line	干潮の時の海面と浜の交わる線のこと.
堤頂長	ていちょうちょう	crest length	堤長と同義.
低潮汀線	ていちょうていせん	low-tide shoreline	低潮時に陸地と水面が交わる線. 平均的な干潮時の水面と浜との交線のこと.
堤頂幅	ていちょうはば	top width	天端でのダム軸直交方向の幅. 一般にフィルダムの堤頂に対して用いられ, 重力ダムやアーチダムでは堤頂厚という.
ディッカイト	でいっかいと	dickite	$Al_2Si_2O_5(OH)_4$. 単斜晶系. 硬度2~2.5. 比重2.6. 粘土鉱物の一つで, カオリナイト・ハロイサイトと同じ1:1構造をもつ. 熱水作用により生成される.
ディップアンドフォールト構造	でいっぷあんどふおーるところぞう	dip and fault structure	砂岩のような剛性の高い地層が地すべり斜面に沿って傾く時, 反対方向に傾くいくつもの正断層を生じる構造.
ディップシューティング	でいっぷしゅーていんぐ	dip shooting	一つの爆発点の記録から反射面の深さや傾斜を求める地震探査法.
ディップスリップ	でいっぷすりっぷ	dip slip	傾斜スリップと同義.
ディップメータ	でいっぷめーた	dipmeter	坑井内の地層の走向傾斜, 坑井自体の傾斜と方位を測定する装置.
底泥	ていでい	cohesive bottom sediment	水底表面に堆積する未固結の細粒堆積物. 流れにより沈降・浮上を繰り返す, 水質および生態系に影響をおよぼす.
定動水勾配圧密試験	ていどうすいこうばいあつみつしけん	constant hydraulic gradient consolidation test	急速圧密試験法の一つで, 供試体内部の間隙水圧の勾配を常に一定に保つように荷重を増加させていく試験.
泥土加圧式シールド工法	でいどかあつしきしーるどころほう	mud shield method	チャンバー内で土砂と添加材を攪拌翼で強制的に練混ぜて泥土を作り, この泥土の泥土圧で切羽安定と止水を行うシールド工法.
泥土処理	でいどしより	muddy muck treatment	土圧系シールドの掘削土砂の処分方法. 天日乾燥, セメント・石灰系添加材, 高分子系添加材処理などがある.
堤内仮排水路	ていないかりはいすいろ	temporary hole located at joint between blocks for passage of river flow	河流処理のためコンクリートダムの堤体内の河床付近に設けるトンネル.

手稲鉱山	ていねこうざん	Teine mine	札幌市西区の浅熱水性多金属型鉱床を採掘した鉱山。1893年発見。金9t, 銀130t, 銅6.6万t産出。1971年閉山。
底盤	ていばん	batholith	大規模な花崗岩類の岩体で、地表への露出面積が概ね100km ² 以上のもの。多くは複合岩体からなる。
定半径アーチダム	ていはんけいあーちだむ	constant radius arch dam	アーチ要素の曲率半径がダムの各標高においてほぼ一定となる形状のアーチダム。
定ひずみ速度圧密試験	ていひずみそくどあつみつしけん	constant strain rate consolidation test	急速圧密試験法の一つで、供試体の圧縮ひずみ速度を一定に保つように荷重を加減しながら加える試験。
ディファレンシャルγ線検層	でいふあれんしゃるがんにせんけんそう	differential gamma ray logging	自然ガンマ線をそのエネルギーレベル毎に分けて計測する検層法。γ線スペクトル検層と同義。
底部浸食	ていぶしんしょく	stream bed erosion	流砂能力に見合った土砂供給のない場所に発生し、河床が洗掘されること。
底部モレーン	ていぶもれーん	ground moraine	氷河の底部で形成された岩屑や割れ目から供給された氷堆石物質の堆積物からなる。底堆石ともいう。
泥分含有量	でいぶんがんゆうりょう	mud content in sand	砂に含まれる泥土量（洗い試験で74μmふるいを通した量）を百分率で表したもの。
泥壁	でいへき	mud cake	泥水の使用によってボーリング孔に形成される泥の壁。掘進中の保孔対策の一つ。
泥壁補正	でいへきほせい	mud cake correction	検層結果に対して、泥壁の厚さ、比抵抗、および密度などを基に行う補正。
堤防	ていぼう	levee	主として河川の流水による氾濫を防ぐ構造物。一般には河川の両岸に作られる。
定方位試料	ていほういしりょう	oriented sample	原位置における方向性を復元できるように、採取の際に方位を記録した岩石および土の試料。
定方位標本	ていほういひょうほん	oriented sample	露頭における配置・方位がわかるように印をつけた標本。岩石磁気学の岩石標本や古生物学の化石標本など。
底面すべり	ていめんすべり	basal sliding	氷河が底面で岩盤上をすべる現象。底面すべりが可能なのは、氷河底面の氷が圧力融解温度にある時に限られる。
低有機質土	ていゆうきしつど	lowly organic soil	一般に有機物含有量が5～50%の土壌。対語は高有機質土。
テイラー級数展開	ていらーきゅうすうてんかい	Taylor's series	ある関数を独立変数の一定値を中心にそこでの導関数の値を係数に用いた形式的無限べき級数に展開すること。

ティラノサウルス	ていらのさうるす	<i>Tyrannosaurus</i>	竜盤目獣脚亜目ティラノサウルス科の大型肉食恐竜。二足歩行，体長約5m，体重約7トンと推定される。
泥流	でいりゅう	mudflow	水分を含んだ泥質物が斜面を流下する現象。大雨などの後の崩壊現象の一種（土石流とは異なる）。
泥流型土石流	でいりゅうがたどせきりゅう	mudflow type debris flow	多量の水分を含んだ泥質物と多くの岩屑とが急激に斜面を流下する現象。泥流と土石流の中間型のタイプ。
泥流丘	でいりゅうきゅう	mudflow hill, flow mound	火山泥流の流れの中に，岩塊や土砂が固まったり押し上げられてできた小高い丘。流れ山ともいう。
泥流堆積物	でいりゅうたいせきぶつ	mudflow deposits	泥流として移動し，定着した堆積物。内部構造は無層理で，大小の礫を不規則に混入する。
定量分析	ていりょうぶんせき	quantitative analysis	試料を構成する元素や官能基，化合物の量を求める分析の総称。多様な機器分析法が開発されている。
ティル	ている	till	氷河流動により直接形成された堆積物の総称。一般に大小様々な岩屑からなり，層理を示さない。
ティルファブリック	ているふあぶりつく	till fabric	岩屑の軸別の方位・傾斜角から見た堆積構造。氷河の流動方向や運搬・堆積過程を解明するために調べる。
テーズウェル亜氷期	てーずうえるあひょうき	Tazewell glacial substage	北米大陸のウィスコンシン氷期後期の亜氷期の一つ。ヨーロッパのウルム氷期に対比される。約1.8万年前。
データバンク	でーたばんく	databank	データベースのこと。コンピュータを利用して，データの論理的な保管や検索，出力を行えるデータ群。
データロガー	でーたろがー	datum logger	変位・ひずみなどの電気信号を数値データに変換して記録する装置。
テチス海	てーちすかい	Tethys sea	テチス海と同義。
テーパードコアビット	てーぱーどこあびつと	tapered core bit	ノンコアリングビットの一種で，先端からリーミングシェルに向かって口径が円錐状に大きくなっているもの。
テーブル海山	てーぶるかいざん	table seamount	水深が200mに達しない比較的平坦な海山。
テーブル浮選	てーぶるふせん	table flotation	振動するテーブル上で，流体と共に移動する粒子が水の表面張力によって分離することを利用した浮遊選鉱。
テーブルマウンテン統	てーぶるまうんてんとう	Table Mountain series	南アフリカのケープタウンに発達する上部シルル～下部デボン系の砂岩・珪岩からなる地層。

テラス	てーらす	talus, talus cone	崖錐. 重力の作用で急斜面上の土石が斜面下に落下して形成した円錐状の地形.
テールアルメ工法	てーるあるめこうほう	reinforced earth walls	鋼製の帯状補強材と, コンクリートや鋼製の壁面材からなる補強盛土工法. 急勾配の盛土が可能.
テールクリアランス	てーるくりあらんす	tail clearance of shield	シールド工法におけるセグメント外径とスキンプレート内径との差.
テールシール	てーるしーる	tail seal	シールド工法で, セグメントとスキンプレートのすき間から土砂や裏込め材の流入を防止するためのシール.
テールパッキング	てーるぱっきんぐ	tail packing	裏込め材の流入防止のため, テールシール部に挿入するウェスをいう. 最近はほとんど用いない.
テールボイド	てーるぼいど	tail void	テールクリアランスとテールプレート厚を加えたセグメント外側にできるすき間. 裏込め材が注入される.
デカップリング係数	でかっぷりんぐけいすう	decoupling coefficient	発破孔の半径を r_b , 爆薬の半径を r_c としたときに $D_e = r_b / r_c$ で表される値. この値が大きいほど発破の効果は小さくなる.
適応放散	てきおうほうさん	adaptive radiation	同一系統の生物が種々の環境に適した機能上の分化を起こし, 多数の異なった系統に分化していく現象.
適従河川	てきじゅうかせん	subsequent stream	地質構造の弱線部を浸食して流れる河川. 四国の吉野川, 紀伊半島の紀ノ川, 新潟・長野の姫川など.
適従谷	てきじゅうこく	subsequent valley	地質構造の弱線に沿って浸食が進み, 形成された谷. 断層破碎帯や, 堆積岩の走向に沿うものが多い.
テキスタイルフォーム	てきすたいるふおーむ	textile form	小孔のあけられた型枠の内面に透水性の織布を張りつけた商品. コンクリート中の気泡や水分の排出により, アバタの除去, コンクリートの品質向上の効果がある.
適正浸透量	てきせいしんとうりょう	optimum quantity of percolation	植物などの育成のために適正な地表からの浸透量.
適正揚水量	てきせいようすいりょう	permissible yield	地域生活の観点から, 水収支などを考慮した上での許容できる地下水の揚水量.
テクスチャ解析	てくすちやかいせき	texture analysis	リモートセンシングにおいて, 画像上のキメの違いにより, 岩相を区分する手法.
テクタイト	てくたいと	tektite	外見・化学組成が黒曜石に似た天然ガラス質物質. 宇宙からの飛来物や地球の岩石起源などといわれている.
テクト珪酸塩	てくとけいさんえん	tectosilicate	珪酸塩鉱物分類名の一つで最も結合の進んだもの. 珪酸塩鉱物は珪素酸素四面体相互の結合の型によって, 6種類に分類される.

テクトジーン	てくとじーん	tectogene	海溝に沿う負の重力異常帯形成機構。地殻の座屈によるとの説に対し、海溝部の座屈の存在に否定的見解もある。
テクトスフェア	てくとすふえあ	tectosphere	上部マントルのうち、酸化マグネシウムに富んだ密度の小さい厚さ400km程度の部分。大陸地殻の下に存在する。
テクトナイト	てくとないと	tectonite	組織・構造が全体として定向性を示す岩石。模写テクトナイト・初生テクトナイト・二次テクトナイトがある。
テクトニクス	てくとにくす	tectonics	構造地質学。地球科学における変動論・変動学を取り扱う学問。地殻の大規模な構造や変動に関する研究分野。
テクトニックコラージュ	てくとにつくこらーじゅ	tectonic collage	ある地域が複数のテレーンの不規則な集合体からなる場合、その集合体をテクトニックコラージュという。
テクトニックストレス	てくとにつくすとれす	tectonic stress	造構応力と同義語。
テクトニックセッティング	てくとにつくせつていんぐ	tectonic setting	ある特定の構造場に、特徴的な地球科学的性質を持った地質体（地質单元）の組合せとそれらの相互関係。
テクトニックフラクチャリング	てくとにつくふらくちやりんぐ	tectonic fracturing	構造運動による岩石や岩盤の破碎現象。石油やガスの貯留、熱水や地下水の胚胎などに好条件となる。
テクトニックマップ	てくとにつくまっぷ	tectonic map	地質構造図と同義語。
テクトノスフェア	てくとのおすふえあ	tectonosphere	地球内層部において最も表面に近く、地殻変動が起こるところ、または地殻変動の調節が行われるところ。
テクトノフィジクス	てくとのおいじくすくす	tectonophysics	地質構造の形成機構を物理学的に明らかにすることを目的とした学問分野。
テクトファシス	てくとおあしす	tectofacies	層位学的には同じ地層で、異なる構造地質学的特徴や地層の水平方向に変化する構造的特徴を持つ。構造相。
テクノロジーアセスメント	てくのろじーあせすめんと	technology assessment	経済合理主義の観点から、巨大科学技術開発の是非に対して総合的全面的な評価を行うこと。
デクレピテーション温度	でくれびてーしょんおんど	decrepitation temperature	鉱物を加熱して含まれる流体包有物の温度を上げると内部の圧力が上昇して鉱物にひびが入る。この時の温度。
デコルマン	でこるまん	decollement	ある地層が下位の地層と分離し、下盤と無関係に変形している地質構造。衝上断層や層内褶曲を生じる。
デコンボリューションフィルタ	でこんぼりゅーしょんふいた	deconvolution filter	地下を伝わる基本波形の逆特性を持つフィルタ。地下の反射係数列を得るために用いる。

デシケーター	でしけーたー	desiccator	シリカゲルなどの乾燥剤を入れて使用するガラス製の乾燥器。
デジタイザー	でじたいざー	digitizer	座標測定装置。図形あるいは画像をデジタル化する装置。
デジタル映像処理	でじたるえいぞうしより	digital image processing	デジタル画像を対象として、コンピュータ上で実施する画像処理。アナログ処理に比べ編集処理が容易。
デジタル化	でじたるか	digitization	アナログ信号を一定間隔でサンプリング（標本化）および量子化して、離散的な数値データに変換すること。
デジタル画像	でじたるがぞう	digital image	画像情報をコンピュータで情報処理が可能となるようなデジタルデータ（数値データ）として記録したもの。
デジタル強震計	でじたるきょうしんけん	digital strong-motion seismograph	地震動があるレベルに達した時に記録を開始する強震計のうちデジタル記録方式を採用しているもの。
デジタル信号	でじたるしんごう	digital signal	主にコンピュータで扱う信号でon/offの2値で表される信号。
デジタル地形図	でじたるちけいず	digital terrain map	等高線などの地形情報がデジタル化された地形図。
デジタル地図情報	でじたるちずじょうほう	digital map information	地図上の位置を、ある地点を基準とする座標系を用いて表示し、その属性を数字で表現した地図（数値地図）に含まれる情報。
デジタル標高モデル	でじたるひょうこうもでる	digital elevation model	デジタル化された標高データから作られる標高モデル。地形を三角形の平面(TIN)やメッシュで近似する。
デジタルフィルタ	でじたるふいるた	digital filter	波形のフィルタ操作を数値計算処理で行うもの。
デシベル	でしべる	decibel	①信号の強度比あるいは振幅の比を表す単位。 ②人の聞こえる最も小さい音の大きさを0としたときの音の大きさの単位。 いずれもデシベルあるいはdb(dB)と表す。音圧レベル参照。
テストピット	ですとぴっと	test pit	地表面に露出しない地層を観察するために掘削する縦穴。第四系の調査で用いられることが多い。
テストボーリング	ですとぼーりんぐ	test boring	主に土壌または風化岩の物性を調査するため回転式あるいはドライブサンプリング装置を用いてのボーリング。
テストホール	ですとほーる	test hole	地盤の構造・物性を調査するために、機械器具を用いて掘削されたボーリング孔。
デスモスチルス	ですもすちるす	<i>Desmostylus</i>	東柱目デスモスチルス科の一属で、中新世前～中期の北太平洋沿岸に生息。円柱を束ねたような特異な歯が特徴。

デスモセラス	ですもせらす	<i>Desmoceras</i>	白亜紀のアプチニアン～セノマニアンに生息したアンモナイト類デスモケラス科の模式属。日本にも多産。
テスラ	てすら	tesla	国際単位系(SI)における磁束密度の単位。1ウェーバの磁束が1平方メートルに一様に分布する時の磁束密度。
手選	てせん	hand picking	鉱石または石炭の選鉱・選炭法の方法のうちの主として外観で人手によって行う選別法。
デタッチメント断層	でたちめんとだんそう	detachment fault	低角度の断層で、上盤側が褶曲などにより変形しているのに対し、下盤側が非変形の断層。
テチス海	てちすかい	Tethys sea	北方をローラシア大陸、南方をゴンドワナ大陸に挟まれた東西方向にのびた古生代後期に出現した海。地中海の前身。
鉄隕石	てついでんせき	iron meteorite	主としてFe-Niからなる隕石のこと。ニッケルの含有量と鉱物学的特徴から分類される。隕鉄・鉄質隕石ともいう。
デッカナビゲーターシステム	でっかなびげーたーしすてむ	decca navigator system	電波航法の種類。主従局からの持続波の位相差から位置を求める。現在はGPSに替っている。
鉄管路	てっかんろ	steel penstock	水力発電所の水圧管路。
鉄筋計	てっきんけい	stress meter for reinforcement, reinforcing bar stress transducer	鉄筋コンクリート構造物の鉄筋に溶接して、鉄筋に加わる応力を測定する計器。
鉄筋コンクリート	てっきんこんくりーと	reinforced concrete	引張力に強い鋼材をコンクリートとともに用いて圧縮・引張双方に強いように作られた構造用材料。
鉄筋コンクリート杭	てっきんこんくりーとぐい	reinforced concrete pile	基礎杭のうち、鉄筋コンクリートを材料とするもの。比較的大きな耐力を必要とする場合や、地下水の低い場合に有効。
鉄筋コンクリート土留め支保工	てっきんこんくりーとどどめしほこう	reinforced concrete earth-retaining support	掘削深が大きい場所や掘削形状が複雑な場所に用いられる土留め支保工。
鉄筋挿入工法	てっきんそうにゆうこうほう	soil nailing method, steelbar insertion method	切土のり面を対象とした補強土工法の種類。鉄筋などの補強材を地中に配置して地盤を補強し安定性を改善する。
鉄筋付着係数	てっきんふちやくけいすう	steel-concrete bond coefficient	鉄筋とコンクリートの付着強度と、それを決定する諸条件との関係を示す数。
デッケ	でっけ	nappe	デコルマンの一形態で、横臥褶曲や衝上断層により遠方より滑動してきた異地性の大きな岩体。ナップと同義。
デッケ山地	でっけさんち	nappe, decke mountain	造山運動によってできる横臥褶曲や押し被せ断層により形成された山地。

鉄建式動的コーン貫入試験	てっけんしきどうてきコーンかんにゆうしけん	Japan Railway Construction Corporation's method of cone penetration test	先端にコーンを装着し、63.5kgのハンマーを75cmの高さから落下させ30cmの貫入に要する打撃回数Ndを求める。
鉄鉱床	てつこうしょう	iron deposit	鉄の原料となる鉱物を含む鉱床。主要鉄鉱物によって赤鉄鉱・磁鉄鉱・褐鉄鉱・硫化鉄鉱床などに分けられる。
鉄質隕石	てつしついんせき	irony meteorite	隕石の化学組成がほぼFe-Ni合金からなる隕石グループ。
鉄泉	てっせん	iron spring	湧水1kg中にFe ²⁺ またはFe ³⁺ を20mg以上含むもの。炭酸鉄泉・緑ばん泉・塩化物含有鉄泉の3種がある。
鉄道トンネル	てつどうとんねる	railway tunnel	使用目的で分類した場合の、軌道上を走行する鉄道交通用の専用トンネル。
鉄盤層	てつばんそう	iron pan	主に酸化鉄により固結されている土壌層であり、比較的堅硬であるので、水浸や植物根の発達を妨害しやすい。
鉄平石	てっぺいせき	Teppeiseki	長野県諏訪地方に産する石材。板状節理の発達した鮮新統両輝石安山岩。化粧石や敷石として用いられる。
鉄砲水	てっぽうみず	flash flood	豪雨の際にいったん山崩れなどにより堰き止められた水が、土砂とともに一挙に流れ下る現象。
鉄砲割り	てっぽうわり		岩石の大塊を割れ目沿いに小割りする発破方法で、割れ目に爆薬を装填して発破する。
鉄マンガン重石	てつまんがんにじゅうせき	wolframite	(Fe, Mn)WO ₄ 、単斜晶系の鉱物。硬度4～4.5。比重7.0～7.5。タングステンの最も重要な鉱石鉱物で、ときどき弱い磁性を有する。
テトラクロロエチレン	てとらくろろえちれん	tetrachloroethylene	常温で無色・不燃性の液体で、金属を侵さず、洗剤や脱脂の溶剤として利用される。発癌性の疑いがある。
テトラポッド	てとらぽっど	tetrapod	海岸堤防や護岸などにおいて、波高や波圧を低減させる目的で設置する消波ブロックの一種。
手取層群	てとりそうぐん	Tetori Group	福井・石川・富山・岐阜県にわたって分布するジュラ～白亜系。砂岩・礫岩・頁岩からなる。植物化石を産する。
デニソン型サンプリャ	でにそんがたさんぷら	Denison type sampler	内管と外管がボールベアリングにより分けられた二重管構造のサンプリャ、硬質粘土試料の採取に用いられる。
テネシー統	てねしーとう	Tennesseeian series	北米内陸地域の下部石炭系の上で海退期相の陸源粗粒碎屑岩を伴う。炭田開発のキーベッド（鍵層）を挟在する。
テフラ	てふら	tephra	火山噴火によって空中に放出される火山碎屑物（火山灰など）の総称で、火山の活動期の重要な指標となる。

テフライト	てふらいと	tephrite	曹灰長石～亜灰長石・かすみ石などを主成分鉱物とする完晶質斑状アルカリ玄武岩。
テフラ年代学	てふらねんだいがく	tephrochronology	火山灰の年代測定に関する学問。特に広域テフラの年代を求め、地層の対比などに利用されている。
デブリ	でぶり	debris	岩屑。風化分解により生成され、特に斜面上では不安定化しやすい。土石流の要因となる。
デブリアバランシュ	でぶりあばらんしゅ	debris avalanche	火山体の不安定な部分が高速度で斜面を落下する現象。岩屑なだれともいう。運搬機構に水は寄与しない。
デフレーション	でふれーしょん	deflation	乾燥地域において、機械的風化作用により生成された岩屑などの細粒物質が風によって運搬される作用。
デフレクタ	でふれくた	deflector	洪水吐の壁面や底面。放流管壁面などに設置して流水の流向を変更させる装置、あるいは構造物。
テフロクロノロジー	てふろくろのろじー	tephrochronology	テフラ年代学と同義語。
手掘り	てぼり	manual excavation	人力によって地山を掘削することをいう。用いる工具もブレイカなどの簡易な掘削機械や手掘り用工具など。
手掘り井戸	てぼりいど	dug-well	掘削機などを使用せず、人力作業で掘った井戸。井戸まわりはコンクリート管や石積み、または素掘りが多い。地質条件によるが井戸深度は数m～十数m程度が一般的である。
手掘りシールド	てぼりしーるど	manual excavation shield, hand-mined shield	掘削を人力で行うシールド。土質の変化やトラブルに容易に対応できるが適応土質が制限され施工速度が遅い。
デボン紀	でぼんき	Devonian (period)	中期古生代における約4億900万年～約3億6300万年前の時代。
デボン系	でぼんけい	Devonian (system)	デボン紀に堆積した地層の総称。
デュアルスペーシング検層	でゅあるすぺーしんぐけんそう	dual spacing logging	ボーリング孔のγ線を用いた密度検層において、2個の検出器を用い孔径の乱れを自動的に補正する方法。
デュプレックス	でゅーぷれっくす	duplex	造山帯・付加体などで地層が水平方向に短縮する際に、しばしば形成される小規模な逆断層が次々と重ね合わさった構造のこと。
デュプイ近似	でゅぷいきんじ	Dupuit's assumptions	不圧地下水の流れを考えるとときに、鉛直方向の流れが存在しないとする仮定。一般には、(1)流線は水平でかつ等水頭線は鉛直である。(2)動水勾配は不圧地下水面の勾配に等しい、とされている。
デュプイェーフォルヒハイマーの仮定	でゅぷいゑふおるひはいまーのかてい	Dupuit-Forchheimer assumption	不圧水の定常的な流れにおいてはダルシーの法則が成立し、不透水層に平行で均一な流れとする仮定。

デュリクラスト	でゆりくらすと	duricrust	熱帯，亜熱帯，乾燥地域に分布する，塊状または固結した風化生成物．風化硬盤と呼ぶ．
寺尾地すべり	てらおじすべり	the Terao landslide	1961年に静岡県蒲原郡由比町寺尾で災害を引き起こした地すべり．由比地すべりの一つ．第三紀層地すべり．
照来層群	てらぎそうぐん	Teragi Group	兵庫県北西部～鳥取県東部の上部中新～鮮新統．下部は主に流紋岩，中部は礫岩・泥岩，上部は安山岩質の火山岩類．
寺島層群	てらしまそうぐん	Terashima Group	長崎県松島炭田に分布する古第三系．砂岩・泥岩で，時に礫岩を含む互層よりなる．薄炭層を挟む．
寺泊層	てらどまりそう	Teradomari formation	新潟県中部に分布する第三系中部中新統上部～上部中新統．三島郡寺泊町付近を模式地とする．海成で黒色泥岩・泥岩と凝灰質砂岩との互層などからなる．
寺泊油田	てらどまりゆでん	Teradomari oil field	新潟県の西山産油・ガス地帯中の油田の一つ．新潟県寺泊町に位置し，寺泊背斜の新第三系寺泊層の砂岩，凝灰岩に胚胎．
テラノドン	てらのどん	<i>Pteranodon</i>	プテラノドンと同義．
寺野変成岩類	てらのへんせいがん るい	Terano metamorphic rocks	西南日本外帯の黒瀬川構造帯に産する変成岩類．片麻岩・角閃岩を主とし風化帯は山腹崩壊を生じやすい．
テラロッサ	てらろっさ	terra rossa	主にFe・Alの水酸化物と粘土からなる石灰岩を母材として生成された特有の土壌．色は濃紅色．
デルタ	でるた	delta	三角州と同義．
デルタ地向斜	でるたちこうしゃ	delta-geosyncline	M. Kay (1942)が命名したパラ地向斜の一種で，クラトンの縁にある．後にエクソ地向斜と名称を変えた．この用語は現在では使われない．
デルタ面	でるためん	delta plain	デルタ（三角州）の最上面で，デルタが成長している場合は，頂地層で覆われることが多い．
テルツァーギ	てるつぁーぎ	Terzaghi Karl	著名な土質力学の研究者(1883～1963)．圧密理論の発表など土質力学の発展に多大な功績を残した．
テルツァーギ解	てるつぁーぎかい	Terzaghi's solution	テルツァーギが1943年に発表した連続フーチングの極限支持力に対する解法．
テルツァーギの圧密理論	てるつぁーぎのあつ みつりろん	Terzaghi's consolidation theory	テルツァーギが1924年に発表した圧密理論．圧密沈下の時間的経過を熱伝導型のモデルにて表現した．
テルツァーギの式	てるつぁーぎのしき	Terzaghi's formula	地盤の支持力を静力学的に求める公式．支持力を粘着力・自重および上載圧の三つの項の和として表わす．

テルツァーギモデル	てるつぁーぎもでる	Terzaghi's model (of consolidation)	テルツァーギの圧密理論を説明した粘土の骨格構造を、ピストンとスプリングで表現した力学モデル。
テルル化鉍物	てるるかこうぶつ	telluride	金属元素とテルルを含む化合物からなる鉍物。例えばヘッサイト (hessite, Ag_2Te)。
テルル化銅	てるるかどう	copper telluride	銅のテルル化鉍物。リカルダイト (richardite, Cu_4Te_3) とワイサイト (weissite, Cu_5Te_3) がある。
テルル金銀鉍	てるるきんぎんこう	gold and silver tellurides	金銀のテルル化鉍物。ペツァイト (petzite, Ag_3AuTe_2) , シルバナイト (silvanite, $(\text{Au}, \text{Ag})\text{Te}_2$) が代表的。
テルル金銀鉍床	てるるきんぎんこうしょう	gold-silver deposit containing tellurides	金・銀鉍床の中で、金銀鉍物としてテルル化金銀鉍を含むことを特徴とする。北海道の手稲鉍床が代表例。
テルル銀鉍	てるるぎんこう	tellurids of silver	銀のテルル化鉍物。ヘッサイト (hessite, Ag_2Te) が代表例。金含有量が多くなるとペツァイトに移行する。
テルル金鉍床	てるるきんこうしょう	Te-type gold deposit	エピサーマル金鉍床の一つのタイプ。銅、ビスマス鉍化作用を伴う。他の一つはセレンタイプ金鉍床。
テルル鉍床	てるるこうしょう	Tellurium deposit	スカルン鉍床や熱水鉍床などで金銀銅に伴って産出する鉍床。
テルロメータ	てるろめーた	tellurometer	電波測距儀の一種。商品名。現在は光波測距儀の普及により余り利用されない。
テレーン	てれーん	terrane	周囲が断層で境され、地質学的にまとまりを持った地層や岩体の集合体。例えば美濃テレーンなど。
テレスコピックケーシング	てれすこびっくけーしんぐ	telescopic casing	地盤中の孔の崩壊を防止するために用いられるケーシングの一種。携帯望遠鏡の様に伸縮が自由。
テレメータ	てれめーた	telemeter	遠隔計測器。遠隔地の観測点から電送などにより各種データを収集する機器。
転圧	てんあつ	rolling compaction	敷きならされた盛土材料を機械によって重量や振動を与え、密度の緩い状態を密な状態へ締固めること。
転圧機械	てんあつきかい	roller	盛土材料を重量や振動により密な状態に締固めるための機械で、ロードローラや振動ローラなど。
転圧コンクリート舗装	てんあつこんくりーとほそう	roller compacted concrete pavement	コンクリートを表層とする舗装で、ローラや締固め機械で固練りのコンクリートを転圧して仕上げるもの。
転圧試験	てんあつしけん	rolling compaction test	施工方法 (転圧機械、まき出し厚、転圧回数など) を検討するために行う現場締固め試験。

転圧特性	てんあつとくせい	behavior of rolling compaction	転圧回数と地盤の沈下量の関係より求められる転圧の効果を表す地盤の性状。締固め特性と類似。
電圧比法	でんあつひほう	potential-drop-ratio method	地盤に交流を流し、一直線上の3本の電位電極の二つの区間の電位差から比抵抗を求める電気探査法。人工電位法の一つ。
転圧盛立て	てんあつもりたて	compaction by rolling, rolling compaction	ローラーその他の締固め機械を用いて築堤材料を転圧すること。
転圧ロックフィル	てんあつろっくふいる	compacted rockfill	ダンプしたロック材料を敷均し、ローラーなどの締固め機械で転圧する工法。またはその工法で施工されたロックゾーン。
転位	てんい	dislocation	結晶学で格子欠陥の一種。
転位	てんい	transposition	構造地質学用語。ある構造面がほかの構造面に沿う運動で変位していること。
電位傾度法	でんいけいどほう	potential gradient method	測線の一端と遠電極間に電流を流した状態で、測線上を間隔一定の2つの電位電極を移動させて電位傾度を順次計測する方式の水平探査法。人工電位法の一つ。
電位差計	でんいさけい	potentiometer	電気探査で、自然電位測定や直流法の電位差測定など2点間の電位差を測定する計器。
電位電極	でんいでんきょく	potential electrode	地表または地中の2点間の電位差を計測するための接地電極。
電位法	でんいほう	potential method	地表などで電位を測定して地下構造を探査する電気探査法の総称。自然状態の電位を測定する自然電位法と人工的に電流を流して測定する人工電位法がある。
電解質	でんかいしつ	electrolyte	溶液中でイオンに分かれる性質をもった化合物。電解質は水やアルコール等で電離できるが、多くは水溶液によってイオンに解離。
点荷重	てんかじゅう	point load	荷重の全てが接触点に集中してかかるもの。集中荷重ともいう。
点荷重強度指数	てんかじゅうきょうどしすう	point load strength index	点載荷強度と同義。
点荷重試験	てんかじゅうしけん	point load test	点載荷試験と同義。
点荷重指数試験	てんかじゅうしすうしけん	point load index test	点載荷試験と同義。
天下台山層群	てんかだいやまそうぐん	Tenkadaiyama Group	兵庫県相生市天下台山を中心に、岡山県東部に分布する白亜系の火山岩類。主に流紋岩溶岩および火山砕屑岩主体。

転岩	てんがん	drifted rock	氷河によって遠隔地から運ばれた岩石。かつて、流氷によって海から運ばれたことに由来する。
電気泳動	でんきえいどう	electrophoresis, cataphoresis	懸濁液中に電場が加わると、コロイド粒子が帯電の電荷と反対符号の電極に向かって移動する現象。
電気化学的固結工法	でんきかがくてきこけつこうほう	electro-chemical hardening method	電気浸透による脱水固化，電極のイオン化による固結作用によって地盤を固化する工法。
電気化学的処理工法	でんきかがくてきしよりこうほう	electro-chemical stabilization method	電気浸透工法，電気化学的固結工法および電気化学的薬液注入工法などの工法の総称。
電気化学的薬液注入工法	でんきかがくてきやくえきちゅうにゅうこうほう	electro-chemical grouting method	一方の電極の周囲に薬液を注入し直流電流を流すと電気泳動で薬液が浸透し固化する。粘土地盤でも改良可能。
電気計測式ひずみ計	でんきけいそくしきひずみけい	electrical strain gauge	電気量の変化から，ひずみ，変位，力などを求める装置の総称。
電気検層	でんきけんそう	electric logging	孔井内に電極を降ろして，地層に電流を流し，地層の比抵抗を測定して地下構造を推定する方法。
電気検層法	でんきけんそうほう	electric log method	孔井内に電極を降下し，地層に電流を流して地盤の比抵抗を連続的に測定する検層法。
電気削岩機	でんきさくがんき	electric rock drill	電気を動力とする打撃式削岩機をいう。採鉱・土木工事などで用いられる。
電気式間隙水圧計	でんきしきかんげきすいあつけい	electrical piezometer	間隙水圧を電気量に変換し，電気量の変化から間隙水圧を求めるもの。電気に変換するセンサとしては，ひずみゲージ，カールソン，しゅう動抵抗，差動トランスおよび振動弦などがある。
電気式静的コーン貫入試験	でんきしきせいてきコーンかんにゅうしけん	electric cone penetration test	地盤にコーンを静的に貫入させ，電氣的に先端抵抗と間隙水圧を測定する方法。三成分コーンとも呼ばれた。
電気集じん機	でんきしゅうじんき	electrostatic precipitator	空気中の粉じん（塵）などを電氣的に捕集する機械で，道路トンネル内の排ガスや煤煙を除くのに用いられる。
電気ショベル	でんきしょべる	electric shovel	電気を動力とする動力ショベル。掘削・運搬・積込み作業ができ，坑内の土木工事などで用いられる。
電気浸透	でんきしんとう	electro osmosis	含水状態の土に直流電流を流した時，水分が陰極に向って移動する現象。
電気浸透工法	でんきしんとうこうほう	electro osmosis method	電気浸透を利用して，軟弱地盤の脱水強化を図る工法でシルト質や粘性土地盤の排水が可能。
天気図	てんきず	weather map, synoptic weather chart	同一時刻の広域的な気象状態を一定の記号で地図上に記入し，気圧分布や前線などを描いた図。

電気石	でんきせき	tourmaline	(Na, Ca) (Li, Mg, Al) (Al, Fe, Mn) ₆ (BO ₃) ₃ (Si ₆ O ₁₈) (OH) ₄ . 三方晶系の鉱物. 硬度7~7.5. 比重3.0~3.25. ペグマタイト・気成脈に普遍的に産する. 摩擦電気を生じかつ焦電性が強い.
電気相似法	でんきそうじほう	electrical analogy model	浸透流模型実験の一種. 地下水と電流の作るポテンシャル場の相似性を利用したもの.
電気探査	でんきたんさ	electrical prospecting method	岩石や地層の比抵抗, 誘電率など電氣的性質の差異を利用した地下構造探査法の総称. 比抵抗法, IP法, 電位法に大別される.
電気抵抗線ひずみ計	でんきていこうせんひずみけい	wire strain gauge	金属の伸縮による電気抵抗の変化を利用したひずみ計. 近年の土木用の計測器の多くがこれを使用している.
電気伝導度	でんきでんどうど	electric conductivity	電気の流れやすさを示す物理量で, 電気抵抗の逆数で表される. ECと略す.
電気伝導度計	でんきでんどうどけい	electric conductivity meter	電気伝導度を計る計器. 電気伝導度は溶存イオンの総量と直線関係にあることから, 水質の指標となる. 単位はs (ジーメンズ) /cmで表す. 電導度計ともいう.
電気二重層	でんきにじゅうそう	electric double layer	正負の電荷が物体の表面, あるいは異なる物質の境界面に沿って連続的に分布するもの.
電気破碎ドリル	でんきはさいどりる	electric-disintegration drill	低周波の電流を岩石に流して加熱し, その表面に空気を送って衝撃を与え破碎するドリル.
電気発破	でんきはつぱ	electrical blasting	電気雷管を使用して爆破を行う発破をいう.
電気比抵抗	でんきひていこう	electrical resistivity	電流の流れに抵抗する物資の特性. 電気伝導度の逆数.
電気防食	でんきぼうしょく	cathodic protection	水中あるいは地中の鋼構造物を陰極として, たえず弱い電流を通すことにより鉄分子のイオン化を防ぎ, 錆の発生を防ぐ方法.
天球	てんきゅう	celestial sphere	天体の方向を示すために観測者を中心にした仮想の球.
天球座標	てんきゅうざひょう	celestial coordinates	天球上の目標点の位置を表わす場合に目的によって使用される全ての座標.
電極電位	でんきよくでんい	electrode potential	電極に接する電解質溶液あるいは導電体に対して, 電極がもつ電位差を表す.
電極配置	でんきよくはいち	electrode arrangement	電気探査において比抵抗やIPなど電氣的物性を測定するときの電流電極と電位電極の定められた位置関係.
電気雷管	でんきらいかん	electric blasting cap	爆薬を電氣的に起爆させるために, 金属管体に起爆薬と添装薬を装てんしたものに電気点火装置を施したもの.

電源三法	でんげんさんぼう	the three laws for developing power generation	電源開発促進税法・電源開発促進対策特別会計法・発電用施設周辺地域整備法の三法。1974年6月制定。
転向力	てんこうりょく	Coriolis force	回転体上を運動する物体に働く見掛けの力。コリオリの力。
点載荷圧裂強度	てんさいかあつれつきょうど	point load split strength	点載荷試験から算出される強度。数値は圧裂強度と関連づけられ、点載荷強度とは算出法が異なる。
点載荷強度	てんさいかきょうど	point load strength	点載荷試験から得られる強度。破壊荷重を供試体の直径の二乗で割った値で、インデックスとして利用し、圧縮強度などと関連づけられる。
点載荷試験	てんさいかしけん	point load test	岩石の供試体を2点で挟み、載荷、破壊して強度を求める試験。供試体は非整形のものでも可能。
テンシオメータ	てんしおめーた	tensiometer	土壌水の圧力水頭を測定する機器。水分特性曲線（含水量－圧力関係曲線）がわかれば土壌の含水量が測定できる。
電磁界形成法	でんじかいけいせいほう	electromagnetic field built-up method	大出力の双極子型電流源による時間領域電磁探査法の一つ。大深度を対象とする場合が多い。
電磁カップリング	でんじかつぷりんぐ	electromagnetic coupling effect	電磁結合効果のことであり、種々の電極配置に対して交流インピーダンスの実効値の変化分を求める手法。
電磁気式沈下計	でんじきしきちんかけい	electromagnetic settlement gauge	沈下板の位置を電磁誘導や磁界の検出によって測定する方式の沈下計。
電磁検層	でんじけんそう	induction logging	インダクション検層と同義。
電子顕微鏡	でんしけんびきょう	electron microscope	光のかわりに電子線を対象物にあて、電場や磁場で電子線を曲げる電子レンズを使って拡大画像を得る装置。
電磁式地震計	でんじしきじしんけい	electromagnetic seismometer, electromagnetic seismograph	地震動を電氣的に計測する形式の地震計。振子と一体となったコイルが地盤に固定した磁場の中を動く動線輪型地震計がよく用いられる。
電磁振動計	でんじしんどうけい	electromagnetic seismometer	電磁地震計。地震による振り子の動きを電氣的な量の変化に換える計器。
電磁垂直探査	でんじすいちよくたんさ	electromagnetic sounding	人工信号源を用い電磁波の表皮効果を利用して垂直方向の比抵抗分布を求める探査法。周波数や距離を変えて地盤の応答関数を得る。
電磁水平探査	でんじすいへいたんさ	electromagnetic profiling	一定のコイル配置で測点を順次移動して、地下の水平構造を探索する電磁法探査。
電子スピン共鳴年代試験法	でんしすびんきょうめいねんだいしけんほう	electron-spin-resonance dating	試料にマイクロ波を照射した際の吸収強度により、試料が地下に埋没した以降の時間を計測する年代測定法。

電子スピン共鳴法	でんしすびんきょうめいほう	electron-spin resonance	100万年より若い時代に用いられる年代測定法の一つ。環境放射線による不対電子の蓄積量から年代を求める測定法。E S R法ともいう。
電子セオドライト	でんしせおどらいと	electronic theodolite	測角にロータリーエンコーダを用い、角度をデジタル表示する形式のセオドライト。
電子線回折	でんしせんかいせつ	electron diffraction	X線に比べ波長が短いため、Å単位の回折像を得ることが可能であり、物質構造の研究に用いられる。
電子線マイクロアナライザー	でんしせんまいくろあならいざー	electron probe microanalyser	一般にE PMAと呼ばれる。電子線を照射したときに出る特性X線の波長と強度から試料の元素組成を分析する方法。
電子タキオメータ	でんしたきおめーた	electronic tachometer	光波測距儀と電子セオドライトを一体とした測量機。トータルステーションと同義。
電磁探査	でんじたんさ	electromagnetic prospecting, electromagnetic method	時間変動する電磁場に対する大地の応答を利用して、地下の比抵抗構造を推定する探査法。金属鉱床探査や温泉探査のほか土被りの深いトンネルの調査にも用いられる。用いる電磁波や測定方法、解析方法の違いにより多数の方法がある。EM法ともいう。
電磁波	でんじは	electromagnetic wave	電場と磁場が互いに周期的に変化しながら影響しあい、波として伝わっていく現象。電場と磁場の振動方向は互いに垂直。
電磁波式土壌水分計	でんじはしきどじょうすいぶんけい	electromagnetic soil moisture meter	土壌内を伝播する電磁波の速度が、水分の含有度に影響される特性を利用した土壌水分計。
電磁波測距儀	でんじはそくきよぎ	electromagnetic distance measuring instrument, electromagnetic distance meter, E. D. M.	電磁波を用いて距離を測定する地上測量機器の総称。電波測距儀と光波測距儀がある。
電磁波探査	でんじはたんさ	electromagnetic method	電磁探査と同義。
電磁波トモグラフィ	でんじはともぐらふい	electromagnetic tomography	地中に電磁波を透過させて、その電磁波の速度や減衰から地盤情報を得る物理探査法。
電子ビームドリル	でんしびーむどりる	electron-beam drill	加速電子による電磁波をレンズで物体の表面に焦点を結ばせ、それを溶かすドリル。宝石類の穿孔に使用する。
電子プローブX線マイクロアナライザー	でんしぷろーぶえっくすせんまいくろあならいざー	electron probe X-ray microanalyser	電子線マイクロアナライザーと同義。
電磁法	でんじほう	electromagnetic method	電磁波探査と同義。
充填グラウチング	てんじゅうぐらうちんぐ	cavity grouting, backfill grouting	トンネルの覆工と地山の間を埋めるために行う注入。
充填コンクリート	てんじゅうこんくりーと	make-up concrete, fill concrete	隙間を埋めるコンクリート。充填コンクリートともいう。

電磁誘導法	でんじゆうどうほう	electromagnetic method	電磁波探査と同義.
天井川	てんじょうがわ	raised bed river	堤防内に多量の河川堆積物が堆積し、河床面が周辺より高くなった河川。近江盆地の草津川などが有名。
電食	でんしょく	electrolytic corrosion	電流が水中の金属体中をとおると金属体から原子が水中に移行し、徐々に腐食する現象。
テンションクラック	てんしょんくらっく	tension crack	引張り応力下で応力と直交方向に形成される割れ目。地すべり頭部や切土の肩部などによく見られる。引張り亀裂ともいう。
テンションゾーン	てんしょんぞーん	tension zone	地すべり冠頭部などの土塊中に引張り応力が発生している領域。
電磁流速計	でんじりゅうそくけい	electromagnetic flow meter	磁場のなかを導体が移動する際、移動速度に比例した電圧が発生する原理を応用した流量計。
点震源	てんしんげん	point source	地中でのダイナマイト爆破のように、その大きさが探査範囲に比べて無視しうる程の大きさの地震探査の震源。
天水	てんすい	meteoric water	気象現象によって落下する雨・雪などの水物質。地表にもたらされる自然の水で、浸透水や表流水の源。
天水説	てんすいせつ	meteoric water theory	金属鉱床の過去の成因説の一つ。地表水に溶存した金属類が地下の割れ目に沈殿して鉱脈が形成されたとする説。
展性	てんせい	malleability	弾性限度を超えた圧力や打撃によって永久変形する物体の性質。金・銀・錫等の金属がこの性質に富む。
転石	てんせき	boulder stone	地表露頭などで、その位置の岩盤を構成している地質と異なるものが他から移動してきている岩塊。
転石探鉱	てんせきたんこう	boulder prospecting	河原や斜面上に分布する鉱石鉱物を用いて、転石の源となった鉱床露頭の位置を推定する探査手法。
テンソル	てんそる	tensor	方向をもたない量。ベクトルである力は1階の、応力は2階のテンソルである。
テンソルCSAMT法	てんそるしーえすえーえむていーほう	tensor CSAMT method	地下構造の走向が未知な地域において、走向を求めるために二ヶ所の人工信号源を用いたMT法。
デンタルワーク	でんたるわーく	dental treatment	ダム基礎岩盤中の不良部を除去する作業。コンクリートで置き換えるために行う。
天地返し	てんちかえし	ploughing to replace surface soil with subsoil	表土と下層の土壌を反転する土壌改良法。

天頂	てんちょう	zenith	天球の中心点Oから上半球に延長した鉛直線と天球面との交点.
天頂儀	てんちょうぎ	zenith telescope	精密な水準器を備え、子午面内を自由に動く望遠鏡がついた観測機械. 天頂を挟んでほぼ天頂距離の等しい恒星がそれぞれ南中したときの天頂距離の差を、視野内の糸線の移動で測定し、恒星の赤緯値を用いて緯度を算出する.
展張節理	てんちょうせつり	extension joint	岩体の伸びの方向に垂直な節理. 砂泥互層のように変形能力に差がある場合、砂岩の褶曲軸の凸側に発生する. 引張節理と同義.
天底	てんてい	nadir	天球の中心点Oから下半球に延長した鉛直線と天球面との交点. 天頂と正反対の点.
点滴分析	てんてきぶんせき	spot analysis	試料溶液1滴に試薬溶液を加え、すばやく反応を生じさせ、試料中の成分の分析を行う微量定性分析.
点電極	てんでんきょく	point electrode	電位法における大きさの無い電極. 実際的には電極間隔に比べ大きさを無視できるような電極.
転倒ゲート	てんとうげーと	flash board gate	流水圧により倒伏する形のゲート. 洪水時に堰板が転倒して堰が開放される形式をとる.
転倒採水器	てんとうさいすいき	reversing water bottle	水中におろした容器の回転で、所定深さの採水と温度測定が可能. 海洋用ナンセン式と簡易な湖沼用エクマン式などがある.
転倒褶曲	てんとうしゅうきょく	overturned fold	褶曲軸が強く傾斜して、一方の翼が逆転したもの. 過褶曲・逆転褶曲・反転褶曲・押しつぶせ褶曲と同義語.
電導性表層	でんどうせいひょうそう	conductive overburden	低い比抵抗値の表層. 一次電磁場のエネルギーが下方へ侵入しにくくなり、可探深度が低下するため区別される.
電導度	でんどうど	electric conductivity	比抵抗の逆数. 水の電導度は溶存イオン量に比例して大きくなるため水質の指標の一つとして用いられる.
電導度計	でんどうどけい	electric conductivity meter	電気電導度計と同義.
転倒背斜	てんとうはいしゃ	overturned anticline	褶曲構造に関する用語. 背斜軸面が90°以下の角度で傾斜し、両翼の地層の傾斜が角度は異なっても方向が同一である背斜.
転倒モーメント	てんとうもーめんと	overturning moment	構造物を転倒させようとする方向に働くモーメント. 外力と自重の合力により決まる.
伝導率	でんどうりつ	conductivity	電気伝導率、熱伝導率の略称として用いられる.
天徳寺階	てんとくじかい	Tentokuji stage	秋田県の新第三系（鮮新世前期～後期前半）区分の階の一つで、油田地質で使用された.

天徳寺層	てんとくじそう	Tentokuji Formation	秋田県中西部秋田市付近に分布する下部鮮新統。秋田市天徳寺を模式地とする。海成でシルト岩を主体とするが、砂岩・酸性凝灰岩などを伴う。
デンドロメータ	でんどうめーた	dendrometer	携帯用の樹高測定用機器。測角機能と三角関数を利用した計算から、樹高や幹の直径を現場で簡便に計測可。
テンドン	てんどん	tendon	アンカーの引張り材として使用されるP C鋼材。
天然アスファルト	てんねんあすふあると	natural asphalt	油田地帯の地表付近に産出する固形状または半固体状の石油れき青の一つ。砂岩・石灰岩などに浸込むこともある。
天然ウラン	てんねんうらん	natural uranium	天然のままの同位体比を持つウラン。 ²³⁸ Uが99.3%、 ²³⁵ Uが0.7%で構成され、その他のウラン同位体を微量含む。
天然ガス	てんねんがす	natural gas	天然に産出し、地表で気相の物質の総称。一般には、炭化水素を主成分とする可燃性ガスをさす。
天然ガス液	てんねんがすえき	natural gas liquid	油層中に含まれるガス状の炭化水素で、凝縮または吸収によって液状で回収しうるもの。
天然ガス鉱床	てんねんがすこうしょう	natural gas deposit	地下の岩石中に稼行し得る量の天然ガスを集積している鉱床。
天然ガソリン	てんねんがそりん	natural gasoline	高温・高圧の油層内でガス状を呈する炭化水素のうち、凝縮して液状をなしているもの。
天然ガラス	てんねんがらす	natural glass	マグマまたは溶岩が急冷したため、岩石中に結晶をほとんど晶出しないまま固化した物質。軽石・黒曜石など火山噴出物に多い。
天然橋	てんねんきょう	natural bridge	風食・河食・海食などにより、差別浸食を受けた岩体があたかも橋のような形で残ったもの。
天然軽量骨材	てんねんけいりょうこつざい	natural lightweight aggregate	天然に産出する軽量骨材で、火山灰・軽石・火山レキなど。
天然原子炉	てんねんげんしろ	natural reactor (Oklo phenomenon)	アフリカ、カボン共和国東部のOkloウラン鉱山で発見された天然の自然発生的核分裂連鎖反応が持続する現象。オクロ現象ともいう。
天然コークス	てんねんこーくす	natural coke	貫入した火成岩の熱によって自然状態で乾留されてコークス状になった石炭。
天然骨材	てんねんこつざい	natural aggregate	コンクリート骨材のうち、川砂利、川砂、山砂利、山砂、海砂利、海砂など天然に産するもの。
天然トレーサ	てんねんとれーさ	natural tracer	特定の物質の挙動を調べるため用いられる化学的性質が同一で、自然状態で存在する同位体。

天然バリア	てんねんばりあ	natural barrier	天然のものである地層などにより，廃棄物が人間の生活環境に影響を及ぼさないようにする障壁としての役割が期待されるもの．
天皇海山群	てんのうかいざんぐん	Emperor seamounts	カムチャッカの東方にほぼ南北に連なる十数個の海山の一群．各山麓の直径は，50～100kmと大規模．
天皇海嶺	てんのうかいいい	Emperor ridge	カムチャッカの東方にほぼ南北に連なる海底山脈．山脈を形作る海山の多くはギョーで，頂面深度は約2,000m．
点の記	てんのき	description of control point	三角点や水準点を設置したり改測したときに，その座標値や標高値，付近見取図，設置経過などを記録した資料．
天端	てんば	crown, crest	上面や頂きのこと，掘削面や構造物の上端面をいう．
電波吸収法	でんぱきゆうしゅうほう	radio absorptive method	地中での電波の減衰特性に着目した探査法．坑道や孔井を利用して発信点・受信点間の電界強度を測定し減衰特性の分布から地下構造を推定する．
電波高度計	でんぱこうどけい	radio altimeter	航空機や人工衛星の高度を地上に向けて発射された電波の反射を用いて測定する装置．
電波航法	でんぱこうほう	electronic navigation, radio navigation	電波の直進性・定速性を利用した航法．送信局に対する方位・距離などから位置を求める．
伝播速度	でんぱそくど	propagation velocity	弾性波探査などでP波やS波などの波が地盤を進行する速さ．伝わり速度，波速ともいう．
電波探査	でんぱたんさ	radio wave exploration	電波を用いた地下探査法．一対の電極からの距離に反比例する放射電磁界を利用している．地表面に沿って伝わる表面波の伝播特性を利用したVLF電波法と地中を伝わる電波を利用した電波反射法・電波吸収法があり，地表付近の金属鉱脈や断層，空洞，埋設物などの調査に用いられる．電波法ともいう．
天端沈下測定	てんばちんかそくてい	crown settle measurement	トンネル天端の沈下を水平測量や光波測距儀を用いて測定すること．
電波天文学	でんぱてんもんがく	radio astronomy	電波を観測手段とする天文学の一分野．星雲など，強い電波を放射する電波星が多数観測されている．
電波反射法	でんぱはんしゃほう	radio reflective method	電波の反射現象を利用した探査法の総称．
電波法	でんぱほう	radio wave method	電波探査と同義．
電波望遠鏡	でんぱぼうえんきょう	radio telescope	地球外から来る宇宙電波や太陽電波を受信する装置．主として放物面の反射鏡（パラボラ・アンテナ）を用い，天体を追尾できるようになっている．
天盤	てんばん	roof	トンネル，鉱道などの天井あるいはそれを構成する岩盤．

テンプレート	てんぷれーと	template	重力異常などのデータ解析に用いる地点の拾い出しに使用するため、一定の配列に従い穴をあけた板。
テンプレート マッチング	てんぷれーとまっち んぐ	template matching	画像データの中から、別に設定した特定の部分画像（テンプレート）と最も類似した部分を検索する手法。
天変地異説	てんぺんちいせつ	catastrophism's theory	キュビエによる進化に関する一説。天変地異により、古い生物の絶滅と新しい生物の誕生を繰り返したとする説。
天北－浦河帯	てんぽくうらかわたい	Tenpoku-Urakawa belt	北海道中央部を南北に走る白亜系～新第三系よりなる褶曲帯。東西には順次新しい地層が分布、北へ沈んでいる。
天北炭田	てんぽくたんでん	Tenpoku coalfield	北海道北部の宗谷夾炭層に胚胎する石炭鉱床群。石炭にゲルマニウムが含まれていることが特徴。
天見ガス田	てんみがすでん	Tenmi gas field	大阪府南部に位置する炭酸ガスを産するガス田。
天文測地学	てんもんそくちがく	astronomical geodesy	天体の位置観測によって地球上の位置や大地の形状を測る学問。
天文測量	てんもんそくりょう	astronomical survey	天体観測から天文緯度、天文経度ならびに天文方位を求め、地球上の位置、方位などを定める測量。
点紋帯	てんもんたい	spotted zone	点紋結晶片岩の分布する地域。点紋帯の岩石には塩基性の片岩が多く、一般に周辺より変成度は高い。
天文単位	てんもんたんい	astronomical unit	地球と太陽の間の平均距離（ 1.496×10^8 km）を1天文単位という。
天文潮位	てんもんちょうい	astronomical tide level	海面の上下運動による潮位のうち月と太陽の引力による潮位。このほか風などの気象による潮位がある。
点紋片岩	てんもんへんがん	spotted schist	主として三波川帯にみられる結晶片岩のうち、曹長石の斑晶が肉眼で認められるもの。
天藍石	てんらんせき	lazulite	$MgAl_2(PO_4)_2(OH)_2$ 。単斜晶系。硬度5～6。比重3.05(平均)。変成岩およびペグマタイト中、特にろう石鉱床中に産する単斜晶系鉱物。名称はドイツ語の青色の石に由来。
電離層	でんりそう	ionosphere	太陽光によって大気分子が陽イオンと電子に電離した層。地上数十～数百kmの空間に形成され、電波を反射する性質を有する。
転流	てんりゅう	traction	流れのおよぼす引きずりの力によって、砂礫などが流れの底面をすべり転がりながら運搬される現象。
天竜川沖海底谷	てんりゅうがわおき かいていこく	canyon off Tenryu river	天竜川の南延長で、遠州灘の大陸棚に刻み込まれている海底谷。

転流工	てんりゅうこう	temporary diversion facility	ダムなどの河川工事において、工事範囲から河流を迂回させるための仮設構造物。上下流の仮締切り、仮排水路など。
電流収束型電気検層	でんりゅうしゅうそくがたでんきけんそう	guard electrode electrical logging	複数の補助電極により主電流電極からの電流分布をビーム状に収束して地盤比抵抗を測定する検層法。
電流収束型比抵抗検層	でんりゅうしゅうそくがたひていこうけんそう	bundle electric resistivity logging	電気検層の一種。補助電極により電流を収束させ、非浸入領域の比抵抗をも測定する方法。
電流電極	でんりゅうでんきょく	current electrode	電気探査において地中に電流を流すために設置する電極。
転炉	てんろ	converter	溶解した銑鉄あるいは銅のマットに空気または酸素を吹込み、不純物を除去し粗銑あるいは粗銅を製造する炉。
ドアストッパーセル	どあすとつぱーせるセル	doorstopper cell	平面孔底ひずみ法の初期地圧測定に用いる多軸モールドゲージ。孔底に取り付け、オーバーコアリングによりひずみを測定する。
土圧	どあつ	earth pressure	土や岩石が外力・自重によってその内部に生ずる応力、または他の構造物との境界線に作用する荷重。
土圧計	どあつけい	earth pressure cell	構造物に作用する土圧または土中の土圧を測定するための計器。
土圧係数	どあつけいすう	coefficient of earth pressure	ある深さの点に作用する垂直圧力 P_v と水平圧力 P_h の圧力比 P_h/P_v をいい、 K で表す。
土圧再配分	どあつさいはいぶん	redistribution of earth pressure	地盤の一部が掘削などにより切り取られた場合に、アーチ作用によって土圧が配分し直されること。
土圧式シールド工法	どあつしきしーるどこうほう	soil pressure type shield	シールド内のチャンバーを掘削土で満たし、この掘削土砂の排出量を調整して土圧を発生させて切羽の安定を保持しながら掘進する工法。
土圧バランス式シールド工法	どあつばらんすしきしーるどこうほう	earth pressure balance shield	シールド内部に土砂を常に一定量滞留させることにより、切羽面の安定を保持しながら掘削する方法。
土圧バランス法	どあつばらんすほう	stress-lock sampling method	砂礫試料採取法。コアチューブ内部にゲル状グラウト材が加圧封入してあり、取り込んだ試料を加圧封入する。
土肥鉱山	といこうざん	Toi mine	静岡県伊豆地方の金・銀鉱山。慶長年間に盛大に稼行された。1936年頃に隆盛期があった。現在は休山中。
土居層群	どいそうぐん	Doi Group	四国地方西部の秩父累帯黒瀬川地帯の上部ペルム系。砂岩、黒色泥岩を主体とし礫岩を挟む。愛媛県城川町下五味を模式地とする。
ドイツ型造山運動	どいつがたぞうざんうんどう	Germanotype Orogenesis	アルプス型造山運動に対し、地塊山地の変位・変形による広義の造山運動に用いられた。ゲルマン型ともいう。

ドイツ硬度	どいつこうど	German hardness	水のカルシウムイオン、マグネシウムイオンの含有量を表したもの。ドイツ硬度1°は1m ³ の水に酸化カルシウムに換算して10g溶けていることを示す。
ドイツ式掘削工法	どいつしきくっさくこうほう	German excavation method	地質が悪い場合に有利な工法で、リングカット状にトンネル側面から掘削し覆工をした上で中央部を掘削する。
樋流し法	といながしほう	sluicing	傾斜した樋に重鉱物を含んだ砂を水と共に流し、重鉱物を濃集させる比重選鉱法。金や白金の採取に適用する。
統	とう	series	地質年代層序区分の単位で階をいくつか合わせた地層。岩相年代区分の層群にあたる。
動圧採石法	どうあつさいせきほう	dynamic pressure quarrying	高圧の水ジェットや水中放電の衝撃で岩石を破砕して採石する方法。
等圧図	とうあつず	isobaric chart	同一時刻に気圧が等しい地点を結んだ曲線を等圧線といい、これを表示した図のこと。
等圧線	とうあつせん	isobar	同一時刻に気圧が等しい地点を結んだ天気図上の曲線。気圧配置がわかり、風向・風速が推定できる。
等圧分布载荷法	とうあつぶんぷさいかほう	equal stress loading	孔内载荷試験や岩盤変形試験において、可撓性チューブやダイヤフラムを用いて岩盤面に等しい圧力を加えて行う方法。
等圧面	とうあつめん	equi-pressure surface, isobaric surface	圧力の等しい空間三次元的な面。気象の場合は気圧の等しい面。
同位元素	どういげんそ	isotope	同位体と同義。
等異常線	どういじょうせん	isoanomaly	重力異常や磁気異常を示す図において、同じ異常値の分布を表す線。
同位体	どういたい	isotope	中性子の数は違うが、陽子の数が同じでほぼ同じ化学的性質を示す1群の原子。同位元素と同義。
同位体温度	どういたいおんど	isotopic temperature	共存する化合物や相の中で、ある元素の同位体存在度が平衡状態にあるときの平衡温度。
同位体温度計	どういたいおんどけい	isotopic geothermometer	共存する相の間で、ある元素の同位体比は温度に依存するので、同位体比の分析によって温度を求める手法。
同位体希釈分析	どういたいきしゃくぶんせき	isotope dilution analysis	同位体比の異なる標識化合物を試料に混合し、同位体比を測定することにより試料中の元素を定量する分析法。
同位体古生物学	どういたいこせいぶつがく	isotope paleontology	化石(主にSiO ₂ , CaCO ₃)の構成物質の同位体組成・同位体比を用いて古生物学・地質学上の問題を論ずる学問。

同位体水文学	どういたいすいもんがく	isotope hydrology	放射性同位体および安定同位体を利用した水文学の一分野。水の起源・混合・流動・年代・滞留時間などを扱う。
同位体組成	どういたいそせい	isotopic composition	化合物や鉱物などを構成する特定の元素の同位体の種類と存在比。
同位体存在度	どういたいそんざいど	isotope abundance	ある元素の同位体はその元素全体の中で占める割合。普通、天然の元素の安定同位体存在度は一定である。
同位体地質学	どういたいちしつがく	isotope geology	物質中の放射性同位体と壊変生成物の割合などから、地質の成因や地質現象を解明しようとする学問。
同位体トレーサ	どういたいとれーさ	isotope tracer	①同位体が互いに同一の化学的性質をもつことを利用して、ある対象の挙動や分布を知るために用いられる同位体。 ②トレーサ試験に用いる同位体元素。
同位体分析	どういたいぶんせき	isotope analysis	試料中で原子番号が同じで原子量の異なる同位体の相対的な量を測定すること。
同位体分別作用	どういたいぶんべつさよう	isotopic fractionation	主として質量差に基づく物理的、化学的な挙動の違いを利用して同位体存在度に変化をもたらす作用。
同位体分離	どういたいぶんり	separation of isotopes	同位体の質量の差による物理的性質の違いを利用して、ある元素の特定同位体を分離・濃縮すること。
統一土質分類法	とういつどしつぶんるいほう	unified soil classification system	土の判別分類法の一つで、粒度分布と塑性図を用いて15種類に土を分類する。
等雨量線	とうりょうせん	isohyets	観測された雨量データをもとに、等値線図として表したものの。
投影断面図	とうえいだんめんず	projected profile	一断面図上に、これと平行な鉛直面との間の地形などの情報を投影して表した断面図。
投影面積	とうえいめんせき	projected area	構造物のある面に作用する流体力を計算するため、流体力の作用方向と直交する面へ投影した基準となる面積。
等温残留磁気	とうおんざんりゅうじき	isothermal remanent magnetization	温度一定の状態では強磁性体に磁場をかけた後、磁場を切った時に残留している磁束密度。略称をIRMと称する。
等温面	とうおんめん	isotherm	大気・海水・岩盤などの一定温度を示す点を結んで得られた面（三次元による表現）。二次元表現が等温線。
凍害	とうがい	freezing damage	水分が凍結することによってもたらされる被害。農業被害、道路・鉄道の路盤および構造物基礎の被害。
東海地震	とうかいじしん	Tokai earthquake	駿河湾から遠州灘に至る地域を震源として、近い将来発生する可能性が高いとされる大地震。

東海層群	とうかいそうぐん	Tokai Group	中新世末～更新世前期に伊勢湾周辺地域に堆積した非海成の地層の総称。やや固結した礫・砂・泥層からなる。
東海堆積盆	とうかいたいせきぼん	Tokai basin	東海層群が堆積した堆積盆地。中新世末～更新世前期に伊勢湾周辺地域に発達した沈降域で、東海湖と呼ばれる内陸湖を形成。
東海陸棚時代	とうかいりくだなじだい	Tokai continental shelf time(stage)	地向斜造山運動の視点から見た本州区の地史の時代区分の一つで三じょう紀（三畳紀）後半～第三紀初期をいう。
倒壊率	とうかいりつ	rate of collapse	被害程度を表す統計量，倒壊率(%) = (全壊戸数+0.5×半壊戸数) ÷ 地域の総戸数×100
透過型砂防ダム	とうかがたさぼうだむ	open type sabo dam	砂防ダムのうち，開口部を設け大洪水には土砂を堆積させ，中小洪水時には流下させる構造を有するもの。
透過型電子顕微鏡	とうかがたでんしけんびきょう	translucent electron microscope	電子顕微鏡の観測方式の一つで，物質を透過した電子線を観測する。
透過型電子顕微鏡法	とうかがたでんしけんびきょうほう	transmission electron microscopy	試料に電子線を透過させ，鉱物の結晶の格子面間隔や転位などの構造を電子顕微鏡下で観察する方法。
等価間隙圧	とうかかんげきあつ	equivalent pore pressure	不飽和土の間隙圧。飽和した土の間隙圧(間隙水圧)と乾燥した土の間隙圧(間隙空気圧)より算出する。
倒角	とうかく	hade	断層の要素に関する用語で，断層面と同じ走向の鉛直面と断層の傾斜のなす角。断層傾斜角の余角。
等角円錐図法	とうかくえんすいずほう	conical orthomorphic projection	経線を放射状直線で，また，緯線を同心円で示した図上で，任意の角がどこでも等しく表せるようにした図法。
等角図法	とうかくずほう	conformal projection, orthomorphic projection	地図上の各地点における2線のなす角が地球上での角度に等しくなるような投影図法。正角図法ともいう。
等角投影	とうかくとうえい	isometric projection	立体の三軸方向を，平面に対して同じ角度で傾け，平面に垂直に投影して図を表現する方法。
透過係数	とうかけいすう	transmission coefficient	ある境界面に対する入射波の振幅と透過波の振幅の比。
透過作用	とうかさよう	percolation	降下浸透と同義。
同化作用	どうかさよう	assimilation	マグマが周辺の外来岩片を取り込み，溶解または反応してマグマが組成を変える作用。
導火線	どうかせん	safety fuse	黒色火薬を芯としてその回りを紙や糸で包んだ細長い紐。発破の際，雷管に点火するために用いる。

等価層	とうかそう	equivalent layer	比抵抗値と層厚が異なる二つの層を，一つの比抵抗値と層厚を有する層で置き換える比抵抗法の理論概念。
透過損失	とうかそんしつ	(sound) transmission loss, sound reduction index	材料の遮音性能を表す場合に使う数値。音の周波数が高いほど，材料の質量が大きいほど透過損失は大きい。
等価弾性モデル	とうかだんせいもでる	equivalent elastic model	地盤の動的解析において非線形な応力-ひずみ関係を，これと等価な線形減衰モデルに置き換えた力学モデル。
等価粘性減衰定数	とうかねんせいげんすいていすう	equivalent viscous damping factor	振動系の応答振幅の関数で，微小振動論における限界減衰比の形式で定義される。
等価の原理	とうかのげんり	principle of equivalence	地下構造が異なるにもかかわらず，見掛け比抵抗曲線に相違が現れない現象の総称。
透過波	とうかは	transmitted wave	地震トモグラフィなどで主な測定対象とする直接波。
等価破壊応力	とうかはかいおうりよく	equivalent breaking stress	正規圧密粘土の有効摩擦角が間隙比によらず一定で，かつ破壊曲線と平行な時の破壊時の間隙比での応力。
等価変形係数	とうかへんけいけいすう	deformation modulus	道路舗装のような多層構造に対して，沈下量を求める時の路床を含めた全体の変形係数。
透過率	とうかりつ	transmissivity, transmittance	ある媒質中を光や電磁波などが透過した時の，入射エネルギー強度に対する透過後のエネルギー強度の比率。
等価粒子半径	とうかりゅうしはんけい	equivalent radius	実際の粒子と沈降速度が同じになる球状粒子の半径。
塔岩	とうがん	stacks	海岸の浸食作用で，波食崖よりも沖側に塔状に取り残された岩石地形。
東岸湖底断層系	とうがんこていだんそうけい	Togan-kotei fault system	活断層。確実度Ⅰ～Ⅱ，活動度B級，北西方向。滋賀県湖北町から長浜市沖の琵琶湖東岸の湖底に位置する延長14km。
透気係数	とうきけいすう	coefficient of air permeability	地盤の空気の通り易さを示す値。透水係数と同じcm/sの単位で表す。透気係数は地盤の飽和度に関係する。
透気試験	とうきしけん	air permeability test	シールドやケーソンで圧気工法を用いる場合に，透気係数を求めるために行う試験。
透気性	とうきせい	air permeability	気体が地盤中を透過する性質。主に圧気工法のシールドトンネルや圧縮空気貯蔵の地中タンクで問題となる。
透輝石	とうきせき	diopside	CaMg (Si ₂ O ₆)。単斜晶系。硬度6。比重3.25～3.55。石灰質堆積岩が変成作用を受けると生成される。スカルの構成鉱物。

東京ガス田	とうきょうがすでん	Tokyo gas field	東京都東部のガス田で、南関東ガス田の中で茂原ガス田に次ぐ規模。主にメタンガス（90%以上）からなる。
東京軽石層	とうきょうかるいし そう	Tokyo pumice bed	約5万年前に箱根付近で噴出された軽石が降下堆積した地層。橙色を呈し、武蔵野ローム層には含まれる。
東京下町海進	とうきょうしたまち かいしん	Tokyo-shitamachi transgression	完新世初期に始まり中期（7,000～5,500年前）に最盛期を迎えた海進。有楽町海進・縄文海進と同義語。
東京砂層	とうきょうすなそう	Tokyo sand bed	東京層を構成する砂層。細砂から中粒砂から構成され、N値は30～50である。粘性土層と互層をなす。
東京層	とうきょうそう	Tokyo Formation	東京都北東部の板橋区付近に分布する上部更新統。東京都板橋区成増付近を模式地とする。海成で東京礫層を基底とし、細砂と粘土が互層をなす。
東京層群	とうきょうそうぐん	Tokyo Group	東京都東部に分布する上部更新統で、舎人層・江戸川層・高所層に細分される。
東京天文台	とうきょうてんもん だい	Tokyo Astronomical Observatory	東京都三鷹市に1878年に設立された東京大学附属天文台。
東京粘土層	とうきょうねんど そう	Tokyo clay bed	東京層を構成する粘性土層。シルト層が優勢で、砂層と互層をなす。N値は10～20。
東京浮石層	とうきょうふせき そう	Tokyo pumice bed	東京軽石層と同義語。
東京礫層	とうきょうれき そう	Tokyo gravel bed	東京層の基底を成す砂礫層。径1～2cmの円ないし亜円礫を含む厚さ約5～10mの地層で支持地盤となる。
東京湾平均海面	とうきょうわんへい きんかいめん	Tokyo Bay mean sea level, standard mean sea level of Tokyo Bay	測量法による日本における標高の基準面。東京湾霊岸島において測定された明治6年6月から明治12年12月までの潮位の平均海面。
東京湾北部地震	とうきょうわんほく ぶじしん	Tokyo-wan-hokubu earthquake	東京湾北部に存在する活断層の活動により、近い将来起こる可能性が高いとされる大地震。
とう曲(撓曲)	とうきょく	flexure	隣接する地塊が相対的に変位する場合にできる連続性ある局所的な曲がり。S字状を呈する。
とう曲崖(撓曲崖)	とうきょくがい	flexure scarp, monoclinical scarp	断層変位による崖地形を表す用語の一つで、断層運動により地表に生じた比較的急な斜面のうちの、たわみによって生じた崖をいう。断層崖に移行することがある。
等距離円錐図法	とうきょりえんすい ずほう	conical equidistance projection	経線を放射状に、緯線を同心円上にして、各経線方向の距離がどこでも等しく表せるようにした図法。
等距離円柱図法	とうきょりえんちゅ うずほう	cylindrical equidistance projection	経線と緯線とを直交させ、各経線上の距離が等しく表せるようにした図法。

等距離図法	とうきよりずほう	equidistance projection	地図上での経線や緯線の方向の距離が、どこでも等しく表せるようにした図法の総称。
等距離方位図法	とうきよりほういずほう	azimuthal equidistance projection	経線を同心円に、緯線を放射状にして、それらの各部分での距離がどこでも等しく表せるようにした図法。
胴切節理	どうぎりせつり	transverse joint	交差節理と同義。狭義には流理に直交する伸張節理、広義には引張節理。堆積岩では主節理に直交するもの。
胴切断層	どうぎりだんそう	transverse fault	横断断層、交差断層と同義。主たる地質構造を高角度で横断する断層。
洞窟	どうくつ	cave, cavern	洞穴と同義。
洞窟学	どうくつがく	speleology	洞窟の形態・成因・水系・生態系・堆積物・堆積環境などを研究する学問の総称。
洞窟水	どうくつすい	cavern water	石灰岩や岩塩などの可溶性岩石中の洞窟にみられる地下水。空洞水ともいう。
同形	どうけい	isomorphism	類似の化学組成の物質は類似の結晶形を形成する現象。総原子数や陽性・陰性原子数が等しいことが条件。
統計解析	とうけいかいせき	statistical analysis	実験や測定で得られたデータから規則性を見出し、統計的な手法を用いて母集団の性質を解析する方法。
同形鉱物	どうけいこうぶつ	isomorphic mineral	「化学的に類似した物質が、同じあるいは非常に類似した晶癖を持つ現象」(E. E. Mitscherlich, 1819)を有する鉱物。類質同像ともいう。
統計地震学	とうけいじしんがく	statistical seismology	地震に関する基礎資料を統計学的手法により解析し、地震に関わる普遍的な法則を探求する学問。
同形褶曲	どうけいしゅうきょく	similar fold	相似褶曲と同義。
同形置換	どうけいちかん	isomorphous substitution	原子や結晶系の配列が同じ同形の物質の間で、基本的な構造は変えずに原子の入れ替えが行なわれること。
凍結	とうけつ	freezing	気温が0℃以下になって、土粒子間の間隙水が氷結する現象。
洞穴	どうけつ	cave	地下の岩石中に自然現象で作られた空洞。鍾乳洞、波食洞、溶岩トンネルなどがある。
洞穴学	どうけつがく	speleology	洞窟学と同義。

凍結攪拌	とうけつかくはん	frost stirring	凍結作用で土壌内部の元の構造が破壊されること。
洞穴角礫岩	どうけつかくれきが ん	cave breccia	洞穴の天井や壁がくずれ落ちて、洞穴の床に堆積した岩片の集合体。
凍結管	とうけつかん	freezing pipe	凍結工法に用いられる管。地中に敷設し冷凍液を循環させることにより、周囲の土中の間隙水を氷結させる。
凍結境界面	とうけつきょうかい めん	freezing front	凍結土層と未凍結土層の境界面。土中の0℃の等温面に相当する。
凍結工法	とうけつこうほう	artificial soil freezing method	軟弱地盤中の間隙水を人工的に凍結し、一時的に高強度・非透水性の地盤を急速に造成する工法。
凍結作用	とうけつさよう	frost action, freezing	地温0℃を境に凍結・融解が生じることによる土壌や岩石の凍上・凍結・破壊などの作用。
洞穴さんご（洞穴珊瑚）	どうけつさんご	speleothem, flowerstone	六方さんご（珊瑚）の一種で、赤道付近の水没（沈降）鍾乳洞などにみられる単体さんご（珊瑚）。
凍結サンプリング法	とうけつさんぷりん ぐほう	freezing soil sampling	地盤に凍結管を挿入し冷媒により周囲の土を凍結させて、乱さない状態で土質試料を採取する方法。
凍結試験	とうけつしけん	frost susceptibility test	地盤材料が凍結時にヒービングを発生するかどうかを検討するための試験。
凍結指数	とうけつしすう	freezing index	日平均気温が0℃以下の値を1年間積算した数値。地盤の凍結深さの目安として使われる。
洞穴充填鉱床	どうけつじゅうてん こうしょう	cave-filling deposit, cavity-filling deposit	洞穴を充填して形成された鉱床。成因は鉱脈と熱水性が多いが、石灰岩などの洞穴を後に充填した鉱床もある。
凍結上昇	とうけつじょうし ょう	frost heaving	凍上と同義。
凍結擾乱作用	とうけつじょうらん さよう	cryoturbation	表層堆積物の体積が凍結および融解によって変化し、上下や横方向に複雑に変位や変形を生じる作用。結氷淘汰作用と同義。クリオターベーションともいう。
凍結深	とうけつしん	frost penetration depth	寒冷地において土が凍る地面からの深さ。
洞穴水	どうけつすい	cave water	地下の空洞に貯水池や地下川の状態で存在し、または流動している水。
凍結性土	とうけつせいど	frost susceptible soil	凍結作用を受けやすい土壌。土の凍結は含水比および粒度に大きく支配され、含水比が小さいほど氷点が下がる。

洞穴層序学	どうけつそうじょがく	speleostratigraphy	洞穴堆積物の新旧関係を層序学的に明らかにし、洞穴の発達過程や考古学の解明を研究する分野。
洞穴堆積物	どうけつたいせきぶつ	cave deposit, cave sediment	岩石中の天然空洞内に堆積した堆積物の総称。主に充填堆積物からなり、考古学や古脊椎動物学では重要。
洞穴探査	どうけつたんさ	caving	洞穴の成因・性状を調査すること。石灰岩地帯の鍾乳洞、溶岩地帯の風穴などに実施される。
洞穴貯蔵	どうけつちょぞう	cavern storage	温度湿度の一定する洞穴に食物などを蓄え保存すること。大規模なものに鍾乳洞、小規模なものに人工横穴がある。
凍結土	とうけつど	frozen soil	間隙水が凍結し、土粒子が固結状態になった土層または土塊。もとの土に比べ強度が増す。凍土ともいう。
洞穴土	どうけつど	cave earth	多くの洞穴堆積物のなかで、洞穴の床を埋める土砂について使用される用語。明瞭な定義はされていない。
凍結土圧	とうけつどあつ	frost heaving pressure	土壌が凍結し、膨張するために発生する土圧。土質・凍結速度・拘束条件などの影響を受ける。
凍結破砕作用	とうけつはさいさよう	frost shattering, frost wedging	岩石の割れ目などの空隙中の水分が凍結することによって起きる機械的風化作用。
凍結破砕速度	とうけつはさいそくど	freezing crushing rate, frost shattering rate	物理的風化作用のうちの凍結破砕作用の進行する速度。温度とその変化速度、水分に影響される。
凍結板	とうけつばん	freezing board	凍結管の外周を面状に覆う場合に用いる金属板。管と板との間に断熱材などを充填し凍結に指向性を持たせる。
凍結風化	とうけつふうか	frost weathering	岩石の割れ目にしみこんだ水が、凍結と融解を繰り返して割れ目を広げて風化・浸食されてゆく現象。
凍結膨張変位	とうけつぼうちようへんい	frost heaving displacement	地盤が凍結するのに伴い生ずる体積膨張現象による変位。
洞穴豆石	どうけつまめいし	cave pisolite	鉱物や生物遺骸を核とし、同心円状に方解石などが集積した径2mm以上の球状を呈する洞穴堆積物。
凍結融解	とうけつゆうかい	freezing and thawing	水が凍ったり溶けたりすること。コンクリート・土などの内部で起きると、体積膨張のため破壊の原因となる。
凍結融解試験	とうけつゆうかいしけん	freezing and thawing test	土木材料の凍結融解繰り返し作用に対する耐久性を評価するための試験法。
凍結割れ	とうけつわれ	frost splitting, frost shattering	岩石の割れ目を満たす水が凍結と融解を繰り返し、最終的に岩石を割ること。

凍結割れ目	とうけつわれめ	frost splitting	凍結作用により、岩石にできた割れ目。
同源岩	どうげんがん	cogenetic rock	同一マグマに由来したと思われる火成岩類。
同源捕獲岩	どうげんほかくがん	cognate inclusion, cognate xenolith, autolith	火成岩中の捕獲岩で、同じ進化系列ではあるが、晶出時期の異なる岩片。
島弧	とうこ	island arc, arc	大陸と大洋の間で大洋側に凸の列島で、海洋側に海溝、大陸側に火山前線や深発地震帯などを伴う例が多い。
動コイル式地震計	どうこいるしきじしんけい	moving-coil seismograph	コイルを取り付けた振り子が磁界中を運動することにより発生する起電力を検出する方式の地震計。検出された起電力と速度振幅とは比例する。
導坑	どうこう	drift	トンネル全断面掘削の場合を除いて先に掘削する中小断面のトンネルで頂設・中央・底設側壁導坑などがある。
銅鉱床	どうこうしょう	copper deposit	銅鉱物を主要鉱石鉱物として含む鉱床。生成条件によって様々な産状を示す。斑岩型銅鉱床の生産量が多い。
等高線地図	とうこうせんちず	contour map	地形面と一定間隔の高さの平面との交線（等高線）を、一平面に投影して地形の起伏を表現した地形図の一種。
等構造線	とうこうぞうせん	structure contour	ある特定の地層・鍵層などの同一の高さの地点を連ねて作った線。これを用いて等構造線図を作成する。構造等高線ともいう。
島弧海溝系	とうこかいこうけい	island arc-trench system	プレートの沈み込みに起因して形成される大構造帯で、弧状列島と海溝が平行に組になって形成されている。
島弧変動	とうこへんどう	island arc disturbance	鮮新世前期から第四紀末にかけて生じ、今日の日本列島の成立をもたらした一連の地殻変動の体系。
踏査図	とうさず	route map	地表地質調査を行った記録を地形図に記載したもの。設定したルート沿いの地質調査結果をルートと共に記した図。地質図作成の際の基礎情報。露頭の位置・地質状況・各種測定記録などが記入される。ルートマップ。
踏査路線図	とうさろせんず	route map	踏査図と同義。
銅山川地すべり	どうざんがわじすべり	the Dozangawa landslide	近年では1966年、1981年、1996年に山形県大蔵村で発生し、国道に被害が生じた。上流域の地下水がシラスを通じて新第三系内のすべり面に供給されて発生。
唐山地震	とうざんじしん	the 1976 Tangshan earthquake	1976年7月28日に発生した、人口100万以上の大都市直下で発生した直下型地震。震源深さは16kmでM7.8。中国当局の発表では、死者24万余人、重傷者16万余人に達する世界最大級の被害を出した地震の一つ。タンシャン地震と同義。
同時異相	どうじいそう	contemporaneous heterotopic facies	同時期の堆積物が、堆積環境の違いにより異なる層相を示すこと。地形や環境変化の著しい地域に見られる。

同時裏込注入	どうじうらごめちゆうにゆう	simultaneous back-fill grouting	シールド工法での裏込注入方式で、シールドを推進しながらセグメントと地山の空隙にモルタル注入する方式。
等時曲線	とうじきよくせん	tautochrone	地図表現法の一つで、同一時刻に同じ属性をもつ地点を結んだ曲線。地震波や津波の伝播などの表示に使用する。
同軸ケーブル	どうじくけーぶる	coaxial cable	同心円状の中心絶縁体と外導体で構成される線。高周波を扱う場合は、平行ケーブルと比較し損失や雑音が少ない。
同軸褶曲	どうじくしゅうきよく	homoaxial fold	①褶曲軸面が同一の走向傾斜を有する大小一群の褶曲。 ②一つの主要褶曲の方向に成因的に関連しあってきた大小の褶曲群。
等軸晶系	とうじくしょうけい	cubic system	結晶を形態から分類した7結晶系の一つ。3本の結晶軸がお互いに直交している晶系。軸率が1:1:1である。立方晶系ともいう。
同時鉱脈	どうじこうみやく	contemporaneous vein	同一のマグマからもたらされた熱水で形成された鉱脈。最近ではほとんど用いられることのない用語。
等視差面	とうしさめん	surface of equal parallax	空中写真を実体視したとき、視差の等しい点の作る面。鉛直写真では等標高面を表す。
同時自動裏込注入工法	どうじじどううらごめちゆうにゆうこうほう	real time automatic backing injection method	シールド工法の裏込注入方法の一つで、テールボイドに注入材を確実・自動的に注入する工法。
同時浸食	どうじしんしょく	contemporaneous erosion	堆積作用が続いている途中で、流水条件の変化などで、一時的にあるいは部分的に浸食される現象。
透視図	とうしず	perspective	ある一点を視点とし、遠近法により物体が目に見える通り、遠くを小さく、近くを大きく描いた図。
透視図法	とうしずほう	perspective projection	定められた視点から地球表面の形状を投影面に投影する方法。
等時線	とうじせん	isochron	放射壊変のみにより変化する親核種と娘核種の含有量と、系が閉じてからの時間との関係を示す直線。
等時線図	とうじせんず	time contour map	地震探査において、反射面からの等しい走時曲線と反射面の形態を時間領域で示した図。
同質異像	どうしつゐぞう	polymorph, polymorphism	温度や圧力など外的条件に合わせて結晶構造がより安定な形態に転移する現象。多形ともいう。
同時面	どうじめん	isochronous surface	地形・地史の上で同時期に形成された面。
同斜	どうしゃ	homocline	地層が一方向へ同じ角度で傾斜した構造。単斜と混同される場合がある。

同斜構造	どうしゃこうぞう	homocline	同斜と同義語。ただし、傾斜が場所により異なる単斜構造や等斜褶曲も含めて用いられることもある。
同斜谷	どうしゃこく	homoclinal valley	一方向に同じ傾斜をする（同斜の）地層が浸食されて、硬い地層が尾根、軟らかい地層が谷になった谷地形。
同斜山稜	どうしゃさんりょう	homoclinal ridge	一方向に傾く硬い地層が、浸食に耐えて残った尾根が走向方向に平行に並んでいる地形。
等斜褶曲	どうしゃしゅうきょく	isoclinal fold	褶曲構造の一種。両翼が平行で、方向・角度が同一である褶曲。地層の上下関係に注意を要する。
投射図法	どうしゃずほう	perspective projection	地球に接する平面に、無限遠またはその接点に垂直な直線上の1点から投影する図法。
等重力線図	どうじゅうりょくせんず	isogal contour map	重力測定の結果、同じ値の点を線で結んでコンターで示した図。
頭首工	とうしゅこう	head works	河川などから表流水を用水路に引き込むための施設。一般に、取水堰と取水口からなる。
凍上	とうじょう	frost heaving	土中の水が冷却するとき氷の結晶をつくり、土の体積が膨張して地表面を持ち上げる現象。
糖状	とうじょう	saccharoidal aplitic	岩石の組織の名称で氷砂糖状のものを表す。結晶質石灰岩（大理石）やアプライトなどで見られる。
道床	どうしょう	road bed	鉄道のまくら木と路盤の間に敷設された砕石や砂利の部分。荷重の伝達・緩衝材・排水などの機能をもつ。
道場石	どうじょういし	Dojo ishi	兵庫県神戸市兵庫区道場町産石材。白亜系～古第三系凝灰岩（有馬層群）。土木用に用いられる。
塔状カルスト	とうじょうかるすと	tower karst	熱帯の多雨地域の石灰岩地帯で、浸食により山腹が垂直に近くなって塔状に突出した浸食地形。
凍上現象	とうじょうげんしょう	cryopedology	土が凍結する際に凍結面に水が吸い上げられて氷として析出する現象。
道床砕石	どうしょうさいせき	road-bed crushed stone	道床の材料として用いられる砕石。細粒分が除かれ、角張っており耐久性のあることが特に必要とされる。
凍上対策	とうじょうたいさく	counter measure for frost heaving	土の凍上による地上および地下構造物の被害を防ぐための対策。置換工法、断熱工法その他の工法がある。
道床バラスト	どうしょうばらすと	rail-road ballast	鉄道の枕木の下に敷く砂利・砕石などをいう。列車荷重を路盤に与えるとともに排水を良くするために使用する。

道床噴泥	どうしょうふんदै	slurry	交通時の繰り返し荷重などにより、道床碎石が細粒化し水と共に噴出すこと。
凍上抑制層	とうじょうよくせいそう	frost blanket	凍上対策を目的として、路盤の下に設置された凍上を起しにくい材料の部分。
凍上力	とうじょうりょく	frost heaving force	凍上する土を拘束枠などで拘束した際、それに作用して押し上げようとする力。
等色次干渉縞法	とうしょくじかんしょうじまほう	fringes of equal chromatic order	平行光線によって試料表面に生じさせた干渉縞を分光することによって、試料表面の平滑度や高低差を調べる方法。
透磁率	とうじりつ	magnetic permeability	全ての物質は外から磁界を作用させると磁化される。このときの磁化されやすさを表す量。
等磁力線	とうじりょくせん	isogam	磁場の強さの値の等しい点を結んだ曲線。
等磁力線図	とうじりょくせんず	isogam map	地磁気（通常は全磁力）の強さを表示するコンター図。
同心円状断層	どうしんえんじょうだんそう	concentric faults	地表で同心円状に分布する一群の断層。カルデラの陥没・火成岩の貫入などに伴って生じる。
同心縞状構造	どうしんしまじょうこうぞう	concentric banded structure	ある核を中心として鉱物集合体が同心円状に縞模様を形成して配列する構造。
同心褶曲	どうしんしゅうきょく	concentric fold	褶曲断面を分類した一形態。同心円を用いた褶曲面では中心に向かって曲率が大きくなる。地層の厚さは一定。
等深線図	どうしんせんず	depth contour map	物理特性的に地下構造の等しい深度の点を結ぶことによって、平面図上に二次元的に表示した図。
等震度線	どうしんどせん	isointensity map of earthquake	発生した地震の各地における震度について、同じ震度を示す点をコンターで示した図。
透水圧	どうすいあつ	seepage pressure	多孔性物質中を浸透する水によって伝播される圧力。
動水位	どうすいいい	running water level, dynamic water level	井戸において、人為的な揚水によって変動する水位。
導水管	どうすいかん	intake pipe	検潮所あるいは水力発電所などで、水を引き込むための管水路。
透水係数	どうすいけいすう	hydraulic conductivity, coefficient of permeability	動水勾配1のもとで単位時間に単位断面積を通過する水量、すなわち浸透流速。媒質の孔隙量と大きさ、流体の粘性により変化する。

動水勾配	どうすいこうばい	hydraulic gradient	地盤中の2点間の水位の水頭差とそれら2点間の距離の比.
透水試験	とうすいしけん	permeability test	地盤または材料の透水性を調べるための試験. 基本的には圧力と流量の関係から, 透水係数を求める.
透水試験器	とうすいしけんき	permeameter	透水試験のための器材. 圧力差・流量および通水断面積を正確に計測する必要がある.
透水性	とうすいせい	permeability	岩石または土壌など多孔質物質の間隙を地中水が流れる時の難易の性質. 透水係数はその数値的表現.
透水性材料	とうすいせいざいりょう	permeable materials	フィルダムのロック材のような高い透水性を有する粗粒な材料.
透水性ブランケット	とうすいせいぶらんけつと	pervious blanket	アースダムの堤体内間隙水圧の消散や基礎からの浸透水を安全に排出する目的で設置する底設ドレーン層.
透水性舗装	とうすいせいほそう	permeable pavement	路面に雨水がたまらないように, 浸透性に優れたアスファルト舗装. 表面流出量の低減, 地下水かん養(涵養)などを目的とする.
透水層	とうすいそう	permeable layer	透水係数の大きい砂などから構成されるような浸透性のよい地層.
透水ゾーン	とうすいぞーん	pervious zone	フィルダムを構成するゾーンのうち透水性の高い材料で盛り立てられる部分. ロックゾーンともいう.
導水損失	どうすいそんしつ	conveyance loss	水路を使って送水する場合に生ずる, 主として浸透や蒸発による損失水量. 通常10~15%程度を見込む.
透水抵抗	とうすいていこう	seepage resistance	物質が水中を移動する時に生じる抵抗. フォークトモデルのピストンに相当する.
透水土	とうすいど	permeable soil	地下水を通しやすい土. 透水層と言い換える場合もある.
導水トンネル	どうすいとんねる	aqueduct tunnel	ダムなどで水路の切替えや他流域からの送水を目的とするトンネル.
動水半径	どうすいはんけい	hydraulic radius	河川の任意の地点における河川横断面積と水面下にある底の長さの割合.
透水量係数	とうすいりょうけいすう	transmissibility	ある帯水層全体の透水性を示す係数. 記号はTを使用し, 単位は一般的に $m^2/日$ である. 被圧帯水層の場合は透水係数と帯水層の厚さの積, 不圧帯水層では帯水層厚の代わりに地下水の水深を乗じて使用.
透水量測定	とうすいりょうそくてい	seepage measurement	ダム本体および基礎を浸透した水量を測定し, ダムの管理に使用する.

導水路	どうすいろ	headrace	目的とする所まで水を導く水路で、例えば、取水口から発電所地点まで、水源地から浄水場までの水路などをいう。
導水路トンネル	どうすいろとんねる	headrace tunnel	上流側の取水口から水道の処理施設や水力発電所まで水を導くトンネル。
同生鉱床	どうせいこうしょう	syngenetic deposit	母岩とほぼ同時期に生成した鉱床を言い、後生鉱床に対して用いられる。
同生水	どうせいすい	connate water	マグマに含まれている水分、またはそれがマグマ本体から分離した水。地表水や岩石中の水とは区別される。
陶石	とうせき	porcelain stone	陶磁器製造用の原料として使われる白色の岩石の俗称。石英・セリサイト・カオリンなどの粘土鉱物よりなる。
等積円錐図法	とうせきえんすいずほう	conical equal-area projection	正積図法のうち、円錐投影を用いたもので、経線を放射状に緯線を同心円状にして、各部分の面積がどこでも等しく表せるようにした図法。正積円錐図法ともいう。
等積円柱図法	とうせきえんちゅうすずほう	cylindrical equal-area projection	正積円筒図法と同義
凍石化作用	とうせきかさよう	steatitization	超苦鉄質岩が交代変成作用時に二酸化炭素交代作用を受け、滑石を生じる作用。低温高压型変成帯の蛇紋岩岩体周辺に見られる。
等積図法	とうせきずほう	equal-area projection	等面積投影法と同義。
等積投影	とうせきとうえい	equal-area projection	球面上の面積が平面上に等しく投影されること。等積図法などのいくつかの投影法がある。
等積方位図法	とうせきほういずほう	azimuthal equi-area projection	1点（極）を中心に、地図上の各部分の面積が等しく表せるようにした図法。ランベルト正積円錐図法と同義。
透閃石	とうせんせき	tremolite	$\text{Ca}_2\text{Mg}_5\text{Si}_8\text{O}_{22}(\text{OH})_2$ 。単斜晶系。硬度5～6。比重3.0～3.2。無色・灰色の長柱状または繊維状（アスベスト状）の結晶。石灰質岩石の接触もしくは広域変成作用によって生じる。
動せん断弾性係数	どうせんだんだんせいけいすう	dynamic shear modulus	動的なせん断弾性係数。
同相	どうそう	isofacies	異なる箇所に分布する地層の岩相などの層相が同一であること。
等層厚線図	とうそうあつせんず	isopach map	地層の層厚変化を表現した図で、等層厚の点を結んで作成する。普通はボーリング資料を用いる。アイソパックマップともいう。
淘汰	とうた	sorting	岩石・土壌が流水で運搬され、堆積する際、粒度・比重・形状などに応じた分別と集積が行われる作用。

動態観測	どうたいかんそく	field observation	盛土などの土構造物の施工，地盤の掘削などに伴う構造物自体および地盤の挙動を経時的に測定すること。
淘汰係数	とうたけいすう	sorting coefficient	堆積物の構成粒子の粒径分布（粒度分布）の広がりを表す係数。
淘汰作用	とうたさよう	sorting	淘汰を参照。
藤田沢地すべり	とうたざわじすべり	the Totazawa landslide	1980年の融雪期に2度にわたり山形県最上郡大蔵村で発生した地すべり。植林地および水田が流出。防止区域面積9ha。
到達時間	とうたつじかん	arrival time required	震源から地震波が到達するのに要する時間。または洪水が流出して到達するまでの時間。
到達立坑	とうたつたてこう	arrival shaft	シールドの解体・搬出に使うため，シールドの到達点に設けられた立坑。
淘汰度	とうたど	sorting index	礫径のそろった具合で，「きわめて良い」から「悪い」までの5段階に分類して表す。
動弾性係数	どうだんせいけいすう	dynamic modulus of elasticity	動的応力と動的ひずみとの間に一次関係式を置くととき，両者を結ぶ係数。
動弾性定数	どうだんせいていすう	dynamic constant of elasticity	動弾性係数・動ポアソン比・動剛性率・動体積弾性率などの定数。通常，弾性波速度（ V_p ， V_s ）と密度から計算により求められる。
等地温線	とうちおんせん	isogeotherm map	日変化（あるいは年変化）の起こらない深度での地温測定結果による地温コンター図。
到着時	とうちやくじ	arrival time	地震波や洪水などが到達した時刻。発現時刻。
導通試験	どうつうしけん	circuit test	高温岩体発電において注入井から送った水が生産井に通ずるかどうかを評価する試験。
等泥量線	とうでいりょうせん	isopleth of mud content	海洋・湖沼底の表層堆積物のうちで，静穏域に沈積する泥の含有量の等しい地点を等値線で表示したもの。
動的FEM解析	どうてきえふいーえむかいせき	dynamic FEM analysis	地震時の構造物や地盤の安定性を検討するために地震波動・構造物の振動特性などを考慮に入れて行う有限要素法解析。
動的円錐貫入試験	どうてきえんすいかんにゆうしけん	dynamic cone penetration test	円錐（コーン）を貫入に用いる動的貫入試験。
動的応答	どうてきおうとう	modal response, dynamic response	構造物や基礎地盤のモデルに地震動など起振源の波形を作用させたときに表れる，構造物の加速度・変形などの応答。

動的応答解析	どうてきおうとうかいせき	dynamic response analysis	地震、交通、風、波などの動的外力が加わった時の地盤や構造物の挙動を解析すること。
動的解析法	どうてきかいせきほう	dynamic analysis	地震時における構造物の挙動を動力学的に解析すること。
動的荷重	どうてきかじゅう	dynamic load	時間の経過に伴い値が変化する荷重で、荷重速度と繰り返しの二つの要素が含まれる。静的荷重と対比される。
動的間隙水圧計	どうてきかんげきすいあつけい	dynamic pore pressure meter, dynamic pore pressure cell	地震時など動的現象下における間隙水圧を計測するための間隙水圧計。
動的貫入試験	どうてきかんにゅうしけん	dynamic penetration test	地盤への貫入ロッドの一定長打ち込みに要するハンマーの打撃回数から、地盤の硬さを求める試験。
動的強度	どうてききょうど	dynamic strength	衝撃的単一荷重、またはある周波数の繰り返し応力に対して発揮し得る地盤や材料の強度。
動的計画法	どうてきけいかくほう	dynamic programming	数値計画法の一種。多段階最適化問題を解く一般的方法として、1950年にR. Bellmanにより提案されたもの。
動的コーン貫入試験	どうてきこーんかんにゅうしけん	dynamic cone penetration test	動的円錐貫入試験と同義。
動的載荷試験	どうてきさいかしけん	dynamic loading test	地盤全体の動的特性を得る目的で実施される原位置試験。動的孔内載荷試験・動的平板載荷試験がある。
動的サウンディング	どうてきさうんでいんぐ	dynamic sounding	動的貫入試験と同義。
動的三軸試験	どうてきさんじくしけん	dynamic triaxial test	土や岩石の動的特性を求める室内繰り返し載荷試験の一つ。三軸試験では側圧と軸圧を独立に制御できる装置が多い。
動的CBR試験	どうてきしーびーあーるしけん	dynamic CBR test	地盤の塑性変形を対象とし、落下させた球体の地盤に生じた円形の窪みの直径からCBR値を推定する方法。
動的試験	どうてきしけん	dynamic test	動的荷重に対する地盤の変形や強度特性などを調べる試験で、室内繰り返し三軸試験、原位置での杭打ち試験などがある。
動的室内試験	どうてきしつないしけん	dynamic laboratory test	地震時の地盤の変形や強度特性などを調べるための試験で、採取試料を用いた繰り返し三軸試験などの室内試験。
動的地盤反力係数	どうてきじばんはんりょくけいすう	dynamic coefficient of subgrade reaction	単位面積あたりの動的なばね定数を表す量で、土のコンシステンシーによっては静的な地盤反力係数より大きくなる。
動的締固め	どうてきしめかため	dynamic compaction	振動や衝撃のような動的な荷重により土を締固めること。一般に砂質土に適用され、密実化により強度増加が図られる。

動的設計	どうてきせっけい	dynamic design	振動や衝撃のような動的外力による構造物の挙動を解析要素に取り入れて行う設計手法.
動的せん断試験	どうてきせんだんしけん	dynamic shearing test	構造物や基礎地盤の動的強さ・動的弾性係数・減衰定数・液状化の発生基準などを求めるため行う試験.
動的せん断定数	どうてきせんだんじょうすう	dynamic shear constant	動的外力が作用した時の、粘着力 c および内部摩擦角 ϕ .
動的先端抵抗	どうてきせんたんていこう	dynamic point resistance	一般に、63.5kgの重錘を75cmの高さから落下させ地中に打ち込んだ円錐形のコーンに働く平均圧力.
動的相互作用	どうてきそうごさよう	dynamic interaction	機械振動や地震動による地盤と構造物の相互作用をいい、地盤の力の釣り合いや変位は構造物がない場合とは異なる挙動を示す.
動的弾性係数	どうてきだんせいけいすう	dynamic modulus of elasticity	動弾性係数と同義.
動的弾性定数	どうてきだんせいいていすう	dynamic constant of elasticity	動弾性定数と同義.
動的弾性率	どうてきだんせいりつ	dynamic modulus of elasticity	動弾性係数と同義.
動的注入工法	どうてきちゅうにゅうこうほう	dynamic grouting	静的な注入圧に脈動を加えた注入工法. 改良効果や注入速度を向上させるための工法.
動的土圧計	どうてきどあつけい	dynamic earth pressure cell	地震時など動的現象下における土圧を計測するための土圧計.
動的抑制力	どうてきよくせいりよく	dynamic hold pressure	ボーリング孔の孔内の静水圧によって生ずる力. 岩片の表面に作用し、掘削時に生じた割れ目ゾーンの岩片が再破碎される原因となる.
等電位線法	とうでんいせんほう	equipotential-line method	人工電位法電気探査の一つ. 人工電源によって生じる地表の等電位線の形態を基に地下構造を推定する.
凍土	とうど	frozen soil, frozen ground	地温が氷点下になり、土壌間隙水が氷結し、土粒子が繋がった凍結土. 凍結前より強度が大きくなる.
陶土	とうど	porcelain clay	陶磁器製造用の原料土の総称であるが、白色のカオリン鉱物を主体とする.
凍土学	とうどがく	science of frozen soil	1年中0度以下の凍結状態を保った土壌または岩石(凍土)の生成・分布・性状についての学問.
陶土化作用	とうどかさよう	kaolinization	カオリンを生成する熱水変質作用. 陶土は陶磁器の原料でカオリンを主成分とする. カオリン化作用と同義.

凍土造成	とうどぞうせい	frozen soil, artificially frozen ground	シールド工法などの都市トンネルの補助工法として用いられる凍結工法で、掘削地山周辺を凍結させること。
東南海地震	とうなんかいじしん	the 1944 Tonankai earthquake	1944年12月7日に東海道沖で発生したM7.9の地震で、死者・不明者1223人、家屋倒壊54,119戸とされている被害地震。
透入深度	とうにゅうしんど	depth penetration	地下に入射した電磁場が及ぶ深度。直流法では電流が大地中へ到達する深度。
東濃鉱山	とうのうこうざん	Tono mine	岐阜県瑞浪盆地にある日本最大の堆積性ウラン鉱床（ウラン鉱量約6,000t）。母岩は中新統瑞浪層群礫岩層。
堂の浦石	どうのうらいし	Donoura ishi	徳島県鳴門市瀬戸町堂の浦産石材。白亜系和泉砂岩中の砂岩。濃緑色で緻密・堅硬。墓石・間知石・割栗に利用。
藤ノ木ー愛川構造線	とうのきあいかわこうぞうせん	Tonoki-Aikawa tectonic line	山梨県藤野木付近から神奈川県荻野付近に達する構造線で、関東山地南部と丹沢山地を分断する断層。
導爆線	どうばくせん	detonating fuse	TNTやピクリン酸などの高爆速の火薬を糸や金属管によってひも状にした火工品で、爆ごうを伝え多量の爆薬を爆破させるために用いる。
胴ばり	どうばり	strut	トンネル支保工や土留め支保工に作用する土圧・水圧などを水平方向に内面から支える支保部材。
等品位図	とうひんいず	isograde map	有用元素の含有率が等しい点を結んで作成された図面で、主に金属鉱床で用いられる。
頭部	とうぶ	head	地すべり滑動によって生じた、地すべり堆体の最上部のこと。
頭部浸食	とうぶしんしょく	headward erosion, head erosion	川や沢の最上流部の谷で、さらに上流側に向かって浸食作用が進む現象。谷頭浸食ともいう。
等伏角線図	とうふっかくせんず	isoclinic map	地磁気の伏角の等しい点を結んだコンター図。
動物化石群	どうぶつかせきぐん	fossil fauna	化石動物群と同義。
動物命名規約	どうぶつめいめいきやく	Code of zoological nomenclature	動物の学名に関する国際的規約。現世動物・絶滅動物の分類群に適正な科・属・種の名を与えるときの基準となる。
等分布円形荷重	とうぶんぷえんけいかじゅう	uniformly distributed circular load	円形の範囲について大きさが一定である荷重。
等分布帯状荷重	とうぶんぷおびじょうかじゅう	uniformly distributed strip load	帯状の範囲について大きさが一定である荷重。

等分布荷重	とうぶんぷかじゅう	uniform load	ある範囲内において、分布荷重の大きさが等しいこと。
等分布載荷試験	とうぶんぷさいかしけん	equal stress loading test	等分布載荷法を用いた変形試験。
等分布載荷法	とうぶんぷさいかほう	equal stress loading	孔内載荷試験などにおいて、試験面の応力が同じになるようにゴムなどの弾性材を介し、流体で加圧する方法。試験面の変位は等しくならない。
等変位載荷試験	とうへんいさいかしけん	equal displacement loading test	変形試験において、剛体載荷板を用いる方法。試験面の変位を同一とする。試験面の応力分布は一様とならない。
等偏角変化線	とうへんかくへんかせん	isoporic line	地磁気偏角の年間における変化量が等しい地点を結んだ線。
動ポアソン比	どうぽあそんひ	dynamic poisson's ratio	動的な縦ひずみと横ひずみの比。
等方圧密	とうほうあつみつ	isotropic consolidation	三軸圧縮試験機を用いて、軸圧と側圧が同圧の条件で行う圧密試験。主に体積弾性係数を求めるために行われる。
等方位線	とうほういせん	isogonal line	磁北と真北の差が同じ地点を結んだ線。
等放射線	とうほうしゃせん	isorad	放射線強度あるいは γ 線強度の等しい点を結んだ線。
等方性	とうほうせい	isotropy	物質の物理的・力学的性質がどの方向でも同じであること
等方性ファブリック	とうほうせいふあぶりつく	isotropic fabric	岩石を形づくる鉱物その他の物質の配置が、全く定向性を持たない空間的な相互関係にあるもの。
東北飯岡鉱山	とうほくいおかこうざん	Tohokuiioka mine	千葉県九十九里浜北部沿岸の砂鉄鉱山。磁鉄鉱・チタン鉄鉱・金紅石などを海浜の砂から回収した。
東北大理石	とうほくだいりせき	Tohoku marble	北上山地南部、岩手県東磐井郡摺沢周辺産石材。ペルム系中の大理石。白色・中粒。装飾用・配電盤・砕石などに利用。
東北日本	とうほくにほん	Northeast Japan	糸魚川－静岡構造線より東北側、近年は棚倉構造線より東北側の本州弧。南西側を西南日本と呼び、新生代の地史が大きく異なる。
東北日本弧	とうほくにほんこ	Northeast Honsyu arc	本州弧の北東半部で、西は西南日本弧、北東は千島弧、東は日本海溝で太平洋プレートと、それぞれ接する。
等ポテンシャル線	とうぽてんしゃるせん	equipotential line	ポテンシャル量(例えば全水頭)の等しい点を連ねた等圧線。

等ポテンシャル面	とうぼてんしゃるめん	equipotential surface	重力や気圧などのポテンシャル量の等しい点を結んで作られる面。ジオイド、等圧面など。
透明鉱物	とうめいこうぶつ	transparent mineral	水晶や白雲母などのように不純物や欠陥のないイオン結合や共有結合の鉱物。鉱物を通して反対側の物体が見える。
透明度	とうめいど	transparency	水質調査で、海水や湖水中の光の透過度合の指標。白色円板を水中に吊して、見えなくなる深度(m)で示す。
等面積投影法	とうめんせきとうえいほう	equal-area projection	球面上の任意図形を、面積を変えずに平面に投影する図法。ランベルト正積円錐図法と同義。シュミットネットも含まれる。等積図法ともいう。
洞爺火砕流	とうやかさいりゅう	Toya pyroclastic flow	更新世末期に洞爺カルデラの形成に伴って噴出した火砕流。大規模な火砕流で広大な火砕流台地を形成。
洞爺カルデラ	とうやかるでら	Toya caldera	北海道西部の渡島半島東南部で、有珠火山の北に位置する直径約13kmのほぼ円形の陥没地形で洞爺湖を湛える。
洞爺テフラ	とうやてふら	Toya tephra	洞爺カルデラから更新世末期に大量に噴出した火砕流と降下火山灰 (Toya, 10～12万年) よりなる。北海道と東北地方に広く分布。
洞爺丸台風	とうやまるたいふう	Toya-maru Typhoon	1954年9月26日、函館港を出港した青函連絡船洞爺丸を転覆させ、1,139人とされている死者・行方不明者をもたらした台風。
動力学	どうりきがく	dynamics	物体間に働く力とそれによる運動の関係を調べる物理学の分野。静力学に対する用語。
倒立振り子	どうりつふりこ, どうりつしんし	inverted pendulum	水平方向の地面の動きを測るための振り子。おもりの下方に支点があり、傾いた時の復元力はばねの力による。
等粒	どうりゅう	equigranular	岩石の構成鉱物がほぼ同じような大きさを示している状態。完晶質の深成岩などに見られる。
導流工	どうりゅうこう	training dyke	河流の合流点の二つの河川に挟まれた部分の先端に、合流河道の形と流況を良くするために施す工作物。
導流堤	どうりゅうてい	training levee, training dyke	導流工の一つで、合流後の河道を安定させるためにある区間導流するための堤防。河口に設けられる突堤もその一種。
導流壁	どうりゅうへき	training wall, guide wall	洪水吐きや取水口の流入部や放流部などにおける水路の側壁
動力地質学	どうりよくちしつがく	dynamic geology	地表や地下の地質的な営力やそれによる変化を研究する一分野。現在では用いられていない。
動力熱変成岩	どうりよくねつへんせいがん	dynamo-thermal metamorphic rock	広域変成岩と同義。広域変成帯では千枚岩、結晶片岩、片麻岩、ミグマタイトなどの岩帯が分布する。

動力熱変成作用	どうりょくねつへんせいさよう	dynamo-thermal metamorphism	広域変成作用と同義。変成作用の物理的要因を示している。
銅緑礬	どうりょくばん	pisanite	(Fe, Cu)SO ₄ ·7H ₂ O。単斜晶系。緑バンの一種。緑青・青色。黄鉄鉱・白鉄鉱などの酸化二次鉱物。
動力変成岩	どうりょくへんせいがん	dynamometamorphic rock	マイロナイト、カタクラサイトなど動力変成作用でできた変成岩。
動力変成鉱床	どうりょくへんせいこうしょう	dynamometamorphic deposit	広域変成作用によって特定の鉱物、化学成分が濃集あるいは成分変化して形成された鉱床。広域変成鉱床ともいう。
動力変成作用	どうりょくへんせいさよう	dynamic metamorphism, dynamometamorphism	マイロナイト化作用などと同義。地下深部で岩石が変形・破砕される現象。断層破砕帯の形成は含めない。
ドゥルースはんれい岩（斑糲岩）体	どうるーすはんれいがんたい	Duluth gabbro complex	北米スペリオル湖北岸の貫入岩体。延長240km, 最大幅50kmの三日月型シルである。
トゥルネー統	とうるねーとう	Tournaisian series	イギリス・ヨーロッパの石炭系標準層序地域の下部石炭系下部。主に頁岩・石灰岩からなる。
桃簾石	とうれんせき	thulite	マンガンを含む灰簾石（ゾイサイト）の一種で、淡桃色を呈しガラス光沢あり。
道路トンネル	どうろとんねる	road tunnel	鉄道以外の交通用トンネルで、自動車専用・歩行者専用・両者併用トンネルの三つに分類される。
土堰堤	どえんてい	earth dam	堤体のほとんどが土質材料で造られたフィルダム。昔からかんがい（灌漑）用のため池を造るために築堤されてきた。
十日町－新発田線	とおかまちしばたせん	Tokamachi-Shibata tectonic line	新潟県の新発田から十日町へかけて想定された構造線。現在は魚沼丘陵の東側に想定され、新発田－小出線と呼ばれる。
ドーザーショベル	どーざーしょべる	dozer shovel	トラクターショベルと同義。
トータルステーション	とーたるすてーしょん	total station system	電子式の測角装置と光波測距儀を一体化した測量機器。
トーナライト	とーならいと	tonalite	花崗閃緑岩と石英閃緑岩の中間の組成を有する深成岩。石英・斜長石・黒雲母・角閃石からなる完晶質岩。トータル岩ともいう。
トータル岩	とーなるがん	tonalite	トーナライトと同義。
遠野花崗岩	とおのかこうがん	Tono granite	岩手県遠野市付近に南北40km, 東西20kmの範囲にさかずき状構造で分布。白亜系花崗岩。

ドーバー海峡トンネル	どーばーかいきょうとんねる	the Strait of Dover tunnel, Eurotunnel, The Channel tunnel	ユーロトンネルと同義。
トミ断層	とーみだんそう	Tomi fault	活断層。確実度 I，活動度 A～B 級，北西方向。長野県北佐久郡の浅間山南西斜面に位置する延長10km。
ドーム	どーむ	dome	褶曲構造の背斜の一つであり，四方へ地層が傾斜する。平面的には楕円形の地層分布を示す。
ドーム運動	どーむうんどう	doming	岩塩やマグマの上昇など，丸天井形状の構造を形成する運動。
ドーム構造	どーむこうぞう	dome structure	人工衛星から撮影した画像上で，背斜構造の特定のケースとして円形や楕円形のパターンに見える場合をいう。
ドーム山地	どーむさんち	dome mountain	頂が丸いドーム状の山の総称で，周囲より硬い岩石の場合と，曲隆で緩やかに隆起して作られる場合とがある。
ドーム状火山	どーむじょうかざん	volcanic dome	ドーム型をした火山の総称。マグマの貫入・上昇による既存山体の膨張や粘性の強い溶岩の噴出で形成される。粘性の強い溶岩は，溶岩円頂丘(lava dome)と同義。
ドーム状褶曲	どーむじょうしゅうきよく	domical folding	側方への短縮がなく，主に上下方向の運動によって形成されるドーム形状の褶曲。
遠目鏡	とおめがね	Tomegane	岐阜県赤坂産大理石の石材名。シュワリゲナ石灰岩で方解石脈が多く，加工困難。
ドーラスかんらん岩体	どーらすかんらんがんたい	Dawros peridotite body	アイルランド北西部の片岩中の貫入岩体。ダナイトや輝岩などからなる。
トール石	とーるいし	thorite	ThSiO ₄ ，正方晶系，硬度4.5，比重6.63。トリウムを主成分とする鉱物。ペグマタイトに伴って産出する。880℃付近で発熱，結晶化する。
土塊	どかい	clod	数cmから数十cm程度の土壌のかたまり。
富樫断層	とがしだんそう	Togashi fault	活断層。確実度 I～II，活動度 B 級，北北東方向。石川県の金沢平野東縁を限る延長16kmの逆断層。
土荷重	どかじゅう	load of earth pressure, overburden load	地盤内の一点でその上の土の全重量によって生じている鉛直荷重。
十勝石	とかちいし	Tokachi ishi	十勝平野の河川流域の河床や段丘に産する黒曜石。飾り石として用いられる，縄文時代に石器材料として利用。
十勝沖地震	とかちおきじしん	Tokachi-oki earthquake	十勝沖を震源とする大地震で，1968年のM7.9の地震では北海道・青森県に多大な被害を生じた。

十勝火山群	とかちかざんぐん	Tokachi volcano group	北海道石狩山地の大雪山十勝火山列の南西端にある成層火山群。火山群の形成は中期更新世に始まる。
十勝岳噴火	とかちだけふんか	the 1962 Tokachidake eruption	大正15年（1962年）5月に活動した北海道十勝岳の噴火。この噴火では火口から噴出した岩屑流が山腹に残っていた多量の残雪を溶かしながら猛烈な速度で下流に流れ落ち、洪水により140余名の被害となった。
十勝炭田	とかちたんでん	Tokachi coal field	十勝平野一帯の地下に存在する炭田。夾炭層は鮮新世～更新世の池田層。褐炭を産し、予想埋蔵炭量5,000万t程度。
十勝みかげ	とかちみかげ	Tokachi mikage	石材名。十勝平野の西縁に分布する日高系を貫く中生界黒雲母角閃石花崗岩。白色・粗粒で、建築・土木用に利用。
斗賀野層群	とがのそうぐん	Togano Group	関東山地から沖縄にいたる秩父累帯南帯の北半分に分布する中生界三じょう系（三畳系）～後期ジュラ系。チャート・珪質泥岩・砂岩よりなる付加体。
土被り	どかぶり	overburden	土中の任意の点もしくは面を基準にして、それより上方の地表面までの区間。
土被り厚	どかぶりあつ	overburden	トンネルなどの覆工上面から地表までの厚さ。硬岩では山はね、軟岩では塑性土圧発生を予測する目安となる。
土被り圧	どかぶりあつ	overburden pressure	地盤中のある一点において、その点から地表面までの土の全重量によって生じている鉛直方向の応力。
土被り荷重	どかぶりがじゅう	overburden load	土荷重と同義。
土狩石	とがりいし	Togari ishi	静岡県駿東郡長泉町土狩産石材。更新統玄武岩（富士山基底溶岩）黒色・粗粒で、土木用に用いられる。
戸狩階	とがりかい	Togarian stage	中新世中期の前半を示す年代層序区分。模式層は岐阜県瑞浪層群戸狩層。中新世の最大海進期の地層。
都幾川層群	ときがわそうぐん	Tokigawa Group	関東山地東縁の岩殿丘陵を構成する中新統。下位は塊状シルト岩主体の岩殿層で、上位は砂岩を主とする大橋層。
土岐鉾床地区	ときこうしょうちく	Toki fireclay area	岐阜県土岐市・瑞浪市周辺の堆積性耐火粘土鉾床地区。鉾床は中新世末期～鮮新世の瀬戸層群中に賦存する。
土岐砂礫層	ときされきそう	Toki sand gravel bed	愛知・岐阜県下に広く分布する上部新生界の瀬戸層群の上部層。下位の土岐口陶土層とは整合・一部不整合の関係。
土岐面	ときめん	Toki surface	愛知・岐阜両県にわたって分布する第三系～第四系の瀬戸層群で構成された丘陵上の平坦な地形面。
常盤みかげ	ときわみかげ	Tokiwa mikage	愛知県東加茂郡旭町産石材。中生界両雲母花崗岩。細～中粒・灰～白色で美麗。鳥居・灯籠・石柱・敷石に利用。

毒重石	どくじゅうせき	witherite	BaCO ₃ , 斜方晶系, 硬度3~3.5, 比重4.291. ガラス光沢あり, 無色・乳白色など. 低温熱水性脈に重晶石, 方解石を伴って産出する. 毒重土石ともいう.
毒重土石鉱床	どくじゅうどせきこうしょう	witherite deposit	バリウム炭酸塩を主要鉱石鉱物とする鉱床. 英国ペニン山脈の東側で採掘されているのが現在唯一の産地.
特殊サンブラ	とくしゅさんぷら	special sampler	固定ピストンとスプリング式バケット型コアキャッチャーを組み合わせた三重構造のサンブラ.
特殊図	とくしゅず	special map, topical map	特殊な用途のために特定の内容を詳しく表現した地図. 海図, 地質図などが相当する.
特殊堤	とくしゅてい	special levee	コンクリートや鋼矢板などで造られた堤防.
特殊土	とくしゅど	unusual soil	一般の土質工学手法が適用できない性質を有し, 設計施工上特別の取り扱いを要する土. しらす, マサなど.
徳舜別鉱山	とくしゅんべつこうざん	Tokushunbetsu mine	北海道胆振支庁大滝村にあった, 更新統上に沈殿した褐鉄鉱床を採掘した鉱山. 閉山. Fe品位50%.
特性曲線 (地盤の)	とくせいきょくせん (じばんの)	characteristic curve	トンネルや地下空間掘削に伴う地盤の応力や変位の変化を知るための地盤の特性を表す曲線.
毒石	どくせき	pharmacolite	CaH(AsO ₄)・2H ₂ O, 単斜晶系, 硬度2, 比重2.71. ブラッシュ石族に属し石膏と同構造. 微細針状結晶, 星状集合体として産出.
特徴種	とくちょうしゅ	characteristic species	生物の群集を構成する種の中で特に個体数が多いもの. 通常は厳密な意味でなく, 群集を特徴づける種.
特定観測地域	とくていかんそくちいき	specific observation area	地震予知連絡会が指定した大地震発生の可能性の比較的大きいと考えられる地域. 現在8地域を指定している.
特定ダム堆砂排除事業	とくていだむたいさはいじょじぎょう	flushing project for specified dam	計画以上の土砂流出が生じ機能が低下しているダムについて, 洪水調節, 利水面からの機能回復を図るために行う堆砂排除事業.
特定多目的ダム	とくていたもくてきだむ	specified multi-purpose dam	特定多目的ダム法に基づいて建設される多目的ダムで, 直轄ダムは国土交通 (建設) 大臣が自ら施工・維持管理を行うダム.
徳山ダム	とくやまだむ	Tokuyama dam	木曾川水系揖斐川. (独) 水資源機構. 2007年竣工 (予定). 堤高161mのロックフィルダム. 総貯水容量6億6000万m ³ は日本最大.
徳山みかげ	とくやまみかげ	Tokuyama mikage	山口県周南市 (旧徳山市) 黒髪島・蛙島・仙島産石材. 白亜系黒雲母~黒雲母角閃石花崗岩. 建築用・土木用に利用. 大産地.
徳力石	とくりきいし	Tokuriki ishi	福岡県北九州市小倉区徳力産石材. 前期白亜系安山岩. 小熊野石・藍島石・横山石と同質. 砕石に利用.

独立杭方式	どくりつぐいほうしき	isolated pile support type	沈埋トンネルの基礎型式の一つで、沈埋函両端部を事前に打設した杭頭と沈埋後密着させる方式。
独立支持形式	どくりつしじけいしき	isolated support type	沈埋トンネルの基礎型式の一つで独立した基礎により沈埋函を支持する方式。橋台・橋脚・独立杭方式がある。
独立標高点	どくりつひょうこうてん	spot height	地形図の上で、主要な山や丘の頂き、道路の分岐点などに高さを表示した点。標高点ともいう。
独立フーチング基礎	どくりつふーちんぐきそ	individual footing foundation	1本の柱を一つのフーチングで受ける基礎形式。
土研式貫入試験	どけんしきかんにゆうしけん	penetration test of Public Works Research Institute	5kgの重錘を50cm落下させ、コーンを10cm貫入させるのに要する打撃回数を求める簡易貫入試験。
土工	どこう	earth works	築堤・道路工事などにおける盛土や切土などの土砂を取り扱う工事の総称。
土鉱	どこう	earthy ore	黒鉱中の硫化物の一部が沈殿し、天水の作用で金銀が二次的に富化した土状の鉱石。
土工機械	どこうきかい	earth-moving machine, earthmoving equipment	土の運搬、敷き均しおよび転圧などのために用いる機械。ダンプトラック、ブルドーザおよび転圧機械など。
床固め工	とこかためこう	groundsill	河床の洗掘防止、乱流の防止などを目的として設置される河川を横断する構造物。
常滑層群	とこなめそうぐん	Tokoname Group	知多半島の南部を除くほぼ全域に分布する中新～鮮新統。非海成の砂泥互層が主体。
トコベイ海溝	とこべいかいこう	Tokobei trench, Tobi trench	西太平洋パラオ海溝の南に雁行する水深5,000～6,000mの海溝。フィリピン海プレートと太平洋プレートの境界に位置する。その西壁上にメルル島とヘレン礁がある。
床掘り	とこぼり	exposure of bedding formation	構造物が設置される地盤を計画の深さまで掘削すること。
土佐石	とさいし	Tosa ishi	徳島県鳴門市鳴門町土佐泊浦産石材。白亜系和泉層群の砂岩。濃緑色で緻密・堅硬。墓石・間知石・割栗に利用。
土佐海段	とさかいだん	Tosa deep-sea terrace	四国沖の水深800～1,000mにある広く平坦な地形で、第四紀の土佐湾層群からなる土佐海盆に付けられた名称。
土佐大理石	とさだいらせき	Tosa marble	高知県内に産する中生代の大理石。主な産地は香美郡野市町、長岡郡本山町、吾川郡吾北村など
戸沢石	とざわいし	Tozawa ishi	静岡県伊豆長岡産石材。新第三系凝灰岩。青色で石質はよくない。土木用に用いられる。長岡青石とも呼ばれる。

戸沢階	とぎわかい	Tozawan stage	日本の中新統を4分して下から3番目の階。下位は戸狩階，上位は湯日（ゆい）階。模式層は静岡県の西郷層群。
都市災害	としさいがい	urban disasters	集中化と高度化が進んだ都市が，強大な台風や地震などによって受ける都市に特有な災害。
都市水害	としすいがい	flood damage in new-urbanized area	流域内の都市化による土地利用の変化に応じて発生する新型水害。主として新興住宅地の浸水被害をさす。
土師層群	としそうぐん	Doshi Group	福岡県宝珠山村付近に南北方向に分布する上部始新統。主に海成の礫岩・砂岩・泥岩からなり炭層を挟在。
利田石	としだいし	Toshida ishi	福島県耶麻郡高郷村産石材。新第三系緑色凝灰岩。帯緑白色・柔軟。建築・土木用に利用。荻野石・山都石と同じ。
閉じた褶曲	とじたしゅうきよく	closed fold	急斜褶曲ともいう。一般には翼間角が小さく，通常は翼間角が70度以下。開いた褶曲の対語。
閉じた断層	とじただんそう	closed fault	断層面が固結・癒着した断層。開いた断層の対語。
都市地質学	としちしつがく	urban geology	人間の活動と自然環境の相互作用，都市地盤の地質現象などに関する応用地質学分野の学問。最近は経済の発展に伴い，建設・環境などに対する要求で発展した。
土質	どしつ	soil	土のもつ物理・化学的ならびに力学的特徴の総称。
土質安定工法	どしつあんていこうほう	ground stabilization method	地盤の耐久性，安定性などを増すための処理工法。粒度調整やセメントなどの添加混合，薬液注入などがある。
土質安定処理	どしつあんていしやり	soil stabilization	土の工学的性質を改善し基礎地盤や土構造物の安定性を確保するために行われる物理的・化学的処理。
土質改良効果	どしつかいりょうこうか	effect of soil stabilization	地盤や土材料を物理的・化学的工法によって土質安定処理を施した効果。
土質改良材	どしつかいりょうざい	stabilizer	土質改良用添加材と同義。
土質改良用添加材	どしつかいりょうてんかざい	stabilizer	土質安定処理を施すための添加材。セメント・石灰・アスファルトなどが用いられる。
土質基礎	どしつきそ	soil foundation	構造物基礎のうち，土質を基礎とするもの。
土質工学	どしつこうがく	soil engineering	土を対象とし，工学的な諸問題・現象の解明に対して，強度や透水性などの物理的性質・原理を適用する応用科学技術の総称。

土質材料	どしつざいりょう	soil material, earth material	透水性が低く、均一型フィルダムやゾーン型フィルダムの遮水材として用いられる細粒材料。
土質試験	どしつしけん	soil test	採取された試料を対象として、土の物理的・化学的および力学的性質を求める試験。
土質試験機用力計基準	どしつしけんきょうちからけいきじゅん	standard of force meter for soil loading test machine, standard of force transducer for soil loading test machine	土質試験機の静的荷重試験に用いられる環状ばね型力計に適用される基準。(JGS 004-2000)
土質定数	どしつじょうすう	soil parameter	土の性質を規定する定数の総称であり、物理・強度・圧密・変形などを規定する。
土質断面図	どしつだんめんず	soil section	土質調査結果を基に、任意の面における地盤の層構造状態を表す図。土層断面図などともいう。
土質柱状図	どしつちゅうじょうず	soil boring log	調査ボーリングにより得られた地質・削孔時の状況・各種試験結果などを柱状に整理・記載した成果表。
土質調査	どしつちょうさ	soil exploration	土木構造物などの設計・施工にあたって、予定地の地盤の土質工学的性質を把握するために行う調査。
土質ブランケット層	どしつぶらんけつとそう	blanket	浸透路長を長くして浸透流の軽減を図るため、基礎地盤上に敷きならした不透水層。
土質分類	どしつぶんるい	soil classification	工学的な性質を含めて似かよった特性を示す土のグループ分け。日本統一分類法などを利用する。
土質力学	どしつりきがく	soil mechanics	土の持つ物理化学的な性質に対して、強度・変形・透水性などの物理的な諸性質・原理を適用して解明する学問体系。
都市トンネル	としとんねる	urban tunnel	都市部に建設されるトンネル、または軟質な土砂部をシールドなどの都市トンネル工法を用いて掘削するトンネル。
都市NATM	としなとむ	urban NATM	都市トンネルを掘削する工法の一つで、補助工法付きのNATM工法のこと。低土被り、低強度地山、地下水などへの対策が必要。
戸島石	とじまいし	Tojima ishi	兵庫県豊岡市赤石玄武洞内川地方産石材。更新統～第三系玄武岩。石燈・石垣・礎石に利用される。灘石と同じ。
利島火山	としまかざん	Toshima volcano	伊豆七島北部に位置する直径2.5km、周囲約8kmの安山岩および玄武岩からなる円錐形の成層火山。
土砂	どしや	earth	粘土・シルト・砂・礫のそれぞれ、またはこれらが様々な割合で混合したものを一括して呼ぶときの総称。
土砂崩れ	どしゃくずれ	soil fall	崩壊物質の中に岩塊を含まない小規模な崩落の俗称。人間活動の場に近い小規模な表層崩壊に対して用いられることが多い。

土砂災害	どしゃさいがい	sediment disasters	土砂、礫、岩塊の移動による災害の総称。土砂の移動により人命や財産が破壊、または機能低下をきたし、生活や経済に好ましくない影響を与える現象。
土砂生産	どしゃせいさん	sediment production	土砂移動の最初期の現象。地すべり、崩壊、土石流などによるマスムーブメントや風、流水、凍結・融解が関与する。
土砂トンネル	どしゃとんねる	earth tunnel	土砂地山に掘削されるトンネルで土被りが浅く地下水水面下にある場合が多い。補助工法・特殊工法が必要となる。
土砂濃度	どしゃのうど	sediment concentration	洪水流が土砂を含む濃度、土砂濃度を想定して洪水流の動的平衡勾配を流砂量公式から検討する。
土砂崩壊防備林	どしゃほうかいぼう びりん	forest for earthfall prevention	保安林の中で土砂の崩壊の抑制、抑止機能を期待する林。主として根系が深い樹木の土層緊縛力により土砂の崩壊を防備する。
土砂流出	どしゃりゅうしつ	sediment yield	山地の崩壊や地すべりなどで生じた大量の土砂が流出する現象。建設工事に伴う一時的な土砂流出もある。
土砂流出防備林	どしゃりゅうしゅつ ぼうびりん	forest for erosion control	保安林の中で土砂の流出の抑制機能を期待する林。主として樹冠や下草あるいは安定した落葉層により土砂の流出を防備する。
土砂流送	どしゃりゅうそう	solids transport, sediment transport, sediment transportation	流水の運搬作用により土砂が浮遊または掃流の形式で運搬されること。
土砂流量	どしゃりゅうりょう	sediment discharge	単位時間あたりに一定断面を流下する土砂の重量あるいは体積。単位時間としては秒・日・週・月・年が用いられる。
土壌	どじょう	soil	地殻極表層の岩石（母材）の物理的、化学的風化物と生物の遺骸やその分解物からなる柔らかい地層。
土壌亜群	どじょうあぐん	subsoil	土壌分類の作図縮尺に基づいた分類の中分類（土壌群－土壌亜群－土壌統群）。
土壌亜型	どじょうあけい	soil subtype	土壌の分類単位の一つ。一つの土壌型を、土壌生成作用の現れ方が質的に異なる型に細分したもの。
土壌汚染	どじょうおせん	soil contamination	有害物質による土壌への汚染。排水や埋立廃棄物による他、土木工事に使用する薬液などの資材も汚染源となる。
土壌温度	どじょうおんど	soil temperature	土壌温冷の度合。土壌は主に太陽熱で暖められ、化学反応や微生物活動は土壌温度により大きく影響される。
土壌改良	どじょうかいりょう	soil amelioration, soil amendment, soil improvement	土壌の肥沃度を高め、作物育成の向上・安定を図るため、土壌を物理・化学的に改善すること。
土壌学	どじょうがく	pedology, soil science	土壌の性質・分布・生成・分類に関する学問。肥沃性なども扱う。

土壌ガス	どじょうがす	soil gas	一般に土壌に含まれるガス。炭酸ガス・水素・メタン・ヘリウムなど大気と異なる存在量を示すことが多い。
土壌ガス探査	どじょうがすたんさ	soil gas exploration, soil gas survey	水銀・ラドン・炭酸水素ガスなど土壌ガス成分を分析し、地熱資源や活断層の分布状況などを調査する方法。
土壌ガスモニタリング	どじょうがすもにたりんぐ	soil gas monitoring	揮発性有機塩素化合物による地下水汚染などを調べるため、土壌空気中の揮発性成分を継続測定、分析すること。
土壌カラム	どじょうからむ	soil column	土壌を切り出し、または容器に封入し、円柱状にしたもの。土壌柱状標本や浸透に関する実験に用いる。
土壌換気	どじょうかんき	soil aeration	土壌空気が大気と交換することをいい、主に拡散による。拡散は空気間隙量の2乗に比例する。
土壌緩衝能	どじょうかんしょうのう	buffer action	土壌が外部からの影響による変化を小さくし、土壌の性質を一定に保持しようとする能力。
土壌気候	どじょうきこう	soil climate	土壌内の水分や温度などの気候条件。土壌生成の重要因子で、土壌の物理・化学・生物性に影響を与える。
土壌吸着	どじょうきゅうちやく	soil adsorption	土壌粒子表面で、気・液相中の物質が物理・化学的作用で種々な物質濃度を保ち平衡となることをいう。
土壌吸着能	どじょうきゅうちやくのう	adsorbing capacity	土壌粒子と気・液体の界面で、物質濃度を変化させる力。物質濃度が高い時は正吸着、低い時は負吸着。
土壌空気	どじょうくうき	soil air	土壌孔隙中の気体のこと。土壌の種類や部位で成分は異なり土壌中の生物、物質変化に影響する。
土壌クリープ	どじょうくりーぷ	soil creep	ある一定の応力下で土の変形が継続的に進行する現象。斜面崩壊の一つで、土壌が斜面をゆっくりとした速度で下る現象。木の根曲がりや柵の傾きから判定。
土壌工学	どじょうこうがく	soil mechanics and engineering	土壌を土木工事で必要な機械力の関係で研究する土壌学の応用部門。
土壌孔隙	どじょうこうげき	soil pore, void of soil	土壌構成粒子間にみられる間隙。気体や液体で満たされ、植物根・生物の通路でもある。
土壌構造	どじょうこうぞう	soil structure	土壌構成粒子の組成割合および粒子相互の立体的配列形態のことで、土壌の生成環境を反映している。
土壌硬度	どじょうこうど	soil hardness	外力が加えられたときの土壌の抵抗程度。山中式土壌硬度計やコーンペネトロメータを用いて測定する。
土壌硬度計	どじょうこうどけい	soil hardness cell	土壌硬度を測定する計器の総称。測定には貫入計が用いられ、土壌の示す貫入抵抗・押し込み抵抗が測定対象。

土壌鉱物	どじょうこうぶつ	soil mineral	土壌を構成する無機質の固体物質の総称. 一次 (造岩鉱物), 二次 (主に粘土鉱物), 外来の鉱物がある.
土状黒鉛	どじょうこくえん	amorphous graphite	花崗岩などの接触変成作用によってグラファイト化した, 主に古生代の無煙炭のことで土状を呈する.
土壌コロイド	どじょうころいど	soil colloid	粒径 1 ~ 2 μm 程度以下のコロイド的性質を示す土壌で, 主に粘土鉱物や腐植粘土の複合体からなる. コロイド分の含有量により細粒土の工学的性質が変わる.
土壌コンプレックス	どじょうこんぷれっくす	soil complex	数種の土壌が複雑に入り組んで分布している場合, 一群として土壌図に表す作図単位.
土壌細菌	どじょうさいきん	soil bacteria	土壌中で生活する単細胞の微生物.
土壌酸性度	どじょうさんせいど	soil acidity	土壌の酸性化の程度. 水や塩類溶液を加えた時に遊離する水素イオン濃度を pH で表す.
土壌指数	どじょうしすう	soil index, SI	リモートセンシング画像解析による土壌分布図の作成などで用いられる, 赤色と近赤外波長の反射率の比演算値.
土壌種	どじょうしゅ	soil species	土壌の分類単位の一つ. 土壌型を基本に土壌生成に基づく特徴とその相互間の関係で区分.
土壌浄化工法	どじょうじょうかこうほう	purification of soil	汚染された土壌を浄化する方法. 掘削しての処理や原位置での処理がある. 揮発性有機化合物では水の揚水や土壌ガス吸引が, 重金属では洗浄や熱処理などがある.
土壌浄化法	どじょうじょうかほう	soil treatment	土壌の水質浄化機能を利用した水質浄化手法. 微生物による生物的な浄化, 土壌鉱物による吸着などがある. 排水を散布あるいは水路から浸透させることにより, 土壌の持つ水質浄化能力を利用して処理すること. 土壌処理と同義.
土壌処理	どじょうしゅり	soil treatment	土壌浄化法と同義.
土壌浸食	どじょうしんしょく	soil erosion	広義には土壌表面が風水に浸食されること. 狭義には人為的な植被破壊によって引き起こされる土壌浸食をいう.
土壌図	どじょうず	soil map	土壌を分類し分布範囲を地形図に示したもの.
土壌水	どじょうすい	soil water, soil moisture	地下水面以上の土壌・地層中の間隙や割れ目に分布する水で, 水循環に関係している. 土の固体部分の吸着力と気液界面による毛管力によって保持されている水. 土壌水分ともいう.
土壌水分	どじょうすいぶん	soil moisture	土壌粒子間の孔隙に含まれる水を土壌水 (soil water) と呼び, 量を問題とするときに土壌水分という. 吸着水, 毛管水, 重力水にわけられる.
土壌水分移動量	どじょうすいぶんいどうりょう	soil moisture movement	重力水, 毛管水および水蒸気の形で土壌中を移動する水分の総和.

土壌水分吸引圧	どじょうすいぶん きゅういんあつ	soil moisture suction pressure	水が土壌に引きつけられる強さを水柱高さ(cm)の対数 で表した数値. 土壌水分のエネルギー状態を示す. pF 値.
土壌水分吸引水 頭	どじょうすいぶん きゅういんすいとう	soil moisture suction head	土壌水分のポテンシャルを計算するため, ポテンシャ ルが既知の水に平衡となる負圧を与えたときの水頭.
土壌水分計	どじょうすいぶんけ い	soil moisture meter	土壌内の水分量を原位置で測定するための計器. 中性子 水分計やTDR水分計が広く用いられている.
土壌水分定数	どじょうすいぶん じょうすう	soil moisture constant	ある特定状況のもとで安定状態にある土壌水分量.
土壌成熟度	どじょうせいじゆく ど	soil maturity	土壌断面がその生成過程において発達していく程度を 示す指標であり, 土壌の相対的年代を表わす.
土壌生成因子	どじょうせいせい いんし	soil forming factor	母岩・生物・気候・地形・時間・人為など土壌生成に 関わる環境的な要因.
土壌生成作用	どじょうせいせいさ よう	soil genesis, soil forming processes	土壌生成因子が組合わされ, 土壌が生成されること. 土壌生成作用は常に風化作用を伴って進行する.
土壌成帯性	どじょうせいたい せい	soil zonality	土壌の分布帯が土壌生成因子の分布帯と並行するとい う概念. 緯度的成帯性と垂直成帯性に区分される.
土壌相	どじょうそう	soil phase	土壌分類の最低の補助単位で, 傾斜・浸食・排水状態 などの違いによる局地的な区分.
土壌層位	どじょうそうい	soil horizon	土壌生成作用により分化した層. 地表面にほぼ平行で 上下で性質が異なる. 上から主にO, A, B, C, R 層.
土壌組織	どじょうそしき	soil constitution	土壌の固相・液相・気相間の立体的な配置. またはそ れらによる土壌の物理的性質.
土壌断面	どじょうだんめん	soil profile	表土(地表に生成された無機・有機物)を鉛直面で 切った断面. 土壌の生成過程を知ることができる.
土壌調査	どじょうちょうさ	soil survey	調査地内の土壌の種類と分布を土壌の成因・形態・性 状に基づいて調査すること.
土壌地理学	どじょうちりがく	soil geography	土壌学と自然地理学の境界に位置する学問で, 地理的 な見方を土壌生成因子に反映させ土壌分布の法則性を 調べる.
土壌統	どじょうとう	soil series	土壌分類の基本単位. 母材が特定され, 表層土以外は 土壌層位が類似した特徴を持つ土壌群.
土壌動物	どじょうどうぶつ	soil fauna	土壌中で生活する動物で, 土壌環境に適応, 進化して いる. 落葉落枝の粉碎, 分解, 耕運などを行う.

土壌粘稠度	どじょうねんちょうど	consistency of soil	土壌に加えられた力に対する抵抗や塑性などの力学的挙動特性で、粘土の質・量・含水量などで変化する。コンシステンシー、結持性ともいう。
土壌粘土鉱物	どじょうねんどこうぶつ	soil clay mineral	母岩・母材中の一次鉱物が風化・再生した二次鉱物で、微細な層状珪酸塩鉱物の粒子よりなる。
土壌微形態学	どじょうびけいたいがく	soil micromorphology	土壌を薄片検鏡するなど微視的手法により観察し、土壌の微細な形態や組織を研究する土壌学の一分野。
土壌微生物	どじょうびせいぶつ	soil microorganisms	土壌中に生息する細菌・放線菌・糸状菌・藻類・原生動物など。代謝活性・適応性に優れ、多種多様。
土壌複合相	どじょうふくごうそう	soil complex	土壌コンプレックスと同義。
土壌分析	どじょうぶんせき	soil analysis	土壌の定性的・定量的な性質を求めることをさす。土壌中に含まれる微量成分を分析して鉱床・環境調査に用いることもある。
土壌分類	どじょうぶんるい	soil classification	土壌型を基本単位とする生成学的分類であるが、各国により統一的不是である。
土壌匍行	どじょうほこう	soil creep, creeping of soil	斜面の土壌が重力で下方にゆっくりと動くこと。土壌クリープ。凍結融解、温度・水分変化などが原因。
土壌母材	どじょうぼざい	parent material	岩石が風化し土砂化した物質。母材は土壌生成因子の一つ。
土壌保全	どじょうほぜん	soil conservation	浸食や汚染、肥沃度の低下から土壌を守ることで、適切な土壌調査に基づく保護、管理が必要。
土壌有機物	どじょうゆうきぶつ	soil organic matter	土壌中に存在する有機物の総称。動植物の遺体や腐植、分解～再合成物質の総称。
土壌流	どじょうりゅう	soil flow, soil fluction	斜面崩壊の一種で、水で飽和した土砂がゆるやかな速度で斜面を流れ下る現象。
土壌粒径区分	どじょうりゅうけいぐぶん	size grade of soil, soil separates	土壌粒子をその直径から、粘土、微砂（シルト）、細砂、粗砂、礫に分けること。日本では「国際土壌学会法」と「日本農学会法」の区分がよく使われており、両者の区分は異なる。
土壌粒径組成	どじょうりゅうけいそせい	grain size distribution of soil	直径2mm以下の粗砂、細砂、微砂、粘土の重量割合により表す土壌の組成。土壌の基本的性質はこれにより決まり、通常三角図などで表現される。
土壌粒子	どじょうりゅうし	soil particle	土粒子と同義。
土壌流亡量	どじょうりゅうぼうりょう	soil loss	土壌浸食によって流れ失われる土壌の量。土地利用形態などによりその量は異なる。

土色	どしょく	soil colour	土壌の示す色のこと。土の性質と深い関係があり、風化の履歴や生成過程の手がかりとなる。
土捨場	どすてば	muck bank, spoil area	切土・トンネル工事などの地山掘削ならびに、河川・港湾などの浚渫によって生じた不要な土砂を捨てる場所。
土性	どせい	soil texture	土の性質をさす総称。物理的性質・力学的性質・化学的性質などがある。
土積曲線	どせききょくせん	mass curve	断面の各地点の土量を算出し、横軸に測点位置を縦軸に累加土量をプロットした図。土工量の切盛調整に利用。土積図ともいう。
土積計算	どせきけいさん	mass calculation	土工量の計算。
土積図	どせきず	mass curve	土積曲線と同義。
土石流	どせきりゅう	debris flow	多量の水を含んだ土砂・石・礫が集合運搬の形態で移動する現象。山津波、土砂流、泥流などとの区別は不明確である。
土石流危険溪流	どせきりゅうきけんけいりゅう	dangerous stream of debris flow	土石流発生の恐れのある溪流。国土交通省（旧建設省）では1/2.5万地形図より、溪床勾配、溪床堆積物の有無・質・地形、流域面積をもとに選定している。
土石流警戒避難基準雨量	どせきりゅうけいかいひなんきじゅんりょう		土石流発生に対する警戒あるいは避難のために設定した雨量。設定法には種々あるが、降雨強度と実効雨量を組み合わせる方法が多い。
土石流堆	どせきりゅうたい	debris flow lobe	土石流による堆積物のうち、特に末端の舌状、鱗状のもの。集合運搬のため無層理の集合堆積地形となる。
土石流対策	どせきりゅうたいさく	prevention measures for debris flow	土石流の発生・流下をダムなどの人工構造により防止するハード対策と、発生しても被害が最小となるようとするソフト対策があり、合わせて総合土石流対策と呼ぶ。
土石流対策ダム	どせきりゅうたいさくだむ	check dam for debris flow	砂防ダムの空き容量や堆砂による実河床幅の拡大、勾配緩和などにより、土石流による災害防止を図るもの。
土石流段丘	どせきりゅうだんきゅう	debris flow terrace	河谷を埋積した土石流堆積物が、流水によって下刻されて形成された段丘。無層理の状態で巨角礫を多く含む。
土石流段波	どせきりゅうだんぱ	debris flow surge	土石流は先頭部に巨石を含み盛り上がった形状で流下し、これに続く後続流はより小さな流量となる。すなわち段波（非定常）状の波面をとめない流下する。
土石流流下域	どせきりゅうりゅうかいき	debris flow area	土石流には発生域、流下域、堆積域が存在する。これらの区分は必ずしも明確ではないが、発生域と堆積域の間を土石流流下域と呼ぶ。
土層	どそう	soil layer, soil stratum	土壌層位と同義語、及び土砂で構成される未固結堆積物の層。

土層位	どそうい	soil horizon	土壌層位と同義語.
土層改良	どそうかいりょう	subsoil improvement	作物の生育を妨げている土壌層位を改良すること. 混層耕・除礫・天地返しなどの方法がある.
戸台層	とだいそう	Today Formation	長野県赤石山脈西部に分布する下部白亜系. 砂岩・礫岩・泥岩. トリゴニア・アンモナイト・植物化石を含む.
土丹	どたん		中新統上部～更新統までのシルト岩・泥岩および低固結シルト・粘土をさす. 一般に淡～暗青灰色を呈す軟岩. 乾湿の繰り返しによって, 粘土化が進行するスレーキングが発生しやすい. 土木・建築方面での俗称.
栃ヶ原地すべり	とちがはらじすべり	the Tochigahara landslide	1860年に新潟県刈羽郡高柳町栃ヶ原で発生した地すべり. 面積71ha.
栃木層群	とちぎそうぐん	Tochigi Group	関東平野北西の足尾山地を構成している三じょう系(三畳系). 下位から大平山層, 広戸層, 中妻層, 会沢層からなる.
土地条件図	とちじょうけんず	land condition map	土地の地形分類や地盤高, 公共機関などを示した地図.
土地被覆分類	とちひふくぶんるい	land cover classification	植生などによる土地の被覆状態を分類することで, かん木, 草地, 農耕地, 裸地などの分類基準がある. ランドサット画像解析が有効に利用される.
土地分類図	とちぶんるいず	land classification map	土地の主として自然的条件を特定の指標に基づいて分類した地図. 地形分類図, 土壌図, 表層地質図など.
土柱	どちゅう	earth pillar	一般に頂部に大礫がのった土砂の柱. 緩くこう結(膠結)した砂礫層が主に雨食を被った際に生じる.
土中水	どちゅうすい	soil water, soil moisture	土壌水と同義.
土中水圧	どちゅうすいあつ	pore water pressure	土の間隙に存在する水が持つ圧力. 間隙水圧と同義.
土中土圧	どちゅうどあつ	earth pressure in the ground	地盤の内部に作用する応力をいう. 代表的な土中土圧には有効土かぶり圧・静止土圧がある.
土中土圧計	どちゅうどあつけい	free field pressure cell	土中の土圧を測定する計器.
土柱法	どちゅうほう	soil column method	土中水のエネルギーと含水量の関係を求める p F 試験方法の一つ. 低い pF (0~2) を対象とする.
土地利用基本計画	とちりょうきほんけいかく	master plan for land use planning	国土利用計画法によって定められた土地利用計画.

土地利用状況調査	とちりようじょう きょうちょうさ	land use survey	土地の利用状況（宅地・耕作地・商業地・工業地など）を調査すること。土地利用状況図にとりまとめられる。
土地利用図	とちりようず	land use map	土地の利用状況を分類し表示した地図。
ドッガー堆	どっがーたい	Dogger bank	北海中央部にあり後氷期に水没した水深20～30mの平坦な台地。マンモスなどの化石を産する。
ドッガー統	どっがーとう	Dogger series	ヨーロッパ西部の模式的ジュラ系を三つに分けた中部統。ウミユリ・さんご（珊瑚）などを含む石灰岩が卓越する。
突起	とつき	mound	現地形の一部がそのまま移動した巨大岩塊あるいは地すべり移動体の回転、圧縮運動などにより形成された小丘のこと。尾根状となることもある。
凸斜面	とつしゃめん	convex slope	河川の浸食作用で、上部は平坦で谷の両側の斜面が丸みを帯びて凸状になった地形。これに対して凹型（等高線が谷状）斜面がある。尾根型斜面ともいう。
突出	とっしゅつ	tight	トンネル掘削時の最小掘削線の中に突出している岩石。
凸状尾根（形） 地形	とつじょうおね（が た）ちけい	heaved, convexed ridge, sliding ridge	尾根が凸状に張り出し、頭部に陥没地や末端部に崩壊跡を伴う、比較的規模の小さい岩盤・風化岩地すべり地形の一種。
凸状台地（状） 地形	とつじょうだいち （じょう）ちけい	heaved, convexed plateau, sliding plateau	頂部が緩斜面の台地状で遷急線の下や末端部に崩壊跡を伴う、比較的小さい岩盤・風化岩地すべり地形の一種。
突然変異	とつぜんへんい	mutation	生物の遺伝的な変異で、遺伝子または染色体の変化によって親の形質にない新しい形質が突然現れる現象。
トッタベツ氷期	とったべつひょうき	Tottabetsu stadial	日高山脈の新期の氷河地形形成期に対して提唱された氷期。ウルム氷期後半に対比され、トッタベツ亜氷期とも呼ばれる。
突堤	とつてい	groin	防砂突堤と同義。
ドットチャート	どつとちゃーと	dot chart	地下の密度分布による重力異常の近似値を簡単に求めるための図。二次元の地質構造図とともに用いる。
鳥取県西部地震	とっとりけんせいぶ じしん	the 2000 Tottori earthquake	2000年10月6日13時30分に起きた鳥取県西部を中心とするM7.3の地震。最大震度6強。正式名称は「平成12年（2000年）鳥取県西部地震」。
鳥取古砂丘	とっとりこさきゅう	Tottori ancient dune	現在の鳥取砂丘の下に埋もれている更新世後期の海進時の海岸に発達していた砂丘。
鳥取地震	とっとりじしん	the 1943 Tottori earthquake	1943年9月10日に鳥取市付近で発生したM7.2の地震。死傷者4,342人、全壊7,485戸とされる被害地震。

鳥取層群	とっとりそうぐん	Tottori Group	鳥取県東部と中部に分布する下～中部中新統。東部は礫岩・火砕岩・泥岩。中部は火山噴出物を主として湖成層を伴う。
突発的液状化	とっばつてきえきじょうか	spontaneous liquefaction	極めて緩い飽和砂質土が、ごく軽微な刺激によって液状化すること。
突発湧水	とっばつゆうすい	unexpected heavy inflows	破砕帯などによって遮水や滞留された大量の地下水が、切羽掘削時に何の予兆も無く突然湧出すること。
ドップラー効果	どっぷらーこうか	Doppler effect	波源と観測者の関係が静止している時と運動している時で波動の周波数が異なる現象。
ドップラー風速計	どっぷらーふうそくけい	doppler anemometer	超音波風向風速計ともいう。音波の空气中伝播速度が風速に左右されることを利用して風向風速を求める器械。
ドップラーレーダー	どっぷらーれーだー	doppler radar	レーダーのなかで、ドップラー効果を利用して移動する目標の識別とその速度を測定する装置。
トップリング	とっぷりんぐ	toppling	急斜面で岩盤の山側に急傾斜した分離面に沿って剥がれて斜面下方に転倒・崩壊する現象。
トップリング破壊	とっぷりんぐはかい	toppling failure	岩盤斜面において山側に急傾斜した分離面によって柱状あるいは板状となった岩塊が、重力の作用で頭部が倒れるように回転し基部で破壊する現象。転倒破壊ともいう。
土留め	どどめ	earth retaining	地下構造物の築造時に、掘削した地盤の崩壊を防ぐために施工される支持構造物。矢板・連壁などが用いられる。
土留アンカー	どどめあんかー	earth retaining anchor	土留め壁を支持するために地山内に打設するアンカー。切梁の架設が困難な場合などに適用。
土留板	どどめいた	lagging	親杭横矢板による土留め支保工の杭と杭との間にはめ込む板。
土留杭	どどめぐい	earth retaining pile	親杭横矢板土留工法に用いられる親杭。
土留工	どどめこう	earth retaining works	地盤を掘削する際、土留壁や切りばりなどにより周囲の地盤の崩壊を防ぐ本設あるいは仮設の構造物。
土留支保工	どどめしほこう	earth retaining support	地下構造物の築造にあたり地盤を掘削するとき、掘削面を矢板で押え、腹起し・切梁・アンカーなどで支える仮設構造物。
土留壁	どどめへき	earth retaining wall	地中構造物工事中の土圧・水圧による掘削面の崩壊を防止するための壁のことで、矢板が用いられる場合が多い。仮設構造物として扱われる。
土留用ブロック	どどめようぶろっく	concrete blocks for retaining	のり面補強のための石積擁壁などの石に代わるコンクリートブロック。

土取り場	どとりば	borrowpit	土工に必要な用土の採取場所。ダムではフィルダムの土質材料の採取場をさす。
轟石	とどろきいし	todorokite	$Mn^{2+}Mn_3^{4+}O_7 \cdot H_2O$, 単斜晶系, 硬度1.5~2.5, 比重3.74. 黒~褐色で, 当初北海道轟鉦山で発見。深海底のマンガノジュールの主成分。
ドナウ氷期	どなうひょうき	Donau glacial stage	ビーバー氷期とギュンツ氷期の間の氷期で, 古い方から2番目。これより世界的な第四紀氷河時代が始まった。
ドニエプル氷期	どにえぷるひょうき	Dniepr glacial stage	ロシアの氷期で最後から2番目, 北欧のザーレ氷期に対比される。大規模な氷堆石堤などが特徴。
利根川構造線	とねがわこうぞうせん	Tonegawa tectonic line	現在の利根川の流路にほぼ沿って存在が推定され, 中・古生代の東北日本と西南日本を分ける構造線。関東構造線ともいう。
ドネツ時相	どねつじそう	Donez-phase	ジュラ紀前期ライアス世中の褶曲(造山)時相。
土庄みかげ	とのしょうみかげ	Tonosho mikage	香川県小豆島産石材。中生界黒雲母~黒雲母角閃石花崗岩。中~粗粒で淡灰色。建築・敷石・板石などに利用。
殿田断層	とのだだんそう	Tonoda fault	活断層。確実度I, 活動度B級, 西北西-東南東方向。兵庫県亀岡盆地北西に位置し延長約15km。
土羽	どば	embankment slope	盛土のり面の表面に薄く張りつける土のことで, のり面の浸食防止や緑化を目的として施工される。
トパーズ	とぱーず	topaz	$Al_2SiO_4(F, OH)_2$ 。一般には無色透明。宝石になるものはコハク色。接触鉍床・ペグマタイト中に多く産する。短柱状のことが多い。黄玉と同義。
土羽打ち	どはうち	slope tamping	盛土の補強のため, 人力により, 土羽板などを用いてのり面表面を締固めること。
土羽付け	どはづけ	slope tamping	土羽打ちと同義
土羽土	どばつち	top soil	盛土のり面の浸食防止, 緑化を目的とした粘性土などによる被覆土。
ドバルすり減り試験	どばるすりへりしけん	Deval abrasion test	ロスアンジェルスすり減り試験に使う鋼球による, 研磨負荷を使わずに緩速で行う骨材の磨耗試験。
飛石層群	とびいしそうぐん	Tobiishi Group	熊本県八代郡氷川上流地域に分布する後期石炭系~前期ペルム系。緑色岩類を主体とし, 中・上部にレンズ状に石灰岩が発達する。
鳶ガ森統	とびがもりとう	Tobigamori series	北上山地南西部の長坂地域に分布する上部デボン系。主に黒色の頁岩からなり, 凝灰岩・礫岩をはさむ。

ドフィーネ式双晶	どふいーねしきそうしょう	Dauphine twin	水晶の双晶の一型式。ドフィーネ双晶とも。2個の右あるいは左水晶どうしがC軸を双晶軸とした貫入双晶。
ドブソン単位	どぶそんたんい	Dobson unit	オゾン層の厚さを表す単位。0℃、1気圧に換算したオゾン層の厚さをmmで表し100をかけた値。全地球的なオゾン層の厚さの平均値は300、オゾンホールは220以下。
砥部衝上断層	とべしょうじょうだんそう	Tobe thrust fault	愛媛県の砥部川河床に露出する中央構造線で、中～上部始新統の久万層群に上部白亜系の和泉層群が衝上している。
土平	どべら	side wall part	トンネル掘削断面下部半断面の左右側壁部分。
土木工学	どぼくこうがく	civil engineering	土木構造物の計画・設計・施工にかかわる学問。近年は土木構造物のみではなく自然環境、社会環境も含め優れた環境を創造することが期待されている。
土木試験基準(案)	どぼくしけんきじゅん(あん)		1970年に国土交通省(建設省)から発刊された土木試験基準。セメント・鋼材・岩石など各種建設材料についての試験基準が含まれる。KDKともいう。
土木地質学	どぼくちしつがく	engineering geology	土木関連の仕事を計画し、進めていく過程で地盤に関する諸問題を地質学の立場から総合的に解釈、検討する学問。
土木地質図	どぼくちしつず		規模の大小を問わず土木構造物の設計・建設に際し、あるいは地盤災害などに対する防災施設の計画や建設に際し行われる地質調査の結果から、その対象とする構造物に要求される地質・地盤情報や検討項目を記載した地質図。
苫前炭田	とままえたんんでん	Tomamae coal field	北海道天塩山脈西側の炭田。夾炭層は中新統羽幌層で非粘結性亜れき(瀝)青炭を産した。1897年頃開発、1970年閉山。
泊川層群	とまりがわそうぐん	Tomarigawa Group	北海道渡島帯に分布する後期三じょう系(三畳系)～前期白亜系。チャート・石灰岩のオリストリスと砂岩、泥岩などの碎屑岩からなる。
富岡層群	とみおかそうぐん	Tomiooka Group	関東山地北東縁部と榛名火山との間に分布する下～上部中新統。泥岩・砂岩泥岩互層・砂岩・礫岩からなり珪長質凝灰岩を挟む。構成各層が東西方向に延び、北部ほど上位の地層となる。
富草層群	とみくさそうぐん	Tomikusa Group	長野県天竜川流域の新第三系。主に凝灰岩・凝灰質砂岩・凝灰質泥岩・礫岩からなる。植物・有孔虫などの化石を含む。
富田石	とみたいし	Tomita ishi	和歌山県西牟婁郡白浜町産石材。新第三系砂岩。粗粒・硬質で均質。砥石・土台石などに利用。紀州砥と同じ。
トムソン沸石	とむそんふっせき	thomsonite	$\text{NaCa}_2(\text{Al}_5\text{Si}_5\text{O}_{20})\cdot 6\text{H}_2\text{O}$ 、斜方晶系、硬度5、比重2.10～2.39。沸石の一種。無色・白色・黄色でガラス光沢のある透明・半透明の鉱物。主に苦鉄質火成岩の空洞中に産する。
ドメイン構造	どめいんこうぞう	domain structure	単結晶内部に境界面で境された分域(ドメイン)を持つ構造。多くは相転移の時に出現し、準安定相として存在する。
鞆浦石	ともうらいし	Tomoura ishi	徳島県海部郡海部町鞆浦産石材。中生界四万十層群中の砂岩。濃緑色・緻密・堅硬。墓石・間知石・割栗に利用。

トモグラフィ	ともぐらふい	tomography	ある領域を取り囲むように発・受信点を配置し、インバージョン法により内部構造を断面的にとらえる物理探査法。
とも下がり	ともさがり	acompanied settlement	土被りの浅いトンネルにおいて、トンネル上部のアーチ作用が発揮されずトンネル天端と地表が同様に沈下する現象。
鞆淵互層群	ともぶちごそうぐん	Tomobuchi Group	和歌山県紀ノ川下流域飯盛山鉦山周辺の三波川結晶片岩の下位を構成する泥質片岩・砂質片岩。
鞆みかげ	ともみかげ	Tomo-mikage	広島県福山市産石材。領家帯中の中生界黒雲母花崗岩。淡紅色・中粒。石垣・建築・土木用に利用。
砥谷層群	とやそうぐん	Toya Group	志摩半島に分布する年代不詳中・古生界。チャート・緑色岩などのオリストリスと泥岩・砂岩・緑色岩起源の千枚岩～準片岩からなる。模式地は砥谷海岸北方。
富山霰大理石	とやまあられだいらせき	Toyama-arare marble	富山県下新川郡宇奈月町音沢産石材。飛弾片麻岩中の大理石。特殊大理石で石質は粗。白・鼠・白縞・鼠縞など。
富山舟状海盆	とやましゅうじょうかいぼん	Toyama trough	富山湾から大和海盆に続く構造凹地。日本海東縁変動帯に属し、周辺に多数の活断層が発達する。
富山深海長谷	とやましんかいちょうこく	Toyama deep-sea channel	富山湾に発し、日本海中央部に達する海底谷。変動帯の深海海底谷の好例とされる。
砥山層群	とやまそうぐん	Toyama Group	北海道札幌市南西部の砥山周辺に分布する上部中新統。礫岩・泥岩・砂岩泥岩互層からなる。
豊岩油田	とよいわゆでん	Toyoiwa oil field	秋田市南部豊岩付近にある秋田産油・産ガス地帯の油田の一つ。貯留層は背斜部の船川層の凝灰岩。
豊浦標準砂	とようらひょうじゅんさ	Toyoura standard sand	山口県豊浦産の海砂。粒径分布が均一で、各種の特性が判明しており、比較試験・砂置換法などに使用。
豊岡亜層群	とよおかあそうぐん	Toyooka Subgroup	房総半島中央部の三浦層群の上部を構成する上部中新統～下部鮮新統。泥岩、砂岩、凝灰岩を主体とする。下部が清澄層、上部が安野層に区分される。
豊岡層群	とよおかそうぐん	Toyooka Group	房総半島中央部の下部鮮新統。最下部は貝殻質礫岩、下部～中部は泥岩、上部は火山砕屑岩を主体とする。
豊ガ岳造陸運動	とよがたけぞうりくうんどう	Toyogatake epirogenesis	日本各地に分布するジュラ系堆積物の基底の不整合で形成される三じょう紀（三疊紀）末の地殻変動。
豊川油田	とよかわゆでん	Toyokawa oil field	秋田県昭和町豊川に位置し黒川産油地帯に属する東北5大油田の一つ。1913年発見。貯留層は深度30～340mの女川～船川層の凝灰質砂岩。
豊富ガス田	とよとみがすでん	Toyotomi gas field	北海道北部豊富町豊富温泉にある天北産ガス地帯のガス田の一つ。中新統増幌層の砂岩に貯留。ガスと共に温泉が湧出。

豊西層群	とよにしそうぐん	Toyonishi Group	山口県西部に分布する上部ジュラ系～下部白亜系。礫岩・石英長石質砂岩を主とし、泥岩・石灰岩を伴う。
豊似岳ドーム	とよにだけどーむ	Toyonidake dome	日高変成帯南端の豊似岳を中心とするミグマタイトドームで、ホルンフェルス・片状ホルンフェルス帯を伴う。
豊羽鉱山	とよはこうざん	Toyoha mine	北海道定山溪にある鉛亜鉛鉱山。母岩は中新統火山岩類、礫岩、泥岩。1973年までの産粗鉱量1,750万t (Zn7%, Pb2.3%, Ag130g/t)。稼行中。岩盤温度が最高130℃に達する。
豊浜地すべり	とよはまじすべり	the Toyohama landslide	1962年10月に北海道爾志郡乙部町豊浜で発生した地すべりで、すべり土塊が国道を約350mにわたって遮断した。
豊東層群	とよひがしそうぐん	Toyohigashi Group	山口県西部、長門構造帯の南部、小月・豊ガ岳付近に分布する古生界。泥質岩、砂岩を主とし石灰岩、珪質岩などを伴う。
豊房層群	とよふさそうぐん	Toyofusa Group	房総半島南端部に分布する鮮新統～下部更新統。下部は凝灰質砂岩、上部は塊状泥岩を主体とする。
登米亜系	とよまあけい	Toyoma subsystem	南部北上帯の上部ペルム系。下部ペルム系は雪沢亜系（吐倉統・坂本統）。
豊牧地すべり	とよまきじすべり	the Toyomaki landslide	1879年に山形県最上郡大蔵村南山で発生した第三紀層地すべりで、倒壊家屋20戸とされる被害を生じた。
登米層	とよまそう	Toyoma Formation	宮城県東部の南部北上帯に分布する古生界上部ペルム系登米統。宮城県登米郡登米町付近を模式地とする。粘板岩を主体とし、うすい砂岩を伴う。
登米統	とよまとう	Toyoma series	南部北上帯の上部ペルム系で、主に粘板岩からなるが、下部に花崗岩礫に富む薄衣礫岩を挟む。
登米粘板岩	とよまねんばんがん	Toyoma slate	南部北上帯ペルム系登米統の黒色粘板岩。異質層の挟みはほとんどなく天然スレートとして採掘される。
豊浦層群	とよらそうぐん	Toyora Group	山口県西部の下部～中部ジュラ系。礫岩・砂岩・泥岩からなる。二枚貝化石を多産する。
虎石	とらいし	tora ishi	観賞用の石材で、滋賀県瀬田川産のものが有名。白色砂岩と黒色粘板岩の互層で虎の縞目に似た岩石。
ドライセッティング法	どらいせっていんぐほう	dry setting method	三軸圧縮試験における供試体の飽和方法。一旦負圧をかけ供試体内部の空気を吸い出した後飽和させる。
ドライブサンプルボーリング	どらいぶさんぷるぼーりんぐ	drive sample boring	地盤の構成や構造物基礎としての諸性質を知るため適当な間隔で実施する試料採取ボーリング。
ドライブパイプ	どらいぶぱいぷ	drive pipe	試錐作業で孔壁保護のため設置される鋼管パイプのうち、打撃による設置が可能な肉厚のパイプ。

ドラグサクショ ン浚渫船	どらぐさくしょん しゅんせつせん	drag suction dredger	航行しながら船側のサクションパイプで海底の土砂を 吸い上げ浚渫作業を行うタイプの自航浚渫船。
ドラグスクレー パ	どらぐすくれーぱ	drag-scraper	土砂を掘削運搬するため、掘削バケットを鋼索により 引きずる機械。
トラクターショ ベル	とらくたーしょべる	tractor shovel	掘削能力を備えた掘削ずり積込み機械の代表的なも の、走行装置によって履帯式と車輪式がある。
トラクタスク レーパ	とらくたすくれーぱ	tractor drawn scraper	トラクタで牽引されるスクレーパで掘削・積込み・運 搬・敷きならしの一連の土木作業が行える建設機械。
ドラグビット	どらぐびつと	drag bit	超硬合金製の刃先をもつ削岩ビットの一種で切削型 ビットともいう。
ドラグライン	どらぐらいん	dragline	ブームで吊ったバケットを振りのように前方に投げ、 引寄せながら掘削を行う土木工事用掘削機。
ドラグラインバ ケット	どらぐらいんばけっ と	dragline bucket	ドラグラインに用いるバケット。
トラス	とらす	truss	直線部材の両端が回転拘束のない節点で結合され、三 角形を基本単位とした骨組み。
ドロッカー・プ ラガー式	どらっかーぷらがー しき	Drucker and Prager's equation	材料の降伏条件を示した式。ミーゼスやモール説を拡 張したもので体積変化成分や中間主応力の影響を考 慮。
ドロッカー・プ ラガーの基準	どらっかーぷらがー のきじゅん	Drucker and Prager's criterion	破壊基準のうち、ひずみエネルギーに基づく仮説の一 つであり、中間主応力の影響を考慮した破壊基準。
ドロッカー・プ ラガーの降伏条 件	どらっかーぷらがー のこうふくじょうけ ん	Drucker and Prager's yield condition	ドロッカーとプラガーが提案した降伏条件。ミーゼス やモール説の拡張としてこれらの難点を除去したも の。
トラッククレー ン	とらっくくれーん	truck crane	大型トラックの車台に独立した動力を有する全旋回式 のジブクレーンを搭載したもの。
ドラッグ褶曲	どらっぐしゅうきよ く	drag fold	引きずり褶曲と同義語。寄生褶曲ともいう。
トラック練りコ ンクリート	とらっくねりこんく りーと	transit-mixed concrete, truck-mixed concrete	トラックミキサをアジテータとして使用して練り上げ たコンクリート。
トラックミキサ	とらっくみきさ	truck-mixer	練り混ぜられたコンクリートをかくはん（攪拌）しな がら走行する生コンクリート運搬用トラック。
トラックレスマ イニング法	とらっくれすまいに んぐほう	trackless mining method	坑内採鉱の運搬系統に、レールを敷設せずに鉱石を運 搬するシステムを用いる方法。

トラップ	とらっぷ	trap	①一定の地質時代に活動した岩床状の粗粒玄武岩などの総称. ②石油・天然ガスを集積・貯留する地質条件.
トラバース	とらばーす	traverse	トラバース測量に用いる折線状の測線の集合. 閉合トラバースと開放トラバースがある.
トラバース測量	とらばーすそくりょう	traversing, traverse survey	多角測量ともいう. 測点(トラバース点)間の距離と測線(トラバース線)間の角度を測定して各測点の平面位置を求める測量.
トラバーチン	とらばーちん	travertine	石筍や鍾乳石などのように, 化学的沈殿によって生成される. 緻密で縞状構造を持った石灰岩の名称. 石灰質湧泉沈殿物.
トラフ	とらふ	trough	深海底の舟底状をした凹地で海溝より浅く幅が広い. 舟状海盆ともいう.
トラフィカビリティ	とらふいかびりてい	trafficability	車両走行に耐えうる土の能力のことで, 機械化土工の検討に重要な性質, 現場コーン指数などによって判定される.
トラフ型斜交成層	とらふかたしやこうせいそう	trough cross-stratification (bedding)	砂層堆積時の表面構造の一形態で, 断面形状が凹状を呈する斜交成層.
虎目石	とらめいし	tiger's eye	南アフリカに産する繊維状の黄金褐色を呈する岩. クロシドライトの針状結晶を石英で充填交代したもの.
ドラメン粘土	どらめんねんど	Drammen clay	ノルウェーの粘土で粘土分(粒径が $2\mu\text{m}$ 以下)が多いにも拘わらず, 塑性指数が小さいという特徴を有す.
トランジェントパルス法	とらんじえんとぱるすほう	transient pulse method	三軸セルを用いた変水位法の透水試験の一種. パルス圧力を加え, その伝播時間により透水係数を測定する.
トランジション	とらんじしょん	transition, hydraulic transition	水路の各種構造物の接続部における水頭損失を軽減するために設ける断面形状の漸変区間.
トランジションゾーン	とらんじしょんぞん	transition zone	フィルダムの透水ゾーンと不透水ゾーンの間に配置された中間粒度の材料からなるゾーンで, 両ゾーン間の応力および変形の急変を緩和する役割を果たす.
トランシット	とらんしっと	transit	水平角と高度角を測定する経緯儀の種類で, 主に簡単な地形測量に用いられる. セオドライトともいう.
トランスカレント断層	とらんすかれんとだんそう	transcurrent fault	走向移動断層や横ずれ断層と同義.
トランスグレッシブリーフ	とらんすぐれっしぶりーふ	transgressive reef	海進で相対的に海水位が上昇したために, 旧海岸線とほぼ平行に形成されたさんご(珊瑚)礁.
トランスデューサー	とらんすでゅーさー	transducer	変換器と同義語.

トランスフォーム型地震	とらんすふおーむがたじしん	transform-type earthquake	トランスフォーム断層沿いに発生する浅い地震。発震機構は断層面両側で互いに反対方向に動く。
トランスフォーム断層	とらんすふおーむだんそう	transform fault	走向移動断層と断なるメカニズムを持ち、海嶺を切る断層帯に沿った断層。
トランスフォーム断層系	とらんすふおーむだんそうけい	transform fault system	大洋底中央海嶺などの構造を分断し、プレート生産・消費境界が変形（トランスフォーム）している横ずれ断層。
トランスポンダー	とらんすぼんだー	transponder	無線用中継器の一種。応用的な使い方として、人工衛星測地における衛星の位置測定など。
トランスポンダー測位装置	とらんすぼんだーそくいそうち	transponder positioning system	質問機（インタゲータ）から電波信号を發し、応答機（トランスポンダ）からの信号が返ってくるまでの時間と返ってきた方向から、目標物の位置を知る装置。航空機の管制に用いられる。
トリアス紀	とりあすき	Triassic (period)	三分される中生代の最初の時代。約2億4500万年～2億800万年の約4千万年間。三じょう紀（三疊紀）ともいう。
ドリー硬さ試験機	どりーかたさしけんき	Dorry hardness tester	石材や骨材のすり減り抵抗を調べるすり減り試験機。供試体を回転円板で接触磨耗させ重量を測定する。
ドリー試験	どりーしけん	Dorry test	石材や骨材のすり減りかたさを調べる試験で、成形した供試体を回転鋼円盤へ押し付け、重量を測定して求める。ドリー硬さ試験ともいう。
ドリーネ	どりーね	doline	石灰岩地域に見られ、溶食や石灰洞の拡大によって生じた漏斗状の穴。
ド・リール図法	どりーるずほう	De Lisle's projection	世界地図投影法の一つで、緯線方向の距離に長短の差が生じるのが特徴。
トリウム	とりうむ	thorium	元素記号Th、原子番号90の元素名。中性子の吸収により核分裂性の ²³³ Uを生じる。
トリウム系列	とりうむけいれつ	thorium series	天然の放射性元素の崩壊系列のひとつで、 ²³² Thから始まり、 ²⁰⁸ Pbで終わるもの。 ²³² Th以外の半減期は短い。
トリウム-鉛法	とりうむなまりほう	thorium-lead method, thorium-lead dating	鉱物を用いた年代測定法の一つでTh-Pb法と記す。試料中の ²³² Thと ²⁰⁸ Pbの量を測定し放射年代が求められる。
トリガー	とりがー	trigger	「引き金」或いは「きっかけ」という意味で地震、地すべり、電気分野などで一般用語として使われる。
トリキスタン型氷河	とりきすたんがたひょうが	Turkestan-type glacier	周囲を急な谷崖で囲まれた広い鍋状の谷頭部に落ち込む懸垂氷河や雪崩によってかん養（涵養）される谷氷河。
トリクロロエタン	とりくろろえたん	trichloroethane	おもに溶剤として用いられ、常温で無色液体の有機塩素系化合物。二つの異性体があるが、変異原性や発がん性を疑われており、近年これによる地下水汚染が問題となっている。

トリクロロエチレン	とりくろろえちれん	trichloroethylene	主に溶剤として用いられている。近年これによる地下水汚染が問題となっている。
トリケラトプス	とりけらとぷす	<i>Triceratops</i>	鳥盤目角竜亜目ケラトプス科の草食恐竜。北米の上部白亜系から産出。四足歩行。全長9m。三角竜ともいう。
鳥越塩基性岩	とりごええんきせいがん	Torigoe basic rock	北上山地北西部一戸町北方の前期白亜系の小規模な貫入岩体。輝岩やモンゾナイトからなる。
鳥越油田	とりごえゆでん	Torigoe oil field	新潟県西山産油・産ガス地帯の中央油帯東縁の油田の一つ。長岡市西部から三島町にかけて分布する。主な油層は西山層で椎谷層からも産出し背斜トラップ型。
トリコンビット	とりこんびつと	tricone bit	ビットの先端に3個の円錐形カッターを有するローラー・コーン・ビット。大口径ボーリングに用いられる。
鳥地獄	とりじごく		火山地域で硫化水素などの有毒ガスがたまりやすい窪地。那須湯本温泉の殺生石や有馬温泉の鳥地獄が有名。
鳥島火山	とりしまかざん	Torishima volcano	東京都から南に約600kmの伊豆諸島南端に位置する直径約2.7kmの玄武岩からなる活火山。
トリチウム	とりちうむ	tritium	質量数3の水素の放射性同位体。三重水素ともいい、Tまたは ³ Hと略記。半減期12.3年でβ崩壊する。
トリチウム法	とりちうむほう	tritium method, tritium dating	トリチウム(T)を水素のトレーサに利用すること。またTが放射崩壊することから水の年代を求める手法。
取付け立坑	とりつけたてこう	access shaft	目標とする構造物への進入路として地山に掘られた立坑。
取付け道路	とりつけどうろ	access road	一般道路と橋・堤防などの構造物ならびに住宅および公共施設などをつなぐため取付けられた道路をいう。
取付けトンネル	とりつけとんねる	access tunnel	本坑や地下空洞などに通じるために設けられたトンネルで、通常は水平か緩い傾斜である。
取付け盛土	とりつけもりど	approach bank	堤防・橋・宅地などと一般の道路との取付部分の盛土。
トリップバルブ	とりつぶばるぶ	trip valve	湧水圧試験において、水位測定管に取り付け、試験開始時に瞬間的に開放できる機能を有するバルブ。
鳥巢式石灰岩	とりのすしきせっかいがん	Torinosu limestone	高知県佐川町鳥巢を模式地とするジュラ～下部白亜系の石灰岩で、鳥巢層群および相当層に含まれる。
鳥巢層群	とりのすそうぐん	Torinosu Group	関東から九州に至る秩父帯の中～南帯を構成する中部ジュラ系～下部白亜系。浅海成の堆積岩や石灰岩などからなる。高知県佐川町鳥巢を模式地とする。

トリハロメタン	とりはろめたん	triharomethane	水中のフミン酸やフルボ酸など有機物質が、水の殺菌などに使われる塩素と反応して出来る発癌性の有機塩素化合物の一種で、記号はTHM、化化学式はCHCl ₃ , CHCl ₂ Br, CHClBr ₂ , CHBr ₃ の4種類で表される。
ドリフトジャンボ	どりふたじゃんぼ	drifter jambo	強力な削岩機を複数搭載した移動式のトンネル掘削用架台。主として硬岩の掘削に用いられる。
ドリフト補正	どりふとほせい	drift correction	重力探査の補正の一つ。同一地点での重力値が時間変化を起こすことをドリフトと呼び、このドリフト量の補正。
トリプルジャンクション	とりふるじゃんくしょん	triple junction	三つのプレートが交差する地点。
トリプル水圧グラブ法	とりふるすいあつぐらぶほう	triple hydraulic grab method	砂質土の採取用サンブラ。先端に水圧ジャッキで作動する強制圧入式シャッターがついている。
トリプルチューブコアバーレル	とりふるちゅーぶこあばーれる	triple-tube core barrel	脆弱な地盤をボーリングする際に、コア実収率を上げるためにコアバーレルを三重にしたもの。
トリプルチューブサンブラ	とりふるちゅーぶさんぷら	triple tube sampler	土質試料サンプリングに使用されるサンブラの一つ。三重管構造で、N値50以上の地盤にも適する。
トリポリ石	とりぼりせき	tripolite	板状で、細粒緻密な珪藻土。研磨材・吸収剤・ろ過材・増量剤として利用される。リビアのトリポリ産より命名。板状珪藻土ともいう。
トリマー	とりまー	trimmer	土質試験用供試体作成用具の一つで、円柱型供試体の側面を成形するとき用いる器具。回転台が付いている。
土粒子	どりゅうし	soil particle	土壌を構成する固体のうち、有機物を除く部分（粘土、微砂、砂など）。日本統一土質分類では、サイズが75mm以下の土の固相を形成している物質を土粒子としている。
土粒子骨格	どりゅうしこっかく	skeleton of soil particle	土粒子で構成される土の骨組。
土量換算係数	どりょうかんさんけいすう	bulking factor	地山の土量に対して、ほぐした時および締固め後の土量の体積変化を百分率で示したもの。
土量配分	どりょうはいぶん	scheme of haul, excavation and filling	切土部から盛土部への土の移動を、切盛り部の位置関係・土量・工程などを考慮して決めること。
土量バランス	どりょうばらんす	balance between cut and fill	道路などの土工においてある工事範囲の切土量と盛土量のバランス。
土量変化率	どりょうへんかりつ	bulking factor of soil	土の地山状態、ほぐした状態、締固めた状態における相互の体積変化の割合。
土量変換係数	どりょうへんかんけいすう	bulking factor	土量変化率を用いて、状態の異なる土に対する施工機械などの仕事量を決めるときに用いる係数。

トリリニアダイアグラム	とりりにあだいがぐらむ	trilinear diagram	地下水などの水の陽イオン・陰イオンを菱形のキーダイアグラムとその両脇の三角図によって示した図。
ドリル	どりる	drill	岩石を穿孔する機械の総称。
ドリルカラー	どりるからー	drill collar, drilling collar	掘管とコアバレルまたはビットとの間に接続されるロッドまたはパイプ。
ドリルジャンボ	どりるじゃんぼ	drill jumbo	トンネルの大断面掘削における爆破装薬孔を能率良く穿孔するため、いくつかの削岩機をとりつけてある移動台車。
ドリルストリングス	どりるすとりんぐす	drill strings, drilling strings, drill stem	スイベルからビットまでの掘削に用いるすべてのもの。
ドリルロッド	どりるろっど	drill rod	ボーリングに使用する肉厚のパイプのことで、先端につけるビットに必要な荷重を与える役目をする。また削岩機の掘削用ノミの柄の部分をいうこともある。
T o r r	とる	Torr	真空関連分野などで用いられてきた圧力の単位。水銀柱1mmの圧力に相当する。SIでは使用されない単位。
トルクメータ	とるくめーた	torque meter	ボーリング機械のスイベルヘッド、ロッドなどに伝えられる回転力を測定する装置。
トルクト岩 (トロクトライト)	とるくるとがん(とろくとらいと)	troctolite	完晶質岩石で、輝石をほとんど含まないかんらん石(橄欖石)はんれい岩(斑糲岩)。部分的に超塩基性岩やノーライトに移化。
トルトナ階	とるとなかい	Tortonian stage	北イタリアのミラノの南西に分布する中新統中上部海成層。海生貝化石を多産する青色の泥灰岩からなる。
トルネド	とるねど	tornado	日本では竜巻、つむじ風などを呼ぶ回転性の強風に相当するが、北米の著しい破壊力を示す猛烈な竜巻をさす。
ドルフィン	どるふいん	dolphin	岸から離れた場所に設置する柱状構造物で、石油や粉状貨物の係船などに利用。
ドルフィン式シーバース	どるふいんしきしーばーす	dolphin type sea-berth	陸岸から離れた位置に船を係留する施設。杭やケーソンを用いて小規模な構造物で船を係留することができる。
トレインローダー	とれいんろーだー	train loader	トンネル掘削によるずりを、ずり捨場に搬出する運搬車に積みこむためのベルトコンベア的一种。
トレーサ	とれーさ	tracer	物質の挙動を追跡するために添加された物質。地下水の水みちや流速などの調査によく用いられる。
トレーサ試験	とれーさしけん	tracer test	トレーサの追跡調査により、地下水の流動状況(流向・流速など)を推定する試験。

トレーサ法	とれーさほう	tracer technique	地下水などの流動体に目印を付けて、その物体の所在や移動状態を外部から知る調査方法。
ドレーン	どれーん	drain	排水管、排水孔、排水層などの総称。
ドレーン孔	どれーんこう	drain hole	排水孔と同義。
ドレーン材	どれーんざい	drain material	ドレーンに使用する高透水性の材料。
ドレーンシステム	どれーんしすてむ	drainage system	周辺地盤を含めた構造物全体の排水機構。
ドレーン層	どれーんそう	drainage layer	間隙水圧の低減、ダム下流部に生じる漏水を制御することを目的としてし設ける高透水材料からなる排水層。
ドレーントンネル	どれーんとんねる	drainage gallery	地下空洞周辺岩盤の地下水位を低下させるために空洞の周囲に掘削されたトンネル
ドレーンバルブ	どれーんばるぶ	drain valve	ドレーン孔制御用のバルブ。
ドレーンブランケット	どれーんぶらんけつと	drainage blanket	透水性ブランケットと同義。
ドレーンホール	どれーんほーる	drilled drain hole, drain hole	ドレーン孔と同義。
ドレーン流量	どれーんりゅうりょう	drain discharge	アースダム下流端に設けるリリーフウェルにおける浸透流量。
ドレスバキア統	どれすばきあとう	Dresbachian series	北アメリカの上部カンブリア系。フランコニアン統の下位層。
ドレッジ	どれっじ	dredge	海底から底質（堆積物・岩盤など）や生物を採取する道具で曳行式のもの。
トレミー管	とれみーかん	tremie pipe	水中コンクリートや連続地中壁コンクリートの打設に使用される直径15～30cmの鋼管。
トレミー図法	とれみーずほう	Ptolemaic projection, Ptolemy's projection	球面に接する円錐に地図を投影する図法で、正距円錐図法ともいう。地図帳などで用いられることが多い。
トレミー打設	とれみーだせつ	tremie placing	トレミー管を用いて水中でコンクリートを打設すること。

トレミー単円錐図法	とれみーたんえんすいずほう	Ptolemy's simple conic projection	地図作成における等距離円錐図法の一つ。経線が地球上の距離と等しくなるよう表現される。
トレミー注入	とれみーちゅうにゅう	tremie injection	トレミー管を用いてグラウト注入を行なうこと。
ドレライト	どれらいと	dolerite	粗粒玄武岩と同義語。
トレンチ	とれんち	trench	地表面下の地質構造や断層を調査するために掘削する人工的な溝、または地中の配管などを埋設するために掘削する溝。
トレンチカット工法	とれんちかっとうほう	trench cut method	開削工法で地下構造物を造るとき両側壁部分を先に掘削して躯体を造った後、残り中央部を施工する工法。
トレンチ壁	とれんちかべ	slurry trench wall	地下を溝状に連続して掘削し、両側にガイドウォールを設置し、中に安定液を充満する工法の外壁部分。
トレンチ掘削	とれんちくっさく	trench excavation	地表あるいは基礎地盤に細長い溝（トレンチ）を掘ることの総称。
トレンチ工法	とれんちこうほう	trench cut method	トレンチカット工法と同義。
トレンチ調査	とれんちちょうさ	trench survey	地盤を溝状に掘削し、地中の状況を直接観察、調査すること。
トレンピロー統	とれんぴろーとう	Trempealeau series, Trempealeauan	北米のカンブリア系最上部の地層。ミシシッピ川上流域が模式地で、砂岩・頁岩を主体とし石灰岩などを挟む。
トロ	とろ	trolley	トロッコ。土木工事用の小型無蓋貨車。
泥	どろ	mud	粒径が1/16mm以下の細かい粒子からなる堆積物。さらに、1/256mm以下の粘土と以上のシルトに区分される。
トロイデ	とろいで	tholoide	鐘状火山と同義語。
ドロワークス	どろーわーくす	draw works	ロータリーテーブルドリルの巻き上げ装置。掘削具の昇降の他、ロータリーテーブルに回転を伝達する。
土呂久鉱山	とろくこうざん	Toroku mine	宮崎県高千穂町土呂久のスカルン型鉛・亜鉛・ひ素（砒素）鉱床と、錫石・方鉛鉱を含む電気石石英脈を採掘した鉱山。砒素による公害病が発生した。
ドロップコアラ	どろつぶこあら	drop corer	海底面下数mの堆積物試料を採取するための自重落下式のサンブラ。

ドロップサンプ ラ	どろっぷさんぷら	drop sampler	ドロップコアラーと同義語.
ドロップハン マー	どろっぷはんまー	drop hammer	鋼鉄製の重錘をウインチで引き上げ、杭頭に自由落下させて杭を打ち込む機械、あるいは、これに用いる重錘.
ドロップピット	どろっぷぴっと	drop pit	開水路の敷高を急に下げる際、高い部分と低い部分との間に設ける減勢用の水たまり場.
ドロップボール	どろっぷぼーる	drop ball	重い鋼球をウインチなどで巻き上げ、落下時の衝撃力で石塊の小割を行う装置あるいはこれに用いる鋼球をいう.
泥吐管	どろはきかん	blow-off pipe	管路送配水管内の清掃・修理時に管内の土砂や水を排除するため、管路の低い部分に敷設するT字管.
泥吐弁	どろはきべん	blow-off valve	泥吐管を通る水量を調節するために、その吐出口に設置する弁.
ドロマイト	どろまいと	dolomite	苦灰石と同義. 白雲石ともいう.
ドロマイト化作 用	どろまいとかさよう	dolomitization	CaCO ₃ のCaの半分がMgに置換されドロマイトに変わる作用. 石灰岩が堆積中や続成作用時に海水や熱水溶液と反応し生ずる.
ドロマイト質石 灰岩	どろまいとしつせっ かいがん	dolomitic limestone	ドロマイトを5~50%を含む石灰岩で、等粒状の結晶からなる組織をもつ.
十和田石	とわだいし	Towada ishi	石材名. 秋田県十和田湖周辺に分布する新第三系凝灰岩. 大谷石の代用品として土木工事用・下水用溝きよ(渠)に用いられる.
十和田カルデラ	とわだかるでら	Towada caldera	秋田・青森県境に位置し、標高約1,000~1,160mの外輪山を持つ直径11kmの二重陥没カルデラである.
十和田八戸火砕 流	とわだはちのへかさ いりゅう	Towada-Hachinohe pyroclastic flow	十和田カルデラを形成した大規模火砕流. 4万年前より3回噴出し、青森・秋田両県に跨って広く分布する.
トンガ海溝	とんがかいこう	Tonga trench	南太平洋のトンガ諸島の東側に沿う海溝. オーストラリアプレートと太平洋プレートの境界に位置し、太平洋プレートの沈み込みで形成され、地震・火山帯が並走する.
トンガケルマ デック弧	とんがけるまでつく こ	Tonga-Kermadec arc	トンガ諸島とケルマデック諸島を含む長さ2,700km以上の島弧. 外弧はトンガ海嶺, 内弧は活火山列に一致.
頓宮断層	とんぐうだんそう	Tongu fault	活断層. 確実度I, 活動度B級, 北部で北北西方向, 南部で北北東方向. 滋賀県甲賀郡水口町東方から三重県上野市東方に至る延長30km.
トンネル	とんねる	tunnel	輸送施設として地中に建設されたほぼ水平な細長い空洞. 用途別に鉄道・道路・水路・生活施設トンネルなどがある. ずい道ともいう.

トンネルアーチ部	とんねるあーちぶ	top heading of tunnel	トンネルの上部の弓形部分の総称で、上半アーチ部を上部半断面という。この部分には大きく土圧が作用する。
トンネル火災	とんねるかさい	fire in tunnel	施工中、供用中のトンネル火災をいい、脱出の避難口が坑口に限定されるのが特徴で大惨事になりやすい。
トンネル掘削方式	とんねるくっさくほうしき	tunnel excavation system	トンネルを掘削する手段、施工方式のこと。爆破・機械・人力あるいは山岳・シールド・開削・沈埋などに区別される。
トンネル掘進機	とんねるくっしんき	tunnel boring machine	TBMと同義語。
トンネルクラウン	とんねるくらうん	crown of tunnel	トンネル掘削断面のアーチ最上部。天端（てんば）ともいう。
トンネル工法	とんねるこうほう	tunnelling method	トンネルの施工工法。山岳・開削・シールド・沈埋・圧気工法などがある。
トンネル式魚道	とんねるしきぎよど	tunnel type fish way	緩勾配バイパス水路式魚道をトンネル型式としたもの。
トンネル支保工	とんねるしほこう	tunnel support	トンネル掘削後覆工が完了するまでの間、トンネルの土圧に対抗して地山を支持し掘削断面を保持する構造物。
トンネル測量	とんねるそくりょう	tunnel surveying, tunnel survey	トンネル測量は坑外測量と坑内測量に大別される。坑外測量にはトンネル坑口付近の基準点設置、坑内測量には掘削中心線の方法や水準測量などがある。
トンネル断面	とんねるだんめん	cross-section of tunnel	トンネルの鉛直断面形状。円形・馬蹄形・矩形などがある。
トンネル地中前方探査	とんねるちちゅうぜんぽうたんさ	exploration ahead of the tunnel	施工中のトンネル切羽前方に存在する断層などを、掘削済み区間から弾性波の反射法などを用いて推定する方法。
トンネル調査	とんねるちょうさ	investigation of tunnel	安全で経済的なトンネルを建設するための設計・施工の基礎資料としての地形・地質・環境などに関する調査。
トンネル内空断面	とんねるないくうだんめん	inside cross-section of tunnel	トンネルの覆工内側の空間で、施工基面からの高さは用途・建築限界・附帯設備などより決定される。
トンネル排水工	とんねるはいすいこう	tunnel drainage work	排水トンネルですべり土塊中の帯水層から直接集水したり、横ボーリングで集水する深層地下水排除工。
トンネル覆工	とんねるふっこう	tunnel lining	他の支保部材とともにトンネルの安全を確保する支保構造の一部としての巻き立て、または吹付コンクリートのこと。
トンネルブレーカ	とんねるぶれーか	rock breaker	油圧ショベルに先のとがったのみ（ブレーカ）をつけた機械。トンネル坑口だけでなく低振動・低騒音工法として風化岩や割れ目のある岩盤掘削に使用される。

トンネルボーリングマシン	とんねるぼーりんぐましん	tunnel boring machine	TBMと同義語.
トンネル湧水	とんねるゆうすい	water inflow into tunnel	トンネル掘削に伴い周辺地山から内部に流入する地下水. トンネル完成後数年で掘削中よりも大きく減少し, 安定した湧水量を示すようになる.
トンネルライニング	とんねるらいにんぐ	tunnel lining	トンネル覆工と同義.
とんび法	とんびほう	tonbi method	標準貫入試験におけるハンマーの落下方法の一つ. とんびと呼ばれる器具にハンマーをかけ落下させる方法.
鳶山崩れ	とんびやまくずれ	Tombiyama fall	1858年に安政大地震によって富山県の常願寺川上流の立山連山鳶山で発生した大崩壊. 崩壊規模は4億m ³ 余といわれている.
ナイアガラ統	ないあがらとう	Niagaran series	北米のナイアガラ滝を模式地とする中部シルル系. 砂岩と頁岩・石灰岩などの互層よりなる. 滝には苦灰岩が分布.
内圧	ないあつ	internal pressure	外部と遮断された空間を持つ物体の内側表面に働く圧力.
内圧効果	ないあつこうか	inner pressure effect of tunnel rock bolt	トンネル壁面地山をロックボルトで締付けることにより引張力が内圧として作用し, 地山の安定化に役立つこと. また吹付けコンクリートや鋼製支保工も含めた支保効果を, 内圧として評価すること.
内核	ないかく	inner core	地球中心より半径約1,300kmの部分.
内角石	ないかくせき	<i>Endoceras</i>	オウムガイ亜綱エンドセラス目の化石オウムガイ類. 中～上部オルドビス系に産する. エンドセラスともいう.
内空断面	ないくうだんめん	inner section	トンネルの覆工内側空間部の断面形状. 用途によって所要の建築限界・断面積など空間部の大きさと形を決める.
内空変位	ないくうへんい	convergence	トンネル掘削により地山応力の均衡が破れトンネル壁面が内空側に変形すること.
内空変位計	ないくうへんいけい	convergence measure	トンネル内空変位などを計測する機器. 高精度で個人差の少ないことが重要. コンバージェンスメジャー, スチールテープなどが主なもの. 近年はトータルステーションを用いることも多い.
内空変位測定	ないくうへんいそくてい	convergence measure	トンネルの内空寸法を経時的に測定し変形状態を監視するために行う. トンネルの施工時の計測管理や施工後の維持管理時などに実施.
内径比	ないけいひ	inside clearance ratio	ボーリングビット先端部分の内径に対するサンプリングチューブ内径のゆとりの割合.
内射図法	ないしゃずほう	gnomonic projection, projections onto tangent plane	地球の中心から地球表面のある地点(例えば北極や南極)と接する垂直平面に投影する図法.

内成岩	ないせいがん	endogenetic rock	地殻内部で生成された岩石の意味で、表成岩に対する用語。噴出岩を除いた火成岩や変成岩をさす。
内成鉱床	ないせいこうしょう	endogenic deposit	①火成、変成作用により形成された各種鉱床の総称。 ②成因的に関係のある貫入岩体内に生じた火成鉱床。塩基性岩中のクロム鉄鉱床、キンバーライト中のダイヤモンドなどがその例。
内成スカルン	ないせいすかるん	endomorphic skarn, endoskarn	貫入岩に伴うスカルンで、その貫入岩を母岩とするもの。
内側火山弧	ないそくかざんこ	inner volcanic arc	弧状列島における二列の高まり（二重弧）のうち、大陸側の内側の列に並んだ火山列。
内帯	ないたい	inner zone	中央構造線によって分けられる日本列島の大陸（北西）側の部分。
内帯中央線	ないたいちゅうおうせん	median line of inner zone	飛騨外縁構造帯ともいう。飛騨変成岩類の南縁の構造帯をさす。
内地向斜	ないちこうしゃ	intrageosyncline	内地背斜面で区分された個々の凹状地。M. Tetiaev(1941)が命名。イントラ地向斜ともいう。この用語は現在では使われない。
内地背斜	ないちはいしゃ	intrageanticline	内地向斜に隣りあった複地向斜内の隆起部。この用語は現在では使われない。
内島弧	ないとうこ	inner island arc	島弧は2列の二重弧をなす場合が多く、海溝から遠い列は内島弧または内弧と呼ばれ、活火山が点在する。
内熱型高温高压実験装置	ないねつがたこうおんこうあつじっけんそうち	internally-heated pressure vessel	高压に耐えられる容器内に電気炉を設置した実験装置。最高20000気圧・数千度の条件下で実験が可能である。
ナイフエッジ	ないふえっじ	knife edge	①岩石が割れるとき岩片がナイフ状に鋭く割れたようす。 ②堆積構造がナイフ状に細くせん滅するようす。
内部コンクリート	ないぶこんくりーと	internal concrete	重力ダム堤体の主体を占めるコンクリートで、堤体設計上の所要強度、重量、弾性係数などが満足されるように配合される。
内部太平洋岩石区	ないぶたいへいようがんせきく	intra-Pacific petrographic province	ハワイ群島を含む内部太平洋地域に分布する新生代火山岩の岩石区。ソレアイト玄武岩を主体とする。
内部標準法	ないぶひょうじゅんほう	internal standard method	物質中の元素の重量比を求める方法で、物質中に測定標準となる物質を一定量混入しこれを基準として重量比を定量する。
内部表面積	ないぶひょうめんせき	internal surface area	石炭のような、内部に多くの空げきがあるものの内部の表面積。
内部摩擦	ないぶまさつ	internal friction, inner friction	仮想破断面の摩擦係数。相対的に速度の異なる二つの流れの境界面に発生するせん断応力のような抵抗。流体摩擦。

内部摩擦角	ないぶまさつかく	angle of internal friction	土中に作用する垂直応力とせん断抵抗との関係直線と垂直応力軸がなす角度。通常 ϕ で表す。
内陸砂丘	ないりくさきゅう	inland dune, interior dune	ユーラシア大陸やアフリカ大陸の乾燥した気候の内陸部に形成された砂丘。海岸砂丘に対比する語。
内陸地震	ないりくじしん	intraplate earthquake	日本列島内部で起きる地震。震源の深さが20km以浅で発生するものが多い。プレート内地震と呼ばれることもある。都市の直下で発生することがあり大きな被害をもたらすことがある。
内陸盆地	ないりくぼんち	inland basin	成因に関わらず、外洋との接触のない大陸内部の盆地。
内湾性	ないわんせい	embayment degree	弱内湾・中内湾・強内湾に分けられ、湾口～湾奥の無機的環境の変化や、各々に特徴的な生物相を示す。
内湾堆積物	ないわんたいせきぶつ	bay sediment	内湾の堆積環境に特徴付けられる堆積物。湾内には細粒堆積物のみが堆積し、湾口には粗粒堆積物が分布する。
ナウマン	なうまん	Naumann Heinrich Edmund	1854～1927年、ドイツ生まれ。東京大学で日本初の地質学教授。黎明期にあった日本の地質学に多くの業績と影響をもたらした。
ナウマン象	なうまんぞう	Naumann's elephant	第四紀更新世中～後期に生息していた長鼻類。日本全国で化石が産出。
ナウマンの記号法	なうまんのきごうほう	Naumann's symbols	ナウマンの著書で提唱された結晶面を表す記号法。
苗木－上松花崗岩	なえぎあげまつかこうがん	Naegi-Agematsu granite	中津川市苗木から上松町にかけて分布する白亜紀末期の花崗岩。優白色、中～細粒の黒雲母花崗岩が主体。
苗木花崗岩	なえぎかこうがん	Naegi granite	苗木－上松花崗岩の天井部のものを呼んだが、苗木－上松花崗岩に統合される。
苗木鈹床地区	なえぎこうしょうちく	Naegi clay deposit area	愛知県から岐阜県にわたる粘土鈹床地帯の一部で、岐阜県苗木の一带をさす。
直江津油田	なおえつゆでん	Naoetsu oil field	新潟県頸城産油・産ガス地帯南部の油田の一つ。可燃性天然ガスを多く伴う。
直島みかげ	なおしまみかげ	Naoshima mikage	香川県香川郡直島町直島産の中生界黒雲母花崗岩。中粒で、長石は淡黄色、石英は淡紫色。土木用に利用。
中石	なかいし	gangue rock	①鈹体の中で鈹化作用を受けなかった母岩。鈹山用語で、中山、馬石ともいう。 ②断層破碎帯中のガウジや破碎岩には含まれた非破碎母岩
長井西方断層	ながいせいほうだんそう	Nagai-seiho fault	活断層。確実度 I、活動度 B 級、南北～北東方向。山形県長井市長井盆地西縁に位置し延長約20km。長井盆地と西縁山地の地形境界をなす。

長岩統	ながいわとう	Nagaiwa series	日本の上部石炭系の最下部の統。飛騨山地の上宝統を代表とする説もある。岩手県大船渡市長岩付近を模式地とし、主として石灰岩からなる。
長岡青石	ながおかあおいし	Nagaoka-aoishi	静岡県伊豆長岡産石材。中新統凝灰岩。青色で土木用に用いられる。戸沢石の別称。
長岡石	ながおかいし	Nagaoka ishi	石材名。栃木県宇都宮市付近に産する中新統流紋岩質凝灰岩。大谷石と同質。群馬県に同名の流紋岩があるが別物。
長丘断層	ながおかだんそう	Nagaoka fault	活断層。確実度 I，活動度 A 級，南北方向。長野県北部中野市西縁部に位置し延長13km。善光寺地震で約3mの垂直変位あり。
中尾地すべり	なかおじすべり	the Nakao landslide	新潟県東頸城郡松之山町中尾地内の第三紀層地すべり。典型的な流れ盤型で、古くからの被災記録がある。
中壁式工法	なかかべしきこうほう	center wall method, center diaphragm method	土砂・軟岩地山で扁平な断面のトンネルを掘削する場合、中壁で左右に分割して切羽を小さくして掘削する工法。CD工法ともいう。
中川石	なかがわいし	Nakagawa ishi	山形県南陽市中川産石材。新第三系凝灰岩。帯緑黄白色～帯赤白色。耐寒・耐熱性が高い。建築・電用に利用。
中川層群	なかがわそうぐん	Nakagawa Group	栃木県茂木町付近に広く分布する新生界下部中新統。火山砕屑岩を主体とし、凝灰質砂岩、凝灰質泥岩などを伴う。栃木県茂木町北部を模式地とする。
那賀川層群	なかがわそうぐん	Nakagawa Group	四国東部の秩父累帯南帯に属する中部ジュラ系～下部白亜系。タービダイト層を主体とし、チャート、石灰岩、緑色岩などを伴うオリストストロームからなる。阿南市細野～鷲敷町的那賀川を模式地とする。
中川炭田	なかがわたんでん	Nakagawa coal field	北海道天塩支庁中川郡美深町に分布する炭田。夾炭層は中新統中川層で、累計炭丈2～4 m。主に褐炭を産す。
中川原みかげ	なかがわらみかげ	Nakagawara-mikage	兵庫県津名郡岩屋町中川原村産石材。中生界花崗岩。眼球状・片麻岩質。土木用に利用。淡路島みかげとして有名。
中木地すべり	なかぎじすべり	the Nakagi landslide	古い地質時代の地すべり。石廊崎を震源とする「1974年伊豆半島東方沖地震」の際、地すべり土塊の一部が再滑動した。
内木場断層	なかこぼだんそう	Nakakoba fault	活断層。確実度 I，活動度 B 級，東北東－西南西方向。鹿児島県出水市南方に位置し出水断層系を構成。
長崎豪雨	ながさきごうう	the 1982 Nagasaki heavy rainfall	1982年7月23日に長崎市で発生した豪雨災害で、時間雨量140mm超により都市河川が氾濫し、都市機能がマヒして被害が拡大した。死者・不明者は300人前後。都市防災の必要性が提起されるきっかけとなる災害。この雨はその後24日に熊本で日降水量394.5mmを観測するなど、島原半島や熊本県北部を中心に大雨となり、25日は九州南部や紀伊半島南部で100～300mmの大雨となった。気象庁は、7月23日から25日の大雨を「昭和57年7月豪雨」と命名した。
長崎三角地域	ながさきさんかくちいき	Nagasaki wedge	北側は松山－伊万里、南側は松山－八代を結ぶ地質構造上の三角地帯。西南日本内帯と外帯の両要素を有する。

長崎変成岩類	ながさきへんせいが んるい	Nagasaki metamorphic rocks	九州北西部の西彼杵半島, 長崎半島, 天草下島に分布する低温高圧の結晶片岩類. 白雲母の年代は白亜紀後期.
長崎眼鏡橋	ながさきめがねばし	Nagasaki Meganebashi , Nagasaki spectacle- shaped bridge	長崎市内中島川に架けられた日本最初の石造アーチ橋. 長さ23.0mで寛永11年 (1634) 完成.
長里石	ながさといし	Nagasato ishi	長崎県北東部に産する石材. 新第三系後期筑紫型両輝石安山岩溶岩. 黒色・玄武岩質で, 砕石・土木用に用いられる.
中里統	なかざととう	Nakazato series	岩手県大船渡市猪川町中里を模式地とする中部デボン系. 主に玄武岩・安山岩質の凝灰岩・黒色頁岩・砂岩からなる.
中七番一能谷山背斜	なかしちばんのうた にやまはいしゃ	Nakashichiban-Notaniyama anticline	四国の三波川帯において大歩危背斜の南西側に雁行して分布する総延長70kmに及ぶ大背斜構造.
中条油田	なかじょうゆでん	Nakajo oil field	新潟県中条産油・産ガス地帯の油・ガス田. 北蒲原郡中条町に位置する. 1940年開発. 灰爪層・西山層砂岩中の層位封鎖型油層. 深度200~2100m.
中筋地溝帯	なかすじちこうたい	Nakasuji graben	高知県中村市から宿毛にかけて分布する四万十帯南帯. 古第三系および新第三系中新統から構成される.
中瀬鉱山	なかせこうざん	Nakase mine	兵庫県養父郡関宮町の金・アンチモン鉱山. 品位はAu5.8g/t, Ag35g/t, Sb0.64%. 1975年閉山.
那珂層群	なかそうぐん	Naka Group	那珂湊・大洗地域に分布する上部白亜系. 砂岩泥岩互層, シルト岩, 礫岩, 砂岩などからなる. 那珂湊層群(上部白亜系)と大洗層(古第三系との見解がある)に分けられる. 化石を多く含む.
中竜鉱山	なかたつこうざん	Nakatatsu mine	福井県大野郡のスカルン鉱床, 鉛・亜鉛鉱山. 総生産粗鉱量1,200万t, Ag330t, Pb5.6万t, Zn55万t. 1986年閉山.
中津川層群	なかつがわそうぐん	Nakatsugawa Group	関東山地の秩父北部に分布し秩父帯に属する中生界. 北から乙父沢層, 両神層, 石舟層, 大ガマタ層などに区分される.
中土層群	なかつちそうぐん	Nakatsuchi Group	長野・新潟県境姫川中流域に分布する新第三系. 下部は石坂流紋岩, 上部は凝灰角礫岩と横川層に細分される.
中津みかげ	なかつみかげ	Nakatsu-mikage	岐阜県中津川産石材. 中生界斑状黒雲母花崗岩. 土木用に用いられる.
中通島層群	なかどうりじまそう ぐん	Nakadorijima Group	長崎県南松浦郡中通島の南東部に分布する新第三系火砕岩・溶岩からなる.
長門構造帯	ながとこうぞうたい	Nagato tectonic zone	山口県西部, 北東-南西方向の断層群に挟まれた狭長な構造帯. 構成岩類は古生界の碎屑岩類, 蛇紋岩など.
長門さんご (長門珊瑚)	ながとさんご	<i>Nagatophyllum</i>	四放さんご (珊瑚) 目Aulophyllidae科の一属の大型単体~群体さんご (珊瑚). 西南日本内帯の石炭系 (特に下部) から産する.

長瀬系	ながとろけい	Nagatoro system	三波川系（三波川結晶片岩）ともいう。埼玉県の長瀬付近に分布する三波川系と御荷鉾系を総括して呼んだ。
中抜発破	なかぬきはっぱ	center-cut blasting	掘進発破で切羽面の中央部で第1段で行う芯抜き発破。
長沼石	ながぬまいし	Naganuma ishi	福島県須賀川市付近に産する石材。新第三系凝灰岩。灰色・軟質で、土木用に用いられる。
長沼期	ながぬまき	Naganuma age	更新世中期の一時期で、海進期。横浜市長沼町を模式地とする三浦半島北接地域の長沼層に代表される。
長沼断層系	ながぬまだんそうけい	Naganuma fault system	活断層。確実度 I，活動度 B～C 級，北西－西南西方向。宮古島を縦断する延長27km。変位の累積性は不明。
長沼油田	ながぬまゆでん	Naganuma oil field	北海道空知郡長沼町に位置する石狩産油・産ガス地帯の油田の一つ。第二次大戦前に試掘した実績があるが、生産実績はない。
中の川層群	なかのがわそうぐん	Nakanogawa Group	日高山脈東麓部に分布する日高累層群の白亜系。タービダイト相を特徴とする。
長野県西部地震	ながのけんせいぶじしん	the 1984 western Nagano earthquakes	1984年9月14日午前8時48分発生。長野県木曾郡王滝村北部を震央とするM6.8の直下型地震。斜面崩壊が頻発し、特に御岳山麓の巨大斜面崩壊とそれに伴う岩屑流により被害が広がった。死者・行方不明者29人とされている。正式名称は「昭和59年（1984年）長野県西部地震」。
中ノ里石	なかのさといし	Nakanosato ishi	鹿児島県日置郡に産する石材。更新統の軽石凝灰岩。産地により名称が異なる。土木用に用いられる。
中の丸石	なかのまるいし	Nakanomaru ishi	静岡県下田の北方に産する石材。新第三系凝灰質砂岩。陶石化のため若干硬質。建築用・墓石・砥石に用いられる。
中場地すべり	なかばじすべり	the Nakaba landslide	1983年の中場大崩壊が契機となり1984年に地すべり指定をうけた。面積32.25haで温泉地すべりに分類される。
中場大崩壊	なかばだいほうかい	Nakaba large collapse	1983年の集中豪雨により、浜田市中場地区のスランプ構造の発達した岩盤が大崩壊を起こした。
中パラムシロ層群	なかばらむしろそうぐん	Sredneparמושirskaya series	千島列島の第三系の最下部層。ぜん新統（漸新統）～中新統の変質した緑色火山岩類からなる沿岸成層。
中富良野なまこ山断層	なかふらのなまこやまだんそう	Nakafurano-Namakoyama fault	活断層。確実度 I，活動度 B 級，南北方向。北海道富良野盆地西縁を画する延長約10kmの活断層。変位基準面は火砕流面と段丘面。平均変位速度0.1～0.4m/10 ³ 年。
中掘り拡大根固め工法	なかぼりかくだいねがためこうほう	expanded foot protection pile installation by inner excavation	中掘り工法で杭を地盤に埋め込み、底部を拡孔した後セメントミルクなどを注入し支持層に定着させる工法。
中掘り工法	なかぼりこうほう	pile installation by inner excavation	杭の内部に挿入したオーガーで先端の地盤を掘削しながら自重、圧入、打撃などによって打設する既製杭の打設工法。

中掘り打撃工法	なかぼりだけきこうほう	percussion pile installation by inner excavation	既製杭の中空部をオーガで掘削しながら杭を埋め込み、先端支持力を得るため支持地盤で最終打撃を行う工法。
中掘り根固め工法	なかぼりねがためこうほう	foot protection pile installation by inner excavation	既製杭の中空部を掘削しながら杭を埋め込み、先端をセメントミルクなどで固化し支持層に定着させる工法。
長町ー利府線	ながまちりふせん	Nagamachi-Rifu line	仙台市のほぼ中央を北東に走る断層崖。確実度 I，活動度 B 級，延長 12km。
中マリアナ海嶺	なかまりあなかいれい	Mid-Mariana ridge	マリアナ弧南部の 3 列の海嶺のうち，中央に位置する海嶺。現世の火山フロントである。
那珂湊層群	なかみなとそうぐん	Nakaminato Group	茨城県水戸市東方，那珂湊海岸付近に分布する白亜系。大洗層と合わせた那珂層群の一部で，海成で砂岩・泥岩およびこれらの互層からなる。
中峰石	なかみねいし	Nakamine ishi	宮城県多賀城付近に産する石材。新第三系凝灰岩。白色，軟質で耐火性がある。土木用に用いられる。
長峰丘陵東縁断層	ながみねきゅうりょうとうえんだんそう	Nagamine eastern margin fault	活断層。確実度 I，活動度 A 級，南北方向。長野県北部飯山市内に位置し延長 11km。少なくとも 1100 年前以降活動していない。
中村地向斜	なかむらちこうしゃ	Nakamura geosyncline	高知県南西部の中村付近に分布する上部白亜系～古第三系を堆積した地向斜。模式地では，北側に分布する四万十地向斜の一部とする考えもある。地向斜による造山論は現在あまり議論されていない。
中目石	なかめいし	Nakame ishi	墓石などの石材に用いられる花崗岩類のうち中粒のもの。産地は茨城県真壁・岩瀬，愛知県岡崎，香川県庵治などがある。
中山石	なかやまいし	Nakayama ishi	仙台市郊外荒巻中山に産する石材。中新統安山岩。砕石用。徳島県産の和泉砂岩に同名の墓石・土木用材がある。
中山トンネル	なかやまとんねる	Nakayama tunnel	上越新幹線の高崎～上毛高原間に建設された 14,830m の長大トンネル。第四紀火山噴出物および緑色凝灰岩が分布し，高圧多量の湧水を伴い水没区間では被り 360m の地上から大量の注入が行われた他，立坑・本坑とも各種注入工法が実施された。また膨張性区間では我が国で始めて NATM 工法が採用された。1982 年完成。
長与層群	ながよそうぐん	Nagayo Group	長崎県諫早炭田付近に分布する古第三系。主に砂岩・泥岩からなり，凝灰岩を伴う。長崎県西彼杵郡長与町を模式地とする。
長良川河口堰	ながらがわかこうぜき	The Nagara estuary barrage	長良川河口より上流約 5.4km に造られた二段式調整ゲート（45m×10 門），総延長 661m（可動部 555m）規模で魚道を併設。
流れ褶曲	ながれしゅうきょく	flow folding	変形が層理を斜めに切る流動によって特徴づけられる物質の流動を伴う褶曲。流動褶曲と同義。
流れ盤	ながればん	dip slope, back slope	層理や断層など地質不連続面の傾斜が斜面勾配よりも緩く，すべり落ちる構造。受け盤の対語。
流れ目	ながれめ	dip slope, back slope, system of fissures dipping towards the face or slope	地層面，節理面などの不連続面の傾斜が，斜面や掘削面と同じ方向に傾斜する地質構造。変状を起こしやすい。対語は差し目。

流れ山地形	ながれやまちけい	hummocky hill	大規模な火山体崩壊による岩屑流の堆積地において、火山体の破片からなる大小の丘が散在している地形。
洛東統	なくとんとう	Naktong series	朝鮮南部の後期中生界「慶尚（キョンサン）層群」の下部層。日本の関門層群脇野垂層群に対比された。最近では使われていない。
ナクライト	なくらいと	nacrite	$Al_4Si_4O_{20}(OH)_8$ ，単斜晶系，硬度2～3，比重2.60。カオリナイトー蛇紋石族の粘土鉱物。火山岩の熱水変質鉱物で，カナリナイトなどと共生する。
名倉砥	なぐらと	Nagurato	愛知県設楽町産石材。新第三系凝灰岩。灰黄色・緻密で砥石として用いられる。三河石とも呼ばれる。
長柱鉱山	なごしろこうざん	Nagoshiro mine	徳島県東部の珪石鉱山。中生界チャートを露天掘りで採掘中。可採鉱量概算は約3,500～4,000万t。
勿来ガス田	なこそがすでん	Nakoso gas field	福島県南東部常磐炭田地帯のガス田。石城砂岩層中の断層破碎部に胚胎し，メタン主体の天然ガスを産する。
名残川	なごりがわ	remnant stream	比較的大きな川が流路を変更した後に残る旧河道の凹地に，地表水や地下水の湧出で生じる小さい川。
NASAEOS計画	なさいおすけいかく	NASA Earth Observation System project	米国航空宇宙局のプロジェクトで，宇宙からの地球環境の観測や気候変動の学際的な研究などを目的としている。
梨ノ木平地すべり	なしのきだいらやまじすべり	the Nashinokidairayama landslide	1983年5月に富山県小矢部市内山地内で発生。幅・長さとも1km。最大層厚80mと日本でも屈指の深層地すべり。
ナショナルトラスト	なしよなるとらすと	national trust	自然環境や歴史的環境の保存を目的としてイギリスで設立された組織。各地に同様の組織がある。
那須火山	なすかざん	Nasu volcano	栃木・福島県境の噴気活動が活発な活火山。南北に活動が移動する成層火山で安山岩～玄武岩質溶岩よりなる。
那須火山帯	なすかざんたい	Nasu volcanic zone	東北日本弧の中軸部にそって多数の成層火山やカルデラを配列する火山帯で，東日本火山帯の火山フロントをなす。
ナスカプレート	なすかぶれーと	Nazca plate	南米西方沖の海洋プレート。東太平洋海膨などに発散境界，ペルー・チリ海溝に収束境界を有する。
灘石	なだいし	Nada ishi	兵庫県豊岡市産石材。新第三系～更新統玄武岩。石塔・石垣・礎石などに用いられる。
名立くずれ	なだちくずれ	Nadachi landslide	1751年5月21日の高田地震によって，新潟県西頸城郡名立町で発生した大規模な崩壊型地すべり。
名立油田	なだちゆでん	Nadachi oil field	新潟県下郷津産油地帯の油田の一つ。名立川および能生川沿いにある。貯留層は能生谷層の砂岩泥岩互層。

雪崩	なだれ	avalanche	山の斜面に積もった積雪が急速に下降もしくは崩壊する現象。大別して、表層雪崩・全層雪崩がある。
雪崩危険区域	なだれきけんくいき	dangerous area of avalanche	斜面の地形・植生・積雪状況などより雪崩の発生しやすい区域。雪崩予防施設・雪崩防護施設が必要となる。
雪崩分類	なだれぶんるい	classification of avalanche	日本では日本雪氷学会による雪崩の分類(1965)が公式名称とされている。発生形、雪質、滑り面を組合せ、6種類に分類されている。
雪崩防止工法	なだれぼうしこうほう	defences for avalanche	雪崩による災害発生を防止するための工法および構造物。雪崩防止林、防止柵、吊柵などがある。発生後の雪崩には雪崩防護工で対応する。
那智黒	なちぐろ	Nachiguro	和歌山県の那智川・熊野川流域に産する石材。中生界黒色頁岩。緻密で、硯石・黒の基石として珍重されている。
ナチュラルアナログ	なちゅらるあなるぐ	natural analogue	放射性廃棄物を地層処分した場合に想定されるプロセスに類似する天然のプロセス。
夏川石	なつかわいし	Natsukawa ishi	新潟県長岡市周辺に産する石材。鮮新統一更新統灰瓜層中に産する石灰質砂岩。
ナッシュビルドーム	なっしゅびるどーむ	Nashville dome	アメリカ、テネシー州の隆起構造。中央にオルドビス系、周辺急崖部に石炭系が同心円状に分布する。
ナップ	なっふ	nappe	独語でデッキ。衝上断層や横臥褶曲などで横に滑動し、原地性基盤を覆う異地性岩体。
ナップ空気混入工	なっふくうきこんにゅうこう	nappe interrupter	洪水吐クレストに突起を設け、その突起の下側に空気を混入させるようにした構造。
NATM	なとむ	new Austrian tunnelling method, NATM	地山自体のもつ強度を利用して、吹付けコンクリートとロックボルトを主な支保工とするトンネル工法。
NATM計測指針	なとむけいそくししん	NATM method measuring guide	NATMで施工されるトンネル切羽の観察および内空・地山の計測手法について説明した指針。(日本トンネル技術協会編 S. 58.3)
NATMショートベンチ工法	なとむしょーとべんちこうほう	NATM short bench cut method	切羽掘削をショートベンチ(上下半切羽距離30m程度)で行うNATM工法。
NATMトンネル	なとむとんねる	NATM tunnel	NATM工法によって施工されたトンネル。
Na/Kアルカリ温度計	なとりうむかりうむあるかりおんどけい	Na/K geothermometer	地下の熱水が母岩と反応して平衡状態にあるときの温度をNa/K比から求める方法。地質学的温度計の一種。
ナトリウムベントナイト	なとりうむべんとないと	Na-bentonite	ナトリウムに富んだモンモリナイトを主成分とするベントナイト。水中で著しく膨潤する。

名取層群	なとりそうぐん	Natori Group	仙台～宮城県南部に分布する下～中部中新統。下位より陸成層～浅海層～漸深海帯～浅海層に至る堆積サイクルをなす。
七号地海進	ななごうちかいしん	Nanagoti transgression	更新世末期の約1.5～1.1万年前にかけて生じた海進、七号地層を堆積させた。
七号地層	ななごうちそう	Nanagoti Formation	七号地海進期に形成された下部沖積層。基底礫層、砂・泥互層、泥炭層の互層からなる。東京低地部の埋没谷中に分布。
七谷層	ななたにそう	Nanatani Formation	新潟県中部地域に分布する下部中新統上部～中部中新統中部。南蒲原郡下田村大谷付近を模式地とする。海成で硬質泥岩や塊状泥岩を主体とし、流紋岩質あるいはデイサイト質の火砕岩を伴う。
斜め移動断層	ななめいどうだんそう	oblique-slip fault	斜めすべり断層と同義。断層の変位が縦成分と横成分の両方を有する断層。
斜め杭	ななめぐい	diagonal pile, batter pile, inclined pile	地盤に斜めに打設される杭で、シーバースなど水平力が大きく作用する海洋構造物の基礎として施工されることが多い。
斜め写真	ななめしゃしん	oblique photograph	空中写真の一種で斜め上方より撮影した写真。長大斜面の観察などに利用される。
斜めすべり断層	ななめすべりだんそう	diagonal-slip fault	斜め移動断層と同義。
ナノメータ	なのめーた	nanometer	長さの単位で、10億分の1メートル。リモートセンシングでは近赤外線より短い波長の表記に使用。
菜生層群	なばえそうぐん	Nabae Group	四国東部の四万十帯南帯南部の泥岩優勢層。堆積時の変形や破壊が著しい。平ほか(1980)により命名。
難波江層群	なばえそうぐん	Nabae Group	舞鶴、夜久野地方、岡山県東部に断続的に分布する上部三じょう系（三畳系）。浅海成～一部汽水成で砂岩、シルト岩を主体とする。福井県難波江海岸を模式地とする。
ナバホ砂岩	なばほさがん	Navajo sandstone	アメリカ、アリゾナ州北部など、西部内陸地域南部に分布する上部三じょう系（三畳系）～ジュラ系。陸成とみなされ、爬虫類化石を産する。
ナビドリル	なびどりる	navigational drill	先端駆動式ドリルの一種。従来型のダイナドリルよりも小さい動力のポンプで作動させることができる。
ナフサれき青 (ナフサ瀝青)	なふされきせい	naphthabitumen	少量の硫黄・酸素・窒素を含む炭化水素類の混合物からなる。天然に産する堆積源有機物。
ナフテン基原油	なふてんきげんゆ	naphthene base crude oil	アスファルト基原油と同義語。
鍋石	なべいし	Nabe ishi	福島県郡山東方に産する石材。中生界花崗閃緑岩中のはんれい岩（斑糲岩）。建築石材して珍重されたが終掘。

鍋田石	なべたいし	Nabeta ishi	愛知県豊田市産石材。中生界武節両雲母花崗岩。岡崎みかげの一種。墓石として珍重される。
鍋立山トンネル	なべたちやまとんねる	Nabetachiyama tunnel	北越急行（株）ほくほく線の長大トンネル。延長9117mで1995年完成。新第三系の軟弱な泥岩が主体で石油系高圧ガスによる大膨張性土圧が発生。TBM工法や円形断面、NATMが採用されるとともに高圧多量の薬液注入で押し出しを抑制した。
鍋山石灰岩	なべやませつかいがん	Nabeyama limestone	栃木県安蘇郡葛生町付近に分布する。ペルム紀中期から後期の化石を含む。葛生石灰岩ともいう。
鍋山統	なべやまとう	Nabeyama series	栃木県葛生町周辺に分布するフズリナを多く含むペルム系。石灰岩および苦灰岩からなり、チャートを挟む。
生コンクリート	なまこんくりーと	ready-mixed concrete	工場で練り混ぜ、打設現場までトラックアジテーターなどで搬送されるコンクリート。
鉛・亜鉛鉱床	なまりあえんこうしょう	lead and zinc deposits	通常は鉛・亜鉛の硫化鉱物を主体とする鉱床。日本における代表例は秋田県北鹿地区の黒鉛鉱床。
鉛鉱床	なまりこうしょう	lead deposits	鉛の硫化鉱物・炭酸塩鉱物・硫酸塩鉱物を主体とする鉱床。鉛の硫化鉱物鉱床は通常多量の亜鉛鉱物を含む。
鉛精錬	なまりせいれん	lead smelting	鉛鉱物を溶融し、金属鉛を抽出する方法。溶鉛炉法と電気炉法がある。
鉛同位元素法	なまりどういげんそほう	lead-lead method	^{238}U と ^{235}U が異なる半減期でそれぞれ ^{206}Pb と ^{207}Pb に放射壊変することを利用する年代測定法。主に先新第三紀を対象とする。
鉛同位体法	なまりどういたいほう	lead isotope method	絶対年代決定法の一つである。ウラン-鉛年代法あるいはトリウム-鉛年代決定法など類似の方法と併用される。
鉛-鉛法	なまりなまりほう	lead-lead method	^{238}U と ^{235}U が異なる半減期でそれぞれ ^{206}Pb と ^{207}Pb に放射壊変することを利用する年代測定法。鉛同位元素法ともいう。
浪打石	なみうちいし	Namiuchi ishi	岩手県二戸市産石材。中生界はんれい岩（斑糲岩）（黒みかげ）。粗粒・帯緑黒色で美麗。墓石・建築用材として珍重される。
波の減衰	なみのげんすい	absorption for waves	波（例えば地震波）が媒質を伝播する際に、そのエネルギーを熱などに変換することにより減少させる事象。
名寄鈴石	なよろすずいし	Nayoro-suzuishi	北海道名寄市緑丘の更新統から産出する珍石。中空状の結核で、中に鉄分の多い核を持つ。振ると鈴のような音をたてる石。
名寄層群	なよろそうぐん	Nayoro Group	北海道天塩川流域の名寄盆地に分布する更新統。今西(1956)により命名。
奈良尾地すべり	ならおじすべり	the Narao landslide	長野県北部信州新町にある、防止面積7.6haの地すべり。1976年9月台風がもたらした集中豪雨により発生。人家14戸全半壊とされている。

檜崎石	ならさきいし	Narasaki ishi	山口県菊川町に産する中生代末期のひん岩。黒色・緻密で、砕石として利用される。
ならしコンクリート	ならしこんくりーと	leveling concrete	掘削された地盤表面の凹凸を平滑にするために打設するコンクリート。
檜谷結晶片岩	ならだにけっしょうへんがん	Naradani crystalline schist	松谷結晶片岩ともいう。飛騨外縁構造帯に点在する中部古生界で、主に泥質～砂質片岩からなる。
七良谷層	ならだにそう	Naradani Formation	高知県佐川町周辺に分布するジュラ系上部統。秩父累帯南帯の北縁部。泥岩、砂岩を主体とする。
檜谷層群	ならだにそうぐん	Naradani Group	岐阜県大野郡清見村に分布する中部古生界。藤本ほか(1953)が命名、藤本ほか(1962)が清見層群と改称。
檜橋油田	ならはしゆでん	Narahashi oil field	山形県飽海郡平田町檜橋に位置する山形県庄内産油地帯の油田の一つ。第二次大戦直後に開発された。昭和20年代に16klを産出したが終掘。深度100～130mの新第三系鮎川層の砂礫層に胚胎。
鳴石	なりいし	rattle stone	振ると音がする石。団塊の内部が収縮したり、内核の周囲が溶出して空洞化し、外郭から分離したもの。
成田階	なりたかい	Narita stage	千葉県成田市付近を模式地とする関東地方南部の第四系の上部階として、横山次郎(1931)が命名。
成田層	なりたそう	Narita Formation	千葉県北中部に分布する下総層群に属する更新統。木下(きおろし)層ともいう。千葉県印西町木下を模式地とする。砂質泥層と含化石砂層からなる。
成田層群	なりたそうぐん	Narita Group	房総半島中部から北部に分布する中・上部更新統。日本の海成中部更新統の模式層である。
成羽層群	なりわそうぐん	Nariwa Group	岡山～広島県に分布する上部三じょう系(三疊系)。植物化石や二枚貝化石が多い。古生界が衝上した横臥衝上で有名。
鳴子石	なるごいし	Narugo ishi	宮城県鳴子町産石材。鳴子火山噴出物の輝石安山岩および凝灰岩。輝石安山岩は軽石質で耐火性あり。庭石・土木用に用いられる。
鳴子火山	なるごかざん	Narugo volcano	宮城県北西部に位置する第四紀火山。径約400mの火口湖とその周りに噴出した溶岩円頂丘群の活動で生成。
鳴滝石	なるたきいし	Narutaki ishi	①静岡県韮山に産する更新統のかんらん石(橄欖石)玄武岩。土木用。 ②山口県山口市鳴滝に産する白亜系の黒雲母～角閃石黒雲母花崗岩。土木・建築用。
鳴滝地すべり	なるたきじすべり	the Narutaki landslide	1982年に長崎県長崎市鳴滝町で発生した地すべり。被害面積は約0.8ha。記録的な大雨を誘因としている。
鳴門石	なるといし	Naruto ishi	徳島県鳴門市付近に産する石材。白亜紀後期和泉砂岩中の砂岩。細粒・暗緑色で、硬質。橋梁・石垣・碑石などに利用。

鳴門断層	なるとだんそう	Naruto fault	活断層. 確実度 I, 活動度 A級, 東北東方向. 徳島県鳴門市に位置し延長12km. 北側が隆起し垂直変位300m. 中央構造線活断層系に属する.
縄状溶岩	なわじょうようがん	ropy lava, corded lava	粘性の小さい溶岩流で, 表面のガラス質皮膜がよじれ縄状の模様を呈するもの. パホイホイ溶岩に見られる.
縄又地すべり	なわまたじすべり	the Nawamata landslide	石川県輪島市縄又地内の第三紀層地すべり. 田毎の月で有名な千枚田地帯で, 古くは1606年からの記録が残る.
南越鉱山	なんえつこうざん	Nanetsu mine	新潟県六日町東方にあった鉱山. 閉山. 中温型銅・鉛・亜鉛鉱床. 産出量は銅300t, 鉛33,300t, 亜鉛7,400t.
南海地震	なんかいじしん	the 1946 Nankai earthquake	1946年12月21日に北緯33度, 東経135.6度の南海トラフで発生したM8.0の海溝型地震. 東北地方から九州全域で強い揺れを観測した. 地震と津波により死者は1300人を越えた.
南海舟状海盆	なんかいしゅうじょうかいぼん	Nankai trough	御前崎沖から日向沖へかけた長さ約700km, 深さ4,500m前後の細長い海底で, 巨大地震がしばしば発生する. フィリピン海プレートの沈み込み帯と考えられる. 南海トラフと同義.
南海層群	なんかいそうぐん	Nankai Group	徳島・高知県の秩父累帯中帯～南帯に細切れになって点在する下部白亜系. 主として砂岩, 泥岩からなる.
南海トラフ	なんかいとらふ	Nankai trough	南海舟状海盆と同義.
軟岩	なんがん	soft rock	固結度の低い岩石・岩盤に対する工学的区分. 土と硬岩との中間領域に位置する岩. 一軸圧縮強度では約10～25MPa以下, 掘削施工性による区分ではリッパー掘削が可能なものとされることが多い.
軟玉	なんぎよく	nephrite	陽起石あるいは透角閃石からなる玉, アクチノ角閃石の緻密な集合体. 硬玉に比べ硬度が低く(H6～6.5)比重もやや小さい. 軟玉岩と同義.
南極隕石	なんきょくいんせき	Antarctic meteorites	南極大陸で採取された隕石. 1995年までに約15,000個発見. 隕石は氷河で運ばれ裸氷帯に集積されている.
南極-インド海嶺	なんきょくいんどかいれい	South Pole-Indian ridge	マダガスカル島南東から南大西洋サウスオークニー諸島に至る海嶺.
南極横断山脈	なんきょくおうだんさんみゃく	Transantarctic mountains	東経160° 付近のビクトリアランドから西経40～50° 付近のウェッデル海までのびる, ロス造山帯とほぼ一致する山脈.
軟玉岩	なんぎよくがん	nephrite	軟玉と同義.
南極石	なんきょくせき	antarcticite	CaCl ₂ ・6H ₂ O, 三方晶系, 硬度2～3, 比重1.71. 塩湖で蒸発乾固物として産する. 水に溶解易い針状結晶の集合体. 無色・透明, ガラス光沢. 南極ビクトリアランドで発見されたことから命名.
南極ナピア岩体	なんきょくなぴあがんたい	Antarctic Napier complex	東南極に分布する始生代の岩体. グラニュライト相の変成作用を受ける. 年代測定の結果は, 約3,900Ma他.

南極プレート	なんきょくぷれいと	Antarctica plate	南極大陸が乗るプレート。中央海嶺で囲まれるが、一部、沈込み帯やトランスフォーム断層が境界となる。
軟珪石	なんけいせき	loose silica, weathered chert	容易に粉砕できる珪質原料。風化・変質したチャート・砂岩などを用いる。主にセメント原料成分の調整剤に使用。
南郷鉱床地区	なんごうこうしょうちく	Nango aplite area	滋賀県南部の花崗岩中のアプライト鉱床地区。有色鉱物が少なく、長石類と石英がよく分離。陶磁器原料に利用。
軟質炭	なんしつたん	soft coal	砕けやすいれき（瀝）青炭。発熱量が5,700kcal/kg以下の石炭。垂れき（瀝）青炭の一部と褐炭の総称。
軟質ラテライト	なんしつらてらいと	soft laterite	鉄分の多い斑状粘土で空気にさらされ、または乾湿の繰返すことで固結する性質を有するラテライト。
軟弱地盤	なんじゃくじばん	soft ground	沖積地や盛土のように軟らかい土層で構成され、建造物の基礎地盤に適さない地盤。
軟弱地盤固化処理工法	なんじゃくじばんこかしりこうほう	soft ground consolidation method	安定材を原位置の軟弱土に強制混合し、支持力の増加や圧密沈下の低減を得る工法。
軟弱地盤の側方流動	なんじゃくじばんのそくほうりゅうどう	lateral flow of soft ground	軟弱地盤の上に盛土などの重量物を載せると、地盤が水平方向に流動して周辺地盤を隆起や水平移動させる現象。
軟弱堆積物	なんじゃくたいせきぶつ	soft deposit	非常に軟らかい粘性土・有機質土・緩い砂質土から構成される堆積物の総称。
軟弱粘土	なんじゃくねんど	soft clay	軟らかい粘土の俗称。せん断強さの大きさなどで明確に定義された用語ではない。
南条鉱床地区	なんじょうこうしょうちく	Nanjo area	福井県南条郡に分布する熱変成でチャートが再結晶した珪岩からなる珪石鉱床地区。風化で石英粒が粉状化。
軟水	なんすい	soft water	硬水の反意語。カルシウムイオンやマグネシウムイオンの含有率が低く、硬度10度以下の水。
南西インド洋海嶺	なんせいいんどようかいらい	Southwest Indian ridge	南極ーインド洋海嶺と同義。
南西諸島海溝	なんせいしよとうかいこう	Nanseishoto trench (Nanseisyoto trench), Ryukyu trench	琉球列島の東南に沿う海溝。ユーラシアプレートとフィリピン海プレートの境界をなす。別名琉球海溝。
南勢層群	なんせいそうぐん	Nansei Group	志摩半島西部の秩父累帯中帯の下部白亜系。汽水～浅海成の砂岩、泥岩、礫岩などからなる。三重県南勢町を模式地とする。
軟石	なんせき	soft rock	石材の用語で、比較的軟らかい岩石。

南設亜層群	なんせつあそうぐん	Nansetsu Subgroup	愛知県設楽郡三河地方に分布する中新統設楽層群の上部に分布する流紋岩・安山岩などからなる火山岩類。
南鮮片麻岩	なんせんへんまがん	Nansen gneiss	高句麗花崗岩ともいう。朝鮮半島南部に分布。黒雲母花崗岩，片麻状花崗岩などからなる。泰山系に対比。
男体火山	なんたいかざん	Nantai volcano	日光火山群中の成層火山の一つ。約2.5万年前以降より活動し，約1.2万年前に活動を休止。
難帯水層	なんたいすいそう	aquiclude	土粒子間の空隙・間隔が狭く，透水性が極めて低く，水を通しにくい，または水が動きにくい地層。
軟体動物	なんたいどうぶつ	Mollusca, molluscs	動物界の後生動物の一門。化石は古生代以降に多産。アンモナイト類など多くの絶滅種があり古生物学上重要。
軟泥	なんでい	ooze	浮遊性生物遺骸を30%以上含む軟質な泥土。石灰質軟泥と珪質軟泥に分けられる。
南東インド洋海嶺	なんとういんどようかいらい	Southeast Indian ridge	オーストラリアと南極の間に東西に連なる海嶺。太平洋-南極海嶺の西，インド洋中央海嶺の東に位置する。
難透水性岩	なんとうすいせいがん	the rock of aquiclude	粘土層のように帯水することはできるが，透水性の悪い岩をいう。
難透水層	なんとうすいそう	aquiclude	シルト・粘土層など，透水性の小さな地層。
南部石	なんぶいし	nambulite	$\text{LiMn}_4(\text{Si}_5\text{O}_{14}\text{OH})$ ，三斜晶系，硬度6.5，比重3.49。橙紅色，ガラス光沢。主に變成層状マンガン鉱床に産する。南部松夫氏にちなんで命名。
南部フォッサマグナ	なんぶふおっさまぐな	South Fossa Magna	フォッサマグナの南半部。中新統初期に激しい火山活動が始まり，厚い中新～鮮新統が堆積し，褶曲を受けた。
南米プレート	なんべいぷれーと	South American plate	南米大陸と大西洋南西部にまたがる大陸プレート。南米大陸西縁には，ペルー・チリ海溝などの沈込帯が位置する。
南陽層	なんようそう	Nanyo Formation	濃尾平野の沖積層。上部砂層と下部泥層に区分。下部泥層（層厚約30m）は下位の洪積層とともに地盤沈下が顕著。
南嶺山脈鉱床	なんりんさんみやくこうしょう	Nanling range (W・Nb-Ta)	中国南部南嶺山脈地域の中生代後期火成活動に伴われた重金属鉱床群。タングステン鉱床が多い。
新潟ガス田	にいがたがすでん	Niigata gas field	新潟油田に伴われたガス田のこと。第二次大戦後の天然ガス需要の増加により開発された。
新潟地震	にいがたじしん	the 1964 Niigata earthquake	1964年6月16日，新潟県北西部沖，粟島南方で発生したM7.5の地震。死者は26人とされているが，地盤の液状化によりアパートが倒壊するなど，都市型の地震災害としての地盤の液状化が最初に認められた例。

新潟油田	にいがたゆでん	Niigata oil field	新潟県内の油田の総称。陸地部での浅層の油田開発から海域での深層油田（-10000m）開発に移行している。
新島抗火石	にいじまこうかせき	Niijima-kokaseki	東京都新島産石材。軽石流紋岩。軽質・多孔質で釘が打てる。耐火壁・防音壁などの建築材として利用される。
ニーゼンデッケ	にーぜんでっけ	Niesen flysch nappe	スイスNiesen山地に形成されるデッケ。上部白亜系を主とするフリッシュ層からなる。
仁井田油田	にいだゆでん	Niida oil field	秋田市南部仁井田に位置し南方に豊岩油田がある。女川層上部の凝灰岩、凝灰質砂岩に胚胎。
新月噴出岩類	にいつきふんしゅつが んるい	Niitsuki effusive rocks	気仙沼市新月付近に分布する下部白亜系。上部は安山岩質火山角礫岩・凝灰岩、下部は安山岩溶岩からなる。
新津油田	にいつゆでん	Niitsu oil field	新潟県新津市付近に位置する油田。1896年発見。貯留層は深度50～800mの背斜尖滅部の西山層、椎谷層と寺泊層の砂岩。明治、大正期には国内有数の油田。
ニードルビーム	にーどるびーむ	needle beam	中背盤に据えた縦桁にパイプジャッキを据え、これによりライナープレートを支える方式の支保工。またトンネルの移動式型枠の一種。
ニードルビーム工法	にーどるびーむこうほう	needle beam method	ニードルビームによりライナープレートを支えて掘削するトンネル掘削工法。土砂トンネルで採用。
新名石	にいないし	Niina ishi	香川県西部国分寺町産石材。鮮新統紫蘇輝石角閃石安山岩。粗粒・淡灰色で柱状節理発達。石垣・敷石・礎石に利用。
新居浜時階	にい はまじかい	Niihama phase	更新世初期の中央構造線の運動期。松山南方の皿ヶ峰平原面が1,000m以上隆起、北端で幅数100mの破碎帯を形成。
新屋石	にい やいし	Niia ishi	群馬県南部甘楽町産石材。中新統砂岩。細～中粒・淡褐色。鉄錆が浸潤して木目状模様を示す。建築用に利用。
二級河川	にきゅうかせん	class B river	一級河川以外の水系で、公共の利害に重要な関係があるものにかかわる河川で、都道府県知事が指定した河川。（河川法第5条）
二級ダム	にきゅうだむ	Nikyu dam	黒瀬川水系黒瀬川。広島県。1942年竣工。堤高32mの重力ダム。旧内務省所管の河水統制事業による我が国初の多目的ダム。
二極法	にきょくほう	double probe method	一対の電流および電位電極のそれぞれ一方の極を無限遠とみなせる位置に設置する比抵抗法の電極配置。
二曲率アーチダム	にきょくりつあーちだむ	double curvature arch dam	垂直断面並びに水平断面のいずれもが、アーチ形状をしているダム。
濁川カルデラ	にごりかわかるでら	Nigorikawa caldera	北海道駒ヶ岳の北西約20kmにある直径3km、面積5.3km ² のカルデラ。13,000B. P. 頃に形成された。現在地熱発電が行われている。

濁川油田	にごりかわゆでん	Nigorikawa oil field	秋田市北に、南から旭川・濁川・道川と南北に配列する油田の一つ。1918年発見。貯留岩は深度70～170mの濁川背斜部の船川層中の流紋岩。
濁沢地すべり	にごりさわじすべり	the Nigorisawa landslide	1980年12月30日に新潟県長岡市濁沢地内で発生した第三紀層地すべり。1人家12戸をのみ込む災害を発生させたとされている。
濁り度	にごりど	turbidity	溶液または粒子が浮遊する液体に光を当てた時の散乱光の強さと入射光の強さの比。
濁り度計	にごりどけい	turbidimeter	濁り度を測定する装置。測定原理は視覚法と光電光度法とがおもに用いられる。
ニコル	にこる	nicol	複屈折の高い方解石を用いた、直線偏光を作る装置。透明な2個の方解石をカナダバルサムで張り合わせる。
ニコルプリズム	にこるぷりずむ	Nicol's prism	自然光を互いに直角の方向に振動する偏光に分けるための装置。透明な方解石を張合わせて作る。
仁頃層群	にころそうぐん	Nikoro Group	北海道北見市付近に分布する上部ジュラ系～上部白亜系。緑色岩類・チャート・石灰岩などからなる。
二酸化イオウ	にさんかいおう	sulphur dioxide, sulfur dioxide	亜硫酸ガスともいう。硫黄を含む化石燃料の燃焼により発生する主要大気汚染物質の一つ。
二酸化炭素固定	にさんかたんそこてい	carbon dioxide fixation	二酸化炭素を結合して有機化合物に取り入れ固定すること。CO ₂ 固定化ともいう。
二酸化炭素濃度	にさんかたんそのうど	carbon dioxide concentration	大気中の炭酸ガスの濃度。近年その濃度上昇が地球温暖化との関連で問題となっている。
二酸化炭素排出抑制技術	にさんかたんそはいしゅつよくせいぎじゅつ	technology for mitigating CO ₂ emission	地球温暖化の防止を目的として、化石燃料の燃焼などによる二酸化炭素の排出を抑制する技術。
二次圧縮	にじあっしゅく	secondary compression	二次圧密と同義。一次圧密（弾性圧密理論による圧密）が終了した後に継続して進行する圧密。土の骨組み構造が変形するためにクリープ的に圧密が進行する。
二次圧密	にじあつみつ	secondary consolidation	飽和粘土の圧密において一次圧密とは異なる圧縮クリープ現象。
二次圧密係数	にじあつみつけいすう	coefficient of secondary consolidation	飽和粘土の一次圧密の終わり頃から認められる二次圧密において、圧密速度を支配する土質定数。
二次圧密率	にじあつみつりつ	rate of secondary consolidation	二次圧密時の圧縮ひずみと時間（対数）の関係直線における時間目盛り1サイクルあたりの圧縮ひずみ量。
二次イオン質量分析計	にじいおんしつりょうぶんせきけい	secondary ion mass spectrometry	高速イオン線を材料表面に衝突させた際に、材料から放出される二次イオンの質量分析計。

二次イオン質量分析法	にじいおんしつりょうぶんせきほう	secondary ion mass spectroscopy	試料へのイオンビームの照射により発生した二次イオンの質量分析から、試料の構成元素を定量する分析法。
西祖谷層群	にしいやそうぐん	Nishiiya Group	四国の三波川結晶片岩類中に想定された不整合の下位層準。本層群の分帯は疑問視されている。
西浦みかげ	にしうらみかげ	Nishiura-mikage	愛知県豊田市西浦産石材。中生界黒雲母角閃石花崗岩。節理少なく大材が得られる。敷石・礎石・石柱として利用。
二次応力	にじおうりょく	secondary stress	①自然の地山における応力（一次応力，初期応力）に対し，トンネルや空洞の掘削によって変化した後の地山応力。 ②ある仮定のもとに行われた構造計算で得られた応力（一次応力）に対し，仮定と実際との差違に起因する付加的な応力。
西男鹿層群	にしおがそうぐん	Nishioga Group	秋田県男鹿半島西岸に分布する始新～中新統。安山岩質の溶岩・火砕岩を特徴とする。門前層群ともいう。
西小国油田	にしおぐにゆでん	Nishioguni oil field	秋田県南部・鳥海山北西に位置する秋田県由利郡仁賀保町仁賀保産油・産ガス地帯の油田の一つ。
二次確率密度関数	にじかくりつみつどかんすう	second order probability density function	二つの確率変数に対する確率密度関数。
二次化石	にじかせき	secondary fossil	地層中で一度化石化した後，洗掘・再堆積により新しい地層に再度取り込まれた化石。誘導化石と同義語。
二次滑落崖	にじかつらくがい	secondary scarp	地すべりの主すべり面を形成する頭部の滑落崖に随伴し，その下方の滑動土塊中に形成される急崖。
西桂層群	にしかつらそうぐん	Nishikatsura Group	山梨県南西部桂川沿いに分布する中～上部中新統。下部は砂岩，泥岩を主体とし，上部は礫岩を主体とする。
西川地すべり	にしかわじすべり	the Nishikawa landslide	1968年に降雨を誘因として，山形県最上郡真室川町で発生し，住宅，道路，水田，河川に被害。防止区域面積12ha。
二次岩層	にじがんそう	secondary rocks	化石を利用した生層序学以前の用語（始源岩層，二次岩層，三次岩層）の一つ。中部ヨーロッパのデボン系の旧赤色砂岩～第三系に相当。
二軸圧縮強度	にじくあつしゅくきょうど	bi-axial compressive strength	試料の2方向から異なった荷重で圧縮する「二軸圧縮試験」により得られる強度。
二次クリープ	にじくりーぷ	secondary creep	ひずみ速度が減少した後，一定速度となった期間のクリープ現象。
西黒沢階	にしくろさわかい	Nishikurosawa stage	秋田県男鹿半島の西黒沢層を模式層とする東北地方の中新世中期の階。階は年代区分の期に対応。
西黒沢層	にしくろさわそう	Nishikurosawa Formation	秋田県男鹿半島に分布する中部中新統下部。男鹿市西黒沢～平沢海岸を模式地とする。海成で砂岩，礫岩，シルト岩を主体とし，凝灰岩を挟む。グリーンタフ相当層で，黒鋳胚胎層準。

二次元解析	にじげんかいせき	two dimensional analysis	水平面や鉛直面上など二次元で行う解析.
二次元問題	にじげんもんだい	two-dimensional problem	実際の材料や構造物は立体（三次元）だが，解析計算や設計上では二次元的なモデルで近似させることができる場合をいう.
二次元有限要素モデル	にじげんゆうげんようそもでる	two-dimensional finite element model	有限要素法に用いる解析モデルで，解析対象を二次元でモデル化したもの.
二次元要素	にじげんようそ	two-dimensional element	有限要素法による二次元解析のための要素. シェル構造の解析や平面応力状態・平面ひずみ状態とみなせる場合に用いられる.
二次鉱床	にじこうしょう	secondary deposit	既存の岩石や鉱床が，化学的もしくは物理的二次富化作用や風化作用を受けて有用鉱物が濃集して生じた鉱床.
二次鉱物	にじこうぶつ	secondary mineral	風化作用や変質作用により，一次鉱物が化学反応を受けて生成した粘土鉱物などの鉱物.
二次災害	にじさいがい	secondary disaster	地震などの直接的被害に連鎖して発生する火災などの災害. また，地すべり災害などの復旧中に起きる災害. 気象条件，社会環境などが加速要因となる.
西埼玉地震	にしさいたまじしん	the 1931 Nishisaitama earthquake	1931年9月21日埼玉県西部で発生したM6.9の地震. 被害は死者16人，家屋全壊207戸とされている.
二次地圧	にじじあつ	secondary ground stress, secondary state of ground pressure	地山にトンネルなどの空洞を掘削し，地山内の初期地圧が変化した後の状態の応力.
二次地すべり	にじじすべり	the secondary landslide	過去に発生した一次地すべりの全体または一部が再移動したもの. 二次…n次すべりの総称として用いる.
西七島海嶺	にししちとうかいい	Nishi-shichito ridge (Nisi-sitito ridge)	伊豆小笠原海嶺を構成する3列の海嶺の中で最も西側に位置する海嶺. 多数の海山からなる.
西島石	にしじまいし	Nishijima ishi	兵庫県家島諸島産石材. 中生界角閃石黒雲母花崗岩. 主に土木用に用いられ，土木用石材産地として大きい.
二次褶曲	にじしゅうきょく	second order fold	大褶曲内部で発生するさらに小規模な褶曲.
二次処理	にじしより	secondary treatment	排水処理の第二段階の処理. 沈砂地などの沈殿を一次処理，微生物などで処理するのを二次処理という.
二次シラス	にじしらす	reworked shirasu deposit	火山から噴出した軽石流堆積物や降下軽石堆積物などの一次シラスが移動，再堆積したもの.
西彼杵階	にしそのぎかい	Nishisonogi stage	崎戸炭田の西彼杵層群を模式層とする西日本古第三系の階. ぜん新世（漸新世）後期. 階は年代区分の期に対応.

西彼杵層群	にしそのぎそうぐん	Nishisonogi Group	長崎県崎戸～松島炭田を模式地とする中～上部ぜん新統（漸新統）。主に砂岩・泥岩からなり，海緑石，骨石を挟む海成層。
西彼杵炭田	にしそのぎたんでん	Nishisonogi coal field	長崎県西彼杵半島西側の海域にあり，崎戸－松島炭田・高島炭田と，両炭田間の未開発海域を含む海底炭田の総称。
西彼杵変成岩	にしそのぎへんせいがん	Nishisonogi metamorphic rock	西彼杵半島付近に分布する結晶片岩。黒色片岩を主体とし，緑色片岩を伴う。三郡帯か三波川帯か不明。
二次堆積性金属	にじたいせきせいきんぞく	secondary deposit	二次鉱床と同義。
二次ダイヤフラム型土圧計	にじだいやふらむがたどあつけい	secondary diaphragm type earth pressure cell	受圧板を介し土圧を計器内の液圧に変換し，内部の二次ダイヤフラムに生じた変形から土圧を求める土圧計。
西田川炭田	にしたがわたんでん	Nishitagawa coal field	山形県南西鶴岡市から新潟県境にかけての約30kmにわたる田川夾炭層の分布地帯。強粘結炭を産する。
二次注入	にじちゅうにゅう	secondary grouting	覆工背面と地山の間有空隙部に一次注入されたモルタルの充填状況を確認し，再度注入して効果を高める注入。
二次転圧	にじてんあつ	secondary rolling compaction	舗装の際，アスファルト混合物の初転圧に続いて行われる転圧で最大密度を得ることを目的として実施される。
西堂平片麻岩	にしどうひらへんまがん	Nishidohira gneiss	茨城県常陸太田市長谷付近，日立変成岩の西縁部に蛇紋岩を挟んで分布する変成岩。黒雲母片麻岩を主体とする。
西徳富層群	にしとつぷそうぐん	Nishitoppu Group	北海道西部の留萌市周辺に分布する下～中部中新統。下部は礫岩と砂岩の互層，上部は泥岩からなる。
仁科層群	にしなそうぐん	Nishina Group	伊豆半島南西部の西伊豆町周辺に分布する下部中新統。変質の著しい輝石安山岩質凝灰角礫岩からなる。
西日本島弧系	にしにほんとうこけい	West Japan arc system	琉球弧を含む西日本の島弧の総称。フィリピン海プレートの沈みこむ南海トラフ，琉球海溝に沿って発達。
西根断層群	にしねだんそうぐん	Nishine fault Group	活断層。確実度Ⅰ～Ⅱ，活動度B級，南北方向。岩手県盛岡市西方，駒ヶ岳東縁に分布し延長は5～16km。4条の断層よりなる断層群。
二次熱水鉱床	にじねっすいこうしょう	secondary hydrothermal deposit	若い時代の造山運動や火成活動で生じた熱水により古い鉱床の可溶成分が溶かされ，この熱水から生じた鉱床。
二次破砕	にじはさい	secondary crushing	トンネルの爆破掘削による発生ずりを，ベルトコンベアーの搬出能力に合わせてブレイカなどで小割すること。
二次発破	にじはつぱ	secondary blasting	発破後に残った大きな岩塊を処理するための発破。

二次覆工	にじふっこう	secondary lining	トンネルの覆工を分けて実施する時、仮巻きを一次覆工、本覆工を二次覆工という。
西海石	にしみいし	Nishimi ishi	長崎県西彼杵半島北部西海産石材。新第三系角閃石両輝石安山岩。板状節理が発達し、道路用・土木用に利用。
西峰地すべり	にしみねじすべり	the Nishimine landslide	1954年に高知県大豊町西峰で、台風が原因で発生した地すべり。42戸の家屋が移動するなど大被害が発生したとされている。
西八木層	にしやぎそう	Nishiyagi Formation	兵庫県明石地方の中位段丘構成層。最大厚15mで中部に海成粘土層を挟む。大阪層群明石累層を不整合に覆う。
西八代層群	にしやつしろそうぐん	Nishiyatsushiro Group	山梨県南部の富士川流域などに分布する中新統。玄武岩～デイサイト溶岩、同質火山砕屑岩類と泥岩などからなる。
西山層	にしやまそう	Nishiyama Formation	新潟県中部に分布する鮮新統～更新統。新潟県刈羽郡西山町付近を模式地とする。海成で泥岩を主体とする。
西山油田	にしやまゆでん	Nishiyama oil field	新潟県柏崎市北東に3列をなして連なる西山油帯の最も東側の油田群。1888年発見。別山・西山・高町・柏崎油田を含む。産油層は深度400～1000mの椎谷層下部および寺泊層の砂岩、凝灰質砂岩、凝灰岩。
二重円筒ケーソン式防波堤	にじゅうえんとうけーそんしきぼうはてい	double-cylinder-caisson type breakwater	二重の円筒構造で外円筒の開口部から入った波を内円筒の背後で衝突させて消波する形式の防波堤。
二重間隙モデル	にじゅうかんげきもでる	double porosity model	多孔質体中の有効間隙と、亀裂や破砕部の間隙の両方を考慮した地層流体の浸透を検討するためのモデル。
二重管式オーガーサンブラ	にじゅうかんしきおーがーさんぷら	double tube auger sampler	地盤中の深いボーリング孔に対して、約1.25mの直径までに使用される機械駆動式のオーガー。
二重管式コアバレルソイルサンブラ	にじゅうかんしきこあばれるそいるさんぷら	double core barrel soil sampler	ビットに接続し共に回転する外管および内管より構成されるダブルコアチューブ式の軟質土採取器。
二重管ダブルパッカー式グラウチング工法	にじゅうかんだぶるぱっかーしきぐらうちんぐこうほう	double tube and double packer grouting method	注入バルブを装着した注入外管を地盤中に建込み、その周りをシールグラウトし、ダブルパッカーを装着した注入内管を挿入して注入を行う工法。
二重管注入工法	にじゅうかんちゅうにゅうこうほう	double pipe grouting method	二重管ダブルパッカー式グラウチング工法と同義。
二重空隙モデル	にじゅうくうげきもでる	double-porosity model	亀裂性岩体を対象としたモデルの一種で、空隙内の流体と基盤岩との間で水と溶質の交換を行うことができる。
二重弧	にじゅうこ	double island arc	二重の軸（高まりの部分）をもつ弧状列島。
二重コイル法	にじゅうこいるほう	double coil method	水平ループ法による誘導電磁法の種類。楕円回転磁界の短軸と長軸の比から鉱体などの存在を予測する。

二重山稜	にじゅうさんりょう	twin ridges	2列の稜線がほぼ平行に並ぶような地形で、高山地域で顕著に見られる。三つ以上は多重山稜と呼ばれる。山体の変形によって形成される場合が多い。
二重式火山	にじゅうしきかざん	double volcano	火口またはカルデラの中に、より小さい火山体が発生している火山。複式火山の一種で、始良や赤城・開聞岳などがある。
二重地震面	にじゅうじしめん	double seismic planes	北西太平洋地域の島弧に見いだされる深発地震面の二重構造。上面が沈み込むプレートの上面に相当する。
二重締め切り	にじゅうしめきり	double wall cofferdam, double wall sheet pile cofferdam	仮締め切りの一つで、鋼矢板を二重に打設してその間に土砂を詰めたもの。
二重振動式ローラ	にじゅうしんどうし きろーら	double vibrating rollers	1,100～2,000回／分の振動装置を備える締め固め機械の一種で、すべてのローラが駆動し振動する。
二重セル式三軸試験装置	にじゅうせるしきさ んじくしけんそうち	double cell triaxial compression apparatus	セルを二重にすることにより供試体の体積変化を容易に精度高く測定できるようにした三軸試験装置。
二重レンジコーン試験	にじゅうれんじこー んしけん	double range cone test	通常のコーンペネトロメータを粘性土地盤から砂質土まで実用的精度で測定できるように改良したもの。
二じょう紀（二畳紀）	にじょうき	Permian(period)	古生代の最後となる紀。2.45～2.9億年前。ロシア西ウラル山麓のペルムが模式地で、ペルム紀ともいう。
二じょう系（二畳系）	にじょうけい	Permian(system)	ロシアのペルム地方を模式地とするペルム紀（二じょう紀（二畳紀））に形成された地層。ペルム系ともいう。
二上層群	にじょうそうぐん	Nijo Group	大阪府～奈良県の二上山付近を模式地とする新第三系の淡水成層と中性火山岩類。
西除川地すべり	にしよけがわじすべ り	the Nishiyokegawa landslide	1950年に大阪府狭山市狭山町岩室地内で発生。防止区域面積は12ha。
二次余震	にじよしん	secondary aftershock	地震の起こり方は、本震・余震型が標準である。余震のうち大きな余震にさらに続く余震。
2ショット方式	にしよつとほうしき	two shot method	主に瞬結型注入材に用いられる注入方式。主材と硬化材を二重管ロッドを用いて別々に送り、注入位置で混合・注入する方式。
ニセコ火山群	にせこかざんぐん	Niseko volcano group	北海道渡島半島にあるほぼ東西に配列する多数の火山群。形成年代は更新世中～末期で終末期は完新世。現在一部に噴気活動がある。
日較差	にちかくさ	diurnal range	気温などの気象要素その他の周期的変化を生じる現象について1日における最大値最小値の差。
日降雨量	にちこうりょう	daily rainfall	1日で観測された降雨量の総計。洪水などとの関係は連続降雨量の方が大きい。

日周潮	にちしゅうちょう	diurnal tides	およそ1日を周期とする分潮で、日月合成周潮や太陰日周潮などがある。
日南産ガス地	にちなんさんがすち	Nichinan gas field	宮崎県日南市の飢肥・油津付近をさす。付近の宮崎層群最下部の油津層砂岩中に比較的多量のガスを確認した。
日南層群	にちなんそうぐん	Nichinan Group	宮崎県日南地方を模式地とする褶曲の発達した第三系。砂岩・頁岩を主体とし、玄武岩を伴う。
日変化	にちへんか	daily variation	自然現象が毎日周期的変化を生じること。太陽の日射による気温や風向風速の変化が代表的。
日変化補正	にちへんかほせい	diurnal correction	観測値から日変化分を除去すること。
日華石	にっかいし	Nikka ishi	石川県小松市産石材。中新統緑色凝灰岩。建築用外装材として用いられる。松岡石と同じ。
肉桂色土	につけいしょくど	cinnamon soil	地中海性気候の半湿潤乾性低木林に分布する成帯性土壌。A層は肉桂色、B層は炭酸塩集積層を形成する。
ニッケル鉱床	につけるこうしょう	nickel deposit	ニッケル鉱物が工業的に利用できる程に濃集した岩石または地層。マグマ鉱床と風化残留鉱床にほぼ限られる。
日光火山群	にっこうかざんぐん	Nikko volcano group	栃木県北西部から群馬県境にかけて分布する火山の集まりの総称。
日射	にっしゃ	solar radiation	大気中で吸収・反射を受けて地表に到達する直達日射と、塵や水蒸気に乱反射して達する散乱日射との和。
二点透視図法	にてんとうしずほう	perspective projection	ブロックダイアグラムの作図法の一つである透視図法で、一般に用いられている図法。ブロックダイアグラムの作図法には、他に平行等尺図法がある。
二等三角点	にとうさんかくてん	second-order triangulation, secondary triangulation	二等三角測量によって測量された国家基準点の一種。三角点間の距離は約8kmで、水平・鉛直位置が得られている。
二等水準測量	にとうすいじゅんそくりょう	second order leveling	一等水準路線を連結する水準路線を設定して、二等水準点を定める測量。観測精度の往復差制限は $5.0\text{mmS}^{1/2}$ (Sはkmを単位にとった観測距離)。
二等水準点	にとうすいじゅんてん	second order bench mark	二等水準測量によって定められた標高の基準点。国道、主要地方道沿いに約1km間隔で設けられる。
二宮層群	にのみやそうぐん	Ninomiya Group	神奈川県二宮町～大磯町に分布する中期更新統。海成で軽石など火砕物質を含む砂層、シルト層からなる。
似夫里地すべり	にぶりじすべり	the Niburi landslide	1977年に隠岐島南端知夫村で発生した玄武岩の地すべり。防止区域12ha、人家全壊6戸、半壊3戸の被害とされている。

1 / 2 分担法	にぶんのいちぶんとんほう		山留め壁にかかる側圧荷重を考える際、深さ方向の切ばりの分担範囲を、直上切ばりと直下切ばりまでの距離の半分とする方法。
二方向繰返しせん断	にほうこうくりかえしせんだん	two directional cyclic shear test	X方向に単純せん断した後、Y方向に単純せん断するように異なった応力を重ねていく繰返しせん断試験。
二方向土圧計	にほうこうどあつけい	biaxial earth pressure cell	土圧計受圧板に作用する土圧の垂直成分と接線成分を一つの土圧計で計測できる土圧計。
日本海	にほんかい	Japan Sea, the Sea of Japan	日本・ロシア・南北朝鮮・中国に囲まれたアジア大陸東縁にある縁海の1つ。日本海の成因は中新世所期に拡大により形成されたとされている。韓国では東海と呼ぶ。
日本海溝	にほんかいこう	Japan trench	襟裳海山より南側、房総沖より北側の東北日本の東方に沿う海溝。太平洋プレートとユーラシアプレートの境界をなし、太平洋プレートの沈み込みにより形成される。
日本海中部地震	にほんかいちゅうぶじしん	the 1983 Nihonkai-chubu earthquake	1983年5月26日に秋田県能代沖を震源として発生したM7.7の地震。沿岸部に津波が襲い、学童ら100人の死者を出したとされている。正式名称は「昭和58年（1983年）日本海中部地震」。
日本海背弧海盆	にほんかいはいこかいぼん	Japan Sea back-arc basin	西南日本・東北日本両弧とアジア大陸の間に位置する海盆。中新世に発生したと考えられている。
日本海盆	にほんかいぼん	Japan Basin	日本海の北部を占める背弧海盆。水深約3,500m、北半分には海洋性地殻が存在する。
日本気象庁の震度階	にほんきしょうちょうのしんどかい	JMA's seismic intensity scale	従来、体感や建物の現象から震度を決めていたが、1996年3月に地震計の観測結果で表現する方式に変わった。0, 1～4, 5弱, 5強, 6弱, 6強, 7に区分されている。
日本経緯度原点	にほんけいいどげんてん	Japan horizontal datum, Japanese horizontal datum of triangulation, Japanese standard datum of triangulation, Japanese origin of longitude & latitude	東京麻布の旧東京天文台子午環中心位置におかれた経緯度の原点。
日本弧	にほんこ	Japan arc	本州地域がなす弧状列島の形態をさす。本州弧と同義。
日本式掘削工法	にほんしきくっさくこうほう	Japanese excavation method	木製支保工を用いた時代の掘削工法の一つで、トンネル上半部を先行し下部を階段状に掘削することを特徴としている。
日本重力基準網	にほんじゅうりょくきじゅんもう	Japan gravity standardization net	国土地理院が1971年に国際測地学協会のIGSN71に基づいて設置した全国122点の重力測定基準点。
日本水準原点	にほんすいじゅんげんてん	Japanese standard datum of leveling, datum of leveling in Japan	日本の標高の基準となる点。東京都千代田区永田町1-1に設置されている。東京湾平均海面上24.4140m
日本測地系	にほんそくちけい	Japan geodetic system Tokyo-datum	2000年以前の日本の公共測量成果に用いられていた測地系。ベッセル楕円体（1841）を準拋楕円体とするもので、測量精度の向上やGPS・GISの活用などにより世界標準の測地系との整合性が問題となってきたため、2002年4月より新測地系（日本測地系2000・世界測地系）が用いられることとなった。

日本測地系2000	にほんそくちけい 2000	Japanese Geodetic Datum, JGD2000	世界測地系と同義。世界には多くの測地系が存在するため、特に日本で用いられていること・旧日本測地系と区別するため、このように呼ばれることが多い。
日本太平洋海棚	にほんたいへいよう かいほう	Japan Pacific sea shelf	日本列島の太平洋側大陸棚の外縁斜面にある水深1,000～3,000mの平坦な台地。
日本地質アトラス	にほんちしつあたら す	Geological Atlas of Japan	独立行政法人 産業技術総合研究所（旧通商産業省工業技術院地質調査所）編集の我が国の100万分1以上広域地質図集。資源・防災地質関連図を含む。
日本統一土質分類法	にほんとういつどし つぶんるいほう	Japanese unified soil classification system	地盤工学会（土質工学会）により制定された土の判別分類法。粒度とコンシステンシーを分類の基本とする。
日本標準時	にほんひょうじゅん じ	Japan standard time	東経135°の子午線を基準とした平均太陽時に12時間を加えて真夜中の零時とした時刻。世界時との差9時間。
二本松みかげ	にほんまつみかげ	Nihonmatsu-mikage	福島県二本松付近産石材。中生界片麻岩質花崗閃緑岩。著名な石材産地。土木用・砕石用として利用される。
2 μ 以下粒子含有率	にみくろんいかりゆ うしがんゆうりつ	ratio of 2 μ under grain size	泥質地山の膨張性を示す一指標。含有率30%以上の場合、膨張性を示すと考えられる。
乳化剤	にゆうかざい	emulsifying agent, emulsifer	ある液体をそれが不溶な他の液体中に微細な粒子として分散させ、その状態を安定化させるために用いる薬剤。
ニューサンシャイン計画	にゅーさんしゃいん けいかく	New Sunshine Project	独立行政法人 産業技術総合研究所（通商産業省工業技術院）が1993年に開始した新エネルギー、省エネルギー、地球環境に関する技術開発プロジェクト。
入射角	にゆうしゃかく	incident angle	異なる媒質の境界面に達した波は、一部反射し、残りは屈折する。この時の境界面の垂線と入射波のなす角度。
入射波	にゆうしゃは	incident wave	二つの異なる媒質の境では反射や屈折が発生する。この反射波や屈折波に対し入って来る波を入射波という。
ニュートロン検層	にゅーとろんけんそ う	neutron logging	ボーリング孔内に高速電子源と検出器を入れたゾンデを降下し電子源から発生される高速中性子によるガンマ線の放射量を測定する。土の密度や空隙を調べることができる。中性子検層と同義。
ニュートンの運動方程式	にゅーとんのうんど うほうていしき	Newton's equation of motion	物体に力を作用させて動かす場合、質量をm、力をF、加速度を α とすると $F=m\alpha$ 。物体の運動を表す基礎方程式の一つ。
ニュートン・ラフソン法	にゅーとんらふそん ほう	Newton-Raphson method	非線形解析で用いられる反復計算手法の一つ。二分法よりも効率よく近似解を求めることができるが、方程式が微分できることが条件となる。
ニュートン流体	にゅーとんりゅうた い	Newtonian fluid	せん断応力とひずみ速度が1次の関係で比例するような流体。
入内－焼石岳構造線	にゆうないやけいし だけこうぞうせん	Nyunai-Yakeishidake tectonic line	青森平野西限を画する構造が、第三系の構造発達に大きく影響している阿武隈東縁の構造帯などの北北西の延長にあたることから推定された構造線。青森平野西、焼石岳南方を経て阿武隈東縁に至る。北村信（1963）の命名。

丹生ノ川層群	にゅうのかわそう	Nyunokawa formation	和歌山県から奈良県にかけて分布する上部白亜系の四万十帯。砂岩・砂岩泥岩互層を主体とし、巨礫を特徴とする丹生ノ川礫岩が最上部に分布。
NEW PLS 工法	にゅーぴーえるえすこうほう	new pre-lining support method, new PLS method	PLS工法の改良型でバンド型ダブルチェーンカッターでトンネル外周をアーチ状に切削してコンクリートを即時充填、コンクリートシエルを構築するトンネル掘削工法。
ニューブリテン海溝	にゅーぶりてんかいこう	New Britain trench	ニューギニア島東方のソロモン海北部を東西に伸びる海溝。最大水深は8,940m。
ニューヘブリデス海溝	にゅーへぶりですかいこう	New Hebrides trench	南太平洋ニューヘブリデス諸島に沿う海溝。オーストラリアプレートの沈み込みで形成される。
ニューマチックケーソン	にゅーまちっくけーそん	pneumatic caisson	圧気ケーソン工法と同義。
ニューマチックドリル	にゅーまちっくどりる	pneumatic drill	空気削岩機と同義。
入谷地すべり	にゅうやじすべり	the Nyuya landslide	近年では1961年、1982年、1983年、1992年と、台風豪雨や融雪水により度々長野県大鹿村で発生している地すべり。中央構造線に隣接し、破碎・変成作用を受けて粘土化しやすく、地すべり多発地帯となっている。
入力地震動	にゅうりょくじしんどう	input earthquake motion	強震記録を、地盤の耐震性の判定、構造物の耐震安定性解析に使用できるよう数値化した波形。
入力地震波	にゅうりょくじしんは	incident seismic wave	耐震設計の際、モデル化した構造物に対して入力する地震波形。原地震波形あるいは地震強度・地盤状況などを加味して適宜モデル化したものを用いる。
萐山石	にらやまいし	Nirayama ishi	静岡県伊豆半島北部萐山に産する石材。新第三系凝灰岩。土木用として利用される。
人形石	にんぎょうせき	ningyoite	$Ca_{1-x}U_{1-x}R_{2x}(PO_4)_2 \cdot nH_2O$ (R:希土類元素, $x \approx 0.1$, $n=1 \sim 2$)、斜方晶系、比重3.2~3.5。鳥取・岡山県境の人形峠ウラン鉱床の主要鉱石鉱物。黒色の微細な粒子で薄片中では淡緑色である。
人形峠鉱山	にんぎょうとうげこうざん	Ningyotoge mine	鳥取・岡山県境人形峠にある堆積性ウラン鉱床。中新~鮮新世三朝層群基底の礫岩、砂岩中に分布。1955年発見。鉱量U308約2,000t。
人形峠層	にんぎょうとうげそう	Ningyotoge Formation	鳥取・岡山県境の人形峠・辰巳峠付近に分布する下部中新統。東伯郡三朝町人形峠付近を模式地とする。陸成で礫岩・花崗質砂岩・シルト岩が不規則な互層をなす。
縫返し	ぬいかえし	replacing of timbering	トンネル支保工などが土圧により押し出されて内空がせばめられたとき、再掘削して正規の位置に修正すること。
縫地	ぬいじ	forepoling	トンネル掘削にあたり軟弱な地山の崩落を防ぐため、地山に矢板を縫うように打ち込み土圧を受ける工法。
縫地工法	ぬいじこうほう	forepoling method	トンネル掘削において、崩壊の恐れがある地山に矢板などを縫うように打込み、地山を押える工法。

縫地ボルト	ぬいじぼると	forepoling bolt	切羽天端部から緩い仰角で前方にロックボルトなどの鋼材を配置し地山崩壊を防ぐ補助工法。
縫地矢板	ぬいじやいた	poling board	鋼製アーチ支保工を支点として前方の崩壊性地山を押さえる目的の縫地工法で使用される矢板。
ヌープ硬度	ぬーぷこうど	Knoop hardness	ダイヤモンドの角錐を圧子として押し込み、加えた荷重を角錐により窪んだ部分の面積で割った値。
額田中目石	ぬかたちゅうめいし	Nukatachume ishi	愛知県額田郡額田町夏山・桜形・伊沢など産石材。中生界花崗岩。白色で中粒。墓・燈籠・敷石・臼・彫刻などに利用。
糠目石	ぬかめいし	Nukame ishi	茨城県西茨城郡岩瀬町産石材。中生界閃緑岩。灰色～暗灰色で細粒。墓碑・土木・建築用に利用。黒目石と同じ。
ぬき板測量	ぬきいたそくりょう	batter board survey	地すべりのクラックの変位量と変位速度の簡便な観測・測量法。クラックなどをまたぐように遣型（やりかた）を設置し、渡した貫板（ぬきいた）に入れた切れ目のずれを測る。
温見断層	ぬくみだんそう	Nukumi fault	活断層。確実度Ⅰ～Ⅱ，活動度A～B級，北西方向。福井県南部から岐阜県西部に位置し延長40km。濃尾活断層系に含まれる。
抜け上がり現象	ぬけあがりげんしょう	lift up of buildings	軟弱地盤が広がる地盤沈下地帯で、深部に基礎を置く構造物（高層ビル、橋脚）などが周辺地盤の沈下により相対的に抜け上がる現象。
布基礎	ぬのきそ	continuous footing foundation	構造物の一連の柱または壁からの荷重を、帯状のフーチングで支持するもの。
布引五本松堰堤	ぬのびきごほんまつえんてい	Nunobiki-gohonmatsu dam	生田川水系生田川。神戸市。1900年竣工。堤高33.3m。日本のコンクリートダム草分け。フランスのブゼダムの決壊を経験として、明治のお雇い外国人バルトンの指導で設計された。布引ダムともいう。
布引断層	ぬのびきだんそう	Nunobiki fault	活断層。確実度Ⅰ，活動度B級，北東方向。兵庫県神戸市北西部に分布し延長約10km。鞍部の連続性で特徴づけられる。大月断層に延長。
布引トンネル	ぬのびきとんねる	Nunobiki tunnel	六甲山に掘削された道路トンネル。山陽新幹線神戸トンネルの下を被り15mで通過する区間が破碎された風化花崗岩であったためトンネル上半外周部の岩盤に凍結工法が採用された。
布掘り	ぬのぼり	trench excavation	杭や鋼矢板を打設する前に地下埋設物などの有無を確認する目的で、狭い幅で施工延長方向に溝状に掘削すること。
ヌピナイ層群	ぬぴないそうぐん	Nupinai Group	北海道日高山脈南東端の歴舟川中流域に分布する新第三系。海成層で砂岩、泥岩などからなる。
沼宮内みかげ	ぬまくないみかげ	Numakunai mikage	岩手県岩手郡岩手町産石材。中生界角閃石黒雲母花崗岩。中粒・片麻岩質。土木用に利用。玉山・滝沢みかげと同質。
沼さんご（珊瑚）層	ぬまさんごそう	Numa coral bed	房総半島南端の完新統の化石さんご（珊瑚）礁。さんご（珊瑚）層を挟み上下部泥層に細分される。沼層ともいう。

沼田砥	ぬまたと	Numatato	群馬県甘楽郡南牧村砥沢に産する石材。珪長岩岩脈の風化したもので中砥として利用される。
沼地	ぬまち	bog, swamp	水深が非常に浅く、いたるところに抽水植物が生育している所。
沼津石	ぬまづいし	Numazu ishi	石材名。 ①静岡県沼津市獅子浜産の新第三系石英安山岩の貫入岩体。灰色で堅硬。主に建築用材に利用。獅子浜石と同じ。 ②静岡県田方郡大仁町に産する中新統凝灰岩。土木用として利用される。牧野郷石ともいう。
ネアンデルタール人	ねあんでるたーるじん	Neanderthal man	更新世中期から後期にかけて、欧州、中東などに生存した化石人類、旧人の代表。1856年ドイツのネアンデルタールで最初に発見された。
ネイルサンプリング	ねいるさんぷりんぐ	nail sampling	マサチューセッツ州独自のブロックサンプリング手法の一つ。円筒形試料の外周に多数の釘を打ち込んでサンプリングを行う。
根入れ	ねいれ	penetration, depth of embedment	杭・矢板・基礎などの地中埋設部分。
根入れ長	ねいれちょう	penetration depth	杭、基礎、擁壁などの地中に埋没した部分の長さ。
根入れ幅比	ねいれはばひ	depth ratio	地表面から基礎スラブ底面までの根入れ長と基礎スラブの底面幅との比。
根尾谷断層	ねおだにだんそう	Neodani fault	岐阜県岐阜市北西に分布する地震断層。1891年の濃尾地震で活動。走向は北西方向、長さ約40km。濃尾地震で活動した全長80kmの断層全体の名称として用いられることもある。
ネオ地向斜	ねおちこうしゃ	neogeosyncline	ヨーロッパ・アフリカブロックなど古い大陸地殻が膨張して離れ、その隙間に形成された地中海などの地向斜。現在ではこの用語は使用されない。
ネオテクトニクス	ねおてくとにくす	neotectonics	新第三紀および第四紀に関する構造地質学あるいは地殻変動学。1930年代頃から旧ソ連で使われていた。
根固め	ねがため	foot protection	流水による構造物基礎の洗掘・移動の防止などを目的とした工事。捨石・敷粗だ・沈床・ふとんかごなどを用いる。
根固めコンクリート	ねがためこんくりーと	reinforcement concrete, foot protection concrete	鋼アーチ支保工脚部の地耐力が不足する場合、支保工の脚部に打設するコンクリート。
根固めブロック	ねがためぶろっく	consolidation block of foundation	水中の構造物の基礎を防護するために、その周囲に配置するコンクリートブロックなどのこと。
ネガティブフリクション	ねがていぶりくしょん	negative skin friction, negative friction	軟弱地盤に打設された杭が周辺の地盤沈下によって受ける下向きに作用する摩擦力。
根切り	ねぎり	pit excavation	構造物の基礎を構築するため、基礎となる地盤面以下の掘削を行うこと。

ねこ流し	ねこながし	sluicing	樋流し法と同義.
猫又山断層	ねこまたやまだんそう	Nekomatayama fault	活断層. 確実度 I, 活動度 B 級, 北北西方向. 富山県東部, 新潟県との県境付近に位置し長さ約15km. 鞍部の連続性で特徴づけられる.
根来断層	ねごろだんそう	Negoro fault	活断層. 確実度 I, 活動度 A 級, 東北東方向. 和歌山県和歌山市北部に位置し長さ約20km. 和泉山地南麓の中央構造線の北側に沿う右横ずれ断層.
ねじり一面せん断試験	ねじりいちめんせん断しけん	torsional direct shear test	ねじりせん断試験のうち, すべり面を規定してせん断する方式の試験.
ねじり剛性	ねじりごうせい	torsional rigidity	ねじりに対する強さのこと. 弾性範囲内では, ねじり角度とモーメントは比例する. ねじり剛性係数はねじり角とモーメントの比例係数.
ねじりせん断試験	ねじりせんだんしけん	torsional shear test	リング状土質供試体の上面にトルクを作用させる直接せん断試験の総称.
ねじり耐力	ねじりたいりよく	torsional strength, torsion capacity	はり・柱などの軸線のまわりに作用する偶力, いわゆるねじりモーメントに抵抗する耐力.
ねじり単純せん断試験	ねじりたんじゅんせん断しけん	torsional simple shear test	ねじりせん断試験のうち, すべり面を規定せずにせん断する方式の試験.
ねじりばかり	ねじりばかり	torsion balance	細い線で物体をつるし, 偶力を働かせた時のねじれ角を測定し, 偶力の大きさを求める装置.
ねじり変形試験	ねじりへんけいしけん	torsional deformation test	微小ひずみ時のせん断剛性率・減衰比など, フィルダム堤体・基礎岩盤の動力学的性質を求める室内試験.
ねじれ地震計	ねじれじしんけい	torsional seismograph	光学的記録法による振動計の一つ. 微振動の水平成分を測定するためにつくられたもの.
ねじれ震動	ねじれしんどう	torsional oscillation	一様な球体中を伝搬する空気振動の一つで, 体積変化を伴わず, 表面および内部の点が半径方向に運動しない.
ねじれ振動計	ねじれしんどうけい	torsional vibration meter	細い線で物体をつるし, 偶力を働かせた時にねじれ角が変化することを利用して弾性振動を測定する装置.
ねじれ断層	ねじれだんそう	torsion fault	岩体にねじれ力が加わることによって生じる断層.
ねじれ波	ねじれなみ	shear wave	P波とともに地震により誘発される弾性波. 横波・第二波(secondary wave)ともいう.
ネソ珪酸塩	ねそけいさんえん	nesosilicate	珪酸塩鉱物を結晶構造から分類した6種のうち一つ. かんらん石(橄欖石)など, 独立したSiO ₄ 四面体を特徴とする鉱物.

根田石	ねだいし	Neda ishi	福島県白河郡西郷村産石材。新第三系集塊岩質両輝石安山岩。割栗・間知石など土木用，土台石など建築用に利用。
熱雲	ねつうん	glowing cloud, glowing avalanche	デイサイト～安山岩質マグマに特徴的な，比較的発泡程度が低く，高温の本質火山物質よりなる小規模火砕流。
熱雲堆積物	ねつうんたいせきぶつ	glowing cloud sediment	火山の噴火の際に発生する小規模な火砕流による堆積物で，マグマから直接由来する。発泡度は比較的低い。
熱映像	ねつえいぞう	thermogram, thermal image, thermal imagery	赤外線放射計などにより，物体の熱赤外線放射などの分布状況を画像情報としたもの。温度分布画像に変換可能。
熱応力	ねつおうりょく	thermal stress	固体は温度変化により変形し，変形によって生ずる応力。
熱応力破壊	ねつおうりょくはかい	thermal stress failure	物体の熱膨張や収縮が外部から抑えられた時や，物体内部の不均一な熱膨張・収縮による応力によって起こる破壊。
熱汚染	ねつおせん	thermal pollution	地表面の改変，エネルギー消費，火災・戦災などにより気温・水温が上昇し，気候や生態系に影響をおよぼすこと。
熱拡散	ねつかくさん	thermal diffusion	温度差により物質の組織に変化が生じる現象。物質の拡散と熱伝導が結合した交差現象の一つ。
熱拡散率	ねつかくさんりつ	diffusivity of heat	熱伝導方程式の比例定数。物体の熱伝導率を κ ，単位質量当たりの熱容量を c ，密度を ρ とした時 $\kappa/c\rho$ で現される。
熱可塑性	ねつかそせい	thermoplasticity	加熱によって軟らかくなり変形しやすいため成形加工に優れ，冷却すると硬化する性質のこと。
熱残留磁気	ねつざんりゅうじき	thermoremanent magnetization	岩石を磁場内である温度以上に加熱した後，冷却したときに生じる残留磁化。
熱収支	ねつしゅうし	heat balance, heat budget	ある領域・ある境界面・ある物体などを対象とした熱の流入・流出の収支。
熱収縮	ねつしゅうしゅく	thermal contraction	生地などが加熱あるいは温度上昇により収縮を生じる現象。
熱水	ねつすい	hydrothermal fluid, hydrothermal water	地下水が火成活動により加熱されたものや，直接マグマから分離した温度の高い水溶液。
熱水活動	ねつすいかつどう	hydrothermal action, hydrothermal activity	マグマ起源の熱水が上昇して起こる，熱水溶液により周囲の母岩の変質，鉱床の生成，地表部での噴気，温泉の湧出などの活動。
熱水期	ねつすいき	hydrothermal stage	マグマの温度低下による固結過程において，その末期の熱水流動溶液が活動する時期。

熱水系	ねっすいけい	hydrothermal system	熱水が移動する一連の系を呼ぶ。対流系を示すことが多い。
熱水鉱床	ねっすいこうしょう	hydrothermal deposit	高温の熱水溶液から形成された鉱床。鉱床生成時の温度・圧力や鉱床の形態・構造などから分類されている。
熱水合成	ねっすいごうせい	hydrothermal synthesis	鉱物合成法の一つ。オートクレイブ中の高温高压条件下で水に溶解させて結晶成長を行わせる。
熱水交代作用	ねっすいこうたいさよう	hydrothermal metasomatism	熱水や高温流体の影響によって原岩化学組成の一部が交代置換される作用。熱水変成作用と同義。
熱水鉱物	ねっすいこうぶつ	hydrothermal mineral	熱水によるあらゆる作用によって生成される鉱物。
熱水作用	ねっすいさよう	hydrothermal process	熱水溶液による鉱物の晶出・交代や母岩の変質など種々の作用。
熱水説	ねっすいせつ	hydrothermal theory	鉱床は、地下深部から上昇した溶液類から形成されたとする説。
熱水貯留層	ねっすいちよりゅうそう	geothermal reservoir	熱水が移動しにくい状態で貯留されている地層ないしは断裂系。
熱水分離型地熱発電	ねっすいぶんりがたちねつはつでん	fluid separation type geothermal power generation	生産井からの地熱流体は通常気水混合流体で、各々の熱力学特性が異なるため、両者を分離して発電する方法。
熱水変質	ねっすいへんしつ	hydrothermal alteration	熱水によって原岩組織が交代・置換され、変質する作用。緑泥石化・プロピライト化・絹雲母化作用など。
熱水変質帯	ねっすいへんしつたい	hydrothermal alteration zone	熱水溶液により岩石が変質を受けたゾーン。グリーンタフなどの軟質で変質による粘土鉱物を多量に含むものは、吸水・スレーキング性を示し土木工事に問題となる。
熱水変質土	ねっすいへんしつど	hydrothermal alteration clay	熱水作用によって原岩が分解変質して生成された粘土。
熱水変成作用	ねっすいへんせいさよう	hydrothermal metamorphism	割目を通じて高温の溶液やガスが進入して生成する局所的な変成作用。周辺岩盤に鉱物的変化を生じる。
熱水ベント	ねっすいべんと	hydrothermal vent	海嶺付近で高温の海底に海水が浸入して熱せられ、鉱物資源を含む熱水として噴出する噴き出し口。
熱水溶液	ねっすいようえき	hydrothermal solution	地殻内に存在する高温の水を主成分とする溶液。周囲の岩石に物理化学的影響を与え、岩石の物性を变化させる。
熱水流動シミュレーション	ねっすいりゅうどうしみゅれーしょん	hydrothermal flux simulation	割目・透水係数・地温・地下水位他の分布を基に、熱水流動の定常状態を差分法や有限要素法で模擬計算する方法。

熱成土 (壤)	ねつせいど (じょう)	thermogenetic soil	高い温度が主要な土壌成因子と考えられる土壌の総称. 熱帯地方に多く分布する.
熱赤外映像	ねつせきがいえいぞう	thermal infrared imagery	熱映像と同義.
熱赤外線	ねつせきがいせん	thermal infrared ray	リモートセンシング調査などで物体の表面温度計測に利用される, 概ね8~14 μ m程度の波長帯の電磁波.
熱赤外走査計	ねつせきがいそうさけい	thermal infrared scanner	熱赤外映像を取得するための機器の一つで, 熱赤外波長帯 (およそ8~14 μ m) を検知する走査型センサ.
熱線流速計	ねっせんりゅうそくけい	hot-wire anemometer	流れによって発熱体の熱が奪われることによる電気抵抗の変化を利用して流速を測る計器で, 発熱体に白金やタングステンなどの細い線を用いたものをいう.
熱帯雨林	ねったいうりん	tropical rainforest	熱帯の高温多雨の地域に発達する常緑広葉樹林からなり, 多種類で高さ50m以上の高木も伴う.
熱帯湖	ねったいこ	tropical lake	中・上部層の水温が常時4 $^{\circ}$ C以上の湖. わが国では琵琶湖と芦ノ湖を結ぶ線が北限となる.
熱帯黒色土	ねったいこくしょくど	tropical black soil	熱帯~亜熱帯に分布する塩基性火成岩からなる黒い土壌の総称. モンモリロナイトに富む.
熱帯赤色土	ねったいせきしょくど	tropical red soil	熱~亜熱帯の湿潤気候下に分布する赤色土壌で, 珪酸の溶脱が著しく進み, 可塑性に乏しく砕けやすい.
熱帯低気圧	ねったいていきあつ	tropical cyclone	熱帯海洋上で発生する低気圧. 中心気圧が非常に低くなり発達すると, 台風やハリケーンなどになる.
熱帯土	ねったいど	tropical soil	ラテライト質土をさす. 熱帯気候によってアルミナに富み, シリカに乏しくなった土. 雨による浸食に弱い.
熱対流説	ねつたいりゅうせつ	thermal convection current theory	マントル物質に適切な温度勾配が存在するならば, 非常に長い時間には粘性流体的な熱対流が生じるとする説.
熱中性子時間減衰率検層	ねつちゅうせいしじかんげんすいりつけんそう	thermal neutron decay time logging	熱中性子の減衰率を測定し, 地層中の水分の含水量を求める検層法. 水層と油層の判別能力に優れている.
熱伝導	ねつでんどう	conduction of heat	高温部から低温部へ熱が移動する過程で, 熱を伝達する媒体があり, その媒体自身は移動しない場合をいう.
熱伝導方程式	ねつでんどうほうていしき	conduction of heat equation	温度, 時間, 比熱, 密度, 熱伝導度の関数で表され, 熱伝導による温度変化をみる場合に用いる.
熱伝導率	ねつでんどうりつ	thermal conductivity	物体内部の等温面の単位面積を通り, 面に垂直に単位時間に流れる熱量と温度勾配との比.

熱天秤	ねつてんびん	thermobalance	加熱によって変化する物質の重量を測定する天秤。水分、その他の揮発成分の放出量測定に用いられる。
熱分析	ねつぶんせき	thermal analysis	試料の温度を変化させ物性変化を検出する分析方法の総称。示差熱分析、熱重量分析、熱機械分析などがある。
熱変成岩	ねつへんせいがん	thermal metamorphic rock	接触変成岩と同義。マグマの貫入に伴う既存岩石に生じる接触部の変成岩。多くは花崗岩バリソス周縁に生成。
熱変成鉱床	ねつへんせいこうしょう	thermal metamorphic deposits	接触変成鉱床と同義。マグマの貫入部周縁の再結晶あるいは交代による変成作用に伴って生じる鉱床。
熱変成作用	ねつへんせいさよう	thermal metamorphism	接触変成作用と同義。マグマの貫入に伴う既存岩石に生じる再結晶あるいは交代による変成作用。
熱放射	ねつほうしゃ	thermal radiation	物体がその温度に応じて表面から電磁波として熱エネルギーを放出する現象。
熱膨張	ねつぼうちょう	thermal expansion	温度の上昇に伴って、物体の体積が増加する現象。
熱膨張率	ねつぼうちょうりつ	coefficient of thermal expansion	物質の温度が1℃上昇した際のその物質の体積膨張の割合。
熱容量	ねつようりょう	heat capacity	物体の温度を単位温度だけ上昇させるのに必要な熱量。熱容量を質量で割ったものが比熱である。
熱力学	ねつりきがく	thermodynamics	物質の熱平衡状態を内外の熱・仕事・物質の授受関係として表す理論。
熱力学的ポテンシャル	ねつりきがくてきぼてんしゃる	thermodynamical potential	熱力学の特性函数の一つで、ギブスの自由エネルギーともよばれる。
熱流量	ねつりゅうりょう	quantity of thermal flow, heat flow	伝導・対流・拡散などにより熱が流れる量。地殻熱流量は地球内部から地表に向かう熱の流れの量。
熱流量計	ねつりゅうりょうけい	heat flux meter	伝導による熱流量の測定装置。
熱流量単位	ねつりゅうりょうたんい	heat flow unit	単位面積内を一定時間内に伝達される熱量を示す単位。MW/m ² で表す。
熱量計	ねつりょうけい	calorimeter	エネルギーとしての熱の量を測定する装置。
熱ルミネッセンス	ねつるみねっせんす	thermoluminescence	蛍光体に刺激を加えたのち、温度を上げたときにおこる発光現象（ルミネッセンス）。

ネバダ造山	ねばだぞうざん	Nevada orogeny	ジュラ紀後期から白亜紀に生じた北米西部の造山運動。造山運動は現在ではプレートテクトニクスで説明される。
粘り強さ指数	ねばりつよさしすう	toughness index	タフネス指数と同義。塑性指数と流動指数の比で表される。
根府川石	ねぶかわいし	Nebukawa ishi	神奈川県小田原市根府川に産出する安山岩からなる石材。板状節理が発達し石碑として良く利用されている。
根府川駅地すべり	ねぶかわえきじすべり	the Nebukawaeki landslide	1923年に関東地震により神奈川県湯河原市根府川駅付近で発生したsqueeze型の大規模（6万㎡）地すべり。
ネブラスカ氷期	ねぶらすかひょうき	Nebraskan glacial stage	北米大陸における第四紀最初の氷期。
根掘り	ねぼり	pit excavation	堤体と基礎地盤とのなじみをよくし、漏水を防ぐために基礎地盤中に掘削された溝。根切りと同義。
根曲り	ねまがり		①初生的なあるいは顕在化した地すべり地などの地盤の緩みに伴う植生異常の1つ。 ②斜面部に生育する杉などの幼木の根に近い幹部が雪崩や積雪の重さで曲ったもの。
根室層群	ねむろそうぐん	Nemuro Group	北海道東部に分布する上部白亜系から古第三系。層厚3000m以上で、安山岩溶岩・砂岩・泥岩・礫岩などから構成される。
根室半島沖地震	ねむろはんとうおきじしん	the 1973 Nemuro-hantouki earthquake	1973年6月17日に北緯43.0°，東経146.0°，震源の深さ40kmで発生したM7.4の地震。最大震度5で根室，釧路地方に被害。小津波発生。正式名称は「1973年6月17日根室半島沖地震」。
根森田地すべり	ねもりたじすべり	the Nemorita landslide	秋田県北部米代川水系小又川左岸に位置する。延長1700m，幅400m，移動層は玄武岩起源の崩積土で構成される。
練上がり	ねりあがり	mixed up	コンクリートやモルタルを所定の時間練り混ぜ、均一となった状態。
練上がり温度	ねりあがりおんど	temperature of mixed concrete	コンクリートやモルタルは水和熱で、練り混ぜ直後から発熱する。練り上がり温度とは、練り上がった時点での温度。
練石積擁壁	ねりいしづみようへき	mortar masonry retaining wall	割石のすき間にコンクリートを充填して結合することにより一体化して築造する石積擁壁。
練り石張り	ねりいしはり	stone pitching with filled joints (squared masonry, precast blocks), wet masonry	間知石、割石、玉石などをモルタルやコンクリートで固定する石張り工。のり面保護や護岸工などに用いられる。
練返し（コンクリートの）	ねりかえし（こんくりーとの）	retempering	固まり始めたコンクリートやモルタルを再び練り混ぜること。
練返し指数	ねりかえししすう	remolding index	繰り返した土のコーン指数と自然土のコーン指数の比。

練返し試料	ねりかえししりょう	remolded sample	乱さない状態の粘性土に力を加え、元の構造を作為的に乱した試料。
練返し強さ	ねりかえしつよさ	remolded strength	含水比を変えないようにして練り返した土の非排水せん断強さ。ペーンせん断試験・一軸圧縮試験・コーン貫入試験などで求める。
練返し土	ねりかえしど	remolded soil	大きな変形を与えることにより、自然な土の構造を乱された土壌。一般に自然状態の土より強度は低下する。
練混ぜ時間	ねりまぜじかん	mixing time	コンクリートやモルタルを均一に練り混ぜるのに必要な時間。試験によって決定。
練混ぜ水	ねりまぜすい	mixing water	コンクリートやモルタルを練る際に用いる水。練り水（ねりみず）、混練水（こんれんすい）ともいう。
ネリマ層群	ねりまそうぐん	Nelma suite	ロシア領沿海州に分布する古第三系。主として下部の安山岩質岩、上部の珪長斑岩に区分される。
粘延性	ねんえんせい	visco ductile	三軸圧縮試験による泥質堆積物の変形挙動の四段階（脆性・遷移性・延性・粘延性）のうちの一つ。
年較差	ねんかくさ	annual range, annual amplitude	ある観測点における気温・水温などの年最高と年最低との温度差。気温は地域、地下水は深さで異なる。
年間調整貯水池式発電所	ねんかんちようせいちよすいちしきはつでんしょ	power station with annual storage	発電量の安定や河水の有効利用を目的として、ダム貯溜機能により放流量を年間を通じ均一化した発電所。
年間流出量	ねんかんりゅうしゅつりょう	annual discharge	一年間に流域から流出する水量の総和。
年最大雨量	ねんさいだいうりょう	annual maximum rainfall	年間の最大雨量であるが、日雨量と連続雨量でかなり異なる。一般的には年間に生じた最大の連続雨量。
粘質土	ねんしつど	lean clay	地盤工学会（土質工学会）基準「土の工学的分類法」の土の分類の中で、粘性土のうち液性限界が50%以下のものをいう（分類記号CL）。
粘性	ねんせい	viscosity	流体の場合、速度の異なる部分を一様化するような力が働く。このような接線方向の応力を起こす性質。
粘性係数	ねんせいけいすう	coefficient of viscosity	粘性流体におけるせん断変形量と摩擦応力の比。
粘性降下剤	ねんせいこうかざい	viscosity reducing chemical	粘性が高くなりすぎた掘削泥水の粘性を下げるために添加する薬剤。リン酸ソーダ類・フミン酸塩などがある。
粘性材料	ねんせいざいりょう	cohesive material	物質の粘性的な性質（滑性・粘性抵抗など）が主な利用目的とされる材料。潤滑材・エネルギー吸収材などがある。

粘性損失エネルギー	ねんせいそんしつえねるぎー	viscosity loss energy	土や岩石の供試体あるいは地盤を対象とした動的繰り返し载荷試験時の応力と変位（ひずみ）の関係を表すヒステリシス曲線より求まる，減衰特性に関する定数.
粘性抵抗	ねんせいていこう	viscous drag	流体の中を動く物体に働く抵抗のうち，物体の速さに比例する部分.
粘性土	ねんせいど	cohesive soil	シルトと粘土からなる細粒土．細粒土の含有率が50%以上の土.
粘性流体	ねんせいりゅうたい	viscous fluid	流体の運動を考えると，粘性を無視できないような流体のこと．実在の流体（液体と気体）は，必ず粘性があり，これらを粘性流体という．
粘塑性	ねんそせい	visco plasticity	地盤材料に見られるような一定の応力状態の下で，時間の経過により永久変形を生ずる性質．塑性と粘性の両方の性質を持つ．
粘塑弾性	ねんそだんせい	visco-plasto-elasticity	弾性変形，塑性流動，粘性流動の各性質を兼ね備えた現象．粘塑性体と粘弾性体モデルの組合せで表現される．
粘塑弾性モデル	ねんそだんせいもでる	visco-plasto-elastic model	粘性，塑性，弾性のすべてを考慮して，物体の変形や破壊を検討するための力学モデル．
年代学	ねんだいがく	geochronology	層厚や化石などによる相対年代，放射性核種の壊変などによる絶対年代（数値年代）を求める学問．
年代区分	ねんだいくぶん	geochronologic classification	層序区分に基づく相対的な時間区分．年代は地層中に含まれる化石により区分される．区分単位として，代，紀，世，期，前期・中期・後期．時代区分ともいう．
年代層序	ねんだいそうじょ	chronostratigraphic	ある地層や岩体を地質年代を基にした層位学上の区分．その単位はある時間的広がりを代表する．
年代層序区分	ねんだいそうじょくぶん	time-stratigraphic classification	地層の形成年代に基づいて行った区分．年代区分と年代層序区分とは代一界，紀一系，世一統，期一階に対応する．
年代測定	ねんだいそくてい	age determination	ある事象の起こった年代を測定すること．地層などを利用した相対年代測定に対し，絶対年代測定を意味する．
粘弾性	ねんだんせい	visco-elasticity	弾性変形と粘性流動が同時にあらわれる現象．このような性質をもつ金属などは，粘弾性物質である．
粘弾性体	ねんだんせいたい	viscoelastic body	粘性流体と弾性体の二つの性質を合わせ持つ物質．
粘弾性フックト体	ねんだんせいふおくとたい	visco-elastic voigt body	粘弾性体のうち，弾性ばねとダッシュ・ポットを並列に配置したモデルで表されるもの．直列に配置したものはマックスウェル体．
粘弾性変形	ねんだんせいへんけい	Elasto-viscous deformation	粘性流動と弾性変形が重なって現れる物質の変形形態．

粘弾性領域	ねんだんせいりょういき	visco-elastic zone	外力が増大して弾性領域を越え、弾性変形に流体的変形が加わるため、応力とひずみとが比例しなくなる領域。
粘弾塑性逐次解析法	ねんだんそせいちくじかいせきほう	visco-elasto-plastic progressive analysis	電力中央研究所で開発された、空洞掘削時の周辺岩盤の有限要素法による安定解析法。
粘着性	ねんちやくせい	tenacity	鉱物が外力を受けたときに示す変形・破壊性状の総称。
粘着力	ねんちやくりよく	cohesion	クーロンの破壊基準において、垂直応力に無関係な土のせん断強さの成分を表す定数。
粘着力高	ねんちやくりよくだか	cohesion height	湿った土のように粘着力を持つ物質が、自らその形を保つ限界の高さ。
粘着力放物線	ねんちやくりよくほうぶつせん	parabola of cohesion	粘着力を持つ土が構成する安定斜面の形状。
粘稠型地すべり	ねんちょうがたじすべり	plastic type landslide	塑性物質からなる移動層が基盤上面に沿って粘性運動を行う地すべり。高野(1960)による地すべりの分類名。
粘土	ねんど	clay	土粒子区分において最小粒径に区分されるもの。土質分野（日本統一土質分類）では5 μ m以下、地質分野（Wentworthら）では1/256mm以下、土壌分野（国際土壌学会法）では2 μ m以下の粒径の土粒子から構成されるものをいう。
粘土化作用	ねんどかさよう	argillization	熱水溶液あるいは風化による変質作用により、岩石が粘土鉱物に交代される作用。緑泥石化作用・スメクタイト化作用などがある。アーグライト化作用ともいう。
粘土カットオフ	ねんどかつとおふ	clay filled cut off	ダム基礎に設置する粘土でできた止水壁。
粘土岩	ねんどがん	claystone	泥岩の一種。定向的な剥離性を欠く泥岩で、粘土分がシルト分より卓越する。
粘土掘削機	ねんどくっさくき	clay digger, clay spade	空気ハンマーに取り付けたすき状の刃先の衝撃力によって粘土・土砂などを掘削する機械。
粘土グラウト	ねんどぐらうと	clay grouting	グラウチングの一種で、水・粘土の混合物を注入材料とするもの。さらにセメントを加えることもある。粘土注入ともいう。
粘度計	ねんどけい	viscosity test apparatus	歴青材料（ビチューメン）の粘性を測定する計器。底質土の分析にも用いられる。
粘土鉱床	ねんどこうしょう	clay deposit	粘土鉱物を主成分とする粘土質の岩石または粘土鉱物の集合体。ベントナイト・カオリン・セリサイト・ろう石などがある。
粘土鉱物	ねんどこうぶつ	clay minerals	粘土の主要な構成鉱物。多くはSi・Al・Mgを主成分とする含水珪酸塩鉱物で層状構造を持つ。

粘土質	ねんどしつ	clayey, argillaceous, argillous	粘土粒子や粘土鉱物を多く含む状態,あるいはそれらによって特徴づけられる性質.
粘土質岩	ねんどしつがん	clayey stone, argillite	粒子の粒径が粘土または粘土鉱物を多く含む岩石. 泥岩・頁岩とほぼ同義.
粘土質頁岩	ねんどしつげつがん	clay shale	粘土分を多く含む頁岩. 砂分10%以下で粘土分がシルト分の2倍以上とする説もある.
粘土質土	ねんどしつど	clayey soil	粒度が粘土サイズの粒子を多く含む土の俗称. 旧三角座標分類法では粘土分を20~30%含む土を粘土質土と呼んでいた.
粘土質ローム	ねんどしつろーむ	clay loam	米国道路局の三角座標分類法に分類されている土質名の一つ.
粘土注入	ねんどちゅうにゅう	clay grouting	粘土グラウトと同義.
粘土盤	ねんどばん	claypan	土壤中で粘土の生成移動集積により形成された固化層.
粘土脈	ねんどみゃく	clay vein	地層および岩石の割れ目を充填した粘土よりなる脈. 熱水作用や断層運動などにより形成される.
粘土粒子	ねんどりゅうし	clay particle	5 μ m以下の粒径を持つ土粒子.
粘板岩	ねんばんがん	slate	泥質などの細粒堆積物が変形運動を受け,へき開(劈開)が発達して剥離性に富む岩石. 本来は,粘土質でスレートへき開(劈開)が発達した岩石. 一般には,堅く固結した頁岩に用いている. 炭坑用語では,石炭を伴う頁岩に対して呼称. スレートともいう.
年平均雨量	ねんへいきんうりょう	annual mean rainfall	雨量観測記録に基づいて,10年や30年といった一定期間におけるある観測点での平均の年間雨量.
年平均気温	ねんへいきんきおん	annual mean temperature	年間の平均気温であり,日平均から月平均,月平均から年平均を求めるが,日平均の算出法で差が生じる.
年平均降水量	ねんへいきんこうすいりょう	annual mean precipitation	降水量観測記録に基づいて,10年や30年といった一定期間における,ある観測点での平均の年間降水量.
年平均流砂量	ねんへいきんりゅうさりょう	annual mean sediment change	1年間の平均的な流砂量. 異常に大きな流砂量のあった年次の資料を除いた永年観測値の平均で示される.
年変化	ねんへんか	annual variation, annual change	気温・水温・雨量などの自然現象や各種測定値の年間の変化.
燃料鉱床	ねんりょうこうしょう	fossil fuel deposit	生物の遺骸が集積・埋没し,続成作用などを経た後に濃集した燃料資源の集合体. 石炭・石油・天然ガスなどがある. 化石燃料鉱床ともいう.

燃料電池	ねんりょうでんち	fuel cell	天然ガスなどから取り出した水素を空気中の酸素と電気化学的に反応させることにより、電気を発生させる電池。
NOAA	のあ	NOAA	米国海洋大気庁局が打ち上げているシリーズの極軌道気象衛星。昼夜各2回の定常的な気象観測を実施。
ノイマン境界条件	のいまんきょうかいじょうけん	Neumann boundary condition	微分方程式の境界値問題において与える境界条件の一種。既知フラックス境界などが相当する。
ノイマン帯	のいまんたい	Neumann band, Neumann line	隕鉄の一種。ヘキサヘドライトに特徴的に認められる集片双晶による平行線。エッチング面で観察される。
直方層群	のうがたそうぐん	Nogata Group	福岡県直方市を中心に北北西－南南東方向に分布する中部始新統。砂岩・礫岩・泥岩が主体。筑豊炭田の主要な夾炭層。
濃縮ウラン	のうしゅくうらん	enriched uranium	核分裂を起こしやすいウラン235の含有率を高めたウラン。天然状態ではウラン235の含有率は0.7%。原子力発電で使用される場合は3%程度に濃縮する。
能生谷地すべり	のうだにじすべり	the Nodani landslide	1947年5月に新潟県西頸城郡能生町の柵口で発生した地すべり。戦後最初の大規模地すべりとして知られる。
濃淡表示	のうたんひょうじ	variable density	地震波トレースの表示法の一つ。地震波の振幅に比例して色の濃さを変える。
濃度	のうど	concentration	一定量の液体あるいは気体中に存在する各成分の量の割合。
濃度	のうど	density	リモートセンシング分野では、露光、もしくは現像処理されたフィルムや印画などの濃淡を表す尺度。
能動型リモートセンシング	のうどうがたりもーとせんしんぐ	active remote sensing	観測対象に対してセンサ側から電磁波を送り、物体から戻った電磁波を記録する方式のリモートセンシング。
能動的地震探査法	のうどうてきじしんたんさほう	active seismic method	通常地震探査法。自然発生地震でなく人工地震源や人工音源を用いる。
濃度規制	のうどきせい	regulation of emission concentration, emission concentration regulation	生物に有害な物質（重金属など、有害有機化合物など）の排出濃度に対する規制。排水規制には総量規制もある。
濃度計	のうどけい	densitometer	①（様々な）濃度を測る装置。 ②写真フィルムや印画紙にプリントされた写真の任意の点について光学濃度（黒さ）を測定するための装置。
濃度測定	のうどそくてい	density measurement	①濃度を測ること。 ②リモートセンシング分野では、濃度計を用いてフィルムや印画上の光学濃度（写真の濃淡）を測定すること。
濃尾活断層系	のうびかつだんそうけい	Nobi active fault system	温見断層、武儀川断層、根尾谷断層、揖斐川断層などから構成される断層系で、1891年の濃尾地震時にその一部が活動し、地震断層が出現した。

濃尾地震	のうびじしん	the 1891 Nobi earthquake	1891年10月28日に岐阜県北西部を震央として発生した、内陸で起こった地震の中では国内最大のM8.0の地震。仙台以北を除き日本中で有感。根尾谷断層が出現し、本巣郡根尾村水鳥では高低差6mの断層崖が出現した。死者は7000人以上に達する。
濃飛流紋岩類	のうひりゅうもんが んるい	Nohi rhyolites	岐阜県東部の東濃地方から長野県西部の木曾地方にかけて、北西－南東方向に連続して分布する後期白亜系の流紋岩類。
農薬汚染	のうやくおせん	pesticide pollution	農薬およびその分解生成物による環境汚染。農薬には殺虫剤・殺菌剤・除草剤・殺鼠剤（殺そ剤）・成長調整剤などがある。
濃緑玉	のうりょくぎょく	chloromelanite	ひすい輝石・ヘデンベルグ輝石・透輝石・エジリンの四つの端成分を含む中間組成のアルカリ輝石。鉄分を多く含むため暗緑色から黒色を呈す。
農林地質学	のうりんちしつがく	agroforestrial geology	地質学の応用部門の一つで、農学・林学と関連している。主として岩石風化現象を取り扱う。
ノースアメリカン重力計	のーすあめりかん じゅうりょくけい	North American gravimeter	金属スプリングを使用した重力計の一種。スプリングはラコストブリと呼ぶ斜方向に取り付けられている。
ノーズ構造	のーずこうぞう	nose structure	地質図で同斜構造の中に背斜部が鼻のように張り出して見える構造。一方の端は閉塞し、他の端が開いた短い軸の沈入背斜構造。鼻状構造ともいう。
ノギス法	のぎすほう	nogisu method	密度試験の一手法。供試体（円・角柱）の高さ・直径・幅をノギスで測定し体積を求める。
鋸状山稜	のこぎりじょうさん りょう	comb ridge	山岳の氷河地域で、両側がカール壁や谷氷河によって刻まれて形成された鋭い岩尾根。
鋸状割れ口	のこぎりじょうわれ くち	hackly fracture	鉱物や岩石の割れ口が鋸状の面をなしている状態。
残り礫	のこりれき	lag gravel	細粒物質が風によって吹飛ばさたり、水流によって洗い流された後、地表面や川底に残留する礫。
のし上げ帯	のしあげたい	obduction zone	大洋底リソスフェアの一部が大陸リソスフェアの上に、のし上げが起きる場所。オブダクション帯と同義。
野島層群	のじまそうぐん	Nojima Group	佐世保市西方の九十九島地域に分布する下部中新統。2000m以上の層厚で、主に砂岩・泥岩・凝灰角礫岩からなる。
野島断層	のじまだんそう	Nojima fault	地震断層。兵庫県南部地震で地表に現れた。淡路島北淡町富島から北西岸に沿って明石海峡にぬける北東～南西走向。
ノジュール	のじゅーる	nodule	団塊と同義語。堆積物や火山岩中に形成された球状・板状または不定型な硬質塊。
野尻湖層	のじりこそう	Nojiriko Formation	長野県北部の野尻湖湖底および周辺に分布する上部更新統。野尻湖西岸の立ヶ鼻付近を模式地とする。水成で砂層、シルト層を主体とし、降下スコリア層と火山灰層を挟在する。最終氷期の湖成層。ナウマンゾウなどの化石や旧石器などが出土する。

野面石	のずらいし	quarry stone	採石場から切り出したままの石材。
野田ヶ沢地すべり	のだがざわじすべり	the Nodagazawa landslide	新潟県栃尾市北荷頃の野田ヶ沢地内の地すべり。古くは1525年からの記録が残り、災害を繰返し現在にいたる。
野田層群	のだそうぐん	Noda Group	岩手県久慈地方に分布する非海成層で古第三系。礫質堆積物を主体とする。
野田玉川鉱山	のだたまがわこうざん	Nodatamagawa mine	岩手県北東部のジュラ系堆積岩中の層状マンガン鉱床を採掘した鉱山。金属Mn総生産量50万t。1984年閉山。
ノッチフィルタ	のっちふいるた	notch filter	特定の単一周波数のみを減衰遮断し、他の周波数の波は減衰させることなく通過させるフィルタ。
能登鉱山	のとうざん	Noto mine	石川県珠洲市若山町中田に分布する中新統南志見泥岩層中の塊状石膏鉱床を採掘した鉱山。1969年閉山。
能登層群	のとそうぐん	Noto Group	能登半島に分布する新第三系の下部層群で、片麻岩・石灰岩などを不整合に被う。主に、安山岩などの火山岩類・火山砕屑岩類よりなる。
能取推定断層	のとろすいていだんそう	Notoro probable fault	活断層。確実度I，活動度B級，南北方向。北海道網走湖東岸に位置し延長約15km。変位基準面は段丘面で、平均変位速度0.2m/10 ³ 年以下。
NONE L 雷管	のねるらいかん	Nonel detonater	非電気式起爆剤のノネルシステムの起爆部。ノネルチューブを伝わる爆ごう火炎によって点火される雷管。
野原断層系	のはらだんそうけい	Nohara faults	活断層。確実度I，活動度B級。沖縄県宮古島内に位置し延長15km。雁行状の低断層崖を形成。
伸び計	のびけい	extensometer	①地面の2点間の伸縮を測る装置（地盤伸縮計）。 ②物体に応力が作用したときの引張りひずみを測定する計器。
伸びひずみ	のびひずみ	ductile strain	アスファルトやプラスチックのような物体に荷重を加えた場合に、弾性変化に引き続いて起こる粘性的な伸び。
伸び率	のびりつ	percentage of elongation	材料の軸方向に引張り応力を加えた時の引張りひずみ。
野蒜石	のびるいし	Nobiru ishi	宮城県桃生郡鳴瀬町野蒜産石材。中新統凝灰岩。白～黄色で軟質。火・熱に強い。土台石・石塀・竈などに利用。
延岡－紫尾山構造線	のべおかしびさんこうぞうせん	Nobeoka-Shibisan tectonic line	宮崎県延岡市から熊本県との県境の市房山を通り、鹿児島県の紫尾山に至る北傾斜の衝上断層。四万十帯の北帯と南帯の境界をなす。現在は延岡衝上と呼ばれる。
野辺地石	のへじいし	Noheji ishi	青森県上北郡野辺地町産石材。新第三系凝灰岩。灰色を示し、主に土木用に利用される。

登別石	のぼりべついし	Noboribetsu ishi	石材名．北海道道南地方にある更新世の倶多楽カルデラからの強溶結した軽石流堆積物．建築用・塀・間知石などに利用．
登別硬石	のぼりべつこうせき	Noboribetsu koseki	北海道登別市幌別町に産する石材．新第三系凝灰岩．褐色で多産する．主に土木用に利用．
登別軟石	のぼりべつなんせき	Noboribetsu nanseki	登別石と同じ．倶多楽カルデラからの強溶結した軽石流堆積物．
のみぎり（鑿ぎり）	のみぎり	tipping	石材面を平坦にする方法の一つで，のみを使用する．
のみ口（呑口）	のみくち	intake	水の取り入れ口．
のみ下がり	のみさがり	drilling performance	削岩機などで岩盤を削孔する速さ．単位時間あたりの削孔深さで表現する．対象地盤の堅さの目安．
野村鉱山	のむらこうざん	Nomura mine	愛媛県野村町付近の秩父帯南帯に属するチャート中に賦存するマンガン鉱床を採掘した鉱山．MnO ₂ 出鉱量4万t．
野村層群	のむらそうぐん	Nomura Group	愛媛県野村町付近の秩父累帯南帯を構成する中生代の付加体．砂泥互層とチャート（三じょう紀（三疊紀）後期）や石灰岩（石灰紀～ペルム紀）の外来岩塊を含むメランジ相．
野母崎変成岩	のもぎきへんせいがん	Nomozaki metamorphic rock	長崎県野母半島に分布する変成岩類．野母変はんれい岩（変斑糲岩）・蛇紋岩類・結晶片岩類より構成される．
ノリアン階	のりあんかい	Norian stage	三じょう系（三疊系）上部統中部階の別称．上部統を二区分とする説では上部階になる．
のり覆工（法覆工）	のりおおいこう	slope protection works	のり面をコンクリート，植生などで覆工することによって，河川，雨水による洗掘，浸食を防護する工法．
のり肩（法肩）	のりかた	top of slope	のり面の上端．
のり切（法切）	のりきり	grading works	斜面勾配を緩くし，安定化を図るための掘削．
法切り工	のりきりこう	slope works	自然斜面の切土や根切り工事において，掘削面の安定が確保できる所定の勾配にのり面を仕上げる工法．
のり崩れ（法崩れ）	のりくずれ	slope failure, slope collapse	地すべりや崩落などによる，のり面の崩壊．
乗鞍火山	のりくらかざん	Norikura volcano	北アルプスの南端に位置する標高3,026mの複合火山．有史以来の噴火記録はないが，火口からの溶岩流出や水蒸気噴火がみられる．

乗鞍火山帯	のりくらかざんたい	Norikura volcanic zone	立山，焼岳，御岳などを含む火山帯で，第四紀に隆起した飛騨山脈上に発達した火山列.
のり勾配（法勾配）	のりこうばい	gradient of slope, inclination of slope	切土，盛土，護岸工などの，のり面やダムの上下流面の勾配.
法先	のりさき	toe of slope, end of slope, foot of slope	人工的に造られた斜面であるのり面の最下部のこと. 法尻ともいう.
法先洗掘	のりさきせんくつ	foot scouring	堤防や護岸などの，のり面の下端が流水によって削られること. 堤防や護岸構造物の不安定化の要因となる.
のり尻（法尻）	のりじり	toe of slope	のり面の最下端. のり先（のりさき）ともいう.
法高	のりだか	height of slope	のり面の鉛直高さ. のり面の規模を代表する指標.
法止め	のりどめ	foot protection of slope	堤防や護岸などののり面の下端を保護するための工法. しがらみ・矢板・捨石・じゃかごなど.
法面	のりめん	slope	盛土あるいは切土によって人工的に形成された斜面.
法面杭	のりめんくい	slope stake	のり面の表層安定のため打ち込まれる小口径の短杭. 一般に木杭が用いられる.
のり面勾配（法面勾配）	のりめんこうばい	inclination of slope, gradient of slope	のり面の鉛直高さに対する水平距離の比.
法面転圧	のりめんてんあつ	slope rolling	盛土のり面を転圧することによって締固めること.
法面排水	のりめんはいすい	slope drainage	のり面の浸食防止，浸透量の低減による安定性確保のため行われる排水工.
法面被覆工	のりめんひふくこう	slope coverage	のり面の表層を風化や浸食から保護するため，植生工や吹付けモルタル工などにより被覆する工法.
法面崩壊	のりめんほうかい	slope failure	人工的に形成された斜面が比較的急速に破壊すること. 速度の小さいものは，のり面すべりと呼ぶ.
法面補強ロックボルト	のりめんほきょうろくくぼると	rock bolt for slope protection	のり面の落石防止や緩み崩壊防止に用いられるロックボルトで，のり枠やモルタル吹付とセットで用いられる.
法面保護工	のりめんほごこう	slope protection	のり面が風化・浸食・崩壊するのを防止するための工法. 植生あるいはコンクリート構造物による被覆など.

法面緑化工	のりめんりょくかこう	slope vegetation works, slope planting works	盛土・切土ののり面を草木で被うことにより、のり面表層部の風化浸食を保護し、さらに景観改善を意図した工法。植生工と緑化基礎工からなる。
法枠	のりわく	slope frame, grating crib	のり面の浸食や崩壊などを防止するためののり面に格子状に張付ける構造物。プレキャスト枠・吹き付け枠・現場打ちコンクリート枠などがある。
法枠ブロック	のりわくぶろっく	mold blocks for slope protection	切盛土ののり面や急斜面などの安定を図る目的で、のり面に設置するコンクリート製の枠構造ブロック。
ノルマル法	のるまるほう	normal method	電気検層の一手法。観測井の空間を無視し、電位電極間で観測される電位差より地層の比抵抗を算出する方法。
ノルム	のるむ	norm	ノルム組成ともいい、岩石の化学組成を、一定の計算方法により標準鉱物の重量百分率に換算して示したもの。
ノルム鉱物	のるむこうぶつ	normative mineral	火成岩のC I P W分類における標準鉱物。石英などのサリック鉱物と珪灰石などのフェミック鉱物とからなる。
ノンコアボーリング	のんこあぼーりんぐ	non core drilling	コア採取を行わないボーリング。計測用あるいは検層用などに利用されることが多い。
ノンコンパクト断面	のんこんぱくとだんめん	non-compact section	幅に対して厚さが薄い断面。断面形状は座屈によって決められる。
ノンコンフォーマティビー	のんこんふおーみていー	nonconformity	堆積岩が下位に分布する塊状の火成岩体や変成岩類を覆っている場合の不整合。無整合と同義。
ノンダルシー則	のんだるしーそく	Non-Darcy's law	ダルシー則に従わない地下水の流動則。たとえば、乱流状態の流れや限界動水勾配以下のきわめてゆっくりとした流れを対象にしている。
ノンテレスコピック型枠	のんてれすこぴっくかたわく	non-teresopic form	トンネル覆工用の支持枠と鋼板が一体となった移動式型枠で、養生中の既設型枠の下をくぐり抜け不能の型枠。
バーガーズモデル	ばーがーずもでる	Burgers model	VoigtモデルとMaxwellモデルを直列に連結した岩石クリープを表わす力学的モデル。
パーカッション	ぱーかっしょん	percussion	掘削具、ビットの打撃エネルギーで孔底の岩盤などを破碎掘削する工法で、落下方式とハンマー方式がある。
パーカッションドリル	ぱーかっしょんどりる	percussion drill	ビットを付けたドリルパイプをワイヤでつるし、上下運動させてその衝撃力によって掘削をする削孔機械。
パーカッション方式	ぱーかっしょんほうしき	percussion diaphragm wall excavation	地下連続壁掘削方式の一種。ビットを上下させその衝撃で土砂を砕き掘削土を吸い上げて排出する方式。
パーカッションボーリング	ぱーかっしょんぼーりんぐ	percussion drilling	衝撃式ボーリングと同義。

バージェス頁岩	ばーじえすけつがん	Burgess shale	カナダロッキー山脈に分布する中部カンブリア系で、無脊椎動物の化石を多産する暗色頁岩からなる。
ハースト片岩群	はーすとへんがんぐん	Haast schist Group	ニュージーランド主部を占める地向斜地域にみられる高圧型の変成岩の総称。
ハーゼンの公式	はーぜんのかうしき	Hazen's formula	土の粒径加積曲線から読みとる10%径(D10)から、透水係数(k)の概略値を推定する関係式。
バーチカルドレーン	ばーちかるとれーん	vertical drain	圧密を促進するため粘土層中に設けられた鉛直な排水孔。サンドドレーン・ペーパードレーンなどがある。
バーチカルドレーン工法	ばーちかるとれーんこうほう	vertical drain method	軟弱地盤中に、人工の鉛直ドレーン材を多数設置することにより圧密を促進させる工法。
バーティソル	ばーていそる	vertisol	熱帯～亜熱帯に分布する塩基性火成岩に由来する多量のモンモリロナイトを含む黒い土。グリムズルもこの中に含まれる。
パーティング線構造	ばーていんぐせんこうぞう	parting lineation	堆積構造の一種。堆積粒子が流れ方向に平行に、平行葉理面上に配列して線状を呈するもの。
バード	ばーど	bird	空中探査でヘリコプターや飛行機に吊り下げる測定機器の総称。
パート統	ばーととう	Patung series	中国南部の湖北西部を模式地とする中部三じょう系(三疊系)。海生化石を多産する頁岩が優勢。
ハートマンの法則	はーとまんのほうそく	Hartman's law	断層解析などでよく用いられる法則。交差する断層など不連続面のなす角は、各主応力により二等分される。
バーニヤ	ばーにや	vernier	副尺。長さまたは角度の1目盛りの端数を一定の分数値まで読みとれるようにした補助的な目盛り装置。
ハーネルの深度則	はーねるのしんどそく	Haanel depth rule	磁気異常体の深度は、それによる磁気異常値の最大値とその1/3の値を与える地点の水平距離の1/2に等しい。
バーバンク試験	ばーばんくしけん	burbank test	採鉱機や砕岩機の金属部品により岩石試料がどの程度磨耗するかを調べる試験。
パーベック階	ばーべっくかい	Purbeckian stage	英国南海岸を模式地とする最上部ジュラ系から最下部白亜系で、模式地では潮間帯から淡水成堆積物に代表される。
バーマン比重天秤	ばーまんひじゅうてんびん	Berman density balance	比重測定用の高精度天秤で、少量の試料でも簡便に比重測定ができる。比重は空気中と液中で質量をはかりもとめる。
バーミキュライト	ばーみきゅらいと	vermiculite	$Mg_{2.68}(Fe^{3+}, Al_{0.64})[(H_2O)_4](OH)_2 Al_{1.28}Si_{2.72}O_{10}]$, 単斜晶系, 硬度1.5, 比重2.3. 塩基性～超塩基性岩の風化・熱水変質・接触変成などによって生成される著しい膨張性を持った粘土鉱物。膨張させて断熱材や防音材に利用される。蛭石と同義語。

バー	ばーる	bar	圧力の単位. 105Pa, 105N/m ² , 106dyne/cm ² . 大気の1気圧は1,013mbar. 近年はhPaで表示.
バーンカット	ばーんかっど	burn cut	発破工法によるトンネル掘削で, 芯抜きを効果的に実施するための平行孔芯抜き工法.
バーンホール	ばーんほーる	burn hole	バーンカット工法に用いる芯抜き効果向上用の水平孔で, 芯抜き孔の左右などに2孔程度実施される.
バーンホール穿孔機	ばーんほーるせんこうき	burn hole drilling machine	トンネル発破の芯抜き用の大口径の空孔を掘る機械の総称で, 平行芯抜き工法で用いられる.
バイアス型	ばいあすがた	Valles type	陥没後カルデラ床が再生隆起する型のカルデラ. 再生カルデラ (resurgent caldera)ともいう.
バイアスカルデラ	ばいあすかるでら	Valles caldera	北部ロッキー山脈の南端近くにある再生カルデラ. 大規模火砕流の発生後カルデラが形成され, その後中央部が再生隆起している.
背圧	はいあつ	back pressure	三軸圧縮試験において, 供試体内の有効応力を一定に保ちながら, 供試体の飽和度を上げるために間隙流体に付加する圧力.
ハイアロ	はいあろ	hyalo	ギリシア語を語源とする接頭辞で, ガラス質な岩石や組織に対してつける.
ハイアロオフィチック	はいあろおふいちっく	hyaloophitic	玄武岩～安山岩などの火山岩に見られる岩組織で, 充填状組織の基質の部分が主体のもの.
ハイアロクラスタイト	はいあろくらすたいと	hyaloclastite	溶岩流が水と接触してその表皮が急冷されることにより, 破碎されて生じたガラス質主体の岩片からなる岩石.
ハイアロシデライト	はいあろしでらいと	hyalosiderite	かんらん石の一種. かんらん石はフォルステライト成分 (Mg ₂ SiO ₄) とファヤライト成分 (Fe ₂ SiO ₄) の固溶体であるが, ハイアロシデライトはファヤライト成分が30～50モル%のもの.
灰石	はいいし		カルデラに起因する大規模な火砕流堆積物. 特に溶結した火砕流堆積物をさす日本独自の用語.
配位数	はいいすう	co-ordination number	中心原子またはイオンのまわりに配位することのできる原子 (イオン) の数.
梅雨前線	ばいうぜんせん	Baiu front	6月から7月に日本列島や揚子江流域に停滞する気圧の谷間. オホーツク海と小笠原の各高気圧の境に形成.
排煙脱硫	はいえんだつりゅう	disperse smoke desulphurization, disperse smoke desulfurization,	化石燃料の燃焼により生じる排煙から, 硫黄酸化物を除去すること. 除去方法には, 湿式法と乾式法がある.
バイオジェニック元素	ばいおじえにつくげんそ	biogenic element	生物起源と考えられる堆積物中に濃縮される元素群.

バイオストローム	ばいおすとろーむ	biostrome	化石密集部の産状に対する一用語。層理面をもち突起部をもたないのが特徴。
パイオニア断裂帯	ばいおにあだんれつたい	Pioneer fracture zone	カリフォルニア北部のメンドシノ断裂帯の数百km南部に位置する断裂帯。断裂帯に沿った大規模な水平移動が知られている。
バイオハーム	ばいおはーむ	bioherm	化石密集部の産状に対する一用語。ドーム状・塚状・レンズ状で産する。
バイオマス	ばいおます	biomass	ある時点に任意の空間内に生存する生物体の量を重量あるいはエネルギー量で示したもの。
梅花石	ばいかいし	baika ishi	古生界石灰質輝緑凝灰岩。北九州市門司区青浜に産し、梅花を想起する柄を持つウミユリ化石を含む鑑賞石。
バイカル褶曲	ばいかるしゅうきょく	Baikalian folding	約8億年前から約5.5億年前の間の変動期に生じた褶曲。バイカル湖からアルダン楕状地南縁などに認められる。
廃棄物	はいきぶつ	waste	日常生活や産業活動の結果、排出される不要物の総称。大きく一般廃棄物と産業廃棄物に区分される。
廃棄物処理	はいきぶつしより	waste disposal	廃棄物を、焼却・埋め立てなどにより、社会活動に害を及ぼさない形で処分すること。
拝宮層群	はいぎゅうそうぐん	Haigyu Group	徳島県の黒瀬川帯を構成する上部ペルム系。砂岩・泥岩を主体とし、一部に礫岩・石灰岩を挟む。
バイクゼル氷期	ばいくぜるひょうき	Weichsel glacial stage	約7万年前から約1万年前の北ドイツ、デンマークにおける氷期。ウルム氷期に相当する。
バイクリタ統	ばいくりたとう	Vaikrita series	テチスヒマラヤ帯スピティ地域における最下部の変成岩層。主に粘土質の変成岩よりなり、雲母片岩が卓越。
ハイグレードソイル	はいぐれーどそいる	high grade soil	発泡スチロール粒を建設発生土に混合した軽量土の一種。
配合	はいごう	mix proportion	コンクリートまたはモルタル、地盤注入材などを作る際のセメント・細骨材・粗骨材・水および混和材・薬液などの使用割合。
配合強度	はいごうきょうど	target strength	設計基準強度に係数を乗じて圧縮強度の割増しを行ったもので、配合を定める場合に目標とする強度。
配合水	はいごうすい	mixing water	所定の配合に基づくコンクリートまたはモルタルを練る時に使用する水。
背弧凹地	はいこおうち	back arc depression	火山フロントの背弧側直近に並走する構造的な凹地。背弧海盆よりも小規模な盆地。

背弧海盆	はいこかいぼん	back arc basin	沈み込み帯の背弧側に発達する海盆。海洋底の拡大によって生じたと考えられている。
媒質	ばいしつ	medium	波動などの作用を伝える物質または空間のこと。弾性波を伝える弾性体や光を伝える空間などがその例。
拝島礫層	はいじまれきそう	Haijima gravel bed	最終氷期末期とされている関東平野，多摩川中流の更新世末期の地形面（拝島面）を構成する礫層。
背斜	はいしゃ	anticline	褶曲構造において曲げられた地層の波の山に当たる部分。
排砂	はいしゃ	sediment flushing	管内・貯水池・沈砂池などに沈殿した土砂を排出すること。
排砂カルバート	はいしゃかるばと	scour culvert	ダムの底部に設ける堆砂除去のための放水口。
排砂管	はいしゃかん	scour pipe	ダム底部に設置される堆砂除去のための放流管。ドレーンパイプ，掃流管ともいう。
排砂ゲート	はいしゃげーと	wash-out gate, scour gate	排砂用放水口制御用のゲート。
背斜谷	はいしゃこく	anticlinal valley	褶曲構造の背斜軸に沿って地層の浸食が進んだ結果形成された谷で，地質構造を反映した浸食地形。
背斜山稜	はいしゃさんりょう	anticlinal ridge	褶曲構造の背斜部が，地形的にも尾根部を形成している山稜。背斜丘陵という用語もある。
背斜軸	はいしゃじく	axis of anticline	褶曲した地層の峰状部分で，層序的に下位の地層が中心にあるものを背斜といい，その曲率最大の点を結んだ線のこと。
排砂水路	はいしゃすいろ	flushing channel, flushing canal	貯水池末端からダムの最大放流量以内の流量を分流させてダム下流に放流し，貯水池への堆砂を防ぐバイパス水路。
排砂設備	はいしゃせつび	scour outlet sediment flushing facility	ダムの堆砂を防御または排除する設備。排砂水路，貯砂ダム，排砂カルバート，排砂管，排砂トンネルなどがある。
背斜トラップ	はいしゃとらっぷ	anticlinal trap	原油，ガスなどの貯留槽が背斜構造の頂部に形成された一般的な構造トラップ（封塞構造）。
排砂トンネル	はいしゃとんねる	scour tunnel	ダムで底部放流設備として設けられることのある岩盤内のトンネルで，土砂吐きの機能をもたせたもの。
排砂バルブ	はいしゃばるぶ	wash-out valve	排砂管の開閉を制御するバルブ。ドレーンバルブと同義。

排砂門	はいしゃもん	scour outlet, scour sluice	ダムの土砂吐きの流入口のこと。
排砂路	はいしゃろ	discharge pipe	ダムの堆砂を貯水池外に排出するために、ダムに設けられた管路（トンネル）。
排水基準	はいすいきじゅん	effluent standard	排水に含まれる有害物質の種類ごとに許容限度を定めた基準。水質汚濁防止法で規定される。
排水強度	はいすいきょうど	drained strength	ある排水条件下で現れる強度の総称。排水の条件やせん断速度などによってこの値は異なる。
排水繰返しせん断試験	はいすいくりかえしせんだんしけん	drained cyclic shear test	排水状態で供試体のせん断応力を繰返し加えるせん断試験。
排水係数	はいすいけいすう	drainage coefficient	地盤からの排水のしやすさを示す係数で圧密係数 C_v と関係が深い。
排水溝	はいすいこう	catch drain	盛土・切土斜面あるいは、道路舗装面からの表面水の排除に用いられる溝状構造物。
排水孔	はいすいこう	drain hole	コンクリートダム基礎の着岩面付近にかかる揚圧力を軽減させるために設置する基礎排水孔。
排水坑	はいすいこう	drainage gallery	ダム基礎排水孔（ドレーン孔）を設置する通廊。
排水工	はいすいこう	drainage works, dewatering method	地下水または地表水を排水する工法。様々な分野で用いられるが、例えばのり面・地すべりなどの斜面を安定化させる上で重要。
排水工法	はいすいこうほう	drainage works, dewatering method	地下の掘削工事において、地下水排除工により地下水位を掘削底面以下に低下させて行う施工法。
排水三軸試験	はいすいさんじくしけん	drained triaxial test	排水条件で行う三軸試験。
排水三軸スミア試験	はいすいさんじくすみあしけん	drained triaxial sumia test	粘性土の排水残留せん断強さを決定するための試験。ポーラスストーン製の円筒を用い、短時間で終了。
排水試験	はいすいしけん	drained test	圧密排水せん断試験と同義。
排水処理施設	はいすいしゅりしせつ	waste water treatment facility	排水源から公共用水域または下水道などへ排出される水の汚濁物質を除去し、排出基準にあった水にする施設。
排水せん断	はいすいせんだん	drained shear	圧密排水の条件での供試体のせん断。正規圧密粘土では非排水せん断よりも大きなせん断強さを示す。

配水池	はいすいち	distributing reservoir	水の消費の増減に対応して給水に不足が生じないように調整するための水道用貯水池.
排水トンネル工	はいすいとんねるこ う	drainage tunnel works	地すべり地などの基盤部に掘削された排水用の小断面トンネル. この部分から排水ボーリングを実施し, 水位低下を図る.
排水ブランケット 工法	はいすいぶらんけつ ところほう	drainage blanket method	盛土の安定のために, 盛土底面ののり尻付近に排水層を設ける工法. 砂利, 粗砂, 不織布などを使用.
廃石	はいせき	spoil	石炭採掘の際に生じる商品価値のない低品位の石炭やずりのことで, ぼたともいう.
π ダイヤグラム	はいだいやぐらむ	π -diagram	層理面などの方向データの極 (π 極) を等面積投影して, これらの分布に最も適合する大円の極から構造軸を求める方法.
佩楯山層群	はいだてやまそうぐ ん	Haidateyama Group	大分県三重町南東の佩楯山を中心に分布する黒瀬川帯を構成する白亜系の碎屑岩層.
ハイチェン地震	はいちえんじしん	the 1975 Haicheng earthquake	1975年2月4日に中国遼寧省海城付近で発生したM7.3の地震. 世界で初めてその予知に成功した地震として有名.
灰爪層	はいづめそう	Haizume Formation	新潟県中南部地域に分布する第四系下部更新統. 刈羽郡西山町灰爪付近を模式地とする. 海成で細～中粒砂, 砂質シルト, 砂泥互層を主体とし石灰質砂層を挟在する.
ハイテク汚染	はいてくおせん	high-tech pollution	半導体産業などの先端技術 (ハイテク) を駆使する産業が生み出す環境汚染.
配電設備	はいでんせつび	power distribution equipment	ダム管理用電気設備の一つで, 電気で稼働する各種負荷設備に電気を配電する設備.
排土工	はいどころ	earth removal work	地すべり抑制工の一つ. 地すべり土塊の上部または全部を除去し, 地すべりの発生を防止.
排土率	はいどりつ	mucking ratio	シールド工法で排出される掘削土量と切羽前面の計画掘削土量の比. 排土率が100%以上の場合は注意が必要.
ハイドログラフ	はいどろぐらふ	hydrograph	河川の一つの地点での流量または水位の変化の時間的過程を示すグラフ.
ハイドロコンパ クション	はいどろこんぱく しょん	hydrocompaction	低密度の堆積物が雨水などの浸透により収縮し, 地面の不同沈下や亀裂を生じる特殊な地盤沈下現象.
ハイドロフラク チャリング	はいどろふらくちや りんぐ	hydraulic fracturing	水圧が作用して地盤が破壊, 破碎する現象. 1976年におきたティートンダムの決壊の一因とされている. 水圧破碎ともいう.
ハイドロフラク チャリング	はいどろふらくちや りんぐ	hydrofracturing	地盤中に高圧で水を注入したとき, 発生した引張り応力によって, 周囲の岩に割れ目が発生する現象. 水圧破壊ともいう.

ハイドロホン	はいどろほん	hydrophone	音波探査, 海上地震探査で受信器として用いられる水中用マイクロホンのシステム.
ハイドロリック式試錐	はいどろりっくしきしすい	hydraulic boring	スピンドルの給進を油圧で行う方式のボーリング掘削のことをいい, 最も一般的に用いられている.
ハイドロリックフィード	はいどろりっくふいーど	hydraulic feed	ボーリングロッドの縦方向の移動を, ギヤによらずに油圧系で行う方式. 油圧フィードともいう.
ハイドロリックポンプ	はいどろりっくぽんぷ	hydraulic pump	油を汲む目的で坑井内に降下するポンプの一種. 地上から圧入される油で駆動する. 機械的エネルギー損失がなく効率的. 油圧駆動機器に用いる油圧を発生させるポンプにも用いる.
バイナリー発電	ばいなりーはつでん	binary cycle generating system	温度の低い熱水を熱交換器に通して低沸点の媒体を気化させ, 発電を行う方式.
バイパス	ばいぱす	bypass	①孔曲げにより障害物を迂回して掘削すること. バルブ閉塞時に流体を完全遮断しないために設けた迂回用側管. ②ダムなど河道工事での河流処理のための迂回路
バイパストンネル	ばいぱすとんねる	diversion tunnel	ダム施工のために設ける河流を迂回させて現場をドライにするための仮設トンネル. 仮排水トンネルともいう.
背反鉱物	はいはんこうぶつ	incompatible minerals	生成の間に平衡が保たれていたような火成岩や変成岩で共存しえない2種あるいはそれ以上の鉱物同士.
パイピング	ぱいぴんぐ	piping	浸透流によって土粒子が流出し地中に管状の空洞が形成される現象. 堤防やアースダム, ダム基礎岩盤などの浸透破壊の原因.
パイピングホール	ぱいぴんぐほーる	piping hole	土中の浸透水によって土粒子が移動させられてできる土中の穴.
灰吹法	はいふきほう	cupellation	不純物を含む貴金属を酸化状態で溶かし, 骨灰などに不純物を吸収させて貴金属を分離する方法.
パイプひずみ計	ぱいぷひずみけい	strain gauge type inclinometer	塩化ビニルパイプにひずみ計を貼付しパイプの変形をひずみ計で計測する計器. ボーリング孔内に設置し地山内の地すべり挙動の判定に用いる.
ハイブリッド構造	はいぶりっどこうぞう	hybrid structure	異種材料の合成体からできた構造. 鋼-コンクリート合成板などの他, 各種の材料が開発されている.
ハイブリッド斜面安定設計法	はいぶりっどしゃめんあんていせつけいほう	hybrid slope stability design method	有限要素法と極限平衡法を組み合わせた斜面安定設計法. 安全率を応力破壊基準より, 破壊すべり面をひずみの破壊基準に基づくせん断強度低減法より求める.
パイプルーフ工法	ぱいぷるーふこうほう	pipe roofing method	坑口部など地表沈下防止や断層破碎帯突破のため, トンネル外周に鋼管を挿入して所定の範囲にルーフを形成する工法.
バイブレーター	ばいぶれーたー	vibrator	振動発生装置の総称. 地震探査の震源として用いられる. または, コンクリート打設時の締固めに利用される.

バイブローガー	ばいぶろおーがー	vibro auger drill	鋼製ケーシングを振動機で振動を与えながら挿入し、ケーシング内の土砂を掘削する方式の穿孔機。
バイブロコーラー	ばいぶろこあらーラー	vibro-corer	振動式モーターにより海底に押し込む型式の海底コア採取機。
バイブロコンパクション	ばいぶろこんぱくしょん	vibro-compaction	棒状振動体を地中に貫入させながら、振動伝達によりゆるい砂質地盤を漸次締固めていく方法。
バイブロサイス	ばいぶろさいす	vibro-seis	反射法地震探査の一種。周波数を連続的に変化させる油圧バイブレータを震源として使用する。商標名。
バイブロタンパー工法	ばいぶろたんぱーこうほう	vibratory hammer method, vibrohammer method	軟弱地盤における振動締固め工法の一つ。バイブロを鋼製タンパーに取りつけて、浅層の転圧、振動締固めを行う。
バイブロ置換工法	ばいぶろちかんこうほう	vibro-replacement method	バイブロフロットと呼ばれる振動式の重錘を用い地盤に掘削した孔に砂利などを充填し地山を締固める工法。
バイブロパイル	ばいぶろばいる	vibro pile	地盤中に鋼管を打ち込み、管内にコンクリートを打設した後、鋼管を引き抜くことにより作られる杭。
バイブロハンマー	ばいぶろはんまー	vibro pile hammer	振動式くい打機。上下方向の振動力により、杭の打ち込みを行う。騒音が比較的少ない。
バイブロフローテーション工法	ばいぶろふろーてーしょんこうほう	vibrofloatation method	水射と振動の併用で緩い砂層を締固める地盤改良工法の一つ。
灰分（石炭の）	はいぶん	ash content	石炭工業分析で用いられる用語。石炭を空気中で815℃で加熱したときに灰化して残る鉱物質。
バイポール・ダイポール法	ばいぽーるだいぽーるほう	bipole-dipole array	1 km以上離して固定接地した電流電極と独立に移動する電位電極により深部の探査を行うIP法電気探査法。
背面土圧	はいめんどあつ	backward earth pressure	擁壁などの背面に作用する土圧全体。慣用的な表現。
背面盛土	はいめんもりど	backfilling	裏込めと同義。擁壁などの背面と原地盤との間をてん充する盛土。
白雲顎博鉄鉱床	ばいゆんおーぼーてっこうしょう	Baiyun Obo deposit	中国内蒙古の原生代苦灰岩中に胚胎する鉄鉱床。世界最大の希土類鉱床としても知られている。
バイヨントダム	ばいよんとだむ	Vaiont dam	イタリア。アーチダム。1960年竣工。堤高265m。1963年10月9日左岸直上流の山体が約3億m ³ にわたり貯水池に滑り落ち、巨大なダムの越波により多数の死者発生。貯水池は埋積され巨大な砂防ダムと化している。
バイラテラル断層運動	ばいらてらるだんそううんどう	bilateral faulting	断層の中央付近から破壊が始まり、両方向に破壊が進む断層運動。ユニラテラル断層運動に対する用語。

ハイリー公式	はいりーこうしき	Hiley formula	杭打ち時の打ち込み抵抗を打撃エネルギー、杭の貫入量、地盤・杭・キャップなどの圧縮力、反発力から求める公式。
バイリニヤーモデル	ばいりにやーもでる	bilinear model	土の応力-ひずみ関係を数式化するモデルの一つ。応力-ひずみ関係を一つの折点を含む2本の直線で表すモデル。
配力鉄筋	はいりょくてっきん	distribution reinforcement	鉄筋コンクリートにおいて主鉄筋に直角に配置した補助鉄筋。外力や内部応力を均等化する機能をもつ。
梅林石	ばいりんせき	bairinseki	秩父帯の杏仁状輝緑凝灰岩。徳島県上勝町に産し、暗紫色の地に白または紅梅色の点紋をもつ鑑賞石。
パイロープ	ぱいろーぷ	pyrope	塩基性岩起源の高圧変成岩やエクロジヤイトの成分鉱物として産するざくろ石の一種。苦ばんざくろ石。
パイロット孔	ぱいろっとこう	pilot hole	グラウチング工事にあたり、地山の地質とグラウチング前の処女透水性の確認のために実施する注入ブロック端の調査孔。
パイロットトンネル	ぱいろっととんねる	pilot tunnel	先進坑と同義。
パイロットプラント	ぱいろっとぷらんと	pilot plant	設備やシステムの有効性を実証するために、試験的に建設・操業される生産設備や発電所。実証プラントと類義。
パイロットホール	ぱいろっとほーる	pilot hole	フルサイズのトンネルやボアホールに先立って、地質や物性を調査する目的で掘削される小口径の孔井や坑道。
パイロフィライト	ぱいろふいらいと	pyrophyllite	$Al_2Si_4O_{10}(OH)_2$ 、単斜晶系のもと三斜晶系のものがある。硬度1～2、比重2.65～2.90。カオリナイトから高温で生成される粘土鉱物で、ろう石の主要鉱物。耐火物や製紙の原料となる。
パイロ変成岩	ぱいろへんせいがん	pyrometamorphic rock	パイロ変成作用によって形成された変成岩で、マグマ中の小規模な捕獲岩などに見られる。一部溶けてガラス化する場合がある。
パイロ変成作用	ぱいろへんせいさよう	pyrometamorphism	接触変成作用の一種。火山岩や貫入岩と接触あるいは捕獲された岩石が受ける変成作用。非常に高温の変成相。
パインマウンテン衝上	ぱいんまうんでんしょうじょう	Pine Mountain fault	米国アパラチア山脈の西縁を画する衝上断層。
パウエル法	ぱうえるほう	Powell method	多変数関数の極小値を求める数値解析アルゴリズムの一手法。
パウドルフ亜間氷期	ぱうどるふあかんひょうき	Paudorf interstadial	ウルム氷期のうちのウルムⅡとウルムⅢとの間の亜間氷期をさす。約3.3～2.5万年前とされている。
パウナム統	ぱうなむとう	Pounamu Formation	ニュージーランド南島に分布するグレイワッケ、火山性堆積岩、超塩基性岩などを原岩とする変成岩類。西縁はアルプス断層によって画される。

生木地すべり	はえぎじすべり	the Haegi landslide	1972年7月12日に岡山県阿哲郡哲西町大野部で発生。全壊3戸・半壊5戸の災害が発生した。防止区域面積は6ha.
馬鹿孔	ばかあな	buster hole	トンネルの芯抜き発破などで、自由面を多くして爆破効果をあげるため、装薬する孔の周囲に穿孔した装薬しない孔。
破壊	はかい	breaking, failure, rupture	加えられた外力の増加に伴い、材料の一部が著しく変形、あるいは破断する現象。
破壊応力	はかいおうりょく	breaking stress	物体に応力を徐々に作用させ、その物体が破壊に達した時の応力。
破壊音	はかいおん	acoustic emission	A E・微小破壊音と同義。
破壊荷重	はかいかじゅう	failure load, breaking load	応力がある限界値（破壊応力）に達し、構造物や物体に破壊を生じさせる荷重。
破壊基準	はかいきじゅん	failure criteria	外力などによって材料が破壊する基準。破壊時における応力やひずみなどによって規定する。
破壊強度	はかいきょうど	peak strength, breaking strength, failure strength	物体に加えた応力がある値を超え、物体の変形抵抗が著しく減少または消滅した時の応力の絶対値。
破壊検査	はかいけんさ	breaking test	構造物を破壊して行う検査で、発注者が設計どおりでないことを認める相当な理由があるときに実施される。通常、検査ならびに復旧に要する費用は請負負担となる。
破壊試験	はかいしけん	breaking test	岩石に引張応力・圧縮応力・せん断応力が作用し、破壊が起こった時の強度を調べるための各種の試験。
破壊時変形	はかいじへんけい	deformation at failure	地盤にある一定以上の荷重を加えると変形が急に増大して破壊するようになる。この破壊時の変形特性をいう。
破壊靱性	はかいじんせい	breaking tenacity	物体の脆性破壊に対する抵抗性の程度。
破壊接近度	はかいせつきんど	degree of criticalness to failure	地盤の力学的安定性に関する有限要素解析において、各要素の応力状態を表すモールの応力円と破壊基準線との最短距離(d_{min})を、 $d_{min} + r$ (r : 応力円の半径) で割った値。
破壊点	はかいてん	breaking point	応力-ひずみ曲線において材料が破壊することを示す点。
破壊ひずみ	はかいひずみ	breaking distortion	破壊応力作用時の物体内のひずみ。
破壊包絡線	はかいほうらくせん	rupture envelope, failure envelope	材料の破壊時における、モールの応力円の包絡線。実験から破壊基準を求めるのに用いられる。

破壊面伝播速度	はかいめん でんぱそくど	failure propagation rate	地すべりなど進行性破壊の伝播現象を検討するために実施される、粘性土の一面せん断試験での破壊面形成速度。
破壊理論	はかいりろん	theory of failure	物体が破壊する時の応力条件やひずみについての理論。内部摩擦角説，最大せん断応力説，グリフィス理論などがある。
はぎとり走時曲線	はぎとりそうじきょくせん	ABC method curve	弾性波探査（地震探査）の屈折法の走時解析では下層の速度を求めるために表層除去を行う。このはぎとり操作での走時曲線。
はぎとり法	はぎとりほう	ABC method	萩原の方法と同義。
萩の峯地すべり	はぎのみねじすべり	the Haginomine landslide	長野県北部鬼無里村にある，防止面積113haの地すべり。1973年4月に融雪に伴い大規模に崩壊。土石流も発生し，村道，県道を破壊。
波及破壊	はきゅうはかい	progressive failure	進行性破壊と同義。
萩原の走時	はぎわらのそうじ	Hagiwara's curve	はぎとり走時曲線と同義。
萩原の方法	はぎわらのほうほう	Hagiwara's method	屈折法で測線の両端を振源とする走時曲線を用いて第二層の速度と深度走時を求める代表的な表層除去法。
萩原東断層	はぎわらひがしだんそう	Hagiwara-higashi fault	活断層。確実度 I，活動度 B 級，北西方向。阿寺断層の北西，岐阜県下呂町に位置し延長20km。阿寺断層系のセグメントの一つ。
バグ	ばぐ	vug	鉱山用語として用いられている「がま」。晶洞と同義。
白亜	はくあ	chalk	チョークと同義。
白亜紀	はくあき	Cretaceous (period)	中生代を三分したときの最後の地質時代で，恐竜が最も栄えた時代。
白亜紀海進	はくあきかいしん	Cretaceous transgression	地質時代を通じて，特に大規模な海進があったといわれる中生代白亜紀の海進。世界的規模で生じた。
白亜系	はくあけい	Cretaceous (system)	中生代白亜紀に堆積した地層。日本では分布が広く，層序がしっかりしている。
白雲岩	はくうんがん	dolostone, dolomite	苦灰石が90%以上を占める堆積岩で，苦灰岩ともいう。方解石の交代作用で形成される。
白雲岩化作用	はくうんがんかさよう	dolomitization	方解石のCaがMgを含む海水や地下水・熱水的作用によって，Mgに置換されドロマイト（苦灰石）に変わる事。

白鉛鉱	はくえんこう	cerussite	PbCO ₃ , 斜方晶系, 硬度3~3.5, 比重6.55. 鉛鉱床の二次酸化物として産出する鉱物.
爆ごう	ばくごう	detonation	爆発物中を燃焼反応が物質自体の固有音速を超える速度で, その進行面に衝撃波を形成しつつ伝播する現象.
白山火山	はくさんかざん	Hakusan volcano	石川・岐阜県境の活火山で標高は2,702m. 安山岩質の成層火山で最終噴火は1659年.
白色粘土化変質帯	はくしょくねんどかへんしつたい	white colored argillized zone	粘土化変質帯の一種. 酸性・硫酸酸性熱水もしくは蒸気凝縮水が岩石に作用して生ずる. 地熱地帯に多く出現.
薄層構造	はくそうこうぞう	thinly laminated structure	粒形や粒度の異なる碎屑粒子が形成する最小単位の堆積構造で, 葉理と称される成層構造.
爆速	ばくそく	detonation velocity	爆薬の爆発分解の伝わる速度. 爆発速度ともいう.
白チタン石	はくちたんせき	leucoxene	金属元素のチタン含有量の高い細粒・土状の変質物の総称名. 黄色~褐色.
薄頂褶曲	はくちょうしゅうきよく	supratenuous fold	背斜部で地層が薄く, 向斜部で厚くなっている褶曲. 地層の堆積とともに褶曲が起こった時などに生じる.
白鉄鉱	はくてっこう	marcasite	FeS ₂ , 斜方晶系, 硬度6~6.5, 比重4.887. 低温の熱水鉱床や泥質堆積岩中にノジュールとして産出する鉄の硫化鉱物. 黄鉄鉱の多形.
細菌化石	ばくてりあかせき	bacterial fossil	岩石中の細菌形態の化石. 石炭・石灰岩などの細菌化石が知られ, カナダのガンフrint層中の化石は有名.
細菌腐食	ばくてりあふしょく	bacterial corrosion	土中で鋼材の腐食が細菌の物質代謝によって促進されること. 硫酸塩還元細菌が関与するとされる.
細菌リーチング	ばくてりあーちんぐ	bacteria leaching	細菌による酸化・還元反応を利用して非溶性鉱物から有用金属元素を溶媒中に溶出させ, 回収する技術.
白銅鉱	はくどうこう	leucochalcite	オリブ銅鉱と同一物であり, 現在この名称は使われない. オリブ銅鉱の組成はCu ₂ (AsO ₄)(OH). 斜方晶系, 硬度3, 比重4.4. オリブ系色の小結晶集合体.
剥土探鉱	はくどたんこう	stripping	機械掘削などによって表土を広く剥ぎ取り, 鉱体の存在・分布を確認する直接的な探鉱法.
爆破掘削	ばくはくっさく	excavation by blasting	トンネル切羽に多くの穿孔を実施し爆薬を装填し爆破により掘削する方式で, 地質・環境条件に配慮が必要.
爆破地震	ばくはじしん	artificial earthquake	地震探査の震動源として, ダイナマイトなどの爆薬を用いて発生させる人工地震.

爆破地震学	ばくはじしんがく	explosion seismology	大量の爆薬を使い，地震探査により地下深部構造を解明する学問．1950年に爆発地震動研究グループを結成．
爆破置換工法	ばくはちかんこうほう	displacement method by blasting	軟弱層の上部に良質土を盛土し，軟弱層中で爆破させることによって軟弱層を押し出し，良質土と置換える工法．
爆発角礫岩	ばくはつかくれきがん	explosion breccia	水蒸気爆発，マグマ水蒸気爆発などの爆発的噴火により，火口付近に降下，堆積した岩．成層構造を有する．
爆発火口	ばくはつかこう	explosion crater	爆発的な噴火により山体の一部が破壊されて形成される火口．爆発カルデラより小規模．爆裂火口と同義．
爆発型火砕流	ばくはつがたかさいりゅう	explosion type pyroclastic flow	火山爆発を伴う火砕流のこと．火砕流とは数100～1000度の高温溶岩片，火山灰，ガスの混合物が斜面を流下する現象をいう．日本では浅間山の天明大噴火に伴う火砕流が知られる．
爆発カルデラ	ばくはつかるでら	explosion caldera	大規模な噴火により山体が破壊されて生じるカルデラ．爆裂（爆発）火口より大規模．
爆発時刻信号	ばくはつじこくしんごう	shot break	地震探査において爆発の瞬間を示すために電氣的に記録される信号．雷管を発火させるための電気信号を記録．
爆発性噴火	ばくはつせいふんか	explosive eruption	粘性の高いマグマに見られる噴火様式で，プリニー式噴火・ブルカノ式噴火・ペレー式噴火などがある．
爆破点	ばくはてん	shot point	爆薬によって人工地震を発生させる爆破地点．発破点．
箔ひずみゲージ	はくひずみげーじ	foil strain gauge	接着ひずみゲージの抵抗体として金属箔を使用したもの．
剥沸石	はくふっせき	epistilbite	$\text{Ca}_3(\text{Al}_6\text{Si}_{18}\text{O}_{48}) \cdot 16\text{H}_2\text{O}$ ，単斜晶系，硬度4，比重2.25．沸石の一種．主に苦鉄質火山岩の空洞中に，輝沸石・菱沸石・束沸石・濁沸石などとともに産する．準輝沸石ともいう．
薄片	はくへん	thin section	透過光を用いる顕微鏡で，岩石や鉱物を観察するためにスライドガラスに接着し，0.03mm程度に薄く整形した試料．
薄片状	はくへんじょう	flaky	主として泥質岩にみられる層理面に平行に薄くはがれる性質（剥離性）が弱く見られる状態．
爆薬	ばくやく	explosive	爆発的な化学反応を生じさせる薬品．ダイナマイト・硝安爆薬などがある．地震探査の起震源として用いる．
爆薬残留孔	ばくやくざんりゅうこう	misfired hole	発破を行った際，発破孔に爆薬の一部または全部が残った孔．適切な処理が必要とされる．
剥離	はくり	exfoliation	岩石の表面が風化のため玉ねぎ状に剥げていくこと，あるいは泥質岩に特有な層理面に平行に剥がれること．

剥離準平原	はくりじゅんへいげん	stripped fossil plain	過去の準平原面上に載っていた堆積物が、浸食により取り除かれて再び露出した準平原。
剥離デッケ	はくりでっけ	decollement nappe	横圧力によって、基盤と分離した上盤岩体が遠方へ滑動し、原地性の基盤と関係なく変位・変形している構造。
剥離面	はくりめん	stripped surface	一度堆積物に覆われ埋没した地形面が、削剥作用によって地表に表れるようになったもの。化石浸食面ともいう。
白粒岩	はくりゅうがん	granulite	グラニュライト相の等粒状変成岩の総称。
白榴岩	はくりゅうがん	leucitite	白榴石と輝石に富み、長石・かんらん石（橄欖石）を含まない玄武岩様の火山岩。灰～暗灰色を呈し、緻密で完晶質。
白榴石	はくりゅうせき	leucite	$K[AlSi_2O_6]$ 、正方晶系、硬度5.5～6、比重2.47。準長石の一種。カリウムに富む塩基性～超塩基性火山岩中に斑晶として産する。
爆裂火口	ばくれつかこう	explosion crater	爆発火口と同義。爆発的な噴火により山体の一部が破壊されて形成される火口。爆発カルデラより小規模。
羽黒石	はぐろいし	Haguro ishi	①新潟県北蒲原郡中条町羽黒松沢に産する中新統流紋岩質凝灰岩。淡緑色で岩質は粗い。台石や牆壁に利用。 ②茨城県岩瀬町産の花崗岩
暴露試験	ばくろしけん	exposure test	岩石やコンクリートの実環境下における状態変化を調べる試験。比較的長期間を要する。
波形	はけい	wave form	波の形。位相変化が伝搬する波を進行波、伝搬しない波を定在波、波形が変化しない波を定常波という。
バケットオーガ	ばけっとおーが	bucket auger	鋼管と一緒にした短いヘリカルオーガのこと。スライムを孔内から引上げる間これを保持するのに用いる。
バケット掘削機	ばけっとくっさくき	bucket excavator	チェーンのように連結された多数のバケットが回転することにより土砂などを掘削する機械。
バケットコンベヤ	ばけっとこんべや	bucket conveyor	鎖やベルトに同じ間隔でとりつけたバケットを循環させて、材料を連続運搬する機械。
バケット式浚渫船	ばけっとしきしゅんせつせん	bucket dredger	鎖状に連結したバケットを回転させて連続的に浚渫作業を行うタイプの浚渫船。
バケット式地下連続壁掘削機	ばけっとしきちかれんぞくへきくっさくき	bucket diaphragm wall excavator	バケットを用いて土砂の切削と揚土を行う方式の地下連続壁用掘削機。
バケット式積込み機	ばけっとしきつみこみき	bucket loader	トンネルのずり積込み装置。チェーンに取り付けられたバケットですくい上げ、機体上のコンベアーに積む。

バケット打設	ばけつとだせつ	bucket placing method	ミキサから吐き出されたコンクリートをバケットで受け、そのままコンクリートの打ち込み位置に運び打設する工法。
バケットホイール掘削機	ばけつとほいーるくっさくき	bucket wheel excavator	ブームに取り付けたバケットホイールを回転させることにより、連続的に土砂を掘削する機械。
波源域	はげんいき	source area of tsunami	津波の発生する海域。津波は海底の隆起・沈降により発生するが、各地の初動到達時間から波源域を推定する。
波高	はこう	wave height	波の最も高い部分（峰）と最も低い部分（谷）の高さの差。
波高計	はこうけい	wave gauge	波浪の波高と周期を計測するための装置。
波高分析	はこうぶんせき	wave-height analysis	放射線探査にてシンチレーションカウンタで検出されるγ線スペクトルを、波高の大小に注目し計量すること。
箱形杭	はこがたぐい	box pile	圧延鋼板を箱形に溶接した中空の杭。
箱形ケーソン	はこがたけーそん	box type caisson	ケーソン（潜函）を支持地盤まで沈めて基礎とする工法のうち、形状が箱形をしているものをいう。
箱形褶曲	はこがたしゅうきよく	box fold	背斜部や向斜部では水平に近く、翼部では垂直に近い褶曲。横断面で地層が直角に屈曲した形を示す。
箱形セグメント	はこがたせぐめんと	box segment	シールドトンネルの施工に用いる既製の箱型の覆工部材。
箱型トンネル	はこがたとんねる	rectangular shaped tunnel	開削トンネルの一般的形式で覆工の形状が箱形ラーメン構造をしているもの。
箱尺	はこじゃく	staff	水準測量用の伸縮可能な箱型の標尺。精密水準測量には不適。スタッフともいう。
箱作石	はこつくりいし	Hakotsukuri ishi	大阪府泉南郡阪南町箱作産石材。中生界和泉砂岩中の砂岩。緑灰色で緻密。墓石・間知石・土木用などに利用。
箱根火山	はこねかざん	Hakone volcano	二重の外輪山と中央火口丘群からなる直径20kmの複成火山。伊豆半島の基部にある。更新世中～後期に形成。
箱根軽石流	はこねかるいしりゅう	Hakone pumice flow	箱根新期外輪山形成時（約5.2万年前）に流出した軽石流。箱根火山周辺部、東は伊勢原にまで分布し、下位に東京軽石層を伴う。
箱根カルデラ	はこねかるでら	Hakone caldera	古期成層火山頂部にできた、南北11km・東西9kmのカルデラの西半分にもう一つ重なる二回陥没カルデラ。

箱根新期火砕流	はこねしんきかさいりゅう	Hakone pyroclastic flow	箱根軽石流と同義。約5万年前の箱根火山新期の活動で発生した大火砕流。
箱ノ口層群	はこのくちそうぐん	Hakonokuchi Group	東北地方朝日山地南方に分布する中・古生界。砂岩・頁岩およびそれらのホルンフェルスからなる。
函淵層群	はこぶちそうぐん	Hakobuchi Group	北海道中軸部西側の日高町から石狩炭田地域に分布する上部白亜系～古第三系。砂岩・シルト岩からなり、礫岩および凝灰岩を挟む。
箱枠	はこわく	case frame	水中での根掘り施工で用いる箱形の枠。根下げにつれて枠を継ぎ足し、掘削後コンクリートを打設し基礎とする。
波痕	はこん	swash mark	浜に打ち寄せた最後の波が砂の上に残した、不規則な波状を呈する跡。古い地層では当時の汀線を示す。
ハザードマップ	はざーどまっぷ	hazard map	自然災害に対する危険地区または危険度の分布図。その土地の種々の災害に対する危険性を表現したもの。
破砕岩	はさいがん	cataclasite	断層運動によって圧砕された組織で特徴づけられ、ほとんど再結晶作用を受けていない固結した岩石。破砕が細粒化するとマイロナイトになる。カタクレーサイトと同義語。
破砕岩化作用	はさいがんかさよう	cataclasis	破砕岩を形成する変形・破砕作用。再結晶作用は伴わない。
破砕試験	はさいしけん	crushing test	骨材や土粒子に力を加えたときにどの程度破砕し、細粒化するかを調べる試験。
破砕性	はさいせい	crushability	接触応力による土粒子の粒子破砕のされやすさ。
破砕帯	はさいたい	fractured zone	断層に沿って形成された角礫や粘土帯を保有する不良岩盤部の総称で、突発湧水や押し出し、支持力不足などの問題を伴うことが多い。
破砕帯系	はさいたいけい	dislocation system	ある地域に発達する破砕帯群の中で、方向的にその頻度が卓越している、ひとまとまりの破砕帯。
破砕帯検層	はさいたいけんそう	fracture logging	音波検層の一種。音波エネルギーの減衰より破砕帯を検出。破砕帯に限定した検層はまれである。
破砕帯地すべり	はさいたいじすべり	sheared zone landslide	破砕作用を受けた岩石(地質構造帯や変成岩)の分布域に発生する地すべり。小出(1955)による地すべりの分類名。
破砕強さ	はさいつよさ	crushing strength	岩石や粗骨材の破砕作用に対する抵抗強さ。荷重を加えて破砕後の細粒分重量百分率として表現されることが多い。
破砕転圧工法	はさいてんあつこうほう	crushing and compaction method	ほ(圃)場整備などにおいて、地盤を一旦破砕して、転圧した後、表土を入れる工法。

破碎度	はさいど	degree of fragmentation	岩石や鉱石が発破によって破碎されるときに壊れかたをいう。細かく破碎されるとき、破碎度が良いという。
破碎変形	はさいへんけい	cataclatic deformation	低温・低圧下での岩石の脆弱的変形。結晶粒の破壊により細粒組織ができること。
挟み	はさみ	parting	炭層および鉱体中に挟在される岩石層。多くは堆積岩である。その他、鉱物内の面に沿って含まれる異種物質。ほとんどは変質物。
バサルト	ばさと	basalt	玄武岩と同義。
バザンの公式	ばざんのこうしき	Bazin's formula	シェジーの係数で表される流速公式（シェジーの係数： $C=87/(1+\gamma/R)$ ， γ :粗度係数，R:径深）。
橋浦層群	はしうらそうぐん	Hashiura Group	宮城県北東部に分布する中～上部ジュラ系。礫岩・砂岩・泥岩からなる。
初鹿野石	はじかのいし	Hajikano ishi	山梨県東山梨郡大和村他産石材。新第三系両輝石安山岩。土木用・砕石用に利用。諏訪石・岡部石・山梨石と同質。
はしご状鉱脈	はしごじょうこうみやく	ladder vein	砕けやすい地層の地層面や岩脈の貫入面に直交する方向に鉱脈がはしご状に配列するもの。
橋立層群	はしだてそうぐん	Hashidate Group	秩父市南部に分布する秩父帯のペルム～上部ジュラ系。深海相の堆積岩類や塩基性火山岩類，石灰岩などからなる。
バシュキール統	ばしゅきーとう	Bashkirian series	ロシアの中部石炭系の下部で，主に石灰岩からなり，上部に砂岩・頁岩を夾在する。
場所打ち杭	ばしょうちぐい	cast-in-place pile	地盤内に削孔した孔内に，コンクリートを流し込んで築造する無筋・鉄筋・鉄骨コンクリート杭の総称。
場所打ちライニング工法	ばしょうちらいにんぐこうほう	cast-in-place lining method	セグメントを用いずにシールドテール部でコンクリートを打設し，加圧して覆工を構築する工法。
波食	はしょく	wave erosion	岸壁に打ち寄せる波の衝撃や水圧による直接的攻撃や，砂や礫を媒介とした間接的削磨による岸壁の浸食作用。
波食崖	はしょくがい	wave-cut cliff	海岸に打ち寄せる波による，浸食作用により作られた海岸線に沿う急崖。しばしば地質構造に規制された形を作る。
波食基準面	はしょくきじゅんめん	wave base	海底面が波の浸食により，それ以上深くは低下させられない面。振動波が底質を動かすことのできる最大水深。
波食窪	はしょくくぼ	notch	波の浸食や海水の溶食により，波食崖の下部の海水準付近に掘り込まれた微地形のうち，幅が高さより大きいもの。

波食台	はしょくだい	wave-cut platform	波の浸食作用によって形成された海面近くの平坦な岩棚.
波食棚	はしょくだな	wave-cut bench, shore platform	おもに潮間帯にある平滑な岩床面. ベンチと同義, 潮間帯ベンチ・海食棚ともいう. その沖側末端には小崖がある.
波食段丘	はしょくだんきゅう	wave-cut terrace	波の浸食作用によって形成された階段状の海岸地形. ほとんどが岩石からなる浸食面で, 堆積物は薄い砂礫.
幡豆石	はずいし	Hazu ishi	愛知県幡豆郡幡豆町寺部産石材. 中生界角閃石黒雲母花崗岩. 古期領家花崗岩. 片麻岩質で粗粒. 港湾捨石・護岸用・間知石・割栗石に利用.
パスカル	ぱすかる	pascal	国際単位系 (SI) で示される圧力, 応力の単位. 記号は Pa で示される. $1 \text{ Pa} = 1 \text{ N/m}^2 = 1.01972 \times 10^{-5} \text{ kgf/cm}^2$.
パスカルの法則	ぱすかるのほうそく	Pascal's law	流体中のある 1 点に外力が働くと, 他の全ての点において, 同等の力が加わるという法則.
バスク図法	ばすくずほう	Busk's method	地層境界を円弧の集合として地質断面図を作成する方法. 平行褶曲図法, 円弧図法ともいう.
バスケット型コアキャッチャー付固定ピストン式サンブラ	ばすけつとがたこあきゅあつちやーつきこていびすとんしきさんぷら	solid piston type sampler with basket core catcher	バスケット型のコアキャッチャーを取り付けた固定ピストン式サンブラ.
バスケットコアリフタ	ばすけつとこありふたー	basket core lifter	数本の指状スプリングがリングに取り付けられコアリフタの一種. コア実収率の向上のために用いられる.
波成リップルマーク	はせいりつぷるまーく	wave ripple mark	砂質の堆積物の表面につくられる周期的なうねり模様のうち, 対照的な波形を示し, 波によって作られるもの.
波線	はせん	ray	トモグラフィ測定などにおいて弾性波や電磁波などの伝播経路を表す線.
バスリス	ばそりす	batholith	大規模な花崗岩質岩体または花崗岩質岩体の集合で, 概ね 100 km^2 以上の面積のもの. 底盤と同義.
パターソン関数	ぱたーそんかんすう	Patterson function	結晶構造因子の絶対値の 2 乗を係数とするフーリエ級数で表わされる関数で, 結晶構造解析において重要な関数.
パターン・シューティング	ぱたーんしゅーていんぐ	pattern shooting	多孔爆破と同義.
パターンダイヤグラム	ぱたーんだいやぐらむ	pattern diagram	縦軸を基準に, 左右に陽イオン・陰イオンごとに 3 ~ 4 成分の濃度を作図した図. 水質組成と溶存量を表現できる.
パターン認識	ぱたーんにんしき	pattern recognition	画像, 音声, 文字などの特徴を識別し, 情報を抽出すること.

パターンボルト	ぱたーんぼると	pattern bolt	NA TM工法で使用されるパターン化されたロックボルトで、配置・種類・深度・方向は地山等級毎に決定される。
肌落ち	はだおち	fall of rocks, rock fall	トンネル掘削により掘削面周辺の地山が緩むことにより、一部の岩片が局部的に崩落する現象。
裸井戸	はだかいど	non-cased well	浅井戸で、井戸の上端にふたのないもの。地山が良好な場合、裸孔の場合もある。
畑川破砕帯	はたかわはさいたい	Hatakawa shear zone	阿武隈山地の東部を北北西－南南東に延びる断層で、これに沿ってマイロナイトが分布する。
パタゴニア溶岩台地	ぱたごにあようがん だいち	Patagonian lava plateau	南米パタゴニア地方に発達する玄武岩溶岩台地群。中新世から更新世に噴出したかんらん石(橄欖石)玄武岩からなる。
幡多層群	はたそうぐん	Hata Group	高知県西部に分布する四万十層群を構成する古第三系。砂岩・泥岩を主体とし一部火山岩類や礫岩を挟む。
畑薙第一ダム	はたなぎだいいちだ む	Hatanagi-daiichi dam	大井川水系大井川。中部電力(株)。1962年竣工。堤高125mは中空重力式ダムとして日本最大。
幡生層群	はたぶそうぐん	Hatabu Group	下関市幡生付近に分布するぜん新統(漸新統)あるいは中部中新統。礫岩に始まり、砂岩・泥岩に終わる堆積サイクルを有する。
破断	はだん	tension fracture	物体の破壊様式の一つで、ある外力により内部に発生した引張応力によって物体が分離する現象。
破断角	はだんかく	break angle	載荷試験において載荷方向と破断面となす角度のこと。均質試料の一軸圧縮試験の場合、30°前後が多い。
破断係数	はだんけいすう	factor of rupture	実構造物の破断に関する係数で、応力集中要素の有無による破断荷重の比で定義。材料や形状などで異なる。
破断衝上	はだんしょうじょう	break thrust	軸面の傾斜した背斜褶曲の発達に伴って生じた衝上断層。横圧力により緩傾斜の翼部が急傾斜の翼部に衝上する。
破断ひずみ	はだんひずみ	breaking strain	物体が分離破壊に至った際のひずみ。破断延性(fracture ductility)ともいう。
破断へき開(破断劈開)	はだんへきかい	fracture cleavage	細密で平行な破断面で、鉱物粒の形態定向配列を伴わないへき開。ふつうはせん断へき開とされるが、ずれを伴わない。層理面や片理面と斜交する。断裂へき開(劈開)ともいう。
破断面	はだんめん	plane (surface) of rupture	物体が破断に至った際に結果として得られた破壊曲面。破断に至るまでには通常無数の逐次破壊曲面が存在する。
八王子線	はちおうじせん	Hachioji line	八王子付近を通る、ほぼ南北方向の関東山地の東縁を限る境界線。西は中・古生代、東は鮮新世以降である。

八丈島東方沖地震	はちじょうじまとうほうおきじしん	the 1972 Hachijojima-tohooki earthquake	1972年12月4日八丈島近海で発生したM7.2の被害地震。被害は八丈島と青ヶ島で落石・土砂崩れ・道路破損など。正式名称は「1972年12月4日八丈島東方沖地震」。
八丈島東山火山	はちじょうじまひがしやまかざん	Hachijojima-Higashiyama volcano	八丈島の南東部に位置する火山。三原山を最高点とするカルデラ成層火山。約0.14Ma以前より活動を開始。
蜂の巣石	はちのすいし	Hachinosu ishi	石川県小松市産石材。中新統流紋岩。多孔質で蜂の巣状。赤褐～青緑色。燈籠・庭石・装飾用に利用。
蜂の巣状構造	はちのすじょうこうぞう	honeycomb structure	土の構造の一種。土粒子が蜂の巣状に配列した状態でゆるく安定しているもの。シルト・粘土に見られる。
八幡平火山群	はちまんたいかざんぐん	Hachimantai volcano group	秋田・岩手北部県境に位置する火山群で、各火山は成層火山、溶岩円頂丘、厚い溶岩流からなる。
八幡断層	はちまんだんそう	Hachiman fault	活断層。確実度I，活動度B級，東西方向。高槻一有馬構造線の最東部に位置し京都府八幡市を東西方向に横断する。延長2km。
八面体	はちめんたい	octahedron	等形の8個の三角形によって囲まれた閉形。正三角形で囲まれた八面体は正八面体という。
鉢森山東断層	はちもりやまひがしだんそう	Hachimoriyama-higashi fault	活断層。確実度I，活動度B級，南北方向。新庄市北東鉢森山の東縁に位置し延長13km。直線的な断層崖や鞍部が連続。
波長	はちょう	wavelength	波の山から山、谷から谷までの長さ。波長をL，周期をT，速度をVとすると、 $V=L/T$ の関係がある。
パッカー	ぱっかー	packer, packers	孔壁またはケーシングの壁に密着させて、孔井の上下関係を隔離させる装置。カップレザーやゴムを使用。
パッカーグラウチング	ぱっかーぐらうちんぐ	packer grouting	所定深度まで一度に注入孔を掘削した後、最下部のステージからパッカーで注入区間を限定しながら順次注入を行なうグラウト施工法。
パッカー試験	ぱっかーしけん	packer tests	ボアホールを利用した透水試験。パッカーを孔壁に圧着することで試験区間を遮断し、水を圧入する。
パッカー注入	ぱっかーちゅうにゅう	packed injection	地質不良部を改良するグラウト工法の一つで、注入効果を高めるため孔内に局部的密閉器具を用いて注入すること。
パッカーフローメータ	ぱっかーふろーめーた	packer flow-meter	孔井内の産出量が極く少ない層の流出量を全量測定するために、孔壁とツール間をシールするパッカ機構を持つ流量計。
パッカー法	ぱっかーほう	packer tests	パッカー試験と同義。
伐開除根	ばっかいじょこん	clearing and grubbing	工事範囲の有用立木を伐採した後、草木や木根を取り除く作業。

白華現象(コンクリートの)	はっかげんしょう (こんくりーとの)	efflorescence	コンクリート中の遊離石灰などがコンクリート表面に白色付着物として析出する現象.
曝気試験	ばっきしけん	aeration test	液体内に空気を噴出させることにより期待される様々な効果の程度を求めるための試験.
曝気循環	ばっきじゅんかん	aerating circulation	貯水池内に空気を噴出し、それが自然に上昇することを利用して鉛直方向の循環流を発生させ、これにより水質の保全をはかること.
曝気槽	ばっきそう	aeration tank	液体と空気とを混ぜて、液体に酸素を供給する操作を曝気と称し、このような操作をする槽や池.
白金鉱床	はっきんこうしょう	platinum ore deposit	正マグマ・接触交代・熱水および砂鉱床などがある. 塩基性・超塩基性火成岩に関連した正マグマ鉱床が多い.
白金製錬	はっきんせいれん	platinum smelting	白金族元素を含む鉱物から白金族元素を金属として抽出する製錬方法.
バックウォーター	ばっくうおーた	backwater	背水. 河川などのフルード数1以下の開水路流れ(常流)で、ダムなどの構造物の影響がおよぶ上流側領域.
バックグラウンド	ばっくぐらうんど	background	測定の対象となる信号以外のノイズの平均レベル.
バックグラウンドノイズ	ばっくぐらうんどの いず	background noise	測定システムが発生するノイズや観測点で発生している固有あるいはランダムなノイズの重なり.
発掘調査	はっくつちょうさ	excavation, trenching	土または岩石を掘り起こして遺跡や地質を調べること. 活断層調査では地震断層の動いた年代や環境を調べる(トレンチ調査)
パックドレーン工法	ばっくどれーんこう ほう	packed drain method	バーチカルドレーン工法のうち、ドレーン材として袋詰め砂を用いたもので袋詰めドレーン工法ともいう.
バック・フォールディング	ばっくふおーるでい んぐ	back-folding	造山帯の中央部に向かって倒れかかる褶曲を作ること.
バックホーローダ	ばっくほーろーだ	backhoe loader	ショベル系掘削機の一つ. バケット(ディップ)を手前に引きよせて、土砂を掘削する装置. 単にバックホー(バックハウ)と呼ばれることが多い.
バックリング	ばっくりんぐ	buckling	座屈現象と同義.
発光スペクトル	はっこうすぺくとる	emission spectrum	高エネルギー状態から低エネルギー状態への遷移により物質から放射される電磁波のスペクトル.
八甲田火山群	はっこうだかざんぐ ん	Hakkoda volcano group	青森県の中央部に位置し、多くの噴出中心と小火口を伴う成層火山群.

発光分光分析法	はっこうぶんこうぶ んせきほう	emission spectrochemical analysis	試料を電氣的、熱的に励起して発光させ、これを分光して得られたスペクトル線を用いて元素の分析をする方法。
発散鉱床	はっさんこうしょう	exudation deposit	主に高温高压下の地殻内で、気体物質の作用によって生じた鉱床。
発散段丘	はっさんだんきゅう	diverged terrace	一つの河川に沿う新旧段丘の比高、または現河床との比高が下流に向かうほど大きくなる段丘。
パッシブスリップ褶曲	ぱっしぶすりっぷ しゅうきょく	passive-slip folding	スリップ褶曲の一種で、地層面などの層状の面を横切るすべりで形成されたもの。層状の面は力学的な意義をもたない。
パッシブフロー褶曲	ぱっしぶふろーしゅう きょく	passive-flow folding	流動褶曲の一種。地層面を横切る流動により形成されたもの。層状の面は力学的な意義をもたない。
発震機構	はっしんきこう	focal mechanism, earthquake mechanism	地震波の放射パターンを決める震源の力学モデル。ダブルカップル解やモーメント・テンソル解をさす。
発進立坑	はっしんたてこう	starting shaft	シールドの発進のために設けられる立坑で、シールドが搬入、組立てられて発進ができるスペースが必要となる。
バッチ処理	ばっちしより	batch processing	コンピュータの処理方法の一つで、大量の処理を一括して行う方式。
バッチャ	ばっちゃ	batcher	配合計画に基づいてコンクリートを製造するとき、セメント・細骨材・粗骨材などの材料を計量する装置。
バッチャプラント	ばっちゃぷらんと	batcher plant	コンクリートの材料の計量を行い、生コンクリートを製造するための設備。
発電所導水路	はつでんしょうどうす いろ	headrace	水力発電所において取水口からヘッドタンクまたはサージタンクへ水を導くための水路。
発電用ダム	はつでんようだむ	hydroelectric dam, power dam	水力発電を目的とするダム。
発電用貯水池	はつでんようちよす いち	reservoir for power generation	水力発電を行うための貯水池。
発電用トンネル	はつでんようとんね る	power tunnel	取水口から発電所間を結ぶトンネル。
バッドランド	ばっどらんど	badland	雨食によって形成された溝と塔状の地形がくり返し出現する複雑な地形。半乾燥地域の軟弱地盤地帯に多い。
服部鉱山	はっとりこうざん	Hattori mine	石川県能美郡辰口町付近の流紋岩質火山岩類が強い熱水変質により生じた絹雲母・陶石鉱床を採掘した鉱山。

服部陶石	はっとりとうせき	Hattori porcelain stone	石川県能美郡国府村服部産の陶石で、陶石鉱床の鉱物組成は石英(75%)、絹雲母(25%)などである。
バットレス	ばっとれす	buttress	土圧や水圧を受ける擁壁の安定を保つため、壁体の前面に設ける鉛直壁で、支え壁ともいう。
バットレス厚	ばっとれすあつ	thickness of buttress	バットレスダムの下流支え壁の厚さ。
バットレスウェブ	ばっとれすうえぶ	buttress web	バットレスダムの下流支え壁。
バットレス間隔	ばっとれすかんかく	buttress spacing, distance between buttress centres	バットレスダムの下流支え壁の設置間隔。
バットレスダム	ばっとれすだむ	buttress dam	水圧荷重を水密性の板構造で受け、これを下流側に設置された支え壁を通して基礎岩盤に伝達する型式のダム。
バットレス長	ばっとれすちょう	length of buttress	バットレスの上下流の長さ。
バットレス擁壁	ばっとれすようへき	buttress retaining wall	直接土圧を支えている壁の前面または背面に、等間隔で隔壁（バットレス）をつけて補強した型式の擁壁。
バットレス翼形	ばっとれすよくけい	buttress splay	バットレス頭部の張り出し形状。
ハットン説	はっとんせつ	Huttonian theory	過去の大規模な地学的現象は、現在の起こりつつある諸地学現象と本質的に変わらず、同じ原理で説明できるという考え。
発破孔	はっぱこう	blast-hole	爆薬を装填するためにせん孔した穴。
発破工法	はっぱこうほう	blasting method	岩盤に孔をあけ、これに爆薬を装填して破砕すること。
発破振動	はっぱしんどう	blasting vibration	ダイナマイトなどの火薬により励起する地震震動。地震探査の代表的な起震法の一つ。
発破長	はっぱちょう	blast depth	トンネル掘削において、1発破によって掘削できる長さ。同じ発破条件においては岩質や断面形状によって決まる。
発破母線	はっぱぼせん	leading wire	発破作業において、爆薬内に装填された電気雷管に通電するための電線。
八方尾根超塩基性岩体	はっぽうおねちょうえんきせいがんたい	Happoone ultrabasic body	北アルプス白馬岳の南東、八方尾根付近に分布する超塩基性岩体。北北東～南南西に伸び、露出面積約30km ² 。

発泡度	はっぼうど	vesicularity	ガスの逸散によって生じた火山岩中の空泡の割合を相対的に示すもの。
はつり	はつり	chipping	コンクリートや石材・岩盤の表面を、のみ・たがね・コールピックなどを用いて少しずつ削ること。
馬蹄形シールド	ばていけいしーるど	horseshoe-shaped shield	断面形状が馬蹄形のシールド。特殊なセグメントを使用するため割高となり、特別な場合を除き使用例がない。
馬蹄形トンネル	ばていけいとんねる	horseshoe-shaped tunnel	数個の円を接続して馬蹄形の断面形としたトンネル。山岳トンネルでは一般に二・三・五心円が用いられる。
波動消光	はどうしょうこう	wavy extinction, undulatory extinction	偏光顕微鏡の直交ニコルで観察するとき、同一の結晶で消光位がわずかつ異なる、波状に消光する現象。
波動双晶	はどうそうしょう	oscillatory twinning	一つの結晶粒において平行な多数の双晶ラメラ（同一規則による双晶）の発達状態。集片双晶と同義。
花岡鉱山	はなおかこうざん	Hanaoka mine	秋田県大館市の黒鉱鉱床を採掘した銅亜鉛鉱山。1885年発見。銅鉱1,100万t・亜鉛鉱35万t出鉱。1973年閉山。
花岡松峰鉱山	はなおかまつみねこうざん	Hanaoka-Matsumine mine	花岡鉱山堂屋敷鉱床南の潜頭黒鉱鉱床を採掘した花岡鉱山の支山。1994年閉山。粗鉱約1,140万tを出鉱。
花折断層	はなおれだんそう	Hanaore fault	活断層。確実度I，活動度B級，北北東方向。滋賀県水阪峠付近から京都盆地東縁の扇状地下に伸び延長約50km，右横ずれ成分を持つ断層。
花木衝上	はなぎしょうじょう	Hanagi thrust	岡山県方谷駅付近で，成羽層群の砂岩頁岩に古生界石灰岩が衝上しているもの。
花沢石	はなぎわいし	Hanazawa ishi	愛知県東加茂郡下山村花沢産石材。領家帯武節花崗岩体中の両雲母花崗岩。青色で中粒。主に墓石に利用される。
バナジウム鉱床	ばなじうむこうしょう	vanadium deposit	バナジウム鉱物を含む鉱床。バナジウムは主に特殊鋼の製造に用いられる金属で，褐鉛鉱などが主要な鉱石。
鼻状構造	はなじょうこうぞう	nose structure	地質図で同斜構造の中に背斜部が鼻のように張り出して見える構造。一方の端は閉塞し，他の端が開いた短い軸の沈入背斜構造。ノーズ構造ともいう。
はね返り硬さ	はねかえりかたさ	scleroscopic hardness, scleroscope hardness	反発硬度と同義語。
ばね型重力計	ばねがたじゅうりょくけい	spring-type gravimeter	重錘をバネでつるし重力とバネの張力とが比例することを利用した重力計。
パネルダイヤグラム	ばねるだいやぐらむ	panel diagram	地質断面図の一種。断面図を透視図法により立体的に配置し，層序関係を表現した図。

パノン階	ぱのんかい	Pannonian stage	南部ロシアの最上部中新統あるいは最下部鮮新統で、汽水～淡水成層とされている。ポント階ともいう。
幅厚堰	はばあつぜき	broard-cressted weir	広峰堰・広頂堰ともいう。天端幅が越流水深に比べて広い堰のこと。水力発電所の余水堰や越流ダムに多い。
馬場地すべり	ばばじすべり	the Baba landslide	新潟県新井市上馬場地内の第三紀層地すべり。流れ盤斜面で、古くから災害をもたらし現在にいたる。
パハン火山岩統	ぱはんかざんがんと う	Pahang volcanic series	マレー半島から東半分に分布する中性～酸性の珪長質の火砕岩や火山岩からなる。石炭系～三じょう系（三畳系）とされる。
羽曳野とう曲 (羽曳野撓曲)	はびきのとうきょく	Habikino monoclinal flexure	大阪府の羽曳野市から河内長野市にかけての近鉄長野線に沿った延長14kmの地層急斜部。確実度 I，活動度 B 級。
埴生層群	はぶそうぐん	Habu Group	山口県山陽町付近に分布する三じょう系（三畳系）。砂岩・泥岩を主体とし炭層を挟在。現在は美祢層群にまとめられている。
埴生断層	はぶだんそう	Habu fault	活断層。確実度 I，活動度 B 級，西北西方向。京都府亀岡市から園部町の南縁にかけて連続する。延長18 km。
パブリックアク セプタンス	ぱぶりっくあくせふ たんす	public acceptance, PA	社会的受容性。新しい技術や事業が社会的に受け入れられること。PAと略させる。
パホイホイ溶岩	ぱほいほいようがん	pahoehoe lava	溶岩を粘性による形態により分類したもので、粘性の低い玄武岩質溶岩の形態をいう。粘性が高くなるにつれて、アア溶岩・ブロック溶岩とよばれる。
羽幌炭田	はぼろたんでん	Haboro coal field	北海道北西部苫前（とままえ）郡の炭田。中新統羽幌夾炭層が稜行炭層で、層厚は200m～300m。
浜石岳層群	はまいしだけそうぐ ん	Hamaishidake Group	静岡県清水市、由比町から山梨県南端部にかけて分布する上部中新～下部鮮新統。海成で砂岩を主とし礫岩・安山岩溶岩・同質火砕岩などからなる。静岡県下では由比地すべりなど、地すべりが頻発している。
浜坂地すべり	はまさかじすべり	the Hamasaka landslide	1948年6月の福井地震(M7.1)で発生した高さ60mの砂丘の大崩壊。面積1ha，死者17名とされている。
浜砂鉱床	はまさこうしょう	beach placer	岩石・鉱物の破片が運搬され、風水の淘汰作用により機械的に濃集・堆積した砂礫鉱床の一種で、砂浜に形成されたもの。
浜斜面	はましゃめん	beach slope	高潮線と低潮線間の砂浜を前浜といい、前浜の傾斜した面を浜斜面という。
浜砂利	はまじゃり	sea gravel	海岸から採取される砂利。一般に円磨されており、円滑な表面を有する。骨材としては川砂利より劣る。
浜砂	はますな	sea sand	海砂と同義。

浜田地震	はまだじしん	the 1872 Hamada earthquake	1872年3月14日に浜田沖合いの北緯35.2度, 東経132.1度を震央とするM7.1と推定される石見・出雲地方に被害をもたらした被害地震. 全潰約5,000戸, 死者552人とされている. 海岸沿いで隆起・沈降および小津波が発生.
浜田層群	はまだそうぐん	Hamada Group	石川県羽咋郡富来町付近に分布する中新統の泥岩層.
浜段丘	はまだんきゅう	beach terrace	砂浜の高潮線および低潮線の背後(陸側)にできる段丘状地形. てい(汀)段ともいう.
浜漂砂	はまひょうさ	beach drifting sand	海浜で見られる汀線に平行な砂の移動のことで, 波が海岸に斜めに入射・遡上した時に起こる.
パミール高原	ぱみーるこうげん	Pamir plateau	中央アジア南東部に位置する世界最高の標高を有する高原. アルプス・ヒマラヤ造山帯に属している.
波面	はめん	wave front	震源から出た波がある瞬間に達している点を結んで描かれる面のこと.
早池峰構造帯	はやちねこうぞうたい	Hayachine tectonic belt	盛岡から大船渡東方にかけて, 北上山地を斜めに横切る幅数~10km前後の構造帯. 早池峰複合岩類とよばれる苦鉄質~超苦鉄質岩類が分布する.
早池峰超塩基性岩体	はやちねちょうえんきせいがんたい	Hayachine ultrabasic body	盛岡南東方40kmの早池峰山を中心とする東西24km, 南北4kmの超塩基性岩体. かんらん岩(橄欖岩)を主体とする.
早出川層群	はやでがわそうぐん	Hayadegawa Group	薦田靖志(1979)によって命名された新潟県津川周辺の中・古生界. これらに含まれる緑色岩の岩塊は, 変成作用を受けている.
葉山層群	はやまそうぐん	Hayama Group	神奈川県三浦半島に分布する海成中~下部中新統. 砂岩・泥岩が主体. 断層・褶曲が発達し, 三浦半島を横切る二列の地壘状に分布している.
払い	はらい	ring cut, side hole blasting	発破工法によるトンネル掘削において, 上半部の周辺に実施される発破. これにより地山との縁切りをする.
払い穴	はらいあな	relief hole, side hole	トンネルの発破掘削において, 左右両側の払い部分掘削のため穿つ孔. 余掘ができないように過装薬に注意が必要.
パライバ・ペグマタイト鉱床	ぱらいばぺぐまたいとこうしょう	Paraiba pegmatite ore deposit	ブラジル北東部の世界有数のペグマタイト鉱床で, 特にタンタルの主要な産地となっている.
パラオ海溝	ぱらおかいこう	Palau trench	パラオ諸島東方の海溝. フィリピン海プレートと太平洋プレートの境界に位置する.
腹起こし	はらおこし	waling	土留壁の支保材の一種. 矢板・親ぐいに水平に当てて, それらに働く力を切りばりに伝えるはり材.
薔薇輝石	ばらきせき	rhodonite	(Mn ²⁺ , Ca) ₅ Si ₅ O ₁₅ , 三斜晶系, 硬度5.5~6.5, 比重3.6~3.8. 変成層状マンガン鉱床では最も普通に産する鉱物. 通常, 透明~半透明, ピンク~紅色を呈す.

パラゴナイト	ばらごないと	①palagonite ②paragonite	①火山ガラスの加水変質物の総称。ガラス状・ろう状を呈する。海水・湖水・地下水との反応により生成。 ② $\text{NaAl}_2(\text{Si}_3\text{Al})\text{O}_{10}(\text{OH}, \text{F})_4$ 、雲母鉱物の一種。ソーダ雲母ともいう。
パラコンフォーミティー	ばらこんふおーみていー	paraconformity	上下の地層の層面およびそれらの境界面が互いに平行であるが、不整合と考えられる場合をいう。
パラサイト	ばらさいと	pallasite	石鉄隕石の一種。かんらん石（橄欖石）と鉄・ニッケル合金が均質に混合した組成であり地球上では生成されない。
バラスト	ばらすと	ballast	鉄道や道路などに敷く小石。
バラストマット	ばらすとまっと	ballast mat	バラストと路盤上面または鋼けた床板との間に挿入する弾性体のマット。
バラセメント	ばらせめんと	bulk cement	納入時の形態として、袋詰めになっていないセメント。
ばらセントル	ばらせんとる	site assembled centering for tunnel work	トンネルアーチ部覆工型枠の一種で組立式型枠をいう。1打設毎に解体組立てを行うもので通常は使用されない。
腹付け	はらづけ	levee widening, widening of embankment	自然斜面または盛土のり面に添土する形の盛土。
パラテクトニクス	ばらてくとにくす	paratectonics	クラトン地域での造山帯の地質構造。急傾斜のへき開（劈開）をもつ低度の変成岩が特徴。
バラ統	ばらとう	Bala series	英国東ウェールズの上部オルドビス系の古称。
パラドキシデス統	ばらどくしですとう	Paradoxidian series	ヨーロッパと北米大西洋側地域に分布する中部カンブリア系で、三葉虫類のパラドキシデスを産する。
茨戸油田	ばらとゆでん	Barato oilfield	札幌市北部茨戸にあった油田。貯留岩は中新統の火砕岩。
パラフィン塗布法	ばらふいとふほう	paraffin cover method	密度を測定する試験法の一つで、供試体表面をパラフィンで覆い、液中につるして見かけの質量をはかる方法。
パラペット	ばらぺっと	parapet	①橋台上部の壁部で胸壁ともいう。橋台背面の土圧や輪荷重などを支えている。 ②堤防の上部に波を防ぐために造られた壁上の構造物。
パラペットウォール	ばらぺっとうおーる	parapet wall	欄干や手すり壁・橋構造において、橋台の上部に設ける垂直の壁。
パラボラアンテナ	ばらぼらあんでな	parabolic antenna	放物面状の反射鏡をもつアンテナ。比較的簡単な構成で高利得、広帯域特性、高指向性が得られるのが特徴。

はらみ出し	はらみだし	squeezing	スクイーピングと同義。
パラリア地向斜	ぱらりあちこうしゃ	paralia geosyncline	現在の大陸の縁に沿って線状に延びる地向斜で海岸平野まで続く。地向斜論に基づく考え方。
パラレルカット	ぱられるかっど	parallel cut	平行型心抜きの特長。中央に切羽に直角方向の空孔（装薬しない孔、バーンホール）を設けその周囲の装薬孔もそれに平行に削孔する。
バランド系	ばらんどけい	Barrandian	先カンブリア紀最末期～旧古生代の地層名。チェコのプラハ付近に分布。旧古生界の世界的標準の一つ。
梁	はり	beam	水平あるいはほぼ水平に配置され、主として曲げ強さによって荷重を支持する部材。
バリア	ばりあ	barrier	廃棄物からの物質の移動を遅らせ、あるいは防げる特徴をもったもの。天然バリアと人工バリアに分けられる。
バリアブルインテンシティログ	ばりあぶるいんてんしていろぐ	variable intensity log	音波検層で受振した音波の振幅を交流電圧の強弱として記録したデータ。
バリアブル・エアリア法	ばりあぶるえありあほう	variable area method	地震波などを記録する一方法。地震波の強さに感光紙やフィルムの露出面積を比例させて記録する。
バリアブルデンシティログ	ばりあぶるでんしていろぐ	variable density log	音波検層において受信波形をその振幅に応じて濃淡で表現する手法。波形や振幅を視覚的に表示。インテンシティログともいう。
バリアモデル	ばりあもでる	barrier model	断層面上の強度の不均一分布を表す断層モデル。複雑な破壊過程や余震分布などを説明するために提案された。
張石	はりいし	covering stones	低い土留めや擁壁・路面張りなどに使われる、ほぼ直方体に粗加工した小切石。
針生石	はりういし	Hariu ishi	宮城県桃生郡鳴瀬町北針生産石材。新第三系凝灰岩。軟質。主に土木用に、建築用に少量利用される。
針貫入試験	はりかんにゆうしけん	needle penetration test	軟質岩を対象として針貫入勾配を求める試験。供試体に針を貫入させ、貫入荷重と貫入量の関係を調べる。
馬力	ばりき	horse power	仕事率の単位。仏馬力(PS)と英馬力(hp)があり、PSが普通使われる。1 PS=75kgw・m/s=0.7355kw。
ハリケーン	はりけーん	hurricane	大西洋の西インド諸島やメキシコ湾に発生する熱帯低気圧。太平洋に発生する台風と同様。
張工	はりこう	plastering works	法面保護工の一つ。表面の浸食や風化防止のためコンクリートやコンクリートブロック、岩石を張付ける工法。

玻璃質	はりしつ	hyaline, glassy, vitreous, holohyaline	火山岩の結晶度を表す語で、石基がガラスであることを示す。ガラス質ともいう。
張芝工	はりしばこう	sodding	のり面保護および緑化による景観の改善を目的としたのり面に芝を張る工法。
バリスカン弧	ばりすかんこ	Variscan arc	中部ヨーロッパのバリスカン山地のヘルシニア方向（東半）の部分。ヘルシニア弧と同義。
ヴァリスカン造山運動	ばりすかんぞうざんうんどう	Variscan orogeny	バリスカン造山運動と同義。
バリスカン造山運動	ばりすかんぞうざんうんどう	Variscan orogeny	古生代後期、特に石炭紀を中心として起こった造山運動。日本の本州造山はこれに相当すると考えられた。
バリスカン変動	ばりすかんへんどう	Variscan orogeny	バリスカン造山運動と同義。
バリスカン変動帯	ばりすかんへんどうたい	Variscan disturbance zone	バリスカン変動の及んだ地域の総称。欧州・北米アパラチア・日本など世界の広い地域がこれに相当する。
パリセード輝緑岩シル	ぱりせーどきりよくがんしる	Palisade diabase sill	北米ハドソン川の西岸沿い、スタテン島から北へ80kmの延長をもつ大規模な輝緑岩の貫入岩体。
パリセード造山運動	ぱりせーどぞうざんうんどう	Palisades orogeny	アパラチア山脈南東縁の地溝を造る断層運動や、パリセード輝緑岩シルに代表される火山活動などをまとめている。
ハリソン式硬岩コア採取機	はりそんしきこうがらんこあさいしゅき	Harrison hardrock corer	バッテリー電力源の小型海底穿孔機。基盤から短い不攪乱コアを採取する。
張付石	はりつけいし	clothing stone	板状に加工した石材または薄板状の岩石。装飾用の目的で、構造物壁面に張り付けて使用することが多い。
張付け発破	はりつけはっぱ	plaster shooting	削孔せず岩の表面に爆薬を張付けて発破する工法。岩塊の小割などに用いられる。
針原川土石流	はりはらがわどせきりゅう	Hariharagawa debris flow	平成9年（1997）7月10日に鹿児島県出水市境町針原で発生した土石流災害。この土石流により針原地区の29棟の家屋を全壊し、死者21人に達した。
播磨累層	はりまるいそう	Harima Formation	大阪～明石地域に分布する河川成の高位段丘砂礫層。層厚10m以下で一部海成層を伴う。
梁要素	はりようそ	beam element	有限要素解析における要素の一種。地盤やトンネルの解析では、曲げとせん断を受ける構造物や支保部材のモデル化に用いる。
波力発電	はりよくはつでん	wave power generation	波のエネルギーを利用した発電方法の一つ。空気タービン方式・ショルターカム方式・ラフト方式がある。

バルキング	ばるきんぐ	bulking	乾燥した砂と適量の水を均一になるように混合したとき、体積が当初より増加する現象。
バルクサンプリング	ばるくさんぷりんぐ	bulk sampling	特定の対象に限定せず、全体を対象として、総括的に代表的な標本を採取する作業。通常は無作為抽出を行う。
バルク試料	ばるくしりょう	bulk sample	特定鉱物の分離が行われていない、試料全体から調整された試験試料。
バルク密度	ばるくみつど	bulk density	全比重、容密度と同義。
パルス圧縮	ばるすあっしゅく	pulse compression	合成開口レーダーの映像化の際に用いられる信号処理技術の一つ。レンジ方向の空間分解能を高める。
パルスEM	ばるすいーえむ	pulse EM	パルス電流を用いた時間領域電磁探査法の一手法。商品名。
パルス中性子検層	ばるすちゅせいしけんそう	pulsed neutron logging	坑井内でパルス状高速中性子を照射し、発生するγ線の分析から地盤構成元素の同定を行う検層法の総称。
パルステスト	ばるすてすと	pulse test	孔井間の一方において、パルス状の圧力変化を発生させ、他方においてパルスの変化を測定し、孔間の透水特性を求める試験法。
パルス電磁法	ばるすでんじほう	pulse electromagnetic method	電磁探査の一つ。PEM法と同義。パルス電流を用い、パルスとパルス間に電流を遮断した後の二次電流場の過渡現象を測定する方法。
パルスドップラーシステム	ばるすどっぷらーしすてむ	pulse Doppler system	発信したパルス波の周波数と対象物からの反射波の周波数の比較から対象物の状態を把握するシステム。
パルス幅変調 (PWM)	ばるすはばへんちやう (ぴーだぶりゅえむ)	pulse width modulation, PWM	信号に応じてパルスの幅を変化させる通信方法。PWMともいう。
パルス符号変調	ばるすふごうへんちやう	pulse code modulation, PCM	波形を時系列で分割し、振幅を符号に変換してパルスを生じる通信方法。
春園石	はるぞのいし	Haruzono ishi	茨城県東茨城郡常北町産石材。新第三系凝灰岩。緑灰色で緻密・軟質。風化し易い。壁石・土台・竈用に利用。
バルダス亜氷期	ばるだすあひょうき	Valders glacial substage	北米大陸の五大湖地域ウィスコンシン氷期の最終亜氷期。1万年前に終わった。
ハルツバージャイト	はるつばーじゃいと	harzburgite	かんらん岩(橄欖岩)のうち、かんらん石(橄欖石)と斜方輝石を主要構成鉱物とするもの。サクソナイトともいう。
バルト海	ばるとかい	Baltic sea	ヨーロッパ北部に位置し、大西洋に連なる地中海。流入河川の影響で塩分濃度が極めて低く、海表面で7‰。

バルト楯状地	ばるとたてじょうち	Baltic shield	北欧における先カンブリア系の安定した地域。ただし、氷河堆積物の融解により地域の大部分は隆起が続いているとされている。
バルト氷湖	ばるとひょうこ	Baltic ice lake, Baltic ice dammed lake	更新世末期にスカンジナビア氷床の後退に伴って、現在のバルト海周辺に形成された淡水湖。
榛名トンネル	はるなとんねる	Haruna tunnel	上越新幹線で建設された延長15350mの長大トンネル。火山泥流堆積物や火砕流堆積物を掘削して多量の湧水と地表の陥没が発生した。砂質で流砂を起しやすいつ区間では湧水対策として圧気工法が採用された。
春森層群	はるもりそうぐん	Harumori Group	徳島県に分布する秩父帯南帯を構成する地層。碎屑性堆積岩、チャート、石灰岩、火砕岩などからなる。
ハレーション	はれーしょん	halation	突出して明るい物体などに当たる部分でフィルムの一部の写真濃度が飽和したり、境界が不明瞭となる現象。
パレオイクノロジー	ぱれおいくのろじー	paleoichnology	古生痕学。足跡・巣跡・糞石などの生痕化石を基に古生物の生態や機能を解明する。堆積環境の推定にも利用。
パレオーラ統	ぱれおーらとう	Pareora series	ニュージーランドの下部中新統。石灰岩、砂岩、泥岩などからなる。
パレオバイオロジー	ぱれおばいおろじー	paleobiology	化石の研究により古生物と地層を研究する分野。生物自体に中心を置く観点を特にパレオバイオロジーと呼ぶ。
パレオマストドン	ぱれおますとどん	<i>Palaeomastodon</i>	絶滅した長鼻目ゴンフォテリウム科のほ乳類(哺乳類)。ぜん新世(漸新世)前期の北アフリカにのみに分布していた。
バレル	ばれる	barrel	体積の単位の一つ。1バレルは42ガロン(158.97リットル)で、主に石油の量を表示するのに用いる。
バレンス統	ばれんすとう	Valentian series	イギリスの下部シルル系。南スコットランドのバレンシアがその名の由来。
ハロイサイト	はろいさいと	halloysite	$Al_2Si_2O_5(OH)_4 \cdot H_2O$ 、単斜晶系。カオリン鉱物の一種で、陶磁器や耐火物の原料となる粘土鉱物。岩石の風化や熱水作用などによって生成される。
波浪災害	はろうさいがい	wave disasters	風的作用で発生した風波とうねりによる災害。風と地形条件に起因し、高潮・津波などとは区別される。
波浪作用限界深度	はろうさようげんかいしんど	wave base, depth of wave base	波浪の作用が海底の地形に影響をおよぼす範囲の下限深度。一般に20~30m程度までと考えられている。
波浪作用限界線	はろうさようげんかいせん	wave base line	波浪が海底基盤を浸食し得る限界水深、または波浪が海底の堆積物を移動させ得る限界水深。
波浪浸食	はろうしんしょく	wave erosion	波浪より引き起こされる浸食作用。直接的な水圧、水中の気泡の空圧、水中の粒子などが浸食の要因と考えられている。

波浪流	はろうりゅう	wave-induced current	波の入射に伴う海水の集積によって生ずる、磯波帯付近における沿汀流や離岸流などの海水の移動。
バロー型変成帯	ばろーがたへんせい たい	Barrovian metamorphic region	スコットランドのダルラディアン変成岩分布域南部で代表される変成帯。
ハロジェネシス	はろじえねしす	halogenesis	塩湖などの飽和溶液中で、主としてSi・Al・Fe・S・C・少量のPからなる沈殿物と塩水とに分かれる作用。
バワーズ海嶺	ばわーずかいれい	Bowers ridge	ベーリング海の南部、アリューシャン列島のキスカ島付近から北方に湾曲しながら延びる海嶺。
パワースペクトル	ぱわーすぺくとる	power spectrum	振動数スペクトルともいう。電磁波や音波などの強度を振動数の関数として図示した分布曲線。
パワースペクトル解析	ぱわーすぺくとるかい せき	power spectral analysis	波の平均パワー（波の振幅の二乗平均）について、どの振動数の成分が大きいかを調べる方法。
ハワイ海嶺	はわいかいれい	Hawaiian rise	北太平洋中央部のハワイを東端とする、西北西に延びる海嶺で、西端は天皇海山列との会合部。
ハワイ式楯状火山	はわいしきたてじょう かざん	shield volcano of Hawaiian type	山頂火口とそれより生じるリフトゾーンに沿って流出する玄武岩質溶岩で形成される緩傾斜の円錐状火山。
ハワイ式噴火	はわいしきふんか	Hawaiian eruption	低粘性の玄武岩質溶岩が流出する非爆発的な火山噴火で、溶岩噴泉をしばしば伴う。
ハワイ諸島火山群	はわいしょうかざん ぐん	Hawaiian islands volcanic cluster	北太平洋に分布する諸島。北西～南東方向に約2,900km伸びた火山島群からなる。
版	ばん	slab	厚さに比べて面積の大きい構造部材。面に垂直な荷重のみを考慮する。
盤圧	ばんあつ	earth pressure, roof pressure, rock pressure	坑道の側壁や天盤にかかる圧力。
バンアレン帯	ばんあれんたい	Van Allen belt	地球の磁気圏のうち、高エネルギー粒子が多く存在する領域で、地軸と直角なドーナツ状をなす。放射線帯ともいう。
半円形ケーソン構造	はんえんけいけいそ んこうぞう	half circle caisson structure	半円筒形（かまぼこ型）の断面形状のケーソン。防波堤や護岸に利用される。
半遠洋性堆積物	はんえんようせい たいせきぶつ	hemipelagic sediment	遠洋性堆積物の陸側で、浅海堆積物との間に分布する堆積物。懸濁粒子の沈降と混濁流や海底地すべり起源の細粒粒子からなる。
半花崗岩	はんかこうがん	aplite	しばしば花崗岩～閃緑岩中に脈状（幅10cm～1m程度）に産出するアルカリ長石・石英からなる完晶質、等粒状の優白質岩石。陶磁器原料やタイル原料として採掘・利用される。

パン皮火山弾	ぱんがわかざんだん	breadcrust bomb	表面がパンの皮殻に類似した形状の火山弾。安山岩質マグマの噴火の際に多く形成される。
斑岩	はんがん	porphyry	広義には、斑晶を多含する斑状組織を有する火山岩や貫入岩。狭義には、カリ長石を斑晶とする斑状の岩石。
蛮岩	ばんがん	conglomerate	礫岩の同義語。死語。
板岩	ばんがん	shale, slate	頁岩または粘板岩の同義語（死語）。
斑岩銅鉱床	はんがんだうこうしょう	porphyry copper deposit	斑岩に伴う大規模、低品位の鉱染状銅鉱床。二次富化帯を形成する。露天採掘が多いが日本では知られていない。
半機械掘りシールド	はんきかいぼりしーるど	partly mechanized shield	切羽を開放状態で掘削するシールド工法で、掘削や土砂の積込みは専用機械を使用。切羽が自立する地山に適用。
晩期カレドニア褶曲	ばんきかれどにあしゅうきょく	late Caledonian fold	シルル紀とデボン紀との間の褶曲にシュティレが付けられた名前。
半輝炭	はんきたん	semibright coal	石炭の分類のうち、輝炭と暗炭との中間的な光沢を示すもの。
反強磁性	はんきょうじせい	antiferromagnetism	磁性原子が互いに反対方向に並んでいるため磁性をうちけし合っている場合の磁性。温度や磁場に影響される。
パングロマトニックフィルム	ぱんくろまていっくふいるむ	panchromatic film	白黒フィルム。フィルムの感度は可視光領域全域に対して有する。
パンゲア	ぱんげあ	Pangea	ウェーゲナーは大陸移動説で、現在の大陸が単一の大陸であったと想定し、その大陸をパンゲアと呼んだ。
半径方向応力	はんけいほうこうおうりょく	radial stress	均質な地山に円形のトンネルを掘ったとき、周辺地山の一点における円の中心方向の応力を半径方向応力といい、これに対して直交方向を接線応力という。
半径方向変位	はんけいほうこうへんい	radial displacement	均質な地山に円形のトンネルを掘ったとき、周辺地山の一点における円の中心方向の変位。
半減期	はんげんき	half life, half-value period	放射性核種の粒子の数が半分に減るまでの時間。核種ごとに固有の値で、岩石などの年代決定に利用される。
盤下げ	ばんさげ	lowering of roadbed cutting-down of bed, spreading	地盤の高さを掘削により下げること。
盤下げ発破	ばんさげはつぱ	blasting for loosening	重機による掘削が可能となるように岩盤をゆるめるために行う発破。ゆるめ発破とも呼ばれる。

反砂堆	はんさいたい	antidune	上流側の斜面が成長して上流側へ移動するタイプの砂の波.
半自形	はんじけい	hypidiomorphic	鉱物固有の結晶面の発達の一部にとどまり, ほかは隣接する別の鉱物により妨げられている形.
半自形粒状	はんじけいりゅうじょう	hypidiomorphic-granular	深成岩に典型的に見られる粒状の岩石組織. 成分鉱物の一部が自形, 残りが半自形, 他形結晶からなる.
反磁性	はんじせい	diamagnetism	物質に磁場を与えた場合に, 物質内に生じた磁化の方向が, 与えた磁場と逆の方向を示す性質.
反磁場(界)係数	はんじば(かい)けいすう	demagnetizing factor	磁性体に磁化を加えたときに生じる反磁場と, 磁化との比例係数のことで, 一般にNで示す.
パンジャール火山岩類	ぱんじゃーるかざんがんるい	Panjal volcanics	ヒマラヤの北西ヒルパンジャール山脈に広く分布し, ゴンドワナ系の異相とされる.
パンジャール衝上	ぱんじゃーるしょうじょう	Panjal thrust	中央ヒマラヤのナップゾーンを形成する多くの衝上断層の一つ.
反射異方性	はんしゃいほうせい	reflection anisotropism	反射光線の性質が, 光線と結晶との方向によって異なる現象.
反射角	はんしゃかく	angle of reflection	二つの異なる媒質が平面で接して境界面で反射が発生するとき, 反射波が境界面の垂線となす角.
反射係数	はんしゃけいすう	reflection coefficient	入射波の振幅と反射波の振幅の比. または隣接する境界面の比抵抗コントラストを表す無次元比.
反射検層	はんしゃけんそう	reflection logging	音波検層の一種. 坑壁から反射した音波を測定して, その特性から地層判定の資料を得るもの.
反射顕微鏡	はんしゃけんびきょう	reflection microscope, reflecting microscope	① 鉱石など不透明鉱物の研磨面の反射光を観察する顕微鏡で, 偏光装置と反射光投射装置が取り付けられている. ② 対物鏡として反射鏡を使用した顕微鏡
反射式実体鏡	はんしゃしきじつたいきょう	reflection stereoscope	空中写真などの実体写真・図を立体視するための器具で, ひずみの少ない広い視野を得るために反射鏡とプリズムを備えたもの.
反射スペクトル特性	はんしゃすぺくとるとくせい	reflection spectrum peculiarity	各物質における表面反射スペクトルの固有特性. リモートセンシングにおいて地表物質の同定に利用される.
反射走時差	はんしゃそうじさ	moveout, moveout time	反射法地震探査において, 震源からの反射(弾性)波が, 隣接する複数の受振点へ到達するまでの時間の差.
反射多色性	はんしゃたしきせい	reflection pleochroism	鉱物に光を当てたときの反射色が, 鉱物の方向によって異なる現象.

反射波（地震波の）	はんしゃは（じしんはの）	reflected wave	震源より発生した波動は、音響インピーダンスの異なる層の境界面で反射する。この反射した波のこと。
反射法	はんしゃほう	reflection method	大地など媒質に衝撃または波動を発生させ、地中を伝播した波動の地層境界面での反射をとらえる探査法。
反射法地震探査	はんしゃほうじしんたんさ	reflection shooting, reflection shooting for seismic-prospectng	弾性波の反射走時差を利用して、地下構造を解析する手法。屈折波法に比較して、探査の深度、分解能で優る。
反射面	はんしゃめん	reflector	波動が入射して反射波を生じる物性の異なる媒質の境界面。
反射炉	はんしゃろ	reverberatory furnace	燃料による燃焼炎の熱と、アーチ形の天井からの反射熱を共に利用して燃料効率を高めた金属や鉱石の溶融炉の一種。
半重力式橋台	はんじゅうりよくしききょうだい	semi-gravity type abutment	重力式と類似するが、躯体の一部に引張り応力の発生を許すことで重量の軽減を図る構造の橋台。引張り応力に対しては鉄筋で補強される。
半重力式擁壁	はんじゅうりよくしききょうへき	semi-gravity type retaining wall	重力式擁壁に比べて壁厚がやや薄いため、生じる壁体内の引張り応力を受け持たせるように鉄筋で補強した擁壁。
斑晶	はんしょう	phenocryst	火成岩において、周囲の石基よりも粗粒な結晶。一般に自形を示すことが多い。
斑状	はんじょう	porphyritic	完晶質からガラス質の細粒な石基の中に、それらよりも粗粒な結晶を含む組織。半深成岩や火山岩に一般的。
斑状花崗岩	はんじょうかこうがん	porphyritic granite	花崗岩のうち、カリ長石または斜長石がその他の構成鉱物よりも大きく、斑状を呈するもの。
板状珪藻土	ばんじょうけいそうど	tripolite	珪藻および放射虫の遺骸よりなる細粉状の珪酸堆積物で、層面がきわめて明瞭でかつ発達している。トリポリ石ともいう。
斑状鉱	はんじょうこう	spotted ore	鉱石のうち、鉱石鉱物やその集合体が斑状に分布する組織を有するもの。一般に、塊状の鉱石よりも品位が低い。
板状鉱	ばんじょうこう	platynite	$PbBi_2(Se, S)_4$ 、六方晶系、硬度2～3、比重7.98(測定値)7.01(計算値)。暗灰～黒色不透明で金属光沢を示す薄板状結晶。プラチナイトともいう。
板状構造	ばんじょうこうぞう	platy structure	垂直方向が薄く、板状に水平に割れ目が発達している土壌構造。
半晶質	はんしょうしつ	hypocrystalline	岩石の結晶度の表現の一つで、結晶とガラスの両方を含む組織を有するもの。
板状節理	ばんじょうせつり	platy joint, tabular joint	面が互いに平行で、岩塊を板状に分離させている節理。

斑状組織	はんじょうそしき	porphyritic structure	石基中に斑晶を含む火成岩の組織。火山岩・半深成岩の多くはこの組織を有する。
斑状変晶	はんじょうへんしょう	porphyroblast	変成作用で生じた鉱物が、周囲の鉱物よりも大きく、斑状に成長したもの。柘榴石や斜長石などでよく認められる。
半深成岩	はんしんせいがん	hypabyssal rock	火成岩の分類において、深成岩と噴出岩との中間の組織を有するもの。
阪神大水害	はんしんだいすいがい	the 1938 Hanshin flood disaster	昭和13年（1938）7月に梅雨前線の活動と熱帯性低気圧による豪雨により、神戸市周辺で局地的な集中豪雨により河川が氾濫するとともに六甲山南麓で山崩れが多発した。この水害により死者・不明者は神戸市を中心に925人に達した。
盤すべり	ばんすべり	rock slide	岩盤すべりと同義。
汎世界的測地系	はんせかいてきそくちけい	world geodetic system	世界各国で個々に実施されている測地を、世界的に統一した基準に対する比較を行い、地球全体の測地成果を解釈するシステム。
半川締切	はんせんしめきり	multiple-stage diversion	仮排水トンネルの設置が不経済となる場合に河流を分割して締切り、部分的にドライにして施工する工法。
半潜水式足場	はんせんすいしきあしば	semi submersible scaffold	着底式足場と同様の構造で、潜水沈降した状態でも底部浮体は完全に着底せず浮いた状態にある足場。
盤層	ばんそう	pan	土壌中で圧密・こう結（膠結）などにより固化した地層。上下の層と物理・化学的性質が異なる。
搬送波	はんそうは	carrier wave	通信用の信号を、高周波を変調することにより送信する場合に、その高周波をさして搬送波という。
ハンター・シュスター法	はんたーしゅすたーほう	Hunter and Schuster method of slope stability analysis	深度と共に直線的に変化する粘着力のみを有する無亀裂正規圧密粘土中に想定される円弧破壊についての斜面安定解析法。
ハンター・ボーエン造山運動	はんたーぼーえんぞうざんうんどう	hunter-bowen orogeny	オーストラリア東部の海岸沿いに分布する、タスマン地域におけるペルム紀末に生じた造山運動。
磐梯山	ばんだいさん	Bandai volcano	福島県の北部、猪苗代湖の北にそびえる活火山。海拔1,819m。1888年に爆発し、泥流が山北部落を埋没させた。
磐梯山噴火	ばんだいさんふんか	the 1888 Bandaisan eruption	明治21年（1888年）7月15日に活動した磐梯山の噴火。ウルトラブルカノ式噴火といわれる形式の噴火で、小磐梯山の山体を吹き飛ばし、山麓一体は噴出物および泥流で埋め尽くされた。裏磐梯の景観はこのときに形成された。
磐梯式噴火	ばんだいしきふんか	Bandai type eruption	大規模な水蒸気爆発型噴火と、その噴火により発生する岩屑なだれで特徴づけられる噴火様式。
磐梯山崩れ	ばんだいやまくずれ	collapse of Bandai volcano	1888年水蒸気爆発噴火で磐梯火山の大部分が崩壊した現象で、莫大な火山砕屑物が山麓の山村を襲った。

半田銀山地すべり	はんだぎんざんじすべり	the Handaginzan landslide	福島市北西，福島県伊達郡桑折町大字南半田字風越で明治時代後期に発生した大規模地すべり．
バンタム階	ばんたむかい	Bantamian stage	インドネシア，ジャワ周辺の海成の下部更新統．
半断面掘削	はんだんめんくっさく	harf section excavation	トンネル断面を上部・下部の半分に分けて掘削することをいう．通常，上部半断面先進で後で下部を掘削する．
半断面工法	はんだんめんこうほう	harf section excavation method	上部半断面を先進，または上部と下部半断面とを併進するベンチカット併進工法．
半地下式発電所	はんちかしきはつでんしょ	semi-underground power station	地表を開削して，発電所建物の下部が地下に埋設され，上部が地表に出ている形式の発電所．
汎地球測位システム	はんちきゅうそくいしすてむ	GPS, global positioning system	G P S と同義．
パン地向斜	ぱんちこうしゃ	pan-geosyncline	始生代において，地殻全体が可動的で激しい隆起と沈降が起こったと考えられた．この地向斜状態をパン地向斜という．地向斜による造山論は現在あまり議論されていない．
半泥炭土	はんでいたんど	half-bog soil	灰色の土層の上位に，泥炭あるいは黒色泥が上載している土層構造を示す土壌．
反転式音響測深検潮器	はんでんしきおんきょうそくしんけんちょうき	inverted echo sounder tide gauge	海底に置き，水面からの反射信号により海水面の高さを測定する装置．
反転褶曲	はんでんしゅうきょく	inverted folding	層序の反転を生じさせる褶曲．過褶曲の下翼側で地層の反転が認められるもの．
反転熱残留磁気	はんでんねつざんりゅうじき	reverse thermoremanent magnetization	熱残留磁気のうち，磁性体の永久磁化が外部磁場と逆方向にできる現象．
バンド	ばんど	band	特定の幅の波長帯域や周波数帯域．
反土石	はんどいし	Hando ishi	鹿児島県日置郡市来町反戸産石材．更新統溶結凝灰岩．土木用に利用．二瀬戸石・市来石・吉利石などと同質．
磐戸石	はんどいし	Hando ishi	群馬県甘楽郡南牧町に産する石材．新第三系石英粗面岩．灰～暗緑色で堅硬．節理少なく大材容易．土木用に利用．
斑銅鉱	はんどうこう	bornite	銅鉱床の二次富化帯に産し，銅赤色不透明で金属光沢をもち，粒状～塊状．変質して輝銅鉱・黄銅鉱などに変わる．
反同時計数管	はんどうじけいすうかん	anticoincidence counter	放射線検出器のうち，二つの検出器が同時に検出した場合に計数しないようにして，ノイズを除去するもの．

半透水層	はんとうすいそう	aquitard	透水性を基準とした定性的地層区分。透水係数は透水層より小さく、難帯水層より大きい。
半透水ゾーン	はんとうすいぞーん	semi-pervious zone	ゾーン型フィルダムのトランジションゾーンまたはフィルタゾーンのこと。
半導体ひずみゲージ	はんどうたいひずみゲージ	semi-conductor strain gauge	接着ひずみゲージの抵抗体として半導体を使用したもの。金属抵抗体のゲージよりも感度が数十倍大きい。
ハンドオーガー	はんどおーがー	hand auger	手動回転を駆動力とする簡易ボーリング用具。掘削深度は4～5mに限定される。
ハンドオーガーボーリング	はんどおーがーぼーりんぐ	hand auger boring	人力により地表面付近の浅い地盤構成を調査するなどの目的で行う、簡便なボーリング。
礬土頁岩	ばんどけつがん	aluminous shale	石炭～ペルム紀のアルミナに富む頁岩で、中国東北部に広く分布する。
バンド比	ばんどひ	band ratio	マルチスペクトル画像データの異なるバンドのデータ間で画素単位に比演算した値。特徴抽出処理などに有用。
ハンドフィード	はんどふいーど	hand feed	手動式のフィードレバーを押して給圧掘進するボーリングマシン。構造が簡単で故障が少ない。
ハンドレベル	はんどれべる	hand level	軽便な簡易水準測量器具で、気泡式水準儀と対象物とを同時に視野内で観察して水平線を得ることができる。
半日周潮	はんにちしゅうちょう	semi-diurnal tide	およそ半日を周期とする分潮で、太陽半日周潮や太陰半日周潮などがある。
盤練り	ばんねり	subsoil puddling	地盤からの過大な漏水を防ぐため、水田の表土を取り除いて、心土層をすき起こし、散水し水締めを行う工法。
反応縁	はんのうえん	reaction rim	結晶作用である鉱物の周縁に生じた他の鉱物の帯状をなす集合体。初生的にも二次的にも形成される。
反応関係	はんのうかんけい	reaction relation	マグマから高温で晶出した鉱物が低温で残液と反応し別の鉱物を生成するとき、両者を反応関係にあるという。
反応境界	はんのうきょうかい	reaction boundary	一定圧力のもとで液相と結晶が共存した中で別の共存結晶を作る関係を示す曲線または曲面。
反応系	はんのうけい	reaction system	多成分溶液において晶出した鉱物が、温度・圧力などの変化に応じて液と反応し変化していく化学系。
反応系列	はんのうけいれつ	reaction series	マグマの冷却過程で、晶出した鉱物と残液が反応したり連続的に変化して、多種の鉱物が形成されること。

反応原理	はんのうげんり	reaction principle	マグマから晶出した結晶が残液と反応するためマグマの化学組織が多様性を持つとする考え. N. L. Bowen提唱.
万能材料試験機	ばんのうざいりょうしけんき	universal testing machine	材料の様々な荷重試験を行うことのできる試験機.
万能図化機	ばんのうずかき	universal plotting instrument	写真測量において、密着写真を用いる図化機のなかで最も精密なもの. 一般図化機ともいう.
反応スカルン	はんのうすかるん	reaction skarn	変成作用によって、炭酸塩岩が非炭酸塩岩と反応を起こして生じたスカルン.
反応速度	はんのうそくど	rate of reaction, reaction rate, reaction velocity	化学反応の進行する速さのこと. 単位時間における反応物質や生成物質の量で示される.
反応点	はんのうてん	peritectic point	一定圧力の下で液相と結晶が共存した中で別の共存結晶を作る関係にある時、その温度に相当する点.
バンノック衝上	ばんのつくしょうじょう	Bannock thrust	アメリカのアイダホからユタ州のロッキー山脈中にみられる衝上断層.
盤肌ねば	ばんはだねば	selvage	鉱脈と母岩の境界面にみられる薄い粘土層.
反発係数	はんぱつけいすう	coefficient of restitution	二つの物体の衝突における、衝突後の速度と衝突前の速度との比. 岩石供試体においてはショア硬度が利用される.
反発硬度	はんぱつこうど	repulsion hardness	一定材質のおもりを一定の高さから落下させたときにおもりが跳ね上がる高さで表される硬度. はね返り硬さと同義.
反発値	はんぱつち	rebound value	一般的にはシュミットハンマーによって測定される値をさす.
半玻璃質	はんはりしつ	hypohyaline	斑状組織の火山岩～半深成岩において石基の総てがガラスではなく、ある程度の結晶度を有しているもの.
晩氷期	ばんひょうき	late glacial substage	三分した最終氷期の最後の時期. 約1.5万～1万年前の氷河後退期に相当する.
反復法	はんぷくほう	repeating method	非線形方程式の解を求める際に、ある初期値から出発して繰り返し計算により解に収束させる手法で、ニュートン法などがある.
盤膨れ	ばんぶくれ	ground heaving	地山の膨張性・強度不足・帯水層の揚圧力などに起因して、坑道の床盤や掘削面が押し出してくる現象.
パンプラットホーム	ばんぷらっとほーむ	pan-platform	カンブリア紀以前、アフリカ・ユーラシアなどの大陸は連続した単一の台地をなしていたと考えられた. この台地の呼び名.

判別型土圧計	はんべつがたどあつけい	pneumatic type earth pressure cell	受圧板裏面に内圧を作用させ、受圧板が土砂側に変位し始める瞬間の内圧から土圧を求める土圧計. 平衡弁型計器の一種.
判別関数	はんべつかんすう	discriminate function	多変量解析の一方法で、多くの事象を複数の類に分類するために用いられる関数.
判別分類法	はんべつぶんるいほう	soil classification system	日本統一分類法など工学的性質に基づき土を分類する方法.
パンペリー石	ぱんぺりーせき	pumpellyite	$Ca_8X_4Y_8Si_{12}O_{44-x}(OH)_{12+x}$, $X=Fe^{2+}, Fe^{3+}, Al, Mg, Mn$; $Y=Fe^{3+}, Al, Mn$; $x=0\sim4$, 単斜晶系, 硬度5~6, 比重3.18~3.34. らん閃石相の変成岩, 沸石相の堆積岩, 銅・マンガン鉱床などに産する鉱物.
ハンマーグラブ	はんまーぐらぶ	hammer grab	落下エネルギーによって地盤に貫入させることで土砂をつかみとるグラブで、ベント杭の施工などに使用する.
ハンマー図法	はんまーずほう	Hammer's projection	ランベルト正積方位図法の半球図を赤道方向に2倍に拡大して、全球を投影する図法. 縁辺部ほどひずみが大きい.
ハンマードリル	はんまーどりる	hammer drill	ピストンによる打撃をドリルロッドに与えて岩盤を掘削するさく岩機.
ハンマーミル	はんまーみる	hammer mill	衝撃破砕機の種類. 鉛直面内を高速回転するハンマーにより、鋼製のケーシングの中で材料を粉砕する.
ハンマーリングコンポーザ工法	はんまーりんぐこんぽーざこうほう	hammering composer method	ハンマーの打撃によって鋼管の打込みと砂の締固めを行うコンポーザ工法の種類.
半水締めアースダム	はんみずじめあーすだむ	semi-hydraulic fill earth dam	堤体材料を盛立現場へ運搬した後、その材料を水に混ぜて流送し、沈殿、排水させて締固めて造るアースダム.
半無限均質媒質	はんむげんきんしつばいしつ	homogeneous half-space medium	深度方向にも水平方向にも均質な物質が無限に連続すると仮定したモデル. 地震波の伝播や電位の分布などの解析に用いられる.
半無限弾性体	はんむげんだんせいいたい	semi-infinite elastic body	岩盤の応力・変形解析を実施する際に仮定する等方等質の平面的な表面を持つ近似された弾性体.
半無限弾性体理論	はんむげんだんせいいたいろん	theory of semi-infinite elastic body, theory of half space elastic body	地盤を理想化し、等質等方で深さ方向と水平方向に無限に連続した弾性体と仮定した弾性論.
半無限板	はんむげんばん	semi-infinite plate	応力解析などにおいて仮定する無限に長い直線境界を有する深さと、水平方向に無限に連続した板.
ハンモック状斜交層理	はんもっくじょうしゃこうそうり	hummocky cross stratification	斜交葉理の発達する小丘がランダムに配列し、全体として緩やかな波状を呈する堆積構造.
ハンモック土	はんもっくど	earth hummocks	構造土の一種. 主に土中水の凍結融解作用により形成される. 芝塚・十勝坊主ともいう.

斑紋	はんもん	mottle	土層の土壤断面中において、基質と異なる色調で斑状や縞状に分布するもの。主に酸化鉄や酸化マンガン化合物からなる。
斑紋質粘土	はんもんしつねんど	mottled clay	土壤中で、ある成分が濃縮し、または溶脱除去されて土色が周りの基質と異なる粘土。
万有引力	ばんゆういんりょく	universal gravitation	全ての物体の間に働く引力のこと。大きさは、各質点の質量の積に比例し、質点の距離の2乗に反比例する。
万有引力定数	ばんゆういんりょく ていすう	universal gravitation constant	重力定数ともいう。万有引力の法則に示される定数で普通、Gで示される。G=6,673×10 ⁻¹⁴ m ³ /kg・s ² 。
氾濫源	はんらんげん	flood plain	沖積平野のうち、河川の洪水などによる流路からの氾濫によって堆積した土砂から形成される平野面。
氾濫堆積物	はんらんたいせきぶつ	flood deposits	洪水時の河川の氾濫によって、河道外に堆積した碎屑物質。上流の急勾配河川域では粗粒だが、下流や後背湿地では細粒の泥質物質となる。
氾濫平原	はんらんへいげん	flood plain	氾濫源と同義。
反流	はんりゅう	counter-current	沖合や外洋で見られる主要な海流と反対向きの流れ。世界的には赤道反流が代表的。
反力	はんりょく	reaction, reaction force	荷重を受ける部分に生じる反作用としての力。大きさは荷重と同じで正反対方向に働く。荷重を受ける部材が支持されている場合には支点に作用する。
反力受け	はんりょくうけ	back anchor	シールドやTBMの推進機構として反力を受けるセグメントなどの部材・設備あるいは地山。
反力装置	はんりょくそうち	reaction equipment	材料に加圧するとき、材料を介してその圧力を受ける装置。
反力部材	はんりょくぶざい	kicking piece	山留め工において腹起しに犬くぎで打ち付けられる木材のこと。腹起しに直角でない切ばり端部からの押圧力を得るために使用。
はんれい岩(斑糲岩)	はんれいがん	gabbro	粗粒完晶質の火成岩で塩基性の組成を有する。色指数は35～65だが、斜長岩のような例外も存在する。
はんれい岩(斑糲岩)エクロジャイト転移	はんれいがんえくろ じゃいとてんい	gabbro-eclogite transformation	玄武岩やはんれい岩(斑糲岩)の高圧相がエクロジャイトであり、この転移はモホ面近傍で生じると考えられている。
はんれい岩(斑糲岩)質ペグマタイト	はんれいがんしつぺ ぐまたいと	gabbroic pegmatite	塩基性～超塩基性岩体中に認められる、周辺よりも粒径が粗粒となった部分をさす。
はんれい岩(斑糲岩)相	はんれいがんそう	gabbro-facies	火成岩の鉱物相のうち、輝石ホルンフェルス相に相当する鉱物組み合わせを有するもの。

はんれいひん岩 (斑糲ひん岩)	はんれいひんがん	gabbro-porphyrte	完晶質斑状をなす塩基性岩で、灰長石成分に富む斜長石や輝石などを斑晶とするもの。岩脈、岩床として産する。
半瀝青炭	はんれきせいたん	semi-bituminous	石炭の分類上で無煙炭と瀝青炭との中間の炭質を持つもの。揮発成分は10～20%。
被圧井戸	ひあついど	artesian well	不透水層を掘抜いて被圧地下水帯中に掘られた井戸。地下水面が地盤面より高い場合、自噴井戸(flowing well)となる。掘抜井戸ともいう。
非圧縮流体	ひあつしゅくりゅう たい	incompressible fluid	流体には必ず粘性と圧縮性があり、これらを見捨てた想像上の流体を理想流体と呼ぶ。この理想流体に対して、圧縮性だけを考慮に出来ない場合の流体を非圧縮流体という。
被圧状態	ひあつじょうたい	artesian condition	帯水層が不透水性の地層にはさまれていて、地下水が静水圧以上の圧力をもっている状態。
被圧水	ひあつすい	confined water	被圧地下水と同義。
被圧水圧	ひあつすいあつ	piezometric pressure	難透水層または不透水層により下部透水層内の水が受けている圧力。
被圧水頭	ひあつすいとう	artesian head, artesian water head, piezometric head, pressure head	被圧帯水層中の地下水の水頭。
被圧水面	ひあつすいめん	piezometric surface	被圧水頭と同義。
被圧帯水層	ひあつたいすいそう	confined aquifer, artesian aquifer	上下を不透水層または難透水層に挟まれ、加圧された地下水によって満たされた透水層。
被圧地下水	ひあつちかすい	confined groundwater	上位および下位が難透水層に接する帯水層において、大気圧以上の圧力を有する地下水。
被圧地下水面	ひあつちかすいめん	piezometric surface	被圧水頭と同義。
非圧密定体積せん断試験	ひあつみつていたい せきせんだんしけん	unconsolidated-constant volume shear test	一面せん断試験において、せん断中に供試体の体積を一定に保つように垂直応力を調整しながら行う方法。
非圧密非排水三軸圧縮試験	ひあつみつひはいす いさんじくあつしゅ くしけん	unconsolidated-undrained triaxial compression test	土のせん断試験の一方法。UU試験。試験中の供試体の圧密および排水を許さないでせん断を行う方法。地盤が圧密する時間に比べて短時間に載荷される場合に適用。
PRA法	ぴーあーるえーほう	Public Road Administration soil classification system, PRA soil classification system	AASHTOの土質分類法の基礎となった土の判別分類法。
PR分類法	ぴーあーるぶんるい ほう	PR soil classification system	AASHTOの土質分類法の原型をなす土の判別分類法で1920年代に、アメリカ道路局(Bureau of Public Road)がまとめたもの。

B I L	びーあいえる	band interleaved by line, BIL	画像データフォーマットの一つ。NASAが設定。
B I P	びーあいぴー	band interleaved by pixel, BIP	nバンドの1画素目がn個順番に並び、m画素が(n×m)1レコードを構成するフォーマット。
B I P 2	びーあいぴーつー	band interleaved by pixel pair, BIP2	LANDSAT-1,2号のMSSデータのCCTフォーマット。
P E	ぴーいー	phase encoding, PE	磁気テープの磁化方向を反転させるデータ記録方法の一つ。記録密度1600bpiの磁気テープの標準。
P E M法	ぴーいーえむほう	pulse electromagnetic method	電磁探査の1種で、パルス電磁法の意。時間領域電磁法(TDEM法)の一つ。地形の複雑な地域の探査に適する。
B A T 間隙水圧	びーえーていーかんげきすいあつ	BAT pore-pressure probe	スウェーデン製の間隙水圧計で、一定速度で貫入していくプローブを用いて間隙水圧を測定する。
B A T ピエゾメータ	びーえーていーぴえぞめーた	BAT piezometer	複数のピエゾメータを制御でき、パイプのキャップが可能なスウェーデン製の圧力水頭計。
B S	びーえす	back sight, BS	後視。水準測量において比高を求めようとする求点方向に対して逆の地盤高既知点への視準あるいは読定値。
B S	びーえす	British Standard, BS	英国工業規格。
B S I	びーえすあい	British Standards Institution, BSI	イギリス規格化協会。
P S アンカー	ぴーえすあんかー	prestressed anchor, PS anchor	プレストレストアンカーと同義。
B S Q	びーえすきゅー	band sequential, BSQ	1バンドの1シーンが1ファイルを構成するフォーマット。1レコードが1ラインに対応する。NASA設定。
P S 検層	ぴーえすけんそう	PS logging	孔井を用いて地盤のP波、S波の速度を測定する方法。発振源を地表、孔内および他の孔井におく場合がある。
P S ストランド	ぴーえすすとらんど	prestressed strand, PS strand	プレストレスをかけたストランド(PCより線をさらにより合わせたもの)で岩盤を緊張するアンカー工に使用される。
B H C ソニックログ	びーえっちしーそにつくろぐ	borehole compensated sonic logging, BHC sonic logging	音波パルスによってゾンデの傾きや孔径の影響を補正する音波検層システム。BHCは商品名。
p F	ぴーえふ	pF	土壌水分吸引力の強さを表す単位。吸引に必要な力を水柱の高さ(cm)で表した数を常用対数で示したもの。

P F E	ぴーえふいー	percent frequency effect	電気探査における周波数効果・I P効果（周波数による応答電圧の振幅の変化）。
p F 試験	ぴーえふしけん	pF test	土中水のpF値を測定するための試験。吸引法・加圧膜法・遠心法・蒸気圧法などがある。
p F 水分曲線	ぴーえふすいぶん きょくせん	pF soil moisture curve, pF-moisture curve	土壌水のポテンシャル（p F）と土壌水分量との関係を示す図。
p F 値	ぴーえふち	pF-value	土が保持している水分を取り出すのに必要な圧力を水柱高さ（cm）で表わした絶対値の常用対数。
BM	ぴーえむ	bench mark, BM	ベンチマークの略語。水準点のこと。
P L M T 法	ぴーえるえむていー ほう	power line magnetotelic method, PLMT method	送信源として送電線を通る50ないし60Hzなどの高周波を利用したMT法。C S A M T法の一つ。
B O D	ぴーおーでいー	biochemical oxygen demand, BOD	生物化学的酸素要求量と同義。
B O D - S S 負 荷	ぴーおーでいーえす えすふか	biochemical oxygen demand - suspended solid loading, BOD-SS loading	浮遊性固形物の単位量あたりのBOD負荷量。浮遊性固形物とは微生物量をさすことが一般的。
B O D 負荷	ぴーおーでいーふか	biochemical oxygen demand loading, BOD loading	ある量の試料内に、BODがどの程度の割合で占めているかを表す指標。
ビーカー法	びーかーほう	beaker method	岩屑、土壌の粒度分析法の一つで粒径と沈降時間との関係を利用した沈降法に属する簡便な分析方法。
B型地震	びーがたじしん	B-type earthquake	火山性地震の一種。火山付近のごく浅いところで起こるもので、S波のはっきりしないタイプをいう。これに対しA型は通常の地震と変わらない。
B級	びーきゅう	B class	活断層を平均変位速度で分類したものの一つで、B級は1～0.1m/10 ³ 年の変位がみられる断層をいう。A級はB級の10倍、C級はB級の10分の1である。
B級活断層	びーきゅうかつだん そう	active fault classified as B	変位速度によって活断層を3クラスに分けたうちの中位。平均変位速度が1～0.1m/10 ³ 年の断層をいう。
P-Q曲線	ぴーきゅうきょくせん	P-Q curve	ボーリング孔を利用したルジオンテストやグラウチングの水押し試験などの結果を整理した、注入圧力-注入量曲線。
ピーク荷重	ぴーくかじゅう	peak load	対象となる材料の応力～変位（ひずみ）曲線で、最大値となる荷重。
ピーク間隙圧比	ぴーくかんげきあつ ひ	peak pore-pressure ratio	液状化に関わる指数で、載荷中の最大間隙圧比。

ピーク強度	ピークきょうど	peak intensity	吸収スペクトルの吸収帯の強さを示す一方法。または、質量分析計によって測定される1本のスペクトル線の高さ。
ピーク強度	ピークきょうど	peak strength	対象となる材料の応力～変位（ひずみ）曲線で、応力が最大となる位置での強度。
ピーク係数	ピークけいすう	peak factor	構造物が風で不規則に振動するときに変動成分の応答値のうち、最大値と平均値の比。
ピーク洪水量	ピークこうずいりょう	peak flood discharge	洪水流出の経時変化において最大となる流量。
ピークせん断強度	ピークせんだんきょうど	peak shear strength	対象となる材料の応力～変位（ひずみ）曲線で、応力が最大となる位置でのせん断強度。
ピーク発電	ピークはつでん	peak power generation	日中の電力需要のピーク時にのみ対応した発電。揚水発電や貯水池式水力発電など。
ピーク流量	ピーくりゅうりょう	peak discharge, peak flood	降水に伴い川の流量が増大し、また元に近い状態に戻る間において、瞬間流量が最大値となった時の流量。
BC	ビーシー	beginning of curve, BC	路線において直線部より曲線に移る点。曲線始点。
BCIS	ビーシーあいえす	Bureau Central International Seismologique	フランスのストラスブールに1910年設立された国際地震局。世界各国からデータを集め、震源要素の決定とその公表を行ってきた。
PCM	ビーシーえむ	pulse code modulation, PCM	パルス符号変調と同義。
PC杭	ビーシーぐい	prestressed concrete pile, PC pile	プレストレストコンクリート杭と同義。
PCグラウト	ビーシーぐらうと	grout for prestressed concrete	PC鋼材と地盤・コンクリートとの一体化および防錆の目的でシースとPC鋼材の間に注入する充てん材。
PCケーソン	ビーシーケーそん	prestressed concrete caisson	円筒状の鉄筋コンクリートブロックの圧入沈設、積重ね、ストレス導入を繰返すことにより築造するケーソン基礎。
PCケーブル	ビーシーケーぶる	prestressed concrete steel cable, PC steel cable	大きな緊張力を加えるためにPC鋼線やPC鋼より線を束ねたもの。
PC硬鋼線	ビーシーこうこうせん	prestressed concrete steel wire, PC steel wire	プレストレスを加えるために用いる直径9mm程度以下の高強度の鋼線。
PC鋼材	ビーシーこうざい	prestressed concrete steel, prestressed concrete tendon, PC steel, PC tendon	PC鋼線・PC鋼より線・PC鋼棒などプレストレスを与えるために用いる高強度の鋼材の総称。

PC鋼線	ぴーしーこうせん	prestressed concrete steel wire, PC steel wire	プレストレスコンクリート中に設置された高強度の鋼線。直径1～8mm程度。
PC鋼棒	ぴーしーこうぼう	prestressed concrete steel bar, PC steel bar	プレストレスを与えるために用いる直径9mm程度以上の高強度の鋼棒。
PC鋼より線	ぴーしーこうよりせん	prestressed concrete steel strand	PC鋼線をよりあわせたもので、コンクリート構造物や岩盤などにプレストレスを与えるために用いられる。
BCC	ぴーしーしー	beginning of circular curve, BCC	路線において直線部より円曲線に移る点。円曲線始点。
PCD工法	ぴーしーでーこうほう	PCD construction method	コンクリートポンプを使用したダムコンクリート打設工法
PCパイル	ぴーしーぱいる	prestressed concrete pile, PC pile	プレストレストコンクリート杭と同義。
PCB	ぴーしーびー	Poly Chlorinated Biphenyl, PCB	ポリ塩化ビフェニール。有機塩素化合物で有毒。絶縁体やインキの添加剤などに使われていたが有毒性のため生産中止。
Bセグメント	ぴーせぐめんと	type B segment	シールドトンネルのセグメントの一部で、組立の順序はトンネル下部より天端に向かってA-B-Kと組上げる。
B層	ぴーそう	B horizon	土壌層位を示すABC式表示法の一つで、土壌母材の風化層、またはA層から溶脱した物質の集積層。
PWM	ぴーだぶりゅえむ	pulse width modulation, PWM	パルス幅変調と同義。
BW工法	ぴーだぶりゅこうほう	BW long-wall-drilling method	回転多軸ビットとリバースサーキュレーションシステムにより溝掘りし、これを鉄筋コンクリート壁と置換える方式の地下連壁工法。
b値	ぴーち	b-value	グーテンベルグーリヒターが発表した地震の規模と発生頻度の関係を表す式中の係数で、地域特性をもつ。
ビーチコーラル	ぴーちこーらる	beach coral	熱帯・亜熱帯のサンゴ礁に取り巻かれた砂浜を構成し、炭酸カルシウムを多量に含む白色のサンゴ砂。
ビーチャジ海淵	ぴーちゃじかいえん	Vitiaz deep	ソ連の観測船ビーチャジ号によって発見されたマリアナ海溝中の最深部。水深は11,034mである。
PDR	ぴーでいーあーる	precision depth recorder, PDR	通常の音響測深機に接続して、高精度の測深記録を得られるように改良された記録器。
BTC	ぴーていーしー	beginning of transition curve, BTC	路線において直線部より緩和曲線に移る点。緩和曲線始点。

P-Tダイアグラム	ぴーていーだいやぐらむ	P-T diagram	圧力と温度を軸としたダイアグラムで、種々の相の共生関係を表現した相図。
PEAT	ぴーと	peat	泥炭と同義。
ヒートアイランド	ひーとあいらんど	heat island	都市部の温度が周辺より高く「熱の島」を形成する現象をさす。コンクリート等による地表面被覆や高密度のエネルギー消費に起因する。
PEATサンプラ	ぴーとさんぷら	peat sampler	PEATなどの高含水比試料を乱さず採取する器具。
ヒート・フロー・ユニット	ひーとふろーゆにつと	heat flow unit, Heat flow unit (HFU)	地中から地表に向かって流れる熱流量の単位。10 ⁶ cal/cm ² ・sが1熱量単位 (HFU)。
ヒートポンプ	ひーとぽんぷ	heat pump	低温の熱を吸収して高温の熱を作り出すポンプ。冷・暖房両方に使え、家庭用冷暖房機として普及している。
P波	ぴーは	P wave	波の伝播方向と媒質粒子の振動方向が一致する波。最初に到達する波でP波 (primary wave) と呼ばれる。
ビバー氷期	びーばーひょうき	Biber glacial stage	アルプスにおいてドナウ氷期より古い氷期としてI. Schaefer (1956)により提唱されたもの。詳細は不明な点が多い。
P波速度	ぴーはそくど	velocity of primary wave	媒体の体積膨張・収縮を伴いながら伝達される波 (P波) の伝搬速度。進行方向と振動方向が一致する。
P波速度構造	ぴーはそくどこうぞう	underground structure analyzed by P wave velocity distribution	屈折法地震探査などによって求められる地下のP波速度構造。断層や破碎帯の位置、地盤の風化状況などを評価。
Pバンド	ぴーばんど	P-band	マイクロ波波長域である77~133cm (周波数390~220MHz) の帯域。
BPI	びーびーあい	bit per inch, BPI	磁気テープの記録密度を表す単位の一つ。1インチにつき何ビットの情報が記録可能かを表す。
PPIレーダー	ぴーびーあいらーだー	plane position indicator radar, PPI rader	回転式アンテナで物体からの反射波を受信し、その表示は、円形もしくは扇型などにて示される。
ppm	ぴーびーえむ	parts per million, ppm	百万分の一 (10 ⁻⁶) を表わす単位
ppt	ぴーびーてい	parts per trillion, ppt	一兆分の一 (10 ⁻¹²) を表わす単位。
ppb	ぴーびーびー	parts per billion, ppb	十億分の一 (10 ⁻⁹) を表わす単位。

ヒービング	ひーびんぐ	heaving	上載荷重の除去や掘削に伴って、掘削面の土がすべり破壊を起こして盛り上がる現象。盤膨れともいう。
ヒービング圧力	ひーびんぐあつりよ く	heaving pressure	凍結による膨張や上載荷重の除去などによる地盤の膨れ上がりによって、構造物に作用する土圧。
ヒーブ	ひーぶ	heave	引っ張ること。断層による地層や鉱脈の水平ずれ（転差）。水平傾斜移動。
Pヘッドウェーブ	ぴーへっどうえーぶ	P head wave	屈折により第2層を経由した後、地表に達したP波。
ビーム形重力計	びーむがたじゅう りょくけい		精度を上げるために開発された重力計の型。ビームの先端に質量をおき、てこの原理で精度を上げている。
ビールレンデル階	びーるれんでるかい	Vierlander stage	ハンブルグ地方に分布する新第三系の海成層で、化石に富む砂岩からなり、層厚数十mの地層。
火打石	ひうちいし	flint, Fire-stone	チャート質岩石のうちの特殊なタイプ。チャートの同義語としても使われることもある。
火打断層	ひうちだんそう	Hiuchi fault	活断層。確実度Ⅰ，活動度B級，北東方向。阿寺断層の南西側，岐阜県下呂町を北東方向に走る北西走向の阿寺断層と共役関係にある延長15kmの断層。
比叡断層	ひえいだんそう	Hiei fault	活断層。確実度Ⅰ～Ⅱ，活動度B級。大津市の滋賀里～皇子ヶ丘付近で山麓部の扇状地下に潜在するとされる。
ピエゾコーン	ぴえぞこーん	piezocone	先端抵抗・周面摩擦力・間隙圧の3成分を計測できる多成分コーン。
ピエゾコーン試験	ぴえぞこーんしけん	piezo cone test	コーンを静的に地盤に貫入させ，貫入時の先端抵抗と間隙水圧を電氣的に測定する原位置試験をいう。
ピエゾ水頭	ぴえぞすいとう	piezo head	管水路の管壁に立てたガラス管内でみられる水位上昇の基準面よりの高さ。
ピエゾ電気効果	ぴえぞでんきこうか	piezoelectric effect	圧電効果ともいう。結晶が特定の方向に圧縮されたり伸張された場合，その結晶の両端に電荷が生じること。地震発生時にみられる現象として地震電波や発光現象があるが，地震電波は岩石を構成する鉱物のこの効果によって発生する。
ピエゾメータ	ぴえぞめーた	piezometer	間隙水圧計と同義。
ピエゾメータ管	ぴえぞめーたかん	piezometric tube	ピエゾメータに水を取り入れるチップと圧力測定部を連結する管。
ピエゾメータ水頭	ぴえぞめーたすいとう	piezometric head	帯水層中のある点に立てた水位管（ピエゾメータ）の中に現われる水面の基準面からの高さ。

稗田山地すべり	ひえだやまじすべり	the Hiedayama landslide	1911年8月に稗田山山腹約150万m ³ が大崩壊し、土石流となって流下し、姫川を一時堰き止めた。3日後に決壊し、下流の民家などの流失がみられた。これにより河床は最大60m上昇した。
非円筒状褶曲	ひえんとうじょうしゅうきよく	noncylindrical fold	直線を平行に移動させることでは表現できないような褶曲面をもつ褶曲。
ビオー方程式	びおーほうていしき	Biot's equation	三次元圧密状態で圧密沈下量を導く線形弾性圧密理論の一つ。
日置層群	ひおきそうぐん	Hioki Group	山口県西端の特牛付近に分布する新第三系前期中新統の堆積岩類で化石を多産する。
樋押し坑道	ひおしこうどう	drift	鉱床に沿って掘削された水平坑道で探査や採掘、運搬路としても利用される。
ビオ・フレネルの法則	びおふれねるのほうそく	Biot-Fresnel's law	光学的異方性を示す物質内において、ある方向に進む二つの偏光波の振動方向に関する法則。
砒華	ひか	arsenolite	As ₂ O ₃ 。ひ素(砒素)を主成分とする鉱物の分解により生成される。また鉱山火災による昇華物として生じる。方ひ素(砒素)華ともいう。
被害地震	ひがいじしん	damaged earthquakes	明確に被害履歴がわかる地震。明治以前のは遺跡や古文書による。我が国では599年に被害を伴った地震があったことが「日本書紀」に書かれているのが最古。
非海成堆積物	ひかいせいたいせきぶつ	non-marine sediments	風成、河成、湖成などの陸上堆積物。海成堆積物以外の堆積物の総称。
控え	ひかえ	strut, stay, brace, shore	切ばり、腹起しなどが外力に耐える力を保つための内側部材。
控え壁式橋台	ひかえかべしききょうだい	counterforted type abutment, counterforted abutment	橋台の壁部を補強するために土圧の作用する側に直角に張り出した壁を設けたもの。
控え壁擁壁	ひかえかべようへき	counterforted type retaining wall, counterforted retaining wall	たて壁を補強するために土圧の作用する側に直角に張り出した壁を設けた擁壁。
控え杭	ひかえぐい	raking pile	矢板や土止め杭などとワイヤなどで結ばれて補強のために用いられる短い杭。
皮殻	ひかく	crust	①乾燥した土壌表面にできる砕けやすい薄い緻密な堀。 ②有孔虫の殻の表面を覆う石灰質の皮。
皮殻岩	ひかくがん	shell rock	横臥背斜で、核岩を殻のように包みこんでいる岩石。
比較測定(重力の)	ひかくそくてい(じゅうりょくの)	relative measurement, relative measurement of gravity	基準量と比較して測定すること。ある基準点の重力値と比較して地球上の各点で重力値を測定すること。

微角礫岩	びかくれきがん	microbreccia	砂より少し大きい粒径の、非常に角ばった石質粒子からなる礫岩。カタクラサイト化により母岩が小角礫状に破碎されたもの。
非火山性温泉	ひかざんせいおんせん	non-volcanic type hot spring	熱源が火山活動と密接に関係していることが明らかでない温泉のこと。地下深所（深層）で暖められた地下水や、地殻変動などで古い海水が地中に閉じこめられているものなど。
非火山性静岩圧系地熱貯留層	ひかざんせいせいがんあつけいちねつちよりゅうそう	lithostatic pressure hydrothermal system reservoir	非火山性熱源によって加温された深層熱水を、キャップブロックによる被圧状態下で貯留する地層または断裂系。
非火山性地熱	ひかざんせいちねつ	non-volcanic geothermy	火山性熱源以外の熱源から供給された岩盤中の熱。地殻の放射性物質の壊変やマントルからの熱を熱源とする。
非火山性熱水	ひかざんせいねつすい	non-volcanic thermal water	地殻の放射性物質の壊変による熱や、マントルからの熱などの非火山性熱源によって加熱されて生じた熱水。
東赤石かんらん岩(橄欖岩)体	ひがしあかいしかんらんがんたい	Higashiakaishi peridotite mass	四国三波川変成帯のうち、別子南方の変成帯に調和的に固体貫入しているかんらん岩(橄欖岩)体。レンズ状にエクロジャイトを伴っている。
東アフリカ地溝帯	ひがしあふりかちこうたい	East African Rift Valleys	アフリカ東部の台地を南北4,000kmにわたって縦貫する大地溝帯。中央海嶺と類似した特徴を持つ。
東余目ガス田	ひがしあまるめがすでん	Higashiamarume gas field	山形県庄内平野の地震探査によって1957年に発見。1975年開発。貯留岩は東余目背斜構造の丸山層上部の砂岩。
東アルプスナップ	ひがしあるぷすなっふ	Austro-Alpine nappes	東アルプスに認められるデッケ群で、上、中、下部に区分されている。
東伊豆単成火山群	ひがしいずたんせいかざんぐん	Higashiizu monogenetic volcano group	伊豆半島東南沖に連なるただ一回の噴火で生じた火山島群。フィリピン海プレートの火山フロントに相当する。
東インド海溝系	ひがしいんどかいこうけい	East Indonesian trenches	東インド諸島（インドネシアの島々）付近の島弧－海溝系。
東居辺断層	ひがしおりべだんそう	Higashioribe fault	活断層。確実度I、活動度B級、北北東方向。北海道十勝平野東縁山麓沿いに位置し延長13km。変位基準面は段丘面で、平均変位速度0.1～0.2m/10 ³ 年。
東川地すべり	ひがしかわじすべり	the Higashikawa landslide	1953年に新潟県東頸城郡松之山町東川地内で発生した第三紀層地すべり。松之山ドームの南東翼部に位置する流れ盤地すべり。
東シナ海大陸棚	ひがししなかいたいりくだな	shelve of the East China Sea	朝鮮半島から台湾海峡付近まで広がる非常に広い大陸棚。
東太平洋海膨	ひがしたいへいようかいぼう	East Pacific rise	東太平洋に認められる中央海嶺で、太平洋の南東からカリフォルニア湾を経由して、アラスカに達する。東太平洋海嶺と同義。
東太平洋海嶺	ひがしたいへいようかいれい	East Pacific ridge	南太平洋のほぼ中央にある海底の大山脈。大洋底拡大説では新しい地殻物質の供給源である。

東鳥取石	ひがしとっとりいし	Higashi-Tottori ishi	大阪府南端部に産する石材。上部白亜系の和泉砂岩。緑灰色・緻密。墓石・間知石など土木用に利用される。
東新潟ガス田	ひがしにいがたがす でん	Higashi Niigata gas field	新潟市東方に位置するガス田。1959年に発見。深度1200～3400mの西山層，椎谷層，寺泊層の砂岩層から産出。
東日本火山帯	ひがしにほんかざん たい	East Japan volcanic belt	東日本島弧系に分布する火山全体を，一つの分布域としてとらえた概念。
東日本島弧系	ひがしにほんとうこ けい	East Japan arc system	千島弧－東北日本弧－伊豆小笠原弧－マリアナ弧と連なる，太平洋プレートの沈み込みに関連した一連の島弧の総称。
東メラネシア海溝	ひがしめらねしあか いこう	East Melanesian trench	南太平洋のサモア島からソロモン諸島にかけて西北西－東南東に分布する海溝。
東山石	ひがしやまいし	Higashiyama ishi	①福島県会津若松市東山町に産する新第三系前期の凝灰岩。虎布石とも呼ばれる。土木用として利用される。 ②高知県土佐清水市・中村市などに産する四万十累層群中の粘板岩。土木用に利用される。
東山寺地すべり	ひがしやまでらじす べり	the Higashiyamadera landslide	新潟県中頸城郡板倉町東山寺地区の第三紀層地すべり。鎌倉時代からの記録があり，旅僧の人柱説話で知られる。
東山油田	ひがしやまゆでん	Higashiyama oil field	新潟県長岡市東の油田。1951年発見。深度700mまでの椎谷・寺泊層の背斜尖滅部の砂岩を貯留岩とする。
微化石	びかせき	microfossil	顕微鏡サイズの微小な化石。放散虫・有孔虫・珪藻や花粉・さんご（珊瑚）骨片・コノドントなど生物の一部であったもの。
微化石層序学	びかせきそうじょが く	microbiostratigraphy	有孔虫，コノドント，花粉などの微小な化石を用いた地層区分および対比を行う層位学。
非可塑性粘土	ひかそせいねんど	non-plastic clay	可塑性のない粘土の意味。特に著しい可塑性を示す粘土以外のものをさす。
干潟	ひがた	tidal flat	潮間帯に広がる平坦な堆積面で，低潮時に広範囲に露出する。一般に，その規模は潮位差の大きさと比例関係がある。
非活動縁辺域	ひかつどうえんぺん いき	passive margin	大洋の両側の大陸縁辺域で，大陸が分裂・拡大した結果形成されたもので，火成活動や造山運動は不活発。
氷上花崗岩	ひかみかこうがん	Hikami granite	岩手県陸前高田市北方の氷上山を中心とした花崗岩体と，周辺に分布する同時期の小岩体。
光ディスク	ひかりでいすく	optical disk	光を使って情報の読み出しと書き込みができる円盤状の記憶媒体。
光年代測定	ひかりねんだいそく てい	optical age determination	熱ルミネッセンス法と同様に不対電子の濃度から年代を求める方法で，熱の代わりにレーザー光の照射によって励起させて生じる蛍光の強さを測定する。太陽光の曝露でリセットされることから堆積年代の測定に適していると考えられている。

光ファイバセンサ	ひかりふあいばせんさ	optical fiber sensor	構造物のひずみや温度を測定するセンサ。光ファイバ沿いのひずみや温度の分布が把握でき、構造物の維持管理やコンクリートダムの温度測定に用いられる。
ビカリヤ	びかりや	<i>Vicarya</i>	主として中新世に栄えた腹足類の絶滅種で、殻は塔状、螺層を持ち棘状突起がある。示準化石および示相化石として用いられている。
光ルミネッセンス年代測定法	ひかりるみねっせんすねんだいそくていほう	optically stimulated luminescence	自然放射線の被曝により鉱物・結晶などに含まれる放射線損傷が時間とともに増加することを利用した年代測定法で、ある波長の光を石英粒に当てたときに、放射線損傷の解消により発光することを利用して、放射線損傷量を発光強度として検出するもの。
氷川統	ひかわとう	Hikawa series	上部石炭系の上部に相当し、熊本県泉村の模式地では石灰岩からなる。化石からはカウビー統とされている。
樋管	ひかん	sluiceway	堤体内を暗きよ（暗渠）で横断する設備で規模が小さいもの。
非乾燥法	ひかんそうほう	non dry method non desiccation method	突き固め試験において、採取した試料をそのままの含水状態で用いる方法。
美観地区	びかんちく	landscape architecture area	市街地の美観を維持するため、建築物の敷地・構造・設備などに関し制限を受ける地域。
比貫入抵抗値	ひかんにゆうていこうち	specific driving resistance	比貫入試験装置の地盤中への打ち込みに必要な、ハンマーのエネルギーに関係づけられた値。貫入試験において、抵抗体を地盤の単位体積分貫入させるのに必要なハンマーのエネルギー。
引金作用	ひきがねさよう	trigger action	潮汐による地震の誘発など、微小な出来事が作用して大事件につながる事。
引きずり褶曲	ひきずりしゅうきょく	drag fold	物性の異なる層状岩体とその境界をすべり面としてずれる場合、相対的に変形しやすいインコンピテント層が引きずられて生じる小褶曲構造。逆転褶曲の識別に役立つ。
引波	ひきなみ	back swash	岸に打ち寄せた波が戻るときの流れ。船や堤防で跳ね返された波や流れ。
引抜極限耐力	ひきぬききょくげんたいりょく	pull-out ultimate bearing capacity	ロックボルトなどの引抜試験の際、変位量が急増し、荷重が増加しなくなった時の荷重。
引抜降伏耐力	ひきぬきこうふくたいりょく	pull out yield bearing capacity	ロックボルトなどの引抜試験の際、引抜荷重と変位量との関係図で変曲点となる荷重の最小値。
引抜試験	ひきぬきしけん	pulling test, pull-out test	ロックボルトやグラウンドアンカーの頭部に引張力を作用させ、所要の力学性を有するかを調べる試験。
引抜抵抗	ひきぬきていこう	pull-out resistance, pulling resistance	ロックボルトを地山（岩盤）に打設後、引抜力を負荷した際の抵抗。極限引抜抵抗と降伏引抜抵抗がある。
引抜力	ひきぬきりょく	pulling force	杭などを引抜こうとする力。長期的なものと地震時のロッキングのような短期のものがある。

匹見層群	ひきみそうぐん	Hikimi Group	島根県匹見町を中心に広島・島根県境周辺に分布する再結晶化の進んだ白亜系の酸性凝灰岩～溶結凝灰岩層。地溝状陥没帯を形成している。
比吸水率	ひきゅうすいりつ	specific absorption	物質の吸水状態の体積と飽和状態の体積の比。物質の吸水能力の大きさを示す。
非強靱層	ひきょうじんそう	incompetent bed	変形に対して相対的に流動しやすい層で、物性の異なる層状岩体が褶曲する際には受動的に変形する。
非均質	ひきんしつ	heterogeneity, heterogeneous, inhomogeneous	不均質と同義
非金属	ひきんぞく	non-metal	金属光沢がないことや電気抵抗が大きいことなど、金属の性質を持たない物質。
非金属鉱床	ひきんぞくこうしょう	non-metallic deposit	資源として開発可能な鉱床のうち、稼行対象が非金属であるもの。なお燃料鉱床は含めない。
非金属光沢	ひきんぞくこうたく	non-metallic lustre	不透明鉱物が持つような、金属のような光沢とは異なる光沢。透明～半透明な鉱物の持つ光沢で、内部のへき開（劈開）面・裂開面からの反射による。
非金属鉱物	ひきんぞくこうぶつ	non-metallic mineral	その鉱物が持つ化学的・物理的性質を利用する各種工業の原料となる鉱物。珪石・長石・石灰石など。
非金属鉱物資源	ひきんぞくこうぶつしげん	non-metallic mineral resource	金属の抽出を目的とせず、その化学的・物理的性質が利用できる天然鉱物資源（化石燃料資源を除く）。
ピクノメータ	びくのめーた	pycnometer	粒状土の比重を測定するための器具。比重びんともいう。
髭結晶	ひげけっしょう	whisker	針状、毛髪状、リボン状で良く伸長した形状の結晶。針ニッケル鉱、毛鉱などで顕著。この形状の結晶は物理的な強度に優れている。
非結晶質岩石	ひけっしょうしつが んせき	non-crystalline rock, amorphous rock	マグマの急冷によって生成するガラス質の岩石で、黒曜石・松脂岩・真珠岩などがこれに当たる。
非顕晶質	ひけんしょうしつ	aphanitic	岩石を粒度で区分した場合、肉眼では構成鉱物が識別できないものをさす。
非顕晶質岩	ひけんしょうしつが ん	aphanite	肉眼で識別できないような微細結晶から構成される暗色細粒な火成岩。
非構造	ひこうぞう	nontectonic	地殻変動に由来しない構造。地表での重力や化学変化に伴ってできた構造。クリーブや海底地すべり堆積物など。
微構造	びこうぞう	microstructure	構造運動に伴って生じた、顕微鏡下でのみ観察される規模の片理、鉱物配列などの微細構造。

微構造論	びこうぞうろん	microtectonics	顕微鏡的なスケールの構造を基礎として、大きい構造運動を解明する研究。
微高地	びこうち	slightly higher land	低平地にあつて周囲よりも0.5～3.0m程度高い土地。
p g	びこぐらむ	picogram	一兆分の一 (10^{-12}) グラムを表わす単位。
非固結岩屑土	ひこけつがんせつど	regosol	明瞭な土壌化の認められない、非固結堆積物に対する土壌型名。現世の砂丘堆積物などが相当する。非成帯性土壌の一つ。レゴソルともいう。
微古生物学	びこせいぶつがく	micropaleontology	有孔虫、コノドント、放散虫、花粉などの微小な化石を対象とした古生物学の一分野。石油探査への応用により発展した。
肥後変成岩類	ひごへんせいがんるい	Higo metamorphic rocks	肥後変成帯を構成する変成岩類の総称。主に砂質・泥質の縞状片麻岩、片岩、珪質縞状片麻岩、結晶質石灰岩からなる。
肥後変成帯	ひごへんせいたい	Higo metamorphic belt	熊本県八代市北東の臼杵―八代構造線を南限として、その構造線に沿って細長く分布する低圧高温型変成帯。領家・肥後変成帯ともいう。
日頃市統	ひころいちとう	Hikoroichi series	北上、阿武隈山地に分布する下部石炭系の下部。泥岩、凝灰岩、石灰岩などからなる。トゥルネー～エトロウクト～ビゼー統に相当する。
飛砂	ひさ	sand drifting, blown sand	砂粒が風によって運ばれる現象、あるいはそのような状態にある砂粒。飛砂の堆積したものの一つが砂丘。
微細組織成分分析	びさいそしきせいぶんぶんせき	composition analysis of microscopic texture	顕微鏡観察によって石炭の単位組成成分（マセラル）の構成を分析すること。
微細粒子	びさいりゅうし	very fine particle	粘土またはコロイドに相当する粒子。
久江地すべり	ひさえじすべり	the Hisae landslide	1904年に石川県久江で発生した地すべり。
久枝石	ひさえだいし	Hisaeda ishi	千葉県房総半島南端に分布する中新統凝灰岩。多くの産地で色々な呼称を持つ。土木用に用いられる。
飛砂現象	ひさげんしょう	aeolian sand transport	広義には土質や場所にかかわらず土砂が風によって移動する現象の総称。狭義には海岸で砂が風によって移動する現象をさす。
飛砂採取器	ひささいしゅき	sand trap	飛砂を捕捉し、飛砂量を測定する装置。
久末地すべり	ひさすえじすべり	the Hisasue landslide	1965年梅雨期に神奈川県川崎市久末で発生。谷頂部の石炭灰による盛土が崩れた。

肥薩火山岩類	ひさつかざんがんるい	Hisatsu volcanic rocks	熊本・鹿児島県境に位置する矢筈岳・鬼が岳火山群, 上場溶岩台地などを構成する第三系火山岩類の総称.
飛砂防止工	ひさぼうしこう	protection of wind-blown sand, wind-blown sand prevention works	海岸砂防工の一種. 海岸砂地を固定し, 飛砂による害, 砂丘の移動や海岸の浸食を防止する目的の工事. 主に編柵工や黒松などの造林を行う.
比産出率	ひさんしゅつりつ	specific yield	飽和した単位体積の岩石・土壌が重力排水で産出できる水の体積の全体積に対する割合. 不圧地下水については貯留係数に等しい.
比残留率	ひざんりゅうりつ	specific retention	飽和していた岩石・土壌が, 重力排水後も保持している水の体積の全体積に対する割合.
微視異方性	びしいほうせい	microscopic anisotropy	鉱物, 片岩などの変成岩, 頁岩, 石灰岩などの堆積岩中に認められる小さな異方性.
肘折	ひじおり	Hijiori	山形県中西部の地名. 直径約2kmのカルデラ地形を成し, 肘折シラスや肘折尾花沢テフラを噴出. 高温岩体の研究地.
肘折カルデラ	ひじおりかるでら	Hijiori caldera	山形県中西部にあるカルデラで, 上部中新統を基盤としている. 深部に高温部分を有し, 高温岩体発電に関する実験サイトとなった.
肘折テフラ	ひじおりてふら	Hijiori tephra	山形県の肘折カルデラから約1万年前に火砕流を伴って噴出したテフラで, 縄文時代早期の指標層.
菱刈鉱山	ひしかりこうざん	Hishikari mine	鹿児島県北東部の浅熱水性鉱脈型金銀鉱床を採掘している鉱山. 1981年四万十累層群中に富鉱体を発見. 日本最大の埋蔵金量約260t, 平均品位50 g/t.
比磁化率	ひじかりつ	specific susceptibility	単位質量あたりの磁化率.
微視クラック	びしくらっく	microcrack, hair crack	微小な割れ目. 顕微鏡から肉眼で確認できる大きさ程度まで. 破壊の初期段階で生じると言われる.
非地震性地殻変動	ひじしんせいちかくへんどう	aseismic crustal movement	地震と直接つながりのない地殻変動. 氷河が溶けだして隆起する場合や, 湖水が蒸発して隆起するなどの事例がある. 汎地球的にはハイドロアイソスタシーという現象がある. これは, 海水の増加による海底の沈降と付近の陸の隆起が考えられている.
非磁性ドリルカラー	ひじせいどりるかー	non-magnetic drill collar	電磁式方位測定器を使用するために開発された非磁性材料で造られたドリルカラー.
非持石英閃緑岩	ひじせきえいせんりょくがん	Hiji quartz diorite	古期領家花崗岩類に属する, 鹿塩構造帯に沿って分布する片麻状トータル岩～花崗閃緑岩.
微視的破壊	びしてきはかい	microfracture	物質内部には鉱物粒境界や微小クラックなどの力学的欠陥を含んでいるが, それらが外部応力で破壊される状態をいう. 破壊されるときに生じる弾性波をアコースティックエミッション(AE)という.
ビシニュー片岩	びしにゅーへんがん	Vishnu schist	コロラド高原に分布する先カンブリア系. 珪岩, 石英雲母片岩, 絹雲母片岩, 角閃岩を主体とする.

非自噴性被圧地下水	ひじふんせいひあつちかすい	non-flowing confined groundwater	被圧地下水を胚胎する帯水層に井戸を掘削した際、地上に自噴しない地下水。単に非自噴性被圧水ともいう。
微斜カリ長石	びしゃかりちょうせき	microcline	微斜長石と同義。
微斜長石	びしゃちょうせき	microcline	$KAlSi_3O_8$ 、三斜晶系、硬度6、比重2.55。光学性は二軸性(-)を示す。酸性火成岩中に産出する。
比重	ひじゅう	specific gravity	物質の質量と同体積の1気圧、4℃の純粋な水の質量の比。
比重計	ひじゅうけい	densimeter, specific gravity meter, hydrometer	比重（密度）の測定機器の総称。
比重計法	ひじゅうけいほう	hydrometer method	粒度分析法の一種。ストークスの法則を利用して沈降時間と沈降深さとの関係から、沈降粒子の粒径を求める方法。
比重試験	ひじゅうしけん	specific gravity test	物質の比重を求めるための試験。
非自由水	ひじゅうすい	unfree water	結合水のこと。土粒子の表面に吸着され、ほとんど動かない。
比重選鉱	ひじゅうせんこう	gravity concentration, gravity separation	鉱石の選鉱法の一種。鉱石鉱物を選別する際に、比重差を利用するもの。
比重びん	ひじゅうびん	pycnometer	固体や液体の比重を測定するためのびん。
比重びん容積計	ひじゅうびんようせきけい	pycnometer volumeter	比重ビン（ピクノメータ）を利用して固体の容積を測定する器具。
比重浮ひょう	ひじゅうふひょう	specific gravity hydrometer	土の粒度試験に用いる用具で、15℃の水中で1.000の読みを示すもの。
比重浮ひょう定数	ひじゅうふひょうていすう	constant of specific gravity hydrometer	比重浮ひょうの検定によって得られた球部の体積や長さおよびメニスカス補正などの固有の値。
比重浮ひょうによる粒度測定	ひじゅうふひょうによるりゅうどそくてい	grain size analysis by hydrometer	土の粒度試験において、74μmより小さい試料の粒度を測定する方法。
比重浮ひょうの有効深さ	ひじゅうふひょうのゆうこうふかさ	effective depth of hydrometer	比重浮ひょうの各読みとりより算出される値で、沈降分析結果の粒度の計算に用いる。
微重力	びじゅうりょく	microgravity	衛星軌道上での重力は0ではなく、周囲から微小の重力を受ける。この重力のこと。

非樹木花粉 (NAP)	ひじゅもくかふん (えぬえーぴー)	non-arboreal pollen, NAP	樹木以外の花粉. NAP・草木花粉ともいう. イネ科の花粉は森林密度や人類の農耕に関する研究などで注目される.
眉丈山第2断層	びじょうざんだいにだんそう	Bijouzan-daini fault	活断層. 確実度 I, 活動度 B級, 北東方向. 能登半島中南部, 邑知地溝帯の北西側に位置し延長10km.
微小地震	びしょうじしん	micro earthquake	地震エネルギーの単位であるマグニチュード(M)が, $3 > M \geq 1$ の地震. 通常は無感地震.
非晶質	ひしょうしつ	amorphous	結晶質でない物質を形容する語. 岩石に対してはガラス質の語を用いる.
微晶質	びしょうしつ	microcrystalline	岩石の構成鉱物が, 顕微鏡下でのみ識別できる大きさの岩石の組織.
非晶質粘土	ひしょうしつねんど	non-crystalline clay, amorphous clay	原子配列において小範囲の規則性のみを持つ粘土. アロフェン・非晶質鉄・含水アルミニウム酸化物などが代表例.
微焦点엑스線管	びしょうてんえつくせんかん	microfocus X-ray tube	X線管の対陰極の電子が当たる焦点が, 非常に小さく (通常0.1mm以下), 通常のX線管に比べ電束の強いX線が得られるもの.
微小破壊	びしょうはかい	microcracking	①物体に荷重を加えたときに最大荷重 (ピーク強度) に先立って物体内部で生じる微小な破壊. この時に発生する音波がアコースティックエミッション(AE). ②地震の本震の前に発生する岩盤の局所的な破壊.
微小破壊音	びしょうはかいおん	acoustic emission	AE (アコースティックエミッション) と同義.
微小変形	びしょうへんけい	micro strain	外力により物体内に発生した応力によって生ずる微小な変形で, 弾性理論がほぼ適用できるとされる.
比色計	ひしよくけい	colorimeter	基準色と測定対象の色の濃淡の違いを測定する装置. 測定方法として, 吸光光度法や蛍光強度法などがある.
比色定量法	ひしよくていりょうほう	colorimetric analysis	比色分析と同義.
比色分析	ひしよくぶんせき	colorimetric analysis	試料の色調や色の濃度を標準試料と比較することにより定量分析する方法.
ビショップ式圧密試験装置	びしよっふしきあつみつしけんそうち	Bishop consolidometer	圧密や圧縮特性を調べるために, 時間による試料の圧縮量が記録される圧密試験器.
ビショップ式サンプラ	びしよっふしきさんぷら	Bishop sampler	サンプルチューブからの脱落防止のために, 圧縮空気を利用するソイルサンプラ.
ビショップ法	びしよっふほう	Bishop's method	ビショップが提唱した円弧すべり面法の一つ. スライス間力を考慮に入れて, 地すべり土塊の各鉛直スライスに働く力のつり合いを考えた安定解析法.

微震	びしん	slight earthquake	気象庁が定める地震の震度1の呼称。計測震度計によって観測される計測震度0.5～1.5の地震に対応する。
非震性海嶺	ひしんせいかいれい	aseismic ridge	地震活動の全く無い海嶺。海面下に没した島弧や古い時代に活動した海底火山列などがある。
ひすい（翡翠）	ひすい	jade	鉱物学的にはひすい輝石あるいはアクチノ閃石、透閃石（ネフライト）の緻密な集合体。緑色が尊ばれるが、様々な色調のものがある。
ヒステリシス	ひすてりしす	hysteresis	土や岩石などの応力-ひずみ関係において、応力増加時と減少時でひずみが異なる性質。
ヒステリシス曲線	ひすてりしすきょくせん	hysteresis curve, hysteresis loop	1サイクルの载荷と除荷の過程で異なる経路を通る応力履歴曲線。一般的材料は永久ひずみが残る。
ヒステリシスループ	ひすてりしするふ	hysteresis loop	動的荷重を受けた土や岩石の応力-ひずみ関係は紡錘形の曲線ループを描く。この曲線と呼ぶ。
ヒストグラム	ひすとぐらむ	histogram	横軸に区間分けした変数を取り、測値の度数分布を柱状に表した図。
ヒストソル	ひすとそる	histosols	土壌分類の一つで、有機質土壌を表す。泥炭土、黒泥土などを含む。
ピストンエクステンションロッド	びすとんえきすてんしょんろっど	piston extention rod	固定ピストン式サンプラのピストン固定のために、ピストンと地上の固定点を接続するロッド。
ピストン型積算体積計	びすとんがたせきさんたいせきけい	piston-type integrating volumeter	容積流量計の一種。計器内を通過する流体の測定ますにピストンを利用したもの。
ピストン型土圧計	びすとんがたどあつけい	piston-type earth pressure meter	厚い受圧板で、ピストン式に受圧板全体が変位する型の土圧計。
ピストン型面積流量計	びすとんがためんせきりゅうりょうけい	piston-type area flow meter	面積流量計の一種。管路のしぼりにピストンを用い、ピストンの位置を測定することにより流量が求められる。
ピストン式コアラー	びすとんしきこあらー	piston corer	海底面に鉛直に貫入させ、底質の柱状試料を採取する円筒サンプラ。
ピストン式サンプラ	びすとんしきさんぷら	piston sampler	サンプリングチューブの中のピストンの真空作用により試料の落下を防止するサンプラ。
ピストンシリンダー型高圧装置	びすとんしりんだーがたこうあつそうち	piston-cylinder type high-pressure apparatus	高圧発生装置の一種。シリンダー内の試料に対して、上下のピストンで内部を圧縮して高圧を発生させる装置。
ピストンロッド	びすとんろっど	piston rod	ピストン式サンプラのピストンに接続するロッド。

ビスマス石	びすますいし	bismuthinite, bismuthglance	Bi ₂ S ₃ , 斜方晶系, 硬度2, 比重6.7~6.8. 高温の熱水鉱床に見られるビスマスの鉱石鉱物. (010)に平行なへき開(劈開)を有する. 輝蒼鉛鉱ともいう.
ビスマス鉱床	びすますこうしょう	bismuth deposit	蒼鉛(Bi)を含む鉱床. Cu, Agなどの鉱石の副産物として産出. 割れ目充填鉱脈や熱水交代鉱床が主体. 生野・明延鉱山での産出がある.
ひずみ	ひずみ	strain	物体の変形度合いを表す量. 長さの変化量を元の長さで割った軸ひずみ, せん断変形による角度変化の正接(tan)で表すせん断ひずみ, 体積変化の割合を表す体積ひずみがある.
ひずみ依存性	ひずみいぞんせい	strain-dependence	物性値がひずみの大きさに支配される性質. 土や岩は非線形性を有し, 変形特性はひずみの大きさにより変化する.
ひずみ依存特性	ひずみいぞんとくせい	characteristic of strain-dependence	ひずみ依存性と同義. 土の動的剛性率のひずみ依存特性ではHardin-Drnevichi, Ramberg-Osgoodなどの各モデルがある.
ひずみエネルギー	ひずみえねるぎー	strain energy	弾性体に外力が加わったとき, 弾性体は変形する. このときに弾性体内に貯えられるエネルギーのこと.
ひずみエネルギー法	ひずみえねるぎーほう	strain energy method	仮想仕事の原理に基づき, 構造物に作用する外力に対する応力や変形を求める方法.
ひずみ解放曲線	ひずみかいほうきょくせん	strain release curve	ある地震系列で, 縦軸に放出波動エネルギーの平方根の積算を, 横軸に時間をプロットした曲線. 変形回復曲線ともいう.
ひずみ計	ひずみけい	strain-gauge, strain gauge, strain-meter	①地震, 地すべりなどの外力によって生じる, 地盤の伸び縮みやせん断に伴う変位を検出するための装置. ②コンクリート構造物や鋼材などに取り付け, 外力によって生じるひずみを測定する計器
ひずみゲージ	ひずみげーじ	strain gage, strain gauge	絶縁体のベースにひずみを検出する金属細線, 金属箔または半導体を接着したもので, 物体に貼付して物体に生じるひずみの測定に用いられる. また, 荷重計, 変位計など各種のひずみゲージ式変換器が作られている.
ひずみゲージ式計器	ひずみげーじしきけいき	strain gage transducer	応力, 圧力, 変位など物理量の変化を感知する部分にひずみゲージを使用して電氣的に計測する方式の計器.
ひずみゲージ式土圧計	ひずみげーじしきどあつけい	strain gauge type earth pressure cell	受圧板または二次ダイアフラム型土圧計の二次ダイアフラムの変形をひずみゲージで計測する土圧計.
ひずみ硬化	ひずみこうか	strain hardening	結晶体に塑性変形が生じると, 塑性変形に対する抵抗力(変形応力)が増加して堅くなること.
ひずみ-時間曲線	ひずみじかんきょくせん	strain-time curve	土や岩石供試体のクリープ変形の特徴を, 縦軸にひずみ, 横軸に時間をプロットして示したもの. クリープ曲線ともいう.
ひずみ地震計	ひずみじしんけい	strain seismograph	熔融水晶棒を用いた地震計で, 地震波により生じた2点間のひずみ変化を電流計で測定する. 雑微動や温度変化を避けるため洞穴内に設置する.
ひずみ修正	ひずみしゅうせい	rectification	空中写真測量において, 垂直写真を真の鉛直写真に, 飛行高度の異なる写真を同高度の写真に調整すること.

ひずみ制御	ひずみせいぎょ	strain control	載荷試験で、供試体のひずみ速度を一定に保つこと。
ひずみ制御型載荷	ひずみせいぎょがたさいか	strain controlled loading	ひずみ制御を行いながら載荷すること。
ひずみ制御式一軸圧縮試験	ひずみせいぎょしきいちじくあっしゅくしけん	strain controlled unconfined compression test	ひずみ制御型載荷で行う一軸圧縮試験。
ひずみ制御法	ひずみせいぎょほう	strain control method	ひずみ制御方式で行う各種の試験方法。
ひずみ度	ひずみど	skewness	頻度分布曲線が中心（平均値）に対して対称でない程度。わい（歪）度ともいう。
ひずみ軟化	ひずみなんか	strain softening	塑性ひずみが増えると、降伏応力が減る性質。
ひずみ軟化型	ひずみなんかがた	strain-softening type	降伏後の塑性状態でひずみの増大につれ応力が減少する材料の型。この状態で再載荷すると降伏荷重が低下する。
ひずみ軟化則	ひずみなんかさく	strain-softening theory	ひずみ軟化型と同義。 $d\sigma/d\varepsilon < 0$ (σ ; 荷重, ε ; ひずみ) を示すこと。一般に硬岩であるほど急激なひずみ軟化を示す
ひずみの主軸	ひずみのしゅじく	principal axes of strain	ひずみ楕円体で変形の前後で互いに直角の関係が変わらない方向(変形前の位置)。
ひずみ不連続面	ひずみふれんぞくめん	strain discontinuity	地層などの変形において、ひずみの一様なせん断部分での変位を伴わない境界面。例えばキックバンド境界面など。
ひずみ履歴	ひずみりれき	strain history	土の骨組みが受けてきた応力に対応したひずみの履歴。
非整合	ひせいごう	disconformity	上下の地層間の不連続を表す用語。不連続の規模が小さい場合には平行不整合と同義で、間隙時間が比較的短い場合にはダイアステムと同義。
非整合貫入	ひせいごうかんにゅう	discordant injection	岩脈のように地層の構造を切ってマグマが貫入する形態。非調和注入と同義。
非成帯性土壌	ひせいたいせいどじょう	azonal soil	重要な土壌生成因子である気候・植生と無関係な土壌で、土壌層位は未発達なもの。
微生物探査	びせいぶつたんさ	microbial prospecting	微生物のうち、特に石油炭化水素酸化菌を対象として、その有無および活動性を探査する技術。石油・天然ガスの探査に有効。
ビゼー海進	びぜーかいしん	Visean transgression	イギリス・ヨーロッパでの下部石炭紀の最大の海進。日本では鬼丸海進に対応する。

ビゼー統	びぜーとう	Visean series	ビゼー海進に伴う下部石炭系上部の海進期層。一部角礫岩を含む石灰岩を主体とする。アルデンヌ山地東部のビゼーを模式地とする。
飛跡	ひせき	track	荷電粒子の通禍跡。飛跡の長さは通常10 μ m程度。鉱物中のウランの飛跡を利用した年代測定法がある。
非接触型変位計	ひせっしょくがたへんいけい	non-contact type displacement gauge	2点間の変位を非接触で計測できる計器。レーザー光、超音波などを利用した変位計。
非線形圧密理論	ひせんけいあつみつりろん	non-linear consolidation theory	テルツァーギの線形圧密理論に対し、応力-ひずみ関係に非線形性を導入した圧密理論。
非線形計画法	ひせんけいけいかくほう	non-linear programming	目的関数や制約関数に非線形関数を含む場合の最適解を求める方法。非線形最適化法とも呼ばれる。ニュートン法や共役勾配法などが用いられる。
非線形性	ひせんけいせい	non-linear	二つ以上の変数の相関性を、明らかな直線関係として表現できないこと。
非線形動的解析	ひせんけいどうてきかいせき	non-linear dynamic analysis	繰返しせん断荷重を与えた時の応力とひずみが比例関係にない領域（非線形領域）での挙動解析（地盤震動解析）。
非線形特性	ひせんけいとくせい	non-linear characteristics	応力やひずみレベルの違いあるいは載荷・除荷の応力経路の違いにより、土や岩の変形特性が変化したり残留変形が生じたりすること。
非線形変形解析	ひせんけいへんけいかいせき	non-linear deformation analysis	非線形領域での応力-ひずみ解析。非線形弾性解析と弾塑性解析がある。大型空洞解析などに適用。
ひ素（砒素）	ひそ	arsenic	硫ひ鉄鉱（硫砒鉄鉱）・鶏冠石・石黄などを鉱石鉱物とする元素で、一般に毒性があり、可溶性のものは強い。
非造構過程	ひぞうこうかてい	nontectonic process	重力などの作用により、地表付近で地すべりのような地質構造を生ずる過程。造構運動で生じる構造過程と区別。
非造山期	ひぞうざんき	anorogenic period	断層・褶曲を伴う造山運動のない時期のことであるが、穏やかな昇降（造陸）運動を伴うことがある。
ピソライト	ひそらいと	pisolite	豆石と同義。
日田石	ひたいし	Hita ishi	大分県日田市・日田郡大山村周辺から産する石材。更新統耶馬溪溶結凝灰岩。石碑・石垣・土台石・碎石に利用。
比堆砂量	ひたいしやりょう	specific sedimentation ratio	1平方キロメートルあたりの流域から1年間に貯水池に蓄積される堆砂量。
非対称尾根	ひたいしょうおね	asymmetrical ridge	非対称山稜と同義。

非対称谷	ひたいしょうこく	asymmetric valley, asymmetrical valley	谷壁斜面の傾斜が両岸で著しく異なる谷。地盤運動、 基盤岩の浸食抵抗力の違い、気候要素、河川の側方浸 食などが原因。
非対称山稜	ひたいしょうさん りょう	asymmetrical ridge	山稜（尾根）を境に両側の斜面勾配が著しく異なるも の。地質構造の違いや斜面ごとの小気候的な差異など が原因。
非対称褶曲	ひたいしょうしゅう きょく	asymmetrical fold	褶曲の両翼の形が軸面に対して非対称である褶曲。軸 面非対称褶曲と同義。
非対称的段丘	ひたいしょうてきだ んきゅう	asymmetrical terrace	河谷の両岸で段丘の発達状況が異なり、非対称的な配 置を示す河岸段丘。多くは地盤の傾動運動に由来。
非対称反射モノ クロメータ	ひたいしょうはん しゃものくろめーた	asymmetrical crystal monochromator	単結晶モノクロメータ。X線を反射させる結晶の格子 面にやや斜めに反射させ、より強いX線が得られるも の。
非対称リップル マーク	ひたいしょうりつぷ るまーく	asymmetric ripple mark	一定方向の水流により作られ、クレストの延長方向に 直交する断面上で、非対称な形態をもつリップルマー ク。
飛騨外縁帯	ひだがいえんたい	Hida marginal belt, circum-Hida tectonic zone	飛騨帯を囲む形で分布する構造帯で、古生界や変成岩 から構成される。
日高区	ひだかく	Hidaka province	日高造山運動の影響を受けた地帯をさしたが、それを 構成する各構造帯の運動時期の違いが判明した。現在 では北海道中軸部の名称が一般的。
日高層群	ひだかそうぐん	Hidaka Group	北海道の日高山脈周辺に分布する白亜紀～古第三紀の 付加体。砂岩・泥岩・チャート・緑色岩などから構成 される。
日高造山運動	ひだかぞうざんうん どう	Hidaka orogeny	主に北海道日高山脈を形成した造山運動。アルプス造 山に対比されたが、最近では第三紀の島弧ないし火成活 動帯の深部～上部地殻衝上運動と考えられている。
日高大理石	ひだかだいらせき	Hidaka marble	北海道沙流郡日高産石材。中生界大理石。白色・紅縞 などの大理石を産する。
日高地向斜	ひだかちこうしゃ	Hidaka geosyncline	北海道中軸部（日高区）にかつて広がっていたと想定 されていた地向斜で、第三紀の日高造山運動で著しく 隆起。地向斜による造山論は現在あまり議論されてい ない。
日高変成岩	ひだかへんせいがん	Hidaka metamorphic rocks	日高変成帯を構成する緑色片岩相～角閃岩相の片麻 岩、片状ホルンフェルスなどの変成岩類。日高山脈の 中軸部を構成。
日高変成帯	ひだかへんせいたい	Hidaka metamorphic belt	日高山脈の脊梁部に沿って分布する広域変成帯。白亜 紀後期～古第三紀の付加体堆積物などを原岩とし、グ ラニュライト・片麻岩・片岩などの変成岩に花崗岩・ はんれい岩（斑糲岩）・かんらん岩（橄欖岩）などが 貫入している。
日高累層群	ひだかるいそうぐん	Hidaka Supergroup	北海道空知～蝦夷帯と常呂帯に挟まれて日高帯を構成 する中生界白亜系～新生界古第三系。砂岩、泥岩、 チャート、緑色岩層を主体とする。
飛騨川豪雨	ひだかわごうう	Hidagawa heavy rainfall	1968年8月17日～18日に岐阜県中部の飛騨川・長良川流 域で発生。最大1時間雨量114mm。土石流によりバス2 台が転落し104人の死者をだした。一審判決「人災6 割、天災4割」は、最近の災害に人災との複合という 性格をもたせるようになった。

飛騨川地すべり	ひだかわじすべり	the Hidagawa landslide	飛騨川豪雨により浅谷急斜面に発生した非固結層の板状すべり（岩屑すべり）。急峻な山腹に発生したため土石流化。
飛騨準平原面	ひだじゅんへいげんめん	Hida peneplain surface	岐阜県高山盆地周辺の高度1,000～1,500mの浸食小起伏面。この面に沿った風化帯は一般的に厚い。
飛騨造陸運動	ひだぞうりくうんどう	Hida epirogenesis	小林貞一(1941)が提唱した古生代の造山運動の一つで、これにより古日本脊梁が形成されたとする。
飛騨帯	ひだたい	Hida belt	主として飛騨片麻岩、花崗岩類からなり、変成岩の源岩が日本最古の岩石の可能性のある西南日本内帯の最も北側の構造区。
飛騨大陸時代	ひだたいりくじだい	Hida paleocontinent period	飛騨片麻岩が古期の大陸構成岩の断片であるとする説において、原生代から古生代初期にかけて日本列島付近に大陸が存在していたとされる時代。
日立古生層	ひたちこせいそう	Hitachi palaeozoic Formation	阿武隈山地最南端に分布する古生界。主として粘板岩帯とその西側の緑色片岩帯が北北東－南南西方向で配列。
常陸小みかげ	ひたちこみかげ	Hitachi komikage	茨城県八溝山地南部真壁付近に産する石材。中生界黒雲母花崗岩。細～中粒・胡麻塩状。主に土木用材として利用。
日立石灰石鉱床地区	ひたちせっかいせきこうしょうちく	Hitachi limestone area	茨城県北部日立市付近（阿武隈山地南部）の古生代鮎川層中の石灰石鉱床地区。多くの石灰石鉱山があった。
常陸みかげ	ひたちみかげ	Hitachi mikage	茨城県八溝山地南部に産する石材。中生界花崗岩。細～中粒。主に土木用材として利用される。
飛騨氷期	ひだひょうき	Hida glacial stage	飛騨山脈の氷河地形を形成した氷期。最終氷期に対応するとされるが、それ以前の氷期を含む可能性がある。
飛騨変成岩	ひだへんせいがん	Hida metamorphic rock	飛騨変成帯を構成する片麻岩類。3回以上の重複した変成作用と、2期の花崗岩類の貫入を受けている。
飛騨変成帯	ひだへんせいたい	Hida metamorphic belt	飛騨山地から隠岐まで続く変成帯。西南日本内帯のうち、一番北側に位置する変成帯で、片麻岩を主体とする変成岩類および花崗岩から構成される。
飛騨片麻岩	ひだへんまがん	Hida gneiss	飛騨変成帯を構成する主要岩石で、日本列島最古の片麻岩。
左親指の法則	ひだりおやゆびのほうそく	left thumb rule	トランシットの整準備操作時に、水準管気泡の移動する方向が、左親指の動く方向に一致するという法則。
左雁行褶曲	ひだりがんこうしゅうきょく	sinistral en echelon folding, left-hand en echelon folding	雁行状に配列する褶曲群において、一つの褶曲が伸長方向に消滅しつつあるか、消滅した箇所、その左側に新たな褶曲が認められる場合をさす。
左雁行割れ目	ひだりがんこうわれめ	left-hand echelon fissures, left-stepping open fracture	地震断層に沿って横ずれ成分があるときは、地表に雁行割れ目が発達しやすい。雁行には2種あり、ある一つの割れ目を末端までたどるとき、次の割れ目が左手に見いだされるものをいう。杉の字型ともいう。反対に右雁行はミの字型という。

左水平断層	ひだりすいへいだん そう	left-lateral fault	左ずれの水平成分が卓越した断層. 左ずれ断層と同義.
左ずれ (断層)	ひだりずれ (だんそ う)	left-lateral fault	左ずれ断層と同義.
左ずれ	ひだりずれ (だんそ う)	left-lateral, left slip, left-handed	断層の向こう側の地盤が左手方向に動くずれ.
左ずれ断層	ひだりずれだんそう	left-lateral fault	断層の向こう側の地盤が左手方向に動く断層.
左横すべり断層	ひだりよこすべりだ んそう	left-lateral fault	左ずれ断層と同義.
左横ずれ	ひだりよこずれ	left-lateral	左ずれ断層と同義.
非炭酸硬度	ひたんさんこうど	noncarbonate hardness	硫酸塩・硝酸塩・塩化物などのような煮沸によって析出しないカルシウムおよびマグネシウム塩による硬度. 永久硬度.
非弾性ひずみ回復特性	ひだんせいひずみか いふくとくせい	characteristic of inelastic strain recovery	応力解放後の岩石膨張が時間と共に減少する特性. 等方粘弾性体と仮定するとそのひずみ量は地下の応力に比例する.
非弾性曲げ	ひだんせいまげ	inelastic bending	非弾性領域にある材料 (物体) の曲げ. すなわち, 材料の一部で応力が降伏点を越えた状態での曲げ.
非弾性領域	ひだんせいりょうい き	inelastic region	物体に作用した応力が増大すると一部が降伏し, 応力の増大に伴い降伏領域が広がる. この降伏領域のこと.
微地形	びちけい	microtopography	地形図の等高線上では表現できないような起伏や比高などの小さい地形. 自然堤防, 浜堤などの短時間で形成され, 変化する地形.
微地形分類	びちけいぶんるい	microtopographical classification	スケールによる地形分類で, 縮尺1/5,000以上の地形図で等高線間隔が0.2~1.0mで表し得るような地形の分類.
ビチューメン	びちゅーめん	bitumen	抽出性有機物・れき青ともいう.
非調和	ひちょうわ	discordant	地質構造や岩体の分布が周囲の地質構造と整合していないこと.
非調和貫入	ひちょうわかんにゆ う	discordant intrusion	岩脈のように, マグマの貫入が堆積構造や変成構造と無関係に切る形で行われること.
非調和湖沼型	ひちょうわかしょう がた	disharmonic lake type	湖沼を生物生産の内容・多少で分類した場合, 生産の内容が不均衡で, 特殊な生物のみが繁殖している湖沼.

非調和褶曲	ひちょうわしゅうきょく	disharmonic fold	同一の褶曲構造のなかで、褶曲した地層などの面構造の形態が細部において急激に変化し、全体と異なる形態を示す褶曲。
非調和注入	ひちょうわちゅうにゅう	discordant injection	マグマが層理面・片理面などの構造を切って貫入すること。岩脈、岩床は非調和注入による火成岩体。
非調和バソリス	ひちょうわばそりす	discordant batholith	周囲の地層や岩石に対し、貫入形態および内部構造が非調和的な大規模花崗岩体。
比貯留率	ひちよりゅうりつ	specific storage	単位あたりの水頭の変化量に対し、単位体積の帯水層から出し入れできる水量。単位は m^{-1} 。比貯留量とも呼ぶ。
ビッカース硬度	びっかーすこうど	Vickers hardness	ビッカース硬度試験器により求まる物質の硬さの程度。
ビッカース硬度試験	びっかーすこうどしけん	Vickers hardness test	四角錐のダイヤモンドを試験面に載荷し、その時の荷重をできた窪みの面積で割った値を硬度とする試験。
引っかき硬さ	ひっかきかたさ	scratching hardness	材料の硬さを表す指標の一つ。基準となる金属・鉱物を用いた供試体の引っかき傷などから硬さを求める。モース硬度など。
引っかき硬さ試験	ひっかきかたさしけん	scratching hardness test	標準の硬さを持った金属・鉱物で、供試体の表面に引っかき傷をつけ、相対的な硬さを求める試験。
ピックアップ	びっくあっぷ	pickup	受振器・検出器。音波探査や地震探査などで音波・地震波などのエネルギーを電気エネルギーに変換する装置。
ピックハンマー	びっくはんまー	pick hammer	打撃力のみで掘削を行う小型の削岩機。のみの先端がとがっており、主として軟岩に利用される。
櫃沢地すべり	ひつさわじすべり	the Hitsusawa landslide	1979年6月末の豪雨に起因して、茨城県那珂郡山方町櫃沢で発生。一部破損2戸とされている。
ピッチ	びっち	pitch	①線構造と水平直線との角度。 ②石油関係で蒸留後のれき青質固体。
ピッチストーン	びっちすとーん	pitchstone	松脂岩と同義。
ピッチブレンド	びっちぶれんど	pitchblende	れき青（瀝青）ウラン鉱と同義。
ピッチャーサンブラ	びっチャーさんぶら	pitcher sampler	デニソンサンブラの一種。内部のスプリングでコアリングビット先端のバレルの切断部を自動的に調節する。
ピット	びっと	pit	①ボーリングで使用済みの泥水を溜めておく場所。 ②浅い縦坑、つぼ掘り、短いトレンチなど

ビット荷重計	びつとかじゅうけい	bit load indicator	掘進中のボーリングビットにかかる荷重を測定・記録する計器。
ビット・クリアランス	びつとくりあらんす ランス	bit clearance	ビットのダイヤモンド植付け外径とリーミングシエルの外径との差。
ピットクレーター	びつとくれーたー ター	pit crater	陥没火口と同義。
ビットゲージ	びつとげーじ	bit gauge	削岩機の先端の刃先部の径。
ビットシャंक	びつとしゃんく	bit shank	ビットの中で、ネジを切られた部分をさす。
ビットスピード	びつとすぴーど	bit speed	ビットの回転速度。掘削する岩石の物性や、ビットタイプ・マトリックスの硬さなどで適正スピードが変わる。
ビットすり減り試験	びつとすりへりしけ ん	bit wear test	一定条件下で一定時間削岩した標準ビットの磨耗から岩石のすり減り抵抗を測定する試験。
ビットブランク	びつとぶらんく	bit blank	ダイヤモンドなどの切削媒体が表面に未だセットされていない状態のスチール製ビット。
ビットライフ	びつとらいふ	bit life	ある岩石に対して1個のビットが普通の掘り方または一定の条件下で掘進できる平均掘進長。
ピットラン	びつとらん	pit-run	河床砂礫や碎石を洗浄しないでそのまま用いる骨材。ダムコンクリートに使用されることがある。
ピットレベル計	びつとれべるけい	pit level meter	泥水ピットにセットされた泥水レベルの監視装置で、急激な逸泥に迅速に対処するため用いられる。
ビットロード	びつとろーど	bit load	掘進中にビットに加えられる荷重または圧力。
引張応力	ひっぱりおうりょく	tensile stress	応力の作用する断面に垂直方向に働く応力成分のうち、引張側（ひずみが伸びる側）に働く応力。
引張荷重	ひっぱりかじゅう	tensile load	引張り試験において、材料に引張りを生じさせる荷重。または、試験片が切断するまでに耐えた最大荷重のこと。
引張強度	ひっぱりきょうど	tensile strength	破壊強度の一つで材料が引張により破壊しようとするときの応力。
引張杭	ひっぱりくい	tension pile	上向きの引張力に対して、抵抗するように設計された杭。

引張クリープ	ひっぱりくりーぷ	creep under tensile force, tensile creep	引張応力下で発生するクリープに対する名称.
引張試験	ひっぱりしけん	tension test	一軸引張試験と同義.
引張節理	ひっぱりせつり	tension joint	溶岩の冷却過程や応力解放などで岩体中に生じるずれを伴わない割れ目.
引張破壊	ひっぱりはかい	tensile failure	破壊の際のクラックの変位がクラックに対して直交する開口モードの破壊をいう. 土や多くの節理・亀裂を含む岩石は一般に引張破壊に弱い, 圧縮応力には十分な強度を発揮する場合が多い.
日詰一気仙沼構造線	ひづめけせんぬまこうぞうせん	Hizume-Kesennuma tectonic line	南部北上山地に分布する北北西-南南東方向の左ずれ高角度断層. 西側にペルム系, 東側に石炭系~ジュラ系が分布. 地質区を境していないので, 現在は構造線とはせず, 断層としている.
比抵抗	ひていこう	electrical resistivity	電場Eを導体中の電流密度iで除したものの, 電気伝導度の逆数.
比抵抗曲線	ひていこうきょくせん	resistivity curve	電気探査の結果において, 電極間隔または電極位置に対する測定比抵抗値の変化を表したものの.
比抵抗係数	ひていこうけいすう	formation factor	飽和状態の岩盤の比抵抗値を岩盤の空隙を飽和している水の比抵抗値で割った値.
比抵抗検層	ひていこうけんそう	resistivity logging	坑井を利用し地層の比抵抗を電氣的に測定する検層. 地層水の比抵抗, 水飽和率などを求める.
比抵抗構造探査	ひていこうこうぞうたんさ	structural resistivity prospecting	地下構造を探査するための比抵抗垂直探査法の一つ. 金属鉱床や地熱貯留層の調査に用いられる.
比抵抗指数	ひていこうしすう	resistivity index	油・ガス産出可能性の判定指標. 含油層の電気比抵抗値と, その層が地層水で飽和された場合の比抵抗値の比.
比抵抗探査	ひていこうたんさ	resistivity prospecting	大地に電流を流し, 地層に生ずる電場から比抵抗分布を求める電気探査法. 水平探査と垂直探査があり. 電極配置によって各種の手法がある. 地下水や資源の探査, 土木工事を対象とした調査など用途は広い.
比抵抗トモグラフィ	ひていこうともぐらふい	resistivity tomography	比抵抗法を用いたトモグラフィ.
比抵抗変化計	ひていこうへんかけい	resistivity variometer	地震の前兆現象をとらえるための一手法. 大地の電磁気を測定し, 電位抵抗の変化から前兆を予測する. 短期的な予測に使用する.
比抵抗法	ひていこうほう	resistivity method	電気探査の一手法. 地盤に直流電流を流し, 電位を測定することにより地下の比抵抗分布図を作成して地質構造などを推定する. 電極配置によって2極法・3極法・4極法がある.
非定常浸透流	ひていじょうしんとりゅう	unsteady seepage flow	土の中の水の流れ(浸透流)の形態の一つ. 流れの中の各点の流速の大きさおよび方向が, 時間的に変化するもの.

非定常流	ひていじょうりゅう	unsteady flow	水深や流速などが時間とともに変化する流れをいう。ポンプ作動開始時や停止時の流れ、降水時の川の流れなど。
ピテカントロプス	びてかんとろぷす	<i>Pithecanthropus</i>	ジャワ島で発見された、更新世前期から中期前半に住んでいたとされる原人。直立猿人、ジャワ原人ともいう。
非等質	ひとうしつ	heterogeneity	岩石の組織や組成が部分的に異なっている場合をいう。一部は等質でも露頭全体では非等質というところが多い。非均質、不均質ともいう。
非透水層	ひとうすいそう	aquifuge	水を含まず通過させない地層。主として地質時代の古い固結した岩盤で、間隙率が小さく、透水性がごく小さい。
比透水性	ひとうすいど	relative permeability	ある一定の条件下での透水性と標準透水性との比。
非等方	ひとうほう	anisotropy	異方性と同義。
ピトー管	びとーかん	pitot tube	動圧管と静圧管の圧力差から流体の流速を求める装置。
単冠火山群	ひとかっふかざんぐん	Hitokappu volcano group	エトロフ島中央部付近に北東-南西方向に分布する火山群。
一ツ梨含礫片岩	ひとつなしがんれきへんがん	Hitotsunashi conglomeratic schist	花崗岩質の塊状～脈状の礫を多量に含む片岩。岐阜県清見村の一ツ梨川沿いに分布する。成因は諸説がある。
一目城石	ひとめじょういし	Hitomejo ishi	大分県中央日出町・立石町に産する石材。鮮新統～更新統両輝石安山岩。砕石として利用される。
ビトリナイト反射率	びとりないとはんしゃりつ	vitrinite reflectance	ビトリナイト（石炭の主要組織成分の一つ）の光の反射率。石炭の石炭化度、地層の続成・変性作用の指標。
ピナクル	びなくる	pinnacle	石灰質岩が溶食されてできた切り立った岩石からなる地形。針状峰または針峰ともいう。
ピナツボ火山	びなつぼかざん	Pinatubo volcano	フィリピン・ルソン島にある活火山で1991年に今世紀最大級の大噴火（噴出物総量110億m ³ 以上）をおこした。
涸沼	ひぬま	Hinuma, Hinuma swamp	茨城県涸沼川下流の膨大部にあたる海跡湖。満潮時に海水が逆流し半鹹水をなす。面積9.4km ² 、最大水深3.1m。
比熱	ひねつ	specific heat	単位質量の物質を単位温度だけ上昇させるのに必要とする熱量。
ひねり節理	ひねりせつり	torsion joint	ひねりにより岩石に発生したと考えられる節理系。圧縮節理および伸長節理の両者が認められる。

非粘結炭	ひねんけつたん	non-coking coal	加熱して粘結しない石炭. 褐炭・亜れき (瀝) 青炭・無煙炭・半無煙炭が該当する. コークス以外の原料として利用.
非粘性土	ひねんせいど	non-cohesive soils	粘性土の反意語. 砂や礫のような粘り気のない土.
日野石	ひのいし	Hino ishi	群馬県藤岡市産石材. 三波川帯中の蛇紋岩. 緑黒～淡緑色で方解石縞あり. 装飾石材として利用.
ひの内線構造 (樋の内線構造)	ひのうちせんこうぞう	hinouchi lineation	ひの内変動帯 (樋の内変動帯) 中に卓越して発達する線構造. 一般に鉱体富鉱部の延長する方向と一致する.
ひの内変動帯 (樋の内変動帯)	ひのうちへんどうたい	hinouchi shear zone	別子型銅鉱床で用いられた古い鉱山慣用語. 母岩に発達するせん断帯のうち, 鉱体を賦存するせん断帯.
檜枝岐層群	ひのえまたそうぐん	Hinoemata Group	奥只見地域に分布する先第三系. 黒色頁岩に砂岩・チャートのブロックを含み, 石灰岩のレンズを挟む.
火の土階	ひのつちかい	Hinotsuchi stage	南部北上山地のみに分布する下部石炭系有住統の下部階. 下半部は玄武岩質凝灰岩, 上半部は泥岩を主体とする.
日出石	ひのでいし	Hinode ishi	福島県いわき市四倉産石材. 中生界砂岩.
非排水応力経路	ひはいすいおうりょくけいろ	undrained stress path	非排水せん断過程における土の応力状態の変化を, 二つの応力成分軸にとった応力平面上の点の軌跡として表示したもの.
非排水強度	ひはいすいきょうど	undrained strength	非圧密非排水 (unconsolidated undrained) 条件で, 透水性の低い粘土が普通の載荷速度でせん断破壊するときの強度.
非排水繰返し三軸試験	ひはいすいくりかえしさんじくしけん	undrained cyclic triaxial test	非排水条件下の供試体に動的繰返し応力を作用させる三軸試験. 土の液状化強度特性を求める.
非排水せん断試験	ひはいすいせんだしけん	undrained shear test	非排水条件下の供試体にせん断応力を作用させる試験. 主に粘性土のせん断強さを得る.
非排水せん断強さ	ひはいすいせんだんつよさ	undrained shear strength	非圧密非排水条件下のせん断試験により得られるせん断強さ.
非排水せん断破壊	ひはいすいせんだんはかい	undrained shear failure	非排水条件で土がせん断応力を受けて著しいせん断ひずみを生じるか, またはある面に沿ってせん断されること.
非排水非排気試験	ひはいすいひはいきしけん	undrained-unexhausted test	不飽和土を非圧密状態で, 軸圧縮課程を非排水・非排気状態で行う力学試験.
非破壊検査	ひはかいけんさ	non-destructive test	対象物の内部の状態 (材質や損傷の有無など) を, 対象物を破壊せずに検査する方法. 代表的なものに超音波探傷試験や放射線透過法がある.

非破壊試験	ひはかいしけん	non-destructive test	岩石・構造物などに損傷を与えることなくその物性を測定する試験。
非爆薬震源	ひばくやくしんげん	nonexplosive seismic energy	バイブロサイスやスパーカなど爆薬以外の人工震源エネルギー発生源。
非パラメトリック手法	ひばらめとりっくしゅほう	non-parametric method	統計で、データの分布が正規分布するという仮定を用いない手法。画像処理に利用される。
微斑晶	びはんしょう	microphenocryst	斑晶と石基の中間サイズで、顕微鏡を用いないと認められないような小さな斑晶。
比表面積	ひひょうめんせき	specific surface	粉体や多孔質体の単位容積あるいは単位質量あたりの表面積。
比表面積平均径	ひひょうめんせきへいきんけい	volume surface diameter	不均質な粒子群をすべての粒子の平均表面積で重みづけして求めた平均粒子径。
ひび割れ	ひびわれ	crack	引っ張り強さの限界を超える応力などにより固体表面に生じる比較的微小で不規則な配列をもつ亀裂をいう。
ひび割れ荷重	ひびわれかじゅう	cracking load	構造物や部材に最初にひび割れを発生させる荷重。
ひび割れ指数	ひびわれしすう	cracking index	ひび割れの長さの累計 (cm) を、測定範囲の面積 (m ²) で除した値で、ひびわれ度ともいう。
ひび割れ粘土	ひびわれねんど	fissured clay	ひび割れを有する硬質な粘土。亀裂性粘土と同義。
ひび割れ防止鉄筋	ひびわれぼうしてつきん	crack control reinforcement	コンクリートの温度変化・収縮などによるひび割れを防止するための鉄筋。
ひび割れ曲げモーメント	ひびわれまげもーめんと	cracking bending moment	部材にひび割れが生ずる際の曲げを生じさせる力をモーメントで表したものの。
被覆岩	ひふくがん	roof	各種の鉱床生成後に、その鉱床を直接覆った岩石。あるいは有用な鉱床・鉱物を覆う不要な岩石・土。
被覆層	ひふくそう	cover, veneer	広義には、ある面を覆って堆積した全ての地層。狭義には、先カンブリア紀の楕状地などの古期山地を覆う地層。
被覆ローム	ひふくろーむ	mantle loam	大陸の氷河堆積物を覆うローム質層。風化・土壌化作用の産物。融氷流水堆積物を起源とし、漂礫は含まない。
ヒプシサマール期	ひふしさまーるき	hypsihermal interval	後氷期の温暖化が最高潮に達した海進期のことで、世界各地で乾燥化や湿潤化が生じた。

非負性判定	ひふせいはんてい	non-negativity criterion	物質の結晶構造を解明する際に作る，モデルの正誤を確認するための判定法．電子密度分布が正・ゼロを検証．
非分極電極	ひぶんきょくでんきょく	nonpolarizable electrode	電気探査において，地面の自然電位を測定するための電極．電極電位差に左右されずに電位差を測定できる．
微粉碎機	びふんさいき	pulverizer	通常の粉碎機に比べ，さらに細かく通常200メッシュ以下に粉碎が可能な機械．
微分フーリエ法	びぶんふーりえほう	differential Fourier synthesis	結晶格子の原子座標が近似的に求められている場合に，三つの微分方程式を用いて正しい座標を求める方法．
非平衡式	ひへいこうしき	non-equilibrium formula	揚水試験で，帯水層の透水量係数や貯留係数を求める式の総称．揚水に伴う地下水位変化を非平衡状態で解いた式．
非平衡集合体	ひへいこうしゅうごうたい	disequilibrium assemblage	熱力学的に平衡を保っていない鉱物の組み合わせ．一般的に，堆積岩は非平衡集合体である．
非平面褶曲	ひへいめんしゅうきょく	non-plane fold	褶曲構造の軸面の形態を基準とした分類で，軸面が平面ではなく曲面をなす褶曲をさす．
非平面ひずみ	ひへいめんひずみ	non-plane strain	変形の際に生じるひずみが平面内のみならず，三次元にわたっていること．岩石・土の変形では非平面ひずみが生じる．
ピペット	びぺっと	pipet, pipette	液体を一定量採取するための器具．一般にガラス製のものが使われている．
ピペット分析	びぺっとぶんせき	pipette analysis	粒度分析の沈降分析法の一種．ピペットを用いて沈降過程にある懸濁液を抽出し，ストークスの法則により粒径分布を求める．
ピペット法	びぺっとほう	pipette method	粒度分析法の一種．液体内の粒子の沈降速度と粒径との関係を利用した方法．0.1mm以下の粒径に有効．
比放射能	ひほうしゃのう	specific activity	物質の単位質量あたりの放射能．混合物における放射性同位体の含有割合を示す量．
備北層群	びほくそうぐん	Bihoku Group	中国地方の中新世初期～中期にかけての海成堆積盆地に堆積した礫岩・砂岩層(下部)と頁岩層(上部)よりなる．狭小堆積盆の堆積物で一般に低固結．
美幌石	びほろいし	Bihoro ishi	北海道網走市美幌町に産する石材．新第三系輝石安山岩・凝灰岩．ともに美幌石と呼ばれ，土木用に利用される．
日巻自記雨量計	ひまきじきうりょうけい	day-wind recording rain gauge	雨量を自動記録する測定器のうち，1日巻とした時計装置と1日用の記録紙からなるもの．
被膜水	ひまくすい	film water	土粒子の周囲を膜状に覆う水．

皮膜水	ひまくすい	pellicular water	地中水（土壌水）のうち、土粒子の表面に分子間引力によって引きつけられている皮膜状の水。地中の表層部にあり、より下層の毛管水や重力水などとは連続していない。
飛沫帯	ひまつたい	splash zone	海上や海岸の構造物で、波の飛沫が付着する範囲のこと。海岸付近で、波の飛沫が到達する範囲のこと。
ヒマラヤ山脈	ひまらやさんみやく	Himalayan mountain range	インドとユーラシア両プレート境界に位置する高地。インドにおける水力発電賦存量の6割以上を占める地域。
ヒマラヤ造山運動	ひまらやぞうざんうんどう	Himalaya orogenesis, Himalayan orogeny	ヒマラヤ山脈を形成した造山運動。第三紀前半から隆起運動が始まり、現在も上昇している。エベレスト山頂付近には中生代の化石を産する。なお、この運動を説明する場合、地向斜説とプレート説があるが、現在はプレート説が主流。
ヒマラヤ変動帯	ひまらやへんどうたい	Himalayan orogenic belt	ユーラシアプレートとインドプレートの衝突によって生じた著しい断層・褶曲帯で、ヒマラヤ山脈が形成されている。
姫浦層群	ひめのうらそうぐん	Himenoura Group	熊本県天草諸島を中心に分布する中生界上部白亜系。礫岩、砂岩、泥岩からなる。
庇面	ひめん	dome	理想的な結晶形において、その中心を通る平面に対して互いに鏡映される関係にある一対の面。
非毛管孔隙	ひもうかんこうげき	noncapillary porosity	毛管現象で静水圧より高い所まで水を保持し得る毛管孔隙よりも大きい孔隙で、主に排水や通気の通路となる。
ひ門(樋門)	ひもん	sluice way, sluice, undersluice	河川堤防を横切って排水や河川からの取水を目的として作られた函渠（管渠を含む）構造物。
微文象状	びもんしょうじょう	micrographic	長石と石英の規則的な連晶構造である文象構造が顕微鏡規模であるもの。マイクロペグマタイトに特徴的。
微文象組織	びもんしょうそしき	micrographic texture	長石の結晶中に、多数の楔型文字状の石英が顕微鏡的大きさで連晶する組織。
百済寺断層	ひゃくさいじだんそう	Hyakusaiji fault	活断層。確実度 I、活動度 B 級。滋賀県八日市市の東方、鈴鹿山脈西山麓に位置し延長14km。変位量などは不明。
百年確率洪水流量	ひゃくねんかくりつこうずいりゅうりょう	probable flood discharge during ten decades, 100 years flood	それ以上の洪水流量が発生する確率が百年に1回の割合である流量。
百分率法	ひゃくぶんりつほう	percentage method	地層中の化石群の総種数に対する現生種数の百分率で、地層の相対的地質時代を表す方法。今日ではほとんど用いられない。
百葉箱	ひゃくようそう, ひゃくようばこ	instrument shelter	気象観測用の温度計・湿度計などを入れる箱型の収納庫。直射日光・降雨を避け通風の良い構造となっている。
日向海段	ひゅうがかいだん	Hyuga deep-sea terrace	九州日向沖の水深1,600～1,800mにある広く平坦な地形で、第四系からなる日向海盆に付けられた名称。

日向層群	ひゅうがそうぐん	Hyuga Group	宮崎県日向地域を模式地とする古第三系の付加体。四万十帯南帯を構成する。せん断変形した黒色泥岩に砂岩・緑色岩のブロックを伴うメランジや砂泥互層，塊状泥岩などよりなる。
日向灘地震	ひゅうがなだじしん	the 1968 Hyuganada earthquake	1968年に発生した日向灘を震源地とするM7.5の地震。高知・愛媛で被害多く，小津波が発生した。正式名称は「1968年日向灘地震」。
比湧出量	ひゅうしゅつりょう	specific capacity	揚水量を同井戸の水位降下量で除した値（単位＝m ³ /日/m）。一般に揚水量が増加すると比湧出量は減少する。
比誘電率	ひゅうでんりつ	relative permittivity	岩石や鉱物などの誘電体（絶縁体）の誘電率と真空誘電率の比。
比誘電率法	ひゅうでんりつほう	relative permittivity method	含水状態によって岩石の比誘電率が変化することを利用する電気探査法の一つ。
ヒュールストロームダイヤグラム	ひゅーるすとろーむだいやぐらむ	Hjulström diagram	流水の作用下での碎屑物の移動の開始と，堆積の始まる限界条件を，流速と碎屑物の粒径との関係で示した図。ユルストローム図と同義。
ヒューロン系	ひゅーろんけい	Huronian system	カナダ楕状地スペリオール区の南側境界部に発達し，礫岩・泥岩・砂岩などからなる原生代前期の地層。
ピュラスキ衝上	ぴゅらすきしょうじょう	Pulaski thrust	アパラチアにおいて800kmにわたって追跡される大規模な衝上断層。北西側に対して押しつぶせた構造を持つ。
ビュルム氷期	びゅるむひょうき	Würm glacial stage, Wurm glacial stage	第四紀の最終氷期。ミュンヘン南南西のStarnberg湖（旧名Würm湖）が模式地。約6万年続いた。ウルム氷期ともいう。
ビュンデン片岩	びゅんでんへんがん	Bünden schiefer	西アルプスのペンニン帯（スイス東部）における，中生界～古第三系を源岩とする結晶片岩類。
氷（河）期	ひょう（が）き	glacial epoch, glacial age	地質時代において，寒冷気候の下，広域にわたる大規模な氷床が発達した時期。
表（面）層	ひょう（めん）そう	surface layer	屈折法弾性波探査の表層除去法と呼ばれる解析方法において，最初に剥ぎ取られる最上位の速度層をさす。
氷河	ひょうが	glacier	雪が，積雪の荷重による圧密と再結晶作用によって変質した氷体で，重力の作用下で下方・周辺部へ流動する。
氷河（性）高気圧	ひょうが（せい）こうきあつ	glacial anticyclone	グリーンランドや極地方の上空に形成される高気圧。半永久的なものとしてされている。
氷河運搬物	ひょうがうんぱんぶつ	glacial drift	氷河が移動しながら運搬する物質。大小の角礫・亜角礫と粘土分に富む細粒物質が雑然と混じる。氷河堆積物，氷成堆積物ともいう。
氷河海面変動	ひょうがかいめんへんどう	glacial eustasy	氷河性海面変動と同義。

氷河学	ひょうががく	glaciology	氷河の分布, 構造, 消長など諸性質を研究する自然科学の総称で, 地形・地質・水文・気象などの関連分野と密接につながっている.
氷河下ティル	ひょうがかている	subglacial tills	氷河下底の岩盤および砂礫が圧力と研磨作用を受けて形成された堆積物. 氷河上ティルより細粒物に富む.
氷河湖	ひょうがこ	glacial lake	氷河作用により形成された湖の総称. 堆積物中には, 流入する融氷水の季節変化によって, 氷縞粘土が形成される. 氷食湖ともいう.
氷河擦痕	ひょうがさっこん	glacial striae	移動する氷河底面の岩屑・砂粒子などが岩盤面につけた擦り傷. 氷河擦痕によって, 過去の氷河の運動方向を復元できる.
氷河作用	ひょうがさよう	glacial processes	氷河によって生じる地形形成作用とその作用の結果のこと. 氷河の規模や形態により異なる.
氷河作用限界	ひょうがさようげんかい	glaciation limit	ある地域で氷河のある最も低い山の山頂高度と, 氷河の可能性がありながら氷河のない山の山頂高度の中間の高度.
氷河時代	ひょうがじだい	ice age	氷河期と同義.
氷荷重	ひょうかじゅう	ice load	水が凍ることによる圧力によって構造物に作用する荷重. 道路橋の下部構造設計の場合は特殊荷重として考慮されるが, 厳寒地以外では考慮されていない.
氷河上ティル	ひょうがじょうてい る	ablation till	氷河周囲の岩盤から氷河上に落下した岩屑および流水によって下方に運搬された岩屑. 粗粒物が多い.
氷河性アイソスタシー	ひょうがせいあいそ すたしー	glacial isostasy, glacio-isostacy	厚い大陸氷床とその下の地盤とのアイソスタシー. スカンジナビア半島などでは氷河が解けた結果, 現在でも地盤が上昇.
氷河性海岸線	ひょうがせいかが んせん	glacial shoreline	氷河や氷河地形と海とが接している海岸線をさす. 海岸全体をさす場合は, 氷河性海岸(glacial coast)と呼ぶ.
氷河性海面変動	ひょうがせいかいめ んへんどう	glacial eustasy	氷河の消長により, 海水量が増減するために海面が昇降する現象. 第四紀では約100m規模の変化が知られる. 氷河海面変動ともいう.
氷河性地質構造	ひょうがせいちしつ こうぞう	glaciotectonic structures	氷河の流動によって生じる応力が原因となって, 基盤岩や氷成堆積物中に生じる変形構造.
氷河制約説	ひょうがせいやくせ つ	glacial control theory	気候変動や大陸氷床の消長による海水準変動がさんご(珊瑚)礁の形態を規制しているという, Daly(1910)の説.
氷河堰止め湖	ひょうがせきとめこ	ice-dammed lake	主谷の氷河に, 支谷の河川がせき止められてできた湖. 大陸氷床周縁部の大規模なものを, 氷河前縁湖と呼ぶ.
氷河前縁湖	ひょうがぜんえんこ	proglacial lake	大陸氷床の周縁部で形成される大規模な氷河せきとめ湖や, 氷河の前縁部で発達するせきとめ湖.

氷河前面地形	ひょうがぜんめんちけい	proglacial features, proglacial landforms	氷河末端の下流側に発達する種々の地形をさす。この地形の存在により、過去の氷河の発達程度が推定できる。
氷河搔痕	ひょうがそうこん	glacial striae	氷河擦痕と同義。
氷河地形	ひょうがちけい	glacial landform	氷河の浸食・堆積作用によって形成される地形。氷食カールやU字谷などがあり、氷河消失後でも存在の根拠となる。
氷河土	ひょうがど	glacial soil	風化した岩石や碎屑物が氷河により運ばれ、堆積し形成された分級不良の土壌の総称。
氷河トラフ	ひょうがとらふ	glacial trough	氷食谷が海進により海底に沈水した海底の凹み。氷食谷・沈水氷食谷参照。
氷河の後退	ひょうがのこうたい	deglaciation	ある氷河で一定期間に蓄積される雪氷質量が消耗質量よりも少ない時、氷河が縮小・後退する現象。
氷河の擦磨き	ひょうがのすりみがき	glacial scour	氷河による浸食作用の一つで、削摩作用。特に上流部は削摩作用により滑らかな研磨面を成すことが多い。
氷河氷	ひょうがひょう	glacier ice	越年雪がその上の積雪の重量で圧密されて密度が0.83g/cm ³ 前後になり、通気性を失った状態。
氷冠	ひょうかん	ice cap	一般には山頂部を覆う5万km ² 以下の規模の小さい氷床に対して用いられる。氷帽と同義。
氷岩	ひょうがん	glacio-lacustrine sediments, ice-rock	氷河や氷山を構成する凍結水、すなわち氷を岩石として見た場合の呼称。
表乾比重	ひょうかんひじゅう	specific gravity of saturated surface dry aggregate	表面乾燥飽和状態の岩石試料の比重。コンクリート骨材の比重として一般的に用いられる。
氷期	ひょうき	glacial epoch, glacial age, ice age	地質時代に地球規模の気温の低下で、南北両半球の現在よりもはるかに広大な地域を氷河・氷床がおおった時期。
非溶結	ひょうけつ	non welding	火砕流堆積物において高温と自重圧密による溶結作用（ガラス片・軽石片の扁平化）を受けていない状態。
氷縞	ひょうこう	varves, rhythmite	氷河湖に堆積した粘土質堆積物にみられる薄層の縞模様のこと。1年の季節変化により上部に向かって粗粒から細粒に級化漸移する。
標高基準点	ひょうこうきじゅんてん	elevation control point	写真測量において水準点、三角点などの標高が既知の地上の基準点。
氷縞粘土	ひょうこうねんど	varved clay	氷河湖に形成される縞目を呈する粘土質の堆積物。やや粗い下部は夏季を、より細粒の上部は冬季を示す。

氷縞粘土岩	ひょうこうねんどが ん	varvite, varved clay	氷河湖の静かな堆積環境で形成され、1年の季節変化での粒度の差で生じる薄層で縞目状を呈する粘土質堆積岩。
標高標定点	ひょうこうひょうて いてん	height control point	標高基準点と同義。
氷縞編年	ひょうこうへんねん	varve chronology	氷河期などに堆積した粒度の異なる2枚の薄層からなる一組の氷縞を1年として数え、堆積物の編年をすること。氷縞粘土編年ともいう。
標高補正	ひょうこうほせい	reduction to the reference plane	大規模な距離測量において地上で実測した距離を標準楕円体面上の距離に補正すること。
兵庫県南部地震	ひょうごけんなんぶ じしん	the 1995 Hyogoken-nanbu earthquake	別名阪神大震災。1995年1月17日淡路島北部沿岸から神戸市直下を震源としたM7.2の地震。震度Ⅶが初めて適用。死者5,502人、行方不明2人、負傷者4万人以上とされている。正式名称は「平成7年（1995年）兵庫県南部地震」。
氷湖成堆積物	ひょうこせいたいせ きぶつ	glacio-lacustrine sediment	氷河の融解により氷河前面の湖水に供給された様々な粒度の堆積物で、堆積の下流方向に細粒化する傾向がある。
漂砂	ひょうさ	drifting sand	沿岸における波、流れ、水位の変動による砂の移動現象または移動する砂。
漂砂鉱床	ひょうさこうしょう	placer deposit	砂鉱床と同義。
氷山	ひょうざん	iceberg	氷河の末端が崩壊して海上を漂流するもの。全体積の85～90%は海面下にある。
標識進化	ひょうしきしんか	program evolution	平行進化を示す生物の諸系統の共通祖先に、既に進化が予定されているという考え方。一般的には使わない。
標尺	ひょうじゃく	staff, leveling rod	水準測量を行うとき、レベルの視準線方向の高さを読むための目盛り尺。
氷州石	ひょうしゅうせき	iceland spar	無色透明な方解石。産地のアイスランドにちなみ命名。一般的には呼称しない。
標準圧密試験	ひょうじゅんあつみ つしけん	standard consolidation test	直径6cm、厚さ2cmの円盤状の供試体に1段階24時間の8段階載荷を行う一次元圧密試験。
標準緯線	ひょうじゅんいせん	standard parallel	地図の上で、その緯線周辺の地域面積やある地点間距離・角度が正確に測定できる緯線。
標準化石	ひょうじゅんかせき	index fossil	地層の地質年代決定や広域的な地層の対比に有効な化石。広範囲に分布し、生存期間が短く、個体数の多い化石が適する。示準化石と同義。
標準貫入試験	ひょうじゅんかん にゅうしけん	standard penetration test	質量63.5kgのハンマーを75cmの高さから自由落下させ、そのエネルギーで標準貫入試験用のサンブラを地盤に30cm貫入させる試験。得られた打撃回数はN値と称し、原位置における地盤の硬軟や締り具合の指標となる。また試験によって得られた試料を用いて土層の判定を行うことができる。

標準貫入試験の打撃貫入曲線	ひょうじゅんかん にゆうしけんのだけ きかんにゆうきよく せん	curve of standard penetration test	一回の標準貫入試験の中で打撃1回毎の累計貫入量を測定しグラフ化したもの。土層の垂直変化が読みとれる。
標準気圧	ひょうじゅんきあつ	normal atmospheric pressure	標準重力、温度0℃の基準条件下における水銀柱760mmに相当する気圧の大気圧。
標準曲線	ひょうじゅんきよく せん	standard curve	電気探査の解析で、重合せ法などで用いる。横軸に相対電極間隙、縦軸に相対見かけ比抵抗をとったもの。
標準鉱物	ひょうじゅんこうぶ つ	standard mineral	ノルム鉱物と同義。
標準砂	ひょうじゅんさ	standard sand	セメントの試験方法のうち、モルタルとしての強度を測定する試験において、モルタルの作成に使用される砂。
標準磁場	ひょうじゅんじば	normal magnetic field	磁気探査で残差磁気を計算する時、基準となる広域の磁場。
標準締固め試験	ひょうじゅんしめか ためしけん	standard compaction test	JIS-A-1210に規定される突き固めによる土の締固め試験。
標準重力	ひょうじゅんじゅう りよく	normal gravity, normal value of gravity	地球の形状を地球楕円体としたとき、正規重力ポテンシャルと楕円体面の外向きの法線方向で決まる重力値。
標準重力式	ひょうじゅんじゅう りよくしき	normal gravity formula	地球楕円体の赤道断面と極断面における標準重力から計算される地球上の任意点の標準重力を表す式。
標準正規分布	ひょうじゅんせいき ぶんぷ	standard normal distribution	正規分布のうち平均が0で標準偏差が1の分布。
標準走時表	ひょうじゅんそうじ ひょう	standard travel-time tables	地球内部のP波およびS波の速度の分布から計算した各震央距離に対するP波（S波）の走時の表をいう。震源決定の手段に用いる。
標準層序	ひょうじゅんそう じよ	stratotype, type section	ある地層を区分・命名する際、最初に代表するものとされた地層累重の基準。模式層序ともいう。
標準大気	ひょうじゅんたいき	standard atmosphere	地上気温や地上気圧・重力加速度などが標準状態のときの地域的または国際的に基準となる大気。
標準楕円体	ひょうじゅんだえん たい	reference ellipsoid	測地原点において、できるだけ実際の地球に正しく接するように配置された、地図測量の基準となる地球楕円体。準拋楕円体・基準楕円体ともいう。
標準土色帳	ひょうじゅんどしょ くちょう	standard soil colour charts	マンセル表色系（色相・明度・彩度）に従い、土色の判定を客観的に行うために用いられる測定見本。
標準ふるい（標準篩）	ひょうじゅんふるい	standard sieve	JIS-Z-8801に規定される金属製のふるい。

標準プロクター締固め試験	ひょうじゅんぷろくたーしめかためしけん	standard proctor compaction test	土の締固め試験において、ランマーを5.5ポンド、落下高さを12インチとする試験方法。
標準偏差	ひょうじゅんへんさ	standard deviation	分散の平方根をいい、データの散らばり具合を示す。
標準放射性物質	ひょうじゅんほうしゃせいぶっしつ	reference radioactive material	同位体測定機器の校正や測定値の検証のために用いる放射性物質。
標準溶液	ひょうじゅんようえき	standard solution	分析および測定の基準として、溶解物質の濃度が精密に定められた溶液。一次標準物質から調製された標準溶液の場合は標定することなく使用できる。
氷床	ひょうしょう	ice sheet	氷河の一形態で、基盤の起伏に影響されずに十分な厚さと広がりを持つ雪氷の集合体。大陸氷河と同義。
氷晶石	ひょうしょうせき	cryolite	Na_3AlF_6 、単斜晶系、硬度2.5、比重2.97。アルミニウムの冶金の溶剤として用いられる単斜晶系の脆弱な結晶。
氷食	ひょうしょく	glacial erosion	氷河による浸食作用で生じる諸々の現象。
氷食湖	ひょうしょくこ	glacial lake	氷河湖と同義。
氷食溝	ひょうしょくこう	glacial grooves	氷食作用によって、氷河が載っている岩石の表面に刻まれた溝状の凹み。
氷食谷	ひょうしょくこく	glacial valley, glaciated valley, glacial trough	氷河の浸食によって生じた谷。横断面でU字型をなす。
氷食谷階段	ひょうしょくこくかいだん	glacial steps	氷食谷を特徴づける上流側で緩く下流側で急となる階段状の地形。
氷食作用	ひょうしょくさよう	glacial erosion, glaciation	氷河による基盤の破碎と研磨からなる浸食作用。一般に、水による浸食作用に比して格段に営力が大きい。
氷食棚	ひょうしょくだな	glaciated shelf	沈水した氷河性の地形からなる大陸棚。著しい起伏があり、氷河期の大陸氷河による氷食地形を残している。
氷食地形	ひょうしょくちけい	glaciated landforms	氷河の浸食によって生じた浸食地形。
氷食破碎	ひょうしょくはさい	plucking	氷河による浸食作用の一種。氷河底で亀裂に入った融氷水による凍結作用で岩石の破碎が生じる現象。
氷食輪廻	ひょうしょくりんね	glacial erosion cycle	氷河による浸食輪廻。氷期前の地形面が残っている状態が幼年期で、壮年期および老年期へと進行する。

氷食礫	ひょうしょくれき	glaciated clast	氷河作用によって生成・運搬されたことを証拠づける擦痕や平滑な研磨面を有する礫。
表水層	ひょうすいそう	epilimnion	温帯・寒帯の湖沼で、春・夏に加熱されてできる上層の温かい水の層。広い湖で厚く、狭い湖で薄い。
氷成	ひょうせい	glacial	氷河の浸食作用（氷食作用）によって形成された地形や堆積物をさす接頭語。
表成岩	ひょうせいがん	exogenetic rock	地表付近で形成された岩石。堆積岩を意味する。一般的には、使われない用語。
氷成岩	ひょうせいがん	tillite	氷成堆積物が続成作用により固結した岩石。第四紀より古い時代のものに用いる。
表成鉱床	ひょうせいこうしょう	superficial ore deposit	地表およびその近くで行われた地質過程で形成された鉱床の総称。堆積鉱床および地表近傍の火山活動に伴う鉱床がある。
表成作用	ひょうせいさよう	exogenesis	地表もしくは地表近くの風化・浸食圏で、岩石に対して行われる作用。地形変化なども含む。
氷成堆積地盤	ひょうせいたいせきじばん	glacial sedimentary ground, glacial till	氷成堆積物で構成された地盤。分級や成層がほとんどみられず、大小の角礫・亜角礫と細粒物質が混在する。
氷成堆積物	ひょうせいたいせきぶつ	glacial deposit	氷河により運ばれ堆積した粒径不均質で、角礫巨礫に富む堆積物。氷河末端の氷礫土・モレーンなどが代表例。氷積土ともいう。
氷成礫岩	ひょうせいれきがん	tillite	氷成堆積物が続成作用により固結した氷成岩のうちの礫質岩。氷成岩の多くが相当する。
漂石	ひょうせき	erratics, erratic block	氷河により母岩から遠くまで離れた地点まで運搬され、氷河の消滅によりそこに残置された岩塊。迷子石ともいう。
標石	ひょうせき	monument, stone marker, stone monument	永久保存を要する国家基準点の標識。古来花崗岩製の石柱を使用。最近ではコンクリート製も使用。
漂石探鉱	ひょうせきたんこう	boulder prospecting	川や沢の中の鉱石・脈石の漂石を辿って、その源である鉱床を発見する探鉱調査。
氷積土	ひょうせきど	glacial deposit	氷成堆積物と同義。
氷舌	ひょうぜつ	glacier tongue	氷河・氷床の末端部が舌状に長く突出した部分。氷舌は氷河の消耗域に相当する事が多く、両側には側堆石が形成。
氷雪気候地域	ひょうせつきこうちいき	permafrost climate district	真夏の平均気温が0℃以下で、地表が常に厚い氷雪に覆われた地域。南極大陸、グリーンランド、アルプス・ヒマラヤ等の高山地域。

表層安定処理	ひょうそうあんていしより	surface soil stabilization	道路の路床など地表から1 m程度までの表層地盤を対象とした土質安定処理.
表層混合処理工法	ひょうそうこんごうしよりこうほう	surface soil stabilization method	軟弱地盤対策工法の表層処理工法のうち、表層部の土に石灰やセメントなどの安定材を混入して地盤改良する工法.
表層地盤	ひょうそうじばん	subsurface layers	土木や建築の構造物などの基礎や周辺の地盤のうち、地表面に近い浅い部分. 厳密な深さの規定はない.
表層地盤図	ひょうそうじばんず	subsurface geotechnical map	表層地盤を構成する第四紀層の硬軟や厚みを表現したり、岩盤の風化殻の性状や分布を表現した地盤(地質)図.
表層褶曲	ひょうそうしゅうきょく	superficial folding	地殻上層部にみられる褶曲. デコルマで境された基盤より上位の地層の褶曲をいう. ジュラ型褶曲ともいう.
表層水	ひょうそうすい	surface layer water	海洋を二つまたは三つの層に分けた場合に、最上部の混合層を形成する水.
表層水温	ひょうそうすいおん	surface water temperature	陸水および海水の表層部の温度. 熱赤外線センサで反映されるのは一般に表層下0.02mm程度.
表層水分凝集作用	ひょうそうすいぶんぎょうしゅうさよう	hydrogenesis	乾燥地域における異常に高い地下水面維持に働くと推定されている、土壌や岩石の表層にある水分を凝縮させる作用.
表層地質図	ひょうそうちしつず	subsurface geological map	土地の開発、保全、利用に関わる地表面近くの地質性状・分布および地質構造を表現した地質図.
表層土壌ガス	ひょうそうどじょうがす	surface soil gas	不飽和帯の土壌間隙中の空気. 揮発性有機化合物による土壌汚染調査の対象として調査・分析が行われる.
表層雪崩	ひょうそうなだれ	surface avalanche	雪崩の種類の中で、積雪層の内部に滑り面を生じるもの. 新雪が滑り落ちるものが代表的.
表層ナップ	ひょうそうなっぷ	superficial nappe	衝上断層または横臥褶曲などにより、上位の被覆層のみが基盤から分離し、移動してきたナップ.
表層風化	ひょうそうふうか	surface weathering	地表面ないしはそのごく近くで行われる物理的・化学的な変化で、破砕化したり粘土化すること.
表層崩壊	ひょうそうほうかい	surface failure	表土・崖錐層あるいは風化層などの斜面を被覆する表層物質が滑落する現象.
表層流	ひょうそうりゅう	surface runoff	地表面流出と同義.
氷堆石	ひょうたいせき	moraine	氷河によって運ばれた岩屑が作る堆積地形. 氷成堆積物と同義で使われることもある. モレーンと同義.

氷袋土	ひょうたいど	involution	周氷河地域の未固結堆積物にみられる変形構造の一種。凍結融解作用に関連して形成されたものとされるが成因不明。
瓢箪石	ひょうたんいし	Hyotan ishi	コンクリーションの一種。炭酸カルシウムにより球、楕円体、瓢箪形にこう結(膠結)された石。富山県氷見市で産出。
漂着軽石	ひょうちやくかるいし	drift pumice	海流に乗って漂流し、海岸に堆積した軽石。海浜堆積物の中に円磨された軽石礫の薄層としてみられる。
氷長石	ひょうちょうせき	adularia	カリ長石の一種。単斜晶系、三斜晶系。ペグマタイト・石英脈などの熱水脈に産する。アデュラリアともいう。
標定	ひょうてい	orientation	主に測量において方向づけや位置づけを行うこと。平板測量における標定、内部標定、カメラの相互標定、空中写真の位置を示す標定図などの用語がある。
標定誤差	ひょうていごさ	orientation error, error of orientation	平板測量および写真測量における方向や水平設定の誤差。
標定点	ひょうていてん	control point, pass point	空中三角測量および図化においてモデルと地上座標とを関係付ける地上座標と標高の明らかな点。
氷底噴火	ひょうていふんか	subglacial eruption	氷河や氷床など雪氷の下で発生する噴火。直接マグマが氷や融けた水と接するため、激しい水蒸気爆発や泥流の被害が出る。
氷点降下	ひょうてんこうか	depression of freezing point	溶質が水に溶け込むことによって水の凝固点が降下する現象。水以外の一般の溶媒の場合は凝固点降下ともいう。
氷点降下法	ひょうてんこうかほう	freezing point depression method	土のpF値を求めるための試験の一つ。
表土	ひょうど	surface soil	地表面の土。明確な定義はないが、一般に未固結で暗色ないし黒色を呈し、風化が進み有機物に富む。
表皮効果	ひょうひこうか	skin effect	周波数の高い電磁波が物体の深部に侵入しない現象。侵入する深さは周波数が高くなるほど浅くなるのでこの原理を利用して電磁法による垂直探査が行われる。
屏風ヶ浦海進	びょうぶがうらかいしん	Byobugaura transgression	横浜付近に分布する、中部更新統の屏風ヶ浦層の堆積に関して想定された海進。
屏風ヶ浦期	びょうぶがうらき	Byobugaura age	横浜付近に分布する、中部更新統の屏風ヶ浦層が堆積したと想定される時期。
屏風ヶ浦層	びょうぶがうらそう	Byobugaura Formation	横浜付近に分布する中部更新統。海成で砂層、泥層、凝灰質層よりなる。相模層群の一累層。
屏風山断層	びょうぶさんだんそう	Byobusan fault	活断層。確実度 I、活動度 B 級、北東方向。中津川市南方～瑞浪市南方に位置し延長32km。木曾山脈南西部の木曾谷断層系に属し、領家帯の西縁を画している。南東傾斜の逆断層。

氷帽	ひょうぼう	ice cap	一般には山頂部を覆う5万km ² 以下の規模の小さい氷床に対して用いられる。氷帽氷河ともいう。山岳氷帽、低地氷帽に大別される。氷冠と同義。
表面アスファルト遮水壁	ひょうめんあすふあとしゃすいへき	asphalt facing	アスファルトフェーシングと同義。
表面あらさ測定器	ひょうめんあらさそくていき	surface roughness tester	JIS-B-0651に規定される物体の表面のあらさを調べる機械。
表面インピーダンス	ひょうめんいんぴーだんす	surface impedance	大地の電導率の関数。地表面における電場と磁場の比。MT法（電磁探査）の解析に使用する。
表面エネルギー	ひょうめんえねるぎー	surface energy	物質の表面にある分子あるいは原子の、物質内部のものに対する単位当たりの表面張力と潜熱の増加分の和。
表面温度	ひょうめんおんど	surface temperature	物体内部からの熱伝導、外部からの輻射や外気温によって定まる物体表面の温度。
表面温度計	ひょうめんおんどけい	surface thermometer	物体の表面温度を測定するための温度計で、接触型（サーミスタ、熱電対）と非接触型（放射温度計、色温度計）がある。
表面活性剤	ひょうめんかつせいざい	surface active agent	液体や固体の表面に吸着し、表面の性質を著しく変化させるような性質を持つ物質。界面活性剤ともいう。
表面乾燥状態	ひょうめんかんそうじょうたい	surface dry condition	湿潤状態の岩石材料で表面水のない状態。内部空隙が完全に飽和されない場合も含む。
表面乾燥飽和状態	ひょうめんかんそうほうわじょうたい	saturated surface dry condition	岩石材料の表面水がなく、内部の空隙が水で満たされている状態。
表面構造	ひょうめんこうぞう	surface structure	結晶表面にみられる微細な構造で、結晶成長や融解現象に伴って形成される。渦巻模様などが知られている。
表面硬度計	ひょうめんこうどけい	surficial hardness tester	材料表面の硬さを計測する計器。押し込み硬度を計るビッカース硬度計や反発硬度を計るショア硬度計・シュミットハンマー試験器などがある。
表面仕上げ	ひょうめんしあげ	placing of the facing, surface finishing	コンクリートの締固め後に、表面を木ごて、金ごてまたは適当な仕上げ器具や機械などを用いて仕上げること。
表面遮水型ダム	ひょうめんしゃすいがただむ	facing type dam	堤体上流面にアスファルトやコンクリートでできた遮水壁を持つ型式のフィルダム。
表面浸食	ひょうめんしんしょく	surface erosion	表層物質の浸食をさす。細流浸食、雨食、土壌匍行、ソリフラクション、斜面物質の小規模な崩壊などがある。
表面水	ひょうめんすい	surface water	一般的には骨材の表面水をさす。骨材に含まれる水のうち骨材内部に賦存する水を除いたもの。

表面水率（細骨材の）	ひょうめんすいりつ（さいこつざいの）	surface water content (of fine aggregate)	湿潤状態と表乾状態の骨材重量の差を表乾状態の骨材重量で除し、その値を百分率で表したもの。
表面水和	ひょうめんすいわ	surface hydration	穿孔した瞬間、孔壁周辺が累積荷重から解放され体積変化が生じ、物理的に水を吸収する作用。
表面張力	ひょうめんちょうりょく	surface tension	液体の表面積を最小にしようとする力。外力が無視できる場合には球形となる。
表面張力波	ひょうめんちょうりょくは	capillary wave	液体の表面波の一つ。重力よりも表面張力が大きく作用するときの二つの流体の境界面に生じる波。
表面貯留	ひょうめんちよりゅう	surface storage	降雨水が地表面の凹地に貯まることで、雨量が浸透や貯留能力を超えると、地表流水が始まる。
表面伝導	ひょうめんでんどう	surface conduction	飽和した絶縁性鉱物において表面のかい離やイオン吸着などによって表面電荷が生じ比抵抗が低下する現象。
表面伝播波	ひょうめんでんぱは	surface wave	表面を伝わる弾性波・レイリー波とラブ波がある。層構造では波長によって伝播速度が異なるという分散性をもつ。
表面伝播波（表面波）	ひょうめんでんぱは（ひょうめんは）	surface wave	表面を伝わる弾性波・レイリー波とラブ波がある。層構造では波長によって伝播速度が異なるという分散性をもつ。
表面波	ひょうめんは	surface wave	地表面や物性に差のある物質の境界面に沿って伝播する波。境界面からの距離とともに指数関数的に減少。
表面薄層水温	ひょうめんはくそうすいおん	skin depth temperature	表層水温と同義。
表面波探査法	ひょうめんはたんさほう	surface wave exploration	起震器によるレーリー波（表面波）を用いて地下構造を探査する方法。起震周波数を変化させながらレーリー波速度を測定することにより深度方向の速度分布（ほぼS波速度に対応）が得られる。深度20m程度までの土砂地盤の調査に用いられることが多い。
表面曝気	ひょうめんばつき	surface aeration	水車などによる水流で汚水を強制的に空気に曝す機械的曝気と、圧縮空気を散気板から放出させて水流を起こす散気式曝気がある。汚水処理技術の一つ。
表面波マグニチュード	ひょうめんはまぐにちゅーど	surface wave magnitude	地震規模を表す量で、周期20秒前後の表面波の最大地動振幅を用いた計算法。Msで表す。
表面葡行	ひょうめんほこう	surface creep	砂丘で起こる風による運搬作用の一つで、ゆっくり風下に向かう地表の粗粒砂の滑動や転動。跳躍（saltation）による細粒砂の衝突によって発生する。
表面モレーン	ひょうめんもれーん	surficial moraine	氷河により運搬・堆積された岩屑のうち、氷河の表面を覆う堆石およびその地形をいう。
表面流出	ひょうめんりゅうしゅつ	surface runoff	降水が地表面から直接河川などへ流出すること。降雨強度が地表面付近の地盤の浸透能を越えた場合に生ずる流出形態。

漂遊型受振器	ひょうゆうがたじゅしんき	strayed seismometer	P S 検層などにおいて孔壁に圧着しないで孔内水に浮遊させて測定する受振器。
漂遊法	ひょうゆうほう	strayed method	ボーリング孔中での地震波観測において、ノイズを抑えるために漂遊型受振器を用いる方法。
表流水	ひょうりゅうすい	surface waters	川、湖水、貯水池、沼などの総称、およびそれらの水圏の水（地表水）。特に水利用の観点から伏流水に対していう。
ひょう量(秤量)	ひょうりょう	weighting	はかりで重さを測ること。
ひょう量(秤量)	ひょうりょう	weighting capacity	はかりで正確に測り得る最大質量。
漂礫	ひょうれき	boulder	氷河によって運搬されてきた礫または岩塊。研磨作用を受けていることがある。
氷礫土	ひょうれきど	till	氷河により削り取られた岩屑が運ばれて堆積したもの。様々な粒径の岩屑が混じり合い、淘汰の悪い堆積物。氷成堆積物と同義。
漂礫土	ひょうれきど	glacial drift	氷河や氷山によって運搬され、堆積した淘汰の悪い岩屑。
氷礫土平野	ひょうれきどへいや	till plain	氷河の浸食作用により平坦化された平野。氷河に運搬された岩屑が、氷体の衰退によって解放され堆積している。
氷礫粘土	ひょうれきねんど	till, boulder clay	氷礫土・氷成堆積物と同義。ボルダーや粘土を含まなくても氷河の作用で形成された堆積物。
肥沃度	ひよくど	soil fertility	作物を生育させる総合的な土壌の生産力、または作物生育に必要な種々の養分を供給する土地の能力。
火避石	ひよけいし	Hiyoke ishi	栃木県下都賀郡岩舟町岩船山に産する石材。新第三系の安山岩・凝灰岩。
ピラー構造	ぴらーこうぞう	pillar structure	地震時の液状化に伴って形成される垂直方向の円筒形構造。液状化に伴って地表に向かう流体の移動跡。
飛来塩分	ひらいえんぶん	wind salt	海上から陸上へ吹き込む強風で運ばれた塩分粒子。しばしば、植物の枯渇、送電設備の故障などの被害（塩害）が生ずる。風送塩ともいう。
開いた褶曲	ひらいたしゅうきょく	open fold	褶曲の形態による分類の一つで、褶曲の両翼に挟まれた角度が大きいもの。その角度が小さいものは、閉じた褶曲。
平井断層	ひらいだんそう	Hirai fault	活断層。確実度 I、活動度 B 級、北西－南東方向。埼玉県藤岡市西方に位置し長さ 15km。主に北東側隆起を示す。

平木鉱山	ひらきこうざん	Hiraki mine	兵庫県加東郡社町にある日本有数のカオリン質ろう石（蠟石）鉱床。有馬層群の流紋岩質火砕岩の浅熱水変質による産物。
平岸石	ひらぎしいし	Hiragishi ishi	札幌市南東に産する石材。鮮新統軽石質凝灰角礫岩。土木用に用いられる。島松石と同じ。
平瀬鉱山	ひらせこうざん	Hirase mine	岐阜県白川村平瀬にあった鉱脈型モリブデン鉱山。1911年発見。粗鉱15万t(MOS ₂ 1.6%)を採掘。1975年閉山。
比良断層	ひらだんそう	Hira fault	活断層。確実度I，活動度B級，北東方向。比良山地東縁に位置する。琵琶湖西縁断層の一部。急峻な断層崖を琵琶湖に向けている。
平根石	ひらねいし	Hirane ishi	長野県東部浅間山の南山麓に産する安山岩溶岩。板状節理が発達し、舗石・屋根瓦代用・橋梁などに利用。
平根地すべり	ひらねじすべり	the Hirane landslide	1898年に山形県最上郡戸沢村角川の出羽丘陵北東端で発生。その後十数回発生している。1960年地すべり防止区域指定。面積275 ha。鮮新統風化岩中にすべり面が形成され、融雪水の浸透が誘因として発生。
ビラフランカ階	びらふらんかかい	Villafranchian stage	イタリア北部の上部鮮新統から下部更新統の湖・河成層。
平丸地すべり	ひらまるじすべり	the Hiramaru landslide	1962年から1981年にかけて新潟県新井市上平丸で発生した地すべり。人家や河川に被害をもたらした。
平山断層	ひらやまだんそう	Hirayama fault	活断層。確実度I，活動度B級，北東-南西方向。神奈川県山北町南方に位置し延長3km。
平湯コンプレックス	ひらゆこんぷれっくす	Hirayu complex	岐阜・長野県境の安房峠付近に分布する美濃帯のチャート・粘板岩・砂岩などが破碎変形して混在した付加体。
平湯低速度帯	ひらゆていそくどたい	Hirayu low-velocity zone	岐阜・長野県境の安房湿原で観測される基盤岩の低速度帯で、弾性波速度は2.0~2.9km/secを示す。中生界の谷間を埋めて更新世末期の火山噴出物が堆積しており、安房トンネル施工時に大量湧水が発生した。
比流出土砂量	ひりゅうしゅつどしゃりょう	specific sediment yield	流域における土砂流出の結果生じた運搬土砂の体積を流出土砂量といい、単位面積(1km ²)あたりの流出土砂量を比流出土砂量という。
微粒石灰岩	びりゅうせつかいがん	micrite	ミクライト。ほとんど石灰泥から構成され、生物の遺骸などの粗い粒子の含有量が1%以下の石灰岩。
微流速計	びりゅうそくけい	micro flow meter	プロペラの回転数からボーリング孔内の孔軸方向の流速を測定する流速計。慣用的に単孔で地下水流動方向と流速を測定する機器全体をさすこともある。
微流速試験	びりゅうそくしけん	microflow test	鉛直ボーリング孔内において上下方向の微流速を測定する試験。微流速の深度分布から湧水・逸水位置が分かる。
比流量	ひりゅうりょう	specific discharge	流域面積の異なる河川の流量を直接比較するために、対象とする河川の流量を計測地点までの流域面積で除したもの。単位流域面積あたりの流量。

微量汚染物質	びりょうおせんぶつ しつ	micropollutant	微量であっても毒性の強い物質。埋立処分場浸出水に含まれるダイオキシン類，多環芳香族炭化水素類など。
微量成分	びりょうせいぶん	minor elements, trace component	地殻・鉱物・水・大気など様々な物質に少量含まれる成分。主成分の対語であるが，基準はあまり定かでない。
微量分析	びりょうぶんせき	microanalysis , microchemical anlysis	1～10 mg以下のごく微量の試料を用いて行う化学分析。
蛭石	ひるいし	vermiculite	バーミキュライトと同義語。
蛭川石	ひるかわいし	Hirukawa ishi	①秋田県大曲市蛭川産の新第三系輝石安山岩。白色と黒色の2種を産し，大材がとれ，石碑として利用される。 ②岐阜県恵那郡蛭川村産花崗岩
蛭子石	ひるこいし	Hiruko ishi	福岡県門司市蛭子町産石材。白亜系前期硯石層群中の安山岩。碎石用。
比例計数管	ひれいけいすうかん	proportional counter	放射線の検出器の一種。計数管に比例計数管用ガスを使用する。連続放射線の測定に適している。
ピレネー時相	ひれねーじそう	Pyrenees phase	ピレネー山脈の造山運動において設定された造山時相で，古第三紀の主褶曲の時期をさす。
疲労亀裂	ひろうきれつ	fatigue crack	塑性変形の繰り返しで物体の内部に生じる微小亀裂。一定成長後急速に破壊伝播し破断に至る。
疲労試験	ひろうしけん	fatigue test	正弦波状に変化する応力を与え，材料の疲労強度を求める試験。
ピロウブレッチャ	ひろうぶれっチャ	pillow breccia	枕状角礫岩と同義。
広島霰大理石	ひろしまあられだいいりせき	Hiroshima-arare marble	広島県南部の大崎上島産の石材。古生界中の大理石。多くは白色で，鼠色～鼠縞のものがある。室内装飾用に利用。
広島花崗岩	ひろしまかこうがん	Hiroshima granite	広島県を中心とする広い範囲に分布する白亜系～古第三系の花こう岩。大規模な岩体を形成する。
広島変動	ひろしまへんどう	Hiroshima disturbance	広島花崗岩などの珪長質火成活動によって特徴づけられる地殻変動。東アジアの燕山変動の一環とされる。
広瀬石	ひろせいし	Hirose ishi	仙台市西部に産する新第三系中の凝灰岩石材。
微惑星説	びわくせいせつ	planetesimal theory	太陽系は星雲内の塵が集合して形成されたとする説。

琵琶湖	びわこ	Lake Biwako	滋賀県中央に位置する日本最大の湖で、鮮新世以降の造盆地運動に規制されて形成された構造湖。
琵琶甲断層	びわこうだんそう	Biwakou fault	活断層。確実度 I，活動度 B 級。山崎断層系の一部をなす。低断層崖が発達する。
琵琶湖産ガス地	びわこさんがすち	Biwako gas field	滋賀県琵琶湖沿岸に広く分布するガス徴候地帯。南東部に多い。メタンを主とし、一般家庭で利用されている。
干割れ	ひわれ	sun crack, desiccation crack	未固結の泥質堆積物の表面に大気・日光が当たり、乾燥・収縮する際に表面にできる多角形の割れ目。
品位	ひんい	ore grade	鉱石または石炭の品質を示す指標。鉱石の場合は特定の金属の重量比、石炭の場合は灰分または発熱量で表す。
品位図	ひんいず	assay map	鉱石の品位を鉱床の平面・断面などに投影した図。地質図などと重ねあわせて鉱化作用の解明に用いる。
貧栄養湖	ひんえいようこ	oligotrophic lake	生物生産の少ない湖沼。一般に深度が大きく、窒素化合物およびリン酸塩などの栄養塩が少ない。
瀬海堆積環境	ひんかいたいせきかんきょう	glacio-lacustrine sedimentary environment	波浪や潮流の影響を受ける海陸の中間的な環境。分級・淘汰の進んだ砂礫と周辺に生息する動物遺体を含む泥質物が堆積する。
ビンガムモデル	びんがむもでる	Bingham Model	粘塑性モデル。並列な粘性要素と塑性要素に、弾性要素が直列する。降伏値以上の応力で永久ひずみを生じる。
ひん岩	ひんがん	porphyrite	閃緑岩と同組成の斑状を示す半深成岩。斑晶は斜長石と有色鉱物からなり、石基は完晶質。斑岩と同義語。
貧鉱	ひんこう	poor ore, low grade ore	比較的低品位であるが採掘の可能性はある鉱石。境界品位は価格変動や採鉱・選鉱・製錬法の進歩によって変化する。
貧酸素水塊	ひんさんそすいかい	oxygen poor water area	水中の溶存酸素が、著しく減少してしまった水域。富栄養化した水域の底部に堆積している有機物が分解される過程で、水中の酸素を消費することで発生する。
貧循環湖	ひんじゅんかんこ	oligomictic lake	湖沼水の循環による分類の一つで、循環が1年を通して弱い湖沼のこと。熱帯地方の湖沼にみられる。
ヒンジライン	ひんじらいん	hinge line	①褶曲軸と同義。 ②蝶番断層にあってはその回転軸。 ③腕足類などの殻が開閉する回転軸。
浜堤	ひんてい	beach ridge	砂堤と同義。
貧配合コンクリート	ひんはいごうこんくりーと	lean concrete	セメントの配合割合が低いコンクリート。

頻発性地震	ひんぱつせいじしん	swarm earthquake	ある限られた地域に多数の地震が発生し、その大きさも同程度で、一般に前震、主震、余震という区別ができない場合を地震群といい、そこで起こる地震をいう。
ピンホール試験	ぴんほーるしけん	pinhole test	分散性粘土の浸食状況を判定するために開発された試験。フィルダム遮水材料の試験に利用される。
ファイバコンクリート	ふあいばこんくりーと	fibre reinforced concrete	鋼・ガラス・炭素・有機系などの短繊維材を混ぜたコンクリート。繊維補強コンクリートともいう。引張強度や靱性の向上、剥落防止などの目的で用いられる。
ファイバ吹付けコンクリート	ふあいばふきつけこんくりーと	shotcrete with steel fiber	鋼繊維補強材を混在させたコンクリート吹付工。覆工などの引張・せん断強度を強化する。
ファイバメッシュ	ふあいばめっしゅ	fiber mesh	NATM工法において、通常金網の代わりに使用するファイバ補強樹脂製の網。
$\phi u=0$ 解析法	ふあいゆーいこーるぜろかいせきほう	$\phi u=0$ method	粘土の強度が粘着力のみからなるものとして非排水せん断強度を用いて行う安定計算法。軟弱地盤の短期安定計算に広く用いられる。
ファインネス	ふあいんねす	fineness	粒子の細かさ。粒度構成のこと。粉末度ともいう。
ファコリス	ふあこりす	phacolith	褶曲した地域で向斜部や背斜部に整合的に貫入した、小規模なレンズ状貫入岩体。
ファジィ理論	ふあじいろん	fuzzy theory	あいまいさを表現しようとする数学的理論。人間の思考に近いことで、各種情報処理などへの適用が進む。
不圧水	ふあつすい	unconfined water	不圧地下水と同義。
不圧水帯	ふあつすいたい	phreatic zone	不圧地下水を胚胎する層で、不圧帯水層とも呼ばれる。最上部に地下水面を持ち地下水面は直接土壌中の大気と接している。
負圧水頭	ふあつすいとう	negative-pressure	大気圧より小さい圧力水頭であり、水柱の高さcmH ₂ Oで示す。その絶対値の常用対数をとったものをpFという。
賦圧層	ふあつそう	cap rock, confining layer	帯水層の上、下位に接するシルト層や粘土層などの難透水層。帯水層中地下水の上下方向の流動を拘束し、被圧する役割を持つ。
不圧帯水層	ふあつたいすいそう	unconfined aquifer	大気圧と平衡状態にある自由地下水面をもち、不透水層に被覆されない帯水層。
不圧地下水	ふあつちかすい	unconfined groundwater	大気と直接つながる地下水面をもつ地下水。不圧水や自由地下水ともいう。
不圧地下水面	ふあつちかすいめん	phreatic surface, unconfined groundwater surface	不圧帯水層中に存在する地下水面で、不圧地下水の上限にあたる。自由地下水面ともいう。

ファブリック	ふあぶりつく	fabric	岩石を構成する鉱物粒や礫などの配列形態，空間的配置，鉱物の格子方位の定向性などのこと。
ファメヌ階	ふあめぬかい	Famennian stage	アルデンヌ～ライン地域を模式地とするデボン系最上部の地層．主に頁岩，石灰岩からなる．
ファラディの法則	ふあらでいのほうそく	Faraday's law	磁界変化に伴い誘起される起電力は，閉回路の磁束の時間変化率に比例するという法則．
ファルーシア系	ふあるーしあけい	Pharusian system	サハラ砂漠中央部の先カンブリア系上部の地層．層厚15,000mの浅海成堆積岩起源の結晶片岩から構成される．
ファルムダル亜氷期	ふあるむだるあひょうき	Farmdalian stadial	北米大陸の最終氷期であるウィスコンシン氷期のうちの2.2～2.8万年前の亜氷期．
ファンシューティング	ふあんしゅーていんぐ	fan shooting	地震探査法の一つ．起振孔に対し受振器を扇状に配置する方法．扇状展開爆発法と同義．
ファン・デル・ワールスの状態式	ふあんでるわーるすのじょうたいしき	van der Waals equation of state	気体の状態式．圧力・体積・分子間力定数で表わされる．理想気体からの偏差（気相－液相間転移の状態など）を表す．
ファン・デル・ワールスカ	ふあんでるわーるすりよく	van der Waals force , van der Waals bond	分子間または原子間に働く弱い引力．電子の共鳴運動に起因して生じ，かなり遠距離まで働く．
ファン礫岩	ふあんれきがん	fanglomerate	扇状地礫岩と同義．
V E S 解析	ぶいいーえすかいせき	vertical electrical sounding analysis, VES analysis	電気探査法のうち，ほぼ水平な成層構造を対象とした垂直探査方式の逆解析．
フィードバック型電磁地震計	ふいーどぼくがたでんじしんけい	feed-back type seismometer	電磁誘導を利用した地震計．小型で長周期の地震波を記録できるように電気回路を工夫したもの．
V S P	ぶいえすびー	vertical seismic profiling, VSP	地表発信で坑井内受信とする地震波トモグラフィ．
V H F	ぶいえっちえふ	VHF, very high frequency	電磁波のうち，波長が1～10m，100MHz前後のメートル波．テレビ放送などで一般的に用いられる周波数帯．
V H F 電波法	ぶいえっちえふでんぱほう	very high frequency radio wave method, VHF radio wave method	発信源としてV H F 帯の電波を利用する電磁法の一つ．
V / H	ぶいえっちひ	velocity to height ratio	センサの速度を地表面からの高度で除した値．センサと地表との相対速度を示す．
V L F - E M 法	ぶいえるえふいーえむほう	VLf-EM method, very low frequency-electromagnetic method	潜水艦通信用のV L F 電磁波(10～30kHz)による地上の電磁場が，地下の導体による異常な垂直磁場で乱されることを利用した探査法．鉛直方向と水平方向の磁場強度を測線に沿って測定する．探査深度は数10m程度で破碎帯の検出などに用いられている．

V L F - M T 法	ぶいえるえふえむ ていほう	VLF-MT method, very low frequency- magnetotelluric method	潜水艦通信用のV L F 電磁波(10~30kHz)による地上の 電磁場が、地下の導体による異常な垂直磁場で乱され ることを利用した探査法。水平電場と水平磁場を測定 し見かけ比抵抗を求める。探査深度は数10m程度で破 砕帯の検出などに用いられている。
V L F 帯	ぶいえるえふたい	very low frequency band, VLF band	電波の周波数が3~30KHzの電波帯。
V L F 探査法	ぶいえるえふたんさ ほう	V L F method	発信源としてV L F 帯の電波を利用する電磁法の一 種。
V L B I	ぶいえるびーあい	very long baseline interferometer, VLBI	超長基線電波干渉計。電波星からの電波を2地点で観 測し、その位相差から2地点間の距離を算出する。
Vカット工法	ぶいかつとこうほう	V-cut method	発破工法によるトンネル切羽面における穿孔方法のう ち、芯抜き効果を高めるためのV字形穿孔法。
ブイ式円筒足場	ぶいしきえんとうあ しば	sper-buoy boring derrick	浮上式足場の一種で、センターパイプの浮力体を水中 に引き込み足場やぐら全体を自立させる構造の海上足 場。
V字谷	ぶいじこく	V-shaped valley	横断面がV字形を呈している河谷。側方浸食よりも下 刻作用が著しく働いた幼年期の谷地形。
フィッシャーの 検定法	ふいっしやーのけん ていほう	Fisher's significance test	地震発生の周期性について統計的に検定する方法。
フィッシャーの 分類	ふいっしやーのぶん るい	Fisher's classification of volcanic breccia	Fisherによる広義の火砕岩の分類。水底噴火による破 片化を陸上噴火による破片化と区別したことなどに特 徴。
フィッシュ(井 戸の)	ふいっしゅ(いど の)	fish	簡単に取り除くことが出来なくなった井戸あるいは ボーリング孔内の異物をさす。
フィッシュテール ビット	ふいっしゅてーる びつと	fishtail bit	ノンコアボーリング用ビットの一種。魚の尾の形を し、刃先の中心部が割れている。主に、軟質地層・砂 利層に使用する。
フィッショント ラック年代測定 法	ふいっしよんとらっ くねんだいそくてい ほう	fission track dating	高エネルギーの重荷電粒子の照射または核分裂で生じ る固体内の飛跡を数え、その固体の年代を測定する手 法。
不一致年代	ふいっちねんだい	discordant age	U-Pb法, Th-Pb法, Pb-Pb法を用いて測定した同一試料 の年代が一致しないこと。
V T I R	ぶいていーあいあー る	visible and thermal infrared radiometer, VTIR	人工衛星MOS-1に搭載の可視熱赤外放射計。海表面温度 などの調査を目的とし、4バンド構成で走査幅は 1,500kmを有す。
フィニッシャ	ふいにっしや	finishing machine	舗装を施工時の敷きならし・締固め・仕上げ作業を行 う機械。コンクリート用・アスファルト用がある。
フィニ氷期	ふいにひょうき	Fini glacial time	De Geer(1912)は北欧での氷縞粘土の研究から晩氷期を 3期に区分しており、このうちの最後の時期。

V-バンド	ぶいばんど	V-band	レーダー周波数帯の一つ。周波数46～56GHz、波長域0.54～0.65cmの帯域。
Vp/Vs法	ぶいびーぶいえすほう	Vp-Vs method	小地震のP波およびS波の速度比が異常な変化を起こす期間と地震のマグニチュードとの関係から大地震を予知する方法。
フィヨルド	ふいよんど	fjord	氷食作用により形成された谷が部分的に沈水し、海水が侵入して生じた湾。峡湾ともいう。
フィラ	ふいら	filler	主として加熱アスファルト混合物に用いる微粒子の骨材で例えばセメント・石灰石の粉末やフライアッシュなど。
フィリピン海溝	ふいりぴんかいこう	Philippine trench	フィリピン諸島の東縁に沿う海溝。ユーラシアプレートとフィリピン海プレートの境界をなしフィリピン海プレートの沈みこみにより形成される。海溝底には混濁流堆積物が存在し、幅1～3kmの平坦面を形成している。
フィリピン海プレート	ふいりぴんかいぷれーと	Philippine sea plate	フィリピン海から続く海洋プレートの名称。ユーラシアプレートに対して沈み込み、関東から西南日本外帯に発生する巨大地震の原因。
フィリピン海盆	ふいりぴんかいぼん	Philippine basin	フィリピン海の西半分を広く占める三角形の海盆。
フィリピン火山帯	ふいりぴんかざんたい	Philippine volcanic belt	環太平洋火山帯の一部。台湾東岸より、パタン諸島、ルソン、ミンダナオを経て、サンギ諸島に続く火山帯。
フィリピン弧	ふいりぴんこ	Philippine arc	フィリピン海溝の西方に位置する島弧。インドネシア弧とともにスンダ安定地塊を取り巻いている。
フィリピン断層	ふいりぴんだんそう	Philippine fault	ルソン島を北西－南東方向にほぼ横断する左横ずれの活断層。西暦1645年に大地震(M8)を起こした可能性がある。
フィルタ井戸	ふいるたいど	filter-well	ストレーナの付いた揚水井戸の外側に、土粒子の流動防止のために粒径のそろった砂、金網等のフィルタを設けた井戸。
フィルタイプダム	ふいるたいふだむ	fill type dam	フィルダムともいう。岩石材料、掘削ずり、砂礫、土質材料などの自然材料を盛立てて築造したダムの総称。
フィルタ材料	ふいるたざいりょう	filter material	①土粒子を流失させず浸透水のみを通過させるために設ける半透水性材料。 ②フィルダムの遮水材料と透水材料の間に設けられる砂層あるいは砂利層。
フィルタサンド	ふいるたさんど	filter sand	フィルタとして利用される透水性の良い砂。
フィルダム	ふいるだむ	fill dam, embankment dam	堤体が岩石材料、砂礫材料および土質材料などにより盛立て築造されたダムの総称。
フィルダム材料	ふいるだむざいりょう	embankment dam material	フィルダムの築堤材料。細粒粘性土は遮水材料、粗粒岩石は透水性材料として幅広い材料が利用される。

フィレット	ふいれつと	fillet	コンクリートダムの岩盤部付近の増厚コンクリートのこと。一般には重力ダムの基本三角形に付加した上流側増厚部をさす。
フィロケイ酸塩	ふいろけいさんえん	phyllosilicate	造岩鉱物の主体をなす珪酸塩鉱物の一種で、層状珪酸塩ともいう。一般に粘土鉱物はこの層状鉱物からなる。
フィロナイト	ふいろないと	phylionite	粗粒の変成岩あるいは火成岩が破碎作用を受けて、千枚岩（フィライト）状となった岩石のこと。マイロナイトの一種。
フィロナイト化作用	ふいろないとかさよ う	phylionitization	フィロナイトを生成する作用（低温・高圧型）。
フィンガービット	ふいんがーびつと	finger bit	ノンコアボーリング用ビットの一種。指状をした固定式またはリセット式の切削刃を有する岩盤用ビット。
フィンガープリント法	ふいんがーぷりんと ほう	finger printing method	土壌空気中に含まれる揮発した汚染物質を活性炭に吸着させ、質量分析計で同定・定量する土壌ガス調査法。
フィンネマナイト	ふいんねまないと	finnemanite	$Pb_5(AsO_3)_3Cl$ 、六方晶系、硬度2.5、比重7.26。灰～黒色の半透明～不透明柱状結晶からなり、亜ダイヤモンド光沢を示す。へき開（劈開）明瞭。
封圧	ふうあつ	confining pressure	全ての方向で大きさが等しい圧縮力。地下深部で造構力が作用しない場合、上載荷重が封圧となる。
風圧（風速）計	ふうあつ（ふうそく） けい	pressure anemometer	風速計のなかで、強風を測る風速計のこと。風の圧力を測ることで風速を求める装置。
風圧計	ふうあつけい	pressure-tube anemometer	空気中の微圧（ゲージ圧）を測定して風速を求める計器。
風化	ふうか	weathering	物理風化と化学風化に大別され、岩石が地表条件のもとで、気圏・水圏・生物圏の影響で変化し土壌になる過程。
風解	ふうかい	efflorescence	結晶水を有する結晶が、空気中で自然に結晶水の一部または全部を失って、結晶がくずれる現象。
風害	ふうがい	wind damage	強風によって発生する被害。家屋・建物・農作物などあらゆるものがこの被害の対象となる。
風化崖	ふうかがい	weathering escarpments	成層し緩やかに傾斜している堆積岩からなる崖が、風化作用により後退することで形成された崖。
風化核	ふうかかく	core stone	岩石の割れ目沿いに風化が進み、風化部で囲まれた相対的な新鮮岩部。花崗岩や砂岩などでよく認められる。
風化殻	ふうかかく	weathering crust	土壌の表面から岩盤の風化部までの風化帯の総称。日本では丘陵や高位段丘に赤色風化殻が発達している。

風化岩	ふうかがん	weathered rock	風化作用を受けた岩石. 対語として新鮮岩や未風化岩の用語が使用されている.
風化系列	ふうかけいれつ	weathering sequence	土壌中の鉱物が化学的風化作用により粘土鉱物に変化する系列. (例 雲母→イライト→パーミキュライトの系列)
風化作用	ふうかさよう	weathering	地表付近で岩石が位置を変えずにルーズな含水物質に変化する過程. 機械的に碎片化する物理的風化と, 変質し粘土を生成する化学的風化がある.
風化残積土	ふうかざんせきど	weathered residual soil	岩石の風化産物が流水, 風などにより他所へ運ばれることなく, その場で土壌生成作用を受け土壌となったもの.
風化残留鉱床	ふうかざんりゅうこうしょう	residual deposit	風化作用により形成された鉱床. 一般に残留鉱床と同義. ボーキサイト鉱床が代表例である.
風化残留物	ふうかざんりゅうぶつ	saprolite, residual deposits	岩石が風化を受けて, 浸食運搬されずに残留している風化物質. 原地から移動していないマサなどが例.
風化指数	ふうかしすう	weathering index	①石炭の風化あるいは粉化性の尺度で指数で示す. 乾燥湿潤を繰り返した後の劣化・細粒化分の質量比(%)で表す. ②岩石・鉱物の化学的風化の進行の程度を表わす指数. Reiche, P. の提案した風化生産指数と風化ポテンシャル指数などがある.
風化心	ふうかしん	weathering core	風化核と同義. 現在あまり使用されていない用語.
風化浸食(作用)	ふうかしんしょく(さよう)	denudation	地殻が空気・水・生物・気温変化などの外因的営力を受けて変質移動し, 新鮮な岩石の露出が繰り返す作用.
風化浸透鉱床	ふうかしんとうこうしょう	infiltration deposit	地下水によって別の岩石中に濃集して形成された鉱床. ウラン, 銅, 鉄などの鉱床が代表例である.
風化前線	ふうかぜんせん	weathering front	風化部と未風化部とが急激に変化している場合, その境界を風化前線とよぶ.
風化層	ふうかそう	regolith, weathering (wethered) layer	表層に分布する岩石の風化した未固結物質. 定義は明確でなく, 風化とは関係ない軟らかい堆積層も含む場合もある.
風化層補正	ふうかそうほせい	weathering correction	地震波の解析の際, 表面風化層内では低速度であることを考慮し, 反射波・屈折波の到達時刻を補正すること.
風化帯	ふうかたい	weathered zone, weathering zone	基岩の風化により表層の土壌化した部分から新鮮部までの範囲. 風化程度によりゾーン分帯される.
風化断面	ふうかだんめん	weathering profile	表層から新鮮岩に至る風化作用の影響度を表す断面.
風化度	ふうかど	degree of weathering	風化作用の進行度合や風化生成物の物理・化学的性質の程度で, 各種指数や岩盤分類などで表示される.

風化土	ふうかど	weathering deposited residual soil	岩石が破砕, 変質, 劣化して土砂状となった後, その位置に留まっている土.
風化軟岩	ふうかなんがん	weathered soft rock	風化作用に起因する軟岩. 他に変質軟岩・堆積軟岩などが区分されている.
風化皮膜	ふうかひまく	weathering rind	岩石の風化が進むにつれて礫状化した岩塊の表面にできる酸化鉄などの皮膜.
風化分帯	ふうかぶんたい	classification of weathered zone	表層から新鮮岩までを一定の基準に従って区分すること. 花崗岩などでは6~8程度に分帯されることがある.
風乾	ふうかん	air dry	①粘土鉱物を室内で自然乾燥により乾かすこと. エチレングリコール処理との比較で粘土の膨潤性を確認する手法. ②土質試験試料を自然乾燥により含水比調整すること.
風景大理石	ふうけいだいりせき	landscape marble	大理石の石材商品名の一つ. 不純物のため, 研磨面に樹木のような景観を現すもの. 装飾用.
ブーゲー異常	ぶーげーいじょう	Bouguer anomaly	フリーエア・地形・ブーゲーの3補正を行った重力の観測値と標準重力の差.
ブーゲー勾配	ぶーげーこうばい	Bouguer grade	ブーゲー異常図において, 等ブーゲー異常値を示すコンターに直交する方向の勾配.
ブーゲー補正	ぶーげーほせい	Bouguer reduction	重力観測値に対して, 観測点とジオイドとの間の物質の質量による影響を補正すること.
風隙	ふうげき	wind gap	尾根筋の鞍部で, かつては川の流路の一部であったが争奪を受けて恒常流を失った化石河川. 横ずれ断層により形成された閉塞丘により形成される場合がある.
風穴	ふうけつ	fuketsu	①溶岩流の中央部に生じるトンネル状の空洞のうち, 大型のもの. 富士山に多く存在することが知られている. ②著しい開口亀裂の発達する岩盤または岩海状の崖錐堆積物中で, 外気と直接連絡する空気の流れを有する.
風向	ふうこう	wind direction	風の吹いてくる方向. 8方位, 16方位, 36方位で示す.
風向風速計	ふうこうふうそくけい	anemovane, wind vane and anemometer	風向計と風速計が一体となった観測装置. 風速風向計ともいう.
風向風速図	ふうこうふうそくず	wind direction and wind velocity chart, wind rose	風向と風速の関係図表. 風向を16方位とし風速をいくつかに区分して百分率で表示. 主に滑走路計画に用いる.
ブーシネスクの解	ぶーしねすくのかい	Boussinesq's solution	等方等質の半無限弾性地盤の表面に, 垂直な点荷重が作用したときの応力分布を求める解.
ブーシネスク理論	ぶーしねすくりろん	Boussinesq theory	地盤の表面に垂直の点載荷を加えた時の地中応力分布を表す理論. 地盤を等方等質の半無限弾性体と仮定.

撫順統	ふーしゅんとう	Fushun series	中国華北の遼寧省に位置する、炭層を挟在する陸成の古第三系。撫順炭田を構成する。
風食	ふうしょく	wind erosion	風による浸食作用。飛砂による削剥作用と細粒物質が吹き飛ばされる浸食作用とに区分される。
風食凹地	ふうしょくおうち	wind-formed depression	風による細粒物質の浸食作用によって形成された、円ないし楕円状の平面形を呈する凹地。
風食地形	ふうしょくちけい	aeolian landform	主として乾燥地帯にみられる風の浸食・運搬・堆積の作用により作られた地形の総称。たとえば、ヤルダンやデザートペーブメントなど。
風食洞	ふうしょくどう	wind cave	風食によって生じた洞窟。
風食礫	ふうしょくれき	ventifact, faceted pebble	礫の特定の部分が風による飛砂の摩耗作用によりみがかれて平滑になり、稜線が顕著になった特異な形態の礫。
風侵	ふうしん	wind erosion	風食と同義。
風塵	ふうじん	dust, blowing dust	乾いた粘土や砂などの土壌物質が突風によって吹き飛ばされる現象で、中にいると前方が見えないほどとなる。
風水害	ふうすいがい	damage caused by the wind and flood	台風・サイクロン・竜巻・フェーンなどの強風による災害と、洪水などの水による災害の総称。
フース型検潮儀	ふーすがたけんちょうぎ	Fusse type tide gauge	潮汐変化を記録する検潮儀の形式の一つ。潮汐の水位変化を浮き（ブイ）の動きとして記録する。
風成	ふうせい	aeolian, eolian, air-laid	風の浸食・運搬・堆積の作用により作られることあるいは作られたもの。
風成碎屑物	ふうせいさいせつぶつ	anemoclastics	風および風による砂塵によって削られた岩石片よりなる碎屑物。
風成層	ふうせいそう	aeolian deposit, aeolian soil	関東ロームなどのように、主に風の力で運搬され、堆積してできた堆積物（地層）。
風成堆積物	ふうせいたいせきぶつ	aeolian sediment, aeolian deposit	風により運搬され堆積した堆積物。日本では砂丘成層や関東ローム層などがある。風成層・風積層と同義。
風成地形	ふうせいちけい	aeolian landforms	風の浸食・運搬・堆積の作用により作られた地形。風食地形と同義
風積層	ふうせきそう	aeolian sediment, aeolian deposits	風成堆積物と同義。

風積土	ふうせきど	aeolian soil	運積土のうち土粒子の運搬力が風であるもの。日本各地の火山灰層，砂丘砂などがこれに属する。
風速	ふうそく	wind velocity, wind speed	空気の水平方向の流れの速さを風速といい，m/sで表す。風速の10分間平均値を平均流速，瞬間値を瞬間風速という。
風速鉛直分布	ふうそくえんちよくぶんぷ	vertical distribution of wind velocity	地表から150m程度の範囲では，風速は地表からの高さとともに増加する。この風速と高さの関係をいう。
風速計	ふうそくけい	anemometer	風速を測る装置。風車型（回転型）が一般的であるが，風圧型あるいは熱線や超音波を用いるものなどがある。
フーチング	ふーちんぐ	footing	基礎下部の広がった部分。基礎面の荷重を支持地盤の地耐力に応じた大きさまで低減する役割をもつ。
フーチング基礎	ふーちんぐきそ	footing type foundation, footing foundation	上部構造物からの荷重を広い面積に分布させるためにフーチングを用いた基礎。直接基礎，杭基礎に多く用いられている。
ブーディン構造	ぶーでいんこうぞう	boudinage	延性に乏しい地層が延性に富んだ地層に挟まれ，層理面方向へ伸長した際に生じるソーセージ状にちぎれた構造。
風洞	ふうどう	wind tunnel	風を人工的に吹送するトンネル型の装置。測定部に精度の良い一様流を吹送することを基本性能とする。
風洞実験	ふうどうじっけん	wind tunnel test	風洞を利用した実験の総称。航空機開発，構造物の耐風性の検討などを目的として実施される。
風倒木	ふうとうぼく	trees fallen by storm	台風などの暴風時に発生する倒木。風倒木は土砂とともに流木となって下流で災害を起こすこともある。
風洞模型	ふうどうもけい	wind tunnel model	構造物に作用する空気力や振動の特性を調べるため風洞実験に使用する模型。その縮尺は相似則より決定する。
封入型X線管	ふうにゆうがたえつくすせんかん	sealed-off tube	管の製造時に，真空にして封じられたX線管。
ブームカッター	ぶーむかッター	boom cutter	トンネル掘削に用いる自由断面掘削機の一つで，ブームと直角方向の軸を中心に回転するもの。
ブームヘッダ	ぶーむへッダ	boom header	トンネル掘削に用いる自由断面掘削機の一つで，ブームの長手軸を中心に回転するもの。
フラー土	ふーらーど	fuller's earth	フラー土と同義。
フーリエ解析	ふーりえかいせき	Fourier analysis	すべての関数を三角級数で表すことで解析する解析手法。熱伝導・振動・音響・光学など様々な分野で用いられる。フーリエは19世紀のフランスの数学者。

フーリエ級数	ふーりえきゅうすう	Fourier series	周期関数はその基本周波数の整数倍の周波数の正弦関数の和で表される。その数式をフーリエ級数と呼び、一般式は無限級数である。実用的には必要な個数に止めるので無限フーリエ級数であり、作成にFFTという計算ソフトが使用される。なお、有限級数のため原関数で与えられた点以外は原関数と一致しない。
フーリエスペクトル	ふーりえすぺくとる	Fourier spectrum	振動波形などをフーリエ変換して三角関数の級数和で表したときの各級数の係数（振幅）を振動数との関係で示したもの。卓越振動数の分析などに用いる。
フーリエスペクトル解析	ふーりえすぺくとる かいせき	Fourier spectral analysis	波がどのような振動数の成分を含み、どの成分の振動が大きいかを調べる方法。
フーリエ積分	ふーりえせきぶん	Fourier integral	周期関数に対するフーリエ級数展開を非周期関数まで拡張したもの。周期が無限に長い時のフーリエ級数の極限の形を示すもの。
フーリエ分光計	ふーりえぶんこうけい	Fourier transform spectrometer	フーリエ分光法による赤外分光光度計。マイケルソン干渉計ともいう。
フーリエ変換	ふーりえへんかん	Fourier transform	フーリエ積分を、時刻歴波形に適用してフーリエスペクトルを導くこと。逆に、フーリエスペクトルに対して行うと時刻歴波形が得られ、これをフーリエ逆変換と呼んでいる。非周期関数も周期 ∞ の周期関数とみなしてフーリエ級数を拡張し、別の変数の関数に置換える数学的手法。
フーリエ変換赤外分光法	ふーりえへんかんせきがいぶんこうほう	Fourier transform infrared spectroscopy	赤外線吸収スペクトルによる分析法の一種で、分光にフーリエ変換を用いる。
風りょう石（風稜石）	ふうりょうせき	facettted pebble	卓越風の風食作用で、上面に稜が発達した石。3本の稜があることが多く、三稜石と呼ばれる。砂漠に多い。
風力エネルギー	ふうりょくえねるぎー	wind energy	空気の運動エネルギーのこと。石油代替エネルギーとして風力発電の研究・開発が各国で行われている。
風力階級	ふうりょくかいきゅう	wind scale	風速値 (m/s)をある範囲で区切り、階級値として風の強さを評価すること。ビューフォート風力階級が有名。
風力発電	ふうりょくはつでん	wind power generation	風のエネルギーを用いて風車を回転させ、電気を起こす発電方式。
プール式魚道	ぷーるしきぎょどう	pool type fish way	流呈方向に横断する隔壁を設けてプールを形成させ、各隔壁間は越流や潜流によって水流を流下させる型式の魚道。
フェアハストの基準	ふえあはずとのきじゅん	Fairhurst's criterion	破壊基準の一つ。グリフィスの基準に対し、一軸圧縮強度と一軸引張強度の比を、任意の場合にまで拡張。
富栄養化	ふえいようか	eutrophication	湖沼型が植物栄養塩類濃度の高まった富栄養湖へ遷移したり、水質が富栄養へ変化する現象。
富栄養湖	ふえいようこ	eutrophic lake	生物生産の豊富な湖。N, P成分が多いので、植物プランクトンが多くなり、緑色を呈する。

フェーン現象	ふえーんげんしょう	foehn phenomenon	大気が山脈を越える際に風上斜面で凝結を伴うと、山脈の風下では大気が昇温・乾燥する現象。
フェザー	ふえざー	feather	宝石中に含まれる包有物の羽毛状集合。
フェシリアリ ティッククラスト	ふえしりありていつ くらすと	fersiallitic crust	Fe ₂ O ₃ , FeO(OH), SiO ₂ , Al ₂ O ₃ ・nH ₂ O, +AlO(OH)からなるラテライトで、熱帯～亜熱帯に分布する特異な風化生成物。
フェシリティック クラスト	ふえしりていつくく らすと	fersilitic crust	シリカが溶脱形成されたシルクリートのうち、Fe ₂ O ₃ , SiO ₂ を主成分とするもの。
フェナントロリン 吸光光度法	ふえなんとろりん きゆうこうこうどほう	phenanthroline absorptio metric analysis	フェナントロリン（化学式C ₁₂ H ₈ N ₂ ）の性質を利用した吸光光度法。吸光光度法は物質あるいは元素に特有の電磁波の吸光度を用いて分析する方法。
フェノスカンジ ア亜氷期	ふえのすかんじああ ひょうき	Fennoscandian stadial	バイケル氷期最末期（1.1～1万年前）におけるフェノセンジナビアの氷河拡大期。
フェマンギ ティッククラスト	ふえまんぎていつく らすと	fermangitic crust	Fe ₂ O ₃ , MnO ₂ を主成分とするラテライトで、熱帯～亜熱帯に分布する特異な風化生成物。
フェラリティック クラスト	ふえらりていつくく らすと	ferrallitic crust	Fe ₂ O ₃ , FeO(OH), Al ₂ O ₃ ・nH ₂ O, +AlO(OH)を主成分とするラテライトで、熱帯～亜熱帯に分布する特異な風化生成物。
フェリーブリッ ジ冷却塔の崩壊	ふえりーぶりっじれ いきやくとうのほう かい	failure of Ferry Bridge cooling tower	1965年イギリスフェリーブリッジ火力発電所で発生した災害。構造物の耐風設計見直しの大きな契機となる。
フェリクリート	ふえりくりーと	ferricrete	熱帯～亜熱帯に分布する鉄酸化物と鉄水酸化物に富む土壌で、ラテライトとも呼ばれている。
フェリティック クラスト	ふえりていつくく らすと	ferritic crust	主にFe ₂ O ₃ , FeO(OH)からなるラテライトで、熱帯～亜熱帯に分布する特異な風化生成物。
フェルマーの原 理	ふえるまーのげんり	Fermat principle, Fermat' s principle	波の伝播経路は、媒質ごとにそれぞれ最短時間となるコースをたどる。屈折・反射の法則が導かれる。
フェレニウスの 解法	ふえれにうすのかい ほう	Fellenius solution	円弧破壊面の解法を利用して純粋な粒状土の極限支持力を求める方法。
フォアパイリン グ	フォアパイリング	forepiling	トンネルの先受工で、切羽前方の地山に鋼管などの補助支保工を挿入して緩みを防止する措置。切羽前方の長い区間（5m以上）の先受けに用いるものをいう。
フォアポーリン グ	ふおあぼーりんぐ	forepoling	トンネル先受け工の一つ。切羽上部の外周から前方に向かって長さ5m以下のロックボルト、鋼管などを打ち込天端の緩みや崩落を防止する。注入を併用する場合がある。
フォアマン	ふおあまん	foreman	作業員のグループを指揮する世話役、職長。

foil sampler	foil sampler	軟らかい粘性土の乱さない試料を採取するサンブラ。フォイルテープによって試料を保持し、長い試料の採取が可能。
Voigt substance	Voigt substance	弾性体と粘性流体の両方を兼ね備えた物質の一種。
Voigt model	Voigt model	粘弾性を粘性と弾性との並列と考えるモデル。一定応力下の変位は次第に増加し弾性体の変位に近づくクリープを示す。
foreset structure	foreset structure	三角州の前置層の構造。前進した前置斜面の痕跡である。
foam-drilling, foam drilling	foam-drilling, foam drilling	界面活性剤を発泡剤として加えた泡状の循環水を用いてスライムを排出するボーリング掘削法。破碎帯などを乱さずにコア採取できる特徴がある。
formation testing	formation testing	井戸およびボーリング孔などを利用して、地層から産出する流体の量を知る試験。
formation microscanner	formation microscanner	多数の電極により、比抵抗を連続的に測定することによって、地層傾斜方位、孔壁比抵抗画像を得る検層。
falling weight diflectometer	falling weight diflectometer	路面上の載荷板に錘を落下させ、これにより生じた舗装面の変形からたわみ曲線を求める装置。FWDともいう。
radioactive fallout	radioactive fallout	核爆発などによって大気中に放出された放射能を帯びた粒子が、重力あるいは雨雪に付着して地表に降下すること。
fall cone test	fall cone test	先端角60° 質量60gのコーンの自重貫入量により、細粒土の液性限界を求める方法。
fall cone test	fall cone test	フォールコーン試験と同義。
Fossa Magna	Fossa Magna	西縁を糸魚川-静岡構造線に画される、本州の中央部を南北に横断する日本の最も重要な大構造帯の一つ。
photo-coupler	photo-coupler	発光素子と受光素子を組み合わせて電気信号を光に変換して伝達したあと、再び電気信号に戻す素子。入力側と出力側を電氣的に絶縁することができる。
photoclinometer	photoclinometer	非連続ディップメータで、ボーリング孔内の地層の方位・傾斜を地上操作による写真で測定する。
accretion	accretion	海洋プレートが沈み込むとき、プレート上部の海洋堆積物が削り取られて陸側に付け加えられること。アクリーションともいう。
deep foundation	deep foundation	杭やケーソンなどの深い支持層に到達させた基礎。地表面から基礎底面までの深さが基礎幅より深い基礎。

深井戸	ふかいど	deep well	浅井戸に対する用語で、十数m～数十m以深の井戸。30m以深の井戸をさすことが多い。
負荷曲線	ふかきよくせん	load curve	負荷の時間的な変化を図示する場合に用いられる。対象の時間軸の長さによって日負荷曲線、年負荷曲線などという。
不攪乱試料	ふかくらんしりょう	undisturbed sample	原位置の状態からできるだけ攪乱しないような方法で地盤から採取した試料。
不攪乱土壌	ふかくらんどじょう	undisturbed soil	乱されていない自然状態の土壌で、土壌構造や層位などを調べるのに用いる。
付加コンプレックス	ふかこんぷれっくす	accretionary complex	海洋プレートが沈み込む際の付加により形成された地質体。日本列島の中古生界は多くがこの地質体からなる。
富化作用	ふかさよう	enrichment	鉱床中に存在する鉱物の中から有用な鉱物や成分の含有量や品位を高めること。有用成分の増加と不要成分の除去がある。
付加体	ふかたい	accretionary prism, accretionary wedge	海洋プレートの沈み込みに伴う付加作用によって形成された地質体。大陸側斜面に付加された際に形成される逆断層と楔状構造が特徴。
付加帯	ふかたい	accretionary zone	海洋プレートの沈み込みによって付加体が形成されている地帯。
不活性ガス	ふかつせいがす	inert gas	周期表の第0族 (He, Ne, Ar, Kr, Xe, Rn) の総称。これらの元素は、天然では化学反応を起こさない。
付加テクトニクス	ふかてくとにくす	accretion tectonics	海溝部で海洋プレートの上の物質が大陸プレートに付加し、その付加部を中心に生ずる複雑な造構運動。
付加プリズム	ふかぷりずむ	accretionary prism	付加によって大陸側に押し付けられた堆積物が形成する楔（プリズム）状の断面。海溝付加体ともいう。
深見地すべり	ふかみじすべり	the Fukami landslide	1974年に石川県輪島市深見で発生した第三紀層地すべり。防止区域10ha。被害は人家18戸の被災と国道300mの破断とされている。
深谷断層	ふかやだんそう	Fukaya fault	活断層。確実度 I，活動度 B級，北西－南東方向。埼玉県深谷市に位置し延長10km。西側隆起を示す。
不完全貫入井戸	ふかんぜんかんにゆういど	partially penetrating well	帯水層を全部貫いていない、あるいは帯水層全体にわたりストレーナが設置されていない井戸。部分貫入井戸ともいう。
不完全被圧水	ふかんぜんひあつすい	semiconfined water	帯水層の上・下を限る加圧層が半透水性であるため、帯水層中地下水の上下方向のある程度の流動、漏水を生じうる被圧水。
吹上げ泉	ふきあげせん	spouting spring	温泉水が水蒸気や炭酸ガスを伴い地上高く噴きあがるもの。噴騰泉ともいう。

不規則型混合層 鉱物	ふきそくがたこんご うそうこうぶつ	random mixed-layer mineral	複数の層構造を持つ粘土鉱物が細かく互層し、その積 み重なり方に秩序を欠くもの。
不規則混合層	ふきそくこんごうそ う	random interstratification, random mixed layer	2種またはそれ以上の層構造をもつ鉱物が、細かく互 層し、しかもその積み重なり方に秩序を欠くもの。
不規則土層	ふきそくどそう	erratic subsoil	タービダイトや崩積土にみられるような、水平・垂直 方向に物性が激しく変化する構造を示す土層。
吹付け厚	ふきつけあつ	thickness of shotcrete	NATM工法で通常一次覆工として用いられる吹付け コンクリートの厚さで、地山の等級によって異なる。
吹付け機	ふきつけき	shotcrete machine	コンクリートを地山に吹付ける機械で湿式と乾式があ る。粉塵・はね返りが少ないものが選定される。
吹付けコンク リート	ふきつけこんくりー と	shotcrete	圧搾空気を用いて吹付けられたコンクリート。のり面 保護工やNATM工法によるトンネルで広く用いられ ている。
吹付けコンク リート応力	ふきつけこんくりー とおうりょく	stress of shotcrete	吹付けコンクリートに発生する応力。この応力を把握 することはトンネルなどの地下空洞の安定を図る上で 重要。
吹付け仕上げ	ふきつけしあげ	finished lining of shotcrete	発電用導水路や仮設トンネルなどで地山が良好な場 合、吹付けコンクリートだけで覆工を仕上げること。
不協和合流	ふきょうわごうりゅ う	discordant junction	二つ以上の河川が合流する際、それぞれの河底の標高 が食い違っていること。
不均一系	ふきんいつけい	heterogeneous system	二つ以上の相からなる系。岩石系は特殊な場合を除 き、一般に不均一系である。多相系ともいう。
不均一変形	ふきんいつへんけい	heterogeneous deformation	直線は曲線、平面は曲面、球面は複雑な曲面になるよ うな変形。地質学的変形、特に褶曲は不均一変形であ る。
不均質	ふきんしつ	heterogeneity, heterogeneous, inhomogeneous	地盤の構成物質や物性が均一でないこと。層状地盤や 異質のブロックを含む地盤、断層破碎帯を伴う岩盤な ど様々な場合に用いられるが、「不均質」として扱う か否かは対象領域の大きさなどにより判断される。
不均質多孔体	ふきんしつたこうた い	heterogeneous porous media	場所によって物性の異なる均質でない多孔体。
福井石	ふくいいし	Fukui ishi	福井県足羽山産の良質な凝灰岩石材で別名の笏谷石の 名が有名。墓石、敷石、石塔などの石造物用材として 使用。
福井地震	ふくいじしん	the 1948 Fukui earthquake	1948年6月28日福井平野の直下で発生したM7.1の地震。 死者3,769人、負傷者22,203人とされる。この地震を契 機として気象庁震度階級Ⅶが設定された。
復円反射測角器	ふくえんはんしゃ そっかくき	two circle goniometer	結晶の各面の球面座標値を測定する装置。単円反射測 角器と違い、1回の固定で測定できるのが特徴であ る。

福岡鉱山	ふくおかこうざん	Fukuoka mine	岐阜県福岡村にあった重石鉱山。花崗岩類に伴う石英脈中の緑柱石を稼行対象としていた。
福岡みかげ	ふくおかみかげ	Fukuoka mikage	岐阜県恵那郡福岡町・恵那市産の石材。中生界黒雲母花崗岩。外柵材，建築用材として使用。
覆瓦構造	ふくがこうぞう	shingle block structure, imbrication, inbricate structure	①同方向に傾斜した衝上断層により細分化された地塊が，瓦を重ねた様に一方向に押しかぶせている構造。 ②河床や海浜の砂礫が流れによって瓦状に積み重なる堆積構造。
複輝石安山岩	ふくきせきあんざんがん	two-pyroxene andesite	2種類の輝石斑晶（単斜輝石と斜方輝石）を含む安山岩。
複輝石かんらん岩（複輝石橄欖岩）	ふくきせきかんらんがん	lherzolite	かんらん石（橄欖石）の他に斜方輝石と単斜輝石を主成分鉱物とするかんらん岩（橄欖岩）。レールズライトともいう。
複屈折	ふくくっせつ	double refraction	光学的等方体から異方体に一定方向から光が入る場合に，異なった2方向の屈折光が得られること。方解石を通して物が二重に見られる現象として知られている。
複合海岸線	ふくごうかいがんせん	compound shoreline	海岸線形態の成因が，複数組み合わせあって形成された海岸線。合成海岸線ともいう。
複合火山	ふくごうかざん	composite volcano	複数の単火山が重なり合い，全体として一つの火山体を構成している火山体。主火山体山腹の側火山や，カルデラ内に中央火口丘を持つものが好例。複式火山ともいう。
複合型アンカー	ふくごうがたあんかー	compound type anchor	アースアンカーの一種。アンカー体の断面を拡大して，周面摩擦抵抗と拡大部前面の支圧抵抗を期待したもの。
複合岩床	ふくごうがんしょう	composite sheet	成分の異なったマグマが連続的に貫入してできた岩床。この岩床は異岩型から構成され，その境界は漸移する。
複合岩脈	ふくごうがんみやく	composite dike, composite dyke	異なる岩型から構成される岩脈。異なる岩型間は漸移する。これらは連続的に貫入したと考えられる。
複合杭	ふくごうぐい	composit pile	材質の異なる複数の材料を用いて制作した杭。複合する材料の特性を適切に組み合わせることにより高い機能の杭ができる。
複合災害	ふくごうさいがい	complex disaster	災害発生メカニズムにおいて，複数の災害が同時もしくは連続して発生する現象。
複合地盤	ふくごうじばん	composit ground	深層安定処理工法などによって形成される人為的な複雑な構成の地盤の総称。
複向斜	ふくこうしゃ	synclinorium	褶曲構造に関する用語。大構造全体として向斜構造をなすが，それを構成する地層自身が多く褶曲の集合体であるもの。
複合褶曲	ふくごうしゅうきょく	compound fold	生成機構が異なる褶曲が重なってできた褶曲。

副洪水吐き	ふくこうずいばき	auxiliary spillway	例外的大洪水時のみ使用する洪水吐き。
複合すべり面	ふくごうすべりめん	compounded slip surface	すべり面の形状の一種で、円弧や直線が適宜組み合わせられたすべり面。1円弧1直線・2円弧1直線すべりなど。
複合ダム	ふくごうだむ	combined dam	一つのダムがコンクリートとフィルの異なる型式で構成されているもの。
複合地形	ふくごうちけい	compound landscapes	複数の営力の複合によって形成された地形。一種類の営力によって生じた、単純地形に対する分類。
複合法面	ふくごうのりめん	variable slope, multiple inclination slope compound slope	傾斜部の法勾配が途中で変わるのり面。
複合フーチング基礎	ふくごうふーちんぐきそ	combined footing foundation	2本以上の柱を一つのフーチングで受ける基礎形式。
副鉱物	ふくこうぶつ	auxiliary mineral	Johannsenの火成岩の分類において、無色で、含有量が少なく、岩石を分類命名するうえで基準にならない鉱物。
複合溶岩流	ふくごうようがんりゅう	composite lava flow	単一の流出で形成されたにも関わらず、箇所によって複数以上の明らかに異なる組成を示している溶岩流。
複鎖構造	ふくさこうぞう	double chain structure	原子または原子団の鎖格子が2本ずつ結合した複鎖格子が、平行に配列してできた構造。
複酸化物	ふくさんかぶつ	multiple oxide	2種以上の金属イオンを含む酸化物の組合せ。酸素イオンに対し、陽イオンが結晶学的に独立な2種類以上の位置を占める無機化合物結晶。
副次滑落崖	ふくじかつらくがい	sub-scarp	地すべり滑動によって生じた、地すべり堆内部に二次的に生じたすべり面の露出した急崖。小滑落崖 (minor scarp)ともいう。
複式火山	ふくしきかざん	composite volcano	複合火山と同義。
複式礫岩	ふくしきれきがん	polygenetic conglomerate	構成礫種が複数あり、供給源が多様と想定される礫岩。多源礫岩とも称される。
副次すべり面	ふくじすべりめん	subslip surface	地すべり滑動によって生じた、地すべり移動体内で二次的に生じた剪断面。
福地層群	ふくじそうぐん	Fukuji Formation	岐阜県北部の飛騨外縁帯の古生界下部デボン系。岐阜県吉城郡上宝村福地一の谷を模式地とする。石灰岩、石灰質頁岩を主体とし、珪長質凝灰岩を挟む。
副次断層	ふくじだんそう	secondary fault	副断層と同義。

福島県東方沖地震	ふくしまけんとうほうおきじしん	the 1938 Fukushimaken-toho-oki earthquake	1938年11月5日に発生した福島県沖を震源とするM7.5の地震。M7以上の大きな地震が連続して発生。低周波地震。
副尺	ふくしゃく	vernier	バーニヤと同義。
輻射状流域	ふくしゃじょうりゅういき	radial drainage	主要な小流域が同程度の規模で、全部が放射状や扇状をなしているような流域。
複褶曲	ふくしゅうきょく	composite fold	大褶曲と小褶曲の重なり(複雑褶曲)または異機構の褶曲の組み合わせ(複合褶曲)のこと。
福神海山	ふくじんかいざん	Fukujin seamount	東京の南方約1,500kmに位置する海山。近年、海水変色などの火山活動を示す現象が確認された。
復水工法	ふくすいこうほう	water recharging method	地盤の掘込部分の排水と並行して、外側の地盤に重力差で注水し、周辺地盤の水位を回復させる工法。
復水式サイクル	ふくすいしきさいくる	condensation cycle	タービンを作動させた蒸気を復水器で水に戻すサイクル。非復水式に比べ効率が良い。
複成火山	ふくせいかざん	polygenetic volcano	休止期を挟んで噴火を繰り返してできた火山。一輪廻の単成火山に対する言葉。多輪廻火山ともいう。
複成岩床	ふくせいがんしょう	multiple sheet	同一組成のマグマが地下で数回貫入・固結した平板状の火成岩体。急冷縁はそれぞれに存在する。
複成岩石区	ふくせいがんせきく	composite petrographic province	初生火成岩系と再生火成岩系の両系統の岩石が、両方ともかなりの量で存在している岩石区。
複成岩脈	ふくせいがんみやく	composite dyke	火山岩の貫入した岩脈のうち、間をおいて2回以上の貫入により形成されたもの。貫入毎に急冷縁を有す。
複成鉱脈	ふくせいこうみやく	composite vein	多数の連続する亀裂が鉱化された鉱脈群。鉱脈付近の亀裂の再裂と鉱化を繰り返してできた鉱脈群。
副成分	ふくせいぶん	accessory component	主成分に対する語で、物質を構成する副次的成分。
副成分鉱物	ふくせいぶんこうぶつ	accessory mineral	火成岩を構成する鉱物のうち、含有量が少なかったり、出現頻度が低い鉱物。主成分鉱物に対応される。
複成片麻岩	ふくせいへんまがん	composite gneiss	貫入した火成岩と周囲の岩石が融合して再結晶作用の結果生じた片麻岩。合成片麻岩ともいう。
複素地震トレース解析	ふくそじしんとれーすかいせき	complex seismic trace analysis	地震探査データ処理の一手法で、地震記録と、これと90°位相がずれたものから合成されるトレースの解析。

複素電導度 (伝導率)	ふくそでんどうど (でんどうりつ)	complex conductivity	ある媒質に交番電界が与えられた時に流れる伝導電流および変位電流と電界との関係を表す係数. その媒質の導電率・複素誘電率と角周波数を加えたもの.
複素比抵抗	ふくそひていこう	complex resistivity	交流電流に対する見かけの抵抗. インピーダンス.
複素比抵抗法	ふくそひていこうほう	complex resistivity method	スペクトル I P 法と同義. C R 法ともいう.
福田石	ふくだいし	Fukuda ihsi	香川県小豆郡内海町・池田町産の石材. 中生界黒雲母花崗岩. 土木・建築用材として使用. 福田みかげと同義.
副ダム	ふくだむ	counter dam	減勢池内の水位をせき上げるために減勢工下流端に設ける越流堰.
副断層	ふくだんそう	secondary fault	主断層の形成に伴う変位により, 新たな応力状態が周辺に生じて形成される相対的に規模の小さな副次的断層. 二次断層ともいう.
複断層崖	ふくだんそうがい	composite fault scarp	一つの崖の一部が断層崖, 一部が浸食崖から構成されている崖地形.
福地地すべり	ふくちじすべり	the Fukuchi landslide	1976年9月台風17号の集中豪雨を契機に兵庫県宍粟郡一宮町福地で発生. 主な被害は行方不明3人, 被害家屋157棟とされている.
福智山断層	ふくちやまだんそう	Fukuchiyama fault	活断層. 確実度 I, 活動度 B~C 級, 北北西-南南東方向. 福岡県中間市~田川市に位置し延長16km. 西側隆起(2m)を示す.
副堤	ふくてい	secondary levee	本堤の前または後ろに並べて設けられる堤防. 前のは小規模洪水用, 後ろのものは本堤破堤時の控えとされる.
副低気圧	ふくていきあつ	secondary cyclone	台風などの主となる低気圧の影響を受けて近傍に発生する低気圧. 副低気圧の方が大きくなることもある.
複背斜	ふくはいしゃ	anticlinorium	褶曲構造に関する用語. 大構造全体として背斜構造をなすが, それを構成する地層自身が多く褶曲の集合体であるもの.
複ばん土石	ふくばんどせき	paraluminite	$2Al_2O_3 \cdot SO_3 \cdot 15H_2O$. 白~淡黄色. 団塊状, 繊維状, 腎臓状の集合体または針状結晶からなる.
副分水界	ふくぶんすいかい	subdivide	同一水系を構成する, 河川の本流・支流の各河系の流域の境界.
複変成鉱床	ふくへんせいこうしょう	polymetamorphic deposit	2回以上変成作用を受けた鉱床. この鉱床は性質が極めて複雑である. 多重変成鉱床ともいう.
複変成作用	ふくへんせいさよう	polymetamorphism	2回以上の変成作用のこと. 複変成作用を受けた変成岩を複変成岩という.

伏没かん養（伏没涵養）	ふくぼつかんよう	influent	川の常時の水面が地下水面より高い場合に川から地下水面に向かって起こる浸透現象.
伏没かん養河流（伏没涵養河流）	ふくぼつかんようかりゅう	influent stream	河川水が河床から地下へ浸漏するため、流下するにつれて流量を減少する河流または河流の区間. 失水（losing）河流ともいう.
福岡－若宮断層	ふくまわかみやだんそう	Fukuma-Wakamiya fault	活断層. 確実度 I, 活動度 B 級, 北西－南東方向. 福岡県宗像市～飯塚市に位置し延長14km. 谷の屈曲（左ずれ700m）を示す.
福光石	ふくみついし	Fukumitsu ishi	島根県邇摩郡温泉津町福光産の第三系凝灰岩石材. 外柵材, 貼石材, 景観材, 建築用材として使用.
副脈	ふくみやく	companion	大きな主要鉱脈に伴って, これにほぼ平行に発達する小さな鉱脈.
ふくらみ	ふくらみ	bulge, mound	断層変位による凸地形を表す用語の一つで, 周辺よりもやや高まっている地形のこと.
伏流	ふくりゅう	underflow	現在の河川敷や旧河道, 化石谷などの地下に自然に流れている地下水の流れ. あるいは流水が一時的に河床堆積物の下などを流れて, 流水として認められない状態.
伏流水	ふくりゅうすい	underflow water	河川敷の下を流れる地下水で, 河川水と連続しており河川からのかん養（涵養）を受ける地下水.
膨れ上り	ふくれあがり	heaving	ヒービングと同義. 盤膨れともいう,
袋状鉱脈	ふくろじょうこうみやく	chambered vein	鉱脈の一部が拡大して袋状の塊となったもの.
袋詰め注入	ふくろづめちゅうにゅう	bag grouting	トンネルの裏込注入の一種. 注入部材の漏洩防止や凸凹のある地山になじませるため, 袋詰めにした材料を投入して地山を押さえる方法.
深溝断層	ふこうずだんそう	Fukozu fault	地震断層. 三河地震（1945年1月13日, M6.9）により, 愛知県渥美湾岸に生じた垂直ずれを主にした衝上断層. 延長は南北方向約 4 km, 東西方向約 4 km. 垂直変位は最大 2 m.
富鉱体	ふこうたい	ore shoot	鉱床全体のうち, 採掘価値のある高品位な鉱石や脈幅が均質一様な部分.
藤岡鉱床地区	ふじおかこうしょうちく	Fujioka ore field	愛知県西加茂郡藤岡地区にあるカオリン・珪砂鉱床. 花崗岩類の基盤内凹地に堆積した粘土・アルユース質砂岩からなる. 瀬戸層群中の瀬戸陶土層中に存在.
藤岡みかげ	ふじおかみかげ	Fujioka mikage	愛知県西加茂郡藤岡町で採掘される石材. 斑状粗粒の角閃石黒雲母花崗岩. 外柵, 墓石, 建築用材として使用.
藤返石	ふじがえりいし	Fujigaeri ishi	静岡県田方郡伊豆長岡町産の石材. 新第三系凝灰角礫岩. 江間石（えまいし）と同義.

富士火山帯	ふじかざんたい	Fuji volcanic zone	伊豆－マリアナ島弧の北半に発達する火山地帯。火山岩の性質の差違から、北帯と南帯に分けられる。
藤ヶ谷鉱山	ふじがたにこうざん	Fujigatani mine	山口県玖珂郡美川町藤ヶ谷にあったタングステン鉱山。日本の代表的な還元型スカルン鉱床である。1986年閉山。
富士小松石	ふじこまついし	Fujikomatsu ishi	神奈川県小田原市入生田・風祭・小倉産の石材。更新統両輝石安山岩。主に土木用に使用。
富士山噴火	ふじさんふんか	the 1707 Fuji eruption	1707年に発生した富士山の歴史時代最後の噴火（宝永噴火）。噴出物は0.85km ³ 、噴出面積は6,242km ³ 。
腐植	ふしょく	humus	土壌中に含まれる有機物質の総称。動植物遺体が微生物分解される過程で、安定な有機物が残存・集積したもの。
腐植栄養湖	ふしょくえいようこ	dystrophic lake	湖水中に多量の有機質の腐植物が流入している湖。泥炭地や高位湿原の湖沼では、褐色の水色を呈する。
腐植含有量	ふしょくがんゆうりょう	humus content, organic matter content	土の乾燥質量に対する腐植の量を質量百分率で示した値。
腐植含有量試験	ふしょくがんゆうりょうしけん	humus content test	土中の腐植含有量を求める試験。
腐食作用	ふしょくさよう	corrosion, humification	金属が接する物質と電気・化学反応を起こすことで、消耗すること。
腐植酸	ふしょくさん	humic acid	土壌腐食の大きな割合を占める暗色または黒色の有機化合物群で、酸性で沈殿する。
腐食試験	ふしょくしけん	etching test	まさ土粒子の浸食に対する安定性を評価するため、フッ化水素酸を用いて行なう腐食率の測定試験。
腐植質アロフェン土	ふしょくしつあろふえんど	humic allophane soils	湿潤亜熱帯～南ボREAL帯にわたり、母岩である火山灰の影響の極めて強い成帯内性土壌。黒ぼく土。
腐植質グライ土	ふしょくしつぐらいど	humic gley soils	土壌型名の一つ。アメリカにおける湿草地土および類縁の土壌。還元環境下での第一鉄の生成と灰～青緑色の色調を特徴とする。
腐植層	ふしょくそう	humus horizon	腐植含有率が高い黒色の土層で、腐植含量により細分される。腐植が多く腐植層が厚いほど作物生産力が高い。
腐植炭	ふしょくたん	humus coal	石炭の原料植物により分類した名称。陸生植物、特に樹木を原料とする普通の石炭。
腐植蓄積作用	ふしょくちくせきさよう	accumulation of humus	土壌中に比較的安定な腐植の蓄積が著しい、基礎的土壌生成過程の一つ。有機物集積作用ともいう。

腐植泥	ふしょくでい	humus mud	湖底堆積物の一つ。褐色を呈する。泥炭地や高位湿原の湖沼で周囲から流入した腐植物からなる。
腐植土	ふしょくど	humic soils, humus	植物性有機物である腐植を多く含む土。土木工学などでは、とくに腐植の含有率の高い暗黒色の土層のことを腐植土という。
藤原岳断層	ふじわらだけだんそう	Fujiwaradake fault	活断層。確実度 I，活動度 B 級，南北方向。三重県桑名市西方の鈴鹿山脈山麓部に位置し延長 20km。西側隆起を示す。
不浸透層	ふしんとうそう	impermeable layer	アースダム・ロックフィルダムの中央部または上流寄りに設け、透水性の低い粘土などを用いて貯水が浸透・流失しないようにするための層。コアゾーンともいう。
フズリナ	ふずりな	<i>Fusulina</i>	紡錘虫類の一属。紡錘形～亜円柱形の石灰質の殻を持つ有孔虫類。体長約 5mm。石炭紀～ペルム紀の示準化石。
不整合	ふせいごう	unconformity	地層が堆積後に浸食を受け、著しい時間的間隙の後に新たな地層が堆積した場合、両者の関係を不整合という。
不整合貫入	ふせいごうかんにゅう	discordant injection	火成岩体がある地層の層理面や片理面を切って貫入すること。非整合貫入・非調和貫入ともいう。
不整合関連型ウラン鉱床	ふせいごうかんれんがたうらんこうしょう	unconformity type uranium deposit	原生代中期の不整合面付近に濃集するウラン鉱床。多くは、石墨雲母片岩、黒雲母片岩などの中に存在。カナダ、オーストラリア(シガーレイク鉱山、キーレイク鉱山など)に多い。
不整合格子	ふせいこうし	lattice imperfection	結晶の原子配列の三次元周期性が様々な理由で不規則性を有していること。
不整合トラップ	ふせいごうとらっぷ	unconformity trap	石油やガスの貯留層が不整合面およびこの上位層をキャップロックとしている構造。二次層位トラップともいう。
不整合面	ふせいごうめん	surface of unconformity, unconformity plane	不整合の関係にある二つの地層の境界面。不整合面は下位層の浸食地形面を示す。
斧石	ふせき	axinite	$H(Ca, Fe, Mn, Mg)_3Al_2BSi_4O_{16}$ 、三斜晶系、硬度 6.5～7、比重 3.18～3.43。4 種の端成分鉱物をもつホウ素珪酸塩鉱物の 1 グループの名称。「おのいし」ともいう。結晶形態が斧に似る。
浮石流	ふせきりゅう	pumice flow	軽石流と同義。
武節花崗岩	ぶせつかこうがん	Busetsu granite	天竜川流域～三河高原に分布する白亜系の新期領家花崗岩。岡崎みかげ・鍋田石・稲武石・花沢石という名で石材として使われている。
浮選	ふせん	floatation	液体－固体の分離方法。固体に溶解するガスを吹込んで小さな気泡を作り、それに付着させて固体を除去する法。鉱物の濃縮に用いられる。
部層	ぶそう	Member	地層命名規約に基づく地層区分の単位。一枚の層(累層)の中で特徴的な岩相を呈し、ある広がりをもった部分をいう。単層や複数の単層の集合、溶岩流など様々な場合がある。

浮体足場	ふたいあしば	floating scaffold	浮力を利用して水面上に仮設する足場の総称.
布田川断層	ふたかわだんそう	Futakawa fault	活断層. 確実度 I, 活動度 B 級, 北東-南西方向. 熊本市東方に位置し延長12.5km. 河川屈曲・傾動が認められる.
双子地震	ふたごじしん	earthquake doublet, double shock	特殊な群発地震. 活動度に関係なく最大地震と次に大きい地震にマグニチュード差がなく発生すること.
二瀬戸石	ふたせといし	Futaseto ishi	鹿児島県日置郡市来町二瀬戸産の石材. 軽石質の更新統溶結凝灰岩. 主に土木用. 反土石と同質.
二ツ井地震	ふたつじしん	the 1995 Futatsui earthquake	1995年10月秋田県米代川下流に発生した被害地震. M6.3. 被害は二ツ井町・響村に限られた.
二ツ岳軽石層	ふたつだけかるいし そう	Futatsudake pumice fall deposit	6世紀初期に生じた榛名火山による降下軽石層. 二ツ岳溶岩ドーム期に噴出. 古墳時代の広域指標テフラ.
二つ割りモールド	ふたつわりもーど	split mold	コンクリートなどの供試体を作成するための鋳鉄製モールド.
双葉構造線	ふたばこうぞうせん	Futaba tectonic line	阿武隅山地の花崗岩・中生代と東側の新第三系との境をなす構造線. 延長100kmに及ぶ南北性の高角断層.
双葉層群	ふたばそうぐん	Futaba Group	阿武隅山地東部に分布する上部白亜系. 浅海成の砂岩・泥岩が主体で西側の花崗岩類を不整合に覆い, 東に緩く傾斜して東側は古第三系に不整合で覆われる.
双葉断層	ふたばだんそう	Futaba fault	活断層. 確実度 I ~ II, 活動度 B 級, 北北西-南南東方向. 福島県相馬市~樽葉町に位置し延長55km. 主に西側隆起を示す.
二股石	ふたまたいし	Futamata ishi	北海道山越郡長万部町二股産の石材. 新第三系凝灰岩. 主に土木用に使用.
プチグマ褶曲	ぷちぐましゅうきょく	ptygmatic fold	プチグマチック褶曲と同義. プチグマチック褶曲の略語.
プチグマチック褶曲	ぷちぐまちっくしゅうきょく	ptygmatic fold	ミグマタイト中の石英やアプライトなどの細脈に見られる軸面の不規則な細かい閉じた褶曲, 片麻岩などの石英・長石脈に見られる鋭角的な褶曲等. プチグマ褶曲ともいう.
プチグマチック脈	ぷちぐまちっくみゃく	ptygmatic vein	プチグマチック褶曲をした脈. 片麻岩やミグマタイト中の石英や長石脈に認められる不規則・鋭角的褶曲脈.
付着強度	ふちゃくきょうど	bond strength	異なる固体間に生ずる粘着力.
付着水	ふちゃくすい	pellicular water	皮膜水と同義.

付着性	ふちやくせい	adhering	貝類やイソギンチャクなどの底生生物が海底の岩盤や構造物などに着生する性質。一生移動しないものと、ときには移動可能なものがある。
不調和岩体	ふちょうわがんたい	discordant body	周囲の岩石の構造を切って分布する大規模な火成岩体。非調和岩体ともいう。
不調和褶曲	ふちょうわしゅうきよく	disharmonic fold	各褶曲層の粘性が大きく変化するため、形状が著しく異なる褶曲。調和褶曲の対語。
不調和盆地	ふちょうわぼんち	discordant basin	基盤の構造と一致しない堆積盆地あるいは基盤の構造と一致しない地形的な盆地。
プチロル沸石	ぷちろるふっせき	ptilolite	破棄された鉱物名。従来、プチロル沸石とされたものはモルデン沸石(化学式 $(Na_2, K_2, Ca)(Al_2Si_{10}O_{24}) \cdot 7H_2O$)である。
浮沈分析	ふちんぶんせき	sink-and-float analysis	粒子群の様々な比重の重液に対する浮遊物と沈下物の量を測定することにより、比重構成を求める試験。
普通雨量計	ふつうりょうけい	ordinary daily rain-gauge	一般に24時間雨量の測定に使用される自記記録装置のない雨量計。
普通海綿類	ふつうかいめんるい	Demospongia	海綿動物の一種。海綿質だけで骨針を欠くもの、海綿質に珪質骨針を持つものなど、形態は多様。多くは海生。
普通角閃石	ふつうかくせんせき	common hornblende	$(Na, K)_aCa_2(Mg, Fe, Mn)_b(Al, Fe^{3+}, Ti)_d(Si_{8-t}, Al_t)_8O_{22}(OH, F, Cl)_2$; $0 \leq a < 1$, $3 < b < 5$, $0 < d < 2$, $0 < t < 2$, $b + d = 5$, $t = d + a + c$, 単斜晶系, 比重3.3. 緑～暗緑色の短柱状または長柱状の鉱物で、中性～酸性火成岩の主成分鉱物。普通ホルンブレンドともいう。
普通輝石	ふつうきせき	augite	$(Ca, Mg, Fe^{2+}, Fe^{3+}, Al, Ti)_2[(Si, Al)_2O_6]$, 単斜晶系, 硬度5～6, 比重3.2～3.5. 暗緑～黒色, ガラス光沢, 条痕緑灰色. 単斜輝石の中で, Caに富むもの. 短柱状の茶・緑ないし黒色の結晶. 玄武岩などの塩基性火成岩の主成分鉱物. オージャイトともいう。
普通鉛	ふつうなまり	common lead	ウラン (U) やトリチウム (Th) を含まない鉛鉱物 (Pb)。普通鉛の同位体比はその鉛鉱物生成後変化しないことを用いて、鉱物の年代測定に用いる。
普通鉛法	ふつうなまりほう	common lead method	年代測定の一つ。普通鉛の ^{206}Pb と ^{207}Pb の ^{204}Pb に対する同位体比を用いて鉱物の年代を測定する方法。
普通粘土	ふつうねんど	ordinary clay	強度による粘土の分類において、粘着力 C_u が9.80665～98.0665KN/m ² (1～10t/m ²)の粘性土を普通粘土といふことがある。
普通ポルトランドセメント	ふつうぼるとらんどせめんと	normal Portland cement	石灰と粘土を焼いて作られるクリンカーに石膏を加えて作られ、一般工事用として最も多用されるセメント。
二日市みかげ	ふつかいちみかげ	Futsukaichi mikage	福岡県筑紫野市産の石材。中生界黒雲母花崗岩で主に土木用に使用。

伏角	ふっかく	inclination	地球上の各地点で地球磁場をベクトルで表したときに、水平分力と全磁力のなす角。
伏角の磁極	ふっかくのじきよく	magnetic dip pole	地球磁場の水平成分がゼロになり、磁場が垂直に立つ場所。
フッ化水素酸腐食試験	ふっかすいそさんふしょくしけん	corrosion test by hydrofluoric acid	まさ土のフッ化水素酸による腐食率から、まさ土の風化変質の程度を評価する試験。
ブック構造	ぶっくこうぞう	book structure	粘板岩などの堆積岩の層理面に平行に進入した鉱脈の縞状構造。熱水鉱脈などに多い。
フック三軸セル	ふっくさんじくせる	Hoek triaxial cell	硬岩の三軸圧縮試験に用いるセル（圧力容器）の一種。上下にフランジの付いた厚さ1～2mmの硬質ゴム製メンブレンをセルに固定し、供試体のみを入れ替えて試験ができる。セル内の油圧は供試体の側方のみ作用し三軸伸張試験が可能。
フックの法則	ふっくのほうそく	Hooke's law	ひずみ ϵ 、応力 σ 、弾性係数E間の、 $\sigma = E \epsilon$ の関係をいう。微小変形の範囲での弾性変形で成り立つことが多い。
覆工	ふっこう	lining	トンネル掘削後の安定確保のため内壁を被覆すること。内装としての役割も果たす。
覆工応力測定	ふっこうおうりょくそくてい	measurement of lining stress	覆工にかかる圧縮応力や曲げ引張応力を測定すること。
覆工コンクリート	ふっこうこんくりーと	lining concrete	コンクリートを用いたトンネル覆工で、一般的には無筋であるが内水圧の加わるトンネルでは鉄筋で補強する。また坑口部や膨張性地山などでは荷重の変化・偏圧によるクラックを防止するために鉄筋コンクリートやSFRCが用いられる事もある。巻立コンクリートともいう。
覆工背面	ふっこうはいめん	behind lining	トンネルの地山と覆工の間をいい、通常この部分には空隙があるため、不良地山では裏込め注入を実施する。
覆工板	ふっこうばん	road decking panel	地下工事の仮設路面を覆う板で、鋼製・鉄筋コンクリート板が主として使用される。
仏国寺統	ぶっこくじとう、ふるぐーくさとう	Bukkojuji series, (韓)Pulguksa series	朝鮮南部の海岸地方に分布する古第三系の酸性火山岩類の総称。主として石英粗面斑岩・同凝灰岩からなる。
沸石	ふっせき	zeolite	$(\text{Na, K, Li})_a(\text{Ca, Sr, Ba, Mg})_d[\text{Al}_{(a+2d)}\text{Si}_{n-(a+2d)}\text{O}_2]m\text{H}_2\text{O}$; $m \leq n$, $\text{Si} \geq \text{Al}$, 硬度2～6, 比重2.1～2.5。含水アルミノ珪酸塩鉱物で約40種類が知られる。多くは高い陽イオン交換能を示す。熱水変質などにより生成される。
沸石化作用	ふっせきかさよう	zeolitization	火山ガラスやCaに富む斜長石などが沸石に置換される作用。埋没変成作用や熱水変質作用により引き起こされる。
沸石群	ふっせきぐん	zeolite Group	含水アルミノ珪酸塩鉱物で、約40種類の沸石鉱物の一群。構造や形態により小群や族に分類される。
沸石相	ふっせきそう	zeolite facies	最も低い温度圧力状態を示す変成相。沸石と石英の共存が安定な場合に成立する。グリーンタフ地域に多い。

仏像一糸川構造線	ぶつぞういとがわこ うぞうせん	Butsuzo-Itogawa tectonic line	九州から紀伊半島に至る日本における第一級の構造線。秩父中生界と四万十層群を境する。
仏像構造線	ぶつぞうこうぞうせん	Butsuzo tectonic line	仏像一糸川構造線の略称。
仏像線	ぶつぞうせん	Butsuzo line	仏像一糸川構造線の略称。
フッ素交代作用	ふっそこうたいさ よう	fluorine metasomatism	花崗岩体もしくはその周辺で起こるフッ素の添加作用。白雲母・トパーズ・蛍石などが形成される。
フッ素年代測定	ふっそねんだいそく てい	fluorine dating	生体骨にはF（フッ素）が含まれないが、化石骨には地下水などからFを置換して含有することを原理とする、化石骨による年代測定法。フッ素法ともいう。
フッ素分析	ふっそぶんせき	fluorine analysis	水中のフッ素イオンの分析。地下水中のフッ素イオン分析は、水道法でも規定されている成分で吸光度法などで分析される。
フッ素法	ふっそほう	fluorine dating method	フッ素年代測定と同義。
物体力	ぶつたいりょく	body force	物体を構成する分子に働く外力のこと。重力や、慣性力などがこれにあたる。
沸騰	ふつとう	boiling	①液体を熱したとき、その蒸気圧が液体表面にかかる圧力より大きくなったときに、液体中に生じた蒸気が気泡となって上昇する現象。 ②熱水系溶液が地中を上昇する際に、減圧により水蒸気や溶存ガスを放出する現象。
仏念寺山断層	ぶつねんじやまだん そう	Butsunenjiyama fault	活断層。確実度 I、活動度 B 級、南北方向。大阪府千里山丘陵を南北に位置し延長11km。東側が隆起し最大垂直変位160m。伏在断層により上町断層に続く。
沸硼石	ふっほうせき	fluoborite	$Mg_3(BO_3)(F, OH)_3$ 。六方晶系、硬度3.5、比重2.98。スカルン・熱水鉱脈中に、柱状結晶や緻密な繊維状結晶の集合体として産する。フルオボライトともいう。
物理気候学	ぶつりきこうがく	physical climatology	気候を物理現象としてとらえ、物理指標で気候を説明しようとする学問分野。
物理検層	ぶつりけんそう	geophysical logging	ボーリング孔を用いて行う物理探査法の総称。主なものとして、速度・電気・温度・放射能検層、ボアホールTVがある。
物理試験	ぶつりしけん	test for physical properties	土あるいは材料の物理的性質を求める試験。比重試験・含水量試験・密度試験・粒度試験などがある。
物理試験用試料調整方法	ぶつりしけんようし りょうちょうせいほ うほう	method of preparing soil samples for physical tests	物理試験を行う際に用いる試料の調整方法で、JIS-A-1201に規定されている。
物理探鉱	ぶつりたんこう	geophysical prospecting	物体の物理的性質を利用して、地下の鉱物資源の分布や地質構造などを調べること。

物理探鉱学	ぶつりたんこうがく	geophysics	物理学的手法を用いて行う，調査方法・技術開発など目的とした学問.
物理探査	ぶつりたんさ	geophysical exploration, geophysical prospecting	物体の物理的性質を利用して，地下の情報を調べること. 主なものとして，弾性波探査，電気探査，重力探査などが挙げられる.
物理探査学	ぶつりたんさがく	geophysics	物理探鉱学と同義.
物理探査法	ぶつりたんさほう	geophysical exploration method, exploration geophysics	地下の物質をその物理的，化学的性質により遠隔的に探査する方法（地震探査など）. また，その学問体系.
物理地質学	ぶつりちしつがく	physical geology	地球上の外因的（風化・浸食など），内因的（火成作用など）地質現象を物理法則に基づいて研究する地質学の一分野.
物理的性質（土の）	ぶつりてきせいしつ（つちの）	physical property (of soil)	土粒子の比重・粒度組成・コンシステンシー限界などの基本的性質および土の密度・間隙比などの状態量.
物理風化	ぶつりふうか	disintegration, mechanical weathering	機械的風化ともいう. 温度変化による膨張収縮・生物による破壊・重力による緩みなどが要因となる.
物理風化作用	ぶつりふうかさよう	disintegration, mechanical weathering	物理風化と同義. 乾湿風化（スレーキング）・塩類風化・重力解放によるシーティングなどが含まれる.
浮泥	ふでい	floating mud	海底面上に浮遊・懸濁している有機物を多量に含んだシルト以下の微粒子.
腐泥	ふでい	sapropel	浮遊性生物の遺骸が分解されて生じた有機物からなる軟泥.
腐泥化作用	ふでいかさよう	putrefaction	生物遺骸が無酸素状態の停滞水中において分解する作用. その過程ではメタンや硫化水素などを生ずる.
腐泥岩	ふでいがん	sapropelite	腐泥が固結した有機岩の総称. 停滞水中の生物遺骸が無酸素状態で分解・堆積・固結したもので，れき青物質に富む.
筆石相	ふでいしそう	graptolite facies	ほとんど筆石類化石だけを多産する黒色頁岩相. 嫌気性の堆積環境で生成され，硫化鉄や炭素に富む.
腐泥炭	ふでいたん	sapropelic coal	水中植物を原材料とする腐泥から形成された石炭. 普通の石炭（腐植炭）とは異なり，燃焼の際に多量のガス・タールが発生する.
不定流	ふていりゅう	unsteady varied flow	非定常不等流を慣用的にさす. 水深と流速が時間的にも場所的にも変化する流れ.
不適合河川	ふてきごうかせん	misfit river	河川水量と谷の大きさが調和的でない河川. 不適合状態は，流路変更による排水系の変化から起こる.

プテラノドン	ふてらのどん	<i>Pteranodon</i>	北米の白亜系産出の最大級の翼竜。翼幅6～8m。頭が大きく顎がくちばし型で歯がない。後頭部はとさか状に突出。
プテロサウルス	ふてろさうるす	<i>Pterosaur</i>	翼竜類。空中を飛行する中生代のは虫類（爬虫類）で、三じょう紀（三疊紀）末に出現し、ジュラ紀末に絶滅。上昇気流に乗って滑空したと考えられる。
不動域	ふどういき	unmoving area	地すべり地形において、地すべりの影響を受けていない原地形からなる不動領域。主滑落崖より高標高部、地すべり移動体の側方および尖端より低標高部。
不凍液	ふとうえき	antifreeze liquid	塩化カルシウム液のように氷点の低い液体をいう。この液を-20～-40℃に冷却し地盤に配管した凍結管内を循環させて地盤凍結に利用する。
不透気層	ふとうきそう	cut off layer for air, impermeable layer for air	地盤中の空気の浸透を遮断する地層。一般に圧気シールド工事の際に用いられ、地表面からシールド切羽までの間に分布する粘性土が不透気層に相当する。
浮動小数点表示	ふどうしょうすうてんひょうじ	floating-point representation	小数点を固定せずに数値を指数部と仮数部の積として表す方法。
不透水性	ふとうすいせい	impermeable	水を通しにくい、または通さない性質を示す用語。不透水性を難透水性と非透水性に区分する場合もある。
不透水性基盤	ふとうすいせいきばん	impermeable basement	透水性の大きい節理性岩盤などに比較して透水性が低く、地下水の浸透が相対的に非常に遅い地層あるいは岩盤のこと。水理地質基盤、水文地質基盤ともいう。
不透水性材料	ふとうすいせいざいりょう	impermeable materials	ロックフィルダムの堤体に使用する材料のうち、不透水性の土質材料あるいはそれ以外の遮水材料。
不透水性ブランケット	ふとうすいせいぶらんけっと	impervious blanket	ダム基礎の浸透流を抑制するため、ダム上流側あるいは上下流側に不透水性の材料を敷いて浸透路長を長くする構造物。
不透水層	ふとうすいそう	impermeable bed, impermeable layer	粘土・シルトや割れ目の少ない岩盤など、間隙が小さいために地下水の流動を遮断する透水性の低い地層。
不透水土	ふとうすいど	impermeable soil	地下水を通しにくい、または通さない土。不透水層と言い換える場合もある。
ブドウ石	ぶどうせき	prehnite	$\text{Ca}_2\text{Al}[(\text{OH})_2\text{AlSi}_3\text{O}_{10}]$ 、斜方晶系または単斜晶系、硬度6～6.5、比重2.94。広域変成岩の主成分鉱物として産する他スカルン、熱水脈、ペグマタイト中など多種の産状を有する。
ブドウ石－パンペリー石相	ぶどうせきばんぺりーせきそう	prehnite-pumpellyite facies	沸石相と緑色片岩相あるいは藍閃石片岩相との中間の変成相。日本では三波川変成帯および三郡変成帯や低度変成作用を受けた地域に分布する。
不動態	ふどうたい	passivity	金属表面が周辺物質と反応して薄膜を形成した状態で、より安定な状態となっているもの。
不同沈下	ふどうちんか	differential settlement	基礎の沈下量を表わす定義の一つで、最小の沈下量を基準として測定された各測点の沈下量の差。あるいは、もっと一般的に地盤沈下量が場所によって異なる現象をさす。構造物に障害を与えるので原因の究明と対策が必要。

不動点	ふどうてん	unmovable point	①地震時にも動かない基準点をさすことが多い。地震動の周期が振子の固有周期より短い時、振子は近似的に不動点となる。 ②地すべりなどの計測において、変動の影響を受けない位置で計測の基準となる点。
不透明鉱物	ふとうめいこうぶつ	opaque mineral	光の透過率が低く、岩石薄片においても光の透過がない鉱物の通称。
不等流	ふとうりゅう	non-uniform flow	開水路における定常流のなかの一類型。水深、流速などが場所とともに変化する流れ。
歩留り	ぶどまり	yield	原料に対する製品の比率。原石山の全体量に対するコンクリート粗骨材として使用可能な部分の量など。
船形地すべり	ふながたじすべり	the Funagata landslide	1973年の融雪期に山形県最上郡舟形町で発生した地すべり。奥羽本線、河川に被害。防止区域面積35ha。
船川階	ふなかわかい	Funakawa stage	男鹿半島の船川層を模式層とする、東北地方の新第三紀中新世後期～鮮新世の層序区分。
船川層	ふなかわそう	Funakawa Formation	秋田地方の新第三系海成層。主に石油の母岩である黒色泥岩からなり酸性凝灰岩・凝灰質砂岩を挟む。
船蔵石	ふなくらいし	Funakura ishi	長崎県長崎市御船蔵町産の石材。新第三紀角閃石輝石安山岩で土木・建築用に使用。
船岳石	ふなだけいし	Funadake ishi	長野県上水内郡信濃町船岳山産の石材。輝石角閃石安山岩で土木・建築用に使用。古間石と同義。
船津階	ふなづかい	Funazu stage	九州北西部の古第三紀始新世後期の層序単元。貝化石による層序区分。炭層を伴う。
船津花崗岩（船津花崗岩類）	ふなつかこうがん （ふなつかこうがんるい）	Funatsu granitic rocks	飛騨変成帯～飛騨外縁帯に分布する三じょう系（三畳系）～ジュラ系花崗岩類。船津型と下之本型に分類される。
船橋ガス田	ふなばしがすでん	Funabashi gas field	関東平野南部の天然ガス鉱床のひとつ。天然ガスの組成分はメタンが95%以上を占める。
船場地すべり	ふなばじすべり	the Funaba landslide	1973年に福島県いわき市内郷綴町で発生。職業訓練所被災。防止区域面積15ha。
船原石	ふなばらいし	Funabara ishi	静岡県田方郡天城湯ヶ島町産の石材。新第三系角閃石安山岩で月出石と同義。外柵材、建築材に使用。
船式足場	ふねしきあしば	ship type scaffold	船を利用した水上足場。推進機を有する自航式と、引き船を用いて移動する非航式の2種類がある。台船ともいう。
不粘結炭	ふねんけつたん	noncaking coal	石炭が加熱により軟化、半流動化して融着する粘結という性質を持たない石炭の総称。非粘結炭ともいう。

負の間隙水圧	ふのかんげきすいあつ	negative pore water pressure, suction	間隙水圧は飽和帯では正となるが、不飽和帯では負となり、毛管負圧あるいは吸引圧ともいわれる。
負の周面摩擦力	ふのしゅうめんまさつりよく	negative friction, negative skin friction	軟弱地盤上に打設された杭に、周辺の地盤沈下により生じる杭周面の下向きの摩擦力。
負のダイラタンシー	ふのだいらたんしー	negative dilatancy	せん断応力に起因し緩い砂質土や正規圧密粘土にて発生する体積収縮。
負のフィードバック	ふのふいーどばつく	negative feed-back	増幅器の出力の一部を入力側に戻すことで増幅度が減る方向に働くこと。負帰還ともいう。
富配合コンクリート	ふはいごうこんくりーと	rich concrete	セメントの配合割合の多いコンクリート。
浮標	ふひょう	floating mark	測標と同義。
吹雪	ふぶき	snow storm	雪が風とともに飛散し、横なぐりとなる現象で、狭義としては積もった雪が再び空中に飛散するもの。
部分ストレナ式観測孔	ぶぶんすとれーなしきかんそくこう	partial screen observation well	測定対象深度を限定して、設置される水位観測孔。
部分的不整合	ぶぶんできふせいごう	local unconformity	整合関係にある二つの地層群が、局所的に不整合関係を示すこと。局地的不整合と同義。
部分的輪廻	ぶぶんできりんね	subcycles, epicycles, minor cycles	隆起や浸食基準面の変化による、一連の大きな輪廻の中に新たに生じた小さな輪廻をさす。
部分ファブリック	ぶぶんふあぶりつく	subfabric	岩石組織全体の幾何学的特徴（ファブリック）を構成する、個々のファブリック要素に関わる幾何学的特徴。
部分溶融	ぶぶんようゆう	partial melting, selective melting	岩石が溶融を始めるとき、融点の低い組成部分から液体となり、溶けていない部分と共存する。この過程をいう。
不平衡	ふへいこう	unbalance	物体もしくは複数の物体からなる系が、外力あるいは物体間の相互作用のもとで静止していない状態。
不変硫化鉱帯	ふへんりゅうかこうたい	primary (hypogene) sulfided zone	硫化物鉱床において、その生成後に、風化作用などによる変化もなく、もとの性質を保っている部分。
不飽和	ふほうわ	partial saturation, unsaturated condition	土の間隙中に水だけでなく気体も存在する状態。
不飽和岩	ふほうわがん	unsaturated rock	ノルム鉱物としてかんらん石（橄欖石）・準長石・メリライトなどの不飽和鉱物を含有する火成岩。

不飽和鉱物	ふほうわこうぶつ	unsaturated mineral	火成岩の鉱物のうち、石英と共存しない鉱物。かんらん石(橄欖石)、準長石、メリライト、コランダムなどがその例。
不飽和浸透	ふほうわしんとう	unsaturated filtration	重力が主原因になって移動する不飽和帯中の水の流れ。
不飽和浸透流	ふほうわしんとうりゅう	unsaturated filtration flow	不飽和帯中の水が実際に流動している間隙以外の部分を含めた全断面を流れると仮定した場合の見かけの流れ。
不飽和帯	ふほうわたい	unsaturated zone	地表面と地下水面に挟まれた領域で、部分的に水(土壌水)で満たされた区間。
不飽和炭化水素	ふほうわたんかすいそ	unsaturated hydrocarbon	炭化水素のうち、二重結合や三重結合などの不飽和結合を伴うものの総称。
不飽和土	ふほうわど	partially saturated soil, unsaturated soil	地下水面より上にある土のように不飽和状態にある土。
不飽和透水係数	ふほうわとうすいけいすう	permeability coefficient of unsaturated filtration	不飽和流にダルシーの法則を適用した場合に得られる透水係数で、飽和帯の透水係数よりも数オーダー小さい場合がある。
不飽和透水試験	ふほうわとうすいしけん	unsaturated permeability test on unsaturated soil	試験試料中の飽和度を制御し、飽和度の変化に対応する透水係数を得る試験。試験結果である不飽和時の透水係数は、飽和時の透水係数との比(比透水係数)で表現するのが一般的。
不飽和特性試験	ふほうわとくせいしけん	characteristic test for unsaturated soil sample	試料の不飽和状態での特性を把握する試験。不飽和透水試験・不飽和三軸圧縮試験などがある。
不飽和土の三軸圧縮試験	ふほうわどのさんじくあつしゅくしけん	triaxial compression test on unsaturated soil	不飽和土の強度定数および変形係数を求める三軸圧縮試験。
不飽和粘性土	ふほうわねんせいど	unsaturated cohesive soil	不飽和状態にある粘性土。
不飽和マグマ	ふほうわまぐま	unsaturated magma	温度が高く結晶作用の生じていないマグマ。温度低下である鉱物が晶出すると、この鉱物にマグマは飽和という。
不飽和流	ふほうわりゅう	unsaturated flow	不飽和帯における水の流れ。不飽和流は不飽和透水係数を用いればダルシーの法則が成り立つ。
踏前	ふまえ	bottom, lifter	トンネル特有の言葉で、トンネルの最下端部。
踏前穴	ふまえあな	lifter hole	トンネルの発破工法による切羽穿孔配置のうち、最も底に横1列に配置された孔。
不毛帯	ふもうたい	barren zone	鉱床において有用価値のある鉱石を含まない部分。脈状鉱床では、その側方や下部に存在するが多い。

浮遊移動法	ふゆういどうほう	floating method	乱流によって吸引されて運搬される方法で、細粒のものほど容易に移動する。
浮遊砂	ふゆうさ	suspended sand	波の作用や渦・乱流などで攪拌され浮遊状態にある岩屑粒子の総称。大気中に浮遊しているものも含む。
浮遊生物	ふゆうせいぶつ	plankton	水中で浮遊生活をする生物。顕微鏡的大きさのものが多く、植物性・動物性や水質・生息深度などで分類される。
浮遊性有孔虫	ふゆうせいゆうこうちゅう	planktonic foraminifera	外洋の表層水中で浮遊生活をする有孔虫。ジュラ紀以降に産出。広範囲に分布するため時代決定に利用される。
浮遊選鉱法	ふゆうせんこう	floatation	溶液に対する粒子界面の親水性や疎水性により鉱物を選択的に分離する方法。浮選と同義。
浮遊土砂	ふゆうどしゃ	suspended sediment	河床の土砂が水流より力を受け流水中に持ち上げられ、乱流成分のために水中を浮遊しながら運搬されるもの。浮流土砂ともいう。
浮遊物質	ふゆうぶっしつ	suspended solids	略称SS。水中に浮遊している1 μ m～2mmの小粒状物の総称で、水質の環境基準や放流基準の一つ。
浮遊幼生	ふゆうようせい	floating larva	海水中で浮遊幼生期をおくる貝類の卵やプランクトンなどの小さな粒状性浮遊物。
冬将軍	ふゆしょうぐん	General Winter	寒波のこと。ナポレオン軍が戦闘ではなく冬の寒波によって敗北したのが由来。
フラー土	ふらーど	fuller's earth	モンモリロナイトを主とする粘土が炭酸地表水と反応した結果、水素イオンに富む吸着活性の強くなった粘土。油や染料を吸収しやすく塑性が強い。
プライアーの規則	ふらいあーのきそく	Prior's rule	コンドライトの組成に関する経験則。金属相が少ないと金属にNiが多く、金属が多いと珪酸塩鉱物はMgが多い。
プライアー分類	ふらいあーぶんるい	Prior's classification	実用的な隕石の分類法。鉱物組成によりコンドライト・エコンドライト・石鉄隕石・隕石の4グループに分類。
フライアッシュ	ふらいあっしゅ	fly ash	発電所などの微粉炭燃焼ボイラーから採取される完全燃焼した灰分。セメント混和材に使用されることが多い。
フライアッシュセメント	ふらいあっしゅせめんと	fly ash cement	ポルトランドセメントにフライアッシュを加えて作るセメント。フライアッシュ量によりA種～C種まである。
プライス流速計	ふらいすりゅうそくけい	Price's current meter	水深方向に回転軸があり、その周りにわん型のカップを配した流速計。軸の回転数より流速の大きさを求める。
フライパンによる簡便法	ふらいばんによるかんべんほう	simplified moisture test by frying pan	土の含水量を求める簡便な試験法。試料をフライパンなどで乾燥させて減少した質量から含水量を求める。

フライホイール発電	ふらいほいはつでん	flywheel energy storage	はずみ車（フライホイール）の回転エネルギーを利用して発電を行う方法。電力系統の周波数調整や電力の貯蔵に用いられる。
プライマー	ふらいまー	primer	起爆しにくい主装薬に対して起爆の役割を果たす雷管付爆薬包のこと。
ブライン泥水	ぶらいんでいすい	calcium chloride mud	塩化カルシウム泥水。1950年頃井戸掘削に用いられたが高価で調泥が難しいため現在は使用頻度が少ない。
ブラインドシールド	ぶらいんどしーるど	blind shield	シールド前面を一部土砂取出し口を設けた隔壁で仕切り、シールド推進と同時に土砂をとりこむ方式のシールド。
ブラインドゾーン	ぶらいんどぞーん	blind zone	成層構造の下層が上層よりも弾性波速度が遅い場合、この下層をブラインドゾーンと呼ぶ。
ブラインドレイヤー	ぶらいんどれいやー	blind layer	ブラインドゾーンと同義。
Fraunhofer 線	ふらうんほーふあせん	Fraunhofer line	太陽光線が太陽および地球の大気によって吸収されることにより生じる太陽スペクトル中の暗線。
ブラキオサウルス	ぶらきおさうるす	<i>Brachiosaurus</i>	竜盤目竜脚亜目の草食恐竜。四足歩行。長い首と尾が特徴で体長約23m。ジュラ紀後期～白亜紀前期に生息。
フラクソタービダイト	ふらくそたーびだいと	fluxoturbidite	海底地すべりに伴う堆積物と、混濁流によって生ずる堆積物（タービダイト）の中間的性質を有する堆積物。
フラクタル	ふらくたる	fractal	自然界に存在する複雑な形状（樹形、雪の結晶など）は、微小部分に全体と同じ形状（自己相似性）が見られるという理論。
フラクタル解析	ふらくたるかいせき	fractal analysis	自己相似性をもつ自然界の現象に対し、フラクタル理論を適用した解析あるいはフラクタル性を解析することの総称。
フラクタル次元	ふらくたるじげん	fractal dimension	自己相似性を有するもの（フラクタル）の相似変換の係数。
フラクチャーマッピング	ふらくちゃーまっぴんぐ	fracture mapping	水圧破砕による亀裂の発生状況を把握する手法。岩石の破壊音を用いたAE法などで計測される。
フラクチャー型貯留層	ふらくちゃがたちよりゆうそう	fracture type reservoir	岩盤中に発達する割れ目（フラクチャー）にガス、石油などが胚胎する貯留層。
フラクチャリング	ふらくちゃりんぐ	fracturing	ボーリング孔内に水圧を直接またはスリーブを介して加え岩盤中に亀裂を発生させること。ボーリング孔を使用した初期地圧測定や石油・地熱などの資源の回収などで使われる技術。
ブラケット	ぶらけっと	bracket	開削工法で腹起しを取り付ける際に設置する部材。壁・柱などから突き出して腹起しを支える。

プラジオナイト	ぷらじおないと	plagionite	Pb ₅ Sb ₈ S ₁₇ . 単斜晶系. 硬度2.5. 比重5.56. 黒鉛灰色不透明, 金属光沢. 厚い板状または単柱状. 斜晶石と訳されることがあるが, クリノヘドライトの和訳にも斜晶石が使われるため注意が必要である.
フラジ盤	ふらじばん	fragipan	土壌中の有機物に乏しいシルト質土が圧密され固化した層で, 上下の層に比べ透水性・通気性が小さい.
ブラジル式双晶	ぶらじるしきしょう	Brazil twin	二つの個体が相互に貫入した双晶の一型式. 水晶にみられる.
ブラジル楕状地	ぶらじるたてじょうち	Brazilian shield	南米最大の楕状地. 鉱物資源が豊富で, Fe・Mn・Sn・Nb・高純度石英の生産量は世界屈指.
ブラジル引張強度試験	ぶらじるひっぱりきょうどしけん	Brazilian tensile strength test	岩石の引張強さの間接的な計測方法. 円板上の試料を圧裂させる.
プラスタ	ぷらすた	plaster	しっくい (漆喰) と同義.
プラスチックティ	ぷらすちしてい	plasticity	可塑性と同義.
プラスチックコンクリート	ぷらすちつくこんくりーと	plastic concrete	結合材にポリマーを用いたコンクリートの総称. 高温時の強度低下以外はセメントコンクリートに比べ各種の性能が改善.
プラスチックシェール	ぷらすちつくしえーる	plastic shale	地熱貯留層の掘進にあたって, 異常高圧層を形成する泥質岩. これは堆積過程において急激なかぶり岩圧が加わると粒子間隙水を絞り出す余裕がないため間隙水圧が増大し, 圧密作用が停滞したことによって形成される.
プラスチックソイルセメント	ぷらすちつくそいるせめんと	plastic soil cement	セメント系安定処理材のうち, 土などにセメントと水を加えモルタル状にしたもの.
プラスチックドレーン工法	ぷらすちつくどれーんこうほう	plastic drain method	軟弱地盤中にドレーン材としてプラスチックの透水板を打設し, 排水距離を短縮することにより圧密を促進させる工法. ペーパードレーン工法の一つ.
プラズマアークドリル	ぷらずまあーくどりる	plasma arc drill	ヘリウムまたはアルゴンガスに電流を通じて発生するプラズマアークの高熱で岩石を溶かしなが進む掘削法.
ブラッグ角	ぶらっぐかく	Bragg angle	X線回折における反射角. 結晶面によるX線の反射角は入射角と等しくなり, この角度は結晶によって異なる.
ブラックシェール	ぶらっくしえーる	black shale	黒色を呈する剥離性の発達した泥質岩 (黒色頁岩, 黒色泥岩). 日本海側地域の第三系に認められる. 黒色頁岩ともいう.
フラックス	ふらっくす	flux	①物質やエネルギーなどが移動する時, 移動方向に垂直な断面における単位面積, 単位時間あたりの通過量. ②溶接の際に生じる酸化物などを除くために加える溶剤.
フラックスゲート磁力計	ふらっくすげーとじりょくけい	flux-gate magnetometer	飽和磁鉄芯型磁力計と同義. パーマロイなどの強磁性体に生じた誘導磁化を利用して外部磁場の強さを測る計器.

ブラッグの法則	ぶらっぐのほうそく	Bragg's law	短波長電磁波が結晶によって強く回折する条件を示した法則.
ブラッシュキャスト	ぶらっしゅきゃすと	brush cast	地層の底面に形成される三日月型の窪み. 水流中を流下する物体が低角度で底質上に接触した際に形成される.
フラッシング	ふらっしんぐ	flushing	地熱井などで熱水が急激に噴出すること.
フラットジャッキ	ふらつとじゃっき	flat jack	等圧載荷方式の岩盤変形試験や岩盤内のスリットに加圧する試験などに用いる薄い板状のジャッキ.
フラットジャッキテスト	ふらつとじゃっきてすと	flat-jack test	フラットジャッキを用いて行う岩盤変形試験.
フラットダイラトメータ	ふらつとだいらとめーた	flat dilatometer	土の原位置試験装置の一種. ダイラトメータ係数・材料指数・水平応力指数を得る.
プラットのアイソスタシー	ぷらつとのあいそすたしー	Pratt's isostasy hypothesis	地殻の起伏に無関係に地下の一定な深度で, 地表からの積載岩圧は等しいという説.
フラットビット	ふらつとびつと	flat bit	主に軟質地層, 軟岩の掘削に使用される先端は平らで超硬質チップを植え付けてあるノンコアビットの一種.
ブラッドフォード統	ぶらつどふおーどとう	Bradfordian series	北米アパラチア地域のデボン紀と石炭紀を境する浅海成層. アカディア造山運動による陸化で形成.
プラットフォーム	ぷらつとふおーむ	platform	センサを搭載する物体の呼称. 人工衛星, 航空機, 気球など.
フラッドローム	ふらつどろーむ	flood loam	氾濫原土とも. 砂礫などの粗粒堆積物で構成される氾濫原の最表層を被う細粒土薄層. 一般に次の洪水で流失.
フラップ構造	ふらつぷこうぞう	flap structure	背斜部の地層が向斜部へ重力滑動して, 下位層がちぎれてめくれ上がり, 上位層の上に逆転して重なった構造.
プラトー石灰岩	ぷらとーせつかいがん	Plateau limestone	中国南西部からビルマに広く分布する, デボン紀〜ペルム紀の石灰岩.
プラニメータ	ぷらにめーた	planimeter	面積計と同義.
プラニメータ法	ぷらにめーたほう	planimeter method	プラニメータを用いて平面上の図形面積を求める方法.
プラノソル	ぷらのそる	planosol	粘土の含有が大きいか固結化した水成の間帯性土壌. 下位に強く溶脱され固結したB層がある.

ブラバン地塊	ぶらばんちかい	Brabant massif	ベルギー北半のカンブリア～シルル系の地向斜相堆積物で構成される地塊。第三系に覆われる。
ブラベの法則	ぶらべのほうそく	Law of Bravais	結晶面の発達において、結晶の外形に最も多く現われる面は、その格子の最も密な網面に平行であるという法則。
フラムスチード図法	ふらむすちーどずほう	Flamsteed's projection	サンソン＝フラムスチード図法のこと。経線や緯線を投影する図法の一つでフラムスチードが星座に適用した。
フラムボイダル構造	ふらむぼいだるこうぞう	framboidal texture	ごく微晶質の結晶集合組織。球状黄鉄鉱集合結晶形態から命名。
プラムライン	ぷらむらいん	plumb line	コンクリートダムのだわみを測定する装置。ダム頂部に固定した振り子の動きを下部の監査廊で読み取る。ペンジュラムともいう。
プラヤ	ぷらや	playa	砂漠のうち陸盆地の低所にある細粒物質からなる無植生の平坦な凹地。多くは乾湖・塩湖。
プランク定数	ぷらんくていすう	Planck's constant	光を放射・吸収する振動子のエネルギーは（光の振動数×定数）の整数倍で表される。この定数のこと。
プランクトン	ぷらんくとん	plankton	浮遊生物と同義。
プランクの式	ぷらんくのしき	Planck' Formula	黒体輻射のスペクトルを与える式。
フランクリン地向斜	ふらんくりんちこうしゃ	Franklinian geosyncline	北米北端～グリーンランド北端にあり、カンブリア紀後期～三じょう紀（三疊紀）に存在したとされた地向斜。地向斜による造山論は現在あまり議論されていない。
ブランケット	ぶらんけっと	blanket	所定の材料を薄く広範囲に敷いたもので、材料によって不透水性ブランケットやドレーンブランケットとなる。
ブランケット型	ぶらんけっとがた	blanket type	薄く、広大な分布を示す地層の形態を示す用語（提唱：Krynine, 1948）。
ブランケットグラウチング	ぶらんけっとぐらうちんぐ	blanket grouting	フィルダムのコアゾーン基礎地盤表層部の改良を目的として広範囲に行なわれる浅いグラウチング。
フランコニア統	ふらんこにあとう	Franconian series	北米ミシシッピー川上流地域の上部カンブリア系（クロイアン）を三分した中部統。砂岩・石灰岩などからなる。
フランジ	ふらんじ	flange	①H型鋼やI型鋼の上下にある張り出した突縁部。 ②レール上を走る車輪が脱線しないように車輪につけられた突出部。
プランジ	ぷらんじ	plunge	水平面からの傾きを表し、褶曲軸の傾き、鉋床の傾き、地球上の軸の傾きなどで用いる。

フランシスカン コンプレックス	ふらんしすかんこん ふれつくす	Franciscan complex	北米太平洋岸に分布する陸棚～海洋環境のジュラ紀～始新世の付加体。南北900km, 層厚7,000m.
フランシスカン メランジュ	ふらんしすかんめら んじゅ	Franciscan melange	北米太平洋岸のジュラ紀～始新世付加体および藍閃石片岩などの地質体。メランジュの概念を有名にした地層群。
ブランデルブル グ亜氷期	ぶらんでるぶるぐあ ひょうき	Brandenburg stadial	バイケル氷期の亜氷期。ウルム極相にあたる。約2.2～1.8万年前。
フランドル海進	ふらんどるかいしん	Flandrian transgression	更新世最終氷期末期～完新世中期（約1.8万年～6千年前）にかけてのフランス北部の海進。日本の有楽町海進に相当する。
プラントルの塑 性平衡理論	ふらんとるのそせい へいこうりろん	Prandtl's plastic equilibrium theory	広い基礎に対する支持力を塑性平衡理論により解いた解法。
ブラントン・コ ンパス	ぶらんとんこんぱす	Brunton compass	地形の方位・傾斜角や地層の走向・傾斜などを測る器械。ポケット・トランシット・レベルとも呼ばれる。
ブリアンソネ帯	ぶりあんそねたい	Brian sonnais zone	西アルプスペニン帯西縁部。石炭を含む石炭・ペルム系, 陸～浅海相の三畳・ジュラ系からなる。幅約20km.
フリーエア異常	ふりーえあいじょう	free-air anomaly	ジオイドからの高さの影響のみを補正した（フリーエア補正）重力の観測値と標準重力の差。
フリーエア補正	ふりーえあほせい	free-air correction	ジオイド面上の重力値を得るために、実測重力値に加えるべき高度による重力値の変化の補正。
フリーエンド式 三軸試験	ふりーえんどしきさ んじくしけん	free-end triaxial test	応力・変形を均一にするために両端が滑らかな載荷板を使用する三軸圧縮試験。
ブリージング	ぶりーじんぐ	bleeding	まだ固結する前のコンクリート・モルタルなどで水が分離する現象。
ブリーディング 率	ぶりーじんぐりつ りつ	bleeding ratio	まだ固まらないコンクリートまたはモルタルにおいて水分が上昇する最大ブリージングの水量と試料の全水量との比率。
フリーズドライ 法	ふりーずどらいほう	freeze-dry method	物質を凍結・乾燥させて、これを粉砕・粉状化する方法。
ブリオベール系	ぶりおべーるけい	Brioverian system	フランスのブルターニュおよびノルマンディー地域に分布する原生界上部層。非変成岩もあるが千枚岩を主とする。
フリクション カット	ふりくしょんかつと	friction cut	ケーソン周面に沈下を容易にするために設けられた段差。段差の上部ではケーソンと地盤との間に間隙ができ摩擦抵抗が低減される。
フリクション式 ボルト	ふりくしょんしきぼ ると	friction bolt	摩擦定着方式のロックボルト。鋼管膨張型とスリットバネ型があり設置後直ちに効果を発揮できることや湧水の多い箇所でも確実に定着できることなどの利点がある。

フリクションジャケットコーン	ふりくしょんじゃけつとコーン	friction-jacket-cone	ダッチコーンの特殊な利用法の一つで、フリクションスリーブを用いて局部周面摩擦を測定する。
フリクションスリーブ	ふりくしょんすりーぶ	friction sleeve	土との周面摩擦を精度良く測定するために特別に工夫されたダッチコーン貫入部を覆う筒状構成物。
プリケットの解法	ぷりけつとのかいほう	Prickett analysis	非定常の不圧地下水を対象とした揚水試験解析法で、タイスの方法と類似している。
振り子	ふりこ	pendulum	固定点あるいは固定軸を中心として周期運動をするもの。運動する物体の違いによって実体振り子、質点振り子に区分される。
振り子型傾斜計	ふりこがたけいしゃけい	pendulum-actuated clinometer	水平型は垂直軸の周りを自由に回転できる振り子で水平動地震計に利用。垂直型は主として縦穴で用いられている。
振り子型重力計	ふりこがたじゅうりょくけい	pendulum gravimeter	振り子の長さから重力加速度を求める測定器。
振り子式傾斜計	ふりこしきけいしゃけい	horizontal pendulum inclinometer	重錘振り子式傾斜計。地表面の傾斜変動を電氣的に測定する計器の一種。
ブリザード	ぶりざーど	blizzard	飛雪による視程障害を伴う暴風雪。極地周辺、特に南極大陸に多く、低気圧によるものが大部分で、数日続くこともある。
プリズム	ぷりずむ	prism	光の屈折・分散を生じさせる光学的平面を2つ以上有する透明体。
プリズム型	ぷりずむがた	prism type	地層の走向に垂直に測定した幅と層厚との比が50 : 1～5 : 1の地層形態に対する名称。くさび型ともいう。
プリズム分光計	ぷりずむぶんこうけい	prism spectrometer	プリズムを用いて光をスペクトルに分けて、特定の波長の光の強度を測定する装置。
フリッシュ	ふりっしゅ	flysch	混濁流による堆積物で、級化成層やリズムカルな砂岩と泥岩の互層などで特徴づけられる堆積物。
フリッシュ相	ふりっしゅそう	flysch facies	混濁流起源の砂岩・泥岩のリズムカルで厚い交互層。級化層理が顕著で、生痕やソールマークが特徴的。
プリニアン噴火	ぷりにあんふんか	Plinian eruption	プリニー式噴火と同義。
プリニー式テフラ	ぷりにーしきてふら	Plinian tephra	プリニー式噴火によって噴出された火山砕屑物。火口近傍の粗粒軽石層から、遠方では急速に細粒化する。
プリニー式噴火	ぷりにーしきふんか	Plinian eruption	軽石や火山灰をはるか上空まで噴き上げる噴火様式。ベスピアス火山の噴火が有名。

ブリネル硬さ試験	ぶりねるかたさしけん	Brinell hardness test	鋼球を試験面に押しつけ、できた窪みの深さ・鋼球の直径・押し付けた荷重から試験面の硬さを評価する試験。
ブリネル硬度	ぶりねるこうど	Brinell hardness	ブリネルかたさ試験によって測定した物体の硬さの程度。
浮流	ふりゅう	suspension	気体あるいは流体中を浮遊している岩屑粒子が、水平的に移動する運動様式のこと。
不流動飽和率	ふりゅうどうほうわりつ	irreducible saturation	岩石の空隙内で流動しない流体の占める比率のこと。百分率で示す。
浮流土砂	ふりゅうどしや	suspended sediment	河川によって運搬される土砂のうち、乱流によって浮遊して、かなり長い間河床と接触しないでいる土砂。浮遊土砂ともいう。
浮流量	ふりゅうりょう	suspension load	河川などにおいて、浮流により運搬される物質の総重量。
ブリュッゲン寒冷期	ぶりゅっげんかんれいき	Bruggen cold stage	ライン川下流地方のブリュッゲンで認められた第四紀最初の寒冷期。
浮力	ふりよく	buoyancy	物体が液体から受ける鉛直上向きの合成力。浮力は、物体が液体内で占める体積分の液体重量に等しい。
ブリリアントカット	ぶりりあんとかつと	brilliant cut	ダイヤモンドの屈折率から全反射が最高に発揮できるように設定されたカットの様式。57面で構成される。
フリント	ふりんと	flint	玉ずい（玉随）からなる種々の色調の堅硬塊状な岩石で、貝殻状断口を呈す。チョーク中の団塊が有名。
フリント状圧砕岩	ふりんとじょうあつさいがん	flinty crush rock , ultramylonite	ウルトラマイロナイトともいう。圧砕作用により著しく細粒化し、原岩の構造や組織を失った均質で緻密なフリント状の岩石。
ふるい(篩)	ふるい	sieve	砂および砂礫など粗粒の固体粒子の分級を行う時に使用する道具。一定の大きさの網目とこれを保持する枠からなる。
ふるい状組織(篩状組織)	ふるいじょうそしき	sieve texture	ポイキロプラスチックの一種で、小さな鉱物やガラスがスポンジ状の結晶に取り込まれている変成岩などの組織。
ふるい振とう機(篩振とう機)	ふるいしんとうき	grain separator	各粒径の丸ふるいを重ねて、回転および振動の組み合わせでふるい分けを行う機械。
ふるい比(篩比)	ふるいひ	sieve scale	標準ふるいのふるい目の大きさが、ある粒度を基準として等比級数をなす場合の公比。
ふるい分析(篩分析)	ふるいぶんせき	sieve analysis	ふるい分け試験と同義。

ふるい分け試験 (篩分け試験)	ふるいわけしけん	sieve analysis test	試料の粒度分布を調べるために、一組の標準ふるいを用いて各ふるいを通る試料の質量百分率を求める試験。
フルウェーブ音波検層	ふるうえーぶおんぱけんそう	full wave sonic logging	全波形を記録する音波検層。従来の方法に比べてS波速度や減衰率が測定できることなどの特徴を有する。
ブルース石	ぶるーすせき	brucite	Mg(OH) ₂ 。三方晶系。硬度2.5。比重2.39。白～灰～淡緑。水滑石ともいう。主に板状～葉片状結晶。蛇紋岩や緑色片岩などの珪酸の少ない岩石に産する。
フルートキャスト	ふるーときゃすと	flute cast	砂を運搬した水流の水底の泥の浸食作用によるへこみのことで、最も一般的なスコアマーク。堆積流の流向を示し、古流系の復元に用いられる。
フルード数	ふるーどすう	Froude number	流体の流れ (v) と水面に生じた変化の伝播速度 ($\sqrt{g \cdot h}$; g : 重力加速度, h : 水深) との比。
フルードの相似則	ふるーどのそうじそく	Froude's similarly law, Froude's similarity	液体の自由表面付近を運動する相似な物体では時間および長さの単位を変えると、運動状態が同じになること。
フルード板	ふるーどばん	Froude plate	フルード波高計において一定の位置を保つため、布などを張ったわく。
プルービングリング	ふるーびんぐりんぐ	proving ring	リングの変形量から荷重を測定する計器。室内土質試験や試験機の校正に用いられる。
プルーム	ふるーむ	plume	①放出源で質量と運動量を持つ噴流 (jet) に対し、重力場で初期運動量を持たず浮力のみで連続放出される噴流。 ②汚染地下水のうち高濃度に汚染された水塊のこと。プリュームともいう。
プルームテクトニクス	ふるーむてくとにくす	plume tectonics	ホットプルームによる上昇とコールドプルームによる下降によるマントル内の物質の循環によりプレートが移動するとする学説
古浦石	ふるうらいし	Furuura ishi	宮城県宮城郡松島町古浦産の石材。新第三系凝灰岩で土木用に使用。
ブルカノ火山	ぶるかのかざん	Vulcano volcano	地中海エオリア島の南端に位置する島を構成する複合成層火山、歴史時代にしばしば爆発的な噴火をした。
ブルカノ式噴火	ぶるかのしきふんか	Vulcanian eruption	中程度の粘性を有する安山岩質マグマの活動に特徴的で、大量の火山砕屑物を放出する爆発的な噴火様式。
古君断層	ふるきみだんそう	Furukimi fault	活断層。確実度 I、活動度 B 級、北北東-南南西方向。能登半島北東部南岸に位置し延長10km。海成段丘を変位させている。
仏国寺火成岩類	ふるぐーくさかせいがんるい、(日) ぶっこくじかせいがんるい	Pulguksa igneous rocks	朝鮮半島南部の古第三紀初期の火山岩類。珪長斑岩・石英粗面斑岩などが主体。
ブルックフィールド粘度計	ふるつくふいーるどねんどけい	Brookfield viscometer	回転粘度計の一種で、二重円筒の内管を回転させたときの内管が受ける力より粘度を測定する。

ブルドーザ	ぶるどーざ	bulldozer	前面に排土板を取り付けた建設土木用機械。掘削・押土・整地などに使用する。
プルトニウム	ぷるとにうむ	plutonium	非核分裂性元素である ²³⁸ Uに中性子を吸収させて人工的につくられる元素。元素記号Pu, 原子番号94.
ブルドン管	ぶるとんかん	Bourdon tube	断面が扁平で円弧状などの形状を有する一端の閉じた管。管内の圧力が上昇すると、円弧の半径が大きくなるように変形し先端の変位から圧力が測定できることから、圧力計の検出素子として用いられる。
ブルドン管式圧力計	ぶるとんかんしきあつりよくけい	Bourdon's tube-type pressure meter, Bourdon gauge	ブルドン管により読みを行う圧力計。
ブルニゼム土	ぶるにぜむど	brunizem soil	プレイリー草原下に生成する成帯性土壌で、プレイリー土ともいう。腐植、富化は深く、肥沃な土壌。
フルマー式テンションメータ	ふるまーしきてんしょんめーた	Fulmer tension meter	ケーブルの引張り力を測定する計器。フレームの曲げから引張り力を求める。
プルマサイト	ぷるまさいと	plumasite	粗粒完晶質の岩石で灰曹長石や鋼玉を主成分とする。カリフォルニア州Plumasに産することに由来。
古谷石	ふるやいし	Furuya ishi	和歌山県田辺市産出の観賞石名。地下水などで風化した中生界石灰質粘板岩や珪質石灰岩。その縞模様が遠山の景色を想像させる。
ブルンクロン	ぶるんくろん	Brunhes chron	地磁気極性年代尺度の内、約75万年前から現在までの、現在と同じ地球磁場が卓越した期間。以前はブルン（ブリュンヌ）正磁極期と呼ばれた。
ブレイクダウンプレッシャー	ぶれいくだうんぷれっしゃー	break down pressure	水圧破砕により岩盤中に亀裂が発生する圧力。
ブレーカ	ぶれーか	breaker	圧縮空気または油圧を利用して岩石を破砕する機械。
プレー火山	ふれーかざん	Pelee volcano	西インド諸島マルチニック島に位置する輝石安山岩質の複合火山。1902年の大爆発では熱雲が発生し被災した。
プレー型火砕流	ふれーがたかさいりゅう	Pelee pyroclastic flow	溶岩円頂丘の爆発により溶岩片・火山灰・火山ガスからなる熱雲(700~1,000°)が高速で流下する形式の火砕流。
ブレイクダウン	ぶれーくだうん	break-down	①地熱ボーリングの降管時の波動圧が孔壁に機械的衝撃を与えることにより泥岩が破壊する現象で、孔壁崩壊を誘発する人為的要因の一つにあげられる。 ②ボーリング孔内の水圧破砕において、孔内の水圧を上昇させていくと孔壁に亀裂が生じて圧力が低下し始めること。
プレー式噴火	ふれーしきふんか	Peleean eruption	激しい爆発で熱雲や火砕流を発生させる噴火様式。粘性の高い安山岩質マグマに生じる。
プレート	ふれーと	plate	地球表面を覆う地殻およびアセノスフェアまでの部分。地球上で10数個のプレートがある。

プレート運動	ふれーとうんどう	plate motion	プレートがアセノスフェアに乗って移動する運動. その基準により絶対運動と相対運動に区分.
プレートガーダー	ふれーとがーだー	plate girder	ウェブの上下にフランジを溶接して I 形にした桁の総称.
プレート境界	ふれーときょうかい	plate boundary	二枚のプレートが接する部分で, その運動形態により収束境界・発散境界・すれ違い境界の三つに分類される.
プレート境界地震	ふれーときょうかいじしん	interplate earthquake	2枚の接するプレートが異なった運動をし, その境界近傍にひずみが集中するために発生する地震.
プレート衝突帯	ふれーとしょうとつたい	plate convergence zone	二つのプレートが相対運動により衝突する際, その帯状の境界部分をいい, 大山脈や活断層などが生ずる.
プレート絶対運動	ふれーとぜったいうんどう	absolute motion of plate	プレートのメソスフェアに対する運動. ホットスポット起源による海山列とそれを構成する火山の年代から求められる.
プレート相対運動	ふれーとそうたいうんどう	relative motion of plate	隣接するプレート相互間の運動. お互いに, 近づく・離れる・すれ違うの3種がある.
プレートテクトニクス	ふれーとてくとにくす	plate tectonics	いくつかのプレートに分かれたリソスフェアがほとんど変形することなく水平運動するという理論.
プレート内地震	ふれーとないじしん	intraplate earthquake	プレート内部で起こる地震. 浅発, やや深発と深発地震がある.
フレーム構造	ふれーむこうぞう	flame structure	火炎状構造と同義.
フレーム光度法	ふれーむこうどほう	flame photometry	炎光分析の一種で, 試料を炎で熱した時の光の波長と強さによって元素の定量分析を行う方法.
フレーム様構造	ふれーむようこうぞう	flamy structure	ある鉱物の結晶構造に他の鉱物の結晶が影響を受け, その方向とほぼ平行に細長く集まる構造.
プレーリー土	ふれーりーど	prairie soil	プレーリーの草原に生じている成帯性土壌. ブルニゼムと呼ぶ場合もある.
プレーリッヒの式	ふれーりっひのしき	Frohlich's equation	ブーシネスクの解に集中係数を導入して, 修正した弾性地盤への載荷により発生する応力の解.
プレーン空気透過法	ふれーんくうきとうかほう	Blaine's air permeability method	JIS-R-5201に規定されるセメントの粉末度を試験する方法.
プレーンコンクリート	ふれーんこんくりーと	plain concrete	無筋コンクリートのこと.

フレキシブルドリルパイプ	ふれきしぶるどりる ぱいぷ	flexible drill pipe	多くの関節構造を有する屈曲自在のボーリングロッド。
フレキシユラル・スリップ褶曲	ふれきしゆらるす りっぷしゅうきょく	flexural slip fold	曲げすべり褶曲と同義。
フレキシユラル・フロー褶曲	ふれきしゆらるふ ろーしゅうきょく	flexural flow fold	物質が流動することによって生じた褶曲の一種。延性が異なる地層が互層する場合に生じるとされる。
プレキャストコンクリート	ふれきやすとこんく りーと	precast concrete	工場で作成されたコンクリート部材。必要に応じ、現場で組み合わせて使用する。
プレキャストダム	ふれきやすとだむ	precast dam	工場生産されたコンクリートブロックや部材を組上げて造られたダム。
プレキャストライニング工法	ふれきやすとらいに んぐこうほう	precast-concrete lining method	工場で製作されたコンクリート製品を覆工に用いる工法。荷重が二次覆工に影響を与えないような地山に適用。
プレクーリング工法	ふれくーりんぐこう ほう	pre-cooling method	ダムや大きな橋脚におけるマスコンクリートの施工において、温度によるひび割れ防止のため、材料の全部または一部を冷却し打設温度を低下させる工法。
フレシネー工法	ふれしねーこうほう	Freyssinet system	PC鋼線をくさびで定着する方式のポストテンション方式プレストレス工法。
フレシネ型荷重計	ふれしねがたかじゅ うけい	Freyssinet jack load cell	油圧式荷重計の一つ。荷重によってシリンダ内に生じた油圧から荷重を求める。
プレスクリート	ふれすくりーと	presscrete	圧縮空気を用いてコンクリートを搬送し、コンクリートを打設する機械。
プレストレス	ふれすとれす	prestress	コンクリート構造物では荷重による応力の一部を打消すために、地盤では拘束圧やすべり抑止力を加えるために予め導入された応力。
プレストレストアンカー	ふれすとれすとあん かー	prestressed anchor	プレストレスを加えるために地盤や岩盤中に打設する、あらかじめ緊張力を与えたアンカーをいう。擁壁・掘削のり面・地すべり防止杭などの補強材として使用される。PC鋼線・PC鋼棒などの構造体。
プレストレストコンクリート	ふれすとれすとこん くりーと	prestressed concrete	荷重によって生じる引張応力を打消すためにPC鋼材を用いて予め圧縮力を加えたコンクリート。
プレストレストコンクリート圧力容器	ふれすとれすとこん くりーとあつりょく ようき	prestressed concrete pressure vessel	容器内に発生する圧力による引張り力を考慮し、あらかじめ、プレストレスを与えたコンクリート圧力容器。
プレストレストコンクリート杭	ふれすとれすとこん くりーとくい	prestressed concrete pile	工場で製作した鉄筋コンクリート杭のうち、プレストレストコンクリート構造の杭。
プレストレストコンクリート原子炉格納容器	ふれすとれすとこん くりーとげんしろか くのうようき	prestressed concrete reactor containment vessel	プレストレストコンクリート圧力容器のうち、特に原子炉格納用に用いられるもの。

プレストレストダム	ふれすとれすとだむ	prestressed dam	ダム本体の安全性確保の一部として、鋼線、より線、鋼棒などによる基礎岩盤との緊張力を抵抗力として見込む設計のダム。
プレスプリット工法	ふれすぷりっとこうほう	presplit	平滑な岩盤掘削面を作るとともに背面の岩盤の損傷を抑えるために用いる発破工法。発破孔を数10cm間隔に削孔し同時に発破することにより連続した割れ目を形成する。
プレス・ユース・ユイング型地震計	ふれすゆーいんぐがたじしんけい	Press-Ewing seismograph	遠地地震観測用の長周期の電磁式地震計。コロンビア型地震計ともいわれる。
プレッショメータ	ふれっしおめーた	pressuremeter	孔内載荷試験機の1機種で、載荷方法は等分布載荷法である。同じ載荷方式としてエラストメータ等がある。
プレッショメータ試験	ふれっしおめーたしけん	pressuremeter test	地盤の変形性を求める孔内載荷試験の一つ。試験区間に作用させた等分布載荷による圧力と変形量から変形特性を求める。
プレッシャーシャドー	ふれっしやーしゃどー	pressure shadow	相対的に変形しにくい粗粒鉱物の両側で強い変形を逃れた領域。その形態から受けたせん断の方向が決定できる。
プレッシャーリッジ	ふれっしやーりっじ	pressure ridge	断層近くの地面が水平方向に圧縮されることにより生じる隆起部。横ずれ成分をもつ地震断層により引き起こされる。
プレテンション方式	ふれてんしょんほうしき	pre-tensioning system	緊張したPC鋼材の周囲にコンクリートを打設し、硬化後に緊張力を解放してコンクリートに圧縮力を与える方式。
プレパックスドコンクリート	ふればっくどこんくりーと	prepacked concrete	型枠に粗骨材を詰め、その間隙に特殊モルタルを注入してつくるコンクリート。水中工事などに使われる。
プレボーリング拡大根固め工法	ふればーりんぐかくだいねがためこうほう	preboring pile driving method with expanded foot protection	アースオーガで削孔し、先端の支持部を拡大掘削したあとにセメントミルクなどを充填し杭を挿入する工法。
プレボーリング工法	ふればーりんぐこうほう	pile installation by preboring	埋め込み杭の施工法のうち、オーガなどにより掘削した孔内に杭を設置する工法。
プレボーリング最終打撃工法	ふればーりんぐさいしゅうだげきこうほう	preboring pile driving method with percussion	アースオーガで削孔し、既製杭を挿入したあと最終打撃を行い支持力を確保する工法。
プレボーリング式杭打ち工法	ふればーりんぐしきくいうちこうほう	preboring pile driving method	あらかじめアースオーガにて所定の深度まで掘削したのち、既製の杭材を孔内に挿入する工法。
プレボーリング根固め工法	ふればーりんぐねがためこうほう	preboring pile driving method with foot protection	アースオーガで削孔し、セメントミルクなどを充填したあとに杭を挿入する工法。N値3～20の粘性土に適用。
プレボレアル期	ふればれあるき	Preboreal time	ウルム氷期後期に続く10,000～9,500年前の冷涼期。この後にボレアル期が続く。
プレライニング工法	ふれらいにんぐこうほう	prelining support method	トンネル掘削に先行してトンネル外周部を掘削し、掘削部をモルタルやコンクリートで置換する工法。

プレローディング工法（予圧密工法）	ふれろーでいんくこうほう（よあつみつこうほう）	pre-loading method	構造物建設前に盛土により荷重を載荷し、圧密沈下を先行して発生させ、構造物の沈下を低減したり地盤のせん断強度の増加を図る工法。
プレローディング盛土	ふれろーでいんぐもりど	pre-load banking	構造物建設前の地盤に予め圧密沈下を起こさせるために構造物と同等以上の載荷を行うための盛土。
プレロード	ふれろーど	preload	①既設構造物の仮受け桁のたわみや土留め切梁の緩み防止にジャッキで荷重をかけること。 ②軟弱地盤上の構造物築造にあたり、予め載荷して事前に圧密沈下させて支持力を増大する地盤改良の一種。
不連続褶曲	ふれんぞくしゅうきょく	intermittent folding	短軸背斜やドーム、または短軸向斜やベーズンが独立または不規則発達する褶曲。台地に典型的な褶曲。
不連続性岩盤斜面	ふれんぞくせいがんばんしゃめん	discontinuous rock slope	不連続性岩盤により構成される斜面。安定性は不連続面の状態に依存するため、連続体解析が適さない。
不連続反応系列	ふれんぞくはんのうけいれつ	discontinuous reaction series	結晶作用の過程で、晶出鉱物と残液が順次反応して鉱物を晶出する場合のそれらの鉱物は、不連続反応系列の鉱物という。
不連続変形解析	ふれんぞくへんけいかいせき	discontinuous deformation analysis, DDA	岩盤が不連続体であることに注目して、ブロック間の変形や応力の不連続な挙動を解析・表現する手法。
不連続変形法	ふれんぞくへんけいほう	discontinuos deformation analysis, DDA	不連続変形解析方法の一つで、DDAと呼ばれ、有限要素法の拡張であり、多数の弾性ブロック間の衝突やすべりを解析することができる。
不連続粒度	ふれんぞくりゅうど	gap grading	粒度配列が不連続で、ある中間の粒子が欠けている状態。不連続粒度の骨材を使用したコンクリートは流動性が改善されることがある。
フロースラスト	ふろあーすらすと	floor thrust	デュプレックス構造の下限をなす衝上断層で、デュプレックス内の小規模逆断層が収斂する。
フロー値	ふろーち	flow value	アスファルト混合物のマーシャル安定度試験の際に、最大荷重を示した時の供試体の変形量。
フローチングダム	ふろーちんぐだむ	floating dam	透水性の未固結地盤上に築造された重力式コンクリートダム。
フローティングケーソン	ふろーていんぐけーそん	floating caisson	水中に沈設するケーソンで、陸上で製作され、水上部を浮かしてえい航されるケーソン本体。
フローティング・バージ掘削	ふろーていんぐばーじくっさく	floating barge drilling	水上ボーリング工法の一つ。ボーリング機械を据付けた台船（バージ）とロッドなどを通し、保護するガイドパイプが分離した機構を有する。
フロート式水位計	ふろーとしきすいけい	float type water level recorder	水面の動きに追従するフロートの上下をワイヤで伝え、記録する形式の水位計。
フローネット法	ふろーねつとほう	flow net method	ポテンシャル分布をもとに流線網を描いた上で、等ポテンシャル線と流線を用いて単位網目を流れる流量を求め方法

プローブ	ぷろーぶ	probe	坑井内を検層のために降下させる探査装置。ゾンデ。
フローユニット	ふろーゆにっと	flow unit	溶岩流や火砕流において、その堆積部で1枚と認められる単位。単一噴火でもフローユニットが複数になることもある。
プロキシミティ 検層	ぷろきしみていけん そう	proximity logging	測定電流を地層方向に収束するよう改良したマイクロ比抵抗検層。マイクロラテロ検層と同義。
プロクターカーブ	ぷろくたーかーぶ	proctor curve	粘性土の締固め試験から求められる乾燥密度と含水比の関係を示す曲線。
プロクタ貫入抵抗 (値)	ぷろくたかんにゆう ていこう (ち)	Proctor penetration resistance	プロクタ貫入抵抗試験機の針が、深さ1インチ貫入するのに要する力を針の面積で除した値。
プロクタ締固め 試験	ぷろくたしめかため しけん	Proctor compaction tests	規定モールド内で種々の含水比の土を突き固める試験。その結果から盛土としての現場締固めが規定される。
プロセスゾーン	ぷろせすぞーん	process zone	断層形成に関与したゾーンで、微小クラックの発達で特徴づけられる。
プロダクション ケーシング	ぷろだくしょんけー しんぐ	production casing	石油・熱水を採取する時プロダクションゾーン以外を閉塞するために使用するケーシング。
プロダクション 検層	ぷろだくしょんけん そう	production logging	採取井内の水・油・ガスなどの挙動状態を把握し評価するための諸検層。
ブロッキング	ぶろっきんぐ	blocking	①日本では移動性の高気圧などは通常西から東へ移動する。このような動きが大きなスケールで妨げられるときの現象。 ②トンネル工事において鋼製支保工と地山の間にくさびを打ち込み地山の緩みを抑えること。
ブロッキング現象	ぶろっきんぐげん しょう	blocking phenomena	偏西風帯などの本流から切り離された高気圧・低気圧が出現する現象。梅雨現象は偏西風帯に発生した典型例。
ブロックケー ビング法	ぶろっくけーびんぐ ほう	block caving method	鉱山における採掘法の一つで、鉱体の1区画の下部を掘削して空間を作ることにより上部の鉱石の自然崩落を誘発し採掘を行う方法。
ブロック工法	ぶろっくこうほう	concrete placement with longitudinal construction joints	コンクリートダム of 施工に従来から用いられている工法。コンクリートの温度応力の発生を抑えるために縦継目 (ダム軸方向の継目) 横継目 (同直交方向) で分割してコンクリートを打設する。ブロック間に段差ができるため柱状工法ともいわれる。
ブロックサンプ リング法	ぶろっくさんぷりん ぐほう	block sampling	スコップやピックなどを用いて、地山あるいは横坑内などから乱さない試料をブロック状に採取すること。
ブロック式係船 岸	ぶろっくしきけいせ んがん	concrete block type quaywall	海底にコンクリートブロックを積みあげて築造した係船用の岸壁。外力には自重による摩擦力で抵抗する。
ブロック式混成 堤	ぶろっくしきこんせ いてい	concrete block type composite breakwater	捨て石マウンドの上にコンクリートブロックの直立堤を配置し、波高により傾斜堤・直立堤の両機能を発揮させる。

ブロック式直立堤	ぶろっくしきちよくりつてい	concrete block type upright breakwater	捨て石マウンドがなく基礎処理をした海底から直接コンクリートブロックを積み重ねた防波堤。
ブロック褶曲	ぶろっくしゅうきよく	block folding	地塊褶曲とも。基盤ブロックの断層などによる昇降が上位の地層を突き曲げて生じる褶曲。
ブロックせん断試験	ぶろっくせんだんしけん	block shear test	岩盤のせん断強度を求める原位置試験方法の一つ。コンクリートブロックを介して直下の岩盤をせん断する。
ブロックダイアグラム	ぶろっくだいあぐらむ	block diagram	地下地質を立体的に表現する図で、地質構造を三次元のブロックで表示したもの。手前の切り口は地質断面図、地表面は鳥瞰図として表示される。
ブロック積み擁壁	ぶろっくづみようへき	concrete block retaining wall	コンクリートブロックを積み重ねた比較的簡易な擁壁。法勾配が1:1より急なものをいい、勾配の緩いブロック張りとは区別する。
ブロック張工	ぶろっくはりこう	concrete block pitching method	法面保護工の一つ。表面の浸食や風化防止のためコンクリートブロックを張付ける工法。
ブロック反映褶曲	ぶろっくはんえいしゅうきよく	reflecting-block folding	基盤ブロックの昇降によって生じるブロック褶曲から影響を受けた褶曲。ブロック褶曲の上部構造に相当する。
ブロック防波堤	ぶろっくぼうはてい	concrete block breakwater	コンクリートブロックを積み重ねて造った防波堤の総称。捨て石マウンドの有無などいくつかの種類がある。
プロッドキャスト	ぷろっどきゃすと	prod cast	プロッドマークとも。地層の底面に形成された窪み。水流中を流動する物体に底質上を削り取られて形成。
プロデルタ堆積物	ぷろでるたたいせきぶつ	prodelta deposit	三角州の堆積物のうち、デルタフロントより沖に分布する堆積物。一般に粘土のような細粒分に富んだ堆積物からなる。
プロトアクチニウム法	ぷろとあくちにうむほう	protactinium dating method	プロトアクチニウム (^{231}Pa) の放射性壊変を利用する年代測定法。数万年程度の年代測定に適用。
プロトクラスチック片麻岩	ぷろとくらすちっくへんまがん	protoclastic gneiss	マグマの冷却過程で先に晶出した鉱物の変形運動を受け、粒状化したり変形したりして片麻状構造ができた花崗岩質岩。
プロトジャコノフのかたさ指数	ぷろとじゃこのふのかたさしすう	Protojakonof coefficient	岩石強度の指数。圧縮強度、せん断強度、穿孔抵抗、および衝撃強度を示す指数。旧ソ連で広く利用される。
プロトジャコノフの衝撃強度試験	ぷろとじゃこのふのしょうげききょうどしけん	Protojakonof impact strength test	衝撃強度を求める試験方法の一種。重錘落下によって生じた0.5mm以下の粒子の量で評価。
プロトラクター	ぷろとらくたー	protractor	長方形の分度器。地質調査で、地層の走向・節理・亀裂および断層の方向などを記載・図化するとき用いる。
プロトルージョン	ぷろとるーじょん	protrusion	固体貫入とも。構造運動に伴って岩体が固体貫入すること。

プロトン磁力計	ぷろとんじりょくけい	proton-precession magnetometer	磁力計の一種でプロトン（水素原子核）の核磁気モーメントを利用している。
プロピライト	ぷろぴらいと	propylite	変朽安山岩と同義。
プロピライト化作用	ぷろぴらいとかさよう	propylitization	安山岩質～デイサイト質の火山岩で典型的に見られる緑泥石などを生成する熱水変質作用。
プロファイル測定	ぷろふあいるそくてい	profile measurement	地下レーダー探査や重力探査において測線上の地下構造断面を把握するための測定。地下レーダー探査では一対の送信アンテナ・受信アンテナの間隔を一定に保ったまま、測線上を移動させて測定する。
プロペラ型風速計	ぷろぺらがたふうそくけい	propeller type anemometer	回転型風速計の一種。プロペラ型の風車が風速に比例して回転することを原理とする風速計。
プロペラ式流速計	ぷろぺらしきりゅうそくけい	propeller anemometer	一定以上の流速で流速と回転速度が直線関係になることを利用した流速計。
ブルムヘッド式リングせん断試験機	ぶろむへっどしきりんぐせんだんしけんき	Bromhead ring shear testing machine, Bromhead ring shear apparatus	繰り返した薄い供試体のねじりせん断により、土の残留強さを求める試験装置。
フロン	ふろん	fluorocarbon	メタン、エタンの塩素化・フッ素化物。冷媒や溶剤として広く利用されてきたが、オゾン層破壊の主要原因物質とされ使用削減が進められている。
ブロントサウルス	ぶろんとさうるす	<i>Brontosaurus</i>	アパトサウルス。竜盤目竜脚亜目の草食恐竜。四足歩行。ジュラ紀後期の北米に生息。
フロントジャッキング工法	ふろんとじゃっきんぐこうほう	front jacking method	推進工法の一つ。発進側立坑と到達側立坑の間に牽引用ワイヤを通しておき、函体を牽引する。
噴煙柱	ふんえんちゅう	eruption column	爆発的噴火によって柱状に噴出した噴煙のかたまり。
噴火	ふんか	volcanic eruption, eruption	地球内部からマグマ・火山ガスや火山灰などの火山物質が比較的急速に地表に放出される現象。
分化	ぶんか	differentiation	同一の共通するマグマから、二つ以上の岩石が生じるプロセス。
分解	ぶんかい	decomposition	合成物・化合物が構成要素ごとの物質に分離すること。
分解能	ぶんかいのう	resolving power	測定した入力値の相異を区別できるように必要な入力値の最小単位。顕微鏡などで識別できる最小の距離としても用いられる。
分解溶融	ぶんかいうゆう	incongruent melting	鉱物が溶融するとき、ある温度で違う組成の液と鉱物とになり、最終的には元の組成の液となる現象。

噴火エネルギー	ふんかえねるぎー	energy of volcanic eruption	火山噴火により火山物質が地表に放出される時に費やされるエネルギー。熱、爆発、噴火、空振などに分配される。
噴火強度階	ふんかきょうどかい	intensity scale of volcanic eruption	火山の噴火の強さが噴出物の総量に比例するとの仮定により、噴出物の量を10階級に区分したもの。
噴火口	ふんかこう	eruption crater	火山噴火時に、噴出物が地表に達する地点にできる凹地。円形に近く、断面はロート状である。通常径2km以下。火口と同義。
分化指数	ぶんかしすう	index of differentiation, differentiation index	マグマ分化の進行程度の尺度。火成岩の化学組成のうち分化につれて規則的に変化する成分の量が用いられる。
糞化石	ふんかせき	guano, struvite	海鳥の糞が堆積固化したもの（グアノ）。動物の糞や動物性腐敗堆積物などに産するMg鉱物（ストルーバイト）。糞石ともいう。
噴火前兆現象	ふんかぜんちょうげんしょう	forerunning phenomena of volcanic eruption	地磁気・重力値・ラドン濃度の変化など火山噴火の前兆となる物理的現象。地震・地熱・動物の異常行動などは体験的前兆現象。
噴火様式	ふんかようしき	types of volcanic eruptions	噴火現象に関する記載事項の一つ。特徴的な火山の固有名を付したものと、噴火の要素別によるものがある。
噴火予知	ふんかよち	prediction of volcanic eruption	噴火の時期、場所、規模、タイプ、活動の推移の5要素の予知のこと。方法は地質学的研究と機器観測的手法がある。
噴火輪廻	ふんかりんね	eruption cycle	火山は一般に長期の静穏期の中に継続した短い噴火期がある。この一続きの噴火活動を一輪廻の噴火という。
分岐	ぶんき	bifurcation, divergence, virgation	様々な現象が枝分かれすること。進化に伴う生物系統、水系の分布状態、褶曲軸の枝分かれなどで用いる。
噴気ガス	ふんきがす	exhalation gas	地表に噴出されるマグマ中の揮発成分。大部分は水蒸気で他にフッ素化合物、HCl, SO ₂ , H ₂ S, CO ₂ , H ₂ , N ₂ が含まれる。
噴気活動	ふんきかつどう	fumarole activity	火山体の碎屑物または岩石の割れ目や孔から、火山ガスが比較的静かに定期的に空中に噴出する活動。
噴気孔	ふんきこう	fumarole	水蒸気や火山ガスなどの各種のガスが、地下から地表に噴出している場所。一般に火山地帯に見られる。
噴気孔鉱物	ふんきこうこうぶつ	fumarolic mineral	火山ガスの噴出孔において、ガスの昇華作用、ガスと周囲の岩石との反応によって形成された鉱物の総称。
噴気鉱床	ふんきこうしょう	exhalation deposit	火山活動に伴う気体物質の昇華作用、またはそれと周囲の岩石との反応による、鉱物の形成・濃集による鉱床。
噴気試験	ふんきしけん	blow-out test	地熱貯留層の能力を実証するために、生産井から噴気させる試験。噴出流量特性から貯留層の能力評価などを行う。

噴気堆積鉱床	ふんきたいせきこうしょう	exhalative-sedimentary deposit	海底火山活動に伴う噴気・熱水作用で生じた鉱物が堆積して形成された鉱床。
噴気地帯	ふんきちたい	fumarolic area	火山噴気孔が多くある地域。
分岐比	ぶんきひ	bifurcation ratio	谷次数をストララーの方法によって名付けた場合、ある次数 <i>i</i> の谷の数 N_i と次数(<i>i</i> -1)の谷の数 N_{i-1} との比。
分岐比	ぶんきひ	branching ratio	2種の壊変を行う放射性核動の両者のおこる確立の百分比のこと。
分級	ぶんきゅう	classification, sorting	篩分けが困難な物質を、水中または空気中で沈降させて成層状態にして分離採取すること。または淘汰作用。
分級機	ぶんきゅうき	classifier	水中や空気中における粒子の沈降速度が粒度によって異なるのを利用して骨材を連続的に粒度別に分ける装置。
分級係数	ぶんきゅうけいすう	sorting coefficient	構成粒子の粒径の分布の広がりを表わす。粒径積算曲線の25%粒度を、75%粒度で割ったものの平方根で表す。
分級作用	ぶんきゅうさよう	sorting	淘汰と同義。
分級成層	ぶんきゅうせいそう	sorted bedding	個々の単層中の粒径は均一であるが、常に上方の単層が細粒であるため、全体として上方細粒化している状態。
分級度	ぶんきゅうど	sorting coefficient, coefficient of sorting	堆積物や砕屑性堆積岩を構成する粒子の粒径のばらつきの程度。粒径が揃っているほど分級度が良い。
分極	ぶんきよく	polarization	①誘電体を電解内においたとき、正負の電荷の部分的分離が起こる現象。 ②電場内で分子（原子）が一時的に双極子モーメントを持つようになる現象。
分極（誘電体）	ぶんきよく（ゆうでんたい）	polarize	誘電体に電場を与えると電荷の部分的分離が起こり、全体として双極子モーメントを持つようになること。
分極電圧	ぶんきよくでんあつ	polarization voltage	分極によって生じる電圧。
分極率	ぶんきよくりつ	polarizability, chargeability	大地に電流を流している際の一次電位差に対する、電流を切断した際に観測される二次電位差の比。
分結作用	ぶんけつさよう	segregation	岩石を構成する成分の一種が特定の場所に濃集する作用。変成分化作用の一種。
分光器	ぶんこうき	spectrograph	光をスペクトル（波長の違いによる成分）に分ける装置

分光光度計	ぶんこうこうどけい	spectrophotometer	光のスペクトルの強度を測定する測光器.
分光分析	ぶんこうぶんせき	spectroanalysis	物質の励起発光をプリズム・回折格子などでスペクトルにわけ、元素の同定・定量を行う分析方法.
噴砂	ふんさ	sand boil, sand crater	地震動によって地中で液状化した砂質土が、水とともに火山のように地表に吹き出すこと.
粉碎性	ふんさいせい	grindability	衝撃力や摩擦により岩石が破碎する場合の程度を表し、特に微粉（数10 μ m）状に碎ける場合をさす.
噴砂丘	ふんさきゅう	sand crater	地震の際、水とともに噴き出した砂が噴砂孔の周囲に火山あるいはクレーターのような形態で堆積したもの.
分散	ぶんさん	dispersion	①土粒子の集合体が単一粒子に分散すること. ②表面波の周期あるいは波長によって伝播速度が異なる現象.
分散	ぶんさん	variance	測値と平均値との差を二乗したものの平均.
分散曲線	ぶんさんきょくせん	dispersion curve	波動の分散の速度を周期・波長などの関数として表した曲線.
分散現象	ぶんさんげんしょう	dispersion phenomenon	波の伝搬速度などの物理定数が振動数により変化することにより生ずる現象.
分散剤	ぶんさんざい	diflocculant, dispersing agent	流体中に凝集している粒子をばらばらの独立した粒子に分けるために使用する薬剤.
分散性粘土	ぶんさんせいねんど	dispersive clay	水に接することにより、浮遊または分散状態になる性質を持つ粘土.
分散法	ぶんさんほう	dispersion method	鉱物の屈折率を求める方法で、浸液の屈折率分散曲線を用いる.
分散容器	ぶんさんようき	dispersion cup	粒度試験を行う場合に土粒子を分散させるために使用する容器.
分子拡散	ぶんしかくさん	molecular diffusion	液体や気体を構成する分子が、熱運動によりできるだけ広い空間に広がり均一化しようと移動する現象.
分子けん引説 (粘土のプラスチックティ)	ぶんしけんいんせつ (ねんどのぷらすていしてい)	molecular attraction theory (on the cause of plasticity of clay)	粘土の塑性は粘土分子の相互間、または周囲の水との間のけん引力で生じるとする説.
分子線エピタキシー	ぶんしせんえびたきしー	molecular beam epitaxy	超高真空内で原料物質を加熱、蒸発し、発生する分子線を単結晶基盤にあて、結晶方位がそろった単結晶薄膜を成長させる方法.

分子当量	ぶんしとうりょう	equivalent molecular unit	岩石の鉱物ノルム計算において、鉱物の分子式における陽イオンの総数を表す。
噴射注入工法	ふんしゃちゅうにゅうこうほう	jet grouting method	ジェットグラウト工法と同義
分取器	ぶんしゆき	riffle sampler, sample splitter	粒度組成が異なるように試験用サンプルを取り分けるための器具。
噴出岩	ふんしゆつがん	effusive rock, extrusive rock	地表および地表付近に噴出したマグマが固結した火成岩。急冷によりガラス質部分が多く細粒である。火山岩とほぼ同義。
噴出周期	ふんしゆつしゅうき	eruption period	活動期と静穏期を繰り返す火山が溶岩・火山灰などの噴出物を噴出する周期。
文象花崗岩	ぶんしょうかこうがん	graphic granite	カリ長石（または斜長石）の中に石英がくさび状に入りこんだもの（文象構造）を特徴とする花崗岩。
文象岩	ぶんしょうがん	graphic rock	長石と石英と間にみられる特有な規則的連晶構造を文象構造(graphic structure)といい、この構造を有する岩石。長石の結晶中に楔型文字状の石英が多数連晶し、石英の一部～全部が同一の光学的方位を示す。花崗岩や特定の鉱石に認められる。
文象構造	ぶんしょうこうぞう	graphic structure	長石（一般にカリ長石）の斑晶中に多数のくさび形文字のような石英が規則的に連晶する構造。
文象質微粒花崗岩	ぶんしょうしつびりゅうかこうがん	granophyre	現在は微文象花崗岩が一般的な呼称。長石と石英の微文象連晶が岩石の基質全体に分布する花崗岩。文象斑岩ともいう。
文象組織	ぶんしょうそしき	graphic texture	文象構造、グラフィック組織ともいう。長石と石英が連晶する組織（構造）。
粉塵	ふんじん	dust	空気中に浮遊する固形微粒子。トンネルではコンクリート吹付時や岩盤掘削時に発生し、除塵装置が使われる。
分水界	ぶんすいかい	divide, drainage divide, watershed, catchment boundary	隣り合う集水域の境界。地下水と表流水の分水界があるが、一般には後者で代表される。
分水路	ぶんすいろ	flood way, diversion channel	洪水処理のため、湖や海へ放流するために設ける分派水路。放水路ともいう。
フンスリュック頁岩	ふんすりゅっくけつがん	Hunsrück shale (独), Hunsruck shale (英)	ヨーロッパのアルデンヌ～ライン地方に分布する黒色頁岩。下部デボン系で三葉虫・アンモナイト類を多産。
噴石	ふんせき	cinder	噴火により放出された本質火山碎屑物のうち、特にガラス質で多孔質なものの総称。直径4～32mm程度のもの。
糞石	ふんせき	coprolite	主に脊椎動物の排泄物の化石。糞化石ともいう。形状から排泄口の形状を、未消化物から古生物の食性を推定。

噴石丘	ふんせききゅう	cinder cone	主に噴石から構成される火山砕屑丘。普通、スコリア質の火山砕屑物からなる。スコリア丘と同義。
分析電子顕微鏡	ぶんせきでんしけん びきょう	analytical electron microscope	透過型電子顕微鏡で、電子線を照射したときに試料からでてくる特性X線を分光装置で測定し含有元素の化学分析を行う。
噴泉塔	ふんせんとう	sinter cone	温泉の湧出に伴って生成された温泉沈殿物が円塔状に堆積したもの。石灰華、珪藻で構成されることが多い。
ブンター統	ぶんたーとう	Bunter series (英), Buntsandstein (独)	ドイツ盆地に特徴的に分布する三じょう系（三畳系）下部統の総称。淡水成の砕屑岩主体。
粉体	ふんたい	pulverulent body	細かい固体の粒が集合した状態のこと。セメント・フライアッシュ・小麦粉など。
分帯	ぶんたい	zoning	地層や岩石を、化石・鉱物の組み合わせなどによって区分すること。
粉体注入工法	ふんたいちゅうにゅう こうほう	powder grouting method	微粒セメント粉体を圧縮空気です盤中に注入する工法。
粉体流	ふんたいりゅう	particulate flow	多量の微粒子が気体と混合して、低粘性で速く流れる現象。火砕流、岩なだれの一部、乾雪表層なだれなどがある。
粉炭	ふんたん	fine coal	採炭の際に径が3～10mm程度に粉砕された石炭。主に、高炉のコークスとして用いる。
分断ガードル	ぶんだんがーどる	creft girdle	ファブリックダイヤグラムのパターンの一つで、ダイヤグラムの投影点の等密な線の帯が、小円に平行で分裂した形式に見えるもの。
分潮	ぶんちょう	component tides	起潮力ポテンシャルの変化を一定周期と振幅の正弦関数の和に展開した各項。
噴泥	ふんでい	mud pumping	泥土化された路盤から交通荷重による加圧・減圧によって地表に噴出した泥土あるいはその現象。
分点	ぶんてん	Equinox	天の赤道と黄道との交点。春分点と秋分点の二つがある。
粉銅鉱	ふんどうこう	conichalcite	CaCu(AsO ₄)(OH)。斜方晶系。硬度4.5。比重4.33。カルシウムと銅の砒酸塩鉱物。等粒状～短柱状結晶でぶどう状～固塊として産出。銅鉱床の酸化帯に褐鉄鉱などと共生。コニカルコ石ともいう。
分配係数	ぶんぱいけいすう	partition coefficient	共存する二種の鉱物間の交換平衡において、陽イオンの分配を表す係数。
分配平衡	ぶんぱいへいこう	partition equilibrium	共存する2相間に同一成分が分配されて化学平衡にあること。地質温度計・マグマの分化・安定同位体の分別などの説明に用いられる。

分配律	ぶんぱいりつ	partition law	一定温度・圧力の下で、平衡に共存する2相中に共通成分が分配される時の濃度の比は一定という法則。
噴発	ふんぱつ	blow off	圧気工法によるトンネル掘削で圧縮空気が直接地表に噴出する現象を称し、土被りの浅い処で発生しやすい。
分布荷重	ぶんぷかじゅう	distributed load	集中した荷重に対して線上あるいは面上のある範囲に分布して作用する荷重。分布状態によって等分布荷重、変分布荷重などがある。
分別係数	ぶんべつけいすう	fractionation factor, separation factor	同位体において、性質の似た二つの物質が2相間で異なった割合で含まれる場合のそれらの比。
分別結晶作用	ぶんべつけっしょうさよう	fractional crystallization	マグマから晶出した結晶が液相との接触を絶たれることによって、残液の総化学組成に変化がおこる結晶作用。
分別再吸収	ぶんべつさいきゅうしゅう	fractional resorption	マグマ溜り上部などで晶出した結晶が沈下し、その鉱物に不飽和な下部マグマ中で分解し、メルト中に吸収されること。
分別作用	ぶんべつさよう	fractional separation	①同位体分別作用と同義。 ②分別結晶作用と同義。 ③2相間で性質の似た二種類の物質の量比の差を使って、物質を分解すること。
分別晶出作用	ぶんべつしょうしゅつさよう	fractional crystallization	分別結晶作用と同義。
分別溶融	ぶんべつようゆう	fractional melting, differential melting	部分溶融と同義。岩石が溶融するとき、融け易い組成部分から液体となること。
粉末X線回折	ふんまつえつくすせんかいせつ	powder X-ray diffraction	粉末状の試料にX線束をあてると結晶粒子の格子面によってX線が回折される。この原理から試料の鉱物組成分析・結晶構造が把握できる。
粉末法	ふんまつほう	powder method	粉末試料に単色平行X線を照射し、その回折X線から粉末試料に含まれる鉱物の同定・比較を行うX線実験法。
分離丘陵	ぶんりきゅうりょう	kernbut	後背の山地や丘陵との間が断層などで浸食されて低地となり分離した丘陵。切離丘陵ともいう。
分流堤	ぶんりゅうてい	separation levee	背割堤と同義。
分類群	ぶんるいぐん	taxon 複数形はtaxa	イヌ科・霊長目など、固有の名称を与えられた生物群。生物は固有の特徴によって分類された分類群に属する。
分裂飛跡	ぶんれつひせき	fission track	荷電粒子の衝突や固体内の核分裂により生じた粒子の飛跡。フィッショントラックのこと。
ヘアクラック	へあくらっく	hair crack	コンクリート・モルタル・岩石・乾燥した粘土などにみられる微細な割れ目。岩石強度に影響を与える。

ベアリングプレート	べありんぐぷれーと	bearing plate	ロックボルトの耐荷力を最大限に利用して地山を支持させるため、ロックボルトの締め付け時に使用する鋼板。
平滑化	へいかつか	smoothing	面や線がなめらかになること。あるいは面や線をなめらかにすること。
平滑海岸	へいかつかいがん	smooth profile beach	断面が平滑な海岸。波の静かな内湾・海峡にみられ、一般に急斜海岸では礫から、緩斜海岸では砂からなる。
平滑海岸線	へいかつかいがんせん	smooth shoreline, graded shoreline	海食によって海岸線の出入りがなくなり、直線状になった海岸線。
平滑斜面	へいかつしゃめん	graded slope	斜面そのものの性質によって力学的に安定した連続的な斜面。風化、崩壊、浸食などの環境に適合した斜面。
平滑断口	へいかつだんこう	smooth fracture	鉱物などの、へき開（劈開）面以外の割れ目の表面が、形状に関係なくなめらかなこと。
平滑割れ口	へいかつわれくち	smooth fracture	平滑断口と同義。
閉管分析	へいかんぶんせき	closed tube analysis	一端を閉じたガラス管に鉱物粉末を入れ加熱し、その状態変化から鉱物の含有元素を定性的に分析すること。
平均雨量	へいきんうりょう	mean rainfall	一定の期間に測定された雨量の算術平均値。
平均雨量年	へいきんうりょうねん	mean rainfall year	ある地域のある年の年間雨量が、その地域の年平均雨量にほぼ等しい場合にその年の雨量を評価する呼称。
平均応力（正八面体垂直応力）	へいきんおうりょく（せいはちめんたいすいちよくおうりょく）	mean stress, average stress, octahedral normal stress	主応力を $\sigma_1, \sigma_2, \sigma_3$ とすると、平均主応力 P は、 $P = (\sigma_1 + \sigma_2 + \sigma_3) / 3$ となる。
平均海水面	へいきんかいすいめん	mean sea level	海水面の上下運動の観測値から平均値を計算することによって求められた海水面。
平均活動間隔	へいきんかつどうかんかく		①単位変位量を平均変位速度値で除して得られる平均間隔のこと。 ②一つの露頭など限られた範囲で得られた複数のイベントの実際の時間間隔を平均した間隔のこと。平均イベント間隔ともいう。
平均高水位	へいきんこうすい	average of high water levels	ある一定期間中の平均水位よりも高い水位の平均値。
平均高潮面	へいきんこうちょうめん	mean high water level	満潮面の平均的な高さ。その場所において一定期間観測した満潮位の平均値に等しい仮想海面。
平均三極法	へいきんさんきょくほう	average three-electrode method	比抵抗法の電極配置のうち、等間隔の3地点に電流、電位電極を配置し、他の電流電極を無限遠におく測定法。

平均残差	へいきんざんさ	mean residual	個々の測定値から平均値を引いた値の平均.
平均C B R	へいきんしーびーあーる	mean CBR	路床が鉛直方向に支持力の異なるいくつかの層からなる場合, 路床面から下方1 mの層でどの程度のC B Rに相当するのか計算した値.
平均二乗誤差	へいきんじじょうごさ	mean square error	測量でいう中等誤差のこと. 観測値と真値との差の二乗の相加平均の平方根で表し, 観測の精度を示す.
平均主応力	へいきんしゅおうりょく	mean principal stress	微小要素のある面に垂直応力のみが作用するときの応力を主応力といい, 最大・中間・最小の主応力の平均値をいう.
平均主応力一定の試験	へいきんしゅおうりょくいつていのしけん	triaxial test at constant mean principal stress	軸荷重と側圧を連動させ, せん断応力のみ供試体に作用させる軸対称三軸試験の一方法.
平均水面	へいきんすいめん	mean sea level	平均海水面と同義.
平均接地圧	へいきんせつちあつ	mean contact pressure	構造物の底面や車輛のタイヤと地盤との接触面に作用する単位面積あたりの荷重.
平均太陽時	へいきんたいようじ	mean solar time	地球を太陽と同じ周期で年周運動する一定速度の天体と考え, 南中時刻を基礎にした時間のシステムをいう.
平均太陽日	へいきんたいようび	Mean solar day	太陽の1年間の平均角速度で太陽の中心が子午線を通してから再び通過するまでの時間.
平均潮位	へいきんちょうい	mean sea level	平均海水面と同義.
平均潮差	へいきんちょうさ	mean range of tide	潮汐における干満の水位のある一定期間中の平均値.
平均熱流量	へいきんねつりゅうりょう	mean heat flow	地球内部から地表面に流れ出る熱量の平均値. 火山地帯や海嶺中央部で異常に高い. 日本海側および東北日本の平均熱流量は, $2.2 \mu \text{ cal/cm}^2/\text{sec}$.
平均風速	へいきんふうそく	mean wind speed	風は定常ではなく瞬間風速は変化する. 瞬間風速を一定の時間で平均した値で, 日本は10分間の平均.
平均平水位	へいきんへいすい	average of normal water levels	各年の平水位の何年間かの平均値.
平均変位速度	へいきんへんいそくど	average slip rate	断層の累積変位量をその変位を与えた形成年代で除した値. 活断層の過去における活動度を評価する指標.
平均偏差	へいきんへんさ	mean deviation	個々の測定値と平均値の差. 絶対値の平均.

平均有効応力	へいきんゆうこうおうりょく	mean effective stress	繰返し有効応力の最大値と最小値との平均値，あるいは応力集中の場合のように断面内で有効応力に変化があるときの平均値など種々の意味で用いられる。
平均有効落差	へいきんゆうこうらくさ	mean net head	水力発電設備において，取水位と放水位との標高差（総落差）から，水路の摩擦他の損失水頭を差し引いたもの（有効落差）の平均値。
平均粒径	へいきんりゅうけい	mean diameter, average grain diameter	粒径が不均一な粒子群における粒径の代表値の一つ。最も単純な平均の仕方は，全粒子の直径の総和を個体数で割る方法。
平均流砂量	へいきんりゅうさりょう	annual average sediment yields, mean sediment discharge	平年1年間の流出土砂量。平常洪水時の流出土砂量も含める。
平衡海岸線	へいこうかいがんせん	shoreline of equilibrium	長期間にわたって海食・運搬・堆積の平衡が保たれ，前進も後退もしない海岸線。
平衡型間隙水圧測定装置	へいこうがたかんげきすいあつそくていそうち	balance-type pore water pressure measurement apparatus	圧密非排水試験において厳密に非排水状態を維持しながら，間隙水圧を測定する装置。
平衡型土圧計	へいこうがたどあつけい	balance type pressure cell	受圧板の変位量から土圧を計測する装置。
平衡含水比	へいこうがんすいひ	equilibrium moisture content	道路舗装工事のあとで路床土が最終的に到達する含水比。
平衡含水比	へいこうがんすいひ	equilibrium water content	土中の間隙水は毛管水として存在しているが，この毛管水の移動がなくなった状態の含水比。
平行岩脈群	へいこうがんみゃくぐん	parallel dike swarm, parallel dyke swarm	ある地域内に，多数のほぼ平行に発達した岩脈がある場合，これら全体を指して平行岩脈群という。
平衡曲線	へいこうきょくせん	equilibrium curve	平衡状態に達した河川の縦断面形。平衡状態の河川についての定義は種々あり，近年は流水のエネルギー消費速度が最小になった状態と考えられている。
平衡勾配（海浜の）	へいこうこうばい（かいひんの）	equilibrium grade, equilibrium slope	海食・運搬・堆積が釣り合った平衡海岸の海浜から海底に至る斜面の勾配。陸上で凸，海岸で急，沖で緩。
閉合誤差	へいごうごさ	error of closure	ある点から出発して元の点に戻る水準測量やトラバース測量において，測量上生じる高低差や辺長，水平角の誤差。
平衡式	へいこうしき	equilibrium formula	揚水に伴う井戸周辺の地下水形状を，定常条件のもとに解いた式。揚水試験結果の解析に用いられ，透水係数を算出する。
平向斜	へいこうしゃ	placocline	褶曲構造に関する用語。幅広く平坦な底とやや急傾斜する翼部をもつ向斜。平背斜から取り残された部分。
平行褶曲	へいこうしゅうきょく	parallel fold	褶曲を褶曲軸に対して直角に切った時，断面上での地層間の厚さが常に一定である褶曲。

平行褶曲図法	へいこうしゅうきよ くずほう	arc method	バスク図法ともいう。地層の傾斜測定点間の地層面を傾斜方向に対する垂線の交点を中心とした円弧で表す断面作図法。
平行進化	へいこうしんか	parallel evolution	近縁生物種間に類似した進化傾向が見られること。
平行層理	へいこうそうり	parallel bedding	地層の成層面と平行な層理。斜交層理の対語。薄い場合は平行葉理という。
平行谷	へいこうだに	parallel drainage, parallel basin	ある流域の主な小流域が、細長い形でほぼ平行に配列している流域を平行流域といい、その谷部を平行谷という。
平衡断面（海浜の）	へいこうだんめん (かいひんの)	equilibrium section	海食・運搬・堆積が釣り合った平衡海岸で、海岸と直交方向の海浜から海底に至る断面形状のこと。
平行等尺図法	へいこうとうしゃく くずほう	isometric projection	基本となるブロックに相対する辺を、平行かつ同縮尺に描くブロックダイヤグラム作図法の一つ。
平行ニコル	へいこうにこる	parallel nicols	偏光顕微鏡の2つの偏光ニコルであるポラライザーとアナライザーのうち、上方のアナライザーを除いた状態。
平行不整合	へいこうふせいごう	parallel unconformity, para-unconformity	不整合面を境に接する二つの地層の層理面がほぼ平行な関係にある不整合。
平衡弁型計器	へいこうべんがたけ いき	pneumatic gauge	平衡弁室を用いて圧力の遠隔測定を行う計器。グレーツェル型計器がこれに含まれ、間隙水圧計や土圧計などがある。
平衡弁室	へいこうべんしつ	pneumatic cell	平衡弁型計器において、測定対象となる圧力が加わる液体と圧力計およびポンプ側の液体とが接する平衡弁が格納されている容器。
平衡膨張比	へいこうぼうちよう ひ	equilibrium swelling ratio	粘土が膨張する際に平衡状態に達した時の軸方向と半径方向の膨張の比。
平衡飽和率	へいこうほうわりつ	equilibrium saturation	土壌などの空隙中にある流体が、連続的に流動しうる最低限界の飽和率をいう。
平行脈	へいこうみやく	parallel vein	鉱脈は安定した主応力に支配されて貫入することから、一般的に見られる立体的に平行に走る鉱脈のこと。
平行葉理	へいこうようり	parallel lamination	地層中の肉眼観察できる最も小さな成層構造のうち、層理面に対して平行な構造をもつもの。
平行連晶	へいこうれんしょう	parallel growth	複数の結晶が全て共通な方向に結晶軸を互いに平行にして共生していること。正長石に植え込まれたように見える曹長石など。
米国統一土質分類法	べいこくとういつど しつぶんるいほう	American unified soil classification system	粒度とコンシステンシー特性により分類された米国の土質分類法。広く世界で用いられている。

閉鎖井戸	へいさいど	closed water well	井戸の取水能力の低下などで不要になるなどして閉鎖し、廃棄処分した井戸。
閉鎖温度	へいさおんど	closure temperature	緩冷却過程で岩体の放射起源核種が閉鎖系になった時期の温度。
閉鎖性海域	へいさせいかいいき	closed sea area	海流、潮流の影響が少なく、汚濁物質が蓄積しやすい内湾、内海などのことをいう。
閉鎖性水域	へいさせいすいいき	semi-closed water area	湖沼や内湾・内海などの水の出入りの少ない水域。水の循環・混合が悪いため汚染物質が蓄積しやすい。
閉鎖性内湾	へいさせいないわん	closed bay	湾の規模に対して湾口部が小さいために外洋水が進入し難く、泥質堆積物や干潟が発達する湾入域。
平射円筒図法	へいしゃえんとうずほう	stereographic cylindrical projection	投射図法の一つで、平射図法で投影面を円筒にしたもの。正積・正角ではない。ただし、ひずみは少ない。
平射図法	へいしゃずほう	stereographic projection	投射図法の一つで、正角方位図法と同義語。地球表面上の一点から地球に接する平面に投影する。
迸出岩	へいしゅつがん	effusive rock, extrusive rock	噴出岩と同義。
並進すべり	へいしんすべり	translational slide	層理・節理・断層などの分離面が、地表面とほぼ平行に発達しているような岩盤において、その分離面に沿って発生するすべり。
平水位	へいすいゐ	ordinary water level	日本で使用されている河川水位の指標の一つで、1年のうち185日はそれより下がることのない水位。
平水年	へいすいねん	normal year	年降水量や年流出量が平均的な年。
平水量	へいすいりょう	ordinary water discharge	わが国で用いられている河川の流況を表す指標の一つで、1年を通じて185日はこれ以下とならない流量値。
ベイズの決定則	べいずのけつていそく	Bayes' decision rule	複数の中から統計的決定を行う際に、ある事前分布下で最も期待値の大きいものを選択するという決定則。
平成5年8月豪雨	へいせいごねんはちがつごうう	the 1993 heavy rainfall	1993年7月31日～8月7日にかけて中国地方～九州地方にかけて梅雨前線に伴う局地的豪雨により各地で大きな被害が発生した。特に8月5日～7日に鹿児島地方では豪雨によりシラス台地が崩壊し、また土石流・河川の氾濫により大きな被害が発生した。この豪雨により西日本で死者・不明者が79人に達した。
併設トンネル	へいせつとんねる	parallel tunnel	2本のトンネルが近接して平行に走るもの。地山が良好な場合、中心の離間距離はトンネル幅の3倍とされているが用地などから坑口付近は接近したものが多い。
閉塞型シールド	へいそくがたしーるど	closed type shield	前面の回転カッターで地山を掘削し、切羽と坑内との間に隔壁を設け分離して圧力室とし、泥水や掘削土を満たし、この圧力で切羽の安定をはかるシールド。

閉塞丘	へいそくきゅう	shutter ridge	断層変位による横ずれ地形を表す用語の一つで、横ずれによって切り取られた山塊が谷筋の正面を塞ぐような位置に移動している場合のその山塊のこと。
閉塞湖	へいそくこ	closed lake	半乾燥地域に存在する地表、地下ともに流出口のない湖。
閉塞工	へいそくこう	fill up works, closure works	調査横坑や工事のために設けた仮設のトンネル、堤内バイパスなどを閉塞する工事。
閉塞蛇行	へいそくだこう	inclsosed meander, enclosed meander	穿入曲流や下刻曲流ともいわれ、谷の横断面が対称の掘削蛇行と、非対称の生育蛇行の両者を合わせたもの。
ヘイダイト	へいだいと	haydite	アメリカで、頁岩を焼成して製造する人工軽量骨材の名称。軽量・高強度・耐火性大のコンクリートとすることができる。
平坦化作用	へいたんかさよう	planation	平野や平坦面を作る作用をいい、この作用には風化作用や浸食作用は含まれるが、堆積作用は含まない。
平坦状溶岩	へいたんじょうようがん	lava plateau	溶岩流が平坦な台地状を形成しているもの。大規模な割れ目噴火や多数の火口からの噴出による。
平たん島	へいたんとう	key, cay	海岸の近くにある平らな島。スペイン人の居住域で使われる用語。砂礫やさんご(珊瑚)礁でできた州をさすこともある。
平坦面	へいたんめん	planation surface	平坦化作用によって形成された平らな面。風化作用、浸食作用によって生じた平らな面。
平頂海山	へいちょうかいざん	guyot, table mount, flat-topped seamount	ギョーともいわれる。海底より1,000m以上比高があり、頂部が200m以深にあり、平坦になっている海山。
平頂山稜	へいちょうさんりょう	flat-topped mountain	山頂に小規模の平坦面を持つ山稜。早壮年期地形で準平原の一部が残っている状態。他の成因は平頂峰と同じ。
平頂峰	へいちょうほう	flat-topped crest	平坦面の開析が早壮年期に至ったことにより、あるいは周氷河地域で山稜が風化・浸食したことにより山頂付近に平坦地が形成された状態。
迸入岩	へいにゅうがん	intrusive rock	貫入岩と同義。マグマが地殻中に貫入して固結した火成岩。結晶の生成に特徴があり、斑状構造を有する。
迸入片麻岩	へいにゅうへんまがん	injection gneiss	変成岩中に花崗岩質マグマが層状に注入してできた縞状片麻岩。注入片麻岩と同義。
平年値	へいねんち	normals	ある地域のある気象要素について、ある期間（10年、30年、50年など）の平均値。累年平均と同義。
平年流砂量	へいねんりゅうしゃりょう	normal annual sediment discharge	幾年かにわたる流出土砂量を経過年数で割った1年あたりの値で、年平均流出土砂量ともいう。

平背斜	へいはいしゃ	placanticline	褶曲構造に関する用語。頂部は平坦で幅広く、翼部は急傾斜で狭いとう曲（撓曲）状となる背斜構造の一つ。
平板	へいばん	plane table	平板測量に使う三脚の上に固定する平らな板。一般には、平板測量を行う本体器具の総称。
餅盤	べいばん, へいばん	laccolith	供え餅状に上に凸状、底面は平坦な形状の貫入岩体。ラコリスともいう。
平板型斜交層理	へいばんがたしゃこうそうり	planar cross-bedding	平板状の層理境界面に斜交する葉理面をもつ成層構造。板状斜交層理ともいう。
平板型セグメント	へいばんがたせぐめんと	flat type segment	シールドトンネルで使用されるセグメントの形状区分の一つで、一枚のセグメントの厚さが同じもの。
平板載荷試験	へいばんさいかしけん	plate bearing test, plate loading test	載荷板を介した地盤の載荷から得られる荷重と変形量の関係から、地盤の変形性や支持力を求める原位置試験。
平板式振動締固め機	へいばんしきしんどうしめかためき	plate-vibrating compactor	起振機の起振力方向の傾きにより、跳躍の際に平板が前進するようにした振動締固め機。
平板写真測量	へいばんしゃしんそくりょう	plane table photogrammetry	立体写真測量が実用化される以前に用いられたカメラと平板を使用する図解写真測量。
平板測量	へいばんそくりょう	plane table survey	測板および三脚を主体に、アリダード、求心器、磁針と下げ振りからなる器具を使用する測量方法。
平面応力	へいめんおうりょく	plane stress	すべての応力が一平面に生じ、第三軸方向には応力が生じない状態。極めて薄い平板内の応力状態に相当する。
平面型地すべり	へいめんがたじすべり	flat slip plane slide	すべり面が平面をなしているような地すべりや崩壊。円弧と直線の複合をも含む直線状のすべり面を持つ。
平面型流れ盤斜面	へいめんがたながればんしゃめん	plane dip slope	不連続面の最大傾斜の方位が斜面の最大傾斜の方位と平行な流れ盤斜面。平面破壊を起すことがある。
平面群	へいめんぐん	plane group	一平面上の周期的な点の配列組み合わせを、対称の操作から分類・集約した17個。
平面格子	へいめんこうし	plane lattice	14通りに分類される平面群を二次元へ投影した5通りの格子。
平面孔底ひずみ法	へいめんこうていひずみほう	doorstopper system	応力解放法による初期応力測定法の一つ。ボーリング孔底を平面に整形して3または8素子のひずみゲージを配置した樹脂製モールドゲージを張付けた後、大口径のオーバーコアリングを行う。
平面褶曲	へいめんしゅうきよく	plane fold	褶曲を幾何学的に分類した場合に、その褶曲軸面が平面となるような褶曲。

平面旋回	へいめんせんかい	planispiral	アンモナイトや有孔虫の殻に見られるような一平面内での巻き（旋回）構造。
平面測量	へいめんそくりょう	planimetry, planimetric surveying	地物の平面的な位置を求める測量作業。トラバース測量・平板測量などがこれに属する。
平面直角座標系	へいめんちよっかくぎひょうけい		日本全国を19の地域に分割し、それぞれの地域に座標原点を設けたもの。（原則として）一つの都道府県が同一の座標系に含まれるように地域分けがなされている。メートル単位で使いやすいため、公共測量その他で広く利用されている。19座標系と称されることもある。
平面二次元場	へいめんにじげんば	horizontal two-dimensional field	垂直方向の流動がないと仮定し、水平方向の流動のみを取り扱う二次元の流動場。
平面破壊	へいめんはかい	plane failure	斜面内部に斜面と同方向の最大傾斜角をもつすべり面が存在し、この一面によって斜面崩壊が生じること。
平面ひずみ	へいめんひずみ	plane strain	二次元的なひずみの状態で、平面変形と同義語。トンネルのような長く連続した物体のように軸方向のひずみを0とみなせる状態。地質学的変形構造は平面ひずみとみなされる。
平面ひずみ状態	へいめんひずみじょうたい	state of plane strain, plane strain condition	すべての変形が一つの座標平面で生じ、第三の方向にひずみがない状態。無限に長い柱のひずみ状態に相当する。
平面ひずみせん断試験	へいめんひずみせん断しけん	plane strain shear test	平面ひずみ状態を保ちながら行うせん断試験。特定方向の垂直ひずみの発生を抑制しながら行う。
平面変形	へいめんへんけい	plane deformation	二次元的な変形状態。ひずみ主軸のある一つの方向にひずみがない状態。地質学的な変形構造は、平面変形と見なして解析されることが多い。平面ひずみと同義。
平面変形試験	へいめんへんけいしけん	plane strain shear test	平面ひずみせん断試験と同義。
ペイライン	ぺいらいん	pay line	支払線と同義。
並列導坑方式	へいれつどうこうほうしき	parallel drift method	トンネル掘削工法の一つで、本坑と並列に導坑を先進させて随時途中から本坑を掘削する方式。長大トンネルで採用。
平炉	へいろ	open-hearth	炉床が浅く、天井の低い反射炉。炉の内容物は直接炎に触れるのと、天井や壁からの放射熱の両方で加熱される。
ベーサルティル	ベーさるている	basal till	氷成堆積物の一種。氷河の運搬した岩屑の堆積物である氷礫土のうち基質部に分布するもの。底堆石ともいう。
ページ衝撃強度試験	ページしょうげききょうどしけん	Page impact strength test	円筒形に整形した供試体に対し、おもりを上部から落下させ、破壊した落下高さを衝撃強度とする試験。
ベースコンクリート	ベースこんくりーと	base concrete	トンネル覆工各部の名称の一つで、側壁コンクリート下底に設置されるコンクリート。

ベースサージ堆積物	ベースサーじたいせきぶつ	base surge sediment	マグマ水蒸気爆発などに伴う噴煙発生時に地表を高速で流れ下る噴出物によってできた堆積物.
ベースメタル	ベースめたる	basal metal	海底の基盤玄武岩とその直上の堆積物との間に産する重金属. 深海掘削コアで数種の重金属類が確認された.
ベースン	ベースん	basin	盆状の構造物や地形. 盆地構造・盆状構造・構造盆地・海盆・堆積盆地に対応する.
ベースンアンドレンジ区	ベースんあんどれーんじく	Basin and Range province	アメリカ西部からメキシコ中部にかけての地域で, 山脈・盆地が南北方向に走り第三系が分布する. アメリカにおける古典的フィールドの一つ.
β線	ベータせん	β-ray	高速度の陰電子または陽電子の流れ. 人工的に作られた高エネルギーの電子線を含む総称.
βダイヤグラム	ベータだいやぐらむ	β-diagram	ステレオネットにβ軸を示したダイヤグラム. 均一な構造特性を示す中で特定の面構造の走向と傾斜を多数測定し, これをネット上で大円として描き, その点集中を求めるもの.
β崩壊	ベータほうかい	β-decay	素粒子がベータ線を放出して他の核種に変わる現象. 中性子が陰電子を放出し陽子に変わる場合など.
ペーチャン層群	ペーちゃんそうぐん	Pechan Group	北海道枝幸の日高帯を構成する白亜系混在相. 5層に細分され, ペルム紀後期から三じょう紀(三畳紀)の化石を産す.
pH計	ペーはいけい	pH meter	pH(水素イオン濃度で定義される量)を測定する装置.
ペーパーゲージ	ペーパーげーじ	paper gage	ひずみゲージの一種. 台紙に金属細線を接着したもの.
ペーパードレーン	ペーパーどれーん	paper drain	紙質の帯状ドレーン材. 軟弱地盤の圧密促進のために鉛直方向に挿入する紙状の帯状透水材からなる人工排水路.
ペーパードレーン工法	ペーパーどれーんこうほう	paper drain method	パーティカルドレーン工法のうち, ドレーン材としてカードボード(ペーパー)を用いたもの.
ベアラ	ベアラ	bailer	坑井から水・砂・泥・スライム・油などをくみあげるための長い円筒形の器具.
ベーン試験	ベーンしけん	vane test, vane shear test	十字形の翼(ベーン)を先端につけたロッドを地中で回転させ, その抵抗値から原位置の土のせん断強さを測定する試験.
ベーン試験器	ベーンしけんき	vane apparatus	土のせん断強さを求めるベーン試験に使用される器具.
ベーンせん断	ベーンせんだん	vane shear	土中に十字形の羽を押し込み, それを回転させる回転時に必要な偶力を測定することで, 土のせん断強さを測定する試験.

ベーンせん断強度	ベーンせんだんきょうど	shear strength of vane test	ベーン試験によって求められる土のせん断強度。ベーンに外接する円筒状すべり面の最大抵抗値から求める。
ベーンせん断試験	ベーンせんだんしけん	vane test, vane shear test	ベーン試験と同義。
ペオリア・レス	ペおりあれす	Peoria loess	アメリカ、イリノイ州のペオリア付近を模式地とする第四氷期最盛期の風成堆積物。陸生軟体動物化石を多産する。
へき開（劈開）	へきかい	cleavage	結晶用語としては結晶構造により平行に割れる性質。岩石用語としては変形作用によって生じる細かく平行な面構造。
へき開（劈開）褶曲	へきかいしゅうきよく	cleavage fold	褶曲軸面に平行か、または褶曲軸面を対称面とした扇形の方向にへき開（劈開）が形成される褶曲。
へき開（劈開）面	へきかいめん	cleavage face, cleavage plane	岩石および結晶中のへき開（劈開）によりつくられた面。
壁岩	へきがん	wall rock	急傾斜の鉱床に接している岩石ないしは、急傾斜の貫入岩体と接している岩石。
碧玉	へきぎよく	jasper	主成分はSiO ₂ 。酸化鉄を主とする不純物を20%程度含む。断面は貝殻状、色調多岐。不透明で塊状・緻密な玉ずい（玉髓）。
ヘキサダイヤグラム	へきさだいやぐらむ	hexadiagram	水質分析から得られる主要溶存成分量を成分ごとに当量値に直し、6成分を六角形状に図示する方法。
ヘキサヘドライト	へきさへどらいと	hexahedrite	隕鉄の一種。鉄・ニッケルの合金でニッケル4～6%のカマサイトからなる。
碧ばん	へきばん	morenosite	NiSO ₄ ・7H ₂ O。斜方晶系。硬度2～2.5。比重1.95。透明～半透明で緑白色～緑色の繊維状結晶。モレノ石ともいう。ニッケル硫化鉱物の酸化分解生成物。
壁面土圧	へきめんどあつ	boundary pressure	地中構造物の側面に作用する圧力。
壁面土圧計	へきめんどあつけい	boundary pressure cell	構造物に作用する土圧を測定するために構造物の表面に設置される土圧計。
北京原人	ぺきんげんじん	<i>Homo erectus pekinensis</i>	更新世中期（約60～30万年前）のホモ・エレクトス。化石は北京郊外の周口店で1928～37年に発見。
ペグー統	ペグーとう	Pegu series	ミャンマーの第三系の主要産油層。貝やレピドシクリナの化石を多産し、6階に区分される。層厚3000m。
ベクタデータ	べくたでーた	vector data	空間オブジェクトを表現する基本方式の一つ。点、線、面から構成され、それぞれが座標により管理され正確に表現される。国土地理院の空間データ基盤（数値地図）はベクタデータからなる。

ヘクトパスカル	へくとばすかる	hecto-pascal	気圧で用いる単位。1パスカルの100倍に相当する。従来の1ミリバール=1ヘクトパスカル、現在は同じ大きさの単位として用いる。hPと表現する。
ベクトル	べくとる	vector	力のように大きさと方向・向きをもち平行四辺形の法則を用いて合成できる量をベクトルという。
ペグマタイト	ぺぐまたいと	pegmatite	巨晶からなる花崗岩質深成岩類で、長石などと石英が文象構造を形成する岩石。
ペグマタイト鉱床	ぺぐまたいところしょう	pegmatite deposit	有用鉱物を含むペグマタイト岩体で、窯業などの工業原料・希土類元素・宝石資源として重要である。
ペグマタイト鉱物	ぺぐまたいところぶつ	pegmatite mineral	マグマ分化末期の揮発分に富む残液から形成された巨晶からなるペグマタイトを構成する鉱物。希土類元素などが濃縮することがある。
平久里断層	へぐりだんそう	Heguri fault	活断層。確実度I，活動度B級，東西方向。房総半島の鴨川地溝の南縁を限る。延長15km。関東地震の際に約1mの段差が生じたとされている。
へげ石	へげいし	platy stone	鉄平石など自然状態で板状を呈する石材。張付けまたは石敷に使用される。
ベシキュラーラテライト	べしきゅらーらてらいと	vessicular laterite	大半の空洞が管状に繋がっている固く連続した構造を持つ塊状ラテライト。
ヘス地震計	へすじしんけい	HES seismograph	高感度電磁式地震計の一種。萩原尊礼らの考案によるもの。
ベスブ石	べすぶせき	vesuvianite	$(Al, Mg, Fe)_8Al_4(OH, F, O)_{10}(SiO_4)_{10}(SiO_7)_4$ 。正方晶系。硬度6~7。比重3.3~3.5。スカルンや火山岩中の石灰質捕獲岩中などに産する珪酸塩鉱物。柱面に明瞭な条線が見られ、光沢が強い。
戸田石	へだいし	Heda ishi	静岡県田方郡戸田村産の石材。第四系輝石安山岩で建築・土木・板石用に使用。
べた基礎	べたきそ	raft foundation, mat foundation	多くの柱や壁を一枚の基礎板で支える直接基盤の一種。構造物が重く地耐力が小さい場合に用いられる。
ベタフォ石	べたふおせき	betafite	$P(U, Ca)_2(Ti, Nb, Ta)_2O_6(OH)$ 。立方晶系。硬度4~5.5。比重3.7~4.5。緑褐~暗褐色。花崗岩質ペグマタイト中に産し、ウランを含み放射能が強い。
ペダルファー(土)	ぺだるふぁー(ど)	pedalfer (soil)	土壌分類の一つで、溶脱が進み酸化鉄・アルミナに富む土壌群。灰褐色土・退位チェルノーゼムなどが相当する。
ベッカーの理論	べっかーのりろん	Becker's theory	物体の破壊や流動とその際のひずみとの関係を示した理論。
ベックマン温度差計	べっくまんおんどさけい	Beckmann's thermometer	小さい温度変化をきわめて精密に計る水銀温度計で、ベックマンが考案した。

ベッケ線	べっけせん	Becke line	顕微鏡下で屈折率の異なる二つの物質が接しているときに、境界線に沿って見える明るい線。二つの物質の屈折率を比較できる。
別子型鉱床	べっしがたこうしょう	Besshi type deposit	主に黄鉄鉱・磁硫鉄鉱を主とし、珪酸塩鉱物に乏しい、緻密塊状の硫化物集合体からなる層状鉱床。
別子鉱山	べっしこうざん	Besshi mine	愛媛県新居浜市にあった銅鉱山。三波川変成岩中の海底玄武岩活動に伴う火山堆積鉱床が変成した層状含銅硫化鉄鉱床で「別子型」の名が与えられる。1973年閉山。
別子白滝横臥褶曲帯	べっししらたきおうがしゅうきょくたい	Besshi-Shirataki recumbent fold zone	高知県白滝鉱山から愛媛県別子鉱山にかけての両県境付近に存在する横臥褶曲構造を呈す地帯。
ベッセル工法	べっせるこうほう	vessel system	トンネルずり出し方法の一つ。切羽で発生したずりを複数のベッセル（鋼製容器）に入れて坑内に仮置きし、次のズリが発生するまでの間に坑外へ搬出する方式。コンテナ工法とも呼ばれる。
ベッセル楕円体	べっせるだえんたい	Bessel ellipsoid	(旧)日本測地系に採用されていた準拋楕円体で、ベッセル(1841)が子午線測量成果を用いて定めた地球楕円体によるもの。長半径6377.397km, 扁平率1/299.153。
ベッセルの振り子	べっせるのふりこ	Bessel's pendulum	重力の絶対値を測定するために作られた振り子。測定は比較的容易。
ベッセル法	べっせるほう	Bessel's method	平板測量で既知の3点を視準する事によって平板設置点の図上位置を求める後方交会法。
ベッターシュタイン石灰岩	べったーしゅたいんせつかいがん	Wettersteinkalk(独)	ドイツ・オーストリア国境付近の東アルプスの三じょう系(三畳系)に属す非常に厚い石灰岩層。上部層に金属鉱層を伴う。
ペッド	ぺっど	ped	粘土粒子が凝集した団粒。締固め土の構造を構成し、締固め特性を左右する。
ペッド構造	ぺっどこうぞう	ped structure	細粒土の基本構造をなす微細土粒子の集合体。
BET式	べっとしき	BET equation	土の比表面積を、土粒子表面への気体の単分子層吸着現象を利用して測定するとき用いる式。
ヘッド堆積物	へっどたいせきぶつ	head sediment, head deposit	周氷河作用による緩慢な移動により運搬された無淘汰～淘汰の悪い角礫質の斜面堆積物。
別畑石	べつばたいし	Betsubata ishi	福井県福井市別畑産の石材。新第三系凝灰岩で耐熱・耐寒性があり、石垣、板塀などに使用。
別府北断層	べっぷきただんそう	Beppukita fault	活断層。確実度I, 活動度B級, 東西方向。別府地溝の北縁を限る。総延長は23.9km。雛戸山・日出生・黒岳の3区域に分割。
別府-島原地溝	べっぷしまばらちこう	Beppu-Shimabara graben	別府-島原間に先中新統の地層分布がなく、負の重力異常が認められることから提唱された地溝性陥没構造。

別府湾中央断層	べっぷわんちゅうおうだんそう	Beppuwanchuo fault	活断層. 確実度 I, 活動度 A 級, 東西-西北西方向. 別府湾海底断層の一つで延長11.5km. 音波反射面の不連続により把握.
ペディメント	ぺでいめんと	pediment	乾燥地域の山地前面に浸食作用によってできる緩斜面. 通常, 薄い砂礫層に被われる. 山麓緩斜面の一種. 岩石扇状地が合成されてできるという説もある.
ベディングエラー	べでいんぐえらー	bedding error	一軸圧縮試験や三軸圧縮試験において供試体の上下面付近の緩みやキャップとのなじみが不完全であることに起因する軸ひずみに含まれる誤差.
ヘテロ接合	へてろせつごう	hetero-junction	二種類の異なる半導体間の接合で, 接合面での急峻なポテンシャル分布を利用して新しい半導体素子を作る.
ヘテロタクチック・ファブリック	へてろたくちっくふあぶりっく	heterotactic fabric	岩石を構成する部分ファブリックのなかに対称要素の方向が一致しないものがある場合のファブリックの対称性.
ペドカル	ぺどかる	pedocal	ペダルファーの対語. 溶脱が進まず遊離炭酸カルシウムや石膏を含む土壌群. チェルノーゼム・栗色土などが相当する.
辺土構造線	へどこうぞうせん	Hedo tectonic line	沖縄本島北端の断層. 本部帯が国頭帯に衝上する断層とされ, 仏像構造線に相当するものとされていたが現在は使用されていない.
ペドロロジー	ぺどろじー	pedology	土壌生成を研究対象とする土壌学の一部門で, 基礎土壌学ともいう.
ベナコントラクタ	べなこんとらくた	vena contracta, contracted flow	水門とびら下部などの開口部から噴出する水が, 開口部の近傍で開口部の幅よりも収縮した部分. 縮流.
ベナビスタ油田の活断層	べなびすたゆでんのかつだんそう	active fault at Buena Vista oil field	地震を伴わないクリーブ性の断層の代表例. カリフォルニア中部の油田で発見された衝上断層.
紅亜鉛鉱	べにあえんこう, こうあえんこう	zincite	ZnO. 六方晶系. 硬度4. 比重5.66. 通常塊状でオレンジ色ないし濃紅色の亜鉛鉱物. 稀な鉱物だが, 米国フランクリン鉱山などでは主要な鉱石鉱物.
紅鉛鉱	べにえんこう, こうえんこう	crocoite	PbCrO ₄ . 単斜晶系. 硬度2.5~3. 比重6.10. 深紅色または橙赤色で柱状の鉛鉱物. ダイヤモンド光沢がある. ウラルやブラジルなどに産する.
ベニオフ式地震計	べにおふしきじしんけい	Benioff seismograph	直結型の電磁地震計の代表的なもので, 数十万の倍率をもつ. 世界標準地震計の近地地震観測用として利用.
ベニオフゾーン	べにおふぞーん	Benioff zone	日本付近の地震は, 大陸側に近づくほど深い地震が発生する. この深発地震面をベニオフ (ベニオフ-和達) ゾーンと呼ぶ.
ベニオフ-和達ゾーン	べにおふわだちぞーん	Benioff-Wadati zone	海溝直下から大陸側に傾斜してマントル内部まで20~30km程度の厚さで分布する震源の帯. 和達-ベニオフゾーンが一般的.
紅縞大理石	べにじまだいりせき	Benijima dairiseki	岐阜県赤坂その他産の赤色酸化鉄に汚染された大理石. 赤縞大理石と同義.

ペネトロメータ	ペねとろめーた	penetrometer, penetrometer apparatus	円筒形ロッドの地盤への貫入時の摩擦および抵抗値から地盤の力学性を求める小型試験装置の呼称。
ベノト杭	ベのとぐい	Benoto pile	場所打ち杭の一種。掘削孔をケーシングで保護し、鉄筋建て込みのあとコンクリートを打込み杭を築造する。
ベノト工法	ベのとうほう	Benoto method	場所打ち杭工法の一つで、オールケーシング工法とも呼ばれる。掘削孔の全長をケーシングで保護するのを特徴とする。
ヘブリジーズ楕状地	へぶりじーずたてじょうち	Hebridean shield	スコットランド北西端からヘブリジーズ諸島に分布。先カンブリア紀の縞状片麻岩とミグマタイトからなる。
ペペライト	ペぺらいと	peperite	高温の溶岩や貫入岩脈などの火山岩と湿潤堆積物との爆発的な作用で形成される混合物。
ヘマタイト	へまたいと	hematite	Fe ₂ O ₃ 。三方晶系。硬度5～6。比重5.26。赤鉄鉱。金属光沢をもつ板状結晶。赤紫色のウロコ状の微晶。赤褐色粉状などを示す。マグヘマイトと同質二形である。本鉱は広範囲に分布し、大規模な鉄鉱床を形成する場合もある。
ベヨネース列岩	べよねーずれつがん	Bayonnaise Rocks	東京より南へ320kmの海上にあるソレイト質玄武岩からなる小岩礁。海底火山の外輪山の西縁を占める。
ヘリウム同位体比	へりうむどういたいひ	helium isotope ratio	質量数が3と4の同位体比(³ He/ ⁴ He)。 ³ Heはマグマ活動の鋭敏な指標で、群発地震の発生の解明に利用される。
ヘリウム反応	へりうむはんのう	Helium burning	巨星の中心部で生じる核融合。ヘリウム反応が始まると星は再び収縮して巨星時代を終えるものと考えられている。
ペリクリン双晶	ぺりくりんそうしょう	pericline twinning	菱形の接合断面をもつ平行双晶で、火成岩・変成岩中の斜長石、三斜晶系のアルカリ長石などに普遍的に見られる。
ペリクレーズ	ぺりくれーず	periclase	MgO。立方晶系。硬度5.5。比重3.56。岩塩型構造を示す鉱物の一種で、苦灰岩（ドロマイト）の変成により産出する。
ベリリウム鉱床	べりりうむこうしょう	beryllium deposit	珪長質火成活動に伴うペグマタイトや熱水鉱床に濃集した緑柱石、ベルトラン石、バリライト、ヘルバイトなどを鉱石鉱物とする鉱床。
ベリロメータ	べりろめーた	berylometer	ベリリウム鉱石探鉱のための検出装置。α線などをあて、発生する中性子を計数して含有率を求める。
ベルエルビーはんれい岩（斑糲岩）体	べるえるびーはんれいがんたい	Belhelvie gabbro complex	スコットランドのアバディーン北方に分布する複数の岩相からなる火成岩体はんれい岩（斑糲岩）や超苦鉄質岩からなる。
ベル型基礎	べるがたきそ	bell-type foundation	水中に予め施工された杭基礎などの上にプレパックドコンクリートでフーチングを構築する基礎。
ベルギー式掘削法	べるぎーしきくっさくほう	Belgian excavation method	トンネルを頂部導坑から掘削を始め、上半部を切抜げてアーチ部を覆工した後、下半部を掘削して覆工する工法。

ヘルグロツワー ウィーヘルトの 方法	へるぐるつつうい へるとのほうほう	Herglotz-Wiechert method	マントル中の地震波速度の分布を走時曲線から計算する方法で、アーベルの積分方程式の一種を解析に応用したもの。
ヘルシニア弧	へるしにあこ	Hercynian arc	中部ヨーロッパのバリスカン山地の東半部分、すなわちヘルシニア方向をもつ部分。バリスカン弧と同義。
ヘルシニア造山 運動	へるしにあぞうざん うんどう	Hercynian orogeny	石炭紀に最盛期になった造山運動。標準地は中部ヨーロッパ。日本・ドイツではバリスカン造山運動とよぶ。
ヘルダーバーグ 統	へるだーばーぐとう	Helderbergian series	米国ニューヨーク州ヘルダーバーグ山地に分布する下部デボン系。主として石灰岩と砂岩からなる。
ベルト型高圧装 置	べるとがたこうあつ そうち	belt-type high-pressure apparatus	ピストンシリンダー型高圧装置の一種。3000°C、10GPa以下の範囲で鉱物の合成が可能。
ベルト造山帯	べるとぞうざんたい	Beltian orogenic belt	カナダ楕状地南方の北米西部コルディレラ山系中央部の先カンブリア紀末期ベルト統分布域の造山帯。
ベルト統	べるととう	Beltian series	北米西部コルディレラ山系に分布する非変成の原生界の厚層。頁岩を主とし、石灰岩・砂岩・珪岩を挟在する。
ベルナナデッケ	べるになでつけ	Bernina decke	スイス・イタリア国境東部に分布するペンニンデッケ群の最上部。シート状異地性岩体。
ベルヌイ法	べるぬいほう	Verneuil method	火炎溶融法ともいわれる。人工宝石などの単結晶を合成する方法。
ベルヌーイーオ イラーの仮定	べるぬーいおいら のかてい	Bernoulli-Euler's theorem	梁供試体の中立軸に垂直な断面は、曲げモーメントにより曲げられても平面を保つという仮定。
ヘルベチア帯	へるべちあたい	Helvetic belt, Helvetic zone	スイスアルプスの北半分で、南のペニン帯と北のモラッセ帯の間の地帯。上部石炭系～古第三系からなる。
ヘルベチアデッ ケ	へるべちあでつけ	Helvetic decke, Helvetic nappes	ヘルベチア帯に特徴的なデッケ群。北に倒れた横臥背斜群を形成している。
ベルホヤンスク 地向斜	べるほやんすくちこ うしゃ	Verkhoyansk geosyncline	極東ロシアのベルホヤンスク山脈地域に分布すると考えられた石炭紀～ジュラ紀の地向斜。地向斜による造山論は現在あまり議論されていない。
ベルマウスオリ フィス	べるまうすおりふ いす	bell-mouth orifice	釣鐘あるいは朝顔型の外側ほど開いた形状を持つ流入口。
ベルマウス式洪 水吐き	べるまうすしきこう ずいばき	bell-mouth spillway, morning glory spillway	上に開いた朝顔型の流入口を持つ洪水吐き。
ヘルマンモー ガンの記号	へるまんもーが んのきごう	Hermann-Mauguin symbols	結晶の属する点群あるいは空間群を表わす国際的な表記法の一つで、現在最も広く用いられている。

ペルム紀	ペルむき	Permian(period)	古生代最後の紀(約2.5~2.9億年前)。二じょう(疊)紀と同義語。
ペルム系	ペルむけい	Permian system	ロシアの西ウラル地方ペルムに分布する海成層を模式地とする古生代ペルム紀の地層。
ヘルメルトの公式	へるめるとのこうしき	Helmert's formula	重力の大きさを、その場所の測地的緯度、海面からの高さで表す式。
ペレー式噴火	ペレーしきふんか	pele type eruption	西インド諸島、ペレー火山の噴火で代表されるような、安山岩-デイサイト質マグマに特徴的な、爆発的で熱雲を伴う型式の噴火。
ペレーの毛	ペレーのけ	Pele's hair	火山の爆発的噴火に伴い溶岩が糸状に引き伸ばされ、固結した天然ガラス。ハワイや伊豆大島などの低粘性マグマに特徴的。ペレーは、ハワイのキラウエア火山の火口内に住んでいると信じられている女神の名前に由来。
ペレーの涙	ペレーのなみだ	Pele's tear	火山の爆発的噴火の際、主として粘性の低い溶岩の飛沫が球状に固結したガラス質の表面をもつしずくの形をした粒子。
ペレット	ペれっと	pellet	粉体を団子状に固めたもの。あるいは、これを乾燥・焼成したもの。例えばベントナイトペレット。
ヘルナイズ造山帯	へれないずぞうざんたい	Hellenides orogenic belt	アルバニアからギリシアに至る地帯。主に三じょう系(三疊系)~古第三系からなり、全体に西側(外側)ほど新しい。
ヘレフリンタ	へれふりんた	Hälleflinta(独)	石英・斜長石を主成分鉱物とする細粒緻密な変成岩。流紋岩・酸性凝灰岩などが接触変成作用を受けて生じた岩石。
ベロー圧力計	べろーあつりょくけい	bellows gauge	ひだのある蛇腹形をしたベローが、軸方向に加わった圧力によって弾性的に変位することを利用した圧力計。
ベロニーテ	べろにーて	belonite	火山体の分類命名型の一つ。粘性の高いマグマが溶岩の柱として火口上に突出したもの。火山岩尖ともいう。
ベロモリーズ	べろもりーず	Belomorides	バルト楯状地東側ロシアのコラ半島から南東のカレリアに分布する始世代の片麻岩-花崗岩帯。
変-	へん	meta-	後続岩石名の原岩から生成した変成岩群をさす接頭語。変はんれい岩(変斑糲岩)・変堆積岩などに用いる。
偏圧	へんあつ	unsymmetrical earth pressure	トンネルなどに作用する左右何れかに片寄って働く圧力。斜め地形の坑口や膨張性地山などに多くみられる。
変厚アーチダム	へんあつあーちだむ	variable thickness arch dam	水平断面図上で場所により厚さの異なるアーチダム。
偏圧地形	へんあつちけい	unsymmetrical pressure topography	トンネルなどに作用する地圧が左右で著しく不均等な状態の原因になる地形。一般に急傾斜地で浅い位置にトンネルを掘削する場合に偏圧が作用し、崖錐斜面や地すべり地などで顕著。

変位	へんい	displacement	①地層・地形の原形態からの位置の変化のこと。 ②物体がその位置を変えること。
変位応答スペクトル	へんいおうとうすべくとる	displacement response spectrum	一自由度系の最大応答で表した構造物の振動の大きさを表す指標のうち、質点に生じる応答として変位で表したもの。
変位河谷	へんいかこく	offset stream	横ずれ断層の活動によって変位した河谷。活断層の認定や変位量がわかる。横ずれ谷という場合もある。
変位型地震計	へんいがたじしんけい	displacement seismograph	地震時の変位を忠実に測定するために、振子の周期を長くする工夫をした地震計。
変位基準	へんいきじゅん		層理面や不整合面のようなある一定の広がりをもって連続的に分布しているもので、変位の有無を知りうる目印のこと。
変位くい違い法	へんいくいちがいほう	displacement discontinuity method (DDM)	クラックを有する弾性体の数値解析法の一つ。クラック面の相対変位を直接変数とする。変位不連続法と同義。
変位計	へんいけい	displacement seismometer	特に固有周期を長くして、地盤の振動の変位を測るための地震計。変位型地震計、変位地震計と同義。
変位計	へんいけい	displacement meter, displacement transducer	2点間の長さの変化を測定する計器。機械式、電気式、接触式、非接触式など多くの種類がある。
変位地震計	へんいじしんけい	displacement seismograph	地盤振動の変位が測定できる地震計。変位出力が直接得られるもの、加速度や速度を積分するものがある。
偏位修正	へんいしゅうせい	rectification	斜め撮影された写真を鉛直撮影した状態のように補正すること。
変位振動計	へんいしんどうけい	displacement vibrometer	地盤や構造物の振動を変位量の時間的变化として計測する装置。
変位スペクトル	へんいすべくとる	displacement spectrum	地盤振動の変位を表す関数 $f(t)$ をフーリエ変換し、周波数関数 $F(\omega)$ で表したもの。
変移点	へんいてん	transformation point	物質が一つの状態からそれとは異なる別の状態へ変化（転移）する温度のこと。
位相特性	へんいとくせい	phase characteristics	振動を扱う測定器・記録器などの周波数特性の一つで、周波数と位相ずれとの関係。
変位不連続法	へんいふれんぞくほう	displacement discontinuity method (DDM)	変位くい違い法と同義。
変位不連続面	へんいふれんぞくめん	displacement discontinuity, displacement plane	変形不連続面のうち、境界面沿いに隣合うせん断領域が相対的に移動した場合の境界面。変位面と同義。

変位変成作用	へんいへんせいさよう	dislocation metamorphism, kinetic metamorphism	岩石が変位に伴って変形・破碎される作用。再結晶作用をほとんど伴わない。動力変成作用と同義。
偏位法	へんいほう	deflection method	計測系の出力を直接測定する方式。ひずみゲージの抵抗変化をブリッジ回路の出力電圧から直接測定する方法がこれに当る。
変位面	へんいめん	displacement plane, displacement discontinuity	変位不連続面と同義。
変塩基性岩	へんえんきせいがん	metabasite	変成作用を受けた塩基性岩。原岩ははんれい岩（斑糲岩）・玄武岩などの塩基性火成岩。一般に片理に乏しい塊状岩。
辺縁準平原	へんえんじゅんへいげん	marginal peneplain	隆起準平原の周囲に発達する低位準平原で両面の境目はやや明瞭な傾斜面をなす。
偏角	へんかく	declination	①真北と磁北とのなす角。 ②基準直線に対してなす角。
偏角計	へんかくけい	declinometer	地磁気の偏角を測定する計器。地理学上の真北と磁北とのなす角を偏角と呼ぶ。
変化帯	へんかたい	variable belt	①海岸に近い所で、場所により堆積物の種類が異なり、変化の著しい部分。 ②性質や種類が移り変わる漸移部。
ベンガル片麻岩	べんがるへんまがん	Bengal gneiss	インド盾状地北東部に分布する片麻岩類。主として、黒雲母片岩～片麻岩からなる。原生代の変成作用による。
片岩	へんがん	schist	広域変成岩の一種。結晶片岩と同義。鉱物が一定方向にならび片状構造を特徴とし変成以前の岩石と異なった性質の岩石となったもの。
変換器	へんかんき	transducer	振動や圧力など各種の非電気的な物理量を電気信号にして出力する装置。狭義にはセンサと同じ。広義的には、この逆の変換を行なう装置を含む。可動コイル型、圧電型などがある。
変換波	へんかんは	converted wave	不連続面に入射したP波やS波などが透過・屈折・反射する際に他の波動に変換された波。
変朽安山岩	へんきゅうあんざんがん	propylite	熱水変質を受けた安山岩で、緑泥石・緑れん石（緑簾石）・方解石・石英・黄鉄鉱が生成されている。最近では岩石名として使用されない。むしろ類似の変質作用を意味する。
変輝緑岩	へんきりよくがん	metadiabase	弱い変成作用を受けた輝緑岩。輝緑岩組織を有し、再結晶による緑泥岩・緑れん石（緑簾石）などを生じている。
変形	へんけい	deformation	物体に外から力を加えた場合、その物体が位置や大きさや形を変えながら運動する、その連続的な変位のこと。
変形係数	へんけいけいすう	modulus of deformation	土のせん断試験において得られる軸ひずみ～軸応力曲線の勾配。線形弾性理論による弾性体のヤング係数に相当する。また岩盤変形試験においては荷重（応力）－変位曲線のうち、新規載荷荷重時の包絡線の勾配から算出し、割れ目によるゆるみなどを含めた岩盤の変形特性を表す。

変形後再結晶	へんけいごさいけっしょう	posttectonic recrystallization	変形運動を受けた後に静的応力場で、もとあった結晶のひずみのエネルギーにより生じた再結晶作用。
変形作用	へんけいさよう	deformation	岩石・地質体の形状あるいは大きさが、断層・褶曲・流動などの造構作用を受けて変化すること。
変形時再結晶	へんけいじさいけっしょう	syntectonic recrystallization	変形作用を受けながら行われる再結晶作用。再結晶鉱物は外形が不規則でも著しい定向性を示す。
変形性	へんけいせい	deformability	変形特性と同義。
変形双晶	へんけいそうしょう	deformation twin	双晶すべりによって形成される双晶。機械的双晶と同義。
変形楕円体	へんけいだえんたい	deformation ellipsoid	ひずみ（歪）楕円体と同義。均一変形で球体から変化した楕円体。
変形抵抗	へんけいていこう	deformation resistance	流体中に置かれた固体の抵抗の一種。流速が小さいかあるいは粘性流体の場合、粘性の影響が固体より遠くまでおよび、流水を変形させる場合の抵抗。
変形汀線	へんけいていせん	deformed shoreline	同一水準であった旧汀線が、後の地殻変動により変形し、その高度が異なってしまったもの。
変形特性	へんけいとくせい	deformation characteristic	各種の試験を行うことによって明らかとなる岩盤の変形に関する特徴。
変形ファブリック	へんけいふあぶりっく	deformation fabric	変形に伴う要素運動（鉱物結晶の回転、礫・化石の変形など）によって生じた岩石組織の模様。
変形余裕	へんけいよゆう	allowable deformation	所定の内空断面を確保するため、トンネル掘削により発生する変形に対し、当初余裕をもった値を設定すること。
変形余裕量	へんけいよゆうりょう	allowances of deformation	トンネル掘削における地山条件により異なる変形量に対する余裕量。計測管理の目標値とする値。
変形ラメラ	へんけいらめら	deformation lamella	変形作用によって生じた結晶内にみられる板状または葉片状の構造。
変形率	へんけいりつ	strain	ひずみと同義。外力によって生じた物体の単位長さ、単位体積、単位角度の変化をいう。
変形率変化法	へんけいりつへんかほう	deformation controlled method	繰り返し載荷で生じる岩石試料のひずみの差を用いて、試料が過去に被った最大応力を推定する方法、DR法、DRA法とも呼ばれる。
偏光顕微鏡	へんこうけんびきょう	polarization-microscope	互いに光の振動方向が直交する2枚の偏光板（ポラライザーとアナライザー）や回転台を備え、鉱物の偏光に対する性質の違いなどから鉱物や岩石の識別に用いる。

偏光子	へんこうし	polarizer	偏光顕微鏡の偏光プリズム（下方ニコル）．光の振動方向を1方向に絞る．
偏光ニコル	へんこうにこる	polarizing nicol	偏光顕微鏡に付随する偏光装置．透明な方解石の結晶を，光学軸に対して特定方向に切り組み合わせた偏光装置．
偏光フィルタ	へんこうふいるた	polarizing filter	ある特定の振動方向を有する光のみを透過させるフィルタ．
偏光面	へんこうめん	plane of polarization	磁場の振動方向と伝播方向を含む面のことをいうが，用語が紛らわしく，現在は使われない．
偏差	へんさ	deviation	①あるデータとそれが属するデータ群の平均値との差． ②標準となる値・位置・方向などからの偏り．
偏差応力	へんさおうりよく	deviatic stress	三軸応力状態で三方向のそれぞれの垂直応力と平均垂直応力との差．塑性変形理論において重要な意味をもつ．
編柵工	へんさくこう	wicker works	山腹，溪流，海岸において丸太の杭を打ち，その間を柳などの樹枝で編み込んで柵を作る砂防工事．
編柵ダム	へんさくだむ	wicker dam	砂礫の流出を防止するため松などを杭として打ち，柳などの樹枝を編んで作った応急的な砂防ダム．
偏差計	へんさけい	gradiometer	物理量の空間的な分布の勾配を測定する計器．傾度計ともいい，重力の勾配を測定する重力偏差計などがある．
偏差ひずみ	へんさひずみ	strain deviation	ある面に作用する応力を等方性応力（静水圧）と偏差応力に分割した場合の偏差応力に対するひずみ．
変質	へんしつ	alteration	風化作用および熱水作用によって，岩石中の成分が移動・濃集したり，特有の変質鉱物が生じるなど化学的鉱物学的な変化のこと．
変質安山岩	へんしつあんざんがん	propylite	変朽安山岩（プロピライト）と同義．
変質仮像	へんしつかざう	pseudomorph by alteration	仮像の一種．仮像のうち成分の増加・損失・一部置換によるもの．すべてが交代されたものは交代仮像．
変質岩	へんしつがん	altered rock	熱水や火山ガスによる変質作用を受けた岩石．プロピライト化作用に伴う緑泥石など，変質鉱物を生じた岩石．
変質鉱物	へんしつこうぶつ	alteration mineral	熱水変質作用によって生じた鉱物．主に粘土鉱物や沸石類などの含水珪酸塩鉱物・炭酸塩鉱物・硫酸塩鉱物など．
変質指数	へんしつしすう	index of alteration	飽和含水率のこと．同種・同質の岩石の場合に風化の指数となる． $I(\%)=100 \times ((\text{飽和含水量(重さ)} / (\text{乾燥重量}(105^\circ\text{C})))$ で表す．

変質帯	へんしつたい	alteration zone	鉱脈などを中心にして変質作用がおよんだ範囲。複数のタイプの変質帯が累帯配列を示すことが多い。
変質ハロー	へんしつはろー	alteration halo	鉱脈または鉱体を中心として母岩に変質作用がおよんだ範囲。特徴ある鉱物の組合わせが累帯をなすことが多い。
変質分帯	へんしつぶんたい	alteration zoning	変質累帯と同義語。熱水変質作用で活動中心から外側に温度に支配されて鉱物種が変化するなど、いくつかの変質帯が空間的に示す分布様式。
変種	へんしゅ	variety	動物分類学では種内のあらゆる変異型をさす多義的概念。植物命名規約では亜種と品種の間の分類階級。
片状	へんじょう	schistose	変成岩の構造の一つ。板状・柱状または針状の鉱物がお互いに平行に並び片理を有すること。
片状構造	へんじょうこうぞう	schistose structure, schistosity	片理と同義。板状・柱状などの鉱物が平行に配列するために形成される線状・面状構造。
変状土	へんじょうど	disturbed soil	自然状態における構造を乱してしまった試料土。乱した土ともいう。
変状トンネル	へんじょうとんねる	deformed tunnel	経時変化による老朽化・地山条件の変化などが原因で覆工に亀裂・目地切れ・剥離・変形などが発生したトンネル。
片状ホルンフェルス	へんじょうほるんふえるす	schistose hornfels	片状構造をもつホルンフェルス。接触変成帯の中の比較的低温部に形成される。
ペンシルバニア紀	ぺんしるばにあき	Pennsylvanian (period)	アメリカにおける上部石炭紀の呼称。ペンシルバニア炭田が分布する。下部石炭紀は、ミシシッピー紀。
ペンシルバニア系	ぺんしるばにあけい	Pennsylvanian, Pennsylvanian system	北米の上部石炭系で、模式地はペンシルバニア州。海成層と陸成層の周期的堆積（サイクロセム）が特徴。
偏心	へんしん	eccentricity	同一線上にあるべき複数の点の位置が相互にずれていること。例えば、回転軸の偏心など。
偏心荷重	へんしんかじゅう	eccentric load	軸力が物体の断面の中心から偏心した位置に作用するとき、この軸力を偏心荷重という。
偏心傾斜荷重	へんしんけいしゃかじゅう	eccentric and inclined load	基礎に加わる荷重のうち、その作用点が基礎の中心からはずれ、しかも鉛直方向から傾斜しているもの。
変水位透水試験	へんすいいとすいしけん	fallig head permeability test	水位の時間的变化から透水係数を求める試験。比較的透水係数の小さい細砂やシルト質土に適する。
変水位法	へんすいほう	fallig head permeability test	変水位透水試験と同義。

変水層	へんすいそう	metalimnion	湖水や海湾に形成される成層において、水温・密度・塩分などの鉛直勾配の大きい層。躍層と同義。
ペンストック	ぺんすとつく	penstock	水圧管路と同義。
変成岩	へんせいがん	metamorphic rock	火成岩や堆積岩などが造山運動や火成作用などによる圧力や熱を受けて再結晶した岩石。
変成グレーワック ケ	へんせいぐれーわっ け	metagraywacke	片理に乏しい弱変成の硬砂岩（グレーワッケ）。ニュージーランドの南島などに発達。
変成鉱床	へんせいこうしょう	metamorphic deposit, metamorphosed deposit	変成作用により特定の鉱物や成分が濃集したものと、既存の鉱床が性質を変えたものがある。
変成作用	へんせいさよう	metamorphism	既存の堆積岩や火成岩が、形成時とは異なる温度・圧力などの条件下で、固体のまま鉱物組成や組織を変える作用。
変成相	へんせいそう	metamorphic facies	一定範囲の温度と圧力条件下で変成したと考えられる岩石を、鉱物組成・鉱物組合せによって変成岩の変成の程度を表現した区分。
変成相系列	へんせいそうけいれ つ	metamorphic facies series	一つの変成帯において、変成温度（圧力）の高低に応じて生成した変成相の配列。
変成帯	へんせいたい	metamorphic belt, regional metamorphic belt	広域変成帯を略したものでプレートの沈込みや衝突帯で形成され、いくつかの変成相が帯状に配列する。
変成度	へんせいど	metamorphic grade	変成岩が原岩から変化した程度。温度・圧力に対応して化学組成に応じた鉱物組み合わせが決まる。
偏西風	へんせいふう	westerlies, westerly	両半球の中緯度地方に卓越中心をもつ西から東への大気の運動。地表では偏西風帯と呼称される。
変成分化作用	へんせいぶんかさよ う	metamorphic differentiation	変成作用において成分の移動を生じる現象。一様均質な岩石が縞状などの不均質な岩石となる。
変成分帯	へんせいぶんたい	metamorphic zoning	変成岩地域を、ある鉱物の出現または消滅に注目して、境界線（アイソグラッド）により分割すること。
偏相関係数	へんそうかんけいす う	partial correlation coefficient	重回帰分析において他の変数の影響を取り除いて、純粹に2変数間のかかわり合いを示すもの。
変堆積岩	へんたいせきがん	metasedimentary rock	弱い変成作用を受けた堆積岩。堆積構造や堆積物質が残っており堆積岩起源とわかるもの。
ベンチ	べんち	bench	①海食崖の後退により形成される海岸付近の波食棚。 ②トンネルや斜面のベンチカット掘削によって作られる段。

ベンチカット	べんちかつと	benched excavation	斜面の切取り・トンネル・地下空洞の掘削などを階段状に行うこと。
ベンチカット工法	べんちかつとこうほう	bench cut method, bench method, heading-and-bench method	①上部半断面を先行掘削し、後から下部半断面を下向きの発破孔によって掘削するトンネル掘削工法。 ②原石山などで階段状に切り下げる掘削工法。
ベンチ式掘削	べんちしきくっさく	bench method	上部半断面を先に掘削して逐次下方に及ぶ多段式ベンチ工法。大断面のトンネルで切羽が大きい場合や、地質が悪くショートベンチでは問題がある場合に適用。
ベンチマーク	べんちまーく	bench mark	水準点と同義。
ベンチュリ計	べんちゅりけい	venturi meter	管路の流量を測定する計器。管路に狭さく部を設置し、狭さく部断面と狭さく部入口断面との差圧によって流量を知る。
ベンチュリフリューム	べんちゅりふりゅーむ	venturi flume	開水路の流量を測定する構造物。水路の途中に狭さく部を設置し、水路の狭さく部と狭さく部入口との水位差によって流量を知る。
偏土圧	へんどあつ	unsymmetrical earth pressure	偏圧と同義。
変動過剰間隙水圧	へんどうかじょうかんげきすいあつ	change excess pore water pressure	地下水位の変化に対応して変動する過剰間隙水圧。
変動間隙水圧	へんどうかんげきすいあつ	change pore water pressure	不飽和の状況や地下水位変動により変動する間隙水圧。
変動係数	へんどうけいすう	variation coefficient	標準偏差を求め、これを平均値で除した値を百分率で表示したもの。
変動時火成作用	へんどうじかせいさよう	synkinematic magmatism	地向斜が発達した後に起こる、大規模な褶曲などの地殻変動を伴う火成活動。
変動水圧作用	へんどうすいあつさよう	wave pressure	地盤内の間隙水圧に伝播し液状化を発生させるような作用をもたらす地表面に働く水圧変動。
変動帯	へんどうたい	mobile belt, mobile zone	地震・火山活動や地殻変動が活発なゾーン。楕状地などの安定地塊の周辺に分布する。プレートの境界にほぼ一致する。
変動地形	へんどうちけい	tectonic landform, tectonic relief	地殻変動により直接形成された地形。傾動、褶曲、断層運動などにより形成された地形。
変動有効応力	へんどうゆうこうおうりょく	change effective stress	変動間隙水圧により変動する有効応力。
ベントナイト	べんとないと	bentonite	モンモリロナイトを主成分とする粘土の総称で、水を含むと膨張する。ボーリング用泥水などに用いる。

ベントナイト鉱床	べんとないとうしょう	bentonite deposit	モンモリロナイトを主成分とする粘土鉱床．層間イオンの種類により，Na型とCa またはMg型があり，Na型が強膨潤性を示す．
ベントナイト処理	べんとないとしより	bentonite treatment	ベントナイトが膨潤性をもつことを利用して行なう止水処理などの総称．
ベントナイト泥水	べんとないとでいすい	bentonitic mud	ボーリングに使用される泥水の種類．清水をベースに，ベントナイト7～10%とその他調泥剤を加えた泥水．
ベントナイトモルタル	べんとないともるたる	bentonite mortar	穿孔建込み杭・穿孔鋼矢板・地下連続壁などの施工で削孔内に孔壁保護を兼ねて充填されるベントナイト・フライアッシュ・モルタルの混合物．
ベントナイトモルタル注入基礎	べんとないともるたるちゅうにゅうきそ	bentonite-mortar injected foundation	沈埋トンネルの基礎工法の一つ．仮置された沈埋函と底面の隙間にベントナイトモルタルを注入する．
ペンニン帯	ぺんにんたい	Penninic belt	西アルプス南半部で北へ押しつぶされたデッケが6枚重なる構造の地帯．下位ほどアルプス造山の影響が強い．
ペンニンデッケ	ぺんにんでつけ	Penninic nappe, Penninic decke	西アルプスのペンニン帯を構成するデッケ群のこと．結晶質岩からなり，通常6枚に分けられる．ペンニンナップとも呼ぶ．
編年	へんねん	geochronology, geological chronology	地質学的編年のこと．化石や地球磁場の逆転などを基準に地質時代を区分すること．
変半径アーチダム	へんはんけいあーちだむ	variable radius arch dam	水平断面における形状曲線の曲率が，中央からアバウトメント方向に向って連続的に小さくなるアーチダム．
変はんれい岩 (変斑糲岩)	へんはんれいがん	metagabbro	弱い変成作用を受けたはんれい岩 (斑糲岩)．原岩の輝石は角閃石，緑泥石化し，斜長石はソーシューライト化しているが組織や鉱物あるいは鉱物の外形を部分的に残している．
変分原理	へんぶんげんり	variation principle	微分方程式で表される物理法則を変分法の方程式の形で表すこと．代表的なものにハミルトンの原理がある．
変分法	へんぶんほう	calculus of variation	数値計算法の一つ．未知の関数 $y(x)$ とその導関数を含む定積分の値が停留値を与えるように $y(x)$ を定める方法．
扁平度	へんぺいど	flatness	砂礫の形態による記載法の一つで，球形度・円磨度などと同様な数値表示法．礫が扁平か球形かを示すもの．河川礫と海浜礫を区別するのに有効．
扁平比	へんぺいひ	flatness ratio	楕円の形状で，二つの主軸の半径を $a, b(a>b)$ として， $(a-b)/a$ によって現されるもの．
片麻岩	へんまがん	gneiss	片麻状組織をもつ広域変成岩．片状構造が不明瞭で黒色と白色の粗粒な縞状組織をもつことが特徴．
片麻状	へんまじょう	gneissose	変成岩や深成岩で，鉱物組織の違う薄層またはレンズ状体が重なってできた縞状組織をもつもの．

片麻状花崗岩	へんまじょうかこう がん	gneissose granite	片麻状の組織をもつ花崗岩。一般には花崗岩の固結時に地殻変動を受けて生成。本州の領家変成帯などにみられる。
片麻状構造	へんまじょうこうぞう	gneissose structure	完晶質等粒状で、優黒色鉱物と優白質鉱物との縞状、互層状の構造。
片麻状組織	へんまじょうそしき	gneissose texture	片麻状構造とほぼ同義。片麻状構造より微細な場合として用いることがある。
片理	へんり	schistosity	結晶片岩などにみられる剥離しやすい面状、線状の構造。板状・葉片状などの鉱物が平行に並ぶことによる。片状構造とも。
片理面	へんりめん	schistosity plane	片理の発達によって平行に割れやすくなった面。
ボアスコープ	ぼあすこーぷ	borescope	ボアホール内壁の地質構造や亀裂、およびケーシングの状態などの視認のための光学機器。
ポアソン固体	ぼあそんこたい	Poisson solid	等方弾性体であり、ラメの弾性定数 λ と μ が等しいために、ポアソン比が $\nu=1/4$ となる固体。
ポアソン数	ぼあそんすう	Poisson's number	ポアソン比の逆数。弾性体に応力を作用させた時、軸直角方向のひずみと軸方向のひずみとの比。
ポアソンの方程式	ぼあそんのほうてい しき	Poisson's equation	$\Delta\mu=-P$ (P :場所の関数)の形で表わす2階偏微分方程式。重力ポテンシャルなど色々な物理量に関係する。
ポアソン比	ぼあそんひ	Poisson's ratio	弾性体に張力または圧力を加えたときの横ひずみの縦ひずみに対する比。岩石の一軸・三軸圧縮試験時の縦ひずみ・横ひずみの比(静的ポアソン比)または岩石・岩盤のP波速度・S波速度から算出される(動ポアソン比, 動的ポアソン比)が、一般に後者の方が大きい。
ポアソン分布	ぼあそんぶんぷ	Poisson distribution	離散的確率分布の一種で時間的にランダムに発生する事象の出現回数の確率分布をよく表わすことができる分布。
華清池地すべり	ほあちんちじすべり	the Hoachinchi landslide	中国陝西省の西安の東北約30kmの驪山の山腹斜面で発生。西側斜面のものは幅80~200m, 長さ350mの大規模な複合地すべり。
ボアホール	ぼあほーる	borehole	ボーリング孔と同義。
ボアホール圧力回復試験	ぼあほーるあつりよ くかいふくしけん	borehole pressure recovery test	ボアホール内で回復法により透水係数を算出する試験で透水係数が $10^{-5}\sim 10^{-7}$ m/sオーダーの地層が対象。
ボアホールカメラ	ぼあほーるかめら	borehole camera	ボーリング孔内に挿入し、孔壁を直接観察するためのカメラ。
ボアホールキャリパー	ぼあほーるきやり ぱー	borehole caliper	3本のバネ付きのアームを取り付けた器具で、ボーリング孔の各深度での孔径を測定するために用いる。

ボアホール傾斜計	ぼあほーるけいしゃけい	borehole tiltmeter	ボーリング孔内で、ある測定点の傾斜を測定するもの、ガイドパイプにより連続して測定できるものがある。
ボアホール痕跡測定器	ぼあほーるこんせきそくていき	borehole impression device	熱可塑性フィルムをボアホールの側面に押し付けることにより、孔内の節理や不連続面などを記録する器具。
ボアホールジオフィジックス	ぼあほーるじおふいじっくす	borehole geophysics	地表および坑井データを結びつけ、地中構造をより高度に評価・判断するための物理探査技術を総称した言葉。
ボアホールジャッキ	ぼあほーるじゃっき	borehole jack	孔壁に密着させた剛性載荷版を特殊小型ジャッキにより横方向に加圧するタイプの孔内載荷試験器。
ボアホールジャッキ試験	ぼあほーるじゃっきしけん	borehole jack test	ボアホールジャッキによる孔内載荷試験。地盤の横方向K値、変形係数、弾性係数、降伏強度が直接得られる。
ボアホール重力計	ぼあほーるじゅうりょうくけい	borehole gravimeter	ボアホール中を降下させて測定する遠隔記録の重力計。任意の深さにおける重力を測定でき、地中の密度の変化を知ることができる。坑井重力計ともいう。
ボアホールスキャナ	ぼあほーるすきやな	borehole scanner	①ボーリング孔の孔壁展開画像が得られる装置。円錐鏡を用いて同時に全周画像を得る形式、孔軸に斜交した平面鏡を回転させて全周画像を得る形式などがある。 ②坑井内全周を超音波で連続的に走査し、その反射波により壁面を画像化する装置。
ボアホールスタンプ	ぼあほーるすたんぷ	borehole-stamp	ボーリング孔壁の岩盤の亀裂を調査する方法の一つ。孔内で特殊なビニールシートを膨らませ亀裂の形状を型取る。
ボアホールテレビ	ぼあほーるてれび	borehole television	小型のテレビカメラをボアホール内に降ろし、孔壁やケーシングの状態を地表のモニターで観察するシステム。
ボアホールテレビュア	ぼあほーるてれびゅあ	borehole televiewer	音波を孔壁に対して走査し、反射波の強さを輝度に変換し、孔壁面の状態を画像表示する一種の音響テレビ。
ボアホール変形法	ぼあほーるへんけいほう	borehole deformation method	応力解放法による初期地圧測定方法の一つ。孔径変化測定に加えて応力解放に伴って発生する中心軸と斜交方向の孔壁の伸縮量の変化を測定する。孔径変化法をさすこともある。
ボアホール用応力計	ぼあほーるようおうりょくけい	borehole stress gauge	孔内に挿入して、一方向の直応力を測定する測定器。
ボアホールレーダー	ぼあほーるれーだー	borehole radar	地下レーダー法的一种。ボーリング孔を利用して電磁波を放射し、地下構造を把握する。
保安林	ぼあんりん	protection forest	水源のかん養（涵養）や土砂の流出・崩壊の防備などを目的として森林法で指定される森林で、各種の制限がある。
ホイートストーンブリッジ	ほいとすとーんぶりっじ	wheatstone bridge	未知の電気抵抗を既知の電気抵抗と比較して測定するブリッジ回路。
ホイールクレーン	ほいーるくれーん	wheel crane	クレーン専用制作されたタイヤ型の走行装置を有した移動式クレーン。

ホイール式トラクタ	ほいーるしきとらくた	wheel tractor	けん引や押し土などに用いるトラクタのうち、ゴムタイヤで走行するもの。
ホイールショベル	ほいーるしょべる	wheeled tractor shovel	パワーショベル本体の走行装置を車輪式にし、ショベル作業用のアタッチメントを装着したもの。
ホイールドーザ	ほいーるどーざ	wheel dozer	走行装置がゴムタイヤのトラクタに土工板（ドーザ）を取り付けたもので、土砂を削り運搬する機械。
ポイキロフィチック	ほいきろふいちつく	poikilophitic	完晶質の苦鉄質火成岩に見られる岩組織の一つで、オフィチック組織の一種。
ボイジャー計画	ほいじゃーけいかく	Voyager project	木星・天王星など遠方の惑星を調べるために行われた惑星探査計画。新たな衛星の発見など多くの成果があった。
ボイスバロットの法則	ほいすばろっとのほうそく	Buys-Ballot's law	海上における暴風の中心方向を推定する経験法則で、風向から気圧の高い所、低い所を知る。
ホイヘンスの原理	ほいへんすのげんり	Huygens' principle	一つの波面上の各点がそれぞれ2次波の波源となり、次の波面はこれら2次波の包絡面として得られるという原理。
ボイルリング	ほいりんぐ	boiling	砂層をとおる上向きの浸透圧が砂の水中重量より大きくなったとき、砂が液体のような挙動をして砂粒子が激しく攪乱する現象。
ボイルーシャル（シャルル）の法則	ほいるしゃーる（しゃるる）のほうそく	Boyle-Charle's law	気体について温度・圧力・体積の関係を示した法則。ボイルは温度一定、シャルルは圧力一定の条件での法則。
ポイントロード試験	ほいんとろーどしけん	point load test	点載荷試験と同義。
方安鉱	ほうあんこう	senarmontite	Sb ₂ O ₃ 。立方晶系。硬度2～2.5。比重5.5。輝安鉱や自然アンチモンが酸化して形成される鉱石鉱物。正8面体をした灰色半透明の結晶。
方位図法	ほういずほう	azimuthal projection	地球上の1点を中心として平面上に経緯線を投影する図法。中心からの方位が常に正しく表示される。
方位データ	ほういでーた	directional data	地層面の走向・傾斜など、方位を含んだ情報。
方位羅針儀	ほういらしんぎ	azimuth compass	磁石を利用して方位を測定する機器。船舶や航空機で用いられる。
宝永地震	ほうえいじしん	the 1707 Hoi earthquake	宝永南海道地震と同義。1707年10月28日に発生した国内最大級の地震の一つ。M8.4で、遠州灘・紀伊四国沖で二つの地震が同時発生したと考えられている。
宝永スコリア層	ほうえいすこりあそう	Hoei scoria bed	富士山東麓～神奈川西部に分布する、1707年の富士宝永火口の爆発によって供給された未固結でルーズな降下軽石・スコリア層。

宝永テフラ	ほうえいてふら	Hoei tephra	1707年(宝永4年)の富士火山の噴火で、南東斜面の火口から噴出した降下軽石・スコリア・火山灰などの火山碎屑物。
宝永南海道地震	ほうえいなんかいどうじしん	the 1707 Hoei-nankaido earthquake	1707年10月28日、南海道沖に起こった大規模な地震。M8.4で、死者49,000人、倒壊家屋29,000戸とされている。
貿易風帯	ほうえきふうたい	trade-wind zone	貿易風が存在する地球を囲む帯状地域。大陸には存在せず、洋上にあり、季節によって位置が変化する。
方鉛鉱	ほうえんこう	galena, galenite	PbS。立方晶系。硬度2.5。比重7~7.6。白色。鉛灰色金属光沢。接触交代鉱床・鉱脈鉱床・黒鉱鉱床などに産出する鉛の鉱石鉱物。
鳳凰山-安部川断層	ほうおうざんあべがわだんそう	Hoozan-Abegawa fault	山梨県下に位置する糸魚川-静岡構造線の一部で、構造線形成以前に活動したと推定される衝上断層。
鳳凰山花崗岩	ほうおうざんかこうがん	Hoozan granite	山梨県鳳凰山付近に分布し、赤石山地東北端の四万十累層に貫入している花崗岩体で、主に角閃石黒雲母花崗閃緑岩からなる。時代は中新世。
崩壊	ほうかい	slope failure, collapse	斜面やのり面を構成する岩石や土砂が急激に崩れ落ち、原形の多くを止めないマスマーブメント現象の総称。
崩壊災害	ほうかいさいがい	collapse disasters	崖くずれ・土砂くずれ・山くずれなどの崩壊による災害の総称で、略して崩災ともいう。
崩壊性地すべり	ほうかいせいじすべり	collapsing landslide	(地すべり分類で)現象面からみたすべり形態の一つ。比較的傾斜のきつい斜面で突発的に発生し、すべり速度が速い。
崩壊性地層	ほうかいせいちそう	sloughing formation, heaving formation	ボーリング孔において泥岩や固結度の低い砂礫層など孔壁崩壊の激しい地層のこと。
崩壊性土	ほうかいせいど	collapsing soils	水浸によって崩壊しやすい性質を有する弱くこう結(膠結)したシルトまたは砂。
方解石	ほうかいせき	calcite	CaCO ₃ 。三方晶系。硬度3。比重2.71。純粋なものは無色~白色。岩石中に広く存在する炭酸塩鉱物で、産状は脈状・層状など多様。特に熱水鉱脈中に多く産する。
崩壊地	ほうかいち	slope failure point	山くずれ、地すべり、雪崩などにより崩壊が生じたところ。
崩壊地形	ほうかいちけい	form of landslide, topography of slope failure	地すべり、山くずれなどの崩壊によって形成された地形。
崩壊モデル	ほうかいもでる	collapse model	斜面の形状・地質構造・構成材料などから想定される斜面崩壊の形態・規模・位置などをモデルとして表したものの。
帽岩	ぼうがん	cap rock	キャップロックと同義。シールともいう。

法貴石	ほうきいし	Hoki ishi	京都府亀岡市産の石材。中生界花崗岩。土木用。
包気帯	ほうきたい	unsaturated zone, vadose zone	地下水面上の地下水で飽和されていない地層の部分。一般に不飽和帯, 通気帯と呼ばれる。
縫合線	ほうごうせん	suture line	アンモナイトや有孔虫などの殻の螺層や房室などが他と接し合う境界部に形造られる線, およびその線状の構造・形態。
芳香族基原油	ほうこうぞくきげんゆ	aromatic base crude oil	パラフィン系・ナフテン系以外の炭化水素。すなわち芳香族炭化水素を比較的多量に含む原油。
縫合組織	ほうごうそしき	sutured texture	岩石を構成する粒状の鉱物が細かく不規則に入り組んで接している状態の岩組織。大理石などに見られる。
方向分散	ほうこうぶんさん	angular spreading	風による波は種々の方向の成分波からなり, それらが別々の方向に進行すること。
泡痕	ほうこん	bubble impression	粘土粒子に捕えられた気泡, または泥中の有機物から発生したガスの泡によって泥の表面にできるくぼみ。
防災基本計画	ぼうさいきほんけいかく	basic plan for disaster prevention	災害対策基本法に基づき, 中央防災会議が作成する防災に関する基本的な計画。災害の未然防止, 被害の軽減および災害復興のための諸施策についての基本を定めたもの。
防災計画	ぼうさいけいかく	disaster prevention plan	国, 公共機関, 地方公共団体が災害の発生を予防し, または災害の発生時にその被害をできるだけ軽減するための計画。
防災工	ぼうさいこう	disaster prevention works	災害の発生を予防し, または災害の発生時にその被害をできるだけ軽減するための施設。各種(治水, 治山, 農地防災, 海岸保全, 急傾斜地崩壊防止など)の国土保全事業に基づく公共施設。
防災施設	ぼうさいしせつ	facilities and equipments for countermeasures against disasters	各種(治水, 治山, 農地防災, 海岸保全, 急傾斜地崩壊防止など)の国土保全事業に基づく公共施設, 各種観測予報施設, 災害用の通信放送施設など。
防災ダム	ぼうさいだむ	check dam, soil saving dam	河床の浸食と砂礫の下流への堆積防止を目的としたダム。コンクリート重力式が多い。砂防ダムと類義。
防災地図	ぼうさいちず	disaster prevention map	地震・火山・洪水・津波・地すべりなどの災害の実態を示すとともに, 将来の危険度・想定影響範囲を記録した災害対策のための地図。
防災調整池	ぼうさいちょうせいち	anti-disaster reservoir	洪水流出抑制のために設けられた調整池。洪水流出量の一部を貯溜する事によりピーク流量を軽減するための池である。
防災林	ぼうさいりん	disaster prevention forest	森林の公益性のなかで, 自然災害を防ぐ機能があり, この防災機能が期待される森林は防災林と総称される。
防砂堤	ぼうさいてい	jetty	海岸線に平行な砂の移動量を減少させ, 砂浜の浸食を防止するために海岸にほぼ直角に設けられた構造物。

防砂突堤	ぼうさとつてい	groin	潮流の激しい港や、河口付近に作られた沿岸漂砂を制御するために設けられた構造物。防砂突堤は構造形式の違いにより透過式と不透過式に分かれる。
放散虫	ほうさんちゅう	radiolaris, radiolaria	放散虫類と同義。
放散虫岩	ほうさんちゅうがん	radiolarite	粘土鉱物と多量の放散虫化石からなる、細粒緻密で均質な珪質岩。
放散虫珪板岩	ほうさんちゅうけいばんがん	radiolarian siliceous shale	放散虫チャートほど珪質かつ堅硬ではないが、放散虫に富む珪質な板状岩。
放散虫生層序	ほうさんちゅうせいそうじょ	radiolarian biostratigraphy	地層を放散虫の種の出現・絶滅、群集の特徴などで分帯したもの。地域間の対比で地層の相対年代決定を行う。
放散虫チャート	ほうさんちゅうチャート	radiolarian chert	ほとんど放散虫化石からなる、堅硬かつ緻密な層状チャート。
放散虫軟泥	ほうさんちゅうなんでい	radiolarian ooze	放散虫を30%以上含む大洋底の遠洋性粘土。深度4000～8000m程度の深い赤道の海洋底に多く分布する。
放散虫類	ほうさんちゅうるい	<i>Radiolaria</i>	海産浮遊性原生動物の一種。珪質の骨格や殻はチャートを構成。生層序区分に有効。カンブリア紀～現世に生息。
孢子化石	ほうしかせき	fossil spore	酸や塩基に侵されない孢子壁を持つ菌類の一部やコケ植物・シダ植物の孢子が地層中に保存されたもの。
孢子植物	ほうししょくぶつ	Sprophyta	孢子による無性生殖を行う植物。菌類・藻類・コケ類・地衣類・シダ類をさす。隠花植物とも。
硼砂	ほうしゃ	borax	$\text{Nb}_2\text{B}_4\text{O}_5(\text{OH})_2 \cdot 8\text{H}_2\text{O}$ 。単斜晶系。硬度2～2.5。比重1.72。無～白色。ホウ素鉱床や塩類鉱床中、温泉沈殿物等に見られる。
放射温度	ほうしゃおんど	radiation temperature	熱赤外線波長帯を用いて測定された放射輝度から補正および補間によって算出された温度。
放射温度計	ほうしゃおんどけい	radiation thermometer	測定対象物の温度を、熱赤外線波長帯を用いて測定された放射輝度を基に表示する温度計。
放射化検層	ほうしゃかけんそう	nuclear irradiation logging	坑井内で、地層に中性子を照射し放射性核種の崩壊時に放出されるガンマー線特性から地層構成元素を分析する検層法。
放射化追跡子	ほうしゃかついせきし	radioactive tracer	動きを追跡するために用いる放射性元素。放射性同位体を加えることで移動状態がわかりやすくなる。
放射化追跡子法	ほうしゃかついせきしほう	activable tracer method	投入された放射能を持たないトレーサを下流で回収した後、熱中性子線照射により放射化してトレーサを定量する手法。

放射化分析	ほうしゃかぶんせき	radioactivation analysis	試料に高エネルギー核粒子を当てて放射性核種を生じさせ、誘導放射エネルギーから目的核種の量を定量する方法。
宝積寺面	ほうしゃくじめん	Hosyakuji surface	鬼怒川左岸の宝積寺段丘、鹿沼市東部の鹿沼段丘など。同面は宝積寺ローム層で覆われている。
放射谷	ほうしゃこく	radial valley	放射状に発達する谷。円錐状火山やドーム状の土地に生ずる場合が多い。
放射状岩脈	ほうしゃじょうがんみやく	radial dyke, radial dike	火道を中心に放射状に発達する垂直に近い板状貫入岩体。
放射状鉱脈	ほうしゃじょうこうみやく	radiated metalliferous vein	有用鉱物に富む板状の鉱床が放射状に配列したもの。
放射状鉱脈群	ほうしゃじょうこうみやくぐん	radiated veins	1点を中心に放射状に配列する鉱脈群。米国コロラド州、クリップルクリーク金鉱山が有名。
放射状節理	ほうしゃじょうせつり	radial joints	溶岩の冷却時に形成される放射状の柱状節理。枕状溶岩等の水中溶岩に多い。
放射状せん断域	ほうしゃじょうせんだんいき	zone of radial shear	地盤のせん断破壊領域の一つ、すべり線がある点からの放射線群とそれに等角に交わる円や対数らせん（螺旋）線群からなる。
放射状排水域	ほうしゃじょうはいすいいき	radial drainage	排水域の分水界が円に近い形をなし、小排水域からの流出がほぼ一つの地点に集中するような排水域。
放射状脈	ほうしゃじょうみやく	radiated veins	放射状に発達する鉱物脈。放射状鉱脈と同義。
放射性壊変	ほうしゃせいかいへん	radioactive disintegration	不安定な放射性核種が α 線、 β 線、 γ 線などの放射線を放出し安定な核種に移る過程をいう。
放射性系列	ほうしゃせいけいれつ	radioactive series	放射性核種が崩壊して順次変化していく一連の放射性元素の系列のこと。放射壊変系列とも。
放射性鉱物	ほうしゃせいこうぶつ	radioactive mineral	天然状態で放射能をもつ元素を含む鉱物。ウラン鉱物やトリウム鉱物が代表的。
放射性炭素	ほうしゃせいたんそ	radiocarbon	炭素同位体のうち、質量数11, 14, 15の炭素の総称。普通は半減期5730年の ^{14}C をさす。
放射性炭素年代測定法	ほうしゃせいたんそねんだいそくていほう	radiocarbon dating	炭素の放射性同位体 ^{14}C が5,730年の半減期で減衰することを利用した年代測定法。 β 線計数法と加速器質量分析法がある。 ^{14}C 法ともいう。
放射性同位元素	ほうしゃせいどういげんそ	radioactive isotope	同位元素の中で放射能をもつ核種。放射性同位体、ラジオアイソトープともいう。R Iと略記。

放射性熱源	ほうしゃせいねつけん	radioactive heat source	地球内部の高温の熱源と考えられる一つ。放射性元素の壊変に伴い発生した熱がその源となっていると考える。
放射性廃棄物	ほうしゃせいはいきぶつ	radioactive waste	原子炉の運転などに伴って発生する放射性物質を含んだ廃棄物。低レベル廃棄物と高レベル廃棄物とに分けられる。
放射石	ほうしゃせき	gyrolite	(AlSi ₂₃ O ₆₀)・15H ₂ O。三斜晶系。硬度3.5。比重2.4。無～白色。玄武岩等の空隙に晶出する沸石類などと球顆状あるいは葉片状の集合体として産する結晶。ジャイロライトともいう。
放射線検層	ほうしゃせんけんそう	radiation logging	天然放射能または誘導放射能を測定する検層。
放射線測定器	ほうしゃせんそくていき	radioactivity meter	α線β線γ線などの放射線を測定する装置。
放射線帯	ほうしゃせんたい	radiation zone	バン・アレン放射線帯。地球を取り巻く形の高エネルギー・高速荷電粒子の存在する領域。
放射対称	ほうしゃたいしょう	radial symmetry	中心からみて、どの方向にも同様な性質・構造を有する場合の対称。中心を通る任意の平面に対して対称となる。
放射熱伝導	ほうしゃねつでんどう	heat conduction by radiation	熱エネルギーが電磁波として空間を伝わること。
放射年代	ほうしゃねんだい	radiometric age	放射性核種が他の核種に変わる現象(放射性壊変)を利用して算出した年代。
放射年代測定	ほうしゃねんだいそくてい	radiometric dating	岩石・鉱物・有機物・水などに含まれる放射性元素の壊変を利用してそれらが生成した年代を測定する方法。
放射能	ほうしゃのう	radioactivity	放射性元素の原子核が崩壊してアルファ線、ベータ線、ガンマ線などを放出する性質またはその強さ。
放射能異常	ほうしゃのういじょう	radioactive anomaly	岩石が外的影響を受け、固有の放射能強度が自然の値に対し異常値を示す場合に用いる。
放射能汚染	ほうしゃのうおせん	radioactive contamination	核実験や原子炉事故などによって放射性物質が環境中に放出され大気・水・土壌などを汚染すること。
放射能起源同位体	ほうしゃのうきげんどういたい	radiogenic isotope	放射能を持つ核種が放射崩壊(壊変)によって生じた同位体。これを持つ元素は年代測定に利用される。
放射能検層	ほうしゃのうけんそう	radioactivity logging	ボーリング孔内に放射能検出器を降下して、地層中の自然放射能ないし人工放射線に対する応答を測定する検層方法。
放射能泉	ほうしゃのうせん	radioactive spring	ラドンRnやラジウムRaを含有する放射能の強い温泉・鉱泉。日本では花崗岩分布域に多い。

放射能探査	ほうしゃのうたんさ	radioactive prospecting	天然放射性同位元素から放射されるγ線を測定し、放射性鉱物、温泉、地下水、断層などを調査する探査法。γ線の測定にはシンチレーションカウンタを用い、エアーストーン探査やカーボン探査が行われる。
放射率	ほうしゃりつ	emissivity	ある温度において、物体が放射するエネルギーと同一温度の黒体が放射するエネルギーの比。
放射流式沈澱池	ほうしゃりゅうしき ちんでんち	radialflow-type sedimentation basin	浄水用の沈澱池の一型式。池は円形で、下水を中央部から周壁方向に放射状に流して浮遊物を沈澱させる。
放射冷却	ほうしゃれいきやく	radiation cooling	熱放射によって、物体の温度が下がる現象。気象では、夜間に熱放射によって接地大気気温が下がる現象。
房州石	ぼうしゅういし	Boshu ishi	新第三系の凝灰質岩石からなる房総半島産の石材。千葉県安房郡・富津市境の鋸山付近のものが有名。土木材として使用。
膨潤	ぼうじゅん	swelling	吸水して体積を増加させる性質。鉱物ではモンモリロナイト等の粘土鉱物層間に水が浸入する現象がこれにあたる。トンネルにおける膨張性地山の一つの要因。地すべりの一つの原因。
膨潤圧	ぼうじゅんあつ	swelling pressure	粘土が水を吸って体積増加(膨潤)をする際に、これを抑止するために必要な圧力。
膨潤現象	ぼうじゅんげんしょう	swelling	モンモリロナイトのような粘土鉱物が、水を含んで体積を増やす現象。
膨潤地圧	ぼうじゅんじあつ	swelling ground pressure	膨潤性粘土鉱物を多量に含む地盤がそれらの吸水膨張によって体積膨張した時、それを拘束して生じる地圧。
膨潤性	ぼうじゅんせい	swelling property	モンモリロナイトなどが吸水によって体積を増加させる性質。このような性質の鉱物を含む軟岩は吸水により、体積が増加する。
膨潤性岩石	ぼうじゅんせいがんせき	swelling rocks	変質作用をうけて膨潤性粘土鉱物をかなり含有するため、浸透水などの作用で粘土鉱物の層間に水が入り込むと、体積が膨張する岩石。
膨潤性地山	ぼうじゅんせいじやま	swelling ground	水などを吸って膨れ上がる性質をもつ地山でモンモリロナイト粘土で代表され、トンネルに悪影響を与える。
膨潤性粘土	ぼうじゅんせいねんど	swelling clay	膨潤性粘土鉱物と同義。
膨潤性粘土鉱物	ぼうじゅんせいねんどこうぶつ	expansive clay mineral	モンモリロナイトなどの2:1型の層状珪酸塩鉱物などで、層間に液体を吸水して体積を増加させる鉱物。
膨潤性緑泥石	ぼうじゅんせいりょくいでいせき	swelling chlorite	グリセロールなどの有機試薬処理によって底面間隔が膨張する性質を持った緑泥石様鉱物。
膨潤土	ぼうじゅんど	bentonite	モンモリロナイトを主成分とした粘土状物質の総称。別名ベントナイト。

包晶	ぼうしょう	peritectic crystallization	既存の鉱物が部分溶解して新たな鉱物として晶出する際、元の鉱物をその内部に取り込んだような鉱物結晶。
芒硝石	ぼうしょうせき	thenardite	Na ₂ SO ₄ 。立方晶系。硬度2.5～3。比重2.66。無色。火山昇華物や黒鉱鉱床に見られる。肉眼観察ではガラス～樹脂状光沢を示す。
方状節理	ほうじょうせつり	cubic joint	花こう岩などが冷却する際に生じたとされる冷却節理の一形態で、岩体が直方体状に分離するように発達したものの。
防じんマスク(防塵マスク)	ぼうじんますく	respirator	トンネル掘削中や吹付コンクリート施工時に発生する粉塵を防止するマスク。
坊主	ぼうず	ginpole, post	垂直にたててロープを支え、先端をとりつけて重い物の吊り上げなどに使う丸太をいう。
放水位	ほうすいゐ	tailwater level	水力発電設備において、自由水面をもつ放水路の水位をいう。ダムなどで放水を開始する貯水位の意でも用いる。
豊水位	ほうすいゐ	wet water level	河川の水位の指標の一つで、一年間のうちで95日間はこれ以下には下がらないという水位。
豊水期	ほうすいき	wet season	河川において、豪雨などによる一時的なものではなく、ある程度長い期間にわたって流量が大きくなる期間。
紡錘形火山弾	ぼうすいけいかざんだん	spindle shaped bomb	粘性の低いマグマの噴出に際し、空中に放出されたマグマが紡錘形状に固化したもの。
放水口	ほうすいこう	outlet	発電所で使用した水を河川、湖あるいは海に放出する放水路の出口。
防水工	ぼうすいこう	water proofing	構造物などの防水性を高めるために行なう工事でNATMによるトンネルでは吹付コンクリートと覆工の間に防水シートをいれ漏水を防止している。
防水剤	ぼうすいざい	water-proofing agent	モルタルまたはコンクリート中への水の浸入防止・内部への移動・拡散防止を目的として加える混和材料。
防水材料	ぼうすいざいりょう	water-proofing material	防水に用いられる材料の総称。浸透性防水塗料・防水モルタル・塩ビ防水桶・高分子系注入用樹脂材などがある。
防水シート	ぼうすいしーと	waterproofing sheet	防水や地山との縁切りを目的として、トンネルの覆工と地山の上に設置されるシート。
放水設備	ほうすいせつび	outlets, outlet works	水位調整や下流の利水のためダムに設けられる設備。取・放水口、放水管、ゲートまたはバルブなどからなる。放流設備と同義。
紡錘虫類	ぼうすいちゅうるゐ	fusulinid	石炭紀に出現、ペルム紀に絶滅した石灰質殻をもつ有孔虫類。紡錘虫石灰岩は工業用石灰岩の主要供給源。

放水庭	ほうすいてい	afterbay reservoir	発電用水車と放水路の間にある開きよ部で、負荷の変動による水車の能率低下を防止するために設けられる設備。
放水トンネル	ほうすいとんねる	drawoff tunnel	ダム排水や洪水時の水位調整のために放流するためのトンネル。
豊水年	ほうすいねん	wet year	ある地域のある年の降水量が平均値を上回った場合にその年を表現する呼称。平水年や渇水年の対語。
豊水量	ほうすいりょう	ninety five day runoff	河川流量の指標（統計量）の一つで、ある地点で1年のうち95日間はこの流量よりも減らない流量をいう。
放水路	ほうすいろ	flood way, tailrace	①河川の洪水対策などのため本川から分岐して設けた水路。 ②水力発電所や火力発電所で使用した水を河川、湖あるいは海に放水するための設備。
放水路トンネル	ほうすいろとんねる	tailrace tunnel	水力発電で発電機の水車からでた水を元の河川などに放流するためのトンネル。
防錆処理	ぼうせいしより	antirust treatment	鋼材の腐食を防止するための処理。塗装を施したり、コンクリート内であれば防錆剤を混入する。
宝石	ほうせき	gem stone, gem	天然鉱物のうち、特に美しく、硬度および化学的安定度が高く、産出量が希少という条件を備え、装飾に用いられるもの。
宝石鉱物	ほうせきこうぶつ	gem stone	光沢色調があり、硬質でかつ化学的、物理的に安定した産出希少なダイヤモンド、ルビーなどの宝石として用いられる鉱物。
崩積作用	ほうせきさよう	colluviation	主に重力によって斜面上の風化物が徐々に下方に運ばれ、斜面下部に堆積する作用。
崩積成	ほうせきせい	colluvial	母岩の風化物質が、重力の作用で斜面下に堆積すること。
崩積層	ほうせきそう	colluvium	崩積物からなる層。
崩積堆積物	ほうせきたいせきぶつ	colluvium	崩積物と同義。
崩積地	ほうせきち	colluvial slope	緩斜面下部に認められる淘汰の悪い堆積物で構成された場所で、風化物が主にクリープにより斜面下部に運ばれ堆積して形成される。
崩積土	ほうせきど	colluvial deposit	斜面上の風化物が主に重力により徐々に下方に運ばれて（クリープ）斜面下部に堆積した、角礫を主体とした不淘汰な堆積物。
崩積土すべり	ほうせきどすべり	colluvial deposit slide	崩積土が降水などで土塊の地下水位や間隙水圧が上昇してすべる地すべり。

崩積物	ほうせきぶつ	colluvium	斜面上の岩屑層などの風化物が主に重力によって徐々に下方に運ばれ、斜面下部に不淘汰な岩礫を主体とし堆積したもの。崩積堆積物ともいう。
防雪施設	ほうせつしせつ	snow protection facility	多雪地域で道路などへのなだれ防止や集積雪量低減のためにもうける施設。防護柵・防雪林・防雪柵・防雪ネットなど。
防雪設備	ほうせつせつび	snow protection facility	防雪施設と同義。
法線（河海の）	ほうせん（かかいの）	alignment	港湾・河川などの工事で、防波堤や護岸など細長い構造物の位置を代表して示す際に用いる構造物の一部を表す線。
法線応力	ほうせんおうりょく	normal stress	物体のある面に垂直に作用する応力。地すべりの場合、移動する土塊に対して土塊をすべり面に垂直に押しつける力をいう。
硼素	ほうそ	boron	B. 原子番号5, 原子量10.81, 黒色金属光沢をもつ固体。天然には単体で存在せず、ほう砂などに含まれる。
房総沖海溝三重点	ぼうそうおきかいこうさんじゅうてん	Trench-Trench-Trench Triple Junction off the Boso Peninsula	日本海溝・伊豆-小笠原海溝・相模トラフの交わる点。フィリピン海・太平洋・北米プレートの境界。
房総沖地震	ぼうそうおきじしん	the 1987 Boso-oki earthquake	1987年に千葉県房総沖の海底を震源としたM6.7の地震。千葉県を中心に被害があり死傷者130余人、家屋一部破損6万余戸とされている。多くの地点で液状化が発生。
房総海底谷	ぼうそうかいていこく	Boso submarine canyon	相模トラフの陸側斜面を下刻する海底谷。フィリピン海・北米プレートの境界をなす衝上断層を横断している。
包蔵水力	ほうぞうすいりょく	water power resources, hydropotential	その地域に賦存する水力エネルギー量（単位:kWh）。
鳳足石	ほうそくせき	Housoku seki	①福井県小浜市新保産の石材。輝緑凝灰岩。 ②赤坂石灰岩の一種。
膨張曲線	ぼうちょうきょくせん	expansion curve	除荷過程の載荷圧力と変位（あるいは間隙比）の関係をプロットした図。試験方法の基準はなく、圧密試験における除荷過程曲線もその一つ。
膨張計	ぼうちょうけい	dilatometer	物体の膨張率を測定する時に用いる計器。固体の線膨張率、液体・気体の体膨張率をそれぞれ求める特有の測定法である。
膨張係数	ぼうちょうけいすう	expansion coefficient	物体が熱膨張するとき、その比率の温度変化に対する割合を示す量。
防潮ゲート	ぼうちょうげーと	tide gate	高潮や津波などが河川へ侵入するのを防ぐために設ける水門。
膨張頁岩	ぼうちょうけつがん	expanded shale, expansible shale	頁岩・細砂岩を1,050～1,200℃に急熱して膨張させた多孔質・非透水性の焼成品。またはその原料の頁岩。高強度の人工軽量骨材として利用される。

膨張コンクリート	ぼうちょうこんくりーと	expansive concrete	凝結後の硬化過程で膨張を起こすコンクリートのことで膨張性のセメントまたは膨張性の混和剤を加えて製造される。
膨張剤	ぼうちょうざい	expansion agent	グラウトがすきまなく充填されるためグラウト材にイれる膨張性の物質。
膨張指数	ぼうちょうしすう	swelling index (Cs)	圧密試験における除荷過程の間隙比と有効応力の関係曲線における勾配。
膨張褶曲	ぼうちょうしゅうきよく	expansion fold	地表近くの特定の粘土層や頁岩層などに生じる、吸水・膨潤による体積増加を主因とする非構造的な褶曲。
膨張スレート	ぼうちょうすれーと	expansive slate	人工軽量骨材の原料の一つで、スレートの破片を焼成した後破砕したもの。国産されていない。
膨張性地盤	ぼうちょうせいじばん	expansive ground	空気または水との化学反応、吸水膨張、あるいは膨潤現象によって膨れ上がるような地盤。膨張性地山と同義にも使われる。
膨張性指標	ぼうちょうせいしひょう	swelling index	トンネル掘削地山の膨張性判定の指標。地山強度比・モンモリロナイト含有量・自然含水比・浸水崩壊度などがある。
膨張性地山	ぼうちょうせいじやま	expansive ground, swelling rock	軟質の泥岩や凝灰岩・温泉余土・葉片状や粘土状の蛇紋岩類・破碎帯などからなり、塑性変形や吸水膨張により押し出しや盤膨れなどを生じる地山。
膨張性土圧	ぼうちょうせいどあつ	swelling pressure	膨張性地山の掘削による除荷または加水、空気接触などによってトンネル支保などの構造物に内空断面縮小方向に作用する土圧。
膨張性トンネル	ぼうちょうせいとんねる	swelling tunnel	周辺地山が内空を縮小するように長期間にわたりはらみだすトンネル。泥岩・蛇紋岩・温泉余土など膨張性の地山に多い。
膨張性粘土	ぼうちょうせいねんど	expansive clay	モンモリナイトなどの層状珪酸塩鉱物を主体とする粘土で、掘削などにより層間に吸水が生じることにより膨れる。
膨張性粘土鉱物	ぼうちょうせいねんどこうぶつ	expansive clay minerals	層間に水や有機物分子が入って、それにより底面間隔が膨張するような粘土鉱物。
膨張セメント	ぼうちょうせめんと	expansive cement	収縮性を改善するため、水和の際セメントバチルスを多量に生成するよう計画した特殊膨張性のセメント。
防潮堤	ぼうちょうてい	sea wall	干拓地のように常時海面より低い場所や、高潮や津波により冠水する場所に構築された海岸堤防。
膨張度指数	ぼうちょうどしすう	swelling index	石炭を急速に加熱した場合における膨張性の程度を表す尺度。石炭の粘結性の有無・強弱を示す。ルツボ・ボタン指数。
膨張パッカー	ぼうちょうぱっかー	inflatable packer	気体あるいは液体をパッカーチューブ内に送って膨張させるタイプのパッカー。

膨張比	ぼうちょうひ	expansion ratio, swelling ratio	土や軟岩の吸水膨張試験における測定項目。測定方向の初期長さに対する最大膨張長さの比。
防潮壁	ぼうちょうへき	sea wall	高潮や津波などによる海水の陸地への浸入を防止する擁壁。
膨張目地	ぼうちょうめじ	expansion joint	コンクリート舗装版が膨張し長さが伸びたとき、伸びる長さの余裕を保持して作られた目地。
膨張裂か(膨張裂罅)	ぼうちょうれっか	expansion fissure	岩体が膨張することを原因とした、引張りにより開口した割れ目。
棒突き法	ぼうつきほう	rodding method	骨材の単位体積重量試験において、骨材の最大寸法が40mm以下のときに、突き棒により試料を詰める方法。
保内みかげ	ほうないみかげ	Honai mikage	新潟県岩船郡荒川町産の石材。中生界花崗閃緑岩。かつては墓石として使用。現在は主に観賞用、土木用に使用。
泡雪崩	ほうなだれ	powder avalanche	黒部地方で呼ばれた爆風を発生させ高速で衝撃力の大きい表層雪崩。低温乾雪に生じ、爆風雪崩ともいう。
防爆シート	ぼうばくしーと	protective sheet	発破による爆風・音・飛石などの影響を防ぐ目的の遮蔽シート。
防波護岸	ぼうはごがん	seawall	高潮や津波などによる海水の浸入を防ぐため、現地盤をコンクリートなどで被覆して、波浪による越波を阻止するもの。
防波設備	ぼうはせつび	seawall	港湾設備および後背地を高潮や津波などから防御するための施設。防波堤・防潮堤・水門・護岸・堤防など。
防波堤	ぼうはてい	breakwater	外海の波から港湾を守るもので、津波防波堤や高潮防波堤もこのなかに含まれる。
方砒コバルト鉱	ほうひこばるとこう	skutterudite	CoAs ₂₋₃ 。立方晶系。硬度5.5～6。比重6.5。錫白～銀灰色。鉱脈鉱床から産出し、方砒ニッケル鉱と固溶体をつくる。熱電素子として注目される。
防氷堤	ぼうひょうてい	ice-barrier	流氷などの湾内への浸入を防ぐために設けられた施設。
暴風雨	ぼうふうう	rain storm, storm	強い風と激しい雨のある状態。気象学上、stormは気象庁風力階級10(風速24.5～28.4m/s)。
暴風海浜	ぼうふうかいひん	barred beach	海岸線と平行し、沿岸州をもつ砂浜海岸。
暴風波	ぼうふうは	storm wave	暴風によって生じる波がもたらす海面上昇。台風時などは低い気圧によっても海面が上昇するため、これらが重なると高潮となる。

方沸岩	ほうふつがん	analcimite, analcitite	長石を全く含まず方沸石に富むペイサイトの一種。他に、チタン輝石・霞石などを含む。
放物線アーチダム	ほうぶつせんあーちだむ	parabolic arch dam	岩盤に作用する推力が、地山安定上有利な山側に向かい曲げモーメントが生じないよう軸線を放物線にしたアーチダム。
暴噴	ほうふん	blowout	坑井掘削中に油層やガス層・蒸気層に遭遇し、それらの圧力が掘削泥水の圧力に勝って噴き上がる現象。
方硼石	ほうほうせき	boracite	Mg ₃ [Cl B ₇ O ₁₃]。斜方晶系。硬度7～7.5。比重2.97。大洋型の塩類鉱床中に産出する鉱物で、常温では斜方晶系、高温では等軸晶系となる。
ボウマ層序	ほうまそうじょ	Bouma sequence	タービダイト単層中に認められる内部堆積構造の規則的な積み重なり。完全であれば5部からなる。
泡沫状組織	ほうまつじょうそしき	dissepiment	さんご（珊瑚）個体内および個体間に発達する床板状または小泡状骨格組織。一般に造礁さんご（珊瑚）に多い。
包有物	ほうゆうぶつ	inclusion	鉱物が成長する過程で、その結晶内に閉じ込められた気体・液体や固体。岩石などの成因的研究に用いられる。
鳳来寺石	ほうらいじいし	Horaiji ishi	愛知県南設楽郡鳳来町産の石材。新第三系凝灰質砂岩で石碑や礎石に使用。
崩落	ほうらく	fall	斜面崩壊のうち、崩壊土砂が原型を留めないもの。急傾斜斜面での事例が多い。
崩落型火砕流	ほうらくがたかさいりゅう	Merapi-type pyroclastic flow, dome collapse pyroclastic flow	火砕流のタイプの一つで、溶岩（ドーム）などが崩壊して火山砕屑物が高温ガスを伴い、高速で地表を流下する。雲仙普賢岳で1991-1995年に発生した火砕流の大部分はこの形式。英語のMerapi-typeはインドネシア、メラピ火山でこの形式の火砕流が頻発していることに因む。
放流ゲート	ほうりゅうげーと	outlet gate	放水管あるいは放流路に設置して放流量を調節するためのゲート。
放流設備	ほうりゅうせつび	outlets, outlet works	水位調整や下流の利水のためダムに設けられる設備。取・放水口、放水管、ゲートまたはバルブなどからなる。放水設備と同義。
放流バルブ	ほうりゅうばるぶ	outlet valve	放水管あるいは放流路に設置して放流量を調節するためのバルブ。
放流量	ほうりゅうりょう	outflow, outflow rate	ダムや発電所の放水路から放流される河川水の量。
放流路	ほうりゅうろ	outlet	ダムの水位調整や下流の利水のための放流を目的としてダム堤内あるいは基礎岩盤中に設けられる設備。
法林寺断層	ほうりんじだんそう	Horinji fault	活断層。北北東方向。富山県砺波平野を画する逆断層。新期の扇状地や段丘を変位させている。

飽和	ほうわ	saturation	①一般に土は土粒子と空気や水より構成されているが、このうち空気が存在せず間隙が完全水で満たされている状態をいう。 ②大地震ではマグニチュードMがその割には大きくならずMの頭打ちが起こるときのMスケールの状態。
飽和岩	ほうわがん	saturated rock	石英と共存する長石・輝石・雲母・電気石・鉄カンラン石などの飽和鉱物のみから構成される火成岩。
飽和曲線	ほうわきょくせん	saturation curve	水で飽和した土の乾燥密度と含水比との関係曲線。ゼロ空気間隙曲線ともいう。
飽和限界	ほうわげんかい	saturation limit	土の表層の水分が吸収されなくなった時の含水比。
飽和鉱物	ほうわこうぶつ	saturated mineral	火成岩の中で石英と共存できる長石・輝石・角閃石・黒雲母などの鉱物の総称。
飽和指数	ほうわしすう	saturation index	岩石の比抵抗を表すアーチーの式に用いられ、岩石の種類に依存する定数。例えば、砂岩の飽和指数は $n = 2$ 。
飽和磁鉄芯型磁力計	ほうわじてつしんがたじりょくけい	flux-gate magnetometer	フラックスゲート磁力計と同義。
飽和蒸気圧	ほうわじょうきあつ	saturated vapor pressure	ある物質の気相と液相(または固相)が熱平衡にある時の気相の圧力であり、温度の関数となる。
飽和浸透流	ほうわしんとりゅう	saturated filtration flow	飽和帯中の地下水が、実際に流動している間隙以外の部分を含めた全断面を流れると仮定した場合の見かけの流れ。
飽和水帯	ほうわすいたい	zone of saturation	不飽和水帯に対する用語で、大気圧よりも高い圧力を持つ水により満たされている部分。飽和帯とも呼ぶ。
飽和線	ほうわせん	saturation line	フィルダムや堤防において堤内の水面位置を表す線。浸潤線の方が一般的。
飽和側方流	ほうわそくほうりゅう	saturated through flow	土壤中に浸透した降雨が不連続土層の境界面に飽和状態を形成し、境界面上を斜面下方に向かう流れ。
飽和帯	ほうわたい	saturation zone, saturated zone, zone of saturation	地下水面より下の、地層や土壌中の間隙や割れ目が地下水で飽和されているゾーン。
飽和単位体積重量	ほうわたんたいせきじゅうりょう	saturated unit weight	飽和土の単位体積重量であり、飽和土の密度と重力加速度の積で表される。
飽和度	ほうわど	degree of saturation, saturation rate	①土壌間隙に占める液体成分の体積百分率。 ②岩石ではアルミナやシリカに着目して火成岩の性質を特徴づける概念。
飽和土	ほうわど	saturated soil	間隙が完全に水で満たされ、土質工学で用いられる飽和度100%状態の土。地下水以下の土は通常これに相当。

飽和透水係数	ほうわとうすいけいすう	saturated hydraulic conductivity	土や岩石の飽和状態における透水係数.
飽和土の単位重量	ほうわどのたんいじゅうりょう	unit weight of saturated soil	飽和している土の単位体積あたりの重量. 土粒子の重量と間隙を満たしている水の重量を加えたもの.
飽和土の単位密度	ほうわどのたんいみつど	density of saturated soil	飽和している土の単位体積あたりの質量. 土粒子の質量と間隙を満たしている水の重量を加えたもの.
飽和-不飽和浸透流解析	ほうわふほうわしんとうりゅうかいせき	unsaturated-saturated seepage analysis	不飽和帯でもダルシーの法則と連続式が成り立つと仮定して飽和帯と連結して行う浸透流解析.
飽和密度	ほうわみつど	saturated density	飽和した土の単位体積あたりの質量.
飽和溶存酸素量	ほうわようぞんさんそりょう	saturated dissolved oxygen	一定の気圧と温度の条件のもとで, 一定値を超えなくなるような水中に溶ける酸素量.
ボーウィーの公式	ぼーういーのこうしき	Bowie formula	局所的な重力異常を計算する際に行う種々の補正のうち, 地形補正をするのに用いる公式.
ホーエタウエルン地窓	ほーえたうえるんじまど	Hohe-Tauern fenster	オーストリア中西部のホーエ・タウエルン地方で, 異地性の東アルプスデッケ中に基盤の西アルプスデッケが露出しているといわれる所.
ボーエンの反応系列	ぼーえんのはんのうけいれつ	Bowen's reaction series	N. L. Bowenが樹立した天然のマグマから結晶が晶出する過程に関する理論で, 不連続反応と連続反応の2通りの反応系列を提唱した.
ボーキサイト	ぼーきさいと	bauxite	アルミニウムの水酸化化合物 (ギブサイト・ベーマイト・ダイアスポア) から形成される赤褐色の鉱石.
ボーキサイト化作用	ぼーきさいとかさよう	bauxitization	ラテライト化作用と類似語. 熱帯地方の鉄・アルミニウムの酸化物や水酸化物に富んだ赤色土壌での鉄アルミニウムの富化作用をいう.
ボーキサイト鉱床	ぼーきさいとこうしょう	bauxite deposit	ラテライト化作用により形成された鉄アルミニウムの風化残留鉱床, アルミニウム資源の多くがこのタイプの鉱床である.
ホーキングの定理	ほーきんぐのていり	Theory of Hawking	ビックバン宇宙は特異点から出発したとする定理. この定理からは宇宙のすべてが点状の領域にあったことになる.
ホース	ほーす	horse	①中石②と同義. 馬石ともいう. ②デュプレックスを構成するデュプレックス内の小規模逆断層により境されるブロックのこと.
ポータブルコーン貫入試験	ぽーたぶるこーんかんにゅうしけん	portable cone penetration test	サウンディング装置の中で最も軽量のポータブルコーンペネトロメータを使用してコーン支持力を求める試験.
ポータブルコーンペネトロメータ	ぽーたぶるこーんぺねとろめーた	portable cone penetrometer	軽量のサウンディング装置. 単管式と二重管式がある. 一般に深さ5mまでの粘性土地盤が対象.

ポータブルドリル	ぽーたぶるどりる	portable drill	ユニットのままで簡単に移動できる車輪付すりまたはトラックマウント型の各種の大きさの掘削装置.
ホーチン斜めメルカトル法	ほーちんななめめるかとーるほう	Hotine Oblique Mercator projection	メルカトル図法の変形. 投影する円筒の傾きを人工衛星軌道線に一致させて精度向上をはかる図法.
ポートヒューロン亜氷期	ぽーとひゅーろんあひょうき	Port Huron glacial substage	約1.3万年前に生じたウィスコンシン氷期中の亜氷期の一つ.
ホートンの法則	ほーとんのほうそく	Horton's laws	水系に関し, 谷の数・平均長・平均勾配・平均流域面積に一定の幾何級数的関係があるとされる4法則.
ポーフイロクラスティック	ぽーふいろくらすていっく	porphyroclastic	圧砕作用を受けた岩石において, 原岩の粗粒な結晶が斑晶状に残存している組織の状態を表す.
ポーフイロブラスト	ぽーふいろぶらすと	porphyroblast	斑状変晶と同義.
ボーフォート統	ぼーふおーととう	Beaufort series	南アフリカのケープ地方に発達するペルム系上部～三畳系下部の泥～頁岩優勢層. カルー層上部層.
ボーメの比重計	ぼーめひじゅうけい	Baume's hydrometer	うきばかりの一種. 水よりも軽い液体に使用するものと, 重い液体に使用するものがある. ボーメ度で表す.
ポラスストーン	ぽーらすすとーん	porous stone	砂粒子を焼き固めた空隙率の高い板で, 透水性が良いことから土質試験で排水の必要な箇所に用いられる. 透水板ともいわれる.
ポラスチップ付空隙水圧計	ポラスチップつきかんげきすいあつけい	porous tip piezometer	間隙の圧力水頭を測定する為の計器. 水の流入部分(チップ)に多孔質の材料を用いて閉塞を防ぐ.
ポーラログラフ法	ぽーらろぐらふほう	polarography	水銀を滴下させるなど微小電極を用いた電気分解により行う溶液の定性・定量分析法.
ボーリング	ぼーりんぐ	boring	土質・地質調査などで, 掘削ツールを使って地盤内に孔を掘る方法または作業.
ボーリング機械	ぼーりんぐきかい	boring machine	ボーリングに必要な回転力・推進力を発生させる機械. 掘削方法には回転式と衝撃式のものがある.
ボーリングコア	ぼーりんぐこあ	borehole core	ボーリングにより採取される円柱状のサンプル.
ボーリング孔	ぼーりんぐこう	borehole	資源探査や地盤・岩盤調査のため, 試錐機でビットなどを使って回転式で掘削された孔. 試錐孔・ボアホール・孔井ともいう.
ボーリング孔K値	ぼーりんぐこうけいち	borehole K-value	ボーリング孔内載荷試験において, 圧力の増分を孔壁の変位分で割った平均勾配を, ボーリングK値という.

ボーリング孔内 載荷試験	ぼーりんぐこうない さいかしけん	borehole loading test	孔内水平載荷試験と同義。
ボーリング孔内 横方向載荷試験	ぼーりんぐこうない よこほうこうさいか しけん	borehole lateral load test	孔内水平載荷試験と同義。
ボーリング柱状 図	ぼーりんぐちゅう じょうず	boring log	ボーリングで採取した試料の観察結果，土質試験結 果，孔内での原位置試験結果などを取りまとめたも の。
ボーリング調査	ぼーりんぐちょうさ	boring survey	ボーリングを用いて地中の状態を確認する調査手法。 各種の地盤調査や地質調査に多用される。
ボーリング泥水	ぼーりんぐでいすい	drilling mud	掘削用泥水と同義。
ボーリングポン プ	ぼーりんぐぼんぷ	boring pump	掘削器具の冷却と掘りくずの排除を行う掘削用水を ボーリングの孔底まで圧送するためのポンプ。
ボーリングロッ ド	ぼーりんぐろっど	drilling rod	ボーリング機械による回転と推力を掘削の先端のビッ トに伝えるための鋼管。掘削用水の通路ともなる。
ポールダイアグ ラム	ぼーるだいがぐらむ	pole diagram	面構造を統計的に処理するために，ステレオネット上 に投影した面構造の極の分布を表したダイアグラム。
ポールダイポー ル法	ぼーるだいはーるほ う	pole-dipole method	三電極を移動して測定する方法で，電気探査（比抵抗 法）における測定方法の一つ。三極法ともいう。
ポールダイポー ル法配置	ぼーるだいはーるほ うはいち	pole-dipole array	電気探査において，エルトラン配置における外側の電 流電極を無限遠に固定した電極の配置法。
ボールミル	ぼーるみる	ball mill	製砂・微粉製造機。ドラム内に鋼製のボールを多数入 れ，原材料と合わせて回転させることにより砂および 微粉を製造する機械。
捕獲岩	ほかくがん	xenolith	火成岩が生成する際に取り込まれた，母岩と成因を異 にする外来岩片～礫。広義には母岩と成因的に同源の こともある。
母岩	ぼがん	country rock, host rock, parent rock	①鉱床を胚胎する岩石。 ②貫入岩体に対する被貫入岩。 ③土壌母材となった，新鮮な岩石。
母岩変質	ぼがんへんしつ	wall rock alteration	鉱床形成時に行われる鉱床母岩の変質作用。一般に熱 水変質作用による母岩の変質をさすことが多い。
補間法	ほかんほう	interpolation	内挿法といわれ，いくつかの測定値を使って測定しな かった中間値を推定すること。
補強繊維	ほきょうせんい	reinforcing fiber	曲げ強度，引張り強度などを向上させる目的で，コン クリートに混入させる繊維。鋼・ガラス・プラスチック などの種類がある。

補強土	ほきょうど	reinforced earth	盛土の安定化などを目的として金属製の帯状補強材と土を交互に積み重ねたもの。
補強土工法	ほきょうどこうほう	reinforced earth method	盛土の強度を高めるための工法で、盛土を薄く撒きだし、層間に帯鋼などの引張り補強材を挟み転圧する工法。地山の切土において鉄筋・ロックボルトで補強する場合も補強土工法と呼ぶこともある。
補強土擁壁	ほきょうどようへき	reinforced earth wall	粒状土に鋼材やジオテキスタイルなどの補強材を埋め込むことによって土と補強材の集合体をつくり、これを積み重ねて擁壁としたもの。
補強盛土	ほきょうもりど	reinforced embankment, reinforced fill	盛土のり面の安定や変形の抑制を目的として、盛土内に補強材を敷設する工法。
補強ロックフィル	ほきょうろっくふいる	reinforced rockfill	一時的越流に耐えられるよう、コンクリート、金網、鉄筋などで補強を行った仮締切などのロックフィルダム。
北松型地すべり	ほくしょうがたじすべり	the Hokusho type landslide	長崎県北部の松浦半島一帯に発生している地すべりの総称。キャップロック型・流れ盤型が多い。
北西太平洋海膨	ほくせいたいへいようかいぼう	Northwest Pacific rise	太平洋北西部に存在する海膨。千島ーカムチャッカ海溝に平行して北東ー南西方向にのびる海膨。シャツキー海膨ともいう。
北西太平洋海盆	ほくせいたいへいようかいぼん	Northwest Pacific basin	日本海溝の東側に広がる大洋性海盆。海洋性地殻を持ち、西北西へ年約10cmの速度で移動。
北部北上帯	ほくぶきたかみたい	Northern Kitakami belt	北上帯を斜めに横断する早池峰構造帯の北東側で、ジュラ紀～白亜紀初期の付加体堆積物で形成された地帯。これに対して南側は地層の堆積環境や時代が異なり、南部北上帯と呼ばれている。
北米プレート	ほくべいぷれーと	North American plate	北極海と北極海に面するユーラシアプレート以外の大陸および海域を含むプレート。日本近傍では、北海道と東北日本は北米プレートに含まれる。
ポケットコンパス	ほけつとこんぱす	pocket compass	小型のコンパスの一種で、概略の方位角を測定する機器。探査測線を設定するための簡易測量などに用いる。
ポケット式貫入試験器	ほけつとしきかんにゅうしけんき	pocket penetrometer	粘土や軟岩に短いスチールロッドをあて、調整されたバネの反発により支持力を測定する携帯用試験器。
ポケットペネトロメータ	ほけつとぺねとろめーた	pocket penetrometer	ポケット式貫入試験器と同義。
匍行	ほこう	creep	クリープと同義。
匍行型地すべり	ほこうがたじすべり	creep type landslide	地すべりを運動様式の観点から分類したときのタイプ。移動速度が極めて遅く、明らかなすべり面を持たない。クリープ型地すべりと同義。
匍行成	ほこうせい	deluvial	クリープが原因となる現象を表す接頭語。

保孔対策	ほこうたいさく	measure of borehole maintenance	孔口にガイドパイプ、孔中にケーシングを設置し、泥水使用とセメント注入などによって孔壁を維持すること。
保護段丘	ほごだんきゅう	rock-defended terrace	基盤などの岩石によって、河川の側刻から保護された堆積段丘。岩石保護段丘ともいう。
保護土層	ほごどそう	protective layer	噴泥を防止するために、在来路盤土の不良箇所を良質土に置き換える。この置き換えた土層を保護土層という。
保護盛土	ほごもりど	protection earth blanket	トンネル坑口部の偏圧防止や土被りの薄い部分に設置する盛土で土圧の均等化を目的に実施。
ほ痕	ほこん	trail	地層に残された動物の匍跡（はいあと）を示す生痕化石の一種で、連続的な線状形態を特徴とする。
母材	ぼざい	parent material	土壌の生成過程における風化を受けて軟質となった物質あるいは植物遺体の堆積物。土壌母材ともいう。
星状閃亜鉛鉱	ほしじょうせんあえんこう	zincblende star	黄銅鉱の(111)面に沿って閃亜鉛鉱が幾何学模様配列したもので、高温ゼノサーマル型鉱床などに多産する。
保湿度	ほしつようりょう	specific retention	土壌中に存在する吸着水の最大量で、土壌の乾燥質量に対する水の質量で表される。
母集団	ぼしゅうだん	population	各種データを統計処理する際に取り出す個々のデータに対して、そのもととなる母体集団をさす。
保守管理	ほしゅかんり	maintenance	構造物あるいは機械設備などを良好な状態に保ち、その機能を維持するために管理すること。
堡礁	ほしょう	barrier reef	防波堤状に島の周囲を取り囲んでいるさんご(珊瑚)礁。内礁とそれを囲む外礁、その間の礁湖からなっている。
補償面	ほしょうめん	isostatic depth of compensation	大きな密度のマントル上に小さな密度の地殻があるとすると、地殻の底面または浮力の釣り合う位置。
補助曲線	ほじょきょくせん	auxiliary curve	垂直探査で多層構造を単純な等価層構造に置き換えて解析する時の標準曲線と共有する補助的解析曲線。
補助工法	ほじょこうほう	auxiliary method	トンネル掘削に際して切羽の強度・止水性・掘削能率向上などを目的に実施する補助的な工法。先受け・水抜き・注入・圧気・凍結その他多数。
補助ベンチ付全断面工法	ほじょべんちつきぜんだんめんこうほう	mini bench excavation method	上半断面を3mほど先行させて上半・下半を同時に掘削する工法。全断面工法と比較して切羽安定に効果があり全断面工法と同じ大型機械を使用することができる。
保水性	ほすいせい	water retentivity, water retention	土壌が水分を保持する能力。植物にとっては成長に有効かつ吸収可能な水分を保つ力として評価される。山間地では豪雨時の水害など災害防止の観点から評価される。

ポステル図法	ぼすてるずほう	postell's projection	等距離天頂図法ともいう。原点から任意点までの正しい距離と角度が図示されるが、原点以外ではひずむ。
ポストテンション方式	ぼすとてんしょんほうしき	post-tensioning system	コンクリート硬化後にP C鋼材に緊張力を加えコンクリートと定着してプレストレスを加える方式。
補正N値	ほせいえぬち	revised N-value	例えば、砂質土の液状化判定で粒度により補正をしたN値。試験方法やロッド長により修正したものは修正N値と呼ぶことがある。
舗装	ほそう	pavement	道路面の耐久性を高めるため、表層をコンクリート・アスファルト・石材などで被覆すること。
舗装アスファルト	ほそうあすふあと	asphalt pavement	アスファルト舗装用材料として用いられる。粗骨材・細骨材・フィラー・アスファルトの4つの混合物。
歩測	ほそく	pacing	歩いた歩数によって距離を求める方法。
細倉鉱山	ほそくらこうざん	Hosokura mine	宮城県栗原郡鶯沢町にあった鉛・亜鉛・銀などを産出する鉱山。中新世火山岩、泥岩中の浅～中熱水性鉱脈鉱床。1987年閉山。
ポゾラン	ぼぞらん	pozzolan	コンクリートの混和材の一種。天然産と人工のものがあり、前者には火山灰・溶岩・珪藻土など、後者には粘土や泥岩を熱処理したものがある。
ポゾラン反応	ぼぞらんはんのう	pozzolanic reaction	活性なシリカおよびアルミナよりなるコンクリート混和材が水和して、不溶性物質を生成し硬化する反応。
細呂木地すべり	ほそろぎじすべり	the Hosorogi landslide	1903年福井県内北部の細呂木で発生した地すべり。
ぼた	ぼた	debris	ずりと同義。トンネル掘削時に発生する岩屑や土砂。鉱山では低品位鉱石をさす。
保田石	ほたいし	Hota ishi	千葉県安房郡鋸南町保田産の石材。凝灰岩で土木用を使用。元名石と同義語。
ぼた石	ぼたいし	Bota ishi	香川県高松市栗林町産の石材。新第三系安山岩質集塊岩。土木用。
保田層群	ほたそうぐん	Hota Group	千葉県房総半島南部に分布する新生界下部中新統。海成で泥岩を主体とし、凝灰岩、砂岩、礫岩などをはさむ。千葉県安房郡富山町を模式地とする。
ぼた山くずれ	ぼたやまくずれ	coal-sludge avalanche	石炭あるいは亜炭に係わる捨石を集積して出来た「ぼた山」が浸食を受け、土砂石礫が自然に流出する現象。
ぼた山崩壊防止区域	ぼたやまほうかいぼうしくいき		地すべり等防止法により指定された、ぼた山の崩壊を防止するために管理を行う区域

蛍石	ほたるいし	fluorite	CaF ₂ . 立方晶系. 硬度4. 比重3.18. 無色～緑～紫. 紫外線を受けたり, 熱したりすると強い蛍光を発する鉱物で, 製鉄用融材・特殊ガラス原料などに利用される.
蛍石型構造	ほたるいしがたこうぞう	fluorite structure	立方晶系, Fm3mの空間群をもつ結晶構造でRX ₂ の化学組成が一般的. 多くの二硫化物や二酸化物がとる構造.
牡丹石	ぼたんいし	Botan ishi	福島県田村郡船引町, 三春町産の石材. 中生界はんれい岩(斑糲岩). 墓石, 建築用材として使用. 三春石, 鍋石と同義.
ボタンビット	ぼたんびつと	button bits	削岩機などに用いるビットの一つのタイプで, 硬岩・極硬岩用としてフラットな面に半球状の超硬チップを多数埋め込んだもの.
北海道海膨	ほっかいどうかいぼう	Hokkaido rise	千島ーカムチャッカ海溝の東約100～200kmを海溝に平行して伸びる幅広い高まり.
北海道駒ヶ岳	ほっかいどうこまがたけ	Hokkaido Komagatake volcano	北海道渡島半島の内浦湾南岸にある成層火山. 歴史時代の活動記録は1670年以来16～17回で周期的に山頂火口で発生する.
北海道駒ヶ岳 1929年噴火	ほっかいどうこまがたけ1929ねんふんか	the 1929 Hokkaido Komagatake eruption	1929年6月17日に発生した北海道駒ヶ岳の噴火. 17日の大噴火は, 噴煙柱高度14km, 降下軽石0.38km ³ , 軽石流0.15km ³ , 火砕サージ0.004km ³ を発生させた.
北海道駒ヶ岳噴火	ほっかいどうこまがたけふんか	the 1929 Hokkaido Komagatake eruption	1929年6月17日の1日間の大噴火により噴煙柱高度14km, 降下軽石0.38km ³ , 軽石流0.15km ³ , 火砕サージ0.004km ³ を発生させた.
北海道東方沖地震	ほっかいどうとうほうおきじしん	the 1994 Hokkaido-Toho-oki earthquake	1994年10月4日に北緯43.4度, 東経147.7度, 震源の深さ23kmを震央として発生したM8.1の地震. 最大震度は釧路, 厚岸で震度6. 津波を伴い択捉島から宮城県まで被害が発生. 正式名称は「平成6年(1994年)北海道東方沖地震」.
北海道南西沖地震	ほっかいどうなんせいおきじしん	the 1993 Hokkaido-nansei-oki earthquake	1993年7月12日に北緯42.9度, 東経144.4度, 震源の深さは35kmを震央として発生したM7.8の地震. 地震による斜面崩壊と奥尻島を中心とした津波により甚大な被害が発生した. 奥尻島は30～80cm沈降した. 正式名称は「平成5年(1993年)北海道南西沖地震」.
北海盆地	ほっかいぼんち	North Sea basin	第三紀初期の北海周辺地域に発達した沈降盆地. イギリスーフランスーベルギー盆地ともいう.
北極海	ほっきょくかい	Arctic ocean	北極を中心としてユーラシア・北アメリカ両大陸に囲まれた海. 大部分が一年の大半氷に覆われている.
北極褐色土	ほっきょくかつしよくど	Arctic brown soil	北極のツンドラ地帯の土壌で, 排水良好で砂礫地に分布する
ボックスカルバート	ぼっくすかるばーと	box culvert	道路・堤防などの築堤の下を横断する箱型の暗きよ(暗渠). 場所打ちコンクリートまたはプレキャストコンクリート製.
ボッケフェルト統	ぼっけふえるととう	Bokkeveld series	南アフリカのボッケフェルト地方に発達するデボン系の砂岩頁岩互層.
ホットスポット	ほっとすぽっと	hot spot	高温のプルームを変化させるプレート下のマントル深部に固定された点. プレートの移動速度を求める基準点となる.

ホットスポット説	ほっとすぽっとせつ	hot spot hypothesis	深部マントルの固定した熱源により、定常的にプルームが上昇する場所（ホットスポット）に火山活動が起き、火山島が形成されるとする考え。
ホットプルーム	ほっとぶるーむ	hot plume	地球内部の温度不均質のうち、マントル内の核から地球表面に向かって上昇する熱い物質の流れのこと。
ポテンシャル温度	ぽてんしゃるおんど	potential temperature	深さの変化に伴う圧力変化による断熱温度勾配で示す水温。マントルについても同様の考え方がある。
ポテンシャル水頭	ぽてんしゃるすいと う	potential head	流体ポテンシャルを重力加速度で除した水頭で水理水頭とも呼ばれ、位置水頭と圧力水頭からなる。
ポテンショメータ	ぽてんしょめーた	potentiometer	電位差計と同義。
ホドグラフ	ほどぐらふ	hodograph	移動する質点の速度ベクトルの先端が描く軌跡。
ホドグラム法	ほどぐらむほう	hodograph method	二次元定常流などを解析する手法の一つ。運動を記述するとき動きを表す速度ベクトルに着目する考え。
ポトシ型錫鉱床	ぽとしがたすずこう しょう	potosi type tin deposit	ボリビアのポトシからアンデス方向に9,000km以上続くボリビア錫鉱床帯に産する銀・錫の熱水鉱床。
ポドゾル	ぽどぞる	podzol	寒冷湿潤地帯の針葉樹林下に発達する成帯性土壌灰白層。灰白色に漂白された層とその下の集積層が特徴。
ポドゾル化作用	ぽどぞるかさよう	podzolization	土壌生成作用の一種で、表層土の中で最も移動しにくい鉄、アルミニウムまで溶脱して下層に集積する作用。
ポドゾル化ラテライト性土	ぽどぞるからてらい とせいど	podzolized lateritic soil	湿潤熱帯の降雨林下に分布する成帯性土壌。ラテライト性土壌の表層でポドゾル化作用が進んだ土壌。
ポドゾル性土壌	ぽどぞるせいどじょ う	podzolic soil	ポドゾル化作用を受けた土壌、粘土が移動、集積して漂白層が認められるようになった土壌。
ボトムホールサンプラ	ぼとむほーるさんぷ ら	bottom hole sampler	孔底付近の液相試料を採取する器械。タイマーをセットした時計式採取器で、一定時間後にバルブが閉じ、試料が密閉される仕掛け。孔底試料採取器ともいう。
ボトムホール温度	ぼとむほーるてんぺ らチャー	bottom-hole temperature	ボーリング孔底またはその付近の岩盤あるいは媒体の温度。
ボトムホールプレッシャー	ぼとむほーるぷれっ しゃー	bottom-hole pressure	孔井底部の流体圧力のことで、密閉孔底圧、産出孔底圧などがある。原油・ガス層の産出テストの一環として測定される。
ボトルガス	ぼとるがす	bottle gas	揮発性炭化水素を加圧下で水素やメタンと混合したガスの総称。プロパン・ブタン・LPガスなどが一般的。

骨組構造	ほねぐみこうぞう	soil structure	土壌構造と同義.
骨組構造解析	ほねぐみこうぞうかいせき	frame structure analysis	構造物の構成要素をソリッドな棒状材にモデル化した構造解析.
ポノール	ぽのーる	ponor, swallet, sink, swallow hole	地表水が吸い込まれて地下水系に入る入り口. ドリーネの底や, ポリエの末端で地表水が流入する場所に分布する.
母分散	ぼぶんさん	population variance	統計処理上で, 個々のデータと母集団の平均値との差を2乗したものの算術平均.
母平均	ぼへいきん	population mean	母集団から取り出した個々のデータを単純に算術平均したもので, 母集団の統計学的特徴を充分にあらわした平均値.
ボヘミア地塊	ぼへみあちかい	Bohemian massif	バリスカン山地の一つで, チェコ南西部を中心に約300km四方に広がる. 先バリスカンの岩石も多く存在する.
ポメラニア亜氷期	ぼめらにああひょうき	Pommeranian stadial	ウルム氷期中期と後期の境界に当たる, 約1.6万年前に生じた亜氷期.
ホモエレクトス	ほもえれくとす	<i>Homo erectus</i>	更新世前期から中期にかけて生存した猿人に続く進化段階の化石人類, 原人, ジャワ原人, 北京原人など. 言葉や石器を使用.
ホモグラフィック図法	ほもぐらふいっくずほう	homographic projection	地図投影の擬円柱図法の一つで, 長軸と短軸の比が2対1の楕円からなる正積の図法. 縁辺ほどひずみは大きいですが作図は容易. 緯線は平行直線, 経線は楕円で示される. ホモグラフ図法, モルワイデ図法ともいう.
ホモグラフ図法	ほもぐらふずほう	homographic projection	ホモグラフィック図法と同義.
ホモタクチックファブリック	ほもたくちつくふあぶりつく	homotactic fabric	一つの岩石を構成する全ての部分ファブリックの対称要素が一致するような岩石組織.
ホモハビリス	ほもはびりす	<i>Homo habilis</i>	鮮新世末期から更新世初頭にかけてアフリカに生存した原人 (ホモエレクトス) よりも古い化石人類.
保有水	ほゆうすい	unfree water	土中水のうち, 地下水・重力水以外の水で, 土中の間隙あるいは土粒子表面に保有されている水分.
洞川大理石	ほらがわだいらせき	Horagawa marble	奈良県吉野郡天川村産の石材. 白色の大理石で装飾材に使用.
掘井戸	ほりいど	dug well	機械を使用しないで, 人間の手で掘った井戸. 一般に井戸口径は1m程度で, 深度は十数m以内が多い.
ポリエ	ぼりえ	polje	カルスト地域内の凹地で, その底面積は100~数百km ² と大きい.

堀切石	ほりきりいし	Horikiri ishi	福島県安達郡本宮町堀切に産する第四系更新統の安山岩.
堀切法	ほりきりほう	horikiri method	軟石を採取する方法で、切込み法と同義語。石材の所要寸面の周囲につるはしで溝を切込み、底面に楔などを打込んで石材を採取する方法。
掘屑	ほりくず	cuttings, slime	ボーリング掘進中に、ビットの切削作用によって生ずる岩石などの削りくず。スライムと同義語。
ポリクリナル褶曲	ほりくりなるしゅうきよく	polyclinal fold	褶曲軸面の傾斜は異なるが、褶曲軸面の方向が同じである一群の褶曲。
掘込法	ほりこみほう	horikomi ho	板状の石材を採る方法。節理面などに挿込んだ鉄楔で石材を取巻き、四方から一斉に打込んで切り離す方法。掘切法と同義。
ポリゴン	ほりごん	polygon	①面のこと。直線で囲まれた多角形。 ②ベクタデータを構成する要素の一つ。
掘下げポンプ	ほりさげぼんぷ	sinking pump	立坑や斜坑の掘下げ掘進の際に使われる可搬式の小型ポンプ。ウインチや小型巻上機などでつるされて使用される。
掘抜井戸	ほりぬきいど	artesian well	被圧井戸と同義。
ポリマ	ほりま	polymer	水溶性高分子のこと。孔壁の安定を保つ安定液などに使用される。ポリマ系安定液は耐塩性がある。また、コンクリート混和剤として用いると水密性や、曲げ強度の増大などに効果がある。
ポリマー含浸率	ほりまーがんしんりつ	polymer loading	ポリマー含浸コンクリート（モルタル）に含まれるポリマーの量の比率。
ポリマーコンクリート	ほりまーこんくりーと	polymer concrete	結合材としてポリマーまたはポリマーとセメントを用いたコンクリート。強度・防水性などが改良。
ポリマー混和剤	ほりまーこんわざい	polymer admixture	モルタルやコンクリートに用いられる高分子混和剤で、防水性、付着性、耐磨耗性などが向上。
ポリマーセメントコンクリート	ほりまーせめんところんくりーと	polymer cement concrete	結合材としてポリマーとセメントを用いたコンクリート。
ポリマーセメント比	ほりまーせめんとひ	polymer-cement ratio	ポリマーセメントコンクリートにおけるセメント重量に対するポリマー固形分の重量の割合。
保留水	ほりゅうすい	retention water	地層や土壌中の間隙にある水が排水された後、そこに保留されている水。排水された水は浸出水と呼ぶ。
ホルスタイン間氷期	ほるすたいんかんぴょうき	Holstein interglacial stage	北欧のエルスター氷期とザール氷期の間の温暖期。アルプスのミンデルーリス間氷期に相当。

ホルスト	ほるすと	horst	地塁と同義。沈降帯中で沈降が遅れて、ほぼ平行な複数の断層で切れて相対的に上昇した狭長な凸地。地塁と地溝は伴って発生する場合が多い。
ボルダー	ほるだー	boulder	巨礫と同義。
ボルダークレー	ほるだーくれー	boulder clay	氷河によって生成された、巨礫まじりの硬く締った粘土。一般に成層していない。
ポルトランドセメント	ほるとらんどせめんと	portland cement	普通ポルトランドセメントと同義。
ポルトランドポゾランセメント	ほるとらんどぼぞらんせめんと	portland pozzolan cement	セメントに珪酸白土、珪藻土、火山灰などのシリカ質粉末を混ぜたセメント。セメントの水和反応によって生ずる発熱を緩和できる。
ボルン近似	ほるんきんじ	Born approximation	地震波トモグラフィの解析時において、波動方程式を解く際に用いる数学的近似の一つ。
ホルンフェルス	ほるんふえるす	hornfels	塊状緻密に再結晶した接触変成岩。花崗岩の周囲に生成することが多い。泥質岩源以外にも用いられる。
ホルンフェルス状	ほるんふえるすじょう	hornfelsic	結晶の大きさがほぼ等しい変成組織。接触変成岩に多く、モザイク・グラノプラスチックと同義。
ホルンフェルス相	ほるんふえるすそう	hornfels facies	高温低圧の変成相。単独にホルンフェルス相と呼ばれる鉱物相はなく、輝石など鉱物名が冠に付けられる。
ホルンブレンドホルンフェルス相	ほるんぶれんどほるんふえるすそう	hornblende hornfels facies	接触変成作用で生じる高温低圧の変成相。角閃石を含み、花崗岩のまわりの接触変成帯はこれに属することが多い。
ボレアル期	ぼれあるき	Boreal time	約10,000～8,500年前の冷温・乾燥期。後氷期の気候変化と植生変化との関連で設定された。
ボロウデール火山岩類	ぼろうでーるかざんがんるい	Borrowdale volcanic series	イングランド北西部（湖水地方）に分布するオルドビス系火山岩。主に安山岩・流紋岩の溶岩・火山砕屑岩からなる。
ホローグラビティダム	ほろーぐらびていだむ	hollow gravity dam	中空重力式コンクリートダムと同義。
ホログラフィー法	ほろぐらふいーほう	holography method	反射法地震探査の一種で、波の干渉あるいは回折現象を利用して地下構造を三次元的に表現する手法。
ホログラム	ほろぐらむ	hologram	光波の位相と振幅が同時に記録された特殊な写真乾板。位相の均一な光により立体像を再現できる。
ホログラム法	ほろぐらむほう	hologram method	ホログラフィー法と同義。

ポロコッペの原理	ぽろこっぺのげんり	Porro-Koppe's principle	同一の光学系を介した対象と結像には光学的に可逆性があるという原理。イタリアのPorroとドイツのKoppeが発見。
ポロシメータ	ぽろしめーた	porosimetry apparatus	岩石中や土中の間隙径分布を測定する装置。
ポロシリ氷期	ぽろしりひょうき	Poroshiri glacial stage	日高山脈における氷河地形を形成した時期のうち、古い時期の方を呼ぶ。山岳氷河が発達した時期。
幌内層	ぽろないそう	Poronai Formation	北海道中央南部に広く分布する新生界始新～下部漸新統。三笠市幾春別川支流幌内沢を模式地とする。海成で無層理のシルト岩を主体とし凝灰岩層を挟む。
幌別石	ほろべついし	horobetsuite	(Bi, Sb) ₂ S ₃ 。北海道幌別鉱山のイオウ鉱床に産出する。輝安鉱と輝蒼鉛鉱の固溶体。幌別鉱ともいう。現在は独立種とされていない。
幌満かんらん岩体（幌満橄欖岩体）	ほろまんかんらんがんたい	Horoman peridotite complex	北海道日高山脈南部のアポイ岳周辺に分布する日高変成帯中のかんらん岩（橄欖岩）体。
ボロン交代作用	ぼろんこうたいさよう	boron metasomatism	ホウ素を含む鉱物（電気石・斧石・ダイライトなど）が花崗岩体の周辺やその内部に濃集する作用。
ホワイトスモーカー	ほわいとすもーかー	white smoker	熱水噴出煙突（チムニー）先端から高温の熱水とともに白煙状に噴出する硫酸塩・珪酸塩・シリカなど。
淮南運動	ほわいなんうんどう	Huainanian movement	中国大陸東部の石炭紀ビゼー世とモスクワ世の間の地殻変動。この運動はズデーテン褶曲時相に相当。
ホン	ほん	phon	騒音の単位, または騒音の大きさ。
本源玄武岩	ほんげんげんぶがん	primary basalt	マントル上部で発生した玄武岩質本源マグマが、ほとんど分化せずに地表付近に噴出し固結した玄武岩。
本源マグマ	ほんげんまぐま	parental magma	分化作用によって多様なマグマが生じるが、それら一連のマグマの起源となるマントル物質の溶融でできるマグマ。
本坑	ほんこう	main tunnel	工事目的の主体をなすトンネル。
本郷石	ほんごういし	Hongo ishi	静岡県下田市本郷産の石材。新第三系凝灰質砂岩で建築用・墓石・砥石に使用。
本河内石	ほんこうちいし	Honkochi ishi	長崎市本河内町産の石材。新第三紀角閃石両輝石安山岩。船蔵石と同質。
本小松石	ほんこまついし	Honkomatsu ishi	神奈川県足柄下郡真鶴町産の石材。更新統両輝石安山岩。墓石、港湾基礎材、石垣、造園用などに使用。

本更紗	ほんさらさ	Honsarasa	赤坂大理石のうち、白・黄・赤色などの方解石または鉄分に富む黄赤色粘土質でこう結（膠結）された多彩なもの。
本質	ほんしつ	essential	火山碎屑物を構成する物質のうち、マグマから直接固結したものであることを示す形容詞。
本質鉱物	ほんしつこうぶつ	essential mineral	マグマから直接由来した鉱物で、火口から放出される時の形態にかかわらず、マグマが直接固結したもの。
本州区	ほんしゅうく	Honshu major belt	地向斜造山論に基づく日本列島の地質構造区分における本州地域。
本州弧	ほんしゅうこ	Honshu arc	日本列島周辺の大地形を概観すると、弧状の本州部分の一つの島弧として区分できる。この本州部分のこと。
本州四国連絡橋	ほんしゅうしこくれんらくきょう	connecting bridges between Honshu and Shikoku	本州と四国間の神戸～鳴門、児島～坂出、尾道～今治の各ルートを結ぶ瀬戸内海横断橋梁。
本州四国連絡道路	ほんしゅうしこくれんらくどうろ	Honshu-Shikoku Highway	本州と四国を橋梁で結ぶ神戸～鳴門、児島～坂出、尾道～今治の3ルートの総称。
本州造山運動	ほんしゅうぞうざんうんどう	Honshu orogenic movement	地向斜造山論における古生代末～中生代初めの本州地向斜に発生したと考えられる造山運動。
本州地向斜	ほんしゅうちこうしゃ	Honshu geosyncline	地向斜造山論における、シルル紀からペルム紀末期にかけて、本州区に存在したと考えられている優地向斜。
本州地背斜時代	ほんしゅうちはいしゃじだい	Honshu geoanticlinal age	地向斜造山論における、三じょう紀（三疊紀）後期からジュラ紀中期頃の本州区が地背斜として独自性をもっていた時代。
本州中軸深成帯 変成帯	ほんしゅうちゅうじくしんせいたいへんせいたい	Honshu axial zone of plutonism and metamorphism	地向斜造山論における本州造山運動の中軸にあたる地域で本州中軸帯ともいう。
盆状岩体	ぼんじょうがんたい	lopolith	中央部が皿状にくぼんだ貫入岩体で、盆盤ともいう。岩石は主にはんれい岩（斑糲岩）で、上・下方向に岩が分化している。
盆状構造	ぼんじょうこうぞう	basin structure	まわりから、中央に向かって地層が傾く構造で盆地構造ともいう。
本匠変成岩	ほんじょうへんせいがん	Honjo metamorphic rock	大分県大野郡三重町南部の秩父累帯中に帯状に分布する変成岩類。グラニュライト・角閃岩が主体。
本震	ほんしん	main shock	一連の地震活動中に起きた最大規模の地震、主震と呼ぶこともある。
本ダム	ほんだむ	main dam	副ダムや脇ダムに対し、主となるダム堤体を区別する場合に使用。主ダムともいう。

盆地構造	ぼんちこうぞう	basin structure	盆状構造と同義.
本堤	ほんてい	main levee	氾濫を直接防ぐもので、一般的には流れに沿って両岸に作られる最も重要な堤防.
ボンヌ図法	ぼんぬずほう	Bonne projection	正積図法の一つ。中緯度帯を表すには適するが、中央経線から離れるに従って図のひずみが大きくなる.
盆盤	ぼんばん	lopolith	盆状岩体と同義.
ポンピング現象	ぼんぴんぐげんしょう	pumping action	コンクリート舗装下の路床土が車両走行の繰り返しによって泥土化し舗装のひび割れ部分から吹き出す現象.
ポンプ圧送工法	ぼんぷあつそうこうほう	pumped concrete for dams	ダムコンクリートをポンプで圧送する（PCD）工法.
ボンベ型地震計	ぼんべがたじしんけい	bombtype seismometer	高压に耐えられる容器に収められた地震計。深井戸に設置した場合でも、水圧が直接地震計に加わらない.
本巻	ほんまき	permanent lining	仮巻きに対する本設の覆工.
本御影	ほんみかげ	Honmikage	花崗岩、一部はんれい岩の石材名。近世に御影浜（神戸市）から大阪に出荷されたことに由来して命名.
本村地すべり	ほんむらじすべり	the Honmura landslide	1972年に岡山県高梁市落合町本村で発生した地すべり。全壊3戸、半壊5戸とされる災害履歴がある.
マーカスウェーク海山群	まーかすうえーくかいざんぐん	Marcus-Wake seamounts	太平洋中央海山群の西半部分で、伊豆～小笠原海溝の南端からマーカス島～ウェーク島までつづく海山群.
マーガライト土	まーがらいとど	margalitic soil	インドネシアに分布する熱帯黒色土で、塩基性火成岩を母岩とし、多量のモンモリロナイトを含む粘土質土壌.
マーケサス断裂帯	まーけさすだんれつたい	Marquesas fracture zone	東太平洋海膨の西側腹部に存在する断裂帯。南緯10度に沿って西経140度から120度まで東西方向に走る.
マーサルの粒子破碎率	まーさるのりゅうしはさいりつ	Marsal's particle break rate	粒子破碎の程度を示す指標（BM）。その後、修正を加えた修正破碎率（BM*）が提案されている.
マーシャル安定度試験	まーしゃるあんていどしけん	Marshall stability test	アスファルト混合物の力学試験の一つ。供試体を2枚の円弧形載荷板に挟んで加圧する.
マーストリヒト階	まーすととりひとかい	Maastrichtian stage	国際対比の基準となる白亜系の最上部階で、模式地はオランダ南東部のマーストリヒト。6,500万年～7,400万年前に相当.

マーチック衝上	まーちっくしょうじょう	Martic overthrust	アパラチア山脈で変成帯と非変成帯の境界をなすと推定されている衝上断層.
馬平階	まーぴんとう	Mappingian stage	中国湖北省南西部に分布する, 石灰岩を代表的岩相とする最上部石炭系～下部ペルム系の地層.
馬蘭黄土	まーらんおうど	Malan loess	黄河中流地域に発達する, 更新世後期のものと推定される黄土層の一つ.
馬蘭期	まーらんき	Malan stage	中国の更新世後期の黄土期の後半で, 馬蘭黄土が堆積した時期. ウルム氷期およびリスーウルム間氷期に対比.
マール	まーる	maar	泥灰岩と同義.
マール	まーる	marl	爆発的噴火によりできた火口で, 円形またはそれに近い形態を示し, 周辺に顕著な堆積物の丘が発達していないもの.
マールバラ片岩	まーるばらへんがん	Marlborough schist	ニュージーランド南島北東部に分布する片岩類
マイグレーション	まいぐれーしょん	migration	①生物が食物, 生息環境の変化, 繁殖などに関連して他の場所へ移動すること. 分散ともいう. ②地震探査反射法や音波探査で得られる反射面の時間軸上での位置を深度軸上での位置に移す解析上の一過程. ③大陸成長説において新しい地向斜が古い安定した大陸(クラトン)の外側へ順次できていくこと.
マイクロインジケータ	まいくろいんじけーた	microindicator	①微小な長さ(±20~100 μ m)の測定器の一つ. ②高速内燃機関の圧力を機械的に測定する装置.
マイクロウェーブドリル	まいくろうえーぶどりる	microwave drill	マグネトロンによって極超短波を発生させ, それを岩石に照射して加熱し, 表面を熱剥離させる掘削法.
マイクロ花崗岩	まいくろかこうがん	microgranite	平均粒径が1~0.1mm程度で個々の鉱物が顕微鏡スケールで発達する細粒な花崗岩.
マイクロキャリパー	まいくろきゃりぱー	microcaliper	マイクロ比抵抗検層とキャリパー検層とを同時に行うことができる検層. マイクロログキャリパーともいう.
マイクロクーロン	まいくろくーろん	microcoulomb	クーロンの百万分の1に等しい電荷の単位(μ c).
マイクロクラッキング	まいくろくらっきんぐ	microcracking	岩石, コンクリートなどに, 顕微鏡的大きさの亀裂(マイクロクラック)を生じること.
マイクロクラック	まいくろくらっく	microcrack	顕微鏡的スケールの割れ目. 相対的に規模の小さな亀裂・断裂・裂か(裂罅)の総称.
マイクログラビティ	まいくろぐらびてい	microgravity	高精度の軽量重力計を用いて, 地中の空洞や埋没した基盤面の形状を探索する重力探査法.

マイクログラフィック	まいくろぐらふいっく	micrographic, implicated micropegmatitic	長石（通常カリ長石）と石英の連晶がおりなす顕微鏡的な規模の構造。文象構造（くさび形文字状の構造）と同義。
マイクロ検層	まいくろけんそう	micrologging	電気検層の一つ。数cmの短い電極間隔で、ボーリング孔壁地盤の比抵抗値を測定する方法。
マイクロ指向式検層	まいくろしこうしきけんそう	microfocused logging	マイクロ比抵抗検層を指向式にしたもの。低比抵抗の泥水が使用された場合に適する。
マイクロ重力測定	まいくろじゅうりょくそくてい	microgravimetry	数十マイクロガル級の微少な重力変化を解析する重力探査法。地下浅部の微細構造解明を行うのに用いる。
マイクロスフェリカル検層	まいくろすふえりかるけんそう	microspherically focused logging	泥水置換領域を測定する比抵抗検層。電極配置を変えることができるので、地盤条件に合った測定が可能。
マイクロゾーニング	まいくろぞーにんぐ	microzoning	液状化マップなど、特定地域の地震活動度や地盤条件を考慮して細かく地域区分を行うサイスミックゾーニングの一種。
マイクロ波	まいくろは	microwave	電磁波の一種。波長0.3～30cm。リモートセンシングでは雲を透過する性質を利用し地形測量等に利用。
マイクロ波映像レーダー	まいくろはえいぞうれーだー	microwave imaging radar	マイクロ波帯の電波により得られる二次元映像を利用するレーダー。写真より高低感が強く、判読が容易。
マイクロ波高度計	まいくろはこうどけい	microwave altimeter	海面の波高（高度）を数cmの精度で測定することを目的としたセンサ。
マイクロ波散乱計	まいくろはさんらんけい	microwave scatterometer	異方向から海面の散乱断面積を観測して、海上風ベクトルを高精度で測定するセンサ。
マイクロ波センサ	まいくろはせんさ	microwave sensor	能動型リモートセンシングで使用されるセンサで数cm～数十cmのマイクロ波域が利用される。
マイクロ波放射計	まいくろはほうしゃけい	microwave radiometer	マイクロ波帯域の放射エネルギーを捉えるセンサで、物体からの熱放射絶対量を測定する。
マイクロ波リモートセンシング	まいくろはりもーとせんしんぐ	microwave remote sensing	マイクロ波を用いた遠隔探査手法の呼称。マイクロ波を用いる利点は、天候に左右されない点があげられる。
マイクロ波レーダー	まいくろはれーだー	microwave radar	マイクロ波を用いたレーダー。マイクロ波が対象物の種類や表面粗さなどにより変化する特徴を利用。
マイクロ比抵抗検層	まいくろひていこうけんそう	micro resistivity logging	比抵抗検層の一種。狭い間隔で電極を装着したパッドを孔壁に圧着し、孔壁付近の地層の比抵抗を計測する。
マイクロプレート	まいくろぷれーと	microplate	巨視的なプレートの動きでは説明できない内陸部の地殻運動を理解するため想定されたプレート分割モデル。

マイクロペグマタイト	まいくろぺぐまたいと	micropegmatite	種々の火成岩の石基にみられる岩組織で、ペグマタイトにおけるカリ長石と石英の文象構造が顕微鏡的規模で発達したもの。
マイクロベンチ工法	まいくろべんちこうほう	micro bench tunneling method	トンネルの補助ベンチ付全断面掘削工法。ベンチ長は2～4 m程度で上・下半を併進させる。全断面では安定しないが比較的安定した地山に適用される。
マイクロメータ	まいくろめーた	micrometer	①長さの単位の1つ。1メートルの100万分の1の長さ。 ②変位計，測微計。
マイクロライト	まいくろらいと	microlite	火成岩中の短冊状・針状の結晶で，顕微鏡サイズのもの。別名は微晶。
マイクロラテロ検層	まいくろらてろけんそう	microlatero logging	マイクロ検層の欠点を改良したもので，測定電流を地層方向に収束させるようにしたもの。
マイクロラテロログ	まいくろらてろろぐ	microlaterolog	マイクロラテロ検層と同義。
マイクロログ	まいくろろぐ	microlog	マイクロ比抵抗検層と同義。シュランベルジャー社の商品名。
迷子石	まいごいし	erratic boulder, erratic block	氷河の流動・運搬作用により遠方よりもたらされた異地性の石や礫で，付近の基盤岩と種類を異にするもの。
埋積谷	まいせきこく	waste-filled valley	堆積物によって厚く埋められた河谷。浸食作用の停止にともない運搬物質が急速に堆積して形成される。
埋積作用	まいせきさよう	aggradation	地形の平坦化作用の一つで，陸上や海底の起伏を碎屑物で埋めていく作用。
埋積段丘	まいせきだんきゅう	accumulation terrace	堆積段丘と同義。
埋積物	まいせきぶつ	fills	陸上や海底の起伏の凹部を埋める堆積物。
埋積物浸食段丘	まいせきぶつしんしょくだんきゅう	fill strath terrace	谷を厚く埋積した地層を浸食して，薄い礫層がおおっている浸食段丘の一種。
埋積物頂面段丘	まいせきぶつちょうめんだんきゅう	fill top terrace	段丘面が谷を厚く埋積した地層の堆積面そのものである段丘。
埋積盆地	まいせきぼんち	buried basin, waste-filled basin	盆地が，周辺山地から供給される岩屑によって埋積された場合に埋積盆地という。
埋設型ゲージ	まいせつがたげーじ	buried gauge	主にコンクリート構造物に埋め込み，応力やひずみの測定に用いるひずみゲージ。プラスチックなどで被覆し板状や円筒状に成形されている。

埋設管	まいせつかん	buried pipe	水・都市ガスなどの各種エネルギー，通信などの情報を輸送する目的で，地中に直接埋設される管。
埋設ゲージ法	まいせつげーじほう	borehole deformation method	応力解放法による初期応力測定法の一つ。小口径のボーリング孔内に8成分のひずみゲージ（孔軸直交面内4成分，孔軸斜交方向4成分）をセメントミルクで埋設し，大口径のオーバーコアリングを行う。
埋設工	まいせつこう	buried works	蛇かご埋設工などの山腹基礎工の一種。斜面土砂の崩落を防止するために埋土中に設けられた山腹土留工。
埋設物	まいせつぶつ	buried deposit	地中に埋められているもの。地下浅所のは土木工事時の調査対象となり，浅部物理探査が利用される。
埋設物調査	まいせつぶつちょうさ	investigation for buried structure	地盤中に埋設した人工物の調査。探査を主体とする間接方法と，掘削による直接方法に区分される。
埋蔵岩量	まいぞうがんりょう	rock reserves	地表下に存在する未採掘岩石の総量の賦存量（理論埋蔵岩量）と可採埋蔵量と通常分けて表現する。
埋蔵鉱量	まいぞうこうりょう	reserve, resource, ore reserves	USGS（米国地質調査所）によって一般化された資源（経済対象となる有用物質濃集体）量分類の一つ。地質学的確実度と経済性の組み合わせにより評価されており，経済性があり，かつ確認されている有用物質濃集体を埋蔵鉱量としている。
埋蔵炭量	まいぞうたんりょう	coal reserves	地下に埋蔵されている石炭の量。理論的に石炭の体積×比重で計算される。
埋蔵文化財	まいぞうぶんかざい	buried cultural properties	地下や湖底などから発見される石器，土器，住居跡，墓地などの文化財。
埋蔵量	まいぞうりょう	reserve, resource	鉱床が地下に埋蔵されている量。鉱床の体積×比重で求められる。
マイター褶曲	まいたーしゅうきょく	miter fold	褶曲軸面がほぼ対称的に傾斜する褶曲。シェブロン褶曲・キルク褶曲・尖頂褶曲とよばれるものの一種。
マイターボックス	まいたーぼっくす	miter box	土の一軸圧縮試験などで供試体の端面成形に用いる道具。円筒形を垂直方向に二つ割りしたもの。
マイタイ統	まいたいとう	Maitai series	ニュージーランドのネルソン市東方を模式地とする古生代ペルム紀の地層。
舞鶴構造帯	まいづるこうぞうたい	Maizuru tectonic belt	京都府舞鶴から広島県西部にかけて，ペルム系～三畳系の地層（変成岩）がナップをなして分布する地質構造帯。堆積岩類と超塩基性岩類からなる。
舞鶴帯	まいづるたい	Maizuru belt, Maizuru zone	舞鶴構造帯と同義。
舞出階	まいでかい	Maide stage	南部北上山地に分布し，陸前高田市付近を模式地とする下部石炭系大平統の下部階。

埋没河川	まいぼつかせん	buried channel	過去の河川の水路が、土石流、火砕流などによって埋没された河川の痕跡を示すもの。ダム建設・トンネル建設などにおいて注意を要する。
埋没群集	まいぼつぐんしゅう	taphocoenosis	化石化していない生物遺骸またはその生痕が堆積物中に埋積された群集。主に内生型底生動物で構成される。
埋没谷	まいぼつこく	buried valley	埋積谷と同義。
埋没砂丘	まいぼつさきゅう	buried dune	成長をやめた古い砂丘が、再び砂丘を形成する条件となったため新しい砂堆で覆われたもの。
埋没史	まいぼつし	history of being buried	過去につくられた旧地形（特に谷地形など）が埋没された過程。埋没の原因を気候の変化、氷河の消長、海面変化などで究明する。
埋没段丘	まいぼつだんきゅう	buried terrace	古い段丘が、ほぼそのまま新しい堆積物に埋積されたもの。
埋没地形	まいぼつちけい	buried landforms	既成の地形がほとんど変化せずに新しい堆積物や火山噴出物によって覆われ埋没したもの。
埋没土	まいぼつど	buried soil	火山灰・地すべり堆積物・溶岩流などの新しい堆積物に埋められた土壌。
埋没変成作用	まいぼつへんせいさ よう	burial metamorphism	広域変成作用の一つ。堆積時より高い温度条件下の再結晶を変成作用としたときの、続成作用との移化的段階の変成作用で、変成岩特有の片状構造を示さない。
埋没林	まいぼつりん	submerged forest	陸上に生育した森林が、そのまま埋められて残っているもの。
まいまいず井戸	まいまいずいど	maimaizu well	地表面をすり鉢状(直径20m～30m)に掘り下げ、その底面からさらに穴(直径1.5m～2m)を掘り進め、地下水を取水する井戸。
マイロナイト	まいろないと	mylonite	岩石が高い封圧下で著しい圧砕作用を受けて、微粒の再結晶集合体になったもの。圧砕岩と同義。
マイロナイト化作用	まいろないとかさ よう	mylonitization	地下深部での圧砕作用による塑性変形を受けて構成鉱物が動的再結晶を生じ、細粒化および多結晶化する作用。
前浜	まえはま	foreshore	砂浜海岸の低潮時の平均的な海面と浜との交線と、高潮時の平均的な海面と浜との交線との波が砕けて遡上する範囲の海浜の部分のこと。
マカダムローラ	まかだむろーら	macadam roller	鉄製の平滑胴ローラの自重で地盤を締固める機械であるロードローラのうち、軸と車輪が2軸4輪のもの。
巻上機	まきあげき	hoist	トンネル工事の斜坑や立坑において、工事機械・材料・ずりなどを地上と坑底間で運搬するための機械。

巻上索	まきあげさく	lifting rope	ケーブルクレーンで、巻上げウインチによって、資機材を上下移動するワイヤ。
巻厚	まきあつ	thickness of lining	トンネル覆工の厚さ。掘削面に凹凸があるため、設計上必要な厚さをいう。
牧内地すべり	まきうちじすべり	the Makiuchi landslide	1966年9月17日に2回発生。松代群発地震が誘発した地すべりで、亀裂から湧水が確認された。5戸12棟の民家が倒壊したとされている。
牧ヶ洞断層	まきがほらだんそう	Makigahora fault	岐阜県の神通川流域に密集する高洲・大原断層に属する断層の一つ。走向NE、長さ20km、確実度I、活動度A～B級の右横ずれ断層。
巻出厚	まきだしあつ	spreading depth	盛土・築堤を幾つかの水平層に分けて転圧する際の一回の材料を敷き広げる厚さ。
巻立	まきたて	lining	覆工と同義。
巻立コンクリート	まきたてこんくりート	lining concrete	地山安定の確保、湧水や漏水の処理などを目的としてトンネル内を被覆するコンクリート構造体。一般的には無筋であるが内水圧の加わるトンネルでは鉄筋で補強する。また坑口部や膨張性地山などでは荷重の変化・偏圧によるクラックを防止するために鉄筋コンクリートやSFRCが用いられる事もある。覆工コンクリートともいう。
牧野線	まきのせん	Makino's line	西南日本と東北日本を分ける植物区系地理学上の地史的な境界線。南半部は糸魚川－静岡構造線に一致。
槇峰鉱山	まきみねこうざん	Makimine mine	宮崎県北方町にあった層状含銅硫化鉄鉱床鉱山。母岩は四万十累層群の砂岩泥岩互層・黒色千枚岩で緑色岩類・花崗斑岩を伴う。1967年閉山。
マクスウェル方程式	まくすうえるほうていしき	Maxwell's equations	電磁気学の基本方程式の一つ。J. C. Maxwellが最初に提出した。MT探査の解析理論に用いられる。
膜電位	まくでんい	membrane potential	濃度の異なる電解液が膜を隔て対立するときに生じる自然電位。坑井内の検層では浸透層の判別に利用される。
マグニチュード	まぐにちゅーど	magnitude of earthquake	地震の規模を表す単位。震央より距離100 km地点の地震動最大振幅を μ 単位で測定し、常用対数で表したもの。
マグネシウム製錬	まぐねしうむせいれん	magnesium metallurgy	マグネサイト・ドロマイト・水酸化マグネシウム・または苦汁（にがり）マグネシウムを取出す過程。
マグネトータリック法	まぐねとーてるりっくほう	magnetotelluric method	MT法と同義。
マグマ	まぐま	magma	地下に存在する高温・高圧による岩石の溶融体の総称。冷却・固結すれば火成岩となる。岩しょう（岩漿）ともいう。
マグマガス	まぐまがす	magma gas	マグマ中に存在する揮発性物質。低温・低圧条件下になると火山性ガスとなる。

マグマ貫入	まぐまかんにゅう	magmatic intrusion	地下のマグマが地殻弱所から既存の岩石内に入り込むこと。冷却・固結すると貫入岩体となる。
マグマ貫入説	まぐまかんにゅうせつ	magma intrusion theory	地震発生の原因をマグマの地殻への貫入に求める説。岩しょう（岩漿）爆発説ともいう。石本巳四雄が提唱（1932）。
マグマ起源結晶水	まぐまきげんけつしょうすい	magmatic water of crystallization	マグマが固結する際に生じた残液を起源とし、結晶構造中に一定の化合比をもって含まれる水。
マグマ系	まぐまけい	magma series	本源マグマの分化過程で生じる一連のマグマ型の系列。
マグマ系鉱床	まぐまけいこうしょう	magmatic deposit	マグマ鉱床と同義語。
マグマ源鉱床	まぐまげんこうしょう	magmatic deposit	マグマの分化作用に関連して形成される鉱床の総称。火成鉱床ともいう。正マグマ鉱床、熱水成鉱床などがある。
マグマ鉱床	まぐまこうしょう	magmatic deposit	鉱床の成因分類の一つ。堆積鉱床・変成鉱床と同列。マグマ活動に成因的に関連して形成されるすべての鉱床。正マグマ鉱床を単にマグマ鉱床と呼ぶことが多く、多少混乱がある。
マグマ残液	まぐまざんえき	residual magma	マグマの結晶分化作用が進む際に存在する残液相。火山岩の石基は分化作用のその時々々の残液の化学組成を示す。
マグマ水	まぐますい	magmatic water	マグマ残液から分離し、温度の低下によって生じた流体。一般にマグマ中の有用元素が濃集している。
マグマ水蒸気爆発	まぐますいじょうきばくはつ	phreatomagmatic eruption	マグマと地下水の接触により生成された著しく体積膨張した高圧水蒸気に起因する爆発的噴火。体積比で高温マグマの30%程度になったときにもっとも激しい爆発を起こす。マグマ水蒸気噴火ともいう。
マグマ水蒸気噴火	まぐますいじょうきふんか	phreatomagmatic eruption	マグマ水蒸気爆発と同義。
マグマ性ガス	まぐませいがす	magmatic gas	マグマ中に存在する揮発性物質、またマグマを直接起源とするガス。化学組成は水が大部分を占める。
マグマ性噴火	まぐませいふんか	magmatic eruption	マグマや火山ガスが比較的激しく地表に放出される噴火。岩漿性噴火ともいう。
マグマ溜り	まぐまだまり	magma reservoir, magma chamber	地下の1ヶ所で多量のマグマが蓄えられている部分。一般に、火山の地下数kmの浅所に存在する。
マグマ柱	まぐまちゅう	magma column	活動中の火山において、地下のマグマ溜りから噴火口まで柱状に連続するマグマの状態。
マグマ同化作用	まぐまどうかさよう	magmatic assimilation	マグマが外部の物質と反応することにより、組織を変化させる作用の総称。混成作用と同義。

マグマ熱	まぐまねつ	magmatic heat	マグマより供給される熱・エネルギー。
マグマのフロント	まぐまのふろんと	magmatic front	プレート境界に当たる島弧地域に分布する火山性マグマの海溝側の縁辺部。
マグマの融食	まぐまのゆうしょく	magmatic corrosion	鉱物がマグマと反応することによって溶けて行く現象。例えば、マグマの中で斑晶が残液に溶け丸くなるなど。
マグマ爆発	まぐまばくはつ	magmatic eruption	マグマの上昇に伴う圧力低下、揮発成分の過飽和状態によるマグマの急激な発泡を原因とする爆発的な噴火。
マグマ発散物	まぐまはっさんぶつ	magmatic emanation	マグマの冷却過程でマグマから放出される揮発性、不揮発性、水蒸気などの様々な物質。熱水やガスとして放出される。
マグマ発生帯	まぐまはっせいたい	magma generation zone	地球内部でマグマが発生する部分。マントル上部、中央海嶺などがこれにあたる。
マグマ物質	まぐまぶっしつ	magmatic substance, magmatic matter	マグマを構成する物質の総称。主に熔融した珪酸塩および揮発性ガスよりなる。
マグマ分化鉱床	まぐまぶんかこうしょう	magmatic deposit	正マグマ期にマグマの結晶化・固化に伴って形成される鉱床の総称。正マグマ鉱床と同義。
マグマ分化作用	まぐまぶんかさよう	magmatic differentiation	あるマグマの組成が結晶の晶出などによって変化し、種々の型の火成岩が形成されること。
枕崎台風	まくらぎきたいふう	Makurazaki typhoon	昭和20年9月17日～18日にかけて広島を中心とした西日本全域に多大な被害をもたらした台風。
枕状角礫岩	まくらじょうかくれきがん	pillow breccia	玄武岩質の水中溶岩流の岩相の一種で、枕状溶岩の破片からなる角礫岩。一種のハイアロクラスタイトのこと。マトリックスは玄武岩質凝灰岩。
枕状構造	まくらじょうこうぞう	pillow structure	玄武岩質など粘性の小さい溶岩にみられる構造で、楕円体または枕に似た塊が積み重なった形状。
枕状溶岩	まくらじょうようがん	pillow lava	楕円体の団塊が集合した形態を示す溶岩流。水中（湿地を含む）を流れた溶岩流に特徴的で、地層の上下判定が可能。
マクロポア	まくろぼあ	macropore	土壌を構成する粘土粒子の凝集部分周辺の間隙の大きさを示す区分で、比較的大きい（10 μ m以上）間隙のこと。
曲げ圧縮破壊	まげあつしゅくはかい	bending compression breaking	曲げ試験などで、梁供試体に曲げモーメントを与えるとき梁の凹部に生ずる圧縮応力による破壊。
曲げ応力	まげおうりょく	bending stress	部材断面をたわませ曲率を増大させる応力。軸直交方向の曲げモーメントに釣り合う直応力。

曲げ強度	まげきょうど	bending strength	曲げを受けたときの破壊強さ。通常曲げ破壊係数（破壊時の最大曲げモーメント／断面係数）で示される。
曲げ剛性	まげごうせい	flexural rigidity	ヤング係数Eと断面二次モーメントIの積EIで示され、曲げモーメントによる部材の変形しやすさを表す。
曲げ試験	まげしけん	bending test	棒状の岩石に曲げモーメントを与えて曲げ引張強度を求める力学試験。引張強度は、試料の凸側の破断時における応力から求まる。
曲げ褶曲作用	まげしゅうきょくさ よう	bending folding	層状構造に直交する外力によって形成された褶曲。
曲げすべり	まげすべり	flexural slip	曲げ褶曲作用に伴い、層理面や面構造などに沿ってすべりを生じてそのひずみを解消する現象。
曲げすべり褶曲	まげすべりしゅう きょく	flexural slip fold	褶曲時に地層の境界面においてすべりを伴った曲げ褶曲。一般にすべり面とすべり面の間の地層の厚さは変化しない。フレキシユラル・スリップ褶曲ともいう。
曲げスリップ	まげすりっぷ	flexural slip	曲げすべりと同義。
曲げスリップ褶曲	まげすりっぷしゅう きょく	flexural slip fold	曲げすべり褶曲と同義。
曲げ引張破壊	まげひっぱりはかい	bending tensile breaking	曲げ試験などで、梁供試体に曲げモーメントを与えるとき梁の凸部に生ずる引張応力による破壊。
曲げ疲労試験	まげひろうしけん	bending fatigue test	部材に繰返し曲げ荷重を作用させたときの疲労特性を調べる試験。
曲げモーメント	まげもーめんと	bending moment	部材を曲げようとするモーメント。部材の断面に働く法線応力のモーメントの総和。
馬籠峠断層	まごめとうげだんそ う	Magometoge fault	活断層。確実度I，活動度B級，方向。長野県大桑村から岐阜県中津川市にかけて木曾川左岸側に分布し延長20km。
まさ	まさ	grus	花崗岩質の岩石が風化分解した砂で真砂と書くこともある。石英・長石を主とし、雲母・カオリン・褐鉄鉱などを含む。砂婆（さば）ともいう。
まさ化作用	まさかさよう	weathering of granite	花崗岩質の岩石が自然から受ける物理的および化学的な要因により、風化分解して砂化する作用。
摩擦	まさつ	friction	物体と物体が接し相対的に運動しようとするとき、それを妨げる方向に働く力。
摩擦円	まさつえん	friction circle	摩擦円法において、すべり円弧半径Rと内部摩擦角 ϕ により決定される、すべり円弧と同心の円。安全率1の時、すべり面に作用する摩擦抵抗力の合力はこの円に接する。

摩擦円法	まさつえんほう	friction circle method	一様な斜面の安定計算に用いられる円弧すべり面法の一種。分割法に比べて用いられる機会は少ない。
摩擦杭	まさつぐい	friction pile	地盤の支持特性による基礎杭の一つ。支持層まで杭が達せず、根入れ部分の摩擦抵抗で支持力を期待する杭。
摩擦係数	まさつけいすう	coefficient of friction	2物体間に働く摩擦力の大きさと垂直応力の大きさの比。静止摩擦係数と動摩擦係数に区分される。
摩擦水頭	まさつすいとう	friction head	流体が水路を流れる際の摩擦によって損失したエネルギー量を水柱高さで表したもの。
摩擦損失	まさつそんしつ	friction loss	液体が固体と接することで両者の間の摩擦により失われるエネルギー（損失水頭）。
マザツツアール造山帯	まざつつかーるぞうざんたい	Mazatzal orogenic belt	アメリカ中央部（アリゾナ・ネバタ・コロラド・ワイオミング州）に広がる12～14億年前の造山帯。
摩擦定着方式ロックボルト	まさつていちゃくがたろつくぼると	friction bolt	フリクション式ロックボルトと同義。
摩擦比	まさつひ	friction ratio	コーン貫入試験における周面摩擦と静的貫入抵抗の比。
まさ土	まさど	grus	花崗岩質の岩石および片麻岩などが風化した結果生じた残積土，およびこれからもたらされた崩積土。
マザマ火山灰	まざまかざんばい	Mazama ash	北アメリカオレゴン州のカスケード山脈上に位置するマザマ火山の爆発を源とする軽石層と火砕流堆積物。
マジェラン地向斜	まじえらんちこうしゃ	Majellan geosyncline	アンデス地域のパタゴニア地方フエゴ島の部分。海進はジュラ紀に始まり火山活動は断続的に第三紀まで続く。地向斜による造山論は現在あまり議論されていない。
増し支保工	まししほこう	additional support	トンネルの変形が収束しない場合に、内側に建込む補強のための支保工。
馬下みかげ	ましたみかげ	Mashita mikage	新潟県北蒲原郡安田町産の石材。中生界黒雲母花崗岩で土木・建築・墓石用。
増し吹き	ましぶき	reinforce shotcrete	当初設計の支保パターンではトンネルの変状が収束しない場合に追加施工する吹付けコンクリート
増しボルト	ましぼると	jump bolt	当初設計の支保パターンではトンネルの変状が収束しない場合に追加施工するロックボルト。
摩周火山灰層	ましゅうかざんばいそう	Mashu pyroclastic deposit	北海道の摩周火山を噴出源とする軽石・火山灰・火砕流堆積物。火山の発達段階に応じ3期に区分される。

摩周カルデラ	ましゅうかるでら	Mashu caldera	北海道東部の屈斜路カルデラ東壁上に発生した直径7.5×5.5kmのカルデラ。約7,000年前に火砕流を噴出して形成された。
磨食	ましょく	sand blust, corrasion	削磨ともいう。河流が谷壁や河底に作用し、機械的に河道を破壊して削り去る作用。水流がそこに含まれる砂粒や礫により河道を削除する作用。
マシンオーガーボーリング	ましんおーがーぼーりんぐ	machine auger boring	掘進に機械を用いる大孔径のオーガーボーリング。
マスウェスティング	ますうえすていんぐ	mass wasting	マスマーブメントと同義。
マスカーブ	ますかーぶ	mass flow curve, cumulative flow curve, mass curve, summation curve, integrated flow curve	貯水池容量を検討するために、流入量を時間的に整理してプロットした累加曲線のこと。
マスケグ	ますけぐ	muskeg	泥炭の呼び名の一種でカナダの北西部やアラスカに分布する。
マスコンクリート	ますこんくりーと	mass concrete	コンクリートダムなどのように体積が大きくかつ大塊状に施工されるコンクリート。
マストドン	ますとどん	<i>Mastodonts</i>	中新～更新世の長鼻類。ゾウ上科の一部の通称。現生ゾウより四肢が短く、胴長のものが多い。
マスマーブメント	ますむーぶめんと	mass movement	地表を構成する物質が重力の作用で斜面下方へ移動すること。地すべり、土石流、落石、崩壊などの総称。
マスレーン亜間氷期	ますれーんあかんぴょうき	Masurian interstadial	フランクフルト亜氷期とポメラニア亜氷期との中間にくるヴァイクゼル氷期中（約16,000年前）の温暖期。
間瀬石	まぜいし	Maze ishi	新潟県西蒲原郡岩室村産の石材。新第三系粗粒玄武岩および凝灰質砂岩。前者は石碑用、後者は土木用。
柵口地すべり	ませぐちじすべり	the Maseguchi landslide	1947年5月に新潟県能生町で発生。権現岳山麓の約200haの土砂が流出し、能生川を埋没。多大の被害を与えた。
柵口雪崩	ませぐちなだれ	Maseguchi avalanche	1986年1月26日に新潟県能生町の権現岳で発生した表層雪崩。1.5 kmを流れ下り、死者13人を出したとされている。
マゼラン計画	まぜらんけいかく	Magellan project	1989年5月に米国がスペースシャトルで打ち上げた金星探査機による金星の近接観測計画。レーダーで地形精査。
磨損率試験	まそんりつしけん	abrasion test	すりへり試験・磨耗試験と同義。
斑石	まだらいし	madara ishi	蛇紋岩の石材名で竹葉石・笹目石ともいう。磁鉄鉱を含むかんらん石（橄欖石）の結晶が竹の葉が散ったような模様を呈する。

町屋石	まちやいし	Machiya ishi	茨城県常陸太田市産の石材。中生界かんらん岩（橄欖岩）・蛇紋岩。装飾用，墓石用。斑石と同義。
摩天嶺系	まちょうりょんけい	Machollyong system	朝鮮半島北部に分布する先カンブリア系。層厚は1,500～2,000m。上・中・下の3部に分けられる。
松岩	まついわ	Matsuiwa	炭層中に存在する石化木の呼称で，珪質化した珪化木やドロマイト化した灰化木などがある。
松浦地すべり	まつうらじすべり	the Matsuura landslide	1951年2月に佐賀県伊万里市山代町で発生。区域40ha，死者3名，埋没家屋28戸とされている。俗名”人形石山地すべり”。
松浦砥	まつうらと	Matsuurato	佐賀県東松浦郡巖木町産の石材。古第三系砂岩。巖木石ともいう。
松岡石	まつおかいし	Matsuoka ishi	石川県小松市産の石材。新第三系凝灰岩。建築（外装）用，日華石ともいう。
松尾鉱山	まつおこうざん	Matsuo mine	岩手県松尾村にあった日本最大の硫黄鉱山。茶臼火山の複輝石安山岩溶岩・火砕岩を母岩とする鉱染交代鉱床。1972年閉山。
松ヶ平変成岩	まつがたいらへんせいがん	Matsugataira metamorphic rock	福島県相馬郡松ヶ平付近に分布する，泥質～珪質片岩を主体に少量の緑色片岩を伴う変成岩。
松ヶ平母体変成帯	まつがたいらもたいへんせいたい	Matsugataira-Motai metamorphic belt	阿武隈山地東縁部～北上山地南西部に分布する泥質～珪質片岩と緑色片岩からなる低温高压型の変成帯。
松川地熱地帯	まつかわちねつちたい	Matsukawa geothermal area	岩手県松尾村の岩手火山群の一つ，丸森火山のカルデラ内を南北に分断する構造線に沿う地熱地帯。
松川らの式	まつかわらのしき	Matsukawa and others' expression	土壌水分特性曲線を表す実験式。
マッキントッシュ式ボーリング調査機器	まっきんとっしゅしきぼーりんぐちようさきき	Mackintosh boring and prospecting tool	深度毎の土の抵抗を求めるための携帯用の貫入試験装置。
マックスウェルの電磁方程式	まっくすうえるのでんじほうていしき	Maxwell's (electromagnetic) equations	電磁気学の基礎方程式。電磁誘導や電流・磁気作用などをあらかず4つの方程式からなる。
マックスウェルモデル	まっくすうえるもでる	Maxwell model	粘弾性挙動を示す物質（ある条件下の岩石など）の変形現象を直列のバネとダッシュポットで表現したもの。
マックスランド型ピストンサンブラ	まっくせらんどかたぴすとんさんぷら	McClelland piston sampler	ピンがせん断されて，ピストンが急速に動くようになる圧力程度まで発動ピストンを保持するサンブラ。
松越地すべり	まつごえじすべり	the Matsugoe landslide	1984年9月の長野県西部地震（M6.8）で発生。長野県王滝村の河岸段丘崖が21haにわたり崩落し泥流化した。

松島石	まつしまいし	Matsushima ishi	宮城県宮城郡松島町産の石材。新第三系凝灰岩。装飾用、門柱、敷石、石塀として使用。
松島階	まつしまかい	Matsushiman stage	日本における三じょう系（三畳系）中部統の中部階で、宮城県仙台市北東方の利府層を模式地とする。
松島砥	まつしまと	Matsushimato	長崎県西彼杵郡大瀬戸町産の石材。古第三系砂岩。砥石、石臼用に使用された。
松代群発地震	まつしろぐんぱつじしん	the Matsushiro earthquake swarm	長野市松代町を中心として1965年8月3日以降約6年半に亘って続いた群発地震。最大M5.4。有感地震回数6万回以上。震源深さ10km以内。地震に伴った地すべりや湧水が各所でみられた。
松代地震	まつしろじしん	the Matsushiro earthquakes	松代群発地震と同義。
松田の式	まつだのしき	Matsuda's formula	断層の規模（L：長さkm）と地震の規模（M：マグニチュード）の関係を示す経験式。log L=0.6M-2.9
末端	まつたん	tip	地すべり滑動によって生じた、地すべり堆の到達した最も滑落崖から遠い部分。尖端ともいう。
末端線	まつたんせん	toe	地すべり滑動によって生じた、末端が旧地形と交わる線のこと。尖端線ともいう。
マッドオーガー	まっどおーがー	mud auger	浅い、オーガー状のスパイラルの中にねじ込んだ、羽根付のダイヤモンドポイントビット。
マッドガス	まっどがす	mud gas	油田掘削中などに地層中から掘削泥水中に溶出するガス。
マッドクラック	まっどくらっく	mud crack	未固結の泥質物が大気にさらされることにより乾燥・収縮して泥の表面に形成される多角形ないしは亀甲形の割れ目。干裂ともいう。
マッドケーキ	まっどけーき	mud cake	循環泥水中の水が孔隙性地層中に逸水するときに、孔壁に堆積する泥とスライムの混合物。
マット工法	まっとうこうほう	foundation treatment with base mat concrete	ダム基礎岩盤のせん断強度が十分でない場合に、岩盤上の広い範囲にマット状のコンクリートを打設し、その上に重力式ダムを構築する方法。
マッドスクリーン	まっどすくりーん	mud screen	金網製のふるいを振動させて、泥水中の掘屑を除去する装置。シェールシェーカー（shale shaker）と同義。
マッドドレイプ	まっどどれいぷ	mud drape	流水の速度が低下するとき、泥質分が沈降し、地形面を薄く覆ってできる層。
松戸粘土層	まつどねんどそう	Matsudo clay bed	下総台地などに分布する上部更新統の常総粘土層に対比される粘土層。一部中～上部は風成の下末吉ローム層となっている。

マッドバランス	まっどばらんす	mud balance	泥水の比重を測定する装置。一定容積の液体と校正アームに沿って移動可能な重錘のバランスをとる仕組み。
松之山地すべり	まつのやまじすべり	the Matsunoyama landslide	1962年に新潟県東頸城郡松之山町で発生した大規模な地すべり。人家および道路被害で有名。
松葉石	まつばいし	Matsuba ishi	北上山地のペルム系叶倉統下半部の石灰質砂岩・砂質泥岩中に多産する長さ2cm前後、直径2～3mmのフズリナ化石。殻が溶けた印象化石が細長い棒状で松葉に似る。
松葉牡丹石	まつばぼたんいし	Matsubabotan ishi	福島県相馬市山上産の石材。中生界はんれい岩。黒みかげで墓石・建築用。
マッピング	まっぴんぐ	mapping	ある縮尺平面上に、地形、事象などを表現すること。データがデジタルの場合は、デジタルマッピングという。
マッフル炉	まっふるろ	muffle furnace	炉の周囲に可燃性ガスを流すことにより間接的に加熱する炉。
松前海釜	まつまえかいふ	Matsumae caldron (Matsumae caldron)	北海道松前町南方沖約10kmの津軽海峡西方に位置する海釜。最大水深は450m。
松山－伊万里構造線	まつやまいまりこうぞうせん	Matsuyama-Imari tectonic line	長崎三角地域の北縁に想定される構造線。瀬戸内系火山岩類と三郡変成帯の境界と考えられているが実際の露頭は無く、その所在や断層のセンスなどは不明。
マツヤマクロン	まつやまくろん	Matuyama chron	地磁気極性年代尺度の内、およそ250万年前から75万年前までの磁極が逆転していた時期。以前は松山逆磁極期と呼ばれた。
松山反転期	まつやまはんでんき	Matuyama reversed epoch	標準地磁気層序年代の一つ。近年はマツヤマクロンと呼ばれる。
マテリアルロック	まてりあるろくく	material lock	圧気工法でトンネルを掘削する場合に、無圧気部と圧気部との間に設置する材料やずり搬出入のための遮断壁。
マトリックス	まとりくくす	matrix	①岩石中で造岩鉱物の斑晶の間隙を埋める基質部。 ②混在岩・礫岩・礫層などのように粒径的に不均質な材料からなる地質体中の基質部。
真名子石	まなごいし	Manago ishi	栃木県上都賀郡西方町産の石材。中古生界粘板岩で中砥石に使用。
マニフェスト	まにふえすと	manifest	産業廃棄物管理票。産業廃棄物処理業者に委託する場合、不法投棄の防止や適正な処理の確認のため、マニフェストの交付を義務付けられている。
マニフォールド法	まにふおーどほう	Manifold method	不連続体解析法の一つ。不連続面で構成されるブロックの集合体の運動とブロック内部の応力・変形を同時に求める。
マンシング則	まにんぐそく	Manning's rule	管水路、開水路における断面平均流速を与える実用公式。水路の径深、動水勾配、粗度係数よりなる。

マンニングの公式	まにんぐのこうしき	Manning formula	水路における流速公式の一つ。 $V = (1/n) * (h^{2/3}) * (I^{1/2})$ V;平均流速 h;水深 I;水面勾配 n;粗度係数 .
マヌス海盆	まぬすかいぼん	Manus basin	ニューブリテン島の北側，ビスマルク海の南部に発達する背弧海盆．現在も拡大している海盆の一つ．
間の谷変成岩	まのたにへんせいがん	Manotani metamorphic rock	熊本県中部矢部町間の谷山付近に分布する変成岩．黒色片岩と緑色片岩を主とする．
マンメータ	まのめーた	manometer	圧力計．2点間の圧力差を水，アルコール，水銀などの液体柱の高さの差として測定する装置．
マンメータ式間隙水圧計	まのめーたしきかんげきすいあつけい	manometer type piezometer	マンメータにより圧力を測定する間隙水圧計．
間歩	まぶ		鉱山用語で坑道，特に横坑のこと，これが訛って「まんぼ」となり，横穴式の地下水集水施設の名称となっている．
真吹法	まぶきほう	mabuki process	わが国古来の製銅法．地面に掘った地床に原料を入れ，木炭を積み上げて土まんじゅうとし，風を吹き込んで溶解し，粗銅を得る．
豆石	まめいし	pisolite	径2～10mmの同心球状の多殻構造をもった球状粒子．石灰質の場合には魚卵岩（oolith），凝灰質の場合には火山豆石と呼ばれる．
豆砂利	まめじゃり	pea gravel	直径2.5mm～10mm程度の豆粒大の礫で，コンクリート吹付けやトンネルの裏込材として使用される．
磨滅作用	まめつさよう	attrition	流水・波浪・氷河などの営力により運搬されている岩屑が，こすれあったり衝突して互いに細粒になる作用．
磨滅耐久率	まめつたいきゅうりつ	durability index	運搬中に受ける円磨作用に対する岩石や鉱物の抵抗の度合い．耐久度ともいう．
磨耗硬さ	まもうかたさ	abrasion resistance	磨耗に対する強さの程度．
磨耗係数	まもうけいすう	coefficient of attrition, contrition	河床礫が河川を流下するのに伴い磨耗し粒径が減少する際の係数．ステンベルグ提唱の法則に現れる．
磨耗硬度	まもうこうど	abrasion hardness	すり減り磨耗に対する抵抗の大きさを表す尺度で，円筒形供試体を研磨剤ですり減らして減量を測定する．
磨耗試験	まもうしけん	abrasion test	すりへり試験・磨損率試験と同義．
眉状断層崖	まゆじょうだんそうがい	eyebrow scarp	活断層地形の一つ．横断面形が扁平なレンズ状を呈する扇状地を横切る低断層崖．

眉山崩れ	まゆやまくずれ	Mayuyama collapse	雲仙岳の東縁にあり、1792年にM6.4の地震で大崩壊。崩土約0.34km ² が島原海に入り津波を生じた。対岸の肥後でも被害が多く死者は全体で約1万5千人、「島原大變肥後迷惑」と呼ばれた。
マリアナ海溝	まりあなかいこう	Mariana trench	マリアナ諸島の東側に弧状に張り出した海溝。フィリピン海プレートと太平洋プレートの境界をなす。ビーチャジ海淵の水深11,034mは世界最深。
マリアナ弧	まりあなこ	Mariana arc	北西太平洋とフィリピン海の境界をなす弧状列島。東・中・西、3列のマリアナ海嶺からなる。
マリアナ舟状海盆	まりあなしゅうじょうかいぼん	Mariana trough	西マリアナ海嶺と中マリアナ海嶺に挟まれた舟底状の細長い海盆。中軸部付近の熱水噴出現象が知られている。
マリアナ石灰岩	まりあなせっかいがん	Mariana limestone	マリアナ諸島の海成段丘を構成する下部更新統の石灰岩。無層理、多孔質であり、さんご（珊瑚）を多く含む。
マリノア統	まりのあとう	Marinoan series	オーストラリア東南部に分布するアデレード系（先カンブリア紀後期）の最上部統。主として粘板岩からなる。
マリポーザ統	まりぽーざとう	Mariposa series	カリフォルニア州北部に分布する上部ジュラ紀の地層。暗灰色・黒色粘板岩を主とする。
マリンスノー	まりんすのー	marine snow	海水中をゆっくりと沈降する粒子状物質の一種。プランクトンの遺骸などが凝集して粒子を構成する。
円孔ストレーナ	まるあなすとれーな	perforated strainer	坑井のストレーナで円孔を有するもの。円孔の直径は帯水層を構成する土粒子の約3倍までといわれている。
マルコフ過程	まるこふかてい	Markov process	確率過程の一つ。ある時点の生起確率が直前の一つの事象に依存する過程。
マルチカメラ方式	まるちかめらほうしき	multicamera system	マルチバンドカメラの一方式で、それぞれ異なる波長帯域の透過フィルタを付けた複数台のカメラを用いる。
マルチスペクトル写真	まるちすぺくとるしゃしん	multispectral photography	可視光から近赤外までを4～6の波長領域に分けてそれぞれフィルタ付きのカメラで同時に撮影した写真。
マルチスペクトルスキャナ	まるちすぺくとるすきゃな	multispectral scanner	リモートセンシングで用いられる光学センサの一つ。米国ランドサット衛星に搭載されており、4バンド利用。
マルチチャンネルアナライザ	まるちちゃんねるあならいざー	multi-channel analyzer	地震探査などで多数のセンサからの信号を基に、リアルタイムに測定結果を出力する装置。
マルチナロービーム音響測深機	まるちなろーびーむおんきょうそくしんき	multi-narrow-beam echosounder	船底から発振した超音波の反射音の方向を高精度で識別し、船の両側の水深の3/4以上の幅にわたり、海底地形を測定、作図するシステム。
マルチバンドカメラ	まるちばんどかめら	multiband camera	マルチスペクトルカメラともいう。複数の波長帯域に分割して対象を撮影するカメラ。

マルチプルアーチダム	まるちぶるあーちだむ	multiple arch dam	遮水壁形状をアーチとし、これを連ねたバットレス型式のダム。
マルチプルドームダム	まるちぶるどーむだむ	multiple dome dam	遮水壁形状をドーム型アーチとし、これを連ねたバットレス型式のダム。
マルパッセダム	まるぱっせだむ	Malpasset dam	フランス。アーチダム。1955年竣工。堤高66.5m。基礎岩盤の弱面に起因して1959年初の満水位時に決壊。下流Frejusの街は濁流に呑み込まれ犠牲者は423名とされる。岩盤力学発展の契機となった。
丸棒圧入試験	まるぼうあつにゆうしけん	rod penetration test	径2mmの軟鋼棒を一定速度で圧入し、破碎溝の体積と加えたエネルギー量から岩石の力学特性を推定・把握する試験。
丸棒貫入試験	まるぼうかんにゆうしけん	rod penetration test	丸棒圧入試験と同義。
丸み度	まるみど	roundness	円磨度と同義。
丸み率	まるみりつ	roundness	円磨度と同義。
マルム統	まるむとう	Malm series	西ヨーロッパの海成ジュラ系を三分したうちの上部の地層群。ジュラ山脈における白ジュラに相当する。
マレー断裂帯	まれーだんれつたい	Murray fracture zone	南カリフォルニアからハワイにかけて伸びるトランスフォーム断層。その長さは3,000kmにおよぶ。
マンカト亜氷期	まんかとあひょうき	Mankato glacial substage	北米大陸の最終氷期であるウィスコンシン氷期に含まれる一亜氷期。約1.3万年前に生じる。
マンガン鉱床	まんがんこうしょう	manganese ore deposit	日本のマンガン鉱床は、成因から堆積鉱床と熱水鉱床とに分けられる。秩父中生界の層状・レンズ状鉱床、北海道～東北の中新統の鉱脈鉱床・層状鉱床が代表的な鉱床。
マンガン鉱物 (土壌中の)	まんがんこうぶつ (どじょうちゅう の)	manganese minerals in soils	土壌中に二次的に生成するマンガン鉱物は、黒紫色でマンガン酸化物・水酸化物を主成分とし、非晶質である。
マンガン団塊	まんがんだんかい	manganese nodule, pelagite	マンガンや鉄の酸化物を主成分とした海洋底の黒色団塊状の沈殿・析出物質。マンガンノジュールと同義。
マンガンノジュール	まんがんのじゅーる	manganese nodule	深海底に広く分布する二酸化マンガンの黒色塊状沈殿物。生物骸・岩石などを核として成長する。
マングローブ土	まんぐろーぶど	mangrove soil	熱帯～亜熱帯の河口や潟湖のマングローブ林下に分布する土壌で、水位が下がると強酸性になる可能性がある。
万石	まんごく	handy screen	採取した土、砂混じり砂利を選別する人力篩。穀物用の篩から由来した名称。

松崎階	まんざきかい	Manzakian stage	千葉県北部から茨城県南部の常総台地に分布する海成上部更新統。成田層群上部の一部に相当。
マンシエツトチューブ	まんしえつとちゅーぶ	manchette tube	二重管式ダブルパッカー注入方式の外管として用いられる塩化ビニール製の有孔管。適所に何度でも注入が可能である。
満州式鉄鉱床	まんしゅうしきてつこうしょう	Manchurian type iron ore deposit	先カンブリア系中の堆積性鉄鉱床が、変成作用を受けたもの。中国東北地方の石英磁鉄鉱片岩の鉱床が代表例。
満水位	まんすい	normal water surface	利水計画上必要な最高水位。堆砂量（死水容量含む）と利水容量の和で決定される。
慢性型地すべり	まんせいがたじすべり	creep type landslide	地すべりを持続性によって分類したもので、持続性を有するものをいう。他に間欠型・急性型地すべりがある。
マンセルチャート	まんせるちゃーと	Munsell charts	A. H. Munsellが考案した表色法で、土の色を客観的に表示するためにチャートに整理された標準色。
マンセル表色法	まんせるひょうしきほう	Munsell notation for soil colour	A. H. Munsellが1905年に考案した、色を色相・明度・彩度の3成分に分けて、その組み合わせで表現する表色法。色相をヒュー(Hue)、明度をヴァリュー(Value)、彩度をクロマ(Chroma)と呼び、それぞれはH、V、Cの頭文字で表す。
マンセル標準土色指数	まんせるひょうじゅんどしょくしすう	Munsell's standard color index	チャートに並べられた標準色と土のサンプルを比較して、色を表現するための記号と数字の組み合わせ。
万田層群	まんだそうぐん	Manda Group	福岡県大牟田市付近に分布する上部始新統。砂岩、砂泥互層からなり、三池炭田が分布する。
マンデルクラーイヤー効果	まんでるくらいやーこうか	Mandel-Cryer effect	部分載荷を受ける粘土地盤の多次元圧密にて間隙水圧が一度上昇した後、低下する現象。
饅頭統	まんとうとう	Mant'ouan series	中国東北部から朝鮮北部にかけて分布する下部カンブリア系。主に赤紫色雲母頁岩によって構成される。
マントル	まんとる	mantle	地殻下のモホ面から、深度がおよそ2,900kmのグーテンベルク不連続面までの間の固体。地震波の伝わり方から、大きく上部マントル、遷移層、下部マントルに分かれる。
マントルコーン	まんとるこーん	mantle cone	オランダ式二重管コーン貫入試験機に用いるコーンで、圧入時の外管への土の進入を防止する構造を示す。
マントル地震帯	まんとるじしんたい	mantle earthquake zone	プレート沈み込み域での、マントルに沈み込むプレート上面沿いにみられる深発地震の震源の分布帯。
マントルダイアピル	まんとるだいあびる	mantle diapir	ドーム状構造をしたマグマ。マントルの一部が高温→膨張→上昇の結果として形成される。
マントル対流	まんとるたいりゅう	mantle convection	地球内部の個体からなるマントルは、熱対流で起きていると推定される。

マンテル対流説	まんとるたいりゅうせつ	theory of mantle convection	マンテル対流が大陸移動や造山運動の原因と考える説。最近、マンテルプルーム理論として発展がみられる。
マンテルド・ナイスドーム	まんとるどないすどーむ	mantled gneiss dome	片麻岩が造山運動によって再活動し、ドーム状に上部の新しい地層に貫入したもの。
マンテル熱対流説	まんとるねつたいりゅうせつ	theory of thermal convection	地殻運動の原動力を、マンテルにおける熱対流にもとめる説。
マンテル波	まんとるは	mantle wave	表面波のうち周期が70秒以上のもの。マンテルの影響を受けた伝播挙動を示し、レイリー波とラブ波がある。
マンテル表面波	まんとるひょうめんは	mantle surface wave	マンテルの深部にまで擾乱がおよぶような長周期の表面波。
マンテルプルーム	まんとるぷりゅーむ	mantle plume	マンテル対流の起こり方についての最近の概念。柱状の上昇流や下降流のようすが数値実験や地震トモグラフィで求められている。
マンテルレイリー波	まんとるれいりーは	mantle rayleigh wave	レイリー波の振動がマンテルまでおよぶもの。周期と速度を分析し、マンテル構造の解明に利用される。
万成花崗岩	まんなりかこうがん	Mannari granite	岡山市万成を模式地とする、桃色・半自形のカリ長石を特徴とする白亜系中粒花崗岩。
万成みかげ	まんなりみかげ	Mannari mikage	岡山市万成に産する石材。角閃石黒雲母を含む淡紅色中粒の花崗岩。淡紅色のカリ長石が密集する特徴がある。
万年雪	まんねんゆき	perennial snow patch	夏でも融けずに残っている冰雪。風下側斜面や谷底などに存在する。多年性雪渓あるいは単に雪渓ともいう。
満濃池	まんのういけ	Manno-ike	金倉川水系金倉川。満濃池土地改良区。700年代竣工。アースダム。堤高32m。大雨で決壊したため池を弘法大師が1～2ヶ月で修復完成させたといわれる。
万場層	まんばそう	Mamba Formation	群馬県万場町から神流川上流域に分布する秩父累帯北帯中部ジュラ系。多野郡万場町付近を模式地とする。主に玄武岩質火砕岩類・溶岩からなり、石灰岩を含む。
マンボ	まんぼ		三重県鈴鹿山麓の内部川扇状地や岐阜県垂井盆地にある地下水集水施設。地下水路と日穴（縦穴）からなる。
マンホール	まんほーる	manhole	管路点検を主たる目的として、管の合流点・管の勾配の急変する箇所などに設置する立坑。
マンメイドロック	まんめいどろっく	man made rock	現地発生材と固化材を混合して周辺地盤と同等の物性を持つ人工岩盤。原子力発電所の建屋基礎地盤の置換えや建屋周辺の埋め戻しに用いられたことがある。
マンモス	まんもす	<i>Mammoth</i>	長鼻目ゾウ科マムサス属の一種。更新世（約200万～1万年前）に生息していたゾウの仲間で、通常は7万年前頃から出現する本種を指してマンモスという。学名はプリミゲニウス。

マンロック	まんろっく	man lock	圧気工法において、無圧気部圧気部との間に設置する人の出入のための遮断壁。
三浦層群	みうらそうぐん	Miura Group	神奈川県三浦半島から千葉県房総半島中南部に分布する新生界中部中新統～下部鮮新統。海成の凝灰岩，凝灰質砂岩，泥岩の互層を主体とする。三浦半島を模式地とする。
三尾河断層	みおごだんそう	Miogo fault	活断層。確実度 I，活動度 B 級。岐阜県大野郡内に位置し延長 9km，左横ずれ。低断層崖・沢の屈曲がみられる。
ミオ地向斜	みおちこうしゃ	miogeosyncline	地向斜による造山論における正地向斜のうち，大陸に近く，規則的に沈降し，堆積物が薄く，顕著な火成活動のないものをさす。劣地向斜と同義。地向斜による造山論は現在あまり議論されていない。
ミオマグマチック	みおまぐまちっく	miomagmatic	地向斜造山論における劣地向斜での火成活動が顕著でない性質のこと。
みかげ（御影）	みかげ	granitic stone	花崗岩またはこれと類似の深成岩石材をいう。単に「みかげ」という場合淡色安山岩をさすこともある。
御影石	みかげいし	Mikage ishi	花崗岩（一部のはんれい岩（斑糲岩），閃緑岩を含む）の石材名。主産地である神戸市灘区の地名に由来する。
見掛け傾斜	みかけけいしゃ	apparent dip	①地層の真の傾斜方向と斜交する断面にあらわれる傾斜角。 ②高さ方向が誇張された断面図などに表示された傾斜。
見掛け速度	みかけそくど	apparent velocity	計測や計算式の仮定や条件により，その物質や物体の本来の真の値と異なる速度。補正により真の速度に変換される。
見掛け粘度	みかけねんど	apparent viscosity	非ニュートン流体の場合，ニュートン流体と異なり，ずれ速度とずれ応力の比が一定にならない。この流体の粘度のことで流動状態によって変化する。
見かけの乾燥比重	みかけのかんそうひじゅう	apparent dry specific gravity	物体の見かけの単位体積あたりの乾燥重量と，同体積の 4℃の水の重量比。
見かけの孔隙率	みかけのこうげきりつ	apparent porosity	見かけの体積と見かけの孔隙から求まる孔隙率。
見掛けの水平線	みかけのすいへいせん	apparent horizon	ある場所から実際に観察される水平線。その時の伏角は気差のため真の伏角と多少異なる。
見かけの内部摩擦角	みかけのないうまさつかく	apparent angle of internal friction	①次式中の全応力に関係したせん断強さのパラメータ。 $\tau f = C u + \sigma u \tan \phi u$ （ $C u$ は見かけの粘着力） ②震度法による構造物の耐震設計において地震の水平および鉛直震度から求めた地震合成角（ θ ）を土の内部摩擦角（ ϕ ）から差し引いた値を見かけの摩擦角と称し，設計に使っている。
見掛けの粘着力	みかけのねんちやくりよく	apparent cohesion	三軸試験時の排水条件の違いを明確にする場合，全応力に対する粘着力の呼び方。
見掛けの表面速度	みかけのひょうめんそくど	apparent surface velocity	2点間の地震記録から求めた地震波の伝播速度で，通常は実際の伝播経路の方が長いいため真値より大きくなる。

見掛比重	みかけひじゅう	apparent specific gravity, apparent density	空中重量と水中重量から求めた見掛けの比重。岩石では、構成する粒子の比重に対比する意味で用いる。
見掛け比抵抗	みかけひていこう	apparent resistivity	測定用電極系での電位差と通電電流との比と電極の配置係数との積で現れる大地の比抵抗。
見掛け比抵抗擬似断面	みかけひていこうぎじだんめん	presumed section of apparent resistivity	見掛け比抵抗断面図と同義。真の位置・深度を示さないことを強調した表現。
見掛け比抵抗曲線	みかけひていこうきょくせん	apparent resistivity curve	電気探査の解析時に用いられる標準曲線。垂直探査時にこれに実測曲線を照合して地下構造を推定する。
見掛け比抵抗断面図	みかけひていこうだんめんず	section of apparent resistivity	見掛け比抵抗の数値または等値線で表現した断面。真の位置・深度は示さない。
見掛け比抵抗変化率	みかけひていこうへんかりつ	ratio of apparent resistivity changing	見掛け比抵抗分布図における鉛直あるいは水平方向の距離に対する変化率。地層境界や断層の位置を知る。
見掛け密度	みかけみつど	apparent density	質量を見掛けの体積で除した数値。岩石を評価する際に一般に用いられる。かさ比重に対応する。
三方ガ原礫層	みかたがはられきそう	Mikatagahara gravel bed	天竜川下流域の西側に広がる三方ガ原台地を構成する礫層。更新世後期の天竜川による扇状地堆積物。
三日月湖	みかづきこ	ox-bow, crescent lake, mort lake	河川の蛇行の一部が屈曲が著しくなったため切断されて三日月型の湖として残ったもの。
御荷鉾系	みかぶけい	Mikabu system	三波川結晶片岩中の低変成岩の一部と御荷鉾緑色岩を称していたが、現在は独立した地質系統と認められていない。
御荷鉾構造線	みかぶこうぞうせん	Mikabu tectonic line, Mikabu line	御荷鉾線ともいう。西南日本外帯における三波川帯と秩父帯との境界をなすと考えられた断層線または構造線。
御荷鉾帯	みかぶたい	Mikabu belt	関東山地御荷鉾山周辺から四国までの西南日本外帯に分布する低変成度の苦鉄質岩類。三波川帯に含まれ秩父帯との境界付近に分布する
御荷鉾緑色岩類	みかぶりよくしよくがんるい	Mikabu greenstones	三波川変成帯と秩父帯北帯との境界付近に分布する。低変成度の苦鉄質および超苦鉄質岩類からなり、全体に緑色を呈す。
三河石	みかわいし	Mikawa ishi	愛知県北設楽郡設楽町産の石材。新第三系凝灰岩、名倉砥と同義。
三河地震	みかわじしん	the 1945 Mikawa earthquake	1945年1月18日に三河湾中央部の北緯34.7度、東経137.1度を震源とし発生したM6.8の地震。長さ約9kmの深溝断層を生じ、激震域は断層西側の沖積平野に集中し死者・不明者は1,900人以上、全半壊家屋は17,000戸におよんだ。
三河準平原面	みかわじゅんへいげんめん	Mikawa peneplain	愛知県東部の三河地方に分布する浸食小起伏面群。

右雁行褶曲	みぎがんこうしゅうきょく	dextral en echelon folding	雁行褶曲において一つの褶曲が消える端でその右側に新しい褶曲が始まるもの。
右雁行断層	みぎがんこうだんそう	right-stepping fault	雁行配列する割れ目のうち、右手をかざした形（ミ形）を呈する割れ目。ブロックの動きとは逆の呼称となる。
右水平断層	みぎすいへいだんそう	right-lateral fault	変位に垂直成分のない右ずれの断層。
右ずれ	みぎずれ	right-lateral, right slip, dextral, right-handed	横ずれ断層の変位方向を表す用語で、断層線をはさんで他方の地塊を見たとき、これが右に移動したように見える変位方向のこと。
右ずれ断層	みぎずれだんそう	right-lateral fault	断層地塊の一方にのり、断層線をはさんで他方の地塊を見たとき、これが右に移動したように見える断層。
未凝固堆積物	みぎょうこたいせきぶつ	unconsolidated sediment	粒子が混じり合った状態で固結していない堆積物。現河床や湖沼、大洋底の堆積物である砂礫層や砂層、粘土層などの堆積物をいう。
右横すべり断層	みぎよこすべりだんそう	right-handed fault, right-lateral fault, dextral fault	右ずれ断層と同義。
右横ずれ	みぎよこずれ	right-lateral, right-slip, dextral	走向方向の移動成分が大きい断層で、見掛け上右ずれに見えるもの。
三国石	みくにいし	Mikuni ishi	群馬県利根郡新治村産の石材。新第三系凝灰岩で耐火性。土木・建築用に使用。
ミグマタイト	みぐまたいと	migmatite	変成岩質部分と花崗岩質部分が不均一に混在した岩石。特定の成因に関わらず、広く用いられる。
ミグマタイト化作用	みぐまたいとかさよう	migmatization	既存の変成岩と花崗岩質マグマからの物質が混在した不均質な岩石（ミグマタイト）が形成される過程の総称。
三雲石	みくもいし	Mikumo ishi	滋賀県甲賀郡甲西町産の石材。中生界花崗岩で土台石、間知石として使用。
三倉砂岩	みくらさがん	Mikura sandstone	静岡県周智郡森町産の石材。第三系砂岩で土木用。
美久里石	みくりいし	Mikuri ishi	群馬県藤岡市産の石材で蛇紋岩。日野石と同義。
マイクロポア	みくろぼあ	micropore	土壌を構成する粘土粒子の凝集部分周辺の間隙の大きさを示す区分で、比較的小さい（0.01～1μm）間隙のこと。
未固結堆積物	みこけつたいせきぶつ	unconsolidated sediment, uncemented deposit	圧密やこう結（膠結）作用を殆ど受けていないため、各構成物質に分離し易い更新世以降の堆積物。

御坂層群	みさかそうぐん	Misaka Group	山梨県御坂山地に分布する新生界下～中部中新統。火山岩類を主体とし、中下部は玄武岩、上部はデイサイト溶岩および凝灰岩からなる。
水窪層	みさくぼそう	Misakubo Formation	長野・静岡県境付近の中央構造線東側に分布する下部白亜系。塊状泥岩を主体とし、粗～中粒の砂岩および頁岩を挟在する。
ミシシッピ紀	みししっぴき	Mississippian (period)	アメリカ合衆国では石炭紀を2分し、古い方をミシシッピ紀、新しい方をペンシルバニア紀と提唱している。
ミシシッピ系	みししっぴけい	Mississippian system	アメリカ合衆国で用いられる下部石炭系に相当する系。ミズーリ・イリノイ・アイオワ州のミシシッピ川流域を模式地とし、主として浅海性石灰岩からなる。
三島溶岩	みしまようがん	Mishima lava	富士火山活動史のうち噴出溶岩により円錐型の山体を造る古期第Ⅱ期の溶岩。溶岩流の末端に三島湧水群がある。
未熟土	みじゅくど	immature soil	土壌生成作用がわずかしか作用していない土壌で、層位の発達が悪い。沖積土、岩砕土など。
ミズーリ統	みずーりとう	Missourian series	北米内陸地域上部ペンシルバニア系のカウピアン統下部をさす。砂岩・頁岩および石灰岩から構成される。
水押し	みずおし	water drive	原油・ガスの産出過程の一つ。貯留層周囲の水の圧縮と重力ポテンシャルにより油・ガスを坑井へ押し出す。
水押し試験	みずおししけん	simplified water test	グラウト注入孔で実施する、注入圧を1～3圧方式で実施する簡易透水試験。割れ目を洗浄して注入効率をあげることも目的の一つ。
水ガラス	みずがらす	water-glass	注入工法に使用される注入剤で、主剤が珪酸ナトリウムである水あめ状の薬液をいう。
水ガラス系注入材料	みずがらすけいちゅうにゅうざいりょう	water-glass grout	珪酸ナトリウム（水ガラス）を主材料とし、セメントと混合したり、酸性またはアルカリ性の反応材料を加えた注入材料。地盤の強化や止水のために注入される。
水環境対策ダム	みずかんきょうたいさくだむ	reservoir for water environment control	都市化に伴う都市河川の環境機能の低下に対する対策として、浄化用水の確保、親水機能の向上などを目的とするダム。
水-岩石相互作用	みずがんせきそうごさよう	water-rock interaction	地球表層から内部における様々な物理化学条件下での水と岩石との反応、およびそれから生じる現象などの総称。
水資源開発基本計画	みずしげんかいはつきほんけいかく	master plan for water resources development	水資源開発水系（総理大臣指定）における水資源の総合的な開発および利用の合理化の基本となるべき計画。
水資源包蔵量	みずしげんほうぞうりょう	inventory of water resources	年間降水量のうち、利用することのできる水資源の最大量。 (年間降水量－蒸発散量) × 流域面積で表される。水資源賦存量ともいう。
水締め	みずしめ	hydraulic filling	土に散水して見かけの粘着力の消失あるいは透過する水による浸透水圧を利用して締固めること。砂に有効。

水締め工法	みずしめこうほう	hydraulic filling method	水締め効果を活用する工法で、埋戻し土の締固めに用いたり水締めダムや水締め盛土などの工法がある。
水締めダム	みずしめだむ	hydraulic fill dam	土砂と水の混合物を流送して材料の粒径分離を促し、土砂の自重と自然排水を利用して締固めたダム。
水締め転圧	みずしめてんあつ	hydraulic compaction	転圧の際、散水や注水して土砂を締固めること。
水締め盛土	みずしめもりど	hydraulic fill	各種粒径を含んだ土砂スラリーをパイプ圧送して盛土現場に捲き出し、シルト・粘土分を含んだ泥水を排水することにより全体を締固める方式の盛土。
水収支	みずしゅうし	water balance	水循環に関わる水の流入・流出関係を定量的に表したもの。物質の保存則を水循環に適用したもの。
水循環	みずじゅんかん	hydrologic cycle, water cycle	水が地圏・水圏・気圏・生物体の間を固体・液体・気体という状態で移動し、循環する一連の過程の総称。
水セメント比	みずせめんとひ	water-cement ratio	コンクリートを練る際の水とセメントの重量比。コンクリートの強度や耐久性に大きな影響を与える。
水叩き	みずたたき	front apron, apron	減勢工跳水区間の河床保護のために設けられるコンクリート床版。
水置換法	みずちかんほう	water replacement method for density determination	現場密度を求める試験法の一つ。試験坑を掘削し、水を満たしてその体積を測定し、その質量で掘削した土の質量を除いて密度を算出。
水通し	みずとおし	spillway	砂防ダムの天端中央部を切欠いて設けた越流部。
ミストボーリング	みすとぼーりんぐ	mist boring	水のかわりに界面活性剤の泡を利用してスライムを孔外に排出するボーリング法。
ミスト掘り	みすとぼり	mist drilling, mist drilling method	孔内に水がある場合、圧気中に界面活性剤溶液を噴霧して孔底で発泡させ、スライムを泡に付着させて排出する工法。フォームドリリングと同義。
水止め	みずどめ	formation shutt-off	シュロなどのバッカーを井戸ケーシングに巻き付けることにより取水帯水層以外の水が井戸内に流入するのを防ぐこと。
水流し法	みずながしほう	sluicing	樋流し法と同義。
水梨地すべり地	みずなしじすべりち	Mizunashi landslide area	新潟県東頸城郡松之山町に位置し、松之山地すべりの東側に隣接する地すべり地。
瑞浪層群	みずなみそうぐん	Mizunami Group	岐阜県の瑞浪・土岐地方に分布する中～下部中新統。下部は淡水成、中上部は海成。岩相の水平変化が激しい。サメの歯化石など多くの化石を産出する。

水抜き穴	みずぬきあな	weep hole	擁壁背面に浸透してきた水を排水するため、壁体に設けるパイプ状の穴。
水抜き管	みずぬきかん	drain pipe	トンネル覆工や吹付けコンクリートを実施する場合の湧水処理のためのパイプ。
水抜き坑	みずぬきこう	drainage drift	トンネルが破碎帯などで大量の湧水に遭遇したとき、湧水を減少させるために本坑脇に掘削する水抜き用の導坑。
水抜き孔	みずぬきこう	weep hole	地すべりや不安定のり面の安定性を向上させるために、地盤中の地下水を排除する目的で設置したボーリング孔。
水抜トンネル	みずぬきとんねる	drain tunnel, drainage drift	①トンネル湧水の処理対策として設ける小断面のトンネルで、本坑断面内に設けるもの（底設・側壁導坑など）、断面外に設ける迂回坑がある。 ②大規模な地すべりや不安定のり面の安定性向上のために、地下水を排除する目的で設置されるトンネル。
水抜きパイプ	みずぬきばいぷ	drainage pipe	地下水やトンネル湧水処理の水抜きボーリング孔に設置されるストレーナ加工したパイプ。
水抜きボーリング	みずぬきぼーりんぐ	drainage boring	トンネル湧水処理方法の一つ。坑内から水平または上向きボーリングにより排水するもの。
水の粘性係数	みずのねんせいけいすう	water coefficient of viscosity	粘性係数は物質の流動変形に対する粘り程度を表わしており、水については20℃で0.001Pa・s
水飽和率	みずほうわりつ	water saturation	貯留岩の孔隙容積に対する孔隙中の水の容積比率。一般に百分率で表し、S _w という記号を用いることが多い。
瑞穂褶曲	みずほしゅうきょく	Mizuho folding	主として山形県～新潟県の新第三系に見られる第四紀の褶曲構造。活褶曲の典型例とされている。
瑞穂造山	みずほぞうざん	Mizuho orogeny	新第三紀中新世から現在まで続いている東日本島弧系の地殻変動。（火山活動・深成変成作用を含む）
瑞穂沈降時代	みずほちんこうじだい	Mizuho period of submergence	矢部長克ほか（1924）が日本の新生代を4分した第3期。ほぼ新第三紀に相当。日本の新生界区分の最初の試み。
瑞穂フォッサマグナ褶曲帯	みずほふおっさまぐなしゅうきょくたい	Mizuho-Fossa Magna fold zone	北海道西部～奥羽地方西部～新潟県～長野県～静岡県～房総半島へ連なる褶曲帯。
水磨き	みずみがき		荒磨き、本磨きの間の工程。小叩きまたはビシヤン仕上げしたものに研磨剤と砥石、グラインダーで磨く。
水みち	みずみち	water passage, water pipe, water tunnel	地層中で地下水が移動する特定の間隙。
みそ	みそ	miso	①みそ土。長野県南部・山梨県に分布する風化した軽石質火山灰層の俗称。 ②大谷石中に斑状に含まれる褐色粘土。沸石やモンモリロナイトからなる。

溝断面掘削工法	みぞだんめんくっさくこうほう	cast-in-situ diaphragm wall method	地下連壁用の溝を大断面で掘削する工法で、バケット式・回転式・衝撃式に区分される。
味噌土	みそつち	misotsuchi	風化した軽石を母材とする土壌で、つぶすとみそ状を呈する。土の農業生産力は低い。
溝掘り機	みぞほりき	trench excavator	地面に溝を掘る機械の総称。小規模な管路の地下埋設工事に用いられることが多い。
見高石	みたかいし	Mitaka ishi	静岡県加茂郡河津町産の石材。新第三系凝灰岩。建築用・彫刻材として著名。
三滝火成岩	みたきかせいがん	Mitaki igneous rock	愛媛県城川町の三滝山など四国の黒瀬川構造帯に分布する花崗岩類。圧砕や変質を受けており放射年代は4億年。
乱さない試料	みださないしりょう	undisturbed sample	一般に室内力学試験用に採取した自然状態に近く、乱れの小さい試料。不攪乱試料と同義語。
乱さない土	みださないつち	undisturbed soils	物理的・力学的性質を原位置の状態から変化させていない土。
乱した試料	みだしたしりょう	disturbed sample	一般に含水量や粒度などの物理的性質を知るための土質試料。強度低下などを把握する力学的試料として用いることもある。
乱した土	みだしたつち	disturbed soils	物理的性質はそのままだが、力学的性質が変化した土。
見立礫岩層	みたてれきがんそう	Mitate conglomerate	大分・宮崎県境付近に分布する礫岩。花崗岩の貫入によりホルンフェルス化。大礫を主体とする。時代に関して諸説がある。
三谷石	みたにいし	Mitani ishi	香川県高松市三谷町産の石材。新第三系黒雲母安山岩。建築・土木用、彫刻材。
見田原地すべり	みたはらじすべり	the Mitahara landslide	1948年に島根県出雲市乙立町見田原地区で発生。面積7ha。全半壊5戸のほか町道などが被災したとされている。
三石蠟石鉱床	みついしろうせきこうしょう	Mitsuishi agalmatolite deposit	岡山県備前市の三石地域に分布。熱水変質した白亜系流紋岩質溶結凝灰岩中に産す。耐火れんが原料など。
見付油田	みつけゆでん	Mitsuake oil field	新潟県見付市郊外にある油田。油層は中新統七谷層中のグリーンタフとデイサイト。
見附油田	みつけゆでん	Mitsuake oil field	新潟県見付市郊外にある油田。油層は深度1500～2000mの中新統七谷層中のグリーンタフとデイサイト。
密着節理	みっちゃくせつり	closed joint	潜在的で肉眼では確認しにくい節理。応力解放や風化などが進むと顕在化する。

密度	みつど	density	物体の単位体積あたりの質量.
密度含水比関係	みつどがんすいひか んけい	density-moisture content relation ship	一定の締固めエネルギーによる土の乾燥密度と含水比 の関係. 締固め曲線あるいはプロクター曲線ともい う.
密度計	みつどけい	density meter	地盤の密度を測定する機器. 放射線源から放射された γ線が物質の密度に応じた散乱強度を示すことを利 用.
密度検層	みつどけんそう	density logging	地層にガンマ線を照射し, 散乱したガンマ線の強度を 測定することにより地層の密度を推定する検層法.
密度試験	みつどしけん	density test	土の単位体積あたりの質量を測定する試験. 試験法と して成形法, 液浸法, 体積置換法, 非成形法がある.
密度指数	みつどしすう	density index	物質の最もゆるい状態の密度と締まった状態の密度と の比.
密度調整試料	みつどちょうせいし りょう	density regulating sample	ある特定の密度となるように調整した試料.
密度分布	みつどぶんぷ	density distribution	密度の広がり状態. 堆積物(岩)の密度変化は圧密 作用が主要因.
密度流	みつどりゅう	density current	接している流体の密度に差があるとき, 密度の大きい 方が小さい方の下へ潜り込もうとする流れのこと.
密閉坑底圧	みっぺいこうていあ つ	shut in bottom hole pressure	流体を産出中の石油坑井において, 地表のバルブを閉 じて数時間または数日以上経過した後の坑底における 圧力.
密蠟石	みつろうせき	mellite	$Al_2C_{12}O_{12} \cdot 16H_2O$. 正方晶系. 硬度2~2.5. 比重1.64. 一 般に微細な粒状鉱物. 透明~半透明で貝殻状断口を有 する. メライトともいう.
見手の原地すべり	みてのはらじすべり	the Mitenohara landslide	宮城県玉造郡鳴子町に位置する. 昭和32年の半俵山西 麓の大規模地すべりを契機に5地区計106 haが区域指 定. 鳴子ダムの湛水池地すべり.
水戸寒水石	みとかんすいせき	Mitokansui seki	茨城県常陸太田市産の石材. 古生界大理石で装飾用, セメント材料に使用. 白寒水石ともいう.
三峠断層	みとけだんそう	Mitoke fault	活断層. 確実度I, 活動度B級. 京都府天田群~船井 郡にわたって分布し延長30km. 高度不連続や屈曲など がみられる.
三留野みかげ	みどのみかげ	Midono mikage	長野県木曾郡南木曾町産の石材. 中生界黒雲母花崗岩 で土木・建築用に使用. 三留野石と同義語.
水鳥断層	みどりだんそう	Midori fault	地震断層. 濃尾地震(1891年10月28日発生)により生 じた. 岐阜県根尾村水鳥にあり根尾谷断層の一部.

ミナス統	みなすとう	Minas series	ブラジルMinas Gerais州に分布。先カンブリア系で下部からCuraça, Itabira, Piracicabaの3層群からなる。
皆瀬ダム	みなせだむ	Minase dam	雄物川水系皆瀬川。東北地方整備局。1963年竣工。堤高66.5mはコンクリート表面遮水壁型ロックフィルダムとして日本最大。
港大橋	みなとおおはし	Minato bridge	阪神高速道路のトラス橋。中央径間は510mでこの形式で日本最大。1974年完成。
南中石	みななかいし	Minanaka ishi	静岡県加茂郡南伊豆町産の石材。新第三系凝灰質砂岩で建築・土木用に使用。
水俣病	みなまたびょう	Minamata disease	化学工場の排水による環境汚染により、有機水銀が魚介類に蓄積されて、それを食べたことによっておきた有機水銀中毒。
南阿賀油田	みなみあがゆでん	Minamiaga oil field	新潟県新津市を中心とする油田。油層は深度1400～2300mの椎谷層の砂岩の尖滅部に集積。1964年発見。
南アフリカ法	みなみあふりかほう	South Africa method	骨材の反応性を短期間に評価する促進試験方法のうち、NaOH溶液中に2週間浸漬し、AARを評価する方法。NBRI法ともいう。
南アメリカプレート	みなみあめりかぷれーと	South American plate	南米プレートと同義。
南関東ガス田	みなみかんとうがすでん	South-Kanto gas fields	東京湾周辺地域の水溶性ガス鉱床。鮮新世～更新世の同じ堆積盆地にある。外房・内陸・湾岸の各地域に区分される。
南長岡ガス田	みなみながおかがすでん	Minami Nagaoka gas field	新潟県長岡市にある国内最大級のガス田。1979年発見。産出層は新第三系中新統七谷層の流紋岩で深度は1800～4800m。南側に片貝ガス田が隣接。
南日本弧	みなみにほんこ	South Japan arc	日本列島の南半分。北半分は北日本弧。原田豊吉が命名。
南原地すべり	みなみはらじすべり	Minamihara landslide	1970年に新潟県中頸城郡板倉町南原で発生した新第三系の地すべり。
南日浦不整合	みなみひうらふせいごう	Minamihiura unconformity	徳島県西端の大歩危峡において、三波川結晶片岩中に推定された不整合。
南日吉海山	みなみひよしかいざん	Minami-hiyoshi seamount	東京の南方約1,400km、七島―硫黄島海嶺の南端に位置する海山。西・中マリアナ海嶺の分岐点。
三縄層	みなわそう	Minawa Formation	四国中央部の三波川結晶片岩よりなる吉野川層群の5層に区分された上位から2番目。四国の三波川変成岩分布域の大部分を占める。キースラガー鉱床胚胎層。
ミニ新幹線	みにしんかんせん	mini Sinkansen	日本の新幹線鉄道のうち、在来線に直接新幹線車輛を乗り入れ可能にした方式。

ミニトンネルシステム	みにとんねるしすてむ	mini-tunnel system	直径1～1.3mのコンクリートセグメントを使用する小規模なシールドトンネル掘削工法。上・下水道などに利用。
ミニパイプルーフ	みにばいぷるーふ	mini pipe roof	トンネル切羽上半部の崩壊防止対策の補助工法の一つ。トンネル内で適宜実施する小規模なパイプルーフ工法。
ミニベンチ工法	みにべんちこうほう	minibench cut method	トンネル全断面を早期に閉合する必要がある場合、上半部を先に掘削し、5m以内で下半部を掘削する工法。
嶺岡石	みねおかいし	Mineoka ishi	千葉県鴨川市嶺岡山産の石材。第三系はんれい岩で砕石用。
嶺岡層群	みねおかそうぐん	Mineoka Group	房総半島南部嶺岡山系に分布する上部古第三系。海成で珪質頁岩・砂岩の互層などからなり、超塩基性～中性の火成岩に貫入される。
美祢層群	みねそうぐん	Mine Group	山口県西部の美祢市～厚狭郡付近に分布する上部三じょう系（三畳系）。砂岩・頁岩を主体とし炭層を伴なう。
峰浜断層群	みねはまだんそうぐん	Minehama fault group	活断層。確実度Ⅰ，活動度A～B級。北海道斜里郡内に位置し延長10～15km。断層崖やとう曲（撓曲）崖などがみられる。
ミネラライト	みねららいと	mineralight	紫外線に反応して蛍光する鉱物の鑑定などに利用される携帯型の紫外線灯の商品名。転じて同種の紫外線灯の通称名。
三野断層	みのだんそう	Mino fault	活断層。確実度Ⅰ～Ⅱ，活動度A～B級。徳島県三好郡～美馬郡に跨る延長約9km。断層崖や屈曲などがみられる。
美濃俣地すべり	みのまたじすべり	the Minomata landslide	1891年に福井県今立郡池田町美濃俣で発生した地すべり。
美浜原発事故	みはまげんぱつじこ	Mihama nuclear power reactor 2 accident	1991年2月9日に美浜原子力発電所2号機で蒸気発生器の破損により一次冷却水が二次冷却水中に流出した事故。
御祓山層群	みはらいやまそうぐん	Miharaiyama Group	兵庫県大屋町北東～養父町西部の中～下部三じょう系（三畳系）。別名夜久野層群。
三原岩	みはらがん	miharaite	伊豆一箱根地方に特有なソレイト質玄武岩の一種。この用語は現在は用いられていない。
三原山火山	みはらやまかざん	Miharayama volcano	伊豆大島中央部の活動中の火山。大島火山は三原山火山と周辺の溶岩流で構成。大島火山の後カルデラ丘。
三春石	みはるいし	Miharu ishi	福島県田村郡三春町産の石材。中生界はんれい岩（斑糲岩）。牡丹石，鍋石ともいう。
御船層	みふねそう	Mifune Formation	御船層群と同義。

御船層群	みふねそうぐん	Mifune Group	熊本県中央部の御船町付近から北東－南西方向に分布する上部白亜系。砂岩・泥岩・赤色泥岩などからなる。貝化石・植物化石を産す。
御母衣ダム	みぼろだむ	Miboro dam	庄川水系庄川。電源開発(株)。1961年竣工。堤高131mのロックフィルダム。設計の理論的検証と機械化施工で大規模ロックフィルダムの先駆けとなった。
宮川砥	みやかわと	Miyakawato	京都府相楽郡和束町・亀岡市産の石材。古生界粘板岩で中砥石として使用。目透砥ともいう。
宮城県沖地震	みやぎけんおきじしん	the 1978 Miyagiken-oki earthquake	1978年6月12日に発生した宮城県沖を震源とするM7.4の地震。被害は、仙台市東部の低地と造成地に集中した。正式名称は「1978年宮城県沖地震」。
宮城県沖地震	みやぎけんおきじしん	the 2003 Miyagiken-oki earthquake	2003年5月26日に宮城県沖の北緯38.8度、東経141.8度で発生したM7.0、震源深さ71kmの地震。北海道から近畿西部の広い範囲で揺れを感じた。
宮城県北部地震	みやぎけんほくぶじしん	the 1962 Miyagiken-hokubu earthquake	1962年4月30日に発生した宮城県北部を震源とするM6.5の地震。被害は、家屋の倒壊、貨車転覆などである。
宮城県北部地震	みやぎけんほくぶじしん	the 2003 Miyagiken-hokubu earthquake	2003年7月26日0時13分にM5.5の前震ののち、同日7時13分にM6.2の本震、その後M5前後で最大震度5～6弱の余震が続いた地震。震源深さが10km程度の浅い場所であったためマグニチュードのわりに局地的に強い揺れ(震度6強)で大きな被害がでた。
脈岩	みやくがん	dyke rock	脈状に貫入した半深成岩～噴出岩。半深成岩と同義とされたが現在では区別。
脈構造	みやくこうぞう	vein structure	鉱脈の内部構造や母岩との配列関係などの構造。
脈石	みやくせき	gangue	有用鉱物の集合である鉱石に対して、鉱石中の経済的に無用な鉱物の集合。
脈石英	みやくせきえい	vein quartz	造岩鉱物の石英と区別して、脈状に産出する石英。珪酸を溶解した熱水溶液や裂か(裂罅)水などが沈殿して生成。
脈石鉱物	みやくせきこうぶつ	gangue mineral	有用な鉱石や鉱床中に含まれている役に立たない鉱物の総称。
脈動	みやくどう	microseism	地盤の揺れのうち、周期が2～8秒のほぼ規則的な長周期振動。気象や海洋の波浪などの要因で生じると考えられる。
脈幅	みやくはば	vein width	鉱脈の幅をいい、鉱脈の上下盤を垂直に測定した厚さとするのが一般。
脈品位	みやくひんい	vein grade	鉱脈中の有用な元素の量を平均の重量百分率で表したもの。
宮窪みかげ	みやくぼみかげ	Miyakubo mikage	愛媛県越智郡宮窪町産の石材。中生界黒雲母花崗岩で建築・土木用を使用。

三宅島1940年噴火	みやけじま1940ねんふんか	the 1940 Miyakejima eruption	昭和15年（1940年）7月に活動した三宅島雄山の噴火。溶岩流は海岸に達し麓の集落を壊滅させた。死者は11人。
三宅島1983年噴火	みやけじま1983ねんふんか	the 1983 Miyakejima eruption	昭和58年（1983年）10月に活動した三宅島雄山南西山腹の割れ目噴火。島の南端ではマグマ水蒸気爆発が発生。山林・耕地に大きな被害。
三宅島2000年噴火	みやけじま2000ねんふんか	the 2000 Miyakejima eruption	平成12年（2000年）7月の噴火から継続する三宅島雄山山頂火口からの噴火。大量の火山ガスの発生を特徴とし、2004年現在も未だ全島避難生活が続いている。過去の山腹からの多量の熔岩の流出で1ヶ月ほどで噴火活動が収束するという経験は当てはまらず、噴火予知と避難解除の時期の決定に課題を残した。
三宅島噴火（昭和58年）	みやけじまふんか（しょうわごじゅうはちねん）	the 1983 Miyakejima eruption	昭和58年（1983年）10月に活動した三宅島雄山南西山腹の割れ目噴火。島の南端ではマグマ水蒸気爆発が発生。山林・耕地に大きな被害。
三宅島噴火（昭和15年）	みやけじまふんか（しょうわじゅうごねん）	the 1940 Miyakejima eruption	昭和15年（1940年）7月に活動した三宅島雄山の噴火。溶岩流は海岸に達し麓の集落を壊滅させた。死者は11人。
三宅島噴火（平成12年）	みやけじまふんか（へいせいじゅうにねん）	the 2000 Miyakejima eruption	平成12年（2000年）7月の噴火から継続する三宅島雄山山頂火口からの噴火。大量の火山ガスの発生を特徴とし、2004年現在も未だ全島避難生活が続いている。過去の山腹からの多量の熔岩の流出で1ヶ月ほどで噴火活動が収束するという経験は当てはまらず、噴火予知と避難解除の時期の決定に課題を残した。
宮古層群	みやこそうぐん	Miyako Group	岩手県宮古市付近とその北方に太平洋岸に沿って点在する下部白亜系。主に外洋性の沿岸～浅海成層からなる。
宮古統	みやことう	Miyakoan series	宮古層群を模式層とする下部白亜系上部統。
宮崎層群	みやざきそうぐん	Miyazaki Group	宮崎平野一帯および宮崎市から日南市にかけての山地に分布する上部中新統～下部更新統。「鬼の洗濯岩」に見られる砂泥互層を主体とし、泥岩・砂岩などからなる。北部ほど新しく宮崎平野北縁部では固結度は低い。青島付近の泥岩の一軸圧縮強度は7～10MPa程度。
宮地断層	みやじだんそう	Miyaji fault	活断層。確実度Ⅰ～Ⅱ，活動度A～B級。岐阜県の郡上郡と益田郡に跨る延長12km。逆向き断層崖を呈する。
宮本複合岩体	みやもとふくごうがんだい	Miyamoto composite mass	福島県南東の古殿町東方に分布する深成岩体。東から西へはんれい岩（斑糲岩）質，閃緑岩質，花崗岩質となり東側が古い。
宮守超塩基性岩体	みやもりちょうえんきせいがんだい	Miyamori ultrabasic body	岩手県中南部の宮守村付近に分布する超塩基性岩体。かんらん岩（橄欖岩）を主とし，一般に蛇紋岩化する。
ミュレー衝上	みゆれーしょうじょう	Muree thrust	中央ヒマラヤ地域のナップを形成する衝上断層。南の第三系に北の石炭系～始新統が衝上する。
妙ガ谷層	みょうがたにそう	Myogatani Formation	岐阜県西部伊吹山東方に分布する三じょう系（三畳系）。岐阜県揖斐郡春日町妙ガ谷付近を模式地とする。砂岩・泥岩からなる。
妙高地すべり	みょうこうじすべり	the Myoko landslide	1978年に新潟県中頸城郡妙高高原町新赤倉の妙高山麓で発生した地すべりで，土石流災害を招いた。

明神礁火山	みょうじんしょうかざん	Myojinsho volcano	伊豆諸島南方の溶岩円頂丘。1952年に新火山島として発見，その後水没。調査船が海中火山爆発で沈没の歴史。
明礬頁岩	みょうばんけつがん	alum shale, alum slate	アラム頁岩と同義語。カリ・黄鉄鉱を含み，風化によりミョウバンを形成。
明礬石	みょうばんせき	alunite	$KAl_3[(OH)_6(SO_4)_2]$ 。菱面体晶系。硬度3.5～4。比重2.82。白～灰～淡褐色。硫酸酸性の熱水による変質作用に伴い，石英・カオリナイトなどとともに出産する。自形結晶は六角板状。
明礬石化作用	みょうばんせきかさよう	alunitization	硫酸酸性熱水により明礬石を産出する変質作用。
明礬石帯	みょうばんせきたい	alunite zone	変質作用分帯の一つで，硫酸酸性の熱水により明礬石の出現で特徴づけられる。
ミラージ現象	みらーじげんしょう	mirage	地震探査において，深さとともに速度が漸移的に増加する現象。
ミラー指数	みらーしすう	Miller's indices	面指数と同義。結晶の面角測定による経験則から求められた簡単な整数比 (hkl) による結晶面の表現法。
ミラージ層	みらーじそう	mirage layer	地震探査屈折法の解析で，風化の影響などにより弾性波速度が一定でなく，深度と共に増加する層をいう。
ミラーの記号法	みらーのきごうほう	Miller's notation	Millerによって提唱された指数を用いた結晶面の表示法。係数による表示法として現在広く使われている。
ミリガル	みりがる	milligal	重力異常などで用いる加速度の単位。mGalと表記。 $1,000\text{mGal}=1\text{Gal}=1\text{cm/s}^2$
ミリセコ発破	みりせこはっぱ	millisecond blasting	MS発破と同義。
ミリバール	みりばーる	millibar	圧力の単位。1バールの1,000分の1。1ミリバール=1ヘクトパスカル
未利用エネルギー	みりようえねるぎー	unused energy	都市生活における排熱や河川水，下水処理水の熱など，従来利用されていないエネルギー。
ミリレントゲン	みりれんとげん	milliroentgen	X線， γ 線の照射線量を表す単位(mR)。= 10^{-3} (レントゲン)。
ミロナイト	みろないと	mylonite	高压の地下深部で著しい圧砕作用を受け，微粒組織に変成した岩石。マイロナイト，圧砕岩ともいう。
ミロナイト質片麻岩	みろないとしつへんまがん	mylonite-gneiss	圧砕岩の性質を有する片麻岩。鉱物は著しい再結晶をなさず碎屑状を呈し，片麻状構造や眼球状構造を有する。

三輪石	みわいし	Miwa ishi	静岡県志太郡岡部町産の石材。新第三系安山岩質凝灰角礫岩で土台・間知石・墓石用。
三和みかげ	みわみかげ	Miwa mikage	栃木県足利市産の石材。中生界黒雲母花崗岩で建築・土木用。
ミンデル氷期	みんでるひょうき	Mindel glacial stage	A. Penck他がアルプスで設定した4氷期のうちのひとつで、更新世中期に相当。現在では6氷期（ビーバー・ドナウ・ギュンツ・ミンデル・リス・ウルム）のうちの古い方から4番目とされる。
ミンデルーリス間氷期	みんでるりすかんぴょうき	Mindel-Riss interglacial stage	ミンデル氷期とリス氷期の間にある間氷期
ムアーズ	むあーず	moors	ヨーロッパにおける泥炭の呼び名の一つ。
無圧トンネル	むあつとんねる	unpressured tunnel	自由水面を有し内圧の作用しない水路トンネル。
ムービングコイル型地震計	むーびんぐこいるがたじしんけい	moving-coil type seismometer	振子の先に取りつけたコイルが、永久磁石の中を運動する時の起電力によって振動を測定する方式の地震計。
ムーンライト計画	むーんらいとけいかく	moon light program	通産省工業技術院が昭和53年から始めた総合的な省エネルギー技術開発プロジェクト。
無煙炭	むえんたん	anthracite	含有する揮発成分が少ないため、煤煙を出さずに短炎または無炎で燃焼する最も石炭化の進んだ石炭。
向島みかげ	むかいじまみかげ	Mukaijima mikage	広島県御調郡向島町産の石材。中生界角閃石黒雲母花崗岩で土木・建築・石碑用。尾道石と同義語。
むかえ掘り	むかえぼり	counter excavation	工期短縮や坑口部の安全確保のため本坑の掘削方向とは逆の坑口から掘削すること。
無感地震	むかんじしん	unfelt earthquake	人体の感覚では感じられないが、地震計には記録される地震。人体で感じるものは有感地震という。
牟岐石	むきいし	Muki ishi	徳島県海部郡牟岐町産の石材。中生界砂岩。川上石と同義。
無機汚染	むきおせん	inorganic pollution	廃棄物、排水などで有機物が含まれていないが生活環境、生態系に影響を及ぼす汚染のこと。
武儀川断層	むぎがわだんそう	Mugigawa fault	活断層。確実度Ⅰ～Ⅱ，活動度B級。岐阜県の武儀郡～山県郡～本巣郡に跨る延長28km。屈曲や高度不連続を呈する。
無機質土	むきしつど	inorganic soil	有機質を含まない土をいうが、有機態炭素含有量が20wt%未満とする定義もある。

無機質量分析計	むきしつりょうぶんせきけい	inorganic mass spectrometer	化合物をイオン化し、生成した分子イオンの質量スペクトルから化合物を分析する器械。
無機成因説	むきせいいんせつ	inorganic origin theory	石油・天然ガスは無生物起源とする説。地球深部で炭素と水素から合成されるとする地球深部ガス説や宇宙成因説がある。
無筋コンクリート	むきんこんくりーと	unreinforced concrete	鋼材で補強しないコンクリート(JIS)。収縮ひびわれなどに対する用心のために一部に鋼材を用いたものも含む。
無筋コンクリート舗装	むきんこんくりーとほそう	plain concrete pavement	滑走路舗装方法の一つ。クラッシュランとセメント安定処理路盤の上に無筋コンクリートを打設。
六口島みかげ	むくちじまみかげ	Mukuchijima mikage	岡山県倉敷市六口島産の石材。中生界角閃石黒雲母花崗岩で建築用。
無ゲート洪水吐	むげーとこうずいばき	uncontrolled spillway	ゲートレス(孔あき、越流堤)方式の洪水吐で、管路や越流堰により洪水調節を行う。
無限流動ひずみ	むげんりゅうどうひずみ	unlimited flow strain	液状化に関連する用語で、液状化が起こり非排水一定全応力状態で減少することなく続く流動ひずみ。
無限流動変形	むげんりゅうどうへんけい	unlimited flow deformation	液状化によって減少することなく続く流動変形。このような変形は、永久的なせん断強さの喪失を伴う。
無孔質	むこうしつ	imperforate	ルーペや肉眼でも認識できる程度の空泡や空隙のない、あるいはほとんどない岩石の形容詞。多孔質の反対語。
無光沢	むこうたく	dull	鉱物学用語として、鉱物の表面が光沢を示さないこと。結晶面が変質していたり、平滑でない場合に生じる。
武蔵堆	むさしたい	Musashi bank	礼文島南西方にある最浅点31mの白亜紀-古第三紀の火山岩類などからなる隆起部。
武蔵野期	むさしのき	Musashino age	多摩川と荒川に挟まれた武蔵野台地に広く分布する武蔵野段丘を構成する武蔵野礫層が堆積した時代。更新世後期に属す。
武蔵野系	むさしのけい	Musashino system	南関東地域の関東ローム層や段丘層に覆われた新生代層を総括した地層名。最近はほとんど用いられない。
武蔵野台地	むさしのだいち	Musashino terrace	東京都多摩川北岸の武蔵野に分布する段丘。上部はローム層、下部は礫層(武蔵野礫層)で構造物の支持層となる。
武蔵野面	むさしのめん	Musashino surface	武蔵野礫層および上位のローム層からつくられる段丘面。段丘面は高度により、M1面・M2面・M3面に分けられる。
武蔵野礫層	むさしのれきそう	Musashino gravel bed	多摩川と荒川に挟まれた武蔵野台地に分布する武蔵野段丘を構成する礫層。更新世後期に属す。

武蔵野ローム層	むさしのろーむそう	Musashino loam Formation	関東地方南部に広く分布する第四紀更新世後期。多摩川流域を模式地とする。風成でスコリア質茶褐色風化火山灰層からなる。関東ローム層を4分した場合の上から2層目。
武蔵野湾	むさしのわん	PaleoMusashino bay	古東京湾とも。更新世中～後期の成田層群・東京層・下末吉層を堆積させた現在の関東平野地域の海湾。
無酸素層	むさんそそう	oxygen free layer	湖沼や内湾で酸素が溶存しない部分。富栄養湖などで、水の循環がなく還元状態となり生じる。無酸素層では、それまで不溶化していた汚濁物質が溶出しやすくなるといわれている。
茂山鉄鉱床	むさんてっこうしょう	Musan iron ore deposit	朝鮮の代表的な鉄鉱床の一つ。先カンブリア時代の変成縞状鉄鉱床で磁鉄鉱片岩よりなる。
虫亀地すべり	むしがめじすべり	the Mushigame landslide	1980年に新潟県古志郡山古志村虫亀地区で発生し、道路災害をもたらした地すべり。
無次元水頭	むじげんすいとう	non-dimensional head	基準になる水頭で除して無次元化された水頭で次元解析を行うために用いる。
無支保採掘法	むしほさいくつほう	open stoping	鉱山・トンネル工事などにおいて人工の支柱を使用しない採掘法。一般には、岩盤状況が良好な部分で採用される。
無従河流	むじゅうかりゅう	insequent stream	地表の最大傾斜の方向に沿う谷を必従谷というのに対して最大傾斜方向に従わない谷を無従河流という。
無従川	むじゅうがわ	insequent river	地表の傾斜や地質構造と関係ない方向に流れる河川。
無従谷	むじゅうこく	insequent valley	地表の傾斜や地質構造と関係ない方向に下刻された谷。
無収縮セメント	むしゅうしゅくせめんと	non-contractile cement	モルタルの乾燥収縮による体積の減少を防ぐため、鉄粉・アルミニウム粉末などをいれて、無収縮はもとより多少の膨張をさせるようにしたセメント。
無収縮モルタル	むしゅうしゅくもるとる	shrinkage compensating mortar	凝結時に膨張を生じる効果を持つセメントを用いたモルタルで、硬化収縮および乾燥収縮を相殺することが出来る。
無充てん切羽	むじゅうてんきりは	open stope	無支柱あるいは木材支柱か残柱だけで支保されている坑内作業場。
無重量実験	むじゅうりょうじっけん	zero gravity test, non gravity experiment	無重量状態で実験を行うこと。落下塔や航空機が利用される。
無重量実験施設	むじゅうりょうじっけんしせつ	zero gravity experiment facility, microgravity experiment facility	無重量ないし微小重力環境下の諸実験を行う施設。地下縦坑や塔における自由落下を利用するものなどがある。
無色鉱物	むしよくこうぶつ	colorless minerals	肉眼および顕微鏡の薄片観察において、斜長石や石英のように色調が透明から白色に近い鉱物。白色鉱物ともいう。有色鉱物と対比される。

無水掘り	むすいぼり	dry blocking	未固結層のコアリング法。コアリングを行う直前に循環水を停止して掘進し、コアに焼付けを起こさせて採取する法。
娘核種	むすめかくしゅ	daughter nuclide	放射性崩壊に伴い崩壊前の核種から新しく生じた核種のこと。娘核種がさらに崩壊を繰り返すこともある。
娘元素	むすめげんそ	daughter element	放射性核種が新しい核種に変わるとき、新たに生じた娘核種を含む元素。
無成極電極	むせいきよくでんきよく	nonpolarizing electrode	金属とその溶液を組合せた電極間のように、電極電位がほとんど変化しない電極。非分極性電極ともいう。
無整合	むせいごう	nonconformity	堆積岩が下位に分布する塊状の火成岩体や変成岩類を覆っている場合の不整合。ノンコンフォーミティーと同義。
無定位重力計	むていいじゅうりょくけい	astatic gravimeter	固有周期の長周期化をはかり感度を高くしたもので、ラコスト重力計（固有周期20秒）などがある。
無停電電源装置	むていでんでんげんそうち	uninterruptible power station, steady power supplier at emergency	停電時に電力を確保し電力がとぎれないようにする装置。
無点紋帯	むてんもんたい	non-spotted zone	曹長石の点紋を含まない無点紋片岩の分布する地域。三波川帯では低圧変成部に分布する。
無点紋片岩	むてんもんへんがん	non-spotted schist	目視出来る大きさの曹長石斑状結晶をもたない一般に低変成度の結晶片岩。
霧訪山断層	むとうやまだんそう	Mutoyama fault	活断層。確実度 I, 活動度 A~B 級, 方向。長野県中央アルプス北端部に位置する。延長約14km。高度不連続, 屈曲を示す。
無土器時代	むどきじだい	aceramic age	土器が存在しない時代を示し、日本では縄文時代より前の石器時代をさす。先土器時代ともいう。
無人岩	むにんがん	boninite	ボニナイトとも呼ぶ。西太平洋の島弧などに産する、斜長石・磁鉄鉱・石英の斑晶を含まないガラス質安山岩。単斜頑火輝石がしばしば含まれる、輝石の羽毛状組織・放射状構造などの急冷組織が発達している。小笠原の古別名無人島に由来。
無能川	むのうがわ	misfit river	河床の広さに比べて水量の少ない河川。
無発破工法	むはつぱこうほう	non-blasting method	岩盤・コンクリートなどを膨張性破砕剤や水圧、機械の衝撃力などによって掘削する方法。
無斑晶	むはんしょう	non-porphyrific	火山岩や半深成岩において斑晶が存在しない組織。
無斑晶岩	むはんしょうがん	non-porphyrific rock	斑晶が存在しない組織を示す火山岩や半深成岩。

無斑晶状	むはんしょうじょう	non-porphyrific	無斑晶と同義.
無普請	むぶしん	non-support	支保工を必要としない素掘りのままの状態.
無巻き	むまき	no-lining tunnel	比較的良好な地山に掘られた素掘トンネル. 昔の小断面トンネルによくみられる.
無巻水路	むまきすいろ	unlined canal	土を切盛して水路の形をつくり流水面には特別の処理をしていない開水路や覆工していない水路トンネル.
撫養石	むやいし	Muya ishi	徳島県鳴門市瀬戸町産の石材. 中生界和泉砂岩系の砂岩で橋・石垣・石碑に使用.
紫水晶	むらさきすいしょう	amethyst	紫色を呈する水晶の一種. 色合いや大きさによって準貴石や飾り石とされる.
紫斑石	むらさきまだらいし	Murasakimadara ishi	山梨県南都留郡道志村産の石材. 新第三系大理石で装飾用.
村雨帯	むらさめたい	Murasame zone	諏訪湖の北方から北東に延びる変質帯. 第三系が珪化や絹雲母化.
村田式傾斜儀	むらたしきけいしゃぎ	Murata type phot clinometer	ボーリング孔の孔曲り測定器の一つで, タイマーをセットしてフィルムにボーリング孔の方位・傾斜を同時に写し取る方法のもの.
村松断層	むらまつだんそう	Muramatsu fault	活断層. 確実度, 活動度B級. 新潟県村松市の南東部側丘陵地に分布. 月岡断層と一連の断層活動によるものと考えられる.
村山下ダム	むらやましもだむ	Murayama-shimo dam	多摩川水系多摩川. 東京都. 1927年竣工. 堤高32.6mのアースダム. 都市用水供給を目的とした我が国最初のダム.
ムル	むる	mull	腐植物の分解が良好で粘土と良く混和した肥沃な土壌. 温帯の草原や塩基の多い落葉樹林下に生成される.
室生溶結凝灰岩	むろうようけつぎょうかいがん	Muro welded tuff	奈良県北部の大和高原から三重県中西部の伊賀盆地南方にかけて分布する中新統～鮮新統の溶結凝灰岩.
牟婁層群	むろそうぐん	Muro Group	紀伊半島中央部に分布する四万十累層群のうちの古第三系～中新統. おもに砂岩・泥岩からなる.
室戸舟状海盆	むろとしゅうじょうかいぼん	Muroto trough	紀伊水道沖の土紀藩との間の海底凹地. 土紀海盆ともいう.
室戸台風	むろとたいふう	Muroto typhoon	1934年に室戸岬に上陸し, 関西, 北陸, 東北を通過. 死者行方不明者3,066人, 損壊9万余戸, 浸水40万余戸とされている. 特に大阪での被害が甚大. 昭和の台風では伊勢湾台風, 枕崎台風に次ぐ第3番目の犠牲者数.

室戸岬はんれい岩体（斑糲岩体）	むろとみさきはんれいがんたい	Murotomisaki gabbroic complex	室戸岬先端に分布するはんれい岩（斑糲岩）。重力場での結晶分化作用が見られ西側が下位にあったものと考えられている。
室戸岬面	むろとみさきめん	Murotomisaki terrace	高知平野東端から室戸岬に至る土佐湾沿いに分布する海岸段丘面の一つ。南東に向けて高くなる傾向があり、地震時の地殻変動の影響を受けていると考えられている。
室蘭石	むろらんいし	Muroran ishi	北海道室蘭市東町産の石材。新第三系～第四系安山岩。砕石用。
銘柄石材	めいがらせきざい	brand-name stone	建設・製造工業または美術工芸用材料として使用される岩石のうちでも著名なもの。
明きよ（明渠）	めいきよ	open ditch	地表水や地下水を排水するために設けられた開水路。暗きよ（暗渠）に比べて通水障害を容易に発見できる。開きよ（開渠）と同義。
明治三陸地震津波	めいじさんりくじしんつなみ	Meiji Sanriku tsunami caused by earthquake	1896年6月15日に岩手県沖を震源とするM8.5の地震により発生した津波。死者2万2千人とされる。
迷走電流	めいそうでんりゅう	stray current	電気施設や雷の影響により、地盤中を流れる電流。電気を用いた探査・検層実施時に留意する必要がある。
明度	めいど	luminosity, brightness, lightness	眼に感じられる光の強弱を示す量。
明凡地すべり	めいぼんじすべり	the Meibon landslide	1966年に大分県別府市明凡温泉街一帯で発生した地すべり。誘因は台風による豪雨。地すべり面は温泉余土中。
命名規約	めいめいきやく	code of nomenclature	地層の区分や命名方法あるいは動植物の学名のつけ方などを決めた基準。地層命名規約・動物命名規約参照。
目入片麻岩	めいりへんまがん	augen gneiss	眼球片麻岩と同義。眼球片麻岩と呼ぶのが一般的。
メインバウンダリー衝上	めいんばうんだりーしょうじょう	Main Boundary thrust	ヒマラヤ山脈南縁に分布する第三系に北からこれより古い岩石が乗り上げる。北傾斜の衝上断層。
メートル原器	めーとるげんき	prototype metre	メートル条約によって1 mの長さを表すものとして制定された物指。現在ではメートルの定義が変わったため、実用上の価値はない。
メートル法	めーとるほう	metric system	メートル、キログラム、秒を基本とする単位系。
メカニカルアンカー	めかにかるあんかー	mechanical anchor	①先端部を機械的に開いて定着する形式のアースアンカーやロックボルト。 ②中空ロックボルトの内部に取り付けた数点の固定点と頭部との相対変位を測定し、ロックボルトの軸力分布を求めるための計器。
メカニカルシールドドッキング	めかにかるしーるどどっきんぐ	mechanical shield docking method	押出し側・受入れ側の2台のシールドを地中において補助工法なしで直接接合させる工法。

めがねトンネル	めがねとんねる	binocular tunnel	併設トンネルのうち、トンネル同士が接し中央の支柱を共有する構造のもの
メキシコ湾岸地 向斜	めきしこわんがんち こうしゃ	Gulf Coast geosyncline	メキシコ湾北岸縁に存在すると考えられた地向斜。第三紀から現世まで活動しているとされた。地向斜による造山論は現在あまり議論されていない。
盲暗きよ（暗 渠）	めくらあんきよ	blind drainage conduit	地表の残留水や地下水を除くために埋設された排水施設で、溝の中に石礫・そだ束・蛇かごなどを詰めたもの。
盲下水	めくらげすい	blind drain	地中や覆工背面に排水などを目的に埋め込まれる排水溝。透水性の良い砂利やパイプ類を用いる。
盲谷	めくらだに	polje	カルスト地域に認められる盆状地形。大きさや形状は色々あり、溶食によって形成される。ドリーネやウバーレより大きい。ポリエともいう。
盲炭	めくらたん	blind coal	燃焼時に炎が肉眼で見えにくいことから呼ばれた無煙炭の一種。
盲不整合	めくらふせいごう	blinded unconformity	上下層の間に明瞭な境界面が認められない不整合。最近用語として不適切とされ、混成不整合を用いる。
盲目地	めくらめじ	blind joint	覆工コンクリート施工時の施工継ぎ目のうち、クラック防止のために設置する浅い溝の収縮継ぎ目。
メサ	めさ	mesa	浸食されにくい硬岩が水平に分布したため生じた平坦な表面と周縁の急崖からなる台状の地形。地卓と同義。
メサ状地形	めさじょうちけい	mesa landforms	メサと同義。沖縄本島においては、琉球層群が帽岩になっているメサ状地形発達部で地すべりが発生している。
メサビ山地	めさびさんち	Mesabi range	米国ミネソタ州にある鉄鉱石の代表的産地。鉱床はスペリオル型の縞状鉄鉱床で先カンブリア界に属す。
目地	めじ	joint	一般には、コンクリートの膨張・収縮などによる悪影響を防止する目的で設けられた継ぎ目をいう。
メソスフェア	めそすふえあ	mesosphere	リソスフェア（岩石圏）の下位マントルのうち、上部マントルのアセノスフェアの下の構造運動に関係しない部分。
メソ帯	めそたい	mesozone	広域変成作用のうち、雲母片岩・角閃岩が生成される程度の中位程度の深度帯。緑色片岩相が生じる程度の変成地帯。
メソ帯プルトン	めそたいぷるとん	pluton of mesozone	メソ帯に産する花崗岩類。
メソ地向斜	めそちこうしゃ	mesogeosyncline	大陸間に位置し、大洋的な特徴を有するとされた地向斜。内部は複数の地背斜で分けられている。地向斜論的思考方。

メソデスミック構造	めそですみつくこうぞう	mesodesmic structure	結晶内の強結合した化学基において，陽イオン原子価÷配位数＝陰イオン原子価÷2となる構造．
メゾポア	めぞぽあ	mezzo pore	中域サイズの土の間隙径(1～10μm範囲)．
メタ	めた	meta	変成・変質岩の源岩を示す際に用いる接頭語．例：メタチャート，メタアレナイト．
メタセコイア	めたせこいあ	<i>Metasequoia</i>	スギ科の一属で，落葉高木．中国中部に分布．第三紀に世界的に繁茂．日本では第四紀初期に消滅．
メタセコイア植物群	めたせこいあしよくぶつぐん	<i>Metasequoia</i> flora	鮮新世後期～更新世前期の大阪層群下部・最下部層とその相当層に分布する古植物群．
メタセコイア植物群消滅期	めたせこいあしよくぶつぐんしょうめつき	age of extinction of <i>Metasequoia</i> flora	メタセコイア植物群が気候寒冷化によって衰退し始め，寒冷期に消滅した時期．
メタセコイア植物群繁栄期	めたせこいあしよくぶつぐんはんえいき	age of flourish of <i>Metasequoia</i> flora	メタセコイア植物群が温暖な気候下で繁栄していた時期．大阪層群最下部期に相当．
メタベーサイト	めたべーさいと	metabasite	変成作用を受けた塩基性岩．原岩ははんれい岩(斑糲岩)・玄武岩などの塩基性火成岩．一般に片理に乏しい塊状岩．変塩基性岩ともいう．
メタミクト鉱物	めたみくところうぶつ	metamict mineral	放射性元素を含む鉱物で，放射能により結晶格子が乱され非晶質と見なされる鉱物．ジルコンなどにある．
メタ無煙炭	めたむえんたん	meta-anthracite	アメリカで固定炭素98%以上，揮発分2%以下の最上級として分類される石炭．
メタルクラウン	めたるくらうん	metal crown	超硬合金を先端に埋め込んだボーリングビット．土砂～軟岩用に用いられる．
メタルチップ	めたるちっぷ	cemented carbide tip	ボーリング用に使用する超硬チップの総称．ビットの刃先その他，ロッドホルダの刃部，カップリングの外周に使用する．
メタルビット	めたるびつと	metal bit	コアチューブの先端部に取り付けて直接地盤を掘削するツール．刃先の超硬チップで，軟岩まで対応可能．
メタンガス	めたんがす	methane gas	有機物が水中で腐敗発酵する時に発生する無色の可燃性気体．沼沢池や石炭・石油産出地域のガスに含まれる．
メタンハイドレート	めたんはいどれいと	methane hydrates	海底や永久凍土地帯など特定の温度・圧力条件下で水分子の格子内に気体分子でシャーベット状で存在するメタンガス水和物．
メタンハイドレート鉱床	めたんはいどれいとこうしょう	methane hydrates deposit	ガスハイドレートとして存在するメタンガス鉱床．産出層は周辺の地層に比べ小さな密度，早い地震波速度を示すのが特徴．

メタンバクテリア	めたんばくてりあ	methane bacteria	メタンを代謝物質として生成する嫌気性細菌.
目違い	めちがい	joint offsets	コンクリート構造物の施工目地が地盤の変状その他の原因で食い違いを生じていること.
メチレンブルー吸着量	めちれんぶるーきゅうちゃくりょう	methylene blue capacity	①AEコンクリートのAE剤のフライアッシュ吸着能定量評価のための試験で、フライアッシュに吸着されるメチレンブルーの量. ②モンモリロナイトの含有量の指標.
メッサム火成岩体	めっさむかせいがんたい	Messum igneous complex	南西アフリカ中部海岸の環状分化火山岩体の分布地帯. 岩種は活動期に応じて変化している.
メッシナ輪廻	めっしなりんね	Messina cycle	南ローデシアメッシナ帯における造山運動様式. 塩基性～超塩基性岩貫入・褶曲・広域変成作用・花崗岩貫入といった造構作用の結果、変成岩を生成した.
メッシュ	めっしゅ	mesh	ふるい目の大きさを表わす単位. 通常長さ1インチの中に含まれるふるいの目の数によって示す.
メッシュマップ	めっしゅまっぷ	mesh map	一定幅のメッシュで地図を覆い、メッシュ毎に情報を分類して表示した図面.
メッセル工法	めっせるこうほう	messer sheet pile excavation method	トンネル掘削補助工法の一つ. 特殊加工した鋼矢板を油圧ジャッキで地山に圧入し切羽の安定をはかる工法.
メッセル鋼矢板	めっせるこうやいた	knife sheet pile	ドイツ語のナイフという意味の矢板で、土留工で用いられる鋼矢板の外側をボックス枠で補強した形状を示す.
目づまり	めづまり	clogging	ボーリング時のスライムや細粒分により、地盤の空隙や割れ目が充填される状況. 地下水の調査では注意が必要.
メディアン法	めでいあんほう	median method	階層的クラスタリング手法の一つで、最短距離法と最長距離法の折衷的手法.
メディアナ統	めでいなとう	Medinan series	北米の下部シルル系. 名称は赤色斑岩質なメディアナ砂岩に由来する.
METEOSTAT	めておさっと	Meteorological Satellite, METEOSAT	ヨーロッパの静止気象衛星. 水蒸気チャンネルのセンサを有している特徴がある.
目透砥	めとうと	Metoto	京都府相楽郡和束町・亀岡市産の石材. 中生界粘板岩. 中砥石, 宮川砥ともいう.
メナード式圧力計	めなーどしきあつりょくけい	Menard pressure meter	孔内載荷試験機の一つ.
目無し岩	めなしがん	free stone	節理・葉理などの不連続面に規制されず、任意の方向で切り取りできる岩石.

目無炭	めなしたん	Menashi-tan	規則的あるいは不規則な割れ目などが発達せず、方向性を有しない塊状均質な石炭。日本には少ない。
メニスカス	めにすかす	meniscus	管中の液体表面が、界面張力により一種の曲面を形成すること。
めのう（瑪瑙）	めのう	agate	SiO ₂ をを主成分とする玉ずい（玉髓）のうち、晶洞を充填する際に同心円状の色調や明度変化を示すようになったもの。
めひかり石	めひかりいし	Mehikari ishi	愛媛県西宇和郡三崎町産の石材。三波川結晶片岩中の大理石。装飾用。
メラピ火山	めらびかざん	Merapi volcano	ジャワ島中部の活火山。円錐形成層火山で海拔2,949m。溶岩ドームの形成・火砕流の発生を繰り返している。
メラピ型火砕流	めらびがたかさいりゅう	Merapi-type pyroclastic flow	溶岩ドーム成長期に、溶岩の崩落によって発生する火砕流。名称はメラピ火山（インドネシア）に由来する。
メラメック統	めらめつくとう	Meramecian series	北米モンタナ州メラメック川流域を模式地とする下部石炭系の上部層で主として石灰岩層よりなる。
メランジ	めらんじ	melange	地層としての連続性がなく、様々な種類の岩石が複雑に混じり合った地質体で、ブロックインマトリックスの関係を有する。日本では四万十帯が代表的。
メルカトル投影	めるかとうとうえい	Mercator's projection	経線は等間隔の平行直線、緯線は両極ほど大きな間隔の平行直線で表す海図に欠かせない地図投影法。
メルカトル修正円すい図法	めるかとうしゅうせいえんすいずほう	Mercator's modified conical projection	二つの緯線が正長に表されるように単円錐図法を修正した等距離の擬円錐図法。
メルカトル図法	めるかとうずほう	Mercator projection	円筒を地球赤道に接するようにかぶせて、地球中心から円筒上に投射する図法。
メルカリ改正震度階	めるかりかいせいしんどかい	Mercalli scale of earthquake intensity	米国などで使用されている震度階。日本の10段階に対して、13段階に区分している。
面基準測角法	めんきじゅんそっかくほう	face adjust goniometry	結晶面の測定法の一つで、複円反射測角器を用いる方法。板状結晶の測定によく利用される。
面構造	めんこうぞう	foliation, planar structure	岩石中の片理構造・縞状構造・流理構造などの面要素。普通、層理や節理などの初生的な面は含まない。
メンザー単位	めんざーたんい	Meinzer's unit	透水係数の単位として、アメリカの地質調査所で採用。単位は動水勾配1:1、温度60℃のとき、gal/d/ft ² （gal：ガロン（量） d：day（時間））。
面切	めんさい		石材の大きさ（面積）を示す単位。1尺平方（約30cm平方、約900cm ² ）をいう。

面状浸食	めんじょうしんしょく	sheet erosion, sheet flood erosion	面状洪水によってひきおこされる地表面の面状の削剥・浸食作用。布状浸食ともいう。ガリ浸食のような線状浸食と区別。
免震構造	めんしんこうぞう	seismic isolation structure	地震の際、構造物にかかる慣性力を分散もしくは低減させ、地震による影響の低減を期待する構造。
免震柔構造	めんしんじゅうこうぞう	base-isolated flexibility structure	ある一定以上の地震力に対して構造物の周期を長くするとともに、減衰装置を用いて変形を吸収させる構造。
免震制御	めんしんせいぎよ	seismic isolation control	建物本体と基礎の間に設置された免震装置により地震や風による建物の振動を抑制すること。免震装置の本体はアイソレーターであり、直径40～50cmのゴムと鉄板を交互に積層したものが最も知られる。
面積計	めんせきけい	planimeter	図上で機械的に図形の面積を測る器械。プランメータともいう。
面積容量曲線	めんせきようりょうきょくせん	area-volume curves, area-capacity curves	貯水池または貯水池の水位と貯水池容量および水位と貯水面積との関係を示す曲線で、電力量計算などに用いる。貯水池容量曲線。
面積流量計	めんせきりゅうりょうけい	area flow meter	管路の途中に流量によって可動するピストンやフロートを挿入して、流路の面積をしぼり、ピストンやフロートの位置から流量を測定する装置。
面坪	めんつぼ		石垣や舗石面の面積あるいは石材の大きさを示す単位。6尺平方(約180cm平方)すなわち1坪と同じ値である。
メンドシノ断裂帯	めんどしのだんれつたい	Mendocino fracture zone	カリフォルニア北部に位置する断層地帯。メンドシノ岬より北緯40度沿いに約3,000kmの延長を有する。
免鳥石	めんどりいし	Mendori ishi	福井県福井市産の石材。新第三系凝灰岩で土台石などに使用。
面なし断層	めんなしだんそう	planeless fault	断層面が消失したり、癒着することにより、変位はあるものの周辺部との区別が不明瞭となった断層。
綿毛化	めんもうか	flocculation	分散している粘土粒子が相互に弱く結合し、集合体を形成する現象。河口部で海水と接する際に生じやすい。
綿毛構造	めんもうこうぞう	flocculent structure	粘土などの微細な土粒子の配列モデルの一つで、間隙が非常に大きい。
茂発谷断層	もあちやだんそう	Moachiya fault	活断層。確実度I,活動度B級,南北方向。帯広市南東丘陵地を横断する。延長12km。豊岡付近でとう曲(撓曲)崖を形成。
モイン衝上	もいんしょうじょう	Moine thrust	カレドニア造山運動末期に形成された、スコットランド北西海岸部にある衝上断層。総変位量40～50km以上。
モイン変成岩	もいんへんせいがん	Moine metamorphic rocks	モイン衝上断層からグレートグレン断層間に分布する先カンブリア紀末期～カレドニア期の変成岩類。

毛管圧力	もうかんあつりよく	capillary pressure	毛管現象において、メニスカスが水柱を支えるときの反力として毛管壁に生ずる管軸方向の圧縮圧力。
毛管境界帯	もうかんきょうかい たい	capillary fringe	毛管水のうち水理学的に地下水と連続している範囲の最上部付近。
毛管現象	もうかんげんしょう	capillarity, capillarity action	水の表面張力と固体に対する付着力により水が上昇する現象で、管の径が小さいほど大きく上昇する。
毛管作用	もうかんさよう	capillary action	毛管を液体の中に立てると、液体は管内を上昇して外の液面より高くなったり、降下して外の液面より低くなる現象。
毛管上昇高	もうかんじょうしよ うだか	capillary rise	水が毛管現象により毛管中を上昇する限界の高さで、水の表面張力や毛管の半径等に関係する。
毛管水	もうかんすい	capillary water	毛管力によって毛細管（例えば土の間隙など）内に保持されている水。
毛管水頭	もうかんすいとう	capillary head	毛管力により、土中の間隙を上昇した単位体積重量の水がもつエネルギーの大きさを水柱の高さで表したものの。
毛管力理論	もうかんりよくりろ ん	capillary force theory	凍結融解による岩石の破砕理論の一つ。岩石内に存在する空隙間を結ぶ毛管を通り流入した水は、凍結し氷の体積が増加し圧力も増加する。この増加圧力が岩石を破砕するとした。
毛鉍	もうこう	jamesonite	硫安鉛鉍ともいう。Pb ₄ FeSb ₆ Si ₄ 。単斜晶系。鉍脈・スカルン鉍床から産出する。プーランジェ鉍・輝安鉍・ジンケン鉍などともに毛状鉍と呼ぶ。日本の代表的産地は秩父鉍山。
蒙古地向斜	もうこちこうしゃ	Mongolian geosyncline	アンガラ大陸と中朝古陸間に位置したと考えられる幅400～600kmの東西に延びる地向斜。モンゴル地向斜ともいう。地向斜による造山論は現在あまり議論されていない。
毛細間隙	もうさいかんげき	capillary interstice	水が毛管上昇できるくらい非常に細かい間隙。
網状河川	もうじょうかせん	braided river	低水時に水流が分流や合流を繰り返して網目模様を形成し、洪水時に単一河道を形成する河川。
網状河道	もうじょうかどう	braided channel	河筋がいくつにも分流・合流をくり返し平面パターンが網目状になったもの。洪水時に一本となる場合が多い。河口州や山麓部の扇状地などによく発達する。網状流路ともいう。
網状鉍床	もうじょうこうしよ う	network deposit, stockwork deposit	網目状の小規模な割れ目を充填した鉍物鉍床。幅1mm～数cm、延長数mの鉍脈の集合体で、一般に低品位。
網状流	もうじょうりゅう	braided stream	砂礫からなる島や州によって平水時の水流が分・合流を繰り返す流れ。
網状流路	もうじょうりゅうろ	braided channel	網状河道と同義。

網平均	もうへいきん	net adjustment of leveling	水準測量の結果を、測量網全体について調整計算し、各点の標高を決定すること。
モーアの自由落下式採取器	もーあのかしきさいしゅき	Moore free-fall corer	ケーブルを使用しない海底土質採取器具で、水中に自由落下させ、試料を浮揚性チャンバーで回収する。
モース	もーす	Mohs, Friedrich	ドイツ生まれ。1773～1839年。ウェルナーの鉱物学を体系化するとともにモースの硬度計を作成。
モース硬度	もーすこうど	Mohs hardness	滑石からダイヤモンドにおよぶ計10種類の標準鉱物硬度をもとに定義される鉱物の硬さの度合。
モース硬度計	もーすこうどけい	Mohs scale of hardness	鉱物の硬さの度合いを、滑石からダイヤモンドにおよぶ計10種類の標準鉱物で引っかき合っ調べて調べる方法。
モータースクレーパー	もーたーすくれーぱ	motor scraper	掘削から積み込み、運搬、まきならしを行うことができるスクレーパーのうち、車輪式トラクタと一体化したもの。
モータグレーダー	もーたぐれーだ	motor grader	前輪と後輪の間にブレードがつけられ、走りながら地面をならす土工用機械。
モーダルアナリシス	もーだるあなりしす	modal analysis	耐震設計法の一つ。建物の振動モードと地震の応答スペクトルとから建物の地震応答の最大値を求める計算法。
モード	もーど	mode	①岩石の鉱物組成の表示方法。岩石中に含まれる実際の鉱物の量比。 ②統計学的に最大の度数を与えるデータの値。
モーメント	もーめんと	moment	ベクトルと作用点における位置ベクトルとの外積。ベクトルを力として力のモーメントを考えることが多い。
モーメントテンソル	もーめんとてんそる	moment tensor	地震波を励起する力源の記述方法。クラックの開閉、等方的な爆発・収縮の力源も記述可能。
モーメントマグニチュード	もーめんとまぐにちゅーど	moment magnitude	地震の大きさを示すスケールの一つ。断層運動の規模を表すスケールで地震モーメントを基にして決められる。
モール・クーロンの破壊基準	もーるくーろんのはかいきじゅん	Mohr-Coulomb's failure criterion	土の破壊基準の一つで、三軸試験によるモールの応力円群の包絡線を直線とする場合。
モールド	もーるど	mould, mold	締固め試験を行うための真ちゅう製の円形小容器。
モールの応力円	もーるのおうりょくえん	Mohr's stress circle	二次元平面応力状態のある任意断面に作用する垂直応力とせん断応力の関係から導かれる円。
モールの破壊基準	もーるのはかいきじゅん	Mohr's failure criterion	一つの材料に対して応力状態を変えて得た複数のモールの応力円を包絡する線について、関数表示したもの。

モールの破壊理論	もーるのはかいりろん	Mohr's failure theory	モールの円が破壊包絡線に接する状態以上の応力状態のときにその材料はせん断破壊するとした理論.
モールの包絡線	もーるのほうらくせん	Mohr's envelope	種々の応力状態で描いたモール破壊円の包絡線.
最上舟状海盆	もがみしゅうじょうかいぼん	Mogami trough	佐渡から男鹿半島沖に至る日本海東縁部の構造凹地. 日本海東縁変動帯に属し, 周辺に活断層が発達する.
模擬地震波	もぎじしんは	simulated earthquake motion	実測地震動ではないが, 人工的に作成してこれに代える地震動. 耐震設計用の入力地震動として用いる.
木製支柱式支保工	もくせいしちゅうしきしほこう	timbering	木製支保工のうち合掌式・枝ぶり式・後光ばり式などの総称.
木製支保工	もくせいしほこう	timber support	松材などによるトンネル支保工で, 安全性や経済性の点で鋼アーチ支保工より劣るので通常使用されない. 断層対策などの応急措置や導坑・調査横坑などの小断面トンネルで採用される.
木製土留め支保工	もくせいどどめしほこう	trench timbering	開削工法の土留めに使用する仮設支保工で木製のもの. 施工性やコストから簡易な工事用.
もぐりぜき	もぐりぜき	submerged weir	頂部に長い水平部を持つ広頂堰の一種で, 限界水深が現れるタイプの堰.
模型実験	もけいじっけん	model test	相似模型を用いて実物の挙動を予測する実験. 実物を調べるのが難しい場合の有効な研究方法の一つ.
モゴク片麻岩	もごくへんまがん	Mogok gneiss	ミャンマー中部のモゴク付近にみられる, 高度変成作用を受けた片麻岩. 石灰質で, 変成作用により宝石を産出.
モザイク結晶	もざいくけっしょう	mosaic crystal	接触変成岩に特徴的に見られ, 再結晶作用により個々の結晶が等粒状を示す変成組織. グラノブラスチックともいう.
モザイク構造	もざいくこうぞう	mosaic structure	単結晶は多くの微結晶からなり, 各微結晶内部は規則正しい三次元の原子配列を有しているが, 各微結晶の方位は互いにわずかながら分散しているとした結晶組織のモデル.
モザイク写真	もざいくしゃしん	mosaic photograph	1回の撮影では撮れない被写体に対して, 連続して複数回撮影したものを貼り合わせて一枚に合成した写真.
モザイク組織	もざいくそしき	mosaic texture	変成岩の組織を示し, 顕微鏡下の鉱物配列が等粒状で無指向性の組織. グラノブラスチックとも.
モザイク平衡	もざいくへいこう	mosaic equilibrium	全体的に見ると非平衡で, 非可逆的な状態にあっても, 極微小部分でみた場合に平衡系と扱える状態.
モザンビーク帯	もざんびーくたい	Mozambique belt	アフリカ東部を南北に貫く造山帯. 先カンブリア時代末期に活動し, 大規模な熱変成作用を受けた.

模式種	もしきしゅ	type species	個別的な特徴から区別される生物分類上の一群をタクソンといい、タクソンの模式となる公称種.
模式層	もしきそう	type formation	地質時代区分の一時期を代表する地層, あるいは調査地の地質状況を説明できる代表的な地層.
模式断面図	もしきだんめんず	schematic profile	上下・水平方向の地質分布の状況を概念的に示した断面図. 一部省略したり, 強調して判りやすくする場合も多い.
模式地	もしきち	type locality	①生物分類上一群の模式標本を産出した指定地. ②地層命名・区分の標準として指定された露頭や地区.
模式柱状図	もしきちゅうじょうず	schematic columnar section	ある領域における層序区分, 層相, 化石種などの地質情報を統合し, 概念化した柱状図.
模式標本	もしきひょうほん	type specimen	ある生物群 (タクソン) を種単位で代表する模式となる標本.
モジュラス	もじゅらす	modulus	率, 係数のこと. 弾性係数 (elastic modulus), 剛性率 (modulus of rigidity) のように使用する.
MOS	もす	Marine Observation Satellite, MOS	日本が1987年に打ち上げた海洋観測衛星. 可視近赤外放射計など3種類のセンサを搭載.
モスクワ陸向斜	もすくわりくこうしゃ	Moscow syncline	ロシア・モスクワ周辺に存在する大規模な下向き構造. 千mをはるかに超す中〜古生界および先古生界が分布する.
母体層群	もたいそうぐん	Motai Group	岩手県前沢町字母体を模式地とする母体変成岩より成る弱変成古生界. 主に細粒緑色岩からなり一部チャート, 粘板岩を挟む.
母体変成岩	もたいへんせいがん	Motai metamorphic rock	母体層群と同義.
もたれ式擁壁	もたれしきようへき	leaning type retaining wall	地山あるいは裏込層に寄りかかった状態で安定している擁壁. 背後の地山が良好な場合に用いられる.
モデル計算	もでるけいさん	model calculation	対象となる物体の形状・規模・入力物性値などの諸条件を仮定した上で, 現実に起こりうる現象を予測する計算または手法.
モデル地震学	もでるじしんがく	model seismology	地震現象をモデル実験によって研究する学問. 地震の発生の問題や地震波の発生と伝播の問題などを研究する.
元名石	もとないし	Motona ishi	千葉県安房郡鋸南町産の石材. 新第三系凝灰岩で房州石中最良質のもの. 保田石と同義語.
モナズ石	もなずいし	monazite	花崗岩類や変成岩類の副成分鉱物あるいは漂砂鉱床より産出されるトリウムの原料となる鉱物.

モナズ砂	もなずすな	monazite sand	セリウム (Ce), ランタン (La) などの希土類元素の燐酸塩鉱物からなる漂砂で, 放射性元素トリウム (Th) を含む.
モナステイル階	もなすているかい	Monastirian stage	チュニジアのモナステイル半島を模式地とする海成の低位段丘堆積層が形成された時階.
モニタリング	もにたりんぐ	monitoring	ある現象, 対象物を管理, 観察, 評価, 防止などの目的で監視すること.
モノクレーター火山群	ものくれーたーかざんぐん	Mono Craters volcano group	米国カリフォルニア州東部に南北方向に配列する火山群. 更新世末から完新世にかけて流紋岩類を噴出した.
モノクロメータ	ものくろめーた	monochrometer	鉱物の屈折率測定などに用いられる. 白色光から任意の単色光を取り出すことのできる装置.
モノサイクリック	ものさいくりっく	monocyclic	鉱床賦存地域において鉱床生成が1回の構造運動やマグマ活動によって生じたことを示す用語.
モノ地向斜	ものちこうしゃ	monogeosyncline	大陸域において常時浅海ではあるが, 狭長かつ深い沈降性を有すとされた地向斜. 現在はプレート運動で説明. 地向斜による造山論は現在あまり議論されていない.
物部-岡部の土圧式	もののべおかべのどあつしき	Mononobe-Okabe's formula	現在, 国内・外で広く用いられている地震時土圧式で, 物部と岡部は独自に震度法をクーロン土圧に導入した.
物部川層群	ものべがわそうぐん	Monobegawa Group	徳島県勝浦町から愛媛県三瓶町にかけて断続して分布する下部白亜系. 秩父帯北帯に属し主に砂岩・頁岩よりなる. 高知県東部の物部村を模式地とする.
茂原ガス田	もばらがすでん	Mobara gas field	南関東ガス田の一つ. ほとんどメタンからなる水溶性ガス. 千葉県茂原市にあり上総層群の砂岩泥岩互層から産出. ガスを分離したかん水からヨードが生産されている. 茂原周辺の天然ガス鉱床は茂原型と呼ばれかん水に対するガスの量比が大きい.
モホ	もほ	moho, Mohorovicic's discontinuity	モホロビッチ不連続面の略称.
モホーク統	もほーくとう	Mohawkian series	北米の中部オールドビス系. 本統と下位のシャージ統を合わせてチャンプレーン統ともいう.
モホール計画	もほーるけいかく	Mohole Projects	米国で地殻-マントルの境界であるモホ面を確認するために計画された超深部掘削計画. ただし本計画は中止された.
モホ面	もほめん	Mohorovicic's discontinuity	モホロビッチ不連続面の略称.
モホロビッチ不連続面	もほろびちっちなぞくめん	Mohorovicic's discontinuity	地殻とマントル間の境界に相当するP波速度が不連続となる面. 深度は大陸直下で30~60km程度, 海洋底では10km程度.
紅葉大理石	もみじだいいりせき	Momiji marble	静岡県島田市千葉山産の石材. 四万十帯の大理石で建築・装飾材用.

紅葉山層	もみじやまそう	Momijiyama Formation	北海道中央南部に広く分布する新生界始新～下部漸新統。夕張市紅葉山付近の夕張川右岸を模式地とする。海成で下部は砂岩を主体とし礫岩を伴い、上部凝灰質シルト岩からなる。
百島みかげ	ももしまみかげ	Momoshima mikage	広島県尾道市百島産の石材。中生界黒雲母花崗岩。百島石ともいう。建築・石垣用。
桃の木亜層群	もものきあそうぐん	Momonoki Formation	山梨県西部の糸魚川－静岡構造線の東側に沿って分布する中部中新統。海成で礫岩・砂岩・砂泥互層を主体とし、チャート、珪質頁岩、細粒凝灰岩などを挟在する。
桃ノ木層	もものきそう	Momonoki Formation	山梨県西部の糸魚川－静岡構造線の東側に沿って分布する中新統。海成で礫岩・砂岩・砂泥互層などからなる。最近では桃の木亜層群と呼ばれる。
モラッセ	もらっせ	molasse	アルプスの後造山期堆積物が起源の粗粒で層相変化の著しい堆積物。浅海成や陸成の礫岩や砂岩が主体。
モラッセ性沈降帯	もらっせせいちんこうたい	molasse subsidence zone	大陸衝突に伴う造山運動の際に形成された前縁凹地や山間盆地。カレドニア造山帯やヘルシニア造山帯にみられる。
モラッセ相	もらっせそう	molasse facies	モラッセの特徴を示す堆積相。礫岩や砂岩など粗粒で層相変化の著しい堆積物を示す。
モラッセ堆積物	もらっせたいせきぶつ	molasse sediment	モラッセ相の堆積物。
盛岡－白河線	もりおかしらかわせん	Morioka-Shirakawa line	北上山地と阿武隈山地の西に位置し、東西に地下構造を分かち線。この線より西側がグリーンタフ地域となる。
盛替え	もりかえ	replacement	トンネルの木製支柱式支保工などで地山を支持している支柱の荷重を別の支柱に受け換えて初めの支柱をはずすこと。
森カルデラ	もりかるでら	Mori caldera	大分県西部の万年山を囲む直径約10kmのカルデラ。半円状に流れる玖珠川流路の地形から想定された。
モリスル	もりそる	mollisol	土壌分類の一つで、亜湿潤～半乾燥地帯に分布する黒色の有機物に富む表層を持つ土壌群。
盛立	もりたて	embankment	土や岩石を充分締固めながら順次盛土して、堤防、フィルダムなどを築造すること。
盛立のり面	もりたでのりめん	slope of embankment	盛土・築堤などの斜面部。それぞれの目的に応じたのり面保護工が施工される。
森遠地すべり	もりとうじすべり	the Morito landslide	四国の三波川結晶片岩地帯に発生している最大規模の地すべり。幅約700m、長さ約1,200m、すべり深度は30mを越える。
盛土荷重低減工法	もりどかじゅうていげんこうほう	banking load mitigational method	盛土荷重を軽減し、構造物に起こる変位・側方流動を減少させる工法で、盛土材に軽量な新素材などが使用される。

モリブデン鉛鉱	もりぶでんえんこう	wulfenite	PbMoO ₄ . 立方晶系. 硬度3. 比重6.8. 鉛鉱物やモリブデン鉱物を胚胎する鉱床の酸化帯に二次鉱物として産する. 一般に四角板状結晶. 水鉛鉛鉱ともいう.
モリブデン鉱床	もりぶでんこうしょう	molybdenum deposit	主に輝水鉛鉱が主体の熱水鉱床で, 花崗岩質の貫入岩に伴う場合が多い. 日本では鉱脈鉱床として産する.
森本断層	もりもとだんそう	Morimoto fault	活断層. 確実度 I, 活動度 B 級, 北北東方向. 金沢市中央部から北北東に走る延長18km. 平地と丘陵地を画するとう曲 (撓曲) 崖を形成.
モル	もる	mor	森林土壌の腐植の分類の一つ. 粗腐植のこと.
モル体積	もるたいせき	molar volume	1モルの物質に相当する体積. 理想気体では0°C, 1気圧で1モル体積は22.4リットルとなる.
モルタル	もるたる	mortar	①セメント・細骨材・水を攪拌したもの. ②粗粒子が細粒子に縁どられた岩石組織. ポーフイロクラスチックと同義.
モルタル構造	もるたるこうぞう	mortar structure	圧砕を受けて細粒化した結晶中に, 未圧砕の原岩の残存結晶が斑晶として分布する構造.
モルタル注入	もるたるちゅうにゅう	mortar injection	岩石の亀裂や地盤の空隙あるいは粗骨材の間隙などにモルタルを注入すること.
モルタルバー試験法	もるたるばーしけんほう	mortar bar testing	骨材のアルカリシリカ反応性を判定する試験法. 膨張促進条件下でモルタルバー (4×4×16cm) を養生し, 反応性の有無を判定.
モルタルバー法	もるたるばーほう	mortar-bar method	モルタルバー試験法と同義.
モルタル吹付け	もるたるふきつけ	gunite-shooting, mortar spraying	のり面の風化・浸食防止のため, 圧縮空気でもルタルを直接のり面に吹き付けること. 吹付け厚は5~10cmが標準.
モルタル防水	もるたるぼうすい	mortar waterproofing	モルタル空隙の毛細管を水ガラスやパラフィンなどを混入したセメントで充填する防水方法.
モル濃度	もるのうど	molarity	単位体積の溶液に含まれる溶質量であり, 濃度の表現方法の一つ. mol/lの単位で表わすことが多い.
モル比	もるひ	molar ratio	2成分の溶液中に存在する物質のモル数の比. 生成物の組成決定法としてモル比法がある.
モル比熱	もるひねつ	molar heat	物質1モルの熱容量のことでモル熱容量ともいう. その物質の比熱容量に, その物質の分子量を乗じたもの.
モル分率	もるぶんりつ	molar fraction	溶液を構成する全ての物質質量 (モル量) の総和に対する個々の物質質量 (モル量). 濃度の表現方法の一つ.

モルワイデ図法	もるわいでずほう	Mollweide's projection	1805年モルワイデによって考案された正積図法. 全世界を一つの楕円面に投影できる.
モレーン	もれーん	moraine	氷成堆積物により形成された地形の総称. 氷成堆積物を表すこともある. 氷堆石と同義.
モレーンヒル	もれーんひる	moraine hill	氷成堆積物のつくる地形. 堆石で形成された丘状のたかまり. 氷堆石堤, 堆石丘ともいう.
モレングラア ファイト	もれんぐらあふあい と	molengraafite	わずかにアルミニウムを含む, ランプロフィライトの一種. 雲母状結晶で, 独特の輝きを示す.
モロウ統	もろうとう	Morrowan series	米国アーカンソー州モロウ地域を模式地とする下部ペンシルバニア系. モロワン統ともいう.
モロカイ断裂帯	もろかいだんれつた い	Molokai fracture zone	ハワイ諸島のモロカイ島付近に存在する海底断裂帯. ハワイ諸島を横断しており, 海崖や舟状海盆からなる.
モングガイ統	もんぐがいとう	Mongugai series	ロシア極東部の凝灰岩主体の上部三じょう系 (三畳系). 貝や植物の化石を産する.
モンケン	もんけん	drop hammer	杭や鋼矢板に打撃力を与えるためにドロップハンマーに用いるおもり.
門静石	もんしずいし	Monshizu ishi	北海道厚岸郡厚岸町門静産の石材. 中生界粗粒玄武岩で釧路石と同質.
文象状	もんしょうじょう, ぶんしょうじょう	graphic	長石結晶中に楔形文字状の石英が連晶する規則的連晶構造を示す用語. ペグマタイトに模式的に発達する.
文象連晶	もんしょうれんしょう, ぶんしょうれんしょう	graphic intergrowth	文象構造を示す同種あるいは異種からなる数種の結晶が, ある方向性を有して直接共生している状態.
モンスーン	もんすーん	monsoon	季節風と同義.
門前階	もんぜんかい	Monzen stage	東北地方の新第三系の最下部階. 秋田県北部の門前層を模式層とする. 陸成で変質した安山岩類が主体.
門前層	もんぜんそう	Monzen Formation	秋田県男鹿半島に分布する新生界漸新統. 男鹿市門前付近を模式地とする. 陸成で安山岩・流紋岩の溶岩や火砕岩, 凝灰質礫岩, 砂岩, 泥岩などからなる.
モンズナイト	もんぞないと	monzonite	閃長岩と閃緑岩の間に位置づけられる完晶質の深成岩. カリ長石とラブラドライトを同程度含む. 他に黒雲母・角閃石・輝石を主成分鉱物とする. モンズニ岩・閃長閃緑岩と同義.
モンズニ岩	もんぞにがん	monzonite	モンズナイトと同義.

モンゾニ斑岩	もんぞにはんがん	monzonite porphyry	モンゾナイトと類似の組成をもつ斑状岩。カリ長石や黒雲母などを含む。
モンテカルロシミュレーション	もんでかるろしみゅれーしょん	Monte Carlo simulation	不規則に起こる事象を、一様乱数を利用してコンピュータシミュレーションにより再現する方法。
モンテカルロ法	もんでかるろほう	Monte Carlo method	事象を確率的に組み合わせることで現象をモデル化するシミュレーション手法。解析が困難な現象に適用される他、決定論モデルに対して確率的な近似解として解く場合もさすことがある。
モンテレオネデッケ	もんでれおねでつけ	Monte-Leone decke	西アルプスのペンニン帯を構成するデッケ（ナップ）群の一つ。6区分されるペンニンデッケの下から3枚目。
モンテローザデッケ	もんでろーざでつけ	Monte-Rosa decke	西アルプスのペンニン帯を構成するデッケ（ナップ）群の一つ。6区分されるペンニンデッケの下から4枚目。
モンブラン地塊	もんぶらんちかい	Mont Blanc massif	スイスアルプス北部のヘルベチア帯南東縁に分布し、花崗岩類や片岩などからなる先アルプス基盤岩のドーム。
モンブラン道路トンネル	もんぶらんどうろとんねる	Mont Blanc Road tunnel	仏・伊国境にある長大道路トンネルで、土被り2,000m、花崗岩・片麻岩よりなり、山はねを生じた。
モンプレー	もんぷれー	Mount Pelee	仏領西インド諸島マルチニーク島にある標高1,397mの火山。大きな噴火被害を出した火山として有名。
モンプレー噴火	もんぷれーふんか	the 1902 Mount Pelee eruption	仏領西インド諸島マルチニーク島で1902年に発生したモンプレー火山の大噴火。この噴火により首都サンピエール市は全滅。死者29,000名とされる。
モンモリロナイト	もんもりろないと	montmorillonite	$\text{Na}_{0.33}(\text{H}_2\text{O})_4(\text{Al}, \text{Mg})_2[(\text{OH})_2 \text{Si}_4\text{O}_{10}]$ 。単斜晶系。硬度1～2。スメクタイト群に属する粘土鉱物で強い膨潤性と高いイオン交換能をもつ。膨張性土圧などの要因になる。
モンモリロナイト・カオリナイト帯	もんもりろないとかおりないとたい	montmorillonite-kaolinite zone	変質分帯の一つ。モンモリロナイト・カオリナイトの出現で特徴づけられる。
モンモリロナイト化作用	もんもりろないとかさよう	montmorillonitization	ガラス質の酸性岩が熱水・続成、風化作用を受けてスメクタイトに富んだ岩石に変質する作用。
モンモリロナイト帯	もんもりろないとたい	montmorillonite zone	変質分帯の一つで、アルカリ性熱水帯における熱水上昇中心部を取り囲んで分布する。
ヤーマス間氷期	やーますかんぴょうき	Yarmouth interglacial stage	ギュンツ-ミンデル間氷期に相当する北米の間氷期。
矢石類	やいしるい	<i>Belemnoidae</i>	ジュラ～白亜紀の海生化石。頭部に石灰質の鞘を有し、古水温測定標準試料として利用される。ベlemnナイト類ともいう。
矢板	やいた	sheet pile, lagging (tunnel)	①土砂崩壊防止やしゃ水の目的で地盤に打込まれる板状の杭。使用材料によって木製矢板・鋼矢板などがある。 ②矢板工法のトンネル工事において地山を支持するために支保工と地山の間に入れる板。

矢板カットオフ	やいたかつとおふ	sheet pile cut off	鋼矢板，鋼管矢板などを地盤中に打ち込み地下水を遮断すること。
矢板壁	やいたかべ	sheet pile wall	土止めや水止めの目的で，互いにかみ合わせた矢板を地盤に打ち込み作られた壁。
矢板工	やいたこう	sheet piling	矢板を地盤に打込んで土止め・しゃ水などを行なう工事の総称。
矢板工法	やいたこうほう	lagging method	支保方式として鋼製支保工と矢板を併用してトンネルを施工する工法で，NATM工法以前の標準工法。
矢板式基礎	やいたしききそ	sheet pile foundation	鋼管矢板またはH形鋼矢板を現場で円形，小判形，矩形などの形状に建て込んだ構造形式の基礎。
八重山夾炭層	やえやまきょうたんそう	Yaeyama coal-bearing bed	琉球列島南西部の下部中新統．2～4mの石炭層，大型有孔虫化石を多産する石灰岩層を挟在する。
八重山地震津波	やえやまじしんつなみ	Yaeyama earthquake tsunami	1771年八重山諸島沖で発生した巨大津波．石垣島の被害は甚大．諸島全体の溺死約1万2千人，住家全潰2千余戸とされている。
野外地質学	やがいちしつがく	field geology	地表踏査を通じて得られた情報・資試料を解析し，地質構成・構造・形成課程を探求する学問。
夜間熱映像	やかんねつえいぞう	night thermal imagery	夜間には日陰，斜面方位などの影響がなくなることを利用した，熱赤外領域電磁波を用いた熱映像。
夜間放射	やかんほうしゃ	nocturnal radiation	地面や海面から大気へ出る熱と，逆に大気から入る熱がある．夜間に前者が勝り冷える作用をいう。
矢木	やぎ	spile	地質不良地山のトンネルで支柱と地山の間に入れる矢板では充分でないとき，地山に打込む丸太や鋼管類。
薬液注入	やくえきちゅうにゅう	chemical grouting	地盤の止水性向上・強度増加・空洞間隙充填を目的とする注入工法の一つで，水ガラスなどの急結性材料を注入材として用いる。
薬液注入工法	やくえきちゅうにゅうこうほう	chemical grouting method	地盤の支持力あるいはしゃ水性を高めるため，水ガラス・高分子系などの薬液を地盤に注入し，改良する工法。
薬液注入式サンブラ	やくえきちゅうにゅうしきさんぷら		土質試料サンブラの一種で，押し込み後薬液を注入固化させて栓を形成し，試料脱落を防ぐもの。
八茎変成岩	やぐきへんせいがん	Yaguki metamorphic rock	福島県いわき市八茎付近で畑川破碎帯の東側に沿って帯状に分布する黒色片岩・緑色片岩を主体とする結晶片岩。
躍層	やくそう	discontinuity layer, thermocline	湖や湾などで，上下両水層の間に挟まれて密度や温度が急激に変わる薄い水の層。

夜久野塩基性岩	やくのえんきせいがん	Yakuno basic rock	京都府舞鶴市付近から岡山県南部まで舞鶴帯中に断続的に進入する斑れい岩（斑糲岩）・輝緑岩などの塩基性岩類。進入時期はペルム紀末～三じょう紀（三畳紀）初期。
夜久野コンプレックス	やくのこんぷれっくす	Yakuno complex	夜久野塩基性岩およびこれに伴う花崗岩・玄武岩・変成岩などを一括した複合岩類の総称。
夜久野層群	やくのそうぐん	Yakuno Group	京都府から岡山県にかけて舞鶴帯中に分布する下部～中部三じょう系（三畳系）。砂岩，礫岩，泥岩を主体とする。
八雲鉱山	やくもこうざん	Yakumo mine	北海道山越郡八雲に存在し，1969年に閉山した菱マンガン鉱山。周辺は有数の地熱地帯。
八雲層	やくもそう	Yakumo Formation	北海道南西地域松前半島付近に分布する新第三系下～中部中新統。山越郡八雲町遊楽部川中流部付近を模式地とする。海成で硬質頁岩・泥岩互層を主体とし，凝灰岩，砂岩を伴う。
やぐら	やぐら	derrick mast, tripod	ボーリング孔口の作業場上に設置され，器材の昇降作業，打上げ・引抜き作業，打込み作業などに利用される。
やぐら式足場	やぐらしきあしば		ボーリング機械やそれを操作するための空間（足場）が，やぐらと一体となったもの。
焼け	やけ	gossan	黄鉄鉱などが酸化によって褐鉄鉱に変化し，褐色を帯びて，「焼けた」ようにみえるようす。ゴッサンともいう。
焼け土	やけつち	weathered lava	阿蘇地方などでの風化溶岩の俗称。赤褐色を呈することが多い。
野稿図	やこうず	compiled route map	各経路で露頭状況などを記入したそれぞれのルートマップを合わせたり，1枚の地形図上に記入した図。
ヤコブ法	やこぶほう	Jacob method	簡略化したタイスの公式を用いる揚水試験結果の解析法。揚水井から観測井までの距離が小さく，揚水継続時間が大きい場合に適用。
八汐ダム	やしおだむ	Yashio dam	那珂川水系鍋有沢川。東京電力㈱。1995年竣工。表面遮水壁（アスファルトフェーシング）型として堤高90.5mは世界最大。
野洲石	やすいし	Yasu ishi	滋賀県野洲郡野洲町産の石材。中生界花崗岩で土木用。
安戸地窓	やすどじまど	Yasudo-Fenster	関東山地東北部，大霧山付近の衝上構造と浸食によって下盤の秩父古生界が現れていると解釈した構造。
安富断層	やすとみだんそう	Yasutomi fault	活断層。確実度Ⅰ，活動度B級，西北西方向。姫路市北部，現中国自動車道付近に位置し延長18km，山崎断層系の一断層。
休場礫岩	やすばれきがん	Yasuba conglomerate	従来は四国の秩父帯休場層中に含まれる礫岩とされた。最近は異地性岩塊とみなされる。礫種は石灰岩が多い。

谷内石	やちいし	Yachi ishi	石川県中島町谷内産石材。中新統安山岩質凝灰角礫岩。土木用・建築用土台石に利用。小木石・市ノ瀬石と同質。
谷地田	やちだ	paddy field in a valley	谷間にある水田。周辺の台地からの浸透水・湧水などを用水源とし、一般に地下水位が高いことが多い。
野地坊主	やちぼうず	tocksock	北海道東部・北部の泥炭地に生育するカブスゲ群落の株群隆起。隆起は冬期間の土壌凍結・凍上に起因する。
野帳	やちょう	field note	地質調査の際にルートマップ・露頭スケッチなどを記載する手帳。
谷津	やつ	yatsu	台地や丘陵地を解析してできた谷状の低湿地。谷戸あるいは谷地ともいう。
八ヶ岳火山列	やつがたけかざんれつ	Yatsugatake volcanic chain	長野県から山梨県にかけて分布する火山群。標高2000m級の火山が南北に20以上配列する。主に安山岩質の火山岩からなる。
矢津地すべり	やつじすべり	the Yatsu landslide	1962年に新潟県栃尾市北荷頃で発生した地すべり。人家25戸と田畑・山林が被災した。
八代火成岩	やつしろかせいがん	Yatsushiro igneous rock	熊本県八代市に分布する火成岩類。圧碎花崗岩類・蛇紋岩などが分布。
八代片麻岩	やつしろへんまがん	Yatsushiro gneiss	熊本県八代市に分布する変成岩類。黒瀬川構造帯中にあり、角閃岩や雲母片麻岩を主体とする。
柳ヶ瀬断層	やながせだんそう	Yanagase fault	活断層。確実度 I, 活動度 B 級, 北北西方向。琵琶湖北東部から敦賀湾東部山地間に位置する。延長37km。断層崖を形成。
柳谷地すべり	やなぎだにじすべり	the Yanagidani landslide	1967年に神戸市北区八多町柳谷地内において、神戸層群中に発生した地すべり。主な被害は全壊3戸、半壊2戸とされている。
柵原鉱山	やなはらこうざん	Yanahara mine	岡山県久米郡柵原町にあつて1991年に閉山した硫化鉄鉱山。舞鶴層群の輝緑岩を交代した塊状交代鉱床。
矢作石	やはぎいし	Yahagi ishi	岩手県陸前高田市矢作町産の石材。古生界粘板岩で硯や瓦に使用。
耶馬溪火砕流堆積物	やばけいかさいりゅうたいせきぶつ	Yabakei pyroclastic flow	大分県九重町付近にあつた猪牟田カルデラから噴出し、九州中央部に広く分布する火砕流堆積物。
耶馬溪溶結凝灰岩	やばけいようけつぎょうかいがん	Yabakei welded tuff	耶馬溪火砕流堆積物中の溶結凝灰岩。一軸圧縮強度は20～50MPa。
八橋油田	やばせゆでん	Yabase oil field	秋田市八橋に位置する原油の累計生産量が国内最大の油田。1933年発見。貯留層は深度350～1800mの桂根層、船川層の砂岩、女川層の凝灰岩。

八幡館石	やはただていし	Yahatadate ishi	青森県弘前市産の石材。新第三系凝灰角礫岩で大鱈石、小金崎石と同質。
矢羽根状鉍脈	やばねじょうこうみやく	feathered vein	主断層とこれより派生した副次割れ目（リーデルシア・展長性節理など）を充填した鉍脈。
弥彦石	やひこいし	Yahiko ishi	新潟県西蒲原郡弥彦村産の石材。新第三系輝石安山岩は田上石と同質、粗粒玄武岩は間瀬石と同質。石段、石塀に使用。
藪塚石	やぶづかいし	Yabuzuka ishi	群馬県新田郡藪塚本町産の石材。新第三系流紋岩質凝灰岩で土木・建築用。
山奥層	やまおくそう	Yamaoku Formation	岡山県北西部大佐町に分布する下部ジュラ系。砂岩・泥岩互層を主体とし、一部に砂岩、礫岩を挟在する。
山神地すべり	やまがみじすべり	the Yamagami landslide	1965年に岐阜県土岐市下石町山神で発生した地すべり。地区を流れる下石川と県道に被害発生。
山上変成岩	やまがみへんせいがん	Yamagami metamorphic rocks	阿武隈山地北部の相馬市山上付近を模式地とする緑れん石（緑簾石）角閃岩などの結晶片岩類。
山崩れ	やまくずれ	landslip, landslide	山地斜面の風化岩屑や基盤岩の一部が急激に崩壊落下する現象。豪雨、地震などにより誘発される。
山口帯	やまぐちたい	Yamaguchi belt	飛騨変成帯と領家変成帯間に位置する中～古生界の分布地帯。
山砂利	やまじゃり	mountain gravels	段丘や未固結の第三系地山より採取される砂・砂利・礫。砂利、海砂に対する対語。
山砂利層	やまじゃりそう	mountain gravels	近畿地方などの丘陵や台地を構成する礫層。大阪層群を覆い更新統に属するものが多いとされたが、古第三系のものもあることがわかってきた。地層名としては現在は用いられない。
山錫	やますず	mountain tin, lode tin	花崗岩中などの錫石が風化運搬されて堆積した砂錫に対して、砂錫以外の鉍脈などから産出する錫石。
山砂	やますな	pit sand	河岸段丘・海岸段丘などの堆積層、あるいは第三系の未固結層など陸地から採取される砂。
山背	やませ	Yamase	三陸地方において夏季に吹く冷たい東風。日本独自の気象現象の呼称。農作物の成育に悪影響。
山田石	やまだいし	Yamada ishi	大分県速見郡日出町、宇佐市長洲産の石材で新第三系両輝石安山岩。碑石などに使用。
山丈	やまたけ	thickness of coal seam	炭層の挟みと称する石炭以外の岩石と石炭を合わせた厚さのこと。

山田断層	やまだだんそう	Yamada fault	地震断層．確実度Ⅰ，活動度B級，西北西方向．丹後半島頸部に位置し延長20km，1927年の北丹後地震で一部変位した．
山田みかげ	やまだみかげ	Yamada mikage	宮城県伊具郡丸森町館矢間産の石材．中生界黒雲母角閃石花崗岩で館矢間石・大内石と同義語．
山付堤	やまづきてい	levee connected to hillside	上流からの水が堤内に流入しないように，河道の端は山地の高い位置に取り付けた堤防．
山津波	やまつなみ	rock avalanche	土石流の俗称．ただし研究者によっては水分の多いものを土石流，固体物質の多いものを山津波と区分している．
山寺石	やまでらいし	Yamadera ishi	山形県山形市山寺産の石材．新第三系安山岩質凝灰岩で台石・橋・板石・間知石などに使用．
山都石	やまといし	Yamato ishi	福島県耶麻郡高郷村産の石材．新第三系凝灰岩で荻野石ともいう．石塀，石造物などに使用．
大和石	やまといし	Yamato ishi	山梨県東山梨郡大和村・牧丘町・東八代郡石和町産の石材．新第三系両輝石安山岩で土木，砕石用．
大和海盆	やまとかいぼん	Yamato basin	日本海の中西部，大和海嶺の南東に位置する水深2,000～3,000mの海盆．
大和海嶺	やまとかいれい	Yamato ridge, Yamato rise	日本海中央部に位置する海底の高まり．北大和堆と大和堆からなり，共に孤立した大陸地殻によって構成される．
やまと山脈	やまとさんみやく	Yamato mountains, Queen Fabiola mountains	南極大陸の内陸山地で，1960年初めて日本南極観測隊が到達．1969年以降，多量の隕石が採取される．
大和堆	やまとたい	Yamato ridge	日本海中央部にあり，長径130km・短径20km・水深300m程度の平坦な浅所．良漁場として有名．
山留め	やまどめ	earth retaining	土留めと同義．
山留め支保工	やまどめしほこう	timbering of a cut	山留工において，山留め壁を支持する切ばり，腹起しなどで構成される構造物の総称．
山留ジャッキ	やまどめじゃっき	face jack	切羽地山の崩落を防ぐためのシールド先端の油圧ジャッキの推力によって直接切羽を押える方式の山留め装置．
山留め壁	やまどめへき	earth retaining wall	土留壁と同義．
山中式土壌硬度計	やまなかしきどじょうこうどけい	Yamanaka method soil hardness tester	土壌の硬度や支持力測定に用いられる簡易な貫入型測定器．土壌の透水性なども間接的に知ることができる．

山の手砂礫層	やまのてされきそう	Yamanote gravel bed	東京山ノ手台地に分布する後期更新世の砂礫層。東京層の上位。
山ノ手台地	やまのてだいち	Yamanote upland	東京都の山ノ手を形成する，標高にして20～50m程度の台地。いくつかの段丘面などから構成される。
山はね	やまはね	rock burst	トンネル掘削中に岩盤の一部が突然爆発的に破壊突出する現象。土被りの大きい硬岩地帯や地質構造上潜在応力の大きい岩盤地帯で発生。岩はねともいう。
山姥クリッペ	やまんばくりっぺ	Yamanba klippe	高知県佐川の山姥付近に分布するペルム系石灰岩の衝上地塊とされてきたもの。現在は衝上断層は否定されている。
八溝層群	やみぞそうぐん	Yamizo Group	関東北部八溝山地に分布する中～古生界。砂岩，泥岩，チャートなどからなる。
稍顕著地震	ややけんちょじしん	moderate earthquake	震度 I 以上の有感地震のうち，最大有感半径が200～300kmの地震をさす日本独特の分類。
稍深発地震	ややしんぱつじしん	intermediate depth earthquake	震源の深さが60～300kmの地震。島弧付近でそれ以外の地域に比べて発生頻度が著しく少ない。
弥生時代	やよいじだい	Yayoi age	BC2～3世紀からAD3世紀にかけての日本列島で水田による稲作が始まったとされる時代で弥生式土器の使用を特徴とする。
やらず	やらず	slanting support, stay	構造物やトンネル支保工が倒壊するのを防止するため，斜め方向に支える部材。
和断層	やわらだんそう	Yawara fault	活断層。確実度 I，活動度 B 級，北北東方向。美唄市北部，現道中央自動車道付近に位置し延長11km，断層崖を形成する。
ヤング率	やんぐりつ	Young's modulus	応力とひずみの間に比例的關係が成り立つときの応力とひずみの比。弾性係数ともいう。
羊山統	やんしゃんとう	Yangshan series	中国河北省承德地方に分布する上部三じょう系（三疊系）～下部ジュラ系。淡水成。
陽新統	やんしんとう	Yangshin series	中国の中南部，揚子江盆地を中心とした中部ペルム系。石灰岩からなり，海生化石を含む。
陽儲苓鉱床	やんちゅうりんこうしょう	Yangchuling deposit	中国における斑岩型のタングステン（灰重石）モリブデン鉱床。
楊家杖子鉱床	やんちゅちやんちいこうしょう	Yangchia Zhangzhi deposit	中国，河北省にある比較的希なモリブデンのスカルン鉱床。輝水鉛鉱を採取。
揚子褶曲帯	やんつーしゅうきよくたい	Yangtzu fold zone	中国の揚子台地にある褶曲帯。三じょう紀（三疊紀）に地塊同士が衝突して生じた。ダイヤモンドを含む超高压変成岩類が分布。

ヤンブー法	やんぶーほう	Jambu's method	ヤンブーが提唱した、任意形状のすべり面に対する安定解析法の一つ。台形近似された土塊の各鉛直スライスについて、複数のつり合い式を導き、逐次計算により安全率を求める。円弧すべり面に対するビショップ法に相当。
油圧式荷重計	ゆあつしきかじゅうけい	hydraulic load cell	油圧により荷重を計測する装置。
油圧式杭打ち機	ゆあつしきくいうちき	hydraulic jack pile driver	機械の自重を反力として油圧ジャッキによって杭を地中に押し込む機械。
油圧式クローラドリル	ゆあつしきくろーらどりる	hydraulic oil pressure type crawler drill	油圧駆動による大型削岩機（ドリフタ）をクローラ式架台に搭載した穿孔機。
油圧式削岩機	ゆあつしきさくがんき	hydraulic drill	油圧駆動削岩機の総称。削孔速度が速く、安全で、作業騒音も少ない。
油圧ジャッキ	ゆあつじゃっき	oil jack	油圧により荷重を作用させるジャッキ。原位置変形・せん断試験などに使用。
油圧ジャンボ	ゆあつじゃんぼ	hydraulic oil pressure type jumbo	トンネル掘削用の2個以上のドリフタを搭載した油圧式穿孔機。
油圧ショベル式掘削機	ゆあつしょべるしきくっさくき	hydraulic oil pressure type shovel drill	先端アタッチメント・各種バケット・破碎機・ブレーカなどを取付けられる小型軽量で運搬に便利な油圧駆動型掘削機。
油圧ハンマー	ゆあつはんまー	pile hammer, hydraulic hammer	油圧によりラムを所定高さに持ち上げたあと、急激に油圧を解放することによりラムを自由落下させ杭を連続的に打撃する機械。
油圧リッパ	ゆあつりっぱ	hydraulic ripper	ブルドーザの後部に取り付ける装置で油圧機構により鋼製の爪を地盤中に押し込んで土砂・岩盤を掘り起こすために用いる。
由比地すべり	ゆいじすべり	the Yui landslide	フォッサマグナの南端に位置する静岡県由比町で発生した地すべり。構成地質は新第三系の泥岩と凝灰質砂岩。
有意水準	ゆういすいじゅん	level of significance	偶然や誤差ではなく統計的に有意である水準。
USLE	ゆーえすえるいー	Universal Soil Loss equation, USLE	土壌流亡量の推定式で、米国の多年にわたる浸食観測データに基づいて開発された経験式。
USBR法	ゆーえすびーあーるほう	USBR method	現場透水試験のうち米国開拓局法をさす。ピットに一定の水頭を保ち、流出速度から透水係数を算出。
USBM法	ゆーえすびーえむほう	USBM method	孔径変化法による初期応力測定法の一つ。小口径のボーリング孔内に測定器を設置後、オーバーコアリングを行って応力解放による3方向の孔径変化量をカンチレバー変位計で測定する。アメリカ鉱山局(U. S. Bureau of Mines)によって開発された。
UMP	ゆーえむびー(あんぷ)	International Upper Mantle Project, UMP	国際地球内部開発計画。上部マントルの性状を解明し、その上部の地殻に及ぼす影響を予測する目的で1962～1970年に実施された国際協同研究。

有煙炭	ゆうえんたん	flaming coal	褐炭・れき青炭など煙とともに炎を上げて燃える石炭。無煙炭に対する日本独自の名称。
融解	ゆうかい	thawing	固相にある物質が熱せられて液相になること、または氷や凍結している物質が解けること。
融解湖	ゆうかいこ	thaw lakes, thermokarst lakes, tundra lakes	永久凍土が融解して生成した窪地に、地中氷が溶けてたまった湖や池。
有害鉱物	ゆうがいこうぶつ	harmful mineral	ヒ素（砒素）・カドミウム・銅など一定量以上になると人体に害を与える元素を含む鉱物。主として、人為により濃集されるが、自然に濃集する場合もありうる。
融解浸食	ゆうかいしんしょく	thermal erosion	周氷河現象の一種で永久凍土の融解によって生じる河岸や海岸斜面の平行的後退や斜面浸食。
融解潜熱	ゆうかいせんねつ	latent heat of fusion	一定温度の融解において吸収される熱量。
有害物質分解能力	ゆうがいぶっしつぶんかいのうりよく	biodegradation potential of pollutant	活性汚泥法における微生物による有害化学物質の分解能力。排水に活性汚泥を適応させる操作により制御する。
有感地震	ゆうかんじしん	felt earthquake	人が地震動を感知できる程度以上の地震。気象庁の震度階でいえば、震度 I 以上の地震がこれに属する。
有感地域	ゆうかんちいき	region of perceptibility	地震動は、震源から離れるほど減衰するが、その等震度線は複雑なパターンとなる。この場合の有感分布域をいう。
有感半径	ゆうかんはんけい	radius of perceptibility	震央からどれくらいの距離で地震を感じたか、その最大距離 r をいう。大まかな地震の大きさを表す。
有機エアロゾル	ゆうきえあろぞる	organic aerosol	有機物からなる浮遊粒子状物質。SO _x 、NO _x とともに光化学反応を起こし、酸性雨や光化学スモッグの原因となる。
有機汚染	ゆうきおせん	organic pollution	下水や有機性の産業排水が水域に流入することによって、大気・土壌・水域の有機物濃度が上昇して生態系が変化すること。
有機汚濁	ゆうきおたく	organic pollution	有機汚染と同義語。
有機ガス	ゆうきがす	organic gas	メタンなど軽質炭化水素を主成分とする天然ガス。
有機凝集剤	ゆうきぎょうしゅうざい	organic coagulant	工事濁水の沈殿促進剤で、高分子凝集剤や陽イオン・陰イオン界面活性剤などがある。効果大きいが高価。
有機酸	ゆうきさん	organic acid	ギ酸・酢酸・クエン酸等のカルボキシル基のある化合物。

有機質火山灰土	ゆうきしつかざんばいど	organic-volcanic ash soil	有機質でかつ火山放出物を含むもの。黒ぼくに代表される。
有機質土	ゆうきしつど	organic soils	有機物含有量が著しく多い土壌の総称。一般に圧縮性が大きく、支持力が小さい。
有機質粘質土	ゆうきしつねんしつど	organic cohesive soil	日本統一土質分類法の細粒土のうち、有機質を含んでいて、液性限界が50%未満のもの。
有機質粘土	ゆうきしつねんど	organic clay	日本統一土質分類法の細粒土のうち、有機質で液性限界が50%以上のもの。
有機錫化合物	ゆうきすずかごうぶつ	organotin compounds	錫を含む有機金属化合物。漁業では貝殻付着防止に漁網や船底に塗られ、現在、魚介類や鳥から汚染が認められる。
有機成因説	ゆうきせいいんせつ	organic origin theory	石油・天然ガスは生物起源とする説。堆積物中の有機物が、地熱や地圧により石油や天然ガスに熟成していくとする。
有機堆積鉱床	ゆうきたいせきこうしょう	organic-sedimentary deposit	生成に際して生物作用が中心的な役割を果たした鉱床。生物を起源とする石灰岩、チョーク、石炭、石油などが含まれる。
有機堆積物	ゆうきたいせきぶつ	organic deposits	生物の作用により、形成された物質がそのまま、あるいはその破片が集積したもの。これが石化したものを生物岩あるいは有機性堆積岩と呼ぶ。
有機炭素含有量試験	ゆうきたんそがんゆうりょうしけん	organic matter content test	土に含まれる有機物の量を求める試験。地盤工学会基準の強熱減量法と重クロム酸法がある。
有機地球化学	ゆうきちきゅうかがく	organic geochemistry	化石中の微量のアミノ酸の研究など有機物の分子組成や同位対比をもとに地球の諸現象を解明する科学分野。
有機的環境	ゆうきてきかんきょう	organic environment	生物が相互に影響を与え合うことにより形成される環境。生物間の補食・寄生・共生などの関係に基づく。
有機物の分解	ゆうきぶつのぶんかい	decomposition of organic material	主として生物に由来する有機物は、死体となるとバクテリアや菌類など他の生物や水の作用により元の形を失う。
悠久山断層	ゆうきゅうざんだんそう	Yukyuzan fault	活断層。確実度 I，活動度 B 級，北東方向。長岡市北東，魚沼丘陵山麓に位置し延長15km。逆向き低断層崖を形成。
有限差分法	ゆうげんさぶんほう	finite difference method	差分法と同義。
有限ひずみ	ゆうげんひずみ	finite strain	微小ひずみ圧密理論では扱いきれない数十%に及ぶ圧縮ひずみ。軟弱な粘土の圧密で生じる。
有限ひずみ弾性理論	ゆうげんひずみだんせいりろん	finite-strain theory of elasticity	微小ひずみ圧密理論では扱いきれない数十%に及ぶ圧縮ひずみを示す軟弱粘土へ適用する弾性理論。

有限ひずみ論	ゆうげんひずみろん	finite strain theory	ひずみを微小として扱わない弾性論。地質現象のように大きなひずみが生ずるときに用いる。
有限変形	ゆうげんへんけい	finite deformation	連続体において変形が無窮小と見なさず、有限量の大きさがあると考えた場合の変形。地質現象はマクロには連続体と扱えるので有限変形の考え方が有効。
有限要素法	ゆうげんようそほう	finite element method	物体を有限個の要素に分割し、要素の集合とみなす数値解析手法。二次元・三次元の解析に利用。
有効圧力	ゆうこうあつりょく	effective pressure	有効応力と同義。
有効井戸半径	ゆうこういどはんけい	effective radius of well	揚水試験解析において、井戸管内と周辺帯水層の水位差を補正して井戸外側の水位を知るために用いる仮想の井戸半径。
有効応力テンソル	ゆうこうおうりょく くてんそる	effective stress tensor	有効応力を一般的な三次元の応力場の形として表現したもの。
有効応力	ゆうこうおうりょく	effective stress	土に働く全応力 σ から間隙水圧 u を引いた値で σ' で表す。 $\sigma' = \sigma - u$ 。
有効応力解析法	ゆうこうおうりょく かいせきほう	effective stress analysis	破壊時の土の有効応力 σ' で土のせん断強度を表した安定解析法。
有効応力の原理	ゆうこうおうりょく のげんり	principle of effective stress	全応力と間隙流体の応力差が有効応力で、体積変化・変形・せん断強さは有効応力に依存するという原理。
融合岩	ゆうごうがん	migmatite	花崗岩質部と片岩・片麻岩質部が複合した岩石。交代や注入変成作用で生成。ミグマタイトが一般的。
有効起伏	ゆうこうきふく	available relief	高山地域の地形原面と、最初に平衡状態となった河川の河床との高低差。
有効空隙率	ゆうこうくうげきり つ	effective porosity	飽和した状態で流動水の含まれる容積の全容積に対する百分率。有効空隙率とも。
有効降雨強度	ゆうこうこううきよ うど	effective rainfall intensity	単位時間あたりの雨量(mm/h)のうち、地表面への流出分。
有効孔隙率	ゆうこうこうげきり つ	effective porosity	流体の伝達可能な相互に連絡のある間隙の量。全体積に対する体積の比で表される。
有効拘束圧	ゆうこうこうそくあ つ	effective confining pressure	三軸試験などにおいて作用させた拘束圧と供試体の間隙水圧の応力差。実際上作用している拘束圧。
有効軸応力	ゆうこうじくおう りょく	effective axial stress	三軸圧縮試験における軸方向の有効応力。

有効主応力比	ゆうこうしゅおうりょくひ	ratio of effective principal stress	三軸圧縮試験における有効軸応力と有効側方応力の比.
有効上載圧	ゆうこうじょうさいあつ	effective overburden pressure	土中の点や面にかかる鉛直方向の圧力. 上側にある土の重量, あるいはそれから浮力を差し引いた重量に相当する.
有効浸透率	ゆうこうしんとりつ	effective permeability	有効透水度と同義.
有効吸い込みヘッド	ゆうこうすいこみへつど	net positive suction head (NPSH)	ポンプ内に流入する水が吸引パイプから羽根車の中心まで達するために必要な圧力.
有効水深	ゆうこうすいしん	effective depth	貯水池の最高水位から最低水位までの間の高低差 (水深). 利用水深と同義.
有効垂直応力	ゆうこうすいちよくおうりょく	effective normal stress	有効直応力と同義.
有効水分	ゆうこうすいぶん	available moisture	植物によって有効に利用できる土壌水分.
有効せん断抵抗角	ゆうこうせんだんていこうかく	effective angle of shear resistance	破壊時の土の有効応力 σ' から土のせん断強度を $\tau = c' + \sigma' \tan \phi'$ と表した時の強度定数 ϕ' .
有効層厚	ゆうこうそうこう	effective thickness	油層・ガス層・帯水層の厚さのうち実際に油・ガス・水の生産に関与している部分の累計層厚.
有効側方応力	ゆうこうそくほうおうりょく	effective radial stress	三軸圧縮試験における側方からの有効応力.
有効断面積	ゆうこうだんめんせき	effective cross-sectional area	部材に加わる荷重に対して有効に働く部材断面積.
有孔虫	ゆうこうちゅう	foraminifera	海生原生動物の一種. 底生を主としジュラ紀後期以降は浮遊性のもも繁栄. 環境の復元と時代判定に有用.
有効注入圧力	ゆうこうちゅうにゆうあつりょく	effective injection pressure	グラウトや透水試験の注入圧力を, 地下水位・配管の摩擦損失などで補正した作用区間に働く実効圧力.
有孔虫分帯	ゆうこうちゅうぶんたい	foraminiferal zoning	地層を有孔虫の化石種や化石群の特徴によって区分したもの. 地域間で対比し, 地層の相対的年代決定を行う.
有孔虫類	ゆうこうちゅうるい	foraminifera	根足虫亜綱に属する原生動物. 海底に生息するものが多く, 地層の対比や堆積環境の推定に利用される.
有効直応力	ゆうこうちよくおうりょく	effective normal stress	外力を受ける物体内部の任意の断面に作用する応力を考える時, その断面に対して垂直な方向に作用する有効応力成分のこと.

有効貯水容量	ゆうこうちょすいようりょう	effective capacity, active storage capacity, effective capacity of reservoir	総貯水容量から堆砂容量を差し引いた容量.
有効貯水量	ゆうこうちょすいりょう	available storage capacity	ダムなどの貯水池において、上水・工業用水・発電などの各種用途に利用できる部分の容量. 常時満水位と最低水位の間の貯水量.
有効電極間隔	ゆうこうでんきよくかんかく	effective spacing	電気探査の解析において用いられる理論上の電極間隔. 実際に測定した電極間隔を一定式で変換する.
有効電力量	ゆうこうでんりよくりょう	net output	負荷がある状態で、実際に有効な仕事に変化する電力で、無効電力・みかけの電力などに対比する用語.
有効土圧	ゆうこうどあつ	effective soil pressure	地盤中の一点において、その上の間隙水を含む土の全重量からその点の間隙水圧を減じたもの.
有効透水性	ゆうこうとうすいど	effective permeability	複数の種類の流体混合相が多孔質媒質中を流れるとき、そのうちの一つの相についての透水性をいう. 有効浸透率ともいう.
有効土かぶり圧	ゆうこうどかぶりあつ	effective overburden pressure	原位置の有効鉛直圧力. 土や岩の固体重量による圧力から間隙水圧を差し引いた圧力.
有効土層	ゆうこうどそう	effective soil	植物が容易に根を張れる状態にある土層.
有効内部摩擦角	ゆうこうないぶまさつかく	effective angle of internal friction, ϕ'	間隙比が同じで有効応力の異なる複数の土の供試体をせん断破壊して得られる破壊包絡線から求められる内部摩擦角をHvorslevの有効摩擦角という.
有効粘着力	ゆうこうねんちやくりよく	effective cohesion	間隙水圧を考慮して有効応力表示した三軸試験結果のモール・クーロン関係より得られた垂直応力0に対応するせん断力. c' で表される. 土のせん断強さ τf を有効応力 σ' の関数として、 $\tau f = c' + \sigma' \tan \phi'$ で表すときの c' .
有効平均主応力	ゆうこうへいきんしゅおうりよく	effective mean principal stress	三次元の応力場は3方向の主応力で定義される. その平均値で、全応力から間隙水圧を差し引いたもの.
有効摩擦角	ゆうこうまさつかく	effective angle of friction	せん断試験破壊時の間隙比は等しいが有効応力が異なる複数の試験結果から求められる摩擦角をHvorslevの有効摩擦角という.
有効容量	ゆうこうようりょう	active storage	貯水池の総貯水容量から堆砂容量とサーチャージ容量を差し引いた容量.
有効落差	ゆうこうらくさ	effective head	実際に発電に利用される落差. 取水口から放水口までの間に発生する損失水頭を、総落差から差し引いた値.
優黒岩	ゆうこくがん	melanocratic rock	黒色に近い火成岩. 有色鉄物量に関する色指数で60～100の範囲の岩石. 優黒質岩ともいう.
優黒質	ゆうこくしつ	melanocratic	見かけ上黒っぽい色調を呈す火成岩あるいは60%程度以上の有色鉄物を含む岩石に付ける接頭語.

遊砂地	ゆうさち	sand pocket	河川において土砂の移動をコントロールするエリア。溪流環境創出の目的もあり、床固め工と護岸からなる。
U字管圧力計	ゆーじかんあつりよ くけい	U-tube manometer	U字形のガラス管に液体が入っており、左右に圧力差が生じた時、液面の高さの差からその圧力差を求める器械。
U字谷	ゆーじこく、ゆーじ だに	U-shaped valley	横断面形がU字型の氷食谷。
湧昇	ゆうしょう	upwelling	低温の中・下層水が上層に湧き上がる現象。海洋では栄養塩類を多く含み、良好な漁場になる。
融食	ゆうしょく	resorption, corrosion	鉱物が溶融する際に不規則な形状となる現象。へき開（劈開）や割れ目沿いで速く溶け、結晶面と垂直方向では遅く溶けるために生じる。
有色金属	ゆうしょくきんぞく	colored metal	旧ソ連において、銅、鉛、亜鉛、ニッケル、アンチモンを指した元素分類。
有色鉱物	ゆうしょくこうぶつ	colored minerals, dark minerals	白色以外の色を有する鉄やマグネシウムを含む。苦鉄質鉱物とほぼ同義。
融食作用	ゆうしょくさよう	resorption	①鉱物がへき開（劈開）や割れ目、包有物に沿って溶け、不規則球状になる現象。炭酸塩岩が溶解する溶食作用とは異なる。 ②マグマから結晶が晶出中に、晶出条件が変化したことによって、結晶が溶ける作用。
湧水	ゆうすい	spring water, water inflow	地下水が地表あるいはトンネルなどにわきだしたものの。わきだし口は地下水帯水層の構造・地形などによって決まる。
湧水圧試験	ゆうすいあつしけん	Johnston Formation Tester	ボーリング孔内の水圧変化を水頭変化として測定し、孔内の透水性を求めるための試験法で、JFTともいう。
湧水処理	ゆうすいしより	treatment of water inflow	掘削に伴う突発的な集中湧水・恒常湧水の排除や地盤強化を目的に実施する水抜坑やグラウト工などをいう。
融雪係数	ゆうせつけいすう	degree-day factor (of snow melting)	1 度日 (degree-day) あたりの融雪量を示す係数。一定ではなく、地域や時期により変化する。
融雪洪水	ゆうせつこうずい	flood by snow melting, snow flood	融雪現象による河川の洪水。
融雪地すべり	ゆうせつじすべり	snow melting landslide	日本で融雪期に発生する地すべり。積雪ブロックを巻き込み、流動速度が大きく被害が大きいのが特徴。
融雪貯留量	ゆうせつちよりゆう りょう	snowmelt storage	地表面から地中に供給されかん養（涵養）される地下水のうち、融雪により供給される水量。
融雪量	ゆうせつりょう	snowmelt	ある一定期間について融けた雪の量。一般には水量に換算し、気温と比例するので気温と共に表すことが多い。

湧泉	ゆうせん	spring	地下水の自然露頭。湧泉の機構を調査することでその起源をなす地下水の状態を明らかにすることが可能である。
湧泉帯(湧水帯)	ゆうせんたい(ゆうすいたい)	spring band	自然状態で地下水が地表に流出する湧泉(湧水)が、1ヶ所だけでなく複数集まっている地域。湧泉の分布は、地質構造や地形と密接に関わっている。
優先浮選	ゆうせんふせん	differential floatation	2種類またはそれ以上の鉱物と脈石を浮選により選別すること。
ユータキシチック	ゆうたキシチック	eutaxitic	火山岩の縞状構造。色調・組成・組織の異なる部分が層状・レンズ状に積層し、縞状にみえるようす。
ユータキシチック構造	ゆうたキシチックこうぞう	eutaxitic structure	火山岩や溶結凝灰岩において、色調・組成・組織の異なる部分が層状・レンズ状に積層し、縞状にみえるようす。
優地向斜	ゆうちこうしゃ	eugeosyncline	造山運動初期に活動する地向斜で、上昇・陸化後は残存する堆積盆地(劣地向斜)への堆積物供給源に転ずる。現在は、その存在は否定されている。
優地向斜性堆積物	ゆうちこうしゃせいたいせきぶつ	eugeosynclinal sediments	火山性物質およびオフィオライトを多く含む正地向斜堆積物。珪質岩や泥質岩に富む。地向斜造山論の立場からみた分類。
UTM図法	ゆうていーえむずほう	universal transverse Mercator projection, UTM projection	ユニバーサル横メルカトル図法と同義。
UTEM	ゆうてむ	University of Toronto Electromagnetic Method (UTEM)	地上用の時間領域電磁探査法の一つ。商標。送信に矩形ループを張り三角波交流を用いるのが特徴。
融点	ゆうてん	melting point	固体を加熱したとき一定温度の下で融解が進行するが、その温度をその物質の融点という。
融点圧力曲線	ゆうてんあつりょくきょくせん	fusion pressure curve, fusion curve	融点は圧力とともに増加するが、その圧力変化を示した曲線。
融点曲線	ゆうてんきょくせん	melting point curve	融点・圧力曲線を、融点・深さ曲線におきかえて、地球内部の温度分布を仮定したもの。マントル底部で約5000℃、地球中心部で3000℃～6000℃。
誘電結合プラズマ質量分析法	ゆうでんけつごうぷらずましつりょうぶんせきほう	Inductively Coupled Plasma (ICP), emission spectrochemical analysis	アルゴンプラズマに試料を導入し蒸発イオン化させ、その際の発光分析から元素の定性・定量分析を行う試験。
誘電体	ゆうでんたい	dielectric	電場の中に置いた絶縁体のうち、その内部で誘電分極を生じる物質。
誘電率	ゆうでんりつ	dielectric constant	電場の中に置いた誘電体の電場への影響力を表す量。
誘電率検層	ゆうでんりつけんそう	dielectric-constant logging	孔内検層の一つ。地層に高周波の電磁波を送信し、誘電率を求める。泥水置換領域の水飽和率の算定に利用。

誘導異方性	ゆうどういほうせい	induced anisotropy	土の強度・変形特性が等方的でなく、荷重の方向により異なること。異方的な応力履歴に起因する。
誘導核反応検層	ゆうどうかくはんのうけんそう	induced nuclear reaction logging	封管型中性子発生装置を用い、酸素・炭素などの元素を検出する検層法で、石油坑井内で行われている。
誘導化石	ゆうどうかせき	derived fossil, reworked fossil	浸食によって原岩より洗掘された化石が、新しい地層中に再堆積したもの。二次化石と同義。
誘導坑	ゆうどうこう	pilot tunnel	地質調査などの目的で本坑よりも先進して設ける坑道。海底トンネルでは、完成後排水トンネルとして使われる。先進坑ともいう。
ゆう銅鉍（黝銅鉍）	ゆうどうこう	tetrahedrite	(Cu, Ag) ₁₀ (Fe, Zn) ₂ Sb ₄ S ₁₃ ～Cu ₁₂ Sb ₄ S ₁₃ 。立方晶系。硬度3.5～4。比重4.97。通常、鉄黒色で、四面体の結晶または、塊状・粒状をなし、各種銅鉍床に産出する。四面銅鉍、テトラヘドライトとも呼ばれる。
誘導磁化	ゆうどうじか	induced magnetization	岩石に磁場をかけると発生する磁化。その強さは岩石固有であることを利用し、磁気探査が行われる。
誘導磁力計	ゆうどうじりょくけい	inductive magnetometer	静止コイルに対して磁場が変動したときに生じる誘導起電力を測定する磁力計。MT法で用いられ、鉍床などの探査に利用。
誘導電磁法	ゆうどうでんじほう	electromagnetic induction method	電磁探査の一種で、コイルに電流を通すことによって地下に誘起される二次電磁界を測定する探査法。
湧洞沼	ゆうとうぬま	Yuto numa	北海道南東部豊頃町に位置し太平洋に連なる潟湖。アイヌ語のユウトー（湯の沼）に由来。
誘導分極法	ゆうどうぶんきょくほう	induced polarization method	人工的に通電して分極率を測定し、硫化物を主とする金属鉍床を探査する方法。電気探査の一手法で強制分極法、IP法ともいう。
誘導平衡	ゆうどうへいこう	induction balance	電気ブリッジ回路のインダクタンスが外的な磁気物質等によって変化するとき、回路平衡をとる手段。
誘導マグマ	ゆうどうまぐま	derived magma	玄武岩質・安山岩質・花崗岩質マグマなどの本源マグマが結晶分化作用などにより、始めとは違った化学組成となったマグマ。
尤度関数	ゆうどかんすう	likelihood function	ある母集団から無作為に得られた標本を用いて確率密度関数を表わす関数。
優白岩	ゆうはくがん	leucocratic rock, leucocrate	白色に近い火成岩。有色鉍物量に関する色指数で0～30の範囲の岩石。優白質岩ともいう。
優白質	ゆうはくしつ	leucocratic	見かけ上白っぽい色調を呈す火成岩に付ける接頭語。優黒質の対語で、これらの中間のものを中色質という。
誘発効果	ゆうはつこうか	induced effect	ある系の活動が他の系の作用を引き起こすこと。例えばダム観光資源化による地域活性化など。

誘発地震	ゆうはつじしん	induced earthquake	人工的な作用が要因となり発生する地震。具体例としてはダム貯水や深井戸注水，地下掘削に伴うもの等。
夕張油田	ゆうばりゆでん	Yubari oil field	北海道の石狩炭田の南部夕張地区の石炭・ガス・油田地帯。
融氷河流堆積物	ゆうひょうがりゆうたいせきぶつ	fluvio-glacial deposit	氷河融水の営力で運ばれた堆積物。成層し，構成粒子は淘汰や円磨作用を受ける。アウトウォッシュとほぼ同義。融氷流水堆積物ともいう。
融氷期	ゆうひょうき	thawing time	寒冷地の氷や極地方の海水が融ける時期・季節。海氷は塩分濃度にもよるが， -1.8°C 以上の気温で融け始める。
融氷流水堆積物	ゆうひょうりゆうすたいせきぶつ	fluvio-glacial deposit	融氷河流堆積物と同義。
融氷流堆積物	ゆうひょうりゆうたいせきぶつ	fluvio-glacial deposit	融氷河流堆積物と同義。
勇払油・ガス田	ゆうふつゆがすでん	Yufutsu oil-gas field	北海道苫小牧市北東部勇払地区にある油・ガス田。1989発見1996生産開始。深度約3900～4750mに位置する花崗岩に貯留。
釉薬石	ゆうやくいし	glaze stone	長石と石英を主体とし，陶器の釉薬用に用いる岩石。
UU強度定数	ゆーゆーきょうどていすう，ゆーゆーきょうどじょうすう	UU-strength parameter	非圧密非排水条件下での材料の内部摩擦角（ ϕ ）と粘着力（ c ）。
UU試験	ゆーゆーしけん	unconsolidated-undrained triaxial compression test, UU-test	非圧密非排水三軸圧縮試験の略称。
有用岩石	ゆうようがんせき	useful rock	各種工業の原料または材料（石材）として用いられる岩石。
有用鉱床	ゆうようこうしょう	useful mineral deposit	含まれる鉱物または化学成分が，現在の技術で採掘でき，人間社会に役立つ種類と濃集度である鉱床。
有用鉱物	ゆうようこうぶつ	useful mineral	自然に産出する鉱物において，鉱床鉱物として採掘され，処理あるいは無処理に関わらず役に立つ鉱物。
有楽町海進	ゆうらくちょうかいしん	Yurakucho transgression	完新世初期～中期にかけて，東京の有楽町層が堆積した海進。縄文海進と同義。
有楽町層	ゆうらくちょうそう	Yurakucho Formation	縄文海進期に形成された海成粘土層が主体の上部沖積層。東京低地部に堆積し，下部沖積層の七号地層を不整合に覆う。
ユーラシア地震帯	ゆーらしあじしんたい	Eurasian seismic zone	地球上の地震分布のうち，東南アジアから中近東を経て地中海に抜ける帯状地域に集中し発生している地震帯。

ユーラシア大陸	ゆーらしあたirik	Eurasia Continent	ヨーロッパとアジア大陸との総称。その面積は、5,410万km ² で、世界の陸地面積の約40%を占める。
ユーラシアプレート	ゆーらしかふれーと	Eurasian plate	ユーラシア大陸に大西洋北東部を加えた範囲に広がる大陸プレート。
遊離型天然ガス	ゆうりがたてんねんがす	free gas	貯留岩中に連続したガス相として存在する天然ガス。水（油）溶型天然ガスに対する用語。
有理指数の法則	ゆうりしすうのほうそく	law of rational indices	結晶が非平行な3軸で表現でき、すべての結晶面が簡単な整数や分数で表すことができるという経験則。
遊離水	ゆうりすい	resurgent water	岩石中の浸透水が、造岩鉱物と化学結合したものが、後に水を分離する作用により、水として復活したもの。
遊離炭酸	ゆうりたんさん	free carbon dioxide	天然水中に溶存する炭酸物質のうち、CO ₂ (気体)もしくはH ₂ CO ₃ (炭酸)として存在するもの。
有律互層	ゆうりつごそう	rhythmic alternation	二つの異なる地層が不規則な厚さの変化を示さず規則的に重なり合う互層。
有律堆積	ゆうりつたいせき	cyclic sedimentation	有律互層が堆積する現象。周期堆積ともいう。
ユーロトンネル	ゆーろとんねる	Eurotunnel, The Channel tunnel	ドーバー海峡に建設された全長50.5km（海底部37.9km）の鉄道用海底トンネル。地質はチョーク層で掘削はTBMを用いて行われ、1994年に開業した。英仏海峡トンネルと同義。チャンネルトンネルともいう。
湯ヶ島層群	ゆがしまそうぐん	Yugashima Group	静岡県伊豆半島の中～下部中新統。溶岩および火砕岩を主体とし、全体に強くプロピライト化作用を受けており、濃緑色化している部分が多い。
湯河原火山	ゆがわらかざん	Yugawara volcano	神奈川県南西端の湯河原町に存在した火山。更新世に形成されたが、現在は山体が浸食され不明瞭となっている。
行合野石	ゆきあいのいし	Yukiaino ishi	佐賀県東松浦郡北波多村行合野産の石材。古第三系砂岩、巖木石と同質。
雪結晶	ゆきけっしょう	snow crystal	大気中で生成した氷の結晶。結晶の形は気温や湿度など大気の状態によって変わる。
雪質	ゆきしつ	snow quality	雪を構成する氷の粒子の形で分類した雪の性質。分類は黒い紙に雪粒を乗せ、肉眼あるいはルーペで行う。
雪対策ダム	ゆきたいさくだむ	reservoir for snowmelting water	豪雪地帯において消流雪用水を確保するためのダム。
雪ダム	ゆきだむ	snow dam	谷間などに堆積する雪を人為的に増やし、水資源や冷却熱源として有効利用するためのダム。

雪だるま構造	ゆきだるまこうぞう	snowball structure	再結晶作用により斑状変晶が回転とともに包有物をらせん状に取込み成長した構造。ざくろ石などに存在。
油頁岩	ゆけつがん	oil shale	油母を多く含む細粒堆積岩。乾留すると炭化水素を生成する。オイルシェールと同義。油母頁岩ともいう。
油砂	ゆさ	oil sand	粘性の高い炭化水素を含む砂や砂岩。原油の露頭のこと、広くは凝灰岩・炭酸塩岩にも適用される。
油浸	ゆしん	oil immersion	天然あるいは坑井掘削中にみられる石油の浸み出し。
譲原地すべり	ゆずりはらじすべり	the Yuzurihara landslide	戦前より群馬県鬼石町で発生している地すべり。近年では1991年10月に台風による集中豪雨により発生。三波川帯中の結晶片岩類が風化してすべり面となっている。
油井	ゆせい	oil well	石油採取の目的をもって地中に掘り下げた坑井。
油井掘削法	ゆせいくっさくほう	method of oil well drilling	油井の掘削法で、現在ではロータリー掘削法が一般的。深部油層・海底下油層の開発に伴い、多くの高度技術が採用されるようになった。
油井配置	ゆせいはいち	oil well spacing	石油を経済的に開発するための油井の平面的配置。
油井用鋼管	ゆせいようこうかん	oil well steel tubular goods	坑井の掘削、仕上げ、採取に使用する鋼管。掘管、ケーシング、コアチューブの総称。
油井用セメント	ゆせいようせめんと	oil well cement	水硬セメントの一種で、油井の高温下でも硬化速度が小さい特徴をもつ。配管を支持し、不必要な岩層の流入を防ぐ。
油層	ゆそう	petroleum reservoir, oil reservoir	貯留岩中で石油が液体として存在している層。
油層圧	ゆそうあつ	oil reservoir pressure	油層内の流体の圧力。孔底に降ろした圧力計で測定する。自噴坑圧力と密閉坑底圧とがある。
油層岩	ゆそうがん	reservoir rock	油層を含む岩石。貯留岩とほぼ同義。
油層工学	ゆそうこうがく	oil reservoir engineering	石油が集積している地層から、効率よく石油を採取する方法に関する工学。
油層シミュレーション	ゆそうしみゅれーしょん	oil reservoir simulation	油層内またはガス層内での流体の移動集積経路を解析するためのシミュレーション
弓立ー中土師断層	ゆだちなかはじだんそう	Yudachi-Nakahaji fault	活断層。確実度 I，活動度 B 級，北東方向。大分市南方，犬飼町西方山地に位置し延長10.5km，右ずれ断層の可能性あり。

油徴	ゆちょう	oil showing	坑井の掘削中の泥水や、コアなどで石油の存在を示す徴候。また、地表面での石油の存在を示す天然徴候。
ユティカ頁岩	ゆていかけつがん	Utica shale	米国ニューヨーク州付近に分布する黒色筆石頁岩。中部オールドビス系の上部統で、アパラチア造山帯の一部。
油田ガス	ゆでんがす	oil field gas	石油の貯留層から発生する可燃性の天然ガス。石油系ガスともいう。
油田かん水	ゆでんかんすい	oil field brackish water	油層の周辺、または内部に存在する水。一般に、Na・Ca・K・Cl・CO ₃ などのイオンに富む塩水である。
油田構造	ゆでんこうぞう	structure of oilfield	石油のトラップを形成する土台となる地質構造。褶曲（背斜）ダイアピル、潜丘、断層など。
油田地帯	ゆでんちたい	oil province	石油を産出しつつある地帯。産油区域に確定区域、推定区域、予定区域を含めた多くの油・ガス田が存在する地域。
湯長谷層群	ゆながやそうぐん	Yunagaya Group	常磐炭田地域に分布する新生界古第三系。下位から礫岩、砂岩、泥岩、砂岩が分布する。
ユニバーサルクリノメータ	ゆにばーさるくりのめーた	universal clinometer	回転軸を2つ持つことにより磁石を水平に維持できるクリノメータ。線構造の計測に用いる。
ユニバーサルジョイント	ゆにばーさるじょいんと	universal joint	ドライブシャフトに取付けられた別のシャフトに、回転運動を伝えることの出来る、可撓性関節を有するジョイント。
ユニバーサルステージ	ゆにばーさるすてーじ	universal stage	結晶の光学的方位を決めるために偏光顕微鏡につけて、薄片を任意の空間的方位に向ける装置。自在回転台と同義語。
ユニバーサル横メルカトル図法	ゆにばーさるよこめるかとのずほう	universal transverse Mercator projection	正角横軸円筒図法である横メルカトル図法の一つ。
湯ノ崎石	ゆのさきいし	Yunosaki ishi	長野県更埴市産の石材。石英黒雲母安山岩。土木・建築用、別に凝灰岩も採石。
湯の谷地すべり	ゆのたにじすべり	the Yunotani landslide	1975年に北海道檜山郡上ノ国町で発生した地すべり。旧国鉄江差線150mに被害発生。
由布院断層	ゆふいんだんそう	Yufuin fault	活断層。確実度I、活動度B級。別府市鶴見丘南麓から由布院に抜ける延長13.5km。断層線上に湿原低地が並ぶ。
油母頁岩	ゆぼけつがん	oil shale	油頁岩と同義。
弓折沢層	ゆみおれざわそう	Yumiorezawa Formation	福島県東部の相馬地域に分布する古生界上部ペルム系。上真野川支流弓折沢上流部を模式地とする。砂岩・黒色頁岩薄互層、黒色頁岩からなる。

湯見岳溶岩	ゆみだけようがん	Yumidake lava	大分・熊本の県境にある杖立温泉付近の湯見岳を構成する中期更新統黒雲母流紋岩。万年山溶岩相当。
湯本石	ゆもといし	Yumoto ishi	福島県いわき市湯本産の石材。新第三系凝灰岩。常磐石と同義，別に第三紀砂岩もあり。
油溶性ガス	ゆようせいガス	solution gas	油層圧力が高いため，油層の液状炭化水素に溶解した気体状炭化水素。
由良石	ゆらいし	Yura ishi	香川県木田郡山田町産の石材。新第三系黒雲母安山岩。護岸材，灯籠材に使用。
由良みかげ	ゆらみかげ	Yura mikage	京都府宮津市産の石材。中生界黒雲母花崗岩。間知石として使用。
ユルストローム図	ゆるすとろーむず	Hjulström diagram	流水の作用下での碎屑物の移動の開始と，堆積の始まる限界条件を，流速と碎屑物の粒径との関係で示した図。ヒュールストロームダイヤグラムと同義。
ゆる詰め砂	ゆるつめさ，ゆるづめすな	loose compacted sand, loosely packed sand	締固め度の小さい砂。
緩み荷重	ゆるみかじゅう	load of loosen bedrock	トンネル掘削により，応力が解放されて発生した内空周辺地山の緩み土圧により直接支保工が受ける荷重。
緩み係数	ゆるみけいすう	coefficient of relaxation	岩盤に外力が作用した時の任意の点での最小すべり摩擦安全率を示す係数。補強の必要性や範囲決定に利用。
緩み節理	ゆるみせつり	release joint	解放節理とも。岩体に加わっていた圧力が減少あるいは除去されたり，風化に伴う緩みにより生じた節理。
緩み高さ	ゆるみたかさ	loosened height	トンネル掘削に伴う天盤上部の地山の緩み範囲。トンネル標準示方書で地山等級により数値で表現。
緩み土圧	ゆるみどあつ	loosening earth pressure	トンネル掘削により応力が解放されて内空周辺地山が緩むことにより発生する土圧。
緩み領域	ゆるみりょういき	loosened zone	トンネル掘削により応力が解放されて発生した内空周辺地山の緩みの範囲。
ゆるめ掘削	ゆるめくっさく	preloosening excavation	作業の能率を上げるため，少量の火薬による先行発破で地山を緩めたあと，リッピングを行なう工法。
ユレダス	ゆれだす	UREDAS	J R 東海が導入した早期地震検知装置。地震の初動部分から，危険が予想される場合は新幹線などを止める。
遠安頁岩層	ゆわんあんけつがんそう	Yüanan shale	中国南部の湖北省遠安付近に分布する海成三じょう系（三疊系）上部統で，陸成層の香溪統に不整合で覆われる。紫色頁岩主体で層厚250～300m。

雲南鉍床	ゆんなんこうしょう	Yunnan deposit	中国，雲南省にある熱水性鉍床で，タングステンを産出．
予圧密	よあつみつ	preloading	圧密沈下が予想される地盤にあらかじめ盛土などを行い圧密荷重をかけ沈下を促進すること．
揚圧力	ようあつりょく	uplift	地下水面よりも下にある構造物が，地下水により受ける上向きの力．
陽イオン	よういおん	cation	原子から電子が取り除かれると，それだけ正電荷を帯びる．これを陽イオンという．
陽イオン交換	よういおんこうかん	cation exchange	固体粒子の表面に吸着されている陽イオンが，それに接した溶液中に含まれる他の陽イオンと交換されること．
陽イオン交換容量	よういおんこうかん ようりょう	cation exchange capacity	粘土鉍物や土壌中に交換性イオンとして保持されている陽イオンの総量．
陽イオン飽和度	よういおんほうわど	cation saturation degree	水素イオンを含む場合に対する含まない場合の交換性陽イオンの百分率．
要因分析	よういんぶんせき	factorial experiment	ある現象を解釈するために，それを構成する要因について，要因効果の推定や要因間の相互関係を分析すること．
溶液型注入材	ようえきがたちゅう にゆうざい	solution type grout	水ガラス系注入材のうちセメントなどの懸濁材を使用しないもの．反応材の種類によって無機系，有機系，酸性シリカゾル，コロイダルシリカなどに分類される．
溶液鉍化	ようえきこうか	hydatogenesis	マグマの固結過程で，鉍物・鉍石が溶液から生成されること．現在はほとんど使用されない用語．
葉鉛鉍	ようえんこう	molybdophyllite	$Pb_2Mg_2(OH)_2Si_2O_7$ ．三方晶系．硬度3～4．比重4.72．スウェーデンで産する淡緑色の鉍物．
溶解	ようかい	solution	①ある物質（溶質）が他の物質（溶媒）の内部に一様に分散して均一な混合物となる現象． ②岩石（特に石灰岩）が水に溶ける作用のこと．
溶解ガス押し	ようかいがすおし	solution gas drive	もともとの液中に溶けていたガスの膨張によって，油が油層から押し出される石油の一次回収プロセス．
溶解ガス油比	ようかいがすゆひ	solution gas-oil ratio	貯留層条件下で原油に溶解しているガスの，その原油に対する地表条件下での容積比．
溶解間隙	ようかいかんげき	solution cavity	岩石中の成分の一部が地下水などの溶液と化学反応を起こし，溶脱した後の空隙．鍾乳洞はこの例．溶解空隙ともいう．
溶解空隙	ようかいくうげき	solution cavity	外部から侵入した溶液により溶解して，岩石中にできた空隙．鍾乳洞はこの例．溶解間隙ともいう．

溶解原理	ようかいげんり	solution principle	最も溶けやすい物質が溶出し、それ以外の成分が溶出しなかった部分に濃縮するという原理。
溶解採掘法	ようかいさいくつほう	solution mining	水や酸性の液体を鉱床に注入し、岩塩・銅・硫黄などの有用物質を溶解させて回収する採掘法。
溶解シリカ量	ようかいしりかりょう	dissolved silica volume	化学法によるアルカリ骨材反応試験で、反応によって溶け出てきたシリカ量。
溶解性シリカ	ようかいせいしりか	dissolved silica	天然水中に溶存するシリカ。普通は水や酸に溶けないが、アルカリや炭酸塩で溶融すると可溶性となる。
溶解性中性塩	ようかいせいちゅうせいえん	dissoluble neutral salt	土壤中に存在する中性の硫酸塩・硝酸塩・塩化物などで、酸性化した降水を中和する働きがある。
溶解性物質	ようかいせいぶつしつ	dissolved matter	天然水中に溶存する物質。一般に粒径0.45 μm以下の粒子は溶存態とみなされる。
溶解帯	ようかいたい	dissolution zone	岩石中の黄鉄鉱酸化により硫酸が生成される酸化フロントと溶解溶脱の著しい溶解フロントの間のゾーン。
溶解度	ようかいど	solubility	一定体積または一定質量の溶媒に溶ける溶質の量が、飽和状態となったときの溶質の濃度。
溶解熱	ようかいねつ	heat of solution	一定温度で溶媒に溶かすとき、発生ないしは吸収する熱量。
溶解漂礫土	ようかいひょうれきど	melt-out till	氷河によって運搬された堆積物のうち、氷河表面で岩屑中の間隙氷が溶けだして形成される淘汰の悪い礫質土。
溶解フロント	ようかいふろんと	dissolution front	酸化フロントの下方に位置し、黄鉄鉱から生成された硫酸による岩石・鉱物の溶解と溶脱作用が著しい部分。
溶解平衡	ようかいへいこう	dissolution equilibrium	ある温度で溶解しうる最大の量の溶質が溶媒に溶けて均一な混合溶液になっている状態。飽和ともいう。
溶解平衡濃度	ようかいへいこうのうど	dissolution equilibrium concentration	一般には溶解度として知られる量。ある温度で物質(溶質)が溶媒に飽和溶液となって溶けているときの濃度。
溶岩	ようがん	lava	マグマが地表に噴出したもの。溶融状態にあるもの、または固結した火山岩をさす。
溶岩池	ようがんいけ	lava pool, lava lake	溶融状態の溶岩が凹陥地または火口に湖水状にたまっているもの。
溶岩円頂丘	ようがんえんちょうきゅう	lava dome	傾斜が急な丘状の火山。火口から流出した溶岩の粘性が大きいとき形成される。比較的小規模で、高さは数百メートルよりも低い。溶岩ドーム・鐘状火山と同義。

溶岩角礫岩	ようがんかくれきが ん	lava breccia	火山碎屑岩の一種。火山岩の角礫が溶岩で固結されているもの。あまり使われない用語。
溶岩原	ようがんげん	lava plateau	溶岩台地と同義。一枚または多数の溶岩流によってつくられている広大台地。台地地形状のものはベディオニーテともいう。
溶岩湖	ようがんこ	lava lake	火口に液体溶岩が蓄積されている状態。玄武岩質あるいはアルカリ岩質の粘性の低い火山で生まれる。
溶岩三角州	ようがんさんかくす	lava delta	低粘性の溶岩流が、遠浅の海岸などに多量に流入したときに形成される三角州状に広がった溶岩。
溶岩樹型	ようがんじゅけい	lava tree mold	溶岩流が樹木を埋め急冷固結した結果、溶岩が樹木の形を写し取りその形だけが空洞で残されたもの。ラバモールドの一種。
溶岩鍾乳石	ようがんしょうにゅう せき	lava stalactite	溶岩トンネルの内壁から垂れ下がった溶岩。形状が鍾乳洞の鍾乳石と類似している。
溶岩石筍	ようがんせきじゅん	lava stalagmite	溶岩トンネル内で溶けた溶岩が滴り落ちてできた石筍状のもの。
溶岩泉	ようがんせん	lava fountain	粘性の低い溶岩が噴水のように火口から空中へ噴き上げられる現象。溶岩噴泉ともいう。玄武岩質火山でみられる。
溶岩尖頂丘	ようがんせんちょう きゅう	lava spine	殆ど固結した溶岩が火口底から押し上げられて、そのままの形態を保っている頂上の尖った柱状の溶岩丘。
溶岩台地	ようがんだいち	lava plateau	①溶岩流が一枚または多数重なって形成された台地。 ②数多くのほぼ水平な玄武岩質溶岩が厚く重なって形成される広大な台地。インドのデカン高原など。
溶岩滝	ようがんだき	lava fall	流動性の大きな溶岩が急崖を流下し、その一部が急崖にかかったまま凝固している状態。
溶岩堤防	ようがんでいぼう	lava levee	溶岩流の両側にできる堤防状の固結物。
溶岩滴丘	ようがんでききゅう	spatter cone	火山碎屑丘の一種で火口の周りに形成された急傾斜の丘、小規模である。スパター・溶岩（溶岩餅）よりなるもので、低粘性の玄武岩質マグマでできやすい。
溶岩塔	ようがんとう	lava spine	溶岩尖頂丘と同義。
溶岩ドーム	ようがんどーむ	lava dome	傾斜が急な丘状の火山。火口から流出した溶岩の粘性が大きいとき形成される。比較的小規模で、高さは数百メートルよりも低い。溶岩円頂丘と同義。
溶岩トンネル	ようがんとんねる	lava tunnel	溶岩流の中に形成された筒状の空洞。玄武岩質の溶岩に特徴的に発達する。大きなものでは10m以上の径をもち、数kmに達する長さをもつものもある。富士山の風穴の多くは溶岩トンネルである。

溶岩瀑布	ようがんばんくふ	lava cascade	急崖を滝のように流下しつつある状態のまま固結した低粘性の溶岩。
溶岩噴泉	ようがんふんせん	lava fountain	玄武岩質の火山で、火口から溶岩を多少の強弱を示しながら噴出する現象。噴出した溶岩は溶岩流となる。溶岩泉ともいう。
溶岩ぺい（溶岩餅）	ようがんぺい	dribblet	噴火により飛び出した溶岩片で、地表に激突したとき、あるいは噴出時に扁平な形状になったもの。
溶岩ぺい岩滓集塊岩（溶岩餅岩滓集塊岩）	ようがんぺいがんさいしゅうかいがん	dribblet agglutinate	基地がスコリア（岩滓）集合体である火砕岩で、溶岩ぺい（溶岩餅）を含むもの。
溶岩ぺい凝灰集塊岩（溶岩餅凝灰集塊岩）	ようがんぺいぎょうかいしゅうかいがん	dribblet agglomerate	基地が火山灰の火砕岩で、溶岩ぺい（溶岩餅）を含むもの。
溶岩流	ようがんりゅう	lava flow	火口から噴出した溶岩が斜面を流れ下るもの。溶岩の流れる速度や堆積する厚さは溶岩の性質に関係する。
溶岩流制御	ようがんりゅうせいぎよ	lava diversion	市街地などを溶岩流から守るため、その流れを止めたり、方向を変えること。溶岩の性質を考慮して行う。
溶岩流地形	ようがんりゅうちけい	lava flow landforms	噴火の際火口から流出した溶岩によって形成された地形。
陽起石	ようきせき	actinolite	アクチノ閃石・緑閃石と同義。
窯業用岩石	ようぎょうようがんせき	rocks for ceramic industry	各種窯業の原料となる岩石。例えばセメント原料の石灰岩、硝子や耐火レンガ原料の珪岩、陶磁器や釉業用の岩石など。
容気率	ようきりつ	air capacity	土壌間隙のうち、空気でも占められている部分の大きさ。気相の大きさに相当する。
羊群岩	ようぐんがん	sheeprock	羊背岩と同義。氷河の氷食により生じた岩盤の瘤状突起群。流動方向の上流側断面は急。
溶結火砕岩	ようけつかさいがん	welded pyroclastic rock	高温の火砕流堆積物などが溶結したできた火砕岩。
溶結凝灰岩	ようけつぎょうかいがん	welded tuff	火山灰が主要成分である溶結火砕岩。火砕流堆積物の一部が溶結して形成されることが多い。
溶結作用	ようけつさよう	welding	火山放出物が高温のため内部の粒子が変形し、粒子の接触部が溶着し固化する現象。
溶鋳炉	ようこうろ	blast furnace	鉄鉱石を銑鉄に還元するための背の高い円筒状の精錬炉。固体燃料の間に空気が吹き込まれ、還元反応を進める。

陽子	ようし	proton	素粒子の一種。正の電気量をもち、その電気量は電子の持つ負の電気量と絶対値が等しい。水素の原子核。
陽子数	ようしすう	proton number	原子核を構成する陽子の数。原子番号に相当する。
溶質	ようしつ	solute	溶媒（他の物質を溶かす能力のあるもの）に対し、溶けている物質をいう。
溶出	ようしゅつ	elution	固体物質から溶液中に物質が溶け出す現象。
溶出試験	ようしゅつしけん	elution test	岩石や土壌を水または過酸化水素水に浸して溶出液の成分を分析する試験。掘削ずりの処分方法の判定に用いる。
養生	ようじょう	concrete curing	コンクリート打設後、硬化作用が十分進行するように、日光・風雨などからコンクリートを保護すること。
葉状	ようじょう	lamellar	鉱物の集合体において、板状の結晶が積み重なった構造（雲母などの集合体など）。
養生管理	ようじょうかんり	concrete curing management	打設後のコンクリートが十分な強度を発現するように、養生期間・条件などを設定して管理すること。
葉状構造	ようじょうこうぞう	foliation	変形・変成した岩石の構造で、ある一定の方向に鉱物などが配列しているもの。面構造と同義。
養生剤	ようじょうざい	curing compound	コンクリート打設後の適当な時期にコンクリート表面に散布する被膜用薬剤。表面に被膜を形成し水の蒸発を防ぐ効果がある。
葉状テルル鉱	ようじょうてるるこう	nagyagite	$Pb_5Au(Te, Sb)4S_{5\sim 8}$ 。正方晶系。硬度1～1.5。比重7.49。葉状の暗鉛灰色鉱物。
養生膜	ようじょうまく	curing membrane	コンクリートの被膜養生を行うためコンクリート表面に膜養生剤を散布し形成する不透湿性の被膜。
溶食	ようしょく	corrosion	カルスト輪廻を行う浸食営力をいう。二酸化炭素を含む水の作用で石灰岩が化学的風化作用を受け浸食される。
溶食縁	ようしょくえん	corrosion rim	はん(斑)晶がマグマの中で表面部から融食されてできた輪郭。結晶面方向で融け方がことなり不規則球状になる。
溶食凹地	ようしょくおうち	solution basin	平坦な石灰岩地域では凹地に滞水し、溶食作用で凹地が拡大される。これの基本形は円または楕円形である。
溶食基準面	ようしょくきじゅんめん	base level of corrosion	カルスト地形の発達（ドリーネ形成から溶食・浸食まで）が行われる基準面。地下水面に相当することが多い。

溶食偽段丘	ようしょくぎだん きゅう	false corrosion terrace	石灰岩地域において海水準の段階的低下に対応した地下水水面で形成された地形面。溶食作用により形成された地形。
溶食空洞	ようしょくくうどう	corrosion cavity	炭酸塩岩からなる岩石の割れ目や層理面にそって地下水が流下し、溶食が進行して形成される空洞。
揚水位	ようすいい	pumping level, pumping water level	揚水中の井戸の水位。動水位と同義。
揚水井戸	ようすいいど	pumping well	揚水井が一般的。揚水試験を行う時は揚水するための揚水井と、周辺の水位降下を観測するための観測井を用意する。揚水井を親井戸、観測井を子井戸ともいう。
揚水干渉	ようすいかんしょう	mutual interference of well pumping	ある井戸から揚水した場合、隣接する井戸の揚水量の減少、枯渇や周辺の地下水位の低下を招く現象。
揚水式発電所	ようすいしきはつでんしよ	pumped hydropower station	発電に利用した水を電力需要の少ない深夜などに余剰電力を利用して上部貯水池に揚水し、需要の多い日中に再び利用する水力発電所。
揚水試験	ようすいしけん	pumping test	取水能力評価や透水係数・貯留係数を求めるために揚水井と観測井を設けて実施する試験。単孔で行う簡易試験もある。帯水層試験ともいう。
揚水井試験	ようすいせいしけん	pumping test	揚水試験と同義。
揚水井ポンプ	ようすいせいぼんぷ	pump of pumping well	揚水を行うポンプ。揚水試験では水中ポンプを使用することが多いが、場合によってはサクシオンポンプなどを使う。揚水ポンプということが多い。
揚水貯水池	ようすいちよすいち	pumped storage reservoir	貯水量の大半またはすべてを自流以外の揚水によってまかなうもの。
揚水発電	ようすいはつでん	pumped hydropower generation, pumped-storage power generation	発電に利用した水を電力需要の少ない深夜などに余剰電力を利用して上部貯水池に揚水し、需要の多い日中に再び利用する水力発電方式。
揚水発電計画	ようすいはつでんけいかく	pumped storage scheme	夜間の余剰電力を利用して低所から高所の池へ水を汲み上げ、ピーク時にこれを用いて発電する計画。
揚水発電所	ようすいはつでんしよ	pumped storage power station	軽負荷時の余剰電力で下部調整池より上部調整池に揚水しておき、電力の重負荷時に対応し発電する発電所。
容水量	ようすいりょう	water holding capacity	地下水面より上にある土が保持可能な水分量。
揚水量	ようすいりょう	yield	狭義には井戸から採取できる地下水の量。広義には地下水盆から汲み上げることのできる地下水の量。
容積測定法	ようせきそくていほう	batching by volume	コンクリートの材料であるセメント・水・粗骨材などを容積で計算すること。

容積比重	ようせきひじゅう	bulk specific gravity	みかけの比重, かさ比重ともいう.
容積法	ようせきほう	volumetric method	石油・天然ガス鉱床の埋蔵量の基本的な算定法. 埋蔵容積に圧力・温度による係数を乗じて計算する.
容積率	ようせきりつ	floor area ratio	敷地面積に対して建築物の延べ面積が占有する割合. 建築物による土地の利用度を表す尺度となる.
溶接金網	ようせつかなあみ	welded steel fabric	鉄線を格子状に配列し, それらの交点を電気溶接してつくった金網.
溶接継手	ようせつつぎて	welded joint	金属材料を溶接によって継いだ部分. 突合せ継手・かど継手・へり継手・重ね継手・T継手などがある.
溶存イオン	ようぞんいおん	dissolved ion	水中に溶解しているイオン.
溶存ガス	ようぞんがす	dissolved gas	地下水・海水・間隙水・石油などに溶解しているガス. 資源探査や成因論などの地球化学的研究に用いられる.
溶存酸素	ようぞんさんそ	dissolved oxygen	水中に溶けている酸素で, 大気と接するあらゆる水中に存在する (略称DO) .
溶存酸素計	ようぞんさんそけい	dissolved oxygen meter	水または水溶液中に溶解している酸素量を測定する装置.
溶存酸素濃度	ようぞんさんそのうど	dissolved oxygen concentration	水中に溶けている酸素の濃度. 水温, 気圧, 塩分, 汚染度などに左右される.
溶存酸素量	ようぞんさんそりょう	dissolved oxygen (DO)	水中に溶けている酸素の量. 水質汚濁指標の一つで, 汚濁された水中では少なくきれいな水ほど多い.
溶存成分	ようぞんせいぶん	dissolved component	様々な陽イオンや陰イオンあるいはガスなど, 水中に溶解している成分.
溶存物質	ようぞんぶつしつ	dissolved matter	ある液相に溶けている分子レベルの物質.
溶存メタン	ようぞんめたん	dissolved methane	地下において一般に水に溶解した状態のメタンガス.
溶脱	ようだつ	leaching	岩石や土壌に含まれる塩類などの溶解性成分が, 浸透水に溶け出して除去されること.
溶脱作用	ようだつさよう	leaching	溶脱と同義.

溶脱帯	ようだつたい	leached zone	①鉱床地帯において水などの作用により溶脱された部分。 ②岩石が変質作用により溶脱された地帯。強酸性水による珪化帯など。 ③土壌の最上部層を形成し、アルカリ溶脱が著しい部
幼年期	ようねんき	young stage, stage of youth	Davisが提唱した浸食輪廻（幼年期－壮年期－老年期－準平原）の最初の段階。浸食が始まってはいるが原地形が広く残っている状態。
溶媒	ようばい	solvent	ある物質に他の物質を溶かすとき、他の物質を溶かすものを溶媒という。これに対し溶けた物質を溶質という。
羊背岩	ようはいがん	roche moutonnee	氷食作用により形成された羊の背のような丸いコブ状の岩。上流側は緩やかで条痕を伴う研磨面をもち、下流側は急傾斜面あるいは破断面となる。
溶媒抽出法	ようばいちゅうしゅつほう	solvent extraction	抽出（選別）したい物質のみを溶媒に溶かすことによって他と分離して採取する方法。
擁壁	ようへき	retaining wall	土圧に対抗して土のくずれの防ぐ構造物。重力式・半重力式・倒立T形式・控え壁式・押え壁式などがある。
葉片状	ようへんじょう	foliated	鉱物や岩石で、層状に剥がれやすい構造。雲母などが代表例。
容密度	ようみつど	bulk density	岩石試料の密度の一種で、室温で長期間放置後のかさ比重に相当。
溶融精錬	ようゆうせいれん	scorification	溶融状態の鉛から、その中に含まれる金・銀などの貴金属を濃縮する方法。
四浦鉱床地区	ようらくしゅうちく	Youra ore field	大分県臼杵一三重地域南側鉱床群である。主に秩父累帯中の層状マンガングル。
葉理	ようり	lamina, lamination	堆積物の構成粒子の配列によって肉眼的に認識できる最も薄い成層構造。薄層を葉層と呼び、1層の厚さは通常1cm以下。
溶離鉱床	ようりこうしょう	liquation deposit	正マグマ鉱床の一種。苦鉄質～超苦鉄質岩に伴うもので、ニッケル・銅などの鉱床がある。
葉理構造	ようりこうぞう	lamina(ted) structure	同時に堆積したと認められる土粒子が1枚の薄い層をなし、これが何枚も重なって互層をなしているもの。
葉理面	ようりめん	lamina plane	葉理（ラミナ）の示す面。層理面と平行なものを平行葉理、斜交したものを斜交葉理（クロスラミナ）と呼ぶ。
溶流	ようりゅう	solution transportation	物質が河川水に溶解した状態で運搬されること。
容量型変換器	ようりょうがたへんかんき	capacity type transducer	電極間の電気容量が電極間の距離に反比例することを測定原理とした変換器。

容量分析	ようりょうぶんせき	volumetric analysis, volumetry, titration analysis	①試料中のある成分量を知るために、これと反応する既知濃度の溶液の量から成分量を求める方法。 ②モード組成など岩石の鉱物組成の容量比を測ること。顕微鏡観察によって測定することが多い。
揚力	ようりょく	lift	傾斜した物体が流体中を移動するとき、物体の上下に生ずる圧力差により、進行方向に対して垂直に発生する力。
揚力係数	ようりょくけいすう	lift coefficient	物体の速度をV、最大射影面積をS、揚力をL、流体の密度を ρ とすると、 $CL=L/(\rho V^2 S/2)$ で表せる係数。
養老断層系	ようろうだんそうけい	Yoro fault system	活断層。確実度 I, 活動度 B 級, 北北東方向。養老山地の東縁に位置し北部10km, 南部18kmに分かれ断層崖を形成。
ヨーヨーボーリング	よーよーぼーりんぐ		ケーブルツールボーリングやパーカッションボーリングと同様。ビットの落下で孔底を破壊させるボーリング。
抑止工	よくしこう	prevention works	杭・アンカー・擁壁などの人工構造物によって不足するせん断抵抗力を補って、斜面の安定化を図る工法の総称。通常、抑制工とあわせて実施する。
抑制工	よくせいこう	control works	地形、地下水などの自然条件を改善して斜面崩壊や地すべりなどの原因を取り除き斜面の安定化を図る工法の総称。通常、抑止工とあわせて実施する。
抑留	よくりゅう	stuck, sticking	孔内に降した鉄管、計器などが地層の崩壊などの種々の原因で孔内に抑えられ、引上げ不能となること。
横井戸	よこいど	horizontal water well	帯水層を水平ボーリングによって削孔し、ストレーナ管を挿入して設置した井戸。または集水用に掘削された小断面の水平坑道。
余効変動	よこうへんどう	post-seismic crustal movement	地殻変動はほぼ一定速度で進行するが、地震が起ると数年間は急激な変動を示す。この過渡的な変動をいう。
横尾氷期	よこおひょうき	Yokoo glacial epoch	飛騨山脈、槍・穂高連峰でのやや開析された氷河地形と標高1,800m前後のモレーンによって示される氷河拡大期。
横倉山層群	よこくらやまそうぐん	Yokokurayama Group	高知県越知町の横倉山周辺に分布し黒瀬川構造帯を構成するシルル～デボン系。ガラス質凝灰岩・凝灰質砂岩・泥岩・石灰岩からなる。
横軸図法	よこじくずほう	transverse projection	円柱・円錐図法において、投影面としての円柱面および円錐面の軸が地軸と直交する場合における透視図法。
横軸ミキサ	よこじくみきさ	horizontal axis mixer	セメント・水・骨材などコンクリート用材を均一に練り混ぜるための機械で回転軸を水平にすえつけたもの。
横浸食	よこしんしょく	side erosion, lateral erosion	流水が化学的あるいは物理的に河岸を溶かしたり削りくずしたりして河岸を後退させていく現象。
横すべり断層	よこすべりだんそう	strike slip fault	変位の方向が水平かそれに近い断層で、変位の垂直成分が非常に小さいもの。走向移動断層と同義。

横ずれ尾根	よこずれおね	offset spur, offset ridge	断層変位による横ずれ地形を表す用語の一つで、断層線を境にして尾根筋が横に食い違ってずれている地形。横ずれ活断層の証拠のひとつとなる。
横ずれ谷	よこずれたに	offset stream, offset channel	断層変位による横ずれ地形を表す用語の一つで、断層線を境にして谷筋が横に食い違ってずれている地形。横ずれ活断層の証拠のひとつとなる。
横ずれ断層	よこずれだんそう	lateral fault	断層による見かけの変位が断層面の走向方向にあるもの。水平ずれ断層ともいう。
横田石	よこたいし	Yokota ishi	岩手県陸前高田市横田町産の石材。古生界粘板岩。矢作石・世田米石と同義。
横地地すべり	よこちじすべり	the Yokochi landslide	1976年に鳥取県八頭郡若草町横地で発生した地すべり。河川の埋没と町道80mに被害発生。
横継目	よこつぎめ	transverse joint	マスコンクリート内の温度応力によるクラックの発生を防止する目的で、施工時に人工的に設けるダム軸直交方向の目地。
横抵抗	よこていこう	transverse resistance	厚さ h mの地層で、 $1\text{m}\times 1\text{m}$ の底面に垂直方向からかかる電気抵抗。横抵抗 $T = \rho h$ である。 ρ は地層の比抵抗。最近は使われない用語。
横波	よこなみ	transverse wave	地震や人工的な起震により発生する弾性波のうち、進行方向と直角に振動するもの。S波ともいう。
横根沢石	よこねざわいし	Yokonezawa ishi	静岡県田方郡伊豆長岡町横根沢産の石材。新第三系輝石安山岩。建築・土木用。
横方向K値	よこほうこうけいち	lateral K-value	地盤の水平方向の力に対する地盤反力係数で、橋梁基礎などの構造物設計（特に地震の水平動に対する抵抗の検討）に必要。孔内水平載荷試験で求めるのが一般的。
横方向ばね係数	よこほうこうばねけいすう	horizontal coefficient of spring reaction	地盤の水平方向反力係数で、圧力-変位曲線の傾きとして求められるが、ひずみ量・載荷板のサイズ・載荷時間に対する依存性がある。地盤の水平方向変位量に対する荷重の比。
横ボーリング工	よこぼーりんぐこう	horizontal boring method	地表から暗きよ（暗渠）などで排除できない深さの地下水を排除する水平方向の水抜きボーリング工。
横曲げ褶曲	よこまげしゅうきよく	transverse bending fold	地層面に直交する方向の力により曲げを生じる褶曲
横メルカトル図法	よこめるかとりずほう	transverse Mercator projection	メルカトル図法を 90° 回転させた図法。極で接する円筒に地球中心から投影する。
横矢板	よこやいた	horizontal lagging	開削工法で親杭の間に設置されるはめ込み式の矢板。幅15cm以上で厚さ5cm程度の木製板が良く使われる。
横矢板トレンチ	よこやいたとれんち	trench with horizontal lagging	親杭横矢板工法で土留したトレンチ。

横山石	よこやまいし	Yokoyama ishi	福岡県北九州市小倉区横山産の石材。中生界安山岩。小熊野石・徳力石と同質。
横山衝上断層	よこやましょうじょうだんそう	Yokoyama thrust	岐阜県北端の横山付近を西北西－東南東に走る延長20kmの衝上断層。手取層群の上に飛騨片麻岩類が衝上する。
横リブ	よこりぶ	cross rib	シールド工法のセグメントの縦リブに直交して設けたリブ。土圧を主桁に伝達する他、ジャッキ推進の補強部材。
予察	よさつ	preliminary survey	写真判読によって得られた情報を写真上に記入したり、地形図に写し取るなどの各種資料による事前分析。
吉井・東柏崎ガス田	よしいひがしかしわざきがすでん	Yoshii/Higashi Kashiwazaki gas field	新潟県柏崎市東方にあるガス田。1968年に発見された国内最大級のガス田。深さ2,400～2,600m前後の七谷層流紋岩類から産出。
吉田みかげ	よしだみかげ	Yoshida mikage	愛知県幡豆郡吉良町産の石材。角閃石黒雲母花崗岩。土木用。
吉野地震	よしのじしん	the 1952 Yoshino earthquake	1952年に奈良県西部で発生したM6.8の地震。奈良春日大社の石燈籠転倒。死者9人、住家全壊20戸とされている。
与島みかげ	よしまみかげ	Yoshima mikage	香川県丸亀市広島・坂出市与島産の石材。中生界角閃石黒雲母花崗岩。建築・土木・敷石用、青木石と同義語。
吉見変成岩類	よしみへんせいがんるい	Yoshimi metamorphic rocks	関東山地北東縁に分布し、角閃岩と複雲母片麻岩を主とする。三波川帯の基盤であるか、三波川帯と領家帯の間にある岩体であるかは不明。
余剰重力	よじょうじゅうりょく	residual gravity	残留重力と同義。
余色実体視	よしよくじったいし	anaglyphic stereoscory	補色（余色）写真と余色フィルタを用いて実体視を行うこと。
余色写真	よしよくしゃしん	complementary color picture, anaglyphic picture	補色（余色）を用いて実体視に用いるために二種の写真を余色で重ね合わせたもの。
余色法	よしよくほう	anaglyphic method	余色関係にある赤色と青色の特殊投影あるいは印刷により、1枚の画像でも立体視できるようにする方法。
余震	よしん	aftershock	本震のあとに引き続いて起きる地震。マグニチュードは本震より小さく発生頻度は時間とともに減少していく。
余震域	よしんいき	aftershock region	余震の起こった区域の水平面上の範囲。
余震系列	よしんけいれつ	aftershock sequence	本震の後に発生する余震の時間的分布状況。

余震終息域	よしんしゅうそくい き	cessation region of aftershocks	余震活動が収まった地域や内陸の活断層のように以前大きな地震が起きた後地震活動のない地域.
余震の双曲線公式	よしんのそうきよく せんこうしき	hyperbolic formula of aftershocks	余震の発生頻度 n が本震からの経過時間 t とともに減少することを表す式. $n(t)=K/(t+c)^p$ (K, p, c は定数)
余震のモデル	よしんのもでる	models for aftershock occurrence	余震現象を説明するためのモデル. 塩治・遅れ破壊・クリープ・自己相似などの各モデルがあるがまだ未完成.
余震発生地域	よしんはっせいちい き	aftershock-region	大きな地震後に発生する余震の分布域を示すもので、地下の破壊ゾーンを推定する上で重要である.
余水吐き	よすいばき	spillway, spill way	水力発電所の負荷変動に応じて余分の水量をヘッドタンクから放流する設備. フィルダムの洪水吐きとは異なる.
予想鉱量	よそうこうりょう	possible reserves	JIS M 1001「鉱量計算基準」で規程されているもので、推定鉱量とした鉱画の周囲に鉱床の連続が予想される部分の鉱量.
予想震度の地域区分	よそうしんどのちい きくぶん	seismic regionalization, seismic zoning	地震が発生した場合を想定して、地域ごとに震度もしくは地震による危険度などを示す、地震防災の基礎資料.
予想炭量	よそうたんりょう	possible coal reserves, inferred coal reserves	石炭試料、炭層の確認のない段階で、地質学的資料にだけ基づいて計算される石炭の埋蔵量.
予測沈下曲線	よそくちんかきよく せん	estimated settlement curve	盛土や構造物の荷重によって生じる地盤の沈下量の経時変化を、工事前に圧密計算によって予測した結果を表わす曲線.
四日市とう曲 (四日市撓曲)	よっかいちとうきよ く	Yokkaichi flexure	三重県四日市市を南北に切るとう曲(撓曲)崖. 確実度I, 活動度B級, 延長10km.
横河川変成岩	よっかがわへんせい がん	Yokkagawa metamorphic rock	長野県岡谷市, 横河川上流に小規模に分布する結晶片岩. 蛇紋岩を伴う. 三波川帯の延長とされている.
四日町地すべり	よっかまちじすべり	the Yokkamachi landslide	1976年に新潟県北魚沼郡小出町四日町の上越線小出駅前の山腹斜面で発生した地すべり.
淀橋台	よどばしだい	Yodobashidai	武蔵野台地東部(東京都区部)の下末吉面相当の台地の一つ.
与内畑鉱山	よないはたこうざん	Yonaihata mine	福島県耶麻郡熱塩加納村にあった黒鉛鉱床. 新第三系中新世西黒沢階最上部～女川階最下部にある層準規制型の鉱床.
与那原断層系	よなばるだんそうけ い	Yonabaru fault system	活断層. 確実度I, 活動度B級, 北西方向. 宮古島中東部に位置し延長15km. さんご(珊瑚)礁段丘の低断層崖を形成する.
余波	よは	trail	台風などによるうねりのうち、風域が通過した後のうねり.

呼び径	よびけい	nominal diameter	ボーリングなどの掘削孔径あるいは、円筒形パイプなどの外周直径.
呼子ノ瀬戸断層	よびこのせとだんそう	Yobikonoseto fault	西彼杵半島北西部の古第三系を南北方向に切る断層. 大部分が海底下の西彼杵炭田の東限を成している.
余吹き	よぶき	excess shotcrete	トンネル掘削工事で設計断面を確保するために余分に掘られた部分を吹付けコンクリートで充填すること.
余掘り	よぼり	overbreak	主としてトンネル掘削時に、設計巻厚外に発生する掘削量. 余掘り量は、地質・掘削方式などにより変化する.
余巻き	よまき	lining for overbreak	トンネル掘削で覆工の設計巻厚より外側の余分な掘削に対して、空隙が残らないよう充填するコンクリート.
蓬畑階	よもぎばたかい	Yomogibata stage	上部石灰系長岩統の上部階で石灰岩を主体とする. 岩手県南東部で多く認められる.
余盛り	よもり	extra fill, extra-banking	盛り立て後の圧密や沈下程度を考慮して、計画断面に対して予め余分に盛土を行うことをいう.
余裕高	よゆうだか	freeboard	異常洪水に備え、設計最高水位からダムや堤防の天端までに設けた計画上の余裕の高さ.
寄居時階	よりのいじかい	Yorii phase	丹沢造山運動の激動期として認められる時階の一つで、この時階により丹沢～嶺岡帯の隆起が開始されたとされた. 最近はあまり使われない.
四極子法	よんきょくしほう	quadripole method	ほぼ直交する2組の電流双極子を用いて方向別の見掛け比抵抗値を求める電気探査法.
4極法配置	よんきょくほうはいち	four electrode array	電気探査において、測定点移動のときに4極とも移動する電極配置法の総称. ウェンナー法が代表的.
漣川系	よんちよんけい	Yonchon system	朝鮮半島の先カンブリア時代の変成岩類. 南北方向に分布し、主として雲母片岩や角閃岩などから成る.
4電極法	よんでんきょくほう	four-electrode method	2個の電極から電流を大地に送り、他の2個の電極により電位差を測定する電気探査法. ウェンナー法など.
1/4波長則	よんぶんのいちはちょうそく	law of one by four wavelength	表層の厚さと常時微動の卓越周期との間に成り立つ関係. 表層の厚さ = S波速度 × 卓越周期 / 4.
ラーキ統	らーきとう	Lachi series	インド北東部シッキム地方のラーキ付近を模式地とする上部ペルム系. 珪岩や頁岩などからなり腕足類を含む.
ラーメ定数	らーめじょうすう	Lame's constant	ヤング率Eとポアソン比 ν を用い、 $E\nu/(1+\nu)(1-2\nu)$ で表す. 物理的意味は持たず弾性の諸計算に使用.

ラーメン橋	らーめんきょう	rigid-frame bridge	橋脚あるいは橋台と主げたとを剛性結合しラーメン構造とした橋梁で、耐震性に優れている。
ラーメン構造	らーめんこうぞう	rigid framed structure	部材の接合部を剛節点としたはり・柱を主として長方形の枠とした骨組構造。
ラーメン式橋脚	らーめんしききょう きゃく	rigid-frame pier	ラーメン構造の橋脚。構造寸法を小さくすることができ、桁下の空間を利用することができる。
ラーメン式橋台	らーめんしききょう だい	rigid-frame abutment	門型のラーメン構造を持つ橋台。門型の空間を利用することができる。
ライアス統	らいあすとう	Lias series	西ヨーロッパの模式的な海成ジュラ系の下部統。青灰色泥岩や泥質石灰岩を特徴的に産する。
ライアロ統	らいあろとう	Raialo series	インド半島北西部の結晶質石灰岩および苦灰岩。珪岩、砂岩などを伴う。本層の大理石は石材に使われている。
ライエル法	らいえるほう	Lyell's method	地層の新旧を決定する目安としてライエルが提唱。化石群の総種数と現世種数との百分率で表される。現在は使われていない。
雷管	らいかん	cap, percussion cap, detonator	火薬に点火するための発火用具。銅・しんちゅう・アルミニウム製の管の中に雷こうなどの薬品を詰めたもの。
ライシメータ	らいしめーた	lysimeter	浸漏計。土壤の理化学的諸量を精密に測定するための金属製またはコンクリート製の槽。
ライナープレート	らいなーぷれーと	liner plate	深礎やトンネルに使用する特殊支保工で、溝の押し型をつけて剛性を増し、アーチ型に沿うよう丸みをつけた板状鋼製支保工。
ライニング	らいにんぐ	lining	トンネルの覆工。管やタンクの内張り。
ライフライン	らいふらいん	lifeline	現在の都市生活に必要な、上下水道、電力などのエネルギー、道路などの交通、電話などの通信などの連絡システム。
ライフライン地震工学	らいふらいんじしん こうがく	earthquake engineering for lifeline systems	大地震などでライフラインが被害を受けにくくしたり、受けた場合でも早急な対策が講じられるための研究分野。
ライフラインの地震被害	らいふらいんのじしん ひがい	earthquake damage of lifeline systems	ライフラインは、広域にわたるため地震の被害を受けると遠方まで影響がおよぶ。システムは大きいほど被害大。
ライム泥水	らいむでいすい	lime base mud	ボーリング用泥水で、粘土に含まれるモンモリロナイトなどの水和膨潤性を抑制するため石灰を添加したもの。
ライン頁岩山地	らいんけつがんさん ち	Rhine shale mountain	ドイツ西部ライン川下流域の海成デボン系～下部石炭系を主体とする山地。層序学の古典的フィールド。

ライン地溝	らいんちこう	Rhine graben	ドイツ南西部ライン川を含む地溝帯。南北方向に300km、幅は40kmで、中新世から断層が生じ、第四紀まで活動。
ラインドリリング	らいんどりりんぐ	line-drilling	穿孔間隔を狭くした孔列を作り、他孔の発破により孔列に沿って亀裂を発生させ、この列に沿って岩盤を破断させる方法。
ラウエ関数	らうえかんすう	Laue function	結晶にX線を照射したとき発生する回折線の強度を、結晶からの距離に応じて関数化したもの。
ラウエの条件	らうえのじょうけん	Laue theory	結晶にX線を照射して回折が発生するときの条件。入射X線方向と回折X線方向のベクトルで示される。
ラウエ斑点	らうえはんてん	Laue spot	単結晶に連続X線を照射すると得られる回折斑点群。結晶の対称性を知ることができる。
ラウエ法	らうえほう	Laue method	結晶にX線を照射すると三次元的な回折線が発生する。これを平板フィルムに記録して結晶構造を調べる方法。
ラキ火口列	らきかこうれつ	Laki crater row	アイスランド南部で1783年噴火した列状の火口。地震を伴う割目生成は長さ25kmに達し、溶岩、火砕岩を噴出。
ラグーン	らぐーん	lagoon	海岸において、海の一部が砂州・沿海州などのために、大海と絶縁されて生じた湖。潟、潟湖、海跡湖ともいう。
落差	らくさ	throw	断層の変位の要素に関する用語で、傾斜隔離の垂直成分のこと。
落差	らくさ	head	水力発電所の取水標高と発電機シャフト標高との差。有効落差、平均有効落差、最大有効落差を参照。
落石	らくせき	rockfall, rock fall	急斜面から岩石が落下する現象。岩塊が岩盤から分離して落下するものを剥離型落石、斜面上の土砂中から岩塊が抜け落ちるものを転石型落石という。
落石対策工	らくせきたいさくこう	prevention for falling stone	落石からの保護のため、落石を防止したり、落石を安全な場所に誘導する施設の総称。
落石止め	らくせきどめ	preventive work against rock fall	落石防止工と同義。
落石覆工	らくせきふっこう	shed for falling stone	道路などの保全対象物を屋根で覆い、落石をこの屋根で受け止めて被害を防ぐ施設。
落石防護工	らくせきぼうごこう	rockfall prevention works	落石防止工のうち、発生した落石に対処するための施設。落石防止網・落石防止柵・落石防止擁壁・落石覆工・落石防止林・落石防止堤などがある。
落石防止網	らくせきぼうしあみ	prevention net for falling stone	自然斜面あるいは人工のり面に落石を防止する目的で設けられる被覆金網。

落石防止工	らくせきぼうしこう	rockfall protector, rockfall prevention works	落石発生源における落石予防を目的とした落石予防工と、発生した落石による被害の防止・軽減を目的とした落石防護工の総称。
落石防止柵	らくせきぼうしさく	prevention fence for falling stone	斜面の途中あるいは最下部に落石を受け止める目的で設けられる柵状構造物。
落石防止擁壁	らくせきぼうしようへき	retaining wall for falling stone	落石防護工の一種。防護対象物への落石の到達を阻止する目的で設置されるコンクリート擁壁で、一般に落石防止柵と併用される。通常、落石が堆積できるポケットを設ける。
落石防止林	らくせきぼうしりん	forest for rockfall prevention, prevention forest for rockfall	落石防護工の一種。落石発生源と防護対象物との間に樹林帯を設けることで落石の到達を阻止する。
落石予防工	らくせきよぼうこう	rockfall prevention works	落石防止工のうち、発生源対策として行う工法。切土工・浮石除去工・根固め工・ロックアンカー工・枠工・吹付け工などがある。
落盤	らくばん	cave-in, collapse	トンネルや坑道などの天井部付近から、地山の一部が剥脱崩落すること。トンネル工事で多い事故の一つである。
ラグランジュの未定乗数法	らぐらんじゅのみていじょうすうほう	Lagrange's method of undetermined multipliers	条件付きの多数の観測値があるときに、一定の条件に基づいた方程式を導入することにより、確定値を決定するための計算方法。
裸孔仕上げ	らこうしあげ	bare foot completion, open hole completion	油井などで、産出層部の崩壊の心配がない場合、産出部層にケーシングを挿入せずに仕上げ、採取を行う方法。
ラコステ型上下動振子	らこすてがたじょうげどうふりこ	LaCoste vertical motion pendulum	その直上から精密なバネで吊す形式の振子。重力計や長周期地震計に用いられる。
ラコステ重力計	らこすてじゅうりょくけい	La Coste-Romberg gravimeter	ラコステ・ロンバーグ重力計と同義。
ラコステ吊り	らこすてづり	La Coste suspension	荷重0の状態では長さが0になるバネ。La Costeは、このバネで上下動地震計をつくった。
ラコステ・ロンバーグ重力計	らこすてろんばーぐじゅうりょくけい	La Coste-Romberg gravimeter	La Costeが1934年に作成した地震計をもとに開発された重力計の一種。金属バネ、二重恒温槽を用いている。長周期地震計用として開発された。小型軽量。ラコステ重力計ともいう。
ラコリス	らこりす	laccolith	餅盤ともいう。地層中の貫入岩体で、底部が平ら、上盤が押し上げられ餅の様に膨らんだ形状が特徴。
ラコリスドーム	らこりすどーむ	laccolithic dome	ラコリス（餅盤）の侵入によって生じたドーム山地で、端部は局部的に背斜構造をつくることもある。北米コロラド高原のヘンリー山ドームは有名。直径数km以下のものが多い。
ラザフォード後方散乱分光法	らざふおーどこうほうさんらんぶんこうほう	Rutherford backscattering spectroscopy	イオンビームの照射によって生ずる散乱現象のエネルギースペクトルから対象物の組成を知る分析法。
ラジアルゲート	らじあるげーど	radial gate	円弧状の止水板を持つ回転式ゲート。水圧のほとんどを回転軸が受け持つので、巻上げ力が少なくすむ。

ラジウム鉱床	らじうむこうしょう	radium ore deposit	ラジウムはウラン壊変により生じ、ウラン鉱物に少量含まれるため、ウラン鉱床と同じ。歴史的には当初、ウラン鉱床でなく、ラジウム鉱床として採掘された。
ラジオアイソトープ	らじおあいそとーぷ	radioisotope	同位元素の中で放射性を有するものをいう。地質学的には同位体年代分析などに利用される。
ラジオジェニック核種	らじおじえにつくかくしゅ	radiogenic nuclide	放射起源の安定核種。放射壊変によらない本来の原子核と区別するために用いる。
ラジオトレーサ	らじおとれーさ	radiotracers	水の動きをとらえるために用いられる放射性同位元素からなるトレーサ。
ラ時階	らじかい	Rha stage	後氷期においてスカンジナビア氷床が後退し、Vänern地方から海が最も拡大した時期をいう。
羅惹坪統	らじゃくひょうとう, るおろーぴんとう	Luorepingian series	ルオローピン統。中国の揚子江中流域のシルル系。砂質・石灰質頁岩からなり、礁性の石灰岩を含む。
ラショナル式	らしよなるしき	Rational formula	洪水のピーク流量を与える公式の一つ。 $Q=f \cdot r \cdot a/3.6$, Q :ピーク流量, f :流出係数, r :降雨強度, a :流域面積。合理式と呼ぶことが一般的。
羅針儀測量	らしんぎそくりょう	compass surveying	コンパス測量。方位を測定するコンパスと、距離測定とによって平面上の位置を求める測量法。
ラスタ型数値地図	らすたがたすうちちず	raster digital map	地形、地物などの属性をデジタル値のメッシュ情報で保持しており、計算機などでデータ処理可能な形態の地図。
ラスタデータ	らすたでーた	raster data	イメージを表現する基本方式の一つ。点の集まりで表現する。GISで用いる場合は、位置や形状を現す矩形要素の配列からなるデータ。衛星画像やオルソフォト、国土地理院の地図画像（数値地図）のほか、50mメッシュ標高などもラスタデータの一つである。
ラセミ化年代測定法	らせみかねんだいそくていほう	racemization dating method	化石中のアミノ酸がL型異性体からD型異性体へ変化することを用いた年代測定法。第四紀後期を対象とする。
螺旋杭	らせんぐい	screw pile	杭の先端に螺旋状のウイングをつけて打ち込む基礎用の杭。
螺旋構造	らせんこうぞう	helix structure	線状分子が分子内・間で水素結合などにより結合し、螺旋状になった生体高分子の構造。
螺旋軸	らせんじく	screw axis	結晶構造を示す対称要素の一つで、螺旋状が特徴。N回の回転操作で、周期の1/Nづつ並進を伴う。
螺旋成長	らせんせいちょう	spiral growth	螺旋状に結晶が成長する機構。
螺旋鉄筋	らせんてっきん	spiral hoop reinforcement	軸方向鉄筋をらせん状または環状に取り囲んで配置した鉄筋。柱部材に用いられる。

螺旋鉄筋柱	らせんてつきんちゆう	column with spirals	柱の軸方向鉄筋をらせん鉄筋で取り囲んだ鉄筋コンクリート柱で、大きな荷重を受ける際に用いる。
螺旋転位	らせんてんい	screw dislocation	結晶における格子欠陥のうちの線欠陥の一つ。結晶面に沿う原子の並びが螺旋状のもの。
ラッセン火山群	らっせんかざんぐん	Lassen volcano group	米国カリフォルニア州にある多輪廻性火山群。中期更新世～現在まで火山活動を繰り返している。
ラテライト	らてらいと	laterite	熱帯～亜熱帯地域に広く分布する強風化した赤色の土壌。鉄とアルミニウムの二次酸化物に富む。紅土ともいう。
ラテライト化作用	らてらいとかさよう	lateritization	湿潤熱帯気候下で珪酸塩鉱物が分解、溶脱し、酸化鉄とアルミナが残留、富化すること。
ラテライト質鉱床	らてらいとしつこうしょう	lateritic deposit	熱帯地域に広く分布するラテライト層に胚胎する鉱床。風化残留鉱床の一種である。
ラテライト質土	らてらいとしつど	lateritic soil	ラテライトが風化した土壌で、厚く形成されていることが多い。母岩の種類は広範囲で、工学的性質も様々。赤色土もこれに含まれることがある。
ラテライト風化	らてらいとふうか	laterite weathering	風化作用により、鉄やアルミの三二酸化物などが主成分として集積し、固結した硬盤を形成すること。
ラテラル法	らてらるほう	lateral method	電気検層の電極配置法の一つ。三極法に対応する。二極法電極配置のノルマル法に比べて探査能力に優れる。
ラテロ検層	らてろけんそう	Latero logging	比抵抗検層の一種で指向式のもの。シュランベルジュ社作製の商品名。
ラテロログ	らてろろぐ	Latero log	指向式比抵抗検層の一種。収束させた電流によって地層の比抵抗を測定する。シュランベルジャー社の商品名。
ラトゾル	らとぞる	latosol	湿潤熱帯に広く分布する赤色味の強い厚い土壌。粘性に乏しく脆い土で、ラテライト質土とほぼ同義。
ラドロウ統	らどろうとう	Ludlowian series	英国に分布する上部シルル系。下位から筆石頁岩、石灰岩、頁岩に分類される。
ラドン計	らどんけい	radonoscope	電離箱やアルファ線検出器を用いて、試料中のラドン含有量を電氣的に測定する装置。
ラドン計数率	らどんけいすうりつ	count ratio of radon	ラドンは放射性元素であり、濃度測定には α 線を計数することから、濃度比を計数率として表す。
ラドン探査	らどんたんさ	radon measurement survey	ウランの壊変により生成するラドンを測定し、ウラン鉱床やラドンの通り道となる断層などを探査する方法。ラドンは α 線を測定することにより検出される。

ラドン濃度	らどんのうど	radon concentration	ラドン(²²² Rn)は放射性元素で、希ガスの一種。ラドン濃度の測定は破碎帯や地下水調査などに利用されている。
ラドン濃度測定	らどんのうどそくてい	measurement of radon concentration	ウラン探査などで、土壌空気や地下水中のラドンを電離箱やαカウンタで測定する。
ラドン法	らどんほう	radon measurement survey	ラドン探査と同義。
ラナーク統	らなーくとう	Lanarkian series	英国に分布する上部石炭系下部。古植物学的に分帯。ラナーキアンともいう。
ラバーバルーン法	らばーばるーんほう	rubber balloon method for field density determination	現場密度試験法の一つ。本質的には水置換法と同じで、ゴムの皮膜で水を止める方法。
ラパキビ花崗岩	らぱきびかこうがん	Rapakivi granite	バルト盾状地に分布する角閃石・黒雲母を含む粗粒斑状花崗岩。非造山期に形成された。石材に利用。
ラピエ	らぴえ	lapies, lapiaz	石灰岩が二酸化炭素を含む雨水によって溶食をうけた結果形成される溶食溝の溝と溝の間の凸部。
ラピスラズリ	らびすらずり	lapis lazuli	数種類の鉱物が混合した藍青色の飾り石。藍方石・ソーダライト・ノゼアンの3種類が主な混合鉱物。
ラフネス	らふねす	roughness	岩盤の割れ目などの、分離面の粗さを表す基準。また、断層運動のスリップセンスを推定する際の手掛り。
ラブ波	らぶは	Love wave	表面波の一種で、振動方向は水平面内で進行方向と垂直方向。伝わり方は地層のS波速度と層厚により異なる。この性質により地下構造の解明に利用される。
ラプラス条件	らぷらすじょうけん	Laplace condition	ジオイドを基準にした天文座標と準拋楕円体を基準とした測地座標の関係を表わす式。
ラプラス剰余	らぷらすじょうよ	Laplace residual	準拋楕円体に拠る三角点の測地学的な値と天文学的な値の誤差のこと。三角網の誤差の目安となり得る。
ラプラス分布	らぷらすぶんぷ	Laplacian distribution	統計分布の一種。指数分布に従う二つの確率変数の差の分布。
ラプラス方程式	らぷらすほうていしき	Laplace equation	電磁波理論から導かれた2階の偏微分方程式。地盤の定常浸透流や熱伝導などの多くの物理量がこの式を満たす。
ラブラドル斜長岩体	らぶらどーるしゃちょうがんたい	Labrador anorthosite mass	カナダ楯状地東部のラブラドル半島に点在する、数千km ² に達する斜長岩体の総称。原生代中期に活動し、斜長石の粗粒結晶を含む。
ラブランドレス	らぶらんどれす	Loveland loess	米国アイオワ州ラブランドを模式地とする、イリノイ氷期末期の風成堆積物。下部は陸生軟体動物化石を産し、最上部はサンガモン化石土となる。

ラベリング	らべりんぐ	ravelling	表面崩壊を主体とする岩石破壊形態の一つ。
ラマポ海淵	らまぽかいえん	Ramapo deep	伊豆一小笠原海溝の南部，鳥島東方にある深所．最大水深9,700m程度，最深部は幅3km以上の平担底である．
ラミナ	らみな	lamina	肉眼的に観察できる最小の成層構造．葉理，葉層ともいう．この他，広く葉片状の構造にも用いられる．
ラミナイト	らみないと	laminite	細かい葉理が発達した碎屑岩で，特にその成因を問題にしない．
ラミネーション領域	らみねーしょんりょういき	lamination domain	変形テクトナイトにおいて，ほかの部分から識別される顕微鏡的スケールの領域．純粹記載的な用語．
ラムサウンディング試験法	らむさうんでいんぐしけんほう	ram sounding method	直径32mm，角度90°の先端部を重錘（63.5kg）の50cm落下の衝撃で打ち込む動的貫入試験．
ラム層状超塩基性岩体	らむそうじょうちやうえんきせいがんたい	Rum layered ultrabasic complex	英国北部ラム島に分布する，はんれい岩（斑禰岩）を伴う約30km ² にも達する超塩基性の岩体．
ラメラ	らめら	lamella	結晶粒内に認められる面構造の他，薄板状の結晶粒あるいは板状結晶粒の定向配列による葉状構造にもいう．
ララミー造山運動	ららみーぞうざんうんどう	Laramide orogeny	北米大陸西海岸のロッキー山脈で白亜紀後期から古第三紀初期に起こった地殻変動で，ララミー変動ともいう．
ラルデレロ地熱地帯	らるでれろちねつちたい	Larderello geothermal area	ローマの北西200kmにある地熱地帯．1913年世界最初の地熱発電を開始した．
ランキン土圧	らんきんどあつ	Rankine's earth pressure	ランキンによって提唱された限界平衡状態となっている地盤の鉛直面に対して作用する土圧．
ランゲリアの飽和指数	らんげりあのほうわしすう	saturation index	水中の溶存成分の溶解，沈殿反応の進行状況を説明する指数で，pHと飽和pHの差で表わす．
乱雑堆積物	らんざつたいせきぶつ	chaotic sediments	色々な種類の偽礫やブロックを含む雑然とした堆積物の総称．成因は多様．記載用語としてのみ用いる．
藍晶石	らんしょうせき	kyanite	Al ₂ SiO ₅ ．三斜晶系．硬度4～7（方向によって異なる）．比重3.53～3.65．中～高圧型広域変成岩の比較的低温部の塩基性岩，泥質岩などに産出．
乱数	らんすう	random numbers	ある集合から無作為に抽出された数列で，自然界や社会における確率現象のシミュレーションに用いられる．
藍閃石	らんせんせき	glaucophane	アルカリ角閃石の一種．低温高圧型の塩基性変成岩に産出．

藍閃石片岩層	らんせんせきへんが んそう	glaucophane schist	広義の藍閃石質角閃石を含有する結晶片岩。原岩は主に玄武岩質火成岩である。青色片岩層ともいう。
藍閃変成作用	らんせんへんせいさ よう	glaucophanitic metamorphism	塩基性変成岩が低温高压型変成を受けることによって、広義の藍閃石を生じる変成作用。
乱堆積	らんたいせき	penecontemporaneous deformation of bedding	非常に不規則なラミナあるいは異常な成層状態を示す堆積現象の総称。異常堆積ともいう。斜葉理は乱堆積に含めない。
乱堆積構造	らんたいせきこうぞ う	penecontemporaneous deformation structure	スランプおよび地すべり性の堆積物、偽礫を含む堆積物、堆積時の層内褶曲などを含む、非常に不規則な構造。
ランダム構造	らんだむこうぞう	random structure	粘土粒子のミクロな構造で、粒子が無秩序な配列をした分散状態に近い構造。
ランダム試料	らんだむしりょう	random samples	全く規則性が入らないように、偏りのないよう採取した試料。
ランダムフィル材	らんだむふいるざい 材	random fill	フィルダム築堤材料のうち粒径や硬さなどのバラツキが大きい材料。堤体の内部に用いられることが多い。
ランダムボルト ティング	らんだむぼるていん ぐ	random bolting	トンネル掘削時の地山状況に応じて、ボルトの配置や長さをその都度決定して打設すること。
ランダムロック フィル	らんだむろっくふい る	random rockfill	粒径や堅さなどにバラツキの大きい材料を堤体内部の材料としたもの。
乱積み	らんづみ	random masonry	根固め工で石材やブロックを不規則に積み上げる方法。積み上げ材は単体として水圧に耐えられる必要がある。
乱泥流	らんでいりゅう	turbidity current	河川から流出した砂が沖合まで運ばれて大陸斜面上部に一旦沈積したものが、地震などをきっかけとしてなだれのように大陸斜面を流下する現象。堆積物をタービダイトと呼び、泥が堆積する海底まで達するため砂泥互層が形成される。混濁流と同義。
乱泥流堆積物	らんでいりゅうたい せきぶつ	turbidite	乱泥流によって深海に運ばれ堆積した堆積物。しばしば浸食的な下底面をもち、顕著な級化成層などの特徴がある。
藍鉄鉱	らんでっこう	vivianite	$\text{Fe}_3^{2+}(\text{PO}_4)_2 \cdot 8\text{H}_2\text{O}$ 。湖沼底の粘土層などに広く産出。元来無色透明だが、酸化しやすく急速に変色する。
藍銅鉱	らんどっこう	azurite, chessylite	$\text{Cu}_3(\text{CO}_3)_2(\text{OH})_2$ 。単斜晶系。硬度3.5~4。比重3.77。透明~半透明。銅鉱床の副次的な酸化鉱物で普通によく産出する。孔雀石の一部あるいは全部が置換されることも多い。
ランドサット	らんどさつと	land remote-sensing satellite (LANDSAT)	資源探査や環境調査を目的とする人工衛星。EOSATにより運用されている。
ランドサット画 像	らんどさつとがぞう 像	LANDSAT imagery	ランドサット搭載の各種センサにより得られた情報を処理し、画像として表現したもの。

ランドベリー統	らんどベリーとう	Llandovery series	英国に分布する下部シルル系。腕足類・三葉虫・筆石などを含む泥岩，頁岩で構成される。
ランドマーク	らんどまーく	landmark	高い山や塔，大木など地域空間の中で自分の位置を確認するための目標物および歴史的な建造物。
ランドン統	らんどんとう	Landon series	ニュージーランドの漸新統。暖海性の多くの貝類が出現。
ランバークーオスグッド復元力	らんばーぐおすぐつどふくげんりょく	Ramberg-Osgood's restoring force	力学的非線形性を示す土などの動的解析において，その変形挙動を表現する代表的な応力-ひずみモデルに基づく復元力。
ランバークーオスグッドモデル	らんばーぐおすぐつどもでる	Ramberg-Osgood model	土質材料における繰り返し載荷時の非線形特性を説明するモデルの一つ。
ランパート	らんぱーと	rampart shore platform	海食棚や海食台など岩石海岸における平坦な浸食地形の外縁にごくわずかに堤防状に高くなっている部分。
ランバート平行円錐投影	らんぱーとへいこうえんすいとうえい	Lambert conformal conic map projection	適当に選んだ2本の緯線が接するように円錐投影する図法。この2本の緯線と経線上の距離は正しく示される。
ランビルン統	らんびるんとう	Llanvirnian series	英国，南ウェールズに分布する中部オルドビス系下部統。筆石・三葉虫を多く含む黒色頁岩・泥岩で構成される。
ランプ	らんぷ	ramp	衝上断層が地層に平行な部分から傾斜30°程度で切りあがっていく部分のこと。
ランプロファイア	らんぷろふあいあ	lamprophyre	塩基性鉱物の斑晶を多量に含み，全自形粒状組織を呈する。主に岩脈として産する半深成岩。別名：煌斑岩（こうはんがん）。
ランベルト正角円錐図法	らんべるとせいかくえんすいずほう	Lambert conical orthomorphic projection	地図上で任意の2線のなす角が正しく現れる円錐図法。一般地理図や航海用図としてよく用いられる。
ランベルト正積円錐図法	らんべるとせいせきえんすいずほう	Lambert azimuthal equal area projection, Lambert equivalent conical projection	Lambertが考案した等積円錐図法の一つ。
ランベルトネット	らんべるとねっと	Lambert net	投影球上の等面積が網目上に等しく投影される等面積投影法で用いる網目。等面積ネット。
乱方位試料	らんほういしりょう	random orientation sample	通常の粉末X線回折に用いる不定方位試料。鉱物に一定の配列を持たせていない。
藍方石	らんぼうせき	haüyne	$\text{Na}_3\text{Ca}(\text{Si}_3\text{Al}_3)\text{O}_{12}(\text{SO}_4)$ 。立方晶系。硬度5.5～6。比重2.47～2.50。無～淡青色。塩基性岩では通常霞石・白榴石などに伴う。日本には産出しない。アウインともいう。
ランマ	らんま	rammer	①衝撃式の土の締固め機械。 ②土の締固め試験の際の金属製突き棒。

乱流	らんりゅう	turbulent flow	流体の流れの形態の一つで、流速がある限界を越えて水粒子が入り乱れ、渦巻く状態となること。
乱流拡散	らんりゅうかくさん	turbulent diffusion	レイノルズ数が限界を超えて大きくなり層流から乱流に移行した際に発生する拡散係数。
乱流拡散係数	らんりゅうかくさん けいすう	turbulent diffusion coefficient	乱流拡散中で物質流量を算出するための速さを示す比例定数で、濃度勾配に乗じる。
乱流境界層	らんりゅうきょうかい そう	turbulent boundary layer	流体中に生じた境界層のうち、乱流状態にある部分。
乱流輸送	らんりゅうゆそう	turbulent transfer	乱流状態において溶存物質が流動すること。
リアス式海岸	りあすしきかいがん	rias coast	浸食された山地が地盤の沈降または海水面の上昇のため海水の侵入をうけ複雑な海岸線をなしているもの。
リアルカラー写真	りあるからーしゃし ん	real color photograph	対象物の色を人が見る色と同様に再現した写真。
リーキングモード	りーきんぐもーど	leaking mode	表面波・チャネル波は厳密には低速媒質中にエネルギーが捉えられる。このように外に逃げることなくほとんど減衰しない波を示す。
離石黄土	りーしーおうど	Lishi loess	中国北部に分布する更新世中期の風成細粒堆積物。淡黄色または灰色がかった黄色で、均質で微砂混じりのシルト主体。
リーダ	りーだ	leaders for piling	杭打ち用機械のツールを吊り下げるための支柱。
リーチング	りーちんぐ	leaching	土に含まれていた塩類溶液、交換性イオンが溶出する過程。液性限界が低くなり土質が弱化する。
リーデルせん断	りーでるせんだん	riedel shear	単純せん断(剪断)による主変位シャーと低角で交わるせん断面。せん断帯に特有な構造で雁行配列を成す。共役のリーデルシャーは理論的にはありえるが形成はまれ。
リーフェイ褶曲	りーふえいしゅう きょく	Ripheian foldian	バイカル湖周辺～アルダン盾状地南縁にかけて発達する原生代の変動による褶曲。バイカル褶曲と同義。
リーマ	りーま	reamer	ホーリング孔拡孔用の工具。本来は鋼材に穿孔した孔を精度良く拡孔する錐。
リーマン式三軸ひずみセル	りーまんしきさんじ くひずみせる	Leeman triaxial strain cell	応力解放法の一つである孔壁ひずみ法による初期応力測定に用いられる計器。孔軸直交面内120°間隔3方向の壁面にそれぞれロゼットゲージを貼付する方式。1本のボーリング孔で三次元応力成分を決定できる。
リーミング	りーみんぐ	reaming	既に掘られた孔を拡孔すること。中央部に棒状のガイドを取り付けたリーミングビットを用いる。

リーミングシェル	リーみんぐしえる	reaming shell	ビットをコアバレルに取り付けるときに使われる，拡孔を目的として外面にダイヤモンドなどの切削材を植え付けた短管．
リーミングビット	リーみんぐびっと	reaming bit	ボーリング孔の孔径拡幅掘削に使用するビット．パイロット孔を利用した立坑掘削などで威力．
理化学分析	りかがくぶんせき	physical and chemical analysis	物質の物理量や化学組成を求めるための試験．物理試験や力学試験，化学分析として定性分析・定量分析がある．
離岸堤	りがんてい	offshore breakwater	海岸から離れて海岸と平行につくられた防波堤．消波に加え浸食防止や砂の堆積による養浜を目的とする．
離岸流	りがんりゅう	rip current	入射波に伴い岸側へ集まった海水が，沖側にリップチャンネルを通じて戻る流れ．水泳者には危険．
力学試験	りきがくしけん	mechanical test	土や岩石などを一つの物質あるいは材料として，その力学的性質を測定する試験．
力学的エネルギー	りきがくてきえねるぎー	mechanical energy	物体の力学的な量で決まるエネルギー．運動エネルギーと位置エネルギーがあり，両者は互いに変換できる．
力積	りきせき	impulse	力(F)とある一定の作用時間(Δt)の積から求まる値で，力と同じ向きをもつベクトル．
リキダス	りきだす	liquidus	固相・気相と平衡な液相の，温度・圧力との組成の関係を示す状態図中の曲面．圧力一定下では曲線となる．
リグ	りぐ	rig	ボーリングに使用される装置一式．主なものは，ドロワークス・ロータリテーブル・やぐら・泥水ポンプなど．
陸羽地震	りくうじしん	the 1896 Rikuu earthquake	1896年（明治29年）8月31日に北緯39.5度，東経140.7度の仙北郡を中心として発生し，秋田県，岩手県に被害をおよぼしたM7.2の直下型地震．両県で全壊家屋5,792戸，死者209人とされている．この地震により千屋断層が出現した．
陸化	りくか	emeryence	相対的に海面が下がり，陸地が上昇し拡大すること．陸化した土地は段丘面を構成することも少なくない．
陸橋説	りくきょうせつ	land bridge theory	大陸や島の生物分布を陸橋を推定して説明する説．現在では大陸移動説で説明している．
陸繋砂州	りくけいさす	tombolo	陸繋島と連絡している砂州部分．
陸繋島	りくけいとう	land tied island	砂州によって陸地と連絡した島．
陸源	りくげん	terrigenous	海底堆積物のうち，大陸由来の岩石・鉱物起源であるもの．化学的沈殿物や生物源堆積物と区分する場合用いる．

陸源堆積物	りくげんたいせきぶつ	terrigenous sediment	主に大陸棚・大陸斜面の堆積物で、大陸から運ばれた岩石・鉱物の破片や粘土鉱物の固体粒子から構成される。
陸向斜	りくこうしゃ	synclise	褶曲構造に関する用語。大陸地殻における向斜構造で、円形状で中心に向かって穏やかに傾き、中心沈降部の層厚は数千mに達する。
陸上埋立処分場	りくじょううめたてしよぶんじょう	landfill site	内陸部において廃棄物を埋め立て処分する施設。産業廃棄物処分場には、埋立対象物の種類に応じて、遮断型・管理型・安定型などがある。
陸上重力計	りくじょうじゅうりょくけい	land gravimeter	陸上で使用する重力加速度を測定する装置。
陸上植物	りくじょうしょくぶつ	terrestrial plants	陸域に生息する植物の総称。生態的生活形区分で、水生植物と対置される。系統分類上の位置には無関係。
陸上成	りくじょうせい	terrestrial	陸成とほぼ同義。陸地域で地形の意味。河成・湖成・風成・氷河成などがある。
陸上噴火	りくじょうふんか	subaerial eruption	火口が大気中にひらき、大気中でおこなわれる噴火。水底噴火に対して用いられる言葉。
陸植炭	りくしょくたん	humus coal	腐植炭ともいい、石炭を原料植物によって区分した名称。陸生植物が原材料。腐泥炭・残留炭と合わせて石炭の三大種に相当。
陸水	りくすい	inland water	地下水・静水（湖沼）・流水（河川）に大別され、陸地に囲まれた海以外の水をさす。地球上の水の約3%。
陸水汚染	りくすいおせん	land water polution	陸上の湖沼水、河川水、雪氷、地下水などが汚染物質により汚染されること。
陸水学	りくすいがく	limnology	陸地に囲まれた海以外の水（陸水：地下水・湖沼・河川・温泉）の地球物理・地球化学・生物学・地理学・環境科学的な現象を研究する学問分野。
陸水圏	りくすいけん		湖沼・河川など海に接していない内陸の水域。
陸砂	りくずな	land sand	陸化した旧河川などの堆積物から採取される砂。おかずなともいう。
陸成	りくせい	continental	陸域で形成された、の意味で用いられる。
陸成相	りくせいそう	continental facies	非海成の堆積相。一般には河川・湖沼などの淡水相をさすことが多い。
陸成層	りくせいそう	continental sediments, non-marine sediments	陸域に形成された堆積物。土石流・泥流堆積物、火山灰層などで代表される。

陸成堆積物	りくせいたいせきぶつ	continental sediment	陸域の堆積環境（砂漠・氷河・湖・河川・扇状地・氾濫原など）で形成される堆積物.
陸棚	りくだな	continental shelf	大陸棚と同義.
陸棚斜面	りくだなしゃめん	continental slope	大陸斜面と同義.
陸棚台地	りくだなだいち	continental terrace	陸棚と陸棚斜面によってつくられる棚状の地形を総称して陸棚台地という.
陸地接続	りくちせつぞく	land connection	日本列島はアジア大陸と陸続きだったことがある. 現生・化石種を通じて大陸と共通ないし近縁な生物がある.
陸地面流水	りくちめんりゅうすい	overland flow	降雨のうち蒸発散・浸透・窪地貯留せずに地表面を流下する水を指す. 地表流ともいう.
陸島斜面	りくとうしゃめん	continental island slope	大陸の付近にある島（大陸島）は大陸とは浅い海で境し, 外洋は深海にのぞんでいる. その斜面をいう.
リグニン	りぐにん	lignin	セルロースとともに植物の木質細胞壁を形成する芳香族重合化合物. 繊維を接合させる役割をもつ.
リグニン系泥水	りぐにんけいでいすい	lignin type mud	粘土鉱物の粒子間引力を減少させる効果を持つ無定形高分子化合物を配合したボーリング用泥水.
陸背斜	りくはいしゃ	anteclise	褶曲構造に関する用語. 大陸地殻における非常に大きな規模の上向き構造. 楯状地はその一例.
陸半球	りくはんきゅう	land hemisphere	地球上で, 陸地の割合の最も多い半球. 極はフランス, シュメ島に位置する.
陸風	りくふう	land breeze	夜間, 陸地において放射冷却が生じ, 陸地・海上間で気圧差が生じたとき, 陸から海方向に吹く風.
陸棚崖	りくほうがい	continental talus	太平洋辺縁の海底地形の術語, 大陸棚の下端に続く急傾斜面. 全海底の15%を占める.
陸方向風	りくほうこうふう	onshore wind	陸に向かって海から吹く風. 朝太陽が昇ると, 陸の方が早く暖まり, 海から陸への風が吹く海風が一例.
陸棚谷	りくほうこく	shelf channel	大陸棚の上を浅く刻んでいる谷で, 海岸におおむね直角に大陸棚を横断するものが多い.
リグレション	りぐれしゃん	regression	土の自然含水比が緩やかに増加することによって土の強度が減少すること.

リサージュの図形	りさーじゅのずけい	Lissajous' figure	二次元運動の奇跡が示す図形であり、この二次元運動は垂直条件下にある単振動を合成して得られる。
リザーバー	りざーばー	reservoir	①石油、水、ガス等の貯留層と同義。 ②ダム貯水池のこと。
離散化	りさんか	discretization	物理現象は連続的であるが、数値的に処理するために有限個の点における関数に置き換えること。
離散化手法	りさんかしゅほう	discrete method	微分方程式などの連続モデルを、有限な自由度をもつ離散化モデルへ変換する手法。差分法や有限要素法などが代表的。
リジットタイプダブルチューブコアバーレル	りじつとたいふだぶるちゅーぶこあばーれる	rigid-type double tube core barrel	外管、内管ともに単体のコアバーレルヘッドにしっかりと結合されているダブルチューブコアバーレル。
離心率	りしんりつ	eccentricity	ある点（焦点）からの距離と、ある直線（準線）からの距離の比によって円錐曲線を描くときの比。eで表す。
離水海岸	りすいかいがん	shoreline of emergence	離水海岸線と同義。
離水海岸線	りすいかいがんせん	shoreline of emergence	海底であった堆積面や海食台が海面上にもたらされ、離水海岸平野・離水海食台ができた時の海岸線。
離水さんご礁（離水珊瑚礁）	りすいさんごしょう	emergent coral reef	さんご（珊瑚）礁が海水準上に現れたもの。離水原因が隆起によるものは特に隆起さんご（珊瑚）礁と呼ばれる。
利水ダム	りすいだむ	reservoir for water utilization	発電、かんがい（灌漑）、上水、工業用水などの用水補給用のダム。
利水容量	りすいようりょう	capacity for water-utilization, capacity for conservation	ダムなど貯水池において、有効貯水容量から洪水調節容量を除いた利水目的に利用できる貯水容量。
リスクマップ	りすくまっぷ	risk map	災害の危険性を地図上に示したもの。利用目的によって種々の表現形式がある。ハザードマップと同義語。
リス氷期	りすひょうき	Riss glacial stage	アルプス北部リス川流域で設定された更新世中期の氷期。ミンデル氷期とウルム氷期の間の氷期。
理想気体	りそうきたい	ideal gas	気体分子の大きさや分子どうしの力の影響が無視でき、ボイル・シャルルの法則が成り立つ気体。
理想結晶	りそうけっしょう	ideal crystal	理論的に規則正しい原子配列を持つ仮想的な結晶。
理想的モザイク結晶	りそうてきもざいくけっしょう	ideal mosaic crystal	結晶構造解析において設定する理論的な結晶。モザイクの配列をX線強度で示す。

理想溶液	りそうようえき	ideal solution	全温度範囲・全濃度範囲で、混合のとき内部エネルギー変化を示さず、成分間に引力が働かない溶液。
リソスフェア	りそすふえあ	lithosphere	地球表層をつくる固い層をさす。上部マントルの流動的な層の上のり、プレートに分かれ動いている。岩石圏と同義。
リターンピリオド	りたーんぴりおど	return period	地震加速度(y)より応答スペクトル(SA)が大きくなる期間(Tr)のこと。一般にTrを与えてyからSAを求める。
リチャージ井戸	りちゃーじいど	recharge well	開削工事などに伴う地下水位の低下を防止するための注水用の井戸。
リッジ	りっじ	ridge	両側斜面が比較的急な細長い地形の高まり。このような地形の全体を尾根とか山稜と呼ぶ。
立体カメラ	りったいかめら	stereocamera	実体写真機と同義。2台のカメラを用いて立体写真を撮影でき、地上写真測量で使用する精密で高価なものもある。
立体視	りったいし	stereoscopic observation	ある適当な間隔で連続撮影された写真を用いて、地形状況などを立体観察すること。
立体写真	りったいしゃしん	stereoscopic photograph	ステレオ写真と同義。
立体電極配列法	りったいでんきよくはいれつほう	three dimensional electrode array method	電気探査において、電流電極を坑井(ボーリング孔)間、あるいは地表一坑井間に三次元的に配列する方法。
立体電極配列法 電気探査	りったいでんきよくはいれつほうでんきたんさ	electrical prospecting by three dimensional electrode array method	立体電極配列法と同義。
立体土圧計	りったいどあつけい	multi faces earth pressure cell	複数の方向に向けて組み合わせた土圧計を用いて3次元的な土圧を測定する装置。多面土圧計と同義。
リッチモンド統	りっちもんどとう	Richmondian series	北米に分布する上部オルドビス系シンシナチ統の上部の地層。
リッパ	りっぱ	ripper	岩石を掘削する爪状の装置。通常ブルドーザーの後部に取り付けて使用する。
リッパ工法	りっぱこうほう	ripper work	ブルドーザの後部に油圧リッパを取り付け硬い土砂や岩盤を掘削する工法。
リッパチップ	りっぱちっぷ	ripper tip	リッパの先端に取り付けた破碎用の刃。
リッピング装置	りっぴんぐそうち	ripping apparatus	岩盤などの表層部を剥ぎ取るための装置の総称。

リップカレント	りっぷかれんと	rip current	離岸流と同義.
リップラップ	りっぷらっぷ	riprap	気象・波浪などの作用から堤体を保護する目的でロックフィルダムの表面に施す張石・捨石工. 耐久性のある堅硬な岩石を使用.
リップル指数	りっぷるしすう	ripple index	リップルの形態を示すもので, 波長/波高で表される値. 一方向の流れで形成されたカレントリップルと振動波によるウェーブリップルを区分する目的で提案された. 現在は使われることが少ない.
リップル斜葉理	りっぷるしゃようり	ripple cross-lamination	内部堆積構造の一種で, リップルの前進・堆積によって形成される. リップルマークがある堆積場で見られる.
リップルマーク	りっぷるまーく	ripple mark	漣痕と同義.
リップル葉理部	りっぷるようりぶ	ripple lamina	リップルの形成により内部にできる堆積構造.
立方供試体強度	りっぽうきょうした いきょうど	cubic strength	一辺を20cm, 15cmまたは10cmの立方体としたコンクリート供試体の強度. 主に欧州で使用.
立方晶系	りっぽうしょうけい	cubic system	結晶を形態から分類した7結晶系の一つ. 3本の結晶軸が軸率1:1:1で直交しているもの. 等軸晶系ともいう.
利得	りとく	gain	ゲインと同義.
リニアメント	りにあめんと	lineament	広域的な直線状あるいは緩い弧状に配列した地形的特徴. 線状構造ともいう. 主に地質構造に起因していると判断される.
リニアメント強調	りにあめんときょう ちょう	lineament enhancement	画像や写真において, 微分処理やフィルタなどを用いて, リニアメントを強調する画像処理手法.
リニアメント密度	りにあめんとみつど	lineament density	直線または緩い弧状に配列する地形的特徴(リニアメント)の平面上の密度. 地質構造を反映している事もある.
リニアモータ	りにあもーた	linear motor	通常回転モータを線状(linear)にしたもので, 回転子に相当する部分が線状に動くモータ.
リニアモータカー	りにあもーたかー	linear motor car	磁力で車体を軌道上に浮上させ, リニアモータを推進力として高速で走る車両.
リネージ構造	りにーじこうぞう	lineage structure	結晶の成長方向の微小な違いによって生じた粒界の構造.
リネーション	りにえーしょん	lineation, linear structure	断層鏡肌上の条線のようなファブリックにおける線構造. 断層の運動方向を推定できることもある.

リパーク統	りぱーくとう	Lipak series	インドのスピティ地方の主として石灰岩からなる下部石炭系.
リバース機	りばーすき	reverse circulation drill	リバースサーキュレーション工法に用いられる掘削機.
リバース杭	りばーすくい	pile by reverse circulation drill method	リバースサーキュレーション工法による場所打ちコンクリート杭.
リバース工法	りばーすこうほう	reverse circulation drilling method	場所打ち杭工法の一つ. 水頭圧で孔壁崩壊を防止し, ドリルパイプで土砂を搬出して鉄筋コンクリート杭を造成する.
リバースサーキュレーション工法	りばーすさーきゅれーしょんこうほう	reverse circulation drill method	場所打ち杭工法の一つ. ビットの回転により掘削し, 掘削土砂はロッド内部を水と一緒に排出する. 孔壁保護のため孔内水位を地下水位より高く保持.
リバースサーキュレーションボーリング	りばーすさーきゅれーしょんぼーりんぐ	reverse circulation drilling	ロータリーボーリングの泥水を, 裸孔内に重力で降下させドリルビットやドリルパイプを通して掘り屑と共に上昇させながら掘削する方法.
リバウンド	りばうんど	rebound	①打込み杭の極限支持力の推定に使用する杭打設時の戻り量. ②地盤沈下において, いったん沈下した地盤が隆起すること. ③掘削地盤が応力解放によりふくらむ現象.
リバウンドセット	りばうんどせつと	rebound and settlement of ground	高層建築物の施工において地盤に発生する掘削時のリバウンドと建物構築時の沈下.
リバウンド量	りばうんどりょう	amount of rebound	①杭打ち試験の際に, 1打撃あたりで杭が最も貫入した時点の貫入量から最終的に貫入した量を差し引いた値. ②掘削地盤など地盤が応力解放によって膨張した量.
リヒタースケール	りひたーすけーる	Richter scale	Richter (1956)によるマグニチュードの計算法. ひろい意味では気象庁のマグニチュードもリヒタースケール.
リビア砂漠ガラス	りびやさばくがらす	Libyan desert glass	リビア砂漠に産する淡黄緑色の天然ガラス.
リブ	りぶ	rib	板材の剛性や強度を高めるための板状の補強材.
利府層	りふそう	Rifu Formation	宮城県中部の宮城郡利府町付近に分布する中生界中部三畳系. 主に黒色頁岩からなり砂質頁岩, 細粒砂岩を挟む.
リフターケース	りふたーけーす	lifter case	スリーブ状または管状の部品で, 通常, コアバーレル内のコアリフタに取付けられる.
リフト火成活動	りふとかせいかつどう	rift igneous activity	リフト帯形成に伴う火成活動. 若いリフト地域では火山活動が主体である.
リフト作用	りふとさよう	rifting	大陸リソスフェアに張力が働き, 地表が沈降陥没する現象.

リフト三重点	りふとさんじゅうてん	rift triple function	三重点は3枚のプレートが接する点で、これがリフト帯にあるもの。マントル解明上注目されている。
リフトスケジュール	りふとすけじゅーる	construction schedule of concrete placement	コンクリートダム築造の工程・設備計画のため、各ブロック・リフト別に作成したコンクリート打設計画。
リフトゾーン	りふとぞーん	volcanic rift zone	火山の山頂から2～3方向に噴火にともってできる細長い割れ目帯。幅数km、長さ数十kmの尾根状をなす。
リフト地域	りふとちいき	rift zone	大陸リソスフェアが伸張応力によって地殻とともに引き延ばされ、地表が沈降陥没した場所。
リフトバレー	りふとばれー	rift valley	裂谷と同義。
リフビン氷期	りふびんひょうき	Likhvin glacial stage	ロシア平原の第四紀最古の氷河期。オカ氷期ともいわれる。
リボン構造	りぼんこうぞう	ribbon structure	鉱脈・母岩などの薄層が形成する薄い縞状構造。
リボン試験	りぼんしけん	ribbon test	リボン状にした土試料の一端を持ち上げ、切れるか切れないかで粒径や強度を把握する簡易な試験。
リムグラウチング	りむぐらうちんぐ	rim grouting	ダムのカーテングラウチングのうち堤体の両アバットの外側に続く部分。地表またはグラウチング用トンネルから実施される。
リモートセンシング	りもーとせんしんぐ	remote sensing	航空機・人工衛星を活用し電磁波等を用いて地表の状況などの情報収集・測定を行い、処理分析・表示を行う技術。
遼東陸背斜	りやおとんりくはいしゃ、りょうとうりくはいしゃ	Liaotung uplift	中国遼東半島の地域を占める地体構造区の一単位。古生界におおわれて先震旦系の基盤岩が分布。
遼寧鉄鉱床地域	りやおにんてつこうしょうちいき、りょうねいてつこうしょうちいき	Liaoning iron ore district	中国東北地方（旧満州）の有名な鉄鉱床地域。鉱床は先カンブリア系中の含磁鉄鉱片岩が主である。
呂梁変動	りゅういりやんへんどう	Lüliangian revolution	中国北部でみられる原生界、下部五台系と上部震旦系（不整合関係）の間の変動。
流域界	りゅういきかい	basin divide	二つ以上の流域を分かち境界。一般的には分水嶺に沿って設定される。
流域形状係数	りゅういきけいじょうけいすう	form factor of basin	川の形状を示す指標。流域の長さをL、流域平均幅をBとすると流域形状係数 $R = B / L$ で定義される。
流域係数	りゅういきけいすう	basin form factor	流域面積と流域最大辺長の2乗の比で表す。流域形状が正方形に近ければ1に近づき、細長ければ0に近づく。

流域下水道	りゅういきげすいどう	regional sewerage system	2以上の市町村を対象に下水を排除するもので下水道終末処理場を有するもの。
流域面積	りゅういきめんせき	river basin area, drainage basin area	降水による表流水の集まる範囲。集水域と同義。
流移成炭層	りゅういせいたんそう	allochthonous coal seam	原形成の場から流水によりべつの場所に運ばれて堆積した石炭層。
硫塩鉱物	りゅうえんこうぶつ	sulphosalts	硫化鉱物のうち、アンチモン・ヒ素（砒素）・ビスマスの硫化物とその他の金属硫化物が2以上組み合わさって構成された鉱物。
粒界すべり	りゅうかいすべり	grain boundary slide	固体粒子の集合体が、集合体を形成する粒子の境界面（粒界）に沿ってすべることにより生じる塑性変形機構。
粒界腐食	りゅうかいふしょく	grain boundary corrosion	結晶粒どうしの境界が腐食し、全体の強度が大きく低下すること。金属材料などで問題となることがある。
硫化鉱物	りゅうかこうぶつ	sulphide minerals	硫黄と金属元素が結合して形成された鉱物。
竜華山階	りゅうかざんかい, ろんふあしゃんかい	Longhuashanian stage	中国雲南の下部デボン系上部。主に陸成砂岩からなる。
硫化水素	りゅうかすいそ	hydrogen sulfide	分析試薬、硫黄の原料、塩酸や硫酸の精製に用いられ、可燃性、有毒性、水・アルコールに可溶性性質を有する。
硫化水素泉	りゅうかすいそせん	hydrogen sulphide spring	硫化水素の溶解した水質の温泉。特異なおいをもつ無色の液体。
硫化帯	りゅうかたい	sulphide zone	硫化鉱物が生成している部分。
硫化鉄鉱	りゅうかてっこう	iron sulphide ore	鉄と硫黄が結合して形成された鉱物の総称。黄鉄鉱・白鉄鉱・磁硫鉄鉱など。
硫化鉄鉱鉱床	りゅうかてっこうこうしょう	iron sulphide deposit	鉄の硫化鉱物を産する鉱床。主に、含銅硫化鉄鉱鉱床・交代鉱床・接触交代鉱床・黒鉄鉱床などがある。
粒間孔隙	りゅうかんこうげき	interstice	岩石の結晶または粒子間の空隙。
粒間再結晶	りゅうかんさいけっしょう	intercrystalline recrystallization	結晶粒子の集合体において、粒界に生じる再結晶。
粒間膜	りゅうかんまく	intergranular film	変成作用に際して岩石を構成する鉱物粒間に膜状に存在すると想定される溶液。

粒間流体	りゅうかんりゅうたい	intergranular fluid	変成作用や続成作用において、岩石を構成する鉱物の結晶粒間に存在する流体。
竜輝石	りゅうきいし	Ryuki ishi	北海道深川市多度志産の石材。中生界トロニウム岩。土木・建築用で雨竜みかげと同義語。
隆起海岸	りゅうきかいがん	coast of elevation, elevated coast, emergence coast	地盤の隆起または海面の下降により、沿岸の海底が海面上に現れることによりできる海岸。
隆起海岸線	りゅうきかいがんせん	shoreline of elevation, shoreline of emergence	海面下降あるいは地盤隆起により、海底が地上に現れた場合の海岸線。低地の海岸ではなめらかな海岸線、山地の海岸では屈曲のある海岸線となる。
隆起海食台	りゅうきかいしょくだい	raised abrasion platform	海食作用（主に砂礫による磨耗）によって海面下で形成された基盤岩石で出来た平滑な地形が隆起したもの。
隆起海浜層	りゅうきかいひんそう	raised beach, emerged beach	現海面より高位に分布する完新世海岸堆積物。離水浜ともいう。
隆起火口説	りゅうきかこうせつ	hypothesis of upheaval crater	地殻が地球内部の熱によって押し上げられて隆起円頂丘を生じ、さらに進行して隆起火口が生ずるという説。
榴輝岩	りゅうきがん	eclogite	粒状の岩石で、Mg・Feに富む柘榴石とひすい（翡翠）輝石成分を含む輝石からなるもの。エクロジャイトともいう。
硫気孔	りゅうきこう	sofatarara	硫化水素（H ₂ S）や二酸化硫黄（SO ₂ ）を多く含む火山ガスを噴出している噴気孔。
隆起三角州	りゅうきさんかくす	raised delta	三角州が隆起によって台地状になったもの。崖端浸食によって次第に開析された丘陵性を呈する。
隆起さんご礁 （隆起珊瑚礁）	りゅうきさんごしょう	elevated coral reef, raised coral reef	現海面より高い位置に分布するかつてのさんご（珊瑚）礁。さんご（珊瑚）段丘と同義。地殻の隆起または海水面の低下に起因する。
隆起準平原	りゅうきじゅんへいげん	elevated peneplain, uplifted peneplain	準平原の隆起したもの。比較的均一な全体的隆起、広いドーム状隆起など斉一な運動様式で高所に位置するもの。
隆起石灰岩	りゅうきせつかいがん	elevated limestone, raised limestone	現海面より高い位置に分布し、さんご（珊瑚）礁と類似の形態を示す石灰岩。
隆起扇状地	りゅうきせんじょうち	elevated fan	扇状地が地盤の隆起により台地化し開析を受けるに至った開析扇状地の一種である。
隆起帯	りゅうきたい	upheaval zone	地殻が広い範囲にわたって上昇運動を起こした地域。
硫気地帯	りゅうきちたい	sofatarara field	硫化水素（H ₂ S）や二酸化硫黄（SO ₂ ）のガスを噴出する噴気孔・硫気孔の密集する地帯。

隆起汀線	りゅうきていせん	elevated beach, raised shoreline	過去の海面と地面の交線が地殻の上昇や海面の低下のため、陸上に現れたもの。
硫気粘土	りゅうきねんど	sulfataric clay	硫黄・硫化水素・亜硫酸に富む火山ガスの噴気孔付近の岩石がガスや熱水で変質して生じた粘土。
隆起ベンチ	りゅうきべんち	elevated bench	波食棚が地盤の隆起や海面の下降によって離水した地形。大地震により波食棚などの岩礁が海面に隆起する。
琉球海溝	りゅうきゅうかいこう	Ryukyu trench	琉球列島と平行し、その南東側100km～150kmに位置する弧状の海溝。深さ6000m～7000m。ユーラシアプレートとフィリピン海プレートの境界をなす。別名南西諸島海溝。
琉球弧	りゅうきゅうこ	Ryukyu arc	南西諸島よりなる島弧。成因はフィリピン海プレートのもぐり込みと関係があると考えられている。
琉球さんご海 (琉球珊瑚海)	りゅうきゅうさんごかい	Ryukyu coral sea	更新世前記～中期に琉球中南部に広がっていたさんご(珊瑚)礁の海。琉球石灰岩は、この海の堆積物である。
琉球石灰岩	りゅうきゅうせっかいがん	Ryukyu limestone	琉球列島に分布する第四系更新統の白～褐色多孔質石灰岩。段丘や台地を形成している。
琉球層群	りゅうきゅうそうぐん	Ryukyu Group	琉球諸島に広く分布する新生界中～上部更新統。砂質堆積物、礫性石灰岩からなる。
琉球地背斜	りゅうきゅうちはいしゃ	Ryukyu anticline	琉球列島の脊梁山地に相当する部分で、褶曲断層運動を含む島弧変動によって形成された地背斜。地向斜による造山論は現在あまり議論されていない。
流去水	りゅうきよすい	runoff	降水のうち河川に達して流出する成分を指し、表面流出ともいう。流去水には、降雨後直ちに地表を流れ河川に入るものと、一度地下に浸透した後河川に加わるものがある。
粒形	りゅうけい	grain shape	土を構成する土粒子の形状。定量的には球形度、丸み度などによって表される。
粒径	りゅうけい	grain diameter	土粒子や骨材の大きさを表わす一指標。形状が球に近い場合は直径と考えてよいが、それ以外は測定法による。
粒径加積曲線	りゅうけいかせききよくせん	grain-size cumulative curve	粒子の粒径を横軸に、各粒径の質量百分率を累加して縦軸にプロットした曲線。構成粒子の粒径分布を示す。
粒径区分	りゅうけいくぶん	grain size classification	粒子の大きさをもとにした区分。礫・砂・シルト・粘土を主要区分とする。
粒径組成	りゅうけいそせい	mechanical composition (of soil)	土粒子を粒径によって粗砂、細砂、微砂、シルト、粘土などに分け、土を各粒径の含有率で表す組成。
粒径頻度曲線	りゅうけいひんどきよくせん	grain size frequency curve	粒子の粒径を横軸に、ある粒径範囲ごとの質量百分率を縦軸にプロットした曲線。構成粒子の粒径分布を示す。

粒径分析	りゅうけいぶんせき	grain size analysis	粒状体がどの様な粒径の粒子から構成されているかを調べる試験.
粒径分布	りゅうけいぶんぷ	grain size distribution	粒径加積曲線によって示される構成粒子の分布状態.
流向・流速測定	りゅうこうりゅうそくそくてい	current-velocity survey	ボーリング孔や観測井で、地下水の流向と流速を測定する試験法.
流痕	りゅうこん	current mark	水底で、水流浸食による不規則なけずり跡を総称していう。水流によって生じたソールマークはこれである。
流砂	りゅうさ	sediment load	河川による搬送土砂のこと。浮遊土砂と掃流土砂がある。
流砂現象	りゅうさげんしょう	sediment load	河川により土砂が運搬される現象。
流砂現象	りゅうさげんしょう	quick sand	砂地盤中において、浸透水の上向きの水圧が上部の土の重量以上となり、砂粒子の有効応力がゼロとなって液状化する現象。地下水位下のトンネルでは切羽の崩壊を起こすことがある。クイックサンドと同義。
流砂量	りゅうさりょう	amount of sediment load	流水によって運ばれる土砂の量。流砂量を求めるのに浮遊流砂を含む考えと含まない考えの2つがある。
硫酸アルミニウム単独処理法	りゅうさんあるみにうむたんどくしゅりほう	treatment method with aluminium sulfate	浄水の一方法。下水の二次処理の際、硫酸アルミニウム（硫酸ばん土）の凝集作用により溶存物質を化学的に沈殿させる方法。
竜山石	りゅうざんいし	Ryuzan ishi	兵庫県高砂市竜山・宝殿産の石材。白亜系流紋岩質溶結凝灰岩で土木・建築、造園材として使用。
硫酸塩温泉華	りゅうさんえんおんせんか	sulphate tufa	硫黄泉地帯で噴出する硫化水素、二酸化硫黄などの多量の水蒸気を含む混合ガスから生じた温泉沈殿物。
硫酸塩含有量	りゅうさんえんがんゆうりょう	sulphate content	乾燥重量1.0kgの土に含有される硫酸塩量。
硫酸塩含有量試験	りゅうさんえんがんゆうりょうしけん	sulphate content test	土中の硫酸塩含有量を測定する試験。硫酸塩はコンクリートやソイルセメントに悪影響を与える。
硫酸塩鉱物	りゅうさんえんこうぶつ	sulphate minerals	硫酸基四面体（ SO_4^{2-} ）を含む鉱物。一般に無色で、炭素により還元され硫化物となる。火山・温泉地帯に多産。
硫酸塩泉	りゅうさんえんせん	sulphate spring	硫酸（ H_2SO_4 ）の水素が金属イオンに置換された組成をもつ温泉。
硫酸還元菌	りゅうさんかんげんきん	sulphate-reducing bacteria, sulfate-reducing bacteria	硫酸を硫化水素に還元する嫌気性細菌。還元反応は有機物または水素の存在下で生じる。

硫酸浸出法	りゅうさんしんしゅつほう	sulfate leaching	直接浮遊選鉱できない銅鉱を処理するための方法で、硫酸で金属を抽出・溶解し、イオン交換樹脂で捕捉回収する。
硫酸ミスト	りゅうさんみすと	sulphuric acid mist, sulfuric acid mist	大気中の二酸化硫黄の酸化によって生じ、空気中を浮遊する硫酸微粒子。光化学オキシダント汚染の原因の一つ。
粒子状物質	りゅうしじょうぶつしつ	particulate matter	微細な粒子の形状を示す液体あるいは固体物質。
粒子体積係数	りゅうしたいせきけいすう	volumetric coefficient	粒子の実体積とその粒子を包括する球体の体積の比。
流出量	りゅうしつりょう	volume of runoff	一定期間内に、特定の流域から流出する水の総量。
粒子密度	りゅうしみつど	grain density	空隙を含まない固体部分のみの単位体積あたりの質量。
流出	りゅうしゅつ	runoff	流域、斜面、河道などに存在する土砂、水などが移動して元の場所からなくなること。
流出解析	りゅうしゅつかいせき	analysis of runoff	流域の水循環に関する技術のうち、降雨量と流出量の関係を求める技術。
流出係数	りゅうしゅつけいすう	coefficient of runoff	降雨量に対する、河川や下水管渠に流入する雨水流量の比率。
流出砂	りゅうしゅつさ	running sand	通常は安定でも工事などで上載荷重が減少すると水面下の砂が粒子間の圧力を減じ、支持力を失って不安定となる現象。
流出高	りゅうしゅつだか	depth of runoff	河川のある地点をある期間に流出した水量を、その上流の流域面積で割った値(mm)。
流出土砂	りゅうしゅつどしゃ	sediment yield	山腹崩壊などの土砂生産源から基準点まで運搬されてくる土砂。
流出土砂量	りゅうしゅつどしゃりょう	sediment yield	山地での生産土砂が流水の力によって流出する土砂の体積。砂防計画にとって重要な要素である。
流出モデル	りゅうしゅつもでる	runoff model	流域内の降水の流出過程を、雨量と流量の時系列変化を示すことによりモデル化したもの。
流出率	りゅうしゅつりつ	rate of runoff	流域内の降水量と基準点より流下する流量の比。日本の主要河川の長期の流出率は50%以上。
粒状構造	りゅうじょうこうぞう	granular structure	土壌の構造の一つ。堅くて緻密な土粒子が互いに接することがないような構造。

粒状組織	りゅうじょうそしき	granular texture	ほぼ同じ大きさの鉱物粒子の集合体よりなる火成岩の岩石組織。
粒状体	りゅうじょうたい	granular material	固体粒子が集合した状態。単一の固体なる力学特性を持ち、粒状体力学で扱われる。
粒状体力学	りゅうじょうたいりきがく	mechanics of granular materials	土などの粒状体を対象に、塑性論の立場から粒子間の摩擦や接点角の変化などに着目し構成式などを研究する分野。
粒状度	りゅうじょうど	granularity	銀塩写真表面の粒状状態（ざらざら感）の程度を物理的に表す尺度。
流水浸食	りゅうすいしんしょく	fluvial erosion	川を流れる水による浸食。下方浸食ばかりでなく水平方向への側浸食を伴う。
流成リップルマーク	りゅうせいりつぷるまーく	current ripple mark	砂質堆積物の表面に、流体（水・大気）により作られる非対称の周期的なうねり模様。非対称リップルマーク。
粒石	りゅうせき	granule	細礫と同義。
流雪溝	りゅうせつこう	drain for snowremoving	除雪した雪を捨てるための開水路。投入した雪は水路に流されている水により融かされる。
流線	りゅうせん	flow line	流体内部の流れを示す線であり、流速ベクトルと流れの方向がいつも接線方向に一致する曲線で描かれる。
流線図	りゅうせんず	flow line plan	ある地域内の移動回数を線図で表した図面。この区域内の交通需要を示す。
流線網	りゅうせんもう	flow net	地下水の流れを二次元的に表すもので、流れの方向を示す流線と等ポテンシャル線で描かれる。流線と等ポテンシャル線は通常直交する。
流速計	りゅうそくけい	current meter	流水中での流水の流速を求める計器。プライス式・広井式・森式が一般的。
流速計測水法	りゅうそくけいそくすいほう	current-meter method	河川・水路などの流速測定法の一つで、流速計を用い流れの速度を直接測定して流量を求める方法。
流体圧	りゅうたいあつ	fluid pressure, liquid pressure	流体（水・油など）を通して伝えられる圧力。間隙水圧も流体圧の一種である。
流体化現象	りゅうたいかげんしょう	fluidization	気体と粉体が混合し、全体が液体のように流れる現象。火山爆発の熱雲などが該当する。
流体包有物	りゅうたいほうゆうぶつ	fluid inclusion	鉱物中に取りこまれた流体。結晶作用で流体が取りこまれたり、結晶の成長で割れ目が閉ざされて生じる。

流体包有物均質化温度	りゅうたいほうゆうぶつきんしつかおんど	fluid inclusion homogenization temperature	鉱物中に閉じ込められた流体（流体包有物）を用いて鉱物の生成温度や熱水活動の温度を求める方法の一つ。
流体包有物充填温度	りゅうたいほうゆうぶつじゅうてんおんど	fluid inclusion filling temperature	鉱物中に閉じ込められた流体（流体包有物）を用いて鉱物の生成温度や熱水活動の温度を求める方法の一つ。
流体包有物地質温度計	りゅうたいほうゆうぶつちしつおんどけい	fluid inclusion geothermometer	鉱物が生成したときの温度などを、その鉱物内に閉じ込められた流体を用いることにより、実験により求める方法。液体包有物地質温度計ともいう。
流体ポテンシャル	りゅうたいぼてんしゃる	fluid potential	飽和帯の流体の流れを支配するポテンシャル。地下水流は、地層が均質な場合ポテンシャル面に直交する。
流体摩擦	りゅうたいまさつ	fluid friction	液体や気体が流動するときに発生する、力学的あるいは機械的なエネルギーが熱エネルギーに転換されること。
流体力学	りゅうたいりきがく	fluid mechanics, hydromechanics	静止および運動中における流体の状態や、流体がその中の物体におよぼす力などを取り扱う学問。
流体力	りゅうたいりよく	fluid dynamic force	浮力、揚力、抗力など、流体から物体に圧力および摩擦力として作用する力の総称。
留点温度計	りゅうてんおんどけい	index thermometer	最高最低気温の計測などに使用される水銀温度計の一種。水銀によって運ばれた鉄製の指標が最高、最低位置で毛管壁に付着し、溜まることでそれぞれの温度を指示。
流電電位法	りゅうでんでんいほう	charged potential method	電極の一つを鉱体などの中に設置して直接電流を流し周囲の電位分布を測定する人工電位法による電気探査。鉱体などの方向性の探査に用いられる。鉱体流電法ともいう。
流電電位法電気探査	りゅうでんでんいほうでんきたんさ	electronic prospecting by charged potential method	流電電位法と同義。
流電電磁波	りゅうでんでんじは	galvanic electromagnetic wave	地中に直流または500Hz以下の交流を流すことにより発生する電磁波。
粒度	りゅうど	grading, particle size distribution	土や岩石の構成粒子の大きさ。個々の粒子の大きさを表す粒径に対して粒度は土など集合体の性質を表す。
流動化コンクリート	りゅうどうかこんくりーと	superplasticized concrete	あらかじめ練り混ぜられたコンクリートに流動化剤を添加し、これを攪拌して流動性を増大させたコンクリート。
流動化剤	りゅうどうかざい	superplasticizer	硬練りコンクリートの流動性を一時的に高めるために添加される高性能減水剤。
流動化処理土	りゅうどうかしよりど	plasticized soil	固化材と大量の水を加えることにより流動性と強度を増した安定処理土。
流動型地すべり	りゅうどうがたじすべり	flow type landslide	移動土塊が液状になって流下する型の地すべり。鋭敏な粘土の擾乱あるいは砂地盤の液状化で発生する。

流動曲線	りゅうどうきょくせん	flow curve	液性限界試験において、落下回数と含水比の関係を表わす曲線。液性限界の決定に用いる。
流動限界	りゅうどうげんかい	flow limit	まさ土のコンシステンシー試験に適用されるスランプ試験法。スランプ高さ3.0cmに相当する含水比。
流動構造	りゅうどうこうぞう	flow structure	流理構造（または流理）の別称。マグマの動いた跡が見られる構造。
流動指数	りゅうどうしすう	flow index	液性限界試験における流動曲線の直線部分の勾配。
流動縞状構造	りゅうどうしまじょうこうぞう	flow banding	火山岩に見られる、複数の鉱物組成が薄く縞状に配列してできた、マグマの流れを示す構造。
流動褶曲	りゅうどうしゅうきょく	flow folding	流れ褶曲と同義。
流動すべり	りゅうどうすべり	flow slide, liquefaction slide	粘着力のない物質の急激なマスマーブメント。急激な間隙水圧の上昇による強度低下が原因。一般に飽和または飽和に近い状態で発生し、しばしば破壊的となる。
流動性	りゅうどうせい	flowability	固まらないコンクリートの流れやすさを示すもの。水量の他、セメントや骨材粒子間の摩擦などが影響。
流動性指数	りゅうどうせいしすう	fluidity index	堆積物の運搬・堆積時の流体の密度や粘性（流体の淘汰能力）を表す指数。堆積物中の粘土の量で表される。
流動線構造	りゅうどうせんこうぞう	flow lineation	流理構造の一形態で、伸張した鉱物が一定の方向に配列してできた線構造。
流動層理	りゅうどうそうり	current bedding	水流層理ともいう。イギリスでの斜層理の別称。
流動点	りゅうどうてん	pour point	流体が流れる最低温度。固相と液相の境界温度。
流動電位	りゅうどうでんい	streaming potential	地層内にイオンを含む水が流れていると発生する電位。自然電位法はこれらの性質を利用し温泉調査などに用いられる。
流動度	りゅうどうど	fluidity	物質の流れやすさの程度であり、その物質の粘度（粘性率）の逆数。
流動へき開（流動劈開）	りゅうどうへきかい	flow cleavage	鉱物が一定の方向に配列してできるへき開（劈開）。配列した鉱物が細粒な場合はスレートへき開（劈開）、粗粒な場合は片理となる。
流動方程式	りゅうどうほうていしき	flow equation	導管などを流れる気体、液体などの流体の方程式。流体の性質、温度や圧力、流路の形状などが関係する。

流動要素法	りゅうどうようそほう	flow element method, FLEM	不連続性岩盤の解析手法の一つ。等価連続体解析の一種で、連続体の大変形に適用可能。
リュード階	りゅうどかい	Ludian stage	パリ盆地の上部始新統。泥灰石とその上位のモンマルトル石膏層を模式とする。
粒度加積曲線	りゅうどかせききょくせん	grain size accumulation curve	粒径加積曲線と同義。
粒度曲線	りゅうどきょくせん	grading curve, grading chart	粒度試験結果から土の粒度組成を表す曲線。横軸に粒径を対数目盛でとり、縦軸に通過質量百分率で示す。
粒度均一試料	りゅうどきんいつしりょう	uniformly grain-sized sample, sample of uniform grain-size	構成粒子の粒径をほぼ均一に調整した土質試験用供試体。
粒度区分	りゅうどくぶん	grain size classification	砕屑物を任意の粒径ごとに区切って級に細分すること。一般的には土粒子を対象とし、粒度試験で求まる。
粒度係数	りゅうどけいすう	fineness modulus	骨材を80, 40, 20, 10, 5, 2.5, 1.2, 0.6, 0.3, 0.15mmの10種類のふるいにかけて、それぞれのふるいとどまった質量百分率の総和を100で割ったもの。粗粒率ともいう。
粒度試験	りゅうどしけん	grain size analysis	土粒子の粒径分布を求める試験。粒径74 μ m以上の粒子は、ふるいで各粒径に分け質量を測定する。これより小さい粒度は水中で沈降する速度により分析する。
粒度組成	りゅうどそせい	grain-size distribution, granular variation	砕屑物を構成する粒子を粒径別に区分したときの頻度分布。通常、粒径を横軸対数目盛、通過質量百分率を縦軸としたグラフで示される。
粒度調整工法	りゅうどちょうせいこうほう	mechanical stabilization	路盤の支持力を高めるために2種類以上の材料を混合し、粒度を改良して締固める工法。
粒度調整砕石	りゅうどちょうせいさいせき	graded aggregate	砕石を用いた粒度調整材料。使用しようとする材料の粒度分布が標準粒度範囲からはずれている場合に混合。
粒度分析	りゅうどぶんせき	particle size analysis	粒径分析と同義。
粒度分析曲線	りゅうどぶんせききょくせん	grain size analysis curve	堆積物（岩）を構成する砕屑粒子の粒径分布を示す、粒径別質量百分率累積曲線。堆積物（岩）の分類に極めて重要。
粒度分布	りゅうどぶんぷ	grain-size distribution, granular variation	粒度組成と同義。
粒内クラック	りゅうないくらっく	intracrystalline crack, intragranular crack	微小割れ目の一種。岩石を構成する各粒子の中だけに発達する割れ目。結晶内破断ともいう。
流入粘土	りゅうにゅうねんど	infiltration clay	地表浸透水や地下水によって開口節理・断層などに運ばれ沈積した粒径のそろった粘土。岩盤の緩みの判定などに役立つ。

竜峰山帯	りゅうほうざんたい	Ryuhozan zone	熊本県八代市～砥用町に分布する竜峰山変成岩の結晶片岩類および非変成岩堆積岩が分布する幅1～2kmの地帯。
流紋岩	りゅうもんがん	rhyolite	二酸化ケイ素が70%前後、有色鉱物の量が20%以下の珪長質の火山岩の呼称で、深成岩の花崗岩に相当する組成をもつ。石英・長石・黒雲母を斑晶とする。ガラス質が縞状になった流理・球顆などの構造を示す。
流紋デイサイト	りゅうもんでいさいと	rhyodacite	斑状の珪長質火山岩の一種。流紋岩とデイサイトの中間的な化学組成を有する。
流理	りゅうり	flow structure	流理構造と同義。
流理構造	りゅうりこうぞう	flow structure	流動した火成岩に見られる組織の色調・構造・結晶の重なり合いや結晶粒子の平行配列。流紋岩におけるガラス質が縞状になった構造は典型例。
流量曲線	りゅうりょうきょくせん	flow rating curve	河川・水路などの特定断面における水位と流量の関係を示す曲線。水位より流量を求める際に使用する。
流量計	りゅうりょうけい	flowmeter	流体の流量を測定する計器。面積式流量計・差圧式流量計・同圧式流量計などがある。
流量係数	りゅうりょうけいすう	coefficient of discharge, flow coefficient	オリフィスや堰の実際の流量と理論的に求めた流量の比。
流量検層	りゅうりょうけんそう	spinner logging	孔井内における各深度毎の水の湧水・逸水量を測定し、地下水流動状況を調べる検層。ゾンデに装着した羽根車（スピナ）の回転速度より、孔内水の流量変化を検出する。
流量測定	りゅうりょうそくてい	flow gaging	河川・水路などの流量を測定すること。
流量測定法	りゅうりょうそくていほう	discharge measurement	河川や水路などのある断面における流水量を測定する方法。平均流速と流水断面積を乗じる方法、せきを用いる方法などがある。
流量累加曲線	りゅうりょうるいかきょくせん	discharge mass curve	横軸に経過時間を取り、縦軸に累加流量をとって描いた曲線。貯水池の運営管理に用いられる。
流路堆積物	りゅうろたいせきぶつ	channel-fill sediment	河川など流路に堆積した堆積物。
流路埋積物	りゅうろまいせきぶつ	channel-fill deposit, channel-fill sediment	河川や海底谷などを埋積する堆積物。
両雲母花崗岩	りょううんもかこうがん	two-mica granite	白雲母および黒雲母の両方を含む花崗岩。
両側プランジ褶曲	りょうがわぷらんじしゅうきょく	doubly plunging fold	褶曲軸がその両端部で水平面より沈み込んでいる褶曲。

両輝石安山岩	りょうきせきあんざんがん	two-pyroxene andesite	斜方輝石と単斜輝石を含む安山岩.
菱苦土石	りょうくどせき	magnesite	MgCO ₃ . 三方晶系. 硬度4. 比重3. 炭酸マグネシウムを成分とする方解石属に属する鉱物. 主に超塩基性岩の変質生成物として産出. 菱苦土鉱ともいう.
菱形図法	りょうけいずほう	rhombic projection	星形図法ともいう. 世界全図を星形の内部に表す便宜的な図法で, 今日では実用より図案化に使われる.
領家花崗岩	りょうけかこうがん	Ryoke granite	領家変成帯に分布する白亜系～古第三系の花崗岩類で, 構造などから古期・新期の二系統に分かれる.
領家帯	りょうけたい	Ryoke belt	西南日本内帯の最も南側の構造単位で, 領家変成岩および領家花崗岩で構成される.
領家変成岩	りょうけへんせいがん	Ryoke metamorphic rocks	領家変成岩類と同義.
領家変成岩類	りょうけへんせいがんるい	Ryoke metamorphic rocks	領家帯の変成岩で, 片状ホルンフェルス・雲母片岩・石英片岩・雲母片麻岩で, 主に堆積岩を原岩とする.
領家変成帯	りょうけへんせいたい	Ryoke metamorphic belt	領家帯と同義.
量子型検知器	りょうしがたけんちき	quantum type sensor	量子の変化を利用して電磁波の状態を検知するセンサ.
利用水深	りょうすいしん	available depth, effective depth	貯水池の最高水位から最低水位までの間の水深. 有効水深と同義.
量水標	りょうすいひょう	water gauge, staff gauge	水量や水の深さなどを測る際に用いる目盛り付標識.
領石層群	りょうせきそうぐん	Ryoseki Group	四国の秩父帯北帯に分布する下部白亜系(秩父帯). 高知県南国市八京・領石付近を模式地とする. 礫岩・砂岩・泥岩などからなり, 貝化石, 植物化石を含む.
利用貯水量	りょうちよすいりょう	available storage capacity	有効貯水量と同義.
菱鉄鉱	りょうてっこう	siderite	FeCO ₃ . 三方晶系. 硬度4. 比重3.96. 黄褐, 淡緑, 白色など半透明な粒状結晶として産することが多い. 熱した希塩酸で発泡. 安山岩溶岩が多孔質になった部分に産し, 空隙を埋めて球状～ぶどう状の集合体を呈する.
凌風海山	りょうふうかいざん	Ryofu seamount	襟裳岬の南東約350kmに位置する楕円形の海山.
菱沸石	りょうふっせき	chabazite	(Ca, Na ₂)(Al ₂ Si ₄ O ₁₂)·6H ₂ O. 三斜晶系. 硬度4.5. 比重2.05～2.10. 白色透明～半透明. 沸石の一種. 立方体に近い菱面体の自形結晶やその双晶で産することが多い. 玄武岩や安山岩などの空隙や, 花崗岩ペグマタイトの晶洞に産する.

緑化	りよくか	afforestation, greening	植物による被覆が無い土地や斜面に草や木による植生被覆を造成すること。
緑砂統	りよくさとう	Greensand series	イギリス南部の下部白亜系。緑色砂岩からなる。
緑色岩	りよくしょくがん	greenstone	緑泥石化などにより全体が緑色に見える海底火山噴出物や苦鉄質の貫入岩。
緑色岩統	りよくしょくがんと う	Green series	朝鮮半島の平安系の最上部で三じょう系（三畳系）とみられる。緑色の砂岩や頁岩が主体となっている。
緑色岩類	りよくしょくがんる い	greenstones	海底火山活動とそれに伴った塩基性貫入岩類が変成作用により緑泥石・緑れん石（緑簾石）・曹長石などの集合体となり、緑色を呈する岩石。塊状に近く片理は弱い。
緑色凝灰岩	りよくしょくぎょう かいがん	green tuff	一般に変質し緑色化した凝灰岩をいう。東北日本に分布する新第三系中～下部の地層の通称。グリーンタフ。
緑色凝灰岩層	りよくしょくぎょう かいがんそう	Green Tuff formation	東北日本の日本海側に分布する漸新～中部中新統のうち、女川階下位の火山岩類や火山砕屑岩類の総称。グリーンタフ層ともいう。
緑色砂	りよくしょくさ	green sand	海緑石を多く含み、緑色を呈する砂質堆積物。緑砂ともいう。固まったものが海緑石砂岩。
緑色片岩	りよくしょくへんが ん	greenschist	塩基性の火成岩（はんれい岩（斑糲岩）・玄武岩など）が、低温高圧型の変成作用によって片理をもつようになった変成岩。緑色を呈し、片理面に添って板状に剥がれやすい性質を有す。
緑色片岩相	りよくしょくへんが んそう	greenschist facies	変成温度100～250℃程度の低温変成相で、広域変成岩地域に発達している。
緑色片岩層	りよくしょくへんが んそう	greenschist formation	塩基性の火成岩（はんれい岩（斑糲岩）・玄武岩など）が、低温高圧型の変成作用によって片理をもつようになった変成岩から構成される層。
緑閃石	りよくせんせき	actinolite	陽起石、アクチノ閃石と同義。
緑地	りよくち	green space	草や樹木に覆われた一定以上の広がりを持つ土地。一般的には都市の中にあるものをさす。
緑柱石	りよくちゅうせき	beryl	$\text{Be}_3\text{Al}_2\text{Si}_6\text{O}_{18}$ 。六方晶系。硬度7.5～8。比重2.64。花崗岩質ペグマタイトや結晶片岩などに見られる柱状をした結晶で産出することが多い鉱物。
緑地率	りよくちりつ	green coverage	一定区域内の緑地の割合。
緑泥石	りよくでいせき	chlorite	単斜晶系。硬度2～3。比重2.6～3.3。堆積岩、熱水変質した火成岩、低変成度の変成岩に含まれる緑色で層状の珪酸塩鉱物。

緑泥石・スメクタイト中間体	りよくでいせき すめくたいとちゅうかんたい	chlorite-smectite intergrade	スメクタイトと緑泥石の中間の構造をもつ粘土鉱物。土壤中に広く分布する。
緑泥石イライト帯	りよくでいせきいらいとたい	chlorite-illite zone	変質鉱物の温度による分帯の一つ。150°C～250°Cの温度条件の緑泥石・イライト生成帯。
緑泥石化	りよくでいせきか	chloritization	Fe・Mgを含む鉱物（カンラン石・輝石・角閃石・黒雲母など）が熱水によって緑泥石に分解すること。
緑泥石帯	りよくでいせきたい	chlorite zone	変成岩の鉱物分帯の一つ。同一温度条件下であったことが再結晶による緑泥石の出現で特徴付けられる。
緑泥石・パーミキュライト中間体	りよくでいせきばーみきゅらいとちゅうかんたい	chlorite-vermiculite intergrade	パーミキュライトと緑泥石の中間の構造をもつ粘土鉱物。土壤中に広く分布し、特に酸性土壤に多く産する。
緑泥石片岩	りよくでいせきへんがん	chlorite schist	低変成度の塩基性片岩または超塩基性岩で、特に緑泥石を多く含むもの。
緑れん石（緑簾石）	りよくれんせき	epidote	$Ca_2(Al, Fe^{3+})_3[OH O SiO_4 Si_2O_7]$ 。単斜晶系。硬度6～7。比重3.21。苦鉄質火山岩を起源とする広域変成岩や熱水変質岩などに産する黄緑色の鉱物。
緑れん石（緑簾石）角閃岩	りよくれんせきかくせんがん	epidote amphibolite	緑れん石（緑簾石）を含む角閃岩。普通の角閃岩とは異なり、緑れん石（緑簾石）角閃岩相に属する。
緑れん石（緑簾石）角閃岩相	りよくれんせきかくせんがんそう	epidote amphibolite facies	緑色片岩相と角閃岩相の中間で、400～500°Cの変成相。塩基性岩は、斜長石・緑れん石（緑簾石）・角閃石という鉱物組合せを持つ。
緑れん石（緑簾石）化作用	りよくれんせきかさよう	epidotization	熱水または接触交代により母岩を交代して、塊状または脈状の緑れん石（緑簾石）を生ずる変質作用。
緑れん石（緑簾石）帯	りよくれんせきたい	epidote zone	緑れん石（緑簾石）の産出で特徴づけられる地帯。緑簾石は、広域変成岩の構成鉱物として、また、スカルン鉱物として産し、変質・変成の程度の指標として分帯に用いられる。
緑れん石（緑簾石）ワイラケ沸石帯	りよくれんせきわいらけふっせきたい	epidote-wairakite zone	変質鉱物の分帯の一つ。主に緑れん石（緑簾石）・ワイラケ沸石を晶出させる230～315°Cの温度条件を示す。
緑簾片岩	りよくれんへんがん	epidote schist	塩基性片岩の一種で、緑れん石（緑簾石）と石英を主成分とする緑色の結晶片岩。
リリーフウェル	りりーふうえる	relief well	ダム的基础や堤防裏のり先付近の地盤内の浸透水圧を下げるために、透水層内に設置した排水用の井戸。カットオフの一つ。
リル浸食	りるしんしょく	rill erosion	雨溝浸食と同義。細溝浸食・細流浸食ともいう。
リルマーク	りるまーく	rill mark	海浜や河床で水位が低下する際に、砂層中の地下水が滲み出してできる樹枝状の細流痕と呼ばれる浸食性微地形。

履歴ループ	りれきるーぷ	hysteresis loop	土の繰返しせん断において、応力の減少時と増加時とでは必ずしも一致しないために楕円形のループを描くせん断応力-ひずみ曲線.
理論最大密度	りろんさいだいみつど	maximum theoretical density	アスファルト混合物において空隙がゼロとなった場合の密度.
理論地震学	りろんじしんがく	theoretical seismology	基本的なモデル機構を設定し、地震現象を理論的に説明しようとする学問.
リン塩球試験	りんえんきゅうしけん	microcosmic salt test, phosphate bead reaction test	未知の物質をリン酸とともに強熱し、できたガラス状の融球の色から、含有金属を同定する試験.
臨界圧	りんかいあつ	critical pressure	臨界点における圧力. 一般にこの圧力以下では、気相と液相の区別はつかない.
臨界円	りんかいえん	critical circle	斜面の安定性を検討する際に、最小の安全率を与えるすべり面に仮定した円弧.
臨界温度	りんかいおんど	critical temperature	臨界点における温度. 一般に臨界温度を上回る温度では、気相と液相との区別はなくなる.
臨界角	りんかいかく	critical angle	屈折波が2種の媒質の境界面に平行に進む入射角. 臨界角よりも大きい角度で入射した波は全反射する.
臨界荷重	りんかいかじゅう	critical load	物体に荷重を加えたとき、安定した釣合い状態から不安定な釣合い状態に変わった時点の荷重.
燐灰岩	りんかいがん	phosphate rock	燐灰石を主成分とする堆積岩. 鳥糞石や燐灰石を含む岩石の風化・濃集作用によっても生成される.
臨界減衰	りんかいげんすい	critical damping	減衰係数が1の場合の減衰振動.
臨界降伏応力モデル	りんかいこうふくお うりよくもでる	critical yield stress model	微小な摩擦すべりによって岩盤が降伏の臨界状態にあるため、深度方向に応力が単調増加すると考えるモデル.
臨界鉱物	りんかいこうぶつ	critical mineral	ある特定の変成相にのみ出現し、他の変成相では出現しない鉱物. 臨界鉱物によって変成相が判別できる.
臨界斜面角	りんかいしゃめんかく	critical slope angle	土壌の分布する斜面が崩壊やクリープなどの変状を生じない最大角度.
臨界状態	りんかいじょうたい	critical condition	気相と液相の区別がない状態. 臨界温度、臨界圧力、臨界比体積にある状態. 臨界点とほぼ同義.
燐灰石	りんかいせき	apatite	$Ca_5(PO_4)_3(F, Cl, OH)$. 六方晶系. 硬度5. 比重3.1~3.2. 火成岩や変成岩の一般的な副成分鉱物で、カルシウムの燐酸塩鉱物. 酸に溶け、熱すれば燐光を発する.

磷灰石鉱床	りんかいせきこうしょう	apatite deposit	海成の堆積鉱床を主とし、泥岩・頁岩・砂岩などに伴い産する。磷肥料の原料となる。一部にはマグマ鉱床もある。
臨界点	りんかいてん	critical point	二次相転移の起こる転移点。すなわち気相と液相との区別がつかなくなる状態。臨界状態とほぼ同義。
磷灰土	りんかいど	phosphorite	磷灰石集合体のうち、土塊を成すもの。肥料の原料として利用される。
臨界動水傾度	りんかいどうすいけいど	critical hydraulic gradient	砂地盤において間隙水圧差を大きくして行くと遂には液状化あるいはボイリングが生じる。このときの動水傾度。
臨界動水勾配	りんかいどうすいこうばい	critical hydraulic gradient	土粒子が地下水流に対して静的臨界状態にあるときの動水勾配。
臨界比体積	りんかいひたいせき	critical specific volume	臨界点における比体積。この位置では気体と液体の比体積が等しく、区別もつかない。
臨界水飽和率	りんかいみずほうわりつ	critical water saturation	岩石の空隙容積に対する空隙中の水の容積比率のうち、水が流動し始める時の比率。
臨界レイノルズ数	りんかいいいのるずすう	critical Reynolds number	層流から乱流に変わる際のレイノルズ数。臨界レイノルズ数は大体1,000である。
リングカット	りんぐかっと	ring cut	土砂地山などのトンネル掘削にあたり、上部半断面を一度に掘削しないで核を残しリング状に外周を掘削すること。
リングカット工法	りんぐかっとこうほう	ring cut method	トンネル掘削工法の一つで、上半切羽が自立しない不良地山をアーチ部のみリング状に掘削する工法。核を残すことにより切羽を抑え、先にアーチ部の支保を行ってから核を掘削する。
リング支保工	りんぐしほこう	ring support	膨張性地山などの特殊な地山で使用される重ね継手部分が滑動する型式の支保工。断面が多少縮小しても良い場合などに用いられる。
リングせん断試験	りんぐせんだんしけん	ring shear test	ドーナツ型の供試体の円周方向にねじりモーメントを与え、供試体をせん断する試験方法。
リングネット	りんぐねっと	ring net	リング状に編まれた金網で落石の衝撃エネルギーを吸収する方式の落石防護工。
リング要素	りんぐようそ	pipe elbow element	配管の構造解析において曲線部に用いられる要素。曲線部の断面の扁平化を考慮。
磷珪石	りんけいせき	tridymite	SiO ₂ 。石英と同質異像。硬度7。比重2.27。珪酸鉱物の一種。石英・クリストバル石と多形を成す。火山岩の空隙部に存在することが多い。トリディマイトともいう。
輪鉱	りんこう	ring ore	岩片などを中心核として同心円状の構造（輪状構造）をもつ鉱石。熱水性鉱脈中に普遍的に存在する。

磷鉱床	りんこうしょう	phosphate deposit	磷酸カルシウムを対象とする鉱床で、海成堆積鉱床とマグマ鉱床が主体である。
磷酸塩岩	りんさんえんがん	phosphatic rock	磷灰石を主要な構成物質とする化学的堆積岩。
磷酸塩鉱物	りんさんえんこうぶつ	phosphate minerals	磷酸基([PO ₄] ³⁻)をもつ一群の鉱物。多くの元素と化合物をつくり、珪酸塩鉱物に次いで種類が多い。
鱗状	りんじょう	lepidoblastic, scaly	板状または鱗片状の鉱物が沢山重なった形状。レピドブラスチックともいう。
輪状構造	りんじょうこうぞう	ring structure	リング状の構造。鉱石が中心核の周辺に同心円状に沈殿して形成された構造。
林相図	りんそうず	forest type map	樹種、樹齢などにより森林を類型区分し、その分布状況を表現した地図。
輪廻	りんね	cycle	地形の浸食輪廻や造山輪廻、堆積サイクルなど、地球上で循環的に繰り返すと見られる事象。
鱗剥作用	りんぱくさよう	exfoliation, scaly exfoliation	風化により岩石表面が同心球状の薄片になって剥離する現象。たまねぎ状風化ともいう。
鱗片(状)	りんぺん(じょう)	scale, (scaly)	魚の鱗のような形状を意味する言葉で、鱗片状へき開(劈開)、鱗片状粘土のように用いられる。
鱗片構造	りんぺんこうぞう	scaly structure	同じ構成の地塊が、同一方向に傾斜した衝上断層で分割されて斜めに配列している構造。覆瓦構造と同義。
鱗片状へき開(劈開)	りんぺんじょうへきかい	scaly cleavage	岩石がせん断変形を受けてできる鏡肌状のへき開(劈開)面で鱗片状、葉片状に剥離しやすい。メランジュの泥質基質部によく見られる。
鱗木	りんぼく	<i>Lepidodendron</i>	古生代後期の代表的シダ状植物。石炭紀の湿地では高さ30mもの森林を形成。名は幹表面の鱗状模様由来。
類質	るいしつ	accessory	ある火山から放出された古い噴出物と新しい活動での噴出物の成因が類似していることを表す形容詞。
ルイス衝上	るいすしょうじょう	Lewis thrust	コルディレラ山系の東限をなす断層で、西側の先カンブリア～古生界が東側の白亜系上に衝上している。
累積変位量	るいせきへんいりょう	cumulative displacement	変位発生以来の合計変位量。断層では地層のずれによってこれを把握できる。
累層	るいそう	formation	地層区分の単位で、累層群、層群、累層、部層、単層の順に小区分される。累層を単に「層」ともいう。

累層群	るいそうぐん	supergroup, complex	地層命名規約に基づく、複数の層群（または複数の累層と層群）が十分に共通な性質を有する場合に用いられる地層区分の単位。
累代	るいだい	eon, eons	地質年代を隠生累代と顕生累代とに二分するときの区分単位。隠生累代は先カンブリア時代、顕生累代は古生代以降に当たる。
累帯構造	るいたいこうぞう	zonal structure, zoning	結晶の化学組成や光学的性質が、中心から外縁部へ向かって不連続に変化する構造。
累帯超塩基性岩体	るいたいちょうえんきせいがんたい	zonal ultrabasic complex	超塩基性岩が累帯して分布する岩体。個々の岩体は種々の岩相により複合岩体をなす。累帯超苦鉄質岩体ともいう。
累帯配列	るいたいはいれつ	zonal arrangement, zonal distribution	規則正しく帯状に変化している鉱物組成などの配列。帯状分布、累帯分布と同義。
累帯分布	るいたいぶんぷ	zonal distribution	累帯配列と同義。
累帯ペグマタイト	るいたいぺぐまたいと	zonal pegmatite	内から外に向かい細粒化することが多い帯状の構造を示すペグマタイト。
累年気候表	るいねんきこうひょう	annual climatic table	気温や降水量などの気象項目について多年にわたる観測記録を平均値、平年値などの資料にまとめたもの。
累年平均	るいねんへいきん	normals	気温や降水量などの気象項目の統計的な平均値。期間として、最近の30年間などが選ばれる。平年値と同義。
累被構造	るいひこうぞう	crustification	鉱物晶出時の温度、鉱液成分などが変化するため、生成した縞状構造。
ルイメナール法	るいめなーほう	Louis' s method	Louis(1974)により提案された岩盤透水試験法。孔軸と垂直な方向の透水係数を得るのに用いる。
ルーガシティー	るーがしてー	rugosity	ボアホールなどで孔壁の凹凸の程度を表す用語。原語はrugous（しわ）。
ルートティー法	るーとてーほう	root t method	土の圧密試験結果の整理方法の一つ。縦軸に圧密量、横軸に時間の平方根をとり図示する。
ルートマップ	るーとまっぷ	route map	踏査図と同義。
ルーフスラスト	るーふすらすと	roof thrust	デュプレックス構造の上限をなす衝上断層で、デュプレックス内の小規模逆断層が漸近して合流する。
ルーフペンダント	るーふぺんだんと	roof pendant	新期の侵入岩の上に古期の堆積岩などが残ったままになっている状態。屋根のたれ下がりともいう。福井県武生市には花崗岩上にルーフペンダントとして結晶質石灰岩がみられる。

ルーフボルト	るーふぼると	roof bolt	トンネルの天端における地山の崩落を防止するため、地山に挿入されるロックボルト。
ループループ法	るーぷるーぷほう	loop-loop method	電磁探査で、信号源としてループを用いる方法。送・受信ループを水平とする水平ループが一般的。浅部の水平探査に用いられる。
ルオルオピン統	るおるおぴんとう	Luojuop'ingian series	揚子江中流域の中部シルル系。黄色砂質頁岩と石灰質頁岩の互層主体で、礫性石灰岩を含み貝殻相を示す。
ルジオン試験	るじおんしけん	Lugeon test	孔内の一定長部分から水を岩盤中に圧入し、注入圧力と注入量の関係からルジオン値を求める試験。
ルジオン値	るじおんち	lugeon value	岩盤の透水性を表す尺度で、ボーリング孔に圧力0.98MPaでの注水時の孔長1mあたりの毎分の注水量をリットルで表したものの。
るつぼ	るつぼ	crucible	物質の高温処理や高温反応に用いられる耐熱性の容器。造岩鉱物の判別などに利用される。
ルビー	るびー	ruby	コランダム（鋼玉）の一種。Cr ³⁺ を固溶すると赤色のルビー、Fe ³⁺ を含むと青色のサファイアとなる。
ルビジウム磁力計	るびじうむじりよくけい	rubidium vapour magnetometer	光ポンピング磁力計の一種で、センサにルビジウム85を用いたもの。
ルビジウムーストロンチウム法	るびじうむすとろんちうむほう	rubidium-strontium method	⁸⁷ Rbが ⁸⁷ Srに放射壊変することを利用する年代測定法。主として先新第三紀を対象とする。
ルミネッセンス	るみねっせんす	luminescence	物質が外部から電波などにより刺激をうけた際、熱を伴わず発光する現象。光ルミネッセンスには蛍石など。
レアアース	れああーす	rare-earth metal	希土類元素ともいう。地殻中に希少な17種金属の総称。元素番号21スカンジウム、39イットリウム、57ランタン～71ルテチウム。
レアメタル	れあめたる	rare metal	存在量が少ないが抽出が困難な金属をいう。常用金属 (common metal) の対語。
励起	れいき	excitation	外部からのエネルギーを受けて、基底状態にあった量子力学系が他の定常状態に移ること。
冷却節理	れいきやくせつり	cooling joint	火成岩が冷却するとき収縮して生じる節理。伸長方向は冷却時の等温面に直交する。規則的な六角・五角柱状に配列する柱状節理はこの例。クーリングジョイントともいう。
レイキャネス海嶺	れいきゃねすかいれい	Reykjanes ridge	北大西洋グリーンランド南東からアイスランドに至る海嶺。大西洋中央海嶺の北に位置する。
冷水現象	れいすいげんしょう	cold water phenomenon	貯水池に水温成層が形成されることにより底部に冷水がたまり、底部から取水することによってダム下流に冷水が放流される現象。

冷水予測手法	れいすいよそくしゅほう	cold water prediction method	冷水の発生を, シュミレーション, 判定マニュアル, 類似ダムでの事例などによって予測する手法.
冷泉	れいせん	cold spring	鉱物質を含み温度が25℃未満の湧泉.
レイタンス	れいたんす	laitance	コンクリート打込み後, ブリージングに伴って内部の微細な粒子が浮上し, 表面に形成される脆弱な物質の層.
レイナーの屈折計	れいなーのくっせつけい	Rayner refractometer	小型簡便な屈折計. 宝石のカット面にあてて測定する.
冷濃塩酸試験法	れいのうえんさんしけんほう	cold hydrochloric acid test	方解石・ドロマイト・菱苦土鉱などの炭酸塩鉱物の識別に用いる簡易野外試験方法.
レイノルズ数	れいのるずすう	Reynolds number	流体について, 速度, 密度, 粘性率, 長さによって求めた無次元数. 流れを層流と乱流に区別する際に用いる.
レイノルズ模型	れいのるずもけい	Reynolds model	レイノルズ数が実際の現象と同じになるように作られた模型.
冷封式試験管型リアクター	れいふうしきしけんかんがたりあくたー	cold-seal test-tube type reactor	高温高圧熱水実験装置であり, タトル型熱水装置ともいう. 岩石鉱物系の実験に広く用いられる.
レイモンドサンブラ	れいもんどさんぷら	Raymond sampler	標準貫入試験用サンブラ. 30cm貫入時の打撃回数はN値として幅広く利用されている.
レイモンド標準試験	れいもんどひょうじゅんしけん	Raymond standard test	Raymond Concrete Pile 社により砂中の杭の支持力を推定するデータを得るのに導入された標準貫入試験法. ドライブシューとして直径50mm, 先端角60°のコーンを用いる.
レイリー散乱	れいりーさんらん	Rayleigh scattering	電磁波の波長よりも小さい大気中の分子, 粒子により電磁波が散乱すること.
レイリー波	れいりーは	Rayleigh wave	地表面に沿って伝播する表面波の一種でP波とSV波の合成波. 地表面に対して垂直の面内で楕円を描くように振動する.
レーキアスファルト	れーきあすふあると	lake asphalt	天然に産出するアスファルトの一種. アスファルトと微粒骨材との混合物から成り, トリニダードやバミューダ産のものがある.
レーキドーザ	れーきどーざ	rakedozer	ブルドーザのうち, 枠組形のレーキを取り付け抜根や地上清掃などを行う機械.
レーザー	れーざー	light amplification by stimulated emission of radiation (LASER)	特殊媒質の電子励起を利用した光波の増幅・発振により作られる干渉性, 指向性の良い, 強い単色光.
レーザー回折法	れーざーかいせつほう	laser diffraction method	レーザの回折現象を利用した結晶構造分析法.

レーザー干渉計 重力波天文台	れーざーかんしょう けいじゅうりょくは てんもんだい	laser interferometer gravitational wave observatory	レーザー干渉計を用いた重力波検出装置.
レーザー照準器	れーざーしょうじゅ んき	laser beam setup	レーザーにより照準を行う器械. 主にトンネル掘削時の 測量に用い, 切羽に基準線を示す.
レーザーセオド ライト	れーざーせおどらい と	laser theodolite	レーザーを使用するセオドライト(経緯儀). 望遠鏡 から視準方向にレーザー光を発射して視準位置を確認 できる.
レーザー切断	れーざーせつだん	laser cutting	レーザービームを用いて鉄などの部材を切断するこ と. 加工精度の良いのが特徴である.
レーザー測距儀	れーざーそっきよぎ	electronic distance measuring instrument with laser light	レーザーを用いて遠地点までの距離を測定する測器.
レーザードップ ラー型風速計	れーざーどっぷらー がたふうそくけい	laser-dopplar type anemometer	レーザーを放射して降水粒子の動径速度をドップラー シフトを利用して測定し, これから風速を求める装 置.
レーザーラン シット	れーざーとらんしっ と	laser transit	レーザー光の直進性を利用した測量器械. トンネル内 では赤色の可視光線が基準線として使用される.
レーザー変位計	れーざーへんいけい	laser displacement transducer	レーザーにより変位を測定する器械.
レーズドリル (レイズドリ ル)	れーずどりる(れい ずどりる)	raise drill	直径数mまでの立坑や斜坑の施工に用いる大口径ボー リングマシン. 直径30cm程度のパイロット孔を到達点 である下部坑道まで削孔後, ロッドの下端に大口径 ビットを取り付けて引き上げながら拡孔する方式. レーズボーラーともいう.
レーダーアメダ ス雨量合成図	れーだーあめだすう りょうごうせいず	rader-AMEDAS precipitation map	レーダーで観測された雨雲・雪雲の1時間積算強度を アメダスの1時間雨量と合成してつくられた雨量分布 図.
レーダー雨量計	れーだーうりょうけ い	rader rain gauge	レーダーが雨滴に反射するレーダー反射因子と雨量強 度との統計的關係を利用して雨量を求める装置.
レーダートモグ ラフィ	れーだーともぐら ふい	radar tomography	極超短波の電波を利用するトモグラフィ.
レーチックナッ プ	れーちっくなっぷ	Rhaetic nappe	プレアルプスのジンメデッケ(Simmedecke)の古い呼び 名. ナップは衝上断層や横臥褶曲によって発生したも の.
レートメータ	れーとめーた	rate meter	単位時間あたりの計数の平均値あるいは割合を表示す る装置.
レーリー波探査 法	れーりーはたんさほ う	Rayleigh wave investigation	表面波探査法と同義
レオトロピー	れおとろピー	rheotropy	シキソトロピーと同義語.

レオペクシー	れおぺくしー	rheopexy	ベントナイトのような、混合時にゲル化を促進する土が持つ特性.
レオモルフィック褶曲	れおもるふいっくしゅうきょく	rheomorphic folding	地向斜の基盤岩類が造山運動の際に、交代的花崗岩化作用によって流動し、形成されたもの.
レオロジー	れおろじー	rheology	物質の変形と流動に関する科学で、力学的に固体と液体の中間的性質を示すものを取り扱う.
レオロジー特性	れおろじーとくせい	rheology characteristics	理想的な弾性体、塑性体、粘性体を用いて示した物質の力学的特性.
レオロジーモデル	れおろじーもでる	rheology model	時間に依存する材料の力学的挙動の解析に用いられるモデルで、物体の変形や流動特性を説明するもの.
礫	れき	gravel	土粒子区分において最も大きな粒径に区分されるもの. 土質分野 (日本統一土質分類) では2~75mm, 地質分野 (Wentworthら) では2~256mm, 土壌分野 (国際土壌学会法) では2mm以上の粒径の土粒子から構成されるものをいう.
礫岩	れきがん	conglomerate	礫と礫とが、その間を埋めている細粒物質 (マトリックス) によってこう結 (膠結) されている岩石.
礫間浄化	れきかんじょうか	water treatment by gravel	水路, 河川などで礫を使う水質浄化方法. 礫表面に付着する生物膜により礫間を通過する水の水質を浄化する.
礫砂漠	れきさばく	stony desert	礫が地表に敷き詰められたように分布する砂漠.
歴史地震	れきしじしん	historical earthquakes	文献史料がある近代的地震観測以前の地震. 国際的には古い地震計で記録された地震のこと.
歴史時代	れきしじだい	historic period	記録による史料がある時代. 日本では5世紀以降が相当し, 遺跡, 遺物の研究は補助的手法. 有史時代.
歴史断層	れきしだんそう	historical faults	微小地震を伴うか, もしくは歴史地震と関係がある活動的な断層.
礫質火山灰土	れきしつかざんばいど	gravelly volcanic ash soil	スコリアや火山礫のように, 粒径2mm以上の火山灰より構成されている土.
礫質岩	れきしつがん	psephite, rudite, conglomeratic rock	礫や砂利より構成されている水成岩. 礫を多量に含む岩石のことで, 礫岩と同義.
礫質土	れきしつど	gravelly soil	土質材料の工学的分類体系では, 粗粒土のうちで礫分が砂分よりも多い土をいう.
礫質片岩	れきしつへんがん	conglomeratic schist	礫岩を源岩とする結晶片岩. 礫は扁平に伸ばされることが多い. 再結晶しても礫はよく保存されている.

れき青（瀝青）	れきせい	bitumen	有機溶剤で溶出する堆積性有機物に用いられることが多い。タール・アスファルトがこれにあたる。抽出性有機物と同義語。
れき青安定処理（瀝青安定処理）	れきせいあんていしより	soil stabilization by bitumen, bituminous stabilization	土にれき青（瀝青）材料を添加して強度を高める工法。主に路盤に用いられる。
れき青ウラン鉱（瀝青ウラン鉱）	れきせいうらんこう	pitchblende	UO ₂ 。非晶質。比重6.5～8.5。閃ウラン鉱の一種。Fe・Cu・Pb・Co・Ni・Biなどの硫化物と共生する非晶質物質。硫化鉱物を含む熱水脈で見出された。褐色～黒色の樹脂状光沢を示す。ウラン・ラジウムの重要な原料。
れき青グラウト（瀝青グラウト）	れきせいぐらうと	bitumen grout	アスファルトを使用したグラウト。
れき青系舗装（瀝青系舗装）	れきせいけいほそう	bituminous pavement	れき青（瀝青）舗装と同義。
れき青質頁岩（瀝青質頁岩）	れきせいしつつけが ん	bituminous shale	石油根源岩の代表的岩石で、れき青（瀝青）を主成分とする有機物質を多量に含有する頁岩。
れき青質石灰岩（瀝青質石灰岩）	れきせいしつせっか いが ん	bituminous limestone	石油根源岩の可能性を有する石灰岩で、れき青（瀝青）を主成分とする有機物質を多量に含有する。
れき青炭（瀝青炭）	れきせいたん	bituminous coal	光沢ある黒色を呈し、黄色の長炎を上げて燃える最も代表的な石炭。コークス原料用・ガス発生炉用・燃料など用途が広い。
れき青舗装（瀝青舗装）	れきせいほそう	bituminous pavement	舗装の表面部分に瀝青材料を用いたアスファルト舗装。れき青（瀝青）混合物を表層とする舗装を言い、たわみ性舗装の一種。粘性・弾性・防水性に特徴。瀝青系舗装ともいう。
れき青マカダム（瀝青マカダム）	れきせいまかだむ	bituminous macadam	砕石にれき青（瀝青）材料を添加したもの。道路舗装に用いられるのが一般的である。
れき青路面処理（瀝青路面処理）	れきせいろめんしよ り	bituminous surface treatment	れき青（瀝青）材料を用いた通常3cm以下の表層と路盤から構成される路面処理。排水・防塵処理として行われることが多い。
礫土	れきど	gravel soil, pebble soil	直径2mm以上の土粒子が、重量百分率で50%以上混入している土壌。農耕地には不適。
礫浜	れきはま	shingle beach	海浜礫が多く堆積している浜で礫質海岸ともいう。砂浜に比べて透水性に富む。全体として起伏に富んだ表面を形成。
礫分	れきぶん	gravel fraction	土中に含まれる礫粒子の割合。質量百分率で表し、礫分により、粗粒土、礫粒土、礫質土、礫に分類される。
礫粒子	れきりゅうし	gravel particle	2 mm以上75mm以下（日本統一分類法）、4.76mm以上76.2mm以下（ASTM）の粒径範囲のもの。
レゴゾル	れごぞる	regosol	非固結岩屑土と同義。

レゴリス	れごりす	regolith	地球を除く、特に月に対して用いることが多い表層岩層の総称。天体上に落下する隕石などの衝突が主な成因。
レシーバータンク	れしーばーたんく	air receiver	トンネル掘削用圧縮空気の送風量を一定に保ち、水分を除去するために設置する一時貯蔵タンク。
レシベ土	れしべど	lessivage soil	浸透水により運ばれた粘土が集積してできた褐色の集積土。
レシベ土壌	れしべどじょう	soil lessives, leached soil	土壌表面の粘土が浸透水とともに下層に移動、集積し、溶脱層（A層）と集積層（B層）に分化した土壌。
レジンコンクリート	れじんこんくりーと	resin concrete	結合材として液状の不飽和ポリエステル樹脂、エポキシ樹脂などを用いたコンクリート。強度、耐水性に優れる。
レジンモルタル	れじんもるたる	resin mortar	エポキシ樹脂、ポリウレタンなどの熱硬化性合成樹脂の結合材と乾燥した細骨材を練り混ぜたもの。
レス	れす	loess	未固結の更新世風成シルト質堆積物で、均質な粒度分布・多孔質・無層理のほか石灰質結核に富む特徴を持つ。世界的に広く分布し、氷河成堆積物起源や砂漠地帯起源がある。黄土ともいう。
レス土	れすど	loess soil	中国で黄土と呼ばれる粒径がそろった風積土。
劣化	れっか	deterioration	構造物などを長い間使用すると、自然・人工作用などの影響をうけて、強度や品質が低下することをいう。
裂か（裂罅）	れっか	fissure, gash	岩石や岩盤に見られる割れ目のうち、割れ目面直交方向の変位が認められるもの。
裂開	れっかい	parting	へき開（劈開）とは異なり例外的に発生するもので、ある結晶面に限って平行に割れやすくなる現象。
裂か間隙率（裂罅間隙率）	れっかかんげきりつ	fracture porosity	岩盤中の亀裂や割れ目などの間隙が全体積に占める割合をパーセントで表わしたもの。裂け目孔げき率ともいう。
裂か充填鉱床（裂罅充填鉱床）	れっかじゅうてんこうしょう	metalliferous vein, lode, reef	岩石の割れ目を充填した有用鉱物を主とする鉱床。
裂か水（裂罅水）	れっかすい	fissure water	岩盤中の亀裂や割れ目中に存在する地下水。地層水・層状水に対する用語。
裂か帯（裂罅帯）	れっかたい	fissure zone	火成活動などの過程で岩石中に割れ目が集中して発生している部分。割れ目帯ともいう。
劣化度測定	れっかどそくてい	measuring a degree of deterioration	コンクリートの圧縮強度試験・中性化試験・塩分分析などを用いてコンクリート構造物の塩害劣化度を測定すること。

レッグドリル	れっぐどりる	leg drill	空気圧で作動し、水平方向や斜め上下方向の削孔が容易なボーリング機。小断面のトンネル工事などで用いる。
レッグハンマー	れっぐはんまー	leg hammer	エアシリンダによって削岩機を支持し、推力をかけることのできる架台（エアレッグ）を用いた削岩機。
劣弧	れっこ	minor arc	直径を弦とする半円周より短い弧。長い方を優弧という。
裂谷	れっこく	rift valley	東アフリカ大地溝で見られるような両側がほぼ平行な断層で限られる大規模な地形的凹地。中央海嶺も同じもの。
裂傷脈	れっしょうみやく	gash vein	上方で幅が広いが、下方で狭くなり消滅する脈。もともとは石灰岩の溶食節理の充填脈に用いられた。
烈震	れっしん	violent earthquake	震度階級を表す言葉で、昔の震度6、現在の震度6弱～6強に相当。地割れや山崩れが発生する場合もある。
劣地向斜	れつちこうしゃ	miogeosyncline	正地向斜のうち、火山物質がほとんどないものをいう。火山物質の多い優地向斜と並行し大地向斜をつくる。地向斜造山論の基本的骨組みの一つ。
列島弧	れっとうこ	islands arc, arcuate islands	インドネシア、日本、千島など、海溝の陸側にある弧状に連続する島列。
レヒタールデッケ	れっひたーるでっけ	Lechtaldecke(独)	東アルプスの三じょう系（三畳系）からなるデッケ。
レディーミクストコンクリート	れでいーみくすとこんくりーと	ready mixed concrete	製造設備を有する工場では材料の配合、練り混ぜが行われ、固まらない状態で打設現場に運搬されるコンクリート。生コンのこと。
レナード統	れなーどとう	Leonard series	北米大陸の内陸部に分布する下部ペルム系。石灰岩を挟有する頁岩が主体。
レバンチン相	ればんちんそう	Levantine facies	地中海東部から黒海にかけての地域に分布する鮮新統～更新統。
レビス系	れびすけい	Lewisian system	イギリス北西端の先カンブリア基盤岩類。片麻岩やミグマタイトなどからなる。
レプト地向斜	れぷとちこうしゃ	leptogeosyncline	薄い堆積物と火山生成物を特徴とする海洋性トラフ。地向斜による造山論は現在あまり議論されていない。
レプリカ法	れぷりかほう	replica method	電子顕微鏡で物体表面を観察するための試料作成方法。表面の型をとって試料の表面状態を薄膜で再現する。
礼文石	れぶんせき	Rebun seki	北海道虻田郡豊浦町産の石材。第四系溶結凝灰岩。切石・土台・石垣・土木用。幌別石と同質。

レベル	れべる	level	高低差を測る水準測量に用いる機器。ティルティングレベル、オートレベルなどがある。
レベンドウン デッケ	れべんどうんでっけ	Lebendun decke(独)	スイス・イタリア国境地域にある。北に倒れた横臥褶曲をなすデッケ。
レヤー工法	れやーこうほう	concrete placement without longitudinal construction joints	コンクリートダム of 施工方法の一つ。横継目（ダム軸直交方向）だけでブロック分割してコンクリートを打設する。
レラクゼーション	れらくぜーしょん	relaxation	P C鋼材を緊張したまま一定の長さを保つとき、時間の経過とともに引張り応力が減少していく現象。
レラクゼーション法	れらくぜーしょんほう	relaxation method	骨組構造物の応力・変形解析に用いられる手法で、繰り返し計算により連立一次方程式の解を求める。弛緩法ともいう。
レリック地形	れりつくちけい	relict landforms	現在とは異なる気候条件のもとで、現在はもはや働いていない地形営力によって形成された化石地形。
レリック土壌	れりつくどじょう	relic soil	古土壌と同義語。
連係震源決定	れんけいしんげん けってい	joint hypocenter determination	狭い領域内に多くの地震が生じた場合、データの質が良いものの震源を基準に他の地震の震源を求める方法。
連結火口	れんけつかこう	nested crater	隣り合う火口が凹地状につながったもの。割れ目噴火の火口群に多い。複合噴火口ともいう。
連結カルデラ	れんけつかるでら	nested caldera	近接した複数のカルデラが全体として一つの凹地状を形成しているもの。
蓮華変成岩	れんげへんせいがん	Renge metamorphic rock	飛騨外縁構造帯の結晶片岩類のうち、北アルプス白馬岳連峰（蓮華岳）付近の古生界が変成した岩体。
連行荷重	れんこうかじゅう	traveling load	一定の間隔をもって橋梁などの構造物の上を移動する集中荷重群。自動車の車列や鉄道列車がこれにあたる。
連行係数	れんこうけいすう	entrainment coefficient	異なる密度の流体が密度境界面を介して接するときの連行量と流量の比例計数。Eで表す。
漣痕	れんこん	ripple mark	河川流・潮流・波・風により、粘性のない堆積物（主に砂）にできる波形模様。リップルマークと呼ばれることが多い。
連鎖鉱脈	れんさこうみやく	linked vein	割れ目充填鉱脈に特徴的で、平行する鉱脈群に斜交する細脈群が連結して形成される鉱脈群。連鎖脈ともいう。
連鎖脈	れんさみやく	linked vein	連鎖鉱脈と同義。

連晶	れんしょう	intergrowth	同種または数種の複数結晶が方向性を有して連結しているもの。異種の場合は結晶構造などが類似。
レンズ式実体鏡	れんずしきじったいきょう	lens stereoscope	2枚の凸レンズを両眼の幅に合わせて組み合わせた簡易実体鏡。
レンズ褶曲	れんずしゅうきよく	lens fold, fold with lenses	系統的な無数の小断層に沿って地層が変位し、全体的に褶曲構造を成すもの。各々の岩片がレンズ状を呈する。
レンズ状鉱脈	れんずじょうこうみやく	lenticular vein	レンズのような形状でいずれの方向にも連続性に乏しい鉱脈。
レンズ状砂トラップ	れんずじょうすなとらっぷ	lenticular sand trap	泥岩など油が浸透しにくい岩石中に、砂岩レンズが挟在してできるトラップ。
連成振動	れんせいしんどう	coupled oscillation	複数の異なる振動系が一緒に振動すること。一般には固有振動周期がほぼ同じ構造系で発生する。
連成有限要素法	れんせいゆうげんようそほう	coupled finite element method	地盤の応力と浸透流、浸透流と熱伝導などのように相互に影響しあう異なった物理現象を考慮できる有限要素解析。応力（変形）、浸透流、流体、熱、電流、電場、磁場などから各種の組み合わせがある。
連続圧力検層	れんぞくあつりよくけんそう	continuous piezometric logging	土中や岩盤中のボアホールを用いて、正の間隙圧を測定する検層方法。
連続音波反射プロファイリング	れんぞくおんぱはんしゃぷろふあいいりんぐ	continuous seismic reflection profiling	調査船で曳航する音響発振器から音波を発振し、その反射波の連続測定から地層境界面などを解析する方法。
連続ガス測定	れんぞくがすそくてい	continuous gas detection	坑中の掘進時に発生するマットガスの濃度を連続的にモニタリングすること。検出方式にはホットワイヤ方式、その他2～3種の方式がある。
連続基礎	れんぞくきそ	continuous foundation	例えば連続フーチング基礎のように、独立したフーチング相互間を部材で連結したもの。
連続載荷	れんぞくさいか	continuous loading	土のせん断試験での載荷方法で、単調載荷のうち一定の荷重増加速度で連続的に荷重を増していく方法。
連続サンプリング	れんぞくさんぷりんぐ	continuous sampling	連続的にサンプリングを行なうボーリング方法。試料が乱されていない（乱れが少ない）ことが条件。
連続式沈下計	れんぞくしきちんかけい	continuous settlement gauge	支持層に下端を固定したロッドと地表部の沈下板の相対変位から沈下量を測定する装置。
連続式溝掘り機	れんぞくしきみぞほりき	continuous trenching machine	アームの先端に取り付けたカッタスクリュを回転させることにより連続的に溝を掘る機械。
連続地震探査	れんぞくじしんたんさ	continuous profiling	反射法弾性波探査で用いる方法。地震計を等間隔に並び、同じ位置に爆破点を設けて地震記録を得る。

連続褶曲	れんぞくしゅうきょく	continuous fold	褶曲が連続的に分布する、褶曲軸が線上に分布するなどの特徴を備えた褶曲様式の一形態。不連続褶曲と対をなす。
連続スペクトル	れんぞくすべくとる	continuous spectrum	特定の波長範囲で、波長について連続的な強度分布を示すスペクトルで、吸収スペクトルはその一例である。
連続速度検層	れんぞくそくどけんそう	continuous velocity logging	連続検層の一つ。1～数m区間の地震波速度の深さ分布を連続的に求める。
連続体力学	れんぞくたいりきがく	continuum mechanics	物質は分子レベルで考えると不連続だが、巨視的に物質を連続体と理想化して扱う力学。固体力学・流体力学・気体力学が含まれる。
連続地中壁	れんぞくちちゅうへき	diaphragm wall	地下を機械で壁状に連続掘削し、安定液で壁を保護して作る鉄筋コンクリート壁。地下連続壁ともいう。
連続的垂直探査	れんぞくてきすいちよくたんさ	continuous vertical electrical sounding	電気探査で、高密度の測定点を設けた上で地下構造モデルを基に逆解析し、正確な地下構造解析を進める方法。CVES法ともいう。
連続的垂直探査、CVES法	れんぞくてきすいちよくたんさ、しーぶいいーえすほう	continuous vertical electrical sounding, CVES	電気探査で、高密度の測定点を設けた上で地下構造モデルを基に逆解析し、正確な地下構造解析を進める方法。
連続梁	れんぞくばり	continuous beam	3点以上で支持されている梁（はり）。単純梁に比べて曲げモーメントが小さくなる。
連続波レーダー	れんぞくはれーだー	continuous-wave radar	パルス変調されず発信周波数が連続的に変化する正弦波を送受信するレーダー。発信エネルギーがパルス型レーダーより大きいため地盤調査で探査範囲を拡大するために用いる、
連続反応系列	れんぞくはんのうけいれつ	continuous reaction series	マグマの温度降下に伴い、早期晶出の鉱物と液との反応で不連続な相変化を起さずに順次晶出する鉱物の系列。
連続フーチング基礎	れんぞくふーちんぐきそ	continuous footing foundation	帯のように長いフーチングで上部構造を支えるもの。
連続ミキサ	れんぞくみきさ	continuous mixer	コンクリートの練混ぜ、排出を連続的にできるように、スクリー状のブレードと連続容積計量装置を備えたミキサ。
連続硫化水素濃度測定	れんぞくりゅうかすいそのうどそくてい	continuous H ₂ S measurement	人体に有害な物質である硫化水素を、坑井などで酢酸鉛との反応を利用して測定すること。
蓮台寺鉱山	れんだいじこうざん	Rendaiji mine	静岡県下田市蓮台寺にあったAu・Ag・Mn鉱山。母岩は鮮新世のプロピライト化した複輝石安山岩および同質凝灰岩。
レンチ断層	れんちだんそう	wrench fault	移動の方向が断層面の走向に平行な断層で、断層面がほぼ垂直に近いもの。走向移動断層の一つ。
連通管式沈下測定	れんつうかんしきちんかそくてい	syphon type settlement measuring	沈下測定ポットと基準ポットを水を満たした管で連結し、ポットの水面の変動から構造物や地盤の沈下を測定する方法。

練鉄	れんてつ	wrought iron	製鋼の場合よりも低い温度で半熔融状態で作られる純度の高い鉄. 鍛鉄 (たんてつ) ともいう.
レントゲン	れんとげん	roentgen, R	X線またはγ線の照射によって空気から放出された電離性粒子により生じる照射線量の単位.
連絡横坑	れんらくおうこう	crosscut, connecting gallery	トンネルの坑道どうしを互いに連絡するほぼ水平な坑道.
漏洩電流	ろうえいでんりゅう	leakage current	工場などの産業設備や電車の軌道などから大地に漏れ出た電流で, 電気探査の際に人工的なノイズ源となる.
漏気	ろうき	air leakage	圧気工法によるトンネル掘削で坑内の圧縮空気が地山を破壊しない程度で漏れること. 砂礫地盤では漏気が多い.
漏水	ろうすい	leakage	主にダムで, 貯水池の水が岩盤中あるいは堤体中を伝わって貯水池の外に流出する現象.
漏水処理	ろうすいしより	leakage water treatment	トンネル覆工完成後の漏水対策. 鉄板・合成樹脂・管などで集水して排水施設に導く.
漏水対策	ろうすいたいさく	resistance to embankment leakage	堤防の漏水対策では, 斜面に対しての菰張りや立管工, また透水性地盤に対しては月の輪や, 釜段工がある.
漏水防止	ろうすいぼうし	leakage prevention	①上水道の管路網における漏水を防ぐことにより, 有効水量を向上させる処置. ②浸透流を抑制し構造物の安定を図る処置.
漏水量測定	ろうすいりょうそく てい	leakage water measuring	ダムなど遮水構造物や基礎の漏水の挙動を観測すること.
漏水量測定装置	ろうすいりょうそく ていそうち	leakage water measuring system	ダムなど遮水構造物や基礎の漏水の挙動を観測するための設備.
蠟石	ろうせき	pyrophyllite	流紋岩, 安山岩などが熱水変質を受け形成される葉ロウ石を主成分とする岩石. ち密塊状でロウ感がある.
漏斗管	ろうとかん	funnel	練り上がったコンクリートを高所より下部施工面に投げおろす時, 材料の分離を起こさないようにするために設備するじょうご状の管.
老年期	ろうねんき	stage of old age, gerontic stage, old stage	デービスの地形輪廻の第3番目の段階. 晩壮年期以後, 山地は次第に低くなり波浪状の起伏地形になる時期. 壮年期の次の段階.
ロウの圧密セル	ろうのあつみつせる	Rowe consolidation cell	径250mmまでの試料の室内圧密試験を実施する装置. 供試体が大きい程, 原位置の地層を再現できる.
ローカルマグニチュード	ろーかるまぐに ちゅーど	local magnitude	リヒターによって定義されたマグニチュードで, 浅い局地的な地震のみに適用. 震央距離100kmに置かれた地震計の最大振幅の常用対数.

ローガン	ろーがん	Logan, Sir William Edmond Logan	カナダ楕状地の先カンブリア系を調査し岩相上の特徴からこれを二大別し先カンブリア系の標準層序を確立した研究者。カナダ地質調査所長。
ローズダイヤグラム	ろーずだいやぐらむ	rose diagram	面構造や線構造がもつ方向性を、各方位ごとの頻度を表わす線とそれらを結ぶ線で表現する方位頻度図。
ローゼンクビスト法	ろーぜんくびすとほう	Rosenqvist method	地層の腐食性を推定する原位置試験方法。電極を地中に打ち込み、地層の比抵抗を求め、腐食性を推定する。
ロータリー掘削	ろーたリーくっさく	rotary drilling	回転式さく井と同義。
ロータリーコアサンプル	ろーたリーこあさんぷる	rotary core samples	ロータリー式ボーリングにより、コアチューブの中に採取された試料。
ロータリーサウンディング法	ろーたリーさうんでいんぐほう	rotary sounding method	ボーリング時の、推力・トルク・水圧などの情報から一軸圧縮強度などの地盤物性を評価する方法。
ロータリー式掘削機	ろーたリーしきくっさくき	rotary drilling rig	ビットを先端に付けた掘管をロッドを通じてロータリーテーブルで回転させて掘削する掘削機。
ロータリー式サンドサンプラ	ろーたリーしきさんどさんぷら	rotary sand sampler	ロータリー掘削式のサンドサンプラの一種。ボーリングバルブで気密を保つ方式で、三重管構造。
ロータリー式トンネル掘進機	ろーたリーしきとんねるくっしんき	rotary type tunnel boring machine	機械自身で土圧を支え、先端部のロータリー式ビットで切羽の切削を行いつつ前進するトンネル掘削機。
ロータリー式ボーリング	ろーたリーしきぼーりんぐ	rotary drilling	回転式さく井と同義。
ロータリーショットドリル	ろーたリーしょっとどりる	rotary shot drill	発破孔の穿孔に使用されるすべてのロータリードリル。
ロータリースイベル	ろーたリーすいべる	rotary swivel	中心部に泥水の通路を有し、回転するケリーと回転しないロータリーホースとを水密に接続する器具。
ロータリーテーブル	ろーたリーてーぶる	rotary table	ロータリー掘削に用いる機具の一部。掘削時には掘管を回転させ、それ以外の時は掘管の受台となる。
ロータリードリル	ろーたリーどりる	rotary drill	推力のかかったノミ先を回転させて岩盤などの削孔を行う機械。
ロータリーパーカッションドリル	ろーたリーぱーかっしょんどりる	rotary percussion drill	回転と打撃により穿孔する機械。
ロータリーパーカッション方式	ろーたリーぱーかっしょんほうしき	rotary percussion method	送水を行いながら金属製のビットに回転と衝撃力を与えて削孔を行うボーリング方法。

ロータリーパーカッションボーリング	ろーたりーぱーかつしょんぼーりんぐ	rotary percussion drilling	回転するビットに油圧ハンマーなどで打撃エネルギーを与え地層を破碎しながら掘削するボーリング方法.
ロータリーフォイルサンプラ	ろーたりーふおいるさんぷら	rotary foil sampler	デニソン型サンプラの内管にフォイルサンプラを組み入れたもの.
ロータリープローブボーリング	ろーたりーぷろーぶぼーりんぐ	rotary probe drilling	ケーシングを用いない全断面掘削ボーリングの総称. 掘進速度が速く, 安価.
ロータリーボーリングマシン	ろーたりーぼーりんぐましーん	rotary drilling machine	ビットを加重回転させて岩石を粉碎切削し, またはくりぬいてコア (岩芯) を採取する穿孔機.
ローディングショベル	ろーでいんぐしょべる	loading shovel	ショベル系掘削機の一つで, 主として機械の乗っている地盤より高い部分の掘削・積込みを行う機械.
ローデ角	ろーでかく	Lode's angle	三主応力制御試験における最大主応力方向の中間主応力方向への傾斜角度 θ .
ロードカッタ	ろーどかつた	road cutter	アスファルト舗装路面を切削・整形するためのドラムカッタを本体の中央部に備えた機械.
ロードキャスト	ろーどきゃすと	load cast	砂岩層の下底面に形成される球根様・乳頭状または不規則な形の突起. 流痕とは異なり方向性は示さない. 荷重痕ともいう.
ロードスイパ	ろーどすいぱ	road sweeper	道路の路面清掃用の機械. 路面のゴミを掃き取る方法によりブラシ式と真空吸込式の2種類に分けられる.
ロードスタビライザ	ろーどすたびらいざ	road stabilizer	路盤や路床の改良のため用いられる機械で, 自走しながらロータで路盤材などを掻き起こし, 混合する.
ロードストラクチャー	ろーどすとらくちやー	load structures	密度や圧力が異なる物質の境界に生成する過剰間隙水圧を生じやすい構造.
ロードセル	ろーどせる	load cell	物体に加えられた外力を弾性体あるいは油圧で受けて, これらに生じた変形または油圧の変化を圧力計で測定して荷重を求めるもの. ロードセルともいう. 荷重計と同義.
ロードヒータ	ろーどひーた	road heater	アスファルト舗装の表面にできた凹凸を削って平滑にするため, オイルバーナや輻射熱で表層部を加熱する装置.
ロードヒーティング	ろーどひーていんぐ	road heating	熱により路面の凍結防止や融雪を行うこと. 熱源として電気・温水などが用いられる.
ロードヘッダ	ろーどへっだ	roadheader	トンネル機械掘削機の一つ. ブーム先端のビットのついたドラムが回転して掘削するもの.
ロードローダ	ろーどろーだ	road loader	前面につけたバケットでダンプトラックなどに土石の積込みを行う機械. クローラ型と車輪型がある.

ロードローラ	ろーどろーら	road roller	2～4個の鉄製のローラーを車輪とし、その自重で地盤を締固める自走式の締固め機械。
ローパスフィルタ	ろーぱすふいるた	low pass filter	低域フィルタ。一定の周波数以下の電磁波を透過させて、その他は十分に減衰させて取り除くフィルタ。
楽平統	ろーぴんとう	Lopingian series	中国中・南部揚子江盆地の上部ペルム系。下半部の呉家坪階と上半部の長興階に区分。各階とも岩質は石灰岩。
ローム	ろーむ	loam	本来は砂と粘土が混じりあった土の名称。関東ロームなどの火山灰質粘性土にも用いられている。
ローム質土	ろーむしつど		砂分、シルト分、粘土分が混じり合った火山灰起源の性質を持つ土。
ローム層	ろーむそう	loam horizon	黒ボク土の母材であり、火山灰起源の赤色土層のこと。関東ローム層などが日本では有名。
ローラカッタ	ろーらかった	roller cutter	トンネルボーリングマシンに使われているカッタの一種。ヘッド部に固定した軸のまわりを自由回転するカッタ。
ローラゲート	ろーらげーと	fixed roller gate	上下に開閉するタイプのゲートで、扉体の両側にローラをつけ、巻き上げ力を軽減するようにしたもの。
ローラシア階	ろーらしあかい	Rauracian stage	ジュラ系の上階。フランスのジュラ山脈に分布し、化石を多く含む石灰岩が主体。
ローラ転圧コンクリート舗装	ろーらてんあつこんくりにーとほそう	roller compacted concrete pavement	転圧コンクリート舗装と同義。
ローラビット	ろーらびつと	roller bit	ローリングカッタビットのことで、大孔径回転式掘削機に使用されるトリコンビットもその一種。
ローラミル	ろーらみる	roller mill	回転するローラと円板またはリング内面との間で原料を押しつぶすことにより粉砕を行う機械。
ローリングゲート	ろーりんぐげーと	rolling gate	堰柱の間に鋼製の円筒型扉体を水平方向に取付け、扉体を回転させながら扉体を上下させる形式のゲート。
ローレンシア花崗岩	ろーれんしあかこうがん	Laurentian granite	カナダ楯状地の始生代花崗岩。
ローレンシア造山運動	ろーれんしあぞうざんうんどう	Laurentian orogeny	およそ25億年前に北米大陸で生じた造山運動。現在では使用されない用語。
ローレンシア楯状地	ろーれんしあたてじょうち	Laurentian shield	北米大陸北東部とグリーンランドに広く分布する先カンブリア楯状地の総称。

ローレンタイト氷床	ろーれんたいどひょうしょう	Laurentide ice sheet	更新世の氷期に北米大陸の中・北部をおおった巨大な氷床。氷床の南側では多量の融氷堆積物が河川で運ばれた。
ローレンツ因子	ろーれんついんし	Lorentz factor	結晶による回折X線の積分反射強度の式に現れる因子の一つで、通常Lを用いて表す。
ロガー	ろがー	logger	データロガーと同義。
ろ過池	ろかいけ	filter basin	水質浄化のためのろ過を行う池や容器の総称。ろ過の方式によって、ろ材・構造が組み合わされる。
ろ過器	ろかき	filter	固体と液体および固体・液体と気体の分離、光波・音波・振動・電流などを周波数で分離するために用いる器具の総称。「フィルタ」の方が一般的
ロガ式粘結試験	ろがしきねんけつしけん	roga test	石炭のこう（膠）着度を測定する試験法の一つ。
ろ過砂	ろかすな	filter sand	水質浄化のためのろ材として使用する砂。物理的な機能と表面付着の生物膜による生物的な機能を果たす。ろ砂（濾砂）ともいう。
ろ過速度	ろかそくど	filtration rate	浄水・排水処理のためのろ過設備の通水速度。ろ過水量をろ過面積で除したもので $m^3/m^2/日$ または $m/日$ で表わす。
ろ過損失水頭	ろかそんしつすいとう	head loss of filtration	浄水処理・排水処理設備のろ過処理でろ過工程により失われる水頭。
路肩	ろかた	shoulder	道路の両側に設けられた有効幅員以外の路面。有効幅員部分の保護と車道の効用確保のため設けられる。
ろ過膜	ろかまく	filter film, cover of filth	浄水処理・廃水処理のろ過に用いるフィルタ膜。
炉乾燥	ろかんそう	oven dry	110℃の恒温乾燥炉を用い、土の水分を蒸発させること。土の含水量試験などでは質量が一定になるまで続ける。
ログ	ろぐ	log	坑井に関する記録や表示の総称。工程記録・地質区分・各種物理検層結果などを図式表示したもの。
60%粒径	ろくじゅっぱーせんとりゅうけい	grain size correspond to 60% finer by weight	粒径加積曲線で、質量百分率が60%に相当する粒径。
麓屑面	ろくせつめん	colluvial slope, talus cone	懸崖または急斜面で主に重力によって上から岩屑が崩れ落ち、麓の所にたまって生じた半錐状の堆積物の面。
ログティ法	ろぐていほう	log t method, Casagrande's method	圧密試験において、一次圧密の範囲を圧密沈下量とそれに要した時間の対数との関係曲線を用いて求める方法。

六フッ化ウラン	ろくふっかうらん	uranium hexafluoride (UF ₆)	ウランとフッ素の化合物 (UF ₆)。気体状の六フッ化ウランはウラン濃縮の製造工程に実用化されている。
六面体要素	ろくめんたいようそ	hexahedral element	三次元問題の解析で用いられる6個の面で囲まれた立体要素。4個の面で囲まれた四面体要素とともに解析の基本をなす。
ろ砂	ろさ	filter sand	ろ過砂と同義。
ろ材	ろざい	filter media	浄水処理・排水処理などのろ過処理に用いる砂・砕石・けい藻土・活性炭・アンストラサイトなどの媒体の総称。
ロサンゼルスすり減り試験	ろさんぜるすすりへりしけん	Los Angeles abrasion test	岩石試料間および鋼球との磨耗負荷による損失重量から、すり減り抵抗を求める試験。
ロジメントティール	ろじめんとていいる	lodgement till	氷河によって直接的に堆積した堆積物の中で、氷河下において岩碎片と岩床との摩擦により生じたもの。
露出	ろしゅつ	outcrop	地層などが地表に現れている状態。地質踏査では、露出を観察してルートマップを作成する。露頭と同義。
路床	ろしょう	subgrade	舗装された路盤の下部約1mの部分のことで路盤全体を支持する。
路床改良	ろしょうかいりょう	improvement subgrade soil	軟弱な路床の支持力を高めることで、石灰安定処理工法・置換え工法などがある。
路床土	ろしょうど	subgrade soil	路床を構成する土。在来の地盤を構成している土・盛土に使用した土・置換え土などよりなる。
路床排水	ろしょうはいすい	subgrade drainage	路床部の地下水位を低下させるために暗きょ（暗渠）などで排水すること。
ロゼットゲージ	ろぜつとげーじ	rosette gauge	貼付された二次元平面内の主応力の大きさと方向の測定に用いられる多軸ひずみゲージ。3または4方向のひずみゲージを1枚のベースに接着したものが製造されている。
路線測量	ろせんそくりょう	route surveying	道路、鉄道、水路など線状構造物の測量。
路線地質図	ろせんちしつず	route map	踏査図と同義。
六ヶ所村核燃料サイクル三施設	ろっかしよむらかくねんりょうさいくるさんしせつ	Rokkasho nuclear fuel cycle base	青森県六ヶ所村に建設されているウラン濃縮施設、再処理施設、低レベル放射性廃棄物貯蔵施設。
ロッキー地向斜	ろっきーちこうしゃ	Rocky Mountain geosyncline	北米コルジレラ地向斜が造山運動で分化し、東部地域に残った劣地向斜。地向斜モデルに基づく。

ロッキング現象	ろっきんぐげんしょう	rocking	建物基礎が回転して発生する振動成分など力を加えた面内での回転運動.
ロックアンカー	ろっくあんかー	rock anchor	定着部分が岩盤中にあるアンカー. 定着部分が土砂中にあるアンカーはアース (ソイル) アンカーという.
ロックウール	ろっくうーる	rock wool	適当な組成の岩石を熔融したものを急冷して作る繊維. 石綿の代用や防火織物などに使用している.
ロックウェル	ろっくうえる	rockwell	ロックウェル硬度計で測定された硬さの単位.
ロックウェルかたさ試験	ろっくうえるかたさしけん	Rockwell hardness test	鋼球あるいはダイヤモンドを押し込んで, 生じた窪みの深さにより硬度を決定する試験.
ロックコントロール	ろっくこんとろーる	rock control	岩石制約と和訳する. 地形形成におよぼす岩石の影響.
ロック材料	ろっくざいりょう	rock materials	フィルダムの透水ゾーンに使用される材料. 新鮮・堅硬で比重が大きな岩石が適するが, 各種の材料を用いて堤体ゾーニングでカバーする方法もある.
ロック敷居	ろっくしきい	lock sill	運河でロックのゲートを支える凸状の構造物.
ロック室	ろっくしつ	lock chamber	運河の上下流両水門の間をつなぐ水位調整室.
ロックストラット	ろっくすとらっと	rock strut	大規模地下空洞の変形を抑えるため, 空洞長軸方向の中央下部に残される岩盤
ロックスベリー蛇紋岩帯	ろっくすべリーじゃもんがんたい	Roxbury serpentinite	米国バーモント州中部の蛇紋岩主体の超塩基性岩体.
ロックせん断試験	ろっくせんだんしけん	rock shear test	供試体周辺の岩盤を掘り下げ, 地山に繋がった供試体を直接せん断する原位置岩盤せん断試験方法.
ロックドコイルロープ	ろっくどこいるろーぷ	rocked-coil rope	外側に異形の素線を用いて互いにかみ合わせることによって, 磨耗・形崩れなどに対する抵抗性を増した構造用ワイヤロープの一種.
ロックドサンド	ろっくどさんど	locked sand	自然砂の一種で, 特徴として, 粘着性の欠如, 高石英質鉱物, 高強度, 低空隙性, 古い地質年代などがある.
ロックビット	ろっくびつと	rock bit	ロックビットボーリングに用いられる全断面掘削のビット. 基本的にトリコーンビットをさす.
ロックビットボーリング	ろっくびつとぼーりんぐ	rock bit drilling	全断面掘削を行なうロータリーボーリング工法で, 基本的にトリコーンビットが用いられる.

ロックピラー	ろっくびらー	rock pillar	地下の掘削において、空洞安定のために残された柱状の未掘削部分。
ロックフィル	ろっくふいる	rockfill	岩石を積み上げて作った堤状の構造物。
ロックフィルダム	ろっくふいるだむ	rockfill dam	岩石を主材料として盛り立てられたダム。表面または内部に遮水壁を有する。
ロック壁	ろっくへき	lock wall	運河の上下流の扉室を連絡するロック室の側部、底部を構成する壁。
ロックボルト	ろっくぼると	rock bolt	トンネルや岩盤の切取りなどで岩盤に穿孔して打込むボルト。緩んだ部分を深部の安定岩盤に締付ける作用をする。
ロックボルト軸力	ろっくぼるとじくりよく	tension of rock bolt	ロックボルトにかかる軸方向の引張力。
ロックボルト軸力測定	ろっくぼるとじくりよくそくてい	measurement of tension of rock bolts	地山に設置されたロックボルトに発生している軸力の大きさとその分布状態を測定すること。これにより、適切なロックボルトの本数、長さ、ピッチを検討する。
ロックボルト引抜試験	ろっくぼるとひきぬきしけん	pull out test of rock bolt	ロックボルトが地山に定着されて引張り部材として機能しているかどうかを引抜き耐力を求めて判断する試験。
六甲災害	ろっこうさいがい	Rokko disaster	1938年7月神戸市を中心に付近一帯の市町村におよぼした豪雨による大水害。死者不明557人、全壊家屋4,039戸とされている。
六甲衝上断層	ろっこうしょうじょうだんそう	Rokko thrust	六甲花崗岩が有馬層群に衝上する断層。六甲山地の北側を東北東-西南西方向に走る。丸山盆地周辺の5ヶ所の露頭が天然記念物となっている。
六甲断層	ろっこうだんそう	Rokko fault	活断層。確実度I、活動度B級、東西方向。六甲山地に位置し延長7km。有馬-高槻構造線の西端延長部に相当する。
六甲トンネル	ろっこうとんねる	Rokko tunnel	山陽新幹線の長大トンネル(延長16.25km)で大部分花崗岩よりなる。数条の活断層と斜交し破碎帯からの湧水処理のため、多くの迂回坑と大孔径水抜きボーリングが実施された。
六甲変動	ろっこうへんどう	Rokko movements	鮮新世から更新世にかけて主に瀬戸内海周辺で生じた地殻変動。この変動で六甲山が形成された。
ロット	ろっと	lot	商品の生産や出荷の単位としての、同一条件で作られた製品の集まり。または、抜取検査の際の提出成果物の集まり。
ロッド	ろっど	rod	ボーリングロッドと同義語。
ロッドカップリング	ろっどかつぷりんぐ	rod coupling	2本のロッドを接続するための、両端にピンねじの切られたカップリング。

ロッドコンパクションパイル工法	ろっどこんぱくしょんぱいるこうほう	rod compaction piling method	バイブロハンマーに接続したロッドを地盤中に貫入し、その上下振動により地盤を締固める工法。
ロッド注入	ろっどちゅうにゅう	rod injection	グラウトの注入方法の一つで、ボーリング掘削ロッドをそのまま使用して先端から注入材を注入すること。
ロッドミル	ろっどみる	rod mill	機械内面の長さよりやや短い綱棒(ロッド)を粉碎媒体として使用する回転ミル。砕石を砕いた砂を作るのに使用。
六方晶系	ろっぽうしょうけい	hexagonal system	結晶を形態から分類した7結晶系の一つ。六回回転軸または六回反軸を主軸と、主軸に垂直な面内の120°の角をなす3本の側軸で表す。
露天化作用	ろてんかさよう	weathering	風化作用と同義。
露天化残留鉱床	ろてんかざんりゅうこうしょう	weathering residual deposit	風化残留鉱床と同義。
露天坑井法	ろてんこうせいほう	glory holes	摺鉢形の露天採掘場で採掘し、坑井と坑道によって採掘物を取り出す方式。
露天採鉱法	ろてんさいこうほう	open-cut mining	表土や被覆地層を除去し、鉱体を地表から直接採掘する方法。露天掘りともいう。
露天採石	ろてんさいせき	open cut (openpit) quarrying	岩石を地上で採掘する方式。
露天掘り	ろてんぼり	open-cut mining	露天採鉱法と同義。
露天掘り発破	ろてんぼりはっぱ	open face blasting	露天掘りなどの際に用いる発破法で、岩盤を地表面に沿って広く・浅く破碎する発破法。
ろ土	ろど	Lodotbraunerde (独)	厚層黒ぼく土壌または多湿黒ぼく土壌にあたる。かつて北海道で腐植質火山灰土に用いられた通称。
露头	ろとう	outcrop	岩石・地層・鉱床などの一部が、自然にまたは人工的に地表面に現れている部分。
露头線	ろとうせん	line of outcrop	地層の境界面(層理面、貫入面、など)が、地表面に交わってできる線。地質図上の地質区分境界線。
露头柱状図	ろとうちゅうじょうず	columnar section of outcrop	一つの露头において地層の状況を長柱状に記載した図。第四系の調査で用いられることが多い。
路盤	ろばん	roadbed	舗装面から伝えられる交通荷重を分散して路床に伝えるための層で、砕石などを締固めて作られる。

路盤工	ろばんこう	subgrade	路盤を造成するための工事。通常は下層と上層に区分して造成される。
路盤コンクリート	ろばんこんくりーと	track bed concrete	コンクリート舗装のこと。道路トンネルのコンクリート版の厚さは最小20cm。
ロマプリータ地震	ろまぷりーたじしん	the 1989 Lomapieta earthquake	1989年10月17日にサンフランシスコ市の南東90km, サンアンドレアス断層の南端近くで発生したM7.1の被害地震。死者62人とされている。
路面排水	ろめんはいすい	surface drainage	路面への雨水・路上の融雪水などを集水し、側溝などにより排水すること。
路面覆工	ろめんふっこう	road decking	開削工法で、一般交通の路面荷重を支えるために施工期間中設置される施設。覆工板や土留め杭などからなる。
路面流雪工	ろめんりゅうせつこう	snow melting by road flushing water	消雪用の水を路面に流すことが出来るようにするための施設。
ロモノソフ海嶺	ろものそふかいいい	Lomonosov ridge	北極海のカナダ海盆とシベリア海盆にはさまれた海嶺で、ノボシビルスク諸島からエルスマ島に至る海嶺。
ロラン航法	ろらんこうほう	loran navigation	Long Range Navigation という航法システム。パルス信号の到達時間差を利用して、船舶の位置を知る航空海洋電波航法。
ロングベンチ工法	ろんぐべんちこうほう	long bench cut method	トンネル掘削工法のうち、上半先進工法で下半部とは100m以上離して並進する工法。安定した地山に適する。
論田地すべり	ろんでんじすべり	the Ronden landslide	1890年に富山県氷見市論田で発生した地すべり。人家50戸が被災したとされている。
ロンドンクレイ	ろんどんくれい	London clay	イギリスに分布する新生代古第三系の固結した亀裂性粘土。
論理地質学	ろんりちしつがく	logical geology	地質情報を数学的に処理することを目的として地質学的な原則などを数式化する研究を行う学問分野。
ワーカビリティ	わーかびりてい	workability	固まっていないコンクリートの柔らかさの程度および材料の分離に抵抗する程度。
ワード統	わーどとう	Wordian series	米国テキサス州西部に分布する中部ペルム系。石灰岩や砂岩などから構成される。
ワーラムピエゾメータ	わーらむびえぞめーた	Warlam piezometer	空気式のピエゾメータの一種。
ワイウタ統	わいうたとう	Waiuta series	ニュージーランド南部に分布する原生界。グレーワックと粘板岩の互層からなる。

ワイセンベルグ写真	わいせんべるぐしゃしん	Weissenberg photograph	単結晶試料を回転させ、回転軸に垂直に入射したX線の回析像を円筒フィルム上に記録したもの。結晶構造解析に用いる。
ワイドアングル測定	わいどあんぐるそくてい	wide angle measurement	地下レーダー探査において地盤の電磁波伝播速度を求めるために行う測定。送信アンテナを固定し、受信アンテナだけを一定速度で移動させながら測定する。
ワイプサンプラ	わいぷさんぷら	wipesampler	ワイヤラインボーリングの外管内挿サンプラ。
ワイヤ式多層移動計	わいやしきたそういどうけい	wire type multilayer locomotion meter	ボーリング孔内に深度別に設置したワイヤを地上に引き出しておき、その引き込み量からすべり面の位置・移動量を測定する計器。
ワイヤ式沈下計	わいやしきちんかけい	wire type settlement gauge	地中の固定点と地表部沈下板の相対変位をワイヤの移動量から求める装置。
ワイヤストレインゲージ	わいやすとれいんげーじ	wire strain gauge	電気抵抗線ひずみ計と同義。
ワイヤソーイング工法	わいやそーいんぐこうほう	wire sawing method	ワイヤソー（のこ歯加工したワイヤ）を用いてコンクリート構造物などを切断する工法。
ワイヤラインケーブル	わいやらいんけーぶる	wire-line cable	ワイヤラインコアバーレルのインナーチューブの昇降に使用されるワイヤロープ。
ワイヤラインコアドリル	わいやらいんこあどりる	wire line core drill	ビットを孔底に置いたまま、コア抜き取り用のインナーバレルのみをワイヤで上げ下げするボーリング工法。掘進率を向上できる。
ワイヤラインコアバーレル	わいやらいんこあばーれる	wire-line core barrel	ロッドの上げ下げを行わずにコアの入った内管をワイヤロープによって引上げ可能としている二重管からなるボーリング掘削部。
ワイヤラインコアビット	わいやらいんこあびつと	wire-line core bit	二重管構造を持つワイヤラインコアバーレルの外管掘削ビット。
ワイヤラインコアリング	わいやらいんこありんぐ	wireline coring	コアを収容したインナーチューブをワイヤロープで孔底から引き上げるコアリング方法。
ワイヤライン工法	わいやらいんこうほう	wire-line boring	ワイヤラインボーリングと同義。
ワイヤラインドリルストリング	わいやらいんどりるすとりんぐ	wireline drillstring	ワイヤラインボーリングで掘削用のビットに接続して掘削泥水を循環させるパイプ。
ワイヤラインドリルロッド	わいやらいんどりるろっど	wire-line drill rod	ワイヤラインコアバーレルなどが通過出来るように、カップリングの内径がほぼフラットになったボーリングロッド。
ワイヤラインフォーメーションテスター	わいやらいんふおーめーしょんてすたー	wire-line formation tester	検層用ケーブルで孔井内に降下させ、目的の深度の地層から流体サンプルを採取する装置。俗称F I T (Formation Interval Tester)。

ワイヤライン ボーリング	わいやらいんぼーり んぐ	wire-line boring	脱着自在の内管内蔵のコアバレルと特殊ロッドを用い、内管のみを引き上げコアを採取する削孔工法。
ワイヤライン リューブリケー ター	わいやらいんりゅー ぶりけーたー	wire-line lubricator	高い孔口圧力を抑制するための、グリース送入タイプの装置の注油器。グリースは、シールと同時にケーブルの潤滑剤となる。
淮陽楯状地	わいようたてじょう ち、ふあいやんたて じょうち	Huaiyang shield	中国の武漢から南京の長江の北側に分布する先カンブリア紀の楯状地。結晶片岩からなる。中朝地塊の一部だが広く新生界に覆われ、独立した地塊をなす。
ワイラカイト	わいらかいと	wairakite	CaAl ₂ Si ₄ O ₁₂ ・2H ₂ O。単斜晶系。硬度5.5～6。比重2.26。沸石の一種で、無色～白色の粒状結晶。凝灰岩中の火山ガラスなどが変質して生成する。ワイラケ沸石ともいう。
ワイラカイト帯	わいらかいとたい	wairakite zone	沸石の一種であるワイラカイトの存在によって特徴づけられる熱水変質帯。
わい力鉱物	わいりよくこうぶつ	stress mineral	変成岩中で高いせん断（剪断）応力下で形成された鉱物。マグマから結晶が連続的に晶出する鉱物の系列。ストレス鉱物ともいうが、現在は用いられない。
ワイルドウェル	わいるどうえる	wild well	被圧井戸の一種で流出を制御している井戸。
ワイルドキャッ ト	わいるどきやっと	wildcat	石油・天然ガスの試掘で、未知の産出層を探索するため、既存の産出井からかなり離れた地点で実施する試掘井。
ワイルドキャッ トドリリング	わいるどきやっとど りりんぐ	wild cat drilling	有用鉱物の賦存が不明の地域で行われるボーリング。石油の場合は試掘と同義語。
Yレベル	わいれべる	Y-level	最も初期の頃の水準儀。望遠鏡がY形の支持架の上に置かれた型の水準儀。
若狭大理石	わかさだいらせき	Wakasa marble	福井県小浜市で産出する古生代の大理石。用途は室内装飾用を主とする。
ワカティプ変成 帯	わかていぷへんせい たい	Wakatipu metamorphic belt	ニュージーランドの古生代から中生代ジュラ紀の地向斜堆積物を起源とする変成帯。
若戸大橋	わかとおおはし	Wakato bridge	北九州市の洞海湾に架けられた中央支間長367mの吊橋。1962年に完成しわが国で初めて中央支間長が300mを越え、長大吊橋の端緒となった。
若松鉱山	わかまつこうざん	Wakamatsu mine	鳥取県日野郡日南町に存在する国内最大のクロム鉱山。母岩は層状の超塩基性岩体（かんらん岩（橄欖岩））。
和歌山地方大水 害	わかやまちほうだい すいがい	the 1953 Wakayama district flood disaster	昭和28年（1953）7月に低気圧から伸びる前線の活動による局地的豪雨により、和歌山県地方で熊野川・有田川・日高川・貴志川などが氾濫し、下流地域は泥流で覆い尽くされた。この水害の死者・不明者は、和歌山県内だけで1000余人に達した。
枠組ダム	わくぐみだむ	crib dam	ケーソンや木材、蛇かごなどで枠組みし、中に岩石や土をつめて築造したダム。枠ダムともいう。

枠ダム	わくだむ	crib dam	枠組ダムと同義.
ワジ	わじ	wadi	アラビア語で河谷の意味で、降雨後一時的に水が流れる川。アラビア半島や北アフリカの砂漠に見られる。水無川ともいう。
鷲尾岳地すべり	わしおだけじすべり	the Washiodake landslide	1950年長崎県北松浦群江迎町で発生した地すべり。旧国鉄江迎線に被害発生。
輪中	わじゅう	polder	岐阜県の木曾川・長良川・揖斐川の下流域に見られる堤防で囲まれた村落。
輪中堤	わじゅうてい	ring levee, cycle levee	江戸時代に作られたものが多く、地域外からくる出水を防止するために、集落の周囲を取り囲む堤防。
和田地すべり	わだじすべり	the Wada landslide	1982年に奈良県吉野郡西吉野村屋那瀬地区で発生した地すべり。民家、農協、国道が水没。
渡瀬線	わたせせん	Watase's line	奄美大島と屋久島との間に設定された生物地理区の境界線。
和達ゾーン	わだちぞん	Wadati-zone	深発地震面のことで、海溝から大陸側に向かって傾斜しており、深さ数百kmに及ぶ。和達・ベニオフゾーンともいう。
和達ーベニオフゾーン	わだちべにおふぞん	Wadati-Benioff zone	日本列島付近の深発地震面をさし、プレートテクトニクス誕生後、この面がプレート境界面と理解されている。
わだち掘れ	わだちぼれ	rutting	アスファルト舗装の路面で車輪の位置に連続的に生じる凹部。アスファルトの変形や磨耗、路盤の圧密沈下などが原因。
和田真石	わだまいし	Wadama ishi	長野県小県郡和田村産の石材。第四系安山岩で土木用や墓石に使用。
綿向山断層	わたむきやまだんそう	Watamukiyama fault	活断層。確実度I、活動度B級、北北西方向。鈴鹿山脈西部、綿向山に位置し延長11km。高度不連続で断層露頭もみえる。
渡良瀬みかげ	わたらせみかげ	Watarase mikage	群馬県勢多郡東村沢入産の石材。中生界黒雲母花崗閃緑岩で外柵、修景材に使用。沢入みかげと同義語。
和東谷断層	わつかだにだんそう	Watsukadani fault	活断層。確実度I、活動度B級、北東方向。京都府南縁、相楽群内に位置し延長15km。断層崖の形態を示す。
ワッケ	わっけ	wacke	砂岩の分類上、粘性土質基質が10～15%以上のもの。
和寒石	わっさむいし	Wassamu ishi	北海道上川郡和寒町産の石材。中生界花崗斑岩で砕石・土木用。

割石	わりいし	prismatic stone	積石用に割った石材。間知石（面が方形，四方落とし），割合（挟義；面がほづ方形，二方落とし），割角石，小舗石など。
割り栗	わりぐり	crushed stone, rubble	割り栗石と同義。
割り栗石	わりぐりいし	rubble	岩塊をぐり石程度（15cm内外）の大きさに割って作られた碎石。ぐり石と同様の目的で使用される。
割り栗石基礎	わりぐりいしきそ	rubble foundation	割り栗石を使用した基礎。割り栗石の隙間には小さな碎石をみつぶしとして充填する。
割山変成岩	わりやまへんせいがん	Wariyama metamorphic rock	阿武隈山地北部の宮城県亘理（わたり）町割山峠付近を模式地とする低変成度の黒色片岩。阿武隈東縁変成岩類の一つ。
ワルダイ氷期	わるだいひょうき	Valdai glacial stage	ロシア西部における最後の第四紀氷期。
割れ目火口列	われめかこうれつ	fissure crater line	割れ目噴火において，割れ目上に線状の配列を呈する火口。
割れ目系	われめけい	fracture system	成因的に相互に関連性があり，系統的な割れ目の集まり。
割れ目指数	われめしすう	fissuring index number	岩盤の弾性波速度の，原位置試験値 v とボーリングコア試験値 V との比（ v/V ）。
割れ目充填鉱床	われめじゅうてんこうしょう	fissure filling deposit	熱水作用などにより，岩石中の割れ目を有用鉱物が満たした板状の鉱床。
割れ目帯	われめたい	fissure zone	各種の地質構造運動の過程に応じて生じた割れ目の集中する部分。裂か（裂罅）帯あるいは断裂帯とも呼ぶ。
割れ目パターン	われめぱたーん	fracture pattern	割れ目が形成する特徴のある形態配列。
割れ目噴火	われめふんか	fissure eruption	地圧で生じた地表の割れ目から生じる，粘性の低い流動性の高い玄武岩質火山の噴火。火口が移動，拡大する特徴がある。1986年の伊豆大島の噴火がその例。
割れ目密度	われめみつど	spatial density of joints	岩盤上の単位長さまたは単位面積あたりの割れ目の数の多少を表す尺度。
碗かけ	わんかけ	panning	鉱物の比重差を利用し，有用鉱物を選別する簡便な方法。碗のふた，皿などを利用することから，この名がある。パンニングともいう。
ワンガヌイ統	わんがぬいとう	Wanganui series	ニュージーランドの北島南部を模式地とする鮮新統～下部更新統。礫岩・砂岩・シルト岩などからなる。

湾曲	わんきょく	inflection	大地形用語で弧状山脈または弧状列島において、弧の曲率が著しく大きくなる部分.
湾入	わんにゅう	sinus	腕足類の腹殻を上にして見た時の殻のくぼみのこと.
ワンワン統	わんわんとう	Wanwanian series	中国の黄河盆地に分布する下部オルドビス系. 大部分が石灰岩とドロマイトからなる.

確認